servicenow

Xanadu IT 資産管理

最終更新日: **2024**年**11**月**7**日

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

これらの資料は、翻訳ソフトウェアを使用してお客様の便宜のために翻訳されています。正確な翻訳をご提供できるよう相当な努力を払っておりますが、いかなる自動翻訳も人間の翻訳者に代わることはなく、そのようなことは意図されておりません。翻訳は「現状のまま」提供されています。他言語への翻訳の的確性、信頼性または正確性については、明示または黙示を問わず、いかなる保証も行われません。翻訳ソフトには限界があるため、一部のコンテンツが正確に翻訳されていない場合があります。これらの資料の公用言語は英語です。翻訳の際に生じる相違または不一致は、コンプライアンスまたは履行の目的に関しては拘束力を有さず、法的効力はないものとします。

ここで示したいくつかの例と図は、説明の目的でのみ提供されています。ServiceNow 製品またはサービスへの実際の関連付けやつながりは意図されておらず、推測されるものではありません。

ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。その他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

下記の ServiceNow ウェブサイト利用規約をお読みください。 www.servicenow.com/terms-of-use.html

自動翻訳

本社
2225 Lawson Lane
Santa Clara, CA 95054
United States
(408) 501-8550

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

servicenow

目次

IT Asset Management 5
Software Asset Management 12
ソフトウェア資産管理 の詳細 14
ソフトウェア資産管理 の設定 153
ソフトウェア資産ワークスペースの構成 167
ソフトウェア資産管理 クラシックの設定 178
ソフトウェア資産ワークスペース の使用 189
ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用 308
ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション 335
パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック用 338
サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス 356
SaaS ライセンス管理 549
ソフトウェア支出検出 834
ソフトウェア資産管理 管理 844
ソフトウェア資産管理 参照 867
ハードウェア資産管理 960
ハードウェア資産管理 の探索 962
ハードウェア資産管理 の構成 1042
ハードウェア資産管理 の使用 1045
ハードウェア資産管理 に関する参照情報 1199
ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合 1248
Device as a Service 1249
資産管理 1278
資産管理 ワークスペース の探索 1278
エンタープライズ資産管理 1287
エンタープライズ資産管理 の詳細 1288
エンタープライズ資産管理の構成 1341
エンタープライズ資産とモデルの管理 1377
エンタープライズ資産インベントリと契約の管理 1440
エンタープライズ資産の作業指示の管理 1517
エンタープライズ資産管理要求とフローにサービスカタログを使用する 1543
モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理 1552
企業資産の調達 1581
エンタープライズ資産管理 に関する参照情報 1582
クラウドインサイト 1613
クラウドインサイト の詳細 1615
クラウドインサイト の構成 1653
クラウドインサイト の使用 1720

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

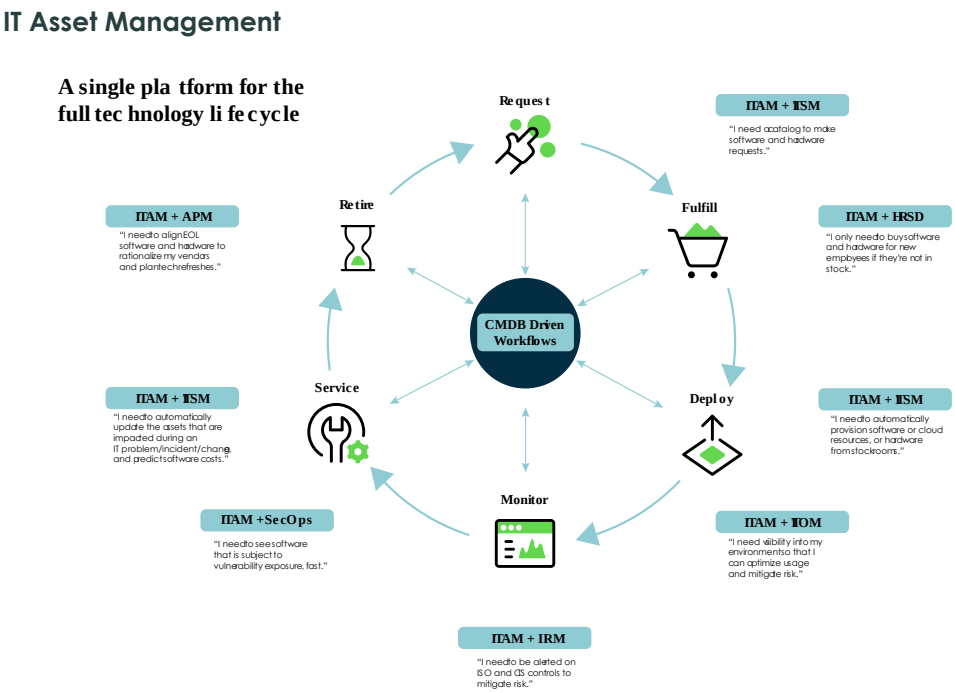
クラウドインサイトの参照情報 1766
契約管理 1805
資産契約の概要モジュールの使用 1805
一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理 1806
契約更改ワークフロー 1809
契約管理 の使用 1822
条件チェック定義 1847
ドメインセパレーションと 契約管理 1849
調達 1849
調達のロール 1850
Procurement のワークフロー 1850
調達概要モジュールを使用する 1851
調達 をアクティブ化する 1851
サービスカタログ要求でのアイテムの調達 1855
調達での資産の注文管理 1861
資産の受領 1872
外部調達アプリケーションとの統合 1876
ドメインセパレーションと 調達 1887
製品カタログ 1888
製品カタログでインストールされるコンポーネント 1888
モデル 1890
ベンダーカタログアイテム 1899
製品カタログアイテム 1904
モデルカテゴリ 1907
ドメインセパレーションと製品カタログ 1912
IT Asset Management コンテンツ要求プロセス 1913
IT Asset Management コンテンツ要求を作成 1913
IT Asset Management のライセンス 1914
IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションサマリー 1915
IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示 1916

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT Asset Management

直感的なワークフローとライフサイクルの可視化により、ソフトウェアライセンス、ハードウェア資産、クラウド資産を管理します。



ソフトウェア、ハードウェア、クラウド資産を管理

Gartner, Inc. によると、組織は年に 3 回以上のソフトウェア監査に直面することが多いとのことです。監査の数が多く、統合された資産管理プラットフォームがないと、組織がソフトウェア支出を管理および最適化することが困難になる可能性があります。ServiceNow® ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して、ソフトウェア資産を管理します。

企業は、所有している資産、資産がどこにあるか、誰がそれらの資産を使用しているか、それらの資産がどのくらいの頻度で使用されているか、それらの資産がいつ構成されているか、それらの資産のコストはいくらか、それらの資産はどのような価値を提供するかを知る必要があります。ServiceNow® ハードウェア資産管理 アプリケーションを使用して、資産の可視化を向上させ、調達から廃棄までの IT ライフサイクルを自動化します。

企業がクラウドに移行すると、クラウドの支出と使用状況が可視化されないため、コストと提供されるビジネス価値を関連付ける際に課題に直面する可能性があります。ServiceNow® クラウドインサイト アプリケーションを使用して、クラウド資産に関連付けられている使用状況とコストを完全に可視化することで、運用を最適化し、クラウド支出を削減できます。

機能のハイライトについては、 Software Asset Management または Hardware Asset Management infocard の全文を表示およびダウンロードしてください。

ソフトウェア資産を正規化

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスからの更新により、ソフトウェア資産を自動的に正規化します。

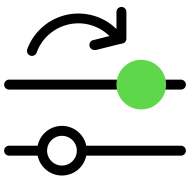
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



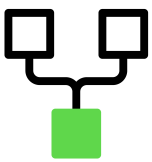
ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを作成またはインポートして、ソフトウェア製品の権限を追跡および管理します。



パブリッシャーパックを活用する

特定のソフトウェアパブリッシャーのライセンスメトリクスデータを使用して、ソフトウェア使用状況を正確に追跡します。



SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡する

SaaS アプリケーションおよび SSO プロバイダーと統合して、SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡します。このデータを使用して、コンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化します。



ライセンスポジションを表示してアクションを実行

ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) またはライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) を使用して、ライセンスコンプライアンス状況を表示し、ライセンスコンプライアンスの問題を簡単に修正できます。



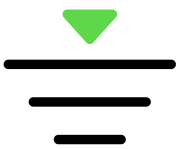
ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア製品の財務トランザクションデータを追跡および管理して、ソフトウェア支出を最適化できるようにします。



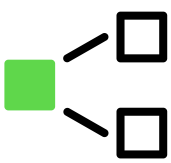
ソフトウェア資産分析ダッシュボードを使用してビジネスプロセスを分析および改善します

アクション可能なデータ可視化を備えた統合ダッシュボードを使用して、ビジネスプロセスを分析し、改善領域を特定します。



ハードウェア資産の正規化

広範なハードウェアコンテンツライブラリを活用して、資産の製造元とモデルデータを正規化し、重要なライフサイクルの日付を入力して、資産資産の可視化を向上させます。



資産ライフサイクルの自動化

資産ライフサイクルの各段階で利用可能な業界のベストプラクティスに基づいたローコードの規範的なワークフローを使用して、手作業を削減し、サービスデリバリを改善します。資産タスクを使用して、一括在庫注文のワークフローを自動化します。廃棄注文資産の展開、交換、廃止が含まれます。資産タスクを使用すると、手動入力によって発生するデータが不正確になるリスクを排除できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

古いハードウェア資産のリフレッシュ

ライフサイクルの終わりに近づいている老朽化した資産を積極的に追跡して計画することで、交換コストとハードウェアの脆弱性のリスクを削減できます。

資産在庫の監査

資産倉庫やその他の資産の場所 (オフィスやデータセンターなど) に対して、スケジュールされた監査または臨時の監査を実施します。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約を管理する

簡素化された契約更新プロセス内でタスクベースのワークフローを使用して、期限切れ間近の保守契約とリース契約に対してアクションを実行します。

専用のワークスペースを使用して資産マネージャーの生産性を向上

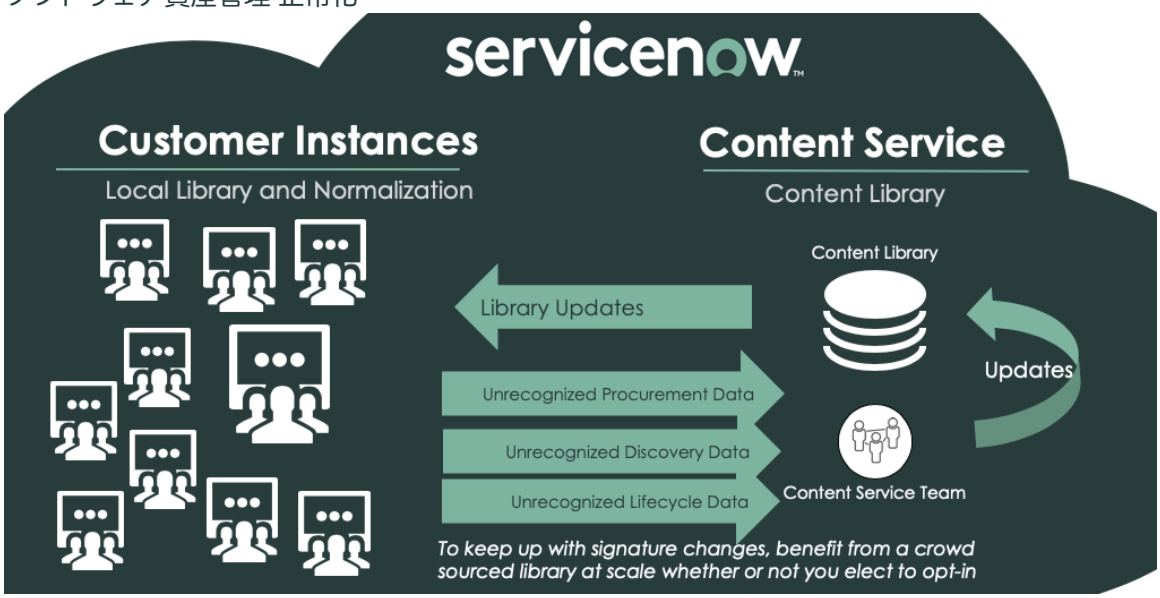
ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産資産を一元化された単一ペインビューにします。資産ライフサイクルのあらゆる段階で ハードウェア資産管理 成果を促進する重要なアクションアイテムを可視化します。さらに、重要なアクションを掘り下げて、資産ライフサイクルプロセスから推測を排除します。

クラウド戦略を加速し、コストを削減

簡素化され、応答性に優れ、直感的なセルフサービスクラウドリソースポータルと非侵入型ポリシーガードレールにより、クラウドの実装を加速します。組織の使用状況に合わせてクラウドリソースのサイズを適正化し、勤務時間外にクラウドリソースを自動的にオフにすることで、コストを削減します。

ソフトウェア資産を正規化

ソフトウェア資産管理 正常化



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ディスカバリーソースを有効にすると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは組織からのソフトウェアインストールデータを正規化します。公開者名、製品名、ソフトウェアライフサイクルの日付などの毎週のコンテンツ更新を利用して、検出されたデータを正規化し、正確かつ最新の状態に保つことができます。検出されたデータの正規化値を機械学習によって予測することで、正規化レートを向上させることもできます。さらに、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、正規化されていないコンテンツを安全かつ匿名で ServiceNow に送信し、調査、検証、および更新を行うことができます。

ソフトウェア権限の管理

ソフトウェアエンタイトルメントを使用して、購入したソフトウェアの権限を追跡および管理します。組織が購入した権限の数、権限のコスト、権限の割り当て先などを決定します。ソフトウェアエンタイトルメントを個別に作成および更新することも、一括でソフトウェアエンタイトルメントを一度にインポートすることもできます。

パブリッシャーパックを活用する

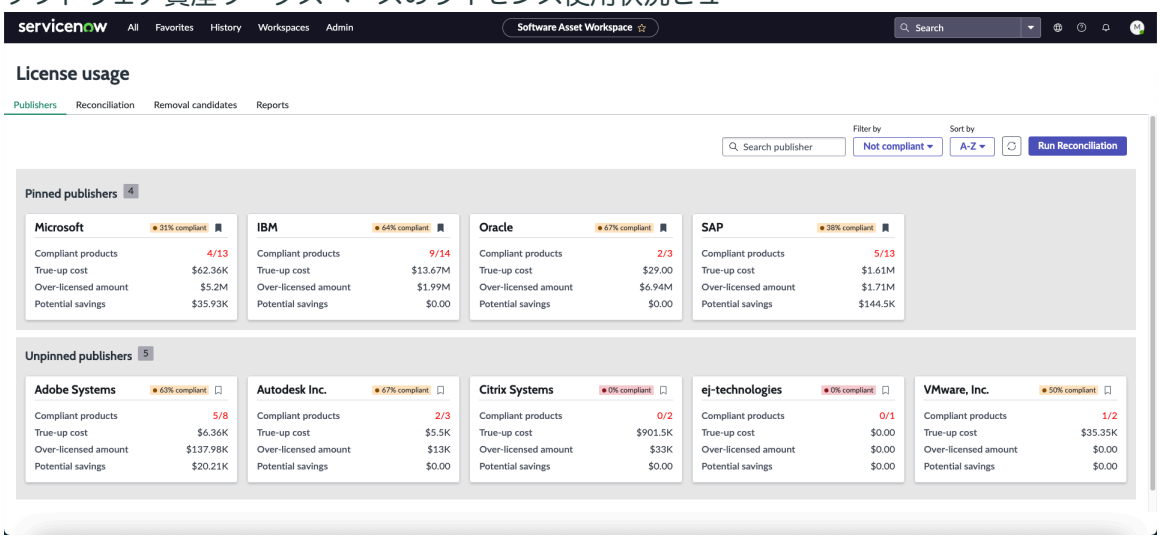
ソフトウェアパブリッシャーは、ソフトウェアライセンスの使用方法を定義するためにさまざまなライセンスモデルを使用しているため、すべてのソフトウェアパブリッシャーにわたってライセンスコンプライアンスを追跡することが困難になる場合があります。コンテンツライブラリから入手できる何千ものソフトウェア公開者に加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションには、 Now Platform とトップのサードパーティソフトウェア公開者の間で機能を拡張する公開者パックが用意されています。パブリッシャーパックを使用すると、指定したソフトウェアパブリッシャーのライセンスを追跡して最適化するのに役立つ追加機能にアクセスできます。

SaaSサブスクリプションの使用状況を追跡する

ソフトウェア資産管理 SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用すると、ServiceNow インスタンスをサードパーティの SaaS アプリケーションおよび SSO プロバイダーと統合できます。これらの統合により、 SaaS および接続された SSO アプリケーションからサブスクリプションの使用状況データをプルして、使用状況を追跡し、コンプライアンスを管理し、サブスクリプションのライセンスを最適化できます。

ライセンスポジションを表示してアクションを実行

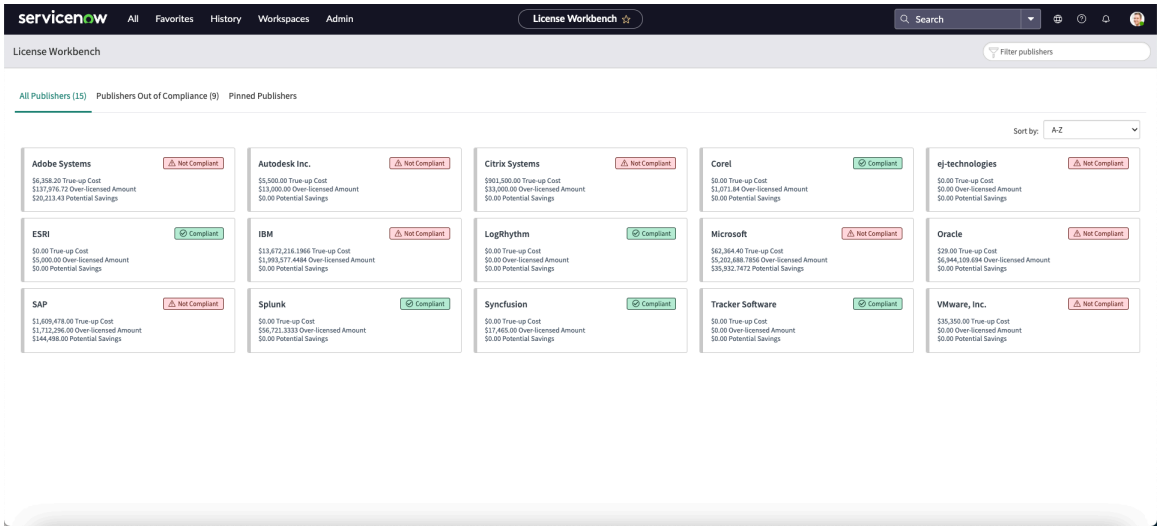
ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況ビュー



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションのライセンスワークベンチ



ライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) とライセンスワークベンチ (ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーション) では、すべてのソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスポジションを一元的に表示できます。いずれかのライセンスがコンプライアンス違反の場合は、指定された製品にドリルダウンして、提案された修復オプションを確認できます。ライセンスを効率的にコンプライアンスに戻すためのオプションを選択します。

ソフトウェア支出の追跡

ソフトウェア支出検出 アプリケーションを使用して、インポートされた財務トランザクションデータに基づいてソフトウェア支出を追跡および最適化します。このデータを使用して、冗長なソフトウェアを特定してアクションを実行したり、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化または更新したり、管理対象外ソフトウェア製品の管理を開始したりすることができます。

ソフトウェア資産分析ダッシュボードを使用してビジネスプロセスを分析および改善します

ソフトウェア資産管理 アプリケーションには、パフォーマンスを追跡してビジネスプロセスを改善するのに役立つ、実用的なデータ可視化を備えた事前構成済みのダッシュボードが用意されています。これらのダッシュボードを使用して、ライセンスコンプライアンス、 SaaS および SSO サブスクリプション、エンジニアリングアプリケーション、推奨されるライセンスの最適化、潜在的なコスト削減、正規化の傾向などを可視化します。

ハードウェア資産の正規化

ハードウェア資産管理 アプリケーションは、ハードウェアおよび消耗品モデルの資産データを正規化します。メーカーやデバイスタイプなどの毎週のコンテンツ更新を利用してデータを正規化し、正確かつ最新の状態に保つことができます。また、 ハードウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインして、正規化されていないコンテンツを安全かつ匿名で ServiceNow に送信し、調査、検証、および更新を行うこともできます。

資産ライフサイクルの自動化

ハードウェア資産管理 アプリケーションを使用して、調達から廃棄までのハードウェア資産のライフサイクル全体を管理します。ハードウェア資産管理 アプリケーションは、ハードウェア資産の財務、契約、在庫の詳細を追跡することで、資産ライフサイクルの各ステージを自動化します。資産を展開、交換、交換、または廃止するための資産タスクが用意されています。資産マネージャーは、インシデント、変更、および作業指示書に資産タスクをアサインできるため、チケット解決の労力を軽減し、より迅速にサービスを提供できます。資産タスクは CI と資産レコードを自動的に更新し、手動入力によって引き起こされるデータが不正確になるリスクを排除します。

自動翻訳

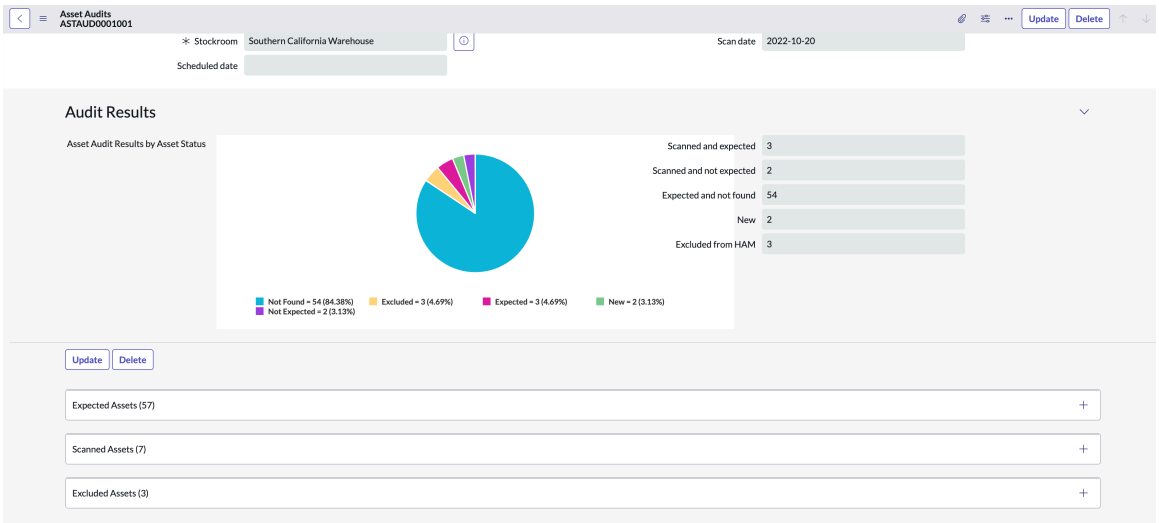
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

古いハードウェア資産のリフレッシュ

ハードウェア資産のライフサイクルが終わりに近づくと、関連するメンテナンスコストと障害リスクが増加し、パフォーマンスが低下します。古いハードウェア資産を同じまたは異なるハードウェアモデルの新しいハードウェア資産に置き換えることで、ハードウェア資産を最新の状態に保つことができます。

資産在庫の監査

資産監査フォーム



ハードウェア資産管理 アプリケーションでは、ServiceNow モバイルエージェントおよびモバイルスキャン機能を使用して、特定のストックルームまたは場所の資産インベントリをキャプチャできます。スキャン結果を Now Platform に保存されているデータと比較することで、データ品質とインベントリプロセスのコンプライアンスを向上させることができます。

期限切れ間近のメンテナンス契約とリース契約を管理する

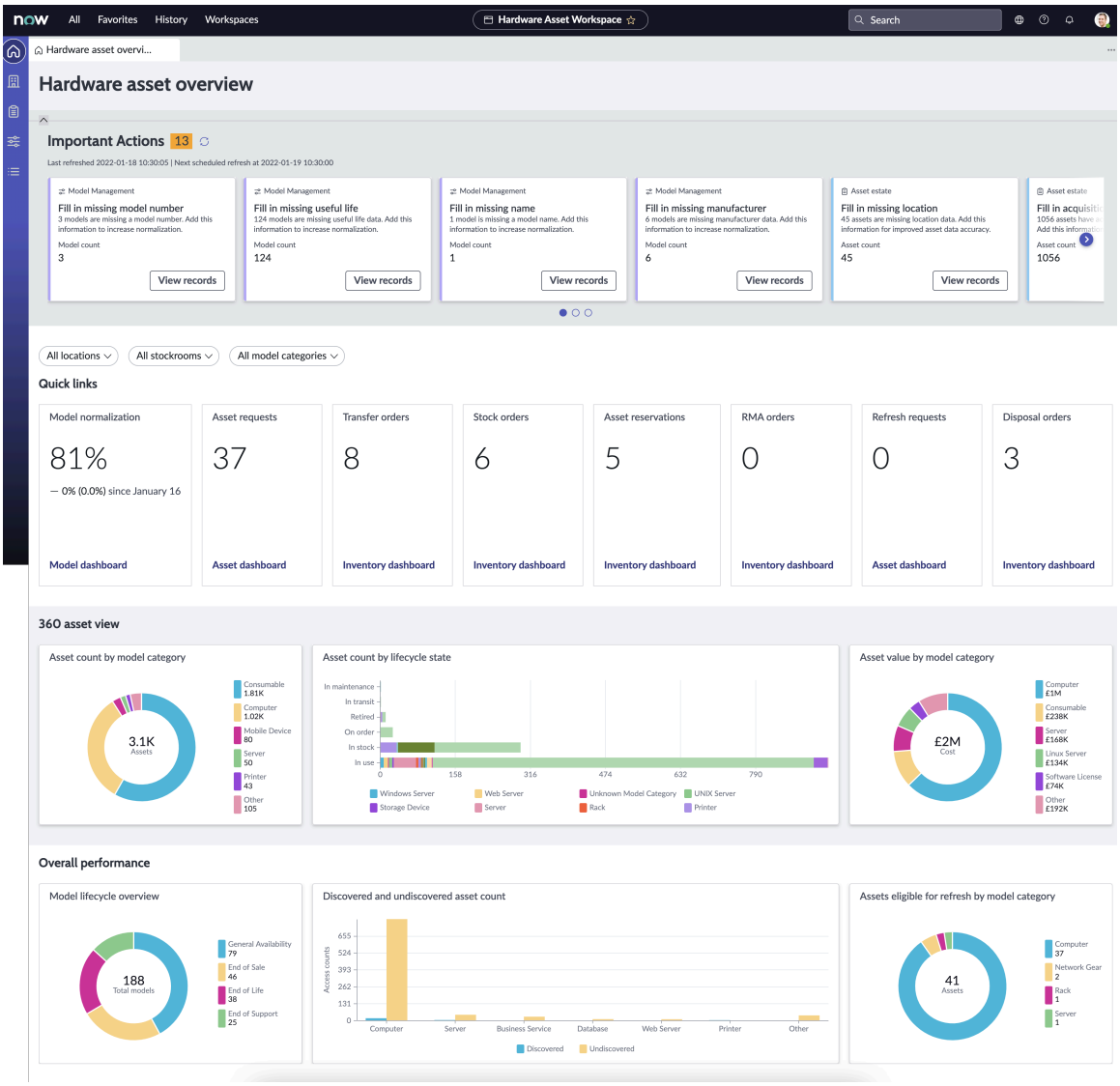
期限切れのメンテナンス契約やリース契約が期限切れになる前に通知を受け取り、アクションを実行することで、それらの契約に対する違約金を回避します。ハードウェア資産ダッシュボードを使用して、期限切れが近い契約の統合リストを一元的に表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

専用のワークスペースを使用して資産マネージャーの生産性を向上

ハードウェア資産ワークスペースのハードウェア資産の概要



ハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア資産を直感的に一元的に表示します。ライフサイクルの終わりに近づいているモデルと資産、資産の健全性とステータス、ハードウェアと消耗品モデルの正規化ステータス、発注書 (PO)、在庫注文などを可視化します。ハードウェア資産ワークスペースには、資産ライフサイクルプロセスから推測を排除するのに役立つ重要なアクションも含まれています。

クラウド戦略を加速し、コストを削減

- クラウドインサイト アプリケーションを使用すると、クラウド資産に関連付けられているコストの全範囲を分析できます。自動または半自動の運用を選択することで、十分に活用されていないクラウド資産、過剰プロビジョニングされているクラウド資産、孤立したクラウド資産などのコスト最適化目標を特定して修正できます。

学習内容

- IT 資産管理 (ITAM) とは
- Software Asset Management (SAM) とは
- プロビジョニングとは

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- エンタープライズSaaSとは?
- SaaSライセンス管理とは?
- バーコード在庫システムとは何ですか?
- 在庫管理とは何ですか?
- IT 資産追跡とは
- エンタープライズ資産管理 (EAM) とは

開始するには

- 実装スペシャリストと協力して ソフトウェア資産管理 セットアッププロセスを簡素化します。詳細やデモをご覧になるには、 カスタマーサクセスセンター をご覧ください。
- ServiceNow Software Asset Management fundamentals トレーニングプログラムと認定 にサインアップして、コア ソフトウェア資産管理 機能とリリース固有の機能について学習してください。
- Software Asset Management (SAM) 入門 コースにサインアップして、ソフトウェア資産管理アプリケーションの基本的な概念と用語を学習してください。
- ソフトウェア資産管理の要求方法とセットアップの開始方法については、「ソフトウェア資産管理の設定」を参照してください。
- クラウドインサイト で要求してインストールします。 ServiceNow Store Webサイトにあります
- Device as a Service で要求してインストールします。 ServiceNow Store Webサイトにあります

アプリケーションと機能

- Software Asset Management
- Hardware Asset Management
- Enterprise Asset Management
- クラウドインサイト
- 契約管理
- Procurement
- 製品カタログ
- IT Asset Management コンテンツ要求
- IT Asset Management のライセンス

Software Asset Management

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションは、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を体系的に追跡、評価、および管理します。未使用のソフトウェア権限を再利用したり、新しいソフトウェア権限を購入したり、エンタイトルメントの割り当てを管理したりできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

https://player.vimeo.com/video/995307472?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

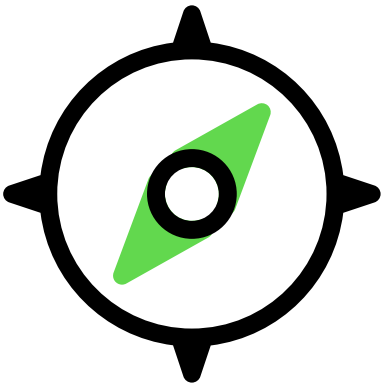
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: Now Platform Xanadu リリース以降、ソフトウェア資産管理 クラシックユーザーインターフェイスのサポートが制限されています。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

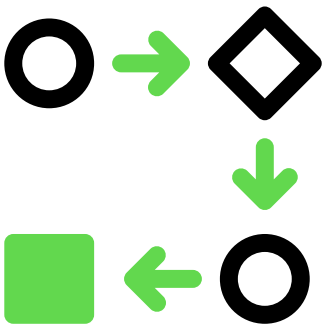
資産管理 のITSM ソフトウェア資産管理機能については、「ITSM ソフトウェア資産管理」を参照してください。

探索



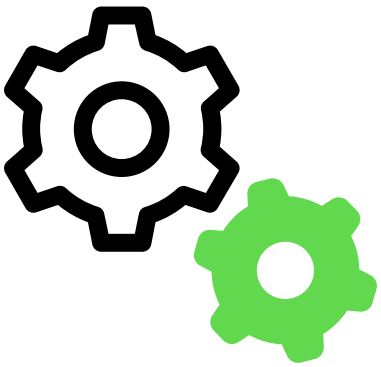
ソフトウェア資産管理アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について学びます。

セットアップ



アプリケーションを計画して設定します。

Configure (構成)



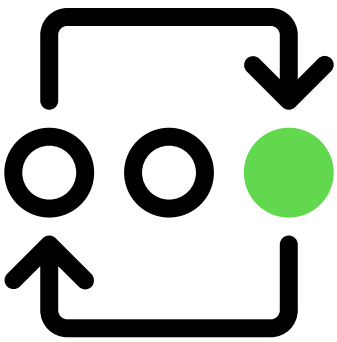
機能とコンポーネントを構成します。

使用



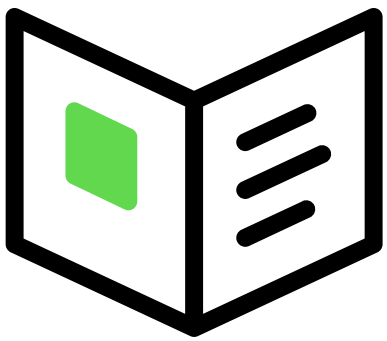
直感的で新しいユーザーインターフェイスを使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

データ連携



SaaS アプリケーションと統合することで、ソフトウェア資産管理機能を拡張します。

参照



フィールド、ロール、ライセンス契約タイプなどのコンポーネントの詳細を取得します。

自動翻訳

学習内容

Software Asset Management (SAM) とは

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 の詳細

ソフトウェア資産管理アプリケーションのユーザーインターフェイスが強化され、より使いやすく直感的になり、ソフトウェアのインストールをより適切に管理できるようになりました。

Now Platform Xanadu リリース以降、ソフトウェア資産管理 クラシックユーザーインターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

ソフトウェア資産ワークスペースの使用

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_samp_master_ws) を含む新しいすべてのソフトウェア資産管理プロフェッショナルプラグインのアクティブ化で利用できます。このプラグインをアクティブ化すると、 Activate all Software Asset Management Professional プラグイン (com.sn_samp_master) と Software Asset Workspace プラグイン (com.sn_sam_workspace) が自動的にアクティブになります。新しいプラグインを有効にすると、クラシックユーザーインターフェイスにアクセスできなくなります。

Xanaduより前のリリースでは、古い ソフトウェア資産管理 Professional プラグイン (com.sn_samp_master) をアクティブ化した場合、ソフトウェア資産ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化すると、ソフトウェア資産ワークスペースを使用できます。ワークスペースプラグインをアクティブ化した後は、従来のソフトウェア資産管理アプリケーションに戻すことはできません。

> **注:** ソフトウェア資産ワークスペースがアクティブ化されると、ソフトウェア資産ワークスペースに移動された機能については、クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションのメニューは非表示になります。

ソフトウェア資産ワークスペースの構成と使用の詳細については、「ソフトウェア資産ワークスペースの構成」および「ソフトウェア資産ワークスペース の使用」を参照してください。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの使用

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションを引き続き使用するには、ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする必要があります。

その後でソフトウェア資産ワークスペースを使用することになった場合は、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にする必要があります。

クラシック ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成と使用の詳細については、「ソフトウェア資産管理 クラシックの設定」および「ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用」を参照してください。

クラシックに引き続き存在するメニューソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを有効にした後でも、次のメニューは引き続きクラシックフレームワークに残ります。

ソフトウェア資産		
ソフトウェア資産デマンド		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産		
• 新規作成 • デマンド • デマンド要件 管理 • カスタム製品 • カスタム品番 • カスタムライセンスの測定基準 • ソフトウェア資産デマンドアクション • 正規化ルールのカスタマイズ • 再利用ルール • ジョブ結果 • コンテンツサービス設定 • プロセッサ定義を更新 • ソフトウェアの移行の結果 • プロパティ • カスタマイズを元に戻す • 非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデル SaaS ライセンス • 認識されないサブスクリプション識別子 • SSO 統合プロファイル • 直接統合プロファイル SAP コンプライアンスおよび最適化 • SAP 接続 • 接続のセットアップ • インポートスケジュール • 変換履歴		

ソフトウェア資産管理 の概要

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの機能の概要。

ソフトウェア資産管理 機能はこれらの主な機能で構成されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特長エリア	説明
ダッシュボード	これらのダッシュボードには、お使いの環境のソフトウェアインストールの結果が統計とチャート形式で表示されます。 • ソフトウェア資産アナリティクス:概要、ライセンスのサマリー、コンプライアンスのサマリー、削除のサマリー • 正規化とコンテンツサービス:正規化トレンドチャート • ソフトウェアパブリッシャーアナリティクス: Citrix、 IBM、 Microsoft、 Oracle、 SAP、 VMware。 注: ソフトウェア公開者分析ダッシュボードを表示するには、公開者パックアドオンを有効にする必要があります。 • Office 365 と Adobe Cloud 注: Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示するには、パブリッシャーパックアドオンをアクティブ化する必要があります。 • ソフトウェア資産管理:概要、最適化、コンプライアンス分析
ライセンス	インストールされているすべてのソフトウェア製品用に作成されたソフトウェア モデルは、ソフトウェア インストール (使用されているソフトウェア)とエンタイトルメント (所有されているソフトウェア) を結びつけるために使用されます。エンタイトルメントはライセンスの詳細を定義し、ソフトウェア モデルに割り当てられます。 機能には、公開者の品番のルックアップ、コアごとおよびプロセッサーごとの共通のライセンス測定基準、エンタイトルメント検出マップ、除外リスト、クライアントアクセス、ライセンス変更予測、エンタイトルメントのインポート、エンタイトルメントのインポートエラー結果リストが含まれます。
Discovery と標準化	ServiceNow ディスカバリー や Microsoft SCCM(2012 v2 または 2016)などの検出プロセスを使用して、環境にインストールされているソフトウェアを検出できます。 正規化プロセスでは、検出されたパブリッシャー、検出された製品、および検出されたバージョン値が、正規化された同等の ServiceNow リポジトリと比較されます OOB 正規化ライブラリには、公開者と製品を除くすべてのコンテンツが含まれています。ソフトウェア製品が [ソフトウェア] ライブラリーに存在しない場合、カスタム製品を作成できます。検出されたソフトウェアは、調整のために手動で正規化することもできます。次に、ソフトウェア検出モデルが、検出されたソフトウェアインストールと照合されます。 機能には、部分的、完全、およびパブリッシャーの正規化、ライセンスワークベンチ、ライセンスポジションレポート、カスタムパターン正規化ルール、正規化の提案、オンプレミスのカスタマーサポート、および正規化ライブラリをパターン正規化

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

特長エリア	説明
	ルールで更新するオプションの ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスが含まれます。 統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。 **注:** 従来の SCCM プラグインである SCCM 2012 および SCCM 2016 は、今後のリリースで廃止される予定です。統合を初めて作成する場合は、SCCM サービスグラフコネクタ SG コネクタ Microsoft から開始します。これらのプラグインのいずれかを既に使用している場合は、ServiceNow Store で「Migration Readiness Tool for Service Graph Connector for SCCM」というタイトルのアプリケーションを使用して、サービスグラフコネクタへの移行を準備します。
調整	調整プロセスでは、検出とエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスが計算されます。 ソフトウェア権限を再利用するために使用できる未使用のソフトウェアに対して、削除候補が生成されます。 機能には、コンプライアンスの問題を解決するための調整、グループ化、および修復アクションが含まれます。
最適化	再利用プロセスでは、デバイスからソフトウェアをアンインストールし、それらのソフトウェア権限を再利用することで、非準拠を修復します。再利用プロセスは、 クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) を使用して自動化できます。 機能には、削除候補とワークフロー、再利用ルールの作成、ソフトウェア使用リスト、 調達 統合を使用した発注書の直接作成のサポートなどがあります。詳細については、 調達の概要 を参照してください。
ダウングレード権限	ライセンスのダウングレードの概念は、 ソフトウェア資産管理 プラグイン機能に組み込まれています。ダウングレード権とは、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得したが、その権利を使用して同じソフトウェアの以前のバージョンのライセンスを付与するプロセスです。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

用 **Now Mobile** アプリ ソフトウェア資産管理

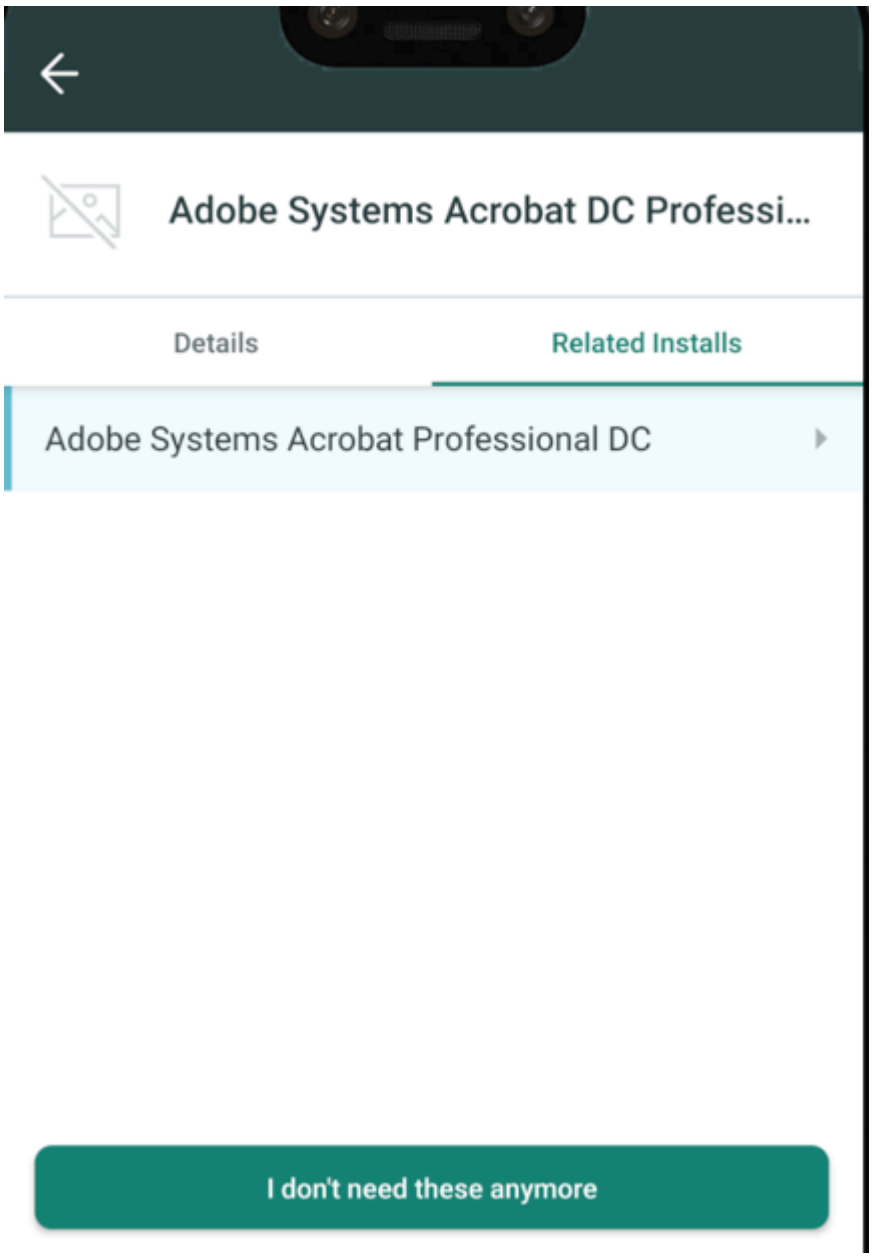
Now Mobile アプリを使用して、自分に割り当てられているハードウェア資産とソフトウェア資産を表示します。

Now Mobile アプリで、インストールされているソフトウェアとサブスクリプションソフトウェアの両方のリストを表示するには、 自分のアイテム > **My Assets** (自分の資産) > ソフトウェア. ソフトウェアを最後に使用した日時に関する情報を確認できます。一部のソフトウェアが複数のデバイスにインストールされている場合は、すべてのデバイスを表示することもできます。Now Mobileアプリは、ソフトウェアサブスクリプション、権限使用者、および必要な権限テーブルから資産のリストを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Now Mobile アプリでのアセットの表示



いずれかの資産をタップすると、ビジネスコスト、最後のアクティビティ、その他の情報などの詳細が表示されます。アセットを放棄する場合は、[**I don't need this anymore**] をタップします。ソフトウェア資産マネージャーが削除要求を確認して承認できるように、削除候補が生成されます。

ソフトウェア要求の仮想エージェント

ServiceNow® 仮想エージェントを実装して、従業員が人工知能を利用した事前定義された会話型インターフェイスを介してソフトウェアを要求できるようにすることができます。仮想エージェントは、ソフトウェア要求に自動的に対処するのに役立つため、IT フルフィルメント担当者はより複雑な要求とインシデントに集中できます。

仮想エージェントの実装方法と使用方法については、「仮想エージェント」を参照してください。

必須条件

ソフトウェア要求に 仮想エージェント を使用する前に、次の前提条件を満たしてください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ServiceNow インスタンスで ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインを有効にします。

  このプラグインをアクティブ化する方法の詳細については、「 ソフトウェア資産管理 を要求する 」を参照してください。

- ServiceNow インスタンスで Glide 仮想エージェント (com.glide.cs.chatbot) プラグインをアクティブ化します。

  このプラグインをアクティブ化する方法の詳細については、「 仮想エージェントのアクティブ化 」を参照してください。

- ServiceNow Store から ITSM 仮想エージェント Conversations アプリケーションを要求してインストールします。
- ServiceNow Store から 仮想エージェント Conversations 用ITSM NLUモデルアプリケーションを要求してインストールします。
- 対応するソフトウェアカタログアイテムのワークフローを **[Procurement Process Flow - Auto allocation enabled]** に設定して、ソフトウェアの自動割り当てを有効にします。ソフトウェアカタログアイテムのワークフローを設定する方法の詳細については、「 カタログアイテムの作成または編集 」を参照してください。

でのソフトウェア要求フロー 仮想エージェント

ユーザーがソフトウェアを要求すると、 仮想エージェント はソフトウェアカタログで利用可能なソフトウェアに基づいて適切なオプションを自動的に推奨します。オプションを選択すると、ユーザーはソフトウェアの要求対象のユーザーまたはデバイスを指定するように求められます。 仮想エージェント 要求アイテムを生成し、次のいずれかのワークフローを開始して、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。

- ユーザー割り当てワークフロー:指定されたユーザーに権限を割り当てます。対応するソフトウェアエンタイトルメントがユーザー割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの割り当ての両方をサポートしている場合、 仮想エージェント はこのワークフローを開始します。
- デバイス割り当てワークフロー:指定されたデバイスに権限を割り当てます。対応するソフトウェアエンタイトルメントがデバイス割り当てのみ、またはユーザーとデバイスの両方の割り当てをサポートしている場合、 仮想エージェント はこのワークフローを開始します。

注: 権限は、指定されたユーザーまたはデバイスに、最も古いソフトウェアエンタイトルメントを先頭に、ソフトウェアエンタイトルメントの時間的な昇順で割り当てられます。

注: ソフトウェアエンタイトルメントがユーザー割り当てとデバイス割り当ての両方をサポートしている場合、またはソフトウェアにユーザー割り当てベースとデバイス割り当てベースの両方のソフトウェアエンタイトルメントが含まれている場合、 仮想エージェント が最初にユーザー割り当てワークフローを開始します。 仮想エージェント は、すべてのユーザー割り当てが消費された後にのみ、デバイス割り当てワークフローを開始します。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を満たすのに十分なアクティブな権限と割り当てが含まれている場合、 仮想エージェント は要求を自動的に承認し、指定されたユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

対応するソフトウェアエンタイトルメントに、要求を満たすために十分なアクティブな権限と割り当てが含まれていない場合は、必要な権限を手動で調達する必要があります。これらの権限を調達すると、 仮想エージェント は指定されたユーザーまたはデバイスに自動的に割り当てます。ユーザーには、ソフトウェアをダウンロードしてインストールするための手順が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: ソフトウェアは、 ServiceNow® サービスカタログ と 従業員センターでこれと同じフローを使用して要求し、割り当てることができます。サービスカタログの詳細については、「サービスカタログ」を参照してください。従業員センターの詳細については、「従業員センター」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス

正規化プロセスを改善するために、組織からの正規化されていないソフトウェアインストールデータをServiceNowと共有するソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインします。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス は、継続的なソフトウェア認識の改善をユーザーに提供する IT Asset Management (ITAM) シェアードサービスです。正規化されていないソフトウェアインストールデータを ServiceNowと共有することで、独自のソフトウェアインストールフットプリントに基づいてコンテンツを自動的に更新できます。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスを使用して共有されたデータは、ServiceNowプライバシーポリシーに従って匿名性と安全性を保ち、レビュー後に適切に廃棄されます。

この新しいコンテンツにより、正規化ヒット率が向上し、ソフトウェア資産をより適切に管理できるようになります。デフォルトでは、コンテンツサービスにオプトインしていません。オプトインの方法については、「 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

ソフトウェアディスカバリーモデル、カスタムソフトウェア製品、またはカスタム公開者の品番をServiceNowとの共有から除外する場合は、ソフトウェアディスカバリーモデル、カスタムソフトウェア製品、またはカスタム品番フォームの [コンテンツサービスから除外] チェックボックスをオンにします。

正規化プロセスは、アクティブな公開者、製品、およびルールに対してのみ機能します。古いルールは使用されません。正規化ライブラリのコンテンツバージョンはいつでも非アクティブ化できます。

ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェアモデルのライフサイクル、部品番号とディスカバリーマップ、プロセッサー名、および製品ライセンス例外ルールのデータ共有は、オプトイン後に自動的に有効になります。資産データの種類を共有しない場合は、 コンテンツサービス セットアップ ページでデータの種類の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
ソフトウェア検出モデル	新しいインストールが特定されたときに、ソフトウェアインストールを分類して重複を低減するために作成されたモデル。 次のステータスのソフトウェア検出モデルのみが転送されます。 • 一致なし • パブリッシャーによって正規化済み • 一部正規化済み • 手動で正規化済み	• 検出された公開者 • 検出された製品 • 検出されたバージョン • 正規化済みパブリッシャー • 正規化された製品 • 正規化されたバージョン • エディション • 言語 • プラットフォーム • ルールテーブル • ルール ID

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
	• 検出モデルが正規化されました **注:** ステータスが [正規化済み] で [バージョン] が空のディスカバリーモデルのみが転送されます。 **注:** 機械学習予測の精度を向上させるために、機械学習によって正規化されたソフトウェアディスカバリーモデルが転送されます。	• ML モデルバージョン • ML 正規化ステータス • ML 予測値 **注:** プロパティ `com.snc.samp.ml.overrride_ml_mode` 代替値を指定することで、予測に使用される ML モデルを上書きできます。アドミンと sam_adminはこのプロパティへの読み取りアクセス権を持ちますが、読み取りと書き込みの両方のアクセス権を持つのはアドミンのみです。
ソフトウェア製品ライフサイクル	外部定義または公開者定義のソフトウェア製品のライフサイクル。 ServiceNow によって作成されず、ライフサイクルタイプが内部ではないソフトウェア製品ライフサイクルのみが転送されます。	• パブリッシャー • 製品 • ライセンス可能なバージョン • エディション • 完全バージョン • ライフ サイクル フェーズ • フェーズ開始日 • ライフサイクルソース
品番とディスカバリーマップ	ソフトウェア製品の公開者の品番と対応するバージョンおよびエディションを表すために手動で作成されたカスタム品番とカスタムディスカバリーマップ。	• パブリッシャーの品番 • ライセンス タイプ • パブリッシャー • 製品 • ディスカバリーマップ • バージョン条件 • バージョン • エディション条件 • エディション • プラットフォーム • プラットフォーム条件 • 言語

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
		• 言語条件 • データベースオプション
プロセッサ名	構成アイテム (CI) で特定されたプロセッサ。 デフォルトのプロセッサー要素にマップされたプロセッサーのみが転送されます。	• CPU タイプ • コア数 • 速度
ファイルの署名	CI で検出されたソフトウェアパッケージを識別する署名。ソフトウェアパッケージは、ファイル名やファイルサイズなどのファイルの属性に基づいて検出されます。手動で正規化されたファイル署名のみが転送されます。	• ファイル名 • ファイルサイズ • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • プラットフォーム • 言語
ソフトウェア支出トランザクション **注:** ソフトウェア支出検出 がインストールされている場合にのみ表示されます。 ソフトウェア支出トランザクションのデータ共有は、デフォルトでは非アクティブです。	ソフトウェア支出検出のためにインポートされたソフトウェア支出トランザクションレコード。 ベンダー名、トランザクションの説明、総勘定元帳口座、および予測結果のみが転送されます。	• ベンダー名 • 説明 • GL アカウント • ソフトウェア • パブリッシャー ID • 製品 ID
認識されないサブスクリプション識別子	ソフトウェアモデルが ServiceNow コンテンツで関連付けられていないサブスクリプション識別子。	• サブスクリプション識別子 • ソフトウェアモデル • サブスクリプションの数
共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール	公開者、製品、バージョン、エディション、および ソフトウェア資産管理 (SAM) コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品のそれぞれの対応する値。	• パブリッシャー • 製品 • バージョン • 完全バージョン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
		• エディション • 言語
製品ライセンス例外ルール	製品、エディション条件、エディション、製品タイプ、および ソフトウェア資産管理 (SAM) コンテンツライブラリー内のソフトウェア製品の対応する値。 例外ルールテーブルには、特定の製品エディションをライセンス不可としてタグ付けするオプションがあります。 **注:** 製品にライセンス不可のラベルが付けられていて、その製品のエディションにライセンス可能としてタグを付ける場合は、 コンテンツサービスチームに要求を送信する必要があります。	• 製品 • エディション条件 • Edition (エディション) • 製品タイプ • アクティブ **注:** このレコードでは、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_custom_lic_exception_rules] テーブルを使用して独自の例外ルールを追加できます。このテーブルは利用可能で、リバースプッシュ機能があります。この機能を使用すると、製品のライセンスは可能であるが、製品の特定のエディションがライセンス不可である場合の例外ルールを作成できます。
カスタムソフトウェア製品	ServiceNowインスタンスに手動で追加されたカスタムソフトウェア製品。 ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリにまだ存在しない公開されているソフトウェア製品には、カスタムソフトウェア製品を追加できます。詳細な手順については、「ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する」を参照してください。	• パブリッシャー • 製品 • 製品タイプ • 製品分類 • サブスクリプションソフトウェア **警告:** これらの詳細の転送に加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはインスタンス名と顧客名を転送します。
機械学習を使用してソフトウェア契約から抽出されたエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメントの詳細は、機械学習を使用してソフトウェア契約から抽出されます。これは、製品、パブリッシャー、エディションの値を予測するための機械学習モデルの改善に役立ちます。さら	• パブリッシャーの品番 • 製品の説明 • パブリッシャー • 製品 • バージョン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 資産データタイプ (続く)

ソフトウェア資産データ	定義	転送された詳細
	に、マッピングテーブルにエントリを追加することで、マッピング機能も強化されます。	• Edition (エディション) • 指名ユーザータイプ • データベースオプション • ライセンスタイプ • ライセンス評価指標 • サブスクリプション期間 • 合意タイプ

オプトアウト

コンテンツサービス設定ページからいつでもオプトアウトできます。

オプトアウトすると、会社は正規化プロセスの改善に貢献しなくなります。コンテンツの更新は引き続き受け取りますが、お使いの環境や CMDB内に存在する会社固有のソフトウェア インストール フットプリントによって通知されないため、更新プログラムの適用性が低くなる可能性があります。

ソフトウェア資産管理 Content Service にはいつでも再参加できます。

関連情報

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

のコンテンツ更新 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスは、データの正規化に使用できるコンテンツ更新をインスタンスに毎週提供します。

コンテンツ更新の一環として、次のタイプのコンテンツを更新できます。

- カテゴリ
- ディスカバリーマップ
- 正規化の提案
- 製品分類
- 製品ライセンス例外ルール
- 製品名
- 製品タイプ
- パブリッシャー
- スイート定義
- ソフトウェアモデルのライフサイクル
- ソフトウェアモデルの提案
- カスタムソフトウェア製品の提案
- 共通プラットフォーム一覧 (CPE) 正規化ルール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 公開者の名前がコンテンツ更新の一部として更新されても、ソフトウェアモデルは更新されません。表示名がコア会社の参照から削除されているため、ソフトウェアモデルは更新されません。ただし、製品が別のパブリッシャーに移動した場合、製品が 1 つのコア会社から別のコア会社に移動するときに、コンテンツの更新中にソフトウェアモデルが更新されます。公開者名は、新しいソフトウェアモデルでは更新されますが、既存のソフトウェアモデルでは更新されません。

製品タイプは、カスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルを使用して、製品のエディションレベルで更新できます。特定のエディションがライセンス不可の場合、例外ルールが製品ライセンス例外ルール [samp_prod_lic_excep_rules] テーブルまたはカスタム製品ライセンス例外ルール [samp_cust_prod_lic_excep_rules] テーブルで定義されていれば、製品タイプは自動的に更新されます。ただし、製品がライセンス不可の場合、ライセンス可能なエディションに対して例外ルールを作成することはできません。このケースでは、サポートドキュメントを添えて コンテンツサービス チームにケースを提出する必要があります。チームは、エディションにライセンス可能としてタグを付ける必要があるかどうかを検討します。

[SAM - Apply latest content changes] スケジュール済みジョブが実行され、コンテンツの更新が処理されます。コンテンツのダウンロードが完了すると、更新されたコンテンツがステージング列から対応するターゲット列にプル。関連する下流レコードも更新されます。

クエリが実行され、インスタンス内のどのトランザクションデータを新しいコンテンツで更新する必要があるかが識別されます。変更が識別されると、その変更はインスタンスに反映されます。

もう 1 つのスケジュール済みジョブである **SAM -** ソフトウェアモデルのライフサイクルとスイートの作成は、スイートコンポーネントとライフサイクルの変更を実行し、ソフトウェアモデルに反映します。コンテンツの変更をソフトウェアモデルに適用しない場合は、ソフトウェアモデルフォームの [自動コンテンツ更新を許可] フラグをクリアできます。デフォルトでは、このフラグは選択されており、すべてのソフトウェアモデルに対してコンテンツの自動更新が有効になります。

注: コンテンツの更新によってライフサイクルデータが追加された場合、ソフトウェアモデルから削除することはできませんが、非アクティブ化することはできます。コンテンツ更新の一部として追加されるライフサイクルデータのソースは **ServiceNow** に設定されます。

非アクティブ化されたディスカバリーマップを含むソフトウェアモデルレポートを使用して、非アクティブ化されたディスカバリーマップを指しているソフトウェアモデルを表示します。

ソフトウェアライブラリーに加えられた変更を確認するには、SAM コンテンツ監査 [sam_content_audit] テーブルを確認します。

注: コンテンツの更新は、カスタム製品やカスタムディスカバリーマップには影響しません。

コンテンツを ServiceNow に送信してコンテンツの更新に含める方法の詳細については、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアモデルは、パブリッシャー、バージョン、および検出マップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアエンタイトルメントは、ソフトウェアモデルを購入した権限に関連付けるために使用されます。

ソフトウェアモデル

ソフトウェアモデルは、公開者情報を記録し、プロファイルを作成するために使用されます。複数のエンタイトルメントを 1 つのソフトウェアモデルにリンクできます。

ソフトウェア モデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model と samp_downgrade_model] テーブル内のソフトウェア モデルに関連するすべてのレコードが自動

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

的に削除されます。ダウングレード権限の詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

ソフトウェアモデルの手動作成の詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。ソフトウェアモデルの自動作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの自動作成」を参照してください。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポート

また、 テクノロジーポートフォリオ管理 で使用するソフトウェアのライフサイクルフェーズを追跡することもできます。

ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルには、ソフトウェア製品、そのライフサイクルタイプ (内部または外部)、完全バージョン、ライフサイクルフェーズ、フェーズの開始日、およびリスクの情報が含まれています。

ライフサイクルレコードが有効な場合、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルの [コンテンツアクティブ] 列は、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスによって値 true に設定されます。ライフサイクルフェーズをテクノロジーポートフォリオ管理 (TPM) タイムラインに表示しない場合は、[アクティブ] 列を false に設定します。たとえば、[ソフトウェア製品ライフサイクル] リストで、 一般提供、 拡張サポート終了、および サポート終了 ライフサイクルフェーズを Oracle DB サーバーソフトウェアモデルの 3 つのレコードとして持つことができます。ただし、一般提供フェーズをタイムラインに表示しない場合は、そのライフサイクルフェーズレコードのソフトウェア製品ライフサイクルフォームで [アクティブ] チェックボックスをオフにすることができます。その結果、タイムラインは サポート終了 フェーズから始まります。ソフトウェア製品ライフサイクルに対して、そのライフサイクルフェーズレコードは存在しますが、ライフサイクルデータはタイムラインに表示されなくなります。これは、アクティブなライフサイクルレコードのみが考慮され、TPM タイムラインにプロットされることが理由です。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポートを表示して、提供終了、サポート終了、および延長サポート終了が近づいている製品に関する情報を確認します。レポートを表示するには、次の場所に移動します。 レポート > 表示/実行. レポートは、スケジュール済みジョブ *SAM - Generate Data For Software Lifecycle Report* に基づいています。

ソフトウェアライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecyle] テーブルに記載されているライフサイクルフェーズから、現在および今後のライフサイクルフェーズを計算します。

公開者、製品、バージョン、完全バージョン、エディションが同じレコードの場合、異なるライフサイクルフェーズに対して 1 つのレコードがあります。これにより、ライフサイクルフェーズごとに重複するソフトウェアインストール回数を回避できます。ソフトウェアインストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルからライフサイクルをエクスポートできます。ソフトウェアインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb-sam-sw-install] テーブルの [*Installs associated to lifecycle*] 列を介してライフサイクルにリンクされます。

ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルに 5 つの新しい列が追加されました。

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの新しい列

新しい列ラベルと名前	説明
現在のフェーズ [current_lifecycle_phase]	現在進行中のライフサイクルフェーズ。
ライフサイクルフェーズの現在の開始日 [current_lifecycle_phase_start_date]	現在のライフサイクルフェーズの開始日。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアライフサイクルレポートテーブルの新しい列 (続く)

新しい列ラベルと名前	説明
今後のライフサイクルフェーズ [upcoming_lifecycle_phase]	まもなく始まるライフサイクルフェーズ。
今後のライフサイクルフェーズ開始日 [upcoming_lifecycle_phase_start_date]	今後のライフサイクルフェーズの開始日。
所有者 [owners]	ソフトウェアモデルの責任者。

注: ライフサイクルフェーズ列がソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルから削除されます。

ソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアのソフトウェア権限を追跡するには、公開者情報にリンクできるソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

ソフトウェアエンタイトルメントは、ソフトウェアライセンスの条件を記録します。ソフトウェアエンタイトルメントを使用すると、次のことが可能になります。

- ライセンスの割り当てを超過した場合に迅速に対処し、不正なソフトウェアを削除するか、追加のライセンスを注文することで、準拠ステータスに戻ります。
- ライセンスの割り当てが完全に使用されていない場合は、今後購入するライセンスの数を減らします。

たとえば、会社が 100 ライセンスのソフトウェアエンタイトルメントを購入したとします。ソフトウェアエンタイトルメントから、正当にライセンスが割り当てられた 従業員 100 人またはマシンの割り当てが作成されます。マシン 200 台にソフトウェアがインストールされていることをディスカバリーが見つけた場合、ソフトウェア資産管理者はライセンスなしでソフトウェアをインストールした従業員またはマシンを特定し、状況を正しくする必要があります。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントのインポート

一括でソフトウェアエンタイトルメントをインポートできます。

インポートするエンタイトルメントに公開者の品番 (PPN) が指定されている場合、PPN はコンテンツサービスライブラリの PPN と照合され、そのデータを使用してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

注: ソフトウェアエンタイトルメント (製品、パブリッシャー、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語) のインポート中に「パブリッシャーの品番が見つかりません」というエラーが発生したが、ディスカバリーマップが見つかった場合は、カスタムのパブリッシャーの品番 が自動的に作成されます。検出マップが見つからない場合は、検出マップを作成して公開者の品番に関連付けることができます。

インポートスプレッドシートに競合する (または欠落している) PPN が含まれている場合、PPN 値は既存の製品定義の値に設定されます (利用可能な場合)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Microsoft エンタイトルメントのバッチをインポートし、[ライセンス期間] フィールドが [契約] に設定されている場合は、開始日と終了日の両方を指定する必要があります。

ステップアップライセンスタイプは、公開者が Microsoft場合にのみ使用できます。別の発行元を指定しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

ソフトウェアモデルの自動作成

ソフトウェアモデルがまだ存在しない場合は、ソフトウェアインストール用のソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

すべてのソフトウェアインストールをソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。ソフトウェアモデルに関連付けられていると、修正に役立ち、準拠するためにソフトウェアインストールがコストの見積もりに含まれるようになります。

ソフトウェアインストールがどのソフトウェアモデルにも対応していない場合は、システムによってソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

- ライセンス可能な製品のソフトウェアモデルを自動的に作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'licensable' products*を有効にします。
- ライセンス不可製品のソフトウェアモデルを作成するには、プロパティ *Automatically create software models for all 'not licensable' products*を有効にします。

注: 上記のプロパティを更新するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

調整が実行されると、システムはソフトウェアインストールのソフトウェアモデルが存在するかどうかを検索します。既存のソフトウェアモデルの検索は、バージョン、エディション、言語、プラットフォーム、インストール条件などの属性に基づいて行われます。既存のソフトウェアモデルの属性のすべての条件が一致する場合、ソフトウェアモデルは作成されないため、重複するソフトウェアモデルの作成を回避できます。

ソフトウェアモデルは、一致するものが見つからない場合にのみ作成されます。ソフトウェアモデルは、バージョンをまたいで特定のエディション (利用可能な場合) に対して作成されます。ただし、ソフトウェアモデルが特定のバージョンに対して作成されることはありません。

検出マップは、そのソフトウェアモデルの検出マップが存在する場合にのみ、ソフトウェアモデルに関連付けられます。対応するディスカバリーマップがコンテンツサービスライブラリに存在しない場合でも、ソフトウェアモデルはディスカバリーマップなしで作成されます。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されるかどうかを、 *Automatically create software models for all 'licensable' products* プロパティまたは *Automatically create software models for all 'not licensable' products* プロパティで識別できます。[ソフトウェアモデル] リストビューで、歯車アイコンをクリックして [作成されたソース] 列を表示します。このプロパティの値が 「システムプロパティ」となっている場合は、いずれかのプロパティによってソフトウェアモデルが自動的に作成されたことを示しています。

カスタムパブリッシャーの品番 **(PPN)**

カスタム PPN とカスタムディスカバリーマップ (DMAP) を ソフトウェア資産管理 Content Service PPN と DMAP に置き換えることで、エンタイトルメントとソフトウェアモデルに変更を伝播します。

注: 発行元の有効な SKU ではない品番を使用するカスタム PPN は置き換えることができません。

コンテンツサービスの更新がインスタンスにダウンロードされると、スケジュール済みジョブ *SAM - Find Product Definition Suggestions* が実行されます。スケジュール済みジョブは、す

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

べてのカスタム PPN および DMAP レコードをチェックして、コンテンツサービスで対応する PPN および DMAP の一致を見つけます。カスタム PPN と DMAP の一致が見つかった場合、部品番号の提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに提案レコードが作成されます。提案レコードを表示するには、 部品番号の提案 オプションに移動します。

注: [カスタム部品番号] フォームで [コンテンツサービスから除外] オプションを選択して、コンテンツサービスからカスタム PPN を除外した場合、それらのカスタム PPN の提案は表示されません。

注: 提案レコードの表示の詳細については、「ワークスペースでのパブリッシャーの品番 (PPN) の提案の表示」または「ソフトウェア資産管理 classic でパブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示する」を参照してください。

提案を承認または却下できます。提案を受け入れると、カスタム PPN と DMAP がコンテンツサービス PPN と DMAP に置き換えられます。エンタイトルメントとソフトウェアモデルに対する変更はすべて自動的に反映されます。

コンテンツサービス PPN の伝播により、次の変更が行われます。

- 影響を受けるすべてのエンタイトルメントが新しい PPN で更新されます。
- コンテンツサービス DMAP に関連付けられたダウングレード権限がエンタイトルメントにコピーされます。
- コピーされたダウングレード権限は、ユーザーが作成した既存のエントリを上書きします。
- ライセンスタイプとライセンスメトリクスの値は、PPN に基づいて変更されます (必要な場合)。
- エンタイトルメントは [使用中] ステータスのままです。

コンテンツサービス DMAP の伝播により、次の変更が加えられます。

- 関連するソフトウェア モデルが新しい DMAP で更新されます。
- フィールドはソフトウェアモデルの影響を受けます。
  - 簡単な説明、資産追跡戦略/単位、次のバージョン。
  - スイートコンポーネント/親は、コンテンツサービスの DMAP 値で上書きされます。
  - 警告に記載されているように、追加されたカスタムコンポーネントはすべて削除されます。
  - ライフサイクルが上書きされます (警告メッセージが表示されます)。

ソフトウェアインストールに対するソフトウェアモデルの関係

各ソフトウェアインストールをソフトウェアモデルに関連付けることで、ライセンス可能なソフトウェアとライセンス不可能なソフトウェアの監査レポートを実行できます。

概要

次のシステムプロパティが有効になっている場合、ライセンス可能な製品とライセンス不可の製品に対してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

- *com.snc.samp.automaticsmrcreation*:ライセンス可能な製品の場合
- *com.snc.samp.automaticsmcreation*:ライセンス不可製品の場合

システムプロパティが有効になっていて、検出モデルの一致が存在する場合、たとえそれが汎用であっても、ソフトウェアモデルは作成されません。システムプロパティが有効になっていない場合、ソフトウェアモデルは検出モデルにのみ一致します。ソフトウェアモデルは作成されません。

最も限定的なソフトウェアモデルが照合されます。検出モデルに特定のソフトウェアモデルが存在しない場合は、最も一般的なソフトウェアモデルが照合されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

照合プロセス中に、一致するソフトウェアモデルが見つかったが、それにインストール条件がある場合、一致とは見なされません。このようなシナリオでは、ソフトウェア モデルがインストール条件なしで自動的に作成されます。

ソフトウェアディスカバリーモデル (cmdb_sam_sw_discovery_model) テーブルの正規化済みパブリッシャーと正規化済み製品のペアごとに、スケジュール済みジョブ *SAM - Discovery Model to Software Model matching* は、一致するパブリッシャーと製品を持つすべてのソフトウェアモデルを取得します。ソフトウェアモデルにインストール条件、サブスクリプション条件、または DB オプションがない場合、システムは、正規化されたパブリッシャー、正規化された製品、正規化されたエディション、および正規化されたバージョンの値を持つ、一致するディスカバリーモデルを取得します。一致が見つかると、ソフトウェアモデル参照がソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルのソフトウェアモデル列に配置されます。

ソフトウェアモデルを手動で設定

スケジュール済みジョブ *SAM - Discovery Model to Software Model matching* 設定されているものよりも汎用的なソフトウェアモデルで一致させることを選択した場合は、ソフトウェアディスカバリーモデル (cmdb_sam_sw_discovery_model) テーブルのフォームビューで目的のソフトウェアモデルを手動で設定できます。[Automatically matched (自動一致)] 列がオフになります。

ソフトウェアモデルが設定されていて、[自動一致] 列の値が false の場合、スケジュール済みジョブは後続の実行時にソフトウェアモデルの値を上書きしません。

サンプルの一致

ソフトウェアモデルと検出モデルの一致のサンプルシナリオを次に示します。

Dscovery モデル	ソフトウェアモデル	一致対象
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 エンタープライズ • SQL サーバー 2019	SQL Server 2019 Enterprise ソフトウェアモデル
SQL Server 2019 エンタープライズ	• SQL Server 2019 Enterprise (インストール条件あり) • SQL Server 2019 (エディションは何でもあり)	SQL Server 2019 ソフトウェアモデル
SQL サーバー 2019	SQL Server 2019 (インストール条件あり) (エディションは任意)	一致項目は見つかりませんでした システムプロパティが有効になっている場合は、新しいソフトウェアモデル SQL Server Enterprise (バージョンは任意) が作成されます。

ソフトウェアライセンスメトリクス

ライセンスメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントで設定され、さまざまなメトリクスグループとソフトウェアモデルの組み合わせで調整に使用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

それぞれのメトリクスグループには公開者が特定できる一連のライセンスのメトリクスを設けています。

ソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストを表示して、属性値を設定できます。詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。

カスタムライセンスのメトリクスを追加することもできます。詳細については、「カスタムライセンスの測定基準の追加」を参照してください。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、カスタムライセンス測定基準を強化することができます。そのためには、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルのユニット消費量列とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの必要なライセンス列の間で 1:1 の計算を実行します。

Adobe、 Citrix、 IBM (IBM と Red Hat の両方を含む)、 Microsoft、 Oracle、 SAP、 VMware の公開者パックがアドオンとして利用できます。これらは、公開者ライセンスモデルでライセンスされたソフトウェアを管理する機能を提供します。

SaaS License Management をインストールすると、サブスクリプションおよび消費評価指標グループが追加されます。

ライセンスメトリクスの説明を表示するには、ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンスのメトリクス] フィールドの横にある参照 (ⓘ) アイコンを選択します。

ライセンスのメトリクス

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Adobe **注:** Adobe ライセンスの測定基準は、Adobe 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンスを付与します。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数についてユーザーにライセンスを付与します。 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの調整を実行すると、ユーザーにアサインされたアクティブな一意のソフトウェアサブスクリプションレコードごとに権利が消費されます。 ◦ ユーザーにユーザー割り当てレコードとサブスクリプションレコードの両方がある場合、権限は 割り当て済み、使用中 であると見なされます。 ◦ ユーザーにユーザー割り当てはないがサブスクリプションレコードがある場合、権限は 未割り当てで使用中 と見なされます。 ◦ ユーザーにユーザー割り当てがあってもサブスクリプションレコードがない場合、権限は 割り当て済み、未使用と見なされ ます。 ユーザー割り当てでユーザーに複数の権限が割り当てられている場合、そのユーザーには

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	ソフトウェアモデルに対応する数のサブスクリプションが割り当てられます。たとえば、ユーザーには 2 つの権限を持つユーザー割り当てがありますが、ソフトウェアモデルに関連するサブスクリプションレコードは 1 つしかありません。この例では、1 つの権限は 割り当て済み、使用中 と見なされ、2 つ目の権限は 割り当て済み、不使用と見なされます。
Citrix **注:** Citrix ライセンスの測定基準は、Citrix 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。 Citrixデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。アドミンユーザーは、Citrix License Server との通信のために Citrix Delivery Controller で実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。 Citrixディスカバリーパターンとテーブルの詳細については、「」を参照してください。	• 同時ユーザー: プログラムにアクセスする同時ユーザーの数にライセンスを付与します。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンスを付与します。 クライアントアクセスレコードを使用してサーバーソフトウェア Citrix 調整している場合、このライセンスの測定基準は、サーバーにアクセスしているユーザーにライセンスを与えます。 • ユーザー/デバイスごと:一意のユーザーまたは共有デバイスにライセンスを付与します。ライセンスがユーザーに割り当てられている場合、そのユーザーは無制限の数のデバイスに接続できます。ライセンスがデバイスに割り当てられている場合、1 つのデバイスに接続できるユーザーの数に制限はありません。 Citrix評価指標グループでエンタイトルメントを作成し、ユーザー/デバイスごとのライセンス評価指標が指定されている場合、ライセンス計算機は、個別のユーザーとデバイスの数に基づいて、関連するすべてのソフトウェアモデルのコンプライアンスをチェックします。 クライアントアクセスレコードを使用してCitrix サーバーソフトウェアを調整している場合、このライセンスの測定基準は、サーバーにアクセスしているユーザーとデバイスにライセンスを与えます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
一般	• コアごと:物理サーバーまたは仮想マシン上のコアにライセンスを付与します。 `CPU core count * CPU count` • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • 名前付きデバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じて特定のデバイスにライセンス付与します。 **注:** 割り当てを追加する必要があります。 • 指名ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数に関して特定のユーザーにライセンスを付与します。 **注:** 割り当てを追加する必要があります。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンスを付与します。 • ユーザー CAL:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、サーバーにアクセスするすべてのユーザーにライセンスを付与します。 • デバイス CAL:サーバーにアクセスするために各デバイスを使用しているユーザーの数に関係なく、サーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイス CAL: サーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 • リソース消費。CAL 調整をサポートする消費ベースのライセンスメトリクス。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルの [ユニット消費量] 列とライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] テーブルの [ライセンスが必要] 列の間の 1:1 の比率計算。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
同時ライセンス **注:** 同時使用ライセンスのライセンスメトリクスは、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (sn_samp_eng_app) プラグインがアクティブ化されている場合にのみ表示されます。	これらのライセンスは、ソフトウェアにアクセスする同時ユーザーまたはデバイスの数に基づいています。 • フローティング:ネットワーク上のユーザーまたはデバイス間でソフトウェアのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときにライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された期間にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。 • トークン:ユーザーまたはデバイス間でトークンのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときに、トークンまたはトークンのセットをチェックアウトします。ライセンス消費のピーク時にトークンが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。消費される権限の数は、指定された期間にチェックアウトされたトークンの最大数に基づきます。 • ネットワーク:指定されたTCPまたはIPネットワーク内のユーザーまたはデバイス間でライセンスのプールを共有および管理します。ユーザーまたはデバイスがソフトウェアへのアクセスを要求したときにライセンスをチェックアウトします。ライセンス使用量のピーク時にライセンスが残っていない場合、ユーザーまたはデバイスはソフトウェアへのアクセスを拒否されます。使用された権限の数は、指定された期間にチェックアウトされたライセンスの最大数に基づきます。
消費 **注:** 消費ライセンスのメトリクスは、SaaS ライセンス管理 がインストールされている場合にのみ表示されます。	SaaS 消費:消費可能なソフトウェアユニットの測定単位に基づいて、組織にライセンスを付与します。
IBM **注:** IBM ライセンスの測定基準は、 IBM 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与された各ユーザーにライセンスを付与します。 • 認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与された特定のユーザーの数にライセンスを付与します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• 従業員ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権が付与されている組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 • 外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品へのアクセス権が付与された組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • 指名ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数に関して特定のユーザーにライセンスを付与します。 • プロセッサあたり (CPU カウント):物理サーバーまたは仮想マシンのプロセッサにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンスを付与します。 • プロセッサバリューユニット (PVU):ライセンスは、プロセッサテクノロジーと、プログラムで利用可能なプロセッサの数に基づいています。フルキャパシティの PVU エンタイトルメントには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサーコアのライセンスが必要です。サブキャパシティー PVU ライセンスには、ご使用のサーバーまたはサーバー・グループの全キャパシティよりも低いライセンスが必要です。 • リソース・バリュー・ユニット (RVU):ライセンスは、製品によって使用または管理されているアクティブ化されたプロセッサー・コアの数に基づきます。フルキャパシティー RVU ライセンスには、物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサー・コアのライセンスが必要です。サブキャパシティー RVU ライセンスには、サーバーまたはサーバー・グループの全キャパシティよりも小さいライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• 仮想プロセッサコア (VPC):製品で利用可能な、または製品によって管理される仮想 CPU (vCPU) の数にライセンスを付与します。 **注:** このライセンスのメトリクスは、ServiceNow Store から IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ使用できます。
Microsoft **注:** Microsoft ライセンスの測定基準は、Microsoft 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• デバイス CAL:サーバー ソフトウェアに対するデバイス クライアント アクセス ライセンスの数にライセンスを付与します。 • コアごと:仮想マシンをサポートする物理サーバーと仮想コアの両方のコアにライセンスを付与し、使用されている権限の数に基づいてコスト効率の高いモデルを提示します。ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Enterprise Edition のコアあたりの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でMicrosoftソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する」を参照してください。 **注:** コア当たり (物理コア) およびコア当たり (仮想 OSE) のメトリクスは、New York リリースから廃止されました。[Per Core (Physical Core)] および [Per Core (Virtual OSE)] の測定基準を使用する既存のエンタイトルメントは、[Per Core] に置き換えられます。調整結果に変化が見られる場合があります。 • コアあたり (CAL を含む):物理サーバーにライセンスを付与します。ライセンス数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。 物理サーバーが ESX サーバーであり、クラスターの一部である場合にのみ、クラスターレベルでのコアあたり (CAL を含む) ライセンス。このライセンスのメトリックは、クラスタ内のすべてのESX Server上のすべてのプロセッサを使用して、クラスタ上でライセンスを取得する必要があるコアまたはプロセッサの合計数を決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	注: クラスタで vMotion または DRS が有効になっている場合、任意の仮想マシンをそのクラスタ内の任意の ESX Server に移動できます。すべての ESX Server のコアのピーク容量は、クラスターのライセンスを取得するために必要な権限について考慮されます。 • デバイスごと:ソフトウェアのインストール数に応じてデバイスにライセンスを付与します。 • プロセッサあたり:物理サーバー上の一定数のプロセッサにライセンスを付与します。 • ユーザーごと:ソフトウェアのインストール数についてユーザーにライセンスを付与します。 • サーバー (インスタンスごと):物理サーバーまたは仮想マシンのいずれかに設定された数のソフトウェアインストールにライセンス付与します。 • サーバー (サーバーごと):物理サーバー上のすべてのソフトウェアインストールと、その物理サーバーでホストされているすべての仮想マシンにライセンスを付与します。 • ユーザー CAL: サーバー ソフトウェアへのユーザー クライアント アクセス ライセンスの数にライセンスを付与します。 • ユーザーサブスクリプション:アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数についてユーザーにライセンスを付与します。 ユーザーサブスクリプションライセンスの測定基準を持つ 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整が実行されると、ユーザーに割り当てられたアクティブな一意のソフトウェアサブスクリプションレコードごとに 1 つの権利が消費されます。
Oracle **注:** Oracle ライセンスの測定基準は、Oracle 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• Named User Plus:物理ホストにライセンスを付与します。 クライアントアクセスレコードを使用して、Oracleデータベースサーバーや Oracle WebLogic ServerなどのOracleサーバーソフトウェアを調整する場合、このライセンスの測定基準は、サーバーにアクセスしているユーザーにライセンスを与えます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• プロセッサあたり:プロセッサのコア数にライセンスを付与します。 **注:** Amazon Web Services (AWS) を実行している仮想マシン (VM) を使用している場合は、[Oracle プロセッサあたり] ライセンス測定基準でハイパースレッディングを有効にします。 • 従業員: Oracle の社内業務の定義に従って、エージェント、請負業者、およびコンサルタントを通じて直接的および間接的に雇用された従業員を含む、フルタイム、パートタイム、および臨時従業員の合計数にライセンスを付与します。 **注:** 必要なライセンスの数は、Java SE Universalを使用している従業員の数ではなく Oracle 従業員の総数によって決まります。 **注:** *com.snc.samp.oracle.reconlevel* プロパティを使用して、VMwareベースのOracleインスタンスの調整計算のアグリゲーションレベルを選択できます。「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。
Red Hat **注:** Red Hat ライセンスメトリクスは、IBM パブリッシャーパックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• ソケットペアごと:物理ホスト上のソケットペアの数、または物理ホスト上の Red Hat Enterprise Linux サーバーを実行している仮想マシン(VM)ペアの数にライセンスを付与します。 • コアごと:仮想マシンをサポートする仮想コアと物理サーバーの両方のコアにライセンスを付与します。また、使用されている権限の数に基づくコスト効率の高いモデルも提示します。
SAP **注:** SAP ライセンスの測定基準は、 SAP 公開者パックがインストールされている場合にのみ表示されます。	• 指名ユーザー:指名ユーザータイプをアサインできる指名ユーザーの数にライセンスを付与します。指名ユーザータイプは、エンタイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 • エンジン測定:エンジンの使用量をライセンス付与します。 • デジタルアクセス:サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	によって、サードパーティアプリケーションまたは非SAP中間ソフトウェアを介したSAPアプリケーションの間接的な使用にライセンス付与します。
サブスクリプション **注:** サブスクリプションライセンスのメトリクスは、 SaaS ライセンス管理 がインストールされている場合にのみ表示されます。	ユーザーサブスクリプション:ユーザー数のライセンス。
VMware **注:** このライセンスのメトリクスは、VMware パブリッシャーパックがインストールされていないと表示されません。	• アプリケーションインスタンスごと:アプリケーションインスタンスごとのライセンス。 VMware製品:vCenter Server ソフトウェアに適用されます。 • デバイスごと:特定のデバイスごとにライセンスを付与します。ライセンスは、デバイスから削除された場合にのみ再利用できます。ライセンスがライセンスされたデバイスで使用されている限り、デバイス上のソフトウェアユーザーの数は関係ありません。 Horizon FLEX、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、および Mirage Windows Migration の VMware 製品スイートに適用されます。 • Per Named User: 指名ユーザーごとのライセンス。 Horizon Advanced、Horizon Enterprise、Horizon Suite、Mirage、Horizon Socialcast on Premise、Workspace (Portal)、Workspace Suite、Horizon Air、Horizon Air Desktop DR、ThinApp、ThinApp Virtualization Packager、vRealize Operations for Horizon、User Environment Manager、vRealize Business の VMware 指定ユーザーに適用されます。 • OSI ごと:ネットワークデバイスやストレージアレイなど、ログを生成する IP アドレスを持つ任意のサーバー (仮想または物理) にライセンスを付与します。 VMware製品スイート(vRealize Operations、vRealize Log Insight、vRealize Automation、vRealize

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのメトリクス (続く)

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	Business for Cloud、および vRealize Code Stream)に適用されます。 • プロセッサごと:サーバーの物理プロセッサ (CPU) にライセンスを付与します。CPU には 32 コアあたり 1 ライセンスが必要です。プロセッサーごとのVMwareエンタイトルメントのソフトウェアモデルに、デフォルト値が 32 の [プロセッサーあたりの最大コア数] メトリクス属性が自動的に作成されます。このメトリクス属性は、調整中にライセンスコンプライアンスを判断するために使用されます。 VMwareスイート製品(vSphere、vSphere with Operations Management)に適用されます。

無制限のソフトウェアライセンス

無制限のソフトウェアライセンスは、無制限の割り当てと無制限の権限を持つエンタイトルメントの作成に役立ちます。これにより、調整コストなしで任意の数のソフトウェアインストールのライセンスを取得できます。

sam_adminロールまたはsam_userロールは、エンタイトルメントを無制限のライセンスとして指定できます。これにより、無制限の割り当て (ユーザーまたはデバイスの割り当て) が可能になり、ライセンスの測定基準の結果が非準拠として分類されることはありません。

エンタイトルメントを作成またはインポートする際に、[ソフトウェアエンタイトルメント] ページまたは [エンタイトルメントのインポート] ページで [無制限のライセンス] チェックボックスをオンにすることができます。

無制限のライセンスに関する考慮事項

- 調整プロセスでは、ソフトウェアのインストールが一致し、ライセンスされている無制限のライセンスが考慮されます。無制限のライセンスは定額ライセンスよりも優先されます
- 無制限のライセンスについて、ライセンスメトリクスの結果が個別に生成されます。
- 無制限ライセンスの無期限エンタイトルメントは、1 つの無制限ライセンスメンテナンスエンタイトルメントにのみ関連付けることができます。
- 単位コストは総コストに等しくなります。
- ダウングレード権限は無制限のライセンスでサポートされています。
- [ソフトウェアエンタイトルメント] ページの無制限のライセンスについては、[購入済みの権限]、[アクティブな権限]、および [利用可能な割り当て] フィールドは表示されません。

サポートされているライセンスのメトリクスとライセンスタイプ

次のライセンスのメトリクスは、無制限のライセンスのすべてのメトリクスグループでサポートされています。

- Per User
- デバイスあたり

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 指名ユーザーあたり
- 指名デバイスあたり
- ユーザーサブスクリプション
- 指名ユーザープラス
- プロセッサーあたり

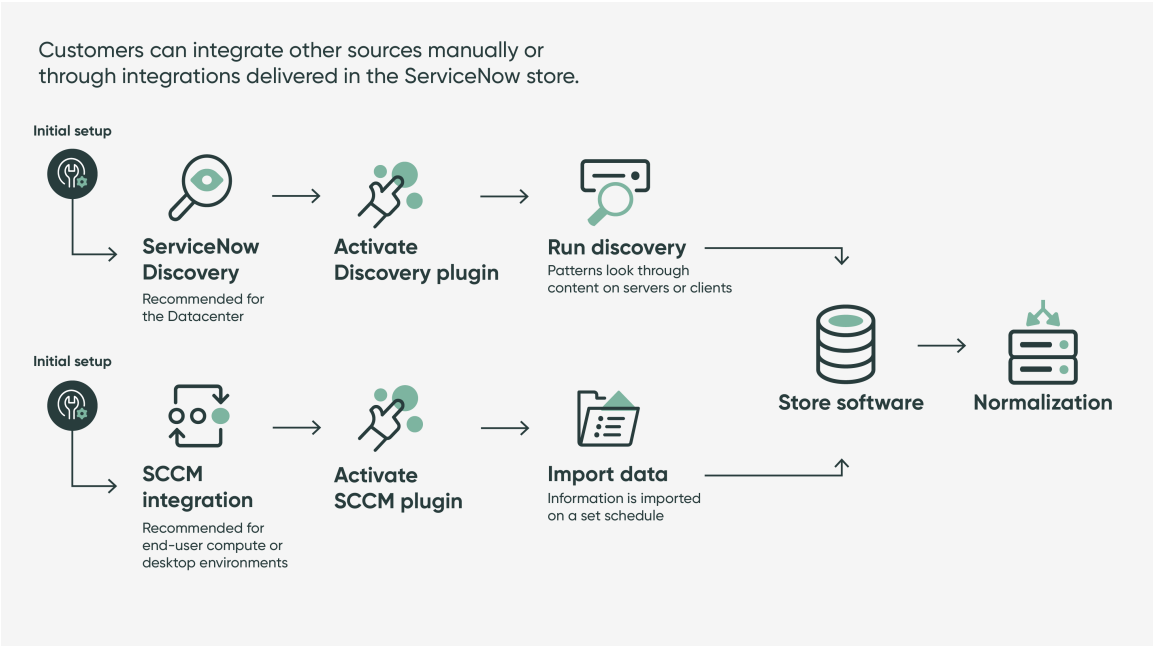
無制限のライセンスでは、次のライセンスタイプがサポートされています。

- 無期限
- メンテナンス/ソフトウェアアシュアランス
- 無期限 + メンテナンス/無期限 + ソフトウェアアシュアランス
- サブスクリプション

ソフトウェアの検出と正規化

エンタイトルメントをインポートしたら、 ServiceNow ディスカバリー または Microsoft SCCM を使用して環境内のソフトウェアインストールを検出し、そのデータを Now Platformに転送します。

ServiceNow ディスカバリーまたは **Microsoft SCCM** の設定を示すインフォグラフィック



データセンターには ディスカバリーのホーム 、デスクトップ環境には Microsoft SCCM を使用できますが、他のサードパーティのディスカバリーソリューションを CMDB と統合して ソフトウェア資産管理をサポートできます。別のディスカバリーソリューションを統合するには、手動で追加するか、 ServiceNow Store . ディスカバリーソースを手動で統合する方法の詳細については、 カスタマーサクセスセンター を参照してください。

ディスカバリーと SCCM の両方を統合した後のデータ収集の詳細については、「 SCCM またはディスカバリーのいずれかでソフトウェアデータを収集 する」を参照してください。

ディスカバリー の統合

ServiceNow ディスカバリー は、ソフトウェアを正規化して調整できるように、[ソフトウェアインストール] テーブルに自動的に入力するために使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: ディスカバリーを使用するには、ディスカバリープラグイン を有効にする必要があります。

ディスカバリー では、作成やカスタマイズできる検出プロセスのパターンを使用します。ベースシステムには、業界標準のネットワークデバイスやアプリケーションのほとんどに対応するさまざまなパターンが含まれています。次に、 ソフトウェア資産管理 で使用される基本システムパターンの一部を示します。

- Citrix XenApp
- Citrix XenDesktop、
- VMware vCenter
- Microsoft SQL Server
- Microsoft Exchange サーバー
- Oracle データベースサーバー

ソフトウェア資産管理の他のパターンをカスタマイズすることもできます。詳細については、「パターンの作成または変更 」を参照してください。

検出されたソフトウェアは、ソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに格納されます。

ソフトウェアインストールレコードが [ソフトウェアインストール] テーブルに書き込まれると、検出された公開者、製品、バージョンの一意の組み合わせがディスカバリーモデルテーブルに存在するかどうかがビジネスルールによって検証されます。

- その場合、Discovery モデルの照合が [ソフトウェア インストール] テーブルに設定されます。
- そうでない場合、 テーブルに新規のレコードが作成され、その Discovery モデルの照合が [ソフトウェア インストール] テーブルに設定されます。

検出後、正規化が実行されます。

ディスカバリーの詳細については、「ソフトウェア資産管理によるディスカバリー 」を参照してください。

SCCM 統合

SCCM を単独で使用することも、 ディスカバリーのホーム と組み合わせて使用して、デバイス上のソフトウェアを識別できます。

注: デスクトップ環境でのソフトウェアインストールを検出するために Microsoft SCCM を使用できますが、他のサードパーティツールを統合することもできます。

SCCM 2012 v2 および 2016 Microsoft プラグインはどちらも ソフトウェア資産管理 で認定されています。Microsoft SCCM を ソフトウェア資産管理 と統合するには、対応する Microsoft SCCM 統合プラグインをインストールする必要があります。

Microsoft SCCM Integration プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグイン

Microsoft SCCM Software Usage プラグイン:

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要: これらの Microsoft SCCM プラグインは、 Tokyo リリースで廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から SCCM アプリケーション用のサービスグラフコネクタを要求しMicrosoftインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかを既にアクティブ化している場合は、SCCM ストアアプリケーションのサービスグラフコネクタの移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタに移行するためにインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

SCCM の詳細とデータをインスタンスにインポートする方法については、「 Microsoft SCCM ソフトウェア使用」を参照してください。

正規化

正規化プロセスでは、検出された公開者、検出された製品、および検出されたバージョンとエディションの値を、正規化された同等の ServiceNow リポジトリと比較します。ディスカバリーモデルテーブルの対応する正規化されたフィールド (公開者、製品、バージョン、エディション) に一致が追加されます。正規化されたフィールドは、購入したエンタイトルメントを調整し、ライセンスポジションを計算するために使用されます。

たとえば、検出されたパブリッシャー Microsoft Corp は、正規化済みパブリッシャーフィールドの Microsoft に正規化できます。

正規化プロセスでは、検出されたフィールドと正規化された値の間のパターン一致も検索され、それに応じて正規化されたフィールドが更新されます。

特定のソフトウェアディスカバリーモデルが類似の検出フィールド値を共有している場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはワイドネット正規化の原則を使用してそれらを正規化します。これにより、 コンテンツサービス チームが製品ごとに個別の正規化ルールを作成する必要性が軽減されます。

注: 特定のソフトウェア製品のみがワイドネット正規化の対象となります。これらのソフトウェア製品は、 コンテンツサービス チームによって決定されます。

スケジュール済みジョブは、正規化されたコンテンツとパターンの更新を毎日取り込むために実行されますが、スケジュール済みジョブの実行頻度は変更できます。正規化ルールが変更されると、適用可能な正規化および部分的に正規化された ディスカバリー モデルは、更新された値で再正規化されます。

正規化提案機能を使用して手動で正規化されたディスカバリーモデルを正規化するための提案を評価します。更新された正規化コンテンツと自分のコンテンツの間に相違がある場合、提案は自動的に識別されます。アップデートのコンテンツには最新の情報が含まれているため、提供されたコンテンツを使用すると、ソフトウェアのインストールを正確に保つことができます。

調査のために、見逃されたソフトウェア検出モデルや完全に正規化されていないソフトウェア検出モデルをServiceNowに提供できるソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインできます。作成された新しいコンテンツとルールは、ソフトウェアの正規化を継続的に改善するために顧客に提供されます。

正規化の利点

- 正規化により、組織内で検出されたソフトウェアの最終的なリストが作成されます。組織は、ソフトウェア監査の準備のためであれ、IT運用のためであれ、インストールされているソフトウェアの完全なインベントリを必要としています。正規化を行わないと、同じ公開者に対して複数の名前を

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用するという課題が生じるため、合理化に多大な労力が必要となり、実行するレポートの正確性と価値が希薄化します。

- 正規化により、ソフトウェアエンタイトルメントの調整の精度と効率が向上します。検出モデルの正規化された値を使用して、取得したソフトウェアエンタイトルメントに対してマッピングすることで、より正確な調整結果が得られます。これにより、カウントが正確でエンタイトルメントレコードと一致していることを確認して、ソフトウェア監査の計画と完了が容易になります。
- 正規化プロセスにより、複数のディスカバリーツールからのインストールデータを標準化できます。

ディスカバリーモデルの正規化の提案

正規化の提案は、パッケージまたはパターンルールとは異なるフィールド値を持つディスカバリーモデルに対して作成されます。これらの提案は、承認または却下できます。

週次の正規化プロセス中に、公開者、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、言語の手動で正規化された値と、パッケージまたはパターンの対応する値との間に相違 (または更新) が識別された場合、正規化提案レコードが作成されます。

注: 正規化された提案は、正規化された値がコンテンツライブラリに表示される値と異なる場合にのみ生成されます。完全に一致する場合、提案は行われません。

誤って手動で正規化されたディスカバリーモデルを正規化する提案を評価できます。提案は、[承認] (ディスカバリーモデルを正しい値で更新)、[却下] (手動で正規化された値を変更しない) のいずれかになります。

レコードは正規化の提案 [samp_normalization_suggestion] テーブルに含まれています。

提案 を受け入れる 場合:

- 検出モデルのパブリッシャー、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語は、正規化ルールの値で更新されます。
- 正規化ステータスが [Manually Normalized] から [Normalized] に変わります。
- 正規化提案のステータスが [承認済み] に変更されます
- 検出モデルの [Normalization date] は、提案が受け入れられた時点に更新されます。

提案を 却下 する場合:

- ディスカバリーモデルは手動で正規化された値を保持し、[手動で正規化済み] ステータスのままになります。
- 正規化提案のステータスが [却下] に変わります。

正規化の提案フォーム

フィールド	説明
Dscovery モデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェア Discovery モデル。
提案ステータス	正規化プロセスの提案された ステータス 。
検出された公開者	検出されたソフトウェアの公開者。
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
提案された正規化	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化の提案フォーム (続く)

フィールド	説明
推奨パブリッシャー	ソフトウェアの推奨パブリッシャー。
推奨製品	提案されたソフトウェアの名前。
推奨バージョン	ソフトウェアの推奨バージョン。
推奨エディション	ソフトウェアの推奨エディション。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアの推奨プラットフォーム。
推奨言語	ソフトウェアの推奨言語。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
エディション	ソフトウェア製品の正規化されたエディション。
プラットフォーム	ソフトウェア製品の正規化されたプラットフォーム。
言語	ソフトウェア製品の正規化された言語。

ソフトウェアパターン正規化ルールを追加する

パターン正規化ルールを追加して、共通のパターンに基づいて環境内の特定のソフトウェア製品を正規化できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注: カスタム製品とパブリッシャーのパターン正規化ルールを作成する場合は、最初にカスタム製品と会社のレコードを作成します。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 正規化ルールのカスタマイズ をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[パターン正規化ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	パターン正規化ルールの一意の名前を指定します。
検出されたパブリッシャーは次を含む	ソフトウェア公開者フィールドで検索するテキストを指定します。
検出された製品は次を含む	製品フィールドで検索するテキストを指定します。
アクティブ	ルールをアクティブ化するオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
検出されたパブリッシャーが空	公開者フィールドが空の製品を含むオプション (このルールは、公開者が不明な検出モデルに適用されます)。
正規化された属性	
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の正規化された名前を指定します。
製品	製品の正規化された名前を指定します。
エディション	製品のエディションを指定します。
製品タイプ	製品タイプを選択します。 ◦ 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 ◦ ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 ◦ ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 ◦ ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 ◦ パッチ:既存のコンピュータプログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。
バージョン	製品のバージョンを指定します。
プラットフォーム	プラットフォームを選択します。 ◦ Windows ◦ macOS ◦ UNIX
言語	言語を選択します。 ◦ オランダ語 ◦ 英語 ◦ フランス語 ◦ ドイツ語 ◦ イタリア語 ◦ スペイン語

2. ルールが作成されたら、該当するディスカバリーモデルが遅延なく正規化されるようにルールを適用するには、[ルールを適用] 関連リンクをクリックします。

カスタムファイルルールを作成してファイルセットを手動で定義する

カスタムルールを作成してファイルセットを手動で定義し、SAM API によって認識されないデータを正規化します。カスタムルールを作成した後、カスタムファイルセットを ファイル署名の正規化で検出し、ソフトウェアレコードを生成できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ファイル署名の正規化 構成アイテムのファイル属性に基づいてソフトウェアインストールパッケージを識別します。その後、入力は SAM API に送信されます。ファイル署名の正規化ルールに関連付けられていないファイルプロパティが検出された場合は、手動でデータを正規化し、入力を API に送信してソフトウェアインストールレコードを作成できます。

注: コンテンツサービスライブラリで検出されたファイル署名ルールは、カスタムファイル署名ルールよりも優先されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタムファイル正規化ルール をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[不明なファイルセット] フォーム

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。 **注:** 公開者は、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェア ディスカバリー モデルフォームで提供されているものと同じルックアップリスト。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 **注:** ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブルの関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。 バージョン条件の値が **[starts with]** または **[is-]** の場合は必須です。
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。 エディション条件値が **[starts with]** または **[is]** の場合は必須です。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、Windows、macOS、UNIXは [何でも] です。
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
コンテンツサービスから除外	コンテンツサービスライブラリへのファイルセットルールの除外を除外するオプション。
ファイル名	システムに存在する場合に、ソフトウェアのインストールに関連付けられたファイルの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイルサイズ	ファイル名ファイルのサイズ (バイト単位)。
ファイルバージョン	ファイル名 file のバージョン。

2. [送信] をクリックします。

タスクの結果
カスタムルールが「不明なファイルセット」リストに追加されます。

機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化

機械学習を使用して、検出された認識できないソフトウェアを正規化することで、正規化レートをリアルタイムで向上させます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは機械学習を使用して、ディスカバリーモデルの正規化を改善します。機械学習で現在サポートされている予測値は、バージョン、完全バージョン、およびエディションです。

ソフトウェア資産管理 – 機械学習正規化 (com.sn_sam_ml_normalization) プラグインをアクティブ化して、機械学習の正規化をオプトインします。

プラグインが有効になったら、 *Enable ML Normalization for discovered software* (com.snc.samp.enable.ml_normalization) プロパティが選択されていることを確認します。このプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。このプロパティを無効にすると、機械学習の正規化をオプトアウトできます。オプトアウトすると、ディスカバリーモデルの正規化はコンテンツサービスルールに対してのみ行われます。

スケジュール済みジョブ *[SAM – コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 (SAM-Normalize discovery models using content library rules)]* は、毎日トリガーされ、コンテンツルールに基づいてディスカバリーモデルが正規化されます。このスケジュール済みジョブは、 ソフトウェア資産管理 – 機械学習正規化プラグインがアクティブ化されているかどうかに関係なく実行されます。このプラグインがアクティブ化されている場合、部分的に正規化されたディスカバリーモデルは、別のスケジュール済みジョブである *SAM – 機械学習を使用してディスカバリーモデルを正規化 (SAM – Normalize discovery models using machine learning)* によって取得されます。スケジュール済みジョブ SAM – コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 *(SAM – Normalize discovery models using content library rules)* は、オンデマンドのスケジュール済みジョブ *SAM – 機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化* を呼び出し、機械学習予測も検証するように拡張されています。

スケジュール済みジョブ *[SAM – 機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化 (SAM-Normalize discovery models using machine learning)]* が完了すると、ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルの次の機械学習ベースの列で更新された値を表示できます。

- ML 予測値:属性の予測値を示します。
- ML モデルバージョン:属性の予測に使用されたモデルバージョンを示します。
- ML 正規化ステータス:機械学習正規化のステータスを示します。この列の値は次のとおりです。
  - ML 正規化:ディスカバリーモデルは機械学習によって正規化されます
  - 復元済み:検出モデルは機械学習によって正規化されていますが、ユーザーが正規化された値を元に戻しました
  - 上書きされたコンテンツ:新しいコンテンツルールによって上書きされた機械学習予測

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: スケジュール済みジョブである *SAM - 機械学習を使用したディスカバリーモデルの正規化* のステータスは、ソフトウェア資産ジョブの結果 [samp_job_log] テーブルで追跡されます。

コンテンツルールは常に更新されているため、週次のスケジュール済みジョブ *[SAM - コンテンツライブラリルールを使用したディスカバリーモデルの正規化 (SAM - Normalize discovery models using content library rules)]* は、機械学習によって正規化されたディスカバリーモデルを取得し、これらのモデルを最新のコンテンツルールで正規化しようとします。機械学習の予測値がコンテンツサービスの予測値と異なる場合、機械学習予測はコンテンツサービスの値で上書きされます。コンテンツサービスの予測値は、常に機械学習予測値よりも優先されます。

注: 予測値の正規化ルールの詳細については、「 ライセンス製品の正規化ルール 」および「非ライセンス製品の正規化ルール」というタイトルの表を参照してください。

正規化値を元に戻すことで、検出モデルを手動で正規化できます。ソフトウェアディスカバリーモデルフォームで正規化を元に戻すと、コンテンツと機械学習から取得されたすべての正規化値が削除されます。検出モデルは [Match not Found] のステータスに戻ります。

注: 機械学習によって正規化された検出モデルを元に戻しても、コンテンツルールは非アクティブ化されません。ただし、検出モデルがコンテンツ規則によってのみ正規化されている場合、コンテンツ規則は無効になります。

ライセンス製品の正規化ルール

フィールド	正規化ステータス
すべてのフィールドが正規化される 注: すべてのフィールドには、公開者、製品、バージョン、エディション、および完全バージョンが含まれます。	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化されます	パブリッシャーによって正規化済み
どのフィールドも正規化されていない場合:公開者、製品、バージョン、エディション、完全バージョン	一致なし
製品とパブリッシャーのみが正規化されます。	一部正規化済み

ライセンスのない製品の正規化ルール

フィールド	正規化ステータス
パブリッシャーと製品のみが正規化されている場合	正規化済み
パブリッシャーのみが正規化されます	パブリッシャーによって正規化済み
どのフィールドも正規化されていない場合:公開者、製品、バージョン、エディション、完全バージョン	一致なし

ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート

ソフトウェアスイートは、ソフトウェアパブリッシャーが関連するアプリケーションをセットとしてグループ化する方法です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアスイートの概要

スイートを作成し、コンポーネントをスイートに追加して、調整中に組織の権限が正しくカウントされるようにします。

クライアント ソフトウェア スイートの例としては、Word、Excel、PowerPoint、Outlook、Access で構成される Microsoft Office スイートがあります。Microsoft Office はスイート (親) と見なされ、スイートコンポーネントはスイート (子) と見なされます。

より複雑な例は、サーバーソフトウェアで一般的な「スイートのスイート」です。Microsoft Core Infrastructure Server (CIS) Suite には、Windows Server と System Center (これもスイート) の 2 つのスイートコンポーネントがあります。

スイートコンポーネントは、個々のライセンスを必要とするのではなく、スイートライセンスを使用して一緒にライセンスされます。したがって、スイート親のエンタイトルメントは、スイート自体でもあるスイートの子を含む、すべてのスイートコンポーネントにライセンスを与えます。

ソフトウェアサブスクリプションの場合、ユーザーごとに必要なユーザーサブスクリプションスイートライセンスは 1 つだけです。たとえば、 Microsoft 365 スイートには、Office 365、EMS (Enterprise Mobility Plus Security)、および Windows 10 のコンポーネントが含まれています。One Microsoft 365 ライセンスでは、ユーザーは 1 つ以上のコンポーネントを使用できます。

ソフトウェアスイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルは、スイートの親とスイートの子の間の関係をキャプチャします。

どのソフトウェアモデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は、 Microsoft Office Standard と Microsoft Office Professional という 2 つのスイートのコンポーネントです。1 つのソフトウェアモデルをスイートとコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常、ネストされたスイートとして販売されません。

スイートコンポーネントやスイート親などのスイート情報は、ソフトウェアモデルフォームのタブとして表示されます。ソフトウェアモデルがスケジュール済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、ソフトウェアモデルフォームの [スイートコンポーネント] タブに表示されます。

事前定義されたスイート

ソフトウェア資産管理コンテンツライブラリには、ユーザーエクスペリエンスを簡素化する事前定義されたスイートが含まれています。製品のスイートコンテンツが存在する場合は、スイート情報が自動的にソフトウェアモデルの [スイートコンポーネント] タブに入力されます。スイートコンテンツの更新がダウンロードされ、スケジュール済みジョブを介して既存のスイート定義が更新されます。

割り当て

割り当ては、デバイスまたはユーザーにライセンスを適用するために使用されます。スイートのコンテキストでは、割り当てにより、ソフトウェア資産管理者はスイートライセンスの代わりに個々のコンポーネントライセンスをユーザー/デバイスに適用できます。

割り当てのユースケース

組織には、 Microsoft 365 E5 (スイート) エンタイトルメントと Windows 10 エンタイトルメントの両方があります。ユーザー A のデバイスには、Windows 10、Word、Excel、および Office 365 のその他のコンポーネントがインストールされています。ユーザー A に Windows 10 エンタイトルメントが割り当てられます。ユーザー A の Windows 10 インストールは、 Microsoft 365 スイートのエンタイトルメントではなく Windows 10 エンタイトルメントでライセンスされますが、残りのコンポーネントは Microsoft 365 スイートの一部としてライセンスされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ディスカバリーマップ

ディスカバリーマップ (DMAP) は、SAMP コンテンツライブラリで事前定義されたソフトウェアのバリエーションです。ソフトウェア モデルは、公開者、製品、バージョン、エディションを設定することで手動で定義できますが、可能な限り DMAP を使用するのが最善の方法です。DMAP は、スイートの関係、ダウングレードモデル、ライフサイクル、次のバージョンなど、関連するコンテンツをソフトウェアモデルに自動的に関連付けます。

ハイブリッドおよびサブスクリプションソフトウェアスイート

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントまたは子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイート (親) のみがサブスクリプションベースの場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイート (親) の一部として推測されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断できます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプションベースの場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推論されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。
- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースの場合、子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推論されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断できます。たとえば、 Microsoft 365 E5 は、Office 365 E5、EMS E5、 Windows 10 サブスクリプションソフトウェアを含むサブスクリプションベースのソフトウェアスイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、 Microsoft 365 E5 親ライセンスに対して調整されます。

ソフトウェアスイートの推論

スイート推定は、ソフトウェアがスイートの一部であるかどうかを判断し、ライセンス付与時に使用する最適または効率的なスイートを推測するために使用されます。

スイート推定フロー

スイート推論のプロセスは、次の 2 つの段階に分かれています。

- スイート構造をビルドします。
- ソフトウェアのインストールまたはサブスクリプションレコードに最適なスイートを推測します。

エンタイトルメント、ソフトウェアモデル、およびスイートの関係に基づいてスイート構造がビルドされた後、インストールとサブスクリプションのレコードが処理されます。

スイートエンジンが実行されると、スイートの一部であるすべてのインストールおよびサブスクリプションレコードの [推定スイート] 列に、最適なスイート (親) のソフトウェアモデルへの参照がスタンプされます。ルールのランク付けの詳細については、「 スイート推論ルール」を参照してください。このソフトウェアモデルライセンスのエンタイトルメントは、それぞれスタンプされたレコードです。

スイートエンジンは、ソフトウェアサブスクリプションレコードのサブスクリプションスイートモデルと推論に優先順位を付けます。次に、オンプレミスのスイートモデルとソフトウェアインストールレコードが推測されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スイートの親ライセンスが使用されている場合、個々の子コンポーネントのライセンスは使用されません。

> **注:** model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理することはできません。

システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときにコンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する] は、Microsoftライセンスの測定基準に対してデフォルトで **false** に設定されています。これにより、スイートコンポーネントとスイートの親ライセンスの両方を使用できます。このプロパティは、 Microsoft ライセンスのメトリクスにのみ適用されます。

推論オプション

スイートの親がインストールテーブルで定義されていない場合は、[必須] および [推論] オプションフィールドを使用します。

[Mandatory (必須)] フィールドには、スイートがインストールされていることを推測するためにコンポーネントをインストールする必要があるかどうかが入力されます。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、および [必須グループ] です。

[推定オプション] フィールドには、次のオプションが含まれています。

- 数:スイートにインストールされているコンポーネントの数を指定します。数値には、負でない任意の数値を指定できます。

  > **注:** スイートコンポーネントで作成される新しいソフトウェアモデルの場合、[番号] オプションがデフォルトで選択されています。

- パーセント:スイートにインストールする必要があるコンポーネントのパーセントを指定します。

  > **注:** 推定率を使用していたスイートコンポーネントを含む既存のソフトウェアモデルの場合、[パーセント] オプションがデフォルトで選択されています。ただし、[番号] オプションを使用することを選択できます。

システムプロパティ *`Use component licenses to optimize compliance when suite licenses run out`* が true に設定されている場合、推定数と推定率は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するしきい値を指定します。

推論数の使用法を説明するために、Microsoft Office の推定数が 2 であるシナリオを考えてみましょう。Microsoft Word と Microsoft Excel などの 2 つの Microsoft Office コンポーネントがある場合、推定数は、個々のコンポーネントではなく Microsoft Office ライセンスを使用することを示唆しています。

推定率の使用法を説明するために、Core Infrastructure Suites (CIS) に Windows Server と System Center などの 2 つのコンポーネントがあり、推定率が 50% であるシナリオを考えてみます。この推定率は、個々のコンポーネントの 50% 以上がインストールされている場合に CIS ライセンスを使用することを示唆しています。個々のコンポーネントのインストールが 50% 未満の場合は、コンポーネントライセンスの使用が最適です。

スイート推論ルール

スイート推論ランキングのルールは次のとおりです。

1. ソフトウェアインストールの 1 つがスイートソフトウェアモデルに属している場合、スイートは推定率を満たす必要なく直接推定されます。
2. 最初のルールが満たされない場合、そのデバイスで推定率を満たすスイートは、推定スイート候補と見なすことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
4. それでも同点の場合は、ダウングレードの低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 はどちらも候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じです。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
5. それでも同数の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

Microsoftライセンスメトリクスのスイート推論ルール

スイートライセンスがなくなると、システムプロパティ「 コンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する」に基づいて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはスイートまたはコンポーネントライセンスを使用します。たとえば、Core Infrastructure Server (CIS) スイートと Windows Server インストールの両方がある場合、どちらにも個別のライセンスがあります。Windows Server のインストールが検出された場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはまず利用可能な Windows Server ライセンスを使用してライセンスを取得します。すべての Windows Server ライセンスの使用に続いて、CIS ライセンスが使用されます。

システムプロパティ [スイートライセンスがなくなったときにコンポーネントライセンスを使用してコンプライアンスを最適化する] が true に設定されている場合、 Microsoft ライセンスメトリクスのルールランキングは次のようになります。

1. コンポーネントに対して推測できるスイートが複数ある場合は、推定率を満たすスイートが優先されます。
2. インストールされているコンポーネントの数が最も多いスイート候補が優先されます。
3. それでも同点の場合は、ダウングレード権限が低いスイートが選択されます。たとえば、CIS 2019 と CIS 2016 がどちらも候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じであるとします。ただし、CIS 2016 は CIS 2019 のダウングレードであり、ダウングレード権限が少ないため、CIS 2016 が選択されます。
4. 推定率を満たす親スイートが子スイートよりも優先されます。親スイートが推定率を満たしていない場合は、子スイートが優先されます。
5. それでも同数の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが優先されます。

スイート推定のユースケース

たとえば、推定 率 を 75% に指定し、Microsoft Access で [必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていることを推定するために、Microsoft Access を他の 4 つの製品 (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) のうち 3 製品と共にインストールする必要があることを指定します。

ディスカバリーモデルとソフトウェアインストール

ソフトウェア検出モデルは、環境にインストールされているソフトウェアを識別して正規化するために、検出中に自動的に作成されます。

ソフトウェアディスカバリーモデルは、ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されます。正規化プロセスは、新しい検出モデルが作成されると自動的に実行されます。検出モデルは、 セキュリティ更新プログラムを含む名前のソフトウェア インストールに対しては作成されません。

ソフトウェア モデルとソフトウェア Discovery モデルは異なるものです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア モデルは、購入済みおよび/または利用可能なソフトウェアの特定のバージョンまたは構成のことです。
- ソフトウェアディスカバリーモデルは、あるバージョンのソフトウェアがネットワーク環境で発見されたときに作成されるモデルです。

1 本のソフトウェア モデルに複数のソフトウェアディスカバリーモデルを関連付けることができます。たとえば、ソフトウェア モデルは次のように定義できます。

- 公開者 = X
- 製品 = Y
- バージョン = 10 から始まる

この製品のインストールが 2 回別々に行われた場合 (バージョン 10.1 とバージョン 10.2)、ディスカバリーモデルが 2 つ作成されます。ディスカバリーモデルの 1 つには検出されたバージョンとして 10.1 が設定され、もう片方のディスカバリーモデルには検出されたバージョンとして 10.2 が設定されています。調整プロセスではどちらも`バージョン 10 から始まる`という基準を満たしているため、これら 2 つのディスカバリーモデルは両方とも同じソフトウェアモデルに関連付けられます。

ディスカバリーモデル

ソフトウェアディスカバリーモデルを手動で作成することはできません。プライマリーキーという次のフィールドの組み合わせは、新規のソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェアディスカバリーモデルを照合するために使用されます。

プライマリー キー：[公開者]、[表示名]、[バージョン]

注: バージョン番号の分析するときは完全一致が常に最初に検索されますが、完全一致が見つからない場合はメジャー バージョン番号で検索します。

たとえば、バージョン番号 8.0.4 で一致するものが見つからず、バージョン 8.0 が見つかった場合は、[ソフトウェア モデル] フィールドでバージョン 8.0 を使用します。

注: 正規化されたフィールド値がパッケージまたはパターンの値と異なる場合、[正規化ステータス] フィールドの横に、正規化提案レコードが作成されたことを示す注意アイコンが表示されます。注意アイコンをクリックすると、そのディスカバリーモデルの 正規化提案 レコードが開きます。

異なる値は、ユーザーが設定するか、正規化提案の変更を受け入れることによって設定できます。新しい値が設定されると、正規化ステータスが [正規化済み] から [手動で正規化済み] に変わります。

特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスが [Manually Normalized] に変わります。

正規化を元に戻す

必要に応じて正規化を元に戻すことができます。

正規化を元に戻すと、ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。すべての正規化されたフィールドも、元の正規化されていない値にリセットされます。その後、検出モデルを手動で正規化することも、次の正規化が自動的に実行されるまで待つこともできます。検出モデルを手動で正規化している場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、 コンテンツサービス チームの最新の正規化ルールに基づいて正規化提案を作成します。これらの提案を承認するか却下するかを選択できます。正規化が自動的に実行されるまで待機すると、 コンテンツサービス チームの最新の正規化ルールを使用してディスカバリーモデルが正規化されます。次に、検出モデ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ルのステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規 化済みパブリッシャー] に設定され、正規化されたフィールド値が設定されます。

ソフトウェア インストール

[ソフトウェアインストール] リストには、組織にインストールされているソフトウェアが含まれており、検出によって設定されます。

インストールしたソフトウェアは ディスカバリー によってソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに配置され、プライマリー キーが作成されます ([公開者]、[表示名]、[バージョン] フィールドを使用)。

ディスカバリー はプライマリーキーを使用して、検出されたソフトウェアインストールを新規または既存のソフトウェア Discovery モデルと自動的に照合します。

提供終了 **(EOL)** およびサポート終了 **(EOS)** のライフサイクル

ベンダーが提供するライフサイクルがない場合は、計算されたライフサイクルを使用して、ソフトウェア製品の EOL および EOS ライフサイクルを作成することで、リスクを評価および管理します。また、概算日付を使用してライフサイクルのカバー範囲を改善することもできます。

計算済みライフサイクル

一般提供 (GA) の日付からの業界平均 (月単位) に基づいて、EOL および EOS ライフサイクルを作成できます。

注: ライフサイクルは、sam_userロールまたはsam_adminロールによって作成できます。

製品またはパブリッシャーに関連するカスタム値を指定することで、世界の業界平均を上書きできます。ライフサイクルは、指定した製品またはパブリッシャーの値に基づいて計算されます。ソフトウェア資産ワークスペースでのカスタム値の指定の詳細については「ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する」を、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでの値の指定については「ソフトウェア資産管理 クラシックでの製品ライフサイクルの平均を作成する」を参照してください。

EOL または EOS ライフサイクルを作成するときは、次の前提条件に留意してください。

- ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする必要があります。
- 製品で利用可能な GA 日。
- コンテンツサービスによって提供されない EOL および EOS ライフサイクル。
- 製品はコンテンツサービスによって出荷されます。

ソフトウェアライフサイクルプロセス

スケジュール済みジョブ *SAM - Generate Data For Software Lifecycle Report*、GA 日が利用可能でコンテンツサービスによって公開されている製品のライフサイクルに関するデータを収集します。このスケジュール済みジョブは、これらすべての GA レコードに EOL または EOS ライフサイクルレコードが関連付けられているかどうかを確認します。ユーザーまたはコンテンツサービスによって EOL または EOS ライフサイクルレコードが作成されていない場合、計算された EOL または EOS ライフサイクルレコードは別のスケジュール済みジョブ *SAM - Create Calculated Software Lifecycles* によって作成されます。

スケジュール済みジョブ *SAM - Create Calculated Software Lifecycles* でライフサイクルを生成するには、次の点に注意してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ドメインセパレーションが無効になっている場合は、システムプロパティ [sys_properties] テーブルで *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* システムプロパティを有効にします。
- ドメインセパレーションが有効になっている場合は、アプリケーションプロパティ [sys_application_properties] テーブルを使用して *com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles*) プロパティを有効にします。アプリケーションプロパティ [sys_application_properties] テーブルで、*com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles* プロパティをクリックして [アプリケーションプロパティ] ページを開きます。**[Application Property Values]** まで下にスクロールし、[**New**] をクリックしてレコードを作成します。[アプリケーションプロパティ] フィールドと [ドメイン] フィールドには、値が事前に入力されています。「 値 」フィールドに 「true 」と入力し、「 送信」をクリックします。また、ドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルで列 *Run asset process [run_asset_process]* の値を true に指定して、調整を有効にする必要があります。

  注: 調整は、親ドメインまたは子ドメインのいずれかに対して有効にできます。親ドメインと子ドメインの両方で有効にすることはできません。

計算されたライフサイクルとユーザーが作成したライフサイクルは、カスタムソフトウェア製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。コンテンツサービスによって作成されたライフサイクルは、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに保存されます。

業界平均は、ソフトウェアライフサイクル平均 [samp_sw_lifecycle_averages] テーブルに保存されます。これらの平均を使用して作成されたライフサイクルのソース列は 、「計算済み」として定義されます。

注: EOS または EOL レコードを作成した場合、スケジュール済みジョブによって作成された EOL または EOS は、作成したカスタムレコードが優先されるため、次のコンテンツサービスの更新で削除されます。同様に、スケジュール済みジョブで EOL レコードと EOS レコードが作成されてからカスタムレコードが作成された場合、カスタムレコードが優先されるため、スケジュール済みジョブによって作成されたレコードは次のコンテンツサービスの更新で削除されます。

作成されると、EOL と EOS のライフサイクルがソフトウェアモデルページに表示されます。

注: sam_userまたはsam_adminがソフトウェアモデルの EOL または EOS ライフサイクルを削除しても、ライフサイクルはソフトウェアモデルに復元されません。

ライフサイクルとライフサイクルコードのおおよその日付

ライフサイクルレポートの範囲を改善するために、日付のないライフサイクルにはおおよそのライフサイクル日付が割り当てられます。

システムプロパティ (com.snc.samp.use_lifecycle_approximation) を選択して、ライフサイクルレポートの生成時におおよそのライフサイクル日付を含めます。このプロパティの詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

新しいテーブル Software Lifecycle Code [software_lifecycle_code] には、すべての近似コードと各コードの説明が含まれています。ライフサイクルコードの詳細については、「 https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB1642485 」を参照してください。

新しい列 [ライフサイクルコード] がソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルに追加されます。おおよその日付がライフサイクルに割り当てられている場合、[ライフサイクルコード] 列はソフトウェアライフサイクルコード [software_lifecycle_code] テーブルを参照します。ライフサイクルに確認済みの日付がある場合、[ライフサイクルコード] 列は空です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべてのライフサイクルフェーズの可視化を向上させるために、ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report'] テーブルに次の列が追加されました

- 一般提供開始日
- 一般提供
- サポート終了開始日
- サポート終了ライフサイクル
- 延長サポート終了開始日
- 延長サポート終了ライフサイクル
- 提供終了開始日
- 提供終了ライフサイクル
- ソフトウェアモデル
- オーナー

すべてのビルドバージョンの EOL、EOS、および延長サポート終了日は、コンテンツサービスによって出荷されるわけではありません。ライフサイクルレポートは、このような日付を汎用バージョンから継承します。

ファイル署名の正規化

ファイルベースのディスカバリーでは、 UNIX または Windows サーバー上のファイルを検索し、インストール済みソフトウェアの識別を強化する確立された一連のルールを使用してそのファイルを処理します。この結果を使用して、セキュリティ上の目的でネットワークサーバー上の特定のファイルタイプを監視したり、 ファイル署名の正規化 プラグイン for ソフトウェア資産管理 - Professional (SAMP) でソフトウェアライセンスを管理したりします。

ファイルベースのディスカバリーの詳細については、「 ファイルベースのディスカバリー 」を参照してください。

注: このページで提供される情報は、 ファイル署名の正規化 (com.snc.file_signature_normalization) プラグインで利用可能な機能のみを対象としています。

必須のプラグイン

インストールされているソフトウェアにファイル情報をマッピングするには、 ファイル署名の正規化 プラグインが必要です。このプラグインを有効にするには、 ソフトウェア資産管理 を要求する。

ファイルベースのディスカバリー (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインを使用してファイルベースのディスカバリーを有効にし、ファイルの署名をフィルタリングすることもできます。このプラグインは ディスカバリー サブスクリプションに含まれていますが、プラグインのアクティブ化を要求する必要があります。製品とパブリッシャーの正規化は、 ソフトウェア資産管理の有無にかかわらずファイルベースの検出に使用できます。

ファイル署名の正規化 の仕組み

ファイル署名の正規化 は、検出されたファイルとその属性 (ファイル名、ファイルサイズ、バージョンなど) を使用して、コンテンツデータサービス (CDS) で一致する署名を検索します。次に、 ファイル署名の正規化 は正規化されたソフトウェアインストールレコードを作成します。

定期的にスケジュールされた ディスカバリー ジョブ中に、ユーザー環境内の指定されたすべてのエンドポイントでファイル情報が検出され、 MID サーバーに送信されます。その後、 MID サーバー からの情報が ServiceNow インスタンスに送り返されます。情報がコンテンツライブラリーと照合され、ソフトウェアインストールレコードが作成されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出されたファイル名が CDS の事前定義されたファイル署名ルールと一致しない場合、不明なファイルセットレコードが不明なファイルセット [cmdb_unidentified_file_set] テーブルに作成されます。sam_adminロールを持つユーザーは、不明なファイルセットに対してカスタムのファイル署名ルールを作成して、データを手動で正規化できます。

コンテンツサービスにオプトインすると、これらのカスタムファイル署名は、詳細な分析のために CDS に送り返され、将来の検出のためにコンテンツサービスに含められます。また、[CDS から除外] 列の値を True に変更することで、一部のカスタム ファイル署名が CDS に送信されないように制限することもできます。

注: ソフトウェア検出モデルは、ソフトウェア モデルディスカバリー [cmdb_sam_sw_discovery_model] テーブルに格納されています。パターンディスカバリーの正規化とは異なり、 ファイル署名の正規化 によって作成されたディスカバリーモデルは正規化プロセスを自動的に実行されず、スケジュールされた正規化ジョブの実行中は無視されます。

ファイル署名の正規化 は重複も識別します。同じ構成アイテムで検出されたが、異なるディスカバリーソースから検出されたソフトウェアインストールは、重複と見なされます。識別されたすべてのインストールは、デフォルトで非アクティブとしてマークされます。重複が削除されると、残りのインストールはアクティブとしてマークされ、検出モデルは関連するすべてのインストールを選択します。

注: デフォルトでは、スケジュール済みジョブは特定の時間に実行されるため、パフォーマンスや安定性の問題を引き起こす可能性のある高負荷が実行されることはありません。これらのスケジュール済みジョブ時間が変更されると、パフォーマンスの問題が発生する可能性があります。

ファイルベースのディスカバリー中に検出されたソフトウェアインストールは、製品名や公開者名の変更など、ソフトウェアインストール属性の CDS の変更を反映して更新されます。ステージ製品とステージパブリッシャーは、ファイルセット [samp_file_set] テーブルの新しい列です。

ファイル署名の正規化 ロール

ファイル署名の正規化 は、次のロールを追加します。

ロール	Description (説明)
file_normalization_admin	このロールを持つユーザーは、ファイル属性と不明なファイル情報にアクセスできます。ファイル署名の正規化がサードパーティのソフトウェアインストールディスカバリーソースをサポートするために必要です。

テーブル

ファイル署名の正規化 は、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
samp_file_set	ソフトウェア製品にマップされるファイル・セット。複数のsamp_file_mapレコードが 1 つのsamp_file_setレコードを指すことができます。
samp_file_map	エンドユーザーデバイスによって検出された各ファイルハッシュのファイルマップレコード。ファイルハッシュは、検出されたファイルとその属性に基づいて作成されます。
samp_file_name	エンドユーザーデバイスでの検索に使用されるファイル名。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

テーブル	説明
samp_custom_file_name	エンドユーザーデバイスで検出できる、ユーザーが入力したファイル名。
cmdb_unidentified_file_set	CDS 内で検出されたファイルに対してソフトウェアの一致が見つからない場合に作成されるカスタムルール。

ダウングレード権限

ライセンスのダウングレードの概念は、 ソフトウェア資産管理 プラグイン機能に組み込まれています。ダウングレード権とは、最新バージョンのソフトウェアに対する権利を取得したが、その権利を使用して同じソフトウェアの以前のバージョンのライセンスを付与するプロセスです。

ダウングレード権限はソフトウェアモデルレベルで追加されます。

ソフトウェア資産管理コンテンツサービスはダウングレード権限を生成します。ダウングレード権は検出マップに対応します。スケジュール済みジョブ *Download software content: Downgrade Rights* 毎週トリガーされ、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスからダウングレード権限を取得し、そのデータをダウングレード権限 [samp_dmap_downgrade_model] テーブルにプッシュします。

別のスケジュール済みジョブ *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* は、[samp_dmap_downgrade_model] テーブルから情報を取得します。このテーブルは、既存のソフトウェアモデルの次のバージョンとダウングレード権限、および対応するエンタイトルメントを伝搬します。

検出マップに対応するソフトウェアモデルがない場合は、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブルにデータを入力するときに、新しいソフトウェアモデルが自動的に作成されます。

ソフトウェアモデルに対応する検出マップにダウングレード権限がある場合、[Downgrade Rights] 関連リストには、ソフトウェアのダウングレードバージョンの階層リストが自動的に入力されます。

ダウングレード権限が作成され、ダウングレード権限テーブル [samp_sw_downgrade_model] および [samp_downgrade_model] に保存されると、ダウングレード権限は削除できなくなります。ただし、ダウングレード権限を非アクティブ化することはできます。

ソフトウェアモデルを削除すると、ダウングレード権限 [samp_sw_downgrade_model] テーブル内のソフトウェアモデルに対応するすべてのレコードが自動的に削除されます。

ダウングレード権限は、同じ公開者の製品間でサポートされるため、製品名の変更を効果的に管理できます。製品の名前が変更されると、2 つの製品として扱われます。例えば、製品 Captivate を Illustrator に名前変更した場合、Captivate と Illustrator は別個の製品と見なされます。ソフトウェアモデルのダウングレード権限は、ソフトウェアモデルフォームまたはソフトウェアエンタイトルメントフォームのいずれかで、Illustrator から Captivate に手動で追加できます。

ダウングレード権限を重複して作成することはできません。スケジュール済みジョブを使用するか、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントフォームのレイアウトで手動で作成します。ソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントのダウングレード権限を複製して作成しようとすると、ダウングレードモデルが存在することを知らせるエラーメッセージが表示されます。次のすべてのフィールドの値が同じ場合、ダウングレード権限は重複していると見なされます。

- 公開者
- 製品
- バージョン条件
- バージョン
- エディション条件

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

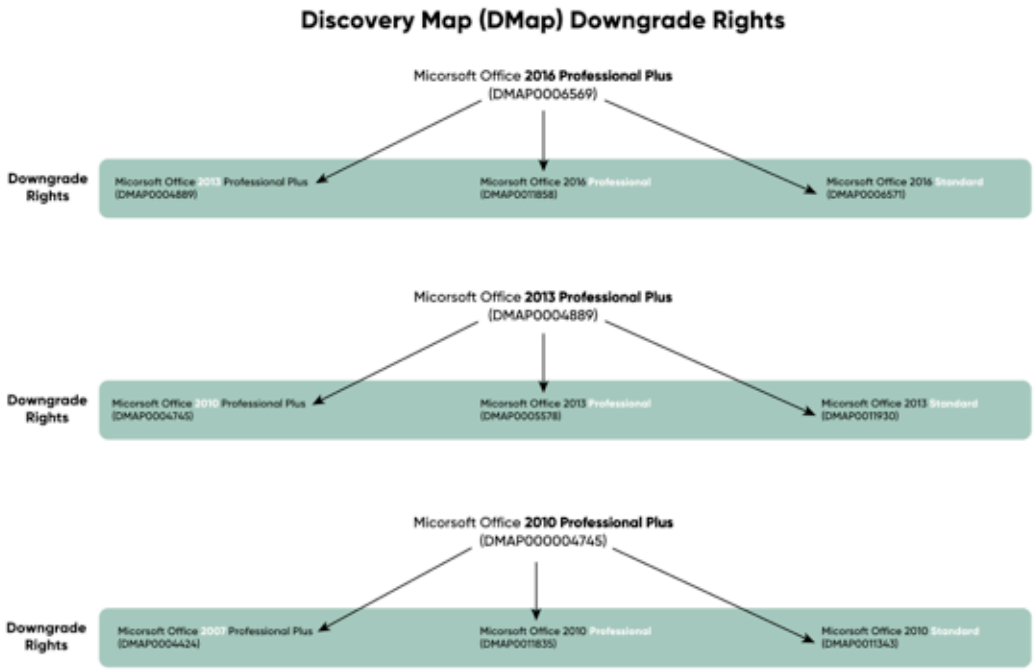
自動翻訳

- エディション
- プラットフォーム
- 言語
- ソフトウェア インストール条件
- [指名ユーザータイプ] は、 SAP 製品に対してのみ表示されます。

以前の ソフトウェア資産管理プロ リリースからの重複したダウングレード権限が既にある場合、それらの重複するダウングレード権限は変更または削除されません。

非アクティブなダウングレード権限に対して重複するダウングレード権限を作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。このエラーメッセージは、非アクティブなダウングレード権限が存在し、それを再アクティブ化できることを通知します。

ダウングレードのサポートは、すべてのライセンスの測定基準で利用できます。



ソフトウェアライセンスのメンテナンス

ソフトウェアメンテナンスエンタイトルメントを可視化して、これらのライセンスをライフサイクル全体にわたって効果的に管理します。

次の方法で、ソフトウェアメンテナンス費用を管理および最適化します。

- 開始日と終了日を指定するメンテナンスエンタイトルメントのインポート、更新、および作成。
- 正確な調整コストの取得。
- 潜在的な節約額を把握することで、リソースを最大限に活用します。
- 期限切れ間近の、未使用の、および十分に使用されていないメンテナンスエンタイトルメントを認識する。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

期限切れ間近のメンテナンス・エンタイトルメントの決定

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、 ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメントを追跡するのに役立ちます。エンタイトルメントを追跡するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > 期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション. この追跡機能により、SAM マネージャーは期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメントをすべて把握し、必要なアクションを実行できます。

メンテナンス対象 **Microsoft**

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) は、 Microsoft がユーザーにアクティブなメンテナンスを提供するために使用するメンテナンスプログラムです。

Microsoft には、最新のソフトウェアバージョンとリリースへのアクセス、クラウド特別権限、ライセンスモビリティなど、いくつかのメリットがあります。これらの利点の詳細については、Microsoft ドキュメント を参照してください。

ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、 Microsoft 製品のライセンスを取得しながら、次の方法でこれらのメリットを活用します。

- 新しいバージョンの権利: Microsoft 製品の最新バージョンにアクセスできるため、SA ユーザーは追加コストなしで製品ライセンスをアップグレードできます。また、ソフトウェアバージョンのみに基づいて対象ライセンスを追跡または再割り当てする必要はありません。 ソフトウェア資産管理プロ では、次のメカニズムを使用してバージョンのサポートが追加されています。
  - 新しいバージョンの自動適用:アクティブな SA のソフトウェアエンタイトルメントが新しいバージョンのソフトウェアモデルに関連付けられている場合、 ソフトウェア資産管理プロ エンタイトルメントが自動的にアップグレードされ、最新バージョンのソフトウェアモデルに関連付けられます。また、これらの変更は [アップグレード履歴] 関連リストに保存されます。ソフトウェアモデルとバージョンの詳細については、「 ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。
  - ソフトウェアエンタイトルメントの管理: Microsoft は、製品にバージョンが割り当てられていない状態で、SA 対象の公開者の品番 (PPN) を提供します。したがって、すべてのバージョンの Microsoft 製品に SA 特典が誤って割り当てられるリスクがあります。 ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ は、SA 保証の有効期限以前に Microsoft によってリリースされた最新のソフトウェアバージョンを判断し、正しいバージョンのソフトウェアモデルを選択して、エンタイトルメントをそれに関連付けます。また、これらの変更は [アップグレード履歴エンタイトルメント] セクションに保存されます。
- ライセンス モビリティの特典: ライセンス モビリティは、Azure ハイブリッド特典 (AHB) を使用して、オンプレミス (高密度仮想化環境) またはクラウド環境 (AWS または Azure) でライセンスを管理する柔軟性を提供します。ライセンスモビリティの詳細については、 Microsoft ドキュメント を参照してください。

  ソフトウェア資産管理プロ は、Windows Server や SQL Server などのデータセンター製品の展開にライセンスを付与する際に、ライセンスモビリティのメリットを自動的に適用します。自動的に適用されるメリットの一部を次に示します。
  - 仮想マシン (VM) レイヤーごとにライセンスを付与するオプションを提供します: サブスクリプション ライセンスまたは SA 付きライセンスを使用すると、SQL Server 2022 は VM によってライセンスを取得でき、ライセンスは VM と共に同じサーバー ファーム内の別のサーバーにいつでも移動できます。
  - 無制限の仮想化をサポート: ホストが完全にライセンスされている場合、SQL Server Enterprise Edition ソフトウェアのインスタンスを無制限の数の VM で実行できます。この機能は、コアライセンスモデルにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AHB と Bring Your Own License (BYOL) のサポートを提供する: SQL Server の AHB は、SA またはサブスクリプション ライセンスで SQL Server ライセンスを使用して、クラウドベースのコンピューティングのみに割引料金を支払うことができる Azure 特典です。BYOL サポートの詳細については、「BYOL サポート」を参照してください。

Microsoft SA の対象である場合は、ソフトウェアの標準バージョンをエンタープライズエディションにアップグレード (ステップアップ) することもできます。ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [アップグレードされたエンタイトルメント] タブを使用して、アクティブなメンテナンス中のソフトウェアの関連バージョンとアップグレードをリンクします。

ステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプション、無期限、無期限 + ソフトウェアアシュアランス、またはステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントにアップグレードできます。サブスクリプションステップアップライセンスタイプのエンタイトルメントは、サブスクリプションライセンスタイプのエンタイトルメントにのみアップグレードできます。

注: ソフトウェアアシュアランス付きの Microsoft オープンバリュー契約を結んでいる場合は、いつでもステップアップできます。

アップグレードされたエンタイトルメントのないステップアップライセンスタイプでは、アクティブな権限が二重にカウントされるため、調整結果が不正確になる可能性があります。

コアあたりのライセンス メトリックに SA を備えた Microsoft SQL Server Enterprise エディションがある場合は、ホスト マシンで無制限の仮想マシンを実行できます。物理コア ライセンスの数は関係ありません。たとえば、ホストマシン上で 4 つの物理コアのみを実行するライセンスがあるとします。その後、ホストマシン上で無制限の仮想マシンを実行できます。

発注書の受領時にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントで SA がアクティブ化されている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + SA:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + SA] と指定されている場合。
- 無期限:以前のエンタイトルメントでライセンスタイプの組み合わせが [無期限 + SA] と [無期限] に設定されている場合。

SA エンタイトルメントを使用してソフトウェアにライセンス付与することはできません。SA エンタイトルメントは調整中にカウントされません。無期限ライセンスエンタイトルメントのみが考慮されます。

SA エンタイトルメントには、ライセンスコンプライアンスを判断するために基本エンタイトルメントまたは無期限エンタイトルメントが必要です。したがって、基本エンタイトルメントなしで Microsoft ライセンスステートメント(MLS)からエンタイトルメントをインポートすると、エラーが表示されます。MLS からのエンタイトルメントのインポートについては、「MLS からのエンタイトルメントのインポート」を参照してください。

注: ソフトウェア資産ワークスペースでの Microsoft SA のエンタイトルメントの作成については、「ワークスペースでの Microsoft ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントの作成」を参照してください。クラシック版の Microsoft SA でエンタイトルメントを作成する場合ソフトウェア資産管理 または既存のエンタイトルメントに SA カバレッジを追加する方法については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でMicrosoftソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

以外の公開者向けのメンテナンス **Microsoft**

Microsoft 以外のすべてのパブリッシャーに対して、ソフトウェアライセンスメンテナンスのニーズをサポートするメンテナンスエンタイトルメントを作成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メンテナンスエンタイトルメントは、無期限、無期限 + メンテナンス、およびアップグレードエンタイトルメントに関連付けることができます。メンテナンスエンタイトルメントフォームレイアウトを開き、[アップグレードされたエンタイトルメント] タブを選択して、関連付ける無期限エンタイトルメントを選択します。

注: メンテナンスエンタイトルメントが無期限エンタイトルメントに関連付けられている場合、メンテナンスエンタイトルメントコストは調整実行時の総コストの一部になります。

発注書の受領中にソフトウェアエンタイトルメントを作成し、そのエンタイトルメントでメンテナンスが有効になっている場合、新しいエンタイトルメントは次のいずれかのライセンスタイプで作成されます。

- 無期限 + メンテナンス:以前のすべてのエンタイトルメントのライセンスタイプが [無期限 + メンテナンス] に指定されている場合。
- 無期限:以前のエンタイトルメントに、[無期限 + メンテナンス] と [無期限] に設定されたライセンスタイプの組み合わせがある場合。

注: ソフトウェア資産ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成については、「ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックでのメンテナンスエンタイトルメントの作成については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのメンテナンスエンタイトルメントの作成」を参照してください。

Microsoft製品のライセンスメトリクス

Microsoft製品で利用できるライセンス測定基準の詳細な説明。

Microsoft 製品と ソフトウェア資産管理 ライセンスの測定基準

製品	エディション	**Microsoft** が提供するライセンスモデル	で使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
Windows サーバー **注:** Windows Server のレガシーバージョンについては、Windows Server のレガシーバージョンの表を参照してください。	データセンター/標準	• コアあたり • CAL ライセンス	• コアあたり (CAL を含む) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	で使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
Microsoft システムセンター	データセンター/標準	• サーバー - コアベースのライセンスを使用 (サーバー管理ライセンス) • クライアント - クライアント管理ライセンスを使用	• サーバー ML - コアあたり (CAL あり) • クライアント ML - ユーザー/デバイス
Microsoft Exchange サーバー	スタンダード/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• Server (Per Instance) (サーバーライセンスの場合) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft プロジェクトサーバー	スタンダード/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• Server (Per Instance) (サーバーライセンスの場合) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft SharePoint サーバー	スタンダード/エンタープライズ	• サーバーライセンス • CAL ライセンス	• Server (Per Instance) (サーバーライセンスの場合) • CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft SQL Server **注:** SQL Server の従来のバージョンについては、「SQL Server の従来のバージョン」の表を参照してください。	スタンダード/エンタープライズ	• コアあたり • サーバー/CAL	• コアライセンスの場合:コアあたり • サーバー/CAL の場合: ◦ Server (Per Instance) (サーバーライセンスの場合) ▪ Standard Edition、Web Edition、Business Intelligence Edition のサーバーライセンスには、Server (Per Instance) を使用します。 ▪ Enterprise Edition の従来のバージョン 1 でサーバー (サーバーあたり) を使用する

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	で使用するソフトウェア資産管理ライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理
			注: SQL Server Enterprise のライセンスは、通常、コアごとのライセンス モデルのみを使用して付与されます。ただし、ソフトウェア アシュアランスがある場合は、レガシ サーバー/CAL ライセンス モデルに従うことができます。ServiceNow では、ServiceNow ソフトウェア資産管理 でサーバー (サーバーあたり) ライセンスの測定基準を使用することを推奨しています。 ◦ CAL ライセンスのユーザー/デバイス CAL
Microsoft Office 365	エンタープライズ E3/E5/E1	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
Microsoft Office	Professional/ Standard	デバイスあたり	デバイスあたり
Windows 10	エンタープライズ プロフェッショナル	デバイスあたり	デバイスあたり
Microsoft Dynamics CRM 365 サーバー (オンプレミス)		サーバー/CAL	作成する必要があるのはユーザー/デバイス CAL のみです。サーバーライセンスは必要ありません。
Microsoft Dynamics 365 Operations Server (オンプレミス) ERP		サーバー/CAL	• ユーザー/デバイス CAL を作成する必要があります。 • Server (Per Instance) (サーバーライセンスの場合)
Microsoft 365	エンタープライズ E3/E5/F3	ユーザーサブスクリプション	ユーザーサブスクリプション
コアインフラストラクチャスイート	データセンター/標準	コアあたり	コアあたり (CAL を含む)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2003-2008 R2	標準	サーバー	サーバー (インスタンスあたり) + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小:NA 仮想化: ライセンスあたり 1 VM。 1 台の Standard Edition ライセンス サーバーでは、サーバー上の物理 OSE または仮想 OSE でソフトウェアのインスタンスを 1 つ実行できます。実行中のインスタンスごとに Standard Edition ライセンスを割り当てる必要があります。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 プロセッサー 仮想化:無制限 サーバー内のすべての物理プロセッサに対して DataCenter Edition のライセンスが付与されている場合、サーバーは物理 OSE と仮想 OSE 内の無制限の数の Windows Server インスタンスの両方で実行できます。
2012-2012R2	標準	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 プロセッサ。 仮想化: 完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサあたり + ユーザー/デバイス CAL の追加	最小: 2 プロセッサ。 仮想化:無制限。
2016-2019	標準	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL あり) + ユーザー/デバイス CAL を追加	最小: サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサあたり 8 コア。 仮想化: 完全にライセンスされたサーバーごとに 2 つの VM。
	データセンター	コア/CAL あたり	コアあたり (CAL あり) + ユーザー/デバイス CAL を追加	最小: サーバーあたり 16 コア、またはプロセッサあたり 8 コア。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				仮想化:無制限。

SQL Server の従来のバージョン

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
2005 年	標準	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL の場合、サーバーライセンスの場合は [サーバー(インスタンスごと)]、CAL ライセンスの場合は [ユーザー/デバイス CAL] を使用します。 • プロセッサーあたり	サーバー ライセンス ルール (Workgroup Edition、Standard Edition、または Enterprise Edition) は、SQL Server ソフトウェアまたはそのコンポーネント (Analysis Services など) が実行されているすべてのオペレーティング システム環境に必要です。 プロセッサ ライセンス は、SQL Server またはそのコンポーネント (Analysis Services など) を実行している各オペレーティング システム環境にインストールされている各プロセッサに必要です。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL の場合、サーバーライセンスの場合は [サーバー(インスタンスごと)]、CAL ライセンスの場合は [ユーザー/デバイス CAL] を使用します。 • プロセッサーあたり	Enterprise Edition の場合のみ : コンピュータ内のすべてのプロセッサにライセンスが付与されている場合、同じコンピュータ上の仮想オペレーティング環境で SQL Server 2002 のインスタンスを無制限に実行できます。
2008-2008 R2の	標準	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバー/CAL の場合、サーバーライセンスの場合は [サーバー(インスタンスご	• サーバー/CAL:これらのエディションの各サーバーライセンスでは、1つのOSEまたは仮想マシン(VM)でソフトウェアのインスタンスを無

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
			と)]、CAL ライセンスの場合は [ユーザー/デバイス CAL] を使用します。 • プロセッサーあたり	制限に実行できます。追加の OSE または VM でソフトウェアを実行するには、追加のサーバー ライセンスが必要です。 • プロセッサ ライセンス: SQL Server を実行できる OSE の数。物理 OSE のみ。
	エンタープライズ	• サーバー/CAL • プロセッサ	• サーバーライセンスには [サーバー (サーバーごと)] を使用し、CAL ライセンスにはユーザー/デバイス CAL を使用します。 • プロセッサーあたり	• Server/CAL:Enterprise Edition の各サーバー ライセンスでは、最大 4 つの OSE または VM でソフトウェアのインスタンスを無制限に実行できます。 • プロセッサ ライセンス: SQL Server を実行できる OSE の数。ライセンスあたり最大 4 つの OSE。
	データセンター	プロセッサ	プロセッサーあたり	プロセッサ ライセンス: SQL Server を実行できる OSE の数:無制限。Datacenter エディションでは、サーバー上のすべての物理プロセッサーにライセンスが付与され、少なくとも 2 つのプロセッサー ライセンスがサーバーに割り当てられている必要があります。
2012-2014	標準	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合:サーバーライセンスには [サーバー (インスタンスごと)] を使用し、CAL ライセンスには [ユーザー/デバイス CAL] を使用します • コアあたり	コアベースのライセンス: 1. サーバー内の物理コアの総数をカウントします。コア数に適切なコア係数を掛けて、サーバーに必要なライセンスの合計数を決定します。 **注:** 使用されるコア要因は、展開されているプロセッサタイプによって異なり、物理サーバ上の物理プロセッサごとに少なくとも 4 つのコア ライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				2. コアあたりのモデルを使用して個々の VM にライセンスを付与するには、VM ごとに最低 4 コアのライセンスを条件として、VM に割り当てられた仮想コア (または仮想プロセッサ、仮想 CPU、仮想スレッド) ごとにコア ライセンスを購入する必要があります。 ライセンスの目的で、仮想コアはハードウェア スレッドにマップされます。個々の VM にライセンスを付与する場合、コア要因は適用されません。
	エンタープライズ	コアあたり1	コアあたり	同上。
2016-2019	標準	• サーバー/CAL • コアあたり	• サーバー/CAL の場合:サーバーライセンスの場合はサーバー (インスタンスごと)、CAL ライセンスの場合はユーザー/デバイス CAL • コアライセンスの場合:コアあたり	• サーバー/CAL: SQL Server ソフトウェアを実行している各サーバーには、サーバー ライセンスが必要です。 • コアごと:サーバーの物理プロセッサーごとに最低 4 つのコア ライセンスが必要です。
	エンタープライズ	コアあたり1	コアあたり	同上。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バージョン	エディション	Microsoft が提供するライセンスモデル	ソフトウェア資産管理 使用されるライセンスメトリクス ServiceNow ソフトウェア資産管理	ライセンスルール
				注: ソフトウェア アシュアランス付きの (Server/CAL) サーバー ライセンスを持つ SQL Server Enterprise エディションを既に使用している場合は、引き続きサーバー + CAL ライセンス モデルを使用してください。サーバーライセンスにはライセンスメトリクスをサーバー (サーバーごと) として、CAL ライセンスにはユーザー/デバイス CAL として使用します。SQL Server Enterprise の新規購入は、コアごとのライセンス モデルのみに基づきます。

Microsoft コアあたりのライセンスルール

コアごとのライセンス モデルは、SQL Server や BizTalk Server など、多くの Microsoft Server 製品で使用されています。これは、ソフトウェアに接続しているユーザーまたはデバイスのカウントが困難な場合 (多くの場合、インターネットに接続するソフトウェアの場合) に便利です。

そのため、Per Core ライセンスモデルは、SQL Server などのエンタープライズソフトウェア Microsoft 一般的に使用されます。

これらの製品のオンプレミスインストールとクラウドインストールのライセンスルールは別々です。クラウド ライセンス ルールは、Bring Your Own License (BYOL) に従います。詳細については、「BYOL および BYOS のライセンス規則」を参照してください。

コアあたりのライセンスモデルを使用してこれらの製品のオンプレミスインストールのライセンスを付与するには、次の 2 つのオプションを検討してください。

- 物理コアによるライセンス (物理ホストによるライセンスとも呼ばれます)
- 個々の仮想マシンごとのライセンス

注: クラスタではなく、個々のホストまたは個々の仮想マシンに割り当てることができます。

手動で割り当てるか、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションが最適化基準に基づいて最も費用対効果の高いライセンスオプションを自動的に選択することができます。必要なコア ライセンスの数は、物理コアに基づいて物理サーバーにライセンスを付与するか、個々の仮想マシンにライセンスを付与するかによって異なります。

割り当ての実行方法の詳細については「 割り当て管理 」を、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで自動最適化を実行する方法については、「 の実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースの最適化を表示する Microsoft」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: どちらのオプションにも、物理コアによるライセンスか、個々の仮想マシンによるライセンスかにかかわらず、従う必要のある独自の Microsoft ルールセットがあります。詳細については、「SQL Server」を参照してください。

これらの製品では、サーバー CAL ライセンス モデルなど、他のライセンス モデルも使用できます。

物理コアごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2016 年に Microsoft によって導入された物理コアルールによるライセンスをサポートしています。

物理コアルールによるライセンス付与

ルール	SQL Server 標準	SQL Server エンタープライズ
適用	許可されていません 注: 個々の仮想マシンを通じてのみライセンスを取得できます。	必要なライセンス数は、ライセンスを取得したサーバー上の物理コアの数と同じです。 サーバーの物理コアは、`CPU 数 * コア数`と等しくなります。
必要なライセンスの最小数	許可されていません 注: 個々の仮想マシンを通じてのみライセンスを取得できます。	物理プロセッサあたり 4 ライセンス
仮想化権	許可されていません 注: 個々の仮想マシンを通じてのみライセンスを取得できます。	• ソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスがない場合、物理サーバーに割り当てられたコア ライセンスの数と同数の仮想マシンを実行します。 注: 仮想マシンを追加するたびに、追加のコア ライセンスが必要になります。 • アクティブなソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスでは、サーバー上のすべての物理コアにフル ライセンスが付与されていれば、仮想マシンを無制限に実行できます。
フェイルオーバー権限	許可されていません 注: 個々の仮想マシンを通じてのみライセンスを取得できます。	アクティブなソフトウェア アシュアランスの対象となる SQL Server サブスクリプション ライセンスでライセンスされたサーバー オペレーティング システム環境 (OSE) ごとに、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

物理コアルールによるライセンス付与 (続く)

ルール	SQL Server 標準	SQL Server エンタープライズ
		フェールオーバー イベントの前に次のパッシブ レプリカを使用できます。 • 別の OSE での高可用性のための 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ • 別の OSE での災害復旧用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ • Azure 上の 1 つの仮想マシンまたはインスタンスでのディザスター リカバリー用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ
コンポーネントサービスライセンス	許可されていません **注:** 個々の仮想マシンを通じてのみライセンスを取得できます。	1 つの SQL Server ライセンスのソフトウェア コンポーネントを分離することはできません。SQL Server のライセンス コンポーネントを実行する OSE には、独自のライセンスが必要です。SQL Server コンポーネントの詳細については、「SQL Server 2022 のエディションとサポートされている機能」を参照してください。

VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Nutanix Acropolis HyperVisor (AHV) などのクラスター仮想化テクノロジーに Windows Server や System Center (Per Core ライセンス モデルを使用) などのMicrosoft製品を展開する場合、物理ホストに必要なライセンスの数は、クラスター内で物理ホストに移行できる可能性のある仮想マシンによって異なります。

すべてのホスト間での仮想マシンのライブ マイグレーションを可能にする VMware vMotion や、クラスタ内のホストに仮想マシンをロックするのに役立つホスト アフィニティなどのテクノロジは、ホスト間での仮想マシンの移動を管理します。クラスター仮想化テクノロジと ソフトウェア資産管理 アプリケーションでのサポートの詳細については、「クラスター・インフラストラクチャーの理解」を参照してください。

Microsoftライセンス規則に従って、Windows Server などのMicrosoft製品がインストールされている仮想マシンが 1 つのサーバーでホストされているが、別のサーバーに移行できる可能性がある場合、移行先サーバーには、仮想マシンが既に実行されているかのようにライセンスを付与する必要があります。

ヒント: このオプションに使用できるのは Enterprise Edition ライセンスのみであり、物理ホスト上で実行できる仮想マシンの数に基づいて物理ホストにライセンスを付与する必要があるため、このライセンス オプションはコストが高くなる可能性があります。

仮想マシンごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2022 年に Microsoft によって導入された個々の仮想マシン ルールによるライセンスをサポートしています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: このライセンス オプションは、Per Core ライセンス モデルを使用する場合に SQL Server Standard Edition で使用できる唯一のオプションです。

個々の仮想マシンごとのライセンスのルール

ルール	SQL Server Standard および SQL Server Enterprise
必要なライセンス数	仮想マシン上の仮想コアの数と等しい サーバー上の仮想コアは、`CPU 数 * コア数 * CPU スレッド数`と等しくなります。
必要なライセンスの最小数	仮想マシンあたり 4 ライセンス
ソフトウェアアシュアランスまたはサブスクリプションライセンス **注:** 仮想マシンごとにライセンスを付与するオプションは、ソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスでのみ使用できます。	必須
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェア アシュアランスの特典) **注:** ライセンスは、同じサーバー ファーム内で必要に応じて何度でも再割り当てできます。90 日ルールは、別のサーバー ファームまたはクラウド プロバイダーに移動する場合にのみ適用されます。	サポート対象
コンポーネント・サービス・ライセンス	1 つの SQL Server ライセンスのソフトウェア コンポーネントを分離することはできません。SQL Server のライセンス コンポーネントを実行する OSE には、独自のライセンスが必要です。SQL Server コンポーネントの詳細については、「SQL Server 2022 のエディションとサポートされている機能」を参照してください。
フェイルオーバー権限	SQL Server サブスクリプション ライセンスまたはアクティブ ソフトウェア アシュアランスの対象となるライセンスでライセンスされたサーバー OSE ごとに、フェールオーバー イベントの前に次のパッシブ レプリカを使用します。 • 別の OSE での高可用性のための 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ • 別の OSE での災害復旧用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ • Azure 上の 1 つの仮想マシンまたはインスタンスでのディザスター リカバリー用の 1 つのパッシブ フェールオーバー レプリカ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアあたり (CAL を含む) ライセンスルール

コアあたり (CAL を含む) メトリック ライセンス モデルには、Windows Server、System Center、Core Infrastructure Server Suite などのさまざまな Microsoft Server 製品が続いています。ライセンスの数は、インストール数とオペレーティングシステム環境 (OSE) によって異なります。

これらの製品のオンプレミスインストールとクラウドインストールのライセンスルールは別々です。クラウド ライセンス ルールは、Bring Your Own License (BYOL) に従います。詳細については、「BYOL および BYOS のライセンス規則」を参照してください。

コアあたり (CAL 付き) のライセンスモデルを使用してこれらの製品のオンプレミスインストールのライセンスを付与するには、次の 2 つのオプションを検討してください。

- 物理コアによるライセンス (物理ホストによるライセンスとも呼ばれます)
- 個々の仮想マシンごとのライセンス

注: クラスタではなく、個々のホストまたは個々の仮想マシンに割り当てることができます。

手動で割り当てるか、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションが最適化基準に基づいて最も費用対効果の高いライセンスオプションを自動的に選択することができます。割り当ての実行方法の詳細については「 割り当て管理 」を、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで自動最適化を実行する方法については、「 の実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースの最適化を表示する Microsoft」を参照してください。

注: どちらのオプションにも、物理コアによるライセンスか、個々の仮想マシンによるライセンスかにかかわらず、従う必要のある独自の Microsoft ルールセットがあります。詳細については、「 Windows Server Standard、Datacenter、および Essentials 」を参照してください。

物理コアごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2016 年に Microsoft によって導入された物理コアルールによるライセンスをサポートしています。

物理コアルールによるライセンス付与

ルール	Windows サーバー標準	Windows Server データセンター
必要なライセンス数	ライセンスを取得したサーバー上の物理コアの数と等しい サーバーの物理コアは、`CPU 数 * コア数`と等しくなります。	
必要なライセンスの最小数	• 物理プロセッサあたり 8 • サーバーあたり 16 ライセンス	
CAL 要件	サーバーにアクセスするユーザーまたはデバイスには、デバイス CAL またはユーザー CAL が必要です	
仮想化権	ホストのすべてのコアがライセンススタッキングのオプション付きでライセンスされている場合に、2 つの仮想マシンを使用する権利	ホストのすべてのコアにライセンスが付与されている場合に仮想マシンを無制限に実行できる権限

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

物理コアルールによるライセンス付与 (続く)

ルール	Windows サーバー標準	Windows Server データセンター
	注: さらに 2 つの仮想マシンを使用する権限を取得するには、ホストに再度ライセンスを付与する必要があります。	
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェア アシュアランスの特典) 注: ライセンスモビリティは、Windows Server では使用できません。ライセンスは 90 日ごとにサーバーに再割り当てできます。	サポート対象外	

VMware vSphere、Microsoft Hyper-V、Nutanix AHV などのクラスター仮想化テクノロジーに Windows Server や System Center (CAL ライセンスモデル付きコアを使用) などのMicrosoft製品を展開する場合、物理ホストに必要なライセンスの数は、クラスター内で物理ホストに移行できる可能性のある仮想マシンによって異なります。

すべてのホスト間での仮想マシンのライブ マイグレーションを可能にする VMware vMotion や、クラスタ内のホストに仮想マシンをロックするのに役立つホスト アフィニティなどのテクノロジは、ホスト間での仮想マシンの移動を管理します。クラスター仮想化テクノロジと ソフトウェア資産管理 アプリケーションでのサポートの詳細については、「クラスター・インフラストラクチャーの理解」を参照してください。

Microsoftライセンス規則に従って、Windows Server などのMicrosoft製品がインストールされている仮想マシンが 1 つのサーバーでホストされているが、別のサーバーに移行できる可能性がある場合、移行先サーバーには、仮想マシンが既に実行されているかのようにライセンスを付与する必要があります。

仮想マシンごとのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、2022 年に Microsoft によって導入された個々の仮想マシン ルールによるライセンスをサポートしています。

個々の仮想マシンごとのライセンスのルール

ルール	Windows Server Standard および Windows Server Data Center
必要なライセンス数	仮想マシン上の仮想コアの数と等しい サーバー上の仮想コアは、`CPU 数 * コア数 * CPU スレッド数`と等しくなります。
必要なライセンスの最小数	仮想マシンあたり 8 ライセンス
ソフトウェアアシュアランスまたはサブスクリプションライセンス	必須

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

個々の仮想マシンごとのライセンスのルール (続く)

ルール	Windows Server Standard および Windows Server Data Center
注: 仮想マシンごとにライセンスを付与するオプションは、ソフトウェア アシュアランスまたはサブスクリプション ライセンスでのみ使用できます。	
サーバー ファーム内のライセンス モビリティ (ソフトウェア アシュアランスの特典) 注: ライセンスは、同じサーバー ファーム内で必要に応じて何度でも再割り当てできます。90 日ルールは、別のサーバー ファームまたはクラウド プロバイダーに移動する場合にのみ適用されます。	サポート対象

ソフトウェア資産管理 健全性チェック

健全性チェック ServiceNow Store アプリケーションは、 ソフトウェア資産管理 構成の正確で信頼性の高い概要を提供し、存在する可能性のあるエラーを修正することを推奨します。

Health Check アプリケーションは、実装パートナー、SAM マネージャー、サポートアナリストなどの複数のペルソナが、構成の健全性チェックを決定するために使用できます。

ソフトウェア資産管理アプリケーションの展開中の任意の時点でヘルスチェックServiceNow Storeアプリケーションを使用して、エラーを特定します。たとえば、エンタイトルメントやソフトウェアモデルのセットアップが正しくない、 ディスカバリーから見つかったデータ属性がないなどの構成エラーです。健全性チェックスキャンの実行の詳細については、「 の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

現在のチェックセットには、次の構成のチェックが含まれています。

- SQL Server 構成
- SQL Server CMDB
- Windows Server CMDB
- Windows Server 構成
- データベースサーバー: Oracle
- Java - Oracle
- Microsoft 365
- 全般

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ *SAM - Trigger Full Scan* は、コンテンツサービスの一部として出荷される KPI カテゴリで、 ServiceNow インスタンスで毎週実行されます。KPI カテゴリは、エンタイトルメントの構成ミス、ダウングレード、割り当て、またはその他の構成の問題に関連している可能性があります。これらの KPI を構成することも、KPI カテゴリを追加することもできます。スケジュール済みジョブは、全体的なヘルススキャンを実行して、 ソフトウェア資産管理 構成に存在する可能性のあるエラーをチェックします。

健全性チェックに関する通知は、ソフトウェア資産の概要ビューで表示できます。

健全性スキャンが実行された後、健全性チェックダッシュボードに結果を表示します。ダウンロード可能なレポートの形式で結果を表示すると、それらのレポートから問題の解決に関する推奨事項が提供されます。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

グローバルエンティティ間でのライセンスの調整

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、組織内のさまざまなエンティティ間でエンタイトルメントを共有します。

調整プロセス中のエンタイトルメントの消費を特定のエンティティセットに制限します。これにより、コストセンターはライセンスを購入し、それをサービスとして他のコストセンターに提供し、割り当てを必要とせずにデバイスで実行されているソフトウェアにライセンスを付与できます。

消費ルールの概要

エンタイトルメントの消費ルールを作成して、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できないように制限します。エンタイトルメントに対して消費ルールが定義されておらず、調整プロセスが実行される場合、そのエンタイトルメントの所有者に関係なく、すべてのエンティティがそのエンタイトルメントを使用できます。

消費ルールは、次の調整グループに対して作成できます。

- 会社
- 部門
- 地域
- コストセンター
- 国

単一の消費ルールを複数のエンタイトルメントにわたって使用できるため、消費ルールを再利用できます。

[ライセンス操作] ビューで消費ルールを作成した後、エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで、消費ルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。消費ルールをエンタイトルメントにリンクすると、消費は、消費ルールで指定された指定エンティティの少なくとも 1 つに属するユーザーまたはデバイスに制限されます。

[エンタイトルメント消費ルール] 関連リストにアクティブな消費ルールが存在しない場合、組織内の誰もがエンタイトルメントを使用できます。

注: 消費ルールは、 IBM RVU、 IBM UVU、および Workday のライセンスメトリクスではサポートされていません。

グループ化に関係なく、消費ルールが適用され、ライセンスが制限されます。消費ルールをエンタイトルメントにリンクし、調整プロセスを実行すると、次のアクションが実行されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- グループ化あり:調整結果は、製品結果、ソフトウェアモデルの結果、およびライセンス測定基準の結果の形式で表示されます。すべてグループごとに個別に生成されます。
- グループ化なし:調整結果は、製品結果、ソフトウェアモデルの結果、およびライセンス測定基準の結果の形式で、すべて単一の見出しの下に表示されます。

ライセンス消費ブレークダウン [samp_lmr_consumption_result] テーブルは、消費ルールごとのライセンスメトリクスの結果ごとに、使用された割り当て済みおよび未割り当ての権利をレポートします。

[samp_licenses_required_by] テーブルで要求されたライセンスの消費ルール列からさらにレポートを作成できます。消費ルール列には、そのエンティティが満たす消費ルールがスタンプされます。

消費ルールのユースケース

たとえば、営業、人事、マーケティングの 3 つの部門に対して 3 つの個別の消費ルールを作成したとします。

ここで、これら 3 つの消費ルールをすべて「ENT A」というタイトルのエンタイトルメントにリンクします。調整を実行すると、営業、HR、およびマーケティング部門が ENT A を使用できるようになります。耳鼻咽喉科 A の割り当てを作成する必要はありません。

親と子の階層

消費ルールは、グループの親または子階層もサポートしています。親会社 A の消費ルールがある場合は、個別のルールを作成せずに、子会社 B と子会社 C を含めることができます。

Enterprise 資産ワークスペースの [新しい消費ルールの作成] ページでは、会社、部門、およびコストセンターの子を消費ルールに含めることができます。これにより、エンティティごとに個別の消費ルールを作成し、新しいエンティティが追加、更新、または削除されたときに消費ルールを更新するために必要な労力が削減されます。

ライセンスプール

消費ルールを使用すると、エンティティのライセンスプールを定義できます。ライセンスプールは、消費ルールで定義されたグループエンティティの権利の予約です。ライセンスプールは、エンタイトルメントごとのエンティティに固有です。ライセンスプールが定義されていない場合、エンティティは権利を消費できますが、保証として確保されるものはありません。

たとえば、使用可能な権利が 100 個あるエンタイトルメントには、ライセンスプールが 50 個の HR 消費ルールを設定できます。これにより、HR コンシューマーに 50 個の権利が確保され、残りの 50 個の権利は、HR または消費ルールで定義されたその他のエンティティによって使用されます。

エンタイトルメントページの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストで、消費ルールと関連するライセンスプールを表示できます。

ライセンス消費を消費ルール内のエンティティに制限しない場合は、エンタイトルメントページの [無制限消費] チェックボックスを使用できます。このチェックボックスをオンにすると、どのエンティティでも権利を消費できるようになりますが、消費ルール内のエンティティには権利の予約が確保されます。

注: 割り当てと [無制限消費] チェックボックスの両方で、他のグループがエンタイトルメントにアクセスできます。割り当てのみが優先順位を提供します。

割り当て

割り当ては消費ルールよりも優先されます。割り当てを機能させるために消費ルールを作成する必要はありません。たとえば、このエンタイトルメントを使用できるのは HR デバイスのみであるという

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

消費ルールがあるとします。このエンタイトルメントには、営業やマーケティングなど、HR 以外の割り当てを含めることもできます。

最初に適用される消費ルールが満たされると、割り当ては自動的にライセンスプールにカウントされます。これはデフォルト設定ですが、消費ルールやライセンスプールが定義されていなくても割り当ては受け入れられます。

ライセンスプール数を超える新しい割り当てはすべて受け入れられます。消費ルールを満たさない割り当ても受け入れられます。

Utah より前のリリースからのアップグレード

プレ Xanadu リリースからアップグレードする場合、 *com.snc.samp.recon.group* プロパティと *com.snc.samp.recon.subgroup* プロパティ (ソフトウェア資産管理 プロパティ ページ内) で選択した内容に基づいて、次のアップグレード アクションが実行されます。

- グループ化: [会社]、[コストセンター]、[地域]、[部門]、または [国] が選択されています。エンタイトルメントが使用されている場合は、選択したグループ化エンティティに対して消費ルールが自動的に作成されます。たとえば、[部門] が選択され、サブグループとして [会社] が選択されている場合、グループ [部門] とサブグループ [会社] の両方に対して 1 つの結合消費ルールが作成されます。調整が実行されると、エンタイトルメントの使用は部門グループと会社サブグループのみに制限されます。

  注: エンタイトルメントテーブルの [インストールステータス] 列の値が 1 の場合、エンタイトルメントは使用中と見なされます。

- 非グループ化: [なし] が選択されています。グループ化なしで調整が実行されるため、消費ルールは作成されません。エンタイトルメントはどのグループでも使用できます。

コンプライアンスのためのソフトウェア調整

自動ライセンス調整により、手動による計算を行うことなくライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。

調整は、指定された頻度で実行されるスケジュール済みジョブです (デフォルトは毎週)。また、特定またはすべての公開者、グループ、およびサブグループに対してオンデマンドで実行することもできます。

グループとサブグループの値には、国、部門、会社、地域、またはコストセンターが含まれます。週次調整実行に適用されるデフォルトのグループおよびサブグループ プロパティ は、 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

調整が実行されると、検出とエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを示す調整結果のリストが作成されます。sam_user ロールを持つユーザーは、調整結果を表示できます。

新しいソフトウェアライセンスの発注書の作成に加えて、ソフトウェアモデルの結果で追加の修正オプションを使用できます。結果を使用して、割り当てを自動的に作成および削除し、未割り当てのインストールを削除し、ライセンスなしのインストールを削除します。

簡素化されたライセンスワークベンチビューで調整結果を確認し、ライセンスポジションレポートを使用して、各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細を単一のリストで表示します。

ソフトウェア調整結果

ソフトウェア調整結果は、検出とエンタイトルメントに関するソフトウェア製品のコンプライアンスステータスを示します。sam_userロールを持つユーザーは、調整結果を表示できます。

ソフトウェアの調整が実行されると、購入されたアクティブな権限の数と比較した使用中の権限の数に基づいてコンプライアンスが計算されます。調整は、特定の公開者またはすべての公開者に対し

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

て毎週またはオンデマンドで実行されます。このプロセスでは、検出とエンタイトルメントに関連するソフトウェアのコンプライアンスステータスを表示する調整結果のリストが生成されます。ソフトウェア調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。

調整結果には次の 3 つの階層があります。

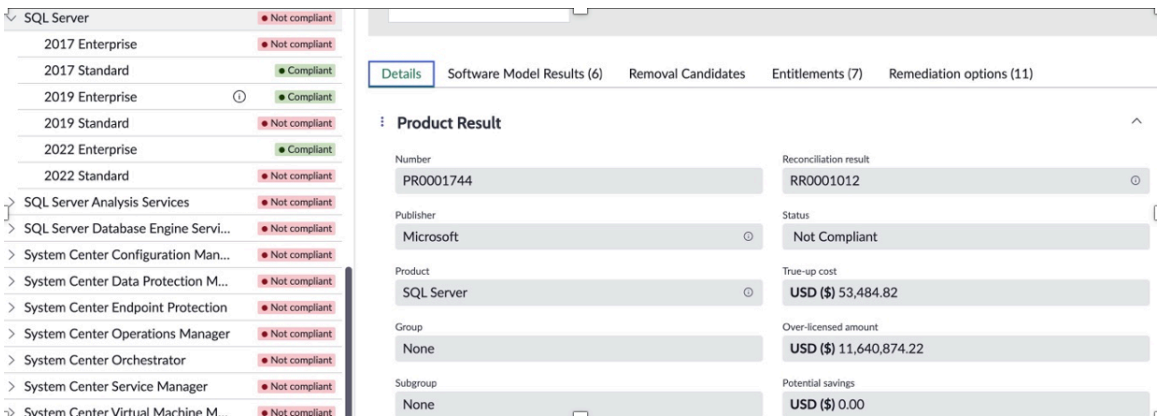
- 製品の結果
- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスメトリクスの結果

調整結果は、コア UI と ソフトウェア資産ワークスペース の両方を使用して表示できます。

インターフェイス	アクション
コア UI	1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > 履歴結果. 2. 調整結果を選択します。 3. [調整結果] フォームで、製品結果レコードを選択して製品結果の詳細を表示します。
ソフトウェア資産ワークスペース	1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況. 2. パブリッシャーカードを選択し、製品の結果レコードを選択して、製品の結果の詳細を表示します。

調整結果

製品の結果



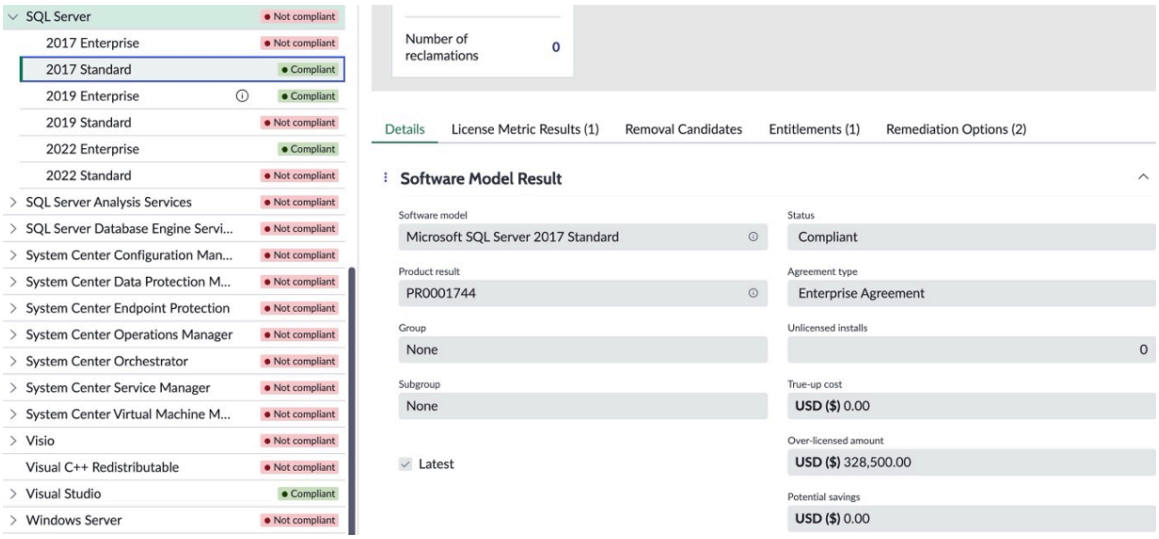
これらの結果は、ソフトウェア製品に関連付けられているすべてのモデルとインストールを対象としており、公開者に固有です。ライセンス可能な製品の製品の結果は、製品に定義されたソフトウェアモデルがない場合でも、調整後に生成されます。これらの結果により、製品のライセンスコンプライアンスステータスが決まります。さらに、製品の結果には、調整コスト、過剰ライセンス金額、および見込まれる削減に関する詳細が示されます。製品結果レコードを選択すると、次の関連リストが表示されます。

- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスされたインストール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ライセンスなしのインストール (SAP: 無認可ユーザーまたは無認可エンジン)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- 節約見込み

ソフトウェアモデルの結果



これらの結果は、製品に関連する個々のソフトウェアモデルに対するものです。調整が実行されると、ソフトウェアモデルの結果は製品の結果レコードに関連リストとして表示されます。ソフトウェアモデルの結果レコードは、ソフトウェア製品のソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントが存在する場合にのみ作成されます。ソフトウェアモデルの詳細を選択すると、次の関連リストが表示されます。

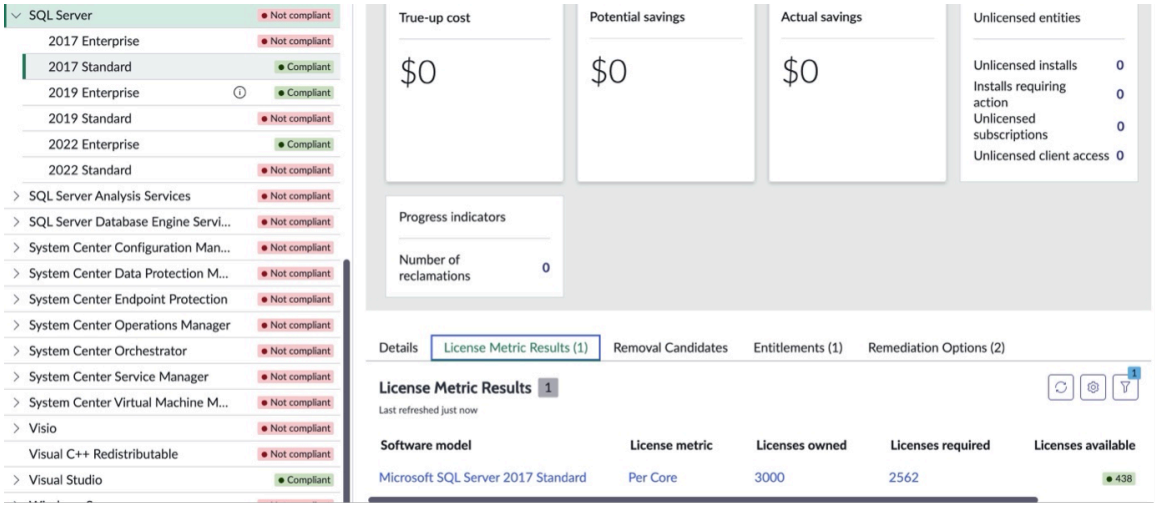
- ライセンスメトリクスの結果
- 修復オプション
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザー)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- ライセンスなしの消費 (消費ベースのソフトウェアモデル)
- ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)
- 節約見込み
- 発注書 (調達 (com.snc.procurement) プラグインがアクティブな場合のみ)

ソフトウェアモデルの結果関連リストと説明の詳細については、「ソフトウェアモデルの結果を表示」を参照してください。

ライセンスメトリクスの結果

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



これらの結果は、ソフトウェアモデルに関連付けられた各ライセンス測定基準に対するものです。ライセンス測定基準の結果は、ソフトウェアモデルの結果に関連リストとして表示されます。ライセンスのメトリクスの結果の詳細には、所有権と使用権、およびライセンス割り当てのブレークダウンが含まれているため、準拠を維持するためのオプションを決定できます。同じソフトウェアに対して複数のライセンスを購入できるため、1 つのソフトウェアモデルに対して複数のライセンス測定基準の結果が存在する可能性があります。

ソフトウェアモデルの結果フォームから、特定のメトリクスの結果をドリルダウンできます。ライセンスメトリクスの結果の詳細を選択すると、次の関連リストが表示されます。

- 権限使用者 (このタブは、リソース値単位 (RVU) IBM ライセンスメトリクスには表示されません。)
- ライセンスされたインストール
- 使用中のインストール数 (SAP:システムユーザー)
- ダウングレード/アップグレード
- ライセンスが付与されたサブスクリプション
- クラウド特別権限 (このタブは、 AWS や Azure などのクラウドプラットフォームにクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。

ライセンスメトリクスの結果関連リストと説明の詳細については、「ソフトウェアモデルの結果のライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。

ソフトウェア調整コストを正確に報告する

ソフトウェア調整コストを正確に報告して、コンプライアンスの問題を回避します。

ソフトウェアモデルでライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを指定して、調整中に調整コストを正確にレポートします。ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを指定しない場合、調整コストの計算には平均ソフトウェアエンタイトルメントコストが使用されます。

注: Oracleパブリッシャーパックの従業員ライセンス測定基準では、1 年間のサブスクリプション期間の調整コストが表示されます。

ライセンスのメトリクスを使用してソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成する場合、同じライセンスメトリクスに上書きライセンスコストレコードが存在しない場合は作成されます。ライセンスコストレコードが [Override License Cost] 関連リストに追加されます。ライセンスコストおよびライセンスとメンテナンスのコストはゼロに設定されています。メンテナンスライ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

センスが存在する場合は、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを上書きできます。詳細については、「上書きライセンスコストレコードの作成または更新」を参照してください。

ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション

ソフトウェア資産管理ライセンスポジションレポートには、各ソフトウェアモデルのコンプライアンスの詳細が単一のリストに表示されます。

環境のソフトウェアモデルのコンプライアンスリストを表示およびエクスポートして、ライセンスポジションを把握できます。

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つは SA 無期限ライセンスタイプ、もう 1 つはサブスクリプションライセンスタイプがある場合、2 つのライセンスメトリクスの結果が生成されます。1 つはアクティブメンテナンスが true のライセンスメトリクスの結果で、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false のライセンスメトリクスの結果です。このようなシナリオでは、2 つのライセンスポジションレポートが生成され、1 つはアクティブなメンテナンスが true で、もう 1 つはアクティブなメンテナンスが false です。

ライセンスのないインストールがある場合、シングルライセンスポジションレポートが生成されます。ライセンスのないサブスクリプションがある場合は、シングルライセンスポジションレポートも生成されます。両方が存在する場合は、2 つのライセンスポジションレポートが生成されます。

ライセンスポジションレポートリスト

フィールド	説明
ソフトウェアパブリッシャー	ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者。
ソフトウェア製品	ソフトウェアモデルのソフトウェア製品。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ソフトウェアモデルステータス	ソフトウェアモデルのコンプライアンスステータス。 • 準拠 (緑の点で示される) • 非準拠 (赤い点で示される)
ライセンスの測定基準	ソフトウェアモデルのライセンスのメトリクス。
合計消費量	所有する権限の総コスト。
所有している権利	すべてのアクティブな権限の合計。
使用されている権利	使用中に割り当てられた権限と未割り当て使用権限の合計。
必要な権限	ライセンスなしのインストールの数をカバーするために必要な権限。
利用可能な権利	所有する権限から使用される権限を差し引く。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要最小限の権限に基づいて違反を修正するコスト概算。
見込まれる削減	未使用のインストールの再利用による節減額の概算。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスポジションレポートリスト (続く)

フィールド	説明
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利の合計コスト。
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデル名。

[ライセンスポジションレポート] フォームには、調整が実行されたグループとサブグループを指定する [グループ] フィールドと [サブグループ] フィールドも含まれています。

調整でのグループ化ルールと消費ルール

グループ化ルールと消費ルールは、ソフトウェア資産管理アプリケーションでの調整プロセス中に連携して機能します。

グループ化は、調整結果の表示方法を制御する調整構成です。結果は、グループとサブグループセットによって決定されたエンタイトルメントオーナーによってブレークダウンされます。たとえば、調整中に会社別にグループ化することを選択した場合、結果には、製品に関連付けられ、その特定の会社が所有するエンタイトルメントのみが表示されます。ただし、これは、これらのエンタイトルメントが選択した会社によって独占的に使用されていることを意味するものではありません。他の企業もそれらを使用する場合があります。

消費ルールは、エンタイトルメントの消費を特定のグループまたはグループの組み合わせに制限する方法です。消費ルールの詳細については、「 グローバルエンティティ間でのライセンスの調整」を参照してください。

会社、部門、国などの任意の組み合わせを指定して、消費ルールを作成できます。これらの基準に一致するインストールのみが、そのエンタイトルメントを使用する資格があります。ただし、調整を実行するグループだけに限定されるわけではありません。

注: 消費ルールは、新しいエンタイトルメントに自動的には追加されません。

グループ化はライセンスに影響しません。ライセンスは、グループ化の有無にかかわらず調整を実行するかどうかに関係なく変わりません。

ライセンスルールを変更できるのは、グループ化ルールと消費ルールの両方を同時に使用する場合、または消費ルールのみを使用する場合のみです。グループ化を単独で使用しても、ライセンス ルールは変更されません。

関連情報

グループ化ルールと消費ルールのユースケース

グループ化ルールと消費ルールのユースケース

いくつかのユースケースを通じて、調整プロセス中にグループ化ルールと消費ルールがどのように使用されるかを学びます。

次のユースケースは、調整プロセス中にグループ化のみ、消費ルールのみ、またはグループ化ルールと消費ルールの両方を使用した場合の影響を理解するのに役立ちます。

エンタイトルメントは 2 つあります。エンタイトルメント 1 は会社 A が所有し、エンタイトルメント 2 は会社 B が所有しています。各エンタイトルメントには独自の消費ルールがあります。両方のエンタイトルメントが同じライセンス測定基準と同じ製品に属し、それぞれに 5 つの権限があります。さらに、11のインストールがあります。会社 A にはインストールが 5 件、会社 B にはインストールが 5 件、会社 C にはインストールが 1 件あります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

グループ化なし、消費ルールなしのユースケース

このユースケースでは、グループ化ルールや消費ルールによって、次のような結果を示す単一の製品結果が得られません。

Product Result

- License Metric Result – 10 rights
- 10 licensed installations (any)
- One unlicensed installation (any)

このシナリオでは、エンタイトルメント所有者は無視され、消費は無制限です。2 つのエンタイトルメントの利用可能な権限は、1 つの製品結果の 1 つのライセンス測定基準の結果に結合されます。さらに、どのインストールもライセンスを取得できますが、最後のインストールは権限が不十分なためライセンスが付与されません。

グループ化ありで消費ルールなしのユースケース

このユースケースでは、グループ化が指定されていますが、次の結果を示す親製品の結果につながる消費ルールはありません。

Product Result

- Product Result (company A)
  - License Metric Result (company A)- 5 rights
  - 5 licensed installations (any)
  - 1 unlicensed installation (any)
- Product Result (company B)
  - License Metric Result (company B)
  - 5 licensed installations (any)
  - 0 unlicensed installation (any)

このシナリオでは、エンタイトルメント所有者が認識され、調整結果がブレークダウンされます。会社 A と会社 B の親製品の結果、個々の製品の結果、ライセンス測定基準の結果が表示されます。ただし、消費は無制限であるため、LMR の 5 回のインストールは任意の 5 回になる可能性があることに注意してください。B社も同様です。処理されるデバイスの順序によって、どのエンタイトルメントが使用されるかによって異なります。

グループ化なしで消費ルールありのユースケース

このユースケースでは、グループ化は指定されていませんが、次の結果を示す単一の製品の結果につながる消費ルールが指定されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Product Result

- License Metric Result – consumption rule A, 5 rights
- 5 licensed installations (installation 1- 5 from company A)
- 0 unlicensed installation

- License metric Result – consumption rule B, 5 rights
- 5 licensed installations (installation 6 - 10 from company B)
- 0 unlicensed installation

1 unlicensed installation (Installation 11 from company C)

このシナリオでは、製品結果は 1 つですが、エンタイトルメントを 1 つのライセンス測定基準の結果に結合することはできません。会社 A と会社 B のみがそれぞれ消費できる 2 つのライセンスメトリクスの結果が作成されます。会社 C のインストールにはライセンスがありません。

グループ化と消費ルールを使用するユースケース

このユースケースでは、グループ化ルールと消費ルールの両方が指定されており、次の結果を示す親製品の結果が得られます。

Product result

- Product Result (company A)
  - License metric Result- company A, 5 rights
  - 5 licensed installations (only company A)
  - 0 unlicensed installations (only company A)
- Product Result (company B)
  - License Metric Result- company B, 5 rights
  - 5 licensed installations (only company B)
  - 0 unlicensed installation (only company B)
- Product Result (company C)
  - I unlicensed installation from company C.

このシナリオでは、消費が制限され、製品の結果は会社のグループ別に分類されます。また、会社 C は、ライセンスのないインストールを示すライセンス測定基準のない独自の製品結果も取得します。

Virtualization Adapter によるライセンスコンプライアンスの判別

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、ライセンスコンプライアンス Microsoft ルールを適用することで、仮想化テクノロジーにデプロイされた SQL Server、 Windows Server、および Red Hat Enterprise Linux Server (RHEL) のライセンスコンプライアンスを判断します。この機能は、 ソフトウェア資産管理 のベースシステムとともにアクティブ化され、インストールされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

仮想化は、ハードウェア機能をシミュレートし、クラスター環境内の 1 台のサーバーで複数の仮想マシンを実行できる仮想環境を作成するプロセスです。ソフトウェア資産管理 がサポートする仮想化テクノロジーは次のとおりです。

- VMware
- Microsoft Hyper-V
- Red Hat
- Nutanix

ITOM ディスカバリー は、関係アーキテクチャに基づいて仮想化テクノロジーを検出します。 ソフトウェア資産管理 は、検出された関係に応じてソフトウェアインストールのライセンスコンプライアンスを判断します。

ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、 ソフトウェア資産管理 がライセンスコンプライアンスを判断するために使用するデータベースビューとメタデータビューを使用して、関係アーキテクチャを標準化します。

ソフトウェア資産管理 ライセンスルールを適用しながら、仮想化テクノロジーのアーキテクチャを検討します。たとえば、 Microsoft Hyper-V アーキテクチャでは、物理 OSE Windows 仮想 OSE が仮想 OSE のホストと管理にのみ使用される場合、Server Standard Edition は、2 つの仮想 OSE に加えて、ライセンスを受けたサーバー上の物理 OSE でサーバー ソフトウェアの 1 つの実行インスタンスを使用できます。ソフトウェア資産管理 Virtualization Adapter は、このルール・セットを自動的に適用します。

ソフトウェア再利用ルール

再利用ルールは、時間の経過に伴う使用状況を集計し、ソフトウェアに再利用のフラグが付けられる前にソフトウェアユニットを使用する必要がある最小時間数または最新の日付を指定します。

再利用ルールの概要

すでに割り当てられているが、使用頻度が低い権限、最近十分に使用されていない権限、またはまったく使用されていない権限を把握することで、製品のソフトウェア権限を追加購入せずに済みます。再利用ルールは、これらの権限を解放して他の場所に割り当てることができるように、これらのソフトウェア権限を再利用します。再利用ルールは、ソフトウェアに再利用のフラグが立てられる前にソフトウェアユニットを使用する必要がある期間、時間、または最新の日付を指定するように構成されます。

スイート (親) に対して再利用ルールが作成されると、スイート (親) の使用状況とスイートコンポーネントの使用状況が自動的にルールに取り込まれます。

再利用ルールを作成すると、再利用ルールに関連付けられたソフトウェア製品を追加できます。スイートの親である製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、再利用ルールフォームの [ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。同様に、追加されたすべてのソフトウェアスイート製品とコンポーネント製品の製品プロセスも追加され、[製品プロセス] 関連リストに表示されます。

> **注:** [ソフトウェア製品] 関連リストの製品は、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスのコンテンツ更新に基づいて更新されます。たとえば、スイートコンポーネントがスイート (親) に対して追加または削除された場合、その変更は [ソフトウェア製品] 関連リストに反映されます。

スイート (親) を再利用ルールに追加した後は、スイートコンポーネントを編集または削除することはできませんが、スイート (親) を編集または削除することはできます。スイート (親) を削除すると、スイートコンポーネントも製品プロセスとともに自動的に削除されます。スイート (親) を編集すると、編集の変更がスイートコンポーネントと関連する製品プロセスに反映されます。たとえば、スイート (親) を Microsoft Office 365 から Microsoft Word に変更すると、 Microsoft Office 365 の

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

すべてのスイートコンポーネントと製品プロセスが削除されます。 Microsoft Word が新しい親になり、 Microsoft Word のすべてのスイートコンポーネントと製品プロセスが自動的に追加されます。

フィルター条件

スイートの親レコードにフィルター条件を追加できます。スイートの親に指定したフィルター条件は、親のすべてのスイートコンポーネントに自動的に適用され、スイートコンポーネントレコードのフィルター条件フィールドは編集できなくなります。ただし、スイートの親レコードのフィルター条件は編集できます。[Software Products (ソフトウェア製品)] 関連リストからスイートの親レコードを開き、レコード内でフィルター条件を指定できます。

再利用ルールレベルでフィルター条件を指定することもできます。指定したフィルター条件は、再利用ルールに属するすべての製品に適用されます。このフィルター条件は、[再利用ルール] フォームの [適用先] フィールドの値が [インストール済みソフトウェア] または [サブスクリプションソフトウェア] である場合にのみ適用できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールの追加」を参照してください。

へのアップグレード **Xanadu**

過去のリリースから Xanadu にアップグレードする場合、既存の再利用ルールでは一括再利用が自動的に考慮されることはありません。一括再利用を有効にするには、既存の再利用ルールを手動で設定する必要があります。たとえば、既存の再利用ルールで、[ソフトウェアインストール] 関連リストに Microsoft Office 365 リストされているとします。Xanadu にアップグレードする場合は、[ソフトウェア製品] 関連リストからMicrosoft Office 365を削除し、それを同じ再利用ルールに再度追加して、スイートコンポーネントとその製品プロセスの自動追加をトリガーする必要があります。

ソフトウェア再利用ルールの追加

再利用ルールを追加して、使用状況レコードを集計し、未使用のソフトウェアを特定します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
再利用ルールで [ユーザーに通知] オプションを選択した場合、ユーザーは再利用のプロセス中に承認の応答をすることができます。指定された期間内に応答が受信されない場合、ソフトウェアの権利は自動的に再利用されます。ユーザーがソフトウェアのインストールを引き続き保持したい場合は、削除を承認または拒否するのは管理者の責任になります。

SCCM 製品の再利用ルールの作成については、「 Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

> **注:** 再利用ルールの作成後に、[ソフトウェア製品] リストのソフトウェアメンバーを編集できます。

[再利用ルール] フォーム

フィールド	説明
名前	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
再利用タイプ	再利用ルールのタイプ。可能な値は次のとおりです。 ◦ 合計使用時間 (デフォルト) ◦ 前回の使用日 ◦ ピーク同時使用回数 ([適用先] リストから [エンジニアリングアプリライセンス] を選択した場合にのみ表示されます) ◦ アクティブなトランザクションコード ([適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます)
指名ユーザータイプ	SAP 指名ユーザータイプ。このフィールドは、[適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合にのみ表示されます。 **注:** このフィールドは、 SAP 公開者にのみ適用されます。
再利用候補を作成	選択すると、この再利用ルールに関連付けられているすべてのソフトウェア製品の使用状況がプルされるだけでなく、この再利用ルールの削除候補が作成されます。 デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。このチェックボックスをオフにすると、ソフトウェア製品の使用は取り込まれますが、このルールの削除候補は作成されません。
アクティビティを含めない	選択すると、デバイスにインストールされていても、使用状況テーブルに使用状況レコードがないソフトウェア製品も、次のルールに基づいて再利用されます。 ◦ 再利用ルールの期間内に、選択した製品 (少なくとも 1 つの使用レコード) の使用状況が利用可能です。 ◦ 再利用タイプが [最終使用日] の場合、インストールは [最終使用日] の値 よりも後に作成する必要があります。 ◦ [合計使用時間] 再利用タイプの場合、インストール日は [アグリゲート使用量] の値よりも後でなければなりません。
アサイン先グループ	特定の再利用ルールによって作成された削除候補を管理するアサイン先グループ。このルールに基づいて削除候補が作成されるたびに、再利用ルールに記載されているアサイン先グループが削除候補にコピーされます。 デフォルトでは、[ソフトウェアマネージャー] が選択されています。他のグループを選択する

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	か、グループ [sys_user_group] テーブルからグループを作成できます。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられているユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を要求していることを通知するオプション。
自動再利用までの日数	このフィールドは、[ユーザーに通知] を選択した場合に表示されます。削除候補が承認に回され、ユーザーから応答がない場合、このフィールドに指定された日数が経過すると、ソフトウェア製品は失効します。
ソフトウェアインストール条件/サブスクリプション条件	[適用先] フィールドで [インストール済みソフトウェア] を選択した場合、ソフトウェアインストール条件フィールドが表示されます。 [適用先] フィールドで [サブスクリプションソフトウェア] を選択した場合、[サブスクリプション条件] フィールドが表示されます。
使用状況計測データ	
このセクションは、[再利用タイプ] フィールドで [合計使用時間]、[ピーク同時使用]、または [アクティブトランザクションコード] を選択した場合にのみ表示されます。	
次の集計使用率	使用状況情報が集計される期間。可能な値は次のとおりです。 ◦ 先月 ◦ 過去 2 か月間 ◦ 過去 3 か月間 ◦ 過去 6 か月間 ([適用先] リストから [インストール済みソフトウェア] を選択した場合にのみ使用可能)
合計使用時間	再利用を回避するためにソフトウェアを使用する必要がある時間。
使用率	ライセンス使用率。たとえば、60% を指定し、使用した割合が 60% 未満の場合、残りの 40% の権限について再利用候補が自動的に作成されます。このフィールドは、[適用先] リストから [エンジニアリングアプリライセンス] を選択した場合にのみ使用できます。
必要な最小トランザクションコード	名前付きユーザーが再利用を回避できるようにアクティブにする必要がある SAP トランザクションコードの最小数。[SAP トランザクションコード] 関連リストで、該当するトランザクションコードを指定できます。このリストは、再利用ルールを送信した後に表示されます。 このフィールドは、 SAP 公開者にのみ適用されます。このフィールドは、[適用先] リストか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ら **[SAP** 指名ユーザー] が選択されている場合にのみ使用できます。
最後に使用されたデータ	
このセクションは、[再利用タイプ] フィールドで [最終使用日] を選択した場合にのみ表示されます。	
次より前の最終使用日時	未使用のソフトウェアを再利用する前に保持する時間。 ◦ 1 か月前 ◦ 2 か月前 ◦ 3 か月前 ◦ 6 か月前 ◦ 9 か月前 ◦ 1 年前

4. [送信] を選択します。

   再利用ルールが作成されたら、ソフトウェア製品を再利用ルールに追加します。カスタムソフトウェア製品を追加することもできます。

   さらに、スイート (親) であるソフトウェア製品のフィルター条件を指定できます。カスタムソフトウェア製品の追加の詳細については、「 カスタムソフトウェア製品の追加」を参照してください。フィルタ条件の詳細は、 ソフトウェア再利用ルールを参照してください。

5. [ソフトウェア製品] 関連リストで [編集] を選択して、ソフトウェア製品を追加します。

   スイート (親) でもある製品を追加すると、すべてのスイートコンポーネントが自動的に追加され、[ソフトウェア製品] 関連リストに表示されます。[親] フィールドはすべてのスイートコンポーネントに自動的に入力されますが、スイート (親) では空になっています。

   さらに、製品を関連リストに追加すると、[製品プロセス] 関連リストと、親製品およびスイート製品の製品プロセス (システムに既に存在する場合) が表示されます。

6. ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、カスタム製品プロセスを追加できます。

   a. [Product Process (製品プロセス)] 関連リストで **[New** (新規)] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

      注: [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスでソフトウェア製品を選択した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
製品	ソフトウェア製品。
ファイル名	ソフトウェア製品のファイル名。このファイル名は、SCCM 使用状況がデータをプルするために必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
プラットフォーム	ソフトウェア製品のプラットフォーム。

c. [保存] を選択します。

注: [製品プロセス] 関連リストは、製品プロセスを持つソフトウェア製品が選択されている場合にのみ表示されます。

7. [適用先] リストから **[SAP** 指名ユーザー] を選択した場合は、再利用を防ぐためにアクティブにする必要がある SAP トランザクションコードを指定します。

注: この手順は、 SAP パブリッシャーにのみ適用されます。

レクラメーションを防ぐために、指定されたすべてのトランザクション・コードをアクティブにする必要はありません。有効にする必要があるトランザクション コードの最小数は、 最小トランザクション コードが必要 フィールドの値に基づきます。

a. [SAP トランザクションコード] 関連リストから、[編集...] を選択します。

b. 「メンバーの編集」フォームで、「取立」リストまたは「 SAP トランザクション・コード」リストからトランザクション・コードを選択します。
「コレクション」リストには、使用可能なすべてのトランザクション・コードが表示されます。SAPトランザクションコードリストには、再利用を防ぐためにアクティブにする必要があるトランザクションコードのみが表示されます。

c. 右矢印アイコンと左矢印アイコンを選択して、リスト間でトランザクションコードを移動します。

d. [保存] を選択します。

Microsoft SCCM ソフトウェア使用

Microsoft SCCM ソフトウェア使用状況プラグインをアクティブ化して、ソフトウェア使用データをNow Platformと統合します。

Microsoft SCCM から ソフトウェア資産管理 にソフトウェア使用データをインポートするには、次のいずれかの Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグインをインストールする必要があります。

- 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
- 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

統合 - Microsoft SCCM 2016 プラグインは、SCCM バージョン 1606、1906、1910、および 2002 と互換性があります。

重要: どちらの SCCM プラグインMicrosoftTokyoリリースで廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から SCCM アプリケーション用のサービスグラフコネクタを要求しMicrosoftインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかを既にアクティブ化している場合は、SCCM ストアアプリケーションのサービスグラフコネクタの移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタに移行するためにインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

SCCM 統合プラグインは、 いくつかのコンポーネントをインストールします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SCCM 使用状況プラグインを有効にし て構成すると、スケジュール済みインポートが毎月実行され、 SCCM ソフトウェア使用状況データがインスタンスに取り込まれます 。その後、使用状況データは [ソフトウェア使用状況] テーブルにマッピングされます。スケジュール済みジョブの実行中に、SQL クエリーが実行されます。

スケジュール済みインポートは月に 1 回実行されますが、[スケジュール済みデータインポート] フォームの [条件付き] オプションをオフにすることで、オンデマンドでインポートを実行できます。ただし、データは常に前月からプルされるため、次のスケジュール済みインポートまでデータに変更はありません。

注: SQL ステートメントが実際にデータをプルしないため、SCCM ソフトウェア使用状況データソースを直接実行できず、レコードが取得されません。データソースの有効な SQL ステートメントは、スケジュール済みインポートによって動的に更新されます。そのため、ServiceNow インスタンスにデータをプルする必要がある場合は、スケジュール済みインポートを使用します。

SCCM から抽出してインスタンスにインポートできるデータには、2 つのタイプ (合計使用量と最終使用日時) があります。最後に使用したデータには、前月にソフトウェアが最後に使用された時間のみが表示されます。

合計使用状況データは、前月にソフトウェアが使用されたときに秒単位で表示されます。これは、インスタンスにインポートされた大量のデータになる可能性があります。使用状況レコードは、使用状況の合計を月単位で追跡するため、環境内のソフトウェア使用状況を評価できます。

製品の再利用ルールで指定した内容に応じて、次のいずれかのスケジュール済みインポートが実行され、データがプルされます。

- SAMP 使用状況インポート
- SAMP 使用率 2016 インポート
- SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時
- SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時

注: 再利用ルールに関連付けられた製品の使用状況データのみがインポートされます。再利用ルールフォームの [再利用タイプ] フィールドは、実行中のスケジュール済みインポートと一致する必要があります。一致しない場合、データはインスタンスにプルされません。詳細については、「Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

SCCM からユーザーデータをプルすることもできます。ユーザーデータは、sys_userレコードのuser_nameフィールドと比較されます。名前が一致しない場合、ユーザーデータはインポートされません。

注: 構成アイテム (CI)、ユーザー、製品、および公開者の値は、一致するソフトウェアインストールを識別するために使用されます。

同じ年と月で、同じ CI、ユーザー、製品、または公開者の値に対して、重複する使用状況情報を作成することはできません。

ServiceNow インポートセット 機能を使用して、使用率情報をインポートすることもできます。

Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグインとともにインストールされるコンポーネント

Microsoft SCCM ソフトウェア使用プラグインを有効にすると、いくつかのタイプのコンポーネントがインストールされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM Software Usage プラグインとともにインストールされるもの

	SCCM 2012 v2	SCCMの2016
データソース	• SAMP 使用率 (合計使用率) • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 (最終使用日時)	• SAMP 使用率 2016 (合計使用率) • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時 (最終使用日時)
インポートスケジュール	• SAMP 使用状況インポート • SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時	• SAMP 使用率 2016 インポート • SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時
変換マップ	• SAMP 使用状況インポート (合計使用率) • SAMP 最終使用データインポート (最終使用) (onComplete 変換スクリプトが変換マップに関連付けられています)	• SAMP 使用状況インポート 2016 (合計使用率) • SAMP 最終使用データ 2016 インポート (最終使用) (onComplete 変換スクリプトが変換マップに関連付けられています)
スクリプトインクルード	SAMPUsageUtil	SAMPUsage2016Util

統合 - SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグインを有効にしている場合はMicrosoft 統合 **— Microsoft SCCM 2012 v2** > インポートスケジュール.

SCCM 2012 v2 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用量	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況のインポート [imp_samp_usage_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2012 v2 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2012v2_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

統合 - Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグインを有効にしている場合は、 統合 **— Microsoft SCCM 2016** > インポートスケジュール.

SCCM 2016 用にインポートされた **SCCM** データ

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
合計使用量	v_MonthlyUsageSummary	ソフトウェア使用状況 2016 インポート [imp_samp_usage_2016_import]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SCCM 2016 用にインポートされた **SCCM** データ (続く)

	SCCM テーブル	ステージングテーブル	ターゲットテーブル
前回使用	v_GS_CCM_RECENTLY_USED_APPS	SCCM 2016 ソフトウェア最終使用日時 [imp_sccm2016_software_last_used]	ソフトウェア使用率 [samp_sw_usage]

Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成

Microsoft SCCM データをインポートするには、使用情報が必要な製品の再利用ルールを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェア製品には、SCCM の使用状況がデータをプルするために必要な、ファイル名で構成される製品プロセスが必要です。ソフトウェア製品を再利用ルールに追加すると、ソフトウェア製品に関連付けられているすべての製品プロセスが [製品プロセス] 関連リストに表示されます。製品プロセスは、ソフトウェア製品プロセス [samp_sw_product_process] テーブルに保存されます。

ソフトウェア製品の製品プロセスが存在しない場合は、フォームでカスタムプロセスを作成できます。製品プロセスは、カスタム製品プロセス [samp_custom_product_process] テーブルに保存されます。

一部のソフトウェア製品には製品プロセスが含まれていない場合がありますが、コンテンツライブラリの更新を通じて新しい製品プロセスが毎週追加されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール をクリックし、[**New**] を選択します。
2. 再利用ルールフォームで、新しいレコードを作成します (フィールドの説明については表を参照)。

再利用ルールフォーム

フィールド	説明
名前	再利用ルールを作成する製品の名前。
適用先	再利用ルールが適用されるソフトウェアのタイプ。 ◦ インストール済みソフトウェア ◦ エンジニアリングアプリライセンス
再利用タイプ	SCCM からプルされたデータのタイプ。 ◦ 合計使用時間 ◦ 前回の使用日
ユーザーへの通知	ソフトウェアに割り当てられたユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を電子メールで通知するためのチェック ボックス。

3. 「再利用タイプ」フィールドで「合計使用時間」を選択した場合は、「使用状況測定データ」セクションのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
次の集計使用率	使用状況情報を集計する期間。 ◦ 先月 ◦ 過去 2 か月間 ◦ 過去 3 か月間 ◦ 過去 6 か月間
合計使用時間	再利用されないようにするためにソフトウェアを使用する必要がある時間。

4. [再利用タイプ] フィールドで [最終使用日] を選択した場合は、[最終使用データ] セクションのフィールドに入力します。

フィールド	説明
次より前の最終使用日時	ユーザーが未使用のソフトウェアを再利用する前に保持できる時間。

5. [保存] を選択します。
6. 再利用ルールに製品が存在しない場合は、[ソフトウェア製品] 関連リストで次の手順を実行します。
   a. [新規] を選択します。
   b. [カスタムソフトウェア製品] フォームで、 詳細を入力して 製品情報を追加します。
   c. **[Submit** (送信)] を選択します。
   d. [再利用ルール] フォームで、[ソフトウェア製品] 関連リストの [編集] を選択します。
7. [ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] を選択します。
8. カスタムソフトウェア製品フォームで作成した製品を選択します。
9. [保存] を選択します。
10. 選択したソフトウェア製品に製品プロセスが関連付けられていない場合は、次の手順を実行します。

    a. ソフトウェア製品の適用後に [再利用ルール] フォームに表示されるバナーのリンクを選択します。

    b. [カスタム製品プロセス] フォームで、詳細を入力して製品にプロセスを追加します。

    カスタム製品プロセスフォーム

フィールド	説明
製品	製品の名前。
ファイル名	製品に関連付けられたファイルの名前。
プラットフォーム	製品のプラットフォーム。

    c. **[Submit** (送信)] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

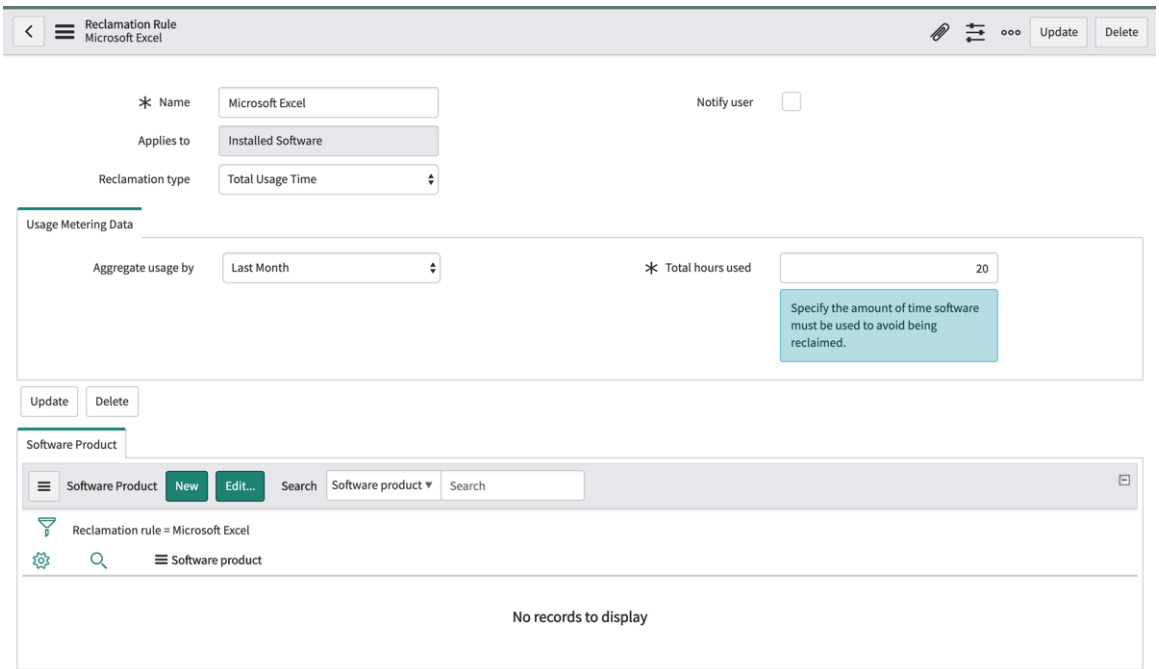
Example: Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成

Microsoft Excel の合計使用状況データを SCCM からプルする再利用ルール Microsoft を作成します。

再利用ルールの作成を開始するには、[再利用ルール] フォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
名前	Microsoft Excel
適用先	インストール済みソフトウェア
再利用タイプ	合計使用時間
使用状況計測データ	
次の集計使用率	先月
合計使用時間	20

[保存] をクリックします。



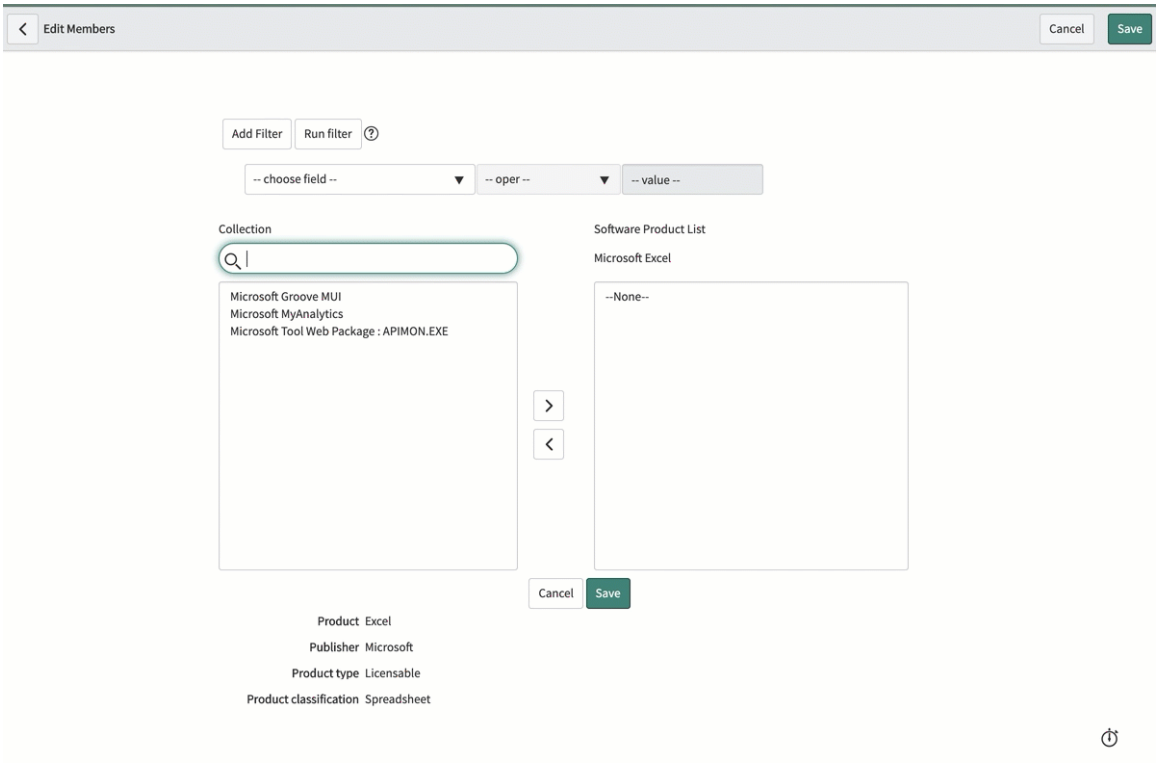
Microsoft Excel のソフトウェア製品は既に存在するため、製品を再利用ルールに関連付ける必要があります。

[ソフトウェア製品] 関連リストで、[編集] をクリックします。

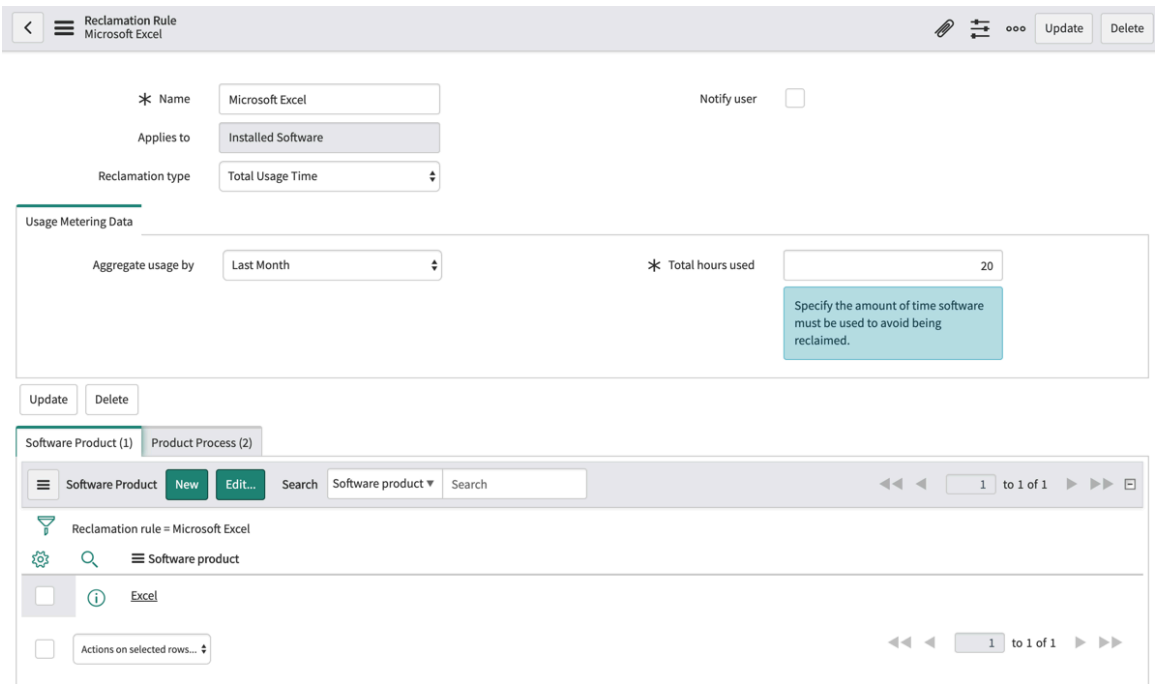
[メンバーの編集] フォームで、[コレクション] 列の [Excel] に移動し、[Excel] を選択します。[Software Product List] 列に追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

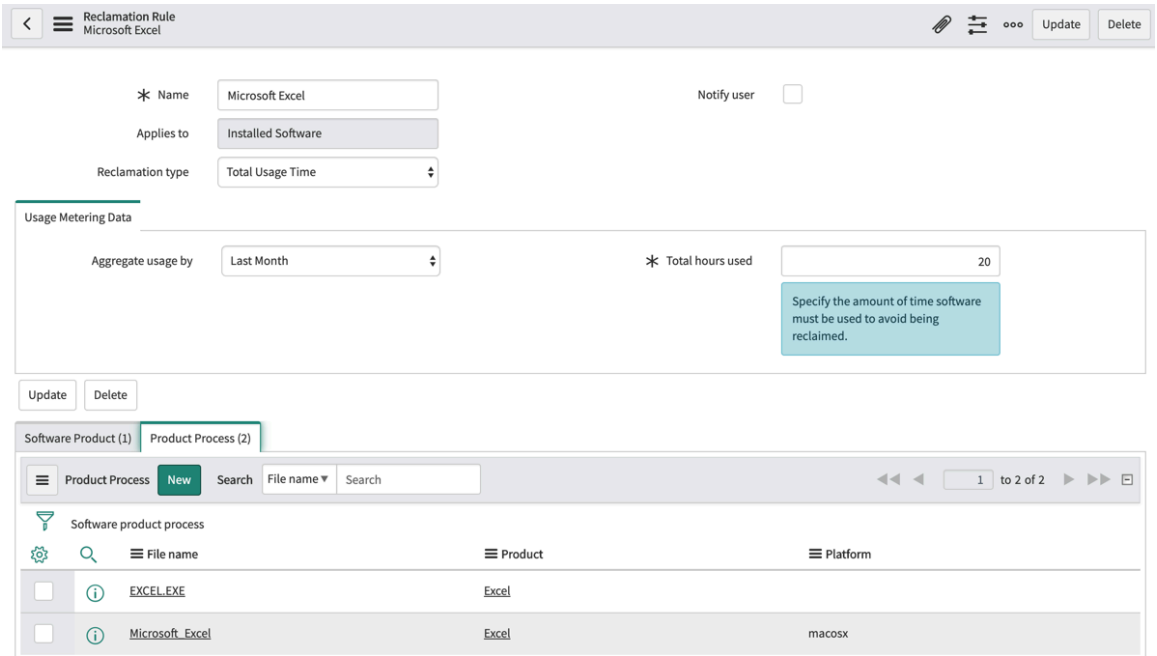


[保存] をクリックします。



Excel には 2 つの製品プロセスが関連付けられています。[製品プロセス] 関連リストをクリックして、製品プロセスを表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[再利用ルール] フォームで [保存] をクリックします。

次のタスク
再利用ルールが [再利用ルール] リストに追加され、翌月のスケジュール済みインポート中に製品のデータが SCCM からインポートされます。

ソフトウェアインストールの最適化と削除

未使用のソフトウェアを再利用したり、不正なソフトウェアを削除したりすることで、環境を最適化できます。

ユーザーがインストール済みの ソフトウェアを使用し ていない場合、または使用頻度が低い場合、そのソフトウェアは削除候補になる可能性があります。削除とは、ソフトウェアをアンインストールし、より頻繁に使用する個人に再割り当てすることを意味します。削除候補は、ソフトウェアインストールを再利用するために使用されます。

概要

ソフトウェア再利用は、 Workflow および クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) と統合され、デバイスからソフトウェアをアンインストールし、それらのソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化します。ワークフロー中、削除候補のステータスはワークフロー内の進行状況に基づいて変化します。

注: ソフトウェア資産のステータスを [廃止] または [欠損] に変更すると、ソフトウェア資産に関連付けられたインストールが削除され、削除候補は作成されません。

再利用は、スイートベースの製品と、スイートに含まれていない個々の製品に対して実行できます。

スイートベースの製品の場合、一括再利用はユーザーレベルで実行されます。スイートを再利用するための削除候補が 1 つ作成されます。スイートコンポーネントは、削除候補フォームの [ソフトウェアインストール] 関連リストから同じ削除候補に追加できます。表示される節減見込み額は、スイート全体に対するものです。スイートコンポーネントを個別に再利用することはできません。ソフトウェア資産ワークスペースでは、スイートコンポーネントを一度に 1 つずつ削除候補に追加できます。ソフトウェア資産管理 クラシックフレームワークでは、スイートコンポーネントをすべて一度に追加できます。

個々の製品について、再利用するソフトウェアインストールを指定できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補を作成する方法は複数あります。月次スケジュール済みジョブ *SAM - Identify new reclamation candidates* は、再利用ルールとソフトウェア使用状況を使用して削除候補を作成します。さらに、ライセンスのないソフトウェアや未割り当てのソフトウェアのインストール、および制限付きソフトウェアの修復オプションの使用の一環として、削除候補も作成されます。ソフトウェアモデルが制限付きとしてマークされると、そのソフトウェアモデルに関連付けられているすべてのソフトウェアに対して削除候補が作成されます。再利用のフローとプロセスは、これらすべてのユースケースで同じです。

*SAM - Identify new reclamation candidates*スケジュール済みジョブによって削除候補が作成され、これらの削除候補では、一括再利用フラグが自動的にオンになります。作成された削除候補は、調整プロセスの結果に基づいています。*SAM - Identify new reclamation candidates*スケジュール済みジョブを実行する前に、少なくとも 1 つの調整プロセスが実行され、成功した結果であることを確認します。これにより、 *SAM - Identify new reclamation candidates* スケジュール済みジョブで削除候補が正確に作成され、適切な節減見込みを特定できます。

削除候補の各リストで、再利用する個々のレコードを選択するか (再利用)、 または 対象となるすべての削除候補を再利用することができます。対象となる候補は、[準備完了] ステータスの候補です。[再利用] または [すべて再利用] を選択すると、ソフトウェアを削除するワークフローが開始されます。

へのアップグレード **Xanadu**

Xanadu にアップグレードし、[失効待ち] ステータスの既存の削除候補がある場合、その削除候補に対しては何も行われません。その削除候補がスイートの一部であった場合、そのスイート内の他のソフトウェアインストールごとに削除候補が作成されます。ただし、既存の削除候補のステータスが [失効待ち] 以外の場合、それらの削除候補はキャンセルされ、そのスイートの一部であるすべてのソフトウェアインストールに対して 1 つの削除候補が作成されます。削除候補フォームの [アクティビティ] セクションには、各削除候補がクローズされた理由が記載されています。

削除候補のグループ化

削除候補は、正当な理由に従ってグループ化されます。

- 使用率が低い
- 制限付きソフトウェア
- 他のすべての理由 ([ライセンスなし]、[未割り当て] など)

削除候補のステータス

ステータス	説明
要確認	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている自動削除候補の [ユーザー] フィールドが空の場合、削除候補には注意が必要です。 **[User** (ユーザー)] フィールドに入力すると、状態は自動的に [Ready (準備完了)] に変わります。
準備完了	削除候補が [準備完了] ステータスの場合は、[再利用] を選択してワークフローを進めることができます。
ユーザー待ち	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている場合は、承認または拒否する削除候補の通知がユーザーに送信されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補のステータス (続く)

ステータス	説明
承認待ち	[ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっている場合、ユーザーは削除候補を承認または拒否できます。ユーザーがソフトウェアのインストールを引き続き保持したい場合は、削除を承認または拒否するのは管理者の責任になります。
失効待ち	ワークフローの最後のステップ。[完了してクローズ] を選択すると、削除候補のソフトウェア権限を手動で再利用できます。 それ以外の場合は、週次スケジュール済みジョブ (名前は「SAM — 既存の再利用候補の更新」という名前) によって、「 失効待ち 」状態であり、ソフトウェアインストールフィールドが空の状態から 「完了してクローズ 」状態への削除候補が自動的に更新されます。 削除候補がその他のステータスであり、かつソフトウェアインストールが空の場合、再利用ワークフローはキャンセルされ、[スキップしてクローズ] ステータスに更新されます。 制限付きソフトウェアがある削除候補の状態は自動的に [失効待ち] に設定され、正当な理由は [制限付きソフトウェア] に設定されます。
完了してクローズ	ソフトウェア権限が再利用されました。
スキップしてクローズ	削除候補によって再利用されていないソフトウェア権限。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されたため、削除候補によって再利用されないソフトウェア権限。

制限付きソフトウェアの正当性とライセンスなしの正当性

制限付きソフトウェアの正当な理由またはライセンスのない正当な理由がある削除候補のワークフローは、自動的に実行されます。ユーザーには不正なソフトウェアの使用が通知され、承認を求めるプロンプトは表示されません。

- 制限付きソフトウェア:

  不正なソフトウェアの使用

  [パブリッシャー]デバイスにインストールされている［製品］［デバイス名］は、会社の所有物での使用が許可されていません。このソフトウェアを再度インストールしないでください。

- 無免許の：

  不正なソフトウェアの使用

  デバイス［デバイス名］にインストールされている ［Publisher］［製品］を使用するライセンスがありません。適切なプロセスを使用して、ソフトウェアのライセンスを要求します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

制限付きソフトウェアの正当な理由とライセンスなしの正当な理由のワークフロー状態は [失効待ち] に設定され、インストールが存在しなくなったことが検出で特定されると、状態は [完了してクローズ] に変更されます。

未割り当ての正当性と低使用率の正当性

未割り当ての正当な理由または使用率の低い正当な理由がある削除候補のワークフローでは、ユーザーに承認を求めます。

- 未割り当て：

  [パブリッシャー]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている［製品］［デバイス名］に削除のフラグが付けられました。それでもこのソフトウェアにアクセスする必要がありますか?

- 使用率が低い:

  [パブリッシャー][製品］に再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアを［デバイス名］にインストールする必要がありますか?

理由の説明

削除候補の説明は、正当な理由に基づいて更新されます。

- 未割り当て：

  [パブリッシャー]ソフトウェアを使用するための割り当てが存在しないため、デバイスにインストールされている［製品］［デバイス名］に削除のフラグが付けられました。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下してください。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアの継続使用の要求がソフトウェアマネージャーの承認のためにルーティングされます。

- 無免許の：

  [パブリッシャー]デバイスにインストールされた［製品］［デバイス名］は、それを使用するライセンスが所有していないため、削除のフラグが付けられました。適切なプロセスでこのソフトウェアへのアクセスを要求してください。

- 制限付きソフトウェア:

  [パブリッシャー]デバイスにインストールされている［製品］［デバイス名］は、会社所有の所有物での使用が許可されていません。

- 使用率が低い:

  [パブリッシャー]デバイスにインストールされている［製品］［デバイス名］は、使用率が低いため、再利用のフラグが付けられました。このソフトウェアが必要ない場合は、このタスクを却下してください。このソフトウェアに引き続きアクセスする必要がある場合は、このタスクを承認すると、ソフトウェアを引き続き使用するための要求がマネージャーの承認のためにルーティングされます。

[**Reclam**] アクションをクリックしたときに **[Notify User**] フィールドが選択されており、再利用までの日数が 0 より大きい場合、ステータスは [Awaiting User] に設定されます。それ以外の場合、状態は [Awaiting Reclamation] に設定されます。

ステータスが [ユーザー待ち] に変わると、通知がユーザーに送信されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産再利用のための従業員の退職プロセス

資産を要求、評価、および削除できるワークフローを介して、従業員の退職プロセスを調整します。

ソフトウェア資産管理退職プロセスでは、従業員に割り当てられたすべてのソフトウェアライセンスを返却する必要があります。さらに、すべてのソフトウェアインストールがデバイスから削除され、すべてのユーザー割り当てが削除され、SSO、 SAP、および Citrix 製品へのアクセスが取り消されます。

従業員が組織を退職したり、別のロールに異動したりした場合、従業員にアサインされた資産を回収するには、Human Resources 部門と資産マネージャーの間で広範な調整が必要になります。退職カタログ要求を作成すると、必要に応じて、資産を効率的に回収して在庫に補充したり、再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローが開始されます。

注: ハードウェア資産管理資産再利用プロセスの詳細については、「資産再利用」を参照してください。

サービスカタログを使用して資産再利用要求を作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクは、sam_user ロールのみがアクセスしたり実行したりできます。すべてのタスクがクローズされると、再利用品目が完了します。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。退職カタログ要求の作成については、「 資産を再利用するためのカタログ要求を作成する」を参照してください。

注: デバイスにソフトウェアがインストールされており、そのデバイスが [Reclaim Asset] フォームで選択されている場合、[Device Reclamation] タイプのソフトウェア再利用品目が、返却されるデバイスごとに作成されます。[資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合、ユーザー再利用タイプの追加のソフトウェア再利用品目が作成されます。

自分のライセンス またはサブスクリプション をパブリッククラウドに持ち込む

Bring Your Own License (BYOL) のサポートにより、ハイブリッド インフラストラクチャ全体で Microsoft および Oracle ソフトウェア製品のライセンス コンプライアンスを判断できます。Bring Your Own Subscription (BYOS) サポートにより、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断できます。

組織がパブリッククラウドに移行すると、既存のオンプレミス 永久 ライセンスがBYOLを使用してクラウドに引き継がれます。既存のオンプレミスサブスクリプションライセンスも、BYOSを使用してクラウドに引き継がれます。BYOL とBYOSは、組織がインフラストラクチャコストのみを支払う必要があるため、ライセンスの最適化を 向上させるのに役立ちます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、次のように BYOL Microsoft および Oracle ソフトウェア製品向け BYOS および RHEL ソフトウェア製品向け BYOS をサポートしています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	製品エディション	**BYOL** または **BYOS**	サポートされているクラウドプロバイダー	サポートされているサービスモデル	サポートされるインフラストラクチャタイプ **注:** この列は、サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS) モデルにのみ適用されます。
Microsoft SQL Server	すべてのエディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Microsoft Windows サーバー	すべてのエディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Oracle データベース	• Oracle データベース標準版 • Oracle データベース Standard Edition 1 • Oracle データベース標準版 2 • Oracle データベースエ	BYOL	• AWS • Microsoft Azure	• AWS:サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS) およびサービスとしてのプラットフォーム (PaaS) **注:** AWS、IaaS モデルは Amazon Elastic Computing (EC2) Web サービスを指し、PaaS モデルは Amazon Relational Database Service (RDS) を指します。 • Microsoft Azure:サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品	製品エディション	**BYOL** または **BYOS**	サポートされているクラウドプロバイダー	サポートされているサービスモデル	サポートされるインフラストラクチャタイプ **注:** この列は、サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS) モデルにのみ適用されます。
	ンタープライズエディション				
Oracle WebLogic サーバー	• Oracle WebLogic Server スタンダードエディション • Oracle WebLogic Server Enterprise エディション	BYOL	• AWS • Microsoft Azure	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有および専用
Red Hat Enterprise Linux Server	すべてのエディション	BYOS	• AWS • Microsoft Azure • Google Cloud Platform (GCP)	サービスとしてのインフラストラクチャ (IaaS)	共有

ソフトウェア資産管理 アプリケーションでの BYOL および BYOS サポート は、次のことに役立ちます。

- AWS、Microsoft Azure、GCPなどのオンプレミス環境とクラウド環境全体で、永久ライセンスとサブスクリプションベースのソフトウェアライセンスを自動的に検出します。
- ハイブリッドインフラストラクチャ全体で次のソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスを判断します。
  - Microsoft SQL Server
  - Microsoft Windows サーバー
  - Oracle データベース

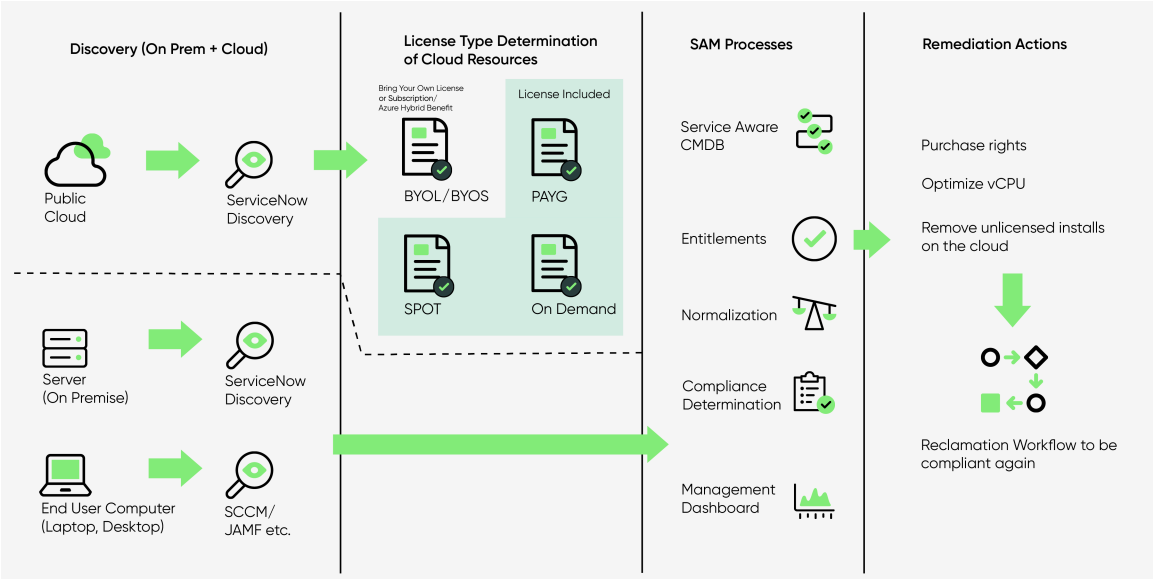
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Oracle WebLogic サーバー
- Red Hat Enterprise Linux Server

- 二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化など、クラウド特別権限を通じて最適化のための高度なサポートを提供します。
- ソフトウェアがコンプライアンス違反の場合に修復を実行します。

自分のライセンスまたはサブスクリプションの使用フロー



前提条件

ハイブリッド インフラストラクチャ全体のソフトウェアのライセンス コンプライアンスの判断を開始する前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- ServiceNow インスタンスで ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインを有効にします。

  詳細な手順については、「ディスカバリーの要求」を参照してください。

- ServiceNow Store から ディスカバリー and サービスマッピング パターンアプリケーションを要求してインストールします。

  ディスカバリーパターンとサービスマッピングパターンの詳細については、「ITOM ヴィジビリティで使用されるディスカバリーパターン」を参照してください。

- クラウド API (CAPI) プローブからパターンベースディスカバリーに移行します。

  詳細な手順については、CAPI からパターンへの移行:CAPI ベースのクラウドディスカバリーからパターンベースのクラウドディスカバリーへの切り替え手順 [KB0827153] を参照してください。

- ServiceNow Store から CMDB CI Class Models アプリケーションを要求してインストールします。

  CMDB CI クラスモデルアプリケーションの詳細については、「CMDB CI クラスモデルストアアプリ」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ServiceNow Store から クラウドインサイト アプリケーションを要求してインストールします。

  クラウドコスト管理 アプリケーションは、AWS 上の Microsoft SQL Server 展開でソフトウェアのライセンスタイプを検出するために必要です。Cloud Cost Management アプリケーションの詳細については、「クラウドインサイトアプリケーション」を参照してください。

BYOL および BYOS 検出

BYOL とBYOSを使用すると、 ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションは、 ディスカバリー パターンと サービスマッピング パターンを使用して、オンプレミス環境とクラウド環境の両方でライセンス可能なソフトウェアを見つけて識別します。ディスカバリー アプリケーションは、Amazon AWS クラウド、Microsoft Azure クラウド、およびGoogle Cloudディスカバリーパターンを使用して、クラウド環境のソフトウェアの次のリソースを検出します。

- クラウドプロバイダー
- 仮想マシンの詳細
- IaaS や PaaS などのサービスモデルタイプ
- IaaS のホストインフラストラクチャタイプ (共有や専用など)
- ライセンスタイプ (BYOL、BYOS、ライセンスが含まれるなど)
- 仮想マシンにインストールされているソフトウェア

> **注:** Amazon AWS クラウド、Microsoft Azure クラウド、およびGoogle Cloudディスカバリーパターンは、ディスカバリーおよびサービスマッピングパターンストアアプリケーションに含まれています。Amazon AWS クラウドディスカバリーパターンの詳細については、「パターンを使用した Amazon AWS クラウドコンポーネントのディスカバリー」を参照してください。Microsoft Azure クラウドディスカバリーパターンの詳細については、「パターンを使用した Microsoft Azure クラウドコンポーネントのディスカバリー」を参照してください。Google Cloudディスカバリーパターンの詳細については、「Google Cloud Platform (GCP) 資産インベントリの検出 と Google Cloud Platform (GCP) 組織のディスカバリー」を参照してください。

検出されたソフトウェアのリソースは、ServiceNow インスタンスのホスト [cmdb_ci_cloud_host] テーブルやサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルなど、対応する構成管理データベース (CMDB)テーブルに入力されて保存されます。

その後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出されたソフトウェアのライセンスタイプを個別に、または ディスカバリー または クラウドコスト管理 アプリケーションで決定します。

- AWS、Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) 上の Microsoft Windows Server および Oracle Database の場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションはライセンスタイプを個別に決定します。
- Microsoft SQL Server on AWS の場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは クラウドコスト管理 アプリケーションの請求レコードを使用してライセンスタイプを決定します。
- 受講対象者
  - MicrosoftMicrosoft Azure 上の SQL Server およびGoogle Cloud Platform (GCP)
  - AWS、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP)Red Hat Enterprise Linux Server

  ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ディスカバリー アプリケーションによって検出されたリソースを使用してライセンスタイプを決定します。
- AWS および Microsoft Azure 上の WebLogic Server Oracleでは、ライセンス タイプを手動で指定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

WebLogic ServerOracle を除くすべてのソフトウェア製品では、ライセンス タイプは、自動的に生成されたキーと値のペアを使用して、関連するコンフィグレーション アイテム (CI) に適用されます。キーと値のペアは、 キー値 [cmdb_key_value テーブルに格納されます。各キーと値のペアは、<*software-product>_License_Type_automatic*形式のキーと、ライセンスが含まれる、**BYOL**または**BYOS**のいずれかの値で構成されます。

WebLogic Server Oracle では、キーと値のペアを作成してライセンス タイプを手動で指定する必要があります。キーと値のペアには、キーが `Oracle_WebLogic_Server_License_Type` で、値が[ライセンスが含まれる] または `[BYOL]` のいずれかである必要があります。これらのキーと値のペアを作成すると、指定されたライセンスタイプを関連する CI に適用できます。

注: ソフトウェア製品に対してライセンスタイプが手動で指定されていない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは情報が不十分であるため、インストールのライセンスを取得しません。

これらのキーと値のペアを使用して、関連付けられたソフトウェアライセンスがBYOL、BYOS、 、またはライセンス込みライセンスモデルを使用しているかどうかを判断できます。BYOL および BYOS ライセンス モデルにはAzureハイブリッド特典などのライセンス購入オプションが含まれています。ライセンス込みライセンスモデルには、従量課金制 (PAYG)、SPOT、オンデマンドなどのライセンス購入オプションが含まれています。ライセンス込みライセンスモデルでは、クラウドプロバイダーがライセンスの管理を担当します。

注: Oracle Database の場合、BYOL およびライセンス込みライセンス モデルのサポートは、使用しているクラウド プロバイダーと Oracle Database のバージョンに基づいています。

- AWS RDS (PaaS): BYOL ライセンス モデルは、 Oracle Database Standard Edition、Standard Edition One、Standard Edition 2、Enterprise Edition でサポートされています。ライセンス込みライセンスモデルは、 Oracle Database Standard Edition 2でのみサポートされています。
- AWS EC2 (IaaS):BYOL ライセンスモデルのみがサポートされています。
- Microsoft Azure (IaaS):BYOL ライセンスモデルのみがサポートされています。

BYOL および BYOS ライセンスコンプライアンスのためのソフトウェア調整

検出されたソフトウェアが [BYOL]、[BYOS]、または [ライセンスが含まれる] としてマークされると BYOL または BYOS としてマークされたソフトウェアで調整が実行されます。得られた情報を使用して、ハイブリッドインフラストラクチャ全体のソフトウェアコンプライアンスを判断できます。

BYOL および BYOS ライセンスルールは、異なるクラウドプロバイダー間で同じソフトウェア製品でも異なる場合があります。たとえば、 Windows Server では、 AWS と Microsoft Azure で異なるライセンスルールがあります。これらのルールを既存のオンプレミスルールと組み合わせて、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で各ソフトウェア製品の完全なライセンスコンプライアンスポジションを決定できるようにする必要があります。 Microsoft は、 AWS 対 Microsoft Azure に展開される製品に対して、二重使用権、エディションの柔軟性、無制限の仮想化などの特別な権利を提供します。ライセンス ルールの詳細については、「 BYOL および BYOS のライセンス規則」を参照してください。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、これらのルールを自動的に調整し、ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況ビューで表示できる正確なライセンスポジションレポートを提供します。

- Microsoftソフトウェア製品の BYOL ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペースのMicrosoft公開者の概要で表示できます。Microsoft Publisher の概要の詳細については、「の Microsoft のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。
- Oracleソフトウェア製品の BYOL ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペースのOracle公開者の概要で表示できます。また、「契約ごとの Oracle DB サーバーの展開」

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポートで、合意タイプに基づいて、ハイブリッド・インフラストラクチャ全体の Oracle Databaseサーバーのデプロイに関する情報を表示することもできます。Oracle Publisher の概要の詳細については、「の Oracle のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。[契約ごとの Oracle DB サーバーの展開] レポートの詳細については、「 契約ごとの Oracle DB サーバーの展開」レポートを参照してください。

- RHELソフトウェア製品の BYOS ライセンス権限は、ソフトウェア資産ワークスペース のRed Hatパブリッシャーの概要で確認できます。Red Hat Publisher の概要の詳細については、「の Red Hat のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。

クラウドベースの修復オプション

クラウドインストールの非準拠を修復するために、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションには次の修復オプションが用意されています。

ライセンスなしのインストールを削除 - Cloud

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド 修復] オプションは、関連するソフトウェア製品のライセンスのないすべてのクラウドインストールを削除します。

[ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド 修復] オプションを選択すると、通常の修正ワークフローに従う削除候補が作成されます。削除候補が [失効待ち] ステータスになったら、クラウドプロバイダーからクラウドインストールをアンインストールし、削除候補を完了としてマークできます。

vCPU の最適化

[vCPU 修復の最適化] オプションでは、コア数とコアスレッド数に基づいて vCPU のサイズを最適化できます。この修正オプションは、AWS RDS (PaaS) の Oracle プロセッサあたりのデータベースライセンスにのみ適用されます。プロセッサあたりのライセンスは、 Oracle データベースをインストールまたは実行する vCPU の数に基づいています。

AWS コア数とコアスレッド数の詳細については、「DB インスタンスクラスのプロセッサの設定 」を参照してください。

BYOL および BYOS のライセンス規則

パブリッククラウド環境における Microsoft および Oracle 製品の Bring Your Own License (BYOL) ライセンスルールを表示します。さらに、パブリッククラウド環境における Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品の Bring Your Own Subscription (BYOS) ライセンスルールを表示します。ライセンスルールは、異なるクラウドプロバイダーの共有ホストまたは専用ホスト上に存在する仮想マシンで異なる場合があります。

Microsoft Windows Server および Microsoft SQL Server のライセンスルール

注: 次の表は、 Windows Server と SQL Server の BYOL のルールのサブセットのみを示しています。ライセンスルールの完全なリストについては、 Windows Server および SQL Server の公式 Web サイトを参照してください。

Windows サーバーライセンスルール

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
AWSWindows サーバー用	共有ホスト	Windows サーバーにライセンスモビリティ権限がないた	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		め、BYOL はサポートされていません。	
	専用ホスト	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェア リリースでのみサポートされます。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された Windows DC の無制限の仮想化。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェア リリースでのみサポートされます。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された Windows DC の無制限の仮想化。
Microsoft AzureWindows サーバー用	共有ホスト	• BYOL は、 Microsoft Azure ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用してサポートされます。 • 実行中の仮想マシン上のすべてのコアをカバーするために、十分な適格なコアライセンスを割り当てる必要があります。 • AHB を使用するには、少なくとも 8 つのコア ライセンスが割り当てられています。 • Windows DC では、同時使用権または二重使用権が認められています。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		注: Microsoft Windows Server Data Center には二重使用権のオプションがあり、 Windows Server ライセンスをデータセンター内の Microsoft Azure サーバーとライセンス済みサーバーで同時に利用できます。この機能 Azure ハイブリッド特典は、 Microsoft Azureでのみ利用できます。詳細については、「Windows Server 向け Azure ハイブリッド特典」を参照してください。 • エディションの柔軟性: Windows Standard では、DC Windows ライセンスを取得できます。	
	専用ホスト	• BYOL は、 Microsoft Azure ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用してサポートされます。 • 仮想マシンまたは利用可能なコアごとのライセンス。Windows DC のみ。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェア リリースでのみサポートされます。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した合計物理コアのライセンス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows サーバーライセンスルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
		• 利用可能なコアのライセンスがある場合、 Windows DC の無制限の仮想化。 • Windows DC では、仮想マシンに対してのみ同時使用権または二重使用権が許可されます。 **注:** Microsoft Windows Server Data Center には二重使用権のオプションがあり、 Windows Server ライセンスをデータセンター内の Microsoft Azure サーバーとライセンス済みサーバーで同時に利用できます。この機能 Azure ハイブリッド特典は、 Microsoft Azureでのみ利用できます。詳細については、「Windows Server 向け Azure ハイブリッド特典」を参照してください。	• 2019 年 10 月 1 日より前に購入された Windows DC の無制限の仮想化。
GCPWindows サーバー用	共有ホスト	Windows サーバーにライセンスモビリティ権限がないため、BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンス ルール

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
AWS SQL Server の	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限によってサポートされます。 • ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンあたり最低 4 コア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限を介してサポートされます。 • 物理ホスト別のライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise)。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェア リリースでのみサポートされます。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計によるライセンス。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入された Windows DC の無制限の仮想化。
Microsoft Azure SQL Server の	共有ホスト	• BYOL は、 Microsoft Azure ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用してサポートされます。 • エディションの柔軟性: オンプレミスの 1 つの SQL Enterprise ライセンスで、4 つの SQL Server Standard コアをカバーできます。同様に、オンプレミスの 4 つの SQL Server Standard ライセンスで 1 つの SQL Server Enterprise をカバーできます。 • ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンあたり最低 4 コア。	BYOL はサポートされていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SQL Server ライセンス ルール (続く)

クラウドプロバイダ	インスタンスタイプ	ソフトウェアアシュアランス付き	ソフトウェア保証なし
	専用ホスト	• BYOL は、 Microsoft Azure ハイブリッド福利厚生 (AHB) を使用してサポートされます。 • 仮想マシンまたは利用可能なコア (SQL Server Enterprise) ごとのライセンス。 • 仮想マシンまたは合計コア数 (SQL Server Standard) ごとのライセンス。 • 無制限の仮想化 (SQL Server Enterprise) (使用可能なコアのライセンスがある場合)。	• BYOL は、2019 年 10 月 1 日より前の購入またはソフトウェア リリースでのみサポートされます。 • 2019 年 10 月 1 日より前に購入した物理コアの合計によるライセンス。
GCP SQL Server の	共有ホスト	• BYOL は、ライセンスモビリティ権限によってサポートされます。 • ライセンス仮想コア (vCPU) - 仮想マシンあたり最低 4 コア。	BYOL はサポートされていません。
	専用ホスト	BYOL はサポートされていません。	BYOL はサポートされていません。

Oracle Database および **Oracle WebLogic Server** のライセンス ルール

注: 次の表は、 Oracle Database および Oracle WebLogic Server の BYOL のルールのサブセットのみを示しています。ライセンス ルールの完全なリストについては、 Oracle Database および Oracle WebLogic Server の公式 Web サイトを参照してください。

注: 特に指定されていない限り、ライセンスルールは AWS と Microsoft Azureの両方で同じです。

Oracle データベースライセンスルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサあたりのライセンス	ライセンスは、 Oracle データベースがインストールまたは実行されている vCPU の数に基づいています。インストールまたは実行されている Oracle Database のバージョンに基づいて、異なるライセンス規則が適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle データベースライセンスルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
	注: Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle データベース Standard **Edition**、**Standard** Edition **One**、および Standard Edition 2 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、10 個の vCPU で実行されている Oracle データベースには、合計で 3 つのライセンスが必要です。 Oracle データベースエンタープライズエディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、 Oracle データベースをインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、 Oracle データベースをインストールまたは実行する vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。
指定ユーザーライセンス	Oracle データベースにアクセスするユーザーまたは物理デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。 ユーザーとデバイスがアクセスしている Oracle Database のエディションに基づいて、異なる最小ライセンスが適用されます。 Oracle Database Standard Edition および Standard Edition One これらのデータベース エディションには、ライセンスの最小要件はありません。 Oracle データベース標準版 2 8 つの vCPU ごとに最低 10 個のライセンスが必要です。 Oracle データベースエンタープライズエディション vCPU ごとに最低 25 ライセンス、またはこのデータベースエディションにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。
Oracle データベース オプションと管理パックのライセンス	データベース オプションと管理パックは、データベース サーバーとは別にライセンスを取得する必要があります。 次のデータベース オプションと管理パックは、クラウド環境ではサポートされていません。 • Oracle Real Application Clusters (RAC) • Oracle データマイニング • Oracle 変更管理パック • Oracle データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック
Oracle Active Data Guardのデータベース・オプションのライセンス	Oracle Enterprise EditionデータベースでOracle Active Data Guardオプションを使用している場合、そのデータベースに関連付けられているプライマリ・データベース・インスタンスおよびリード・レプリカには、それぞれ1つのOracle Database Enterprise Editionライセンスと1つのOracle Active Data Guardライセンスが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle データベースライセンスルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
	注: Active Data Guardオプションは、 Oracle Database Enterprise Editionでのみ使用できます。
無制限のライセンス契約 (ULA) ライセンス	無制限のライセンス契約 (ULA) を通じて取得されたライセンスは、認可されたクラウド環境でサポートされます。ただし、ULA期間の終了時にこれらのライセンスの認定は必要ありません。
高可用性 (マルチ AZ) ライセンス	高可用性 (マルチ AZ) 展開では、スタンバイ Oracle データベースインスタンスを考慮できるように、シングル AZ 展開の 2 倍のライセンス数が必要です。

これらの Oracle Database ライセンス ルールに加えて、クラウドで Oracle デプロイを設定する場合は、次の vCPU サイズの制限を考慮してください。これらのサイズ制限は、クラウドインスタンスでサポートされるライセンスの最大数を決定するのに役立ちます。

注: vCPU サイズの制限は、 AWS と Microsoft Azure

vCPU サイズの制限

Oracle データベースエディション	**vCPU** サイズ制限
Oracle データベース標準版	Oracle Database Standard Editionは、最大16個のvCPUを持つクラウド・インスタンスでのみサポートされます。
Oracle データベース Standard Edition One および Standard Edition 2	Oracle データベース Standard Edition One および Standard Edition 2 は、最大 8 個の vCPU を持つクラウドインスタンスでのみサポートされます。
Oracle データベースエンタープライズエディション	Oracle Database Enterprise Editionは、vCPU数に関係なく、すべてのクラウド・インスタンスでサポートされます。

Oracle WebLogic Server ライセンス ルール

ライセンスタイプ	ライセンスルール
プロセッサあたりのライセンス	ライセンスは、 Oracle WebLogic Serverがインストールまたは実行されているvCPUの数に基づきます。インストールまたは実行されている Oracle WebLogic Server のバージョンに基づいて、異なるライセンス ルールが適用されます。 注: Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。 Oracle WebLogic Server スタンダードエディション 4 つの vCPU は 1 つのソケットに相当し、1 つのソケットには 1 つのライセンスが必要です。 vCPU の数は、最も近い 4 の倍数に切り上げられます。たとえば、7 つの vCPU で実行されている Oracle WebLogic サーバーには、合計で 2 つのライセンスが必要です。 Oracle WebLogic Server Enterprise エディション

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle WebLogic Server ライセンス ルール (続く)

ライセンスタイプ	ライセンスルール
	ハイパースレッディングが有効になっている場合は、 Oracle WebLogic Server をインストールまたは実行する 2 つの vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、 Oracle WebLogic サーバーをインストールまたは実行する vCPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。
指定ユーザーライセンス	Oracle WebLogic サーバーにアクセスするユーザーまたは物理デバイスごとに 1 つのライセンスが必要です。 ユーザとデバイスがアクセスしている Oracle WebLogic Server のエディションに基づいて、異なる最小ライセンスが適用されます。 Oracle WebLogic Server スタンダードエディション 8 つの vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server バージョンにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。 Oracle WebLogic Server Enterprise エディション ハイパースレッディングが有効になっている場合は、2 つの vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザとデバイスの合計数が必要です。 ハイパースレッディングが有効になっていない場合は、vCPU ごとに最低 10 ライセンス、またはこの WebLogic Server エディションにアクセスするユーザとデバイスの合計数が必要です。 ライセンスの最小値は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

のライセンスルール **Red Hat Enterprise Linux Server**

インストールして実行するクラウドベースの仮想マシン (VM) 2 台ごとに、オンプレミスの サブスクリプション ライセンスが 1 つ必要です Red Hat Enterprise Linux Server。

注: このルールは、 Red Hat Enterprise Linux Server BYOS のライセンス ルールの 1 つにすぎません。ライセンスルールの完全なリストについては、 Red Hat Enterprise Linux の公式Web サイトを参照してください。

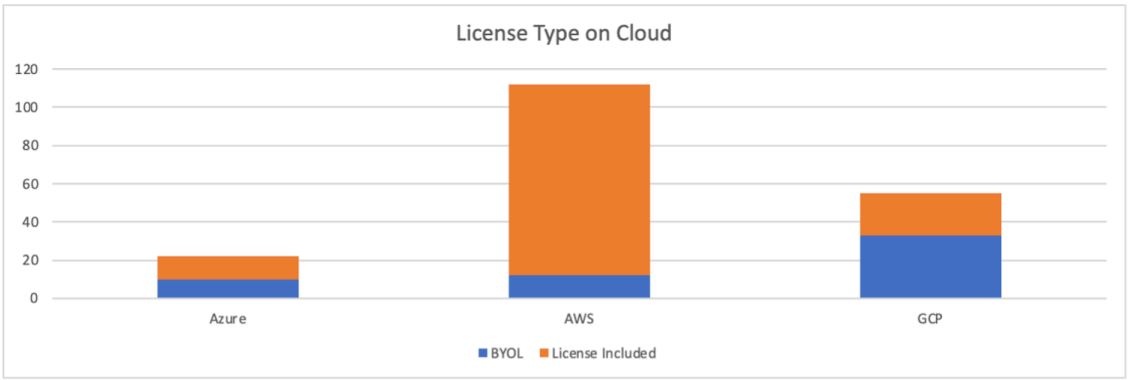
Microsoft Windows および **SQL Server** インフラストラクチャの詳細レポート

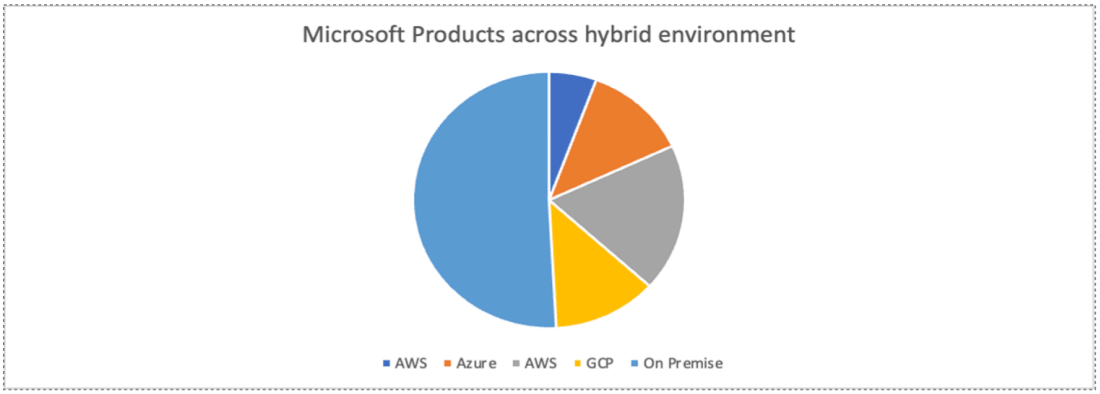
Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポートを使用して、Microsoft Azure、AWS、GCP などのさまざまなクラウド プロバイダーの SQL Server と Windows Server のデプロイとインフラストラクチャを可視化できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウド上のライセンスタイプ





Azure BYOL 節減実績レポート

Azure ハイブリッド特典 (Microsoft Azure の Bring Your Own License (BYOL) ライセンス モデルである Azure ハイブリッド特典を使用する場合、Azure BYOL Realized Savings レポートを使用して、Microsoft Azure上の Microsoft SQL Server と Microsoft Windows Server のデプロイの潜在的および実際のコスト削減を可視化できます。

Azure BYOL 節減実績レポートは、ServiceNow Store から ServiceNow® クラウドインサイト アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ生成されます。「」を参照してください。 クラウドインサイト application 詳細については、 クラウドインサイトを参照してください。

注: このレポートは、ソフトウェア資産ワークスペースでのみ利用できます。このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでは使用できません。

このレポートを表示するには、次の場所に移動してソフトウェア資産ワークスペースを起動します ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** ServiceNowインスタンス上にありますソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > **Azure BYOL** 節減実績レポート.

Azure BYOL 節減実績レポート

フィールド	説明
仮想マシン	Microsoft SQL Server または Microsoft Windows Server が実行されている Azure 仮想マシン (VM)。
ホストタイプ	Azure VM が実行されている Azure ホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。
ロケーション	Azure ホストが存在する地理的な場所。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Azure BYOL 節減実績レポート (続く)

フィールド	説明
vCPU	Azure VM に割り当てられている仮想 CPU (vCPU) の数。
ハードウェアタイプ	Azure ホストのハードウェアタイプ。
オペレーティングシステム	Azure で実行されているオペレーティング システム (OS) のバージョンとエディション。
SQL サーバー	Microsoft Azure VM で実行されている SQL Server のバージョンとエディション。
Windows サーバー上の AHB	Microsoft Windows Server で Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
SQL Server 上の AHB	Microsoft SQL Server に対して Azure ハイブリッド特典が有効になっているかどうかを示すフィールド。
AHB なしの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 稼働しているという前提に基づいています。
AHB ありの標準価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっている場合の 1 か月あたりの潜在的な VM コスト。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 稼働しているという前提に基づいています。
標準実現削減	Azure ハイブリッド特典を使用することで 1 か月あたりに節約できる VM コストの見込み。この値は、VM が 1 か月全体 (720 時間) 稼働しているという前提に基づいています。
AHB なしの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっていない場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。
AHB ありの実際の価格 (月額)	Azure ハイブリッド特典が有効になっている場合の 1 か月あたりの実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。
実現した節減実績	Azure ハイブリッド特典を使用して 1 か月あたりに節約された実際の VM コスト。この値は、1 か月以内に VM が実行されていた実際の時間数に基づいています。

BYOL のコアインフラストラクチャスイート **(CIS)** サポート

オンプレミス CIS エンタイトルメントを使用して、 AWS や Microsoft Azure などのクラウドプラットフォーム上の Windows Server インストールにライセンスを付与します。

CIS エンタイトルメントは、クラウド上の Microsoft ライセンス規則に従って Windows Server インストールにライセンスを付与します: CIS を介して Windows Server のライセンスを取得した場合は、Azure ハイブリッド使用特典を使用できます。ただし、CIS の System Center コンポーネントは対象外です。

クラスター・インフラストラクチャーの理解

クラスター内のすべてのエンティティの総合的かつ戦略的な分析を、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの 1 つのビューで取得します。

SAM クラスター 360° 機能は、通常は時間のかかるタスクであるクラスターの分析プロセスを簡素化します。この機能は、クラスターのセットアップ、ライセンス、およびクラスターの健全性の問題を

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

視覚的に包括的に表示することで、SAM マネージャーが戦略的な意思決定を行うのに役立ちます。より深く理解するために、クラスターの各ノードにドリルダウンします。クラスターの詳細については、「クラスターセットアップを 360 度で表示する」を参照してください。

クラスターの概要

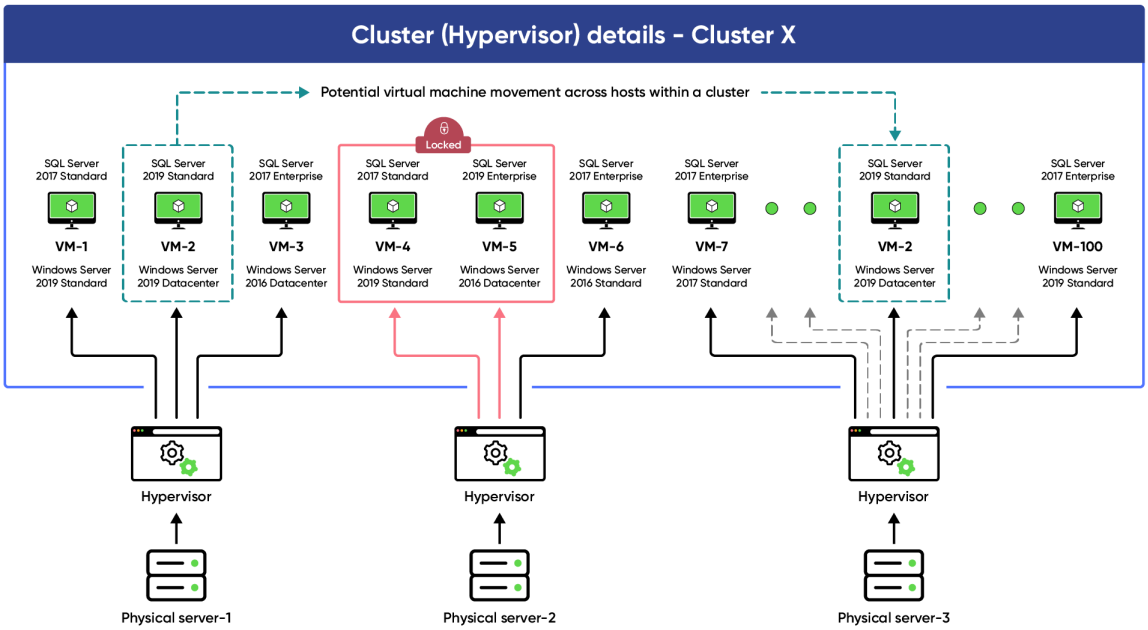
クラスターは、ホストがグループ化されてリソースを共有する仮想化の一種です。このテクノロジは、その上で実行される仮想マシンの高可用性、リソース プール、および負荷分散を提供します。このテクノロジーは、耐障害性、拡張性、効率性に優れた仮想化環境を構築するための基盤を提供します。

各ホストには、複数の仮想マシン (VM) を実行する容量があり、高可用性、DRS (動的リソース スケジューリング)、ホスト アフィニティなどの機能をサポートするように構成できます。

VM は、高可用性や分散リソーススケジューラ (DRS) などの特定の設定に応じて、ホスト間を移動できます。ホスト アフィニティなどの設定により、VM を特定のホストにロックできます。

VM の数、クラスター内の VM、ホスト、VM コアの移動などの要因が、ライセンスコンプライアンスに影響を与える可能性があります。

クラスターのセットアップ



SAM クラスター 360° のメリット

SAM クラスター 360° は、クラスターの全体的かつ戦略的な分析を提供し、インフラストラクチャの理解、ライセンスコンプライアンス、およびクラスター全体の健全性チェックをサポートします。

SAM クラスター 360 度機能は、次の概念を表示および分析するのに役立ちます。

- クラスターのコアインフラストラクチャ:ホスト、VM、ソフトウェア、コア、プロセッサ。
- すべてのホストと、そのホスト上を移動する可能性がある VM。
- クラスターで実行されているすべてのソフトウェア (ライセンス可能、ライセンス不可)。
- ライセンスを消費するすべてのソフトウェア。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

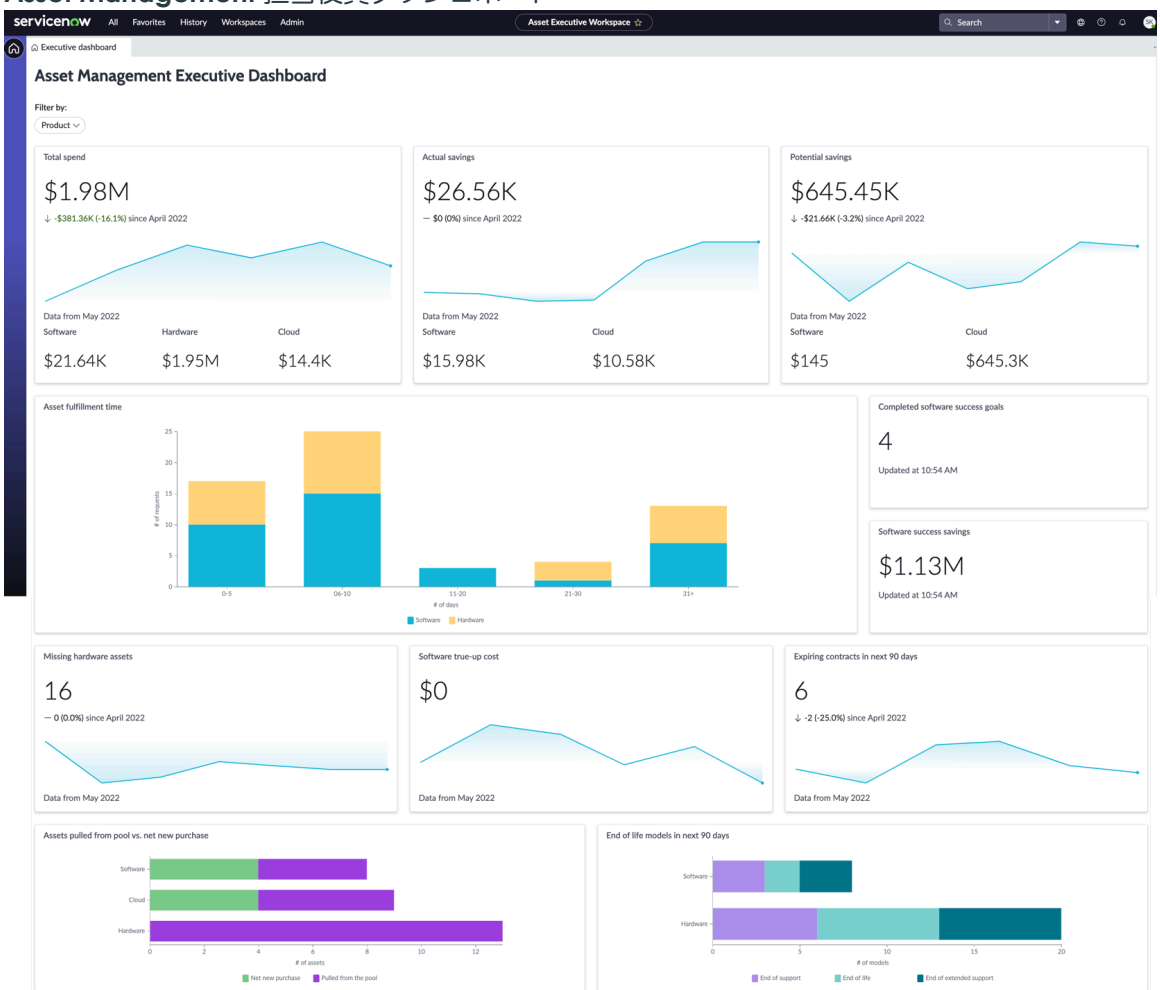
資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用した KPI に関するエグゼクティブインサイト

資産管理 エグゼクティブダッシュボードを使用すると、ソフトウェア資産管理アプリケーション、ハードウェア資産管理アプリケーション、およびクラウドコスト管理アプリケーションの重要な KPI を単一のダッシュボードで可視化できます。

資産管理 エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNow インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションまたは ハードウェア資産管理 アプリケーションのいずれかが必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、 資産担当役員ワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン別、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルタはすべてのウィジェットに適用されます。製品別にフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に固有であるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、次のいずれかの数字が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

注: ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer と com.snc.pa.domain_support をアクティブ化する必要があります。

*Asset Management - Populate KPI aggregate table*スケジュール済みジョブは毎日実行され、ダッシュボード上のデータが更新されます。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットをクリックしてリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、[輸送中] のいずれかであるすべてのハードウェア資産の総コスト。 ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:消費量レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間削減額の合計。この値は、クローズ済みの完了再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外です。	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了のクラウドインサイトのサイズ適正化に関する自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。	適用外です。	クラウドのサイズの適正化、クラウドの使用されていないマシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次の節減見込みの合計。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
	ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]		注: このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル: • クラウドインサイトのサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、または 31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外です。
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal]	適用外です。	適用外です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
	注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。		
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外です。	適用外です。
不足しているハードウェア資産	適用外です。	紛失、紛失、または盗難されたハードウェア資産の数。 ソーステーブル: 不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外です。
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外です。	適用外です。
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。	適用外です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
	注: ソフトウェア資産管理 アプリケーションと ハードウェア資産管理 アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	注: ソフトウェア資産管理アプリケーションとハードウェア資産管理アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	
プールから取得された資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するソフトウェア資産の要求数を表す棒グラフ。 注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、インスタンスで調達 (com.snc.procurement) プラグインが有効になっていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	インベントリから履行されるハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	インベントリから使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル: • プール資産:消費量レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了を迎えるソフトウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	今後 90 日以内に提供終了を迎えるハードウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外です。

クラウドコストシミュレーション

移行を実行する前に、オンプレミスのリソースをクラウド環境に移行するコストをシミュレートします。

必要なプラグイン

クラウドコスト刺激装置の推奨事項をサポートするには、次のプラグインが必要です。

- クラウドインサイトアプリケーションプラグイン (sn_clin_billing):クラウドインフラストラクチャの詳細とコスト用。
- Hardware Asset Management (sn_hamp):ハードウェアのライフサイクル終了用。
- クラウド移行アセスメントアプリケーション (com.sn_cloud_migration):リソース使用率用。

概要

sam_managerロールは、リソースをクラウドに移行するための基準を指定します。たとえば、SQL Server と共にインストールされたすべての仮想マシンや、サポート終了ソフトウェアがインストールされたすべての仮想マシンが必要な場合があります。さらに、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、サポート終了のソフトウェアとハードウェア、およびリソースの使用率に基づいて推奨事項を自動的に提供します。

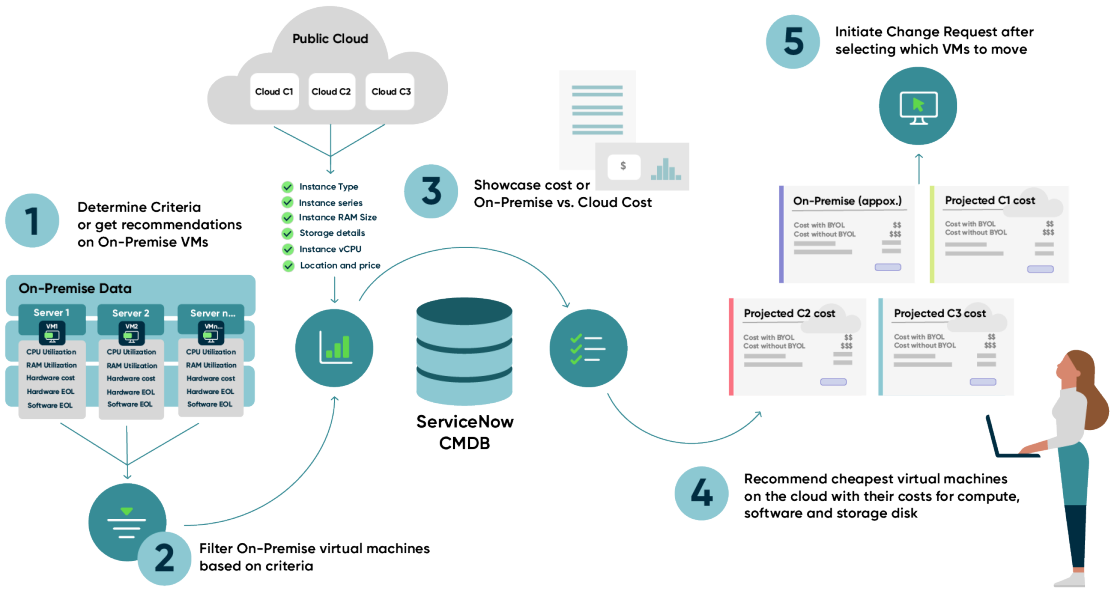
基準または推奨事項に基づいて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは条件に一致する仮想マシンを自動的に選択します。すべてのオンプレミス仮想マシンが識別されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはそれらの仮想マシンをクラウド上の仮想マシン (AWS または Azure) と照合します。

リソースの最適なマッチングが行われ、関連する総コストが提供されます。さまざまなクラウドプロバイダーのコスト: AWS と Azure は、Bring Your Own License (BYOL) のコストの有無にかかわらず記載されています。特定のクラウドプロバイダーに移行することが決定したら、変更要求を作成して実装を進めることができます。

クラウドへのリソース移行の推定コストの比較と評価については、「クラウドシミュレーターダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ユースケース

sam_managerロールは、次の考慮事項を考慮しながら、オンプレミスリソースをクラウドに移行するための推奨事項を受け取ることができます。

- ソフトウェアの提供終了: 一部の仮想マシンでは、ソフトウェアのライフサイクルが終わりに近づいている場合があります。すべての利点を考慮して、これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストを計算します。たとえば、 Microsoft Azure では、ライフ サイクルの終了に達した特定の Microsoft 製品に対して、無料の拡張セキュリティ更新プログラムを提供しています。

  注: 推奨事項は、 Microsoft Azure および AWS 共有 VMware 仮想マシンに対してのみ表示され、専用ホストマシンに対しては表示されません。

- ハードウェアのサポート終了: サポート終了フェーズに近づいているハードウェアで実行されている仮想マシンがある場合があります。これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストをシミュレートします。

  注: ハードウェア資産管理 (sn_hamp) プラグインがアクティブ化されていることを確認して、ハードウェアのライフサイクル終了とハードウェアコストに関するデータを取得します。

- リソース使用率:一部のオンプレミス仮想マシンでは、CPU と RAM の使用率が低い場合があります。適切なサイズの仮想マシンを推奨することで、これらの仮想マシンをクラウドに移行するコストをシミュレートします。たとえば、オンプレミスの 32 vCPU 仮想マシンが 4 vCPU のみを使用している場合、クラウド上に 4 vCPU の仮想マシンが推奨され、コストが削減されます。

  注: リソース使用率に関するデータを取得するには、クラウド移行アセスメントアプリケーション (com.sn_cloud_migration) プラグインが有効になっていることを確認します。

ソフトウェア資産接続

サードパーティのディスカバリーソースを使用して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションと統合できるインストール済みソフトウェアデータを検出します。

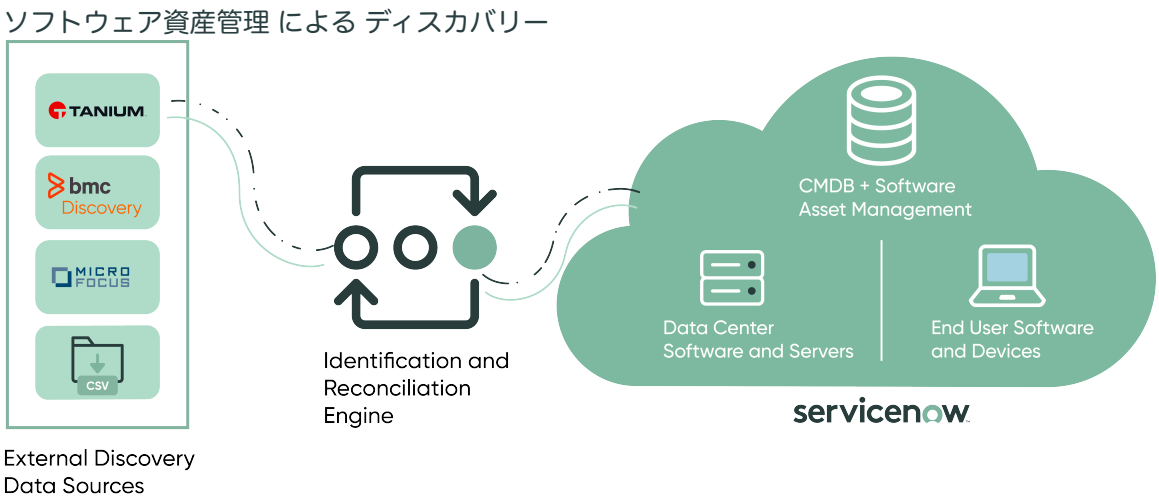
ディスカバリープロセスは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの不可欠な部分です。ディスカバリープロセスは、組織内のインストール済みソフトウェアがインストールされている場所、デ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バイスの所有者、およびそれがどこにあるかを検出することで構成されます。検出された情報は、CMDB アプリケーションなどの一般的な構成管理データベースに結合されます。

CMDBアプリケーションを使用すると、他のビジネスアプリケーションで検出された情報を使用して、さまざまなビジネスニーズをサポートできます。



ServiceNow プラットフォームの識別および調整エンジン (IRE) フレームワークにより、すべてのサードパーティデータと CMDB アプリケーションとの統合が可能になります。

IRE は、複数のソースが同時にデータを取り込んでいる場合にデータの調整と重複排除を実行できる一元化されたフレームワークを提供します。IRE は、識別ルール、調整ルール、および IRE のデータソースルールを使用して受信データを処理し、対応する CMDB テーブルにデータを挿入します。これらのルールを拡張して、 ソフトウェア資産管理 テーブルなどの CMDB コアテーブルを拡張するテーブルにデータを挿入できます。IRE の識別ルールには次の 2 つのタイプがあります。

- 独立:CI ID で [独立] チェックボックスがオンになっている場合は、CI が他のどの CI にも依存していないことを意味します。
- 依存:CI ID で [独立] チェックボックスがオンになっていない場合は、この CI が他の CI に依存していることを意味します。

IRE の詳細については、「識別および調整エンジン」を参照してください。

ServiceNow インスタンスでの CI のロードは既に構成されているはずです。環境内の CI ごとに、ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルに対応する CI ID ルールがあります。サードパーティのディスカバリーアプリケーションが実行されると、ソフトウェアが CI で識別されます。サードパーティアプリケーションはペイロードを作成し、そのペイロードを IRE REST API エンドポイント経由で ServiceNow インスタンスに送信して、 ソフトウェア資産管理 テーブルにデータを挿入または更新します。

汎用ペイロードは、インストール済みソフトウェアレコードの作成に使用されます。Oracle、VMware、および Citrix の場合、特定のペイロードは、ソフトウェアのインストールとは別に、追加の公開者固有のデータを供給します。

複数のディスカバリーソースが有効になっていて、すべてのディスカバリーソースの表示名やバージョンなど、ソフトウェアの重要な詳細が一致する場合、インストールレコードは上書きされます。複数のディスカバリーソースが異なるフィールド値を持つ同じソフトウェアを識別する場合、エントリはソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。スケジュールジョブ *SAM- Deduplication install table* が実行され、これらのインストールのすべての正規化値が一致する場合、1 つのレコードのみがアクティブに設定されます。残りのレコードは非アクティブとしてマークされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM を使用したサードパーティーのディスカバリーでは、ドメインセパレーションがサポートされており、次の考慮事項があります。

- IRE REST API は、REST 呼び出しが行われたときにログインしているドメインをスタンプします。
- CI が存在し、ペイロードを実行するドメインにログインします。
- 親ドメインにログインしないでください。親ドメインにログインすると、既存の CI が更新され、親ドメインにも新しい CI が作成されます。
- CI が存在するのと同じドメインからペイロードを送信します。たとえば、ドメイン A からペイロードを送信し、ペイロードにドメイン B に属する CI がある場合、新しい CI がドメイン A に作成されます。

ソフトウェア資産管理のサードパーティディスカバリーソースの構成

ソフトウェア資産管理のサードパーティ検出ソースを設定して、お使いの環境で見つかったソフトウェアをソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力します。

始める前に

サードパーティのディスカバリーソースで ソフトウェア資産管理 アプリケーションの機能を使用するには、ServiceNow インスタンスに存在する CMDB アプリケーションと関連テーブルに入力する必要があります。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IRE API を使用して、ソフトウェア資産管理テーブルに入力できるようにします。IRE API は構成アイテム (CI) 識別子に依存しているため、SAM テーブルには IRE をサポートするための CI との関係が必要です。IRE API の詳細については、「識別および調整エンジン」を参照してください。

必要なロール:sam_developer

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. **Enable scheduled jobs when using third party Datasource Integration Framework** [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを選択します。
3. ディスカバリーソースを実行して、CI 上のソフトウェアを特定します。
   CI はペイロードを構築するために使用されます。
4. IRE REST API を使用して、ペイロードを ServiceNow インスタンスに送信します。

   サンプルペイロードの詳細については、「汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード」を参照してください。

   ペイロードでは、挿入または更新操作が実行されたときに CI が再分類されないように、CI の sys_class_nameを送信してください。

   エントリは、表示名、公開者、およびバージョンとともにソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。コンテンツサービスに対して調整が実行され、そのソフトウェアの検出モデルが識別されます。検出モデルが存在しない場合は、ソフトウェアの検出モデルが自動的に作成されます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションの使用を開始できます。

ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決

複数のディスカバリーソースを実行しているときに、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルで作成された重複するソフトウェアインストールレコードを解決します。

始める前に

必要なロール:sam_developer

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
同じ構成アイテムで検出されたが、異なるディスカバリーソースから検出されたソフトウェアインストールは、重複と見なされます。CI で複数のディスカバリーソースを実行している場合、異なるディスカバリーソースから重複するソフトウェアインストールレコードがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。これらの重複エントリを解決するには、スケジュール済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行します。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > プロパティ.
2. [はい] を選択して、[サードパーティのデータソース統合フレームワークの使用時にスケジュール済みジョブを有効にする] [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを選択します。
3. スケジュール済みジョブ *SAM - Deduplicate Install Table*を実行します。
   重複排除ロジックに基づいて、1 つのソフトウェアインストールレコードのみが true とマークされ、他の重複レコードは false とマークされます。ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルで、重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true になっています。
4. ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。
   重複レコードの 1 つだけの [アクティブなインストール] 列の値が true に設定されます。ソフトウェアインストールレコードの残りの重複エントリは false に設定されます。

アンインストールされたソフトウェアをソフトウェアインストールテーブルから削除

これらのソフトウェアインストールも CI からアンインストールされる場合は、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからインストールを削除します。

始める前に
ディスカバリープロセスを実行し、CI からアンインストールされたソフトウェアインストールを特定したら、CMDB アプリケーションのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからそれらのインストールを削除します。

ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから複数のソフトウェアインストールレコードを削除するスクリプトを作成します。テーブル API を使用してソフトウェアインストールテーブルをクエリし、CI のインストールリストを取得できます。

必要なロール:sam_developer

このタスクについて
また、 Oracle、 VMware、 Citrixなどの特定の公開者のソフトウェアインストールレコードを削除することもできます。

手順

1. REST テーブル API *api/now/table/cmdb_sam_sw_install?sysparm_query=installed_on%3D28c9c3b8c0a8000b009b2d941d7e3ee9*を使用して、特定の CI のソフトウェアインストールのリストをクエリして識別します。
   REST エンドポイント API の詳細については、「テーブル API-GET」を参照してください。

   a. テーブル名、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、およびクエリパラメーターを指定します。
      クエリパラメーターには、CI のsys_id、または削除操作を実行する公開者、バージョン、製品など、カンマで区切られたフィールドのリストを指定します。

   b. クエリパラメーターを入力したら、要求を送信します。
      その特定の CI のすべてのソフトウェアインストールのリストが JSON 形式で応答として返されます。応答内のすべてのソフトウェアインストールのsys_idを表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 応答に基づいて、CI で削除されたソフトウェアインストールのsys_idsを特定します。
削除 API を通す必要があるのは、これらのソフトウェアインストールのsys_idsだけです。
3. 削除 API `request.setEndpoint('http://xyz/api/now/table/cmdb_sam_sw_install/728e87dafd841010fa9bea491bfdc1ff'); request.setHttpMethod('DELETE');`を使用して、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルからソフトウェアインストールを削除します。
URL の「xyz」は ServiceNow インスタンスを指します。

   a. CI で削除されるソフトウェアインストールのテーブル名、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブル、およびsys_idsを指定します。

   b. 要求を送信します。
   ソフトウェアインストールがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルから削除されます。

汎用ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティのディスカバリーソースによって収集されたディスカバリーデータを ServiceNow インスタンスのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力するサンプルペイロード。

以下は、Microsoft、IBM などのパブリッシャーのソフトウェアインストールレコードを作成するためのサンプルペイロードです。Oracle、VMware、および Citrix の場合、特殊なペイロードが使用されます。

このサンプルペイロードでは、インストールされているソフトウェア、Microsoft Word 2016、および関連する CI の情報を渡して、それがインストールされている場所 (コンピューター CI「SAMILMT8」上) を通知します。cmdb_sam_sw_installテーブルで列名を検索し、ペイロードで列と値のペアを渡すことで情報を送信できます。たとえば、このペイロードでは、公開者、バージョン、display_name列を送信します。エディション列などの追加情報を送信することもできます。

注: CI ID ルールの詳細については、「識別子ルール」を参照してください。

```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_computer',
                'related': [{
                             className:'cmdb_sam_sw_install',
                             values: {
                               'publisher':'Microsoft',
                               'version':'2016',
                               'display_name':'Word'
                               }
                           }
                      ],
                   'values': {'name':'SAMILMT8'}
                             }]
             }
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_computer	CI のクラス名。
className	cmdb_sam_sw_install	CI が作成される CMDB アプリケーション内の関連テーブルの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要素	値	説明
publisher	Microsoft	テーブル内でこのエントリが作成されるパブリッシャーの名前。
version	2016	テーブル内でこのエントリーが作成されたソフトウェアのバージョン。
名前	Word	テーブル内のこのエントリの表示名。
name	SAMILMT8	CI の一意の識別子。

Oracle ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルにサードパーティのディスカバリーソースからのソフトウェアインストールレコードを入力する Oracle パブリッシャーパックのサンプルペイロード。

ディスカバリーソースを介して Oracle ソフトウェアのインストールを検出した後、Oracle インスタンスと、その Oracle インスタンスに関連付けられた Oracle オプションを含むペイロードを送信します。

注: [プロパティ] ページで、[サードパーティデータソース統合フレームワークの使用時にスケジュール済みジョブを有効にする] [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを必ず選択してください。

スケジュールジョブである SAM - ソフトウェア資産接続が実行されると、ソフトウェアインストールが null のレコードが検索され、Oracle インスタンステーブルの [ソフトウェアインストール] フィールドに値が入力され、インスタンスに関連付けられたソフトウェアインストールレコードが作成されます。

次に、Oracle インスタンス [cmdb_ci_db_ora_instance] テーブルに Oracle のソフトウェアインストールレコードを作成するサンプルペイロードを示します。サンプル入力には、CI のリストと、これらの CI 間に存在する関係が含まれています。ペイロードには、標準エディションの Oracle データベースサーバーである Dev Development 1969 があることが示されています。Oracle データベースサーバーでは、Armstrong、Aldrin、Collins などの多くの Oracle オプションが有効になっており、Linux サーバー上で実行されます。

```
{
  'items': [
    {
      'className': 'cmdb_ci_db_ora_instance',
      'related': [
        {
          'className': 'samp_oracle_options',
          'values': {
            "option": "Armstrong",
            "currently_used": "true"
          }
        },
        {
          'className': 'samp_oracle_options',
          'values': {
            "option": "Aldrin",
            "currently_used": "true"
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
          }
        },
        {
          'className': 'samp_oracle_options',
          'values': {
            "option": "Collins",
            "currently_used": "true"
          }
        }
      ],
      'values': {
        'name': 'Dev development 1969',
        'edition': 'Standard',
        'sid': '1-2-569',
        'version': '11.2'
      }
    },
    {
      'className': 'cmdb_ci_linux_server',
      'values': {
        'name': 'CI DATAI 6-002',
        'mac_address': '4653XYZAA',
        'ip_address': '10.10.10.8',
        'asset_tag': 'HWR0003',
        'assigned_to': 'a8f98bb0eb32010045e1a5115206fe3a',
        'cpu_count': '16',
        'cpu_manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
        'manufacturer': '820351a1c0a8018b67c73d51c074097c',
        'os': 'Linux Red Hat',
        'os_version': '2.6.9-22.0.1.ELsmp',
        'ram': '2014'
      }
    }
  ],
  'relations': [
    {
      'type': 'Runs on::Runs',
      'parent': 0,
      'child': 1
    }
  ]
}
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_db_ora_instance	関連する Oracle インスタンステーブルの名前。
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプションテーブルの名前。
option	アームスト ロング	Oracle データベースオプションの名前。
currently_used	true	アームストロングオプションが現在有効になっていることを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要素	値	説明
className	samp_oracle_options	Oracle データベースオプションテーブルの名前。
option	アルドリン	Oracle データベースオプションの名前
currently_used	true	Aldrin オプションが現在有効になっていることを示します。
name	開発開発 69	Oracle データベースサーバーの名前
edition	standard	Oracle データベースサーバーのエディション
sid	1-2-569	Oracle システム ID
version	11.2	Oracle データベースサーバーのバージョン
className	cmdb_ci_linux_server	関連する Linux サーバーテーブルの名前。
MAC アドレス	4653XYZAA	Linux サーバーのインターフェイスの MAC アドレス。

VMware ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

VMware 検出ライセンスキーの消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにサードパーティの検出ソースからのソフトウェアインストールレコードを入力する、VMware パブリッシャーパックのサンプルペイロード。

ディスカバリーソースを介してソフトウェアのインストールを検出した後、IRE REST API エンドポイントを介してペイロードを ServiceNow インスタンスに送信し、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

注: [プロパティ] ページで、[サードパーティデータソース統合フレームワークの使用時にスケジュール済みジョブを有効にする] [com.snc.samp.ire.datasource.integration] プロパティを必ず選択してください。

1. ペイロードを送信して、VMware 検出ライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルにライセンスキーを作成します。
2. ペイロードの応答本文から、新しいライセンスキーの sys ID をコピーし、後で使用するためにテキストエディターに貼り付けます。
3. 拡張 IRE API を使用して、新しいライセンスキーを使用する CI の Sys ID をクエリします。
4. 応答本文から CI の Sys ID をコピーし、後で使用するためにテキストエディターに貼り付けます。
5. ライセンスキーの Sys ID と CI の Sys ID を含むペイロードを送信します。
6. スケジュールジョブ SAM - ソフトウェア使用状況の更新を実行して、VMware 検出ライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブルにソフトウェアインストールレコードを入力します。

```
Request Body
{ 'items': [
                {'className':'cmdb_ci_vcenter',
              'related': [
```

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

```
                            {
                            className:'samp_vmware_license_key',
                              values:{
                               'cost_unit':'cpuPackage',
                                        'edition':'esxEnterprisePlus.vram',

 'features':'autodeploy,das,dpvmotion',

 'license_key':'SYDOJ-28J5Q-78X48-0NC24-REKAR',
                                        'product_name':'VMware vSphere 5
 Enterprise Plus',
                                        'product_version':'5.0',
                                        'rights_owned':'8',
                                        'rights_used':'6'
                                   }
                            }

                          ],
              'values': {
                 'name':'VCenter Ref 1A'
                  }
              },
              {
                'className':'cmdb_ci_win_server',
                 'values': {'name':'VirtualMachine-WS2'
                           }
                     }
              ],
              'relations':[{
                   'type':'Runs on::Runs',
                   'parent':0,
                   'child':1
                 }]
            }
```

```
Response Body
{
  "result": {
    "items": [
      {
        "className": "cmdb_ci_vcenter",
        "operation": "INSERT",
        "sysId": "8fb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93a",
        "relatedSysIds": [
          "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
        ],
        "relatedItems": [
          {
            "className": "samp_vmware_license_key",
            "sysId": "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f",
            "markers": [],
            "inputIndices": [
              {
                "mainIndex": 0,
                "subIndex": 0
              }
            ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        }
      ],
      "additionalRelatedItems": [],
      "identifierEntrySysId": "Unknown",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "VMWare VCenter Ref CI",
          "attemptResult": "NO_MATCH",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_vcenter",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
      "markers": [],
      "inputIndices": [
        0
      ]
    },
    {
      "className": "cmdb_ci_win_server",
      "operation": "UPDATE",
      "sysId": "30ccb31ddbe7720087b9fd441d961992",
      "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
      "identificationAttempts": [
        {
          "attributes": [
            "serial_number",
            "serial_number_type"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "serial_number"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "SKIPPED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        },
        {
          "attributes": [
            "name"
          ],
          "identifierName": "Hardware Rule",
          "attemptResult": "MATCHED",
          "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
          "hybridEntryCiAttributes": []
        }
      ],
      "errorCount": 0,
```


© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          1
        ]
      }
    ],
    "additionalCommittedItems": [],
    "relations": [
      {
        "className": "cmdb_rel_ci",
        "operation": "INSERT",
        "sysId": "43b47793e7cc10107aea07d8d2f6a940",
        "identifierEntrySysId": "Unknown",
        "errorCount": 0,
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          0
        ]
      }
    ],
    "additionalCommittedRelations": []
  }
}
```


```
From this we get the samp_vmware_license_key sys id
"relatedSysIds": [
          "cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f"
        ]

-- Obtaining the CI sys id (POST)
role: sam_admin


https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/identifyrec
oncile/queryEnhanced?sysparm_data_source=ServiceNow

Request Body
{ 'items': [ {'className':'cmdb_ci_win_server', 'values':
 {'name':'Server-WS11'} }]}
```


```
Response Body
{
  "result": {
    "items": [
      {
        "className": "cmdb_ci_win_server",
        "operation": "UPDATE",
        "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da",
        "identifierEntrySysId": "556eb250c3400200d8d4bea192d3ae92",
        "identificationAttempts": [
          {
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "attributes": [
              "serial_number",
              "serial_number_type"
            ],
```


自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "searchOnTable": "cmdb_serial_number",
            "hybridEntryCiAttributes": []
          },
          {
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attemptResult": "SKIPPED",
            "attributes": [
              "serial_number"
            ],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
            "hybridEntryCiAttributes": []
          },
          {
            "identifierName": "Hardware Rule",
            "attemptResult": "MATCHED",
            "attributes": [
              "name"
            ],
            "searchOnTable": "cmdb_ci_hardware",
            "hybridEntryCiAttributes": []
          }
        ],
        "markers": [],
        "inputIndices": [
          0
        ],
        "mergedPayloadIds": [],
        "errorCount": 0
      }
    ],
    "additionalCommittedItems": [],
    "relations": [],
    "additionalCommittedRelations": []
  }
}

where  "sysId": "99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da" is the sys id of the
 ci/used_by


// create usage table
POST
https://k8s0057813-node1.thunder.lab3.service-now.com/api/now/table/samp_
vmware_license_key_usage?sysparm_fields=sys_id

{"license_key":"cbb47793e7cc10107aea07d8d2f6a93f","rights_used":"1","used
_by":"99ccb31ddbe7720087b9fd441d9619da"}
```

要素	値	説明
className	cmdb_ci_vcenter	テーブル関連 [samp_vmware_license_key] テーブルの名前
className	samp_vmware_license_key	ライセンスキーが作成される テーブルの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要素	値	説明
className	cmdb_ci_win_server	Windows Server テーブルの名前
name	VirtualMachine-WS2	Windows Server 仮想マシンの名前。

Citrix ソフトウェアインストールレコードのサンプルペイロード

サードパーティのディスカバリーソースからのソフトウェアインストールレコードをソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力する Citrix パブリッシャーパックのサンプルペイロード。

Citrixパブリッシャーパックは、仮想アプリケーションと仮想デスクトップの2つの製品をサポートしています。これらの製品では、Citrixは同時ライセンスとユーザー/デバイスライセンスをサポートしています。

注: ライセンスのメトリクスについては、 ソフトウェアライセンスのメトリクスを参照してください。

IRE API は、Citrix ソフトウェアインストールレコードを作成するために 2 つの CI ID ルールに依存しています。Citrix ライセンスサーバー [cmdb_ci_appl_license_server] 識別子が CAL エントリーに入力され、Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子がソフトウェアインストールレコードを作成します。

CALエントリは、Citrix製品の正しいライセンスポジションを取得するために、エンタイトルメントで購入した権限と比較するために調整中に使用されます。Citrixライセンスサーバーの識別子は、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルに関する情報を提供します。ライセンスエンタイトルメントに基づいて、これら 2 つのテーブルのいずれかに入力する必要があります。

ペイロードを送信して、samp_concurrent_license_consumptionまたはsamp_user_device_license_consumptionテーブルに入力します。ペイロード内のテーブルの主要な属性について言及していることを確認してください。

- samp_concurrent_license_consumption:product_codeと番号
- samp_user_device_license_consumption:product_code、コンシューマー、consumer_type

注: 2 つのテーブルはどちらも親 CI テーブル cmdb_ci_appl_license_server の関連エントリであるため、1 つのペイロードで渡されます。ペイロードで、テーブルと CI 親テーブルの間の関係を指定します。

ペイロードを送信すると、samp_concurrent_license_consumptionテーブルとsamp_user_device_license_consumptionテーブルにエントリが作成されます。次に、スケジュール済みジョブ [SAM- Citrix CAL エントリの作成] を実行して、クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルを更新します。クライアントアクセスレコードは、ユーザー/デバイス数とともに製品ごとに作成されます。

注: ペイロードを正常に処理した後に実行するスケジュールジョブ SAM - Citrix CAL エントリを作成します。

Citrix Delivery Controller [cmdb_ci_appl_delivery_controler] 識別子を使用して、7 つの Citrix テーブルすべてに入力するペイロードを送信します。ペイロードの 7 つのテーブルの主要な属性に必ず言及してください。

注: Citrix Delivery Controller 識別子の [関連エントリ] をクリックして、Citrix テーブルの主要な属性 (基準属性) を検索します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブルにエントリが作成されたら、スケジュール済みジョブ「SAM - Citrix ソフトウェアインストールの作成」を実行します。Citrix ソフトウェアインストールレコードは、ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに作成されます。

```
{ 'items': [{'className':'cmdb_ci_appl_license_server',
              'related': [
                          {

 'className':'samp_concurrent_license_consumption',
                            'values':{
                             'product_code':'MW2ZPSE0001',
                             'in_use_count':511,
                             'overdraft':11,
                             'pooled_available':0,
                             'total_count':500
                              }
                           },
                           {

 'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                             'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                             'consumer':'consumer1',
                             'consumer_type':'user'

                              }
                           },
                            {

 'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                             'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                             'consumer':'Device1',
                             'consumer_type':'device'
                              }
                           },
                            {

 'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                            'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                             'consumer':'consumer2',
                             'consumer_type':'user'
                              }
                           },
                            {

 'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                            'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                             'consumer':'consumer3',
                             'consumer_type':'user'
                              }
                           },
                           {

 'className':'samp_user_device_license_consumption',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
                            'values':{
                            'product_code':'XDT_PLT_CCS',
                             'consumer':'consumer4',
                             'consumer_type':'user'
                              }
                          },
                          {

'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                            'product_code':'MW2ZPSE0001',
                             'consumer':'consumer5',
                             'consumer_type':'user'
                              }
                          },
                           {

'className':'samp_user_device_license_consumption',
                            'values':{
                             'product_code':'MW2ZPSE0001',
                             'consumer':'Device1',
                             'consumer_type':'device'
                              }
                          }
                       ],
            'values': {
                'name': 'ACME License Server 2',
                'tcp_port': 22,
                 'install_directory': 'Documents'
                }
            },
            {
              'className':'cmdb_ci_win_server',
              'values': {'name':'samlabvm450'}
                    }
            ],
            'relations':[{
                 'type':'Runs on::Runs',
                 'parent':0,
                 'child':1
               }]
        }
```

BYOL のサンプルペイロード

ServiceNow インスタンスのソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、BYOL ライセンスモデルによって収集された検出データを入力するサンプルペイロード。

BYOL がサードパーティの検出ソースとしてソフトウェア資産接続と連携するには、特定のエンティティを入力する必要があります。これらのエンティティ間の関係は、BYOL がソフトウェア資産接続と円滑に連携するために重要です。たとえば、クラウドホストの設定に必要な一部の値は、 AWS と Azureで異なります。オブジェクト ID とホストの名前は AWS と Azureの両方に必要ですが、AWSには CPU コア数が必要であり、 Azureにはホストタイプの値が必要です。エンティティとその関係の詳細については、「BYOL のエンティティ と BYOL のエンティティ間の関係」を参照してください。

この例では、クラウドサービスアカウントが最上位のエンティティです。[BYOL のエンティティ] テーブルにリストされている他のすべてのエンティティは、クラウドサービスアカウントの依存エ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ンティティです。エンティティが依存エンティティとしてマークされている場合は、親エンティティと、そのエンティティとその親の間の関係を同じペイロードに記載する必要があります。たとえば、クラウドサービスアカウントに AWS データセンターを作成する場合は、クラウドサービスアカウントがインスタンスに既に存在していても、同じペイロードにクラウドサービスアカウントエンティティを含める必要があります。同様に、ソフトウェアインストールを作成するときは、階層全体のソフトウェアインストールのすべての依存エンティティを同じペイロードに含める必要があります。

BYOL のエンティティ

エンティティ	必須項目
クラウドサービスアカウント [cmdb_ci_cloud_service_account]	account_id – 一意の識別子
AWS データセンター [cmdb_ci_aws_datacenter]	object_id – 一意の識別子
Azure データセンター [cmdb_ci_azure_datacenter]	object_id – 一意の識別子
クラウドホスト [cmdb_ci_cloud_host] **注:** 共有 VM には必要ありません。	• object_id – 一意の識別子 • name:ホストの名前 • host_type - Azure のホストタイプ。たとえば、DSv3-Type1(Azure ホストのみ)などです。 • cpu_core-count:ホストの合計 CPU コア数 (AWS ホストのみ)。
仮想マシンインスタンス [cmdb_ci_vm_instance]	object_id – 一意の識別子
コンピュータ [cmdb_ci_computer]	• 名前:仮想マシンの名前 • cpu_count:仮想マシンの CPU カウント • cpu_core_count - 仮想マシンの CPU コア数 • cpu_core_thread - 仮想マシンの CPU コアスレッド数 • 仮想:コンピューターが VM かどうかを示します (常に true に設定)
ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] **注:** ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] は、コンピューター [cmdb_ci_computer] の関連エントリです	• publisher • version • display_name • cloud_license_type:クラウドインストールのライセンスタイプ (BYOL またはライセンスが含まれる) • cloud_license_type_source:クラウドライセンスタイプが設定されたソース。ソフトウェア資産接続の値は third_party_integration に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

BYOL のエンティティ間の関係

エンティティ関係	タイプ	親	子
AWS/Azure データセンター – クラウドサービスアカウント	Hosted on::Hosts	AWS/Azure データセンター	クラウドサービスアカウント
AWS/Azure データセンター – クラウドホスト	Hosted on::Hosts	クラウドホスト	AWS/Azure データセンター
AWS/Azure データセンター – 仮想マシンインスタンス	Hosted on::Hosts	仮想マシンインスタンス	AWS/Azure データセンター
クラウドホスト - 仮想マシンインスタンス	Runs on::Runs	仮想マシンインスタンス	クラウドホスト
コンピューター - 仮想マシンインスタンス	Virtualized by::Virtualizes	コンピューター	仮想マシンインスタンス

専用 VM のコンピューターとインストールのサンプルペイロード (AWS と Azure で同様)

このサンプルペイロードでは、専用のコンピューターレコードが渡されています。このコンピューターレコードには、すべてのソフトウェアインストールを含む関連アレイがあります。VM インスタンスは、コンピューターレコードに対応します。クラウドホストは、仮想マシンが存在する専用ホストであり、 AWS データセンターはクラウドサービスアカウントに作成されます。専用仮想マシンが複数ある場合は、専用仮想マシンごとに 1 つの REST API を送信できます。たとえば、専用 VM が 50 個ある場合は、それぞれが同じペイロードを持つ 50 個の REST API 呼び出しを送信する必要があります。専用 VM 上のすべてのソフトウェア インストールは、関連するアレイ内の 1 つのペイロードで送信できます。

```
var payload = {

  'items': [{

    'className': 'cmdb_ci_computer',

    'values': {

      'name': 'Comp - Dedicated AWS - 1',

      'cpu_count': 1,

      'cpu_core_count': 4,

      'cpu_core_thread': 1,

      'virtual': true

    },

    'related': [{

      'className': 'cmdb_sam_sw_install',
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
      'values': {
        'publisher': 'Microsoft',
        'display_name': 'SQL Server',
        'version': '2017',
        'cloud_license_type': 'BYOL',
        'cloud_license_type_source': 'third_party_integration'
      }
    }]
  }, {
    'className': 'cmdb_ci_vm_instance',
    'values': {
      'object_id': 'sample_object_id_aws_vm_dedicated',
      'name': 'VM Dedicated AWS - 1',
    }
  }, {
    'className': 'cmdb_ci_cloud_host',
    'values': {
      'object_id': 'sample_object_id_aws_host',
      'name': 'AWS Dedicated Host - 1',
      'cpu_core_count': 32
    }
  }, {
    'className': 'cmdb_ci_aws_datacenter',
    'values': {
      'object_id': 'sample_object_id_aws_dc',
      'name': 'AWS DataCenter - 1'
    }
  }, {
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
    'className': 'cmdb_ci_cloud_service_account',
    'values': {
      'account_id': 'sample_account_id_aws_service_account',
      'name': 'Cloud Service Account AWS - 1'
    }
  }],
  'relations': [{
      'type': 'Virtualized by::Virtualizes',
      'parent': 0,
      'child': 1
    }, {
      'type': 'Runs on::Runs',
      'parent': 1,
      'child': 2
    },
    {
      'type': 'Hosted on::Hosts',
      'parent': 2,
      'child': 3
    }, {
      'type': 'Hosted on::Hosts',
      'parent': 3,
      'child': 4
    }
  ]
}

 var jsonUntil = new JSON();
var input = jsonUntil.encode(payload);
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
gs.info("Input: " + input.toString());

var options = {

  "partial_payloads": false,

  "deduplicate_payloads": true

};

var output =
 SNC.IdentificationEngineScriptableApi.createOrUpdateCIEnhanced('ServiceN
ow', input, options);

gs.print("Output:" + output);
```

ソフトウェア資産管理の使用ガバナンス、リスク、コンプライアンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションをガバナンス、リスク、コンプライアンスアプリケーションスイートと組み合わせて使用することで、コンプライアンス、リスク、規制の側面に総合的に取り組みます。

IT 資産管理は、 GRC プログラムが CIS などのサイバーセキュリティ対策を監視するために必要な重要な情報を直接提供し、インターネットセキュリティセンター™から 全体的なセキュリティ準備とサイバー防御態勢を強化します。たとえば、CIS Controls 2.2、2.4 では、組織はすべてのソフトウェア資産のインベントリを保持し、それらがベンダーによってサポートされていることを確認する必要があります。この情報は自動的に収集され、 GRCから CIS コントロール指示テンプレートに表示されます。

サイバーセキュリティコントロールアクセラレータおよび規制 (CIS コントロール、ISO 27001、27002 など) の詳細については、「サイバーセキュリティコントロールアクセラレータ」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 での エージェントクライアントコレクター の使用

エージェントクライアントコレクター アプリケーションを使用して、ソフトウェア資産管理アプリケーションのソフトウェアインベントリと使用状況データを収集します。

エージェントは、ラップトップなどのエンドユーザーマシンに展開されたソフトウェアや、送信データ転送のみを許可する分離されたネットワークに展開されたマシンを検出するのに役立ちます。ログイン資格情報や IP 範囲を追跡したり、検出スケジュールを作成したりする必要はありません。エージェントは、他のソフトウェアとともに、展開イメージを介して展開でき、検出を継続的に実行し、データを ServiceNow インスタンスに送り返します。エージェントクライアントコレクター アプリケーションの詳細については、「ヴィジビリティ対応エージェントクライアントコレクター」を参照してください。

ServiceNow Storeからエージェントクライアントコレクターアプリケーションをダウンロードできます。

ソフトウェア資産管理 プレイブックとガイド付きセットアップ

プレイブックおよびガイド付きセットアップは、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

Playbook の概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。各レーンには次が含まれます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

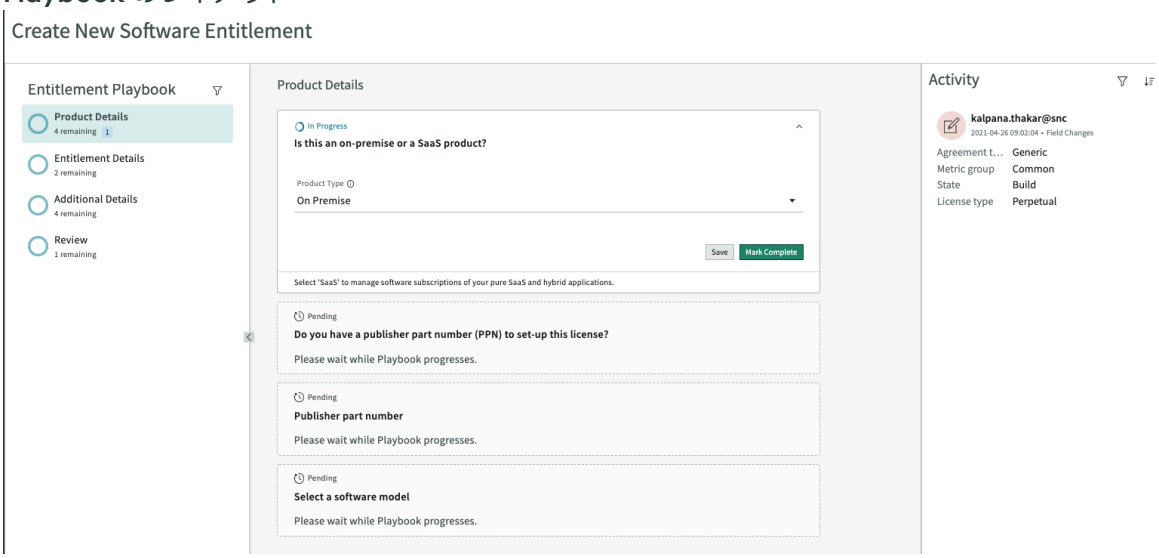
- 実行する必要があるタスクのリスト。
- 各タスクの現在の状況を表示するステータスインジケーター
- ワークフローの現在位置を示すチェックボックス

レーン内のタスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動できます。タスクはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動できます。タスクとレーンを完了し続けると、ステータスが左側のパネルに反映されていきます。プレイブックの右側にあるアクティビティログには、各タスクに入力したすべてのデータが表示されます。すべてのタスクを完了すると、すべてのレーンに入力した詳細を確認するように求められます。任意のフィールドを編集するか、[完了] を選択してエンタイトルメントの作成プロセスを完了することができます。

Playbook は 3 つの部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業領域。
- 右側にアクティビティログが表示されます。

Playbook のレイアウト



プレイブック を使用したエンタイトルメントの設定

ガイド付きウォークスルー Playbook を使用してエンタイトルメントを設定できます。ガイド付きウォークスルー Playbook は、エンタイトルメント作成プロセスの各ステージ (立ち上げから完了まで) をステップバイステップでガイドします。

ソフトウェア資産管理 プレイブックにアクセスするには、ServiceNow Storeからインストールし、ソフトウェア資産ワークスペースのランディングページからプレイブックにアクセスする必要があります。

ガイド付きセットアップ を使用した **Microsoft SQL Server** の実装

MicrosoftSQL Server ライセンス管理 ガイド付きセットアップ には、ServiceNow インスタンスで SQL Server を構成するのに役立つ一連のタスクMicrosoft用意されています。SQL Server ライセンス管理 Microsoft ガイド付きセットアップを開くには、 **Software Asset Workspace** > **Software asset overview** > ガイド付きセットアップ. 詳細については、「ソフトウェア資産の概要」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ガイド付きセットアップ インターフェイスの使用の詳細については、「ガイド付きセットアップの使用」を参照してください。

ガイド付きセットアップ を使用した **Windows Server** の実装**Microsoft**

MicrosoftWindows Server ガイド付きセットアップ には、ServiceNow インスタンスで Windows Server を構成するのに役立つ一連のタスクMicrosoft用意されています。Windows Server ガイド付きセットアップMicrosoftにアクセスするには、 **Software Asset Workspace** > **Software asset overview** > ガイド付きセットアップ.

ガイド付きセットアップ インターフェイスの使用の詳細については、「ガイド付きセットアップの使用」を参照してください。

ソフトウェア資産管理プレイブックとガイド付きセットアップのインストール

ソフトウェア資産管理 Playbooks and Guided Setup (com.sn_sam_playbook) アプリケーションをインストールして、毎日のソフトウェア管理アクティビティのタスクを完了するためのステップバイステップのガイダンスを受けます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

次のアイテムは、 ソフトウェア資産管理 プレイブックとガイド付きセットアップアプリケーションとともにインストールされます。

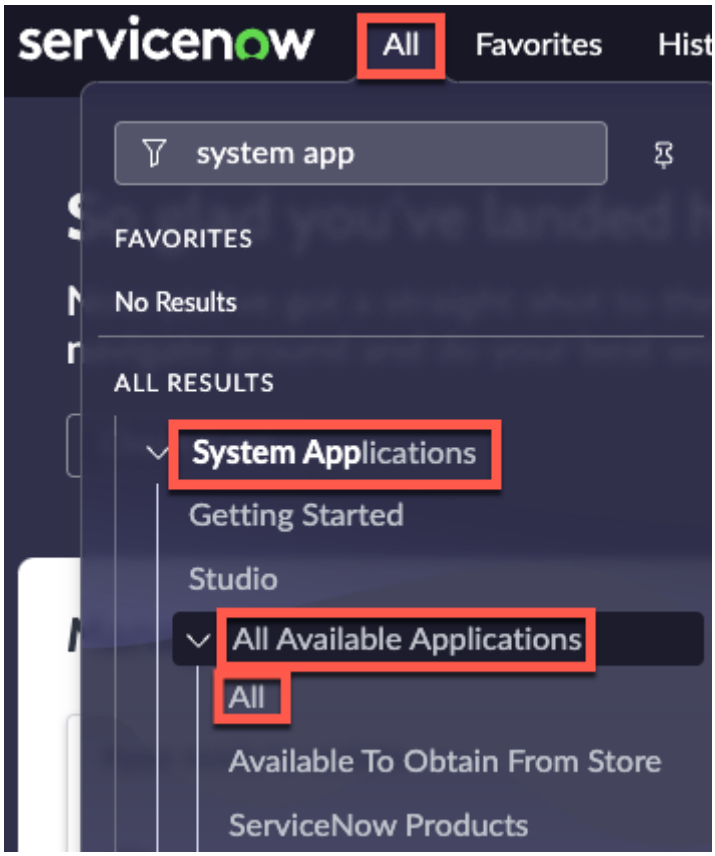
- プラグイン
  - ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp)
  - ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace)
  - com.glide.playbook_experience.config
- ストアアプリケーション:プレイブックエクスペリエンス (sn_playbook_exp) およびプレイブックエクスペリエンスコンポーネント (now_playbook_exp)
- テーブル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 ソフトウェア資産管理 プレイブックとガイド付きセットアップ (com.sn_sam_playbook) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   リストに表示されるのは、インストール予定である依存プラグインおよびアプリケーション、現在インストールされている依存プラグインおよびアプリケーション、またはインストールする必要がある依存プラグインおよびアプリケーションです。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、 ソフトウェア資産管理 プレイブックをインストールする前にインストールする必要があります。

4. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

5. [インストール] を選択します。

ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する

エンタイトルメントを作成するステップバイステップのプロセスについては、ガイド付きウォークスループレイブックを使用します。

始める前に

パブリッシャーの品番の有無にかかわらず、永久エンタイトルメントを作成できます。また、SaaS エンタイトルメントを作成して、純粋な SaaS およびハイブリッドアプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを管理することもできます。

ガイド付きウォークスルーでは、エンタイトルメントを作成するプロセス全体を順を追って説明します。エンタイトルメントの作成を開始すると、最初はエンタイトルメントのステータスは [ビルド] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

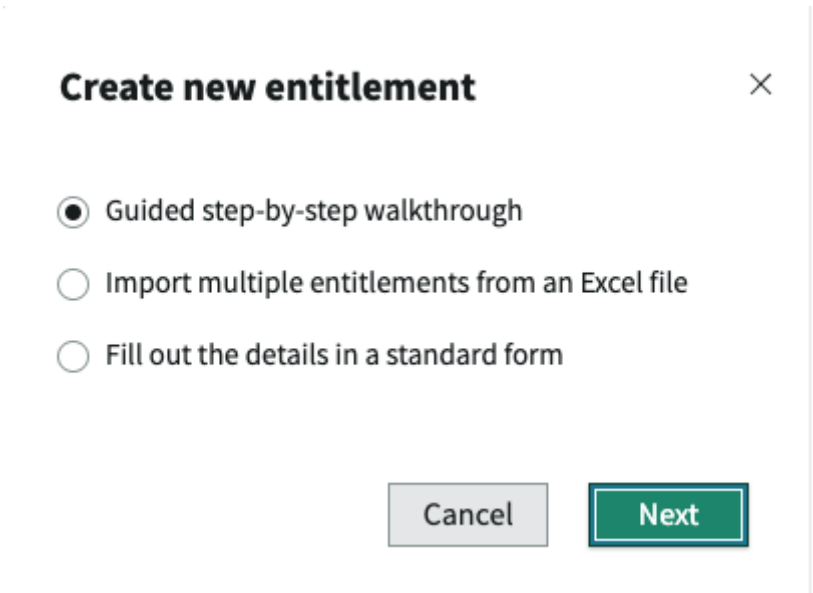
エンタイトルメントを作成するプロセスはレーンに整理されています。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了するように求められるいくつかのタスクがあります。タスクを完了したら、[完了としてマーク] をクリックして次のタスクに移動します。プロセス内でいつでも [保存] をクリックして変更を保存し、後でプレイブックに戻ることができます。[キャンセル] をクリックして、いつでもエンタイトルメントのセットアップを中止することもできます。特定のタスクを実行している間、そのタスクのステータスは [処理中] と表示されます。タスクを完了としてマークすると、そのタスクのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのタスクを完了すると、次のレーンに移動します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
[ソフトウェア資産の概要] ページが表示されます。

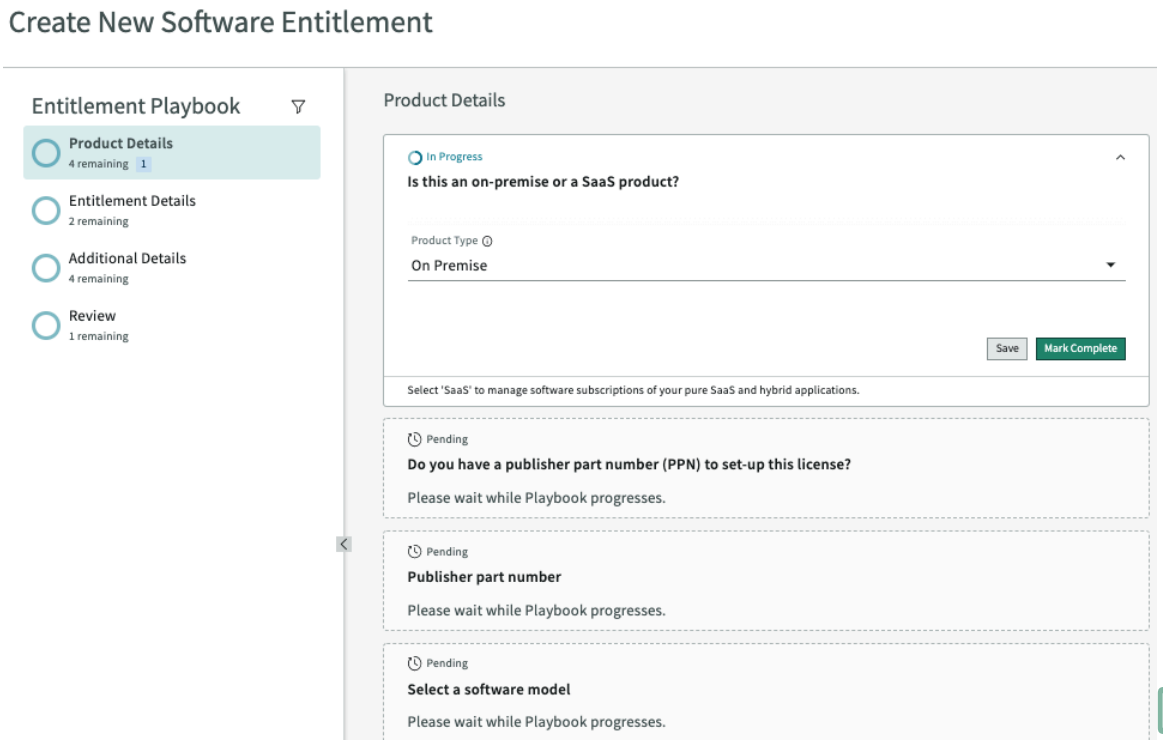
2. [エンタイトルメントを作成] を選択します。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ガイド付きステップ バイ ステップのウォークスルー] を選択し、 [次へ] を選択します。[新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create New Software Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド] になります。



4. エンタイトルメントをオンプレミス製品と SaaS 製品のどちらに対して作成するかを選択します。
   - オンプレミスを選択した場合は、以下のオンプレミスエンタイトルメントテーブルにリストされているフィールドに入力します。
   - **[SaaS]** を選択した場合は、以下の SaaS エンタイトルメントテーブルに記載されているフィールドに入力します。

   注: ソフトウェア資産管理 - SaaS License Management Integrations (com.sn_sam_saas_int)SaaS プラグインが有効になっている場合にのみ、オンプレミスまたは SaaS を選択するように求められます。このプラグインが有効になっていない場合、製品タイプは自動的にオンプレミスとして選択されます。

オンプレミスエンタイトルメント

オンプレミスのエンタイトルメントフィールド	**Description** (説明)
PPN をお持ちですか	エンタイトルメントを設定するためのパブリッシャーの品番 (PPN) がある場合に選択します。
パブリッシャーの品番	PPN がある場合は、PPN を入力します。それ以外の場合は、情報メッセージのリンクをクリックして「カスタム部品番号」(Custom Part Numbers) ページに移動して、カスタム PPN を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS エンタイトルメント

SaaS エンタイトルメントフィールド	Description (説明)
設定中の統合プロファイルがある	統合プロファイルが既に設定されている場合は、それを選択します。それ以外の場合は、適切なリンクをクリックして直接統合プロファイルまたは SSO 統合プロファイルを作成します。 注: ソフトウェア使用状況情報を表示し、古いライセンスを最適化するには、統合プロファイルが必要です。
この SaaS 製品に直接または SSO 統合プロファイルを使用していますか	この SaaS 製品に使用するプロファイルのタイプ (直接または SSO) を選択します。
統合プロファイルを選択	指定したプロファイルのタイプに基づいて、統合プロファイルを選択します。

5. エンタイトルメントのソフトウェアモデルを選択します。
[製品の詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[エンタイトルメントの詳細] レーンに移動できます。
6. [エンタイトルメントの詳細] を選択します。
PPN を入力した場合は、評価指標グループ、契約タイプ、およびライセンスタイプが自動的に入力されます。必要に応じて値を変更できます。
7. [資産タグ] に値を入力して、資産をライフサイクル全体で追跡します。
8. 調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスグループの ライセンスメトリクス の値を選択します。
[Per Core] または [Per Core (with CAL)] を選択した場合は、次のフィールドに値を入力する必要があります。
   a. [ライセンスパックごとの権利] に、CAL ライセンスの [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] (CAL ライセンスあり) で購入した各パックに関連付けられた権限を入力します。
   b. パックの数に、CAL ライセンスを使用した Microsoft Per Core または Microsoft Per Core のパック数を入力します。
9. [購入した権限] に購入した権限の数を入力します。
CAL ライセンスタイプで [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
10. ソフトウェアのコストを [単位コスト] に入力します。
[エンタイトルメントの詳細] レーンのすべてのタスクを完了すると、[その他の詳細] レーンに移動できます。
11. [**Additional Details** (その他の詳細)] を選択します。
12. この資産が属する会社の名前を [会社] に入力します。
13. ライセンスを使用する場所を入力します。
たとえば、特定のサイト、国、または地域を指定できます。
14. このソフトウェアライセンスに割り当てられた人の部署を [部署]に入力します。
15. [所有者] に資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門を入力します。
資産所有者は管理者と異なっていてもかまいません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

16. [ベンダー]、[請求書番号]、[要求ライン]、[購入済み]、[オープン]、[**GL** アカウント]、および [コストセンター] フィールドにベンダーの財務詳細を入力します。
17. **[Lease Contract** (リース契約)]、[**Warranty expiration** (保証の有効期限)]、[**Support Group** (サポートグループ)]、[**Supported by** (サポート担当者)] フィールドに契約の詳細を入力します。[Additional Details] レーンのすべてのタスクを完了すると、[Review] レーンに移動できます。
18. [確認] を選択して、すべてのレーンに入力したすべての詳細を表示します。
19. 任意のフィールドを編集することもできます。編集しない場合は 、[完了] を選択します。
20. [公開] を選択して、このエンタイトルメントを使用できるように公開します。
エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから使用中に変更されます。エンタイトルメントを調整プロセスで使用する準備ができました。

ソフトウェア資産管理 の設定

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの使用を開始する前に、セットアッププロセスを完了してください。

ソフトウェア資産管理 プラグインを要求する必要があります。次に、ディスカバリーソフトウェアを統合して、ソフトウェアインストールデータをインスタンスにプルできるようにします。その後、ソフトウェア資産管理コンテンツサービスライブラリにオプトインして、データを安全に ServiceNow に送り返すことができます。データは、データを自動的に正規化するコンテンツサービスの構築に使用されます。必要に応じて、管理する構成アイテムのソフトウェア資産を除外する必要があるかどうかを判断します。

ソフトウェア資産管理 を要求する

ServiceNow® ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインを使用するには、別途サブスクリプションが必要です。このプラグインにはデモ データが含まれています。環境に応じて、1 つ以上の関連プラグインを要求することを選択できます。

始める前に
アクティベーション後にサブスクリプションを購入したり、デモデータをロードしたりするには、ServiceNow アカウントマネージャーにお問い合わせください。数日以内に、アカウントマネージャーはプラグインをアクティブ化し、組織の本番および非本番インスタンスにデモデータをロードできるようになります。

アカウントマネージャーがいない場合、購入後までアクティベーションを延期することを決定するか、追加料金なしで非本番インスタンスで製品を評価する場合は、この手順を使用して、ServiceNow® Now Support サービスポータルからプラグインアクティベーション要求を送信できます。

⚠ **警告:** ソフトウェア資産管理プラグイン (com.snc.software_asset_management) から ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインにアップグレードした場合、ソフトウェア資産管理プラグイン (com.snc.software_asset_management) に戻すことはできません。

必要なロール：admin

このタスクについて
環境によっては、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを使用して関連プラグインを要求できます。次のオプションのプラグインは、 Now Support サービスポータルまたは ServiceNow Storeから要求できます。

ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインおよびその他の関連プラグインをアクティブ化できるのは、ServiceNow担当者のみです。プラグインは、アクティブ化した後でもプラグインリストに表示されません。

自動翻訳

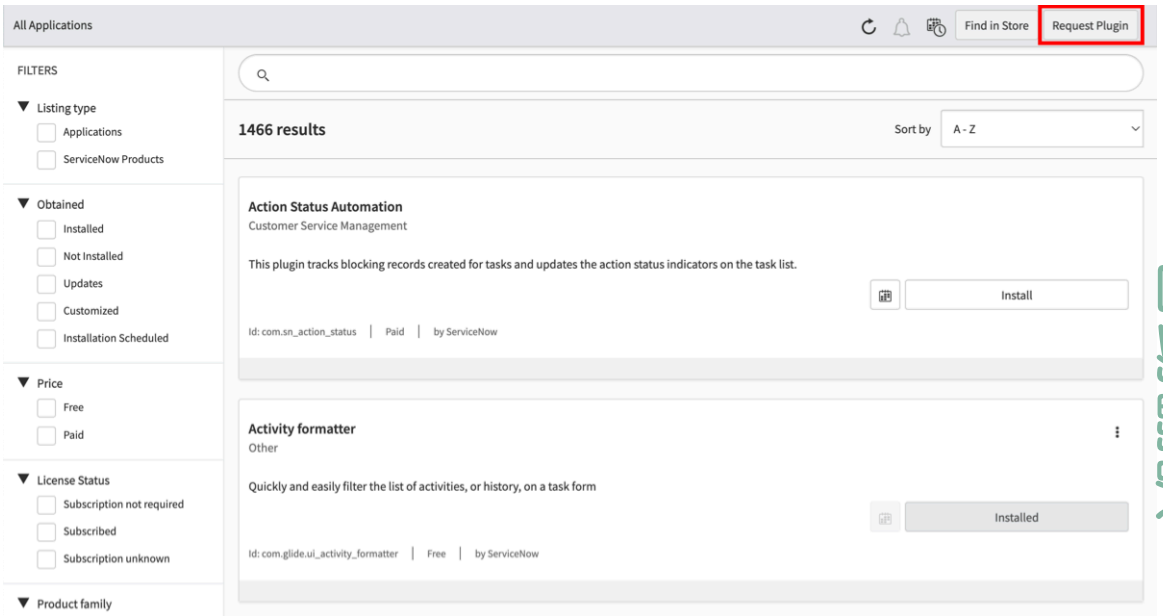
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **警告:** ソフトウェア資産管理アプリケーションを初めてインストールした後、または ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン からアップグレードした後は、すべての機能のカスタマイズを元に戻す必要があります。ソフトウェア資産管理アプリケーションのカスタマイズを元に戻すモジュールを使用すると、ソフトウェア資産管理に関連するカスタマイズされたファイルを、インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に戻すことができます。「ソフトウェア資産管理カスタマイズを元に戻す」を参照してください。

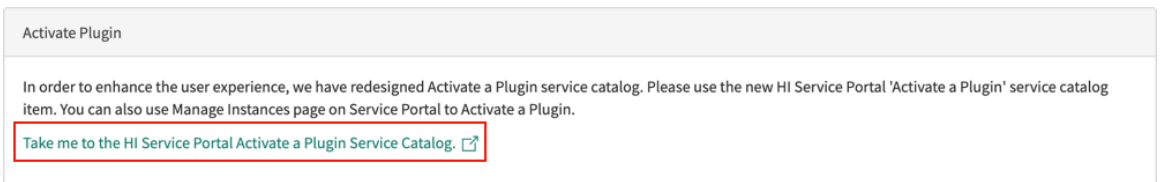
ソフトウェア資産管理プロプラグインのリストについては、「ソフトウェア資産管理プロとともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。



4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

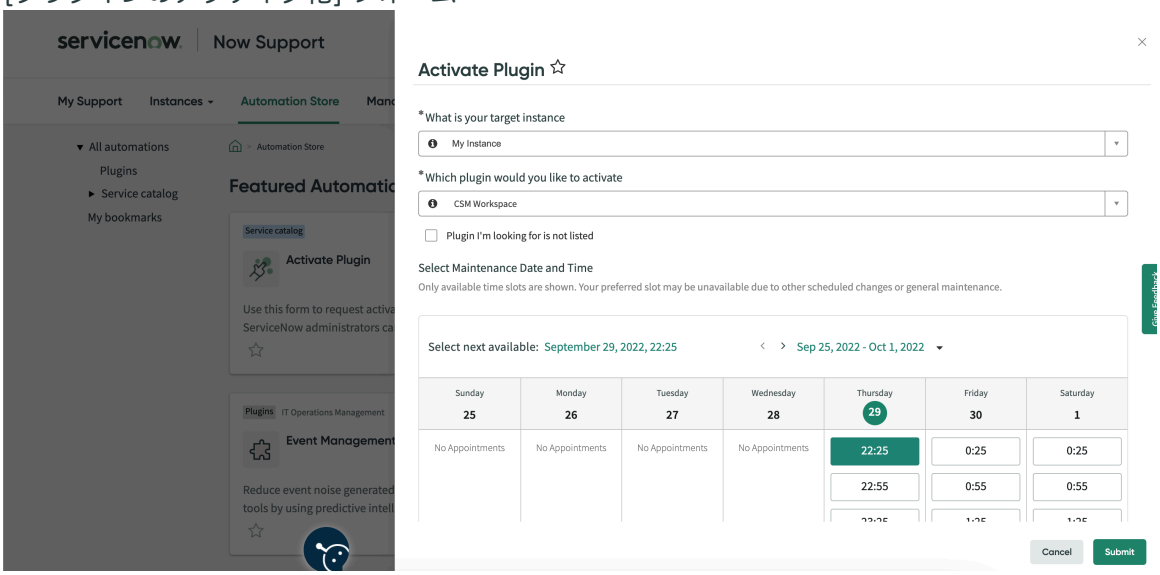
フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 **注:** 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/Comments)]** フィールドに要求を入力します。

自動翻訳

Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [送信] を選択します。
   プラグインの要求に関するその他の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事「サービスカタログからのプラグインの要求 (Requesting a Plugin from the サービスカタログ) (KB0751715)」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 移行

ソフトウェア資産管理プラグイン (資産管理 のITSM ソフトウェア資産管理機能) から ソフトウェア資産管理 アプリケーションに移行して、より強力な機能を活用します。プラグインを有効にすると、顧客による手動操作が必要になります。

プラグインの有効化中に自動変更が実行された後、ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) プラグインから ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインへの移行が成功するには、顧客が 手動で 手順を実行する必要があります。

フォームやリストのカスタマイズは、プラグインをアクティブ化した後に顧客が手動で上書きする必要がある場合があります。さらに、ソフトウェアモデル、ソフトウェアエンタイトルメント、ユーザー/デバイス割り当てフォームの特定のフィールドに、プラグインのアクティブ化後に顧客が手動で設定する必要があります。

自動変更

ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインは、次の自動変更を実行します。

- テーブル
  - テーブルラベルの名前が変更されました。

テーブル	元のラベル	新しいラベル
[alm_license]	ソフトウェア ライセンス	ソフトウェアエンタイトルメント
[alm_entitlement_user]	ユーザーエンタイトルメント	ユーザー割り当て
[alm_entitlement_asset]	資産エンタイトルメント	デバイス割り当て

  - 新しいテーブルとスクリプトインクルードを追加します。
  - ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンス キー] フィールド内に任意の文字列値をライセンス キー [samp_sw_license_key] テーブルに追加します。
- フィールド名と値
  - [必須インストール] フィールド

    スイート コンポーネント (ソフトウェア モデルのバンドルのため) を持つソフトウェア モデルの場合、ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model] テーブルの [必須インストール] フィールド値が新しい [必須] フィールドに移ります。

  - [権限] フィールド

    ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル内のソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス) の [権限] フィールド値が新しい[購入した権限] フィールドに移り、フィールド名が [権限] から [有効な権利] へ変更になります。

  - ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブル) の [ソフトウェアモデル] フィールドが、エンタイトルメント (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) のソフトウェアモデルに自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ 複数の割り当てがない限り、ソフトウェアエンタイトルメント割り当て (ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement] テーブル) 数量は 1 に設定されます。

同じユーザーまたはデバイスに対して複数のソフトウェアエンタイトルメント割り当てがある場合、その割り当ては 1 つのレコードに集約され、数量は集計レコードの数に設定されて重複割り当ては許可されなくなります。

- フォームとリスト

[ソフトウェアモデル]、[エンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)]、[検出モデル]、[ソフトウェアインストール] の各フォームとリストのレイアウトは、新しいアプリケーションに合わせて変更されています。

注: 各フォームとリストのカスタマイズは、プラグインのアクティブ化後に手動で上書きする必要があります。

- 機能

無効になった機能

機能	説明
ライセンスとソフトウェア カウンター	SAM ライセンス カウンターを発動させるスケジュール済みジョブが [なし] に変更され、非アクティブとなり、ソフトウェア カウンターが無効となります。
自動一致機能	ディスカバリーモデルと相対するソフトウェアモデルを一致させようとする自動一致機能が無効となります。
ナビゲーションメニュー	ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) プラグインのナビゲーションメニューが非アクティブ化され、名前が変更されます。
ビジネスルール	ディスカバリーモデルに適用される従来のビジネスルールが無効となります。

ソフトウェア資産管理の移行用のカスタマイズを上書きする

ソフトウェア資産管理プラグイン (資産管理の ITSM ソフトウェア資産管理機能) からソフトウェア資産管理アプリケーションに移行する場合、カスタマイズされたフォームとリストの移行を確実に成功させるために、プラグインのアクティブ化後に顧客による追加のアクションが必要です。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
これらのリストとフォームを移行前にカスタマイズしている場合、プラグインのアクティブ化の最中にとばされている可能性があります。その場合はさらなるアクションを実行する必要があります。

- ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)
- ソフトウェア割り当て (以前はソフトウェアエンタイトルメント)
- ソフトウェア モデル
- ディスカバリーモデル
- ソフトウェア インストール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アップグレード履歴 モジュールでプラグインのアクティブ化の変更を確認して、どの変更が自動的にスキップされたかを判断し、必要に応じてスキップされた更新を解決 できます。

移行によって追加される特定のフィールドも、提供された新機能を利用できるように構成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > システム診断 > アップグレード履歴.
2. ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインの有効化のアップグレード履歴に対応するレコードを特定します。
   プラグインのアクティブ化を表す [システムアップグレード] リストのレコードには、[元] フィールドに **n/a**という値と [先] フィールドにプラグイン名 (com.snc.samp、com.snc.samp.core、com.snc.sam.core、com.glide.data_services_canonicalization.client、など) が含まれてます。関連するプラグインのリストは、 [アップグレード開始済み] 列でソートをかけてソフトウェア資産管理プラグインのアクティブ化を実行したタイムスタンプに基づいて判断できます。
3. 変更がとばされたソフトウェア資産管理のアップグレード レコードを開きます。
4. [アップグレード詳細] 関連リストで [アップグレード詳細] レコードを開いたら、[競合の解決] をクリックしてベース システムファイルとカスタマイズされたファイルの比較を並べて表示します。
5. フォームやリストのカスタマイズに適用する場合、[ベースシステムに戻る] をクリックしてとばされた変更を上書きし、変更をメモします。
   カスタマイズに関するとばされた変更を含んだすべてのアップグレード エントリーに対して、これらの手順を繰り返します。
6. ソフトウェア資産管理 アプリケーションで、元のフォームとリストのカスタマイズを手動で再構成します。
7. ソフトウェア資産管理アプリケーションで、新しいフィールド値 (プラグインの有効化によって実行される自動変更の一部として追加) を設定して、提供される新機能を活用します。

   a. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
      - [製品] 参照フィールドで、ソフトウェア製品を選択します。
      - ディスカバリーマップを選択するか、[マップ ディスカバリー] フィールドをクリアーしてディスカバリー条件を設定し、ソフトウェアモデルに相対するすべてのディスカバリーモデルを見つけます。

   b. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント (以前のソフトウェアライセンス)。
      - 調整実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスのメトリクスを選択します。
      - 特定の権限の対象となるアップグレードおよびダウングレードのシナリオを定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ユーザー配分] と [デバイス配分] 関連リスト (以前の [ユーザー/デバイスエンタイトルメント]) で、割り当てられた権限の数が所有している権限数以上でないことを確認します。
そうなっている場合は、割り当て数が所有している権限の数を超えないように割り当てを削除します。

8. ライセンス キーの管理が必要なエンタイトルメントがある場合は、同じエンタイトルメントに関連付けられた複数のライセンス キーを作成し、これらのライセンス キーをユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。

関連情報

plugin

の SCCM の構成 ソフトウェア資産管理

Microsoft SCCM for ソフトウェア資産管理 を設定して、環境内で見つかったクライアント ソフトウェアをソフトウェア インストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに入力します。また、クライアントソフトウェアディストリビューション用に SCCM を設定して、未使用のソフトウェアや十分に使用されていないソフトウェアを再利用することもできます。

始める前に
必要なロール：sn_client_sf_dist.csd_admin または admin

ヒント: SCCM のセットアップや再利用などについて学ぶには、「 Software Asset Management: Integration with SCCM for Reclamation and Distribution 」コースにサインアップしてください。

手順

1. 使用しているバージョンの SCCM の SCCM 統合プラグインをアクティブ化 します。
   - 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2)
   - 統合 — Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016)

   SCCM からソフトウェア使用データをプルする場合は、使用しているバージョンの SCCM のソフトウェア使用プラグインをアクティブ化します。

   - 統合 — Microsoft SCCM 2012 v2 Software Usage (com.snc.samp_usage_sccm) プラグイン
   - 統合 — Microsoft SCCM 2016 Software Usage (com.snc.samp.usage_sccm_2016) プラグイン

   重要: これらの Microsoft SCCM プラグインは、 Tokyo リリースで廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から SCCM アプリケーション用のサービスグラフコネクタを要求しMicrosoftインストールします。ServiceNow インスタンスで Microsoft SCCM プラグインのいずれかを既にアクティブ化している場合は、SCCM ストアアプリケーションのサービスグラフコネクタの移行準備ツールを使用して、Microsoft SCCM プラグインからサービスグラフコネクタに移行するためにインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。

2. オプション: 未使用のソフトウェアや十分に使用されていないソフトウェアを再利用する場合は、クライアントソフトウェアディストリビューション (CSD) 用に SCCM を設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. クライアントソフトウェアディストリビューション
(com.snc.orchestration.client_sf_distribution) プラグインを要求します。
クライアント ソフトウェア ディストリビューションには、 オーケストレーション のサブスクリプションが必要です。

b. SCCM で、まだ作成していないソフトウェアのアプリケーション、インストール コレクション、アンインストール コレクションを作成します。

(Optional) これらの項目を作成したら、インストール コレクションとアンインストール コレクションの両方にアプリケーションを展開できます。詳細な手順については、Microsoft SCCM 製品ドキュメントの「SCCM を使用したアプリケーションの作成と展開 」および「SCCM でのコレクションの作成 」を参照してください。

ソフトウェアを再利用するには、ソフトウェアのアプリケーション、インストールコレクション、アンインストールコレクションが存在している必要があります。ソフトウェアを手動でインストールしたか、SCCM レガシー パッケージを使用してインストールした場合でも、ソフトウェアを再利用できるようにこれらのアイテムを作成する必要があります。

> **注:** SCCM レガシー パッケージを使用してソフトウェアをインストールした場合は、Microsoft Package Conversion Manager を使用してアプリケーションを作成できます。

3. MID サーバーをセットアップ します。
4. SCCM と Now Platform を構成します 。
5. サービスカタログからアプリケーションを提供するには、カタログアイテムを作成します 。

次のタスク
SCCM を構成してソフトウェアアプリケーションを検出したら、再利用 ルールを作成して 、未使用または十分に使用されていないソフトウェアを特定し、 ソフトウェア使用状況を表示し、 ソフトウェアを再利用できます。

ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスの有効化

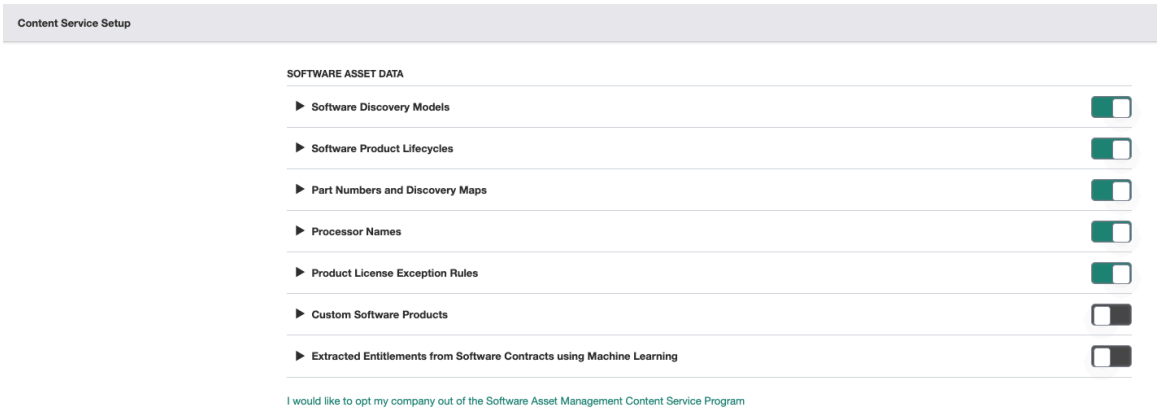
ソフトウェア資産管理コンテンツサービスへの参加をオプトインします。ただし、いつでもオプトアウトできます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順
1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > コンテンツサービス設定.
2. [オプトイン契約] を選択して契約を読みます。
3. 契約を読んだら、[完了] を選択します。
4. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します **(Yes, I have read and accept the Opt-In Agreement**)] チェックボックスをオンにして、[オプトイン] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳



オプトインすると、ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、部品番号とディスカバリーマップ、プロセッサー名、および製品ライセンス例外ルール KPI が自動的に有効になります。カスタムソフトウェア製品 KPI は自動的に無効になります。

5. KPI を有効または無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。
6. オプトアウトするには、[ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから会社をオプトアウト します] を選択し、[オプトアウト] を選択します。
ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェア製品ライフサイクル、品番とディスカバリーマップ、プロセッサー名、製品ライセンス例外ルール、カスタムソフトウェア製品が無効になり、ユーザー固有の正規化コンテンツが ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに提供されなくなります。

CI 上のソフトウェア資産を除外する

ソフトウェア資産管理アプリケーションの構成アイテムのサブセットにインストールされているソフトウェア資産を管理したい場合があります。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

たとえば、一部のデバイスが第三者からリースされている場合があり、お客様はそれらのデバイス上のソフトウェアのライセンスコンプライアンスについて責任を負いません。または、特定の場所 (ニューヨークのオフィスなど) のデバイスにインストールされているソフトウェアのみを管理することから始めることもできます。その後、他の場所にあるデバイスのソフトウェア管理に拡張できます。除外するデバイスを ソフトウェア資産管理 アプリケーションに伝えます。これらのデバイスにインストールされているソフトウェアは、ライセンスコンプライアンスの計算から除外されます。

手順

1. ハードウェア [cmdb_ci_hardware] テーブルで、true/false 列 (SAM から除外 [u_exclude_from_sam] など) を追加します。
2. アプリケーションでインストール済みソフトウェアを管理しないデバイスの [SAM から除外] 列の値を true に設定します。

   注: [SAM から除外] 列のデフォルト値は false です。デフォルトでは、システムはすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアを管理します。

3. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ 次にu_exclude_from_sam、選択した デバイスにインストールされているソフトウェアをソフトウェア資産管理から除外するには **cmdb_ci_hardware**テーブルに追加された **true/false** フィールドの名前を入力します。
列名は角かっこなしで入力してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ (SAM — 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、[SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスにインストールされているソフトウェアがアプリケーションから除外されます。

4. アプリケーションで以前に除外されたデバイスでソフトウェアインストールの管理を開始するには、デバイスの [SAM から除外] 列の値を false に設定します。
スケジュール済みジョブ (SAM — 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、システムはこれらのデバイスでのソフトウェアインストールの管理を開始します。
5. 以前に除外したすべてのデバイスでソフトウェアインストールの管理を開始するには、次の手順を実行します。

   a. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

   b. プロパティから列名 [u_exclude_from_sam] を削除します

   c. [保存] を選択します。
   スケジュール済みジョブ (SAM — 除外された CI のインストールの調整) が実行されると、システムは以前に除外されたすべてのデバイスにインストールされているソフトウェアの管理を開始します。

ソフトウェア・スイートの管理

ライセンスを簡素化し、ベンダーからのライセンスコストを削減します。複雑なスイートライセンスを可視化し、コンプライアンスを管理し、これらのライセンスへの支出を最適化します。

スイートを作成し、コンポーネントをスイートに追加して、調整中に組織の権限が正確にカウントされるようにします。

ソフトウェアスイートは、1 つのユニットとして提供される関連ソフトウェアのグループです。たとえば、PowerPoint、Word、Excel、Outlook、Access を含む Microsoft Office Professional スイートがあります。

サーバーサイドスイートのもう 1 つの例として、 Microsoft Core Infrastructure Server (CIS) スイートがあります。CIS スイートには、Windows Server ソフトウェアと、Configuration Manager、Operations Manager などのタイトルを含む System Center スイートを含めることができます。CIS Suite は、 Microsoft サーバーメトリクス (コア当たり、コア当たり (CAL 付き)、インスタンス当たり、プロセッサ当たり、サーバー当たり) でライセンス供与され、調整中に考慮されます。

どのソフトウェアモデルでも、モデルがスイート (親) かコンポーネント (子) かを指定できます。ソフトウェア モデルによっては、複数のスイートに属するコンポーネントとなることもあります。たとえば、 Microsoft Word は、 Microsoft Office Standard と Microsoft Office Professional という 2 つのスイートのコンポーネントです。1 つのソフトウェア モデルをスイートやコンポーネントの両方に設定できますが、ソフトウェアは通常組み込まれたスイートとして販売されておりません。

ソフトウェアモデルがスケジュール済みジョブの一部として自動的に作成されるたびに、その子コンポーネントが自動的に作成され、[スイートコンポーネント] セクションに表示されます。

スイート (親) がインストール テーブルに定義されていない場合、[推定率] と [必須] フィールドを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 推定率:スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。
- 必須:スイートがインストールされていることを推測するために、特定のコンポーネントをインストールする必要があるかどうかを強制します。選択肢は、[オプション]、[常に必須]、[必須グループ] です。

  注: 2 つ以上のソフトウェアコンポーネントが必須グループの一部である場合、すべてのソフトウェアコンポーネントがスイートと見なされるように、少なくとも 1 つのソフトウェアコンポーネントが存在する必要があります。これは、推定率やその他の要件も満たされていることを前提としています。

たとえば、推定 率 を 75% に指定し、Microsoft Access で [必須] フィールドを [常に必須] に設定したとします。これらの設定では、Microsoft Office Professional がデバイスにインストールされていることを推定するために、Microsoft Access を他の 4 つの製品 (Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、および Microsoft Outlook) のうち 3 製品と共にインストールする必要があることを指定します。

調整中にスイート (親) が検出された場合、子コンポーネントは個々のライセンスとしてカウントされません。

注: model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデルですが、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理することはできません。

推論スイートのランク付けのルールは次のとおりです。

- ソフトウェアインストールの 1 つがスイートソフトウェアモデルに属している場合、スイートは推定率を満たす必要なく直接推定されます。
- 上記のルールが満たされない場合、そのデバイスで推定率を満たすスイートはすべて推定スイート候補と見なすことができます。
- インストールされているコンポーネントの数が最も多い候補が選択されます。
- それでも同点の場合は、ダウングレードの低いスイートが選択されます。たとえば、Office 2016 と Office 2013 はどちらも候補であり、インストールされているコンポーネントの数が同じです。ただし、Office 2013 は Office 2016 のダウングレードであるため、Office 2013 が選択されます。
- それでも同数の場合は、インストールされているコンポーネントの割合が最も高いものが選択されます。

ソフトウェア資産管理 は、ハイブリッドおよびサブスクリプションベースのソフトウェアスイートをサポートしています。ハイブリッドソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントまたは子コンポーネントのいずれかがサブスクリプションベースです。サブスクリプションベースのソフトウェアスイートでは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースです。コンプライアンスを判断するために使用するライセンスは、スイートの親コンポーネントと子コンポーネントがサブスクリプションベースかどうかによって異なります。

- スイート (親) のみがサブスクリプションベースの場合、すべての子コンポーネントのインストールはスイート (親) の一部として推測されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断できます。
- スイート (親) の子コンポーネントのみがサブスクリプションベースの場合、その子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推論されません。子コンポーネントライセンスを使用して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。
- スイートの親コンポーネントと子コンポーネントの両方がサブスクリプションベースの場合、子コンポーネントのインスタンスはスイート (親) の一部として推論されます。スイートの親ライセンスを使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断できます。たとえば、 Microsoft 365 E5 は、Office 365 E5、EMS E5、および Windows 10 サブスクリプション ソフトウェアで構成され

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

るサブスクリプション ベースのソフトウェア スイートです。スイートの親コンポーネントと子コンポーネントはどちらもサブスクリプションベースであるため、 Microsoft 365 E5 親ライセンスに対して調整されます。

Windows Server クラスターライセンスの最適化

コストとコンプライアンス基準に基づいて、Windows Server クラスタリングに使用される権限を最適化します。

Windows Server のインストールは、Standard と Datacenter の 2 つのエディションに分類されます。Windows Server Standard エディションと Datacenter エディションは、物理コアによってライセンスされます。ライセンスは 2 個入りパックと 16 個入りパックで提供されます。Windows Server クラスタリングの最小ライセンス要件は次のとおりです。

- すべての物理コアにライセンスが必要です
- プロセッサあたり 8 コアライセンス
- サーバーあたり 16 コアライセンス

クラスターのライセンスは、1 つの物理ホストで実行できる仮想マシン (VM) の最大数を計算することによって取得されます。

Windows Server Standard エディションには、2 つのオペレーティング システム環境 (OSE) または Hyper-V コンテナーのライセンスが付与されます。追加の OSE には追加のライセンスが必要です (物理サーバーには 2 つの OSE ごとにライセンスが付与され、最低 16 権限)。Windows Server Datacenter エディションは、無制限の OSE に対してライセンス供与されます。

クラスタまたはホストの密度は、アクティブなオペレーティングシステムを 2 で割ることによって決定されます。デフォルト値 4.59 のシステムプロパティ *com.snc.samp.windowserver.license.threshold* は、ホストまたはクラスター密度をマークするために使用されます。このプロパティは、データセンターライセンスと非データセンターライセンスのコストの比率であり、データセンターライセンスに最適なクラスターサイズを特定します。このプロパティの値は、これらのライセンスの購入コストに基づいて変更できます。低密度クラスターは、低密度から高密度までの非データセンターライセンスによってライセンスされます。高密度クラスターは、高密度から低密度までのデータセンターライセンスによってライセンスされます。最適でないライセンスを使用しているホストまたはクラスタに対して、最適なライセンスと節減見込みが生成されます。

Windows Standard 権限は、このリスト内で最小のものから最大のものの順に、標準リストに対して最初に使用されます。低密度ホストまたはクラスターに標準権限を使用した後、残りの低密度ホストまたはクラスターには、高密度から低密度までの残りのデータセンター権限によってライセンスが付与されます。高密度ホストまたはクラスターにデータセンター権限を使用した後、残りの高密度ホストまたはクラスターには、低密度から高密度までの残りの標準権限によってライセンスが付与されます。消費するのに十分なデータセンター権限または標準権限がないクラスターは、ライセンスなしとしてマークされます。

各デバイスにインストールされている Windows Server ソフトウェアのライセンスに関する情報を格納するために、新しいテーブル Potential savings by optimizing licenses, [samp_license_optimization_summary] が作成されます。

資産を再利用するためのカタログ要求を作成する

従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりしたときに、ソフトウェア資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. サービスカタログに移動します。
2. サービスカタログページで、ページの右側にある [カタログの検索] フィールドに「`Reclaim asset`」と入力します。
3. [**Reclaim Asset** (資産の再利用)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	このカタログ要求を作成する担当者 (HR、マネージャー、従業員など) のロール。
要求元	カタログ要求を送信するユーザーの名前。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象の人物が組織を離れるか、別のロールに異動するかを指定します。
資産	資産再利用を送信する対象の人物に割り当てられた資産。
再利用日	資産を再利用する期日。今日の日付または将来の日付を入力できます。
再利用方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する予定の方法。自分が資産を集荷したり、従業員が資産を納品したり、組織に出荷したりできます。
訴訟ホールドの方法	法的な理由により資産を保留する必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及する必要がある指示。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
資産再利用要求が作成されます。要求が作成されたら、sam_userは要求に記載されているすべてのタスクをクローズする必要があります。詳細については、「資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

資産再利用要求のクローズ

資産再利用要求をクローズして、従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりした場合に、ソフトウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール:sam_user または asset。

手順

1. 移動先 **Inventory** (インベントリ) > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. 実行する要求を開きます。

[ソフトウェア資産再利用ライン] 関連リストでは、返却され、対応する CI レコードがあり、ソフトウェアがインストールされているデバイスごとにデバイス再利用品目が作成され、そのデバイスが資産再利用フォームで選択されます。たとえば、5 台のコンピューターが従業員にアサインされていた場合、コンピューターごとに個別のデバイス再利用品目が作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産の再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合、追加のユーザー再利用品目が作成されます。

3. デバイス再利用品目をクリックします。
[ソフトウェア資産再利用ライン] ページが開き、「 資産の受領、評価、および更新 」というタイトルのソフトウェア資産再利用タスクが作成されます。
4. [**Receive, evaluate, and update** (受領、評価、および更新)] タスクをクリックします。
[ソフトウェア資産再利用タスク] ページが開きます。資産を手動で受領し、資産を再展開または再利用できるかどうかを評価してから、資産を更新する必要があります。
5. [アサイン先グループ] フィールドと [アサイン先] フィールドの値を選択します。
6. すべてのタスクを完了したら、[**Close Task**] をクリックします。

品目のステータスが [完了してクローズ] に変更されます

タイプがデバイス再利用であるソフトウェア資産再利用品目ごとに、ステップ 3 ～ 6 を実行します。

> **注:** 従業員から資産を受領したら、[Asset (資産)] ページに移動し、[**State** (状態)] フィールドと **[Assigned to** (担当者)] フィールドの値を変更します。資産はユーザーに割り当てられていないため、[**Assigned to**] フィールドが空で、[**State**] フィールドが [**In use**] ステータスになっていないことを確認します。

更新された資産にデバイス割り当てがある場合、「 デバイスライセンス割り当ての削除」 というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のすべてのデバイス割り当てレコードが削除され、タスクは [完了してクローズ] としてマークされます。

更新された資産にソフトウェアインストールレコードがある場合、「 ソフトウェアインストールの削除」 というタイトルのソフトウェア資産再利用ラインタスクが作成されます。その資産 (CI) のすべてのソフトウェアインストールレコードが削除され、タスクは [完了してクローズ] としてマークされます。

すべてのデバイス再利用タスクが完了し、ユーザー再利用品目が作成されていない場合、カタログ要求のステータスは [完了] に変わります。ただし、ユーザー再利用タスクが作成された場合は、次の手順を実行してユーザー再利用品目を完了してクローズする必要があります。

> **注:** [資産再利用] フォームで [従業員の離職] チェックボックスがオンになっている場合、ユーザー再利用タスクが作成されます。

資産再利用要求フォームに記載されている再利用日が経過すると、ユーザー再利用ワークフローが開始されます。すべてのユーザーライセンス割り当てを削除するために、「 ユーザーライセンス割り当てを取り消す 」というタイトルのユーザーライセンス割り当てタスクが自動的に作成されます。完了する必要があるいくつかの手動タスクも作成されます。

7. 次の手動ユーザー再利用タスクを完了します。
   - SSO アクセスを取り消す (従業員が SSO プロバイダープラグインを有効にしている場合)
   - Citrixアクセスを取り消す (従業員が Citrix プラグインを有効にしている場合)
   - SAPアクセスを取り消す (公開者パックSAPプラグインが有効な場合)
   - ユーザーサブスクリプションを取り消す。タスクを開き、ユーザーサブスクリプションレコードごとに削除候補レコードが作成されていることを確認します。
8. すべてのユーザー再利用タスクがクローズされると、カタログ要求のステータスが [完了] に変わります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産ワークスペースの構成

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの設定が完了したら、ソフトウェア資産ワークスペースを構成する必要があります。

複数のエンタイトルメントがある場合は、Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを使用して一度にインポートできます。ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用してソフトウェアエンタイトルメントを作成することも、標準フォームを使用することもできます。ソフトウェア資産管理 プレイブックの使用方法については、「ソフトウェア資産管理 プレイブックとガイド付きセットアップ」を参照してください。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されていない場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。ソフトウェアモデルの作成については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート

ソフトウェア資産ワークスペースでは、一度に複数のエンタイトルメントをインポートできます。

始める前に

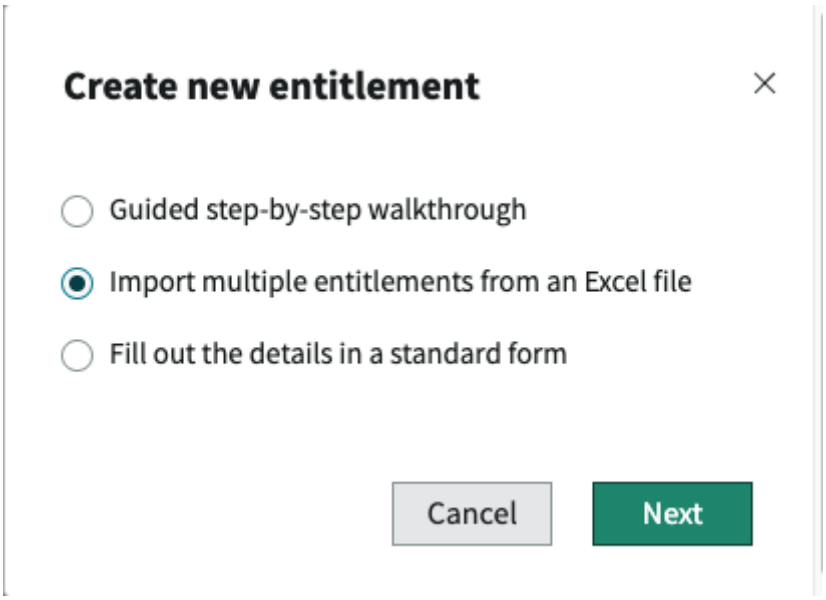
必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて

エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。ソフトウェア資産の概要ランディングページのアクティビティセンターを活用して、インポートエラーとインポートステータスを表示できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントを作成] を選択します。



3. [新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスで、[**Excel** ファイルから複数のエンタイトルメントをインポートする] を選択し、[次へ] を選択します。
4. [新しいエンタイトルメントインポートを作成] ページで、[テンプレートをダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名はフィールドラベルと正確に一致させる必要があります。[公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション]、[プラットフォーム]、および [言語] 列に加えて、[インストール条件名] 列も考慮され、エンタイトルメントのインポート時に正しいソフトウェアモデルが検索されます。

ベースシステムソフトウェアエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。資産 [alm_asset] テーブルまたはソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルで作成されたカスタム選択列 (タイプは [選択肢]) もサポートされています。

> **注:** デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列には、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。たとえば、 `EUR です。200`です。有効な通貨コードは、通貨 [fix_currency] テーブルにリストされ、[アクティブ] 列が true に設定されているものです。

5. テンプレートにエンタイトルメントの詳細を入力し、[ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。
   ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。この説明は、より具体的な記述に変更できます。
6. [インポート] を選択します。

   後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。

   エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。インポートレコードが処理されると、[ステータス] フィールドに [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかの値が表示されます。
7. 確認メッセージ内のリンクを選択して、レコードのステータスを確認します。
   [ライセンス操作] ビューが表示され、[エンタイトルメントのインポート] ページにエンタイトルメントレコードが表示されます
8. エンタイトルメントレコードを開いて詳細を表示します。
9. [エンタイトルメント] タブをクリックして、正常に作成されたエンタイトルメントのリストを表示します。

   > **注:** [エンタイトルメント] タブは、[ステータス] フィールドに [完了] または [完了 (エラーあり)] の値が表示されている場合にのみ表示されます。

10. エラーが発生し、ステータスが [完了 (エラーあり)] と表示される場合は、[インポート エラーの確認] をクリックします。

    [エンタイトルメントインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ページが開き、次の 2 つのタブが表示されます。

    - インポートエラー:エラーステータスが [要レビュー] のレコードを表示します。
    - エンタイトルメントを関連付ける:ビルドステータスであり、基本エンタイトルメントにリンクできるメンテナンスエンタイトルメントなどのエンタイトルメントを一覧表示します。
11. インポートエラーレコードを選択して、エラーを表示します。
    エンタイトルメントインポートエラーフィールドの詳細については、次を参照してください。 エンタイトルメントインポートエラーフィールド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. エラーを修正し、 [インポート] を選択します。
エンタイトルメントが正常に作成されました。エンタイトルメントのダウングレードモデルの検証など、エンタイトルメントのさらなる処理が続行されます。エラーの解決の詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

ワークスペースでエンタイトルメントを作成する

ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成し、ライセンスの詳細を入力して、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に

これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントを一度に 1 件ずつ作成するための標準フォームを使用する手順です。ガイド付きウォークスルーのステップバイステップアプローチを使用してエンタイトルメントを作成することもできます。すでにスプレッドシートにソフトウェアエンタイトルメントの詳細が入力されている場合は、一括インポート機能を使用して インポート することもできます。

エンタイトルメントの作成を開始すると、ステータスは [ビルド] になります。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わり、エンタイトルメントが調整プロセスに含まれるようになります。

SaaS ライセンス管理 をインストールした場合は、統合プロファイルの作成後にソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

SAP Publisher Pack をインストールした場合は、「のエンタイトルメントの作成 SAP」を参照してください。

RHELおよびCitrix公開者パックのエンタイトルメントを作成することもできます。RHEL のエンタイトルメントフォームフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフォーム」を参照してください。

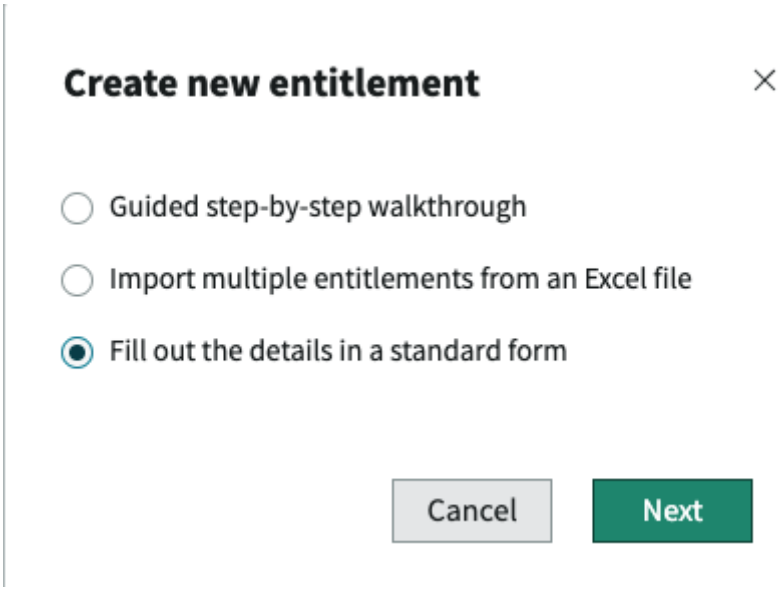
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントの作成] を選択して、[新しいエンタイトルメントの作成] ダイアログ ボックスを開きます。
から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. 標準フォームに詳細を記入する を選択し、次へ を選択します。
4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create new entitlement)] ページで、フィールドに入力します。
   フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。
5. [保存] を選択します。
   エンタイトルメントを保存すると、[割り当て]、[一般]、[財務]、および [契約] タブがページに表示されます。これらの関連タブに詳細を追加できるようになりました。
6. 必要な詳細を入力したら、 [公開] を選択します。

   エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから使用中に変更されます。調整プロセスでエンタイトルメントを取得する準備ができました。

   [契約]、[ダウングレード権限]、[経費ライン]、[エンタイトルメント履歴] などの他のタブに詳細を入力することで、新しいエンタイトルメントの追加構成を実行できます。これらのタブのフィールドの詳細については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

ワークスペースでのメンテナンスエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペースで、 Microsoft 以外のすべてのパブリッシャーのライセンスの詳細を定義します。契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレードなど、ソフトウェアライセンスのメンテナンスに関するすべてのニーズを管理するためのメンテナンスエンタイトルメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントを作成] をクリックして、[新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスを開きます。
   から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
3. [標準フォーム] を選択し、[次へ] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create New Software Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド (build)] になります。

4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成] ページで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが入力されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択されたメトリクスグループが 「共通」である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは、 共通 メトリクスグループにのみ適用されます。

5. 必要な詳細を入力したら、[公開] をクリックします。
   メンテナンスエンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントのステータスがビルドから使用中に変更されます。調整プロセスでメンテナンスエンタイトルメントを取得する準備ができました。

   注: 無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権利のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) がある無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個をメンテナンスエンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは、自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つはメンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ 1 つの無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2)。

6. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードで追加の構成を実行できます。

   詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

   a. [財務] タブに、資産の購入元ベンダー、請求書番号などの財務に関する情報を入力します。

   b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約]タブに入力します。

   c. [関連エンタイトルメント] 関連リストから、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

      i. [関連エンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [関連するエンタイトルメントの新規作成 (Create New Related Entitlement)] フォームが新しいタブで開きます。

      ii. フォームのフィールドに入力します。

[新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)]** フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限エンタイトルメントをリンクするソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

iii. [保存] をクリックします。

無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、メンテナンスエンタイトルメントの [関連エンタイトルメント] 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンスエンタイトルメントに関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス・キーを管理し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス・キーを指定するには、[ライセンス・キー] 関連リストをクリックします

f. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたるコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

7. 追加の構成の詳細の入力が完了したら、[保存] をクリックします。

ワークスペースでの **Microsoft** ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアアシュアランス (SA) Microsoft ライセンスの詳細を定義して、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [エンタイトルメントを作成] をクリックして、[新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスを開きます。
から [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスに移動することもできます ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
3. [標準フォーム] を選択し、[次へ] をクリックします。
[新しいソフトウェアエンタイトルメントを作成 (Create New Software Entitlement)] ページが開き、エンタイトルメントのステータスが [ビルド (build)] になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [新しいソフトウェアエンタイトルメントの作成 (Create New Software Entitlement)] フォームで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで **[SA]** を選択します。

   SA エンタイトルメントに付与される権限の数を [アクティブな権限] フィールドに入力する必要があります。

   すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

   注: SA エンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

5. [公開] をクリックします。
   エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

   注: 無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権利のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) がある無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 を SA エンタイトルメントの 20 の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは、SA エンタイトルメントの 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ 1 つの無期限エンタイトルメント (E1) と、SA 関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) の 2 つのエンタイトルメントに自動的に分割されます。

6. 追加の構成を実行するには、ソフトウェアエンタイトルメントリストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

   a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

      i. [関連エンタイトルメント] 関連リストを選択し、[新規] をクリックします。

         [関連するエンタイトルメントの新規作成 (Create New Related Entitlement)] フォームが新しいタブで開きます。

      ii. フォームのフィールドに入力します。

      [新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)]** フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	関連する無期限または SA エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	関連する無期限または SA エンタイトルメントをリンクするソフトウェアエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	リンクする関連する無期限または SA エンタイトルメント。
ドメイン	関連する無期限または SA エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

      iii. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、SA エンタイトルメントの [関連エンタイトルメント] 関連リストからエンタイトルメントを削除します。

リンクされている無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントのいずれかを削除しても、もう一方のエンタイトルメントは削除されません。

エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

b. 保守契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

注: この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ使用できます。

ソフトウェアモデルの **[Next Version**] フィールドが入力されている場合、SA がアクティブなエンタイトルメントは新しいバージョンのソフトウェアモデルに更新されます。

関連するエンタイトルメントをリンクした後、永続的なエンタイトルメント権限をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

c. リンクされている、以前に関連するすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

注: 検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算でエラーが発生した場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

7. [更新] をクリックします。

ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成

ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェアモデルを作成し、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user、sam_admin または model_manager

このタスクについて

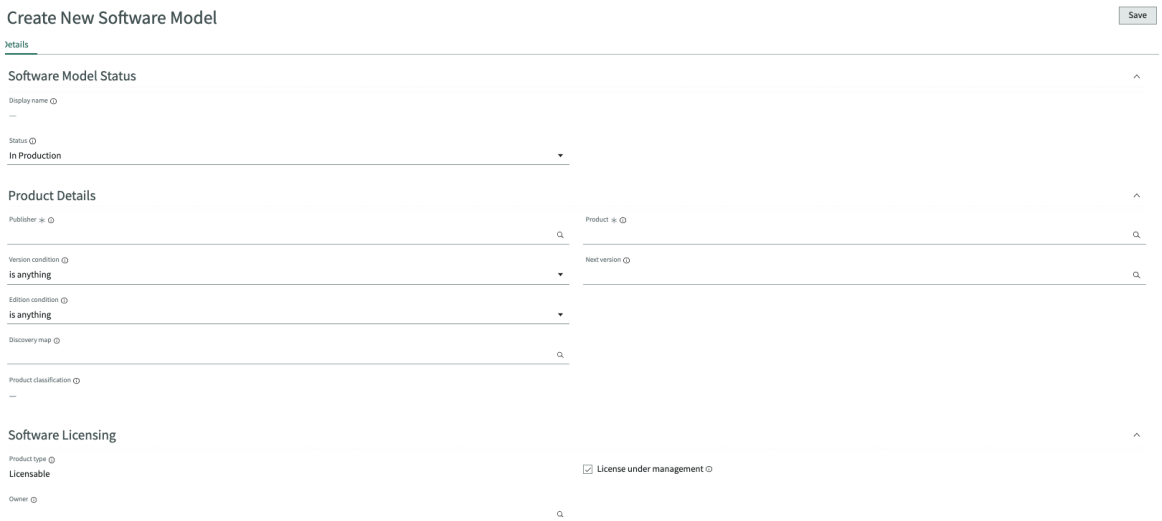
ソフトウェアモデルを手動で作成することができます。ただし、Software Asset Management コンテンツサービスライブラリを活用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化できます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成中またはインポート中に公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデル (必要な場合) または既存のソフトウェアモデルへのリンクが自動的に作成されます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテンツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. 左側のバーで [ライセンス操作 ビュー] を選択します。
3. [ライセンス] で、 ソフトウェアモデルを選択します。
4. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. [新しいソフトウェアモデルを作成] ページで、フィールドに詳細を入力します。
「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。
6. [保存] を選択します。
ソフトウェアモデルを保存すると、[全般]、[スイートコンポーネント]、[スイート親]、および [製品カタログ] タブがページに表示されます。これらの関連タブに詳細を追加できるようになりました。
7. ソフトウェア公開者がスイートの一部であるかどうかを指定します。
   - ソフトウェアモデルをスイート (親) として指定するには、[スイート ペアレント] をクリックし、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェアモデルをスイートコンポーネントとして指定するには、[スイートコンポーネント] をクリックし、親スイートを追加します。

   注: 製品の詳細にディスカバリーマップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、[ソフトウェア製品ライフサイクル] を選択します。
新規 を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. エンタイトルメントの上書きライセンスコストを表示するには、[ライセンスコストの上書き] を選択します。
10. 属性値を設定するには、[評価指標属性] を選択してフォームに入力します。
属性値を追加すると、この公開者情報が関連付けられたエンタイトルメントの [メトリクスグループ] フィールドが自動的に入力されます。測定基準グループに基づいて、公開者に関連するライセンス測定基準のみを使用できます。
11. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] を選択し、フォームに入力します。
12. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアントアクセス] を選択してフォームに入力します。
13. ソフトウェア ダウングレード権の新しいレコードを作成するには、[ダウングレード権] をクリックしてフォームに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ソフトウェアモデルに関連付けられた検出マップがあり、検出マップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限は自動的に入力されます。ダウングレードされたバージョンのソフトウェアは、階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

14. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

    a. [ソフトウェアカタログに公開] を選択します。
    [*<software-model>* をソフトウェアカタログに公開 (Publish software-model to Software Catalog] ダイアログボックスが開きます。

    b. ダイアログ ボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

    c. **[OK]** を選択します。

ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する

ソフトウェア資産ワークスペースで、ソフトウェアの提供終了 (EOL) とサポート終了 (EOS) のライフサイクルを計算するための平均を作成します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
すべての製品とパブリッシャーに対してグローバルに使用できる平均を作成することも、製品またはパブリッシャーに固有の平均を作成することもできます。これらの平均値は、製品の計算済みライフサイクルを作成するために使用されます。

*com.snc.samp.generate.calculated.lifecycles*システムプロパティが有効になっていることを確認します。その他の詳細については、「提供終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクル」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、新しいソフトウェア ライフサイクル平均の作成 ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ カスタム業界平均:一般提供 (GA) の日付に基づく業界平均を指します。 ◦ 製品:特定の製品を指します。これにはカスタム製品も含まれます。 ◦ 公開者: 特定の公開者を指します。これには、カスタム発行者も含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Display name (表示名)	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで値 [製品] を選択した場合にのみ表示されます。
パブリッシャー	製品を選択すると、このフィールドは自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで値 [公開者] を選択した場合は、公開者を選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均提供終了期間 (月)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。
アクティブ	ライフサイクル平均レコードがソフトウェアライフサイクルの作成に使用されることを示します。

4. [保存] を選択します。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

の健全性チェックスキャンの実行 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理構成で健全性チェックスキャンを実行し、存在する可能性のあるエラーの修正に関する推奨事項を取得します。

始める前に

必要なロール：

- sam_manager
- 実装パートナー
- サポートアナリスト

このタスクについて

ヘルスチェックスキャンを実行して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの完全な構成または構成の特定の部分のヘルススコアを確認できます。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > 成功ポータル > 健全性チェック.
2. スイート チェック利用可能 ウィジェットを選択します。
   [スイート] ページが表示され、スイートごとに利用可能なすべての健全性チェックが一覧表示されます。
3. 健全性チェックスキャンを実行するスイートを選択します。
   その特定のスイートのすべてのチェックが、各チェックの簡単な説明とカテゴリとともにページに表示されます。
4. [スイート スキャンの実行] を選択してスキャンを開始します。
   [スイートスキャンの実行] ダイアログボックスが表示され、スキャンの進行状況が表示されます。そのスイート内のすべてのチェックが環境全体で実行されます。
5. スキャンが完了したら、[結果に移動] を選択します。
   健全性チェックのすべての問題レコードは、[スキャン結果] ページの [スキャン結果] の下に表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 問題レコードを選択すると、エラーの詳細な説明、解決策の詳細など、エラーの詳細が表示されます。
   タスクを作成し、そのタスクを個人にアサインして、推奨事項に対してアクションを実行できます。
7. タスクを作成し、そのタスクを個人にアサインして、推奨事項に対してアクションを実行します。
   エラーが修正されたら、スキャンを再度実行して、改善されたヘルススコアを確認できます。

ソフトウェア資産管理 クラシックの設定

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの設定が完了したので、アプリケーションを構成する必要があります。

Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを使用して、複数のエンタイトルメントを一度にインポートできます。ソフトウェアエンタイトルメントを作成することもできます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

ソフトウェアモデルが自動的に作成されていない場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。ソフトウェアモデルの作成については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの一括インポート

ソフトウェア資産管理 クラシックでは、Microsoft Excel スプレッドシートを使用して複数のエンタイトルメントをまとめてインポートできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

このタスクについて
エンタイトルメントインポートレコードは、エンタイトルメントインポート [samp_bulk_import] テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > エンタイトルメントのインポート.
2. エンタイトルメントのインポート ページで、 新規 を選択します。
   新しいエンタイトルメントインポートレコードが開きます。
3. [エンタイトルメントのインポート] ページで、[テンプレートをダウンロード] をクリックしてスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

   ソフトウェアエンタイトルメントフィールドをテンプレートに追加して、インポートに含めるフィールドを追加できます。各フィールドをテンプレートの新しい列として追加します。列名はフィールドラベルと正確に一致させる必要があります。ベースシステムソフトウェアエンタイトルメントフィールドと、カスタムソフトウェアのエンタイトルメントフィールドを含めることができます。ユーザー設定フィールドの作成方法については、「テーブルのフィールドを追加およびカスタマイズ する」を参照してください。

   デフォルトでは、スプレッドシートの [単位コスト] 列には、システムに設定されている通貨が考慮されます。ただし、通貨は手動で変更でき、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは指定した通貨を優先します。通貨を指定するには、通貨コードに続けてセミコロンとコストを入力します。たとえば、 `EUR` です。200です。有効な通貨コードは、通貨 [fx_currency] テーブルに一覧表示され、[アクティブ] 列が true に設定されているものです。

4. エンタイトルメントの詳細をテンプレートに入力し、[クリックして追加] を選択して、スプレッドシートを選択してアップロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ファイルがアップロードされると、ファイル名が表示され、[説明] フィールドが自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
エンタイトルメントのインポートが進行中であることを通知する確認メッセージが表示されます。プロセスが完了すると、処理された行数、成功した行数、エラーのある行数がページのフィールドに表示されます。スプレッドシートを添付してインポートすると、後で表示できるようにアップロードの履歴を保持するインポートレコードが作成されます。
6. 確認メッセージのリンクを選択して、インポートレコードのステータスを表示します。
[エンタイトルメントのインポート] ページに、すべてのエンタイトルメントインポートレコードが一覧表示されます。
7. エンタイトルメントインポートレコードを選択して、[エンタイトルメントのインポート] ページを表示します。
[エンタイトルメントのインポート] ページには、次の 2 つのタブがあります。
   - エンタイトルメント:正常に作成されたすべてのエンタイトルメントをリストします。
   - エンタイトルメントを関連付ける:ビルドステータスであり、基本エンタイトルメントにリンクできるメンテナンスエンタイトルメントなどのエンタイトルメントを一覧表示します。
8. エラーが発生した場合は、[インポートエラーの確認 **(Review import errors**)] を選択して [エンタイトルメントのインポートエラー] ページを開きます。
デフォルトでは、エラーステータスが「**Needs review** (要レビュー)」であるレコードのみがリストに表示されています。インポート エラーを確認するには、ページのリロードが必要な場合があります。
9. インポートエラーレコードを選択して、そのエラーを表示します。
[エンタイトルメントのインポートエラー] ページが表示されます。エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの詳細については、「 エンタイトルメントインポートエラーフィールド」を参照してください。
10. エラーを修正し、 [インポート] を選択します。
エンタイトルメントが正常に作成されました。エラーの解決の詳細については、「 エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成

ソフトウェア資産管理アプリケーションクラシックでエンタイトルメントを作成してライセンスの詳細を記録し、購入したソフトウェア権限をユーザーまたはデバイスに割り当てます。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
これらの手順は、ソフトウェアエンタイトルメントまたはメンテナンスエンタイトルメントを一度に 1 つずつ手動で作成するためのものです。すでにスプレッドシートに記録されたソフトウェアエンタイトルメントがある場合は、 それらをインポート できます。

ソフトウェアエンタイトルメントの作成プロセスを自動化するには、ソフトウェアエンタイトルメントフォームで公開者の品番を指定します。公開者の品番に基づいて、ソフトウェアモデル、測定基準グループ、契約タイプ、およびソフトウェアライフサイクルデータ (存在する場合) がフォームに自動的に表示されます。

既存のエンタイトルメントをより適切に管理するために、エンタイトルメントの特定のフィールドを編集できます。**[Purchased rights]**、[**Software model**]、[**License type**]、[**Number of packs**]、[**Publisher part number**] などのフィールドを編集できます。関連するエンタイトルメント、アップグレード履歴、エンタイトルメント履歴、またはアップグレードされたエンタイトルメントを持つエンタイトルメントは編集できません。

注: Microsoft 予備エンタイトルメントとソースエンタイトルメントは編集できません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SaaS ライセンス管理 をインストールした場合は、統合プロファイルの作成後にソフトウェアモデルが自動的に生成されます。ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成して、所有するソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。SaaS ライセンスと使用状況の追跡の詳細については、「SaaS および SSO サブスクリプションの表示」を参照してください。

SAP 公開者パックをインストールした場合は、 のソフトウェア権限の記録 SAP.

Citrix 公開者パックをインストールした場合は、 のソフトウェア権限の記録 Citrix

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力して、ライセンス情報を記録します。
   フィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
   送信する代わりにフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードに留まり、追加の構成を実行できます。
5. ソフトウェア権限が割り当てられているユーザーとデバイスを指定するには、[ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て] セクションを選択します。
   IBM リソースバリューユニット (RVU) ライセンスメトリクスの [デバイス割り当て] セクションは表示されません。リソースバリューユニット (RVU) ライセンスの測定基準は製品レベルでライセンス付与されるため、個々のデバイスで権限が使用されることはありません。デバイスが割り当てられていた以前のリリースから Xanadu リリースにアップグレードすると、既存のデバイスの再配置は削除されます。
6. ソフトウェアのダウングレード権限を追跡するには、[ダウングレード権限] 関連リスト を選択し、バージョンを指定します。
   新しいレコードを作成すると、以前のバージョンのソフトウェアに対するエンタイトルメントを設定できます。たとえば、 Microsoft Office Professional Plus 2016 の権利を購入すると、Office Professional Plus 2013 も Microsoft できるようになります。

   詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。
7. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたってコストを追跡するには、 経費ライン を構成します。
8. ライセンスキーを管理するには、[ライセンスキー] 関連リスト を選択し、エンタイトルメントに割り当てるライセンスキーを指定します。
9. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストを選択します。
   たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。
10. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストを選択します。
11. [更新] を選択します。
    エンタイトルメントが作成され、エンタイトルメントリストビューに追加されます。

関連情報

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント

ソフトウェアライセンスメトリクス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理クラシックでのメンテナンスエンタイトルメントの作成

Microsoft 以外のすべての公開者のライセンスの詳細を定義して、契約やソフトウェアアップグレードの開始日と終了日など、ソフトウェアライセンスのすべてのメンテナンスニーズを管理します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. [新規] をクリックします。
3. ソフトウェアエンタイトルメントフォームで、必須フィールドに入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   すべてのフィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントが関連付けられているソフトウェアモデルで [次のバージョン] フィールドが入力されており、メンテナンスエンタイトルメントで選択されたメトリクスグループが 「共通」である場合、メンテナンスエンタイトルメントはソフトウェアモデルの次のバージョンで更新されます。次のバージョンは、 共通 メトリクスグループにのみ適用されます。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   注: 無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権利のみをメンテナンスエンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) がある無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 個をメンテナンスエンタイトルメントの 20 個の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは、自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。1 つはメンテナンスエンタイトルメント (M1) の 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ 1 つの無期限エンタイトルメント (E1) と、メンテナンスの関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2)。
5. 新しいメンテナンスエンタイトルメントレコードで追加の構成を実行します。

   詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

   メンテナンスエンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

   a. [財務] タブに、資産の購入元ベンダー、請求書番号などの財務に関する情報を入力します。

   b. リース契約、保証の有効期限などの契約に関する情報を [契約]タブに入力します。

   c. [関連エンタイトルメント] タブから、関連する無期限エンタイトルメントをメンテナンスエンタイトルメントにリンクします。

      i. [関連エンタイトルメント] タブを選択します。

      ii. [Related Entitlements] リストの [**Related Entitlements**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

      iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] ( ) アイコンをクリックします。

      iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] ([ ) アイコンをクリックします。

vi. [Software Entitlement] フォームヘッダーの [**Save**] をクリックします。

無期限エンタイトルメントとメンテナンスエンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

エンタイトルメントが分割され、メンテナンスエンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

d. [ダウングレード権限] 関連リストで、メンテナンスエンタイトルメントに関連付けられたソフトウェアモデルのダウングレード権限を表示します。

e. ライセンス・キーを管理し、エンタイトルメントに割り当てるライセンス・キーを指定するには、[ライセンス・キー] 関連リストをクリックします

f. ソフトウェアのライフサイクル全体にわたるコストを追跡するには、[経費ライン] 関連リストをクリックします。

g. 購入したすべてのメンテナンスエンタイトルメントの履歴を表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。
たとえば、M1 (現在は廃止) と M2 (現在使用中) の 2 つのメンテナンスエンタイトルメントを購入した場合、[エンタイトルメント履歴] 関連リンクには M1 と M2 の両方が表示されます。

h. エンタイトルメントと以前のソフトウェアモデルに関連する新しくアップグレードされたソフトウェアモデルの履歴を表示するには、[アップグレード履歴] 関連リストをクリックします。

6. [更新] をクリックします。

ソフトウェア資産管理クラシック版で**Microsoft**ソフトウェアアシュアランスのエンタイトルメントを作成する

Microsoftソフトウェアアシュアランス (SA) のライセンスの詳細を定義して、契約の開始日と終了日、ソフトウェアのアップグレード、および関連するソフトウェアエンタイトルメントを管理します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. [新規] をクリックします。
3. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、購入したソフトウェア公開者権限の詳細を入力し、[ライセンスタイプ] フィールドで [メンテナンス] を選択します。

   注: [アクティブな権限] フィールドに、SA エンタイトルメントに付与される権限の数を入力していることを確認してください。SA エンタイトルメントにユーザーまたはデバイスの割り当てを追加することはできません。

   すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「 ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

エンタイトルメントが [ソフトウェアエンタイトルメント] リストに表示されます。

注: 無期限エンタイトルメントを購入し、そのエンタイトルメントの一部の権利のみを SA エンタイトルメントに関連付けると、無期限エンタイトルメントは自動的に 2 つのエンタイトルメントに分割されます。たとえば、50 のアクティブな権限 (E1) がある無期限エンタイトルメントを購入したとします。これらの権限のうち 20 を SA エンタイトルメントの 20 の権限に関連付けます。E1 の無期限エンタイトルメントは、SA エンタイトルメントの 20 の権限に関連付けられた 20 のアクティブな権限 (および 50 の購入権限) を持つ 1 つの無期限エンタイトルメント (E1) と、SA 関連付けがなく購入済みの権限がない 30 のアクティブな権限を持つもう 1 つの無期限エンタイトルメント (E2) の 2 つのエンタイトルメントに自動的に分割されます。

5. 追加の構成を実行するには、ソフトウェアエンタイトルメントリストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。

a. 関連する無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントをリンクするには、次の手順に従います。

i. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[関連エンタイトルメント] タブを選択します。

ii. [Related Entitlements] リストの [**Related Entitlements**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

iii. プロンプトが表示されたら、リンクする関連する無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] ( ) アイコンをクリックします。

iv. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

v. プロンプトが表示されたら、関連する無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] (保存) アイコンをクリックします。

vi. [Software Entitlement] フォームヘッダーの [**Save**] をクリックします。

無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントの関係を削除するには、[関連エンタイトルメント] リストからエンタイトルメントを削除します。

リンクされている無期限エンタイトルメントまたは SA エンタイトルメントのいずれかを削除しても、もう一方のエンタイトルメントは削除されません。

エンタイトルメントが分割され、SA エンタイトルメントを削除した場合、無期限エンタイトルメントは削除されません。

b. 保守契約の一部としてソフトウェアを新しいバージョンにリンクするには、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストをクリックします。

注: この関連リストは、エンタイトルメントライセンスタイプとして [ステップアップ] を選択した場合にのみ使用できます。

ソフトウェアモデルの **[Next Version**] フィールドが入力されている場合、SA がアクティブなエンタイトルメントは新しいバージョンのソフトウェアモデルに更新されます。

関連するエンタイトルメントをリンクした後、永続的なエンタイトルメント権限をカバーするのに十分な SA 権限がない場合は、エラーメッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. リンクされている、以前に関連するすべてのエンタイトルメントを表示するには、[エンタイトルメント履歴] 関連リストをクリックします。

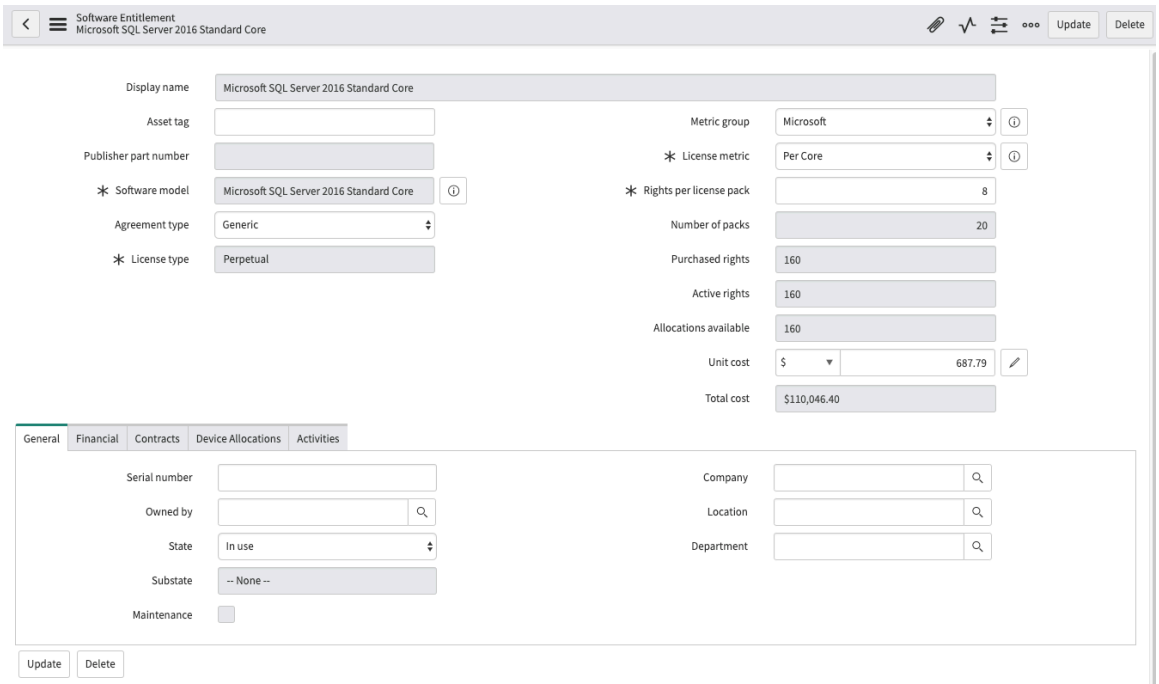
> **注:** 検証は、関連するすべてのエンタイトルメントのアクティブな権限に対して自動的に実行されます。計算でエラーが発生した場合は、問題の解決方法に関する追加情報を含むメッセージが表示されます。

6. [更新] をクリックします。

タスクの結果
エンタイトルメントを作成したら、 ライセンス使用状況の表示を開始できます。

Example: Microsoft ソフトウェアアシュアランスのソフトウェア権限の記録

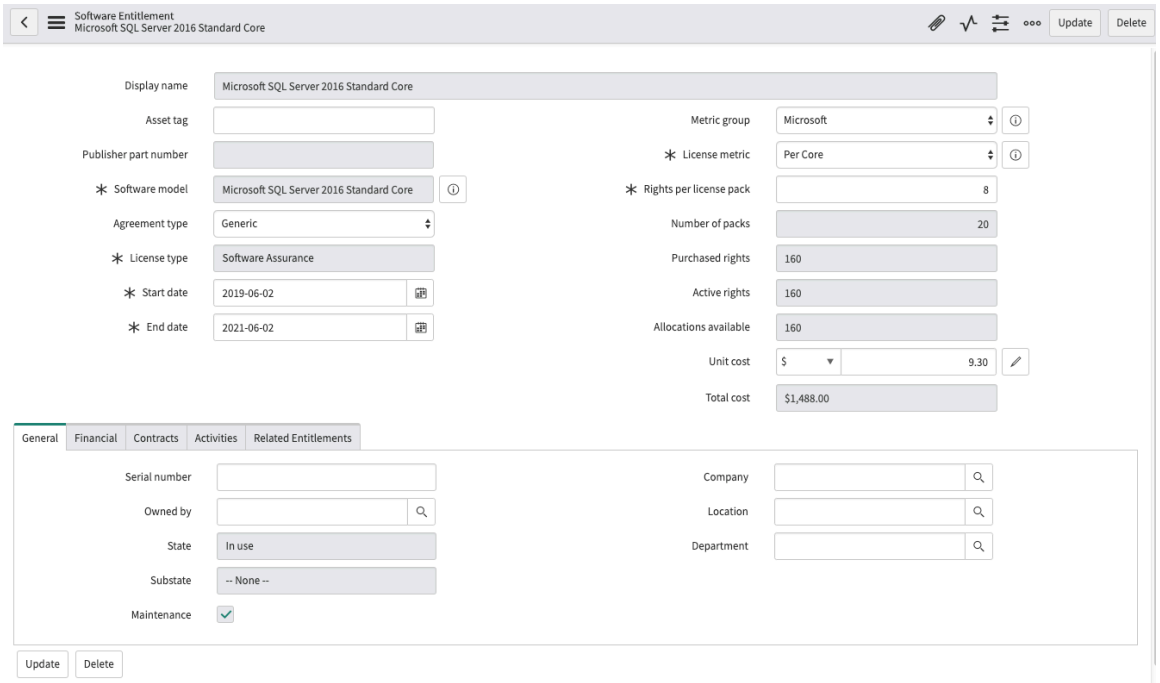
SQL Server 2016 の権限を 100 Microsoft 購入しました。



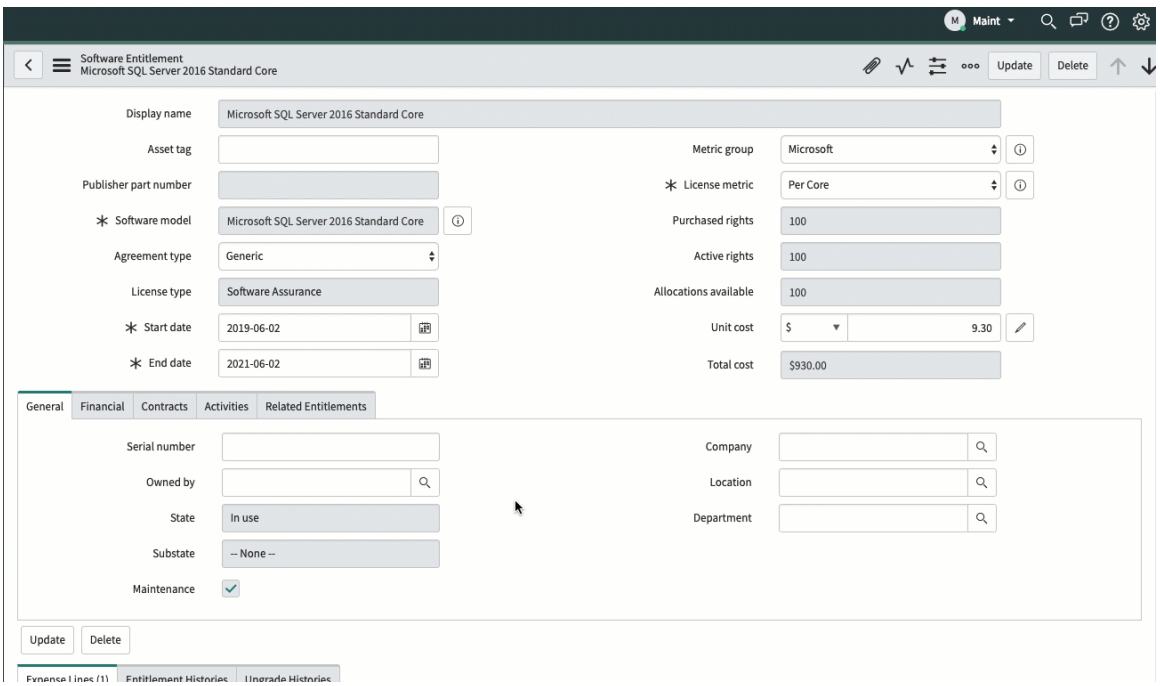
Microsoft SQL Server 2016 ライセンスの SA も購入しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

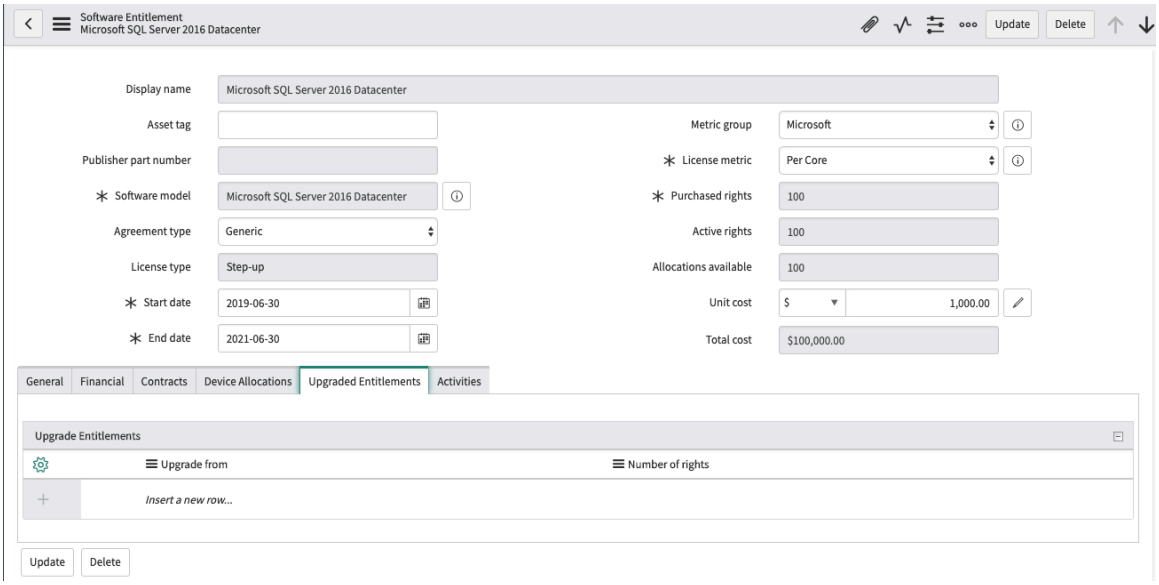


ライセンスを正確に追跡するには、無期限エンタイトルメントと SA エンタイトルメントを関連付けます。



アクティブなメンテナンス中に、 Microsoft は SQL Server 2016 datacenter をリリースします。アップグレードされたソフトウェアのエンタイトルメントを作成し、関連するエンタイトルメントをリンクすることで、現在のバージョンから新しいリリースにステップアップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアモデルの作成

ソフトウェアモデルを作成して、購入したソフトウェア権限をシステムで検出されたソフトウェアインストールに接続するために使用される製品の詳細を追加します。

始める前に

必要なロール：sam_user または model_manager

このタスクについて

ソフトウェアモデルを手動で作成することができます。ただし、Software Asset Management コンテンツサービスライブラリを活用して、ソフトウェアエンタイトルメントとの関係を通じてソフトウェアモデルの作成を自動化できます。ソフトウェアエンタイトルメントの作成中またはインポート中に公開者の品番を指定すると、ソフトウェアモデル (必要な場合) または既存のソフトウェアモデルへのリンクが自動的に作成されます。公開者の品番が利用できない場合、公開者の品番がコンテンツサービスライブラリに存在しない場合、またはカスタム製品のソフトウェアモデルを作成する場合は、ソフトウェアモデルを手動で作成する必要があります。

注: model_managerロールを持っている場合は、 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

製品ライフサイクルを通じて、製品バージョン (ライセンス可能、マイナー、またはビルド) のライフサイクル情報を表示および追跡します。製品ライフサイクルはソフトウェアモデルに関連付けられています。製品ライフサイクルは、公開者、製品、エディション、エディション、エディション条件、バージョン、バージョン条件などの属性に基づいています。ライフサイクル情報は、製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle] テーブルとカスタム製品ライフサイクル [sam_custom_sw_product_lifecycle] テーブルで管理されます。

詳細な製品ライフサイクルレポートをソフトウェア資産分析ダッシュボードで表示し、ソフトウェアインストールにドリルダウンできます。また、製品ライフサイクルを手動で作成し、[ソフトウェアモデル] フォームレイアウトの [ソフトウェア製品ライフサイクル] 関連リスト でソフトウェアモデルに関連付けられた製品ライフサイクルを表示することもできます。

注: 重複する製品ライフサイクルを作成できますが、異なるドメインにあります。

[**Show Product Lifecycles for all Versions**] 関連リンクをクリックすると、ソフトウェアモデルフォームレイアウトで製品のすべてのバージョンのライフサイクルを表示できます。

SAP 公開者パックをインストールした場合は、 のレコードパブリッシャー詳細 SAP.

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. [新規] を選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フォームで、ソフトウェア公開者 の詳細を入力します 。
4. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. ソフトウェア公開者がスイートの一部であるかどうかを指定します。
   - ソフトウェアモデルをスイート (親) として指定するには、[スイート (親)] 関連リスト を選択し、スイートに含まれるすべてのソフトウェアを追加します。
   - ソフトウェアモデルをスイートコンポーネントとして指定するには、[スイートコンポーネント] 関連リスト を選択し、親スイートを追加します。

   注: 製品の詳細にディスカバリーマップを追加した場合は、事前定義されたスイートが使用され、既知のスイートの親に対してスイートコンポーネントが自動的に作成されます。

6. ソフトウェアモデルに関連付けられているソフトウェアのセルフサービス機能を有効にするには、ソフトウェアモデルをサービスカタログに公開します。

   a. [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを選択します。
   [*<software-model>* をソフトウェアカタログに公開 (Publish software-model to Software Catalog] ダイアログボックスが開きます。

   b. ダイアログ ボックスで、[カテゴリ] フィールドを [ソフトウェア] に設定します。

   c. **[OK]** を選択します。

7. ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品フィールドが一致するディスカバリーマップを表示するには、[**Show Matching Discovery Models**] 関連リンクを選択します。
8. ソフトウェアモデルに関連付けられているすべての製品ライフサイクルを表示するには、 ソフトウェア製品ライフサイクルを選択します。
   新規 を選択して、カスタム製品ライフサイクルを作成します。
9. 属性値を設定するには、[評価指標属性] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。
   属性値を追加すると、この公開者情報が関連付けられたエンタイトルメントの [メトリクスグループ] フィールドが自動的に入力されます。測定基準グループに基づいて、公開者に関連するライセンス測定基準のみを使用できます。
10. ソフトウェアモデルをベンダーに関連付けるには、[ベンダーカタログアイテム] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。
11. ソフトウェアにアクセスするデバイスまたはユーザーの数を指定するには、[クライアントアクセス] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。
12. ソフトウェアのダウングレード権の新しいレコードを作成するには、[ダウングレード権] 関連リスト を選択し、フォームに入力します。

    注: ソフトウェアモデルに関連付けられた検出マップがあり、検出マップにダウングレード権限がある場合、ダウングレード権限は自動的に入力されます。ダウングレードされたバージョンのソフトウェアは、階層リストに表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

13. [更新] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス
- ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント
- ソフトウェアモデル フィールド

ソフトウェア資産管理 クラシックでの製品ライフサイクルの平均を作成する

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションのソフトウェア提供終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) ライフサイクルを計算するための平均を作成します。

始める前に

必要なロール：model_manager

このタスクについて

すべての製品とパブリッシャーに対してグローバルに使用できる平均を作成することも、製品またはパブリッシャーに固有の平均を作成することもできます。これらの平均値は、製品の計算済みライフサイクルを作成するために使用されます。計算されたライフサイクルの詳細については、「提供終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクル」を参照してください。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > ソフトウェアライフサイクル平均.
2. 新規 を選択して、ソフトウェア ライフサイクル平均 ページを開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ	ライフサイクルを作成するために選択するオプションのタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ カスタム業界平均:GA 日に基づく業界平均を参照します。 ◦ 製品:特定の製品を指します。これにはカスタム製品も含まれます。 ◦ 公開者: 特定の公開者を指します。これには、カスタム発行者も含まれます。
Display name (表示名)	このライフサイクル平均レコードの一意の名前。
製品	このフィールドは、[タイプ] フィールドで値 [製品] を選択した場合にのみ表示されます
パブリッシャー	製品を選択すると、このフィールドは自動的に入力されます。[タイプ] フィールドで値 [公開者] を選択した場合は、公開者を選択します。
ドメイン	インスタンスが配置されているドメインを示します。
平均提供終了期間 (月)	EOL ライフサイクルの月数を指定します。
平均サポート終了期間 (月)	EOS ライフサイクルの月数を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	ライフサイクル平均レコードがソフトウェアライフサイクルの作成に使用されることを示します。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   レコードが作成され、[ソフトウェアライフサイクル平均] リストビューに表示されます。

ソフトウェア資産ワークスペース の使用

ソフトウェア資産管理 アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペース を使用して、ソフトウェアライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

ソフトウェア資産ワークスペース 横向き

ソフトウェア資産ワークスペースは、複数のビューを持つ統合メディアです。これらのビューでは、エンタイトルメントやソフトウェアモデルの作成、調整結果の実行と確認、コンプライアンス違反の修正、ソフトウェア資産の可視化、ダッシュボードを介したアナリティクスへのアクセスの提供を行うことができます。

この ソフトウェア資産ワークスペース には、次のビューが含まれています。

- ソフトウェア資産の概要: ソフトウェア資産ワークスペースのランディングページ。エンタイトルメントを作成し、調整を実行し、主要なメトリクスを表示し、ソフトウェア資産に関する時間制限付きアラートと通知を取得できます。
- ライセンス使用状況:すべての公開者のコンプライアンスステータスの表示、調整結果の確認、未使用のソフトウェアの再利用、レポートの表示と実行を行うことができます。
- ライセンス操作:すべてのエンタイトルメント、ソフトウェアモデル、インポートエンタイトルメントエラー、ディスカバリーモデルを一覧表示します。
- ソフトウェア資産アナリティクス: SaaS、検出されたインベントリ、最適化、ライフサイクル管理、クラウドコストシミュレーター、エンジニアリングライセンス、正規化とコンテンツの統合ダッシュボードを表示します。
- の成功ポータルビュー ソフトウェア資産ワークスペース:環境内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションのパフォーマンスを評価します。
- 更新カレンダー:有効期限が近づいているエンタイトルメントと、有効期限が近づいている、またはすでに期限切れになっている契約を表示します。
- 重複する使用状況: SaaS アプリケーションと SSO アプリケーションの機能レベルの使用状況を表示します。
- コンテンツルックアップ: ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

ソフトウェア資産の概要

最新の分かりやすいソフトウェア資産概要ビューを使用して、 ソフトウェア資産管理エクスペリエンスを向上させます。ソフトウェア資産の概要は簡素化されて直感的に使用できる環境で、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用するために役立ちます。

ソフトウェア資産の概要ビューを使用して、次の操作を行います。

- コンプライアンスの傾向、調整コスト、節減見込み、正規化レートなどの重要な測定基準に関するインサイトを得ます。
- 調整の実行やエンタイトルメントの作成などのルーチンタスクの実行

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

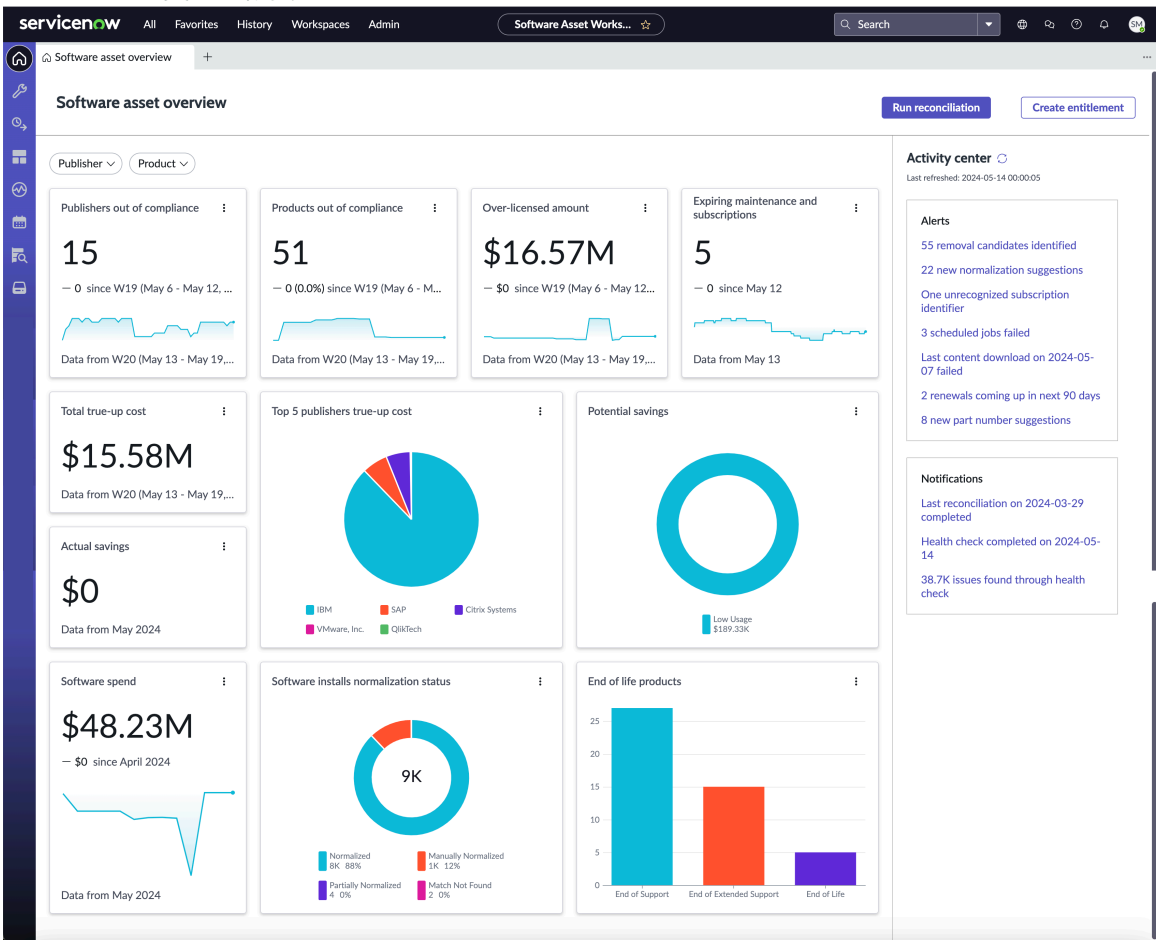
- ガイド付きセットアップ を使用して ServiceNow インスタンスで Microsoft SQL Server と Microsoft Windows Server を構成します。詳細については、「ソフトウェア資産管理 プレイブックとガイド付きセットアップ」を参照してください。
- アラートと通知を使用して、ソフトウェア資産に関するアクション可能なインサイトを取得します。
- 製品またはパブリッシャーでソートして、結果を絞り込みます。
- [公開済み] ステータスでフィルタリングして、 ソフトウェア資産管理 のフェーズごとの実装で管理しているソフトウェア製品に関連するレポートとダッシュボードのみを表示します。

注: 公開ステータスフィルターは、システムプロパティ com.snc.samp.manage.published.products が ServiceNow インスタンスで有効になっている場合にのみ表示されます。デフォルトでは、このフィルターは [公開済み] に設定されており、次のレポートには公開済みの製品の詳細が表示されます。

- コンプライアンス違反公開者
- コンプライアンス違反製品
- ライセンス供与過剰金額
- 総調整コスト
- 上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト
- ソフトウェア支出

ただし、このフィルターを [未公開] に設定することで、公開されていない製品に関連するレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開済みステータス] フィルターをクリアします。

ソフトウェア資産の概要ビュー



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

任意のウィジェットを選択して詳細情報を表示します。ウィジェットはすべて、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

結果を絞り込むために、パブリッシャーまたは製品でワークスペースをフィルタリングできます。

注: フィルターで複数の公開者を選択してから [コンプライアンス違反公開者] ウィジェットを選択すると、準拠していないすべての公開者がリストされます。製品についても同様です。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード

レポート	ソース	説明
コンプライアンス違反公開者	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択すると、[ライセンス使用状況] ビューに結果が表示されます。
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、[ライセンス使用状況] ビューに結果が表示されます。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果 [samp_product_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
期限切れ間近のメンテナンスとサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA • 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントに関する詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		注: メンテナンスおよび SA エンタイトルメントは、関連付けられている無期限エンタイトルメントが表示されるため表示されません。
総調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャーによる権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
上位 5 件のパブリッシャーの調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	上位 5 社のパブリッシャーを調整コスト順に円グラフで示します。
節減見込み	製品の結果 [samp_product_result]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ドーナツグラフにカーソルを合わせると、特定の理由の削除候補の数がコストとともに表示されます。削除候補は理由別にグループ化されます。ドーナツグラフの正当な理由を選択すると、その特定の理由を持つ削除候補のリストに移動します。
実際の削減	再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの合計コスト。
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。 ドーナツグラフで正規化ステータスを選択すると、ディスカバリーモデルのリストと各ディスカバリーモデルのインストール数が表示されます。さらに検出モデルを選択すると、ソフトウェアインストールのリストを表示できます。 このウィジェットのレポートは、次の日次スケジュール済みジョブが実行された後にのみ入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産の概要ダッシュボード (続く)

レポート	ソース	説明
		• SAM - コンテンツライブラリルールを使用してディスカバリーモデルを正規化 • SAM:日次ジョブ 注: このウィジェットに適用できるのは [製品] フィルターのみです。
提供終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終了が近いソフトウェア製品のライフサイクルのグラフ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

アクティビティセンター

ソフトウェア資産に関するアラートと通知を受け取ります。これらのアラートと通知は、本質的に非同期です。アクティビティセンターには、すぐに注意を払う必要のあるアクションを通知する事前定義された一連のアラートが表示されます。注意が必要なイベントまたはアクティビティに関する通知もアクティビティセンターに表示されます。アラートまたは通知を選択すると、詳細が表示されます。

sam_user ロールを持つすべてのユーザーは、sam_admin ロールを必要とする次のアラートを除き、すべてのアラートと通知にアクセスできます。

- スケジュール済みジョブが失敗しました。
- 前回のコンテンツダウンロードが失敗しました。

アクティビティセンターのアラート

アラート	ソース	説明
削除候補を特定	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	アクティブステータスが true で、ステータスが ready である新しい削除候補。 [ライセンス使用状況] ビューに削除候補のリスト全体を表示する場合に選択します。
新しい正規化の提案	正規化の提案 [samp_normalization_suggestions]	ステータスが new の場合に作成された正規化提案レコード。 新しい正規化提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
認識されないサブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_id]	ソフトウェアモデル列が空の場合に、認識されないサブスクリプションの数が識別されます。
新規ソフトウェア要求	要求 [sc_request]	要求ステータスが承認待ちのソフトウェア要求。 クラシック ソフトウェア資産管理インターフェイスでソフトウェア要求リストを表示する場合に選択します。
前回の調整失敗 (Last reconciliation failure)	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のスケジュール済みジョブが失敗しました。 [ライセンス使用状況] ビューに結果を表示する場合に選択します。 注: 調整プロセスのステータスに応じて、前回の調整失敗 (アラート) または前回の調整完了 (通知) が表示されます。調整プロセスが失敗した場合は、アラートが表示されます。調整プロセスが成功した場合、通知が表示されます。
スケジュール済みジョブが失敗しました	ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log]	過去 1 週間以内の前回の実行で失敗したスケジュール済みジョブ。 ソフトウェア資産ジョブのログを新しいタブで開く場合に選択します。 注: sam_admin ロールを持つユーザーのみが、ソフトウェア資産ジョブの結果テーブルにアクセスできます。
エンタイトルメントのインポートエラー	エンタイトルメントのインポートエラー [samp_entitlement_import]	エラーステータス列の値がオープンになっているエンタイトルメントのインポートエラー。
前回のコンテンツダウンロードが失敗しました	資産のジョブ履歴 [asset_job_log]	コンテンツダウンロードの最新のスケジュール済みジョブが失敗しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターのアラート (続く)

アラート	ソース	説明
		注: sam_admin ロールを持つユーザーのみが、資産ジョブログテーブルにアクセスできます。
失敗： <<.xlsx>> のエンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	成功または失敗に基づくエンタイトルメントのインポートステータス。失敗ステータスがアラートとして表示されます。あるいは、完了ステータスのいずれかが次の通知として表示されます。 • 完了：エンタイトルメントのインポート • エラーで完了：エンタイトルメントのインポート
新しい CPE 正規化の提案	CPE 正規化の提案 [sn_samp_vr_cpe_mapping_suggestion]	ステータスが new の場合に作成された CPE 正規化提案レコード。 新しい CPE 正規化提案レコードを詳細に表示する場合に選択します。
90 日以内に予定されている更新の数	• 契約 [ast_contract] • ソフトウェア ライセンス [alm_license]	90 日以内に予定されているソフトウェア契約とエンタイトルメントの更新数。 アラートを選択すると、現在の日付から 90 日以内に予定されている更新が表示されます。

アクティビティセンターの通知

Notifications	ソース	説明
先週特定された新しい SSO アプリケーション	SSO アプリケーション [samp_sso_application]	Single Sign-on (SSO) ステータスが「切断」で、現在の日付から過去 1 週間以内に作成された新しい SSO アプリケーション。
前回の調整が完了しました	調整結果 [samp_reconciliation_result]	調整プロセスの最新のスケジュール済みジョブが正常に完了しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティセンターの通知 (続く)

Notifications	ソース	説明
		[ライセンス使用状況] ビューに結果を表示する場合に選択します。
提供終了間近の製品	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	ライフサイクルの終了が近く、インストール数が 0 より大きい製品。
ライブラリに新しい PPN が追加されました	ソフトウェア製品定義 [samp_sw_product_definition]	新しい PPN が、現在の日付と比較して最新のコンテンツバージョンで、コンテンツサービスライブラリーに追加された。
ソフトウェア資産デマンドが承認されました	ソフトウェア資産デマンド [samp_demand]	ソフトウェア資産デマンドを承認されたものでフィルタリングしたリストビュー。
完了：エンタイトルメントのインポート または エラーで完了：エンタイトルメントのインポート	エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import]	エンタイトルメントのインポートが正常に完了したか、エラーが発生して完了しました。 注: エンタイトルメントのインポートに失敗した場合は、アラートとして表示されます。

[ライセンス使用状況] ビュー

ライセンス使用状況ビューを単一のプレーンとして使用して、すべてのソフトウェア製品のライセンス位置の把握、不適合の修正、調整結果の表示、削除候補の表示または追加、 ソフトウェア資産管理 関連レポートの表示を行います。

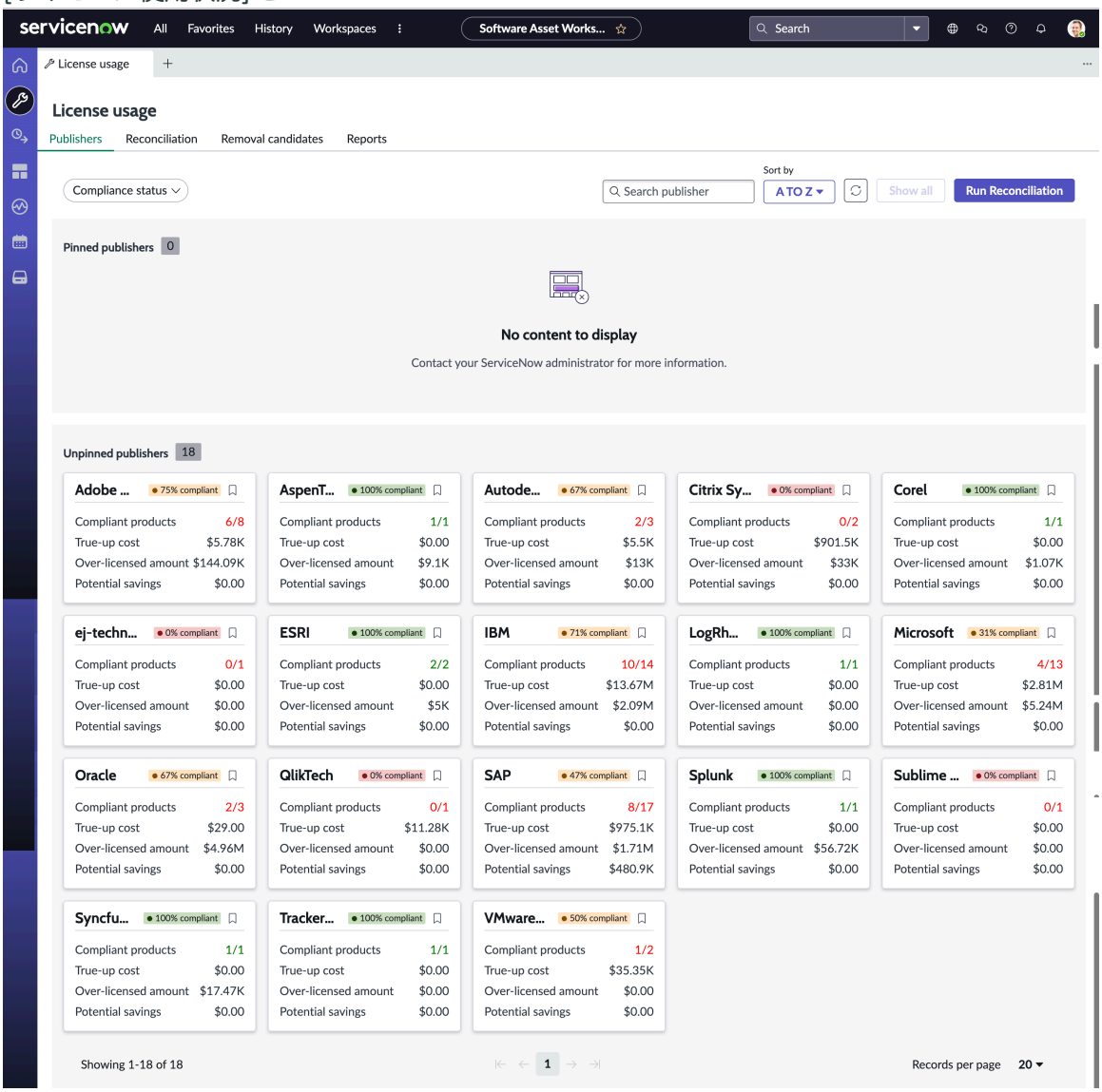
ライセンス使用状況ビューを使用すると、組織のライセンス使用傾向を表示でき、購入したライセンス数に対して必要なライセンス数の傾向を分析できるため、組織のニーズを予測できます。ソフトウェアの消費が所有する権限の数を超える前に追加の権限を購入して、ライセンスポジションを管理します。

[ライセンス使用状況] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンス使用状況] ビュー



ライセンス使用状況ビューを使用して、次の操作を行います。

- 公開者を固定 (ユーザー固有、保存済み)。
- ライセンス供与過剰金額や調整コストなど、パブリッシャーの主要なメトリクスを表示します。
- ドメインとコンプライアンスステータスによるフィルタリング
- 調整コスト、ライセンス供与過剰金額、および節減見込みでソートします。
- 調整を実行し、結果を表示します。
- 前回の調整実行についての通知
- 新しい削除候補を表示および追加します。
- レポートの表示とエクスポート
- ソフトウェア資産管理 のフェーズごとの実装の一環として公開したソフトウェア製品に固有の公開者カードを表示します。詳細については、「特定のソフトウェア製品セットを公開する」を参照してください。

> **注:** 公開ステータスのフィルターが自動的に適用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[パブリッシャー] タブ

すべてのパブリッシャーのコンプライアンスステータスを表示します。各パブリッシャーカードには、色分けされたコンプライアンスステータスとコンプライアンスの割合が表示されます。製品が準拠すると、色が緑色に変わります。

- 準拠:緑色で示されます。公開者のすべての製品は準拠しています。
- 非準拠:赤色で示されます。パブリッシャーのすべての製品が準拠しているわけではありません。

パブリッシャーカードの  は、そのパブリッシャーの調整が失敗したことを示します。カードを開いて詳細を確認します。どの製品が故障したかの詳細については、パブリッシャーの詳細ページのナビゲーションツリーを参照してください。

注: パブリッシャーカードに赤色のアイコンが表示されていても、製品の結果が生成される前にエラーが発生している可能性があるため、ナビゲーションツリーでは失敗した製品に気付かない場合があります。

固定された公開者が表示され、その後に固定されていない公開者が表示されます。選択したパブリッシャーのコンプライアンスを表示するために、簡単にアクセスできるようにパブリッシャーを固定できます。カードのブックマークアイコンを選択して固定します。パブリッシャーカードをピン留めするとすぐに、[Unpinned publishers] セクションから [Pinned publishers] セクションに移動します。

注: 固定された公開者の一覧は、ユーザーごとに保存されます。固定された公開者は、固定されたユーザー公開者 [samp_pinned_user_publisher] テーブルに格納されます。

公開済みステータスフィルターを使用して、 ソフトウェア資産管理 のフェーズごとの実装で管理するソフトウェア製品に関連する公開者カードを表示します。公開ステータスでフィルタリングすると、[ライセンス使用状況] ビューの煩雑さを軽減できます。

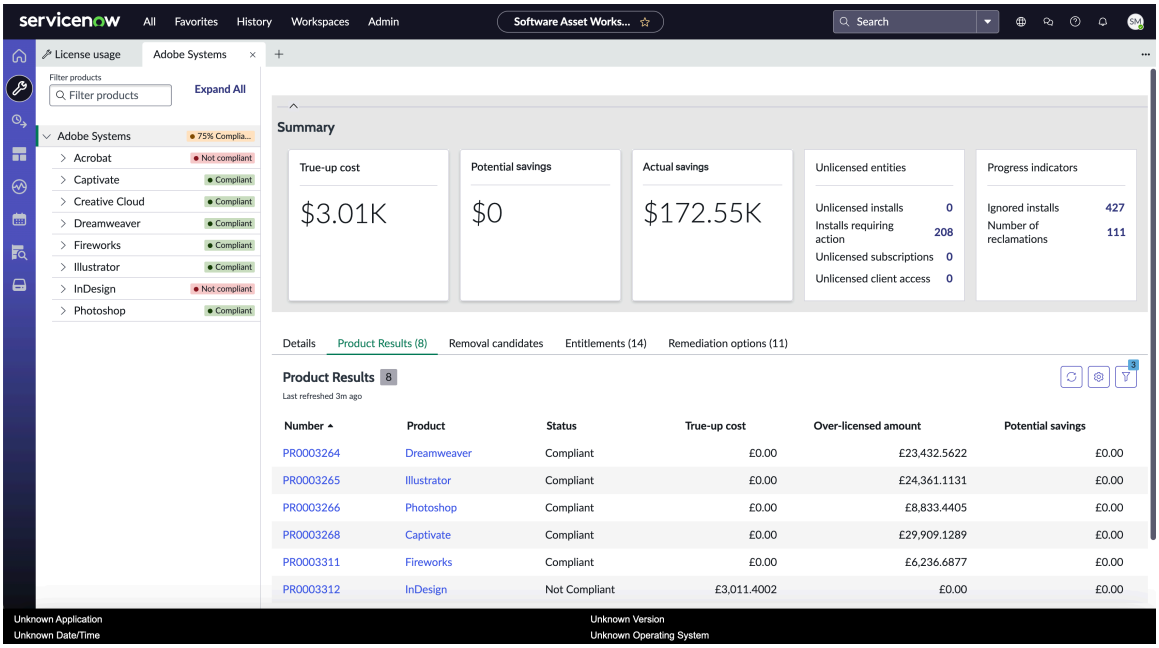
注: [公開済みステータス] フィルターは、ServiceNowインスタンスでシステムプロパティ *com.snc.samp.manage.published.products*が有効になっている場合に表示されます。デフォルトでは、このフィルターは [公開済み] に設定されており、すべてのパブリッシャーカードに公開済みの製品の詳細が表示されます。ただし、このフィルターを [未公開] に設定することで、公開されていない製品に関連するライセンスコンプライアンスレポートを表示することもできます。すべての製品に関連するレポートを表示するには、[公開済みステータス] フィルターをクリアします。

パブリッシャーに関するコンプライアンスの詳細を表示するには、パブリッシャーカードを選択します。そのパブリッシャーのコンプライアンスの概要が [パブリッシャーの詳細] ページに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーの詳細ページ



公開者のナビゲーション ツリーは、次のいずれかの準拠ステータスで [公開者の詳細] ページに表示されます。

- 準拠:調整が正常に完了し、インストールとサブスクリプションが準拠していると判断されました。
- 非準拠:調整が正常に完了し、インストールとサブスクリプションが購入したライセンスに準拠していないと判断されました。
- 失敗:調整エラーが発生したため、コンプライアンスを正しく判断できません。製品に障害が発生すると、ソフトウェアモデルの結果など、その製品の基盤となるすべての障害も発生します。

ナビゲーションビューには、公開された製品のライセンスコンプライアンスの詳細が表示されます。パブリッシャーのメトリクスの表に記載されているレポートまで下にスクロールして、公開された製品の詳細を表示します。他の未公開製品の詳細とコンプライアンス結果を表示する場合は、[公開済みステータス] フィルターを [未公開] に設定する必要があります。

ナビゲーション ビューでは、ライセンスを使用していないソフトウェア モデルの横に非消費アイコンが表示されます。このようなソフトウェア モデルは常にツリーの一番下に配置され、そのソフトウェア モデルのソフトウェア モデル結果は表示されません。

メトリクスの簡単なサマリーが、その公開者に関連する関連リストとともに表示されます。メトリクスの詳細については、パブリッシャーのメトリクスの表を参照してください。関連リストの詳細については、「 ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ナビゲーションツリーでは、次のアクションを実行できます。

- 製品、ソフトウェアモデル、またはライセンス測定基準にドリルダウンして、最新の調整結果からの計算およびコンプライアンス情報を表示します。
- 製品のフィルタリング (折りたたまれたアイテムを含むアクティブなフィルタリング)。
- ツリーリンクの展開と折りたたみ。

デフォルトでは、ナビゲーションツリーは折りたたまれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーのメトリクス

レポート	ソース	説明
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	必要な最小権限数 (必要な権限にエンタイトルメントによる権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスのないインストールを修復するための推定コスト。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
見込み節減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補から得られるすべての節減見込みの合計。 レポートを選択すると、削除候補のリストが表示されます。
実際の削減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に達成された合計節減額。 レポートを選択すると、削除候補のリストが表示されます。
ライセンスのないエンティティ	ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] Oracle オプション [samp_oracle_options]。 SAP ユーザー [samp_sap_system_user] SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access] エンティティにライセンスがない理由 [samp_entity_unlicensed_reason]	この公開者、製品、およびソフトウェアモデルのライセンスのないエンティティを示します。インジケーターの一部を次に示します。 • ライセンスなしのインストール:一部のエンタイトルメントを購入したが、所有している権限が権限を必要とするすべてのエンティティをカバーするのに十分ではないインストールを指します。 • アクションが必要なインストール:CI、エンタイトルメント、ソフトウェアモデルのセットアップに関する問題など、インストールの問題を修正するために実行する必要があるアクションを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パブリッシャーのメトリクス (続く)

レポート	ソース	説明
		注: インストールには複数の問題がある場合があります。インストールの問題を完全に解決するには、各問題に対処する必要があります。そのため、進捗インジケーターに表示される数字とドリルダウン時の詳細が一致しないことがあります。インストールのすべての問題が修正されていることを確認してください。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスのないサブスクリプション。 • ライセンスのないクライアントアクセス:CAL レコードをカバーするのに十分なエンタイトルメント権限がないために、ライセンスのない CAL レコードを指します。 各カテゴリの横にある番号を選択すると、ライセンスなしステータスの理由や原因など、各インストールの詳細な説明が表示されます。
進捗状況インジケーター	ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] 要求アイテム [sc_req_item] 削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	この公開者、製品、およびソフトウェアモデルに対して既に行われたコンプライアンスの進捗状況を示します。進行状況インジケーターはパブリッシャーごとに異なります。インジケーターの一部を次に示します。 • 無視されたインストール:調整プロセスから無視されたインストール。 • 削除候補:作成された削除候補の数。 各カテゴリの横にある番号を選択すると、各インストールの詳細な説明が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[調整] タブ

このタブには、すべての調整履歴の結果が次のステータスとともに表示されます。

- 完了:すべての製品とパブリッシャーが調整を正常に完了した場合。
- 失敗:すべての製品とパブリッシャーが調整に失敗した場合。
- 一部完了:一部の製品またはパブリッシャーのみが調整を正常に完了した場合。

最新の調整実行の結果が [ライセンス使用状況] ビューに表示されます。詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

[削除候補] タブ

このタブには、すべての削除候補のリストが表示されます。削除候補は、使用されていないソフトウェアインストールを再利用するために使用されます。

削除候補を作成することもできます。詳細については、「ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する」を参照してください。

[レポート] タブ

このタブからレポートを作成、表示、および実行できます。このタブでは、次のすべての基本システムレポートを使用できます。

- ソフトウェア製品ライフサイクル
- ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション
- Azure BYOL 節減実績レポート
- ディスカバリーマップが非アクティブ化されたソフトウェアモデル
- Oracle 契約ごとの DB サーバーの展開レポート
- Oracle インフラストラクチャレポート
- Microsoft Windows および SQL Server インフラストラクチャの詳細レポート
- SaaS 検出レポート

レポートを作成および管理するには、「 ワークスペースでのレポートの作成と管理」を参照してください。

ワークスペースでソフトウェア調整を実行

調整はスケジュール設定済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてソフトウェア資産ワークスペース環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に

調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

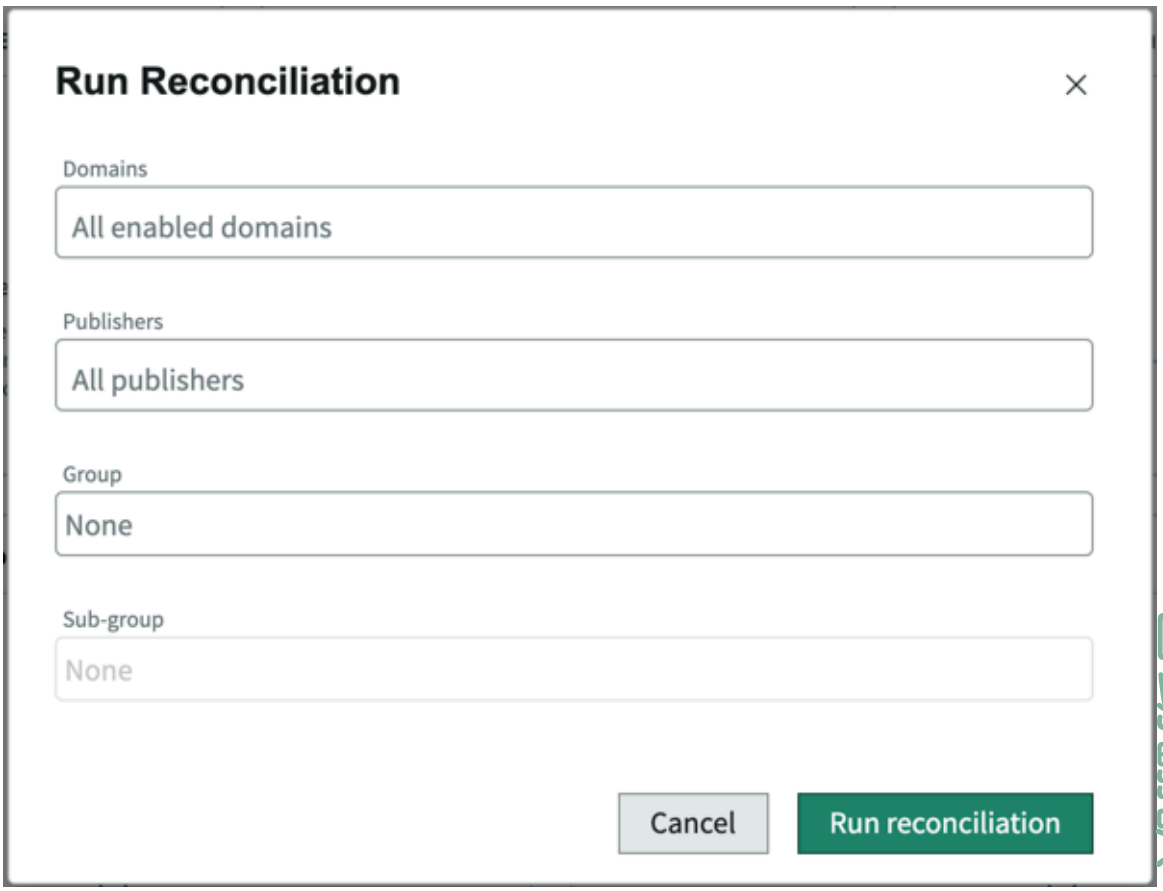
必要なロール：sam_user または sam_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次の 2 つの方法のいずれかを使用して、[調整の実行] ダイアログボックスに移動します。
   - **Software Asset Workspace** > **Software asset overview** > 調整の実行
   - **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況 > 調整の実行



自動翻訳

注: インスタンスでドメインセパレーションが有効になっている場合は、[照合の実行] ダイアログボックスに [ドメインフィルター] ドロップダウンが表示されます。

2. コンプライアンスを計算する特定の公開者を選択します。
   すべての公開者を選択することもできます。
3. 結果をさらに絞り込むには、グループまたはサブグループを選択します。
   グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
4. [**Run Reconciliation]** を選択します。
   調整プロセスが完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が [調整] タブに表示されます。

調整結果

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ステータス	調整のステータス。 ◦ 完了 ◦ 処理中 ◦ 失敗
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (**None**)、国 (**Country**)、部門 (**Department**)、会社 (**Company**)、地域 (**Region**)、およびコストセンター (**Cost Center**) があります。
進行状況	調整実行の完了率と進行状況バー。
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 **注:** このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。
更新日時	特定の調整プロセスが完了した日時。

自動翻訳

ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから自動的に作成されるか、手動で作成できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

ソフトウェア再利用は、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化するために、 Workflow および クライアントソフトウェアディストリビューション と統合されています。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。次の手順は、削除候補を手動で作成するためのものです。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
2. [ライセンス使用状況] を選択します。
3. [**Removal candidates**] タブを選択します。
4. [新規] を選択して、[新しい削除候補の作成] ページを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[削除候補] フォーム

フィールド	説明
番号	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補への対応を許可されているソフトウェアマネージャーグループに自動的に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	このタスクの遂行に対して主に責任を負う人物。
名前	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。 **注:** 一括再利用機能を使用している場合、名前を生成するには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。ソフトウェアインストールが選択されていない場合、名前は生成されず、[名前] フィールドは空になります。ソフトウェアインストールを追加した後でそれらすべてを削除することにした場合、[名前] フィールドは空に戻ります。
説明	タスクが存在する理由と 承認を受け取った場合にユーザーが行う必要がある の説明。
状況	削除候補の現在のステータス。 ◦ 要確認 ◦ 準備完了 ◦ ユーザー待ち ◦ 承認待ち ◦ 失効待ち ◦ 完了してクローズ ◦ スキップしてクローズ ◦ キャンセルしてクローズ
オープン	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
Justification (理由)	削除候補になる理由。 ◦ 使用率が低い (デフォルト) ◦ 未割り当て ◦ ライセンスなし ◦ 制限付きソフトウェア
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ インストール済みソフトウェア ◦ サブスクリプションソフトウェア ◦ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアのインストール	再利用されるソフトウェアインストール。
エンジニアリングアプリライセンス 注: [エンジニアリングアプリライセンス] が [適用先] リストで選択されている場合にのみ表示されます。	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。
ユーザー	ソフトウェアのインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアがアンインストールされているという通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、これは必須フィールドになります。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 6 で説明したサブステップを参照してください。
構成アイテム	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。
再利用する権限 注: [エンジニアリングアプリライセンス] が [適用先] リストで選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権利がインストールされていて、40 個の権利のみを再利用したいとします。
見込み節減	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の推定削減コスト (未使用の権利 x エンタイトルメントからの権利あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに通知しソフトウェアを削除する許可を電子メールで要求する チェック ボックス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Configuration item (構成アイテム)	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

6. [保存] を選択します。
削除候補レコードが作成されます。[一括再利用] チェックボックスをオンにすると、削除候補のステータスが [要確認] に変わります。次のステップに進む前に、次のサブステップを実行してソフトウェアインストールを追加します。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

   a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [新規] を選択します。

   b. ソフトウェアインストールを選択し、[保存]を選択します。
   追加したソフトウェアインストールが [ソフトウェアインストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要確認] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。ソフトウェアのインストールをさらに追加するには、引き続き [新規] を選択します。すべてのソフトウェア インストールを削除することにした場合、状態は [要確認] に戻り、[名前] フィールドに名前が表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。

7. [再利用] を選択します。

   ソフトウェアインストールが再利用され、システムから削除されると、[ソフトウェアインストール] 列は空になります。[ソフトウェアインストール] 関連リストの次のフィールドを参照して、再利用されたソフトウェアインストールの履歴に関するインサイトを得ることができます。

   - 表示名
   - 製品
   - パブリッシャー
   - ソフトウェアモデル

   フォーム上の任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

   アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。
スキップ項目をクローズ	権限を回収せずに削除候補をクローズします。
削除	削除候補を削除します。

ワークスペースでのレポートの作成と管理

ソフトウェア資産ワークスペースでレポートタイルを作成および管理します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

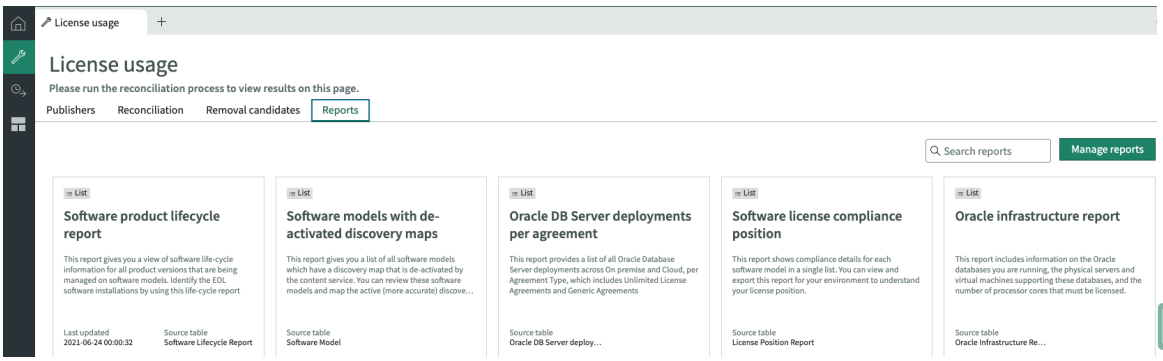
自動翻訳

始める前に
必要なロール:sam_admin または admin

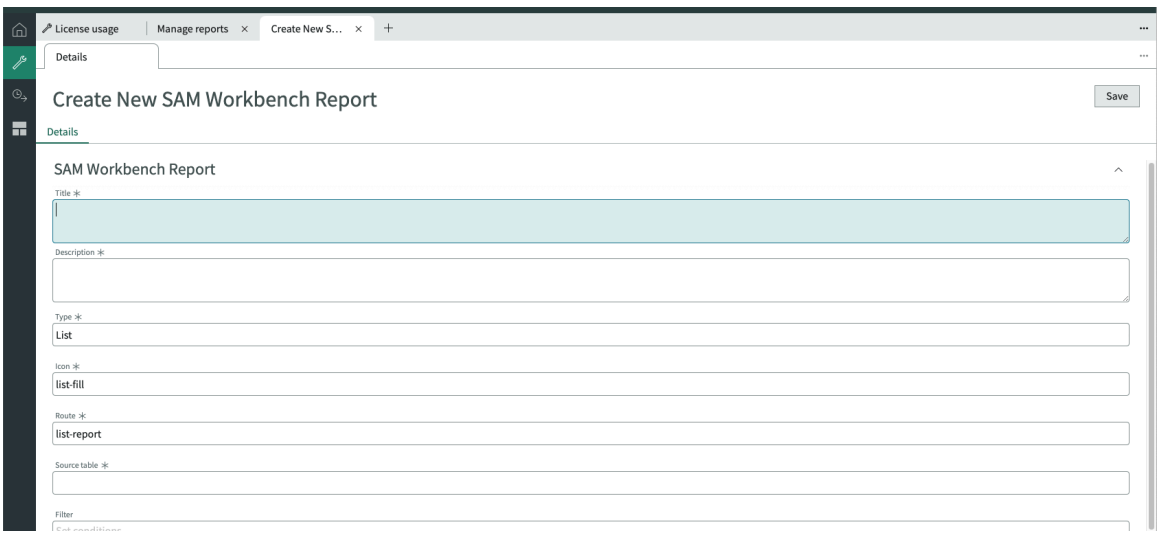
このタスクについて
すべてのベースシステムの ソフトウェア資産管理 レポートとカスタム作成されたレポートは、SAM ワークベンチレポート [samp_workbench_report] テーブルに保存されます。デフォルトではリストレポートがサポートされています。他のタイプのレポートを作成するには、必要なデータを可視化した UIB ページをソフトウェア資産ワークスペースに作成する必要があります。*reportSysId* というパラメーターを UIB ページに渡す必要があります。UIB ページのルートは、ビルド後にレポートタイル作成フォームで利用できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.
2. [ライセンス使用状況] ビューで、[レポート] タブを選択します。



3. [レポートの管理] を選択します。
4. レポート リスト ビュー ページで、 新規 を選択します。
   [新規 SAM ワークベンチレポートの作成(Create New SAM Workbench Report)] ページが表示されます。



5. ページに詳細を入力します。

フィールド	説明
タイトル	レポート タイルのタイトル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Description (説明)	レポートタイルの簡単な説明。
タイプ	レポートのタイプ。たとえば、リスト、棒、円グラフなどです。デフォルト値は [リスト] です。
アイコン	Now Design System アイコンライブラリーからの一意のアイコン識別子。たとえば、chart-bar-group-fill、chart-pie-fill などです。デフォルト値は list-fill です。
ルーティング	これは、クリックされたときにレポートがたどるパスです。これにより、指定したフィルター条件を持つソーステーブルのリストビューが表示されます。これは、ページが *reportSysId* パラメーターを受け入れる場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーション内の他のページにルーティングできます。デフォルト値は list-report です。
ソーステーブル	レポートの基になるテーブル。
フィルター (条件を設定)	リスト レポートで使用するフィルター。

6. [保存] を選択します。
   新しいレポートタイルが [レポート] タブに表示されます。新しいレポートタイルを表示するには、[レポート] タブを再ロードする必要があります。

クラスターセットアップを 360 度で表示する

クラスターセットアップを 360 度見渡せて、クラスター全体のライセンス消費を管理します。

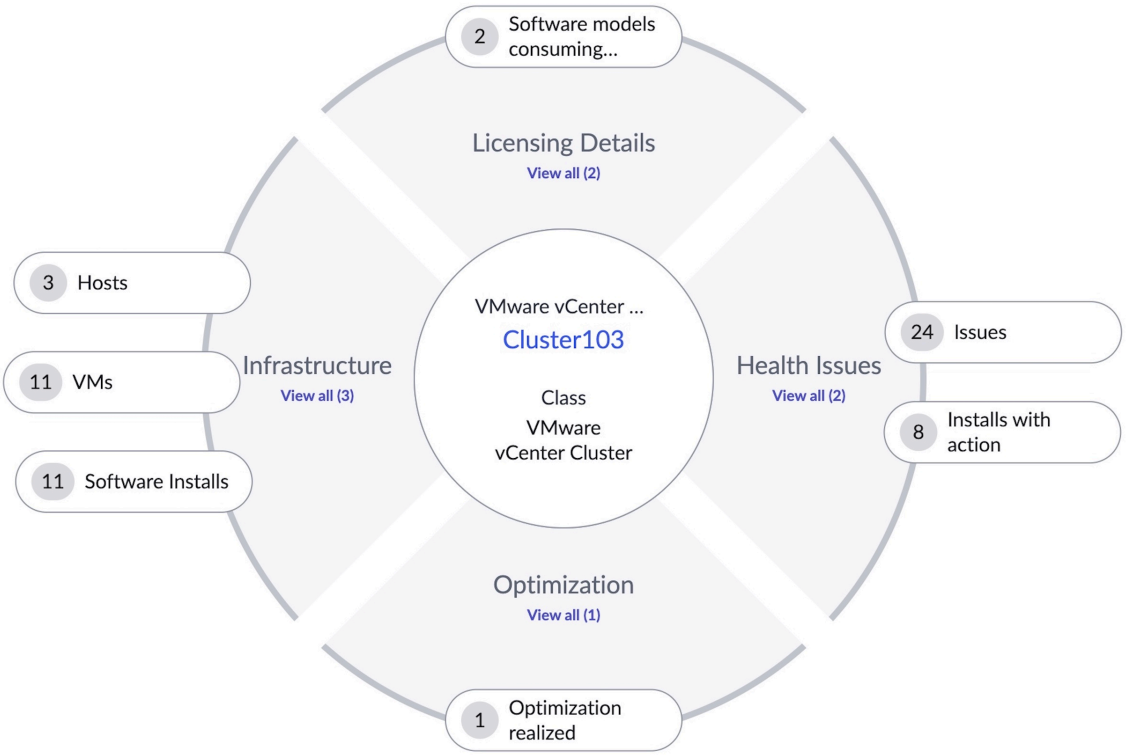
始める前に

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.
2. パブリッシャーカードを選択して、パブリッシャーの詳細ページを開きます。
3. [Publisher details] ページで、左側のナビゲーションツリーからソフトウェアモデルを選択します。
4. [ライセンスメトリクスの結果] タブで、[必要なライセンス] 列の値を選択します。
5. [ライセンスの要求元(Licenses Required By)] ページで、[クラスタ**(Cluster**)] 列からクラスタを選択します。
   クラスターレコードページが開きます。
6. **[SAM** クラスター **360°**] を選択します。
   クラスタ設定が表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



7. クラスターに関する次の詳細を表示します。

- インフラストラクチャ:クラスター内のホスト、仮想マシン (VM)、ホスト親和性ルール、ソフトウェアインストールなどのエンティティを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。たとえば、すべてのソフトウェアインストールを表示するには、[ソフトウェアのインストール] を選択します。ソフトウェアインストールは、正規化された公開者、正規化された製品、またはソフトウェアモデルの結果によってグループ化できます。また、リストから SQL Server などの任意のソフトウェア インストールを選択して、そのクラスタ内のすべての SQL Server ソフトウェア インストールを表示することもできます。さらに、 **VM** を選択して、クラスター内で VM が移動できるすべてのホストの潜在的なリストを表示できます。
- ライセンスの詳細:クラスター上のライセンスを消費しているソフトウェアモデル、割り当て、デバイスライセンス消費分析、および無視されたインストールを表示します。エンティティを選択すると、完全なリストが表示されます。
- 健全性の問題:クラスター内の製品全体の健全性に関するすべての問題を表示します。さらに、調整を検討するために注意が必要なインストールを表示します。
- 最適化: Microsoft コア ライセンス最適化レポートを使用して、 Microsoft のコスト削減最適化の推奨事項を表示します。ServiceNowによって実行されたライセンスの最適化を表示し、それがコスト削減につながるかどうかを判断します。さらに、さらなる節約のための推奨事項を表示します。Microsoft最適化の詳細については、「のコストベースのライセンスの最適化 Microsoft」を参照してください。

360 度ビューでは、エンティティの上部ビューから最下位レベルまでドリルダウンして、クラスター全体のライセンス構成と修復アクションをよりよく理解できます。たとえば、ドリルダウンするソフトウェアモデルを選択して、その評価指標属性を表示したり、ライセンスコストを上書きしたり、ダウングレード権限、ソフトウェアエンタイトルメント、ソフトウェアモデルの結果を表示したりできます。ソフトウェアモデルの結果など、これらのエンティティをさらに選択して、最小分母にすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースでのライセンス計算の表示

ソフトウェア資産ワークスペースのライセンス使用状況ビューから必要なすべてのライセンスの詳細を表示して、ソフトウェアアプリケーションのライセンスコンプライアンスを評価します。

始める前に

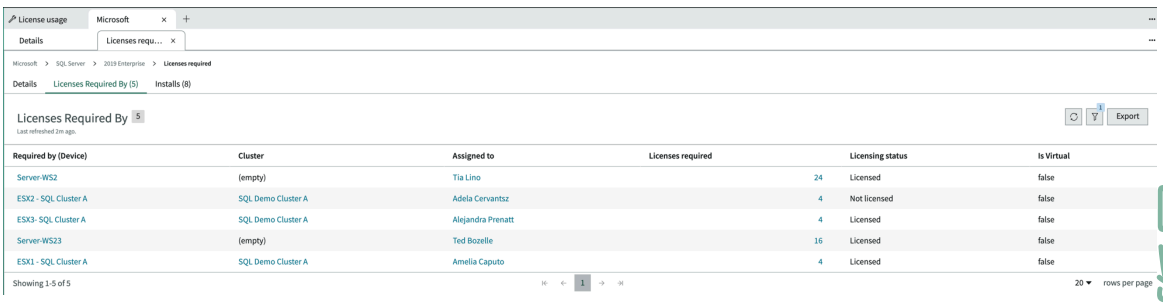
必要なロール:sam_admin および sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.
2. 左ペインから公開者を選択して、ソフトウェアモデルの概要を表示します。
3. [ライセンス測定基準の結果] タブを選択して、購入済みで必要なライセンスの数を表示します。

   「ライセンス・メトリクスの結果」タブのフィールドの詳細については、 ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールドの「ライセンス・メトリクスの結果」表を参照してください。

4. [必要なライセンス] 列で構成アイテムの値を選択して、必要なライセンスの詳細を表示します。



ライセンスの要求元

フィールド	説明
要求元 (デバイス)	ライセンスを消費するサーバー、クラスターなどの構成アイテムの名前。
クラスター	◦ 構成アイテムがいずれかのクラスターの一部である場合は、クラスター名が表示されます。 ◦ 構成アイテムがどのクラスターにも含まれていない場合、値は空です。
アサイン先	その特定の構成アイテムに割り当てられたユーザーの名前。
必要なライセンス	構成アイテム (割り当て済み、未割り当て、インストール済み) が使用する権限の合計。
ライセンスステータス	構成アイテムにライセンスが付与されているかどうかを示します。
仮想	構成アイテムが仮想ホストか物理ホストかを示します。

5. ライセンスで使用されているすべてのダウングレードを表示します。

自動翻訳

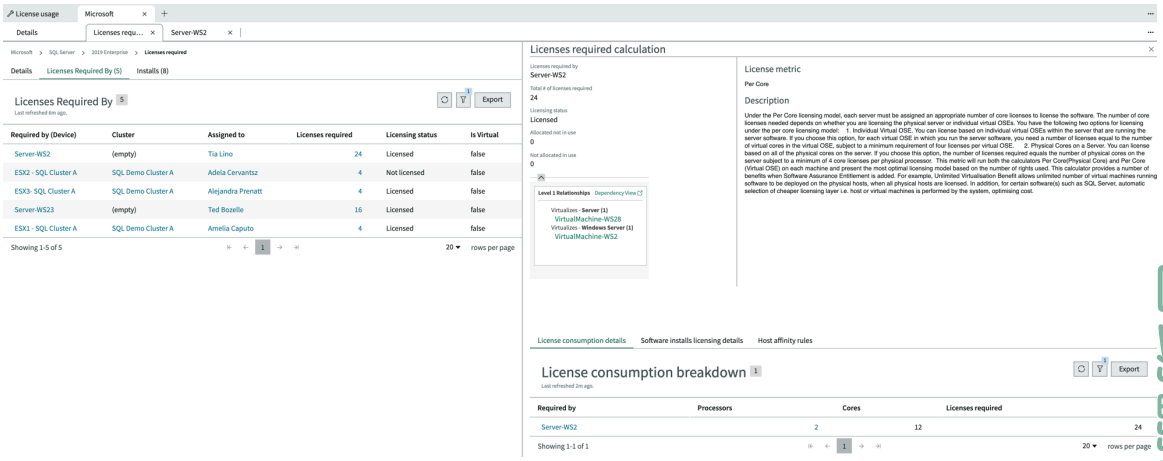
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この関連リストは、指定したライセンスがソフトウェアのダウングレードバージョンで使用されている場合にのみ表示されます。ダウングレードが権限を使用していない場合、そのダウングレードはこの関連リストに表示されません。

ダウングレード

Field (フィールド)	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前。
使用されている権利	ライセンスで使用されている権限の数。
インストール数	指定されたライセンスのソフトウェアモデルに使用されているインストールの数。

6. [ライセンスの要求元] 関連リストで、[ライセンスが必要] 列のデバイスの値を選択して、必要なライセンスの詳細を表示します。



計算が必要なライセンス

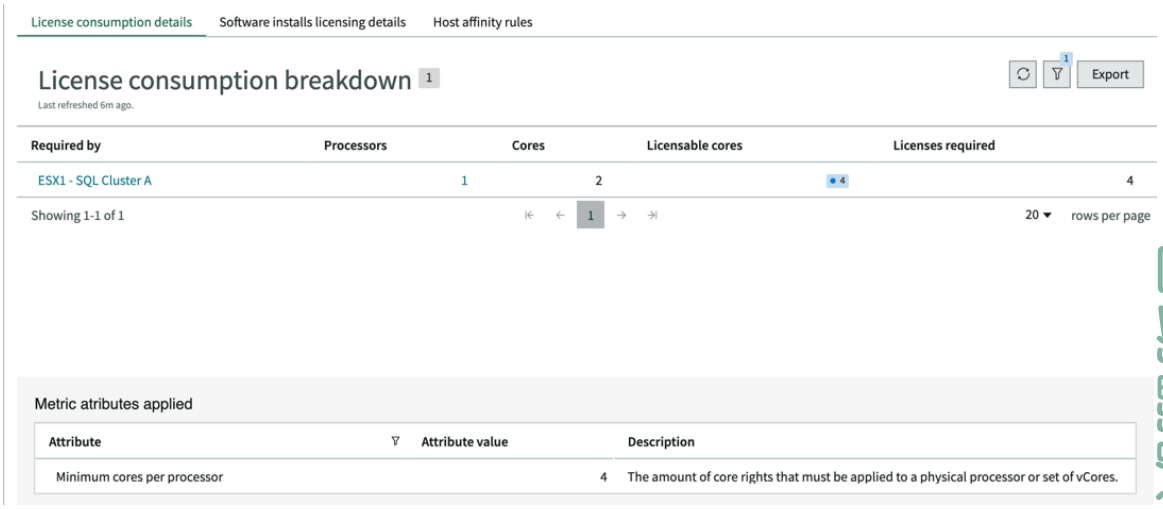
フィールド	説明
ライセンスの要求元	計算が表示されるクラスター。
必要なライセンスの合計 #	消費された、または必要なライセンスの合計数。
ライセンスステータス	ライセンスのステータスを表示します。ライセンス済みとは、 すべての権利が使用されたことを意味します。ライセンスなしは 、権限が必要であることを意味します。
配分済み、不使用	クラスターに割り当てられているが、インストールのライセンス付与には使用されていない権限。値 0 は、クラスターに割り当てがないことを意味します。 注: 割り当て済み、不使用 とは、これらの権限が割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないために無駄になっている権限です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
未配分、使用中	ライセンスインストールの権限のうち、割り当てられていない権限の数。
レベル 1 リレーションシップ	ホストと現在の構成アイテムの関係性。 注: サーバーベースの算出の場合にのみ表示されます。
依存関係ビュー	構成アイテムのインフラストラクチャビューをグラフィカルに表示します。
ライセンス評価指標	ライセンスメトリクスの詳細な説明。

7. [ライセンス消費ブレークダウン] タブを選択して、構成アイテムのインフラストラクチャと適用されたメトリクス属性を表示します。



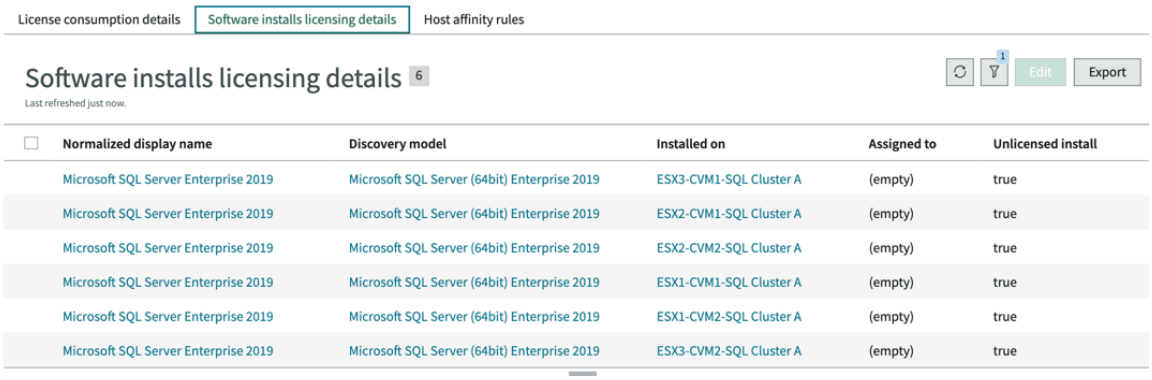
自動翻訳

ライセンス消費ブレークダウン

フィールド	説明
要求者	権限を消費する構成アイテムの名前。
プロセッサー	この構成アイテムのプロセッサ数。
コア	このプロセッサのコア数。
ライセンス可能なコア	この構成アイテムのライセンス取得に必要なコアライセンスの数。
必要なライセンス	この構成アイテムのライセンス付与に必要なライセンス数。
適用された測定基準属性	Microsoft などの公開者からのソフトウェア製品には、最小数のライセンスを割り当てる必要があります。たとえば、 Microsoft SQL Server では、サーバー上のプロセッサごとに少なくとも 4 つのコア ライセンスが必要です。メトリクス属性により、これらのライセンスが自動的に割り当てられます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

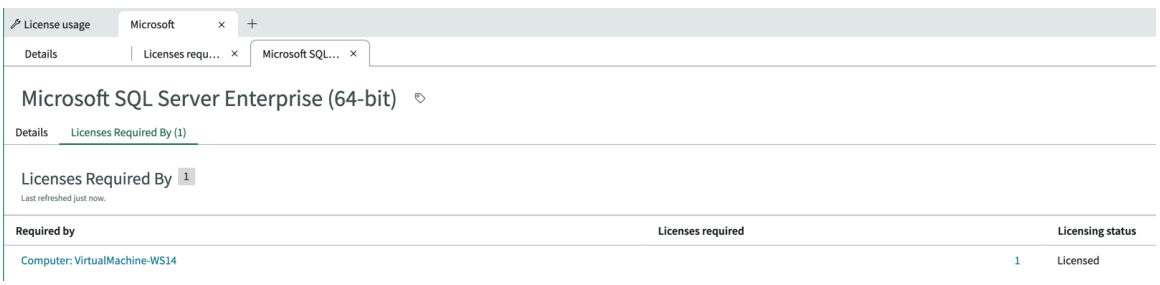
8. [ソフトウェアがライセンスの詳細をインストールする] を選択して、構成アイテムに関連するライセンスの対象となるインストールの詳細を表示します。



ソフトウェアがライセンスの詳細をインストール

フィールド	説明
正規化された表示名	ソフトウェア製品の正規化された表示名。
Dscovery モデル	重複を減らすためにモデルを分析および分類することで、所有しているソフトウェアを正規化します。
インストール先	ソフトウェアがインストールされている構成アイテム。
アサイン先	この構成アイテムにアサインされたユーザーの名前。
ライセンスなしのインストール	ライセンス付きインストールかライセンスなしインストールかを示します。

a. [Per Core] および [Per Core (with CAL)] ライセンスのメトリクスの正規化された表示名を選択して、クラスター内のさまざまなホストでのインストールのライセンスステータスを表示します。

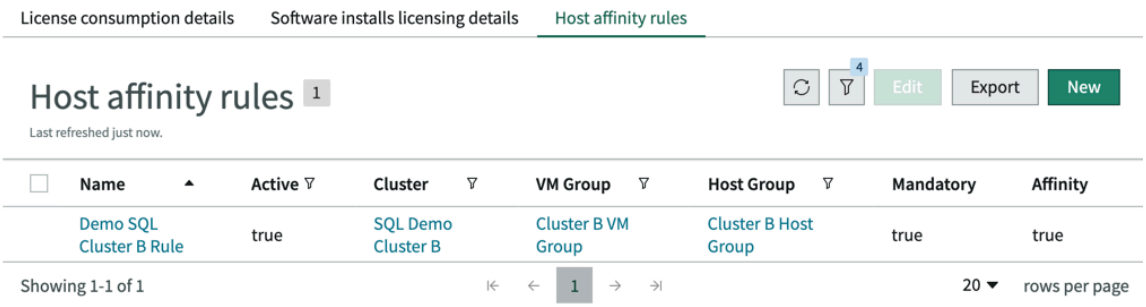


9. [ホスト親和性ルール] タブを選択して、ライセンス消費の精度を確認し、クラスターに構成されているホスト親和性ルールを表示します。

ホスト アフィニティ ルールは、ライセンス使用量を決定する際に、SQL Server および Windows Server Standard に対して構成できます。これにより、必要なライセンス数が最適化され、必要なライセンス数が大幅に最小限に抑えられるため、コストを削減できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ホスト親和性ルール

フィールド	説明
名前	クラスターに設定されたルールの名前。
アクティブ	設定されたルールがアクティブか非アクティブかを示します。
クラスター	ホスト親和性ルールが構成されているクラスターの名前。
VM グループ	仮想マシンのグループの名前。
ホストグループ	ホストのグループの名前。
必須	構成されたルールが必要かどうかを示します。
親和性	仮想マシンがホストグループ上に存在するかどうかを示します。

ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド

[ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] ページにあるパブリッシャーの関連リストのフィールドの説明。

製品の結果

Field (フィールド)	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 準拠 • 非準拠
調整コスト	必要最小限の権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェアモデルの結果から得られたライセンス超過金額の合計。
見込まれる削減	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補から得られるすべての節減見込みの合計。
ライセンスされたインストール	製品に対してライセンスされているインストールの合計数。
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスが付与されていないインストールの合計数。

ソフトウェアモデルの結果

Field (フィールド)	Description (説明)
ソフトウェアモデルの結果	ソフトウェアモデルの名前。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ライセンスなしのインストール	関連付けられたソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最小限の権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
見込まれる削減	再利用候補が再利用された場合に節約できるコスト概算。

ライセンスメトリクスの結果

Field (フィールド)	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
所有ライセンス	ライセンスの測定基準を共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
必要なライセンス	調整中に使用される権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)
利用可能なライセンス	調整中に使用されない権限の合計 (所有権から使用権を差し引いた権利)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
調整コスト	必要最低権限数に基づくライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。

エンタイトルメント

Field (フィールド)	説明
Display name (表示名)	公開者の名前。
評価指標グループ	公開者固有のメトリクスグループ。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされる測定基準グループのライセンスの測定基準。
ライセンス タイプ	タイプによって、ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限が決まります。
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 **注:** エンタープライズ契約がライセンスに関連付けられている場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません
購入済みの権限	購入した権限の数。
トータルコスト	

削除候補

Field (フィールド)	説明
番号	削除候補番号。
名前	削除候補の名前。
パブリッシャー	公開者の名前。
製品	製品の名前。
見込まれる削減	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節約額。
ステータス	削除候補のステータス。 • 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 完了してクローズ • スキップしてクローズ
正当性	削除候補になった理由。 • 使用率が低い (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア

修復オプション

Field (フィールド)	Description (説明)
是正処置アクション	コンプライアンスのために実行するアクション。 • 購入権限 • 割り当ての解除 (Remove Allocations) • 割り当ての作成 (Create Allocations) • 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) • ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用できません) • ライセンスなしのインストールを削除 - クラウド (クラウドインストールがある場合にのみ利用可能)
ステータス	修復オプションのステータス。 • 新規 (青) • 完了 (緑) • 無効 (赤) • 進行中 (黄) [進行中] ステータスでは、インストールするための削除候補が作成されたことを示します。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響を与えるかどうかを指定します。
表示名	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスの測定基準。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
調整コスト	必要な最小権限数に基づいてライセンスのないインストールを修復する推定コスト。

ライセンス操作ビュー

ソフトウェア資産ワークスペース の [ライセンス運用] ビューを使用して、ライセンス、契約、検出、クライアントアクセス、リソース値、ユーザーサブスクリプション、コンテンツの提案、ソフトウェア資産の成功、クラウドコストシミュレーション、SAM の実装、IBM ASP、IBM ILMT V2 統合などのソフトウェア資産運用を管理します。

[ライセンス操作] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.

ライセンス操作ビューには、次のカテゴリが含まれています。

- ライセンス
  - ソフトウェアエンタイトルメント

    ソフトウェアライセンスの期間を記録するソフトウェアエンタイトルメントの詳細を表示します。また、エンタイトルメントを作成してライセンスの詳細を入力し、購入した権限をユーザーまたはデバイスに割り当てることもできます。詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

  - ソフトウェアモデル

    作成されたソフトウェアモデルの詳細を表示し、ソフトウェアモデルも作成します。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

  - エンタイトルメントのインポート

    インポートされたエンタイトルメントの詳細を表示し、エンタイトルメントも一度にインポートします。詳細については、「ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

  - エンタイトルメントのインポートエラー

    ソフトウェアエンタイトルメントのインポート中に生成されるエンタイトルメントインポートエラーの詳細を表示します。詳細については、「エンタイトルメントインポートエラーフィールド」を参照してください。

  - ソフトウェアライフサイクル平均

    平均を作成して、ソフトウェアのサポート終了 (EOL) およびサポート終了 (EOS) のライフサイクルを計算します。詳細については、「ワークスペースで製品ライフサイクルの平均を作成する」を参照してください。

  - 消費ルール

    ライセンスの消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。このルールを 1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。詳細については、「消費ルールの作成」と「消費ルールをエンタイトルメントにリンク」を参照してください。

  - 製品のインストール条件

    調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルのインストールを説明する製品インストール条件を表示します。これらのインストール条件は、ソフトウェア製品とそのすべてのコンポーネントに適用されます。たとえば、 Microsoft Visual Studioを購入した場合は、非本番環境でライセン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スを使用するためだけに Visual Studio を使用するための製品インストール条件を設定します。これらの同じ条件が、ダウングレードやエディションを含め、 Visual Studioのすべてのソフトウェアモデルに適用されます。詳細については、「製品のインストール条件を作成する」を参照してください。

- ソフトウェアのインストール

  検出モデル、公開者、調整の詳細など、ソフトウェアインストールの詳細を表示します。詳細については、「ソフトウェア インストール フィールド」を参照してください。

- 契約:ソフトウェア契約

  ソフトウェア契約を作成して、2 者間の合意を拘束します。 契約を作成する。

- ディスカバリー
  - 検出されたエンジニアリングライセンス

    エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

  - ディスカバリーモデル

    ネットワーク環境でソフトウェアのバージョンが検出されたときに作成されるソフトウェア検出モデルを表示および更新します。詳細については、「ディスカバリーモデルとソフトウェアインストール」を参照してください。

  - エンジニアリングライセンスサーバー

    OpenLMまたはOpen iTが ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続するすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。サーバーの種類、サーバーの名前、サーバーのステータス、最後の接続時刻など、ライセンス管理サーバーの詳細も提供されます。

  - ソフトウェア使用

    ソフトウェア使用状況レコードを表示して、再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または System Center Configuration Manager (SCCM) 統合 Microsoft ソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでソフトウェア使用状況を表示または作成する」を参照してください。

  - すべての **SAP** エンジン

    各エンジンのライセンスメトリクスに基づいて、 SAP クライアントの月次エンジン使用率測定値を表示します。

  - すべての **SAP** ユーザー

    SAP システムからプルされたすべての検出済みユーザーとその詳細 (SAPユーザーロール、SAPユーザーのアクティブなトランザクション、SAPユーザーアクティビティ、SAP Web アクティビティなど) を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SAP ユーザーの表示」を参照してください。

  - **SAP** 指名ユーザータイプ

    SAPソフトウェアエンタイトルメントで使用できるカスタム名のユーザータイプを作成します。カスタム名のユーザータイプを作成すると、ユーザーは SAP システムのライセンスを追跡できます。詳細については、「ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成」を参照してください。

  - **SAP** 価格リスト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

カスタム SAP 価格表を作成して、 SAP システムの契約に基づいて SAP ライセンスを追跡および管理できるようにします。詳細については、「ワークスペースでのカスタム SAP 価格リストの作成」を参照してください。

- **SAP USMM** ルール

  SAPクライアントSAPロールを指名ユーザータイプにマッピングするユーザーライセンス測定 (USMM) ルールを表示します。詳細については、「SAP USMM ベースの最適化」を参照してください。

- **SSO** アプリケーション

  SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細を表示します。詳細については、「ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示」を参照してください。

- **SSO** グループ

  SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。

- **SSO** ユーザー

  SSO アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザーの詳細を表示します。

- クライアントアクセス

  ソフトウェアクライアントのアクセスレコードの詳細を表示します。また、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用してサーバー ソフトウェアのバージョンにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理するためのレコードを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」を参照してください。

- リソース値

  ソフトウェアモデルのリソース値レコードを表示および作成します。詳細については、「リソース値レコードの作成」を参照してください。

- ユーザーサブスクリプション

  - ユーザーサブスクリプション

    SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションの詳細を表示します。ソフトウェアサブスクリプションを作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでユーザーサブスクリプションを作成」を参照してください。

  - 直接統合プロファイル

    作成済みの SaaS 統合プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアの使用状況を表示し、古いライセンスを最適化することもできます。サポートされている SaaS アプリケーションと手順については、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。

  - **SSO** データ連携プロファイル

    作成済みの SSO 統合プロファイルの詳細を表示します。統合タイプを選択して SSO 統合プロファイルを作成し、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示およびユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用することもできます。サポートされているSSOアプリケーションと手順については、「 SSO プロバイダーとの統合」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **SaaS** 機能使用率

  イベント ID、イベント名、前回のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど、ユーザーが実行した各 SaaS および SSO 統合に関するイベントの詳細を表示します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

- コンテンツの提案
  - 部品番号の提案

    カスタムパブリッシャーの部品番号 (PPN) に関するコンテンツサービスの提案を表示します。詳細については、「カスタムパブリッシャーの品番 (PPN)」を参照してください。

  - 正規化提案

    ディスカバリーモデル用に作成されたコンテンツサービス正規化提案レコードを表示します。詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

- ソフトウェア資産成功
  - ソフトウェア成熟度

    ソフトウェア資産管理成熟度アイテムの詳細のリストを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功目標

    成功目標を作成して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡し、作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功アクティビティ

    成功アクティビティを作成して目標の成功を追跡し、作成済みの目標のリストを表示します。詳細については、「の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理」を参照してください。

  - 成功カテゴリ

    成功カテゴリを作成して、成功目標にカテゴリを追加し、作成済みのカテゴリのリストを表示します。詳細については、「ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。

  - すべてのアクティブな値ビルダータスク

    完全には使用されていないパブリッシャーパックの値ビルダータスクを作成し、作成済みのもののリストを表示します。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

  - 自分の値ビルダータスク

    値ビルダータスクを作成し、自分にアサインされたタスクのリストを表示します。詳細については、「値ビルダー」と「値ビルダータスクの作成」を参照してください。

- クラウドコストシミュレーター:設定

  シミュレーション設定、つまりオンプレミスのリソースをクラウド環境に移行するコストを表示します。クラウドコストシミュレーターの設定を作成することもできます。詳細については、「クラウドコストシミュレーション」を参照してください。

- **IBM ASP** 統合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 毎日集計されるピーク使用量

  各製品のエディション、ライセンス測定基準、ドメイン、および地域に基づいて、 IBM ソフトウェア製品の日次最大サブキャパシティ使用量とフルキャパシティ使用量を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用量を毎日集計して表示します」を参照してください。

- 最高水位標の使用量

  各製品のエディションとライセンスメトリクスの両方に基づいて、 IBM ソフトウェア製品の 1 日あたりの最高使用量のブレークダウンを物理ホスト別に表示します。詳細については、「IBM ソフトウェア製品の日次使用量が最も多いデバイスを表示する」を参照してください。

- 製品分類

  ご使用の環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、 IBM コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます。詳細については、「IBMコンポーネントの製品分類の表示」を参照してください。

- スキャンするデバイス

  IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャー (VMware vCenter Server や IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみ検出された IBM ソフトウェアのライセンスを追跡できます。VM マネージャーの更新について詳しくは、 IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定しますを参照してください。

- デバイス設定

  IBM ライセンス計算の精度を向上させるには、IBM ソフトウェアがインストールされている物理ホストのメタデータを確認します。正しくないメタデータや古いメタデータがあれば更新します。メタデータの更新については、「 IBM ホストのメタデータの確認」を参照してください。

- **IBM ILMT V2** 統合
  - 製品別のピーク消費量

    製品名と検出モデルに基づいて、 IBM ソフトウェア製品の最大サブキャパシティとフルキャパシティ使用率を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用率を表示する」を参照してください。

  - デバイス別のピーク消費量のブレークダウン

    検出されたデバイスに基づいて、 IBM ソフトウェア製品の最高のサブキャパシティとフルキャパシティ使用量のブレークダウンを物理ホスト別に表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品のピーク使用率をデバイス別に表示する」を参照してください。

  - **ILMT** で検出されたコンピューター

    サーバー名、サーバー ID、サーバータイプ、ハードウェアモデル、ハードウェアシリアル番号、ハードウェアベンダー、合計プロセッサー、 CMDB コンピューターなど、検出されたデバイスの詳細を表示します。詳細については、「IBMソフトウェア製品を実行しているデバイスを表示します」を参照してください。

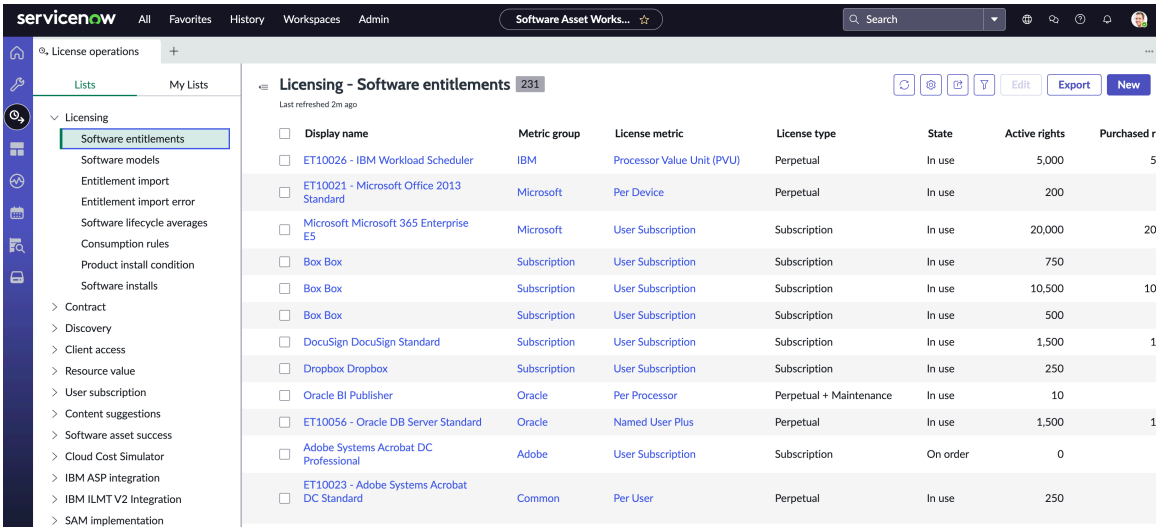
- **SAM** 実装:公開済み製品

  ソフトウェア資産管理 のフェーズごとの実装で公開されたソフトウェア製品のリストを表示します。詳細については、「フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装の管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス操作ビュー



ユーザーまたはデバイスの割り当てのコピー

ユーザーまたはデバイスの割り当てを 1 つのエンタイトルメントから別のエンタイトルメントにコピーします。

始める前に

ソースエンタイトルメントからターゲットエンタイトルメントに割り当てをコピーして、期限切れのエンタイトルメントを更新するか、新しいメンテナンスを追加します。さらに、別のエンタイトルメントと同じ割り当てを必要とするエンタイトルメントを作成するときに、割り当てをコピーすることもできます。

割り当てのコピー元のエンタイトルメントは、ソースエンタイトルメントと呼ばれます。割り当てのコピー先のエンタイトルメントは、ターゲットエンタイトルメントと呼ばれます。

ユーザー割り当ては、ユーザー割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。同様に、デバイス割り当ては、デバイス割り当てをサポートするエンタイトルメントにのみコピーできます。ライセンスメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。

選択したユーザーまたはデバイスがターゲットエンタイトルメントにすでに割り当てられている場合、その割り当ての数量が増分されます。

割り当てをコピーする前に、次の前提条件が満たされていることを確認してください。

- ターゲットエンタイトルメントで十分な割り当てが利用可能。[割り当てのコピー] ボタンは、エンタイトルメントで利用可能な割り当てがゼロより大きい場合にのみ表示されます。コピーされる割り当ての数が、ターゲットエンタイトルメントで使用可能な割り当ての数を超えると、エラーが発生します。
- ターゲットエンタイトルメントが [ビルド]、[使用中]、または [発注済み] ステータスである。
- ターゲットエンタイトルメントで十分な権利が利用可能。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. ユーザーまたはデバイスの割り当てをコピーするターゲットエンタイトルメントを開きます。
3. 適切な割り当て関連リスト ([ユーザー割り当て] または [デバイス割り当て]) を選択します。
4. [割り当てのコピー] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能な割り当て、ライセンスタイプ、アクティブな権限など、ターゲットエンタイトルメントの詳細がページの上部に表示されます。

5. [ソースエンタイトルメント] リストで、割り当てのコピー元のエンタイトルメントを選択します。
ライセンスメトリクス、メトリクスグループなどのソースエンタイトルメントのすべての詳細が [詳細] ページに表示されます。
6. [ソース割り当て] 関連リストを選択し、割り当てを選択します。
7. **[Submit** (送信)] を選択します。

コピー割り当てプロセスが成功すると、[送信] は無効になります。割り当てのコピーが処理中であることを知らせるメッセージが表示されます。メッセージ内のリンクをクリックすると、ステータスを確認できます。

リンクをクリックすると、ソフトウェア資産ジョブ結果 [samp_job_log] テーブルに移動します。「名前」列を使用して、「 *Copy Allocations to < >*」というタイトルのジョブ・ログ・レコードを検索します。山括弧はターゲット資格の表示名を示します。

消費ルールの作成

ライセンスの消費を組織内の特定のエンティティに制限する消費ルールを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user

手順
1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > 消費ルール.
2. [新規] を選択します。
[新しい消費ルールを作成 (Create New Consumption Rule)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
Display name (表示名)	消費ルールの名前。
会社	消費ルールが作成される子会社。
Cost center (コストセンター)	消費ルールが作成される会社内のコストセンター。
国	消費ルールが作成される対象の国。
部門	消費ルールが作成される部門。
リージョン	消費ルールが作成されるリージョン。
会社の子	会社の子を含める場合に選択します。
部門の子	部門の子を含める場合に選択します。
コストセンターの子	コストセンターの子を含める場合に選択します。

4. [保存] を選択します。
新しい消費ルールが [消費ルール] リストビューに表示されます。このルールを 1 つまたは複数のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

消費ルールをエンタイトルメントにリンク

消費ルールを作成したら、そのルールを 1 つ以上のエンタイトルメントにリンクする必要があります。

始める前に

消費ルールは、次のライセンスメトリクスではサポートされていません。

- IBM RVU
- IBM UVU
- Workday
- 従業員

エンタイトルメントフォームの [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストは、これらのライセンスのメトリクスには表示されません。

必要なロール：sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 消費ルールをリンクするエンタイトルメントを開きます。
3. [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。
   [新しいエンタイトルメント消費ルールを作成 (Create New Entitlement Consumption Rule)] ページが開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	消費ルールをリンクしているソフトウェアエンタイトルメント。
消費ルール	このエンタイトルメントをリンクする消費ルール。
ライセンスプール	消費ルールに関連付けられたライセンスプール。ライセンスプールは、消費ルールで定義されたグループエンティティの権利の予約です。

6. [保存] を選択します。
   消費ルールが [エンタイトルメント消費ルール] 関連リストに表示されます。

検出されたエンジニアリングライセンスをワークスペースで表示する

ソフトウェア資産ワークスペースで、エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

エンジニアリングアプリケーションの正規化されたすべての公開者と製品のリストを表示できます。ライセンスのバージョン、数量、ライセンスの種類などの追加情報も表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [検出] リストビューから [検出されたエンジニアリングライセンス] を選択します。
3. レコードをクリックすると、詳細が表示されます。
   これにより、会社のページがクラシックビューで表示されます。

ワークスペースでのエンジニアリングライセンスサーバーの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、OpenLMまたはOpen iTが ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続するライセンス管理サーバーのリストを表示します。

始める前に
サーバーの名前とタイプ、現在のステータス、現在アクティブかどうか、最後の接続時刻などの情報が表示されます。

> **注:** エンジニアリングライセンスサーバーは、 ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications (com.sn_samp_eng_app) プラグイン がアクティブ化されている場合にのみ表示されます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > エンジニアリングライセンスサーバー.
2. ライセンスサーバーレコードを選択して、その詳細を表示します。

ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する

ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに存在しない公開されているソフトウェア製品のカスタムソフトウェア製品を追加します。カスタムソフトウェア製品を使用すると、まだ ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ に含まれていないソフトウェア製品を正規化して考慮に入れることができます。

始める前に
ソフトウェア資産管理 アプリケーションがカスタムソフトウェア製品のコンテンツ要求を送信できるようにする場合は、ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインしてから、カスタムソフトウェア製品 KPI を有効にします。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスの有効化」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューのナビゲーションメニューから、 コンテンツ > カスタムソフトウェア製品.
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しいカスタムソフトウェア製品の作成フォーム

Field (フィールド)	説明
公開者	カスタム ソフトウェア製品の公開者。
製品	カスタム ソフトウェア製品の名前。
サブスクリプション ソフトウェア	カスタムソフトウェア製品にサブスクリプションがあるかどうかを示すオプション。
製品タイプ	ソフトウェア製品のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ 子:メインのソフトウェア製品のコンポーネント。このソフトウェア製品タイプはライセンスできません。 ◦ ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 ◦ ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 ◦ ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 ◦ パッチ:既存のコンピュータプログラムを更新、修正、改良するソフトウェア製品。 ◦ 不明:未知のソフトウェア製品。
製品分類	カスタムソフトウェア製品の国連標準製品とサービスコード® (UNSPSC®) 分類。
アクティブ	カスタムソフトウェア製品がアクティブかどうかを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	カスタムソフトウェア製品が ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスと共有されないようにするオプション。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
カスタムソフトウェア製品は、正規化や調整などの下流プロセスですぐに使用できます。[コンテンツサービスから除外] オプションを有効にしたかオフにしたかに応じて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはカスタムソフトウェア製品を引き続き使用するか、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品の使用を開始できます。

- [コンテンツサービスから除外] オプションを有効にした場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはダウンストリームプロセスでカスタムソフトウェア製品を引き続き使用します。
- 「コンテンツサービスから除外」オプションをオフにした場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションは次のように処理されます。
  1. ソフトウェア資産管理アプリケーションは、対応するコンテンツ要求を自動的に作成し、コンテンツサービスチームに送信します。
  2. コンテンツサービスチームが要求をレビューして承認した後、ソフトウェア製品がソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに追加されます。
  3. 次回のスケジュール済みコンテンツ更新時に、 コンテンツライブラリ 内の新しいソフトウェア製品が ServiceNow インスタンスにプッシュされてから、カスタムソフトウェア製品にマップされます。
  4. ソフトウェア資産管理アプリケーションは、カスタムソフトウェア製品をコンテンツライブラリ内のソフトウェア製品と統合できるようにする製品提案を自動的に生成します。この統合により、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照が コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品への参照で更新されます。提案を承認するか却下するかを選択できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 提案を受け入れると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはダウンストリームプロセスの コンテンツライブラリ でソフトウェア製品の使用を開始します。
- 提案を却下すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションはダウンストリームプロセスでカスタムソフトウェア製品を引き続き使用します。

製品の提案の詳細については、「 ワークスペースでのカスタムソフトウェア製品の提案の表示」を参照してください。

ワークスペースでのカスタムソフトウェア製品の提案の表示

カスタムソフトウェア製品を ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品と統合できるようにする製品提案を表示します。これらのソフトウェア製品を統合することで、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照を、 コンテンツライブラリ内のソフトウェア製品への参照で更新できます。これらの提案を承認するか却下するかを選択できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:製品の提案を承認または却下します。
- sam_user:製品の提案を表示します。

このタスクについて
ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリに存在しない公開されているソフトウェア製品には、カスタムソフトウェア製品を追加できます。カスタム ソフトウェア製品の詳細については、「 ワークスペースにカスタムソフトウェア製品を追加する」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
2. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューのナビゲーションメニューから、 コンテンツ > カスタムソフトウェア製品の提案.
4. カスタムソフトウェア製品に関するすべての製品提案のリストを表示します。
   製品提案レコードを選択すると、提案の詳細が表示されます。提案を承認するか却下するかを選択することもできます。
   - 提案を受け入れると、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照が、 ソフトウェア資産管理 コンテンツライブラリ内の対応するソフトウェア製品への参照で更新されます。
   - 提案を却下すると、カスタムソフトウェア製品へのすべての参照は同じままになります。

正規化の提案をワークスペースに表示する

ディスカバリーモデル用に作成されたソフトウェア資産ワークスペースで正規化提案レコードを表示します。これらの提案は、承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

正規化提案レコードは、正規化提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに格納されます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. ディスカバリーリストビューで正規化の提案を選択

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. 正規化提案レコードを選択して、その詳細を表示します。
   正規化提案フィールドの詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。
4. [承認] を選択して検出モデルを正しい値で更新するか、[却下] をクリックして手動で正規化された値を保持します。

   注: 正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_adminロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

ワークスペースで正規化を元に戻す

ソフトウェア資産ワークスペースで検出モデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に

ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] のディスカバリーモデル、およびパターンルールを使用して正規化されたディスカバリーモデルは元に戻すことはできません。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. ディスカバリーモデルレコードを選択します。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
   正規化の復元プロセスが完了すると、フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェア検出モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。

ワークスペースのエディションの値を手動で上書き

ソフトウェア インストールのエディションが自動検出されない場合は、エディションを [ソフトウェア インストール] フォームで指定して (エディションがわかっている場合)、ソフトウェアを正常に調整できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動的に検出されない (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれない) が、エディションがわかっている場合は、手動で正しい値 (`Enterprise` など) に設定できます。

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールの Discovery モデルが自動的にリセットされます。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

注: すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [ディスカバリーモデル] を選択します。
3. [ディスカバリーモデル] ページで、ディスカバリーモデルを開きます。
4. [ソフトウェアインストール] タブを選択し、エディションの値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。

   注: エディションの上書きフィールドは自由形式のフィールド (ルックアップリストなし) であり、このフィールドはキーとして使用されるため、入力される値は正確である必要があります。

5. [保存] を選択します。
   ソフトウェアインストールは、プライマリキーの一部としてエディションの値が含まれている別の検出モデルに関連付けられています。適切な Discovery モデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

ワークスペースでのソフトウェアモデルの手動正規化

完全に正規化されていない (部分的に正規化されていない、正規化された公開者、または一致項目が見つからない) ソフトウェア検出モデルを手動で正規化して調整することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリーモデル.
2. 正規化ステータスが**[Partially Normalized]**、[**Publisher Normalized**]、または **[Match Not Found**] のディスカバリーモデルレコードを選択します。
3. ページの右側にある省略記号アイコンを選択します。
4. [正規化] を選択します。
   正規化ステータスが [手動で正規化済み] に変わります。

ワークスペースでソフトウェア使用状況を表示または作成する

ソフトウェア使用状況レコードを表示して、ソフトウェア資産ワークスペースで再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft SCCM 統合からソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。

このタスクについて
ソフトウェア使用状況 [samp_sw_usage] テーブルは、バージョンやエディションレベルではなく、製品レベルまで使用状況を追跡します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて
ソフトウェア使用レコードを手動で作成するには、次の手順に従います。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューで、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの [リスト] タブで、 ディスカバリー > ソフトウェア使用.
4. [新規] を選択します。
5. [新しいソフトウェア使用を作成] フォームのフィールドに入力します。

[新しいソフトウェア使用を作成] フォーム

フィールド	Description (説明)
ソフトウェア使用	
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
再利用タイプ	ソフトウェアのインストールで使用される再利用のタイプ。オプションは 、[合計使用時間] と [最終使用日] です。 注: 「合計使用時間」を選択すると、「使用状況測定データ」フォーム・セクションが表示されます。[最終使用日] を選択すると、[最終使用データ] フォームセクションが表示されます。
構成アイテム	ソフトウェア製品が関連付けられている構成アイテム (CI)。 注: CI ステータス または ハードウェアステータス フィールドが [廃止] または [盗難] に変更されると、CI に関連するインストールが削除されます。
ユーザー	ソフトウェア製品を使用しているユーザーの名前。
ディスカバリーソース	ソフトウェア使用状況データのディスカバリーソース。 適切なディスカバリーソースが [ディスカバリーソース] リストに表示されていない場合は、[ディスカバリーソース] フィールド名を右クリックし、[選択の構成] を選択することで表示できます。プロンプトが表示されたら、次のいずれかのオプションを使用してディスカバリーソースを表示します。 ◦ ディスカバリーソースが ServiceNow インスタンスに既に存在する場合は、[利用可能] リストに表示されます。ディスカバリーソースを [選択済み] リストに移動して、[ディスカバリーソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用を作成] フォームに戻ると、更新され

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	たディスカバリーソースリストを表示できます。 ◦ ディスカバリーソースが ServiceNow インスタンスにまだ存在しない場合は、 [**Enter new item**] フィールドにディスカバリーソースの名前を入力し、 [**Add**] を選択します。新しいディスカバリーソースを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動して、[ディスカバリーソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用を作成] フォームに戻ると、更新されたディスカバリーソースリストを表示できます。
使用状況計測データ 注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [合計使用時間] に設定されている場合にのみ表示されます。	
月	ソフトウェア製品が使用された月。
年	ソフトウェア製品が使用された年。
使用回数	ソフトウェア製品がアクセスされた回数。
合計使用時間 (秒)	ソフトウェア製品が使用された時間 (秒)。
最後に使用されたデータ 注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [最終使用日] に設定されている場合にのみ表示されます。	
前回の使用時間	ソフトウェア製品が最後に使用された日時。

6. [保存] を選択します。

ワークスペースでの **SAP** エンジンの表示

各エンジンのライセンスメトリクスに基づいて、 SAP クライアントの月次エンジン使用率測定値を表示します。

始める前に
SAPシステムからプルされた検出済みユーザーをすべて表示することもできます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** エンジン] を選択します。
3. SAPエンジンレコードを選択すると、SAPシステムユーザーとSAPエンジンの使用状況の詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースでの SAP ユーザーの表示

ソフトウェア資産ワークスペース内のSAPシステムからプルされた検出済みユーザーをすべて表示します。

始める前に

検出されたユーザー [samp_discovered_user] テーブルは、検出された SAP ユーザーをユーザー [sys_user] テーブルのシステムユーザーレコードにマッピングします。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. [すべての **SAP** ユーザー] を選択します。
3. レコードを選択すると、 SAP ユーザーロール、 SAP ユーザーのアクティブなトランザクション、 SAP ユーザーアクティビティ、 SAP Web アクティビティなどの詳細が表示されます。
   - SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]:ユーザーとユーザーにアサインされたロール SAP 。
   - SAP ユーザーアクティブトランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]: SAP クライアントでの指名ユーザーのトランザクションアクティビティに関連するデータ。ユーザートランザクションアクティビティは、SAPクライアントでトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるSAPトランザクションコードに基づいています。たとえば、ME21N トランザクション コードを使用すると、 SAP で発注書を作成できます。
   - SAPユーザーアクティビティ [samp_sap_user_activity]:SAP システムで費やされた時間や、作成または更新されたデータベースレコードの数など、SAP クライアントでのユーザーのアクティビティに関連するデータ。
   - SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]:各接続で送受信されたコール数やデータ量など、 SAP クライアントで実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ。

ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成

ソフトウェア資産ワークスペースで SAP ソフトウェアエンタイトルメントで使用できるカスタムの指名ユーザータイプを作成します。カスタムの指名ユーザータイプを作成すると、ユーザーは SAP システムに固有のライセンスを追跡できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

注: ServiceNowインスタンスで直接作成したカスタムSAP名前付きユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムでも同じ変更を行う必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **SAP** 指名ユーザータイプを選択します。
3. 新規 を選択し、詳細を入力します。

Field (フィールド)	説明
名前	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格リスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示します。
アクセス権を付与	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
値	指名ユーザータイプに関連付けられた値。この値は、数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示します。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示します。

4. [保存] を選択します。
   指名ユーザータイプが [指名ユーザータイプ] リストに追加されます。

ワークスペースでのカスタム **SAP** 価格リストの作成

カスタムSAP価格リストを作成して、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注: ServiceNow インスタンスで直接作成したカスタムSAP価格表は、SAPシステムには反映されません。SAPシステムでも同じ変更を行う必要があります。

手順

1. ソフトウェア資産ワークスペースから、[ライセンス操作] ビューを開きます。
2. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 ディスカバリー > **SAP** 価格リスト.
3. [新規] を選択します。
4. [新しいカスタム価格表の作成 (Create New Custom Price List)] フォームで、フィールドに入力します。

新しいカスタム価格リストの作成

フィールド	説明
名前	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。
アクティブ	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

5. [保存] を選択します。
   SAP価格表レコードに自動的にリダイレクトされます。
6. オプション: SAP指名ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. SAP価格表レコードの 指名ユーザー タイプ タブで、新規 を選択します。

b. [カスタム指名ユーザータイプの新規作成 (Create New Custom Named User Type)] フォームの各フィールドに入力します。

新しいカスタム指名ユーザータイプフォームの作成

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持つかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。順位値が小さいほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

c. [保存] を選択します。

d. 追加するカスタムの指名ユーザータイプごとに、手順 a ～ c を繰り返します。

ワークスペースでの **SSO** アプリケーションの表示

SSO プロバイダーを介して接続できるアプリケーションに関連する詳細をソフトウェア資産ワークスペースに表示します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **SSO** アプリケーションを選択します。
   接続および切断されているすべての SSO アプリケーションのリストが表示されます。
3. アプリケーションレコードを選択すると、SSO アプリケーショングループ、ユーザー、SSO サブスクリプション、アプリケーションの再利用候補などの追加の詳細が表示されます。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リスト	説明
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスとグループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、SSO サブスクリプションリストのレコードは 1 つだけです。 **注:** ◦ **SSO** アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権がどのように付与されているかを確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザー名の場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを介してアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションを ソフトウェア資産管理 で再利用することはできません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 ◦ SSO アプリケーショングループを使用して SSO サブスクリプションが作成された場合、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空です。SSO アプリケーションユーザーを使用してサブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値は、サブスクリプションがユーザーにアサインされた日付を示します。ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードすると、SSO アプリケーショングループを介して作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプション割り当て値が空になります。
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

ワークスペースでの **SSO** グループの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、SSO アプリケーションにアクセスできるすべての SSO グループに関連する詳細を表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **SSO** グループを選択します。
3. グループレコードを選択すると、そのグループ内のユーザーや子グループなどの詳細が表示されます。

ワークスペースでの **SSO** ユーザーの表示

ソフトウェア資産ワークスペースで SSO アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さずに、すべてのユーザーの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SSO** ユーザー] を選択します。
3. ユーザーレコードを選択すると、ユーザーに関連する追加の詳細が表示されます。

ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成

クライアントアクセスレコードを追加し、クライアントアクセスライセンス(CAL)を使用して特定のバージョンのサーバーソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注: sam_user ロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて
ソフトウェア資産管理 は、クライアントアクセスレコードを使用して、次のライセンスの測定基準に基づいてサーバーソフトウェアを調整します。

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Citrix	• Per User • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
	• 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス

ライセンスメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [メトリクス属性] 関連リストからアクセスできます。

重要: 対応するソフトウェアモデルの [割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成] オプションを使用してOracleソフトウェア資産管理アプリケーションでデータベースサーバーのクライアントアクセスレコードを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Global Licensing and Advisory Services Oracleデータ収集を要求する必要があります。[割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集を要求」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューで、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの [リスト] タブで、 クライアントアクセス > クライアントアクセス.
4. [新規] を選択します。
5. [新しいクライアントアクセスを作成 (Create New Client Access)] フォームのフィールドに入力します。

[新しいクライアントアクセスを作成 **(Create New Client Access)]** フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
	たとえば、2 人のユーザーが Microsoft Windows Server にアクセスする場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ◦ デバイス **CAL**:各デバイスを使用してサーバーにアクセスするユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 つのデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つの Device CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた Device CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ◦ ユーザー/デバイス **CAL**:関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。 たとえば、2 人のユーザーと 2 つのデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェア資格には 2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL と Device CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 7 を参照してください。 ◦ 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品にアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ◦認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする特定のユーザーの数にライセンスを付与します。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ◦従業員ユーザーバリューユニット: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ◦外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。
WebLogic アプリケーション 注: このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザーまたはデバイスにアクセス権が付与されている WebLogic Server アプリケーション。
データベースインスタンス 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	OracleOracle データベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンス。
ソース 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のいずれかのオプションに自動的に設定されます。 ◦**ServiceNow**:クライアントアクセスレコードデータが、毎日またはオンデマンドで実行される [SAM - 自動生成されたクライアントアクセスと DB サーバーユーザーとの同期 (Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] スケジュール済みジョブによって自動的に生成されたことを示します。 ◦内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
Count (カウント)	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	注: データベースサーバー用に自動生成されたクライアントアクセスレコード Oracle 、このフィールドはレコードに現在追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 7 を参照してください。 注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。
PaaS 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスが Amazon Web サービス (AWS) 上の Amazon Relational Database Service (RDS) によって管理されているかどうかを示すオプション。
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
場所	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

6. [保存] を選択します。
フォームが [ユーザー] タブと [デバイス] タブとともに再ロードされます。
7. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[タイプ] フィールドで選択した CAL タイプに基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアントアクセスレコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスにアサインすることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスが異なるクライアントアクセスレコードで複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [タイプ] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[承認ユーザー]、[承認ユーザー値単位]、[従業員ユーザー値単位]、または [外部ユーザー値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 「 ユーザー 」タブを選択し、「 新規」をクリックします。

[新しいクライアントアクセスユーザーブレークダウンの作成 (Create New Client Access User Breakdown)] フォームが新しいタブで開きます。

b. [ユーザー] フィールドで、ユーザーベースの CAL をアサインするユーザーを検索して選択します。

指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザータイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、 必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザー タイプ] フィールドを変更できます。

c. [保存] を選択します。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーごとに、手順 a から d を繰り返します。

◦ [種類] フィールドを [デバイス **CAL**] または [ユーザー/デバイス **CAL**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

> 注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

a. [デバイス] タブを選択し、[新規] を選択します。

[新しいクライアントアクセスデバイスブレークダウンの作成 (Create New Client Access Device Breakdown)] フォームが新しいタブで開きます。

b. [デバイス] フィールドで、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

指定したデバイスの [アクティブ**(Active**)] フィールドと [ソース**(Source**)] フィールドが自動的に入力されます。ただし、 必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

c. [保存] を選択します。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに手順 a から d を繰り返します。

8. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを付与するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

> 重要: この手順は適用されません 関連するソフトウェアモードで [クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスを付与する] オプションを有効にしている場合l。このオプションを有効にすると、ソフトウェアインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて CI のライセンスが付与されます。このオプションの詳細については、「 ソフトウェアモデル フィールド 」を参照してください。

Windows Server の場合、各サーバーのインストールには、関連付けられたクライアント アクセス レコードのユーザーおよびデバイス CAL の権限とは別にライセンス供与されるコアあたり (CAL を含む) の権限が必要です。Oracle Java などの他の製品では、サーバーインストール用に個別にライセンスを付与する権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Oracle Java にアクセスするユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、対応する Oracle Java インストールをライセンス済みとして自動的にマークするようにソフトウェア資産管理を有効にすることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は CAL ライセンスの一部として Oracle Java インストールのライセンスを付与します。

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を、関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを ソフトウェア資産管理 で判別できます。クライアントアクセスレコードのすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールもライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールでは、追加のライセンスは消費されません。

a. [**Devices with Installations**] タブを選択し、[**New**] をクリックします。

b. [クライアントアクセスの新規インストール済みデバイスの作成 (Create New Client Access Installed Device)] フォームの [デバイス] フィールドで、関連付けられたサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。
指定した CI の [アクティブ] フィールドが自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

c. [保存] を選択します。

d. フォームを閉じて、クライアントアクセスレコードに戻ります。

e. 関連付けられたサーバーがインストールされている CI ごとに手順 a から d を繰り返します。

次のタスク

クライアントアクセスレコードを作成すると、関連付けられたサーバーソフトウェア上でスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果は [ライセンス使用状況] ビューで表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修正オプションを使用して、サーバーソフトウェアの非準拠を修復できます。

- 購入権: 必要な権限の数が、指定されたサーバー ソフトウェアのすべてのクライアント アクセスレコードで所有されている権限の数よりも大きい場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成: 指定したサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加されたライセンスのないユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当てを削除: 十分な権限が利用できない場合に、ライセンスを持つユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

リソース値レコードの作成

ライセンス要件を計算するソフトウェアモデルごとにリソース値レコードを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > リソース値.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[リソース値] フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	リソース値の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
ソフトウェアモデル	リソース値が関連付けられているソフトウェア製品のソフトウェアモデル。
会社	関連付けられたリソース値レコードの会社。
場所	関連するリソース値レコードの物理的な場所。
消費されたユニット	現在消費している関連ソフトウェア製品のリソース値単位の合計数。たとえば、データ保護ソフトウェア製品を使用して 50 テラバイトのデータを保護する場合は、[消費されたユニット] フィールドを `50` に設定します。 従業員ライセンス測定基準の場合、[消費されたユニット] フィールドは、ライセンスを消費している従業員の数に設定する必要があります。
部門	リソース値レコードがアサインされている部門。
コストセンター	リソース値に対して財務的に責任を負うコストセンター。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
新しいリソース値レコードが [リソース値] リストビューに一覧表示されます。

ワークスペースでユーザーサブスクリプションを作成

ソフトウェア資産ワークスペースで、ユーザーの SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを作成します。

始める前に
ユーザーサブスクリプションオプションは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合プラグインがアクティブ化されている場合にのみ使用できます。

必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.

2. [ユーザー サブスクリプション] を選択します。

3. ユーザー サブスクリプション ページで、 新規 を選択します。

4. [新しいソフトウェアサブスクリプションを作成] ページで、詳細を入力します。

フィールド	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
パブリッシャー	サブスクリプションのパブリッシャー
製品	サブスクリプションのソフトウェア製品
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
ユーザー	このサブスクリプションが割り当てられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された日付。

5. [保存] を選択します。

ワークスペースでのパブリッシャーの品番 **(PPN)** の提案の表示

ソフトウェア資産ワークスペースで、カスタム PPN および DMAP のコンテンツサービスの提案を表示します。

始める前に

PPN の提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN の提案レコードは、部品番号の提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール:sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
   [**License Usage**] ビューから [Publisher details] ページと [**Progress indicators]** セクションに移動して、部品番号の提案を表示することもできます。
2. [コンテンツの提案] リストビューから [部品番号の提案] を選択します。
3. 提案レコードを開いて、部品番号の提案ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、部品番号の提案ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨部品番号の詳細が含まれています。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
4. [承認] または [却下] を選択します。
   - 承認:カスタム PPN と DMAP がコンテンツサービスの PPN と DMAP に置き換わります。影響を受けるエンタイトルメントで、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルでコンテンツサービスの DMAP が置き換えられます。
   - 却下: このレコードのステータスが [却下] に変更され、カスタム PPN を引き続き使用します。

フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装の管理

最初に管理する少数のソフトウェア製品のみを公開して、段階的に ソフトウェア資産管理 実装を実行します。また、ソフトウェア製品の管理が不要になった場合は、公開リストからソフトウェア製品を削除することもできます。

ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用して、特定のドメインのソフトウェア製品の公開プロパティを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを設定するには、ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール:sam_admin または admin

このタスクについて

*com.snc.samp.manage.published.product*アプリケーションプロパティを使用すると、ソフトウェア資産管理の段階的な実装でソフトウェア製品の公開を有効にするドメインを指定できます。

手順

1. 移動先 すべて > **Software Asset Management** (ソフトウェア資産管理) > 管理 > アプリケーション プロパティ.
2. 使用可能なアプリケーションプロパティのリストから、**com.snc.samp.manage.published.products** を選択します。
3. アプリケーションプロパティ値を作成または更新します。
   - アプリケーションプロパティ値を作成するには、[新規] を選択します。
   - 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するには、使用可能な値のリストからそのアプリケーションプロパティ値を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
値	アプリケーションプロパティの値。次のいずれかを指定できます。 ◦ プロパティを有効にする場合は **true**。 ◦ プロパティを無効にする場合は **false**。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. アプリケーションプロパティ値を保存します。
   - 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するには、[更新] を選択します 。
   - 新しいアプリケーションプロパティ値を保存するには、[送信]を選択します。

次のタスク

ソフトウェア資産管理の段階的な実装の一環として、管理するソフトウェア製品を公開します。詳細については、「特定のソフトウェア製品セットを公開する」を参照してください。

特定のソフトウェア製品セットを公開する

ソフトウェア資産管理の現在の実装フェーズの一部であるライセンス可能なソフトウェア製品についてのみ、それらのソフトウェア製品を公開して報告します。最初は少数のソフトウェア製品を公開するだけで、初期の進捗状況を評価し、実装の範囲を徐々に拡大できます。

始める前に

ソフトウェア製品を公開できるようにするには、ServiceNow インスタンスで *com.snc.samp.manage.published.products* システムプロパティまたは*com.snc.samp.manage.published.products*アプリケーションプロパティのいずれかが有効になっていることを確認してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、ソフトウェア資産管理に対してドメインセパレーションがアクティブ化されているServiceNowインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

注: レポートで正確なデータを表示するには、次のたびにソフトウェア調整を実行する必要があります。

- システムプロパティ *com.snc.samp.manage.published.products* が更新されます
- ソフトウェア製品が公開されているか、公開済みソフトウェアのリストから削除されている

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産管理ワークスペース > ライセンス操作.
2. **[SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. **[Add** (追加)] を選択します。

   注: [追加] オプションが使用できない場合は、*com.snc.samp.manage.published.products* プロパティが有効になっていることを確認してください。

4. [公開済み製品に追加] ダイアログボックスで、公開するライセンス可能なソフトウェア製品を選択し、[追加] を選択します。

   注:

   スイートの一部であるソフトウェア製品を公開すると、親ソフトウェアスイートとその子ソフトウェアコンポーネントの詳細を含むリンクを含むメッセージが表示されます。詳細を表示し、必要に応じてこれらのソフトウェア製品を公開することができます。

タスクの結果

- ソフトウェア製品は、公開者ごとにグループ化された公開済み製品リストに追加されます。
- 製品を公開してソフトウェア調整を実行した後は、ライセンス使用状況ビューとソフトウェア資産の概要で、公開された製品のみに固有のレポートを表示できます。

公開済みソフトウェア製品の削除

ソフトウェア資産管理実装の一部として管理またはレポートしなくなった公開済みソフトウェア製品を削除します。

始める前に

公開されたソフトウェア製品のリストからソフトウェア製品を削除できるようにするには、ServiceNow インスタンスで *com.snc.samp.manage.published.products* システムプロパティまたは *com.snc.samp.manage.published.products* アプリケーションプロパティが有効になっていることを確認します。

注: アプリケーションプロパティはドメイン固有であり、ソフトウェア資産管理に対してドメインセパレーションがアクティブ化されているServiceNowインスタンスでのみ使用できます。詳細については、「ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理」と「ソフトウェア製品を公開するためのドメイン固有のプロパティーの設定」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. **[SAM** 実装] リストから、[公開済み製品] を選択します。
3. リストから削除する公開済みソフトウェア製品を選択します。
4. [削除] を選択します。

タスクの結果
削除したソフトウェア製品は、[公開済み製品] リストに表示されなくなります。

製品のインストール条件を作成する

調整時に製品のすべてのソフトウェアモデルに適用される製品のインストール条件を ソフトウェア資産ワークスペース に作成します。定義された製品のインストール条件を満たすソフトウェア製品のみが調整に含まれます。

始める前に
製品のインストール条件を作成するには、 ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、「 ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
インストール条件は、ソフトウェア製品をインストールできる場所を定義します。製品のインストール条件では、調整中に製品のすべてのソフトウェアモデルのインストールが考慮されます。

> **注:** ソフトウェア製品スイート全体ではなく、特定のソフトウェアモデルに対してインストール条件を設定する場合は、ソフトウェアインストール条件を追加することができます。ソフトウェアインストール条件の追加の詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ライセンス.
2. [製品のインストール条件] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 利用可能な製品のリストから製品を選択します。
5. **[Set Conditions** (条件の設定)] を選択します。
6. フィールド、演算子、および値を含むフィルター条件を追加します。
   以下のオプションを使用して、ソフトウェア製品に複数のインストール条件を追加できます。
   - または:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たすことができる任意の条件を指定できます。
   - **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。
   - **+** 新しい条件セット:ソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めることができます。
7. **[Set** (設定)] を選択します。
8. インストール条件を正常に設定したら、 [保存] を選択します。
   インストール条件は、ソフトウェア製品のスイート全体に対して追加されます。作成したインストール条件は、製品のインストール条件ランディングページで確認できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

上書きライセンスコストレコードの作成または更新

要件に基づいて、ソフトウェアエンタイトルメントの上書きライセンスコストレコードを作成または更新します。

始める前に

必要なロール:sam_user、sam_admin

このタスクについて

ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの上書きライセンスコスト情報を手動で追加または更新できます。従業員ライセンスメトリクスのエンタイトルメントを作成すると、価格階層 [samp_price_tier] テーブルに存在するデータに基づいて、 Oracle Java の上書きライセンスコストレコードが入力されます。ライセンス契約に従って、既存の上書きライセンスコストレコードを更新できます。階層ベースの価格モデルの詳細については、「 Oracle Java SE Universalの価格設定モデル」を参照してください。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 上書きライセンスコストを作成または更新するターゲットソフトウェアモデルを選択します。
3. [ライセンスコストの上書き] タブを選択します。
4. [新規]/[範囲の編集] を選択します。
   - 新規 を選択すると、価格レベル [samp_price_tier] テーブルの従業員数範囲に基づいて下限が計算され、前の上限が 1 ずつ増加します。たとえば、以前の従業員範囲が 40,000 ～ 49,9999 の場合、新しいレコードの下限には 50,000 が自動的に入力されます。
   - [範囲の編集] を選択すると、既存のすべてのレコードが非アクティブに設定されます。更新の完了後に [アクティブ化] を選択して、ライセンスコスト範囲を上書きできます。
5. フォームのフィールドに入力します。
   上書きライセンスコストのフィールドと説明の詳細については、「 ライセンスコストを上書き」を参照してください。

   注: [既定値に復元] を選択すると、変更を既定値に戻すことができます。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果

作成または変更したライセンスコスト上書きレコードが、[ライセンスコストの上書き] リストビューに表示されます。各レコードについて、次の詳細が表示されます。

- 評価指標グループ
- ライセンス評価指標
- ライセンスコスト
- ライセンスとメンテナンスのコスト

[Software asset analytics] ビュー

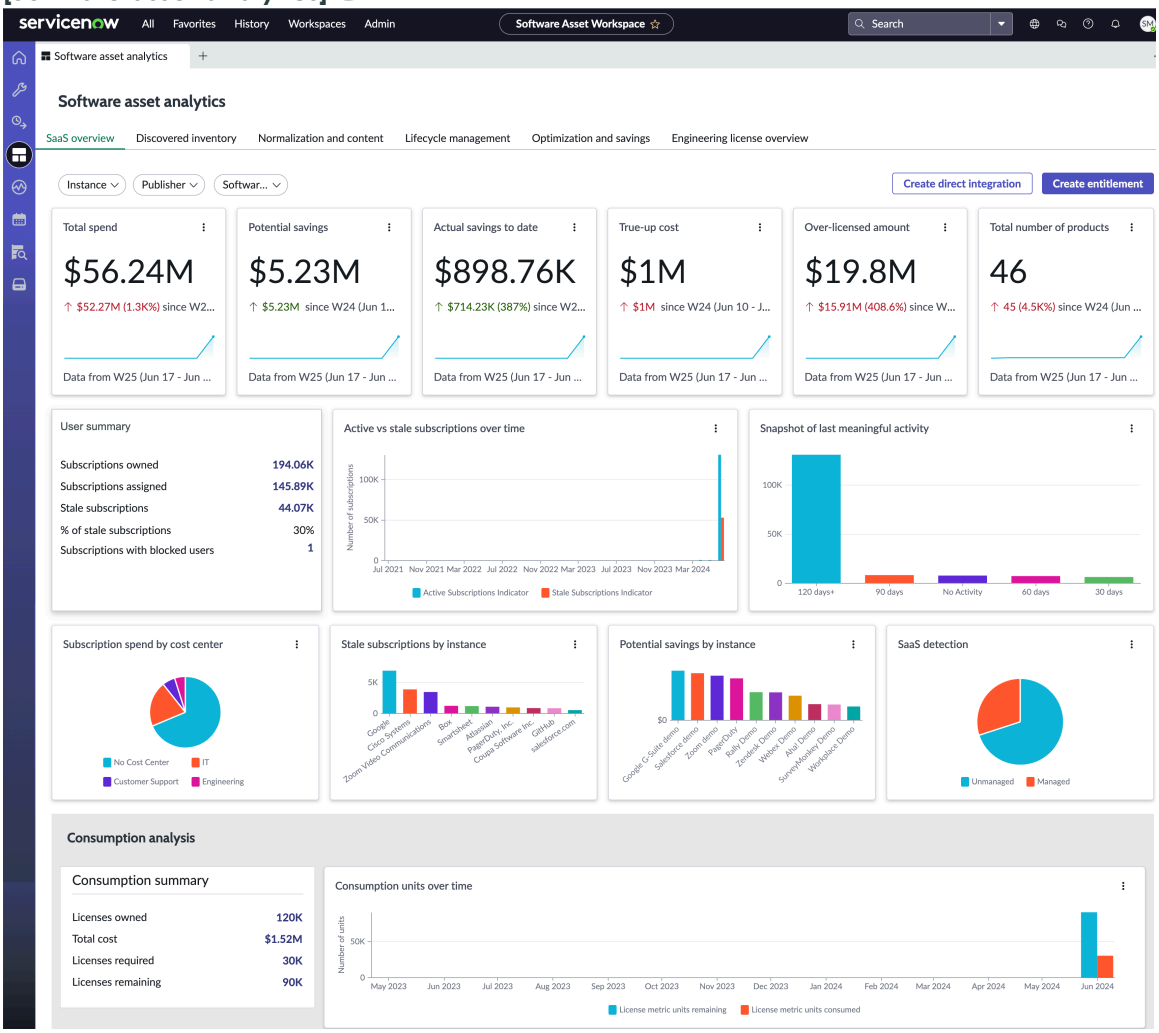
ソフトウェア資産ワークスペースの [ソフトウェア資産アナリティクス] ビューの統一および合理化されたダッシュボードを使用すると、パフォーマンスを追跡し、アナリティクスを表示できます。

[ソフトウェア資産分析] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Software asset analytics] ビュー



[ソフトウェア資産アナリティクス] ビューには、次のダッシュボードが含まれています。

- SaaS概要:純粋なOracleとMicrosoft 365とAdobe Cloudの両方の主要な KPI を示す単一のOracleダッシュボード。詳細については、「SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード」を参照してください。
- 検出されたインベントリ:ライセンス可能な検出済みソフトウェアとデバイスを表示します。詳細については、「検出されたインベントリダッシュボード」を参照してください。
- 正規化とコンテンツ:正規化とコンテンツサービスの傾向図を表示します。詳細については、「[正規化とコンテンツ] ダッシュボード」を参照してください。
- ライフサイクル管理:資産内の提供終了 (EOL) ソフトウェア製品を確認および追跡します。詳細については、「ライフサイクル管理ダッシュボード」を参照してください。
- 最適化と節減:ソフトウェア資産のコストを最大化して節減する方法に関するメトリクスを表示します。ダッシュボードには、 Microsoft、 Red Hat、 Adobe、 SAPなどのサードパーティパブリッシャーのライセンスの最適化も表示されます。詳細については、「ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード」を参照してください。
- エンジニアリングライセンスの概要:すべてのエンジニアリングアプリケーションのライセンスポジションと使用状況を表示します。詳細については、「ワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード」を参照してください。
- クラウドコストシミュレーター:クラウド環境ごとに、オンプレミスのリソースをクラウドに移行するための推定コストを比較および評価します。詳細については、「クラウドシミュレーターダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード

純粋なSaaS、Microsoft Office 365、およびAdobe Cloudに関連するすべてのSaaS分析を、ソフトウェア資産アナリティクスビューのSaaS概要ダッシュボードに表示します。

SaaSの概要ダッシュボードでSaaSアプリケーションのサブスクリプションの使用状況、コスト、およびコンプライアンスを分析することで、組織のSaaSコストを最適化します。Microsoft Office 365とAdobe Cloudに関連するコンプライアンス分析結果を表示することもできます。

注: SaaS概要ダッシュボードは、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグインを有効にした場合にのみ表示されます。

ダッシュボードは、インスタンス、公開者、ソフトウェアモデル、またはドメインでフィルタリングできます。レポートを選択すると、詳細が表示されます。

注: ドメインフィルターは、選択したドメインに基づいて結果を絞り込みます。ドメインフィルターのデフォルト値はグローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトでグローバルに戻ります。ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

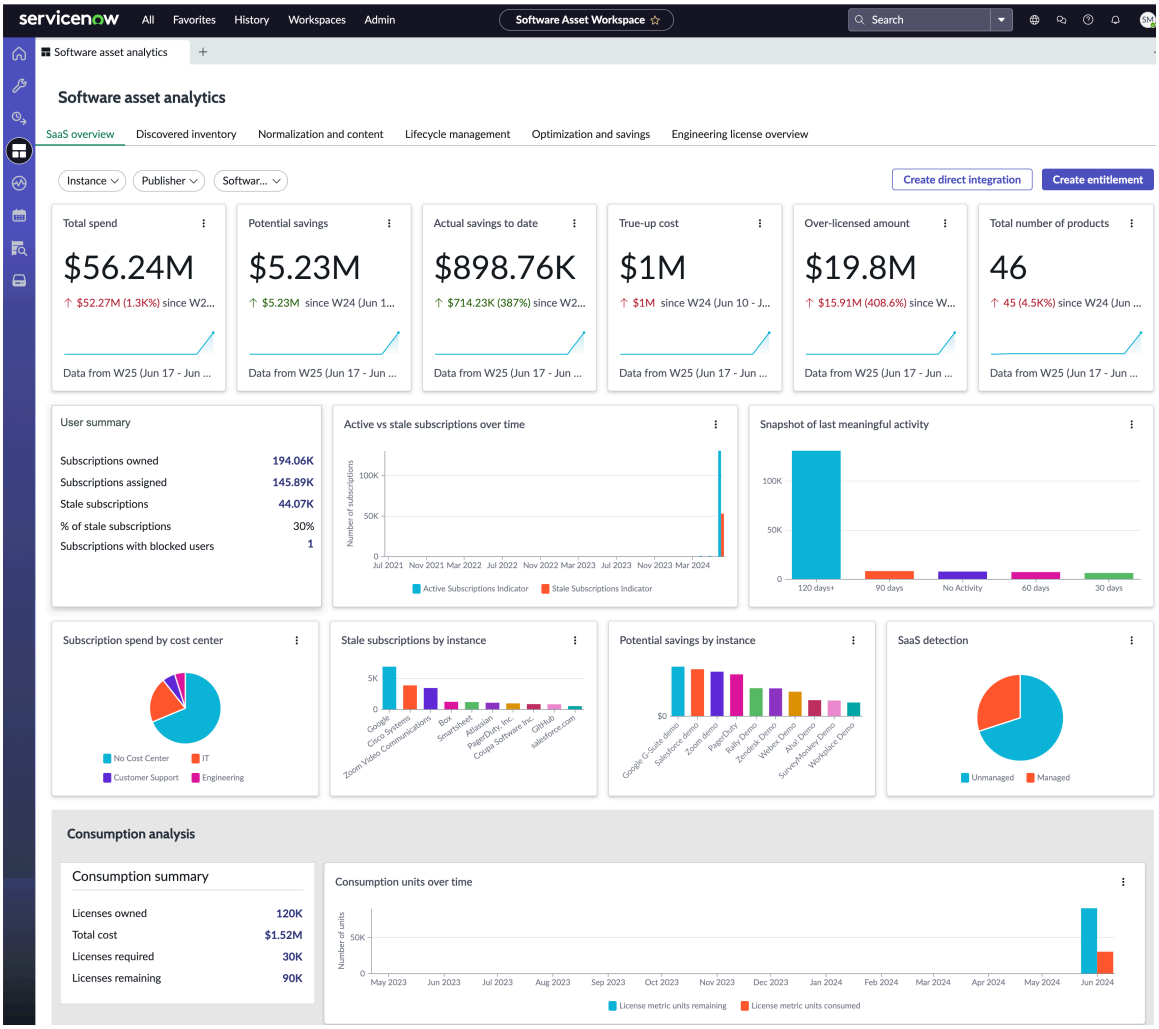
- Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

SaaS概要ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボード



SaaS 概要ダッシュボードメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
合計支出	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの合計コスト。
見込み節減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
今までの節減実績	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間削減額の合計。この値は、クローズ済みの完了再利用候補からの節減額の合計として計算されます。
調整コスト	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。このメトリクスは、組織が使用しているすべての権限に対して組織が料金を支払っていることを確認するのに役立ちます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	**Description** (説明)
ライセンス供与過剰金額	ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
製品の合計数	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	インポートされた金融トランザクションから自動的に検出された製品やトランザクションに手動で追加された製品を含む、製品の合計数。
ユーザーサマリー 所有するサブスクリプション	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンスタイプがサブスクリプションであるすべてのアクティブなエンタイトルメント。
ユーザーサマリー サブスクリプションがアサインされました	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	SaaSソフトウェアモデルにアサインされた権限の合計数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの数。
ユーザーサマリー 古いサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権限の数をアサインされた権限の合計数で割って計算されます。
ユーザーサマリー:ブロックされたユーザーを含むサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	セキュリティ上の問題によりアドミンによってアクセスがブロックされているユーザーによって消費されているサブスクリプションの数。 **注:** 現在、ブロックされたユーザーのレポートは Microsoft 365 でのみサポートされています。
長期にわたるアクティブなサブスクリプションと古いサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	特定の期間におけるアクティブに使用されているサブスクリプションと古いサブスクリプションのグラフ表示。
前回の意味のあるアクティビティのスナップショット	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	サブスクリプションソフトウェアの使用行動に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェア使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定します。このレポートには、アクティビティ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	**Description** (説明)
		がない場合、30 日間、および 120 日以上アクティビティがない場合にデータが表示されます。
コストセンター別のサブスクリプション支出	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントのコストセンター別の総コスト。
インスタンス別の古いサブスクリプション	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプション ソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。
インスタンス別の見込まれる節約額	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に、各サブスクリプションプロファイルに対して節減される見込みコスト。
SaaS 検出	DEX アプリケーション [samp_dex_application]	SaaSアプリケーションの数、または管理対象および非管理対象のアプリケーションの合計数の割合。 • 管理対象:製品のソフトウェア モデルが存在します。 • 管理対象外:製品のソフトウェア モデルが存在しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 概要ダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	**Description** (説明)
		重要: このチャートを表示するには、次の操作を行う必要があります。 • ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降の ソフトウェア資産管理 -SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。 • デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) [sn_dex] 製品バージョン 2.1.0 以降をインストールします。詳細については、「デジタルエンドユーザーエクスペリエンス のインストール」を参照してください。 詳細については、 SaaS 検出レポート レポートを参照してください。
消費サマリー 合計ユニット	サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメントで購入したソフトウェアユニットの合計数。
消費サマリー 総コスト	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	ソフトウェアモデルのすべてのアクティブなエンタイトルメントにわたるソフトウェアユニットの総コスト。
消費された消費サマリーユニット	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	消費したソフトウェアユニットの数。消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
残りの消費サマリーユニット	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	消費されていないソフトウェアユニットの数。
時間の経過に伴う消費単位	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	一定期間に消費されたソフトウェアユニットの数と消費されなかったソフトウェアユニットの数をグラフで表したもの。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出されたインベントリダッシュボード

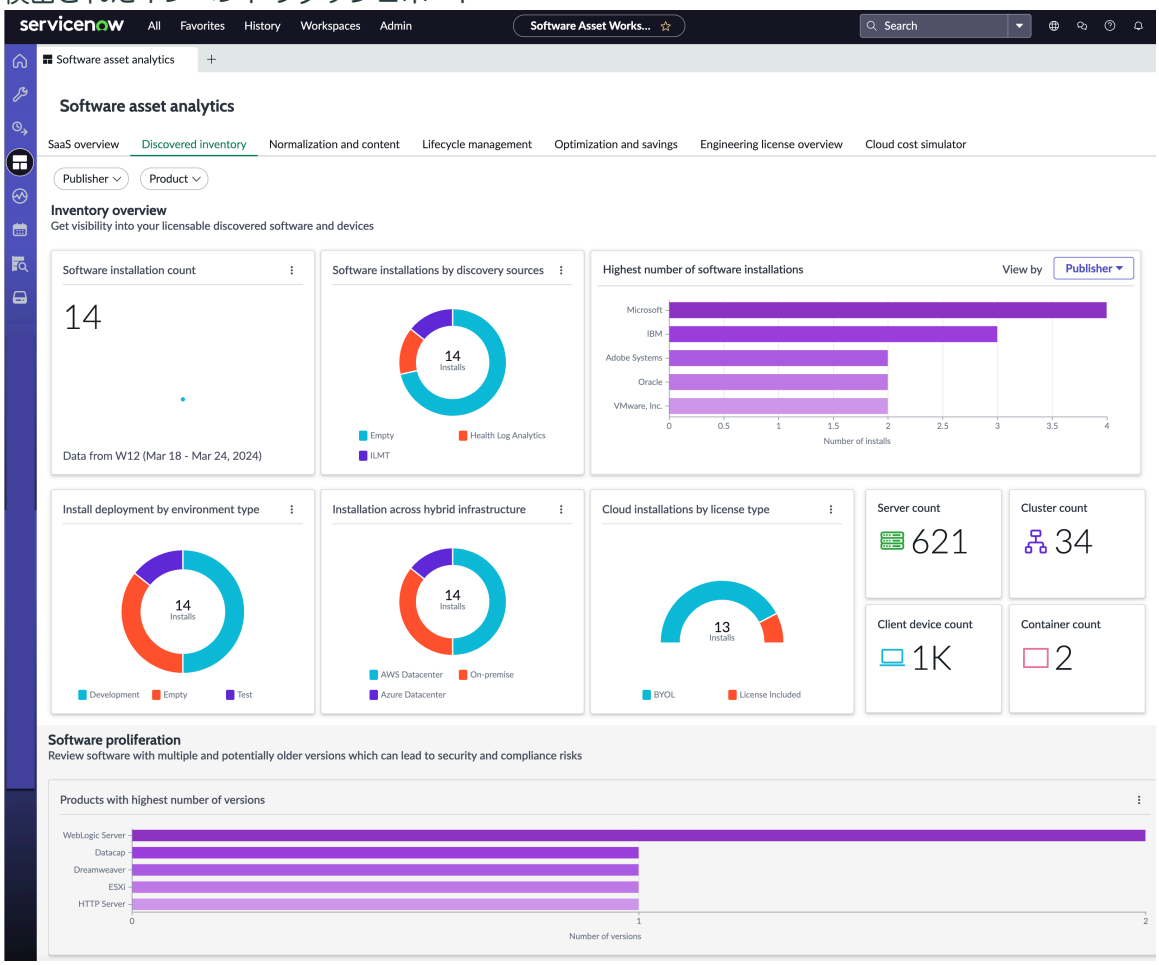
ソフトウェア資産ワークスペース の [ソフトウェア資産アナリティクス] ビューの [検出されたインベントリ] ダッシュボードで、ライセンス可能な検出されたソフトウェアとデバイスを表示します。

検出されたインベントリダッシュボードでは、ライセンス可能な検出済みソフトウェアとデバイスをすべて表示できます。また、このダッシュボードは、セキュリティとコンプライアンスのリスクにつながる可能性のある複数の (場合によっては古いバージョンを含む) ソフトウェア製品に関するインサイトも提供します。

パブリッシャーまたは製品に基づいてインストール数をフィルタリングできます。任意のレポートを選択すると、ソフトウェアのインストールに関する詳細情報が表示されます。

[検出されたインベントリ] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > 検出されたインベントリ.

検出されたインベントリダッシュボード



検出されたインベントリダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
ソフトウェアインストールカウント	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	正規化されたインストールと正規化されていないインストールの数。正規化されたインストールの詳細については、「正規化ステータス」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

検出されたインベントリダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	Description (説明)
ディスカバリーソース別のソフトウェアインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	ディスカバリーソース別にグループ化されたソフトウェアインストールの合計数。
最も多いソフトウェアのインストール数	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	さまざまな製品またはパブリッシャーのソフトウェアインストールの最大数。インストール数は、公開者別または製品別に表示できます。
環境タイプ別のインストール展開	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	環境のタイプ別にグループ化されたソフトウェア展開の数。
ハイブリッドインフラストラクチャ全体でのインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	インフラストラクチャのタイプ別にグループ化されたインストールの数。
ライセンスタイプ別のクラウドインストール	ソフトウェアのインストール [cmdb_sam_sw_install]	ライセンスタイプ別にグループ化されたクラウドインストールの数。
サーバー数	サーバー [cmdb_ci_server]	検出されたサーバーの数。
クラスター数	クラスター [cmdb_ci_cluster] Windows クラスター [cmdb_ci_win_cluster] UNIX クラスター [cmdb_ci_unix_cluster] VMware vCenter クラスター [cmdb_ci_vcenter_cluster] Hyper-V クラスター [cmdb_ci_hyper_v_cluster] Nutanix クラスター [cmdb_ci_nutanix_cluster]	検出されたクラスターの数。
クライアントデバイス数	コンピューター [cmdb_ci_computer]	検出されたコンピューターの数。
コンテナ数	Docker コンテナ [cmdb_ci_docker_container]	検出された Docker コンテナの数。
バージョン数が最も多い製品	ソフトウェアディスカバリーモデル	降順でバージョン数が最も多いソフトウェア製品。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

検出されたインベントリダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	Description (説明)
	[cmdb_sam_sw_discovery_model]	

[正規化とコンテンツ] ダッシュボード

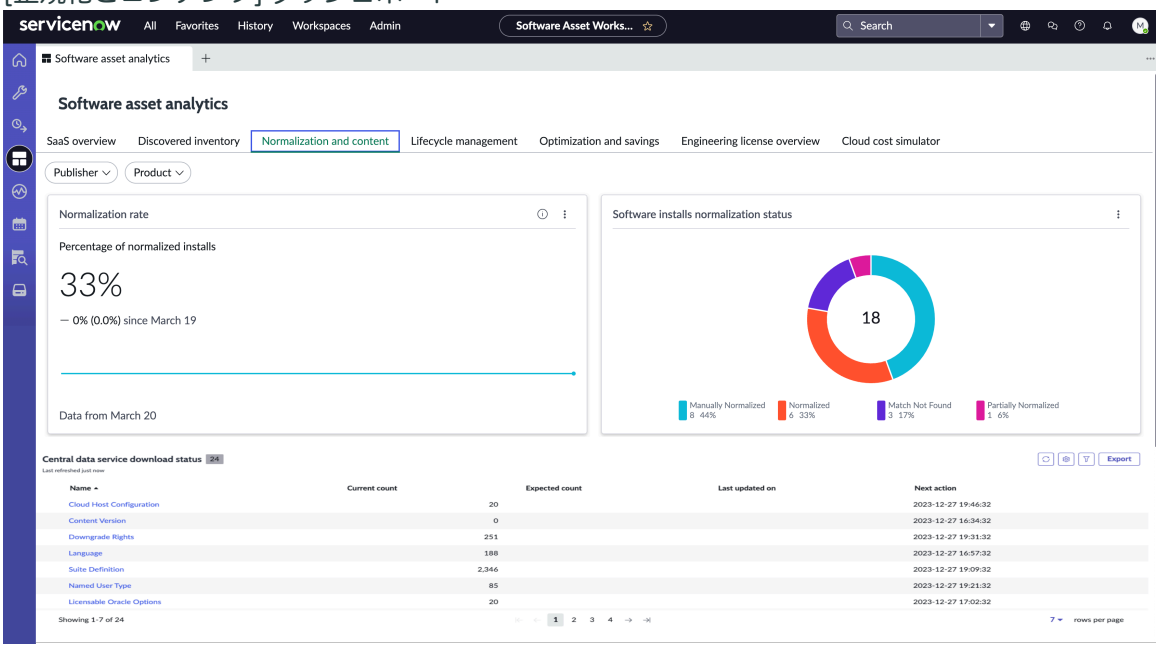
正規化傾向チャートは、 ソフトウェア資産ワークスペース のパフォーマンスアナリティクスと統合されている [正規化とコンテンツ] ダッシュボードに表示されます。

正規化チャートの結果は、 *SAM - Discovery Model Normalization* ジョブが実行されると毎日更新されます。

パブリッシャーまたは製品フィルターを使用して、パブリッシャーまたは製品に基づいてインストール数をフィルタリングできます。

[正規化とコンテンツ] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > 正規化とコンテンツ.

[正規化とコンテンツ] ダッシュボード



正規化とコンテンツダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
正規化されたインストールの割合	ソフトウェアディスカバリーモデル [cmdb_sam_sw_discovery_model]	ソフトウェアインストール全体に対する、完全に正規化されたソフトウェアインストールの割合。 フィルターパブリッシャーまたは製品を使用して、インストール率を表示できます。
ソフトウェアインストール正規化ステータス	ソフトウェアディスカバリーモデル	正規化ステータスに基づくソフトウェアインストールの数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化とコンテンツダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	Description (説明)
	[cmdb_sam_sw_discovery_model]	ドーナツグラフで正規化ステータスを選択すると、ディスカバリーモデルのリストと各ディスカバリーモデルのインストール数が表示されます。さらに検出モデルを選択すると、ソフトウェアインストールのリストを表示できます。 このウィジェットのレポートは、次の日次スケジュール済みジョブが正常に実行された場合にのみ入力されます。 • *SAM - Normalize discovery models using content library rules* • *SAM - Daily Job*

セントラルデータサービスのダウンロードステータス

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リストは、 *SAM - Central Data Service Download Status* ジョブの実行時に毎日更新されます。

セントラルデータサービスのダウンロードステータスのフィールド

Field (フィールド)	説明
名前	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。
最終更新日	データが最後にプルされた日時。
次のアクション	テーブルからデータをプルする次のスケジュール日時。

ライフサイクル管理ダッシュボード

資産内の提供終了 (EOL) ソフトウェア製品を確認および追跡して、EOL に達している、または既に到達しているソフトウェア製品に関連するリスクを軽減します。

ライフサイクル管理ダッシュボードには、製品ライフサイクル、現在および過去の EOL 製品ライフサイクル、今後 18 か月間に予定されている EOL 製品ライフサイクルに関するレポートが表示されます。EOL ワークフローのステータスとワークフローアクションを表示することもできます。

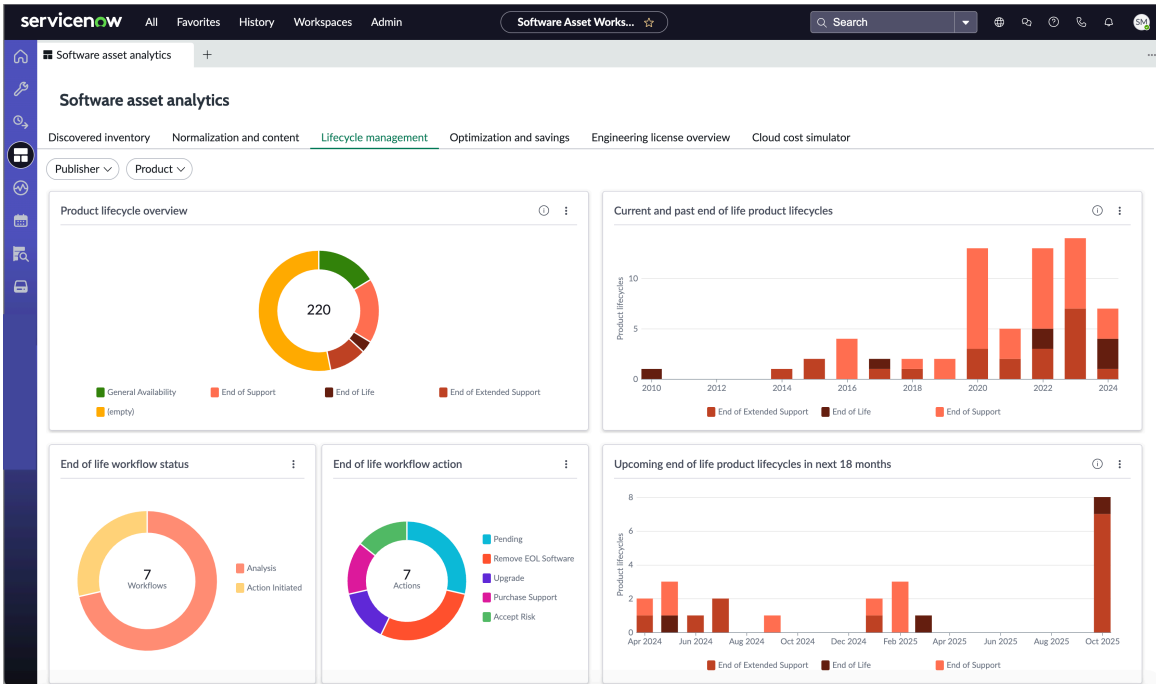
ライフサイクル管理ダッシュボードにアクセスするには、 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理.

公開者または製品に基づいて、ダッシュボードレポートをフィルタリングできます。任意のレポートを選択すると、製品ライフサイクルに関する詳細情報が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライフサイクル管理ダッシュボード



ライフサイクル管理ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
製品ライフサイクルの概要	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	ご使用の環境にインストールされているすべてのソフトウェア製品の製品ライフサイクルの詳細。 ライフサイクルフェーズを選択して、ご使用の環境内のソフトウェア製品の現在のフェーズを決定します。
現在および過去の提供終了製品のライフサイクル	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	EOL タイムラインに基づく、環境内のソフトウェア製品ライフサイクル。 グラフには、今年と過去 15 年間のデータが表示されます。
提供終了ワークフローステージ	ソフトウェア EOL 要求 [samp_sw_eol_request]	EOL ワークフローは、次のステージ別にグループ化されます。 • オープン • 分析 • アクションが開始されました • 完了 • キャンセル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライフサイクル管理ダッシュボードのメトリクス (続く)

レポート	ソース	Description (説明)
提供終了ワークフローアクション	ソフトウェア EOL 要求 [samp_sw_eol_request]	開始されたアクション別にグループ化された EOL ワークフロー: • 保留中:アクションは保留中です。 • EOL ソフトウェアの削除:資産インベントリから EOL ソフトウェア製品を削除します。 • アップグレード:最新バージョンまたはサポートされているソフトウェアバージョンにアップグレードします。 • サポートの購入: メンテナンス用の追加サポートを購入します。 • Azure への移行: Microsoft Azure に移行します。このアクションは、 Microsoft 製品でのみ使用できます。 • Accept risk (リスクを受容):EOL ソフトウェアに関連するリスクを受容します。 注: このチャートには、[ドラフト] または [キャンセル] ステージにある EOL ワークフローは含まれません。
今後 18 か月以内に提供終了が予定されている製品のライフサイクル	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	今後 18 か月以内に EOL に達する環境内のソフトウェア製品ライフサイクル。

EOL ソフトウェアに関連するリスクを軽減するためのワークフローの管理

製品ライフサイクルを追跡することで、EOL (EOL)、サポート終了 (EOS)、または延長サポート終了に近づいている、または既に達しているソフトウェア製品を管理できます。

ソフトウェア製品ライフサイクルレポートを使用して、EOL ソフトウェア製品に必要なアクションを実行できます。このレポートは、ライフサイクル管理ダッシュボードで [今後 **18** か月以内に予定されている提供終了製品ライフサイクル] または [現在および過去の提供終了製品ライフサイクル] レポートを選択すると開きます。現在のフェーズがサポート終了、拡張サポート終了、または提供終了となっているソフトウェア製品の EOL 要求を作成できます。詳細については、「ソフトウェア製品の提供終了ワークフロー要求の作成」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア製品の提供終了ワークフロー要求の作成

サポート終了 (EOL) に達した、または今後 18 か月以内にサポート終了を迎えるソフトウェア製品のインストールに関連するリスクを管理します。EOL 要求を作成し、EOL ソフトウェアに対して必要なアクションを実行できます。

始める前に

必要なロール：

- EOL 要求の作成または変更:sam_admin
- EOL 要求の読み取り:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー
- EOL タスクの完了:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー

このタスクについて

ソフトウェア製品が EOL、サポート終了、または延長サポート終了に達すると、障害のリスクが高まります。EOL に近づいている、または既に EOL に達しているソフトウェア製品を削除するか、最新のソフトウェアバージョンにアップグレードするか、メンテナンスのための追加サポートを購入するかを選択できます。EOL ワークフローでは、EOL ソフトウェア製品に対して選択したアクションに基づいて、変更要求を完了するプロセスを実行します。EOL ソフトウェアの追加サポートを購入する場合は、発注書を作成できます。

注: 発注書 (PO) を完了するには、 調達 プラグイン (com.snc.procurement) を有効にする必要があります。

EOL ワークフローは、Flow Designer アプリケーションのソフトウェア提供終了フローを使用して完了することもできます。フローのコピーを作成し、作成したコピーをカスタマイズすることで、要件に応じてソフトウェアの提供終了フローをカスタマイズできます。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理.
2. ライフサイクル管理ダッシュボードで、[今後 **18** か月以内に提供終了が予定されている製品ライフサイクル] レポートまたは [現在および過去の提供終了製品ライフサイクル] レポートを選択します。

   [提供終了製品] ページには、ソフトウェア製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecyle] テーブルを使用して計算された現在および今後のライフサイクルフェーズが表示されます。詳細については、「ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント」を参照してください。

3. 現在のフェーズがサポート終了、拡張サポート終了、または提供終了のいずれかであるレコードを選択します。
   選択したレコードのソフトウェア製品ライフサイクルレポートが開きます。

   注: ソフトウェア製品ライフサイクルレポートには、次の場所に移動してアクセスすることもできます。 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況 > レポート.

4. [**Manage EOL risk (EOL** リスクの管理)] を選択して、EOL 要求を作成します。

   ソフトウェア EOL 要求フォームの製品の詳細は、ソフトウェア製品ライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report] テーブルから入力されます。

5. ソフトウェア EOL 要求フォームのフィールドに入力します。
   フィールドと説明の詳細については、「 ソフトウェア EOL 要求フィールド」を参照してください。
6. EOL ワークフローを開始して、EOL ソフトウェアに必要なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [**EOL** ワークフローの開始] を選択します。

b. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブを選択します。

c. ソフトウェア EOL タスクフォームのフィールドに入力します。
フォームのフィールドと説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

d. [ソフトウェア **EOL** サブタスク **(Software EOL Subtasks**)] タブを選択して、親タスクのサブタスクを完了します。

> **注:** 親タスクにサブタスクがある場合は、すべてのサブタスクをクローズする必要があります。

e. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブにリストされているすべてのタスクについて、手順 b ～ d を繰り返します。

- [ソフトウェア **EOL** タスク] タブの [アクション] フィールドで次のいずれかの値を選択すると、変更要求が生成されます。
  - EOL ソフトウェアを削除する
  - アップグレード
  - Azure に移動

  EOL ソフトウェア製品の削除の詳細については、「ソフトウェア製品の提供終了ワークフロー要求の完了」を参照してください。変更要求の完了とそれに必要なロールの詳細については、「変更要求の処理」を参照してください。
- [アクション] フィールドで [サポートの購入] を選択し、EOL タスクで **[PO** の自動作成] オプションを選択すると、発注書が作成されます。発注書の完了と発注書に必要なロールの詳細については、「発注明細を作成する」を参照してください。

親タスクを完了すると、[ステージ] フィールドが更新されてタスクのステージが反映されます。さらに、[**Action initiated** (アクション開始済み)] フィールドが更新され、EOL 要求に対して選択したアクションが反映されます。

> **注:** EOL ワークフローは、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択し、[**EOL** 要求のキャンセル] を選択することでいつでもキャンセルできます。

タスクの結果
変更要求または発注書が完了すると、ワークフロー要求が完了します。

ソフトウェア製品の提供終了ワークフロー要求の完了

資産インベントリから提供終了 (EOL) ソフトウェア製品を削除するために必要なすべてのタスクを実行します。IT 戦略タスクの決定で [アクション] フィールドを **[EOL** ソフトウェアを削除] に設定した場合は、これらのソフトウェア EOL タスクを実行する必要があります。

始める前に
EOL ソフトウェアの削除を続行する前に、EOL ワークフロー要求を開始する必要があります。詳細については、「ソフトウェア製品の提供終了ワークフロー要求の作成」を参照してください。

必要なロール:sam_user、タスクがアサインされている itil ロールを持つユーザー

自動翻訳

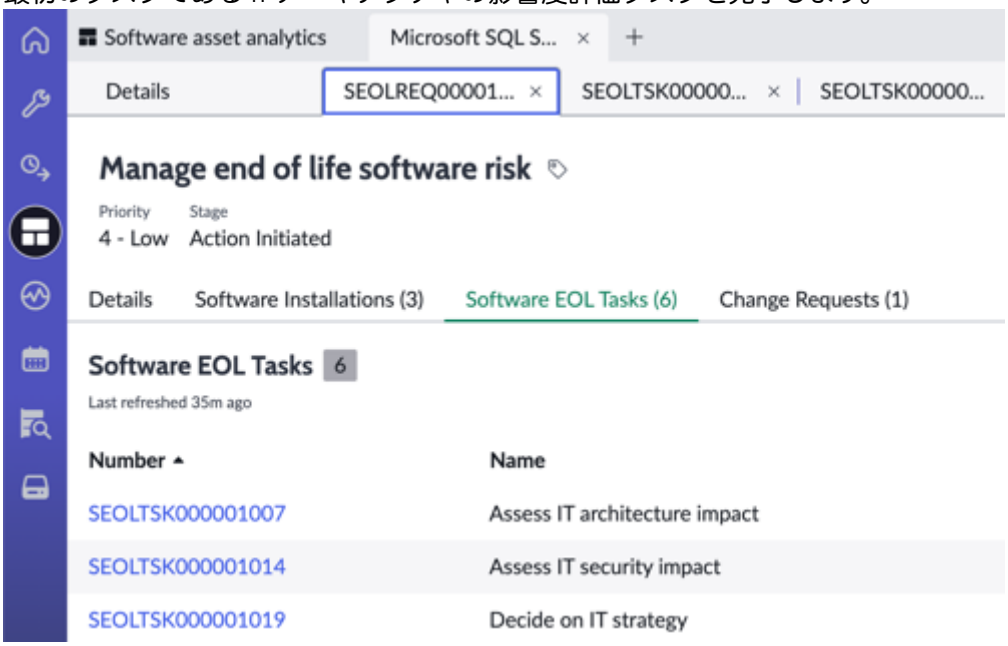
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
EOL 要求をクローズするには、ワークフローを完了するために必要なすべてのタスクをクローズして完了する必要があります。次の手順では、[IT 戦略を決定] タスクで [アクション] フィールドを **[EOL** ソフトウェアを削除] に設定した場合に、EOL 要求をクローズする方法について説明します。同じアプローチを適用して、[IT 戦略を決定] タスクの [アクション] フィールドで次の可能な値の EOL 要求をクローズできます。

- アップグレード
- 購入サポート
- Azure に移動
- リスクを承認

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > ライフサイクル管理.
2. ライフサイクル管理ダッシュボードで、[今後 **18** か月以内に提供終了予定の製品ライフサイクル] レポートまたは [現在および過去の提供終了製品ライフサイクル レポート] を選択して、[提供終了 (EOL) 製品] ページを開きます。
3. 利用可能な EOL 製品のリストから、EOL ワークフローを完了する製品を選択します。
4. 製品レコードで、[ソフトウェア **EOL** 要求 **(Software EOL Requests**)] タブを選択します。
5. 利用可能なソフトウェア EOL 要求のリストから、タスクを完了する要求番号を選択します。
6. 最初のタスクである IT アーキテクチャの影響度評価タスクを完了します。



   a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT アーキテクチャの影響度の評価] タスクのタスク番号を選択します。

   b. IT アーキテクチャの影響度評価タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
   フォームフィールドとその説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ソフトウェア **EOL** サブタスク] タブを選択して、[IT アーキテクチャの影響度の評価] タスクのサブタスクを完了します。

> **注:** 親タスクにサブタスクが含まれている場合は、すべてのサブタスクをクローズする必要があります。すべてのサブタスクをクローズすると、親タスクは [完了してクローズ] のステータスで自動的に更新されます。また、新しいタスクは、前のタスクをクローズして完了した後にのみ、[ソフトウェア **EOL** タスク] タブに表示されます。

7. [IT セキュリティへの影響度の査定] タスクを完了します。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT セキュリティへの影響度の評価] タスクのタスク番号を選択します。

b. [IT セキュリティへの影響度の評価] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。フォームフィールドとその説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [ソフトウェア **EOL** サブタスク] タブを選択して、[IT セキュリティへの影響度の評価] タスクのサブタスクを完了します。

8. IT 戦略の決定タスクを完了します。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT 戦略を決定] タスクのタスク番号を選択します。

b. [詳細] タブで、[アクション] フィールドで [**EOL** ソフトウェアの削除] を選択します。フォームフィールドとその説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[IT 戦略の決定] タスクが [完了してクローズ] ステータスで自動的に更新されます。対応するソフトウェアライセンス影響度評価タスクが [ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

9. ソフトウェアライセンスの影響度評価タスクを完了します。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[ソフトウェアライセンス影響度の査定] タスクのタスク番号を選択します。

b. [ソフトウェアライセンス影響度の査定] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。フォームフィールドとその説明の詳細については、「[ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[ソフトウェアライセンス影響度の査定] タスクは、[完了してクローズ] ステータスで自動的に更新されます。対応するセキュアバックアップ完了タスクが [ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

10. [Complete secure backup] タスクを完了します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[安全なバックアップの完了] タスクのタスク番号を選択します。

b. [安全なバックアップの完了] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[セキュリティで保護されたバックアップの完了] タスクは、[完了してクローズ] の状態で自動的に更新されます。対応する [IT 変更計画の作成] タスクが [ソフトウェア **EOL** タスク] タブのリストビューに表示されます。

11. [IT 変更計画を作成] タスクを完了します。

a. [ソフトウェア **EOL** タスク] タブで、[IT 変更計画の作成] タスクのタスク番号を選択します。

b. [IT 変更計画を作成] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。
フォームフィールドとその説明の詳細については、「 [ソフトウェア EOL タスク] タブ」を参照してください。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
[IT 変更計画を作成] タスクは、ステータスが [完了してクローズ] で自動的に更新されます。[変更要求] タブに変更要求が表示されます。

12. 変更要求を選択し、[変更要求] フォームに自動的に入力される値を確認します。
変更要求の完了の詳細については、「 変更要求の処理 」を参照してください。

タスクの結果
変更要求が完了すると、ワークフロー要求も完了します。

ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード

[Optimization and savings (最適化と節減額最)] ダッシュボードを使用して、ソフトウェア資産の実際のコスト削減と潜在的なコスト削減を表示します。さらに、 Microsoft、 Red Hat、 SAP などのサードパーティソフトウェアパブリッシャーに推奨されるライセンスの最適化を表示します。この情報を使用してライセンスをダウングレードしたり再利用したりすると、ライセンスコストを最適化できます。

注: ドメインフィルターを使用すると、選択したドメインに基づいて結果を絞り込むことができます。ドメインフィルターのデフォルト値は グローバルです。いつでもドメインを選択して、ウィジェットに選択したドメインを反映できます。選択したドメインをクリアすると、デフォルトで グローバルに戻ります。

ドメインフィルターは、次のプラグインがインストールされている場合にのみ画面に表示されます。

- Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- Performance Analytics - Domain Support (com.snc.pa.domain_support)

[最適化と節減額] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > 最適化と節約額.

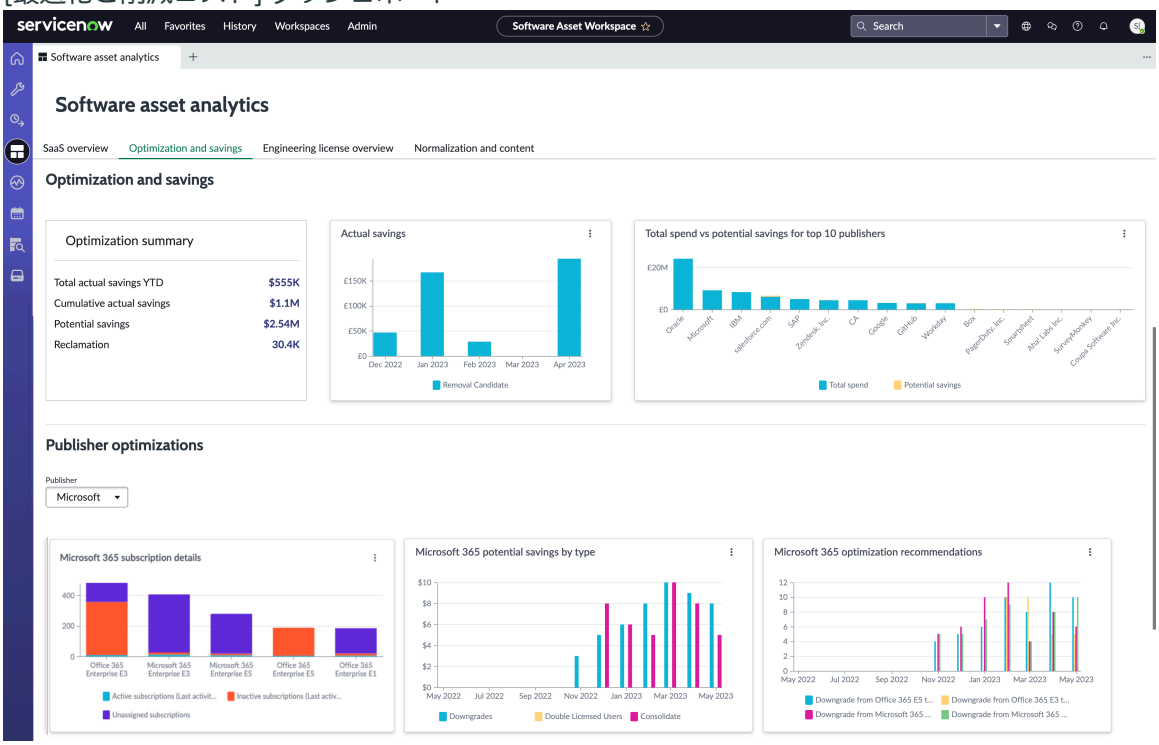
[**Publisher**] ドロップダウンリストからパブリッシャーを選択して、パブリッシャーのライセンスの最適化を表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- のパブリッシャーの最適化 SAP
- のパブリッシャーの最適化 Red Hat
- のパブリッシャーの最適化 Microsoft
- のパブリッシャーの最適化 Adobe

[最適化と削減コスト] ダッシュボード



最適化と節減額のダッシュボードメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
節減実績合計 (年初来)	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが [Closed Complete (完了してクローズ)] で、今年クローズ済み。
節減実績の累積	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが「完了してクローズ」で、見込まれる節減額の合計。
見込まれる削減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	ステータスが「完了してクローズ」または「キャンセルしてクローズ」または「スキップしてクローズ」で、見込まれる節減額の合計。
再利用	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	[アクティブ] が true です。
実際の削減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	クローズ済みの完全再利用候補の 5 か月履歴とそれに対応する節減額。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最適化と節減額のダッシュボードメトリクス (続く)

レポート	ソース	Description (説明)
合計支出額と節減見込み額の比較 上位 10 件のパブリッシャー	製品の結果 [samp_product_result] と削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	上位 10 件のパブリッシャーの履歴を、支出額とそれに対応する節減見込みでソートしました。

ワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品の使用状況レポートを表示することで、エンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を監視し、洞察を得ることができます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードには、AutoCAD、GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

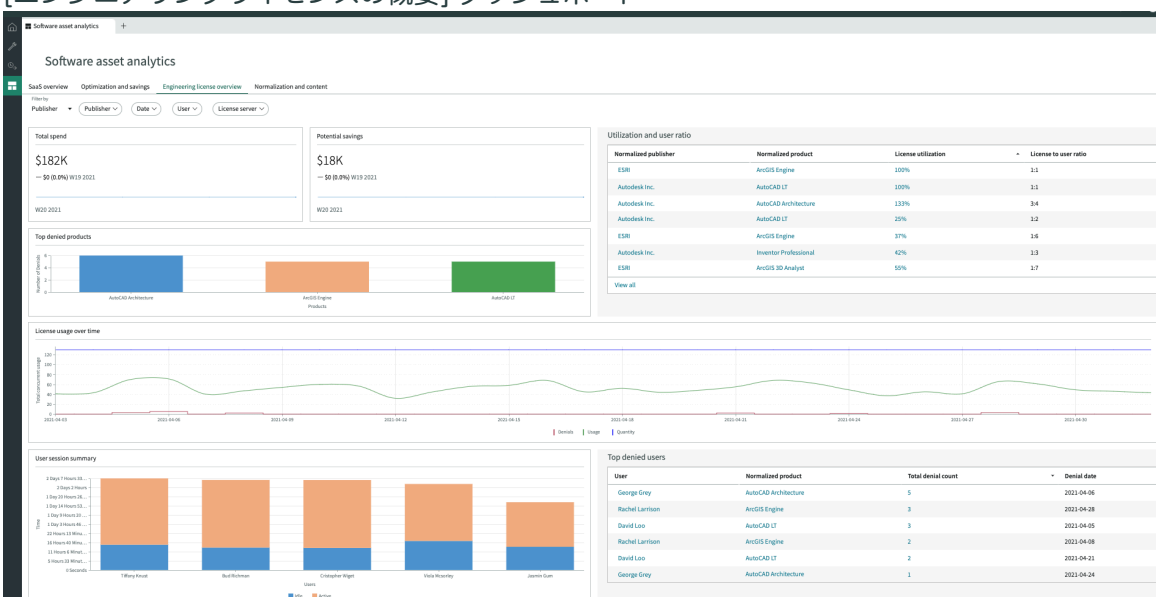
すべてのタブで製品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。日付、ユーザー、またはライセンスサーバーに基づいて、結果をさらに絞り込むことができます。

注: エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品とパブリッシャーのみがフィルターに表示されます。製品またはパブリッシャーが選択されていない場合は、エンジニアリング アプリケーションに属するすべての製品とパブリッシャーの累積データが表示されます。

すべてのレポートは、毎日、または新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > エンジニアリングライセンスの概要.

[エンジニアリングライセンスの概要] ダッシュボード



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードのメトリクス

レポート	ソース	Description (説明)
合計支出	製品の結果 [samp_product_result]	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。
見込み節減	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用がピークに達したためにユーザーに拒否された上位製品。
使用率とユーザー率	エンジニアリングアプリケーションの使用率とユーザー比率 [samp_eng_utilization_user_ratio]	正規化された製品およびパブリッシャーのライセンス使用率と、それらのライセンスを使用するユーザー数の割合。 • 正規化済みパブリッシャー • 正規化された製品 • ライセンス使用率:権限数に対する製品のピーク消費の割合。 • ライセンスとユーザーの比率: 90 日間の権利期間における、この製品を使用するユーザーに対するこのライセンスを使用する権利の比率。
時間経過によるライセンス使用率	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	利用可能なすべてのライセンスの総数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品が対象です。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用状況を示します。 • 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ユーザーセッションサマリー	エンジニアリングアプリケーション使用状況サマリー [samp_eng_app_usage_summary]	ユーザーが製品に対して費やした時間 (アイドルとアクティブ)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードのメトリクス (続く)

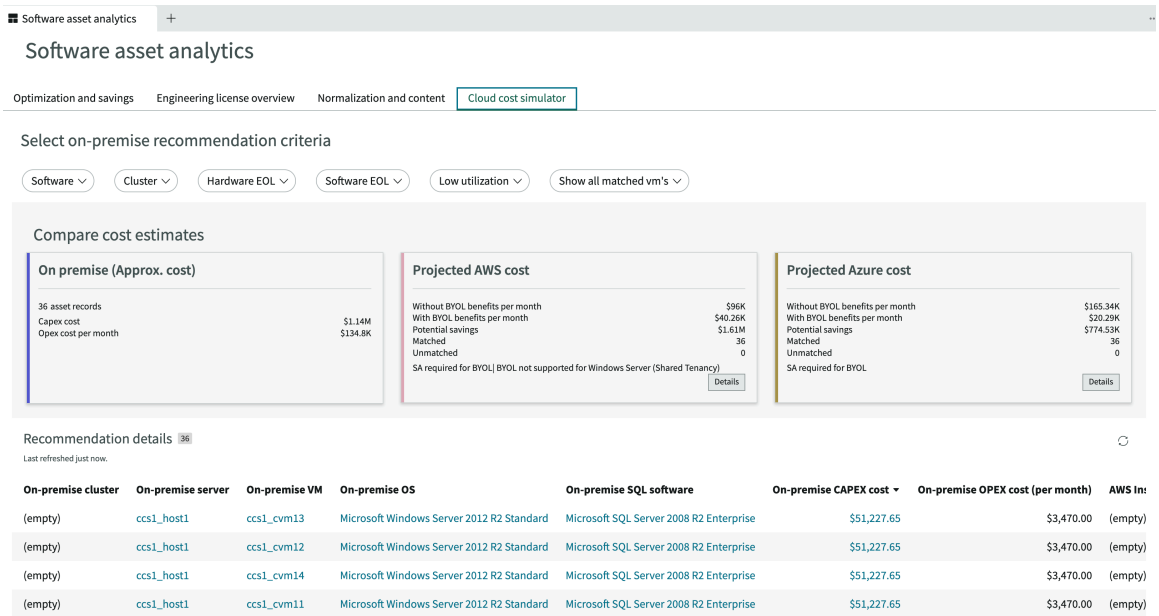
レポート	ソース	Description (説明)
		注: アイドルは合計アイドル時間列の集計値で、[アクティブ] は合計セッション期間列の集計値です。
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスが拒否された上位ユーザー。

クラウドシミュレーターダッシュボード

クラウド環境ごとに、オンプレミスのリソースをクラウドに移行するコストの見積もりを比較および評価します。

クラウドコストシミュレーターダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。**Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス > クラウドコストシミュレーター.

クラウドコストシミュレーターダッシュボード



オンプレミスのリソースでフィルターを使用して、クラウド移行のコストに関する推奨事項を受け取るための基準を指定します。

- ソフトウェア
- クラスター
- ハードウェア EOL
- ソフトウェア EOL
- 低使用率
- 一致するすべての VM を表示

注: 最適化と節減額ダッシュボードを使用して、フィルターなしで推奨事項を表示することもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定した基準に基づいて推奨事項が一覧表示されます。指定した条件を満たす仮想マシンレコードが一覧表示されます。各仮想マシンのオンプレミスのコストに加えて、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、クラウド上の対応する仮想マシンの最適な価格一致 (AWS と Microsoft Azure) が自動的に一覧表示されます。

[コスト見積もりの比較] セクションで、すべてのオンプレミス レコードの総コストを表示したり、AWS と Microsoft Azure の個々のコストを比較したりできます。

移行先のクラウド環境を決定したら、[変更要求] をクリックしてクラウド移行要求を開始します。

コスト推定の比較

投資コスト	減価償却費を含めた後の計算済みハードウェアコスト
月間経費コスト	ソフトウェアエンタイトルメント (Windows Server、SQL Server、ソフトウェアアシュアランス、拡張セキュリティ更新プログラムのコスト) から計算されます。ユーザーが作成した構成アイテム (CI) レートカードからも計算されます。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生なし	インスタンスのコスト (コンピューティングコスト、OS コスト、ソフトウェアコスト) とストレージコスト。
1 か月あたりの BYOL 福利厚生あり	インスタンスコストのコスト (コンピューティングコスト) とストレージコスト。
見込まれる削減	すべての推奨事項を適用した場合の合計節減額。
一致	オンプレミスの仮想マシンと一致するクラウド上の仮想マシンの数。
不一致	オンプレミスの仮想マシンと一致しないクラウド上の仮想マシンの数。

の成功ポータルビュー ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース の成功ポータルビューを使用して、成功目標を掲げた ソフトウェア資産管理 (SAM) アプリケーションの進捗状況の追跡、目標の成功を追跡するアクティビティのアサイン、ソフトウェアの健全性チェックの実行、SAM 機能の最大活用、事前定義された成熟度アイテムによる SAM プログラムの成熟化を行います。

成功ポータルは、次のアクションの実行に役立ちます。

- 成功目標を通じて **SAM** アプリケーションの進捗状況を追跡する

  成功目標は、ソフトウェアライセンスから得られる価値を分析し、予測される節減額を計算するのに役立ちます。追跡するライセンスの成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「 の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

- 成功目標の進捗状況を追跡

  目標の成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。詳細については、「の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理」を参照してください。

- ソフトウェアの健全性チェックを実行する

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

健全性チェックを実行してライセンス、権限、および構成の健全性を確認し、各ソフトウェアスイートを最大限に活用します。詳細については、「健全性チェック」を参照してください。

- 値ビルダータスクを使用してソフトウェアを最新の状態に保つ

  値ビルダータスクで設定する必要があるソフトウェアアップグレード、パブリッシャーパック、および統合の概要について説明します。これらのタスクは自動的に作成されますが、必要に応じて独自のタスクを作成できます。詳細については、「値ビルダー」を参照してください。

- 事前定義された成熟度アイテムで **SAM** プログラムを成熟させる

  プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、ランの各ステージに分類され、組織内のプロセス、機能、機能など、SAM プログラムの価値リターンを向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標と値ビルダータスクにリンクして、SAM アプリケーションの改善を経時的に追跡およびレポートできます。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

次の条件が満たされると、メール通知が送信されます。

- 成功目標がそのグループにアサインされたとき。
- オーナーに対して、成功目標がそのオーナーにアサインされたとき。
- オーナーに対して、成功目標が「レビュー待ち」としてマークされている場合。
- 成功アクティビティがアサインされたときに、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループへ。

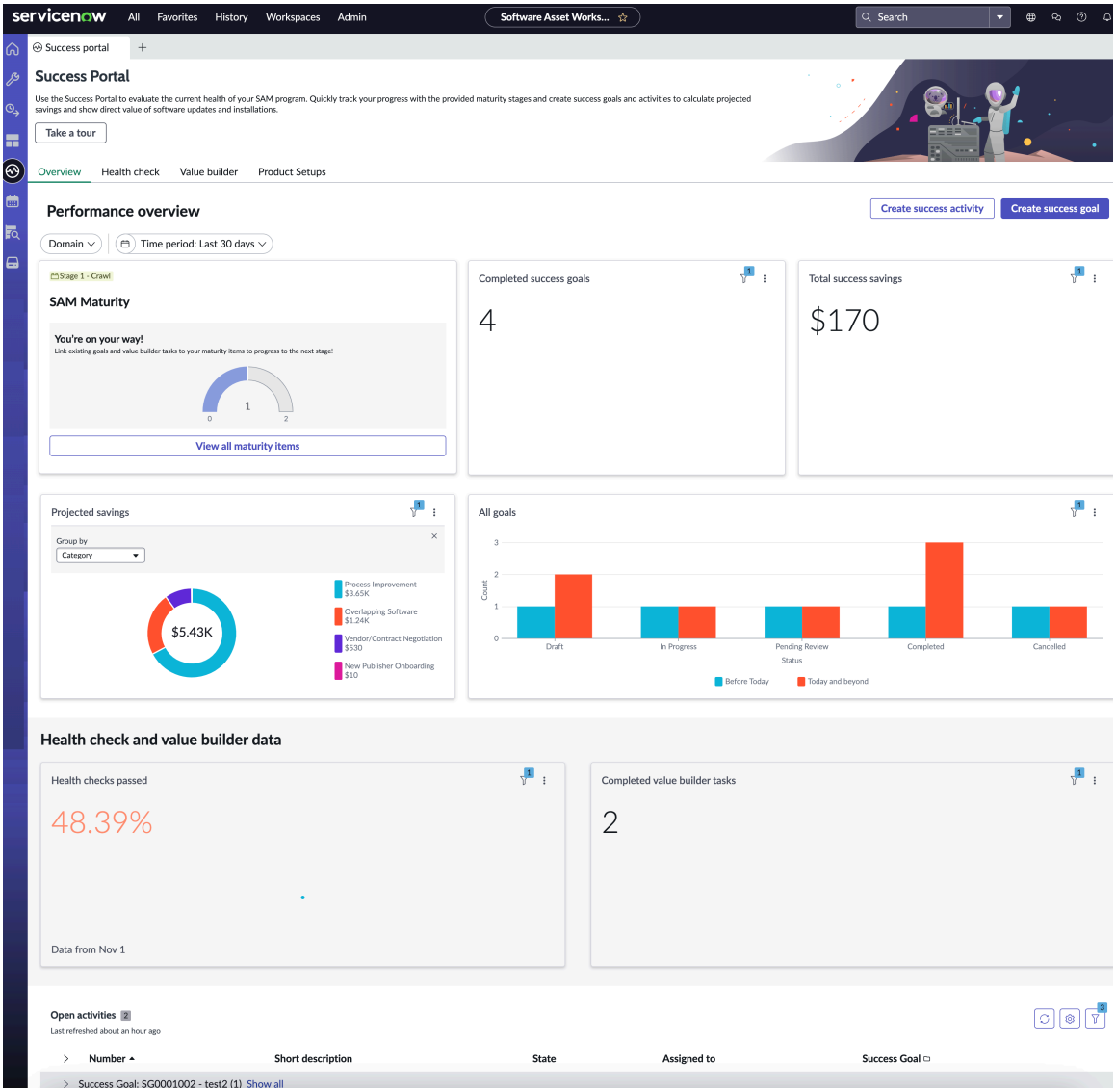
成功ポータルビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.

サクセスポータルは、パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合にドメインセパレーションをサポートします。ドメイン別にデータをフィルタリングするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成功ポータルビュー



自動翻訳

サクセスポータルダッシュボード

ウィジェット	Description (説明)
SAM 成熟度	クロール、ウォーク、ランステージなど、SAM プログラムの成熟度の現在のステージ。 [すべての成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理」を参照してください。
完了した成功目標	完了した成功目標の合計数。
達成した合計削減額	完了した成功目標からの節減実績。
予測された節減額	成功目標から予想される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
すべての目標	次のステータス別にグループ化されたすべての成功目標:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サクセスポータルダッシュボード (続く)

ウィジェット	Description (説明)
	• ドラフト • 進行中 • レビュー待ち • 完了 • キャンセル
健全性チェックと値ビルダーのデータ	
健全性チェックに合格しました	健全性チェックの成功率。
完了した値ビルダーのタスク	完了した値ビルダータスクの数。
未解決アクティビティ (Open activities)	成功目標アクティビティを開きます。

健全性チェック

健全性チェックダッシュボードを使用して、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションの構成に対して実行された健全性スキャンの結果を表示します。

健全性チェックダッシュボードにアクセスするには、 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル > 健全性チェック.

健全性チェックダッシュボードを表示するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがアクティブ化され、 ServiceNow Store から ITAM 健全性チェックアプリケーションがインストールされていることを確認します。このダッシュボードにアクセスして健全性スコアデータを表示するには、scan_user および sam_admin ロールが必要です。

> **注:** Rome または San Diego リリースを使用している場合、フルスキャンを実行して、ベースシステムスキャンダッシュボードに結果を表示する必要があります。フル スキャンの実行の詳細については、「 フル スキャンの実行 」を参照してください。

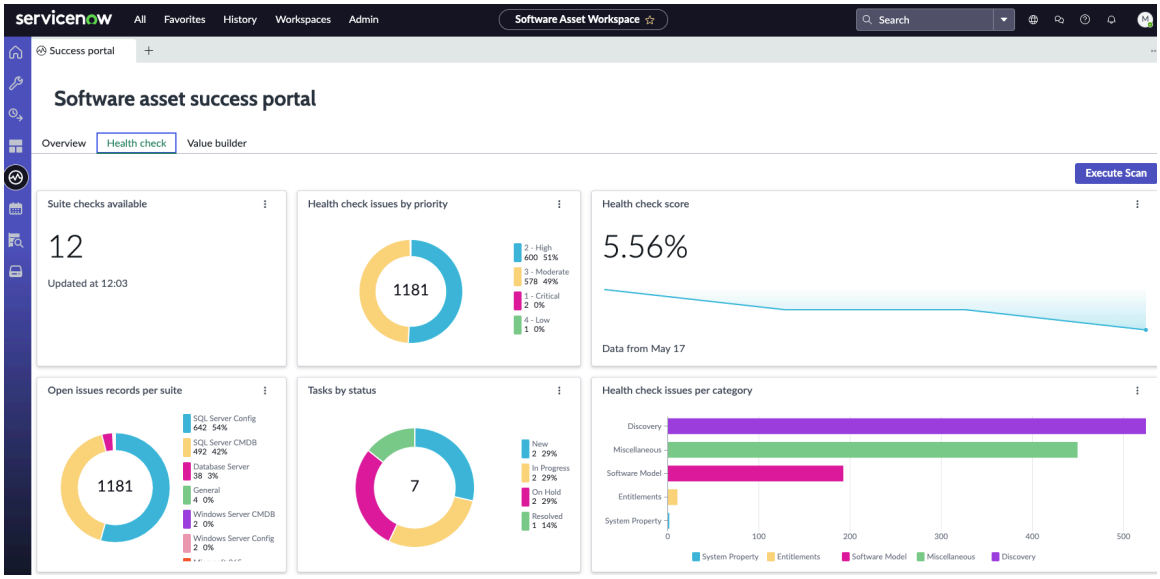
[ドメイン] を選択し、健全性チェック結果を表示するドメインを選択します。

[スキャンを実行] を選択して、スイートのスキャンを実行することもできます。スキャン結果を検証して、それに応じて動作させます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボード



健全性チェックダッシュボードウィジェット

ウィジェット	説明
利用可能なスイートチェック	次のスイートで利用可能なチェックの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB • Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • ジャワ- Oracle • Microsoft 365 • 全般
健全性チェックの問題 (優先度別)	優先度に基づく問題。次から選択できます。 • 低 • 中程度 • 高い • 重大
健全性チェックスコア	成功した健全性チェックの数を示します。たとえば、10 回の健全性チェックが実行され、6 回の健全性チェックのみが合格した場合、スコアは 60% になります。
スイートごとの未解決の問題レコード	次の各スイートのオープンレコードの数: • SQL Server 構成 • SQL Server CMDB • Windows Server CMDB

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

健全性チェックダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	説明
	• Windows Server 構成 • データベースサーバー: Oracle • ジャワ- Oracle • Microsoft 365 • 全般
タスク (ステータス別)	健全性スコアの結果に関連して作成されたタスクのステータス。 • 新規 • 進行中 • 保留中 • 解決済み
健全性チェックの問題 (カテゴリ別)	健全性チェックスキャンの結果として特定された問題の分類。 • ディスカバリ • ソフトウェアモデル • エンタイトルメント • システムのプロパティ • その他

自動翻訳

値ビルダー

統合、プレイブック、その他のインストールに関するインサイトを取得することで、 ソフトウェア資産管理 アプリケーション機能を最大限に活用します。

値ビルダーの概要

sam_manager ロールは、まだ実装されていない機能や使用されていない機能を特定し、優先順位を付けることができます。

値ビルダー機能を使用して、次のアクションを実行できます。

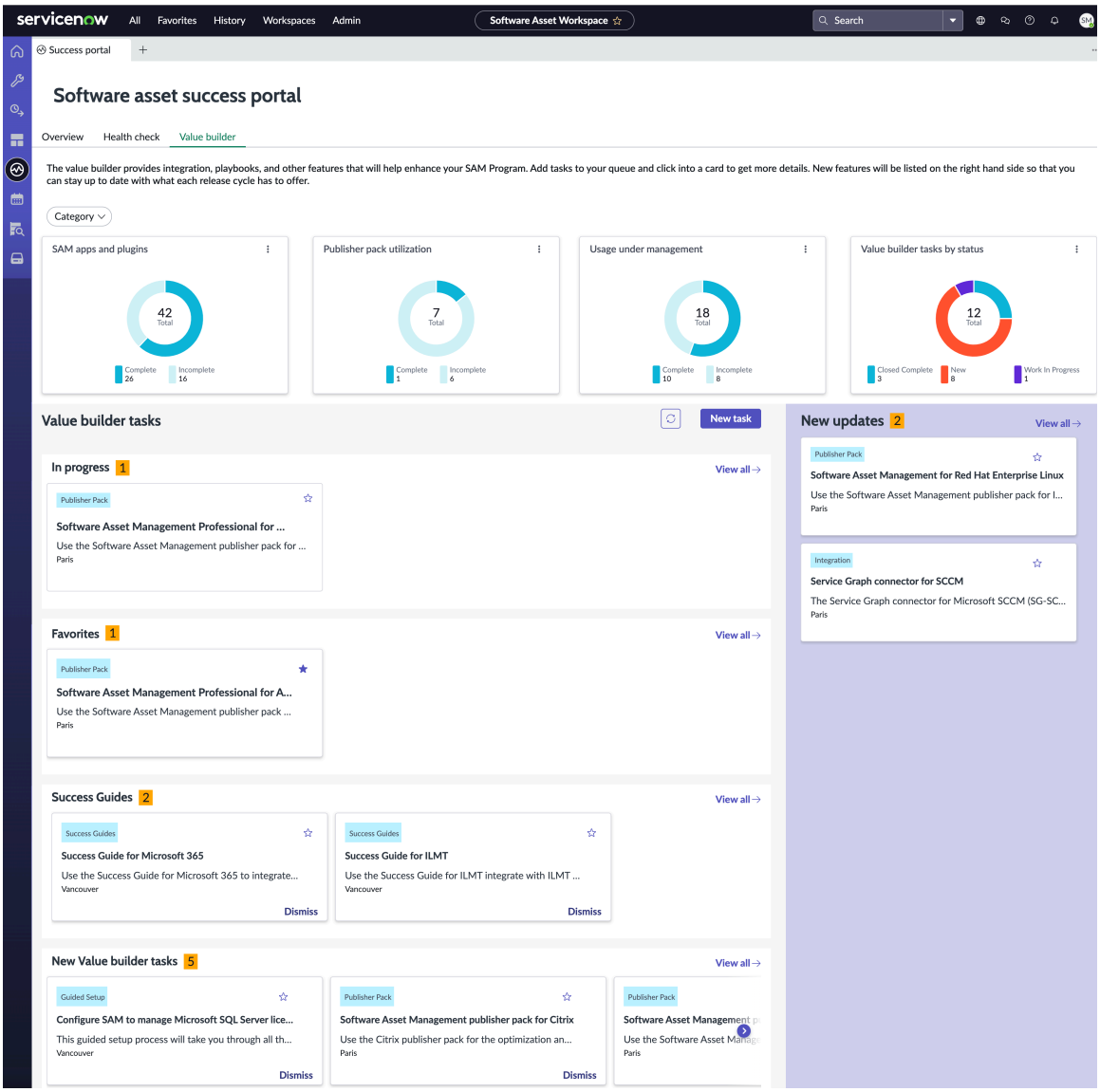
- インスタンスが ソフトウェア資産管理 アプリケーションの価値の最大化にどの程度近づいているかを学習します。
- パブリッシャーパックが完全に使用されておらず、不完全であると識別された場合に自動的に生成される値ビルダータスクを追跡します。値ビルダータスクを手動で作成することもできます。詳細については、「値ビルダータスクの作成」を参照してください。
- ドメインまたはカテゴリでデータをフィルタリングすることも、ドメインとカテゴリの両方でフィルタリングすることもできます。フィルターはダッシュボード全体に適用され、選択すると、特定のフィルターに一致するデータのみが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タスクをお気に入りとしてマークすることで、特定のタスクの優先順位を付けたり、可視化を高めたりします。
- 最新の情報を入手し、今後のリリースで利用できる新機能をひと目で把握します。

[Value builder (値ビルダー)] セクションでは、最大 15 のタスクを表示できます。追加のタスクを表示するには、[すべて表示] をクリックします。

値ビルダーダッシュボード



値ビルダーのユースケース

値ビルダーには、sam_userロールに 4 つのドーナツグラフウィジェットが表示されます。各ウィジェットには、インスタンスが ソフトウェア資産管理 機能を十分に活用できていない状況が表示されます。

たとえば、パブリッシャーパックの使用状況ウィジェットには 5 つのパブリッシャーパックが表示されますが、インスタンスで使用されているのは 4 つだけです。使用されていない追加のパブリッシャーパックに対して値ビルダータスクが自動的に作成され、[New Value Builder tasks (新しい値ビルダータスク)] セクションに表示されます。このタスクに優先順位を付け、星アイコンをクリックすると、このタスクをお気に入りリストに追加できます。このタスクを実行しない場合は、[却下] をクリックして [新しい値ビルダータスク] セクションから削除できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

値ビルダーウィジェット

ドーナツグラフウィジェットを選択すると、レコードのリストビューに移動します。たとえば、不完全なパブリッシャーパックレコードを表示する場合は、ドーナツグラフウィジェットで不完全な部分を選択します。

次の 2 つのスケジュール済みジョブが実行された後、すべてのウィジェットが更新され、値ビルダータスクが作成されます。

- *SAM- Update value builder usage*
- *SAM- Value builder content handler*

ウィジェット	ソース	Description (説明)
SAM アプリとプラグイン	SAM アプリとプラグイン [samp_sp_apps_and_plugins]	使用可能なすべての ソフトウェア資産管理 プラグインとストアアプリケーション、およびインスタンスにインストールされていないプラグインとストアアプリケーションの数。 [完了] は、インストールされているストアアプリケーションとプラグインを示します。[未完了] は、まだインストールされていないストアアプリケーションとプラグインを示します。
パブリッシャーパックの使用状況	SAM Publisher Pack の使用状況 [samp_sp_publisher_pack_utilization]	使用可能なすべてのパブリッシャーパックと、実際に使用されているパブリッシャーパックの数。 [完了] は、完全に使用されているパブリッシャー パックを示します。未完了 は、完全に使用されていないパブリッシャーパックを示します。 公開者パックの使用率は基準によって異なります。パブリッシャーパックレコードの [使用状況の詳細] セクションの 3 つの詳細 (プラグインが有効?、使用状況が見つかりました?、エン タイトルメントが作成されました?) の値が true の場合、パブリッシャーパックは完全に使用されていると見なされ、完了に設定されます。3 つのエンティティのうち 1 つでも値が false の場合、パブリッシャーパックは完全には使用されていないと見なされ、不完全に設定されます。値ビルダータスク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	Description (説明)
		は、不完全な公開者パックに対して自動的に作成されます。 [使用状況が見つかりましたか?] の基準は、公開者パックごとに異なります。各パブリッシャーパックの特定の **[Usage found?**] 基準の詳細については、「パブリッシャーパックの使用基準」を参照してください。
管理対象の使用率	管理対象の SAM 使用率 [samp_usage_under_management]	ライセンス可能なすべての製品の使用状況。 ライセンス可能な製品の使用は、基準によって異なります。[使用状況が見つかりましたか?] と [エンタイトルメントが作成されました?] の両方の値が true の場合、その製品は使用されていると見なされます。 使用状況が見つかりましたか? の基準は製品ごとに異なります。使用状況が見つかりましたか? 完了したと見なされるには、製品のインスタンスで次のエンティティのいずれかが検出される必要があります。 • ディスカバリーモデル • クライアントアクセスレコード • サブスクリプション
ステータス別の値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	次のステータスにあるすべての値ビルダータスク: • 新規 • 処理中 • 審査待ち • 完了してクローズ 注: [スキップしてクローズ] ステータスの値ビルダータスクは表示されません。
値ビルダータスク (進行中)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	現在進行中の値ビルダータスク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	ソース	Description (説明)
値ビルダータスク (お気に入り)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	お気に入りとしてマークされた値ビルダータスク。 [値ビルダータスク] セクションで、値ビルダータスクの前にある星アイコンをクリックして、お気に入りとしてマークします。
値ビルダータスク (サクセスガイド)	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	サクセスガイドへのアクセスを可能にする値ビルダータスク。
新しい値ビルダータスク	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	まだ [新規] ステータスであり、お気に入りではないすべての値ビルダータスク。
新規更新	SAM 値ビルダータスク [samp_sp_vb_task]	今後のリリースの機能のプレビュー。

値ビルダータスクの作成

インスタンスで十分に活用されていないパブリッシャーパックの値ビルダータスクを手動で作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

値ビルダータスクは、パブリッシャーパックの使用状況ウィジェットで未完了として示されているすべてのパブリッシャーパックに対して自動的に作成されます。ただし、値ビルダータスクを手動で作成することもできます。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > **Software asset success portal** > 値ビルダー.
2. [新しいタスク] をクリックします。
   [新規 SAM 値ビルダータスクを作成 (Create New SAM Value Builder Task)] ページが表示されます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
説明	タスクに関連する特定の指示。
番号	タスクにアサインされた番号。
カテゴリ	このタスクが属するカテゴリ。
成功目標	このタスクを一致させる成功目標。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
状況	タスクの現在のステータス。デフォルトでは、ステータスは [新規] です。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザーの名前。
アサイン先グループ	アサイン先ユーザーが属するアサイン先グループ。
作業メモ	タスクに関連する追加のメモ。

4. [保存] をクリックします。
   値ビルダータスクが作成され、ステータスがデフォルトで [新規] になります。
5. [開始] をクリックします。
   タスクのステータスが [対応中] に変わります。

パブリッシャーパックの使用基準

インスタンスで公開者パックが使用されているかどうかを示す使用基準の説明。

この表は、各パブリッシャーパックの *Usage Found* エンティティがフル活用されていると識別される基準を示しています。基準はパブリッシャーパックごとに異なります。

使用基準 パブリッシャーパックのエンティティが見つかりました

パブリッシャーパック	使用基準	ソーステーブル
Red Hat Enterprise Linux	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
Adobe	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription
Citrix	• ソフトウェアインストール • クライアントアクセス	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_client_access
Microsoft	• ソフトウェアインストール • サブスクリプション	• cmdb_sam_sw_install • samp_sw_subscription
IBM	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
Oracle	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install
SAP	• SAP ユーザー • クライアントアクセス	• samp_sap_system_user • samp_sap_sw_client_access
VMware	ソフトウェアインストール	cmdb_sam_sw_install

成功ガイド

値ビルダータスクの一部であるサクセスガイドを使用すると、さまざまなセットアップや統合に関連するタスクに関する情報を簡単に見つけることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「成功ガイドの手順 は、次のことを行うのに役立ちます。

- サブスクリプションライセンスを追跡し、 Microsoft 365の節約機会を事前に特定します。詳細については、「 Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド」を参照してください。
- Now Platform と IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリの間の接続を構成できるようにすることで、IBMの使用状況を追跡してライセンス付与します。詳細については、「IBM ILMT セットアップ成功ガイド」を参照してください。

Microsoft 365 SaaS ライセンス管理 成功ガイド

ServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションでMicrosoft 365 SaaSサブスクリプションライセンスを追跡し、Microsoft 365の節減機会を積極的に特定します。

> **注:** Microsoft Dynamics 365 と Power Apps については、このガイドでは説明していません。詳細については、「Microsoft Dynamics 365 および Power Apps との統合」を参照してください。

Microsoft 365 はサブスクリプションベースの製品であり、さまざまな機能を提供します。詳細については、次を参照してください。 Microsoft 365 FAQ .

Microsoft 365 ライセンス

Microsoft 365 は、サービスとしてのハイブリッドソフトウェア (SaaS) アプリケーションです。Microsoft 365のライセンスは、クラウドからのサブスクリプション情報、およびラップトップ、ワークステーション、仮想システムなどのエンドポイントデバイスへのインストールによって異なります。

次の情報を収集し、ライセンスを調整する必要があります。

- Microsoft 365Microsoft Cloud からのサブスクリプションユーザー。
- インストールを Microsoft Cloud のユーザーサブスクリプションに正しく調整するのに十分な詳細を含む、関連するエンドポイントデバイスからのローカルインストール情報。

Microsoft 365 削減機会

複数のソースからデータを収集して分析し、節減の機会 Microsoft 365 特定できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、クラウドおよびオンプレミスのインベントリツールへのベースシステムの統合により、このプロセスを自動化します。このインストールデータはサブスクリプションプロファイルで正規化されるため、 Microsoft 365 または Office 365 のエンタイトルメントを簡単にインポートできます。

調整では、 ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック Microsoftに含まれる属性と計算に基づいて、ライセンスコンプライアンスポジションが自動的に生成されます。詳細については、「削減機会の特定」を参照してください。

次の手順に従って、サブスクリプションライセンスを追跡し、 Microsoft 365 の節減機会を特定します。

1. Microsoft 365統合の作成
2. サブスクリプション、インストール、および使用状況データの検証
3. Microsoft 365サブスクリプションエンタイトルメントのインポート
4. 削減機会の特定
5. Microsoft 365 ライセンスの最適化

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365統合の作成

Microsoft 365ユーザーサブスクリプションとインストール使用状況データを比較して、完全なライセンスコンプライアンスを確認します。

始める前に

必要なロール:必要なロールの各ステップのリンクされたトピックに移動します。

次のプラグインを有効にします。

- ソフトウェア資産管理プロMicrosoft向け (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (sn_sam_saas_int)
-

ソフトウェア資産管理 を要求するトピックの手順を完了します。

手順

1. クラウド内の Microsoft 365 と統合して、ユーザーサブスクリプションデータを取得します。詳細については、「Microsoft 365 統合プロファイルの作成」を参照してください。
2. Power BI サービス コンテンツと API にアクセスできるように Microsoft Power BI を構成します。Power BI サービス コンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなど、 Microsoft 365 サブスクリプションを最適化するのに役立ちます。詳細については、「Power-BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にする Enable service principal authentication for Power-BI read-only API」を参照してください。
3. インストール使用状況データのインベントリツールと統合します。
   - Microsoft SCCM と統合するには、 Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ (3.4.2) トピックとすべてのサブトピックの手順を完了します。
   - ServiceNow エージェントクライアントコレクター (ACC) との統合については、 エージェントクライアントコレクター のインストール トピックとすべてのサブトピックの手順を完了します。

     注: ServiceNow エージェントクライアントコレクター (ACC) は、別途ライセンス供与される IT Operations Management（ITOM) (ITOM) 製品です。詳細については、ServiceNow 担当営業担当者にお問い合わせください。

   - MAC OS デバイスの Jamf と統合するには、 Jamf のサービスグラフコネクタ (2.12.2) トピックとすべてのサブトピックの手順を完了してください。
   - サードパーティのインベントリツールと統合するには、 ソフトウェア資産接続 トピックとすべてのサブトピックの手順を完了します。

次のタスク

サブスクリプション、インストール、および使用状況データの検証

サブスクリプション、インストール、および使用状況データの検証

調整を実行する前に、サブスクリプション、インストール、および使用状況のデータを検証して、レポートの完全性と精度を確認します。

始める前に

必要なロール:sam_admin、sam_user

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Microsoft クラウド統合からのユーザーサブスクリプションデータを検証します。

   a. ServiceNow インスタンスにログインします。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション.
ソフトウェア資産ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション.

   b. Microsoft 365サブスクリプションレコードの数を確認して、ユーザーサブスクリプションテーブルのデータを確認します。
   データの個人用設定とフィルター処理の詳細については、「 ユーザーエクスペリエンスの構成 」を参照してください。

   - Microsoft 365サブスクリプションレコードの数が正確でない場合は、SAMP ジョブログ [samp_job_log] の*SAM - Import M365 User Subscriptions*スケジュール済みジョブがサブスクリプションのプルを正常に完了したことを確認します。
     - 既存の統合が適切に機能していることを確認します。
     - 他の Microsoft 環境に追加の統合が必要かどうかを判断します。
   - Microsoft 365レコードが正確に表示される場合は、[表示名]、[ユーザープリンシパル名]、[ソフトウェアモデル]、および [サブスクリプション識別子] フィールドの値を確認します。

     注: サブスクリプション識別子は、 SaaS アプリケーションを一意に識別します。各識別子は検出マップとソフトウェアモデルに関連付けられており、ソフトウェアのインストールをクラウドの Microsoft 365 サブスクリプションに正規化します。

     - ソフトウェアモデルがサブスクリプション製品の定義に従って正しく解決されているかどうかを確認します。
     - サブスクリプションレコードの **[User**] フィールドが解決されているかどうかを確認します。解決されない場合は、ユーザーのメールを確認します。メールはユーザープリンシパル名と一致している必要があります。ユーザープリンシパルのユーザー名をsys_userレコードのuser_nameと一致させることもできます。
     - サブスクリプション識別子が正しくないか空の場合は、サブスクリプション識別子を管理および解決します。詳細については、「SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子」を参照してください。

2. インベントリツールからのインストールと使用状況のデータを検証します。

   注:

   完全なインベントリ検証のプロキシとして、 Microsoft 365 製品のインストールがわかっているデバイスのサンプルセットを使用して、検証スコープを確立します。サンプルサイズは、統合からのインストールデータを検証するために必要なサイズを超えないようにする必要があります。統合が複数ある場合は、統合ごとに個別のサンプルセットをコンパイルします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. Microsoft 365インストールがリストされているソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	アプリケーションフィルターナビゲーターで、 **cmdb_sam_sw_install.list** を検索して選択します。
Software Asset Workspace	i. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリー > ディスカバリーモデル. ii. 検出モデル名を選択します。 iii. [ソフトウェアインストール] タブを選択します。

b. [インストール先] 列フィールドを見つけて、検証スコープの一部である 1 つ以上のデバイスにフィルターを適用します。

i. リストをさらにフィルタリングして、デバイスのすべての Microsoft 365 製品インストールを表示します。

- Microsoft 365レコードの数が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
  - 既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正常に機能していることを確認します。
  - 追加のインベントリツール統合が必要かどうかを判断します。
- Microsoft 365レコードの数が予想よりも多い場合は、既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正常に機能していることを確認します。インベントリツールの統合が適切に機能している場合は、レコード数が多いことは節減の可能性を示唆している可能性があります。

ii. 検証スコープ内のデバイスのコンピューターレコードを検証します。

1. [インストール先] 列フィールドでハイパーリンクされたデバイス名を選択します。
2. [名前]、[アサイン先]、[オペレーティングシステム] などのデータ値を確認します。

- コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも少ない場合は、次の操作を行います。
  - 既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正常に機能していることを確認します。
  - 欠損データに対して追加のインベントリツール統合が必要かどうかを判断します。
- コンピューターデバイスレコードの数が予想よりも多い場合は、既存のディスカバリーツールまたはインベントリツールが正常に動作していることを確認します。インベントリツールの統合が適切に機能している場合は、レコード数が多いことは節減の可能性を示唆している可能性があります。

次のタスク
Microsoft 365サブスクリプションエンタイトルメントのインポート

Microsoft 365サブスクリプションエンタイトルメントのインポート

Microsoft 365サブスクリプションエンタイトルメントをServiceNow ソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. できるだけ多くの Microsoft 365 サブスクリプションエンタイトルメントを収集します。
2. エンタイトルメントテンプレートに入力し、 ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションにインポートします。

   a. [ソフトウェアエンタイトルメントのインポート] ページを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	i. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート. ii. [**Download Template File (.xlsx)]** を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	i. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. ii. [エンタイトルメントを作成] を選択します。 iii. [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメントをインポート する] を選択します。 iv. [次へ] を選択します。 v. [新しいエンタイトルメントインポートを作成] ページで、[テンプレートをダウンロード] を選択してスプレッドシートテンプレート (.xlsx) をダウンロードします。

   b. インポートテンプレートを開き、[方向] タブを確認します。

   c. 収集したエンタイトルメントのデータをインポートテンプレートに入力します。
   インポートテンプレートの詳細については、『 ServiceNow SAM Entitlement Import User Guide (ServiceNow SAM エンタイトルメントインポートユーザーガイド)』を参照してください。

   d. Microsoft 365エンタイトルメントのテンプレートで次の値を使用します。
      - 評価指標グループ:Microsoft
      - ライセンスメトリクス:ユーザーサブスクリプション

3. テンプレートにエンタイトルメントデータが入力されたら、テンプレートをソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. テンプレートをソフトウェア資産管理アプリケーションにインポートします。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > エンタイトルメントのインポート.
ソフトウェア資産ワークスペース	i. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. ii. [エンタイトルメントを作成] を選択します。 iii. [新しいエンタイトルメントを作成] ダイアログボックスで、[Excel ファイルから 複数のエンタイトルメントをインポート する] を選択します。 iv. [次へ] を選択します。

b. [ファイルの参照] から完成したテンプレートをインポートするか、ドラッグします。

c. インポートされたソフトウェアの権限を確認し、インポートエラーがある場合は解決します。

4. インポートされたエンタイトルメントを確認します。

a. ソフトウェアエンタイトルメントが正しいソフトウェアモデルにリンクされていることを確認します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
ソフトウェア資産ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.

b. ソフトウェアエンタイトルメントレコードの表示名を選択します。

c. [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) を選択します。

d. ディスカバリーマップおよびスイートコンポーネントが、 Microsoft 365 エンタイトルメントのテンプレートの値と一致していることを確認します。

検出マップが一致しない場合は、ソフトウェアモデルフォームで直接追加または編集し、[**Update** (更新)] を選択します。

ヒント: エンタイトルメントのインポート後、 Microsoft との調整プロセス中に追加のサブスクリプション購入が必要になる場合があります。詳細については、次を参照してください。 Microsoftオンラインサービスの予備エンタイトルメントの作成。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
コンプライアンスのための調整

コンプライアンスのための調整

調整を実行して、ライセンスコンプライアンスポジションを決定します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. Microsoft 365の調整を実行します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整.
ソフトウェア資産ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > **Software asset overview**.

2. [**Run Reconciliation]** を選択します。
3. ダイアログ ボックスで、[**Publishers**] フィールドで **[Microsoft**] を選択します。
4. [続行] を選択します。
5. [実行] を選択します。
   [調整結果] ページに自動的に移動します。
6. ステータスと進行状況の値を監視して、完了を確認します。
   [調整結果] ページを更新して、更新された値を表示します。Microsoft 365アプリケーションがインストールされているコンピューターの [アサイン先] の値が空の場合、調整が機能しない可能性があります。インストールおよび使用状況データの検証については、「 サブスクリプション、インストール、および使用状況データの検証」を参照してください。

次のタスク
削減機会の特定

削減機会の特定

ServiceNow ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して削減機会を特定し、コストを節約します。

始める前に
必要なロール:sam_admin

このタスクについて
E1、E3、E5 などのエンタープライズ サブスクリプションの場合Microsoftライセンス数の最小または下限として機能するコミット レベルを指定できます。つまり、契約期間中はエンタープライズ サブスクリプションの数量をコミット レベルを下回ることはできません。既存の Microsoft 契約にコミットレベルがある場合は、契約期間の終わりに潜在的な節約機会を実現できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ライセンス供与過剰金額からの節約機会を実現します。

   a. Microsoft 365データに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > ライセンスワークベンチ.
ソフトウェア資産ワークスペース	移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況.

   b. Microsoft 365を見つけて選択します。
   Microsoft 365サブスクリプションのライセンスコンプライアンスデータが入力されます。

      i. [Rights available (利用可能な権利)] の値を見つけます。この値は、[`Rights used`（使用されている権利)] - `[Rights owned`（所有されている権利)] で計算されます。

      ii. 利用可能な権利 `*` ソフトウェアエンタイトルメント単位コストによって計算されたライセンス供与過剰金額を見つけます。この金額は、次のような節減の可能性を示しています。

      - 新しい Microsoft 365 サブスクリプションが必要ない場合は、コミットレベルに違反することなく、次回の契約内調整時にライセンス供与過剰金額を削除できます。
      - コミットレベルによって契約内の調整が妨げられる場合は、ライセンス供与過剰金額を使用して新しい契約交渉を通知できます。これは積極的なコスト削減アプローチになります。

2. ソフトウェアサブスクリプションの前回のアクティビティ日からの節減機会を実現します。

   a. [ソフトウェアサブスクリプション] または [ユーザーサブスクリプション] ページに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション.
ソフトウェア資産ワークスペース	i. 移動先 ライセンス操作 > ユーザーサブスクリプション > ユーザーサブスクリプション. ii. ユーザーの表示名を選択します。

   b. [前回のアクティビティ] フィールドを追加し、リストをフィルタリングして目的のサブスクリプションを表示します。

      注: 前回のアクティビティの日付は、公開済みの Microsoft 365 統合プロファイルとインベントリツールから取得されます。サブスクリプションがスイート製品の場合、アクティビティの最終日は、そのスイートコンポーネントからの最新のアクティビティ情報です。必要に応じて、Microsoft クラウドアドミニストレーターと前回のアクティビティの日付を検証します。

   c. [表示名] 列ヘッダーを右クリックし、[棒グラフ] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [レポートの作成] フォームで、[グループ] を[最後のアクティビティ] に設定し、[実行] を選択します。
詳細については、「レポートの作成」を参照してください。
レポートのビジュアル化が自動的に更新され、フィルタリングされたソフトウェアサブスクリプションが前回のアクティビティ別にグループ化されて棒グラフ形式で表示されます。

e. グラフ内の任意の棒をポイントして詳細を表示し、棒を選択してそれを構成する個々のレコードを表示します。
レポートの使用の詳細については、「 レポートの使用」を参照してください。

3. サブスクリプションの詳細、使用状況、および推奨事項タイプに基づく見込まれる節減額に基づいて、Microsoft 365 の最適化ソフトウェア資産管理推奨事項を検索します。

詳細については、「のパブリッシャーの最適化 Microsoft」を参照してください。

タスクの結果
Microsoft 365 数か月以上ユーザーアクティビティが登録されていないサブスクリプションは、再利用の候補になる可能性があります。

次のタスク
フォローアップアクションを次に示します。

- 元従業員の ユーザープリンシパル名 を確認します。見つかった場合は、サブスクリプションを再利用します。
- アクティブな従業員に関連付けられたサブスクリプションの場合は、[ソフトウェアインストール (cmdb_sam_sw_install)] テーブルに移動します。
- [ソフトウェアインストール] リストを Microsoft 365 でフィルタリングし、[前回使用] 列を追加します。必要に応じてレポートを作成します。
- ソフトウェアインストールレポートとソフトウェアサブスクリプションレポートを比較します。

Microsoft 365 ライセンスの最適化

使用状況に基づいて、Microsoft 365の最適化に関するソフトウェア資産管理推奨事項を見つけます。

Microsoft 365 利用可能なサブスクリプションの詳細
Microsoft 365サブスクリプション内のユーザーアクティビティの可視化の向上

レポート	**Description** (説明)
Microsoft 365 サブスクリプションの詳細	ソフトウェアモデル別にグループ化された、Microsoft 365、Office 365、および Power BI 製品のアクティブ、非アクティブ、および未アサインのユーザーサブスクリプションの詳細の数。 データポイントを選択すると、ソフトウェアモデルのユーザーサブスクリプションの詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 利用可能なサブスクリプションの詳細
Microsoft 365サブスクリプション内のユーザーアクティビティの可視化の向上

(続く)

レポート	Description (説明)
	• アクティブなサブスクリプションバーを選択すると、アクティブなユーザーサブスクリプションが表示されます (アクティビティの最終日が 90 日以内)。 • [非アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が空であるか、90 日より前である非アクティブなサブスクリプションが表示されます。 • [未アサインのサブスクリプション] バーを選択すると、利用可能な未アサインの権限またはユーザーサブスクリプションの数が表示されます。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項

レポート	説明
Microsoft 365 最適化の推奨事項	推奨されたダウングレード、二重ライセンス、および統合候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる月あたりのライセンス数。このレポートには、過去 12 か月間のデータが表示されます。 任意のバーを選択して詳細を表示し、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンスの候補に対処します。 • [**Office 365 E5** から **E3** にダウングレード] とマークされているバーを選択して、Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **[Office 365 E3** から **E1** へのダウングレード] とマークされているバーを選択して、Office 365 E3 から Office 365 E1 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **Microsoft 365 E5** から **E3** へのダウングレードとしてマークされているバーを選択して、Microsoft 365 E5 から Microsoft 365 E3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • **Microsoft 365 E3** から **F3** へのダウングレードとしてマークされているバーを選択して、Microsoft 365 E3 から Microsoft 365 F3

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 使用状況に基づくサブスクリプションの最適化の推奨事項 (続く)

レポート	説明
	にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • [統合] とマークされているバーを選択して、統合 Microsoft 365 最適化候補のリストを表示します。

推奨事項タイプに基づく節減見込み

レポート	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスター上のライセンスの潜在的なコスト削減。 **注:** このレポートは、 Microsoft Windows Server ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨されるライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。
Microsoft 365 タイプ別の節減見込み	推奨されるダウングレード、二重ライセンス、および統合の候補に基づく、 Microsoft 365 および Office 365 ライセンスの月間節減見込み。このレポートには、過去 12 か月間の見込み節減額が表示されます。 任意のバーを選択すると、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補の詳細が表示されます。 • [ダウングレード] としてマークされているバーを選択して、以前のバージョンの Microsoft 365 および Office 365 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • 二重ライセンス ユーザーとしてマークされているバーを選択すると、Microsoft 365 とそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility+Security (EMS)、Windows) の両方のサブスクリプションを持つ候補の一覧が表示されます。 • [統合] とマークされているバーを選択して、Microsoft 365統合サブスクリプションの再利用候補のリストを表示します。
Microsoft 365 ポータルで利用可能なサブスクリプションの詳細	サブスクリプションごとに Microsoft ポータルで利用可能なライセンスの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨事項タイプに基づく節減見込み (続く)

レポート	説明
	棒グラフを選択すると、ソフトウェアモデル、製品、購入した権限、アサインされた権限、利用可能な権限、サブスクリプションプロファイルなど、購入したサブスクリプションの詳細が表示されます。

IBM ILMT セットアップ成功ガイド

この成功ガイドでは、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと ソフトウェア資産管理 アプリケーションIBM統合に関する情報を提供します。

この統合は、次のIBMライセンスメトリクスを使用して、IBM製品のライセンスコンプライアンスをサポートします。

- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU MAPC)

統合では、これらのライセンス測定基準に必要な IBM 製品使用状況データのみがインポートされます。

注: この統合では、他のメトリクスを介してライセンスされている IBM 製品の検出データや使用状況データはインポートされません。

この統合でライセンスコンプライアンス IBM 機能するには、次の前提条件を満たす必要があります。

- インスタンスで ILMT または BigFix インベントリを設定して実行します。
- IBM使用率測定ガイドラインに準拠してインスタンスをスキャンするように ILMT エージェントを構成しIBM。
- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、仮想マシン (VM) と物理ホストの両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを IBM 製品に分類します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを IBM 製品にバンドルします。
- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションでIBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合するには、次の手順を実行します。

1. ILMT または BigFix インベントリへの接続を作成する
2. ILMT 接続の正常性を検証する

ILMT または **BigFix Inventory** の代替

VMware vSphere 環境と IBM LPAR インフラストラクチャの両方で IBM ライセンスを追跡および管理するには、ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを IBMIBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加を認可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合します。これらの統合により、IBM License Metric Tool (ILMT) や BigFix Inventory と統合することなく、IBMライセンスを直接追跡および管理できます。詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

その他のリソース

- IBMソフトウェア資産管理アプリケーションによるライセンス管理
  - ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック IBM
  - サポートされている IBM ライセンスタイプ
- 無効なコンピューターのシリアル番号を修正する

のすべての成熟度アイテムを表示 ソフトウェア資産管理

ソフトウェア資産管理 (SAM) プログラムの成熟度を表示して、各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには、完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に
必要なロール:sam_admin、sam_user

注: sam_userは成熟度アイテムのみを表示できます。sam_adminは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および変更できます。

このタスクについて
SAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分かれています。

- クロール
- ウォーク
- ラン

詳細については、「ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ」を参照してください。

注: 必須の成熟度アイテムの成熟度レベルは変更できません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、[すべての成熟度項目の表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム] ページが開き、SAM プログラムが含まれているステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択して、その詳細を表示します。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテム 詳細」を参照して ください。
4. 成熟度アイテムの値ビルダータスクを作成する場合は、[**Value builder tasks** (値ビルダータスク)] タブを選択します。
   値ビルダータスクの作成の詳細については、「 値ビルダータスクの作成」を参照してください。
5. [保存] を選択します。

の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンス内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [成功目標を作成] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. フォームで、詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功目標の詳細」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。
   成功目標は、ライセンス操作ビューの [成功目標] リストに表示されます。[ライセンス操作] ビューから成功目標をキャンセルまたは削除できます。

の成功アクティビティを作成する ソフトウェア資産管理

成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:sam_admin および sam_user

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 成功ポータル.
2. [成功アクティビティを作成] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「SAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
成功アクティビティは、[成功アクティビティ] リストの下の [ライセンス操作] ビューに表示されます。

ソフトウェア資産の成功目標カテゴリの作成

ソフトウェア資産管理成功目標にカテゴリを追加するための成功目標カテゴリを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > 成功目標 > カテゴリ.
2. [新規] を選択します。
3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを入力し、[ソフトウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。

タスクの結果
追加したカテゴリは、ソフトウェア資産管理の成功目標を作成する際に [カテゴリ] フィールドにオプションとして表示されます。詳細については、「の成功目標を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。

更新カレンダービュー

ソフトウェア資産ワークスペースの [更新] カレンダーを使用して、有効期限が近づいているエンタイトルメントと、有効期限が近づいている、またはすでに期限切れになっている契約を表示します。

sam_userロールとsam_adminロールは、次の場所に移動して、今後の契約とエンタイトルメントの更新、および期限切れの契約を把握できます。 **Software Asset Workspace** > 更新カレンダー.

> **注:** 更新カレンダーを表示するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインをアクティブ化します。

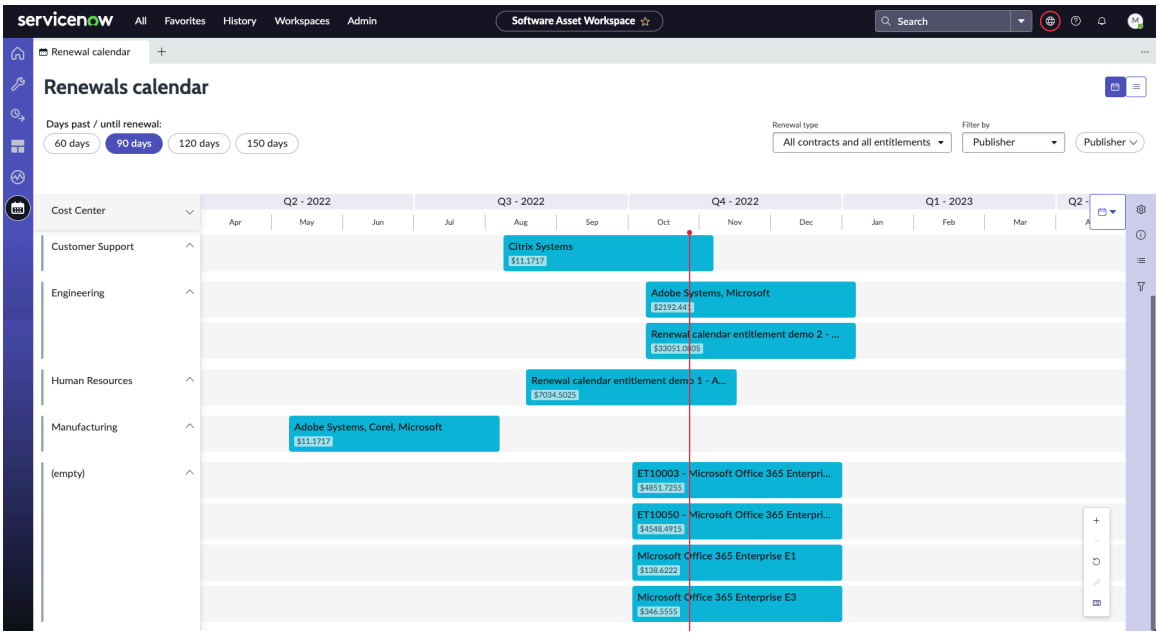
このビューには、次の条件で今後の更新と期限切れの更新が表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- サブスクリプション、ソフトウェアライセンス、メンテナンスなどの契約モデルタイプの契約
- 無期限やサブスクリプションなどのライセンスタイプのエンタイトルメント
- 関連付けられた契約のないエンタイトルメント。

更新 カレンダー ビュー



更新カレンダーでは、次の情報を表示できます。

- 契約とエンタイトルメントのカレンダーとリストビュー
- カレンダービューの契約とエンタイトルメントの詳細

  更新カレンダーページの右上隅からリストビューに切り替えることができます。

  - 契約
    - 契約名
    - 終了日が近づいている契約の更新開始日
    - 期限切れの契約の更新開始日
    - 契約終了日
    - トータルコスト
  - エンタイトルメント
    - エンタイトルメント名
    - 開始日
    - 終了日

      注: 無期限エンタイトルメントの終了日がメンテナンスの有効期限です。

    - トータルコスト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: カレンダービューには、次によって計算される更新開始日が表示されます。

```
End date - Days past/until renewal
```

。更新後の日数/更新まで日数の値 (60、90、120、150 日など) を選択します。実際の開始日を確認するには、契約とエンタイトルメントレコードを開く必要があります。

- 左ペインのコストセンターに基づいてグループ化された、今後の契約およびエンタイトルメントの更新数
- 契約バーを選択する際の契約情報フォーム

注: このレコードフォームから契約を更新、調整、またはキャンセルできます。

- エンタイトルメントバーを選択する際のエンタイトルメント情報フォーム

注: 契約更改ワークフローを続行するには、契約を作成または関連付ける必要があります。

- 現在の日付を示す赤い線。カレンダービューの契約バーまたはエンタイトルメントバーには、開始日が現在の日付の 6 か月前、終了日が現在の日付の 6 か月後として表示されます。

次の方法で結果をフィルタリングして絞り込むことができます。

- カレンダービューのタイムスケールに基づく今後の更新
- 60 日、90 日、120 日、150 日などの更新までの経過日数または更新までの日数
- すべての契約、すべてのエンタイトルメント、すべての契約とすべてのエンタイトルメントなどの更新タイプ
- 更新タイプに基づくパブリッシャー、製品、契約モデル、およびコストセンターのサブフィルター
- ドメイン

注: 更新カレンダービューでドメインデータを表示するには、ドメイン拡張インストーラー [com.glide.domain.msp_extensions.installer] プラグインとドメインサポート [com.snc.pa.domain_support] プラグインをインストールする必要があります。

重複する使用状況ビュー

ソフトウェア資産ワークスペース の重複する使用状況ビューを使用して、機能レベルの使用状況に関するインサイトを取得し、SaaSおよびシングルサインオン (SSO) アプリケーションを合理化します。

[重複する使用状況] ビューには、アプリケーションカテゴリ (SaaS または支出検出) に基づいてアプリケーションへの支出を示すレポートが表示されます。ビデオ会議、プロジェクト管理、メールマーケティングなど、ソフトウェアアプリケーションの主な機能に基づいてカテゴリ別にグループ化されたアプリケーションのリストを表示することもできます。このアプリケーションのリストには、次の詳細が含まれています。

- 消費量
- 使用法
- サブスクリプションの合計数
- 再利用候補

[重複する使用状況] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 ワークスペース > ソフトウェア資産ワークスペース > 重複する使用状況.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 Integrations アプリケーションを要求して、重複する使用状況ビューを表示します。

注: 重複する使用状況ダッシュボードは、Domain Extension Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Support (com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効になっている場合にドメインセパレーションをサポートします。データをフィルタリングするには、[ドメイン] ドロップダウンリストからドメインを選択します。

エンドユーザーとロール

エンド ユーザー	必要なロール	目標
SAM 管理者/SAM ユーザー	sam_admin/sam_user	重複する使用状況ダッシュボードを表示します。 注: SAM アドミンまたは SAM ユーザーには、デマンドを作成するための it_demand_userロールが必要です。[アプリケーション機能の使用状況] ページからデマンドを作成できます。

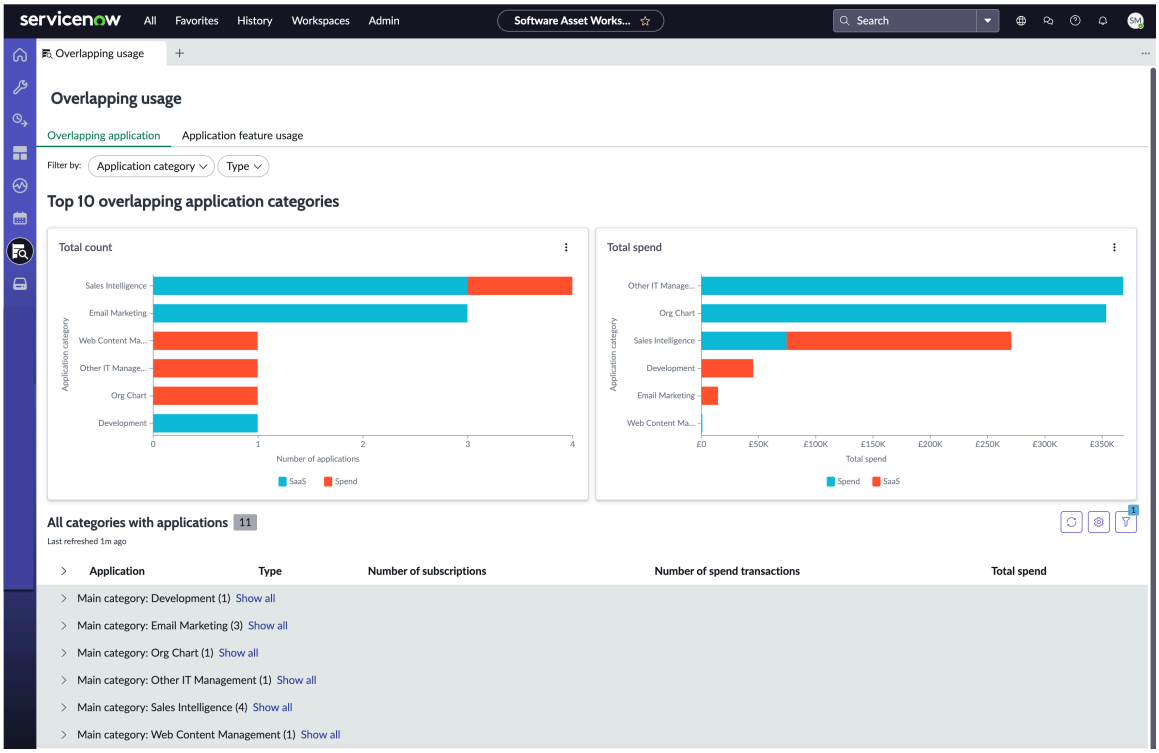
重複するアプリケーション

[重複するアプリケーション] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

- 合計数:支出検出や SaaSなどのアプリケーションカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションの合計数。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのタイプのアプリケーションのリストが表示され、関連するサブスクリプション数、合計消費量、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- 合計支出: 支出検出や SaaSなど、アプリケーションカテゴリ別にグループ化された重複するソフトウェアアプリケーションの合計支出。アプリケーションカテゴリバーを選択すると、そのタイプのアプリケーションのリストが表示され、関連するサブスクリプション数、合計消費量、および全体的な使用状況の詳細が表示されます。
- アプリケーションを含むすべてのカテゴリ:ソフトウェアアプリケーションの主な機能に基づいてカテゴリ別にグループ化された、重複するソフトウェアアプリケーションのリスト。各カテゴリの横にある数字は、開発やメールマーケティングなど、そのカテゴリ内のアプリケーションの数を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリケーション機能使用率

[アプリケーション機能の使用状況] タブを選択すると、次の情報を表示できます。

- アプリケーションカテゴリのリストビュー。
- アプリケーションの詳細かつ説明的な機能使用情報。アプリケーションカテゴリを展開すると、そのカテゴリ内の各アプリケーションについて次のデータを表示できます。

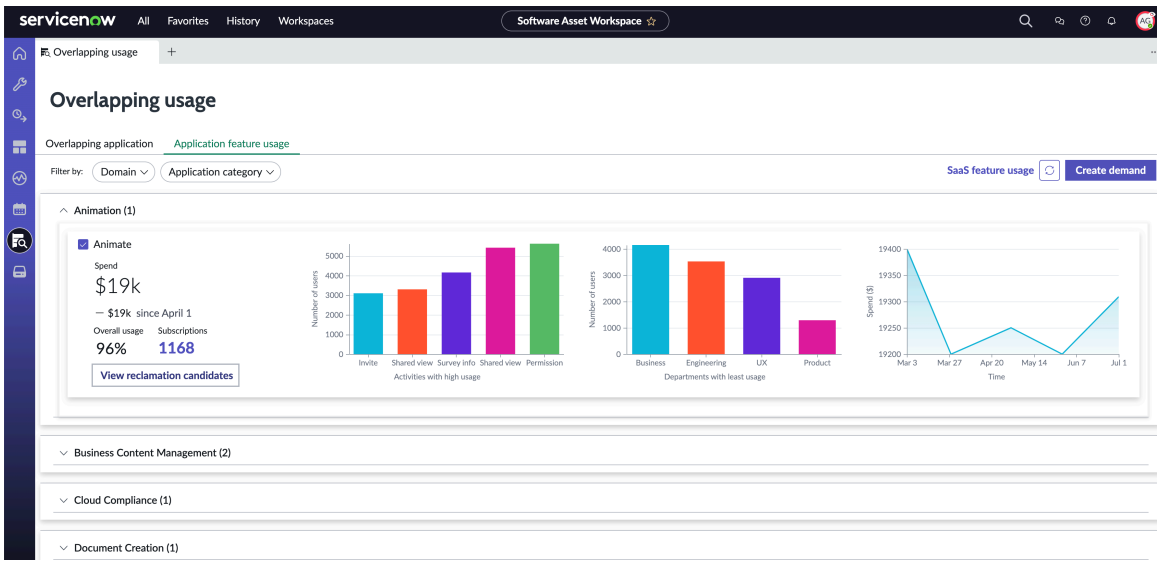
属性/チャート	説明
支出	アプリケーションの合計消費量。
全体的な使用状況	アプリケーションで少なくとも 1 つのイベントを実行したユーザーの割合。
サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。
再利用候補を表示	クローズされていないアプリケーションの再利用候補のリスト。
使用率の高いアクティビティ	ユーザー数に基づく使用率が最も高い上位 5 つのアクティビティ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性/チャート	説明
	注: ◦ このチャートは、SSO アプリケーションでは 前回のログインアクティビティがあるユーザー 、および前回のログインアクティビティのみがプルされている SaaS アプリケーションで置き換えられます。 ◦ このチャートには、SaaS イベントマッピング (samp_saas_event_mapping) テーブルで使用可能な正規化されたマッピングを持つすべてのイベントのデータが表示されます。
使用率が最も低い部門	組織内でアプリケーションの使用率が最も低い 5 つの部門。使用法はユーザー数に基づきます。 このデータは、IT アドミニストレーターがこれらの部門内のユーザーにアクセスが必要かどうかを判断し、逆にそれらのユーザーの採用を促進するのに役立ちます。 **注:** このグラフには、特定の部門にアサインされているユーザーのデータのみが表示されます。
支出傾向図	アプリケーションの月次支出傾向のグラフ表示。

自動翻訳



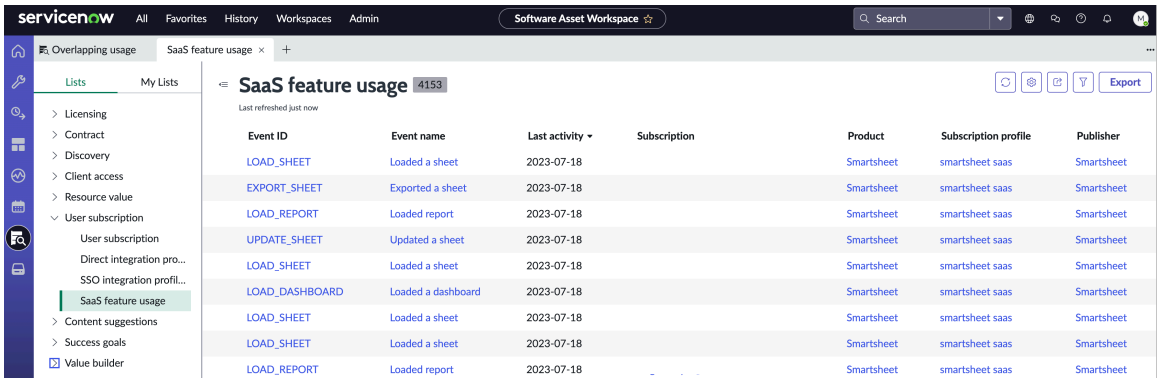
SaaS 機能の使用状況

SaaS機能の使用状況ページには、イベント ID、イベント名、前回のアクティビティ、サブスクリプション、製品、サブスクリプションプロファイル、パブリッシャーなど、各統合のイベントの詳細が

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

含まれています。[**SaaS** 機能の使用状況] リンクを選択して、[ライセンス操作] ビューの [SaaS機能の使用状況] ページに移動します。

注: SaaS機能の使用状況ページには、現在の日付から最大 1 年間のイベントの詳細が表示されます。



ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドの創出

デマンドを作成すると、検出した冗長なソフトウェアに対して意味のあるアクションを実行できます。ソフトウェアの使用中止、ソフトウェア使用量の削減、承認済みソフトウェアへのユーザーの移行、またはその他のアクションを実行できます。

注: デマンドを作成するには、PPM Standard プラグイン (com.snc.financial_planning_pmo) をインストールする必要があります。

[デマンドの作成] を選択して、ソフトウェアアプリケーションを合理化します。詳細については、「ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドを作成する」を参照してください。

ソフトウェアアプリケーションを合理化するデマンドを作成する

ソフトウェアサブスクリプションを中止し、ソフトウェア使用量を削減し、ユーザーを承認済みソフトウェアに移行することで、 SaaS および SSO アプリケーションを合理化するデマンドを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

注: デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

ソフトウェア資産管理アプリケーションには、すぐに使用できる次のデマンドアクションが含まれています。

- 有効期限が切れた後に中止
- 承認済み製品に移行
- 直ちに中止
- ライセンスの再利用
- 何もしない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
重複する使用状況ビューを使用して、各アプリケーションの機能レベルの使用状況を表示することで、 SaaS および SSO アプリケーションの合理化を促進します。詳細については、「重複する使用状況ビュー」を参照してください。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用状況 **(Application feature usage**)] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドの作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ソフトウェア資産デマンド

フィールド	説明
名前	デマンドの名前。
番号	デマンドに対して自動生成された一意の識別番号。
送信ステータス	デマンドレコードのステージ。 ◦ ドラフト ◦ 送信済み ◦ スクリーニング ◦ 認定済み ◦ 承認済み
開始日	デマンドの開始日。 デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は 開始予定日 に置き換えられます。 **注:** デマンドまたはプロジェクトの開始予定日を変更すると、関連付けられたコスト計画とリソース計画も変更されます。
期日	要求されたデマンド完了日。 デマンドタイプがプロジェクトに変換されると、フィールド名は [終了予定日] に置き換えられます。
カテゴリ	デマンドのソフトウェアカテゴリ。 ◦ 戦略的 ◦ オペレーショナル
タイプ	デマンドのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ 拡張 ◦ プロジェクト ◦ 変更 ◦ 欠陥 [カテゴリ] フィールドの選択により、このフィールドで利用可能な選択肢が決まります。
アセスメントが必要	デマンドのアセスメントを有効にするためのオプション。 デフォルトでは, このフィールドが選択されています。クリアすると、デマンドに対してアセスメントアンケートはトリガーされません。 このフィールドをクリアしてデマンドを [ドラフト] にリセットすると、[アセスメントが必要] フィールドの値はクリアとして保持されます。

6. オプション: [デマンド要件] タブを選択して、作成済みの要件の詳細を表示します。
   デマンド要件を作成することもできます。詳細については、「デマンド要件の作成」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

タスクの結果
デマンドは、[送信ステータス] フィールドが [送信済み] に設定された状態で作成されます。

次のタスク
ServiceNow® デマンド管理 アプリケーションを使用して、デマンドを承認して完了します。詳細については、「デマンド管理」を参照してください。

[プロジェクトを作成] 関連リンクを選択すると、デマンドのプロジェクトを作成できます。プロジェクトを使用すると、デマンドを達成するために必要な作業のステータス、完了率、および期間を追跡できます。また、プロジェクトタスクを作成して、プロジェクトの完了に必要な作業アイテムを定義することもできます。詳細については、「 プロジェクト管理 (PM) 」を参照してください。

すべての ソフトウェア資産管理 デマンドを表示するには、 ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド.

すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、次の場所に移動します ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

デマンド要件の作成

SaaS および SSO アプリケーションを合理化するためのデマンド要件を作成します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

> **注:** デマンドを作成するには、sam_adminロールとsam_userロールにit_demand_userロールが必要です。

デマンドを作成するには、PPM Standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインをインストールする必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > 重複する使用状況.
2. [アプリケーション機能の使用状況 **(Application feature usage**)] タブを選択します。
3. デマンドを作成するカテゴリ内のアプリケーションを選択します。
4. [デマンドの作成] を選択します。
   [デマンドの作成] オプションは、デマンドを作成するアプリケーションを選択した場合にのみ使用できます。
5. [**Demand Requirements**] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
   すべてのフィールドが自動入力されます。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しいデマンド要件を作成

フィールド	説明
デマンド要件	
番号	デマンド要件に対して自動生成された一意の識別番号。
ソフトウェア資産デマンド	要件を作成しているソフトウェア資産デマンド。
製品	デマンド要件が作成される製品またはアプリケーション。
メインカテゴリ	アプリケーションのカテゴリ。たとえば、[製品] フィールドで [ズーム] を選択すると、[メイン カテゴリ] フィールドは [ビデオ会議] に設定されます。
アクション	デマンドに対して識別されたアクションアイテム。 ◦ 有効期限が切れた後に中止 ◦ 承認済み製品に移行 ◦ 直ちに中止 ◦ ライセンスの再利用 ◦ 何もしない
説明	デマンド要件の説明。
メモ	デマンド要件に関する追加のメモ。
消費量情報	
消費量総計	エンタイトルメントに基づくアプリケーションの合計消費量。

8. [保存] を選択します。

タスクの結果
デマンドのデマンド要件が作成されます。作成されたデマンドは、ソフトウェア資産デマンド [samp_demand] テーブルで表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
すべての ソフトウェア資産管理 デマンド要件を表示するには、次の場所に移動します ソフトウェア資産 > ソフトウェア資産デマンド > デマンド要件.

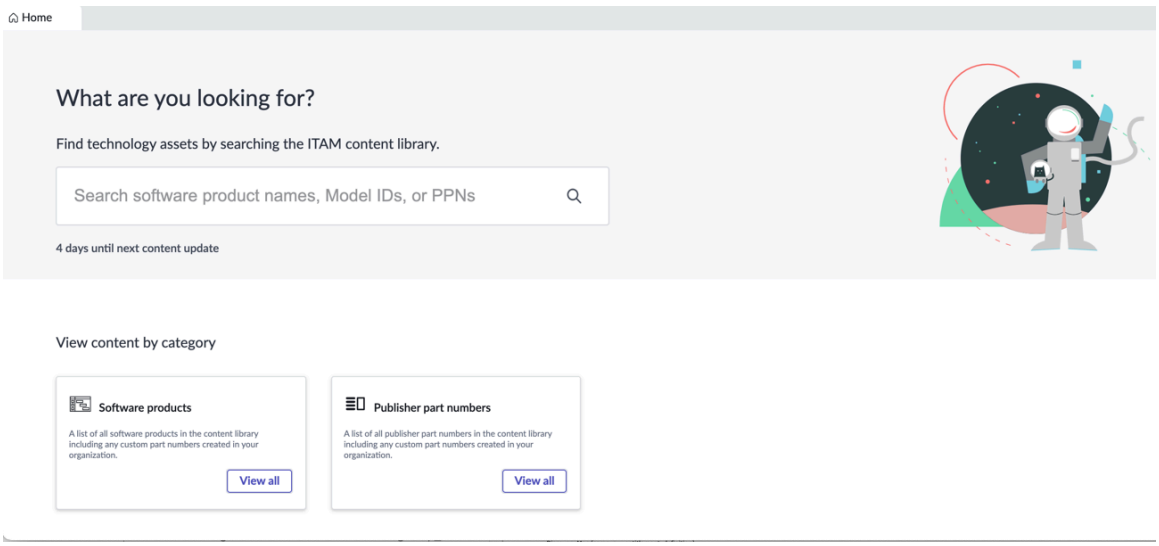
コンテンツルックアップ

コンテンツライブラリポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介して ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを可視化できます。

ソフトウェア資産管理 Content Service は、ソフトウェア製品名と、ソフトウェア製品ライフサイクルの日付、検出マップ、モデル番号、公開者の品番 (PPN) などのすべての追加情報のリポジトリです。この情報は、コンテンツサービスの異なるテーブルに保存されます。コンテンツサービスの詳細については、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。

コンテンツライブラリポータルにアクセスするには、ソフトウェア資産ワークスペースに移動し、ページの左側にあるコンテンツルックアップビューアイコンをクリックします。

コンテンツルックアップ



コンテンツライブラリポータルアプリケーションは ServiceNow Storeで利用できます。アプリケーションをインストールしたら、AI 検索 (com.glide.ais) プラグインが有効になっていることを確認します。コンテンツライブラリポータルアプリケーションのインストールの詳細については、「のインストール のコンテンツライブラリポータル ソフトウェア資産管理」を参照してください。

コンテンツライブラリポータルは AI 検索機能を使用して、次のことに役立ちます。

- 特定のソフトウェア製品、PPN、またはモデル ID を検索します。
- コンテンツサービスのソフトウェア製品、PPN、およびモデル ID のリスト全体を表示します。
- ソフトウェアバージョン、ソフトウェア製品のライフサイクルなど、ソフトウェア製品に関連する追加の詳細を表示します。
- 次のコンテンツ更新の残り日数を表示します。

検索バーに検索条件を入力すると、検索結果が一覧表示され、最も関連性の高い一致が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、次のような複数のテーブルからコンテンツサービスの情報が取得されます。

- ソフトウェア製品 [samp_sw_product]
- ディスカバリーマップ [samp_sw_entitlement_definition]
- パブリッシャーの品番 [samp_sw_product_definition]

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

条件に一致する検索結果をクリックすると、製品詳細ページと関連リストが表示されます。製品詳細ページが読み取り専用モードで開きます。たとえば、 Microsoft SQL Server 2008 Enterprise 製品の結果をクリックすると、[Microsoft SQL Server 2008 Enterprise] ページが表示され、ソフトウェアバージョン、ソフトウェアライフサイクルデータ、PPN などの関連リストが表示されます。

のインストール のコンテンツライブラリポータル ソフトウェア資産管理

コンテンツライブラリポータルストアアプリケーションをインストールして、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。
- コンテンツライブラリポータルアプリケーションには、次のプラグインが必要です。コンテンツライブラリポータルアプリケーションをインストールする前に、これらのプラグインがアクティブ化されていることを確認してください。

  必須の ServiceNow プラグイン

  すべての ソフトウェア資産管理 Professional (com.sn_samp_master) プラグインを有効にする

  ソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグイン、すべてのパブリッシャーパックのアドオンプラグイン、およびソフトウェア資産管理 UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench) を 1 つのステップでロードします。SaaS ライセンス管理を有効にするには、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (com.sn_sam_saas_int) プラグインを ServiceNow Storeとは別に要求する必要があります。

  ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグイン

  ソフトウェア資産管理アプリケーションの新しいユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。

  AI 検索プラグイン (com.glide.ais)

  AI 検索機能をアクティブ化します。

注: ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインがインストールされている場合は、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示できます。Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) プラグインの両方がインストールされている場合は、コンテンツサービスに保存されている ソフトウェア資産管理 データと ハードウェア資産管理 データの両方を表示できます。ハードウェア資産管理 のコンテンツ検索ポータルのインストールの詳細については、「インストール ハードウェア資産管理 データを表示するためのコンテンツルックアップ」を参照してください。

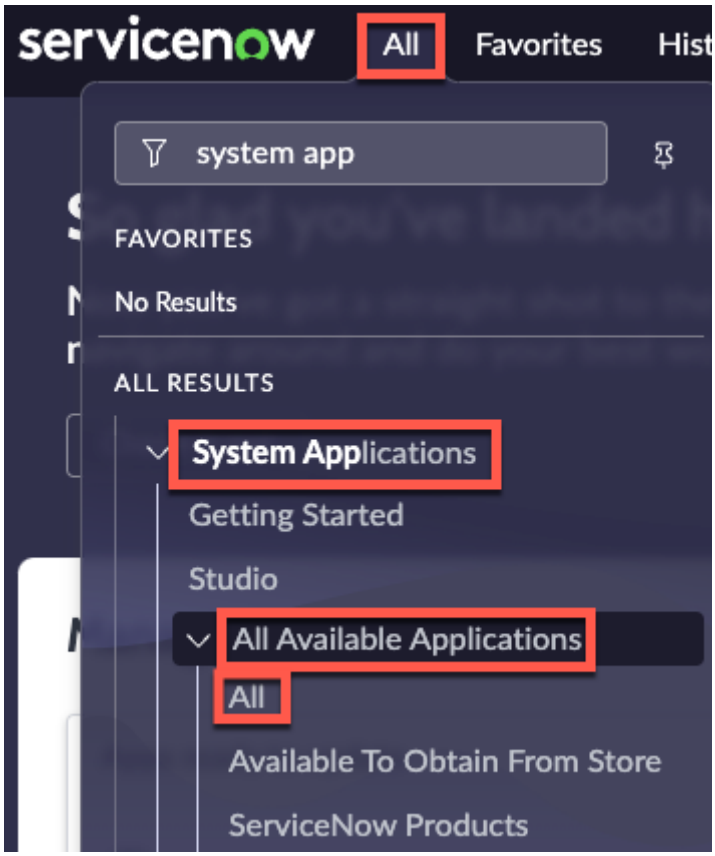
必要なロール：sam_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用してコンテンツライブラリポータルアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。

   依存するプラグインとアプリケーションがインストールされている場合、現在インストールされている場合、またはインストールする必要がある場合は、リストに表示されます。インストールする必要があるプラグインまたはアプリケーションがある場合は、コンテンツライブラリポータルアプリケーションをインストールする前にインストールする必要があります。

4. [インストール] を選択します。

ソフトウェア資産管理 クラシック版の使用

クラシック ソフトウェア資産管理 フレームワークを使用して、ライセンス、コンプライアンス、および最適化を管理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化の提案の表示

ディスカバリーモデル用に作成された正規化提案レコードを表示します。これらの提案は、承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：

- sam_admin:正規化の提案を承認または却下します。
- sam_user:正規化の提案を表示します。

レコードは、正規化の提案 [samp_normalization_suggestions] テーブルに含まれています。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > 正規化の提案 正規化提案フィールドの詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

   注: 実際のフィールド値と異なる推奨フィールド値は、青い点で示されます。

2. [承認] を選択して検出モデルに提案された変更を行うか、[却下] をクリックして既存の設定を保持します。

   注: 正規化の提案を承認または却下できるのは、sam_adminロールのみです。提案の承認または却下の詳細については、「ディスカバリーモデルの正規化の提案」を参照してください。

ソフトウェアジョブの結果の表示

実行された ソフトウェア資産管理 ジョブの結果を表示して、完了を確認できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ジョブの結果は次のとおりです。

- Discovery Model Normalization (検出モデルの正規化)
- 制限付きインストールの特定
- 新しい再利用候補の特定
- ソフトウェア使用状況のインポート
- 既存の再利用候補を更新
- ソフトウェア資産管理コンテンツサービスのアップロード/ダウンロード

ソフトウェア資産管理スケジュール済みジョブはすべて、 システム定義 > スケジュール済みジョブ ナビゲーションエリア。 ソフトウェア資産管理 スケジュール済みジョブの名前は、製品名 (SAM) で始まります。

注: ソフトウェア資産管理スケジュール済みジョブのデフォルトの日付、時刻、および順序は、最適なパフォーマンスになるように構成されています。スケジュール済みジョブをデフォルトの実行設定から変更することは、パフォーマンスやデータの可用性にとって最適ではない場合があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.
2. レコードを開いてジョブ結果を表示します。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
番号	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
名前	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成済み	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

ソフトウェア検出モデルの手動による正規化

ソフトウェア検出モデルを編集して、ソフトウェア検出モデルフォームで完全に正規化されていない (部分的に正規化されていない、正規化された公開者、または一致項目が見つからない) 検出されたソフトウェアを手動で正規化し、調整できるようにすることができます。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
ソフトウェアディスカバリーモデルに自動追加された情報が不完全な場合は、情報が不足しているフィールドを追加してソフトウェアディスカバリーモデルを手動で正規化することができます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ディスカバリーモデル をクリックし、正規化ステータスが [Partially Normalized]、[Publisher Normalized]、または [Match Not Found] である検出モデルレコードを開きます。
2. 必要に応じて [公開者]、[製品]、[バージョン] の各フィールドに入力します。
   必要に応じて、[製品ルックアップ] リストから カスタム製品 を作成できます。
3. [保存] を選択します。
   正規化のステータスは [手動で正規化] に設定されています。
4. オプション: 正規化を元に戻すには、[正規化を元に戻す] を選択します。

   注: ステータスが [正規化済み]、[一部正規化済み]、または [正規化済みパブリッシャー] のディスカバリーモデルは、[一致項目は見つかりませんでした] のステータスに戻ります。ステータスが [手動で正規化済み] のディスカバリーモデル、およびパターンルールを使用して正規化されたディスカバリーモデルは元に戻すことはできません。

   フィールドは元の値にリセットされ、ソフトウェア検出モデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。

クラシック版のエディション値を手動で上書きする

ソフトウェア インストールのエディションが自動検出されない場合、エディションをすでにご存知であれば、ソフトウェア インストール フォームのエディション値を指定できるため、ソフトウェアの調整を正常に実行できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
正常に調整を実行するには、ソフトウェアの [公開者]、[製品]、[バージョン]、[エディション] の各フィールドを設定する必要があります。エディションが自動検出されないが (エディションの値は [表示名] フィールドの一部に含まれません) エディションをご存知の場合は、手動で正しい値 (たとえば エンタープライズなど) に設定できます。

エディションの値が設定されると、ソフトウェアインストールのディスカバリーモデルが自動的にリセットされます。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

注: すべてのソフトウェア製品がエディションで構成されているわけではありません。エディションで構成されるソフトウェア製品のうち、すべてのエディションの値が自動検出されるわけではありません。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェア インストール をクリックし、エディションの値を設定するソフトウェアインストールレコードを開きます。
2. 必要に応じて、[エディションのオーバーライド] フィールドに入力します。

   注: [エディションのオーバーライド] フィールドはフリーフォームのフィールド (ルックアップ リストなし) です。したがってこのフィールドはキーとして使用されるため、入力された値は正確でなければなりません。

3. [更新] を選択します。
   ソフトウェアインストールは、プライマリーキーの一部としてエディションの値を含む異なるディスカバリーモデルに関連付けられています。適切なディスカバリーモデルが存在しない場合は、新規のモデルが作成されます。

検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーション用に検出および正規化されたすべてのソフトウェアのリストを表示します。

移動先 ソフトウェア資産 > ディスカバリー > 検出されたエンジニアリングライセンス

エンジニアリングアプリケーションの正規化されたすべての公開者と製品のリストを表示できます。ライセンスのバージョン、数量、ライセンスの種類などの追加情報も表示されます。

ソフトウェアライセンスの使用状況

簡素化されたワークベンチビューで調整結果を確認します。

ライセンスワークベンチを使用すると、購入したアクティブな権限の数に対して使用された権限の数の傾向を調べることで、組織のニーズを予測できます。ソフトウェアの消費が所有する権限の数を超える前に追加の権限を購入することで、コンプライアンスを維持できます。

ワークベンチの機能は次のとおりです。

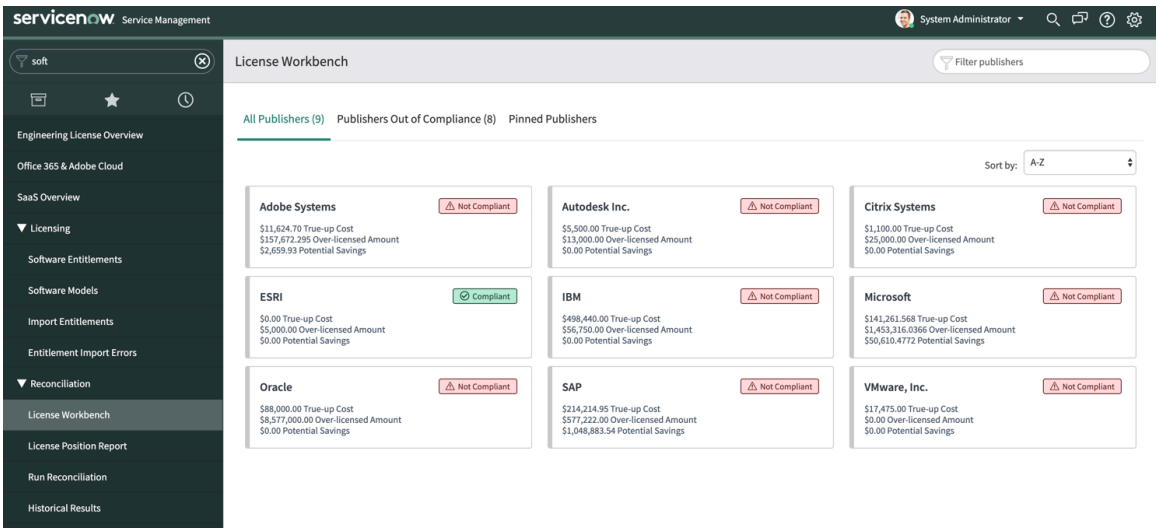
- 色分けされたコンプライアンスバナー
- カードの財務計算
- 公開者の固定機能 (ユーザー固有、保存済み)
- ソートカード機能
- アクティブフィルタリング
- [製品の結果] リストへのカードのドリルダウン

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

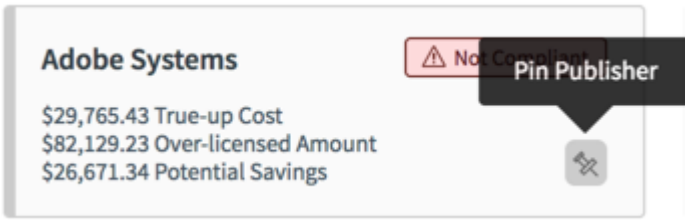
自動翻訳

- キーボード操作
- グループおよびサブグループの調整情報 (該当する場合)

ライセンスワークベンチ



ピン留めされたパブリッシャーは、[ピン留めされたパブリッシャー] タブに一覧表示されます。固定された公開者の一覧は、ユーザーごとに保存されます。



ライセンスワークベンチのタブ

タブ	説明
すべてのパブリッシャー	すべての公開者のリスト。
コンプライアンス違反パブリッシャー	ステータスが準拠していないすべての公開者のリスト。
固定中のパブリッシャー	グループ化されたパブリッシャーのユーザー固有の保存済みリスト。

パブリッシャーワークベンチナビゲーションツリー

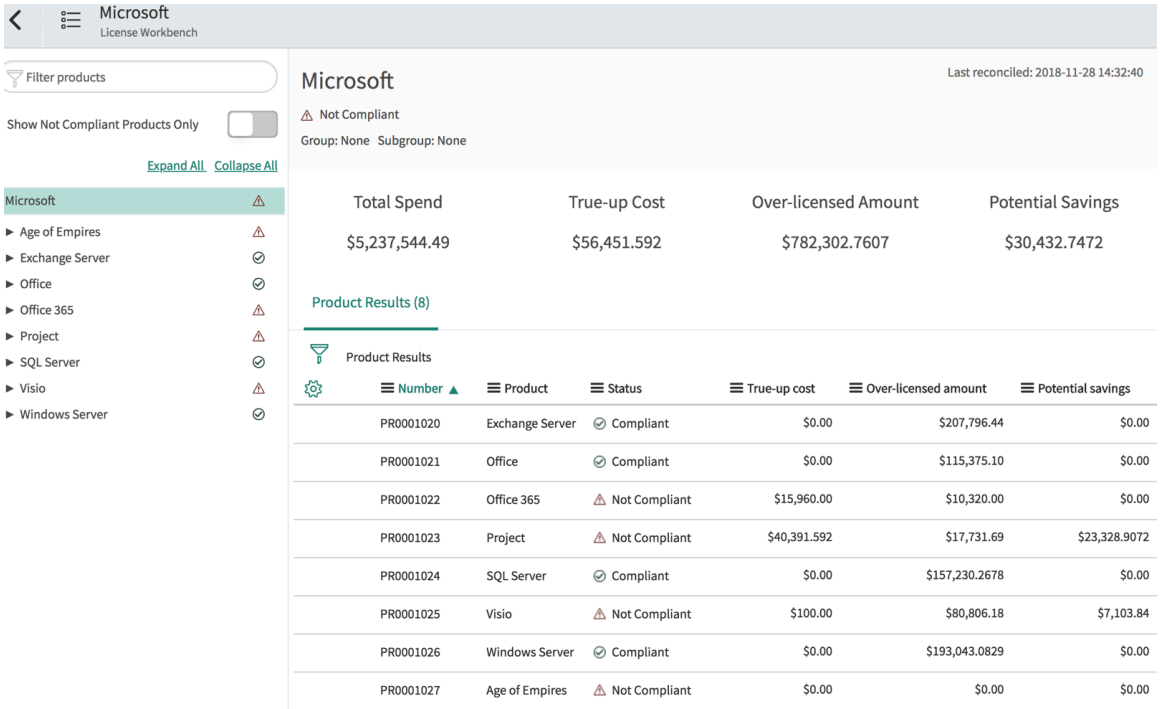
ワークベンチナビゲーションツリーで特定の公開者、製品、ソフトウェアモデル、またはライセンス評価指標をドリルダウンして、最新の調整結果からの計算とコンプライアンス情報を表示します。

ナビゲーションツリーの機能は次のとおりです。

- 製品のフィルタリング (折りたたまれたアイテムを含むアクティブなフィルタリング)
- コンプライアンストグルスイッチ
- ツリーリンクの展開と折りたたみ
- ソフトウェアモデルのコンプライアンスアイコン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



デフォルトでは、公開者ライセンスの概要ページのナビゲーションツリーは折りたたまれています。展開すると、パブリッシャー別にグループ化されます。

パブリッシャー: [Product Results] 関連リスト:

- ソフトウェアモデルの結果
- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザーまたは無認可エンジン)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- 削除候補

[ソフトウェアモデルの結果] 関連リスト:

- ライセンス評価指標の結果
- 修正オプション:[権利要求者] タブは、リソース値単位 (RVU) IBM ライセンスメトリクスには表示されません。リソース値単位 (RVU) ライセンス測定基準は製品レベルでライセンス交付を受けるため、個々のデバイスでは権限は使用されません。

  注: 修復オプションの詳細については、「ソフトウェアモデルの結果を表示」を参照してください。

- ライセンスされたインストール
- ライセンスなしのインストール (SAP:無認可ユーザー)
- ライセンスなしのサブスクリプション (サブスクリプションベースのソフトウェア)
- ライセンスなしの消費 (消費ベースのソフトウェアモデル)
- ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)
- 削除候補
- 発注書 (Procurement (com.snc.procurement) プラグインがアクティブな場合のみ)

ライセンス測定基準の結果関連リスト:

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 権限使用者:リソース値単位 (RVU) IBM ライセンスの測定基準には表示されません。リソース・バリュー・ユニット (RVU) ライセンス・メトリックは、製品レベルでライセンス交付されます。これは、企業内の製品の合計消費量に基づいて計算されます。

  注: クラウドインストールの場合、[権限使用者] 関連リストに 4 つの追加フィールドが表示されます。

- ライセンスされたインストール
- 使用中のインストール数 (SAP:システムユーザー)
- ダウングレード/アップグレード
- ライセンスが付与されたサブスクリプション
- クラウド特別権限:このタブは、AWS や Azure などのクラウドプラットフォームにクラウドがインストールされている場合にのみ使用できます。このタブは [権限使用者] タブのサブセットであり、クラウドインストールに関連するフィールドが表示されます。[クラウド特別権限] フィールドの詳細については、[権限使用者] タブを参照してください。

レポート計算

レポート	説明
公開者、製品、ソフトウェアモデル	
合計消費量	所有する権限の総コスト。
調整コスト	必要な最小権限数 (必要な権限にエンタイトルメントによる権限あたりの平均価格を掛けたもの) に基づいた、ライセンスのないインストールを修復するための推定コスト。 購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
合意タイプ	ソフトウェアライセンスタイプ。
ライセンスメトリクスの結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用される権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)
利用可能な権利	調整中に使用されない権限の合計 (所有権から使用権を差し引いた権利)。
従来のライセンス 注: このフィールドは、環境に AWS または Azure に専用ホストがある場合にのみ表示されます。	2019 年 10 月 1 日より前に購入したライセンスを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート計算 (続く)

レポート	説明
	注: Microsoft は、購入日に基づいて Dedicated Hosts のライセンスルールを更新しました。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な割り当て	• 配分済み、使用中 • 未配分、使用中 • 配分済み、不使用 • 割り当てなし • 配分が必要 注: Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) の場合、譲渡不可能な権利を持つことができます。譲渡不可能な権利とは、コアパックの残りの権利で、追加のデバイスのライセンスに使用できない権利のことです。
必要な権限 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	ライセンスなしのインストールをカバーするために必要な権限の数。
ライセンスなしのインストール 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可の SAP ユーザー (SAP のみ) 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメントの対象外であるライセンスのない SAP ユーザーの数。
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ)	エンタイトルメントの対象外であるライセンスなしの Oracle データベースオプションの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート計算 (続く)

レポート	説明
注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	
ライセンスなしのサブスクリプション 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメントの対象外となるライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	必要最低権限数に基づくライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。
見込まれる削減 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ]) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	削除候補を再利用することで節約できるコスト概算。
ダウングレード権限 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン (リスト) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンス付与できる以前のソフトウェアバージョン。

権限使用者

フィールド	説明
使用場所	権限を使用するユーザーまたはデバイス。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
クラウドプロバイダ	クラウドプロバイダの名前。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
適用された二重使用権	オンプレミスとクラウドで同時に権限を使用できるようにする、 Microsoft Azure によって提供される同時権限が適用されるかどうかを示します。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
ホストタイプ	クラウド上のホストのタイプ:共有または専用。 注: このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
エディションの柔軟性を適用	Microsoft Azure for Windows Server および SQL Server によって提供されるエディションの柔軟性の利点が適用されるかどうかを示します。 注: エディションの柔軟性の利点の詳細については、「BYOL および BYOS のライセンス規則」を参照してください。 このフィールドは、AWS または Azure にクラウドがインストールされている場合にのみ表示されます。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 注: 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

ソフトウェア調整の実行

調整はスケジュール設定済みジョブとして実行されますが (デフォルトは毎週)、必要に応じてお使いの環境のソフトウェア製品を調整するために手動で実行することも可能です。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

調整はソフトウェアエンタイトルメントまたはソフトウェアインストールがある製品に対して実行されます。グループ化とサブグループ化がサポートされているため、コンプライアンス結果を絞り込むことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調整を手動で実行する場合は、プロセスが完了するのに十分な時間をおいてください。より速い結果を得るには、特定の公開者を選択して範囲を絞ります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > 調整の実行 をクリックし、コンプライアンスを計算するパブリッシャーを選択するか、すべてのパブリッシャーを選択します。
2. 結果をさらに絞り込むには、必要に応じて [グループ] と [サブグループ] を選択します。
   グループおよびサブグループの値としては、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) が利用できます。
3. [続行] を選択します。
   調整プロセスは完了するまでに時間がかかる場合があります。調整が完了すると、調整結果が表示されます。

ソフトウェアモデルの結果を表示

調整実行後、[製品の結果] リストからソフトウェア モデルの結果のコンプライアンス情報を表示します。

始める前に

必要なロール：sam_user

このタスクについて

[製品の結果] レコードから、ソフトウェアモデルの結果の [ライセンス測定基準の結果]、[修復オプション]、[ライセンスされたインストール]、[ライセンスされていないインストール]、および [削除候補] 関連リストを表示できます。調達 アプリケーション (com.snc.procurement) がアクティブな場合は、[修正オプション] フォームから直接発注書を作成および表示することもできます。その他の修正オプションには、割り当ての自動作成と削除、未割り当てのインストールの削除、ライセンスなしのインストールの削除などがあります。

たとえば、製品の結果のステータスが非準拠と表示されている場合は、製品の結果をドリルダウンしてソフトウェアモデルの詳細を表示できます。これらの詳細には、ライセンスなしのインストールの数と準拠するための調整コストが含まれます。さらに、ソフトウェア モデルの結果をドリル ダウンして製品のエンタイトルメントに基づたライセンスの測定基準の結果も表示できます。

ライセンスのメトリクスの結果情報には、所有権と権限の使用、ライセンス割り当てのブレークダウンが含まれているため、準拠するオプションを決定できます。[修復オプション] 関連リストには、ライセンスの測定基準に基づいて、必要な権限数と権限に対するコストの計算が表示されます。

[ソフトウェアモデルの結果] フォームのダッシュボードフィールドアクション ( ) アイコンを使用して、所有している権利と使用されている権利のチャートを表示し、追加のライセンスが必要になるタイミングを予測できます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 調整 > 履歴結果 をクリックし、調整結果を選択します。
2. [調整結果] フォームで、製品結果レコードを選択して製品結果の詳細を表示します。
3. [ソフトウェアモデルの結果] 関連リストで、レコードを開いてソフトウェアモデルの結果の詳細を表示します。

ソフトウェア モデルの結果フォーム

フィールド	説明
ソフトウェア モデル	製品に関連付けられているソフトウェア モデル。ソフトウェア モデルの結果を確認するに

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は、ソフトウェア モデルをドリル ダウンします。 ダッシュボードフィールドアクション ( ) アイコンは、ソフトウェアモデルの [所有している権利] と [使用されている権利] のチャートを表示します。
製品の結果	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
最新	このソフトウェア モデルの結果が直近で調整を実行したときのものかどうかを示します。
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。 ◦ 準拠 ◦ 非準拠
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。 ◦ 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ◦ IBM:汎用エンタープライズ・ライセンス契約 (ELA)、国際プログラム・ライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA) ◦ Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) ◦ Oracle:汎用無制限レベル契約 (ULA) ◦ VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) **注:** 契約タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、 ステータス は準拠です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な最小権限数 (必要な権限 x エンタイトルメントから権限あたりの平均価格) に基づいて、ライセンスのないインストールを修復するための推定コスト。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
見込まれる削減	関連する削除候補において、活用されていないライセンスやライセンスの不適切な消費に対処することによって節約できるコスト。
ライセンス評価指標の結果	
表示名	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。 表示名を選択すると、対応するライセンスメトリクスの結果レコードが開き、ライセンスメトリクスの結果に関する詳細情報を表示できます。詳細については、「ソフトウェアモデルの結果のライセンスメトリクスの結果フィールド」を参照してください。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済みと未割り当ておよびインストール済み)。
利用可能な権利	調整中に使用されなかった権限の合計 (所有する権限から使用する権限を差し引いた権利)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
従来のライセンス	2019 年 10 月 1 日より前に購入したライセンスを示します。このフィールドは、環境に AWS または Azure の専用ホストがある場合にのみ表示されます。 **注:** Microsoft は、購入日に基づいて Dedicated Hosts のライセンスルールを更新しました。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごと

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	に、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンス付与に使用できないコアパックの残りの権限。譲渡不可能な権限は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
割り当てなし	割り当てられていない権限の数 (インストールされているかどうかに関係なく、所有している権限から割り当て済み権限を差し引いた権限)。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。
必要な権限 **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	ライセンスなしのインストールをカバーするために必要な権限の数。
ライセンスなしのインストール **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
無認可の SAP ユーザー (SAP のみ) **注:** このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメントの対象外であるライセンスのない SAP ユーザーの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスなしのオプション (Oracle のみ) 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメントの対象外であるライセンスなしの Oracle データベースオプションの数。
ライセンスなしのサブスクリプション 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	エンタイトルメントの対象外となるライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの数。
調整コスト 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	必要最低権限数に基づくライセンスなしのインストールを修復するための推定コスト。
見込まれる削減 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン ( ]) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	削除候補を再利用することで節約できるコスト概算。
ダウングレード権限 注: このフィールドはデフォルトでは非表示になっています。[リストをカスタマイズ] アイコン (リスト) を選択して、ライセンスメトリクスの結果に表示されるフィールドを変更します。	最新のソフトウェアバージョンのソフトウェアエンタイトルメントを使用してライセンス付与できる以前のソフトウェアバージョン。
修復オプション	
修復アクション	コンプライアンス準拠のためのアクション。 ◦ 購入権限 ◦ 割り当ての解除 (Remove Allocations) ◦ 割り当ての作成 (Create Allocations) ◦ 未割り当てのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用不可) ◦ ライセンスなしのインストールを削除 (Oracle データベースオプションでは利用できません)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ ライセンスなしのインストールの削除 - クラウド (クラウドがインストールされている場合にのみ利用可能)。 ◦ 実行可能な権限の値が 0 の場合、[修復アクション] ボタンは表示されません。
コンプライアンスに影響	修正オプションがコンプライアンスに影響を与えるかどうかを指定します。
ライセンスの測定基準	ソフトウェア モデルの結果の特定のライセンスのメトリクス。
ソフトウェア モデルの結果	修復オプションに関する特定のソフトウェア モデルの結果。
ステータス	修復オプションのステータス。 ◦ 新規 (青) ◦ 完了 (緑) ◦ 完了 (エラーあり) (黄) ◦ 無効 (赤) ◦ 進行中 (黄) [処理中] ステータスは、修復アクションが進行中であることを示します。削除候補が作成されている場合は、削除候補が作成されるとステータスが [完了] に変わります。
未使用の権限 割り当てられていない権限 必要な権限 再利用可能な権利 ライセンスなしの権限 (表示されているフィールドは、修正アクションタイプに基づいています)	◦ [割り当てを解除] アクションには [使用されていない権利] フィールドが表示されます。 ◦ [割り当てを作成] アクションには [割り当てられていない権限] フィールドを表示します。 ◦ [購入権限] には [必要な権限] フィールドが表示されます。 ◦ [未割り当てのインストールの削除] アクションには [再利用可能な権限] フィールドが表示されます。 ◦ [ライセンスなしのインストールの削除] アクションには [ライセンスなしの権限] フィールドが表示されます。
実行可能な権限	アクションによって影響を受ける全権限。
発注書	発注書が作成された場合、修正オプションに関連付けられた発注書番号。
調整コスト	必要な最小権限数に基づいてライセンスのないインストールを修復する推定コスト。
ライセンスなしのサブスクリプション **注:** この関連リストは、サブスクリプションベースのソフトウェア製品に対してのみ表示されます。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
表示名	エンタイトルメントの対象外のライセンスなしソフトウェアサブスクリプションの名前。
ユーザープリンシパル名	ライセンス不要のソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションが関連付けられているソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンス不要のソフトウェアサブスクリプションが関連付けられている統合プロファイル。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションのタイプ。
ライセンスなしの消費 注: この関連リストは、消費ベースのソフトウェアモデルに対してのみ表示されます。	
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェア消費があるソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスのないソフトウェアを消費した統合プロファイル。
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの数。
契約開始	ライセンス契約の開始日。
契約終了	ライセンス契約の終了日。
実際の月次消費	ユーザーが 1 か月に消費する実際のソフトウェアユニット数。
予想される月次消費	ユーザーが 1 か月あたりに消費すると予想されるソフトウェアユニットの数。
コストセンター	ライセンスのないソフトウェア消費がある事業部門。
部門	ライセンスなしのソフトウェア消費がある部門。
ロケーション	ライセンスのないソフトウェアが消費されている地理的な場所。
会社	ライセンスのないソフトウェアを消費した会社の名前。

[ライセンスされたインストール] 関連リストには、ライセンス付与された ソフトウェアインストール が含まれています。ライセンスされたソフトウェアのインストールに関する詳細を表示するには、 表示名をクリックして対応するソフトウェアインストールレコードを開きます。ソフトウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、「 ソフトウェア インストール フィールド 」を参照してください。

[ライセンスなしのインストール] 関連リストには、ライセンスされていないソフトウェア インストールが含まれています。ライセンスのないソフトウェアのインストールに関する詳細を表示するには、 表示名をクリックして対応するソフトウェアインストールレコードを開きます。ソフト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウェアインストールレコードの各フィールドの詳細については、「ソフトウェア インストール フィールド」を参照してください。

[無認可ユーザー] 関連リストには、ライセンスのない SAP システムユーザー が含まれています。

注: この関連リストは、 SAP 公開者に対してのみ表示されます。

[Removal Candidates] 関連リストには、ソフトウェアインストールに関連する 削除候補 が含まれています。

4. 特定の修復アクションの修復オプションを実行するには、[修復オプション] 関連リストからオプションを選択し、該当するアクションをクリックします。

修復オプションのアクションボタン

修復オプションのアクション	アクションボタン	結果
ライセンスなしのインストールを削除する	すべての削除候補を作成	ライセンスのないインストールの削除候補が作成されると、ステータスは [失効待ち] に設定されます。
未割り当てのインストールを削除	すべての削除候補を作成	未割り当てのインストールの削除候補が作成されると、ステータスは [準備完了] に設定されます。
割り当ての解除 (Remove Allocations)	すべての割り当てを削除	割り当てが削除されると、割り当ての数が調整されます。
割り当ての作成 (Create Allocations)	すべての割り当てを作成	割り当てが作成されると、(同じソフトウェアモデルの結果の同じライセンスメトリクスに対する) 未割り当てインストールの削除修復オプションのステータスが無効に設定されます。
購入権限	発注書を作成 注: [発注書を作成] ボタンは 発注書 を作成しますが、必要な権限が 0 より大きく、 調達 がアクティブな場合にのみ表示されます。 [発注書を作成] ボタンは、発注書の処理が完了するまでアクティブなままになります。したがって、同じ品目に対して重複した発注書を作成しないようにするには、発注書の処理が完了するまで調整を再度実行します。	発注書が作成されると、同じソフトウェアモデルの結果に対するすべての購入権修復オプションのステータスが無効に設定されます。 発注書 (PO) フィールドの [部品番号]、[測定基準グループ]、[ライセンス測定基準]、および [発注数量] には、修復オプションの内容が自動的に入力されます。 [メトリクスグループ] フィールドと [ライセンスメトリクス] フィールドが発注書フォームに追加され、注文の完了時にエンタイトルメントを自動的に作成できるようになります。 ソフトウェアモデルに対して有効な発注明細が少なくとも

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修復オプションのアクション	アクションボタン	結果
		1 つ存在する場合は、通知が表示されます。 発注書が作成されると、発注書参照を含む [発注書] フィールドが修復オプションに追加されます。

確認メッセージが表示され、該当するすべての 削除候補 が [削除候補] 関連リストに追加されます。

ソフトウェア削除候補の追加

削除候補は、環境内のソフトウェアリソースを再利用します。これらは再利用ルールから作成されますが、手動で作成することもできます。

始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
ソフトウェア再利用は、デバイスからソフトウェアをアンインストールしてソフトウェア権限を再利用するプロセスを自動化するために、 Workflow および クライアントソフトウェアディストリビューション と統合されています。ただし、削除候補を手動で作成することもできます。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 節約見込み
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[削除候補] フォーム

フィールド	説明
番号	自動的に生成される一意の削除候補番号。
アサイン先グループ	削除候補への対応を許可されているソフトウェアマネージャーグループに自動的に設定されます。
アサイン先	このタスクの遂行に対して主に責任を負う人物。
名前	自動的に生成される削除候補名。ソフトウェアインストールの表示名が含まれます。
説明	タスクが存在する理由と、承認を受け取った場合にユーザーが実行する必要があることの説明。
ステータス	削除候補の現在のステータス。 ◦ 要確認 ◦ 準備完了 ◦ ユーザー待ち ◦ 承認待ち

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ 失効待ち ◦ 完了してクローズ ◦ スキップしてクローズ ◦ キャンセルしてクローズ
オープン	タスクがオープンされた日付。
クローズ済み	タスクがクローズされた日付。
Justification (理由)	削除候補になる理由。 ◦ 使用率が低い (デフォルト) ◦ 未割り当て ◦ ライセンスなし ◦ 制限付きソフトウェア
削除候補	
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。 ◦ インストール済みソフトウェア ◦ サブスクリプションソフトウェア ◦ エンジニアリングアプリライセンス
ソフトウェアのインストール	再利用されるソフトウェアインストール。
エンジニアリングアプリライセンス 注: [エンジニアリングアプリライセンス] が [適用先] リストで選択されている場合にのみ表示されます。	再利用するエンジニアリングアプリケーションライセンス。
ユーザー	ソフトウェアのインストールにアサインされたユーザーの名前。 この値は、別のユーザーがソフトウェアがアンインストールされているという通知を受け取るように変更できます。 [一括再利用] チェックボックスがオンになっている場合、これは必須フィールドになります。
一括再利用	複数のソフトウェアインストールを再利用するには、このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスをオンにすると、[ソフトウェアインストール] フィールドは表示されなくなります。ソフトウェアインストールを追加するには、ステップ 4 で説明したサブステップを参照してください。
再利用のルール	削除候補を作成した再利用ルール。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
再利用する権限 注: [エンジニアリングアプリライセンス] が [適用先] リストで選択されている場合にのみ表示されます。	再利用する権限の数。たとえば、ライセンスサーバーに 100 個の権利がインストールされていて、40 個の権利のみを再利用したいとします。
見込まれる削減	すべての削除候補が [完了してクローズ] ステータスの場合、つまりソフトウェアがアンインストールされ、権限が収集された場合の推定削減コスト (未使用の権利 x エンタイトルメントからの権利あたりの平均価格)。
ユーザーへの通知	ソフトウェアがインストールされているハードウェアに割り当てられたユーザーに、ソフトウェアを削除する権限を電子メールで要求するように通知するためのチェックボックス。
構成アイテム	ソフトウェアがインストールされているデバイス。
アクティビティ	
作業メモ	このタスクで実行されたアクションを追跡するために使用されます。

4. [保存] を選択します。
削除候補レコードが作成されます。[一括再利用] チェックボックスをオンにした場合は、次の手順に進む前に、次のサブ手順を実行してソフトウェアインストールを追加します。[一括再利用] チェックボックスをオンにしなかった場合は、次の手順に進みます。

   a. [ソフトウェアインストール] 関連リストで [編集] を選択します。

   b. [メンバーの編集] ページで、ソフトウェア インストールを [コレクション] ボックスから [ソフトウェア インストール リスト] ボックスに移動します。
   指定したユーザーに割り当てられているソフトウェアインストールのみが [コレクション] ボックスに表示されます。

   c. [保存] を選択します。
   追加したソフトウェアインストールが [ソフトウェアインストール] 関連リストに表示されます。削除候補のステータスが [要確認] から [準備完了] に移行し、[名前] フィールドに名前が生成されます。[編集] を選択して、ソフトウェアのインストールをさらに追加します。すべてのソフトウェア インストールを削除することにした場合、状態は [要確認] に戻り、[名前] フィールドに名前が表示されなくなります。名前を生成し、削除候補を [準備完了] ステータスにするには、削除候補フォームで少なくとも 1 つのソフトウェアインストールを選択する必要があります。

5. [再利用] を選択します。

   ソフトウェアインストールが再利用され、システムから削除されると、[ソフトウェアインストール] 列は空になります。[ソフトウェアインストール] 関連リストの次のフィールドを参照して、再利用されたソフトウェアインストールの履歴に関するインサイトを得ることができます。

   - 表示名
   - 製品

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- パブリッシャー
- ソフトウェアモデル

フォーム上の任意のアクションボタンを選択して、削除候補をさらに構成できます。アクションボタンは、削除候補の理由とステータスによって異なります。

アクション ボタン

アクション	説明
更新	削除候補を更新します。
完了してクローズ	権限を再利用し、削除候補をクローズします。
スキップ項目をクローズ	権限を回収せずに削除候補をクローズします。
削除	削除候補を削除します。

調整と製品の結果

調整結果、製品結果、ソフトウェア製品結果のフィールドの説明。

調整結果

調整結果はナビゲーションパスにリストされます ソフトウェア資産 > 調整 > 履歴結果

調整結果フォーム

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の識別番号。
前回の調整日時	前回の調整実行日。
実行対象	すべての公開者、または特定の公開者。
公開者	調整を実行する公開者が指定されている場合にのみ表示されます。
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
ステータス	調整のステータス。 • 完了 • 処理中 • 失敗
進行状況	調整実行の完了率と進行状況バー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整結果フォーム (続く)

フィールド	説明
進行状況のサマリー	調整プロセス内の特定のステップ。 注: このリスト列は、デフォルトでは表示されません。必要に応じて、リストの列設定をカスタマイズして追加できます。

ソフトウェア製品

製品の結果レコードから、[ソフトウェアモデル]、[ライセンスなしのインストール]、および [削除候補] の関連リストにアクセスできます。

製品に定義されたソフトウェアモデルがなくても、調整実行後にライセンス付与可能な製品の製品結果が生成されます。

注: [ソフトウェアモデルの結果] レコードは、製品のソフトウェアモデルまたはエンタイトルメントが存在する場合にのみ作成されます。

ライセンス可能な製品の場合、[製品の結果] リスト内のデフォルトでエンタイトルメントのないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、またはオプションに対してソフトウェアモデルが自動的に作成されます。*com.snc.samp.automaticsmrcreation*プロパティの設定を変更するには、「プロパティ」を参照してください。また、必要に応じて、*com.snc.samp.automaticsmcreation* プロパティを設定して、ライセンス付与不可製品のソフトウェアモデルを自動的に作成することもできます。

特定のソフトウェア製品の結果に関する詳細情報を表示するには、[製品の結果] リストからエントリを選択します。フィールドの説明については、次の表を参照してください。

[製品の結果] フィールド

フィールド	説明
番号	調整プロセス中に生成された一意の製品の結果番号。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
グループ	製品の結果が属するグループ。
サブグループ	製品の結果が属するサブグループ。
最新	この製品の結果が直近の調整実行のときのものかどうかを示します。
調整結果	調整プロセス中に生成される固有の調整結果番号。
ステータス	製品のステータス。 • 準拠 • 非準拠

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
調整コスト	必要最小限の権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。すべてのソフトウェアモデルの結果から得られたライセンス超過金額の合計。
見込まれる削減	ソフトウェアインストールが再利用された場合の推定コスト。すべての削除候補から得られるすべての節減見込みの合計。
ライセンスされたインストール	製品に対してライセンスされているインストールの合計数。
ライセンスなしのインストール	製品のライセンスが付与されていないインストールの合計数。
ソフトウェアモデルの結果	
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。
ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの名前。
ライセンスなしのインストール	関連付けられたソフトウェア製品のライセンスされていないインストールの合計数。
調整コスト	必要最小限の権限数に基づいて違反を修正する推定コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。
見込まれる削減	再利用候補が再利用された場合に節約できるコスト概算。
ライセンスされたインストール	
表示名	ライセンス認証済みソフトウェアのインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
ディスカバリー モデル	インストール済みソフトウェア製品を表すソフトウェア検出モデル。
インストール先	製品がインストールされているデバイス。
アサイン先	製品が割り当てられているユーザー。
ライセンスなしのインストール	
表示名	ライセンスなしのソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
インストール先	製品がインストールされているデバイス。
アサイン先	製品が割り当てられているユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
ライセンスなしのサブスクリプション 注: この関連リストは、ソフトウェア製品がサブスクリプションの場合にのみ表示されます。	
パブリッシャー	ライセンスなしのサブスクリプションに関連付けられたソフトウェア製品の公開者。
製品	ライセンス付与されていないソフトウェアのサブスクリプションに関連付けられているソフトウェア製品の名前。
ユーザー	ライセンス不要のソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	関連付けられたユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられているソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	ライセンスなしのソフトウェアサブスクリプションに関連付けられた統合プロファイル。
無認可ユーザー 注: この関連リストには SAP システムユーザーが含まれており、 SAP パブリッシャーに対してのみ表示されます。	
表示名	一意の表示名。
ユーザー	SAP システムのユーザー。
SAP ユーザー ID	SAP SAP システムへのアクセス権を持つユーザーの ID。
メール	SAP ユーザーのメール。
名前	SAPユーザーの姓名。
ユーザータイプ	SAPシステム内のユーザーのタイプ。 • ダイアログ • システム
ライセンス タイプ	指定された SAP システム内のユーザーに割り当てられた指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	指定された SAP システムのユーザーにアサインされた正規化された指名ユーザータイプ。
SAP クライアント	SAP ユーザー情報がプルされたクライアント。
削除候補	
番号	削除候補番号。
名前	削除候補の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[製品の結果] フィールド (続く)

フィールド	説明
正当性	削除候補になる理由。 • 使用率が低い (デフォルト) • 未割り当て • ライセンスなし • 制限付きソフトウェア
製品	製品の名前。
パブリッシャー	公開者の名前。
ステータス	削除候補のステータス。 • 要確認 • 準備完了 • ユーザー待ち • 承認待ち • 承認 • 失効待ち • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
見込まれる削減	未使用のソフトウェアインストールを再利用することで得られる節約額。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理 クラシックでのソフトウェア使用の表示または作成

ソフトウェア使用レコードを表示して、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで再利用ルールを作成したソフトウェア製品の使用状況を追跡します。サードパーティ統合または Microsoft SCCM 統合からソフトウェア使用レコードを手動で作成することもできます。

このタスクについて

ソフトウェア使用状況 [samp_sw_usage] テーブルは、バージョンやエディションレベルではなく、製品レベルまで使用状況を追跡します。

始める前に

必要なロール：sam_admin または sam_user

このタスクについて

ソフトウェア使用レコードを手動で作成するには、次の手順に従います。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェア使用状況 をクリックし、[新規] を選択します。
2. [ソフトウェア使用] フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア使用フォーム

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア製品の公開者。
製品	ソフトウェア製品の名前。
再利用タイプ	ソフトウェアのインストールで使用される再利用のタイプ。オプションは 、[合計使用時間] と [最終使用日] です。 注: 「合計使用時間」を選択すると、「使用状況測定データ」フォーム・セクションが表示されます。[最終使用日] を選択すると、[最終使用データ] フォームセクションが表示されます。
構成アイテム	ソフトウェア製品が関連付けられている構成アイテム (CI)。 注: CI ステータス または ハードウェアステータス フィールドが [廃止] または [盗難] に変更されると、CI に関連するインストールが削除されます。
ユーザー	ソフトウェア製品を使用しているユーザーの名前。
ディスカバリーソース	ソフトウェア使用状況データのディスカバリーソース。 適切なディスカバリーソースが [ディスカバリーソース] リストに表示されていない場合は、[ディスカバリーソース] フィールド名を右クリックし、[選択の構成] を選択することで表示できます。プロンプトが表示されたら、次のいずれかのオプションを使用してディスカバリーソースを表示します。 ◦ ディスカバリーソースが ServiceNow インスタンスに既に存在する場合は、[利用可能] リストに表示されます。ディスカバリーソースを [選択済み] リストに移動して、[ディスカバリーソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソフトウェア使用を作成] フォームに戻ると、更新されたディスカバリーソースリストを表示できます。 ◦ ディスカバリーソースが ServiceNow インスタンスにまだ存在しない場合は、 [**Enter new item**] フィールドにディスカバリーソースの名前を入力し、 [**Add**] を選択します。新しいディスカバリーソースを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動して、[ディスカバリーソース] リストに表示されるようにします。[保存] を選択して [新しいソ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	フトウェア使用を作成] フォームに戻ると、更新されたディスカバリーソースリストを表示できます。
使用状況計測データ 注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [合計使用時間] に設定されている場合にのみ表示されます。	
月	ソフトウェア製品が使用された月。
年	ソフトウェア製品が使用された年。
使用回数	ソフトウェア製品がアクセスされた回数。
合計使用時間 (秒)	ソフトウェア製品が使用された時間 (秒)。
最後に使用されたデータ 注: このフォームセクションは、[再利用タイプ] が [最終使用日] に設定されている場合にのみ表示されます。	
前回の使用時間	ソフトウェア製品が最後に使用された日時。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。

ソフトウェア資産管理 へのサブスクリプション

ServiceNow プラットフォームでは、IT Asset Management アプリケーションServiceNow ソフトウェア資産管理の使用に対して組織に課金されるライセンス方式が使用されます。

ソフトウェア資産管理 ライセンスを使用すると、使用するリソースカテゴリの料金を支払うことができます。コストを計算するために、 ソフトウェア資産管理 はサブスクリプションユニットを使用します。サブスクリプションユニットは、定義された比率を使用して管理対象の IT リソースに使用される測定単位です。さまざまなタイプの IT リソースを管理することによる顧客価値はさまざまです。サブスクリプションユニットを使用すると、これらの異なる IT リソースタイプに対する比率によって 1 つの単価を適用し、さまざまな顧客価値を反映できます。管理対象の IT リソースとサブスクリプションユニット率の詳細については、 https://www.servicenow.com/products/entitlements-packages.html の「サブスクリプションユニットの概要」を参照してください。

管理対象 IT リソースタイプ

ServiceNow ソフトウェア資産管理 には、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、SaaS サブスクリプションユーザー、PaaS リソース、IaaS ストレージの 5 つの IT リソースカテゴリがあります。

- サーバーは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブルで構成アイテム (CI) として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理される物理サーバーまたは仮想サーバーです。
- エンドユーザーコンピューティングデバイスとは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされ、ソフトウェア資産管理アプリケーションによって管理されるCMDBテーブル内の物理または仮想の非サーバー CI です。
- SaaS サブスクリプションユーザーは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされ、ソフトウェア資産管理アプリケーションによって管理される、SaaSサブスクリプションユーザーテーブル内の一意のユーザープリンシパル名です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- PaaS リソースは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブルで CI として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されるクラウドベースのプラットフォームサービスです。
- IaaS ストレージは、次のライセンスリソースカテゴリにリストされている CMDB テーブル内の CI として表され、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されるクラウドベースのインフラストラクチャサービスです。

管理対象 IT リソースにインストールされているソフトウェアがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルで表されている場合、サーバーとエンドユーザーコンピューティングデバイスは ソフトウェア資産管理 アプリケーションによって管理されます。

ソフトウェア資産管理ライセンスリソースカテゴリ

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
サーバー	1：1	• cmdb_ci_server • cmdb_ci_win_server • cmdb_ci_linux_server • cmdb_ci_aix_server • cmdb_ci_esx_server • cmdb_ci_solaris_server • cmdb_ci_hyper_v_server • cmdb_ci_hpux_server 上記のクラスまたは cmdb_ci_hardwareから派生し、別の管理対象 IT リソースタイプとして定義されていない CMDB クラス。
エンドユーザーコンピューティングデバイス	1:4	• cmdb_ci_computer • cmdb_ci_handheld_computing • cmdb_ci_pc_hardware cmdb_ci_pc_hardwareから派生した任意の CMDB クラス。
SaaS サブスクリプションユーザー	1:15	samp_sw_subscription
PaaS リソース	1:3	• cmdb_ci_database • cmdb_ci_cloud_database 上記のクラスの子クラス。
IaaS ストレージ	1:3	cmdb_ci_storage_volume 上記のクラスの子クラス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に保存されている構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関するこの情報と組織が購入したサブスクリプションに関する情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションによるサブスクリプションの使用に関する統計情報を生成します。

始める前に

ライセンス目的で情報を収集および集計するプロセスは、次のやり取りで構成されます。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

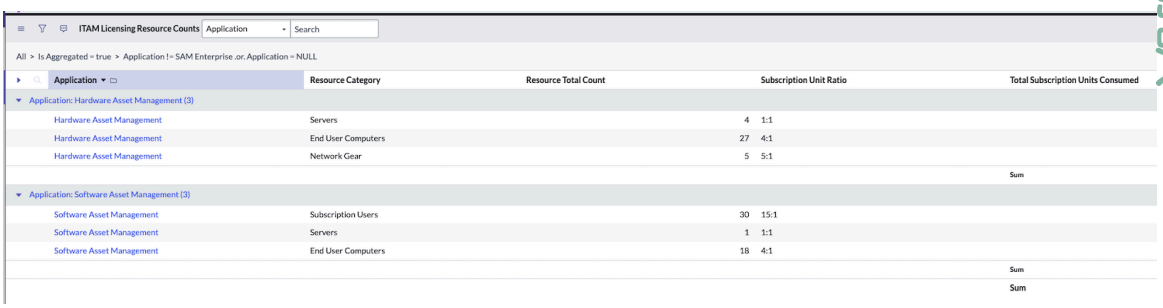
1. IT Asset Management アプリケーションは、CI をカウントし、毎日 CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに日次レポートします。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

- admin
- usage_admin

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. 特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示するアプリケーションを選択します。



CI 数と、IT Operations Management アプリケーションごとに個別に (単品) 購入したサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT 資産管理アプリケーションの CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、データベース (3:1)、サブスクリプションユーザー (15:1) の値が事前定義されています。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計:組織が利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリあたりのサブスクリプション数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション比率を適用して、この数を計算します。

ライセンスの目的で、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、過去 90 日以内にソフトウェアのインストールが検出された CI、または最後に検出された CI のみが空と見なされま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。また、cmdb_ci_hardwareテーブルに列が追加され、その列名が *Enter the name of the true/false field added to cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management* というラベルの付いたプロパティで参照されている CI は、すべて除外されます。CI の除外の詳細については、「CI 上のソフトウェア資産を除外する」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション ソフトウェア資産管理 クラシック用

この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注: ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

パフォーマンスアナリティクス - コンテンツパック - ソフトウェア資産管理 クラシック は、ServiceNow がインスタンスでソフトウェア資産プロフェッショナルをアクティブ化すると自動的に有効になります。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、ドメインセパレーションが有効になっている場合のみ効果があります。

関連情報

- プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション
- パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

ソフトウェア資産分析ダッシュボード

調整コストとライセンス、コンプライアンス、および削除のサマリーの傾向図を、 パフォーマンスアナリティクス と統合されたソフトウェア資産分析ダッシュボードに表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規Xanaduユーザーは、ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボードを使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

[Software Asset Analytics (ソフトウェア資産アナリティクス)] ダッシュボードタブには、 ソフトウェア資産 > 概要. レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

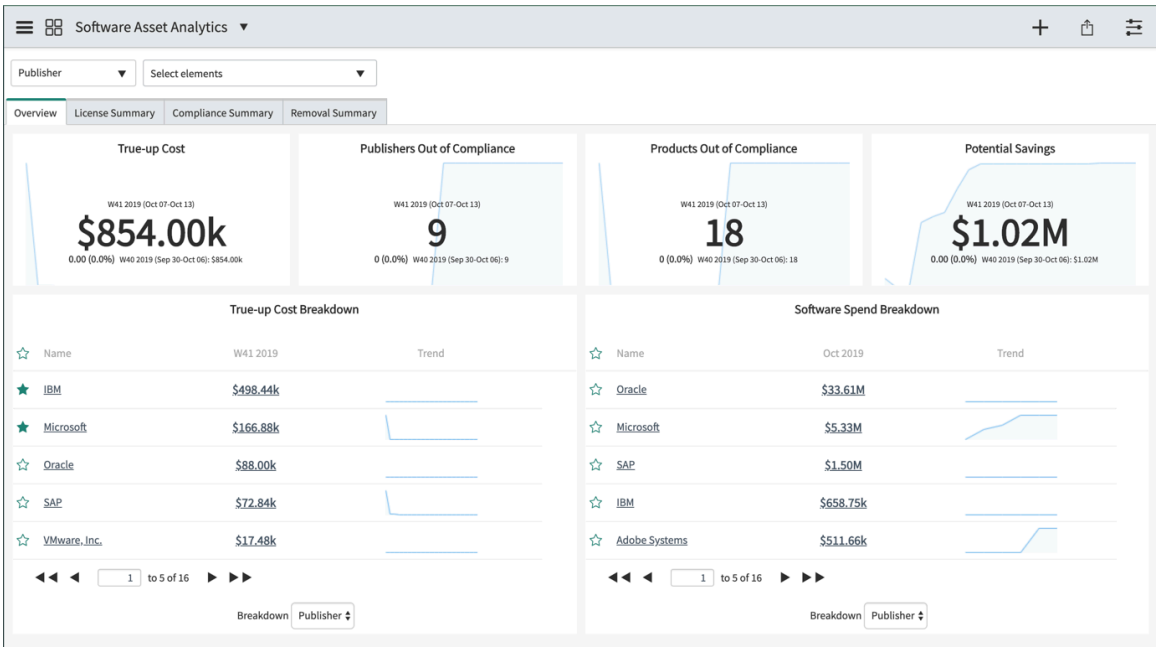
[概要]、[ライセンスのサマリー]、および [コンプライアンスのサマリー] タブは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。[削除の概要] タブの結果は毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

グラフには、追跡対象のソフトウェアに関する重要な統計情報が表示されます。[概要と最適化] では、公開者と製品でフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

注: 概要ダッシュボードにデータが表示されない場合は、*glide.cms.enable.responsive_grid_layout* システムプロパティが true に設定されていることを確認します。

概要

ソフトウェア資産アナリティクスダッシュボード



[概要] タブ

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算さ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ (続く)

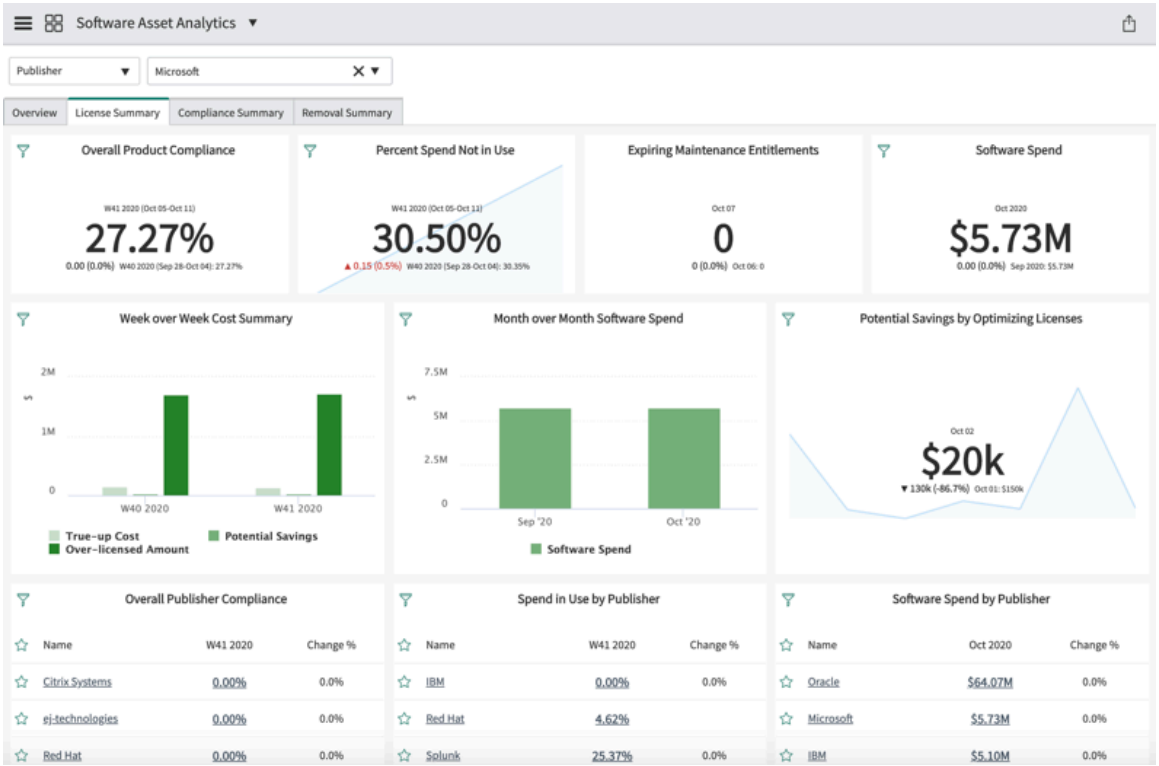
レポート	ソースリスト	説明
		れる、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択すると、 ソフトウェアライセンスの使用状況に結果が表示されます。
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ソフトウェアライセンスの使用状況に結果が表示されます。
節減見込み	製品の結果	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コスト明細	製品の結果	公開者による権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、コンプライアンスのためのコスト。
ソフトウェア支出ブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	パブリッシャーによって廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの合計コスト。
提供終了製品	製品ライフサイクル [sam_sw_product_lifecycle]	ライフサイクルの終わりを迎えているソフトウェア製品ライフサイクルのヒートマップ。ソフトウェアインストールにドリルダウンする場合に選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスのサマリー

[ライセンスの概要] タブ



[ライセンスの概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
製品全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	準拠製品の合計パーセント。
使用されていない支出の割合	製品の結果とライセンス測定基準の結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	使用されていないソフトウェア支出の割合 (ライセンス供与過剰金額と節減見込み)。
期限切れ間近のメンテナンスエンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	6 か月以内に期限切れになるすべてのエンタイトルメント合計の終了日。 エンタイトルメントの合計には次のものが含まれます。 • 無期限 • メンテナンス • 無期限 + メンテナンス • アップグレード • SA

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスの概要] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
		• 無期限 +SA • ステップアップ レポートを選択すると、期限切れになる特定のエンタイトルメントに関する詳細が表示されます。 注: メンテナンスおよび SA エンタイトルメントは、関連付けられた無期限エンタイトルメントが表示されるため、表示されません。
ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	廃止されていないすべてのエンタイトルメントのソフトウェアの総コスト。
前週比コストの概要	製品の結果とライセンス測定基準の結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	一連の週の調整コスト、見込まれる削減額、およびライセンス供与過剰金額。
前月比ソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	一連の月におけるソフトウェアの合計支出。
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスタ上のライセンスの潜在的なコスト削減。 注: このレポートは、Microsoft Windows Server およびオンプレミス Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨されるライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。
パブリッシャー全体のコンプライアンス	製品の結果 [samp_product_result]	パブリッシャー別の準拠している製品の割合。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

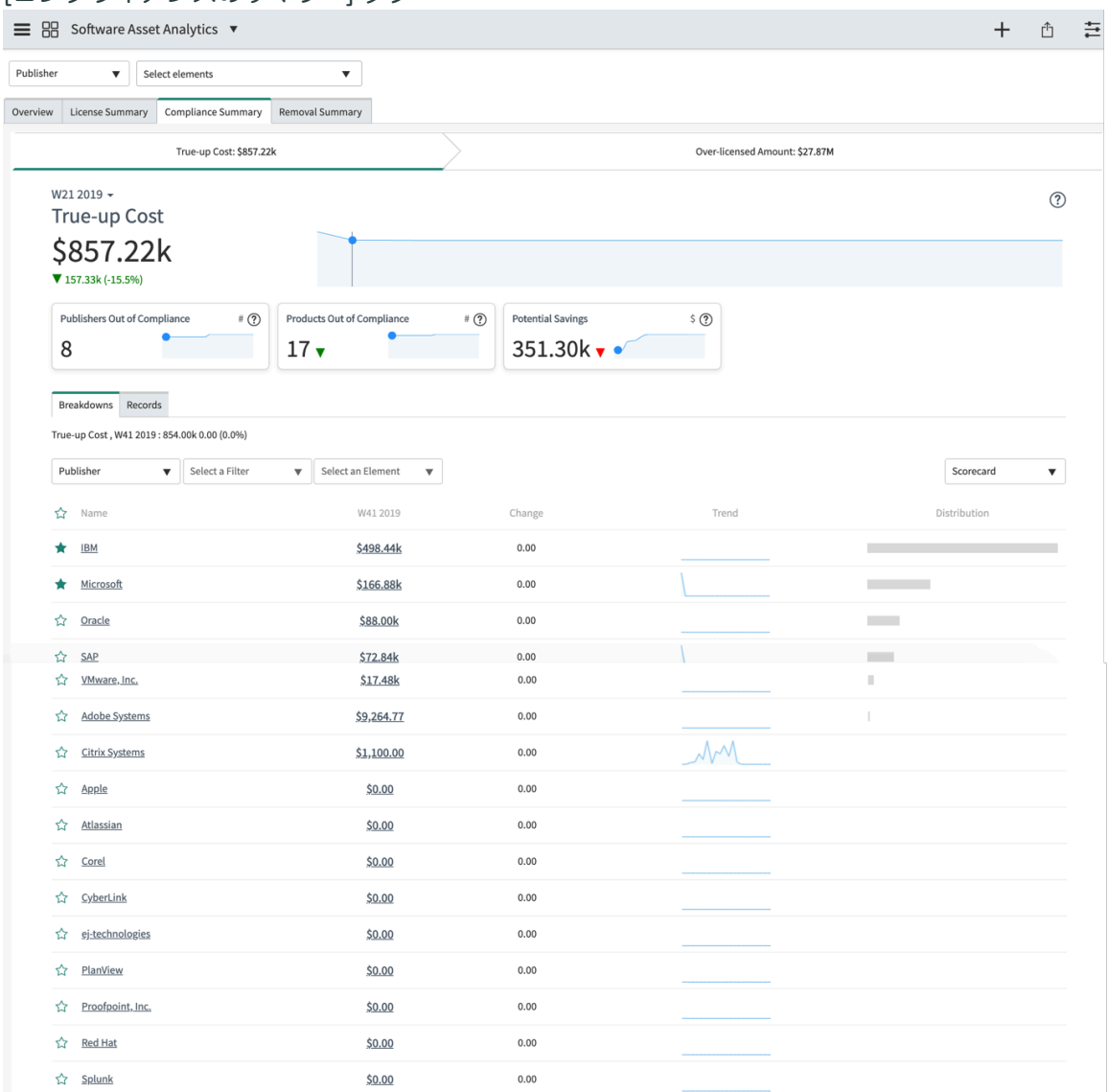
[ライセンスの概要] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
パブリッシャー別の使用中の支出	製品の結果とライセンス測定基準の結果 [samp_product_result] および [samp_license_metric_result]	パブリッシャー別の使用中の支出 = [[合計支出] — [ライセンス供与過剰額] — [見込まれる削減額]] / 合計支出。
パブリッシャー別のソフトウェア支出	ライセンス評価指標の結果 [samp_license_metric_result]	公開者別の合計ソフトウェア支出。

コンプライアンスのサマリー

コンプライアンスのサマリーは、パフォーマンスアナリティクスを使用した時系列データで構成され、時間の経過に伴うコンプライアンスの傾向を示します。コンプライアンス分析データのソースは、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

[コンプライアンスのサマリー] タブ



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンスの傾向:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づく結果の詳細なリストを表示します。ブレークダウンには、パブリッシャー、製品、およびスコアカードが含まれます。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細なリストを表示します。

コンプライアンスの傾向:ライセンス供与過剰金額

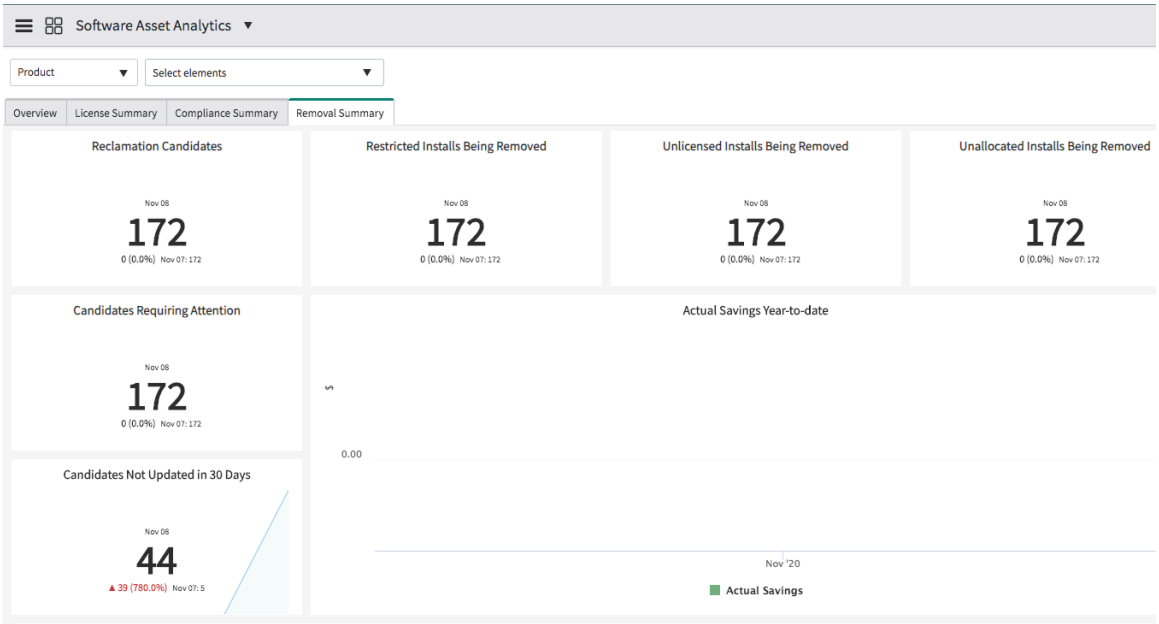
レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰のパブリッシャー	少なくとも 1 つの未使用のソフトウェア権限を持つ公開者の数。
ライセンス供与過剰製品	少なくとも 1 つの未使用のソフトウェア権限を持つ製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づく結果の詳細なリストを表示します。ブレークダウンには、パブリッシャー、製品、およびスコアカードが含まれます。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細なリストを表示します。

自動翻訳

削除の概要

削除サマリーデータのソースは、再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[Removal Summary] タブ

レポート	説明
再利用候補	使用率が低い正当な理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除される制限付きインストール	制限付きソフトウェアの正当性があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除されるライセンスなしのインストール	ライセンスのない正当な理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
削除される未割り当てインストール	未割り当ての正当な理由があるアクティブな削除候補の合計数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
注意が必要な候補	要確認ステータスの削除候補の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
30 日間更新されていない候補	更新日値が 30 日より前の削除候補の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[Removal Summary] タブ (続く)

レポート	説明
節減実績の年度累計	クローズ済みの完全削除候補の特定の月に見込まれる節減額の合計。
削除候補ブレークダウン	さまざまなブレークダウン (ステータス、パブリッシャー、製品、正当性、最終更新日) のアクティブな削除候補。

ソフトウェア資産管理 ダッシュボード

調整コスト、最適化結果、およびコンプライアンス傾向グラフを ソフトウェア資産管理 ダッシュボードに表示します。

注: ソフトウェア資産管理ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

[ソフトウェア資産管理 ダッシュボード] タブにアクセスするには、 ソフトウェア資産 > 概要 をクリックし、ダッシュボードリストから **[Software Asset Management**] を選択します。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

結果は毎日更新されるか、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。各結果の [リフレッシュ] アイコンを選択して更新できます。PNG または JPG 形式でグラフを保存することもできます。

グラフには、追跡対象のソフトウェアに関する重要な統計情報が表示されます。[概要] タブと [最適化] タブでは、パブリッシャー、製品、部門、国でフィルタリングして結果を絞り込むことができます。

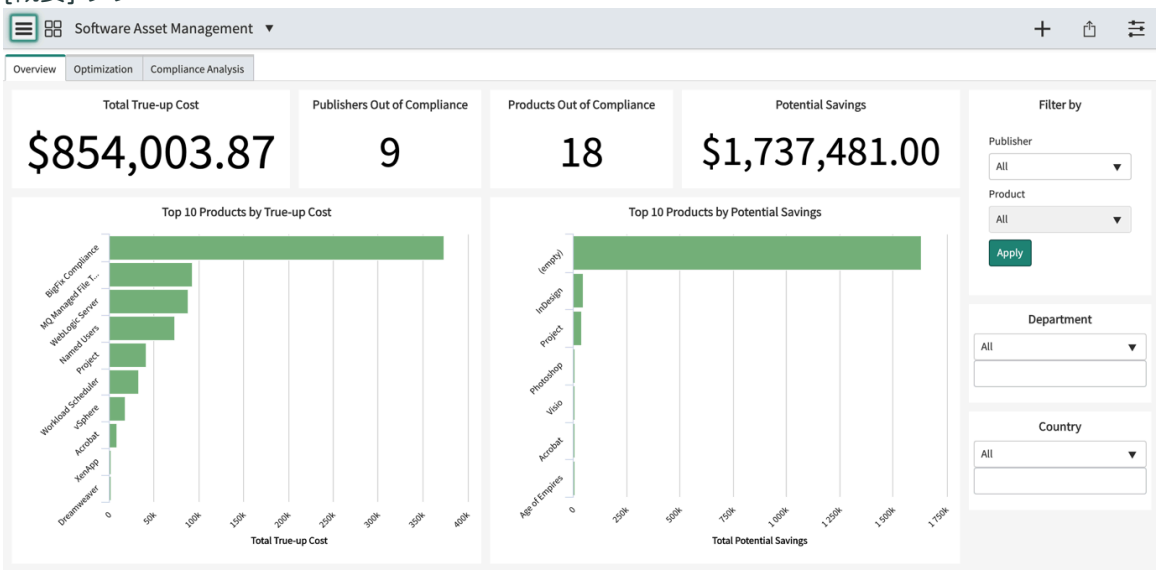
概要

概要データのソースは 製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



[概要] タブ

レポート	説明
総調整コスト	権限のエンタイトルメントにおける平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、フィルタリングされたレコードリストが表示されます。
節減見込み	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
調整コストごとの上位 10 製品	上位 10 製品は、調整コストの順にグラフ化されています。
節減見込み額別の上位 10 製品	上位 10 製品は、節減見込みの順にグラフ化されています。

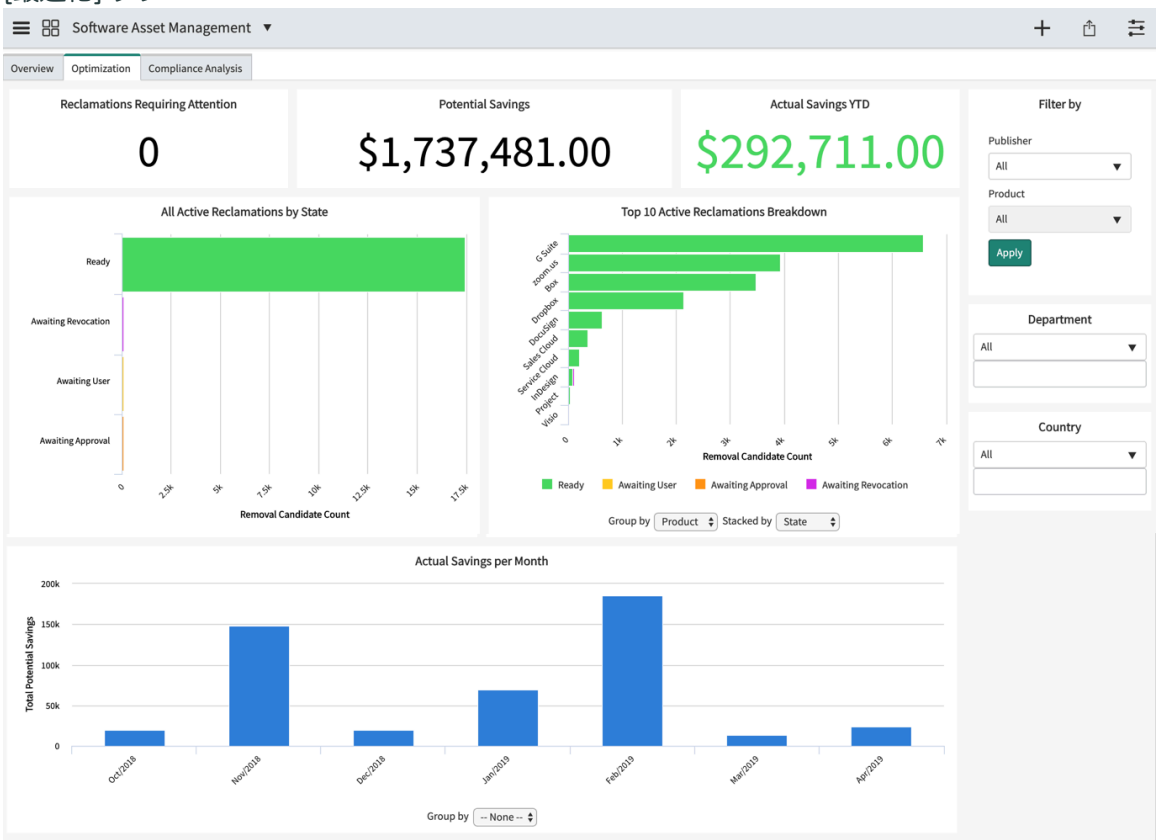
最適化

最適化データのソースは、再利用候補 [samp_sw_reclamation_candidate] テーブルです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[最適化] タブ



[最適化] タブ

レポート	説明
注意が必要な再利用	ステータスは要確認です
節減見込み	• 今年作成されたか、[アクティブ] が true OR • 今年クローズ、かつ昨年オープン
節減実績 (年初来)	今年クローズ済み、かつステータスが [完了してクローズ]
ステータス別のすべてのアクティブな再利用	アクティブ = true
上位 10 件のアクティブな再利用のブレークダウン	アクティブ = true
1 か月あたりの節減実績	ステータスが [完了してクローズ] および [過去 12 か月以内にクローズ]

削除候補 ステータスの色キー:

色	ステータス
赤	要確認
緑	準備完了

自動翻訳

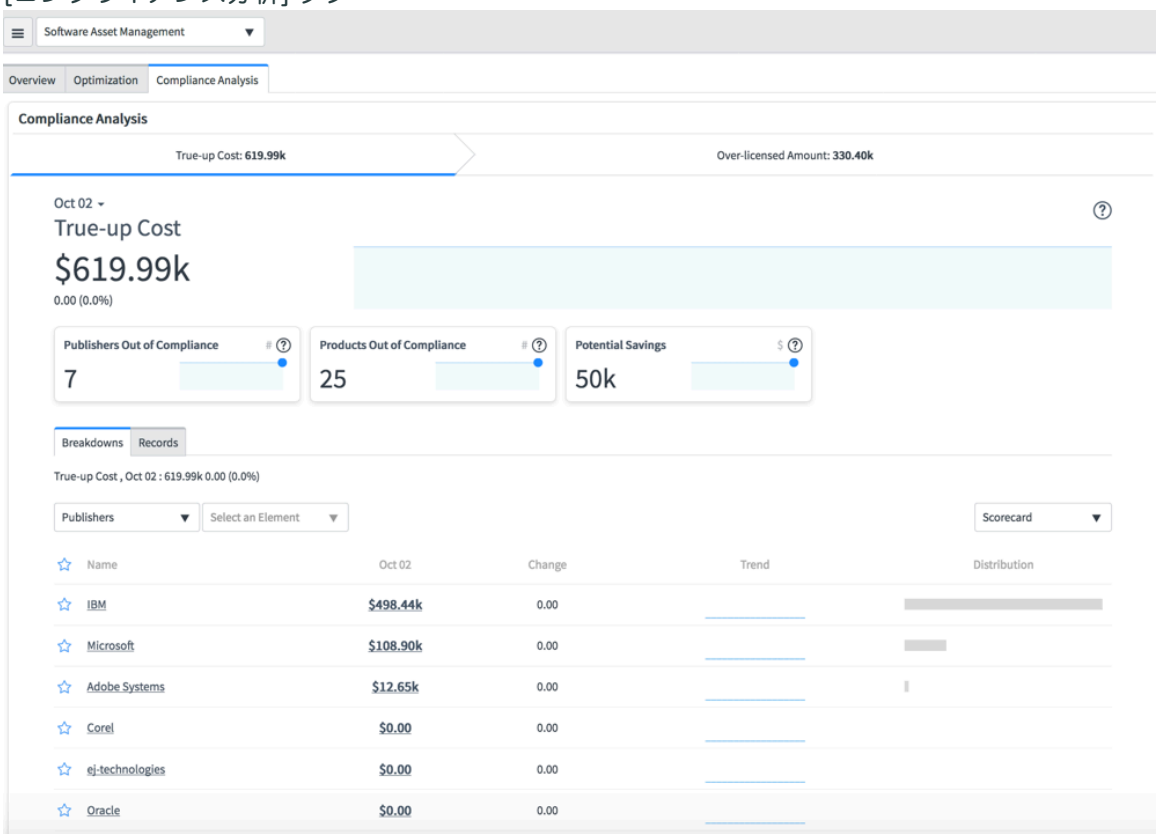
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

色	ステータス
黄	使用待ち
オレンジ	承認待ち
紫	失効待ち
青	完了してクローズ

コンプライアンス分析

コンプライアンス分析は、 パフォーマンスアナリティクス を使用した時系列データで構成され、経時的なコンプライアンスの傾向を示します。コンプライアンス分析データの場合は、製品結果 [samp_product_result] テーブルです。

[コンプライアンス分析] タブ



コンプライアンス分析:調整コスト

レポート	説明
調整コスト	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反公開者	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している公開者の数。
コンプライアンス違反製品	少なくとも 1 つのソフトウェア モデルがコンプライアンス違反している製品の数。
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンプライアンス分析:調整コスト (続く)

レポート	説明
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づく結果の詳細なリストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細なリストを表示します。

コンプライアンス分析:ライセンス供与過剰金額

レポート	説明
ライセンス供与過剰金額	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
ライセンス供与過剰のパブリッシャー	少なくとも 1 つの未使用のソフトウェア権限を持つ公開者の数。
ライセンス供与過剰製品	少なくとも 1 つの未使用のソフトウェア権限を持つ製品の数。
ブレークダウン	選択したウィジェットに基づく結果の詳細なリストを表示します。
レコード	選択したウィジェットに基づいて、製品の結果の詳細なリストを表示します。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

パフォーマンスアナリティクス と統合された [正規化およびコンテンツサービス] ダッシュボードで正規化傾向チャートを表示します。

注: 正規化およびコンテンツサービスダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

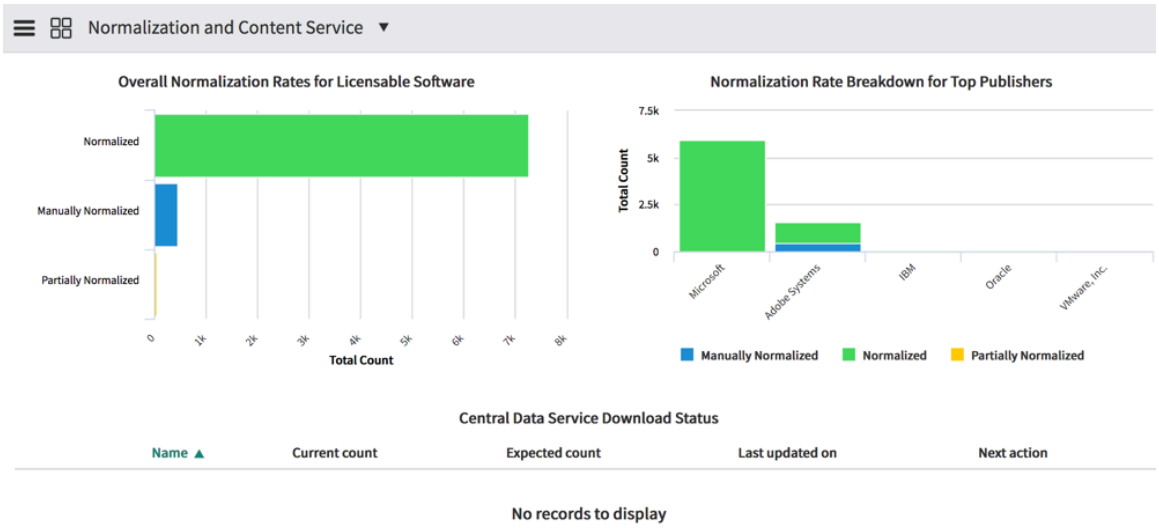
[正規化とコンテンツサービス] ダッシュボードタブにアクセスするには、次の場所に移動します。ソフトウェア資産 > 概要 をクリックし、ダッシュボードリストから **[Normalization and Content Service** (正規化とコンテンツサービス)] を選択します。別の ソフトウェア資産管理 ダッシュボードのダッシュボードリストからアクセスすることもできます。レポート内の要素を選択して詳細情報を表示するか、必要に応じてウィジェットの追加や移動を行います。

正規化チャートの結果は、 **SAM -** ディスカバリーモデル正規化 ジョブが実行されると毎日更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化およびコンテンツサービスダッシュボード

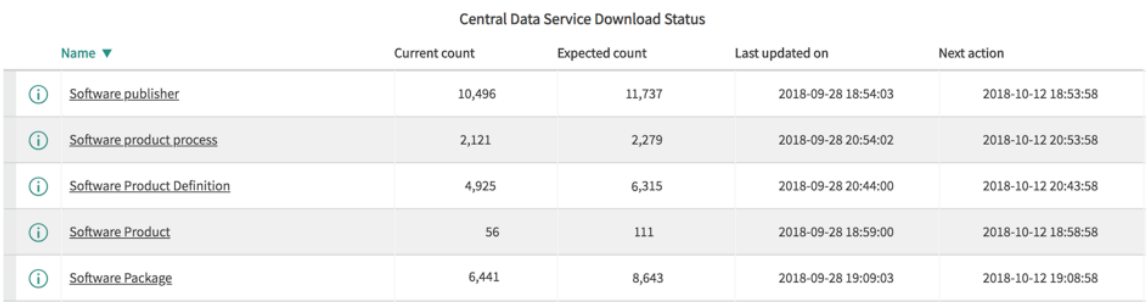


レポート	ソースリスト	説明
ライセンス可能なソフトウェアの全体的な正規化レート	ソフトウェアインストール正規化レート	ライセンス可能なすべての製品の全体的な正規化ステータス数。
トップパブリッシャーの正規化レートのブレークダウン	トップパブリッシャーのソフトウェアインストール正規化レート	Microsoft、 Oracle、 IBM、 VMware、 Citrix、 SAP、および Adobe の上位パブリッシャーごとのライセンス可能な正規化ステータスの数。

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リスト

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リストは、 **SAM —** セントラルデータサービスのダウンロードステータス ジョブが実行されると毎日更新されます。

セントラルデータサービスのダウンロードステータス関連リスト



フィールド	説明
名前	コンテンツのプル元のテーブル名。
現在のカウント	テーブル内のレコードの数。
予想カウント	テーブル内の予想されるレコード数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
最終更新日	データが最後にプルされた日時。
次のアクション	データをプルする次のスケジュール日時。

[Engineering License Overview] ダッシュボード

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードで製品の使用状況レポートを表示することで、エンジニアリングアプリケーションのライセンスの位置と使用状況を監視し、インサイトを得ることができます。

注: エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボードには、AutoCAD、GIS などのエンジニアリングアプリケーションに属する正規化された製品と公開者に関するレポートが表示されます。

[Engineering License Overview (エンジニアリングライセンスの概要)] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > エンジニアリングライセンスの概要.

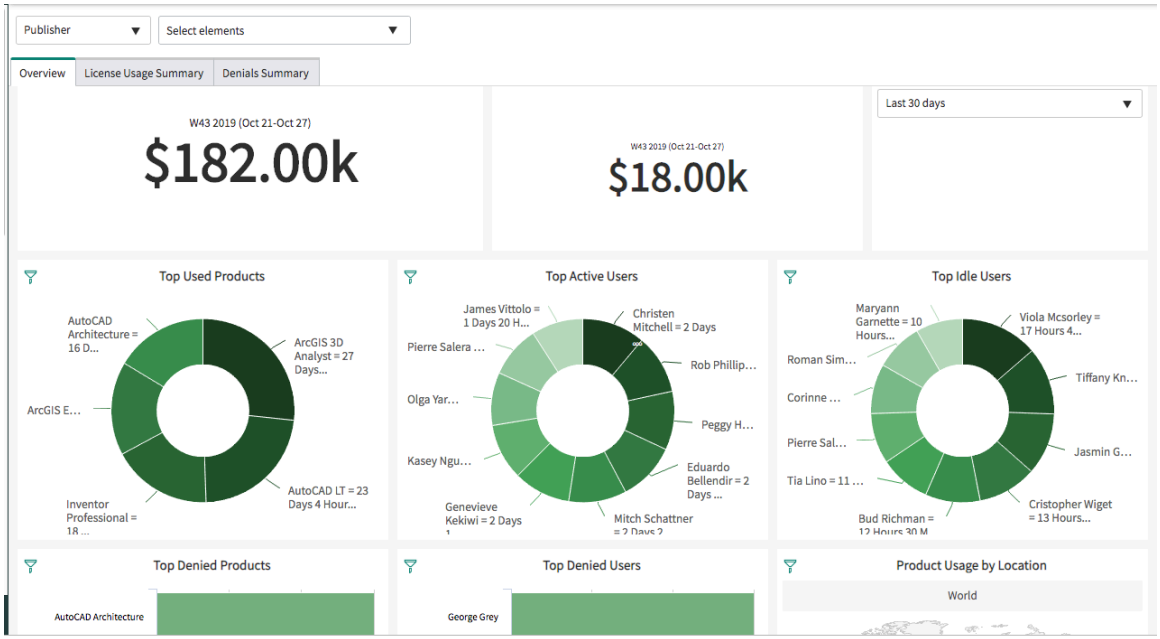
すべてのタブで製品またはパブリッシャーに基づいて結果を絞り込むには、ダッシュボードの左隅にあるフィルターを使用します。エンジニアリングアプリケーションに属し、エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] テーブルにリストされている製品とパブリッシャーのみがフィルターに表示されます。製品またはパブリッシャーが選択されていない場合、タブには、エンジニアリング アプリケーションに属するすべての製品とパブリッシャーの累積データが表示されます。

[概要]、[ライセンス使用状況の概要]、および [拒否 の概要] タブは、毎日更新されるか、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフを PNG または JPG 形式で保存して、ローカルで表示したり、共有したりできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ



このタブには、すべてのエンジニアリングアプリケーションの高レベルのメトリクスの概要が表示されます。このタブでは、さまざまな日付オプションで結果をフィルタリングできます。

注: 日付フィルターは、 現在の消費量 と 節減見込みには適用されません。

[概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
現在の消費量	製品の結果 [samp_product_result]	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。
節減見込み	ライセンスダッシュボードインベントリ [license_dashboard_inventory]	ライセンスが潜在能力を十分に活用されていないか、十分に活用されていない場合に節約されるコスト。コストを最適化するには、それらのライセンスを再割り当てするか、ライセンスを返却してコストを節約します。
上位使用製品	エンジニアリングアプリケーション使用率 [samp_eng_app_usage]	現在使用されている上位製品。製品ごとの使用日数と時間数も表示されます。
上位アクティブユーザー	エンジニアリングアプリケーション使用率 [samp_eng_app_usage]	現在製品を使用している上位ユーザー。ユーザーごとの使用日数と時間数も表示されます。
上位アイドルユーザー	エンジニアリングアプリケーション使用率 [samp_eng_app_usage]	ライセンスを要求したが、ライセンスを使用していない上位ユーザー。ユーザーごとの非アクティブな日数と時間数も表示されます。

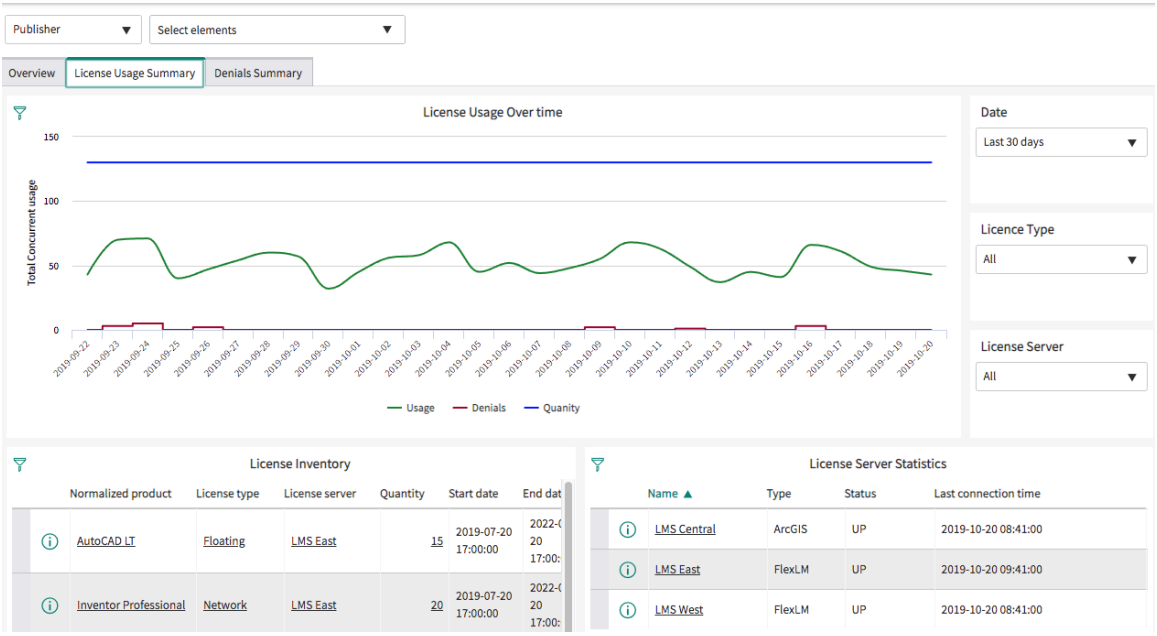
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[概要] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
上位拒否製品	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	同時使用がピークに達したためにユーザーに拒否された上位製品。
上位拒否ユーザー	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスが拒否された上位ユーザー。
場所別の製品使用率	エンジニアリングアプリケーション使用率 [samp_eng_app_usage]	場所別の製品を使用しているユーザーの数に基づいています。

[ライセンス使用状況サマリー] タブ



このタブでは、ライセンスタイプ (フローティング、ネットワーク、またはトークン) に基づいてデータを表示できます。このタブのデータは、日付、ライセンスタイプ、およびライセンス管理サーバーでフィルタリングできます。

[ライセンス使用状況サマリー] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
ライセンス使用の残業	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license] エンジニアリングアプリケーションの同時使用 [samp_eng_app_concurrent_usage] エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	利用可能なすべてのライセンスの総数または数量。アクティブな製品だけでなく、すべての製品が対象です。 • 青い線は、製品または公開者に割り当てられたライセンスの合計数を表します • 緑色の線は、ライセンスの同時使用状況を示します。

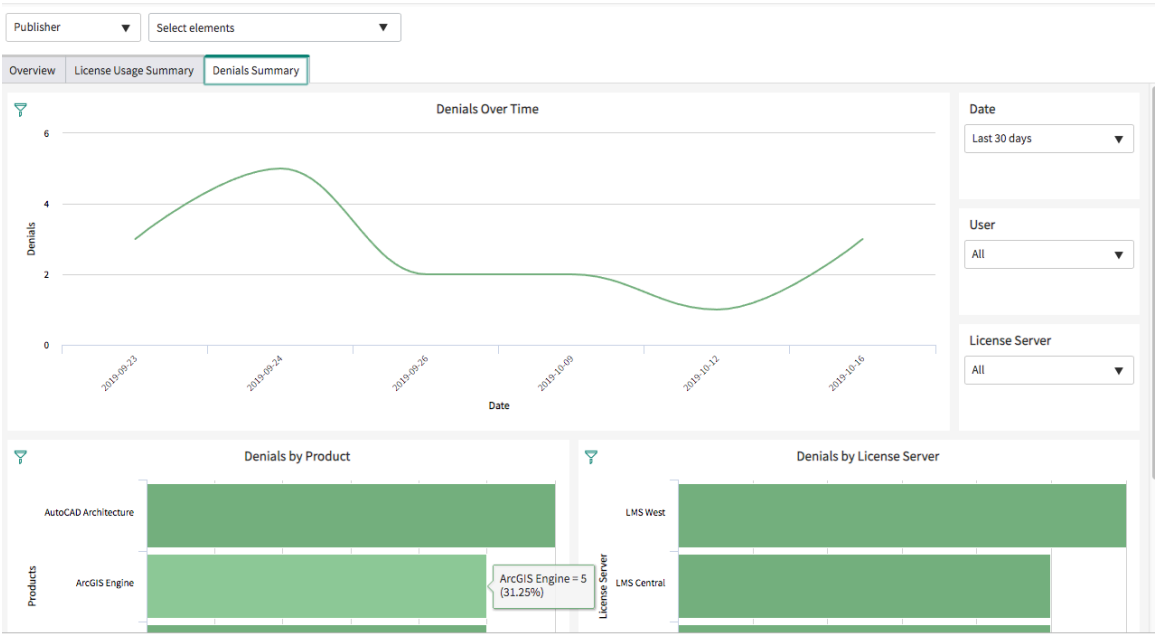
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ライセンス使用状況サマリー] タブ (続く)

レポート	ソーステーブル	説明
		• 赤い線は、拒否、または同時使用がピークに達したかどうか、いつピークに達したかを示します。
ライセンス在庫	エンジニアリングアプリケーションライセンス [samp_eng_app_license]	製品またはパブリッシャーで利用可能なすべてのライセンス。
ライセンスサーバーの統計情報	エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバー [samp_end_app_license_server]	OpenLMまたはOpen iTが接続するすべてのライセンス管理サーバー。

[拒否の概要] タブ



このタブのデータは、日付、ユーザー、またはユーザーグループでフィルタリングできます。

[拒否の概要] タブ

レポート	ソーステーブル	説明
時間の経過に伴う拒否	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	一定期間にわたる製品の拒否。
製品別の拒否	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	ユーザーに対して最も拒否された製品。
ライセンスサーバーによる拒否	エンジニアリングアプリケーションの拒否 [samp_eng_app_denial]	製品のライセンスを最も多く拒否されているライセンスサーバー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているソフトウェアパブリッシャーライセンス

ソフトウェア資産管理 には、Now Platform とサードパーティソフトウェアアプリケーション間の機能を拡張するために使用できるいくつかの公開者パックがあります。

次の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックプラグインは、アクティブ化のために ServiceNow 担当者に要求できます。これらのプラグインの要求方法の詳細については、「 ソフトウェア資産管理の要求 」を参照してください。

- Adobe
- Citrix
- IBM (IBM と Red Hat Enterprise Linuxの両方を含む)
- Microsoft
- Oracle
- SAP
- VMware

各公開者には、その測定基準グループに固有の 一連のライセンス測定基準 があります。ライセンスの測定基準はソフトウェアエンタイトルメントで設定され、調整 (測定基準グループ、ライセンスの測定基準、ソフトウェアモデルの組み合わせ) に使用されます。

パブリッシャーパックプラグイン

プラグイン	説明
Adobe のソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_adobe)	Adobeサブスクリプションソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Citrix (com.sn_samp_citrix)	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなどの Citrix ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for IBM (com.sn_samp_ibm)	PVU および RVU ライセンスのメトリクスを使用して IBM 製品を調整するための追加機能を提供します。 このプラグインは、Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters などのRed Hat Enterprise Linuxソフトウェアを調整するための追加機能も提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft)	Microsoft SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle)	Oracle DB サーバーなど、Oracleソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap)	SAP指名ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整するための追加機能を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プラグイン	説明
ソフトウェア資産管理プロ for VMware (com.sn_samp_vmware)	vCenter や vSphere などの VMware ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。

パブリッシャーパックダッシュボード

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、次のパブリッシャーのコンプライアンス分析結果を表示します。

- Adobe
- Citrix
- IBM
- Microsoft
- Oracle
- SAP
- VMware

注: ソフトウェア公開者の概要ダッシュボードナビゲーションモジュールを表示するには、公開者パックのアドオン (Adobe以外) の 1 つを有効にする必要があります。また、対応するパブリッシャーパックをアクティブ化して、そのパブリッシャーの [コンプライアンス分析結果] タブを表示する必要があります。

Office 365 および Adobe ダッシュボードで、Microsoft Office 365 および Adobe Cloud のコンプライアンス分析結果を表示します。

注: Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示するにはAdobeパブリッシャーパックアドオンのソフトウェア資産管理プロをアクティブ化する必要があります。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Adobe**

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Adobe を使用して、Adobe固有のライセンス測定基準を使用してコンプライアンスを追跡し、Adobe Cloud と統合します。

アドビライセンスオプション

Adobeパブリッシャーパック (com.sn_samp_adobe) は、ソフトウェアエンタイトルメントにAdobe固有のライセンスオプションを追加します。

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	オプション
ライセンス評価指標	• デバイスあたり • Per User (ユーザーあたり) • ユーザーサブスクリプション

Adobe固有のライセンスオプションを使用するには、ソフトウェアエンタイトルメントのAdobe評価指標グループを選択します。

Adobe クラウド統合

Adobe Cloud 統合プロファイルを作成して、コンプライアンスレポートのためにサブスクリプションとソフトウェアインストールを比較します。

注: インストールディスカバリーソースには、 ServiceNow Discovery、 Microsoft SCCM、および ServiceNow CMDB にデータソースとして統合できるその他のサードパーティーのディスカバリーソースが含まれます。

Adobe Cloud 統合プロファイルの作成方法については、「Adobe Cloud との統合」を参照してください。

Adobe クラウドレポート

Adobe クラウドレポートにアクセスするには、 レポート > 表示/実行 すべてのレポートで Adobeを検索します。

- Adobe インストールのないクラウドユーザー
- 十分に活用されていない Adobe クラウドインストール

ソフトウェア資産管理 クラシックの Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードまたはの Adobe Systems 向けパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、Adobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストを表示できます。

Adobe Cloud との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをAdobe Cloudサービスと統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスコンプライアンスを判断します。

Adobe Cloud 統合は、次の Adobe Cloud サービスをサポートしています。

- Adobe Creative Cloud
- Adobe Experience Cloud
- Adobe ドキュメントクラウド

注: Adobe Cloud 統合を作成できるのは、Adobe Creative Cloud エンタープライズ版サブスクリプションプランを使用している場合のみです。Adobe Creative Cloud グループ版、教育機関向け、個人版など、他のサブスクリプションプランを使用している場合は、統合を作成できません。

Adobe サブスクリプションを ソフトウェア資産管理 と統合し、Adobe認証を使用したコンプライアンスレポートを作成します。Adobe認証の統合と証明書について詳しくは、『Adobe認証ガイド』を参照してください。

次のいずれかの認証方法を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- サービスアカウント (JWT) 認証情報
- OAuth サーバー間認証情報

注: すべての新しい Adobe Cloud 統合は、OAuth 認証タイプを使用して作成する必要があります。 Adobe は、サービスアカウント (JWT) 認証情報から OAuth サーバー間認証情報に移行しています。詳しくは、『 Adobe 移行ガイド 』を参照してください。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Adobe Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	システムアドミニストレーター	なし
ユーザーアクティビティのプル	システムアドミニストレーター	なし
サブスクリプションの再利用	システムアドミニストレーター	なし

サービスアカウント **(JWT) credential** を使用した**Adobe Cloud**の統合

サービスアカウント (JWT) 認証情報を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合します。

サービスアカウント **(JWT)** を使用したプロジェクトの作成と **API** の追加

Adobe API にアクセスするためのプロジェクトを Adobe 開発者コンソールで作成し、Adobe サービスアカウント (JWT) を使用して API をプロジェクトに追加します。

始める前に
必要なロール: Adobe Cloud admin

手順

1. Adobe 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、Adobe API にアクセスします。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. Adobe サービスアカウント (JWT) を使用して API をプロジェクトに追加します。
   詳細については、「 サービスアカウント (JWT) を使用したプロジェクトへの API の追加 」を参照してください。

   プロジェクトに API を追加するときは、次の点に注意してください。

   - 統合する Adobe サービスで、[ユーザー管理 **API**] を選択します。このサービスを使用すると、Adobe ユーザー管理 API にアクセスできます。
   - 選択した Adobe サービス内の API にアクセスできるサービスアカウント (JWT) 認証情報を作成する場合は、キーペアを生成オプションを選択します。このオプションを使用すると、Adobe 開発者コンソールは、サービスアカウント (JWT) の認証に使用できる公開鍵ペアと秘密鍵ペアの両方を生成します。秘密鍵がデバイスに自動的にダウンロードされます。

   API をプロジェクトに正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。
3. [概要] ページの [サービスアカウント (JWT)] セクションの [クライアント **ID**]、[テクニカルアカウント **ID**]、および [組織 **ID**] フィールドの値をコピーします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [クライアントシークレットの取得] を選択し、[クライアントシークレット] フィールドの値を表示してコピーします。
後で使用できるように、この情報を安全な場所に保存してください。
5. 次の openssl コマンドを使用して、キーを KEY 形式から PKS 形式に変換します: `openssl pkcs12 -export -out test1-certificate.pfx -inkey private.key -nocerts`

   キーは、前の手順でデバイスに自動的にダウンロードされています。Adobe Cloud 統合に対応する ServiceNow X.509 証明書を作成するには、キーが PKS 形式である必要があります。

   キーを変換するにはパスワードを作成する必要があります。以降のステップで ServiceNow 統合プロファイルと X.509 証明書を作成するときに、[キーストアパスワード] フィールドと [証明書パスワード] フィールドでこのパスワードを使用します。

   注: このパスワードは 6 文字以上にする必要があります。

JWT を使用した Adobe Cloud 統合プロファイルの作成

サービスアカウント (JWT) 認証情報を使用して ServiceNow インスタンスにAdobe Cloud統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に
必要なロール：

次のいずれかのロールを組み合わせて Adobe Cloud JWT 認証情報を使用して統合プロファイルを作成できます。

- admin および sam_admin
- 管理者とsam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロAdobe向け (com.sn_samp_adobe)
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store の SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int)

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAdobe Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

注: すべての新しい Adobe 統合は、OAuth 認証タイプを使用して作成する必要があります。詳細については、「OAuth サーバー間 credential を使用した Adobe Cloud の統合」を参照してください。 Adobe はサービスアカウント (JWT) 認証情報から OAuth サーバー間認証情報に移行します。移行の詳細については、次を参照してください。 Adobe 移行ガイド .

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. 「Adobe **Cloud** 統合プロファイル」を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから「 **Adobe Cloud** 」を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	Adobe統合プロファイルの名前。
認証タイプ	Adobe Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ◦ OAuth 2.0 ◦ JWT **注:** ◦ ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードする前の既存の Adobe Cloud 統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。 ◦ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルで、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。詳細については、「OAuth サーバー間 credential を使用した Adobe Cloud の統合」を参照してください。
クライアント ID	プロジェクトの作成時および API の追加時に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされるクライアント ID。
組織 ID	Adobeプロジェクトの作成時および API の追加時にAdobeサービスアカウント (JWT) にアサインされる組織 ID。
テクニカルアカウント ID	Adobeプロジェクトの作成時および API の追加時にAdobeサービスアカウント (JWT) に割り当てられるテクニカルアカウント ID。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、自動的に **[Adobe** サブスクリプション] に設定されます。
クライアントシークレット	プロジェクトの作成中および API の追加中に Adobe サービスアカウント (JWT) にアサインされるクライアントシークレット。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
証明書	ServiceNowAdobe Cloud 統合の X.509 証明書。
証明書パスワード	キーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成する証明書パスワード。

3. 統合プロファイルに X.509 証明書を追加します。
この証明書は、 Adobe サービスアカウント (JWT) 認証情報のキーに基づいています。
   a. [X.509 証明書] フォームに移動します。
      - コア UI の場合：
        i. [統合プロファイル] フォームで、[証明書] フィールドの横にある検索アイコン (検索🔍を選択します。
        ii. [X.509 証明書] ダイアログ ボックスで、[新規] を選択します。
      - ソフトウェア資産ワークスペース の場合：
        i. 移動先 システム定義 > 証明書.
        ii. [新規] を選択します。
   b. フォームのフィールドに入力します。

[X.509 証明書] フォーム

フィールド	説明
名前	証明書名。
有効期限通知	証明書の有効期限が近づいたときに通知を送信するオプション。
有効期限切れを通知する	証明書の有効期限が切れたときに通知するユーザー。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。
有効期限切れ前に警告	通知を送信する証明書の有効期限前の日数。 このフィールドは、[有効期限通知] が選択されている場合にのみ使用できます。
アクティブ	証明書がアクティブかどうかを示すオプション。
簡単な説明	証明書の簡単な説明。
PEM 証明書	DER 証明書を含む Base-64 でエンコードされた PEM 形式のテキスト。インスタンスは証明書をデコードして、[有効開始日]、[有効期限]、[数日中に期限切れ]、[発行者]、および [件名] フィールドに入力します。
フォーマット	証明書の形式。
タイプ	証明書タイプ。このフィールドを **PKCS12** キーストアに設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
数日中に期限切れ	証明書の有効期限が切れるまでの日数。このフィールドは、自動的に入力されます。
キーストアパスワード	ステップ 3 でキーを KEY 形式から PKS 形式に変換するときに作成した証明書パスワード。

c. [X.509 証明書] フォームヘッダーの添付ファイルを管理アイコン (添付ファイル ) を選択して、キー (PKS ファイル) をアップロードします。

d. [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルの選択] を選択してキーを見つけて選択します。

ダイアログボックスが閉じ、[X.509 証明書] フォームに戻ります。

e. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択して、証明書を検証します。

f. 証明書が検証されたら、 [送信] を選択します。

4. [統合プロファイル] フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
5. フォームが再ロードされたら、[**Adobe** 認証情報を検証] 関連リンクを選択して接続を完了します。

タスクの結果

Adobeサブスクリプションデータは、*SAM - Import Adobe User Subscriptions*スケジュール済みジョブの実行時にソフトウェア資産管理にプルされます。サブスクリプションデータがプルされると、 *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* スケジュール済みジョブが毎月実行され、Creative Cloud サブスクリプション Adobe が最適化されます。

このジョブを完了すると、次のようになります。

- 3 つ以上の(構成可能な)単体アプリまたは個別の製品サブスクリプションを統合し、Creative Cloud コンプリートプランがインストールされていない場合は Adobe を推奨する最適化候補です。
- Adobe Creative Cloud コンプリートプランのインストール時に、単体アプリまたはデュアルライセンスの個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補。

  たとえば、あるユーザーが Adobe Creative Cloud コンプリートプランのサブスクリプションに登録し、単体アプリまたは個々の製品 (Adobe Acrobat や Adobe Photoshop など) のライセンスも消費しているとします。このデュアル ライセンスのシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 シングル アプリまたは個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することをお勧めします。

- アクティブに使用されている 3 つ以上の(構成可能な)単体アプリまたは個別の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、 Adobe Creative Cloud コンプリートプランの割り当てを推奨する最適化候補。

  ユーザーが Adobe Acrobat、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop をサブスクライブし、これらすべての製品をアクティブに使用しているとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 はこれらの個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨し、 Adobe Creative Cloud コンプリートプランの使用を推奨します。

- アクティブに使用されている個別製品が 3 つ(設定可能)未満 Adobe Creative Cloud コンプリートプランを再利用する再利用候補と、アクティブに使用されている単一アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、あるユーザーが Creative Cloud コンプリートプラン Adobe 購読しているが、実際に使用している Creative Cloud 製品を 3 つ未満であるとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は Adobe Creative Cloud コンプリートプランのライセンスを再利用し、アクティブに使用されているこれらの個別の製品サブスクリプションを割り当てることをお勧めします。

次のタスク

サブスクリプションデータを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.*SAM - Import Adobe User Subscriptions*ジョブのステータスを確認するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

ソフトウェア資産管理 クラシックの Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードのAdobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストに関する情報を表示することもできます。

関連情報

のパブリッシャーの最適化 Adobe

OAuth サーバー間 credential を使用した Adobe Cloud の統合

OAuth サーバー間認証情報を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Adobe Cloud サービスと統合します。

OAuth を使用したプロジェクトの作成と API の追加

Adobe API にアクセスするためのプロジェクトを Adobe 開発者コンソールで作成し、OAuth を使用して API をプロジェクトに追加します。

始める前に

必要なロール：Adobe Cloud admin

手順

1. Adobe 開発者コンソールでプロジェクトを作成し、Adobe API にアクセスします。
   詳細については、「 プロジェクトの概要 」を参照してください。
2. OAuth を使用して API をプロジェクトに追加します。
   詳細については、「 OAuth を使用してプロジェクトに API を追加する 」を参照してください。

   統合する Adobe サービスで、[ユーザー管理 **API**] を選択します。このサービスを使用すると、Adobe ユーザー管理 API にアクセスできます。

   API をプロジェクトに正常に追加すると、API の概要ページにリダイレクトされます。

Adobe Cloud OAuth 認証情報の作成

Adobe Cloud API にアクセスするための Adobe Cloud OAuth 認証情報を作成します。

始める前に

必要なロール：Adobe Cloud admin

手順

1. Adobe Developer Console にログインします。
2. [API の構成] フォームで、 認証情報を展開します。
3. **OAuth** サーバー間認証を選択します。
4. [認証情報名] フィールドに名前を入力すると、 アドミンコンソール > ユーザー > **API** 認証情報.
   また、プロジェクトの後半の OAuth サーバー間認証情報の概要ページで名前を変更することもできます。
5. 製品プロファイルを選択して、認証情報に割り当てます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品プロファイルは、アプリケーションが組織内でアクセスできるデータを管理します。

6. [構成済み **API** の保存] を選択します。
[クライアント ID] と [クライアントシークレット] が認証情報の概要ページに表示されます。後で使用するために、クライアント ID をコピーし、クライアントシークレットを取得します。

OAuth を使用した Adobe Cloud 統合プロファイルの作成

OAuth 認証情報を使用して ServiceNow インスタンスにAdobe Cloud統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスコンプライアンスを判断します。

始める前に

必要なロール:sam_admin、sam_integrator

次のプラグインをアクティブ化します。

- ソフトウェア資産管理プロAdobe向け (com.sn_samp_adobe)
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store の SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int)

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAdobe Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** 「Adobe **Cloud** 統合プロファイル」を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから「 **Adobe Cloud** 」を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	Adobe Cloud統合プロファイルの名前。
認証タイプ	Adobe Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ◦ OAuth 2.0 ◦ JWT

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: ◦ ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードする前の既存の Adobe Cloud 統合プロファイルの場合、このフィールドは自動的に **JWT** に設定されます。詳細については、「サービスアカウント (JWT) credential を使用した Adobe Cloudの統合」を参照してください。 ◦ すべての新しい Adobe Cloud 統合プロファイルで、このフィールドは自動的に **OAuth 2.0** に設定されます。
接続と認証情報	Adobe Cloud スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に **Adobe OAuth** に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に Adobe サブスクリプションに設定されます。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ) を選択して、[接続および資格情報エイリアス] レコードを開きます。
5. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

接続および認証情報フォームの作成

Field (フィールド)	説明
接続情報	
接続名	Adobe Cloud接続の名前です。
接続 URL (インスタンス URL)	接続の URL。このフィールドは自動的に `https://<インスタンス名>.adobelogin.com` に設定されます。URL を取得する手順の詳細については、「 接続 URL を取得」を参照してください。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Adobe Cloud OAuth 認証情報の作成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Adobe Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance_name>/oauth_redirect.do`。ここで、インスタンス名は<c1/>インスタンスの名前です。ServiceNow

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
後処理の追加情報	
組織 ID	Adobe CloudAdobe Cloud OAuth 認証情報の作成時に確認する組織 ID。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
   OAuth トークンフローが正常に完了しました。

タスクの結果
Adobeサブスクリプションデータは、*SAM - Import Adobe User Subscriptions*スケジュール済みジョブの実行時にソフトウェア資産管理にプルされます。サブスクリプションデータがプルされると、 *SAM - Optimize Adobe Subscriptions* スケジュール済みジョブが毎月実行され、Creative Cloud サブスクリプション Adobe が最適化されます。

このジョブを完了すると、次のようになります。

- 3 つ以上の(構成可能な)単体アプリまたは個別の製品サブスクリプションを統合し、Creative Cloud コンプリートプランがインストールされていない場合は Adobe を推奨する最適化候補です。
- Adobe Creative Cloud コンプリートプランのインストール時に、単体アプリまたはデュアルライセンスの個々の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補。

  たとえば、あるユーザーが Adobe Creative Cloud コンプリートプランのサブスクリプションに登録し、単体アプリまたは個々の製品 (Adobe Acrobat や Adobe Photoshop など) のライセンスも消費しているとします。このデュアル ライセンスのシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 シングル アプリまたは個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することをお勧めします。

- アクティブに使用されている 3 つ以上の(構成可能な)単体アプリまたは個別の製品サブスクリプションを再利用する再利用候補と、 Adobe Creative Cloud コンプリートプランの割り当てを推奨する最適化候補。

  ユーザーが Adobe Acrobat、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop をサブスクライブし、これらすべての製品をアクティブに使用しているとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 はこれらの個々の製品サブスクリプションのライセンスを再利用することを推奨し、 Adobe Creative Cloud コンプリートプランの使用を推奨します。

- アクティブに使用されている個別製品が 3 つ(設定可能)未満 Adobe Creative Cloud コンプリートプランを再利用する再利用候補と、アクティブに使用されている単一アプリケーションまたは個別の製品サブスクリプションの割り当てを推奨する最適化候補。

  たとえば、あるユーザーが Creative Cloud コンプリートプラン Adobe 購読しているが、実際に使用している Creative Cloud 製品を 3 つ未満であるとします。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は Adobe Creative Cloud コンプリートプランのライセンスを再利用し、アクティブに使用されているこれらの個別の製品サブスクリプションを割り当てることをお勧めします。

次のタスク
サブスクリプションデータを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.*SAM - Import Adobe User Subscriptions*ジョブのステータスを確認するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

ソフトウェア資産管理 クラシックの Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードのAdobeサブスクリプション、コンプライアンス、およびコストに関する情報を表示することもできます。

関連情報

のパブリッシャーの最適化 Adobe

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

接続 URL を取得

Adobe 開発者コンソールから接続 URL (インスタンス) URL を取得して、Adobe Cloud 用の OAuth トークンを作成および取得します。

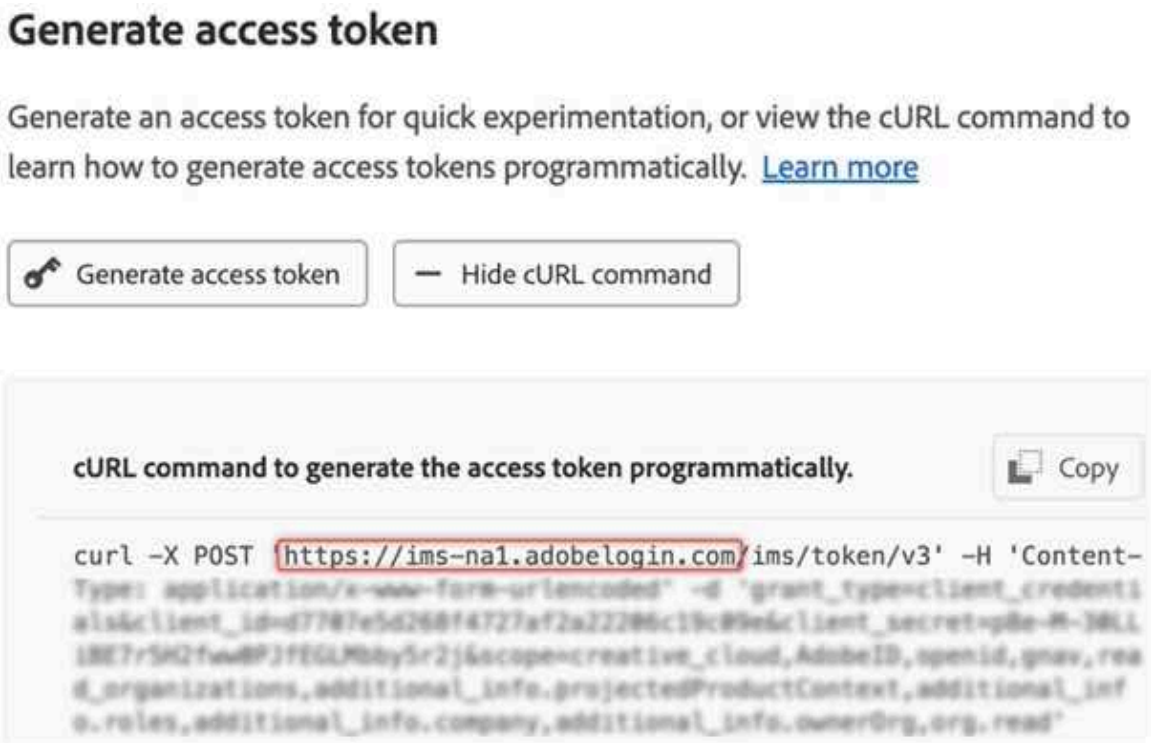
始める前に

必要なロール：Adobe Cloud admin

手順

1. Adobe Developer Console にログインします。
2. [すべてのプロジェクト] セクションからプロジェクトを選択します。
3. [認証情報] セクションで、[**OAuth** サーバー間] を選択します。
4. [アクセストークンの生成] セクションで、[**cURL** の表示] コマンドを選択します。
5. 接続 URL をコピーします。

> **注:**
>
> コマンド全体から必要な URL のみをコピーします。
>
> たとえば、ここでは接続 URL が強調表示されています。



ソフトウェア資産管理 クラシックの **Office 365** と **Adobe Cloud** ダッシュボード

ソフトウェア資産管理 クラシック版の Office 365 と Adobe クラウドライセンス管理Microsoftに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Office 365 & Adobe Cloud ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロフェッショナル (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規Xanaduユーザーには使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

フィルターリストを使用して、 サブスクリプションソフトウェアモデル または サブスクリプションパブリッシャー でフィルタリングできます。

注: サブスクリプションパブリッシャーのフィルターリストには、1 つのサブスクリプションパブリッシャーパックのみがアクティブになっている場合でも、常に Microsoft と Adobe が含まれます。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Adobe

Adobe I/O 認証統合を使用してサブスクリプション情報を管理Adobeできます。

注: Adobeサブスクリプションレポートを表示するには、アドオンAdobeパブリッシャーパック (com.sn_samp_adobe) プラグインをインストールする必要があります。

サブスクリプションソフトウェアとして認識されている Adobe ソフトウェア製品のみが表示されます。コンプライアンス情報を表示するには、Adobe 統合を設定する必要があります。

- アクティブな Adobe ソフトウェアインストールがないアクティブなサブスクリプションのリスト

  ユーザーがアクティブなサブスクリプションを持っているが、それぞれの Adobe 製品スイートが展開されていない場合。

  ユーザー名 | メール ID | サブスクリプション名 | ユーザーにアサインされたデバイスのリスト。

- SCCM 測定データを使用したインストール Adobe の最適化

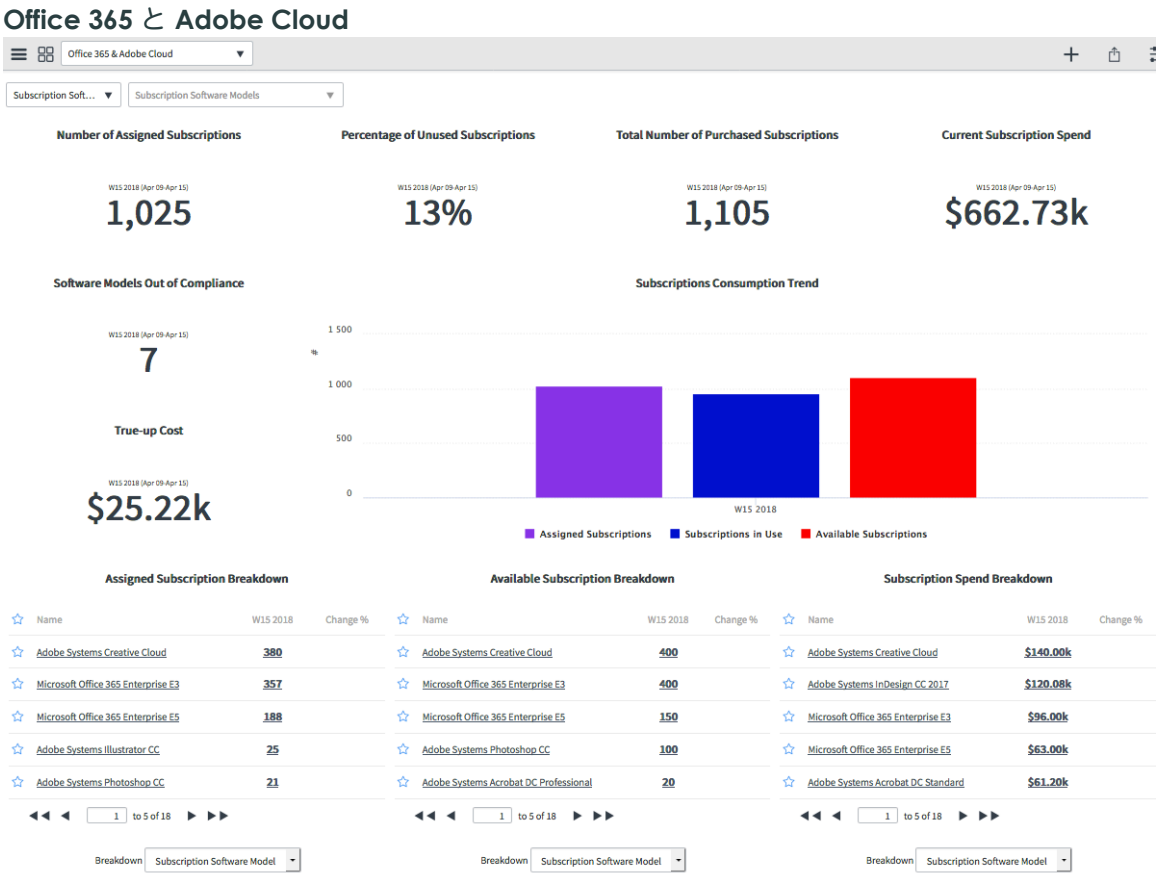
  ユーザーが Adobe サブスクリプションを十分に活用していないかどうか

  ユーザー名 | メール ID | サブスクリプション名 | サブスクリプション費用 | ユーザーにアサインされたデバイスのリスト | 製品スイート Adobe リスト | 最終アクセス時刻

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS サブスクリプションレポート

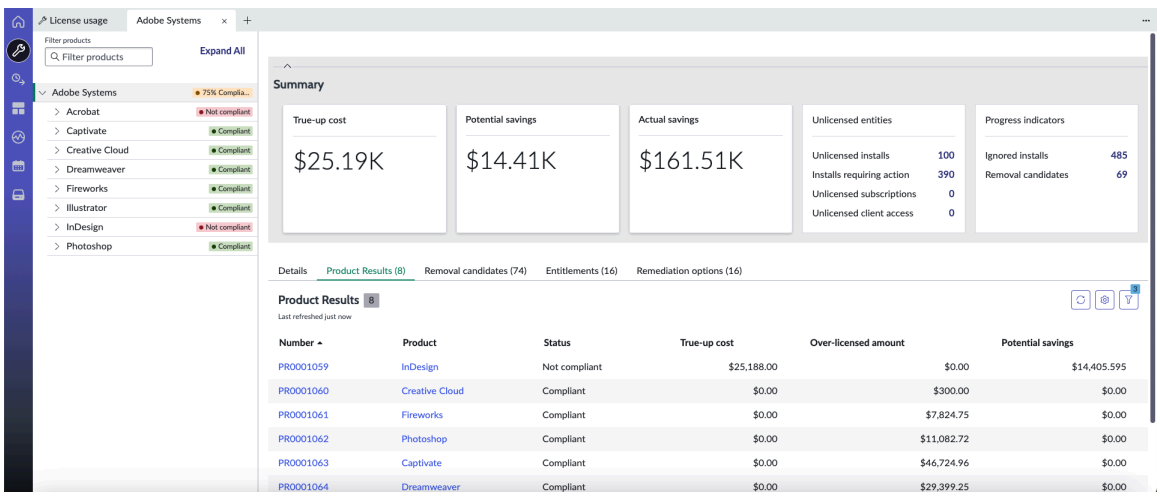


の **Adobe Systems** 向けパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内の Adobe Systems の公開者の概要で、Adobeに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、Adobe Systems パブリッシャーの概要にアクセスするには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー をクリックし、利用可能なソフトウェア発行者のリストから **[Adobe Systems**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Adobe Systems 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Adobe システムの概要

レポート	説明
調整コスト	Adobeソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	Adobeライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	Adobeライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの Adobe ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Adobe ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスのない Adobe サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Adobe サブスクリプションの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Adobe クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Adobe クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Adobe ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Adobe ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:Adobe削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Citrix**

Citrixパブリッシャーパックを使用して、Citrix製品の最適化と調整を行います。Citrixユーザーとデバイスのライセンスポジションを追跡して、ライセンスコンプライアンスを判断できます。

Citrix パブリッシャーパックを使用するには、ソフトウェア資産管理 Professional for Citrix プラグイン (com.sn_samp_citrix) を有効にします。詳細については、「Request Software Asset Management (Software Asset Management の要求)」を参照してください。

Citrixパブリッシャーパックは、仮想アプリケーション製品(旧称XenApp)および仮想デスクトップ製品(旧称XenDesktop)をサポートします。この公開者パックを使用して、ライセンスを管理し、 Citrix製品のライセンスコンプライアンスを判断できます。仮想アプリケーションおよびデスクトップを介して配信されるサードパーティアプリケーションを可視化できます。また、これらのアプリケーションにアクセスする可能性のあるユーザーを可視化することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションを使用して、Citrixからデータを収集します。Citrix製品のライセンス消費データは、Citrixライセンスサーバーから収集されます。

ディスカバリーは OData API を使用して、Citrix Delivery Controller から Citrix ファームを介して配信されるサードパーティアプリケーションを識別します。この情報を使用して、ソフトウェアインストールレコードを作成し、これらのアプリケーションのライセンス使用状況を追跡します。これらのアプリケーションを特定するには、アドミニストレーターはCitrixディスカバリーパターンで実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。Citrixディスカバリーパターンとテーブルの詳細については、「Citrix ライセンスサーバーとデリバリーコントローラーのディスカバリー 」を参照してください。

Citrix ライセンスモデル

Citrixパブリッシャーパックは、次のCitrixライセンスモデルをサポートしています。

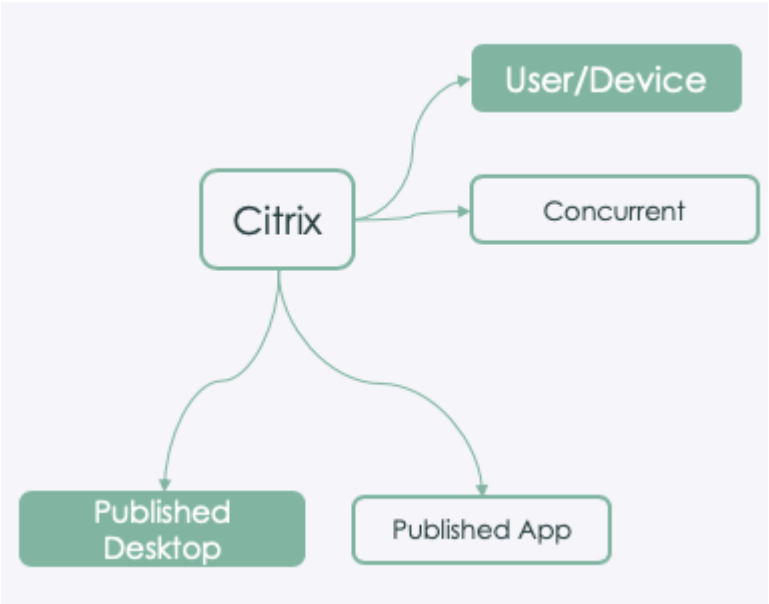
同時ライセンスモデル

同時ライセンスは、アクティブなセッション中にのみ使用されます。ユーザーがセッションを開始すると、アプリケーションまたはデスクトップはセッションを実行しているデバイスのライセンスをチェックアウトします。セッションが切断または終了すると、アプリケーションまたはデスクトップはライセンスをチェックインし直して、他のユーザーやデバイスがライセンスを使用できるようにします。同時接続ライセンスでは、仮想デスクトップへの1つの接続、または任意のユーザーまたはデバイスに対して無制限のアプリケーションを使用できます。ライセンス消費は、使用されているライセンスの数に基づいています。

ユーザー/デバイスライセンスモデル

ユーザー/デバイス ライセンス モデル: ユーザー/デバイス ライセンスは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられます。Citrixライセンスサーバーがユーザーにライセンスを割り当てると、そのユーザーは無制限のデバイスから無制限の接続を行うことができます。Citrixライセンスサーバーがデバイスにライセンスを割り当てると、無制限のユーザーがそのデバイスから無制限に接続できます。ライセンスの消費は、ライセンスを使用するユーザーまたはデバイスに基づきます。

Citrixライセンスのアーキテクチャを次の図に示します。



Citrix仮想化テクノロジーを通じて提供されるサードパーティアプリケーションのライセンスは、潜在的なアクセスに基づいています。仮想 Citrix 環境に展開されたアプリケーションまたはデスクトップにアクセスする可能性がある限り、すべてのユーザーまたはデバイスはライセンスを消費できま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

す。デリバリーグループとアプリケーショングループを使用して、次のアプリケーションとデスクトップへのアクセスを制御できます:

デリバリーグループ

デリバリーグループは、 Citrix アプリケーションまたはデスクトップを使用できるデバイスのコレクションです。各デリバリーグループは、それらのデバイスにアクセスできるユーザーを指定します。さらに、デリバリーグループでは、これらのユーザーが使用できるアプリケーションまたはデスクトップを指定します。

アプリケーショングループ

アプリケーショングループは、デリバリーグループまたはデリバリーグループユーザーのサブセット間で共有されるアプリケーションのコレクションです。各アプリケーショングループは、それらのアプリケーションにアクセスできるユーザーまたは Active Directory (AD) グループを指定します。

Citrix展開のガイドラインと推奨事項の詳細については、Citrix製品ドキュメント を参照してください。この情報を使用して、ユーザーをデリバリーグループレベルまたはアプリケーショングループレベルのどちらでマッピングするかを決定します。両方のレベルでユーザーをマッピングする場合、 ソフトウェア資産管理 ではアプリケーショングループレベルでのみマッピングが考慮されます。

Citrixライセンスの使用状況データは、Citrix のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードから表示できます。このデータを使用して、未使用または許可されていないライセンスを再利用することで、ライセンスポジションを最適化します。

のエンタイトルメントの作成 **Citrix**

ソフトウェアエンタイトルメントによってソフトウェアモデルに一致したライセンスの詳細を定義できます。エンタイトルメントは個別に追加することも、スプレッドシートからリストをインポートすることもできます。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin エンタイトルメントをインポートするには、sam_adminロールが必要です。

重要: ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方でエンタイトルメントを作成およびインポートできます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースにエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントを作成する前に、 ソフトウェアモデルを作成します。

このタスクについて

利用可能なソフトウェアを管理し、ソフトウェアモデルを使用してソフトウェアインストール (使用されているソフトウェア) とエンタイトルメント (所有されているソフトウェア) を関連付けます。監視するすべてのソフトウェアのソフトウェア モデルを作成します。

注: model_managerロールを持つユーザーは、次の場所に移動できます 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル ただし、ソフトウェアモデルのすべての側面を管理できるわけではありません。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、[**New**] を選択します。

   すべてのエンタイトルメントに関連するフィールドの詳細については、「 ソフトウェア資産管理 クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	説明
ライセンス評価指標	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。

2. アップグレードまたはダウングレードのエンタイトルメントを設定するには、[ソフトウェアエンタイトルメント] リストから新しいソフトウェアエンタイトルメントレコードを選択します。
   ソフトウェアエンタイトルメントの追加の構成を完了する方法の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
3. **[Submit** (送信)] を選択します。
   エンタイトルメントがソフトウェアエンタイトルメントリストに追加されます。

次のタスク
ライセンスのソフトウェア調整を実行します。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**Citrix**のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、Citrixのコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

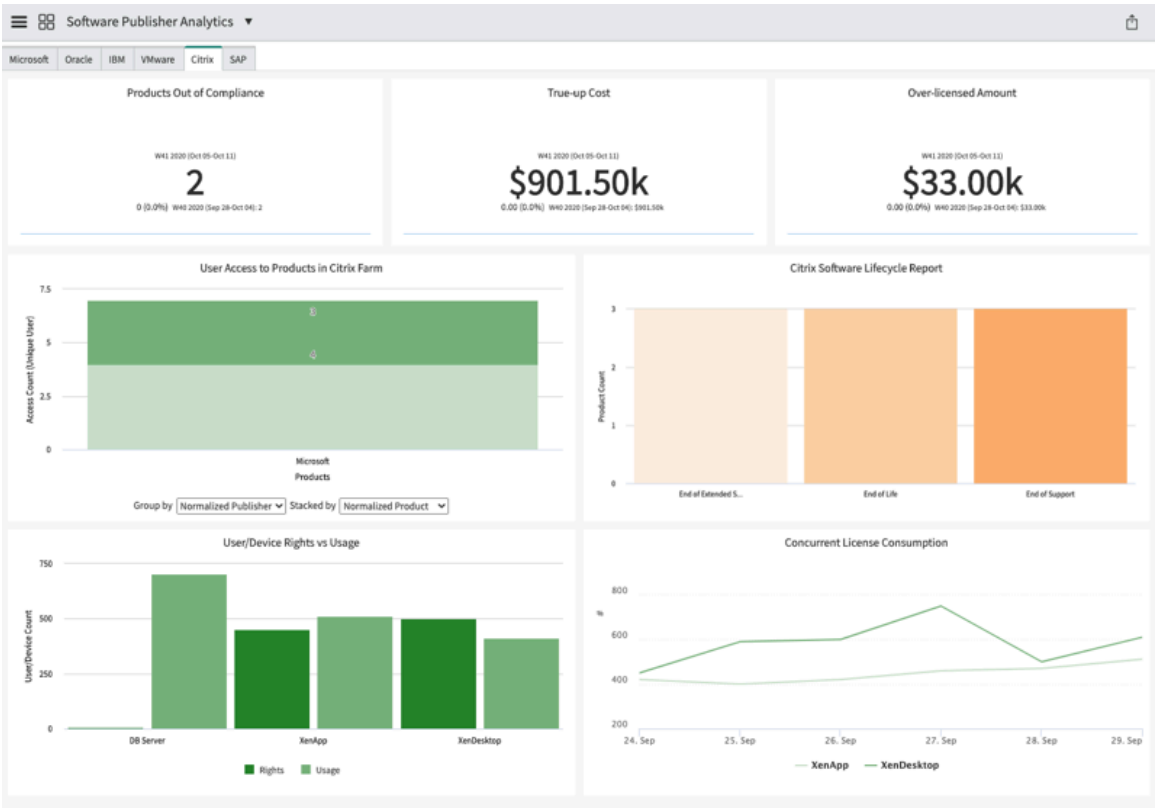
注: [Citrixダッシュボード] タブを表示するには、アドオンCitrixパブリッシャーパック (com.sn_samp_citrix) プラグインをインストールする必要があります。

Citrixデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。ServiceNow ディスカバリー、admin ロールを持つユーザーは、Citrix ライセンスサーバーとの通信のために Citrix Delivery Controller で実行するディスカバリースケジュール を作成する必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Citrix タブ

レポート	ソースリスト	説明
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
Citrix ファーム内の製品へのユーザー アクセス	ソフトウェア インストール	Citrixファームにアクセスできるユーザーの数。
Citrix ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	拡張サポートの終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアライフサイクルの各フェーズの製品数。
ユーザー/デバイスの権限と使用 Citrix ファームにインストールされているソフトウェア	ソフトウェア インストール	所有しているユーザー/デバイスの権限の数と消費されている権限の数。
同時ライセンス消費の傾向	ライセンス消費履歴	Citrixソフトウェア製品のライセンス消費傾向。各データポイ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Citrix タブ (続く)

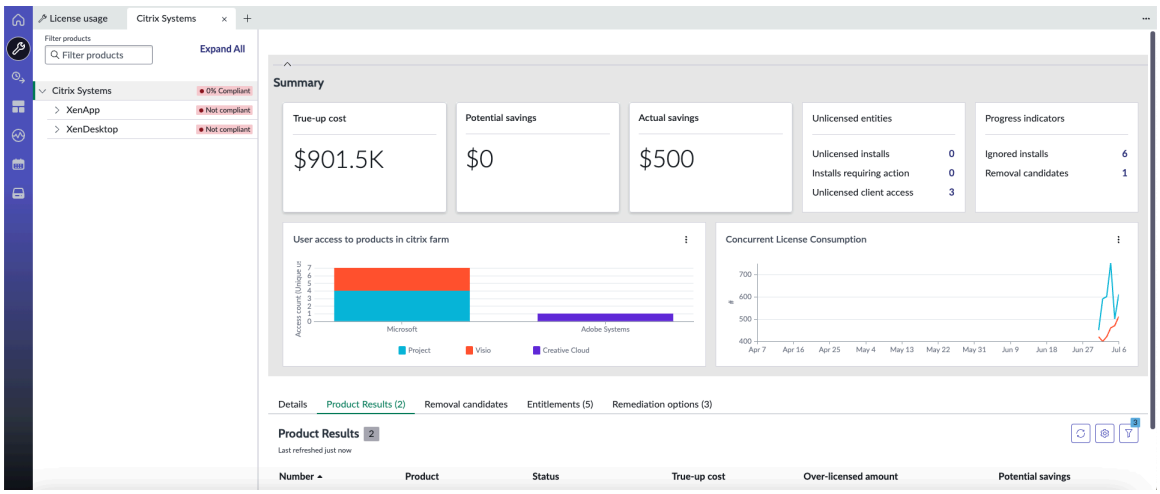
レポート	ソースリスト	説明
		ントは、1 日あたりの使用中の最大ライセンス数を表します。 データポイントを選択すると、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データが表示されます。

の Citrix Systems 向けパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内の Citrix Systems の公開者の概要で、Citrixに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、Citrix Systems パブリッシャーの概要にアクセスするには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー をクリックし、使用可能なソフトウェア発行元のリストから **[Citrix** システム] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Citrix Systems 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

Citrix システムの概要

レポート	説明
調整コスト	Citrixソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	Citrixライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	Citrixライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Citrix システムの概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの Citrix ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Citrix ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Citrix クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Citrix クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Citrix ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Citrix ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:Citrix削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。
citrix ファーム内の製品へのユーザーアクセス	Citrix ファーム内の特定のソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの数。棒グラフを選択すると、指定したソフトウェア製品にアクセスできるユーザーの完全なリストが表示されます。
同時ライセンス消費	Citrixソフトウェア製品のライセンス消費傾向。各データポイントは、1 日あたりの使用中の最大ライセンス数を表します。 データポイントを選択すると、特定の Citrix ソフトウェア製品の追加のライセンス消費データが表示されます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **IBM**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM を使用して、IBMソフトウェア製品のライセンスを追跡および最適化します。公開者パックを使用して、 Red Hat Enterprise Linux Server および Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters 製品のライセンスを追跡して最適化することもできます。

IBM パブリッシャーパックを使用するには、ソフトウェア資産管理 Professional for IBM (com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にします。

IBMパブリッシャーパックは、次のライセンスメトリクスをサポートしています。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロセッサーあたり
- Per User
- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサコア

サポートされている IBM ライセンスのメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。

重要: IBMパブリッシャーパックは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインの一部として入手できます。パブリッシャーパックには、 IBM 製品のフルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU および RVU ライセンスを追跡および管理するために必要なすべての機能が含まれています。IBM PVU ライセンスを追跡および管理するために、従来の IBM PVU プロセスパックは必要ありません。従来のプロセスパックの詳細については、「iBM PVU プロセスパック 」を参照してください。

ServiceNow ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールを使用してディスカバリーを実行すると、ディスカバリーツールは環境内のIBMソフトウェアインストールを検索し、関連するデータをServiceNowインスタンスにインポートします。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このデータをIBMソフトウェアエンタイトルメントと比較して、複雑なサーバーライセンスシナリオの製品を含むIBMソフトウェア製品を自動的に調整します。

調整に使用しているライセンスの測定基準に基づいて、さまざまなディスカバリーツールと統合できます。

- プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU) またはリソース・バリュー・ユニット (RVU) ライセンス・メトリックを使用して IBM ソフトウェア製品を調整するには、ILMT または BigFix インベントリ統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 を使用しているときに、 IBM ライセンス・メトリック・ツール (ILMT) または BigFix インベントリーディスカバリー・ツールと統合できます。また、 ServiceNow ディスカバリー アプリケーションを IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションと組み合わせて使用すると、そのアプリケーションと統合することもできます。
- 仮想プロセッサー・コア (VPC) ライセンス・メトリックを使用して IBM ソフトウェア製品を調整するには、 IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリーディスカバリー・ツール (バージョン 2 の ILMT または BigFix Inventory 統合 API を使用している場合) と統合します。また、 ServiceNow ディスカバリー アプリケーションを IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションと組み合わせて使用すると、そのアプリケーションと統合することもできます。
- 認定ユーザーや外部ユーザーバリューユニットなどのユーザーベースのライセンス測定基準を含む、サポートされている他のライセンス測定基準を使用して IBM ソフトウェア製品を調整するために、他のディスカバリーツールと統合することができます。

ILMT と BigFix インベントリの統合について詳しくは、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合」を参照してください。ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。ServiceNow ディスカバリー アプリケーションの詳細については、「ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ 」を参照してください。

サポートされている **IBM** ライセンスタイプ

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM では、さまざまな IBM ライセンスタイプのライセンスメトリクスが追加されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM を使用して、IBMプロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンスを追跡および管理できます。公開者パックは、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるように、 IBM に固有のライセンスメトリクスを追加します。

注: IBM PVU および RVU ライセンスは、物理環境と仮想環境の両方でサポートされています。

プロセッサバリューユニット (PVU) ライセンス

プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU) は、物理ハードウェア環境で使用されているプロセッサー・テクノロジーに基づいて、 IBM ソフトウェア製品のライセンス要件を決定できるようにする測定単位です。各プロセッサーテクノロジーには、プロセッサーのベンダー、プロセッサー名、およびモデル番号に基づいてコアあたりの PVU の値が割り当てられます。PVU ライセンスに必要な権限の数は、コア当たりの適切な PVU の値に、 IBM ソフトウェア製品で使用可能な、または管理されている物理ハードウェア環境でアクティブ化されたプロセッサー・コアの数を掛けることによって決定できます。

IBMパブリッシャーパックは、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の PVU ライセンスをサポートしています。フルキャパシティー PVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理されている物理ハードウェア環境でアクティブ化されたすべてのプロセッサー・コアを考慮する必要があります。サブキャパシティー PVU ライセンスを使用している場合は、「仮想化キャパシティーのライセンス・カウント・ルール」で定義されているように、IBMソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理される特定のアクティブ化されたプロセッサー・コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、PVU ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、PVU ライセンスが各デバイスの全キャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを決定します。使用している IBM 統合のタイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して、PVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- IBM パブリッシャーパックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合する場合は、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > **IBM** ライセンスメトリクスのピーク使用率 をクリックし、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの 「使用タイプ 」フィールドは、自動的に 「サブキャパシティー」に設定されます。ただし、フルキャパシティの PVU エンタイトルメントが割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

  ILMT と BigFix インベントリについて詳しくは、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合」を参照してください。

- IBM パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する場合は、次の場所に移動します。 ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。ただし、フルキャパシティの PVU エンタイトルメントが割り当てられているデバイスの [使用タイプ] フィールドは、代わりに自動的に [フルキャパシティ] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「IBM ホストのメタデータの確認」を参照してください。

認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

サポートされているプロセッサーテクノロジーと対応するコアあたりの PVU 値の完全なリストを含む、IBM PVU ライセンスの詳細については、「プロセッサーバリューユニット (PVU)」を参照してください。

リソース値単位 (RVU) ライセンス

リソース・バリュー・ユニット (RVU) は、 IBM ソフトウェア製品で使用可能または管理されているアクティブ化されたプロセッサー・コアの数に基づいて、その製品のライセンス要件を判別できるようにする測定単位です。活動化されるプロセッサー・コアの数は、RVU 層番号および係数値に直接対応します。

RVU の階層と要素

アクティブ化されたプロセッサコアの数	階層	係数
0 から 2,500	1	1.00
2,501 から 10,000	2	0.80
10,001 から 50,000	3	0.60
50,001から150,000	4	0.40
150,001 以上	5	0.20

RVU ライセンスに必要な権限の数は、これらの RVU 層に基づくステップ機能を使用して決定できます。まず、アクティブ化されたプロセッサー・コアの合計数を、 RVU 層および要因テーブルに基づいて層に分割する必要があります。RVU ライセンス交付は個々の装置レベルではなく製品レベルで計算されるため、ライセンス交付が必要なアクティブ化されたプロセッサー・コアの合計数を決定する際には、製品がインストールされているすべての装置を考慮する必要があります。次に、各層内のアクティブ化されたプロセッサー・コアの数に、対応する係数値を掛ける必要があります。最後に、結果の数値を合計して、RVU ライセンスに必要な権限の合計数を決定する必要があります。

重要: すべてのデバイスでアクティブ化されたすべてのプロセッサコアにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのデバイスもライセンスされず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある製品が、100 台のデバイスで合計 150,000 個のアクティブ化されたプロセッサコアにアクセスできるとします。RVU ライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づくと 72,500 です。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサコアの数	係数	必要な権利の数
1 (0 から 2,500 のアクティブ・プロセッサー・コア)	2,500	1.00	2,500 x 1.00 = 2,500
2	7,500	0.80	7,500 x 0.80 = 6,000

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

階層	階層内のアクティブ化されたプロセッサコアの数	係数	必要な権利の数
(2,501 から 10,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)			
3 (10,001 から 50,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)	40,000	0.60	40,000 x 0.60 = 24,000
4 (50,001 から 150,000 のアクティブ・プロセッサー・コア)	100,000	0.40	100,000 x 0.40 = 40,000
該当なし	150,000 件(合計)	該当なし	2,500 + 6,000 + 24,000 + 40,000 = 合計 72,500

注: RVU ライセンスで消費される権限の数は、PVU ライセンスで消費される権限の数とは異なる方法で報告されます。PVU ライセンスの場合、この数は個々のデバイスレベルで報告されます。RVU ライセンスの場合、この数は製品レベルで報告されます。

IBM RVU 層の詳細については、リソース値単位 (RVU MAPC) を参照してください。

IBMパブリッシャーパックは、フルキャパシティとサブキャパシティの両方の RVU ライセンスをサポートします。フルキャパシティーの RVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品で使用可能な、またはソフトウェア製品によって管理される物理ハードウェア環境で、活動化されているすべてのプロセッサー・コアを考慮する必要があります。仮想化環境でのみ使用可能なサブキャパシティー RVU ライセンスを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品がインストールされている仮想マシン (VM) によって使用されるアクティブ化されたプロセッサー・コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、RVU ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、RVU ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを決定します。使用している IBM 統合のタイプに応じて、次のいずれかのオプションを使用して、RVU ライセンスをデバイスに適用する方法を指定します。

- IBM パブリッシャーパックを IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合する場合は、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > **IBM** ライセンスメトリクスのピーク使用率 をクリックし、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルのデバイスの 「使用タイプ 」フィールドは、自動的に 「サブキャパシティー」に設定されます。

  ILMT と BigFix インベントリについて詳しくは、「 IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合」を参照してください。

- IBM パブリッシャーパックを Anglepoint などの認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する場合は、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「IBM ホストのメタデータの確認」を参照してください。

認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーの詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。

IBM ユーザーベースのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を使用して、認定ユーザーライセンスやユーザーバリューユニット (UVU) ベースのライセンスなど、IBMユーザーベースのライセンスを追跡および管理できます。

サポートされている UVU ベースのライセンスには、認可された UVU、従業員 UVU、および外部 UVU が含まれます。公開者パックは、これらのライセンスタイプのライセンスを計算できるように、 IBM に固有のライセンスメトリクスを追加します。

IBM ユーザーベースのライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーにライセンスを付与できます。クライアントアクセスレコードを使用して、関連付けられたIBMソフトウェア製品を調整することで、IBMユーザーベースのライセンスのコンプライアンスを追跡して最適化できます。クライアントアクセスレコードを使用して、 IBM ソフトウェア製品の特定バージョンへのアクセス権が付与されているユーザーの合計数を指定できます。よりきめ細かく制御するために、その製品へのアクセス権が付与されている特定のユーザーを識別することもできます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、この情報を、対応するソフトウェアエンタイトルメントで定義されているソフトウェア権限および割り当てと比較して、関連するユーザーベースのライセンスが準拠しているかどうかを判断できます。

ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。

認定ユーザーライセンス

認定ユーザーライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする個々のユーザーにライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) の数に制限なく、特定の IBM ソフトウェア製品をインストールできます。各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI 上のそのソフトウェア製品のインストールの数に制限はありません。

認定ユーザー値単位 (AUVU) ライセンス

認定ユーザーバリューユニット (AUVU) ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする一意のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。

このライセンスタイプでは、サーバーやコンピューターなどの構成アイテム (CI) の数に制限なく、特定の IBM ソフトウェア製品をインストールできます。各ユーザーは、ソフトウェア製品がインストールされている任意の CI 上のそのソフトウェア製品のインストールの数に制限はありません。

AUVUライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、AUVUの階層番号と係数値に直接対応します。

AUVUの階層と係数

ユーザー数	階層	係数
1 から 20	1	1.00

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AUVUの階層と係数 (続く)

ユーザー数	階層	係数
21 から 50	2	0.83
51以上	3	0.80

AUVU ライセンスに必要な権限の数は、これらの AUVU 層に基づくステップ関数を使用して決定できます。まず、 AUVUの階層と要素テーブルに基づいて、ユーザーの総数を階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、AUVUライセンスに必要な権限の総数を決定します。

重要: すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が、150 人の従業員と請負業者に IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与し、今後のプロジェクトで共同作業ができるようにしたいと考えているとします。対応するAUVUライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づいて125です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1～20ユーザー)	20	1.00	20 x 1.00 = 20
2 (21～50ユーザー)	30	0.83	30 x 0.83 = 24.9
3 (51 ユーザー以上)	100	0.80	100 x 0.8 = 80
—	150 件(合計)	—	20 + 24.9 + 80 = 合計 124.9 (合計 125 に切り上げ)

従業員ユーザー値単位 **(EUVU)** ライセンス

従業員ユーザー値単位 (EUVU) ライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、従業員と請負業者の両方を含めることができます。

EUVU ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、EUVU 階層番号と係数値に直接対応します。

EUVU 階層と要素

ユーザー数	階層	係数
1,000から2,500	1	1.000
2,501 から 5,000	2	0.800
5,001 から 10,000	3	0.700
10,001 から 30,000	4	0.650
30,001 から 50,000	5	0.550

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

EUVU 階層と要素 (続く)

ユーザー数	階層	係数
50,001 から 100,000	6	0.500
100,001 から 300,000	7	0.465
300,001 から 500,000	8	0.400
500,001 から 1,000,000	9	0.360
1,000,001 から 100,000,000	10	0.320

これらの EUVU 層に基づくステップ関数を使用して、EUVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、 EUVU 階層と要素テーブルに基づいて、ユーザーの合計数を階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、EUVU ライセンスに必要な権限の合計数を決定します。

重要: すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある会社が 11,000 人の従業員に IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与するとします。対応する EUVU ライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づくと 8,650 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000 ～ 2,500 ユーザー)	2,500	1.000	2,500 x 1.000 = 2,500
2 (2,501～5,000ユーザー)	2,500	0.800	2,500 x 0.800 = 2,000
3 (5,001 ～ 10,000 ユーザー)	5,000	0.700	5,000 x 0.700 = 3,500
4 (10,001 から 30,000 ユーザー)	1,000	0.650	1,000 x 0.650 = 650
—	11,000 件(合計)	—	2,500 + 2,000 + 3,500 + 650 = 合計 8,650

外部ユーザー値単位 **(XUVU)** ライセンス

外部ユーザー値単位 (XUVU) ライセンスを使用すると、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とする組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与できます。これらのユーザーには、サードパーティパートナー、サプライヤー、および請負業者が含まれます。

XUVU ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品へのアクセスを必要とするユーザーの数は、XUVU の階層番号および係数値に直接対応します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

XUVU の階層と係数

ユーザー数	階層	係数
1000から10,000	1	1.00000
10,001 から 50,000	2	0.87500
50,001 から 100,000	3	0.60000
100,001 から 500,000	4	0.43750
500,001 から 1,000,000	5	0.30000
1,000,001 から 25,000,000	6	0.24375
25,000,001から50,000,000	7	0.15000
50,000,001から250,000,000	8	0.13750
250,000,001から500,000,000	9	0.05000
500,000,001 から 100,000,000,000	10	0.05000

これらの XUVU 層に基づくステップ関数を使用して、XUVU ライセンスに必要な権限の数を決定できます。まず、ユーザーの総数を XUVU の階層と要素テーブルに基づいて階層に分割します。次に、各層内のユーザー数に対応する係数値を掛けます。最後に、結果の数値を合計して、XUVU ライセンスに必要な権限の総数を決定します。

重要: すべてのユーザーにライセンスを付与する十分な権限がない場合、どのユーザーにもライセンスが付与されず、製品は非準拠としてマークされます。

たとえば、ある企業が 15,000 社のサードパーティパートナーに IBM ソフトウェア製品へのアクセス権を付与するとします。対応する XUVU ライセンスに必要な権限の総数は、次の計算に基づいて 14,375 です。

階層	階層内のユーザー数	係数	必要な権利の数
1 (1,000 ～ 10,000 ユーザー)	10,000	1.00000	10,000 x 1.00000 = 10,000
2 (10,001 ～ 50,000 ユーザー)	5,000	0.87500	5,000 x 0.87500 = 4,375
—	15,000 件(合計)	—	10,000 + 4,357 = 合計 14,375

IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加を認可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、IBM仮想プロセッサー・コア (VPC) ライセンスを追跡および管理できます。また、バージョン 2 の統合 API を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と統合するときに、これらのライセンスを追跡および管理することもできます。

これらの統合により、パブリッシャーパックは、このライセンスタイプのライセンスを計算できるように、 IBM の仮想プロセッサコア (VPC) ライセンスメトリクスを追加します。認可済み ソフトウェア資産管理 プロバイダーの統合の詳細については、「IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合」を参照してください。ILMT と BigFix インベントリの統合について詳しくは、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

仮想プロセッサー・コア (VPC) は、 IBM ソフトウェア製品で使用可能なコア数または管理されるコア数に基づいて、その製品のライセンス要件を決定できるようにする測定単位です。仮想マシン (VM) にライセンスを付与する場合、VPC は VM に割り当てられている仮想コアの数に基づきます。VM 用にパーティション分割されていない物理ホストにライセンスを付与する場合、VPC はホスト上のプロセッサコアの数に基づきます。各 VPC ライセンスには、関連する IBM ソフトウェア製品で利用可能な、または管理されるコアごとに 1 つの権限が必要です。

IBMパブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する場合、パブリッシャーパックはフルキャパシティとサブキャパシティの両方の VPC ライセンスをサポートします。ILMT または BigFix インベントリと統合する場合、パブリッシャーパックはサブキャパシティ VPC ライセンスのみをサポートします。フルキャパシティの VPC ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品で利用可能な、または管理されている物理ホスト上のすべてのプロセッサコアを考慮する必要があります。仮想環境でのみ使用できるサブキャパシティ VPC ライセンスでは、 IBM ソフトウェア製品がインストールされて実行されている VM に割り当てられている仮想コアのみを考慮する必要があります。

ライセンスワークベンチの [使用タイプ] フィールドを使用して、VPC ライセンスがデバイスにどのように適用されているかを可視化できます。この情報を使用して、VPC ライセンスが各デバイスのフルキャパシティまたはサブキャパシティのどちらに適用されるかを判断します。認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーと統合する場合は、次の場所に移動して、VPC ライセンスをデバイスに適用する方法を指定できます ワークスペース > **Software Asset Workspace**. ソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定 をクリックして、対応する [使用タイプ] フィールドの値を変更します。デフォルトでは、[使用タイプ] フィールドは自動的に [サブキャパシティ] に設定されます。

使用可能なデバイス設定の詳細については、「 IBM ホストのメタデータの確認」を参照してください。

IBM License Metric Tool (ILMT) と **BigFix Inventory** の統合

IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合を使用して、IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。この接続を使用して ServiceNow インスタンスにデータをインポートし、 IBM ソフトウェア製品のライセンスを追跡して最適化できるようにします。

ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 1 またはバージョン 2 を使用して、ILMT または BigFix インベントリと統合できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、これらの API を使用して、ソフトウェアインストールデータやピーク使用状況データなどのデータを ILMT または BigFix インベントリから取得します。バージョン 1 の API を使用した ILMT または BigFix インベントリとの統合について詳しくは、「 v1 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合」を参照してください。バージョン 2 の API を使用して ILMT または BigFix Inventory と統合する方法について詳しくは、「 v2 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合」を参照してください。

> **重要:** ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 1 は、 IBM によって廃止されました。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix インベントリ統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。これらの API の廃止の詳細については、「 廃止された REST API 」を参照してください。

v2 API を使用した **IBM License Metric Tool (ILMT)** または **BigFix Inventory** との統合

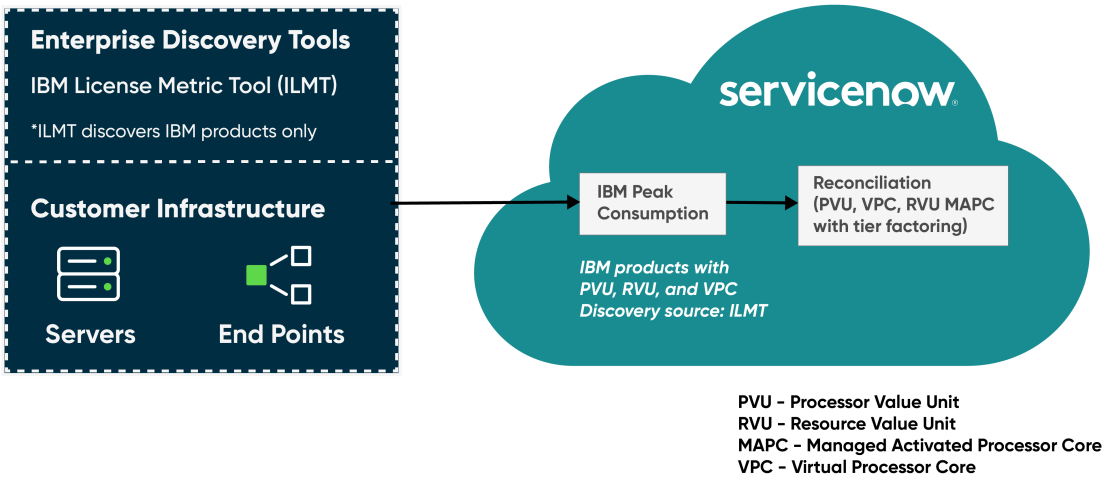
バージョン 2 の IBM License Metric Tool (ILMT) および BigFix Inventory 統合 API を使用して、 IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。

この接続により、使用状況データを ServiceNow インスタンスにインポートして、フルキャパシティーおよびサブキャパシティープロセッサーバリューユニット (PVU) とリソースバリューユニット (RVU) のライセンス、および IBM ソフトウェア製品のサブキャパシティー仮想プロセッサーコア (VPC) のライセンスを追跡および最適化できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ILMT および BigFix インベントリ統合 API について詳しくは、 REST API リソースおよび HTTP メソッド を参照してください。



ILMT と BigFix インベントリの統合により、HTTP または HTTPS を使用して 1 つ以上の IBM サーバーと Now Platform 間の接続を作成できます。統合を開始すると、IBM サーバー接続の設定に使用できる IBM Server 接続エイリアスを受け取ります。接続が成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix Inventory で定義した集計期間内のピーク使用率データを取得します。

必須条件

この統合を使用して IBM フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC ライセンスを追跡するには、次の前提条件を満たす必要があります。

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) に ILMT または BigFix インベントリをインストール、セットアップ、および実行します。

  重要: ILMT を設定するときは、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しく構成されていることを確認し、 ServiceNow インスタンスが構成管理データベース (CMDB)内で対応する CI レコードを正確に作成できるようにします。詳細については 、KB0691430 を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.24 以降をインストールします。

  注: ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合は、検出された IBM ソフトウェア製品に対してのみ使用状況データをインポートでき、それらの製品を実行しているホストに対してはインポートできません。

- IBM ILMT エージェントを構成して、IBM使用率測定ガイドラインに従って物理ホストまたは VM をスキャンします。

  注: IBM使用量の測定ガイドラインの詳細については、「ライセンス使用の測定 」を参照してください。

- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを IBM 製品に分類してバンドルします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ServiceNow® Store から IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix インベントリ統合のための ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを要求します」を参照してください。
- [**Connect to ILMT using** (*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) ソフトウェア資産管理] プロパティを **[v2 API's]** に設定します。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

IBM License Metric Tool (ILMT) と **BigFix** インベントリ統合のための ソフトウェア資産管理 アプリケーションの **IBM** ライセンスコンプライアンスを要求します

バージョン 2 の IBM License Metric Tool (ILMT) および BigFix Inventory 統合 API を使用して ILMT または BigFix Inventory と統合する場合は、ServiceNow® Store から ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスを要求します。統合を使用して、 IBM ライセンスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 `IBM License Compliance for Software Asset Management` 」と入力し、「 検索」を選択します。
4. [**IBM License Compliance for Software Asset Management**] という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理ライセンスコンプライアンスのIBM]ページで、[インストールの要求]を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow[アプリのインストールを要求 - ソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス**IBM]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

IBM v2 API のライセンスメトリクスツール (ILMT) と BigFix インベントリ変換マップ

バージョン 2 の ILMT および BigFix Inventory 統合 API を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory からデータをインポートすると、 ServiceNow インスタンスはデフォルトの変換マップを使用して、このデータを ServiceNow テーブルに処理します。

デフォルトの ILMT および BigFix インベントリ変換マップ

デフォルトでは、 Now Platform は、バージョン 2 の ILMT および BigFix インベントリ統合 API を使用してインポートする IBM ライセンス使用状況データを処理するための ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップを提供します。このデータを ServiceNow インスタンスにインポートすると、ソース ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] テーブルと ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] テーブルに追加されます。ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップは、次の テーブルマッピング を使用して、これらのソーステーブルから対応するターゲットテーブルにデータをマッピングします。

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップテーブルマッピング

ソーステーブル	ターゲットテーブル
ILMT 製品使用率ステージング [ilmt_v2_product_usage_staging] **注:** このテーブルにインポートされたデータは、検出された IBM ソフトウェア製品に対してレポートされます。	ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_product_usage]
ILMT デバイス使用率ステージング [ilmt_v2_device_usage_staging] **注:** この表にインポートされたデータは、 IBM ソフトウェア製品を実行しているホストに対して報告されます。 **注:** このテーブルにデータをインポートできるのは、ILMT バージョン 9.2.24 以降を使用している場合のみです。ILMT バージョン 9.2.23 以前を使用している場合、または BigFix インベントリを使用している場合は、このテーブルにデータをインポートできません。	サーバーあたりの ILMT 製品使用率 [ilmt_v2_usage_per_server] ILMT で検出されたコンピューター [ilmt_discovered_computer]

データが正常にマッピングされると、対応するターゲットテーブルレコードで更新されます。その後、更新されたターゲットテーブルデータを使用して、 IBM ソフトウェア製品を調整し、コンプライアンスを検証できます。

ILMT および BigFix インベントリのデータ処理

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用してデータを処理 。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

IBMソフトウェア製品のピーク使用率を表示する

ILMT および BigFix Inventory 統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と統合する場合は、最大 90 日間の集計期間内に、 IBM ソフトウェア製品の最大フルキャパシティーおよびサブキャパシティーのプロセッサー・バリュー・ユニット (PVU)、リソース・バリュー・ユニット (RVU)、および仮想プロセッサー・コア (VPC) の使用率を表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > 製品別のピーク消費量.
4. IBM ソフトウェア製品の最大フルキャパシティーおよびサブキャパシティーの PVU、RVU、および VPC 使用率を表示します。
   ソフトウェア資産管理アプリケーションには、最大 90 日間の集計期間内で最も高い使用率が表示されます。この集計された期間は、ILMT または BigFix Inventory で定義できます。

IBMソフトウェア製品のピーク使用率をデバイス別に表示する

ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリと統合する場合は、物理ホストまたは仮想マシン (VM) 別に、 IBM ソフトウェア製品の最大フルキャパシティーおよびサブキャパシティーのプロセッサー・バリュー・ユニット (PVU)、リソース・バリュー・ユニット (RVU)、および仮想プロセッサー・コア (VPC) の使用率を表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > デバイス別のピーク消費量明細.
4. IBMソフトウェア製品の最大フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU、RVU、および VPC 使用率を物理ホストまたは VM 別に表示します。
   ソフトウェア資産管理アプリケーションには、最大 90 日間の集計期間内で最も高い使用率が表示されます。この集計された期間は、ILMT または BigFix Inventory で定義できます。

IBMソフトウェア製品を実行しているデバイスを表示します

ILMT および BigFix Inventory 統合 API のバージョン 2 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory と統合する場合は、 IBM ソフトウェア製品を実行している物理ホストおよび仮想マシン (VM) の完全なリストを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ILMT V2** 統合 > **ILMT** で検出されたコンピューター.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

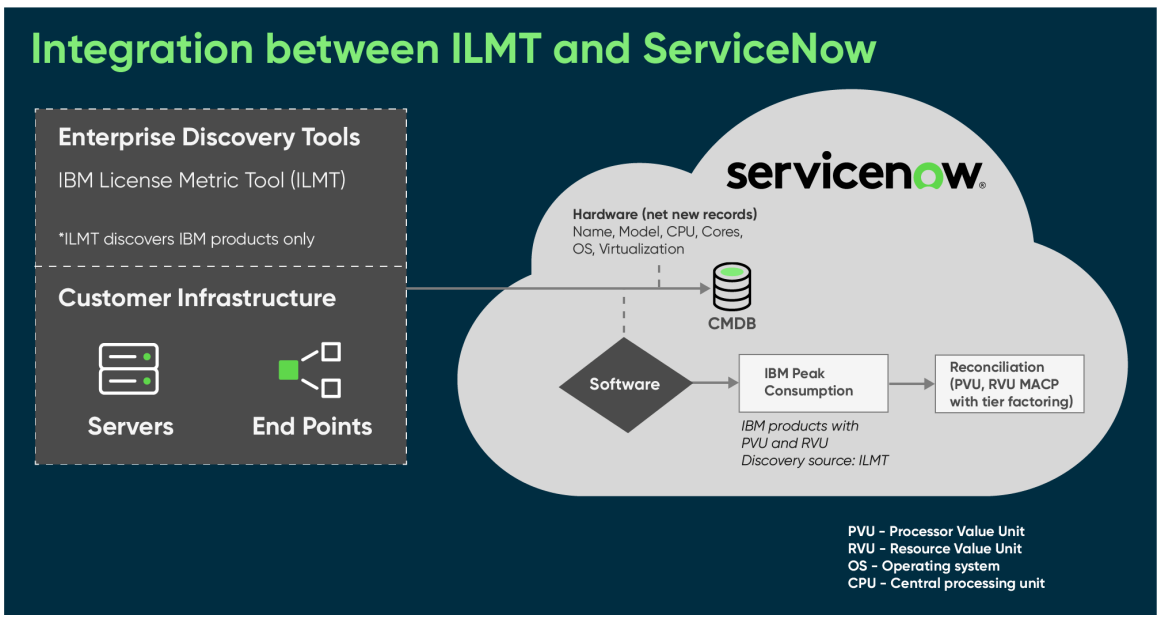
4. IBMソフトウェア製品を実行している物理ホストと VM のリストを表示します。
   また、ハードウェアモデル、ハードウェアシリアル番号、 構成管理データベース (CMDB)内の対応する構成アイテム (CI) など、各ホストまたは VM に関する詳細情報を表示することもできます。

v1 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合

IBM License Metric Tool (ILMT) および BigFix Inventory 統合 API のバージョン 1 を使用して、IBM サーバーと Now Platform の間の接続を作成できます。

この接続により、ソフトウェアインストールデータを ServiceNow インスタンスにインポートして、 IBM ソフトウェア製品のフルキャパシティおよびサブキャパシティープロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンスを追跡して最適化できます。

重要: ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 1 は、 IBM によって廃止されました。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このバージョンの API を使用する統合を引き続きサポートします。ILMT または BigFix インベントリ統合を初めてセットアップする場合は、代わりにバージョン 2 の API を使用してください。バージョン 2 の API を使用した統合の設定の詳細については、「v2 API を使用した IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory との統合」を参照してください。これらの API の廃止の詳細については、「廃止された REST API」を参照してください。



ILMT と BigFix インベントリの統合により、HTTP または HTTPS を使用して 1 つ以上の IBM サーバーと Now Platform 間の接続を作成できます。ソフトウェア資産管理 Professional for IBM (com.sn_samp_ibm) プラグインを有効にすると、IBM Server 接続の設定に使用できる IBM Server 接続エイリアスを受け取ります。接続が成功すると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix Inventory で定義した集計期間内のソフトウェアインストール履歴データを取得します。このデータには、製品、コンポーネント、エディション、ホスト、仮想マシン、およびライセンス使用状況が含まれます。

注: ライセンスの使用状況は、コンポーネントの使用ではなく、製品の使用に基づいています。

必須条件

この統合を使用して IBM フルキャパシティおよびサブキャパシティの PVU および RVU ライセンスを追跡するには、次の前提条件を満たす必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 物理ホストまたは仮想マシン (VM) に ILMT または BigFix インベントリをインストール、セットアップ、および実行します。

  重要: ILMT を設定するときは、シリアル番号、名前、IP アドレスなど、必要なすべての構成アイテム (CI) データが正しく構成されていることを確認し、 ServiceNow インスタンスが構成管理データベース (CMDB)内で対応する CI レコードを正確に作成できるようにします。詳細については 、KB0691430 を参照してください。

- ILMT バージョン 9.2.7 以降をインストールします。
- IBM ILMT エージェントを構成して、IBM使用率測定ガイドラインに従って物理ホストまたは VM をスキャンします。

  注: IBM使用量の測定ガイドラインの詳細については、「ライセンス使用の測定 」を参照してください。

- ILMT または BigFix インベントリを有効にして、物理ホストと VM の両方の構成、およびそれらの間の関係を検出します。
- ILMT または BigFix インベントリを使用して、 IBM コンポーネントを IBM 製品に分類してバンドルします。
- [**Connect to ILMT using** (*sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version*) ソフトウェア資産管理] プロパティを **[v1 API's]** に設定します。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。

IBM v1 API のライセンスメトリクスツール (ILMT) と BigFix インベントリ変換マップ

ILMT および BigFix インベントリ統合 API のバージョン 1 を使用して IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix インベントリからデータをインポートすると、 ServiceNow インスタンスは変換マップを使用してこのデータを ServiceNow テーブルに処理します。

デフォルトの ILMT および BigFix インベントリ変換マップ

デフォルトでは、ILMT および BigFix インベントリ API のバージョン 1 を使用している場合、ServiceNow は ILMT および BigFix インベントリデータに対して次の変換マップを提供します。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
ILMT コンピューター ID V1	コンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system]	コンピューター [cmdb_ci_computer]	仮想マシン (VM) とホストの識別データを処理します。 ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、CMDB IRE API を使用して、コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブル内の各 VM またはホストの構成アイテム (CI) レコードを作成します。VM がホストと同じハードウェアシリアル番号を使用する場合、

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
			変換マップはホストのみの CI レコードを作成します。CMDB IRE API の詳細については、「識別および調整エンジン (IRE)」を参照してください。 注: ServiceNow では、ピリオド (.) を含むハードウェアシリアル番号はサポートされていません。
ILMT ソフトウェアインスタンス	ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance]	グローバル [global]	VM およびホスト上の各 IBM ソフトウェアコンポーネントおよび製品のインストールデータを処理します。 ソフトウェア コンポーネントは、VM にインストールまたは実行するソフトウェアの独立したユニットです。ソフトウェアコンポーネントを個別に識別することはできますが、ライセンスを付与することはできません。ソフトウェア製品は、ソフトウェアコンポーネントのコレクションで構成できるホスト上のソフトウェアパッケージの単位です。ソフトウェア製品全体のライセンスを取得できます。ソフトウェア・コンポーネントおよび製品の詳細については、IBM Knowledge Center を参照してください。 ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにIBMソフトウェアコンポーネントと製品インストールごとにレコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトの **ILMT** および **BigFix** インベントリ変換マップ (続く)

変換マップ	ソーステーブル	ターゲットテーブル	説明
			注: ソフトウェア製品は実際のソフトウェアインストールではありませんが、変換マップはそれらをインストールとして扱うため、調整とコンプライアンスの目的で各ソフトウェア製品のライセンス使用状況を更新および追跡できます。
ILMT ソフトウェアライセンス使用状況	ライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage]	グローバル [global]	IBMソフトウェア製品のライセンス使用状況データを処理します。このデータを使用して、 IBM ソフトウェア製品を調整し、コンプライアンスを検証できます。 注: IBMソフトウェア製品は、仮想マシン (VM) の使用状況ではなく、物理ホストの使用状況に基づいてライセンス付与されるため、ライセンス使用状況データは物理ホストに対してのみ報告されます。 ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップは、 IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルの対応するレコードのライセンス使用状況データを更新します。対応するレコードが存在しない場合、変換マップは、 バージョン が [報告されていない] に設定されたライセンス使用状況データのレコードを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ILMT および BigFix インベントリのデータ処理

各 ILMT および BigFix インベントリ変換マップは、フィールドマップまたは変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。

ILMT コンピューター ID V1 変換マップ

ILMT コンピューター ID V1 変換マップは、フィールドマップと変換マップスクリプトの両方を使用して、ソースコンピューター [imp_samp_ilmt_computer_system] テーブルからターゲットコンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルへのデータを処理します。

デフォルトでは、ILMT コンピューター ID V1 変換マップには次のフィールドマップが含まれています。

デフォルトのフィールドマップ

ソースフィールド	ターゲットフィールド	説明
u_ip_address	ip_address	ホストまたは仮想マシンの IP アドレス。
u_dns_name	dns_domain	ホストまたは仮想マシンのドメイン名。
u_server_processors	cpu_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU または仮想 CPU (vCPU) の数。
u_host_name	name	ホストまたは仮想マシンの名前。
u_processor_brand_string	cpu_name	ホストまたは仮想マシン上の CPU または vCPU のブランド名 (IBM など)。
u_server_cores	cpu_core_count	ホストまたは仮想マシン上の CPU コアまたは vCPU コアの数。
[Script]	discovery_source	IBMソフトウェアインストールデータをプルするディスカバリーソース。可能な値は、 `ILMT` または `BigFix Inventory` です。
[Script]	virtual	マシンが仮想かどうかを示すオプション。
u_processor_brand	cpu_type	ホストまたは仮想マシンの CPU または vCPU のタイプ (デュアルコア CPU など)。
u_hardware_serial_number	serial_number	ホストを識別するシリアル番号。

フィールドマップの使用に加えて、変換マップは、各行変換の最後に処理されるイベントスクリプトである onAfter 変換マップスクリプトを使用してデータを処理します。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップ

ILMT ソフトウェアインスタンス変換マップは、onComplete 変換マップスクリプトを使用して、ソース ILMT ソフトウェアインスタンス [imp_samp_ilmt_sw_instance] テーブルからターゲット IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルへのデータを

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

処理します。onComplete 変換マップスクリプトは、インポートの最後に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

ILMT ソフトウェアライセンス使用変換マップ

ILMT ソフトウェアライセンス使用状況変換マップは、onStart 変換マップスクリプトを使用して、ソースライセンス消費 [imp_samp_ilmt_license_usage] テーブルからターゲット IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルへのデータを処理します。onStart 変換マップスクリプトは、インポートの開始時に処理されるイベントスクリプトです。この変換マップスクリプトの詳細については、「 変換イベントスクリプトを使用したマップ 」を参照してください。

HTTPS 用の IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合のセットアップ

IBMコンプライアンスレポート用に、IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合を設定できます。

HTTPS 接続を使用している場合は、次のいずれかの接続タイプを使用できます。

- HTTPS を MID サーバー
- HTTPS を MID サーバー

HTTPS を MID サーバー

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合を設定して、MID サーバーとの HTTPS 接続を使用してコンプライアンスレポートを作成するIBM。

始める前に
必要なロール： sys_admin

手順

1. 証明書をダウンロードするには、ILMT または BigFix インベントリサーバーにログインし、 管理 > サーバー設定.
2. MID サーバーの証明書をインポートします 。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成します。

HTTPS を MID サーバー

IBM License Metric Tool (ILMT) と BigFix Inventory の統合を設定して、MID サーバーのない HTTPS 接続を使用してIBMコンプライアンスレポートを作成します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて
注: ServiceNowインスタンスの IP アドレスに接続するには、ファイアウォールポートを開く必要があります。

手順

1. 証明書をダウンロードするには、ILMT または BigFix インベントリサーバーにログインし、 管理 > サーバー設定.
2. ServiceNowインスタンスから、 システム定義 > 証明書 証明書 を作成します (信頼ストア証明書、PEM 形式)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ダウンロードした完全な ILMT または BigFix インベントリサーバー証明書のコンテンツを **[PEM** 証明書] フィールド (バナーを含む) に貼り付けます。
4. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
5. IBM証明書ファイルを使用して Java Key Store ファイルを作成するには、コンピューターでコマンドプロンプトを開き、JRE keytool を含むフォルダーに移動します。
6. 次のコマンドを実行します。

```
keytool -import -trustcacerts -alias <Certificate alias> -file
 <Certificate file path> -keystore IBM_Server.keystore -storetype jks
keytool -list -v -keystore IBM_Server.keystore
```

これらのコマンドは、 `IBM_Server.keystore` ファイルを生成します。

7. Now Platformに戻り、 システム定義 > 証明書 証明書 (Java キーストア) を作成します。
8. 証明書レコードの添付ファイルとして生成した `IBM_Server.keystore` ファイルをアップロードします。
9. [ストア/証明書を検証] 関連リンクを選択します。
10. 移動先 システムセキュリティ > プロトコルプロファイル をクリックし、作成した Java Key Store 証明書を使用して新しいプロトコルプロファイルを作成します。

> **注:** ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成するときに作成するプロトコルプロファイルを選択する必要があります。

次のタスク
証明書のアップロードが完了したら、 ILMT/BigFix インベントリへの接続を作成します。

ILMT または BigFix インベントリへの接続を作成する

HTTP 接続を使用している場合、または HTTPS の初期構成が完了している場合は、 IBM サーバーと Now Platform 間の接続を確立します。

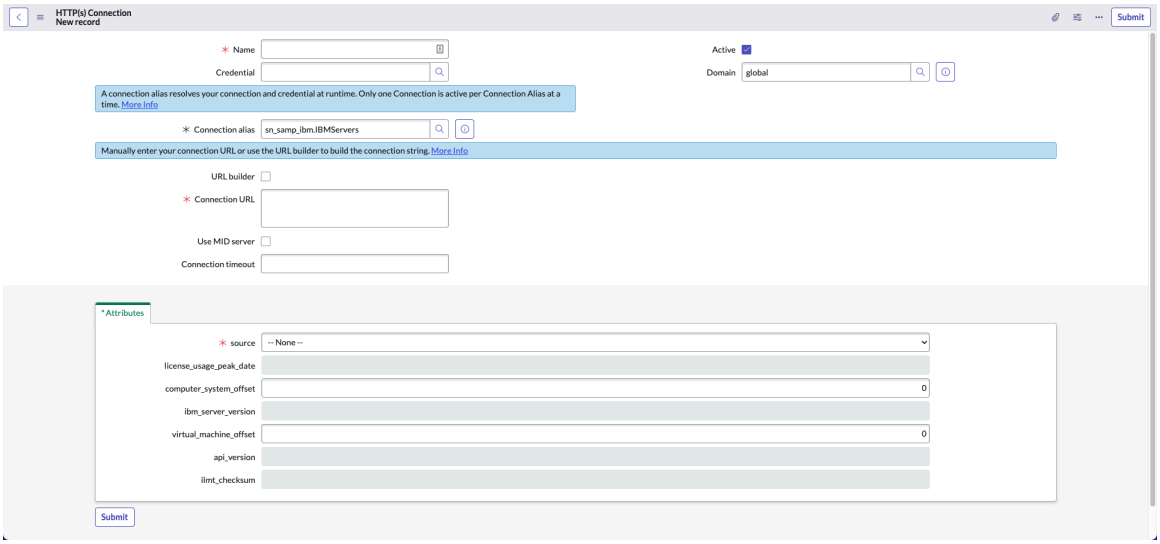
始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
> **注:** MID サーバーのない HTTP または HTTPS 接続を使用している場合は、ServiceNow インスタンスの IP アドレスに接続するためにファイアウォールポートを開く必要があります。

手順
1. 移動先 すべて > 統合 **— ILMT/BigFix** インベントリ > セットアップ.
2. [接続および資格情報エイリアス] フォームの [接続] 関連タブで、[新規] を選択します。
[HTTP(S) 接続] フォームが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. フォームのフィールドに入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	接続の一意の名前。
認証情報	接続を確立するために使用される認証情報。ユーザー名とパスワードなどのベーシック認証情報か、API キー認証情報のいずれかを使用できます。 **注:** ILMT サーバーへのアクセスに使用するものと同じ認証情報を選択します。
接続エイリアス	接続の参照に使用できる接続エイリアス。この接続エイリアスにより、実行時に接続と資格情報が解決されます。 このフィールドは自動的にsn_samp_ibmに設定されます 。IBMServers 別名。
アクティブ	接続がアクティブであることを示すオプション。
ドメイン	接続が属するドメイン。

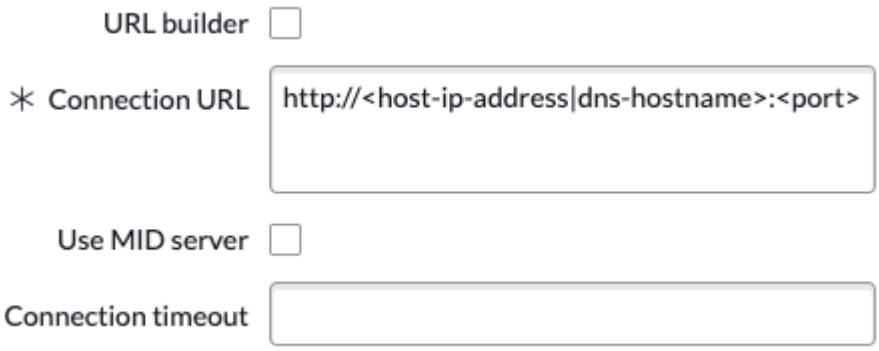
4. 接続の URL を指定します。
HTTP 接続と HTTPS 接続のどちらを使用しているかに応じて、次のいずれかのオプションを使用して接続 URL を指定します。

- **HTTP** 接続:[接続 **URL**] フィールドを使用して HTTP 接続 URL を指定します。

  [接続 **URL**] フィールドに、`http://<host-ip-address|dns-hostname>:<port>` の形式で URL を入力します。

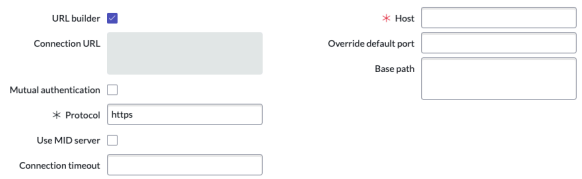
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



注: **[URL** ビルダー] チェックボックスをオンにした場合、[接続 **URL**] フィールドは変更できません。

◦ **HTTPS**接続:URLビルダーまたはSSL証明書を使用してHTTPS接続URLを指定します。

HTTPS 接続 **URL** オプション	手順
URL ビルダー	**a.** ServiceNowインスタンスで URL ビルダーを使用して接続 URL をビルドできるようにするには、[**URL** ビルダー] チェックボックスをオンにします。 [相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルト ポートを上書きする]、および [ベース パス] フィールドがフォームに表示されます。  **b.** [プロトコル] フィールドで、接続で使用される基本となるプロトコルを指定します。 このフィールドは自動的に **https** に設定されます。 **c.** 「 ホスト 」フィールドに、接続で使用されるターゲット・ホストの URL を入力します。 URL は `https://<host-ip-address|dns-hostname>:<port>` の形式で入力する必要があります。 **d.** (オプション)「 デフォルト・ポートの上書き 」フィールドに、接続で使用されるターゲット・ポートのポート番号を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順
	ILMT または BigFix インベントリのセットアップに使用したものと同じポート番号を入力する必要があります。 **e.** (オプション) [ベースパス] フィールドに、接続のベースパスを入力します。
SSL 証明書	**a.** IBM サーバーから SSL 証明書を取得します。 **b.** MID サーバーあり/なしで HTTPS 接続を使用しているかどうかに応じて、次のいずれかのオプションを使用して証明書を ServiceNow インスタンスに適用します。 ▪ MID サーバーがない場合: **i.** 新しいタブまたはウィンドウで、証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。 詳細な手順については、 HTTPS を MID サーバー を参照してください。 **ii.** HTTP(S) 接続フォームに戻ります。 **iii. [URL** ビルダー] チェックボックスをオンにして、ServiceNowインスタンスで接続 URL をビルドできるようにします。 [相互認証]、[プロトコル]、[ホスト]、[デフォルト ポートを上書きする]、および [ベース パス] フィールドがフォームに表示されます。  **iv.** [相互認証] チェックボックスをオンにして、接続の相互認証を有効にします。 [**Protocol**] フィールドは [**Protocol profile**] フィールドに置き換えられます。  **v.** [プロトコルプロファイル] フィールドで、検索アイコン ( ) を選択し、相互認証に使用する証明書を指定する HTTPS プロトコルプロファイルを見つけて選択します。 HTTPS を MID サーバー で作成したものと同じプロトコル プロファイルを選択する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HTTPS 接続 URL オプション	手順

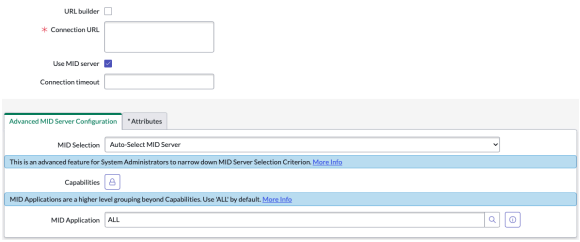
- MID サーバーでは、次のようになります。

  i. 新しいタブまたはウィンドウで、証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。

  詳細な手順については、 HTTPS を MID サーバー を参照してください。

  ii. [HTTP(S) 接続] フォームに戻り、[**MID** サーバーを使用] チェックボックスをオンにします。

  [**MID** サーバー詳細構成] タブが表示されます。



  iii. [**MID** サーバー詳細構成] タブの **[MID** 選択] フィールドで、接続のMID サーバーを選択する方法を指定します。

  次のオプションのいずれかを選択します。

  - **MID** サーバーの自動選択:接続用に構成されているMID サーバーのリストからMID サーバーを自動的に選択します。このオプションがデフォルトで選択されています。

    このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに [機能] フィールドと **[MID** アプリケーション] フィールドが表示されます。これらのフィールドを使用して、サポートされている MID サーバー 機能およびアプリケーションに基づいて利用可能なMID サーバーのリストをフィルタリングできます。

    - MID サーバー機能に基づいてこのリストをフィルタリングするには、[機能] フィールドで機能のロック解除アイコン (機能を選択します。フィールドのロックを解除した後、[リストを使用してルックアップ] アイコン (を選択し、目的の機能を検索して選択します。
    - MID サーバーアプリケーションに基づいてこのリストをフィルタリングするには、[**MID** アプリケーション] フィールドで [リストから参照] アイコン ( ) を選択して、目的のアプリケーションを検索して選択します。

    MID サーバー機能とアプリケーションの詳細については、「MID サーバーの選択 」を参照してください。

  - 特定の **MID** サーバー:接続の特定の MID MID サーバー を選択できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

HTTPS 接続 URL オプション	手順
	このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに **[MID** サーバー] フィールドが表示されます。**[MID** サーバー] フィールドで [リストから参照] アイコン ([🔍) を選択して、接続に使用するMID サーバーを検索して選択します。 **重要:** 接続の特定のMID サーバーを選択するには、指定したMID サーバーを使用するように構成されているすべてのアプリケーションの「すべてのアプリケーションに含める」チェック・ボックスの選択を解除する必要があります。このチェックボックスの詳細については、「アプリケーションごとにデフォルトの MID サーバーを設定する」の「MID サーバーに対するすべての定義に含めるアプリケーションを選択」セクションを参照してください。 ▪ 特定の **MID** クラスター:接続用の特定の MID サーバー クラスターを選択できます。 このオプションを選択すると、[**MID** サーバー詳細構成] タブに **[MID** クラスター] フィールドが表示されます。**[MID** クラスター] フィールドで [リストから参照] アイコン ([🔍を選択して、接続に使用する MID サーバー クラスターを検索して選択します。

5. 接続タイムアウトを設定します。
   接続タイムアウトを設定するには、次のいずれかのオプションを使用します。
   - **glide.http.outbound.max_timeout.enabled** システムプロパティ: Now Platform *glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティを使用すると、RESTMessageV2 および SOAPMessageV2 API が同期呼び出しからの応答を待機する秒数を指定できます。このシステムプロパティを設定するには、新しいタブまたはウィンドウを開き、 システムプロパティ > すべてのプロパティ > **glide.http.outbound.max_timeout.enabled**. このシステムプロパティが **true** に設定されている場合、または ServiceNow インスタンスで使用できない場合、インスタンスはデフォルトのタイムアウト値である 30 秒を使用します。このシステムプロパティが **false** に設定されている場合、 ServiceNow インスタンスはデフォルトのタイムアウト値 600 秒を使用します。このシステムプロパティの詳細については、「 利用可能なシステムプロパティ 」を参照してください。
   - [接続タイムアウト] フィールド:[HTTP(s) 接続] フォームの [接続タイムアウト] フィールドでは、 ServiceNow インスタンスが特定の接続を確立するために待機する秒数を指定できます。

     重要: このオプションは、 San Diego 以降のリリースにのみ適用されます。Rome 以前のリリースでは、*glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティのみを使用して接続タイムアウトを設定する必要があります。

     [接続タイムアウト] フィールドの適用は、*glide.http.outbound.max_timeout.enabled* システムプロパティの構成によって異なります。システムプロパティが **false** に設定されている場合、 ServiceNow インスタンスは [接続タイムアウト] フィールドに指定された値を受け入れます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: [接続タイムアウト] フィールドが空の場合、ServiceNow インスタンスはデフォルトの接続タイムアウト値である 300 秒を使用します。

システムプロパティが **true** に設定されている場合、または ServiceNow インスタンスで使用できない場合、インスタンスは [接続タイムアウト] フィールドに指定されている値を無視します。代わりに、インスタンスはデフォルトの接続タイムアウト値である 30 秒を使用します。

6. 接続の追加属性を構成します。

[属性] タブを選択し、フィールドに入力します。



[属性] タブ

フィールド	説明
source	IBMソフトウェアインストールデータのソース。オプションは、**ILMT** と **BigFix** インベントリです。
computer_system_offset	ServiceNowインスタンスが ILMT または BigFix インベントリからコンピューターレコードを再インポートするのを防ぐオフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれるコンピューターレコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。それ以降のインポートのたびに、指定されたオフセット値から始まる新しいコンピューターレコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべてのコンピューターレコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。
virtual_machine_offset	ServiceNow インスタンスが ILMT または BigFix インベントリから仮想マシン (VM) レコードを再インポートできないようにするオフセット値。インポートを実行するたびに、インポートに含まれる VM レコードに基づいてオフセット値が自動的に更新されます。それ以降のインポートのたびに、指定されたオフセット値以降の新しい VM レコードのみが取得されます。 新しい接続を確立する場合は、オフセット値が **0** に設定されていることを確認します。既存の接続のすべての VM レコードを再インポートする場合は、オフセット値を **0** にリセットします。

7. **[Submit** (送信)] を選択します。
アクティブな接続情報が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. オプション: ILMT および BigFix インベントリ API のバージョン 1 を使用している場合は、ILMT または BigFix インベントリのスケジュール済みデータを手動でインポートします。

   a. 移動先 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートスケジュール をクリックし、[今すぐ実行] を選択します。

   b. インポートが正常に完了したことを確認します。

   - インポートと変換の両方が正常に完了したことを確認するには、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > 変換履歴.

     注: [変換履歴] テーブルのすべてのレコードには、 挿入 値 0 が表示されます。

   - ライセンス消費 [samp_ilmt_sw_install] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > ライセンス消費.
   - コンピューター [cmdb_ci_computer] テーブルにインポートされたすべてのデータを表示するには、 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > インポートセットデータ > コンピューター.

ILMT 接続の正常性を検証する

ILMT 接続の正常性を検証して、各接続の成功を改善します。結果を使用して、接続の応答時間の調整や無効なハードウェアシリアル番号に関連するエラーの修正など、失敗した接続を解決する方法を評価します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 統合 **- ILMT/BigFix** インベントリ > 接続の健全性.
2. [検証] を選択します。
   [接続の健全性] リストが再ロードされ、各 ILMT 接続の最新の状態が表示されます。
3. [ステータス] フィールドを使用して、各接続のステータスを確認します。
   [ステータス] フィールドが [失敗] に設定されている場合は、対応する [情報] フィールドを参照して、その接続が失敗した理由と、接続を正常に確立するために実行できるアクションの詳細を確認してください。

   たとえば、タイムアウトの問題が原因で接続に失敗した場合、[情報] フィールドには接続がタイムアウトしたことが示されます。[情報] フィールドには、接続が再び失敗しないようにするための推奨タイムアウト値も示されます。

IBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合

VMware vSphere 環境と IBM LPAR インフラストラクチャの両方で IBM ライセンスを追跡および管理するには、ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを IBMIBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) プログラムへの参加を認可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合します。これらの統合により、IBM License Metric Tool (ILMT) や BigFix Inventory と統合することなく、IBMライセンスを直接追跡および管理できます。

IASPプログラムは、認可された ソフトウェア資産管理 プロバイダーと契約しているクライアントが、 IBM ライセンスの使用状況を個別に報告できるようにする、招待制のライセンス検証プログラムです。IASPプログラムの詳細については、「 IASP検証 」を参照してください。

IBMパブリッシャーパックは、次の認定ソフトウェア資産管理プロバイダーとの統合をサポートしています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Anglepoint (Anglepoint を通じてElevate プラットフォーム)
- Deloitte

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、ServiceNow® Store から IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM ライセンスを直接追跡および管理するために必要なコア機能とライセンスメトリクスを提供します。Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow® Store から AnglepointIBM Licensing for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。このアプリケーションを使用すると、AnglepointからIBMソフトウェア情報を保存できます。

必要なアプリケーションをインストールした後、統合する認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログを取得する必要があります。このカタログは、認定された各ソフトウェア資産管理プロバイダーによって個別に管理され、ServiceNow® ディスカバリーアプリケーションなどのディスカバリーツールが環境内で検出されたIBMソフトウェアを識別するために使用できるIBMソフトウェア情報の集中リポジトリーです。カタログを取得したら、 ServiceNow インスタンスにアップロードする必要があります。

アップロードが成功したら、 ServiceNow ディスカバリー アプリケーションを使用して IBM ソフトウェアの検出を実行できます。ディスカバリー アプリケーションは、アップロードされたカタログを使用して、環境で検出されたIBMソフトウェアを識別します。次に、このデータを認定 ソフトウェア資産管理 プロバイダーに送信し、包括的な ソフトウェアの分類とバンドルを行います。

検出された IBM ソフトウェアが適切に分類されてバンドルされると、認定された ソフトウェア資産管理 プロバイダーがこのデータを ServiceNow® インスタンスに送り返します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、プロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) のライセンスメトリクスを使用してこのデータを調整し、IBMソフトウェアの使用状況を追跡し、ライセンスコストを最適化できます。PVU および RVU ライセンスのメトリクスの詳細については、「IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスメトリクスの詳細については、「IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

自動翻訳

必須条件

IBM パブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する前に、次の前提条件を満たす必要があります。

- ServiceNow® Store から IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「認可済みソフトウェア資産管理プロバイダーの統合のために、ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスを要求します」を参照してください。
- [**IBM** ライセンスコンプライアンス **(***com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing***)** 用の **ServiceNow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーの使用] ソフトウェア資産管理プロパティを有効にします。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ 」を参照してください。
- ServiceNow インスタンスで ディスカバリー (com.snc.discovery) プラグインを有効にします。詳細な手順については、「 ディスカバリーの要求 」を参照してください。
- ServiceNow インスタンスでファイルベース ディスカバリー (com.snc.discovery.file_based_discovery) プラグインをアクティブ化します。ファイルベースのディスカバリーの詳細については、「ファイルベースの ディスカバリー 」を参照してください。
- ServiceNow Store から ディスカバリー and サービスマッピング パターンアプリケーションを要求してインストールします。ディスカバリーパターンとサービスマッピングパターンの詳細については、「ITOM ヴィジビリティで使用されるディスカバリーパターン 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 統合にドメインセパレーションを使用する場合は、 ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを有効にします。詳細な手順については、「ドメインセパレーションプラグイン 」を参照してください。
- 認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードします。
- パブリッククラウド環境で IBM ライセンスを追跡および管理する場合は、次のサービスに対して 1 つ以上を設定して、クラウドインフラストラクチャの変更を 30 分ごとに自動的にスキャンして更新するように CMDB します。
  - AWS がホストするパブリッククラウドの場合は、AWS Config サービスを構成します。詳細な手順については、「イベント通知を ServiceNow インスタンスに送信するための AWS Config サービスの構成 」を参照してください。
  - Microsoft Azure がホストするパブリッククラウドの場合は、Microsoft Azure アラートサービスを構成します。詳細な手順については、「CMDB を自動更新するように Microsoft Azure アラートサービスを設定する 」を参照してください。
  - Google Cloud Platform (GCP) がホストするパブリッククラウドの場合は、Google Stackdriver Logging サービスを構成します。詳細な手順については、「CMDB を自動更新するように サービスを設定する 」を参照してください。

IBM 公開者パックを Anglepoint と統合する場合は、次の追加の前提条件も満たす必要があります。

- ServiceNow® Store から AnglepointIBM Licensing for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理アプリケーションのAnglepointIBMライセンスを要求します」を参照してください。
- Anglepoint Elevate プラットフォームを設定します。

IBM Authorized SAM Provider (IASP) 統合でサポートされている仮想化テクノロジーとパブリッククラウドプラットフォーム

IBM認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合は、VMware vSphere環境および IBM LPAR インフラストラクチャでのIBMライセンスをサポートします。 これらの統合は、AWS、Microsoft Azure、および Google Cloud Platform (GCP) が所有および管理するパブリッククラウド環境でのIBMライセンスもサポートしています。

IBMVMware vSphere環境でのライセンス

IBM Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加を許可されている ソフトウェア資産管理プロバイダーと IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは VMware vSphere のIBMライセンスルールをサポートします。

VMware vSphere は、 IBM ソフトウェア製品を仮想マシン (VM) にインストールして実行できる仮想化プラットフォームです。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、VMware vSphere環境でIBMソフトウェア製品に対して、フルキャパシティとサブキャパシティーの両方のプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) のライセンスをサポートします。

IBM ライセンスモデル **VMware vSphere**

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
フルキャパシティ	VM に IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する場合は、VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホスト上の各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。物理 ESXi ホストが複数の仮想マシンを同時に実行している場合、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する仮想

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM ライセンスモデル **VMware vSphere** (続く)

ライセンスキャパシティ	ライセンスモデル
	マシンの数に関係なく、ホスト上の各プロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。 基盤となる物理 ESXi ホストのプロセッサ コアの合計数を使用して、ライセンス タイプに基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。
サブキャパシティ **注:** サブキャパシティー・ライセンスを使用できるのは、VM の VM マネージャーを構成して指定した場合のみです。VM マネージャーについて詳しくは、IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定しますを参照してください。	IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する VM に割り当てられている仮想コアのみにライセンスを付与する必要があります。 VM 全体でライセンスが必要な仮想コアの合計を使用して、ライセンスの種類に基づいてライセンスに必要な権限の数を決定します。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。 **注:** デフォルトでは、必要な権限の数は仮想コアの合計を使用して計算されます。仮想コアの合計が、VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホストのプロセッサ コアの合計数を超えた場合、必要な権限の数は、代わりにホスト上のプロセッサ コアの合計数を使用して計算されます。 **注:** VM と、VM を実行している基礎となる物理 ESXi ホストの両方に IBM ソフトウェア製品をインストールして実行する場合は、ホストでのインストールのライセンスも取得する必要があります。

IBMIBM LPAR インフラストラクチャでのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加を許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはIBM論理区画のIBMライセンス規則をサポートします。

論理区画 (LPAR) は、オペレーティング・システムをサポートするプロセッサー・ハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力装置など、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレーム・ハードウェア・システム内に複数のLPARを設定できます。

IBM LPAR インフラストラクチャー内の LPAR および LPAR リソースを検出するには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェア・アプライアンスである IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) のServiceNow ディスカバリーパターンが必要です。これらのディスカバリーパターンにアクセスするには、ServiceNow Store から ディスカバリー および サービスマッピング パターンアプリケーションを要求してインストールする必要があります。LPAR でディスカバリーを構成する方法の詳細

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

については、「 IBM Virtualization および ハードウェア管理コンソールディスカバリー 」を参照してください。

注: *lparstat* コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートをプルします。詳しくは、 IBM Knowledge Center を参照してください。

ディスカバリーを実行すると、検出された LPAR データが入力され、ServiceNowインスタンスの次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに保存されます。

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM HMC の CMDB クラスを追加または更新します。IBM HMC CMDB クラスについて詳しくは、IBM Hardware Management Console (HMC) 拡張クラス を参照してください。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IBM LPAR インフラストラクチャー内のIBMソフトウェア製品に対して、フルキャパシティーとサブキャパシティーの両方のプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) ライセンスをサポートします。

IBMIBM LPAR インフラストラクチャのライセンスルール

フルキャパシティライセンス

フル・キャパシティー・ライセンス交付を使用する場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行した LPAR を実行している基礎となるハードウェア・システム上の各プロセッサー・コアにライセンス交付を行う必要があります。

基盤となるハードウェア システムのプロセッサ コアの合計数を使用して、ライセンスの種類に基づいてライセンスに必要な権限の数を決定できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

サブキャパシティライセンス交付

サブキャパシティー・ライセンス交付を使用する場合は、 IBM ソフトウェア・プロダクトをインストールして実行する LPAR に割り当てられているプロセッサー・コアのみにライセンス交付を行う必要があります。

サブキャパシティー・ライセンスに必要な権限の数は、プロセッサー・プールのタイプと、 IBM ソフトウェア製品に使用しているライセンスに基づいて決定できます。

IBM LPAR は、専用プロセッサー・プールと共用プロセッサー・プールの両方をサポートします。プロセッサー・コアが 1 つの専用 LPAR のみに割り当てられている専用プロセッサー・プールを使用している場合は、 IBM ソフトウェア製品をインストールまたは実行する LPAR に割り当てられている各専用プロセッサー・コアのライセンス交付を受ける必要があります。プロセッサー・コアがマイクロ区画間で共用される共用プロセッサー・プールを使用している場合は、 IBM ・ソフトウェア・プロダクトをインストールまたは実行するマイクロ区画間で共用されるプロセッサー・コアのライセンス交

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

付を受ける必要があります。LPAR タイプに基づいて、マイクロパーティション全体でライセンス交付が必要なプロセッサー・コアの数を判別できます。

- 上限付き **LPAR:** 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格がある CPU リソースの数である最大ライセンス済み容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用することはできません。
- 上限なし **LPAR:** 上限なし LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り当てられている仮想プロセッサー・コアの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能なプロセッサー・コアの最大数によって制限されます。

詳しくは、 サブキャパシティー (仮想化) ライセンス・カウント・ルール を参照してください。

プロセッサ プール全体でライセンスを付与する必要があるプロセッサ コアの合計を使用して、ライセンスの種類に基づいてライセンスに必要な権限の数を決定できます。PVU または RVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

IBM パブリッククラウド環境でのライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を、IBM Authorized SAM Provider (IASP) プログラムへの参加が許可されているソフトウェア資産管理プロバイダーと統合すると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションはパブリッククラウド環境でIBMライセンスルールをサポートします。

パブリッククラウドは、コンピューティングリソースがサードパーティのクラウドプロバイダーによって所有および管理され、インターネットを介して複数のクライアントによって共有されるクラウドコンピューティングモデルです。クライアントは、各パブリッククラウド内の仮想サーバー上で実行されている仮想マシン (VM) を介して、これらの共有コンピューティングリソースにアクセスできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、パブリッククラウド環境のソフトウェア製品のサブキャパシティプロセッサーバリューユニット (PVU) および仮想プロセッサーコア (VPC) IBMライセンスをサポートしています。サポートされているパブリッククラウドプロバイダーには、 Amazon Web サービス (AWS)、 Microsoft Azure、 Google Cloud Platform (GCP) などがあります。

パブリッククラウド環境でサブキャパシティライセンスを使用するには、 IBM ソフトウェア製品をインストールして実行するクラウドベースの VM に割り当てられている仮想コアにライセンスを付与する必要があります。クラウドベースの VM 全体でライセンスを取得する必要がある仮想コアの合計に基づいて、ライセンスに必要な権限の合計を決定できます。PVU ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM プロセッサーバリューユニット (PVU) およびリソースバリューユニット (RVU) のライセンス」を参照してください。VPC ライセンスに必要な権限の数を決定するには、「 IBM 仮想プロセッサコア (VPC) ライセンス」を参照してください。

重要: パブリッククラウド環境に展開された VM に使用される PVU ライセンスに必要な権限数を決定するときは、どのパブリッククラウド環境を選択するかに関係なく、コアあたりの標準 PVU の値 70 を常に使用する必要があります。

IBMIBM 認定 SAM プロバイダー (IASP) 統合の調整

IBM 調整により、手動計算を必要とせずに、 IBM ライセンスポジションを正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、プロセッサー・バリュー・ユニット (PVU)、リソース・バリュー・ユニット (RVU)、または仮想プロセッサー・コア (VPC) ライセンスに必要な権限の数を

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算する際に、ライセンスをフルキャパシティーまたはサブキャパシティーのどちらで使用しているかに基づいて、2 つの異なる数を計算します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、この情報を、IBM ソフトウェア製品の日次集計ピーク使用量および PVU、RVU、または VPC ライセンスの使用タイプとともに使用して、90 日間の IBM ソフトウェア製品の最高水準点 (ピーク使用量) を判別します。

注: IBMソフトウェア製品の最高水準点は、南北アメリカ、EMEA、APAC などの地域ごとに決定できます。

その後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは最高水準点の値を使用して IBM ソフトウェア製品を調整し、ライセンスが準拠しているかどうかを判断できるようにします。

IBM Authorized SAM Provider (IASP) 統合のセットアップ

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合する前に、セットアッププロセスを完了してください。

認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合するには、ServiceNow® Store から IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要があります。Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow® Store から AnglepointIBM Licensing for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。また、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからServiceNowインスタンスにIBMソフトウェアディスカバリーカタログをアップロードする必要があります。

認可済みソフトウェア資産管理プロバイダーの統合のために、ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスを要求します

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM を認定ソフトウェア資産管理プロバイダーと統合できるように、ソフトウェア資産管理アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスをServiceNow® Storeから要求します。統合を使用して、 IBM ライセンスを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「`IBM License Compliance for Software Asset Management`」と入力し、「検索」を選択します。
4. [**IBM License Compliance for Software Asset Management**] という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理ライセンスコンプライアンスのIBM]ページで、[インストールの要求]を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow[アプリのインストールを要求 - ソフトウェア資産管理のライセンスコンプライアンス**IBM]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

ソフトウェア資産管理アプリケーションの IBM ライセンスコンプライアンスによって追加されたライセンスメトリクス

IBM License Compliance for ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、IBMソフトウェア製品を分類できるようにするライセンスメトリクスを追加します。

これらの追加のライセンスのメトリクスは、ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM をアクティブ化し、ソフトウェア資産管理 アプリケーションの IBM License Compliance をインストールした場合にのみ使用できます。IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックのみをアクティブ化している場合は使用できません。

ライセンス・メトリックを使用して、ご使用の環境で検出されたソフトウェア製品を調整することもできます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Adobe や Microsoft のメトリクスグループなど、パブリッシャー固有のメトリクスグループを使用して、サポートされているソフトウェアパブリッシャーのデフォルトのライセンスメトリクスを自動的に追加します。これらのライセンスの測定基準は、対応するソフトウェアエンタイトルメントに設定され、調整に使用されます。既存の評価指標グループに含まれていない追加のライセンス評価指標は、調整に使用するためにカスタムライセンス評価指標として追加する必要があります。カスタムライセンスのメトリクスは、サポートされているライセンスのメトリクスのデフォルトリストにまだ含まれていないソフトウェアライセンス計算を追加することで、調整プロセスを変更します。

デフォルトでは、 IBM 評価指標グループには、 IBM 調整のための次のライセンス評価指標が含まれています。

- 認定ユーザー
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- デバイスあたり
- 指名ユーザーあたり
- プロセッサーあたり (CPU カウント)
- ユーザーごと
- プロセッサーバリューユニット (PVU)
- リソース値単位 (RVU)
- 仮想プロセッサコア (VPC)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスによって追加される他のすべてのライセンスメトリクスは、IBMメトリクスグループには含まれません。これらのライセンスのメトリクスのいずれかを使用して IBM ソフトウェア製品を調整する場合は、対応するカスタムライセンスのメトリクスを ServiceNow インスタンスに作成する必要があります。カスタムライセンスのメトリクスの作成方法の詳細については、 カスタムライセンスの測定基準の追加 を参照してください。

ソフトウェア資産管理アプリケーションの**AnglepointIBM**ライセンスを要求します

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM を Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow® StoreからAnglepointソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスを要求します。このアプリケーションは、基本ソフトウェア資産管理のファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを拡張して、AnglepointからIBMソフトウェア情報を保存できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
IBM Licensing for ソフトウェア資産管理 アプリケーションには、ベースとなるファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルを次のように拡張するテーブルディクショナリが含まれています。

ベーステーブル	拡張されたテーブル
ファイル名 [samp_file_name]	Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
ファイルマップ [samp_file_map]	Anglepoint ファイルマップ [samp_anglepoint_file_map]
ファイルセット [samp_file_set]	Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

拡張テーブルには、Anglepoint によって管理されているIBMソフトウェアディスカバリーカタログからのソフトウェア情報が保存されます。このソフトウェア情報をこれらのテーブルに追加するには、Anglepoint Elevate プラットフォームからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードし、ServiceNowインスタンスにアップロードします。ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールは、このソフトウェア情報を使用して、ご使用の環境で検出されたIBMソフトウェアを識別できます。IBMソフトウェアディスカバリーカタログの詳細については、「IBMソフトウェアディスカバリーカタログをServiceNowインスタンスにアップロードします」を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 `IBM Licensing for Software Asset Management` 」と入力し、[検索] を選択します。
4. IBM **Licensing for Software Asset Management** という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 のライセンスIBM] ページで、[インストールの要求] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - IBM Licensing for ソフトウェア資産管理] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ServiceNow[アプリのインストールを要求 - ソフトウェア資産管理のライセンス**IBM]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

IBMソフトウェアディスカバリーカタログを**ServiceNow**インスタンスにアップロードします

IBMソフトウェアディスカバリーカタログをServiceNowインスタンスにアップロードして、ServiceNow® ディスカバリーアプリケーションなどのディスカバリーツールが、環境内で検出されたIBMソフトウェアを識別できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
IBMソフトウェアディスカバリーカタログは、検出されたIBMソフトウェアを識別するためにディスカバリーツールが使用できるIBMソフトウェア情報の一元化されたリポジトリです。このカタログは、認定された各 ソフトウェア資産管理 プロバイダーによって個別に管理されます。

手順
1. 統合する認定ソフトウェア資産管理プロバイダーからIBMソフトウェアディスカバリーカタログをダウンロードします。
2. カタログを ServiceNow インスタンスにアップロードします。

   a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > **IBM** コンテンツのインポート.

   b. [ソフトウェアライブラリーの管理] フォームで、[コンテンツファイルを添付] を選択します。[添付ファイル] ダイアログボックスが開きます。

   c. ダイアログボックスで、[検索するファイルを選択]を選択し、Anglepoint Elevateプラットフォームからダウンロードした IBMソフトウェア検出カタログを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. ダイアログボックスを閉じて、[ソフトウェアライブラリーの管理] フォームに戻ります。

e. [インポート実行] を選択します。

タスクの結果
Anglepoint と統合する場合、カタログに含まれるすべてのIBMソフトウェア情報は、次のソフトウェア資産管理テーブルに保管されます。

- Anglepoint ファイル名 [samp_anglepoint_file_name]
- Anglepoint ファイルマップ [samp_anglepoint_file_map]
- Anglepoint ファイルセット [samp_anglepoint_file_set]

注: これらのテーブルは、基本のファイル名 [samp_file_name]、ファイルマップ [samp_file_map]、およびファイルセット [samp_file_set] テーブルの拡張です。ベーステーブルを拡張するには、 AnglepointIBM Licensing for ソフトウェア資産管理 アプリケーションを要求してインストールする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理アプリケーションのAnglepointIBMライセンスを要求します」を参照してください。

Anglepoint 統合のための接続の作成

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for IBM を Anglepoint と統合する場合は、ServiceNow インスタンスと Anglepoint Elevate プラットフォームの間に接続を作成して、IBMソフトウェア製品のライセンスデータを転送できます。

Anglepoint 統合のための API ユーザーの作成

Anglepoint 統合で使用される API へのアクセスを許可されるユーザーを作成します。これらの API は、ServiceNow インスタンスで利用可能な Anglepoint 統合リソースへの指定されたユーザーアクセスを提供します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Anglepoint統合では、次の API を使用します。

Anglepoint 統合 API

API	API パス	説明
変換 (POST)	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/transform	インストール済みの IBM ソフトウェアの情報を処理します。
コンピューターを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/computer	IBM ソフトウェアがインストールされている仮想マシン (VM) とホストに関する情報を取得します。
エンタイトルメントを取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/entitlement	インストールされている IBM ソフトウェアのエンタイトルメント情報を取得します。
分類を取得	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を取得します。
事後分類	/api/sn_samp_ibm_lic/ibm_data/classification	インストールされている IBM ソフトウェアの分類情報を送信します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 組織 > ユーザー をクリックし、[新規] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

ユーザーフォーム

フィールド	説明
ユーザー ID	ユーザーの一意の識別子。
名	ユーザーの名前 (名)。
姓	ユーザーの名前 (姓)。
タイトル	ユーザーの役職またはジョブの説明。
部門	ユーザーが所属する部門。
パスワードのリセットを強制	初回ログイン時に割り当てられたパスワードの変更をユーザーに要求するオプション。 注: このオプションは無効にする必要があります。
ロックアウト	ユーザーを ServiceNow インスタンスからロックアウトし、すべてのアクティブなセッションを終了するオプション。
アクティブ	ユーザーがアクティブであることを示すオプション。 注: このオプションを有効にする必要があります。
Web サービスへのアクセスのみ	ユーザーを非インタラクティブユーザーとして指定するオプション。非インタラクティブユーザーは、JSON、SOAP、WSDL などの API 接続を許可するために、アサインされた認証情報のみを使用できます。非 対話型ユーザーの詳細については、「非対話型セッション」を参照してください。 注: このオプションを有効にする必要があります。
内部統合ユーザー	ユーザーを内部統合ユーザーとして指定するオプション。内部統合ユーザー の詳細については、「サービスアカウントを内部統合ユーザーとしてマークする」を参照してください。
メール	ユーザーのメールアドレス。
言語	ユーザーの言語設定。
カレンダー同期	ユーザーが会議の招待と通知を受け取るときに使用するカレンダー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
日付形式	ユーザーが優先する日付形式。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
電話 (勤務先)	ユーザーにアサインされている勤務先電話番号。
携帯電話	ユーザーに割り当てられている携帯電話番号。
写真	ユーザーの写真。

3. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。
フォームが自動的に再ロードされ、追加のフォームアクション、関連リンク、および関連タブが表示されます。
4. ユーザーのパスワードを生成します。
   a. [パスワードを設定] を選択します。
   [パスワードの設定] ダイアログボックスが開きます。
   b. ダイアログボックスで、[生成]を選択します。
   ServiceNowインスタンスは、ユーザーのパスワードを自動的に生成します。
   c. [パスワード] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
   d. **[Save Password** (パスワードを保存)] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、自動的にユーザーフォームに戻ります。
5. ユーザーにロールをアサインします。
   a. [ロール] 関連タブで、[編集...] を選択します。
   b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストから、次のロールを検索して選択します。
      - snc_platform_rest_api_access
      - oauth_user
      - sn_samp_ibm_lic.sam_ibm_data_integrator
   c. [追加] ボタン ( ) を選択して、選択したロールを [コレクション] リストから [ロールリスト] に移動します。
   d. [保存] を選択します。
   [メンバーの編集] フォームが閉じ、自動的に [ユーザー] フォームに戻ります。
   e. 選択したすべてのロールが [ロール] 関連タブに表示されていることを確認します。

Anglepoint 統合のための API 認証方法の構成

ServiceNow インスタンスの Anglepoint 統合リソースへのアクセスをユーザーに許可する API 認証方法を設定できます。

Anglepoint 統合で使用される API は、ベーシック認証と OAuth 2.0 認証の両方をサポートしています。ベーシック認証では、標準のユーザー名とパスワードを使用して、 ServiceNow インスタンスのリソースへのアクセス権をユーザーに付与します。OAuth 2.0 認証では、OAuth トークンを使用

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

して、これらのリソースへのアクセス権をユーザーに付与します。ベーシック認証を構成するには、「ベーシック認証を使用した REST メッセージの構成」または「送信 SOAP のベーシック認証の有効化」を参照してください。OAuth 2.0 認証を構成するには、「Anglepoint 統合のための OAuth 2.0 認証の構成」を参照してください。

Anglepoint 統合のための OAuth 2.0 認証の構成

OAuth 2.0 認証を構成して、ユーザーが OAuth トークンを使用して API を介して Anglepoint 統合リソースにアクセスできるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、OAuth API エンドポイントを作成します。

   Anglepoint Elevate プラットフォームは、OAuth API エンドポイントを使用して、ServiceNow インスタンス上の Anglepoint 統合リソースへのアクセスを許可する OAuth トークンを要求します。

   OAuth API エンドポイントの作成方法については、「クライアントがインスタンスにアクセスするためのエンドポイントの作成」を参照してください。

   > **重要:** OAuth API エンドポイントを正常に作成したら、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。

2. Anglepoint Elevate プラットフォームから、ServiceNow インスタンスへの API 接続を作成します。

   API 接続を使用すると、 Anglepoint Elevate プラットフォームと ServiceNow インスタンス間でデータを安全に転送できます。

タスクの結果
<c0/> Elevate プラットフォームは、HTTP Post 要求を使用して、API 接続に指定した認証情報を `https://<servicenow-instance-url>.service-now.com/oauth_token.do` に送信します。AnglepointServiceNow インスタンスは、OAuth トークンを生成し、それを Anglepoint Elevate プラットフォームに送信することで、要求に応答します。Anglepoint Elevate プラットフォームは、これらのトークンを使用して、ServiceNow インスタンス上の Anglepoint 統合リソースにアクセスするための API 要求を行うことができます。

IBMソフトウェア製品のピーク使用量を毎日集計して表示します

各製品のエディション、ライセンスメトリクス、および地域に基づいて、 IBM ソフトウェア製品のプロセッサーバリューユニット (PVU)、リソースバリューユニット (RVU)、および仮想プロセッサーコア (VPC) の使用率の最大日次サブキャパシティとフルキャパシティーを表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 毎日集計されるピーク使用量.
4. 対応する [日付] フィールドの値を選択して、特定の IBM ソフトウェア製品の追加の使用状況の詳細を表示します。

IBMソフトウェア製品の日次使用量が最も多いデバイスを表示する

各製品のエディションとライセンスメトリクスの両方に基づいて、 IBM ソフトウェア製品の 1 日あたりの最高使用量のブレークダウンを物理ホスト別に表示します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 最高水位標の使用量.
4. IBMソフトウェア製品の日次使用量が最も多い物理ホストのリストを表示します。

IBMコンポーネントの製品分類の表示

ご使用の環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。これらの製品分類により、 IBM コンポーネントのライセンスを追跡および管理できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > 製品分類.
4. ご使用の環境にインストールされているすべての IBM コンポーネントの製品分類を表示します。各製品分類には、分類された製品、製品エディション、製品バージョン、および割り当てられたライセンスの測定基準が含まれます。

IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャーを指定します

IBMライセンスを追跡する仮想マシン (VM) マネージャー (VMware vCenter Server や IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) など) を指定します。これらの指定された VM マネージャー内でのみ検出された IBM ソフトウェアのライセンスを追跡できます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > スキャンするデバイス.
4. [新規] を選択します。
5. 「 IBM ライセンス VM マネージャー」フォームで、フィールドに入力します。

IBM [VM マネージャーのライセンス交付] フォーム

フィールド	説明
VM マネージャー	IBMライセンスを追跡する VM マネージャー。
タイプ	VM マネージャーのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ **vCenter** ◦ **ESX** サーバー ◦ **HMC** ◦ すべての **AIX** サーバー

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

IBMソフトウェアインストールの重複排除

IBMライセンスを追跡および管理するために、IBMパブリッシャーパックを認定ソフトウェア資産管理プロバイダー、IBM License Metric Tool (ILMT)、または BigFix Inventory と統合できます。認定ソフトウェア資産管理 プロバイダー統合と、ILMT または BigFix インベントリ統合のいずれかを切り替える場合は、エディション、バージョン、言語が同じであるが、異なるソースから検出されたソフトウェアインストールの重複を排除できます。

Anglepoint や ILMT などの複数のソースを通じて同じIBMソフトウェアインストールを検出した場合、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、そのソフトウェアインストールの検出ごとに個別のソフトウェアインストールレコードを作成します。これらの重複するソフトウェアインストールレコードを解決するには、 *SAM - Deduplicate Install Table* スケジュール済みジョブを実行します。これにより、重複するソフトウェアインストールレコードが 1 つだけアクティブとしてマークされ、調整に含まれるようになります。重複排除の詳細については、「 ソフトウェアインストールテーブルで重複するソフトウェアインストールを解決 」を参照してください。

デフォルトでは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ILMT または BigFix Inventory を介して検出された IBM ソフトウェアインストールを優先します。*SAM - Deduplicate Install Table*スケジュール済みジョブを実行すると、ILMT または BigFix インベントリを介して検出されたすべてのIBMソフトウェアインストールのレコードはアクティブとしてマークされ、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。IBM ソフトウェアのインストールが認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを介してのみ検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

代わりに、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを通じて検出されたIBMソフトウェアインストールを優先するには、次の場所に移動して、[**IBM** ライセンスコンプライアンスに **Servicenow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーを使用する] プロパティ (*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing*) の値を更新します すべて > システムプロパティ > すべてのプロパティ. 利用可能なシステムプロパティのリストから、*com.snc.samp.ibm.use_samp_ibm_licensing* プロパティを検索して選択します。システム プロパティ レコードが開いたら、 値 フィールドを `true` に設定し、 更新 を選択します。その後、*SAM - Deduplicate Install Table*スケジュール済みジョブを実行するたびに、認定ソフトウェア資産管理プロバイダーを通じて検出されたすべてのIBMソフトウェアインストールのレコードはアクティブとしてマークされ、ILMT または BigFix インベントリを介して検出された同じソフトウェアインストールのレコードは非アクティブとしてマークされます。IBM ソフトウェアのインストールが

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ILMT または BigFix インベントリを介してのみ検出された場合、対応するレコードはアクティブとしてマークされます。

注: **[IBM** ライセンスコンプライアンス用の **Servicenow** ソフトウェア資産管理およびディスカバリーの使用] プロパティは、ドメインセパレーションをサポートしています。

特定のドメインの **IBM** 調整を有効にする

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM と認定ソフトウェア資産管理プロバイダー間の統合にドメインセパレーションを使用している場合は、特定のドメインに対してのみIBM調整を有効にします。

始める前に
必要なロール:asset または domain_admin

手順

1. ドメイン資産プロセス設定 [alm_domain_asset_process_setting] テーブルを開くには、次の場所に移動します。 すべて > **alm_domain_asset_process_setting_list.do**.
2. 調整を有効にするドメインの [資産プロセスを実行] フィールドをダブルクリックします。
3. プロンプトが表示されたら、値を **true** に設定し、[保存] アイコン ( ) を選択します。
4. 調整を有効にするドメインごとに手順 2 と 3 を繰り返します。

重要: 親ドメインと子ドメインの両方がある場合は、親ドメインまたは子ドメインのいずれかの調整を有効にすることができます。親ドメインと子ドメインの両方で調整を有効にすることはできません。

IBM ホストのメタデータの確認

IBM ライセンス計算の精度を向上させるには、IBM ソフトウェアがインストールされている物理ホストのメタデータを確認します。正しくないメタデータや古いメタデータがあれば更新します。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. [ライセンス操作] ビューを開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 **IBM ASP** 統合 > デバイス設定.
4. 利用可能なすべてのホストのメタデータを確認します。
5. 次のメタデータのいずれかが正しくない場合は、更新してください。
   - Core ごとの IBM PVU
   - 地域

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** 物理ホストのリージョンメタデータが空の場合、 **IBM** デバイスのデフォルトリージョン (*sn_samp_ibm_lic.default_region*) ソフトウェア資産管理 プロパティにより、それらのホストがデフォルトのリージョンに自動的に関連付けられます。デフォルトでは、このシステムプロパティは [北米] と [南米] に設定されています。ただし、このシステムプロパティを [ヨーロッパとアフリカ] または [アジアとオーストラリア] に設定することもできます。ライセンス使用量は、地域に関連付けられている物理ホストについてのみ計算できます。このプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ 」を参照してください。

- 使用タイプ

> **注:** デバイス、PVU コメント、および IBM PVU マッピングメタデータを更新することはできません。

a. 正しくないメタデータフィールドの値をダブルクリックします。

b. プロンプトが表示されたら、正しい値を入力または選択し、[保存] アイコン ( ) を選択します。
メタデータフィールドが正しい値で更新されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**IBM**のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、IBMに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

> **注:** IBMダッシュボードタブを表示するには、アドオンIBMパブリッシャーパック (com.sn_samp_ibm) プラグインをインストールする必要があります。
>
> コンプライアンス情報を表示するには、IBM License Metric Tool (ILMT) 統合をセットアップする必要があります。

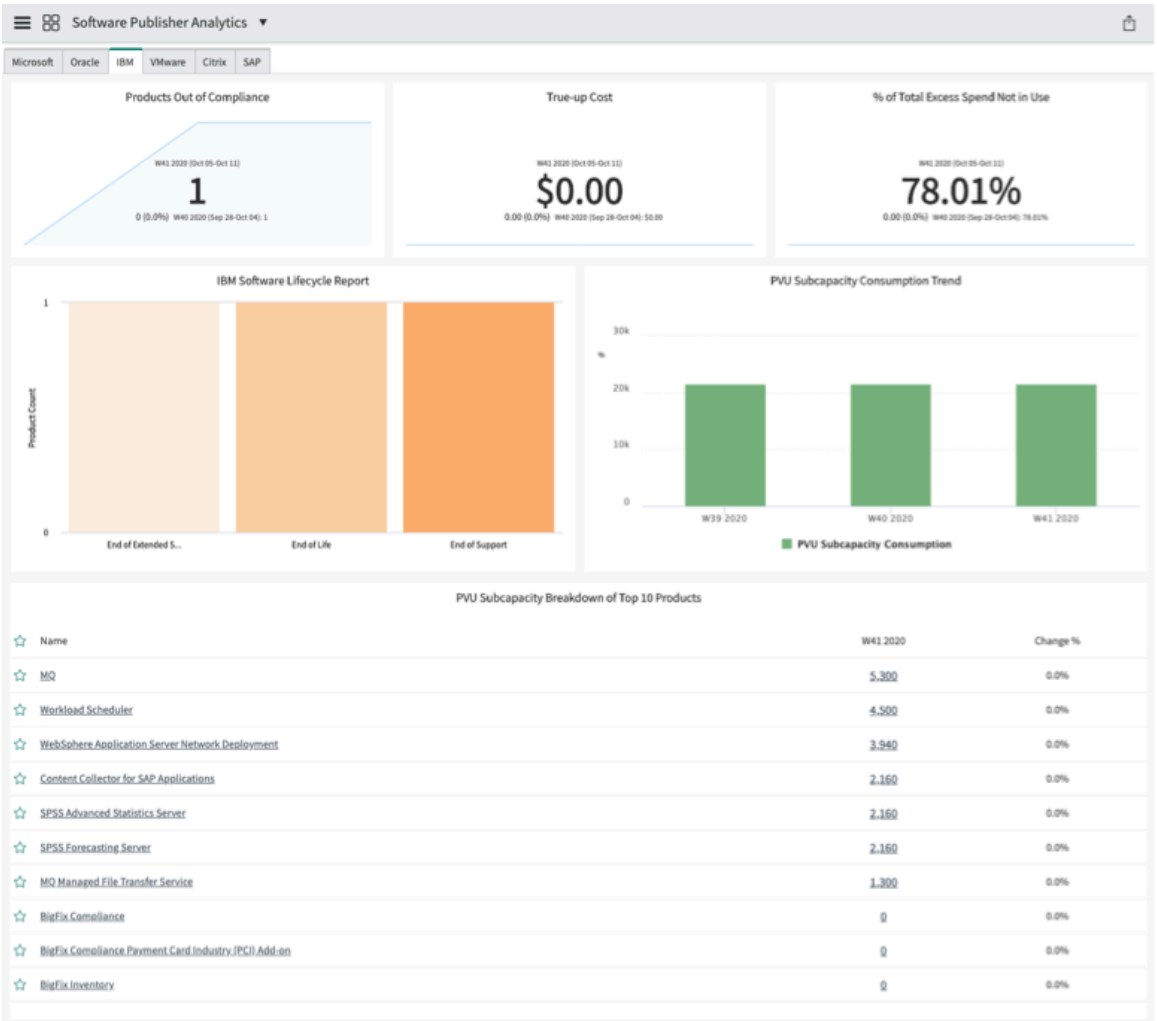
結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

IBM ダッシュボード

IBM 公開者パックを使用してIBMソフトウェアを管理できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



IBM タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果 [samp_product_result]	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果 [samp_product_result]	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
使用されていない超過支出の合計の割合	ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license]	ライセンスされた合計金額に対するライセンス供与過剰金額の合計。
PVU サブキャパシティ消費傾向	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	すべての製品のピーク消費量の合計の経時的な比較。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM タブ (続く)

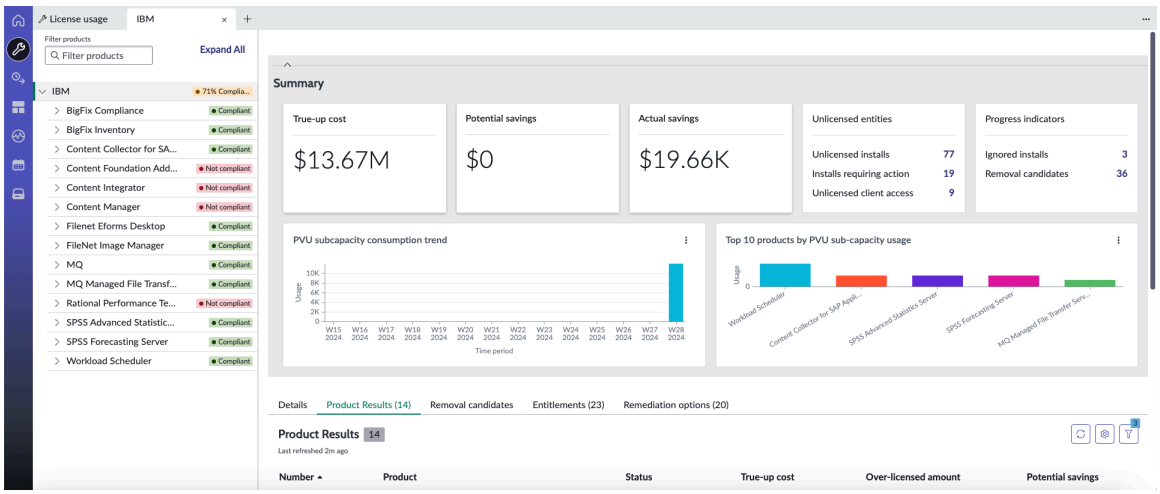
レポート	ソースリスト	説明
IBM ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]	拡張サポートの終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアライフサイクルの各フェーズの製品数。
上位 10 製品の PVU サブキャパシティブレークダウン	IBM ピーク消費 [samp_ilmt_sw_install]	上位 10 IBM 製品のピーク PVU 使用率。

の IBM のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内のIBMの公開者の概要で、IBMに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して IBM 公開者の概要にアクセスします。ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから **[IBM**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 IBM 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

IBM 概要

レポート	説明
調整コスト	IBMソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	IBMライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	IBMライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

IBM 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの IBM ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある IBM ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない IBM クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない IBM クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された IBM ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された IBM ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:IBM削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。
PVU サブキャパシティ消費の傾向	すべての IBM ソフトウェア製品のピーク消費量総計の経時的な比較。
PVU サブキャパシティ使用率の上位 10 製品	上位 10 件の IBM ソフトウェア製品のピーク PVU 使用率。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

Red Hat Enterprise Linux のソフトウェア資産管理

IBM 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックを使用して、Red Hat Enterprise Linux Server製品のライセンスポジションを追跡および最適化します。

に必要なプラグインとアプリケーション **Red Hat Enterprise Linux**

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品のライセンスを管理するには、Now Support サービスポータルから ソフトウェア資産管理プロ for IBM プラグイン (com.sn_samp_ibm) を要求してアクティブ化します。このプラグインを要求してアクティブ化する方法の詳細については、ソフトウェア資産管理 を要求する を参照してください。

また、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションには、ServiceNowインスタンスにRHELデータを保存するテーブルが含まれており、RHEL調整に必要です。

ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションは、Red Hat Virtualization (RHV) ディスカバリーパターンを使用して RHV コンポーネントを検索します。これらのリソースのディスカバリーを有効にするには、ServiceNow Store から ディスカバリーとサービスマッピングパターン アプリケーションをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートされているライセンスタイプ

IBMパブリッシャーパックは、Red Hat Enterprise Linux ServerとRed Hat Enterprise Linux for Virtual Datacentersの両方のライセンスをサポートしています。サポートされているライセンスの測定基準は、ソケットペアベースとコアベースです。

Red Hat Enterprise Linux ソケットペアベースのライセンス

物理ホスト上のソケットペアまたは仮想マシン (VM) ペアの数に基づく RHEL Server ライセンスを使用して、 RHEL 製品のライセンスを管理します。

ソケットペアベースのライセンスモデルの概要

Red Hat Enterprise Linux Server

Red Hat Enterprise Linux Server 物理環境、仮想環境、およびハイブリッド環境での Linux 配布を可能にします。RHELライセンスは低密度と高密度の両方の仮想環境で使用できますが、低密度の仮想環境の方がコスト効率が高くなります。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、ソフトウェア資産管理のプロパティで定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのしきい値と比較します。値がしきい値よりも小さい場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

> 注: **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** のライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格設定が含まれている場合は、 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割ることで、この値を計算できます。

RHEL は、サーバーを展開する環境に応じて異なるライセンスモデルを使用します。

RHEL ライセンスモデル

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
物理	物理ホストへの RHEL サーバーの展開。	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数に基づきます。たとえば、ソケットが 10 個の物理ホストには 5 つの RHEL Server ライセンスが必要です。 単一ソケットのホストには、個別にライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアの合計数に基づきます。たとえば、クラスタホスト A に 10 個のソケットがあり、クラスタホスト B に 20 個のソケットがある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 15 個の RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。
仮想 (低密度および高密度)	物理ホストで実行されている VM への RHEL サー	ライセンス交付は、物理ホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づきます。たとえば、 RHEL サーバーを実行している 6 台の VM を持つ物理ホストには、3 つの RHEL Server ライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上の VM ペアの合計数に基づきます。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 個の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 個の VM がある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 15 個の RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RHEL ライセンスモデル (続く)

環境	説明	ライセンスモデル	クラスターライセンスモデル
	バーの展開。	RHEL サーバーを実行している単一の VM には、個別にライセンスを付与する必要があります。	
ハイブリッド	物理ホストとそれらのホストで実行されている VM への RHEL サーバーの展開。	ライセンスは、物理ホスト上のソケットペアの数と、同じホスト上でサーバーを実行している VM ペアの数に基づきます。たとえば、10 ソケットの物理ホストで RHEL サーバーを実行し、そのホストで実行されている 20 台の VM でも実行できます。この例では、ホストには合計 15 の RHEL Server ライセンスが必要です。	ライセンスは、クラスタ内の物理ホスト上のソケットペアと VM ペアの合計数に基づきます。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 個のソケットと 10 個の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 個のソケットと 20 個の VM がある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 30 個の RHEL Server ライセンスを使用する必要があります。

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters

Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters は、 Red Hat 仮想化や VMware などのハイパーバイザーを使用して、低密度と高密度の両方の仮想環境で Linux 配布を可能にします。 RHEL for Virtual Datacenters ライセンスは、高密度の仮想環境の方がコスト効率に優れています。

仮想環境が低密度か高密度かを判断するには、必要な RHEL Server ライセンスの数を必要な RHEL for Virtual Datacenters ライセンスの数で割ります。この値を、ソフトウェア資産管理のプロパティで定義した **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** ライセンスコスト最適化しきい値フィールドのしきい値と比較します。値がしきい値よりも小さい場合、仮想環境は低密度と見なされます。値がしきい値以上の場合、仮想環境は高密度と見なされます。

注: **Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters** のライセンスコスト最適化しきい値フィールドのデフォルト値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格設定が含まれている場合は、 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割ることで、この値を計算できます。

RHEL for Virtual Datacenters ライセンスは、VM を実行している物理ホスト上のソケットペアの数に基づきます。このライセンスの種類では、物理ホストからアクセスできる VM の数に制限がないため、 RHEL for Virtual Datacenters サーバーを実行している VM にライセンスを付与する必要はありません。単一ソケットのホストには、個別にライセンスが必要です。

クラスタ内の VM に RHEL for Virtual Datacenters サーバを展開する場合、ライセンスは、それらの VM を実行しているすべてのホストのソケット ペアの合計数に基づきます。物理ホストからアクセスできる VM の数に制限はないため、クラスター内でサーバーを実行している VM の合計数に基づいてクラスターにライセンスを付与する必要はありません。たとえば、クラスタ ホスト A に 10 個のソケットと 20 個の VM があり、クラスタ ホスト B に 20 個のソケットと 60 個の VM がある場合、クラスタ全体のライセンスを取得するには 15 個の RHEL for Virtual Datacenters ライセンスを使用する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンス消費注文

RHEL ServerライセンスとRHEL for Virtual Datacentersライセンスの両方をお持ちの場合は、次の順序で使用します。

1. RHEL for Virtual Datacenters ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
2. RHEL Server ライセンスが割り当てられている物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
3. RHEL for Virtual Datacenters 高密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
4. RHEL Server 低密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。
5. RHEL Server 高密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。このライセンスタイプは、高密度の仮想環境で RHEL for Virtual Datacenters ライセンスを使い果たした場合にのみ使用してください。
6. RHEL for Virtual Datacenters 低密度仮想環境の物理ホスト、VM、またはクラスターのライセンス。このライセンスタイプは、低密度の仮想環境で RHEL Server ライセンスを使い果たした場合にのみ使用してください。

Red Hat Enterprise Linux コアベースのライセンス

コアあたりの RHEL ライセンス測定基準を使用して、物理環境と仮想環境の両方でコアベースの RHEL 製品にライセンスを付与します。

コアあたりのライセンスモデルの概要

コア単位のライセンスモデルでソフトウェア製品にライセンスを付与するには、各サーバーに適切な数のコアライセンスを割り当てる必要があります。必要なコア ライセンスの数は、ライセンスが物理サーバーであるか、個々の仮想オペレーティング システム環境 (OSE) であるかによって異なります。

Per Core モデルでのライセンスには、次の利点があります。

- Red Hat製品のコアパックを追跡します。
- ライセンスパックあたりの権利数と Red Hat コアベースのエンタイトルメントのパック数でエンタイトルメントをインポートします。
- ライセンスパックごとの権利数と、 Red Hat コアベースの製品のパック数を顧客が入力できるようにします。
- ライセンスパックあたりの権利数にパック数を掛けた値に基づいて、購入した権利を計算します。
- コアベースの製品の調整に基づいて割り当てを作成および削除 Red Hat 。

割り当ては、仮想マシン (VM) に適用することも、ホストにのみ適用することもできます。このメトリクスは、各マシンの物理コアと仮想コアの計算を実行し、使用されている権限の数に基づいて最適なライセンスモデルを提示します。

合計ライセンス要件の計算

合計ライセンス要件は、物理ホストレベルで計算されます。次の表に、合計ライセンス要件のさまざまな使用例を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計ライセンス要件の計算

環境	Description (説明)	ライセンス要件
物理	物理マシンへの RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、マシン上の物理コアの合計数に基づきます。合計数は、ソケット数にソケットあたりのコア数を掛けることで見つけることができます。 たとえば、物理マシンに 2 つのソケットがあり、ソケットごとに 8 つのコアがあるとします。2 に 8 を掛けると、物理コアの合計数は 16 になります。`2*8 = 16` したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。
仮想	物理ホスト上で実行される VM への RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、物理ホスト上でサーバーを実行する VM に割り当てられたコアの合計数に基づきます。この数は、物理ホストの最大容量に制限されます。 たとえば、物理ホストにソケットあたり 8 コアのソケットが 2 つあり、VM あたり 2 コアの 6 つの VM があるとします。各 VM には、 RHEL コアベースの製品がインストールされています。この場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と仮想マシンに割り当てられたハイパースレッド化されていない物理コアの数の間の最小値に等しくなります。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると 16 コアになり、6 台の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 12 コアになります。この 2 つの間の最小値は 12 コアです。最小 `(2*8 = 16, 2*6 = 12)` したがって、必要な権限の総数は 12 コアです。
ハイブリッド	物理ホストとそれらの物理ホスト上で実行される VM への RHEL コアベースの製品の展開。	ライセンスは、 RHEL コアベースのアプリケーションがインストールされている物理コアの数に基づきます。 たとえば、物理ホストにはソケットあたり 8 コアのソケットが 2 つあり、VM ごとに 2 コアの VM が 20 台あるとします。RHEL コアベースの製品が物理ホストと 20 台の VM すべてにインストールされます。こ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

合計ライセンス要件の計算 (続く)

環境	Description (説明)	ライセンス要件
		の場合、必要な権限の数は、物理ホストの物理コア容量と、物理ホストの数に追加された VM に割り当てられたハイパースレッド化されていない物理コアの数の間の最小値です。2 ソケットにソケットあたり 8 コアを掛けると、16 コアになります。次に、2 コアに 8 コアを掛けると 16 コアになり、20 個の VM に VM あたり 2 コアを掛けると 40 コアになります。16 コアを 40 コアに追加すると、56 コアになります。この 2 つの間の最小値は 16 コアです。最小値 `((2*8) = 16, (2*8 + 2*20) = 56)` したがって、必要な権限の総数は 16 コアです。

Red Hat Enterprise Linux エンタイトルメント

ソフトウェアエンタイトルメントは、 Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品のライセンスの詳細を定義します。個々のエンタイトルメントを作成することも、スプレッドシートからエンタイトルメントのリストをインポートすることもできます。

重要: ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方でエンタイトルメントを作成およびインポートできます。次のセクションでは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成およびインポートする方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースにエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

のエンタイトルメントの作成 **Red Hat Enterprise Linux**

Red Hat Enterprise Linux (RHEL) 製品の個々のソフトウェアエンタイトルメントを作成します。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

重要: エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでエンタイトルメントを作成する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	値
表示名	ソフトウェアエンタイトルメントの名前。このフィールドは、[**Asset tag**] フィールドと **[Software model**] フィールドに基づいて自動的に設定されます。
資産タグ	資産の識別と追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	エンタイトルメントのパブリッシャーの品番 (PPN)。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントを持つソフトウェアモデル。
合意タイプ	ライセンス契約のタイプ。可能な値は次のとおりです。 ◦ 汎用 ◦ エンタープライズライセンス契約 (ELA)
ライセンスタイプ	ライセンスのタイプ。このフィールドを [サブスクリプション] に設定します。
サブスクリプション期間	サブスクリプションが有効な期間。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプションが開始される日付。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプションの有効期限が切れる日付。サブスクリプションの有効期限が切れていない場合は、日付を選択しないでください。このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [サブスクリプション] が選択されている場合にのみ表示されます。
評価指標グループ	事前定義されたソフトウェア計算が割り当てられているソフトウェア公開者またはソフトウェアバンドル。**[Red Hat]** を選択します。
ライセンスの測定基準	評価指標グループに割り当てられた事前定義されたソフトウェア計算のグループ。 ソフトウェア資産管理 は、調整中にライセンスメトリクスを使用して、特定のソフトウェア製品セットの権限を計算します。ライセンスのメトリクスオプションは、[評価指標グループ] リストから選択したソフトウェア公開者またはソフトウェアバンドルに基づいています。可能な値は次のとおりです。 ◦ ソケットペアごと ◦ コアあたり
ライセンスパックごとの権利	Red Hat用に購入した各パックに関連付けられた権限の合計数。このフィールドは、[ライセンスのメトリクス] フィールドで [コアごと] が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
購入済みの権限	購入した権限の合計数。
アクティブな権限	ユーザーまたはデバイスに割り当てることができる権限の合計数。このフィールドは自動的に設定されます。
利用可能な割り当て	ユーザーまたはデバイスにまだ割り当てていないアクティブな権限の数。このフィールドは自動的に設定されます。
単位コスト	各ソフトウェア権限のコスト。
トータルコスト	購入した権限の合計コスト。このフィールドは、[購入済みの権限] フィールドと [単位コスト] フィールドに基づいて自動的に設定されます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

のエンタイトルメントをインポート **Red Hat Enterprise Linux**

スプレッドシートから Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ソフトウェアエンタイトルメントのリストをインポートします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

> **重要:** ソフトウェアエンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方でインポートできます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースにソフトウェアエンタイトルメントをインポートする方法の詳細については、「ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

手順

1. ソフトウェアエンタイトルメントインポート用のスプレッドシートテンプレートをダウンロードします。

   a. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターに、「 `samp_bulk_import_list.do`」と入力します。[エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。

   c. [新規] を選択します。

   d. [エンタイトルメントのインポート] フォームで、[テンプレートのダウンロード] を選択します。

2. インポートするすべてのソフトウェアエンタイトルメントをスプレッドシートに入力します。
3. ソフトウェアエンタイトルメントを ServiceNow インスタンスにインポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

b. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_bulk_import_list.do`」と入力します。
[エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。

c. [新規] を選択します。

d. フォームのフィールドに入力します。

[エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、[標準インポートドキュメント] と **[Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)]** です。このフィールドを [標準インポートドキュメント] に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[クリックして追加...] を選択し、 手順 2 で入力したのと同じスプレッドシートを検索して選択します。
Description (説明)	ソフトウェアエンタイトルメントのインポートの簡単な説明。

e. [インポート] を選択します。

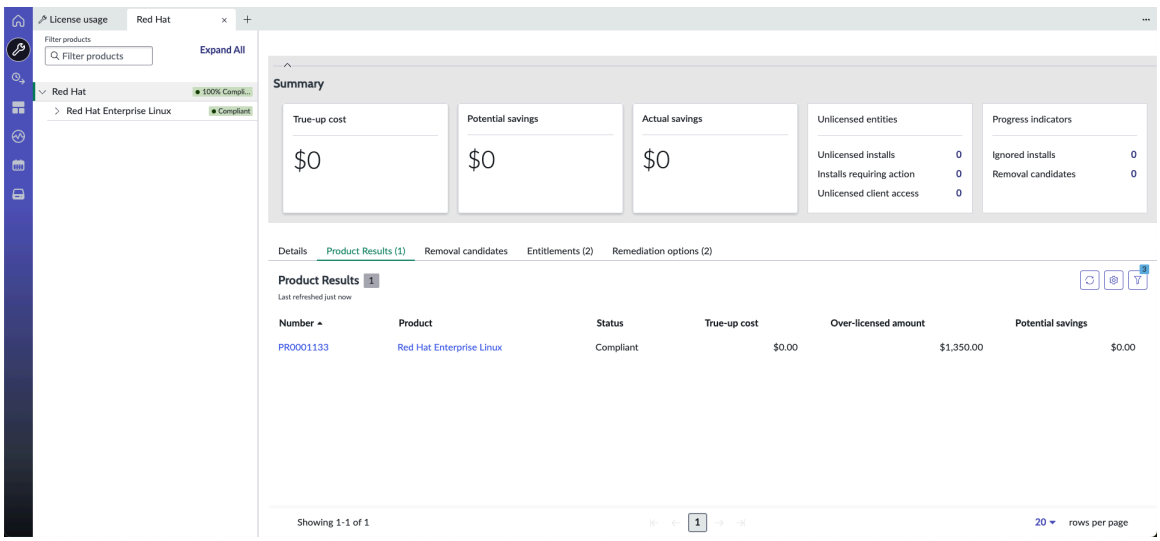
タスクの結果
すべてのソフトウェアエンタイトルメントが ServiceNow インスタンスにインポートされます。

の **Red Hat** のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内のRed Hatの公開者の概要で、Red Hat Enterprise Linux (RHEL) に関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Red Hat 公開者の概要にアクセスします。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから **Red Hat** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス使用状況情報の概要は、 Red Hat 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

Red Hat 概要

レポート	説明
調整コスト	RHELソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	RHELライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	RHELライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの RHEL ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある RHEL ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない RHEL クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない RHEL クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された RHEL ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された RHEL ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:RHEL削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Microsoft**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック Microsoft を使用し、Microsoftライセンスメトリクスを使用してライセンスコンプライアンス状況を追跡します。

注: 公開者パックを使用するには、 ソフトウェア資産管理 Professional for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft) を有効にします。

Microsoft は、データベースサーバーからサブスクリプションサービスまで、さまざまな製品を提供しています。各 Microsoft 製品は独自のライセンスモデルに従っているため、ライセンスコンプライアンス状況を追跡することが困難になる場合があります。ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for Microsoft を使用すると、Microsoft製品のライセンスコンプライアンス状況を正確に追跡できます。調整はコンプライアンス違反のライセンスを特定し、修復オプションのリストを提供します。詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

Microsoft ライセンス モデルの詳細については、「Microsoft ライセンス」を参照してください。

ネットワーク上のMicrosoftインストールを識別するようにServiceNow ディスカバリーを設定します。詳細については、「ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for Microsoft は、次のライセンスモデルをサポートしています。

- ユーザーごと
- デバイスごと
- コアあたり
- コアあたり (CAL を含む)
- ユーザー CAL
- デバイス CAL
- サーバー (インスタンスあたり)
- サーバー (サーバーあたり)
- プロセッサあたり
- ユーザーサブスクリプション
- ソフトウェア保証

詳細については、「サポートされている Microsoft ライセンスタイプ」を参照してください。

P+SA ライセンスタイプの PPN にバージョンが割り当てられていない場合、Microsoft ライセンスステートメント (MLS) からエンタイトルメントをインポートするときに、正確なバージョンのソフトウェアモデルが新しいエンタイトルメントに自動的に設定されます。この自動アクションは、Microsoft アシュアランスの特典をエンタイトルメントに正しく適用します。エンタイトルメントのアップグレード履歴の詳細については、次のサイトを参照してください ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ソフトウェアエンタイトルメント > アップグレード履歴.

*SAMP - Update generic PSA entitlements*修正スクリプトは、任意のバージョンを持つ既存の P+SA エンタイトルメントを特定のバージョンで自動的に更新し、適切なライセンス条項を適用します。

Microsoft 365 の統合

Microsoft 365 との統合を作成して、コンプライアンスのためにソフトウェアのインストールと比較されるサブスクリプション情報をダウンロードします。

Microsoft 365 は、 Microsoft Office 365、 Windows、Enterprise Mobility and Security (EMS) などのさまざまなサブスクリプションソフトウェアとサービスを含むソフトウェア製品スイートです。Microsoft 365 および EMS には、他にも多くの製品とサービスが含まれています。

Microsoft 365 アドミンセンターには、購入してアクティブ化できる他の多くの製品が含まれています。ただし、これらの製品の中には、Dynamics 365 や Visio Online など、 Microsoft 365 サブスクリプションに付属していないものもあります。

以下は、 Microsoft 365 サブスクリプションで利用できる製品とサービスの一部です。

- Microsoft 365
- Microsoft Exchange Online
- エンタープライズモビリティスイート
- Microsoft Office 365
- Microsoft SharePoint Online
- Microsoft Entra ID
- Microsoft Power BI
- Microsoft OneDrive

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Microsoft Teams
- Windows
- Microsoft Intune

SAM マネージャーは、 Microsoft 365 統合を使用して次のことを実行できます。

- Microsoft Office 365、Microsoft 365など、Microsoft 365 管理センターで購入したすべてのMicrosoft 365プランのユーザーサブスクリプション情報を取得します。
- ユーザーサブスクリプション、エンタイトルメント、ソフトウェアのインストールを調整することで、 Microsoft 365 サブスクリプションのライセンスコンプライアンスを判断します。
- アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションを、アクティビティの最終日別に表示します。
- Microsoft 365サブスクリプション内の個々のMicrosoft Office 365ソフトウェア製品のユーザーアクティビティを取得します。詳細については、「Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価」を参照してください。
- Microsoft 365 管理ポータルからデバイス固有のアクティベーション数の詳細を含むユーザーアクティビティを取得します。これは、少なくとも 1 つのデバイスでMicrosoftサブスクリプションをアクティブ化したユーザーを特定するのに役立ちます。アクティベーション数は、SAM マネージャーがデスクトップとデバイスの両方でアクティベーションの合計数を正確に判断するのにも役立ちます。
- Microsoft 365サブスクリプションの自動化された最適化の推奨事項とワークフローを取得します。
- 推奨事項に基づいて行動しながら、見込まれる節減額を判断します。
- ソフトウェア資産ワークスペースの [最適化と節減額] ダッシュボードで、Microsoft 365 ポータルのサブスクリプションの詳細から利用可能なライセンスを見つけます。詳細については、「ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード」を参照してください。

ソフトウェアサブスクリプションに関連するコンテンツにアクセスするには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > 概要.

- **Office 365** と **Adobe Cloud** (SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード のソフトウェア資産分析ビュー)
- [ソフトウェアモデル] には、 サブスクリプション製品のソフトウェアモデルレコードが一覧表示されます。
- [すべてのユーザーサブスクリプション] には、サブスクリプション製品のすべてのサブスクリプションレコードが一覧表示されます (ソフトウェア資産 > ディスカバリー > ソフトウェアサブスクリプション ナビゲーションメニュー)。
- [新しいプロファイルを作成] は、 Microsoft 365 サブスクリプションプロファイルを作成します。
- [すべての統合プロファイル] には Microsoft 365 サブスクリプションプロファイルレコードが一覧表示されます。

ソフトウェア資産管理 はサブスクリプション情報を使用してライセンスコンプライアンスを判断し、最適化を実行します。ライセンス使用状況ビューでライセンスコンプライアンスを表示し、最適化と節減額ダッシュボードで最適化を表示します。

*SAM - Import M365 User Subscriptions*スケジュール済みジョブは毎週 1 回実行され、ソフトウェア資産管理 からサブスクリプション情報を取得します。

ライセンス Microsoft 365 コンプライアンスと最適化を判断するための統合を設定するには、「Microsoft 365 との統合」の手順に従います。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: ソフトウェア資産管理 クラシックの Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードとSaaS ワークスペースの概要ダッシュボードでMicrosoft 365コンプライアンスレポートを表示するには、アドオンMicrosoftコンテンツパック (com.snc.samp.microsoft) プラグインを有効にする必要があります。

Microsoft 365 との統合

ServiceNow インスタンスを Microsoft 365 サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションとソフトウェア使用状況を追跡してライセンスコンプライアンスを判断し、最適化の機会に対処できます。

Microsoft 365 サービスの詳細については、「Microsoft 365 プラン」を参照してください。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Microsoft 365 アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アプリケーション開発者	• User.Read.All • Organization.Read.All
ユーザーアクティビティのプル	• Power Platform アドミニストレーター • アプリケーション開発者	Reports.Read.All

Microsoft Azure ADアプリケーションの登録

Microsoft Azureポータルからアプリケーションを登録します。

始める前に

Microsoft Azure AD 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、Microsoft Azure ポータルの [アプリの登録] ページ を開きます。
2. グローバル管理者の認証情報を使用してログインします。
3. [アプリの登録] ページで、[新規登録] を選択します。
4. [アプリケーションの登録] フォームの [名前] セクションで、アプリケーションの名前を入力します。
5. [サポートされているアカウントの種類] セクションで、 [任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の **Azure AD** ディレクトリ - マルチテント)] を選択します。
6. [登録 **(Register)**] を選択します。
   アプリケーションが登録され、新しいアプリケーションの [概要] ページに自動的にリダイレクトされます。
7. [概要] ページで、[アプリケーション (クライアント) **ID**] フィールドと [ディレクトリ (テナント) **ID**] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. アプリケーションのクライアントシークレットを生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > 証明書とシークレット.
[証明書とシークレット (Certificates & secrets)] ページが開きます。

b. [クライアントシークレット] セクションで、[新しいクライアントシークレット] を選択してアプリケーションのクライアントシークレットを生成します。
[クライアントシークレットの追加 (Add a client secret)] ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[クライアントシークレットの追加 **(Add a client secret)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
説明	クライアントシークレットの説明。
有効期限	クライアントシークレットの有効期限が切れるまでの期間。オプションは次のとおりです。 ▪ 1年で ▪ 2年間で ▪ 今後表示しない

d. **[Add** (追加)] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[証明書とシークレット(Certificates & secrets)] ページに戻ります。

e. [クライアントシークレット] セクションで、新しく生成されたクライアントシークレットの [値] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。

9. 保護されたリソースに対してアプリケーションが持つアクセスのレベルを指定します。

a. 左側のナビゲーションメニューから、 管理 > **API** 権限.
[API 権限] ページが開きます。

b. [権限を追加 **(Add a permission)]** を選択します。
[API 権限の要求 (Request API permissions)] ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、[**Microsoft API**] タブを選択します。

d. 使用可能な Microsoft API の一覧から、 **[Microsoft Graph**] を選択します。

e. アプリケーションに必要なアクセス許可の種類を選択するように求められたら、 [アプリケーションのアクセス許可] を選択します。

f. [権限の選択] で、次の権限のチェック ボックスをオンにします。

- Reports.Read.All
- User.Read.All
- Organization.Read.All

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. [権限を追加] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[API のアクセス許可] ページに戻ります。

10. アプリケーションに対してアドミンの同意を付与します。

次のタスク
アプリケーションの登録と設定が正常に完了した後、アプリケーションが Power BI サービス コンテンツと API にアクセスできるようにする必要がある場合は、 Microsoft Azure ポータルにとどまります。

Power-BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にするEnable service principal authentication for Power-BI read-only API

Power BI 読み取り専用 API のサービス プリンシパル認証を有効にして、アプリケーションに Power BI サービス コンテンツと API へのアクセス権を付与します。Power BI サービス コンテンツと API は、サブスクリプションを Office 365 E5 から Office 365 E3 にダウングレードするなど、Microsoft 365 サブスクリプションを最適化するのに役立ちます。

始める前に
Microsoft Azure AD 必要なロール:グローバルアドミニストレーター

Power BI 必要なロール: Power Platform アドミン

注: この構成により、 ServiceNow ソフトウェア資産管理 は Web とデスクトップ全体のすべての Power BI Pro デプロイの使用状況情報 (前回の使用時間) を取得できます。 ソフトウェア資産管理 、 Microsoft 365 サブスクリプションの一部である Power BI デプロイのアクティビティの最終日をプルします。

このタスクについて
サービス プリンシパルは、アプリケーションが Power BI サービス コンテンツや API などのセキュリティで保護された Microsoft Azure AD リソースにアクセスできるようにする認証方法です。

手順

1. サービス プリンシパル認証用のセキュリティ グループを作成します。
セキュリティ グループを使用すると、共有リソースにアクセスできるユーザー、デバイス、グループ、およびサービス プリンシパルを管理できます。サービス プリンシパル認証に既存のセキュリティ グループを使用する場合は、 手順 2 に進みます。

a. Microsoft Azureポータルのページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

b. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > グループ.
- グループ > すべてのグループ ページが開きます。

c. [すべてのグループ] ページで、[新しいグループ] を選択します。

d. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規グループフォーム

フィールド	説明
グループ タイプ	グループタイプ。このフィールドを [セキュリティ] に設定します。
グループ名	グループの名前。
グループメールアドレス	グループメンバー全員で共有されるメールアドレス。
グループの説明	グループの説明
メンバーシップタイプ	グループにメンバーを追加またはグループから削除する方法。オプションは次のとおりです。 ▪ アサイン済み:メンバーを手動で追加または削除する必要があります。 ▪ 動的ユーザー:定義した動的グループルールに基づいて、メンバーが自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。 ▪ 動的デバイス:デバイスは、定義した動的グループルールに基づいて自動的に追加または削除されます。動的グループ ルールの詳細については、「Azure Active Directory で動的グループを作成または更新 する」を参照してください。

e. [作成] を選択します。

セキュリティ グループが作成され、新しいグループの [概要] ページにリダイレクトされます。

2. Microsoft Azure ADアプリケーションの登録 で作成したアプリケーションをセキュリティグループのメンバーとして追加します。

a. ステップ 1 でセキュリティグループを作成せず、代わりに既存のセキュリティグループを使用している場合は、既存のセキュリティグループを開きます。
ステップ 1 でセキュリティグループを作成した場合は、ステップ b に進みます。

i. Microsoft Azureポータルのページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。

Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。

ii. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > グループ.

- グループ > すべてのグループ ページが開きます。

iii. 使用可能なグループのリストから、既存のセキュリティ グループを見つけて選択します。

セキュリティグループの [概要] ページが開きます。

b. セキュリティグループの左側のナビゲーションメニューから、 管理 > メンバー.
[メンバー] ページが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [メンバー] ページで、 [メンバーの追加] を選択します。
[メンバーの追加] ダイアログボックスが開きます。

d. ダイアログボックスで、 Microsoft Azure ADアプリケーションの登録 で作成したアプリケーションを検索して選択します。

> **重要:** アプリケーションには、 Microsoft Azure ポータルから設定された Power BI 管理者アクセス許可が必要です。次の手順を使用して、アプリケーションのアクセス許可を確認できます。
>
> i. グローバルアドミニストレーター、アプリケーションアドミニストレーター、またはクラウドアプリケーションアドミニストレーターのいずれかの認証情報を使用して、Microsoft Azure ポータルにログインします。
>
> ii. Microsoft Azureポータルのページ ヘッダーで、検索バーを使用して **Azure Active Directory** サービスを検索して選択します。
>
> Azure Active Directory サービスの [概要] ページが開きます。
>
> iii. Azure Active Directory サービスの左側のナビゲーション メニューから、 管理 > エンタープライズアプリケーション.
>
> [エンタープライズアプリケーション] ページが開きます。
>
> iv. 利用可能なエンタープライズアプリケーションのリストから、アプリケーションを見つけて選択します。
>
> v. [アクセス許可] を選択します。
>
> vi. アプリケーションに Power BI 管理者の同意が必要なアクセス許可が設定されていないことを確認します。

e. [選択] を選択します。
アプリケーションがセキュリティ グループのメンバーとして追加されます。

3. セキュリティ グループが読み取り専用の Power BI 管理 API にアクセスできるようにします。

a. 新しいタブまたは Web ブラウザーで、 Power BI を開きます。

b. グローバル管理者または Power BI 管理者の資格情報を使用してログインします。
Power BI ポータルが開きます。

c. Power BI ポータルのページ ヘッダーで、 [設定] アイコン ( ) を選択し、 [管理ポータル] を選択します。
Power BI 管理ポータルが開きます。

d. 管理ポータルの左側のナビゲーション メニューから、[テナント設定] を選択します。
Power BI テナント設定が開きます。

e. [管理 API の設定] セクションで、 [サービス プリンシパルに読み取り専用の **Power BI** 管理 **API** の使用を許可する] 設定を展開します。

f. トグルボタンを選択して設定を有効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

g. メッセージが表示されたら、設定を [特定のセキュリティ グループ] に適用するオプションを選択します。

h. 対応するテキストボックスに、セキュリティグループの名前を入力します。

i. [適用] を選択します。

Power BI 管理ポータルでこの設定を有効にすると、 Microsoft Azure ポータルから設定したアプリケーションのアクセス許可は無効になります。その後、すべてのアプリケーションのアクセス許可を Power BI 管理ポータルで設定し、管理する必要があります。

Microsoft 365 アドミンセンターでの更新の構成

ServiceNow にインポートされるアクティビティに関するMicrosoft 365レポートで匿名ユーザー情報を防止します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 管理者の資格情報を使用して Microsoft 365 管理センター にログインします。
2. 移動先 設定 > サービス > 組織の設定 > レポート.
3. [**Display concealed user, group, and site names in all reports**] チェックボックスをオフにします。
   匿名ユーザー情報を表示する Microsoft 365 レポートの詳細については、「 Microsoft 365 レポートに実際のユーザー名ではなく匿名ユーザー名が表示される 」を参照してください。

Microsoft 365 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Microsoft 365 サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

Microsoft 365 と統合するには、次のプラグインを有効にします。

- ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理- ServiceNow Store の SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) プラグイン

  詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で直接統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow インスタンスを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. **b.** [ユーザー サブスクリプション] で、 [直接統合プロファイル] を選択します。

2. [新規] を選択します。
3. **[Microsoft 365** 統合プロファイル] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、`<your-company>` の `Microsoft 365` 統合などです。
クライアント ID	Microsoft Azureポータルに登録したアプリケーションのクライアント ID。Microsoft Azure ADアプリケーションの登録でコピーしたアプリケーション (クライアント) ID を入力します。
クライアントシークレット	Microsoft Azure ポータルに登録したアプリケーションのクライアントシークレット。Microsoft Azure ADアプリケーションの登録でコピーしたクライアントシークレットを入力します。
テナント名または ID	Microsoft Azure ポータルに登録したアプリケーションのグローバル一意識別子 (GUID)。Microsoft Azure ADアプリケーションの登録 でコピーしたディレクトリ (テナント) ID を入力します。 ⚠ **警告:** ディレクトリ (テナント) ID を入力するときは、ID に拡張子を追加しないでください。Microsoft Azure ADアプリケーションの登録 でコピーしたとおりに ID を正確に入力します。
REST メッセージ	REST Web サービスエンドポイントに要求を送信できるようにするメッセージ。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **Microsoft 365** に設定されます。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
6. オプション: ユーザーサブスクリプションジョブのステータスを確認するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
Microsoft 365用に自動生成されたすべてのソフトウェアモデルを表示するには、次の場所に移動します。 統合 **- Microsoft 365** > ソフトウェアモデル. ソフトウェアモデルは、パブリッシャー、バージョン、および検出マップに関する情報を含む、購入したソフトウェアのプロファイルです。ソフトウェアモデルは公開者情報を記録し、プロファイルを作成します。

統合プロファイルを作成すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認することが重要です。Office 365 に対して自動的に生成されたすべての再利用ルールを表示するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール. 再利用ルールは、Microsoft SCCM 使用状況統合を通じてプルされた Microsoft System Center Configuration Management (SCCM) 使用状況データに基づいて適用されます。これらの再利用ルールの詳細については、「Microsoft SCCM 使用状況データをインポートするための再利用ルールの作成」を参照してください。

注: ServiceNow によって Office 365 のデフォルトの再利用ルールが 1 つ自動的に作成されます。[サブスクリプション使用条件] タブの [前回のアクティビティしきい値] フィールドを更新することもできます。

ServiceNowインスタンスのMicrosoft 365サブスクリプション情報の決定と検証

Microsoft 365 管理センターからプルする正確なソフトウェア サブスクリプション情報を決定し、完全なサブスクリプション情報がServiceNowに正確にプルされているかどうかを確認します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 作成したMicrosoft 365統合プロファイルでフィルタリングして、アドミンセンターからServiceNowにプルする正確なソフトウェアサブスクリプション情報を決定しますMicrosoft 365。
   このサブスクリプションには、 Microsoft 365 管理センターで利用可能なすべてのサブスクリプションが含まれます。
2. 完全なサブスクリプション情報が ServiceNow に正確にプルされているかどうかをMicrosoft 365アドミンに確認してください。

   注:

   ソフトウェア資産管理System Center Configuration Manager (SCCM) 統合と Microsoft 365 統合を組み合わせて使用してMicrosoftMicrosoft 365製品の最終アクティビティ日を取得します。

3. Microsoft 365サブスクリプションデータがソフトウェア資産管理にプルされない場合は、統合セットアップを確認してください。

   a. [統合プロファイル] フォームで、[**REST** メッセージ] フィールドの横にある [プレビュー] アイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、REST メッセージレコードを開きます。

   b. [REST メッセージ] フォームで、[**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択します。

      注: この手順を実行するために必要なロールについては、「最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

   c. [OAuth フロー検証] ダイアログボックスで、OAuth フローのステータスを表示して、統合が正しく設定されているかどうかを判断します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 「OAuth トークンフローが正常に完了しました」というメッセージが表示された場合、統合は正しくセットアップされています。
- `OAuth` フローに失敗したというメッセージが表示された場合、統合は正しく設定されていません。このメッセージの情報を使用して、統合セットアップのエラーを特定します。

4. Power BI の使用状況が ソフトウェア資産管理 にプルされない場合は、Power BI API 接続の状態を確認します。

   a. [統合プロファイル] フォームで、フォームヘッダーを右クリックします。

   b. [**XML** の表示] を選択します。

   c. アンダー **<xml>** > **<samp_sw_subscription_profile>** > **<custom_properties>**で、*powerBIStatus* プロパティを表示して、Power BI API 接続の状態を確認します。
      - *powerBIStatus* プロパティが成功に設定されている場合、Power BI API 接続は成功しています。
      - *powerBIStatus* プロパティが [失敗] に設定されている場合、Power BI API 接続は成功していません。すべての統合セットアップ手順に正しく従ったことを確認します。また、統合セットアップのエラーに関する詳細について、ログを確認することもできます。

5. オプション: ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合、フィールドを関連するユーザーにマッピングできます。

   (Optional) 詳細については、「ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける」を参照してください。

Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project **Online** の使用状況レポートを **ServiceNow** インスタンスにアップロードします

Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況アクティビティ データを監視し、使用率の低い候補に基づいて再利用候補を特定します。

始める前に

必要なロール：

- Microsoft 365アドミンセンターへのアクセス:admin
- ServiceNowインスタンスにレポートを追加します。 sam_admin

このタスクについて

Microsoft 365 管理センター から Microsoft Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況レポートをエクスポートし、レポートを ServiceNow インスタンスに追加できます。これらの使用状況アクティビティレポートは、使用率の低さに基づいて潜在的な再利用候補を特定することで、ライセンスの最適化に役立ちます。

手順

1. グローバル管理者の資格情報を使用して 、Microsoft 365 管理センター にログインします。
2. 移動先 レポート > 使用法.
3. 使用状況レポートをダウンロードします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. **[Copilot for Microsoft 365**] を選択し、 [エクスポート] を選択して CSV ファイルをダウンロードします。

b. [プロジェクト] を選択し、 [エクスポート] を選択して CSV ファイルをダウンロードします。

c. **[Visio**] を選択し、[エクスポート] を選択して CSV ファイルをダウンロードします。

> **重要:** ダウンロードしたファイルの名前は変更しないでください。ファイルは、ServiceNow インスタンスにそのままアップロードする必要があります。

4. ナビゲーション メニューから [**ID**] を選択します。
現在のテナントの Azure ポータルが開きます。
5. [概要] ページで、[テナント **ID**] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるようにテナント ID を安全な場所に保存します。
6. Web ブラウザーから、 ServiceNow インスタンスを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	統合プロファイル [samp_sw_subscription_profile] テーブルを開きます。 統合プロファイルがリストビューで開きます。
ソフトウェア資産ワークスペース	a. 移動先 ワークスペース > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作. b. [ユーザー サブスクリプション] で、 [直接統合プロファイル] を選択します。 統合プロファイルがリストビューで開きます。

7. フィルターを適用して、使用状況レポートをアップロードする特定のテナント ID の統合プロファイルを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. テーブルヘッダーのフィルターを表示/非表示アイコンを選択します。 b. 条件 [テナント名または **ID]** [次の値に等しい] [手順 **5** でコピーしたテナント **ID]** と [プロファイルの種類] [次の値に等しい] **[Microsoft 365]** を設定します。 c. **[Run** (実行)] をクリックします。
ソフトウェア資産ワークスペース	a. フィルター アイコンを選択し、 [詳細ビュー] を選択します。 b. 条件[テナント名または**ID]** [次の値に等しい] [手順**5**でコピーしたテナント**ID]**を設定します。 c. **[+** 新しい条件セット] を選択して、フィルター条件を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
	d. 条件[プロファイルタイプ][次の値に等しい] **[Microsoft 365]**を設定します。 **e.** [更新] を選択します。

8. 使用状況レポートを統合プロファイルに追加します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 統合プロファイルを選択します。 **b.** フォームヘッダーの添付ファイルを管理 (📎) アイコンを選択します。 **c.** [添付ファイル] ダイアログ ボックスで、[ファイルの選択] を選択します。 **d.** ステップ 3 でダウンロードしたすべての CSV ファイルを選択して、統合プロファイルに追加します。 **e.** ダイアログボックスを閉じて [統合プロファイル] フォームに戻ります。 **f.** アップロードされた CSV ファイルが [添付ファイルを管理] アイコンの横に表示されます。
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 統合プロファイルを選択します。 **b.** 統合プロファイルのサイドバーから添付ファイル (📎) アイコンを選択します。 **c.** [添付ファイル] ウィンドウで、[ファイルの選択] を選択します。 **d.** ステップ 3 でダウンロードしたすべての CSV ファイルを選択して、統合プロファイルに追加します。 **e.** アップロードされた CSV ファイルが [添付ファイル] ウィンドウに表示されます。

次のタスク

アップロードした使用状況アクティビティレポートは、ライセンスの最適化と再利用候補の生成について監視できます。詳細については、「Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価」を参照してください。

Microsoft 365サブスクリプションのソフトウェア使用アクティビティの評価

ソフトウェア使用アクティビティを評価して、 Microsoft 365 ポータルで見つかったすべてのサブスクリプションの中から、アクティブ、非アクティブ、および未アサインのサブスクリプションを検出します。

ソフトウェア使用アクティビティはソフトウェア製品の使用であり、ソフトウェア使用アクティビティを追跡することでライセンスの使用状況を監視できます。ソフトウェア使用アクティビティの監視は、既存のソフトウェアサブスクリプションの最適化にも役立ちます。

次の表に、ソフトウェア使用アクティビティを収集するためのソース、関連するプラットフォームサポート、およびサポートされている Microsoft 365 製品を示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア使用アクティビティ収集のソース	プラットフォームのサポート	サポートされている Microsoft Office 365 製品
Microsoft Graph 個の API	デスクトップ、Web、モバイル	Outlook、Word、PowerPoint、Excel、OneNo Online、SharePoint Online、Power BI
Microsoft SCCM または ACC-V	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ
JamfmacOSデバイスの場合	デスクトップ	Microsoft Office 365 企業向けアプリ
Microsoft Office 365 アドミンセンターから ServiceNow インスタンスの使用状況レポートを手動でアップロード	デスクトップ、Web、モバイル	Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online

注: Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況は、Microsoft Office 365管理センターからダウンロードできます。詳細については、「Microsoft 365 Copilot、Visio Online、Project Online の使用状況レポートを ServiceNow インスタンスにアップロードします」を参照してください。

ライセンス最適化のためのソフトウェア使用アクティビティの監視

ソフトウェア資産管理 は、ソフトウェア使用アクティビティに基づいて、以下を含むソフトウェアサブスクリプションの最適化に関する推奨事項を生成します。

- Microsoft 365 E5 から E3 および E3 から E1 へのダウングレード
- 複数のライセンスの統合 Microsoft 365 サブスクリプション。たとえば、Office 365 Enterprise E5 と Microsoft 365 Enterprise E3 の両方のサブスクリプションがある場合、1 つのライセンスで複数の製品をカバーすることができます。
- Microsoft 365 とそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility+Security (EMS)、Windows) サブスクリプションの両方を持つ二重ライセンスのユーザー
- Microsoft Teams、Microsoft Exchange Online、Microsoft SharePoint Online、Microsoft OneDrive、Power BI の個々のサブスクリプション
- 未アサインのユーザーサブスクリプション

ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボードで最適化の推奨事項を表示できます。

Microsoft 365統合が完了したら、次のいずれかのテーブルを使用して使用状況アクティビティ情報を表示できます。

- ソフトウェア使用 [samp_sw_usage]

  [ソフトウェア使用状況] テーブルで、サブスクリプション内の個々のソフトウェア製品の使用状況データを表示します。このテーブルには、 Microsoft API やその他のディスカバリーソリューション (SCCM、 Jamf、ACC-V など) から取得された合計使用量と前回のアクティビティが保存されます。*SAM - Collect Microsoft 365 Usage*スケジュール済みジョブは使用状況データを毎日収集し、*SAM - Create New Reclamation Candidates for Office 365 Integration*は毎週削除候補を生成します。ソフトウェア使用フィールドとその説明の詳細については、「ワークスペースでソフトウェア使用状況を表示または作成する」を参照してください。

  [ソフトウェア使用状況] テーブルには、ソフトウェアが最後に使用された日付と、デスクトップ、Web、モバイルで実行されたアクティビティ、またはプラットフォーム間で累積的に実行され

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たアクティビティのタイプが含まれています。前回のアクティビティデータは、 Microsoft 365 サブスクリプション内の個々の製品に最適なプランを選択するのに役立ちます。 ソフトウェア資産管理 、ライセンスワークベンチに最適化された推奨事項を表示することで、現在のサブスクリプションの削除候補を生成します。

- Microsoft 365 Apps使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report]

  各ユーザーのMicrosoft 365 Apps使用状況レポート テーブルで、 Microsoft 365 製品の最終アクティビティ日を表示します。このテーブルには、Microsoft API からのみ取得された Microsoft 365 製品の使用状況データが True または False で格納されます。アクティビティの最終日は、Microsoft Outlook、Microsoft Word、Excel Microsoft PowerPoint、OneNote などのMicrosoft 365製品の再利用候補をより正確に判断するのに役立ちます。Microsoft 365アプリの使用状況フィールドとその説明の詳細については、「Microsoft 365 アプリの使用状況レポート」を参照してください。

Microsoftサブスクリプションのライセンス最適化

ソフトウェア使用アクティビティは、個々の Microsoft 製品と Microsoft 365 スイートサブスクリプションの両方から再利用候補を検出することで、ライセンスの最適化に役立ちます。API とディスカバリーソリューションの両方を使用して、再利用候補を決定できます。

- Microsoft 365 E5 から E3 および E3 から E1 へのダウングレード:生成されたダウングレード候補に基づいて、ダウングレードまたは再利用できる 1 か月あたりのライセンス数を決定します。

  > **注:** E3 から E1 への最適化のための Microsoft SCCM や ACC-V など、追加のディスカバリーソリューションから Microsoft Access と Publisher の使用状況を決定することもできます。

- サブスクリプションの統合 Microsoft 365 :サブスクリプション再利用候補を検索し Microsoft 365 統合します。
- 二重ライセンス ユーザー: Microsoft 365 とそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility+Security (EMS)、 Windows) サブスクリプションの両方で推奨される候補に基づいて、ダウングレードまたは再利用できる月あたりのライセンス数を決定します。
- 個々のサブスクリプション: *SAM - Import user subscription* スケジュール済みジョブの実行時に、個々のサブスクリプションに対して再利用ルールが自動的に作成されます。これらの個々のサブスクリプションには、 Microsoft Teams、 Microsoft Exchange Online、 Microsoft SharePoint Online、 Microsoft OneDrive、Power BI が含まれます。要件に合わせて、個々のサブスクリプションの再利用ルールを確認できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

さらに、 Microsoft 365 ポータルから自動的に入力されるサブスクリプションのアサイン日は、個々のサブスクリプションの再利用候補を生成する際にも役立ちます。Now Platformのレコード作成日の代わりにサブスクリプションのアサイン日を使用すると、Microsoft 365ポータルからの実際の使用に基づいて正しい再利用候補を作成できます。

Microsoft 365コンプライアンスと最適化の結果を評価

Microsoft 365コンプライアンスと最適化の結果を評価して、実際のコスト削減と潜在的なコスト削減、および推奨されるライセンスの最適化を見つけます。

始める前に
必要なロール：sam_admin または sam_user

ソフトウェアのコンプライアンスを評価するには、 Microsoft 365 のディスカバリーを完了する必要があります。ディスカバリーと Microsoft SCCM の併用の詳細については、「 ディスカバリーと SCCM の併用 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアの最適化を評価するには、 Microsoft 365 プランの使用が Microsoft 認定 API と Microsoft SCCM の両方から利用できる必要があります。

手順

1. 移動先 **Software Asset Workspace** > ライセンス操作.
2. 左側のペインで、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
3. [新規] を選択します。
4. 正しいパブリッシャーの品番 (PPN) を選択して Microsoft 365 エンタイトルメントを作成し、コンプライアンスを検証します。
   エンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

   注: ライセンスの測定基準値が [ユーザーサブスクリプション] であることを確認します。

5. 移動先 ライセンス使用状況 左側のペインにあります。
6. [調整] タブを選択します。
7. [調整の実行] を選択します。
8. コンプライアンス分析の結果を ソフトウェア資産管理 クラシックの Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボード と SaaS ワークスペースの概要ダッシュボードで表示します。
   ソフトウェア調整の実行の詳細については、「 ソフトウェア調整の実行 」および「 ラン ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン クラシック版のソフトウェア調整 .
9. ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード上のMicrosoft 365サブスクリプションに最適化されたすべてのプランを表示します。

Microsoft Office 365 Government プランの REST および OAuth エンドポイントを更新する

サブスクリプションを使用できるようにServiceNow サブスクリプションプロファイルの REST メッセージおよび OAuth アプリケーションのエンドポイントを変更します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
この Now Platform® は Microsoft Office 365 政府機関向けプランをサポートしており、セグメント化された政府機関向けクラウド コミュニティで Microsoft 365 サービスのすべての機能を提供し、組織が米国のコンプライアンスおよびセキュリティ基準を満たすことを可能にします。

Microsoft Office 365 Government プランの詳細については、「Office 365 Government 」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.
2. 更新する Microsoft 365 統合プロファイルを選択します。
3. 統合プロファイルレコードで、[**REST** メッセージ] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。
4. レコードプレビューで、[**Open Record** (レコードを開く)] を選択します。
   REST メッセージレコードが開きます。
5. Microsoft 365統合プロファイルの REST メッセージエンドポイントを更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

REST メッセージエンドポイントを使用すると、 Microsoft 365 アプリケーションおよびサービスから使用状況データを取得できます。

a. [**HTTP** メソッド] 関連リストで、必要に応じて REST メッセージエンドポイントを更新します。

Microsoft は、 Microsoft Office 365 政府機関向け計画のさまざまなエンドポイントを提供します。使用可能なエンドポイントの詳細については、「 Office 365 U.S. Government GCC High エンドポイント 」を参照してください。

> **重要:** 各エンドポイントの URL で `.com` を `.us` に変更する必要があります。たとえば、 `https://graph.microsoft.com/v1.0/reports` を `https://graph.microsoft.us/v1.0/reports` に変更する必要があります。

b. [保存] を選択します。

c. **GET PowerBI** 使用状況エンドポイントの OAuth エンティティスコープを更新します。
OAuth エンティティスコープは、保護されたリソースに対してユーザーが持つアクセスのレベルを指定します。

i. **[GET PowerBI Usage]** エンドポイントを選択します。

[HTTP メソッド] レコードが開きます。

ii. HTTP メソッドレコードの [認証] セクションで、[**OAuth** プロファイル] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン ([ⓘ) を選択します。

iii. レコードプレビューで、[**Open Record** (レコードを開く)] を選択します。

OAuth エンティティプロファイルレコードが開きます。

iv. [OAuth エンティティ プロファイル スコープ] リストで、**PowerBIPermissions** OAuth エンティティ スコープの **[OAuth** スコープ] フィールドを、Power BI Microsoft使用しているバックエンド API URL で更新します。

> **注:** Microsoft では、Power BI のさまざまなバックエンド API URL がサポートされています。使用可能な URL の詳細については、「 米国政府機関向け Power BI 」を参照してください。

v. [更新] を選択します。

OAuth エンティティプロファイルレコードが閉じ、自動的に REST メッセージレコードに戻ります。

6. Microsoft 365統合プロファイルの OAuth アプリケーションエンドポイントを更新します。
OAuth アプリケーションエンドポイントを使用すると、 ServiceNow インスタンスが Microsoft 365 サブスクリプションデータにアクセスできるようになります。

a. REST メッセージレコードの [認証] セクションで、[**OAuth** プロファイル] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。

b. レコードプレビューで、[**Open Record** (レコードを開く)] を選択します。
OAuth エンティティプロファイルレコードが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [OAuth エンティティプロファイルスコープ] リストで、権限 OAuth エンティティスコープの **[OAuth** スコープ] フィールドにリストされている URL の `.com`を `.us` に変更します。

d. **[OAuth** プロバイダー] フィールドの横にある [このレコードをプレビュー] アイコン (ⓘ) を選択します。

e. レコードプレビューで、[**Open Record** (レコードを開く)] を選択します。
アプリケーションレジストリレコードが開きます。

f. [トークン **URL**] フィールドの横にある [URL の編集] アイコン ([を選択します。

g. [URL] で、 `.com` を `.us` に変更します。
たとえば、 `https://login.microsoftonline.com` を `https://login.microsoftonline.us` に変更します。

h. [URL のロック] アイコン ([ ) を選択します。

i. [更新] を選択します。

ユーザーをサブスクリプションレコードに関連付ける

ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルの [ユーザー] フィールドが空の場合は、関連付けられたユーザーにフィールドをマッピングします。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

このタスクについて
SaaS 統合により、サブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルにサブスクリプションレコードが作成されます。このテーブルのフィールドは、自動ジョブと統合によって入力されます。[ユーザー] フィールドは、[ユーザープリンシパル名] 列の値に基づいて解決され、デフォルトではユーザー [sys_user] テーブルの メール フィールドと **user_name** フィールドに対して検証されます。

手順

ユーザーデータを効果的にマッピングするには、次のいずれかの手順を実行します。

- サブスクリプションの [ユーザー] フィールドを手動で更新します。

  デフォルトでは、値を設定した場合でも、統合によって [ユーザー] フィールドが上書きされます。

  a. サブスクリプションレコードの [ユーザー] フィールドを手動で更新して、統合によって自動的に設定された [ユーザー] 列の値を上書きします。

     値を更新した後も、統合によって値はリセットされません。

  b. 統合のユーザーロジックに戻す場合は、[ユーザー] フィールドの値をクリアします。

     値をクリアすると、次回の統合実行で [ユーザー] フィールドが自動的に再入力されます。

- SaaSサブスクリプションのユーザールックアップロジックを変更します。

  ユーザールックアップ用に別の列がある場合は、ベースシステムルックアップの代わりにその列をルックアップに使用することができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. スクリプトインクルード `SAMSaasIntegrationUtils` を開きます。

b. *`getSysUser`* メソッド呼び出しを次のスクリプトとsys_userテーブル内のフィールド名に置き換えて、<replace_field_name>を置き換えます。

```
getSysUser: function (upn) {
if (upn) {
            var userGr = new GlideRecord('sys_user');
            userGr.addActiveQuery();
            userGr.addNotNullQuery('<replace_field_name>');
            userGr.addQuery('<replace_field_name>', upn);
            userGr.setLimit(1);
            userGr.query();
            if (userGr.next()) {
                        return userGr;
             }
               }
                 }
```

Microsoftオンラインサービスの予備エンタイトルメントの作成

Microsoft オンライン サービスの予備エンタイトルメントを作成して、既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できます。調整プロセス中に新しいライセンスの料金を支払うことができます。

ライセンス予約の概要

ライセンス予約を使用すると、発注書 (PO) を必要とせずにオンプレミス資産をクラウドに移行するためのライセンス予約注文を行うことができます。ライセンス予約注文の対象となるのは、Microsoft オンラインサービスのみです。

注: 予約エンタイトルメントは、既存の Microsoft エンタイトルメントからのみ作成できます。既存のエンタイトルメントは、次の基準を満たしている必要があります。

- ライセンスタイプ はサブスクリプションです。
- 評価指標グループはMicrosoftです。
- ライセンス測定基準 はユーザーサブスクリプションです。
- ソフトウェアモデルの製品のパブリッシャーがMicrosoft。
- サブスクリプションソフトウェア は、ソフトウェアモデルの製品に対して選択されます。

ソフトウェア資産管理クラシックで**Microsoft**オンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成する

既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できるように、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーション内のすべてのMicrosoftオンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント 次に、 Microsoft Office 365 エンタイトルメントを選択します。
2. [予備エンタイトルメントの作成] 関連リンクを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。
終了日	ソースエンタイトルメント終了日の最も早い応当日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存のエンタイトルメントのソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用される既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントが、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっている。

次のタスク
調整を実行して、調整コスト計算に新しい予約エンタイトルメントを含めます。移動先 ソフトウェア資産 > **Office 365** と **Adobe Cloud** をクリックして、 Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードを表示します。予約エンタイトルメントのコストは調整コストに含まれ、現在のサブスクリプション支出には含まれません。

予備エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンススケジュール済みジョブによって、それに代わる新しいエンタイトルメントが作成されます。

注: 新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの予備エンタイトルメント関連リストには追加されません。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	値
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントであるかどうかを示すオプション。このオプションは選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。
購入済みの権限	予備エンタイトルメントと同じ数の購入済み権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。
利用可能な割り当て	予備エンタイトルメントと同じ数の割り当てが利用可能です。
ステータス	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予備エンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボードでは、廃止された予備エンタイトルメントのコストが調整コストから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション支出に含まれます。

で **Microsoft** オンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成する ソフトウェア資産ワークスペース

既存の Microsoft 365 サブスクリプションにライセンスを追加できるように、ソフトウェア資産ワークスペース でMicrosoftオンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでMicrosoftオンラインサービスの予備エンタイトルメントを作成するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーション メニューから、[ライセンス操作] を選択します。
   [ライセンス操作] ビューが開きます。
3. [ライセンス操作] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 ライセンス > ソフトウェアエンタイトルメント.
4. 利用可能なソフトウェアエンタイトルメントのリストから、 Microsoft Office 365 エンタイトルメントを選択します。
   ソフトウェアエンタイトルメントの詳細ページが新しいタブで開きます。
5. [**Create Reserve Entitlement**] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

予備エンタイトルメントレコードプロデューサーフォーム

フィールド	説明
開始日	新しいライセンスの開始日。
終了日	ソースエンタイトルメント終了日の最も早い応当日。このフィールドは自動的に計算されます。
購入済みの権限	新規ライセンスの数。
月次単位コスト	ソースエンタイトルメントの単位コストをソースエンタイトルメントの期間 (月単位) で割った値。このフィールドは自動的に計算されます。
ソフトウェアモデル	既存のエンタイトルメントのソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソースエンタイトルメント	予備エンタイトルメントの作成に使用される既存のエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。

7. **[Submit** (送信)] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 要求が正常に送信されたら、 [閉じる] を選択します。
   新しい予備エンタイトルメントが、ソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されます。予備エンタイトルメントのステータスが [使用中] で、[予備エンタイトルメント] チェックボックスがオンになっている。

次のタスク
調整を実行して、調整コスト計算に新しい予約エンタイトルメントを含めます。Microsoft Publisher の概要で調整結果を表示します。予備エンタイトルメントのコストは、 調整コスト レポートに含まれます。

予備エンタイトルメントの終了日を過ぎると、SAM - サブスクリプションメンテナンススケジュール済みジョブによって、それに代わる新しいエンタイトルメントが作成されます。

注: 新しいエンタイトルメントは、元のソースエンタイトルメントの [予備エンタイトルメント] 関連リストに追加されません。

新しいエンタイトルメントレコード

フィールド	値
予備エンタイトルメント	新しいエンタイトルメントが予備エンタイトルメントであるかどうかを示すオプション。このオプションは選択されていません。
開始日	新しいエンタイトルメントが作成された日付。
終了日	元のソースエンタイトルメントの終了日。
ソースエンタイトルメント	元のソースエンタイトルメント。
購入済みの権限	予備エンタイトルメントと同じ数の購入済み権限。
アクティブな権限	予備エンタイトルメントと同じ数のアクティブな権限。
利用可能な割り当て	予備エンタイトルメントと同じ数の割り当てが利用可能です。
状況	エンタイトルメントのステータス。このフィールドは [使用中] に設定されます。

予備エンタイトルメントのステータスが [廃止] に更新されます。Microsoftパブリッシャーの概要では、廃止された予約エンタイトルメントのコストが調整コストレポートから削除されます。新しいエンタイトルメントのコストは、現在のサブスクリプション支出に含まれます。

Microsoft コンテナー展開での SQL Server ライセンス

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft は、Docker コンテナーを使用してオンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開される Microsoft SQL Server 製品のライセンスルールをサポートしています。

コンテナーは、特定のアプリケーションのデプロイと実行に必要なすべてのコードと依存関係をバンドルする実行可能なソフトウェアパッケージです。コンテナーを使用すると、アプリケーションを再構成することなく、デスクトップコンピューターやクラウドなどのあらゆるコンピューティング環境に同じアプリケーションを均一にデプロイして実行できます。また、各コンテナはオペレーティングシステム(OS)を仮想化するため、同じコンピューティング環境内に複数の独立したアプリケーションを迅速かつ簡単に展開できます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションと連携して動作し、オンプレミス環境とクラウド環境の両方で次の情報を識別します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- Microsoft SQL Server 製品のデプロイに使用されるコンテナーDocker。
- 各コンテナーの実行を可能にする、対応する Kubernetes クラスター。
- コンテナーが実行されている基礎となる物理サーバーの OS。
- 各コンテナーを介して展開される Microsoft SQL Server のバージョンとエディション。
- 各コンテナーに割り当てられている仮想プロセッサーコアの数。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、結果のデータを使用して、検出された各コンテナに対応するソフトウェアインストールレコードを作成します。その後、これらのコンテナー ベースのソフトウェア インストールを調整して、各コンテナーを介して展開される Microsoft SQL Server 製品のライセンス コンプライアンスを追跡および最適化できます。

Docker コンテナーを介してデプロイされた Microsoft SQL Server 製品の可視性を高めるには、コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート を参照してください。

Dockerディスカバリーの詳細については、「Docker の仮想化」を参照してください。Kubernetesディスカバリーの詳細については、「Kubernetes ディスカバリー」を参照してください。

サポートされているライセンスモデル

Microsoft Publisher パックは、コンテナーを介して展開される Microsoft SQL Server 製品に対して、次のライセンス モデルをサポートします。

注: 各ライセンスモデルの詳細については、「 サポートされている Microsoft ライセンスタイプ」を参照してください。

コンテナー展開でサポートされる **Microsoft SQL Server** ライセンス モデル

ライセンス モデル	説明
コアあたり	各コンテナは、スタンドアロンデバイスとしてライセンスを取得する必要があります。ライセンスは、各コンテナで検出された仮想 CPU (vCPU) の数に基づいており、コンテナあたりコアあたり最低 4 つのライセンスがあります。
サーバー/CAL	サーバー (インスタンスごとまたはサーバーごと) のライセンスを使用して、各コンテナにライセンスを付与する必要があります。また、ユーザーまたはデバイス CAL ライセンスを使用して、これらのコンテナーを実行している基盤となる物理サーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与する必要があります。 サーバーライセンスを使用すると、物理サーバー上のコンテナベースのソフトウェア インストールにライセンスを付与できます。物理サーバー上の特定の数のインストールのみにライセンスを付与するには、サーバー (インスタンスごと) ライセンスを使用します。物理サーバー上のすべてのインストールにライセンスを付与するには、サーバー (サーバーごと) ライセンスを使用します。 CAL ライセンスは、コンテナーが実行されている基礎となる物理サーバーへのアクセス権を一定数のユーザーまたはデバイスに付与するクライアントアクセスライセンスです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテナー展開でサポートされる **Microsoft SQL Server** ライセンス モデル (続く)

ライセンス モデル	説明
	• 一定数のユーザーに物理サーバーへのアクセス権を付与するには、ユーザーがサーバーにアクセスしているデバイスの台数に関係なく、ユーザー CAL ライセンスを使用します。 • デバイスを介してサーバーにアクセスするユーザーの数に関係なく、一定数のデバイスに物理サーバーへのアクセスを許可するには、デバイス CAL ライセンスを使用します。

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポートを使用すると、 Docker コンテナを使用してオンプレミス環境とクラウド環境の両方に展開されているソフトウェア製品を可視化できます。

注: このレポートを表示するには、 ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) と ディスカバリーとサービスマッピングパターン 利用できません

コンテナーに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポートは、 ソフトウェア資産ワークスペースでのみ使用できます。このレポートを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.ソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品.

コンテナに展開されたライセンス可能なソフトウェア製品レポート

フィールド	説明
コンテナ名	Docker ソフトウェア製品の展開に使用するコンテナ。
環境	Docker コンテナーを介してソフトウェア製品を展開するオンプレミス環境またはクラウド環境。
コンテナー ID	Dockerコンテナの一意の識別子。
サーバー上でホストされる	Dockerコンテナが実行されている物理サーバー。
Kubernetes クラスター	KubernetesDocker コンテナーの実行を有効にするクラスター。
仮想 CPU	Dockerコンテナにアサインされている仮想 CPU (vCPU) の数。
インストールされているソフトウェア	Docker コンテナーを介して展開するソフトウェア製品。

のライセンスを管理する **Microsoft Visual Studio**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for Microsoft でVisual Studioサブスクリプションを管理します。ライセンスのコンプライアンスを検証し、ライセンスのないインストールを検出します。割り当てられているが使用されていないサブスクリプションを特定することで、ライセンスコストを削減します。

始める前に

ネットワーク上のMicrosoftソフトウェアインストールを検出するようにServiceNow ディスカバリー を設定します。ディスカバリーを使用すると、購入したライセンスと実際のインストールを比較して、ライセンスコンプライアンス情報を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

開始する前に、 構成管理データベース (CMDB) で環境を設定する必要があります。開発環境、本番環境、またはテスト環境をセットアップすると、 ソフトウェア資産管理プロ ライセンスを正しく適用するのに役立ちます。構成アイテム (CI) の [環境] フィールドを使用する必要があります。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

Visual Studio サブスクリプションを使用すると、開発者は、個々の権限を購入することなく、任意の数のデバイスまたは仮想マシンでほとんどの Microsoft ソフトウェア製品をダウンロード、インストール、構成、および使用できます。ソフトウェアが開発環境またはテスト環境にのみ展開される場合、個人の権限は必要ありません。Microsoft Publisher Pack を使用して、Visual Studioライセンスを管理し、コンプライアンスリスクを軽減します。

Visual Studio Standard サブスクリプションの利点を利用するには、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランスを維持する必要があります。これらの利点により、SQL Server、Windows Server などのさまざまな Microsoft 製品を開発およびテスト目的でのみ使用できます。

まず、 Visual Studio サブスクリプションを追跡するためのソフトウェアモデルとエンタイトルメントを設定します。次に、調整を実行し、ライセンスワークベンチを表示してライセンスコンプライアンスを管理します。

手順

1. Visual Studioサブスクリプションのソフトウェアエンタイトルメントをインポートします。

   重要: エンタイトルメントインポートテンプレートの [パブリッシャーの品番] 列に入力して、 Visual Studio および含まれているすべてのソフトウェア (スイートコンポーネント) のソフトウェアモデルを自動的に作成します。公開者の品番は、ソフトウェア製品定義テーブル [samp_sw_product_definition] で検索できます。[パブリッシャーの品番] フィールドに入力する場合、パブリッシャーの品番によって情報が提供されるため、パブリッシャー、製品、バージョン、エディション、プラットフォーム、および言語は必要ありません。

   インポートが完了すると、 Visual Studio サブスクリプションのソフトウェアモデルとエンタイトルメントが自動的に作成されます。Visual Studioソフトウェアモデルには、スイートコンポーネントとダウングレード権限が自動的に入力されます。

   ソフトウェアエンタイトルメントを手動で作成することもできます。詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

   重要: ソフトウェアモデルは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。

2. ダウングレードやエディションを含むすべてのソフトウェアモデルに適用される Visual Studio ソフトウェアモデルに製品のインストール条件を追加します。
   インストール条件は、ソフトウェアをインストールできる場所を定義します。Visual Studio、開発環境またはテスト環境以外の場所にソフトウェアをインストールすることは、Microsoftライセンス契約に違反します。インストール条件は調整時に使用されます。調整を実行する場合、本番環境、災害復旧環境、またはその他の環境にインストールされている Microsoft ソフトウェアは、Visual Studio ライセンスの対象外です。これらの製品は、別の Microsoft ライセンスの対象でない限り、ライセンスなしのインストールと見なされます。

   製品のインストール条件の追加の詳細については、「 製品のインストール条件を作成する」を参照してください。

   [製品のインストール条件] フィールドにフィルター条件を追加して、インストールを開発環境またはテスト環境に制限できます。たとえば、 `Installed on contains dev` または `Installed on contains test` という条件を使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. Visual Studioエンタイトルメントにユーザー割り当てを追加します。
   インポートセットと変換マップを使用して、ユーザー割り当てをインポートできます。ユーザー割り当て [alm_entitlement_user] テーブルにインポートします。変換マップで、[アサイン先] フィールドをユーザーテーブル [sys_user] にマッピングします。エンタイトルメントレコードの **[Asset tag** (資産タグ)] フィールドを使用して、割り当てを正しいエンタイトルメントにリンクします。結合値には、エンタイトルメントとユーザーに対して 2 属性結合を使用します。

   詳細については、「インポートセット」を参照してください。

   さらに、 Visual Studio ソフトウェアモデルの推定率を変更することもできます。推定率は、スイートにインストールする必要があるコンポーネントの割合を指定します。ほとんどの場合、0% にすることができます。また、 Visual Studio Community エディションが無償であることを確認します。エディション レベルでの推定率と製品のライセンス性の追加の詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

次のタスク
調整を実行して、 Visual Studio ライセンスのコンプライアンスを表示します。調整は毎週もしくはオンデマンドで実行できます。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録された購入済みの Visual Studio 権限と、 ディスカバリーが検出した実際のインストールを比較します。簡素化されたワークベンチビューで調整結果を表示するには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 調整 > ライセンスワークベンチ. 詳細については、「コンプライアンスのためのソフトウェア調整」を参照してください。

のコストベースのライセンスの最適化 **Microsoft**

Microsoft のコストベースのライセンス最適化は、ハイブリッドインフラストラクチャ全体でMicrosoftソフトウェア製品のライセンスを取得する最適な方法を決定するのに役立ちます。この最適化により、ライセンスコンプライアンスと費用対効果のバランスを自動的にとり、コスト削減を最大化できます。

> **注:** このライセンスの最適化は、 ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインに自動的に含まれるため、 Microsoft ソフトウェア権限の割り当てを手動で最適化および管理する必要はありません。ただし、推奨されるライセンスの最適化が組織のライセンス戦略に従っていない場合は、割り当てを手動で管理することもできます。手動割り当て管理の詳細については、「 ServiecNow SAM Pro の割り当て管理 」を参照してください。

このライセンスの最適化は、次の Microsoft ライセンスタイプでサポートされています。

- Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアあたりのライセンス
- Microsoft Windows Server、Microsoft Core インフラストラクチャサーバー、および Microsoft System Center のコアあたり (CAL を含む) ライセンス

コアあたりおよびコアあたり (CAL 付き) のライセンスの詳細については、「 サポートされている Microsoft ライセンスタイプ 」を参照してください。

ライセンス最適化のメリット

このライセンスの最適化には、次のメリットがあります。

- 現在のソフトウェアエンタイトルメントとインフラストラクチャのセットアップによって既に達成されたコスト削減を判断するのに役立ちます。
- 推奨されるライセンスの最適化に従うことで、さらにコストを削減できるかどうかの判断に役立ちます。
- 推奨される各ライセンス最適化に関するインサイトを得るのに役立ち、その背後にある理由を理解し、それに従うか無視するかを決定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスの最適化について理解する

次のテーブルとビューを使用して、推奨されるライセンスの最適化を表示し、インサイトを得ることができます。

- 推奨ライセンスタイプや推奨ライセンス消費レイヤーなど、推奨される各ライセンス最適化の詳細を表示するには、 Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルを使用します。このテーブルの詳細については、「 の実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースの最適化を表示する Microsoft 」を参照してください。
- 特定の Microsoft クラスターに推奨されるすべてのライセンスの最適化を表示するには、SAM クラスター 360 度ビューを使用します。このビューの詳細については、「 クラスター・インフラストラクチャーの理解 」を参照してください。
- 推奨されるライセンスの最適化によって達成できる潜在的なコスト削減を表示するには、 ソフトウェア資産ワークスペースの最適化と節減額ダッシュボードの [ライセンスの最適化によるオンプレミスの節減見込み] レポートを使用します。ダッシュボードの詳細については、「 ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード 」を参照してください。レポートの詳細については、「 のパブリッシャーの最適化 Microsoft 」を参照してください。
- 現在のソフトウェアエンタイトルメントとインフラストラクチャのセットアップを通じて既に達成した実際のコスト節減を表示するには、 ソフトウェア資産ワークスペースの最適化と節減額ダッシュボードにあるオンプレミス最適化実現節減レポートを使用します。ダッシュボードの詳細については、「 ワークスペースの最適化と節減額のダッシュボード 」を参照してください。レポートの詳細については、「 のパブリッシャーの最適化 Microsoft 」を参照してください。

Microsoft コストベースのライセンスの最適化の例

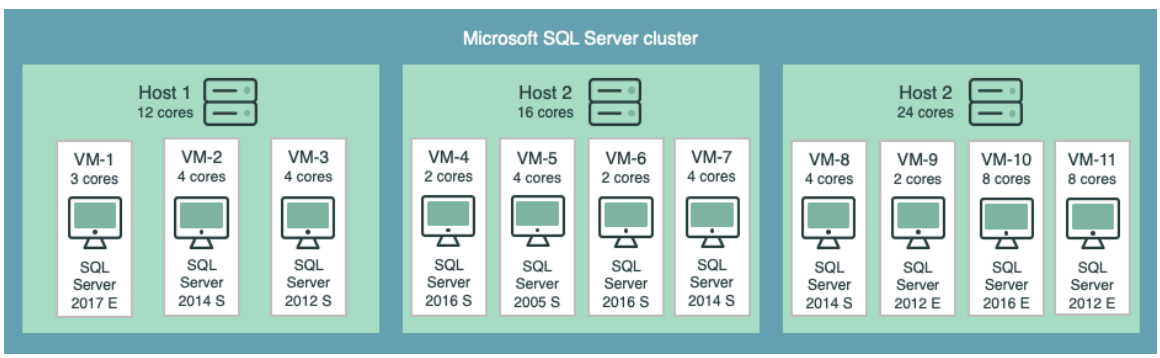
この例は、ソフトウェア資産マネージャーがクラスター展開で SQL Server Microsoft ライセンスを最適化する方法を示しています。

この例では、ソフトウェア資産マネージャーが次の Microsoft SQL Server エンタイトルメントを管理しています。

Microsoft SQL Server エンタイトルメント

エンタイトルメント名	ライセンスタイプ	購入済みの権利の数	コア当たりのコスト
SQL Server Enterprise ライセンス	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェアアシュアランス付き)	1800	5000ドル
SQL Server Standard ライセンス	SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェアアシュアランス付き)	600	1300ドル

次のインフラストラクチャは、3 つの物理ホストで構成される VMware クラスターです。各物理ホストには、さまざまなバージョンとエディションの SQL Server を実行している仮想マシン (VM) Microsoft が含まれています。これらの VM は、クラスター内のすべての物理ホスト間を移動している可能性があります。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

利用可能なエンタイトルメントとクラスターインフラストラクチャに基づいて、ソフトウェア資産管理者は次のいずれかのオプションを使用してクラスターにライセンスを付与できます。

ライセンスオプション

オプション番号	ライセンスタイプ	ライセンスレイヤー	各ホストまたは **VM** で必要な権限の数	必要な権限の合計数	概算コストの合計
1	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェアアシュアランス付き)	物理ホスト層	• ホスト 1:12 権限 • ホスト 2:16 権限 • ホスト 3:24 権限	12 権限 (ホスト 1) + 16 権限 (ホスト 2) + 24 権限 (ホスト 3) = 合計 52 権限	52 の権利 X $5000 = $260,000
2	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェアアシュアランス付き)	仮想レイヤー	• VM-1:4 権限 • VM-2:4 権限 • VM-3:4 権限 • VM-4:4 権限 • VM-5:4 権限 • VM-6:4 権限 • VM-7:4 権限 • VM-8:4 権限 • VM-9:4 権限 • VM-10:8 権限 • VM-11:8 権限	4 権限 (VM-1) + 4 権限 (VM-2) + 4 権限 (VM-3) + 4 権限 (VM-4) + 4 権限 (VM-5) + 4 権限 (VM-6) + 4 権限 (VM-7) + 4 権限 (VM-8) + 4 権限 (VM-9) + 8 権限 (VM-10) + 8 権限 (VM-11) = 合計 52 権限	52 の権利 X $5000 = $260,000
3	SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き) と SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き) の両方	仮想レイヤー	• SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュ	• SQL Server 2019 Enterprise Core (ソフトウェア アシュアランス付き): 4 権限 (VM-1) + 4 権限 (VM-9) + 8 権限 (VM-10) + 8 権限 (VM-11) = 合計 24 権限	(24 権利 X 5,000 ドル) + (28 権利 X 1,300 ドル) = 156,400 ドル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスオプション (続く)

オプション番号	ライセンスタイプ	ライセンスレイヤー	各ホストまたは **VM** で必要な権限の数	必要な権限の合計数	概算コストの合計
			アランス付き): ◦ VM-1:4 権限 ◦ VM-9:4 権限 ◦ VM-10:8 権限 ◦ VM-11:8 権限 • SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き): ◦ VM-2:4 権限 ◦ VM-3:4 権限 ◦ VM-4:4 権限 ◦ VM-5:4 権限 ◦ VM-6:4 権限 ◦ VM-7:4 権限 ◦ VM-8:4 権限	• SQL Server 2019 Standard Core (ソフトウェア アシュアランス付き): 4 権限 (VM-2) + 4 権限 (VM-3) + 4 権限 (VM-4) + 4 権限 (VM-5) + 4 権限 (VM-6) + 4 権限 (VM-7) + 4 権限 (VM-8) = 合計 28 権限	

ソフトウェア資産管理者は、オプション番号 3 がクラスターにとって最もコスト効率の高いライセンスソリューションであると判断します。このライセンスオプションを使用することで、ソフトウェア資産管理者は合計で約 103,600 ドルのコスト削減を達成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の実現されたコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースの最適化を表示する **Microsoft**

Microsoftソフトウェア製品の実現したコストベースのライセンス最適化と潜在的なコストベースの最適化を表示します。各ライセンスの最適化を深く理解することで、 Microsoft 展開全体でコストを最大限に削減できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Microsoft は、Microsoft のコストベースのライセンスの最適化をサポートしています。これらのライセンスの最適化により、ハイブリッドインフラストラクチャ全体で Microsoft ソフトウェア製品に対して最も費用対効果の高いライセンスソリューションを決定できます。

実現したライセンス最適化と潜在的なライセンス最適化に関する詳細な詳細は、 Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルで確認できます。このテーブルが役に立ちます

- Microsoft展開全体にすでに実装されているライセンスの最適化に関するインサイトを取得します。
- 推奨されるライセンスの最適化に関する洞察を得て、さらなる節約をもたらす可能性があります。
- Microsoftライセンスの消費状況をよりよく把握し、
- ソフトウェア資産管理 アプリケーションを使用して Microsoft ライセンスを追跡および管理することで達成したコスト節減を判断します。
- 組織内の他のユーザーと共有できる最適化レポートをダウンロードします。

コストベースのライセンスの最適化の詳細については、「 のコストベースのライセンスの最適化 Microsoft」を参照してください。

手順

1. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに、「`samp_ms_optimization_report_list.do`」と入力します。
   Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルが開きます。
3. 実現したコストベースのライセンスの最適化と潜在的なコストベースの Microsoftの最適化を表示します。

   Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルには、推奨ライセンスタイプ、推奨ライセンス消費レイヤー、潜在的および実現したコスト削減など、実現されたライセンス最適化と潜在的なライセンス最適化のそれぞれに関する詳細情報が表示されます。この表の各フィールドの詳細については、「 Microsoft コアライセンス最適化レポートのフィールド」を参照してください。

SQL Server データベースとコンポーネント Microsoft ライセンス消費の最適化

Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントのライセンス消費は、ITOM ディスカバリー によって識別されるコンポーネント エディションに基づいて最適化できます。

> **注:** ITOM ディスカバリー を使用して Microsoft SQL Server コンポーネントのエディションを特定するには、ServiceNow Store からバージョン 1.7.0 以降の ディスカバリーとサービスマッピングパターン アプリケーションを要求してインストールする必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントはどちらも、関連付けられている Microsoft SQL Server エディションに対するライセンスを消費します。Microsoft SQL Server コンポーネントの場合、ServiceNow® Content Service チームは、コンポーネントのエディションに基づいて、各コンポーネントを適切な Microsoft SQL Server エディションに自動的に関連付けます。データベースとコンポーネントのライセンス消費を最適化することで、Microsoft SQL Server とそのコンポーネント エディションのライセンスを最適化します。

ITOM ディスカバリー は、展開全体で Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントを検索して識別します。Microsoft SQL Server コンポーネントを検索して識別すると、各コンポーネントのエディションも識別されます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、特定されたコンポーネントエディションに基づいて、各コンポーネントのソフトウェアインストールレコードを作成します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Microsoft SQL Server データベースごとにソフトウェアインストールレコードも作成します。これらのソフトウェア インストール レコードを使用して、関連付けられた Microsoft SQL Server エディションと次の Microsoft SQL Server ライセンス ルールの両方に基づいて、コンポーネントとデータベースを調整できます。

- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが同じデバイスに展開されている場合、デバイスで消費する必要があるライセンスは 1 つだけです。
- Microsoft SQL Server データベースとコンポーネントが異なるデバイスに展開されている場合は、デバイスごとに個別のライセンスを使用する必要があります。

Microsoft SQL Server コンポーネントエディションのディスカバリーの詳細については、「MSSQL サーバーのディスカバリー」を参照してください。

検出されたコンポーネントエディションに基づく SQL Server コンポーネント Microsoft 調整

検出されたコンポーネント Microsoft エディションに基づいて SQL Server コンポーネントを調整し、適切な Microsoft SQL Server エディションに対してライセンスが最適に消費されるようにすることができます。

SQL Server Standard Edition や Enterprise Edition など、さまざまな Microsoft SQL Server エディション Microsoft ソフトウェア モデルを作成すると、 Microsoft SQL Server コンポーネントは、ServiceNow® Content Service チームによって提供されるマッピングに基づいて、適切なモデルに自動的に関連付けられます。Microsoft SQL Server ソフトウェア モデルとコンポーネント間のマッピングは、各コンポーネントのエディションに基づいています。コンテンツサービスチームは、検出されたデータの正規化に使用できるソフトウェアコンテンツの一元化されたリポジトリであるソフトウェアライブラリ内の事前定義された検出マップ (DMAP) を通じて、これらのマッピングを提供します。各 DMAP は、ソフトウェアモデルを、ソフトウェアモデルスイートの関係やソフトウェア製品のライフサイクルなど、関連するソフトウェアコンテンツに関連付けます。コンテンツサービスとソフトウェアライブラリの詳細については、「 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。

子コンポーネントはコンポーネント自体ではなく親ソフトウェアモデルに対してライセンス付与されるため、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは調整中にソフトウェアモデルスイートを考慮します。調整はスケジュール済みジョブとして自動的に実行されます。ただし、スケジュール済みジョブ間でオンデマンドで調整を実行することもできます。ソフトウェアモデルスイートの詳細については、「 ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用して手動で調整を実行する方法については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースから手動で調整を実行する方法については、「ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Microsoftライセンスステートメント(MLS)からのMicrosoftエンタイトルメントのインポート

MLS からエンタイトルメントをインポートして、 Microsoft ソフトウェアモデルに一致するライセンスの詳細とライセンス契約を自動的に定義できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

MLS は、各 Microsoft 製品のライセンス情報の包括的なインベントリを含むレポートです。このレポートでは、会社のライセンストランザクション履歴全体を詳細に把握できるため、 Microsoft ライセンスのニーズをより適切に予測できます。

各MLSには、次の情報が含まれています。

- 組織の概要:MLS タイプと MLS に関連付けられている組織を含む、MLS の範囲。
- ライセンスのサマリー:使用する資格のあるライセンスのサマリー。
- トランザクションの概要:各ライセンスの詳細なトランザクション情報。
- ライセンス契約:各ライセンスに関連付けられているライセンス契約。
- トランザクションデータ:各ライセンスの追加のトランザクション情報。
- よく寄せられる質問と用語集: よく寄せられる質問への回答と、一般的な Microsoft 用語の定義。
- ピボットデータ: Microsoftのライセンスポジションを生成するために使用できるデータ。

MLS からライセンス情報をインポートすると、 ソフトウェア資産管理 は MLS の [トランザクションデータ**(Transaction Data)]** タブのデータのみを使用してエンタイトルメントとライセンス契約を自動的に作成します。

クラシック版の**Microsoft**ライセンスステートメント **(MLS)** からの**Microsoft**エンタイトルメントソフトウェア資産管理インポート

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションを使用して MLS からエンタイトルメントをインポートします。

始める前に

MLS からエンタイトルメントをインポートする前に、 Microsoft から MLS を要求する必要があります。 Microsoft は MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_bulk_import_list.do`」と入力します。
   [エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルが開きます。
3. [新規] を選択します。
4. [エンタイトルメントのインポート] フォームの各フィールドに入力します。

[エンタイトルメントのインポート] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	ソフトウェアエンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。オプションは、[標準インポートドキュメント**]** と **[Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)]** です。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	インポートするソフトウェアエンタイトルメントのスプレッドシート。[**Click to add...**] を選択して、 Microsoft から要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。
Description (説明)	ソフトウェアエンタイトルメントのインポートの簡単な説明。
契約の自動作成	選択した MLS の親契約と子契約の両方の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
確認メッセージが表示され、インポートが進行中であることが通知されます。メッセージ内のリンクを選択すると、 ソフトウェア資産ワークスペースでエンタイトルメントインポートリストを開くことができます。このリストには、インポートのステータスとエンタイトルメントインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントのインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

   a. エンタイトルメントのインポート [samp_bulk_import] テーブルから、MLS エンタイトルメントのインポートを選択します。

   b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。
   - インポートステータスに関する追加情報を表示するには、次のフィールドを参照してください。

     インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel の行数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel の行数。
エラーのある行数	エラー付きでインポートされた Excel 行の数。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	インポートされた Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) またはステップアップエンタイトルメントのうち、ビルドステータスであり、ベースエンタイトルメントにリンクできるエンタイトルメントの数。

   - インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] 関連リストを選択します。
   - ステップ 4 で [契約の自動作成] オプションを有効にした場合は、[契約] 関連リストを選択して、自動的に作成された契約のリストを表示します。

     注: これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

   - インポートされた Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントのうち、ビルドステータスにあり、ベースエンタイトルメントにリンクできるもののリストを表示するには、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

     Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てる方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. エンタイトルメントのインポートに Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントが含まれている場合は、それらのエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てます。

   a. [エンタイトルメントのインポート] レコードで、[ビルドステータスのエンタイトルメント] 関連リストを選択します。

   b. 利用可能な Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントのリストから、基本エンタイトルメントに割り当てるエンタイトルメントを選択します。

   c. 対応するソフトウェアエンタイトルメントフォームで、[公開] を選択します。

   d. フォームが再ロードされたら、[**Related Entitlements** (関連エンタイトルメント)] タブを選択します。

   e. [**Related Entitlement**] フィールドで、[**Insert a new row**] をダブルクリックします。

   f. プロンプトが表示されたら、 Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントを割り当てる基本エンタイトルメントを検索して選択し、[保存] アイコン ([ ) を選択します。

      注: 指定された Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントで適切な基本エンタイトルメントが利用できない場合は、作成できます。

   g. 対応する [アクティブな権限] フィールドをダブルクリックします。

   h. プロンプトが表示されたら、基本エンタイトルメントに付与する権限の数を入力し、[保存] アイコン ( ) を選択します。

   i. [Software Entitlement] フォームヘッダーで [**Save**] を選択します。
   Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントは、指定された基本エンタイトルメントに割り当てられます。

   j. エンタイトルメントのインポートレコードに戻り、解決するインポートごとに手順 a から i を繰り返します。

8. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

   a. エンタイトルメントのインポートレコードで、[インポートエラーのレビュー] を選択します。
   [エンタイトルメントのインポートエラー] リストが開きます。

   b. [エラーステータス] フィールドで、解決するエラーの [要レビュー] を選択します。

   c. 必要に応じて、対応する [エンタイトルメントインポートエラー] フォームを更新して、エラーを解決します。
   [エンタイトルメントのインポートエラー] フォームフィールドの説明については、「エンタイトルメントインポートエラーフィールド」を参照してください。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

   d. [インポート] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連付けられたエンタイトルメントはエラーなしで再インポートされ、自動的に [エンタイトルメントのインポート] フォームに戻ります。

e. 解決するエラーごとに手順 a から d を繰り返します。

でMicrosoftライセンスステートメント (MLS) からMicrosoftエンタイトルメントをインポートしますソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースを使用して MLS からエンタイトルメントをインポートします。

始める前に

MLS からエンタイトルメントをインポートする前に、 Microsoft から MLS を要求する必要があります。 Microsoft は MLS を Excel ファイルとして提供します。

必要なロール：sam_user または sam_admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動し、ソフトウェア資産の概要が表示されます。
2. [ソフトウェア資産の概要] で、 [エンタイトルメントの作成] を選択します。
   [新しいエンタイトルメントを作成 (Create new entitlement)] ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログ ボックスで、 **Excel** ファイルから複数の権利をインポート する を選択し、 次へ を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、[新しいエンタイトルメントインポートを作成 (Create New Entitlement Import)] フォームが新しいタブで開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいエンタイトルメントインポートの作成] フォーム

フィールド	説明
インポートタイプ	エンタイトルメントのインポート元のドキュメントのタイプ。このフィールドを **Microsoft** ライセンスステートメント **(MLS)** に設定します。
ファイル	エンタイトルメントのインポート元のファイル。Microsoft から要求した MLS Excel ファイルを検索して選択します。
説明	エンタイトルメントのインポートの説明。このフィールドは、[ファイル] フィールドで選択したファイルに基づいて自動的に入力されます。
契約の自動作成	選択した MLS の親契約と子契約の両方の自動作成を有効にするオプション。契約の詳細については、「 契約 」を参照してください。
インポートステータス	インポートのステータス。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. [インポート] を選択します。
   確認メッセージが表示され、インポートが進行中であることが通知されます。メッセージ内のリンクを選択すると、[エンタイトルメントのインポート] リストを開くことができます。このリストには、インポートのステータスとエンタイトルメントインポートの完全なリストが表示されます。
6. インポートが完了したら、対応するエンタイトルメントのインポートレコードを開いて、インポートに関する追加情報を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [エンタイトルメントのインポート] ビューから、MLS エンタイトルメントのインポートを選択します。
対応するエンタイトルメントのインポートレコードが開きます。

b. インポートに関する追加情報を表示するには、次のオプションを使用します。

- インポートステータスに関する追加情報を表示するには、[詳細] タブの次のフィールドを参照してください。

インポートステータスフィールド

フィールド	説明
インポートステータス	インポートのステータス。
処理された行数	インポート中に処理された Excel の行数。
成功した行数	正常にインポートされた Excel の行数。
エラーのある行数	エラー付きでインポートされた Excel 行の数。
ビルドステータスのエンタイトルメントの数	インポートされた Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) またはステップアップエンタイトルメントのうち、ビルドステータスであり、ベースエンタイトルメントにリンクできるエンタイトルメントの数。 Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントを基本エンタイトルメントに割り当てる方法の詳細については、ステップ 7 を参照してください。

- インポートされたエンタイトルメントの完全なリストを表示するには、[エンタイトルメント] タブを選択します。
- ステップ 4 で [契約の自動作成] オプションを有効にした場合は、[契約] タブで自動的に作成された契約の完全なリストを表示します。

> **注:** これらの契約は、正常にインポートされたエンタイトルメントに自動的にリンクされます。

7. エンタイトルメントのインポートにエラーが含まれている場合は、それらのエラーを特定して解決します。

a. エンタイトルメントのインポートレコードで、[**Review import errors** (インポートエラーのレビュー)] を選択します。
対応する [エンタイトルメントのインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューが開きます。

b. インポートエラーを解決するには、次のいずれかまたは両方のオプションを使用します。

- インポートされたエンタイトルメントに関連するエラーを解決します。

  i. [インポートエラー] タブを選択します。

  ii. [エラーステータス] フィールドで、解決するエラーの [要レビュー] を選択します。

  対応するエンタイトルメントのインポートエラーレコードが新しいタブで開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

iii. エラーを解決するために、必要に応じてレコードを更新します。

エンタイトルメントのインポートエラーフィールドの説明については、「エンタイトルメントインポートエラーフィールド」を参照してください。エンタイトルメントのインポートエラーに対して実行できるアクションの詳細については、「エンタイトルメントのインポートエラーアクション」を参照してください。

iv. [インポート] を選択します。

関連付けられたエンタイトルメントはエラーなしで再インポートされます。

v. レコードを閉じて、[エンタイトルメントのインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。

vi. 解決するエラーごとに手順 i から v を繰り返します。

- インポートされた Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントがどのベースエンタイトルメントにも割り当てられていないエラーを解決します。

i. [エンタイトルメントを関連付け る] タブを選択します。

ii. 利用可能な Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントのリストから、基本エンタイトルメントに割り当てるエンタイトルメントを選択します。

対応するソフトウェアエンタイトルメントレコードが新しいタブで開きます。

iii. **[Publish** (公開)] を選択します。

iv. フォームが再ロードされたら、関連するエンタイトルメント 関連リストを選択し、 新規 を選択します。

[関連するエンタイトルメントの新規作成 (Create New Related Entitlement)] フォームが新しいタブで開きます。

v. フォームのフィールドに入力します。

[新しい関連エンタイトルメントを作成 **(Create New Related Entitlement)]** フォーム

フィールド	説明
アクティブな権限	基本エンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント	Microsoft 基本エンタイトルメントにアサインする SA またはステップアップエンタイトルメント。このフィールドは、自動的に入力されます。
関連エンタイトルメント	Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントをアサインするベースエンタイトルメント。 **注:** 指定された Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントで適切な基本エンタイトルメントが利用できない場合は、作成できます。
ドメイン	基本エンタイトルメントが適用されるドメイン。デフォルト値は [グローバル] です。

vi. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

vii. ソフトウェアエンタイトルメントレコードを閉じて、[エンタイトルメントインポートエラーのレビュー (Review entitlement import errors)] ビューに戻ります。

viii. 基本エンタイトルメントに割り当てる Microsoft SA またはステップアップエンタイトルメントごとに手順 i ～ vii を繰り返します。

Windows および SQL Server インフラストラクチャ レポート

Windows および SQL Server インフラストラクチャ レポートを使用すると、AWS や Microsoft Azure などのオンプレミスおよびパブリック クラウド環境全体で Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server を実行しているすべての物理ホストと仮想マシン (VM) のインフラストラクチャの詳細を表示できます。

Windows と SQL Server インフラストラクチャ レポートは、ソフトウェア資産ワークスペース と ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションの両方で使用できます。

このレポートを ソフトウェア資産ワークスペースで表示するには、 ワークスペース > **Software Asset Workspace**.ソフトウェア資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > **Windows** と **SQL Server** のインフラストラクチャ.

このレポートを ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで表示するには、 すべて > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートの一覧から、 **Windows** と **SQL Server** のインフラストラクチャの詳細レポートを検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、 [実行] を選択します。

Windows および SQL Server インフラストラクチャ レポート

フィールド	説明
展開タイプ	物理ホストまたは VM が実行されている展開のタイプ。オプションは [オンプレミス] と [クラウド] です。
クラウドプロバイダ	Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server が展開されているクラウドプロバイダー。オプションは 、AWS と **Microsoft Azure** です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
vCenter	VMware 仮想 VMware vSphere 環境で物理ホストまたは VM を管理するために使用している vCenter Server。 **注:** このフィールドは、 VMware 仮想化テクノロジーを使用している場合にのみ適用されます。
クラスター	物理ホストまたは VM が存在するクラスター。
ホスト	物理ホストの場合、このフィールドは Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server がインストールされているホストを示します。 VM の場合、このフィールドは VM が実行されている物理ホストを示します。
ホストプロセッサー数	物理ホストに割り当てられている CPU の数。
ホストコア数	物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート (続く)

フィールド	説明
仮想化技術	物理ホストと VM の展開と管理に使用している仮想化テクノロジー。
仮想サーバー	Microsoft Windows Server または Microsoft SQL Server を実行している VM。 **注:** VM がオンプレミスクラスター内にある場合は、そのクラスター内の任意の物理ホストに移行できます。さらに、VM とホストの親和性ルールを使用して VM を実行できる物理ホストを指定している場合、VM はそれらのルールで指定されている任意の物理ホストに移行できます。これらのシナリオでは、移行先の物理ホストに基づいて、同じ VM が Windows と SQL Server インフラストラクチャ レポートに複数回表示される可能性があります。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
Windows サーバーのインストール	Microsoft Windows 物理ホストまたは VM にインストールされているサーバーのバージョン。 複数の Microsoft Windows Server バージョンが同じホストまたは VM にインストールされている場合、このフィールドにはインストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
SQL Server のインストール	Microsoft 物理ホストまたは VM にインストールされている SQL Server のバージョン。 複数の Microsoft SQL Server バージョンが同じホストまたは VM にインストールされている場合、このフィールドにはインストールされているすべてのバージョンがカンマ区切りリストを使用して表示されます。
VM プロセッサー数	VM に割り当てられている仮想 CPU (vCPU) の数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
VM コア数	VM に割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
VM CPU スレッド数	VM に割り当てられた vCPU 内の各仮想コアを分割するスレッドの数。 **注:** このフィールドは VM にのみ適用されます。
クラウドホストタイプ	VM が実行されているクラウドホストのタイプ。オプションは [共有] と [専用] です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。
クラウドライセンスタイプ - Windows Server	Microsoft Windows Server インストールのクラウドライセンスタイプ。オプションは、[**BYOL**] と [ライセンスが含まれる] です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Windows および **SQL Server** インフラストラクチャ レポート (続く)

フィールド	説明
クラウドライセンスタイプ - SQL Server	Microsoft SQL Server インストールのクラウドライセンスタイプ。オプションは、[**BYOL**] と [ライセンスが含まれる] です。 **注:** このフィールドは、クラウド展開にのみ適用されます。

Microsoftソフトウェア資産管理 クラシックのダッシュボード

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで、SQL Server などのMicrosoftソフトウェアのインストール数、コスト、およびコンプライアンスを表示します。Microsoft 365のサブスクリプションの使用状況、コスト、およびコンプライアンスを表示します。

注: ダッシュボードを表示するには、アドオン Microsoft パブリッシャーパック (com.snc.samp.microsoft) プラグインをインストールする必要があります。

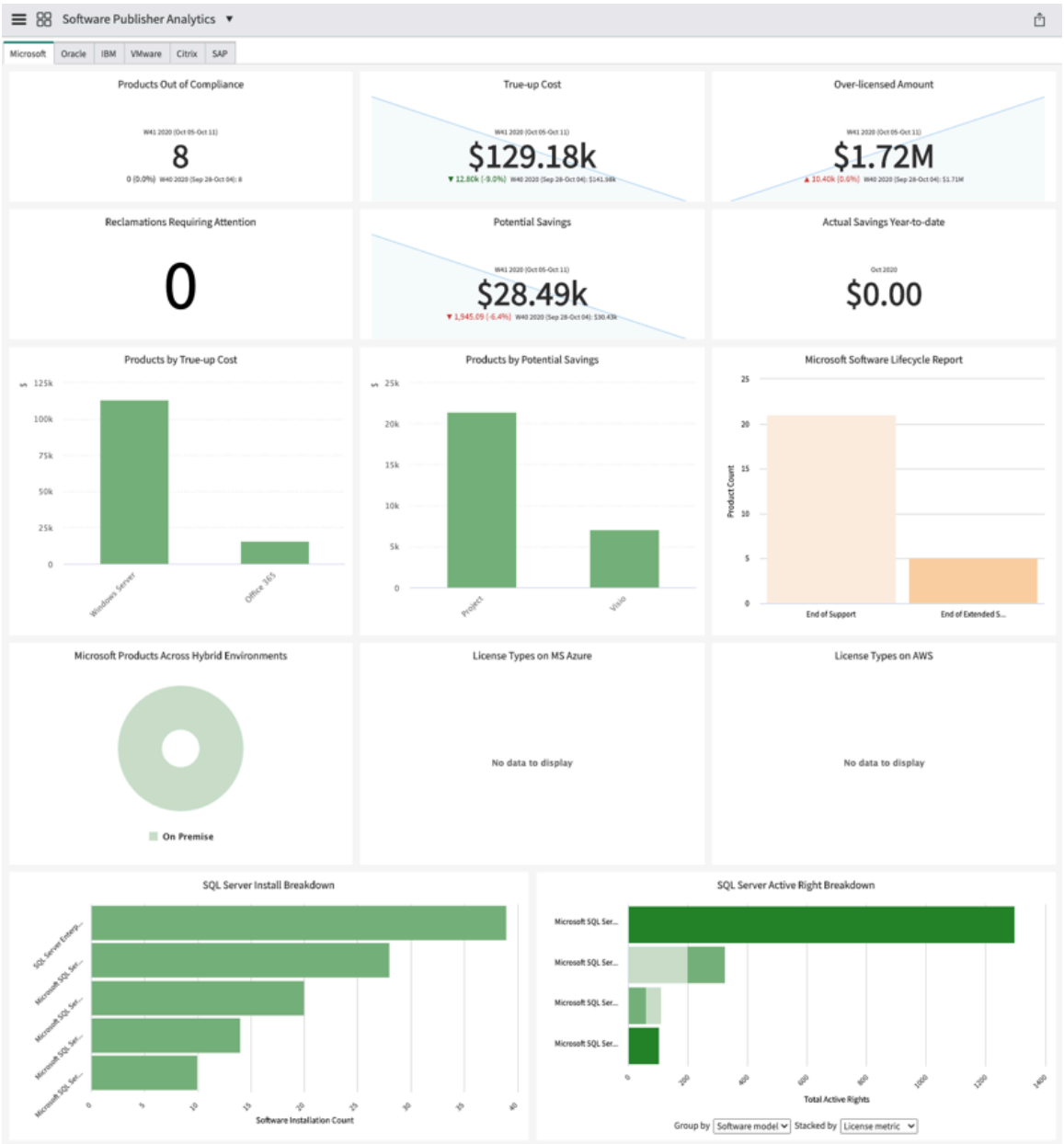
ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード **Microsoft**

Microsoftのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Microsoft タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft タブ (続く)

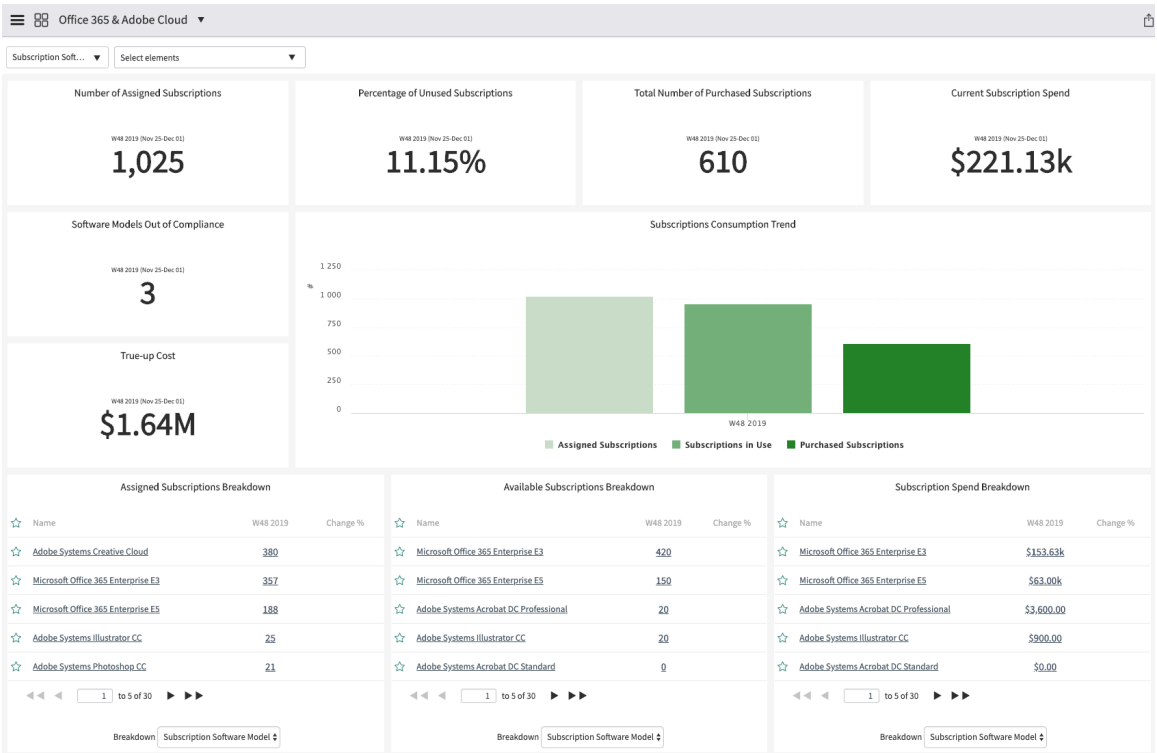
レポート	ソースリスト	説明
注意が必要な再利用	再利用候補	ステータスが [要確認] であること。
節減見込み	再利用候補	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。
節減実績の年度累計	再利用候補	[Closed this Year] で、ステータスが [Closed Complete] に設定されています。
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大の調整コスト。
節減見込み額別の製品	再利用候補	製品別の最大の節減見込み。
Microsoft ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	拡張サポートの終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアライフサイクルの各フェーズの製品数。
Microsoft ハイブリッド環境全体の製品	ソフトウェア インストール	オンプレミス環境とクラウド環境全体での Microsoft 製品の配布。
のライセンスタイプ Microsoft Azure	ソフトウェア インストール	Microsoft Azure で使用されるライセンスタイプ。
のライセンスタイプ AWS	ソフトウェア インストール	AWS で使用されるライセンスタイプ。
SQL Server インストールのブレークダウン	ソフトウェア インストール	SQL Server あたりの合計ソフトウェアインストール数。
SQL Server の有効な権限のブレークダウン	ソフトウェアエンタイトルメント	SQL Server あたりのアクティブな権限の合計数。

Office 365 と Adobe Cloud ダッシュボード

サブスクリプションソフトウェアとして認識されている Microsoft 365 ソフトウェア製品のみが表示されます。 Microsoft Office 365 統合 をコンプライアンス情報を表示するように設定する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



レポート	ソースリスト	説明
アサインされたサブスクリプションの数	ソフトウェアサブスクリプション	使用されているサブスクリプション数の集計 (アクティブなユーザーアカウントなど)。
未使用のサブスクリプションの割合	ソフトウェアサブスクリプション	所有する権利に対する利用可能な権限の比率。
購入したサブスクリプションの合計数	ライセンス評価指標の結果	所有している権利の合計数。
現在のサブスクリプション支出	ライセンス評価指標の結果	サブスクリプション権限の合計コストの集計。
コンプライアンス違反のソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。 レポートを選択し、ライセンスワークベンチで結果を表示します。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	最新のソフトウェアモデルの結果に関する調整コストの合計。
サブスクリプション消費の傾向	ソフトウェアサブスクリプション ライセンス評価指標の結果	傾向、アサイン済み、アクティブ、および利用可能なサブスクリプション。
アサインされたサブスクリプションブレークダウン	ソフトウェアサブスクリプション	ソフトウェアモデル別のアサインされたサブスクリプションのブレークダウン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

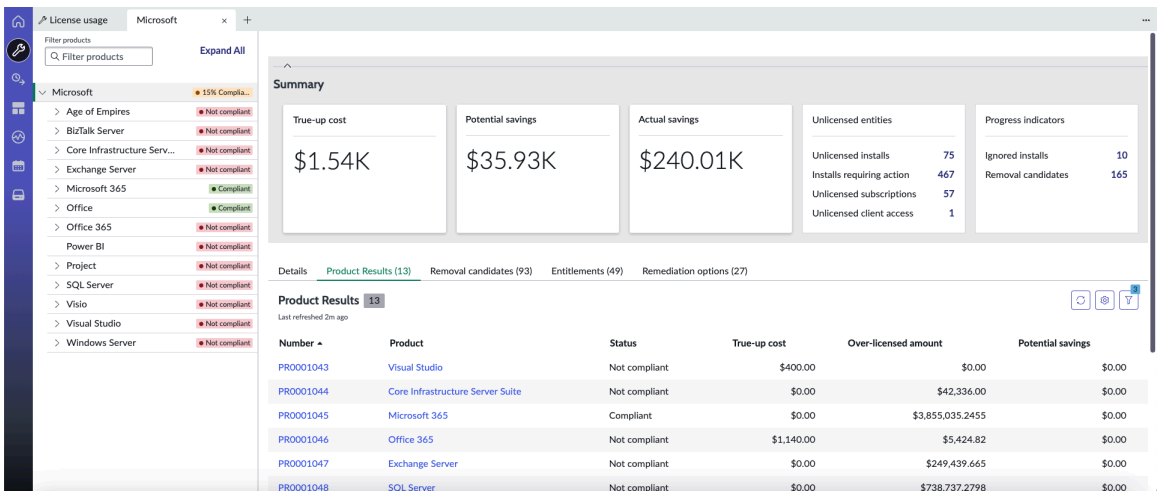
レポート	ソースリスト	説明
使用可能なサブスクリプションブレークダウン	ライセンス評価指標の結果	ソフトウェアモデル別のアクティブな権限の合計のブレークダウン。
サブスクリプション支出明細	ライセンス評価指標の結果	製品/バージョン/エディション (ソフトウェアモデル) 別のサブスクリプション総コストのブレークダウン。

の Microsoft のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内のMicrosoftの公開者の概要で、Microsoftに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Microsoft 公開者の概要にアクセスします。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[Microsoft**] を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Microsoft 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

Microsoft 概要

レポート	説明
調整コスト	Microsoftソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	Microsoftライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	Microsoftライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの Microsoft ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Microsoft ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスのない Microsoft サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Microsoft サブスクリプションの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Microsoft クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Microsoft クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Microsoft ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Microsoft ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:Microsoft削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

サポートされている **Microsoft** ライセンスタイプ

Microsoft 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、Microsoft に固有のライセンスメトリクスを追加します。

ライセンスのメトリクスは Microsoft エンタイトルメントの メトリクスグループ として選択されている場合に使用できます。

ユーザーごとのライセンス

ユーザーごとのライセンスは、ソフトウェアへのアクセスに使用するデバイスの数に関係なく、ソフトウェアにアクセスする各ユーザーにライセンスが付与されている場合に使用されます。

ユーザーのインストール数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストで [権限あたりの最大インストール数] を選択します。ユーザーが定義したインストール数を超えた場合、ユーザーに完全にライセンスが付与されるか、それ以上利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

ユーザーごとのライセンスメトリクスのユーザー割り当てを管理できます。ユーザーには、いくつもの権限が割り当てられます。ユーザーは、すべての割り当てを必要としない場合でも、割り当てられた権限の数を消費します。ユーザーがデバイスに割り当てられていない場合、ソフトウェアがインストールされている一意のデバイスごとに権利が消費されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、アサインされているデバイスにソフトウェアが 1 つ以上インストールされている一意のユーザーごとに権利が消費されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

デバイスごとのライセンス

デバイスごとのライセンスは、ソフトウェアにアクセスするユーザーの数に関係なく、ソフトウェアにアクセスするデバイスごとにライセンスが付与される場合に使用されます。

デバイスのインストール数を定義するには、関連するソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストで [権限あたりの最大インストール数] を選択します。デバイスが定義したインストール数を超えた場合、デバイスに完全なライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイスごとのライセンス測定基準に対してデバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。

調整中に、このライセンス測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを含むソフトウェアモデルの場合、1 つ以上のソフトウェアがインストールされている固有のデバイスごとに権限が消費されます。

ソフトウェアモデルにソフトウェア製品の別のバージョンへのダウングレード権限またはアップグレード権限がある場合、ソフトウェアのプライマリバージョンが完全にライセンス付与された後に、指定されたバージョンのソフトウェアをインストールしたユーザーに権限が割り当てられます。

コアあたりのライセンス

サーバー プロセッサは、サーバーの主要コンポーネントの 1 つです。各サーバー プロセッサには、コアと呼ばれる小さな処理ユニットが含まれており、プロセッサのコア数はシステム ハードウェアによって異なります。

システムハードウェアはオペレーティングシステム環境 (OSE) で稼働し、オペレーティングシステムとシステム上のソフトウェアアプリケーション間のミドルウェアとして機能します。OSE は、物理的または仮想的なもののいずれかです。使用している OSE に応じて、プロセッサーは物理、仮想、またはその両方の組み合わせになります。

プロセッサが物理 OSE と仮想 OSE のどちらにあるかに関係なく、Microsoft では、SQL Server、Windows Server、またはそれらのコンポーネントを実行するすべてのプロセッサ コアにライセンスを付与する必要があります。ただし、必要なコア ライセンスの数は、物理サーバーにライセンスを付与するか、個々の仮想 OSE にライセンスを付与するかによって異なります。必要なライセンスの数は、Microsoft が提供するコア要因テーブルに基づいています。

> **注:** 物理サーバーと仮想 OSE の両方を含む Microsoft クラスターにライセンスを付与する場合は、コストベースのライセンスの最適化を使用して、物理サーバーのみ、仮想 OSE のみ、またはその両方の組み合わせのライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断できます。これらの最適化の詳細については、「 のコストベースのライセンスの最適化 Microsoft 」を参照してください。

物理コアベースまたは仮想コアベースのライセンスには、コアあたりのライセンス測定基準を使用します。仮想 OSE にライセンスを付与する場合は、有効な Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) または Microsoft ソフトウェアサブスクリプションライセンスを使用する必要があります。

調整中に、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して、インストールされているソフトウェアのエディションがチェックされます。ソフトウェアが Enterprise Edition の場合、物理オペレーティングシステム環境 (OSE) または物理サーバーでホストされている仮想マシン (VM) に Enterprise Edition ソフトウェアが少なくとも 1 つインストールされている物理サーバーの正規化されたコア数に基づいて、設定された数

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の権利が消費されます。Enterprise Edition がインストールされている OSE の数が、物理サーバーに適用されているコア権限の数を超えていないことを確認するために、別のチェックが実行されます。OSE の数がコア権限の数を超えた場合、追加の OSE ごとにコア権限が消費されます。エディションが Enterprise 以外の場合でも、物理 OSE に少なくとも 1 つインストールされている物理サーバー上のすべてのコアに対して権限が消費されます。違いは追加のチェックです。この場合、チェックにより、これらの他のエディションのソフトウェアが物理サーバーにのみインストールされていることを確認します。

他のエディションのソフトウェアが仮想環境で見つかり、他の権利を所有していない場合、調整結果は準拠しません。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。このライセンスの測定基準では、すべてのデバイス割り当てを物理サーバーに対して作成する必要があります。ソフトウェアのエディションに関係なく、正規化されたコア数がソフトウェアモデルに関連する プロセッサあたりの最小コア 数メトリック属性で指定された値よりも小さい場合は、最小数の権限が消費されます。

コア (CAL を含む) あたりのライセンス

このライセンスのメトリクスのデバイス割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。すべての割り当てが必要でない場合でも、デバイスは割り当てられた数の権限を消費します。たとえば、サーバーに対して数量が 6 のデバイス割り当てが作成されても、サーバーのフルライセンスを取得するために必要なコア権限が 4 つだけの場合、調整中に 6 つの権限が消費されます。追加の 2 つの権限は、調整結果で割り当てられ、使用されていないと見なされます。

[Per core (with CAL)] ライセンスメトリクスでは、物理サーバー または仮想マシン (VM) に対してデバイスの割り当てを作成できます。VM に対して作成されたデバイス割り当ては、アクティブな Microsoft ソフトウェア アシュアランス (SA) またはソフトウェア サブスクリプション ライセンスを使用してライセンス Microsoft 付与する必要があります。コア数がソフトウェアモデルの [プロセッサあたりの最小コア数] または [サーバーあたりの最小コア数] メトリクス属性で指定された値よりも小さい場合、最小数の権限が消費されます。

> **注:** 物理サーバーと VM の両方を含む Microsoft クラスターでデバイス割り当てにライセンスを付与する場合は、コストベースのライセンスの最適化を使用して、物理サーバーのみ、VM のみ、またはその両方の組み合わせのライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断できます。これらの最適化の詳細については、「 のコストベースのライセンスの最適化 Microsoft 」を参照してください。

このライセンスのメトリクスは、デバイスまたはユーザーの CAL ライセンスメトリクスとともに使用する必要があります。これらのライセンスメトリクスを使用して、ソフトウェアエンタイトルメントを個別に作成する必要があります。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーでホストされている仮想マシンに少なくとも 1 つのソフトウェアがインストールされている物理サーバー上のコアごとに権利が消費されます。OSE 内のインストール数とアクティブな OSE の数が、ソフトウェアモデルフォームの [評価指標属性] 関連リストで指定した最大値を超えていないことを検証するチェックが実行されます。

指定されたインストール数と OSE 数を超えた場合、すべてのインストールと OSE がライセンスされるか、利用可能な権限がなくなるまで、物理サーバーまたは VM のコア数または最小コア数と等しいコア権限が消費されます。

ユーザー CAL ライセンス

ユーザー CAL ライセンスは、ユーザーがサービスへのアクセスに使用するデバイスの数に関係なく、ユーザーがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアントアクセスライセンス (CAL) です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、消費される権利の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計ユーザー数と等しくなります。

デバイス CAL ライセンス

デバイス CAL ライセンスは、デバイスからサービスにアクセスするユーザーの数に関係なく、設定された数のデバイスがサーバーにアクセスしてサービスを使用できるようにするクライアント アクセス ライセンス (CAL) です。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、消費される権利の数は、そのソフトウェアモデルに関連するすべてのクライアントアクセスレコードの合計デバイス数と等しくなります。

サーバー (インスタンスあたり) ライセンス

サーバー (インスタンスごと) ライセンスは、物理サーバーまたは仮想マシン上の一定数のソフトウェアインストールにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、OSE に存在するインストール数だけ権利が消費されます。OSE でのインストール数が OSE 測定基準属性ごとの最大インストール数で指定された値を超えた場合、物理サーバーまたは仮想マシン上のすべてのインストールにライセンスが付与されるか、権限変数がなくなるまで、追加の権限が消費されます。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。たとえば、数量が 2 のデバイス割り当てがサーバーに作成されていても、サーバーのライセンスを取得するために必要な権限が (インスタンスあたり) 1 つだけである場合、調整中に 2 つの権限が消費されます。追加の権限は、ライセンスの測定基準の結果で「割り当て済み」または「使用中」としてマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーまたは仮想マシンに対して作成できます。

サーバー (サーバーごと) ライセンス

サーバー (サーバーごと) ライセンスは、物理サーバー上のすべてのソフトウェア インストールと、その物理サーバーによってホストされているすべての仮想マシンにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、一意の物理サーバーごとに権利が消費されます。このライセンスのメトリクスは、ソフトウェアがインストールされている一意の物理サーバーと仮想マシンごとに権利を消費する、デバイスごとのライセンスのメトリクスとは異なります。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。たとえば、数量が 2 のデバイス割り当てがサーバーに作成されていても、サーバーのフルライセンスを取得するために必要な権限が 1 つだけの場合、調整中に 2 つの権限が消費されます。追加の権限は、ライセンスの測定基準の結果で、割り当て済み、不使用としてマークされます。デバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

プロセッサあたりのライセンス

プロセッサあたりのライセンスは、物理サーバー上の多数のプロセッサにライセンスを付与するために使用されます。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、物理 OSE または物理サーバーでホストされている仮想マシンに少なくと

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

も 1 つのソフトウェアがインストールされている物理サーバー上のプロセッサーに対して権利が消費されます。1 つの権利によってライセンスされるプロセッサの数は、ソフトウェアモデルの [評価指標属性] 関連リストの [権限あたりの最大プロセッサ 数] によって決まります。

OSE のインストール数とサーバー上の OSE の数が、ソフトウェアモデルの **[OSE** あたりの最大インストール数] および [サーバーあたりの最大アクティブ **OSE** 数] の [メトリクス属性] 関連リストで指定された最大値を超えていないことを確認するための追加のチェックが実行されます。いずれかのメトリクス属性を超過した場合、すべてのプロセッサ、インストール、および OSE にライセンスが付与されるか、利用可能な権限がなくなるまで、追加の権限が消費されます。プロセッサあたりの権限では、物理サーバーに部分的にライセンスを付与したり、2 つの異なる物理サーバーにソフトウェアのインストールをライセンス付与したりすることはできません。

デバイスの割り当てを管理できます。デバイスには一定の数量の権限が割り当てられます。ソフトウェアがインストールされている場合でも、調整中に割り当てられた権限の数がデバイスによって消費されます。すべてのデバイス割り当ては、物理サーバーに対して作成する必要があります。

ユーザーサブスクリプションライセンス

ユーザーサブスクリプションは、アクティブ化されたソフトウェアサブスクリプションの数に対してユーザーにライセンスを付与します。

調整中、このライセンスの測定基準を使用する 1 つ以上のソフトウェアエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルの場合、ソフトウェアモデルに関連付けられた少なくとも 1 つのソフトウェアサブスクリプションレコードを持つ一意のユーザーごとに権利が消費されます。ソフトウェアモデルに対応するソフトウェアインストールにもライセンスが付与されます。ただし、ユーザーにソフトウェアがインストールされていてもサブスクリプションレコードがない場合、そのユーザーは権利を消費せず、インストールにはライセンスが付与されません。

ソフトウェアアシュアランスライセンス

Microsoft ソフトウェアアシュアランス (SA) は、 Microsoft がユーザーにアクティブなメンテナンスを提供するために使用するメンテナンスプログラムです。詳細については、「ソフトウェアライセンスのメンテナンス」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **Oracle**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for Oracle を使用して、Oracle製品のライセンスを追跡および最適化します。

Oracleパブリッシャーパックは、次のOracle製品をサポートしています。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック
- Oracle WebLogic サーバー
- Oracle ジャワ

公開者パックを使用するには、 ソフトウェア資産管理プロ for Oracle プラグイン (com.snc.samp.oracle) を有効にします。

Oracle ライセンス

Oracleパブリッシャーパックは、ソフトウェアエンタイトルメントにOracle特定のライセンスオプションを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

フィールド	オプション
合意タイプ	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
ライセンスの測定基準	• 指名ユーザープラス • プロセッサあたり • 従業員
評価指標グループ	Oracle

重要: ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッド インフラストラクチャ全体で Oracle Database と WebLogic サーバーの Bring Your Own License (BYOL) をサポートしています。BYOLサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方でOracle DatabaseおよびWebLogicサーバーのライセンスを追跡できます。Oracle BYOL のサポートの詳細については、「自分のライセンス またはサブスクリプション をパブリッククラウドに持ち込む」を参照してください。

Oracle ライセンスメトリクス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、Oracleの次のライセンスメトリクスをサポートしています。

指名ユーザープラス

Named User Plus ライセンス測定基準は、次の Oracle 製品にアクセスするすべてのユーザーと物理デバイスにライセンスを付与します。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック
- Oracle WebLogic サーバー

ユーザーがこれらの Oracle 製品のいずれかにアクセスするデバイスを操作している場合、「指名ユーザープラス」ライセンス測定基準はユーザーとデバイスの両方にライセンスを付与します。このライセンスのメトリクスは、ユーザーとデバイスが簡単に識別およびカウントできる環境で使用します。

重要: このライセンスの測定基準を使用するには、対応するクライアントアクセスレコードを作成する必要があります。クライアントアクセスレコードを使用すると、特定のバージョンのソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理できます。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、これらのクライアントアクセスレコードの情報を使用して、ソフトウェアを調整できます。クライアントアクセスレコードの詳細については、「 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 」または「 ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。

「指名ユーザー・プラス」ライセンス・メトリックは、ユーザーおよびデバイスがアクセスしている Oracle Databaseまたは Oracle WebLogic Serverのエディションに基づいて、異なる最小ライセンスを実装します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ユーザーとデバイスが Database Standard Edition (SE) または Standard Edition One (SE1) にアクセスする場合は Oracle 少なくとも 5 つの Named User Plus ライセンスが必要です。
- ユーザーとデバイスが Oracle Database Standard Edition 2 (SE2) にアクセスする場合は、データベース サーバーごとに最低 10 の Named User Plus ライセンスが必要です。さらに、各 SE2 データベースは、任意の時点で最大 16 個の CPU スレッドを使用できます。
- ユーザーとデバイスが Database Enterprise Edition (EE) にアクセスする場合は Oracle プロセッサごとに最低 25 の Named User Plus ライセンス、またはこのデータベース エディションにアクセスするユーザーとデバイスの合計数が必要です。ライセンスのメトリクスは、この最小ライセンスを 2 つの値のうち大きい方に設定します。
- ユーザとデバイスが WebLogic Server Standard Edition にアクセスする場合は Oracle プロセッサごとに最低 10 の Named User Plus ライセンスが必要です。
- ユーザとデバイスが WebLogic Server Enterprise Edition にアクセスする場合は Oracle プロセッサ コアごとに最低 10 の Named User Plus ライセンスが必要です。

最小ライセンス数は、次のメトリクス属性を使用して、 Oracle 製品のソフトウェアモデルに自動的に適用されます。

- プロセッサーあたりの最小ユーザー (データベース製品Oracle)
- **WebLogic** オンプレミス展開の最小 **NUP** (オンプレミス環境の WebLogic Server 製品Oracle)
- **WebLogic** クラウド展開の最小 **NUP** (クラウド環境での WebLogic Server 製品Oracle)

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、メトリック属性値を使用して、各Oracle製品に必要な権限の数を決定できます。この数を決定するために、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、適切なメトリック属性値に、Oracle製品がインストールまたは実行されている基礎となる物理サーバーのプロセッサ数 (WebLogic Server Standard Edition およびすべての Oracle Database Standard Edition Oracle) またはプロセッサ コア数 (WebLogic Server Enterprise Edition および Oracle Database Enterprise Edition Oracle) を乗算します。結果の値は、 Oracle 製品にアクセスしているユーザーとデバイスの合計数と比較されます。必要な権限の数は、2 つの値のうち大きい方に設定されます。

例えば、20 人のユーザーが、8 つのプロセッサー・コアを持つ物理サーバー上で実行されている Enterprise Edition (EE) データベースにアクセスしているとします。「指名ユーザープラス」ライセンス測定基準は、測定基準属性値に基づく権利の数 (25 の最小ライセンス x 8 CPU コア = 200 権利) がデータベースにアクセスしているユーザーの数 (20 ユーザー) よりも多いため、200 の権利を消費します。

プロセッサあたり

プロセッサーあたりのライセンス・メトリックは、以下の Oracle 製品をインストールまたは実行するサーバー・プロセッサーにライセンスを付与します。

- Oracle データベース
- Oracle データベースオプション
- Oracle 管理パック
- Oracle WebLogic サーバー
- Oracle ジャワ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle製品は物理サーバー、仮想サーバー、パーティション・サーバー、およびクラウドにインストールして実行できますが、「プロセッサー当たり」ライセンス・メトリックは、基礎となる物理サーバーまたはクラウド・サーバー上のプロセッサーのみにライセンスを付与します。

プロセッサあたりのライセンス・メトリックは、Oracle プロセッサ・コア要因表 で指定されているように、プロセッサ・コアの合計数にコア・プロセッサ・ライセンス係数を掛けることによって、Oracle製品に必要な権限の数を計算します。このライセンス・メトリックは、多数のユーザーとデバイスが同じ環境にアクセスしている環境や、ユーザーを簡単に識別してカウントできない環境 (インターネットなど) で使用します。

たとえば、Enterprise Edition (EE) データベースを実行している物理サーバーには、それぞれ 4 つのコアを持つ 2 つのプロセッサがあります。コアプロセッサのライセンス係数が 0.5 の場合、プロセッサあたりのライセンスの測定基準は物理サーバーに対して 4 つの権限を消費します。

2 CPU x 4 CPU コア x 0.5 ライセンス係数 = 4 権限。

[指名ユーザー プラス] または [プロセッサあたり] のライセンス メトリックを使用してデータベースに権限を割り当てると、 ソフトウェア資産管理 は同じライセンス メトリックを使用して、関連するデータベース オプションと管理パックの権限を自動的に割り当てます。

クライアントアクセスライセンス (CAL) レコードを作成して、Oracle Database または WebLogic サーバーにアクセスできるユーザーまたはデバイスの数を指定すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは [指名ユーザープラス] ライセンスメトリクスのみを使用してユーザーとデバイスにライセンスを付与します。ソフトウェア資産管理 は、プロセッサごとのライセンスが利用可能な場合でも、プロセッサごとのライセンスメトリクスを使用しません。

従業員

従業員ライセンス測定基準は、 Oracle の社内事業運営の定義に従って、エージェント、請負業者、およびコンサルタントを通じて直接的および間接的に雇用された従業員を含む、フルタイム、パートタイム、および臨時従業員の合計数にライセンスを付与します。

従業員ライセンス・メトリックは、 Oracle Java SE Universal を使用する従業員数ではなく、従業員総数で必要なライセンス数を計算します。ライセンスコストは、 Oracle で定義された階層ベースの価格モデルを使用して計算されます。価格モデルは、価格階層 [samp_price_tier] テーブルに格納されます。詳細については、「Oracle Java SE Universalの価格設定モデル」を参照してください。

さらに、従業員ライセンス測定基準の場合、1 年間のサブスクリプション期間の調整コストが表示されます。

従業員ライセンスのメトリクスを使用する 1 つ以上のエンタイトルメントを持つソフトウェアモデルに対して調整を実行すると、リソース値レコードに記録されている従業員ごとに権利が消費されます。

Oracle 検証済みのサードパーティベンダーツール

ご使用の環境にデプロイされている Oracle 製品のインストールおよび使用状況データを収集するには、ディスカバリー・プロセスを使用する必要があります。Oracleサードパーティツールベンダー(3PTV)プログラムへのServiceNowの検証と登録により、ServiceNow ディスカバリーアプリケーションとソフトウェア資産管理アプリケーションの両方がOracleによって検証され、Oracle測定ツールを必要とせずにこのデータを収集して報告します。Oracle Database、Oracle WebLogic Server、Oracle Fusion Middleware、およびこれらの製品をサポートする基盤となるハードウェアのデータを収集し、レポートを作成できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

契約の更新と監査の際、 Oracle では Oracle 製品の特定の使用状況データを提供する必要があります。このデータは、 Oracle が提供するスクリプトを実行することで収集できます。これらのスクリプトは、環境に展開されている Oracle 製品、およびそれらの製品をサポートする物理および仮想ハードウェアに関するデータを収集します。ただし、このデータを収集して確認するプロセスは非常に時間がかかる場合があります。

ServiceNow ディスカバリーアプリケーションは、Oracle検証済のディスカバリー・パターンおよびレポートを使用して、スクリプト出力で提供されるものと同じデータを収集します。このデータを定期的に収集してコンプライアンスを追跡し、予期しない監査結果を最小限に抑えることができます。

Oracle検出の詳細は、Oracle Global License Advisory Services (GLAS)データ収集 を参照してください。

注: ServiceNow ディスカバリーのすべてのメリットを利用するには、ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールします。このアプリケーションの詳細については、「 CMDB CI クラスモデルストアアプリ 」を参照してください。

Oracle パーティション環境でのデータベースと WebLogic Server のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフト パーティション環境とハード パーティション環境の両方で、Oracle Database と WebLogic Server のOracleライセンス ルールをサポートしています。パーティション分割を使用すると、インストールに必要なライセンスの数を減らすことができます。

Oracle ソフト・パーティション環境でのデータベースとWebLogic Serverのライセンス

ソフトウェア資産管理アプリケーションはOracle仮想化テクノロジなどのソフトパーティション環境でデータベースとWebLogic ServerVMwareライセンスルールをサポートします。

ソフトパーティション分割を使用すると、OS リソースマネージャーを使用して、環境のオペレーティングシステム (OS) をさまざまな OS タイプと OS バージョンにセグメント化できます。OSリソース・マネージャは、同じOS内のアプリケーションにCPUリソースが割り当てられるセグメントを作成することにより、各 Oracle データベースまたはWebLogicサーバーを実行できるプロセッサの数を制限します。Oracleライセンスおよびソフトパーティショニングの詳細は、Oracle Help Center を参照してください。

VMware vSphere

VMware vSphere は、 Oracle データベースまたはWebLogicサーバーを仮想マシン(VM)にインストールして実行できる仮想化プラットフォームです。VM 上で Oracle データベースまたは WebLogic サーバーを実行するには、VM を実行している基盤となる物理 ESXi ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。物理 ESXi ホストで複数の VM を同時に実行している場合でも、データベースまたは WebLogic サーバーを実行している VM の数に関係なく、ホスト上のすべてのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

OracleVMware vSphere のライセンスは、各 vSphere バージョンに関連付けられている VMware vMotion 機能に基づいています。VMware vMotion は、サービスを中断することなく、仮想マシンを 1 つの物理 ESXi ホストから別の物理 ESXi ホストに移行できるようにするVMware vSphereテクノロジーです。

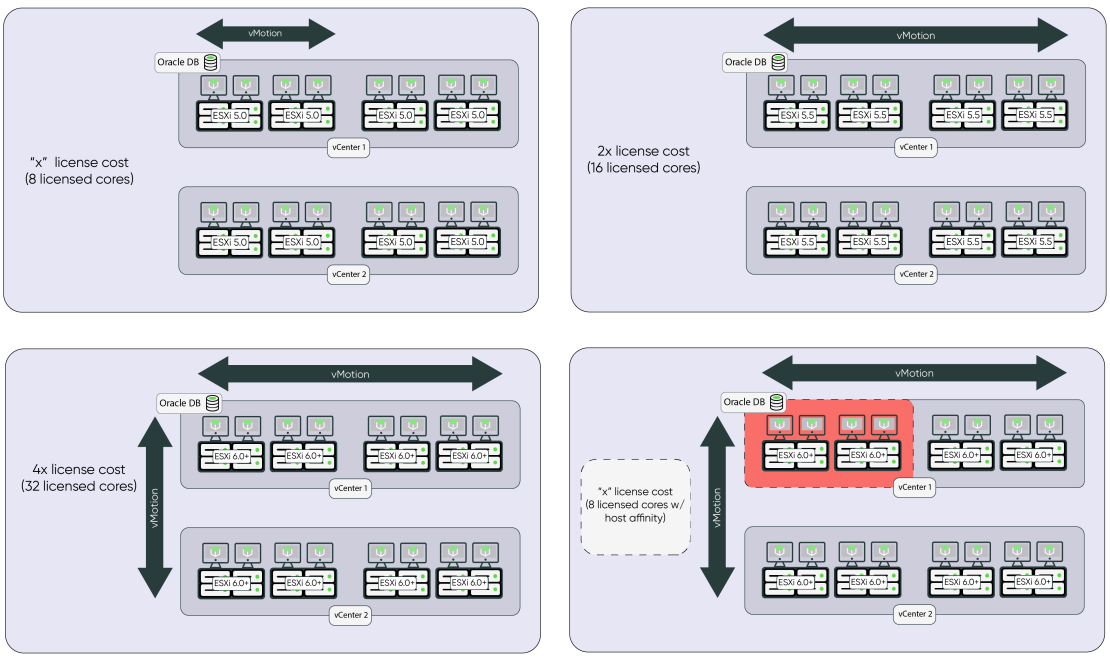
Oracle パブリッシャーパックは、VMware vSphere で次のOracleライセンスモデルをサポートしています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle ライセンスモデル VMware vSphere

VMware vSphere バージョン	VMware **vMotion** 機能	ライセンスモデル
VMware vSphere ESXi 5.0 以前	VM は、同じデータセンターの同じ共有ストレージ内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じデータセンターの同じ共有ストレージ内のすべての物理 ESXi ホストで、プロセッサのライセンスを取得する必要があります。
VMware vSphere ESXi 5.1-5.5	仮想マシンは、同じ VMware vCenter Server インスタンス内の任意の物理 ESXi ホストに移行できます。	同じ VMware vCenter Server インスタンス内のすべての物理 ESXi ホストのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。
VMware vCenter Server 6.0 以降	仮想マシンは、ネットワーク全体の任意の VMware vCenter Server インスタンス内の物理 ESXi ホストに移行できます。移行は、 VMware vSphere vCenter Server 6.0 以降のインスタンスで ESXi 5.1 以降を実行する物理ホストでのみサポート VMware 。	ネットワーク上のすべての VMware vCenter Server 6.0 以降のインスタンス内でVMware vSphereESXi 5.1 以降を実行するすべての物理ホストのプロセッサにライセンスを付与する必要があります。

重要: ソフトウェア資産管理のプロパティ で **[vCenter Server** のアグリゲーションレベルで **VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するためにホスト親和性を使用する] オプションを有効にすると、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、VMware vCenter Server インスタンス内の Oracle ライセンスを調整するときに、すべての VM とホストの親和性ルールに従います。このシナリオでは、ライセンスは、VM とホストの親和性ルールで指定されているように、VM が存在できるすべての物理 ESXi ホストの合計に基づきます。



VMwareでのOracleライセンスの詳細は、Understanding Oracle Certification, Support and Licensing for VMware Environments を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle ハード・パーティション環境でのデータベースとWebLogic Serverのライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションはOracleAIX LPAR および Solaris ゾーンのハードパーティション化ライセンス規則IBMサポートしています。

サーバーをハードパーティション化すると、サーバーは互いに独立して実行される小さなシステムに分割されます。各システムには、独自のプロセッサ、ネットワークリソース、オペレーティングシステム、メモリなどが含まれています。Oracleライセンスおよびハード・パーティション化の詳細は、Oracleパーティション・ポリシー を参照してください。

IBM LPAR

論理区画 (LPAR) は、オペレーティング・システムをサポートするプロセッサー・ハードウェアの定義済みサブセットです。LPAR には、プロセッサー、メモリー、入出力装置など、独立したシステムとして作動するリソースが含まれています。各メインフレーム・ハードウェア・システム内に複数のLPARを設定できます。

IBM LPAR インフラストラクチャー内の LPAR および LPAR リソースを検出するには、LPAR の管理と構成を可能にするハードウェア・アプライアンスである IBM ハードウェア管理コンソール (HMC) のServiceNow ディスカバリーパターンが必要です。これらのディスカバリーパターンにアクセスするには、ServiceNow Store から ディスカバリー および サービスマッピング パターンアプリケーションを要求してインストールする必要があります。LPAR でディスカバリーを構成する方法について詳しくは、 IBM Virtualization and Hardware Management Console ディスカバリー を参照してください。

> **注:** *lparstat* コマンドは、LPAR 関連の情報と使用状況のレポートをプルします。詳しくは、 IBM Knowledge Center を参照してください。

ディスカバリーを実行すると、検出された LPAR データが入力され、ServiceNowインスタンスの次の構成管理データベース (CMDB)テーブルに保存されます。

- cmdb_ci_ibm_frame
- cmdb_ci_aix_server
- cmdb_ci_lpar_instance
- cmdb_ci_lpar_resource
- cmdb_rel_ci
- cmdb_sam_sw_install

このデータを入力して保存するには、 ServiceNow Store から CMDB CI クラスモデルアプリケーションを要求してインストールする必要があります。このアプリケーションは、 IBM HMC の CMDB クラスを追加または更新します。IBM HMC CMDB クラスについて詳しくは、IBM Hardware Management Console (HMC) 拡張クラス を参照してください。

検出された LPAR データが適切な CMDB 表に入力されると、 *samp_frame_to_lpar_resource* データベースビューを使用して表を結合し、すべての LPAR データを単一のビューに統合できます。このデータベース ビューと IBM LPAR の Oracle Database と WebLogic Server のライセンス ルールに基づいて、IBM LPAR インフラストラクチャ全体のすべての Oracle Database および WebLogic Server インストールのライセンス コンプライアンスを特定して判断できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OracleIBM LPAR のデータベースと **WebLogic Server** のライセンス ルール

プロセッサプール	説明	ライセンスルール
専用	プロセッサーは、1 つの専用 LPAR (専用 CPU リソース上にビルドされた LPAR) にのみ割り当てられます。	OracleデータベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する専用プロセッサのライセンスが必要です。 専用 LPAR に必要な権限の数を決定するには、LPAR 上の Oracle データベース または WebLogic サーバー を実行しているプロセッサー・コアの合計数に、 Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けます。
共有しました	プロセッサーは、共有 CPU リソース上にビルドされる LPAR であるマイクロパーティション間で共有されます。	OracleデータベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する共有プロセッサのライセンスが必要です。 LPAR タイプに基づいて、マイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定できます。 • 上限付き **LPAR:** 上限付き LPAR は、LPAR が受け取る資格がある CPU リソースの数である最大ライセンス済み容量が割り当てられている論理区画です。上限付き LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用することはできません。 上限付きマイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定するには、割り当てられたすべてのエンタイトルメント容量の合計に、Oracle プロセッサコア要因表 で指定されているコアプロセッサライセンス係数を掛けます。 • 上限なし **LPAR:** 上限なし LPAR は、割り当てられたエンタイトルメントされたキャパシティーよりも多くのプロセッサー能力を使用できる論理区画です。プロセッサーの電力使用量は、LPAR に割り当てられている仮想プロセッサーの数、または共用プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの最大数によって制限されます。 上限なしマイクロパーティション全体で必要な権限の数を決定するには、割り当てられたすべての仮想プロセッサーの合計と、割り当てられたすべての資格容量の合計を加算します。 ◦ 結果の値が、共有プロセッサ プールで使用可能な物理プロセッサ コアの数よりも小さい場合は、 Oracle プロセッサ コア要因表 で指定されているように、その値にコア プロセッサのライセンス係数を掛けます。 ◦ 結果の値が、共有プロセッサー・プールで使用可能な物理プロセッサー・コアの数より大きい場合は、 Oracle プロセッサー・コア要因表 で指定されているように、物理プロセッサー・コアの数にコア・プロセッサー・ライセンス係数を掛けます。

データベースビューの詳細については、「 レポート用のデータベースビューの作成 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Solaris ゾーン

Solaris サーバー上にグローバルゾーンを設定し、複数のローカルゾーンでハードパーティション化できます。その後、1つ以上のローカル・ゾーンで Oracle データベースまたは WebLogic サーバーを実行できます。Oracle データベースまたは WebLogic Server インストールのライセンスを取得するには、Solarisゾーン構成全体を実行する物理ホストに権限を割り当てる必要があります。プロセッサーあたりのライセンス測定基準の場合、権限は、物理ホストの最大容量までのすべてのローカルゾーンのコアをカバーする必要があります。「指名ユーザー・プラス」ライセンス・メトリックの場合、権限はローカル・ゾーン上のデータベースまたは WebLogic サーバーにアクセスするクライアントをカバーする必要があります。Solarisゾーン検出については、Solaris検出 を参照してください。

Oracle クラウド環境でのデータベースと WebLogic Server のライセンス

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、クラウド環境における Oracle Database と WebLogic Server のライセンス ルールをサポートしています。

重要: ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ハイブリッド インフラストラクチャ全体で Oracle Database と WebLogic サーバーの Bring Your Own License (BYOL) をサポートしています。BYOLサポートにより、オンプレミス環境とパブリッククラウド環境の両方で Oracle Database および WebLogic サーバーのライセンスを追跡できます。Oracle BYOL のサポートの詳細については、「自分のライセンス またはサブスクリプション をパブリッククラウドに持ち込む」を参照してください。

クラウドで Oracle データベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する場合、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサごと」のライセンス・メトリックを使用してライセンスを取得できます。「指名ユーザー・プラス」ライセンス・メトリックは、 Oracle クラウド・データベースまたは WebLogic サーバーにアクセスするすべてのユーザーおよび物理デバイスにライセンスを付与します。プロセッサ当たりのライセンス・メトリックは、 Oracle クラウド・データベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する仮想CPU (vCPU)にライセンスを与えます。

注: Oracleプロセッサーコア要因テーブルは、クラウド環境には適用されません。

Amazon Web サービス (AWS)

Amazon Web サービス (AWS)は、 Oracle データベースと WebLogic サーバーをインストールして実行できるクラウド・コンピューティング・プラットフォームです。Elastic Compute Cloud (EC2) または AmazonAmazon Relational Database Service (RDS) のいずれかを使用して、AWS上の Oracle データベースを管理できます。ただし、Elastic Compute Cloud (EC2) のみを使用して Oracle WebLogic サーバー Amazon 管理できます。Amazon EC2 の詳細については、Amazon Elastic Compute Cloud のドキュメント を参照してください。Amazon RDS の詳細については、Amazon Relational Database Service のドキュメント を参照してください。

AWS仮想マシンインスタンスでハイパースレッディングを有効にすると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、Oracleクラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行する2つのvCPUごとに1つのプロセッサあたりのライセンスを提供します。ハイパースレッディングを有効にしない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、 Oracle クラウドデータベースまたは WebLogic サーバーをインストールまたは実行するvCPUごとにプロセッサあたり1つのライセンスが提供されます。

AWS の Oracle データベースと WebLogic サーバーの詳細については、「Oracle Database on the AWS Cloud: クイックスタートリファレンスデプロイ」 を参照してください。

Microsoft Azure

Microsoft Azure は、 Oracle データベースと WebLogic サーバーを作成および実行できるクラウド・コンピューティング・プラットフォームです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft Azure仮想マシンインスタンスでハイパースレッディングを有効にすると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、OracleクラウドデータベースまたはWebLogicサーバーをインストールまたは実行する2つのvCPUごとに1つのプロセッサあたりのライセンスを提供します。ハイパースレッディングを有効にしない場合、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、 Oracleクラウドデータベースまたは WebLogicサーバーをインストールまたは実行するvCPUごとにプロセッサあたり1つのライセンスが提供されます。

Microsoft Azure での Oracle データベースと WebLogic サーバーの詳細については、「Microsoft と Oracle によるクラウド導入の促進」を参照してください。

Oracle マルチテナントアーキテクチャでのデータベースライセンス

ソフトウェア資産管理アプリケーションは、マルチテナントアーキテクチャのOracleデータベースのライセンスルールをサポートしています。

Oracleマルチテナント・アーキテクチャでは、複数のプラガブル・データベース(PDB)を単一のコンテナ・データベース(CDB)に統合できるため、データベース管理が簡素化されます。CDBを使用すると、複数のPDBのリソースを同時に追跡、プロビジョニング、クローニング、管理およびアップグレードできます。このマルチテナント・アーキテクチャは、 Oracle Databaseバージョン12cリリース1 (12.1)以降でサポートされています。

マルチテナント アーキテクチャで Oracle データベースを実行するには、 Oracle Database と Oracle マルチテナント オプションの両方のライセンスを購入して管理する必要があります。ほとんどの場合、 Oracle マルチテナント オプション ライセンスは、 Oracle Database ライセンスとは別に購入して管理する必要があります。ただし、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - High Performance (DBCS EE-HP)、 Oracle Database Cloud Service Enterprise Edition - Extreme Performance (DBCS EE-EP)および Oracle Database Exadata Cloud Service (ExaCS)は、データベース・ライセンスにすでに含まれているため、 Oracle Multitenantオプションの個別のライセンスは必要ありません。Oracle Database のライセンスの詳細については、「ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Oracle」を参照してください。

Oracle マルチテナント オプション ライセンス

Oracle マルチテナントオプションは、[指名ユーザープラス] と [プロセッサあたり] の両方のライセンスメトリクスをサポートします。「指名ユーザー・プラス」ライセンス・メトリックは、ユーザーが作成したPDBにアクセスするすべてのユーザーおよび物理デバイスにライセンスを付与します。プロセッサ当たりのライセンス・メトリックは、ユーザー作成PDBを実行しているすべての物理ホスト上のプロセッサ・コアにライセンスを付与します。これらのライセンスのメトリクスの詳細については、「 Oracle ライセンスメトリクス」を参照してください。

重要: Oracle Multitenant option licensing accounts for user-created PDBs only. It does not account for proxy PDBs or seed PDBs.

データベース Oracle デプロイメントにマルチテナント・オプションのライセンスが必要かどうかは、次の基準に基づいて判断できます。

- PDBおよびCDBの Oracle Databaseのバージョンおよびエディション。
- データベース・インストールで実行されている各データベース・インスタンス内のユーザー作成PDBの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
12cリリース1 (12.1)	Oracle データベース Standard Edition (SE)	Oracle マルチテナントオプションはサポートされていません。
	Oracle データベース スタンダード エディション 1 (SE1)	
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	
	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE)	• すべてのデータベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBがそれぞれ1つしか含まれていない場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが複数含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサあたり」のライセンス・メトリックを使用してライセンスが必要です。 **重要:** Oracle Databaseのこのバージョンおよびエディションでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが252個を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加のPDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
12cリリース2 (12.2) および18c	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE)	• すべてのデータベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBがそれぞれ1つしか含まれていない場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが複数含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサあ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
		たり」のライセンス・メトリックを使用してライセンスが必要です。 **重要:** Oracle Databaseのこのバージョンおよびエディションでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが252個を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加のPDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	Oracleマルチテナント・オプションは、すべてのデータベース・インスタンスにユーザー作成のPDBがそれぞれ1つ含まれるデプロイメントでのみサポートされます。ただし、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。
	Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - 高パフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle データベース・クラウド・サービス Enterprise Edition - エクストリーム・パフォーマンス(DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBがそれぞれ1つ含まれている場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが複数含まれている場合は、 Oracle マルチテナント・オプションが使用されます。ただし、このオプションは Oracle Database ライセンスに既に含まれているため、個別のライセンスは必要ありません。 **重要:** Oracle Databaseのこれらのバージョンおよびエディションでは、データベース・インスタンスごとに最大4,096個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに4,096を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 は追加のPDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
19c 以降	Oracle データベース・エンタープライズ・エディション (EE)	• すべてのデータベース・インスタンスに、ユーザーが作成したPDBがそれぞれ3つ以下の場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが3つ以上含まれている場合は、「指名ユーザー・プラス」または「プロセッサ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナント オプションのライセンス要件 (続く)

Oracle データベースのバージョン	Oracle データベースエディション	ライセンス要件
		あたり」のライセンス・メトリックを使用してライセンスを取得する必要があります。 **重要:** Oracle Databaseのこのバージョンおよびエディションでは、データベース・インスタンスごとに最大252個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが252個を超える場合、 ソフトウェア資産管理 は追加のPDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。
	Oracle データベース Standard Edition 2 (SE2)	Oracleマルチテナント・オプションは、すべてのデータベース・インスタンスに含まれるユーザーが作成したPDBがそれぞれ3つ以下のデプロイメントでのみサポートされます。ただし、 Oracle マルチテナントオプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。
	Oracle データベース・クラウド・サービス・エンタープライズ・エディション - 高パフォーマンス (DBCS EE-HP) Oracle データベース・クラウド・サービス Enterprise Edition - エクストリーム・パフォーマンス(DBCS EE-EP) Oracle データベースExadata Cloud Service (ExaCS)	• すべてのデータベース・インスタンスに、ユーザーが作成したPDBがそれぞれ3つ以下の場合、 Oracle マルチテナント・オプションは使用されていないため、ライセンスは必要ありません。 • データベース・インスタンスにユーザーが作成したPDBが3つ以上含まれている場合は、「 Oracle マルチテナント」オプションが使用されます。ただし、このオプションは Oracle Database ライセンスに既に含まれているため、個別のライセンスは必要ありません。 **重要:** Oracle Databaseのこれらのバージョンおよびエディションでは、データベース・インスタンスごとに最大4,096個のユーザー作成PDBがサポートされます。データベース・インスタンスに4,096を超えるユーザー作成PDBが含まれている場合、 ソフトウェア資産管理 は追加のPDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するには、追加の PDB を削除する必要があります。

Oracle マルチテナント オプションのユース ケース

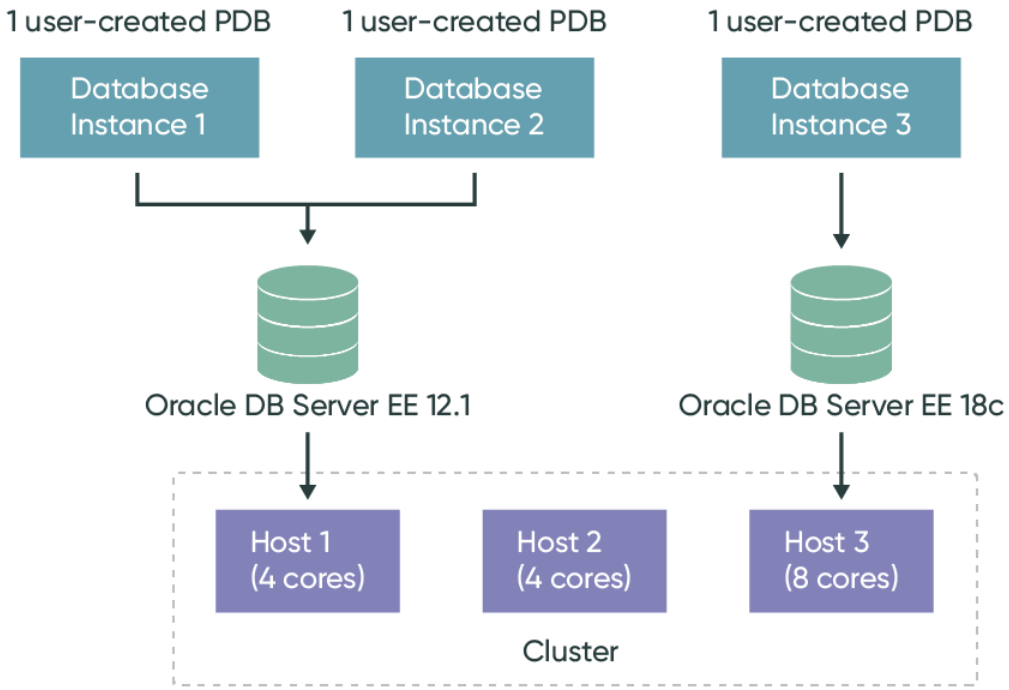
次のユースケースを表示して、 Oracle マルチテナントオプションのライセンス要件をよりよく理解できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナントオプションは使用されていません

Oracle マルチテナントオプションが使用されていない例



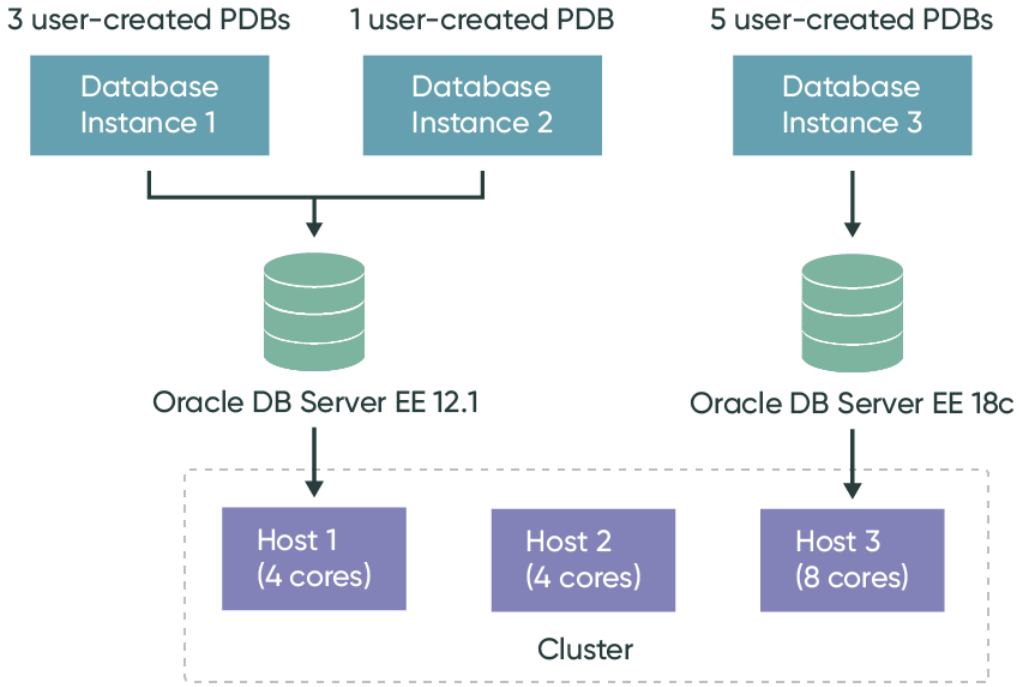
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はDatabase 12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されており、それぞれユーザーが作成したPDBが1つ含まれています。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザー作成のPDBも1つ含まれています。どのデータベース・インスタンスも、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を満たしていないか、超えていないため、このオプションはどのデータベース・インスタンスでも使用されていません。Oracle Multitenant オプションの追加ライセンスは、クラスタ内のどのホストにも必要ありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracleマルチテナントオプションが使用されています

Oracle マルチテナントオプションの使用例



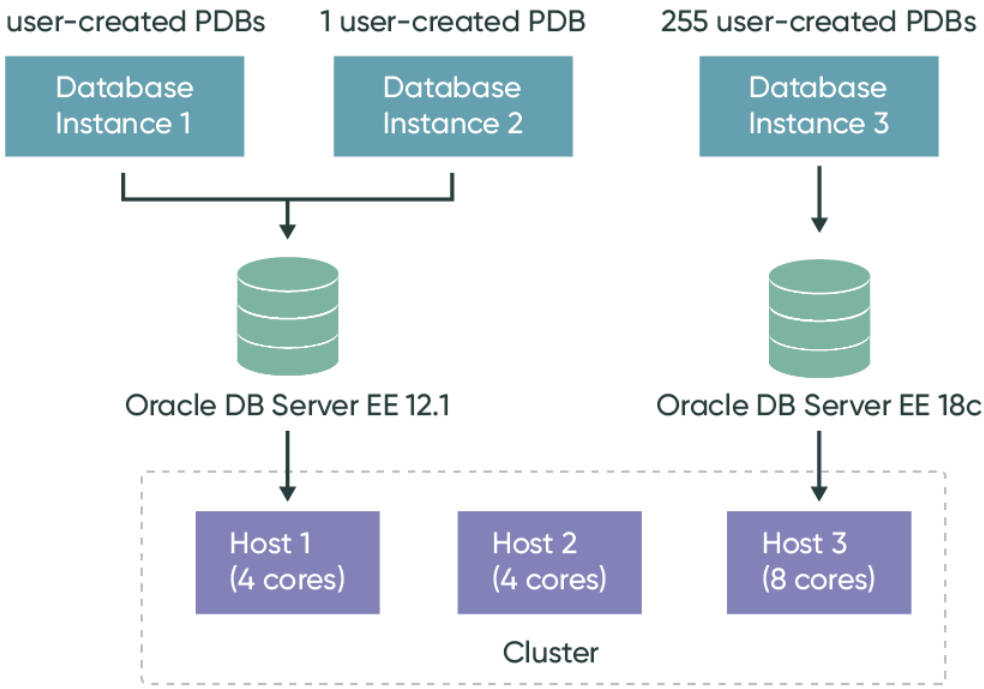
このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はDatabase 12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザーが作成した5つのPDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。Oracle Multitenant オプションの追加ライセンスは、クラスタ内のすべてのホストで必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle マルチテナントオプションは使用されていますが、最大 PDB 量を超えています

Oracle マルチテナントオプションが使用されているが、最大 **PDB** 量を超えている例



このシナリオでは、データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス2はDatabase 12.1 Enterprise Edition Oracle 実行されています。データベース・インスタンス1には3つのユーザー作成PDBが含まれ、データベース・インスタンス2には1つのユーザー作成PDBが含まれます。データベース・インスタンス3はDatabase 18c Enterprise Edition Oracle 実行されており、ユーザーが作成した255個のPDBが含まれています。データベース・インスタンス1とデータベース・インスタンス3の両方が、 Oracle マルチテナント・オプションが必要なユーザー作成PDBの最小数を超えているため、このオプションは両方のデータベース・インスタンスで使用されています。Oracle Multitenant オプションの追加ライセンスは、クラスタ内のすべてのホストで必要です。

ただし、データベースインスタンス 3 はコンプライアンス違反と見なされます。Oracleマルチテナント・オプションのライセンス・ルールに基づいて、Database 18c Enterprise Editionを実行しているデータベース・インスタンスでサポートされるユーザー作成PDBOracle最大数は252です。データベース・インスタンス3には255個のユーザー作成PDBが含まれているため、 ソフトウェア資産管理は3つの追加のユーザー作成PDBの削除候補を作成します。コンプライアンスを維持するために、これらの追加の PDB を削除する必要があります。

Oracle Standard Edition のデータベース ライセンス

Oracle Database Standard Edition は、ソケットの最大容量よりも小さい値を持つサーバー上でライセンス供与され、リスクのないライセンス コンプライアンスを確保できます。

ソケットは、プロセッサまたは CPU が配置されるスロットです。**cmdb_hardware_product_model**ハードウェアモデルテーブルの検出不能な [ソケット数] フィールドにソケット情報を手動で入力する必要があります。ITOM ディスカバリー は、占有スロットのみを検出し、 ソフトウェア資産管理 調整してコンプライアンスを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database Standard Edition ライセンスルール

エディション	NUP とプロセッサーの最大ルール
Oracle DB スタンダードエディション	サーバーあたり 4 ソケット
Oracle DB スタンダードエディション 1	サーバーあたり 2 ソケット
Oracle DB スタンダードエディション 2	サーバーあたり 2 ソケット

Example: Oracle Standard Edition 2 を 2 つ以上のソケットを持つサーバーに配置する

次の例は、ライセンスルールに従っていない再利用または削除候補に対して表示されるメッセージを示しています。

<サーバー名> にインストールされている Oracle DB サーバー Standard Edition 2 に、ライセンスなしのインストールとしてフラグが付けられています。Oracle ライセンス・ポリシーに従って、Oracle Database Standard Edition 2 は、最大容量が 2 ソケットのサーバーでのみライセンスを取得できます。このサーバーには <no.of socket>使用可能なソケットの数。このサーバーからOracle DB Server Standard Edition 2をアンインストールするか、Oracle DB Enterprise Editionにアップグレードすることをお勧めします。このアクションを続行する前に、Oracle データベース管理者と協力して影響を評価することをお勧めします。サーバーで使用可能なソケットまたはスロットの最大数は、ハードウェア仕様の一部であることに注意してください。したがって、ハードウェア製品モデル<hwモデル名>でこの情報を更新することをお勧めします。この情報がハードウェアモデルに存在しない場合は、すべてのソケットが占有され、検出されていると見なされます。

Oracle データベース オプションと管理パック

ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for Oracle を使用して、Oracle Database オプションと管理パックのライセンス位置を追跡できます。ライセンス可能な Oracle オプション [samp_oracle_option_set] テーブルには、ソフトウェアモデルを作成できるデータベースオプションと管理パックの完全なリストが示されています。

Oracle Database オプションと管理パックのライセンスは、Oracle Database サーバーとは別に管理する必要があります。データベース サーバー、データベース オプション、および管理パックごとに個別のソフトウェア モデルとエンタイトルメントが必要であるため、 Oracle ライセンスのコンプライアンス状況をより包括的に把握できます。

たとえば Oracle パーティショニングオプションを備えたDBサーバー12c R1エンタープライズには、2つの個別のソフトウェアモデルとエンタイトルメントが必要です。

Oracle DB ライセンスの例

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
Oracle DB Server 12c R1 Enterprise のライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 エンタープライズ [データベースオプション] フィールドに値が選択されていません。	Oracle DB Server 12c R1 Enterprise に対して購入した権限を記録します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle DB ライセンスの例 (続く)

目的	ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメント
[パーティショニング] オプションのライセンスを追跡します。	Oracle DB サーバー 12c R1 エンタープライズパーティショニング [データベースオプション] フィールドで選択されたパーティショニング。	[パーティション分割] オプションに対して購入した権限を記録します。

Oracle Database オプションと管理パックの使用状況を追跡して測定するには、ServiceNow Storeから Global Licensing and Advisory Services Oracleデータ収集アプリケーションを要求してインストールします。詳細な手順については、「Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集を要求」を参照してください。

重要: San Diego 以降のリリースで初めて ソフトウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する場合は、データベース オプションと管理パックの使用状況を検出して測定するために、Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションが必要です。

Rome 以前のリリースで初めて ソフトウェア資産管理 アプリケーションをアクティブ化する場合、または ソフトウェア資産管理 アプリケーションの既存のインスタンスを Rome 以前のリリースから San Diego 以降のリリースにアップグレードする場合は、既存のパターンを引き続き使用して、データベース オプションと管理パックの使用状況を検出および測定できます。ただし、 ServiceNow は、代わりに Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用することをお勧めします。このアプリケーションには、追加のユースケースに対応する拡張機能が用意されています。

アプリケーションをインストールすると、SAM - GLAS データからデータベースオプションの使用状況を評価Oracleスケジュール済みジョブが毎週またはオンデマンドで実行され、Oracle環境にインストールされているOracleデータベースオプションと管理パック、およびそれらに関連付けられているOracle機能の両方の使用状況データが取得されます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このデータをOracle調整プロセスに含めて、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンス位置 (Oracle データベース サーバーのライセンス コンプライアンス位置とは別に報告される) を判断するのに役立ちます。

注: Oracle 機能の使用状況データが、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスを判断するのにどのように役立つかの詳細については、「Oracle Database オプションと管理パックの機能マッピング」を参照してください。

Oracle データベースオプションと管理パックは、 Oracle Database サーバーのライフサイクルに従い、[ライセンス使用状況] ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) または [ライセンスワークベンチ] (クラシック アプリケーション) ソフトウェア資産管理 表示されます。ただし、次の修復オプションは、データベース オプションと管理パックでは使用できません。

- 未割り当てのインストールを削除
- ライセンスなしのインストールを削除する

サポートされている **Oracle** データベース オプションと管理パック

Oracle 用 ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、既存の検出と使用状況の測定パターンを使用するか、Global Licensing and Advisory Services アプリケーションのデータ収集を使用してデータベースオプションと管理パックの使用状況を追跡および測定するかに基づいてOracle次のデータベースオプションと管理パックをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによってサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
Active Data Guard	はい	はい
Advanced Compression	はい	はい
Advanced Security	はい	はい
Change Management Pack **注:** データベースがOracle Database 12c以降を実行している場合、変更管理パック、Oracleデータベースの構成管理パック、およびデータベースのプロビジョニングとパッチ自動化パックは、OracleデータベースのOracleデータベースライフサイクル管理パックに統合されます。変更管理パックを使用するには、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Database のライセンスを取得する必要があります。	はい	はい
Oracle Database の構成管理パック **注:** データベースがOracle Database 12c以降を実行している場合、変更管理パック、Oracleデータベースの構成管理パック、およびデータベースのプロビジョニングとパッチ自動化パックは、OracleデータベースのOracleデータベースライフサイクル管理パックに統合されます。Configuration Management Pack for Oracle Database を使用するには、Oracle Database 用の Oracle Database Lifecycle Management Pack のライセンスを取得する必要があります。	はい	はい
コンテンツデータベーススイート **注:** Content Database Suiteは、 Oracle Database 11gリリース1以前を実行しているデータベースでのみ使用できます。	いいえ	はい
Data Masking Pack	はい	いいえ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによってサポート	Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションによるサポート
		注: Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Oracle Data Masking and Sub-Setting Pack の使用状況を追跡および測定できます。
データマイニング **注:** データ・マイニングでは、データベースが Oracle データベース11gリリース1以前を実行している場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースが Oracle Database 11gリリース2以降を実行している場合、データ・マイニングはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。	いいえ	はい
Database In-Memory	はい	はい
Database Vault	はい	はい
Diagnostics Pack	はい	はい
ラベルセキュリティ	はい	はい
Multitenant	はい	はい
OLAP	はい	はい
OracleOracle データベースのクラウド管理パック	いいえ	はい
Oracle データマスキングとサブセットパック	いいえ	はい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによってサポート	Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションによるサポート
	注: データベース オプションと管理パックに既存の検出と使用状況の測定パターンを使用している場合は、代わりにデータ マスク パックの使用状況を追跡および測定できます。	
OracleOracleデータベースのデータベースライフサイクル管理パック 注: データベースがOracle Database 12c 以降を実行している場合、変更管理パック、Oracleデータベースの構成管理パック、およびデータベースのプロビジョニングとパッチ自動化パックは、OracleデータベースのOracleデータベースライフサイクル管理パックに統合されます。Oracle Database 用 Oracle Database Lifecycle Management Pack のライセンスのみを取得することで、3 つのパックすべてにアクセスできます。	いいえ	はい
Oracle 空間とグラフ	いいえ	はい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによってサポート	**Data Collection for** Oracle **Global Licensing and Advisory Services** アプリケーションによるサポート
注: Oracle SpatialおよびGraphでは、データベースが Oracle Database 11gリリース1以前を実行している場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベース Oracle Database 11gリリース2以降を実行している場合、 Oracle SpatialおよびGraphはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。	**注:** データベース オプションと管理パックに既存の検出と使用状況の測定パターンを使用している場合は、代わりに空間とグラフの使用状況を追跡して測定できます。	
Partitioning	はい	はい
データベースのプロビジョニングとパッチ自動化パック **注:** データベースがOracle Database 12c以降を実行している場合、変更管理パック、Oracleデータベースの構成管理パック、およびデータベースのプロビジョニングとパッチ自動化パックは、OracleデータベースのOracleデータベースライフサイクル管理パックに統合されます。Provisioning and Patch Automation Pack for Databaseを使用するには、 Oracle Database Lifecycle Management Pack for Oracle Databaseのライセンスを取得する必要があります。	はい	はい
Real Application Clusters	はい	はい
Real Application Clusters One Node	はい	はい
Real Application Testing	はい	はい
レコードデータベース **注:** レコード・データベースは、 Oracle Database 10gリリース2以前を実行しているデータベースでのみ使用できます。	いいえ	はい
Spatial and Graph	はい	いいえ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle Database オプションまたは管理パック	既存の検出および使用状況測定パターンによってサポート	Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションによるサポート
注: SpatialおよびGraphでは、データベースがOracle Database 11gリリース1以前を実行している場合にのみ、個別のライセンスが必要です。データベースが Oracle Database 11gリリース2以降を実行している場合、SpatialおよびGraphはすでにデータベース・ライセンスに含まれています。		注: Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションを使用している場合は、代わりに Oracle Spatial and Graph の使用状況を追跡および測定できます。
合計リコール 注: 総リコールは、Database 11g以前を実行しているデータベースでのみ使用できます Oracle 。	いいえ	はい
Tuning Pack 注: Tuning Packは、Database Enterprise Editionを実行しているデータベースでのみサポート Oracle 。OracleDatabase Standard Edition または Express Edition を実行しているデータベースで Tuning Pack が検出された場合、ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、その Tuning Pack インストールの削除候補を生成します。Oracleへの準拠を維持するには、データベースから Tuning Pack をアンインストールするか、データベースを Oracle Databse Enterprise Edition にアップグレードする必要があります。	はい	あり

Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集を要求

Global Licensing and Advisory Services アプリケーションのデータ収集OracleServiceNow Storeから要求して、Oracle Database オプションと管理パックの使用状況を追跡および測定できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 検索バーに「`Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services`」と入力し、「検索」を選択します。
4. [Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] という結果を選択します。
5. [Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] ページで、[**Request Install**] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求 - **Oracle Global Licensing and Advisory Services** のデータ収集] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

Oracle Database オプションと管理パックの機能マッピング

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出されたOracle機能を、関連付けられている Oracle Database オプションと管理パックに自動的にマップします。これらのマッピングは、データベース オプションと管理パックの使用状況とライセンス コンプライアンスを判断するのに役立ちます。

すべての Oracle Database オプションと管理パックには、 Oracle Database の機能を強化する一連の機能が含まれています。たとえば、 Oracle Active Data Guardオプションは、自動ブロック修復、グローバル・データ・サービス、アプリケーション継続性などの機能を使用して、 Oracle Databaseのリアルタイムのデータ保護と可用性を提供します。各データベースオプションと管理パックでサポートされている機能の詳細については、 Oracle のドキュメント を参照してください。

検出を実行すると、 ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションは、 Oracle 環境にインストールされているデータベースオプションと管理パックの両方、およびそれらに関連付けられている機能を見つけて識別します。このデータは ソフトウェア資産管理 アプリケーションに送信され、そこで正規化および調整されます。

データが正規化された後、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは Oracle Feature Option Mappings [samp_oracle_feature_option_mapping] テーブルを使用して、データベース インス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タンス レベルで機能を適切なデータベース オプションと管理パックにマップします。[SAM - GLAS データからデータベースオプションの使用状況を評価 (SAM - Evaluate database option usage from Oracle GLAS data)] スケジュール済みジョブを使用して各機能に対して取得する後続の使用状況データは、マップされたデータベースオプションと管理パックに適用できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、このデータを定義済みのデータベース オプションおよび管理パックの使用規則と組み合わせて使用し、各データベース インスタンスで使用されているデータベース オプションと管理パックを決定します。結果の使用状況情報は、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスを判断するのに役立つ Oracle 調整プロセスに含まれます。

機能のデフォルトマッピングの更新

検出された機能が複数の Oracle データベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、その機能の既定のマッピングを更新することで、機能の使用状況データが適用されるデータベース オプションまたは管理パックを変更できます。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
Oracle 機能は、複数のデータベース オプションおよび管理パックに関連付けることができます。ただし、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、各機能を一度に 1 つのデータベース オプションまたは管理パックにのみマップできます。

ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、検出された各機能を、各機能に対して事前定義された既定のマッピングに基づいて、適切なデータベース オプションまたは管理パックに自動的にマップします。その後、各機能の使用状況データをマップされたデータベース オプションと管理パックに適用して、それらが使用されているかどうかを判断するのに役立ちます。

検出された機能のいずれかが複数のデータベース オプションまたは管理パックに関連付けられている場合は、各機能の使用方法と、関連するデータベース オプションと管理パックに対して購入したエンタイトルメントに基づいて、それらの機能の既定のマッピングを更新できます。これらの機能の既定のマッピングを更新することで、対応する機能の使用状況データが適用されるデータベース オプションと管理パックを変更できるため、組織のニーズに基づいて、データベース オプションと管理パックのライセンス コンプライアンスの位置をより適切に最適化できます。

> **注:** 既定のマッピングは、複数のデータベース オプションと管理パックに関連付けられている機能に対してのみ更新できます。

手順

1. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_oracle_option_for_feature_inuse.list`」と入力します。
   [使用中の機能のデフォルトオプション] リストが開きます。このリストには、現在使用中であり、複数のデータベースオプションまたは管理パックにマップできる、検出されたすべての機能のデフォルトマッピングが表示されます。
3. 利用可能な機能のリストから、デフォルトのマッピングを変更する機能を選択します。
4. [使用中の機能の既定のオプション] フォームの [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンから、機能をマップするデータベース オプションまたは管理パックを選択します。

   > **注:** [使用中の既定のデータベース オプション] ドロップダウンは、選択した機能が関連付けられているデータベース オプションと管理パックのみを表示するように自動的にフィルター処理されます。

5. [更新] を選択します。
   [使用中の機能のデフォルトオプション] リストに自動的に戻り、新しいデフォルトマッピングが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
新しいデフォルトマッピングをアクティブ化するには、GLAS データスケジュール済みジョブから SAM - データベースオプションの使用状況を評価 Oracle を実行する必要があります。ジョブをオンデマンドで実行するか、次のスケジュール済みジョブを待つことができます。ジョブが正常に完了すると、指定した機能の使用状況データを、新しくマップされたデータベース オプションまたは管理パックに適用できます。

報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

報告されていないデータベース オプションの使用状況レポートを使用すると、未検出のデータベース インスタンスで使用されている Oracle データベース オプションと管理パックを表示できます。これらのデータベース オプションと管理パックの使用状況を追跡することはできませんが、このレポートは、それらに関連付けられている潜在的なライセンスへの影響を判断するのに役立ちます。

> **注:** このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでのみ使用できます。

このレポートを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > レポート > 表示/実行. 使用可能なレポートのリストから、「 報告されていないデータベースオプションの使用状況」を検索して選択します。対応する [レポートの編集] ページが開いたら、 [実行] を選択します。

Oracle 報告されていないデータベースオプションの使用状況レポート

フィールド	説明
データベース名	データベースオプションまたは管理パックが使用されている未検出のデータベースインスタンス。
データベースオプション	未検出のデータベースインスタンスで使用されているデータベースオプションまたは管理パック。
ホスト	不検出のデータベースインスタンスが実行されている物理ホスト。
サーバー	物理ホストが実行されているサーバー。

Oracle 和解

Oracle 調整により、手動計算を必要とせずに、 Oracle ライセンスポジションを正確かつ最新の状態に保ちます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

Oracle調整を実行すると、ソフトウェア資産管理 は、Oracle製品にアクセスしているか、または実行している名前付きユーザー、物理デバイス、および物理ホストの [**Rights Used By**] および [**Rights Needed By**] の割り当てを決定します。この情報を使用して、 Oracle 製品のコンプライアンスを維持することができます。

> **注:** 物理ホストで行った割り当てはすべて有効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 は、ライセンスワークベンチでこれらの割り当てを [割り当て済み、使用中] としてマークします。仮想マシン (VM) などの仮想ホストで行った割り当ては、すべて無効と見なされます。 ソフトウェア資産管理 は、これらの割り当てを 割り当て済み、不使用としてマークします。

仮想化テクノロジ Oracle データベースおよびWebLogic Server VMware ライセンスの場合、 *Select the level of aggregation for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware* プロパティを使用して、調整計算の集計レベルを選択できます。また、*Use host affinity for reconciling licenses for Oracle databases and WebLogic servers on VMware at the vCenter(s) aggregation level* プロパティを使用して、Oracle調整中に VM とホストの親和性ルールを考慮するソフトウェア資産管理を有効にすることもできます。これらのプロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のドメイン固有の調整プロパティのセットアップ **Oracle**

ソフトウェア資産管理のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用して、特定のドメインのOracle調整プロパティを設定します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを設定するには、ServiceNow インスタンスで Domain Support - Domain Extensions Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ドメインセパレーションアプリケーションプロパティは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで使用できます。これらのプロパティは既存の ソフトウェア資産管理 プロパティに直接対応しており、各プロパティを適用するドメインを指定できます。

ドメインセパレーションは、次の Oracle 調整プロパティでサポートされています。

- **VMware (***com.snc.samp.oracle.reconlevel***)** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーの調整ライセンスのアグリゲーションレベルを選択します
- **Oracle** データベースおよび **WebLogic** サーバー **VMware** 上の **vCenter** のアグリゲーションレベル **(***com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled***)** のライセンスを調整するには、ホスト親和性を使用します。

既存の ソフトウェア資産管理 プロパティの詳細については、「 ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。ドメインセパレーションアプリケーションのプロパティについて詳しくは、「 ドメインセパレーションアプリケーションのプロパティ 」を参照してください。

手順

1. ServiceNow®インスタンスから、 すべて > **Software Asset Management** (ソフトウェア資産管理) > 管理 > アプリケーション プロパティ.
2. 使用可能なアプリケーションプロパティのリストから、変更するアプリケーションプロパティを選択します。
3. [アプリケーションプロパティ値] 関連リストで、変更するアプリケーションプロパティ値を選択します。

   既存のアプリケーションプロパティ値がない場合、またはアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

アプリケーションプロパティ値フォーム

フィールド	説明
アプリケーションプロパティ	アプリケーションプロパティ値が適用されるアプリケーションプロパティの名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
値	アプリケーションプロパティの値。この値は、対応する ソフトウェア資産管理 プロパティで使用可能な値の 1 つと同等である必要があります。たとえば、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	com.snc.samp.oracle.reconlevel アプリケーションプロパティの値を `esx`、`cluster`、または `vcenter` に設定できます。ソフトウェア資産管理プロパティで使用可能な値の詳細については、「ソフトウェア資産管理のプロパティ」を参照してください。
ドメイン	アプリケーションプロパティ値を適用するドメイン。

5. 既存のアプリケーションプロパティ値を更新するか、新しいアプリケーションプロパティ値を追加するかに応じて、[更新] または [送信] を選択します。
既存のアプリケーションプロパティ値を更新する場合は、[更新] を選択します。新しいアプリケーションプロパティ値を追加する場合は、[送信] を選択します。

Oracle インフラストラクチャレポート

Oracle インフラストラクチャレポートを使用して、Oracleインフラストラクチャを可視化できます。このレポートには、実行中の Oracle データベースと、これらのデータベースをサポートしている構成アイテムに関する情報が含まれます。

注: Oracle Infrastructureレポートはドメインセパレーションされています。

Oracle インフラストラクチャレポートは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。

このレポートを ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで表示するには、 すべて > レポート > 表示/実行 ServiceNowインスタンス上にあります[レポート] ページの上部にある [すべて] を選択します。使用可能なすべてのレポートのリストから、「 **Oracle**インフラストラクチャ・レポート」を見つけて選択します。

このレポートを ソフトウェア資産ワークスペースで表示するには、 ワークスペース > **Software Asset Workspace** ServiceNowインスタンス上にありますソフトウェア資産ワークスペースが起動したら、 ライセンス使用状況 > レポート > **Oracle** インフラストラクチャレポート.

Oracle インフラストラクチャレポート

列	説明
要求元 (デバイス)	Oracle データベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされているサーバー、クラスター、vCenter、データセンターなどの構成アイテム。 エントリを選択すると、その構成アイテムのライセンス要件に関する追加情報が表示されます。詳細は、「[ライセンスの要求元] フォーム」を参照してください。
データベースオプション	Oracle データベースで使用されているデータベース オプションまたは管理パック。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースエディション。
ソフトウェアモデル	Oracleデータベース、データベースオプション、または管理パックに関連付けられているソフトウェアモデル。
ライセンス測定基準の結果	調整の実行時に Oracle ライセンスがカウントされるライセンスのメトリクス。オプションは 、**[Named User Plus]** および **[Per Processor]** です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Oracle インフラストラクチャレポート (続く)

列	説明
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
モデル ID	Oracleデータベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされている構成アイテムのモデル ID。
CPU メーカー	構成アイテムによって使用されている CPU のメーカー。
CPU タイプ	構成アイテムによって使用されている CPU のタイプ。
CPU カウント	構成アイテム内の CPU 数。
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
Oracle コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコア要因。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用されている CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権利の数。
オペレーティングシステム	Oracleデータベース、データベースオプション、または管理パックがインストールされている構成アイテムのオペレーティングシステム。
ソケット数	マザーボードで使用可能なスロットの数。

[ライセンスの要求元] フォーム

特定の構成アイテムのライセンス要件に関する追加情報を表示するには、Oracle Infrastructure レポートの [要求元 (デバイス)] フィールドから構成アイテムを選択します。対応する [ライセンスの要求者] フォームが開き、ライセンス消費、 Oracle データベースソフトウェアのインストール、Oracle データベースオプションと管理パック、および選択した構成アイテムに関連付けられているデータベースインスタンスに関する情報が表示されます。

[ライセンスの要求元] フォーム

フィールド	説明
要求者	Oracle データベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされているサーバー、クラスター、vCenter、データセンターなどの構成アイテム。
ライセンス測定基準の結果	調整の実行時に Oracle ライセンスがカウントされるライセンスのメトリクス。オプションは 、**[Named User Plus]** および **[Per Processor]** です。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
ライセンスステータス	Oracleデータベース、データベースオプション、または管理パックのライセンスステータス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
[ライセンス消費の詳細] 関連リスト	
要求者	Oracle データベース、データベース オプション、または管理パックがインストールされている構成アイテム。
モデル ID	構成アイテムのモデル ID。
プロセッサー名	構成アイテムで実行されているプロセッサの名前。
プロセッサー	構成アイテムで実行されているプロセッサの数。
コア	構成アイテム内のコアの合計数。
CPU カウント	構成アイテム内の CPU 数。
CPU コア数	各 CPU 内のコア数。
CPU コアスレッド	CPU 内の各コアを分割するスレッドの数。
コアファクター	Oracle 必要な権限の数を決定するために使用されるプロセッサコア要因。
必要なライセンス	ライセンスコンプライアンスに必要な権限の数。
CPU 速度 (MHz)	構成アイテムによって使用されている CPU のクロック速度 (メガヘルツ)。
購入日	購入した権利の数。
オペレーティングシステム	構成アイテム (CI) のオペレーティングシステム。
[オプション] 関連リスト **注:** この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルが Oracle データベースオプションまたは管理パックに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
インスタンス	Oracle データベース オプションまたは管理パックに関連するデータにアクセスして管理するデータベース インスタンス。
オプション	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースオプションまたは管理パック。
ライセンス可能	Oracle データベースオプションまたは管理パックがライセンス可能かどうかを示す値。オプションまたは管理パックがライセンス可能な場合、値は自動的に **true** に設定されます。オプションまたは管理パックがライセンス不可の場合、値は自動的に **false** に設定されます。
現在使用されている	Oracle データベース オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況があるかどうかを示す値。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がある場合、値は自動的に [使用中] に設定されます。オプションまたは管理パックに現在または過去の使用状況がない場合、値は自動的に [未使用] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ライセンスの要求元] フォーム (続く)

フィールド	説明
最初の使用日	Oracle Database オプションまたは管理パックの使用を最初に開始した日付。
前回の使用日	Oracle データベース オプションまたは管理パックを最後に使用した日付。
[インストール] 関連リスト 注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルが Oracle Database ソフトウェアのインストールに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
表示名	Oracle Database ソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	インストール済みソフトウェアの公開者。このフィールドは常に **[Oracle]** に設定されます。
バージョン	Oracle 構成アイテムにインストールされているデータベースのバージョン。
Dscovery モデル	Oracle Database ソフトウェアのインストールに関連付けられたディスカバリーモデル。
インストール先	Oracle Database ソフトウェアがインストールされている構成アイテム。
アサイン先	Oracle Database ソフトウェアのインストールに関連付けられているユーザー。
インスタンス関連リスト 注: この関連リストは、必要なライセンスのソフトウェアモデルが Oracle Database ソフトウェアのインストールに関連付けられている場合にのみ表示されます。	
名前	Oracleデータベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンスの名前。
環境	データベースインスタンスが存在する環境。
バージョン	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのバージョン。
ベンダー	データベースインスタンスがアクセスして管理するデータベースのベンダー。このフィールドは常に **[Oracle]** に設定されます。

Oracle 契約ごとの DB サーバーの展開レポート

「 Oracle DB サーバーのアグリーメントごとのデプロイ」レポートを使用して、アグリーメント・タイプに基づいて、ハイブリッド・インフラストラクチャ全体の Oracle Database サーバー・デプロイメントを可視化できます。

注: [Oracle DB Server Deployments per Agreement] レポートは、 ソフトウェア資産ワークスペースでのみ使用できます。このレポートは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでは利用できません。

このレポートを表示するには、次の場所に移動して ソフトウェア資産ワークスペース を起動します ワークスペース > **Software Asset Workspace** ServiceNowインスタンス上にありますソフトウェア

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産ワークスペースから、 ライセンス使用状況 > レポート > 合意ごとの **Oracle DB** サーバーの展開.

Oracle 契約ごとの **DB** サーバーの展開レポート

フィールド	説明
名前	Oracleデータベースサーバーの展開の名前。
製品	Oracle 展開内で実行されている製品。このフィールドは常に **DB** サーバーに設定されます。
バージョン	Oracle サーバーにインストールまたは実行されているデータベースのバージョン。
エディション	Oracle サーバーにインストールまたは実行されているデータベースエディション。
ライセンスの測定基準	調整の実行時に Oracle Database ライセンスがカウントされるライセンスのメトリクス。オプションは 、**[Named User Plus]** および **[Per Processor]** です。
合意タイプ	Oracle Database サーバー展開の合意タイプ。オプションは、 **ULA** (無制限ライセンス契約)と 汎用です。
クラウドプロバイダ	Oracle データベースサーバーの展開に使用するクラウドプロバイダー。
クラウドサービスタイプ	Oracle データベースサーバーの展開に使用されるクラウドサービスモデル。オプションは 、PaaS と **IaaS** です。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**Oracle**のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、Oracleに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

注: Oracleダッシュボードタブを表示するには、アドオンOraclepパブリッシャーパック (com.snc.samp.oracle) プラグインをインストールする必要があります。

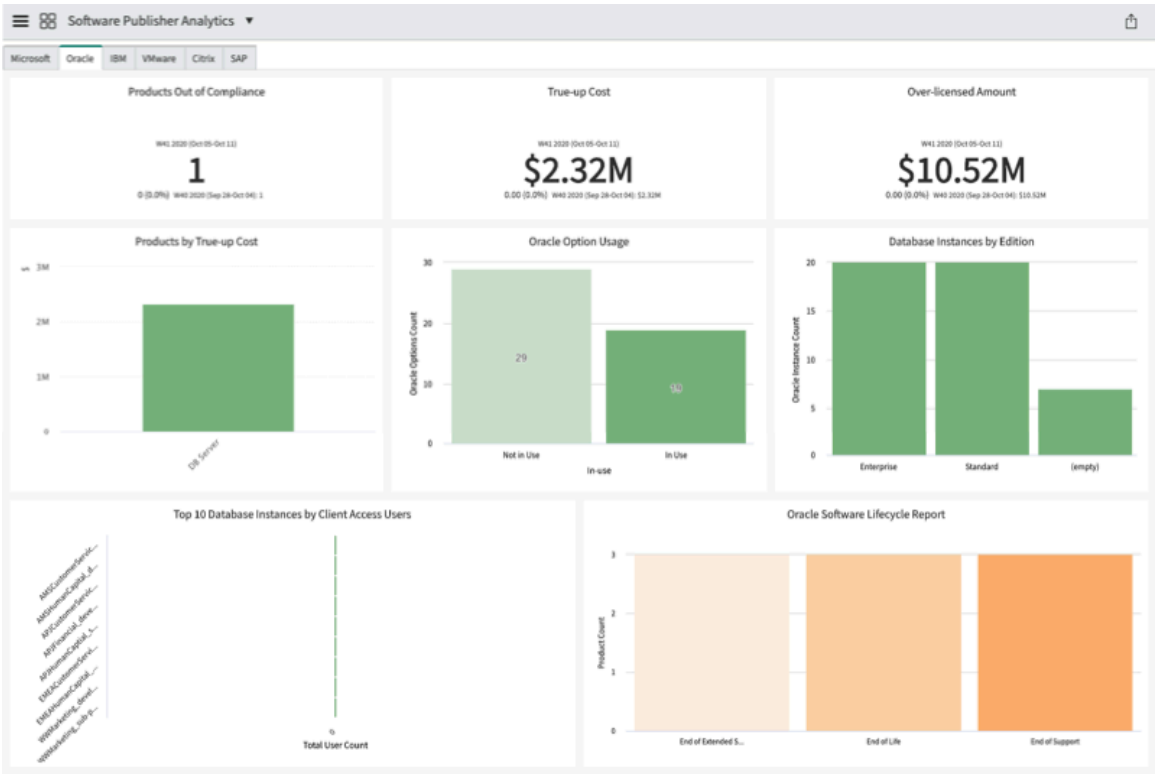
結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

Oracle ダッシュボード

Oracle パブリッシャー パックを使用して、データベース サーバーなどの Oracle Server ソフトウェアを管理できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Oracle タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、 ライセンスワークベンチに結果が表示されます。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
調整コスト別の製品	製品の結果	製品別の最大の調整コスト。
Oracle オプションの使用法	Oracle オプション	インストール済み Oracle ライセンスと使用中のライセンス (true と false)。
エディション別のデータベースインスタンス	Oracle インスタンス	データベースエディション別のデータベースインスタンスの合計数。
クライアントアクセスユーザー別の上位 10 個のデータベースインスタンス	クライアントアクセス	クライアントアクセスユーザー数が最も多いデータベースインスタンス。
Oracle ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	拡張サポートの終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle タブ (続く)

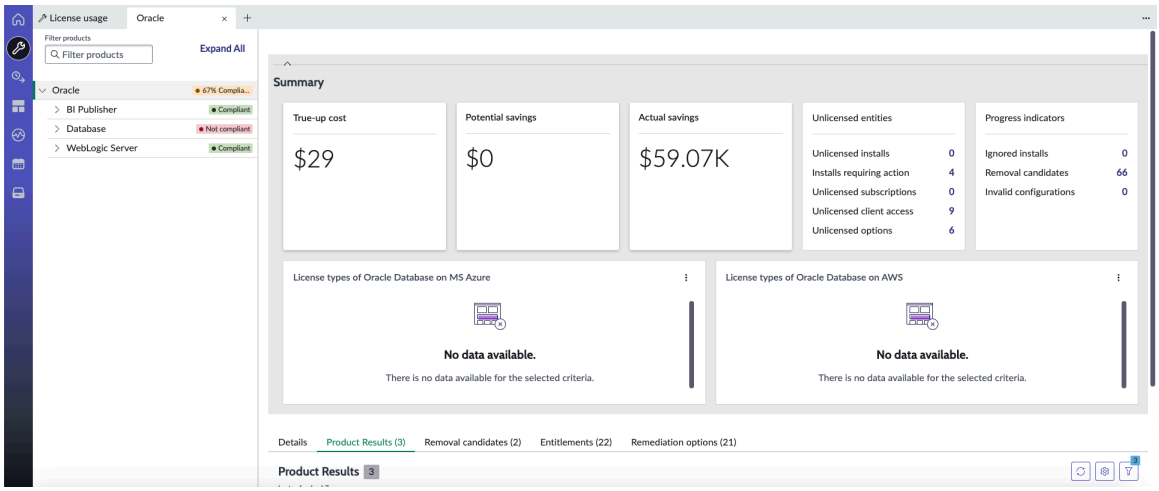
レポート	ソースリスト	説明
		トウェアライフサイクルの各フェーズの製品数。

の Oracle のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内のOracleの公開者の概要で、Oracleに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して Oracle 公開者の概要にアクセスします。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから 「Oracle 」を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 Oracle 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

Oracle 概要

レポート	説明
調整コスト	Oracleソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	Oracleライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	Oracleライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの Oracle ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある Oracle ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのサブスクリプション:ライセンスのない Oracle サブスクリプションの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle サブスクリプションの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Oracle 概要 (続く)

レポート	説明
	• ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない Oracle クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • ライセンスなしのオプション: ライセンスのない Oracle データベース オプションと管理パックの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない Oracle データベース オプションと管理パックの完全な一覧が表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された Oracle ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された Oracle ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:Oracle削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。 • 無効な構成:無効な構成を持つ Oracle 削除候補の合計数。番号を選択すると、これらの Oracle 削除候補の完全なリストが表示されます。
MS Azure 上の Oracle Database のライセンスタイプ	クラウド環境で使用しているライセンスタイプごとのソフトウェアインストール数 Microsoft Azure 。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。
上の Oracle データベースのライセンスタイプ AWS	Oracle Database サーバーが展開されているクラウドサービスモデルに基づく、AWSクラウド環境で使用しているライセンスタイプごとのソフトウェアインストール数。ライセンスタイプには、[BYOL] と [ライセンスが含まれる] があります。クラウドサービスモデルには、PaaS(Platform as a Service)とIaaS(Infrastructure as a Service)があります。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **SAP**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for SAP を使用して、SAPライセンスを管理および最適化します。SAPライセンスのコンプライアンスを包括的に可視化し、節減の可能性を明らかにします。

注: SAP Publisher Pack を使用して、SAP NetWeaver 7.4、SAP_BASIS 740、およびそれ以降のバージョンのライセンスを管理および最適化できます。

注: 公開者パックを使用するには、 ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap) を有効にします。

サポートされているライセンスタイプ

SAPパブリッシャーパックは、指名ユーザー、エンジン、およびSAPシステムへのサードパーティアクセスのライセンスをサポートしています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

指名ユーザー

SAP 指名ユーザーは、 SAP アプリケーションを使用する組織のメンバーです。さまざまなタイプの指名ユーザーライセンスを購入し、各ライセンスを指名ユーザーに割り当てることができます。

SAPパブリッシャーパックは、SAP ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方の指定ユーザーライセンスをサポートしています。アプリケーションタイプに基づいて、異なる指名ユーザーライセンスタイプがサポートされています。SAP ECC アプリケーションは、Professional、Limited Professional、Employee Self Service など、さまざまな指定ユーザーライセンスタイプをサポートしています。SAP S/4 HANAアプリケーションは、Developer Access、Professional UseのEnterprise Management、機能のEnterprise Management、Enterprise Management for Productivity Use、Technical SAP Engine User、Technical Useの指名ユーザーライセンスタイプのみをサポートしています。Now Platformは、SAP ECC アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方で、すべての名前付きユーザータイプをサポートしています。

エンジン (自動化エンジン、計算エンジン、自己宣言エンジン)

SAP エンジンはパッケージとも呼ばれ、追加のライセンスが必要なオプションのアプリケーションです。すべてのエンジンには、エンジンのライセンス使用量を計算するために使用する固有のライセンス測定基準があります。ライセンス測定基準の例には、従業員数や契約数などがあります。

ライセンス使用量は、自動 SAP エンジン測定、複数のエンジン測定値とインジケーターに基づく計算、または手動の自己申告プロセスのいずれかによって計算されます。

- エンジンが SAP エンジン測定プロセスでサポートされている場合、 ソフトウェア資産管理 はそのエンジンのライセンス使用状況を自動的に計算します。
- エンジンが複数のエンジン測定値で構成されていることが識別された場合、インジケーターライセンスメトリクスも使用可能な場合、 ソフトウェア資産管理 はこの値を計算します。
- エンジンが SAP エンジン測定プロセスでサポートされていない場合は、自己申告プロセスを使用して、そのエンジンのライセンス使用状況情報を手動で入力する必要があります。SAP エンジンライセンスの使用状況を自己申告する方法については、「自己宣言型の SAP エンジンライセンス使用」を参照してください。

各プロセスでサポートされているエンジンの完全なリストを表示するには、SAP Support Portal の「Engine & Self-Declaration Product Measurement」を参照してください。

重要: SAP Support Portal にアクセスするには、SAP Support Portal アカウントが必要です。

SAPパブリッシャーパックは、SAP ERP Central Component (ECC) アプリケーションと SAP S/4 HANA アプリケーションの両方のエンジンライセンスをサポートしています。

デジタルアクセス

デジタルアクセスライセンスは、システムに直接ログインせずに、ユーザーまたはサードパーティアプリケーションが SAP システムを間接的に使用する場合に適用されます。SAP システムを間接的に使用する例をいくつか次に示します。

- サードパーティアプリケーションを使用した SAP システムでのアクションの実行
- サードパーティアプリケーションから SAP システムへのデータ入力
- サードパーティアプリケーションから SAP システムのデータを表示する

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SAP システムとのサードパーティ製品統合が多数ある場合は、デジタルアクセスライセンスを購入することで、指名ユーザーライセンスの不必要な消費を回避できます。このライセンスモデルでは、 SAP アプリケーションの使用は、サードパーティアプリケーションによって作成された事前定義されたドキュメントの数によってライセンス供与されます。事前定義されたドキュメントタイプの詳細は、ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap) プラグインとともにインストールされる SAP ドキュメントタイプ [samp_sap_document] テーブルに格納されます。

SAP ドキュメントタイプ

ドキュメント名	ドキュメント乗数
販売ドキュメント	1
購入ドキュメント	1
請求書ドキュメント	1
製造ドキュメント	1
入出庫伝票	0.2
品質管理ドキュメント	1
サービスおよびメンテナンスドキュメント	1
財務ドキュメント	0.2
時間管理ドキュメント	1

SAPシステムには、さまざまなユーザおよびクライアントシステム用にサポートされているドキュメントタイプのデジタルアクセスデータが保存されます。SAP システムから ServiceNow インスタンスにデジタルアクセスデータをプルするために、次のいずれかのツールがあることを確認します。

- SAP パスポートツール
- SAP 見積もりツール

注: SAP Digital Access ライセンスを購入すると、これらのツールを追加費用なしでインストールできます。SAPツールの詳細については、SAP ヘルプポータル を参照してください。

事前定義されたドキュメントタイプのいずれかが、サードパーティアプリケーションを介して SAP システムで作成された場合、デジタルアクセスライセンスコストが適用されます。ただし、これらのドキュメントの読み取り、更新、または削除に関連する追加料金は発生しません。

SAP デジタルアクセスソフトウェアモデルの場合、デジタルアクセス使用量は次のように計算されます。

1. すべてのユーザーによって各 SAP システムで作成された特定のドキュメントタイプのドキュメントの合計数が計算されます。

   ユーザー A が 5 つの品目ドキュメントを作成し、ユーザー B が SAP システムで 5 つの品目ドキュメントと 10 の販売ドキュメントを作成したシナリオを考えてみましょう。入出庫伝票の総数は 10 で、販売伝票の総数は 10 です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. ライセンス消費は、特定のドキュメントタイプの総数にドキュメント乗数を掛けて計算されます。

   前の手順で説明したシナリオに基づくと、入出庫伝票によって消費されるライセンスは 2 (10*0.2) で、販売伝票によって消費されるライセンスは 10 (10*1) です。したがって、消費されるデジタル アクセス ライセンスの合計は 12 です。

   注: SAP Digital Access ソフトウェアモデルは、ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap) プラグインとともにインストールされます。

SAPデジタルアクセスソフトウェアモデルの調整は、購入した権限と消費したライセンスを比較することによって行われます。

との SAP 接続 Now Platform

SAP システムと ServiceNow インスタンスの接続を開始するには、SAP の ABAP プログラムをデプロイします。次に、手順に従って SAP 接続を確立します。

SAP 用の ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックは、一元化された設計を使用します。セントラルシステムと見なされる SAP クライアントに移送ファイルをインポートすると、クライアントは、プログラム選択されたカスタムリモートファンクションコール (RFC) 接続リストを使用して、セントラルシステムから RFC を介して他のすべてのクライアントに接続します。次に、セントラルシステムのカスタムテーブルに保存するデータをフェッチします。移送ファイルをインポートするには、 SAP Solution Manager または RFC 接続が有効化されている別の SAP クライアントを使用して、セントラルシステムにデータをフェッチします。

接続が確立されると、SAP システムから ServiceNow インスタンスにデータがプルされます。プルされるすべてのデータのリストについては、「SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル」を参照してください。

SAP データは毎週プルされるようにスケジュールされています。ユーザーアクティビティデータ、Web アクティビティデータ、およびエンジン使用状況データは毎月プルされます。すべてのユーザーと Web アクティビティは 90 日後に削除されます。SAPライセンスメトリクス測定テーブル [samp_sap_license_metric_measurement] のエンジン使用率測定レコードは、1 年後に削除されます。

SAPデータがNow Platformに入ると、最初にステージングテーブルに格納されてから、最終的なSAPテーブルに転送されます。データ転送が行われるテーブルを編集したり、転送ロジックを表示したりするには、「変換マップ」を参照してください。

注: ユーザーアクティビティ変換マップと Web アクティビティ変換マップは、大量のデータが原因でパフォーマンスの問題を引き起こす可能性があるため、デフォルトでは有効になっていません。ただし、これらの変換マップは手動で有効にすることができます。アクティビティ変換マップを有効にするには、 すべて > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > **SAP** 接続 をクリックし、接続を選択します。構成 セクションで、 アクティビティのフェッチ フィールドを **True** に設定し、 更新 を選択します。

ライセンスの使用状況とコンプライアンス SAP 表示する

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) またはパブリッシャーの概要 (ソフトウェア資産ワークスペース) を使用して、SAPライセンスのコスト、使用状況、およびコンプライアンスを表示します。ダッシュボードと概要には、 SAP システムでユーザーロールを再割り当てしてライセンス消費を最適化する方法も示されます。ライセンス最適化の詳細は、ソフトウェア資産アナリティクスビューで表示できます。詳細については、「のパブリッシャーの最適化 SAP」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は毎週またはオンデマンドで実行され、すべての SAP 製品のライセンスコンプライアンス状況を判断します。調整では、ソフトウェアエンタイトルメントに記録された購入済みの権限と、 SAP システムからプルされた実際の使用状況データを比較します。ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス使用状況] ビューで、SAPの調整結果を表示できます。ライセンス使用状況ビューには、ライセンスのないユーザーとエンジン、利用可能で必要なデジタルアクセスライセンス、ライセンスポジションを準拠させるための修復オプション、見込まれる節約などが表示されます。[ライセンス使用状況] ビューの詳細については、「 [ライセンス使用状況] ビュー」を参照してください。

SAPのソフトウェアライセンスコンプライアンスポジションレポートを表示するには、 ライセンス使用状況 > レポート > ソフトウェアライセンスコンプライアンスポジション ソフトウェア資産ワークスペースで。

SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル

テーブルは、 ソフトウェア資産管理 Professional for SAP プラグインとともにインストールされます。テーブルには、 SAP システムからプルされたデータが格納されます。

> **注:** アプリケーションファイルテーブルを使用して、SAP パブリッシャーパックとともにインストールされているすべてのコンポーネントを表示します。詳細については、「 アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索 」を参照してください。

デモデータは SAP パブリッシャーパックで入手できます。

テーブル

テーブル	説明
指名ユーザータイプロール [samp_named_user_type_has_role]	各指名ユーザータイプに割り当てられたロール。
SAP クライアント [samp_sap_client]	Advanced Business Application Programming (ABAP) システムを外部システムに接続するリモートファンクションコール (RFC) 宛先です。 テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** クライアント.
SAP 接続 [samp_sap_connection]	SAP システム接続。 テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** 接続.
SAP エンジン使用率 [samp_sap_sw_client_access]	各エンジンのライセンスメトリクスに基づいた、SAP クライアントの最新のエンジン使用率の測定値。
SAP ライセンスのメトリクス [samp_sap_license_metric]	このテーブルは、 ServiceNow コンテンツサービスによって入力されます。これは、 SAP エンジンによって使用されるすべてのライセンス測定基準のリストです。 テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > エンジン.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	注: テーブルは、コンテンツサービスからの新しいデータで定期的に更新されます。新しいライセンス測定基準を追加したり、既存のライセンス測定基準を非アクティブ化して、現在の SAP ライセンスを反映させたりすることができます。ライセンスメトリクスが非アクティブ化されたソフトウェアモデルを表示するには、次の場所に移動します **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > **SAP** ライセンス測定基準が非アクティブ化されたソフトウェアモデル.
SAP ライセンスメトリクス測定 [samp_sap_license_metric_measurement]	各エンジンのライセンスメトリクスに基づいた、SAP クライアントの月次エンジン使用率測定値。 テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** エンジン.
SAP ロール [samp_sap_role]	SAPSAPシステムからプルされたロール。
SAP システムユーザー [samp_sap_system_user]	SAP システムからプルされた検出済みユーザー。 テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > ライセンス > すべての **SAP** ユーザー. **注:** 検出されたユーザーテーブル [samp_discovered_user] は、検出された SAP ユーザーをユーザーテーブル [sys_user] のシステムユーザーレコードにマッピングします。
SAP ユーザーアクティビティ [samp_sap_user_activity]	SAP システムで費やされた時間や、作成または更新されたデータベースレコードの数など、SAP クライアントでのユーザーのアクティビティに関連するデータ。
SAP ユーザーロール [samp_sap_user_has_role]	SAP ユーザーとアサインされたロール。
SAP Web アクティビティ [samp_sap_web_activity]	各接続で送受信されたコール数やデータ量など、SAP クライアントで実行される Web アクティビティまたは RFC 接続に関連するデータ。
SAP ユーザーのアクティブなトランザクション [samp_named_user_type_has_transactions]	SAPクライアントでの指名ユーザーのトランザクションアクティビティに関連するデータ。ユーザートランザクションアクティビティは、SAPクライアントでトランザクションまたはタスクを実行するためのショートカットであるSAPトランザクションコードに基づいています。たとえば、ME21N トランザクション コードを使用すると、 SAP で発注書を作成できます。
SAP USMM ルール [samp_sap_usmm_rule]	接続されているすべての SAP アプリケーションからの USMM ルール情報。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: SAPデータのステージングテーブルもインストールされます。

SAPからのデータは、SAPパブリッシャーパックに含まれていないいくつかの追加のテーブルにも保存されます。

- 価格リストデータがプルされ、価格リストテーブル [samp_price_list] に保存されます。

  テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > 価格リスト.

- 指名ユーザータイプがプルされ、指名ユーザータイプテーブル [samp_named_user_type] に格納されます。

  テーブルを表示するには、 **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 管理 > 指名ユーザータイプ.

- クライアント ユーザー名、ドキュメントタイプ、ドキュメントタイプ数、測定元などのデジタルアクセスの詳細が SAP システムからプルされ、SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access] テーブルに保存されます。

  テーブル内のデータを表示するには、 すべて > **Software Asset Workspace** > ライセンス操作 > ディスカバリー > **SAP** デジタルアクセスデータ.

の **ABAP** プログラムの展開 **SAP**

SAP システムと ServiceNow インスタンス間の接続の確立を開始するには、Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラムを導入します。ABAP プログラムを展開すると、SAP と ServiceNow インスタンスの間でデータを共有できます。

始める前に

ABAP プログラムにアクセスするには、ServiceNow Store からソフトウェア資産管理アプリケーション用の SAP ABAP プログラムをダウンロードします。Xanaduリリースと互換性のあるアプリケーションバージョンをダウンロードしてください。

必要なロール：sam_admin

このタスクについて

ABAP プログラムをデプロイするには、ソフトウェア資産管理アプリケーションの SAP ABAP プログラムを通じて提供されるトランスポートファイルをインポートし、サービス指向アーキテクチャ (SOA) マネージャを使用してサービスプロバイダを設定します。

注: ServiceNow インスタンスをアップグレードする場合は、新規リリースと互換性のあるバージョンの ABAP プログラムをダウンロードして展開する必要があります。その後、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを再構成する必要があります。

SAP セットアップ情報については、「 KB0813999 」を参照してください。

SAPおよび関連ツールの詳細については、SAP ヘルプポータル を参照してください。

手順

1. SAP システムで、SAP Transport Management System (STMS) を使用して移送ファイルをインポートします。
   a. `COFILE`ファイルと`DATA`ファイルをディレクトリにコピーして展開します。
   b. STMS を起動し、「 インポートの概要」を選択します。
   c. ターゲット・システムをダブルクリックし、 エクストラ > その他の要求 > 追加をクリックし、移送要求番号を入力します。
   d. 要求をハイライト表示し、 要求 > インポート.
   e. [Import Transport Request] ウィンドウで、[**Target Client**] フィールドにクライアント番号を入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

f. 「オプション」タブを選択し、「 無効なコンポーネント・バージョンを無視する 」チェック・ボックスを選択します。

g. **[OK]** を選択します。

2. SAPシステムで、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを構成します。

a. SOAマネージャを起動し、 サービス管理 > **Web** サービス構成.

b. 「検索基準」フィールドから「サービス定義」を選択します。

c. [検索パターン] フィールドにサービス定義の場所を入力します。

d. [移動 **(Go)**] を選択します。

e. [検索結果] ペインで、サービス定義行を選択し、[選択を適用] を選択します。

f. [構成] タブで、 [作成] を選択します。

g. 以下のフィールドを入力します。

[SOA 管理] ダイアログ ボックス

フィールド	説明
サービス名	サービスの名前。
説明	サービスに関する説明。
新しいバインディング名	バインディングの名前。

h. [設定の適用] を選択します。

i. 選択 プロバイダーセキュリティ > メッセージ認証をクリックし、[ユーザー ID/パスワード] チェック ボックスをオンにします。

j. [保存] を選択します。

k. 選択 概要 > 設計時 **WSDL** ドキュメントを開く.
ブラウザーウィンドウが開き、新しい WSDL が生成されます。

l. 「 **Open Service WSDL Generation**」を選択します。

m. [**WSDL URL for Binding**] フィールドからリンクをコピーします。

3. RFC 接続を確認します。

次のタスク
ServiceNow インスタンスに戻り、SAP接続を確立します。

SAP接続の確立

Advanced Business Application Programming (ABAP) プログラムを SAP システムに展開した後、接続プロファイルを作成して、 SAP システムと ServiceNow インスタンス間の接続を確立します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
SAP と ServiceNow インスタンス間の接続を確立する前に、SAP システムネットワークが ServiceNow などの外部アプリケーションからアクセス可能かどうかを確認してください。外部接続がブロックされている場合は、 MID サーバーをインストールできます。MID サーバーは、ServiceNowインスタンスと外部アプリケーションまたはデータソース間の通信やデータ移動を可能にします。手順については、「 MID サーバーのインストール 」を参照してください。

すでにネットワークにインストールされ、ServiceNowインスタンスに接続されているMID サーバーがある場合は、このSAP接続によって自動的に使用されます。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 接続のセットアップ をクリックし、[**New**] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

SAP [接続のセットアップ] フォーム

フィールド	説明
名前	接続プロファイルの名前。
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格リスト。
WSDL	SAPシステムへの接続に使用される、IP アドレスを含む SOA マネージャーからの Web サービス記述言語 (WSDL) URL。 **注:** SAP WSDL 名は変更しないでください。WSDL サービス定義名は /NOW/SAMP で、サービスバインディング名は NOW_SAMP である必要があります。変更できるWSDL名は、WSDL生成名のみです。
ユーザー名	SAP システムへの接続に使用するユーザー名。
パスワード	SAP システムへの接続に使用するパスワード。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
初期接続が確立されます。
4. SAP接続を選択し、レコードのフィールドを確認します。

SAP 接続レコード

フィールド	説明
名前	接続プロファイルの名前。SAP接続セットアップフォームで値が生成されます。
デフォルトの価格リスト	調整のために考慮する必要があるデフォルトの価格リスト。SAP接続セットアップフォームで値が生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
USMM ロール最適化を使用	調整中に適用する必要がある USMM ロールベースの最適化を指定するためのチェックボックス。
前回の実行	SAP接続のデータが最後にプルされた日時。
SOAP メッセージ	SAP WSDL 情報を含む SOAP メッセージ。
資格情報エイリアス	接続の認証情報が含まれている接続エイリアス。接続エイリアスにより、実行時に接続と資格情報が解決されます。
アクティブ	SAP接続がアクティブであることを示すオプション。
ユーザーマッピング	
SAP ユーザーフィールド	SAP 対応する ServiceNow ユーザーにマップされているさまざまなクライアント間のユーザー。
ユーザーフィールド	ServiceNow ユーザーフィールド。 **注:** データのプル後に [ユーザーマッピング] フィールドの値を変更すると、検出されたユーザーとシステムユーザー間のマッピングが失われます。検出されたユーザーと [権限使用者] および [権限要求者] フィールド間のマッピングも失われます。
構成	
ロールのフェッチ	ロールデータの SAP からのデータプルを制御します。
エンジン使用率のフェッチ	エンジン使用率データの SAP からのデータプルを制御します。
アクティビティのフェッチ	ユーザーアクティビティと Web アクティビティデータの SAP からのデータプルを制御します。
ユーザートランザクションをフェッチ	ユーザートランザクションアクティビティデータの SAP からのデータプルを制御します。

5. [SAP 認証情報] 関連リストで、接続の作成に使用した認証情報を表示します。

   注: 指定された SAP 接続に対してアクティブにする必要がある認証情報レコードは 1 つだけです。認証情報に関連付けられているロールを確認するには、 SAP Basis アドミニストレーターにお問い合わせください。アドミニストレーターは、 SAP ユーザー ID 認証情報にそれぞれのロールを割り当てます。

6. SAP接続をテストするために、最新バージョンの ABAP プログラムを実行している場合は、[**SAP 接続とバージョンのテスト**] 関連リンクを選択します。

   注: ServiceNowインスタンスをアップグレードする場合は、新しいバージョンのABAPプログラムをダウンロードしてデプロイし、SOAマネージャを使用してサービス・プロバイダを再構成する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. SAPデータをカスタムテーブルに再度収集する要求をカスタム ABAP プログラムに送信するには、[**SAP** のデータの更新] 関連リンクを選択します。
8. プルした SAP データが破損していて、現在のデータを表示する必要がある場合は、[すべての **SAP** データを **ServiceNow** にプル] 関連リンクを選択します。
   SAP データは定期的にプルされる予定です。
9. **[SAP** クライアント] 関連リストでSAPクライアントを表示します。
   SAPクライアントはSAPスケジュール済みジョブ中にデータがプルされたときに生成されます。
10. [更新] を選択します。

タスクの結果
これで、ソフトウェアモデルとエンタイトルメントの作成を開始できます。

のエンタイトルメントの作成 **SAP**

ソフトウェアエンタイトルメントを作成して、 SAP 製品のライセンス情報を記録します。エンタイトルメントは個別に作成することも、スプレッドシートからインポートすることもできます。

始める前に
必要なロール：sam_user または sam_admin

注: エンタイトルメントをインポートするには、sam_adminロールが必要です。

重要: エンタイトルメントは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成およびインポートできます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでのエンタイトルメントの作成について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントの作成の詳細については、「ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのエンタイトルメントのインポートの詳細については、「ワークスペースへのエンタイトルメントの一括インポート」を参照してください。

このタスクについて
次の手順では、 SAP に固有の情報について説明します。ソフトウェアエンタイトルメントの作成に関する一般的な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > ポートフォリオ > ソフトウェアエンタイトルメント をクリックし、[**New**] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

   注: SAPソフトウェアエンタイトルメントに固有の情報のみを次の表に示します。すべてのソフトウェアエンタイトルメントフィールドの詳細については、「ソフトウェアエンタイトルメントフィールド」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

フィールド	値
評価指標グループ	SAP
ライセンス評価指標	次のいずれかの値を選択します ◦指名ユーザー:特定の指名ユーザータイプをアサインできる指名ユーザーの数にライセンスを付与します。指名ユーザータイプは、エン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	タイトルメントにリンクされたソフトウェアモデルによって定義されます。 ◦ エンジン測定: SAP エンジンの使用量をライセンスします。 ◦ デジタルアクセス:サードパーティアプリケーションによって作成されたドキュメントの数に基づいて、サードパーティアプリケーションまたは非SAP仲介ソフトウェアを介したSAPアプリケーションの間接的な使用をライセンス付与します 使用のタイプは、ソフトウェアモデルの **SAP** ライセンス測定基準 フィールドで定義されます。 ライセンスのメトリクスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。

3. [保存] を選択します。
4. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

のソフトウェアモデルの作成 **SAP**

SAP製品情報を記録するソフトウェアモデルを作成します。

始める前に

必要なロール：sam_user

重要: ソフトウェアモデルは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでソフトウェアモデルを作成する方法の詳細について説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成の詳細については、「ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

このタスクについて

ソフトウェアモデルは、 SAP システムからプルされたエンジンとライセンスメトリクスに対して自動的に作成されます。必要に応じて、 SAP 製品の追加のソフトウェアモデルを手動で作成することができます。

次の手順では、 SAP に固有の情報について説明します。ソフトウェアモデルの作成に関する一般的な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > 製品カタログ > 製品モデル > ソフトウェアモデル をクリックし、[**New**] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

注: SAPソフトウェアモデルに固有のフィールドのみを以下に示します。すべてのソフトウェアモデルフィールドの詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア モデル フォーム

フィールド	説明
指名ユーザータイプ	SAP 指名ユーザータイプ。 注: このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
価格リスト	指名ユーザータイプに対応するソフトウェアグループ。 注: このフィールドは、[製品] フィールドで [指名ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
SAP ライセンス評価指標	エンジンのライセンス消費を計算するために使用されるライセンスのメトリクス。ライセンスの測定基準の例としては、従業員数や契約数があります。 注: このフィールドは、[製品] フィールドで SAP エンジンが選択されている場合にのみ表示されます。
関連	一部の SAP エンジンでは、追加のライセンスは必要ありません。エンジンに追加のライセンスが必要な場合は、このチェックボックスをオンにします。[関連] が false に設定されているソフトウェアモデルは、調整によって常に準拠していると見なされます。 注: このフィールドは、[製品] フィールドで SAP エンジンが選択されている場合にのみ表示されます。
しきい値	一部の SAP エンジンでは、ライセンスポジションが準拠しなくなる前に、一定量のライセンスなしの使用が許可されます。しきい値は、許可される使用法を定義し、各エンジンおよびライセンスメトリクスに固有です。エンジン使用率がライセンスされた量を超えていても、しきい値を下回っている場合でも、ソフトウェアモデルは調整によって準拠していると見なされます。 注: このフィールドは、[製品] フィールドで SAP エンジンが選択されている場合にのみ表示されます。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。

次のタスク
ソフトウェアエンタイトルメントを作成して 、ソフトウェアモデルのライセンスを記録します。

カスタム **SAP** の名前付きユーザータイプの作成

カスタムSAP指名ユーザータイプを作成して、SAPシステムに固有の指名ユーザータイプに基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: カスタム SAP 名前付きユーザータイプは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでカスタムの名前付きSAPユーザータイプを作成するには、次の手順に従います。ソフトウェア資産ワークスペースでカスタムの指名ユーザータイプを作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのカスタム指名ユーザータイプの作成」を参照してください。

このタスクについて

注: ServiceNowインスタンスで直接作成したカスタムSAP名前付きユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムでも同じ変更を行う必要があります。

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに、「`samp_named_user_type_list.do`」と入力します。
   [指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
名前	カスタム指名ユーザーの名前。
価格リスト	デフォルトの価格リスト。
開発者である	ユーザーが開発者ロールを持っていることを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプにアクセス権を付与します。
値	指名ユーザータイプに関連付けられた値。この値は、数字または文字のいずれかです。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。低いランク値が優先されます。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプのライセンスステータスを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

指名ユーザータイプが指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

次のタスク

カスタム指名ユーザーを追加した後、フォームでカスタム指名ユーザーを指定するソフトウェアモデルを作成します。

名前付きユーザータイプへのロールのマッピング

ロールを指名ユーザータイプにマッピングすることで、 SAP ライセンスを最適化できます。調整中に、検出されたユーザーロールとアサインされた名前付きユーザータイプがこれらのロールと比較され、より低い名前付きユーザータイプを指定できるユーザーが特定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニュー ナビゲーション フィルターに、「`samp_named_user_type_list.do`」と入力します。
   [指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルが開きます。
3. ロールをマッピングする指名ユーザータイプを選択します。
4. **[SAP** ロール] 関連リストで、[編集...] を選択します。
5. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、名前付きユーザータイプにマップするロールを検索して選択します。
6. [追加] アイコン ( を選択して、選択したロールを SAP ロールリストに移動します。
7. 名前付きユーザータイプにマッピングするロールごとに手順 5 と 6 を繰り返します。
8. [保存] を選択します。

カスタム **SAP** 価格リストの作成

カスタムSAP価格リストを作成して、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

注: ServiceNowインスタンスに直接作成したカスタムSAP指名ユーザータイプは、SAPシステムには反映されません。SAPシステムでも同じ変更を行う必要があります。

重要: カスタム SAP 価格表は、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションと ソフトウェア資産ワークスペースの両方で作成できます。次の手順を使用して、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでカスタムSAP価格リストを作成します。ソフトウェア資産ワークスペースでカスタムSAP価格表を作成する方法の詳細については、「ワークスペースでのカスタム SAP 価格リストの作成」を参照してください。

手順

1. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_price_list_list.do`」と入力します。
   価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

カスタム価格表フォーム

フィールド	説明
名前	価格リストの名前。
ID	価格リストの一意の識別子。
デフォルトの指名ユーザータイプ	価格リストのデフォルトの指名ユーザータイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	価格リストがアクティブかどうかを示すオプション。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
   価格リスト [samp_price_list] テーブルに自動的に戻ります。
6. オプション: SAP指名ユーザータイプをカスタムSAP価格表に関連付けます。

   a. 価格リスト [samp_price_list] テーブルから、作成したカスタム SAP 価格リストを選択します。
   カスタム価格表レコードが開きます。

   b. [指名ユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

   カスタム指名ユーザータイプフォームの作成

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持つかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。順位値が小さいほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

   d. **[Submit** (送信)] を選択します。

   e. 追加するカスタムの指名ユーザータイプごとに、手順 a ～ c を繰り返します。

カスタム **SAP** 指名ユーザータイプのインポート

カスタムSAP指名ユーザータイプをServiceNow®インスタンスにインポートして、SAPシステムに固有の指名ユーザータイプに基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. KB1299127 に移動して、カスタムSAP指名ユーザータイプをServiceNowインスタンスにインポートするために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_nut.xlsx) をダウンロードします。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 名前付きユーザータイプをスプレッドシートに入力します。
   [クライアント]、[システム]、[指名ユーザータイプ値]、および [指名ユーザータイプ名] フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリで必須です。
3. ServiceNow インスタンスから、SAP Custom Named User Types [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルを開きます。

   注: ServiceNow インスタンスの [アプリケーションスコープ] を **[SAP** 向けソフトウェア資産管理プロ] に設定する必要があります。

   a. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニュー ナビゲーション フィルターに、「`imp_samp_sap_custom_nut_list.do`」と入力します。
   SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルが開きます。

4. テーブル ヘッダーを右クリックし、[インポート] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

カスタム指名ユーザータイプフォームへの外部データのインポート**SAP**

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	SAPカスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに新しいデータを挿入するか、既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するための Excel テンプレートを作成しますか？	SAP カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルでデータを挿入または更新するために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。ステップ 1 でスプレッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ、このオプションを有効にします。
ステップ 1: データを入力するための Excel テンプレート ファイルを作成する 注: このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?**)] オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
テンプレートにすべてのフィールドを含める	利用可能なすべてのフィールドを Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートに含めるオプション。
Excel テンプレートを作成	Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。
ステップ 2:テンプレートファイルをアップロードする	
Excel テンプレートファイル	MicrosoftSAP カスタム指名ユーザータイプ [imp_samp_sap_custom_nut] テーブルに挿入または更新する名前付きユーザータイプを含む Excel スプレッドシート。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. [アップロード] を選択します。
7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータのプレビュー] を選択します。
「Imp Tmpl Samp SAP Custom Nuts」ページが開きます。
8. 正しい数のカスタム SAP 指名ユーザータイプがアップロードされたことを確認し、[インポートの完了] を選択します。
カスタム SAP 指名ユーザータイプが ServiceNow® インスタンスにインポートされます。次に、指名ユーザータイプが指名ユーザータイプ [samp_named_user_type] テーブルに追加されます。

カスタム SAP 価格リストのインポート

カスタムSAP価格リストを ServiceNow® インスタンスにインポートして、SAPシステムに固有の契約に基づいてSAPライセンスを追跡および管理できるようにします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. KB1299127 に移動して、カスタムSAP価格表データを ServiceNow インスタンスにインポートするために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレート (imp_samp_sap_custom_price_list.xlsx) をダウンロードします。
2. インポートするすべてのカスタム SAP 価格表データをスプレッドシートに入力します。
[クライアント]、[システム]、および [価格] の値フィールドは、スプレッドシートのすべてのエントリで必須です。

   注: データをインポートするカスタム SAP 価格表ごとに、個別のスプレッドシートに入力する必要があります。

3. ServiceNowインスタンスから、SAPカスタム価格表データ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルを開きます。

   注: ServiceNow インスタンスの [アプリケーションスコープ] を **[SAP** 向けソフトウェア資産管理プロ] に設定する必要があります。

   a. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニュー ナビゲーション フィルターに、「`imp_samp_sap_custom_price_list_list.do`」と入力します。
   SAPカスタム価格表データ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルが開きます。

4. テーブル ヘッダーを右クリックし、[インポート] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

カスタム価格表データフォームへの外部データのインポート**SAP**

フィールド	説明
データを挿入または更新しますか？	SAPカスタム価格リストデータ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルに新しいデータを挿入するか、既存のデータを更新するかを示すオプション。
データを入力するための Excel テンプ	SAP カスタム価格表データ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルにデータを挿入または更新するために使用できる Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。このオプションは、 ステップ 1 でスプ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
レートを作成しますか？	レッドシートテンプレートをまだダウンロードしていない場合にのみ有効にします。
ステップ 1: データを入力するための Excel テンプレート ファイルを作成する 注: このフォームセクションは、[データを入力するための **Excel** テンプレートを作成しますか? **(Do you want to create an Excel template to enter data?**)] オプションを有効にした場合にのみ表示されます。	
テンプレートにすべてのフィールドを含める	利用可能なすべてのフィールドを Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートに含めるオプション。
Excel テンプレートを作成	Microsoft Excel スプレッドシートテンプレートを生成するオプション。
ステップ 2:テンプレートファイルをアップロードする	
Excel テンプレートファイル	MicrosoftSAPカスタム価格表データ [imp_samp_sap_custom_price_list] テーブルに挿入または更新するデータが含まれている Excel スプレッドシート。

6. [アップロード] を選択します。
7. アップロードが成功したら、[インポートされたデータのプレビュー] を選択します。
   [Imp Tmpl Imp Samp SAP Custom Price Lists] ページが開きます。
8. カスタム SAP 価格表に正しい数のエントリがアップロードされたことを確認し、インポート の完了 を選択します。
   カスタム SAP 価格表のデータが ServiceNow インスタンスにインポートされます。その後、価格リストが価格リスト [samp_price_list] テーブルに追加されます。
9. オプション: カスタム SAP 価格表を追加の SAP 指名ユーザータイプに関連付けます。
   デフォルトでは、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、カスタムSAP価格表を、インポートされたMicrosoft Excel スプレッドシートで指定したSAP名前付きユーザータイプに自動的に関連付けます。ただし、カスタムの指名ユーザータイプを追加することで、価格表を追加の SAP 指名ユーザータイプに関連付けることができます。

   a. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_price_list_list.do`」と入力します。
      価格リスト [samp_price_list] テーブルが開きます。

   c. カスタム SAP 価格表を選択します。
      価格リストレコードが開きます。

   d. [指名ユーザータイプ] 関連リストで、[新規] を選択します。

   e. フォームのフィールドに入力します。

   カスタム指名ユーザータイプフォーム

フィールド	説明
名前	指名ユーザータイプの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
価格リスト	指名ユーザータイプを関連付ける価格リスト。このフィールドは、自動的に入力されます。
開発者である	この指名ユーザータイプのユーザーが開発者ロールを持つかどうかを示すオプション。
へのアクセスを許可	指名ユーザータイプがアクセスできるアプリケーション。
値	名前付きユーザータイプを識別する英数字の値。
ランク	調整中の指名ユーザータイプの優先度。順位値が小さいほど、調整時の優先度が高くなります。
ライセンス可能である	指名ユーザータイプにライセンスを付与できるかどうかを示すオプション。
アクティブ	指名ユーザータイプがアクティブかどうかを示すオプション。

f. **[Submit** (送信)] を選択します。

g. 追加するカスタムの指名ユーザータイプごとに、手順 d から f を繰り返します。

SAP USMM ベースの最適化

SAP クライアントの指名ユーザータイプにロールをマップする SAP ユーザーライセンス測定 (USMM) ルールを使用して、ライセンスを最適化します。

SAP USMM のルールは、システム クライアント ベースでロールを指名ユーザー タイプにマップします。これらのルールを指定ユーザー ライセンスに適用する場合、 Now Platform は USMM ルールをプルし、すべての情報を SAP USMM ルール [samp_sap_usmm_rule] テーブルに格納します。スケジュール済みジョブ *SAM - SAP USMM Based Optimization* は毎週実行され、検出されたユーザーのシステムクライアントの USMM ルールに従ってライセンスを最大化します。この最適化された指名ユーザータイプは、SAP システムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルの USMM 指名ユーザータイプ列に入力されます。詳細については、「SAP パブリッシャーパックとともにインストールされるテーブル」を参照してください。

SAP接続レコードで [**USMM** ロール最適化を使用] チェックボックスをオンにして USMM ルールをオプトインすると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは調整中に最適化された USMM 指名ユーザータイプを優先します。SAP システムと ServiceNow インスタンス間の接続を確立するための接続プロファイルの作成の詳細については、「SAP接続の確立」を参照してください。

指名ユーザータイプのユーザートランザクションアクティビティ

SAPユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAP指名ユーザータイプのライセンスの最適化を決定します。

ユーザー・トランザクション・アクティビティーは、ユーザーが SAP クライアントで実行するトランザクションまたはタスクです。これらのアクティビティは、 SAP トランザクションコード (t コード) に基づいています。これは、これらのトランザクションまたはタスクを識別して実行するためのショートカットです。SAPのスケジュール済みジョブを実行すると、ソフトウェア資産管理アプリケーションは、SAPユーザーがアクティブに使用していたSAPトランザクションコードを取得します。

SAP指名ユーザー・タイプの再利用ルールを作成する場合、ユーザーがアサインされた指名ユーザー・ライセンスを維持するためにアクティブにする必要があるトランザクション・コードとトランザクション・コードの最小数を指定できます。調整中に、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、これらのトランザクション・コードを、指定されたユーザー・タイプの検出されたユーザー・トランザクション・コードと比較します。結果のデータは、 SAP のソフトウェア公開者アナリティク

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スダッシュボードの [トランザクションベースのライセンス最適化のユーザー] レポートで確認できます。この情報を使用して、ライセンスをダウングレードするか、未使用のライセンスを再利用することで、指名ユーザーライセンスの位置を最適化します。このレポートの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版のSAPのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード」を参照してください。

SAPユーザーのアクティブなトランザクションコードを表示する

SAPユーザーが積極的に使用したSAPトランザクションコード (t コード) を表示します。このリストが再利用ルールと比較され、ユーザーに最適化されたライセンスが割り当てられているかどうかが判断されます。

始める前に
必要なロール：admin

> **重要:** これらの SAP トランザクションコードは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。次の手順では、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでこれらのトランザクションコードを表示する方法の詳細について説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでこれらのトランザクションコードを表示する方法の詳細については、「ワークスペースでの SAP ユーザーの表示」を参照してください。

手順

1. ServiceNow® インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。
2. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_sap_system_user_list.do`」と入力します。
   SAP システムユーザー [samp_sap_system_user] テーブルが開きます。
3. アクティブなSAPトランザクションコードを表示するSAPユーザーを選択します。
4. SAP システムユーザーレコードで、[**SAP** ユーザーアクティブトランザクション] 関連タブを選択して、特定のユーザーに対して検出されたSAPトランザクションコードの完全なリストを表示します。

自己宣言型の **SAP** エンジンライセンス使用

自動SAPエンジン測定プロセスでは測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告できます。この情報を使用して、 SAP ライセンスコンプライアンス状況をより包括的に可視化し、ライセンスコストを最適化できます。

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションでの **SAP** エンジンライセンスの使用を自己宣言する

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用して、自動化されたSAPエンジン測定プロセスで測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて
特定のエンジンのライセンス使用状況を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、SAP Support Portal の「Engine & Self-Declaration Product Measurement」を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

> **重要:** SAP Support Portal にアクセスするには、SAP Support Portal アカウントが必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. SAPエンジンのソフトウェアモデルを作成します。
   詳細な手順については、 のソフトウェアモデルの作成 SAP を参照してください。

   注:

   [ソフトウェアモデル] フォームで、[パブリッシャー] フィールドを `[SAP]` に設定する必要があります。フォームが再ロードされ、 SAPに適用可能なソフトウェアモデルフィールドのみが表示されます。

   さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用を自己申告する SAP エンジンに設定する必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
   詳細な手順については、 のエンタイトルメントの作成 SAP を参照してください。

   注: [ソフトウェアエンタイトルメント] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドをステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

3. クライアントアクセスレコードを作成して、 SAP エンジンのライセンス使用状況を指定します。

   a. ServiceNow インスタンスのページヘッダーで、[すべて] を選択します。

   b. メニューナビゲーションフィルターに、「`samp_sw_client_access_list.do`」と入力します。
   クライアントアクセス [samp_sw_client_access] テーブルが開きます。

   c. [新規] を選択します。

   d. [クライアントアクセス] フォームの [名前] フィールドに、クライアントアクセスレコードの名前を入力します。

   e. [ソフトウェアモデル] フィールドで [リストから参照] アイコン ([を選択し、SAPエンジンのソフトウェアモデルを探して選択します。

      注: ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルを選択します。

   f. [使用状況] フィールドにエンジン ライセンスの使用状況の値を入力します。

      このライセンス使用の値は、エンジンに関連付けられているライセンスのメトリクスに基づいています。たとえば、 SAP E-Recruiting エンジンのライセンス測定基準は 「従業員」です。200 人の従業員が SAP E-Recruiting ライセンスを使用している場合は、[使用] フィールドにライセンス使用値 `200` を入力する必要があります。

      各 SAP エンジンに関連付けられているライセンス測定基準の詳細については、「エンジンおよび自己申告製品の測定」を参照してください。

   g. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
SAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告すると、ServiceNowインスタンスで実行される次のSAP調整に自動的に含まれます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での SAP エンジンライセンスの使用状況の自己宣言 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースを使用して、自動SAPエンジン測定プロセスでは測定できないSAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告します。

始める前に

必要なロール:admin または sam_user

このタスクについて

特定のエンジンのライセンス使用状況を自己申告する必要があるかどうかを判断するには、SAP Support Portal の「Engine & Self-Declaration Product Measurement」を参照してください。自己申告製品のリストに含まれるエンジンのライセンス使用を自己申告する必要があります。

重要: SAP Support Portal にアクセスするには、SAP Support Portal アカウントが必要です。

手順

1. SAPエンジンのソフトウェアモデルを作成します。
   詳細な手順については、 ワークスペースでのソフトウェアモデルの作成 を参照してください。

   注:

   [新規ソフトウェアモデルの作成] フォームで、[公開者] フィールドを `[SAP]` に設定する必要があります。フォームが再ロードされ、 SAPに適用可能なソフトウェアモデルフィールドのみが表示されます。

   さらに、[製品] フィールドを、ライセンス使用を自己申告する SAP エンジンに設定する必要があります。

2. ソフトウェアモデルのエンタイトルメントを作成します。
   次のいずれかのオプションを使用してエンタイトルメントを作成できます。

   - ソフトウェア資産の概要の [エンタイトルメントを作成] ボタン。

     このオプションを使用してエンタイトルメントを作成する方法の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する 」を参照してください。

     注: [新規ソフトウェアエンタイトルメントを作成] フォームで、[ソフトウェアモデル] フィールドを ステップ 1 で作成したものと同じソフトウェアモデルに設定する必要があります。

   - ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブ。

     このオプションを使用してエンタイトルメントを作成するには、 ステップ 1 で作成したソフトウェアモデルのレコードを開きます。ソフトウェアモデルレコードの [ソフトウェアエンタイトルメント] タブで、[新規] を選択し、対応する [新規ソフトウェアエンタイトルメントを作成] フォームのフィールドに入力します。

     各フィールドの詳細な説明については、「 ソフトウェアエンタイトルメントフィールド 」を参照してください。

     注: [ソフトウェアモデル] フィールドは、自動的に入力されます。

3. SAPエンジンのライセンス使用を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 手順 1 で作成したソフトウェアモデルのレコードを開きます。

b. **SAP** エンジンの使用状況 タブで、新規 を選択します。

c. [新しい SAP エンジンの使用状況の作成 (Create new SAP Engine Usage)] フォームで、フィールドに入力します。

[新しい **SAP** エンジンの使用状況の作成 **(Create New SAP Engine Usage)]** フォーム

フィールド	説明
名前	SAP エンジンライセンスの使用状況を識別および追跡するために使用される名前。
ソフトウェアモデル	SAPエンジンが関連付けられているソフトウェアモデル。このフィールドは、自動的に入力されます。
SAP クライアント	SAPSAP エンジンがインストールまたは実行されているクライアント。
使用法	SAP エンジンのライセンス使用状況。 この値は、エンジンに関連付けられているライセンスメトリクスに基づいています。たとえば、 SAP E-Recruiting エンジンのライセンス測定基準は 「従業員」です。200 人の従業員が SAP E-Recruiting ライセンスを使用している場合は、[使用] フィールドにライセンス使用値 `200` を入力する必要があります。各 SAP エンジンに関連付けられているライセンス測定基準の詳細については、「エンジンおよび自己申告製品の測定」を参照してください。

d. [保存] を選択します。

タスクの結果

SAPエンジンのライセンス使用状況を自己申告すると、ServiceNowインスタンスで実行される次のSAP調整に自動的に含まれます。調整は毎週またはオンデマンドで実行されます。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**SAP**のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、SAPのライセンスコンプライアンスポジションを表示します。

ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > **SAP** コンプライアンスおよび最適化 > 概要.

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。

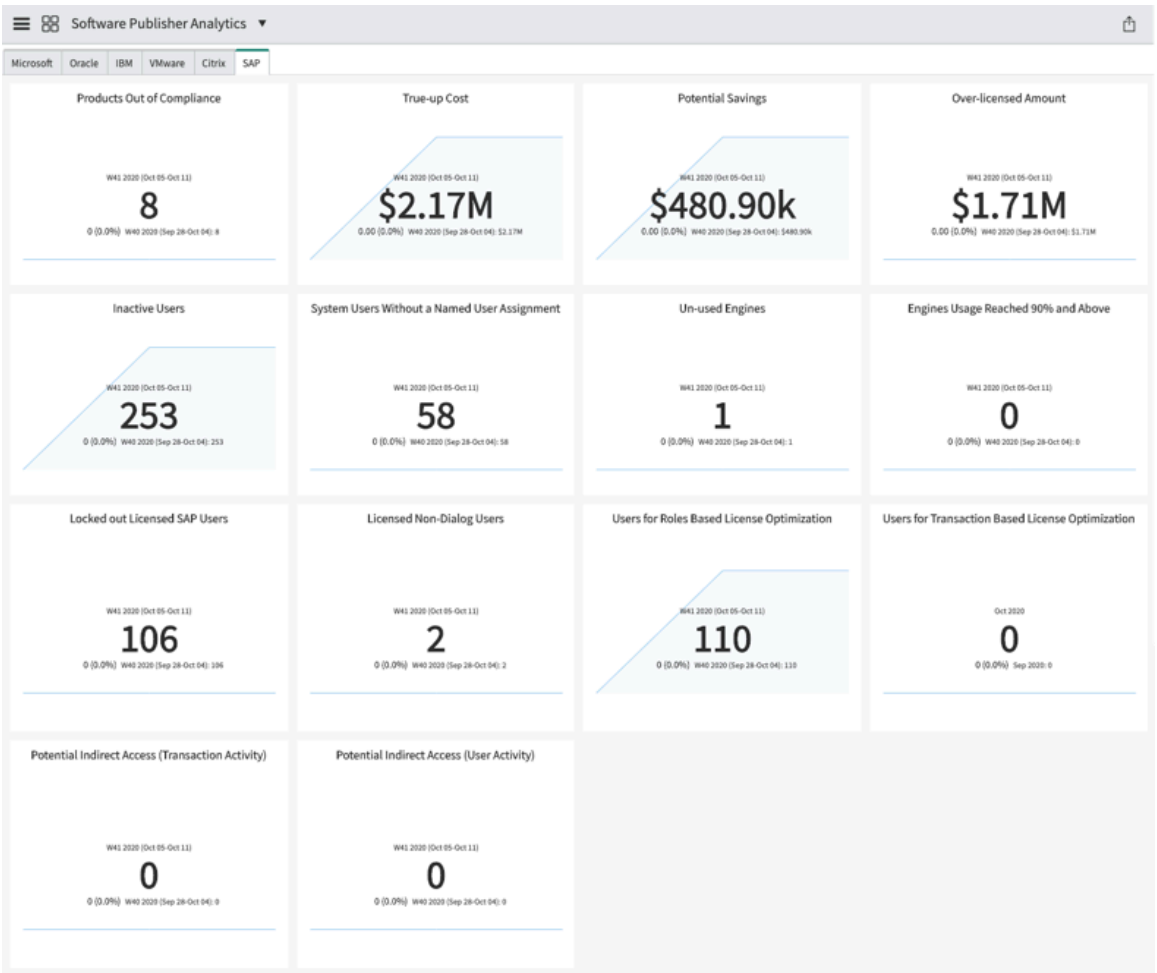
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール
SAM ユーザー:ダッシュボードを表示して、 SAP ライセンスのコンプライアンスと節減見込みを追跡できます。	sam_user

SAP ダッシュボード



SAP タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	ソフトウェアモデルの結果	コンプライアンス違反のソフトウェアモデルの数。
調整コスト	ソフトウェアモデルの結果	エンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。このコストには、指名ユーザータイプとエンジンが含まれます。
節減見込み	ソフトウェアモデルの結果	削除候補が再利用された場合に節約される金額。節約額には、指名ユーザータイプとエンジンが含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
ライセンス供与過剰金額	ソフトウェアモデルの結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。このコストには、指名ユーザータイプとエンジンが含まれます。
非アクティブなユーザー	SAP システムユーザー	SAP ログインしてから 90 日を超えているユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システムユーザー	SAP 指名ユーザーアサインを持たないユーザー。
未使用エンジン	ライセンス評価指標の結果	使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントがある SAP エンジンの数。
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	ライセンス評価指標の結果	使用率が 90% 以上に達した SAP エンジンの数。
ロックアウトされたライセンス SAP ユーザー	SAP システムユーザー	ライセンスを消費しているユーザー SAP ロックされています。
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システムユーザー	SAP 名前付きユーザーが割り当てられている非ダイアログユーザー。
ロールベースのライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	ライセンス消費を最適化するためにロールを変更できる SAP ユーザーの数。
トランザクションに基づくライセンス最適化のユーザー	SAP システムユーザー	ソフトウェア資産管理がユーザートランザクションベースのライセンス最適化を検出したSAPユーザーの数。 レポートを選択すると、最適化可能なユーザーのリストが表示されます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	SAP システムユーザー	ユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAPシステムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの数。 ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAP システムユーザー	SAPシステムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピークカウント、およびステップに基づいてスコアが与えられます。

自動翻訳

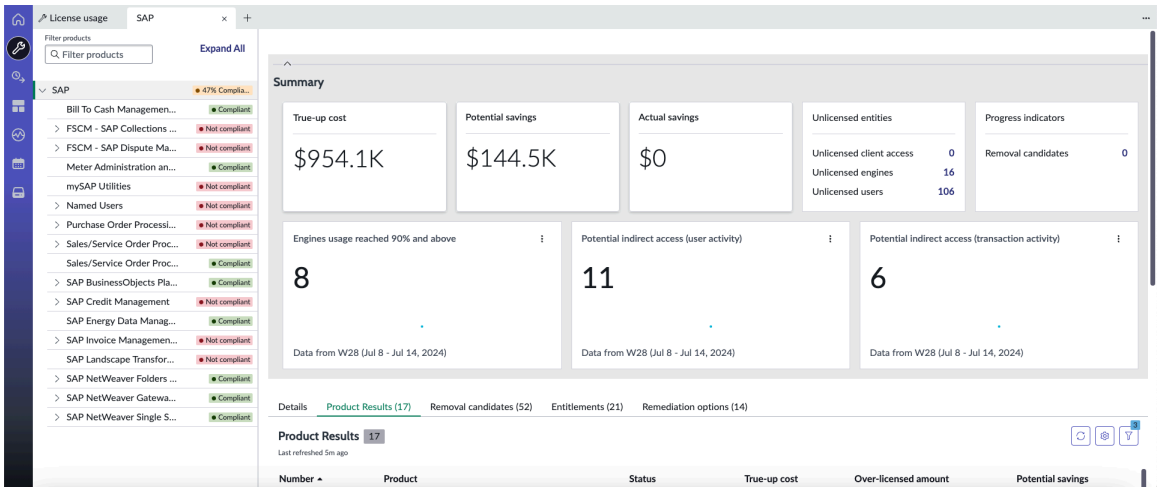
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の SAP のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペース内のSAPの公開者の概要で、SAPに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、次の場所に移動して SAP 公開者の概要にアクセスします。ライセンス使用状況 > パブリッシャー をクリックし、使用可能なソフトウェア発行元の一覧から **[SAP]** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 SAP 公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

SAP 概要

レポート	説明
調整コスト	SAPソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
見込み節減	SAPライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	SAPライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない SAP クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない SAP クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないエンジン:ライセンスのない SAP エンジンの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない SAP エンジンの完全なリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 SAP ユーザーの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない SAP ユーザーの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 この概要には、SAP削除候補の合計数を表示する削除候補インジケーターが含まれています。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAP 概要 (続く)

レポート	説明
エンジンの使用率は 90% 以上に達しました	使用率が 90% 以上に達した SAP エンジンの合計数。
可能性のある間接アクセス (ユーザーアクティビティ)	SAP システムに間接的にアクセスできる SAP ユーザーの合計数。 ユーザーには、合計 CPU 時間、ピークカウント、およびステップに基づいてスコアが与えられます。
可能性のある間接アクセス (トランザクションアクティビティ)	ユーザートランザクションアクティビティに基づいて、SAPシステムに間接的にアクセスできるSAPユーザーの合計数。 ユーザーには、各接続で送受信されたデータの量に基づいてスコアが与えられます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック **VMware**

ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for VMware を使用して、ソフトウェアエンタイトルメント、ソフトウェアモデルを作成し、VMware 固有のライセンスメトリクスを使用してライセンスポジションを追跡します。

注: VMware 向け ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパックのすべてのメリットを利用するには、VMware コンテンツパック (com.sn_samp_vmware) プラグインを有効にします。

VMware は、仮想化およびクラウドコンピューティングソフトウェアです。 VMware 仮想化には、2 種類のハイパーバイザーと、仮想化の最適化に使用できる追加の製品が用意されています。

ほとんどの VMware 製品機能にはライセンスキーを使用してアクセスするため、ライセンスコンプライアンスの管理が困難になることがあります。ソフトウェア資産管理 Publisher Pack for VMware を使用すると、ライセンスコンプライアンス状況を追跡して、ソフトウェア支出を最適化し、監査リスクを軽減できます。

VMwareデータを収集するには、ディスカバリープロセスが必要です。詳細については、「ITOM ヴィジビリティによって収集されるデータ」を参照してください。

ソフトウェアエンタイトルメントフォームを使用して、VMwareに対して購入したソフトウェア権限を追跡します。フォームの [ライセンスキー] 関連リストを使用して、ソフトウェアのライセンスキー情報を保存することもできます。VMware でサポートされるさまざまなライセンス契約タイプの詳細については、「ライセンス契約タイプ」を参照してください。

ソフトウェア資産ワークスペースの [ライセンス使用状況] ビューを使用して、VMwareライセンスコンプライアンスを表示します。VMwareソフトウェアがコンプライアンス違反の場合、[ライセンス使用状況] ビューには、ライセンスをコンプライアンスに戻す方法に関する修正の提案が表示されます。詳細については、「[ライセンス使用状況] ビュー」を参照してください。

ソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード (クラシックアプリケーションソフトウェア資産管理) またはパブリッシャーの概要 (ソフトウェア資産ワークスペース) のいずれかを使用して、VMwareに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。Software Publisher Analytics ダッシュボードの詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版のVMwareのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード」を参照してください。公開者の概要の詳細につい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ては、「 の VMware, Inc. のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース」を参照してください。

ソフトウェア資産管理クラシック版の**VMware**のソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボード

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションのソフトウェアパブリッシャーアナリティクスダッシュボードで、VMwareに関連するコンプライアンス分析結果を表示します。

[Software Publisher Analytics] ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 主要ソフトウェアメーカーのライセンス概要.

注: VMwareダッシュボードタブを表示するには、アドオンVMwareパブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。

ダッシュボードは、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。グラフは PNG または JPG 形式で保存できます。

VMware ダッシュボード

VMware vCenter ソフトウェアからの情報が検出され、VMware調整に使用されます。ディスカバリー は次のプローブを使用して、次のテーブルに入力します。

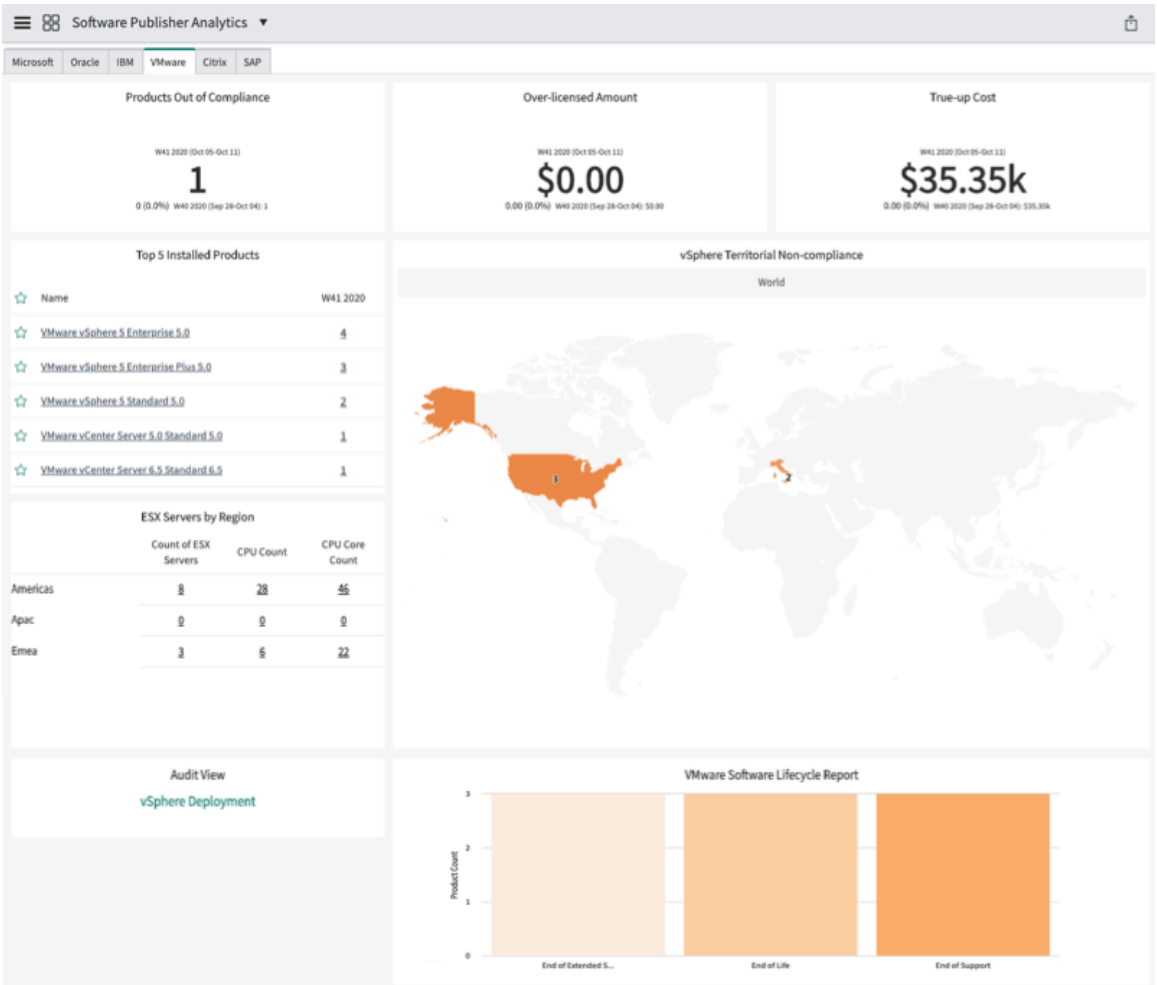
- vCenter プローブ VMware — vCenter ESX ホストライセンス
- VMware 検出されたライセンスキー [samp_vmware_license_key] テーブルと VMware 検出されたライセンスキー消費 [samp_vmware_license_key_usage] テーブル

詳細については、次を参照してください。 による vCenter ディスカバリー ソフトウェア資産管理 .

注: VMwareダッシュボードタブを表示するには、アドオンVMwareパブリッシャーパック (com.sn_samp_vmware) プラグインをインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



VMware タブ

レポート	ソースリスト	説明
コンプライアンス違反製品	製品の結果	少なくとも 1 つのソフトウェアモデルがコンプライアンス違反している製品の数。 レポートを選択すると、ソフトウェアライセンスの使用状況に結果が表示されます。
ライセンス供与過剰金額	製品の結果	所有しているが使用されていないライセンスのコスト。
調整コスト	製品の結果	権限のエンタイトルメントの平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。
インストールされた上位 5 製品	ソフトウェア インストール	インストールされている上位 5 つの VMware 製品の数。
vSphere のテリトリー非準拠	VMware 検出されたライセンスキー消費	VMware vCenter 展開のコンプライアンス。フィルタリングする場所をドリルダウンします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VMware タブ (続く)

レポート	ソースリスト	説明
リージョン別の ESX サーバー	ESX サーバー	場所、ESX 数、CPU 数、およびコア数。
監査ビュー	VMware 検出されたライセンスキー消費	VMware vSphere の展開:製品、ライセンス キー、使用者、アサイン先、場所、CPU コア数、CPU カウント、vCenter 参照、評価の有効期限、ソフトウェアのインストール。
VMware ソフトウェアライフサイクルレポート	ソフトウェアライフサイクルレポート	拡張サポートの終了、提供終了、サポート終了を含む、ソフトウェアライフサイクルの各フェーズの製品数。

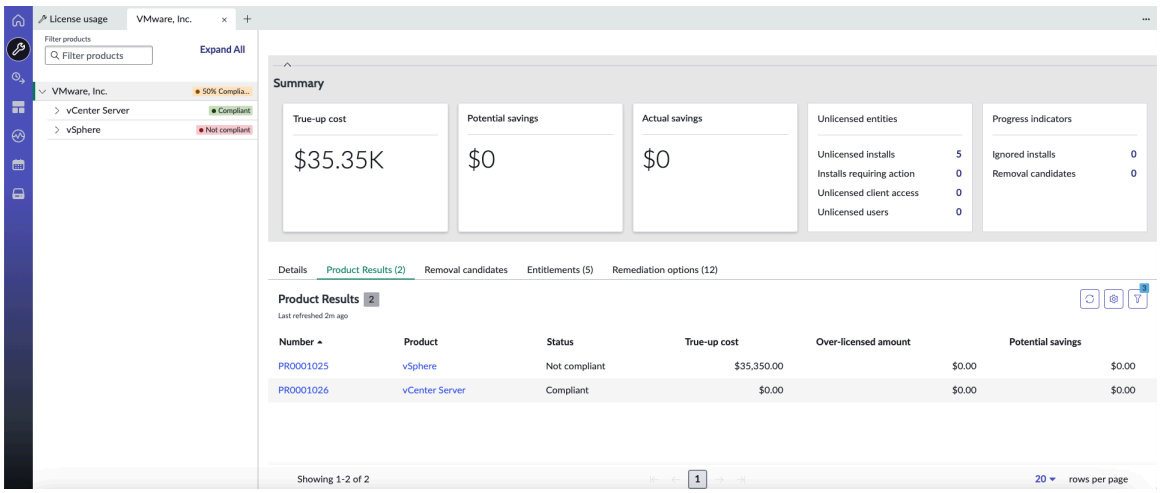
[vSphere 展開] 関連リンクに、検出されたライセンスキー消費VMwareリストが表示されます。

の VMware, Inc. のパブリッシャーの概要 ソフトウェア資産ワークスペース

ソフトウェア資産ワークスペースの VMware, Inc. の公開者の概要で、VMwareに関連するライセンス使用状況情報を表示します。

ソフトウェア資産ワークスペースから、VMware, Inc. のパブリッシャー概要にアクセスするには、次の場所に移動します。 ライセンス使用状況 > パブリッシャー 次に、利用可能なソフトウェアパブリッシャーのリストから **VMware, Inc.** を選択します。

結果は、新しい調整結果が利用可能になるたびに更新されます。



ライセンス使用状況情報の概要は、 VMware, Inc. の公開者の概要の [概要] セクションで確認できます。

VMware, Inc. 概要

レポート	説明
調整コスト	VMwareソフトウェアエンタイトルメントにおける権限の平均価格に基づいて計算される、準拠するために要するコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

VMware, Inc. 概要 (続く)

レポート	説明
見込み節減	VMwareライセンスのコスト削減見込み。
実際の削減	VMwareライセンスの実際のコスト節減。
ライセンスのないエンティティ	ライセンスのないエンティティの概要。 この概要には、次の情報が含まれます。 • ライセンスなしのインストール:ライセンスなしの VMware ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • アクションが必要なインストール:アクションを実行する必要がある VMware ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、これらの VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • ライセンスのないクライアントアクセス:ライセンスのない VMware クライアントアクセスレコードの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない VMware クライアントアクセスレコードの完全なリストが表示されます。 • 無認可ユーザー:無認可 VMware ユーザーの合計数。番号を選択すると、ライセンスのない VMware ユーザーの完全なリストが表示されます。
進捗状況インジケーター	ライセンスコンプライアンスの進捗状況の概要。 このサマリーには、次のインジケーターが含まれています。 • 無視されたインストール:再利用中に無視された VMware ソフトウェアインストールの合計数。番号を選択すると、無視された VMware ソフトウェアインストールの完全なリストが表示されます。 • 削除候補:VMware削除候補の合計数。番号を選択すると、すべてのソフトウェア削除候補のリストが表示されます。

パブリッシャーの概要で提供されるライセンス使用状況情報の詳細については、「ワークスペースのライセンス使用状況のパブリッシャーフィールド」を参照してください。

エンジニアリングライセンス管理

ライセンスの位置とエンジニアリングアプリケーションの使用状況を可視化して、監査リスク、ライセンスの非効率的な使用、不正確な予測を排除し、拒否を防止します。

エンジニアリングライセンス管理の概要については、この短いビデオをご覧ください。

エンジニアリングライセンス管理の概要。

注: ソフトウェア資産管理プロ for engineering applications のすべてのメリットを利用するには、ソフトウェア資産管理プロ for Engineering Applications プラグイン (com.sn_samp_eng_app) をリクエストしてください。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

エンジニアリングアプリケーションとは、航空宇宙、石油・ガス、建設などの業界におけるソフトウェア製品の分類を指します。

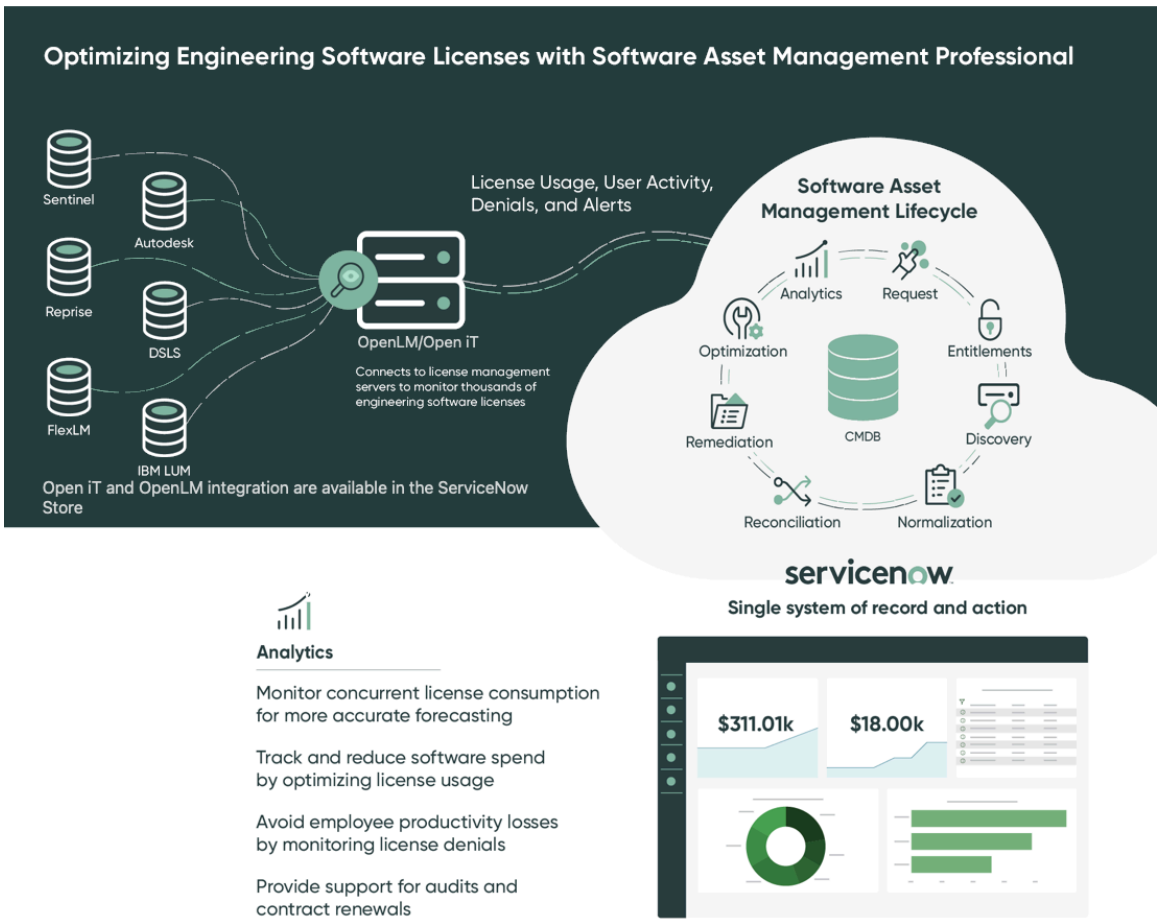
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同時ライセンスを使用すると、複数のユーザーがネットワーク上の任意のコンピューターまたは仮想マシンからソフトウェアアプリケーションへのアクセスを共有できます。ネットワークにインストールされたライセンス管理サーバーは、共有ライセンスのプールの配布を管理します。

複数のライセンス管理サーバーを持つことができます。エンジニアリングアプリケーションごとに 1 つ。共有プール内の同時ライセンスの数によって、特定の時間にソフトウェアアプリケーションを使用できるユーザーの数が決まります。アプリケーションを使用する場合、そのアプリケーションは適切なライセンス管理サーバーに要求を送信して、ライセンスが使用可能かどうかを判断します。ライセンスが利用可能な場合は、アプリケーションが起動し、使用可能なライセンスの数が 1 つ減少します。ユーザーがアプリケーションを終了すると、ライセンスはプールに戻ります。

以下の図は、OpenLMとOpen iTが ServiceNow インスタンスとどのように連携するかを示しています。



ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、フローティング・ライセンス、ネットワーク・ライセンス、トークン・ライセンスの 3 つのタイプのライセンスをサポートしています。これらのライセンスの詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。

ServiceNowインスタンスは、OpenLMおよびOpen iTと統合して、ライセンス管理サーバーからデータを収集します。OpenLMとOpen iTは、IBM License Use Management(LUM)、Sentinel Technologies、Bentley Systems, Inc.などのさまざまなライセンス管理サーバーと統合するソフトウェアライセンス監視および管理ツールです。OpenLM と Open iT はどちらも、各ライセンス管理サーバーに接続し、データを統合し、ServiceNow Store アプリケーションを介して ServiceNow インスタンスにデータを取り込みます。

ServiceNow Storeアプリケーションをダウンロードし、ガイド付きセットアップでアプリケーションを設定すると、OpenLMとOpen iTの両方が、これらのいずれかに接続されているすべてのライセンス管理サーバーからデータ収集をトリガーします。ライセンスの使用状況、拒否、ユーザーアク

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ティビティ、アラートなどのデータは、OpenLMおよびOpen iTによってライセンス管理サーバーから収集され、 ServiceNow インスタンスに転送されます。データは正規化され、調整されてレポートが生成されます。エンジニアリングソフトウェアの合計支出額、最も拒否された製品、経時的なライセンス使用状況、その他多くのレポートは、 エンジニアリングライセンスの概要ダッシュボード (クラシック アプリケーションソフトウェア資産管理) または ワークスペースのエンジニアリングライセンス概要ダッシュボード (ソフトウェア資産ワークスペース) で確認できます。

重要: OpenLMのセットアップと構成の詳細については、ServiceNow StoreのOpenLMアダプタ統合 ページのサポートリンクとドキュメントセクションを参照してください。

Open iT のセットアップと構成の詳細については、ServiceNow Store の Open iT LicenseAnalyzer ページを参照してください。

SaaS ライセンス管理

ServiceNow SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用してSaaSと SSO の使用状況データを表示し、コンプライアンスを管理し、ライセンスを最適化できるようにします。

- SaaS アプリケーションとの直接統合を作成および管理します。サポートされている統合のリストについては、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。
- SSO プロバイダーとの統合を作成して、接続されているすべてのアプリケーションのサブスクリプション使用状況を表示します。
  - Microsoft Azure AD
  - Okta
- SaaS ライセンス管理概要ダッシュボードで、SaaS および SSO サブスクリプションの使用状況、コスト、およびコンプライアンス情報を表示します。
- アクティビティが制限されているか、まったくないユーザーサブスクリプションを再利用します。

次の順序で統合することで、 SaaS と SSO の使用状況データを ServiceNow ソフトウェア資産管理します。

1. 直接統合
2. シングルサインオン (SSO) 統合
3. でのカスタム統合のビルド SaaS ライセンス接続

注: Microsoft Office 365とAdobe Cloudのライセンス管理については、「Microsoft 365 の統合とソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobe」を参照してください。

SaaS ライセンス管理の要求

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求して、SaaS およびシングルサインオン (SSO) アプリケーションとの統合を作成および管理できるようにします。これらの統合を使用して、ライセンスの使用状況を追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

始める前に
ServiceNow インスタンスで ServiceNow ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) を有効にします。ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) を要求してアクティブ化する方法の詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用するには、ServiceNow Storeに ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求する必要があります。

手順
1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「 `ソフトウェア資産管理 – SaaS ライセンス管理` 」と入力し、[検索] を選択します。
4. [ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] という結果を選択します。
5. [ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] ページで、[インストールの要求] を選択します。
6. [ServiceNow アプリのインストール要求 - ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求 **-** ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理 **]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	プラグインをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	プラグインを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果
要求が承認されると、プラグインのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク
メールの指示に従ってプラグインをインストールします。

SaaS ライセンス管理とともにインストールされる内容
ユーザーロールとテーブルは SaaS ライセンス管理とともにインストールされます。デモデータは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) プラグインで利用できます。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_integrator	sam_userロールを継承し、SaaS 統合プロファイルを作成および管理することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル

テーブル	説明
カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition]	SaaS および SSO アプリケーション用にカスタマイズされたソフトウェアモデルを作成および更新できます。
カスタムサブスクリプション統合 [samp_sw_custom_subscription_integration]	カスタム統合プロファイルの SaaS および SSO プロバイダーのリスト。
製品プロファイルタイプ [samp_sw_product_profile_type]	ソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブルの統合プロファイルタイプと製品間のマッピングを提供します。
SAM サブスクリプションスクリプトルート [sam_saas_script_route]	個別のスコープ対象アプリから利用可能な統合を登録するために、特定の統合タイプを実装するスクリプトインクルードとスコープを格納します。
SSO アプリケーション [samp_sso_application]	すべての SSO 統合のすべての SSO アプリケーションのリスト。
SSO アプリケーショングループ [m2m_sso_group_application]	接続された SSO アプリケーションと、それらにアクセスできるディレクトリグループ間のマッピングを提供します。
SSO アプリケーションロール [samp_sso_application_role]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO ユーザーとグループのリスト。
SSO アプリケーションユーザー [m2m_sso_user_application]	接続された SSO アプリケーションと、それらにアクセスできるディレクトリユーザー間のマッピングを提供します。
SSO 統合プロファイル [samp_sso_integration_profile]	すべての SSO 統合プロファイルのリスト。
SSO サブスクリプション [samp_sso_subscription]	接続されているすべての SSO アプリケーションの SSO サブスクリプションのリスト。
サブスクリプション消費 サマリー [sam_saas_consumption_summary]	消費されたユニット、月次消費量、契約日を含む消費サマリー情報。
サブスクリプション統合 [samp_sw_subscription_integration]	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。
サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition]	SaaS ライセンス管理 はこのテーブルを使用して、SaaS および SSO アプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。ソフトウェアモデルは、このテーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して自動的に作成されます。
サブスクリプション使用状況サマリー [samp_subscription_usage_summary]	所有している権限、アサインされた権限、古い権限、利用可能な権限、コストなどのソフトウェア使用状況のサマリー情報。
認識されないサブスクリプション識別子 [samp_sw_unrecognized_subscription_identifier]	ソフトウェアモデルに関連付けられていないサブスクリプション識別子のリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS ライセンス管理 大企業向けのセットアップ

大企業向けの SaaS ライセンス管理 を設定して、 ServiceNow インスタンス内のすべての SaaS 使用状況データを表示できるようにします。

一部の大企業では、統合プロファイルを作成する前に *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* システムプロパティを更新する必要があります。会社で次のいずれかが当てはまる場合は、admin ロールを持つユーザーがこのプロパティを更新する必要があります。

- Adobe Workfront、Aha!、Asana、Box、Calendly、Cisco Webex、Confluence Cloud、CrowdStrike、DocuSign、Dropbox、G Suite、GitHub、GoTo、Looker、Microsoft Dynamics 365 および Power Apps、PagerDuty、Miro、monday.com、Rally、Roadmunk、Salesforce、Salesforce CRM、Salesforce Marketing Cloud、SmartRecruiters、Slack、Smartsheet、SAP SuccessFactors、SurveyMonkey、Tableau Cloud、Trello、Workday、Workplace from Facebook、Zendesk、Zoom合わせて 50,000 を超えるユーザー サブスクリプションがあります。
- Adobe CloudとMicrosoft Office 365を合わせて 50,000 を超えるユーザーサブスクリプションがあります。

com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source システムプロパティを更新して、2 つのグループのサブスクリプション間の値が大きくなるようにします。たとえば、 Adobe Workfront、Aha!、 Asana、 Box、 Calendly、 Confluence Cloud、 Cisco Webex、 CrowdStrike、DocuSign、 Dropbox、 G Suite、 GitHub、 GoTo、Microsoft Dynamics 365 および Power Apps、 PagerDuty、 Miro、 monday.com、 Roadmunk、 Salesforce、 Salesforce CRM、Salesforce Marketing Cloud、 Slack、 SmartRecruiters、 Smartsheet、 SAP SuccessFactors、SurveyMonkey、 Tableau Cloud、 Trello、Workday、 Workplace from Facebook、 Zendesk、Zoom の合計で 60,000 のユーザー サブスクリプションがあり、 Adobe Cloud と Microsoft Office 365 の合計で 25,000 のユーザー サブスクリプションがある場合は、プロパティを `60,000` に更新します。

注: *com.snc.pa.dc.max_row_count_indicator_source* プロパティの使用方法の詳細については、「データ コレクターのプロパティ 」を参照してください。

SaaS 概要ダッシュボード

SaaS 概要ダッシュボードを使用してSaaSアプリケーションと SSO プロバイダーのサブスクリプションの使用状況、コスト、およびコンプライアンスを分析することで、組織が SaaS および SSO ライセンスに費やす金額を最適化します。

重要: SaaS概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で利用できます。このトピックでは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのSaaS概要ダッシュボードに関する情報を提供します。ソフトウェア資産ワークスペースの SaaS 概要ダッシュボードの詳細については、「SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード」を参照してください。

SaaS概要ダッシュボードは、ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したか、Xanadu前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化せずに Xanadu にアップグレードした新規 Xanadu ユーザーは使用できなくなりました。Xanadu より前にソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化したが、ワークスペースプラグイン (com.sn_sam_workspace) をアクティブ化していなかった場合は、このダッシュボードにアクセスできます。ワークスペースプラグインを (Xanadu へのアップグレードの前後に) アクティブ化した場合は、インスタンスの [ソフトウェア資産] ナビゲーションメニューからこのダッシュボードにアクセスできなくなります。ただし、このダッシュボードには [ダッシュボード] ナビゲーションメニューからアクセスできます。

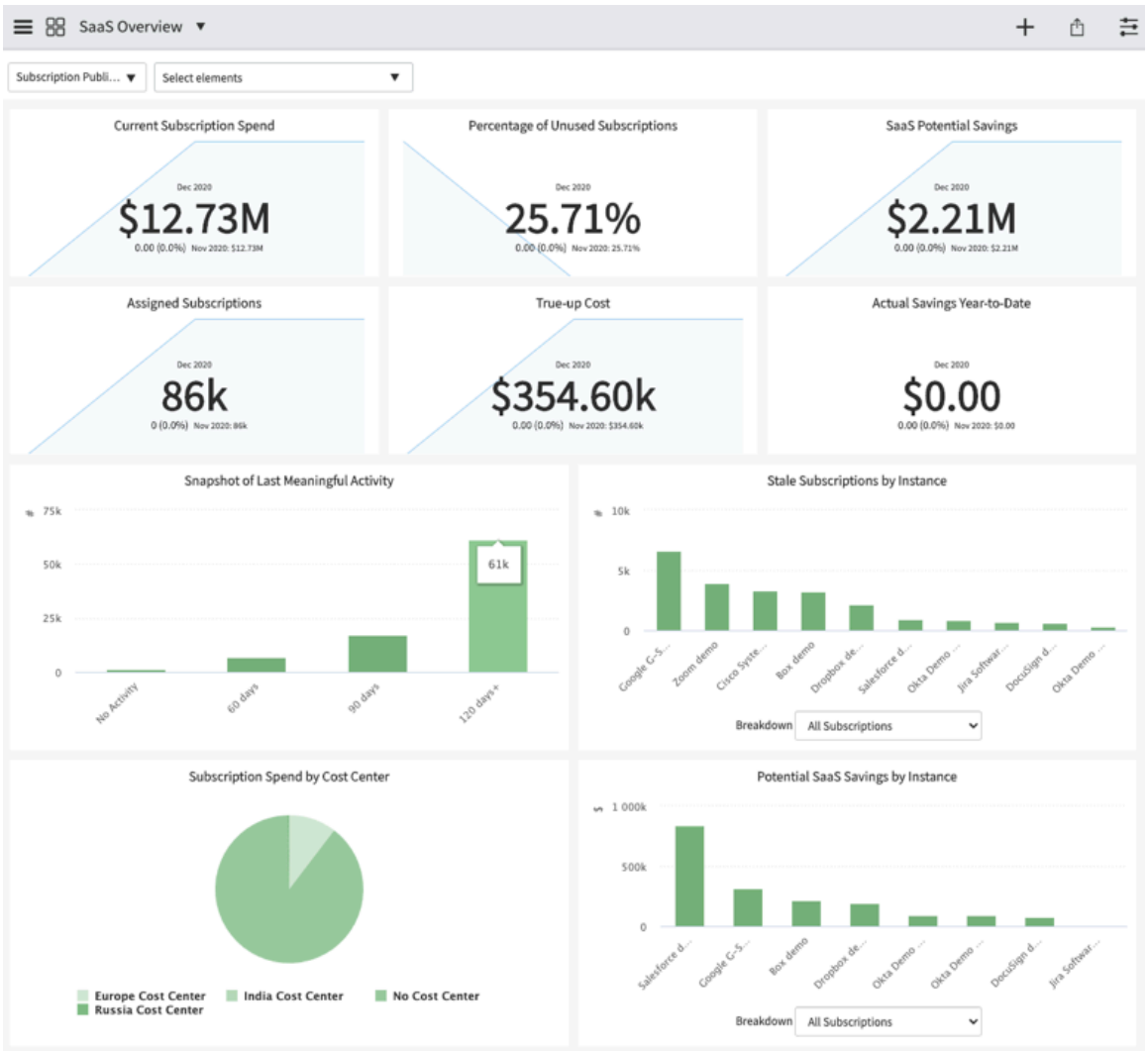
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS概要ダッシュボードには、SaaS および SSO アプリケーションに関連する使用状況、コスト、および節減見込みに関する情報が表示されます。このダッシュボードにアクセスするには、 **SaaS** ライセンス > 概要. ダッシュボードは、ソフトウェアモデルまたは公開者でフィルタリングできます。詳細については、任意のレポートをクリックします。

注: 組織のソフトウェア使用状況と Microsoft Office 365 および Adobe Cloudのコンプライアンスを表示するには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > **Office 365** と **Adobe Cloud**.

SaaS概要ダッシュボード



SaaSの概要レポート

レポート	説明
現在のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントの合計コスト。
未使用のサブスクリプションの割合	再利用ルールによって定義された使用要件を満たしていないサブスクリプションの割合。このパーセンテージは、古い権限 (再利用ルールで定義されたアクティビティしきい値内でアクティビティが制限されているか、まったくないサブスクリプション) の数を、アサインされた権限の合計数で割って計算されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaSの概要レポート (続く)

レポート	説明
SaaS 節減見込み	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に節約できる見込みコスト。
アサインされたサブスクリプション	アサインされたサブスクリプションの合計数。
調整コスト	所有する権限の数を、ユーザーに割り当てた権限の数と一致させるためのコスト。このメトリクスは、組織が使用しているすべての権限に対して組織が料金を支払っていることを確認するのに役立ちます。
節減実績の年度累計	すべてのサブスクリプションソフトウェアの年間削減額の合計。この値は、クローズ済みの完了再利用候補からの節減額の合計として計算されます。
最後の有意義なアクティビティのスナップショット	サブスクリプションソフトウェアの使用行動に基づくユーザーの分布。このデータを使用して、ソフトウェア使用率が最も高いユーザーを特定し、ソフトウェア再利用ルールに最も適したしきい値を決定します。このレポートには、過去 30 日間、30 ～ 60 日間、60 ～ 90 日間、および 90 ～ 120 日間のデータが表示されます。
インスタンス別の古いサブスクリプション	各サブスクリプションプロファイルの古いサブスクリプションの合計数。同じサブスクリプション ソフトウェアに複数のプロファイルがある場合、このレポートには各プロファイルが個別に表示されます。 [ブレークダウン] リストからオプションを選択して、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。SaaS サブスクリプションプロファイルと SSO サブスクリプションプロファイルの両方の古いサブスクリプションを表示するには、[すべてのサブスクリプション] を選択します。SaaSサブスクリプションプロファイルのみの古いサブスクリプションを表示するには、[**SSO** を除くサブスクリプション] を選択します。
コストセンター別のサブスクリプション支出	すべてのアクティブなサブスクリプションソフトウェアエンタイトルメントのコストセンター別の総コスト。
インスタンス別の SaaS 節減見込み	未使用のサブスクリプションを再利用した場合に、各サブスクリプションプロファイルで節約できる見込みコスト。 [ブレークダウン] リストからオプションを選択して、このレポートに表示されるデータをフィルタリングできます。SaaS と SSO の両方のサブスクリプションプロファイルの節減見込みを表示するには、[すべてのサブスクリプション] を選択します。SaaSサブスクリプションプロファイルのみの節減見込みを表示するには、[**SSO** を除くサブスクリプション] を選択します。

SaaS 統合のプレイブック

SaaSプレイブックには、SaaSアプリケーションを統合するためのステップバイステップのガイダンスが記載されています。開始から完了まで、統合プロセスの各ステージを段階的にガイドします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS プレイブックには、以下で構成される複数のレーンが含まれています。

- レーン内で実行する必要があるタスクのリスト
- 各タスクの現在のステータスを表示するステータスインジケーター

タスクを完了としてマークすると、次のタスクに移動します。タスクはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。

レーン内のすべてのタスクを完了して、次のレーンに移動します。タスクとレーンを完了していくと、ステータスが左側のパネルに反映されます。すべてのタスクを完了したら、すべてのレーンに入力した詳細を確認します。

関連情報

Playbook とやり取りする

Salesforce CRM統合の作成

ServiceNow インスタンスを Salesforce Customer Relationship Management (CRM) サービスと統合し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ガイド付きウォークスループレイブックを使用して未使用のライセンスを再利用します。

始める前に

必要なロール: Salesforce admin、sam_admin

- グローバルスコープでのみ Salesforce CRM 統合を作成します。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 **Software Asset Workspace** > ソフトウェア資産アナリティクス.
2. [直接統合を作成] を選択します。
3. サポートされている統合のリストで、[**Salesforce CRM**] を選択します。
4. Salesforce 管理ポータルから Salesforce アプリケーションを登録します。
   詳細については、「Salesforceアプリケーションの登録」を参照してください。

   a. 左側のペインで [**Salesforce** アプリケーションの登録] を選択します。

   b. Salesforce アプリケーションでタスクを完了します。
   各ステップを完了したら、各チェックボックスをオンにします。

   c. [完了としてマーク] を選択します。

5. 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスを最適化します。

   a. 左側のウィンドウで [プロファイルの詳細] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

プロファイルの詳細

フィールド	説明
表示名	プロファイルを作成する組織を一意に識別するための統合プロファイルの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に Salesforce CRM に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	値は **[Salesforce CRM Download Subscriptions]** に設定する必要があります。
サブスクリプションサブフローの再利用	値は **[Salesforce CRM Reclaim Subscription]** に設定する必要があります。

c. データを保存します。

- 統合を続行せずにデータを保存するには、 [保存] を選択します。
- データを保存して統合を続行するには、 [完了としてマーク] を選択します。

6. ServiceNow クラシック インターフェイスで接続と認証情報を作成します。

a. 左側のウィンドウで [接続と資格情報] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

c. [続行] を選択します。

d. [**Create New Connection & Credential**] リンクを選択します。

e. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続名	この接続と認証情報を作成する Salesforce 組織を一意に識別するための接続の名前。
接続 URL (インスタンス URL)	Salesforce にログインした後に表示される URL (Salesforce のカスタムドメイン URL)。
OAuth クライアント ID	Salesforceアプリケーションにアサインされたクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	Salesforceアプリケーションにアサインされたクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは、ステップ 4 でSalesforceアプリケーションの登録時に指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

g. [OAuth2 認証] ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの作成に使用したものと同じ Salesforce admin アカウントにログインします。
ServiceNowインスタンスは、Salesforce用の OAuth トークンを作成します。

h. [完了としてマーク] を選択します。

統合プロファイルは、 Salesforce CRM [サブスクリプションのダウンロード] および [サブスクリプション Salesforce CRM 再利用] サブフローを使用して、 Salesforce CRM サービスからユーザーデータを取得します。

7. オプション: 子エイリアスと追加の統合プロファイルを作成します。

(Optional) 子エイリアスは、この追加の統合プロファイルの接続と認証情報を一意に識別します。

作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

注: アプリケーションスコープを **[Salesforce** スポーク] に設定する必要があります。

a. 左ペインで [**Connect to additional Salesforce org (Optional)** (他の **Salesforce** 組織に接続 (オプション))] を選択します。

b. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
表示は、子エイリアスを設定できる ServiceNow クラシック インターフェイスにリダイレクトされます。

c. [子エイリアス] タブで、 [新規] を選択します。

d. [接続および資格情報エイリアス] フォームに子エイリアスの名前を入力します。

e. [送信] を選択します。
フォームが再ロードされると、新しく作成された子エイリアスが [子エイリアス] リストに表示されます。

f. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択して、複数の接続を作成します。
親接続を作成する場合と同じ手順に従います。

g. 手順を完了し、[プレイブック] ビューのすべてのチェックボックスをオンにしたら、[完了としてマーク] を選択します。

8. 統合プロファイルを公開する前に、必須フィールドを確認してください。

a. 左側のウィンドウで [レビューして公開] を選択します。

b. 統合プロファイルの詳細を確認します。

c. オプション: [接続および資格情報] フィールドで、プレビューアイコン ( )を選択し、 ステップ 7 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

子エイリアスを選択すると、追加の統合プロファイルが子エイリアスに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

d. 統合プロファイルを後で公開する場合は、[保存] を選択します。

e. [完了としてマーク] を選択します。

9. [公開] を選択して統合プロファイルを公開します。
10. オプション: すべてのスケジュール済みジョブの結果のステータスが完了かどうかを確認します。

タスクの結果
統合が正常に公開されると、レコードページにリダイレクトされます。統合プロファイル、関連付けられたソフトウェアモデル、トリガーされたスケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブの結果、および認識されないサブスクリプション識別子の詳細を表示できます。

SaaS アプリケーションとの統合

統合プロファイルを作成して、ソフトウェア使用情報を表示し、古いライセンスを最適化します。

SaaS統合プロファイルは、ソフトウェアベンダーから会社のソフトウェア使用状況情報をプルします。この情報には、すべてのユーザーのリストが含まれており、最近ソフトウェアを使用していないユーザーを特定します。

次の SaaS アプリケーションの統合プロファイルを作成できます。

- Adobe Workfront
- Aha!
- Asana
- Box
- Calendly
- Cisco Webex
- Confluence Cloud
- CrowdStrike
- DocuSign
- Dropbox
- Google Workspace
- GitHub
- GoTo
- Jira ソフトウェア
- Looker
- Microsoft Dynamics 365 および Power Apps
- Miro
- monday.com
- PagerDuty
- Rally
- Roadmunk

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Salesforce CRM
- Salesforce Marketing Cloud
- Slack
- SmartRecruiters
- Smartsheet
- SAP SuccessFactors
- SurveyMonkey
- Tableau Cloud
- Trello
- Workday
- Workplace from Facebook
- Zendesk
- Zoom

Adobe Cloud と Microsoft Office 365 の統合を作成することもできます。詳細については、「Microsoft 365 の統合」と「ソフトウェア資産管理 のパブリッシャーパック Adobe」を参照してください。

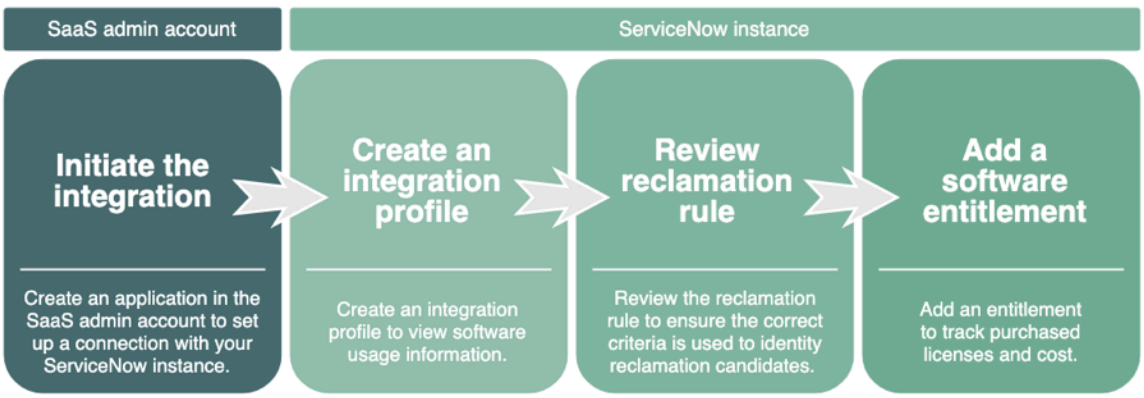
このリストにない SaaS アプリケーションと統合する場合は、カスタム統合プロファイルを作成できます。詳細については、「カスタム統合プロファイルの作成」を参照してください。

注:

SaaS統合により、ソフトウェアのソフトウェアモデルと再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを必ず確認し、必要な基準を使用して再利用候補が特定されていることを確認してください。

再利用ルールを確認した後、 ソフトウェアエンタイトルメントを作成して 、購入したライセンスとコストを追跡します。

SaaS のアプリケーションとの統合



このプロセスに従うと、未使用のライセンスの再利用を開始して、会社のソフトウェアコストを削減する準備が整います。

Adobe Workfront との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをAdobe Workfrontアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Adobe Workfront アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミニストレーター	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミニストレーター	なし
サブスクリプションの再利用	アドミニストレーター	なし

Workfront API キーの生成

WorkfrontAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

始める前に

Workfront 必要なロール:administrator

手順

1. Web ブラウザーから、Adobe Workfront を開きます。
2. 管理者資格情報を使用してログインします。
   Adobe Workfront インスタンスが開きます。
3. Adobe Workfrontインスタンスのページヘッダーで、メインメニューアイコン () を選択し、[セットアップ] を選択します。
4. [セットアップ] ページの左側のナビゲーションメニューから、 システム > 顧客情報.
   [顧客情報] ページが開きます。
5. [API キー設定] セクションで、**[API** キーの生成] を選択します。
   Adobe Workfront は自動的に API キーを生成し、[ユーザーの API キー (Your User's API Key)] の下に表示します。
6. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。
7. 同じセクションで、[作成後、API キー の有効期限が切れます **(After creation, API keys expire)]** リストから API キーの有効期限が切れる期間を選択します。
   デフォルトの期間は 1 か月です。

   注: この期間はいつでも変更できます。期間を変更するたびに、変更を加えた瞬間から新たに選択された期間が開始されます。

Workfront接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Workfront アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. [接続] タブを選択します。
3. Workfront 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Workfront接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。 `https://<domain-name>.my.workfront.com` と入力します。ここで、<*domain-name*> は会社のサブドメインです。
認証情報	
API キー	Workfront アプリケーションの API キー。 Workfront API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

Workfront 統合プロファイルの作成

Workfront統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Workfrontアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Workfront統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkfront統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **Workfront** 統合プロファイルを選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インターフェイス	アクション
	c. ドロップダウンリストから **[Workfront**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Workfront 統合。
接続と資格情報	Workfront スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に **[sn_workfront_spoke]** に設定されます。Workfront。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workfront** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workfront** ユーザーアクティビティサブフローの更新 **(Workfront Update User Activity Subflow**)] に設定されていることを確認します。
5. [サブスクリプションの再利用サブフロー **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー **(Subflow**)] フィールドが **[Workfront Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Workfront [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 Workfront (Update User Activity)]、および [サブスクリプション Workfront 再利用] サブフローを使用して、 Workfront アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

注:

メモリを最適化し、 Workfront フローのパフォーマンスの問題を回避するには、次の場所に移動してフローエンジンのレポートレベルをオフにします。 システムプロパティ > すべてのプロパティ *com.snc.process_flow.reporting.level*システムプロパティを選択します[システム プロパティ] ページで、[値] を [オフ] に設定し、[更新] を選択します。

さらに、次の場所に移動して、実行の詳細のアイテム数を減らすことができます。 システムプロパティ > すべてのプロパティ *com.snc.process_flow.reporting.datastream.item.lastn*システムプロパティを選択します[システム プロパティ] ページで、[値] を 10 に設定し、[更新] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Aha! との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Aha! サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Aha! サービスの詳細については、「Aha! プロダクトマネジメントガイド

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Aha! アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

Aha! OAuth2 アプリケーションの作成

Aha! API にアクセスするための Aha! OAuth2 アプリケーションを作成します。

始める前に
Aha! 必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. [OAuth2 認証 (OAuth2 Authentication)] に移動します。
2. アドミン認証情報を使用して Aha! サイトにログインします。
3. [個人設定] ページで、[開発者] を選択します。
4. [**OAuth** アプリケーション] タブを選択します。
5. [**OAuth** アプリケーションを登録] を選択します。
6. [新しい OAuth アプリケーションの登録 (Register new OAuth application)] フォームの [リダイレクト URL] に「`https://instance/oauth_redirect.do`」と入力します。*instance* は ServiceNow インスタンスの名前です。
7. [作成] を選択します。
   [OAuth アプリケーション **(OAuth applications)]** タブに、クライアント ID とクライアントシークレットキーが表示されます。
8. [クライアント ID] と [クライアントシークレット] フィールドの値を書き留めます。

Aha! の ServiceNow インスタンスのセットアップ

ServiceNow インスタンスを設定して、Aha! クライアント ID とクライアントシークレットキーを追加します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
   接続および資格情報エイリアスのページが表示され、アプリのリストが表示されます。
3. Aha! の接続および認証情報レコードを見つけて開きます。
4. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
5. [接続の作成および認証情報の追加 (Create Connection and add Credential)] フォームで、詳細を入力します。

接続の作成および認証情報の追加 **(Create Connection and add Credential)** フォーム

フィールド	説明
接続名	データ連携プロファイルの名前
接続 URL	Aha! の接続 URL。
OAuth クライアント ID	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 キー。
OAuth クライアントシークレット	Aha! サイトから OAuth2 認証を作成する際に受信した OAuth2 クライアントシークレットキー。
OAuth リダイレクト URL	ServiceNow リダイレクト URL

6. [**OAuth** トークンの構成と取得] を選択し、[承認] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Aha!統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Aha! サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Aha!統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でAha!統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **Aha** 統合プロファイルを選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Aha!**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。

   フォームでは、次のフィールドが自動的に入力されます。

Aha! 統合プロファイルフォーム

フィールド	値
接続および資格情報エイリアス	sn_aha_spoke。ほう_
ステータス	ドラフト
プロファイルタイプ	Aha! サブスクリプション
サブスクリプションサブフローをダウンロード	Aha! サブスクリプションをダウンロード 個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	Aha!サブスクリプションを回収

3. [保存] を選択します。
4. Aha! フォームを保存したら、公開 を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Asana との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをAsanaアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

注: この統合は、組織レベルのすべての Asana 計画のみをサポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Asana アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	デフォルト
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	デフォルト
サブスクリプションの再利用	アドミン	デフォルト

Asana OAuth 2.0 アプリケーションの登録

Asana API 1.0 にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受け取るための Asana OAuth アプリケーションを登録します。

始める前に
Asana 必要なロール：admin

手順

1. Asana アカウントにログインします。
2. 右上隅にあるユーザープロファイルアイコンを選択します。
3. [自分の設定 **(My Settings)]** を選択します。
4. [アプリ] タブを選択します。
5. 下部にある [開発者アプリを管理 **(Manage Developers App)]** リンクを選択して、開発者コンソールウィンドウに移動します。
6. **[+** 新しいアプリを作成 **(+ Create new app)]** を選択します。
7. [新しいアプリを作成 **(Create new app)]** ページで、アプリケーションの名前を入力します。
8. **[API** の契約条件に同意する **(I agree to API terms and conditions)]** チェックボックスをオンにします。
9. [アプリを作成] を選択します。
10. オプション: アプリケーションに関する基本情報を入力します。
11. 左ペインで **[OAuth]** を選択します。
12. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。
13. [リダイレクト **URL]** フィールドで、**[+** リダイレクト **URL** を追加 **(+ Add redirect URL)]** を選択します。
14. 「`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。<instance> は ServiceNow インスタンスの名前です。

Asana統合プロファイルの作成

Asana統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Asanaソリューションのライセンスを最適化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 Integrations プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

必要なロール:admin または sam_integrator

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Asana Integration Profile (Asana** 統合プロファイル)] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Asana**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Asanaデータ連携です。
接続と資格情報	Asana スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_asana_spoke に設定されます。アーサナ。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Asana サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード Asana (Download Subscriptions)] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティサブフローの更新 (Asana Update User Activity Subflow)] に設定されていることを確認します。
5. オプション: [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティの分析を開始する日時を選択します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。
6. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが Asana [Reclaim Subscriptions] に設定されていることを確認します。
7. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Asana [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 Asana (Update User Activity)]、および [サブスクリプション Asana 再利用] サブフローを使用して、 Asana アプリケーションからユーザーデータを取得します。
8. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
9. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
10. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
11. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続名	Asana接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に `https://app.asana.com` に設定されます。
クライアント ID	OAuth アプリケーションの登録時に作成したクライアント ID Asana 。
クライアントシークレット	OAuth アプリケーションの登録時に作成したクライアントシークレット Asana 。
OAuth リダイレクト URL	このフィールドは自動的に `https://<instance name>.service-now.com/oauth_redirect.do` に入力されます。インスタンス名は<c1/>インスタンスの名前です。ServiceNow

12. [保存] を選択します。
13. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Box との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Box サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Box アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	• ユーザーの管理権限を持つ共同管理者 • [ユーザーのコンテンツの表示] 権限を持つ共同アドミン	• ユーザーの管理 • に保存されているすべてのファイルとフォルダを書き込む Box
ユーザーアクティビティのプル	• [新しいレポートの実行] 権限と [既存のレポートへのアクセス] 権限を持つ共同管理者 • [ユーザーのコンテンツの表示] 権限を持つ共同アドミン	• エンタープライズプロパティの管理 • に保存されているすべてのファイルとフォルダを書き込む Box
サブスクリプションの再利用	• ユーザーの管理権限を持つ共同管理者 • [ユーザーのコンテンツの表示] 権限を持つ共同管理者	• ユーザーの管理 • に保存されているすべてのファイルとフォルダを書き込む Box

Boxサービスの詳細については、Boxコミュニティ を参照してください。

Boxアプリケーションの作成

Box Platform でアプリケーションを作成します。

始める前に

Box 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Box開発者コンソール に移動し、アカウントにサインインします。
2. [マイ アプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。
3. [カスタムアプリ **(Custom App)]** を選択します。
4. [認証方法] ページで、[標準 **OAuth 2.0** (ユーザー認証)] を選択します。
5. アプリケーション名を入力し、 [アプリの作成] を選択します。
6. [構成] ページで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

次の手順で、これらの値をコピーして ServiceNow インスタンスに貼り付ける必要があります。

注: クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. リダイレクト URI として「`https://` *`instance.service-now.com/oauth_redirect.do`*」と入力します。*`instance`* はServiceNowインスタンスの名前です。
8. 次のアプリケーションスコープのチェックボックスをオンにします。
   - に保存されているすべてのファイルとフォルダーの読み取りと書き込み Box
   - ユーザーの管理
   - エンタープライズプロパティの管理

   これらのスコープにより、統合はユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得し、未使用のサブスクリプションを再利用できます。
9. [変更内容を保存] を選択します。

Box 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Box サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Box統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でBox統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Box** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウン リストから [ボックス] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
	データ連携プロファイルの名前たとえば、Box `Integration`です

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
表示名	
クライアント ID	SaaS admin アカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Box* [サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	データの分析を現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータの量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。

   注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

5. ポップアップウィンドウで、 Box 管理者アカウントを選択し、[許可]を選択します。

   注: ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なるアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンにファイルを転送する場合は、いつでも [**OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザーファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

タスクの結果

個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Calendly との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Calendly サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Calendly アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

Calendly OAuth アプリケーションの作成

公開アプリケーションを Calendly サービスに登録し、OAuth 2.0 を使用して Calendly API にアクセスできるようにします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Calendly 必要なロール：admin

Calendly開発者にサインアップするには、Google または GitHub アカウントが必要です。

手順

1. Calendly 開発者ポータル に移動します。
   - Calendly開発者アカウントを既にお持ちの場合は、認証情報を使用してサインインし、手順 3 に進みます。
   - Calendly開発者アカウントアカウントをお持ちでない場合は、手順 2 を完了してください。
2. オプション: Calendly 開発者サイト ページの右上隅にある [サインアップ] を選択して、GitHub または Google アカウントからCalendly開発者アカウントにサインアップします。
   このアカウントは Calendly Google ユーザーアカウントに関連付けられていません。
3. 移動先 アカウント > 自分のアプリ をクリックして OAuth アプリケーションを作成します。
4. [新しいアプリを作成] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[OAuth アプリを作成] フォーム

フィールド	説明
アプリの名前	アプリケーションの名前。
アプリの種類	Web やネイティブなどのアプリケーションタイプ。
環境タイプ	サンドボックスや本番など、アプリケーションを関連付ける環境タイプ。
リダイレクト URI	ServiceNow リダイレクト URL たとえば、`https://app.example.com/auth` などです。

6. [保存して続行] を選択します。

次のタスク
クライアント ID とクライアントシークレットをコピーします。

重要:

クライアントシークレットには再度アクセスできないため、これらの値をコピーする必要があります。

Calendly 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成してソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Calendly サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
Calendly統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store からソフトウェア資産管理SaaSライセンス管理 (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でCalendly統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Calendly** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Calendly**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Calendly `Integration`。
接続と資格情報	Calendly スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に sn_calendly_spoke に設定されます 。カレンドリー。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[Calendly** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Calendly** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティサブフローを更新 **(Calendly Update User Activity Subflow**)] に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[Calendly Reclaim Subscription]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Calendly サブスクリプションのダウンロード、 Calendly ユーザーアクティビティの更新、および Calendly サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、 Calendly サービスからユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	Calendly API のベース URL このフィールドは自動的に `https://api.calendly.com` に設定されます。
OAuth クライアント ID	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Calendly サービスに登録した公開アプリケーションにアサインされたクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドはインスタンス名に基づいて自動的に入力されます。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

11. [アプリを認証] ダイアログボックスで、 Calendly アカウントにログインします。
ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
12. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

との統合 **Cisco Webex**

ソフトウェア資産管理アプリケーションをCisco Webexアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

サポートされている Cisco Webex アプリケーションは次のとおりです。

- Webex 会議
- WebexTeams
- Webex 訓練
- Webex イベント
- Webex サポートセッション

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Cisco Webex アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	読み取り専用アドミン	• spark-admin:licenses_read • spark-admin:people_read
ユーザーアクティビティのプル	• コンプライアンス責任者 • 完全なアドミン	• spark-compliance:events_read • meeting:admin_schedule_read
サブスクリプションの再利用	完全なアドミン	• spark-admin:people_read • spark-admin:people_write

Webex Meetings OAuth アプリケーションの作成

Cisco DevNet で OAuth 統合アプリケーションを作成します。

始める前に

Webex 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Webex認証情報を使用して Webex 開発者ポータル にログインします。
2. プロファイル アイコンを選択し、[マイ **Webex** アプリ] を選択します。
3. 移動先 新しいアプリを作成 > 統合を選択 > 統合を作成.
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい統合フォーム

フィールド	値
この統合ではモバイル SDK を使用しますか?	いいえ
統合名	Webexに表示される統合の名前。たとえば、ServiceNowデータ連携です。
連絡先メール	アドミニストレーターのメールアドレス。
アイコン	[自分のアプリ] ページに表示されるアイコン。独自のアプリケーションアイコンをアップロードするか、デフォルトのアイコンのリストからアイコンを選択します。
説明	統合の説明。たとえば、統合の機能とそのメリットなどです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
リダイレクト URI	OAuth 権限許可フローの完了時にリダイレクトされる URI です。`https://<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do`、*instance* は <c2/>インスタンスの名前です。ServiceNow
スコープ	統合 API にアクセスするには、 **meeting:admin_schedule_read** スコープを選択する必要があります。

5. [統合を追加] を選択します。
6. 後で使用するために、表示される **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレット をコピーして保存します。

Webex Teams OAuth アプリケーションの作成

Cisco Webex for Developers で OAuth 統合アプリケーションを作成します。

始める前に

Webex 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Cisco Webex for Developers に移動してログインします。
2. プロファイル アイコンの下で、[マイ **Webex** アプリ] を選択します。
3. 移動先 新しいアプリを作成 > 統合を選択 > 統合を作成.
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい統合フォーム

フィールド	値
この統合ではモバイル SDK を使用しますか?	いいえ
統合名	Webexに表示される統合の名前。たとえば、ServiceNowデータ連携です。
連絡先メール	アドミニストレーターのメールアドレス。
アイコン	[自分のアプリ] ページに表示されるアイコン。独自のアプリケーションアイコンをアップロードするか、デフォルトのアイコンのリストからアイコンを選択します。
説明	統合の説明。たとえば、統合の機能とそのメリットなどです。
リダイレクト URI	OAuth 権限許可フローの完了時にリダイレクトされる URI です。`https://<instance>.service-now.com/oauth_redirect.do`、*instance* は <c2/>インスタンスの名前です。ServiceNow
スコープ	統合 API にアクセスするには、次のスコープを選択する必要があります。 ◦ spark-admin:licenses_read ◦ spark-admin:organizations_read ◦ spark-admin:people_read ◦ spark-admin:people_write ◦ spark-admin:roles_read

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ spark-compliance:events_read ◦ meeting:admin_schedule_read

5. [統合を追加] を選択します。
6. 後で使用するために、表示される **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレット をコピーして保存します。

Webex 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Cisco Webex アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Webex統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から Cisco Webex Meetings および Webex Teams スポークアプリを要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWebex統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Webex** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Webex**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	プロファイルの名前。 たとえば、Webexデータ連携です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
	◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に [Webex サブスクリプション] に設定されます。

3. [アクティビティサブフローを計算] フォームセクションで、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドの値を選択します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Webex Download Subscription、 Webex Calculate Activity、および Webex Reclaim Subscription サブフローを使用して、 Webex アプリケーションからユーザーデータを取得します。
5. [サブスクリプションのダウンロード] サブフローで、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン ( ) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
6. レコードに このレコードは `Cisco Webex Teams` スポークアプリケーションに含まれていますが、「xxx」が現在のアプリケーションです。レコードを編集するには、ここをクリックしリンクを選択します。
   a. 構成テンプレートレコードを **[SAM SaaS Webex Teams]** に設定します。
   b. レコードを保存します。
7. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
8. フォームで、Webex Teams OAuth アプリケーションの作成時に保存した **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレットを入力します。
   他のすべてのフィールドはそのままにします。
9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   > **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

10. プロンプトが表示されたら、 Webex メールアドレスとパスワードを使用してログインします。
11. 接続が正常に作成されたら、 Webex 統合プロファイルに移動します。
12. [アクティビティを計算] サブフローで、[接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
13. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
14. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

接続および資格情報フォームを作成

接続 URL	<subdomain> を、組織用に構成された <c0/> Meeting サイトドメインに置き換えます。Webex Webex管理ポータルにログインし、 管理 > 会議 > サイト. [サイト名] 列の <subdomain> は、サイト名の `<subdomain>.webex.com` の一部です。
Webex 管理ユーザー名	Webex にログインするためのユーザー名またはメールアドレス。

15. Webex Meetings OAuth アプリケーションの作成時に保存した **OAuth** クライアント **ID** と **OAuth** クライアントシークレットの値を入力します。
16. [**OAuth** トークンを作成して取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

    注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

17. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Confluence Cloud との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをConfluence Cloudアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

現在、この統合はプロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Confluence Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	Confluence 製品のユーザーロール	• ユーザー グループの読み取り (read:confluence-groups) • 読み取りユーザー (read:confluence-user)
ユーザーアクティビティのプル	Confluence 製品のユーザーロール	Confluence コンテンツとスペースのサマリーを検索する (search:confluence)
サブスクリプションの再利用	サイトアドミン	• ユーザー グループの読み取り (read:confluence-groups) • ユーザー グループの作成、削除、更新 (write:confluence-groups)

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成

Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションを作成して、Confluence Cloud API へのアクセスを有効にします。

始める前に

Atlassian 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、Atlassian Developer portal を開きます。
2. サイトアドミンアカウントにログインします。
3. ポータルのページ ヘッダーで、プロファイル アイコンを選択し、 [開発者コンソール] を選択します。
   Atlassian 開発者コンソールの [自分のアプリケーション (My apps)] ページが開きます。
4. [アプリを作成] メニューを選択し、[**OAuth 2.0 (3LO)** 統合] を選択します。
   [新しい OAuth 2.0 (3LO) データ連携を作成 (Create a new OAuth 2.0 (3LO) integration)] ページが開きます。
5. [名前] フィールドに OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの名前を入力します。
6. [アトラシアンの開発者条件に拘束される ことに同意します] チェック ボックスをオンにして、 [作成] を選択します。
7. アプリケーションの認証設定を構成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 左側のナビゲーションペインで、[認証 **(Authorizatio)]** を選択します。

b. OAuth 2.0 (3LO) 認証タイプで [構成] を選択します。
[アプリの OAuth 2.0 認証コード許可 (3LO) (OAuth 2.0 authorization code grants (3LO) for apps)] ページが開きます。

c. [コールバック **URL]** フィールドで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。

d. [変更内容を保存] を選択します。

8. アプリケーションの API スコープを構成します。
API スコープは、アプリケーションが Atlassian API に対して保持する必要がるアクセスのレベルを指定します。

a. 左側のナビゲーションペインで、[権限 **(Permissions)]** を選択します。

b. 利用可能な API のリストから Confluence API を見つけて [追加] を選択します。
[追加] アクションボタンが自動的に [構成] アクションボタンに変わります。

c. [構成] を選択します。
[Confluence API] ページが開きます。

d. Confluence API の次のスコープを追加します。
   - Confluence コンテンツとスペースのサマリーの検索
   - ユーザーグループの読み取り
   - ユーザーグループの作成、削除、更新
   - ユーザーの読み取り

9. アプリケーションにアサインされているクライアント ID とクライアントシークレットを取得します。

a. 左側のナビゲーションペインで、[設定] を選択します。

b. [認証の詳細] セクションで、[クライアント **ID]** と [シークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Confluence Cloud 統合プロファイルの作成

Confluence Cloud統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Confluence Cloudアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Confluence Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

Atlassian 必要なロール:site admin

ServiceNow 必要なロール: sam_integrator、sn_confluence_spoke.confluence_cloud_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でConfluence Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Confluence Cloud** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウン リストから **[Confluence Cloud**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Confluence Cloud` 統合。
接続と資格情報	Confluence Cloud の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Confluence Cloud** サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** ユーザーアクティビティサブフローを更新 **(Confluence Cloud Update User Activity Subflow**)] に設定されていることを確認します。

[ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションの再利用サブフロー **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Confluence Cloud** サブスクリプションの再利用 **(Confluence Cloud Reclaim Subscription Subflow**)] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Confluence Cloud [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 Confluence Cloud (Update User Activity)]、および [サブスクリプション Confluence Cloud 再利用] サブフローを使用して、 Confluence Cloud アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
サイト URL	Confluence Cloud サイトの URL。
接続 URL	Confluence Cloud の API URL。 このフィールドは自動的に **https://api.atlassian.com** に設定されます。
OAuth クライアント ID	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションにアサインされているクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Confluence Cloud OAuth 2.0 (3LO) アプリケーションの作成」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

ダイアログボックスが閉じ、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。

11. Confluence 製品にアクセスできるグループを指定します。
ServiceNow インスタンスでこれらのグループを指定することで、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 新しいタブで、 アトラシアン管理ポータル を開きます。

b. サイトアドミンアカウントにログインします。

c. 移動先 サイトの設定 > 製品アクセス.

d. [Confluence] セクションで、Confluence 製品にアクセスできるグループのリストを表示します。
後で使用するために、この情報をメモします。

e. ServiceNowインスタンスに戻り、 **Confluence Cloud** > **Confluence** グループ.

f. [Confluence グループ] フォームで、[グループを追加] 関連リンクを選択します。
[Confluence グループを追加 (Add Confluence Groups)] ダイアログボックスが開きます。

g. [利用可能] リストで、Confluence 製品にアクセスできるグループを選択します。

ヒント: [利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。Confluence 製品にアクセスできるグループのみを選択します。

h. 右矢印ボタンを選択して、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

i. **[OK]** を選択します。

12. 統合プロファイルに戻るには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
13. **[Publish** (公開)] を選択します。
14. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

CrowdStrike との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを CrowdStrike と統合すると、CrowdStrikeアクティブな Host Sensor 情報を表示し、ライセンスのコンプライアンスを確認できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	CrowdStrike アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	Falcon アドミニストレーター	なし

CrowdStrike OAuth アプリケーションの登録

CrowdStrike OAuth アプリケーションを登録して CrowdStrike API にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に

CrowdStrike 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「CrowdStrike スポーク」を参照してください。

CrowdStrike 必要なロール:Falcon アドミニストレーター

手順

1. アドミン認証情報を使用して [Falcon] にログインします。
2. 移動先 サポート > **API** クライアントとキー.
3. [新しい **API** クライアントを追加 **(Add new API Client)]** を選択します。
4. クライアント名と説明を入力します。
5. [ホスト] スコープの [読み取り **(Read)]** チェックボックスをオンにします。
6. [追加] を選択します。
   API クライアント作成画面が表示されます。
7. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

CrowdStrike接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、CrowdStrike アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に

ServiceNow 必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. CrowdStrike接続を見つけて、[**Create New Connection & Credential** (新しい接続と資格情報の作成)] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続情報	
接続名	CrowdStrike接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に `https://api.crowdstrike.com` に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	CrowdStrike API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	CrowdStrike API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance name>/oauth_redirect.do`。ここで、インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> 注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

OAuth トークンが正常に生成されました。

CrowdStrike 統合プロファイルの作成

CrowdStrike統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、CrowdStrikeアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でCrowdStrike統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. [**CrowdStrike** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[CrowdStrike**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、CrowdStrikeデータ連携です。
接続と資格情報	CrowdStrike スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_crowdstrk_spoke に設定されます。CrowdStrikeです。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [CrowdStrike サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプション サブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [Host Sensor 情報のダウンロード CrowdStrike] に設定されていることを確認します。
4. [保存] を選択します。
ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、CrowdStrike ダウンロード サブスクリプションを使用して、CrowdStrike アプリケーションからCrowdStrikeアクティブな Host Sensor 情報を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ページが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
   4 週間のホスト数の平均を示すデバイス CAL レコードが自動的に作成されます。CrowdStrike Falcon 保護ソフトウェアモデルが作成されます。

次のタスク
自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。CrowdStrike統合のソフトウェアエンタイトルメントを作成するときは、デバイス CAL ライセンスの測定基準を使用する必要があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

DocuSign との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを DocuSign サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

DocuSign 再販業者を通じて行われた購入は、 DocuSign 標準の請求システムには反映されません。そのため、 ServiceNowで使用可能なエンベロープ消費の API を介して値は返されません。

注: DocuSign は Users API から **lastLogin** フィールドを削除しました。そのため、ユーザーの最後のアクティビティは、この統合の一部として追跡されません。

DocuSignサービスについて詳しくは、DocuSign開発者サイト を参照してください。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	DocuSign アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	スコープなし
サブスクリプションの再利用	アドミン	スコープなし

DocuSignアプリケーションの登録

DocuSign 管理ポータルから DocuSign アプリケーションを登録します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
DocuSign 必要なロール：admin

手順

1. DocuSign デモ (非本番) アカウントにログインします。
2. プロファイル画像を選択します。
3. [マイ アプリとキー] を選択します。
   - 本番環境で使用する準備ができている以前の統合の API 統合キーが既にある場合は、 ステップ 33 に進みます。
   - クライアントシークレットを保存していない場合は、新しいシークレットを生成する必要があります。
4. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
5. [アプリと統合キー **(Apps and Integration Keys)]** セクションで、[アプリと統合キーの追加 **(ADD APP AND INTEGRATION KEY)]** を選択します。
6. [統合キーを追加] フォームで、[アプリ名] フィールドに名前を入力し、[アプリを作成] を選択します。
7. [追加設定] セクションの [リダイレクト **URI]** フィールドで [**URI** の追加] を選択します。
8. `https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback` を追加します。
9. もう一度 [**URI** を追加] を選択し、`https://` *`ServiceNow instance.service-now.com/oauth_redirect.do`* を追加します。
10. **[ADD SECRET KEY]** を選択します。
    統合キー (クライアント ID) と秘密キー (クライアントシークレット) を安全な場所に保存して、後で Postman アプリで使用し、統合キー (クライアント ID) を ServiceNow インスタンスで使用します。
11. [保存] を選択します。
12. 最新バージョンの Postmanアプリ をダウンロードし、ログインをスキップします。
13. 選択 新しいコレクション そして、コレクションに名前を付けます。
14. [認証] タブを選択します。
15. [タイプ] リストメニューから **[OAuth 2.0]** を選択します。
16. 名前を入力し、[構成オプション] タブのフィールドに入力してトークンを作成します。

フィールド	値
コールバック URL	`https://oauth.pstmn.io/v1/browser-callback`
認証 URL	`https://account-d.docusign.com/oauth/auth`
アクセストークン URL	`https://account-d.docusign.com/oauth/token`
クライアント ID	ステップ 10 で作成した DocuSign デモアカウントの統合キー。
クライアントシークレット	DocuSignデモアカウントの秘密鍵 ステップ 10.

17. [新しいアクセス トークンの取得] を選択します。
    DocuSign にリダイレクトされます。
18. [承認] を選択します。
19. アクセストークンが収集され、認証が完了したら、後で使用するためにアクセストークンをコピーします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

20. [新しい要求] を選択して、アカウント ID の GET 要求を作成します。
21. [GET] フィールドに URL を 「https://account-d.docusign.com/oauth/userinfo」として入力します。
22. [ヘッダー] タブで、[キー] の [承認] を選択し、[値] に「ベアラー <認証中にコピーしたアクセストークン> を入力します。
23. [送信] を選択し、要求が完了したことを確認します。
アカウント ID が応答本文に表示されます。
24. GET 要求を複製します。
[ヘッダー] の下の認証キーと値をコピーします。
25. [GET] フィールドの URL を `https://demo.docusign.net/restapi/v2/accounts/<account-id>/users` として更新します。
ここで、 *account-id* は前回の要求から保存した ID です。
26. [送信] を 20 回選択して、API 呼び出しを 20 回行います。
DocuSign 管理ポータルからアプリケーションを登録するには、少なくとも 20 回の API 呼び出しを呼び出す必要があります。
27. DocuSign 管理ポータルの [アプリと統合キー] に移動します。
28. 選択 アクション > **API** ダッシュボードを表示 アプリケーションの横にあります。
29. DocuSign が 20 個の API 呼び出しをすべて登録するまで数分待ちます。
30. 移動先 統合 > アプリとキー をクリックし 、[レビューのため送信] を選択します。
5〜20分後、アプリケーションのレビューが完了します。アプリケーションを本番アカウントに昇格させることができます。
31. 選択 アクション > **Start-Go-Live** レビュー アプリケーションを本番アカウントに昇格させます。
32. 統合キーを管理する対象となる本番アカウントを選択します。
33. DocuSign本番コンテンツアカウントにログインします。
34. プロファイル画像を選択します。
35. [管理に移動] を選択します。
36. 左側のペインで、 統合 > アプリとキー.
ServiceNowインスタンスの統合プロファイルに使用する API アカウント ID を見つけます。
37. アプリケーションの横にある アクション > 編集.
38. **[URI** を追加] を選択し、`https:// ServiceNow instance.service-now.com/oauth_redirect.do` を追加します。
39. **[ADD SECRET KEY]** を選択します。
本番アカウントの秘密キー (クライアントシークレット) を安全な場所に保存して、 ServiceNow インスタンスで使用します。
40. [保存] を選択します。

DocuSign 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 DocuSign サービスのライセンスを最適化します。

始める前に
DocuSign統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でDocuSign統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[DocuSign** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[DocuSign**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例:DocuSign 統合
クライアント ID	ステップ 10 で SaaS admin アカウントに作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
テクニカルアカウント ID	DocuSign本番用アカウントの API アカウント ID。
インスタンス URL	DocuSign本番環境アカウントへのアクセスに使用されるログインページの URL。このフィールドは自動的に **[https://account.docusign.com**] に設定されます。
クライアントシークレット	ステップ 39 で作成したクライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **[DocuSign** サブスクリプション] に設定されます。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

タスクの結果
個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Dropbox との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Dropbox サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Dropbox サービスの詳細については、Dropbox Business ユーザーおよび管理者向けガイド をご覧ください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Dropbox アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	セキュリティ管理者	• members.read • team_data.メンバー
ユーザーアクティビティのプル	セキュリティ管理者	• events.read • team_data.メンバー
サブスクリプションの再利用	セキュリティ管理者	• team_info.read • members.write • members.delete

ユーザーサブスクリプション用の **Dropbox** アプリケーションの作成

開発者向け DBX プラットフォームでアプリケーションを作成します。

始める前に

Dropbox 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. [Dropbox デベロッパー アプリ]に移動し、アカウントにログインします。
2. [マイ アプリ] ページで、 [アプリの作成] を選択します。
3. スコープ付きアクセス API を選択します。
4. フル **Dropbox** へのアクセスタイプを指定します。
5. アプリケーションの名前を入力し、 [アプリの作成] を選択します。
6. [権限] タブを選択します。
7. 次の権限のチェックボックスをオンにします。
   - team_info.read
   - members.write
   - members.delete
   - groups.read
   - events.read
   - team_data.メンバー
8. [送信] を選択して変更を保存します。
9. [設定] タブに移動します。
10. アプリキーとアプリシークレットを取得します。
    次の手順で、これらの値をコピーして、 ServiceNow インスタンスの [クライアント ID] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドに貼り付ける必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: アプリキー (クライアント ID) とアプリシークレット (クライアントシークレット) は機密です。それらを共有しないでください。

11. リダイレクト URI として「`https://` *`instance.service-now.com/oauth_redirect.do`*」と入力します。*`instance`* はServiceNowインスタンスの名前です。
12. 「 ブランディング 」タブをクリックし、「 変更を保存」をクリックします。

Dropbox 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Dropbox サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Dropbox統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でDropbox統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. [チームメンバーのファイルアクセス] に権限が設定されたアプリケーションからの情報を使用して、ServiceNowインスタンスに戻り、統合プロファイルを作成します。
2. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. [**Dropbox** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Dropbox**]を選択します。 d. [続行] を選択します。

3. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `DropBox 統合`
	SaaS admin アカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
クライアント ID	
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **[DropBox** サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	[ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。 この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

4. [送信] を選択します。
5. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。
6. Dropboxアプリケーションにすでにログインしている場合は、[許可] を選択します。
7. オプション: Dropbox アプリケーションにログインしていない場合は、アドミン認証情報でログインし、次の手順に進みます。
8. ポップアップウィンドウで、[許可]を選択します。

注: ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なるアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンへのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも [**OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザーファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Google Workspace との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Google Workspace サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Google Workspace サービスの詳細については、次を参照してください。 Google Workspace アドミンヘルプ .

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Google Workspace アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン API 権限:ユーザー読み取り	• [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly` • [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.domain.readonly` • [エンタープライズライセンスマネージャー API] `https://www.googleapis.com/auth/apps.licensing`
ユーザーアクティビティのプル	アドミン API 権限:ユーザー読み取り	• [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly` • [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/admin.reports.usage.readonly`
サブスクリプションの再利用	スーパー管理者	• [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly` • [People SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email` • [People SDK API] `https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile` • [アドミン SDK API] `https://www.googleapis.com/admin.datatransfer.readonly`

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Google Workspace プロジェクトの作成

Google API コンソールで新しいプロジェクトを作成します。

始める前に
Google Workspace 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Google API Console にログインします。
2. 選択 プロジェクトを選択してください > 新規プロジェクト.
3. [プロジェクト名] にプロジェクトの名前を入力し、[組織] と [場所] を選択します。
4. [作成] を選択します。
5. 左側のナビゲーションメニューで [OAuth 同意] 画面を選択します。
6. **[User Type]** で [**Internal**] を選択し、[**Create**] を選択します。
7. アプリ名を入力し、[アプリ情報] セクションで [ユーザー サポート メール] を選択します。
8. [承認済みドメイン] で、[ドメインの追加] ボタンを選択し、 `service-now.com` を追加します。
9. [開発者の連絡先情報] セクションにメールアドレスを入力します。
10. [保存して続行] を選択してスコープを追加します。
11. [スコープ] ページで、[スコープの追加または削除] ボタンを選択します。
12. [スコープを手動で追加] セクションで、次のスコープをテキストエリアに貼り付けて入力します。
    - `https://www.googleapis.com/auth/apps.licensing`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user.readonly`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.domain.readonly`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.datatransfer.readonly`
    - `https://www.googleapis.com/auth/admin.reports.usage.readonly`
    - `https://www.googleapis.com/auth/userinfo.profile`
    - `https://www.googleapis.com/auth/userinfo.email`
13. [テーブルに追加] を選択し、 [更新] を選択します。
14. **[Save and Continue** (保存して続行)] を選択します。
15. 左側のナビゲーション メニューで [資格情報] を選択し 、 [資格情報の作成] を選択します。
16. **OAuth** クライアント **ID** を選択します。
17. フォームに次のように入力し、 [作成] を選択します。

Field (フィールド)	値
アプリケーションタイプ **注:** このフィールドの値を選択すると、残りのフィールドが表示されます。	Web アプリケーション
名前	任意の名前

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	値
許可された JavaScript 作成元	https:// *instance.service-now.com*、 *instance* は ServiceNow インスタンスの名前です
許可されたリダイレクト URI	https:// *instance.service-now.com/oauth_redirect.do*、 *instance* は ServiceNow インスタンスの名前です

18. **[OK]** を選択します。
これで、 ServiceNow インスタンスで使用するクライアント ID とクライアントシークレットを表示できます。

> **注:** クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

19. 左側のナビゲーション メニューで [ライブラリ] を選択します。
次の API を検索して有効にします。
    - エンタープライズライセンスマネージャー API
    - アドミン SDK
    - Google ピープル API

Google Workspace 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Google Workspace サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Google Workspace統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でGoogle Workspace統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Google Workspace** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
	c. ドロップダウン リストから **[Google Workspace**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: *Google Workspace* 統合
クライアント ID	SaaS admin アカウントで作成された OAuth アプリケーションのクライアント ID です。
リダイレクト URL	認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	クライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Google Workspace* [サブスクリプション] に設定されます。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] を選択します。

> 注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

5. ポップアップウィンドウで、 Google 管理者アカウントを選択し、[許可]を選択します。

> 注: ユーザーサブスクリプションが再利用されると、再利用されたアカウントのファイルが、この手順で選択したアドミンアカウントに転送されます。このアカウントは、統合の設定に使用したものとは異なるアドミンアカウントにすることができます。新しいアドミンへのファイルの転送を開始する必要がある場合は、いつでも [**OAuth** トークンを取得] 関連リンクを再度選択して、別のアドミンアカウントを選択できます。新しい管理者を選択した後、古い管理者アカウントを再利用して、以前に再利用されたすべてのユーザーファイルを含むすべてのファイルを新しい管理者に転送できます。

タスクの結果

個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> 注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

GitHub との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをGitHubリポジトリホスティングサービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合により、 GitHub Enterprise Cloud と GitHub Enterprise Server の両方のアプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- GitHub Enterprise Cloud との統合
- GitHub Enterprise Server との統合

GitHub Enterprise Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを GitHub Enterprise Cloud アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	GitHub **Enterprise Cloud** アプリケーションに必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	組織オーナー	read:org
ユーザーアクティビティのプル	組織オーナー	• read:org • repo
サブスクリプションの再利用	組織オーナー	write:org

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

GitHub Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成する

GitHub Enterprise Cloud API へのアクセスに使用できるトークンを生成します。

始める前に

GitHub 必要なロール:組織オーナー

認証に使用するユーザー アカウントは、所属する組織内のすべてのリポジトリを読み取ることができる必要があります。

このタスクについて

GitHub リポジトリホスティングサービスは、個人用アクセストークンを使用して、GitHub API へのアクセスをユーザーに付与します。個人用アクセストークンは、API 要求を承認することで OAuth アクセストークンと同様に機能します。GitHub Enterprise Cloud API 要求を承認する個人用アクセストークンを生成することで、GitHub Enterprise Cloud API にアクセスできます。

手順

1. Web ブラウザーから GitHub を開きます。
2. GitHub アカウントにサインインします。
3. GitHub ページのヘッダーで、プロファイル写真を選択し、[設定] を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [個人用アクセス トークン] を選択します。
6. [トークン (クラシック)] を選択します。
7. [個人用アクセス トークン] ページで、 [新しいトークンの生成] を選択します。
8. [新しいトークン (クラシック) の生成] を選択します。
9. 続行する前にパスワードの確認を求められた場合は、 GitHub パスワードを入力し、[パスワードの確認] を選択します。
10. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。
11. トークンに有効期限を付けるには、[有効期限] ドロップダウンメニューを選択してデフォルト値を選択するか、カレンダーピッカーを使用します。
12. [スコープを選択] フォームセクションで、repo、write:org、および read:org OAuth スコープを有効にします。
    OAuth スコープは、保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセスレベルを制限します。リポジトリの OAuth スコープを使用すると、プライベートリポジトリを完全に制御できます。write:org および read:org OAuth スコープを使用すると、すべてのチーム、プロジェクト、メンバーシップを含む組織全体を管理できます。GitHub OAuth スコープの詳細については、「OAuth アプリのスコープ」を参照してください。

    a. [リポジトリ] チェックボックスをオンにして、リポジトリの OAuth スコープを有効にします。
       この OAuth スコープを有効にする
       と、repo:status、repo_deployment、public_repo、repo:invite、および security_events OAuth スコープが自動的に有効になります。

    b. write:org および read:org OAuth スコープを有効にします。

13. [トークンの生成] を選択します。
    個人アクセストークンが生成されます。
14. アクセストークンをコピーし、後で使用できるように安全な場所に保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

15. トークンを使用して、SAML シングルサインオンを使用する組織が所有するリソースにアクセスするには、トークンを承認します。
詳細については、「SAML シングルサインオンで使用する個人アクセストークンの認証」を参照してください。

GitHub Enterprise Cloud 接続を作成

GitHub Enterprise Cloud アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。

始める前に

ServiceNow インスタンスと GitHub Enterprise Cloud アプリケーション間の通信にMID サーバーを使用する場合は、最初にインスタンスにMID サーバーを設定する必要があります。詳細な手順については、「MID サーバー」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
[フローデザイナー] タブが作成されます。
2. [接続] タブを選択します。
3. GitHub 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧から、 GitHub を見つけて [構成] を選択します。
5. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHub接続の名前です。
接続 URL	GitHub API エンドポイントの URL。 `https://api.github.com` を入力します。
MID サーバーの使用	ServiceNow インスタンスが GitHub Enterprise Cloud アプリケーションとの通信に MID サーバー を使用できるようにするオプション。 ◦ インスタンスに MID サーバーが必要な場合は、このフィールドを `true` に設定します。 ◦ インスタンスが MID サーバーを必要としない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに MID サーバー が設定されている必要があります。詳細な手順については、「MID サーバー」を参照してください。
API キー	GitHub Enterprise Cloud API へのアクセスを可能にする個人用アクセストークン。 ◦ インストールされている <c0/> スポークバージョンが 2.2.5 以降の場合は、「`<api-key>`」と入力します。GitHub ◦ インストールされている <c0/> スポークバージョンが 2.2.5 より前の場合は、「`Bearer <api-key>`」と入力します。GitHub

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	<api-key> は、以下で生成した個人アクセストークンですGitHub Enterprise Cloud の API アクセストークンを生成する

6. [接続を設定] を選択します。

GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルの作成

GitHub Enterprise Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GitHub Enterprise Cloud アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

GitHub Enterprise Cloud 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で GitHub Cloud 統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[GitHub Cloud** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[GitHub Cloud**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `GitHub クラウド統合`。
接続と資格情報	GitHub スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に sn_github_spoke に設定されます 。GitHub。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **github_cloud_subscription** に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[GitHub クラウドダウンロードサブスクリプション]** に設定されていることを確認します。
ソフトウェア資産管理 は、メンバー、外部コラボレーター、保留中の招待、および保留中の外部コラボレーターをプルして、GitHub Enterprise Cloud サブスクリプションの完全なビューを提供します。

   重要: 処理待ちの外部協力者をプルするには、*sn_sam_saas_int.pull_pending_collaborator_github* システムプロパティを有効にします。リポジトリの数が多いと、API トランザクションの数が増加します。

4. [アクティビティサブフローの計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[GitHub Cloud Update User Activity]** に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   ヒント: このサブフローのパフォーマンスの問題を回避する最善の方法は、[**Analyze user activity from**] フィールドを現在の日付の最大 7 日前に設定することです。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[GitHub Cloud Reclaim Subscription]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、GitHub クラウドダウンロードサブスクリプション、 GitHub クラウド更新ユーザーアクティビティ、および GitHub クラウド再利用サブスクリプションサブフローを使用して、 GitHub Enterprise クラウドアプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
[公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

GitHub Enterprise Server との統合

ServiceNow インスタンスを GitHub Enterprise Server アプリケーションと統合して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	GitHub **Enterprise Server** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	サイト管理者	site_admin
サブスクリプションの再利用	サイト管理者	site_admin

GitHub Enterprise Server の API アクセストークンを生成する

GitHub Enterprise Server API へのアクセスに使用できるトークンを生成します。

始める前に

GitHub 必要なロール:サイトアドミニストレーター

このタスクについて

GitHub リポジトリホスティングサービスは、個人用アクセストークンを使用して、GitHub API へのアクセスをユーザーに付与します。個人用アクセストークンは、API 要求を承認することで OAuth アクセストークンと同様に機能します。GitHub Enterprise Server API 要求を承認する個人用アクセストークンを生成することで、GitHub Enterprise Server API にアクセスできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Web ブラウザから、 GitHub Enterprise Server インスタンスを開きます。
2. GitHub アカウントにサインインします。
3. GitHub ページのヘッダーで、プロファイル写真を選択し、[設定] を選択します。
   プロファイル設定が開きます。
4. 左側のナビゲーション ウィンドウで、[開発者設定] を選択します。
   開発者設定が開きます。
5. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [個人用アクセス トークン] を選択します。
6. [個人用アクセス トークン] ページで、 [新しいトークンの生成] を選択します。
7. 続行する前にパスワードの確認を求められた場合は、 GitHub パスワードを入力し、[パスワードの確認] を選択します。
8. [新しい個人アクセストークン] フォームの [メモ] フィールドにトークンの目的を記述します。
9. [スコープを選択] フォームセクションで、[**site_admin**] チェックボックスをオンにして OAuth スコープsite_adminを有効にします。
   OAuth スコープは、保護されたリソースに対するアプリケーションのアクセスレベルを制限します。site_admin OAuth スコープを使用すると、エンタープライズユーザー、組織、およびリポジトリを管理できます。
10. [トークンの生成] を選択します。
    個人アクセストークンが生成されます。
11. アクセストークンをコピーし、後で使用できるように安全な場所に保存します。

GitHub Enterprise Server 接続を作成する

GitHub Enterprise Server アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。

始める前に
ServiceNow インスタンスと GitHub Enterprise Server アプリケーション間の通信に MID サーバーを使用する場合は、最初にインスタンスにMID サーバーを設定する必要があります。詳細な手順については、「 MID サーバー 」を参照してください。

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. GitHub Server 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧から、 GitHub サーバーを見つけて、 [構成] を選択します。
5. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	GitHub Server 接続の名前。
接続URL	GitHubインスタンスの URL です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
MID サーバーの使用	ServiceNow インスタンスが GitHub Enterprise Server アプリケーションとの通信に MID サーバー を使用できるようにするオプション。 ◦ インスタンスに MID サーバーが必要な場合は、このフィールドを `true` に設定します。 ◦ インスタンスが MID サーバーを必要としない場合は、このフィールドを空のままにします。 **重要:** このオプションを有効にするには、インスタンスに MID サーバー が設定されている必要があります。詳細な手順については、「MID サーバー」を参照してください。
API キー	GitHub Enterprise Server API にアクセスできるようにする個人用アクセストークン。「*<api-key>*」と入力します。ここで*<api-key>*は、<c3/>で生成した個人アクセストークンです。GitHub Enterprise Server の API アクセストークンを生成する

6. [接続を設定] を選択します。

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルの作成

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GitHub Enterprise Server アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

GitHub Enterprise Server 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI で GitHub Server 統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **GitHub Server** サブスクリプションプロファイルを選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[GitHub Server**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、GitHub `Server Integration` などです。
接続と資格情報	GitHub スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_github_spoke に設定されます 。GitHub_Server。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に `[github_server_subscription]` に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[GitHub Server** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[GitHub Server Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
5. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、GitHub Server Download Subscriptions および GitHub Server Reclaim Subscription サブフローを使用して、 GitHub Enterprise Server アプリケーションからデータを取得します。
6. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
7. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

GoTo との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをGoToアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合を使用すると、次の GoTo アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- GoToMeeting (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)
- GoToWebinar (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)
- GoToConnect (ユーザーサブスクリプション、ユーザーアクティビティ、および再利用候補)
- GoTo トレーニング (ユーザーサブスクリプションのみ)
- GoTo Assist (ユーザーサブスクリプションのみ)
- OpenVoice (ユーザーサブスクリプションのみ)

この情報を使用して、 GoTo ライセンスポジションを管理および最適化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	GoTo アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	LogMeIn 開発者アカウントと admin ロール	• プロファイル • アドミンセンター
ユーザーアクティビティのプル	LogMeIn 開発者アカウントと admin ロール	• プロファイル • GoToMeeting、GoToWebinar、または GoToTraining • GoToAssist リモートサポートまたはサービスデスク
サブスクリプションの再利用	LogMeIn 開発者アカウントと admin ロール	アドミンセンター

GoToOAuth クライアントを作成

GoToAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に

GoTo 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザから、[GoTo 開発者センター] を開きます。
2. LogMeIn 開発者アカウントを使用してサインインします。
   LogMeIn 開発者アカウントをまだ設定していない場合は、詳細な手順について「ログインする方法または開発者アカウントを作成する方法」を参照してください。
3. LogMeIn 開発者のホームページから、**[OAuth** クライアント] タブを選択します。
4. [クライアントの作成] を選択します。
5. [クライアントを作成] フォームの [詳細] タブで、クライアントの詳細を入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントのオプションの説明です。
リダイレクト URL	GoTo アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのリダイレクト URL。`https://<instance-url>/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance-url*> はServiceNowインスタンスの URL です。

6. [**Next** (次へ)] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. [スコープ] タブで、OAuth クライアントがGoToユーザーとアプリケーションに対して持つアクセス権のレベルを指定します。

[スコープ] タブ

フィールド	説明
プロフィール	認証されたユーザーのユーザー情報を取得および変更するための OAuth スコープです。[ユーザー情報を取得] スコープは自動的に有効になります。[ユーザーの詳細を変更] スコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
GoToMeeting、GoToWebinar、または GoToTraining	GoToMeeting、GoToWebinar、および GoToTraining アプリケーションのセッションを作成、開始、および変更するための OAuth スコープ。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。 **注:** SaaS ライセンス管理 GoTo 統合は、GoToTraining アプリケーションのライセンス管理をサポートしていません。
GoToAssist リモートサポートまたはサービスデスク	GoToAssist Remote Support and Service Desk アプリケーションのセッションを作成、開始、変更するための OAuth スコープ。このチェック ボックスをオフのままにします。 **注:** SaaS ライセンス管理 GoTo統合は、GoToAssist アプリケーションのライセンス管理をサポートしていません。
SCIM	クロスドメイン ID 管理システム (SCIM) プロトコルを使用してユーザー管理を自動化するための OAuth スコープです。このチェック ボックスをオフのままにします。
アドミンセンター	GoTo アドミンセンターで LogMeIn ユーザーを管理するための OAuth スコープです。このスコープを有効にするには、チェックボックスをオンにします。
GoToConnect	GoToConnect を使用して電話やその他の電話サービスを開始するための OAuth スコープ。ライセンスが有効になっている場合は GoToConnect 次のチェックボックスをオンにします。 ◦ PBX の電話回線の通話履歴にアクセスする [cr.v1.read] ◦ 電話回線の情報を取得する [users.v1.lines.read]

8. [保存] を選択します。
9. [認証情報] タブで、[クライアント **ID**] と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. チェックボックスをオンにして、クライアントシークレットが保存されていることを確認します。
11. [完了] を選択します。

GoTo 統合プロファイルの作成

GoTo統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、GoToアプリケーションのライセンスを最適化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
GoTo統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でGoTo統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. [**GoTo Integration Profile**] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウン リストから **[GoTo**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 `GoTo Integration` などです。
接続と資格情報	GoTo スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に sn_goto_spoke に設定されます。GoTo。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に `[GoTo サブスクリプション]` に設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロードに移動] に設定されていることを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: このサブフローは、サポートされているすべての GoTo アプリケーションに使用されます。

4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが [ユーザーアクティビティの更新に移動] に設定されていることを確認します。

   このサブフローは、 GoToMeeting および GoToWebinar アプリケーションにのみ使用されます。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションの再利用サブフロー **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションの再利用に移動 **(GoTo Reclaim Subscription**)] に設定されていることを確認します。

   注: このサブフローは、 GoToMeeting および GoToWebinar アプリケーションにのみ使用されます。

6. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルでは、GoTo [サブスクリプションをダウンロード]、[GoTo ユーザーアクティビティを更新]、および [サブスクリプション GoTo 再利用] サブフローを使用して、 GoTo アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
8. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Jira Software Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Atlassian Jira Software Cloud と統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

注: 現在、この統合はプロファイルごとに 1 つのサイト統合のみをサポートしています。

- インストールされている Jira スポークバージョンが 4.1.0 以降の場合は、次のいずれかの方法を使用して、 Jira を ServiceNow インスタンスと統合できます。
  - 基本認証の使用
  - OAuth 認証の使用
- インストールされている Jira スポークバージョンが 4.1.0 より前の場合は、基本認証の使用方法で Jira を ServiceNow インスタンスと統合します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Jira **Software Cloud** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	• アクセス権限 Jira • [ユーザーおよびグループの参照] グローバル権限	• read:application-role:jira • read:group:jira • read:user:jira • read:avatar:jira (日本語)
ユーザーアクティビティのプル	• グローバル権限 Jira 管理 • プロジェクトの参照:問題を含むプロジェクトのプロジェクト権限。 問題レベルのセキュリティが構成されている場合、問題を表示するための問題レベルのセキュリティ権限。	• read:user:jira • read:issue-details:jira • read:audit-log:jira • read:avatar:jira (日本語) • read:field-configuration:jira • read:issue-meta:jira
サブスクリプションの再利用	• [ユーザーおよびグループの参照] グローバル権限 • サイト管理、つまり site-admin グループのメンバー	• read:group:jira • write:group:jira

自動翻訳

基本認証の使用

API キーを使用して ソフトウェア資産管理 アプリケーションと Jira を統合し、 ServiceNow 要求を認証します。

ServiceNow インスタンスを複数の Jira インスタンスと統合できます。この統合に対して、接続および資格情報エイリアスレコードを作成し、Jira インスタンスごとに接続レコードを作成します。

Jira アカウント **API** トークンを作成する

Jira で API トークンを作成して、要求を認証します。

始める前に

Jira 必要なロール: 「最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. [Atlassian API トークン] に移動します。
2. [**API** トークンの作成] を選択します。
3. API トークンの名前を入力し、 [作成] を選択します。
4. API トークンをコピーして保存します。
   トークンは後で使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

接続および認証情報レコードの構成

デフォルトの接続および資格情報エイリアスレコードを構成し、ServiceNow からの要求を認証します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. スポークに同梱されている Jira のエイリアスレコードを開きます。
3. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
接続 URL	`https://<provider-domain-name>.atlassian.net` 形式の <c0/> インスタンスの URL。Jira
ユーザー名	ユーザーのメールアドレスを入力します。
API キー	Jira用に生成した API トークンを入力します。

5. [作成] を選択します。

OAuth 認証の使用

OAuth を使用して ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Jira アカウントと統合し、ServiceNow 要求を認証します。

Jira アカウントでの **OAuth 2.0** 統合の作成

Atlassian 開発者コンソールで OAuth 2.0 統合を作成し、要求を認証します。

始める前に
Jira 必要なロール: 「最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Atlassian Developer Console にログインします。
2. [マイ アプリ] で [作成] を選択し、 [**OAuth 2.0** 統合] を選択します。
3. フォームで、統合の名前を入力し、[作成] を選択します。

   統合が作成され、アプリ ID の値が表示されます。

4. [認証] を選択します。

   a. [アクション] で [追加] を選択します。

   b. [コールバック **URL**] に、<c1/> インスタンスの URL を `https://<ServiceNow-Instance-Name>.service-now.com/oauth_redirect.do` の形式で指定します。ServiceNow

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

たとえば、 `https://example.service-now.com/oauth_redirect.do` などです。

c. [変更内容を保存] を選択します。

5. [設定 **(Settings)]** を選択します。
6. [認証の詳細] で、[クライアント ID] と [クライアントシークレット] の値をコピーします。
7. 選択 権限 > **Jira API** > **Configure** (構成).
8. [詳細なスコープ] タブを選択します。
9. [スコープの編集] を選択して、次のスコープを追加します。
   - read:application-role:jira
   - read:group:jira
   - read:user:jira
   - read:avatar:jira (日本語)
   - read:audit-log:jira
   - read:issue-details:jira
   - read:field-configuration:jira
   - read:issue-meta:jira
   - write:group:jira

   要件に応じて他のスコープを構成できます。

クラウド **ID** の値の取得

Jira クラウドインスタンスのクラウド ID の値を取得します。この値は、ServiceNow インスタンスの接続レコードを構成するときに必要です。

始める前に
Jira 必要なロール：admin

手順

1. Atlassian Administration にログインします。
2. 必要な組織に対して [選択] を選択します。
3. Jira Software 製品から [製品の管理] を選択します。

   URL は、新しいウィンドウで `https://admin.atlassian.com/o/<orgID>/products/jira-software/<Cloud-Id>` の形式になります。

4. 後で使用するためにクラウド ID の値をコピーします。

ServiceNow インスタンスでのアプリケーションレジストリの作成

OAuth 2.0 統合の作成中に生成された情報を使用して、 ServiceNow インスタンスにアプリケーションレジストリレコードを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ.
2. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

「OAuth アプリケーションの種類は?」というメッセージが表示されます。

3. [サードパーティ **OAuth** プロバイダーに接続します] を選択します。
4. フォームに、これらの値を入力します。

アプリケーションレジストリ

フィールド	説明
名前	アプリケーションレジストリレコードを識別する名前です。
クライアント ID	Atlassian 開発者コンソールで OAuth 2.0 統合が作成されたときに生成されたクライアント ID。
クライアントシークレット	Atlassian 開発者コンソールで OAuth 2.0 統合が作成されたときに生成されたクライアントシークレット。
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用される権限許可のタイプ。[認証コード] を選択します。
認証 URL	OAuth 認証コードのエンドポイントです。`https://auth.atlassian.com/authorize` を入力します。
トークン URL	OAuth サーバートークンエンドポイントです。`https://auth.atlassian.com/oauth/token` を入力します。
リダイレクト URL	OAuth コールバックエンドポイント。アプリケーションレジストリの保存中に URL が生成されます。
リフレッシュトークン URL	トークンを更新する URL です。`https://auth.atlassian.com/oauth/token` を入力します。 **注:** このフィールドはフォーマットのレイアウトで非表示になります。フォームレイアウトを設定してこのフィールドを表示します。

5. フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。
[OAuth エンティティプロファイル] タブで、デフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードを作成します。
6. OAuth エンティティスコープで、次のエンティティスコープレコードを作成します。

名前	**OAuth** スコープ
read:application-role:jira	read:application-role:jira
read:group:jira	read:group:jira
read:user:jira	read:user:jira
read:avatar:jira (日本語)	read:avatar:jira (日本語)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	OAuth スコープ
read:audit-log:jira	read:audit-log:jira
read:issue-details:jira	read:issue-details:jira
read:field-configuration:jira	read:field-configuration:jira
read:issue-meta:jira	read:issue-meta:jira
write:group:jira	write:group:jira
offline_access	offline_access

タスクの結果
アプリケーションレジストリレコードが ServiceNow インスタンスに作成されます。

の認証情報レコードの作成 Jira

Jiraアカウント用の資格情報レコードを作成します。Jira スポーク接続および資格情報エイリアスでは、この認証情報を使用してアクションを許可します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 & 認証情報 > 認証情報.
2. [新規] を選択します。
   「 作成する認証情報のタイプは?」というメッセージが表示されます。
3. **[OAuth 2.0** 資格情報] を選択します。
4. フォームに、これらの値を入力します。

OAuth 2.0 資格情報

フィールド	説明
名前	Jira スポークの資格情報レコードを識別する名前です。例：`Jira OAuth` 資格情報。
OAuth エンティティ プロファイル	アプリケーションレジストリレコードの構成時に作成されるデフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードです。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。

の接続レコードを作成 Jira

Jiraアカウントの接続レコードを作成します。接続および資格情報エイリアスでは、この接続を使用して Jira でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 & 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. スポークに同梱されている Jira のエイリアスレコードを開きます。
3. [接続] タブで、[新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [HTTP(S) 接続] フォームで、次のフィールドに入力します。

HTTP(S) 接続

フィールド	説明
名前	接続レコードを識別する一意の名前を入力します。たとえば、「 Jira OAuth 接続」と入力します。
認証情報	Jira 用に作成された認証情報レコードを選択します。たとえば、[Jira OAuth 認証情報] を選択します。
接続エイリアス	[sn_jira_spoke] を検索して選択します 。Jira エイリアス。
接続 URL	<c0/> インスタンスの URL を `https://api.atlassian.com/ex/jira/<Cloud-ID>` 形式で入力します。Jira クラウド ID の値の取得については、「 クラウド ID の値の取得」を参照してください。

5. [属性] 関連リストで、次の値を入力します。
   a. **[api_version]** に値「`2`」を入力します。
   b. **[server_type]** に値「`cloud`」を入力します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。
7. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.
8. Jiraスポーク用に作成した認証情報レコードを開きます。
   たとえば、 Jira OAuth 認証情報などです。
9. **[OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択します。
   新しいウィンドウで、システムは Atlassian アカウントへのアクセスを要求します。

   注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

10. [承認] を選択します。
    Atlassianアカウントへのアクセスが許可され、リフレッシュトークンが利用可能であることを示す確認メッセージがServiceNowインスタンスに表示されます。

Jira Software Cloud 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Atlassian Jira Software Cloud のライセンスを最適化します。

始める前に
Jira統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

統合プロファイルで [Jira ユーザーアクティビティの更新] サブフローを使用してユーザーアクティビティを取得および更新できるようにするには、 *`com.glide.transform.json.max-partial-length`* システムプロパティ の [値] を `32768` に設定します。

Atlassian 必要なロール:site admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow 必要なロール:

- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 のバージョン 5.0.1 および Jira スポークのバージョン 3.0.4 以降では、次のいずれかのServiceNowロールが必要です。
  - sam_integrator と sn_jira_spoke.jira_admin
  - アドミン
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 のバージョン 5.0.1 およびバージョン 3.0.4 の Jira スポークより前では、sam_integrator または admin ServiceNow ロールが必要です。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でJira統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Jira** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Jira**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	任意の名前。たとえば、Jiraデータ連携です。
接続と資格情報	sn_jira_spoke。Jira。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。オプションは [ドラフト] と [公開済み] です。このフィールドは、自動的に入力されます。
プロファイルタイプ	Jira 予約。このフィールドは、自動的に入力されます。

3. [アクティビティサブフローを計算] フォームセクションで、[ユーザーアクティビティの分析元] フィールドの値を選択します。

[ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までの

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

注: 統合プロファイルを保存すると、[ユーザーアクティビティの分析元 **(Analyze user activity from**)] フィールドは読み取り専用になります。

4. [保存] を選択します。
ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Jira サブスクリプションのダウンロード、 Jira ユーザーアクティビティの更新、およびサブスクリプションの Jira 再利用サブフローを使用して、 Jira ソフトウェアアプリケーションからユーザーデータを取得します。
5. Jira製品にアクセスできるグループを指定します。

重要: この手順は、 ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 Integrations のバージョン 5.0.1 および Jira スポークのバージョン 3.0.4 以降にのみ適用されます。

ServiceNow インスタンスでこれらのグループを指定することで、これらのグループ内のユーザーのみのデータを取得し、ライセンスを管理できます。

a. 新しいタブで、 アトラシアン管理ポータル を開きます。

b. サイトアドミンアカウントにログインします。

c. 移動先 サイトの設定 > 製品アクセス.

d. [Jira] セクションで、 Jira ソフトウェアにアクセスできるグループのリストを表示します。
後で使用するために、この情報をメモします。

e. ServiceNowインスタンスに戻り、 **Jira** > **Jira** グループ.

f. [Jira グループ] フォームで、[グループを追加] 関連リンクを選択します。
「 Jira グループの追加」ダイアログ・ボックスが開きます。

g. [利用可能] リストで、 Jira 製品にアクセスできるグループを選択します。

ヒント: [利用可能] リストには、Atlassian アカウントに関連付けられているすべてのグループが含まれます。Jira製品にアクセスできるグループのみを選択します。

h. 右矢印ボタンを選択して、グループを [利用可能] リストから [選択済み] リストに移動します。

i. **[OK]** を選択します。

6. 統合プロファイルに戻るには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。
7. **[Publish** (公開)] を選択します。
8. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Looker との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Google Cloud アプリケーションである Looker と統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Box アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	see_users権限を持つユーザー	なし
ユーザーアクティビティのプル	see_users権限を持つユーザー	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

LookerAPI キー設定を構成

LookerAPI キーを管理および取得するための API キー設定を構成します。

始める前に
Looker 必要なロール：admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. <c0/> (https://<instancename>.looker.com/) インスタンスにログインします。Looker
2. 歯車アイコンを選択して、[アドミン設定 (Admin settings)] を開きます。
3. 選択 ユーザー > アドミンユーザーアカウントを開きます.
4. [プロファイル] タブで **[API3 キーを編集 (Edit API3 Keys)]** を選択します。
5. [新しい**API3 キー (New API3 Key)]** を選択します。
6. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Looker接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Looker アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. Looker接続を見つけて、[**Create New Connection & Credential** (新しい接続と資格情報の作成)] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続情報	
接続名	Looker接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に `https://<instance<c1/>name>.looker.com` に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Looker API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Looker API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance<c1/>name>/oauth_redirect.do`。ここで、インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Looker 統合プロファイルの作成

Looker統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Lookerソリューションのライセンスを最適化します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で Looker 統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** [**Looker Integration Profile**] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Looker**]を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Lookerデータ連携です。
接続と資格情報	Looker スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_looker_spoke に設定されます。見物 人。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Looker サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード Looker (Download Subscriptions)] に設定されていることを確認します。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   > **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが [Reclaim Subscription] に設定され Looker ことを確認します。
5. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Looker サブスクリプションのダウンロードサブフローと Looker サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、 Looker アプリケーションからユーザーデータを取得します。
6. [保存] を選択します。
7. ページが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Microsoft Dynamics 365 および Power Apps との統合

ServiceNow インスタンスを Microsoft Dynamics 365 および Power Apps サービスと統合すると、ソフトウェア サブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要:

この統合は、すべての Microsoft Dynamics 365 および Power Apps 製品のユーザーサブスクリプションの詳細を取得します。さらに、 ソフトウェア資産管理 は、ユーザー サブスクリプション ベースのモデルを使用する製品のライセンス コンプライアンスを提供します。

最適化のため、 ソフトウェア資産管理 はアクティビティの最終日を自動的に追跡し、次のアプリケーションについて使用率の低いアプリケーションを特定します。

- Dynamics 365 for Sales (Professional、Premium、Enterprise)
- Dynamics 365 for Customer Service (対象となる Dynamics へのエンタープライズ接続)
- Dynamics 365 for Team Members

Microsoft 365 サービスの詳細については、「Microsoft 365 についてよく寄せられる質問」を参照してください。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Microsoft **Dynamics 365 and Power Apps** アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	• グローバル管理者 • Dynamics 365 管理者	• Organization.Read.All • User.Read.All • user_impersonation
ユーザーアクティビティのプル	Dynamics 365 管理者	user_impersonation

Microsoft AzureActive Directory を設定

Microsoft AzureActive Directory (AD) を設定します。

始める前に

必要なロール：Microsoft 管理センターのグローバル管理者および Dynamics 365 管理者

手順

1. Microsoft Azure アプリの登録ページを開き、アドミンアカウントを使用してログインします。
2. **[+** 新規登録] を選択します。
   [アプリケーションの登録] ページが表示されます。
3. [名前] フィールドに、登録するアプリケーションの名前を入力します。
4. [サポートされているアカウントの種類] で、必要な組織ディレクトリーを持つアカウントを選択します。
5. [登録 **(Register)]** を選択します。
6. 登録したアプリケーションを開き、[概要] セクションに移動します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

7. アプリケーション (クライアント) ID とアプリケーション (テナント) ID を収集します。
8. [証明書とシークレット] セクションに移動します。
9. クライアントシークレットを作成します。
10. クライアントシークレットキーを収集します。
クライアントシークレットキーは、 ServiceNow インスタンスを構成するときに必要になります。
11. [API のアクセス許可] で [**+** アクセス許可の追加] を選択し、 [組織で使用する **API**] を選択します。
12. [Microsoft Graph] を選択し、次の [委任されたアクセス許可] を追加します。
    - `Organization.Read.All`
    - `User.Read.All`
    - `Offline_access`
13. [Dynamics CRM] を選択し、次のアクセス許可を追加します。
`user_impersonation`
14. [同意を付与する] で、 [管理者の同意を付与する] を選択します。
15. [認証] セクションの [リダイレクト URI] で、ServiceNowインスタンスのリダイレクト URI を入力します。

Microsoft Dynamics 365 と Power Apps を設定する

Microsoft Dynamics 365 と Power Apps のシステムレベルの設定を行います。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 「https://admin.powerplatform.microsoft.com/ 」に進みます。
2. [環境] で、Dynamics アクティビティを引き出す環境を選択します。
3. 上部のリボンから [設定] を選択します。
4. [監査とログ] を選択します。
5. 次のチェックボックスをオンにします。
    - 監査を開始
    - ログアクセス
    - ログを読み取る
6. [追加の監査設定] を選択します。
7. 「 設定 」リストから、「 監査」を選択します。
8. [グローバル監査設定] を選択します。
9. 次のチェックボックスをオンにします。
    - 監査を開始
    - ユーザーアクセスを監査
    - 監査の読み込みを開始
    - 共通エンティティ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 営業エンティティ
- カスタマーサービスエンティティ

10. **[OK]** を選択します。

Microsoft Dynamics 365 と Power Apps ServiceNowインスタンスを設定する

Microsoft Dynamics 365 と Power Apps ServiceNowインスタンスを設定して、ソフトウェア サブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、コア UI で Microsoft Dynamics 365 と Power Apps の統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **Microsoft Dynamics 365** と **Power Apps** の統合プロファイル を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウン リストから **Microsoft Dynamics 365** および **Power Apps** を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. [表示名] フィールドに、任意の名前を入力します。
3. [アクティビティサブフローを計算] タブの [ユーザーアクティビティの分析元] フィールドで、アクティビティをプルする日付を選択します。
4. [保存] を選択します。
5. [**Download Subscription Subflow**] タブの [**Connection & Credential**] フィールドの横にあるプレビュー (ⓘ) アイコンを選択します。
6. [認証情報を入力してください] セクションで、 Microsoft AzureActive Directory を設定 から受け取った値を入力します。
   a. [テナント **ID**] フィールドにテナント ID を入力します。
   b. [**OAuth** クライアント **ID**] フィールドに、OAuth クライアント ID を入力します。
   c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。
7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **重要:** この手順は、 Microsoft 管理センターでグローバル管理者ロールを持つユーザーが実行する必要があります。

8. Microsoft 365アカウントへのログインを求められた場合は、Microsoft 365認証情報を入力してMicrosoft 365アカウントにログインします。
9. [**Calculate Activity Subflow**] タブの **[Connection & Credential**] フィールドの横にある [ⓘ] アイコンを選択します。
10. [新しい接続および資格情報エイリアスを作成] を選択します。
11. [接続と認証情報を作成] ウィンドウで、次の手順を実行します。
    a. [接続 **URL**] フィールドに、接続 URL を入力します。
    b. [**OAuth** クライアント **ID**] フィールドに、OAuth クライアント ID を入力します。
    c. [**OAuth** クライアントシークレット] フィールドに、OAuth クライアントシークレットキーを入力します。
12. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:** この手順は、 Microsoft 管理センターでDynamics 365管理者ロールを持つユーザーが実行する必要があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Miro Enterprise との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをMiro Enterpriseアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Miro Enterprise アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	会社アドミン	organizations:read
ユーザーアクティビティのプル	会社アドミン	organizations:read
サブスクリプションの再利用	会社アドミン	なし

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成

Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成して、MiroAPI へのアクセスを有効にします。

始める前に

Miro 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Miro プラットフォーム を開きます。
2. 組織内にチームを作成していない場合、または偽のデータを使用して OAuth 2.0 アプリケーションをビルドしてテストする場合は、開発者チームを取得します 。
3. Miro Platform のページヘッダーで、[**Your Apps**] を選択します。
   サインアップページが開きます。
4. 会社アドミンの認証情報を使用してサインインします。
   デフォルトの組織プロファイルが開きます。
5. 左側のナビゲーションペインの上部にある組織プロファイルアイコンを選択して、OAuth 2.0 アプリケーションをビルドする組織を選択します。
   選択された組織のプロファイルが開きます。
6. 左側のナビゲーション ウィンドウで、 [プロファイル設定] を選択します。
7. プロファイル設定の [API、SDK、および埋め込み **(API, SDK & Embed)]** タブを選択します。
8. [アプリ] セクションで、[使用条件に同意し ます] チェック ボックスをオンにし、[新しいアプリの作成] を選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[新規アプリを作成 **(Create new app)]** ダイアログボックス

フィールド	説明
アプリ名	OAuth 2.0 アプリケーションの名前
説明	OAuth 2.0 アプリケーションの簡単な説明

10. OAuth 2.0 アプリケーションをビルドするチームを選択します。
11. [アプリを作成] を選択します。
    新しく作成したアプリの設定が開きます。
12. アプリの <*app-name*> セクションで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

後で使用できるように安全な場所に保存してください。

13. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力し、[追加] を選択します。
`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. OAuth スコープセクションで、**organizations:read** OAuth スコープを有効にします。
OAuth スコープは、アプリケーションが保護されたリソースに対して持つアクセスのレベルを指定します。organizations:read OAuth スコープを使用すると、アプリケーションで組織および組織メンバーに関する情報を読み取ることができます。

次のタスク
組織プロファイルを開いたままにして、Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にできるようにします。詳細については、「Miro Enterpriseアカウントで SCIM を有効化」を参照してください。

Miro Enterpriseアカウントで **SCIM** を有効化

Miro Enterpriseアカウントで SCIM (クロスドメイン ID 管理システム) を有効にして、MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークンを生成できるようにします。

始める前に
Miro 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順
1. Miro組織プロファイルの左側のナビゲーション ウィンドウで、[セキュリティ] を選択します。
2. セキュリティのページで、**SSO/SAML** を有効にするオプションを選択します。
3. SSO/SAML を有効にした後、**SCIM** プロビジョニングを有効にするオプションを選択します。
Miroは、API アクセストークンを自動的に生成し **[API** トークン] フィールドに表示します。
4. オプション: SCIM を使用してプロビジョニングされたすべてのユーザーにメール通知を送信できるようにするにはMiro、[**SCIM** によってプロビジョニングされたユーザーにメール通知を送信する] チェックボックスをオンにします。
5. **[API** トークン] フィールドに API アクセストークンをコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Miro Enterprise接続を作成

Miro EnterpriseアプリケーションとServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順
1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Miro Enterprise 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. Miro Enterprise接続の詳細から、 [構成] を選択します。
5. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro Enterprise接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、Miro EnterpriseOAuth 2.0 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **重要:**
>
> このステップは、Miro で会社アドミンロールを持つServiceNowアドミンが実行する必要があります。

7. [Miro OAuth 認証] ダイアログ ボックスで、 Miro Enterprise OAuth 2.0 アプリケーションをビルドしたチームを見つけて、[インストール] を選択します。

> **注:** 別の ServiceNow インスタンスが同じ認証情報を使用している場合は、再インストールを求められます。

OAuth アクセストークンは、Miro Enterprise 接続を許可するために使用できるようになります。

Miro EnterpriseSCIM 接続を作成

Miro EnterpriseSCIM とServiceNowインスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Miro Enterprise SCIM 接続の [詳細を表示] を選択します。
4. Miro Enterprise SCIM 接続の詳細から、 [接続の追加] を選択します。
5. [接続を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Miro EnterpriseSCIM 接続の名前このフィールドは、自動的に入力されます。
認証情報	
API トークン	MiroAPI 要求を認証するための API アクセストークン 生成してコピーした同じ API アクセストークンをMiro Enterpriseアカウントで SCIM を有効化に入力します。

6. [接続を作成] を選択します。

Miro Enterprise 統合プロファイルの作成

Miro Enterprise 統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Miro Enterprise アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Miro Enterprise統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でMiro Enterprise統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **Miro Enterprise Integration Profile** を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **Miro Enterprise** を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームで次のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Miro Enterprise Integration`。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Miro Enterprise** サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[接続と資格情報] フィールドが [sn_miro_spoke] に設定されていることを確認します 。Miro_Enterprise 、サブ フロー フィールドが **Miro** ダウンロードサブスクリプションに設定されています。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Connection & Credential**] フィールドが [sn_miro_spoke] に設定されていることを確認します 。Miro_Enterprise_SCIM 、サブ フロー フィールドが **Miro Reclaim Subscription** に設定されています。
5. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、[サブスクリプションのダウンロード] サブフローと [サブスクリプションの再利用MiroMiro] サブフローを使用して、Miro Enterprise アプリケーションからユーザーデータを取得します。
6. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

monday.com との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを monday.com と統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	monday.com アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	メンバー	users:read
ユーザーアクティビティのプル	メンバー	users:read

mondayOAuth2 アプリケーションを作成

mondayOAuth2 アプリケーションを作成して、monday.comAPI へのアクセスを許可します。

始める前に

monday.com 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

このタスクについて

mondayアプリケーションを使用すると、既存のmonday.com作業のオペレーティングシステム (作業 OS) の上にワークフロー、ユーザーエクスペリエンス、および製品をビルドできます。OAuth2 を使用するように monday アプリケーションを構成すると、 monday.com API へのアクセスが許可され、ユーザーデータの読み取りと変更が可能になります。

手順

1. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 左側のナビゲーション メニューの下部で、プロファイル アイコンを選択し、 [開発者] を選択します。
[自分のアプリケーション] ページが開きます。
4. [アプリを作成] を選択します。
新しいアプリケーションの [基本情報] ページが開きます。
5. [情報を表示] セクションで、フィールドに入力します。

情報を表示

フィールド	説明
名前	mondayアプリケーションの名前
簡単な説明	アプリケーションの説明

6. オプション: 同じセクションで、自動生成されたアイコンを選択してからアイコン画像を選択して、独自のアプリケーションアイコンを追加します。
[アプリカラー] を選択し、プリセットまたはカスタムカラーを選択して、アイコンの色を変更することもできます。独自のアプリケーションアイコンを追加しない場合、またはアイコンの色を選択しない場合、アプリケーションは自動生成されたアイコンとデフォルトのアイコン色を使用します。
7. [アプリの認証情報] セクションで、[クライアント **ID]** と [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。
8. [アプリの保存] を選択します。
9. 新しいアプリケーションの左側のナビゲーションメニューから、 全般 > **OAuth**.
[OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] のページの [スコープ] タブが開きます。
10. [スコープ] セクションで、[**users:read**] OAuth スコープのチェックボックスをオンにして、アプリケーションがさまざまなタイプのユーザーデータにアクセスしたり使用したりする方法を指定します。
11. [機能の保存] を選択します。
12. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページの [リダイレクト **URL]** タブを選択します。
13. [リダイレクト URL] セクションで、ユーザーが認証後にリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を入力します。
`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
14. [機能の保存] を選択します。

monday.com 統合プロファイルの作成

monday.com統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、mondayアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

monday.com統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でmonday.com統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[monday.com** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **monday.com** を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 `monday.com Integration` などです。
接続と資格情報	monday.com スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に [sn_monday_com_spok] に設定されます 。月曜日。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[monday.com** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscriptions Subflow)]** に設定され **monday.com** ことを確認します。
4. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、[サブスクリプションのダウンロード monday.com] サブフローと [ユーザーアクティビティの更新 monday.com] サブフローを使用して、 monday アプリケーションからユーザーデータを取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
6. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。
接続 URL	monday.comAPI のベース URL このフィールドは自動的に `[https://api.monday.com/]` に設定されます。
OAuth クライアント ID	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	mondayアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、mondayOAuth2 アプリケーションを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

9. [アプリの承認] ダイアログ ボックスで、monday アプリケーションの作成に使用したのと同じ monday.com 資格情報を使用してサインインします。
10. [許可] を選択します。
    ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
11. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

PagerDuty との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをPagerDutyアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	PagerDuty アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	• OAuth アプリの作成:マネージャー • トークン生成:オブザーバー	• スコープ付き OAuth:users:read • クラシックユーザー OAuth:読み取り
ユーザーアクティビティのプル	• OAuth アプリの作成:マネージャー • トークン生成:オブザーバー	• スコープ付き OAuth:oncalls:read • クラシックユーザー OAuth:読み取り
サブスクリプションの再利用	OAuth アプリとトークンの生成を作成:グローバルアドミン	• スコープ付き OAuth:users:write • クラシックユーザー OAuth:読み取り/書き込み

PagerDutyアプリケーションの作成

ServiceNow インスタンスと統合する PagerDuty アプリケーションを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
PagerDuty 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから PagerDuty を開きます。
2. PagerDuty アカウントにログインします。
3. 開発者モードにアクセスします。
   - 開発者アカウントでログインしている場合は、開発者モードに自動的にアクセスできます。
   - 顧客アカウントでログインしている場合は、開発者モードに手動でアクセスする必要があります。

   a. ページヘッダーで、メニューアイコン ( ) を選択します。

   b. [開発者モード] を選択します。
   開発者モードで [自分のアプリ] ページにリダイレクトされます。

4. [マイ アプリ] ページで、[新しいアプリの作成] を選択します。
5. [アプリのビルド] フォームで、フィールドに入力します。

[アプリのビルド] フォーム

フィールド	説明
アプリ名	PagerDutyアプリケーションの名前たとえば、`ServiceNow Integration` とします。
簡単な説明	アプリケーションの簡単な説明。
カテゴリ	アプリケーションカテゴリ。[カテゴリ] の一覧から **[API Management**] を選択します。
すべての PagerDuty ユーザーに公開アプリを公開するお手伝いをしたいと考えています。すべての PagerDuty ユーザーとアプリエコシステムにアプリを公開する予定ですか?	アプリケーションをすべてのユーザーに公開することで公開 PagerDuty できるオプション。このフィールドはオプションです。

6. [保存] を選択します。
   PagerDuty によってアプリケーションが登録され、[自分のアプリ] ページに戻ります。
7. オプション: その他のアプリケーション設定を構成します。

   a. [自分のアプリ] ページで、 PagerDuty アプリケーションを選択します。
   アプリケーション構成ページが開きます。

   b. [アプリの **Web** サイト **URL**] フィールドに、ユーザーがアプリケーションの詳細を知るための Web サイトの URL を入力します。

   c. [アイコン **URL**] フィールドに、アプリケーションアイコンとして使用するホスト画像ファイルの URL を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アイコンは 50 x 50 ピクセルにする必要があります。

d. [保存] を選択します。

PagerDuty アプリケーションに OAuth 2.0 機能を追加する

PagerDutyアプリケーションを作成したら、OAuth 2.0 機能を追加して、アプリケーションがユーザーログイン時にPagerDutyを管理し、ユーザー固有のデータにアクセスすることを承認します。

始める前に

PagerDuty 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. PagerDuty アカウントの [自分のアプリ] ページで、PagerDuty アプリケーションを選択します。
   アプリケーション構成ページが開きます。
2. [機能] セクションで、 [OAuth 2] を見つけ、 [追加] を選択します。
   [OAuth 2] ページが開きます。
3. [OAuth 2 機能の追加] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を [リダイレクト **URL**] フィールドに入力します。
   「https://<*instance-name*>/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>は<c3/>インスタンスの名前です。ServiceNow
4. [保存] を選択します。
5. [トークン] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
6. [スコープ] セクションで、[スコープ付き **OAuth**] または [クラシックユーザー **OAuth**] を選択します。
   権限スコープの詳細については、「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

PagerDuty 統合プロファイルの作成

PagerDuty統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、PagerDutyアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

PagerDuty統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でPagerDuty統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[PagerDuty Integration Profile**] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[PagerDuty**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、PagerDuty `Integration` などです。
接続と資格情報	PagerDuty スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に `[sn_pagerduty_spoke]` に設定されます。PagerDuty です。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に *`PagerDuty`* [サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが *`PagerDuty`* [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが *`PagerDuty`* [ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが [*PagerDuty*Reclaim Subscription Subflow] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、PagerDuty [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 PagerDuty (Update User Activity)]、および [サブスクリプション PagerDuty 再利用] サブフローを使用して、 PagerDuty アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。たとえば、 `PagerDuty Connection` です。
OAuth クライアント ID	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	PagerDutyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。「https://*<instance-name>*/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>は<c3/>インスタンスの名前です。ServiceNow

10. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

[PagerDuty アカウント] ページにリダイレクトされます。

11. PagerDuty アプリケーションの作成に使用したものと同じ PagerDuty アカウントを選択します。
12. アカウントの使用を許可する *<pagerduty-app-name>* を求められたら、[承認] を選択します。
ServiceNow インスタンスは PagerDuty の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
13. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Rally との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Broadcom Rally アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Rally アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	ワークスペースアドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	ワークスペースアドミン	なし
サブスクリプションの再利用	ワークスペースアドミン	なし

Rally OAuth アプリケーションの登録

Rally OAuth アプリケーションを登録して Rally API 2.0 にアクセスし、クライアント ID とクライアントシークレットを受信します。

始める前に

Rally 統合ハブ スポークはアクティブである必要があります。詳細については、「 Rally スポーク 」を参照してください。

Rally 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. アドミン認証情報を使用して [CA Agile Central] にログインします。
2. 選択 **OAUTH** クライアント > 新規クライアントを作成.

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[OAuth クライアントを作成] ダイアログボックス

Field (フィールド)	値
アプリケーション名	アプリケーションの名前を入力します。
コールバック URL	アプリケーションを統合する ServiceNow インスタンスのコールバック URL。たとえば、`[https://<instance_url>/oauth_redirect.do]`。

4. [次へ] を選択します。
5. 後で使用するために [クライアント ID (Client ID)] と [クライアント シークレット (Client secret)] をコピーします。

Rally接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Rally アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 接続と資格情報 > 接続および資格情報エイリアス.
3. Rally接続を見つけて、[**Create New Connection & Credential** (新しい接続と資格情報の作成)] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	値
接続情報	
接続名	Rally接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。このフィールドは自動的に `https://rally1.rallydev.com/slm/webservice` に設定されます。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Rally API 設定の構成中に生成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	Rally API 設定の構成中に生成したクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance_name>/oauth_redirect.do`。インスタンス名は ServiceNow インスタンスの名前です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> 注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

Rally 統合プロファイルの作成

Rally統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Rallyソリューションのライセンスを最適化します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でRally統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Rally** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウン リストから **[Rally**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Rallyデータ連携です。
接続と資格情報	Rally スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_rally_spoke に設定されます。ラリー。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Rally サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [サブスクリプションのダウンロード Rally (Download Subscriptions)] に設定されていることを確認します。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが [Reclaim Subscription] に設定され Rally ことを確認します。
5. [保存] を選択します。
   ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Rally サブスクリプションのダウンロードサブフローと Rally サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、 Rally アプリケーションからユーザーデータを取得します。
6. ページが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Roadmunk との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをRoadmunkアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Roadmunk アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アカウント管理者	スコープなし
ユーザーアクティビティのプル	アカウント管理者	スコープなし
サブスクリプションの再利用	アカウント管理者	スコープなし

RoadmunkAPI アクセストークンを生成

RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークンを生成します。

始める前に
Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

手順

1. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。
2. アカウントアドミン認証情報を使用してログインします。
3. Roadmunk ダッシュボードの左側のナビゲーション メニューで、プロファイル アイコンを選択し、[アカウント設定] を選択します。
4. アカウント設定のページヘッダーで、[統合] タブを選択します。
5. [既存の統合] で、[統合を追加] を選択します。
6. 構成するデータ連携を選択するプロンプトが表示されたら、**[API** トークン] を選択します。
7. [Roadmunk API トークン] フォームの [アプリケーション名] フィールドに API アクセストークンの名前を入力します。
8. [**API** トークンの作成] を選択します。
   API アクセストークンが生成され、[作成された API トークン] ダイアログボックスが開きます。
9. [API トークンが作成されました] ダイアログボックスで、[クリップボードにコピー] を選択して API アクセストークンをコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。

Roadmunk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Roadmunk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Roadmunk 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Roadmunk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続URL	接続の URL です。このフィールドは自動的に **[https://app-gateway.roadmunk.com]** に設定されます。**[app]** は接続が作成されるデフォルトの地理的リージョン (北米) です。 既定の アプリ (北米) リージョン外で接続を作成する場合は、リージョンの値を **eu** (ヨーロッパ) または **apac** (アジア太平洋リージョン) に変更できます。
認証情報	
API トークン	RoadmunkGraphQL API へのアクセスを許可する API アクセストークン。 RoadmunkAPI アクセストークンを生成で生成したものと同じ API アクセストークンを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

Roadmunk 統合プロファイルの作成

Roadmunk統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Roadmunkアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
Roadmunk統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で Roadmunk 統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Roadmunk** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Roadmunk**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Roadmunk Integration`。
接続と資格情報	Roadmunk スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_roadmunk_spoke に設定されます。ロードマリス。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Roadmunk** サブスクリプション] に設定されます。

3. [**Download Subscription Subflow** (サブスクリプションサブフローのダウンロード)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] フィールドが **[Roadmunk Download Subscriptions (Roadmunk** ダウンロードサブスクリプション)] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Roadmunk** ユーザーアクティビティサブフローの更新] に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow** (サブスクリプションサブフローの再利用)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] フィールドが **[Roadmunk Reclaim Subscription]** に設定されていることを確認します。
6. [保存] をクリックします。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、[サブスクリプションのダウンロード Roadmunk] サブフローと [ユーザーアクティビティの更新 Roadmunk] サブフローを使用して、 Roadmunk アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. オプション: 統合プロファイルで非アクティブなユーザーが Roadmunk サブスクリプションのリストに含まれないようにするには、[サブスクリプションのダウンロード Roadmunk] サブフローを有効にして、 Roadmunk アカウントのアクティブなユーザーのみをダウンロードします。
デフォルトでは、 Roadmunk Download Subscriptions サブフローは、アクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、 Roadmunk アカウントのすべてのユーザーをダウンロードします。

   a. 新しいタブまたはウィンドウで、 Roadmunk を開きます。

   b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
   Roadmunkダッシュボードが開きます。

   c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
   アカウント設定が開きます。

   d. アカウント設定のページヘッダーで、[レポート] タブを選択します。

   e. 使用可能な Roadmunk レポートのリストから、「 ユーザー**CSV**のダウンロード」をクリックします。
   Roadmunk ユーザーレポートが CSV 形式でダウンロードされます。

   f. [統合プロファイル] フォームに戻ります。

   g. フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン ([ ) をクリックします。
   [添付ファイル] ダイアログボックスが開きます。

   h. ダイアログボックスで、[**Choose file**] をクリックして、手順 e でダウンロードした Roadmunk User Report を見つけて選択します。

   i. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて [統合プロファイル] フォームに戻ります。

   ヒント: ServiceNowでは、Roadmunk サブスクリプションのリストから非アクティブなユーザーを継続的に削除できるように、最新バージョンの Roadmunk ユーザーレポートを定期的にダウンロードして添付することをお勧めします。

8. [公開] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Salesforce CRMとの統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Salesforce Customer Relationship Management (CRM) サービスと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用することができます。

注:

ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合は、SaaS プレイブックを使用して ServiceNow インスタンスを Salesforce CRM と統合します。プレイブックを使用した Salesforce CRM 統合プロファイルの作成の詳細については、「 Salesforce CRM統合の作成」を参照してください。

サポートされている Salesforce CRM サービスには、次のものが含まれます

- Salesforce Sales Cloud
- Salesforce Service Cloud
- Salesforce プラットホーム
- Salesforce 顧客コミュニティ
- Salesforce パートナーコミュニティ
- Salesforce 企業コミュニティ
- Salesforce 冗言

Salesforce Classic 組織と Salesforce Lightning 組織の両方がサポートされています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: カスタムライセンスのメトリクスを使用すると、料金を支払っているがユーザーサブスクリプションベースではない他のサービスのエンタイトルメントを追跡できます。カスタムライセンスのメトリクスの作成方法の詳細については、 カスタムライセンスの測定基準の追加 を参照してください。

統合の接続に使用する Salesforce アカウントには、 Salesforce ユーザーライセンスと次のユーザーアクセス権限が必要です。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Salesforce CRM アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	次の権限を持つユーザー: • セットアップと構成を表示 • アプリケーションのカスタマイズ • 接続済みアプリの管理 • API が有効	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)
ユーザーアクティビティのプル	次の権限を持つユーザー: • セットアップと構成を表示 • アプリケーションのカスタマイズ • 接続済みアプリの管理 • API が有効	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)
サブスクリプションの再利用	管理者権限を持つユーザー	• データの管理 (API) • いつでも代理で要求を実行 (refresh_token、オフラインアクセス)

Salesforce CRM サービスの詳細については、『Salesforce 開発者ドキュメント』を参照してください。

Salesforceアプリケーションの登録

Salesforce管理ポータルからアプリケーションを登録します。

始める前に

Salesforce 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce にログインし、クラシック環境に切り替えます。
2. [セットアップ] を選択します。
3. 左側のナビゲーションメニューから、 **Build** (構築) > 作成 > アプリ.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [接続済みアプリ] セクションで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しい接続アプリ] フォーム

フィールド	説明
接続済みアプリ名	アプリケーションの名前。
API 名	API の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
連絡先メール	アプリケーションに関連付けるメールアドレス。
OAuth 設定を有効にする	OAuth 設定を有効にするオプション。
コールバック URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 「`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。<*instance*> は ServiceNow インスタンスの名前です。
選択した OAuth スコープ	アクセストークンに付与されるアクセスの量を決定する OAuth スコープ。次の値が必要です。 ◦ データ **(api)** へのアクセスと管理 ◦ いつでも代理で要求を実行 **(refresh_token, offline_access)**

6. リフレッシュトークンポリシー値が「リフレッシュトークンは取り消されるまで有効である」に設定されていることを確認します。
7. [保存] を選択します。
8. 新しいアプリのページで、[コンシューマーキー] フィールドと [コンシューマーシークレット] フィールドの値をコピーします。
後で使用できるように安全な場所に保存してください。コンシューマーキー (クライアント ID) とコンシューマーシークレット (クライアントシークレット) は機密です。それらを共有しないでください。

Salesforce CRM 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Salesforce CRM サービスのライセンスを最適化します。

注: 統合 Salesforce CRM グローバルスコープでのみ作成する必要があります。

最初の Salesforce CRM 統合プロファイルを作成する

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する最初の Salesforce 組織の統合プロファイルを作成します。

始める前に
Salesforce CRM統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce CRM統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Salesforce CRM** 統合プロファイル] を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Salesforce CRM]** を選択します。 d. [続行] を選択します。 Salesforce CRM統合のためにプレイブックが起動し、次のステップが有効ではありません。詳細については、「Salesforce CRM統合の作成」を参照してください。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前 この統合プロファイルを作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。たとえば、 `SFDC Org1` などです。 ヒント: レポート時に見やすいように、この名前は短くしてください。
接続と資格情報	Salesforce の接続および資格情報エイリアス。 最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、自動的に入力されるデフォルトの接続および資格情報エイリアスを使用します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **Salesforce CRM** に設定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
プロファイルタイプ	

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow** (サブスクリプションサブフローの再利用)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce CRM Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
5. [ダウンロード消費サブフロー] タブで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** ダウンロード消費] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。

   注: Salesforce CRM統合では、ユーザーレコードの前回のユーザーログインに関する情報が使用されるため、アクティビティ計算サブフローは必要ありません。

   特定の消費ベースのアプリケーションの消費カウントを表示できます Salesforce CRM 。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューを選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
9. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
10. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。 この接続と認証情報を作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。たとえば、`SFDC Org1` などです。
接続 URL (インスタンス URL)	Salesforce にログインした後に表示される URL または Salesforce のカスタムドメイン URL。
OAuth クライアント ID	Salesforceアプリケーションにアサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	Salesforceアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Salesforceアプリケーションの登録」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

11. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

    注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

12. [OAuth2] ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの作成に使用したものと同じ Salesforce admin アカウントにログインします。

    ヒント: ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

    ServiceNow インスタンスは Salesforce の OAuth トークンを作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。

13. **[Publish** (公開)] を選択します。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、 ServiceNow インスタンスは Salesforce CRM サービスからのデータの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、通常、このプロセスは数分で完了します。ユーザー数が 100 人から 5000 人の組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15 分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

追加の **Salesforce CRM** 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する追加の Salesforce 組織ごとに統合プロファイルを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Salesforce CRM 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce CRM統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Salesforce CRM** 統合プロファイル] を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Salesforce CRM]** を選択します。 **d.** [続行] を選択します。 Salesforce CRM統合のためにプレイブックが起動し、次のステップが有効ではありません。詳細については、「Salesforce CRM統合の作成」を参照してください。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前 この統合プロファイルを作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。たとえば、 `SFDC Org2` などです。 ヒント: この名前は、レポート時に見やすいように短くしてください。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に **Salesforce CRM** に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Salesforce CRM** サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。

   個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

   > **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [**Reclaim Subscription Subflow** (サブスクリプションサブフローの再利用)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] 項目が **[Salesforce CRM Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。
5. [ダウンロード消費サブフロー] タブで、[サブフロー] 項目が **[Salesforce CRM** ダウンロード消費] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。

   > **注:** Salesforce CRM統合では、ユーザーレコードからの前回のユーザーログインに関する情報が使用されるため、[アクティビティを計算] サブフローは必要ありません。

   特定の消費ベースのアプリケーションの消費カウントを表示できます Salesforce CRM 。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
9. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
   作成する最初の Salesforce CRM 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce CRM 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. 下のリンクを選択します 子エイリアス > **Parentalias=***** 子エイリアスを追加します。

   b. [新規] を選択します。
   子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォーム ヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、 保存 を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

   f. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	接続の名前。 この接続と認証情報を作成する Salesforce 組織を一意に識別する名前を入力します。たとえば、 `SFDC Org2` などです。
接続 URL (インスタンス URL)	この統合を通じて接続している Salesforce インスタンスの URL。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
OAuth クライアント ID	Salesforceアプリケーションにアサインされているクライアント ID (コンシューマーキー)。
OAuth クライアントシークレット	Salesforceアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット (コンシューマーシークレット)。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、「Salesforceアプリケーションの登録」で指定したコールバック URL に基づいて自動的に入力されます。

g. [OAuth トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

h. [OAuth2] ダイアログボックスで、Salesforce アプリケーションの登録に使用したものと同じ Salesforce admin アカウントにログインします。

> **ヒント:** ダイアログボックスが自動的に開かない場合は、ブラウザでポップアップが許可されていることを確認してください。

ServiceNowインスタンスはSalesforce用の OAuth トークンを作成し、自動的に [接続および資格情報エイリアス] フォームに戻ります。

10. 統合プロファイルに戻るには、次の場所に移動します。 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル をクリックし、[統合プロファイル] リストからプロファイルを選択します。

11. [統合プロファイル] フォームの [接続および資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンを選択して、 ステップ 8 で作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

12. [Publish (公開)] を選択します。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、 ServiceNow インスタンスは Salesforce CRM サービスからのデータの取得を開始します。ユーザー数が 100 人未満の組織の場合、通常、このプロセスは数分で完了します。ユーザー数が 100 ～ 5,000 人の組織の場合、このプロセスが完了するまでに約 15 分かかることがあります。ユーザー数が 5,000 人を超える組織の場合、このプロセスが完了するまでに 1 時間以上かかることがあります。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Salesforce Marketing Cloud との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Salesforce Marketing Cloud サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

次のいずれかの認証方法を使用して、 ServiceNow® インスタンスを Salesforce Marketing Cloud と統合します。

- ベーシック認証
- OAuth 2.0

ベーシック認証を使用した Salesforce Marketing Cloud の統合

ベーシック認証を使用して、 ServiceNow インスタンスを Salesforce Marketing Cloud と統合します。

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成

Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーを作成します。SOAP API を使用すると、Salesforce Marketing Cloud データ拡張からレコードを取得し、Salesforce Marketing Cloud ユーザーに関する情報を取得できます。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:ユーザーとロールを作成する権限を持つアドミンユーザー

このタスクについて

注:

Web サービスを使用するには、 ホームのセットアップ > 設定 > セキュリティ > セキュリティ設定. 「ユーザー名とログイン」セクションで、「 **Web** サービスのユーザー名とパスワードを有効にする 」チェック・ボックスを選択します。

データエクステンションにアクセスするには、データエクステンションと同じ事業部門に API ユーザーを直接作成する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、プロファイルアイコンを選択し、[セットアップ] を選択します。
4. Salesforce Marketing Cloud ユーザーの作成

   a. 移動先 管理 > ユーザー > ユーザー.

   b. [作成] を選択します。

   c. フォームのフィールドに入力します。

   全般設定フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	ユーザーの名前。
返信先メールアドレス	メールメッセージの送信と返信を行うメールアドレス。Salesforce Marketing Cloud は、パスワードを忘れた場合の要求もこのメールアドレスに送信します。 メール アドレスを入力したら、 [確認] を選択してメール アドレスを確認します。
[送信者名 (From Name)] ドロップダウンに追加	メールアドレスがメールに入力される前に、ドメイン検証プロセスを通じて返信メールアドレスを送信するオプション。
通知メールアドレス	Salesforce Marketing Cloud通知の送信先のメールアドレス。
ユーザー名	ユーザーのユーザー名。
外部キー	API 呼び出し中にユーザーを一意に識別するキー。
タイムゾーン	ユーザーが所在するタイムゾーン。
カルチャーコード	このユーザーの Salesforce Marketing Cloud ユーザーインターフェイスで使用される言語。
API ユーザー	ユーザーが Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるかどうかを示すオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。
一時パスワード	初回ログインに使用できる一時パスワード。初回ログイン時にこのパスワードを変更するように求められます。
パスワードを検証	一時パスワードを検証するフィールド。

   d. [保存] を選択します。

5. 割り当てられたユーザーが Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスし、ユーザーとデータ拡張を管理できるようにするユーザーロールを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 移動先 管理 > ユーザー > ロール.

b. [作成] を選択します。

c. フォームのフィールドに入力します。

プロパティフォーム

フィールド	説明
名前	ユーザーロールの名前。
外部キー	ユーザーロールを一意に識別するキー。
説明	ユーザーロールの説明

d. [権限] フォームセクションで、 メール > 登録者 > データ拡張 権限カテゴリを選択し、[データアクセスの表示と管理] アクセス許可の [許可] チェックボックスをオンにします。

e. を展開します。 メール > アドミン > **API** アクセス 権限カテゴリを選択し、WebService API のアクセス許可の [許可] チェックボックスをオンにします。

f. を展開します。 管理 > ユーザー 権限カテゴリを選択し、次のアクセス権限の [許可] チェックボックスをオンにします。

- ビュー
- 更新
- 無効化

g. [保存] を選択します。

6. Salesforce Marketing Cloud ユーザーにユーザーロールを割り当てます。

a. 移動先 管理 > ユーザー > ユーザー.

b. 利用可能なユーザーのリストから、ステップ 4 で作成したユーザーのチェックボックスをオンにします。

c. [ロールの管理] を選択します。
選択したユーザーの [ロール] フォームが開きます。

d. [ロール] フォームセクションで、[ロールの編集] を選択します。

e. 利用可能なロールのリストが表示されたら、ステップ 5 で作成したユーザーロールのチェックボックスをオンにします。

f. [保存] を選択します。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

連絡先数レポートを作成して、 Salesforce Marketing Cloud アカウント内の請求可能な連絡先の合計数を取得して表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門のプロファイルアイコンを選択し、最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストから、 **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
レポートアプリの概要が開きます。
5. 「レポート・カタログ」セクションで、「 カタログの表示」を選択します。
6. [レポート カタログ] から [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
「レポートを作成」(Create Report) ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、データを取得して表示する期間を [日付範囲] リストから選択します。
デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

   ヒント: レポート生成中のパフォーマンスの問題を回避するには、この値を [過去 **7** 日間] に設定する必要があります。

8. **[Submit** (送信)] を選択します。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスはレポートを生成し、[結果:連絡先数] ページに結果を表示します。
9. [結果: 連絡先数 (Results: Contacts Counts)] ページで、[保存] を選択します。
「レポートを保存」(Save Report) ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

11. [保存] を選択します。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。

    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、 概要 タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。

    b. レポートのリストから、新しく作成した連絡先数レポートを開きます。

    c. [スケジュール オプション] セクションで、[編集] を選択します。

    d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[スケジュールオプションの編集] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを設定します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配送オプション	
フォーマット	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル**(.csv)**を選択します。
ロケーション	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **[FTP** 用にレポートを保存] に設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名:ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。 **注:** 後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。 ▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりに、レポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP** の場所: Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。「ExactTarget 拡張 **FTP**」を選択して、レポートを SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポートフォルダーに保存します。

e. [保存] を選択します。

コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成

データエクステンションを作成して、コンタクト数レポートデータを Salesforce Marketing Cloud インスタンスに保存します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

データエクステンションは、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNow インスタンスが Salesforce Marketing Cloud サービスに接続すると、このデータエクステンションからデータが取得されます。

警告: このデータエクステンションを母集団として設定しないでください。母集団として設定すると、データエクステンションのすべてのレコードが連絡先数に寄与します。

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。
2. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Contact Builder アプリが開きます。

3. [データエクステンション] タブを選択します。
4. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データエクステンションを作成する方法。 [新規作成] を選択します。
名前	データ拡張の名前。
外部キー	データエクステンションを一意に識別するオプションのキー。
Description (説明)	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。 このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
場所	データエクステンションを保存する場所。 このフィールドは自動的に [データ拡張] に設定されます。別の場所を選択するには、[場所を変更] を選択します。
送信可能ですか?	データエクステンションを登録者に送信できるかどうかを示すオプション。

5. [**Next** (次へ)] をクリックします。
6. 「データ保持ポリシー」ステップで、「 保持設定 」フィールドを 「オフ」に設定します。
7. [**Next** (次へ)] をクリックします。
8. [属性] ステップで、データエクステンションに含める属性を追加します。
属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。

Salesforce Marketing Cloud統合では、次の連絡先数レポート列の属性が必要です。

属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データエクステンションのすべてのレコードに一意の識別子を含める属性のオプション。 このオプションは、 **Count_Date** 属性に対して有効にする必要があります。
名前	属性の名前。 この名前は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
必須	属性にデータ拡張の各レコードの値が必要かどうかを示すオプション。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 **Flag** 属性のデフォルト値を `1` に設定します。 注: プライマリキーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

名前	データ タイプ
Count_Date	テキスト
Total_Distinct_Contacts_Count	テキスト
Total_Distinct_Email_Addresses1	テキスト
Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count	テキスト
フラグ	テキスト

注: 属性を追加できますが、名前は統合属性と同じである必要があります。詳細については、「ベーシック認証を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」または「OAuth 2.0 を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」を参照してください。

他のすべての接触者数レポート列の属性はオプションです。追加する各属性のフィールドに入力します。

9. [完了] を選択します。
10. [作成されたデータエクステンション (Data Extension Created)] ダイアログボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションで連絡先数レポートデータをインポートする自動化の構築

レポートの生成後に連絡先数レポートデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。
2. **Journey Builder** アプリアイコンを選択し、[**Automation Studio**] を選択します。
   Automation Studio アプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
   新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグして、自動化スケジュールを作成します。
5. 自動化のスケジュールを定義します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ワークフロー キャンバスの [Starting Source] セクションで、[**Configure]** を選択します。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールの定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日付。
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行されるように自動化を設定します。 ヒント: レポートが生成されたのと同じ日に自動化を実行するように構成する場合は、レポートの生成が完了するのに十分な時間がある開始時間を選択します。 ServiceNow では、開始時刻をレポート開始時刻の少なくとも 2 時間後にすることを推奨しています。
終了	自動化スケジュールが終了するまでに自動化を実行できる回数。 自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [なし] に設定します。

6. スクリプト アクティビティを追加し、それを必要とするすべてのアクティビティに対してサーバー側 JavaScript を実行します。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

b. スクリプトアクティビティステップで [選択] を選択します。
[スクリプトアクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

c. [**Create New Script Activity**] を選択します。
[Create New Script Activity] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。別の場所を選択するには 、[選択...] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。
Description (説明)	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバーサイド JavaScript をコピーして、[サーバーサイド JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows =
 Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1'
]);
</script>
```

f. [構文を検証] を選択して、サーバー側の JavaScript 構文が有効であることを確認します。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. [概要] ステップで、スクリプトアクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. [連絡先数] レポートを [SFTP レポート] フォルダーから [SFTP インポート] フォルダーにコピーするデータ抽出アクティビティを追加します。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニュー ウィンドウの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフロー キャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティを選択 (Choose Data Extract Activity)] ダイアログボックスが開きます。

c. [**Create New Data Extract Activity** (新しいデータ抽出アクティビティを作成)] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成 (Create New Data Extract Activity)] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。
ファイル命名パターン	データを抽出する連絡先数レポートのファイル名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出方法。 このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. [**Next** (次へ)] をクリックします。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先となる場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	入力フォルダーから出力フォルダーにレポートを移動するのではなく、コピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、 [完了] を選択します。

8. ファイルインポートアクティビティを追加して、連絡先数レポートデータをデータエクステンションにインポートします。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[ ] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。

b. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
名前	ファイルインポートアクティビティの名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
説明	ファイルのインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。
通知メールの送信先	インポートが完了したときに通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが正常に完了したときに、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、通知メールに無効な フィールド数の 検証エラーが含まれています。これらの空の行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

c. [**Next** (次へ)] をクリックします。

d. [ファイルをインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。「ExactTarget 拡張 FTP」を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時を表示する形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには 、カンマ を選択します。 二重引用符を使用して各レコードを区切る場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。
不適切なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

e. [**Next** (次へ)] をクリックします。

f. [宛先] ステップで、 コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションを検索して選択します。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. プロンプトが表示されたら、[インポートファイルに列ヘッダーがあります] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマッピングします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: **Flag** 属性はマップしないままにします。

i. [**Next** (次へ)] をクリックします。

j. [確認] ステップで、ファイルのインポートアクティビティ構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. [保存] を選択します。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
ロケーション	自動化を保存する場所。

11. [保存] を選択します。
12. ワークフロー キャンバスの [開始ソース] セクションで、[アクティブ] を選択します。
13. [スケジュール確認のアクティブ化 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化 **(Activate**)] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

連絡先数レポートデータを手動で取得する

連絡先数レポート、データエクステンション、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール済みレポートと自動化ジョブ間でレポートデータを取得できます。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、定義したスケジュールに基づいてレポートと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数レポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。

b. **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
レポートアプリの概要が開きます。

c. レポートのリストから、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートを選択します。

d. **[Run** (実行)] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

<c0/> インスタンスがレポートを生成し、結果を [結果: <*report-name*> ページに表示します。Salesforce Marketing Cloud

e. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[結果のダウンロード] ダイアログボックス

Field (フィールド)	説明
ファイル名	レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
フォーマット	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)**を選択します。

f. [保存] を選択します。

2. データをデータエクステンションにインポートします。

a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。

タスクの結果
最新の接触者数レポートデータがデータエクステンションにインポートされます。

ベーシック認証を使用した **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

ベーシック認証を使用して統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Salesforce Marketing Cloud サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ヒント: 追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合をビルドします。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Salesforce** マーケティングクラウド統合プロファイル] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Salesforce** マーケティングクラウド] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce `Marketing Cloud` 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ◦基本認証:この値を選択します。 ◦OAuth 2.0 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と認証情報	Salesforce Marketing Cloud の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます 。Salesforceマーケティングクラウド。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに自動的に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription]** に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロード連絡先の消費] に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。 **注:** 属性名は、インスタンス Salesforce Marketing Cloud レポートの列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Salesforce Marketing Cloud Download Subscriptions、 Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription、 Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption サブフローを使用して、 Salesforce Marketing Cloud サービスからユーザーデータを取得します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報を入力してください	
接続名	接続の名前。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「`https://<subdomain>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx`」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報を入力してください	
ユーザー名プロファイル名	認証情報の名前。
ユーザー名	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのユーザー名。Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成 で作成したユーザーのユーザー名を入力します。
パスワード	Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスできるユーザーのパスワード。Salesforce Marketing Cloud SOAP API にアクセスするためのユーザーを作成 で作成したユーザーのパスワードを入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
後処理に使用する補足情報を入力してください	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションの名前と完全に一致する必要があります。

7. [作成] を選択します。
ダイアログボックスが閉じます。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームのヘッダーで、[戻る] ボタンを選択して [統合プロファイル] フォームに戻ります。
9. **[Publish** (公開)] を選択します。
10. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

OAuth 2.0 を使用した **Salesforce Marketing Cloud** の統合

OAuth 2.0 を使用して、 ServiceNow インスタンスを Salesforce Marketing Cloud サービスと統合します。

Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 認証情報の作成

Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための Salesforce Marketing Cloud OAuth 2.0 認証情報を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：Salesforce Marketing Cloud admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloud テナントにログインします。
2. 移動先 ホームのセットアップ > プラットフォームツール > アプリ > インストール済みパッケージ.
3. [新規] を選択してパッケージを作成します。
4. [コンポーネントを追加] 選択します。
5. **[API** 統合] を選択して、Salesforce Marketing Cloud API をアプリケーションと統合します。
6. [次へ] を選択します。
7. 統合タイプとして [サーバー間 **(Server-to-Server)]** を選択します。
8. [**Next** (次へ)] をクリックします。
9. 統合の次のスコープを選択します。
10. [保存] を選択します。

での連絡先数レポートの作成 **Salesforce Marketing Cloud**

連絡先数レポートを作成して、 Salesforce Marketing Cloud アカウント内の請求可能な連絡先の合計数を取得して表示します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Salesforce Marketing Cloud インスタンスに移動します。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. インスタンスのページヘッダーで、事業部門のプロファイルアイコンを選択し、最上位の親事業部門を選択して、連絡先数レポートに親事業部門と対応するすべての子事業部門の両方のデータが含まれるようにします。
4. 使用可能な Salesforce Marketing Cloud アプリケーションのリストから、 **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。
5. 「レポート・カタログ」セクションで、「 カタログの表示」を選択します。
6. [レポート カタログ] から [連絡先数] を検索し、[作成] を選択します。
   「レポートを作成」(Create Report) ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、データを取得して表示する期間を [日付範囲] リストから選択します。
   デフォルト値は [過去 **30** 日間] です。

   ヒント: レポート生成中のパフォーマンスの問題を回避するには、この値を [過去 **7** 日間] に設定する必要があります。

8. **[Submit** (送信)] を選択します。
   Salesforce Marketing Cloudインスタンスはレポートを生成し、[結果:連絡先数] ページに結果を表示します。
9. [結果: 連絡先数 (Results: Contacts Counts)] ページで、[保存] を選択します。
   「レポートを保存」(Save Report) ダイアログボックスが開きます。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[レポートを保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
レポート名	レポートの名前。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
説明	レポートの説明。

11. [保存] を選択します。
12. 連絡先数レポートを自動的に実行するスケジュールを作成します。

    a. レポート アプリのページ ヘッダーで、 概要 タブを選択して、レポート アプリの概要に戻ります。

    b. レポートのリストから、新しく作成した連絡先数レポートを開きます。

    c. [スケジュール オプション] セクションで、[編集] を選択します。

    d. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールオプションの編集] ダイアログボックス

フィールド	説明
スケジュールオプション	
開始	レポートの実行を開始する日時。
タイムゾーン	レポートがスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	レポートを実行する頻度。毎週日曜日に 1 回実行するようにレポートを設定します。
終了	レポートの実行を停止する日付。
配送オプション	
フォーマット	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル**(.csv)**を選択します。
ロケーション	レポートを保存または共有する場所。このフィールドを **[FTP** 用にレポートを保存] に設定し、対応するフィールドに入力します。 ▪ レポート名:ファイル拡張子を除いたレポートのファイル名。 注: 後で使用するために、このファイル名をメモしておきます。 ▪ 一意のオプション:SFTP で既存のレポートレコードを置き換える代わりに、レポートレコードを作成するオプション。このチェック ボックスをオフのままにします。 ▪ **FTP** の場所: Salesforce Marketing Cloud FTP ファイルの場所。「ExactTarget 拡張 **FTP**」を選択して、レポートを SFTP (SSH ファイル転送プロトコル) レポートフォルダーに保存します。

    e. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成

データエクステンションを作成して、コンタクト数レポートデータを Salesforce Marketing Cloud インスタンスに保存します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

データエクステンションは、レポートデータを表す属性を含むテーブルです。ServiceNow インスタンスが Salesforce Marketing Cloud サービスに接続すると、このデータエクステンションからデータが取得されます。

⚠ **警告:** このデータエクステンションを母集団として設定しないでください。母集団として設定すると、データエクステンションのすべてのレコードが連絡先数に寄与します。

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。
2. **Audience Builder** アプリアイコンを選択し、[**Contact Builder**] を選択します。
   Contact Builder アプリが開きます。
3. [データエクステンション] タブを選択します。
4. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
作成方法	データエクステンションを作成する方法。 [新規作成] を選択します。
名前	データ拡張の名前。
外部キー	データエクステンションを一意に識別するオプションのキー。
Description (説明)	データ拡張の説明。
タイプ	データ拡張のタイプ。 このフィールドは自動的に [標準] に設定されます。
場所	データエクステンションを保存する場所。 このフィールドは自動的に [データ拡張] に設定されます。別の場所を選択するには、[場所を変更] を選択します。
送信可能ですか?	データエクステンションを登録者に送信できるかどうかを示すオプション。

5. [**Next** (次へ)] をクリックします。
6. 「データ保持ポリシー」ステップで、「 保持設定 」フィールドを 「オフ」に設定します。
7. [**Next** (次へ)] をクリックします。
8. [属性] ステップで、データエクステンションに含める属性を追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

属性は、レポートからデータエクステンションにデータをマッピングしてインポートするために使用されます。データのインポート元のレポート列ごとに属性を作成する必要があります。各属性名は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。

Salesforce Marketing Cloud統合では、次の連絡先数レポート列の属性が必要です。

属性フィールド

フィールド	説明
プライマリキー	データエクステンションのすべてのレコードに一意の識別子を含める属性のオプション。 このオプションは、 **Count_Date** 属性に対して有効にする必要があります。
名前	属性の名前。 この名前は、対応するレポート列名と正確に一致する必要があります。
データタイプ	属性のデータタイプ。
必須	属性にデータ拡張の各レコードの値が必要かどうかを示すオプション。
長さ	属性値に許可される最大文字数。
デフォルト値	属性のオプションのデフォルト値。 **Flag** 属性のデフォルト値を `1` に設定します。 **注:** プライマリキーとして割り当てられる属性にはデフォルト値を入力しないでください。

名前	データ タイプ
Count_Date	テキスト
Total_Distinct_Contacts_Count	テキスト
Total_Distinct_Email_Addresses1	テキスト
Total_Distinct_Mobile_Addresses_Count	テキスト
フラグ	テキスト

注: 属性を追加できますが、名前は統合属性と同じである必要があります。詳細については、「ベーシック認証を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」または「OAuth 2.0 を使用した Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルの作成」を参照してください。

他のすべての接触者数レポート列の属性はオプションです。追加する各属性のフィールドに入力します。

9. [完了] を選択します。
10. [作成されたデータエクステンション (Data Extension Created)] ダイアログボックスで、[**OK]** を選択します。

データエクステンションで連絡先数レポートデータをインポートする自動化の構築

レポートの生成後に連絡先数レポートデータをデータエクステンションに自動的にインポートする自動化を作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

手順

1. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。
2. **Journey Builder** アプリアイコンを選択し、[**Automation Studio**] を選択します。
   Automation Studio アプリの概要が開きます。
3. [新しい自動化] を選択します。
   新しい自動化のワークフローが開きます。
4. 左側のメニューペインの [開始ソース] セクションからワークフローキャンバスの [開始ソース] セクションに [スケジュール] アイコンをドラッグして、自動化スケジュールを作成します。
5. 自動化のスケジュールを定義します。

   a. ワークフロー キャンバスの [Starting Source] セクションで、[**Configure]** を選択します。

   b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[スケジュールの定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
開始日	自動化の実行を開始する日付。
タイムゾーン	自動化がスケジュールされているタイムゾーン。
繰り返し	自動化を実行する頻度。連絡先数レポートが生成された後に実行されるように自動化を設定します。 ヒント: レポートが生成されたのと同じ日に自動化を実行するように構成する場合は、レポートの生成が完了するのに十分な時間がある開始時間を選択します。 ServiceNow では、開始時刻をレポート開始時刻の少なくとも 2 時間後にすることを推奨しています。
終了	自動化スケジュールが終了するまでに自動化を実行できる回数。 自動化スケジュールを終了しない場合は、このフィールドを [なし] に設定します。

6. スクリプト アクティビティを追加し、それを必要とするすべてのアクティビティに対してサーバー側 JavaScript を実行します。

   a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[スクリプト] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。
   スクリプトアクティビティは、自動化ワークフローの最初のステップになります。

   b. スクリプトアクティビティステップで [選択] を選択します。
   [スクリプトアクティビティを選択] ダイアログボックスが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

c. [**Create New Script Activity**] を選択します。
[Create New Script Activity] ダイアログボックスが開きます。

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	スクリプトアクティビティの名前。
外部キー	スクリプトアクティビティを一意に識別するオプションのキー。
フォルダーの場所	スクリプトを保存する場所。別の場所を選択するには 、[選択...] を選択します。 このフィールドは自動的に [スクリプト] に設定されます。
Description (説明)	スクリプトアクティビティの説明。

e. 次のサーバーサイド JavaScript をコピーして、[サーバーサイド JavaScript] テキストボックスに貼り付けます。

```
<script runat="server">
var rows =
 Platform.Function.DeleteData('*<data-extension-name>*',['Flag'],['1'
]);
</script>
```

f. [構文を検証] を選択して、サーバー側の JavaScript 構文が有効であることを確認します。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. [概要] ステップで、スクリプトアクティビティの構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

7. [連絡先数] レポートを [SFTP レポート] フォルダーから [SFTP インポート] フォルダーにコピーするデータ抽出アクティビティを追加します。
Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、SFTP インポートフォルダーを使用してレポートデータを検索し、データエクステンションにインポートします。インスタンスで連絡先数レポートから対応するデータエクステンションにデータをインポートできるようにするには、レポートを SFTP インポートフォルダーにコピーする必要があります。

a. 左側のメニュー ウィンドウの [アクティビティ] セクションで、[データ抽出] アイコンをワークフロー キャンバスにドラッグします。
データ抽出アクティビティは、自動化ワークフローの 2 番目のステップになります。

b. データ抽出アクティビティステップで [選択] を選択します。
[データ抽出アクティビティを選択 (Choose Data Extract Activity)] ダイアログボックスが開きます。

c. [**Create New Data Extract Activity** (新しいデータ抽出アクティビティを作成)] を選択します。
[新しいデータ抽出アクティビティを作成 (Create New Data Extract Activity)] ダイアログボックスが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. [プロパティ] ステップで、フィールドに入力します。

プロパティフィールド

フィールド	説明
名前	データ抽出アクティビティの名前。
外部キー	データ抽出アクティビティを一意に識別するオプションのキー。
ファイル命名パターン	データを抽出する連絡先数レポートのファイル名。 この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
抽出タイプ	データ抽出方法。 このフィールドを [拡張 **FTP** ファイルの移動とコピー] に設定します。
説明	データ抽出アクティビティの説明。

e. [**Next** (次へ)] をクリックします。

f. [構成] ステップで、フィールドに入力します。

構成フィールド

フィールド	説明
入力フォルダー	連絡先数レポートを保存した場所。「\reports\」と入力します。
出力フォルダー	レポートのコピー先となる場所。「\Import\」と入力します。
フォルダーにコピー	入力フォルダーから出力フォルダーにレポートを移動するのではなく、コピーするオプション。このオプションを使用すると、レポートを両方の場所に保持できます。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. [概要] ステップで、データ抽出アクティビティの構成が正しいことを確認し、 [完了] を選択します。

8. ファイルインポートアクティビティを追加して、連絡先数レポートデータをデータエクステンションにインポートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 左側のメニューペインの [アクティビティ] セクションで、[ ] アイコンをワークフローキャンバスにドラッグします。

b. [アクティビティ情報] ステップで、フィールドに入力します。

アクティビティ情報フィールド

フィールド	説明
名前	ファイルインポートアクティビティの名前。
説明	ファイルのインポートアクティビティの説明。
外部キー	インポートファイルアクティビティを一意に識別するオプションのキー。
通知メールの送信先	インポートが完了したときに通知を送信するメールアドレス。 メールアドレスを指定すると、インポートが正常に完了したときに、挿入および更新された行の数を含む通知メールがそのアドレスに送信されます。 **重要:** インポートされた CSV ファイルに空の行が存在するため、通知メールに無効な フィールド数の 検証エラーが含まれています。これらの空の行は、レポートを FTP に保存すると自動的に表示されます。ただし、統合には影響しません。

c. [**Next** (次へ)] をクリックします。

d. [ファイルをインポート] フィールド

フィールド	説明
ファイルの場所	データのインポート元の連絡先数レポートの場所。「ExactTarget 拡張 FTP」を選択します。
ファイル命名パターン	データのインポート元の連絡先数レポートのファイル名。この名前は、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートのファイル名 (ファイル拡張子を含む) と完全に一致する必要があります。
日付形式	レポートデータの日時を表示する形式。
区切り文字	各レポートレコードを区切る形式。各レコードをカンマで区切るには 、カンマ を選択します。 二重引用符を使用して各レコードを区切る場合は、[二重引用符 **(")** をテキスト区切り文字として尊重 する] オプションを有効にします。
不適切なデータ動作	不正なデータを含む行をスキップするオプション。このオプションを有効にするには、このチェックボックスをオンにします。

e. [**Next** (次へ)] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. [宛先] ステップで、 コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションを検索して選択します。

g. [**Next** (次へ)] をクリックします。

h. プロンプトが表示されたら、[インポートファイルに列ヘッダーがあります] オプションを有効にし、各データ拡張属性を連絡先数レポートの対応する列番号にマッピングします。

> 注: **Flag** 属性はマップしないままにします。

i. [**Next** (次へ)] をクリックします。

j. [確認] ステップで、ファイルのインポートアクティビティ構成が正しいことを確認し、[完了] を選択します。

9. [保存] を選択します。
10. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[自動化を保存] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	自動化の名前。
説明	自動化の説明。
外部キー	自動化を一意に識別するオプションのキー。
ロケーション	自動化を保存する場所。

11. [保存] を選択します。
12. ワークフロー キャンバスの [開始ソース] セクションで、[アクティブ] を選択します。
13. [スケジュール確認のアクティブ化 (Activate Schedule Confirmation)] ダイアログボックスで、[アクティブ化 **(Activate**)] を選択して自動化スケジュールをアクティブ化します。

連絡先数レポートデータを手動で取得する

連絡先数レポート、データエクステンション、および自動化を作成した後、これらのジョブを手動で実行することで、スケジュール済みレポートと自動化ジョブ間でレポートデータを取得できます。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール：admin

このタスクについて

Salesforce Marketing Cloudインスタンスは、定義したスケジュールに基づいてレポートと自動化ジョブを自動的に実行します。次のスケジュール済みレポートおよび自動化ジョブの前に連絡先数レポートデータを取得する場合は、これらのジョブを手動で実行できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 連絡先数レポートを実行します。

   a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。

   b. **Analytics Builder** アプリアイコンを選択し、[レポート] を選択します。
   レポートアプリの概要が開きます。

   c. レポートのリストから、 での連絡先数レポートの作成 Salesforce Marketing Cloud で作成した連絡先数レポートを選択します。

   d. **[Run** (実行)] をクリックします。
   <c0/> インスタンスがレポートを生成し、結果を [結果: <*report-name*> ページに表示します。Salesforce Marketing Cloud

   e. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

   [結果のダウンロード] ダイアログボックス

Field (フィールド)	説明
ファイル名	レポートのファイル名 (ファイル拡張子を除く)。
レポートソース	レポートのソース。このフィールドは自動的に [連絡先数] に設定されます。
フォーマット	レポート結果を受信するファイルタイプとファイル拡張子。データファイル **(.csv)**を選択します。

   f. [保存] を選択します。

2. データをデータエクステンションにインポートします。

   a. Salesforce Marketing Cloudインスタンスのページヘッダーで、Salesforceアイコンにカーソルを合わせると、使用可能なSalesforce Marketing Cloudアプリケーションのリストが表示されます。

タスクの結果
最新の接触者数レポートデータがデータエクステンションにインポートされます。

OAuth 2.0 を使用した **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

OAuth 2.0 を使用して Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルを作成し、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Salesforce Marketing Cloud サービスの古いライセンスを最適化します。

始める前に
Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ヒント: 追加のサブスクリプションコストが発生しないようにするには、プラグインをインストールし、非本番インスタンスで統合をビルドします。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spokeSalesforce マーケティングクラウドアドミン

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Salesforce** マーケティングクラウド統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Salesforce** マーケティングクラウド] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce `Marketing Cloud` 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。 ◦ ベーシック認証 ◦ OAuth 2.0:この値を選択します。 **注:** 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と認証情報	Salesforce Marketing Cloud の接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます。SalesforceMarketingCloudSoapConnection
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに自動的に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription**] に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロード連絡先の消費] に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。 **注:** 属性名は、インスタンス Salesforce Marketing Cloud レポートの列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Salesforce Marketing Cloud Download Subscriptions、 Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription、 Salesforce Marketing Cloud Download Contacts Consumption サブフローを使用して、 Salesforce Marketing Cloud サービスからユーザーデータを取得します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：`SFMC SOAP 接続`。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「`https://<subdomain>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx`」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	の作成中に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報.
OAuth クライアントシークレット	Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance_name>/oauth_redirect.do`。ここで、インスタンス名は<c1/>インスタンスの名前です。ServiceNow
後処理に使用される追加情報	
連絡先数データエクステンション (Contacts Counts Data Extension)	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成 で作成したデータエクステンションの名前と完全に一致する必要があります。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
8. [保存] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

追加の **Salesforce Marketing Cloud** 統合プロファイルの作成

ソフトウェアサブスクリプションを追跡してライセンスを最適化する追加の Salesforce Marketing Cloud ごとに統合プロファイルを作成します。

始める前に

Salesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するには、 から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します ServiceNow Store

必要なロール:sam_integrator または admin

Salesforce Marketing Cloud 必要なロール:sn_sforce_mc_spokeSalesforce マーケティングクラウドアドミン

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSalesforce Marketing Cloud統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Salesforce** マーケティングクラウド統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Salesforce** マーケティングクラウド] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、Salesforce `Marketing Cloud` 統合プロファイルなどです。
認証タイプ	Salesforce Marketing Cloud API にアクセスするための認証のタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ ベーシック認証 ◦ OAuth 2.0:この値を選択します。 注: 新しい Salesforce Marketing Cloud プロファイルの場合、認証タイプはデフォルトで [基本認証] に設定されます。
接続と認証情報	Salesforce Marketing Cloud の接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_sforce_mc_spoke に設定されます。SalesforceMarketingCloudSoapConnection
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は、 **Salesforce** マーケティングクラウドサブスクリプションに自動的に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロードサブスクリプション] に設定されます。 個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Salesforce Marketing Cloud Reclaim Subscription**] に設定されます。
消費サブフローのダウンロード	
サブフロー	このフィールドは、 自動的に **[Salesforce** マーケティングクラウドダウンロード連絡先の消費] に設定されます。
統合属性	
属性	カウント日、連絡先、メール連絡先、モバイル連絡先などの名前と値の属性は、統合プロファイルに自動的に入力されます。 要件に基づいて属性を追加または削除できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: 属性名は、インスタンス Salesforce Marketing Cloud レポートの列ヘッダーと一致する必要があります。詳細については、「コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成」を参照してください。

3. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
4. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
5. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
作成する最初の Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルでは、Salesforce にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Salesforce Marketing Cloud 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. 下のリンクを選択します 子エイリアス > **Parentalias=***** 子エイリアスを追加します。

   b. [新規] を選択します。
   子エイリアスの [接続および資格情報エイリアス] フォームが開きます。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	接続の名前。例：`SFMC SOAP` 接続。
SOAP 接続 URL	SOAP 接続エンドポイントの URL。「`https://<subdomain>.soap.marketingcloudapis.com/Service.asmx`」と入力します。ここで、<*subdomain*> は Salesforce Marketing Cloud サブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	の作成中に生成したクライアント ID Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報.
OAuth クライアントシークレット	Salesforce Marketing Cloud OAuth 認証情報の作成時に取得したクライアントシークレットです。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance_name>/oauth_redirect.do`。ここで、インスタンス名は<c1/>インスタンスの名前です。ServiceNow
後処理に使用される追加情報	
連絡先数データエクステンション	連絡先数のレポートデータを取得するデータエクステンションの名前。この名前は、 コンタクト数レポートのデータエクステンションの作成

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
(Contacts Counts Data Extension)	で作成したデータエクステンションの名前と完全に一致する必要があります。

7. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
8. [保存] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

SAP SuccessFactors との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSAP SuccessFactorsアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要:

次のアプリケーションを以下から要求してインストールする必要があります。 ServiceNow Store :

- SaaS ライセンス管理
- SuccessFactors スポーク
- ソフトウェア資産管理とSuccessFactorsとの統合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- インストールされている SAP SuccessFactors スポークバージョンが 3.1.5 以前の場合は、次の手順に従います。
  1. のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors
  2. SAP SuccessFactors接続の作成
  3. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成
- インストールされている SAP SuccessFactors スポークバージョンが 4.0.0 以降の場合は、次の手順に従います。
  1. への OAuth アプリケーションの登録 SuccessFactors
  2. ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード
  3. OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録
  4. SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成
  5. OData API の認証情報レコードの作成
  6. OData API の接続レコードの作成
  7. SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	SAP SuccessFactors アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

自動翻訳

のベーシック認証の設定 **SAP SuccessFactors**

ベーシック認証を設定して、 SAP SuccessFactors API にアクセスできるようにします。

始める前に
SAP SuccessFactors 必要なロール：admin

手順

1. アドミン認証情報を使用して SAP SuccessFactors インスタンスにログインします。
2. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > アドミンセンター.
3. API アクセス権限を割り当てるグループを作成します。

ヒント: アドミンユーザーは自動的に SuccessFactors API にアクセスできるため、このグループにはアドミン以外のユーザーのみを含めます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. アドミンセンターの「 ツール検索 」フィールドで、「 権限グループの管理」を検索して選択します。

b. [権限グループ] ダイアログボックスの [グループ名] フィールドに権限グループの名前を入力します。

c. [グループメンバーの選択] セクションで、この権限グループに含めるユーザーまたはユーザーグループをユーザープールに追加して指定します。

ユーザー プールを使用すると、アクセス許可グループに含める、または除外するユーザーまたはユーザー グループのセットを指定できます。すべてのユーザーとユーザー グループを 1 つのユーザー プールに含めることも、異なるユーザー プールにグループ化することもできます。たとえば、組織内の部門またはオフィスの場所ごとに異なるユーザー プールを作成できます。

ユーザーまたはユーザー・グループをユーザー・プールに追加するには、「 ユーザー名」などの識別カテゴリを選択し、対応するテキスト・ボックスに各ユーザーまたはユーザー・グループを入力します。各エントリはコンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つのユーザー プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[別のユーザー プールの追加] をクリックして、ユーザー プールを追加することもできます。

d. オプション: [これらのユーザーをグループから除外する] セクションで、ユーザープールに追加して、この権限グループから除外するユーザーまたはユーザーグループを指定します。

(Optional) ユーザーまたはユーザー・グループをユーザー・プールに追加するには、「 ユーザー名」などの識別カテゴリを選択し、対応するテキスト・ボックスに各ユーザーまたはユーザー・グループを入力します。各エントリはコンマで区切る必要があります。

[別のカテゴリを追加] をクリックすると、1 つのユーザー プールに複数の識別カテゴリを適用できます。[別のユーザー プールの追加] をクリックして、ユーザー プールを追加することもできます。

e. [完了] を選択します。

4. グループの API アクセス権限を構成します。

a. アドミンセンターの「 ツール検索 」フィールドで、「 権限ロールの管理」を検索して選択します。

b. [新規作成] を選択します。

c. [権限ロールの詳細] フォームの [ロール名] フィールドに権限ロールの名前を入力します。

d. オプション: [説明] フィールドに権限ロールの説明を入力します。

e. [アクセス許可の設定] で [アクセス許可] を選択します。

f. [アクセス許可の設定] ダイアログ ボックスで、左側のナビゲーション ウィンドウから [統合ツールの管理] を選択します。

g. [**Allow Admin to Access OData API through Basic Authentication**] チェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

h. 左側のナビゲーションペインから [**Employee Central API**] を選択します。

i. [従業員セントラル **HRIS OData API** (編集可能)] チェックボックスをオンにします。

j. [完了] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[権限ロールの詳細] フォームに戻ります。

k. [この ロールの付与先] タブで、[追加] を選択し、手順 4 で作成したアクセス許可グループを検索して選択します。
この権限グループを追加すると、関連付けられたユーザーとユーザーグループが、この権限ロールで有効になっている API にアクセスできるようになります。

l. [変更内容を保存] を選択します。

SAP SuccessFactors接続の作成

SAP SuccessFactors OData API と ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に
ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. SuccessFactors_OData接続の [詳細を表示] を選択します。
4. 利用可能な接続のリストから、SuccessFactors_ODataを検索して選択します。
5. [設定] を選択します。
6. [接続を設定] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続名	SuccessFactors_OData接続の名前。
接続URL	SAP SuccessFactors インスタンスの OData API URL。
ユーザー名	SAP SuccessFactors admin アカウントのユーザー名。のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors で SAP SuccessFactors インスタンスへのログインに使用したものと同じユーザー名を入力します。
パスワード	SAP SuccessFactorsアドミンアカウントのパスワード。のベーシック認証の設定 SAP SuccessFactors で SAP SuccessFactors インスタンスへのログインに使用したものと同じパスワードを入力します。

7. [接続を設定] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

への **OAuth** アプリケーションの登録 **SuccessFactors**

`keystore.jks` ファイルと `keystore.cer` ファイルを生成してSAPマスターデータサービスからのアウトバウンド通信のクライアント証明書認証を有効にします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 次のいずれかの方法を使用して、JKS 証明書を作成します。
   - 「秘密鍵と証明書チェーンを使用した Java Keystore (JKS) の作成」トピックのステップに従います。 SAP ヘルプポータル.
   - Java JDK 8 と Open SSL をインストールし、ターミナルで次のコマンドを実行します。
     a. `openssl genrsa -out private.key 2048`

        `private.key`ファイルが生成されます。

     b. `openssl req -new -x509 -key private.key -out publickey.cer -days 365`

        識別名(DN)の詳細を入力します。`publickey.cer`ファイルが生成されます。

     c. `openssl pkcs12 -export -in publickey.cer -inkey private.key -out successfactors.p12 -name "successfactors"`

        パスワードの入力を求められます。`successfactors.p12` ファイルは、ステップ a とステップ b で作成された秘密鍵と公開鍵を使用して生成されます。

     d. `keytool -importkeystore -srckeystore successfactors.p12 -srcstoretype pkcs12 -destkeystore successfactors.jks`

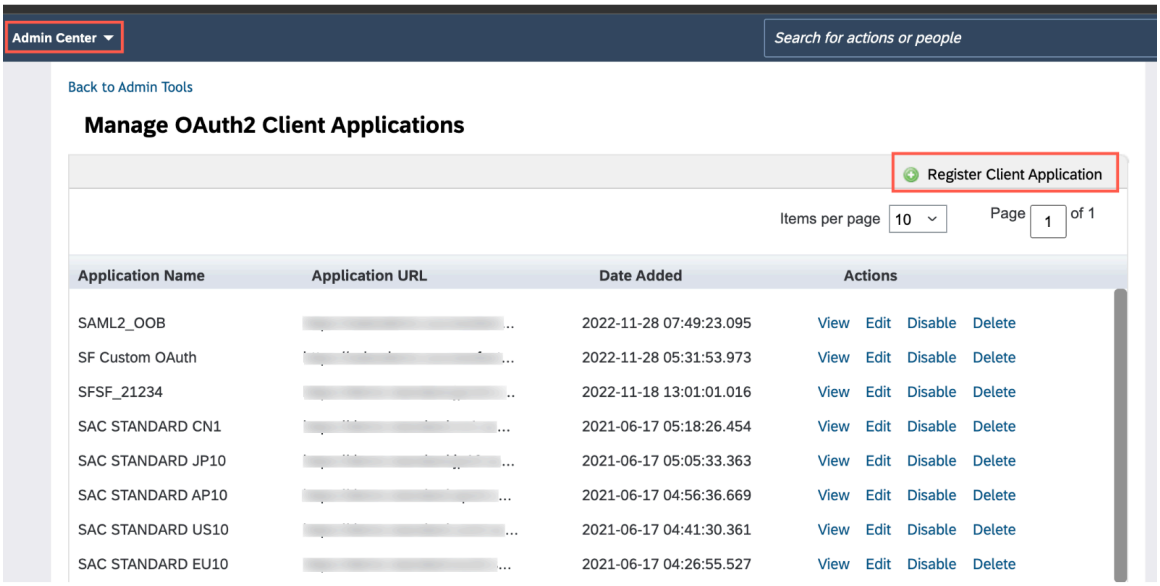
        宛先ファイルとソースファイルのパスワードの入力を求められます。`successfactors.jks` ファイルは、ステップ c で作成した `successfactors.p12` ファイルを使用して作成されます。

     注: 手順 c と d で必ず同じパスワードを入力してください。たとえば、ステップ c で `123456` パスワードを入力した場合は、ステップ d でもパスワードとして `123456` を入力する必要があります。

2. アドミニストレーターとして SuccessFactors アカウントにログインします。
3. [アドミンセンター] に移動し、[会社の設定] を選択します。
4. [**OAuth2** クライアントアプリケーションの管理] を選択します。
5. [クライアント アプリケーションの登録] を選択します。
6. フォームで必要な詳細を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



[**X.509** 証明書] フィールドに、 ヘッダーなしで `publickey.cer` ファイル (公開鍵) の内容を入力します。

7. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
API キーが生成され、表示されます。

次のタスク
生成された API キーをコピーし、後で使用するために値を記録します。

ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード

ServiceNow インスタンスに JKS 証明書をアップロードして、アウトバウンド通信のクライアント証明書の認証を有効にします。

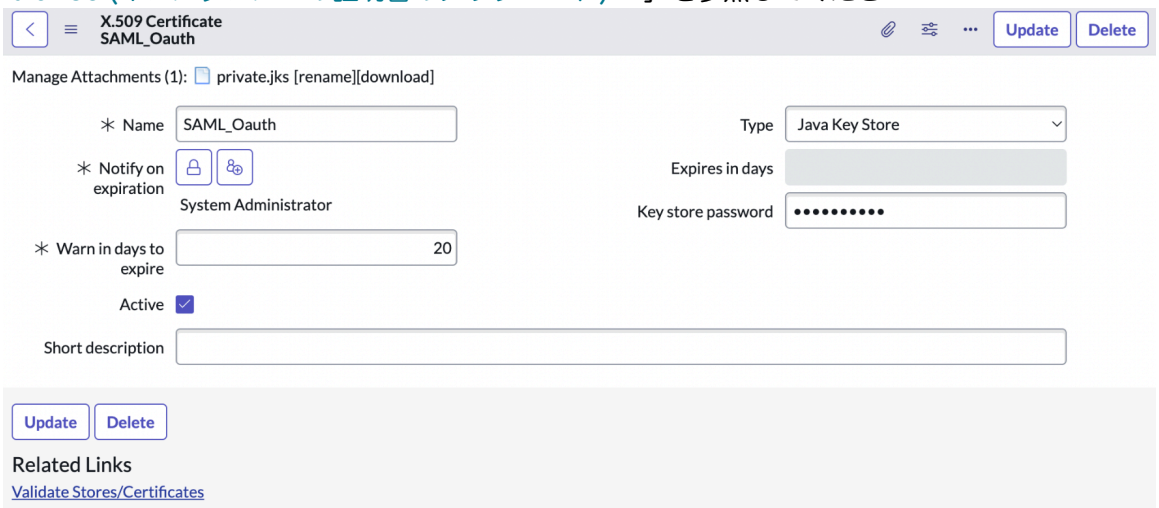
始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. アドミニストレーターとして ServiceNow インスタンスにログインします。
2. JKS 証明書を ServiceNow インスタンスにアップロードします。
   JKS 証明書をアップロードする手順については、「Upload a certificate to an instance (インスタンスへの証明書のアップロード)」を参照してくださ



い。

OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録

クライアントアプリケーションの構成中に生成された API キーを使用して、アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録します。

始める前に

アプリケーションスコープを SuccessFactors スポークに変更します。

必要なロール：admin

手順

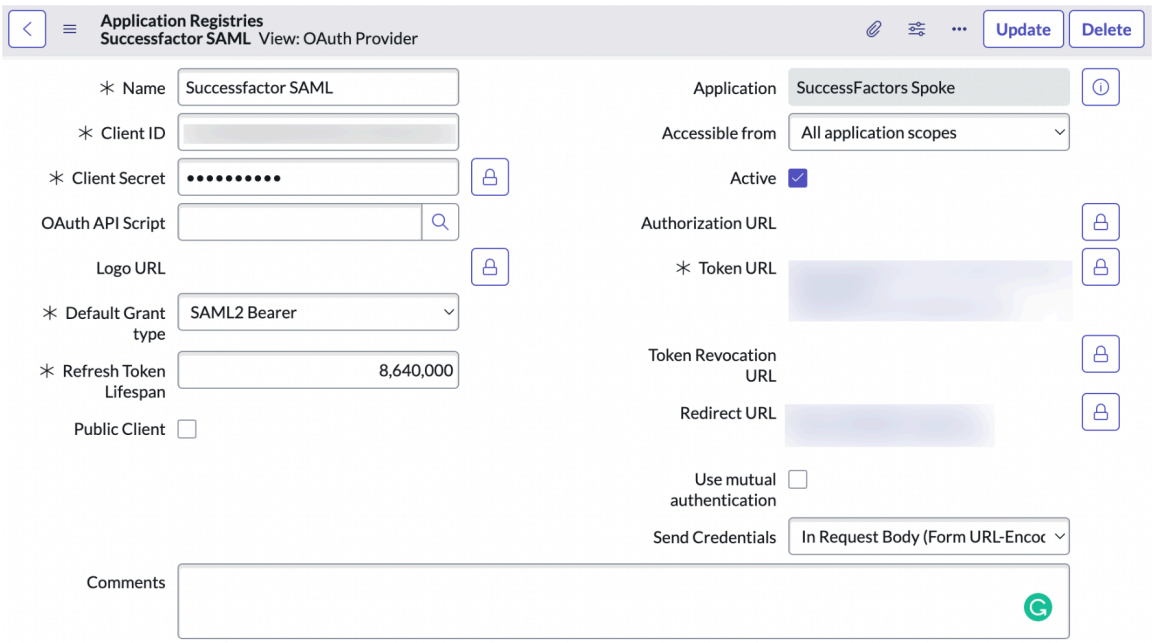
1. ServiceNowインスタンスで、 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	証明書を識別する一意の名前。 例：`SuccessFactors SAML`。
クライアント ID	OAuth クライアントアプリケーションを SuccessFactors に登録した後、コピーした API キーの値。
クライアントシークレット	**注:** アプリケーションを OAuth プロバイダーとして登録する場合、クライアントシークレットは必要ありません。このフィールドには任意の値を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
デフォルトの権限許可タイプ	トークンを確立するために使用するデフォルトの権限許可タイプです。**[SAML2** ベアラー] を選択します。
トークン URL	次の形式の会社 ID を含む SuccessFactors OAuth サーバー エンドポイント URL：`https://<SuccessFactors_Instance_Name>/oauth/token?company_id=<Company_ID>`。 例：`https://example.successfactors.eu/oauth/token?company_id=SFCPART123456`。



4. **[Submit** (送信)] を選択します。

SAML2 アサーションプロデューサーレコードの作成

SAML2 アサーションレコードを作成し、SAML2 アサーションを生成して、プロバイダーとアクセストークンのアサーションを交換します。

始める前に

アプリケーションスコープを SuccessFactors スポークに変更します。

必要なロール：admin

手順

1. インスタンスに SAML2 アサーションプロデューサーレコードを作成します。

   a. 移動先 すべて > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

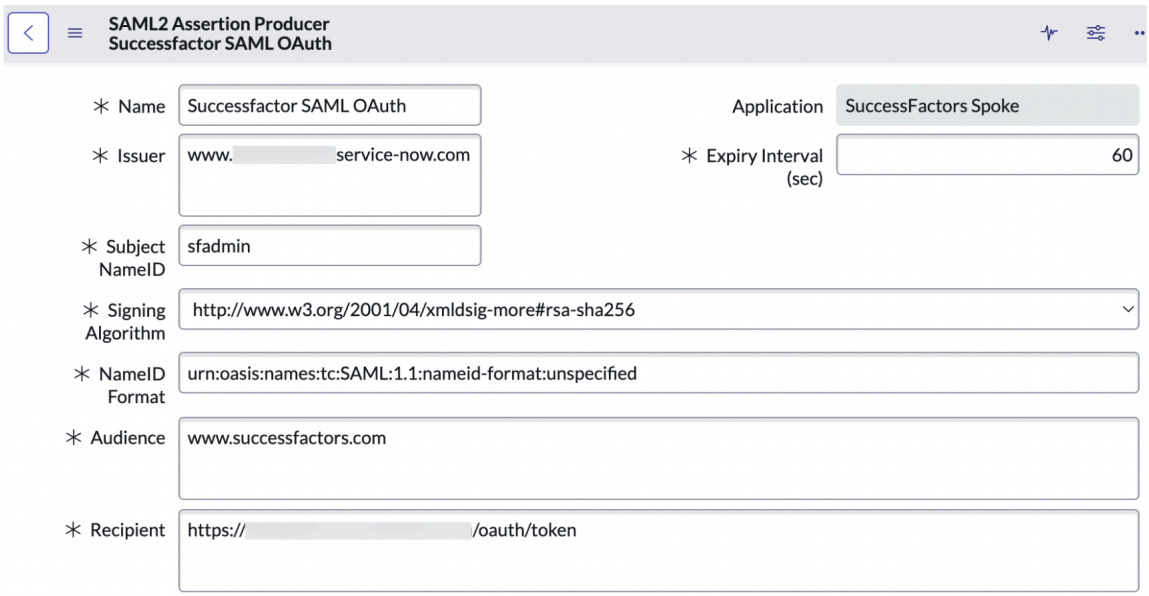
   b. [新規] を選択します。

   c. フォームに、これらの値を入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションプロデューサーレコードを一意に識別する名前です。例：`Successfactor SAML OAuth`。
Issuer	アサーション発行エンティティの一意の識別子。ServiceNow インスタンスの URL を入力します。
件名 NameID	SuccessFactors インスタンスにログインするためのユーザー名。例：`sfadmin`。
対象者	アサーションの対象者。値「`www.successfactors.com`」を入力します。
受信者	アサーションの対象受信者。`https://<SuccessFactors-Instance-Name>/oauth/token` の形式で URL を入力します。



d. フォームヘッダーを選択して長押し (または右クリック) し、[保存] を選択します。

e. [**SAML2 Assertion Keystores**] タブで [**New**] を選択します。

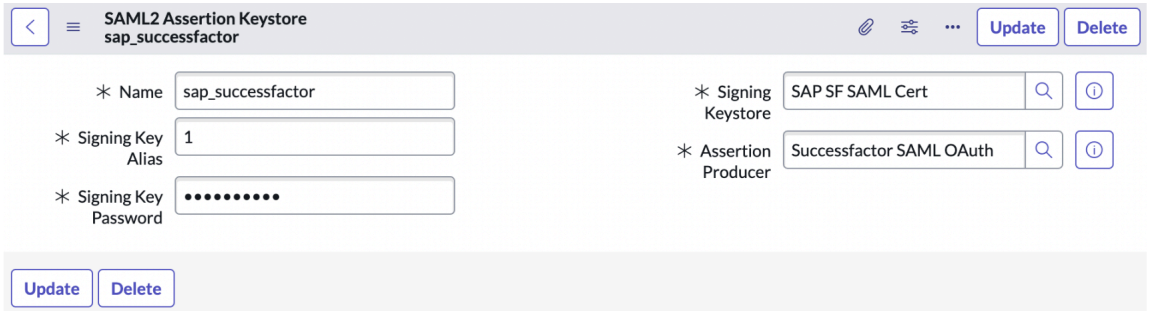
f. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーションキーストアレコードを識別する一意の名前です。たとえば、successfactors などです。
署名キーエイリアス	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのエイリアス。たとえば、successfactors などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
署名キーパスワード	アサーションの署名に使用するキーストアに保存されるキーエントリのパスワード。
署名キーストア	必要な X.509 証明書レコード。以前に作成した X.509 証明書レコードを選択します。詳しくは、「ServiceNow インスタンスへの JKS 証明書のアップロード」を参照してください。



g. **[Submit** (送信)] を選択します。

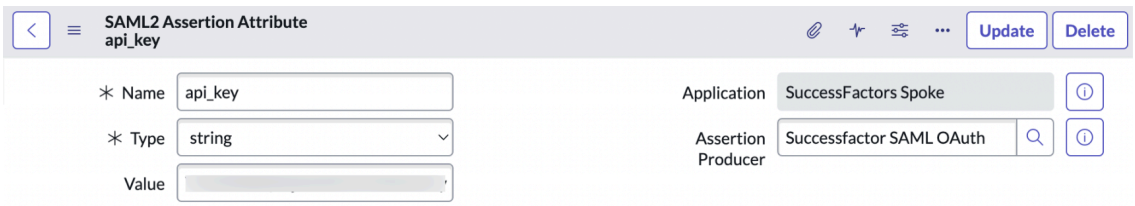
h. 移動先 すべて > システム **OAuth** > **SAML2** アサーションプロデューサー.

i. 作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML OAuth**。

j. [**SAML2 Assertion Attributes**] タブで [**New**] を選択します。

k. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	説明
名前	SAML2 アサーション属性レコードを識別する名前です。「`api_key`」と入力します。
タイプ	[値] フィールドのタイプ。文字列を選択します。
値	OAuth クライアントアプリケーションが SuccessFactors で作成された後に生成された API キー。



l. **[Submit** (送信)] を選択します。

2. SAML2 アサーションプロデューサーをアプリケーションレジストリーレコードに関連付けます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

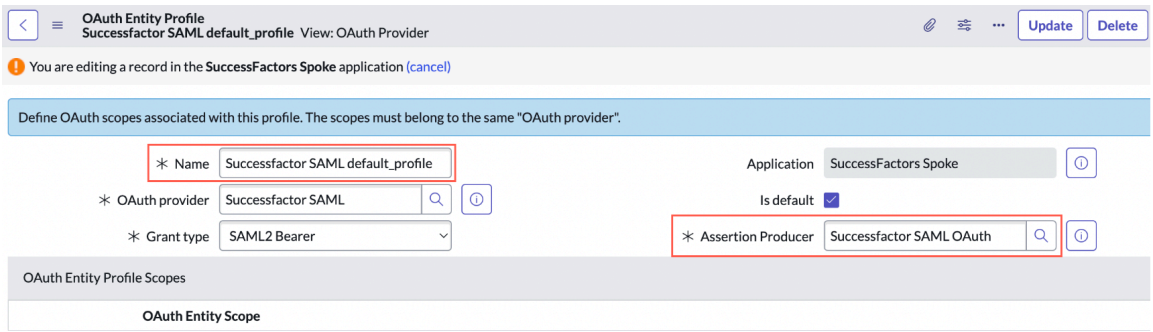
自動翻訳

a. 移動先 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ.

b. 作成したアプリケーションレジストリーレコードを開きます。
例：**SuccessFactors OAuth Reg**。アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。

c. **[OAuth** エンティティプロファイル] タブで、デフォルトの OAuth エンティティプロファイルレコードを開きます。
例：**Successfactor SAML default_profile**。

d. [アサーションプロデューサー] フィールドで、作成した SAML2 アサーションプロデューサーレコードを選択します。
例：**Successfactor SAML**



OAuth。

e. [更新] を選択します。

OData API の認証情報レコードの作成

SuccessFactors で OData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

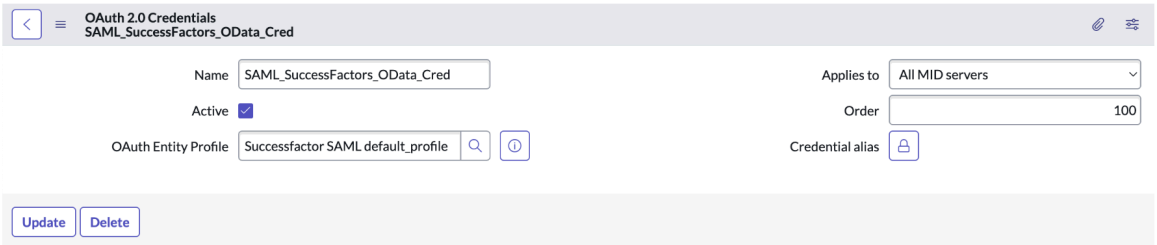
1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 認証情報.
2. [新規] をクリックします。
「作成する認証情報のタイプは？」というメッセージが表示されます。
3. **[OAuth 2.0** 認証情報] を選択します。
空の OAuth 2.0 認証情報フォームが表示されます。
4. フォームに、これらの値を入力します。

フィールド	必要な値
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。たとえば、「`SAML_SuccessFactors_OData_Cred`」と入力します。
OAuth エンティティ プロファイル	作成した OAuth アプリケーションレジストリーに関連付けられている OAuth エンティティプロファイルレコード。例：`Successfactor SAML default_profile`。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	必要な値
	アプリケーションレジストリの作成の詳細については、「OAuth プロバイダーとしてSuccessFactorsを登録」を参照してください。
有効	認証情報レコードをアクティブに使用するオプション。
順番	この認証情報を適用する順番。たとえば、「100」と入力します。



5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
OData API を使用してアクションを許可する認証情報レコードが作成されます。

OData API の接続レコードの作成

SuccessFactors で OData API の接続レコードを作成します。SuccessFactors スポークの接続および資格情報エイリアスでは、これらの接続を使用して SuccessFactors でアクションを実行します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. **[SuccessFactors OData]** のレコードを開きます。
   例：**SuccessFactors_OData**。
3. [接続] タブで、[新規] をクリックします。
   空の HTTP(s) 接続フォームが表示されます。
4. フォームに、これらの値を入力します。

HTTP(S) 接続フォーム

フィールド	説明
名前	レコードを一意に識別する名前を入力します。 例： `SAML_SuccessFactors_OData_Conn`。
認証情報	OData API 用に作成された認証情報レコードです。 例：`SAML_SuccessFactors_OData_Cred`。
接続 URL	`https://<SuccessFactors_Instance_Name>/odata/v2` 形式の SuccessFactors サービスルート URL。たとえば、`https://apisalesdemo2.successfactors.eu/odata/v2` などです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	接続レコードを積極的に使用にするオプションです。

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
SuccessFactorsの OData API の接続レコードが作成されます。

SAP SuccessFactors統合プロファイルの作成

SAP SuccessFactors統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SAP SuccessFactorsアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

アプリケーションスコープを [グローバル] に変更します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSuccessFactors統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順
1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[SuccessFactors** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウン リストから **[SuccessFactors**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `SuccessFactors` 統合。
接続と資格情報	SAP SuccessFactors の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に `[SuccessFactors サブスクリプション]` に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [SuccessFactors サブスクリプションのダウンロードサブフロー (SuccessFactors Download Subscriptions Subflow)] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが [SuccessFactors ユーザーアクティビティサブフローの更新 (SuccessFactors Update User Activity Subflow)] に設定されていることを確認します。
5. [**Reclaim Subscription Subflow** (サブスクリプションサブフローの再利用)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] フィールドが [SuccessFactors Reclaim Subscription Subflow (サブスクリプションサブフローの再利用)] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、 SuccessFactors [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 SuccessFactors (Update User Activity)]、および [サブスクリプション SuccessFactors 再利用] サブフローを使用して、 SAP SuccessFactors アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. SAP SuccessFactorsユーザーログインレポートを生成して統合プロファイルに追加します。
   このレポートは、 SAP SuccessFactors ユーザーの最終アクティビティ日を取得するために必要です。ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルで SAP SuccessFactors ユーザーの最終アクティビティ日を更新するたびに、このレポートの最新バージョンを生成して追加する必要があります。

   a. アドミン認証情報を使用して SAP SuccessFactors インスタンスにログインします。

   b. インスタンスのページヘッダーで、 ホーム > アドミンセンター.

   c. 管理センターのページヘッダーで、[レポート] を選択します。

   d. 新規 を選択してレポートを作成します。

   e. 作成するレポートのタイプを選択するように求められたら、 レポート - テーブル > 選択.

   f. [データをどのように構造化しますか?] で、[単一ドメイン] を選択します。

   g. [どのデータから開始しますか?] で、[ログイン データ] を選択します。

   h. [選択] をクリックします。
      ログインデータの作成レポートページが開きます。

   i. [一般情報] タブで、フィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[一般情報] タブ

フィールド	説明
ドメイン	データの取得元のドメイン。このフィールドは自動的に [ログインデータ] に設定されます。
レポート名	レポートの名前。
説明	レポートの説明。
レポートの優先度	レポートの優先度。
スタイリングを削除	このチェックボックスをオフにします。

j. ユーザー タブで、条件の絞り込み を選択します。

k. [チームを定義] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[チームの定義] ダイアログボックス

フィールド	説明
チームマネージャー	このレポートを作成するチームのマネージャー。[ログインユーザー] を選択します。
チームレポートタイプ	チーム用に作成するレポートのタイプ。[その他のフィルター] を選択します。このレポート タイプを選択すると、レポート範囲を定義して、レポートに含めるユーザー グループをフィルタリングできます。詳細については、 ステップ 14 を参照してください。
非アクティブなユーザーを含める	非アクティブなチームメンバーをすべてレポートに含めるオプション。このオプションは選択しないままにします。

l. **[OK]** を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[人] タブに戻ります。

m. オプション: [人] タブの [レポート範囲の定義] セクションで、[部門]、[部門]、および [場所] レポート範囲を選択して、レポートに含めるユーザー グループのフィルター条件を定義します。
デフォルトでは、これらのレポート範囲のすべてのフィルター基準が有効になっています。

n. [列] タブで [**+** 列の選択] をクリックして、レポートに含めるデータ列を指定します。
必要に応じて、列をソート、グループ化、または再配置できます。

o. レポートの 1 列目が [前回のログイン] で 2 列目が [前回のログイン] で 2 列目が [ユーザー Sys ID] になるように、[前回のログイン] および [ユーザー Sys ID] チェックボックスをオンにします。

p. オプション: [構成] タブで、データ列にデータを日付のみで表示するか、日付と時刻の形式で表示するかを指定します。
該当するデータ列ごとに、[日付] (日付 のみ) または [タイムスタンプ] (日付と時刻) を選択します。各データ列の形式を選択したら、 [**OK]** を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

q. [フィルター] タブでフィルターを選択して、レポートに表示されるデータを絞り込みます。

r. 選択 基準を絞り込む > 従業員ログインの詳細 > 前回のログイン.
[前回のログインフィルターを定義] を含むポップアップが表示されます。

s. 選択 ルール別 > ルールを追加 タブに戻ります

t. ドロップダウンリストから、[次の値を超える]オプションを選択します。

u. レポートを生成する日付を入力します。
ファイルサイズを許容範囲内に収めるために、数週間以内の日付を選択する必要があります。

v. フィルターを選択した後、 [完了] を選択します。

w. [生成] を選択します。

x. 生成されたレポートの [ダウンロード] セクションで **[Excel**] を選択し、レポートを Excel ファイルとしてエクスポートします。

> 注: Excel ファイルは 5 MB を超えることはできません。

y. ServiceNowインスタンスに戻り、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

z. SAP SuccessFactors統合プロファイルを選択します。

aa. [統合プロファイル] フォームヘッダーで、[添付ファイルを管理] アイコン ( ) を選択します。

ab. [添付ファイル] ダイアログボックスで、[ファイルを選択] を選択して、ユーザーログインレポートを見つけて選択します。

ac. レポートが正常にアップロードされたら、ダイアログボックスを閉じて統合プロファイルフォームに戻ります。

8. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
9. [公開の確認] ダイアログ ボックスで、 [**OK]** を選択します。

> 注:
>
> デフォルトでは、アクティビティジョブは 1 時間ごとに実行され、クリーンアップの一環として統合プロファイルに添付されているファイルを削除します。ファイルが見つからない場合、アクティビティジョブは失敗し、新しい添付ファイルがないことを示します。ジョブの失敗は、すでに更新された最後のアクティビティには影響しません。
>
> 毎日 1 回または週に 1 回ファイルを添付する予定の場合は、 それに応じて **[SAM -** 成功要因アクティビティのリフレッシュ **(SAM - Refresh Success Factors Activity**)] スケジュール済みジョブの実行時間を更新できます。また、ファイルを添付するたびに、オンデマンドでこのジョブを実行することもできます。
>
> SAP SuccessFactors にはアクティビティデータをプルするための API がないため、ジョブを実行するたびにファイルを添付する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Slack との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを Slack アプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

ServiceNow Slack 統合は Slack Enterprise Grid プランをサポートしています。このプランでは、組織全体で複数のワークスペースを接続できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

プロセス	Slack アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	組織所有者	admin
ユーザーアクティビティのプル	組織所有者	admin
サブスクリプションの再利用	組織所有者	admin

Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成

Slack Enterprise Grid アプリケーションを作成して、組織全体の複数のワークスペースを管理および接続します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. Slack認証情報を使用してサインインします。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. Slack プラットフォームのページヘッダーで、[アプリ] を選択します。
5. [アプリ] ページで、 [アプリの作成] を選択します。
   [Create a Slack App] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスの [アプリ名] フィールドにアプリケーション名を入力します。
7. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションが属するワークスペースを選択します。
8. [アプリを作成] を選択します。
   Slack プラットフォームによってアプリケーションが作成され、ユーザーは [基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。
9. [基本情報] ページで、[アプリの認証情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] を選択します。
11. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページで、アプリケーションと Slack API の間のやり取りを有効にする権限を設定します。

    a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

       i. [**Add New Redirect URL** (新しいリダイレクト **URL** の追加)] を選択します。

       ii. プロンプトが表示されたら、「`https://<instance-name>/oauth_redirect.do`」と入力します。ここで<*instance-name*>は<c3/>インスタンスの名前です。ServiceNow

       iii. **[Add** (追加)] を選択します。

       iv. [**URL** を保存] を選択します。

    b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アドミン OAuth スコープをアプリケーションに追加します。

       OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスレベルを制限します。Slack OAuth スコープの詳細については、「OAuth 権限スコープ」 を参照してください。

       i. [**OAuth** スコープを追加] を選択します。

       ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから [アドミン] を選択します。

       この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できるようになります。

       注: OAuth スコープの [説明] フィールドは、自動的に入力されます。

12. アプリケーションをアクティブ化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 左側のナビゲーションペインから、 設定 > 配布の管理.

b. [Share Your App with Other Workspaces (他のワークスペースとアプリを共有する)] で、[Remove Hard Coded Information (ハードコードされた情報の削除)] セクションを展開します。

c. アプリケーションにハードコードされた情報 (OAuth トークンなど) が含まれていないことを確認します。

d. 確認後、[ハードコードされた情報を確認して削除 しました] チェック ボックスをオンにします。

e. 他のすべてのセクションを完了したことを確認します。

f. [**Activate Public Distribution]** を選択します。

Slack ワークスペースアプリケーションの作成

ユーザーアクティビティを追跡する各ワークスペースで Slack アプリケーションを作成します。

始める前に
必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから Slack を開きます。
2. Slack認証情報を使用してサインインします。
3. Slack プラットフォーム に移動します。
4. Slack プラットフォームのページヘッダーで、[アプリ] を選択します。
5. [アプリ] ページで、 [アプリの作成] を選択します。
   [Create a Slack App] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスの [アプリ名] フィールドにアプリケーション名を入力します。
7. [開発 Slack ワークスペース] リストから、アプリケーションが属するワークスペースを選択します。
8. [アプリを作成] を選択します。
   Slack プラットフォームによってアプリケーションが作成され、ユーザーは [基本情報] ページにリダイレクトされます。このページを使用して、アプリケーション設定を表示および構成します。
9. [基本情報] ページで、[アプリの認証情報] セクションを展開し、[クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
10. [機能の追加] セクションを展開し、[アクセス許可] を選択します。
11. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページで、アプリケーションと Slack API の間のやり取りを可能にする権限を設定します。

    a. [リダイレクト URL] セクションで、認証後にユーザーをリダイレクトする OAuth プロバイダーの URL を追加します。

       i. [**Add New Redirect URL** (新しいリダイレクト **URL** の追加)] を選択します。

       ii. プロンプトが表示されたら、「*https://<instance-name>*/oauth_redirect.do」と入力します。ここで<*instance-name*>は<c3/>インスタンスの名前です。ServiceNow

       iii. **[Add** (追加)] を選択します。

       iv. [**URL** を保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. [ユーザートークンスコープ] セクションで、アドミン OAuth スコープをアプリケーションに追加します。

OAuth スコープは、アプリケーションがユーザー、チャネル、およびワークスペースに対して持つアクセスレベルを制限します。Slack OAuth スコープの詳細については、「OAuth 権限スコープ」 を参照してください。

i. [**OAuth** スコープを追加] を選択します。

ii. プロンプトが表示されたら、[OAuth スコープ] リストから [アドミン] を選択します。

この OAuth スコープにより、アプリケーションでワークスペースを管理できるようになります。

注: OAuth スコープの [説明] フィールドは、自動的に入力されます。

12. [OAuth と権限 (OAuth & Permissions)] ページの [OAuth トークンとリダイレクト URL (OAuth Tokens & Redirect URLs)] セクションで、[ワークスペースにアプリをインストール **(Install App to Workspace**)] を選択します。
13. [許可] を選択します。
Slack 指定されたワークスペースのアプリケーションを作成します。
14. アプリケーションを作成するワークスペースごとに、手順 4 ～ 13 を繰り返します。

Slack Enterprise 接続の作成

Slack Enterprise Grid アプリケーションと ServiceNow インスタンス間の接続を作成します。この接続により、インスタンスはアプリケーションからユーザーデータを取得できます。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Slack Enterprise 接続の [詳細の表示] を選択します。
4. 使用可能な接続の一覧から、 Slack Enterprise を見つけて、 [構成] を選択します。
5. [接続の設定] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力または確認します。

[接続の設定] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	Slack Enterprise 接続の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
名前	Slack Enterprise 認証情報の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
OAuth クライアント ID	Slack Enterprise Grid アプリケーションに割り当てられているクライアント ID です。Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成 でコピーしたのと同じクライアント ID を入力します。
OAuth クライアントシークレット	Slack Enterprise Grid アプリケーションに割り当てられているクライアントシークレットです。Slack Enterprise Grid アプリケーションの作成でコピーしたのと同じクライアントシークレットを入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
OAuth リダイレクト URL	Slack Enterprise Grid アプリケーションのリダイレクト URL です。このフィールドは、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを設定して取得] を選択します。

   注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

7. [アプリを認証] ダイアログボックスで、右上のリストに Enterprise Grid ワークスペースがあるかどうかを確認します。
8. Enterprise Grid ワークスペースが使用可能な場合は、Enterprise Grid ワークスペースを選択します。
9. Enterprise Grid ワークスペースが利用できない場合は、

   a. [別のワークスペースを追加] を選択します。

   b. Enterprise Grid ワークスペースの URL を入力します。

   c. [続行] を選択します。
   [アプリを認証] ダイアログボックスにリダイレクトされます。

   d. [許可] を選択します。
   OAuth アクセストークンは、Enterprise 接続を許可するために使用できるようになります。

Slack ワークスペース接続を作成する

Slack ワークスペースと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。この接続により、インスタンスはワークスペースからユーザーデータを取得できます。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
Slackワークスペースごとに個別の接続を作成します。

手順
1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。
3. Slack Enterprise 接続の [接続の追加] を選択します。
4. [接続を作成] ダイアログボックスで、次のフィールドに入力または検証します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	値
接続名	Slack ワークスペース接続の名前。例: `Slack-Workspace-1`。
名前	Slack ワークスペース認証情報の名前。例: `Slack-Workspace-1`。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
OAuth クライアント ID	Slackワークスペースアプリケーションにアサインされているクライアント ID です。Slack ワークスペースアプリケーションの作成 でコピーしたのと同じクライアント ID を入力します。
OAuth クライアントシークレット	Slackワークスペースアプリケーションにアサインしたクライアントシークレット。Slack ワークスペースアプリケーションの作成でコピーしたのと同じクライアントシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	Slack ワークスペースアプリケーションのリダイレクト URL。このフィールドは、自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

   注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

6. [アプリの承認] ダイアログボックスで、[許可] を選択します。
   OAuth アクセストークンは、 Slack ワークスペース接続を許可するために使用できるようになります。
7. 接続するワークスペースごとに手順 3 から 6 を繰り返します。
8. ServiceNow インスタンスに戻り、Slack ワークスペース接続をインスタンスに関連付けます。

   a. 移動先 **Slack** > **Slack** ワークスペーストークン.

   b. [新規] を選択します。

   c. [Slack ワークスペーストークン] フォームで、次のフィールドに入力します。

   Slack ワークスペーストークンフォーム

フィールド	値
接続エイリアス	Slack ワークスペース接続の名前。手順 4 で入力したのと同じ接続名を入力します。
ワークスペース名	Slackアプリケーションが属するワークスペースの名前。
Slack アプリ	Slack ワークスペースアプリケーションの名前。[Slack ワークスペースアプリケーションの作成] に入力したのと同じアプリケーション名を入力します。

   d. **[Submit** (送信)] を選択します。

   e. インスタンスに関連付けるワークスペース接続ごとに、手順 a ～ d を繰り返します。

Slack 統合プロファイルの作成

Slack統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Slackアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Slack統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSlack統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Slack Enterprise Integration Profile (Slack** エンタープライズ統合プロファイル)] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Slack Enterprise**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、 *Slack* 統合です。
接続と認証情報	Slack の接続と認証情報エイリアス。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に *Slack* [エンタープライズサブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが *Slack* [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算] タブで、[サブフロー] フィールドが *Slack* [ユーザーアクティビティサブフローを更新] に設定されていることを確認します。

[ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが [*Slack* `Reclaim Subscription Subflow`] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Slack [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 Slack (Update User Activity)]、および [サブスクリプション Slack 再利用] サブフローを使用して、 Slack アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。
   [公開の確認] ダイアログボックスが開きます。
8. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。

> **注:** メモリを最適化し、 Slack フローのパフォーマンスの問題を回避するには、次の場所に移動してフローエンジンのレポートレベルをオフにします。 システムプロパティ > すべてのプロパティ *com.snc.process_flow.reporting.level*システムプロパティを選択します[システム プロパティ] ページで、[値] を [オフ] に設定し、[更新] を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SmartRecruiters との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを SmartRecruiters アプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、古いユーザーを非アクティブ化できます。再利用フローでは、ユーザーのアクセスのみが非アクティブ化されます。SmartRecruitersはユーザー数に基づいて価格が設定されていないため、再利用フローはサブスクリプションコストに影響しません。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

プロセス	SmartRecruiters アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

SmartRecruiters API キーの生成

SmartRecruitersAPI 要求を認証するための API キーを生成します。

始める前に

SmartRecruiters 必要なロール：admin

手順

1. 管理者認証情報を使用して SmartRecruiters アカウントにログインし、API キーを生成します。
2. SmartRecruiters ポータルのページ ヘッダーで、プロファイル アイコンを選択し、設定/管理 を選択します。
3. 会社の設定で、管理セクションを見つけ、[アプリと統合] を選択します。
4. [認証情報] タブを選択し、[新しい認証情報] を選択します。
5. アプリケーションに対して生成する認証情報のタイプを選択するように求められたら、**[API** キー] を選択します。
6. [**Next** (次へ)] をクリックします。
7. [認証情報名] フィールドに API キーの名前を入力します。
8. [説明] フィールドに API キーの説明を入力します。
9. [生成] を選択します。
   SmartRecruitersで API キーが自動的に生成され、表示されます。
10. API キーをコピーして、後で使用できるように安全な場所に保存します。

SmartRecruiters接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、SmartRecruiters アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に

ServiceNow 必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
2. フローデザイナーで、[接続] タブを選択します。
3. SmartRecruiters 接続を見つけて、[接続を追加] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	SmartRecruiters接続の名前です。 このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL です。 このフィールドは、自動的に `https://api.smartrecruiters.com` に設定されます。
認証情報	
API キー	SmartRecruiters アプリケーションの API キー。 SmartRecruiters API キーの生成 で生成した API キーを入力します。

5. [接続を作成] を選択します。

SmartRecruiters 統合プロファイルの作成

SmartRecruiters統合プロファイルを作成して、ソフトウェアのサブスクリプションと使用状況を追跡します。SmartRecruitersするためのアクセス権が不要になったユーザーを特定し、そのアクセス権を非アクティブ化します。

始める前に

ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) は、ServiceNow Store からインストールする必要があります。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSmartRecruiters統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[SmartRecruiters** 統合プロファイル **(SmartRecruiters Integration Profile)]** を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[SmartRecruiters**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:SmartRecruiters 統合。
接続と資格情報	SmartRecruiters スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_smartrec_spoke に設定されます 。SmartRecruiters。
ステータス	統合プロファイルのステータス。統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは、 自動的に **SmartRecruiters** サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが [SmartRecruiters サブスクリプションのダウンロード] に設定されていることを確認します。
4. [**Calculate Activity Subflow** (アクティビティサブフローを計算)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] フィールドが [SmartRecruiters Update User Activity Subflow (SmartRecruiters ユーザーアクティビティサブフローを更新)] に設定されていることを確認します。
5. オプション: [ユーザー アクティビティの分析元] フィールドで、ユーザー アクティビティの分析を開始する日時を選択します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

6. [**Reclaim Subscription Subflow** (サブスクリプションの再利用サブフロー)] タブで、[**Subflow** (サブフロー)] フィールドが [SmartRecruiters Reclaim Subscription] に設定されていることを確認します。
7. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、SmartRecruiters [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 SmartRecruiters (Update User Activity)]、および [サブスクリプション SmartRecruiters 再利用] サブフローを使用して、 SmartRecruiters アプリケーションからユーザーデータを取得します。
8. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Smartsheet との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSmartsheetアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Smartsheet アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

Smartsheet API アクセストークンを作成する

Smartsheet API 要求を認証するための API アクセストークンを作成します。

始める前に

Smartsheet 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから Smartsheet を開きます。
2. Smartsheet認証情報を使用してログインします。
3. Smartsheetページのヘッダーで、アカウントアイコン ( ) を選択し、 アプリと統合 を選択します。
4. [個人設定] ダイアログボックスで、[**API** アクセス] を選択します。
5. [API アクセストークンの管理] で、[新しいアクセストークンの生成] を選択します。
6. プロンプトが表示されたら、 [**API** アクセス トークン名] フィールドに API アクセス トークンの名前を入力し、 [**OK]** を選択します。
   Smartsheet は API アクセストークンを自動的に生成して表示します。セキュリティ上の理由から、この API アクセストークンは 1 回のみ表示されます。
7. API アクセストークンをコピーし、後で使用できるように安全な場所に保存します。
8. **[OK]** を選択します。

Smartsheet 統合プロファイルの作成

Smartsheet統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Smartsheetアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Smartsheet統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSmartsheet統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Smartsheet** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウン リストから **[Smartsheet**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前 例: `Smartsheet` 統合。
接続と資格情報	Smartsheet スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_smrtsheet_spoke に設定されます 。Smartsheet。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[Smartsheet** サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティ サブフローの計算] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Smartsheet** ユーザーアクティビティの更新サブフロー] に設定されていることを確認します。

重要: 詳細なイベント追跡を有効にするには、 Smartsheet からイベントレポートアドオンを調達します。

[ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までの

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [**Reclaim Subscription Subflow**] タブで、[**Subflow**] フィールドが **[Smartsheet Reclaim Subscription Subflow**] に設定されていることを確認します。
6. [保存] を選択します。
   ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Smartsheet [サブスクリプションのダウンロード]、[ユーザーアクティビティの更新 Smartsheet (Update User Activity)]、および [サブスクリプション Smartsheet 再利用] サブフローを使用して、 Smartsheet アプリケーションからユーザーデータを取得します。
7. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
8. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
9. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
API キー	Smartsheetアプリケーションの API キー。 `api-access-token` 形式で API キーを入力します。<*api-access-token*> は <c2/> で作成した API アクセストークンです。Smartsheet

10. [作成] を選択します。
    統合プロファイルに自動的に戻ります。
11. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

SurveyMonkey との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをSurveyMonkeyアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

API サポートは SurveyMonkey Enterprise および Enterprise Platinum プランでのみ利用できるため、SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合はこれらのプランをサポートします。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	SurveyMonkey アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	アドミン	• チームを表示 • ユーザーを表示
ユーザーアクティビティのプル	アドミン	チームを表示

プライベート SurveyMonkey アプリケーションの作成

組織内のサーベイを作成、追跡、および分析するためのプライベート SurveyMonkey アプリケーションを作成します。

始める前に

SurveyMonkey 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

このタスクについて

注:

レート制限の問題を回避するには、ServiceNowインスタンスごとにプライベートSurveyMonkeyアプリケーションを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Webブラウザーから、 SurveyMonkey API開発者ポータル を開きます。
2. アドミン認証情報を使用してサインインします。
3. API 開発者ポータルのページ ヘッダーで、 [自分のアプリ] を選択します。
4. [マイ アプリ] ページで、 [新しいアプリの追加] を選択します。
5. [アプリの作成(APP CREATION)] ダイアログボックスの [アプリのニックネーム**(App Nickname**)] フィールドにアプリケーションの名前を入力します。
6. [Select an App Type] セクションで [**Private App**] を選択します。
7. [アプリを作成] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、新しく作成されたアプリケーションの概要が開きます。
8. アプリケーションの概要の [詳細] セクションで、[クライアント **ID**] フィールドと [シークレット] フィールドの値をコピーします。
   後で使用できるように安全な場所に保存してください。
9. [設定]タブを選択して、アプリケーションの設定に移動します。
10. アプリケーション設定の [設定] セクションで、認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL を [**OAuth** リダイレクト **URL**] フィールドに入力します。
    `https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。
11. [変更を送信] を選択します。
12. アプリケーション設定の [スコープ] セクションで、[グループの表示] スコープと [ユーザーの表示] スコープを選択して、アプリケーションがグループとユーザーの情報にアクセスできるようにします。
13. [スコープの更新] を選択します。
14. アプリケーション設定の上部で、 [デプロイ] を選択します。

SurveyMonkey 統合プロファイルの作成

SurveyMonkey統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SurveyMonkeyアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

SurveyMonkey統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でSurveyMonkey統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[SurveyMonkey** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[SurveyMonkey**] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `SurveyMonkey` 統合。
接続と認証情報	SurveyMonkey スポークの接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に **sn_sv_monkey_spoke.surveyMonkey** に設定されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **SurveyMonkey** サブスクリプションに設定されます。

3. [サブスクリプションのサブフローのダウンロード] タブで、[サブフロー] フィールドが **[SurveyMonkey** サブスクリプションのダウンロードサブフロー] に設定されていることを確認します。
4. [アクティビティサブフローを計算]タブで、[サブフロー]フィールドが **[SurveyMonkey** ユーザーアクティビティサブフローの更新]に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [保存] を選択します。
ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、[サブスクリプションのダウンロード SurveyMonkey] サブフローと [ユーザーアクティビティの更新 SurveyMonkey] サブフローを使用して、 SurveyMonkey アプリケーションからユーザーデータを取得します。
6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ)を選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
8. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。
OAuth クライアント ID	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	SurveyMonkeyアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、[プライベート SurveyMonkey アプリケーションの作成] で指定した OAuth リダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

9. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

10. [アプリの承認] ダイアログ ボックスで、SurveyMonkey アプリケーションの作成に使用したのと同じ SurveyMonkey 資格情報を使用してサインインします。
11. [許可] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、統合プロファイルフォームに自動的に戻ります。
12. **[Publish** (公開)] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Tableau Cloud との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをTableau Cloudアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、古いライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Tableau Cloud アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	サイト管理者	なし
ユーザーアクティビティのプル	サイト管理者	なし
サブスクリプションの再利用	サイト管理者	なし

Tableau Cloudアプリケーションの登録

Tableau Cloud 管理ポータルから Tableau Cloud アプリケーションを登録します。

始める前に

- Tableau スポークをアクティブ化します。詳細については、「 Tableau スポーク 」を参照してください。
- Tableau Cloud 必要なロール:サイトアドミニストレーター

手順

次のいずれかの認証タイプを使用して、Tableau CloudでServiceNowインスタンス要求を検証します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 個人用アクセストークン (PAT)
- JSON Web トークン (JWT)

a. PAT 認証タイプを使用して、Tableau CloudでServiceNowインスタンス要求を検証します。

i. アドミン認証情報を使用して、Tableau Cloud アカウントにログインします。

ii. [プロファイル] アイコンを選択します。

iii. [マイアカウント設定 **(My Account Settings)]** を選択します。

iv. プロファイルページの [個人アクセストークン] セクションまで下にスクロール 。

v. [テキスト] フィールドに、トークン名を入力します。

たとえば、「`Test 1`」などを入力します。

vi. [トークンを作成 **(Create token)]** を選択します。

個人用アクセストークンは、トークン名とシークレットを使用して生成されます。

vii. 個人用アクセストークンをコピーするには、**[Copy Secret** (シークレットをコピー)] を選択します。

> **重要:**
>
> 個人用アクセストークンは、安全な場所でシークレットな状態を維持してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

b. JWT 認証タイプを使用して、Tableau CloudでServiceNowインスタンス要求を検証します。

i. アドミン認証情報を使用して、Tableau Cloud アカウントにログインします。

ii. [プロファイル] アイコンを選択します。

iii. 左ペインで、[設定] を選択します。

iv. [接続済みアプリ **(Connected Apps)]** タブを選択します。

v. [接続済みアプリ (Connected Apps)] ページで、[新規接続済みアプリ **(New Connected Apps)]** ドロップダウンリストから [直接信頼 **(Direct Trust)]** オプションを選択します。

vi. [接続済みアプリを作成 **(Create Connected App)]** ダイアログボックスで、接続済みアプリ名、アクセスレベル、およびドメイン許可リストの詳細を入力します。

vii. [作成] を選択します。

作成した接続済みアプリが [接続済みアプリ (Connected Apps)] ページに表示されます。デフォルトでは、接続済みアプリは非アクティブです。

viii. 接続済みアプリを有効にするには、接続 アプリ名の横にある省略記号アイコン (••• を選択し、[有効] を選択します。

接続済みアプリのステータスが [有効] と表示されます。

ix. 接続済みアプリ名を選択します。

シークレット ID とシークレット値は、安全な場所で保管してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

x. クライアント ID をコピーするには、[クライアント **ID** をコピー **(Copy Client ID)]** を選択します。

クライアント ID は安全な場所で保管してください。これは、Tableau の接続レコードを作成するときに必要になります。

Tableau Cloud 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Tableau Cloud サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Tableau Cloud統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI で統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c. [Tableau Cloud**] を選択します。
ソフトウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウン リストから **[Tableau Cloud**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前たとえば、`Tableau` 統合などです。
接続と資格情報	Tableau Cloud の接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_tableau_spoke に設定されます。TableauCloud。
ステータス	統合プロファイルのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に [Tableau Cloud サブスクリプション] に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	[サブフロー] フィールドは自動的に **[Tableau Cloud** ダウンロード サブスクリプション] に設定されます。
サブスクリプションサブフローの再利用	[サブフロー] フィールドは自動的に **[Tableau Cloud Reclaim Subscription**] に設定されます。

3. [保存] を選択します。
ドラフト統合プロファイルが作成されます。統合プロファイルは、 Tableau Cloud サブスクリプションのダウンロードサブフローを使用して、 Tableau Cloud アプリケーションからユーザーデータを取得します。
4. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビュー) を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。
6. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	説明
接続情報を入力してください	
接続名	接続の名前。 このフィールドは自動的に [*Tableau Cloud*接続] に設定されます。
接続 URL	Tableau Cloud がインストールされたサーバーへの接続に使用される URL。
コンテンツの URL	サインインするためのサイトの永続的な名前。コンテンツの URL は、ブラウザのアドレスバーの Tableau コンテンツの URL パスで、Tableau サーバー URL の後に表示されます。 mySite は、この例 `http://<server or cloud URL>/#/site/mySite/explore` のコンテンツ URL です。
認証情報を入力してください	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
個人用アクセストークン (PAT) または JSON Web トークン (JWT) 認証タイプを選択します。選択した認証タイプに応じてフィールドが変わります。	
PAT 認証タイプのフィールド	
トークン名	PAT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときに指定したトークン名。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
トークンシークレット	PAT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたトークンシークレット。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
有効期限の間隔 (秒)	生成された個人用アクセストークン (PAT) の有効期間。 デフォルト値：14400 秒 **重要:** このフィールドの値は変更しないでください。
JWT 認証タイプのフィールド	
シークレット ID	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたシークレット ID。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
シークレット値	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたシークレット値。 詳細については、「Tableau Cloudアプリケーションの登録」を参照してください。
ユーザー名	ユーザー名、つまり認証された Tableau Cloud ユーザーのメールアドレス。
クライアント ID	JWT 認証タイプを使用して Tableau Cloud アプリケーションを登録するときにコピーしたクライアント ID。
有効期限の間隔 (秒)	生成された JSON Web トークン (JWT) の有効期間。 デフォルト値：3600 秒

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	重要: このフィールドの値は変更しないでください。

8. [作成] を選択します。
9. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Trello との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Trello サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

Trello サービスの詳細については、「Trello 開発者ガイド 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Trello アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	製品アドミン	なし
ユーザーアクティビティのプル	製品アドミン	なし
サブスクリプションの再利用	製品アドミン	なし

TrelloAPI キーとトークンを生成

TrelloAPI キーとトークンを生成して、Trelloポータルにアクセスします。

始める前に

Trello 必要なロール:「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。

管理ユーザーアカウントと Atlassian アドミンアクセス権があることを検証します。

手順

1. Trello に移動します。
2. エンタープライズアドミニストレーターとしてログインします。
3. 開発者 API キー に移動します。
4. 開発者 API キーのページにある個人キーから API キーをコピーします。
5. 次のリンクで、{YourAPIKey} を前の手順でコピーした API キーに置き換え、リンクを開きます。

   ```
   https://trello.com/1/authorize?
   expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key={Yo
   ```

   たとえば、API キーが 123xyz の場合は、次のリンクを開きます：`https://trello.com/1/authorize?expiration=never&scope=read,write,account&response_type=token&name=ServerToken&key=123`

   MyPersonalToken ページが表示され、アカウントへのアクセス権を与えるかどうかを尋ねられます。
6. [許可] を選択します。
   API トークンが生成されます。この API トークンをコピーして安全に保管してください。

Trello 接続の作成

ServiceNow インスタンスを設定し、Trello API キーと API トークンを追加します。

始める前に

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNow インスタンスにログインします。
2. 移動先 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
3. [接続] タブを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. Trello 接続エイリアスを見つけて [詳細を表示 **(View Details)]** を選択します。
5. Trello スポークを構成します。
   - スポークを初めて構成する場合は、[構成] をクリックします。
   - スポークを初めて構成するのでない場合は、[編集] をクリックします。
6. フォームのフィールドに入力します。

接続フォームを編集

フィールド	説明
接続名	接続レコードを識別する名前です。
接続 URL	URL を「`https://api.trello.com/`」と入力します。
API キー	Trello ポータルからコピーした API キー。
API トークン	Trelloポータルからコピーした API トークンです。

7. [接続を設定] を選択します。

Trello 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Trello サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Trello統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator および sn_trello_spoke.trello_admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でTrello統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **[Trello Enterprise** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
	c. ドロップダウン リストから **[Trello Enterprise**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. [表示名] フィールドに、任意の表示名を入力します。
フォームでは、次のフィールドが自動的に入力されます。

Trello 統合プロファイルフォーム

フィールド	値
接続および認証情報エイリアス	このフィールドは自動的に `[sn_trello_spoke]` に設定されます。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	このフィールドは自動的に `Trello Enterprise` サブスクリプションに設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	このフィールドは自動的に `Trello Download Subscriptions` に設定されます。 個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。 **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。
サブスクリプションサブフローの再利用	このフィールドは自動的に `[Trello Reclaim Subscription]` に設定されます。

3. [保存] を選択します。

4. Trello フォームを保存したら、公開 を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Workday との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをWorkdayアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

この統合により、次の Workday アプリケーションのソフトウェアサブスクリプションを追跡できます。

- Workday 人材管理
- Workday ファイナンシャルマネジメント

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Workday アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	ワーカーデータを持つユーザー:パブリックワーカーレポートドメインセキュリティポリシー	なし

での権限の設定 **Workday**

Workday 統合を正常にセットアップするには、Workday でこの手順を実行します。

始める前に
必要なロール:統合システムユーザーを作成し、必要なセキュリティポリシーをアサインできる、セキュリティアドミン、統合アドミン、統合監査人などのロールを持つユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. データ連携システムユーザーを登録します。

   注: アカウント情報の詳細を入力するときは、[**UI** セッションを許可しない] チェックボックスをオンにする必要があります。

2. セキュリティグループを作成し、統合システムユーザーに割り当てます。

   a. **[Action]** で、 セキュリティグループ > セキュリティグループのドメイン権限を維持 をクリックし、次の権限を付与します。

   ドメインセキュリティ方針の権限

運用	ドメインセキュリティ方針	機能エリア
取得のみ	ワーカーデータ：パブリックワーカーレポート	人員配置

   注: セキュリティグループに対してドメインセキュリティポリシーがアクティブ化されていることを確認します。

タスクの結果
この統合システムユーザーの新しい認証情報は、 ServiceNow インスタンスで接続を構成するために使用されます。

Workday 統合プロファイルの作成

Workday統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Workdayアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に
必要なロール:admin、sam_admin、sam_integrator

最新の Workday HR スポークをインストールします。最新バージョンの詳細については、「 Workday HR スポーク 」の「スポークバージョン」セクションを参照してください。

このタスクについて
ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkday統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Workday** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インターフェイス	アクション
	c. ドロップダウンリストから **[Workday**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
統合プロファイル	
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Workday 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。このフィールドは自動的に **[Workday** サブスクリプション] に設定されます。
接続のセットアップ	
接続の詳細	◦ 接続の詳細が存在する場合、このフィールドはすでに入力されています。 ◦ 接続の詳細が存在しない場合は、作成する必要があります。
SOAP ユーザー名	統合システムユーザーのユーザー名 での権限の構成 Workday.
SOAP パスワード	中に作成された統合システムユーザーのパスワード での権限の構成 Workday.
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Workday** サブスクリプションをダウンロード **(Workday Download Subscriptions)]** に設定されます。

3. 接続の詳細が存在しない場合は、接続の詳細を作成します。

インターフェイス	アクション
コア UI	[接続の詳細] フィールドで、検索アイコン (
Software Asset Workspace	[接続の詳細] リンクを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

接続の詳細

フィールド	説明
ベース URL	Workday`https://<workday_host_url>/ccx/service/<workday_tenant_name>` の形式のテナント名を含む SOAP API URL。
バージョン	SOAP API バージョン (`v33.2` など)。
Web サービスタイプ	**SOAP** に設定する必要があります。

c. [送信] を選択します。
レコードが作成され、[接続の詳細] フィールドに追加されます。

d. オプション: 新しい統合プロファイルを選択し、[接続の詳細] フィールドでルックアップアイコン ルック🔍を選択して、接続の詳細を確認します。

4. これらの認証情報が自動的に入力されていない場合は、SOAP ユーザー名とパスワードを作成します。

注:

SOAP ユーザー名とパスワードを作成または更新できるのは、admin ロールのみです。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > **System Web Services** > **SOAP** セキュリティポリシー. b. 上部のメニューバーで [すべて]を選択します。 c. **[WorkdayHR]** を選択します。
Software Asset Workspace	**SOAP** ユーザー名プロファイルのリンクを選択します。

a. [SOAP セキュリティポリシー] フォームで、[**WS-Security** ユーザー名プロファイル] フィールドの🔍を選択します。

b. [新規] を選択します。

c. [WS-Security ユーザー名プロファイル (送信)] フォームで、統合プロファイルの名前、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

d. [送信] を選択します。

5. [保存] を選択します。

6. **FSE** ワーカー計算タブで、[アクティブ] の値を **true** に設定し、FSE の割合を入力して、契約の対象となるワーカー カテゴリを有効にします。

7. オプション: ワーカー カテゴリが契約にリストされているが、FSE ワーカー計算タブで使用できない場合は、新しいワーカー カテゴリを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. **FSE** ワーカー計算 タブで、新規 を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

Workday FSE ワーカー計算

Field (フィールド)	説明
ワーカーカテゴリ	契約にリストされているワーカーカテゴリ。
FSE の割合	追加したワーカーカテゴリの FSE パーセンテージ。フルサービス相当 (FSE) は、サブスクリプションの計算方法です。
統合プロファイル	作成した Workday 統合プロファイル。
アクティブ	ワーカーカテゴリをアクティブにするオプション。

c. [送信] を選択します。

8. 新しく作成されたワーカーカテゴリのマッピングを定義します。

a. 作業者カテゴリ タブを選択し、新規 を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

Workday ワーカーカテゴリ

フィールド	説明
ワーカータイプ	ワーカーのタイプ (従業員または派遣社員)。
従業員/派遣就業者タイプ	従業員または派遣就業者のタイプ。
時刻タイプ	ワーカーがフルタイムかパートタイムかを示します。
ワーカーカテゴリ	作成したワーカーカテゴリ。
統合プロファイル	作成した Workday 統合プロファイル。
アクティブ	マッピングをアクティブにするオプション。

c. [送信] を選択します。

9. 契約で定義されているモジュールのリストを有効にします。

a. [モジュール] タブを選択します。

b. モジュールレコードを開きます。

c. [アクティブ] フィールドを **[True]** に設定します。

d. [保存] を選択します。

10. **[Publish** (公開)] を選択します。

タスクの結果

Workday統合プロファイルが公開されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Workplace from Facebook との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションを Workplace from Facebook アプリケーションと統合することで、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Workplace from Facebook アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	システム管理者	• グループメンバーシップの読み取り • 仕事用プロファイルを管理する
ユーザーアクティビティのプル	システム管理者	• グループの読み取り • グループメンバーシップの読み取り • グループコンテンツの読み取り • すべてのメッセージを読む • ナレッジライブラリーコンテンツの読み取り
サブスクリプションの再利用	システム管理者	ユーザーアカウントのプロビジョニング

Workplace from Facebook 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Workplace from Facebook アプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Workplace from Facebook統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:admin または sam_integrator

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でWorkplace from Facebook統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** **Facebook** 統合プロファイルから **[Workplace (Workplace from Facebook Integration Profile**)] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Workpace from Facebook**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前 たとえば、Workplace from Facebookデータ連携です。
接続と資格情報	Workplace from Facebook の接続および資格情報エイリアス。 このフィールドは自動的に sn_fb_wp_spoke に設定されます 。FB_Workplace_Alias。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に [Workplace from Facebook サブスクリプション] に設定されます。

3. [サブスクリプションのダウンロードサブフロー **(Download Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook** のサブスクリプションのダウンロードサ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ブフロー **(Workplace from Facebook Download Subscriptions Subflow)]** に設定されていることを確認します。

4. [アクティビティサブフローを計算 **(Calculate Activity Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook** ユーザーアクティビティサブフローの更新 **(Workplace from Facebook Update User Activity Subflow**)] に設定されていることを確認します。

   [ユーザーアクティビティの分析元 (Analyze user activity from)] フィールドで、ユーザーアクティビティを分析する日時を選択することもできます。デフォルトでは、現在の日付の 60 日前までのユーザーアクティビティを分析し、このプロファイルの作成以降に個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。

   > **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイル作成日に関係なく、ユーザーアクティビティの分析を開始した時点からのイベントをプルします。

   この値は、ソフトウェア再利用ルールの [前回のアクティビティしきい値] フィールドで変更できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

5. [サブスクリプションサブフローの再利用 **(Reclaim Subscription Subflow**)] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Workplace from Facebook Reclaim Subscription**] に設定されていることを確認します。

6. [接続および資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューを選択し、レコードプレビューで [レコードを開く] を選択して、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。

7. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[接続] リストの [資格情報] 列の下にある **[FB_Workplace_Credentials**] を選択します。

8. **Workplace from Facebook** 認証情報フォームで、[**Workplace** にインストール] を選択します。

   Workplaceの登録/ログイン ページにリダイレクトされます。

9. 認証情報を使用して Workplace from Facebook アカウントにログインします。

   [**ServiceNow** スポークを **Workplace** に追加 **(Add ServiceNow Spoke to Workplace**)] ポップアップウィンドウが表示されます。

10. [**Workplace** に追加] を選択します。

11. [完了] を選択します。

    ServiceNowインスタンスにリダイレクトされ、関連フィールドが更新されます。

12. 統合プロファイルに戻り、 [公開] を選択します。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Zendesk との統合

ソフトウェア資産管理アプリケーションをZendeskアプリケーションと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Zendesk アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	ライトエージェント	なし
ユーザーアクティビティのプル	ライトエージェント	なし
サブスクリプションの再利用	アドミン	なし

ZendeskOAuth クライアントを作成

ZendeskAPI 要求を認証するための OAuth クライアントを作成します。

始める前に

Zendesk 必要なロール：admin

手順

1. Web ブラウザーから、Zendesk を開きます。
2. アドミン認証情報を使用してログインします。
3. Zendesk エージェントワークスペースの左側のナビゲーションメニューで、管理アイコン (⚙) を選択します。
4. [管理] メニューから、 チャネル > **API**.
   [Zendesk API] ページが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [**OAuth** クライアント] タブを選択し、[**OAuth** クライアントの追加] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

[新しい **OAuth** クライアントの作成] フォーム

フィールド	説明
クライアント名	OAuth クライアントの名前です。
説明	OAuth クライアントの簡単な説明。
会社	OAuth クライアントが Zendesk API を介してデータへのアクセスを許可する会社の名前。会社名は、 Zendesk API 要求の認証時に表示されます。 このフィールドは、 Zendesk アカウントが関連付けられている会社に基づいて自動的に入力されます。ただし、会社名は必要に応じて変更できます。
ロゴ	Zendesk API 要求の認証時に表示されるロゴ。 緑色の四角を選択して、表示するロゴを見つけて選択します。
一意の識別子	OAuth クライアントの一意の識別子。このフィールドは、[クライアント名] フィールドで指定した OAuth クライアント名に基づいて自動的に入力されます。ただし、必要に応じて一意の識別子を変更できます。 注: 一意の識別子は Zendesk コードでのみ使用されます。
リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 `https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do` と入力します。<*instance*> はServiceNowインスタンスの名前です。

7. [保存] を選択します。
8. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、フォームが再ロードされます。
9. [シークレット] フィールドから値をコピーします。
   後で使用できるように、シークレット値を安全な場所に保存します。

Zendesk接続を作成

インスタンスがアプリケーションからユーザーデータを取得できるように、Zendesk アプリケーションと ServiceNow インスタンスの間に接続を作成します。

始める前に

ServiceNow 必要なロール：admin

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. [接続] タブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. Zendesk接続を見つけて、 [構成] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
接続情報	
接続名	Zendesk接続の名前です。このフィールドは、自動的に入力されます。
接続 URL	接続の URL。 `https://<subdomain>.zendesk.com` と入力します。<*subdomain*> は組織のサブドメインです。
認証情報	
OAuth クライアント ID	Zendesk OAuth クライアントの一意の識別子。 ZendeskOAuth クライアントを作成 で指定したものと同じ一意の識別子を入力します。
OAuth クライアントシークレット	ZendeskOAuth クライアントに割り当てられているシークレット。 ZendeskOAuth クライアントを作成 でコピーしたものと同じシークレットを入力します。
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。 このフィールドは、ZendeskOAuth クライアントを作成で指定したリダイレクト URL に基づいて自動的に入力されます。

5. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。

> 注: この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

6. [Zendesk OAuth 認証] ダイアログボックスで、[認可] を選択します。
OAuth アクセストークンは、Zendesk接続を許可するために使用できるようになります。

Zendesk 統合プロファイルの作成

Zendesk統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、Zendeskアプリケーションのライセンスを最適化します。

始める前に

Zendesk統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でZendesk統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. 「Zendesk 統合プロファイル」を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから「 **Zendesk** 」を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例:Zendesk 統合。
接続と資格情報	Zendesk スポークの接続および資格情報エイリアス。このフィールドは自動的に sn_zendesk_spoke に設定されます 。Zendesk。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に 「Zendeskサブスクリプション」に設定されます。

3. 「 サブスクリプションのダウンロードサブフロー 」タブで、「 サブフロー 」フィールドが「 **Zendesk**サブスクリプションのダウンロード」に設定されていることを確認します。

個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

注: ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

4. [サブスクリプションの再利用サブフロー] タブで、[サブフロー] フィールドが **[Zendesk** サブスクリプションの再利用] に設定されていることを確認します。
5. [保存] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ServiceNowインスタンスはドラフト統合プロファイルを作成します。統合プロファイルは、Zendesk サブスクリプションのダウンロードサブフローと Zendesk サブスクリプションの再利用サブフローを使用して、 Zendesk アプリケーションからユーザーデータを取得します。

6. フォームが再読み込みされたら、 公開 を選択します。

次のタスク
統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Zoom との統合

ソフトウェア資産管理 アプリケーションを Zoom サービスと統合すると、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、未使用のライセンスを再利用できます。

この統合を使用すると、次の Zoom アプリケーションのライセンス情報を取得して分析できます。

- Zoom ミーティング用の通常のアカウント (マスター/マスター/サブアカウントではありません)
- Zoom ウェビナーの通常のアカウント(マスター/マスターサブアカウントではない)

Zoomの詳細については、「Zoom 開発者向けドキュメント 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Zoom アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
サブスクリプションのダウンロード	ユーザー情報の表示または編集 (ユーザーへのライセンスやグループの割り当てなど): 表示	• user:read:list_users:admin • user:read:settings:admin
ユーザーアクティビティのプル	アカウントの詳細な使用状況レポートの表示:表示	• report:read:user:admin • ウェビナー:読み込み:list_webinars:アドミン
サブスクリプションの再利用	ユーザー情報の表示または編集 (ユーザーへのライセンスやグループの割り当てなど): 編集	• user:update:settings:admin • user:update:user:admin • user:delete:user:admin

Zoomアプリケーションの作成

Zoom App Marketplace でアプリケーションを作成します。

始める前に
Zoom 必要なロール: 開発者向け Zoom: 編集

手順

1. [Zoom アプリマーケットプレイス (Zoom App Marketplace)] に移動し、アカウントにサインインします。
2. 選択 開発 > アプリをビルド.
3. [基本情報] ページの [アプリの管理方法を選択します] セクションで、[管理者が管理] オプションを選択します。
4. [保存] を選択します。
5. [アプリの認証情報] セクションで、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。後で使用するために、これらの値をコピーして安全な場所に保存します。

   注: クライアント ID とクライアントシークレットは機密です。それらを共有しないでください。

6. [**OAuth** リダイレクト **URL**] フィールドと **[OAuth** 許可リスト] フィールドに「`https://instance.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。*instance* はServiceNowインスタンスの名前です。
7. 左側のナビゲーションメニューで [スコープ] タブを選択します。
8. 次のスコープを追加して、統合を有効にしてユーザーのリストを取得し、ユーザーのミーティングとウェビナーのアクティビティを追跡し、未使用のサブスクリプションを再利用します。
   - user:read:list_users:admin
   - user:read:settings:admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- report:read:user:admin
- ウェビナー:読み込み:list_webinars:アドミン
- user:update:settings:admin
- user:update:user:admin
- user:delete:user:admin

Zoom 統合プロファイルの作成

統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、 Zoom サービスのライセンスを最適化します。

始める前に

Zoom統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でZoom統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** [**Zoom** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > 直接統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから [ズーム] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Zoom` 統合
クライアント ID	手順 6 でSaaSアドミンアカウントに作成した OAuth アプリケーションのクライアント ID。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
リダイレクト URL	この値は、自動的に入力されます。
クライアントシークレット	ステップ 6 で SaaS admin アカウントで作成したクライアント ID に関連付けられたパスワード。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。この値は自動的に *Zoom* [サブスクリプション] に設定されます。
ユーザーアクティビティの分析元	データの分析を現在の日付から開始するか、過去最大 30 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータの量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. 統合プロファイルで、[**OAuth** トークンの取得] 関連リンクを選択し、手順に従って OAuth トークンを取得します。

> **注:** この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小限のユーザー権限 」の表を参照してください。

タスクの結果

個々のユーザーが実行したイベントは、現在の日付の 1 年前まで表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

> **注:** ソフトウェア資産管理 は、プロファイルの作成日に関係なく、ユーザーサブスクリプションのダウンロードを開始した時点からのイベントをプルします。

次のタスク

統合が接続されると、 ServiceNow インスタンスは、毎日更新されるソフトウェアモデル、再利用ルール、およびユーザーサブスクリプションを自動的に作成します。

ユーザーサブスクリプションを再利用するには、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

- ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。
- ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

SSO プロバイダーとの統合

シングルサインオン (SSO) プロバイダーと統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示します。

すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。接続されているすべてのアプリケーションのユーザーログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。使用状況データを活用して将来のライセンスのニーズを予測し、更新時に未使用のライセンスを削減します。

Azure AD との統合

ServiceNow インスタンスMicrosoft Azure Active Directory (AD) と統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Microsoft Azure **AD** アプリケーションに必要なユーザーロール	認証スコープ
• ユーザーをダウンロード • ダウンロードグループ • グループメンバーシップをダウンロード	アプリケーション開発者	Directory.Read.All
アプリケーションのダウンロード	アプリケーション開発者	Directory.Read.All
• コネクトアプリケーション • 接続されているアプリケーションの更新	• グローバルリーダー • レポートリーダー • セキュリティ • アドミニストレーター– • セキュリティオペレーター • セキュリティリーダー • アプリケーション開発者	• AuditLog.Read.All • Directory.Read.All

Azure AD アプリケーションの作成

Microsoft Azure ポータルでアプリを作成して、Now Platformと統合します。

始める前に
Azure AD 必要なロール: 最小ユーザー権限 の表を参照してください。

手順

1. Azure ポータルから、Azure Active Directory にアクセスします。
2. Azure AD アプリケーションを作成します。
   アプリケーションの登録と構成の詳細については、「 Azure Active Directory アプリケーションの作成 」を参照してください。

   a. [リダイレクト **URI**] フィールドに「`https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。ここで、`<instance-name>` は<c3/>インスタンスの名前です。ServiceNow

   b. アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID を記録して、サードパーティ OAuth プロバイダーとして ServiceNow インスタンスでアプリを登録します。

   c. クライアントシークレットを作成し、値を記録して、サードパーティ OAuth プロバイダーとして ServiceNow インスタンスでアプリを登録します。

   d. Microsoft Graph API にアクセスするための権限を追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

権限	タイプ
AuditLog.Read.All	委任
Directory.AccessAsUser.All	委任
Directory.Read.All	委任
User.Read	委任

詳細については、「Web API にアクセスするための権限の追加」を参照してください。

e. アプリケーションに管理者の同意を付与します。
詳細については 、「API 権限と管理者の同意 UI について」を参照してください。

Azure AD 統合プロファイルの作成

ServiceNow インスタンスに Azure AD 統合プロファイルを作成します。

始める前に

Azure AD 統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 バージョン 7.0.0 および Microsoft Azure AD スポークバージョン 3.1.0 以降、ServiceNow インスタンスは、作成する Azure AD 統合プロファイルごとに個別の Azure AD 接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスは複数の独立した Azure AD 統合プロファイルをサポートできます。

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でMicrosoft Azure AD統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > **SSO** 統合プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. **[Microsoft Azure AD** 統合プロファイル] を選択します。
Software Asset Workspace	a. 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > **SSO** データ連携プロファイル. b. [新規] を選択します。 c. ドロップダウンリストから **[Microsoft Azure AD** 統合プロファイル] を選択します。 d. [続行] を選択します。

2. [表示名] フィールドに、統合プロファイルの名前を入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

残りのフィールドは、フォームを送信すると自動的に入力されます。

> **注:** SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。ディレクトリ統合は、SSO 統合に関連付けられている SSO アプリケーション、ユーザー、およびグループデータをプルします。詳細については、「SSO サブスクリプション情報の表示」を参照してください。
>
> すでに Microsoft Azure AD ディレクトリ統合がある場合、SSO 統合は既存のディレクトリ統合を使用します。それ以外の場合は、 Microsoft Azure AD ディレクトリ統合が自動的に作成されます。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

> **注:** ソフトウェア資産ワークスペース をインストールしている場合は、[接続と資格情報] レコードを開き、[新しい接続と資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

5. フォームのフィールドに入力します。

接続と資格情報フォームを作成

フィールド	値
認証 URL	`https://login.microsoftonline.com/directory-id>/oauth2/v2.0/authorize`、ここで`<directory-id>`は<c2/>ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。Azure
トークン URL	`https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/token`、ここで`<directory-id>`は<c2/>ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。Azure
トークン URL の取り消し (Revoke token URL)	`https://login.microsoftonline.com/<directory-id>/oauth2/v2.0/revoke`、ここで`<directory-id>`は<c2/>ポータルのディレクトリ (テナント) ID です。Azure
OAuth クライアント ID	Azureポータルで作成したアプリケーションのアプリケーション (クライアント) ID。
OAuth クライアントシークレット	Azureポータルで作成したアプリケーションのクライアントシークレット。
OAuth リダイレクト URL	`https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do`、`<instance-name>` は <c2/> インスタンスの名前です。ServiceNowこの値は、自動的に入力されます。

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
この手順を実行するために必要なロールについては、「 最小ユーザー権限 」の表を参照してください。
7. ポップアップウィンドウで、 Azure AD アドミン認証情報を使用してアカウントにサインインします。
8. **[Publish** (公開)] を選択します。
スケジュール済みジョブとディレクトリジョブは、すべてのアプリケーション、ユーザー、およびグループのリストをダウンロードします。詳細については、「SSO サブスクリプション情報の表示」を参照してください。統合プロファイルの [スケジュール済みジョブの結果] および [ディレクトリジョブの結果] 関連リストで、ジョブのステータスを表示します。ソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリケーションに対して自動的に作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
統合プロファイルを公開し、アプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前まで個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

SSO アプリを接続

シングルサインオン (SSO) アプリを接続して、アプリへのアクセス権を持つすべてのユーザーとグループを表示します。ユーザーのログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用します。

始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注: Azure Active Directory (Azure AD) の場合、アプリケーション構成ページの [アサインが必要] トグルボタンによって、ユーザーによるアプリケーションへのアクセスが制御されます。

- このトグルボタンが [はい] に設定されている場合は、このアプリケーションを Azure AD ユーザーおよび関連するアプリケーションおよびサービスに割り当てる必要があります。アプリケーションをアサインすると、 Azure AD ユーザー、関連するアプリケーション、およびサービスがそのアプリケーションにアクセスできるようになります。
- このトグルボタンを [いいえ] に設定すると、すべてのユーザーがアプリケーションにログインできます。関連付けられているアプリケーションやサービスも、このサービスへのアクセストークンを取得できます。

SaaS ライセンス管理 は、特定のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合は、最も堅牢な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「 SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。アプリの直接統合がある場合、SSO 統合で同じアプリを接続すると、 ServiceNow インスタンスに重複するサブスクリプションレコードが作成されます。SSO アプリを接続した後、そのアプリの直接統合を作成する場合は、直接統合を作成する前にアプリを切断します。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 接続するアプリケーションを選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合は、アプリのソフトウェアモデルを追加します。アプリを接続するには、アプリにソフトウェアモデルが必要です。ソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する外部カタログ **ID** を持つアプリに対して自動的に作成されます。他のすべてのアプリについては、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. [前回のアクティビティの分析元 **(Analyze last activity from**)] フィールドの日付を選択します。

   個々のユーザーとアプリケーションのログインデータの分析を、現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。デフォルト値は 30 日です。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータ量が増えるため、結果が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

   [前回のアクティビティの分析元] フィールドに値を送信すると、このフィールドは読み取り専用になります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [接続] を選択します。

> ヒント: SSO アプリケーションリストから複数のアプリを同時に接続することもできます。リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。一覧の下部にある [選択した行のアクション] ドロップダウン メニューを選択し、 [接続] を選択します。一部のアプリにソフトウェアモデルがない場合、[接続] アクションには、すべてのアプリが接続されていないことが示されます。たとえば、[接続 **(1/4)]** は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されていることを示します。ソフトウェアモデルを追加して、残りのアプリを接続します。

タスクの結果

SSO アプリケーションが接続されると、 ServiceNow インスタンスによって、毎日更新されるユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールが自動的に作成されます。

- [アサインが必要] トグルボタンが [はい] に設定されている場合、サブスクリプションは関連付けられた Azure AD ユーザーに対してのみ作成されます。
- [アサインが必要] トグルボタンが [いいえ] に設定されている場合、すべての Azure AD ユーザーに対してサブスクリプションが作成されます。

次のタスク

ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たすように、自動的に生成されたすべての再利用ルールを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

Okta との統合

ServiceNow インスタンスを Okta と統合して、接続されているすべての SSO アプリケーションのソフトウェア使用状況を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 必要なユーザーまたは API 権限のみにアクセス権を付与することで、セキュリティリスクを最小限に抑え、情報を保護します。

最小限のユーザー権限

プロセス	Okta アプリケーションで必要なユーザーロール	認証スコープ
ユーザーをダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	okta.users.read
• ダウンロードグループ • グループメンバーシップをダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	okta.groups.read
アプリケーションのダウンロード	読み取り専用アドミニストレーター	• okta.apps.read • okta.logs.read
コネクトアプリケーション	読み取り専用アドミニストレーター	okta.logs.read
接続されているアプリケーションの更新	読み取り専用アドミニストレーター	• okta.apps.read • okta.logs.read
サブスクリプションの再利用	アプリケーションアドミニストレーター	okta.apps.manage

自動翻訳

Okta アプリケーションの作成

Now Platform と統合できる Okta アプリケーションを作成します。

始める前に

Okta 必要なロール: 「最小ユーザー権限」の表を参照してください。

Okta admin ロールの詳細については「アドミニストレーターロールと権限」を、Okta OAuth スコープの詳細については「スコープとサポートされているエンドポイント」を参照してください。

手順

1. Webブラウザーから、 Okta管理コンソール にログインします。
2. OAuth 2.0 機能を備えた Okta アプリケーションを作成します。

   詳細な手順については、「 Okta用のOAuth 2.0アプリを作成する 」を参照してください。

   Oktaアプリケーションを作成するときは、次の点に注意してください。

   - [ログインリダイレクト **URI**] フィールドと [ログアウトリダイレクト **URI**] フィールドに「`https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do`」と入力します。ここで、*<instance-name>* は<c4/>インスタンスの名前です。ServiceNow
   - [クライアント **ID**] フィールドと [クライアントシークレット] フィールドの値をコピーします。後で使用できるように安全な場所に保存してください。
   - Okta OAuth 2.0 アプリケーションに次のスコープを付与します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- okta.groups.read
- okta.groups.manage
- okta.apps.read
- okta.users.manage
- okta.users.read
- okta.logs.read
- okta.apps.manage

◦ Oktaポータルの権限許可タイプで、[**Client acting on behalf of a** user(ユーザーの代理で動作するクライアント)]権限許可タイプの下にある**[Refresh** Token(トークンのリフレッシュ)]チェックボックスをオンにします。

Okta統合プロファイルの作成

ServiceNow インスタンスに Okta 統合プロファイルを作成します。

始める前に

Okta統合プロファイルを作成するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 プラグイン (com.sn_sam_saas_int) を要求します。

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 バージョン 7.0.0 および Okta スポークバージョン 4.1.2 以降、ServiceNow インスタンスは、作成する Okta 統合プロファイルごとに個別の Okta 接続を作成します。各接続は互いに独立して実行されるため、インスタンスは複数の独立した Okta 統合プロファイルをサポートできます。

ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合、コア UI でOkta統合プロファイルを作成するオプションは無効です。

手順

1. 統合プロファイルに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > **SSO** 統合プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c. [Okta Integration Profile (Okta** 統合プロファイル)] を選択します。
Software Asset Workspace	**a.** 移動先 ライセンス操作 > ユーザー登録 > **SSO** データ連携プロファイル. **b.** [新規] を選択します。 **c.** ドロップダウンリストから **[Okta**] を選択します。 **d.** [続行] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SSO 統合プロファイルフォーム

フィールド	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前例: `Okta` 統合。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを既に公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
ディレクトリデータ統合	組織の Active Directory ユーザー、グループ、およびグループメンバーシップをプルするために使用されるディレクトリ統合プロファイルへの参照。 ◦ Oktaのディレクトリ統合レコードが存在する場合は、既存のレコードを選択できます。 ◦ Oktaのディレクトリ統合レコードが存在しない場合は、このフォームを保存または送信すると新しいレコードが作成されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **Okta** に設定されます。
接続と認証情報	ディレクトリーと SSO の統合で使用される接続および資格情報エイリアスへの参照。 ◦ ディレクトリ統合レコードが存在し、[ディレクトリ統合] フィールドでそれを選択すると、このフィールドはディレクトリ統合レコードの接続および資格情報エイリアスに自動的に設定されます。 ◦ ディレクトリ統合値が存在しない場合、このフィールドは自動的に入力されます。
Okta サブスクリプションを作成	直接統合プロファイルを作成して、この統合プロファイルが公開された後に Okta サブスクリプションを表示するためのオプション。 デフォルト値：False

3. **[Submit** (送信)] を選択します。
4. [接続と資格情報を作成] ダイアログボックスを開きます。

インターフェイス	アクション
コア UI	SSO 統合プロファイルフォームで [新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。
Software Asset Workspace	**a.** [接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコン (プレビューⓘを選択 **b.** レコードプレビューで [レコードを開く] を選択します。 **c.** [接続および資格情報エイリアス] フォームで、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[接続と資格情報を作成] ダイアログボックス

フィールド	説明
名前	接続の名前。例: `Okta 接続`。
接続 URL	接続の URL。「*`https://<yourOktaDomain>`*`.com`と入力します。ここで <*`yourOktaDomain`*>は組織のドメインです。
認証 URL	OAuth 認証エンドポイントの URL。「*`https://<yourOktaDomain>`*`.com/oauth2/v1/authorize`」と入力します。ここで<*`yourOktaDomain`*>は組織のドメインです。
トークン URL	アクセストークンを取得および更新する OAuth エンドポイントの URL。「https://*`<yourOktaDomain>`*`.com/oauth2/v1/token`」と入力します。ここで <*`yourOktaDomain`*>は組織のドメインです。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイントの URL。「https://*`<yourOktaDomain>`*`.com/oauth2/v1/revoke`」と入力します。ここで <*`yourOktaDomain`*>は組織のドメインです。
OAuth クライアント ID	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアント ID
OAuth クライアントシークレット	Oktaアプリケーションに割り当てられているクライアントシークレット
OAuth リダイレクト URL	認証後にユーザーがリダイレクトされる OAuth プロバイダーの URL。このフィールドは自動的に **https://<instance-name>.service-now.com/oauth_redirect.do** に設定されます。ここで <*`instance-name`*> は<c2/>インスタンスの名前です。ServiceNow

6. **[OAuth** トークンを作成して取得] を選択します。
[Okta ポータルログイン] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、 Okta 認証情報を入力し、[サインイン] を選択します。

> **注:** スーパーアドミン、アプリケーションアドミニストレーター、または API アクセス管理アドミニストレーターロールと同じ認証情報を使用してサインインする必要があります。

ダイアログボックスが閉じ、自動的に [SSO 統合プロファイル] フォームに戻ります。

8. **[Publish** (公開)] を選択します。

タスクの結果

スケジュール済みジョブとディレクトリージョブはどちらも、 Okta アプリケーションに関連付けられているすべてのアプリケーション、ユーザー、グループ、およびソフトウェアサブスクリプションのリストをダウンロードします。統合プロファイルの [スケジュール済みジョブの結果] タブと [ディレクトリジョブの結果] タブで、ジョブのステータスを確認します。 ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product定義] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を持つアプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。

次のタスク

[**Okta** サブスクリプションを作成 **(Create Okta subscriptions)]** チェックボックスをオンにし、この統合プロファイルが公開されている場合、 Okta の直接統合プロファイルが作成されます。情報

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メッセージ内の [直接統合プロファイル] リンクを選択すると、直接統合プロファイルに移動できます。

直接統合プロファイルに移動した後、 [ソフトウェアサブスクリプション] タブを選択してOktaサブスクリプションを表示できます。詳細については、「Okta SSO 直接統合プロファイル」を参照してください。

⚠ 警告:

OAuth トークンの有効期限が切れると、 Okta 統合プロファイルに、新しい OAuth トークンを取得する必要があることを示すエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージ内のリンクを選択して、新しい OAuth トークンを取得します。

Okta 統合プロファイルの接続レコードに関連付けられている OAuth 2.0 認証情報レコードは削除しないでください。OAuth 2.0 認証情報レコードを削除すると、現在の OAuth トークンの有効期限が切れた後は、新しい OAuth トークンを取得できなくなります。

統合プロファイルを公開し、アプリケーションをプロファイルに接続すると、現在の日付の 60 日前まで個々のユーザーが実行したイベントを表示できます。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

Okta SSO 直接統合プロファイル

OktaSSO 直接統合プロファイルは、Okta SSO 統合を設定するときにOktaユーザーのサブスクリプションを作成することで、Oktaユーザーライセンスを管理するのに役立ちます。

OKTA SSO 直接統合プロファイル

Field (フィールド)	説明
表示名	データ連携プロファイルの名前
ステータス	統合プロファイルのステータス。 このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 このフィールドは自動的に **[Okta** サブスクリプション] に設定されます。
サブスクリプションサブフローをダウンロード	
サブフロー	このフィールドは自動的に **[Okta Download Subscriptions]** に設定されます。

SSO アプリケーションの接続

SSO アプリケーションを接続して、そのアプリケーションにアクセスできるすべてのユーザーとグループを監視します。また、ユーザーのログインデータを追跡し、未使用のライセンスを再利用することもできます。

始める前に

ServiceNow 必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて

ServiceNow® SaaS ライセンス管理 は、一部のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合は、最も包括的な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

アプリケーションの直接統合をすでに作成している場合、SSO 統合で同じアプリケーションを接続すると、 ServiceNow インスタンスに重複するサブスクリプションレコードが作成されます。直接統合のみを使用してください。SSO 統合でアプリケーションを接続した後でそのアプリケーションの直接統合を作成する場合は、直接統合を作成する前にアプリケーションを切断します。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 接続するアプリケーションを選択します。
3. [ソフトウェアモデル] フィールドが空の場合は、アプリケーションのソフトウェアモデルを追加します。
   アプリケーションを接続する前に、ソフトウェアモデルに関連付ける必要があります。 ServiceNow® ソフトウェア資産管理 は、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの 識別子 と一致する外部カタログ ID を持つアプリケーションのソフトウェアモデルを自動的に作成します。その他のすべてのアプリケーションについては、ソフトウェアモデルを手動で作成できます。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシック版でのソフトウェアモデルの作成」を参照してください。
4. [前回のアクティビティの分析元 **(Analyze last activity from)]** フィールドで、最後のアクティビティを分析する日付を選択します。

   個々のユーザーとアプリケーションのログインデータの分析は、現在の日付から、または最大 60 日前から開始できます。デフォルト値は 30 日です。現在の日付より前の日付を選択すると、分析するデータの量によって、結果が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

   [前回のアクティビティの分析元] フィールドに値を送信すると、このフィールドは読み取り専用になります。

5. [接続] を選択します。

   ヒント: 複数のアプリケーションを同時に接続するには、[SSO アプリケーション] リストで接続する各アプリケーションのチェックボックスをオンにします。選択した行の [アクション] メニューを選択し、 [接続] を選択します。ソフトウェアモデルに関連付けられていないアプリケーションがある場合、[コネクト] メニュー項目の名前が更新され、一部のアプリケーションのみが接続されることを示します。たとえば、[接続 **(1/4)]** メニュー項目は、選択した 4 つのアプリのうち 1 つだけが接続されることを示します。残りのアプリケーションにソフトウェアモデルを追加して、接続を続行します。

次のタスク
SSO アプリケーションが接続されると、 ServiceNow インスタンスによって、毎日更新されるユーザー、グループ、サブスクリプション、および再利用ルールが自動的に作成されます。Okta 開発者コンソールからユーザー、アプリケーション、グループ、またはグループメンバーシップを削除すると、その変更は ServiceNow インスタンスに反映されます。

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューし、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認します。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成して、所有ソフトウェアに対して使用されたソフトウェアを追跡します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでのソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「 ワークスペースでエンタイトルメントを作成する」を参照してください。ソフトウェア資産管理 プレイブックを使用したソフトウェアエンタイトルメントの作成の詳細については、「ガイド付きウォークスルーを使用してエンタイトルメントを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調整は、スケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドでサブスクリプションに対して実行することもできます。調整結果は、ライセンスワークベンチ (クラシックアプリケーション) またはライセンス使用状況ビュー (ソフトウェア資産ワークスペース) ソフトウェア資産管理表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでの調整の実行の詳細については、「ソフトウェア調整の実行」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでの調整の実行の詳細については、「 ワークスペースでソフトウェア調整を実行」を参照してください。

SaaS および SSO サブスクリプションの表示

SaaS および Single Sign-On (SSO) アプリケーションのすべてのサブスクリプションのリストを表示します。

重要: SaaS と SSO のサブスクリプションは、ソフトウェア資産管理 コア UI と ソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。このトピックでは、 ソフトウェア資産管理 コア UI アプリケーションでのサブスクリプションの表示について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでサブスクリプションを表示する方法の詳細については、「SaaS ワークスペースの概要ダッシュボード」を参照してください。

すべての SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプションを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **SaaS** ライセンス > すべてのユーザーサブスクリプション.

[ソフトウェアサブスクリプション] リスト

列	説明
表示名	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションの直接統合プロファイル。サブスクリプションが SSO 統合からのものである場合、このフィールドは空です。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションをソフトウェアサブスクリプションまたは SSO サブスクリプションとして分類します。

注: [サブスクリプションがアサインされました] 列を追加して、ユーザーにアプリへのアクセス権が付与された日付を表示できます。SSO サブスクリプションの場合、ユーザーがグループメンバーシップを介してアプリにアクセスできる場合、このフィールドは空です。

ソフトウェアモデルの [ソフトウェアサブスクリプション] 関連リストで、アプリケーションのすべてのサブスクリプションを表示することもできます。

SSO サブスクリプション情報の表示

SSO 統合に関連付けられているシングルサインオン (SSO) アプリケーション、SSO ユーザー、および SSO グループに関する情報を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: SSO アプリケーション、ユーザー、およびグループに関する情報は、 ソフトウェア資産管理 コア UI と ソフトウェア資産ワークスペースの両方で表示できます。次のセクションでは、ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでこの情報を表示する方法について詳しく説明します。ソフトウェア資産ワークスペースでこの情報を表示する方法の詳細については、「ライセンス操作ビュー」を参照してください。

SSO 統合情報の表示

SSO 統合のアプリケーション、ユーザー、およびグループを表示するには、次の場所に移動します。すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > **SSO** 統合プロファイル をクリックし、プロファイルを選択します。関連リストには、統合に関する情報が表示されます。

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト

リスト	説明
SSO アプリケーション	すべての SSO アプリケーション。
ディレクトリユーザー	すべての SSO ユーザー。
ディレクトリグループ	すべての SSO グループ。
スケジュール済みジョブ	*SAM - SSO <sso-provider> download applications* すべての SSO アプリをダウンロードするスケジュール済みジョブ。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、以降は毎日実行されます。 *SAM - SSO <sso-provider> update connected applications*スケジュール済みジョブは、SSO アプリのユーザー、グループ、およびサブスクリプションをダウンロードします。ジョブは毎日実行され、アプリが接続されるたびに実行されます。
スケジュール済みジョブの結果	スケジュール済みジョブのステータス。
ディレクトのリジョブ	すべてのユーザーのグループメンバーシップをダウンロードする *<sso-provider> - Download Group Membership*ディレクトリジョブ。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、以降は毎日実行されます。 *<sso-provider> - Download Users*ディレクトリジョブは、すべてのユーザーをダウンロードします。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、以降は毎日実行されます。 *<sso-provider> - Download Groups*ディレクトリジョブは、すべてのユーザーのすべてのグループをダウンロードします。このジョブは、SSO 統合プロファイルが公開されたときに実行され、以降は毎日実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[SSO 統合プロファイル] 関連リスト (続く)

リスト	説明
	注: Microsoft Entra ID スポーク 4.3 バージョンにアップグレードすると、既存の Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合に対して*Microsoft Azure AD - Download Group Membership*ディレクトリジョブは実行されません。このディレクトリジョブは、新しい Microsoft Azure AD SSO またはディレクトリ統合用にも作成されません。代わりに、*Microsoft Azure AD - Download Groups*ディレクトリジョブは、Microsoft Azure AD で構成されているすべてのグループとグループメンバーシップをダウンロードします。
ディレクトのリジョブ結果	ディレクトリージョブのステータス。

SSO アプリケーション情報の表示

アプリケーションのユーザー、グループ、および再利用候補を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション をクリックし、アプリケーションを選択します。関連リストには、アプリケーションの情報が表示されます。ソフトウェア資産ワークスペースでの SSO アプリケーション情報の表示については、「ワークスペースでの SSO アプリケーションの表示」を参照してください。

SSO アプリケーション

リスト	説明
SSO アプリケーションユーザー	アプリケーションに直接アクセスできるが、グループのメンバーシップを介さないすべてのユーザー。
SSO アプリケーショングループ	アプリケーションにアクセスできるすべてのグループ。
SSO サブスクリプション	アプリケーションのサブスクリプションの合計数。ユーザーは、アプリへの直接アクセスとグループを介したアクセスの両方を持つことができます。ただし、ユーザーのアクセスは 1 つのサブスクリプションとしてのみカウントされるため、SSO サブスクリプションリストのレコードは 1 つだけです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SSO アプリケーション (続く)

リスト	説明
	注: • SSO アプリケーションロール列を追加して、ユーザーにアプリケーションへのアクセス権がどのように付与されているかを確認します。値がグループの場合、ユーザーはそのグループのメンバーシップを通じてアクセスできます。値がユーザー名の場合、ユーザーはアプリケーションに直接アクセスできます。ユーザーがグループメンバーシップを介してアプリケーションにアクセスできる場合、ユーザーサブスクリプションを ソフトウェア資産管理 で再利用することはできません。サブスクリプションを再利用するには、Azure AD ポータルでグループからユーザーを削除し、再利用候補の状態を [完了してクローズ] に設定します。 • SSO アプリケーショングループを使用して SSO サブスクリプションが作成された場合、[サブスクリプションがアサインされました] の値は空です。SSO アプリケーションユーザーを使用してサブスクリプションが作成されると、[サブスクリプションがアサインされました] の値は、サブスクリプションがユーザーにアサインされた日付を示します。ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 13.1.0 バージョン以降にアップグレードすると、SSO アプリケーショングループを介して作成されたサブスクリプションの既存のサブスクリプション割り当て値が空になります。
再利用候補	アプリケーションの再利用ルールで定義された使用要件を満たしていないサブスクリプション。

SSO プロバイダーとのデータ同期

Azure AD ポータルまたは Okta 開発者コンソールでユーザー、グループ、またはアプリを削除すると、日次スケジュール済みジョブの実行時に ソフトウェア資産管理 内の対応するレコードが削除されます。Azure AD ポータルまたは Okta 開発者コンソールで、グループからユーザーを削除することによって直接的または間接的に、アプリケーションへのユーザーのアクセス権を取り消すと、日次スケジュール済みジョブの実行時に対応するユーザーサブスクリプションレコードが削除されます。

SaaS ライセンス接続

SaaS ライセンス管理 に既存の統合がない SaaS アプリケーションに接続するには、カスタム統合を作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ローコードフレームワークは、 ServiceNow® 統合ハブ と ServiceNow® Flow Designer を使用して SaaS プロバイダーの API エンドポイントに接続します。すべてのユーザーのリストをダウンロードし、有意義な使用状況データを表示し、未使用のサブスクリプションを再利用して SaaS 支出を最適化します。ソフトウェア資産管理ソフトウェアモデルとレポートを使用して、カスタム SaaS 接続をベースシステムの SaaS 接続とともに管理します。

統合ハブ Starter、Standard、Professional、または Enterprise をインストールして、カスタム統合を作成します。準本番インスタンスへの 統合ハブ プラグインのインストールは無料です。統合ハブインストールされている準本番インスタンスでカスタム統合をビルドし、更新セットを使用して本番環境に取り込みます。更新セットの詳細については、「システムアップデートセット」を参照してください。これにより、カスタム統合を本番環境に配置する前に検証でき、 統合ハブ サブスクリプションに対して課金されることはありません。統合ハブの詳細については、「統合ハブの要求」を参照してください。

> **注:** カスタム統合は、ユーザーサブスクリプションライセンスのメトリクスを使用する SaaS アプリケーションに対してのみ作成できます。DocuSignエンベロープなど、その他のライセンスの測定基準はサポートされていません。

一部の SaaS アプリケーションには、カスタム統合の作成に使用できる既存の 統合ハブ スポークがあります。統合している SaaS アプリケーションの既存のスポークがある場合は、カスタムスポークを作成する手順をスキップします。既存のスポークを使用する場合は、そのスポークのデータストリームアクションの一部も使用できる場合があります。独自のアクションを作成する前に、スポークにどのようなアクションが含まれているかを確認してください。統合ハブスポークを持つアプリケーションのリストについては、「統合ハブで利用可能なスポーク」を参照してください。

SaaS License Connections とのカスタム統合を構築するには、さまざまな値を追跡する必要があります。SaaS API の調査やデータストリームアクションの構築中に SaaS ライセンス接続ワークシート を使用して、必要な情報がすべて揃っていることを確認します。

カスタムスポークの作成

SaaS ライセンス管理 でカスタム統合を設定するには、SaaS アプリケーションに接続するためのスポークを作成します。

始める前に

必要なロール：admin

このタスクについて

統合している SaaS アプリケーションのスポークが既に存在する場合は、スポークを作成する代わりに既存のスポークを使用できます。ServiceNow® 統合ハブスポークを持つアプリケーションのリストについては、「統合ハブで利用可能なスポーク」を参照してください。

ServiceNow® スタジオを使用してスポークを作成します。スタジオの詳細については、「ServiceNow Studio」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > システムアプリケーション > スタジオ.
2. [アプリケーションの作成] をクリックします。
3. アプリには、統合する SaaS アプリケーションの名前と説明を含む名前を付けます。
   [スコープ] フィールドの自動入力値はそのままにしておきます。
4. [作成] をクリックします。
5. `admin`、`sam_developer`、`delegated_developer` ロールを追加し、[**Continue**] をクリックします。
6. 「クラシック」フォーマットを選択し、「 続行」をクリックします。
7. [**Done with tables**] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. セッションを閉じてアプリを作成するには、[**X**] をクリックします。

> ヒント: アプリのリストに新しいスポークアプリを表示するには、ページの更新が必要な場合があります。

次のタスク
カスタム統合のビルドを続行するときは、スポークを使用して次のアイテムを保存します。

- 接続および資格情報エイリアス
- ユーザーとユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクション
- ユーザーを再利用するアクション

カスタムスポークアプリケーションを ServiceNow Storeで公開する場合は、スポークを使用してサブフローを保存することもできます。

カスタム統合プロファイルの作成

カスタム統合プロファイルを作成して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、SaaS アプリケーションの古いライセンスを最適化します。

始める前に
ServiceNow インスタンスでカスタム統合プロファイルを作成する前に、SaaS アプリケーション アドミンまたは開発者アカウントで認証方法を設定します。たとえば、OAuth アプリケーションや API トークンを作成します。

OAuth アプリケーションを作成する場合は、必ず適切なスコープを有効にしてください。アプリには、ユーザーの読み取り、ユーザーアクティビティの読み取り、ユーザーの変更または削除を行うためのスコープが必要です。これらのスコープにより、統合はユーザーのリストを取得し、ユーザーアクティビティを取得し、未使用のサブスクリプションを再利用できます。OAuth アプリケーションのクライアント ID とクライアントシークレットを記録します。これらの値を ServiceNow インスタンスに入力します。

API トークンを作成する場合は、API トークンの値を記録します。この値は ServiceNow インスタンスに入力します。

必要なロール:sam_integrator または admin

手順
1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > 新規プロファイルを作成 をクリックし、[カスタム統合プロファイル **(Custom Integration Profile)**] を選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

統合プロファイルフォーム

フィールド	値
表示名	任意の名前。たとえば、統合する SaaS アプリケーションの名前などです。
接続と資格情報	ルックアップアイコン ( ) をクリックし、[新規] をクリックします。[接続および資格情報エイリアス] フォームで、フィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
	◦ 名前:任意の名前。たとえば、app_alias の場合、*app* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。 ◦ アプリケーション:SaaS アプリケーションに接続するためのスポーク。このスポークは、既存の 統合ハブ スポークでも、新しく作成したスポークでもかまいません。システムは、[システム設定] の [開発者] セクションで変更できます。 ◦ タイプ: 接続と認証情報。 ◦ 接続タイプ:HTTP。 ◦ 複数のアクティブな接続をサポート: 選択されていません。 ◦ デフォルトの再試行ポリシー: デフォルトの **HTTP** 再試行ポリシー。 ◦ 構成テンプレート:OAuth 認証コード権限許可タイプを使用している場合は、 **OAuth** 認証コード。API トークンを使用している場合は、 **API** キーを使用した基本認証。別の認証方法を使用している場合は、構成テンプレートを作成します。詳細については、「 構成テンプレートの作成 」および「 OAuth JWT ベアラー権限許可タイプのテンプレートの構成 」を参照してください。 [送信] をクリックします。
ステータス	統合プロファイルのステータス。オプションは [ドラフト] と [公開済み] です。この値は、自動的に入力されます。
プロファイルタイプ	カスタム統合。この値は、自動的に入力されます。

3. [保存] をクリックします。
4. プレビューアイコン ( ) をクリックし、[レコードを開く] をクリックして、接続および資格情報エイリアスレコードを開きます。
5. [新しい接続 **&** 資格情報の作成] 関連リンクをクリックします。
6. OAuth 認証コード構成テンプレートを使用している場合は、次のようにフォームに入力します。

接続および資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続 URL	API のベース URL。
認証 URL	OAuth 認証コードのエンドポイントです。
トークン URL	アクセストークンを取得して更新する OAuth エンドポイント。
トークン失効 URL	アクセストークンを取り消す OAuth エンドポイント。
OAuth リダイレクト URL	`https://` *instance.service-now.com/ oauth_redirect.do*、*instance* はServiceNowインスタンスの名前です。
リフレッシュトークンの有効期間	**8640000**.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
OAuth クライアント ID	SaaS アプリケーションアドミンまたは開発者アカウントで作成したクライアント ID。
OAuth クライアントシークレット	SaaS アプリケーションアドミンまたは開発者アカウントで作成したクライアントシークレット。
OAuth スコープ	SaaS アプリケーションアドミンまたは開発者アカウントで OAuth アプリケーションに対して有効にしたスコープ。

7. API キー構成テンプレートを使用した基本認証を使用している場合は、次のようにフォームに入力します。

接続および資格情報フォームを作成

フィールド	値
接続 URL	SaaS アカウントの URL。
ユーザー名	SaaS アプリケーションアドミンまたは開発者アカウントで API トークンを作成したアドミンユーザーのメールアドレス。
API キー	SaaS アプリケーションのアドミンまたは開発者アカウントで作成された API トークン。

注: 別の認証方法を使用している場合、使用可能なフィールドは作成した構成テンプレートによって決まります。

8. [作成] をクリックし、統合のアクセス権を付与します。

ヒント: 新しいブラウザータブで SaaS アプリケーションアドミンアカウントにログインし、統合が正しいアカウントに接続されていることを確認します。

接続が成功すると、[接続および資格情報エイリアス] レコードの [接続] 関連リストに新しい接続レコードが作成されます。接続に失敗した場合は、接続の試行中に作成された接続レコード、認証情報レコード、およびアプリケーションレジストリレコードを削除する必要があります。

- 移動先 接続 **&** 認証情報 > 接続 SaaS アプリケーションの接続レコードを削除します。
- 移動先 接続 **&** 認証情報 > 認証情報 SaaS アプリケーションの認証情報レコードを削除します。
- 移動先 システム **OAuth** > アプリケーションレジストリ SaaS アプリケーションのアプリケーションレジストリレコードを削除します。

SaaS アプリケーションの接続および資格情報エイリアスレコードに戻り、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクをクリックして接続を再試行します。

ユーザーを取得するためのデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーサブスクリプションのリストを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーのリストを作成する代わりに使用できるユーザーのリストを取得するデータストリームアクションがあるかどうかを確認します。

データストリームアクションの詳細については、「データストリームアクション」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[データストリーム] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、[**Get Users**] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。このスポークアプリは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。
5. 使用している API が要求にユーザー認証を必要とする場合は、[アクションアウトライン] の [入力] をクリックし、認証用の入力を追加します。
一般的なユーザー認証入力の例としては、admin ユーザー ID とサイト名があります。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API にアクセストークンが必要な場合は、 後で認証情報値 変数が自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

   完成したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

6. [Action Outline] で [**Request**] をクリックします。
7. フォームのフィールドに入力します。

[要求] フォーム

フィールド	値
データをどのように取得しますか。	**[REST** ステップ] または **[SOAP** ステップ] のいずれかを選択します。どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
各要求の前にスクリプトを実行	未選択。

8. [アクションアウトライン] の [ページネーション設定] ステップ をクリックします。
9. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

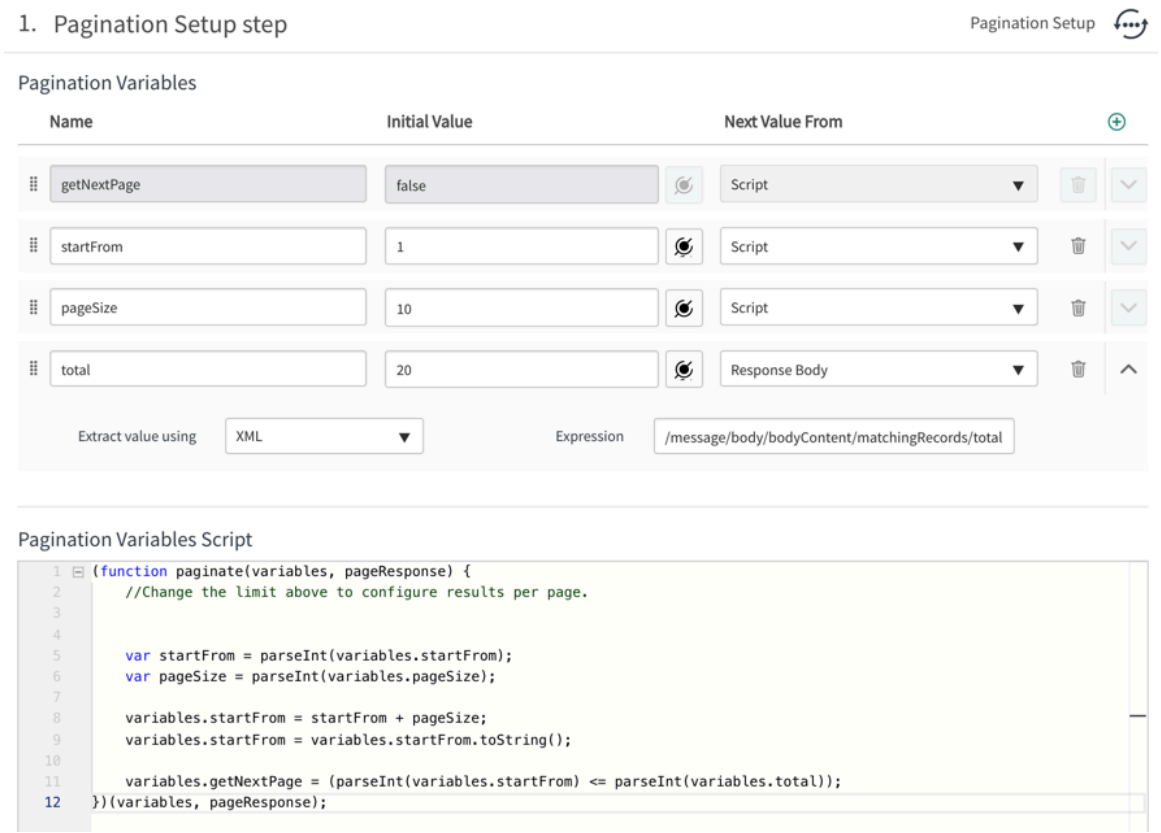
   オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用して、ページネーション構成をプリロードします。

   注: 予約済みの `getNextPage` 変数の値によって、結果の別のページを要求するかどうかが決まります。`getNextPage` 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

10. ページネーション変数を更新するためのページネーション変数スクリプトを記述します。

    スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

    次の画像は、ページネーションセットアップ手順の完了した例を示しています。この例は、Webex Download Subscriptions サブフローで使用される Get Users データストリームアクションからのものです。



   注: ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数式演算を実行するには、値を整数に変換して必要な操作を実行し、文字列に変換する必要があります。

11. データの取得方法について選択したオプションに応じて、[アクションアウトライン] で [**SOAP** ステップ] または **[REST** ステップ] をクリックします。
12. **[SOAP** ステップ] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	すべてのユーザーのリストを取得するための API 要求。適切な要求を選択するには、選択した API のドキュメントを参照してください。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、ページネーションセットアップステップからすべてのユーザーと変数のリストを取得する要求を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex Download Subscriptions サブフローで使用される Get Users データストリームアクション」を参照してください。

13. **[REST** ステップ] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

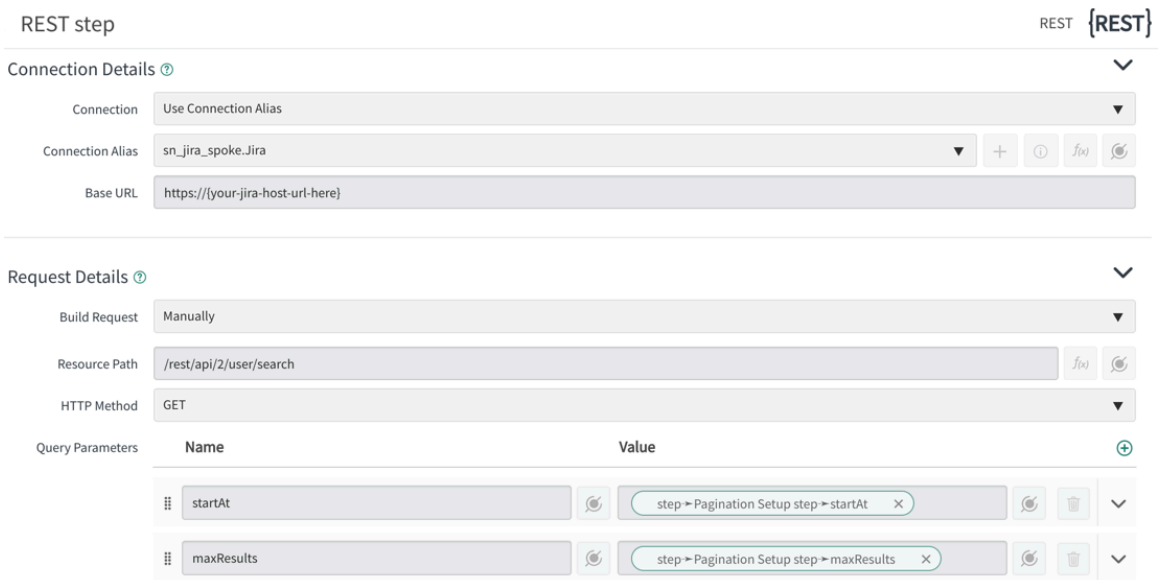
フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
要求の詳細	
ビルド要求	手動。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。
クエリ パラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。これらの値は、ページネーション セットアップステップで作成した変数として設定します。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、Jira Download Subscriptions サブフローで使用される Get Jira Users データストリームアクションからのものです。



14. [Action Outline] の [**Parsing**] をクリックします。
15. フォームのフィールドに入力します。

フォームを解析中

フィールド	値
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

16. [Action Outline] の [**Splitter step]** をクリックします 。
17. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スプリッターステップ

フィールド	値
ソースフォーマット	API 応答によって返される形式に応じて、[**XML]** または **[JSON]** を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内のユーザー要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ◦ XML アイテムパスの例: `/message/body/user` ◦ JSON アイテムパスの例: `$.data.user`

18. 「アクション・アウトライン」の 「出力 」をクリックします。
19. [**Create Output** (出力の作成)] をクリックし、変数を次のように編集します。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	必須
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

20. 応答メッセージで返されたユーザーの子要素に基づいて、 *targetObject* の子アイテムを追加します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
  <body>
    <user>
      <userID>12345</userID>
      <email>email@email.com</email>
      <firstName>Jane</firstName>
      <lastName>Doe</lastName>
      <lastLoginTime>08/13/2019 20:08:16</lastLoginTime>
      <active>TRUE</active>
    </user>
    <user>
      ...
    </user>
  </body>
</message>
```

この応答では、次のように子アイテムを追加します。

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	必須
userID	userID	文字列	いいえ
メール	メール	文字列	いいえ
firstName	firstName	文字列	いいえ
lastName	lastName	文字列	いいえ
lastLoginTime	lastLoginTime	文字列	いいえ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ラベル	名前	タイプ	必須
active	active	True/False	いいえ

21. [アクションアウトライン] の [スクリプトパーサー] ステップ をクリックします。
22. 応答内のユーザー要素ごとに *targetObject* 出力オブジェクトを作成し、各ユーザーの子要素を *targetObject* 子アイテムにマップします。

    パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

    注: これらの例は、ユーザーの取得要求に対する応答に通常含まれる要素の種類を示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントに記載されている要素名を使用します。

    XML 応答を解析するスクリプト例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
    outputs.targetObject.userID = xmlDoc.getNodeText('/user/userID');
    outputs.targetObject.email = xmlDoc.getNodeText('/user/email');
    outputs.targetObject.firstName =
 xmlDoc.getNodeText('/user/firstName');
    outputs.targetObject.lastName =
 xmlDoc.getNodeText('/user/lastName');
    outputs.targetObject.lastLoginTime =
 xmlDoc.getNodeText('/user/lastLoginTime');
    outputs.targetObject.active = xmlDoc.getNodeText('/user/active');
})(inputs, outputs)
```

    JSON 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
    outputs.targetObject.userID = record.userID;
    outputs.targetObject.email = record.email;
    outputs.targetObject.firstName = record.firstName;
    outputs.targetObject.lastName = record.lastName;
    outputs.targetObject.lastLoginTime = record.lastLoginTime;
    outputs.targetObject.active = record.active;
})(inputs, outputs)
```

23. データストリームアクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

    b. データストリームアクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していることと、API リクエストとレスポンスが想定どおりに構成されていることを確認してください。

24. データストリームアクションが期待どおりに動作していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーを取得するためのサブフローの作成

ソフトウェアサブスクリプションテーブルにユーザーのリストを追加するサブフローを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
このサブフローには、ユーザーを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを取得するためのデータストリームアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて
注: ユーザーを取得するサブフローの例については、「 Jira ダウンロードサブスクリプション」および「 Webex ダウンロードサブスクリプション」サブフローを参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、 *Application* Download Subscriptionsの場合、*Application* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	**Software Asset Management - SaaS License Management** 注: サブフローを ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションに保存すると、 ServiceNow® 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。カスタムスポークアプリケーションを ServiceNow Storeで公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [送信] をクリックします。
5. 統合プロファイル入力を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンをクリックし、[アクション] をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

   注: インストール済みスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

   データストリームアクションは、ユーザーサブスクリプションのリストに含めたくないユーザーを返す場合があります。フィルタリングを実行して一部のユーザーを除外する場合は、[ユーザーを取得] データストリームアクションの子として If フローロジックを追加します。

   必要なフィルタリングの量は、統合するアプリケーションによって異なります。たとえば、ユーザーの targetObject に *active* プロパティがある場合、その値が **true** であることを確認する条件を追加して、サブフローが非アクティブ化されたユーザーをダウンロードしないようにすることができます。Jira サブスクリプションのダウンロードサブフローで使用されるフィルタリングの例は、サブフローが実際のユーザーではないアカウントを返さないようにするために、アカウントタイプをアプリにできないことです。

   必要なフィルタリングの条件を If フローロジックに追加します。If フローロジックを使用してユーザーをフィルタリングする場合は、ソフトウェア資産管理 スポークから *Upsert user subscription using subscription identifier* アクションをフローロジックの子として追加します。ユーザーをフィルタリングしていない場合は、[ユーザーを取得] データストリームアクションの子として *Upsert user subscription using subscription identifier* アクションを追加します。

   このアクションにより、 SaaS アプリケーションユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加されます。サブスクリプションが既にテーブルにある場合は、サブスクリプションレコードが更新されます。

10. 統合に適用可能な入力を入力します。

    データパネルの値を使用して、アクション入力を入力します。SaaS API への要求では、すべての入力のデータが返されない場合があります。

[ユーザーサブスクリプションをアップサート] アクション

フィールド	値
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject からのユーザー ID またはアカウント ID。これは通常、人間が判読できない数値です。この値は一意である必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できるようにする必要があります。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
前回のアクティビティ	ユーザー targetObject からの最新のアクティビティの日付。たとえば、前回のログイン時間などです。
外部作成	ユーザー targetObject からのアカウント作成日。 この値は、より適切な再利用候補を作成するのに役立ちます。新しいユーザーにはまだアクティビティがない可能性があります。レコードにユーザーアカウントが作成されたことが示されている場合、そのユーザーは未使用のアカウントではなく新しいアカウントであるため、再利用候補は作成されません。
識別子	統合を識別する一意の識別子。サブスクリプションのソフトウェアモデルは、サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルの識別子と一致する識別子で自動的に作成されます。 識別子が存在しない場合は、識別子を構成します。詳細については、「識別子の設定」を参照してください。
追加属性	これは、上記以外のsamp_sw_subscriptionテーブルの他のフィールドを更新するために使用されます。

11. サブフローをテストするには、[テスト] をクリックします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

    注: ユーザーを取得するデータストリームアクションは、ユーザーの複数のページを正常に取得する必要があります。データストリームアクションがすべてのユーザーを取得することを確認するまで、ソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に書き込まないでください。検証のために、データストリームを消費するサブフローを作成し、結果をログに記録します。

12. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

    ヒント: サブフローは、公開後も編集できます。

識別子の設定

統合を識別するための識別子が存在しない場合は、構成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：sam_admin

手順

1. 製品がソフトウェア製品 [samp_sw_product] テーブルに存在しない場合は、カスタム製品を作成します。

   a. [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
パブリッシャー	カスタム製品の公開者。
製品	カスタム製品の名前。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。
製品分類	正式な UNSPSC 分類
サブスクリプションソフトウェア	製品がサブスクリプションベースの製品であることを示すオプション。
インストールを無視	製品タイプがライセンス可能であることを示すオプション。 このチェックボックスは、[製品タイプ] を [ライセンス可能] として選択し、[サブスクリプションソフトウェア] が true に設定されている場合にのみ表示されます。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。 このチェック ボックスをオンにしないでください。
アクティブ	この製品が使用されているかどうかを示すオプション。

   c. [送信] を選択します。

2. ディスカバリーマップ [samp_custom_sw_entitlement_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタムディスカバリーマップを作成します。

   a. [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
製品	現在のソフトウェア製品名。ステップ 1 で作成したカスタム製品。
バージョン条件	バージョンフィールドの条件修飾子:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	▪ 次で始まる ▪ 次の値に等しい (=) ▪ は何でも デフォルトは [は何でも] になります。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。 バージョン条件値が [次で始まる] か [次の値に等しい (=)] の場合は必須となります。
エディション条件	エディションフィールドの条件修飾子: ▪ 次で始まる ▪ 次の値に等しい (=) ▪ は何でも デフォルトは [は何でも] になります。
エディション	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。

自動翻訳

c. [送信] を選択します。

3. カスタムサブスクリプション製品定義 [samp_sw_custom_subscription_product_definition] テーブルからカスタムエンタイトルメント定義を作成して、カスタムサブスクリプション製品定義を作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
識別子	カスタム製品に関連付けられているサブスクリプション識別子。
サブスクリプション統合	サブスクリプション製品定義 [samp_sw_subscription_product_definition] テーブルのサブスクリプション製品にマッピングされている SaaS および SSO プロバイダーのリスト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このシナリオでは、 [カスタム統合] を選択します。
エンタイトルメント定義	ステップ 2 で作成したカスタムディスカバリーマップ。
アクティブ	識別子が使用されているかどうかを示すチェックボックス。

c. [送信] を選択します。

ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションの作成

SaaS アプリケーションからユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを作成します。

始める前に

既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションを作成する代わりに使用できるかどうかを確認してください。

データストリームアクションの詳細については、「 データストリームアクション 」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

ユーザーアクティビティを監視して、会社が料金を支払っているのに使用されていないソフトウェアサブスクリプションを見つけます。これらの未使用のサブスクリプションを再利用して、会社のソフトウェア費用を削減できます。
データストリームアクションを作成する前に、意味のあるユーザーアクティビティを定義する方法を決定します。意味のあるアクティビティは、ユーザーアクションの組み合わせにすることができます。ユーザーアクティビティメトリクスごとに個別のデータストリームアクションを作成します。たとえば、ミーティング統合 Webex ベースシステムでは、意味のあるアクティビティをミーティングの開催として定義します。1 つのデータストリームアクションを使用して、すべてのユーザーの最後に開催された会議の日付を取得します。Webex Meetings 統合に有意義なアクティビティとしてログインを含める場合は、2 つ目のデータストリームアクションを作成して、すべてのユーザーの最新のログイン時間を取得します。

ユーザーを取得するデータストリームアクションは、最終ログイン時間などのユーザーアクティビティメトリクスを返す場合があります。この場合、追加のユーザーアクティビティメトリクスを定義する場合を除き、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションやユーザーアクティビティを取得するためのサブフローを作成する必要はありません。ユーザーを取得するためのサブフローで、このユーザーアクティビティメトリクスが [ユーザーサブスクリプションをアップサート] アクションの最後のアクティビティ入力として設定されていることを確認してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[データストリーム] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、[ユーザーアクティビティを取得 **(Get User Activity**)] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。このスポークアプリは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。
5. [Action Outline] の [Inputs] セクションで、[**Create Input**] をクリックします。
6. 過去の検索時間の入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	はい

7. 使用している API が要求に対してユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。一般的なユーザー認証入力の例としては、admin ユーザー ID とサイト名があります。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API にアクセストークンが必要な場合は、 後で認証情報値 変数が自動的に作成されます。アクセストークンを入力として追加する必要はありません。

   完成したデータストリームアクションをサブフローで使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

8. [Action Outline] で [**Request**] をクリックします。
9. フォームのフィールドに入力します。

[要求] フォーム

フィールド	値
データをどのように取得しますか。	**[REST** ステップ] または **[SOAP** ステップ] のいずれかを選択します。どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
ページネーションを有効化	選択済み。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
各要求の前にスクリプトを実行	未選択。

10. [アクションアウトライン] の [ページネーション設定] ステップ をクリックします。
11. SaaS API で使用されるクエリパラメーターに基づいてページネーション変数を定義します。

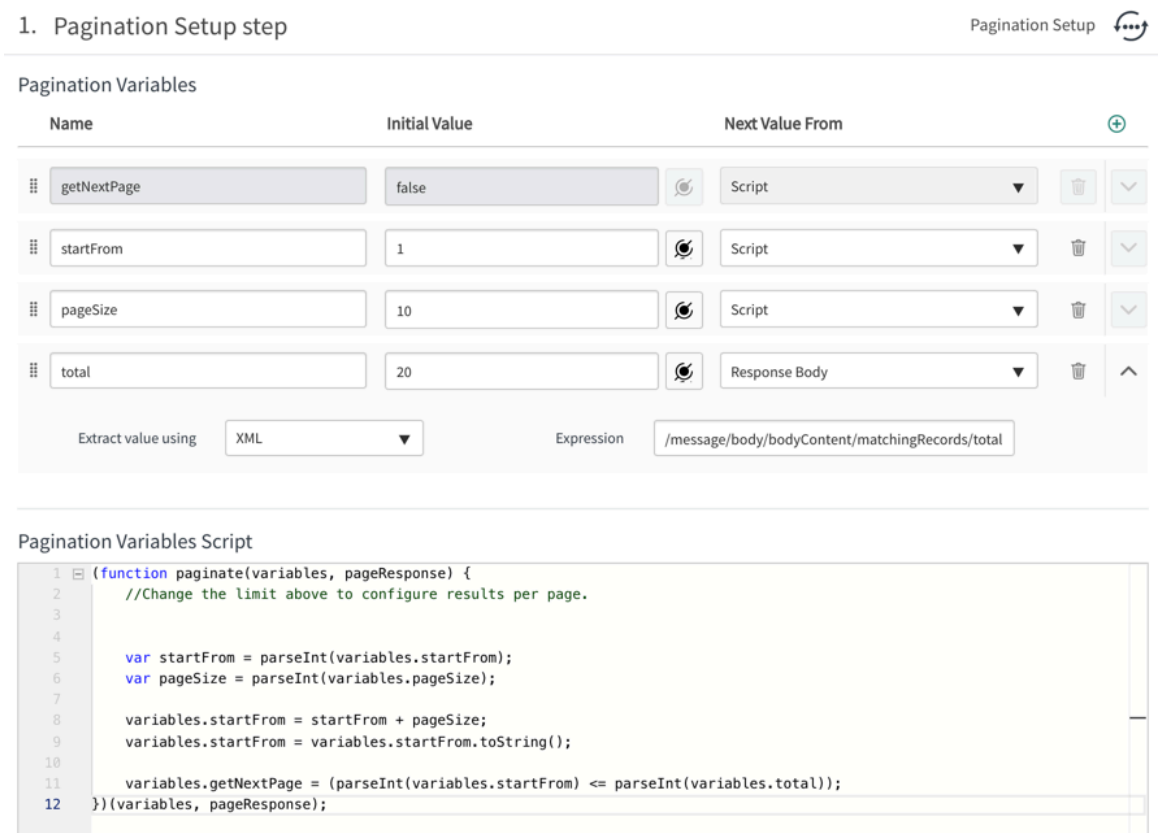
    オフセットベースのページネーションを使用している場合は、制限/オフセットページネーションテンプレートを使用して、ページネーション構成をプリロードします。

    注: 予約済みの `getNextPage` 変数の値によって、結果の別のページを要求するかどうかが決まります。`getNextPage` 変数が **true** である限り、アクションは次のページの要求を送信し続けます。

12. ページネーション変数を更新するためのページネーション変数スクリプトを記述します。

    スクリプトは要求ごとに実行されます。ページネーションテンプレートを使用している場合は、必要に応じてプリロードされたスクリプトを調整します。

    次の画像は、ページネーションセットアップ手順の完了した例を示しています。この例は、Webex Download Subscriptions サブフローで使用される Get Users データストリームアクションからのものです。



    注: ページネーション変数は、文字列データ型のみをサポートします。数学演算を実行するには、値を整数に変換し、必要な演算を実行してから、文字列に変換し直します。

13. データの取得方法について選択したオプションに応じて、[アクションアウトライン] で [**SOAP** ステップ] または **[REST** ステップ] をクリックします。
14. **[SOAP**] を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	意味のあるユーザーアクティビティのリストを取得するための API 要求。たとえば、ミーティング統合 Webex ベースシステムは、意味のあるユーザーアクティビティをミーティングを主催するものとして定義し、 `LstsummaryMeeting` 要求を使用してすべてのミーティングのリストを取得するようにします。適切な要求を選択するには、選択した API のドキュメントを参照してください。
SOAP エンベロープ	すべてのユーザーのリストを取得するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、意味のあるユーザーアクティビティのリストを取得する要求、[過去の検索時間] 入力として設定された開始日、およびページネーションセットアップステップからの変数を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex ユーザーアクティビティの更新」サブフローで使用される「ユーザーアクティビティデータストリームを取得」アクションを参照してください。

15. **[REST]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

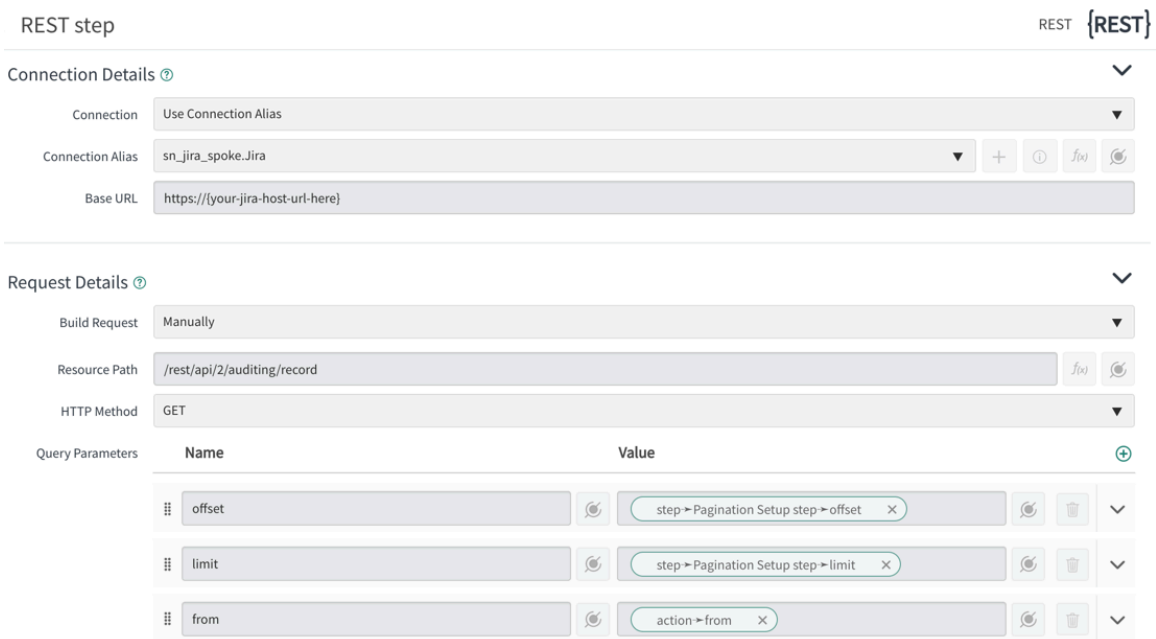
フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	**GET**です。
クエリ パラメーター	ページネーションのパラメーターを追加します。これらの値は、ページネーションセットアップステップで作成した変数として設定します。 要求が開始日から現在の日付までの結果を返すように、開始日に別のパラメーターを追加します。この値を [過去の検索時間] の入力として設定します。 **注:** ルックバック時間の入力日付/時刻変数が、使用している API に対して正しい形式になっていることを確認してください。文字列などの別のデータタイプを再フォーマットまたは変換する必要がある場合は、アクション前処理スクリプトステップでこれを行うことができます。

次の画像は、REST ステップの完成した例を示しています。この例は、 Jira ユーザーアクティビティの更新サブフローで使用される [監査ログデータストリームを取得] アクションからのものです。



16. [Action Outline] の [**Parsing**] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

17. フォームのフィールドに入力します。

フォームを解析中

フィールド	値
各レコードをどのように識別しますか。	**JSON/XML** スプリッター
各アイテムをどのように解析してオブジェクトにしますか。	スクリプトパーサー

18. [Action Outline] の [**Splitter step]** をクリックします 。
19. フォームのフィールドに入力します。

スプリッターステップフォーム

フィールド	値
ソースフォーマット	API 応答によって返される形式に応じて、[**XML**] または **[JSON]** を選択します。
アイテムパス	応答メッセージ内の意味のあるアクティビティ要素への絶対パス。応答メッセージの形式については、使用している API のドキュメントを参照してください。 ◦ XML アイテムパスの例: `/message/body/meeting` ◦ JSON アイテムパスの例: `$.data.meeting`

20. 「アクション・アウトライン」の 「出力 」をクリックします。
21. [**Create Output** (出力の作成)] をクリックし、変数を次のように編集します。

アクションの出力

ラベル	名前	タイプ	必須
targetObject	targetObject	オブジェクト	いいえ

22. *`targetObject`* の子アイテムを追加して、ユーザーのメールと有意義なアクティビティの日付を保存します。
たとえば、XML 応答は次のようになります。

```
<message>
  <body>
    <meeting>
      <meetingID>12345</meetingID>
      <startDate>08/13/2019 20:08:16</startDate>
      <hostEmail>email@email.com</hostEmail>
    </meeting>
    <meeting>
      ...
    </meeting>
  </body>
</message>
```

この応答では、次のように子アイテムを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

targetObject の子アイテム

ラベル	名前	タイプ	必須
メール	メール	文字列	いいえ
last_activity	last_activity	文字列	いいえ

23. 「アクション・アウトライン」で、「 スクリプト・パーサー・ステップ」をクリックします。
24. 応答内の意味のあるアクティビティ要素ごとに *targetObject* 出力オブジェクトを作成し、それぞれをアクティビティの日付とユーザーのメールを *targetObject* 子アイテムにマッピングします。

    パーサースクリプトは、ユーザー要素ごとに実行されます。

    注: これらの例は、応答に含めることができる要素の種類を示しています。これらのスクリプトを直接コピーしないでください。使用している API のドキュメントに記載されている要素名を使用します。

    XML 応答を解析するスクリプト例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var xmlDoc = new XMLDocument(inputs.sourceItem, false);
    outputs.targetObject.email =
 xmlDoc.getNodeText('/meeting/hostEmail');
    outputs.targetObject.last_activity =
 xmlDoc.getNodeText('/meeting/startDate');
})(inputs, outputs)
```

    JSON 応答を解析するスクリプトの例。

```
(function parse(inputs, outputs) {
    var record = JSON.parse(inputs.sourceItem);
    outputs.targetObject.email = record.hostEmail;
    outputs.targetObject.last_activity = record.startDate;
})(inputs, outputs)
```

25. データストリームアクションをテストするには、[テスト] をクリックします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

    b. データストリームアクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していることと、API リクエストとレスポンスが想定どおりに構成されていることを確認してください。

26. データストリームアクションが期待どおりに動作していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローの作成

SaaS アプリケーションでの各ユーザーの最新のアクティビティでソフトウェアサブスクリプションテーブルを更新するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションが必要です。詳細については、「ユーザーアクティビティを取得するためのデータストリームアクションの作成」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注: ユーザーアクティビティを取得するサブフローの例については、「 Jira ユーザーアクティビティの更新」および「 Webex ユーザーアクティビティの更新」サブフローを参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、 *Application* Update User *Activity* です。 Application は、統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	**Software Asset Management - SaaS License Management** 注: サブフローを ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションに保存すると、 ServiceNow® 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。カスタムスポークアプリケーションを ServiceNow Storeで公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. [送信] をクリックします。
5. 統合プロファイル入力と過去の検索時間入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい
過去の検索時間	look_back_time	日付/時刻	はい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンをクリックし、[アクション] をクリックして新しいアクションを追加します。
7. インストールされているスポークのリストから、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

   注: インストール済みスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーアクティビティを取得するデータストリームアクションを選択します。
9. データストリームアクションの [過去の検索時間] 入力に渡す値として、[過去の検索時間] サブフロー入力を追加します。
10. データストリームアクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。
11. ソフトウェア資産管理スポークから *Update User Activity If Later Using User* アクションを「ユーザーアクティビティデータストリームを取得」アクションの子として追加します。
12. [データ] パネルの値を使用してアクションを完了します。

ユーザーアクティビティを更新 (後で行う場合) アクション

フィールド	値
最終アクティビティ	targetObject からの最新のアクティビティの日付。
統合プロファイル	サブフロー用に作成した統合プロファイル入力。
外部ユーザー ID	ユーザー targetObject からのユーザー ID またはアカウント ID。通常、この ID は数値であり、人間が判読できない値です。この値は一意である必要があります。
ユーザープリンシパル名	ユーザー targetObject からのメールアドレス。メールアドレスが利用できない場合は、ユーザー名とユーザー ID などの別の値を使用します。この値は人間が判読できるようにする必要があります。

13. 複数のデータストリームアクションを使用して複数のタイプのユーザーアクティビティを取得する場合は、ステップ 6 ～ 12 を繰り返して、各データストリームアクションをサブフローに追加します。
14. [テスト] をクリックしてサブフローをテストします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

15. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

    ヒント: サブフローは、公開後も編集できます。

ユーザーを削除するアクションの作成

SaaS アプリケーションでユーザーアカウントを非アクティブ化または削除するアクションを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
既存の ServiceNow® 統合ハブ スポークを使用している場合は、ユーザーを作成する代わりに使用できるユーザーを削除するアクションがあるかどうかを確認します。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて
このアクションは、未使用のサブスクリプションを再利用して会社のソフトウェア経費を削減するために使用されます。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[アクション] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

アクションプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、[ユーザーを削除] などです。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
アプリケーション	SaaS アプリケーションと統合するためのスポークアプリ。これは、既存の 統合ハブ スポークでも、作成した新しいスポークでもかまいません。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。

4. [送信] をクリックします。
5. [Action Outline] の [Inputs] セクションで、[**Create Input**] をクリックします。
6. ユーザー ID 入力を追加します。

   これは、削除するユーザーのユーザー ID をアクションが取得する方法です。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
ユーザー ID	userID	文字列	はい

7. 使用している API が要求に対してユーザー認証を必要とする場合は、認証用の入力を追加します。一般的なユーザー認証入力の例としては、admin ユーザー ID とサイト名があります。特定のケースでのユーザー認証の要件については、選択した API のドキュメントを参照してください。API でアクセストークンが必要な場合は、 認証情報値 変数が後で自動的に作成されるため、入力として追加する必要はありません。

   サブフローで完了したアクションを使用する場合は、これらの入力として渡す値を定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. アクションアウトラインに **SOAP** ステップ または **REST** ステップ を追加します。
どちらを選択するかは、統合する SaaS アプリケーションの API によって異なります。
9. **[SOAP]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

SOAP ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。
エンドポイント	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
エンベロープの作成	手動。
SOAP アクション	ユーザーを削除または非アクティブ化するための API 要求。適切な要求を選択するには、選択した API のドキュメントを参照してください。
SOAP エンベロープ	ユーザーを削除するための XML 要求メッセージ。XML 要求メッセージの記述方法については、選択した API のドキュメントを参照してください。一般に、ヘッダーには、ユーザー認証用の入力変数と、アクセストークンとしての 認証情報値 変数を含める必要があります。本文には、ユーザーの削除要求とユーザー ID の入力を含める必要があります。 **注:** SOAP エンベロープの例については、「 Webex Reclaim Subscription」サブフローで使用される「Remove User」アクションを参照してください。

10. **[REST]** を選択した場合は、次のようにフォームに入力します。

REST ステップフォーム

フィールド	値
接続の詳細	
接続	接続エイリアスを使用。
接続エイリアス	統合プロファイルを作成したときに作成した接続エイリアス。統合プロファイルをまだ作成していない場合は、 手順に従って接続エイリアスを使用してカスタム統合プロファイルを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
ベース URL	この値は、接続エイリアスを選択すると自動的に入力されます。エイリアスにリンクされた HTTP(s) 接続レコードの接続 URL に設定されます。
要求の詳細	
ビルド要求	手動。
リソース パス	リソースへのパス。この値はベース URL に追加されます。リソースパスの構築方法については、使用している API のドキュメントを参照してください。
HTTP メソッド	削除します。
クエリ パラメーター	ユーザー ID のパラメーターを追加します。ユーザー ID 入力として値を設定します。

11. エラー処理のためにスクリプト ステップ をアクションアウトラインに追加します。

    a. [必須ランタイム] フィールドで [インスタンス] を選択します。

    b. 入力変数を作成します。

    入力変数

名前	値
response	SOAP または REST ステップからの応答本文出力
status_code	SOAP または REST ステップからのステータスコード出力

    c. 出力変数を作成します。

    出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
status	status	選択肢	はい
error_message	error_message	文字列	はい

    d. [スクリプト] フィールドで、ステータスおよびエラーメッセージの出力に値を割り当てるスクリプトを記述します。

    - **status_code**入力を使用して、エラーがあるかどうかを確認します。ステータス出力 を、エラー がある場合はエラー、エラーがなければ 成功 に設定します。
    - エラーが発生した場合は、 応答 入力を使用してエラーの種類に関する情報を取得します。エラーメッセージ出力をエラーの説明に設定して、ユーザーが何が問題なのかを理解できるようにします。

12. [アクションアウトライン] で、[出力] をクリックします。
13. 出力変数を作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出力変数

ラベル	名前	タイプ	必須
ステータス	status	選択肢	いいえ
エラーメッセージ	error_message	文字列	いいえ

14. 出力変数に値を割り当てます。

出力変数

ラベル	値
ステータス	スクリプトステップからの **status** 出力変数
エラーメッセージ	スクリプトステップからの出力変数**error_message**

15. アクションをテストするには、「 テスト」をクリックします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

    b. アクションにエラーが発生した場合は、正しいエンドポイントを使用していること、および API 要求が想定どおりに構成されていることを確認してください。

    注: テストするときは、このアクションによってユーザーが非アクティブ化されることに注意してください。このアクションを準本番環境でテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

16. アクションが期待どおりに動作していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ユーザーを再利用するサブフローの作成

ユーザーサブスクリプションを再利用するサブフローを作成します。

始める前に

このサブフローには、ユーザーを削除するアクションが必要です。詳細については、「ユーザーを削除するアクションの作成」を参照してください。

必要なロール：flow_designer または admin

このタスクについて

注: ユーザーを再利用するサブフローの例については、「 Jira Reclaim Subscription (サブスクリプションの再利用)」および「 Webex Reclaim Subscription (サブスクリプションの再利用)」サブフローを参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Flow Designer** > デザイナー.
2. [新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サブフローのプロパティフォーム

フィールド	値
名前	任意の名前。たとえば、 *Application* Reclaim Subscription の場合、 *Application* は統合する SaaS アプリケーションの名前です。
アプリケーション	ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理統合。 **注:** サブフローを ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合アプリケーションに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションに保存すると、 ServiceNow® 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。カスタムスポークアプリケーションを ServiceNow Storeで公開する場合は、代わりにカスタムアプリを選択します。
アクセス可能	すべてのアプリケーションスコープ。
カテゴリ	このフィールドは空のままにします。
保護	なし。
インフロー注釈	このフィールドは空のままにします。
説明	選択内容の説明。
実行方法	セッションを開始するユーザー。

4. 統合プロファイル入力とユーザーサブスクリプション入力を追加します。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい
ユーザーサブスクリプション	user_subscription	Reference.ソフトウェアサブスクリプション	はい

5. エラーメッセージ出力とステータス出力を追加します。

出力

ラベル	名前	タイプ
エラーメッセージ	error_message	文字列
ステータス	status	文字列

6. [アクション] セクションで、プラスアイコンをクリックし、[アクション] をクリックして新しいアクションを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. インストール済みスポークのリストで、統合する SaaS アプリケーションのスポークを選択します。

   注: インストール済みスポークのリストにスポークを追加するには、 ServiceNow Store で要求します。利用可能なスポークの完全なリストについては、「 統合ハブで利用可能なスポーク 」を参照してください。統合する SaaS アプリケーションの既存のスポークがない場合は、 新しいスポークを作成できます。

8. ユーザーを削除するには、アクションを選択します。

   a. ユーザー **ID** 入力として渡す値を定義します。
   使用する値は使用している API によって異なりますが、通常はこのサブフローの [ユーザーサブスクリプション] 入力の [外部ユーザー **ID**] または [ユーザープリンシパル名] フィールドになります。

   b. アクションのユーザー認証入力に渡す値を定義します。

9. [ユーザーを削除] アクションがエラーを返すかどうかを確認するには、If フローロジックを追加します。
10. 子フローロジックを追加してサブフロー出力を割り当てます。

    サブフロー出力を割り当て

名前	データ
エラーメッセージ	[ユーザーを削除] アクションからのエラーメッセージ出力
ステータス	failure

11. [ユーザーを削除] アクションがエラーを返さない場合に備えて、If ロジックと同じレベルに Else フローロジックを追加します。
12. 子フローロジックを追加してサブフロー出力を割り当てます。

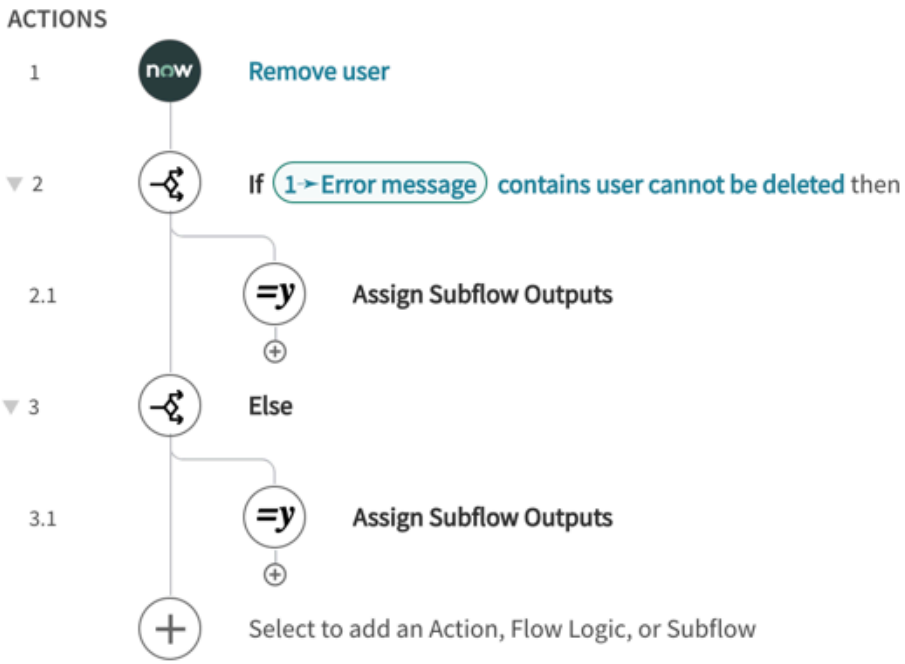
    サブフロー出力を割り当て

名前	データ
ステータス	success

次の画像は、ユーザーサブスクリプションを再利用するサブフローの完全な例を示しています。示されている例は、サブスクリプションの Webex 再利用サブフローです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



13. サブフローをテストするには、[テスト] をクリックします。

    a. エラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。
    システムログを表示するには、次の場所に移動します システムログ > システムログ > すべて.

    注: テストするときは、このサブフローによってユーザーを非アクティブ化することに注意してください。準本番環境でこのサブフローをテストします。本番環境のみが利用可能な場合は、テスト用に偽のユーザーを作成できます。

14. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

    ヒント: サブフローは、公開後も編集できます。

ライセンス消費を取得するためのサブフローの作成

サブフローを作成して、ライセンス消費データを サブスクリプション消費サマリー [sam_saas_consumption_summary] テーブルに追加します。

始める前に

このサブフローは、カスタム統合を含む、 SaaS ライセンス接続フレームワークを使用するすべての統合に適用されます。

必要なロール：flow_designer または admin

手順

1. 移動先 すべて > プロセスの自動化 > **Flow Designer**.
   フローデザイナーが新しいタブで起動します。
2. フローデザイナーのホームページで、[新規] をクリックし、[サブフロー] を選択します。
   [サブフローのプロパティ] ダイアログボックスが開きます。
3. ダイアログボックスで、次のフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[サブフローのプロパティ] ダイアログボックス

フィールド	値
サブフロー名	サブフローの名前。たとえば、 ライセンス消費のダウンロードです。
説明	サブフローの説明。
アプリケーション	サブフローを適用するアプリケーションスコープ。このフィールドを [ソフトウェア資産管理 **- SaaS** ライセンス管理統合] に設定します。 **注:** サブフローをソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合アプリケーションスコープに保存すると、 ソフトウェア資産管理 サブスクリプションに含まれます。サブフローを他のアプリケーションスコープに保存すると、 ServiceNow® 統合ハブ トランザクションに対して課金される場合があります。カスタムスポークアプリケーションを ServiceNow Storeで公開する場合は、代わりにカスタムアプリケーションスコープを選択します。
アクセス可能	サブフローにアクセスできるアプリケーションスコープ。このフィールドを [すべてのアプリケーション スコープ] に設定します。
カテゴリ	サブフローのカテゴリ。このフィールドは空のままにします。
保護	サブフローの読み取り専用保護。このフィールドは [なし] に設定します。
サブフロー注釈	サブフローピッカーのサブフロータイトルの下に表示されるメッセージ。このフィールドは空のままにします。
実行方法	フローをシステムユーザーとして実行するか、セッションを開始したユーザーとして実行するかを指定するオプション。このフィールドを [セッションを開始するユーザー] に設定します。
ロールを使用して実行	このサブフローが実行されるロール。

4. [送信] をクリックします。
フローデザイナーによってドラフトサブフローが作成され、サブフロー設定ページにリダイレクトされます。
5. サブフロー設定ページから、統合プロファイル入力を追加します。

   a. [INPUTS & OUTPUTS] で、プラスアイコン (+) をクリックしてサブフローの入力を追加します。

   b. [入力] セクションで、プラスアイコン (+) をクリックします。

   c. プロンプトが表示されたら、統合プロファイルの入力として次の情報を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

入力

ラベル	名前	タイプ	必須
統合プロファイル	integration_profile	Reference.Integration Profile	はい

d. [完了] をクリックします。

6. ライセンス消費データを取得するためのデータストリームアクションを追加します。

a. [アクション] で、プラスアイコン (+) をクリックし、[アクション] を選択して新しいアクションを追加します。

b. プロンプトが表示されたら、[インストール済みスポーク] のリストから グローバル スポークを選択します。

c. [既定のアクション] の一覧から、 **[<saas-application> Consumption** の取得] を選択します。

d. [完了] をクリックします。

7. 消費のアップサートアクションを Get <saas-application> 消費アクションの子として追加します。
消費をアップサートアクションは、ライセンス消費データを ServiceNow インスタンスの消費サマリーテーブルにアップロードします。

a. [<saas-application> 消費を取得 アクションで、プラス アイコン (+) をクリックし、 [アクション] を選択します。

b. プロンプトが表示されたら、[インストール済みスポーク] のリストから [ソフトウェア資産管理] を選択します。

c. [デフォルトアクション] のリストから [消費をアップサート] を選択します。
[消費をアップサート] アクション入力が表示されます。

d. 製品 [Software Product] リストから、統合で接続するソフトウェア製品を検索して選択します。
この値は、ソフトウェア製品 (samp_sw_product) テーブルへの参照である必要があります。製品がテーブルに存在しない場合は、 カスタムソフトウェア製品を追加します。

e. [データ] パネルの値を使用して、残りのアクション入力を入力します。
SaaS API への要求は、すべての入力のデータを返さない場合があります。統合に適用可能な入力を入力します。

消費をアップサートアクションの入力

フィールド	値
バージョン	SaaS アプリケーションのバージョン。
エディション	`Standard` や `Enterprise` など、SaaS アプリケーションのエディション。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
合計ユニット	ソフトウェア製品のすべてのアクティブなエンタイトルメントで購入したソフトウェアユニットの合計数。
消費されたユニット	ユーザーが消費したソフトウェアユニットの合計数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
契約開始	契約の開始日。
契約終了	契約の終了日。

f. [完了] をクリックします。

8. [テスト] をクリックして、サブフローが正しく機能していることを確認します。
サブフローのエラーの詳細については、テスト結果とシステムログを表示します。システムログを表示するには、次の場所に移動します。 システムログ > システムログ > すべて ServiceNowインスタンスで

9. サブフローが期待どおりに機能していることを確認したら、[公開] をクリックします。

ヒント: サブフローは、公開後も編集できます。

カスタム統合プロファイルの公開

カスタム統合プロファイルを公開して、カスタム統合を完了します。

始める前に

統合プロファイルに追加する前に、すべてのアクションとサブフローが ServiceNow® フローデザイナー で公開されていることを確認してください。

必要なロール:sam_integrator または admin

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > 管理 > すべての統合プロファイル をクリックし、作成したカスタム統合プロファイルを選択します。

2. [サブスクリプションサブフローのダウンロード] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションのダウンロード] サブフローを選択します。

3. [公開] をクリックします。
SaaS アプリケーションのソフトウェアモデルが自動的に作成されます。SaaS アプリケーションのユーザーサブスクリプションをソフトウェアサブスクリプションテーブル [samp_sw_subscription] に追加する、サブスクリプションのダウンロードサブフローをすぐに実行するスケジュール済みジョブが作成されます。

4. [アクティビティサブフローを計算] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [ユーザーアクティビティの更新] サブフローを選択します。

注: ユーザーサブスクリプションを取得するスケジュール済みジョブは、ユーザーアクティビティの更新サブフローを追加する前に終了する必要があります。

5. [ユーザーアクティビティの分析元 **(Analyze user activity from**)] フィールドの値を選択します。
データの分析を現在の日付から開始するか、過去最大 60 日間から開始するかを選択できます。過去の日付を選択すると、最近使用されていないサブスクリプションを表示できるため、リアルタイムで待機することなく古いサブスクリプションを検出できます。過去の日付を選択すると、分析されるデータの量が増えるため、結果が表示されるまでに数時間かかる場合があります。

この値は、ユーザーアクティビティを取得するためのサブフローの 過去の検索時間の 入力として渡されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [サブスクリプションサブフローの再利用 (Reclaim Subscription Subflow)] フォームセクションで、SaaS アプリケーションの [サブスクリプションの再利用 (Reclaim Subscription)] サブフローを選択します。
7. [保存] をクリックします。

次のタスク
統合が接続されると、再利用ルールと古いユーザー再利用候補が自動的に作成されます。ユーザーサブスクリプションと再利用候補は毎日更新されます。

自動的に生成されたすべての再利用ルールをレビューして、ユーザーサブスクリプションを再利用するための仕様を満たしていることを確認することが重要です。詳細については、「ソフトウェア再利用ルールのレビュー」を参照してください。

自動的に生成されたソフトウェアモデルのソフトウェアエンタイトルメントを作成し、所有するソフトウェアに対して使用されているソフトウェアを追跡します。詳細については、「ソフトウェア資産管理クラシックでのエンタイトルメントの作成」を参照してください。

カスタム統合のためのストアアプリの作成

カスタム統合アプリケーションを ServiceNow Store で公開して、他のユーザーが使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
他のユーザーが ServiceNow Storeからカスタム統合をダウンロードしたときにカスタム統合が正しく機能するように、これらの手順を完了する必要があります。

手順

1. カスタム統合アプリケーションで修正スクリプトを作成します。
   アプリケーションを使用して新しい統合プロファイルが作成されると、作成したサブフローと接続エイリアスは、この修正スクリプトを介してプロファイルに自動的にリンクされます。

   a. 移動先 システムアプリケーション > スタジオ.

   b. カスタム統合アプリケーションを選択します。

   c. [スタジオへようこそ (Welcome to Studio)] ページで、[+ 新規作成] をクリックします。
   [アプリケーションファイルを作成] ダイアログボックスが開きます。

   d. ダイアログボックスで、[修正スクリプト (Fix Script)] を検索して選択します。

   e. [作成] をクリックします。

   f. [修正スクリプト] フォームで、次のフィールドに入力します。

修復スクリプトフォーム

フィールド	値
名前	修正スクリプトの名前。例:カスタム統合修正スクリプト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
読み込み不能	修正スクリプトの実行時に顧客アップデート [sys_update_xml] レコードを作成するオプション。このオプションは選択しないでください。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
前	アプリケーションをインストールまたはアップグレードする前に修正スクリプトを実行できるようにするオプション。このオプションは選択しないでください。
説明	修正スクリプトの説明。

g. [スクリプト] フィールドに次のスクリプトを入力します。
サブフローと接続エイリアスについては、例の ID を実際の ID に置き換えます。ID は、各アイテムの URL で確認できます。

```
new global.CustomIntegrationProfileUtils().createCustomIntegration({
 name: 'Name', // choose a name for the integration
 downloadSubscriptionSubflow:
 '3a23e189a1400010fa9bed1383c83d38', //replace example id
 updateActivitySubflow: '77a66d23e5500010fa9bc9581d0c0f47', //replace
 example id
 reclamationSubflow: 'e62b672e39400010fa9b4845e477fe02', //replace
 example id
 connectionAlias: '629ad2bfdb1893005963ff041d961971' //replace example
 id
});
```

注: 更新アクティビティと再利用サブフローは必要ありません。アクティビティを更新するサブフローを含めない場合、サブスクリプションのダウンロードサブフローにユーザーアクティビティが含まれていない限り、統合はユーザーアクティビティを取得しません。再利用サブフローを含めない場合、統合は SaaS ユーザーサブスクリプションを非アクティブ化できません。

h. [送信] をクリックします。

2. クロススコープ特権レコードを作成します。
このレコードにより、作成した修正スクリプトが CustomIntegrationProfileUtils() スクリプトインクルードにアクセスできるようになります。

a. 移動先 システムアプリケーション > アプリケーションのクロススコープアクセス.

b. [新規] をクリックします。

c. フォームのフィールドに入力します。

クロススコープ権限

フィールド	値
ソーススス	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
コープ	別のアプリケーションを選択するには、ServiceNowインスタンスのバナーフレームにある設定( )アイコンをクリックします。[システム設定] ダイアログ ボックスで、[開発] タブを選択し、[アプリケーション] ドロップダウン リストからアプリケーションを選択します。
ターゲット スコープ	リソースの要求元のアプリケーション。検索 ( ) アイコンをクリックし、 グローバル アプリケーションを見つけて選択します。
ターゲット名	スクリプトインクルードの名前です。このフィールドを `CustomIntegrationProfileUtils` に設定します。
ターゲット タイプ	要求のタイプ。[スクリプトインクルード] を選択します。
アプリケーション	カスタム統合アプリケーション。このフィールドは、自動的に入力されます。
操作	スクリプトがターゲットスコープに対して実行する操作。**[API** の実行] を選択します。
ステータス	このクロススコープ特権レコードに対する許可。[許可] を選択します。

d. [送信] をクリックします。

次のタスク
ServiceNow Storeでカスタム統合アプリケーションを公開する前に、アクションとサブフローがアクティブで、公開され、アプリケーションに保存されていることを確認してください。

ソフトウェア再利用ルールのレビュー

再利用ルールを使用して、アクティビティが制限されているかまったくないユーザーサブスクリプションをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
直接統合プロファイルを作成するか、SSO アプリケーションを接続すると、ソフトウェアの再利用ルールが自動的に作成されます。再利用ルールを確認して、仕様を満たしていることを確認することが重要です。各アプリケーションの再利用ルールの詳細については、「再利用のルール」を参照してください。

SSO サブスクリプションの場合、再利用ルールはユーザーログインをチェックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 再利用ルール をクリックし、統合プロファイルに対応する再利用ルールを選択します。
2. フォームのフィールドに入力します。

[再利用ルール] フォーム

フィールド	Description (説明)
名前	再利用ルールの名前。
適用先	再利用ルールが適用されるアイテムタイプ。
追加のディスカバリーソースからの使用状況を含める	このフィールドは、 Microsoft 365 再利用ルールを確認している場合にのみ表示されます。 選択すると、 Microsoft Access と Publisher の使用率が、E3 から E1 への最適化のために SCCM や ACC-V などの追加のディスカバリーソリューションから考慮され Microsoft 。
ユーザーへの通知	ユーザーがアカウントの保持要求で応答しない限り、アカウントが再利用されることをメールでユーザーに通知するオプション。ユーザーがライセンスを保持したい場合、ライセンスの削除を承認または却下するのはマネージャーの責任になります。
自動再利用までの日数	指定された日数以内にユーザーから応答がない場合、アカウントは再利用されます。 注: このフィールドは、[ユーザーに通知] が選択されている場合に表示されます。
サブスクリプション使用条件	
前回のアクティビティしきい値	ユーザーアカウントが再利用候補のリストに追加されるまでの、意味のあるアクティビティなしの時間制限。デフォルト値は、直接統合の場合は 60 日、SSO アプリケーションの場合は 30 日です。

3. [更新] を選択します。

次のタスク
再利用ルールによって識別された再利用候補を表示し、ユーザーサブスクリプションの再利用を開始します。

ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減できます。

ユーザーサブスクリプションを再利用するプロセスは、 ServiceNow® ソフトウェア資産管理 でソフトウェアライセンスを再利用するプロセスと似ています。ユーザーサブスクリプションは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションとソフトウェア資産ワークスペースの両方で再利用できます。

ユーザーサブスクリプションを再利用する場合、次の削除候補状況を使用して、関連する削除候補のステータスを判断できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補のステータス

ステータス	説明
要確認	削除候補には注意が必要です。 [ユーザーに通知] オプションが有効になっている自動削除候補の [ユーザー] フィールドが空の場合、ステータスは [要確認] に設定されます。[**User** (ユーザー)] フィールドに入力すると、状態が自動的に **[Ready** (準備完了)] に変わります。 再利用が失敗した場合、状態を [要確認] に設定することもできます。エラーを解決すると、ステータスは自動的に [準備完了] に変わります。
準備完了	削除候補を再利用する準備ができています。[再利用] をクリックして、再利用ワークフローを進めます。
ユーザー待ち	ユーザーには、削除要求を承認または拒否するためのメール通知が送信されました。この状態は、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
承認待ち	ユーザーは削除要求を承認または拒否する必要があります。ユーザーがサブスクリプションの保持を希望する場合は、マネージャーが削除を承認または拒否する責任を負います。この状態は、削除候補で [ユーザーに通知] オプションが有効になっている場合にのみ適用されます。
失効待ち	削除候補が再利用を待機しています。 [完了してクローズ] をクリックすると、削除候補のユーザーサブスクリプションを手動で再利用できます。または、「 **SAM —** 既存の再利用候補の更新 」週次スケジュール済みジョブを使用して、ユーザーサブスクリプションを再利用することもできます。スケジュール済みジョブが実行されると、[失効待ち] ステータスで [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空の削除候補は、[完了してクローズ] ステータスに自動的に更新されます。 他のステータスの削除候補の [ユーザーサブスクリプション] フィールドが空の場合、再利用ワークフローはキャンセルされ、ステータスは自動的に [スキップしてクローズ] に変更されます。 制限付きソフトウェアを含む削除候補のステータスは、自動的に [失効待ち] に設定されます。理由は [制限付きソフトウェア] に設定されます。
完了してクローズ	ユーザーサブスクリプションが再利用されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

削除候補のステータス (続く)

ステータス	説明
スキップしてクローズ	ユーザーサブスクリプションは削除候補によって再利用されていません。
キャンセルしてクローズ	ユーザーアクティビティが検出されたため、ユーザーサブスクリプションは削除候補によって再利用されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告: アカウントが再利用されたときにユーザーがファイルにアクセスできなくなることがないようにします。再利用ルールで [ユーザーに通知] チェックボックスがオンになっていない限り、ユーザーはアカウントの再利用を停止できません。

- Adobe Workfront アカウントを再利用すると、Workfront アプリケーションへのユーザーのアクセス権が削除されます。ユーザーはサインインできなくなります。
- Aha! アカウントを再利用すると、アカウントが非アクティブ化され、Aha!ポータルにログインできなくなります。
- Asana アカウントを再利用すると、ユーザーアカウントが削除されます。ユーザーは、Asana プロジェクトまたはワークスペースにアクセスできなくなります。ユーザーが作成したコンテンツには引き続き他のユーザーがアクセスでき、アドミニストレーターは Asana ダッシュボードからタスクを再アサインできます。
- Boxアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した Box アドミンアカウントのフォルダーに移動されます。
- Calendly アカウントを再利用すると、そのアカウントは組織から削除されます。
- Cisco Webexサブスクリプションを再利用すると、特定の製品へのユーザーのアクセス権が削除されます。ユーザーは、他のすべての Cisco Webex 製品と割り当てられた無料ライセンスに引き続きアクセスできます。
- Confluence Cloud アカウントを再利用すると、関連付けられているすべての Confluence グループからユーザーが削除されます。ユーザーは Confluence サイトにアクセスできなくなりますが、他のユーザーが作成したすべてのコンテンツには引き続きアクセスできます。
- Dropboxアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、統合を認証した Dropbox アドミンアカウントのフォルダーに移動されます。作成されたフォルダの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。
- DocuSignアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。DocuSignアドミンは、DocuSignアドミンポータルからユーザーのファイルにアクセスできます。
- Google Workspaceアカウントを再利用すると、アカウントが削除されます。すべてのファイルは、 Google ドライブから統合を認証した Google Workspace 管理者アカウントのフォルダーに移動されます。作成されたフォルダの名前は、削除されたユーザーのメールアドレスです。アカウントが再利用されると、すべてのメール メッセージが削除されます。メール メッセージを転送するには、アカウントを再利用する前に Google データ移行サービスをご利用ください。
- GitHub Enterprise Server アカウントを再利用すると、アカウントが一時停止されます。ユーザーが作成したすべての課題、コメント、リポジトリ、Gist、およびその他のデータは保持されます。

  GitHub Enterprise Cloud アカウントを再利用すると、そのアカウントはすべてのエンタープライズ組織から削除されます。再利用から 3 か月以内にユーザーメンバーシップを復元すると、Organization リポジトリのプライベートフォークへのユーザーのアクセスが復元されます。
- GoToユーザーアカウントから製品ライセンスを再利用すると、その製品へのユーザーのアクセス権が削除されます。ライセンスがないと、ユーザーは製品にサインインできません。ユーザー アカウントからすべての製品ライセンスを再利用すると、そのアカウントは自動的に停止されます。停止中のユーザーはアカウントに残りますが、どのサービスにもログインできません。
- Jira アカウントを再利用すると、関連付けられているすべての Jira グループからユーザーが削除されます。ユーザーは Jira サイトにアクセスできなくなりますが、他のユーザーは作成したすべてのコンテンツに引き続きアクセスできます。
- Looker アカウントを再利用すると、ユーザーの Looker へのアクセス権が削除されます。アクティブなアカウントがないと、ユーザーは Looker ポータルにサインインできません。ユーザーの使用履歴と個人的なコンテンツは保持されます。
- Microsoft Azure AD SSO アプリケーションサブスクリプションを再利用すると、そのアプリケーションへのユーザーのアクセス権が削除されます。ユーザーがグループメンバーシップ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の商標または登録商標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である可能性があります。

ソフトウェア資産管理 クラシックでユーザーサブスクリプションを再利用する

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します。

始める前に
必要なロール：sam_user

重要: SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey 統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkey管理ポータルを使用して、SurveyMonkeyチームからユーザーを再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシックでSurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用する」を参照してください。

重要: SaaS ライセンス管理 monday.com 統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。monday.comユーザーサブスクリプションを再利用するには、monday.com アカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化されたら、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシックでmonday.comユーザーサブスクリプションを再利用する」を参照してください。

重要: SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。Roadmunkユーザーサブスクリプションを再利用するには、Roadmunk アカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化されたら、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理クラシックでRoadmunkユーザーサブスクリプションを再利用する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 節約見込み > 再利用候補.
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細については、ソフトウェア削除候補の追加を参照してください。
3. ユーザーサブスクリプションを再利用します。
   - すべてのユーザー サブスクリプションを再利用するには、[すべて再利用] をクリックします。

     注: すべてのユーザー サブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でもサブスクリプションが必要になる場合があります。

   - ユーザー サブスクリプションのセットを再利用するには、検索フィルター条件を指定し、[すべて再利用] をクリックします。例えば、検索リストから「製品」を選択し、「`*InDesign`」と入力すると、Adobe InDesign のすべてのユーザーサブスクリプションを再利用できます。

   - 個々のユーザー サブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームの [再利用] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスが [完了してクローズ] に設定されます。再利用が失敗した場合、状態は 「要確認」に設定されます。画面の上部にエラーメッセージが表示され、エラーの解決方法の詳細が示されます。

ソフトウェア資産管理クラシックで**SurveyMonkey**ユーザーサブスクリプションを再利用する

未使用の SurveyMonkey サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が SurveyMonkey 統合の削除候補を作成したら、関連付けられているユーザーをSurveyMonkeyチームから直接削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順
1. SurveyMonkey統合の削除候補を特定します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから SurveyMonkey 統合プロファイルを選択します。

c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. 関連付けられたユーザーを SurveyMonkey チームから削除します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、関連付けられているユーザーをSurveyMonkeyチームから再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Webブラウザーから SurveyMonkey を開きます。

b. 管理者資格情報を使用してログインします。

c. 左側のナビゲーション メニューで、 [ユーザーの管理] を選択します。
[ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチーム内のユーザーの完全なリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。
関連付けられたユーザー名に基づいて、削除するユーザーを特定できます。ユーザー名は、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応しています。

e. プロンプトが表示されたら、[アカウントを再割り当て] または [アカウントを削除] を選択します。
ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動するには、[アカウントの再割り当て] を選択します。ユーザーを完全に非アクティブ化するには、[アカウントの削除] を選択します。

f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから SurveyMonkey 統合プロファイルを選択します。

c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、ステップ 2 でSurveyMonkeyチームから削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、ソフトウェアモデルフォームが自動的に戻ります。

g. SurveyMonkeyチームから削除したユーザーごとに、手順 d ～ f を繰り返します。

ソフトウェア資産管理クラシックで**monday.com**ユーザーサブスクリプションを再利用する

未使用の monday.com サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

monday.com 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 monday.com統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が monday.com 統合の削除候補を作成したら、monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. monday.com統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

   b. [統合プロファイル] リストから monday.com 統合プロファイルを選択します。

   c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

   d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
   ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

   a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

   b. 管理者資格情報を使用してログインします。

   c. 左側のナビゲーション メニューの下部にあるプロファイル アイコンをクリックし、[管理] を選択します。
   [管理] セクションが開きます。

   d. [管理] セクションの左側のナビゲーション メニューで、[ユーザー] を選択します。
   [ユーザー] サブセクションの [ユーザー] タブが開きます。このタブには、 monday.com アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

   e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。
   関連付けられたユーザー名またはメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを特定できます。ユーザー名またはメールアドレスは、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応しています。

   f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーの非アクティブ化] をクリックします。

   g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

   b. [統合プロファイル] リストから monday.com 統合プロファイルを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。
が開きます。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、ソフトウェアモデルフォームが自動的に戻ります。

g. monday.com アカウントで非アクティブ化したユーザーごとに、手順 d から f を繰り返します。

ソフトウェア資産管理クラシックで**Roadmunk**ユーザーサブスクリプションを再利用する

未使用の Roadmunk サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 Roadmunk統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が Roadmunk 統合の削除候補を作成したら、Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. Roadmunk統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 すべて > ソフトウェア資産 > **SaaS** ライセンス > 直接統合プロファイル.

   b. [統合プロファイル] リストから Roadmunk 統合プロファイルを選択します。

   c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

   d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する各削除候補のユーザープリンシパル名をメモします。後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
Roadmunk ダッシュボードが開きます。

c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
アカウント設定が開きます。

d. アカウント設定のページヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
このタブには、協力者、レビュー担当者、非アクティブなユーザーなど、 Roadmunk アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。
各ユーザーに関連付けられているメールアドレスに基づいて、非アクティブ化するユーザーを決定できます。メールアドレスは、 ステップ 1 で特定した各削除候補のユーザープリンシパル名に直接対応しています。

f. [保存] をクリックします。

ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブなユーザーのリストに追加されます。

注: デフォルトでは、ServiceNow SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合内の Roadmunk Download Subscriptions サブフローは、アクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、Roadmunk アカウントのすべてのユーザーをダウンロードします。アカウント内のアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、Roadmunk ユーザーレポートをダウンロードし、ServiceNow インスタンスの Roadmunk 統合プロファイルに添付する必要があります。詳細な手順については、 Roadmunk 統合プロファイルの作成 のステップ 7 を参照してください。

3. オプション: 非アクティブ化されたユーザーを Roadmunk アカウントから削除します。
非アクティブ化されたユーザーが組織またはチームの一員でなくなった場合は、 Roadmunk アカウントからユーザーを削除できます。

警告: ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

a. Roadmunk アカウント設定の同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
非アクティブなユーザーのリストが開きます。

b. 削除するユーザーの [削除] アイコン ( ) をクリックします。
削除の確認ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。
ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** アカウントからの削除についてユーザーには通知されません。ユーザーについて言及しているコメントまたはユーザーによるコメントは、ユーザーが削除されたことを示すように更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、任意のアカウント管理者が管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで Roadmunk に招待された場合は、これらのロードマップをユーザーに手動で再アサインする必要があります。

d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 **SaaS** ライセンス > 管理 > 直接統合プロファイル.

b. [統合プロファイル] リストから Roadmunk 統合プロファイルを選択します。

c. [統合プロファイル] フォームの [ソフトウェアモデル] タブで、統合プロファイルに関連付けられているソフトウェアモデルを選択します。

d. [ソフトウェアモデル] フォームで、[再利用候補] 関連タブを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションが削除され、ソフトウェアモデルフォームが自動的に戻ります。

g. Roadmunk アカウントで非アクティブ化したユーザーごとに、手順 d から f を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでのユーザーサブスクリプションの再利用

ソフトウェア資産ワークスペースで未使用の SaaS および SSO サブスクリプションを再利用します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理 を要求する を参照してください。

必要なロール：sam_user

> **重要:** SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。SurveyMonkeyユーザーサブスクリプションを再利用するには、SurveyMonkey管理ポータルを使用して、SurveyMonkeyチームからユーザーを再割り当てまたは削除する必要があります。ユーザーがチームから削除された後、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの SurveyMonkey ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: SaaS ライセンス管理 monday.com統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。monday.comユーザーサブスクリプションを再利用するには、monday.com アカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化されたら、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの monday.com ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

重要: SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。Roadmunkユーザーサブスクリプションを再利用するには、Roadmunk アカウントのユーザーを非アクティブ化する必要があります。ユーザーが非アクティブ化されたら、対応する削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新して、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるようにする必要があります。詳細な手順については、「ソフトウェア資産ワークスペースでの Roadmunk ユーザーサブスクリプションの再利用」を参照してください。

手順

1. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。
2. ソフトウェア再利用ルールによって自動的に識別されなかったユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア削除候補を作成します。
   ソフトウェア資産ワークスペースでソフトウェア削除候補を作成する方法の詳細については、ワークスペースにソフトウェア削除候補を追加する を参照してください。
3. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。
4. 「ライセンス使用状況」ビューで、「 削除候補 」タブを選択します。
5. ユーザーサブスクリプションを再利用します。
   - すべてのユーザー サブスクリプションを再利用するには、[すべて再利用] をクリックします。

     注: すべてのユーザー サブスクリプションを再利用する場合は注意が必要です。一部のユーザーは、アクティビティがない場合でもサブスクリプションが必要になる場合があります。

   - 個々のユーザー サブスクリプションを再利用するには、削除候補を選択し、[削除候補] フォームの [再利用] をクリックします。

タスクの結果

ユーザーサブスクリプションを再利用すると、サブスクリプションレコードはソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されます。再利用候補のステータスが [完了してクローズ] に設定されます。再利用が失敗した場合、状態は 「要確認」に設定されます。画面の上部にエラーメッセージが表示され、エラーの解決方法の詳細が示されます。

ソフトウェア資産ワークスペースでの **SurveyMonkey** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の SurveyMonkey サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理 を要求する を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

SurveyMonkey 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 SurveyMonkey統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が SurveyMonkey 統合の削除候補を作成したら、関連付けられているユーザーをSurveyMonkeyチームから直接削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。チームからユーザーを削除した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. SurveyMonkey統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**] を選択します。
   SurveyMonkey 公開者の概要が開きます。

   d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
   後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. 関連付けられたユーザーを SurveyMonkey チームから削除します。
   ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、関連付けられているユーザーをSurveyMonkeyチームから再アサインまたは削除することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

   a. Webブラウザーから SurveyMonkey を開きます。

   b. 管理者資格情報を使用してログインします。

   c. 左側のナビゲーション メニューで、 [ユーザーの管理] を選択します。
   [ユーザーの管理]ページが開き、SurveyMonkeyチーム内のユーザーの完全なリストが表示されます。

   d. チームから削除するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。

   e. プロンプトが表示されたら、[アカウントを再割り当て] または [アカウントを削除] を選択します。
   ユーザーを別のSurveyMonkeyチームに移動するには、[アカウントの再割り当て] を選択します。ユーザーを完全に非アクティブ化するには、[アカウントの削除] を選択します。

   f. 削除するユーザーごとに手順 d と e を繰り返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況] ビューの [パブリッシャー] タブで、利用可能なパブリッシャーのリストから **[SurveyMonkey**] を選択します。
   SurveyMonkey 公開者の概要が開きます。

   d. **[Removal Candidates**] 関連リストを選択します。

   e. 利用可能な削除候補のリストから、ステップ 2 でSurveyMonkeyチームから削除したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

   f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
   ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

   g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

   h. SurveyMonkey チームから削除したユーザーごとに、手順 e ～ g を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでの **monday.com** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の monday.com サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に
ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理 を要求する を参照してください。

monday.com 必要なロール：admin

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 monday.com統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が monday.com 統合の削除候補を作成したら、monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. monday.com統合の削除候補を特定します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

   c. [ライセンス使用状況] ビューの [発行元] タブで、使用可能な発行元の一覧から **monday.com Ltd.** を選択します。
   monday.com Ltd. の公開者の概要が開きます。

   d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

   e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
   後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
   ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、monday.com アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

   a. Web ブラウザから、monday.com にアクセスします。

   b. 管理者資格情報を使用してログインします。

   c. 左側のナビゲーション メニューの下部にあるプロファイル アイコンをクリックし、[管理] を選択します。
   [管理] セクションが開きます。

   d. [管理] セクションの左側のナビゲーション メニューで、[ユーザー] を選択します。
   [ユーザー] サブセクションの [ユーザー] タブが開きます。このタブには、 monday.com アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

   e. ユーザーのリストから、非アクティブ化するユーザーの省略記号アイコン (...) をクリックします。

   f. プロンプトが表示されたら、[ユーザーの非アクティブ化] をクリックします。

   g. 非アクティブ化するユーザーごとに手順 e と f を繰り返します。

3. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

   a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
   ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

   b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
   [ライセンス使用状況] ビューが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [ライセンス使用状況] ビューの [発行元] タブで、使用可能な発行元の一覧から **monday.com Ltd.** を選択します。
monday.com Ltd. の公開者の概要が開きます。

d. **[Removal Candidates]** 関連リストを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

h. 非アクティブ化した monday.com ユーザーごとに手順 e ～ g を繰り返します。

ソフトウェア資産ワークスペースでの **Roadmunk** ユーザーサブスクリプションの再利用

未使用の Roadmunk サブスクリプションを再利用して、ソフトウェアの総コストを削減します。

始める前に

ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーサブスクリプションを再利用するには、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインを要求してアクティブ化する必要があります。ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインの要求とアクティブ化の詳細については、 ソフトウェア資産管理 を要求する を参照してください。

Roadmunk 必要なロール:アカウントアドミン

ServiceNow 必要なロール:sam_user

このタスクについて

SaaS ライセンス管理 Roadmunk統合は、Now Platformを介した再利用をサポートしていません。ソフトウェア資産管理 が Roadmunk 統合の削除候補を作成したら、Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。ユーザーを非アクティブ化した後、ユーザーサブスクリプションがソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルから削除されるように、削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新する必要があります。

手順

1. Roadmunk統合の削除候補を特定します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [License usage (ライセンス使用状況)] ビューの [**Publishers** (パブリッシャー)] タブで、使用可能なパブリッシャーのリストから **[Roadmunk**] を選択します。
Roadmunk 公開者の概要が開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [削除候補] 関連リストを選択して、利用可能な削除候補のリストを表示します。

e. ユーザーサブスクリプションを再利用する削除候補をメモします。
後で使用するためにこの情報を保存してください。

2. Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化します。
ステップ 1 で特定した削除候補のリストに基づいて、Roadmunk アカウントの関連ユーザーを非アクティブ化することで、ユーザーサブスクリプションを再利用できます。

a. Web ブラウザーから、Roadmunk を開きます。

b. アカウントアドミンの認証情報を使用してログインします。
Roadmunk ダッシュボードが開きます。

c. Roadmunkダッシュボードの左側のナビゲーションメニューで、プロファイルアイコンをクリックし、[アカウントの設定] を選択します。
アカウント設定が開きます。

d. アカウント設定のページヘッダーで、[ユーザー] タブを選択します。
このタブには、協力者、レビュー担当者、非アクティブなユーザーなど、 Roadmunk アカウントのユーザーの完全なリストが表示されます。

e. 非アクティブ化するすべてのユーザーの [アクティブ] トグルボタンをクリックします。

f. [保存] をクリックします。

ユーザーは非アクティブ化され、非アクティブなユーザーのリストに追加されます。

注: デフォルトでは、ServiceNow SaaS ライセンス管理 Roadmunk 統合内の Roadmunk Download Subscriptions サブフローは、アクティブなユーザーと非アクティブなユーザーの両方を含む、Roadmunk アカウントのすべてのユーザーをダウンロードします。アカウント内のアクティブなユーザーのみをダウンロードするには、Roadmunk ユーザーレポートをダウンロードし、ServiceNow インスタンスの Roadmunk 統合プロファイルに添付する必要があります。詳細な手順については、 Roadmunk 統合プロファイルの作成 のステップ 7 を参照してください。

3. オプション: 非アクティブ化されたユーザーを Roadmunk アカウントから削除します。
非アクティブ化されたユーザーが組織またはチームの一員でなくなった場合は、 Roadmunk アカウントからユーザーを削除できます。

警告: ユーザーは完全に削除されます。ユーザーは一度削除すると復元できないため、注意して続行してください。

a. Roadmunk アカウント設定の同じ [ユーザー] タブで、[非アクティブなユーザー] を選択します。
非アクティブなユーザーのリストが開きます。

b. 削除するユーザーの [削除] アイコン ( ) をクリックします。
削除の確認ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、「 削除」をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーがアカウントから削除され、すべてのロードマップがユーザーからアサイン解除されます。

> **注:** アカウントからの削除についてユーザーには通知されません。ユーザーについて言及しているコメントまたはユーザーによるコメントは、ユーザーが削除されたことを示すように更新されます。ユーザーが所有するすべてのロードマップはアカウントに保持され、任意のアカウント管理者が管理できます。これらのロードマップは、ロードマップホームページの [すべてのロードマップ] リストでいつでも表示できます。ユーザーが同じメールアドレスで Roadmunk に招待された場合は、これらのロードマップをユーザーに手動で再アサインする必要があります。

d. 削除するユーザーごとに手順 b と c を繰り返します。

4. ServiceNowインスタンスに戻り、各削除候補のステータスを [スキップしてクローズ] に更新します。

a. ServiceNowインスタンスから、 ソフトウェア資産 > **Software Asset Workspace**.
ソフトウェア資産ワークスペースが新しいタブで起動します。

b. ソフトウェア資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[ライセンス使用状況] を選択します。
[ライセンス使用状況] ビューが開きます。

c. [License usage (ライセンス使用状況)] ビューの [**Publishers** (パブリッシャー)] タブで、使用可能なパブリッシャーのリストから **[Roadmunk**] を選択します。
Roadmunk 公開者の概要が開きます。

d. [Removal Candidates] 関連リストを選択します。

e. 利用可能な削除候補のリストから、 ステップ 2 で非アクティブ化したユーザーの削除候補番号 (RCCxxxxxxx) を選択します。

f. [削除候補] フォームで、[スキップしてクローズ] をクリックして削除候補のステータスを更新します。
ソフトウェア資産管理 ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] テーブルからユーザーサブスクリプションを削除します。

g. [Removal Candidate] フォームのタブを閉じます。

h. 非アクティブ化した Roadmunk ユーザーごとに手順 e ～ g を繰り返します。

SSO アプリを切断

SSO アプリケーションを切断して、アプリのサブスクリプション情報の表示を停止するか、アプリの直接統合を作成する前に切断します。

始める前に
必要なロール:sam_integrator

このタスクについて
SaaS ライセンス管理 は、特定のアプリケーションとの直接統合を提供します。直接統合は、最も堅牢な使用状況データを提供します。利用可能な直接統合のリストについては、「SaaS アプリケーションとの統合」を参照してください。接続済みの SSO アプリがあり、それを直接統合に置き換え

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

る場合は、直接統合を作成する前にアプリを切断して、アプリのサブスクリプションレコードが重複しないようにします。

アプリが切断されると、そのアプリのすべての SSO サブスクリプションが削除され、オープンな再利用候補は [スキップしてクローズ] に設定されます。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > **SSO** アプリケーション.
2. 切断するアプリケーションをクリックします。
3. [切断] をクリックします。

> ヒント: **SSO** アプリケーションリストから複数のアプリを一度に切断することもできます。リストの左側にあるチェックボックスを使用してアプリを選択します。リストの一番下にある [選択した行のアクション]ドロップダウンメニューをクリックし、[切断]をクリックします。

統合プロファイルの削除

会社が SaaS アプリケーションまたは SSO プロバイダーの使用を停止した場合は、統合プロファイルを削除できます。

統合プロファイルを削除するには、統合プロファイルレコードに移動して [削除] をクリックします。統合プロファイルを削除するには、sam_integratorロールが必要です。

直接統合

直接統合プロファイルを削除すると、統合のすべてのサブスクリプション、スケジュール済みジョブ、および消費サマリーも削除されます。オープンな再利用候補は [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合

SSO 統合プロファイルを削除すると、統合のすべての SSO アプリケーション、サブスクリプション、およびスケジュール済みジョブも削除されます。オープンな再利用候補は [スキップしてクローズ] に更新されます。再利用ルールは削除されません。

SSO 統合は、ディレクトリ統合を使用して作成されます。SSO 統合プロファイルを削除しても、ディレクトリ統合 (ディレクトリジョブ、ディレクトリユーザー、ディレクトリグループを含む) は削除されません。ディレクトリ統合を削除する前に、 新規雇用オンボーディングのための Microsoft Azure AD 統合 など、追加の接続でディレクトリ統合が使用されていないことを確認してください。ディレクトリ統合を削除するには、sn_remote_dir_sync.admin ロールが必要です。

SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子

SaaS ライセンス管理 アプリケーションを使用して、SaaS および SSO アプリケーションのサブスクリプション識別子を表示、管理、および解決します。

サブスクリプション識別子は、 SaaS アプリケーションと SSO アプリケーションを一意に識別します。各サブスクリプション識別子は、環境にインストールされているソフトウェアを正規化するのに役立つ検出マップとソフトウェアモデルに関連付けられています。この情報を使用して、ソフトウェアサブスクリプションを追跡し、ライセンスポジションを把握できます。

更新されたサブスクリプション識別子を管理する

Now Platformによって検出された更新されたサブスクリプション識別子を管理することで、SaaSとSSOライセンスの位置を正確かつ最新の状態に保ちます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

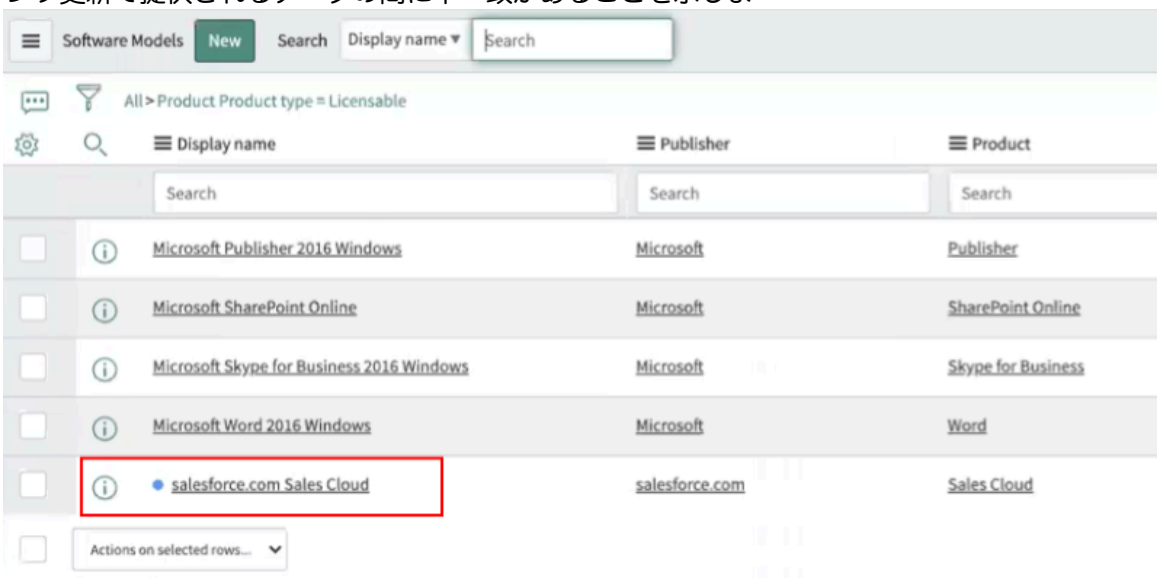
始める前に
必要なロール:sam_integrator または admin

このタスクについて
SaaS または SSO プロバイダーが既存のサブスクリプション識別子を更新すると、Now Platformは毎週のコンテンツ更新を通じて変更を自動的に検出し、ServiceNowインスタンスにプッシュします。変更には、製品名、エディション、バージョン、プラットフォーム、および言語が含まれます。インスタンスはこの情報を使用して既存のソフトウェアモデルのサブスクリプション識別子を更新します。これにより、同じサブスクリプションソフトウェアに対して複数のソフトウェアモデルが作成されるのを防ぐことができます。

サブスクリプション識別子は、関連付けられたソフトウェアモデルタイプに応じて自動または手動で更新されます。サブスクリプション識別子が自動生成されたソフトウェアモデルに関連付けられている場合、自動的に更新されます。サブスクリプション識別子がカスタマイズされたソフトウェアモデルに関連付けられている場合は、ソフトウェアモデルの提案を使用して手動で更新する必要があります。ソフトウェアモデルの提案により、既存のサブスクリプション識別子の変更が特定されます。この情報を使用して、最新のサブスクリプション識別子に基づいてカスタマイズされたソフトウェアモデルを更新する必要があるかどうかを判断できます。たとえば、 SaaS プロバイダーがアプリケーションの製品名を更新した場合、ソフトウェアモデルの提案では製品名の現在の値と更新された値の両方が識別されます。変更が正しければ、ソフトウェアモデルの提案を受け入れて、ソフトウェアモデルを最新の製品名で更新できます。

手順

1. 移動先 すべて > **SaaS** ライセンス > ソフトウェアモデル.
2. ドットでマークされたソフトウェアモデルを選択します。
   ドットは、関連付けられたサブスクリプション識別子と最新のコンテンツ更新で提供されるデータの間に不一致があることを示します。



3. ソフトウェアモデルフォームで、[表示名] フィールドの横にある警告アイコン (⚠) をクリックして、ソフトウェアモデルの提案を開きます。
   [ソフトウェアモデルの提案] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、[提案されたディスカバリーマップ] フィールドを表示して、ソフトウェアモデルが更新されたサブスクリプション識別子のディスカバリーマップを使用していることを確認します。
   このフィールドは読み取り専用です。ただし、プレビューアイコン (ⓘ) をクリックすると、ディスカバリーマップに関する追加情報を表示できます。
5. サブスクリプション識別子の変更を確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[ソフトウェアモデルの提案] ダイアログボックスには、すべてのサブスクリプション識別子フィールドの現在の値と更新された値の両方が表示されます。これらのフィールドは読み取り専用ですが、値を比較することでサブスクリプション識別子がどのように変化したかを把握できます。この情報を使用して、変更が正しく、ソフトウェアモデルに適用する必要があるかどうかを判断します。

サブスクリプション識別子フィールド

フィールド	説明
推奨パブリッシャー	ソフトウェア公開者を更新しました。
パブリッシャー	現在のソフトウェアパブリッシャー。
推奨製品	更新されたソフトウェア製品名。
製品	現在のソフトウェア製品名。
推奨バージョン条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値と検出モデルの [バージョン] フィールドの値を比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「**is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
バージョン条件	ソフトウェアモデルの [バージョン] フィールドの値とディスカバリーモデルの [バージョン] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨バージョン	更新されたソフトウェアバージョン。
バージョン	現在のソフトウェアバージョン。
推奨エディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値とディスカバリーモデルの [エディション] フィールドの値を比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
エディション条件	ソフトウェアモデルの [エディション] フィールドの値と検出モデルの [エディション] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨エディション	更新されたソフトウェアエディション。
エディション	現在のソフトウェアエディション。
推奨プラット	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値と検出モデルの [プラットフォーム] フィールドの値を比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フォーム条件	ンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
プラットフォーム条件	ソフトウェアモデルの [プラットフォーム] フィールドの値と検出モデルの [プラットフォーム] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できるプラットフォームが更新されました。
プラットフォーム	ソフトウェアをインストールまたは実行できる現在のプラットフォーム。
推奨言語条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値と検出モデルの [言語] フィールドの値を比較するために使用できる、更新された修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
言語条件	ソフトウェアモデルの [言語] フィールドの値と検出モデルの [言語] フィールドの値を比較するために使用できる現在の修飾子。インスタンスは、「 **is** 」または 「is-**anything** 」などの修飾子を使用して、検出されたソフトウェアがソフトウェアモデルに適用されるかどうかを判断します。
推奨言語	ソフトウェアを実行する言語が更新されました。
言語	ソフトウェアを実行している現在の言語。

6. 変更を承認または却下します。
   - 変更が正しければ、[承認] をクリックして、提案されたフィールド値でソフトウェアモデルを更新します。
   - 変更が正しくない場合は、[却下] をクリックして提案されたフィールド値を無視します。ソフトウェアモデルは、既存のサブスクリプション識別子を引き続き使用します。

   自動的にソフトウェアモデルフォームに戻ります。
7. [更新] をクリックして変更を保存し、ソフトウェアモデルの提案をクリアします。

認識されないサブスクリプション識別子の解決

Now Platformによって検出された認識されないサブスクリプション識別子を解決することで、サブスクリプションソフトウェアの正確なライセンスポジションを維持します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
サブスクリプション識別子がソフトウェアモデルに関連付けられていない場合、 Now Platform はサブスクリプション識別子を認識不可としてマークします。認識されないサブスクリプション識別子をソフトウェアモデルに関連付けることで、関連付けられたサブスクリプションソフトウェアのサブスクリプション使用状況を追跡できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. オプション: ソフトウェア資産管理コンテンツサービスにオプトインして、認識されないサブスクリプション識別子をServiceNowコンテンツチームに送り返します。
   ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインするときは、[認識されないサブスクリプション識別子 **(Unrecognized Subscription Identifier)**] KPI が有効になっていることを確認します。詳細な手順については、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスの有効化」を参照してください。
2. 移動先 **SaaS** ライセンス > 認識されないサブスクリプション識別子.
3. 認識されないサブスクリプション識別子を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

認識されないサブスクリプション識別子フォーム

フィールド	値
サブスクリプション識別子	認識されないサブスクリプション識別子の名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
ソフトウェアモデル	サブスクリプション識別子に関連付けるソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられている直接統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
サブスクリプションの数	サブスクリプション識別子に関連付けられているサブスクリプションの数。このフィールドは、自動的に入力されます。
コンテンツサービスから除外	ServiceNow インスタンスが認識されないサブスクリプション識別子をServiceNowコンテンツチームに送り返さないようにするオプション。このオプションは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインした場合にのみ適用されます。

5. [更新] をクリックします。

タスクの結果
サブスクリプション識別子が指定されたソフトウェアモデルに関連付けられると、関連するすべてのソフトウェアサブスクリプションがそのソフトウェアモデルで自動的に更新されます。

認識されないサブスクリプション識別子データを ServiceNow と共有することを選択した場合、ServiceNow インスタンスは認識されないサブスクリプション識別子を ServiceNow コンテンツチームに送り返します。コンテンツチームはこの情報を使用して、正規化プロセスをさらに調査し、改善することができます。

ソフトウェア支出検出

ServiceNow ソフトウェア支出検出 アプリケーションを使用して、インポートされた財務データからソフトウェア支出を追跡、分析、最適化します。

ソフトウェア支出検出を使用してソフトウェア支出を最適化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 同様の機能を持つソフトウェア製品を統合することで、ビジネスプロセスを簡素化し、コストを削減します。
- 各部門で購入したすべてのソフトウェアを表示して、会社のソフトウェア購入ポリシーを強化します。
- ソフトウェア資産管理を使用してソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、管理対象外のソフトウェアの管理を開始します。

ソフトウェア支出検出 を要求する

ソフトウェア支出を追跡、分析、最適化するための ソフトウェア支出検出 を要求します。ソフトウェア支出検出にアクセスするには、ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインを有効にします。このプラグインにはデモ データが含まれています。

始める前に

ソフトウェア支出検出を要求する前に、ソフトウェア支出検出法務契約に署名する必要があります。ソフトウェア支出検出法務契約の詳細については、ServiceNowアカウント担当者にお問い合わせください。

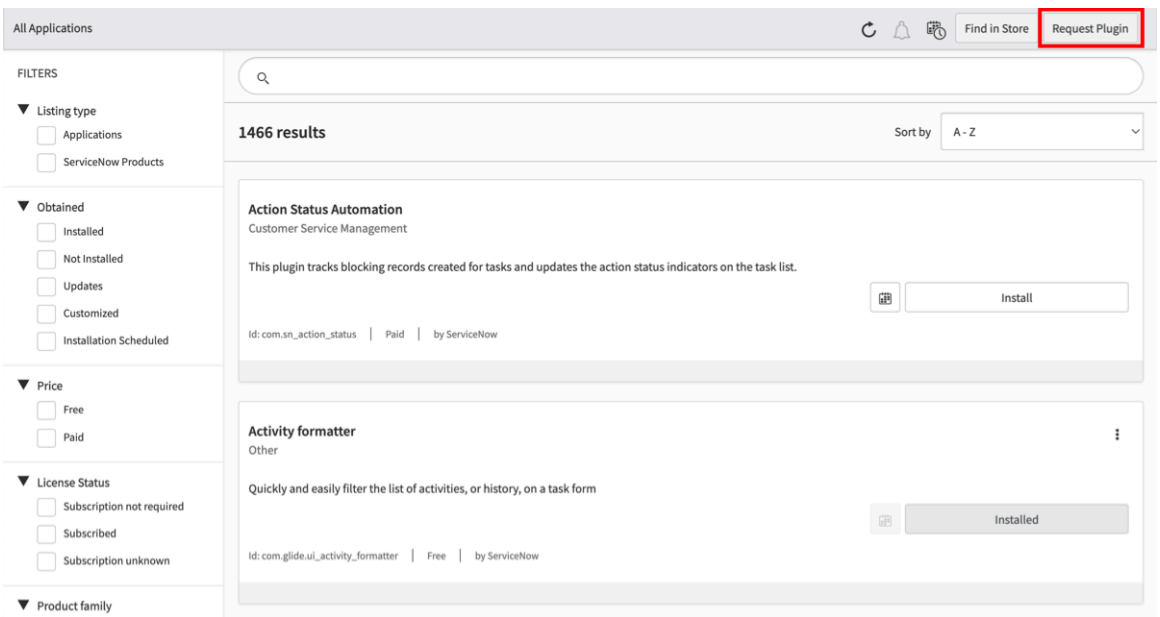
ソフトウェア支出検出を使用するには、ServiceNow インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。ソフトウェア資産管理プロ の有効化に関する詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

> **注:** ソフトウェア支出検出 は、独自の ServiceNow インスタンスをホストしているオンプレミスユーザーではサポートされていません。

必要なロール：admin

手順

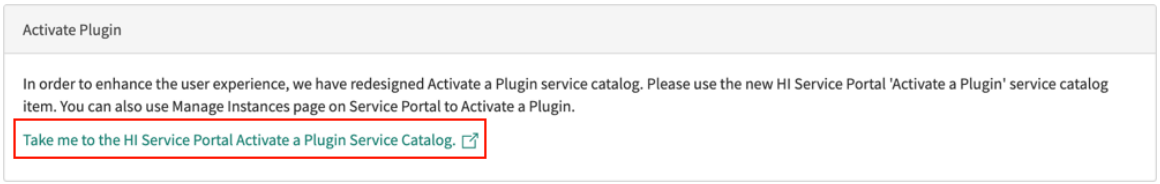
1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. [すべてのアプリケーション] ページで [プラグインの要求] をクリックして、Now Support で [プラグインをアクティブ化] フォームを開きます。



3. Now Support で、Now Support サービスポータル サービスカタログ にアクセスするリンクを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



4. インスタンスを選択します。
5. [アクション] > [プラグインのアクティブ化] を選択します。
6. [プラグインのアクティブ化] フォームで、次の情報を入力します。

[プラグインのアクティブ化] フォーム

フィールド	説明
ターゲットインスタンスは何ですか	プラグインをアクティブ化するインスタンス。
どのプラグインをアクティブ化しますか	アクティブ化するプラグインの名前です。 **注:** 必要なプラグインが表示されない場合、または OEM またはオンプレミスのインスタンスでプラグインをアクティブ化している場合は、[探しているプラグインが表示されていません **(Plugin I'm looking for is not listed)]** チェックボックスをオンにして、プラグインの名前を入力します。
メンテナンスの日時を選択 (Select Maintenance Date and Time)	プラグインをアクティブ化する日時。 **注:** プラグインは、米国太平洋標準時で、毎営業日の朝と夕方の 2 回のバッチでアクティブ化されます。特定の時刻にプラグインをアクティブ化する必要がある場合は、[理由/コメント **(Reason/Comments)]** フィールドに要求を入力します。

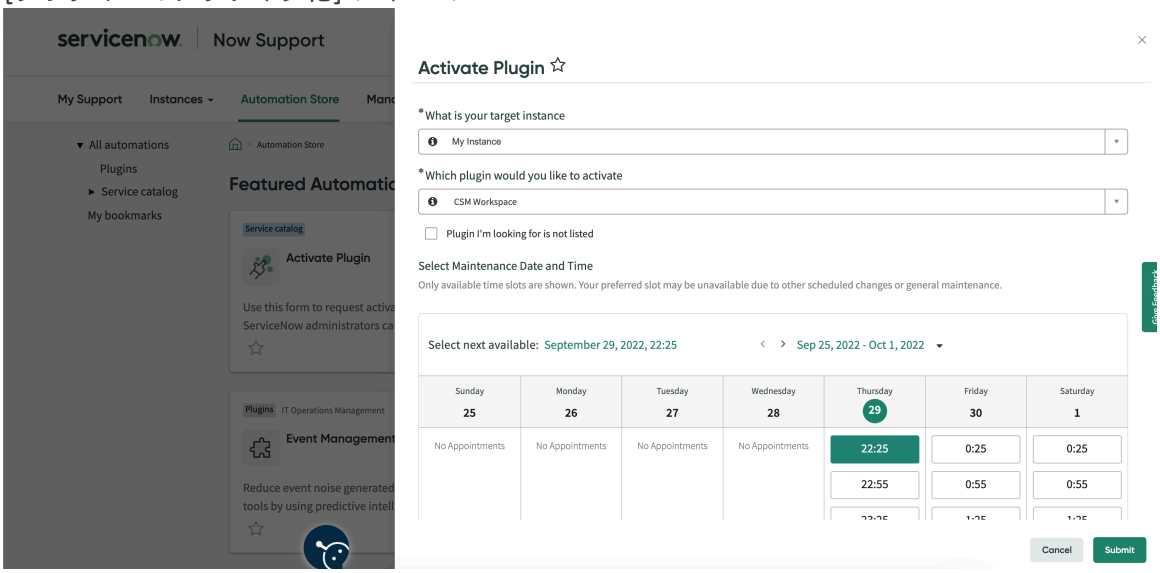
Example

たとえば、 [自分のインスタンス (My Instance)] という名前のインスタンスで CSM Workspace プラグインをアクティブ化するには、次のフォームを参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[プラグインのアクティブ化] フォーム



7. [送信] を選択します。
   プラグインの要求に関するその他の詳細については、Now Support ナレッジベース の記事「サービスカタログからのプラグインの要求 (Requesting a Plugin from the サービスカタログ) (KB0751715)」を参照してください。

[Software Spend Detection Overview] ダッシュボード

ソフトウェア支出検出概要ダッシュボードに、アップロードされた財務データからのすべてのソフトウェア支出を表示します。

ソフトウェア支出検出ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 ソフトウェア支出検出 > 概要.

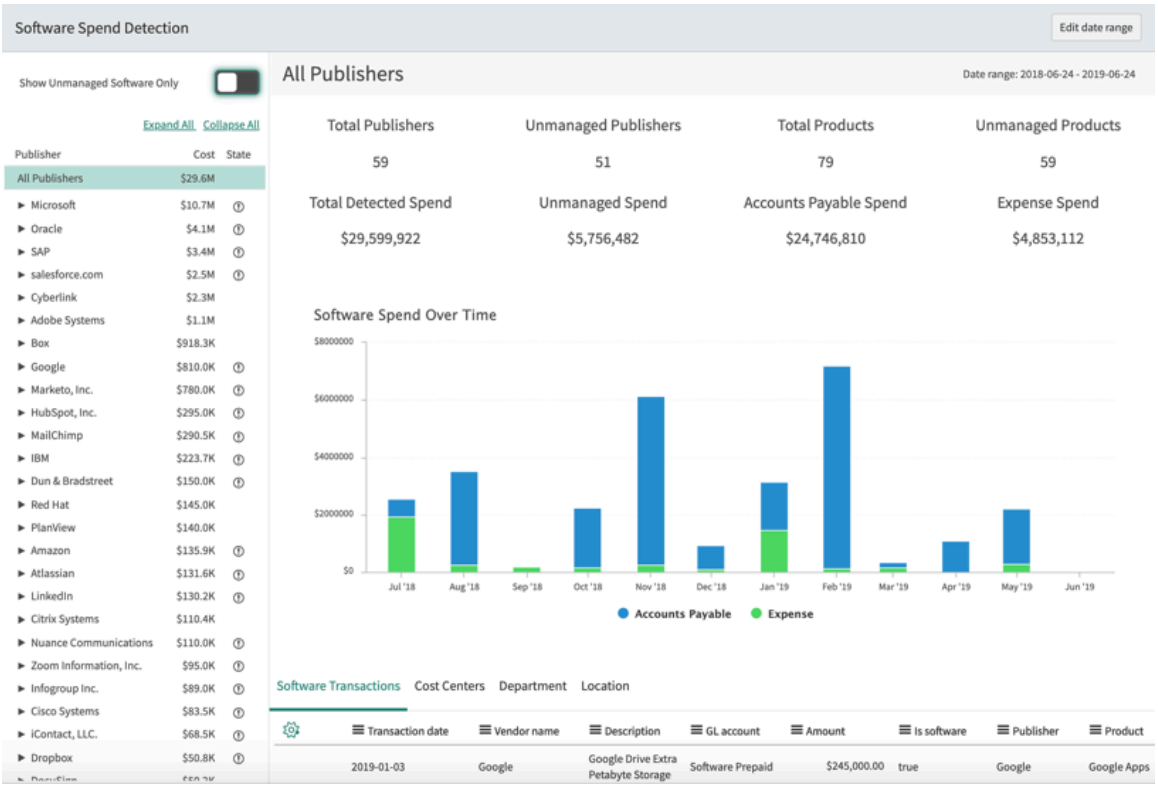
左側のメニューバーでパブリッシャーを展開すると、そのパブリッシャーの商品が表示されます。これらのトランザクションのみを表示する発行元または製品を選択します。日付でトランザクションをフィルタリングするには、[日付範囲の編集] を選択します。デフォルトでは、ダッシュボードには過去 1 年内のすべてのトランザクションが表示されます。[時間経過に伴うソフトウェア支出] グラフの上にカーソルを移動すると、正確な支出額が表示されます。ダッシュボードの下部にあるタブを使用して、コストセンター、部門、または場所でグループ化されたトランザクションを表示することもできます。

ダッシュボードの URL を共有すると、現在選択されているパブリッシャー、製品、日付範囲が表示されます。適用されたフィルターを表示するには、URL 受信者が ServiceNow インスタンスにすでにログインしている必要があります。

> **注:** ソフトウェア発行元でラベル付けされていないトランザクションは、ダッシュボードに含まれません。これらのトランザクションをパブリッシャーで手動で更新して、ダッシュボードに追加できます。詳細については、「トランザクションを手動で更新」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



インジケーター	説明
合計パブリッシャー	パブリッシャーの合計数。これには、インポートされた財務トランザクションから自動的に検出されたパブリッシャーと、トランザクションに手動で追加されたパブリッシャーが含まれます。
管理対象外パブリッシャー	管理対象外の製品を持つパブリッシャーの数。
製品合計	製品の合計数。これには、インポートされた金融取引から自動的に検出された商品や、取引に手動で追加された商品が含まれます。
管理対象外製品	ソフトウェアモデルがない製品の数。
合計検出支出	ソフトウェアに費やされた合計金額。この値は、未払金支出と経費支出を足したものと等しくなります。
管理対象外支出	発行者と製品が識別されているが、製品のソフトウェアモデルがないトランザクションの合計支出額。ソフトウェアモデルとエンタイトルメントを作成して、これらの製品の追跡を開始し、管理対象外支出を管理対象の支出に変換できます。
買掛金支出	タイプが [Accounts Payable] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、会計システムまたは調達システムからのものです。
経費支出	タイプが [Expense] であるトランザクションの合計支出額。これらのトランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードからのものです。
経時的なソフトウェア支出	毎月のソフトウェア支出額。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツサービスへのオプトイン

ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインし、財務トランザクションデータを ServiceNow コンテンツサービスチームと共有することで、ソフトウェア支出検出でより正確な予測を取得します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、金融トランザクションデータのコピーが ServiceNow に安全に送信されることに同意したことになります。データは、ソフトウェア支出検出 にデータをインポートするときに、将来のパブリッシャーと製品の予測を改善するためにのみ使用されます。コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。

既に ソフトウェア資産管理 Content Service にオプトインしている場合でも、[Content Service Setup (コンテンツサービス設定)] ページの [Software Spend Transactions (ソフトウェア支出トランザクション)] トグルボタンを選択して、 ソフトウェア支出検出 のデータ共有を手動で有効にする必要があります。ソフトウェア支出トランザクションデータ共有は、デフォルトでは無効になっています。

データを ソフトウェア支出検出 にインポートした後にオプトインすると、以前のインポートのデータと将来のインポートのデータも共有されます。

> **注:** オプトイン機能を非表示にする場合は、admin ロールを持つユーザーが glide.samp.spend_detection_opt_in.enabled システムプロパティを *false* に設定できます。この値を *false* に設定すると、ソフトウェア支出トランザクションの共有をオンにするために使用されるトグルボタンが非表示になります。また、既にオプトインしているときにこのプロパティが *false* に設定されている場合、トランザクションデータは共有されなくなります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 管理 > コンテンツサービス設定.
2. チェックボックスをオンにしてオプトイン契約に同意し、[オプトイン] を選択します。

   > **注:** 既に ソフトウェア資産管理 を通じてコンテンツサービスにオプトインしている場合は、オプトイン画面は表示されません。

   ソフトウェアディスカバリーモデル、ソフトウェアモデルのライフサイクル、部品番号とディスカバリーマップ、およびプロセッサー名 KPI のデータ共有は、オプトインすると自動的に有効になります。一部の KPI のデータを共有しない場合は、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択して、共有を個別に無効にします。コンテンツサービス KPI について詳しくは、「ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス」を参照してください。
3. ソフトウェア支出トランザクションデータの共有をオンにするには、ソフトウェア支出トランザクションの横にあるトグルボタンを選択し、 保存を選択します。

次のタスク
コンテンツサービス設定ページに戻り、各 KPI のデータ共有設定を調整できます。[ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから自分の会社をオプトアウトしたい] を選択すると、完全にオプトアウトできます。オプトアウトした後は、いつでも再びオプトインできます。

のコンテンツサービス ソフトウェア支出検出

ソフトウェア支出トランザクション用のコンテンツサービスソフトウェア資産管理オプトインして、財務トランザクションデータを ServiceNow コンテンツサービスチームと共有することで、より正確な予測をソフトウェア支出検出で取得します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

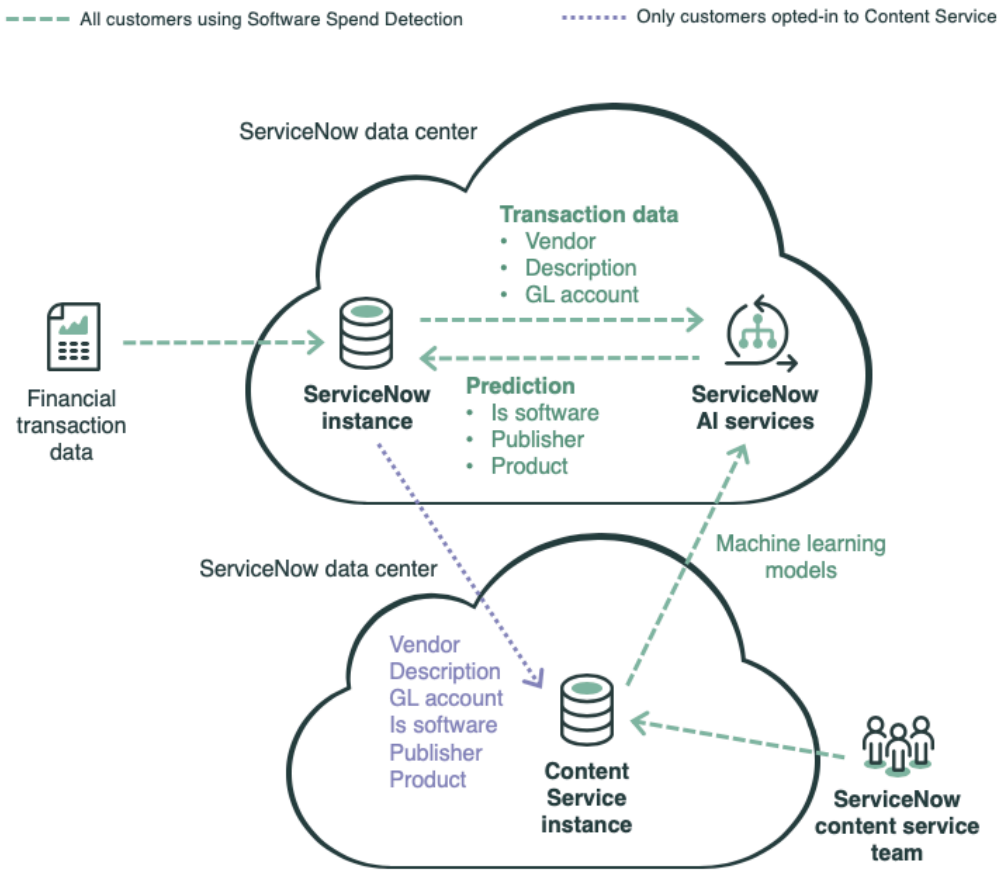
ソフトウェア支出トランザクションのコンテンツサービスにオプトインすると、財務トランザクションデータのコピーが ServiceNow コンテンツサービスチームに安全に送信されることに同意したことになります。 ServiceNow は、データを ソフトウェア支出検出 にインポートするときに、将来の公開者と製品の予測を改善するためにのみデータを使用します。 ServiceNow は、顧客インスタンスを保護するのと同じポリシーを使用してすべてのデータを保護します。

オプトインにより、次のデータが ServiceNow と共有されます。

- ベンダー名
- トランザクションの説明
- GL アカウント
- 予測結果 (パブリッシャー ID、製品 ID、ソフトウェア)

データは匿名でコンテンツサービスチームに送信されます。データは、会社名やインスタンス名などの識別可能な情報にリンクされていません。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および **[GL** アカウント] フィールドに会社名や従業員名などの識別可能な情報が含まれていないことを確認する必要があります。

ServiceNowコンテンツサービスチームは、これらのデータポイントを使用して、ServiceNow人工知能 (AI) サービスで使用される機械学習モデルを改善します。AI サービスは、すべての ServiceNow データセンター内に存在する一連の Web サービスです。ServiceNow AI サービスの継続的な改善により、すべてのソフトウェア支出検出ユーザーが恩恵を受けますが、コンテンツサービスにオプトインしたユーザーが最も恩恵を受けます。ServiceNow AI Services は、以前は識別できなかったトランザクション内のソフトウェア製品とパブリッシャーを識別する方法を学習 ソフトウェア支出検出 。この学習により、今後のインポートに備えて機能が向上します。



コンテンツサービスはいつでもオプトアウトできます。オプトアウトすると、今後のインポートのデータは ServiceNow コンテンツサービスチームに送信されませんが、以前に共有したデータは削

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

除されません。コンテンツサービスに参加するが、一部のトランザクションを ServiceNowとの共有から除外する場合は、それらのトランザクションレコードの [コンテンツサービスから除外] チェックボックスをオンにすることができます。

財務トランザクションのインポート

財務トランザクションデータの Microsoft Excel スプレッドシートをインポートして、ソフトウェア支出の管理を開始します。

始める前に

必要なロール：sam_spend_import または sam_admin

注: sam_user ロールを持つユーザーは、インポートされたすべてのトランザクション ページの上部にある 新規 を選択することで、トランザクション レコードを手動で作成できます。

このタスクについて

インポートされたデータには、会社のすべての財務トランザクションデータを含めることができます。 ソフトウェア支出検出 は、各トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを自動的に判別します。データをインポートする前に、[ベンダー名]、[トランザクションの説明]、および **[GL** アカウント] フィールドに会社名や従業員名などの識別可能な情報が含まれていないことを確認してください。インポートする前に、データに必要な変更を加えます。インポートされたすべての財務トランザクションデータフィールドは、インスタンスにロードされると読み取り専用になります。

大量のトランザクションをインポートする場合、インポートに数時間かかることがあります。

注: ソフトウェア支出検出 現在、英語のトランザクションデータのみをサポートしています。他の言語のデータを使用して ServiceNow 人工知能のトレーニングを支援する場合は、ServiceNow IT Asset Management 製品チームにお問い合わせください。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションをインポート.
2. [**Download Template File (.xlsx)]** を選択します。
3. 財務データをテンプレートファイルにコピーします。
   必須フィールドは、[トランザクション日付]、[ベンダー名 または 説明]、および [タイプ] です。
   最も堅牢な結果を得るには、できるだけ多くのフィールドに入力します。

ソフトウェア支出トランザクションインポートテンプレート

フィールド	説明
トランザクション日付	必須です。トランザクション日付。
ベンダー名	トランザクションに関連付けられた会社。会社名や従業員の名前など、個人を特定できる情報は含めないでください。ベンダー名または説明を少なくとも 1 つ入力してください。
説明	購入の説明。会社名や従業員の名前など、個人を特定できる情報は含めないでください。ベンダー名または説明を少なくとも 1 つ入力してください。
GL アカウント	総勘定元帳口座または経費カテゴリ。会社名や従業員の名前など、個人を特定できる情報は含めないでください。オプション。
総計	トランザクション金額。オプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	必須です。買掛金または経費を選択します。買掛金トランザクションは、会計または調達システムからのものです。経費トランザクションは、従業員経費システムまたはクレジットカードフィードからのものです。
ロケーション	場所。オプション。
コストセンター	コストセンター。オプション。
部門	部門オプション。
ソース	トランザクションの発生元システムの名前。オプション。
タイプ詳細	[タイプ] フィールドの説明。買掛金の場合、例として、ベンダー請求書または請求書の支払いがあります。経費の場合、例として、クレジットカード購入や従業員払い戻しなどがあります。オプション。
外部 ID (External ID)	ソースシステム内のトランザクションの ID。オプション。
従業員 ID	従業員 ID。オプション。
従業員名	従業員名です。オプション。
従業員メール	従業員のメール。オプション。

4. 完成したファイルをアップロードします。
5. 移動先 ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションインポート結果 をクリックしてインポートに関する情報を表示し、インポートエラーを解決します。
   インポートが完了すると、ソフトウェア支出検出はトランザクションとソフトウェア公開者および製品の照合を開始します。また、ソフトウェア支出検出は、すべてのトランザクションの [ソフトウェアの確率]、[製品の信頼性]、および [公開者の信頼性] フィールドに **0** から **1** の値を割り当てます。たとえば、パブリッシャーの信頼度の値 **.85** は、ソフトウェア支出検出 がトランザクションに対して正しいパブリッシャーと一致したことを 85% 確信していることを意味します。照合プロセスが完了すると、[ソフトウェア支出検出] の [概要]、[重複するソフトウェア]、および [ソフトウェア支出トランザクション] モジュールでデータを表示できます。

次のタスク

移動先 ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション をクリックして ソフトウェア支出検出 ソフトウェア公開者および製品と照合できなかったトランザクションを表示します。これらのトランザクションを手動で更新して、公開者と製品を追加できます。将来のインポートのマッチングを改善するための コンテンツサービスへのオプトイン 。

必要に応じて、インポートからすべてのトランザクションを一括削除できます。移動先 ソフトウェア支出検出 > 管理 > トランザクションインポート結果をクリックし、インポート レコードを選択してから、 [削除] を選択します。

トランザクションを手動で更新

ソフトウェア製品と公開者で自動的にラベル付けされなかったインポート済みソフトウェアトランザクションを手動で更新して、すべてのソフトウェア支出を追跡します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

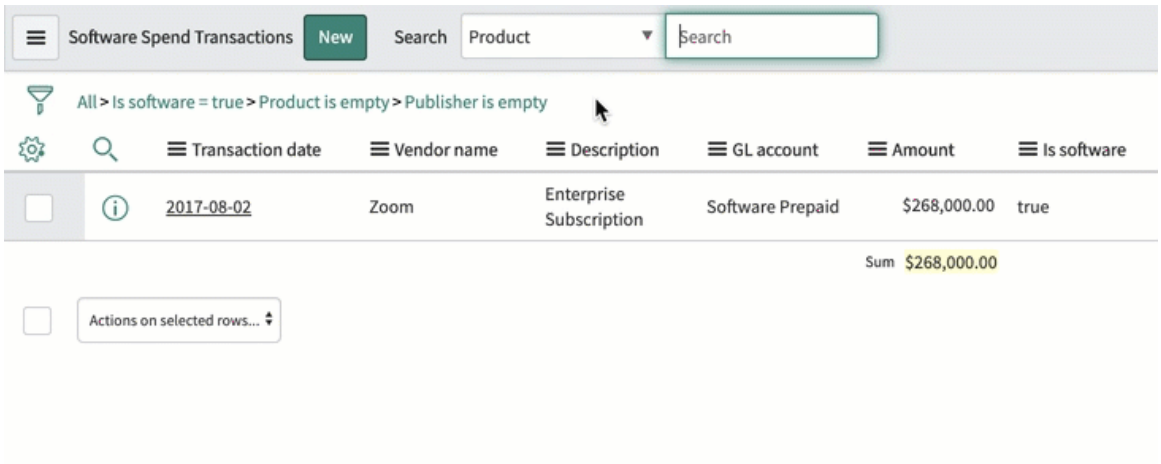
始める前に
必要なロール：sam_user

このタスクについて
場合によっては、 ソフトウェア支出検出 トランザクションをソフトウェアパブリッシャーおよび製品に一致させることができません。ソフトウェア支出検出パブリッシャーを識別できるが、製品を識別できない場合、トランザクションはソフトウェア支出検出ダッシュボードのそのパブリッシャーの製品リストで [非正規化] として分類されます。トランザクション金額は、そのパブリッシャーの総コストに追加されます。ソフトウェア支出検出パブリッシャーを特定できない場合、トランザクションは [非正規化トランザクション **(Unnormalized Transactions)**] に追加され、ソフトウェア支出検出ダッシュボードから除外されます。トランザクション金額は、ダッシュボードに表示される支出金額のいずれにも含まれません。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア支出検出 > 非正規化トランザクション.

   注: デフォルトでは、このリストにはソフトウェアとして識別されたトランザクションのみが表示されます ソフトウェア支出検出。ソフトウェアとして識別されないトランザクションを含めるには、フィルター条件 **Is software = true** を削除します。



2. トランザクション日付を選択します。
3. [パブリッシャー] フィールドと [製品] フィールドの値を選択します。

   注: このフォームからソフトウェア公開者と製品を直接作成するには、フィールドの横にある [リストを使用してルックアップ] アイコン ([ ) を選択し、[新規] を選択します。

4. [ソフトウェアである] チェックボックスをオフまたはオンにして、トランザクションがソフトウェア購入であるかどうかを示します。
5. [更新] を選択します。
   トランザクションが非正規化トランザクションのリストから削除され、 ソフトウェア支出検出ダッシュボードに追加されます。

ソフトウェア支出検出とともにインストールされる内容

ユーザーロールとテーブルは ソフトウェア支出検出とともにインストールされます。ソフトウェア支出検出 のデモデータが利用可能です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ユーザーロール

ロール	説明
sam_spend_import	財務トランザクションデータを ソフトウェア支出検出 にインポートするために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービスセットアップを除くソフトウェア支出検出内のすべてのモジュールを表示できます。このロールを持つユーザーは ソフトウェア資産管理を表示できません。

テーブル

テーブル	説明
ソフトウェア支出トランザクション [sam_spend_transaction]	財務トランザクションデータ。
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [sam_spend_transaction_import]	インポートされた行数とインポートエラーを示すインポートサマリーテーブル。
ソフトウェア支出トランザクションのインポート [imp_sam_spend_transaction]	財務トランザクションデータインポートのステージングテーブル。
重複するソフトウェア構成 [sam_sw_overlap_configuration]	重複するソフトウェアダッシュボードに表示されるレポートのリスト。
重複するソフトウェアの概要 [sam_sw_overlap_summary]	支出トランザクションのあるソフトウェア製品のリスト。

ソフトウェア資産管理 管理

ソフトウェア資産管理 管理タスクには、クライアントアクセス、カスタム製品、およびカスタム部品番号レコードの追加、およびパターン正規化および再利用ルールの作成が含まれます。また、 ソフトウェア資産管理 ジョブの結果を表示したり、プロセッサー定義を更新したり、ソフトウェアインストールを移行したりすることもできます。 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスを有効にでき、移行手順も含まれています。

管理タスクを構成するには、sam_admin ロールが必要です。ただし、sam_user ロールは構成を表示して読み取ることができます。

ソフトウェア資産管理 ジョブ結果には、ディスカバリーモデルの正規化ジョブとソフトウェア使用状況のインポートジョブのステータスが表示されます。

ソフトウェア資産ジョブ結果レコードがナビゲーションパスに一覧表示されます すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ジョブ結果 (フィールドの説明については表を参照)。

ソフトウェア資産ジョブ結果フォーム

フィールド	説明
番号	ジョブの実行時に生成されるジョブ結果の数。
名前	ジョブの名前。
ステータス	ジョブのステータス。
作成済み	ジョブが作成された日時。
更新日時	ジョブが更新された日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンジニアリングライセンスサーバー

OpenLMまたはOpen iTが ServiceNow インスタンスにデータを取り込むために接続するすべてのライセンス管理サーバーのリストを表示します。

すべてのライセンス管理サーバーに関する情報を表示するには、次の場所に移動します。 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > エンジニアリングライセンスサーバー.

サーバーの名前、サーバーの現在のステータス、前回の接続時刻などの情報が [エンジニアリングアプリケーションライセンスサーバー] フォームレイアウトに表示されます。

ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加

クライアントアクセスレコードを追加し、クライアントアクセスライセンス(CAL)を使用して特定のバージョンのサーバーソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスを追跡および管理します。

始める前に

必要なロール：sam_admin

注: sam_user ロールを使用して、クライアントアクセスレコードを表示および読み取ることもできます。ただし、このロールを使用してクライアントアクセスレコードを作成することはできません。

このタスクについて

ソフトウェア資産管理 は、クライアントアクセスレコードを使用して、次のライセンスの測定基準に基づいてサーバーソフトウェアを調整します。

評価指標グループ	ライセンスの測定基準
Citrix	• Per User • ユーザー/デバイスあたり
一般	• ユーザー CAL • デバイス CAL • ユーザー/デバイス CAL
IBM	• 認定ユーザー • 認定ユーザー値単位 • 従業員ユーザー値単位 • 外部ユーザーの値単位
Microsoft	• ユーザー CAL • デバイス CAL • コアあたり (CAL を含む)
Oracle	指名ユーザープラス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスメトリクスはソフトウェアエンタイトルメントフォームで設定され、ソフトウェアモデルフォームの [メトリクス属性] 関連リストからアクセスできます。

重要: 対応するソフトウェアモデルの [割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成] オプションを使用してOracleソフトウェア資産管理アプリケーションでデータベースサーバーのクライアントアクセスレコードを自動的に作成できるようにすることができます。このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Global Licensing and Advisory Services Oracleデータ収集を要求する必要があります。[割り当てのクライアントアクセスを自動生成] オプションの詳細については、「ソフトウェアモデル フィールド」を参照してください。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集を要求」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > クライアントアクセス をクリックし、[新規] を選択します。
2. [クライアントアクセス] フォームのフィールドに入力します。

[クライアントアクセス] フォーム

フィールド	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。
ソフトウェアモデル	ユーザーまたはデバイスにアクセス権を付与するサーバーのソフトウェアモデル。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 たとえば、2 人のユーザーが Microsoft Windows Server にアクセスする場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントには 2 つのユーザー CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL を特定のユーザーに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 3 を参照してください。 ◦ デバイス **CAL**:各デバイスを使用してサーバーにアクセスするユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 たとえば、2 つのデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェアエンタイトルメントに

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は 2 つの Device CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた Device CAL を特定のデバイスに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 3 を参照してください。 ◦ ユーザー/デバイス **CAL**:関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 **注:** Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。 たとえば、2 人のユーザーと 2 つのデバイスが Microsoft Windows Server にアクセスしている場合、対応するソフトウェア資格には 2 つのユーザー CAL と 2 つのデバイス CAL が含まれている必要があります。 このオプションを選択すると、関連付けられた User CAL と Device CAL を特定のユーザーとデバイスに割り当てることができます。詳細については、 ステップ 3 を参照してください。 ◦ 認定ユーザー: IBM ソフトウェア製品にアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ◦ 認定ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする特定のユーザーの数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。 ◦ 従業員ユーザーバリューユニット: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織内のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 **注:** この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦外部ユーザー値単位: IBM ソフトウェア製品にアクセスする組織外のユーザーの合計数にライセンスを付与します。 注: この CAL タイプは、 IBM ソフトウェアにのみ適用されます。
WebLogic アプリケーション 注: このフィールドは、 Oracle WebLogic Server ソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle ユーザーまたはデバイスにアクセス権が付与されている WebLogic Server アプリケーション。
データベースインスタンス 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	OracleOracle データベース内のデータにアクセスして管理するデータベースインスタンス。
ソース 注: このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracleデータのソース。このフィールドは、次のいずれかのオプションに自動的に設定されます。 ◦**ServiceNow**:クライアントアクセスレコードデータが、毎日またはオンデマンドで実行される [SAM - 自動生成されたクライアントアクセスと DB サーバーユーザーとの同期 (Sync Auto-generated Client Access with DB Server Users)] スケジュール済みジョブによって自動的に生成されたことを示します。 ◦内部:クライアントアクセスレコードデータが手動で追加されたことを示します。
Count (カウント)	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 Oracle データベース サーバー または Oracle WebLogic Server に対して自動的に生成されたクライアント アクセス レコードでは、このフィールドは、レコードに現在追加されているユーザーまたはデバイスの数に基づいて自動的に入力されます。クライアントアクセスレコードにユーザーまたはデバイスを追加する方法の詳細については、 手順 3 を参照してください。 注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
PaaS **注:** このフィールドは、 Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルを選択した場合にのみ表示されます。	Oracle データベースインスタンスが Amazon Web サービス (AWS) 上の Amazon Relational Database Service (RDS) によって管理されているかどうかを示すオプション。
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
場所	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

3. 関連付けられた CAL を特定のユーザーまたはデバイスに割り当てるには、[タイプ] フィールドで選択した CAL タイプに基づいて、それらのユーザーまたはデバイスをクライアントアクセスレコードに追加します。
CAL を特定のユーザーまたはデバイスにアサインすることで、調整中にそれらのユーザーまたはデバイスが異なるクライアントアクセスレコードで複数回カウントされるのを防ぐことができます。
   - [種類] フィールドを [ユーザー **CAL**]、[ユーザー/デバイス **CAL**]、[承認ユーザー]、[承認ユーザー値単位]、[従業員ユーザー値単位]、または [外部ユーザー値単位] に設定した場合は、ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーを追加します。

     注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるユーザーを追加します。

     a. [ユーザー] タブを選択します。
     b. [Client Access User Breakdowns] リストの [**User**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

        注: Oracleデータベースサーバーソフトウェアモデルを使用している場合は、代わりに [クライアントアクセスユーザーブレークダウン] リストの [データベースユーザー] フィールドで [新しい行を挿入] をダブルクリックします。

     c. プロンプトが表示されたら、ユーザーベースの CAL をアサインするユーザーを検索して選択します。
     d. [保存] アイコン (

        指定したユーザーの [デバイス]、[アクティブ]、[ユーザータイプ]、および [ソース] フィールドが自動的に入力されます。ただし、 必要に応じて [デバイス]、[アクティブ]、および [ユーザー タイプ] フィールドを変更できます。
     e. ユーザーベースの CAL を割り当てるユーザーごとに、手順 b ～ d を繰り返します。
   - [種類] フィールドを [デバイス **CAL**] または [ユーザー/デバイス **CAL**] に設定した場合は、デバイス CAL を割り当てるデバイスを追加します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:** Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合は、ユーザー/デバイスライセンスを割り当てるデバイスを追加します。

a. [デバイス] タブを選択します。

b. [Client Access Device Breakdowns] リストの [**Device**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、デバイス CAL を割り当てるデバイスを検索して選択します。

d. [保存] アイコン (

   指定したデバイスの [アクティブ**(Active**)] フィールドと [ソース**(Source**)] フィールドが自動的に入力されます。ただし、 必要に応じて [アクティブ] フィールドを変更できます。

e. デバイス CAL を割り当てるデバイスごとに、手順 b ～ d を繰り返します。

4. 関連付けられたサーバーがインストールされている構成アイテム (CI) を追跡してライセンスを付与するには、それらをクライアントアクセスレコードに追加します。

> **重要:** この ステップは、クライアント アクセス レコードが Oracle WebLogic Server ソフトウェア モデルに関連付けられている場合、または関連付けられたソフトウェア モデルで [クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスを付与] オプションを有効にしている場合には適用されません。このオプションを有効にすると、ソフトウェアインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて CI のライセンスが付与されます。このオプションの詳細については、「 ソフトウェアモデル フィールド 」を参照してください。

Windows Server の場合、各サーバーのインストールには、関連付けられたクライアント アクセス レコードのユーザーおよびデバイス CAL の権限とは別にライセンス供与されるコアあたり (CAL を含む) の権限が必要です。Oracle Java などの他の製品では、サーバーインストール用に個別にライセンスを付与する権限は必要ありません。たとえば、CAL を使用して Oracle Java にアクセスするユーザーとデバイスにライセンスを付与する場合、対応する Oracle Java インストールをライセンス済みとして自動的にマークするようにソフトウェア資産管理を有効にすることができます。このシナリオでは、 ソフトウェア資産管理 は CAL ライセンスの一部として Oracle Java インストールのライセンスを付与します。

この機能を有効にするには、特定のサーバーがインストールされているすべての CI を、関連するクライアントアクセスレコードに追加する必要があります。これらの CI を指定することで、ユーザーとデバイスが接続されているサーバーインストールを ソフトウェア資産管理 で判別できます。クライアントアクセスレコードのすべてのユーザーとデバイスにライセンスが付与されると、指定された CI 上のすべてのサーバーインストールがライセンス済みとしてマークされます。これらのインストールでは、追加のライセンスは消費されません。

a. [**Devices with Installations**] タブを選択します。

b. [Client Access Installed Devices] リストの [**Device**] フィールドで、[**Insert a new row...**] をダブルクリックします。

c. プロンプトが表示されたら、関連付けられているサーバーがインストールされている CI を検索して選択します。

d. [保存] アイコン (

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定した CI の [アクティブ] フィールドが自動的に入力されます。ただし、このフィールドは必要に応じて変更できます。

e. 関連付けられたサーバーがインストールされている CI ごとに手順 b ～ d を繰り返します。

5. [更新] を選択します。

次のタスク
クライアントアクセスレコードを作成すると、関連付けられたサーバーソフトウェア上でスケジュール済みジョブとして、またはオンデマンドで調整が実行されます。調整結果はライセンス ワークベンチで表示できます。これらの結果を使用して、ライセンスのコンプライアンス状況を判断し、コンプライアンス違反を修正します。

次の修正オプションを使用して、サーバーソフトウェアの非準拠を修復できます。

- 購入権: 必要な権限の数が、指定されたサーバー ソフトウェアのすべてのクライアント アクセス レコードで所有されている権限の数よりも大きい場合に、発注書を生成します。
- 割り当ての作成: 指定したサーバーソフトウェアのクライアントアクセスレコードに追加されたライセンスのないユーザーまたはデバイスに権限を割り当てます。
- 割り当てを削除: 十分な権限が利用できない場合に、ライセンスを持つユーザーまたはデバイスから権限を削除します。

カスタムソフトウェア製品の追加

ソフトウェア製品が [ソフトウェア] ライブラリに存在しない場合は、カスタム製品を追加できます。カスタム製品を使用すると、自家製のソフトウェアやまだ [ソフトウェアライブラリー] に含まれていないソフトウェアを標準化してアカウントを作成することができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
製品と公開者の組み合わせは Discovery モデルの標準化の際に使用されます。カスタム製品が存在する場合は、メッセージが表示されます。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタム製品 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ソフトウェア製品フォーム

フィールド	説明
公開者	カスタム ソフトウェア製品の公開者。存在しない場合は、 フィールドの ルックアップリストに新規の名前を作成できます。
製品	カスタム ソフトウェア製品の名前。
サブスクリプションソフトウェア	ソフトウェアにサブスクリプションがあることを示すオプション。
製品タイプ	カスタム ソフトウェア製品の製品タイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 子：メインとなるソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー：デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能：ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可：ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ：既存のコンピューター プログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：未知のソフトウェア製品。
製品分類	正式な UNSPSC 分類
コンテンツサービスから除外	カスタム製品詳細を共有対象から除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。
アクティブ	ルールがアクティブであることを示すオプション。

カスタム品番を追加

カスタム品番を追加して、品番がソフトウェアライブラリに存在しない場合に発生するエンタイトルメントのインポートエラーを解決できます。

始める前に

必要なロール：sam_admin

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタム品番 をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

[カスタム品番] フォーム

フィールド	説明
パブリッシャーの品番	メーカーの製品コード。
エンタイトルメント定義	品番に関連付けられたディスカバリーマップ。 • パブリッシャー • 製品 • バージョン • エディション • 言語 • プラットフォーム

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンス タイプ	ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 • 完全 • アップグレード
ライセンスの測定基準	ソフトウェア権限をどのように消費するかを決定するために調整中に使用されるライセンスの測定基準。
コンテンツサービスから除外	カスタム製品詳細を共有対象から除外するオプション ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス オプトインした場合。

カスタムライセンスの測定基準の追加

カスタム ライセンスのメトリクスを追加して、デフォルトの調整プロセスを変更することができます。

始める前に

必要なロール：

- カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するため： sam_developer
- カスタム測定基準スクリプトを読み込むため：sam_admin

カスタム測定基準スクリプトを作成または変更するために必要なロール： sam_developer

このタスクについて

カスタム ライセンスの測定基準は、事前定義されたライセンスの測定基準リストに含まれていない特定のソフトウェア計算を定義できます。調整があまり知られていないソフトウェア公開者の特定のソフトウェア製品やバンドルに対するユーザーまたはデバイスごとの権限を計算できるようになるため、カスタム ライセンスのメトリクスは便利です。

たとえば、認識できないバンドルの一部である製品のインストール数を過度にカウントしないように、カスタムメトリクスを作成することができます。

リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを使用して、リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルの [消費されたユニット] 列とライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] テーブルの [必要なライセンス] 列の間で 1 対 1 の計算を行うことで、カスタムライセンスのメトリクス機能を拡張できます。カスタムライセンス測定基準スクリプトで独自の計算を作成し、独自のロジックを記述してカスタムライセンス測定基準をさらにカスタマイズできます。リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルへのリソース値の追加については、「カスタムライセンスのメトリクスのリソース値を指定する」を参照してください。

カスタム メトリクスは、カスタム ライセンスのメトリクスのプロパティを使用して無効化することができます。この機能はデフォルトで有効になっています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > カスタムライセンスのメトリクス をクリックし、新しいレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照)。

カスタム ライセンスのメトリクスフォーム

フィールド	説明
ライセンスのメトリクス	カスタム ライセンスのメトリクスの名前。この名前は、ソフトウェアエンタイトルメントの [ライセンスの測定基準] フィールドとソフトウェア モデルのライセンスの測定基準の結果に表示されます。
テーブルソース	このカスタムライセンスのメトリクスがソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルまたはリソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルのどちらに属するかを指定します。 **注:** 指定されたテーブルがリソース値テーブルの場合、[調整順序 - 配分済み]、[調整順序 - 未配分]、および [割り当てタイプ] のフィールドは表示されません。さらに、計算スクリプトには、リソース値に関連するサンプルスクリプトが表示されます。
評価指標グループ	カスタムライセンスの測定基準。
割り当てタイプ	ライセンスのメトリクスの割り当てタイプ。デバイスごとまたはユーザーごと。 ◦ デバイス ◦ ユーザー
説明	カスタム ライセンスの測定基準の説明。
調整順序 - 割り当て済み	割り当てられたライセンスの調整測定基準の優先順位。下位の値が優先されます。
調整順序 - 未割り当て	未割り当てライセンスの調整測定基準の優先順位。下位の値が優先されます。
計算	
計算スクリプト	ライセンスのメトリクスの計算方法はスクリプトです。調整スクリプトを指定します。

2. **[Submit** (送信)] を選択します。

カスタムライセンスメトリクスのスクリプト例

以下は、カスタムライセンスのメトリクススクリプトの例です。

注: この例はデモのみを目的としており、実際のコンプライアンス シナリオで使用することを意図したものではありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
<script><![CDATA[getRightsForDevice();
function getRightsForDevice(){
var rightsForDevice = -1;
 var deviceRecord = new SampRecord('cmdb_ci_computer');
 if(deviceRecord.get(entity)){
  rightsForDevice = deviceRecord.getValue('disk_space');
 }
 return rightsForDevice;
}]]></script>
```

カスタムライセンスのメトリクスのリソース値を指定する

リソース値に基づいてカスタムライセンスのメトリクスを作成する場合は、ライセンス要件を計算するソフトウェア製品ごとにリソース値を指定します。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. リソース値 [samp_sw_resource_value] テーブルを開きます。
   - ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[ライセンス操作] ビューを開きます。[ライセンス操作] ビューから、 リソース値 > リソース値.
   - ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションを使用している場合は、 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > リソース値.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[リソース値] フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	リソース値の名前。
ソフトウェアモデル	リソース値が関連付けられているソフトウェア製品のソフトウェアモデル。
会社	関連するソフトウェア製品の会社。
場所	関連するソフトウェア製品の物理的な場所。
消費されたユニット	関連するソフトウェア製品について現在消費しているリソース値単位の合計数。たとえば、データ保護ソフトウェア製品を使用して 50 テラバイトのデータを保護する場合は、[消費されたユニット] フィールドを `50` に設定します。
部門	関連するソフトウェア製品が割り当てられている部門。
コストセンター	関連するソフトウェア製品に対して財務的に責任を負うコストセンター。

4. リソース値を保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソフトウェア資産ワークスペースを使用している場合は、 [保存] を選択します。
- ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションを使用している場合は、 [送信] を選択します。

タスクの結果
後続の調整が実行されると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、[消費されたユニット] フィールドの値とライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result] テーブルの対応する [ライセンスが必要] フィールドの値を比較することによって、関連するソフトウェア製品のライセンスコンプライアンスポジションを判断します。

プロセッサ定義を更新

ソフトウェア資産管理をアクティブ化した後、プロセッサー定義を更新して、CMDB内のサーバーのプロセッサーを正規化します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ソフトウェア資産管理をアクティブ化した後、調整を実行する前にプロセッサー定義をリフレッシュします。プロセッサー定義を更新すると、CPU タイプ (検出されたプロセッサーの名前) を正しいプロセッサー定義にマップできます。

プロセッサー定義のリフレッシュは、初めて実行するときに時間がかかることがあります。続行する前に、このタスクを完了するのに十分な時間を割り当ててください。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > プロセッサ定義を更新 をクリックし、[続行] を選択します。
[プロセッサー定義] リストが表示されます。

ソフトウェアインストールの移行

ディスカバリーを使用している場合は、ソフトウェア資産管理 アプリケーションのインストール後にこのスクリプトを実行して、以前に検出されたソフトウェアインストールレコードを [cmdb_software_instance] テーブルから [cmdb_sam_sw_install] テーブルにコピーします。このテーブルは、ソフトウェア資産管理アプリケーションがソフトウェアインストールレコードを保存するために使用されます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
ディスカバリー を実行していて、以前に ソフトウェア資産管理 のバージョンを使用していた場合は、このスクリプトを実行する必要はありません。

[ソフトウェア インストールの移行] スクリプトを実行の際は、プロセスが完了するのに十分な時間が必要となります。

手順

移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > ソフトウェアインストールの移行 をクリックし、[続行] を選択します。
[ソフトウェア インストール] リストが表示されます。データがすでに移行されている場合は、メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理のプロパティ

グループ化や調整のデバッグなど、デフォルトの調整プロパティを設定できます。

これらのプロパティは、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションで使用できます。

これらのプロパティにアクセスするには、 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > プロパティ.

ソフトウェア資産管理 のプロパティ

プロパティ	説明
照合の週次実行のデフォルトグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.group	調整中に権限とソフトウェアのインストールをグループ化する方法を決定します。 値 (デフォルトは 「なし」): • 会社 • **Cost Center** • 国 • 部門 • 地域
照合の週次実行のデフォルトのサブグループ設定を選択します com.snc.samp.recon.subgroup	調整中の権限とソフトウェアインストールのセカンダリグループを決定します。 「なし」を除き、グループとサブグループの値は異なる値でなければなりません。 値 (デフォルトは 「なし」): • 会社 • **Cost Center** • 国 • 部門 • 地域
利用可能なすべてのカスタム ライセンスの測定基準とともに調整を実行する com.snc.samp.recon.enablecustommetrics	調整の実行時にカスタム ライセンスのメトリクスを有効にします。 カスタム ライセンスの測定基準が設定されている場合、このプロパティが[いいえ] に設定されていたら適用されません。デフォルトは [はい] です。
調整結果のデバッグを有効にします。デバッグを有効にすると、パフォーマンスに影響することに注意してください。 com.snc.samp.debug	結果のトラブルシューティングを行うために調整結果のデバッグを有効にします。デフォルトは [いいえ] です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	さらに、このプロパティは、オンプレミスのインポートデバッグのログ記録もトリガーします。
すべての「ライセンス可能」製品のソフトウェアモデルを自動的に作成 com.snc.samp.automaticsmrcreation	[製品の結果] リストにあるエンタイトルメントのないライセンスなしのインストール、サブスクリプション、または (ライセンス可能な製品の) オプションについて、ソフトウェアモデルを非準拠状態で自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルと結果は、ライセンスポジションレポートにライセンスなしの数を表示するために使用されます。 **注:** ソフトウェアモデルの自動作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの自動作成」を参照してください。
上の Oracle データベースと WebLogic サーバーのライセンスを調整するためのアグリゲーションレベルを選択します VMware com.snc.samp.oracle.reconlevel **注:** このプロパティは、Oracle 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。 **注:** このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用したドメインセパレーションをサポートします。詳細は、「のドメイン固有の調整プロパティのセットアップ Oracle」を参照してください。	VMware仮想化テクノロジーで Oracle Database と WebLogic Server ライセンスを調整するために使用されるアグリゲーションのレベル。ソフトウェア資産管理は、次のアグリゲーションレベルをサポートしています。 • **ESX**: **ESX** アグリゲーションレベルでは、ESX ホスト上のすべてのプロセッサコアが考慮されます。 • **ESX** クラスター (デフォルト値): **ESX** クラスター アグリゲーションレベルでは、クラスター内のすべての ESX サーバー上のすべてのプロセッサーが考慮されます。 • **vCenter:vCenter** のアグリゲーションレベルでは、すべての ESX サーバー上のすべてのプロセッサコアが考慮されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	この集計レベルを選択した場合、ライセンスの計算は、 VMware 仮想環境で使用している ESXi バージョンに基づきます。サポートされている ESXi バージョンの詳細については、「Oracle ソフト・パーティション環境でのデータベースとWebLogic Serverのライセンス」を参照してください。
ホスト親和性を使用して、VMware上のOracleデータベースとWebLogic サーバーのライセンスを vCenter のアグリゲーションレベルで調整します com.snc.samp.oracle.hostaffinityenabled 注: このプロパティは、Oracle 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。 注: このプロパティは、 ソフトウェア資産管理 のドメインセパレーションアプリケーションプロパティを使用してドメインセパレーションをサポートします。詳細は、「のドメイン固有の調整プロパティのセットアップ Oracle」を参照してください。	VMware vCenter Server インスタンス内で Oracle Database と WebLogic Server のライセンスを調整するときに、ソフトウェア資産管理 アプリケーションで VM とホストの親和性ルールを考慮できるようにします。このプロパティは、[**VMware** 上の **Oracle** データベースと **WebLogic** サーバーのライセンスを調整するためのアグリゲーションレベルを選択 **(Select the level of aggregation level for reconciling licenses for VMware onware**)] プロパティで、Oracle調整のアグリゲーションレベルを **vCenter** に設定した場合にのみ適用されます。 仮想マシンとホスト間の親和性ルールを使用すると、仮想マシンを実行できる物理 ESXi ホストを指定できます。Oracleライセンス契約で VM とホストの親和性ルールが規定されている場合は、Oracle Database および WebLogic サーバーのライセンスを取得するときにこれらのルールを考慮することで、ライセンスの義務を軽減できます。
すべての「ライセンス不可」製品のソフトウェアモデルを自動作成	[製品結果] リスト内の (ライセンス付与されていない製品の) ライセンスなしインス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
com.snc.samp.automaticsmcreation	トールのソフトウェアモデルを非準拠状態で自動的に作成します。 新しいソフトウェアモデルは、アプリケーションポートフォリオ管理によって使用されます。 デフォルトは [いいえ] です。
選択したデバイスにインストールされているソフトウェアをソフトウェア資産管理から除外するにはcmdb_ci_hardwareテーブルに追加された true/false フィールドの名前を入力します com.snc.samp.exclude_device_flag	列名 exclude_from_sam を入力したときに [SAM から除外] 列が true に設定されているデバイスに (ソフトウェア資産管理 アプリケーションから) インストールされているソフトウェアを除外します。
Citrix環境で公開されたアプリケーションについて、調整中に考慮するライセンス期間 (日数) を入力します com.snc.samp.citrix.app.license.period **注:** このプロパティは、Citrix 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	調整中に考慮される Citrix アプリケーションのライセンス期間 (日数) を示します。デフォルトは 90 日です。
エンジニアリングアプリケーションのピーク使用量を考慮する期間 (日数) を入力します。 com.snc.samp.eng.app.peak.usage.period	エンジニアリングアプリケーションがピーク使用量の消費と見なされる期間 (日数) を示します。 デフォルト値は 30 日間で、sam_adminロールを持つユーザーのみがこのフィールドを更新できます。
調整のために同時に実行するスケジュール済みジョブの数を入力します。 com.snc.samp.recon.maxワーカー	調整と並行して実行されるスケジュール済みジョブの数を示します。複数のスケジュール済みジョブが、異なる公開者に対して同時に調整を実行します。
インスタンスでワイドネット正規化が有効になっているかどうかを示します。有効にすると、通常のパッケージ正規化ルールによって完全に正規化されていないディスカバリーモデルにワイドネット正規化ルール/パターンが適用されます com.snc.samp.wide_net_normalization.enabled	ディスカバリーモデルでワイドネット正規化を実行できるようにします。このプロパティはデフォルトで有効になっています。ワイドネット正規化は、コンテンツルールを使用して正規化できなかった検出モデルでのみ実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	admin ロールを持つユーザーのみがプロパティを変更できます。
検出されたソフトウェアの ML 正規化を有効にします。 com.snc.samp.enable.ml_normalization	検出モデルで機械学習正規化を実行できるようにします。このプロパティはデフォルトで有効になっています。機械学習の正規化は、コンテンツルールを使用して正規化できなかったディスカバリーモデルに対してのみ実行されます。 admin ロールを持つユーザーのみがプロパティを変更できます。
クラウドからプルされた請求処理データが古いと見なされるしきい値期間 (日数) を入力します。これは、ライセンスタイプの信頼性に影響します。 com.snc.samp.sam_ci_billing_threshold	Cloud Insights からプルされた請求処理データが古いと見なされるまでの日数に基づいて、しきい値期間を示します。クラウドインサイトは、AWS にインストールされている SQL Server のライセンスタイプを決定するために使用されます。 デフォルト値は 30 日で、このプロパティはデフォルトで有効になっています。
Red Hat Enterprise Linux Server for 仮想データセンターのライセンスコスト最適化しきい値 **注:** このプロパティは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	RHEL展開にRHEL Serverライセンスと RHEL for Virtual Datacentersライセンスのどちらを使用するかを決定します。 デフォルトのしきい値は 3.2 です。この値は、現在の RHEL Server サブスクリプション表示価格と現在の RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション表示価格の比率に基づいています。エンタイトルメントにこれらの製品の異なる価格が含まれている場合は、 RHEL for Virtual Datacenters サブスクリプション価格を RHEL Server サブスクリプション価格で割る

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	ことで、この値を計算できます。 このしきい値を使用して、RHEL展開に最適なライセンスタイプを決定する方法の詳細については、Red Hat Enterprise Linux のソフトウェア資産管理を参照してください。
Microsoft Windows Server for Datacenter のライセンス コスト最適化しきい値 com.snc.samp.windowserver.license.threshold **注:** このプロパティは、Microsoft 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	Windows Server Datacenter Edition ライセンスと Microsoft Windows Server Standard Edition ライセンスのコスト比率に基づいて、Microsoft Windows Server クラスター内の物理ホストまたは仮想マシン (VM) にライセンスを付与する方がコスト効率が高いかどうかを判断しMicrosoft。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトのコスト比率値は 4.59 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、Microsoft Windows Server Datacenter Edition ライセンスの平均価格を Microsoft Windows Server Standard Edition ライセンスの平均価格で割ることで、この値を変更できます。
IBMデバイスのデフォルトリージョン sn_samp_ibm_lic.default_region **注:** このプロパティは、ソフトウェア資産管理 パブリッシャーパック for IBM をアクティブ化し、ソフトウェア資産管理 アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスをインストールした場合にのみ使用できます。アプリケーションのインストール方法の詳細については、「認可済みソフトウェア資産管理プロバイダーの統合のために、ソフトウェア資産管理アプリケーションのIBMライセンスコンプライアンスを要求します」を参照してください。	物理ホストがまだデフォルトリージョンに関連付けられていない場合は、自動的にデフォルトリージョンに関連付けます。 IBM ライセンスの使用状況は、地域に関連付けられている物理ホストについてのみ計算できます。 デフォルト値は 「北米」と「南米」です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
次を使用して ILMT に接続： sn_samp_ibm_lic.ilmt_api_version **注:** このプロパティは、IBM 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	IBM サーバーと Now Platform プラットフォーム間の接続の作成に使用している IBM License Metric Tool (ILMT) または BigFix Inventory 統合 API のバージョンを示します。
ソフトウェアアシュアランス付き Microsoft SQL Server Standard のエンタイトルメントコストと、ソフトウェアアシュアランス付き SQL Server Enterprise Microsoft コストの比率 com.snc.samp.sqlserver.standard_sa.to.enterprise_sa.cost.ratio **注:** このプロパティは、Microsoft 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	ソフトウェア アシュアランス付きの SQL Server Standard Edition ライセンスとソフトウェア アシュアランス付き SQL Server Enterprise Edition ライセンスのコスト比率に基づいて、Microsoft SQL Server クラスター内の物理ホストまたは仮想マシン (VM) Microsoft ライセンスを付与する方がコスト効率が良いかどうかを判断し Microsoft 。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトの原価比率値は 0.25 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスの種類に対して異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Standard Edition ライセンスの価格をソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server Enterprise Edition ライセンスの価格で割ることで、この値を変更できます。
MicrosoftソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのエンタイトルメントコストとMicrosoft非ソフトウェアアシュアランスエンタイトルメントのコストの比率 com.snc.samp.ms.sa.to.nonsa.cost.ratio **注:** このプロパティは、Microsoft 用の ソフトウェア資産管理 公開者パックをアクティブ化している場合にのみ使用できます。	Microsoft SQL Server クラスターでソフトウェア アシュアランスの有無にかかわらずMicrosoftライセンスを使用する方がコスト効率が高いかどうかを判断します。ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、ソフトウェア アシュアランスありとソフトウェア アシュアランスなしの SQL Server ライセンスのコスト比率に基づい

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	てMicrosoftこの決定を行います。 各ライセンスタイプの現在の表示価格に基づくと、デフォルトの原価比率値は 1.25 です。エンタイトルメントにこれらのライセンスタイプの異なる価格が含まれている場合は、ソフトウェア アシュアランス付きの Microsoft SQL Server ライセンスの価格を、ソフトウェア アシュアランスなしの Microsoft SQL Server ライセンスの価格で割ることで、この値を変更できます。
com.snc.samp.use_lifecycle_approximation	ライフサイクルレポートを生成するときに、おおよそのライフサイクル日付を含めるかどうかを決定します。このプロパティはデフォルトで有効になっています。 このプロパティを選択すると、公開者が提供する一般提供日、公開情報、および業界平均の上に構築された近似ロジックに基づいて、ライフサイクルの日付を自動生成できます。
com.snc.samp.manage.published.products	フェーズごとの ソフトウェア資産管理 実装でソフトウェア製品を公開し、公開されたソフトウェア製品を削除することもできます。このプロパティのデフォルト値は **false** です。このプロパティの値を **true** に設定すると、ソフトウェア資産管理のフェーズごとの実装で管理しているソフトウェア製品に関連するレポートとダッシュボードのみを、次の ソフトウェア資産ワークスペースビューで表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 のプロパティ (続く)

プロパティ	説明
	• ソフトウェア資産の概要 • [ライセンス使用状況] ビュー

ソフトウェア資産管理カスタマイズを元に戻す

ソフトウェア資産管理アプリケーションを初めてインストールした後、または ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン からアップグレードした後は、すべての機能のカスタマイズを元に戻す必要があります。ソフトウェア資産管理アプリケーションのカスタマイズを元に戻すモジュールを使用すると、ソフトウェア資産管理に関連するカスタマイズされたファイルを、インストールまたはアップグレードプロセス中にスキップされた基本構成に戻すことができます。

始める前に
必要なロール：sam_admin

このタスクについて
[カスタマイズを元に戻す] モジュールに [ソフトウェア資産がスキップされたファイル] リストが表示されます。ソフトウェア資産管理に関連するすべてのカスタマイズと構成は、ベースアプリケーションバージョンに戻すことができます。

機能を確実に機能させるには、次の後にカスタマイズを元に戻す必要があります。

- ソフトウェア資産管理 Professional (com.snc.samp) プラグインの新規インストール
- ソフトウェア資産管理 Foundation (com.snc.sams) プラグインからのアップグレード

を使用してカスタマイズを 元に戻す こともできます システム診断 > アップグレード履歴 航法。

手順
1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > カスタマイズを元に戻す をクリックして、ソフトウェア資産のスキップされたファイルリストを表示します。
2. [元に戻す] を選択すると、処理が [スキップ] のすべてのファイルがベースアプリケーションバージョンに戻されます。
3. カスタマイズの概要で、スキップされたすべてのファイルの処分が **[Reverted]** になっていることを確認します。
   また、アップグレードの詳細 [sys_upgrade_history_log] テーブルでスキップされたすべてのファイルの処分を、更新バージョン [sys_update_version] テーブルで現在の OOB バージョンを確認することもできます。

ソフトウェアライブラリーを管理

[ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールを使用して、ソフトウェアライブラリーデータをオンプレミスインスタンス (自動ソフトウェアライブラリ更新を受信するためにクラウドにないインスタンス) に手動でアップロードします。ソフトウェア資産管理コンテンツサービスに参加するために、正規化コンテンツをエクスポートすることもできます。

始める前に
必要なロール:admin (モジュールを有効にするため)、sam_admin (ソフトウェアライブラリを管理するため)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールをアクティブ化して、ソフトウェアライブラリーコンテンツのインポートまたはエクスポートを管理します。 システム定義 > モジュール. [ソフトウェアライブラリーを管理] モジュールの [アクティブ] 列が true に設定されていることを確認します。

このタスクについて
[ソフトウェアライブラリーの管理] モジュールを ソフトウェア資産管理 管理ナビゲーションに表示するには、システム定義モジュールを使用してアクティブ化する必要があります。

ソフトウェア・ライブラリのコンテンツ・データは、zipファイルで提供されます。zip ファイルには、パフォーマンスを向上させるために一貫したファイルサイズのファイルが含まれています。インポート中、データテーブルはバックグラウンドプロセス中に XML ファイルのコンテンツで正常に更新されます。

ワーカーは、1 つ以上のバックグラウンドスレッドで何らかの作業を実行するオブジェクトです。複数の XML ファイルを同時にインポートするには、ワーカーを使用します。同時に実行されるワーカーの数を変更するには、次の 2 つのシステムプロパティを使用されているワーカーの数で更新します。

- glide.sys.schedulers
- com.snc.samp.recon.maxワーカー

1 GB を超える添付ファイルをアップロードするには、コンテンツ zip ファイルのサイズを反映するように *com.glide.attachment.max_size* システムプロパティを更新する必要があります。

また、データをエクスポートして参加することもできます ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス 正規化サービスの改善に貢献します。

手順

1. 移動先 ソフトウェア資産 > 管理 > ソフトウェアライブラリーを管理.
2. ソフトウェア・ライブラリ・コンテンツ・ファイルをインポートするには:
   a. 「 ソフトウェア・ライブラリー・コンテンツ・ファイルのインポート」を選択します。
   b. 「 コンテンツ・ファイルの添付 」を選択して、ソフトウェア・ライブラリ・コンテンツ(.zip) ファイルを選択します。
   c. [インポート実行] を選択します。
      [ファイルのインポート] 関連リストで、処理済みのファイルの数と処理中のファイルの数を確認して、インポートの進行状況を追跡します。[インポートファイル] 関連リストのすべてのデータは、SAMP インポートファイル [samp_import_file] テーブルに保存されます。インポートプロセスのより高度なビューについては、資産ジョブログ [asset_job_log] テーブルを表示することもできます。
3. 正規化コンテンツをエクスポートするには:
   a. 「コンテンツサービスオプトイン:正規化コンテンツのエクスポート」を選択します。
   b. [エクスポートの実行] を選択します。
   c. エクスポートの状態が [ダウンロード準備完了] になったら、 [更新] を選択します。
   d. 開くか保存する添付ファイルを選択します。

ソフトウェア資産管理 classic でパブリッシャーの品番 (PPN) の提案を表示する

ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションで、カスタム PPN と DMAP のコンテンツサービスの提案を表示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
PPN の提案は、コンテンツサービスでカスタム PPN に対応する一致が見つかった場合にのみ使用できます。PPN の提案レコードは、部品番号の提案 [samp_sw_part_number_suggestion] テーブルに保存されます。

必要なロール：sam_admin

手順

1. 移動先 すべて > ソフトウェア資産 > 管理 > 部品番号の提案.
2. 提案レコードを開いて、部品番号の提案ページを表示します。
   カスタム PPN の詳細は、部品番号の提案ページの上部に表示されます。ページの後半には、推奨部品番号の詳細が含まれています。カスタム PPN が使用されているすべてのエンタイトルメントが [影響を受けるエンタイトルメント] タブに表示されます。カスタム DMAP が使用されているすべてのソフトウェアモデルが [影響を受けるソフトウェアモデル] タブに表示されます。影響を受けるソフトウェアモデルが存在しない場合、このタブは表示されません。
3. [承認] または [却下] を選択します。
   - 承認:カスタム PPN と DMAP がコンテンツサービスの PPN と DMAP に置き換わります。影響を受けるエンタイトルメントで、コンテンツサービス PPN が置き換えられます。同様に、ソフトウェアモデルでコンテンツサービスの DMAP が置き換えられます。
   - 却下: このレコードのステータスが [却下] に変更され、カスタム PPN を引き続き使用します。

ソフトウェア資産管理 参照

ソフトウェア資産管理 のフォームへの入力に役立つ説明を参照してください。

ソフトウェア資産管理プロとともにインストールされるコンポーネント

ロール、プラグイン、およびスケジュール済みジョブは、 ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションのアクティブ化とともにインストールされます。このアプリケーションではデモデータを利用できます。

インストールされるスケジュール済みジョブ

ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされるスケジュール済みジョブのリストを表示するには、ServiceNow インスタンスに移動して [すべて] を選択し、アプリケーションナビゲーターに「スケジュール済みジョブ」と入力します。[スケジュール済みジョブ] ページで [表示/非表示] フィルターを選択し、条件ビルダーでフィルター条件 [名前が `SAM` で始まる] を入力します。

インストールされるロール

次のロールが ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされます。

ソフトウェア資産管理プロ ロール

ロール名	**Description** (説明)	ロールを含む
ソフトウェア資産管理管理者 [sam_admin]	このロールには、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションへのフルアクセス権があります。このロールは、エンタイトルメントのインポート、再利用ルールの管理、調整の実行、カスタム製品とパターン正規化ルールの作成、コンテ	• sam_user • sam_spend_import • asset

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ ロール (続く)

ロール名	Description (説明)	ロールを含む
	ンツサービスの設定、およびその他の管理機能に必要です。	• model_manager • contract_manager 注: sam_spend_import ロールは ソフトウェア支出検出 とともにインストールされます。it_demand_user ロールは、 PPM Standard とともに自動的にインストールされなくなりました。
ソフトウェア資産管理ユーザー [sam_user]	このロールは、管理を除くすべての ソフトウェア資産管理 機能にアクセスできます。 ソフトウェア支出検出がインストールされている場合、このロールは、財務トランザクションデータのインポートとコンテンツサービスのセットアップを除くすべてのソフトウェア支出検出機能にアクセスできます。	• pa_viewer • cmdb_read • report_user • sn_remote_dir_sync.reader
ソフトウェア資産管理開発者 [sam_developer]	プラットフォーム上でスクリプトを記述できます。sys_admin に付与される script-writing 権限に相当します。このロールを持つユーザーは、アドミニストレーター ServiceNow トレーニングを受ける必要があります。	sam_admin
SaaS ライセンス管理統合アドミニストレーター [sam_integrator]	SaaS 統合プロファイルの作成と管理に必要なロール。	• sam_user • connection_admin • flow_operator
ソフトウェア支出検出ユーザーをインポート [sam_spend_import]	財務トランザクションデータを ソフトウェア支出検出 にインポートするために必要なロール。このロールを持つユーザーは、コンテンツサービスセットアップを除くすべての ソフトウェア支出検出 機能にアクセスできます。このロールを持つユーザーは、追加のロールを付与されないと ソフトウェア資産管理 を表示できません。	pa_viewer

インストール済みプラグイン

次のプラグインは、 ソフトウェア資産管理プロ アプリケーションとともにインストールされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン

プラグイン	ロケーション	説明
Activate all Software Asset Management Professional plugins including Software Asset Workspace com.sn_samp_master_ws	Now Support サービスポータル	サブスクリプションが必要です。ソフトウェア検出情報を正規化し、エンタイトルメントとインストールを調整し、使われていないソフトウェアを再利用する機能を提供します。パブリッシャー製品を調整するための追加機能を提供します。
すべての ソフトウェア資産管理プロ プラグインをアクティブ化する (com.sn_samp_master)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、 Xanadu より前のリリース用です。次のソフトウェア資産管理プロ プラグインをワンステップでロードします。 • ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグイン • すべてのパブリッシャーパックのアドオンプラグイン • ソフトウェア資産管理 UI コンポーネント (com.sn_samp_workbench) **注:** SaaS ライセンス管理を有効にするには、ServiceNow Storeとは別に ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 Integrations (com.sn_sam_saas_int) プラグインを要求する必要があります。このプラグインを要求してアクティブ化する方法については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。
Software Asset Workspace (com.sn_sam_workspace)	Now Support サービスポータル	このプラグインは、 Xanadu より前のリリース用です。ソフトウェア資産管理アプリケーションの新しいユーザーインターフェイスであるソフトウェア資産ワークスペースを使用するために必要です。
統合 - Microsoft SCCM 2012 v2 ソフトウェア使用 (com.snc.samp_usage_sccm)	Now Support サービスポータル	Microsoft SCCM (System Center Configuration Manager) 2012 v2 からソフト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
		ウェア使用データを収集するために必要です。 統合 - Microsoft SCCM 2012 v2 (com.snc.integration.sccm2012v2) プラグインがまだアクティブになっていない場合は、自動的にアクティブにします。 **重要:** このプラグインは Tokyo リリースで廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から SCCM アプリケーション用のサービスグラフコネクタを要求しMicrosoftインストールします。ServiceNow インスタンスでこのプラグインを既にアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタの移行準備ツールのストアアプリケーションを使用して、サービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ 」を参照してください。
統合 — Microsoft SCCM 2016 ソフトウェア使用 (com.snc.samp.usage_sccm_2016)	Now Support サービスポータル	Microsoft SCCM (System Center Configuration Manager) 2016 からソフトウェア使用データを収集するために必要です。 統合 - Microsoft SCCM 2016 (com.snc.integration.sccm2016) プラグインがまだ有効になっていない場合は、自動的に有効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
		重要: このプラグインは Tokyo リリースで廃止されます。SCCM と初めて統合する場合は、代わりにServiceNow Store から SCCM アプリケーション用のサービスグラフコネクタを要求しMicrosoftインストールします。ServiceNow インスタンスでこのプラグインを既にアクティブ化している場合は、SCCM のサービスグラフコネクタの移行準備ツールのストアアプリケーションを使用して、サービスグラフコネクタへの移行に向けてインスタンスを準備します。サービスグラフコネクタの詳細については、「Microsoft SCCM のサービスグラフコネクタ」を参照してください。
オーケストレーション — クライアントソフトウェアディストリビューション (com.snc.orchestration.client_sf_distribution)	Now Support サービスポータル	デバイス ServiceNow® オーケストレーション ソフトウェアのインストールおよびアンインストール機能を有効にするアプリケーションをアクティブ化するために必要です。 **注:** ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを購入したユーザーには、ソフトウェアのアンインストール機能 (ソフトウェア再利用とも呼ばれる) のみのライセンスが付与されます。ソフトウェアのインストール機能を使用するには、追加のライセンスが必要です。
ソフトウェア資産管理 — SaaS ライセンス管理 統合 (com.sn_sam_saas_int)	ServiceNow Store ServiceNow Storeからこのプラグインを要求してアクティブ化する方法については、	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。SaaS製品のライセンスを管理するための統合を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
	「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。	
ソフトウェア資産管理 — 支出検出 (com.sn_sam_spend)	Now Support サービスポータル	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。財務トランザクションデータからソフトウェア支出を検出するコア機能を提供します。
ファイル署名の正規化 (com.snc.file_signature_normalization)	Now Support サービスポータル	インストール済みソフトウェアレコードの作成中に検出されたファイル署名を正規化するために必要です。このプラグインは、ファイルベースのディスカバリーでもアクティブ化されます。
モバイル従業員エクスペリエンス My Asset (com.glide.mobile-employee.myassets)	Now Support サービスポータル	エンドユーザーが割り当てられた資産をモバイルデバイスで表示し、これらの資産のサービスを要求するインシデントを作成するために必要な機能を提供します。
IT Asset Management Mobile (com.sn_itam_mobile)	Now Support サービスポータル	受領担当者がモバイルデバイスで購入した資産を受け取る機能を提供します。
パブリッシャーパックのアドオンプラグイン		
ソフトウェア資産管理プロ for Adobe (com.sn_samp_adobe)	Now Support サービスポータル	Adobeサブスクリプションソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Citrix (com.sn_samp_citrix)	Now Support サービスポータル	仮想アプリケーションや仮想デスクトップなどの Citrix ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for IBM (com.sn_samp_ibm)	Now Support サービスポータル	PVU および RVU ライセンスのメトリクスを使用して IBM 製品を調整するための追加機能を提供します。 このプラグインは、Red Hat Enterprise Linux Server や Red Hat Enterprise Linux for Virtual Datacenters などのRed Hat Enterprise Linuxソフトウェアを調整するための追加機能も提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (続く)

プラグイン	ロケーション	説明
ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft (com.snc.samp.microsoft)	Now Support サービスポータル	Microsoft SQL Server などのMicrosoftソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle)	Now Support サービスポータル	Oracle DB サーバーなど、Oracleソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for SAP (com.sn_samp_sap)	Now Support サービスポータル	SAP指名ユーザーのコンプライアンスと最適化を調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ for VMware (com.sn_samp_vmware)	Now Support サービスポータル	vCenter や vSphere などの VMware ソフトウェアを調整するための追加機能を提供します。
ソフトウェア資産管理プロ エンジニアリング用途向け (com.sn_samp_eng_app)	Now Support サービスポータル	ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインが必要です。AutoCAD などのエンジニアリングアプリケーションを調整するための追加機能を提供します。

ライセンス契約タイプ

ライセンス契約のタイプによって、製品使用権が決まります。

合意タイプ

パブリッシャーパックの契約タイプ。

公開者パック	合意タイプ
Adobe	• 汎用 • エンタープライズチームライセンス契約 (ETLA) • 累積ライセンスプログラム (CLP) • トランザクションライセンスプログラム (TLP) • 値インセンティブプラン (VIP)
Citrix	汎用

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

公開者パック	合意タイプ
一般	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
カスタム	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA)
IBM	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • プログラムの国際プログラム使用許諾契約 (IPLA): ライセンスへの影響はありません。 • IBM 顧客契約 (ICA):ライセンスへの影響はありません。 • IBM 無制限ライセンス契約 (IULA)
Microsoft	• 汎用 • 法人契約 • 企業登録 • 法人サブスクリプション契約 • Microsoft 製品およびサービス契約 • オープンライセンス • オープン値 • オープン値サブスクリプション • 登録を選択 • ライセンスを選択 • プラスを選択
Oracle	• 汎用 • 無制限のライセンス契約 (ULA)
VMware	• 汎用 • エンタープライズライセンス契約 (ELA) • エンタープライズ購入プログラム (EPP):ライセンスへの影響はありません。 • Volume Purchasing Program (VPP): ライセンスへの影響はありません。

自動翻訳

ディスカバリーモデルのフィールド

ディスカバリーモデルフォームと関連リストフィールドの説明。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Discovery モデルフォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているディスカバリーモデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス]： • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした • 手動で標準化済み • 新規 注: 正規化提案レコードが存在する場合は、[正規化ステータス] フィールドの横に警告アイコンが表示されます。 警告アイコンをクリックすると、検出モデルの 正規化提案 レコードが開きます。
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
検出された公開者	検出されたソフトウェアの公開者。
検出された製品	検出されたソフトウェアの名前。
検出されたバージョン	検出されたソフトウェアのバージョン。
コメント	
製品タイプ	• 子:メインソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピュータプログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、ディスカバリーモデルの標準化ステータスが に更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェアディスカバリーモデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	次の言語が含まれます。 • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア資産 管理コンテンツサービスへの転送からソフトウェア検出モデルの詳細を除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 注: このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインした場合にのみ、カスタム製品に対して表示されます。

[追加情報] セクション

フィールド	説明
製品タイプ	• 子:メインソフトウェアのサブコンポーネント (ライセンス不可)。 • ドライバー:デバイスを制御するソフトウェア製品。 • ライセンス可能:ライセンス可能なソフトウェア製品。 • ライセンス不可:ライセンス不可のソフトウェア製品。 • パッチ:既存のコンピュータプログラムを更新、修正、改良するために設計されたソフトウェア製品。 • 不明：検出されません。 不明の製品タイプについては製品タイプを別の値に変更することができます。 製品タイプが変更されると、ディスカバリーモデルの標準化ステータスが に更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェアディスカバリーモデルのみが考慮されます。
プラットフォーム	プラットフォームを含む： • Windows • macOS • UNIX
言語	次の言語が含まれます。 • オランダ語 • 英語 • フランス語 • ドイツ語 • イタリア語 • スペイン語 検出された場合は、さらに多くの言語が生成されます。
エディション	ソフトウェアの正規化されたエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの正規化された完全バージョン。
コンテンツサービスから除外	ソフトウェア資産 管理コンテンツサービスへの転送からソフトウェア検出モデルの詳細を除外するオプション。 値は カスタム製品 フォームで設定されます。 注: このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスにオプトインした場合にのみ、カスタム製品に対して表示されます。

[ソフトウェアインストール] 関連リスト

フィールド	説明
表示名	レコードリストに表示されているソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者の名前。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
インストール先	ソフトウェアがインストールされているハードウェアの名前。

ソフトウェア インストール フィールド

ソフトウェアインストールフォームと関連リストフィールドの説明。

注: このトピックでは、[ソフトウェアインストール] フォームで使用可能なフィールドのみについて説明します。ソフトウェアインストールフォームとソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルの両方で使用できるすべてのフィールドの詳細については、「 ソフトウェアインストールテーブル属性のレビュー 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェアインストールフォーム

フィールド	説明
表示名	レコード リストに表示されているソフトウェア インストールの名前。検出された製品名とエディションを組み合わせることができます。
ディスカバリーモデル	インストール済みソフトウェアを表わすソフトウェアディスカバリーモデル。
公開者	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
エディションのオーバーライド	ソフトウェアのエディション設定の上書き。 Office 365 サブスクリプションの場合、このフィールドはソフトウェアサブスクリプションレコードから設定されます。 ソフトウェアのエディションが検出されなかった場合、ディションをすでにご存知であればこのフィールドを編集してエディションの設定を行えるため、調整を正常に実行できます。
[インストール] タブ	
製品 ID **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	メーカーによって割り当てられた製品の一意の ID 検出で見つけられます。
インストール場所	ソフトウェアがインストールされるパス。
インストール日	ソフトウェアがインストールされた日付。
リビジョン **注:** このフィールドは廃止されました。ただし、[インストール] タブには空の値で表示されます。	ソフトウェアのリビジョン。
インスタンスキー	ソフトウェアのインスタンス化に対する一意の ID ソフトウェアのインストール時に自動的に生成されます。
インストール先	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
アンインストール文字列	ソフトウェアのアンインストールに使用する識別子。
ISO シリアル番号	ソフトウェアの ISO 番号。
[調整] タブ	
エンタイトルメント	このインストールで使用されるエンタイトルメント。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
注: このフィールドは廃止されました。ただし、[調整] タブには空の値で表示されます。	
推定スイート	このインストールが属する推定スイートモデル。
スイートから省略	調整中にソフトウェアインストールをスイートのコンポーネントとしてカウントしない場合はチェックボックスを選択します。

正規化ステータス

ディスカバリーモデルの正規化ステータスの説明。

検出モデルが正規化されると、バージョンと完全バージョンに正規化されます。ただし、検出モデルが部分的に正規化されている場合、またはパブリッシャーが正規化されている場合、検出モデルはフルバージョンに更新されません。検出モデルを手動で正規化する場合は、バージョンと完全バージョンに正規化するかどうかを決定できます。

標準化ステータスには、次の 6 種類の異なる結果があります。

ステータス	説明
正規化済み	検出モデルは、公開者、製品、バージョンのフィールドに基づいて完全に正規化されます。編集可能なフィールドはありません。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。編集すると、ステータスは [手動で正規化済み] に変わります。 [publisher] フィールドと [product] フィールドのみが検出されても、製品タイプが [Not Licensable]、[Child]、[Driver]、または [Patch] の場合、ステータスは [正規化済み] になります。
一部正規化済み	検出モデルは、公開者と製品フィールドのみに基づいて部分的に正規化されます。この場合、バージョンフィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスは **[Manually Normalized]** に変更されます。
正規化されたパブリッシャー	公開者フィールドのみに基づいて部分的に正規化された検出モデル。この場合、バージョンと製品のフィールドは編集可能であり、その情報が追加されると、正規化ステータスは **[Manually Normalized]** に変更されます。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスでは、検出モデルの 3 つのキーフィールドのいずれも [ソフトウェアライブラリ] のルールと一致させることができませんでした。この場合、すべてのキーフィールドが編

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
	集可能であり、情報が追加されると、正規化ステータスが **[Manually Normalized]** に変更されます。 [一致項目は見つかりませんでした] ステータスは、ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合に発生する可能性があります。 たとえば、組織が組織固有のカスタムソフトウェアを作成した場合です。
手動で標準化済み	検出モデルは、[新規]、[一致項目は見つかりませんでした]、[一部正規化済み]、または [パブリッシャーによって正規化済み] 検出モデルのキーフィールドが手動で入力されると、手動で正規化されます。
新規	ソフトウェア検出モデルでは正規化プロセスがまだ実行されていません。

ソフトウェアモデル フィールド

ソフトウェアモデルフォームと関連リストフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントに正しい PPN を入力すると、ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。スイートコンポーネント、スイート親、ソフトウェア製品ライフサイクル、評価指標属性、ダウングレード権限、すべてのバージョンの製品ライフサイクルなどのソフトウェアモデルフォームのタブは、自動的に入力されます。ただし、要件に基づいてソフトウェアモデルの詳細を手動で追加または更新することはできます。

詳細

このリストには、モデルのステータス、製品の詳細、ライセンス、条件、製品カタログ情報など、ソフトウェアモデルの詳細が表示されます。

Field (フィールド)	説明
Display name (表示名)	モデルの名前。システム プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* は、ソフトウェア モデル表示名の生成方法を制御します。admin ロールを持つユーザーは、このプロパティを設定できます。 デフォルトの形式は、公開者 + 製品 + バージョン + エディション + プラットフォーム + 言語です。 [プラットフォーム] または [言語] フィールドが [なし] に設定されていない場合は、値が追加されます。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
製品詳細	
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。提供されているルックアップリストを使用することができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	注: 公開者は、会社 [core_company] テーブルへの参照です。内部で使用している会社のみが表示されます。
製品	ソフトウェアの製品名。ソフトウェア Discovery モデルフォームで提供されているものと同じルックアップリストです。必要に応じて、ルックアップリストからカスタム製品を作成できます。 **注:** ソフトウェア公開者 [samp_sw_publisher] テーブルと会社 [core_company] テーブルの関係が正しくない場合、その公開者の製品が表示されないことがあります。 パブリッシャーと製品が存在しない場合は、 カスタムソフトウェア製品の追加できます。
バージョン条件	[バージョン] フィールドの条件修飾子。 • 次の値で始まる • 次の値に等しい • は何でも デフォルトは [何でも] です。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション条件	エディションフィールドの条件修飾子。 • 次の値で始まる • 次の値に等しい • は何でも デフォルトは [何でも] です。
Edition (エディション)	標準化されたディスカバリーモデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のエディション。
ディスカバリーマップ	ソフトウェアモデルにマッピングされるソフトウェア検出モデルを決定する一連の条件。購入した権限は、条件を満たすソフトウェア検出モデルにのみ適用されます。この照合は調整にとって重要です。 事前定義されたスイートを含むディスカバリーモデルは、[スイート定義済み] フィールドに表示されます。[はい] の値は、検出モデルがスイート (親) であることを示します。 提供されているディスカバリーマップを使用することも、条件情報を直接指定することもできます。sam_adminロールを持つユーザーは、カスタムディスカバリーマップの作成を選択できます。 検出マップを選択すると、次のようなメッセージが表示される場合があります。 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されます。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	ウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ次のいずれかの条件が満たされている場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません **注:** 既存のソフトウェアモデルのディスカバリーマップを変更すると、警告メッセージが表示されます。警告メッセージは、ソフトウェアモデルおよび関連するエンタイトルメントのダウングレード権限も変更されたことを通知します。たとえば、ソフトウェアモデルの検出マップを DMAP1 から DMAP2 に変更し、ソフトウェアモデルを保存すると、DMAP1 に関連付けられたすべてのダウングレード権限がソフトウェアモデルから削除され、DMAP2 に関連付けられたダウングレード権限が設定されます。ただし、ソフトウェアエンタイトルメントフォームレイアウトの [契約タイプ] フィールドの値が [汎用] の場合、そのエンタイトルメントのダウングレード権限は変更されません。 [一致するディスカバリーモデルを表示] 関連リンクを選択することで、どのディスカバリーモデルがソフトウェアモデルにマッピングされるかを確認できます。 **[Publisher** (パブリッシャー)] フィールドと **[Product** (製品)] フィールドが空の場合、値は検出マップに従って自動的に入力されます。
次のバージョン	製品の次のバージョンを表す、同じメーカーの別のソフトウェアモデルへの参照。 次のバージョンはディスカバリーマップで定義され、コンテンツサービスの一部です。次のバージョンは、次の 2 つの方法のいずれかでソフトウェアモデルに入力されます。 • ソフトウェアモデルを作成するか、ソフトウェアモデルの検出マップを更新すると、[保存] を選択するとビジネスルールがトリガーされます。ディスカバリーマップに次のバージョンが定義されている場合は、次のバージョンが入力されます。 • コンテンツサービスに、既存のソフトウェアモデル上の関連するディスカバリーマップの次のバージョンが指定されている場合、スケジュールジョブ *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* が実行されると、次のバージョンが入力されます。 **注:** 次のバージョンは、 *SAM- Create downgrades/upgrades for a software entitlement* スケジュール済みジョブが毎週実行された後にのみ入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	ただし、[次のバージョン] フィールドに値を入力した場合、その値は上書きされません。
製品分類	正式な国連標準製品およびサービスコード (UNSPSC) 分類。 このリリースから、コンテンツサービスライブラリから入手できる包括的な UNSPSC コードセットを使用して、製品分類が強化されました。UNSPSC コードの更新は、毎週のコンテンツサービス ライブラリの更新を通じても入手できます。
ソフトウェアライセンス	
製品タイプ	製品タイプの値には、[子]、[ドライバー]、[ライセンス可能]、[ライセンス不可]、[パッチ]、[不明] があります。 注: 調整プロセスでは、ライセンス可能なソフトウェア製品のみが考慮されます。
管理下のライセンス	指定したソフトウェアのライセンスを管理することを示すオプション。このオプションをオフにすると、ソフトウェアモデルは調整結果に含まれなくなります。 このオプションはデフォルトで選択されています。また、アップグレードされたソフトウェアモデルに対しても選択されます。 アップグレードし、このオプションが選択されているソフトウェアモデルがある場合は、一括更新を実行し、調整結果に含めないソフトウェアモデルから [管理下のライセンス] オプションをクリアできます。調整を再度実行すると、オプションが選択されたままのソフトウェアモデルのみが結果に表示されます。
所有者	モデルの責任者。
消費単位	消費可能なソフトウェア単位の測定単位。
条件	
条件名	ソフトウェアモデルに対して定義する条件の名前。
ソフトウェア インストール条件	調整中に特定のソフトウェアインストールのみを考慮する条件。指定されたソフトウェアインストール条件を満たすソフトウェアインストールのみが調整に含まれます。たとえば、Microsoft Visual Studioを購入した場合は、非本番環境でライセンスを使用するためだけに Visual Studio を使用するためのソフトウェアインストール条件を設定します。また、 Visual Studio のコンポーネントモデルごとに個別のソフトウェアインストール条件を作成する必要があります。 注: [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェアインストール条件を満たすソフトウェアインストールが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェア モデルに複数のソフトウェア インストール条件を追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• フィルタ条件の追加:ソフトウェアインストールが調整に含めるために満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節の追加:ソフトウェアインストールが満たすことができる条件を、調整に含めるように指定できます。 ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のソフトウェアインストール条件を追加できます。 • または:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たすことができる任意の条件を指定できます。 • **and**:調整に含めるためにソフトウェアインストールが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:ソフトウェアインストールが満たすことができる追加の条件セットを調整に含めることができます。
サブスクリプション条件 **注:** このフィールドは、ソフトウェアサブスクリプションとオンプレミスソフトウェアインストールの両方を含むハイブリッドソフトウェアモデルを含む、サブスクリプションベースのソフトウェアモデルにのみ表示されます。	調整中にサブスクリプションのグループのみを考慮する条件。指定されたサブスクリプション条件を満たすサブスクリプションのみが調整に含まれます。たとえば、特定の地理的な場所または事業部門からのサブスクリプションのみを調整するようにサブスクリプション条件を設定できます。 **注:** [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したソフトウェア条件を満たすサブスクリプションが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • フィルター条件の追加:調整に含めるためにサブスクリプションが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • 「OR」節の追加:調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる任意の条件を指定できます。 ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、1 つのソフトウェアモデルに複数のサブスクリプション条件を追加できます。 • **or**:調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる任意の条件を指定できます。 • **and**:調整に含めるためにサブスクリプションが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:調整に含めるためにサブスクリプションが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。 **警告:** すぐに利用可能なソフトウェアモデルにサブスクリプション条件を追加することはできません。関連するサブスクリプション ソフトウェアのサブスクリプション条件を定義するには、ソフトウェア モデルを作成する必要があります。
全般	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。 デフォルトは、Windows、macOS、UNIXは [何でも] です。
言語	正規化された検出モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。正規化または手動で追加された後に入力されます。 デフォルトは [任意] です。
資産追跡戦略	モデルに対する資産の追跡方法の上書きを許可します。
資産トラッキング単位	資産の測定単位。
コスト	ソフトウェアの単一の費用。
認定済み	このソフトウェアモデルに関連付けられた製品が TRM によって承認されているか未承認であるかを示します。 エンタープライズアーキテクトが製品を TRM ライブラリに追加すると、製品には承認済みまたは未承認のフラグが付けられます。承認された製品のソフトウェアモデルが作成されると、このチェックボックスが自動的にオンになります。 未承認製品のソフトウェアモデルを作成すると、そのソフトウェアモデルは制限付きとして指定されます。調整プロセス中に、未承認製品に関連付けられているソフトウェアインストールは削除候補として識別されます。 既存のソフトウェアモデルに対してアプリケーションポートフォリオ管理 - TRM (com.snc.apm_trm) プラグインを有効にする場合、製品が承認されているかどうかに応じて、このチェックボックスがオンになる場合とオンならない場合があります。
制限付きソフトウェア	ソフトウェアを制限するためのオプション。 制限付きソフトウェアは、環境にインストールすべきでないソフトウェア (不適切なソフトウェアや脆弱性のあるソフトウェアなど) を識別します。 削除候補が存在しない場合は、制限付きソフトウェアの削除候補を作成するスケジュール済みジョブが夜間に実行されます。
クライアントがアクセスするすべてのインストールにライセンスを付与	ソフトウェアのインストール条件など、ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいて、ソフトウェアがインストールされている構成アイテム (CI) にライセンスを付与するオプション。関連するクライアントアクセスレコードのいずれかが十分な権限

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
注: このフィールドは、Oracle DB サーバーソフトウェアモデルを除き、クライアントアクセスレコードに関連付けられているソフトウェアモデルにのみ表示されます。	がないためにライセンスされていない場合、すべての CI はライセンスなしのままになります。 このオプションを無効にすると、クライアントアクセスレコードに追加された CI のみがライセンス付与されます。クライアントアクセスレコードに CI を追加する方法の詳細については、「ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。 クライアントアクセスレコードに CI を追加した後でこのオプションを有効にすると、それらの CI はレコードから削除され、その後ソフトウェアモデルで指定した条件に基づいてライセンスが付与されます。
データベースオプション 注: このフィールドは、Oracle Database ソフトウェアモデルにのみ表示されます。	Oracle データベースオプションまたは管理パック。各オプションまたはパックには、個別のソフトウェアモデルが必要です。データベースオプションは、ソフトウェアモデルの識別子です。 このフィールドは、次の条件を満たすソフトウェアモデルを作成する場合に表示されます。 • パブリッシャは **Oracle** です。 • 製品は**DB** サーバーです。
データベースオプションの条件 注: このフィールドはOracleデータベース オプション フィールドで指定されているように、データベース オプションまたは管理パックに関連付けられている データベース ソフトウェア モデルにのみ表示されます。	調整中に Oracle データベースオプションまたは管理パックのサブセットのみを考慮するための条件。指定したデータベースオプションの条件を満たすデータベース オプションまたは管理パックのみが調整に含まれます。 注: [管理下のライセンス] オプションをオフにすると、指定したデータベースオプションの条件を満たすデータベースオプションまたは管理パックが調整から除外されます。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のデータベースオプション条件を追加できます。 • フィルター条件の追加: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **"OR"** 句の追加: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる条件を指定できます。 ソフトウェア資産ワークスペースでは、次のオプションを使用して、単一のソフトウェアモデルに複数のデータベースオプション条件を追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• または: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる条件を指定できます。 • **AND**: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット: 調整に含めるためにデータベース オプションまたは管理パックが満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
サブスクリプションに適用	このソフトウェアモデルをサブスクリプションベースのソフトウェアスイートのみに適用するオプション。このオプションを有効にしない場合、このソフトウェアモデルは、ソフトウェアがインストールされているソフトウェアスイートにのみ適用できます。
割り当てに対するクライアントアクセスを自動生成します。 **注:** このフィールドは、Oracle データベースサーバーソフトウェアモデルにのみ表示されます。 **重要:** このオプションを使用するには、ServiceNow Storeから Global Licensing and Advisory Services Oracleデータ収集を要求する必要があります。Data Collection for Oracle Global Licensing and Advisory Services アプリケーションの詳細については、「Oracle Global Licensing and Advisory Services のデータ収集を要求」を参照してください。	データベースサーバーのクライアントアクセスレコードを自動的に生成 Oracle 管理するオプション。このオプションを有効にすると、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションは、最新の Oracle Database Server Named User Plus エンタイトルメント、関連付けられた権限が割り当てられているユーザーとデバイス、およびこれらのユーザーとデバイスでサポートされている Oracle データベースインスタンスに基づいて、クライアントアクセスレコードを生成および管理します。ソフトウェア資産管理アプリケーションは、サポートされているデータベースインスタンスごとに個別のクライアントアクセスレコードを生成します。 ソフトウェア資産管理アプリケーションがデータベースサーバーのクライアントアクセスOracleレコードを自動的に生成した後でこのオプションを無効にすると、それらのクライアントアクセスレコードは自動的に管理および更新されなくなります。これらのクライアントアクセスレコードを手動で管理および更新して、正確かつ最新の状態に保つ必要があります。 このオプションを有効にし、 Oracle データベースサーバーの既存のクライアントアクセスレコードがすでにある場合は、自動的に生成されたすべてのクライアントアクセスレコードが自動的に管理され、再度更新されます。ただし、手動で生成されたすべてのクライアントアクセスレコードは引き続き管理および更新する必要があります。
製品カタログ	
カタログアイテム	製品カタログやサービス・カタログに表示されるモデルに関する情報。 この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。
説明	製品カタログに表示されるソフトウェア モデルの説明。
画像	ソフトウェアロゴの画像を追加することができます。ソフトウェアモデルが公開されている場合、このロゴはサービスカタログに表示されます。
アクティビティ	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、作業指示タスクに関するメモ。

スイート コンポーネント

このリストには、ソフトウェアスイートコンポーネントの詳細が表示されます。ソフトウェアコンポーネントは、ソフトウェアスイートの親のスイートの子です。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

フィールド	説明
自動コンテンツ更新を許可	毎週のコンテンツ更新を通じて ServiceNow 更新されたスイート定義をインスタンスに自動的に送信できるようにするオプション。
スイート (子)	製品またはスイートの製品 (子)。たとえば、 Microsoft Word と Microsoft Excel は Microsoft Office の子製品です。
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] にすることができます。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つ以上のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在することを示す関係。したがって、スイート (親) とスイートコンポーネントの関係が想定されました。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。
スイートコンテンツ使用率	
推論オプション: 数値 と パーセント	数:スイートにインストールされているコンポーネントの数を指定します。コンポーネントの数以下の数を指定します。 **注:** スイートコンポーネントで作成される新しいソフトウェアモデルの場合、[番号] オプションがデフォルトで選択されています。 パーセント:スイートにインストールする必要があるコンポーネントのパーセントを指定します。 **注:** 推定率を使用していたスイートコンポーネントを含む既存のソフトウェアモデルの場合、[パーセント] オプションがデフォルトで選択されています。ただし、[番号] オプションを使用することを選択できます。 システムプロパティ *Use component licenses to optimize compliance when suite licenses run out* が true に設定されている場合、[推定率] は、スイートまたはコンポーネントのライセンスが最適かどうかを判断するためのしきい値を指定します。
自動コンテンツ更新を許可	ソフトウェアモデルに対するコンテンツの自動変更を有効にするオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スイート (親)

このリストには、ソフトウェアスイートの親の詳細が表示されます。詳細については、「ソフトウェア資産管理 ソフトウェアスイート」を参照してください。

	Description (説明)
スイート (親)	ソフトウェアが割り当てられるスイート (親)。たとえば、いくつかの一般的な Microsoft 製品の親スイートは、 Microsoft Office のバージョンです。
スイート (子)	
必須	スイートコンポーネントの要件。スイートコンポーネントは、[オプション]、[常に必須]、または [必須グループ] にすることができます。 モデルをスイートとしてカウントするためにソフトウェアをインストールする必要がある場合は、[常に必須] と設定します。
スイートの関係性を想定	1 つまたは複数のスイートコンポーネントに複数のソフトウェアモデルが存在するため、スイート親とスイートコンポーネントの関係が想定されたことを示す関係。 作成されたスイートコンポーネントの関係が正しいことを確認してください。

ソフトウェア製品ライフサイクル

このリストには、ソフトウェア製品バージョンのライフサイクル情報が表示されます。詳細については、 ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント の「Software Product Lifecycle report (ソフトウェア製品ライフサイクルレポート)」セクションを参照してください。

Field (フィールド)	説明
パブリッシャー	パブリッシャーの名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン
エディション	ソフトウェアのエディション。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • 公開者
リスク	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度か、提供終了フェーズのリスクは高い可能性があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。 • プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード 注: [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。 • サポート終了:パブリッシャーによってソフトウェアが拡張されない日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftのメインストリームサポート終了日に対応しています。 • 延長サポートの終了:公開者がソフトウェアのサポートまたはアップデートを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftの延長サポート終了日に対応します。 • 提供終了:発行元がソフトウェアを製造しなくなる日付。 注: この値は、メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、Microsoft には適用されません。詳細については、「 固定ライフサイクル ポリシー 」を参照してください。
アクティブ	ソフトウェアのリスクを評価する際にライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 注: デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。
ソース	ライフサイクルのソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されま

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	す。自動的に作成された場合、フィールドは ServiceNow に設定されます。
説明	ソフトウェア製品ライフサイクルの説明。

ソフトウェアエンタイトルメント

このリストには、ソフトウェアライセンスのエンタイトルメント期間が表示されます。詳細については、 ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント の「ソフトウェアエンタイトルメント」セクションを参照してください。

Field (フィールド)	説明
表示名	ソフトウェアモデルの表示名に基づいて自動的に生成される名前。
ライセンス評価指標	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。
評価指標グループ	[ソフトウェアモデル] フィールドに基づくメトリクスグループ。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。
ライセンスタイプ	タイプによって、ソフトウェアへのフルアクセスを許可する権限か、以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードされている権限かが決まります。 さまざまなライセンスタイプを次に示します。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • サブスクリプション • ステップアップ • サブスクリプションステップアップ
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与された権限の数。
購入済みの権限	このエンタイトルメントのために購入された権限の数。
総額	単位コストから計算されたエンタイトルメントの総コスト。

ライセンスコストを上書き

このリストには、ソフトウェアエンタイトルメントの上書きライセンスコスト情報が表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
ソフトウェアモデル	ソフトウェアエンタイトルメントが属するソフトウェアモデル。
評価指標グループ	ソフトウェアエンタイトルメントが属するメトリクスグループ。
ライセンス評価指標	ソフトウェアエンタイトルメントに指定されたライセンスのメトリクス。
ライセンスコスト	ライセンスのコスト。
ライセンスとメンテナンスのコスト	ライセンスのコストとメンテナンスライセンスのコストを組み合わせたもの。 調整中に調整コストを上書きするには、ライセンスコストまたはライセンスとメンテナンスコストを指定します。[ライセンスコスト] または [ライセンスとメンテナンスコスト] フィールドに値が指定されていない場合、ソフトウェアエンタイトルメントコストが調整コストの計算に使用されます。 **注:** SaaSライセンスの場合、ライセンスコストのみが適用されます。ライセンスとメンテナンスの費用は適用されません。
[ライセンスの測定基準] フィールドで選択した値が [従業員] の場合、次のフィールドが表示されます。	
アクティブ	調整コストの計算でライセンスコストを考慮するかどうかを示します。
下限	ライセンスに必要な最小従業員数。
上限	ライセンスに必要な従業員の最大数。

ソフトウェアモデルの結果

このリストには、ライセンスメトリクスの結果に関連付けられたソフトウェアモデルの結果が表示されます。

Field (フィールド)	説明
ステータス	ソフトウェア モデルのステータス。可能な値は [準拠] と [非準拠] です。 [ステータス] フィールドを選択すると、対応するソフトウェアモデル結果レコードが開き、ソフトウェアモデルの結果に関する詳細情報を表示できます。ソフトウェアモデルの結果フォームの各フィールドの詳細については、 ソフトウェアモデルの結果を表示 を参照してください。
合意タイプ	合意タイプはソフトウェアエンタイトルメントに設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 共通：汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) • IBM:汎用エンタープライズ・ライセンス契約 (ELA)、国際プログラム・ライセンス契約 (IPLA)、IBM 顧客契約 (ICA)、無制限レベル契約 (ULA) • Microsoft:汎用エンタープライズライセンス契約 (ELA) • Oracle:汎用無制限レベル契約 (ULA) • VMware:汎用、エンタープライズライセンス契約 (ELA)、エンタープライズ購入プログラム (EPP)、ボリューム購入プログラム (VPP) 注: 契約タイプがエンタープライズレベル契約または無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールまたはライセンスなしのサブスクリプションがあっても、 ステータス は準拠です。
ライセンスなしのインストール	エンタイトルメント対象外となるライセンスなしソフトウェアのインストール数。
調整コスト	必要な最小権限数 (必要な権限 x エンタイトルメントから権限あたりの平均価格) に基づいて、ライセンスのないインストールを修復するための推定コスト。購入権利修復オプションからの最低コスト。
ライセンス供与過剰金額	不使用な権限のコスト概算。調整コストから出たライセンス供与過剰金額の合計です。
見込み節減	
グループ	調整の実行を指定されたグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。
サブグループ	調整の実行を指定されたサブグループ。値には、なし (None)、国 (Country)、部門 (Department)、会社 (Company)、地域 (Region)、およびコストセンター (Cost Center) があります。

評価指標属性

このリストには、ソフトウェアモデルのメトリクス属性情報が表示されます。

Field (フィールド)	説明
ソフトウェア モデル	評価指標属性に関連付けられたソフトウェア モデル。
評価指標グループ	ソフトウェア測定基準のグループ化。 ソフトウェアが適用されるオプションの公開者パックがインストールされている場合は、それ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	らのオプションが表示されます。それ以外の場合、メトリクスグループの値は [共通] です。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にカウントされるソフトウェア ライセンスのメトリクス (ユーザーごと、デバイスごとなど)。
説明	ライセンスのメトリクス値に基づいた属性タイプの説明。
属性	エンタイトルメントライセンスメトリクスを調整するための属性タイプ。各属性タイプの詳細については、「 ソフトウェアライセンス測定基準属性」を参照してください。
属性値	属性の値 (整数)。
属性値は制限されていない	属性を無制限に設定するためのオプション。

ベンダーカタログアイテム

このリストには、ベンダーに関連付けられたソフトウェアモデルの詳細が表示されます。詳細については、「ベンダーカタログアイテム」を参照してください。

フィールド	説明
名前	カタログアイテムの名前。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
Short Description (簡単な説明)	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	このベンダーの製品とサービスの総合的な順位を表示します。

クライアントアクセス

この一覧には、クライアント アクセス ライセンス (CAL) を使用して特定のバージョンのサーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーまたはデバイスのクライアント アクセス レコードの詳細が表示されます。

Field (フィールド)	説明
名前	クライアントアクセスレコードの名前。名前を選択して対応するクライアントアクセスレコードを開くと、関連付けられたクライアントアクセスライセンス(CAL)が割り当てられているユーザーまたはデバイス、関連するサーバーソフトウェアがインストールされている構成アイテム(CI)など、レコードに関するより詳細な情報を表示できます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
カウント	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されている一意のユーザーまたはデバイスの数。 注: Citrixソフトウェアモデルとユーザー/デバイス CAL タイプを使用している場合、[カウント] フィールドは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスの数に基づきます。
タイプ	クライアントアクセスレコードに関連付けられている CAL のタイプ。 • ユーザー **CAL**:各ユーザーがサーバーへのアクセスに使用しているデバイスの数に関係なく、関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーにライセンスを付与します。 • デバイス **CAL**:各デバイスを使用してサーバーにアクセスするユーザーの数に関係なく、指定されたサーバーにアクセスする各デバイスにライセンスを付与します。 • ユーザー/デバイス **CAL**:関連付けられたサーバーにアクセスする各ユーザーまたはデバイスにライセンスを付与します。 注: Citrixソフトウェアモデルを使用している場合、ユーザー/デバイス CAL タイプは、ユーザーまたは共有デバイスに割り当てられているユーザー/デバイスライセンスに基づきます。
コストセンター	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスのコストセンター。
部門	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの事業部門。
場所	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの地理的な場所。
会社	関連付けられたサーバーへのアクセスが許可されているユーザーまたはデバイスの会社。

ソフトウェアサブスクリプション

このリストには、ソフトウェアアプリケーションで利用可能なサブスクリプションが表示されます。

Field (フィールド)	説明
Display name (表示名)	サブスクリプションのソフトウェアパブリッシャーと製品。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションのユーザーのメールアドレス。
ソフトウェアモデル	サブスクリプションのソフトウェアモデル。
最終アクティビティ	このサブスクリプションが最後に使用された日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプション識別子に関連付けられているプロファイル。

ダウングレード権限

このリストには、ソフトウェアモデルのダウングレード権限情報が表示されます。詳細については、「ダウングレード権限」を参照してください。

フィールド	説明
親ソフトウェアモデル	ソフトウェアモデルの親 (または最上位階層)。
ソフトウェアモデル	ダウングレード権限に関連付けられたソフトウェアモデル。選択した親ソフトウェアモデルに基づいて、関連するソフトウェアモデルがリストに表示されます。たとえば、SQL Server 2012 Standard Microsoft 親ソフトウェア モデルとして選択した場合、 Microsoft 関連するソフトウェア モデルのみがリストに表示されます。
ソース	ダウングレード権限のソース。レコードが手動で作成された場合は、[内部] に設定されます。自動的に作成された場合、フィールドは ServiceNow に設定されます。
アクティブ	ソフトウェアモデルのダウングレード権限が有効かどうかを示すオプション。必要に応じて、ダウングレード権限を無効にすることができます。アクティブなダウングレード権限のみがフィールドに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェアモデルのダウングレード権限を非アクティブ化すると、ダウングレード権限のソースに関係なく、変更が関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に伝播されます。ソフトウェアモデルのダウングレード権を非アクティブ化し、ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権をアクティブ化したままにすることはできません。 ダウングレード権限を無効にするには、フィールドをダブルクリックしてトグルボタンを表示し、[**false**] を選択してから、[保存] アイコン ( ) を選択します。 • **false**:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を非アクティブ化します。 • **true**:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を再アクティブ化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一致するディスカバリーモデル

このリストには、ソフトウェアモデルのソフトウェア公開者と製品フィールドに一致する検出マップが表示されます。

Field (フィールド)	説明
Display name (表示名)	ディスカバリーモデルの名前。この値は、検出された公開者、製品、バージョンを使用して自動的に生成されます。
標準化ステータス	標準化プロセスの [ステータス]： • 正規化済み • 一部正規化済み • 正規化されたパブリッシャー • 一致項目は見つかりませんでした • 手動で標準化済み • 新規
パブリッシャー	ソフトウェアの正規化された公開者。
製品	ソフトウェアの正規化された製品名。
バージョン	ソフトウェア製品の正規化されたバージョン。
Edition (エディション)	ソフトウェアの正規化されたエディション。

すべてのバージョンの製品ライフサイクル

このリストは、ソフトウェア製品のすべてのバージョンのライフサイクルを示しています。

Field (フィールド)	説明
パブリッシャー	公開者の名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
Edition (エディション)	ソフトウェアのエディション。
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルフェーズの値は次のとおりです。 • プレリリース:ソフトウェアがプレリリースされた日付。 • 一般提供:ソフトウェアが一般市場に公開された日付。 • アップグレード 注: [ライフ サイクル タイプ] フィールドが内部の場合のみ表示。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 提供終了:発行元がソフトウェアを製造しなくなる日付。 注: この値は、メインストリームサポートと延長サポートを提供する固定ライフサイクルポリシーに従っているため、Microsoft には適用されません。詳細については、「固定ライフサイクル ポリシー」を参照してください。 • サポート終了:パブリッシャーによってソフトウェアが拡張されない日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftのメインストリームサポート終了日に対応しています。 • 延長サポートの終了:公開者がソフトウェアのサポートまたはアップデートを提供しなくなる日付。 この値は、固定ライフサイクルポリシー に基づくMicrosoftの延長サポート終了日に対応します。
ライフサイクルタイプ	ライフサイクルタイプの値は次のとおりです。 • 内部 • パブリッシャー
ソース	ライフサイクルのソース。 • レコードを手動で作成した場合、この値は [内部] に設定されます。 • レコードが自動的に作成される場合、フィールドは [ServiceNow] に設定されます。
Description (説明)	ソフトウェア製品ライフサイクルの説明。
Phase start date (フェーズ開始日)	ライフサイクルフェーズの開始日。
リスク	ライフサイクルフェーズに関する組織のリスクレベル。たとえば、パブリッシャーのサポート終了フェーズのリスクは中程度か、提供終了フェーズのリスクは高い可能性があります。 リスクタイプの値は次のとおりです。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
アクティブ	ソフトウェアのリスクを評価する際にライフサイクルを考慮するかどうかを示します。 注: デフォルトでは、アクティブなライフサイクルのみが表示されます。

ソフトウェアライセンス測定基準属性

ソフトウェアライセンス測定基準属性と関連リストフィールドの説明。

測定基準属性

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの数。	指名デバイスあたり	一般
プロセッサーあたりの最小コア数	8	間違い	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用する必要があるコア権限の数。 `ライセンス可能なコア = プロセッサ * 最大(プロセッサあたりの最小コア数、コア数)`	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
VM あたりの最小コア数	8	間違い	仮想マシン (VM) に適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	間違い	物理サーバー上でソフトウェアを実行できるオペレーティングシステム環境 (OSE) の最大数。 `必要なライセンス数 =（ライセンス可能な OSE 数/サーバーあたりのアクティブな OSE の最大`	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			数）* ライセンス可能なコア数		
サーバーあたりの最小コア数	16	間違い	物理サーバーに適用する必要があるコア権限の数。 ライセンス可能なコア数 = 最大（プロセッサ x 最大（プロセッサあたりの最小コア数、コア数)、サーバーあたりの最小コア数)	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
OSE あたりの最大インストール数	1	間違い	サーバーの OSE の 1 つで許可されるインストールの最大数。 必要なライセンス = (OSE あたりのライセンス可能なインストール数/OSE あたりの最大インストール数）* ライセンス可能なコア	コアあたり (CAL を含む)	Microsoft
プロセッサーあたりの最小コア数	1	間違い	物理プロセッサに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	一般
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	間違い	OracleDatabase Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One およびOracle Database Standard Edition 2には、Microsoft AzureやAWSなどのOracle認可済みクラウド環境にデプロ	プロセッサあたり	Oracle

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			イされるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、Microsoft AzureやAWSなどのOracle認可済クラウド環境でデプロイされるインスタンスのサイズに上限はありません。		
サーバーあたりの最大ソケット数	2	間違い	Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2 は、ソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンスを取得できます。	プロセッサあたり	Oracle
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	指名ユーザーあたり	一般
権限あたりの最大 VM 数	2	間違い	RHEL Serverの場合、これは各サブスクリプションがライセンスを付与できる物理ホスト上で実	ソケットペアごと	Red Hat

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			行されている VM の数です。ホストで実行されている 1 つの VM には、1 つのサブスクリプションが必要です。 RHEL for Virtual Datacentersの場合、これは物理ホスト上のソケット ペアごとに 1 つのサブスクリプションでライセンスを付与できる VM の数です。		
権限あたりの最大ソケット数	2	間違い	各サブスクリプションがライセンスを取得できる物理ホスト上のソケットの数。1 つのソケット ホストには 1 つのサブスクリプションが必要です。	ソケットペアごと	Red Hat
権限あたりの最大プロセッサー数	2	間違い	各権限がライセンスを付与できる物理プロセッサの最大数。 必要なライセンス数 = プロセッサ数/権限あたりの最大プロセッサ数	プロセッサあたり	Microsoft
サーバーあたりの最大アクティブ OSE 数	2	間違い	物理サーバー上でソフトウェアの実行を許可されている OSE の最大数。 必要なライセンス = ライセンス可能な OSE/サーバーあたり	プロセッサあたり	Microsoft

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			のアクティブな OSE の最大数		
OSE あたりの最大インストール数	1	間違い	サーバーの OSE の 1 つで許可される最大インストール数。 必要なライセンス = OSE あたりのライセンス可能なインストール数/OSE あたりの最大インストール数	プロセッサあたり	Microsoft
OSE あたりの最大インストール数	1	間違い	サーバーの OSE の 1 つで許可される最大インストール数。 必要なライセンス数 = OSE あたりのライセンス可能なインストール数	サーバー (インスタンスあたり)	Microsoft
権限あたりの最大インストール数	1	間違い	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	アプリケーションインスタンスあたり	VMware
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	OSI あたり	VMware
最小 NUP	5	間違い	Named User Plus(NUP)によってライセンスされている場合、 Oracle Database Standard Editionと Oracle Database Standard Edition Oneの両方に、それぞれ最低5つのNUPライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
WebLogic オンプレミス展開の最小 NUP	10	間違い	プロセッサーにアクセスするプログラムに対してライセンスを取得するために必要なユーザーの最小数。この属性は、オンプレミスにデプロイされた WebLogic Standard および WebLogic Enterprise の Oracle NUP ライセンスメトリック Oracle 資格を調整するために使用されます。WebLogic Standard の場合、属性は占有されているソケットをカウントし、WebLogic Enterprise の場合、属性はプロセッサ コアをカウントします。	指名ユーザープラス	Oracle
サーバーあたりの最大ソケット数	2	間違い	Oracle Database Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One、および Oracle Database Standard Edition 2 は、ソケットの最大数よりも小さい値を持つサーバーでのみライセンスを取得できます。	指名ユーザープラス	Oracle
プロセッサーあたりの最小ユーザー数	25	間違い	物理プロセッサーへのアクセスを許可されるユーザーの最小	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			数。このメトリクス属性は、オンプレミスとMicrosoft Azure や AWS などの Oracle 認定クラウド環境の両方に適用されます。		
クラウド上の最小 NUP	10	間違い	NUP によってライセンスされている場合、Oracle Database Standard Edition 2 には、Microsoft Azure や AWS などのOracle認定クラウド環境で 8 つの vCPU ごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
クラウド上の最大インスタンスサイズ	8	間違い	OracleDatabase Standard Edition、Oracle Database Standard Edition One およびOracle Database Standard Edition 2には、Microsoft AzureやAWSなどのOracle認可済みクラウド環境にデプロイされるインスタンスのサイズに上限があります。OracleDatabase Enterprise Editionには、Microsoft AzureやAWSなどのOracle認可済クラウド環境でデプロイされるインスタンスのサイズに上限はありません。	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
WebLogic クラウド展開の最小 NUP	10	間違い	vCPU にアクセスするプログラムのライセンスを取得するために必要なユーザーの最小数。この属性は、AWS や Azure Cloud などの認可済みクラウド環境上の Oracle WebLogic Standard および WebLogic Enterprise の資格をOracle NUP ライセンス メトリックOracle調整するために使用されます。Standard エディションの場合、 AWS または Azure Cloud のいずれかで 8 個の vCPU ごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。Enterprise エディションでは、ハイパースレッディングが有効になっている場合は 2 つの vCPU ごとに 10 個の NUP ライセンスが必要であり、ハイパースレッディングが有効になっていない場合は vCPU ごとに 10 個の NUP ライセンスが必要です。	指名ユーザープラス	Oracle
サーバーごとの最小 NUP	10	間違い	NUP によってライセンスされている場合、 Oracle Database Standard	指名ユーザープラス	Oracle

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			Edition 2 にはサーバーごとに最低 10 個の NUP ライセンスが必要です。		
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU あたり最大物理コア数まで、CPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	IBM
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU あたり最大物理コア数まで、CPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	Citrix
プロセッサあたりの最大コア数	32	間違い	2020 年 4 月 2 日より、 VMware では最大 32 個の物理コアに対して 1 つのライセンスが必要です。CPU のコア数が 32 を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。	プロセッサあたり	VMware

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)		
プロセッサあたりの最大コア数		正しい	CPU あたり最大物理コア数まで、CPU ごとに 1 つのライセンスが必要です。CPU の物理コア数が最大数を超える場合は、追加の CPU ライセンスが必要です。 必要なライセンス = プロセッサ * (コア数/プロセッサあたりの最大コア数)	プロセッサあたり	一般
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Adobe
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	Citrix
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	一般
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	デバイスあたり	VMware
VM あたりの最小コア数	4	間違い	仮想マシンに適用する必要があ	コアあたり	Microsoft

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

属性	属性値	属性値は制限されていない	Description (説明)	ライセンス評価指標	評価指標グループ
			るコア権限の数。		
プロセッサーあたりの最小コア数	4	間違い	物理プロセッサまたは仮想コアのセットに適用する必要があるコア権限の数。	コアあたり	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	Per User (ユーザーあたり)	Adobe
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	Per User (ユーザーあたり)	Microsoft
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	Per User (ユーザーあたり)	IBM
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	Per User (ユーザーあたり)	Citrix
権限あたりの最大インストール数		正しい	各権限がライセンスを付与できるインストールの最大数。	Per User (ユーザーあたり)	一般

ソフトウェアエンタイトルメントフィールド

ソフトウェアエンタイトルメントフォームと関連リストフィールドの説明。

ソフトウェアエンタイトルメントフォーム

注: Xanadu リリース以降、ソフトウェアエンタイトルメント [alm_license] テーブルとライセンスコスト上書き [samp_override_license_cost] テーブルに [データベースオプション] 列は存在しなくなりました。Xanadu リリースより前にフォームビューをカスタマイズしてデータベースオプション列を含めた場合は、ソフトウェアエンタイトルメントフォームに [データベース] オプションが表示されます。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアモデルの表示名に基づいて自動的に生成される名前。
資産タグ	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	購入済みである可能性がある事前定義済みソフトウェアのソフトウェア製品定義ルックアップリストからの公開者の品番 (PPN)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。 公開者の品番を選択すると、次のようなメッセージが表示される場合があります。 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ次のいずれかの条件が満たされている場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • ダウングレード権限のソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません **注:** 公開者の品番のソフトウェアモデルが存在する場合、[**Software model**] フィールドには自動的に値が入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。同じディスカバリーマップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェアモデル。 **注:** 公開者の品番がソフトウェアモデルの公開者と製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。 このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。
合意タイプ	選択した契約タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 契約タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあっても ステータス は準拠です。
ライセンスタイプ	タイプによって、ソフトウェアへのフルアクセスを許可する権限か、以前のバージョンのソフトウェアからアップグレードされている権限かが決まります。 さまざまなライセンスタイプを次に示します。 • 無期限 • 無期限 + ソフトウェアアシュアランス • ソフトウェア保証 • サブスクリプション • ステップアップ • サブスクリプションステップアップ **注:** Xanadu リリースにアップグレードしてコンテンツの更新が実行された後、コンテンツの更新によって特定の PPN のライセンスタイプがステップアップからサブスクリプションステップアップに変更されると、その PPN に関連付けられているすべてのエンタイトルメントがサブスクリプションステップアップエンタイトルメントに更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [サブスクリプション] です。
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。 **注:** このフィールドが [従量課金] または [サブスクリプション] に設定されている場合、[ライセンスタイプ] フィールドは自動的に [サブスクリプション] に設定されます。
ライセンス評価指標	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。 **注:** • SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 • SaaS 消費の場合、ライセンス測定基準の結果 (samp_license_metric_result) の支出は、現在のサブスクリプション期間についてのみ計算されます。これは、エンタイトルメントの総コストではありません。たとえば、購入した権限が 100 で、単価が 1 ドル、ライセンスの種類がサブスクリプション、サブスクリプション期間が月次で、開始日と終了日が 2 か月に設定されている場合、合計コストは 200 ドルになります。ただし、消費は現在のサブスクリプション期間に合わせて調整されるため、ライセンス測定基準の結果の支出は $100 と表示されます。
無制限のライセンス	作成中のエンタイトルメントが無制限ライセンスであることを示します。
サブスクリプション期間	ソフトウェアサブスクリプションの請求頻度。オプションは、[月次]、[四半期ごと]、[年次]、および [サブスクリプション期間全体] です。[サブスクリプション期間全体] オプションは、サブスクリプションの全期間を通じて、後にのみ支払う必要があることを示します。 [月次]、[四半期ごと]、または [年ごと] を選択した場合は、サブスクリプションの有効期間を [開始日] フィールドと [終了日] フィールドに指定する必要があります。[サブスクリプション期間全体] を選択した場合は、[開始日] フィールドのみが必須です。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション] または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
開始日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、または SA サービスの開始日。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップ アップ]、または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
終了日	サブスクリプション、メンテナンスエンタイトルメント、または SA サービスの終了日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	終了日に達すると、ソフトウェアアシュアランスがライセンスタイプとして指定されている場合、メンテナンスフラグはクリアされ、ステータスは廃止になります。 このフィールドは、[ライセンスタイプ] リストから [サブスクリプション]、[無期限 + メンテナンス]、[メンテナンス]、[無期限 + ソフトウェアアシュアランス]、[ソフトウェアアシュアランス]、[ステップ アップ]、または [サブスクリプションステップアップ] を選択した場合にのみ表示されます。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数 このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。このフィールドの値を変更すると、[購入済みの権限] フィールドが自動的に更新されます。
購入した権限	購入している権限の数。 このフィールドは、既存のエンタイトルメントで編集できます。このフィールドの値を変更すると、経費ラインアイテムが自動的に更新されます。 **注:** CAL ライセンスタイプで [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
アクティブな権限	このエンタイトルメントに付与される権限の数。 **注:** エンタープライズ契約がライセンスに関連付けられている場合、[アクティブな権限] フィールドは表示されません。
利用可能な割り当て	エンタイトルメント用に作成されていないユーザーまたはデバイス割り当ての数。 利用可能な割り当て = (アクティブな権限の数) - (すべての割り当て量の合計)。
単位コスト	ソフトウェアの単位コスト。 **注:** での総コストと節減額の計算に必要です ソフトウェア資産管理 ダッシュボードです
総額	単位コストから計算されたエンタイトルメントの総コスト。
合計ユニット	このエンタイトルメントのために購入したソフトウェアユニットの合計数。 このフィールドは、[メトリクスグループ] フィールドが [消費] に設定されている場合にのみ表示されます。
無制限消費	選択した場合、ライセンス消費は消費ルールにリストされているエンティティに制限されません。どのエンティティも権限を消費できますが、消費ルール内のエンティティに

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	は予約された権限があります。予約された権限は、ライセンスプール列から取得されます。 **注:** このチェックボックスは、既存のすべての消費ルールにライセンスプールがある場合にのみオンになります。新しい消費ルールでもプールを定義する必要があります。

[全般] タブ

フィールド	説明
シリアル番号	資産識別のために割り当てられた唯一の番号。
所有者	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産所有者は管理者と異なっていてもかまいません。
ステータス	資産の現在の状態。値には、 注文済み、 在庫あり、 輸送中、 使用中、 消費済み、 メンテナンス中、 廃止、 欠損、 ビルドが含まれます。 **注:** エンタイトルメントの作成を開始すると、初期ステータスは [ビルド] です。エンタイトルメントを公開すると、ステータスが [使用中] に変わります。 ステータスが [廃止] の場合、[アクティブな権限] フィールドは **0** に設定されます。 サブスクリプションライセンス期間のあるエンタイトルメントの場合、[ステータス] フィールドは [開始日] フィールドと [終了日] フィールドに基づいて自動的に更新されます。
サブステート	ソフトウェア ライセンス ステージの詳細。使用可能なサブステートの設定は、[ステータス**(State)**] フィールドで選択したステータスによって異なります。 たとえば、[廃止] 状態を選択した場合、使用可能なサブステート オプションは [廃棄済み]、[販売済み]、[寄付]、および [ベンダー クレジット] です。
アクティブメンテナンス	エンタイトルメントでサブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブ化されているかどうかを示します。エンタイトルメントにアクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている場合、このチェックボックスは自動的にオンになります。エンタイトルメントで最初にサブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブ化されていて、サブスクリプション、SA、またはメンテナンスがアクティブでなくなった場合、チェックボックスは自動的にオフになります。 以前のリリースから Xanadu リリースにアップグレードする場合、アクティブな SA、サブスクリプション、またはメンテナンスが関連付けられている既存のエンタイトルメントに対して、このチェックボックスが自動的にオンになります。
会社	この資産が属する会社。
ロケーション	ライセンスが使用される場所。たとえば、サイト、国、地域を指定できます。
部門	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[財務] タブ

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元の会社。
請求書番号	資産に関する請求が記載されている請求書。
要求アイテム	資産にリンクされた要求済みアイテム。
購入日	エンタイトルメントが購入された日付。この日付は、 Microsoft が AWS および Microsoft Azure 上の専用ホストのライセンスルールを更新したため、調整が実行されたときに考慮されます。 **注:** 購入日は、エンタイトルメントをインポートするときにも表示されます。
オープン	要求がオープンされた日付。
GL アカウント	資産に関連付けられた総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

[契約] タブ

ソフトウェアエンタイトルメントをインポートする場合は、ダウンロード可能なテンプレートの [契約番号] 列を使用して、契約をエンタイトルメントにリンクします。契約番号は参照フィールドであるため、システムは最初に既存の契約との一致を検索するため、既存の契約番号を入力します。一致する契約番号が見つからない場合は、エンタイトルメントのインポートエラーが生成されます。

エラーから契約を作成できるはずです。これにより、エンタイトルメントの作成と、[契約] 関連リストのエンタイトルメントフォームでの契約の表示が可能になります。契約作成プロセスをスキップしてエンタイトルメントを作成することもできますが、契約はありません。

フィールド	**Description** (説明)
リース契約	資産に適用される契約。
保証の有効期限	保証の有効期限。
サポートグループ	資産に関連するインシデントをサポートするグループ。
サポート担当者	資産に関連するインシデントをサポートする個人。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ユーザー割り当て] タブ

注: このタブは、[Per User] や [User CAL] などのユーザーベースのライセンスの測定基準を使用している場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	説明
アサイン条件	調整中にユーザー割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすユーザー割り当てのみが調整に含まれます。
Assigned to (アサイン先)	関連付けられた権限が割り当てられているユーザー。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用して、サーバー ソフトウェアにアクセスしているユーザーを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各ユーザーの名前が表示されます。ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションでユーザーに CAL を割り当てる方法の詳細については、ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでユーザーに CAL を割り当てる方法の詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
数量	ユーザーに割り当てられている権限の数。
ライセンス キー	ユーザーに割り当てられている一意のライセンスキー。

[デバイス割り当て] タブ

注: このタブは、[デバイスごと] や [デバイス CAL] などのデバイスベースのライセンスメトリクスを使用している場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	説明
エンタイトルメント条件	調整中にデバイス割り当てのみを考慮する条件。指定された条件を満たすデバイス割り当てのみが調整に含まれます。
アサイン先	関連付けられた権限が割り当てられているデバイス。 **注:** クライアント アクセス レコードを使用して、サーバー ソフトウェアにアクセスしているデバイスを追跡および管理している場合、このフィールドには、関連付けられたクライアント アクセス ライセンス (CAL) を割り当てた各デバイスの名前が表示されます。ソフトウェア資産管理 クラシック アプリケーションでデバイスに CAL を割り当てる方法の詳細については、ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースでデバイスに CAL を割り当てる方法の詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
数量	デバイスに割り当てられている権限の数。
ライセンスキー	デバイスに割り当てられている一意のライセンスキー。

[関連エンタイトルメント] タブ

注: このタブは、ソフトウェアエンタイトルメントが関連するエンタイトルメントにリンクされている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
関連エンタイトルメント	ソフトウェアエンタイトルメントにリンクする関連エンタイトルメント。
ライセンス タイプ	関連するエンタイトルメントに関連付けられているライセンスタイプ。
アクティブな権限	関連するエンタイトルメントに付与する権限の数。
ソフトウェアエンタイトルメント **注:** このフィールドは、ソフトウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このフィールドは、 ソフトウェア資産管理 クラシックアプリケーションには表示されません。	関連するエンタイトルメントをリンクしているソフトウェアエンタイトルメント。

[アップグレードされたエンタイトルメント] タブ

フィールド	説明
エンタイトルメント元	権限がアップグレードしたエンタイトルメント。複数のアップグレードされたエンタイトルメントがサポートされています。 ソフトウェアの特定のバージョン以前の所有権を新しいバージョンにアップグレードできます (たとえば、Office Professional Plus 2013 Microsoft Office Professional Plus 2016 Microsoft など)。 **注:** このフィールドは、[ライセンスタイプ] フィールドで [アップグレード] が選択されている場合に使用できます。 アップグレード元のエンタイトルメントの権限は、新しいエンタイトルメントに移動されるため、アップグレード時に非アクティブ化されます。
権利の数	アップグレードする権限の数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[アクティビティ] タブ

フィールド	説明
作業メモ	資産の作業メモ。

ダウングレード権限関連リスト

フィールド	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	ダウングレードが関連付けられているソフトウェア資格。
ソフトウェアモデル	ダウングレード権に対応するソフトウェアモデル。
アクティブ	ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限が有効かどうかを示します。必要に応じて、ダウングレード権限を無効にすることができます。アクティブなダウングレード権限のみがリストに表示されます。すべてのダウングレード権限を表示するには、フィルターからアクティブ条件を削除します。 ソフトウェアモデルのダウングレード権限を非アクティブ化すると、その変更は関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限に伝播されます。ダウングレード権のソースに関係なく。 ダウングレード権限を無効にするには、フィールドをダブルクリックしてトグルボタンを表示します。[false] を選択し、[保存] アイコン ( ) を選択します。 • false:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を非アクティブ化します。 • true:ソフトウェアモデルおよび関連するソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限を非アクティブ化します。
順序	ダウングレードの順序。必要に応じて、このフィールドを編集できます。
開始日	ダウングレードの開始日。
終了日	ダウングレードの終了日。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタイトルメント消費ルール

注: このタブは、 Workday を除くすべての公開者に表示されます。さらに、以下を除くすべてのライセンスの測定基準に対してタブが表示されます。

- リソース値単位 (RVU)
- リソース値単位 (RVU) フルキャパシティ
- リソース値単位 (RVU) サブキャパシティ
- 認定ユーザー値単位
- 従業員ユーザー値単位
- 外部ユーザーの値単位
- 従業員

Field (フィールド)	説明
ソフトウェアエンタイトルメント	消費がリンクされているソフトウェアエンタイトルメント。
消費ルール	エンタイトルメントにリンクされた消費ルール。
ライセンスプール	消費ルールに関連付けられたライセンスプール。ライセンスプールの詳細については、「グローバルエンティティ間でのライセンスの調整」を参照してください。

[ライセンスキー] 関連リスト

フィールド	説明
割当済み	ライセンスキーが割り当てられたことを示すオプション。
ライセンス キー	ライセンス キーの値。エンタイトルメントに対して一意である必要があります。
ソフトウェアエンタイトルメント	ライセンス キーに関連付けられたソフトウェアエンタイトルメント。

ソフトウェアモデルの結果のライセンスメトリクスの結果フィールド

ソフトウェアモデルの結果、ライセンス測定基準の結果フォーム、および関連リストのフィールドの説明。このフォームには、ソフトウェアモデルの結果の [ライセンス測定基準の結果] 関連リストからアクセスできます。

ライセンスメトリクスの結果フォーム

ソフトウェアモデルに 2 つのエンタイトルメントがあり、1 つは SA 無期限ライセンスタイプ、もう 1 つはサブスクリプションライセンスタイプがある場合、2 つのライセンスメトリクスの結果が生成されます。1 つはアクティブメンテナンスが true のライセンスメトリクスの結果で、もう 1 つはアクティブメンテナンスが false のライセンスメトリクスの結果です。このようなシナリオでは、2 つのライセンスポジションレポートが生成され、1 つはアクティブなメンテナンスが true で、もう 1 つはアクティブなメンテナンスが false です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスがカウントされるライセンスの測定基準の名前。
ソフトウェア モデルの結果	ライセンスメトリクスの結果に関連付けられたソフトウェアモデルの結果。
グループ	調整が実行されたグループ。
サブグループ	調整が実行されたサブグループ。
所有している権利	ライセンスのメトリクスを共有するエンタイトルメントから出たすべての有効な権限の合計。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
利用可能な権利	調整中に使用されていない権限の合計 (所有している権限 - 使用されている権限)。
ライセンス供与過剰金額	未使用の権利のコスト概算。
適切な配分	
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
割り当てなし	割り当てられていない権限の数 (所有している権限 - インストールされているかどうかに関係なく割り当て済み)。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[権限使用者] 関連リスト

フィールド	説明
使用場所	権限を使用しているユーザーまたはデバイス。 **注:** 権限がクライアントアクセスレコードに関連付けられている場合、[使用者] フィールドには、それらの権限を使用している各クライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、関連付けられた権限を使用しているユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
譲渡不可能な権利	追加のデバイスのライセンス付与に使用できないコアパックの残りの権限。譲渡不可能な権限は、Microsoft Per Core および Microsoft Per Core with (CAL) でのみ使用できます。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[権利要求者] 関連リスト

フィールド	説明
権限要求者	権限を必要とする無認可のユーザーまたはデバイス。 **注:** 関連付けられたクライアントアクセスレコードでライセンスのないユーザーまたはデバイスを対象とする権限が必要な場合、[必要な権限] フィールドには、それらの追加の権限を必要とするクライアントアクセスレコードの名前が表示されます。クライアントアクセスレコード名を選択すると、権限を必要とする無認可ユーザーまたはデバイスの対応するブレークダウンが表示されます。ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションのクライアントアクセスレコードの詳細については、「ソフトウェアクライアントアクセスレコードの追加」を参照してください。ソフトウェア資産ワークスペースのクライアントアクセスレコードの詳細については、 ワークスペースでのソフトウェアクライアントアクセスレコードの作成 を参照してください。
必要な権限	ライセンスのないユーザーまたはデバイスを対象範囲とするために必要な権限の数。

[ライセンスされたインストール] 関連リスト

注: この関連リストは、 SAP ライセンスのメトリクスでは使用できません。

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアインストールの名前。
パブリッシャー	ソフトウェアの公開者。
バージョン	ソフトウェアのバージョン。
Dscovery モデル	インストール済みソフトウェアのソフトウェア検出モデル。
インストール先	ソフトウェアのインストール先であるハードウェア。
アサイン先	ソフトウェアが割り当てられているユーザーまたはデバイス。

ダウングレード/アップグレード関連リスト

注: この関連リストは、 SAP ライセンスのメトリクスでは使用できません。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	アップグレードまたはダウングレード可能なソフトウェアモデル。
使用されている権利	調整中に使用された権限の合計 (割り当て済み + 未割り当て未インストール)。
配分済み、使用中	ライセンス インストールに割り当てられ、かつ使用されている権限。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
未配分、使用中	ライセンス インストールに使用されているものの、割り当てられていない権限の数。 この値が 0 より大きい場合、ユーザー CAL とデバイス CAL 以外の要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスのメトリクスごとに、2 種類の修復オプション (と) が自動的に作成されます。
配分済み、不使用	割り当てられているものの、インストールのライセンスに使用されていない権限。 **注:** 割り当て済み、不使用は、割り当てられているユーザーまたはデバイスにソフトウェアがインストールされていないため無駄になっている権限を反映します。 この値が 0 より大きい場合、要件を満たすソフトウェアモデルの一意のライセンスの測定基準ごとに 修復オプションが自動的に作成されます。
配分が必要	コンプライアンスに必要な割り当て数。[指名ユーザーごと] と [指名デバイスごと] ライセンスの測定基準でのみ使用されます。

[SAP システムユーザー] 関連リスト

注: この関連リストは、 SAP 指定ユーザーライセンスの測定基準でのみ使用できます。

フィールド	説明
表示名	SAPユーザー ID とSAPクライアントを含む識別子。
ユーザー	SAPユーザーのフルネーム。
SAP ユーザー ID	SAPユーザーの一意の識別子。
メール	SAPユーザーのメールアドレス。
名	SAPユーザーの名。
姓	SAPユーザーの姓。
ユーザータイプ	SAPユーザーのタイプ。
ライセンス タイプ	SAPユーザーにアサインされた指名ユーザータイプ値。
指名ユーザータイプ	SAPユーザーの正規化された指名ユーザータイプ。
最適化された指名ユーザータイプ	SAPユーザーの最適化された指名ユーザータイプ。
SAP クライアント	SAPユーザーが属する組織サブ単位。

[ライセンスが付与されたサブスクリプション] 関連リスト

フィールド	説明
表示名	ソフトウェアサブスクリプションの公開者と製品を含む識別子。
ユーザー	サブスクリプションユーザーの名前。
ユーザープリンシパル名	サブスクリプションユーザーのメールアドレス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ソフトウェアモデル	サブスクリプションソフトウェアのソフトウェアモデル。
サブスクリプションプロファイル	サブスクリプションソフトウェアの直接統合プロファイル。
サブスクリプション タイプ	サブスクリプションのタイプ。

エンタイトルメントインポートエラーフィールド

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームと関連リストフィールドの説明。

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォーム

フィールド	説明
エラーステータス	エンタイトルメントのステータス。エラーレコードは、次の 2 つのステータスのいずれかになります。 • 手動修正:エラーレコード内のすべてのエラーが修正され、エンタイトルメントが正常に作成された場合。 • 要レビュー:エラーレコードが作成され、エラーを確認して修正する必要があります。
理由	インポートされたエンタイトルメントをエンタイトルメントリストに追加できなかった理由。
資産タグ	資産の追跡に使用されるシリアル番号とバーコード。
パブリッシャーの品番	購入済みである可能性がある事前定義されたソフトウェアのソフトウェア製品定義ルックアップリストからの公開者の品番。 公開者の品番を選択すると、次のようなメッセージが表示される場合があります。 多くの基礎となるソフトウェアモデルが作成されています。これらは、スイートコンポーネント、ダウングレード権限、または次のバージョンの一部である可能性があります。完了時に検証してください。このメッセージは、ソフトウェアモデルのスイートコンポーネントが 50 個以上あり、かつ次のいずれかの条件が満たされている場合にのみ表示されます。 • スイートコンポーネントのソフトウェアモデルが存在しません • どのダウングレード権にもソフトウェアモデルが存在しません • 次のバージョンのソフトウェアモデルが存在しません 注: 公開者の品番のソフトウェアモデルが存在する場合、[**Software model**] フィールドには自動的に値が入力されます。それ以外の場合は、このフォームから直接ソフトウェアモデルが自動的に作成されます。同じディスカバリーマップ条件で作成されたソフトウェアモデルが複数ある場合は、ソフトウェアモデルを手動で選択する必要があります。
ソフトウェアモデル	エンタイトルメントに一致するソフトウェアモデル。 注: 公開者の品番がソフトウェアモデルの公開者と製品に関連付けられていない場合は、警告メッセージが表示されます。ソフトウェアモデルを変更するか、エンタイトルメントをそのまま保存することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ライセンス タイプ	ライセンスタイプ。ソフトウェアへの完全なアクセスを許可する権限かどうか、ソフトウェアの以前のバージョンからアップグレードされている権限かどうかを指定します。 タイプが [アップグレード] の場合、[アップグレードされたエンタイトルメント] 関連リストが表示されます。アップグレードライセンスタイプは、アップグレードするエンタイトルメントを指定するために使用されます。 このフィールドはフォームが送信された後に読み取り専用となります。 **注:** SaaSエンタイトルメントの場合は、デフォルト値 ([完全]) のままにします。
評価指標グループ	このフィールドは、[ソフトウェアモデル] フィールドに基づいて自動的に入力されます。それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。
ライセンスの測定基準	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。SaaSエンタイトルメントのデフォルト値は [ユーザーサブスクリプション] です。 詳細については、「ソフトウェアライセンスメトリクス」を参照してください。 **注:** エンベロープライセンスのメトリクスは、エンタイトルメント DocuSign にのみ使用します。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
購入した権限	購入している権限の数。 **注:** CAL ライセンスタイプで [Microsoft Per Core] または [Microsoft Per Core] を指定した場合、このフィールドは自動的に入力されます。この値は、[ライセンスパックごとの権利] フィールドに入力した値に [パックの数] フィールドの値を掛けた値に基づいています。
合意タイプ	選択した契約タイプに基づいて、ダウングレード権限が自動的に生成されます。 **注:** 契約タイプが エンタープライズライセンス契約 または 無制限レベル契約の場合、ライセンスなしのインストールがあっても ステータス は準拠です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 汎用:ダウングレード権限は自動的には入力されません。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 汎用 から他のタイプ (**CLP** など) に変更すると、ダウングレード権限が自動的に入力されます。 • 汎用以外の契約タイプ:ダウングレード権限は自動的に入力されます。既存のソフトウェアエンタイトルメントの合意タイプを 汎用 以外の契約タイプ (**ELTA** など) から汎用に変更した場合、既に設定されているダウングレード権限は削除または非アクティブ化されません。
購入済みの権限	購入している権限の数。
Oracle のオプション	エンタイトルメントに関連する Oracle オプション。
契約番号	エンタイトルメントの契約番号。

参照ソフトウェア関連リスト

フィールド	説明
パブリッシャー	ソフトウェア公開者の名前。
製品	製品の名前。
バージョン	ソフトウェア製品のバージョン。
エディション	ソフトウェア製品のエディション。
言語	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品の言語。標準化または手動で追加された後に入力されます。
プラットフォーム	標準化された Discovery モデルを検索するときに使用するソフトウェア製品のプラットフォーム。

全般関連リスト

フィールド	説明
オーナー	資産の財務的所有権を持つユーザーまたは部門。資産所有者は管理者と異なっていてもかまいません。
発注書番号	発注書 (PO) 番号。
会社	この資産が属する会社。
ロケーション	ライセンスが使用される場所。例：特定の場所、国、地域などです。
部門	このソフトウェア ライセンスの担当者の部署。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

財務関連リスト

フィールド	説明
ベンダー	資産の購入元の会社。
単位コスト	ソフトウェアの単位コスト。 注: での総コストと節減額の計算に必要です ソフトウェア資産管理 ダッシュボードです
GL account (GL アカウント)	資産に関連付けられた総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター

エンタイトルメントのインポートエラーアクション

[エンタイトルメントのインポートエラー] フォームアクションの説明。

エンタイトルメントのインポートエラーのアクション

アクション	説明
インポート	エンタイトルメントのインポートエラーレコードを保存するオプション。レコードを保存すると、[Entitlement Import Error] フォームが表示されたままになるため、アクション間で簡単にフォームを保存できます。 保存時に、すべての値が再評価され、フォームが更新されます。 たとえば、公開者の品番とソフトウェアモデルの両方のフィールドがない場合、既知の公開者の品番を追加してフォームを保存すると、[**Software model**] フィールドは自動的に入力されます。 注: フォームは保存するたびに再評価されるため、1 つのエンタイトルメントを変更すると、別のエンタイトルメントでエラー (重複エントリなど) が発生する可能性があります。 すべての必須フィールドに入力してフォームを保存すると、エンタイトルメントレコードが作成され、エラーステータスが [修正済み] に変更されます。
PPN を作成	カスタムソフトウェアの部品番号。 ソフトウェア資産管理 Workspace アプリケーションを使用してエンタイトルメントをインポートする場合、[**PPN** を作成] を選択すると、[カスタム部品番号] リストビューページが表示されます。新規 を選択して、新しいパブリッシャーの品番を作成します。 ソフトウェア資産管理クラシックアプリケーションを使用してエンタイトルメントをインポートする場合、[**PPN** の作成] を選択すると、[パブリッシャーの品番のディスカバリーマップを作成] ダイアログボックスが表示されます。[**Product** (製品)] フィールドで製品名を選択し、[**Submit** (送信)] を選択して、パブリッシャーの品番に自動的に関連付けられるカスタム検出マップを作成します。
重複するエンタイト	エンタイトルメントレコードが重複している場合はインポートエラーが発生します。重複する エンタイトルメントを作成 を選択してエラーを上書きし、重複レコードのエンタイトルメントを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	説明
ルメントを作成します	注: このアクションは、既に存在するエンタイトルメントがあり、重複するエンタイトルメントが作成されている場合にのみ表示されます。
削除	エラーを削除するオプション。エンタイトルメントレコードは作成されません。このアクションは、[エンタイトルメントインポートエラー] リストの 選択した行のアクションを使用して一括更新として実行することもできます。

のパブリッシャーの最適化 SAP

[パブリッシャー] ドロップダウンリストから **[SAP]** を選択して、SAP のライセンスの最適化を表示します。

重要: SAP の推奨されるライセンスの最適化を表示するには、ServiceNow インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ for SAP プラグイン (com.sn_samp_sap) を有効にする必要があります。

レポート	ソース	説明
非アクティブなユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	90 日以上前に最後にログインした SAP システムユーザー。
名前付きユーザーアサインのないシステムユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーアサインのない SAP システムユーザー。
ロックアウトされたライセンス済み SAP ユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	ライセンスを消費しているロックされた SAP ユーザー。
ライセンスされた非ダイアログユーザー	SAP システム ユーザー [samp_sap_system_user]	名前付きユーザーアサインを持つ SAP 非ダイアログユーザー。
未使用エンジン	ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result]	まだ使用されていないが、アクティブなソフトウェアエンタイトルメントがある SAP エンジンの数。
クライアント/システムによるデジタル アクセスの使用状況	SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access]	SAPクライアントごとにグループ化された、消費されたデジタルアクセスライセンスの合計数。
ドキュメントタイプ別のデジタルアクセス使用状況	SAP デジタルアクセス [samp_sap_digital_access]	作成されたドキュメントタイプ別にグループ化された、消費されたデジタルアクセスライセンスの合計数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のパブリッシャーの最適化 **Red Hat**

Red Hat のライセンスの最適化を表示するには、[**Publisher**] ドロップダウンリストから **[Red Hat]** を選択します。

> **重要:** Red Hat の推奨されるライセンスの最適化を表示するには、ServiceNow® インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ for IBM プラグイン (com.sn_samp_ibm) のソフトウェア資産管理プロを有効にする必要があります。

レポート	ソース	説明
ライセンスの最適化による節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストおよびクラスタ上のライセンスの潜在的なコスト削減。 **注:** このレポートは、オンプレミスの Red Hat Enterprise Linux (RHEL) ライセンスでのみ使用できます。 レポートを選択すると、各ホストまたはクラスタの推奨されるライセンス最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。

のパブリッシャーの最適化 **Microsoft**

Microsoftのライセンスの最適化を表示するには、[**Publisher**] ドロップダウンリストから **[Microsoft]** を選択します。

> **重要:** Microsoft に推奨されるライセンスの最適化を表示するには、ServiceNow® インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ for Microsoft プラグイン (com.snc.samp.microsoft) を有効にする必要があります。Microsoft 365サブスクリプションに推奨されるライセンスの最適化を表示するには、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールする必要もあります。

レポート	ソース	**Description** (説明)
Microsoft 365 サブスクリプションの詳細	• アクティブなサブスクリプションと非アクティブなサブスクリプション:ソフト	ソフトウェアモデル別にグループ化された、 Microsoft 365、Office 365、および Power BI 製品のアクティブ、非

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	Description (説明)
注: このレポートは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	ウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription] • 未アサインのサブスクリプション:購入したサブスクリプションの詳細 [samp_purchased_subscription_details]	アクティブ、および未アサインのユーザーサブスクリプションの詳細の数。 データポイントを選択すると、ソフトウェアモデルのユーザーサブスクリプションの詳細が表示されます。 • アクティブなサブスクリプションバーを選択すると、アクティブなユーザーサブスクリプションが表示されます (アクティビティの最終日が 90 日以内)。 • [非アクティブなサブスクリプション] バーを選択すると、アクティビティの最終日が空であるか、90 日より前である非アクティブなサブスクリプションが表示されます。 • [未アサインのサブスクリプション] バーを選択すると、利用可能な未アサインの権限またはユーザーサブスクリプションの数が表示されます。
Microsoft 365 タイプ別の節減見込み 注: このレポートは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	推奨されるダウングレード、二重ライセンス、統合の候補に基づく、 Microsoft 365 ライセンスと Office 365 ライセンスの月間節減見込み。このレポートには、過去 12 か月間の見込み節減額が表示されます。 任意のバーを選択すると、特定の月に推奨されるダウングレードまたはデュアルライセンス候補の詳細が表示されます。 • [ダウングレード] バーを選択すると、以前のバージョンの Microsoft 365 および Office 365 にダウングレードできる候補の一覧が表示されます。 • [二重ライセンス ユーザー] バーを選択して、Microsoft 365 とそのアプリケーション (Office 365、Enterprise Mobility+Security (EMS)、Windows) サブスクリプションの両方を持つ候補の一覧を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	Description (説明)
		• [統合] バーを選択して、Microsoft 365統合サブスクリプションの再利用候補のリストを表示します。
Microsoft 365 最適化の推奨事項 注: このレポートは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	推奨されるダウングレード、二重ライセンス候補に基づいてダウングレードまたは再利用できる月あたりのライセンス数。このレポートには、過去 12 か月間のデータが表示されます。 任意のバーを選択して詳細を表示し、特定の月に推奨されるダウングレード、二重ライセンス、または統合の候補に対処します。 • Office **365 E5** から **Office 365 E3** にダウングレードできる候補の一覧を表示するには、**[Office 365 E5** から **E3** へのダウングレード] バーを選択します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • Office **365 E3** から **Office 365 E1** にダウングレードできる候補の一覧を表示するには、**[Office 365 E3** から **E1** へのダウングレード] バーを選択します。リストから候補を選択して、関連するライセンスをダウングレードします。 • **[Microsoft 365 E5** から **E3** へのダウングレード] バーを選択して、Microsoft 365 E5 から Microsoft 365 E3 にダウングレードできる候補の一覧を表示します。 • **[Microsoft 365 E3** から **F3** へのダウングレード] バーを選択して、Microsoft 365 E3 から Microsoft 365 F3 にダウン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	Description (説明)
		グレードできる候補の一覧を表示します。 • [統合] バーを選択して、統合Microsoft 365最適化候補のリストを表示します。
ライセンスの最適化によるオンプレミスの節減見込み	ライセンスの最適化による節減見込み [samp_license_optimization_summary]	推奨されるライセンスの最適化に基づく、物理ホストとクラスターのライセンスの潜在的なコスト削減。 注: このレポートは、次の Microsoft ライセンスタイプでのみ使用できます。 • Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアあたりのライセンス • Microsoft Windows Server、Microsoft Core インフラストラクチャサーバー、および Microsoft System Center のコアあたり (CAL を含む) ライセンス レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターに推奨されるライセンスの最適化と関連するコスト削減の詳細が表示されます。ライセンスの最適化には、推奨ライセンス、推奨権限、推奨支出が含まれます。
オンプレミス最適化により節減を実現	Microsoft コアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report]	推奨されるライセンスの最適化に基づいて、物理ホストとクラスターのライセンスに対して達成したコスト節減。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソース	Description (説明)
		注: このレポートは、次の Microsoft ライセンスタイプでのみ使用できます。 • Microsoft SQL Server および Microsoft BizTalk Server のコアあたりのライセンス • Microsoft Windows Server、Microsoft Core インフラストラクチャサーバー、および Microsoft System Center のコアあたり (CAL を含む) ライセンス レポートを選択すると、各ホストまたはクラスターで達成したコスト削減の詳細が表示されます。
Microsoft 365 ポータルで利用可能なサブスクリプションの詳細 注: このレポートは、ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールした場合にのみ表示されます。	購入したサブスクリプションの詳細 [samp_purchased_subscription_details]	サブスクリプションごとに Microsoft ポータルで利用可能なライセンスの数。 棒グラフを選択すると、ソフトウェアモデル、製品、購入した権限、アサインされた権限、利用可能な権限、サブスクリプションプロファイルなど、購入したサブスクリプションの詳細が表示されます。

のパブリッシャーの最適化 **Adobe**

Adobe のライセンスの最適化を表示するには、[**Publisher**] ドロップダウンリストから **[Adobe]** を選択します。

重要: Adobe に推奨されるライセンスの最適化を表示するには、ServiceNow インスタンスで ソフトウェア資産管理プロ for Adobe プラグイン (com.sn_samp_adobe) を有効にする必要があります。さらに、ServiceNow Store から ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理 Integrations アプリケーションを要求してインストールする必要があります。

レポート	ソース	説明
Creative Cloud のサブスクリプションごとのユーザーアクティビティ	ソフトウェアサブスクリプション	有意義なアクティビティのある月あたりのユーザーサブスクリプションの数。このレポートに

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

レポート	ソース	説明
	[samp_sw_subscription]	は、過去 12 か月間のすべての Adobe Creative Cloud コンプリートプランサブスクリプションのデータが表示されます。 任意のデータポイントを選択すると、特定のサブスクリプションタイプで意味のあるアクティビティがあるユーザーサブスクリプションのアクティビティの最終日が表示されます。
タイプ別の Creative Cloud 節減見込み	削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	Adobe Creative Cloud コンプリートプランライセンスの月間見込まれる節減額。使用率の低さ、二重ライセンスのユーザー、および統合されたサブスクリプションに基づいています。このレポートには、過去 12 か月間の見込み節減額が表示されます。 • 使用率が低い: Adobe Creative Cloud アプリケーションは 60 日以上使用されていません。 • デュアルライセンスユーザー: Adobe Creative Cloud コンプリートプランと個々の Adobe Creative Cloud アプリケーションの両方を通じてサブスクリプションを持つユーザー。 • 統合されたサブスクリプション:複数の個別の Adobe アプリケーション(デフォルトでは 3 つ以上)を持ち、これらすべてのサブスクリプションが 1 つの Creative Cloud コンプリートプランサブスクリプション Adobe 統合されます。
非アクティブなユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	ユーザーステータスに基づく、ServiceNow インスタンスのユーザー [sys_user] テーブル内の非アクティブなユーザーサブスクリプションの数。
未解決のユーザーサブスクリプション	ソフトウェアサブスクリプション [samp_sw_subscription]	ServiceNowインスタンスのユーザー [sys_user] テーブルにレコードを持たないユーザーの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

Adobe Cloud との統合

Microsoft コアライセンス最適化レポートのフィールド

Microsoftコアライセンス最適化レポート [samp_ms_optimization_report] テーブルのフィールドの説明。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル

Field (フィールド)	説明
製品	Microsoft ライセンスを最適化するソフトウェア製品。
クラスター/ホストタイプ	推奨されるライセンスの最適化がクラスターに適用されるか、スタンドアロンの物理ホストに適用されるかを示します。
仮想化技術	クラスター内またはスタンドアロン物理ホスト上で仮想マシン (VM) を実行するために使用している仮想化テクノロジー。
クラスター/ホスト参照	推奨されるライセンスの最適化が適用されるクラスターまたはスタンドアロン物理ホスト。
ホスト親和性が構成済み	クラスターにホスト親和性ルールが構成されているかどうかを示します。 注: ホスト アフィニティ ルールはクラスターにのみ適用されます。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Cluster]** に設定されている場合、このフィールドは **true** または **false** のいずれかに設定できます。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Standalone Host]** に設定されている場合、このフィールドは自動的に **false** に設定されます。
ホスト数	物理ホストの数。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Standalone Host]** に設定されている場合、このフィールドは **1** に設定されます。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Cluster]** に設定されている場合、このフィールドはクラスタ内の物理ホストの合計数に設定されます。
ホストコア	物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Standalone Host]** に設定されている場合、このフィールドは、スタンドアロン物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数に設定されます。**[Cluster/Host Type]** フィールドが **[Cluster]** に設定されている場合、このフィールドは、クラスタ内の物理ホストに割り当てられている各 CPU 内のコア数に設定されます。
VM 数	クラスター内またはスタンドアロン物理ホスト上の VM の数。
VM コア	VM に割り当てられている各仮想 CPU (vCPU) 内の仮想コアの数。[クラスタ/ホスト タイプ] フィールドが [スタンドアロン ホスト] に設定されている場合、このフィールドは、スタンドアロン物理ホスト上の VM に割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数に設定されます。[クラスタ/ホストタイプ] フィールドが [クラスタ] に設定されている場合、このフィールドは、クラスタ内の VM に割り当てられている各 vCPU 内の仮想コアの数に設定されます。
ソフトウェアがイン	Microsoftソフトウェア製品がインストールされている VM の数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル (続く)

Field (フィールド)	説明
ストールされている VM の数	
ホストコアライセンスが必要	クラスター内の物理ホストまたはスタンドアロン物理ホストのライセンス付与に必要な権限の数。
VM コアライセンスが必要	クラスター内またはスタンドアロン物理ホスト上の VM のライセンス付与に必要な権限の数。
現在のライセンス消費	現在消費しているライセンスのタイプと権限の合計数。
現在のライセンス消費層	現在権限を消費しているレイヤー。オプションは、[物理**(Physical)**]、[仮想**(Virtual)**]、および [物理/仮想**(Physical/Virtual)**] です。
推奨ライセンス消費	消費が推奨されるライセンスのタイプと権限の合計数。
推奨ライセンス消費層	権限を消費することが推奨されるレイヤー。オプションは、[物理**(Physical)**]、[仮想**(Virtual)**]、および [物理/仮想**(Physical/Virtual)**] です。
従来のライセンス消費	ライセンスの最適化を適用せずに権限を使用する保守的な方法。たとえば、ホストレイヤーで Microsoft Windows Server Data Center または Microsoft SQL Server Enterprise ライセンスの権限を使用できます。
従来のライセンス費用	控えめなライセンス消費に基づく合計ライセンスコスト。
推奨ライセンス費用	推奨ライセンス消費とライセンス消費レイヤーに基づく合計ライセンスコスト。
現在のライセンス費用	現在のライセンス消費とライセンス消費レイヤーに基づく合計ライセンスコスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft コアライセンス最適化レポート **[samp_ms_optimization_report]** テーブル (続く)

Field (フィールド)	説明
推奨ライセンスを適用	推奨されるライセンスの最適化がクラスターまたはスタンドアロンの物理ホストに実装されているかどうかを示します。
ライセンスステータス	クラスタまたはスタンドアロン物理ホストのライセンスステータス。オプションは [ライセンス済み] と [ライセンスなし] です。
割り当てあり	クラスターまたはスタンドアロン物理ホストに割り当てるのに十分な権限があるかどうかを示します。
推奨事項の詳細	推奨されるライセンスの最適化の概要。
最適化達成の削減額	推奨されるライセンスの最適化を実装することでコストを節約できたかどうかを示します。
最適化による節減を実現	推奨されるライセンスの最適化を実装することで節約できた金額。
節減見込み	推奨されるライセンスの最適化を実装することで節約できる金額。

自動翻訳

成熟度アイテム 詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

Field (フィールド)	説明
名前	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • プロセス • エンドユーザー • SaaS • データセンター • クラウド
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細については、「 の成功目標

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

Field (フィールド)	説明
	を作成 ソフトウェア資産管理」を参照してください。
状況	成熟度アイテムの現在のステージ。 • 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • ラン
推奨される成熟度レベル	SAM アプリケーションの価値リターンを改善するために推奨される成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • ラン
開始日	成熟度アイテムの開始日。
完了日	満期アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ

ソフトウェア資産管理プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、ランなどの 3 つのステージに分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	Description (説明)
クロール	新しいソフトウェア資産管理プログラムの実装や開発など、ソフトウェア資産管理ジャーニーを開始します。この段階では、正常な構成管理データベース (CMDB) を確立し、データを検出するツールを特定し、プロセスとロールを確立できます。ライセンスが複雑ではないエンド

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度ステージ (続く)

ステージ	Description (説明)
	ユーザーコンピューティングや SaaS 統合に集中できます。
ウォーク	ソフトウェア資産管理プログラムのロードマップに基づいて実行するプロセス、手順、ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。データセンター環境でのより複雑なライセンス モデル、自分のライセンスを使用する (BYOL) ユース ケース、および追加の SaaS パブリッシャーに移行します。ソフトウェアの測定と再利用による追加のガバナンスとコスト管理を検討し、重複するソフトウェアを特定し、コンプライアンス結果を通じてソフトウェア資産のサイズを適正化できます。
ラン	一元化されたソフトウェア資産の追跡とシステム管理のために、成熟した標準化された自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。購入プロセスの新しいカタログアイテムには、標準のカタログとオンボーディングプロセスを使用します。自動化されたオンデマンドメカニズムを通じてエンドユーザーにソフトウェアを提供し、ソフトウェア支出のサイズを適正化します。また、定期的にプロセスを評価し、 ソフトウェア資産管理 目標を設定する必要があります。

自動翻訳

SAM 成功目標の詳細

[SAM 成功目標の詳細] のフィールドは、インスタンス内の ソフトウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

SAM 成功目標の詳細

フィールド	説明
番号	成功目標の一意の識別子。
タイトル	成功目標のタイトル。
ステータス	成功目標のステータス。デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。
ベンダー	成功目標に関連付けられているベンダーまたは公開者。
目標タイプ	目標のメトリクスを定義します。 • 預金 • カウント

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM 成功目標の詳細 (続く)

フィールド	説明
目標の説明	成功目標の詳細な説明。
グループ	目標をアサインするグループ。
所有者	目標がアサインされているグループのユーザー。
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
実際の開始日	成功目標の実際の開始日。
実際の終了日	成功目標の実際の終了日。
予測された削減額	成功目標からの予想される節約額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減] に設定した場合にのみ表示されます。
実際の削減	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] を [節減] に設定した場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。 このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際の数。 このフィールドは、[目標タイプ] を [カウント] に設定した場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかの説明。

SAM 成功アクティビティ

[SAM 成功アクティビティ] フォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

SAM 成功アクティビティ

フィールド	説明
番号	成功アクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。 次のオプションから選択します。 • 保留中 • オープン • 完了してクローズ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SAM 成功アクティビティ (続く)

フィールド	説明
	• 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
アサイン先グループ	このアクティビティがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
Description (説明)	成功アクティビティの詳細な説明。
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

SaaS 検出レポート

SaaS検出レポートを使用して、ブラウザー経由でアクセスされ、ServiceNow® デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) 製品内で構成されたすべてのSaaSアプリケーションを検出して管理します。このレポートで管理できるSaaSアプリケーションは、有料または無料のものです。

重要: SaaS検出レポートを表示するには、次の操作を行う必要があります。

- ServiceNow Store からバージョン 13.1.0 以降の ソフトウェア資産管理 -SaaS ライセンス管理 アプリケーションを要求してインストールします。詳細については、「SaaS ライセンス管理の要求」を参照してください。
- デジタルエンドユーザーエクスペリエンス (DEX) [sn_dex] 製品バージョン 2.1.0 以降をインストールします。

このレポートは、これらのアプリケーションにアクセスするすべてのユーザー、これらのアプリケーションの使用状況、および各アプリケーションの使用期間を表示することで、シャドー IT 支出をより効果的に管理するのに役立ちます。

注: デフォルトでは、 SaaS 検出レポートには過去 90 日間のデータが表示されます。

このレポートを表示するには、次の場所に移動します。 **Software Asset Workspace** > ライセンス使用状況 > レポート.

ドメインサポート - ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) およびパフォーマンスアナリティクス - ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合、 SaaS 検出レポートにはドメインセパレーションデータが含まれます。

SaaS 検出

Field (フィールド)	説明
製品	検出される SaaS アプリケーションの名前。
パブリッシャー	SaaSアプリケーションの公開者。 Publisher は、Software Publishers [samp_sw_publisher] テーブルへの参照です。
監視対象	DEX が製品を監視しているかどうかを示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS 検出 (続く)

Field (フィールド)	説明
	この値は DEX テーブルから参照されます。 • 製品が DEX アプリケーションによって監視されている場合、[監視対象] 列の値は true と表示されます。 • 製品が DEX アプリケーションによって監視されていない場合、[監視対象] 列の値は false と表示されます。
管理対象	製品が管理対象か非管理対象かを示します。 • 製品のソフトウェアモデルが存在する場合、[管理対象] 列の値は true と表示されます。 • 製品のソフトウェアモデルが存在しない場合、[管理対象] 列の値は false と表示されます。
URL	SaaS アプリケーションの URL または複数の URL。
合計ユーザー	製品にアクセスしたユーザーの合計数。 この列の値を選択すると、[ユーザー使用状況データ] テーブルのユーザーに関する詳細情報が表示されます。
最終アクセス時刻	ユーザーが最後に製品にアクセスした時刻。
合計アクセス時間	ユーザーが製品にアクセスした合計時間。

ユーザー使用状況データ

Field (フィールド)	Description (説明)
検出済みユーザー	検出されたユーザー [samp_discovered_user] テーブルから参照されるユーザー。
ユーザー	アプリケーションにアクセスするユーザー。
デバイス	ユーザーがアプリケーションにアクセスしたデバイスまたは CI。
Cost center (コストセンター)	組織内のユーザーに割り当てられたコストセンター。
部門	組織内のユーザーの部門。
合計アクセス時間	ユーザーがアプリケーションにアクセスした合計時間。
最終アクセス時刻	ユーザーが前回アプリケーションにアクセスした時刻。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

最小限のユーザー権限

最小限のユーザー権限要件で SaaS アプリケーションからサブスクリプションの詳細をプルすることで、潜在的なライセンスへの影響とセキュリティリスクポリシーを最小限に抑えます。

SaaS アプリケーションのユーザー権限

プロセス	必要な SaaS アプリケーションロール	認証スコープ
Box		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	[ユーザーの管理を有効にする] 権限を持つ共同アドミン	ユーザーの管理
アクティビティサブフローを計算	[新しいレポートの実行と既存のレポートへのアクセス] 権限が有効になっている共同アドミン	エンタープライズプロパティの管理
サブスクリプションサブフローの再利用	[ユーザーの管理を有効にする] 権限を持つ共同アドミン	ユーザーの管理
	[有効なユーザーの表示] コンテンツ権限を持つ共同アドミン	Box に格納されているすべてのファイルとフォルダーの読み取りと書き込み
Confluence Cloud		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	グローバル権限を持つユーザー	• ユーザーグループの読み取り/read:group:confluence • 読み取りユーザー/read:user:confluence
アクティビティサブフローを計算		Confluence コンテンツとスペースのサマリーを検索/read:content-details:confluence
サブスクリプションサブフローの再利用	グローバル権限を持つユーザー	ユーザーグループの読み取り/read:user:confluence、read:group:conflue
	サイトアドミン	ユーザーグループの作成、削除、更新 / write:group:confluence
GitHub Enterprise Cloud との統合		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	組織オーナー	• admin:org • read:org
アクティビティサブフローを計算	組織オーナー	• admin:org • read:org • repo

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS アプリケーションのユーザー権限 (続く)

プロセス	必要な **SaaS** アプリケーションロール	認証スコープ
サブスクリプションサブフローの再利用	組織オーナー	• admin:org • write:org
Jira		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	Jira にアクセスするためのユーザー権限	• read:application-role:jira • read:group:jira • read:user:jira • read:avatar:jira (日本語)
	[ユーザーおよびグループの参照] グローバル権限	read:group:jira
	Jira グローバル権限の管理	• read:group:jira • read:user:jira • read:avatar:jira (日本語)
アクティビティサブフローを計算	Jira グローバル権限の管理	• read:audit-log:jira • read:user:jira
	問題を含むプロジェクトのプロジェクトを参照する権限。 問題レベルのセキュリティが設定されている場合、問題を表示するには問題レベルのセキュリティ権限が必要です。	• read:issue-details:jira • read:audit-log:jira、read:avatar:jira • read:field-configuration:jira • read:issue-meta:jira
サブスクリプションサブフローの再利用	[ユーザーおよびグループの参照] グローバル権限	read:group:jira
	サイト管理、つまり site-admin グループのメンバー。	write:group:jira
Miro Enterprise		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	会社アドミン	organizations:read
アクティビティサブフローを計算		
サブスクリプションサブフローの再利用	会社アドミン	API キー
Slack		

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

SaaS アプリケーションのユーザー権限 (続く)

プロセス	必要な **SaaS** アプリケーションロール	認証スコープ
サブスクリプションサブフローをダウンロード	組織所有者	アドミン
アクティビティサブフローを計算		
サブスクリプションサブフローの再利用		
SurveyMonkey		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	アドミン	• ユーザーを表示 • チームを表示
アクティビティサブフローを計算	アドミン	チームを表示
Zoom		
サブスクリプションサブフローをダウンロード	• ユーザー情報の表示または編集権限を持つアドミン • ユーザー情報の表示または編集権限を持つカスタムロールユーザー	user:read:admin
アクティビティサブフローを計算	• **[View detailed usage reports for the account** (アカウントの詳細な使用状況レポートを表示)] 権限を持つアドミン • [アカウントの詳細な使用状況レポートを表示] 権限を持つカスタムロールユーザー	• レポート:読み取り:アドミン • ウェビナー:読み込み:アドミン
サブスクリプションサブフローの再利用	• ユーザー情報の表示または編集権限を持つアドミン • ユーザー情報の表示または編集権限を持つカスタムロールユーザー	user:write:admin

再利用のルール

再利用ルールは、サブスクリプションを使用する必要がある最小量を定義します。指定された制限時間内にサブスクリプションにアクティビティがない場合、サブスクリプションは再利用候補のリストに追加されます。ユーザーアクティビティは、直接統合ごとに異なる方法で定義されます。すべての

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクションではなく、リストされたアクションのうち制限時間内に実行する必要があるのは 1 つだけです。

直接統合	アクティビティ
Aha!	ユーザーログイン 注: 分析期間は 60 日間です。
Asana	• 作成されたタスク • 件の完了したタスク • サブタスクが作成されました • サブタスクが完了しました • タスクまたはサブタスクのアサイン • プロジェクト間でのタスクまたはサブタスクの移動 • タスクまたはサブタスクに追加されたコメント • ストーリーが作成されました
Box	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含む、すべてのファイルアクティビティ
Calendly	イベントのスケジュール
Confluence Cloud	スペース、ページ、ブログ投稿、コメント、または添付ファイルを作成または更新します
Dropbox	• ユーザーログイン • 作成、編集、削除、共有、アップロード、ダウンロードなどの 60 のアクションを含む、すべてのファイルアクティビティ
Google Workspace	Google ドライブと Google ドキュメント 作成、編集、削除、アップロード、ダウンロード、同期などのファイルアクティビティ Gmail 読み取り、作成、編集、送信、削除などのメールアクティビティ
GitHub	• コミットコメントを作成 • Git ブランチまたはタグを作成する • Git 分岐またはタグの削除 • リポジトリのフォーク • Wiki ページの作成または更新 • 課題コメント アクティビティ (作成、編集、削除など)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	• オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、ラベル付け、ラベル付け解除などの問題アクティビティ • リポジトリ協力者のアクティビティ (協力者のアクセス権限の編集など) • プライベートリポジトリを公開にする • オープン、クローズ、再オープン、アサイン、アサイン解除、レビュー、ラベル付け解除、同期などのプル要求アクティビティ • 任意のプル要求レビューコメントアクティビティ • 少なくとも 1 つのコミットをリポジトリブランチまたはタグにプッシュする • 公開や編集などのリリースアクティビティ • スポンサーシップリスト活動 • リポジトリに Star を付ける
GoTo	GoToMeeting 会議の開催 GoToWebinar ウェビナーまたは会議の開催 GoToConnect GoToConnect回線を使用して電話をかける
Jira ソフトウェア	• 問題を作成 • 課題にコメントする • 課題のコメントを更新する • 次のカテゴリのアクティビティ: ◦ 監査 ◦ プロジェクトの変更 ◦ 権限の変更 ◦ ワークフローの変更 ◦ 通知の変更 ◦ カスタムフィールドの変更 ◦ Advanced Roadmaps の変更点
Looker	ユーザーの前回のログイン
Microsoft Dynamics 365 と Power Apps	Dynamics 365 で次のレコードを作成または更新します。 • 共通エンティティ: 取引先企業、取引先担当者、目標、製品、ユーザー、電話、タスク、レター、メール、予定、FAX、カスタム活動 • 販売関連エンティティ:競合他社、営業案件、請求書、注文、見積もり • カスタマーサービスエンティティ:ケース、契約、キュー、およびサービスエンティティのアクティビティ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
Miro	ボードへのアクセスまたは更新
monday.com	• メモの作成、追加または削除、ユーザーの追加または削除、削除などのボードアクティビティ • 追加、編集、複製、削除などのアイテムアクティビティ • ユーザーの前回のログイン
PagerDuty	オンコールスケジュールに従う
Rally	• ユーザーの前回のログイン • 前回のアクティビティ時間
Roadmunk	• ユーザーログイン • アイデアまたはフィードバックにコメントを追加する • フィードバックの作成または更新 • ロードマップのアーカイブまたは復元
Salesforce	ユーザーログイン
SAP SuccessFactors	ユーザーログイン
Slack Enterprise	ユーザーログイン
SmartRecruiters	求人や求人広告の作成などのユーザーアクティビティ。
Smartsheet	ユーザーの前回のアクティビティ アクティビティのリストについては、「イベント レポート リファレンス」を参照してください。
SurveyMonkey	• ユーザーのログインまたはログアウト • グループ名の更新 • メンバーの追加または削除 • グループメンバータイプの更新 • 招待を作成または再送信する • 権限を作成または更新する • 共有ビューの作成または更新 • エクスポートの作成またはダウンロード • 回答者を更新または削除 • 助成金情報の作成または削除 • 作成、削除、コピー、更新、転送などのサーベイ情報アクティビティ • コレクター情報アクティビティ (作成、削除、更新など)
Tableau Cloud	ユーザーログイン
Trello	ユーザーログイン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

直接統合	アクティビティ
	注: 分析期間は 60 日間です。
Webex	Webex 訓練 トレーニングの開催 Webex イベント イベントの開催 Webex サポートセッション サポートセッションを主催する Webex 会議 会議の開催 Webex チーム • メッセージを送信または更新する • ファイルをアップロードします • チームスペースのメンバーシップを作成または更新する
Workfront	• プロジェクトの作成または更新 • タスクを作成または更新 • 問題を作成または更新 • ポートフォリオの作成または更新 • プログラムの作成または更新 • レポートの作成または更新 • フィルターを作成または更新 • ドキュメントの作成または更新 • テンプレートを作成または更新 • 経費の作成または更新
Workplace from Facebook	• Workplaceグループの投稿を作成、更新、表示します。 • Workplaceグループの投稿にコメントします。 • Workplaceでメッセージを送信します。 • 職場ナレッジライブラリーカテゴリを作成または更新します。 • 職場ナレッジライブラリーカテゴリに関するコメント。 • Workplaceコミュニティで公開イベントを作成します。
Zendesk	ユーザーログイン
Zoom	• 会議の開催 • ウェビナーの開催

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 アプリの使用状況レポート

Microsoft 365製品の最終アクティビティ日を見つけて、再利用候補を決定します。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート [samp_m365_apps_usage_report] テーブルの各フィールドの値は、 Microsoft Graph API を使用して設定されます。アクティビティの最終日は、サポートされている Microsoft 365 製品 (Microsoft Outlook、Word、PowerPoint、Excel、Teams、OneNote など) の再利用候補をより正確に判断するのに役立ちます。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート

Field (フィールド)	Description (説明)
ユーザープリンシパル名	ユーザーのメールアドレス。
アクティビティの最終日	ソフトウェア製品が最後に使用された日付。
前回のアクティベーション日	ユーザーに対してソフトウェア製品ライセンスが最後にアクティブ化された日付。
レポート期間	ユーザーアカウントが再利用候補のリストに追加されるまでに意味のあるアクティビティがない日数。デフォルト値は 30 日です。
レポート更新日	レポートが最後に更新された日付。
Windows	Windowsの使用法を True または False の値で示します。
Mac	macOSの使用法を True または False の値で示します。
Excel (Mac)	macOSでの MicrosoftExcel の使用状況を True または False の値で示します。
PowerPoint (Mac)	macOS での Microsoft PowerPoint の使用を True または False の値で示します。
Outlook (Mac)	macOSでのMicrosoft Outlookの使用を True または False の値で示します。
Word (Mac)	macOSでのMicrosoft Wordの使用を True または False の値で示します。
OneNote (Mac)	macOSでの MicrosoftOneNote の使用状況を True または False の値で示します。
Teams (Mac)	macOSでのMicrosoft Teamsの使用を True または False の値で示します。
Excel (Windows)	Windows での Microsoft PowerPoint の使用を True または False の値で示します。
PowerPoint (Windows)	Windows での Microsoft PowerPoint の使用を True または False の値で示します。
Outlook (Windows)	WindowsでのMicrosoft Outlookの使用を True または False の値で示します。
Word (Windows)	WindowsでのMicrosoft Wordの使用を True または False の値で示します。
OneNote (Windows)	Windowsでの MicrosoftOneNote の使用状況を True または False の値で示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft 365 Apps使用状況レポート (続く)

Field (フィールド)	**Description** (説明)
Teams (Windows)	WindowsでのMicrosoft Teamsの使用を True または False の値で示します。

Oracle Java SE Universalの価格設定モデル

従業員あたりの階層ベースの月額サブスクリプション価格は、組織で直接的または間接的に働いている従業員の数に基づいています。

価格階層テーブル

価格階層 [samp_price_tier] テーブルは、従業員ライセンスのメトリクスをサポートし、読み取り専用の値が含まれています。このテーブルは、 ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインに付属しています。

従業員数	従業員あたりの月額サブスクリプションコスト
1–999	15ドル
1,000-2,999	12ドル
3,000-9,999	10.50ドル
10,000-19,999	8.25ドル
20,000-29,999	$6.25
30,000-39,999	$5.70
40,000-49,999	$5.25

ソフトウェア **EOL** 要求フィールド

ソフトウェア EOL 要求フォームを使用して、EOL に達している、または既に到達している資産内のソフトウェア製品のソフトウェア提供終了 (EOL) 要求を作成します。

ソフトウェア **EOL** 要求フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	EOL 要求の一意の識別子。
会社	ソフトウェア製品の公開者の名前。
製品	ソフトウェア製品の名前。
Edition (エディション)	ソフトウェアのエディション。
バージョン	ソフトウェアのライセンス可能なバージョン。
完全バージョン	ソフトウェアの詳細なライセンス可能バージョン。
Justification (理由)	ソフトウェアで EOL 要求を開始する理由。
ステージ	ソフトウェア EOL 要求のステージ。デフォルトのステージは [ドラフト] です。可能な値には次のようなものがあります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
	• ドラフト • オープン • 分析 • アクションが開始されました • 完了 • キャンセル
アクションが開始されました	EOL リスクを管理するために実行されるアクション。可能な値には次のようなものがあります。 • 保留中 • EOL ソフトウェアを削除する • アップグレード • 購入サポート • Azure に移行 • リスクを承認
バージョンタイプ	バージョンタイプの値は次のとおりです。 • バージョン (ビルドバージョン) • フルバージョン(メインバージョン) 注: ソフトウェア製品の 1 つのバージョンまたは完全バージョンの EOL リスクを管理できます。
優先度	ソフトウェア EOL 要求の優先度。
アサイン先グループ	ソフトウェア EOL 要求を完了するために個人が選択されるグループ。
アサイン先	ソフトウェア EOL 要求を完了するためにアサインされた、 アサイン先グループから選択された個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
Description (説明)	タスクの詳細な説明。
作業メモ	EOL ワークフロータスクの解決方法に関する情報。

[ソフトウェア **EOL** タスク] タブ

Field (フィールド)	説明
番号	ソフトウェア EOL タスクの一意の識別子。
名前	ソフトウェア EOL タスクの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
ソフトウェア EOL 要求	ソフトウェア EOL 要求の識別子。
親	親タスクの識別子。
状況	ソフトウェア EOL タスクのステータス。デフォルトのステータスは [オープン] です。
アクション	IT 戦略を決定した後に実行できるアクションを示します。可能な値には次のようなものがあります。 • EOL ソフトウェアの削除:資産インベントリから EOL ソフトウェア製品を削除します。 • アップグレード:最新バージョンまたはサポートされているソフトウェアバージョンにアップグレードします。 • サポートの購入: メンテナンス用の追加サポートを購入します。 • Azure への移行: Microsoft Azure に移行します。このアクションは、 Microsoft 製品でのみ使用できます。 • リスクを承認:EOL ソフトウェアに関連するリスクを受け入れます。 このフィールドは、[名前] フィールドで選択した値が **[IT** 戦略を決定] の場合にのみ表示されます。
優先度	ソフトウェア EOL タスクの優先度。
アサイン先グループ	ソフトウェア EOL タスクを完了するために個人が選択されるグループ。
Assigned to (アサイン先)	ソフトウェア EOL タスクを完了するためにアサインされた、 アサイン先グループから選択された個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
Description (説明)	タスクの詳細な説明。
メモ	EOL タスクに関する追加情報。
作業メモ	ソフトウェア EOL タスクの解決方法に関する情報。

ドメインセパレーションと ソフトウェア資産管理

ドメインセパレーションは ソフトウェア資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

この製品でのドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはソフトウェアおよびハードウェア資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できるようになります。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

ソフトウェア資産管理におけるドメインセパレーションの仕組み

SAM では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Paris リリースでは、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

sam_integratorロールを持つユーザーは誰でも、SaaS 統合プロファイルを作成および変更できます。このロールを持つユーザーは Oauth アプリケーションレジストリにもアクセスできるため (現在はドメインセパレーションされていないため、すべてのドメインのレコードが表示されます)、このsam_integratorロールは注意して割り当てる必要があります。ユーザーはサービスプロバイダー組織に所属しており、高い権限基準を満たしている必要があります。

ドメインセパレーションのログを表示するには、「 *asset.log_level* 」というタイトルのシステムプロパティを作成し、その値を *debug*、 *trace* 、または *info* に設定する必要があります。設定した値に基づいて、AssetManagementBaseJobスケジュール済みジョブを拡張するスケジュール済みジョブが実行されると、ログが表示されます。

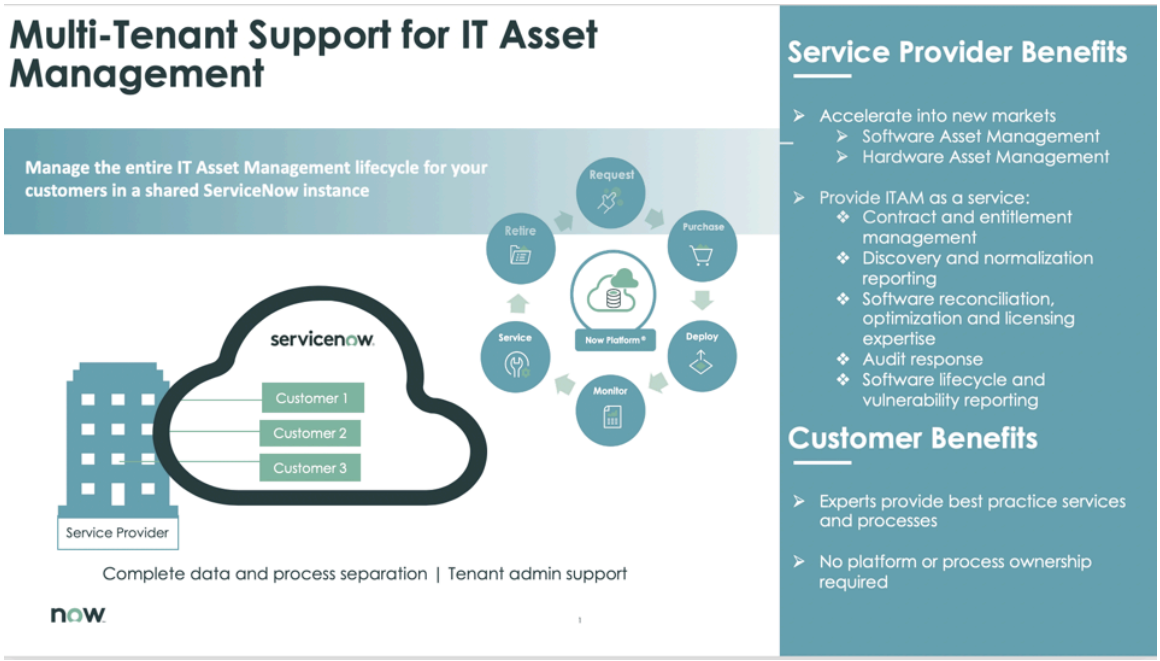
ドメインセパレーションされたインスタンスでは、コンテンツデータサービス (CDS) は、 グローバルとして設定されたドメインをインスタンスに入力する必要があります。

注:

ベースシステムドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- パフォーマンス分析 – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- SAMP (com.sn_samp_master)
- HAMP (ストアアプリ)

サポートされているその他のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- 調達 (com.snc.procurement)
- コスト管理 (com.snc.cost_management)
- 契約管理 (com.snc.contract_management)

詳細については、「ドメインセパレーションの説明」、「クエリとドメイン アクセスを含む」、および「既定のドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

ドメインセパレーションとライフサイクルレポート

ソフトウェアライフサイクルレポートを実行する際に考慮すべき、特定のドメインセパレーションの側面があります。

ソフトウェア資産管理の概要

ドメインセパレーション環境でのソフトウェアライフサイクルレポートは、サービスプロバイダー (SP) がお客様の環境におけるコンプライアンスを管理するレベルで生成されます。通常、調整の実行レベルは、そのようなコンプライアンスを示すものであり、ソフトウェアライフサイクルレポートは同じレベルで生成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の表に、調整の動作を示します。この例では：

- SP は、Cisco のソフトウェア資産管理 (SAM) プログラムを Cisco の企業レベルで管理しています。つまり、ライフサイクルレポートは Cisco の企業レベルで実行する必要があります。
- SP は、ウォルマートの各部門 (米国およびメキシコ) の SAM プログラムを管理しています。つまり、ライフサイクルレポートはウォルマートの部門レベルで実行する必要があります。

SP 階層は次のとおりです。

- Cisco 社
  - Cisco 米国
  - Cisco メキシコ
- ウォルマート社
  - ウォルマート米国
  - ウォルマートメキシコ

ドメイン設定 (調整/正規化)	コンプライアンスレポート	ライフサイクルレポートレベル
TOP/Cisco	True	はい
TOP/Cisco/米国	False	
TOP/Cisco/メキシコ	False	
TOP/Cisco/ドイツ	False	
TOP/ウォルマート	False	
TOP/ウォルマート/米国	True	はい
TOP/ウォルマート/メキシコ	True	はい

SP が Cisco 社および Cisco メキシコ向けにソフトウェアモデルを設定している場合、Cisco の企業レベルで Cisco のコンプライアンスを管理することを意図している場合でも、ライフサイクルレポートに同じインストール数の重複するライフサイクルレコードが表示されることがあります。

ライフサイクルレポート

モデルドメイン		日付		ソフトウェア モデル	ドメイン
Cisco	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
Cisco メキシコ	SQL Server 2012	2014	10	SQL Server 2012	Cisco
ウォルマート米国	SQL Server 2012	2014	5		
ウォルマートメキシコ	SQL Server 2012	2014	20		

ソフトウェアのライフサイクルの詳細については、「Create software models in ソフトウェア資産管理 classic (* クラシック版でのソフトウェアモデルの作成)」を参照してください。 ドメインセパレーションパスのセットアップの詳細については、「ドメインセパレーションのセットアップと管理」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ソフトウェア資産管理のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、ソフトウェア資産管理 が変わらず正常に動作するかを検証します。自分のインスタンスに固有のデータを使用するときは、それが成功するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

ソフトウェア資産管理の基盤プラグイン ソフトウェア資産管理 クイックスタートテストでは、ソフトウェア資産管理プロ プラグイン (com.snc.samp) をアクティブ化する必要があります。一部のクイックスタートテストでは、以下の追加プラグインをアクティブ化する必要があります。

- ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com sn_sam_spend)
- ソフトウェア資産管理プロ - Microsoft 向け (com.snc.samp.microsoft)
- ソフトウェア資産管理プロ - SAP 向け (com.sn_samp_sap)
- Oracle 用の ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.oracle)
- ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (com sn_sam_saas_int)

ソフトウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - 新しく公開された PPN およびコンテンツへのカスタム PPN/DMAP のマッピング	カスタム公開者の部品番号 (PPN) が新しい ソフトウェア資産管理 コンテンツサービス PPN に置き換えられたことを検証します。	San Diego
SAM：Oracle PaaS BYOL	• PaaS デバイスに関する情報を格納する新しいサーバーレスハードウェア [cmdb_ci_serverless_hardware] テーブルの追加を検証します。 • Amazon Web サービス (AWS) PaaS 環境の Oracle データベースサーバーのライセンスコンプライアンスを検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理プロ for Oracle (com.snc.samp.oracle) プラグインと CMDB CI クラスモデルストアアプリケーションが必要です。	Rome
SAM：ソフトウェアモデルのソフトウェア製品ライフサイクルレコード	ソフトウェアモデルフォームの [ソフトウェアライフサイクル] タブにレコードが表示されていることを確認します。	Quebec

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	
SAM：BYOL	• ソフトウェアエンタイトルメントフォームの購入日を検証 • ライセンスメトリクスの結果 [samp_license_metric_result] およびライセンスの位置レポート [samp_license_position_report] テーブルに、新しく追加された列 legacy_license の追加を検証します。 • ソフトウェアインストール [cmdb_sam_sw_install] テーブルに、新しく追加された列、cloud_license_type および cloud_license_type_source を検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Quebec
SAM - CIS スイートを検証	ダウングレード権限で、コアインフラストラクチャサーバー (CIS) スイートの調整を検証します。 注: デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - PerCoreForMSCluster	Microsoft の調整機能をクラスターのコアごとに検証します。 注: Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM - アップグレード/ダウングレードを Microsoft Publisher の調整中に検証	アップグレードとダウングレードの権限を、Microsoft 製品の調整中に検証します。 **注:** デモデータと Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SaaS アプリケーションを統合するデマンドを生成	SaaS アプリケーションでデマンドの生成と送信を検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理 - Spend Detection (com.sn_sam_spend) プラグインと PPM standard (com.snc.financial_planning_pmo) プラグインが必要です。	Paris
SAM - SAP エンジンのソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	製品が SAP エンジンである場合、ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントの各フォームが変更されたことを確認します。 **注:** SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	Paris
SAM：ソフトウェアモデルのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアモデルフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパック検証	ソフトウェアエンタイトルメントに関するマルチコアパックの新しいフィールドの機能を検証します。 **注:** Microsoft 向けソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp.microsoft) プラグインが必要です。	Orlando

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
SAM：ソフトウェアエンタイトルメントのダウングレード権限	コンテンツサービスからプッシュされたダウングレード権限が、ソフトウェアエンタイトルメントフォームの [ダウングレード権限] 関連リストで正しく設定されていることを検証します。	Orlando
SAM：ソフトウェア支出トランザクション	ソフトウェア消費トランザクションの作成を検証します。 **注:** ソフトウェア資産管理 - 支出検出 (com.sn_sam_spend) プラグインが必要です。	Orlando
SAM：ソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメント	ユーザーがソフトウェアモデルとソフトウェアエンタイトルメントを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM：ソフトウェアのインストールとディスカバリーモデル	ユーザーがソフトウェアのインストールとディスカバリーのモデルを作成し、それらのレコードを検証できることをテストします。	New York
SAM - カスタム PPN を使用するソフトウェアエンタイトルメントの作成	カスタムソフトウェア製品、カスタム製品のカスタム DMAP、カスタム DMAP のカスタム部品番号、カスタム部品番号を使用するソフトウェアエンタイトルメントを作成して、ソフトウェアモデルが自動で作成されていることを確認します。	New York
SAM - SAP の名前付きユーザーのソフトウェアモデルチェック	公開者が SAP で製品が名前付きユーザーである場合に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。 **注:** SAP 向けソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_sap) プラグインが必要です。	New York
SAM：SaaS のソフトウェアモデルチェック	SaaS 製品が選択された際に、ソフトウェアモデルフォームが変更することをテストします。	New York

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソフトウェア資産管理 テストスイート (続く)

テスト	説明	リリースバージョン
	注: ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (com.sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	
SAM：SaaS ソフトウェア製品のフィールドを検証	[サブスクリプションソフトウェア] と [インストールを無視] フィールドがソフトウェア製品フォームに存在することをテストします。 **注:** ソフトウェア資産管理 - SaaS ライセンス管理統合 (com.sn_sam_saas_int) プラグインが必要です。	New York

関連情報

クイックスタートテスト

ハードウェア資産管理

ServiceNow® ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションは、ライセンス取得可能なアプリケーションであり、アクティブ化されたときには、IT 資産を維持するための高度なワークフロー、自動化、およびモバイル機能を提供します。

ハードウェア資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

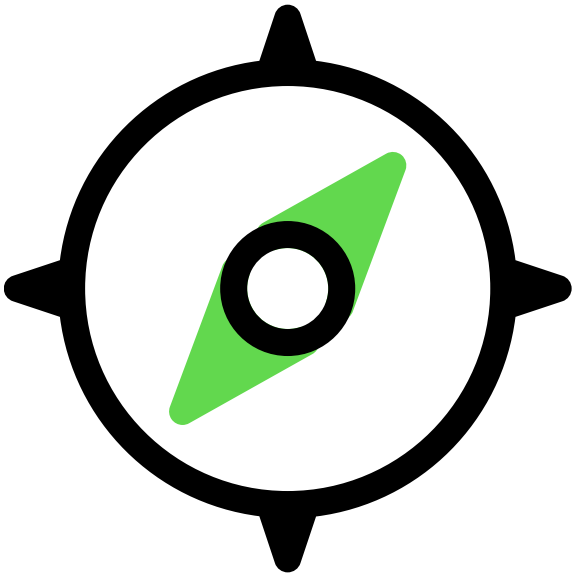
https://player.vimeo.com/video/995199429?badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

注: Now Platform® Washington DC リリース以降、ハードウェア資産管理 コア UI インターフェイスのサポートは限定的になります。新しい Now Platform リリースにアップグレードする場合を含め、インスタンス内では引き続き有効ですが、新しいワークスペースエクスペリエンスに移行することをお勧めします。詳細については、「KB1584544」、「ハードウェア資産ワークスペース」および「ネクストエクスペリエンス UI」を参照してください。

自動翻訳

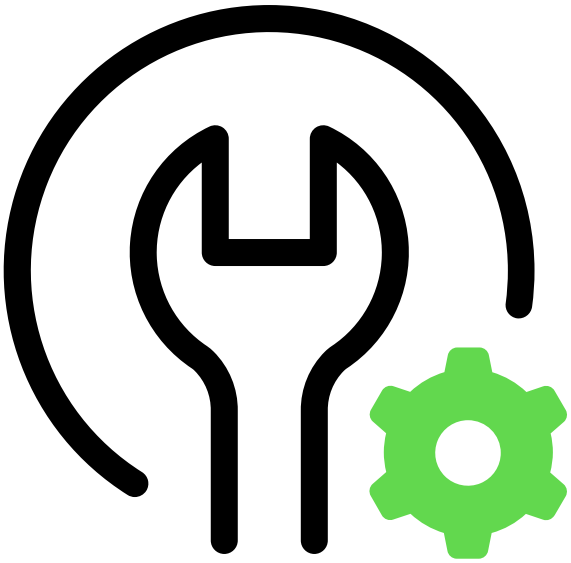
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



ハードウェア資産管理 アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

Configure (構成)



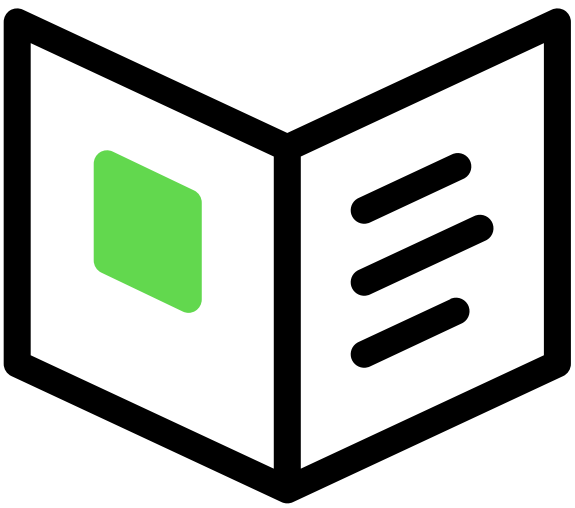
サポート ハードウェア資産管理 プラグインをアクティブ化し、ロールを割り当てます。

使用



ハードウェア資産管理を使用して、ハードウェア資産を効率的に管理します。

参照



アクション可能なデータを視覚化することで、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスを改善します。

ServiceNow Store Web サイトにアクセスして、利用可能なすべてのアプリを表示し、要求をストアに送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのこれまでのリリー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スノート情報については、「ServiceNow Store のバージョン履歴リリースノート」を参照してください。

学習内容

ハードウェア資産管理とは？

ハードウェア資産管理 の探索

ハードウェア資産管理 が組織内のさまざまなユーザーにもたらすメリットを確認して、詳細を確認します。

ハードウェア資産管理の概要

ハードウェア資産管理 を使用すると、ハードウェアや消耗品など、組織のすべての資産のエンドツーエンドのライフサイクルを追跡および管理できます。規範的なワークフローとタスクにより、資産ライフサイクルのすべてのステージを簡素化できます。資産のタグ付け、所有権のアサイン、および資産の位置追跡により、資産損失のリスクが軽減されます。 ハードウェア資産管理 未承認のハードウェア資産を特定し、組織の確立されたポリシーと規制へのコンプライアンスを確保することもできます。

ハードウェア資産管理 のメリット

メリット	機能	ユーザー
ハードウェア資産を直観的に一元化された一元化されたビューから、重要な ハードウェア資産管理 の優先度とアクティビティに誘導することで、資産のライフサイクルを管理し、資産レコードを正確かつ最新の状態に保ちます。	ハードウェア資産ワークスペース	経営幹部/アプリケーションオーナー/資産管理者/インベントリユーザー
モバイルデバイスを活用して資産をストックルームに受け取り、オンサイト監査を実施して正確なインベントリチェックを行います。	モバイル資産のスキャン	資産管理者/資産管理者/インベントリ管理者
構築済みでガイド付きの ハードウェア資産管理ワークフローを使用して、資産のライフサイクルを簡素化します。	資産ライフサイクルの自動化	資産マネージャー/資産管理者
返品、交換、または修理される資産の返品自動化 (RMA) プロセスを自動化します。	返品許可	資産管理者/インベントリ管理者
複雑な資産グループを単一の親レコードとして管理します。	アセットバンドル	資産マネージャー/資産管理者
離職する従業員に割り当てられた資産を再利用するプロセスを自動化します。	資産再利用	従業員/資産管理者/インベントリ管理者
慈善団体への資産寄付をワークフローで管理します。	資産寄付	従業員/資産マネージャー/インベントリマネージャー
資産をパレットにリンクし、通路およびスペースレベルで資産を追跡することで、より正確に倉庫を運用できます。	インベントリ用パレット	資産管理者/インベントリ管理者
すべての貸与資産要求を処理し、貸与資産のタイムリーな準備と展開を確実に行います。	貸与資産	従業員/インベントリアドミニストレーター

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
従業員のハードウェア資産のリフレッシュ要求の注文、資産のタグ付け、配送を自動化します。	ゼロタッチでリフレッシュ	従業員/資産管理者/インベントリ管理者
API を介して配送業者への接続を作成して、出荷を追跡します。	配送業者統合	管理者/資産管理者/インベントリ管理者
ハードウェア資産レコードを受け取る前に自動化して作成します。	事前出荷通知 (ASN)	アドミニストレーター
組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、TRM ライフサイクルフェーズを定義します。	を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理	エンタープライズアーキテクト/アプリケーションオーナー
修理フローを使用して、倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を迅速に修理します。	修理フロー	資産マネージャー
ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。	の在庫ピッキング ハードウェア資産管理	インベントリユーザー
ハードウェア資産要求を最小限の介入で履行できるようにします。	ゼロタッチ要求フロー	従業員/外部プロバイダー/カタログ管理者

ガイド付きセットアップ による ハードウェア資産管理 の実装

ハードウェア資産管理 ガイド付きセットアップには、ServiceNow インスタンスでハードウェア資産管理を構成するのに役立つ一連のタスクが用意されています。ガイド付きセットアップを開く ハードウェア資産管理 、 **App** (アプリ) > ガイド付きセットアップ.ガイド付きセットアップ インターフェイスの使用の詳細については、「ガイド付きセットアップの使用」を参照してください。

ハードウェア資産管理サブスクリプション

ServiceNow プラットフォームでは、IT Asset ManagementアプリケーションServiceNow ハードウェア資産管理の使用に対して組織が課金されるライセンス方法を使用します。

注: から ハードウェア資産管理 をインストールする必要があります。 ServiceNow Store タスクを自動化し、作業を簡素化するのに役立ちます。

次の規範的なワークフローまたは機能を使用して、資産データを最大限に活用し、時間とリソースを節約します。

- ハードウェア資産ワークスペース
- ハードウェア資産ダッシュボード
- ハードウェアモデル正規化
- コンテンツルックアップポータル
- 資産ライフサイクルの自動化
  - ハードウェア資産のリフレッシュ
  - ハードウェア廃棄
  - 貸与資産の注文または資産の予約
  - 返品許可

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

  - 資産リースの有効期限
  - リース資産の返却
  - アセットバンドル
  - 事前出荷通知 (ASN)
  - 資産寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
- 展開、交換、廃止などの自動化された資産タスク
- モバイル
  - 資産インベントリ監査
  - 資産廃棄スキャン
- 資産統合:配送業者
- パレット資産
- Asset Management 担当役員ダッシュボード
- 契約管理と更新
- ハードウェア資産ダッシュボード
- コンテンツルックアップポータル
- HAM ガイド付きセットアップ
- Zebra RFID 統合
- サービスの場所
- 倉庫の流通チャネルサポート
- ハードウェア資産のインドアマッピング機能
- ハードウェア資産管理の成熟度
- Asset Total Cost of Ownership (資産総所有コスト)
- との資産保証の統合 Lenovo
- 修理フロー
- 在庫ピッキング
- ゼロタッチ要求フロー

Core 資産管理 の次の基本システム機能は、 ServiceNow IT Service Management (ITSM) および カスタマーサービス管理 (CSM) (CSM) 製品で提供されます。

- 資産とモデルレコード
- 倉庫
- 転送注文
- 発注書
- 契約
- モバイル資産の受領
- モバイル - 自分の資産

詳細については、「 資産管理 」と「ハードウェア資産管理サブスクリプションの管理」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理 ライセンス

ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスを使用すると、使用する ハードウェア資産管理 リソースカテゴリを選択できます。使用しないカテゴリには料金を支払わず、使用するカテゴリに対してのみ料金を支払うことで、コストを節約できます。

オプトインしたリソースカテゴリのみが、サブスクリプションユニットにカウントされます。

注: 特定のリソースカテゴリに対してデフォルトでは、関連付けられたモデルの正規化機能とそれに関連する資産の資産アクションは機能しません。正規化機能と資産アクションを使用する場合は、そのリソースカテゴリをオプトインする必要があります。

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウトの詳細については、「HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト」を参照してください。

モデルカテゴリの使用状況に基づいて、 ServiceNow HAM ライセンスはリソースカテゴリに分類されます。リソースカテゴリにはさまざまなタイプがあります。また、資産が異なればカテゴリも異なります。正しい必須カテゴリをオプトインしていることを確認してください。資産 [alm_asset] テーブルで表され、サーバー、エンドユーザーコンピューター、ネットワーク機器、モバイルデバイスなどの各管理対象 IT リソースタイプの基準を満たす資産は、サブスクリプションユニットに対する資産数の事前定義された比率に基づいてサブスクリプションユニットにカウントされます。

注: HAMのリソースカテゴリは、特定のエンタイトルメントに関連付けられています。たとえば、コンピューターリソースカテゴリは、コンピューターエンタイトルメントが HAM ライセンスで利用可能な場合にのみ表示されます。オンプレミス ServiceNow インスタンスでは、エンタイトルメントはダウンロードされません。ただし、*sn_ham_active_entitlements* システムプロパティを使用して、HAMエンタイトルメントの詳細を保存できます。このシステムプロパティは、アクセス権を持つエンタイトルメントのカンマ区切りリストを使用して更新できます。

HAM ライセンスリソースのカテゴリ

サブスクリプションユニット率は、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、エンドユーザーコンピューターのサブスクリプションユニットの比率が *4:1* の場合、4 つの資産には *1* つのライセンスユニットが必要です。1 ライセンスが *100* ドルの場合、4 台のコンピューター資産は *100* ドル、8 台のコンピューター資産は *200* ドルです。

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
エンドユーザーコンピューター	4:1	コンピューター
サーバー	1：1	次のような任意のサーバー: • AIX サーバー • ESX サーバー • HPUX サーバー • Linux サーバー • Netware サーバー • OS/X サーバー • サーバー • Solaris サーバー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM ライセンスリソースのカテゴリ
サブスクリプションユニット率は、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、エンドユーザーコンピューターのサブスクリプションユニットの比率が *4:1* の場合、4 つの資産には *1* つのライセンスユニットが必要です。1 ライセンスが *100* ドルの場合、4 台のコンピューター資産は *100* ドル、8 台のコンピューター資産は *200* ドルです。

(続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	モデルカテゴリ
		• UNIX サーバー • Windows Server
ネットワーク機器	5:1	• ネットワーク機器 • IP スイッチ • IP ルーター
モバイルデバイス	10:1	モバイルデバイス
Telecommunications Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)	1：1	• カード • ネットワークインターフェイス • 論理接続 • 物理接続 • 電気通信機器
未分類のハードウェア	1：1	ハードウェア
監視	15:1	監視
ストレージ	3:1	ストレージデバイス
プリンタ	10:1	プリンター

注: 未分類のハードウェア、モニター、ストレージ、およびプリンターは、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.1.0 以降 HAM ライセンス バージョン 5.0 にアップグレードした場合にのみ使用できます。

通信事業ネットワークインベントリのハードウェア資産管理機能にアクセスするには、通信事業ネットワークインベントリアプリケーションをインストールし、Telecom Network Inventory リソースカテゴリにオプトインする必要があります。詳細については、「通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合」を参照してください。

HAM カスタムモデルカテゴリのライセンス

HAM には、いくつかのモデルカテゴリが標準で用意されています。作成したモデル・カテゴリは、カスタム・モデル・カテゴリと見なされます。Washington DC 以降のリリースでリリースされたハードウェア資産管理 ライセンスにアップグレードすると、カスタムモデルカテゴリを持つ資産は、次のいずれかの条件が満たされている場合にのみ、ハードウェア資産管理機能とワークフローにアクセスできます。

自動翻訳

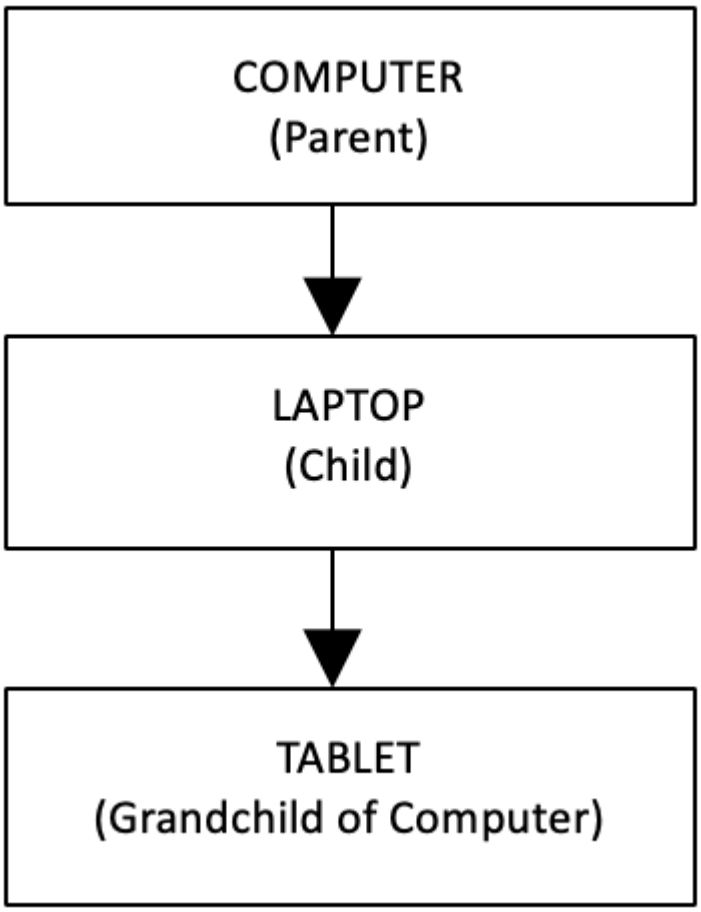
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産のカスタムモデルカテゴリは、オプトインされたモデルカテゴリの階層に属します。
- カスタムモデルカテゴリの親モデルカテゴリは、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリに関連付けられています。

注: ハードウェア資産管理ライセンスバージョン 4 より前にリリースされたHAMライセンスバージョンを使用している場合、カスタムモデルカテゴリを持つ資産は、オプトインされたライセンス可能なリソースカテゴリに関連付けられていなくても、ハードウェア資産管理機能とワークフローにアクセスできます。また、カスタムモデルカテゴリはサブスクリプションユニットにはカウントされません。

ハードウェア資産管理バージョン 11.0.1 以降では、ハードウェア資産管理ライセンスバージョン 4 より前にリリースされたライセンスバージョンを使用している場合でも、*sn_hamp.enable_custom_category_licensing* システムプロパティを使用してカスタムモデルカテゴリのHAMライセンスを有効にすることができます。デフォルトでは、このシステムプロパティの値は **false** に設定されています。*sn_hamp.enable_custom_category_licensing* システムプロパティを **true** に設定すると、カスタムモデルカテゴリの親がオプトインおよびライセンス可能なカテゴリでない限り、カスタムモデルカテゴリ資産はHAMワークフローから除外されます。

モデルカテゴリの階層の例



この例では、コンピューターモデルカテゴリがカスタムモデルカテゴリのラップトップおよびタブレットに関連付けられています。カスタムモデルカテゴリについては、次の点に注意してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コンピューターをオプトインすると、ラップトップとタブレットの両方も、エンドユーザーコンピューターリソースカテゴリのサブスクリプションユニットにカウントされます。また、これらのカスタムモデルカテゴリは、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローにアクセスできます。
- コンピューターをオプトアウトすると、ラップトップとタブレットの両方もオプトアウトされ、これらのカスタムモデルカテゴリは ハードウェア資産管理 機能とワークフローにアクセスできません。

注: ライセンス可能なリソースカテゴリに属し、親モデルカテゴリを持つモデルカテゴリは、関連するリソースカテゴリの下でのみライセンス供与されます。たとえば、ライセンス可能な [モニター] リソース カテゴリに関連付けられ、親として [コンピューター] を持つモニター モデル カテゴリは、 [モニター] でのみライセンスが付与されます。

次のモデルカテゴリの資産は、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローへのアクセスから除外されます。

- オプトアウトされたリソースカテゴリの子であるモデルカテゴリ。
- プリンターやストレージデバイスなどのモデルカテゴリの子であるモデルカテゴリ。 この除外は、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.0.0 でのみ適用されます。

  注: プリンター、消耗品、ストレージデバイスなどの既存のモデルカテゴリは、ハードウェア資産管理バージョン 10.0.0 以前でのみハードウェア資産管理機能に引き続きアクセスできます。

  バージョン 10.1.0 以降 ハードウェア資産管理 、プリンター、モニター、ストレージ、未分類のハードウェアなどのリソースカテゴリはライセンスされ、ライセンスバージョン 5.0 にアップグレードした場合にのみ使用できます HAM 。ハードウェア資産管理機能にアクセスするには、これらのリソースカテゴリをオプトインする必要があります。これらのリソースカテゴリをオプトインすると、そのすべての子モデルカテゴリも HAM 機能とワークフローにアクセスできるようになります。

  HAMライセンスバージョン 5.0 にアップグレードすると、以前のバージョンで作成されたプリンター、モニター、ストレージデバイス、および未分類のハードウェア資産は、デフォルトでハードウェア資産管理機能にアクセスできなくなります。これらのリソースカテゴリは明示的にオプトインする必要があります。

- 親カテゴリを持たないその他のカスタムモデルカテゴリ。

ハードウェア資産管理ソリューションのための **Licensing** フレームワーク

改善されたHAMライセンスフレームワークを使用して、すべてのハードウェア資産管理ソリューションについて組織が購入および消費したサブスクリプションユニットを管理します。ServiceNowインスタンスで複数のハードウェア資産管理ソリューションがアクティブ化されている場合、ライセンス可能でオプトインされたリソースカテゴリは、1 つのソリューションでのみライセンスされます。

ゼロタッチモビリティとのハードウェア資産管理通信事業ネットワークインベントリ 統合やハードウェア資産管理との統合など、ライセンスされたソリューションは、ServiceNowインスタンスにハードウェア資産管理をインストールします。

各 ハードウェア資産管理 ソリューションは、 ハードウェア資産管理 機能とワークフローを利用できるいくつかのデフォルトのリソースカテゴリをサポートしています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理ソリューションのリソースカテゴリ

アプリケーション/ソリューション	サポートされているリソースカテゴリ
ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合	モバイルデバイス
ハードウェア資産管理と通信事業ネットワークインベントリとの統合	• Telecommunications Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ) • サーバー • ネットワーク機器
ハードウェア資産管理	• エンドユーザーコンピューター • モバイルデバイス • サーバー • ネットワーク機器 • プリンタ • 監視 • ストレージ • 未分類のハードウェア

HAM ライセンスは、各リソースカテゴリに定義されたサブスクリプションユニット率に基づきます。オプトインして支払うことができるのは、使用するリソースカテゴリに対してのみです。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンス」を参照してください。

ハードウェア資産管理ソリューションのライセンスの優先順位付け

重要: HAMライセンスの優先順位付け機能はハードウェア資産管理バージョン 10.1.0 以降で使用できます。

ServiceNowインスタンスですべてのハードウェア資産管理ソリューションを有効にし、すべてのリソースカテゴリをオプトインする場合は、次の点を考慮してください。

- リソースカテゴリは、 HAM ライセンスフレームワークで定義されたアプリケーション優先度に基づいて、1 つのアプリケーションでのみライセンス付与されます。
- アプリケーションの優先度は、ライセンスコストに基づいて次の順序で設定されます。
  1. ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合
  2. ハードウェア資産管理と通信事業ネットワークインベントリとの統合
  3. ハードウェア資産管理
- モバイルデバイスは、ゼロタッチモビリティとの ハードウェア資産管理 統合に基づいてライセンス供与されます。
- Telecommunications Network Inventory、Servers、Network Gear は、通信事業ネットワークインベントリ とのハードウェア資産管理統合に基づいてライセンス供与される。
- エンドユーザーコンピュータは、 ハードウェア資産管理の下でライセンスされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM ソリューションのライセンスモデル

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	HAM ゼロタッチモビリティとの統合	HAMと通信事業ネットワークインベントリとの統合	ハードウェア資産管理	ライセンス付与条件
モバイル	10:1	インストール日時	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	ゼロタッチモビリティ
サーバー	1：1	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ
ネットワーク機器	5:1	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ
Telecommunications Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)	1：1	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	インストール日時	通信事業ネットワークインベントリ
エンドユーザーコンピューター	4:1	リソースカテゴリは利用できません	リソースカテゴリは利用できません	インストール日時	ハードウェア資産管理

ITAM ライセンスレポートを使用して、 ハードウェア資産管理 アプリケーションとソリューションのサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産管理アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

関連情報

ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合

通信事業ネットワークインベントリ と ハードウェア資産管理 との統合

ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産 ワークスペース は、ハードウェア資産を管理するための ハードウェア資産管理 アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスです。

注:

ハードウェア資産ワークスペースを使用するには、ハードウェア資産ワークスペース (sn_itam_workspace) プラグインと ハードウェア資産管理 (sn_hamp) をアクティブ化する必要があります。

ハードウェア資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。これらのビューにより、正規化とストックルームに関するダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクル状況、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

この ハードウェア資産ワークスペース には、次のビューが含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ハードウェア資産の概要:重要なアクションとアクティブなタスクへのクイックリンクを表示します。また、資産一覧を 360 度ビューで、モデルタイプ、ライフサイクル状況、資産価値別に資産のスナップショットを取得します。
- 資産分析:資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。
- DaaS プロバイダービュー: Device as a Service (DaaS) プロバイダーの顧客の資産を管理します。

  注: ハードウェア資産管理 このビューにアクセスするには、for Device as a Service (com.sn_daas_ham) がインストールされている必要があります。

- インベントリ:資産インベントリ全体と、インベントリタスクを実行できるストックルームの詳細を表示します。
- 資産一覧:資産機能を表示し、ハードウェアと消耗品の正確なレコードを維持します。
- モデル管理:ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル全体で管理されているさまざまなタイプのモデルの詳細を表示します。
- のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理: ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているハードウェア製品に関連するデータを表示します。
- 調達ビュー:進行中のすべての調達アクティビティの詳細を表示および管理します。
- 契約管理:すべてのハードウェアおよびソフトウェア契約を表示および管理します。
- 成功ポータル:成功目標を掲げて ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションの進捗状況を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティをアサインし、事前定義された成熟度アイテムで HAM プログラムを成熟させます。
- 資産運用:インベントリ、出荷、調達、ハードウェア資産正規化、契約、ゼロタッチリフレッシュ、成功目標に関連する資産運用を表示します。

ハードウェア資産の概要

最新化された分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、 ハードウェア資産管理 エクスペリエンスを向上させます。ハードウェア資産の概要はシンプルで直感的な環境であり、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用できるようにします。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次のことを行います。

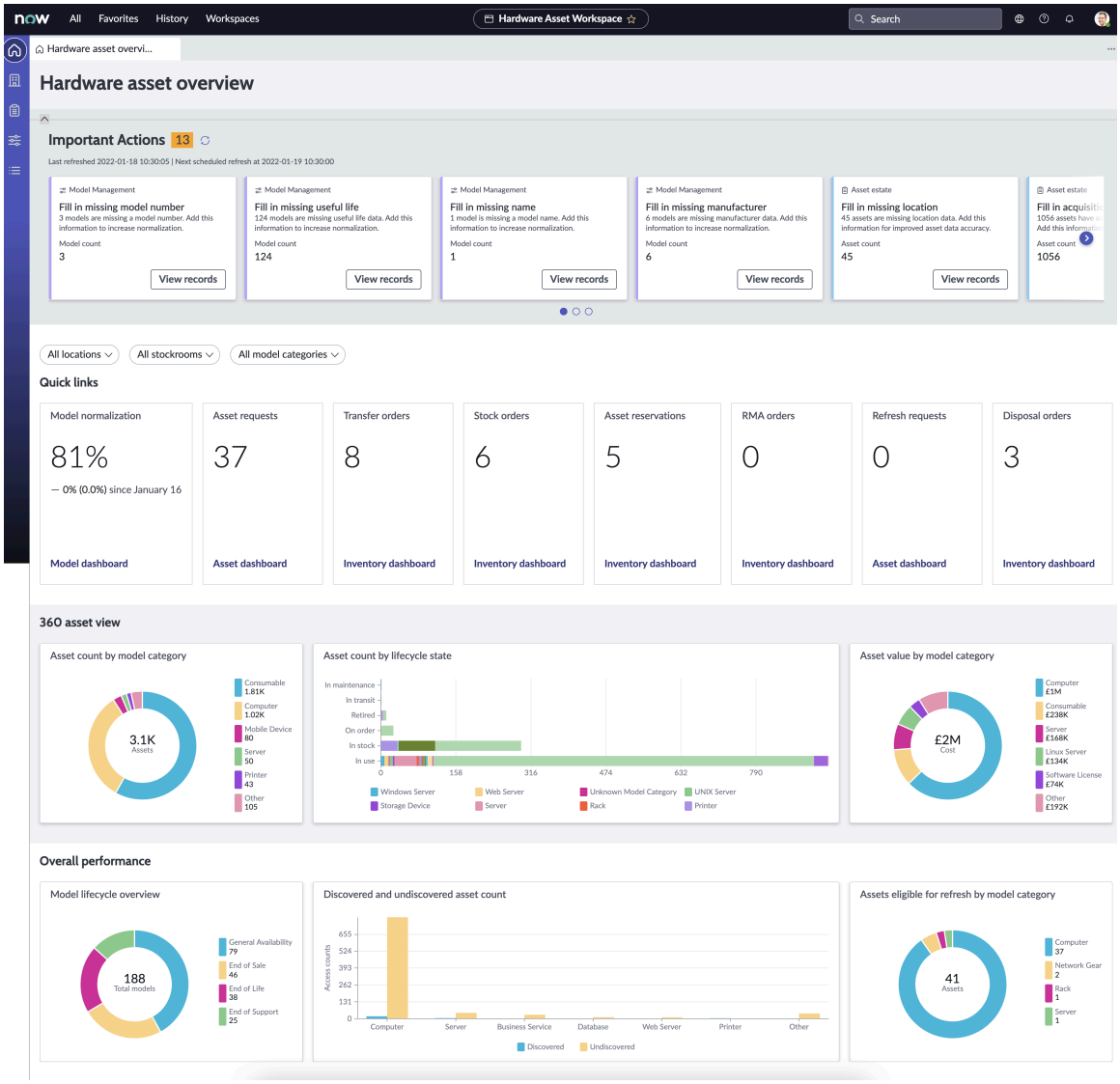
- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、メーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- モデル正規化、資産要求、転送注文、在庫注文、資産予約、RMA 注文、リフレッシュ要求、廃棄注文などの資産機能の特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリとライフサイクルステータス別の資産数、およびモデルカテゴリ別の資産価値を表示する [360 度資産ビュー] セクションを表示します。
- すべての資産のモデルライフサイクルの概要、検出済みおよび未検出の資産数、およびモデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する [全体的なパフォーマンス] セクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデル] カテゴリリストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要



クイックリンク

ウィジェットまたは チャート	Description (説明)
モデル正規化	正規化されたハードウェアモデルと消耗品モデルの割合。
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	アクティブな転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫オーダーアイテムの数。
資産の予約	アクティブな貸与資産の注文数。
返品許可 (RMA) 注文	オープン中の RMA 注文の数。
更新要求	オープンなハードウェア資産リフレッシュ注文要求の数。
廃棄注文	未処理のハードウェア廃棄注文の数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度資産ビュー

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
ライフサイクルステータス別の資産数	廃止、使用中、在庫中などのライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたは チャート	説明
モデルライフサイクルの概要	サポート終了、提供終了、一般提供、販売終了などのライフサイクルフェーズ別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。未検出資産とは、まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産のことです。
更新対象となる資産 (モデルカテゴリ別)	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

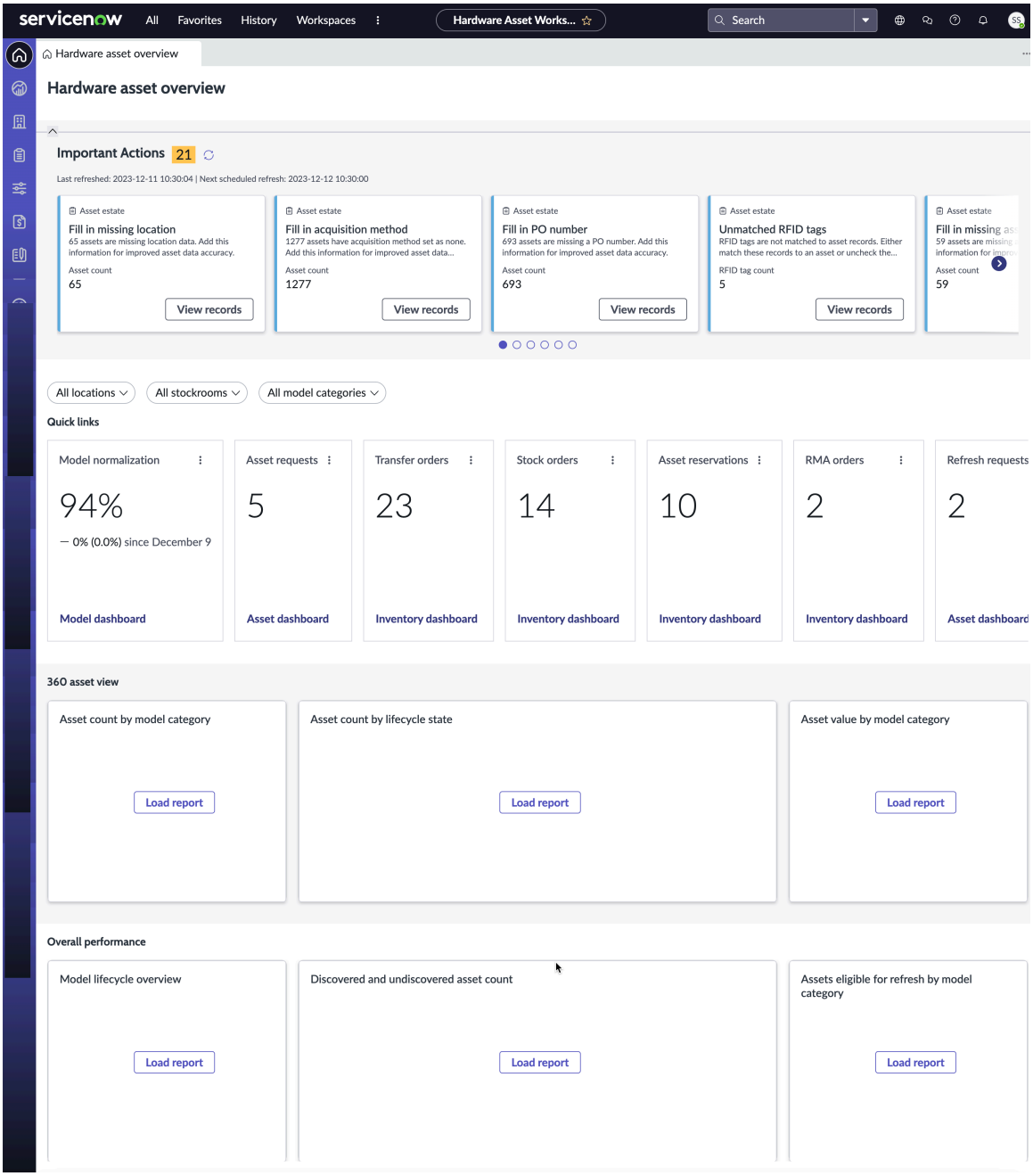
膨大な量の資産レコードをページと一緒にロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。この方法により、ハードウェア資産の概要ページのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートのロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



関連情報

ハードウェア資産管理のアナリティクスおよびレポート作成ソリューション

[資産アナリティクス] ビュー

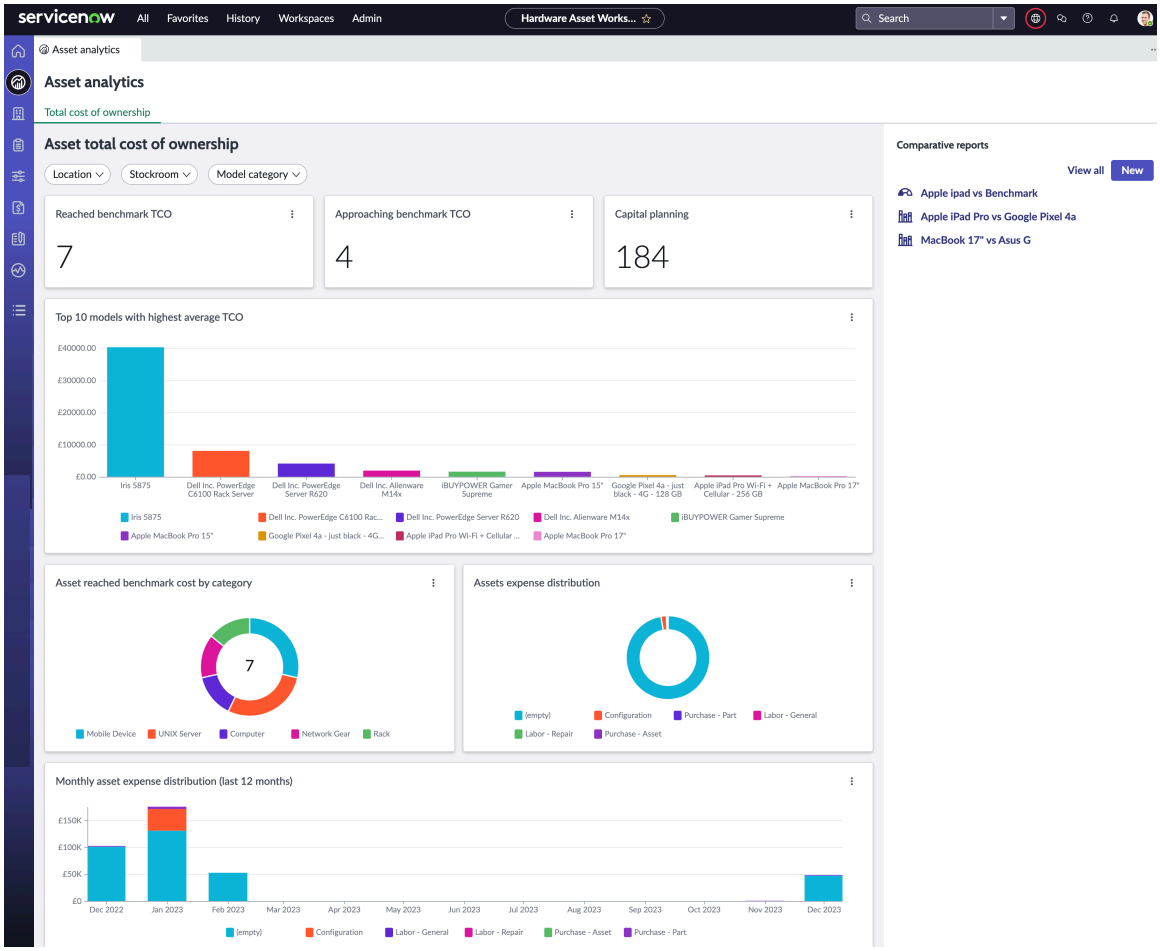
[資産アナリティクス] ビューを使用して、すべてのハードウェア資産、その全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細ビューを取得します。

資産の TCO の詳細については、「 の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理」を参照してください。

重要: [資産分析] ビューは、 ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



場所、ストックルーム、モデルカテゴリを選択することで、結果をフィルタリングして絞り込むことができます。

注:

TCO レポートは、**Domain** Extension Installer (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインと Domain Support (com.snc.pa.domain_support) プラグインが有効な場合にドメインセパレーションをサポートします。

資産総所有コスト **(TCO)**

Field (フィールド)	**Description** (説明)
ベンチマーク TCO に到達した資産	TCO がベンチマークコスト以上の資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいている資産	TCO がベンチマークしきい値以上で、ベンチマークコスト未満の資産の数。 TCO ベンチマークしきい値パーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、ベンチマークを 1,000 ドルとして設定し、資産コストが 750 ドルに達した場合、資産はベンチマークの TCO に近づいていると見なされます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_perc*

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産総所有コスト **(TCO)** (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
	を使用して、ベンチマークしきい値パーセンテージを更新します。 ハードウェア資産フィールド値の詳細については、「資産レコードフィールド」を参照してください。
資本計画	資産ライフサイクルが 60 日を超え、廃止されていない資産の数。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	過去 12 か月間の平均資産 TCO が最も高い上位 10 モデル。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	モデルカテゴリに基づく資産 TCO がベンチマークコストに達した資産の数。
資産経費分配	人件費、出荷、購入などの経費カテゴリに基づいて資産に発生したコスト。
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	過去 12 か月間の資産の月次初期コストと運用コスト。

比較レポート

このセクションでは、最近作成された TCO レポートを表示します。

[比較レポート] セクションで [新規] を選択してレポートを作成することもできます。詳細については、「で TCO レポートを作成する ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

DaaS プロバイダービュー

ハードウェア資産ワークスペース の DaaS プロバイダービューは、DaaSプロバイダーの顧客の資産を管理するための Device as a Service アプリケーションの直感的なインターフェイスです。

注: DaaSプロバイダービューにアクセスするには、次のプラグインをアクティブ化する必要があります。

- ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp)
- ハードウェア資産ワークスペース (sn_itam_workspace)
- ハードウェア資産管理Device as a Service向け (com.sn_daas_ham)

DaaS機能の詳細については、「Device as a Service」を参照してください。

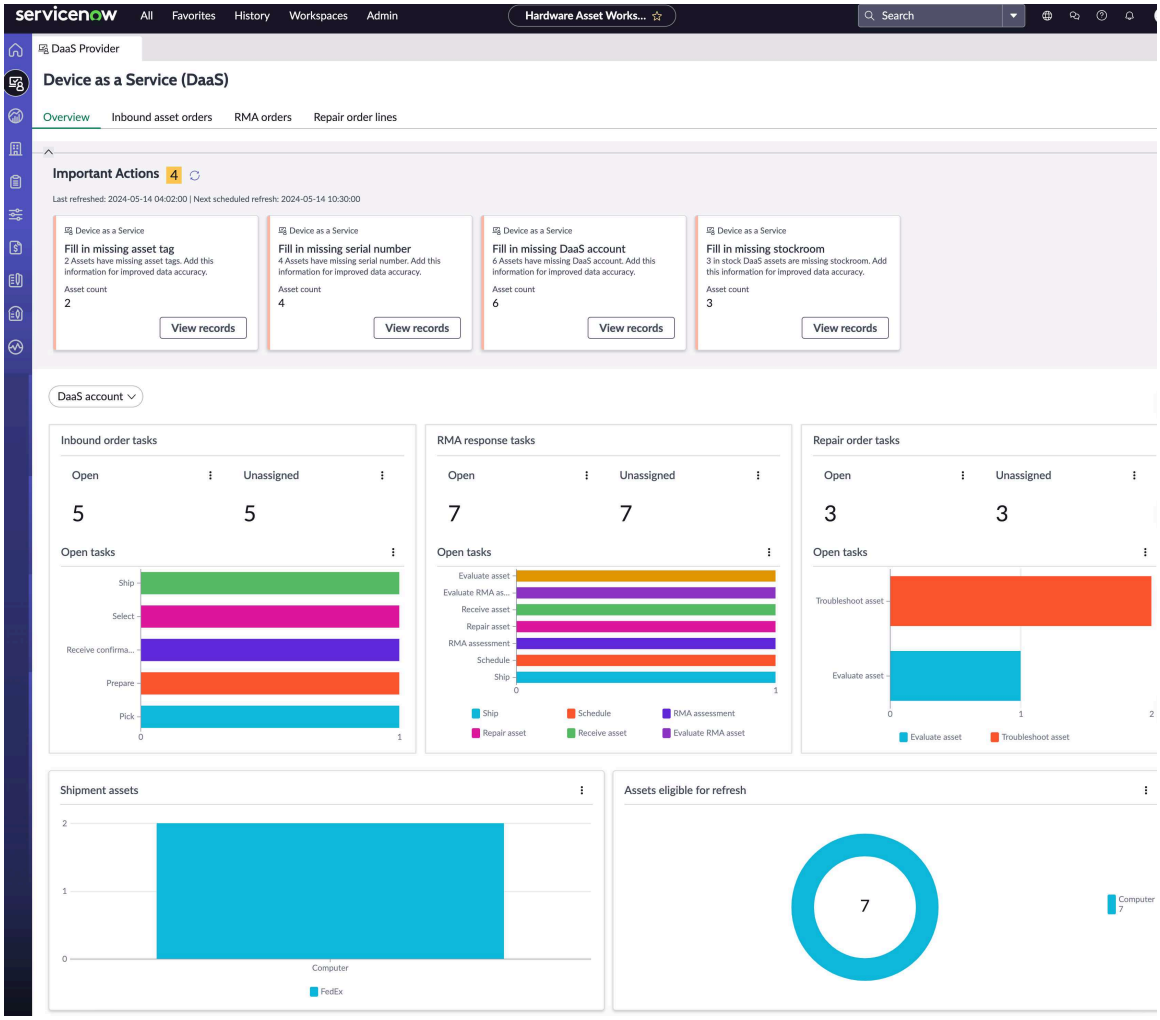
[DaaS プロバイダー] ビューを使用して、次の操作を実行します。

- 資産のシリアル番号、倉庫、 DaaS アカウントの欠落などの不一致に対処します。
- オープンまたは未アサインのタスク、出荷ステータス、更新対象となる資産の数などのレコードを表示する DaaS アカウントを選択します。
- 顧客のDaaS資産の受信資産注文、RMA 応答注文、および修理注文ラインを作成および管理します。

任意のウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、 DaaS 資産としてマークされている資産またはアカウント専用資産に対して適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ウィジェット/チャート	Description (説明)
重要なアクション	
未記入の資産タグを入力	資産タグが欠落している資産に対して実行するアクション。
未記入のシリアル番号を入力	シリアル番号が欠落している資産に対して実行するアクション。
未記入の DaaS アカウントを入力	DaaSアカウントが欠落している資産に対して実行するアクション。
未記入の倉庫を入力	倉庫情報が欠落している資産に対して実行するアクション。
DaaS アカウント	データを参照している DaaS プロバイダーの顧客。
受信注文タスク	• オープンタスク:受信資産注文フローの各ステージにあるオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:受信資産注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 受信注文フローには、次のステージが含まれます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット/チャート	Description (説明)
	• 選択 • 集荷 • 準備 • Ship (出荷) • 確認の受領 詳細については、「DaaS資産の受信資産注文の管理」を参照してください。
RMA 応答タスク	• オープンタスク:RMA 応答注文フローの各ステージにあるオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:RMA 応答注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 RMA 応答注文フローには、次のステージが含まれます。 • 資産を評価 • 出荷のスケジュール • 確認の受領 • 資産の修復 • リフレッシュのスケジュール 詳細については、「DaaS資産の RMA 応答注文の管理」を参照してください。
修復注文タスク	• オープンタスク:修理注文フローの各ステージにあるオープンタスクの数。 • 未アサインタスク:修復注文フローの各ステージの未アサインタスクの数。 修復注文フローには、次のステージが含まれます。
出荷資産	RMA 応答注文または受信資産注文フローのオープン出荷タスク。
更新対象となる資産	更新日を過ぎた、更新対象となる資産の数。

インベントリビュー

ハードウェア資産ワークスペースの [インベントリ] ビューを使用して、資産監査や廃棄注文などのインベントリ機能を表示し、インベントリ関連のアクションを実行します。

次のタブを使用して、インベントリ機能を表示し、適切なアクションを実行します。

- 概要:在庫からのオープンなハードウェア要求の数、RMA 要求ライン、オープンな転送注文など、さまざまなインベントリデータを表示します。
- すべてのストックルーム:ストックルームを表示、作成、管理します。
- 資産監査:資産倉庫やその他の場所 (オフィス、データセンターなど) に対して、スケジュールされた監査またはブラインド監査を実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

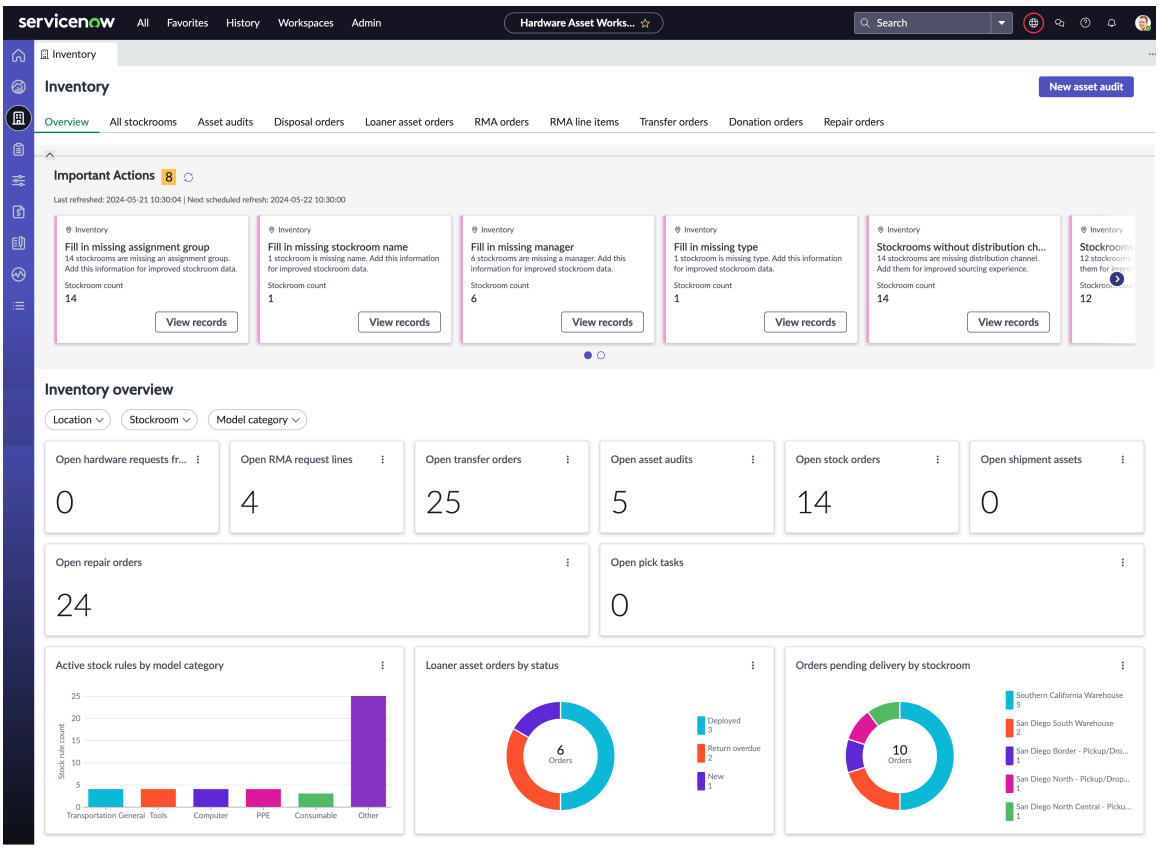
- 廃棄注文:ライフサイクルの終わりに達したか機能しなくなったハードウェアまたは消耗品資産の廃棄注文を作成および管理します。
- 貸与資産のオーダー:すべての貸与資産のオーダーを表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文:すべての RMA 注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 品目:すべての RMA 品目を表示し、適切なアクションを実行します。
- 転送注文:転送注文を作成し、既存の転送注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- 寄付オーダー:資産寄付オーダーのリストを表示します。
- 修理注文:ストックルームの資産の修理のために送信された修理注文のリストを表示します。修理注文を作成することもできます。

在庫の資産監査を作成するには、 新しい資産監査 を選択します。詳細については、「在庫を監査する」を参照してください。

[概要] タブ

[概要] タブを使用して、さまざまなインベントリデータをウィジェットとして統合します。また、資産監査や廃棄注文に関する情報が不完全など、不一致に対処するためのリンクを含むアクションに関する通知を表示することもできます。

インベントリビュー



ウィジェットまたはチャートを選択して 詳細を表示し、必要なアクションを実行します。[ドメイン]、[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] リストを使用して、結果を絞り込むこともできます。ドメインフィルターは、ドメインセパレーションが有効になっている場合にのみ使用できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

在庫の概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	今年中に納入され作成された調達タイプの転送注文の数。
RMA 要求ラインを開く	オープン中の RMA 要求ラインの数。
転送注文を開く	キャンセル済みまたは未配達の転送注文の数。
オープン中の資産監査	現在新規または進行中の資産監査の数。
オープン中の在庫注文	未完了またはキャンセルされた在庫注文の数。
倉庫別の配送保留中の注文	受領またはキャンセルされていない発注書の数。
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。
ステータス別の貸与資産注文	返却期限超過、展開済み、新規などのステータス別にグループ化された貸与資産のオーダー数。

サービスの場所、流通チャネル、および出荷に関連する次の重要なアクションカードを使用して、アクションが必要なアイテムのリストを表示できます。

- サービスの場所がない倉庫 (Stockroom missing service locations):どのサービスの場所にも関連付けられていない倉庫のリスト。サービスの場所へのサポート提供から除外されている倉庫は、リストに表示されません。
- 流通チャネルがない倉庫:どの流通チャネルにも関連付けられていない倉庫のリスト。流通チャネルから除外されている倉庫は、リストに表示されません。
- 古い納品: 統合配送業者からの追跡情報で更新されなかった納品のリスト。
- 出荷データの不一致:配送業者ステータスが配送済みで、ステージが輸送中である出荷レコードのリスト。
- 配送業者統合失敗:3 回連続で接続に失敗した統合プロファイルのリスト。
- マッピングされていない配送業者プロファイル:配送業者に関連付けられていない統合プロファイルのリスト。

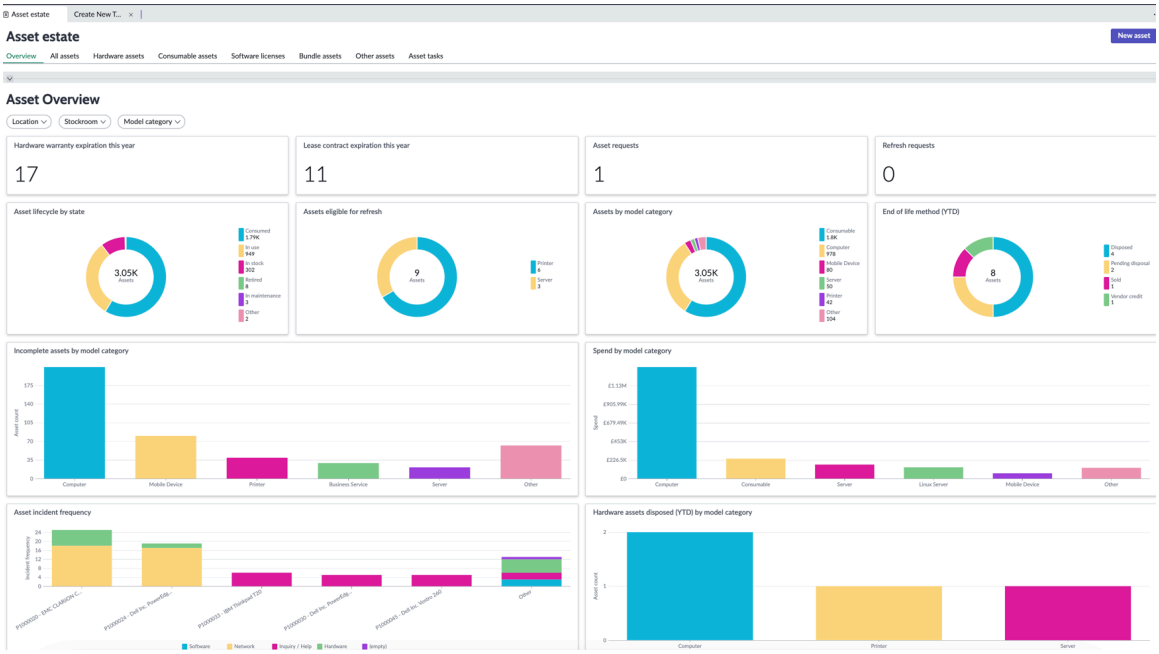
資産一覧ビュー

ハードウェア資産ワークスペースの資産一覧ビューを使用して、期限切れ間近の資産、期限切れ間近のリース契約などの資産機能と通知を表示し、適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビュー



注: [ソフトウェアライセンス] タブは、 ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブなときは非表示になります。この [ソフトウェア ライセンス] タブは ソフトウェア資産ワークスペース で表示できます。

資産の概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアと消耗品資産の数。
今年のリース契約有効期限	今年期限切れになるリース契約モデルの数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。
更新要求	更新待ちの資産の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクル状況別にグループ化された資産の数。
更新対象となる資産	提供終了が近づいており、更新の対象となる資産。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
提供終了方法 (年初来)	今年度までの現在までに廃止された資産。
不完全資産 (モデルカテゴリ別)	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル。
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産コスト。
資産インシデントの頻度	頻繁にインシデントが報告されている資産です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	**Description** (説明)
モデルカテゴリ別の廃棄されたハードウェア資産 (年初来)	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。

ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設の資産を作成するには、[新しい資産] を選択します。詳細については、「割り当て済み資産を作成する」を参照してください。

資産一覧ビューでレポートをロード

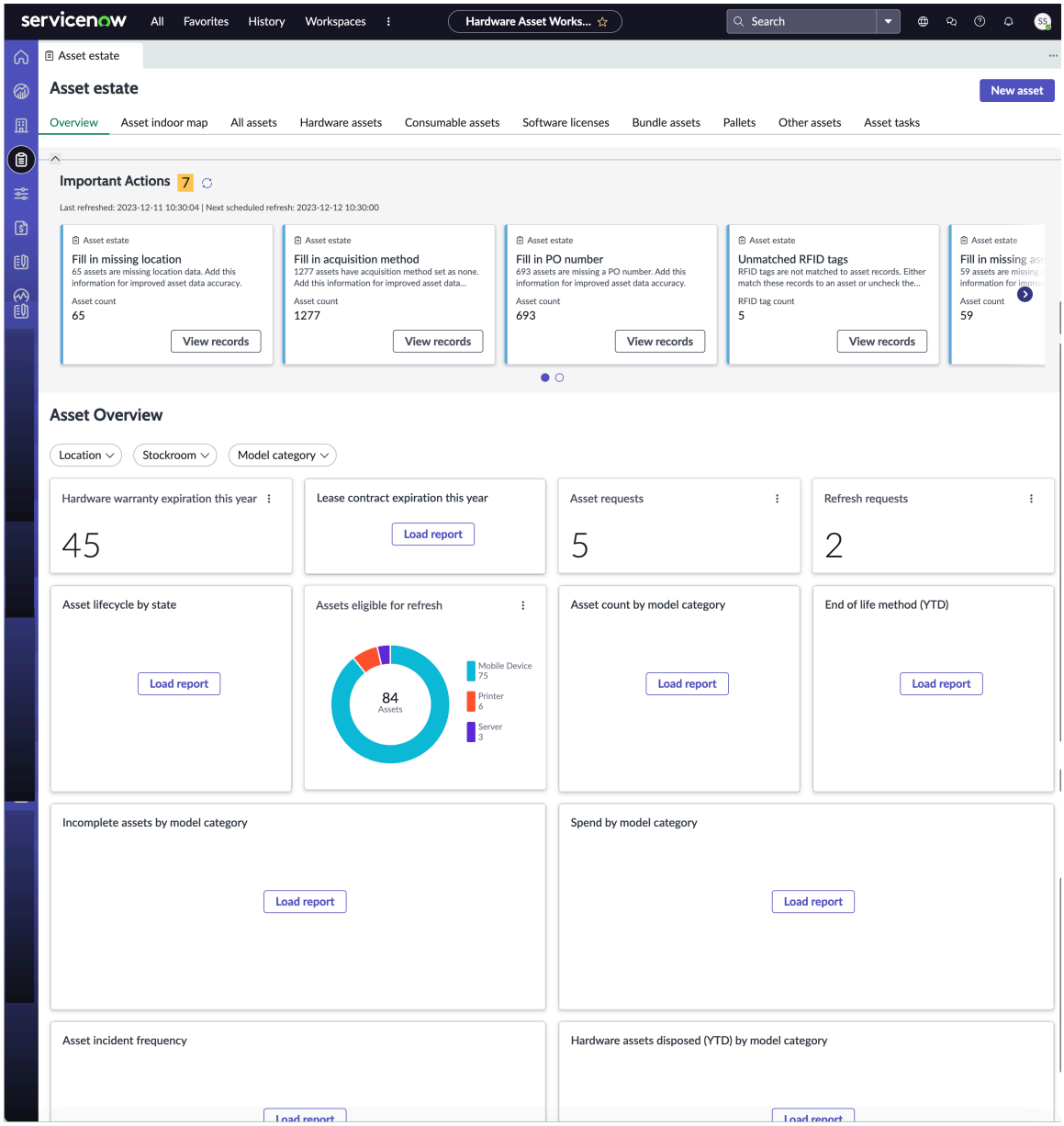
膨大な量の資産レコードをページと一緒にロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。このアプローチにより、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートのロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビューでレポートをロード



モデル管理ビュー

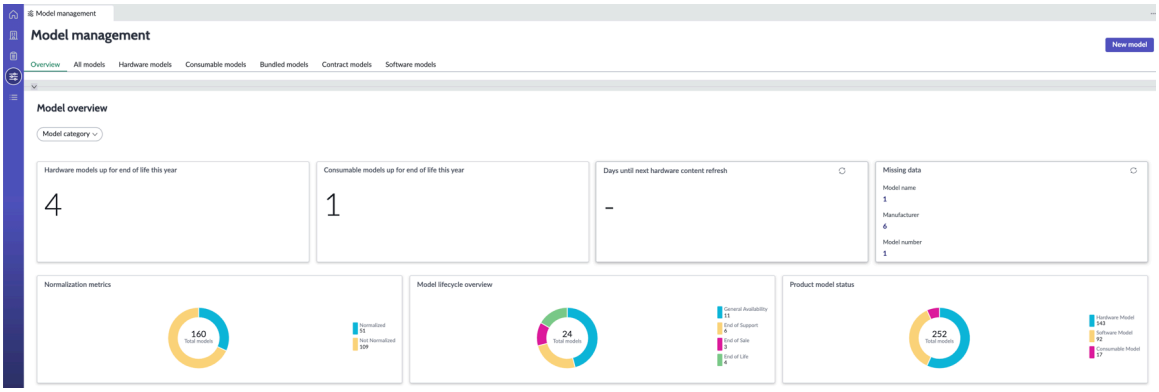
ハードウェア資産ワークスペースの [モデル管理] ビューを使用して、モデルを作成または編集し、寿命が近づいているハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連の機能を表示し、適切なアクションを実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル管理ビュー

[モデル管理] ビューの [次のハードウェアコンテンツ更新までの日数] を除くすべてのレポートは、選択したモデルカテゴリに基づいてフィルタリングされます。



注: [ソフトウェアモデル] タブは、 ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) または ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブなときは非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

モデルの概要

ウィジェットまたは チャート	Description (説明)
今年提供終了が迫っているハードウェアモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるハードウェアモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
次のハードウェアコンテンツ更新までの日数	次のハードウェアコンテンツの更新が ハードウェア資産管理によって実行されるまでの日数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
正規化メトリクス	正規化されたモデルと正規化されなかったモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理

IT Asset Management コンテンツルックアップポータルでは、直感的なユーザーインターフェイスを介して、ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを可視化できます。

ハードウェア資産管理 Professional (sn_hamp) をインストールすると、コンテンツ検索ポータルで次の操作を実行できます。

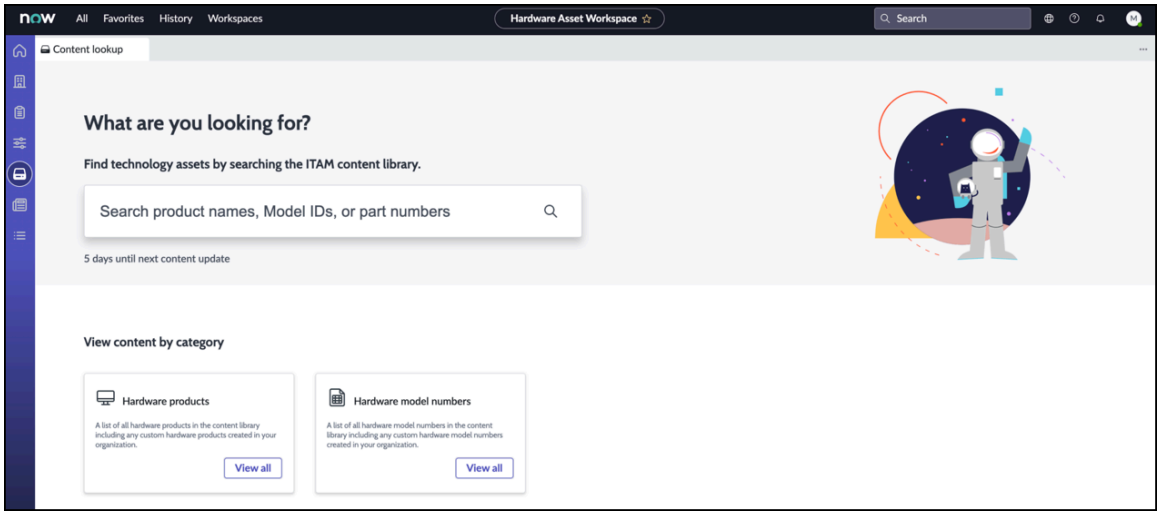
- ハードウェア製品またはモデル番号を検索する
- コンテンツサービスでハードウェア製品とモデル番号のリスト全体を表示する
- 次のコンテンツ更新までの累積残り日数を表示する

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツルックアップのインストールの詳細については、 インストール ハードウェア資産管理データを表示するためのコンテンツルックアップ。

のコンテンツルックアップポータル ハードウェア資産管理



検索バーに条件を入力すると、検索結果が一覧表示され、最も関連性の高い一致が一番上に表示されます。ページの左側にあるフィルターは、結果をさらに絞り込むのに役立ちます。

検索条件に基づいて、コンテンツサービスの情報が次のテーブルから取得されます。

- ハードウェア製品 [sn_hamp_hw_product]
- ハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_hw_product_model]

条件に一致する検索結果を選択すると、コンテンツレコードと関連リストの詳細が表示されます。コンテンツレコードページが読み取り専用モードで開きます。

インストール ハードウェア資産管理 データを表示するためのコンテンツルックアップ

IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションをインストールして、ハードウェア資産管理コンテンツサービスに保存されているデータを表示します。

始める前に

- ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) をインストールします。
- AI 検索 (com.glide.ais) プラグインをアクティブ化します。

必要なロール：asset

このタスクについて

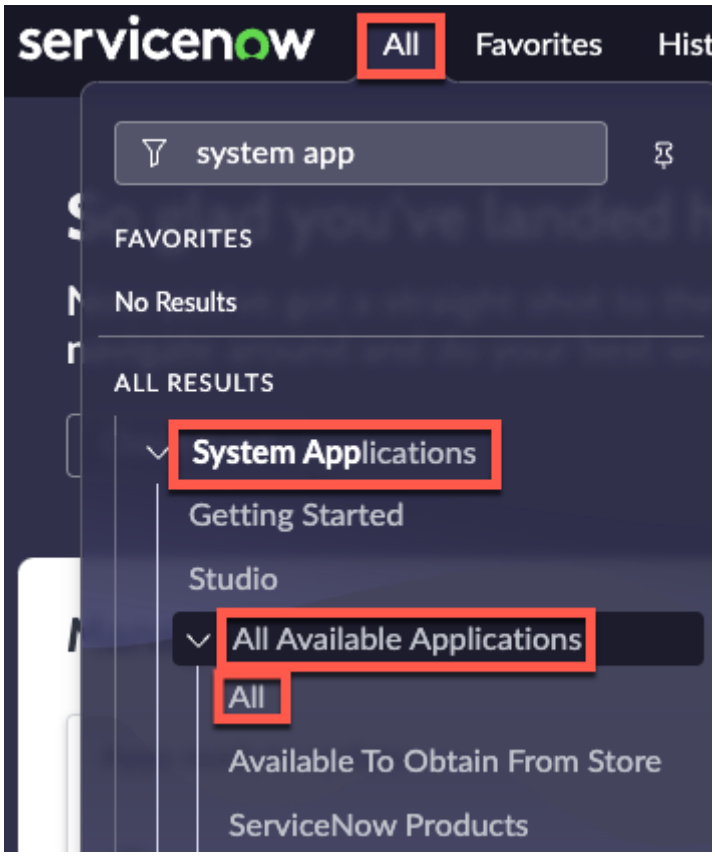
ソフトウェア資産管理プロ (com.sn_samp_master) プラグインがインストールされている場合は、ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスに保存されているデータを表示できます。Software Asset Management Professional (com.sn_samp_master) プラグインと ハードウェア資産管理 Professional (com.sn_hamp) プラグインの両方がインストールされている場合は、 IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションで両方のコンテンツデータを表示できます。ソフトウェアやハードウェアなどのコンテンツタイプに基づいて検索結果をフィルタリングすることもできます。ソフトウェア資産管理 のコンテンツ検索ポータルのインストールの詳細については、「ソフトウェア資産管理のコンテンツ検索ポータルのインストール」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準、検索バー、および製品タブを使用して、 IT Asset Management コンテンツルックアップアプリケーションを検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store から要求します。

   ServiceNow Store Web サイトにアクセスして利用可能なすべてのアプリを表示し、ストアにリクエストを送信する方法について確認してください。リリースされたすべてのアプリのリリースノート情報については、「ServiceNow Storeバージョン履歴のリリースノート」を参照してください。

3. アプリケーションのインストールダイアログボックスで、アプリケーションの依存関係を確認します。
4. [インストール] を選択します。

調達ビュー

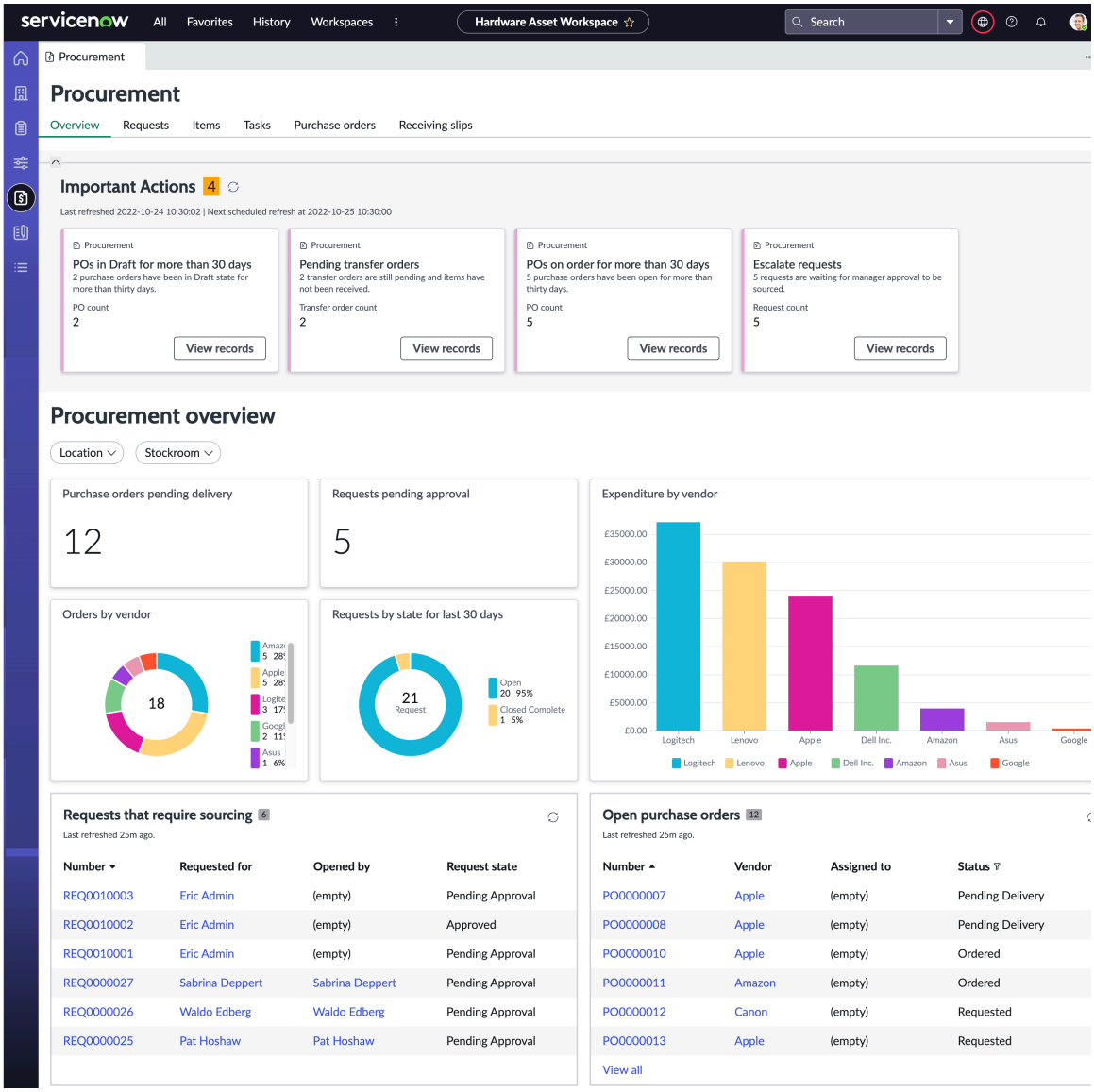
ハードウェア資産ワークスペースの調達ビューを使用して、調達要求、発注書、調達タスク、受領伝票などの調達関連の詳細を表示および管理します。

調達ビューでは、未処理の要求、保留中の発注書と転送注文、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達ビュー



ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。また、場所、ストックルーム、ドメインのフィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注: ドメインフィルターは、ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインとドメインセパレーション (プラグインcom.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にした場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求の状態が承認待ちである、調達可能でアクティブな要求の数。
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
ベンダー別の注文	注文済み、保留中の配送、またはベンダーが受領済みの発注書。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された要求が状態別にグループ化されます。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書	要求済み、注文済み、または未配送の発注書のリスト。

関連情報

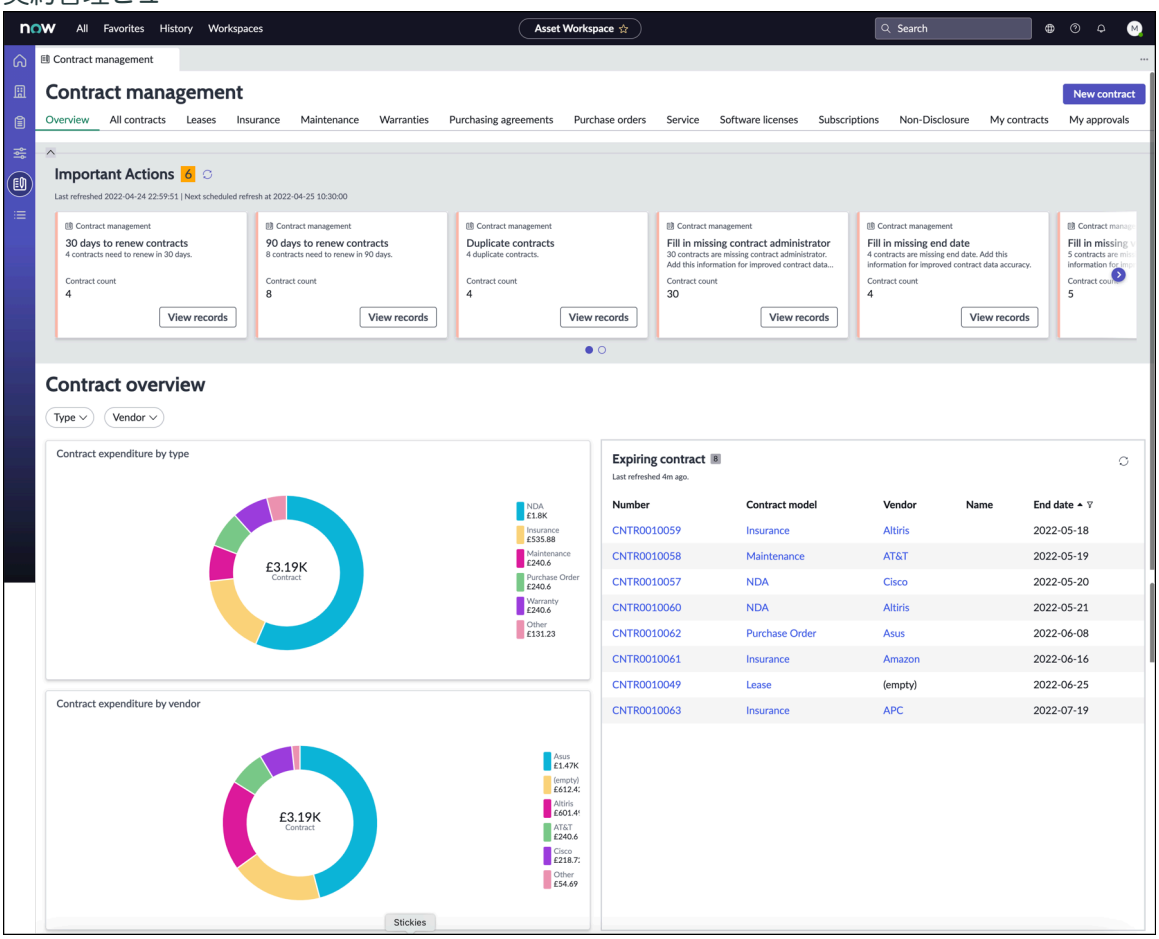
Procurement

契約管理ビュー

ハードウェア資産ワークスペースの [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件ステートメントなどの契約の詳細を表示および管理します。

[契約管理] ビューには、契約、タイプおよびベンダー別の契約支出、および期限切れが間近の契約のリストを管理するための重要なアクションが含まれています。

契約管理ビュー



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約を作成するには、 新しい契約 を選択します。詳細については、「契約を作成する」を参照してください。

関連情報

Contract Management (契約管理)

契約更改ワークフロー

の成功ポータルビュー ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペース の成功ポータルビューを使用して、成功目標を掲げた ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションの進捗状況を追跡し、目標の成功を追跡するアクティビティをアサインし、事前定義された成熟度アイテムで HAM プログラムを成熟させます。

成功ポータルは、次のアクションの実行に役立ちます。

- 成功目標を通じて **HAM** アプリケーションの進捗状況を追跡する

  成功目標は、ハードウェア資産から得られる価値を分析し、予測される節減額を計算するのに役立ちます。追跡する資産の成功目標を作成します。成功目標の作成の詳細については、「 Hardware Asset Management の成功目標の作成」を参照してください。

- 成功目標の進捗状況を追跡

  目標の成功アクティビティを作成して、目標の成功を追跡します。詳細については、「HAM 成功目標のための成功アクティビティの作成」を参照してください。

- 事前定義された成熟度アイテムで **HAM** プログラムを成熟させる

  プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、および実行の各ステージに分類され、組織内での HAM アプリケーションの価値リターンを向上させるのに役立ちます。これらの成熟度アイテムを成功目標にリンクし、HAM アプリケーションを効率的に使用できます。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。

  重要: HAM 成熟度プログラムは、 ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で利用できます。

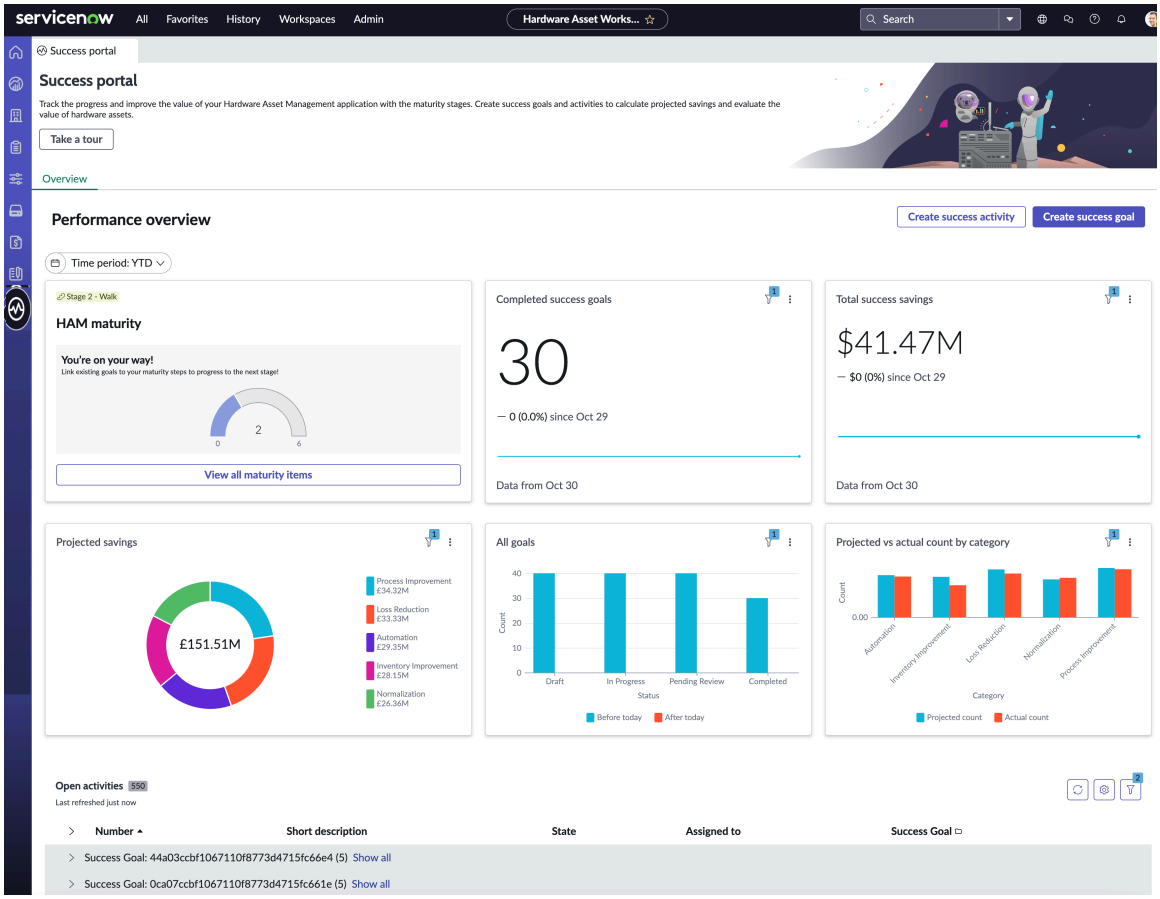
次の条件が満たされると、メール通知が送信されます。

- 成功目標がそのグループにアサインされたとき。
- オーナーに対して、成功目標がそのオーナーにアサインされたとき。
- オーナーに対して、成功目標が「レビュー待ち」としてマークされている場合。
- 成功アクティビティがアサインされたときに、アサインされたユーザーまたはアサイン先グループへ。

成功ポータルにアクセスするには、次の場所に移動します。 ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.

サクセスポータルは、パフォーマンスアナリティクス - ドメインサポートプラグイン (com.snc.pa.domain_support) が有効になっている場合にドメインセパレーションをサポートします。ドメイン別にデータをフィルタリングするには、ダッシュボードの上部でドメインを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



結果を絞り込むには、期間でフィルタリングします。

サクセスポータルダッシュボード

ウィジェット	Description (説明)
HAM 成熟度	クロール、ウォーク、ランステージなど、HAM プログラムの成熟度の現在のステージ。 [すべての成熟度アイテムを表示] を選択して、各ステージの成熟度アイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。
完了した成功目標	完了した成功目標の合計数。
達成した合計削減額	完了した成功目標からの節減実績。
予測された節減額	成功目標から予想される節減額は、目標のステータスとカテゴリ別にグループ化されます。
すべての目標	次のいずれかのステータスを持つ成功目標の完全なリスト: • ドラフト • 進行中 • レビュー待ち

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サクセスポータルダッシュボード (続く)

ウィジェット	Description (説明)
カテゴリ別の予測数と実際の数	予測された成功目標と実際の成功目標の比較は、ステータスが [ドラフト]、[処理中]、または [レビュー待ち] としてカウントされます。
未解決アクティビティ (Open activities)	成功目標アクティビティを開きます。

重要: **[HAM** 成熟度]、[達成した節減額の合計]、[予測された節減額]、および [すべての目標] フィールドは、ハードウェア資産管理 10.0.0 バージョン以降で使用できます。

資産運用ビュー

ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューを使用して、在庫ルール、在庫注文、調達調達要求、すべての契約更改要求、契約更改品目、カスタム製品、カスタムモデルなどの資産運用関連の機能を表示し、適切なアクションを実行します。

[資産運用] ビューには、次のリストが含まれています。

- Inventory (インベントリ)
  - ストックルームタイプ:ストックルームのタイプを表示します。詳細については、「新規のストックルーム タイプを作成する」を参照してください。
  - 在庫ルール:倉庫に関連付けられている在庫ルールを表示します。詳細については、「在庫ルールを作成する」を参照してください。
  - 在庫注文:在庫に関連付けられた在庫注文を表示します。
- 出荷
  - 出荷:さまざまなソースまたはフローからの出荷を表示および追跡します。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。
  - 出荷資産:出荷に含まれる資産のリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。
  - 配送業者:配送業者のリストを作成および表示します。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。
  - 配送業者統合プロファイル:配送業者に関連付けられている配送業者統合プロファイルのリストを表示します。詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。
- 調達要求:調達要求を表示および追跡します。詳細については、「サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。
- ハードウェア資産正規化
  - カスタム製品: 資産管理 Content Service に表示されていないカスタム製品の詳細を表示します。詳細については、「カスタム製品を追加」を参照してください。
  - カスタムモデル:カスタムモデルの詳細を表示します。詳細については、「ハードウェアまたは消耗品モデルを作成する」を参照してください。
  - 計算済みライフサイクルテンプレート:ハードウェアおよび消耗品モデルに適用できるライフサイクルテンプレートと計算式を表示および作成します。詳細については、「ハードウェアまたは消耗品モデルを作成する」を参照してください。
- 契約更新
  - すべての契約更改要求:すべての契約更改要求の詳細を表示します。
  - 契約更新品目:契約更新要求に関連付けられているすべての品目の詳細を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

詳細については、「契約更改ワークフロー」を参照してください。

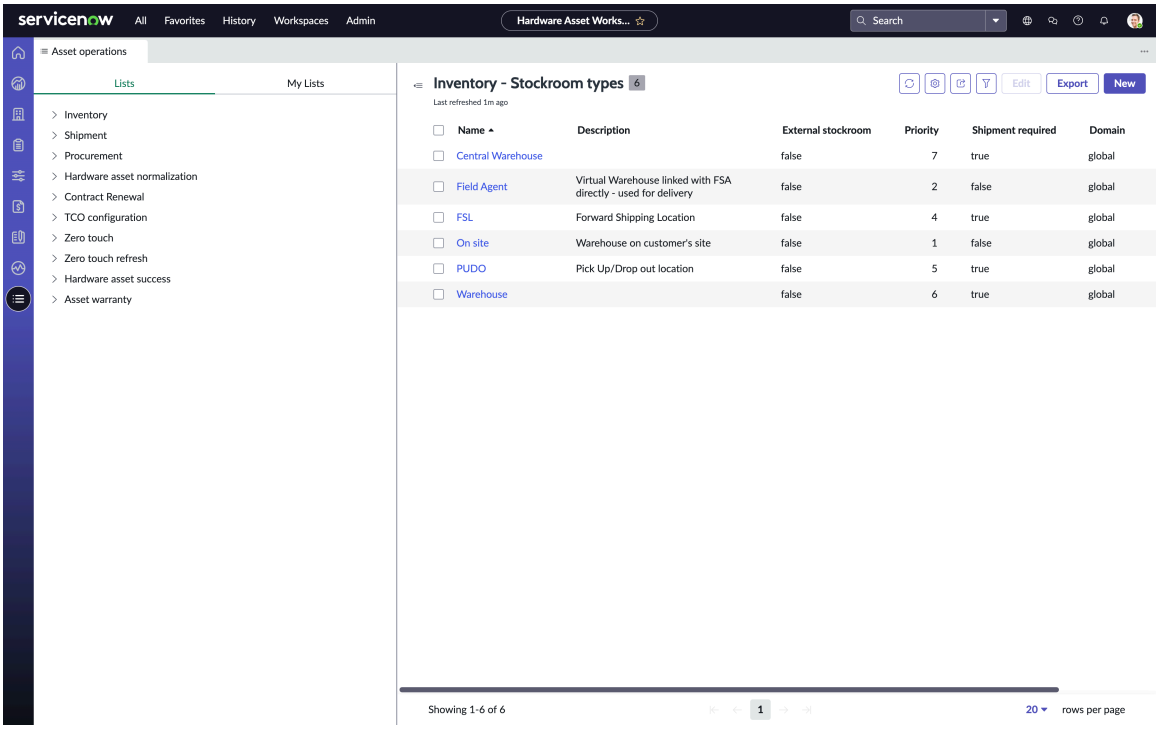
- TCO 構成
  - タスクレードカード:タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義し、作成されたタスクレードカードの詳細を表示します。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
  - 賃金レードカード:タスクの作業時間を記録し、レートをタスクに関連付けて、作成された賃金レートカードの詳細を表示します。詳細については、「での賃金レートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
- ゼロタッチ
  - 資産要求:ゼロタッチ要求フローを介して送信された従業員のハードウェア資産要求のリストを表示します。詳細については、「ゼロタッチ要求フローを使用してハードウェア資産要求を管理する」を参照してください。
  - プロバイダー統合プロファイル:プロバイダー統合プロファイルを作成して、プロバイダーからのスクラッチパッドの更新をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換します。詳細については、「プロバイダー統合プロファイルの作成」を参照してください。
- ゼロタッチでリフレッシュ
  - 要求:従業員のゼロタッチリフレッシュ要求のリストを表示します。詳細については、「ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理する」を参照してください。
  - リフレッシュモデル:構成された置換モデルを使用してリフレッシュモデルのリストを作成して表示します。詳細については、「リフレッシュモデルの置換モデルの構成」を参照してください。
- ハードウェア資産成功
  - 成功目標:成功目標を作成し、ハードウェア資産管理の作成された成功目標のリストを表示します。詳細については、「Hardware Asset Management の成功目標の作成」を参照してください。
  - 成功アクティビティ:ハードウェア資産管理の成功アクティビティを作成し、作成された成功アクティビティのリストを表示します。詳細については、「HAM 成功目標のための成功アクティビティの作成」を参照してください。
  - 成功カテゴリ:成功目標のカテゴリを作成し、カテゴリのリストを表示します。詳細については、「ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成」を参照してください。
  - ハードウェアの成熟度:ハードウェア資産の成功を促進するのに役立つアイテムを表示します。詳細については、「のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理」を参照してください。

[自分のリスト] タブからカスタムリストビューを作成し、簡単にアクセスすることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産運用



関連情報

- インベントリビュー
- 要求アイテムソース
- ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 のモバイル版アプリ

ServiceNow Mobile アプリおよび ServiceNow Agent アプリを使用して資産を管理します。

ServiceNow エージェントアプリ

ServiceNow エージェントアプリを使用して、資産の作成、資産の検索、および発注書からの資産の受領を行います。

資産の作成

ServiceNow エージェントアプリを使用して、資産をスキャンして資産レコードを作成します。

始める前に
ServiceNow エージェント アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

必要なロール：asset

ServiceNow エージェント アプリで調達機能を取得するには、調達 プラグイン (com.snc.procurement) をインストールする必要があります。

自動翻訳

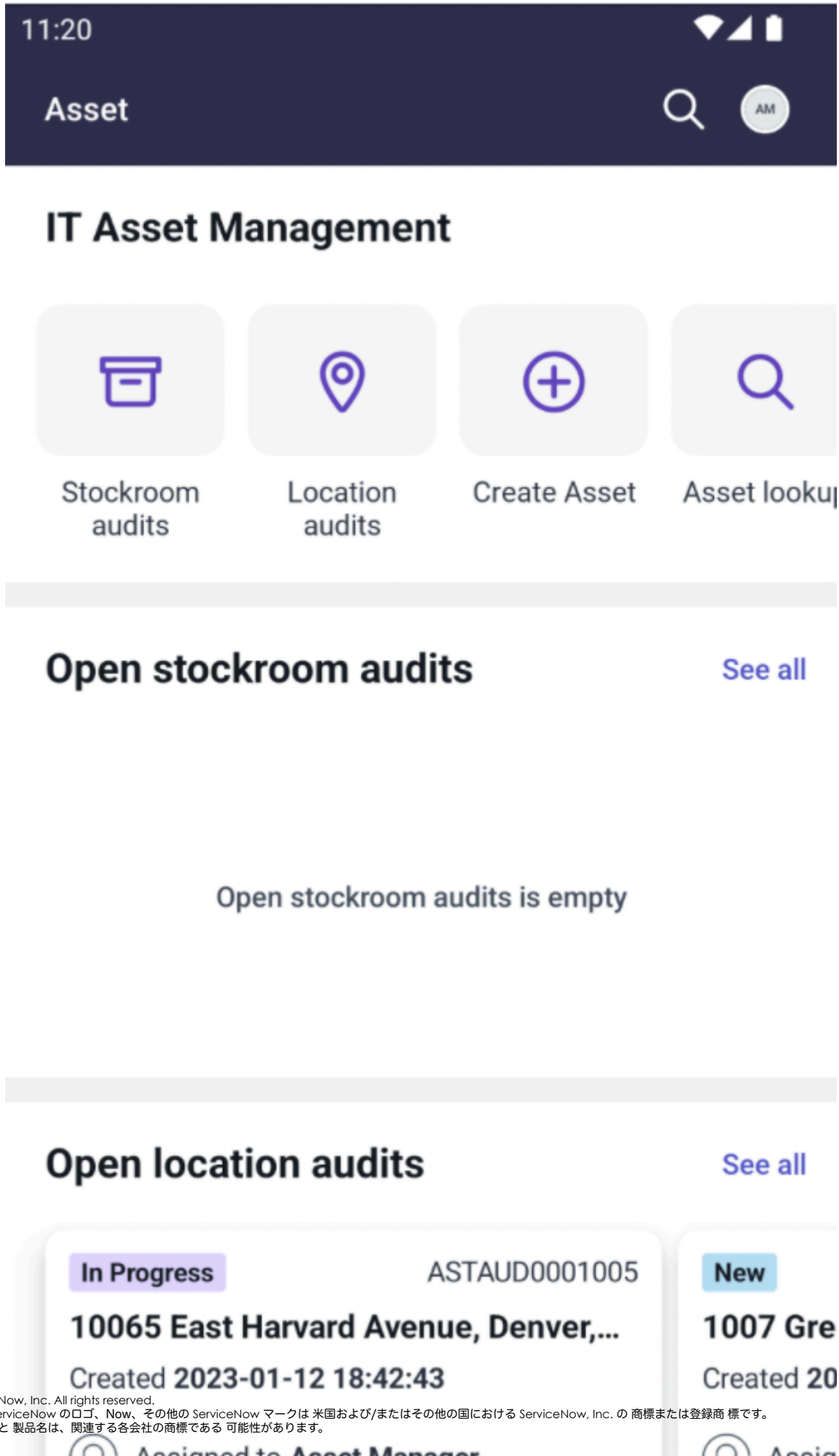
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [資産] に移動し、[資産を作成] をタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. 資産のシリアル番号または資産タグをスキャンし、[検索] をタップします。
   資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。この情報は、資産レコードが重複して作成されないようにするためです。
3. オプション: 既存の資産を更新するには、資産を選択して [資産を更新] をタップします。
4. 既存の資産レコードが見つからない場合は、右上のアクションアイコンをタップし、[資産を作成] を選択します。
5. [資産管理番号]、[シリアル番号]、[モデル] (ソフトウェア以外)、[倉庫]、[ステータス]、[サブステート] フィールドの値をスキャンまたは入力します。
6. [送信] をタップして資産を作成します。

資産ルックアップ

資産をスキャンして、ServiceNow インスタンス内の資産レコードを検索します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. [資産] に移動し、[資産ルックアップ] をタップします。
2. 資産管理番号をスキャンし、[検索] をタップします。
3. 資産が ServiceNow インスタンスに存在する場合、資産レコードが表示されます。
   既存の資産を選択して更新するか、それに関連するインシデントを作成することができます。

発注書からの資産の受領

注文からすべての資産を受領したことを確認するために、発注書 (PO) から資産をスキャンします。

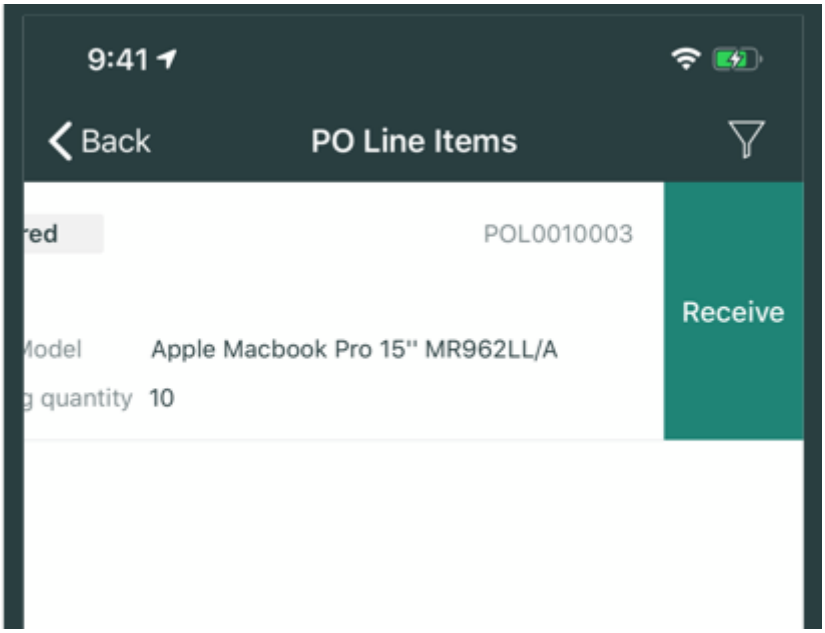
始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [調達] に移動し、[次の **30** 日間の **PO**] をタップします。
2. 発注書を選択します。
3. [関連リスト] をタップします。
4. 注文した [**PO** 明細] 資産をタップし、[受領] をスワイプして資産を受け取ります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



5. 単一の購入品のみを受領するだけでよい場合、[受領] フォームで資産タグまたはシリアル番号のいずれかの QR コードをスキャンします。
6. 複数の購入品を受領する必要がある場合、すべての購入品をスキャンするまで、[受領] フォームで [次のアイテムをスキャン] をタップします。
7. [送信] をタップします。

タスクの結果
発注書 (PO) が受領済みとしてマークされます。

資産を検証し、処分のために切り離す

ServiceNow エージェント アプリを使用して、資産をスキャン、検証し、廃棄するために切り離します。

始める前に
ServiceNow エージェント アプリを使用して資産を検証するには、ハードウェア資産管理インスタンスに廃棄注文が存在することを確認します。

必要なロール：asset

このタスクについて
資産の廃棄注文が開始された後、 ServiceNow エージェント アプリを使用して資産をスキャン、検証、切り離します。資産を手動で検証して切り離す必要はありません。

このアプリでは、オフラインのときも同じ機能を使用できます。詳細については、「オフラインモード」を参照してください。

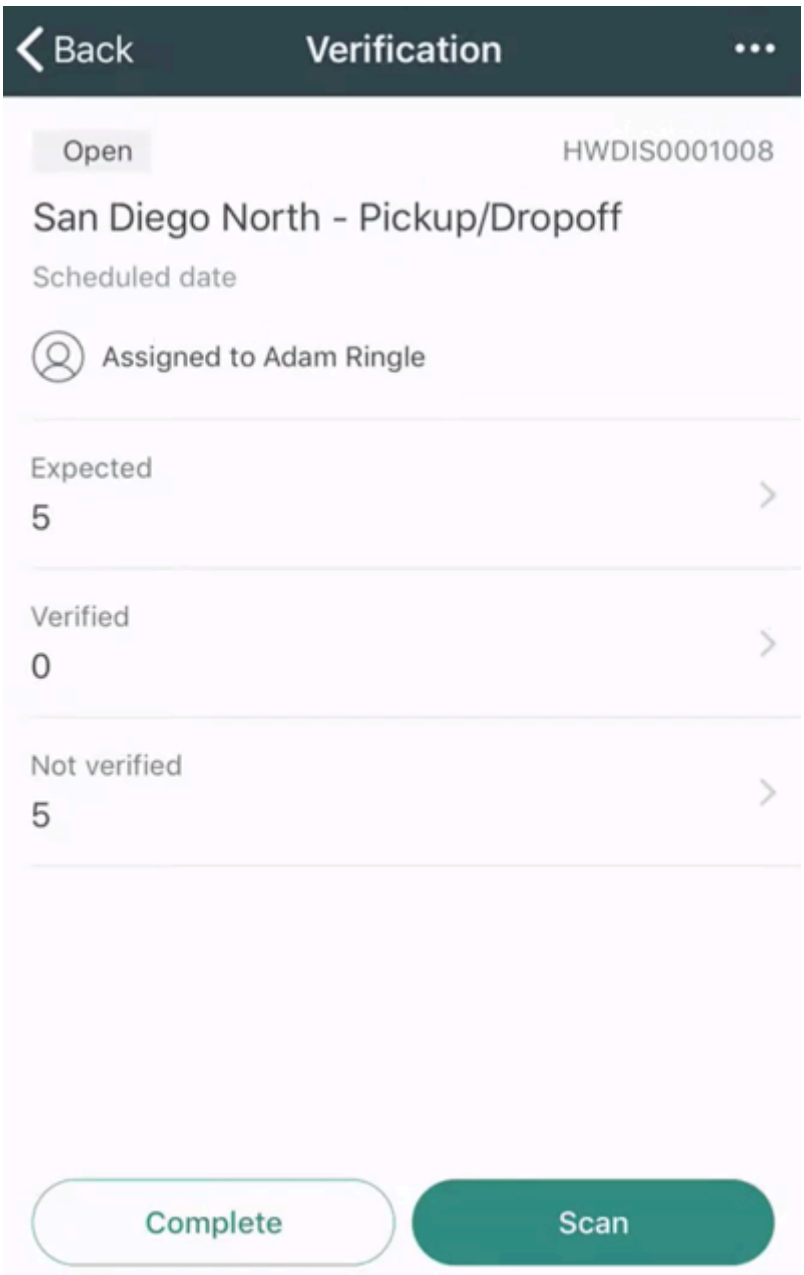
手順
1. 移動先 すべて > 資産 > 資産廃棄.
   [検証] タブには検証タスクのリストが表示され、[出発] タブには出発タスクのリストが表示されます。これらのタスクは、廃棄のために特定の資産の場所に存在する資産を対象としています。
2. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして検証します。
   - 検証タスクを左にスワイプします。
   - 検証タスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

複数の資産をまとめてスキャンできます。検証タスクを開くと、検証済みの資産、未検証の資産、または検証が予定されている資産の数が検証タスクに表示されます。[予定]、[検証済み]、または [未検証] をクリックして、それぞれのタイプの資産を表示します。

以下は、期待される資産、検証済みの資産、未検証の資産を表示する [検証] タブの例です。



3. 蛇口 レビュー > 送信.
   ポップアップメッセージが表示され、スキャンされた資産の検証が成功したことが示されます。検証済み資産と未検証資産のリストが更新されます。
4. すべてのアセットをスキャンしたら、[完了]をタップして確認タスクを閉じます。
   スキャン対象のアセットがまだ残っている場合に [完了] をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。
5. ハードウェア資産管理インスタンスを使用して、ベンダーの詳細とスケジュールされた日付を入力します。
   「廃棄注文を作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ベンダーの詳細を入力し、ハードウェア資産管理インスタンスから [集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、[切り離し] タブに処理する切り離しタスクのリストが表示されます。

6. 次のいずれかの方法で資産をスキャンして切り離します。
   - 出発タスクを左にスワイプします。
   - 出発タスクをタップして開き、[スキャン] をタップします。

   複数の資産をまとめてスキャンできます。切り離しタスクを開くと、切り離しタスクには、切り離された資産、切り離されていない資産、または切り離される予定の資産の数が表示されます。[予定]、[切り離し済み]、または [切り離されていません] をクリックして、それぞれのタイプの資産を表示します。
7. 蛇口 レビュー > 送信.
   ポップアップウィンドウが表示され、スキャンされた資産が正常に終了したことが示されます。切り離された資産と切り離されていない資産のリストが更新されます。
8. すべての資産をスキャンしたら、[完了] をタップして切り離しタスクを閉じます。
   スキャン対象のアセットがまだ残っている場合に [完了] をクリックすると、タスクをクローズするかどうかを確認するポップアップウィンドウが表示されます。[完了] をタップすると、タスクはクローズされます。

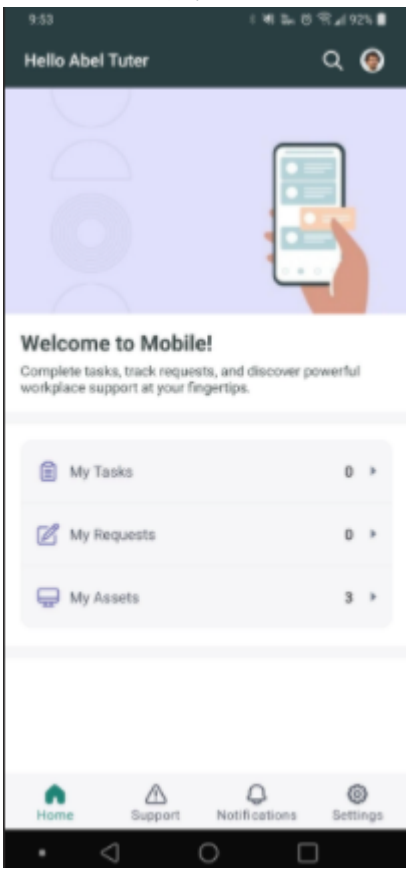
Now Mobile アプリ

Now Mobile アプリを使用して、自分にアサインされた資産の表示、資産に関する問題の報告、新しい資産のリモートでの受け取りが可能です。インシデントを作成し、資産に関する問題を IT 部門に報告します。

Now Mobile アプリを Apple アプリストアや Google Play ストアからダウンロードします。

Now Mobile アプリは、タスクと要求に対してさまざまなサービスを提供します。

Now Mobile アプリ



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自分にアサインされているすべての資産を表示するには、[自分のアイテム] > [自分の資産] > [ハードウェア]に移動します。このタブには、[ステータス (State)] フィールドが [輸送中] または [使用中] に設定され、[サブステータス (Sub-state)] が [予約済み] に設定され、[予約先 (Reserved to)] フィールドが自分の名前に設定されている資産が表示されます。使用中の資産のインシデントを作成できます。

社外にいるときに、輸送中の資産をリモートで受け取ることができます。資産を受領したことを IT 部門に自動的に通知できるように、資産タグの QR コードをスキャンします。

Asset Management 担当役員ダッシュボード

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、ハードウェア資産管理、ソフトウェア資産管理、クラウドインサイトアプリケーションの重要な KPI を単一のダッシュボードで可視化できます。

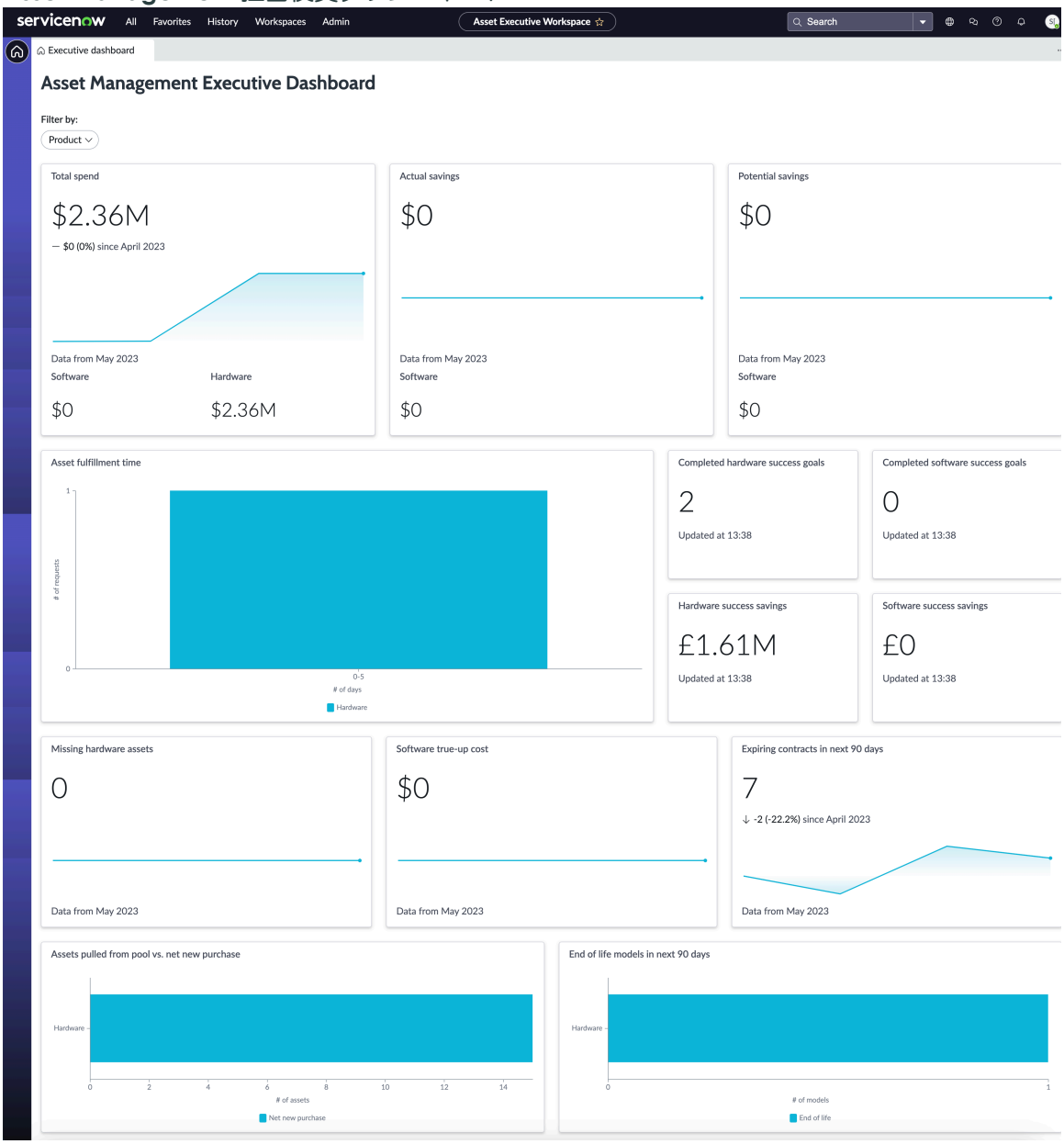
資産管理 エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNow インスタンスにソフトウェア資産管理またはハードウェア資産管理が必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、 資産担当役員ワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン別、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルタはすべてのウィジェットに適用されます。製品別にフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、いずれかの番号が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

注: ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer と com.snc.pa.domain_support をアクティブ化する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スケジュールジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table* は毎日実行され、ダッシュボード上のデータが更新されます。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、または [輸送中] であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:消費量レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間削減額の合計。この値は、クローズ済みの完了再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了のクラウドインサイトのサイズ適正化に関する自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	クラウドのサイズの適正化、クラウドの使用されていないマシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次の節減見込みの合計。 **注:** このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
			• クラウドインサイトのサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェア成功目標が完了しました	適用外	ハードウェア資産管理アプリケーション	適用外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
		で完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェアの成功削減	適用外	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
不足しているハードウェア資産	適用外	紛失、紛失、または盗難されたハードウェア資産の数。 ソーステーブル:不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外	適用外
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理 アプリケーションと ハードウェア資産管理 アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。 注: インスタンスに ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 の両方が存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	適用外
プールから取得された資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するソフトウェア資産の要求数を表す棒グラフ。	インベントリから履行されるハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。	インベントリから使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
	注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、インスタンスで調達 (com.snc.procurement) プラグインが有効になっていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	• プール資産:消費量レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了を迎えるソフトウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]。	今後 90 日以内に提供終了を迎えるハードウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外

持続可能な IT ダッシュボード

持続可能な ITダッシュボードは、IT 資産の環境への影響を追跡するのに役立ち、組織のハードウェア資産の持続可能性への影響を簡単に測定するためのさまざまな情報を表示します。

持続可能な ITダッシュボードを表示するには、持続可能な IT プラグイン (sn_esg_sustain) をインストールする必要があります。持続可能な IT プラグインのアクティブ化の詳細については、「 持続可能な IT プラグインのアクティブ化 」を参照してください。

ハードウェア資産の 持続可能な IT ダッシュボードデータの詳細については、「 持続可能な IT ダッシュボード 」を参照してください。

ハードウェア資産管理 の分析およびレポート作成ソリューション

この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション には事前構成済みのダッシュボードが含まれます。これらのダッシュボードには、アクション可能なデータ表示方法が豊富に用意されており、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Performance Analytics ソリューションのアクティブ化

ダッシュボードの パフォーマンスアナリティクス ウィジェットを使用して、データの経時的な可視化、ビジネス プロセスの分析、改善が必要な箇所の特定を行います。ソリューションを使用すると、最小限のセットアップで パフォーマンスアナリティクス からアプリケーションに関する値を取得できます。

注: ソリューションには、デフォルトでは非アクティブになっているダッシュボードがあります。これらのダッシュボードは、ビジネスニーズに従って、エンドユーザーが確認できるようにアクティブにすることができます。

この パフォーマンスアナリティクスとレポートソリューション のすべての機能に無制限にアクセスするには、パフォーマンスアナリティクス のサブスクリプションを購入します。詳細については、「パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化」を参照してください。

この分析およびレポートソリューションを使用するには、 ハードウェア資産管理 で パフォーマンスアナリティクス を使用する資格が必要です。パフォーマンスアナリティクスエンタイトルメントの詳細については、次を参照してください。パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

このすぐに使えるパフォーマンス分析ソリューションは、 ServiceNow Store から入手できます。このソリューションを有効にするために、アドミンは システムアプリケーション > **ServiceNow Store** を検索.ServiceNow Storeのランディングページが開いたら、 ハードウェア資産管理 を検索します。ソリューションが見つかったら、ストアの指示に従います。ServiceNow Store には、独自のドキュメントが用意されています。

ドメインセパレーションと「別のユーザーとして実行」ユーザー

一部のソリューションでは、システムアドミニストレーターは、プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション のデータコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーです。他のソリューションでは、データコレクションジョブの [別のユーザーとして実行] ユーザーは空白のままです。[別のユーザーとして実行] ユーザーがインスタンスに存在すること、およびこのユーザーが適切なレベルのアクセス権を持っているかどうかを確認してください。不適切な別のユーザーとして実行ユーザーでは、エラーが発生したり、収集されるデータが制限されたりすることがあります。この設定は、ドメインセパレーションが有効になっている場合のみ効果があります。

パフォーマンスアナリティクス のダッシュボード ハードウェア資産管理

重要: コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードにアクセスできるのは、以前のリリースから Xanadu にアップグレードした場合のみです。Xanadu リリース以降、ハードウェア資産管理 の新規ユーザーはコア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードを利用できません。

ハードウェア資産管理で利用可能なパフォーマンスアナリティクスダッシュボードは次のとおりです。

- ハードウェア資産ダッシュボード
- ハードウェア正規化ダッシュボード
- 自分の資産
- 調達の概要
- 資産契約の概要
- 資産の概要

Xanadu リリース以降、コア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードに関する次の点に注意してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 調達の概要および資産契約の概要モジュールのリンクは、 ハードウェア資産ワークスペースにリダイレクトされます。
- 資産の概要ダッシュボードと自分の資産コア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードの次のネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードバージョンを使用できます。
  - アナリティクスの概要:このダッシュボードにアクセスするには、 資産 > アナリティクス概要.
  - 自分の資産アナリティクス:このダッシュボードにアクセスするには、 セルフサービス > 自分の資産のアナリティクス.

注: Xanadu にアップグレードすると、ハードウェア資産管理コア UI パフォーマンスアナリティクスダッシュボードとネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードの両方を表示できます。コア UI パフォーマンスアナリティクス ダッシュボードをネクストエクスペリエンス プラットフォームアナリティクスダッシュボードに移行する際、ダッシュボードの重複を避けるために、自動移行はデフォルトで無効になっています。

関連情報

プラットフォームアナリティクスとレポートソリューション

パフォーマンスアナリティクスサブスクリプションのアクティブ化

ハードウェア資産ダッシュボード

ハードウェア資産ダッシュボードで、資産ライフサイクル全体におけるハードウェアと消耗品のモデルおよび資産の主要なメトリクスを表示します。

ハードウェア資産ダッシュボードにアクセスするには、次の場所に移動します。 資産 > ハードウェア資産ダッシュボード.

ハードウェア資産ダッシュボードのすべてのタブの結果がリアルタイムで更新されます。[ライフサイクルの概要] セクションにデータを表示するレポートのみが、スケジュール済みジョブに基づいて毎日更新されます。グラフを PNG または JPEG 形式で保存して、ローカルで共有または表示できます。

エンドユーザーとロール

エンドユーザーと目標	必要なロール	メリット
資産マネージャーは、資産ライフサイクル全体を通じてデータのパターンを確認する必要があります。	資産	調達ニーズ、インベントリ、提供終了ステータスなど、資産に関する重要なインサイトを提供するレポートを表示します。また、ハードウェアおよび消耗品モデルの正規化ステータスとライフサイクルの概要を表示することもできます。

[資産の健全性] タブ

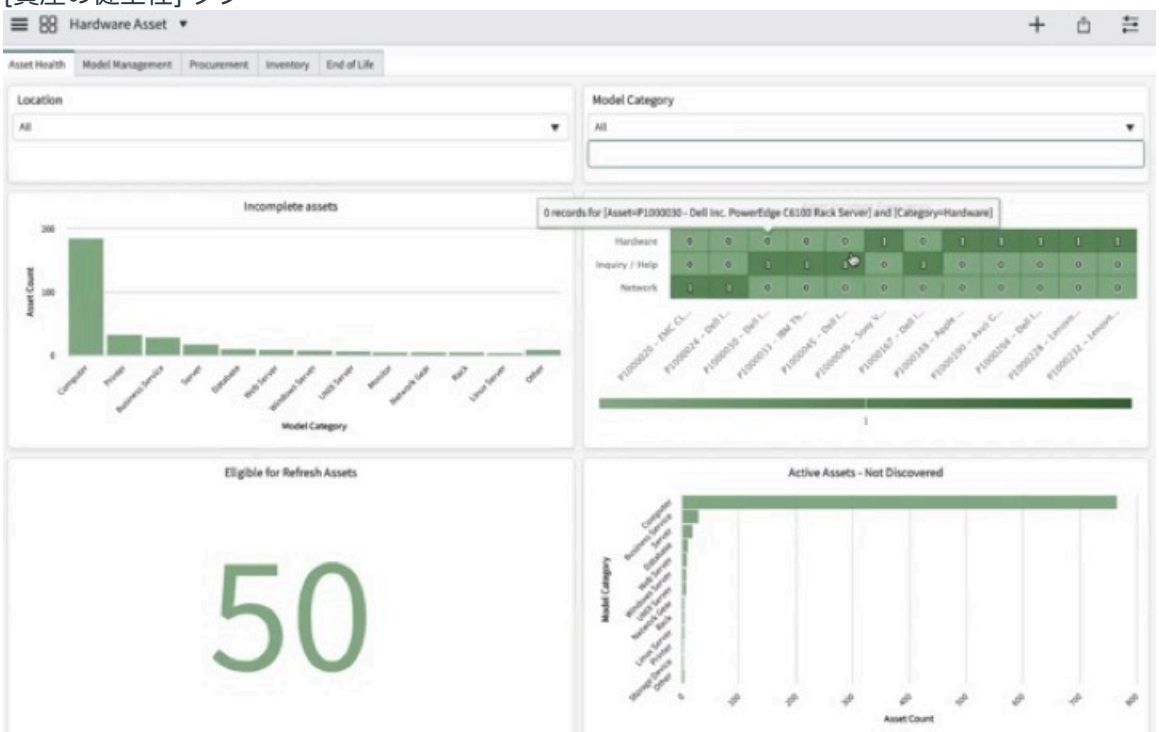
このタブには、購入情報が欠落しているハードウェアおよび消耗品モデル、行方不明から 1 か月以上未発見、廃棄予定、または最も多くのインシデントが報告されているハードウェアおよび消耗品モデルの概要が表示されます。場所とモデルカテゴリのフィルターを使用して、特定の場所とモデルの資産健全性レポートをそれぞれ表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
不完全な資産	資産 [alm_asset]	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル。
リフレッシュ対象資産	ハードウェア [alm_hardware]	提供終了が近づいており、更新対象となっている資産。
Asset incident Frequency	インシデント [incident]	頻繁にインシデントが報告されている資産です。
アクティブな資産：未検出	資産 [alm_asset]	まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産。

[資産の健全性] タブ



[モデル管理] タブ

このタブには、製品寿命が近づいているハードウェアモデルと消耗品モデルの概要が表示されます。また、正規化ステータス、ライフサイクルの概要、およびコンテンツサービスライブラリの情報を表示することもできます。月次、四半期ごと、または年次ベースで提供終了ステータスを表示することで、モデルを効果的に管理できます。

レポート	ソーステーブル	説明
提供終了が迫っているハードウェアモデル	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	ハードウェアモデルの提供終了の開始フェーズ。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: アクティブで、モデルステータスが「生産中」で、ライフサイクルタイプが「パブリッシャー」(Publisher) のハードウェアモデルライフサイクルレコードのみが、「今月」、「今四半期」、または「今年」に表示されます。
正規化ステータス	ハードウェア製品モデル [cmdb_hardware_product_model]	すべてのハードウェアモデルの正規化ステータス。正規化されたハードウェアモデルと正規化されなかったモデルの数を表示します。 さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス ([手動で正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [部分的に正規化済み]) を表示できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス ([新規] および [一致項目は見つかりませんでした]) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	ハードウェアモデルのライフサイクル [cmdb_hardware_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージ (一般提供、サポート終了、延長サポート終了、販売終了) に存在するハードウェアモデルの数。
製品寿命が迫っている消耗品モデル	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	消耗品モデルの提供終了の開始フェーズ。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるハードウェアモデルの数を表示します。 注: 今月、今四半期、または今年には、現在アクティブで、モデルステータスが「生産中」で、ライフサイクルタイプが「パブリッシャー」の消耗品モデルのライフサイクルレコードのみが表示されます。
正規化ステータス	消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	すべての消耗品モデルの正規化ステータス。正規化された消耗品モデルと正規化されなかった

自動翻訳

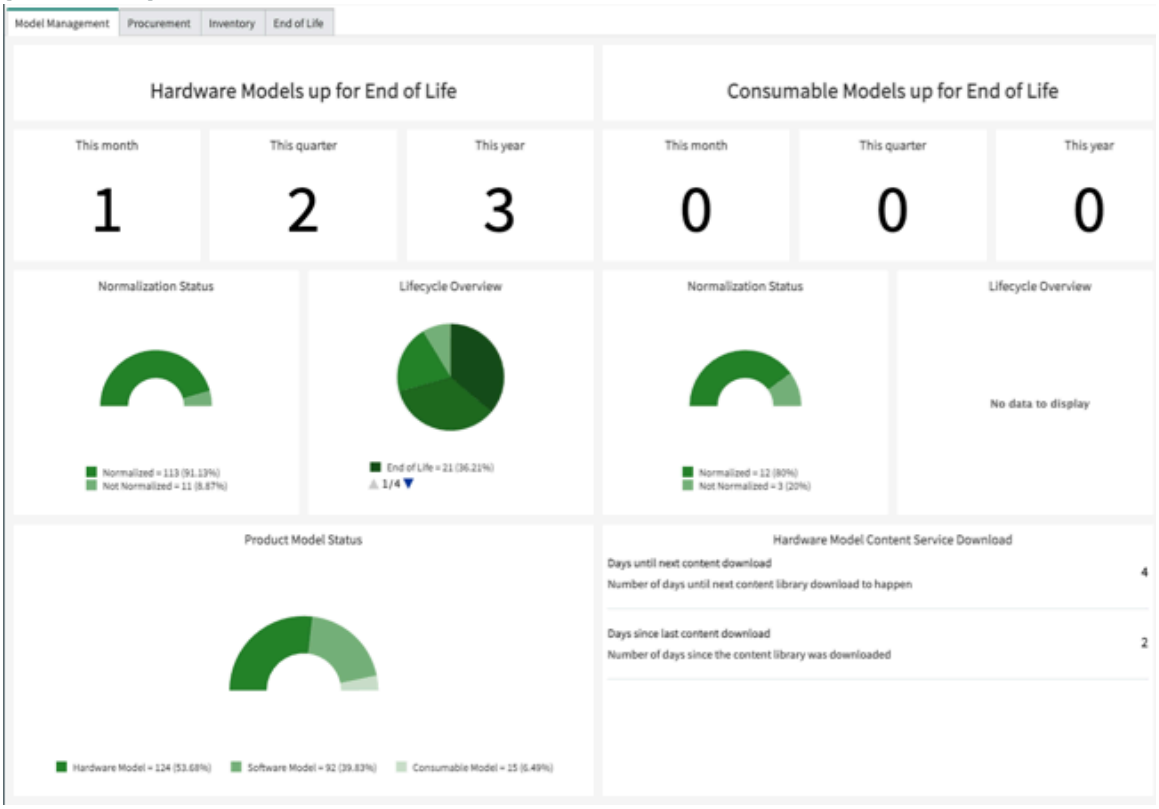
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		消耗品モデルの数を表示できます。 さらにドリルダウンして、正規化されたモデルのステータス ([手動で正規化済み]、[正規化されたメーカー]、または [部分的に正規化済み]) を確認できます。 ドリルダウンして、正規化されていないモデルのステータス ([新規] および [一致項目は見つかりませんでした]) を表示することもできます。
ライフサイクルの概要	消耗品モデルのライフサイクル [cmdb_consumable_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージに存在する消耗品モデル:一般提供、サポート終了、延長サポート終了、販売終了。
製品モデルのステータス	製品モデル [cmdb_ model]	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。モデルをドリルダウンして、そのモデルのステータスを表示します。たとえば、チャート上のハードウェアモデルをクリックすると、すべてのハードウェアモデルのステータス (生産中、廃止、販売済み) が表示されます。
ハードウェアモデルコンテンツサービスのダウンロード	CDS テーブル [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの日数と、次のダウンロードまでの残り日数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[モデル管理] タブ



[調達] タブ

このタブには、世界中で配送待ちのハードウェア資産の発注書が表示されます。また、まだ調達されていない発注書や、ベンダーごとの発注書のコストに関する情報を表示することもできます。このタブでは、場所と年で結果をフィルタリングできます。

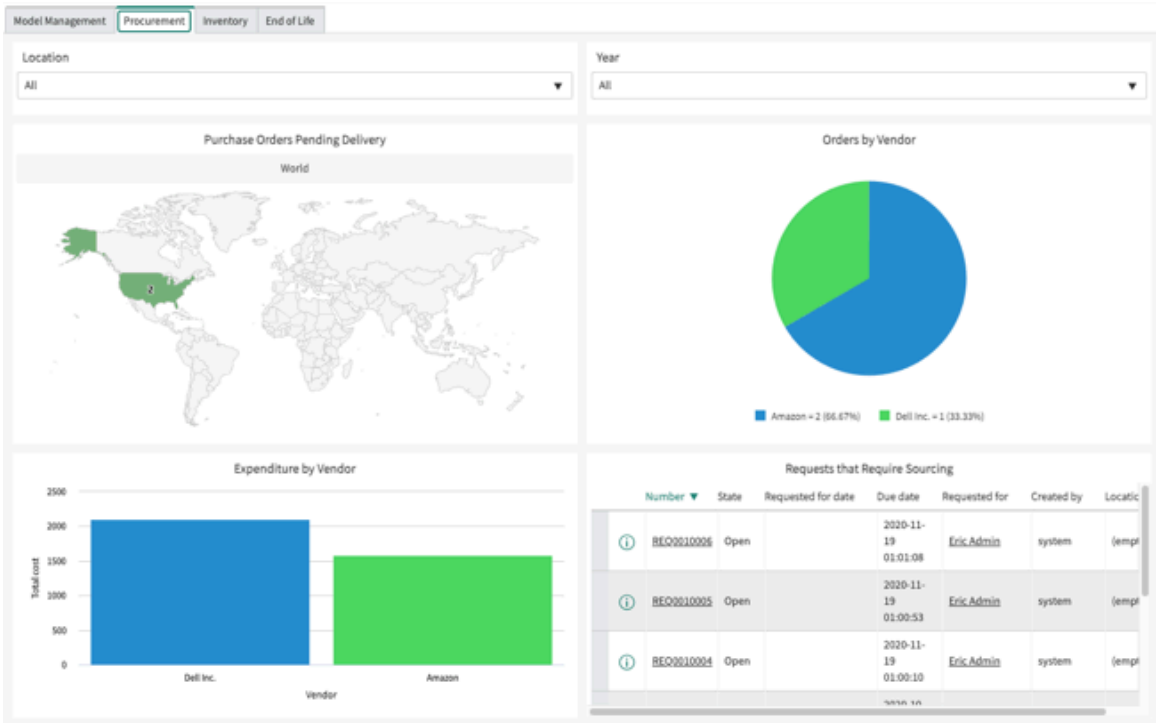
レポート	ソーステーブル	説明
配送保留中の発注書	発注書 [proc_po]	まだ受領もキャンセルもされていない発注書。ステータスが [注文済み] または [保留中の配送] の発注書のみが表示されます。 **注:** 資産、procurement_user、inventory_admin または contract_managerロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の支出	発注書 [proc_po]	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが [注文済み]、[保留中の配送]、または [受領済み] の発注書のみが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: 資産、procurement_user、inventory_admin または contract_managerロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
ベンダー別の注文	発注書 [proc_po]	注文済み、保留中の配送、または受領済みの発注書。 注: 資産、procurement_user、inventory_admin または contract_managerロールは、発注書 [proc_po] レポートにのみアクセスできます。
調達が必要な要求	要求 [sc_request]	まだ対処されていない要求。発注書 (PO) または転送注文のいずれかが開始されていない要求。

[調達] タブ



[インベントリ] タブ

このタブには、未処理の在庫注文に関するデータが表示されます。また、アクティブな在庫ルール、オープンな転送注文、在庫から調達された要求に関する情報を表示することもできます。このタブでは、場所と倉庫で結果をフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

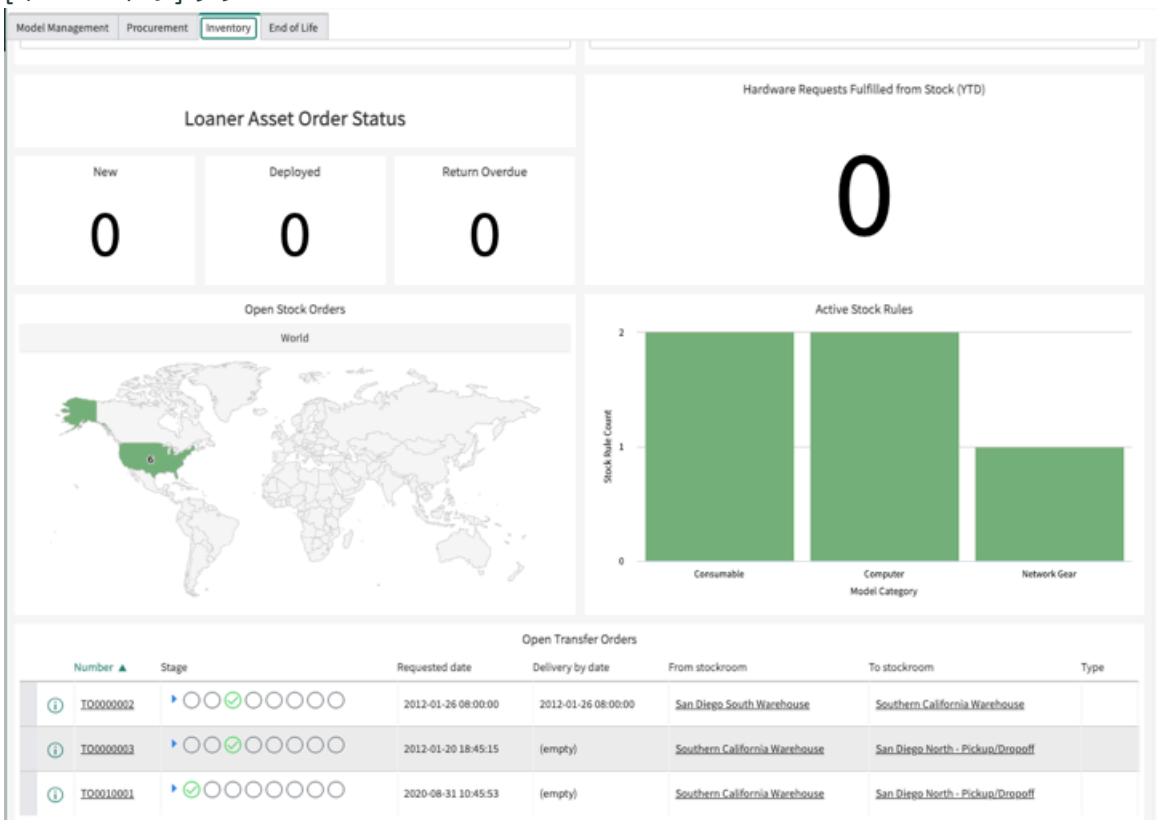
レポート	ソーステーブル	説明
在庫から履行されたハードウェア要求 (年初来)	転送注文 [alm_transfer_order]	今年度の在庫から調達された要求。 注: inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
オープンな在庫注文	要求アイテム [sc_req_item]	まだ履行されていないすべての在庫注文。未処理在庫注文は、地理的に数値データとして表示できます。
アクティブな在庫ルール	在庫ルール [alm_stock_rule]	モデルカテゴリ別にグループ化されたアクティブな在庫ルールの数。在庫ルールが有効なアイテムのモデルがしきい値を下回ると、新しい注文が行われます。
オープン中の転送注文	転送注文 [alm_transfer_order]	まだ配送されていない、またはキャンセルされていない転送注文。 注: inventory_user、asset、procurement_use ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。
監査資産を開く	資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	現在新規または進行中の監査。 注: 資産ロールまたはinventory_user ロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。
監査によって発見された新しいハードウェア資産	資産 [alm_asset]	昨年実施された監査で資産が属するカテゴリの分布。
貸与資産のオーダーステータス	貸与資産のオーダー [sn_hamp_loaner_asset_order]	新規、展開済み、返却期限を過ぎた貸与資産オーダーの数。
オープン中の RMA 要求ライン	RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line]	すべてのオープンな RMA 要求ラインのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: asset、itil、または inventory_user ロールは、RMA 要求ライン [sn_hamp_rma_request_line] レポートにのみアクセスできます。

[インベントリ] タブ



[提供終了] タブ

このタブを表示して、提供終了ステージに近づいている資産と資産の廃棄ステータスを監視します。このタブでは、場所、ストックルーム、モデルカテゴリ別に結果をフィルタリングできます。モデルカテゴリフィルターは、 ハードウェア資産廃棄ステータスには適用されません。

レポート	ソーステーブル	説明
保証終了間近のハードウェア	資産 [alm_asset]	保証有効期限が現在の月、四半期、または年に当たるハードウェアおよび消耗品資産。

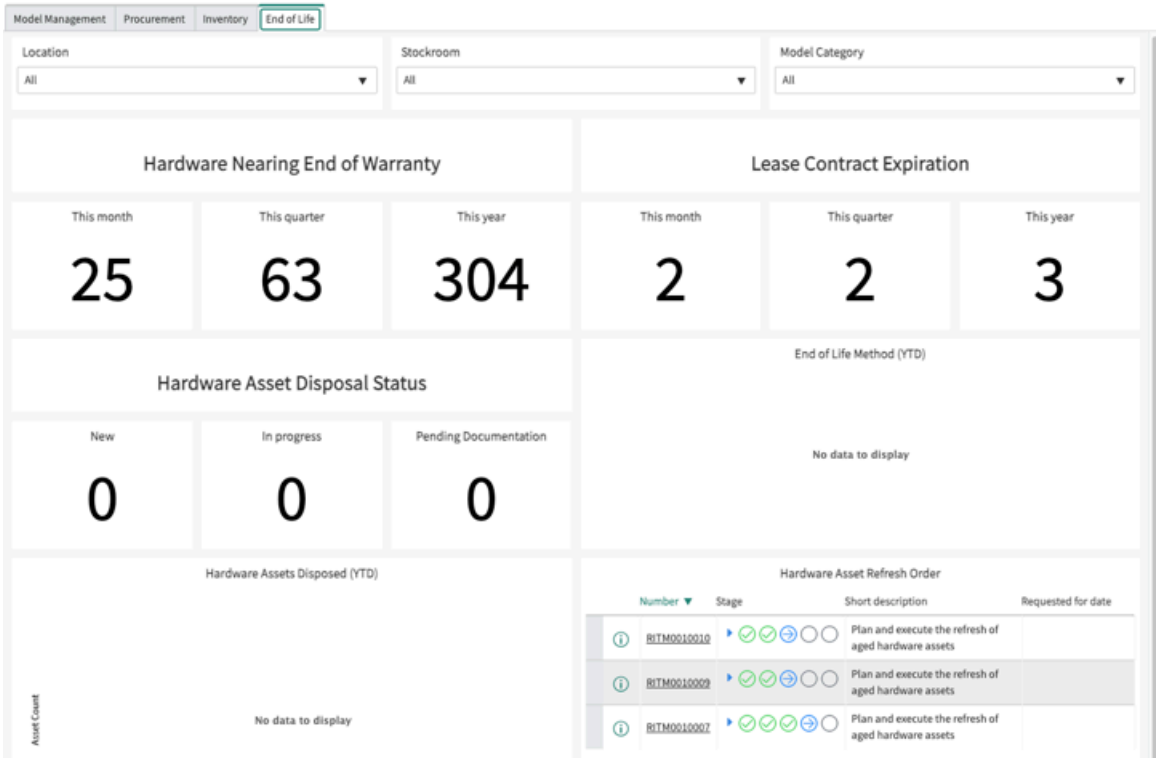
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レポート	ソーステーブル	説明
		注: 次のステータスの資産のみが表示されます。 • 在庫あり • 輸送中 • 使用中 • メンテナンス中 • 消費
ハードウェア資産廃棄ステータス	ハードウェア廃棄注文 [hamp_hardware_disposal]	ハードウェア資産廃棄のために作成された要求のステータス。新規要求の数が [新規] に表示されます。現在スケジュール、輸送、および確認ステージにあるすべてのハードウェア廃棄要求の数が [処理中] の下に一覧表示されます。[処理待ちのドキュメント] には、ドキュメントステージにあるすべての廃棄要求が表示されます。
ハードウェア資産の廃棄 (年初来)	資産 [alm_asset]	今年中に廃棄されたモデルカテゴリに基づくハードウェアおよび消耗品資産。
提供終了方法 (年初来)	資産 [alm_asset]	廃止されたハードウェア資産と消耗品資産の数 (サブステートに基づく)。廃止ステータスのハードウェア資産には、多くのサブステート (廃棄済み、なし、販売済み、ベンダークレジット、保留中の廃棄) があります。
リース契約有効期限	契約 [ast_contract]	リース有効期限が現在の月、四半期、または年に当たるハードウェアおよび消耗品資産。アクティブな契約のみが表示されます。
ハードウェア資産の更新注文	要求アイテム [sc_req_item]	注文されたハードウェア資産のリフレッシュのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[提供終了] タブ



資産と構成アイテムの管理

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状況とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *Update CI fields on change* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *Update Asset fields on change* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注: 資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

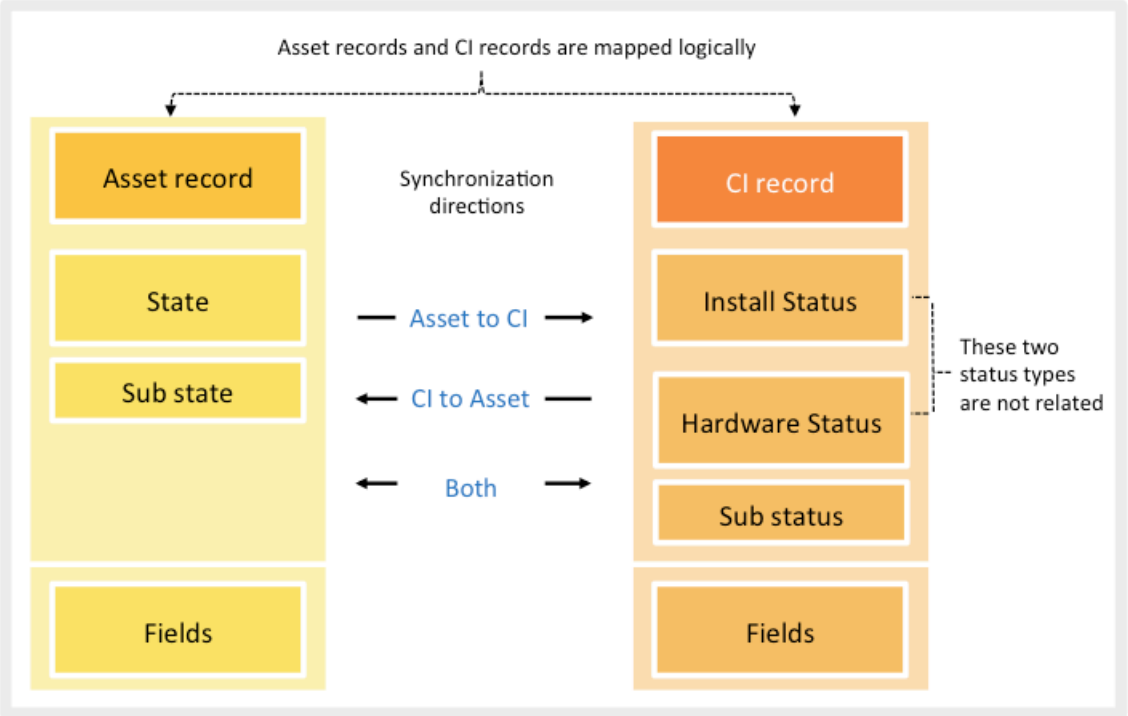
注: 資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

- 資産ステータスと CI ステータスは 1 対 1 でマッピングされません。むしろ、もう一方のテーブルで最も論理的に対応するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 廃棄待ち] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストールステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。
- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のインストールステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産の状態およびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェアステータスが変更されても CI のインストールステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同期されるフィールドのリストは次のとおりです。

- 資産タグ
- Assigned (割り当て日付)
- Assigned to (アサイン先)
- Checked in (チェックイン日時)
- Checked out (チェックアウト日時)
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- Delivery date (配送日)
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント
- Install date (インストール日)
- Invoice number (請求書番号)
- Justification (理由)
- Lease ID (リース ID)
- Location (ロケーション)
- 管理担当者
- モデル (CI の model_id)
- 注文日
- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- PO number (発注書番号)
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

資産、CI、および IBI の同期

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産、CI、およびインストールベースアイテム (IBI) を関連付けます。資産と IBI 間の同期は、CSDM ライフサイクルステージフィールドとステータスフィールドを介して行われます。

自動翻訳

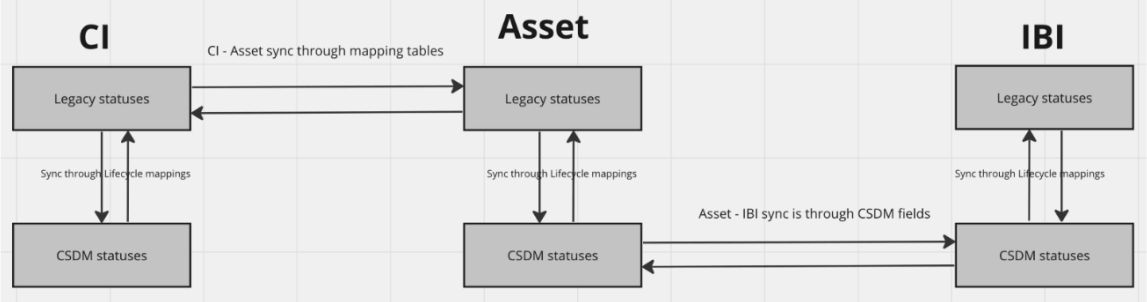
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CSDM (csdm.lifecycle.migration.activated) プラグインが ServiceNow インスタンスでアクティブ化されている場合、資産と CI 間の CSDM ライフサイクルフィールドの同期は、*csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated* システムプロパティによって異なります。Xanadu リリースにアップグレードする場合、このシステムプロパティはデフォルトで **false** に設定されます。資産と CI 間の同期は、次のいずれかの方法で行われます。

- システムプロパティが **false** に設定されている場合、CSDM ライフサイクルフィールドの同期は、従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドを介して行われます。
- システムプロパティが **true** に設定されている場合、CSDM ライフサイクルステージフィールドと [ステータス] フィールドが直接同期されます。

注: ServiceNow インスタンスで CSDM (csdm.lifecycle.migration.activated) プラグインを初めてアクティブ化し、資産または CI にカスタムステータスとサブステートがある場合は、必ず、従来のフィールドと CSDM ライフサイクルフィールド間のマッピングを設定してください。詳細については、「資産と CI 間の CSDM ライフサイクル同期を有効にして製品インスタンスをサポートする」を参照してください。

csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated システムプロパティが **false** に設定されている場合の資産、CI、および **IBI** の同期



資産から IBI および CI への更新の同期

資産の [ステータス] フィールドまたは [サブステート] フィールドに加えられた更新は、関連する IBI および CI と同期されます。たとえば、資産の [ステータス] フィールドが [使用中] に更新されると、次のように同期が行われます。

- 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] は [運用] と [使用中] に設定され、これらのフィールド値は IBI 資産の [ステージ] フィールドおよび [ステータス] フィールドと同期されます。
- CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [インストール済み] および [使用中] に変わります。

IBI から資産および CI への更新の同期

IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドに加えられた更新は、CSDM フィールドを介して、資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、関連する CI と同期されます。たとえば、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [欠陥品] および [在庫あり] に更新されると、次のように同期が行われます。

1. 資産の [ライフサイクルステージ] と [ライフサイクルステージステータス] が [在庫あり] および [欠陥品] に変わります。これらのフィールド値は、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドと同期されます。
2. その後、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは、関連する CI の対応するフィールドと同期されます。

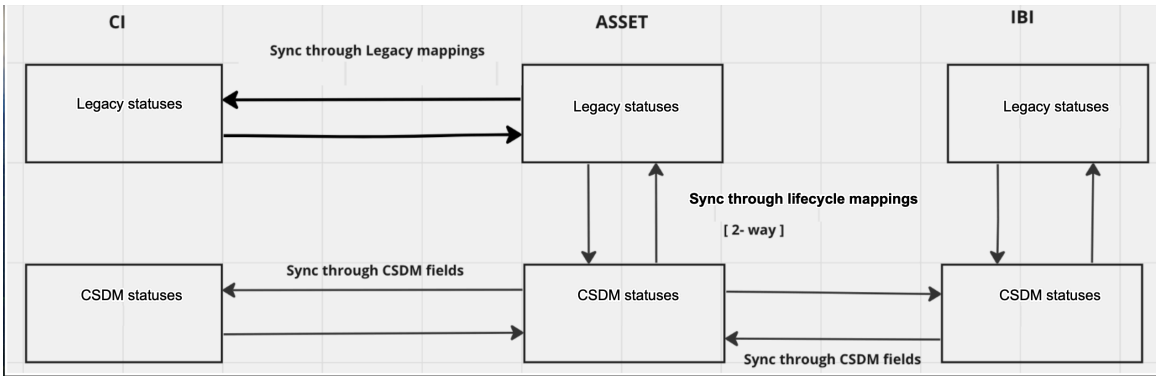
CI から資産および IBI への更新の同期

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドに加えられた更新は、資産の対応するフィールドと同期されます。その後、資産の従来のフィールドは、CSDM フィールドを介して、IBI 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドと同期されます。たとえば、CI の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドが [廃止] と [寄贈済み] に更新されると、資産の対応するフィールドが変更されます。資産からの変更は IBI 資産と同期され、[ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドが [提供終了] および [廃止] に変わります。

csdm.lifecycle.sync.between.ci.and.asset.activated システムプロパティが **true** に設定されている場合の資産、CI、および **IBI** の同期



資産から CI および IBI への更新の同期

資産の従来の [ステータス] と [サブステート] フィールドに加えられた更新は、資産と CI の間で次のように同期されます。

- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドは、資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドに対応する値で更新されます。
- その後、資産の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは、関連する CI の対応する従来のフィールドと直接同期されます。
- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドは、関連する CI の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。

ただし、資産から IBI への更新の同期は、CSDM ライフサイクルフィールドを介してのみ行われます。

IBI から資産および CI への更新の同期

IBI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ライフサイクルステージステータス] フィールドに加えられた更新は、次のように同期されます。

- 資産の従来の [ステータス] フィールドおよび [サブステート] フィールドは CSDM フィールドを介して同期されます。
- 資産の従来のフィールドは、関連する CI の従来のフィールドと同期されます。
- 資産の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドは、関連する CI の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。

CI から資産および IBI への更新の同期

CI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドに加えられた更新は、次のように同期されます。

- CI の [ライフサイクルステージ] フィールドと [ステータス] フィールドは、資産の対応する CSDM フィールドと直接同期されます。
- 資産の従来のフィールドは、CSDM フィールドに対応する値で更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- その後、資産の従来のフィールドは、CI の対応するフィールドと同期されます。
- IBI の従来のフィールドは、CSDM ライフサイクルフィールドを介して資産と同期されます。

資産および CI の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create asset delayed sync* スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、[資産] > [管理] > [資産作成キュー] に移動します。エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

注: Orlando 以前から Xanadu にアップグレードした場合は、このプロパティのデフォルト値は **[false]** です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow® 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

注: このプロパティは、ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスに適用されます。

IRE を使用して作成された CI は、「`シリアル番号 - モデル名`」の形式の名前になり、ソースは `SNAssetManagement` です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要です。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
このプロパティのデフォルト値は、アップグレードした場合は「false」です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

その他の資産と CI システムプロパティ

sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping

資産フィールドと CI フィールドは、関連するマッピングテーブルで定義されたマッピングに基づいて同期されます。資産または CI の更新時にこれらのマッピングをフェッチすると、パフォーマンスに影響します。*sn_itam_enable_cache_for_asset_ci_mapping* システムプロパティを使用すると、次のマッピングをキャッシュできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産フィールドと CI フィールド
- 資産ステータスと CI インストールステータス
- 資産ステータスと CI ハードウェアステータス

マッピングテーブルに変更がない限り、これらのキャッシュされたマッピングは同期中にフェッチされ、システムパフォーマンスが向上します。

の製品インスタンス機能 ハードウェア資産管理

製品インスタンス機能を通じて、すべてのアプリケーション、プロセス、ワークフロー、およびユーザーインタラクションで一貫して製品を表すことができます。製品表現に加えられた変更は、自動的に同期されます。

製品インスタンス機能を使用すると、 IT Asset Management の資産、 カスタマーサービス管理 (CSM)のインストールベースアイテム (IBI)、 構成管理データベース (CMDB)の構成アイテムとして追跡されるすべての製品の共通表現を持つことができます。製品インスタンスは、特定のモデルカテゴリの資産に関連付けられています。

注: 製品インスタンスは現在、医療デバイスモデルカテゴリでのみ有効になっています。

モデルカテゴリの製品インスタンス識別子 **(PID)** 構成

製品インスタンス識別子 (PID) は、製品インスタンスの一意の識別子であり、資産、CI、および IBI にリンクします。

PID は、製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルで定義されている次の項目に基づいて生成されます。

- PID 構成
- 各構成にアサインされる順序

注: PID 設定は読み取り専用です。

PID の生成については、次の点に注意してください。

- PID 構成のパラメーターで指定されたフィールドが空の場合、PID は生成されず、資産は作成されません。
- [発注済み] または [事前割り当て済み] ステータスで、シリアル番号のない資産は、PID が生成されません。
- PID は、資産、CI、または IBI のシリアル番号の更新など、PID 構成パラメーターで指定されたフィールドが変更されるたびに再計算および再生成されます。

注: PID は、資産 [alm_asset]、構成アイテム [cmdb_CI]、およびインストールベースアイテム [sn_install_base_item] テーブルの product_instance_id フィールドに格納されます。

医療デバイスモデルカテゴリの場合、PID コンフィギュレーションのデフォルトパラメーターは、テーブルの [シリアル番号]、[親]、および [モデルコンポーネント **ID**] フィールドに基づいています。アイテムのシリアル番号に基づく PID 構成は、PID を生成するときに最高の優先順位が与えられます。ただし、シリアル番号が存在しない場合は、親およびモデル コンポーネント ID フィールドに基づくパラメーターが PID の生成で考慮されます。既存のシリアル番号を指定した場合、生成される PID は既存の PID と重複するため、資産は作成されません。

注: 親資産が更新されたときに子資産の PID 再計算を有効にするには、システムプロパティ *sn_itam_enable_pid_recalculation_for_child_asset* を true に設定します。デフォルト値は false です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産、CI、および IBI 間の PID 同期

資産、CI、および IBI 間の PID の同期は、次の状況で行われます。

- 資産、CI、または IBI で PID のいずれかのフィールドが更新されます
- 資産、CI、または IBI は、PID 構成パラメーターのフィールドで指定された値を持ちます。

資産の作成または更新

関連するモデル・カテゴリの PID 構成に基づいて、PID 構成パラメーターに含まれるフィールドの値を指定して資産を作成すると、以下のアクションが発生します。

1. 指定したフィールド値に基づいて、資産の PID が生成されます。
2. 資産が作成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

資産の PID 構成パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、PID が再計算され、新しいフィールド値に基づいて再生成されます。その後、資産の更新された PID は、関連する CI と同期されます。

CI の作成または更新

CI を作成すると、その CI の資産が作成されたときにのみ PID が生成されます。その後、資産の PID が CI と同期されます。

CI の PID 設定パラメーターに含まれるフィールドを更新すると、次のアクションが発生します。

1. フィールド値が CI から資産にコピーされます。
2. 資産の PID が再計算され、再生成されます。
3. 資産の PID は、関連する CI と同期されます。

IBI の作成または更新

PID 構成パラメーターに含まれるフィールドを指定して IBI を作成すると、資産と関連する CI が作成されます。PID はインストールベースアイテムで生成され、資産およびそれに関連する CI と同期されます。

PID は、PID 設定パラメーターの一部である IBI のフィールドが更新されると、再生成され、同期されます。

資産ライフサイクルの自動化

資産レコードの更新をライフサイクル全体を通じて自動化し、資産の正確性を手動で維持する手間を省きます。

資産は、購入時から廃棄されるまで更新および追跡する必要があります。自動化プロセスは、資産を要求した時点から、資産に在庫があるかどうか、または購入する必要があるかどうかを判断することから始まります。在庫がある場合、資産は転送注文ワークフローを通じて転送されます。資産を購入する必要がある場合は、発注ワークフローがトリガーされます。自動化されたワークフローにより、各資産レコードまたは関連する構成アイテム (CI) を手動で更新する必要がなくなります。ワークフローが完了すると、資産レコードまたは CI が自動的に更新されます。

注: 除外された資産に対して自動ワークフローはトリガーされません。除外された資産の資産レコードまたは CI を手動で更新する必要があります。

ストックルームのハードウェア資産の 一括在庫注文を作成できます 。モデルと必要な正確な数量を指定できます。アイテムが調達または転送されると、ワークフローは完了します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェアおよび消耗資産の 廃棄注文を作成する こともできます。このワークフローでは、5 つの資産廃棄タスクについて説明します。これらのタスクには、処分された資産の計画、スケジューリング、検証、切り離し、および最終確認が含まれます。タスクをクローズすると、タスクが完了し、ワークフローに次のタスクが作成されます。

たとえば、検証は資産廃棄ワークフローの最初のタスクです。検証タスクを完了してクローズすると、集荷スケジュールタスクが自動的に作成されます。このプロセスは、資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。詳細については、「 ハードウェア廃棄注文ステージ 」を参照してください。

資産タスク

資産タスクは、資産の展開、交換、スワップ、または廃止操作に対して提供されます。これらのタスクは、これらの操作の完了時に CI/資産レコードを自動的に更新します。

インシデント、変更要求、またはフィールドサービス作業指示書を介して資産が展開、置換、または廃止されている場合、CI/資産レコードは、CI/資産の関連レコードと共に自動的に更新されます。たとえば、サーバーを廃止する変更チケットがあるとします。変更が実装されると、 変更管理 アプリケーションによって資産廃止イベントがトリガーされます。廃止タスクがトリガーされ、以下が更新されます。

- CI
- 関連資産レコード
- ソフトウェア割り当て
- メンテナンス契約

レコードを更新するための手動操作の必要性を減らすことで、データの精度が向上します。

インシデントによって資産が廃止またはスワップされると、資産の場所に基づいて [ストックルーム] フィールドに値が入力されます。資産の場所に倉庫がない場合、[倉庫] フィールドには値が入力されません。ただし、資産の場所がサービスの場所の一部として複数のストックルームでサポートされている場合は、[ストックルーム] フィールドに優先度に基づいてサポートするストックルームの詳細が自動的に入力されます。サービスの場所の詳細については、「 倉庫とサービスの場所の関連付け」を参照してください。

この表は、各アプリケーションで利用可能な資産タスクの一覧です。

アプリケーション	資産タスク
インシデント管理	• 廃止 • スワップ/置換
変更管理	• 展開 • 廃止
フィールドサービス管理 (FSM)	展開

ハードウェア資産管理 ライセンスの除外

ライセンスされた ハードウェア資産管理 機能を使用する資産に対してのみ支払い、ライセンスされた機能を使用しない資産は除外します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ハードウェア資産機能は、ハードウェアおよび消耗品資産レコードに制限されます。ライセンス供与された ハードウェア資産管理 機能を使用するが、いくつかの資産を除外する場合は、資産レベルの除外を使用します。資産の除外の詳細については、「 資産を除外」を参照してください。

オプトインしないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリをオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト」を参照してください。

次の HAM フローおよびタスクでは、除外された資産を選択して使用できません。

- 貸与
- 廃棄
- リフレッシュ
- リース
- バンドル
- 返品許可 (RMA)
- 監査
- RFID
- 資産ライフサイクルの自動化
- パレット
- 寄付

注: いったん資産で開始されたワークフローは、資産が途中で除外済みとマークされた場合でも完了が許可されます。

HAM 用のCSDMフレームワーク

共通サービスデータモデル (CSDM) (CSDM) は、Now Platformの全ての ServiceNow 製品に適用される、標準化され一貫した用語と定義のセットです。

CSDM 標準化され一貫した用語と定義のセットを使用することで、ライフサイクルの移行を通じて効率よく資産を追跡することができます。CSDM の詳細については、「 共通サービスデータモデル (CSDM) 」を参照してください。

HAM の CSDM 環境を設定するには、「CSDM 環境の設定 」を参照してください。

注: CSDMの採用はオプションです。CSDM を採用することも、既存のモデルを引き続き使用することもできます。

ハードウェアモデル正規化

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ハードウェアおよび消耗品モデルのメーカー、製品、モデル、デバイスタイプなどの詳細を正規化できます。モデルからのデータは、 ハードウェアモデル正規化 Content Service のデータと比較されます。

Hardware Model Normalization (com.sn_hwnorm) プラグインを有効にするには、 ServiceNow 担当者が必要です。このプラグインは、 ハードウェア資産管理 [sn_hamp] プラグインを有効にすると有効になります。

ハードウェアと消耗品モデルを正規化するプロセスの詳細については、「 ハードウェアと消耗品モデルの正規化」を参照してください。

注: このドキュメントは ハードウェアモデル正規化用です。資産管理の詳細については、資産管理のドキュメント を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ

ハードウェアと消耗品のモデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新するか、データを Hardware 資産管理 Content Service と比較することができます。

HAMハードウェア正規化スケジュール済みジョブは毎日実行されます。

ハードウェアモデル正規化 コンテンツサービスのコンテンツがNow Platformにプルされます。資産のジョブ履歴 (asset_job_log) テーブルを使用して、スケジュール済みジョブのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルで [正規化を元に戻す] を選択することで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻され、ルールは非アクティブ化されます。スケジュール済みジョブが実行されると、モデルがアクティブなルールで処理され、ステータスが更新されます。正規化を元に戻す方法の詳細については、「ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す」を参照してください。

スケジュール済みジョブは、ハードウェアおよび消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを識別し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれています。

- ハードウェア製品全体の正規化ステータス
- 消耗品全体の正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデルの正規化ステータス

関連情報

ハードウェア正規化の操作

ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ

利用可能なディシジョンテーブルを使用して、 ハードウェア資産管理 機能の一部でフローをカスタマイズします。

要件に合った フローデザイナー を使用してフローを作成することもできます。その後、すぐに利用できるディシジョンテーブルで新しく作成されたフローを使用して、既存のフローをカスタマイズできます。たとえば、ハードウェア更新モジュールでは、既存のフローを削除したり、新しいフローまたは条件を追加したりできます。

関連するディシジョンテーブルエントリを更新して 新しいフローをトリガー。詳細については、「HAM フローの関連するディシジョンテーブルを更新する」を参照してください。

すぐに利用可能なディシジョンテーブルと、更新可能な関連する ハードウェア資産管理 機能のリストについては、「ハードウェア資産管理フローのディシジョンテーブル」を参照してください。

返品許可

返品承認(RMA)は、買い手と売り手の間の契約であり、買い手が欠陥のある製品を返品または交換できるようにします。[資産 RMA オーダー] カタログアイテムには、RMA プロセスを簡素化するための規範的なフローがあります。

RMA 要求には RMA 要求ラインがあります。RMA 要求が送信されると、選択された資産と消耗品ごとに RMA 要求ラインが作成されます。ハードウェア資産ダッシュボードで、すべてのオープンな RMA 要求ラインのリストを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返品承認のワークフロー

フローデザイナーアプリケーションは、すべての RMA 要求ラインに対して RMA タスクを作成します。RMA 要求は RMA タスクを通じて完了します。アセスメントタスクは RMA 要求ラインごとに作成されます。アセスメントタスクは、欠陥のある資産のアセスメントに使用されます。RMA タスクのステータスが更新されると、デフォルトで RMA 要求ラインフォームの [ステージ] フィールドが更新されます。

欠陥のある製品を受け取った場合、または保証期間内に製品に欠陥が発生した場合は、資産 RMA オーダーを要求できます。ベンダーとの契約に基づいて、欠陥のある資産をオンサイトまたはオフサイトのどちらで修理するかを決定できます。[アセスメントタスク] フォームでオフサイト修理を選択すると、フローデザイナーによって [資産 RMA オフサイト] フローがトリガーされます。資産 RMA オフサイトフローでは、RMA プロセスを完了するために次の RMA タスクが生成されます。

- 出荷
- ベンダー RMA の決定
- 受領

アセスメントタスクフォームでオンサイト修理を選択すると、フローデザイナーによって資産 RMA オンサイトフローがトリガーされます。資産 RMA オンサイトフローでは、RMA プロセスを完了するための RMA タスク (オンサイト修理タスク) が生成されます。

オンサイト修理を試みた後、欠陥のある資産を修理できなかった場合は、製品をオフサイト修理に出すことができます。欠陥のある製品をオフサイト修理に送る場合は、資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、資産 RMA オフサイトフロー RMA タスクを通じて RMA プロセスが完了します。

RMA 要求ラインのどのアセスメントタスクもクローズされていない限り、RMA 要求をキャンセルできます。RMA 要求がキャンセルされると、関連するすべての RMA 要求ラインと RMA タスクがキャンセルされます。既存の RMA の一部である資産の RMA を送信すると、既存の RMA 要求の RMA 要求ラインは自動的にキャンセルされます。RMA タスクがキャンセルされると、関連する RMA 要求ラインもキャンセルされます。インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、アセスメントタスク、内部修理タスク、または出荷タスクをキャンセルできます。

関連情報

RMA 要求の管理

Zebraテクノロジー**RFID**システムの統合

Zebra テクノロジーの無線自動識別 (RFID) システムを ServiceNow インスタンスと統合すると、ハードウェア資産の場所を自動的に特定、追跡、管理できます。

Zebra テクノロジー RFID システムとの資産統合が成功すると、資産にマッピングされたゾーングループ、ゾーン、場所などの RFID タグ情報を表示できます。RFID 情報は、資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされます。資産管理テーブルの詳細については、「資産管理とともにインストールされる内容」を参照してください。

> **注:** 資産が除外されている場合、RFID 情報は資産のシリアル番号に従って資産 [alm_asset] テーブルにマッピングされません。資産の除外の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

ZebraテクノロジーのRFIDシステムからのデータは、定期的に ServiceNow にインポートされます。RFID システムのデータ変更は、 ServiceNow インスタンスで更新されます。

RFID 資産 [rfid_asset] テーブルには、資産の RFID 情報が格納されます。RFID 情報の表示の詳細については、「資産の RFID 情報を表示する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アセットバンドル

アセットバンドルは、既にインベントリにある資産のグループを単一のエンティティとしてバンドルするのに役立ちます。

アセットバンドルは、消耗品資産とハードウェア資産で構成されます。

開発者アセットバンドルの例

コンポーネント	モデルカテゴリ
Apple MacBook W9576XA	ハードウェア資産
サムスンモニター B2156C	ハードウェア資産
Logitech マウスPB567VT	消耗 品
Apple キーボードMT65021R	消耗 品

アセットバンドルはバンドルされたモデルに基づいています。バンドルされたモデルは、モデルをグループ化したものです。バンドルされたモデルの詳細については、「バンドルされたモデル」を参照してください。

ストックルームの既存の資産は、アセットバンドルの作成に使用されます。ステータスが **[In stock** (在庫あり)] でサブステータスが **[Available** (利用可能)] の資産のみがアセットバンドルに追加されます。資産を除外する場合は、バンドルから資産を削除する必要があります。資産の除外の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。アセットバンドルの一部である資産は、個別の資産として使用することはできません。アセットバンドルに関連付けられている CI はありません。

アセットバンドルは、資産ライフサイクル全体を経ます。アセットバンドルの構築から、ユーザーへのバンドルの割り当て、資産の修理が必要な場合のメンテナンスステータスへの移行、そして目的が達成されたときのバンドルの廃止まで。

アセットバンドルはストックルーム間で転送できます。ただし、バンドル内の個々の資産をストックルーム間で転送することはできません。バンドル内の資産は廃棄できません。アセットバンドルが廃止されると、資産はバンドルから関連付けが解除され、個別に廃棄できます。アセットバンドルを削除すると、そのバンドルに属するすべての資産が倉庫に移動されます。

アセットバンドルに属する資産をスワップすることができます。バンドルのステータスが [メンテナンス中] または [在庫あり] でサブステートが [修理待ち] の場合、資産をスワップできます。

アセットバンドルを廃止し、バンドルに属するすべての資産を解放できます。リリースされた資産はストックルームに戻され、バンドルを削除することができます。

バンドルに属する資産は、調達、転送注文、廃棄注文のフローから除外されます。

アセットバンドルの作成に関する詳細は「インベントリからアセットバンドルを管理する」を参照してください。

資産再利用

[資産の再利用] カタログアイテムは、資産管理モジュールと人事モジュールを統合して、資産を効率的に再利用できるようにします。

従業員が退職するか別のロールに異動した場合、従業員にアサインされた資産を再利用するのは手間のかかる作業であり、HR プロフェッショナルと資産マネージャーの間で多くの調整を行う必要があります。[資産の再利用] カタログアイテムには、ハードウェア資産を効率的に再利用してインベントリに保管したり、再アサインしたり、修理のために送付したり、必要に応じて廃棄したりするための規範的なワークフローがあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HR プロフェッショナル、マネージャー、または従業員は、[Reclaim Asset (資産の再利用)] カタログアイテムを使用して資産の再利用要求を送信できます。マネージャーは、報告メンバーの資産再利用要求を送信できます。人事担当者は、組織内の任意の従業員のために資産再利用要求を送信できます。人事担当者とマネージャー以外の従業員は、自分自身の資産再利用要求を送信できます。詳細については、「資産再利用要求の送信」を参照してください。

注: アセットバンドルを再利用することはできません。

サービスカタログ を使用して資産再利用要求を作成すると、資産再利用要求が作成されます。離職する従業員に割り当てられた各ハードウェアまたは消耗品について、[Reclaim Asset (資産再利用)] サービスカタログで選択した資産のハードウェア資産再利用ラインが作成されます。各ハードウェア資産再利用ラインは、次のハードウェア資産再利用タスクによってクローズされます。

- [資産再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、返品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産を受領
- 評価

ハードウェア資産再利用ラインにはステージフィールドもあり、ハードウェア資産再利用タスクをクローズすると次のように変更されます。

- 準備完了
- 保留中の受け取り
- 評価を保留中
- 完了

詳細については、「資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

ハードウェア資産再利用サブフローディシジョンテーブルを使用すると、ハードウェアおよび消耗品資産のカスタム再利用サブフローをトリガーできます。ディシジョンテーブルで指定した資産に関連する条件に基づいて、対応するサブフローがトリガーされ、再利用プロセスが完了します。

サービスカタログ Request を使用するには、SAM Professional または HAM Professional をインストールする必要があります。SAM Professional のみをインストールしている場合は、 サービスカタログにアクセスできますが、トリガーされるのはソフトウェア資産再利用フローのみです。

資産寄付

資産寄付オーダーを使用して、組織の在庫内のハードウェアと消耗資産を慈善団体に簡単に寄贈することができます。

資産寄付フローは、資産寄付プロセスのさまざまな段階を処理します。資産寄付注文を送信すると、資産マネージャーが資産寄付注文をレビューし、承認された場合は寄付を処理します。資産寄付プロセスは、慈善団体が資産の引き渡しを確認した時点で完了します。

注: 除外されたアセットを寄付することはできません。除外された資産の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

資産寄付の詳細については、「 慈善団体への資産の寄付」を参照してください。

割当済み資産

割当済み資産は、所有権はベンダーにありながらも、ジャストインタイム調達を実現するため顧客のストックルームに保管することが同意されているものである場合が多いです。

割当済み資産は物理的に存在しますが、財務上の責任はありません。たとえば、割り当てる準備が整ったコンピューター 100 台のパレットが、割当済み資産となり得ます。資産を割り当てると構成ア

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

イテムが生成され (カテゴリによって必要な場合)、資産を割り当てることができます。割り当て済み資産は、すでに使用されている別の資産のコンポーネントとすることができます。

たとえば、プリインストール済みや割り当て済みのサーバーを本番サーバーの横にあるサーバーラックに設置はできますが、割り当て済みのサーバーは電源をオンにした後にしか財務上の責任が発生しません。割り当て済みオプションは資産にのみ使用でき、消耗品やライセンスには使用できません。割り当て済み資産はバンドルで構成することはできません。

注: 保証はアイテムが設置されるまで有効になりません。したがって資産が割り当てられアサインされるまでは保証されません。

割当済み資産を作成し、割当済み資産レコードから資産を割り当てることができます。割当済み資産を分割して、別のストックルームに移動できるグループを作成することもできます。詳細については、「割当済み資産の管理」を参照してください。

パレット資産

パレット資産クラスを使用して、在庫内の資産をグループとして追跡および管理します。資産のグループを場所間で簡単に移動したり、グループとして廃棄したりできます。

パレットは、モデルカテゴリがパレットの資産です。パレットは、パレットに含まれる資産の親です。事前定義されたパレットタイプは、パレット、ビン、ボックス、およびコンテナです。

注: パレット資産クラスとそれに関連する UI オプションは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) でのみ使用できます。

[Asset estate (資産一覧)] ビューでパレット資産を作成し、ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、およびその他のパレット資産をパレットに追加できます。

パレット資産は経費ラインに関連付けられていません。

パレット [alm_pallet] テーブルには、パレット資産に関する情報が保存されます。ストックルーム内のパレットの位置は、資産 [alm_asset] テーブルの [通路] 列と [スペース] 列で示されます。

在庫管理にパレット資産を使用する予定がある場合は、次の点に注意してください。

- ソフトウェア、エンタープライズ、および除外された資産をパレットに追加することはできません。

  注: 除外された資産の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

- すでに親資産に関連付けられている資産を追加することはできません。
- パレット資産を資産バンドルの一部にすることはできません。

パレット資産の詳細については、「 パレット資産で在庫を管理する」を参照してください。

貸与資産

短期間必要になる場合に、貸与資産または消耗品を要求します。

貸与リクエストは、次のステージを経て完了します。

- タスクの準備:要求されたユーザーに貸与資産を引き渡す前に、必要なソフトウェアをインストールするなどして貸与資産を準備します。デフォルトでは、準備タスクは開始日の 2 日前に作成されます。この設定を変更するには、貸与資産要求カタログアイテムの 貸与資産変数の準備に必要な日数 を変更します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 貸与資産を要求した場合、 貸与資産変数の準備に必要な日数は カタログフォームに表示されません。この変数を見つけるには、カタログアイテムモジュールに移動します。catalog_adminロールを持つユーザーのみが、この変数の値を変更できます。

- 展開タスク:要求されたユーザーに貸与資産を渡すか、ユーザーのマシンに貸与資産をインストールします。展開タスクは、準備タスクがクローズされた後に作成されます。
- 再利用タスク:一定期間後に貸与資産を再利用します。再利用タスクは返却日の 1 日前に作成されます。

注:

在庫ルールの処理中は、貸与資産は倉庫数にカウントされません。

除外された貸与資産を割り当てることはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

関連情報

貸与資産の管理

貸与資産の予約

順番待ちリストに登録された貸与注文により、貸与資産の将来の需要を可視化できます。

利用可能な貸与資産がある場合、貸与オーダーを送信したユーザーは最初に貸与資産を取得します。貸与資産は、準備開始日に日次スケジュール済みジョブによって自動的にユーザーに割り当てられます。ストックルームに貸与資産がない場合、すべての貸与注文は順番待ちリストに含まれます。[Loaner] の順番待ちリストの [Orders] モジュールには、順番待ちリストに載っている貸与者の注文がすべて表示されます。新しい貸与資産がストックルームに追加された場合、または確認済みの貸与オーダーがキャンセルされた場合、順番待ちリストに載っている貸与オーダーは、送信された順に確認されます。それより前に送信された貸与オーダーは、後から送信されたオーダーよりも優先されます。

在庫管理者として、順番待ちリストに載っている貸与者の注文を確認するには、[Loaner Asset Order (貸与資産のオーダー)] フォームの **[Waitlist** (順番待ちリスト)] ボックスをオフにして、[**Asset** (資産)] フィールドで資産を選択します。確認済みの貸与オーダーを順番待ちリストに移動する場合は、[順番待ちリスト] ボックスをオンにして、[資産] フィールドから資産を削除します。貸与資産は、任意の場所から、次のいずれかのステータスおよびサブステートでアサインすることができます。

- 在庫あり
- 利用可能
- インストール待ち
- 予約済み
- 使用中

注: 除外された貸与資産は選択できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

倉庫

ストックルームは、資産が割り当てられる場所です。

特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールに従ってアドミニストレーターに通知するか、自動的に一方のストックルームから他方のストックルームにインベントリを移動することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別に独立したエンティティです。

在庫ルール

在庫ルールは、あるストックルーム内のある資産のインベントリが指定されたしきい値に達すると、特定の数量が別のストックルームから移転されるか、またはベンダーに注文すべきかを定義します。

たとえば、特定のモデルのキーボードがあるストックルームでインベントリ数 10 台になった場合、在庫ルールの設定に従って、別のストックルームからキーボード 50 台を転送するための転送注文が自動的に作成されます。在庫ルールでは、ストックルームに複数のモデル資産が存在する可能性があるため、基準に適合するすべての資産を確認し、合計数を表示することができるようになっています。

再補充オプションは 2 通りあります。

- 倉庫マネージャー (ストックルームレコード上の [マネージャー] フィールドで指定されているユーザー) にメールを送信して、ベンダーへの注文を促すことができます。倉庫マネージャー用のタスクが自動的に作成されるか、または、調達がアクティブな場合は、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。
- 転送注文を自動的に作成して、別のストックルームからアイテムを補充することができます。

すでに補充が進行中の場合、在庫ルールで既存の転送注文が考慮され、追加の転送注文は作成されません。

在庫ルールランナーは毎日実行され、転送注文または発注書 (PO) または在庫注文 (HAM 機能) を作成し、倉庫マネージャーにメールメッセージを送信し、倉庫マネージャーのタスクを作成します。

重要: 補充が進行中の場合、システムでは重複したメールメッセージや重複した転送注文は作成されません。迅速に行動することが重要です。

スケジュール済みジョブが実行されているときに調達がアクティブな場合は、発注書 (PO) と発注明細が自動的に作成されます。

注: 発注書 (PO) と発注明細にアクセスするには、procurement_user ロールが必要です。

関連情報

在庫ルールを作成する

資産保証の詳細に関する **Lenovo** との統合

Lenovo資産保証フローを使用すると、Lenovo保証 API に接続してハードウェア資産の保証情報を取得できます。

Lenovo との統合には次の要件があります。

- ServiceNow Store から ServiceNow インスタンスにインストールされた Lenovo スポーク (sn_lenovo_spoke)。詳細については、「 Lenovo スポーク 」を参照してください。
- Lenovo Warranty API に接続するための Lenovo からのクライアント ID。

  注: クライアント ID をお持ちでない場合は、組織の Lenovo 営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

- Lenovo接続。この接続がない場合は、 Lenovo [sn_lenovo_spokeを使用して作成する必要があります。Lenovo] 接続および資格情報エイリアス。詳細については、「Lenovo Warranty API への接続」を参照してください。

注: Lenovo Warranty API の入力フィールドと応答フィールドの詳細については、Lenovo WebAPI ドキュメントの「保証」トピックを参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Lenovo から資産保証の詳細をフェッチするプロセスは次のとおりです。

1. 毎週実行される [資産保証情報のダウンロード - Lenovo] スケジュール済みジョブは、メーカーをLenovoとするすべてのハードウェア資産をフェッチするLenovo資産保証フローを呼び出します。
2. 次に、 Lenovo 資産保証フローは、 Lenovo スポークアプリケーションに存在する資産保証のダウンロードアクションを呼び出し、バッチで 1000 件のシリアル番号を渡します。
3. 資産保証のダウンロードアクションは、シリアル番号とクライアント ID を渡して、 ServiceNow インスタンスを Lenovo 保証 API に接続します。このアクションでは、渡されたすべてのシリアル番号の保証情報もダウンロードされます。
4. Lenovo資産保証フローの [保証情報を処理] アクションは、Lenovo保証 API からの応答を使用して、資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルの資産保証レコードを作成または更新します。

   資産保証 [sn_itam_common_asset_warranty] テーブルには、資産保証の詳細が保存されます。このテーブルには、 Lenovo API 応答に対応するフィールドがあります。テーブルのフィールドには次のようなものがあります。

   - 外部保証 **ID**:資産の保証レコードを識別し、保証情報を更新します。
   - アクティブ:Lenovo API 応答の [保証] フィールド値に基づくブールフィールド。
   - ステータス:保証が有効かどうかを示します。このフィールドは、[アクティブ] フィールドの値に基づいて入力されます。
   - 開始日 と 終了日:保証期間を示します。

注: 除外された資産の保証レコードはフェッチされません。

資産には複数の保証を関連付けることができます。資産フォームの [資産保証] タブを使用して、保証情報を表示できます。[資産運用] ビューの [資産保証] リストを使用して、一元的な場所からすべての資産保証レコードを表示することもできます。詳細については、「Lenovo資産の保証の詳細を追跡する」を参照してください。

関連情報

からの資産保証の詳細の受信 Lenovo

ゼロタッチでリフレッシュ

ゼロタッチでリフレッシュフローを使用すると、ローカルストックルームで新しい資産を維持する必要なく、外部ベンダーを通じて従業員のハードウェア更新要求を履行できます。

資産リフレッシュプロセスのさまざまなステージは次のとおりです。

1. 組織の従業員がハードウェア資産のリフレッシュ要求を送信します。

   ゼロタッチでリフレッシュ要求が承認されると、要求確認タスクが作成されます。プロバイダーが要求を確認すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変更されます。

2. プロバイダーが従業員に新しい資産を出荷します。

   注: プロバイダーは、 資産管理 アプリケーションを使用してゼロタッチでリフレッシュ要求を履行できます。

   次のタスクが作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. 出荷を要求:このタスクは、プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を確認すると作成されます。プロバイダーが新しい資産を出荷すると、このタスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に変更されます。

   プロバイダーが資産を出荷すると、次のようになります。

   - プロバイダーによって指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。
   - 従業員がゼロタッチでリフレッシュ要求で選択したリフレッシュ方法に基づいて、出荷される新しい交換用資産の詳細が記載されたメール通知が次のように送信されます。
     - 従業員に資産が出荷されると、資産ロールを持つすべてのユーザーにメール通知が送信されます。
     - 資産がストックルームに出荷されると、資産ロールを持つすべてのユーザーと、従業員が新しい資産を受け取る選択したストックルームのストックルーム管理者にもメール通知が送信されます。
   - プロバイダーが要求で指定した追跡番号と配送業者の詳細に基づいて、交換用資産と古い資産の出荷に対して一意の出荷レコードが作成されます。両方の貨物に同じ追跡番号が指定されている場合、1つの出荷レコードが作成されます。ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、関連する資産を含む出荷レコードを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。

b. 集荷準備完了:このタスクは、プロバイダーが新しい資産をストックルームに出荷し、そこから従業員が資産を集荷する [集荷] リフレッシュメソッドでのみ作成されます。

c. 資産の受領:このタスクは次のように作成されます。

   - 出荷リフレッシュ方法の場合、プロバイダーが従業員に資産を出荷する場合。
   - [Pickup (集荷)] 更新メソッドの場合、[Ready for pickup (集荷準備完了)] タスクがクローズされたとき。

d. 返却資産の受領:このタスクは、プロバイダーが新しい資産を出荷するときに作成されます。

3. 従業員は新しい資産の受領を確認します。
4. 従業員は、プロバイダーから出荷されたラベル付きの箱に入れて古い資産をストックルームに返却します。
5. インベントリマネージャーは、古い資産が受領されたことを確認し、評価します。

> **注:** ゼロタッチでリフレッシュフローには外部プロバイダーからのサポートが必要であり、 インサイト と統合するように事前設定されています。

ゼロタッチでリフレッシュフローには次の要件があります。

- 従業員の組織とプロバイダーは、同じ ServiceNow Cloud 上にある必要があります。
- サービスブリッジ アプリケーションは、ServiceNowインスタンス上で構成する必要があります。

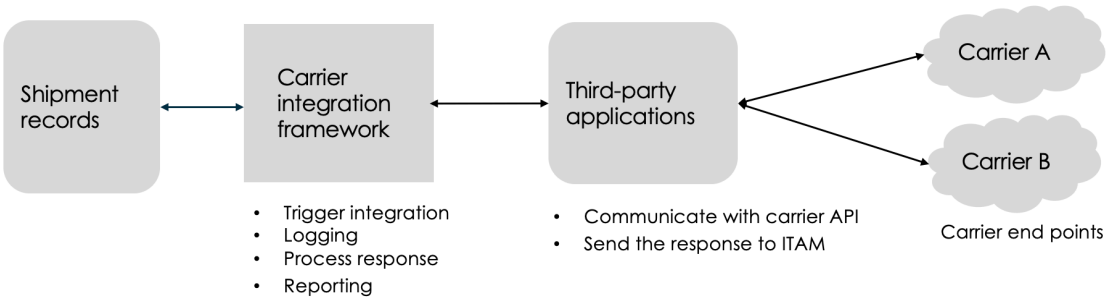
詳細については、「ゼロタッチリフレッシュを使用して資産のを管理」を参照してください。

サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理

IT Asset Managementアプリケーションが提供する統合フレームワークを使用して、ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションと統合することで、出荷のステータスをリアルタイムで確認できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



サードパーティのキャリアアプリケーションとの統合の要件

重要: IT Asset Management アプリケーションは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合するための統合フレームワークのみを提供します。統合をシームレスに機能させるには、実装チームが次の要件に対処する必要があります。

1. 基底クラスの `ITAMShipmentIntegration` スクリプトから拡張するスクリプトインクルードを作成します。

   詳細については、「サードパーティ配送業者アプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成」を参照してください。

2. 認証情報を使用している場合は、[認証情報] テーブルまたは [Password2] フィールドを含む任意のテーブルを使用し、KMF アクセスマップポリシーを指定して、顧客がアプリケーションにアクセスできるようにします。

   詳細については、「Key Management Framework (KMF) による Password2 暗号化」を参照してください。

3. アプリケーション名、API、および接続の詳細を配送業者統合プロファイル [sn_itam_carrier_int_profile] テーブルに追加します。

   詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。

注: アプリケーションの一部として統合を作成する場合は、スクリプトインクルードを作成する前に次の手順を実行します。

1. アプリケーションを作成する。
2. 異なるスコープに属する任意のアプリケーションからアプリケーションにアクセスできるようにします。詳細については、「サードパーティ配送業者アプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成」を参照してください。

詳細については、「統合フレームワークを使用した出荷の追跡」を参照してください。

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

資産には、初期資本コストや運用コストなど、ライフサイクル全体を通じてコストが発生します。資産の総所有コストは、初期資本コストと運用コストを含む総コストについて、資産マネージャーが理解、分析、追跡するのに役立ちます。

重要: 資産 ハードウェア資産管理 総所有コスト (TCO) 機能にアクセスするには、10.0.0 バージョン以降をインストールする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

TCO のメリット

- 資産階層全体で発生した経費を追跡および分析します。
- 資産および資産モデルに対して資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。
- TCO レポートを作成し、事前定義されたレポートを使用して、資産の財務計画を改善します。

TCO 計算

資産で発生したコストは、経費ラインとして作成されます。経費ラインには、経費ラインの合計額、またはすべての子資産の初期資本コストと合計経費を含む、資産に発生したコストの履歴が表示されます。

TCO は、資産の耐用年数の間に発生したすべての費用の合計です。

- 資産レコードが作成されると、初期コストには、作成される経費ラインからの購入コストが含まれます。コストを更新すると、経費ラインレコードが更新されます。
- シリアル番号付き資産の場合、資本コストは 1 回だけ追加され、残りは運用コストと見なされます。作成された経費ラインは総コストに追加されます。
- 子資産の場合、
  - 子資産にコストが発生した場合、同じコストが親資産の TCO に追加されます。
  - 子資産が削除されても、子資産の経費ラインは保持され、親の TCO は影響を受けません。
  - 子資産がスワップされると、運用コストに対して 1 つの経費ラインが作成されます。
- レートカードによって作成された経費ラインは、資産の TCO に追加されます。
- ハードウェア資産に影響を与えるインシデントには、すでにタスクレートカードが含まれています。

レートカード、経費ライン、経費カテゴリ

レートカードは、資本、人件費、材料費、契約コストを追跡するのに役立ち、生成された経費ラインはこれらのコストを追跡します。タスクごとに、 ハードウェア資産管理 そのタスクの作業時間をキャプチャします。タスクがクローズされると、 ハードウェア資産管理 はタスクの作業時間に基づいて経費ラインを作成します。これらの経費ラインの金額は、資産の総コストに追加されます。その後、経費カテゴリが経費ラインに帰属します。経費ラインは、[ハードウェア資産の詳細] フォームの [経費ライン] タブに表示されます。

ハードウェア資産管理 アプリケーションは、次のレートカードをサポートしています。

- タスクレードカード
- 賃金レートカード

注: 賃金レードカードは作成された経費ラインの一部であり、タスクの作業時間を記録するタスクレードカードに賃金レートカード情報が含まれている場合に有効です。

タスクの時間をキャプチャする

各タスクには、そのユーザーの作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

タスクの開始、タイマーの開始、一時停止、再開、保存を行うことができます。次のシナリオでは、[作業時間] タブに新しいレコードエントリが作成されます。

- [開始] を選択して作業を開始し、 [保存] を選択します。
- [タイマーの開始] を選択して、タスクの時間の記録を開始します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [一時停止] を選択して記録を一時停止します。
- [再開] を選択して記録を再開します。

タイマーは、タスクを閉じたときにのみ停止します。タスクに費やされた合計時間を算出するには、すべてのレコードエントリーを合計し、賃金レートを掛けて、タスクの総コストを算出します。

[時間を記録] を選択して、タスクに手動で時間を追加できます。

TCO の処理

TCO を使用すると、次のアクションを実行できます。

- ハードウェア資産の初期コストと運用コストを追跡するための経費ラインを作成します。
- 次のワークフロータスクの TCO と、ワークフロー内の個々のタスクの作業時間を追跡して計算します。
  - 廃棄
  - 寄付
  - ゼロタッチでリフレッシュ
  - 契約更新

    注: 契約コストの場合、契約レートカードで [割り当て金額] および [配賦金額] 資産オプションを使用して、契約コストを均等に配賦します。契約レートカードの対象となる資産に資産を追加する必要があります。

  - 返品許可 (RMA)
  - リース
  - 貸与
  - ハードウェア資産のリフレッシュ
  - 資産再利用

  注:

  レートカードは ハードウェア資産管理 ワークフローに含まれています。これらのレートカードを有効にするには、[タスクレートカード] フォームの [アクティブ] チェックボックスをオンにします。

- ハードウェアモデルの総所有コスト (TCO) ベンチマークを追跡します。TCO ベンチマークコストを指定すると、TCO ベンチマークしきい値が次の式を使用して計算されます。

  ```
  TCO benchmark cost * TCO benchmark threshold percentage
  ```

  この場合、TCO ベンチマークしきい値のパーセンテージは、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
- レポートを作成し、資産グループの総所有コスト (TCO) を比較します。TCO ダッシュボードとレポートの詳細については、「 [資産アナリティクス] ビュー」を参照してください。
- リアルタイムまたはオフラインの TCO レポートでは、耐用年数にわたって資産の TCO を正規化し、さまざまなモデルや資産の正規化された TCO を比較します。
  - 資産の耐用年数が資産の耐用年数以上の場合、正規化 TCO (TCO/月) は次の式を使用して計算されます。

    ```
    (Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)
    ```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ 資産の耐用年数が資産の耐用年数よりも短い場合、正規化 TCO (TCO/月) は次の式を使用して計算されます。

```
(Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life
```

注: 次の資産と消耗品の TCO は計算および追跡されません。

- バンドル資産
- パレット資産
- 個々の消耗品

  消耗品を子資産として使用していた場合、その経費ラインは親資産に追加されます。

- 除外された資産
- オプトアウトされたモデルカテゴリの一部である資産。

を使用したハードウェア製品のオンボーディングの管理 アプリケーションポートフォリオ管理

ハードウェア製品をオンボーディングしハードウェア資産管理アプリケーションとともにテクノロジー参照モデル (TRM) のアプリケーションポートフォリオ管理を使用して、テクノロジー参照モデル (TRM) ライフサイクル (TRM) を管理します。

この テクノロジー参照モデル を使用すると、組織内での使用の承認に関する情報を含むハードウェア製品のリストを管理できます。TRM ライブラリはエンタープライズアーキテクトによって管理され、アプリケーションオーナーによって使用されます。TRM の詳細については、「テクノロジー参照モデル」を参照してください。TRM を使用すると、アプリケーションオーナーは、組織で使用するハードウェア製品を要求し、製品をオンボーディングし、 TRM ライフサイクルフェーズを定義できます。

各ハードウェア製品モデルは、開始日と終了日を持つ一連のライフサイクルフェーズに関連付けられています。ハードウェア資産管理 アプリケーションでは、製品に関連付けられているすべてのハードウェアモデルの TRM ライフサイクルフェーズを可視化できます。

との **TRM** 情報の同期 ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理 の HAM - TRM 情報の同期スケジュール済みジョブは毎日実行され、正規化された製品モデルの TRM フェーズやライフサイクルなどの情報を TRM からフェッチします。その後、ジョブは TRM の詳細を ハードウェア資産管理 アプリケーションに送信します。スケジュール済みジョブが毎日実行されると、TRM フェーズに加えられた更新が ハードウェア資産管理と同期されます。

ハードウェア資産ワークスペース の [モデル管理] ビューでは、ハードウェア製品モデルに関する次の TRM 関連情報を表示できます。

- ハードウェア製品モデルの [詳細] タブにある **[TRM** 製品フェーズ] フィールドを使用する TRM フェーズ。
- ハードウェア製品モデルの **[TRM Product Lifecycles (TRM** 製品ライフサイクル)] 関連タブを使用した TRM ライフサイクル情報。

倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を修理するための修理フロー

修理フローを使用して倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を修理し、修理した資産をさまざまなハードウェア資産管理 ワークフローで使用できるようにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

修理フローを使用することで、組織は破損した資産や保証期間外の資産を内部で修理できます。修復された資産は、検証後に再び使用することができます。欠陥のある資産の修理に外部ベンダーが関与することはありません。

資産アドミニストレーターは、修理注文を送信することで、ストックルームにある欠陥のある資産や修理待ちの資産の修理を要求できます。詳細については、「ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求」を参照してください。修理注文を送信すると、修理フローがトリガーされます。修理注文には、資産の修理タスクに関連付けられた修理注文ラインがあります。資産技術者は、 ハードウェア資産ワークスペース または モバイルエージェント アプリケーションを使用して修理タスクを完了します。修復フローは、修復された資産が評価された後で完了します。詳細については、「のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 ハードウェア資産ワークスペース」および「モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの管理」を参照してください。

修理フローのステージ

1. トラブルシューティング:欠陥のある資産を評価し、以下を評価するステージ:
   - 資産に関する問題
   - 必要な部品
   - 欠陥のある資産を修復する手順

   このステージでは、資産技術者が資産が修理可能か、再展開可能か、修理不可能かを確認します。資産が修理可能な場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

2. 修理:欠陥資産の修理を確認するステージ。このタスクでは、資産を修理または再展開するか、修理不能としてマークします。

   資産が修復された場合にのみ、修復フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

3. 評価:修復された資産の品質管理チェックを実行するステージ。評価結果に基づいて、資産は再展開または廃棄されます。修理フローは資産評価後に完了します。

の在庫ピッキング ハードウェア資産管理

大規模なストックルームで作業するインベントリユーザーは、インベントリピッキング機能を使用してストックルーム内の資産を簡単にピッキングし、技術者による資産のピックアップを容易にします。

インベントリピッキング機能には、次の ハードウェア資産管理 ワークフローでの資産ピッキングタスクの追加が含まれます。

- Standard Hardware Asset Request (標準ハードウェア資産要求)
- ハードウェア更新要求
- 調達ワークフロー

注: 資産集荷タスクは、資産要求の調達、要求の更新、または調達要求に使用される倉庫に対して明示的に有効になっている場合にのみ使用できます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

資産集荷タスクを使用すると、倉庫内の任意の通路とスペースから資産を集荷できます。その後、集荷した資産をストックルーム内の指定した場所にドロップできます。資産集荷タスクを完了すると、資産技術者は資産をピックアップしてアサインされた要求を履行できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産集荷タスクの詳細については、「 ハードウェア資産管理ワークフローのためにストックルーム内のピッキングハードウェア資産を管理する と モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の集荷タスクを管理する」を参照してください。

ゼロタッチ要求フロー

ゼロタッチ要求フローを使用して、最小限の介入で外部プロバイダーを通じて従業員のハードウェア要求を履行します。

ゼロタッチ要求フローの要件

ゼロタッチ要求フローには、次の基本的な要件があります。

1. 組織とプロバイダーは ServiceNow クラウド上にある必要があります。
2. ServiceNow サービスブリッジ アプリケーションは、ServiceNowインスタンス上で構成する必要があります。
3. プロバイダーは、リモートカタログアイテムまたはリモートレコードプロデューサーを公開している必要があります。

ゼロタッチ要求ワークフロー

1. 組織の従業員が、ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムのカタログ要求を送信します。

   カタログ要求が作成され、 要求ステータス が [承認待ち] になります。

2. 承認者はカタログ要求をレビューし、次のいずれかのタスクを実行します。
   - カタログ要求を却下: 要求ステータス が [却下してクローズ] に変わり、要求アイテムの [ステージ] が [未完了でクローズ] に変わります。
   - カタログ要求を承認する: 要求ステータス が [承認済み] に変わり、要求アイテムの ステージ が [確認待ち] に変わります。

     注: リモートレコードプロデューサーにアクセスできない要求者がカタログ要求を送信すると、要求アイテムは [未完了でクローズ] としてマークされます。

3. カタログ要求が承認されると、要求は次のように変更されます。
   a. 要求は、カタログアイテムマッピングで構成されたリモートレコードプロデューサーに基づいてプロバイダーに送信されます。
   b. 組織のServiceNowインスタンスで、要求アイテムの [ステージ] が [確認待ち] に変わります。
4. プロバイダーは、注文を確認するスクラッチパッドの更新を ServiceNow インスタンスに送信します。要求アイテムの [ステージ] が [保留中の出荷] に変わります。
5. プロバイダーは従業員に資産を出荷し、出荷の詳細を含むスクラッチパッドの更新を ServiceNow インスタンスに送信します。

   プロバイダーが資産を出荷すると、次のイベントが発生します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロバイダーによって指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。

  注: 必要なアクションを実行するために、次のシナリオで資産管理者にメール通知が送信されます。

  - プロバイダーから提供されたシリアル番号を持つ資産レコードが ServiceNow インスタンスに存在します。
  - プロバイダーによって提供されたモデル番号は、 ServiceNow インスタンスでは使用できません。
  - 出荷される資産は消耗品です。

- プロバイダーがスクラッチパッドで指定した追跡番号と配送業者の詳細に基づいて、出荷に対して一意の出荷レコードが作成されます。ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、関連する資産を含む出荷レコードを表示できます。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。

アセットバンドルを出荷する場合、プロバイダーは資産全体を 1 回の出荷で出荷するか、部分的に複数の出荷で出荷するかを選択できます。資産が完全に出荷された場合にのみ、要求アイテムの [ステージ] が [受領待ち] に変わります。

6. 従業員はモバイルデバイスで資産の受領を確認します。要求アイテムのステージが [完了] に変わります。

   注: 消耗資産の受領をモバイルデバイスで確認できません。資産マネージャーは、従業員に代わって受信したメール通知に基づいて必要なアクションを実行し、確認します。

ゼロタッチ要求フローを介したハードウェア資産要求の作成と実行の詳細については、「 ゼロタッチ要求フローを使用してハードウェア資産要求を管理する」を参照してください。

ハードウェア資産管理 の構成

正確なインベントリとインサイトを得るために一元化された資産データを取得し、ワークフローで IT ライフサイクルを自動化し、資産のコストとリスクを削減するように ハードウェア資産管理 を構成します。

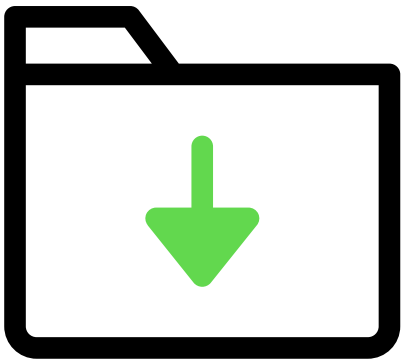
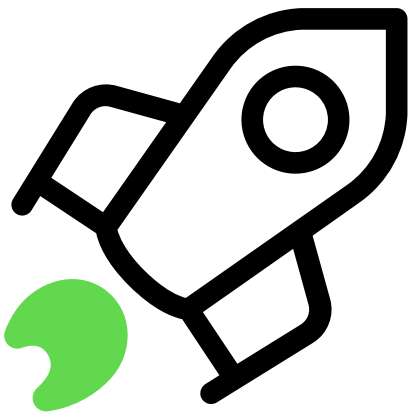
構成の概要

ハードウェア資産管理を構成するプロセスの概要は次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
 ハードウェア資産管理 のインストール	ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを取得します。	ハードウェア資産管理のインストール
 ハードウェア資産管理 の使用	ハードウェア資産管理を使用してハードウェアと消耗品資産を管理し、資産のコストとリスクを軽減します。	ハードウェア資産管理 の使用

ハードウェア資産管理のインストール

admin ロールを持っている場合は、 ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp) をインストールできます。 アプリケーションには、デモデータが含まれています。関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします (まだインストールされていない場合)。

始める前に

依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store の Hardware Asset Management アプリケーションリストを確認してください。

必要なロール:ham_admin

このタスクについて

ハードウェア資産管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- ロール
- スケジュール済みジョブ
- テーブル

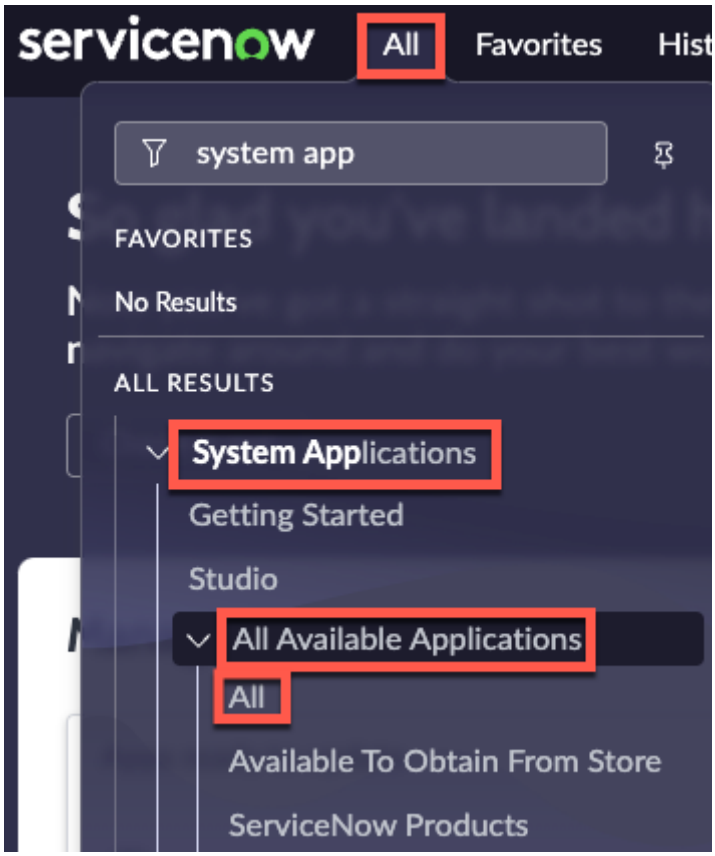
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

詳細については、「ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 ハードウェア資産管理 アプリケーション (sn_hamp) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:** インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理 の使用

ハードウェア資産管理アプリケーションを使用して、ハードウェアと消耗品資産を管理します。

ハードウェア正規化の操作

資産管理 ハードウェアモデル正規化 を使用すると、ユーザーは、ハードウェアおよび消耗品モデルの製造元、製品、モデル、デバイスタイプなどの詳細を正規化できます。モデルからのデータは、ハードウェアモデル正規化 Content Service のデータと比較されます。

ハードウェアモデル正規化 プラグインをアクティブ化すると、Normalization Data Services Client (com.glide.data_services_canonicalization.client) プラグインも有効になります。

注: このドキュメントは ハードウェアモデル正規化用です。資産管理の詳細については、資産管理のドキュメント を参照してください。

スケジュール済みジョブ

ハードウェアと消耗品のモデルを標準化するには、資産データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新するか、データを Hardware 資産管理 Content Service と比較することができます。

HAM ハードウェアモデル正規化 スケジュール済みジョブは毎日実行されます。

ハードウェアモデル正規化 コンテンツサービスのコンテンツがNow Platformにプルされます。資産のジョブ履歴 (asset_job_log) テーブルを使用して、スケジュール済みジョブのステータスを確認します。

モデルの正規化ステータスは、モデルの [正規化を元に戻す] をクリックすることで元に戻すことができます。モデルで発生した正規化はすべて元に戻され、ルールは非アクティブ化されます。スケジュール済みジョブが実行されると、モデルがアクティブなルールで処理され、ステータスが更新されます。

スケジュール済みジョブは、ハードウェアおよび消耗品モデルのレポートを生成します。これらのレポートは、モデルの全体的なステータスを識別し、正規化ステータスのブレークダウンを提供します。

次のレポートが含まれています。

- ハードウェア製品全体の正規化ステータス
- 消耗品全体の正規化ステータス
- ハードウェアモデル正規化ステータス
- 消耗品モデルの正規化ステータス

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

Hardware 資産管理 Content Service にオプトインして、組織のハードウェアと消耗品モデルのデータを ServiceNow と共有することで正規化プロセスを改善します。

始める前に

必要なロール：

- ham_admin:ドメインセパレーションされていないインスタンスの場合
- ham_adminプラスdomain_admin:ドメインセパレーションインスタンスの場合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
Hardware 資産管理 Content Service にオプトインすると、データは ServiceNow と安全に共有され、コンテンツサービスリポジトリが構築されます。コンテンツサービスに追加すると、より多くのモデルを自動的に正規化できます。これらの更新は毎週行われます。

コンテンツの更新は、ハードウェアおよび消耗品モデル、ライフサイクル、およびハードウェア 資産管理 コンテンツサービスに返送されたカスタムハードウェア製品モデルからのデータに基づいています。

コンテンツサービスによって取得されたデータは、 ServiceNow プライバシーポリシーに従って、匿名で安全なままになります。データはレビュー後、適切に廃棄されます。

手順

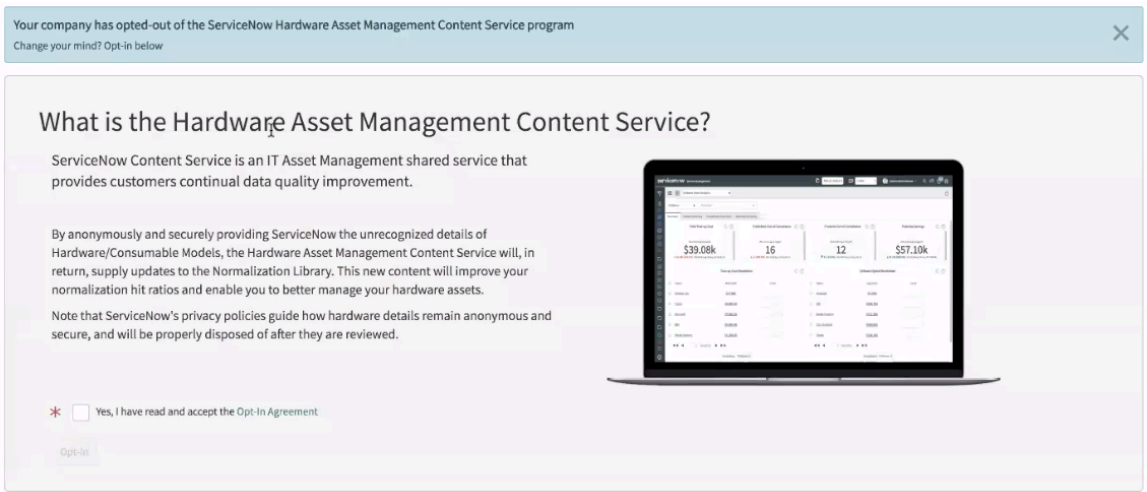
1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > **Hardware Model Normalization** > コンテンツサービス設定.
2. ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約をお読みください。
3. [はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] を選択します。
4. [オプトイン] をクリックします。
5. 除外するハードウェアモデル、消耗品モデル、またはライフサイクルデータがある場合は、[コンテンツサービス設定] フォームでオプションを切り替えます。
6. [保存] をクリックします。

Example: ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスへのオプトイン

組織では、Hardware 資産管理 Content Service を有効にすることに決めました。

コンテンツサービス設定モジュールに移動し、ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約を確認します。

ハードウェア資産管理コンテンツサービス契約



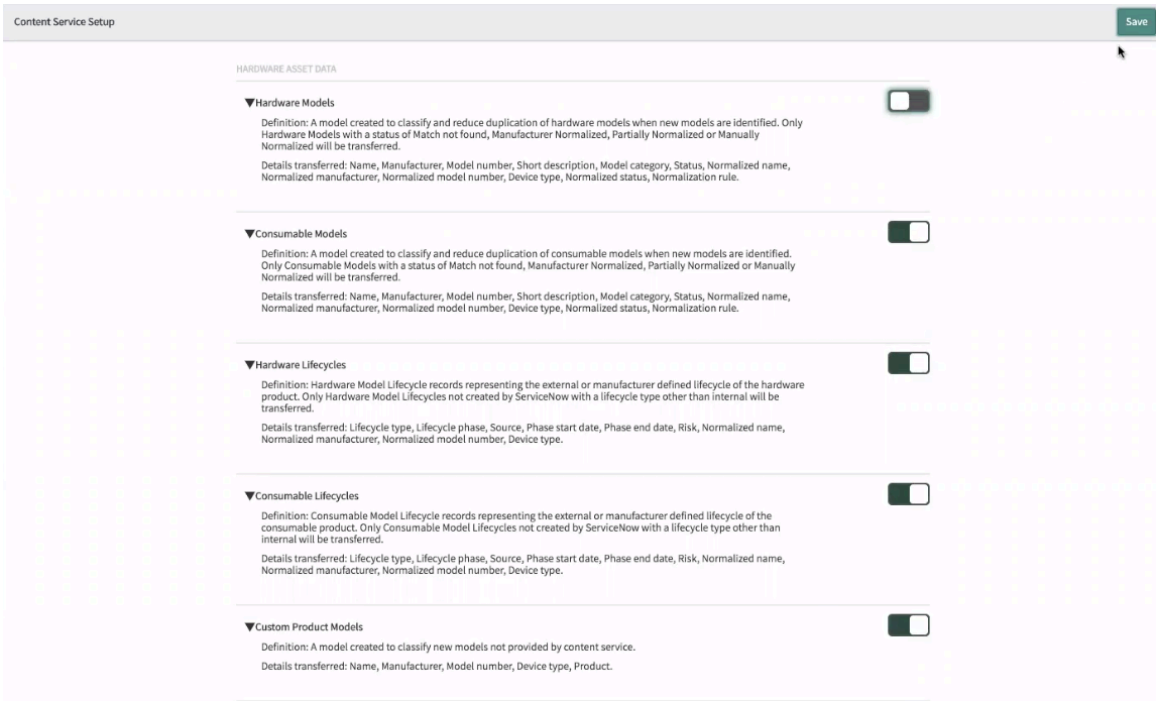
「 はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します 」を選択して、「コンテンツサービス設定」ページを表示します。

ハードウェアモデルデータを Hardware 資産管理 Content Service に送信しないことにしました。[Hardware Models (ハードウェアモデル)] の横にあるボタンを切り替えて、ハードウェアモデルの資産データの送信をオプトアウトします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

コンテンツサービス設定

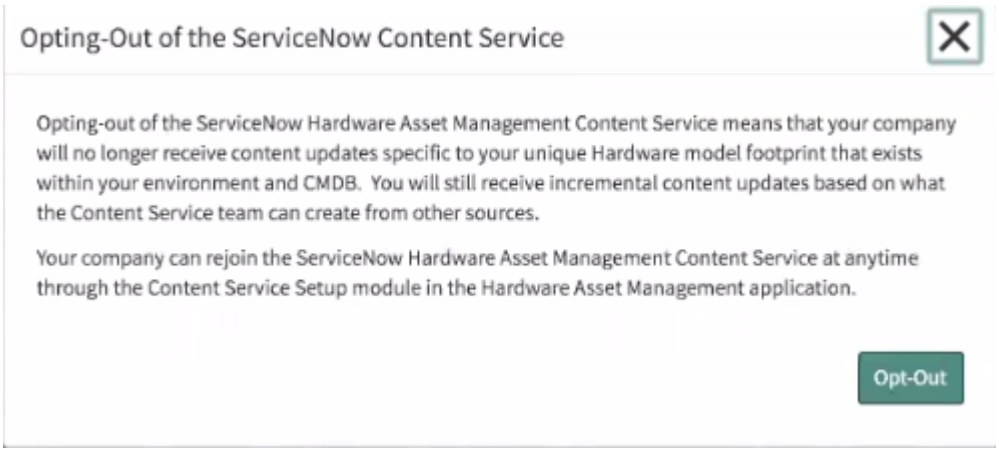


[保存] をクリックします。

組織は、データの送信を一切行わず、Hardware 資産管理 Content Service からオプトアウトすることを決定しました。データの送信を停止するには、すべてのボタンをオフに切り替えます。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービスの使用をオプトアウトすることを確認するメッセージが表示されます。

ServiceNow コンテンツサービスからオプトアウト中



[オプト アウト] をクリックします。

ハードウェア 資産管理 コンテンツサービス契約に戻り、いつでもオプトインし直すことができます。

コンテンツデータのインポートとエクスポート

コンテンツデータを ServiceNow ハードウェア資産管理 コンテンツサービスにインポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、[ハードウェアライブラリを管理] モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：

- ham_admin
- domain_admin (ドメインセパレーションが有効な場合)

手順

1. [モジュール] に移動し、[ハードウェアライブラリの管理] を検索します。
2. [ハードウェアライブラリを管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしてモジュールをアクティブ化します。
3. [**Save** (保存)] をクリックし、フォームレイアウトを更新します。
4. [Manage Hardware Library (ハードウェアライブラリの管理)] モジュールに移動します。
5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。

   a. [**Import Hardware Library Content**] をクリックします。

   b. [コンテンツ ファイルを添付] をクリックし、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。

   c. [インポート実行] をクリックします。
   データがインポートされると、コンテンツ更新スケジュールジョブ *HAM - Apply latest content changes* がトリガーされ、コンテンツの更新が処理されます。

6. コンテンツをエクスポートして、カスタムデータ、または完全に正規化されていないハードウェアモデルを ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

   a. [**Content Service Opt-in: Export Hardware Normalization Content**] をクリックします。

   b. コンテンツサービスとのデータ共有をまだオプトインしていない場合は、オプトインをクリックして [ハードウェアライブラリServiceNow管理] ページを更新します。

   c. 「 エクスポートの実行」をクリックします。

   d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
   zip ファイルが作成され、[ハードウェアライブラリの管理] ページの上部に表示されます。エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

   e. この zip ファイルをダウンロードして、ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

ハードウェアまたは消耗品モデルを作成する

ハードウェアと消耗品資産の追跡を開始するには、ハードウェアまたは消耗品モデルを作成します。次に、ライフサイクル情報を追加して、モデルのライフサイクルフェーズを追跡します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル
   - 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル
2. [新規] をクリックします。
3. ハードウェアモデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

   a. [ハードウェアモデル] フォームで、[消耗品モデルフィールド] セクションをクリックします。

   b. [保存] をクリックします。

   c. 資産に追加情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   d. ユニット情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   e. 互換性のあるモデルをリンクするには、 互換性 をクリックし、[互換性を追加] をクリックします。

   f. モデル代替を追加するには、 代替 をクリックし、[置換の追加] をクリックします。

   g. ハードウェアモデルを手動で正規化するには、[正規化] セクションをクリックします。

   h. 構成アイテムを追加するには、 構成アイテム IDをクリックします。

   i. モデルを製品カタログに追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   j. モデルをハードウェアカタログに公開するには、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクをクリックします。

   k. 関連資産を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

   l. モデルコンポーネントを追加するには、 モデルコンポーネントをクリックします。

   m. ベンダー情報をモデルに追加するには、 ベンダーカタログアイテム をクリックして [新規] をクリックします。

   n. ライフサイクル情報を追加するには、 ハードウェアモデルのライフサイクルをクリックし、[新規] をクリックします。
   同じソース、ライフサイクルタイプ、ライフサイクルフェーズ、およびソースを持つライフサイクルが終了すると、エラーメッセージが表示されます。

      注: 追加したライフサイクルは削除できますが、Hardware 資産管理 Content Service から作成されたライフサイクルは削除できません。

4. 消耗品モデルを追加する場合は、次の手順を実行します。

   a. [消耗品モデル] フォームで、 詳細を入力します。

   b. [保存] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. 消耗資産に追加情報を追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

d. モデルを製品カタログに追加するには、 ハードウェアモデルの詳細をクリックします。

e. ベンダー情報をモデルに追加するには、[ベンダーアイテム] 関連リストをクリックします。

f. ライフサイクル情報を追加するには、[消耗品モデルのライフサイクル] 関連リスト をクリックし、[新規] をクリックします。
同じソース、ライフサイクルタイプ、ライフサイクルフェーズ、およびソースを持つライフサイクルが終了すると、エラーメッセージが表示されます。

> **注:** 追加したライフサイクルは削除できますが、Hardware 資産管理 Content Service から作成されたライフサイクルは削除できません

5. [送信] をクリックします。

タスクの結果
モデルは、[ハードウェアモデル]または[消耗品モデル]リストのいずれかに表示されます。

> **注:** このモデルをハードウェア 資産管理 コンテンツサービスから除外する場合は、「 コンテンツサービスから除外 」オプションを選択します。

Example: ハードウェアモデルの作成

ThinkPad T43を購入し、資産の追跡を開始する必要があります。

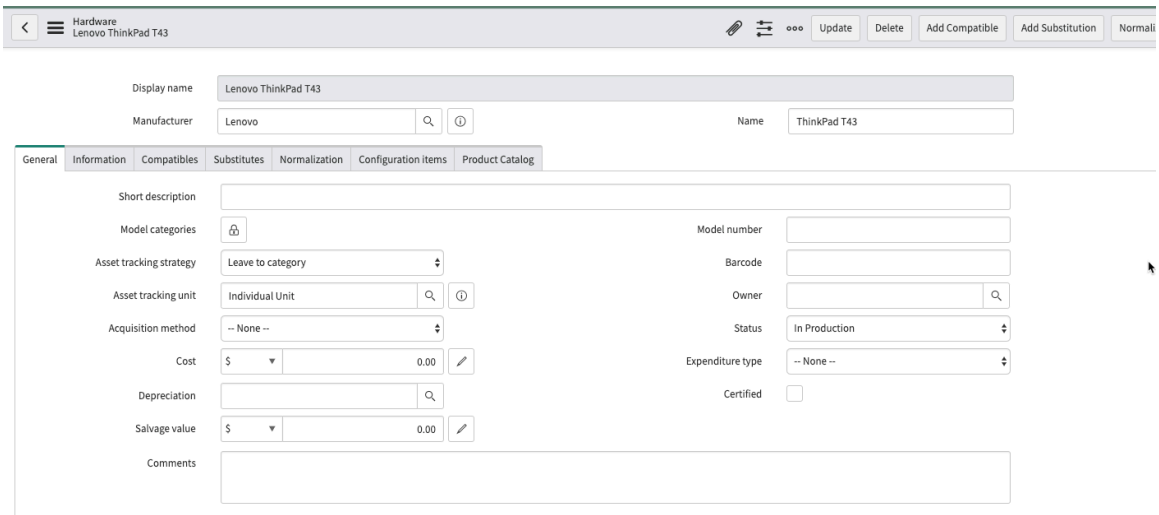
資産の追跡を開始するには、ハードウェアフォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
メーカー	Lenovo
名前	ThinkPadのT43

[保存] をクリックします。

[表示名] フィールドが、製造元の名前とハードウェアの名前で更新されます。

ハードウェアフォーム



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

現在、Lenovo ThinkPad T43 が一般公開されています。資産のフェーズを正確に追跡するには、ライフサイクルステータスを追加します。

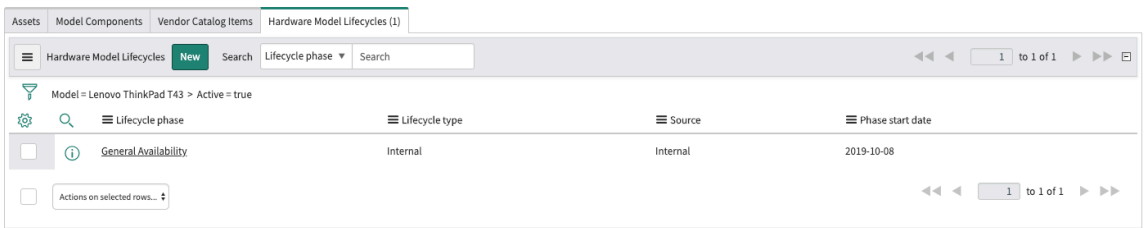
[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。[ハードウェアモデルライフサイクル] フォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフ サイクル タイプ	一般提供
フェーズ開始日	2019-10-08
フェーズ終了日	2019-10-31

[送信] をクリックします。

ライフサイクルがレコードに追加されます。

ハードウェアモデルのライフサイクル



一般提供フェーズが終了すると、ThinkPad T43は製造中止になります。資産に提供終了情報を追加して、ライフサイクルを正確に追跡します。

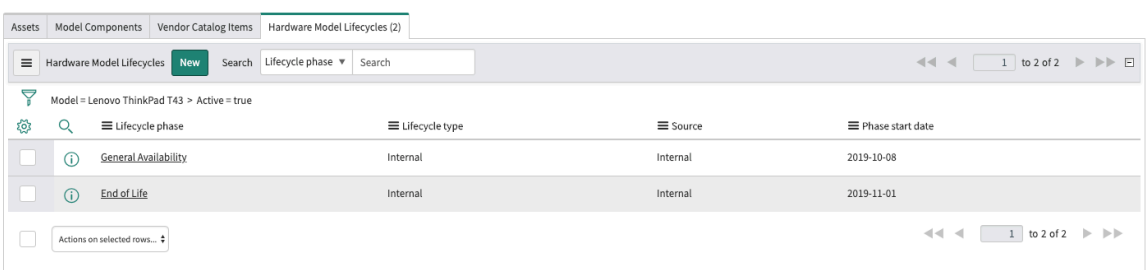
[ハードウェアライフサイクルモデル] 関連リストをクリックし、[新規] をクリックします。[ハードウェアモデルライフサイクル] フォームに次の情報を追加します。

フィールド	説明
ライフ サイクル タイプ	提供終了
フェーズ開始日	2019-11-01
フェーズ終了日	2019-11-30

[送信] をクリックします。

[End of Life (提供終了)] ライフサイクルがレコードに追加され、両方のライフサイクルフェーズが [Hardware Model Lifecycle (ハードウェアモデルライフサイクル)] 関連リストに表示されます。

ハードウェアモデルライフサイクルリストのライフサイクルフェーズ



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
ハードウェアまたは消耗品モデルを追加したら、 データを正規化できます。

ハードウェアと消耗品モデルの正規化

ハードウェアモデルと消耗品モデルを作成したら、モデルの情報を正規化します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

このタスクについて

注:

- Hardware 資産管理 Content Service にオプトインした場合は、スケジュールジョブから追加されたライフサイクル値を上書きするか、独自のライフサイクルを手動で追加できます。
- モデルを完全に正規化するには、メーカーの詳細とモデル番号、およびオプションでモデル名を追加する必要があります。
- [デバイスタイプ] フィールドを更新すると、正規化ステータスが更新されます。

手順

1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル
   - 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル
2. モデルを作成するには、 新規 を選択します。
3. [ハードウェアモデル] または [消耗品モデル] フォーム で、詳細を入力します。
4. [保存] を選択します。
   情報が利用可能な場合、モデルはハードウェア正規化コンテンツサービスのデータと比較され、モデルが正規化されます。

   注: ハードウェアまたは消耗品モデルがハードウェア資産管理コンテンツサービスに対して正規化されている場合、該当するライフサイクルがコンテンツサービスに存在していれば、ライフサイクルが追加されます。

5. 追加した詳細に基づいて、次の手順を実行します。

   a. モデルの正規化ステータスが [部分的に正規化済み] または [パブリッシャーの正規化済み] の場合は、[正規化済み] セクションと [消耗品モデルフィールド] セクションを選択して、モデルを手動で正規化します。

   b. モデルの正規化ステータスが [Fully Normalized (完全に正規化済み)] であるが、追加された情報が気に入らない場合は、[**Revert Normalization]** (正規化を元に戻す) を選択します。
   すべての正規化フィールドがクリアされ、モデルを手動で正規化できます。

   注: このオプションは、モデルが [Fully Normalized]、[Partially Normalized]、または [Manufacturer Normalized] の場合にのみ使用できます。正規化を元に戻す は、ドメインセパレーションされていないインスタンスでは ham_admin ロールを持つユーザーにのみ表示され、ドメインセパレーションされたインスタンスでは ham_admin + domain_admin ロールを持つユーザーに表示されます。詳細については、「ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す」を参照してください。

6. [保存] を選択します。
   [正規化ステータス] フィールドが更新されます。

自動翻訳

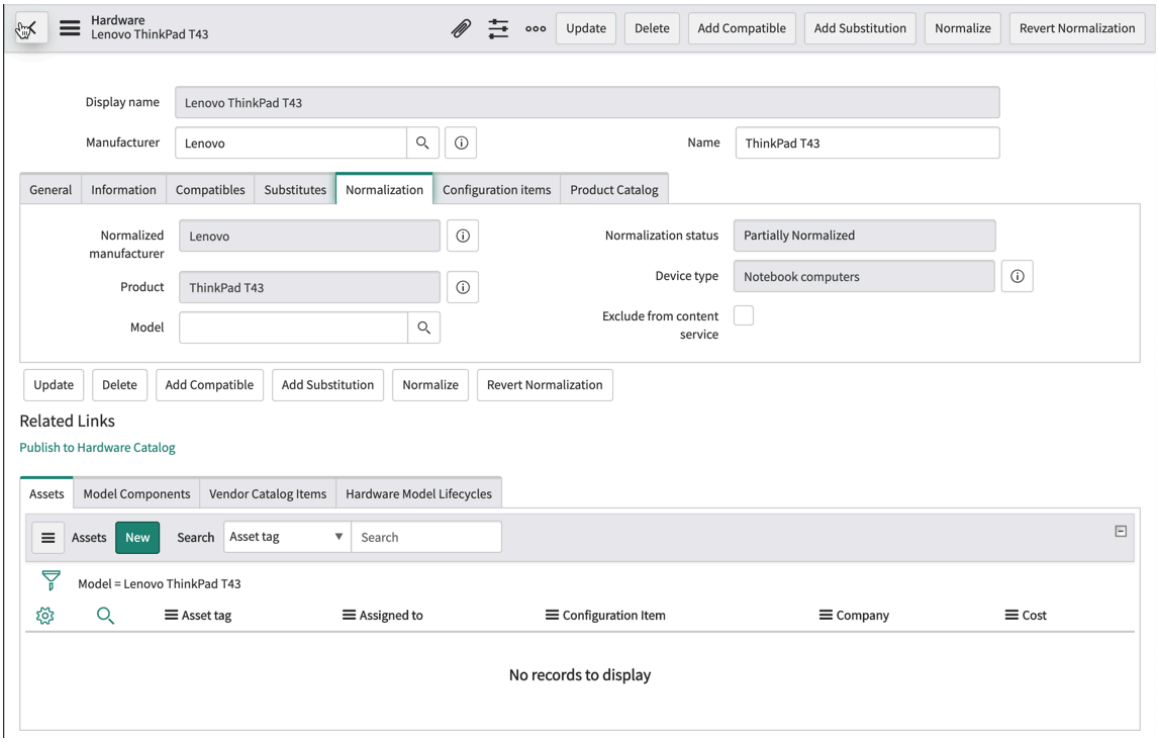
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: ハードウェアモデルの正規化

Lenovo ThinkPad T43 のハードウェアモデルを作成したので、組織全体で資産情報の一貫性を保つ必要がある。

[正規化] セクションを選択して、モデルの正規化ステータスを確認します。

正規化ステータス



モデルの名前がないため、正規化ステータスは [Partially Normalized (一部正規化済み)] に設定されます。

[モデル] フィールドに「`2687DTU`」と入力します。

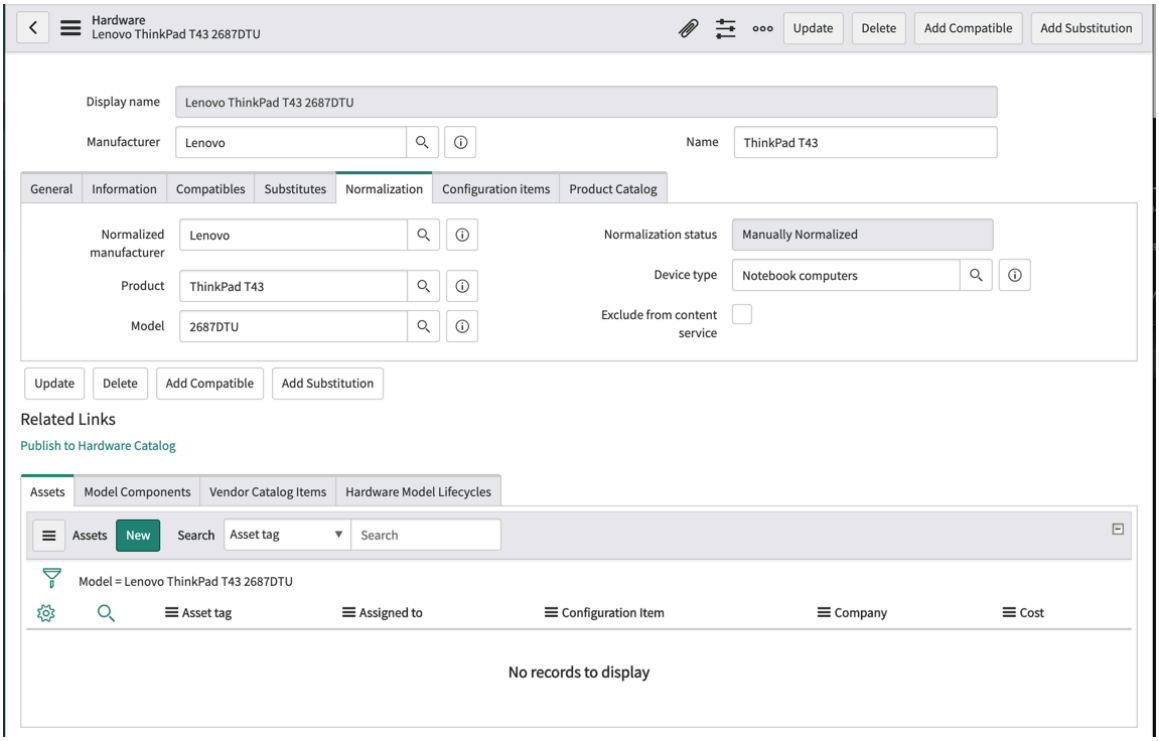
[保存] を選択します。

[Normalization Status (正規化ステータス)] フィールドに **[Manually Normalized** (手動で正規化済み)] と表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手動で正規化されたステータス



ハードウェアと消耗品モデルの正規化を元に戻す

ハードウェア資産ワークスペースでハードウェアモデルと消耗品モデルの正規化を元に戻します。

始める前に

必要なロール:ham_admin、asset

このタスクについて

ステータスが **[Fully Normalized]**、[**Partially Normalized**]、[**Manufacturer Normalized**]、または **[Manually Normalized**] のハードウェアモデルと消耗品モデルは元に戻すことができます。

手順

1. 正規化されたハードウェアまたは消耗品レコードに移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	◦ ハードウェアモデルについては、 すべて > 製品カタログ > 製品モデル > ハードウェアモデル. ◦ 消耗品モデルの場合は、 すべて > 製品カタログ > 製品モデル > 消耗品モデル.
ハードウェア資産ワークスペース	◦ ハードウェアモデルについては、 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > モデル管理 > ハードウェアモデル. ◦ 消耗品モデルの場合は、 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > モデル管理 > 消耗品モデル.

2. 既に正規化されているハードウェアまたは消耗品モデルレコードを開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [**Revert Normalization**] をクリックします。
4. 確認メッセージボックスで[**OK]** をクリックします。

タスクの結果
正規化プロセスを元に戻すプロセスが完了すると、次の変更が行われます。

- モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。
- フィールドは元の値にリセットされ、モデルに関連付けられているルールはすべて非アクティブ化されます。
- ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すことが実行されます。
- 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールは再アクティブ化できません。これは 1 回限りの手順です。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションは、[正規化] オプションに置き換えられました。

カスタム製品を追加

資産管理 Content Service にまだ表示されていない製品がある場合は、カスタム製品を作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > カスタム製品.
2. [新規] をクリックします。

フィールド	説明
名前	カスタム製品の名前。
メーカー	メーカーの名前。
説明	製品の説明。
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
アクティブ	製品がアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	製品がコンテンツサービスから除外されることを示すオプション。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

カスタムハードウェアモデルを追加する

資産管理 Content Service にまだ表示されていないハードウェアモデルがある場合は、カスタムモデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 管理 > カスタムモデル.
2. [新規] をクリックします。

[カスタムハードウェアモデルライブラリ] フォーム

フィールド	Description (説明)
モデル番号	ハードウェアモデルに関連付けられた番号。
製品	製品の名前。
説明	ハードウェアモデルの説明。
名前	モデルの名前。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示すオプション。
コンテンツサービスから除外	モデルがコンテンツサービスへの送信から除外されていることを示すオプション。

3. [送信] をクリックします。

次のタスク
ハードウェアモデルを作成したら、 モデルを正規化します。

資産と CI の操作

資産と構成アイテム (Configuration Item, CI) の管理とは、資産の作成、適切な状態とサブステートの設定、資産と CI の同期、消耗品の管理、資産の廃止を意味します。

資産と CI の関係

資産と関連した CI との関係管理は、重要なことです。資産は、所有資産の財務面に焦点を当てた資産管理アプリケーションで追跡できます。構成アイテムは、アイテムを追跡してユーザーの利用を可能にするために使用する CMDB に保管されます。

資産に該当する構成アイテムがある場合、資産レコードと構成アイテムレコードは以下の 2 つのビジネスルールと同期した状態となります。

- *Update CI fields on change* (資産 [alm_asset] テーブル上)
- *Update Asset fields on change* (構成アイテム [cmdb_ci] テーブル上)

注: 資産と CI は、論理的にマッピングされている場合にのみ同期できます。

資産 - CI マッピングと同期

資産レコードの [状態] フィールドと CI レコードの [ステータスフィールド] は同期できます。一方のフォームで行われた変更が相対するフォームにも反映されることにより、レポートの一貫性が保たれます。

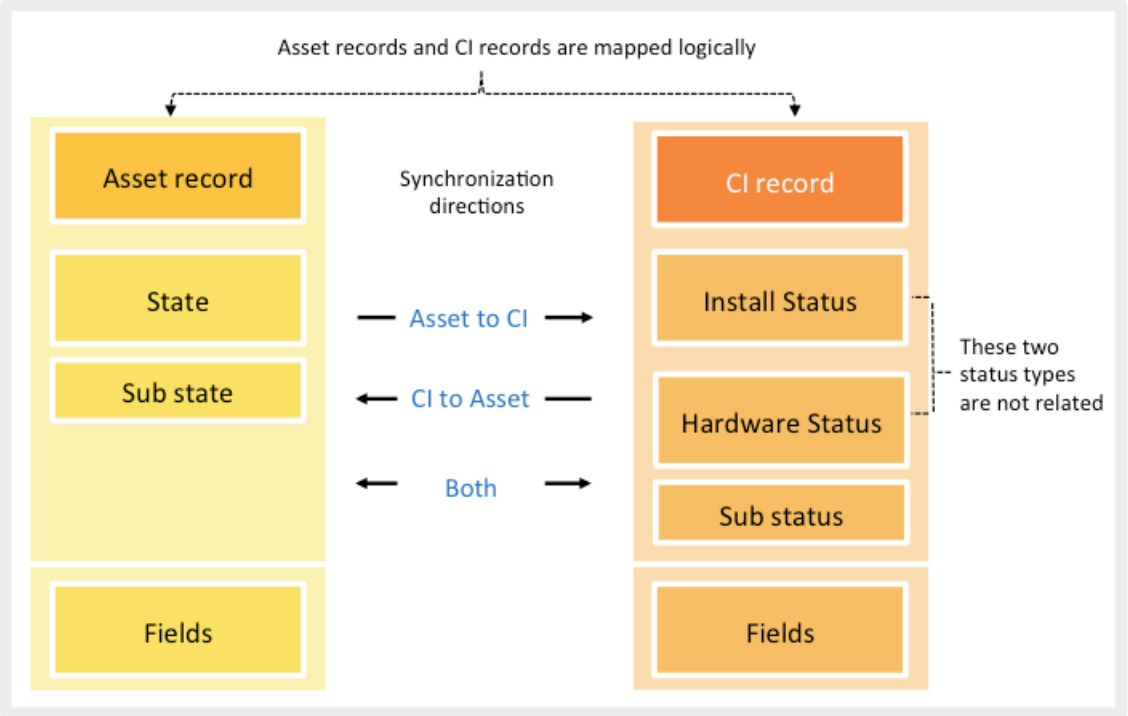
注: 資産と構成アイテムが互いに関連付けられている場合にのみ、Now Platformは資産と構成アイテムの更新内容を同期します。

次の図で、資産 - CI マッピングと同期の概念を表します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産 - CI マッピングと同期の概要



この同期とマッピングは次の要素に基づいています：

- 資産の状態と CI のステータスは 1 対 1 でマッピングされません。他方のテーブルにおいて最も論理的に一致するものにマッピングされます。たとえば、[在庫あり - 保留中の廃棄] の状態に設定されたハードウェア資産の場合、一致する CI はサブステートがない [処分中] に設定されます。
- この同期は、資産の [状態] フィールドと次の CI フィールドの間で行われます。
  - [インストール ステータス] フィールド：インストール ステータスにはサブステータスがありません。また、ハードウェア以外の CI で使用する必要があります。
  - [ハードウェア ステータス] と [サブステータス] フィールド：ハードウェア ステータスは、ハードウェア CI にのみ表示されます。
- 資産フォームの状態を更新して変更を実行します。資産 - CI の同期は、次の方法で実行できます。
  - 資産から CI への同期：資産のステータスが変更されると、論理的にマッピングされた CI のインストール ステータスまたはハードウェア ステータスとサブステータスが更新されます。
  - CI から資産への同期：CI のアクティブステータスまたはハードウェアステータスが変更されると、論理的にマッピングされた資産の状態およびサブステータスが更新されます。
- CMDB のハードウェア CI の場合、ハードウェアステータスとインストールステータスの両方が更新されると、一致する資産の状態をマッピングするためハードウェアステータスの変更が検討されます。
- CI のインストールステータスとハードウェアステータスは独立して機能するため、2 つのフィールドは関連していません。CI のハードウェア ステータスが変更されても CI のインストール ステータスは変更されず、またその逆も同様です。混乱を避けるため、CMDB CI ハードウェアのステータス両方の維持はお勧めしません。

資産と CI 間で同期が発生するフィールド一覧

資産レコードや CI レコード上で次のフィールドのいずれかが変更されると、相対するレコード上の同じフィールドが自動的に更新されます (CI レコード上で情報提供のみを目的とする [コスト] フィールドは例外です)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

同期されるフィールドは以下の通りです。

- 資産管理番号
- Assigned (割り当て日付)
- Assigned to (アサイン先)
- Checked in (チェックイン日時)
- Checked out (チェックアウト日時)
- 会社
- コスト (一方向の同期：資産から CI)
- コストセンター
- Delivery date (配送日)
- 部門
- 修正済み期限
- 期限
- GL アカウント
- Install date (インストール日)
- Invoice number (請求書番号)
- Justification (理由)
- Lease ID (リース ID)
- Location (ロケーション)
- Managed by (管理担当者)
- Model (モデル)
- 注文日
- オーダー受領日
- 注文済み
- 所有者
- PO number (発注書番号)
- 購入日
- 購入日
- シリアル番号
- サポートグループ
- サポート担当者
- ベンダー
- 保証の有効期限

資産および CI の作成プロパティ

glide.create_alm_asset.async

システムのプロパティ *glide.create_alm_asset.async* は、 構成アイテム (CI) が作成された直後に資産を作成するか、または遅延後に資産を作成するかをコントロールします。資産の作成に遅延があると、多数の CI を迅速に作成できます。このプロパティが [**True**] に設定されている場合、15 分ごとに実行される *Asset - Create*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

asset delayed sync スケジュールジョブによって資産が作成されます。資産のジョブ履歴テーブル [asset_job_log] で、スケジュールジョブのステータスを表示します。作成待ちの資産と資産作成エラーを表示するには、 資産 > 管理 > 資産作成キュー. エラーを再処理するには、ステータスを [エラー] から [準備完了] に更新します。次回スケジュールジョブが実行されるときに、資産の作成を再試行します。

glide.create_alm_asset.async プロパティが [**false**] に設定されている場合、資産はすぐに CI から作成されます。

注: このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Xanadu にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、CI に存在する資産値に依存しているプロセスをレビューし、資産の遅延作成のためにアカウントに必要な変更を加えます。

glide.asset.create_ci_with_ire

システムのプロパティ *glide.asset.create_ci_with_ire* により、ServiceNow® 構成管理データベース (CMDB) 識別および調整エンジン (IRE) を使用して、資産から CI を作成できます。このプロパティは、シリアル番号に識別ルールがあり、他の CI クラスとの依存関係がない CI クラスに影響します。

注: ハードウェア CI クラス [cmdb_ci_hardware] から拡張された CI クラスも IRE を使用して資産から作成されますが、このプロパティではコントロールされません。

IRE を使用して作成された CI は、「シリアル番号 - モデル名」の形式の名前になり、ソースは `SNAssetManagement` です。これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの資産では、[シリアル番号] フィールドは必須です。資産のシリアル番号が既存の CI または資産に存在する場合、資産の作成に失敗します。[シリアル番号] フィールドは、これらの CI クラスに対応するモデルカテゴリの発注明細を受け取るためにも必要です。[シリアル番号] フィールドは、事前に割り当てられた資産の作成に必須ではありませんが、資産の割り当て時にシリアル番号を指定する必要があります。
このプロパティのデフォルト値は、Orlando 以前から Xanadu にアップグレードした場合は [**false**] です。このプロパティを更新する前に、[シリアル番号] フィールドのカスタマイズと、既存のシリアル番号を使用して資産を作成する統合またはフローを確認してください。

割り当て済み資産を作成する

コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用して、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

手順
1. 資産を作成します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産]に移動します。 **b.** 作成する資産のタイプを選択します。 **c.** [新規] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
ハードウェア資産ワークスペース	**a.** [すべて] > [ハードウェア資産ワークスペース] > [資産一覧]の順に移動します。 **b.** [新しい資産] を選択します。 **c.** ダイアログボックスで資産タイプを選択してから、[作成] を選択します。

2. [資産レコードフィールド (Asset record fields)] フォームで、フィールドに入力します。

フィールド値の説明については、「資産レコードフィールド」を参照して ください。

3. 資産フォームを送信または保存します。

資産の廃止

資産はいつでも廃止できます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産の状態を [廃止] に変更すると、[サブステート] フィールドがアクティブになります。資産を廃止すると、関連する CI のステータスも [廃止] に変わります。サブステートの選択は必須ではありませんが、追跡とレポート作成に役立ちます。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産]に移動します。

2. [状態] で、[廃止] を選択します。

3. オプション: [サブステート] で、[廃棄済み]、[販売済み]、[寄贈済み]、[ベンダー クレジット] のいずれかを選択します。

4. [更新] をクリックします。

資産の削除

資産はいつでも削除できます。

始める前に

注: アセットバンドルの一部となっている資産は削除できません。

必要なロール：asset

このタスクについて
資産とコンポーネントが完全に削除される前に確認を承認する必要があります。CI と資産がリンクされている場合、どちらかを削除すると両方とも削除されます。

資産の削除は、エラーのクリーンアップのためにだけ行ってください。追跡目的として未使用の資産を管理するには、資産の状態を [廃止済み] に変更することが正しい方法です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産]に移動します。
2. 資産の [名前] の左側にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。

資産フィールドと CI フィールドをマッピングする

資産フィールドと CI フィールドをマッピングすると、双方向で同期を行います。資産レコードや CI レコードの変更は、論理的にマッピングされたレコードに更新されます。ベース インスタンスで提供されるカスタム マッピングとマッピングを同期できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:** 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に *AssetAndCISynchronizer* スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

このタスクについて
条件付きでフィールドをマッピングさせて同期を行うことができます。たとえば、[事業所] フィールドについて、ソフトウェア資産ではなくハードウェア資産についてのみマッピングすることが可能です。そうすることで [事業所] フィールドは、資産の更新時にはハードウェア資産のみ同期を行います。

手順

1. [すべて] > [資産] > [管理] > [資産 **-** CI フィールドマッピング]に移動し、[新規] をクリックします。
2. [資産フィールド] リストから、フィールドを選択します。
   このリストは alm_asset テーブルを参照しています。
3. cmdb_ci テーブルを参照する [構成アイテムフィールド] リストから、論理的に関連付けられたフィールドを選択します。
4. マッピングの条件を作成するには、[詳細表示] 関連リンクをクリックします。
   - 資産フィールドと CI フィールドを同期させるための条件を指定するには、[資産マッピング条件] ビルダーを使用します。
   - CI フィールドを資産フィールドと同期するための条件を指定するには、[構成アイテム マッピング条件] ビルダーを使用します。
5. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
6. [送信] をクリックします。

資産状態と CI インストール ステータスをマッピングする

資産の [状態] フィールドと [サブステート] フィールドを **[CI** インストールステータス] フィールドにマッピングします。**[CI** インストールステータス] フィールドの [サブステータス] フィールドは、ハードウェア CI には使用できません。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:** 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に *AssetAndCISynchronizer* スクリプトインクルードをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
資産同期では、ハードウェア資産が更新されても、このフィールドは更新されません。マッピング作成時に、同期方向を資産から CI へと設定できますが、CI から資産へは設定できません。ハードウェア以外の CI クラスの場合は、双方向の同期を設定できます。

手順
1. [すべて] > [資産] > [管理] > [資産 **- CI** インストールステータスマッピング]に移動します。
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状況の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
7. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
8. [送信] をクリックします。

資産状態と CI ハードウェアステータスをマッピングする

資産の [ステータス] フィールドと [サブステータス] フィールドを CI の [ハードウェアステータス] フィールドにマッピングします。ハードウェア CI で [サブステータス] フィールドを使用しないでください。資産が更新されても CI 同期ではそのフィールドが更新されないからです。マッピング作成時に、資産、CI、双方からのいずれかの同期方向を設定できます。

始める前に
必要なロール：admin または asset

> **注:** 以前のリリースからアップグレードし、アップグレード前に `AssetAndCISynchronizer` スクリプトをカスタマイズしている場合は、そのカスタマイズを上書きしてから、カスタムマッピングを再作成します。

このタスクについて
CI の [インストールステータス] フィールドと [ハードウェアステータス] フィールドは、互いに独立しており、双方に相互関係はありません。[ハードウェアステータス] フィールドを変更しても、CI の [インストールステータス] フィールドは変更されません。その逆も同様です。

手順
1. [すべて] > [資産] > [管理] > [資産 **- CI** ハードウェアステータスマッピング]に移動します。
   デフォルトでは、カスタムマッピングのみが表示されます。マッピングのリストは、[デフォルト設定] [次の値に等しい **(=)] [False]** のフィルター条件を使用します。
2. [新規] をクリックします。
3. [資産状態] リストから、マッピングする状態を選択します。
4. オプション: 可能な場合、[資産サブステート] リストからサブステートを選択します。
   資産状状況の中にはサブステートがないものもあります。
5. [構成アイテムのステータス] リストから、マッピングする論理的に関連付けられた CI ステータスを選択します。
6. オプション: 可能な場合、[構成アイテム] リストからサブステートを選択します。
   CI ステータスの中にはサブステータスがないものがあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [同期の方向] リストから、同期方向を選択します。
8. [アクティブ] チェック ボックスを選択して、マッピングを有効にします。
9. [送信] をクリックします。

消耗品のライフ サイクル

消耗品は、個々にではなく同じモデルのグループとして追跡される資産です。

消耗品のグループには、以下の特色が 1 つ以上あります。

- 同じ場所
- 同じ状態
- 通常は付属品または部品として同じ資産によって消費

一般的な消耗資産には、マウス、キーボード、鉛筆などがあります。ServiceNow のベース システムには、[消耗品] モデル カテゴリが含まれています。モデル操作の最初の手順は、モデル カテゴリ内に各消耗資産のモデルを作成することです。モニター、キーボード、マウスなどのアイテムは、消耗品として追跡されることがよくあります。消耗品は事前に割り当てできません。

消耗資産は、消耗品 [alm_consumable] テーブルに格納されます。他の資産とは若干異なるライフサイクルに従います。

消耗品のステージ

消耗品のライフサイクルのステージは次の通りです。

- 発注済み
- 在庫あり
- 輸送中
- 消費済み
- メンテナンス中
- 廃止
- 欠損

消耗資産を表示する

消耗品は同じモデルのグループとして追跡されますが、消耗品モデル レコードで個々の消耗品を表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [消耗品モデル]に移動します。
2. 消耗品モデル レコードを開きます。
3. [消耗品] 関連リストで個々の消耗品を表示します。

消耗資産を作成する

資産を同じモデルのグループとして追跡するためには消耗品を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [消耗品]に移動し、新規のレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照してください)。

消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカテゴリ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が表すアイテムの量
全般	
状態	資産の状態
親タスク	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のオプションから選択します。 ◦投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ◦経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] をクリックします。

消耗資産を消費する

消耗資産を消費するには、状態が [在庫あり] であること、またサブステートが [利用可能] となっている必要があります。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [消耗品]に移動します。
2. 状態が [在庫あり]、サブステートが [利用可能] となっている消耗資産の [表示名] をクリックします。
3. [消費] をクリックします。
4. 消費する [数量] を入力します。
5. [資産] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

Example
たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [ユーザー] でルックアップ アイコンをクリックし、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
   [消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

消耗資産をストックルームに返却する

消費済みステータスでライフサイクルを完了した消耗資産を在庫ステータスに戻します。

始める前に

必要なロール:asset、itil、itil_admin

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 消耗品.
2. 消耗品レコードで、[廃止] をクリックします。
   [廃止] は、消耗資産が現在消費済みステータスの場合にのみ表示されます。
3. [資産を廃止] ダイアログボックスで、ストックルームを選択します。
   数量は、消耗資産の消費数量に基づいて入力されます。
4. 廃止する消耗資産の数量に基づいて [数量] フィールドを更新します。
   消耗資産の全数量を廃止するか、数量の一部のみを廃止するかを選択できます。
5. サブステートを選択し、「 OK」をクリックします。
   消耗品レコードに戻ります。フォームレイアウトの上部に、廃止した資産の数を示すメッセージが表示されます。

消耗資産の廃棄

倉庫で不要になった消耗資産は廃棄してください。

始める前に

必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列に、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されます。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > 消耗品.
2. ページの右上にある消耗品レコードで、[廃棄対象としてマーク] をクリックします。
   [廃棄対象としてマーク] は、[在庫あり] ステータスであり、廃棄対象としてマークされていない消耗品資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄予定] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分的な数量を入力します。
   部分的な数量を入力すると、新しい消耗品レコードが作成され、サブステートは廃棄待ちになります。総数量を入力すると、消耗品レコードのサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
   消耗資産に廃棄対象としてマークを付けると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

   注: 廃棄対象としてマークされた消耗品のみが廃棄注文に含まれます。消耗品を廃棄対象としてマークすると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [廃棄からキャンセル] をクリックして、消耗資産の廃棄をキャンセルします。
消耗品の [廃棄予定] 列が true に設定され、[廃棄番号] フィールドが空白の場合、[廃棄からキャンセル] が表示されます。
5. [廃棄からキャンセル] ダイアログボックスで、ストックルームを選択します。
ストックルームが既に選択されている場合、[ストックルーム] フィールドは読み取り専用になります。
6. サブステートを選択し、「 OK」をクリックします。
[廃棄予定] 列が false に設定されている。この消耗品レコードを廃棄レコードに追加すると、予定資産レコードが削除されます。

インベントリからアセットバンドルを管理する

インベントリ内の既存の資産からアセットバンドルを作成し、資産のグループを単一のエンティティとして追跡、予約、または展開します。

始める前に

アセットバンドルは資産をグループ化したもので、消耗品資産とハードウェア資産で構成されます。ステータスが **[In stock** (在庫あり)] でサブステータスが **[Available** (利用可能)] の資産のみがアセットバンドルに追加されます。アセットバンドルの一部である資産は、個別の資産として使用することはできません。

注: アセットバンドルの詳細については、「 アセットバンドル」を参照してください。

必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > バンドル資産.
2. [新規] をクリックします。
モデルカテゴリのデフォルトは **[Bundle]** で、ステータスのデフォルトは **[Build]** です。ビルドステータスは、**[Bundle]** モデルカテゴリのみに関連付けられています。アセットのビルドステータスが無効です。
3. バンドルフォームレイアウトで、[モデル] リストから製品モデルを選択します。
4. [ストックルーム] フィールドで、バンドルに対して資産が調達されるストックルームを選択します。
5. [資産を自動割り当て] をクリックしてバンドルに資産を自動的に追加するか、[資産を選択] をクリックして特定の資産を選択します。
   - 資産を自動選択:資産をアセットバンドルに自動的に追加します。資産は、アセットバンドルで指定されたストックルームから追加されます。

     注: 資産は、バンドルの一部であるすべての資産が利用可能な場合にのみ割り当てられます。除外された資産は自動選択の対象とは見なされません。資産の除外の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

   - アセットの選択: アセットバンドルに含める資産を選択し、[**Add Assets** (資産を追加)] をクリックします。

     注:

     除外された資産は選択できません。資産の除外の詳細については、「 ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。表示される資産は、アセットバンドルで指定されたストックルームに限定されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

資産がバンドルに割り当てられると、資産は [資産] 関連リストに表示され、[資産を 自動割り当て] と [資産を選択] はバンドルフォームレイアウトに表示されなくなります。

6. [保存] をクリックします。
   アセットバンドルが作成されます。バンドルされたモデルのコストは、アセットバンドルとアセットバンドルの経費ラインにスタンプされます。コストは、バンドルされたモデルのすべてのモデルコンポーネントの累積コストではありません。
7. **Replace assets** (資産を置換) をクリックすると、アセットバンドルから資産をスワップできます。
   アセットバンドルに属する資産は、バンドルのステータスが「 メンテナンス中 」または 「在庫あり 」(サブステート は「修理待ち」)の場合にスワップできます。

   a. [資産を置換 (Replace assets)] ダイアログボックスで、スワップする資産を選択します。

   b. 現在の資産をスワップする資産を選択します。

   c. [置換] をクリックします。
      スワップされた資産はストックルームに戻されます。

8. **Delete** (削除) をクリックすると、アセットバンドルを削除できます。
   バンドルを削除するには、アセットバンドルからアセットの関連付けを解除する必要があります。すべてのアセットがバンドルからリリースされたら、バンドルを削除できます。

   a. [状態] フィールドで、[廃止] を選択します。

   b. [保存] をクリックします。

   c. [資産のリリース] 関連リンクをクリックします

   d. 確認ダイアログボックスで、[資産をリリース] をクリックします。
      すべての資産とアセットバンドルの関連付けが解除され、ストックルームに移動されます。

   e. [削除] をクリックします。
      アセットバンドルが削除されます。

資産クラスによるさまざまな資産の管理

デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェアライセンス、消耗品、バンドル、ソフトウェアエンタイトルメント、施設です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

提供されている一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、新規の資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。新規の資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスの管理は、困難な場合があります。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

資産クラスを作成する

資産クラスを作成するには、新しいテーブルの定義、相対するアプリケーションとモジュールの作成の後、新規/既存のモデルカテゴリに新規の資産クラスを追加する必要があります。デフォルトの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。これらの一般的なクラスは、さまざまな資産を管理するために使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：資産または category_manager

このタスクについて
一般的なクラスが特定の資産グループに適していない場合、資産クラスを作成することができます。たとえば、車関係には「車両」というカスタム資産クラスの名前を付けて追跡できます。資産クラスを作成する前に、ビジネスニーズを分析して一般的なクラスを使用できるかどうかを確認してください。多数の資産クラスを維持することは困難です。

ビルトイン機能により、財務追跡、モデル バンドル 、割当済み資産として資産クラスを使用できます。

モデル カテゴリにモデルが含まれていることを確認します。既存のテーブルを拡張するには、テーブルフォームを使用します。

手順

1. [すべて] > [システム定義] > [テーブルと列] > [テーブルを作成]に移動し、テーブルフォーム フィールドに新しいテーブルの情報を記入します。

フィールド	説明
ラベル	ローカライズ可能な、テーブルの表示名。 たとえば、車関係のカスタム資産クラスには「車両」という名前を付けて追跡できます。
名前	後で変更できないテーブルの内部名。 たとえば、「車両」資産クラスには alm_u_vehicle という名前を付けることができます。
拡張テーブル	新しいテーブルがフィールドを継承するテーブル。 資産 (alm_asset) テーブルを拡張して、カスタム資産クラスを作成できます。
アプリケーション	レコードを使用するアプリケーション。
モジュールを作成	モジュールを作成するためのチェックボックス。
モバイルモジュールを作成	モバイルモジュールを作成するためのチェックボックス。
モジュールをメニューに追加	モジュールが表示するメニュー。
新規メニュー名	新規メニュー名。

2. [送信] をクリックします。
3. 新規アプリケーション (たとえば、[資産] > [車両]) に移動し、[新規] をクリックします。
4. [モデル]、[モデル カテゴリ]、[数量] を含むようにフォームを設定します。
5. モデル カテゴリを作成し、作成した資産クラスを [資産クラス]フィールドに追加します。
6. モデルを作成し、モデルカテゴリに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
モデル カテゴリ (新規の資産クラスに関連付けられている) とモデルが作成されたので、モデルを資産として管理します。たとえば、バンドル内のモデルを使用します。

ライセンス資産を作成する

組織のソフトウェア ライセンス資産を管理できます。

始める前に
必要なロール：sam

このタスクについて
例には、デスクトップソフトウェアプログラムとエンタープライズライセンスの単体コピーを使用して、複数のコンピューターにソフトウェアプログラムをインストールするライセンスが含まれています。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [ライセンス資産]に移動し、[新規] をクリックします。
2. [権利] フィールドに、このライセンスによって付与される資格の数を入力します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明の通り、フォームに入力します。

資産状況とサブステートを設定する

資産状況とサブステートは、詳細レベルで資産を正確に追跡するために使用します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
優れた資産情報は、レポート作成、資産管理、コスト削減に役立ちます。たとえば、[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドを使用して欠損アイテムを記録することで、レポートを実行して情報を分析することができます。この情報を使用してコストを削減することができます。

ヒント: ステータス値は変更しないでください。ステータス値がサポートされていて、プロセスによって定義されている場合は、サブステートを変更できます。

一部のサブステート値は、複数のステータスで使用できます。たとえば、[廃棄待ち **(Pending disposal)]** サブステートは、[在庫あり **(In stock)]**、[輸送中 **(In transit)]**、および [廃止 **(Retired)]** ステータスで使用できます。[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドの組み合わせにより、正しい資産追跡情報が提供されます。たとえば、[在庫あり] で [廃棄待ち] の資産は、その資産が使用されておらず、ストックルームで廃棄待ちであることを示します。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産]に移動します。
2. 資産を選択します。
3. [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドを編集します。

資産状況とサブステートの定義

状況	使用可能なサブステート	メモ
注文済み	なし	資産は注文されていますが受領されていません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
在庫あり	◦利用可能：資産は使用可能です。 ◦予約済み：資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。 ◦欠陥：資産に欠陥があるか、動作不能です。 ◦修理待ち：欠陥のある資産は、ベンダーによって修理対象としてマークされます。 ◦インストール待ち：資産はまだインストールされていません。 ◦廃棄待ち：ストックルームで不要になったため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ◦転送待ち：資産は転送注文による転送が計画されています。 ◦事前割り当て済み：資産を割り当てる準備はできていますが、ユーザーに割り当てられるまでは財務的負債ではありません。 ◦保留中：資産は何かを待機しているため、使用する準備ができていません。たとえば、必要なドキュメントが処理待ちです。 ◦訴訟ホールド：何らかの法的な理由により、資産が保留されています。 ◦隔離：資産はストックルームに隔離された状態で保持されます。 ◦履行待ち：資産は機能していますが、請求やサインオフなどのビジネス条件を待機しています。 ◦保留中の証明書：資産は廃棄のための証明書を待っています。 ◦返品処理待ち：リースされた資産はまだ返却されていません。 ◦テスト：資産はテストフェーズにあり、まだ運用されていません。 ◦サポート終了：インシデントまたは契約によるサポートが資産に提供されなくなります。 ◦廃止処理待ち：資産の提供が終了し、販売、廃棄、または寄付が可能です。	資産はストックルームに保管されます。サブステートは、資産を使用できるかどうかを示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
	◦再販待ち：資産は再販を待っています。 ◦評価待ち：資産はまだ評価されていないか、使用できるかどうかを確認するための評価が行われています。	
輸送中	◦利用可能：資産は使用可能です。 ◦予約済み：資産は、ソーシング要求を通じて要求したユーザー用に予約されています。 ◦欠陥：資産に欠陥があるか、動作不能です。 ◦インストール待ち：資産はまだインストールされていません。 ◦廃棄待ち：ストックルームで不要になったため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ◦事前割り当て済み：資産を割り当てる準備はできていますが、ユーザーに割り当てられるまでは財務的負債ではありません。 ◦再販待ち：資産は再販を待っています。	資産は輸送中です。
使用中	◦履行待ち：資産は機能していますが、請求やサインオフなどのビジネス条件を待機しています。 ◦サポート終了：資産にはサポートサービスが提供されません。 ◦廃止待ち：資産は使用されていないため、廃止のマークが付けられています。 ◦なし	資産は使用されています。このオプションは、非消耗品のみで使用できます。
メンテナンス中	なし	資産は修理中かメンテナンス中です。
廃止	◦廃棄済み：資産は提供終了に達したために廃棄されました。 ◦廃棄待ち：提供終了が近づいているため、資産は廃棄対象としてマークされています。 ◦販売済み：資産は販売済みです。	資産がライフサイクルの終わりに達したときに、資産を廃止ステータスに設定します。誤って作成された資産レコードのみを削除してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

状況	使用可能なサブステート	メモ
	◦寄付済み：資産は、資産寄付オーダーを通じて慈善団体に寄付されます。 ◦ベンダークレジット：古い欠陥のある資産は、返品承認 (RMA) を通じて交換用資産としてベンダーに返却されます。 ◦リース返却：リースされたハードウェア資産は、契約の有効期限が切れる前に返却されます。 ◦廃止：資産は廃止されており、廃棄する必要があります。 ◦RMA：欠陥のある資産は、返品承認 (RMA) を通じてベンダーに返却されるか、ベンダーが交換します。 ◦買収：リースされたハードウェア資産は、契約の有効期限が切れる前に購入されます。 ◦再販待ち：資産は再販を待っています。	
欠損	◦紛失 ◦盗難	欠損または紛失された資産
ビルド	なし	資産は準備中です。このステータスは、アセットバンドルの作成時に使用されます。 **注:** ハードウェアと消耗品にはビルドステータスがありません。

自動翻訳

資産に減価償却を追加する

減価償却は、時間の経過とともに生じる資産価値の低下です。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

減価償却のスケジュールをハードウェア資産に追加することができます。ServiceNowプラットフォームでは、資産レコードで指定された情報に基づいて、[減価償却計算] スケジュール済みジョブを使用して償却額を毎日計算します。

Now Platformでは、[コスト]、[減価償却]、[減価償却開始日] フィールドに基づいて、読み取り専用の [残余日数] と [残余価値] フィールドを計算します。たとえば、資産の [コスト] が 1000.00 USD で減価償却方式として [定額法] が選択され、丸 2 年が経過した場合、[残余価値] は 500.00 USD になります。

資産が [使用中] ステータスの場合、資産フォームに使用廃止日が入力されます。

固定資産や減価償却の詳細については、「固定資産に減価償却を使用する」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [ハードウェア資産]に移動します。
2. 資産を選択します。
3. 「割り当て済み資産を作成する」での説明のとおり、[減価償却費]、[減価償却開始日]、[残存価額]、[固定資産対象] の各フィールドを入力します。
   以下の点についても考慮します。
   - 減価償却開始日が未来日付の場合、現時点での減価償却は 0 であり、残存価額は購入当初の価格のままとなります。開始日に設定した日付が来るまで減価償却費の計算は開始されません。
   - 残存価額は資産の原価以下でなければなりません。原価以上の残存価額を入力すると、警告メッセージが表示されレコードが保存できなくなります。
4. ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
5. [減価償却を計算] をクリックします。
   [残余日数]、[残余価値]、[減価償却額] フィールドが自動的に計算されます。

パレット資産で在庫を管理する

パレット資産を使用して在庫を効果的に管理します。

パレット資産を作成

ハードウェア資産ワークスペースの資産一覧ビューからパレット資産を作成して、インベントリ内の資産を追跡および管理します。

始める前に
パレット資産のモデルを作成する必要があります。詳細については、「 モデル 」を参照してください。

必要なロール：asset

このタスクについて
パレット資産の作成中は、資産フォームの [詳細]、[廃棄]、[アクティビティ]、および [監査] セクションのみが表示されます。監査関連のフィールドは資産フォームに表示されますが、パレット資産の監査を実施することはできません。通路とスペースの詳細を指定して、ストックルーム内のパレットの正確な位置を示すことができます。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産.
2. [新しい資産] を選択します。
3. ダイアログ ボックスで、資産タイプとして パレット を選択し、 作成 を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

パレット資産詳細セクション

フィールド	説明
Display name (表示名)	パレット資産の作成時に設定された [資産タグ] フィールドと [モデル] フィールドの値に基づいたパレット資産の名前。たとえば、資産タグが PAL0000001 で、モデルが 3Com 木製パレットであるパレットの表示名は、PAL0000001 - 3Com 木製パレットになります。
Model category	パレット資産のモデルグループ化。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [パレット] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
(モデルカテゴリ)	
番号	パレット資産に対して自動生成された一意の番号。
モデル	パレット資産の製品モデル。
数量	パレット資産が表すアイテム数。このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
Asset tag (資産管理番号)	パレット資産に添付されたタグからの英数字の追跡情報。
パレットタイプ	パレットのタイプ。使用可能な値： ◦ パレット ◦ 受信箱 ◦ ボックス ◦ コンテナ ◦ その他
状況	パレット資産の現在のステータス。使用可能な値： ◦ In stock (在庫あり) ◦ In transit (輸送中) ◦ Retired (廃止) ◦ 不足
サブステート	「利用可能」や「予約済み」など、資産の現在のサブステート。[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変化します。
倉庫	倉庫の名前。
予約利用者	パレットが予約されている人の名前。
通路	ストックルーム内のパレットの通路の詳細。このフィールドは、[ステータス] フィールドで [在庫あり] または [ビルド] が選択されている場合にのみ表示されます。
場所	ストックルームの物理的な場所。
スペース	通路内のパレットのスペースの詳細。このフィールドは、[ステータス] フィールドで [在庫あり] または [ビルド] が選択されている場合にのみ表示されます。
親	パレット資産の親資産。
コメント	オプションの追加情報。

廃棄セクション

フィールド	説明
廃棄注文番号	このフィールドは、資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号に自動的に設定されます。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予定廃止日時	資産の廃止予定日。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
使用終了日	資産が実際に廃止される日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーからの注文番号。 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
要求ラインの更新	資産がハードウェア資産のリフレッシュフローによって古い資産として識別された場合は、要求ライン番号をリフレッシュします。
廃棄日	資産廃棄プロセスが完了した日付。 注: このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
受領企業	資産の廃止時に資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金のレポート時に適用します。

[アクティビティ] セクション

フィールド	説明
作業メモ	資産に関する追加情報。 作業メモは、次の状況で自動的に更新されます。 ◦資産レコードの **[State]**、[**Substate**]、または **[Reserved for**] フィールドへの更新。これらのフィールドを更新すると、[**Work notes**] フィールドに自動的に記録されます。 ◦転送注文による資産の受領時これらの作業メモは、資産のライフサイクルを追跡するのに役立ちます。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したパレットが [パレット] タブに表示されるリストに追加されます。

資産をパレットに追加

ベース、ハードウェア、バンドル、消耗品、その他のパレット資産を在庫パレットに追加して、ストックルーム内の資産をグループとして追跡および管理します。

始める前に
必要なロール：asset

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
資産をパレットに追加できるのは、次の条件の場合のみです。

- 資産がパレットと同じストックルームに属しているか、[ストックルーム] フィールドに値が設定されていない。
- パレット の [状態] フィールドの値は [在庫あり] です。
- 資産 の [状態] フィールドの値は次のいずれかです。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - In transit (輸送中)
  - 廃止
- 資産は別の親資産に関連付けられていません。

  既存の親子の関連付けを削除してから資産をパレットに追加するか、パレットを親として資産に直接追加します。

他の資産の親である資産をパレットに追加すると、その子資産もすべて追加されます。ただし、子資産の親フィールドはパレットの詳細に置き換えられません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産.
2. [パレット] タブを選択します。
3. 資産を追加するパレットを選択します。
4. [資産] タブを選択します。
5. ベース、ハードウェア、およびバンドル資産をパレットに追加します。

   a. [資産を追加] を選択します。

   b. [資産を追加 (Add assets)] ダイアログボックスで、追加する資産を選択します。
   フィルターを使用して、利用可能な資産のリストを絞り込むことができます。

   c. [追加] を選択します。

   パレットに追加した資産は、[資産] タブに表示されるリストに追加されます。資産の状態、サブステート、場所、倉庫、通路、スペースの詳細がパレットと同期されます。

   注: 割り当て済み資産のサブステートのみがパレットと同期されません。詳細については、「割り当て済み資産の作成」を参照してください。

6. 消耗資産をパレットに追加します。
   a. [消耗品を追加] を選択します。
   b. [消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスで、使用可能な消耗品のリストから消耗品を選択するか、検索します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [数量] フィールドで、選択した消耗品の最大利用可能数量の既定のフィールド値を受け入れるか、追加する消耗品の数に値を変更します。

d. [追加] を選択します。
パレットに追加した消耗資産が [資産] タブに表示されるリストに追加されます。

パレットからの資産の削除

パレットを使用して追跡および管理する必要がない場合は、パレットに含まれる資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
パレットから資産を削除すると、それらの親子の関連付けが解除されます。

資産を取り外すことができるのは、[状態] フィールドの値が [在庫あり] のパレットからのみです。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産.
2. [パレット] タブを選択します。
3. 資産を削除するパレットを選択します。
4. [パレット詳細] フォームで、[資産] タブを選択します。
5. パレットから削除する資産を選択し、[削除] を選択します。

タスクの結果
パレットから削除した資産は、[資産] タブに表示されなくなります。

パレット資産を削除

資産が関連付けられていない場合に、パレット資産を削除します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
空のパレットのみを削除できます。パレットを削除する前に、資産を削除してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産.
2. [パレット] タブを選択します。
3. 削除するパレットを選択します。
4. 「保存」ボタンの横にある「 •••)をクリックし、「削除」を選択します。

タスクの結果
削除したパレットは [パレット] タブに表示されなくなります。

在庫管理にパレット資産を使用する

資産を含むパレットを転送注文や廃棄注文に追加して、在庫を効果的に管理できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ある倉庫から別の倉庫へのパレットの移動

転送注文を使用して、在庫のあるパレットとそこに含まれる資産をあるストックルームから別のストックルームに移動します。パレットに含まれる資産のみを移動すると、履行準備完了タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。転送注文を使用して空のパレットを移動することもできます。

転送注文ワークフローの一部としてパレットに対して実行する更新は、パレットに含まれる資産に適用されます。

転送注文の一部として受領した資産のすべてまたは一部に問題がある場合は、資産とともにパレットを返品できます。パレットに含まれる個々の資産を返品することはできません。

詳細については、 資産管理の転送注文を参照してください。

パレットの廃棄

ライフサイクルの終わりに達している、または機能していない資産を含むパレットを廃棄注文を使用して廃棄します。廃棄注文にパレットを追加すると、そのパレット内の資産と子資産も追加されます。ただし、パレット内のアセットバンドルは含まれません。

パレットまたはその資産を廃棄する際の廃棄注文ワークフローは次のとおりです。

- パレットとそれに含まれる資産の廃棄:検証済みのパレットとその資産が廃棄されます。
- 資産のみを廃棄し、パレットを保持する: 資産は、検証後にパレットから削除されます。
- 資産の一部のみを含むパレットを廃棄し、残りの資産を保持する: 検証または廃棄されなかった資産は、パレットから自動的に削除されます。

詳細については、「廃棄注文を作成する」を参照してください。

パレットからの資産の消費

注: パレットの資産がワークフローの一部として消費されると、その資産はパレットから自動的に削除されます。

パレットに含まれる資産は、次のワークフローの一部として消費することもできます。

- 返品自動化 (RMA):パレットの資産が RMA に追加されると、資産は直ちにパレットから削除されます。

  注: オフサイトでの交換または修理を伴う RMA 要求では、パレットにある資産は [受領タスク] フォームの [交換用資産] フィールドに表示されません。

- 資産ローカル在庫 :パレットの資産がローカル在庫の一部として消費されると、割り当てられた資産の確認タスクがクローズされた後、その資産はパレットから削除されます。
- 貸与:パレットの資産が貸与資産として消費されると、貸与オーダーの準備タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- リース資産の返却:パレットからリース資産が返却されると、出荷タスクがクローズされた後に資産がパレットから削除されます。
- ITSM からのタスクのスワップと展開:資産展開アクションが ITSM からトリガーされると、展開する必要がある資産がパレットから削除されます。ITSM からスワップアクションがトリガーされると、不具合のある資産の交換であるパレット内の資産がパレットから削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

固定資産の作成

固定資産とは、複数の資産を保持できるコンテナーです。固定資産は通常、ファイナンス部門か会計業務部門によって会社レベルで追跡されますが、ハードウェアやソフトウェアなどの IT 資産が含まれる場合があります。

コストアプリケーションの [固定資産] オプションには、固定資産レコードに関連する IT 資産が表示されます。このリンクは、IT が企業資産システムとの調整を維持するのに役立ちます。financial_mgmt_admin ロールと financial_mgmt_user ロールを持つユーザーは、固定資産を作成できます。固定資産を作成して資産を追加した後、残存価額を自動的に計算させることができます。

固定資産を作成するには：

1. [コスト] > [固定資産]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. 固定資産の名前を入力します。
4. [送信] をクリックします。

固定資産に資産を追加するには：

1. [コスト] > [固定資産]に移動します。
2. 固定資産をクリックします。
3. [対象資産] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [コレクション] リストで、資産をダブルクリックして [対象資産リスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

すべての固定資産の残存価額を合計するには：

1. [コスト] > [固定資産]に移動します。
2. 固定資産をクリックします。
3. [合計残余価値] をクリックします。

ServiceNow プラットフォームでは、個々の資産レコードの [財務] セクションと [減価償却] セクションの情報に基づいて、[残存価額]、[総コスト]、[減価償却費合計] を計算します。

固定資産に減価償却を使用する

選択した減価償却スケジュールを使用して、固定資産の減価償却を計算することができます。固定資産の減価償却の計算は、IT 部門が会社の固定資産システムと調整して正確な評価額と帳簿価額のレポートを作成するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_admin または financial_mgmt

このタスクについて
新規の減価償却スケジュールを作成するには、減価償却の [カテゴリ] で [定率減価償却] または [定額法] を選択します。この 2 種類のカテゴリは資産のライフ サイクルにおける減価総額は同じですが、異なるスケジュールで実行します。

- [定率減価償却]：会計期間の早い時期の資産を後の機関よりも多く減価償却します。
- [定額法]：各会計期間に均一の金額で資産を減価償却します。

次の例では、資産 10,000.00 USD の 5 年間にわたる減価償却後の価値を、異なる 2 種類の方法で表しています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

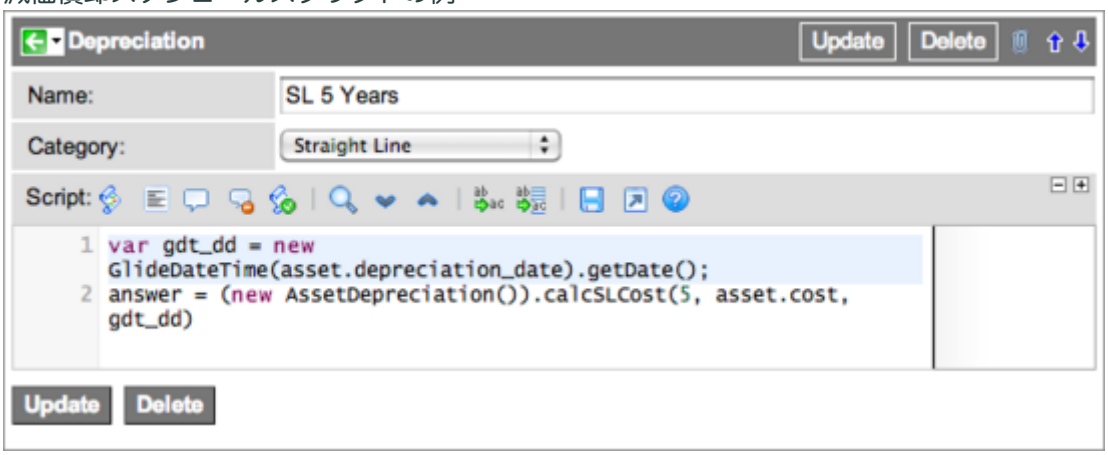
固定資産に減価償却を使用する

年	定率法	定額法
1	5000.00 USD	8000.00 USD
2	2500.00 USD	6000.00 USD
3	1250.00 USD	$4000.00
4	625.00 USD	2000.00 USD
5	$0	$0

手順

1. 減価償却スケジュールを表示するには、[ファイナンシャルマネジメント] > [減価償却] に移動し、[カテゴリー] をクリックします。
2. 新規の減価償却スケジュールを作成するには、[新規] をクリックします。
3. [名前] を入力します。
4. [カテゴリー] を選択します。
5. 減価償却額を計算するための [スクリプト] を追加します。

減価償却スケジュールスクリプトの例



6. [送信] をクリックします。
   減価償却スケジュールは、資産レコードの [減価償却] フィールドで利用できるようになりました。

割当済み資産の管理

事前に割り当てられた資産を管理します。これは、ベンダーがまだ所有しているものの、ジャストインタイム調達のために顧客のストックルームに保管することに同意している資産です。

割当済み資産を作成する

物理的に存在するが、財務上の責任のない割り当て済み資産を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産]に移動し、レコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照してください)。

   注: カテゴリでは [事前割り当てを許可] オプションを選択する必要があります。

   消耗品レコードフォーム

フィールド	説明
表示名	資産の名前。
モデルカテゴリ	資産が CI にリンクされるか否かを制御するモデルカテゴリ
モデル	資産の製品モデル
数量	資産が示すアイテムの数
全般	
状態	資産の状態
倉庫	資産のストックルームこのフィールドは、[状態] フィールドが [在庫あり] に設定されている場合のみ使用可能です。
親	親資産。親資産が定義されているとき、子資産の [割り当て] および [状態] フィールドは、親資産の [割り当て] と [状態] フィールドに基づいて自動入力され、読み取り専用となります。
クラス	資産の種類。システムは自動的に [クラス] を [消耗品] に設定します。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 ◦投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 ◦経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
サブステート	資産のサブステート
ロケーション	資産の場所
コスト	資産が購入された価格
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター
アクティビティ	
作業メモ	資産に関連する作業メモ

2. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

割当済み資産の割り当て

資産は、割当済み資産レコードから割り当てられます。新規の資産レコードが作成され、元の割当済み資産レコードの[数量] が減少します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産を割り当てることで財務上の責任が発生します。すべての割当済み資産が割り当てられると、割当済み資産レコードが資産リストから削除されます。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産] に移動します。
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。
3. 割り当てる資産を含む行の参照アイコンを選択します。
4. フォームの下部にある [割り当て] を選択します。

> **注:** *glide.asset.create_ci_with_ire* プロパティが「`true`」に設定されている場合、[割り当て] をクリックするとフォームが表示されます。フォームで、[資産管理番号]、[シリアル番号]、および [予約目的] フィールドを入力し、[**OK**] をクリックします。

タスクの結果
システムが割当済み資産と同じモデルかつ親情報が記録されている新規の資産レコードを作成し、そこに移動します。新規の資産の [数量] が 1 となり、割当済み資産の [数量] がその分減少します。

割当済み資産を分割する

割当済み資産を分割して、別のストックルームに移動できるグループを作成することができます。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
例として、事前割り当て済みのコンピューター 100 台のグループがストックルーム A にあります。これを各 50 台 の 2 グループに分割し、うち 1 グループをストックルーム B に移動します。2 箇所のストックルームからコンピューターを割り当てます。

手順

1. [すべて] > [資産] > [ポートフォリオ] > [すべての資産] に移動します。
2. [サブステート] 列をフィルタリングして [事前割り当て済み] 資産のみを表示します。
3. 分割する資産が含まれる行の参照アイコンを選択します。
4. [分割] を選択します。
5. [分割予定数量] を入力し、**[OK]** を選択します。
   割り当て済み資産は 2 つのグループに分割され、各レコードの [数量] フィールドはそれぞれのグループが抱える数量を示します。

貸与資産の管理

資産または消耗品の貸与を短期間要求します。また、貸与資産タスクを使用して、展開および再利用のために貸与資産または消耗品を準備することもできます。特定の期間の貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

貸与資産の要求

一時的または貸与の資産または消耗品を要求し、短期間使用します。

始める前に

必要なロール：なし

貸与資産を要求する際は、開始日が送信日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

このタスクについて

特定の期間の貸与資産を要求します。自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダー用に要求できます。資産がインストールされる前であれば、いつでも貸与資産要求をキャンセルできます。
選択したい場所で現在製品が入手できない場合でも、貸与注文を送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   資産ライフサイクルカテゴリは、デフォルトでは [サービスカタログ] ページにはありません。このカテゴリを追加するには、アドミン認証情報でログインし、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ) を選択して、[資産ライフサイクル] を選択します。
2. [**Loaner Asset Request**] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

貸与資産要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している人物。自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
ロケーション	要求された資産を提供する場所。 指定した場所が複数のストックルームのサービス場所である場合、[モデル] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能なモデルに加えて、それらのすべてのストックルームで利用可能な貸与資産モデルのリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「倉庫とサービスの場所の関連付け」を参照してください。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[開始日] と [返却日] を入力した後、選択した場所と選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与オーダーを送信すると、貸与オーダーは順番待ちリストに入れられます。

4. [送信] を選択します。
メッセージが表示され、貸与のオーダーが正常に行われたか、オーダーが順番待ちリストに入れられたかが示されます。

次のタスク
要求を表示するには、次の場所に移動します: セルフサービス > 自分の要求.Now Mobile アプリを使用して注文を表示することもできます。

貸与資産を受け取る前に、[キャンセル] を選択して貸与資産のリクエストをキャンセルできます。貸与資産を受け取った後、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定した 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開および再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。特定の期間の貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

始める前に
資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は貸与資産として使用するために予約されています。[**Asset function**] フィールドが **[Loaner**] 以外に設定されている資産を使用することはできません。貸与資産として使用できるのは、ハードウェア、バンドル、消耗品のみです。

資産フォームの貸与資産のオーダー関連リストには、過去および現在に資産が処理した貸与注文がすべて表示されます。消耗品がストックルームにない場合は、現在処理中の現在の貸与資産のオーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて
貸与資産のオーダーモジュールを使用して、ユーザーが要求した貸与資産のオーダーを表示し、完了します。

ハードウェア資産ダッシュボードには、[新規]、[展開済み]、[返却期限切れ] のいずれかの状況にあるすべての貸与資産オーダーの統合ビューが表示されます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

注:

すぐに利用可能なディシジョンテーブルを使用して、貸与資産の要求フローをカスタマイズできます。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 貸与 > 貸与資産の注文.
2. 貸与資産の注文レコードを開きます。
3. [Loaner Asset Tasks] 関連リストで、[Prepare] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクフォームの準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。 貸与資産要求フォームの [場所] フィールドの値が複数のストックルームのサービス場所である場合、[資産] フィールドには、その場所のストックルームで利用可能な貸与資産に加えて、それらのすべてのストックルームで利用可能な貸与資産のリストが表示されます。サービスの場所の詳細については、「倉庫とサービスの場所の関連付け」を参照してください。 注: 指定された場所にある利用可能なストックルームが、貸与資産要求を実行するために優先されます。指定された場所をサポートする倉庫は、その場所に倉庫がない場合にのみ考慮されます。
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

5. 展開のためにハードウェア資産を物理的に準備したら、 [タスクのクローズ] を選択して [準備] タスクを閉じます。
準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストに展開タスクが作成されます。資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - **[Reserved for**] フィールドには、貸与資産を要求したユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サブステートが [インストール待ち] に変わります。
6. 展開タスクを開きます。
7. フォームのフィールドに入力します。

タスクの展開フォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

8. ハードウェア資産を展開します。
9. [**State** (状況)] フィールドを **[Closed Complete** (完了してクローズ)] に設定します。
10. [デプロイ] タスクを閉じるには、[タスクのクローズ] を選択します。

    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
- [ストックルーム] フィールドが [Null] に変わります。
- [**Assigned to** (アサイン先)] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
- サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[**Managed by**] フィールドは資産を要求したユーザーの名前に自動的に設定されます。

消耗品の場合、ステータスは [消費済み] に変わります。

返却日の 2 日前に、資産を要求したユーザーに再利用に関するメール通知が届きます。返却日の 1 日前に、[Loaner Asset Tasks] 関連リストに再利用タスクが作成されます。

11. [再利用] タスクを開きます。

12. フォームのフィールドに入力します。

再利用タスクフォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
倉庫	返却された資産が保管されている倉庫。貸与資産を受領した場所とは異なる倉庫を入力した場合、最初の倉庫からの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
状況	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	再利用タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。
資産が返されました	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクをクローズすることはできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産のステータスは [在庫あり] に、サブステートは [修理待ち] に変わります。

13. 再利用タスクをクローズするには、[**Close Task**] を選択します。

14. ユーザーが返却日より前に資産を返却する場合は、次の操作を行います。

a. [再利用] を選択します。

b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。

c. [再利用] タスクを閉じます。
資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。

- 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [利用可能] に変わります。
- [ストックルーム] フィールドは、再利用タスクフォームで選択した値に自動的に設定されます。
- 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられると、サブステートが [予約済み] に変更され、貸与オーダーの詳細が反映されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

慈善団体への資産の寄付

資産寄付フローを使用して、組織のハードウェアと消耗品資産を慈善団体に寄付します。

資産寄付オーダーを作成する

組織内の在庫にあるハードウェアと消耗品資産を慈善団体に寄付するサービスカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   資産ライフサイクルカテゴリは、デフォルトでは [サービスカタログ] ページにはありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ + を選択し、[資産ライフサイクル] を選択します。

   注: カテゴリを サービスカタログに追加するには、admin ロールが必要です。

2. [Asset Lifecycle (資産ライフサイクル)] ページで、[**Asset Donation Order** (資産寄付オーダー)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   資産寄付の要求フォーム

フィールド	説明
慈善団体	資産を寄付する慈善団体の名前。 名前、市区町村、都道府県、国、または電話の詳細に基づいて慈善団体リストをフィルタリングできます。
説明	寄付する資産の名前と数量。 たとえば、「 2台のデル製PCの寄贈を要求」などです。

4. [送信] を選択します。

   資産寄付オーダーが正常に送信されました。

5. オプション: 資産寄付オーダーのステータスを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > セルフサービス > 自分の要求.

資産寄付オーダーの承認または却下

資産マネージャーは、資産寄付オーダーをレビューし、承認または却下します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 自分の承認.
2. ステータスが [**Requested**] の資産寄付オーダーレコードを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 資産寄付オーダーを承認または却下します。
   - 注文を承認するには、 [承認] を選択します。

     注文 のステータスが[承認済み] に変わります。
   - 注文を却下するには、[却下] を選択し、[コメント] フィールドに却下の理由を入力します。

     注文 のステータスが[却下] に変わります。

資産寄付オーダーの処理

資産寄付オーダーを処理して、資産を準備して慈善団体に送信します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
資産寄付オーダーは、ワークフローの輸送ステージに到達するまでキャンセルできます。資産寄付オーダーが確認ステージに達すると、キャンセルすることはできません。

> **注:** 資産寄付オーダーは ハードウェア資産ワークスペース でのみ処理でき、 ハードウェア資産管理 コア UI では処理できません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [寄付オーダー] タブを開きます。
   資産寄付オーダーのリストが表示されます。
3. スケジューリングステージにある資産寄付オーダーを選択します。
4. 資産寄付オーダーに資産を追加します。

   a. [予定資産] タブを開きます。

   b. [追加] を選択します。

   c. [資産の追加] ポップアップ ウィンドウで、状態が [在庫あり] で、サブステートが [寄付待ち] であるドメインの一部である資産を選択し、[追加] を選択します。
   フィルターを使用して、目的の資産を検索します。
   追加した資産が [予定資産] タブに表示されます。

5. 寄付する資産を準備し、資産を受け取る日付を指定します。

   a. [**Asset Donation Tasks** (資産寄付タスク)] タブを開きます。

   b. [資産の準備と予定日の提供 (Prepare assets and provide Scheduled date)] タスクを選択します。

   c. [予定資産] 関連リストで、準備する資産を選択し、[準備] を選択します。

      > **注:** ニーズと寄付する資産のタイプに基づいて、資産準備タスクのサブフローを構成できます。たとえば、データ消去が必要なデータストレージ資産や、寄贈前にパッケージ化が必要なハードウェア資産に対して、[資産の準備] タスクを構成できます。

   計画資産のステージが [準備完了] に変わります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

d. [スケジュールの詳細] フォームの [予定日] フィールドで、集荷の日付を選択します。

e. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、[寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクが資産寄付タスクとして作成されます。

6. 送信する資産を選択します。

a. [Select the assets departing for donation (寄付のために出発する資産を選択)] タスクを開きます。

b. [予定資産] 関連リストで、ストックルームから送信する資産を選択し、[切り離し] を選択します。
予定資産のステージが [準備済み] から [輸送中] に変更されます。資産のステータスが [輸送中] に変わり、[サブステート] が [寄付待ち] に変わります。

7. 資産を集荷するベンダーの名前と出荷追跡の詳細を入力します。

a. [詳細] タブを開きます。

b. [スケジュールの詳細] フォームで、次の項目を指定します。

i. [集荷連絡先名] フィールドに、寄付する資産を集荷するベンダーの名前を入力します。

ii. (オプション)[出荷配送業者] フィールドで、出荷配送業者を選択します。

iii. (オプション) [追跡番号] フィールドに、出荷の追跡番号を入力します。

> 注: [配送業者] フィールドと [トラッキング番号] フィールドは、ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューの [出荷] リストから出荷を追跡するために使用されます。詳細については、「ハードウェア資産出荷の詳細の表示」を参照してください。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。慈善団体からの確認タスクは、資産寄付タスクの下に作成されます。

8. 資産の寄付を確認します。

a. [慈善団体からの確認] タスクを選択します。

b. 予定資産 関連リストで、資産を選択し、 寄付の確認 を選択します。
資産のステージが [完了] に変わります。資産のステータスが [廃止] に変わり、サブステートが [寄贈済み] に変わります。

9. 慈善団体からの寄付ドキュメントを資産寄付オーダーレコードに添付します。

a. [慈善団体からの確認] タスクを選択します。

b. [詳細] 関連リストで、添付ファイルアイコン (添付ファイル) を選択します。

c. ドキュメントを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

d. [寄付の証明書] ボックスの一覧で、[はい] を選択します。
資産寄付オーダーのステータスが [Completed (完了)] に設定されます。

e. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
すべての資産寄付タスクが [完了してクローズ] ステータスになり、資産寄付オーダーステージが [完了] に変わります。

資産を寄付するための慈善団体を追加する

慈善団体を慈善団体 [sn_itam_common_charity_org] テーブルに追加して、資産寄付に利用できるようにします。

始める前に
必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 寄付オーダー > 慈善団体.
2. [新規] を選択します。
3. 慈善団体の場所と連絡先の詳細を入力します。
[名前] フィールドと [郵便番号] フィールドは必須です。
4. フォームの残りのフィールドに入力します。

慈善団体の新規レコードフォーム

フィールド	説明
ID	慈善団体にアサインする一意の識別子。[ID] フィールドは必須です。
アクティブ	慈善団体レコードをアクティブとしてマークするオプション。
ドメイン	慈善団体レコードのドメイン。 デフォルトのドメインが利用できない場合、慈善団体レコードは自動的にグローバルドメインに設定されます。

5. [送信] を選択します。

タスクの結果
追加した慈善団体レコードが [慈善団体] リストに追加されます。

資産を除外

ライセンスされた ハードウェア資産管理 機能を使用しない資産を除外します。

始める前に
必要なロール：admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産 > ハードウェア資産.
2. 除外するハードウェア資産を選択します。
3. 資産フォームで、[**Exclude from HAM features (HAM** 機能から除外)] チェックボックスをオンにします。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
この資産は、ライセンス供与された ハードウェア資産管理 機能の使用から除外されます。

事前出荷通知の使用

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産が輸送中のときに資産レコードを自動化および作成します。

始める前に
ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらいます。次に、更新したテンプレートを ServiceNow インスタンスにアップロードします。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、 ServiceNow インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください。

ASN テンプレートの出荷先は、場所 [cmn_location] テーブルの出荷先と一致する必要があります。

ASN テンプレートの出荷配送業者は、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで利用可能である必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて
資産レコードを手動で作成すると時間がかかり、レコードにエラーが生じる可能性があります。ASN を使用して、資産の輸送中に資産レコードを自動化および作成します。ASN テンプレートの追跡番号は、輸送中の資産を追跡するのに役立ちます。

手順

1. 移動先 すべて > **Procurement** (調達) > 順序 > 出荷通知のインポート.
2. 「テンプレートのインポート」ページで、「 テンプレート・ファイル**(.xlsx)**のダウンロード」 リンクを選択してASNテンプレートをダウンロードします。
3. ASN テンプレートを資産ベンダーにメールなどで送信します。
   ベンダーは、配送される各資産の詳細でテンプレートを更新する必要があります。ベンダーは、列ヘッダーに基づいて各列に値を入力できます。たとえば、[追跡番号] 列の `TrackASN1`、[配送業者] 列の `[CarrierABC ]` などです。その後、ベンダーは更新されたテンプレートをあなたと共有します。
4. 仕入先から更新された ASN テンプレートを受け取ったら、[ファイルの参照] を選択し、更新された ASN テンプレートを選択します。
5. [アップロード] を選択します。
   アップロードには時間がかかる場合があります。インポートプロセスは非同期であるため、インポートプロセスが完了し、すべての資産が作成されるまで待ちます。
6. 次のいずれかの方法で、テンプレートのインポートのステータスを確認します。
   - 移動先 **Procurement** (調達) > 順序 > インポートステータス.
   - インポートセットレコードを直接開くには、メッセージバーの [ここにインポートの進捗状況を表示 `(View import progress here)`] を示すリンクを選択します。

   [インポートセット] ページには、インポートセットレコードのリストが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. テンプレートのインポートのステータスを示すインポートセットレコードを選択します。
   インポートセットレコードは、資産レコードが正常に作成されたかどうかを示します。インポートが成功しなかった場合は、次の操作を行います。
   a. インポートセットレコードで、[インポートセット行] タブを選択します。
   b. エラーを理解するには、[コメント] フィールドを確認します。
   c. 更新されたテンプレートのインポートを再試行してください。

組織管理の使用

組織管理アプリケーションを使用すると、ユーザーの更新やベンダーの追加などの資産管理タスクを簡単に実行できます。

ベンダーとメーカーの管理やロケーションの管理が含まれます。

新規のベンダーまたはメーカーを作成する

新規のベンダーを作成することができます。これは組織が購入する資産またはサービスを販売する会社です。また、新しいメーカーを作成することもできます。これは、組織が購入する資産をビルドする会社です。

始める前に
必要なロール：user_admin と asset

手順
1. 次のいずれかに移動します。
   - 組織 > ベンダー
   - 組織 > メーカー
   - 組織 > 会社
2. [新規] をクリックして、新しいレコードを作成します。
3. フォームに入力し、[メーカー] または [ベンダー] を選択します。

   注: 会社は、ベンダーとメーカーの両方と見なすことができます。

4. [送信] をクリックします。

モジュール

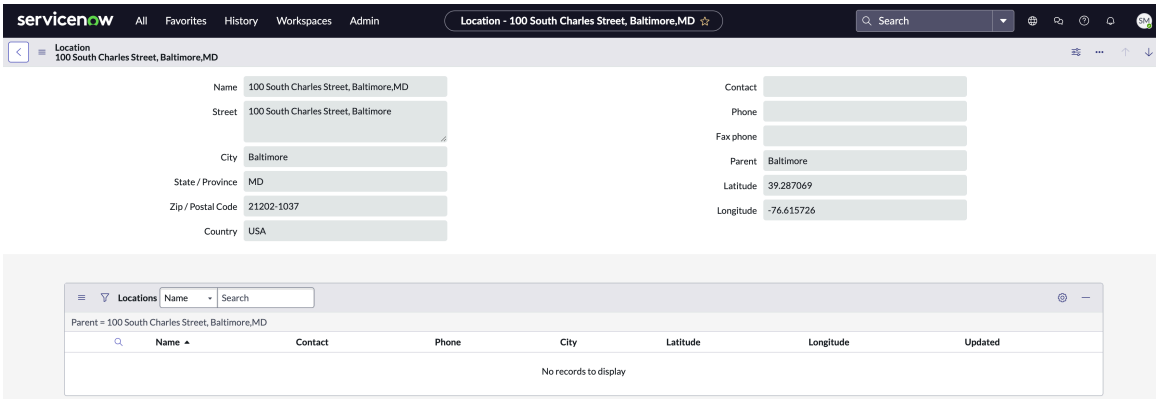
[場所] モジュールは、[場所] テーブル [cmn_location] の [資産] ビューです。

場所の物理的な詳細に加えて、[資産] ビューにはストックルームの指定とその場所にある構成アイテム (CI) のリストが含まれます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の場所



RMA 要求の管理

RMA 要求を送信して返品承認 (RMA) プロセスを開始し、ベンダーとの RMA プロセスを開始します。不具合のある資産を修理または交換することができます。

欠陥のある資産の RMA 要求を送信した後、資産の修理または交換を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を提供する必要があります。ラインをクローズするには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その後、欠陥のある資産はオフサイトまたはオンサイトでの修理に送られます。これらのタスクがすべて終了すると、ラインはクローズされます。

RMA 要求の送信

返品承認 (RMA) 要求を送信して、ベンダーとの RMA プロセスを開始します。不具合のある資産を修理または交換することができます。

始める前に

必要なロール:資産およびインベントリユーザー

asset、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産 **RMA** 注文.
2. 欠陥のある資産または消耗品の RMA 要求を開始するには、[追加] をクリックします。
3. [行を追加] フォームの [資産] フィールドで、RMA 要求を開始する欠陥のある資産または消耗品を選択します。
   資産と消耗品の複数行を選択できます。除外された資産は選択できません。資産の除外の詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
   消耗品を選択すると、[資産] フィールドの横に [数量] フィールドが表示されます。[数量] フィールドに、RMA を開始する欠陥消耗品の数を入力します。
4. 選択した資産または消耗品を追加するには、[追加] をクリックします。
5. RMA 要求を送信するには、[送信] をクリックします。

タスクの結果

RMA 要求が作成されます。RMA 要求番号を含む確認メッセージが表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RMA 要求のクローズ

欠陥のある資産の RMA 要求を送信した後、資産の修理または交換を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

RMA 要求をクローズするには、各要求ラインを個別にクローズする必要があります。明細行をクローズするには、明細行のすべての RMA タスクを完了し、明細行に関する必要な情報を提供する必要があります。ラインをクローズするには、まずそのアセスメントタスクをクローズします。その後、欠陥のある資産はオフサイトまたはオンサイトでの修理に送られます。これらのタスクがすべて終了すると、ラインはクローズされます。

次の手順では、タスクを閉じることによって 1 つの行を閉じる方法について説明します。すべての要求ラインに対してこれらの手順を繰り返す必要があります。

RMA 要求のアセスメントタスクをクローズする

RMA 要求のアセスメントタスクをクローズして、欠陥のある資産を修理または交換できるようにします。

始める前に

必要なロール:asset、inventory user、または itil

asset、inventory_user、または itil ロールは、RMA 要求ラインのレポートにのみアクセスできます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 返品許可 > すべての **RMA** 要求.
   [RMA 要求] ページが表示され、RMA 要求のリストが表示されます。
2. クローズする RMA 要求を開きます。
3. [RMA 要求ライン] 関連リストで、RMA 要求ラインを開きます。
4. [資産 RMA タスク] 関連リストで、アセスメントタスクを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

アセスメントタスクフォーム

フィールド	説明
状況	タスクの状態。
倉庫	欠陥のある資産または消耗品の倉庫。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
RMA アクション	RMA に対して実行するアクション。資産は、ベンダーの場所でオンサイトまたはオフサイトのどちらでも修理できます。選択肢は次のとおりです。 ◦ オンサイト ◦ オフサイト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	タスクをクローズする前に、このフィールドを更新する必要があります。

6. [タスクのクローズ] をクリックします。
[資産] フォームで、欠陥のある資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [修理待ち] に変わります。

欠陥のある資産がアセットバンドルの一部である場合、アセスメントタスクをクローズした後、バンドルのステータスは [在庫あり] および [修理待ち] に変わります。バンドルからの複数の RMA 要求がある場合、すべての RMA 要求がクローズされるまで、バンドルのステータスは [在庫あり] および [修理待ち] のままになります。

タスクの結果
[RMA アクション] フィールドから [オンサイト] または [オフサイト] のどちらを選択した場合かに基づいて、[資産 RMA オンサイト] フローまたは [資産 RMA オフサイト] フローがトリガーされ、関連する RMA タスクが生成され、RMA プロセスを完了します。

オフサイトでの修理または交換を伴う **RMA** 要求のクローズ

ベンダーの場所で欠陥のある資産を修理または交換する RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

このタスクについて
[アセスメントタスク] フォームの **[RMA** アクション] フィールドから [オフサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストに出荷タスクが生成されます。出荷タスクと他の RMA タスクを 1 つずつクローズして、RMA プロセスを完了します。

インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、資産 RMA オフサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。RMA 要求ラインをキャンセルするには、出荷タスクがクローズされる前にキャンセルする必要があります。

手順
1. [RMA 要求ライン] フォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、出荷タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

出荷タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	出荷タスクのステータス。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
配送 業者	修理または交換のためにベンダーの場所に資産を出荷する配送業者の名前。 このフィールドは、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
出荷日	資産が出荷される日付。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
トラッキング番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。

3. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
資産フォームで、資産のステータスが [輸送中] に変わります。RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、ベンダー RMA 決定タスクが生成されます。
4. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、ベンダー RMA 決定タスクを開きます。
5. フォームのフィールドに入力します。

ベンダー **RMA** 決定タスクフォーム

フィールド	説明
ステータス	ベンダー RMA 決定タスクのステータス。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
ベンダーのアクション	ベンダーが欠陥のある資産に対して何をしたいのか。選択肢は次のとおりです。 ◦ 修理 ◦ 置換 タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。

6. ベンダーが欠陥のある資産に対して何を実行したいかに基づいて、次のいずれかを実行します。
   ◦ ベンダーが欠陥のある資産を修理する場合は、[ベンダーアクション] フィールドから [修理] を選択します。
   ◦ ベンダーが欠陥のある資産を新しい資産と交換する場合は、[ベンダーアクション] フィールドから [交換] を選択します。
7. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、受領タスクが生成されます。
8. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、受領タスクを開きます。
9. フォームのフィールドに入力します。

[タスクを受領] フォーム

フィールド	説明
ステータス	集荷タスクのステータス。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産受領済み	修理された資産と新しい資産のどちらを受領したかに関する情報。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
交換用資産	欠陥のある資産の交換として受け取った新しい資産。このオプションは、ベンダー RMA 決定タスクの [ベンダーアクション] フィールドで [置換] が選択されている場合にのみ表示されます。

10. 修復された資産を受け取った場合は、次の操作を行います。

    a. [資産受領済み] リストから [はい] を選択します。

    b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    [資産] フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] に変わります。

11. 欠陥のある資産の交換として新しい資産を受け取った場合は、次の手順を実行します。

    a. [資産受領済み] リストから [はい] を選択します。

    b. 新しい資産を資産フォームの資産 [alm_asset] テーブルに追加し、受領タスクフォームに戻ります。

    c. [交換用資産] フィールドで、新しい資産を選択します。

    d. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    [資産] フォームでは、新しい資産のステータスは [在庫あり] で、サブステートは [利用可能] です。[資産] フォームの [財務] セクションの [取得方法] フィールドに [RMA 交換] と表示されます。

    [資産] フォームで、古い欠陥のある資産のステータスが [廃止] に、サブステートが [ベンダークレジット] に変わります。

    ベンダーがバンドルの一部であった資産を別のモデルと交換した場合、新しい資産を選択すると警告が表示されます。新しいモデルをバンドルに追加することはできません。受領タスクをクローズすると、欠陥のある資産がバンドルから削除されます。バンドルのステータスが [ビルド] に、新しい資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] にそれぞれ変更されます。

タスクの結果
RMA プロセスが完了しました。

オンサイト修理で **RMA** 要求をクローズする

欠陥のある資産をオンサイトで修理する RMA 要求をクローズします。

始める前に
必要なロール:asset、inventory user、または itil

このタスクについて
[アセスメント] フォームの **[RMA** アクション] フィールドから [オンサイト] を選択すると、RMA 要求ラインの [資産 RMA タスク] 関連リストにオンサイト修理タスクが生成されます。

資産がオンサイトで正常に修復された場合は、オンサイト修理タスクをクローズします。欠陥のある資産の RMA プロセスが完了します。

資産をオンサイトで修理できなかった場合は、オフサイト修理のために資産を送ることができます。欠陥のある資産をオフサイト修理に送ると、資産 RMA オフサイトフローによって、RMA プロセスを完了するために必要な RMA タスクがトリガーされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

インベントリユーザーまたは itil ロールを持っている場合は、修理確認タスクがクローズされるまで、資産 RMA オンサイトフローからトリガーされた RMA 要求ラインをキャンセルできます。

手順

1. RMA 要求ラインフォームの [資産 RMA タスク] 関連リストで、オンサイト修理タスクを開きます。
2. フォームのフィールドに入力します。

オンサイト修理タスクフォーム

フィールド	説明
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
アサイン先グループ	RMA タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	RMA タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
修復の確認	資産がオンサイトで正常に修復されたかどうかの確認。タスクをクローズするには、このフィールドを更新する必要があります。
アクションの変更	オンサイトで修理できなかったため、欠陥のある資産をオフサイト修理に送るオプション。このオプションは、[修理の確認] フィールドで [いいえ] を選択した場合にのみ表示されます。

3. 欠陥のある資産がオンサイトで正常に修復された場合は、次の手順を実行します。
   a. [修理の確認] リストから [はい] を選択します。
   b. **[Close task]** をクリックします。
   [資産] フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [利用可能] に変わります。RMA プロセスが完了しました。
4. 欠陥のある資産をオンサイトで修理できず、オフサイト修理に出す場合は、次の手順を実行します。
   a. [修理の確認] リストから [いいえ] を選択します。
   b. [アクションの変更] リストから [オフサイト] を選択します。
   c. **[Close task]** をクリックします。
   資産 RMA オフサイトフローがトリガーされ、出荷タスクが生成されます。詳細については、「オフサイトでの修理または交換を伴う RMA 要求のクローズ」を参照してください。

   資産フォームで、資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

在庫在庫注文要求の作成

インベントリ在庫注文要求を作成して、ストックルームの新しいハードウェアを一括注文できるようにします。要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローに従って、注文の要求、調達、受領のプロセスが実行されます。

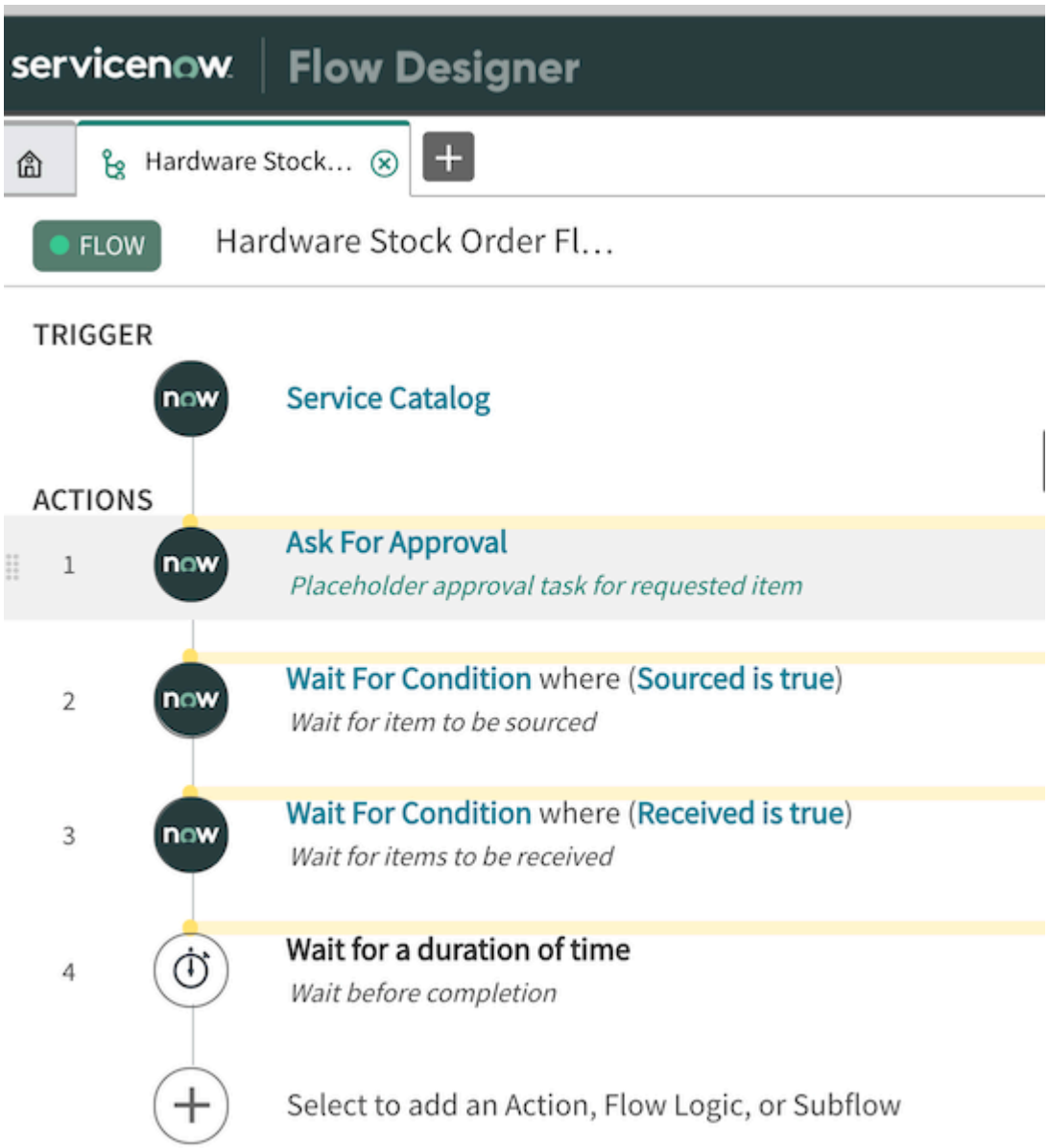
始める前に
必要なロール:インベントリユーザー

このタスクについて
在庫注文は、ストックルームの在庫を補充するためのカタログ要求です。

ハードウェアインベントリ在庫注文要求を手動で作成できます。ただし、在庫ルールのしきい値に違反すると、在庫ルールトリガーから在庫在庫注文要求が自動的に作成されます。

在庫注文要求が承認されると、ハードウェア在庫注文フローがトリガーされます。フローデザイナーアプリケーションを使用して、注文の要求、調達、受領のプロセス全体を案内するハードウェア在庫注文フローを作成します。

ハードウェア在庫注文フロー



必要なロール：inventory_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 在庫注文の送信.
2. フォームのフィールドに入力します。

ハードウェアインベントリ在庫オーダーフォーム

フィールド	説明
モデル	注文する新しいハードウェア。
数量	注文する新しいハードウェアの金額。
倉庫	新しいハードウェアを保管する倉庫。
コメント	注文要求に固有の詳細。

3. [注文する] をクリックします。
[注文ステータス] フォームには、すべての注文の詳細が表示されます。既存のサービスカタログ要求ワークフローは、要求に必要なすべての承認を処理します。これで、要求を調達できます。
4. 要求番号をクリックして要求を開きます。
要求アイテムの価格はモデルの価格です。要求の価格は、要求アイテムの数量に要求アイテムの価格を掛けて計算されます。[要求アイテム] 関連リストに表示される要求アイテムの価格は、数量によって計算されたモデルの価格です。

   要求アイテムの価格はモデルの価格であり、要求の価格は要求アイテムの数量 * 要求アイテムの価格として計算されます。

   カタログタスクは、要求が承認された後に作成されます。
5. [カタログタスク] をクリックし、カタログタスクを開きます。
6. [ソース要求] をクリックします。
[ソース要求] フォームレイアウトには、モデル名、調達するアイテムの数量、および在庫にあるハードウェアの合計数量が一覧表示されます。
7. [転送注文を追加] または [発注書を追加] をクリックして、転送注文または発注書を介して要求を調達します。

   [合計在庫] に記載されている数量には、宛先のストックルームにある在庫は含まれません。

   要求されたアイテムがどの倉庫でも利用できない場合、[転送注文を追加] は無効になります。要求されたアイテムに対して利用可能なベンダーがない場合、[発注書を追加] は無効になります。

   [発注書を追加] を有効にするには、次のいずれかを実行します。
   - [ベンダーアイテム] に移動して、指定されたベンダーを追加します。
   - ベンダーの詳細を含む、要求されたモデルのカタログアイテムを追加します。

資産管理 の転送注文

転送注文は、会社のストックルーム間で資産を移動します。

資産管理 アプリケーションを使用すると、資産アドミニストレーターは会社のストックルーム間で資産を移動するための転送注文を作成できます。

消耗資産と非消耗資産は、次のように転送することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 消耗品の資産は数量 1 個からの転送が可能です。消耗部品はシステムによって定性的に追跡されます。
- 非消耗資産は、数量 1 を単体のエンティティとして転送する必要があります。非消耗部品はシステムで定義された資産に相対します。

転送注文ライン

転送注文ラインはインベントリの下の新しいモジュールで、そのサブモジュールとしてテンプレートタスクとテンプレートサブタスクがあります。転送注文 ラインでは、複数の資産を一度のオーダーで移動させることができます。出荷準備中などのアクションは、転送注文ラインレベルで行えます。割当済み資産も転送注文ラインに含めることができますが、全数量での転送しか行えません。ビジネスルールで、2 つの異なる転送注文で同じ資産が同時に転送されることを防いでいます。

注: 転送注文と転送注文ラインのワークフローは、調達プラグインから資産管理プラグインに移動しました。転送注文ラインワークフローは、特定のレコードで一致するワークフローまたは実行中のワークフローがない場合にのみ実行されます。

転送注文ラインのタスク

資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。転送注文ラインタスクは、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。転送注文ラインタスクは、転送注文の完了に必要なサービスレベルと期間を追跡するのにも役立ちます。

デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。必要に応じて、独自のカスタマイズされたテンプレートタスクを作成することもできます。詳細については、「カスタマイズされたテンプレートタスクの作成」を参照してください。転送注文ラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送注文ラインタスクとして転送注文ラインに追加されます。選択した資産に一致するカスタマイズされたテンプレートタスクが見つからない場合、デフォルトテンプレートタスクが転送注文ラインタスクとして追加されます。

転送注文ラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、[フルフィルメントの準備完了] タスクをクローズすると、このタスクのステータスが [完了してクローズ] として表示され、次のステージ (出荷準備完了) のために新しいタスクが開きます。このプロセスは、転送注文ラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送注文ラインが [フルフィルメントの準備完了] から [出荷準備] に移動すると、その資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移動します。

注:

転送注文ラインタスクをスキップして [スキップしてクローズ] を選択した場合、その資産は自動更新されません。資産が受領または配送されたら、手動で更新できます。

以前のリリースからニューヨークリリースにアップグレードする場合に、まだ処理中のオープンな転送注文ラインが残っていると、その転送注文ラインに関連付けられたすべての転送注文ラインタスクが同時に作成され、転送注文ラインフォームレイアウトに表示されます。転送注文ラインのステージに基づいて、まだ処理する必要があるタスクがオープンされます。既に完了している他のすべてのタスクがクローズされます。オーダーに基づいて、後の転送注文ラインタスクをクローズすると、現在オープンになっているそれ以前のすべてのタスクが自動的に [スキップしてクローズ] になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送注文ラインのサブタスク

プロセスの詳細度と効率をさらに高めるには、各転送注文ラインタスクにサブタスクを作成することもできます。各転送注文ラインタスクには複数のサブタスクを含めることができます。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。特定の転送注文ラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送注文ラインタスクに自動的に追加されます。すべてのサブタスクがクローズされると、その転送注文ラインタスクは自動的にクローズされます。詳細については、「テンプレートサブタスクの作成」を参照してください。

転送注文を使用して資産を転送する

転送注文プロセスを通じて資産を移動して、ある場所から別の場所に資産を転送します。転送注文を作成して、初期の [ドラフト] ステータスから最終の [受領] ステータスに移動します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. [すべて] > [在庫] > [転送注文] > [転送注文の作成]に移動します。
2. [配送元の倉庫] リストで、アイテムの配送元にする倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストで、アイテムの配送先にする倉庫を選択します。

   注: [配送元の倉庫] フィールドと [配送先の倉庫] フィールドの両方に同じ倉庫を選択した場合、転送注文ラインが追加されたときに転送注文が [ドラフト] から [受領済み] に自動的に移動します。

4. [配送期日] 日付ピッカーから配送の日付と時刻を選択します。
5. [送信] を選択します。
6. その転送注文を開きます。
7. [転送注文ライン] の横にある [新規] をクリックします。
8. 転送注文ラインのモデルを選択します。
9. モデルが消耗品の場合は、[要求された数量] で数量を指定します。
10. [送信] をクリックします。
    転送注文ラインを作成すると、転送注文とすべての転送注文ラインはドラフトステージとなります。転送注文や転送注文ラインがドラフトステージである間は、削除可能です。

    注: 資産が [ドラフト] に設定された転送注文の一部だと、資産レコードは予約済みであることを表示する更新が行われます。資産が予約済みとなっている間は、その資産の要求や転送を行うことができなくなります。

    資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。転送注文ラインタスクを使用すると、転送注文ラインのさまざまなステージに進むことができます。各転送注文ラインタスクは、転送プロセスの特定のステージを表します。タスクをクローズすると、新しいタスクが作成され、転送プロセスは次のステージに進みます。
11. 転送注文ラインタスクを開いて、[タスクをクローズ] をクリックします。
    転送注文ラインタスクが完了し、新しい転送注文ラインタスクがオープンになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
最後のステージ (受領済み) に達するまで、各タスクをクローズしていきます。[受領済み] ステージのタスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了してクローズされます。すべての転送注文ラインと転送注文は、[配送済み] とマークされます。

転送注文ラインタスクのサマリー

資産が転送プロセスを経て移動するとき、転送注文のステージは常に個々の転送注文ラインタスクに基づきます。

転送注文ラインのタスク

転送注文ラインのステージ	説明
ドラフト	転送注文ラインが作成されたとき。
要求済み	このタスクが転送注文ラインに対して最初に作成されます。
出荷準備	[要求済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。このタスクでは、出荷の転送注文ラインの準備について処理します。[配送業者]、[ベンダー]、[トラッキング番号]、[出荷日] などの出荷トラッキングフィールドの値を指定します。
輸送中	[出荷準備中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
受領済み	[輸送中] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。
配送済み	[受領済み] タスクがクローズされると、このタスクが作成されます。[配送済み] タスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了します。

転送注文を削除する

転送注文がまだドラフトステージの場合のみ、転送注文を削除できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. [すべて] > [インベントリ管理] > [転送注文] > [転送注文]に移動します。
2. 転送注文の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択行のメニューから、[削除] をクリックします。

   また、転送注文や転送注文ラインが [要求済み] または [出荷準備中] ステージにある間にキャンセルすることもできます。

関連情報

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送注文 ラインを削除する

転送注文ラインがまだドラフトステージの場合のみ、転送注文ラインを削除できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

手順

1. 転送注文を開きます。
2. 転送注文 ラインの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下部にある選択行のメニューから、[削除] をクリックします。

   また、転送注文や転送注文ラインが [要求済み] または [出荷準備中] ステージにある間にキャンセルすることもできます。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文が受領されたときに、すべてまたは一部のアイテムに問題がある場合は、その転送注文を返品できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

inventory_user、asset、procurement_user ロールは、転送注文 [alm_transfer_order] レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。

このタスクについて
返品する前に、転送注文内のアイテムを受領する必要があります。

手順

1. [すべて] > [インベントリ管理] > [転送注文]に移動します。
2. [受領済み] ステージにある転送注文を選択します。
3. 返品するアイテムの転送注文ラインの [番号] をクリックします。
4. [返品] をクリックします。
5. 返品する数量を入力します。
6. 返品理由を入力します。
7. 不良のあるアイテムを返すには、[不良品] チェック ボックスを選択します。

   欠陥品は配送元の倉庫に返却されますが、使用可能在庫としては追加されません。代わりに [欠陥品] という別のカテゴリで追跡され、要求や転送ができなくなります。

8. **[OK]** をクリックします。
9. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新規の転送注文 ラインが自動的に登録されます。

相対する新規の転送注文 (親) も新規の転送注文 ラインとともに自動作成されます。

10. 消耗品を返品する場合は転送注文ラインレコードに移動し、モデル名をクリックしてモデルレコードを開きます。

    モデル レコードには、どのストックルームにモデルが含まれているかが表示されます。欠陥品モデルが 1 件リストアップされています。

    注: 欠陥品モデルはまだ配送先のストックルームにあります。欠陥品モデルは配送元の倉庫に戻されなければいけません。

11. 新規の転送注文を通常の転送注文 プロセスを通して移動します。
    アイテムは配送元のストックルームに自動的に戻されます。返品された転送注文ラインアイテムは、後で配送することはできません。

    元が同じオーダーで受領した別個の欠陥品モデルを返品する場合は、2 件の不良品返品が 1 件のラインアイテムに結合されます。

資産管理 の転送注文の作成

ある場所から別の場所に資産を転送するために、転送注文を作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. [すべて] > [インベントリ管理] > [転送注文] > [転送注文の作成]に移動します。
2. [配送元の倉庫] リストをクリックして、出荷するアイテムの配送元の倉庫を選択します。
3. [配送先の倉庫] リストをクリックして、アイテムを出荷する先の倉庫を選択します。
4. [送信] をクリックします。
   転送注文が作成されると、転送注文ラインを作成して転送注文を構成するアイテムを指定できます。「転送注文 ラインを作成する」を参照してください。

転送注文 ラインを作成する

転送注文 ラインは、転送注文を構成する詳細なアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
転送注文には、1 件以上の転送注文 ラインを含めることができます。1 件の転送注文に含められた転送注文 ラインはすべて配送元と配送先が同じ場所になります。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは資産名とモデル名で識別されます。転送注文 ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。バンドルモデルも転送することができます。

手順

転送注文を作成した後、[転送注文 ライン] 関連リストで [新規] をクリックし、必要に応じてフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
番号	転送注文ラインを識別する内部個別番号
転送注文	転送注文ラインが属する転送注文
モデル	転送注文ラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送注文ラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送注文の現在のステージ転送注文 ラインは、転送注文が [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送注文 ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送注文ラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

カスタマイズされたテンプレートタスクの作成

カスタマイズされたテンプレートタスクを作成して、特定のタスクワークフローを転送注文ラインに設定します。デフォルトテンプレートタスクは、資産管理アプリケーションで利用できます。デフォルトのテンプレートタスクを変更または削除することはできません。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

テンプレートタスクを使用すると、転送注文ラインのさまざまなステージに進むことができます。カスタムテンプレートタスクは、カスタムテンプレートタスク [alm_custom_template_task] テーブルに保存されます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。たとえば、アプリケーションモデルカテゴリに対してカスタマイズされたテンプレートタスクを作成すると、そのアプリケーションモデルカテゴリに対する転送注文ラインが作成されるたびに、そのアプリケーションモデルカテゴリに関連付けられたテンプレートタスクが転送注文ラインタスクとして使用されます。カスタマイズされたテンプレートタスクを作成するときは、転送注文ラインワークフローのコピーを作成し、適宜ワークフローを更新します。たとえば、5 つのタスクのうち 4 つのタスクのみが必要な場合は、ワークフローから追加のタスクを削除できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: 同じモデルカテゴリ、同じ順序番号、および同じステージに基づいている 2 つのテンプレートタスクを作成することはできません。モデルカテゴリ、順番、およびステージは、テンプレートタスクごとに一意である必要があります。たとえば、アプリケーションモデルのカテゴリ、順序番号が 200、ステージが [要求済み] の場合、[出荷準備] のテンプレートタスクを 2 つ作成することはできません。例で説明したように同一のテンプレートタスクを作成しようとすると、エラーメッセージが表示されます。

手順

1. [すべて] > [インベントリ管理] > [転送注文ライン] > [テンプレートタスク]に移動します。
資産管理アプリケーションで利用可能な、すべてのデフォルトテンプレートタスクがリストされます。
2. [新規] をクリックします。
また、デフォルトテンプレートタスクをコピーして、テンプレートタスクをカスタマイズすることもできます。[デフォルトテンプレートをコピー] をクリックして、モデルカテゴリを選択します。
3. フォームのフィールドに入力します (表を参照)。

フィールド	説明
タスク名	テンプレートタスクの名前
モデルカテゴリ	このテンプレートタスクが基づいているモデルカテゴリ。
順序	転送注文ラインにテンプレートタスクが追加される順番。
簡単な説明	このテンプレートタスクについての簡単な説明。
次のステージ	このテンプレートタスクが実行されるステージ。

4. [送信] をクリックします。

テンプレートサブタスクの作成

テンプレートサブタスクを作成して、転送注文ラインタスクを詳細化します。たとえば、出荷の準備をする前に、コンピューターのイメージングやソフトウェア追加などのサブタスクを作成できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
作成したテンプレートサブタスクは、テンプレートサブタスク [alm_template_subtask] テーブルに保存されます。転送注文ラインタスクが作成されたときに、その転送注文ラインタスクに対してサブタスクが定義されている場合、そのサブタスクはその転送注文ラインタスクに自動的に追加されます。

手順

1. [すべて] > [インベントリ管理] > [転送注文ライン] > [テンプレートサブタスク]に移動します。
2. [新規] をクリックしてフォームフィールドに入力します (表を参照)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	サブタスクの簡単な説明。
サブタスク名	サブタスクの名前。
タスク	このサブタスクが関連付けられているタスク。

3. [送信] をクリックします。

転送注文 ラインの資産の追跡

転送注文 ラインにアクションが発生すると、影響を受ける資産の在庫情報や状況が更新されます。消耗品と非消耗品は別々に追跡されます。

資産が転送注文 ラインに含まれている場合、以下が行われます：

- 資産フォームのサブステートフィールドが転送注文ラインのステータスを反映して変更される
- 資産フォームの [有効期間] オプションが自動的に選択され、その資産がある転送注文の一部であり複数の転送注文に追加できないことが示される。
- その資産が利用可能な資産のプールから削除され、[在庫あり] [保留中の転送] の状態に変更される。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文 ラインの非消耗資産を追跡する

非消耗品の転送注文 ラインのステージが変更されると、資産のサブステートに影響を与えます。

転送注文 ラインのステージ	資産のサブステートへの影響
ドラフト	資産は [在庫あり] > [保留中の転送] (現在のストックルームから) に移動します。資産が消耗品であれば数量を編集できます。
要求済み	資産は [在庫あり] > [保留中の転送]に留まります。
出荷準備	資産は [在庫あり] > [保留中の転送]に留まります。
輸送中	資産は [輸送中] > [予約済み] に移動します。
受領済み	資産は [在庫あり] > [利用可能] (配送先のストックルームにて) に移動します。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

転送注文 ラインの消耗資産を追跡する

消耗品が転送注文 ラインに追加されると、消耗品の在庫は 2 件のレコードに分割され、転送注文は新しく登録された在庫ラインにリンクされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

例：

1. ストックルーム A にはキーボードが10 台あります。
2. TOL1 という転送注文 ラインで、ストックルーム A からストックルーム B までキーボードを 3 台転送します。
3. A のキーボード 10 台の在庫が 2 件のレコードに分割されます。7 台が [在庫あり] > [利用可能]、3 台が [在庫あり] > [保留中の転送] となります。
4. ストックルーム A からストックルーム B にキーボード 2 台を転送する TOL2 という転送注文 ラインが含まれた別の転送注文が作成されます。
5. 残りのキーボード 7 台が、さらに 2 件のラインに分割されます。5 台が [在庫あり] > [利用可能]、2 台が [在庫あり] > [保留中の転送] となります。

   注: 3 台の [在庫あり] > [保留中の転送] と 2 台の [在庫あり] > [保留中の転送] は、同一の転送注文 ラインではなく、また必ずしも同一人物からのオーダーではないため、結合されません。

6. キーボード 2 台のオーダー TOL2 が [ドラフト]、[要求済み]、[発送準備中] と移動していくなかで、キーボード 3 台のオーダー TOL1 は [在庫あり] > [保留中の転送] のステージに留まります。
7. キーボード 3 台のオーダー TOL1 が [輸送中] ステージに移動すると、キーボード 3 台が [輸送中] > [予約済み] ステージに変更されます。キーボード 2 台のオーダー TOL2 でも同じことが起こります。
8. TOL1 が [受領済み] となると、キーボード 3 台はストックルーム B にて [在庫あり] > [利用可能] となります。
9. ストックルーム Bで TOL2 が受領されると、キーボード 2 台は [在庫あり] > [利用可能] となり、ストックルーム B 内で同じ [在庫あり] > [利用可能] な状態にあるキーボード 3 台と併合されます。
10. 最終的にストックルーム B ではキーボードが 5 台 [在庫あり] > [利用可能] 状態となります。

関連情報

転送注文を削除する

転送注文 ラインを削除する

転送注文で受領したアイテムを返品する

廃棄注文を作成する

ハードウェアまたは消耗品資産の廃棄注文を作成します。廃棄注文は、ライフサイクルが終了した資産や機能しなくなった資産に対して作成できます。

始める前に

注: ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールします。

フローデザイナー アプリケーションを使用してハードウェア資産廃棄フローを作成し、ハードウェア廃棄注文プロセス全体を案内します。

ハードウェア廃棄注文は、完了するまでにさまざまなステージを通過します。各ステージは、ハードウェア廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージを移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを閉じます。最後のタスクを完了すると、ハードウェア廃棄注文は完了です。ハードウェア廃棄注文ステージの詳細については、「ハードウェア廃棄注文ステージ」を参照してください。

ワークフローの輸送ステージに到達するまで、廃棄注文をキャンセルできます。廃棄注文が確認ステージになった後は、その注文をキャンセルすることはできません。ドラフト、スケジュール、また

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

は輸送ステージにあるタスクをキャンセルするには、[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択し、タスクをクローズします。

必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリビュー.

インターフェイス	アクション
コア UI	移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 廃棄注文の作成.
ハードウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリビュー. **b.** 廃棄 注文 タブを選択します。 **c.** [新規] を選択します。

2. フォームのフィールドに入力します。

新しいハードウェア廃棄注文フォームの作成

フィールド	説明
番号	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産が廃棄される倉庫。
ベンダー	資産を廃棄するベンダー。
場所	資産が廃棄されるストックルームの場所。倉庫を選択すると、場所が自動的に表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに場所が関連付けられていない場合、[ストックルーム] フィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所のストックルームリストからストックルームを選択できます。
Assigned to (アサイン先)	資産の廃棄の責任者。

3. [保存] を選択します。
廃棄注文が作成され、ハードウェア資産廃棄ワークフローがトリガーされます。
4. [ハードウェア廃棄注文のピックアップの詳細] フォームの [ピックアップの詳細] セクションで、フィールドに入力します。

[ピックアップの詳細] セクション

フィールド	**Description** (説明)
予定日	資産を廃棄する日付。
集荷連絡先	廃棄する資産を集荷するベンダーの担当者の名前。
集荷の詳細	ピックアップの詳細。
追加情報	追加するメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [予定資産] タブを選択します。
6. [追加] を選択します。
7. 利用可能な資産のリストから、廃棄する資産を選択します。
   選択した資産が [予定資産] タブに表示されます。また、資産の検証タスクはハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
8. [資産の検証] タスクを選択します。
9. 検証する資産を選択し、 [検証] を選択します。
   除外された資産は選択できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
   資産のステータスが [廃止] に、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。スケジュールされた集荷タスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
10. [Schedule Details (スケジュールの詳細)] セクションを [Vendor (ベンダー)]、[Vendor order ID (ベンダー注文 ID)]、[Scheduled date (予定日)]、[Pick up contact name (集荷連絡先名)] の詳細で更新し、[**Close task** (タスクのクローズ)] を選択します。
    資産の切り離しタスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
11. [資産の出発] タスクの [スケジュールの詳細] セクションで、[出荷先]、[配送業者]、および [追跡番号] フィールドに詳細を指定します。
12. [保存] を選択します。
13. [資産の切り離し] タスクで、[予定資産] タブを選択します。
14. 切り離す資産を選択し、[切り離す] を選択します。

    注: 切り離されていない予定資産は自動的にキャンセルされます。

    資産のステータスが [輸送中] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。ベンダー確認タスクがハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
15. 仕入先確認タスクを選択し、 タスクのクローズ を選択します。
    ステージがドキュメントに変わります。廃棄ドキュメントタスクは、ハードウェア廃棄タスクとして作成されます。
16. [廃棄ドキュメント] タスクを選択し、次の操作を行います。

    a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。

    b. [廃棄の証明書] リストで、[はい] を選択します。

       廃棄ドキュメントを注文に添付し、フィールドを はい に設定して、廃棄注文を [完了] にクローズする必要があります。

17. [タスクのクローズ] を選択します。
    - すべてのハードウェア廃棄タスクが完了し、ハードウェア廃棄注文ステージが [完了] に変わります。
    - 資産フォームの [廃棄] セクションの [廃棄日] フィールドに値が入力されます。
    - 廃棄された資産に関連付けられているメンテナンス契約については、[契約] タブの [削除日] フィールドが入力され、廃棄された資産は契約の一部ではなくなります。
    - 廃棄された資産に関連付けられているエンタイトルメントもすべて削除されます。

ハードウェア資産要求フローの使用

ハードウェア資産要求フローを使用して、 サービスカタログ アプリケーションからハードウェアカタログアイテムを要求、調達、および展開します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

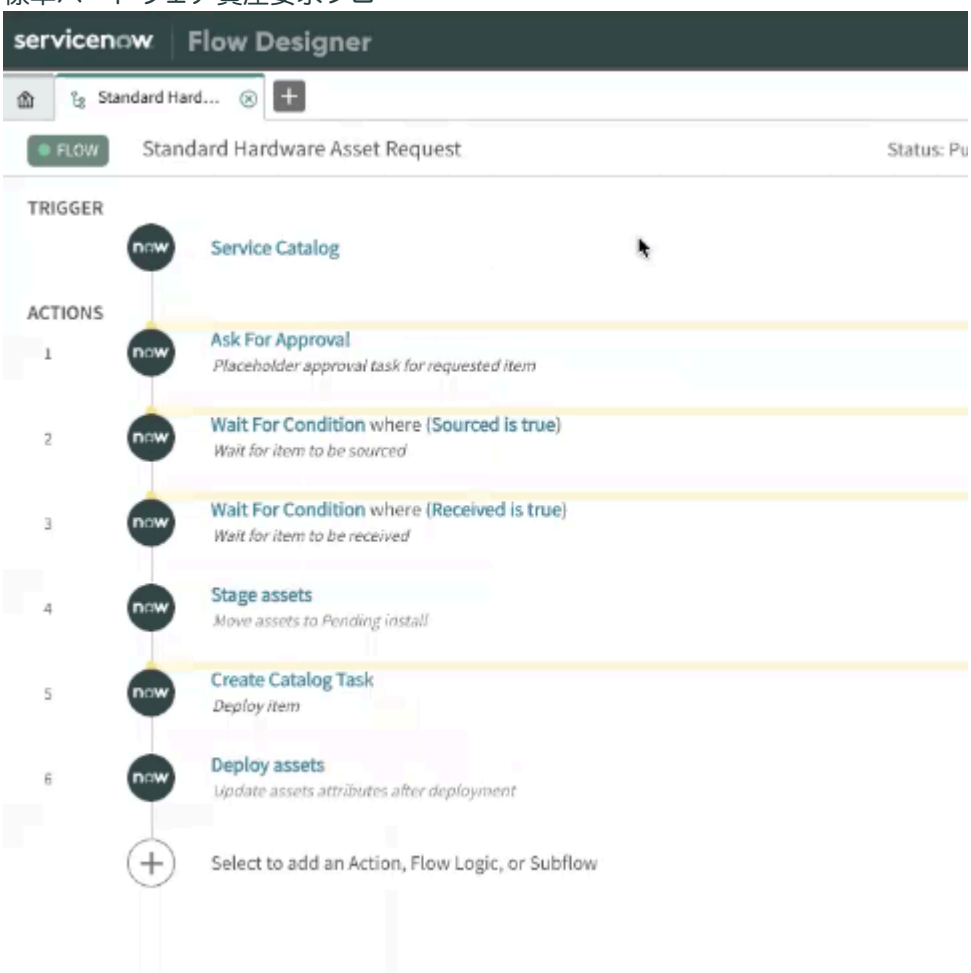
始める前に
必要なロール：

- catalog_admin
- procurement_admin

このタスクについて
サービスカタログアプリケーションからハードウェアカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準ハードウェア資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

フローデザイナー アプリケーションを使用して標準ハードウェア資産要求フローを作成し、ハードウェアカタログアイテムの調達、調達、および展開のプロセスを案内します。フローでさまざまなステージを進むと、資産の詳細が自動的に更新されます。標準ハードウェア資産要求フローを開くと、フロー内のステージのステータスを表示できます。

標準ハードウェア資産要求フロー



手順

1. catalog_admin ロールの認証情報でログインし、 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. ハードウェアカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準ハードウェア資産要求] を選択します。
   [フロー] フィールドが表示され表示されない場合は、メニューアイコンを右クリックして **Configure** (構成) > フォームレイアウト.
3. [保存] を選択します。
   これで、標準ハードウェア資産要求フローがハードウェアカタログアイテムに関連付けられました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. **[Service Catalog]** に移動し、[**Hardware**] を選択します。
5. リストからカタログアイテムを選択します。
6. [場所] フィールドで、資産を展開する場所を指定します。
   デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されています。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することはできます。

   注: このフィールドは、 ハードウェア資産管理 8.0.0 にアップグレードした後にハードウェアモデルから公開されたハードウェアカタログアイテムでのみ使用できます。

7. [数量] フィールドで、資産の数量を指定し、[今すぐ注文] を選択します。
8. procurement_admin ロールの認証情報でログインし、新しい要求を開きます。
9. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを 選択 します。
10. [要求されたアイテム] フォームレイアウトで、[フローコンテキスト] 関連リンクを選択して、標準ハードウェア資産要求フローの現在のステージを表示します。
11. [カタログタスク] 関連リスト選択して、要求の調達タスクを表示します。
12. カタログタスクを開き、[**Source Request**] を 選択します。
13. [ソース要求] フォームレイアウトで、転送注文または発注書を介して要求を調達するには、[転送注文を追加] または [発注書を追加] を選択 選択します。
    カタログアイテムを調達した後 資産集荷タスクが有効になっている倉庫から資産が調達されている場合にのみ、要求アイテムの資産集荷タスクが作成されます。それ以外の場合資産集荷タスクのない要求アイテムに対して計画タスク が作成されます。 詳細については、「」を参照してくださいでストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 ハードウェア資産ワークスペース。
14. [要求アイテム] 関連リストを選択し、要求アイテムを選択します。
15. [カタログタスク] 関連リストを選択します。
    - ソースストックルームで集荷タスクが有効になっている場合は、まず資産集荷タスクを完了してから展開タスクを完了します。
    - 集荷タスクが有効になっていない場合は、展開タスクを完了します。
16. モバイルエージェントアプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
    この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の集荷タスクを管理する」を参照してください。
    要求アイテムの展開タスクが作成されます。
17. [Deployment] タスクを閉じます。
    標準ハードウェア資産要求フローで、資産の展開に関連付けられたアクションが完了します。 資産ステータス、アサイン済み、インストール済み、場所、およびアサイン先フィールドが更新されます。 資産に関連付けられている CI も更新されます。

在庫を監査する

資産倉庫やその他の場所 (オフィスやデータセンターなど) のスケジュールされた監査またはブラインド監査を実行します。

始める前に
必要なロール：asset

資産ロールまたはinventory_userロールは、資産監査 [sn_hamp_asset_audit] レポートにのみアクセスできます。

- Hardware Asset Management (ハードウェア資産管理)
- ServiceNow エージェントアプリ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて
Now Platform または ServiceNow エージェント アプリで監査を作成できます。Now Platform を使用してスケジュールされた監査を作成し、ServiceNow エージェント アプリを使用してブラインド監査を作成します。アセットのスキャンの詳細については、「ServiceNow エージェント アプリを使用した資産のスキャン」を参照してください。

手順

1. 監査を作成します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 資産監査 > 資産監査 例です b. [新規] を選択します。
ハードウェア資産ワークスペース	a. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > インベントリビュー. b. [資産監査] タブを選択します。[資産監査] タブには、既存の資産監査のリストが表示されます。 c. [新規] を選択します。
ServiceNow エージェントアプリ	a. [アセット] をタップします。 b. 実行する監査を選択します。 ▪ 倉庫の監査を実行するには、[倉庫の監査] をタップします。 i. その他のアクションアイコン(その他の •••)をタップします。 ii. [新しい倉庫の監査] をタップします。 ▪ 場所の監査を実行するには、[ストックルームの監査] をタップします。 i. その他のアクションアイコン(その他の •••)をタップします。 ii. [新しい場所の監査] をタップします。

2. [新しい資産監査の作成] フォームで、フィールドに入力します。

新しい資産監査の作成フォーム

フィールド	Description (説明)
監査番号	監査参照番号。
Assigned to (アサイン先)	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値: ◦ 場所 ◦ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
倉庫	監査を実行する場所。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
スキャン日	資産をスキャンする日付。
予定日	監査を実行する予定日。

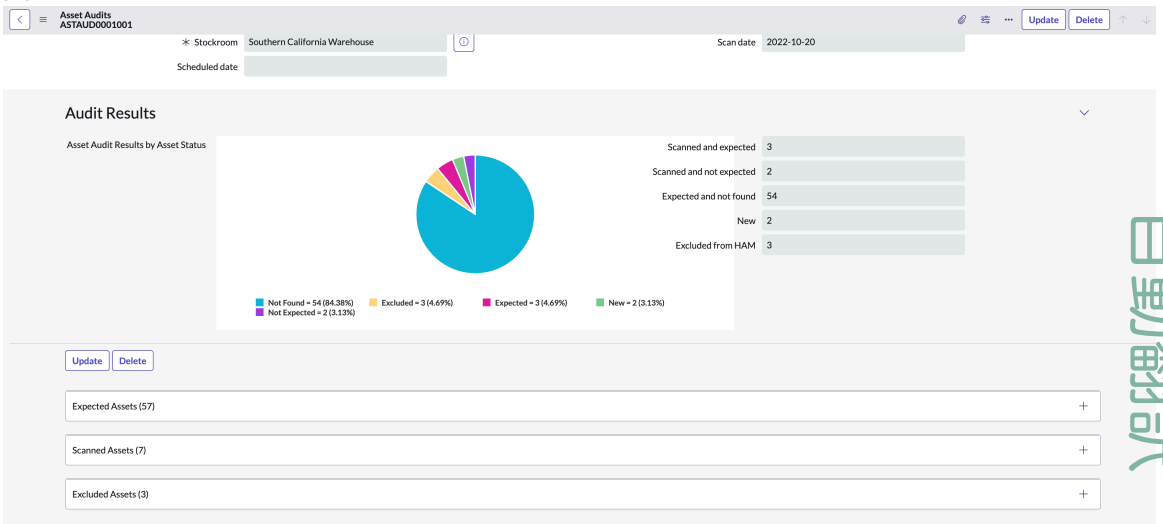
3. [保存] を選択します。
   [監査結果] セクションがアクティブ化され、監査結果の詳細が表示されます。
4. オプション: Now Platformで監査結果を表示します。

   a. 移動先 資産監査 > 資産監査.

   b. 監査を選択します。

      (Optional) 資産監査フォームと監査結果を表示できます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

資産監査フォーム



次のタスク

ServiceNow エージェント アプリを使用した資産のスキャン.

監査結果の表示

在庫を監査した後、監査結果を表示します。[監査結果] セクションがアクティブ化され、監査結果の詳細が表示されます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 資産監査 > 資産監査 例です
2. 監査番号を選択します。

   資産監査フォームと監査結果を表示できます。監査結果には、資産倉庫やその他の場所のスケジュール済み監査またはブラインド監査が完了すると、資産のステータスが表示されます。詳細については、「監査結果」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

監査結果

監査結果には、資産倉庫やその他の場所のスケジュール済み監査またはブラインド監査が完了すると、資産のステータスが表示されます。

監査結果

フィールド	Description (説明)
スキャン済みおよび予定	スキャンされた想定される資産の数。
スキャン済みおよび予定外	スキャンされたが想定されていなかった資産の数。
予定および未検出	スキャンされなかった予定資産の数。
新規	スキャンされたが、 ServiceNow インスタンスにレコードがない資産の数。
HAM から除外	ライセンスされた機能の使用から除外された ハードウェア資産管理 資産の数。

次の関連リストには、資産情報が表示されます。

- 予定資産:監査対象の ストックルーム または場所に割り当てられているすべての資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。
- スキャンされた資産:監査中にスキャンされたすべての資産を表示します。このリストは、モバイルアプリからスキャンが送信されるたびに更新されます。
- 除外された資産:除外されたすべてのハードウェア資産と エンタープライズ資産管理 資産を表示します。スキャンが開始されるまで、リストは入力されません。

ServiceNow エージェント アプリを使用した資産のスキャン

ServiceNow エージェント アプリを使用して資産をスキャンします。

始める前に

必要なロール：asset

手順

1. 作成した監査を選択し、 [スキャン] を選択します。
   [資産タグ] フィールドに資産タグを手動で入力することもできます。資産タグを入力したら、**Enter** キーまたは **Return** キーを押します。
2. 資産のスキャンが完了したら、 [レビュー] を選択します。

   レビューページでは、必要に応じて資産を削除できます。ただし、誤って 2 回スキャンしたアセットの重複は、 ハードウェア資産管理 によって自動的に削除されます。
3. [送信] を選択します。
4. 資産のスキャンが完了したら、監査を完了としてマークし、エージェントモバイルアプリと同様に監査をマークします。

   それ以外の場合は、監査に戻り、スキャンを続行します。

   注:

   監査の進行中は、必要に応じて何度でも新しいスキャンを開始できます。監査を 完了としてマークすると、それ以上資産をスキャンできなくなります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産のリフレッシュを要求

ハードウェア更新要求フローを使用して、ライフサイクルの終わりに近づいている古いハードウェア資産を追跡します。新しいハードウェア資産と交換します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

ハードウェア資産が古くなると、メンテナンスコストと障害のリスクが増加し、パフォーマンスが低下します。すべての古いハードウェア資産を、新しいハードウェア資産の同じモデルまたは異なるモデルに置き換えることを選択できます。ハードウェア資産のリフレッシュ要求が承認されると、ハードウェア資産のリフレッシュフローでソーシングが実行され、ハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。ハードウェア資産のリフレッシュラインフローでは、リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送スケジュール、展開、古い資産の再利用のステップを実行します。

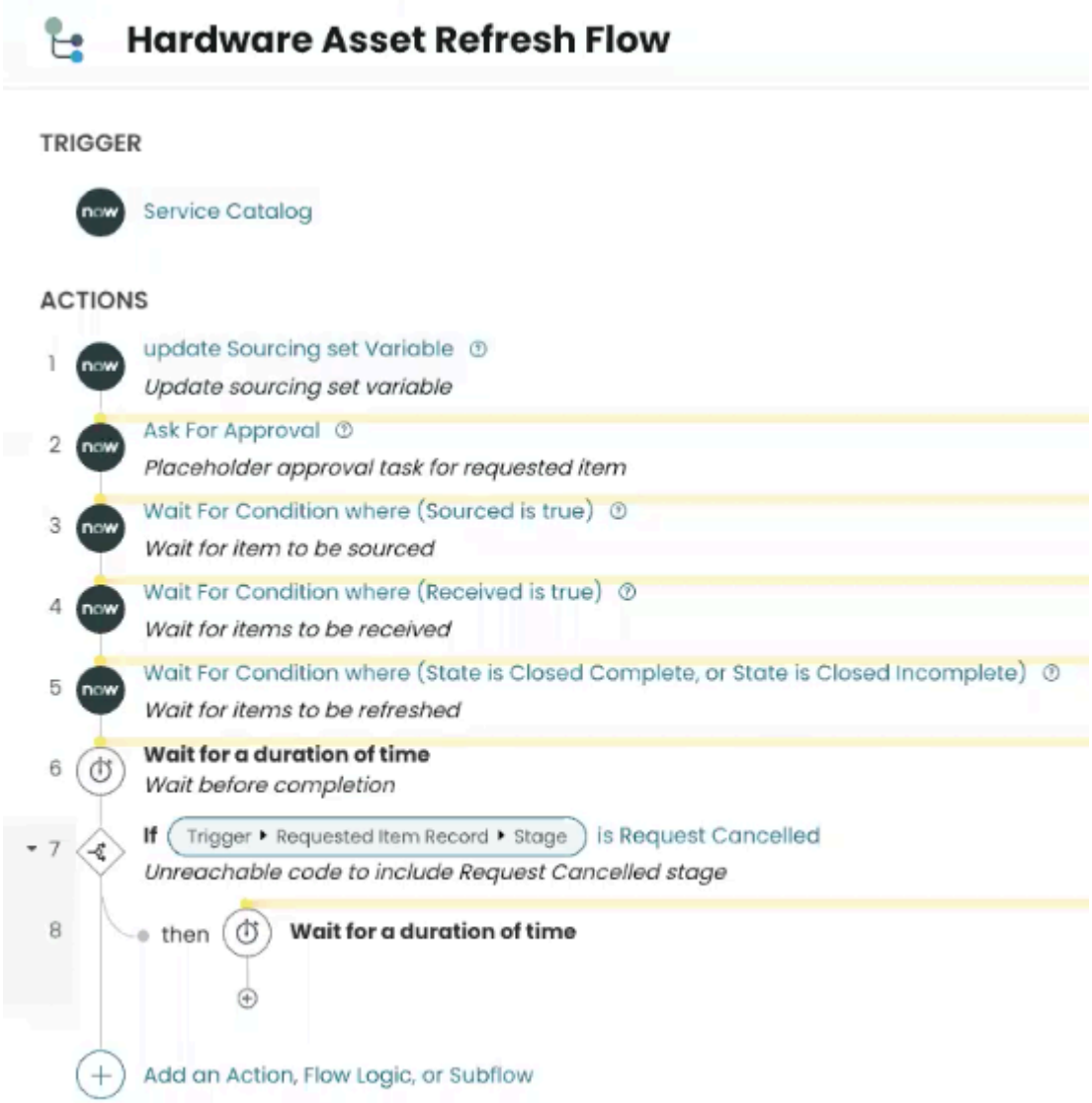
Flow Designer アプリケーションは、ハードウェア資産のリフレッシュフローとハードウェア資産のリフレッシュラインフローを作成するために使用されます。ハードウェア資産のリフレッシュモジュールをカスタマイズしている間は、ハードウェア資産のリフレッシュフローの 調達セット変数の更新 ステップを削除またはカスタマイズしないでください。

注: ハードウェア [alm_hardware] テーブルの [更新対象] フィールドを使用して、ハードウェアモデルが更新対象かどうかを確認できます。[SAM - Calculate Asset Refresh Eligibility (資産リフレッシュ適格性の計算)] スケジュール済みジョブは毎週実行され、*SAMRefreshEligibityCalculator* スクリプトインクルードの *Process* メソッドを呼び出します。スクリプトインクルードは、useful_lifeフィールド (月単位) が指定されている資産のハードウェア製品モデルレコードをフェッチします。資産レコードが作成された日付が [useful_life] フィールドと比較され、資産が耐用年数内であるかどうかが判断されます。更新対象フラグは、耐用年数期間内ではない資産に対して true に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Hardware Asset Refresh Flow (ハードウェア資産のリフレッシュフロー)



カタログアイテムフォームで [ハードウェア資産のリフレッシュ] カタログアイテムをカスタマイズするときは、次の変数を削除または変更しないでください。

ハードウェア資産のリフレッシュカタログアイテムフォーム

カタログアイテムのタブ	変数
変数	リフレッシュのタイプ
	プロセス
変数セット	Hardware Asset Management プロセスセット
	Hardware Asset Management ソーシングセット

注: ハードウェア資産のリフレッシュラインフローをカスタマイズするために使用できる、すぐに利用可能なディシジョンテーブルがあります。詳細については、「ハードウェア資産管理フローのカスタマイズ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   資産ライフサイクルカテゴリは、デフォルトでは [サービスカタログ] ページにはありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン ( ) を選択し、[資産ライフサイクル] を選択します。
2. [ハードウェア資産のリフレッシュ注文] を開きます。
3. 古いすべてのハードウェア資産を新しいハードウェア資産の同じモデルと置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新のタイプ] リスト フィールドから [単一モデル] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   [ハードウェア資産のリフレッシュ] フォーム

フィールド	説明
交換用モデル	古いハードウェア資産を置き換える新しいハードウェア資産モデル。
ロケーション	新しい資産を展開する場所。 デフォルトでは、このフィールドはログインしているユーザーの場所に設定されています。ただし、利用可能な場所のリストから場所を選択することはできます。
資産	置き換える古いハードウェア資産。フィルターを使用して、交換するハードウェア資産を検索できます。

4. 古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の異なるモデルと置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新のタイプ] フィールドから [マルチモデル] を選択します。

   b. [追加] を選択します。

   c. 使用する新しいハードウェア資産ごとに、ハードウェアモデルを入力する行を追加します。

   注:

   50 行を作成できます。

   置き換える同じ古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

5. [今すぐ注文] を選択します。
   除外された資産は表示できません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

タスクの結果
古い資産が更新されるように設定されています。ハードウェアテーブルの古い資産の [廃棄] 関連リストに、[要求ラインの更新] フィールドが入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[注文ステータス] ページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいハードウェア資産を調達し、古いハードウェア資産を交換する要求が作成されます。[要求] フォームには、すべての新しいハードウェア資産モデルの合計価格が表示されます。

ハードウェア資産のリフレッシュラインタスクを使用して、古い資産を交換する

新しいハードウェア資産を調達して、古いハードウェア資産を置き換えます。

始める前に

必要なロール：

- 調達proc_user。
- 資産と itil を追加します。

このタスクについて

ハードウェア資産をリフレッシュする場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。ハードウェア資産のリフレッシュラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、リフレッシュを完了し、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、資産の更新は次のステージで完了します。

- 資産準備タスク:要求者に渡す前に新しい資産を準備します。たとえば、必要なソフトウェアをインストールします。
- リフレッシュタスクをスケジュール:資産を要求者に渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産の展開:資産を要求者に渡すか、必要に応じて要求者の場所に資産をインストールします。
- 古い資産の再利用:古い資産を収集します。

手順

1. ハードウェア資産のリフレッシュ要求を選択します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > サービスカタログ > レコードを開く > 要求. b. 実行するハードウェア資産リフレッシュ要求の要求番号を選択します。
ハードウェア資産ワークスペース	a. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 調達ビュー. b. [要求] タブを選択します。 c. 実行するハードウェア資産リフレッシュ要求の要求番号を選択します。

   ハードウェア資産のリフレッシュ要求が承認されると、次のイベントが発生します。
   - ソース要求フローがトリガーされ、新しい資産が調達されます。
   - [カタログタスク] タブで、新しいハードウェア資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。

2. 要求内のソースアイテム。
   要求内の品目は、ローカル在庫を消費するか、発注書または移動注文によって調達できます。

   品目の調達の詳細については、「 サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

新しい資産が受領されると、次のイベントが発生します。

- 資産に対してハードウェア資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。
- [ハードウェア資産のリフレッシュライン] タブは、要求アイテムフォームの [資産タスク] タブの横に表示されます。
- 資産集荷タスクは、要求されたアイテムが、資産集荷タスクが有効になっているローカルストックルームから消費される場合にのみ、リフレッシュラインタスクの下に作成されます。それ以外の場合は、集荷タスクなしで直接 資産準備タスク が作成されます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

3. [**Hardware Asset Refresh Line**] タブを選択します。
4. ハードウェア資産のリフレッシュラインを選択します。
5. [リフレッシュラインタスク] タブを選択します。
6. モバイルエージェントアプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
   この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を見つけて集荷する」を参照してください。
7. 資産を準備します。
   a. [**Prepare asset** (資産を準備)] タスクを選択します。
   b. [資産] フィールドで、交換するハードウェア資産を選択します。
   c. [保存] を選択します。
   d. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
      - [Schedule refresh] タスクが [Refresh Line Tasks] の下に作成されます。
      - 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
      - サブステートが [予約済み] に変わります。
      - [**Reserved for**] フィールドに要求者の詳細が入力されます。
8. [リフレッシュのスケジュール] タスクを完了します。
   a. [リフレッシュのスケジュール] タスクを選択します。
   b. [スケジュールされた展開日] フィールドで、新しい資産が展開される日付を選択します。
   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
      - [Deploy new asset (新しい資産の展開)] タスクが [Refresh Line Tasks (ラインタスクのリフレッシュ)] の下に作成されます。
      - 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [インストール待ち] に変わります。
9. [Deploy new asset (新しい資産の展開)] タスクを完了します。
   a. [新しい資産を展開] タスクを選択します。
   b. [再利用済み] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。
      - 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
      - 古い資産を回収しなかった場合は、 いいえ を選択します。

   [場所] フィールドには、新しい資産を展開する場所が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

> 注: [再利用済み] リストから [はい] を選択した場合、[古い資産の再利用] タスクもデフォルトでクローズされます。

- 古い資産の再利用タスクは、[明細タスクを更新] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。
- 割り当ては、古い資産から交換用資産に転送されます。

10. 古い資産の再利用を完了します。

a. [古い資産の再利用] タスクを選択します。

b. [再利用済み] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
- 古い資産を回収しなかった場合は、 いいえ を選択します。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

> 注: ハードウェア資産のリフレッシュラインをキャンセルするには 、[キャンセル] を選択するか、[リフレッシュライン] タスクで [ステータス] フィールドを [未完了でクローズ] に変更します。

タスクの結果
老朽化したハードウェア資産が再利用されると、ハードウェアフォームで次の変更が行われます。

- 経過した資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

リースされたハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理します

リース契約有効期限フローを使用して、リースされたハードウェア資産契約が期限切れになる前に何をすべきかを決定します。有効期限が近づいているリース契約に関する通知を受け取ります。

始める前に
必要なロール：contract_manager

このタスクについて
リース契約の有効期限が近づくと、契約管理者と事業主に有効期限の 90 日前、60 日前、30 日前に通知されます。これらの通知を早期に受け取ることで、行動するのに十分な時間を確保し、ペナルティの支払いを回避することができます。メール通知をカスタマイズするには、次の場所に移動します。 システム通知 > **i** > 通知 > リース契約のしきい値に違反しました.

ハードウェア資産ダッシュボードでは、期限切れ間近の資産契約の統合リストを月、四半期、年の形式で表示できます。詳細については、「ハードウェア資産ダッシュボード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

ハードウェア資産管理ライセンスがアクティブ化されると、資産が対象となっているアクティブなリース契約に対して **UI** の更新 ボタンは表示されません。

資産が複数のリース契約に関連付けられている場合、資産レコードの リース契約 フィールドには、関連付けられた最新の契約が反映されます。

リース契約満了フロー、リース資産の買収フロー、リース資産の延長フロー、リース資産返却フローのカスタマイズにすぐに利用できるディシジョンテーブルがあります。詳細については、「ハードウェア資産管理 フローのカスタマイズ」を参照してください。

リース契約有効期限フローで可能なリースアクションは、リース資産の買い取り、リース契約の延長、資産または別の同様の製品の返却です。

注: 対象資産について、[削除日] フィールドが過去の日付の場合、資産のステータスは自動的に [キャンセル] に設定され、リースアクションを実行できません。

手順

1. 移動先 契約 > 契約 > リース.
   [リース] ページが開きます。リース契約のリストが表示されます。
2. 関連するアクティブなリース契約を開き、[リース有効期限プロセスを開始 **(Begin Lease expiration process**)] 関連リンクをクリックします。

   注:

   [リース有効期限プロセスを開始] 関連リンクは、少なくとも 1 つの資産が対象となっているアクティブな契約にのみ表示されます。

   除外されたリース資産に対して、買い取り、返却、延長などのリースアクションを選択することはできません。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

   [リース資産] 関連リストには、リース契約の対象となるすべてのハードウェア資産が表示されます。

   リース契約の対象となる各資産レコードで、計画タスクが生成されます。計画タスクが契約アドミニストレーターに自動的にアサインされます。

3. [リース資産] 関連リストで、次のいずれかを実行してリースアクションを実行します。
   - レコードを開き、計画タスクを開きます。計画タスクで、[リースアクション] リストからリースアクションを選択します。
   - 資産を開きます。[対象資産] フォームで、[リースアクション] リストから必要なリースアクションを選択します。
   - 資産のリストで、資産の [リースアクション] フィールドをダブルクリックし、リースアクションを選択します。

   一連のタスクが作成されます。計画タスクを開く以外の方法でリースアクションを選択すると、計画タスクのステータスは自動的に [クローズ済み] に移行します。

   注: デフォルトでは、計画タスクは契約に基づく最初の 1000 資産に対してのみ作成されます。1000 を超える資産の計画タスクを作成する場合は、資産プロパティ (asset_property.list) テーブルの *com.sn_hamp.flow.lease_contract_expiration.max_results* キーのデフォルト値 (1000) を変更できます。資産ロールを持つユーザーのみがこのプロパティを変更できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
選択したアクションに基づいて、対応するワークフローがトリガーされ、関連する契約資産タスクが作成されます。1 つのタスクを閉じて次のタスクに進みます。

次のタスク
選択したリースアクションに基づいて、次のいずれかを実行します。

- リースされたハードウェア資産を返却する。
- リースされたハードウェア資産を買い取る。
- リース契約の延長。

リースされたハードウェア資産を返却する

契約が切れる前にハードウェア資産を返却し、違約金の支払いを回避してください。

始める前に
必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて
リース資産の返却を選択すると、リース資産の返却プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

手順

1. リースレコードを開きます。

UI	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > 契約 > 契約 > リース. b. リースレコードを選択します。
ハードウェア資産ワークスペース	a. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 契約管理. b. [リース] 関連リストを選択し、リースレコードを選択します。

2. [リース資産] 関連リストを選択します。
3. 資産を選択します。
4. [契約資産タスク] タブで、計画タスクを選択します。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リースアクション] リストから [返却] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースされたハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理しますに記載されている方法のいずれかに従います。
   [契約資産タスク] 関連リストに回収タスクが生成されます。
7. [収集] タスクを選択します。
8. 資産を正常に収集した場合は、次の手順を実行します。
   a. [アセットコレクション] タブを選択します。
   b. 収集された資産 フィールドを はい に設定します。
   c. [ストックルーム] フィールドに、資産が保管されているストックルームを入力します。
   リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産が [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. ユーザーから資産を収集していない場合は、次の手順を実行します。

   a. [収集された資産] フィールドを [いいえ] に更新します。
   [アクションの変更] フィールドが [資産コレクション] タブに表示されます。

   b. ユーザーからリース資産を回収できず、リース資産を買い取る場合は、[アクション変更] リストから [買収] を選択します。
   買収プロセスを処理するために、さらに買収関連のタスクが作成されます。「リースされたハードウェア資産を買い取る」を参照してください。

   c. ユーザーからリース資産を回収できず、リース契約を延長する場合は、[アクション変更] リストから [延長] を選択します。
   リース延長プロセスを処理するために、さらに延長関連タスクが作成されます。「リース契約の延長」を参照してください。

   d. ユーザーからリース資産を回収できず、リース業者が別の同様の資産を返却することに同意した場合は、次の手順を実行します。

      i. [アクションの変更] リストから [類似の返却] を選択します。

      元の資産で、[同種交換] フィールドが入力され、資産が [欠損] ステータスに移行します。

      ii. [類似の返却済み資産] フィールドから、リース業者に返却する資産を選択します。

      iii. [ストックルーム] フィールドから、返却する類似の資産を含むストックルームを選択します。

      返品プロセスを処理するために、同様の資産に対してさらに返品関連タスクが作成されます。

      ハードウェアフォームでは、次の変更が行われます。

      - 資産は「欠損」ステータスに移行します。
      - 類似の資産が [在庫あり] ステータスと [保留中の転送] サブステートに移行します。

10. [収集タスク] フォームで、タスクを閉じます。
    返品の確認中に決済が必要な場合は、 決済 フィールドを はい に更新し、 決済金額 フィールドを決済コストで更新できます。これを行うと、返品決済タスクと発注書が生成されます。発注書が [受領済み] ステータスに移行すると、決済タスクは自動的にクローズされます。
    収集タスクがクローズされると、資産のデバイス割り当てを削除する準備タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、準備タスクを開きます。
12. フォームで、[**State**] フィールドを **[Closed Complete**] に変更します。
    準備タスクがクローズされると、出荷の詳細を更新するための出荷タスクが作成されます。
13. [契約資産タスク] 関連リストで、[出荷] タスクを開きます。
14. [配送業者]、[出荷日]、および [追跡番号] フィールドを更新します。
15. 出荷タスクを閉じます。
    返却確認タスクが作成されます。[ハードウェア] フォームで、リース資産が [輸送中] ステータスと [なし] サブステートに移行します。
16. [契約資産タスク] 関連リストで、[返却確認] タスクを開き、次の操作を行います。
    a. [**State** (状況)] フィールドを **[Closed Complete** (完了してクローズ)] に設定します。
    b. [返却確認] フィールドを [はい] に設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
返却確認タスクは、契約アドミニストレーターに自動的に割り当てられます。必要に応じて、他のユーザーに割り当てることができます。

リース資産の [ハードウェア] フォームで、資産は [廃止] ステータスと [リース返却] サブステートに移行します。

リースされたハードウェア資産を買い取る

契約が切れる前にリースされたハードウェア資産を買い取り、違約金の支払いを回避します。

始める前に
必要なロール:asset、itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin

このタスクについて
リース資産の買い取りを選択すると、リース資産の購入プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注: 買収タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書が調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 契約 > リース.
2. [リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] 関連リストで、計画タスクを開きます。
5. [契約資産タスク] フォームで、[リースアクション] リストから [買い取り] を選択します。
6. ステータスを [完了してクローズ] に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースされたハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理しますに記載されている方法のいずれかに従います。

   発注書 (PO) と発注書 (PO) 明細が作成されます。発注書フォームで、[詳細] セクションの [**PO** タイプ] フィールドが [リース買い取り] に設定されます。発注書 (PO) は、発注書 (PO) の品目に関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ発注できます。

   発注書の受領後、買収のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

   契約のリース買い取り発注書 (lease Buyout Purchase order) が [要求済み] ステータスで、同じ契約の対象となる資産の一部が [買い取りリース] アクションで更新された場合、対象となる資産の発注明細が発注書 (PO) に追加されます。リース買い取りの既存の発注書 (PO) が [要求済み] ステータスでない場合にのみ、新しい発注書 (PO) が作成されます。

   買収情報を更新するための買収タスクが作成されます。
7. [契約資産タスク] 関連リストで、買収タスクを開きます。
8. [**Buyout details**] タブで、次の操作を行います。
   a. [**Buyout date**] フィールドを、資産を購入する日付で更新します。
   b. [**Buyout amount**] フィールドを資産購入金額で更新します。
9. 必要に応じてフィールドに入力します。
10. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。

    発注書明細行の コスト フィールドを更新すると、 買収金額 フィールドに同じ金額が自動的に入力されます。買収タスクがクローズされるまで、発注明細の [コスト] フィールドを変更できます。

    確認プロセスを処理するために、買収確認タスクが作成されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

11. [契約資産タスク] 関連リストで、買収確認タスクを開き、次の操作を行います。

    a. 必須フィールドに入力します。

    b. **[Buyout confirmation]** フィールドを **[Yes]** に更新します。

    c. [**State**] フィールドを **[Closed]** および **[Complete]** に変更します。

    買収確認タスクフォームから [買収金額] フィールドを変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

    買収確認タスクをクローズするには、発注書が [受領済み] ステータスである必要があります。

タスクの結果

買収が確認されると、[財務] タブの資産レコードに次の変更が生じます。

- [コスト] フィールドが買収金額に更新されます。
- 取得方法 フィールドが 購買 に変更されます。

リース契約の延長

契約が切れる前にリース契約を延長し、違約金の支払いを回避してください。

始める前に

必要なロール:itil、contract_manager、inventory_admin、または ham_admin、

このタスクについて

資産のリース契約の延長を選択すると、契約延長プロセスを処理するさまざまな契約資産タスクが作成されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、プロセスを完了します。

注: 拡張タスクをクローズするには、リース資産に対して作成された発注書が調達マネージャーによって承認される必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 契約 > 契約 > リース.
2. [関連リンク] セクションで、[リース資産] 関連リストをクリックします。
3. 資産を開きます。
4. [契約資産タスク] タブで、計画タスクを開きます。
5. [リースアクション (Lease action)] リストから [拡張] を選択します。
6. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。
   リースアクションを実行するには、 リースされたハードウェア資産の期限切れ間近の契約を管理しますに記載されている方法のいずれかに従います。

   発注書 (PO) と発注書 (PO) 明細が作成されます。発注書明細行の **PO** タイプ フィールドは、自動的に 拡張 に設定されます。発注書は、発注明細のアイテムに関連付けられているすべての資産タスクを完了した後にのみ発注できます。

   発注書が作成されると、契約延長のコストを追跡するための経費ラインが作成されます。

   拡張プロセスを処理する拡張タスクが作成されます。
7. [契約資産タスク] 関連リストで、拡張タスクを開きます。
8. [拡張機能の詳細] タブで、[拡張機能の開始日] フィールドと [拡張機能の終了日] フィールドを更新します。
9. 対象資産のリース契約を延長する金額で [拡張コスト] フィールドを更新します。
   発注明細行は同じ金額で自動的に更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。
確認プロセスを処理するために、延長確認タスクが作成されます。
11. [契約資産タスク] 関連リストで、延長確認タスクを開きます。
延長確認タスクから延長金額を変更する場合は、発注書から金額を変更できます。

> **注:** 延長確認タスクをクローズするには、発注書が [受領済み] ステータスである必要があります。

12. [延長確認] フィールドを [はい] に設定します。
13. [**State**] フィールドを **[Closed Complete]** に変更します。

タスクの結果
開始日と終了日を延長の開始日と終了日として設定して、新しい契約が作成されます。

ハードウェア資産の再利用

必要に応じて、ハードウェア資産を効率的に再利用し、インベントリに保管したり、再アサインしたり、修理のために送付したり、廃棄したりします。

資産再利用要求の送信

[資産の再利用] カタログアイテムを使用すると、従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりしたときに、ハードウェア資産を効率的に再利用できます。

始める前に
必要なロール:すべての従業員が資産再利用要求を送信できます。

手順
1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産回収.
2. [資産の再利用] フォームで、フィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	資産再利用を送信する担当者 (人事担当者、マネージャー、従業員など) のロールです。 ◦ [マネージャー] を選択すると、マネージャーに報告するすべての従業員が [要求元] フィールドに表示されます。 ◦ [Employee] を選択すると、[**Requested for**] は読み取り専用になります。
要求元	資産再利用を送信する対象者。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象の人物が組織を離れるか、別のロールに異動するかを指定します。
資産	資産再利用を送信する担当者に割り当てられたハードウェア資産。
再利用方法	退職する従業員からハードウェア資産を収集する方法。自分が資産を集荷することも、従業員が資産を組織に持ち込むか出荷することもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
訴訟ホールドの方法	法的な理由によりハードウェア資産を保留にしておく必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及したい場合は、任意の指示。

3. [送信] をクリックします。
   資産再利用要求が作成されます。

資産再利用要求のクローズ

従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりしたときに、ハードウェア資産を効率的に再利用します。

始める前に
必要なロール: inventory_user または inventory_admin

このタスクについて
再利用資産ごとに、ハードウェア資産再利用ラインが作成されます。ハードウェア資産再利用ラインごとに、最大で 3 つのハードウェア資産再利用タスクが作成されます。

ハードウェア資産再利用ラインをクローズするには、ハードウェア資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべてのハードウェア資産再利用ラインがクローズされると 資産再利用要求はクローズされます。

手順

1. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 資産再利用 > 資産再利用要求.
2. クローズする資産再利用要求を開き、ハードウェア資産再利用ラインを開きます。
   資産再利用要求の送信時に選択した再利用方法に基づいて、ハードウェア資産再利用ラインに [Schedule drop off]、[Schedule pickup]、または [Schedule shipment] タスクが作成されます。
   [Hardware Asset Reclamation Line] フォームの [**Stage**] フィールドに [**Ready]** と表示されます。
3. ハードウェア資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォーム フィールドに入力します。

出荷スケジュールタスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
アサイン先	出荷スケジュールタスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
倉庫	再利用資産が保存 されている 場所。このフィールドは必須です。
配送arrier	資産をストックルームに出荷する運送業者ベンダーの名前。 この フィールドは必須であり、配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルへの参照です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド名	説明
トラッキング番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。この フィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷される日付。この フィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [タスクのクローズ] を選択します。
[Hardware Asset Reclamation Line] フォームの [**Stage**] フィールドが **[Ready]** から **[Pending received]** に変わります。
資産の受領タスクがハードウェア資産再利用ラインに作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. フォーム フィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産の受領タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	資産の受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
資産は再利用されていますか？	資産を受領した場合このチェックボックスをオンにします。 このチェックボックスは必須です。
受領済み数量	受領した消耗品の数。このフィールドは必須で、消耗品に対してハードウェア資産再利用ラインが作成され場合にのみ表示されます。
作業メモ	メンションする追加情報。

8. [タスクのクローズ] を選択します。

[Hardware Asset Reclamation Line] フォームの [**Stage**] フィールドが **[Pending received]** から **[Pending** evaluation] に変わります。

資産を受領した後、資産フォームで次の変更が行われます。

- 資産レコードの **[Assigned to**] フィールドが空になります。
- 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、[サブステート] が [修理待ち] に変わります。

9. フォーム フィールドに入力します。

資産タスクフォームを評価

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。このドロップダウンtは必須で使用可能な値は次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド名	説明
	◦ 再展開可能 ◦ 修理が必要 ◦ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

10. [タスクのクローズ] を選択します。
[評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の ステータスと サブステートが次のように変更されます。

評価ステータス値	資産のステートとサブステート	
	ステータス	サブステート
再展開可能	在庫あり	利用可能
修理が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	廃棄待ち

[Hardware Asset Reclamation Line] フォームの [**Stage**] フィールドが **[Pending evaluation** (評価待ち)] から **[Complete** (完了)] に変わります。

注: すべてのハードウェア資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

資産の **RFID** 情報を表示する

資産の無線自動識別 (RFID) 情報を表示して、重要な資産を簡単に管理および特定できます。

始める前に

必要なロール：asset

手順

RFID 情報を表示するハードウェア資産に移動します。

インターフェイス	アクション
コア UI	**a.** 移動先 すべて > ハードウェア資産. **b.** RFID 情報を表示する資産タグを選択します。 **c.** [全般] タブの **[RFID** タグ] フィールドの横にあるプレビューアイコン (ⓘ) を選択します。 **d.** [レコードを開く] を選択して、資産の RFID 情報を表示します。
ハードウェア資産ワークスペース	**a.** 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産. **b.** [ハードウェア資産] タブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インターフェイス	アクション
	c. RFID 情報を表示するハードウェア資産の表示名を選択します。 **d.** [**Details** (詳細)] タブの **[RFID tag (RFID** タグ)] フィールドで [Open Record (レコードを開く)] アイコン (ⓘ)を選択します。

注: 除外された資産に RFID タグフィールドが存在しません。

フィールド	**Description** (説明)
RFID タグ	RFID システム内の RFID タグの一意の識別子。
サイト名	RFID システムで定義されているサイトの名前。
タイプ	RFID システムで定義されているリソースタイプ。
ゾーングループ	RFID システムで定義されているゾーングループ。
シリアル番号	RFID システムで定義されている一意の識別子。
ゾーングループ滞留	データインポートのタイムスタンプを基準として、資産が現在のゾーングループにとどまっている時間の長さ。
タグソース	RFID データのアプリケーションソース。
ゾーン	RFID システムで定義されているゾーン。
前回の点滅時間	前回 RFID タグがスキャンされたとき。
ゾーン滞留	データインポートのタイムスタンプと比較して、資産が現在のゾーンにとどまっている期間。
前回の点滅経過時間	データインポートのタイムスタンプと比較した、RFID システムで資産がスキャンされた期間。
グリッド-x、グリッド-y、グリッド-z	RFID システムで定義されている物理的な場所。
ステータス	リソースに対する RFID 情報の照合のステータス。
アクティブ	RFID 情報を資産 [alm_asset] テーブルにマッピングするオプション。このオプションがデフォルトで選択されています。

注:

アクティビティ履歴は、RFID タグとゾーンについてのみキャプチャされます。

関連情報

Zebraテクノロジー RFIDシステムの統合

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

からの資産保証の詳細の受信 **Lenovo**

Lenovo Warranty API に接続し、ハードウェア資産の保証の詳細を取得します。

関連情報

資産保証の詳細に関する Lenovo との統合

Lenovo Warranty API への接続

Lenovo Warranty API に接続するための接続と認証情報を作成し、ハードウェア資産の保証情報をダウンロードします。

始める前に
Lenovo から提供されたクライアント ID が必要です。お持ちでない場合は、組織の Lenovo 営業担当者またはサービス担当者にお問い合わせください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > 接続 **&** 認証情報 > 接続および資格情報エイリアス.
2. [*Lenovo*] を選択します。
3. [関連リンク] セクションから、[接続と資格情報の新規作成 **(Create New Connection and Credential)]** をクリックします。
4. オプション: [接続名] フィールドで、Lenovo 保証 API への接続のデフォルトの接続名を変更します。
   デフォルトでは、このフィールドは **[Lenovo** 接続 **(Lenovo Connection)]** に設定されます。

   重要: [接続 URL] フィールドに指定されているデフォルトの URL は変更しないでください。

5. [クライアント **ID]** フィールドに、Lenovo から提供されたクライアント ID を入力します。
6. [作成] を選択します。

タスクの結果
Lenovo の接続が正常に作成され、[接続] タブに一覧表示されます。

Lenovo資産の保証の詳細を追跡する

Lenovoハードウェア資産の保証の詳細を、ハードウェア資産ワークスペースの [資産運用] ビューで一元的に表示および追跡します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 資産保証 リストから、資産保証 を選択します。
   - 資産がまだ保証期間内かどうかを確認するには、[ステータス] 列を確認します。
   - 有効期限が近づいている保証を追跡するには、資産レコードの [終了日] 列と資産のステータスを確認します。
3. オプション: 保証レコードを選択すると、詳細が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

倉庫を管理する

適切な在庫ルール、サービスの場所、流通チャネルを使用して、ストックルーム内の資産を管理します。

詳細については、「倉庫」および「在庫ルール」を参照してください。

ストックルーム作成

ストックルームを作成して、場所を資産に割り当てます。

始める前に
必要なロール：資産または inventory_user

このタスクについて
ストックルームは、資産管理アプリケーション内の個別のスタンドアロンエンティティです。特定の資産の在庫が少なくなったときに、在庫ルールで 資産管理者 に通知したり、自動的にある倉庫から別の倉庫に在庫を移動したりできます。

手順

1. ストックルームを作成します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > **Inventory** (インベントリ) > 在庫 > 倉庫. b. [新規] を選択します。
ハードウェア資産ワークスペース	a. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ). b. [すべてのストックルーム] を選択します。 c. [新規] を選択します。

2. フォーム フィールドに入力します。

[新規ストックルームの作成] フォーム

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。
ロケーション	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	フィールド エージェントやオンサイトなどストックルームの種類。
マネージャー	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。

3. [保存] を選択します。

タスクの結果
ストックルームが [すべてのストックルーム] タブに表示されるリストに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産を含むストックルームを削除する

ストックルームを削除することができます。ストックルームに資産がある場合は、まずストックルームから資産を削除する必要があります。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順

1. [すべて] > [資産] > [すべての資産]に移動します。
2. リストをカスタマイズして [ストックルーム] 列を追加します。
3. 削除するストックルームの資産のみ表示するには、リストをフィルタリングします。
4. すべての資産レコードに対してストックルームを変更または削除します。
5. 削除するストックルームから資産を削除したら、「資産のないストックルームを削除する」手順に進みます。

資産のないストックルームを削除する

資産のないストックルームは削除することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順

1. [すべて] > [在庫] > [在庫] > [ストックルーム]に移動します。
2. ストックルームの [名前] の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。

新規のストックルーム タイプを作成する

ベース システムに含まれていないストックルーム タイプが必要な場合は、カスタムストックルームタイプを作成することができます。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
ベース インスタンスで提供されているストックルーム タイプの優先度レベルを確認して、作成する新規のストックルーム タイプに正確な優先度レベルを割り当てるようにします。また、ベース システムに含まれるストックルーム タイプを変更することもできます。

手順

1. [すべて] > [インベントリ] > [在庫] > [ストックルームタイプ]に移動し、新規のレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照してください)。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
外部のストックルーム	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているかどうか (チェックボックスが選択されている) を示します。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
値	ストックルーム タイプの内部識別子です。

2. [送信] をクリックします。

倉庫の詳細を表示する

ハードウェア、消耗品、バンドル、パレット、貸与、エンタープライズ、その他の資産が配置されているストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、ストックルームを選択します。
4. [詳細] タブでストックルームの詳細を表示します。
   ストックルームに関する次の詳細を表示します。
   - [オープンストックルーム] タスクカードを通じてストックルームに関連付けられているすべてのオープンタスク。カードを選択すると、タスクレコードのリストが表示されます。
   - ストックルームの有効な在庫ルール。コンテキストサイドバーの在庫ルールカードは、在庫がしきい値を下回っているかどうか、およびモデルが販売終了に達したかどうかを知るのに役立ちます。
   - ストックルームが利用できる時間は、[作業時間] フィールドに表示されます。
   - 指定した住所に基づいたストックルームの場所がインタラクティブマップに表示されます。ストックルームに関連付けられているすべてのサービスの場所と流通チャネルを表示するには、[全画面表示の切り替え] を選択します。
5. [タスクタイムライン] タブで、すべてのスケジュールされたストックルームタスクと、それらのタスクに関連付けられたインバウンド出荷、アウトバウンド出荷、作業アクティビティのタイムラインを表示します。
6. オプション: [タスクタイムライン] タブで、タイムラインビューとタイムラインの長さを調整します。
   - 右上の [カレンダー] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、ビューを指定した期間のカレンダービューに設定します。
     - 日
     - 作業週
     - 週
     - 月

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 右上の [タイムライン] ドロップダウンリストから次のいずれかの値を選択して、ビューを指定した期間のタイムラインビューに設定します。
  - 日
  - 週
  - **4** 週間

7. 資産タイプに対応するタブを選択して、ストックルームのサービスの場所と流通チャネル、およびストックルーム内のさまざまなタイプの資産の詳細を表示します。

> **注:** エンタープライズ資産に関連するタブは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションが ServiceNow® インスタンスにインストールされている場合にのみ表示されます。エンタープライズ資産を選択すると、 エンタープライズ資産ワークスペース内の対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。エンタープライズ資産にアクセスできる場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースにもアクセスできます。詳細については、「エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

倉庫とサービスの場所の関連付け

倉庫を複数のサービスの場所に関連付けることで、ローカルストックルームから消費する調達要求を効果的に管理します。1 つのストックルームを使用して複数の場所にサービスを提供することで、貸与資産ワークフローと自動化された資産タスクを最適化します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

このタスクについて
> **注:**
>
> 場所の補償から除外されているストックルームにサービスの場所を追加することはできません。詳細については、「サービスの場所からストックルームを除外する」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. サービスの場所に関連付けるストックルームを選択します。
4. [サービスの場所] タブを選択します。
5. [追加] を選択します。
6. [サービスの場所を追加] ダイアログボックスで、ストックルームでサポートするアクティブな場所を選択し、[追加] を選択します。

   親場所を追加すると、そのすべての子場所もストックルームでサポートされます。たとえば、市区町村 San Francisco を追加すると、ストックルームはサンフランシスコ内のすべての場所をサポートします。

   > **注:** [アクティブ] チェックボックスが選択されていない場合、ストックルームはその場所またはその子の場所をサポートしていないため、その場所をストックルームに追加することはできません。

タスクの結果
選択した場所が、[サービスの場所] タブに表示されるリストに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

- ローカルストックルームからのソース要求
- 貸与資産の要求
- 要求から転送注文を作成する
- 資産ライフサイクルの自動化

サービスの場所を削除

関連付けられたストックルームがサービスの場所をサポートしていない場合は、サービスの場所を削除します。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. サポートされている場所を削除するストックルームを選択します。
4. **[** サービスの場所] タブで、削除する場所を選択し、[削除] を選択します。

タスクの結果

削除された場所は、[サービスの場所] リストに表示されなくなります。

サービスの場所からストックルームを除外する

インベントリビューの [サービスの場所がない倉庫] の重要なアクションカードにその倉庫が表示されないように、サービスの場所からストックルームを除外します。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

注: すでにサービスの場所が関連付けられているストックルームを除外することはできません。関連するサービスの場所を削除してから、サービスの場所からストックルームを除外する必要があります。詳細については、「サービスの場所を削除」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、サービスの場所から除外するストックルームを選択します。
4. [サービスの場所から除外] チェックボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 倉庫がサービスの場所をサポートしていない場合でも、[サービスの場所がない倉庫] の重要なアクションカードには倉庫は表示されません。
- [サービスの場所] タブには、サービスの場所をストックルームに追加するための [追加] オプションが表示されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

倉庫を流通チャネルにリンクする

地理的に関連する 2 つのストックルームをリンクして流通チャネルを作成し、資産の配送をより効率的にします。各チャネルに優先順序を割り当てて、ストックルームに資産を調達できます。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

倉庫には、以下の機能を持つ流通チャネルを含めることができます。

- インバウンド:流通チャネルは、リンクされたストックルームから資産を調達するために使用されます。
- アウトバウンド:流通チャネルは、リンクされたストックルームに資産を転送するために使用されます。

注:

流通チャネルによる資産の調達をサポートしていないストックルームには、流通チャネルを作成できません。詳細については、以下を参照してください 流通チャネルからストックルームを除外する。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 流通チャネルを作成する倉庫を選択します。
4. [流通チャネル] タブを選択します。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

新しい倉庫流通チャネルの作成フォーム

フィールド	説明
ベース倉庫	流通チャネルを作成するストックルームの名前。このフィールドは、自動的に入力されます。
チャネル倉庫	資産を調達するための流通チャネルを作成するためにベース倉庫にリンクする倉庫の名前。
ランク	資産を調達するための流通チャネルに与えられた優先順位の番号順。
関数	流通チャネルの機能。このフィールドは読み取り専用で、自動的に [受信] に設定されます。
アクティブ	ベースストックルームへの資産の調達に流通チャネルが有効かどうかを示すオプション。 **注:** アクティブチェックボックスをオフにすると、そのチャネルストックルームのベースストックルームの送信機能も自動的に非アクティブになります。

7. [保存] を選択します。
8. 手順 4 ～ 7 を繰り返して、このベースストックルームに別の流通チャネルを作成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 流通チャネルが [流通チャネル] タブに表示されるリストに追加されます。
- ベースストックルームが、そのチャネルストックルームのアウトバウンド流通チャネルとして追加されます。ベースストックルームの [機能] フィールドが [アウトバウンド] に設定されます。

関連情報

要求から転送注文を作成する

ローカルストックルームからのソース要求

流通チャネルからストックルームを除外する

流通チャネルから倉庫を除外して、その倉庫が [在庫] ビューの [流通チャネルがない倉庫] の重要なアクションカードに表示されないようにします。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

このタスクについて

注: 既に流通チャネルにリンクされている倉庫を除外することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、流通チャネルから除外するストックルームを選択します。
4. [流通チャネルから除外] チェックボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 倉庫は、流通チャネルにリンクされていない場合でも、[配送チャネルがない倉庫] の重要なアクションカードには表示されません。
- [流通チャネル] タブには、倉庫の流通チャネルを作成するための [新規] オプションが表示されません。

在庫ルールを作成する

在庫ルールを作成すると、特定の倉庫にある特定の資産の在庫が指定されたしきい値に達したときの処理を制御できます。

始める前に

必要なロール：inventory_admin

手順

1. [すべて] > [インベントリ] > [在庫] > [在庫ルール]に移動し、新規のレコードを作成します (フィールドの説明についてはテーブルを参照してください)。

フィールド	説明
モデル	ルールが適用される製品モデル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストックルーム内のインベントリ数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 **注:** ハードウェアまたはソフトウェアモデルの在庫ルールがしきい値の制限に達した場合、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫オーダー要求が自動的に作成されます。
再補充オプション	追加供給が来るべき場所。 調達がアクティブでない場合、補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。 ◦倉庫：他の倉庫から資産を取得するための転送注文を作成します。 ◦ベンダー：ベンダーに注文するため倉庫マネージャーにメールを送信します。メール通知に加えて、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。 **重要:** 転送注文、発注書 (PO)、または発注明細が作成されたら、迅速に対応することが重要です。これらのアクションでは、メール通知やリマインダーは送信されません。
アクティブ	自動的に補充するための在庫ルールを有効にするオプション。
倉庫	資産の現在の物理的な場所。
オーダーサイズ	転送注文またはベンダー購入の最小注文数量。アイテムがしきい値以上に再補充されるために必要なオーダーサイズの最小倍数をServiceNowで計算します。 たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送注文を作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベンダーから補充する場合は、注文サイズの倍数として ServiceNow がアイテムの必要注文数の合計を示したメールを倉庫マネージャーに送信します。

2. [送信] を選択します。

関連情報

在庫ルール

統合フレームワークを使用した出荷の追跡

IT Asset Managementアプリケーションが提供する統合フレームワークを使用して、ServiceNowインスタンスをサードパーティ配送業者のアプリケーションと統合することで、出荷をリアルタイムで追跡します。

サードパーティ配送業者アプリケーション用の統合スクリプトインクルードの作成

ServiceNow インスタンスと統合するには、サードパーティの配送業者アプリケーションに、ServiceNowインスタンスに基底クラスの `ITAMShipmentIntegration` スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを用意し、顧客のServiceNowインスタンスから出荷追跡番号を受信し、配送業者関連の詳細で応答する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スクリプトインクルードを作成するときは、次の点を考慮してください。

- アプリケーションリソースレコードの次の設定を調整して、 資産管理 共通アプリケーションスコープからスクリプトインクルードにアクセスできることを確認します。
  - [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
  - 発信者アクセスが制限されていないことを確認するには、[発信者アクセス] フィールドを [なし] に設定します。
- 追跡番号に基づいて購入者の ServiceNow インスタンスと通信するためのコードは、*fetchShipmentInfo* 関数内に含める必要があります。
- 購入者の ServiceNow インスタンスとの接続を検証するためにAPIがテストモードで呼び出された場合、 *fetchShipmentInfo* メソッドからの応答は、次のようにHTTP応答コードと応答メッセージを含むJSONオブジェクトである必要があります。

```
{
httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
}
```

- テストモードでない場合は、出荷を照会し、次の応答形式で *processResponse* メソッドを呼び出します。

```
[
{
trackingNumber: '',
deliveryDate: '',
pickupDate: '',
packageStatus: '.
statusDetail: '',
trackingURL: '',
parcelWeight: '',
deliveryServicesCost: '',
currency: ''
}
 ]
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードのサンプルコード

サンプルの ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードと、 IT Asset Management アプリケーションによって提供されるデフォルトの processResponse 関数

Script

```
var DemoFedexAPI = Class.create();
DemoFedexAPI.prototype = Object.extendsObject(sn_itam_common.ITAMShipmentIntegration, {
    initialize: function() {
    },

    // trackingNumbers: Array of shipment tracking numbers
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        var returnObj = {
            httpResponseCode: 0,
            httpResponseMessage: ''
        };
        // Mode = test indicates just check connectivity to API
        // If mode is test, just check the connection
        // Else get the status for the input tracking numbers
        if (mode != 'test') {
            // Make a call to the carrier API - pass the "trackingNumbers"
            // If there are no errors, returnObj.httpResponseCode should be 200, else, set it to the returned error code
            // In case of any error message being returned from API, copy it to returnObj.httpResponseMessage
            // If call is successful, make sure response is in the format as below:
            // array of JSON, where each JSON would have below keys with corresponding values
            // trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
            // Then invoke the default function to update shipments
            this.processResponse(responseArray);
        } else {
            // Check the connection to carrier API and return response
            // If connection is successful, returnObj.httpResponseCode should be 200, else set it to the returned error code
        }
        return returnObj;
    },

    type: 'DemoFedexAPI'
});
```

カスタム processResponse 関数を含むサンプルの ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード

Script

```
var DemoUPSAPI = Class.create();
DemoUPSAPI.prototype = Object.extendsObject(sn_itam_common.ITAMShipmentIntegration, {
    initialize: function() {
    },

    // trackingNumbers: Array of shipment tracking numbers
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        var returnObj = {
            httpResponseCode: 0,
            httpResponseMessage: ''
        };
        // Mode = test indicates just check connectivity to API
        // If mode is test, just check the connection
        // Else get the status for the input tracking numbers
        if (mode != 'test') {
            // Make a call to the carrier API - pass the "trackingNumbers"
            // If there are no errors, returnObj.httpResponseCode should be 200, else, set it to the returned error code
            // In case of any error message being returned from API, copy it to returnObj.httpResponseMessage
            // If call is successful, make sure response is in the format as below:
            // array of JSON, where each JSON would have below keys with corresponding values
            // trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
            // Then invoke the default function to update shipments
            // In case there is a need for handling shipment updates, implement processResponse function like below
            this.processResponse(responseArray);
        } else {
            // Check the connection to carrier API and return response
            // If connection is successful, returnObj.httpResponseCode should be 200, else set it to the returned error code
        }
        return returnObj;
    },

    processResponse: function () {
        // Custom logic for updating shipment records
        // Query shipment table for each tracking number and then update the values from response onto the corresponding columns
    },

    type: 'DemoUPSAPI'
});
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

fetchShipmentInfo 関数

`fetchShipmentInfo` 関数は、顧客のServiceNowインスタンスから追跡番号を受け取り、配送業者 API を呼び出してすべての追跡番号の出荷の詳細をフェッチします。この関数内では、顧客が追跡番号に基づいて配送業者 API と通信できるようにするビジネスロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API から受信した応答を処理し、後処理関数を呼び出します。

processResponse 関数

`processResponse` 関数は、配送業者 API からの応答を受信し、次の配送業者関連の詳細で出荷レコードを更新します。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

デフォルトの `processResponse` 関数を使用するか、カスタムロジックを定義して出荷レコードを更新できます。

ServiceNow インスタンスを配送業者アプリケーションに接続する

配送業者を統合プロファイルに関連付けて、 ServiceNow インスタンスを配送業者アプリケーションに接続します。

始める前に
統合プロファイルに関連付ける配送業者に配送業者レコードがあることを確認します。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。

必要なロール:admin または domain_admin

このタスクについて
配送業者は、1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者統合 **profiles**] を選択します。
3. 配送業者に関連付ける 配送業者 統合プロファイルを選択します。

   注: サードパーティ配送業者アプリケーションによって、レコードが配送業者統合プロファイルリストに自動的に挿入されます。配送業者に関連付けられた統合プロファイルがリストにない場合は、配送業者との統合の前提条件が満たされていることを確認してください。詳細については、「サードパーティの配送業者アプリケーションとの統合による出荷の管理」を参照してください。

4. [配送業者] タブを選択します。
5. 配送業者を carrier 統合プロファイルに関連付けます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [追加] を選択します。

b. [配送業者の追加] ダイアログ ボックスで、配送業者を選択して [追加] を選択します。

> 注: 関連付ける配送業者がリストにない場合は、すでに統合プロファイルに関連付けられている可能性があります。

タスクの結果
配送業者がプロファイルに関連付けられ、配送業者の詳細が [配送業者] タブに表示されます。

統合プロファイルから配送業者を削除する

統合プロファイルに関連付ける必要がなくなった配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順
1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [配送業者統合プロファイル] を選択します。
3. 関連する配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。
4. [配送業者] タブを選択し、削除する配送業者を選択します。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果
配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなりました。

配送業者統合プロファイルの作成

ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションに接続するために使用される API と接続の詳細を指定して、配送業者の配送業者統合プロファイルを作成します。

始める前に
必要なロール：admin

手順
1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [配送業者統合プロファイル] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

配送業者統合プロファイルの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	データ連携プロファイルの名前
接続の詳細	顧客の認証情報を格納する接続および資格情報エイリアステーブルへの参照。 注: キャリア API への接続が認証されるように、接続および資格情報エイリアステーブルで認証情報を更新する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
API	統合ビジネスロジックを含むスクリプトの名前。
ジョブ	配送業者 API を呼び出して出荷の詳細をフェッチするスケジュール済みジョブの名前。 このジョブは、毎日実行されるジョブ「ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷」ジョブによって自動的に作成されます。
アクティブ	統合プロファイルのステータスを示すオプション。 **注:** 統合プロファイルを非アクティブ化することはできますが、統合プロファイルを削除することはできません。統合プロファイルを非アクティブ化すると、キャリア API を呼び出す関連ジョブが自動的に非アクティブ化されます。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果
配送業者統合プロファイルが作成され、[配送業者統合プロファイル] リストに追加されます。

配送業者統合プロファイルの詳細の表示

ServiceNowインスタンスをサードパーティの配送業者アプリケーションに接続するために使用される配送業者 API の詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:admin、domain_admin、asset、または inventory_admin

手順
1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [配送業者統合プロファイル] を選択します。
   サードパーティ配送業者アプリケーションによって、レコードが配送業者統合プロファイルリストに自動的に挿入されます。 配送業者統合プロファイルを作成することもできます。
3. 配送業者の配送業者統合プロファイルを選択します。

配送業者統合プロファイルの詳細フォーム

フィールド	説明
名前	データ連携プロファイルの名前
接続の詳細	顧客の認証情報を格納する接続および資格情報エイリアステーブルへの参照。 **注:** キャリア API への接続が認証されるように、接続および資格情報エイリアステーブルで認証情報を更新する必要があります。
API	統合ビジネスロジックを含むスクリプトの名前。
ジョブ	配送業者 API を呼び出して出荷の詳細をフェッチするスケジュール済みジョブの名前。 このジョブは、毎日実行されるジョブ「ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷」ジョブによって作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	統合プロファイルのステータスを示すオプション。 **注:** アドミンまたはdomain_adminロールを持つユーザーのみが統合プロファイルを非アクティブ化できますが、統合プロファイルを削除することはできません。統合プロファイルを非アクティブ化すると、キャリア API を呼び出す関連ジョブが自動的に非アクティブ化されます。

配送業者 **API** との統合をテストする

無効な認証情報、誤った追跡の詳細、統合スクリプトインクルードの問題などの接続の問題を処理するには、配送業者 API との接続を確認します。

始める前に
必要なロール:admin または domain_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから、[配送業者統合 **profiles**] を選択します。
3. テストする 配送業者 統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。

タスクの結果
接続の成功または失敗を示すメッセージが表示されます。

配送業者レコードの作成

配送業者を統合プロファイルに関連付けるために使用する配送業者レコードを作成します。

始める前に
必要なロール：inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [出荷] リストから [配送業者] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 配送業者の連絡先の詳細を入力します。
5. フォームの残りのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。このフィールドは必須です。
会社	配送業者のコア会社。
統合プロ	サードパーティ配送業者のアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「配送業者統合プロファイルの詳細の表示」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ファイル	
ステータス	配送業者のステータス。 このフィールドはデフォルトで [アクティブ] に設定されています。
最大待機日数	配送業者が荷物を配達するのに要する最大日数。 デフォルトでは、このフィールドは 90 に設定されています。この値は変更できます。 注: このフィールドは、デフォルトではフォームに表示されません。 このフィールドをフォームに表示するように選択できます。 指定された最大待機日数の間統合プロファイルジョブが実行された後に配送業者によって更新されない出荷レコードは、ITAM:統合プロファイルと古い出荷ジョブの処理によって古い出荷としてマークされます。
メモ	配送業者に関する追加情報。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果
配送業者レコードが作成され、[配送業者] リストに追加されます。

ハードウェア資産出荷の詳細の表示

すべてのハードウェア資産の出荷の詳細を ハードウェア資産ワークスペース内の 1 か所で表示します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

このタスクについて
出荷リストには、さまざまなフローの出荷タスクによって開始されたすべての出荷レコードが表示されます。詳細については、「出荷レコードを作成するタスクのクローズ」を参照してください。

フローまたはプロセスの出荷タスクがクローズされるたびに、出荷レコードが自動的に作成されます。

注:

出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルには、[通貨]、[配送サービス コスト]、および [パーセルの重量] フィールドもあります。ただし、これらのフィールドは [出荷] フォームには表示されません。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 「 出荷 」リストから、「 出荷」を選択します。
3. 出荷レコードを選択して、出荷の詳細を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷詳細フォーム

フィールド	説明
出荷番号	出荷レコードに対して自動生成される一意の識別子。
トラッキング番号	出荷の一意の配送業者追跡番号。 複数の注文または品目が同じ納品に属している場合、同じ追跡番号を持つことができます。また、同じ注文に属する複数の項目は、異なる納品の一部である場合、異なる追跡番号を持つことができます。
ステージ	出荷レコードのステージ。 出荷は、次のいずれかのステージになります。 ◦ ドラフト ◦ 発注済み ◦ 準備 ◦ 輸送中 ◦ 配送済み ◦ キャンセル済み 出荷に複数の注文がある場合、注文の出荷資産が配送されると、出荷レコードのステージが [配送済み] に変更されます。
出荷元	資産の配送元の場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷先	資産の配送先の場所。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷者	資産を出荷したユーザーの名前。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。
出荷日	資産が出荷される日付。 このフィールドには、このレコードを作成した注文の対応するフィールドが入力されます。 日付は、ソースの出荷タスクがクローズされた日付に対応します。
受領日	資産を受領した日付。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領された注文の対応するフィールドが入力されます。 日付は、ソースの受信タスクがクローズされた日付に対応します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
受領者	資産の送信先の個人の名前。 このフィールドには、出荷の一部として最初に受領された注文の対応するフィールドが入力されます。
配送業者	配送業者レコードへの参照。
配送業者ステータス	出荷のステータス。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者の集荷日	配送業者が資産を集荷した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者配送	配送業者が資産を配送した日付。 **注:** このフィールドは、サードパーティのキャリアアプリケーションと統合する場合にのみ入力されます。
配送業者リンク	配送を追跡するために配送業者が提供するリンク。
出荷ステータス	出荷レコードが古いかどうかを示すオプション。このオプションは読み取り専用です。

自動翻訳

出荷ステータス

追跡番号の誤り、輸送中の荷物の紛失、無効な接続の詳細など、さまざまな理由で遅延した納品は、古い納品と見なされます。

ITAM:プロセス統合プロファイルと古い出荷ジョブを毎日実行して、古い出荷がないかチェックします。統合プロファイルジョブが配送業者の最大待機日数にわたって実行された後でも配送業者によって更新されない出荷レコードは、古い出荷としてマークされます。

古いとマークされた出荷レコードの追跡番号は、それ以上の追跡のために配送業者に送信されません。出荷が遅れている理由がわかっている場合は、追跡を続行することを決定できます。詳細については、「遅延した出荷の追跡を続行する」を参照してください。

注: 統合配送業者からの追跡情報で更新されていない納品リストは、在庫ビューの古い納品の重要なアクションカードを使用して表示できます。詳細については、「インベントリビュー」を参照してください。

遅延した出荷の追跡を続行する

遅延の理由がわかっている場合は、遅延している古いハードウェア資産の出荷を引き続き追跡します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 「 出荷 」リストから、「 出荷」を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [出荷の詳細] フォームで、[古いチェックを無視] チェック ボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果

- [出荷の詳細] フォームの [古い出荷] チェック ボックスは自動的にオフになります。
- この納品の追跡番号は追跡のために配送業者に送信され、この納品レコードは再び古いとマークされることはありません。

ハードウェア資産の出荷を追跡する

配送されず、アクティブな統合プロファイルに関連付けられた配送業者があるハードウェア資産の出荷の進捗状況を追跡します。

始める前に
必要なロール:inventory_user (読み取り) または inventory_admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. 「 出荷 」リストから、「 出荷」を選択します。
3. 追跡する出荷レコードを選択します。
4. [今すぐ追跡] を選択します。

タスクの結果
[出荷の詳細] フォームの次のフィールドには、配送業者から受け取った追跡の詳細が表示されます。

- 配送業者ステータス
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日

インドアマップを使用した資産の位置の追跡

インドアマップを使用して、組織内の消耗品、ハードウェア、バンドル、およびパレット資産を見つけて追跡します。インドアマップは、敷地、建物、フロア、および場所内の資産の場所を視覚化できるインタラクティブなインターフェイスを提供します。

始める前に
ハードウェア資産ワークスペース でインドアマップを使用するには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow® Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、 インドアマッピング for Assets アプリケーションをインストールした後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「アプリケーションとプラグインのデモデータの追加または修復」を参照してください。

- ServiceNow インスタンスで *com.sn_ham.indoormap.enabled* 資産パラメーターを **true** に設定します。
- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「インドアマッピング の構成」を参照してください。

  > **注:** ハードウェア資産管理 ライセンスのエンタイトルメントを使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD またはラスターファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスター ファイルを使用するには、 ワークプレイスサービスデリバリする資格が必要です。

- 場所データの同期: ハードウェア資産管理 アプリケーションは、次のインドアマッピング場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地内にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは対象ポイントを表します。場所は、エリア、部屋、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

  > **注:** インドアマップで資産を ハードウェア資産ワークスペースで表示するには、場所 [cmn_location] テーブル内の 場所 または 部屋 タイプの場所に資産を割り当てる必要があります。

  ハードウェア資産管理 アプリケーション内で新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。

  Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「インドアマッピング のマップデータと CMN の場所との同期」を参照してください。

必要なロール：admin または asset

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産.
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。
3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、選択したフロアの資産を表示します。
4. オプション: [インドアマップ] ページの右下隅にある表示オプションを選択して、選択したフロア上の資産とその場所を特定の形式で表示します。
   - インタラクティブマップ上に資産の位置を表示するには、[マップのみを表示] を選択します。
   - 資産のインタラクティブマップとリストビューの両方を表示するには、[マップとリストを表示] を選択します。
   - アセットのリストビューのみを表示するには、「 リストのみを表示」を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: インタラクティブマップを表示している場合は、マップ上の場所を選択して、フロアの選択した場所にある資産のリストを表示します。
6. オプション: 部門、ユーザー、モデルカテゴリ、またはこれらの値の組み合わせに基づいて資産の場所を表示します。
   a. マップのコンテキストサイドバーにある [フィルター] タブアイコンを選択します。
   b. [フィルター基準] ダイアログボックスで、 部門、 ユーザー、または モデルカテゴリ フィルターの値を選択します。

のパフォーマンスの査定 ハードウェア資産管理

成功目標を作成して、インスタンス内の ハードウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡します。また、成功目標のための成功目標カテゴリを作成し、成功アクティビティを作成することで目標の成功を追跡することもできます。

Hardware Asset Management の成功目標の作成

成功目標を作成して、インスタンス内のハードウェア資産管理アプリケーションの成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順
1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標
2. [成功目標を作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功目標の詳細」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。
   成功目標をキャンセルする場合は、成功目標番号を選択し、[目標をキャンセル] を選択します。

タスクの結果
作成した成功目標は、資産運用 ビューの 成功目標 ページに表示されます。

HAM 成功目標のための成功アクティビティの作成

成功アクティビティを作成して、作成した目標の成功を追跡します。

始める前に
必要なロール:ham_admin、資産 (目標の所有者)

手順
1. 次のいずれかのパスに移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル
   - ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功アクティビティ
2. [成功アクティビティを作成] または [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「HAM 成功アクティビティ」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
作成した成功アクティビティは、[資産運用] ビューの [成功アクティビティ] ページに表示されます。

ハードウェア資産の成功目標カテゴリの作成

成功目標カテゴリを作成して、 ハードウェア資産管理 成功目標に関連付けます。

始める前に
必要なロール:ham_admin

手順
1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > 成功目標 > カテゴリ.
2. [新規] を選択します。
3. [成功目標カテゴリ] フォームで、追加するカテゴリを入力 入力 し、[ハードウェア資産カテゴリ] チェックボックスをオンにします。
4. [保存] を選択します。

タスクの結果
追加したカテゴリは、ハードウェア資産管理の成功目標を作成する際に [カテゴリ] フィールドにオプションとして表示されます。詳細については、「Hardware Asset Management の成功目標の作成」を参照してください。

のすべての成熟度アイテムを表示 ハードウェア資産管理

ハードウェア資産管理 (HAM) プログラムの成熟度を表示して、各成熟度ステージのステータスを分析します。各ステージには、完了した成熟度アイテムの数が表示されます。

始める前に
必要なロール：asset

注: 資産ロールは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を変更することもできます。

このタスクについて
HAM プログラムの成熟度は、次の 3 つの段階に分かれています。

- クロール
- ウォーク
- ラン

詳細については、「ハードウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ」を参照してください。

注: 必須の成熟度アイテムの成熟度レベルは変更できません。

手順
1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 成功ポータル.
2. [概要] ページで、[すべての成熟度項目の表示] を選択します。
   [すべての成熟度アイテム (All maturity items)] ページが開き、HAM プログラムが含まれているステージに含まれるすべての成熟度アイテムが一覧表示されます。
3. 成熟度アイテムを選択して、その詳細を表示します。
   フィールド値の説明については、「成熟度アイテムの詳細」を参照して ください。
4. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゼロタッチリフレッシュを使用して資産のを管理

従業員が ServiceNow インスタンスのゼロタッチでリフレッシュフローを使用して、外部ベンダーを通じてハードウェアのリフレッシュを要求できるようにします。このプロセスにより、新しい資産のローカルインベントリを維持する必要がなくなります。

サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュの構成

ゼロタッチでリフレッシュフローでは、 サービスブリッジ アプリケーションを使用してプロバイダーを ServiceNow インスタンスに接続し、資産リフレッシュ要求を管理します。従業員とプロバイダーは、それぞれの環境で要求を処理できます。

サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ

プロバイダーは、ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝えるために、次のセットアップタスクを実行する必要があります。

1. プロバイダー向けインストール サービスブリッジ (従来) 。
2. 新規 サービスブリッジ 顧客のオンボーディング (従来) 。
3. リモートタスクのアサインをトリガーする。

サービスブリッジ 従業員リクエストのセットアップ

ゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細をプロバイダーに連絡するには、次のセットアップを実行します。

1. 顧客向けにサービスブリッジをインストールします 。
2. プロバイダーによって公開されたリモートタスク定義をアクティブ化します。

リモートタスクのアサインをトリガーする

資産プロバイダーは、顧客がゼロタッチでリフレッシュ要求の詳細を伝達するためのリモートタスクのアサインをトリガーするリモートタスク定義を作成します。

始める前に

プロバイダーは、プロバイダーレコードを作成しておく必要があります。詳細については、「 サービスブリッジ for Providers (従来) でのプロバイダーレコードの設定とプロデューサーレプリケーションセットの作成 」を参照してください。

必要なロール：admin

このタスクについて

リモートタスク定義の受信フィールドを介して、顧客の ServiceNow インスタンスからのゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求の詳細を受信します。ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求に加えられた更新は、リモートタスク定義の送信フィールドを介して顧客の ServiceNow インスタンスに送信されます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスブリッジ > プロバイダー > リモートタスク定義.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

   フィールド値の説明については、「 リモートタスク定義フォーム 」を参照してください。

4. プロバイダーテーブルと顧客テーブルのフィールドの値をゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [送信] を選択します。
6. この新しいリモートタスク定義レコードを選択します。
7. 受信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに顧客のインスタンスからデータを受信できるようになります。

   a. 受信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとに、フィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある受信フィールドの詳細については、「 リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド」を参照してください。

8. 送信フィールドを作成します。これにより、リモートタスクが作成または更新されたときに顧客のインスタンスにデータを送信できます。

   a. 送信フィールド タブで、新規 を選択します。

   b. 作成したフィールドごとに、フィールドに入力し、[送信] を選択します。
   作成する必要がある送信フィールドの詳細については、「 リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド」を参照してください。

9. このリモートタスク定義を使用できる顧客を指定する顧客基準を設定します。
10. [公開] を選択します。

    注: 後でこのリモートタスク定義を編集する必要がある場合は、それにアクセスして [編集] を選択します。

タスクの結果

インスタンスにリモートタスク定義レコードが作成され、レコードの [ステータス] フィールドが [公開済み] に設定されます。このレコードは顧客のインスタンスとも同期されており、顧客のインスタンスで有効化を保留しています。

リモートタスク定義のアクティブ化

プロバイダーがゼロタッチでリフレッシュ要求を実行できるように、インスタンスでプロバイダーによって公開されたリモートタスク定義をアクティブ化します。

始める前に

サービスブリッジ アプリケーションをインスタンスにインストールする必要があります。詳細については、「 顧客向けのサービスブリッジのインストール 」を参照してください。

ServiceNowインスタンスでリモートタスク定義をアクティブ化する前に、プロバイダーがリモートタスク定義を作成して公開する必要があります。詳細については、「リモートタスクのアサインをトリガーする」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > サービスブリッジ > カスタマー > リモートタスク定義.
2. リモートタスク定義レコードを選択します。
3. [リモートタスク定義] フォームの [シンプルトリガー] セクションで、トリガー条件を [モデルが空でない] に設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[モデル] フィールドの値を持つレコードがゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求 [sn_itam_ztr_fulfillment_req] テーブルに追加されると、リモートタスクが自動的に作成されます。

4. [保存] を選択します。
5. [受信フィールド] タブ、[送信フィールド] タブ、および [リモートタスク変数] タブでデータを確認します。
   プロバイダーはこれらの値を定義します。リモートタスクを作成すると、プロバイダーは受信フィールドを介してリモートタスクデータを受信し、送信フィールドを介してリモートタスクデータで応答します。
6. [アクティブ化] を選択します。
7. ポップアップウィンドウで、受信変数と送信変数のマッピングを確認し、[**OK**] を選択します。

リフレッシュモデルの置換モデルの構成

更新されたハードウェア資産モデルの交換用モデルを構成します。設定すると、従業員はゼロタッチでリフレッシュフォームでハードウェア資産の交換用モデルを選択できます。

始める前に

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. ゼロタッチ更新 リストで、モデルの更新 を選択します。
3. 更新モデルを作成します。

   a. モデルの更新 ページで、 新規 を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   [新規ゼロタッチでリフレッシュモデルを作成] フォーム

フィールド	説明
モデル	リフレッシュ中のモデル。
ロケーション	交換用モデルが有効な場所。 **注:** 国の代替モデルを構成することは、最も効率的なセットアップです。ただし、都道府県や市区町村など、より具体的な場所の代替モデルを構成することはできます。
アクティブ	置換ルールがアクティブかどうかを示すオプション。

   c. [保存] を選択します。

4. リフレッシュモデルの代替モデルを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. [置換モデル] タブで、 [追加] を選択します。

b. [置換モデル] ダイアログボックスで、リフレッシュ資産モデルの置換として追加するモデルを選択し、[追加] を選択します。

c. [保存] を選択します。

タスクの結果
置き換え用モデルがアサインされたリフレッシュモデルは、[リフレッシュモデル] リストに表示されます。

ゼロタッチでリフレッシュを使用して ハードウェア資産のリフレッシュを要求する

ゼロタッチでリフレッシュを使用して、所有しているハードウェア資産を新しい資産と交換することをプロバイダーに直接要求します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル.
   サービスカタログで資産ライフサイクルカテゴリが利用できない場合は、アドミニストレーターにお問い合わせください。
2. [Asset Lifecycle (資産ライフサイクル)] ページで、[**Zero Touch Refresh** (ゼロタッチでリフレッシュ)] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

ゼロタッチでリフレッシュフォーム

フィールド	Description (説明)
資産	更新する所有しているハードウェア資産。 更新の対象ではない資産を選択すると、承認が要求されることを示すメッセージが表示されます。その後、承認要求が自動的に資産管理者に送信されます。
交換用モデル	ハードウェア資産を置き換える資産モデル。 リストには、選択したハードウェア資産のモデルと資産の場所に基づいてリフレッシュモデルが表示されます。資産の場所が資産レコードで指定されていない場合は、要求者の場所が考慮されます。

4. 交換用資産の送付先を決定します。

出荷場所	アクション
あなたの場所	更新方法 フィールドで、出荷 を選択します。 注: フォームには、住所や電話番号などの連絡先の詳細が表示されます。必要に応じて、連絡先の詳細を変更できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷場所	アクション
倉庫	**a.** 更新方法 フィールドで、集荷 を選択します。 **b.** [集荷場所] フィールドで、新しい資産を集荷するストックルームの場所を選択します。 注: [場所] リストには、あなたの国のすべてのストックルームの場所が表示されます。

5. ゼロタッチでリフレッシュフォームの下部にある確認チェックボックスをオンにして、出荷先の選択を確定します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。
7. オプション: ゼロタッチでリフレッシュ要求のステータスを表示するには、次の場所に移動します。 すべて > セルフサービス > 自分の要求.

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュ要求が正常に送信されました。

ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を履行する

プロバイダーは、ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求を通じて要求された交換用資産を要求者に出荷します。

始める前に
ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュの構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user

このタスクについて
従業員が顧客の ServiceNow® インスタンスでゼロタッチでリフレッシュ要求を送信すると、対応するゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求が ServiceNow® インスタンスに作成されます。

手順
1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > ゼロタッチでリフレッシュの実行要求.
3. [要求済み] ステータスの要求を選択します。
4. [ゼロタッチでリフレッシュの実行要求] フォームで詳細を確認します。

   [顧客要求番号] フィールドには、対応するゼロタッチでリフレッシュ要求番号が表示されます。[出荷の詳細]タブと[返送の詳細]タブのフィールドには、ゼロタッチでリフレッシュ要求で指定された詳細が入力されます。

5. ゼロタッチでリフレッシュの実行要求を確認します。
   a. [状態] フィールドで、[注文が確認されました] を選択します。
   b. [保存] を選択します。
6. 交換用資産を要求者またはストックルームに発送します。
   a. [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドに資産情報を入力します。
   b. [出荷の詳細] タブで、[追跡番号] フィールドと [配送業者] フィールドに値を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [返品貨物の詳細] タブで、[追跡番号] フィールドと [配送業者] フィールドに値を入力します。

d. [状態] フィールドで、[出荷済み] を選択します。

e. [保存] を選択します。

f. 出荷には、倉庫用に作成された住所ラベルが付いた、従業員が古い資産を返却するために使用できる箱を含めます。

g. 要求者または要求者が資産を集荷できるストックルームの場所に新しい資産を出荷します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求で指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が従業員に割り当てられます。

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理する

ゼロタッチでリフレッシュ要求を処理してプロバイダーから資産を受け取り、ゼロタッチでリフレッシュフローを完了します。

始める前に

ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「サービスブリッジ ゼロタッチでリフレッシュの構成」を参照してください。

必要なロール:admin、asset、procurement_user、または inventory_user

このタスクについて

プロバイダーが資産を出荷した後、次のアクションが発生するとゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。

1. 従業員は、交換用資産が受領されたことを確認します。
2. インベントリマネージャーまたは資産マネージャーは、受領した古い資産を確認して評価します。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
3. [ゼロタッチでリフレッシュ] リストから [要求] を選択します。
4. 処理する要求を選択します。
5. [ゼロタッチでリフレッシュタスク] タブを選択します。
6. ストックルームマネージャーは、新しい資産の集荷準備ができていることを従業員に通知します。
   a. [**Ready for pickup** (集荷準備完了)] タスクを選択します。
   b. [タスクのクローズ] を選択します。
      - 資産がストックルームに到着し、集荷の準備ができたことを従業員に通知するメールメッセージが送信されます。
      - 資産の受領タスクが作成されます。
7. 資産の受領タスクがクローズされていることを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 従業員が交換用資産の受領をオンラインで確認した場合、タスクは自動的にクローズされます。

  詳細については、モバイルデバイスでの資産の受領の確認 または コア UI による資産の受領の確認 を参照してください。

- 資産がストックルームで集荷されたが、従業員がオンラインで受領を確認していない場合、admin ロールまたは資産ロールを持つユーザーは、タスクにアクセスして [タスクをクローズ] を選択することで、従業員の代わりにこのタスクをクローズできます。

8. 古い資産がストックルームに戻されたことを確認します。
   a. [返却資産の受領] タスクを選択します。
   b. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
      - [資産の受領] タスクがクローズされました。
      - 資産評価タスクが作成されます。
9. 古い資産を評価し、適切なステータスを選択します。

   a. 資産評価タスクを選択します。

   b. [評価] ステータスで、資産に再利用、修理、または廃棄準備完了のマークを付けます。
      - 資産に再利用のマークを付けるには、[**Re-deployable** (再展開可能)] を選択します。

        資産の状態とサブステートは [在庫あり] および [利用可能] に設定されます。
      - 資産を修理対象としてマークするには、[**Needs repair** (修理が必要)] を選択します。

        このオプションにより、 返品許可 (RMA) フローが開始されます。

        資産の状態とサブステートが [在庫あり] および [修理待ち] に設定されます。
      - 資産を廃棄準備完了としてマークするには、[廃棄対象] を選択します。

        資産の状態とサブステートは [在庫あり] および [廃棄待ち] に設定されます。

   c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
ゼロタッチでリフレッシュフローが完了します。ゼロタッチでリフレッシュ要求のステージとステータスが [完了してクローズ] および [完了] に変更されます。

モバイルデバイスでの資産の受領の確認

従業員は、モバイルデバイスのゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に
この確認応答にモバイルデバイスを使用するには、iOSまたはAndroidモバイルデバイスに ServiceNow モバイル アプリがインストールされている必要があります。

必要なロール：なし

手順
1. 移動先 自分のアイテム > 自分の資産.
2. 資産をタップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [配送済みアセットをスキャン] をタップします。
4. 資産タグ情報を入力します。
   - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
   - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
5. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 資産のステータスが [使用中] に変わります。
- ゼロタッチでリフレッシュ要求の [Receive asset (資産の受領)] タスクのステータスが **[Closed** (クローズ済み)] に変わります。

コア **UI** による資産の受領の確認

従業員は、 ServiceNow インスタンスのコア UI からゼロタッチでリフレッシュ要求を通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > セルフサービス > 自分の要求.
2. ゼロタッチでリフレッシュ要求を選択します。
3. [ゼロタッチでリフレッシュタスク] タブで、[資産の受領] タスクを選択します。
4. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

ゼロタッチでリフレッシュ要求の [Receive asset (資産の受領)] タスクのステータスが **[Closed** (クローズ済み)] に変わります。

資産の総所有コスト **(TCO)** を構成する

ハードウェア資産管理ワークフローの各タスクのレートカードを作成して、資産の総所有コスト (TCO) を構成します。

レートカードは、タスクのコストまたはタスクにかかった時間を記録します。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース

タスクレードカードを作成して、タスクのタイプと関連コストの計算方法を定義します。

始める前に

必要なロール:asset_admin

ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインをアクティブ化します。詳細については、「コスト管理を有効化 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規タスクレートカードの作成

Field (フィールド)	説明
名前	レートカードの目的。
作業時間を使用	関連するタスク作業時間エントリに基づいてルールでタスクコストを計算するように強制するためのオプション。 デフォルトでは、各タスクの定額料金が [タスクレート] フィールドで定義されます。
Table (テーブル)	レートカードが適用されるタスクのタイプ。
アクティブ	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
タスクレート	タスクのレート (通貨リスト付き)。 新しい通貨を追加するには、[編集] リンクを使用します。
デフォルトの賃金レート	作業者が賃金レートカードを持っていない場合に、作業時間エントリに適用されるデフォルトの時給。 このフィールドは、[**Use time worked** (作業時間を使用)] が選択されている場合にのみ表示されます。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順序。 同じタスクに複数のタスクレードカードが適用される場合は、順番が最も低いものが使用されます。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果

タスクに対してタスクレートカードが定義されると、[**Use time worked** (作業時間を使用)] の値によって経費ラインが作成されます。タスクレードカードの [Use time worked field (作業時間フィールドを使用)] を選択すると、ユーザーに対して作成された作業時間レコードと賃金レートが経費ライ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ンの計算に使用されます。詳細については、「タスクレードカードを処理する」を参照してください。

関連情報

- の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理
- [資産アナリティクス] ビュー
- 資産運用ビュー

での賃金レートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース

賃金レードカードを作成してタスクの作業時間を記録し、レートをタスクに関連付けます。

始める前に
必要なロール:asset_admin

ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインをアクティブ化します。詳細については、「コスト管理を有効化」を参照してください。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用 > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードの作成

Field (フィールド)	説明
名前	レートカードの目的。
アクティブ	レートカードがアクティブに使用されているかどうかを判断するオプション。
時間単価	ワーカーが定義された条件を満たしたときにタスク時間作業エントリに適用される時給を識別します。
順序	賃金レートカードが同じタスクに適用される順序。 同じタスクに複数の賃金レードカードが適用される場合は、順番が最も低いものが使用されます。
条件を設定	[作業時間を使用] オプションをこのレートカードに適用するかどうかを決定するフィルター。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。 このフィールドは、条件数ウィジェットを使用して、条件によって返されるレコードをプレビューします。

4. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
賃金レートカードを含む複数の HAM ワークフローで作業している場合は、記録されたすべての時間タスクに同じ値が使用されます。ただし、賃金レードカードは含まれず、タスクレートカードに記載されているデフォルトの賃金レートが使用されます。詳細については、「でのタスクレートカードの作成 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

資産運用ビュー

で **TCO** レポートを作成する ハードウェア資産ワークスペース

独自の総所有コスト (TCO) レポートを作成して、複数の資産の実績または予測 TCO を比較したり、実績または予測される資産 TCO をハードウェアモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産アナリティクス.
2. 比較レポート セクションで、 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

TCO レポート

Field (フィールド)	説明
名前	TCO レポートの名前。
タイプ	TCO レポートのタイプ。 ◦ TCO 比較:複数の資産のコストが比較されます。 ◦ TCO とベンチマーク:資産のコストはベンチマークコストと比較されます。
レポートテーブル	ハードウェア資産管理、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。
総原価費目	◦ 実績 TCO:選択した資産の TCO 値。 ▪ [実績 TCO] と [リアルタイムレポート] の両方のチェックボックスがオンになっている場合、生成される TCO レポートは [リアルタイムレポート] の選択に基づいてリアルタイムかつオフラインになります。 ▪ [Actual TCO (実際の TCO)] のみが選択されている場合、生成された TCO レポートはオフラインになります。 ◦ 予測 TCO: この値は次の式から参照され、生成されたレポートはオフラインのみです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明

	▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数以上の場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Useful life`
	ここで、正規化 TCO (TCO per month) は
	`(Purchase cost / Useful life) + (Sum of operational cost / Asset life)`
	.
	▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数よりも短い場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の式を使用して計算されます。
	`Normalized TCO * Asset life`
	ここで、正規化 TCO (TCO per month) は
	`(Purchase cost + Sum of operational cost) / Asset life`
	.

Description (説明)	レポートの簡潔でわかりやすい説明。
ベンチマークを表示	レポートでベンチマークコストを示すためのオプション。 このフィールドは、[タイプ] で **[TCO** 比較] が選択されている場合にのみ表示されます。
ベンチマークモデル	ベンチマークコストを示す資産モデル。 [タイプ] フィールドで [TCO 比較] が選択されている場合、このフィールドは [ベンチマークを表示] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。
リアルタイムレポート	レポートでリアルタイムデータを生成するためのオプション。
ワークスペース	作業しているワークスペース。 デフォルト:HAM

4. [保存] を選択します。

タスクの結果

TCO レポートが生成され、総所有コスト (TCO) ダッシュボードの [比較レポート] セクションに表示されます。

TCO レポートソースを作成する

TCO レポートの総所有コスト (TCO) レポートソースを作成します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 ハードウェア資産ワークスペース > 資産アナリティクス.
2. [比較レポート] セクションからレポートソースを作成するレポートを開きます。
   比較レポートを作成することもできます。詳細については、「で TCO レポートを作成する ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
3. [レポートソース] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースを作成

Field (フィールド)	説明
名前	レポート ソースの名前。
アクティブ	レポートソースがアクティブかどうかを示すオプション。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** 1 つのレポートに対して、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを設定できます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、別のレポートソースを非アクティブにする必要があります。
レポートテーブル	ハードウェア資産管理、ハードウェア (alm_hardware) のテーブル。
条件を設定	特定の条件で資産を選択するためのフィルター。
Description (説明)	レポート ソースの簡潔でわかりやすい説明。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果
新しいレポートソースが **[TCO** レポートソース] タブの TCO レポートソースのリストに追加されます。

関連情報

の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理

[資産アナリティクス] ビュー

ハードウェア資産管理サブスクリプションの管理

使用するハードウェア資産管理リソースカテゴリのみを選択することでハードウェア資産管理ライセンスコストを節約できます。

ハードウェア資産管理ライセンスの詳細については、「ハードウェア資産管理サブスクリプション」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

HAM ライセンスリソースカテゴリのオプトインまたはオプトアウト

HAM サブスクリプションの一部である ハードウェア資産管理 (HAM) ライセンスリソースカテゴリをオプトインします。使用するリソースカテゴリを購入してオプトインすることも、使用しないカテゴリについてはオプトアウトして料金を支払わないこともできます。

始める前に

必要なロール:admin または HAM admin

このタスクについて

この手順は 1 回限りのアクティビティです。HAM 1.0 または 2.0 バージョンからアップグレードする場合、すべてのリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。例外は、モバイルデバイスのリソースカテゴリです。

新規ユーザーの場合は、HAM サブスクリプションの一部であるすべてのリソースカテゴリを手動でオプトインします。

重要: モバイルデバイスリソースカテゴリには、HAM モバイルデバイスライセンスエンタイトルメントでのみアクセスできます。リソースカテゴリは、非本番インスタンスのエンタイトルメントに関係なく使用できます。ただし、本番インスタンスでは、リソースカテゴリは関連するエンタイトルメントでのみ使用できます。

オプトインしないカテゴリに属するハードウェア資産は、デフォルトで除外されます。たとえば、[エンドユーザーコンピューター] カテゴリをオプトインしない場合、すべてのエンドユーザーコンピューターが除外されます。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。

注: インスタンスにデモデータをロードすると、すべての HAM ライセンスリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。オプトインしないリソースカテゴリの選択を解除する必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > 資産 > **Hardware Model Normalization** > **HAM** リソースのカテゴリ.
2. リソースカテゴリを開きます。
   各リソースカテゴリには、それに関連付けられたモデルカテゴリが一覧表示されます。
3. リソースカテゴリをオプトインまたはオプトアウトするには、次のいずれかを実行します。
   - リソース カテゴリをオプトインする場合は、 [オプトイン] を選択します。
   - リソース カテゴリからオプトアウトする場合は、 [オプトアウト] を選択します。

   ポップアップメッセージが表示され、オプトインするかオプトアウトするかを尋ねられます。
4. **[OK]** をクリックします。

タスクの結果

リソースカテゴリがオプトインまたはオプトアウトされている。1 回限りの実行ジョブでは、次の更新が実行されます。

- オプトインまたはオプトアウトしたリソースカテゴリに属するモデルカテゴリを持つモデルの [ライセンスのオプトイン] 列を設定します。
- これらのモデルの資産に除外フラグを設定します。詳細については、「ハードウェア資産管理 ライセンスの除外」を参照してください。
- 正規化ジョブは、リソースカテゴリに関連付けられているモデルに対してトリガーされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理アプリケーションのライセンスレポートの表示

ITAM ライセンスレポートを使用して、サーバー、エンドユーザーコンピューティングデバイス、ネットワークデバイス、モバイルデバイス、通信ネットワークインベントリなどの管理対象 IT リソースタイプに対して組織が購入および消費したサブスクリプションの詳細を表示します。

始める前に

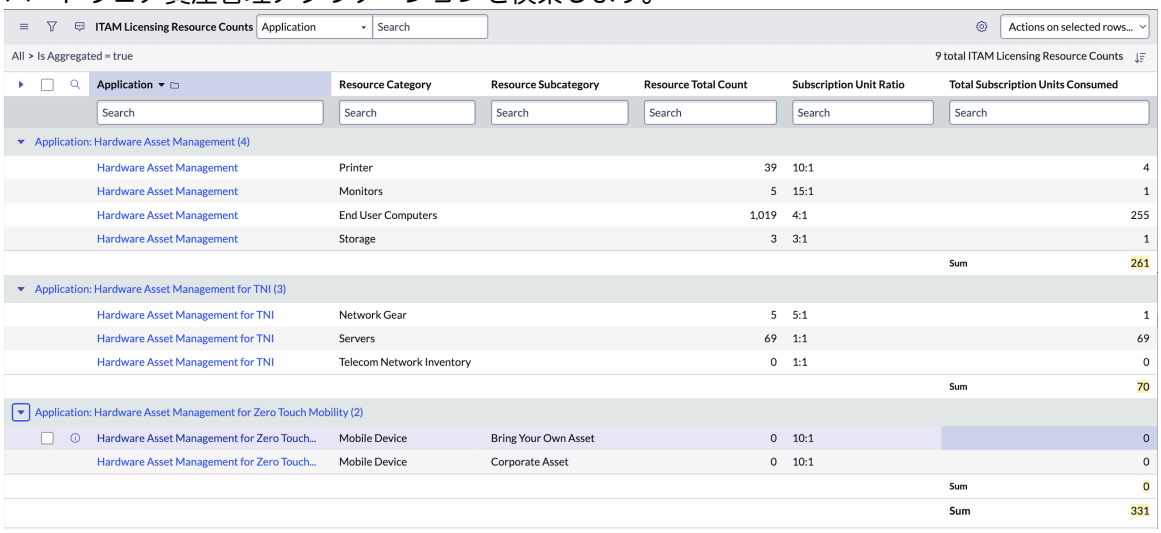
必要なロール：admin、usage_admin

このタスクについて

注: 管理対象 IT リソースタイプのライセンス数の計算は毎月行われます。ライセンス消費の変更は、月次ライセンス数の計算後にのみ ITAM ライセンスレポートに反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. ハードウェア資産管理アプリケーションを検索します。



ITAM Licensing Resource Counts | Application | Search | Actions on selected rows...

All > Is Aggregated = true | 9 total ITAM Licensing Resource Counts

Application	Resource Category	Resource Subcategory	Resource Total Count	Subscription Unit Ratio	Total Subscription Units Consumed
Application: Hardware Asset Management (4)					
Hardware Asset Management	Printer		39	10:1	4
Hardware Asset Management	Monitors		5	15:1	1
Hardware Asset Management	End User Computers		1,019	4:1	255
Hardware Asset Management	Storage		3	3:1	1
				Sum	261
Application: Hardware Asset Management for TNI (3)					
Hardware Asset Management for TNI	Network Gear		5	5:1	1
Hardware Asset Management for TNI	Servers		69	1:1	69
Hardware Asset Management for TNI	Telecom Network Inventory		0	1:1	0
				Sum	70
Application: Hardware Asset Management for Zero Touch Mobility (2)					
Hardware Asset Management for Zero Touch...	Mobile Device	Bring Your Own Asset	0	10:1	0
Hardware Asset Management for Zero Touch...	Mobile Device	Corporate Asset	0	10:1	0
				Sum	0
				Sum	331

ServiceNowインスタンスでアクティブ化されているすべてのハードウェア資産管理アプリケーションのサブスクリプションの詳細が表示されます。

すべての ハードウェア資産管理 アプリケーションに対してオプトインしたリソースカテゴリに対して購入したサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- アプリケーション: ServiceNow インスタンスでアクティブ化されているアプリケーションの名前。ITAM ライセンスレポートはアプリケーション別にグループ化されています。
- リソースカテゴリ: ハードウェア資産管理 アプリケーションで利用可能な管理対象 IT リソースタイプ。リソースタイプには次のものがあります。
  - サーバー
  - エンドユーザーコンピューター
  - ネットワーク機器
  - モバイルデバイス
  - Telecommunications Network Inventory (通信事業ネットワークインベントリ)
  - プリンタ
  - 監視
  - ストレージ
  - 未分類のハードウェア

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次の点に注意してください。

- プリンター、モニター、ストレージ、および未分類のハードウェアは、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.1.0 以降で使用できます。
- ServiceNow インスタンスで複数のハードウェア資産管理ソリューションがアクティブ化されている場合、アクティブ化されたソリューションで利用可能なオプトインリソースカテゴリは、ソリューションでのみライセンス付与されます。詳細については、「ハードウェア資産管理ソリューションのための Licensing フレームワーク」を参照してください。

◦ リソースサブカテゴリ:リソースカテゴリのサブカテゴリ。

注:

- リソースサブカテゴリは、 ハードウェア資産管理 バージョン 10.1.0 以降で使用できます。
- 取得方法に基づいて、次のリソースサブカテゴリは、ServiceNowインスタンスでゼロタッチモビリティとのハードウェア資産管理統合が有効になっている場合にのみ、モバイルデバイスで使用できます。
  - 自分の資産を使用する
  - 企業資産

◦ リソース合計数:リソースカテゴリとモデルカテゴリ別にグループ化された管理対象 IT リソースの資産数。

◦ サブスクリプションユニット率:サブスクリプションが必要なリソースカテゴリの資産数を決定する事前定義された比率。たとえば、エンドユーザーコンピューターに対して定義された 4:1 の比率は、そのリソースカテゴリの 4 つの資産ごとに 1 つのサブスクリプションユニットが必要であることを意味します。

◦ 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で消費されたリソースカテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各リソースカテゴリのリソース合計数にサブスクリプションユニット率を適用して、この数を計算します。

ゼロタッチ要求フローを使用してハードウェア資産要求を管理する

ゼロタッチ要求フローを使用して、外部プロバイダーを通じて従業員のハードウェア資産要求を実行します。

プロバイダーに必要なセットアップ

プロバイダーは、ゼロタッチ要求フローを介して受信した要求を実行するために、次のタスクを完了する必要があります。

1. 完了 サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ.
2. 更新をコンシューマーに送信するようにスクラッチパッドを設定します。

注: ゼロタッチ要求フローの前提条件を完了すると、プロバイダーはプロバイダータスクを履行できるようになります。詳細については、「プロバイダータスクの履行」を参照してください。

サービスカタログ要求に必要なセットアップ

外部プロバイダーを通じてカタログ要求を履行できるように、次のタスクを完了していることを確認してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 完了 サービスブリッジ サービスカタログ要求のセットアップ.
2. ゼロタッチ要求フローの サービスカタログ アイテムを管理する。
3. プロバイダー統合プロファイルの作成.

> **注:** このタスクは、プロバイダーから受信したスクラッチパッド更新がゼロタッチ要求フローに必要な形式でない場合にのみ実行する必要があります。プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するスクリプトインクルードも作成する必要があります。

従業員のゼロタッチ要求フロータスク

1. ゼロタッチ要求フローを介したハードウェア資産の要求.
2. ゼロタッチ要求フローを通じて受領した資産の受領を確認します。

ゼロタッチ要求フローの サービスブリッジ を構成する

ゼロタッチ要求フローでは、 サービスブリッジ アプリケーションを使用してプロバイダーを ServiceNow インスタンスに接続し、 サービスカタログを介して送信されたハードウェア資産要求を管理します。

サービスブリッジ プロバイダーのセットアップ

プロバイダーは、要求の詳細について組織と連絡を取るために、次のタスクを実行する必要があります。

1. プロバイダー向けインストール サービスブリッジ .
2. サービスブリッジ コンシューマーの登録 .
3. リモートカタログでリモートレコードプロデューサーを作成して公開します 。

サービスブリッジ サービスカタログ要求のセットアップ

プロバイダーからカタログ要求の更新を受信するには、次の手順を実行します。

1. コンシューマー向けインストール サービスブリッジ .
2. プロバイダーによって公開されたリモートレコードプロデューサーをアクティブ化します 。

スクラッチパッドを使用して 要求実行タスクを完了するため

プロバイダーは、 サービスブリッジ アプリケーションのスクラッチパッド機能を使用して、要求実行タスクの実行中にコンシューマーの ServiceNow インスタンスに更新を送信します。

ゼロタッチ要求フローでは、確認タスクと出荷タスクを正常に完了した場合、スクラッチパッドの更新をコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信する必要があります。送信した更新に基づいて、コンシューマーの ServiceNow インスタンスでゼロタッチフローが進行します。

PSBScratchpadUtil API には、タスクに固有のコードを含める必要があります。詳細については、「 サービスブリッジ タスクでのスクラッチパッドの使用 」を参照してください。要求実行フローのタスクに関連付けられたスクラッチパッドコードが次の形式であることを確認します。

要求確認のサンプルコード

```
var scratchPadJSON = {
  "orderStatus": "confirmed"
};
var value = JSON.stringify(scratchPadJSON);
var rtGR = new GlideRecord("sn_sb_pro_provider_task");
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
rtGR.get(<ProviderTaskID>);
if (rtGR.isValidRecord()) {
  var util = new sn_sb_pro.PSBScratchpadUtil();
  util.update(rtGR, "confirmation", value);
}
```

プロバイダータスクを確認すると、注文ステータスが [確認済み] のスクラッチパッド更新がコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信されます。

出荷用サンプルコード

```
var scratchPadJSON = {
"orderStatus": "partially_shipped / fully_shipped"
"orderLineItems" :
  [{
    "status": "shipped",
    "trackingNumber": "123",
    "carrier": "C1",
    "modelNumber": 'MD322LL/A',
    "assetTag": 'P1000177',
    "serialNumber": 'P1000177'
  },{
    "status": "shipped",
    "trackingNumber": "123",
    "carrier": "C1",
    "modelNumber": 'MD322LL/A',
    "assetTag": 'P1000178',
    "serialNumber": 'P1000178'
  }
]
};
```

要求されたアイテムを出荷して出荷を確認すると、次の詳細を含むスクラッチパッドの更新がコンシューマーの ServiceNow インスタンスに送信されます。

- 注文ステータス:プロバイダーが要求で資産を配送した方法に応じて、注文ステータスには次の値があります。
  - **partially_shipped**:要求内の 資産 は複数の出荷で出荷されます。
  - **fully_shipped**: 要求内のすべての資産が出荷されます。
  たとえば、 要求者が 5 つの資産を要求したとします。1 回の出荷で 3 つの資産のみを出荷する場合は、 注文ステータス を **partially_shipped** として渡す必要があります。残りの 2 つの資産を出荷するときは、 注文ステータス を **fully_shipped** として渡す必要があります。
- 追跡番号:すべての貨物には一意の追跡番号があります。
- 配送業者:プロバイダーが資産を配送した配送業者の名前。
- モデル番号:出荷される資産の一意のモデル番号。
- 資産タグ:出荷される資産の一意の資産タグ。
- シリアル番号:資産のシリアル番号。

注: 消耗品資産の出荷更新には、資産タグとシリアル番号の詳細は含まれません。複数の出荷がある場合、出荷内の資産の情報は、コンシューマーのServiceNowインスタンスに送信する必要があります 回のみ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ゼロタッチ要求フローの サービスカタログ アイテムを管理する

カタログアドミニストレーターは、外部プロバイダーがハードウェア資産要求を履行できるようにサービスカタログ アイテムを構成します。

ゼロタッチ要求フローでカタログ要求を実行できるようにするには、次のタスクを完了します。

1. カタログアイテムをゼロタッチ要求フローに関連付ける.
2. ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成する。
3. カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け。

カタログアイテムをゼロタッチ要求フローに関連付ける

カタログアイテムのフローをゼロタッチ要求フローに設定し、外部プロバイダーを通じてそのカタログアイテムのすべての要求を実行します。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログ定義 > アイテムの管理.
2. カタログアイテムを選択します。
3. [カタログ] フォームの [フロー] フィールドで [ゼロタッチ要求] を選択します。
4. [更新] を選択します。

次のタスク

ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成する。

ゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムの変数を作成する

プロバイダーが変数の詳細に基づいてそのアイテムの要求を実行できるように、カタログアイテムの変数を作成します。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて

プロバイダーがカタログ要求を正確に履行できるようにするには、プロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けられた変数と同様の変数を作成する必要があります。たとえば、リモートレコードプロデューサーにサイズと色の変数がある場合、カタログアイテムに同じ変数セットを作成する必要があります。詳細については、「リモートレコードプロデューサーの変数の表示」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > カタログ定義 > アイテムの管理.
2. カタログアイテムを選択します。
3. カタログフォームで、[変数] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。
   フォームフィールドの詳細については、「 サービスカタログ 変数フォームフィールド」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: プロバイダーが単一の要求で複数数量の資産をサポートしている場合は、[非表示] チェックボックスをオンにして、カタログアイテムの同等数量変数を非表示にします。このアプローチにより、カタログ要求で複数の数量フィールドを使用することを回避できます。

6. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
変数は、そのカタログアイテムの サービスカタログ 要求に表示されます。

次のタスク
カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け.

カタログアイテムとリモートレコードプロデューサーの関連付け

サービスカタログアイテムをプロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けて、注文の詳細を履行のためにプロバイダーに送信します。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順
1. 移動先 すべて > 資産 > **HAM** ゼロタッチ > カタログアイテムマッピング.
2. フォームのフィールドに入力します。

カタログアイテムマッピングフォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
カタログアイテム	リモートレコードプロデューサーに関連付けるサービスカタログアイテム。
リモートレコードプロデューサー	外部プロバイダーのリモートレコードプロデューサー。
複数数量をサポート	プロバイダーのリモートレコードプロデューサーがカタログアイテムの複数数量をサポートしていることを示すオプション。
数量変数	カタログアイテムに定義された変数のリストから数量をキャプチャする変数。 このフィールドは、[複数数量をサポート] チェック ボックスがオンになっている場合にのみ編集可能です。
アクティブ	カタログアイテムマッピングが使用可能であることを示すオプション。

3. **[Submit** (送信)] を選択します。

リモートレコードプロデューサーの変数の表示

プロバイダーのリモートレコードプロデューサーに関連付けられた変数を表示します。 変数は、プロバイダーによるフルフィルメントのカタログ要求に含める必要がある詳細を識別するのに役立ちます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > サービスブリッジコンシューマー > プロバイダー接続.
2. プロバイダー接続を選択します。
3. [リモートレコードプロデューサー] タブを選択します。
4. リモートレコードプロデューサーを選択します。
5. [変数] タブを選択します。

タスクの結果
選択したリモートレコードプロデューサーの変数変数が [変数] タブに一覧表示されます。

ゼロタッチ要求フローを介したハードウェア資産の要求

サービスカタログから資産を注文することで、ゼロタッチ要求フローを通じて外部プロバイダーにハードウェア資産を直接要求します。

始める前に
必要なロール：なし

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > ハードウェア.
2. カタログ要求で、必要な詳細を入力します。
   カタログ要求フォームに表示されるフィールドは、カタログアイテムおよびプロバイダーによって異なります。プロバイダーは、要求を満たすためにこれらのフィールド値を必要とします。
3. [このアイテムを注文する] セクション の [数量] フィールドで、注文する品目の数量を選択します。

   注: プロバイダーが単一の要求で複数の資産をサポートしている場合、数量の詳細を入力するための追加の フィールド は、 Catalog Administrator がカタログアイテムの同等の数量変数を非表示にしていない場合にのみカタログ要求に表示されます。ただし、[このアイテムを注文] セクションで選択した数量は要求に対して考慮されます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
ハードウェアカタログ要求が正常に送信されました。

プロバイダータスクの履行

プロバイダーは、ゼロタッチ要求フローを通じて要求された資産を要求者に出荷します。

始める前に

1. ゼロタッチでリフレッシュフローに必要な サービスブリッジ 構成が設定されている必要があります。詳細については、「ゼロタッチ要求フローの サービスブリッジ を構成する」を参照してください。
2. スクラッチパッドは、要求の実行フローに含まれる確認タスクと出荷タスク用に構成されている必要があります。詳細については、「スクラッチパッドを使用して 要求実行タスクを完了するため」を参照してください。

必要なロール: ロールは プロバイダー固有です

このタスクについて
従業員がコンシューマーの ServiceNow® インスタンスでゼロタッチ要求フローに関連付けられたカタログアイテムを注文すると、対応するプロバイダータスクが ServiceNow® インスタンスに作成さ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

れます。プロバイダータスクは、 ServiceNow® インスタンスで要求実行フローをトリガーします。プロバイダータスクが実行フローのさまざまなステージを移動すると、情報はスクラッチパッドの更新を通じてコンシューマーのインスタンスに送信されます。

手順

1. ServiceNow® インスタンスにログインします。
2. 移動先 すべて > サービスブリッジプロバイダー > オープンレコード > プロバイダータスク.
3. 受信済みステータスのプロバイダータスクを選択します。
4. プロバイダータスクフォームで詳細を確認します。
   [変数] セクションには、要求者が サービスカタログ 要求で指定した詳細が表示されます。
5. スクラッチパッドの更新をコンシューマーの ServiceNow® インスタンスに送信して、プロバイダータスクを確認します。
6. プロバイダータスクで要求された資産を出荷し、出荷の詳細を含むスクラッチパッドの更新をコンシューマーの ServiceNow® インスタンスに送信します。
   スクラッチパッドには、次の出荷の詳細が含まれています。
   - 注文 status:注文ステータスは **[fully_shipped**] または **[partially_shipped**] のいずれかです。
   - 追跡番号:出荷の一意の追跡番号。
   - モデル番号:出荷される資産の一意のモデル番号。
   - 資産タグ:出荷される資産の一意の資産タグ。
   - シリアル番号:資産のシリアル番号。

タスクの結果

スクラッチパッドに指定されたシリアル番号と資産タグを持つ資産が要求者に割り当てられます。

ゼロタッチ要求フローを通じて受領した資産の受領を確認します

従業員は、モバイルデバイスのゼロタッチ要求フローを通じて受け取った新しい資産の受領を確認します。

始める前に

この確認応答にモバイルデバイスを使用するには、iOSまたはAndroidモバイルデバイスにServiceNow モバイルアプリがインストールされている必要があります。

必要なロール: 資産のユーザー。

このタスクについて

ハードウェア資産の受領はモバイルデバイスでのみ確認できます。消耗資産の受領を確認するには、Asset Managerに連絡してください。

手順

1. 移動先 自分のアイテム > 自分の資産.
2. アセット をタップします。
3. [配送済みアセットをスキャン] をタップします。
4. 資産タグ情報を入力します。
   - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
   - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。
5. [送信] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 資産のステータスが [使用中] に変わります。
- カタログ要求内の要求アイテムの ステージ が [完了] に変更されます。

プロバイダー統合プロファイルの作成

プロバイダー統合プロファイルを作成して、プロバイダーから送信されたスクラッチパッド更新の形式をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換します。

始める前に

メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat*のスクリプトインクルードが必要です。詳細については、「プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するスクリプトインクルードを作成」を参照してください。

必要なロール：admin

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. [ゼロタッチ] リストから、[プロバイダー統合プロファイル] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいプロバイダー統合プロファイルを作成 **(Create New Provider Integration Profile)**] フォーム

Field (フィールド)	説明
プロバイダー	外部プロバイダーの名前。
API	プロバイダーから送信されたスクラッチパッドの更新を必要な形式に変換するためのビジネスロジックを含むスクリプトインクルードの名前。
アクティブ	プロバイダー統合プロファイルのステータスを示すためのオプション 。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果

プロバイダー統合プロファイルが作成され、[プロバイダー統合プロファイル] リストに追加されます。

プロバイダーからのスクラッチパッドの更新を変換するスクリプトインクルードを作成

プロバイダーから送信されたスクラッチパッドの更新をゼロタッチ要求フローに必要な形式に変換するには、メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat*を含むスクリプトインクルードが必要です。

ゼロタッチ要求フローの確認ステージと出荷ステージでは、プロバイダーはスクラッチパッドの更新を特定の形式で ServiceNow インスタンスに送信するのが理想的です。詳細については、「スクラッチパッドを使用して 要求実行タスクを完了するため」を参照してください。ただし、プロバイダーのスクラッチパッド更新が必要な形式でない場合は、メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat*でスクリプトインクルードを使用して変換できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトインクルードを作成するときは、次の点を考慮してください。

- スクリプトインクルードには、アプリケーションリソースレコードの次の設定を調整することにより、 資産管理 共通アプリケーションスコープからアクセスできます。
  - [アクセス可能] フィールドを [すべてのアプリケーションスコープ] に設定します。
  - 発信者アクセスが制限されていないことを確認するには、[発信者アクセス] フィールドを [なし] に設定します。
- メソッド *transformScratchPadToHAMZTRFormat* を次の形式で定義します。

```
/*** Input to the following method is scratchpad value of type JSON
 ***/
transformScratchPadToHAMZTRFormat: function (input) {
// Logic to transform the input to the expected format
// This method should return a value of type JSON with expected format
}
```

ゼロタッチ要求フローを介して送信されたハードウェア資産要求を表示する

ゼロタッチ要求フローを介して送信された従業員のハードウェア資産要求のリストを資産運用ビューに表示します。

始める前に
必要なロール：admin または asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産運用.
2. ゼロタッチ リストから、資産要求 を選択します。
   資産要求のリストが表示されます。要求アイテム、数量、ステージなどの要求の詳細を取得できます。
3. 資産要求を選択して詳細を表示します。

のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 ハードウェア資産ワークスペース

修理フローを使用してストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修理することで、インベントリを最適化します。

修理フローでは、資産マネージャーがストックルーム内の欠陥資産の修理を要求します。資産技術者は、資産のトラブルシューティング、修理、評価を行います。評価された資産は、使用または廃棄されます。修理フローのステージの詳細については、「 倉庫内の欠陥のあるハードウェア資産を修理するための修理フロー」を参照してください。

ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産の修理を要求

資産アドミニストレーターは、修理注文を作成することで、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産を修理することができます。

欠陥のあるハードウェア資産の修理は、次のいずれかの方法で要求できます。

- を使用したハードウェア資産の修理の要求 サービスカタログ
- インベントリビューでハードウェア資産の修理注文を作成する
- 修理オプションを使用したハードウェア資産の修理の要求

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

修理注文を作成するときは、次の点を考慮してください。

- 次の資産の修理を要求することはできません。
  - 消耗品
  - 他のワークフローの一部である資産
- 子資産の修理を要求できるのは、その親資産を修理注文に追加した場合のみです。ただし、パレット内の資産は修理できます。

を使用したハードウェア資産の修理の要求 サービスカタログ

ストックルームで欠陥がある、または修理待ちのハードウェア資産を修理するための サービスカタログ 要求を送信します。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

1 つのカタログ要求を使用して、ストックルーム内の複数の欠陥ハードウェア資産の修理を要求できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > 資産ライフサイクル > 資産修復.
2. フォームのフィールドに入力します。

資産の倉庫修理要求フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
期日	欠陥資産を修理する日付。
倉庫	修理対象の資産がある倉庫。

3. 修理する資産を選択します。
   a. [Edit Asset(s) (資産の編集)] アイコン ([icon (資産の編集)] アイコン) を選択します。
   b. リストから資産を選択します。
      要求に 1 つ以上の資産を追加できます。
   c. ロックアイコン ( ) を選択します。
4. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 修理要求が正常に送信されました。
- 修復オーダーは ドラフト ステージで作成されます。
- 修復オーダーの各資産は、 トラブルシューティング ステージにある修復オーダーラインに関連付けられています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビューでハードウェア資産の修理注文を作成する

欠陥がある、または修理待ちのハードウェア資産の修理を要求するには、 ハードウェア資産ワークスペースのインベントリビューで修理注文を作成します。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
インベントリビューから修理注文を作成する場合は、修理する資産の修復注文ラインを明示的に作成する必要があります。

手順
1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修理注文を作成します。

   a. [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   注: 次のフィールドはオプションです。
   - アサイン先グループ
   - アサイン先
   - 期日
   - 作業メモ

   新しい修理注文フォームを作成

Field (フィールド)	Description (説明)
倉庫	修理対象の資産がある倉庫。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	修復オーダーをアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	修理注文に対して主に責任を負うアサイン先グループの担当者。
期日	欠陥のあるハードウェア資産を修理する必要がある日付。
作業メモ	修理オーダーに関するメモ。

   c. [保存] を選択します。

   - [ドラフト] ステージの修復オーダーが作成されます。
   - [修理注文ライン] タブは、修理注文の [詳細] タブの横に表示されます。
4. 修復注文ラインを修復注文に追加します。

   a. [修理注文明細行] タブを選択します。

   b. **[Add** (追加)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. **[** 資産の追加] ダイアログボックスで、資産を選択し、[追加] を選択します。

> **注:** パレット資産の子資産を修理オーダーに追加できます。修復オーダーに追加した資産は、パレットから自動的に削除されます。

追加した資産ごとに、 トラブルシューティング ステージの修復注文明細行が作成されます。

5. [保存] を選択します。

修理オプションを使用したハードウェア資産の修理の要求

資産フォームのオプションを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産の修理を直接要求します。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [すべての資産] タブを選択します。
3. ステータスが [在庫あり] で、[サブステート] が [欠陥品] または [修理待ち] の資産を選択します。
4. 資産フォームで [その他のオプション] アイコン (•••) を選択します。
5. [修理]を選択します。

タスクの結果
トラブルシューティングステージの修復注文ラインを含む修復注文が作成されます。

での修理注文の履行 ハードウェア資産ワークスペース

修理注文ラインに関連付けられているオープンな修理資産タスクをすべて完了して、修理注文を履行します。

修理注文には、その修理注文で修理する資産の数に応じて、1 つ以上の修復注文ラインを含めることができます。修理注文は、すべての修理注文ラインが完了したときにのみ履行されます。

技術者は、修理注文を履行するために、各修理注文ラインに関連付けられた次のタスクを完了する必要があります。

1. 資産のトラブルシューティング
2. 資産の修復
3. 資産を評価

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分に割り当てられた資産修理タスクを処理することもできます。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの管理」を参照してください。

倉庫の未処理の修理オーダーの表示 ハードウェア資産ワークスペース

倉庫の未処理の修理注文を表示して、アクションが必要な修理注文ラインと修理タスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール: asset または asset_technician

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
   [オープンな倉庫タスク] セクションの [オープンな修理オーダー] カードには、オープンな修理オーダーの数が表示されます。
4. [オープンな修理注文] カードを選択します。

タスクの結果
倉庫のオープンな修理オーダのリストが表示されます。

で修理が要求された資産のトラブルシューティング ハードウェア資産ワークスペース

トラブルシューティングタスクを完了して、欠陥のある資産の問題を評価します。観察に基づいて、資産を修理または再展開できるか、または廃棄する必要があるかを確認できます。

始める前に
必要なロール:asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [トラブルシューティング] ステージで [オープン] ステータスの修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産のトラブルシューティング タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、トラブルシューティングタスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産のトラブルシューティングタスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [詳細] タブを選択します。
11. [トラブルシューティング結果] フィールドでトラブルシューティング結果を選択します。
    - 資産が修理可能な場合は、[修理可能] を選択します。
    - 資産が修復不可能な場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- トラブルシューティング結果を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- トラブルシューティングの結果を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- トラブルシューティング結果を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理注文ラインのステージが [修理] に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。
  3. 資産修復タスクが作成されます。

次のタスク
の資産修復タスクの完了 ハードウェア資産ワークスペース.

の資産修復タスクの完了 ハードウェア資産ワークスペース

欠陥のある資産の修復を完了し、資産が修復済みであるか、修復不可能であるか、再展開可能かを確認します。

始める前に
必要なロール:asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産の修理タスクを完了する修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 修理ステージにある修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の修復] タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、資産の修復タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産の修理タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [詳細] タブを選択します。
11. [修理結果] フィールドで修理結果を選択します。
    - 資産が修理されている場合は、[修理済み] を選択します。
    - 資産を修復できなかった場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [修復結果] を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [修復結果] を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- [修理結果] を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理注文ラインのステージが [評価] に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [評価待ち] に変わります。
  3. 資産評価タスクが作成されます。

次のタスク

で修復された資産を評価する ハードウェア資産ワークスペース.

で修復された資産を評価する ハードウェア資産ワークスペース

修復された資産を評価し、資産が再展開可能かどうか、または廃棄する必要があるかどうかを確認します。修理フローは、修復された資産が評価された後、完了します。

始める前に

必要なロール:asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修復された資産を評価する修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [評価] ステージと [オープン] ステータスの修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の評価] タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、[資産の評価] タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産評価タスクの [作業時間] タブに作成されます。
10. [詳細] タブを選択します。
11. [評価結果] フィールドで評価結果を選択します。
    - 資産が修復され、再展開可能な場合は、[再展開可能] を選択します。
    - 資産が使用できず、廃棄する必要がある場合は、[廃棄 対象] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [評価結果] を [廃棄予定] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [評価結果] を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

での資産修復タスクの一括クローズ ハードウェア資産ワークスペース

複数の修復タスクを一度に完了してクローズし、複数の修復注文ラインを含む修復注文を処理します。

始める前に

必要なロール:asset_technician

このタスクについて

[オープン] ステータスの類似の資産修復タスクのみを一括クローズできます。ただし、タスク結果が同じではない類似の修理タスクを一括クローズすることはできません。たとえば、1 つのタスクに修理可能な資産があり、もう 1 つのタスクに修復不可能な資産がある場合、2 つの資産のトラブルシューティングタスクを一括でクローズすることはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産修復タスクを完了する複数のオープンな修復注文ラインがある修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 完了する修復注文ラインを選択します。
6. クローズする修復タスクを選択します。
7. [詳細] フォームで、タスクの結果を選択します。
   - 資産のトラブルシューティングタスクを完了している場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 修理可能
     - 修復不能
     - 再展開可能
   - 資産の修理タスクを完了する場合は、[修理結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 修理済み
     - 修復不能
     - 再展開可能
   - 資産の評価タスクを完了する場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 再展開可能
- 廃棄対象

8. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
9. [保存] を選択します。
10. [一括クローズ] を選択します。
    類似の修理タスクを含む [資産を選択] ダイアログボックスが表示されます。
11. クローズするタスクを選択し、[タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果
選択したすべての修復タスクが、同じタスク結果と作業メモでクローズされます。

での修復注文のキャンセル ハードウェア資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文をキャンセルします。

始める前に
必要なロール：asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。
4. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変わります。
- 完了しなかった修復注文ラインのステージとステータスが [キャンセル] および [未完了でクローズ] に変更されます。

で修復注文ラインをキャンセルする ハードウェア資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文ラインをキャンセルします。

始める前に
必要なロール：asset

このタスクについて
キャンセルできるのは、[完了] ステージにない修理注文ラインのみです。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. キャンセルする修復注文ラインを選択します。
6. [キャンセル] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 修復注文ラインのステージが [キャンセル] に変更され、ステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- オープンだった関連する資産修復タスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変更されるのは、[トラブルシューティング]、[修理]、[評価]、または [完了] ステージにある他の修復注文ラインがない場合のみです。

での資産修復タスクの作業時間の記録 ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペースで資産のトラブルシューティング、資産の修理、資産の評価の各タスクの作業時間を管理および記録します。資産修復タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

で修理タスクの作業時間を自動的に記録する ハードウェア資産ワークスペース

タスクを完了するまで休憩を取らずに修理タスクを完了するまでにかかった時間を記録します。

始める前に
必要なロール:asset_technician

このタスクについて
[オープン] ステータスの資産のトラブルシューティング、資産の修理、および資産の評価タスクの作業時間を記録できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 作業時間を記録する資産修理タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. **[Start Timer**] を選択します。
10. タスクの作業が完了したら、[詳細] フォームでタスクの結果を選択します。
    - 資産のトラブルシューティングタスクを完了している場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修理可能
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産の修理タスクを完了した場合は、[修理結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修理済み
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産の評価タスクを完了した場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 再展開可能
- 廃棄対象

11. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
12. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
タスク完了時に実際に作業した時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、資産修理タスクの [作業時間] タブに作成されます。

での修理タスクの作業時間の手動記録 ハードウェア資産ワークスペース

ハードウェア資産ワークスペースで資産修理タスクの作業時間のエントリを手動で作成します。

始める前に
必要なロール:asset_technician

手順
1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 時間を手動で記録するタスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. [**Record Time** (時間を記録)] を選択します。
10. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。
    a. タスクで作業した期間を [日]、[時間]、および [分] フィールドに入力します。
    b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
11. [保存] を選択します。

タスクの結果
作業時間フォームが保存され、タイムカードが資産修理タスクの [作業時間] タブに追加されます。

での修理タスクの一時停止 ハードウェア資産ワークスペース

作業を続行していない場合は、 ハードウェア資産ワークスペース の修理タスクの休憩を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に
[対応中] ステータスの資産修復タスクを一時停止することができます。タスクを一時停止するオプションは、資産修理タスクに対して次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
2. [タイマーの開始]を選択して、時間の記録を開始します。

必要なロール:asset_technician

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 一時停止するタスクを選択します。
8. [作業の一時停止] を選択します。
   [作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります
9. アクティビティで再度作業する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。[作業時間] タブに作業時間のエントリが作成されます。

ハードウェア資産管理ワークフローのためにストックルーム内のピッキングハードウェア資産を管理する

ストックルームに対して資産集荷タスクを明示的に有効にし、資産の場所の詳細を提供して、ストックルーム内での資産の集荷を容易にします。

でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 ハードウェア資産ワークスペース

ストックルームの資産集荷タスクを有効にして、タスクが標準ハードウェア資産要求、ハードウェア資産リフレッシュ要求、および調達ワークフローに自動的に追加されるようにします。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、資産集荷タスクを有効化するストックルームを選択します。
4. [ストックルームの詳細] フォームで、[集荷タスクが必要] チェックボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

でストックルームに通路とスペースを追加する ハードウェア資産ワークスペース

ストックルーム内の通路とスペースの詳細を追加して、そのストックルーム内の資産の詳細な場所の詳細を提供します。通路とスペースの詳細により、ストックルーム内の資産を検索して集荷できます。

始める前に
必要なロール：inventory_user

このタスクについて
スペースはストックルームの通路に関連付けられています。ストックルームに通路を最低 1 つ追加した後にのみ、スペースを追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
4. [通路とスペース] タブを選択します。
   そのストックルームの既存の通路とスペースのリストが表示されます。
5. 選択したストックルームに通路を追加します。

   a. [通路を追加] を選択します。

      [通路を追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドに、通路の一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。たとえば、 `aisle_0001` などです。

   c. オプション: 通路を追加するには、[追加] アイコン ([+]) を選択し、通路の一意の識別子を [通路] フィールドに入力します。

   d. **[OK]** を選択します。

   通路が [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
6. ストックルームの通路にスペースを追加します。

   a. [スペースを追加] を選択します。
      [スペースを追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドで、スペースを追加する通路を選択します。

   c. [スペース] フィールドに、スペースの一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。たとえば、 `space_0001` などです。

   d. オプション: スペースを追加するには、[追加] アイコン ([+]) を選択し、[スペース] フィールドにスペースの一意の識別子を入力します。

   e. **[OK]** を選択します。

   - スペースが [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
   - スペースの表示名は、[通路] フィールドと [スペース] フィールドに基づいて自動的に設定されます。たとえば、通路がaisle_001でスペースがspace_001のスペースの表示名は **aisle_001 - space_001** です。

倉庫のオープンなハードウェア資産集荷タスクの表示

ストックルームのオープンなハードウェア資産集荷タスクを表示して、アクションが必要なタスクの詳細を取得します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
   [オープンストックルームタスク] セクションの [オープン集荷タスク] カードには、オープンな集荷タスクの数が表示されます。
4. [オープンな集荷タスク **(Open pick tasks)**] カードを選択します。

タスクの結果
ストックルームのオープンな資産集荷タスクのリストが表示されます。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされたすべてのハードウェア資産集荷タスクを管理します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の集荷タスクを管理する」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産タスクの管理

直観的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、修理タスクや資産集荷タスクなどのハードウェア資産タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるハードウェア資産に関連するすべての修理タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの表示

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産のトラブルシューティング、資産の修理、資産の評価のタスクを表示します。

始める前に
必要なロール:admin、asset、または asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. [すべて表示] を選択して、自分にアサインされたすべてのタスクを表示します。
4. オプション: フィールド値でタスクをフィルタリングします。
   a. フィルターアイコン()をタップします。
   b. タスクをフィルタリングするフィールド (期日、 資産、 場所、 または優先度) に値を入力します。
5. オプション: タスクを並べ替えます。
   a. フィルターアイコン()をタップします。
   b. [並べ替え] をタップします。
   c. タスクをソートするためのフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産修理タスクの作業を開始する

自分にアサインされた修理タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで示します。

始める前に
必要なロール:asset_technician

このタスクについて
次のタスクタイプに属する修理タスクで作業できます。

- 資産のトラブルシューティングタスク
- 資産修復タスク
- 資産評価タスク

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する修復タスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果
[詳細] タブで、[作業の開始] リンクが [タイマーの開始]、[時間を記録]、および [自動的に閉じる] に変わります。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産修理タスクの作業時間の記録.

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産修理タスクの作業時間の記録

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、資産のトラブルシューティング、資産の修理、および資産の評価タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産の修理タスクの一時停止

作業を続行していない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の修理タスクの休憩を記録します。

始める前に
修理タスクの作業を開始したら、[詳細]タブの[開始タイマー]をタップして時間の記録を開始します。

必要なロール:asset_technician

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
作業を再開すると、タスクを再開できます。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. 「 詳細 」タブで、「 一時停止」をタップします。
   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティに再度取り組む準備ができたら 、[再開]をタップします。

タスクの結果
修理タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ハードウェア資産の修理タスクの作業時間を手動で記録する

ハードウェア資産の修理タスクの作業時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに関する追加のコメントを入力します。

始める前に
[詳細]タブの[作業を開始]をタップして、修理タスクの作業を開始したことを示していることを確認します。

必要なロール:asset_technician

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録する修復タスクレコードをタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。
   b. オプション: [作業時間のコメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
[時間を記録] フォームが保存され、タイムカードが [関連] タブの [作業時間] セクションに追加されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産修理タスクのクローズ

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、アサインされたハードウェア資産の修理タスクを完了し、タスクをクローズ済みとしてマークします。

始める前に
必要なロール:asset_technician

このタスクについて
次のタスクタイプに属する任意のタスクを閉じることができます。

- 資産タスクのトラブルシューティング
- 資産タスクの修復
- 資産タスクを評価

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 閉じたいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. クローズする修復タスクをタップします。
6. 修理タスクの [詳細] タブで、[閉じる] をタップします。
7. [修理タスク入力 (Repair task input)] フォーム画面で、タスクの結果を入力します。

タスク	アクション
資産のトラブルシューティング	[トラブルシューティング結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 修理可能 ◦ 修復不能 ◦ 再展開可能

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク	アクション
資産の修復	[修理結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 修理済み ◦ 修復不能 ◦ 再展開可能
資産を評価	[評価結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 再展開可能 ◦ 廃棄対象

8. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
9. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
修理タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産の集荷タスクを管理する

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされたハードウェア資産集荷タスクを処理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産集荷タスクの作業を開始する

自分にアサインされた資産集荷タスクの作業開始を モバイルエージェント アプリケーションで示します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する資産集荷タスクをタップします。
   [詳細] タブの次のフィールドに表示される詳細を使用して、アサインされた資産集荷タスクの作業を開始します。
   - 資産:選択する必要がある資産。
   - ストックルーム:資産を集荷するストックルーム。
   - 集荷場所:資産を集荷するストックルーム内の通路とスペース。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
[**Details** (詳細)] タブで、[**Start work** (作業を開始)] リンクが [**Start timer** (タイマーを開始)]、[Locate (検索)]、[**Scan asset** automatically (資産を自動的に検索およびスキャン)] に変わります。

次のタスク
アサインされた資産集荷タスクを完了します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を見つけて集荷する」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産集荷タスクの作業時間の記録

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ハードウェア資産の集荷タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したハードウェア資産集荷タスクの一時停止

作業を続行していない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してハードウェア資産集荷タスクの休憩を記録します。

始める前に
ハードウェア資産集荷タスクの作業を開始したら、[詳細] タブの [タイマーを開始] をタップして、時間の記録を開始してください。

必要なロール：inventory_user

このタスクについて
タスクを一時停止した後、作業を再開すると再開できます。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止する資産集荷タスクレコードをタップします。
6. 「 詳細 」タブで、「 一時停止」をタップします。

   注: [一時停止] オプションは、[タイマーを開始] をタップした後にのみ表示されます。

   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティに再度取り組む準備ができたら 、[再開]をタップします。

タスクの結果
資産集荷タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実績時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内のハードウェア資産を見つけて集荷する

インドアマップを使用して、ストックルームの特定の通路とスペースに配置されたハードウェア資産を見つけます。資産を見つけたら、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、資産を集荷して倉庫内の別の場所へ納品します。

始める前に

ServiceNow Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

必要なロール：inventory_user

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 作業を開始した資産集荷タスクをタップします。
6. 倉庫内のハードウェア資産を探すには、[詳細] タブで [検索] をタップします。
   - ストックルーム内のハードウェア資産の正確な場所がマップ上に表示されます。
   - [方向を知る] オプションが表示されます。
7. ストックルーム内の資産の場所への道順を取得します。
   a. [経路を知る] をタップします。
   b. マップ上の開始場所を選択します。
   c. [保存] をタップします。
   - マップに次の詳細が表示されます。
     - 開始場所から資産の場所までのパス
     - 資産の場所に到達するまでに必要な概算時間
   - [ステップを表示] と [資産をスキャン] オプションが表示されます。
8. オプション: 資産の場所までのルートを表示するには、[ステップを表示] をタップします。
9. 資産の場所に到達したら、資産を選択します。
10. 資産集荷タスクを完了します。
    a. [アセットをスキャン] をタップします。
    b. 資産タグ情報を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
- 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。

c. オプション: [納品場所] フィールドで、ピッキングした資産を納品する倉庫内のスペースを選択します。

d. **[Close complete** (完了してクローズ)] を選択します。

- 資産集荷タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。
- 資産の [場所] フィールドは、納品場所を指定した場合のみ、納品場所で更新されます。
- ハードウェア資産要求フローとハードウェアリフレッシュ要求フローは、次のステージに進みます。

HAM フローの関連するディシジョンテーブルを更新する

ハードウェア資産管理 (HAM) フローの関連するディシジョンテーブルを更新して、新規またはカスタマイズされた HAM フローをトリガーします。

始める前に
必要なロール：admin、decision_table_admin

手順

1. 移動先 すべて > システム定義 > ディシジョンテーブル.
2. 更新するディシジョンテーブルを開きます。
3. フローページで、[ディシジョンテーブル] セクションの [追加] アイコン ( ) を選択します。
4. **[Add condition column** (条件列の追加)] を選択します。
5. [新しい条件列 (NEW CONDITION COLUMN)] ダイアログボックスで、フローをトリガーする条件に従って条件を入力します。
6. [完了] を選択します。
   新しい行が作成され、条件が [ディシジョンテーブル] セクションに表示されます。
7. [フロー] 列で、作成したフローを選択します。
8. [保存] を選択します。
9. 意思決定 (sys_decision_question) テーブルに移動し、更新した更新済みディシジョンテーブルを検索します。
10. [順序] フィールドを 100 未満の値で更新します。

ハードウェア資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、ハードウェア資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと ハードウェア資産管理

ドメインセパレーションは ハードウェア資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別のユーザーに影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

この製品でのドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはソフトウェアおよびハードウェア資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できるようになります。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

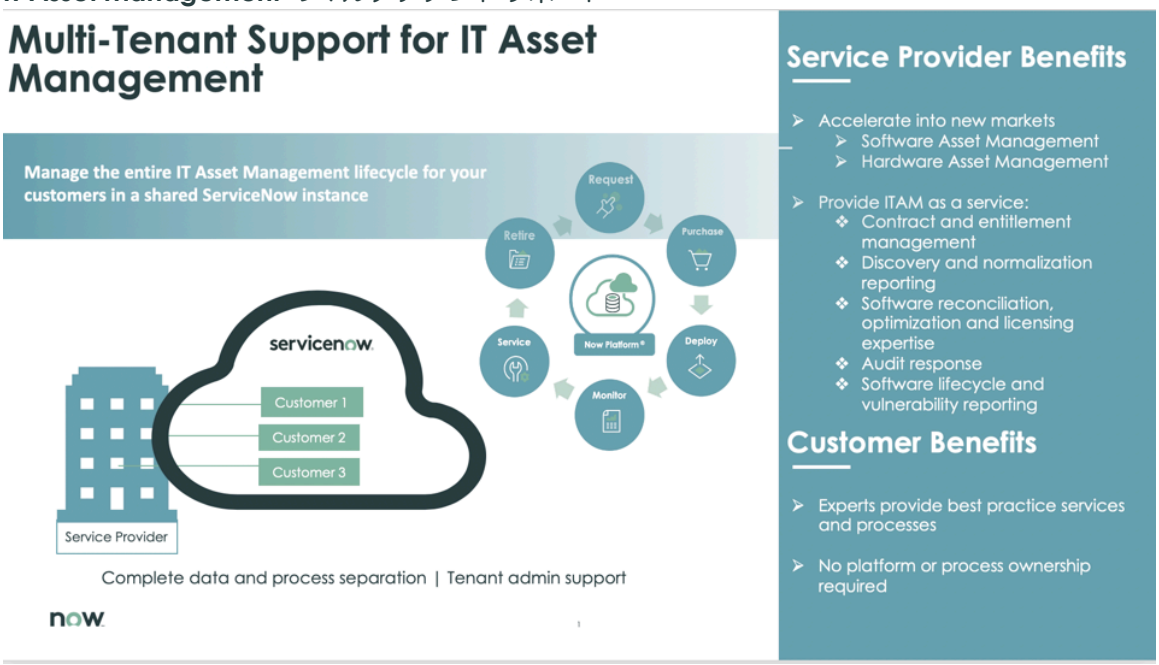
ハードウェア資産管理におけるドメインセパレーションの仕組み

HAM では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Paris リリースでは、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

注:

ベースシステムドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。

IT Asset Management のマルチテナントサポート



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必須のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- パフォーマンス分析 – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- HAMP (ストアアプリ)

詳細については、「ドメインセパレーションの説明」、「クエリとドメイン アクセスを含む」、および「既定のドメインの重要性」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

資産管理 プロセスの例

資産を管理するための最良の方法は、ビジネスニーズとビジネスの編成方法によって異なります。

始める前に

必要なロール：asset

このタスクについて

これらの手順は、資産管理 を開始するにあたり実施できるプロセスの一例です。

手順

1. システム内の資産を明確にします。

   資産管理の重要な要素は、所有物に対する初期または継続的な棚卸しや検出です。ServiceNowプラットフォームは、資産検出を行うための以下のオプションを提供します。

   - 独立した強力なディスカバリーツール。
   - SMS、Tally NetCensus、LanDesk など、すでに展開しているディスカバリーテクノロジーの使用を希望する組織には、ServiceNowが Web サービスを介して各テクノロジーへの統合をサポートできます。スキャン済みデータを 構成管理データベース (CMDB) に直接マップできます。

2. CMDB の情報をクリーンアップします。
   過去の情報や無効な情報を削除します。残りのすべての情報が正確かつ完全であることを確認し、必要な情報を追加します。
3. コンピューター、サーバー、プリンター、ソフトウェアなど資産モデルのカテゴリを作成します。
4. 資産モデルを作成します。
   モデルとは、MacBook Pro 17" など、特定のバージョンや資産のさまざまな構成のことです。
5. ハードウェア、消耗品、ソフトウェア ライセンスなど個々の資産を作成します。
   ディスカバリーツールを使用した場合、すでに多くの資産が正確に特定されているはずです。
6. ソフトウェア ライセンスのカウント、在庫のある資産の表示、資産状況とサブステートの設定、未割り当てのソフトウェアの分析によって、資産を管理します。

ハードウェア資産管理 のクイックスタートテスト

アプリケーションの開発やアップグレードの適用などの構成変更を行った後も、 ハードウェア資産管理 (HAM) が引き続き機能するかを検証します。インスタンス固有のデータを使用する際に合格するように、これらのクイックスタートテストをコピーしてカスタマイズします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理クイックスタートテストは、ハードウェア資産管理 (HAM) アプリケーションを ServiceNow Store からインストールするときに利用できます 。

ハードウェア資産管理 テストスイート

テスト	説明	リリースバージョン
HAM - ハードウェア正規化	正規化されたメーカー、製品、およびモデルに基づいて、さまざまな正規化ステータス値を検証します。	Orlando
HAM - ハードウェア資産処分ワークフロー	資産処分ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産展開の自動化ワークフロー	資産展開ワークフローを検証します。	Paris
HAM - 資産スワップワークフローの自動化	資産の交換/スワップワークフローを検証します。 注: デモデータが必要です。	Paris
HAM - 標準ハードウェア資産要求フロー	ハードウェア資産管理 アプリケーションの一部である標準ハードウェア資産要求フローを検証します。	Paris
HAM - ハードウェア資産のリフレッシュフロー	資産リフレッシュワークフローを検証します。	Quebec
HAM - 貸与資産の割り当てフロー	貸与資産ワークフローを検証します。	Quebec
HAM - リース契約資産有効期限	リース契約資産有効期限のエンドツーエンドワークフローを検証し、リース契約の対象となる資産の返却または延長を実行します。	Quebec
HAM - 資産 RMA フロー	インベントリユーザーで資産返品許可 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM：資産 RMA フロー (SP)	サービスポータルからの資産返品承認 (RMA) ワークフローを検証します。	Rome
HAM - リース資産の返却	インベントリアドミンユーザーで貸与資産割り当てワークフローを検証します。	Rome
HAM - 契約更改フロー	契約マネージャーユーザーとの契約更改フローを検証します。	Tokyo

関連情報

クイックスタートテスト

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ストックルーム タイプ

ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。

ストックルーム タイプには大きな特徴が 2 点あります。

- 優先順位：部品を調達するストックルームの順序。たとえば、個人用のストックルーム (優先度 2) に必要な部品がある場合、個人用のストックルームは配達が必要ないため、セントラルストックルーム (優先度 7) よりも優先されます。
- 出荷が必要：部品が既定のタイプのストックルームから調達されている場合、転送注文を作成する必要があるかどうかをシステムに通知します。たとえば、個人用のストックルームの部品は出荷が必要ではないため、転送注文は必要ありません。

ベース システムで定義されているストックルーム タイプ

値	名前	優先度	出荷が必要	説明	コメント
on_site	現地	1	False	顧客サイトのストックルーム。	ユーザーに近く、出荷は必要ありません。
field_agent	フィールドエージェント	2	False	フィールドサービスエージェント (Field Service Agent, FSA) に直接リンクした、配送に使用される仮想の個人用ストックルーム。	部品は配送済みで FSA にあることをシステムに示すために使用されます。
fsl	FSL	4	True	即時出荷場所。	部品が通常一晩の配送で出荷できる小さなストックルームです。
pudo	PUDO	5	True	回収/納品場所	このタイプは「バイボックス」と呼ばれることもあります。新しい部品や返品部品を受け取れる郵便箱 (主要顧客サイトの近くにあることが多い) にすることができます。
stockroom	倉庫	6	True		地域のストックルーム。
central_stockroom	中央倉庫	7	true		通常ほとんどの部品が出荷される大規模施設であるセントラルストックルーム。

モデル管理とともにインストール

いくつかのタイプのコンポーネントがモデル管理とともにインストールされています。

デモ データはモデル管理で利用できます。

モデル管理とともにインストールされるビジネスルール

モデル管理では、多数のビジネスルールを使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
ライセンス タイプがなければアクションを中止	[cmdb_software_product_model]	ライセンス タイプ (カウンターで処理できないライセンス タイプ グループではない) が選択されていることを確認します。
display_name の計算	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかのフィールド値が変更されたときに [表示名] フィールドを設定します：[メーカー]、[名前]、[バージョン]、[エディション]。表示名は、*glide.cmdb_model.display_name.shorten* プロパティが **true** に設定されているか、**false** に設定されているかに応じて異なります。
日付検証	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[開始日] が[終了日] より前であることを確認します。
CI ルールの適用	[cmdb_model_category]	消耗品またはソフトウェア ライセンスとして資産を追跡するカテゴリに CI クラスがないことを確認します。
作成時に親としてフラグを立てる	[cmdb_m2m_model_component]	コンポーネントをバンドルとして持つモデルにフラグを立てます。
ライセンス タイプ - フル ネーム	[cmdb_sw_license_calculation]	ライセンス タイプのフル ネームを計算します。
ライセンスの検証	ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	ソフトウェアのアップグレードとダウングレードが重複しないように、また同一のライセンスで重複したアップグレードやダウングレードが発生しないようにします。また、[アップグレード (親)] と[ダウングレード (子)] フィールドの両方が必須であり、[ライセンス] フィールドが空欄でない場合、[アップグレード (親)] または [ダウングレード (子)] のどちらかは license.model と等しくなければならないことを確認します。
cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	CI クラスが作成後に変更されないようにします。
挿入時に cmdb_ci_class を保護	[cmdb_model_category]	選択した CI クラスにすでに別のカテゴリが存在する場合、カテゴリの作成を禁止します。
契約の保護	[cmdb_model_category]	[契約モデル カテゴリ] レコードの変更を防止します。
親のメイン コンポーネントのリンク設定	[cmdb_m2m_model_component]	バンドル コンポーネントがメイン コンポーネントとして選択されている場合、バンドルからコンポーネントへの読み取り専用の参照を設定します。
前回削除時に親のフラグを解除する	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルから最後のコンポーネントが削除される際、モデルからバンドルのフラグを削除します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
モデル カテゴリのアップデート	cmdb_ci	モデルが CI のモデル カテゴリに関連付けられていない場合、関連付けられているモデルのモデル カテゴリを更新します。
作成前にレコードを検証	[cmdb_m2m_model_component]	バンドルにコンポーネントの追加を試みる際、バンドル内にコンポーネントが存在しないことを確認します。

モデル管理でインストールされたクライアントスクリプト

モデル管理には多数のクライアントスクリプトが含まれています。

名前	テーブル	説明
ライセンスに合致しないモデルのクリアー	[cmdb_m2m_downgrade_model]	[ライセンス] フィールドがライセンスに変更され、アップグレードまたはダウングレードのいずれのフィールドもライセンス モデルに一致しない場合、[アップグレード (親)] と [ダウングレード (子)] フィールドをクリアーします。
資産クラスに基づく制約	[cmdb_model_category]	カテゴリの資産クラスに基づいてバンドル オプションを有効/無効にします。
必要に応じてセクションを非表示にする	[cmdb_model]	特定のモデルとの関連に応じてセクションを表示/非表示にします。
model_category の変更	[cmdb_model]	同じモデル (クライアント部分) によって参照される複数のカテゴリ間でのクラスの互換性を確認します。
ライセンスからダウングレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	アップグレードが選択されたときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにダウングレード (子) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみダウングレードの設定を行います。
ライセンスからアップグレードを実行する	[cmdb_m2m_downgrade_model]	ダウングレードが選択されているときに、参照されたライセンスのソフトウェア モデルにアップグレード (親) を設定します。ライセンスが空欄でない場合にのみアップグレードの設定を行います。

モデル管理でインストールされたプロパティ

モデル管理には、プロパティ *glide.cmdb_model.display_name.shorten* が含まれます。

名前	説明
glide.cmdb_model.display_name.shorten	**[True]** に設定すると、メーカー名の重複を排除してモデルの表示名を短くします。メーカーに**Spotify** と設定され、名前が**Spotify Premium** と設定されたモデルについて考慮してみましょう。 [表示名] フィールドはプロパティの設定に基づいて次のように設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	• False：表示名は「Spotify Spotify Premium」となる • True：表示名は「Spotify Premium」となる ソフトウェアモデルであれば、エディションとバージョンが指定されていれば名前にも含まれます。 • タイプ：True | False • デフォルト値：False • 場所：システム プロパティ [sys_properties] テーブル

モデル管理とともにインストールされたスクリプトインクルード

モデル管理にはスクリプトインクルードが含まれています。

名前	説明
ModelAndCategoryFilters	クラスに基づいてモデルやモデル カテゴリの参照修飾子を絞り込みます。
ModelCategoryCheck	同じモデルによって参照される複数のカテゴリー間のクラスの互換性を確保します。

モデル管理とともにインストールされたテーブル

モデル管理には多数のテーブルが含まれています。

テーブル	説明
アプリケーション モデル [cmdb_application_product_model]	ソフトウェア アプリケーション製品の記述に使用されるモデルを格納します。
消耗品モデル [cmdb_consumable_product_model]	消耗品モデルについて説明します。
契約モデル [cmdb_contract_product_model]	すべての契約モデルを格納します。
減価償却 [cmdb_depreciation]	資産の原価償却パターンを格納します。
ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	ハードウェア製品のモデルについて説明します。
モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	資産、消耗品、製品バンドル、構成アイテムのグループを定義します。
モデルの互換性 [cmdb_m2m_model_compatibility]	互いに互換性を持つ 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
モデル コンポーネント [cmdb_m2m_model_component]	バンドルを形成することを示す 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
製品モデル [cmdb_model]	あらゆる種類の製品モデルについて説明します。
ソフトウェア ライセンス計算 [cmdb_sw_license_calculation]	よく使用されるソフトウェア ライセンス パターンを定義します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	ソフトウェア製品モデルについて説明します。
ソフトウェア スイート [cmdb_m2m_suite_model	ソフトウェア スイートの要素を定義する 2 つのモデル間の多対多の関係を格納します。
ソフトウェアのアップグレードとダウングレード [cmdb_m2m_downgrade_model]	あるモデルに対してライセンス供与されていることにより、他のモデルにも権限が付与されることを示す 2 つのモデル間の多対多の関係が格納されます。

モデル管理とともにインストールされた UI ポリシー

モデル管理には UI ポリシーが含まれています。

名前	テーブル	説明
未確認を非表示にする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[資産クラス] と **[CI** クラス] フィールドが空欄出ない場合、**[CI** 検証を強制] フィールドが表示されます。
[契約] と [作業] のフィールドをロックする [契約] のフィールドをロックする	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	[名前] が [契約]、[作業オーダー]、[作業タスク] のいずれかである場合、モデル カテゴリー フォームのすべてのフィールドを読み取り専用に設定します。
モデル カテゴリの保護	製品モデル [cmdb_model]	次のいずれかの値が含まれている場合、[モデル カテゴリー] フィールドを必須かつ読み取り専用にします：ソフトウェア ライセンス、契約、作業オーダー、作業タスク。
Oracle であれば表示をオプションにする	ソフトウェア モデル [cmdb_software_product_model]	選択した [メーカー] の名前が **Oracle** から始まる場合、[オプションです] フィールドが表示されます。

モデル管理とともにインストールされたユーザーロール

モデル管理にはユーザーロールが含まれます。

ロール	ロールを含む	説明
category_manager	モデルマネージャー	モデル カテゴリの作成、編集、削除を行えます。
model_manager	なし	新規の CMDB モデルを作成できます。モデル マネージャー ロールは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品のいずれかではないベースモデルやモデル拡張を制御できます。ハードウェア モデルと消耗

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロール	ロールを含む	説明
		品モデルは、資産マネージャー (asset) ロールによって制御されます。ソフトウェア モデルは、ソフトウェア資産マネージャー (sam) ロールによって制御されます。

資産管理とともにインストールされる内容

資産管理には、いくつかのテーブル、ユーザーロール、UI ポリシー、スクリプトインクルード、クライアントスクリプト、ビジネスルールがインストールされています。

デモ データは資産管理で利用できます。デモデータは、ユーザー、資産、個々の倉庫などの情報を提供します。

テーブル

資産管理 には以下のテーブルが含まれます。

資産管理 テーブル

テーブル	説明
資産 [alm_asset]	資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
資産エンタイトルメント [alm_entitlement_asset]	ServiceNowで [資産エンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。
消耗品 [alm_consumable]	消耗資産 (以前は部品と呼ばれていたもの) に関するデータを格納します。
デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	ユーザーとデフォルトのストックルームとの関係を格納します。
固定資産 [alm_fixed_assets]	複数の資産を保持できるコンテナーである固定資産を格納します。
固定資産と資産 [m2m_fixed_asset_to_asset]	固定資産と資産の間の関連を格納します。
ハードウェア [alm_hardware]	ハードウェア資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	ユーザーやマシンがソフトウェアライセンスを使用することを許可するエンタイトルメントを格納します。
ソフトウェアライセンス [alm_license]	ソフトウェアライセンス資産に関する一般的、財務的、契約上の情報を格納します。
在庫ルール [alm_stock_rule]	指定した資産が設定したしきい値を下回ったときに、在庫を転送したり通知メールを資産アドミニストレーターに送信したりします。
ストックルーム [alm_stockroom]	ストックルームに関する情報を格納します。
ストックルーム モデル [alm_m2m_stockroom_model]	ストックルームに保管されたすべてのモデルを追跡します。このテーブルには自動的に値が入力されます。
ストックルーム タイプ [alm_stockroom_type]	ストックルーム タイプに関する一般情報を格納します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 テーブル (続く)

テーブル	説明
転送注文 [alm_transfer_order]	状態やストックルームを含む転送注文に関するデータが含まれています。 注: inventory_user、asset、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。調達 (com.snc.procurement) プラグインを inventory_user、asset、procurement_user ロールに対してアクティブ化する必要があります。
転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文で出荷される個々の資産に関するデータが含まれています。
ユーザーエンタイトルメント [alm_entitlement_user]	ServiceNowで [ユーザーエンタイトルメント] テーブルを分類し、エンタイトルメントの動作方法を強制します。

ユーザーロール

資産管理 には、次のユーザーロールが含まれます。

資産管理 ユーザーロール

ロール	含まれるロール	タスク
asset (資産マネージャー)	• カテゴリマネージャー • 契約マネージャー • 財務管理ユーザー • インベントリユーザー • 調達ユーザー	• ハードウェアと消耗資産 ([alm_hardware] と [alm_consumable]) を管理します。 • 資産マネージャーは、自動的に作成や更新される資産レコードの編集を行えませんが、必要に応じて資産レコードの読み取りや削除はできます。 • 要求を作成します。 • 在庫情報の作成と削除を行います。 • 要求、発注書 (PO)、および基本システムカタログタスクにアクセスします。
inventory_admin	インベントリユーザー	• 在庫情報の作成と削除を行います。 • 在庫ルール、倉庫、倉庫タイプを編集します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ユーザーロール (続く)

ロール	含まれるロール	タスク
inventory_user	なし	• 在庫情報にアクセスします。 • 転送注文を作成および管理します。
sam	• 契約マネージャー • モデルマネージャー • 財務管理ユーザー	• ソフトウェアライセンスを作成、編集、変更、管理します。 • ディスカバリーモデルとソフトウェアインストールの [ソフトウェアモデル] フィールドを編集します。 • モデルを承認します。ソフトウェア資産管理アプリケーションのフルコントロールが行えます。 • ソフトウェア資産管理 IBM PVU プロセスパック (有効の場合) を制御します。

UI ポリシー

資産管理 には、次の UI ポリシーが含まれます。

資産管理 UI ポリシー

名前	テーブル	説明
資産管理番号とシリアル番号を非表示にする	[alm_asset]	資産が割り当てられていて数量が 1 より大きい場合、資産管理番号を非表示にします。
ストックルーム再補充のストックルーム (親) を表示/非表示	[alm_stock_rule]	[再補充] オプションフィールドが [ストックルーム] に設定されている場合のみ、[ストックルーム (親)] フィールドが表示されます。
[割り当て先] と [担当者] を必須にします。	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドと [担当者] フィールドを必須にします。
サブステータスを必須でない場合読み取り専用にする	[alm_asset]	[状態] が [注文済み]、[使用中]、[消費済み]、[メンテナンス中] のいずれかの場合、[サブステータス] を読み取り専用に設定します。
モデル バンドル フィールドを UI ポリシー条件の目的で非表示だが存在する	[alm_asset]	モデル バンドル フィールドを非表示にします。UI ポリシーとクライアントスクリプトでのみ使用するページには存在します。
事前割り当ての制約	[alm_asset]	資産が割り当てられる際、不要なフィールドや関連リストを非表示にします。
モデルとカテゴリ資産を認定し、バンドルではない場合のみ、数量は読み取り専用です。	[alm_asset]	消耗品、ソフトウェア、事前に割り当てられていない資産の [数量] フィールドを読み取り専用に設定します。モデルまたはモデル カテゴリフィールドが空欄の場合、数量は読み取り専用です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 UI ポリシー (続く)

名前	テーブル	説明
「担当者」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかではない場合、[担当者] フィールドが表示されます。
「予約目的」を表示	[alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫あり]、[輸送中] のいずれかの場合、[予約目的] フィールドが表示されます。
「ストックルーム」を表示	[alm_asset]	次のいずれかの条件に該当する場合、[ストックルーム] フィールドを表示します。 • [ステータス] フィールドが [在庫あり] で、サブステートが [割り当て済み] ではない。 • サブステートが [割り当て済み] で、親が空欄。

スクリプトインクルード

資産管理 には、次のスクリプトインクルードが含まれます。

資産管理 のスクリプトインクルード

名前	説明
AssetandCI	資産レコードと CI レコードの関係を作成、管理するためのコード。
AssetAndCisynchronizer	資産レコードと CI レコードの同期コード。
AssetUtils	資産管理のためのユーティリティ機能。また、ライセンスがマージ可能かどうかを確認し、要件が満たされた場合にライセンスをマージします。
AssetUtilsAJAX	資産管理のための AJAX ベースのユーティリティ機能。クライアント サイドの UI アクションから AssetUtils スクリプトインクルードを呼び出します。
消耗品	消耗品を変更 (たとえば、消費、分割、結合) するためのコード。
FixedAssetUtils	固定資産の積上げ型原価計算の方法。
PortalFilters	[自分の資産] ポータルで使用されるフィルター。
PreAllocatedAssets	事前に割り当てられた資産を変更するコード。
StockRuleFilters	在庫ルールの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
StockRuleTransfer	在庫ルールが発動されるときの転送注文の作成コード。
TransferOrderDateTimeAjax	転送注文の日付の比較ユーティリティ。
TransferOrderFilters	転送注文の参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderFinder	転送注文 ラインの情報を挿入する適切な転送注文を検索。
TransferOrderHelper	転送注文に複数の転送注文 ラインがあるかどうかをチェックする機能。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 のスクリプトインクルード (続く)

名前	説明
TransferOrderLineFilters	転送注文 ラインの参照フィールドのオプションをフィルタリングするための参照修飾子コード。
TransferOrderReceiver	転送注文 ラインを受領するコード。
TransferOrderReturn	転送注文 ラインを返品するコード。
TransferOrderStageHandler	転送注文のステージと転送注文 ラインのステージを変更するためのコード。
TransferOrderStageHelper	転送注文と転送注文 ラインの数値的なステージを取得するヘルパーメソッド。

クライアントスクリプト

資産管理 には、次のクライアントスクリプトが含まれます。

資産管理 クライアントスクリプト

名前	テーブル	説明
サブ状態を修正する	[alm_asset]	[状態] フィールドが変更されたときに、[サブステータス] フィールドを更新します。
数量がマイナスになっていないことを確認する	[alm_asset]	1 より小さい値に設定すると、[数量] フィールドがクリアーされます。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_consumable]	消耗品資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラー メッセージも表示します。
事前割り当て済みサブステータスのエラー	[alm_license]	ライセンス資産における [サブステータス] フィールドが [事前割り当て済み] に設定されないようにします。エラーメッセージも表示します。
allocated_to の無効化	[alm_entitlement]	[担当者] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [割り当て先] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [担当者] フィールドを必須にする。
assigned_to の無効化	[alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドが設定されている場合、次の操作を行います。 • [担当者] フィールドをクリアして、必須フィールドでないようにする。 • [割り当て先] フィールドを必須にする。
残存価額は原価よりも低く	[alm_asset]	資産の原価よりも高い残存価額が入力された場合に警告を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 クライアントスクリプト (続く)

名前	テーブル	説明
なければならない		
[資産] の [コスト] を設定する	[alm_asset]	[モデル] フィールドが設定されている場合は、[コスト] フィールドに値を入力します。
担当者から Loc/CC/Dep/Com を設定する	[alm_asset]	[アサイン先] フィールドが設定されている際、[場所]、[コストセンター]、[部門]、[会社] フィールドに値を入力します。
ストックルームから [場所] を設定する	[alm_asset]	[ストックルーム] フィールドが設定されている際、[事業所] フィールドに入力します。
[ストックルーム] から [配送元の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送元ストックルーム] フィールドが設定されている際、[配送元の場所] フィールドに値を入力します。
資産に基いた [モデル] と [数量] を更新する	[alm_transfer_order_line]	[資産] フィールドが設定されている際、[モデル] フィールドに値を入力します。資産が割り当て済み資産の場合、このクライアント スクリプトを [数量] フィールドにも入力します。
[ストックルーム] から [配送先の場所] を更新する	[alm_transfer_order]	[配送先ストックルーム] フィールドが設定されている場合は、[配送先の場所] フィールドに値を入力します。
ロードとモデル チェンジの UI を更新する	[alm_transfer_order_line]	転送注文ラインフォームがロードされる際、およびモデルが選択される際、チェックを実行してユーザーインターフェイスが更新されます。
[配送期日] を検証する	[alm_transfer_order]	納期が未来日付であることを検証します。
在庫を確認する	[alm_transfer_order_line]	要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。
在庫を確認する (ストックルーム)	[alm_transfer_order_line]	[配送元のストックルーム] の値が変更された際、要求された数量を満たす在庫が存在することを確認します。

ビジネスルール

資産管理 には、次のビジネスルールが含まれます。

資産管理 ビジネスルール

名前	テーブル	説明
権限よりもライセンスを割り当てる	ソフトウェアライセンス [alm_license]	割り当てられたライセンスの数が権限の総数よりも多い場合は、ライセンスの作成や更新を防ぎます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
資産の廃止	資産 [alm_asset]	[担当者]、[ストックルーム]、[予約済み] の各フィールドをクリアーして、資産を廃止した時点の日付を設定します。
TOL 状態を自動的に変更する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫である場合、このビジネスルールは： • 転送注文 ラインの [状態] を [配送済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [予約済み] に設定します。 転送注文の [配送元の倉庫] と [配送先の倉庫] が同一で、それがパーソナル倉庫でない場合、このビジネスルールは： • 転送注文の [ステージ] を [受領済み] に設定します。 • 資産の [サブステート] を [保留中の転送] に設定します。
[挿入] にバンドル コンポーネントをビルドする	資産 [alm_asset]	作成された資産のモデルがバンドルの場合、バンドルに関連するコンポーネントの資産を作成します。
更新時に [担当者] をクリアーする	資産 [alm_asset]	[状態] フィールドが [注文済み]、[在庫有り]、[輸送中] のいずれかに変更された場合は、[担当者] フィールドをクリアーします。
事前割り当てに関係のないフィールドをクリアーする	資産 [alm_asset]	割り当て済み資産とは関係のないフィールドの値をクリアーします。
挿入時に [資産] を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	資産のない新規の構成アイテムが作成された際、相対する資産を作成します。
モデルの変更時に資産を作成する	構成アイテム [cmdb_ci]	[モデル ID] フィールドが変更された際に新しく関連した資産を作成します。
挿入時にCI を作成する	資産 [alm_asset]	構成アイテムのない新規の資産が作成された際に相対する構成アイテムを作成します。
[ストックルーム モデル関係] を作成する	資産 [alm_asset]	資産が作成または更新された際、[倉庫モデル] テーブルにモデルを保持する倉庫を示すレコードを作成します (存在しない場合)。
すべての転送注文ラインを削除する	転送注文 [alm_transfer_order]	転送注文が削除されると、すべての関連する転送注文 ラインが削除されます。
エンタイトルメントが権限を超えないようにする	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントが作成される際、関連するライセンスのエンタイトルメント総数がライセンスによって与えられた権限の数を超えないことを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
GenerateAssets	モデル カテゴリー [cmdb_model_category]	スケジュール設定済みスクリプト ジョブを実行して、構成アイテムのために資産を作成します。
親から継承する情報	資産 [alm_asset]	新しい親を資産に割り当てる際、資産に親の値を割り当てます。
ベンダー向けの管理されたストックルーム	在庫ルール [alm_stock_rule]	ベンダー補充の在庫ルールによって倉庫が選択され、その倉庫に使用可能なメールアドレスを持つアドミニストレーターがいることを確認します。
割り当て先または担当者の権限	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	[割り当て先] フィールドか [担当者] フィールドのいずれかの値を必須にします。
レコードを結合する	消耗品 [alm_consumable]	一致するフィールドを持ち [輸送中] ではない消耗品を、合計数を含んだ 1 つのレコードに結合します。
挿入と滞留時に資産を無効化する	構成アイテム [cmdb_ci]	フィールドに CI を持つ資産が含まれている場合、挿入時に [資産] フィールドをクリアします。
挿入と滞留時に CI を無効化する	資産 [alm_asset]	既存の CI に対して挿入が実行される場合、資産フィールドを無効にして CI の新規資産を作成します。
フィールドに予約済み	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインに関連する要求ラインがある場合、このビジネスルールによって関連する資産の [予約目的] フィールドに要求ラインからの適切な情報を入力します。
資産/消耗品の状態を移動させる	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインが別のステータスに移動する際、現在の転送ステータスを反映するように相対する資産を変更します。
TOL キャンセル/削除時の資産を解放する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	[ドラフト] 状況の転送注文 ラインがキャンセルまたは削除されたときに、相対する資産を在庫に戻し、部品要件を取り消します。
TOL のキャンセルを [配送先] へロールアップする	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文 ラインがキャンセルされたことを相対する転送注文に通知します。
処分価額は原価よりも低くなければならない	資産 [alm_asset]	残存価額がコストよりも多い場合は、資産レコードの保存を防止します。
事前割り当ての健全性チェック	資産 [alm_asset]	事前割り当て条件を満たしていない場合、割り当て済み資産の作成または更新を防止します。
クラスを設定する	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	エンタイトルメントがアサインされている、または割り当てられているかによって、このエンタイトルメントのクラスを設定します。
転送注文タイプの設定	転送注文 [alm_transfer_order]	関連するサービスオーダータスクまたは作業指示タスクがあるかどうかによって、転送注文のタイプを設定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
モデル カテゴリを同期する	製品モデル [cmdb_model]	モデルカテゴリが変更されると、このビジネスルールによって、モデルに関連付けられた構成アイテムに対してこれまで存在していない場合に資産を作成します。
転送注文在庫ルール	転送注文 [alm_transfer_order]	転送注文に複数の転送注文 ラインが含まれている場合、[配送元のストックルーム] フィールドが変更されないようにします。
予約済みからアサイン済みへの変更	資産 [alm_asset]	資産が適切な状態にあるときに、[担当者] フィールドに [予約済み] フィールドの値を入力します。
情報をコンポーネントに細分化する	資産 [alm_asset]	資産レコードの変更を反映するために、資産のコンポーネントを更新します。
変更時に資産フィールドを更新	構成アイテム [cmdb_ci]	構成アイテムフォームでの変更によって、相対する資産フォームで同じ更新がトリガーされるようにフィールドを同期し、一貫性のあるレポートを確実に作成します。資産フォームでステータスを更新する必要があります。
変更時に CI フィールドを更新	資産 [alm_asset]	フィールドを同期させ、資産フォームで行った変更が相対する構成アイテム フォームで同じ更新を発動させて一貫性のあるレポートを確実に作成します。
必要に応じて場所を更新する	資産 [alm_asset]	資産が新しいストックルームに設定されている場合、または新しいユーザーに割り当てられている場合は、資産の場所を更新します。
フィールド エージェントタイプの検証	ストックルーム [alm_stockroom]	作業管理またはフィールドサービス管理 (FSM) がアクティブ化されていない段階で [フィールドエージェント] タイプの倉庫が作成されないようにします。ユーザー 1 人につき個人のストックルームは 1 つしか使用できません。
TOL を検証し使用可能かどうかを確認する	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文ラインの変更を検証し、指定の倉庫で転送される資産の在庫状況を確認します。
転送注文を検証する	転送注文 [alm_transfer_order]	[配送期日] が現在よりも早い日付で設定されていないことを確認します。
一意のユーザーを検証する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	同一のユーザーで複数のレコードを作成しないようにします。
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ライセンスエンタイトルメント [alm_entitlement]	条件が存在する場合、エンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ビジネスルール (続く)

名前	テーブル	説明
エンタイトルメントの検証 (割り当て済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントの割り当てがライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
エンタイトルメントの検証 (アサイン済み)	ソフトウェア ライセンス [alm_license]	条件が存在する場合、すべてのライセンスエンタイトルメントのアサイン先がライセンスの割り当て条件に従っていることを確認します。
フィールド エージェントでないことを確認する	デフォルトのストックルーム [alm_user_stockroom]	選択したデフォルトの倉庫が [フィールドエージェント] タイプでないことを確認します。

ハードウェア資産管理とともにインストールされる内容

sn_hamp プラグインがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) がインストールされます。

インストールされるロール

ロールタイトル	説明	含んでいるロール
ham_admin	コンテンツサービスのオプトイン機能を含む、ハードウェア資産管理 アプリケーションの各機能へのフルアクセスを付与します。このロールはハードウェア資産管理に使用されます。	• inventory_admin • catalog_manager • report_user • sn_hamp.ham_user • 資産 • procurement_admin
sn_hamp.ham_user	ハードウェア資産とレポートを管理します。	資産

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
HAM - コンテンツのアップロード	正規化されたハードウェアモデルを公開します。
HAM - 日次ジョブ	各モデルカテゴリのハードウェアと消耗品モデルの数、モデルのアクティブなライフサイクルフェーズを計算し、クライアントスケジュールのプル時間を設定します。
HAM - ハードウェアライフサイクル	ハードウェアライフサイクルを生成します。
HAM - ハードウェア正規化	ハードウェアと消耗品のモデルを正規化します。
HAM:貸与資産のオーダー割り当て	貸与資産のオーダーに資産を割り当てます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
HAM:ライセンスデータを入力	ライセンスの詳細を入力します。
HAMP - コンテンツファイルマネージャー	ジョブは [ハードウェアライブラリの管理] からトリガーされます。
1 年以上経過した資産または 10,000 を超える資産を含む資産監査を消去	古い資産監査レコードまたは 10,000 を超える資産を含む資産監査を削除します。
[PA HAM]日次収集ジョブ	さまざまなパラメーターのスコアを収集する日次ジョブ。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
バンドル [alm_bundle]	バンドル資産の詳細。
資産監査 [sn_hamp_asset_audit]	資産監査の詳細。
ハードウェア資産再利用ライン [sn_hamp_asset_reclaim_line]	再利用資産ごとに作成されたハードウェア資産再利用ラインの詳細。
ハードウェア資産再利用タスク [sn_hamp_asset_reclaim_task]	各ハードウェア資産再利用ラインに対して作成されたタスクの詳細。
資産 RMA タスク [sn_hamp_asset_rma_task]	RMA 資産タスクレコードのリスト。
ハードウェア資産構成 [sn_hamp_configuration]	ハードウェア資産管理の設定レコード。
HAM コンテンツ監査 [sn_hamp_content_audit]	変更されたコンテンツ値の詳細。
カスタムデバイスタイプ [sn_hamp_custom_hw_device_type]	カスタムハードウェアデバイスタイプレコードのリスト。
カスタムハードウェアメーカー	カスタムハードウェアデバイスメーカーレコードのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_hamp_custom_hw_manufacturer]	
カスタムハードウェア製品 [sn_hamp_custom_hw_product]	カスタムハードウェア製品レコードのリスト。
カスタムハードウェアモデルライブラリ [sn_hamp_custom_hw_prod_model]	カスタムハードウェアモデルライブラリレコードのリスト。
ハードウェア廃棄注文 [sn_hamp_hardware_disposal]	ハードウェア廃棄注文レコードのリスト。
ハードウェア廃棄タスク [sn_hamp_hw_asset_disposal_task]	ハードウェア廃棄注文フローに関連付けられたタスクの詳細。
デバイス タイプ [sn_hamp_hw_device_type]	ハードウェアデバイスタイプレコードのリスト。 **重要:** このテーブルのレコードは変更しないでください。
ハードウェアメーカー [sn_hamp_hw_manufacturer]	ハードウェアデバイスのメーカーレコードのリスト。
Hardware Normalization Map (ハードウェア正規化マップ) [sn_hamp_hw_normalization_map]	ハードウェア製品やハードウェア製品モデル ID などの製品詳細。
Hardware Product (ハードウェア製品) [sn_hamp_hw_product]	製品の名前やデバイスのタイプなどの製品の詳細。
Hardware Model Library (ハードウェアモデルライブラリ) [sn_hamp_hw_product_model]	製品やモデル番号などの製品詳細。
ハードウェア資産のリフレッシュライン [sn_hamp_hw_refresh_line]	ステージ、要求アイテム、交換用モデル、交換用資産などのハードウェア資産リフレッシュラインの詳細。
リフレッシュラインタスク [sn_hamp_hw_refresh_line_task]	ハードウェア資産のリフレッシュラインに関連付けられたリフレッシュラインタスクの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
インポートステージング [sn_hamp_import_template]	資産とモデルレコードをインポートするためのテンプレート。
Hardware Lifecycle Definition (ハードウェアライフサイクル定義) [sn_hamp_lifecycle_definition]	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連する日付。
貸与資産の注文 [sn_hamp_loaner_asset_order]	貸与資産のオーダーレコードのリスト。
貸与資産タスク [sn_hamp_loaner_asset_task]	貸与資産のオーダータスクレコードのリスト。
スキャン済み資産に対する監査 [sn_hamp_m2m_audit_asset]	スキャンされた資産の監査レコードのリスト。
予定資産 [sn_hamp_m2m_hw_asset_disposal]	ハードウェア資産廃棄注文に含まれる資産の詳細。
交換用モデル [sn_hamp_m2m_ztr_replacement_model]	ゼロタッチでリフレッシュモデルの置換レコードのリスト。
ハードウェアライブラリを管理 [sn_hamp_manage_hw_library]	ハードウェアライブラリコンテンツインポートレコードのリスト。
モデルカテゴリ正規化のサマリー [sn_hamp_model_ctg_norm_summary]	モデルカテゴリの正規化の概要。
HAM リソースのカテゴリ [sn_hamp_resource_category]	各リソースカテゴリのサブスクリプションユニット率とその他のライセンス関連の詳細。
RMA 要求 [sn_hamp_rma_request]	RMA 要求レコードのリスト。
RMA 要求ライン	RAM 要求の RMA 要求ラインレコードのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[sn_hamp_rma_request_line]	
HAM 成功アクティビティ [sn_hamp_success_activity]	HAM 成功アクティビティレコードのリスト。
HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal]	HAM 成功目標レコードのリスト。
ゼロタッチでリフレッシュモデル [sn_hamp_ztr_refresh_model]	ゼロタッチでリフレッシュフローのリフレッシュモデルレコードの詳細。
ゼロタッチでリフレッシュ要求 [sn_hamp_ztr_request]	ゼロタッチでリフレッシュ要求レコードのリスト。
ゼロタッチでリフレッシュタスク [sn_hamp_ztr_task]	ゼロタッチでリフレッシュフローに関連付けられたタスクの詳細。
RFID 資産 [rfid_asset]	資産の RFID 情報を保存します。

資産レコードフィールド

[ハードウェア資産の詳細] フォームのフィールドは、ハードウェア、ソフトウェア、消耗品、バンドル、パレット、モバイル、および施設資産の作成に役立ちます。

フィールド	説明
表示名	レコードリストに表示される資産の名前。このフィールドは、[資産タグ] と [モデル] フィールドに基づいて資産を作成した時点で自動設定されます。
モデルカテゴリ	資産のモデルグループ化。資産は、選択したモデルカテゴリに基づいて構成アイテムにリンクされます。
モデル	資産の特定の製品モデル
構成アイテム	資産を作成すると、CI は自動的に作成されます。このフィールドに表示される名前は、[シリアル番号] および [モデル] のフィールド値に基づいています。参照アイコンをポイントすると、資産レコードから継承された構成アイテムの詳細が表示されます。
数量	この資産が表すアイテムの数。これらのポイントの 1 つ以上が該当しない限り、資産の数量は 1 となります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• 資産が消耗品の場合、消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 資産が事前割り当て済みの場合、[モデルカテゴリ] と [モデル] の値が定義され、かつ [サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。
全般 資産の各タイプに対して、フィールドがすべて使用できるとは限りません。	
資産タグ	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
状況	注文済みや使用中など、資産の現在の状態。
Assigned to (アサイン先)	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは、[ステータス] が [使用中] の場合に表示されます。
倉庫	倉庫の名前。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。
通路とスペース	ストックルーム内の資産の通路とスペースの詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。 注: このフィールドは、Hardware Asset Management Professional プラグイン (com.sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
Managed by (管理担当者)	資産を維持管理している人物。このフィールドは、[オーナー] フィールドと別の人物にすることも可能です。
Owned by (オーナー)	資産の財務的所有権を持つ人物。このフィールドは、[管理担当者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
親	資産の親資産。たとえば、モニターや周辺機器の親資産をワークステーションにすることができます。親リンクが定義されると、子資産の割り当てとステータスに関連するフィールドが読み取り専用に設定され、親の割り当てとステータスフィールドに基づいて入力されます。詳細については、「バンドルされたモデル」を参照してください。
資産機能	資産の機能。 使用可能な値は次のとおりです。 • プライマリ • セカンダリ • 共有 • 貸与 • アセットバンドル
クラス	資産グループ (例：ベース、ハードウェア、ライセンス、消耗品)。
コメント	資産に関する有用な情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
シリアル番号	この資産のシリアル番号。
サブステート	資産の現在のサブステート。使用可能なサブステートの設定は、選択した [state (状態)] によって異なります。たとえば廃止状態には、サブステート オプション (廃棄済み、販売済み、寄贈済み、ベンダー クレジット) が含まれています。
ロケーション	資産の現在の物理的な場所。 **注:** ロケーションは、場所、フロア、建物、または敷地に設定できます。ロケーションを敷地以外のオプションに設定すると、資産フォームに [場所階層] セクションが表示されます。ロケーション階層には、指定されたロケーションとその親ロケーションの間の階層関係が表示されます。 次の基準を満たしている場合、資産フォームには、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが表示されます。 • 場所は特定の場所に設定されます。 • Indoor Mapping for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを使用してインドアマップにアクセスします。このアプリケーションは、ハードウェア資産管理とともにServiceNowインスタンスにインストールされます。このアプリケーションは、 ServiceNow Storeから明示的にインストールすることもできます。 • *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターが ServiceNow インスタンスで **true** に設定されている。 デフォルトでは、場所マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのコンテキストサイドバーにある場所マップ ( ) アイコンを選択します。 除外された資産の場所マップは表示されません。
部門	この資産が属する部門。
会社	この資産が属する会社または組織。
割り当て日付	資産がユーザーに割り当てられた日付。
インストール日時	資産がインストールされた日付。
場所階層 [場所階層] セクションは、ハードウェア、消耗品、バンドル、およびパレット資産でのみ使用できます。このセクションは、次の条件でのみ表示されます。 • ServiceNow インスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターが **true** に設定されている場合 • 敷地以外の場所を選択した場合	
フロア	[ロケーション] フィールドで指定された場所があるフロア。 **注:** このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
建物/構造	フロアが属する建物。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所またはフロアを選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
敷地	建物がある敷地。 注: このフィールドは、[ロケーション] フィールドで場所、フロアまたは建物を選択した場合にのみ表示され、ロケーションに基づいて自動的に入力されます。
財務 [財務] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、および施設資産に対してのみ利用できます。	
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
請求書番号	資産に関する請求が記載されている請求書。
コスト	資産が購入された価格。
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。調達の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
オープン	要求されたアイテムレコードがオープンされた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
GL アカウント	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を持つグループ。
取得方法	資産を取得する方法。基本システムの選択肢は、 購入、 リース、 レンタル、 自分の資産の使用 、 ローンです。 調達の発注書 (PO) により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
支出タイプ	支出の種類。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
更新対象	
資産 TCO	初期資本コストと運用コストを含む、資産の総所有コスト。 資産 TCO の詳細については、「 の資産総所有コスト (TCO) ハードウェア資産管理」を参照してください。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルの事前定義されたベンチマークコスト。 注: このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達しつつあることを特定する資産モデルコストのしきい値。ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1000 ドルと設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、ベンチマークしきい値を更新します。このフィールドは、ハードウェアモデルの詳細フォームから参照されます。詳細については、「ハードウェアモデルの詳細」を参照してください。
TCO ベンチマークステータス	資産の TCO のステータス。 • 到達: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークコスト 値以上の場合、TCO ベンチマークステータスは [到達済み] と表示されます。 • 近づいている: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークコスト を下回り、 **TCO** ベンチマークしきい値 を上回っている場合、TCO ベンチマークステータスは [**Approaching]** と表示されます。 • 未達: 資産 **TCO** 値が **TCO** ベンチマークしきい値 を下回っている場合、TCO ベンチマークステータスは [**Approaching]** と表示されます。
廃棄	
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するためにベンダーによって割り当てられた注文番号。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。 **注:** このフィールドは、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 をインストールした場合にのみ表示されます。
廃棄の理由	資産を廃止する理由の説明。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
予定使用終了日	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
減価償却 [減価償却] セクションは、ハードウェアと施設資産でのみ利用できます。	
減価償却	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
減価償却開始日	指定された減価償却方法が開始される日付。
処分価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
残余日数	減価償却有効日付から経過した日数
残余価値	減価償却方法が適用された [コスト] フィールドの値
減価償却額	資産の減価償却済みの金額
契約 [契約] セクションは、ハードウェア、ソフトウェアエンタイトルメント、または施設資産でのみ利用できます。	
リース契約	資産に適用されているリース契約。
保証の有効期限	資産の保証期限。
リース有効期限	契約が期限切れになる日付。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
リース期間 (月)	リース契約が有効な期間 (月単位)。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
月次リース支払	契約に対して毎月支払う金額。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。
Support group (サポートグループ)	資産をカバーする契約を管理するグループ。
同種交換	リースに持ち込んだ資産ではなく、契約ベンダーに返却する類似の資産。 **注:** このフィールドは、ハードウェア資産管理プラグイン (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Supported by (サポート担当者)	資産をカバーする契約を管理する人物。
アクティビティ	
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[アドミン]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。これらのフィールドの列はデフォルトで監査され、更新は作業メモに記録されます。 • ハードウェア資産とソフトウェア資産の作業メモは、発注書 (PO) と転送注文による資産の受領の際に更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。
監査	
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行したユーザー。
モバイル [モバイル] セクションは、モバイルデバイスモデルカテゴリでのみ使用できます。 **注:** このセクションは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ表示されます。	
配送業者	配送会社の名前。
所有権	資産の所有権。使用可能な値： • 従業員 • 企業
IMEI	モバイルデバイスを追跡するための一意の番号。
事前登録 ID	前回の監査を実行したユーザー。
MAC アドレス	モバイルデバイスの MAC アドレス。
登録 ID	現在の監査を実行するユーザー。
電話番号	モバイルデバイスに関連付けられた電話番号。
登録名	モバイルデバイスの登録名。
プラットフォーム	モバイルデバイスのプラットフォーム。使用可能なオプションは、次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	• Android • iOS • Windows • ChromeOS • その他
登録ステータス	デバイスの現在の登録ステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • 登録済み • 登録解除 • 期限切れ • 登録待ち • 登録解除待ち
購入日	モバイルデバイスが購入された日付。
登録日	初回の登録日。
アップグレード対象日	モバイルデバイスがアップグレード対象になる日付。
前回の登録	前回登録した日付。
サービス契約	モバイルデバイスに関連付けられた契約番号。
有効化されたデバイス	モバイルデバイスのアクティベーションステータス。使用可能なオプションは、次のとおりです。 • はい：モバイルデバイスはアクティブ化されています。 • いいえ：モバイルデバイスはアクティブ化されていません。
DaaS **注:** このセクションは、DaaSアプリケーション (com.sn_daas_ham) のハードウェア資産管理がインストールされている場合にのみ表示されます。	
DaaS 資産	資産を DaaS 資産として選択するためのオプション。
DaaS アカウント	DaaS資産が関連付けられているアカウント。
関連リンク	
減価償却を計算	選択すると減価償却額と残存価額を計算します。
資産のみを削除	選択すると資産が削除され、関連付けられている CI は残ります。
関連リスト	
資産	作成した資産に関連付けられている資産。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
経費ライン	資産に関連付けられた経費ライン。
RMA	資産に関連付けられた返品承認。

消耗品モデルフィールド

[消耗品モデル] フォームと関連リストのフィールドの説明。

[消耗品] セクション

フィールド	説明
表示名	資産の名前とメーカーに依存するモデルの名前。
モデルカテゴリ	資産のモデルカテゴリ。カテゴリのタイプは、資産が CI にリンクされているかどうかによって異なります。
ステータス	資産の現在の状態。
サブステート	資産の現在のサブステート。
倉庫	資産が在庫にある場合、資産が置かれている倉庫の名前。
数量	資産の数。

ベンダーカタログアイテム関連リスト

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられた製品モデル。
在庫切れ	商品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	割引が適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク階層。
簡単な説明	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテム。
UPC	製品のユニバーサル製品コード (UPC)。
説明	製品の説明。
画像	製品の写真。
アクティブ	製品がアクティブかどうかを示すオプション。
情報	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
仕様	ベンダーから提供される製品仕様。
特徴	ベンダーから提供される製品の特徴。

[消耗品モデルのライフサイクル] 関連リスト

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 • 提供終了
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
説明	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連付けられたリスク。
アクティブ	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示すオプション。

ハードウェアモデルの詳細

ハードウェアモデルの詳細と関連リストのフィールドの説明を検索します。

詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの表示名。表示名は、[メーカー] および [名前] フィールドから生成されます。
メーカー	モデルメーカーの名前。
簡単な説明	モデルの説明。
モデルカテゴリ	モデルを関連付けることができるモデルカテゴリです。モデルカテゴリは、構成アイテム (CI) と資産を作成するために使用されます。
資産追跡戦略	モデルの資産追跡。
有効年限 (月数)	ハードウェアモデルを使用できる月数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。
取得方法	資産または CI が調達された方法。
コスト	個々のモデルのコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
残存価額	モデルの残余価値の推定値。
名前	モデルの名前。
モデル番号	モデルを識別する番号。この番号は、社内で定義することも、モデルの製造元が定義することもできます。
バーコード	モデルを識別するバーコード。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	製品モデルから継承されているハードウェアモデルのステータス。
ライフサイクルステージ	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体におけるステージ。 このフィールドは、Common Service Data Model (CSDM) をオプトインした場合にのみ表示されます。
ライフサイクルステージステータス	製品に関連するハードウェア資産と CI のライフサイクル全体におけるステータス。 このフィールドは、共通サービスデータモデル (CSDM) をオプトインした場合にのみ表示されます。
支出タイプ	支出の種類。
認定	モデルの使用が認定されているかどうかを示すオプション。
計算済みライフサイクルテンプレート	ライフサイクルの日付を計算するために適用されたテンプレート。
計算済みライフサイクル開始日	テンプレートを適用し、テンプレートで定義された各フェーズの最終日付を導出する日付。
TCO ベンチマークコスト	資産モデルのベンチマークコスト。
TCO ベンチマークしきい値	資産が TCO ベンチマークコスト値に達しつつあることを特定する資産モデルコストのしきい値。 ベンチマークしきい値は、デフォルトで TCO ベンチマークコストの 75% に設定されています。 たとえば、資産モデルの TCO ベンチマークコストを 1000 ドルと設定すると、TCO ベンチマークしきい値は自動的に 750 ドルに設定されます。 システムプロパティ *sn_itam_common.asset_tco_benchmark_threshold_percentage* を使用して、しきい値の割合を更新します。
危険物	資産モデルに危険物が含まれているかどうかを示すオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コメント	モデルに関するコメント。
正規化	
正規化されたメーカー	モデルメーカーの正規化された名前。
製品	製品の正規化された名前。
モデル	モデルの正規化された名前。
正規化ステータス	モデルの正規化ステータス。
デバイスタイプ	デバイスのタイプ。
コンテンツサービスから除外	正規化情報をコンテンツサービスから除外するかどうかを示すオプション。
寸法	
Height	コンテンツサービスから入力されたモデルの高さ。
Width	コンテンツサービスから入力されるモデルの幅。
奥行	コンテンツサービスから入力されたモデルの奥行。
べき乗	コンテンツサービスから入力されたモデルの電力定格。
重み付け	コンテンツサービスから入力されたモデルの重量。
Environmental Social Governance (ESG)	
エネルギースター	コンテンツサービスから入力されたモデルの Energy Star 認定ステータス。
EPEAT 準拠	コンテンツサービスから入力されたモデルの電子製品環境アセスメント (EPEAT) 準拠ステータス。
EPEAT レベル	コンテンツサービスから入力されたモデルの EPEAT レベル (ゴールド、シルバー、またはブロンズ)。
その他詳細	
メーカー保証	コンテンツサービスから入力されたモデルのメーカー保証期間。
特徴	コンテンツサービスによって入力されるモデルの製品の概要、仕様、または属性。
情報	
べき乗	ワット数 電源に接続するために必要なワット数。
高さ (U)	モデルの高さ (ラック単位)。
フロー レート (cfm)	モデルのフロー レート (立法フィート/分)。
音響出力 (ベル)	モデルの音響出力 (ベル単位)。
重量 (ポンド)	モデルの重量 (ポンド単位)。
予想ライフタイム CO2e	モデルの耐用年数にわたる二酸化炭素換算量 (CO_2e) を消費しました。
エネルギー使用	このモデルによって消費されたエネルギー。
Energy Star	環境保護庁 (EPA) による Energy Star 認定を受けるための要件。
製品カタログ	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。

互換性

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
モデル	ハードウェアモデルレコードと互換性のあるハードウェアモデルの名前。

代替

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
代替	ハードウェアモデルの代わりになるハードウェアモデルの名前。
ドメイン	ハードウェアモデルレコードのドメイン。

資産

[資産] タブのフィールドの詳細については、「割り当て済み資産を作成する」を参照してください。

構成アイテム ID

フィールド	説明
名前	CI の名前。この名前は、多くの場合、ドメイン ネーム システム (DNS) またはコンピューターのホスト名です。
メーカー	メーカーの名前。
ロケーション	メーカーの場所。
説明	CI の説明。
クラス	資産クラスのタイプ。

モデルコンポーネント

フィールド	説明
メインコンポーネントである	このコンポーネントが他のコンポーネントにアタッチされているかどうかを示すオプション。
コンポーネント	資産が作成されたときに子コンポーネントがインスタンス化されるモデル。
コンポーネントのモデルカテゴリ	資産が作成されたときに子コンポーネントがインスタンス化されるモデルカテゴリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コンポーネントのパラメーター	コンポーネントパラメーターの要件。 • 必須 • **Optional**
メインコンポーネント	モデルが抽象モデルの場合のバンドルの名前。 **注:** このフィールドは、抽象モデルが定義されている場合にのみ使用されます。

ベンダーカタログアイテム

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの名前。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	価値あるパートナーや戦術的サプライヤーなど、このベンダーの製品とサービスの総合ランキングを表示します。 ランクは、ベンダーのパフォーマンスに対する組織の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。

ハードウェアモデルのライフサイクル

フィールド	説明
モデル	ハードウェアモデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。
ライフ サイクル フェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 延長サポート終了 • 提供終了
ソース	ハードウェアモデルのソース。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
フェーズ開始日	ライフサイクルフェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフサイクルフェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連するリスク。
アクティブ	ハードウェアモデルのライフサイクルがアクティブかどうかを示すオプション。
説明	ハードウェアモデルの説明。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェア廃棄注文は、完了するまでに廃棄プロセスのさまざまなステージを通過します。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変更されます。

ハードウェア廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセスの次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、[集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスクである [資産の切り離し] が作成されます。このプロセスは、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文が完了します。

ハードウェア廃棄注文ステージ

ハードウェア廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	ハードウェア廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	ハードウェア資産廃棄注文のスケジュールの詳細。
輸送	資産の出発	検証済み資産を切り離す準備が整いました。
確認	ベンダー確認	ハードウェア廃棄注文はベンダーによって確認されます。
ドキュメント	廃棄ドキュメント	廃棄レコードのドキュメントが添付されています。
完了	なし	ハードウェア廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄注文は輸送ステージまでしかキャンセルできません。

一緒にインストールされるコンポーネント ハードウェアモデル正規化

テーブルを含む、いくつかのタイプのコンポーネントが、ハードウェアモデル正規化プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

注: このアプリケーションとともにインストールされている他のすべてのコンポーネントを表示するには、「アプリケーションファイル」テーブルを参照してください。このテーブルへのアクセス手順については、「アプリケーションとともにインストールされているコンポーネントの検索」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
デバイス タイプ	コンピューター、プリンター、モニターなどのデバイスのタイプ
ハードウェアライフサイクル定義	ハードウェアまたは消耗品モデルのライフサイクルフェーズと関連する日付
ハードウェアメーカー	ハードウェアメーカーの名前
ハードウェアモデルライブラリ	製品の名前とモデル番号
ハードウェア正規化マップ	ハードウェア製品およびハードウェア製品モデルの ID
ハードウェア製品	製品の名前とデバイスのタイプ (Apple Mac や Lenovo プリンターなど)。

HAM 成功目標の詳細

HAM 成功目標の詳細フォームのフィールドは、インスタンス内の ハードウェア資産管理 アプリケーションの成功を追跡するための成功目標を作成するのに役立ちます。

HAM 成功目標 詳細 フォーム

フィールド	説明
番号	成功目標の一意の識別子。
ステータス	成功目標のステータス。 デフォルトでは、成功目標はドラフトステータスです。
タイトル	成功目標のタイトル。
カテゴリ	成功目標が属するカテゴリ。 次のオプションから選択します。 • 自動化 • インベントリの改善 • 損失削減 • 正規化 • プロセスの改善 • ベンダーおよび契約の交渉
ベンダー	成功目標に関連付けられているベンダーまたは公開者。
目標タイプ	目標のメトリクスを定義します。 • 預金 • カウント
目標の説明	成功目標の詳細な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM 成功目標 詳細 フォーム (続く)

フィールド	説明
グループ	目標をアサインするグループ。
オーナー	目標がアサインされているアサイン先グループのユーザー。
予測された開始日	成功目標の予測開始日。
予測された終了日	成功目標の予測終了日。
実際の開始日	成功目標の実際の開始日。
実際の終了日	成功目標の実際の終了日。
予測された削減額	成功目標からの予想される節約額。 このフィールドは、[目標タイプ] で [節減額] が選択されている場合にのみ表示されます。
実際の削減	成功目標からの実際の節減額。 このフィールドは、[目標タイプ] で [節減額] が選択されている場合にのみ表示されます。
予測された数	成功目標からの予想カウント。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
実際の数	成功目標からの実際の数。 このフィールドは、[目標タイプ] が [カウント] に設定されている場合にのみ表示されます。
達成度の説明	成功目標がどのように達成されたかの説明。

HAM 成功アクティビティ

HAM 成功アクティビティフォームのフィールドは、作成した目標の成功を追跡する成功アクティビティを作成するのに役立ちます。

HAM 成功 アクティビティ フォーム

フィールド	説明
番号	成功アクティビティの一意の識別子。
成功目標	アクティビティが関連付けられている成功目標。
ステータス	成功アクティビティの現在のステータス。 次のオプションから選択します。 • オープン • 保留 • 対応中

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

HAM 成功 アクティビティ フォーム (続く)

フィールド	説明
	• 完了してクローズ • 未完了でクローズ • スキップしてクローズ
アサイン先グループ	このアクティビティがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	アサイン先グループ内の特定のユーザー。
簡単な説明	成功アクティビティの簡単な説明。
Description (説明)	成功アクティビティの詳細な説明。
作業メモ	成功アクティビティに関するメモ。

成熟度アイテムの詳細

成熟度アイテムの詳細フォームのフィールドは、成熟度アイテムのステータスと成功目標を表示および更新するのに役立ちます。

成熟度アイテムの詳細

Field (フィールド)	説明
名前	成熟度アイテムの名前。
タイプ	成熟度アイテムのタイプ。 • プロセス • エンドユーザー
簡単な説明	成熟度アイテムの簡単なサマリー。
成功目標	成熟度アイテムに関連付けられた成功目標。成功目標の作成の詳細については Hardware Asset Management の成功目標の作成を参照してください。
状況	成熟度アイテムの現在のステージ。 • 新規 • 対応中 • 完了してクローズ • スキップしてクローズ
成熟度レベル	現在の成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • ラン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

成熟度アイテムの詳細 (続く)

Field (フィールド)	説明
推奨される成熟度レベル	HAM アプリケーションの価値リターンを改善するために推奨される成熟度レベル。 • クロール • ウォーク • ラン
開始日	成熟度アイテムの開始日。
完了日	満期アイテムの完了日。
目的	成熟度アイテムの目的と結果の説明。
完了する必要があるステップ	成熟度アイテムの目的を達成するための手順のリスト。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される成熟度アイテムに関するメモ。

ハードウェア資産管理プログラムの成熟度ステージ

ハードウェア資産管理 (HAM) プログラムの成熟度は、クロール、ウォーク、ランの 3 つのステージなど に分かれています。

成熟度ステージ

ステージ	Description (説明)
クロール	新しい HAM プログラムの実装や開発など、HAM の過程を開始します。このステージでは、モデルの定義、ストックルームの作成、データ検出ツールの特定、プロセスとロールの確立を行うことができます。正規化プロセスを設定してモデルを正規化し、資産ライフサイクルの日付または時刻を取得できます。
ウォーク	ハードウェア資産管理プログラムのロードマップに沿って実行するためのプロセス、手順、ポリシー、リソース、およびツールの確立を開始します。「クロール」ステージで確立した手動のプロセスと手順を自動化できます。HAM ワークフローを使用して、より複雑なプロセスの自動化に移行します。
ラン	このステージでは、ハードウェア資産の一元的な追跡とシステム管理のために、成熟した高度で自動化されたプロセスと手順を確立して使用します。ゼロタッチでリフレッシュ、アセットバンドル、モバイルクラス、契約更新ワークフローなどの高度な機能を使用します。また、定期的にプロセスを評価し、HAM の目標を確立する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷レコードを作成するタスクのクローズ

出荷タスクがクローズされると、出荷レコードが自動的に作成されます。出荷タスクで追跡番号と配送業者を指定することで、出荷を簡単に追跡できます。

出荷元

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
資産の寄付	[寄付のために出発する資産を選択 (Select the assets departing for donation)] タスクがクローズされました。	慈善団体からの確認タスクがクローズされました。
資産廃棄	資産の切り離しタスクがクローズされます。	ベンダー確認タスクがクローズされます。 **注:** このタスクがクローズされるまで、追跡番号を変更できます。追跡番号を指定しない場合、追跡番号として仕入先注文 ID を使用して出荷レコードが作成されます。
発注書	• 配送前にハードウェア資産を作成する:ハードウェア資産レコードが自動的に作成された場合。 • 事前出荷通知:インポートファイルで指定されたすべての一意の追跡番号に対して資産がインポートされた場合。 **注:** インポートファイルの行に指定された配送業者が配送業者 [sn_itam_shipping_carrier] テーブルで利用できない場合、その行はインポートされません。また、出荷レコードも作成されません。次のいずれかを実行し、ファイルを再インポートする必要があります。 ◦ 配送業者が [配送業者] リストに含まれている必要があります。詳細については、「配送業者レコードの作成」を参照してください。 ◦ sn_hamp.enable_shipping_carrier_validation_asn システムプロパティの値を **false** に設定する必要があります。 • 資産を受領する:資産が受領されたとき。 **注:** 出荷レコードは [配送済み] ステージで作成されます。	発注書 (PO) が受領されます。
転送注文	転送注文品目の出荷タスクがクローズされます。	転送注文ラインアイテムが配送されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

出荷元 (続く)

ソースフロー	出荷レコード作成のタスクソース	出荷レコードを [クローズ済み] または [配送済み] に更新するためのソース
		注: 追跡番号は、転送注文品目が [輸送中] ステージになるまで変更できます。
リース有効期限	リース返却アクションの出荷タスクがクローズされます。	返却確認タスクがクローズされました。
返品許可 (RMA)	1. オフサイト返品アクションの出荷タスクがクローズされます。 2. ベンダー RMA 決定タスクがクローズされます。	1. ベンダー RMA 決定タスクがクローズされました。 2. 受領タスクがクローズされます。
資産再利用	出荷再利用方法の出荷スケジュールタスクがクローズされます。	[資産の受領] タスクがクローズされました。
ゼロタッチでリフレッシュ	出荷要求タスクがクローズされます。	ユーザー資産受領タスクがクローズされました。

自動翻訳

リモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド

ゼロタッチでリフレッシュフローに必要なリモートタスク定義の受信フィールドと送信フィールド。

受信フィールド値

フィールドごとに、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] になります。

ターゲットフィールド値はソースフィールド値と同じです。ソースフィールドの値は、要求者の ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドが同期されるプロバイダーのインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期タイミング] の値は [挿入] で、リモートタスクが最初に挿入されたときにのみ、リモートタスクの親レコードのターゲットフィールドが更新されます。

受信フィールド

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
顧客要求番号	customer_request_number	40	顧客要求番号
モデル	モデル	255	モデル
ステータス	state	40	ステータス

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

受信フィールド (続く)

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
名前	name	151	名前
メール	メール	100	メール
モバイル	mobile	40	モバイル
番地	street	255	番地 (street)
市区町村	city	40	市区町村 (city)
都道府県	state_loc	40	州/都道府県 (state_loc)
国	country	40	国 (country)
郵便番号	zip	40	郵便番号
戻り値の名前	return_name	151	名前 (return_name)
戻り番地	return_street	255	番地 (return_street)
返却の市区町村	return_city	40	市区町村 (return_city)
返品都道府県	return_state_loc	40	州/都道府県 (return_state_loc)
帰国国	return_country	40	国 (return_country)
郵便番号を返送	return_zip	40	郵便番号 (return_zip)

送信フィールド値

フィールドごとに、ソーステーブルとターゲットテーブルはゼロタッチでリフレッシュフルフィルメント要求テーブル [sn_itam_ztr_fulfillment_req] です。

ターゲットフィールド値はソースフィールド値と同じです。[ソース] フィールドの値は、プロバイダーの ServiceNow インスタンスのソーステーブルから、ソースフィールドが同期される要求者のインスタンスのテーブルのターゲットフィールドに送信されます。

[同期タイミング] の値は [挿入して更新] で、リモートタスクが更新されるたびにリモートタスクの親レコードのターゲットフィールドが更新されます。

送信フィールド

フィールド ラベル	フィールド名	最大長	ソースフィールド
シリアル番号	serial_number	100	シリアル番号
資産タグ	asset_tag	40	資産タグ
ステータス	state	40	ステータス
トラッキング番号	tracking_number	40	追跡番号 (tracking_number)
配送業者	carrier	80	キャリア (carrier)
返品追跡番号	return_tracking_number	40	追跡番号 (return_tracking_number)
返品配送業者	return_carrier	80	(return_carrier)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産管理フローのディシジョンテーブル

これらのすぐに利用可能なディシジョンテーブルは、 ハードウェア資産管理 機能の一部でフローをカスタマイズするのに役立ちます。

意思決定テーブル

ハードウェア資産管理 機能	意思決定テーブル
ハードウェア資産のリフレッシュ	ハードウェア資産のリフレッシュラインフロー
リース契約有効期限	リース契約有効期限フロー
リース資産の買収	リース資産の買収フロー
リース資産の延長	リース資産の延長フロー
リース資産の返却	リース資産の返却フロー
貸与資産要求	Loaner Asset Request Flow
ローカルストックルームからのソース要求	資産ローカル注文サブフロー **注:** 資産ローカル注文サブフローディシジョンテーブルは、 ハードウェア資産管理 プラグインと 調達 プラグインの両方で使用できます。
再利用	資産再利用フロー
ハードウェア再利用フロー	ハードウェア資産再利用フロー、ハードウェア資産再利用ラインフロー
RMA 要求	資産 RMA フロー
RMA オンサイト修理	資産 RMA オンサイトフロー
RMA オフサイト修理	資産 RMA オフサイトフロー
契約更新要求	契約更改フロー
契約更新タスク	契約更新タスクフロー

サービスカタログ 変数フォームフィールド

変数のフィールドは、カタログアイテムの変数を定義するのに役立ちます。

フィールド	説明
アプリケーション	アプリケーションがこの変数を使用できることを示す読み取り専用フィールド。
タイプ	作成する変数タイプ。
カタログアイテム	変数に関連付けられたカタログアイテム。
順序	変数がカタログアイテムページに配置される順序。変数は、最小の順序値が一番上、最大の順序値が一番下になるように整理されます。
アクティブ	変数を使用可能にするためのオプションです。
必須	カタログアイテムを注文するために必要として変数をマークするオプション。
読み取り専用	変数を読み取り専用にするオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
非表示	変数を非表示にするオプション。
[質問] タブ	
質問	カタログアイテムを注文するときに尋ねる質問。
名前	質問を識別するための名前。 **注:** このフィールドが空の場合、その値は [質問] フィールドに基づいて自動入力されます。
ツールヒント	変数にカーソルを合わせたときに表示されるツールチップのテキスト。質問の目的を説明する簡単なメモを入力します。
サンプルテキスト	値を入力する前に質問フィールドに表示されるヒント。次の変数に適用されます。 • IP アドレス • メール • URL • 1 行テキスト • ワイドな 1 行テキスト • 複数行テキスト • 日付 • 日付/時刻
注釈	
ヘルプ表示	変数に関する追加のヘルプと指示を提供するオプション。
ヘルプタグ	ヘルプテキストを表示するタグ。たとえば、「詳細情報」などです。
ヘルプテキスト	サービスカタログ変数のヘルプ情報です。
説明	ヘルプ情報をサポートするためにリッチテキストの書式設定または画像の追加が必要な情報です。
タイプ仕様 このセクションのフィールドは、変数タイプごとに異なります。	
変数の幅	カタログアイテムページの変数の幅。画面サイズの何パーセントに及ぶかを指定します。
[追加要求] の有効化	複数のユーザーに対してカタログアイテム要求を送信できるようにするオプション。このオプションを選択すると、[**Also request for**] フィールドが **[Requested For**] 変数とともにカタログアイテムに表示されます。
[追加要求] を使用するロール	複数のユーザーにカタログアイテム要求を送信できるロールを指定するオプション。
選択肢の表示方向	リストが配置される方向。 • [交差]：選択肢を水平に配置します。 • [下]：選択肢を垂直に配置します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数に表示されます。
選択肢フィールド	変数のオプションを設定するためのテーブルフィールドです。フィールドに選択肢が定義されていない場合、変数によってテーブルからフィールド関連の個々の値がロードされます。 このフィールドは、選択ボックス変数に表示されます。
選択肢テーブル	[選択肢フィールド] に値を設定するためのテーブルです。 このフィールドは、選択ボックス変数に表示されます。
第一選択肢を選択しない	カタログアイテム ページで変数のすべてのオプションをクリアするためのチェックボックスです。 このチェックボックスをオンにした場合、変数の第一選択肢がデフォルト選択されます。このフィールドは、複数選択肢変数および数値スケール変数に表示されます。
ダイナミック参照修飾子	ダイナミック修飾子です。参照フィールドに対してクエリを実行する動的フィルターを選択します。 このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [ダイナミック] に設定されている場合の参照変数に表示されます。
なしを含む	選択肢のリストに [なし] オプションを含めるためのチェックボックスです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップ、選択ボックスのルックアップ、複数選択肢、および選択ボックスの変数に表示されます。
レイアウト	コンテナのレイアウト。 このフィールドは、コンテナ開始変数に表示されます。
リストテーブル	リストコレクタの値を含む表です。 このテーブルには表示列を指定する必要があります。詳細 このフィールドは、リストコレクター変数に表示されます。
テーブルからルックアップ	ユーザーが選択する値を取得するテーブルです。このテーブルの値は、[ルックアップ値フィールド] に入力されます。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップ値フィールド	変数のオプションを設定するルックアップテーブルのフィールドです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップラベルフィールド	オプションの表示に値を使用するルックアップテーブルのフィールドのカンマ区切りリストです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
ルックアップ価格フィールド	注文されるアイテムの価格の変更に値を使用するルックアップテーブルのフィールドです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
繰り返し発生する料金のルックアップ用フィールド	注文されるアイテムの繰り返し発生料金の変更に値を使用するルックアップテーブルのフィールドです。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップの変数と選択ボックスのルックアップの変数に表示されます。
マクロ	カタログアイテムに挿入する UI マクロです。 このフィールドは、マクロ、ラベル付きマクロ、および UI ページの変数に表示されます。
サマリーマクロ	マクロ、およびラベル付きマクロタイプの変数にのみ適用されます。
ウィジェット	これは、マクロ、およびラベル付きマクロタイプの変数にのみ適用されます。
選択した場合、価格	アイテムの価格です。 このフィールドは、チェックボックス変数に表示されます。
選択した場合、繰り返し発生する料金	アイテムの複数の注文を要求した場合にアイテムに対して増加する価格。 このフィールドは、チェックボックス変数に表示されます。
参照	変数の参照テーブル。このテーブルには表示列を指定する必要があります。 このフィールドは、参照変数に表示されます。
参照修飾子	フィールドで使用可能なデータを制限する修飾子。参照修飾子と高度な修飾子をサポートします。 このフィールドは、リストコレクタ、複数選択肢のルックアップ、選択ボックスのルックアップ、参照、および要求元変数に表示されます。このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [動的] に設定されている場合の参照変数にも表示されます。
参照修飾子の条件	条件をビルドするためのオプションです。 このフィールドは、[参照修飾子を使用] が [簡易] に設定されている場合の参照変数に表示されます。
スケール最大値	変数に使用可能なオプションのスケールで最も大きい値です。 このフィールドは、数値スケール変数に表示されます。
スケール最小値	変数に使用可能なオプションのスケールで最も小さい値です。 このフィールドは、数値スケール変数に表示されます。
一意の値のみ	フィールドに一意の値を要求するためのチェックボックスです。このチェックボックスをオンにすると、2 つのレコードでそのフィールドの値を同じにすることはできません。 このフィールドは、複数選択肢のルックアップ、選択ボックスのルックアップ、および選択ボックスの変数に表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
確認を使用	ユーザーにデータを再入力して各自のエントリを確認するように求めるためのチェックボックスです。 このフィールドは、マスクされた変数に表示されます。
暗号化を使用	回答を暗号化形式でデータベースに保存するためのチェックボックスです。暗号化されない場合、回答はプレーンテキスト形式で保存されます。 このフィールドは、マスクされた変数に表示されます。
参照修飾子を使用	使用する修飾子のタイプです。 このフィールドは、参照変数に表示されます。
検証用の正規表現	変数値を検証する正規表現です。 このフィールドは、1 行テキストとワイドな 1 行テキストの変数タイプに対してのみ表示されます。
変数の属性	変数の動作と制限を定義する属性。
デフォルト値	
デフォルト値	変数のデフォルト値です。
自動入力	
依存質問	カタログアイテムの参照タイプ変数。このフィールドは、変数の自動入力に使用されます。
参照	変数を自動入力するための参照フィールド。
権限 このタブに読み込み、書き込み、または作成アクションのロールが指定されていない場合は、カタログ アイテムにアクセスできるすべてのユーザーが、ロールに関係なくこれらのアクションを実行できます。 次のロールのいずれにも一致しないロールを持つユーザーは、スクリプティングを使用しても変数値を設定できません。 これらのロールは、ラベル、ブレーク、コンテナ分割、コンテナ終了、マクロ、ラベル付きマクロ、および UI ページの変数では使用できません。	
読み込みロール	カタログアイテムまたはレコードプロデューサーの要求前後に変数を表示できるロールです。このフィールドで指定されたロールを持つユーザーのみが変数を表示できます。
書き込みロール	カタログアイテムを要求した後に変数エディターで変数を編集できるロール。ユーザーがこのフィールドに指定されたロールを持っていない場合、変数は変数エディターで読み取り専用になります。
作成ロール	カタログアイテムまたはレコードプロデューサーの要求前に変数の値を作成できるロールです。ユーザーが指定されたロールを持っていない場合、カタログアイテムまたはレコードプロデューサーの要求前の変数は読み取り専用です。
可用性	
各所に表示	これを選択した場合、変数は、アイテムを注文する前のアイテムフォーム、アイテムを注文した後の変数エディター、およびアイテムの買い物かごビューに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
バンドルに表示	選択すると、アイテムがバンドルに追加されたときに変数が表示されます。
ガイドに表示	これを選択した場合、変数が注文ガイドに追加されたとき、または注文ガイドに含まれるカタログアイテムに追加されたときに表示されます。 **注:** 注文ガイドにあるアイテムおよび変数が多すぎる場合は、注文ガイドのロードパフォーマンスを改善するために、できるだけ多くのアイテムでこのチェックボックスをオフにすることを検討してください。
サマリーに表示	これを選択した場合、カタログアイテムの任意の変数サマライザーに変数が表示されます。

ハードウェア資産管理 ゼロタッチモビリティとの統合

ServiceNow® ハードウェア資産管理 は Samsung SDS ゼロタッチモビリティと統合され、モバイルデバイスのライフサイクル全体を管理します。

ゼロタッチモビリティとの ハードウェア資産管理 統合の利点は次のとおりです。

- 単一のプラットフォーム上でモバイル資産を展開、管理、監視し、自動化されたワークフローを活用して、次のような日常的なモバイルデバイス管理タスクを実現します。
  - 新しいデバイスのオンボーディング
  - デバイスの登録解除
  - セルフサービスオプションによる新規注文、アップグレード、または交換の要求
- 組織全体の可視化とコラボレーションを向上させる統合ソリューションを使用して、モバイルデバイスのライフサイクルを管理および報告します。
- すべてのモバイルデバイスのコストと使用率を最適化します。

要件と制限事項

ハードウェア資産管理とゼロタッチモビリティソリューションの統合の要件と制限事項は次のとおりです。

- ソリューションは、 ハードウェア資産管理 (sn_hamp) アプリケーションに依存します。
- モバイルデバイスリソースカテゴリのみを使用できます。このリソースカテゴリは自動的にオプトインされます。

  資産の取得方法に基づいて、モバイルデバイスで次のリソースサブカテゴリを使用できます。
  - 自分の資産を使用する
  - 企業資産
- このソリューションでは、モバイル デバイスのみがライセンス供与されます。ITAM ライセンスレポートを使用してサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「ハードウェア資産管理アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

  注: ServiceNow インスタンスでハードウェア資産管理が明示的にアクティブ化されている場合でも、モバイルデバイスは、ゼロタッチモビリティソリューションとのハードウェア資産管理統合のモバイルデバイスリソースカテゴリでのみライセンスが付与されます。詳細については、「ハードウェア資産管理ソリューションのための Licensing フレームワーク」を参照してください。
- 次の ハードウェア資産管理 機能は利用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Hardware Model Normalization
- コンテンツのアップロードとダウンロード
- パフォーマンスアナリティクスダッシュボード
- 資産担当役員ダッシュボード
- 成功ポータル

注: HAM ガイド付きセットアップ が利用可能です。ただし、セットアップの実行は必須ではありません。

ハードウェア資産管理ワークフローと機能の詳細については、「ハードウェア資産管理サブスクリプション」を参照してください。

サポートされているハードウェア資産管理機能

次の ハードウェア資産管理 機能は制限なしで使用できます。

- 在庫注文
- 詳細な出荷通知
- 標準資産要求フロー
- 配送業者統合
- 高度なインベントリと配送
- 資産再利用

次の ハードウェア資産管理 機能は利用が制限されています。

- HAM ワークフロー:モバイルデバイス以外のデバイスは、 HAM ワークフローから除外されます。
- リース有効期限フロー:モバイルデバイス以外のデバイスはこのフローから除外されます。
- ハードウェア資産ワークスペース:資産の正規化に関連するレポートとダッシュボードは利用できません。

関連情報

ハードウェア資産管理 の探索

Device as a Service

Device as a Service (DaaS) 機能は、サブスクリプションモデルを介してDaaSプロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。

DaaS の概要

https://player.vimeo.com/video/985181543?h=c47ec1ec8f&badge=0&autopause=0&player_id=0&app_id=58479

プロバイダーに重点を置いたビューとタスクを通じて DaaS オファリングを単一のプラットフォームで管理することは、プロバイダーと顧客の両方に大きなメリットをもたらします。 DaaS プロバイダーは、調達から廃棄までの資産在庫を管理して、 DaaS オファリングをサポートできます。DaaSに関連するすべてのアクティビティと情報を 1 つのプラットフォームに統合することで、DaaSプロバイダーは業務を合理化し、効率を向上させることができます。詳細については、「DaaS プロバイダービュー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DaaS のメリット

メリット	ユーザー
DaaSプロバイダーの顧客に必要なサブスクリプションレベルを計画します。	DaaS 資産マネージャー
DaaS資産の調達プロセスを自動化します。	DaaS 資産マネージャー
在庫レベルを管理し、顧客の要求に応じて資産の出荷を準備します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
顧客サイトで資産を受領し、集荷します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
コンプライアンスとレポート作成の目的で、資産レコードの監査を実施します。	DaaS 資産マネージャー
資産の問題を監視し、修理または交換を実行してサービス機能を復元します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー
使用可能寿命が終了した資産を、事前に決められたスケジュールに従って計画的に更新、廃止、廃棄します。	• DaaS 資産マネージャー • インベントリユーザー

自動翻訳

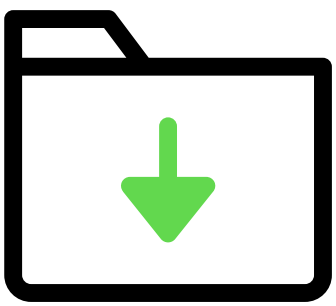
DaaSの構成

Device as a Service (DaaS) の機能を計画および構成します。

構成の概要

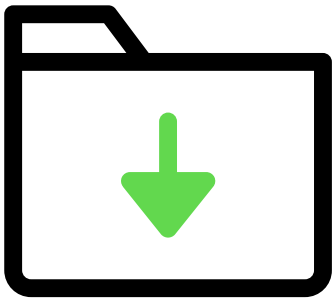
DaaS機能を構成するプロセスの概要は次のとおりです。

DaaS の ハードウェア資産管理 の構成

ステップ	アクション	リソース
 ハードウェア資産管理 のインストール	ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 アプリケーションを取得します。	ハードウェア資産管理のインストール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

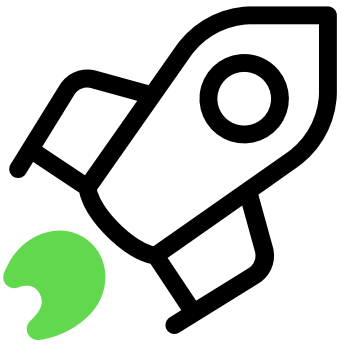
DaaS の ハードウェア資産管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 のインストールハードウェア資産管理DaaS	ServiceNow Store からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理を取得します。	ハードウェア資産管理 for DaaS のインストール
 資産を DaaS 資産としてマーク	[ハードウェア資産の詳細] フォームで資産を DaaS 資産としてマークします。	資産レコードフィールド
 でのプロバイダービュー DaaS 探索 ハードウェア資産ワークスペース	DaaS資産を管理するための直感的なDaaSプロバイダービューハードウェア資産ワークスペースを確認します。	DaaS プロバイダービュー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DaaS の ハードウェア資産管理 の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 DaaSに対する ハードウェア資産管理 の使用	ハードウェア資産管理 for DaaSを使用して、DaaSプロバイダーの顧客に資産および資産管理サービスを提供します。	• DaaS資産の受信資産注文の管理 • DaaS資産の RMA 応答注文の管理

ハードウェア資産管理 **for DaaS** のインストール

admin ロールを持っている場合は、DaaSアプリケーション (com.sn_daas_ham) の ハードウェア資産管理 をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

必要なロール：admin

このタスクについて
ハードウェア資産管理 for DaaS とともに次のアイテムがインストールされます。

- ストアアプリケーション
- ロール
- テーブル

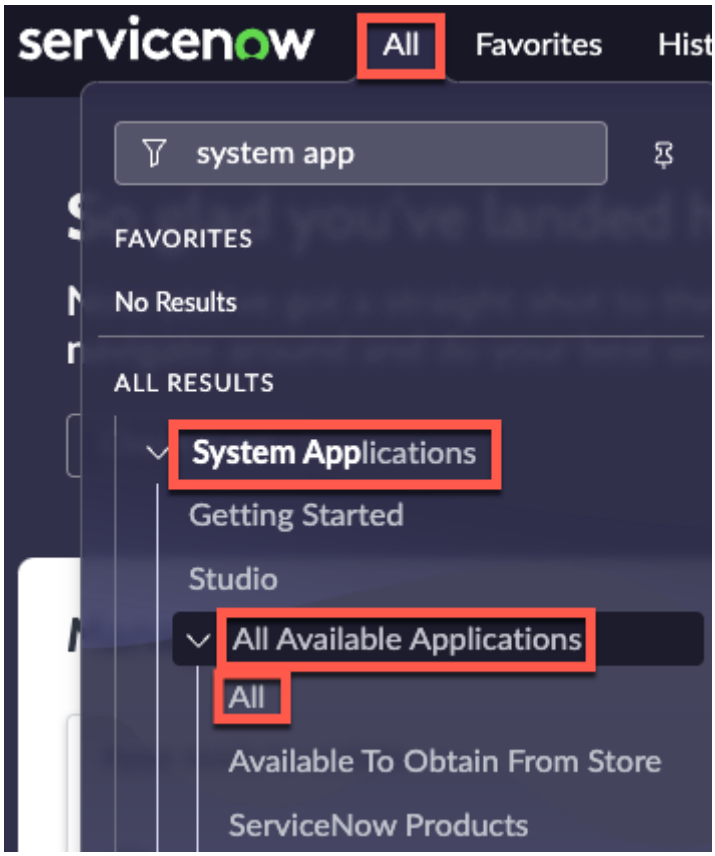
詳細については、「ハードウェア資産管理 for DaaSと一緒にインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、DaaSアプリケーション (com.sn_daas_ham) のハードウェア資産管理を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横にあるリストに、利用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   > **重要:** インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

DaaS資産の受信資産注文の管理

ハードウェア資産の要求に続いて、 DaaS プロバイダーインターフェイスで注文を作成することで、受信資産注文がこの要求に関連付けられます。

受信資産注文ワークフローの次のタスクを完了すると、資産注文が正常に完了。

1. 受信資産注文を作成する
2. 受信資産注文ラインを作成する
3. 資産を選択
4. 選択した資産を選択
5. 選択した資産を準備
6. 準備済み資産の出荷
7. 出荷済み資産の受領

受信資産注文を作成する

受信資産注文を作成して、顧客要求を資産注文に関連付けます。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

このタスクについて

受信資産注文が完了と見なされるには、すべての受信資産注文ラインが [完了] ステージに到達する必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい受信資産注文フォームの作成

Field (フィールド)	説明
番号	受信資産オーダーの一意の番号。
外部要求参照	ソースの追跡に役立つ、顧客提供の資産要求の参照。 たとえば、顧客がメールで資産を要求したとします。ここでは、外部要求参照が `xyz@gmail.com` されます。
DaaS アカウント	顧客の関連付けられた DaaS アカウント。
配送先	資産の指定配送先。
状況	受信資産注文のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
要求元	資産を要求した、 DaaS アカウントに関連付けられた顧客の名前。
予定配送日	指定された配送先住所に送信される資産の予定配送日。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 一意の番号を持つ受信資産注文が作成されます。
- 受信資産注文ライン タブが作成されます。

次のタスク

受信資産注文ラインを作成する

受信資産注文ラインを作成する

受信資産注文に含まれるすべての資産に対して受信資産注文ラインを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

このタスクについて

受信資産注文ラインを完了と見なすには、そのすべてのタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] になっている必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新しい受信資産注文ラインフォームを作成

Field (フィールド)	説明
番号	受信資産オーダラインの一意の番号
受信資産注文	この注文番号ラインに関連付けられている受信資産注文の一意の番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
モデル	DaaSプロバイダーによって要求された資産のモデル。
数量	資産の数量。 このフィールドは自動的に [1] に設定されます。
ステージ	受信資産注文のステータス。 このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	受信資産オーダラインの作業を担当する個人。
資産	モデルに一致して選択された資産。 このフィールドは、資産選択タスクで資産を選択すると自動的に入力されます。

8. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 要求された資産に対して、一意の番号を持つ受信資産注文ラインが作成されます。
- [ステージ] フィールドは [選択] に設定されます。
- [資産タスク] タブが作成され、タスクタイプが [資産選択タスク] である一意の資産タスク番号が表示されます。

次のタスク

DaaS プロバイダーによって指定されたモデルに一致する DaaS 資産を選択します。

資産を選択

資産選択タスクを使用して、DaaSプロバイダーによって指定されたモデルに一致するDaaS資産を選択します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. 受信資産注文番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [タスクタイプ] が [資産選択タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

資産タスク詳細フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	資産選択タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
期日	このタスクの予定完了日。
倉庫	資産が割り当てられている指定のストックルーム。
モデル	このフィールドには、受信資産オーダラインの作成時に提供されたモデルの詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「受信資産注文ラインを作成する」を参照してください。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [選択] に設定されます。
状況	資産選択タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産選択タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産選択タスクの作業を担当する個人。
資産	次の条件の 1 つ以上を満たす DaaS 資産のリスト。 ◦ ステータスが [在庫あり] で [サブステート] が [利用可能] の資産 ◦ 受信資産注文の作成時に **[DaaS** アカウント] フィールドでアカウントが選択されます。 ◦ 受信資産注文の作成中は、[**DaaS** アカウント] フィールドが空です。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ (プライベート)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 資産選択タスクが完了してリストを更新すると、タスクが作成され、タスクタイプが 資産集荷タスクとして一意の資産タスク番号が表示されます。
- 資産選択タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。
- 入庫資産注文ラインの ステージ フィールドが ピッキング に設定されている。

次のタスク

選択した資産を選択

選択した資産を選択

資産集荷タスクを使用して、選択した資産をピッキングします。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. 受信資産注文番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [資産集荷タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

選択フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	資産集荷タスクの一意の番号。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [ピック] に設定されます。
資産注文	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
倉庫	資産が割り当てられている指定のストックルーム。
資産	資産選択タスクで選択された資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
状況	資産集荷タスクのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産集荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産集荷タスクの作業を担当する個人。
期日	このタスクの予定完了日。
返品場所	資産を配送する必要がある場所。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ (プライベート)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産集荷タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが 資産準備タスクとして一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- 資産集荷タスクの **[State**] フィールドが **[Closed Complete**] に設定されている。
- 受信資産注文ラインの ステージ フィールドが 準備 に設定されている。

次のタスク

資産準備タスクを使用して、選択した資産を準備します。

選択した資産を準備

チェックリストを調べて選択した資産を準備し、資産準備タスクを使用して欠陥がないか確認します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager および inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. 受信資産注文番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [資産準備タスク] である資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フォームを準備

Field (フィールド)	説明
番号	資産準備タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
期日	このタスクの予定完了日。
倉庫	資産が割り当てられている指定のストックルーム。
モデル	このフィールドには、受信資産オーダラインの作成時に提供されたモデルの詳細が自動的に入力されます。詳細については、「受信資産注文ラインを作成する」を参照してください。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [準備] に設定されます。
状況	資産準備タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産準備タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産準備タスクの作業を担当するユーザー。
資産	資産選択タスクで選択された資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ (プライベート)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産準備タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが 資産出荷タスクである一意の資産タスク番号を表示する別のタスクが作成されます。
- 資産準備タスクの **[State**] フィールドが [**Closed Complete**] に設定されている。
- 受信資産注文ラインの ステージ フィールドが出荷 に設定されている。

次のタスク

準備済み資産の出荷

準備済み資産の出荷

準備された資産を出荷し、資産出荷タスクを使用して出荷の詳細をキャプチャします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager および inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. 受信資産注文番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. タスクタイプが 資産出荷タスクである資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

出荷フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	資産出荷タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
期日	このタスクの予定完了日。
資産	資産選択タスクで選択された資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
配送業者	顧客への資産の発送を担当する組織。たとえば、FedEx などです。
配送元	資産を出荷する元の場所。
出荷日	顧客に資産を配送するための出荷日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [出荷] に設定されます。
状況	資産出荷タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産出荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	資産出荷タスクの作業を担当する個人。
追跡番号	資産の出荷のトラッキング番号または参照番号。
配送先	資産の出荷先。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
出荷注文	出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルで作成された出荷レコードへの参照。 このフィールドは、資産出荷タスクがクローズされると自動的に入力されます。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ (プライベート)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 資産出荷タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが [受領タスク] の一意の資産タスク番号が表示された別のタスクが作成されます。
- 資産出荷タスクの **[State**] フィールドが **[Closed Complete**] に設定されている。
- 受信資産注文ラインの ステージ フィールドが 確認 の受領 に設定されている。

次のタスク

出荷済み資産の受領

出荷済み資産の受領

資産の出荷が完了したら、受領タスクを使用して資産の受領を確認します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [受信資産注文] タブを選択します。
4. 受信資産の注文番号を選択します。
5. [受信資産注文ライン] タブを選択します。
6. 受信資産注文番号を選択します。
7. [資産タスク] タブを選択します。
8. [タスクタイプ] が [受領タスク] の資産タスク番号を選択します。
9. フォームのフィールドに入力します。

確認フォームを受け取る

Field (フィールド)	説明
番号	受信タスクの一意の番号。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
期日	このタスクの予定完了日。
資産	資産選択タスクで選択された資産。詳細については、「資産を選択」を参照してください。
資産受領済み	資産の受領を確認するオプション。 Values : ◦ はい:資産は顧客によって受領されます。 ◦ いいえ:資産は顧客によって受領されていません。 注: このタスクをクローズするには、[はい] を選択する必要があります。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [確認を受信] に設定されます。
状況	受領タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	確認の受領タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	受領タスクの担当者。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ (プライベート)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

10. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 受領タスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。
- 受信資産注文ラインの [ステージ] フィールドが [完了] に設定されている。
- 受信資産注文の [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。

DaaS資産の RMA 応答注文の管理

ハードウェア資産の返品または交換の要求に続いて、 DaaS プロバイダーインターフェイスで RMA 応答注文を作成することで、返品許可 (RMA) 注文がこの要求に関連付けられます。

RMA 注文ワークフローの次のタスクを完了すると、RMA 応答注文が完了し、成功します。

1. RMA 応答注文を作成する
2. RMA 応答注文ラインを作成する

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. RMA 資産を査定する
4. 顧客サイトへの訪問をスケジュールするまたはDaaSプロバイダーに資産を出荷

> 注: 顧客サイトへの訪問をスケジュールするとき、または RMA 資産を評価するために DaaS プロバイダーに資産を出荷するときに選択した値に従って、次の手順に従います。

RMA 応答注文を作成する

返品許可 (RMA) 応答注文を作成して、資産の RMA 要求を関連付けます。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

このタスクについて

RMA 応答注文を完了と見なすには、そのすべての RMA 応答注文明細行が [完了] ステージに到達する必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新規 **RMA** 応答を作成 **(Create New RMA response)]** フォーム

番号	RMA 応答オーダーの一意の番号。
外部 RMA 番号	ソースの追跡に役立つ、顧客提供の RMA 要求の参照。
DaaS アカウント	顧客の関連付けられた DaaS アカウント。
連絡先メール	RMA 要求を開始した顧客のメール。
配送先	RMA 要求に関連付けられた顧客の住所。
状況	RMA 応答注文のステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
要求元	資産を要求した、 DaaS アカウントに関連付けられた顧客の名前。
作成者	指定された配送先住所に送信される資産の予定配送日。
顧客携帯電話番号	RMA 要求を開始した顧客の携帯電話番号。
デバイスの場所	現在動作中のデバイスの物理的な場所。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RMA の理由	顧客から提供された RMA 要求の作成理由。

6. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 一意の番号を持つ RMA 応答注文が作成されます。
- **[RMA** 応答オーダーライン] タブが表示されます。

次のタスク

RMA 応答注文ラインを作成する.

RMA 応答注文ラインを作成する

RMA 応答注文のすべての資産に対して、返品許可 (RMA) 応答注文ラインを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

このタスクについて

RMA 応答注文明細行を完了と見なすには、そのすべてのタスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] である必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [新規] を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

新規 **RMA** 応答オーダーラインフォームの作成

Field (フィールド)	説明
番号	RMA 応答注文ラインの一意の番号。
親	この注文番号ラインに関連付けられている RMA 応答注文の一意の番号。
モデル	顧客が RMA 要求を開始した資産のモデル。
数量	資産の数量。 このフィールドは自動的に `[1]` に設定されます。
ステージ	RMA 応答注文ラインのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	RMA 応答注文ラインの作業を担当する個人。
資産	使用中で顧客にアサインされている資産のリスト。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [保存] を選択します。

タスクの結果

- 一意の番号を持つ RMA 応答注文ラインが作成されます。
- [**Stage** (ステージ)] フィールドが [`Assess`（評価)] に設定されている。
- [資産タスク] タブが作成され、一意の資産タスク番号とタスクタイプが **RMA** アセスメントとして表示されます。

次のタスク

RMA 資産を査定する.

RMA 資産を査定する

オンサイトまたはオフサイトのアセスメント手順を使用して、返品許可 (RMA) 資産を評価します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が **RMA** アセスメントである資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

RMA アセスメントフォーム

Field (フィールド)	説明
番号	RMA アセスメントタスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
期日	このタスクの予定完了日。
資産	関連する RMA 応答注文ラインの作成時に選択される資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
アセスメントアクション	RMA 資産について従うべきアセスメント手順。 ◦ オンサイト: DaaS プロバイダーの担当者がお客様の施設を訪問し、資産を評価します。 ◦ オフサイト:資産はアセスメントのために DaaS プロバイダーサイトに到着します。 ◦ 拒否:RMA 要求が却下されました。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に RMA アセスメントに設定されます。
状況	RMA アセスメントタスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	RMA アセスメントタスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	RMA アセスメントタスクの作業を担当する個人。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[アセスメントアクション] フィールドで選択した値に従って変化します。
  - [現地] を選択すると、リストを更新した後に、タスクタイプが [スケジュール] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [スケジュール] に設定されている。
  - [オフサイト] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [出荷] に設定されている。
  - 拒否 を選択すると、RMA 応答注文明細行は 完了してクローズ に設定されます。オープンな RMA 応答注文ラインがなくなると、RMA 応答注文はクローズされます。
- RMA アセスメントタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
顧客サイトへの訪問をスケジュールするまたはDaaSプロバイダーに資産を出荷

顧客サイトへの訪問をスケジュールする

DaaSプロバイダーの担当者による顧客の場所への訪問をスケジュールします。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が [スケジュール] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

スケジュールタスクフォーム

Field (フィールド)	説明
番号	スケジュールタスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。
期日	このタスクの予定完了日。
予定日	DaaSプロバイダーの担当者が顧客の場所を訪問する予定日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [スケジュール] に設定されます。
状況	スケジュールタスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	スケジュールタスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	スケジュールタスクの作業を担当する個人。
資産	RMA 応答注文ラインの作成時に選択される資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- スケジュールタスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが **RMA** 資産の評価である一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- スケジュールタスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。
- 受信資産注文ラインの [ステージ] フィールドが [評価] に設定されている。

次のタスク

RMA 資産を評価する

RMA 資産を評価する

顧客の場所で予定日に返品許可 (RMA) 資産を評価します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が **[RMA** 資産を評価] である資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

RMA 資産フォームを評価

Field (フィールド)	説明
番号	RMA 資産評価タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。
期日	このタスクの予定完了日。
状況	RMA 資産評価タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
アサイン先グループ	RMA 資産評価タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
評価結果	◦ 修理可能:資産は修復可能です。 ◦ 置換:資産は修復できず、古い資産は DaaS プロバイダーに返却されます。同じモデルの新しい資産を要求するために、新しい受信資産注文が作成されます。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に RMA 資産の評価に設定されます。
Assigned to (アサイン先)	RMA 資産評価タスクの作業を担当する個人。
資産	RMA 応答注文ラインの作成時に選択される資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[評価結果] フィールドで選択した値に従って変化します。
  - [修理可能] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [資産の修理] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [修理] に設定されている。
  - [置換] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [入庫出荷] に設定されている。新しい受信資産注文が作成されます。
- RMA 資産の評価タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。

次のタスク

RMA 資産を修理するまたはDaaSプロバイダーに資産を出荷

RMA 資産を修理する

返品許可 (RMA) 資産が修理されたか、修理不可能と見なされたかを示します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が [資産の修理] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

[資産の修理] フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	資産修復タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。
状況	資産修復タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産修復タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [資産の修理] に設定されます。
倉庫	このフィールドには、受領タスクで指定したストックルームの詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「資産を受領」を参照してください。 **注:** このフィールドには、オンサイトアセスメントフローの情報は含まれません。アセスメントアクションの選択の詳細については、「RMA 資産を査定する」を参照してください。
期日	このタスクの予定完了日。
Assigned to (アサイン先)	資産の修理タスクの担当者。
修復結果	返品許可 (RMA) 資産が修理されたか、修理不可能と見なされたかを示します。 ◦ 修復済み ◦ 修復不能
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[修理結果] フィールドで選択した値に従って変化します。
  - [修理済み] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [資産を評価] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [品質チェック] に設定されている。
  - [修理不能] を選択すると、リストを更新した後にタスクが作成され、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号が表示されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [入庫出荷] に設定されている。新しい受信資産注文が作成されます。
- 資産の修理タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。

次のタスク

修復された資産の評価またはDaaSプロバイダーに資産を出荷

修復された資産の評価

修復された資産のステータスを評価し、評価結果を再展開可能または廃棄対象として識別済みとして示します。

始める前に

必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が [資産を評価] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

資産フォームを評価

Field (フィールド)	説明
番号	資産評価タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。
状況	資産評価タスクのステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	資産評価タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
評価結果	資産を再展開または廃棄する必要があるかどうかを示します。 ◦ 再展開可能:資産は正常に機能しています。 ◦ 廃棄対象: 資産は特定の品質チェックに合格していないため、顧客に返品できません。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [資産を評価] に設定されます。
倉庫	このフィールドには、受領タスクで指定したストックルームの詳細が自動的に入力されます。 詳細については、「資産を受領」を参照してください。 注: このフィールドには、オンサイトアセスメントフローの情報は含まれません。アセスメントアクションの選択の詳細については、「RMA 資産を査定する」を参照してください。
期日	このタスクの予定完了日。
Assigned to (アサイン先)	資産の修理タスクの担当者。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

タスク完了の結果は、[評価結果] フィールドで選択した値に従って変化します。

- [再展開可能] を選択すると、評価タスクの [ステータス] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [完了] に設定されます。
- [廃棄対象] を選択すると、リストを更新した後に、タスクタイプが [出荷] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [入庫出荷] に設定されている。新しい受信資産注文が作成されます。

次のタスク

DaaSプロバイダーに資産を出荷

DaaSプロバイダーに資産を出荷

資産を DaaS プロバイダーに返却し、出荷タスクを使用して出荷の詳細を記録します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が [出荷] の資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

資産タスク詳細フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	出荷タスクの一意の番号。
資産注文明細	このタスクに関連付けられた受信資産注文番号。
期日	このタスクの予定完了日。
資産	関連する RMA 応答注文ラインの作成時に選択される資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
配送業者	DaaSプロバイダーへの資産の出荷を担当する組織。たとえば、FedEx などです。
配送元	資産を出荷する元の場所。
出荷日	DaaSプロバイダーに資産を配送するための出荷日。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [出荷] に設定されます。
状況	出荷タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	出荷タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	出荷タスクの作業を担当する個人。
追跡番号	資産の出荷のトラッキング番号または参照番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
配送先	資産の出荷先。
出荷注文	出荷 [sn_itam_common_shipment] テーブルで作成された出荷レコードへの参照。 このフィールドは、出荷タスクがクローズされると自動的に入力されます。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- 出荷タスクが完了してリストを更新すると、タスクタイプが [資産の受領] の一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。
- 出荷情報を含む [出荷資産] タブが表示されます。
- 出荷タスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されます。
- RMA 応答注文明細行の [ステージ] フィールドが [受領] に設定されている。

次のタスク
資産を受領

資産を受領

DaaSプロバイダーへの資産の出荷が完了したら、受領タスクを使用して資産の受領を確認します。

始める前に
必要なロール:sn_daas_ham.daas_asset_manager または inventory_user

- からDaaSアプリケーションのハードウェア資産管理をインストールする ServiceNow Store .
- からの ハードウェア資産管理 アプリケーションのインストール ServiceNow Store .

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース.
2. **[DaaS** プロバイダー] ビューを選択します。
3. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
4. RMA 注文番号を選択します。
5. **[RMA** 応答注文ライン] タブを選択します。
6. [タスクタイプ] が [資産の受領] である資産タスク番号を選択します。
7. フォームのフィールドに入力します。

[資産を受領] フォーム

Field (フィールド)	説明
番号	資産受領タスクの一意の番号。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	説明
資産注文明細	このタスクに関連付けられた RMA 応答注文ライン番号。
期日	このタスクの予定完了日。
資産	関連する RMA 応答注文ラインの作成時に選択される資産。 詳細については、「RMA 応答注文ラインを作成する」を参照してください。
資産受領済み	資産の受領を確認するオプション。 Values : ◦ はい:資産は DaaS プロバイダーによって受領されます。 ◦ いいえ:資産は DaaS プロバイダーによって受領されません。 注: このタスクをクローズするには、[はい] を選択する必要があります。
タスク名	現在のタスクの名前。 このフィールドは自動的に [確認を受信] に設定されます。
状況	受領タスクのステータス。 このフィールドは自動的に [オープン] に設定されます。
アサイン先グループ	確認の受信タスクの作業を担当する個人のアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	受領タスクの担当者。
倉庫	タスクの短い説明。
簡単な説明	タスクの詳細な説明。
Description (説明)	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。
作業メモ	受信タスクの一意の番号。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- タスク完了の結果は、[資産受領済み] フィールドで選択した値に応じて変化します。
  - 資産のオンサイト アセスメントに はい を選択した場合、受領タスクの 状態 フィールドは 完了してクローズ に設定されます。受信資産注文ラインの [ステージ] フィールドが [完了] に設定されている。受信資産注文の [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。
  - 資産のオフサイトアセスメントに [はい] を選択すると、リストを更新した後に、タスクタイプが **RMA** 資産を評価 として一意の資産タスク番号を表示するタスクが作成されます。受信資産注文ラインの [ステージ] フィールドが [評価] に設定されている。
- 資産の受領 タスクの [状態] フィールドが [完了してクローズ] に設定されている。

次のタスク

RMA 資産を評価する

DaaS 参照

参照トピックは、サービスとしての資産 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ハードウェア資産管理 **for DaaS**と一緒にインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロールなど) が、 ハードウェア資産管理 for DaaS (com.sn_daas_ham) プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
DaaS マネージャー [sn_daas_ham.daas_asset_manager]	• 受信資産注文や返品許可 (RMA) 注文などの重要なアクション、レポート、要求へのアクセスと実行を含む、 DaaSのあらゆる側面を管理します。 • 資産を DaaS 資産としてマークします。	資産マネージャー [asset]

インストールされるテーブル

テーブル	**Description** (説明)
RMA 応答 [sn_daas_common_rma_response_order]	複数の注文明細行を含む返品承認 (RMA) 要求に関する情報 (元のアカウントや配送先などの詳細を含む)。
RMA 応答注文ライン [sn_daas_common_rma_response_orderline]	RMA の作成に関連付けられたモデルと資産の情報。
受信資産注文 [sn_itam_common_inbound_asset_order]	元のアカウントや配送先など、複数の注文ラインがある資産要求に関する情報。
受信資産注文ライン [sn_itam_common_inbound_asset_orderline]	資産が要求されているモデルに関する情報。

自動翻訳

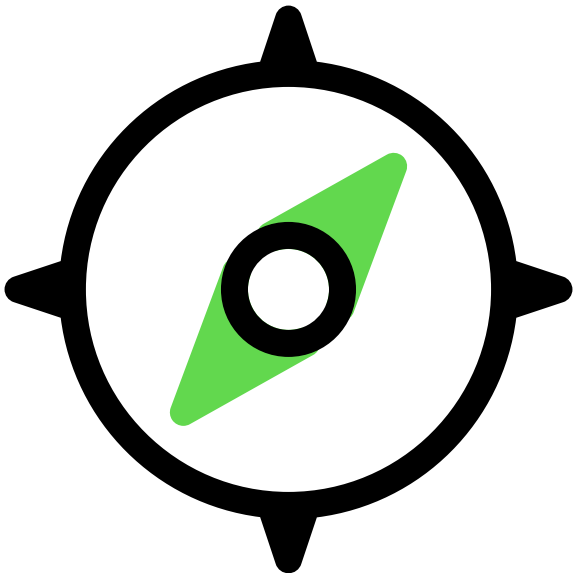
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理

資産管理 アプリケーションで、情報テクノロジー資産の物理的、技術的、契約上、財務上の側面を統合します。資産管理 は、会社の財産の財務追跡に重点を置いています。

開始するには

探索



資産管理 アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

トラブルシューティングとサポート

- で質問する/質問に答える 資産管理 ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

資産管理 ワークスペース の探索

資産管理 アプリケーションのユーザーインターフェイスが拡張され、よりユーザーフレンドリーで直感的になり、ハードウェアのインストールをより適切に管理できるようになりました。

アセットワークスペースと呼ばれる資産管理新しいユーザーインターフェースを使用することも、クラシック資産管理を引き続き使用することもできます。

資産管理 アプリケーションのコア機能は、両方のユーザーインターフェイスで同じです。

Vancouver リリースから新しく 資産管理 アプリケーションを使用している場合は、資産管理 ワークスペースがデフォルトでインストールされます。

注: デフォルトでは、 資産管理 ワークスペース は zBoot インスタンスにのみインストールされ、最新バージョンにアップグレードされたインスタンスにはインストールされません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 ワークスペース の使用

資産ワークスペースは、資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。ビューにより、ストックルームのダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- ハードウェア資産の概要
- インベントリビュー
- 資産一覧ビュー
- モデル管理ビュー
- 契約管理ビュー

Vancouver リリースにアップグレードする場合、資産ワークスペースを使用するには、資産管理 ワークスペース (sn_itam_workspace) プラグインを有効にする必要があります。

注: 資産管理 ワークスペースに移行した後も、資産管理 クラシックを使用できます。詳細については、「 資産管理 」を参照してください。

ハードウェア資産の概要

最新化された分かりやすいハードウェア資産の概要ビューを使用して、資産管理エクスペリエンスを向上させます。ハードウェア資産の概要はシンプルで直感的な環境であり、複雑さを軽減することでアプリケーションをより効果的に使用できるようにします。

ハードウェア資産の概要ビューを使用して、次のことを行います。

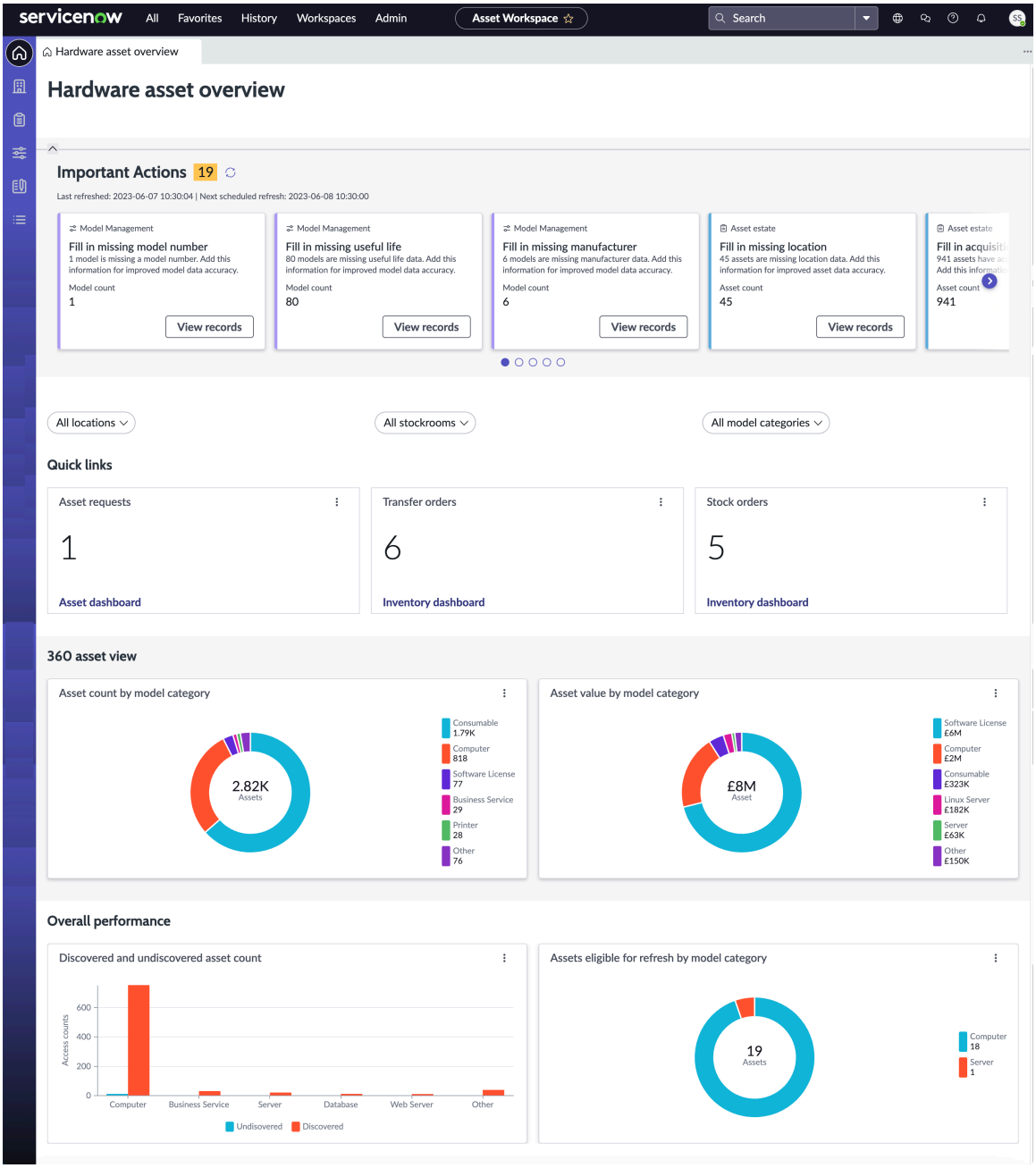
- 資産に発注書番号、モデル番号、資産機能、メーカーが欠落している場合などの不一致に対処します。
- 資産要求、転送注文、在庫注文などの資産機能の特定のダッシュボードに移動します。
- モデルカテゴリ別の資産数とモデルカテゴリ別の資産価値を表示する [360 度資産ビュー (360 asset view)] セクションを表示します。
- 検出済みおよび未検出の資産数とモデルカテゴリ別の更新対象資産を表示する [全体的なパフォーマンス] セクションを表示します。

ウィジェットまたはチャートを選択して詳細情報を表示し、適切なアクションを実行します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデル] カテゴリリストを使用して、結果をフィルタリングすることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要



クイックリンク

ウィジェットまたはチャート	説明
資産要求	アイテムのモデルがハードウェア、消耗品、またはバンドルである要求アイテムの数。
転送注文	アクティブな転送注文の数。
在庫注文	要求されたハードウェアインベントリ在庫オーダーアイテムの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

360 度資産ビュー

ウィジェットまたはチャート	説明
モデルカテゴリ別の資産数	消耗品、コンピューター、モバイルデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェットまたはチャート	説明
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。未検出資産とは、まったく検出されなかった資産、または 1 か月以内に検出されなかった資産のことです。
モデルカテゴリ別の更新対象資産	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード

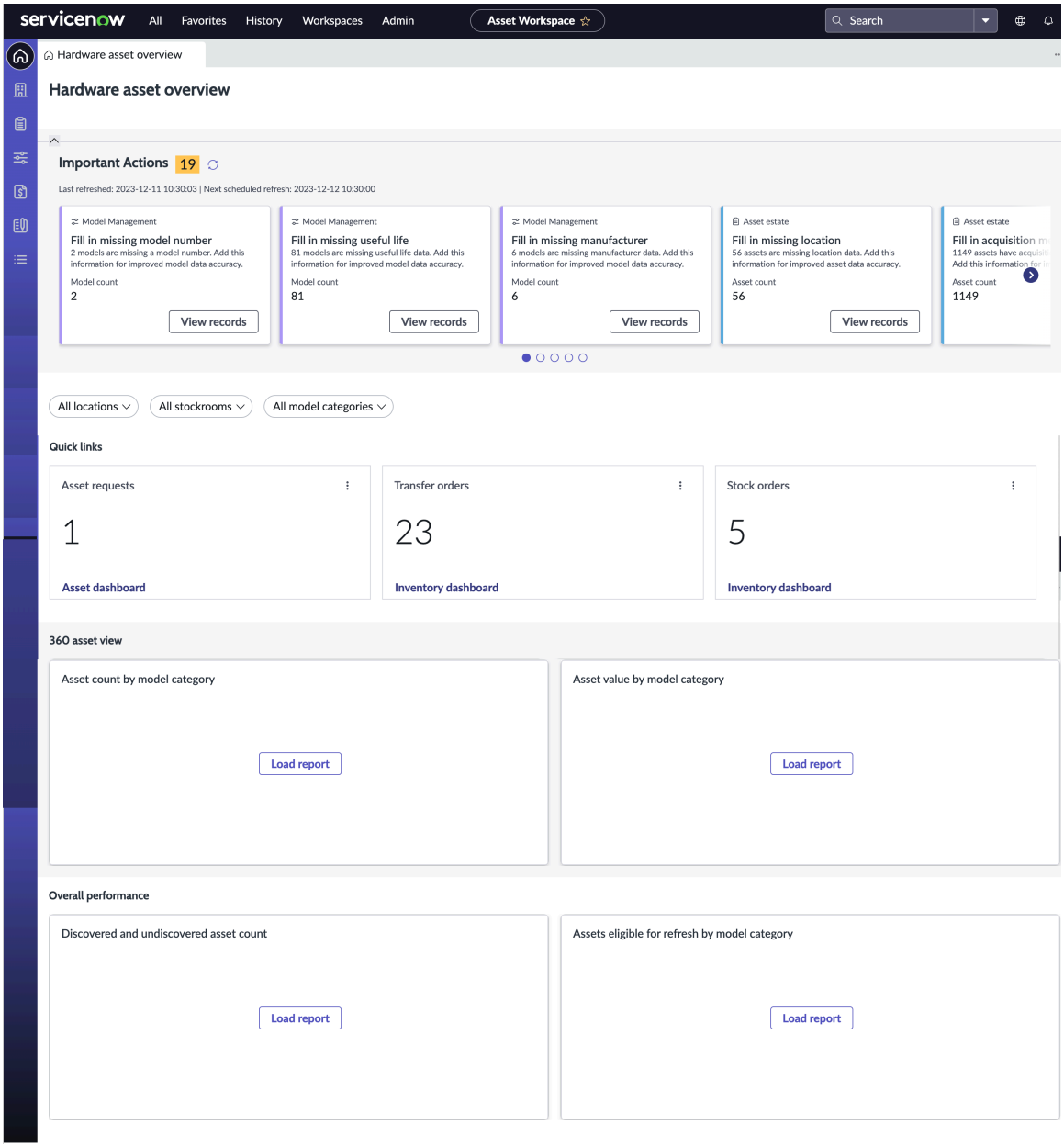
膨大な量の資産レコードをページと一緒にロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。この方法により、ハードウェア資産の概要ページのロード時間を短縮できます。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_overview_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートのロード] オプションを使用してレポートを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ハードウェア資産の概要に関するレポートのロード



インベントリビュー

資産ワークスペースのインベントリビューを使用して、ストックルームや転送注文などのインベントリ関連の機能を表示および管理します。

インベントリビューでは、アサイン先グループ、ストックルーム名、マネージャー、タイプなど、不足しているストックルームの詳細を入力するためのアクションにアクセスできます。

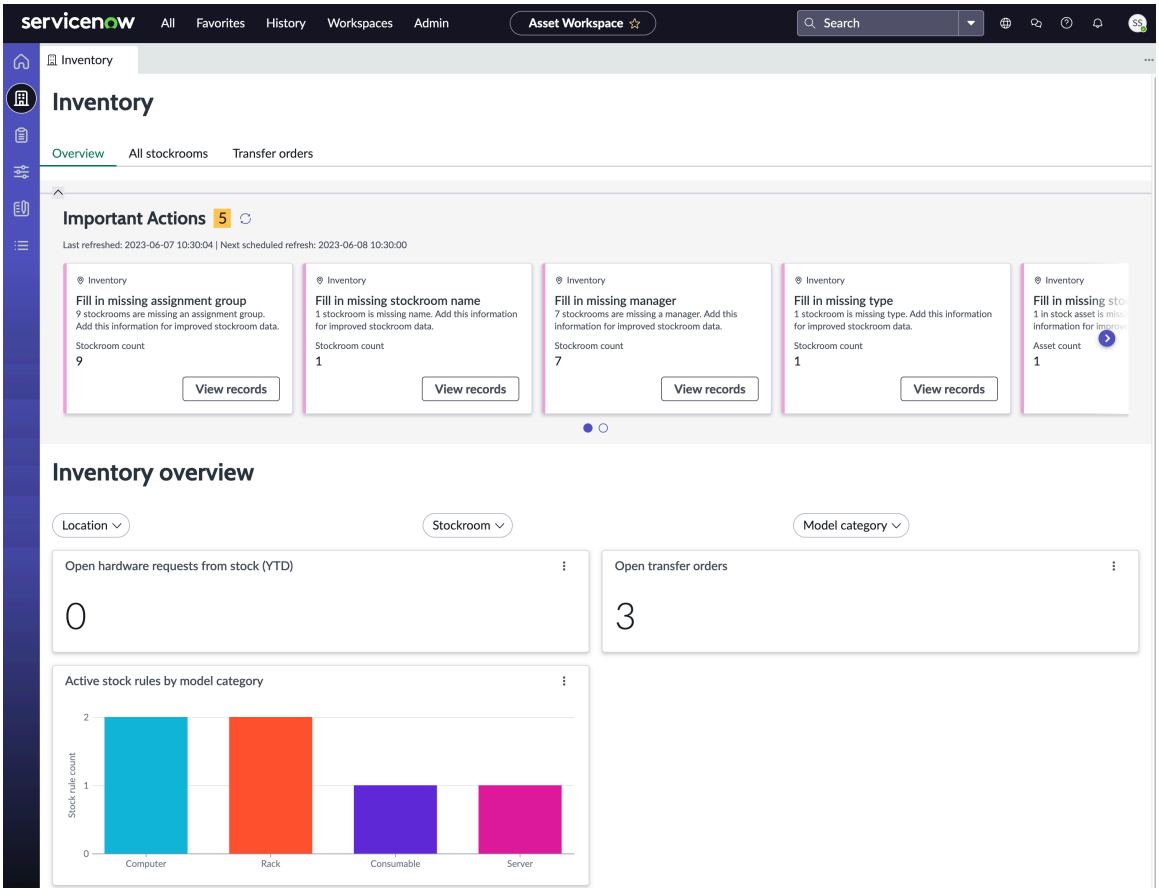
ウィジェットまたはグラフを選択して詳細を表示します。[場所]、[ストックルーム]、[モデルカテゴリ]、および [ドメイン] フィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。

注: ドメインフィルターは、ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインとドメインセパレーション (プラグインcom.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にした場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



在庫の概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
オープン中の在庫からのハードウェア要求 (年初来)	今年中に納入され作成された調達タイプの転送注文の数。
転送注文を開く	キャンセル済みまたは未配達の転送注文の数。
モデルカテゴリ別のアクティブな在庫ルール	モデルカテゴリ別にグループ化されたすべてのアクティブな在庫ルール。

資産一覧ビュー

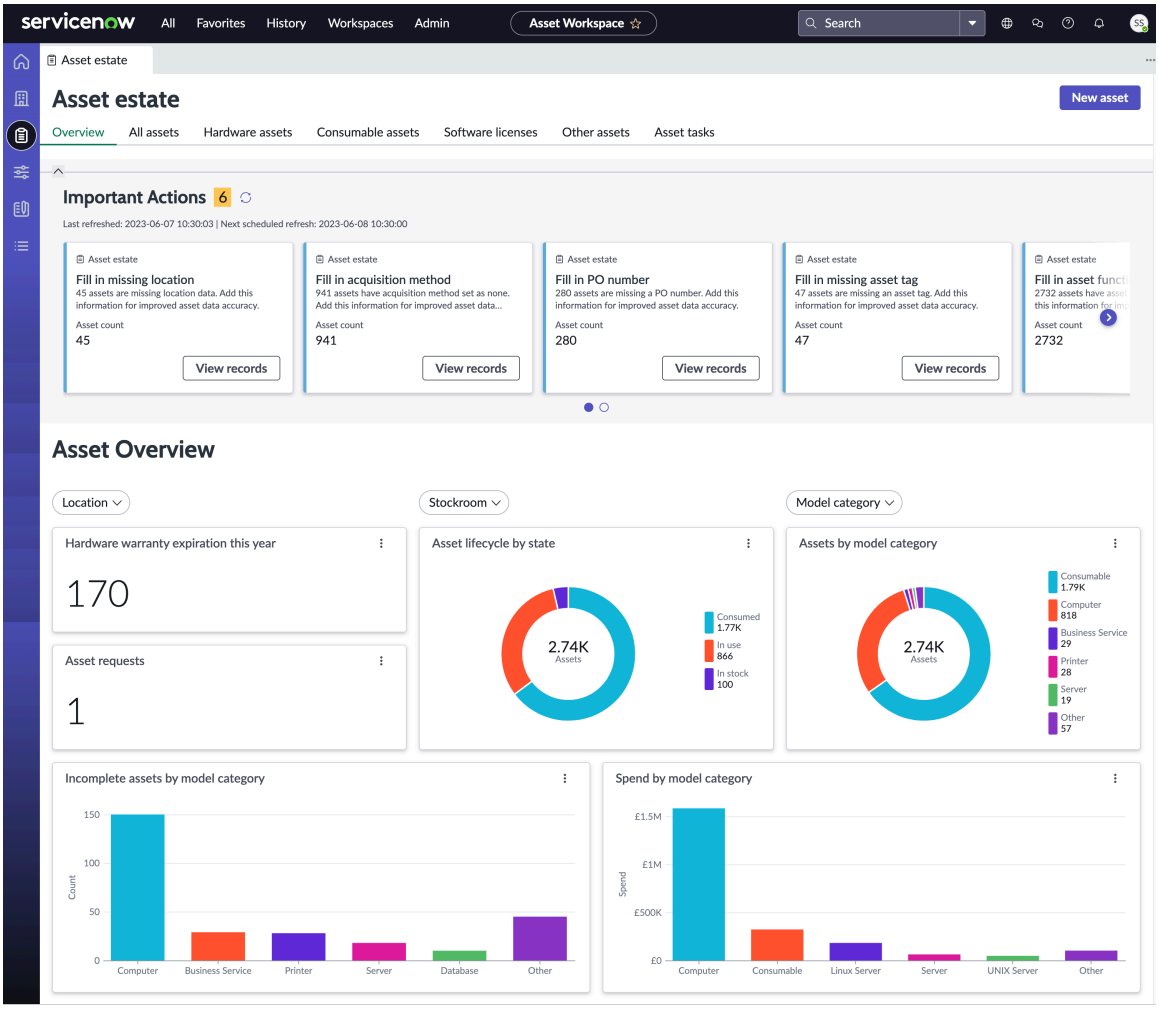
資産ワークスペースの資産一覧ビューを使用して、資産を作成、表示、変更し、資産の機能と通知を管理します。

注: ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) またはソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合、ソフトウェアライセンスタブは非表示になります。このソフトウェアライセンスタブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産一覧ビュー



自動翻訳

資産の概要

チャートまたはウィジェット	説明
今年有効期限が切れるハードウェア保証	今年期限切れになるハードウェアと消耗品資産の数。
資産要求	カタログ内のハードウェア、消耗品、およびバンドル要求の数。
ステータス別の資産ライフサイクル	廃止、使用中、在庫など、ライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別資産	ソフトウェアライセンス、消耗品、サーバーなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。
不完全資産 (モデルカテゴリ別)	発注書番号、発注明細、受領明細のない資産モデル。
モデルカテゴリ別の支出	モデルカテゴリ別にグループ化された資産コスト。

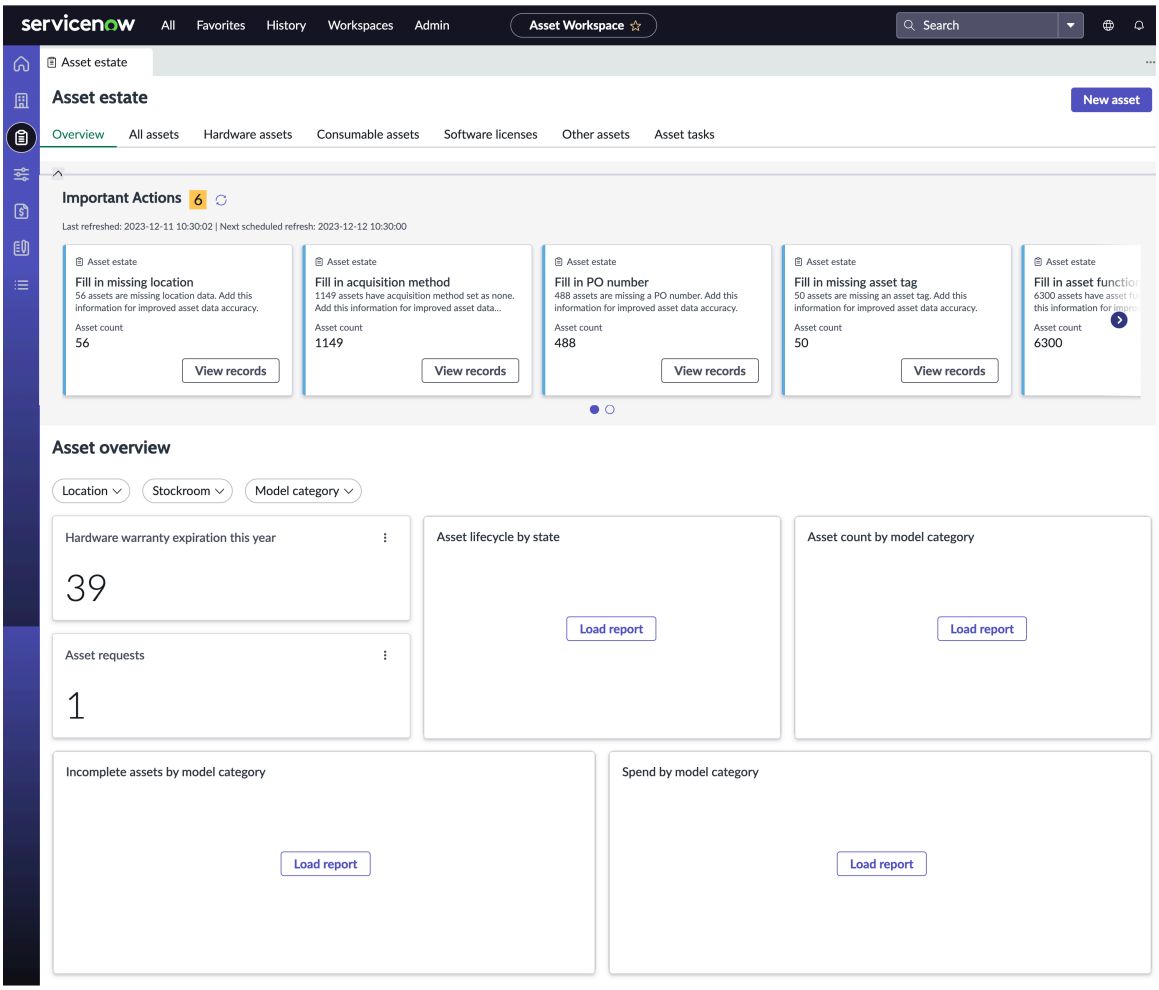
資産一覧ビューでレポートをロード

膨大な量の資産レコードをページと一緒にロードする代わりに、オンデマンドでフェッチするチャートまたはウィジェットをロードできます。このアプローチにより、資産一覧ビューのロード時間を短縮できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ *sn_itam_workspace.asset_estate_enable_lazy_loading* には、表示するレポートを選択的にロードするか、ページと同時にレポートをロードするかのオプションがあります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **False** に設定されています。ServiceNowインスタンスでこのシステムプロパティが有効になっている場合は、[レポートのロード] オプションを使用してチャートまたはウィジェットを表示できます。

資産一覧ビューでレポートをロード



インストールベースアイテム (IBI) 資産をレポートから除外

サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

デフォルトでは、資産一覧ビューのレポートと重要なアクションには、資産 [alm_asset] テーブル内のすべての資産が含まれます。ただし、レポートと重要なアクションカードから IBI 資産をフィルタリングすることはできます。IBI 資産をフィルタリングするために必要な構成の詳細については、Now Support ナレッジベースの記事「レポートからの販売済み製品の除外」および「資産ワークスペースの重要なアクション [KB1584331]」を参照してください

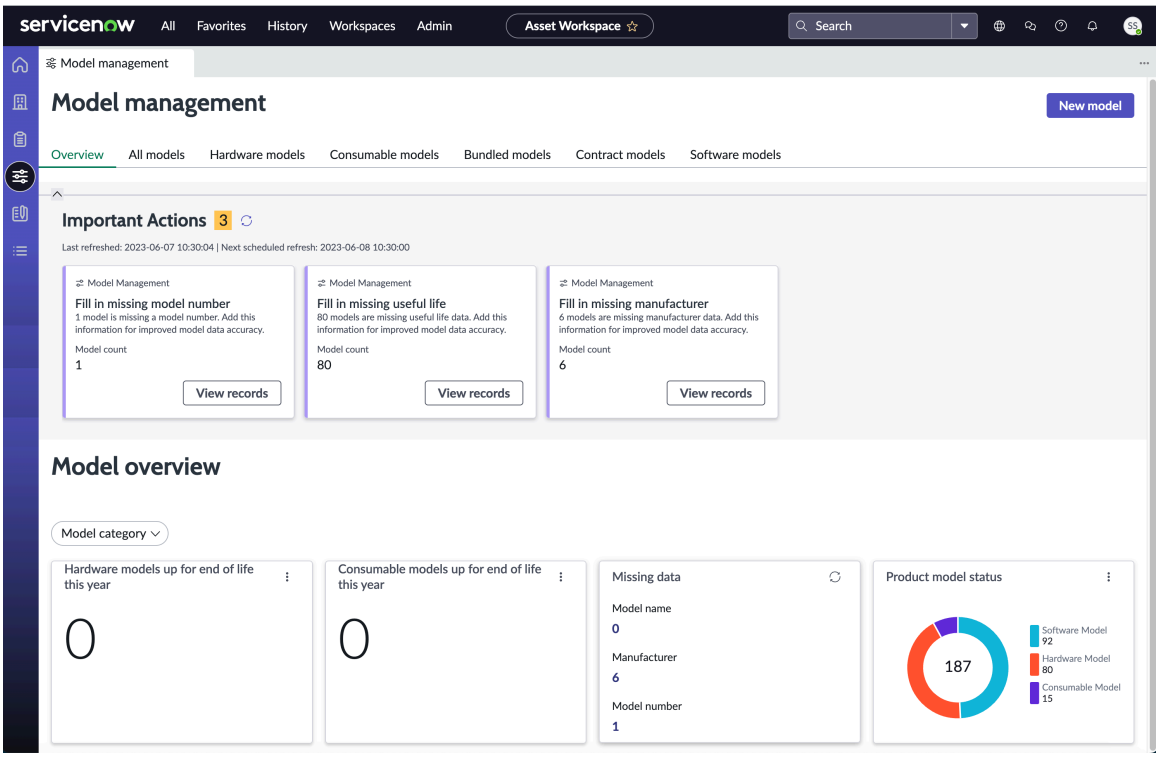
モデル管理ビュー

資産ワークスペースの [モデル管理] ビューを使用して、モデルの作成または変更、提供終了間近のハードウェアや消耗品モデルなどの資産モデル関連機能の表示と管理を行います。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ソフトウェア資産管理 (com.snc.software_asset_management) またはソフトウェア資産管理プロ (com.snc.pa.samp) がアクティブな場合、ソフトウェアモデルタブは非表示になります。この [ソフトウェアモデル] タブは、ソフトウェア資産ワークスペースで表示できます。

モデル管理ビュー



モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
今年提供終了が迫っているハードウェアモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるハードウェアモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
製品モデルのステータス	モデルのステータスに基づくハードウェア、消耗品、およびソフトウェアモデルの現在の数。

契約管理ビュー

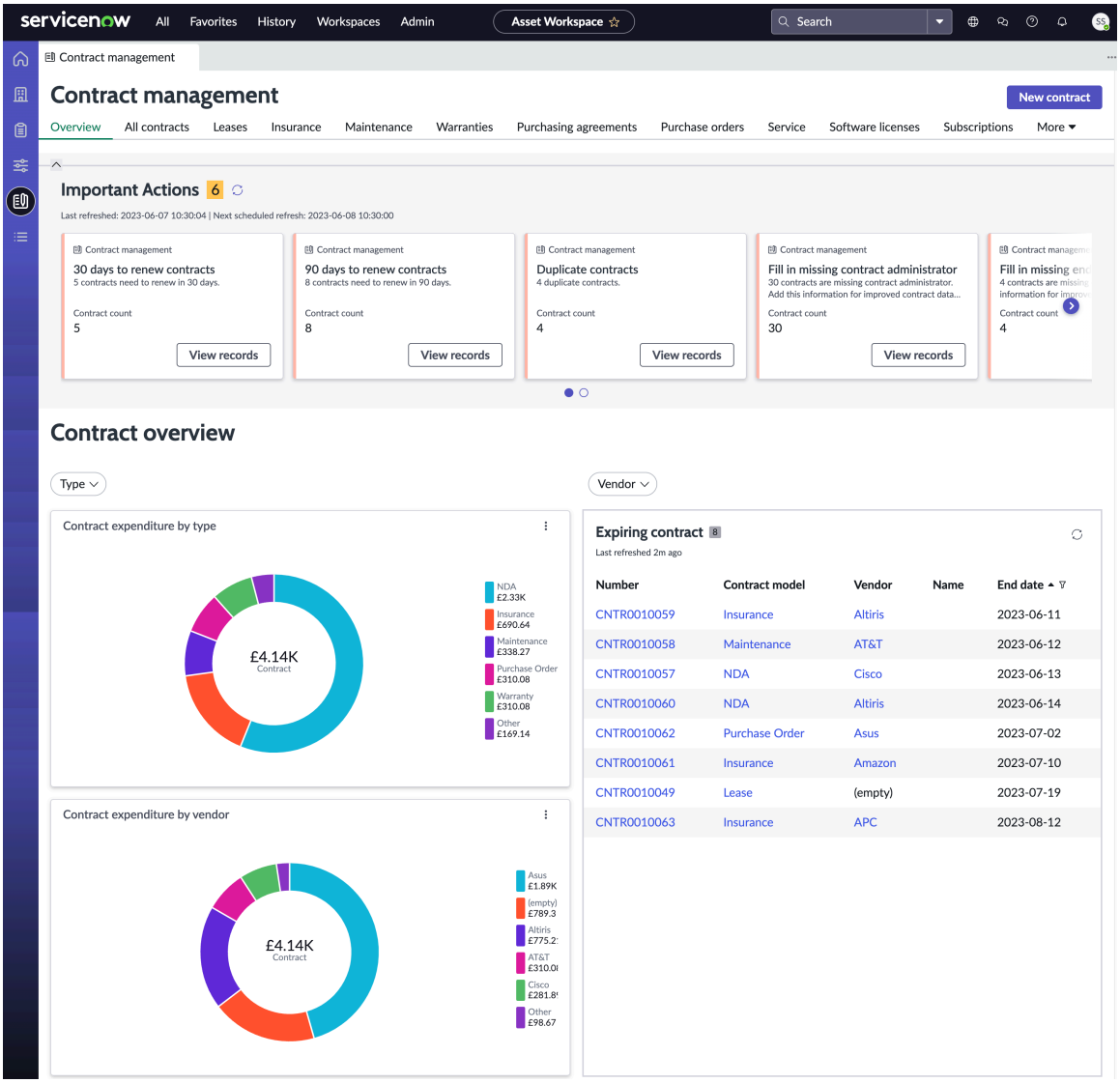
資産ワークスペースの [契約管理] ビューを使用して、契約番号、契約の開始日と終了日、契約条件ステートメントなどの契約の詳細を表示および管理します。

契約管理ビューには、契約、タイプおよびベンダー別の契約支出、および期限切れが間近の契約のリストを管理するための重要なアクションが含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約管理ビュー



エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 は、企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理するビジネスアプリケーションです。

エンタープライズ資産管理 アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) アプリケーションの概要

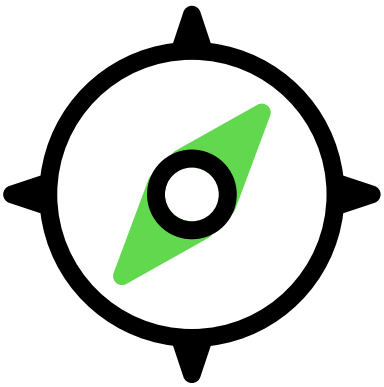
エンタープライズ資産管理アプリケーションは、資産を維持し、コストのかかるダウンタイムを最小限に抑え、資産の使用可能年数を最大化するための包括的なエンドツーエンドのソリューションを提供します。

また、 エンタープライズ資産管理 TechBytesポッドキャストを聴くことができます。 ServiceNow Community .

自動翻訳

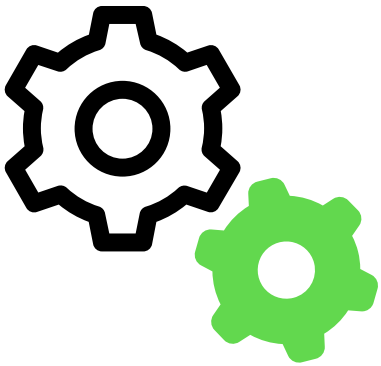
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

探索



Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

Configure (構成)



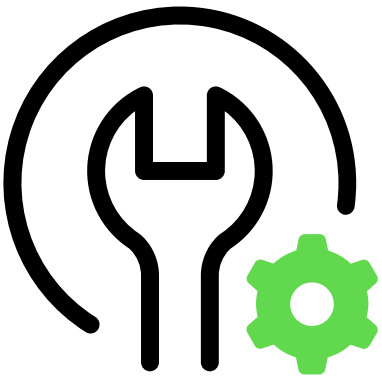
特定のニーズに合わせてエンタープライズ資産管理アプリケーションを構成します。

エンタープライズ資産の管理



エンタープライズ資産を作成および管理します。

エンタープライズモデルを管理する



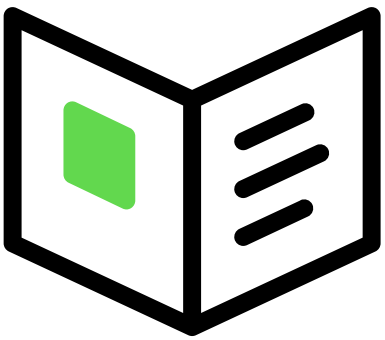
エンタープライズモデルを作成および管理します。

作業指示の管理



エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

参照



フィールドの説明、ドメインセパレーション、および用語に関する詳細を取得します。

自動翻訳

エンタープライズ資産管理 の詳細

エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用して、ダウンタイムを削減し、資産使用率を高め、資産の寿命を延ばすと同時に、資産集約型の組織の運用コストを削減することで、資産の品質とパフォーマンスを最適化します。

エンタープライズ資産管理の概要

エンタープライズ資産管理は、規範的なワークフローを使用して、物理的なビジネス資産のライフサイクル全体を自動化します。エンタープライズ資産管理を使用すると、資産の計画から廃棄まで追跡

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

および管理することで、エンタープライズ資産のリターンを最大化し、資本コストと運用コストを制御し、リスクを軽減できます。

エンタープライズ資産管理ユーザー

ユーザー	Description (説明)
エンタープライズ管理者	業務には、戦略的イニシアチブの計画、資本計画の管理、資産収益の最適化が含まれます。
エンタープライズ資産マネージャー	作業には、ダウンタイムの短縮、資産寿命の延長、在庫の合理化が含まれます。
エンタープライズ技術者	仕事には、生産性の向上と応答時間の改善が含まれます。
医療資産マネージャー	企業の資産マネージャーが実行するタスクと似ていますが、特に医療分野に特化しています。
医療技術者	企業の資産技術者が実行するタスクと似ていますが、特に医療分野に特化しています。
施設資産マネージャー	企業の資産管理者が実行するタスクと似ていますが、特に施設管理部門内です。
施設技術者	エンタープライズ資産技術者が実行するタスクと似ていますが、特に施設管理部門内です。
オペレーショナルテクノロジー資産マネージャー	エンタープライズ資産マネージャーが実行するタスクと似ていますが、特に運用技術セクター内にあります。
オペレーショナルテクノロジー資産技術者	エンタープライズ資産技術者が実行するタスクと似ていますが、特に施設管理部門内です。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) のメリット

メリット	機能	ユーザー
ダッシュボード、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスなど、資産のあらゆる側面を可視化します。	エンタープライズ資産ワークスペース	• エンタープライズアドミニストレーター • エンタープライズ資産マネージャー
医療および施設業界向けにカスタマイズされた独自のワークスペースを使用します。	医療および施設業界向けのパーソナライズされたワークスペース	• 医療資産マネージャー (医療資産ワークスペース用) • 医療資産技術者 (医療資産ワークスペース用) • 施設資産マネージャー (施設資産ワークスペース用) • 設備資産技術者 (施設資産ワークスペース用)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
		• エンタープライズアドミニストレーター • システムアドミニストレーター
資産の所有と管理に関する包括的なコスト分析により、資産価値を最大化します。	の資産総所有コスト (TCO) エンタープライズ資産管理	エンタープライズ資産マネージャー
個別のエンタープライズ資産とリニア資産を追跡、管理、維持します。	Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) のリニア資産	エンタープライズ資産マネージャー
プレイブックを使用して単一および複数の資産をオンボーディングします。	エンタープライズ資産管理向けプレイブック	エンタープライズ資産マネージャー
再利用ワークフローを使用して、エンタープライズ資産のオフボーディングプロセスを簡素化します。	エンタープライズ資産の再利用	エンタープライズ資産マネージャー
リスクレベル別に資産を評価し、色分けされたヒートマップを生成します。	リスクスコアリング	エンタープライズアドミニストレーター
作業指示を使用して、エンタープライズ資産の作業を追跡および管理します。	エンタープライズ資産の作業指示の管理	エンタープライズ資産マネージャー
エンタープライズ資産契約を作成および管理します。	エンタープライズ資産の契約の作成と管理	• エンタープライズアドミニストレーター • エンタープライズ資産マネージャー
修理フローを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を迅速に修理します。	修理フロー	エンタープライズ資産マネージャー
ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の資産を効率的に探して集荷します。	の在庫ピッキング エンタープライズ資産管理	インベントリユーザー
納品タスクを作成することで、個人のストックルームにある資産を簡単に返却できます。	返品タスク	エンタープライズ資産技術者/エンタープライズ資産マネージャー

関連情報

エンタープライズ資産管理の構成

エンタープライズ資産ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースを使用して、すべての資産を包括的に把握し、効率的に管理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースのランドスケープ

Enterprise 資産ワークスペースは、複数のビューを備えた統合メディアです。ビューでは、すべての資産、モデル、倉庫、倉庫タイプを可視化できます。転送注文、廃棄注文などの複数のワークフローを作成したり、ダッシュボードからアナリティクスにアクセスしたりすることもできます。

注: ある環境から別の環境に変更を移動するたびに、資産プロパティテーブルの *Enterprise Asset Classes* プロパティと *Enterprise Model Classes* プロパティを更新セットに含めます。更新セットの詳細については、「更新セットの転送」を参照してください。

Enterprise 資産ワークスペースに移動するには、次の 2 つの方法があります。

- ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク がインスタンスでオンになっている場合: [ワークスペース] を選択し、 [**Enterprise** 資産ワークスペース] を選択します。
- インスタンスで ネクストエクスペリエンス UI フレームワーク がオフになっている場合:左側のナビゲーションバーで、「`Enterprise 資産ワークスペース`」と入力します。選択すると、Enterprise 資産ワークスペースメニューが新しいタブで開きます。

Enterprise 資産ワークスペースには、次のビューが含まれています。

- のエンタープライズ資産の概要 エンタープライズ資産ワークスペース
- Enterprise 資産ワークスペースの資産分析の概要
- Enterprise 資産ワークスペースのインベントリの概要
- エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要
- Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要
- の正規化の概要 エンタープライズ資産管理
- Enterprise 資産ワークスペースの契約とリースの管理の概要

インライン編集

レコードを開いてフォームのフィールドを変更するのではなく、 ServiceNow インスタンスでインライン編集を有効にしてフィールドを直接変更してください。インライン編集の有効化の詳細については、「インライン編集の有効化」を参照してください。

注: ServiceNowインスタンスでインライン編集を有効にすると、すべてのServiceNowアプリケーションでインライン編集が有効になります。

のエンタープライズ資産の概要 エンタープライズ資産ワークスペース

Enterprise 資産ワークスペースのランディングページとして Enterprise 資産の概要を使用して、主要なメトリクスに関するインサイトを取得します。

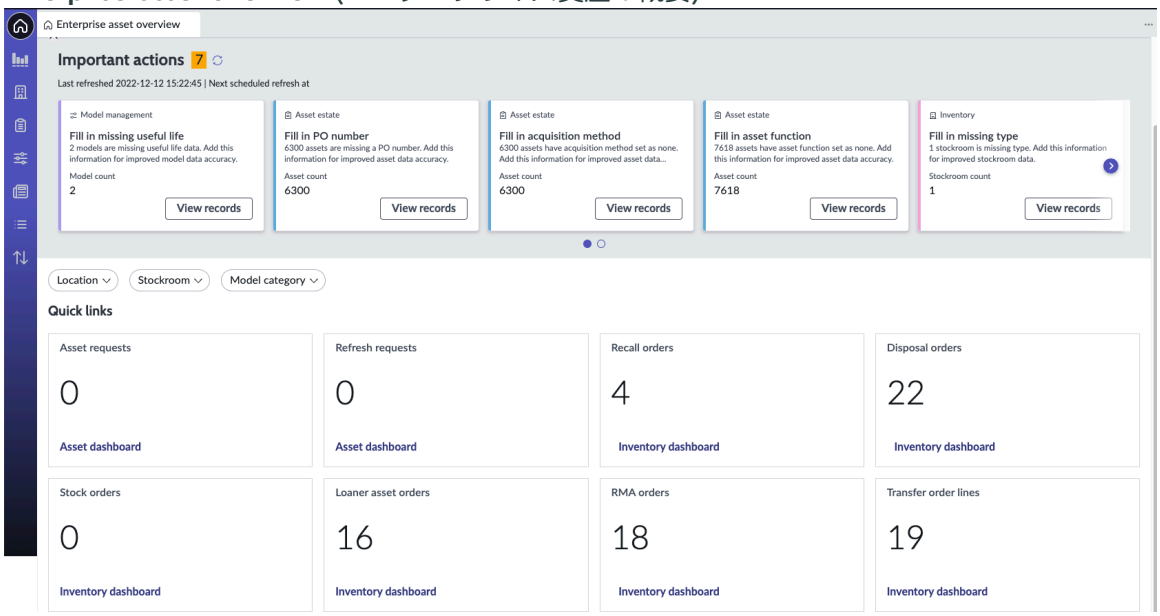
エンタープライズ資産の概要ダッシュボードを使用して、次のタスクを実行します。

- 不足している製造データ、モデル番号、資産タグ情報の入力など、早急な対応が必要な重要なアクションアイテムを特定して対応します。
- 資産要求、転送注文、在庫注文、資産更新要求、廃棄注文、および返品許可 (RMA) 注文を検索して追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise asset overview (エンタープライズ資産の概要)



詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、関連するウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、[モデルカテゴリ]、および [分類] フィルターを使用して、結果を絞り込むこともできます。[分類] フィルターの詳細については、「分類コード」を参照してください。

ダッシュボードのクイックリンク

ウィジェット	Description (説明)
資産要求	アイテムのモデルが消耗品モデルまたはエンタープライズモデルである要求アイテムの数。
転送注文ライン	アクティブな転送注文ラインの数。
在庫注文	要求されたインベントリ在庫オーダーアイテムの数。
更新要求	オープン資産リフレッシュ注文要求の数。
リコール注文	未処理のリコール注文の数。
廃棄注文	未処理の廃棄注文の数。
貸与資産の注文	要求された貸与資産の注文数。
返品許可 (RMA) 注文	未処理の返品許可 (RMA) 注文の数。

Enterprise 資産ワークスペースの資産分析の概要

[資産アナリティクス] ビューを使用して、すべての資産、その全体的なパフォーマンス、および資産の総所有コスト (TCO) の詳細ビューを取得します。

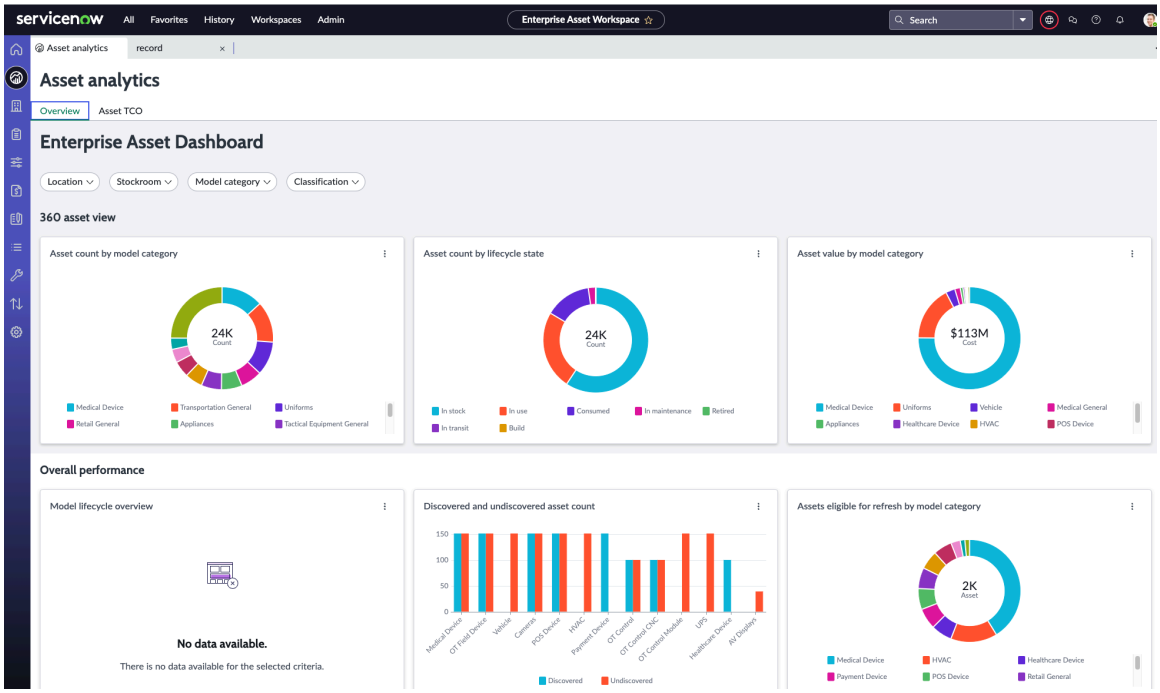
エンタープライズ資産ダッシュボード

エンタープライズ資産ダッシュボードを使用して、すべてのエンタープライズ資産に関する包括的な情報を取得します。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、および分類に基づいてデータをフィルタリングできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



360 度資産ビュー

ウィジェット	Description (説明)
モデルカテゴリ別の資産数	医療、一般、医療診断などのモデルカテゴリ別にグループ化された資産の数。
ライフサイクルステータス別の資産数	廃止、使用中、在庫中などのライフサイクルステータス別にグループ化された資産の数。
モデルカテゴリ別の資産価値	車両、カメラ、フィールドデバイスなどのモデルカテゴリ別にグループ化された資産のコスト。

全体的なパフォーマンス

ウィジェット	Description (説明)
モデルライフサイクルの概要	一般提供、提供終了、サポート終了、販売終了などのライフサイクルフェーズ別にグループ化されたモデルライフサイクルの概要。
検出済みおよび未検出の資産数	モデルカテゴリ別にグループ化された検出済み資産数と未検出資産数の比較。
モデルカテゴリ別の更新可能な資産	既に有効期限が切れているか、当日が有効期限であり、更新の対象となる資産の数。

資産 TCO

このタブには TCO の詳細ビューが表示され、TCO ベンチマークに関する資産のリアルタイムのステータスを示す主要なメトリクスが表示されます。

新しい比較レポートを作成したり、既存の比較レポートを表示したりできます。

場所、ストックルーム、モデルカテゴリ、および分類に基づいてデータをフィルタリングできます。

自動翻訳

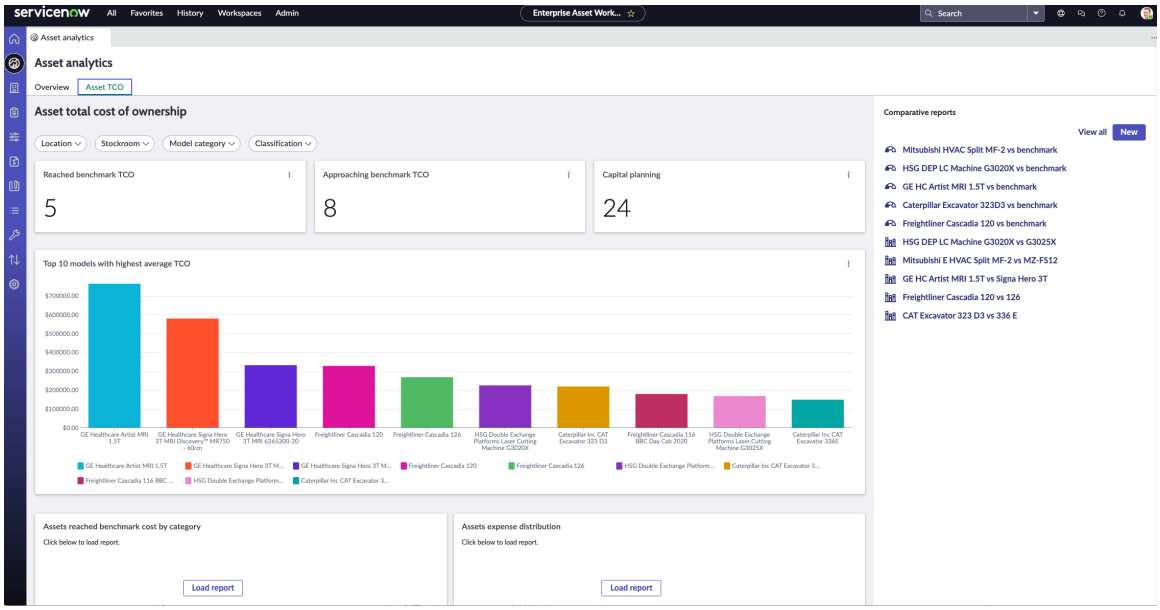
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[すべて表示] を選択して、すべての比較レポートの一覧を表示します。オフラインレポート (原価費目が 実績 **TCO** または 予測 **TCO** のいずれか) を除き、少なくとも 1 つのアクティブなレポートソースを持つレポートのみが表示されます。オフライン レポートのデータ ソースを更新するには、レポートを開いて [更新ジョブの実行] を選択します。このボタンは、オフライン レポートにのみ表示されます。このジョブが完了すると、最新の収集日が更新されます。

注: オフラインレポートは、最新の収集日が入力されるまで比較レポートのリストに表示されません。

[新規] を選択して TCO レポートを作成できます。

レポートアイコンを選択してレポートを直接開くか、レポート名を選択してレポートフォームを開きます。



ウィジェット	Description (説明)
ベンチマーク TCO に到達した資産	ベンチマーク TCO に達した資産の数。
ベンチマーク TCO に近づいている資産	ベンチマーク TCO に近づいている資産の数
資本計画	資本計画の資産の数。資本計画の資産は、廃止されておらず、現在のライフサイクルフェーズが true の資産です。
平均 TCO が最も高い上位 10 モデル	平均 TCO が最も高い上位 10 のモデルを示す棒グラフ。
カテゴリ別のベンチマークコストに到達した資産	ベンチマークコストに達したカテゴリ別の資産の数。
資産経費分配	次の原価費目に基づく資産経費分配: • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • ソフトウェア • 契約：リース • 契約： 保証

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ウィジェット	Description (説明)
	• 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理 • 労働 ：一般 • 再販価値
月次資産経費分配 (過去 12 か月間)	次の原価費目に基づく、過去 12 か月間の資産の分布: • 購入：資産 • 購入：部品 • 構成 • ソフトウェア • 契約：リース • 契約： 保証 • 契約：メンテナンス • 契約：サービス • 契約：その他 • ユーティリティ • 出荷 • 作業：メンテナンス • 作業：修理 • 労働 ：一般 • 再販価値

自動翻訳

Enterprise 資産ワークスペースのインベントリの概要

Enterprise 資産ワークスペースの [Inventory (インベントリ)] ビューを使用して、インベントリしきい値を最適化し、再注文プロセスを自動化します。ワークフローを作成し、インベントリの詳細情報を表示できます。

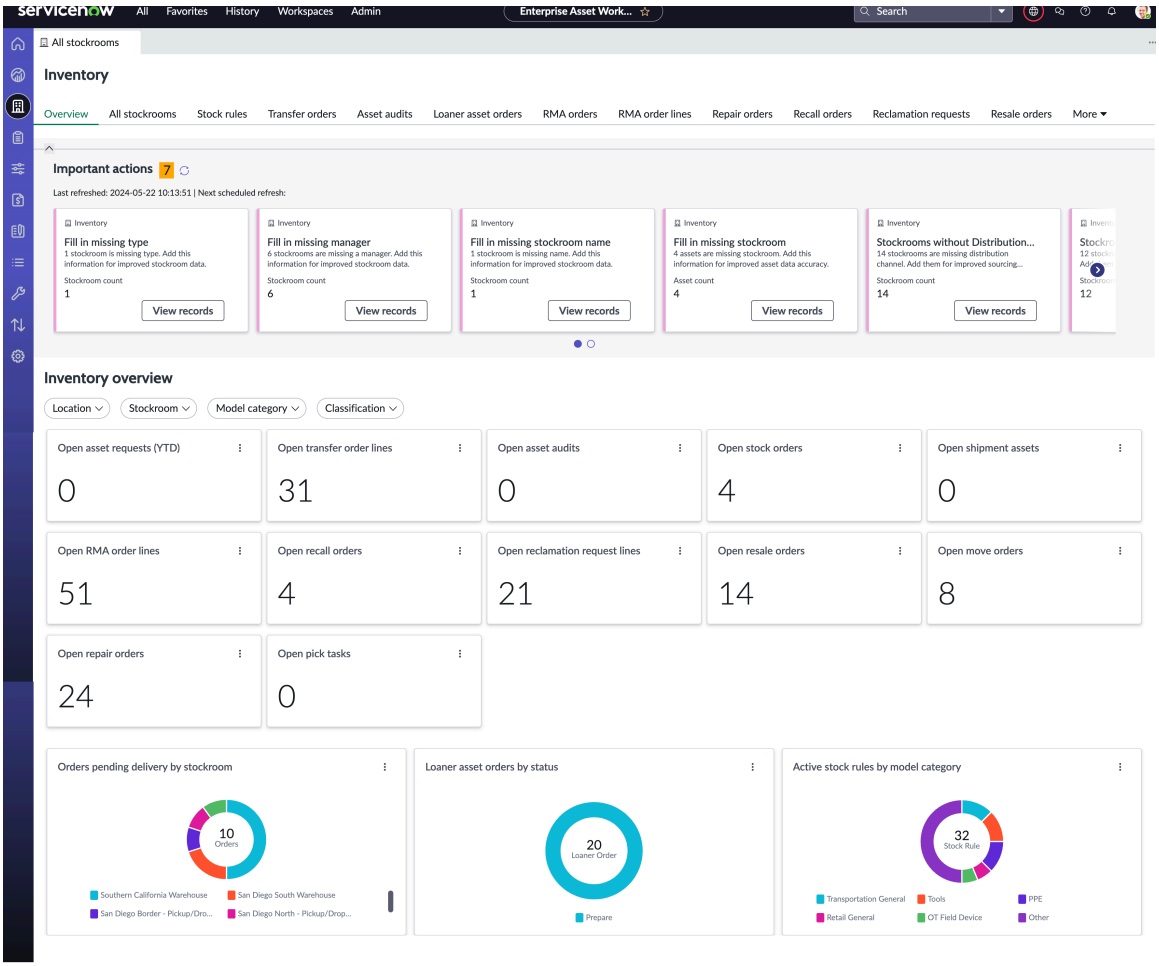
不足している倉庫タイプや倉庫名の入力など、在庫に関連する緊急のアクションアイテムを処理します。

インベントリビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インベントリビュー



次のタブを使用して、インベントリを表示します。

- 概要:オープンな転送注文ライン、オープンな資産監査、ステータス別の貸与資産のオーダーなど、すべてのインベントリデータを垣間見ることができます。
- すべてのストックルーム:新しいストックルームを作成し、インベントリが保管されているストックルームを表示します。
- ストックルームタイプ:新しい倉庫タイプを作成し、インベントリで利用可能なさまざまなタイプの倉庫を表示します。
- 在庫ルール:新しい在庫ルールを作成し、既存の在庫ルールのリストを表示します。
- 資産監査:新しい資産監査レコードを作成し、既存のレコードを表示します。
- 廃棄注文:ライフサイクルの終わりに達した資産、または機能しなくなった資産の廃棄注文ワークフローを作成します。
- 貸与資産の注文:すべての貸与資産の注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文:欠陥のある資産に対するすべての返品承認 (RMA) 注文を表示し、適切なアクションを実行します。
- **RMA** 注文明細行: RMA 注文内のすべての返品承認 (RMA) 注文明細行を表示し、適切なアクションを実行します。
- 転送注文:ストックルーム間で資産を移動するための転送注文ワークフローを作成します。
- 取り消しオーダー:資産ベンダーによって取り消しされた資産の取り消しオーダーワークフローを作成します。
- 再利用要求:すべての再利用要求を表示して実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 再販オーダー:すべてのアセット再販リクエストを表示して履行します。
- 移動オーダー:ある場所から別の場所に移動する必要がある資産の移動オーダーを作成および表示します。
- 修理注文:ストックルームの資産の修理のために送信された修理注文のリストを表示します。修理注文を作成することもできます。

エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要

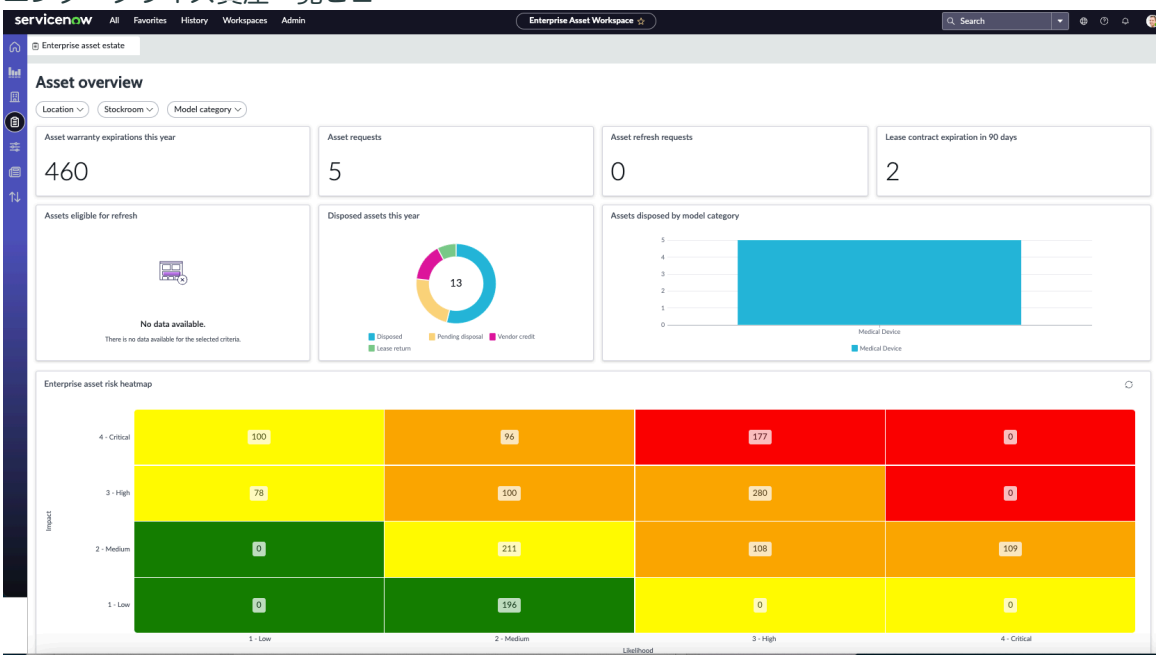
Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧ビューを使用して、資産を作成および管理します。状況別の資産ライフサイクル、今年処分された資産、資産要求などの詳細を表示することもできます。

不足している資産タグや資産機能の入力など、資産に関連する緊急のアクションアイテムを処理します。

エンタープライズ資産一覧ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。[場所]、[ストックルーム]、および [モデルカテゴリ] フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

エンタープライズ資産一覧ビュー



エンタープライズ資産一覧の概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
今年有効期限が切れる資産保証	今年期限切れになる資産の数。
資産要求	カタログ内のエンタープライズ要求および消耗品要求の数。
資産更新要求	更新待ちの資産の数。
90 日でリース契約終了	契約は 90 日後に期限切れになります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産一覧の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	**Description** (説明)
更新対象となる資産	提供終了が近づいており、更新の対象となる資産。
今年の廃棄資産	今年度に処分された資産。
モデルカテゴリ別の廃棄資産	今年の現在の日付までに廃棄され、モデルカテゴリ別にグループ化された資産。
エンタープライズ資産リスクヒートマップ	可能性と影響の値を持つ資産の数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンドスコアレコードが固定されていることを確認します。

の調達の概要 エンタープライズ資産ワークスペース

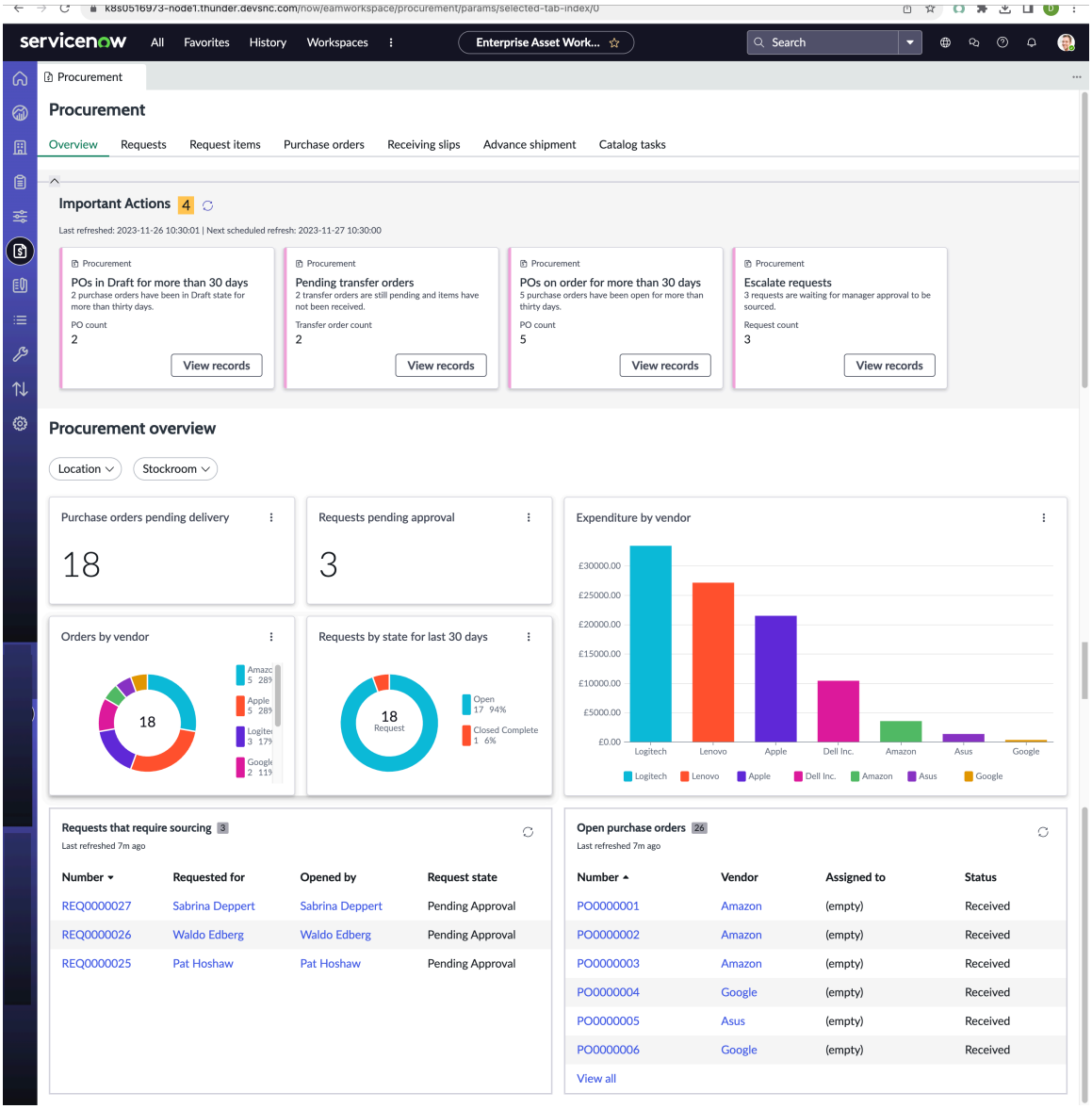
調達要求、発注書 (PO)、調達タスク、受領伝票など、調達関連の詳細を エンタープライズ資産ワークスペースで表示および管理します。

エンタープライズ資産ワークスペースの調達ビューでは、未処理の要求、保留中の発注書と転送注文、およびマネージャーの承認が必要な要求を管理するためのアクションにアクセスできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達ビュー



ウィジェットまたはチャートを選択すると、より具体的な詳細が表示されます。場所、ストックルーム、ドメインフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

注: ドメインフィルターは、ドメイン拡張インストーラー (com.glide.domain.msp_extensions.installer) プラグインとドメインセパレーション (プラグインcom.snc.pa.domain_support) プラグインを有効にした場合にのみ使用できます。

調達の概要

ウィジェットまたはチャート	説明
保留中の配送の発注書	受信されず、キャンセルされなかった発注書の数。ステータスが「要求済み」、「注文済み」、または「保留中の配送」である発注書のみが表示されます。
承認待ちの要求	要求ステータスが「承認待ち」のソース可能でアクティブな要求の数。
ベンダー別の支出	在庫を調達するために各ベンダーに支払ったコスト。ステータスが「注文済み」、「保留中の配送」、または「受領済み」である発注書のみが表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

調達の概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	説明
ベンダー別の注文	注文済み、保留中の配送、または個々のベンダーによって受領された発注書の数。
過去 30 日間のステータス別の要求	過去 30 日間に作成された、ステータス別にグループ化された要求。
調達が必要な要求	発注書、ローカル注文、または転送注文が開始されていない要求のリスト。
オープンな発注書 (PO)	要求済み、注文済み、または未配送の発注書 (PO) のリスト。

Enterprise 資産ワークスペースのエンタープライズモデル管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [Enterprise model management (エンタープライズモデル管理)] ビューを使用して、エンタープライズモデルを作成および管理します。モデルライフサイクルの概要、モデルステータス、提供終了が迫っているエンタープライズモデルなどの詳細も確認できます。

不足しているモデル番号やメーカー名の入力など、モデルに関連する緊急のアクションアイテムを処理します。

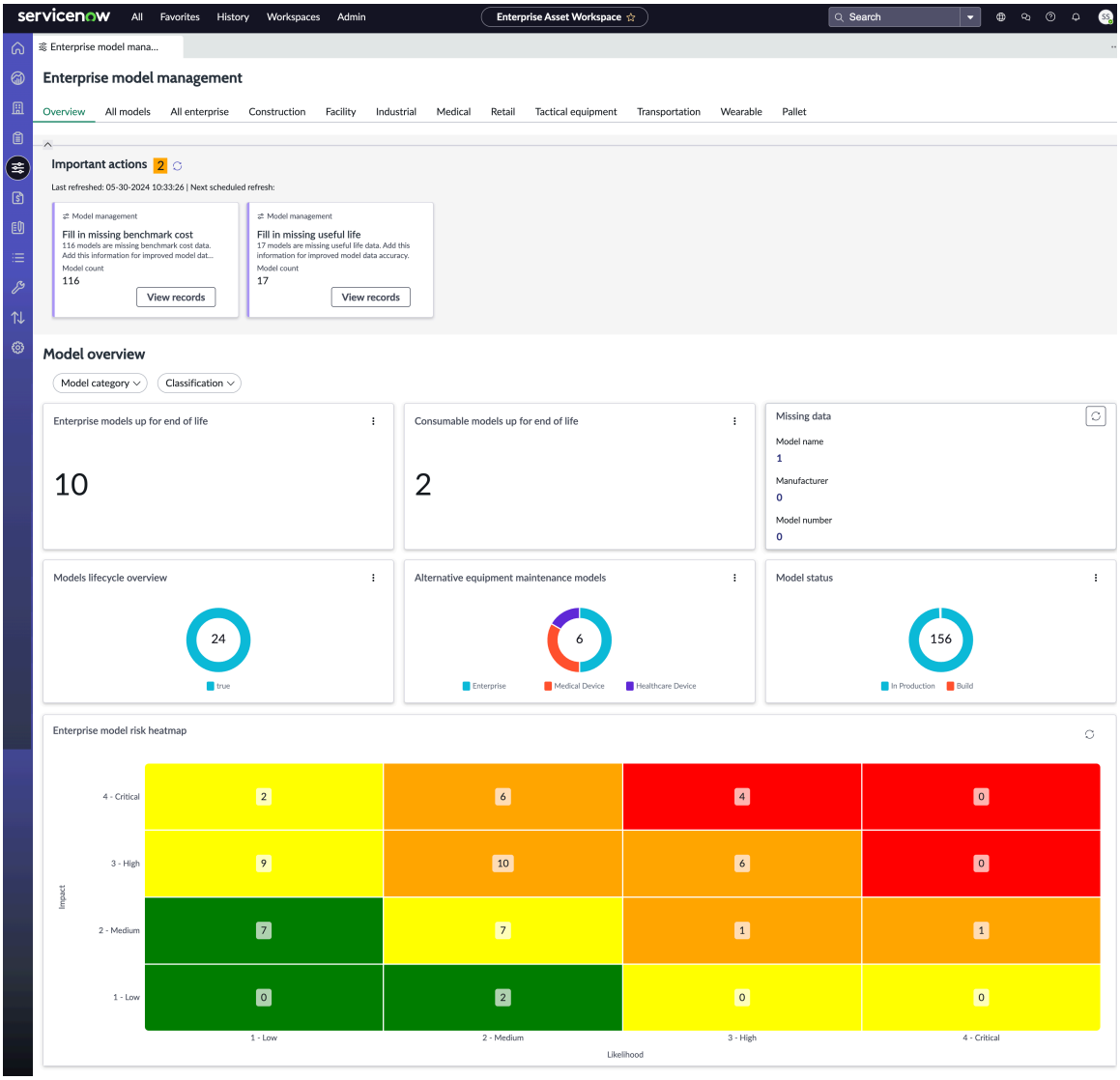
エンタープライズモデル管理ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットを選択します。モデルカテゴリフィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズモデル管理ビュー



自動翻訳

モデルの概要

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
今年提供終了が迫っているエンタープライズモデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年であるエンタープライズモデルの数。
今年提供終了が迫っている消耗品モデル	提供終了フェーズの開始日が現在の年である消耗品モデルの数。
データの不足	モデル名、メーカー、およびモデル番号が欠落しているモデルの数。
モデルライフサイクルの概要	一般提供、サポート終了、提供終了、販売終了などの各ライフサイクルステージに存在するモデルの数。
代替機器メンテナンスモデル	代替機器メンテナンスが有効になっており、モデルカテゴリ別にグループ化されているモデルの数。
モデルステータス	モデルのステータスに基づくモデルの現在の数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルの概要 (続く)

ウィジェットまたはチャート	Description (説明)
エンタープライズモデルリスクヒートマップ	可能性と影響度の値を持つモデルの数のリスクヒートマップを表示します。このヒートマップを表示するには、リスクスコアモジュールのバンドスコアレコードが固定されていることを確認します。 注: リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアが固定されていない場合、ヒートマップはモデルレコードにリスク値がないドラフトモードでレンダリングされます。これらのベクトルの 1 つだけがフリーズされている場合、ヒート マップはレンダリングされません。3 つのベクトルがすべて固定されている場合、ヒートマップは本番モードでレンダリングされ、リスク値がモデルレコードに入力されます。

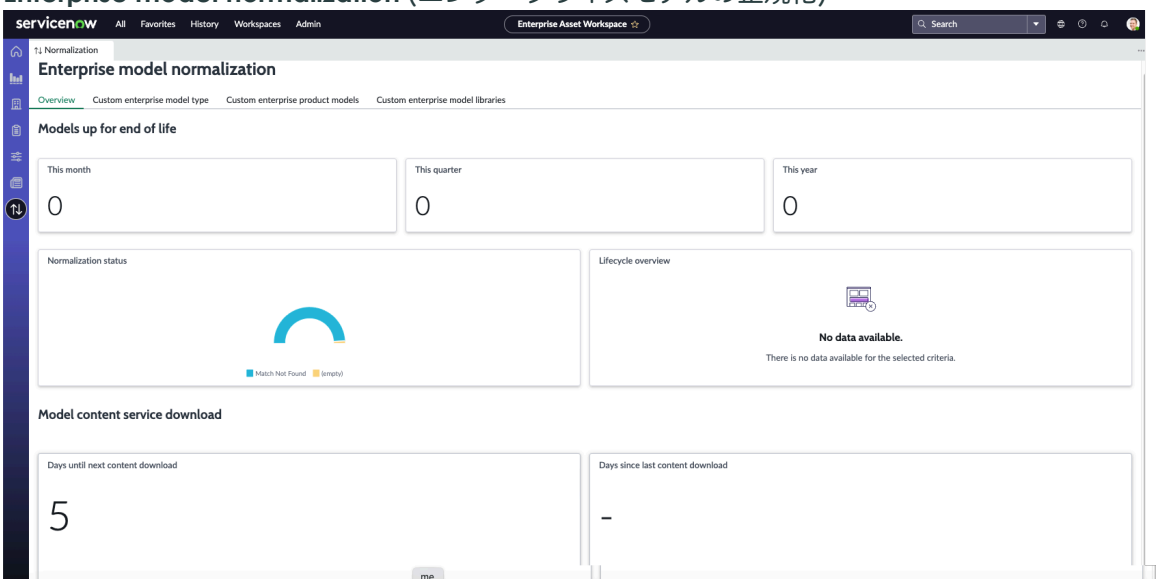
の正規化の概要 エンタープライズ資産管理

Enterprise 資産ワークスペースの正規化ビューを使用して、正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を表示します。

このビューから、カスタムエンタープライズモデルタイプ、製品モデル、およびモデルライブラリを作成することもできます。

正規化ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.

Enterprise model normalization (エンタープライズモデルの正規化)



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

正規化ウィジェット

ウィジェット	ソース	Description (説明)
製品寿命が迫っている企業モデル	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	エンタープライズモデルの提供終了の開始フェーズ。提供終了フェーズの開始日が現在の月、四半期、または年であるエンタープライズモデルの数を表示します。 **注:** アクティブで、モデルステータスが「生産中」で、ライフサイクルタイプが「パブリッシャー」のエンタープライズモデルライフサイクルレコードのみが、「今月」、「今四半期」、または「今年」に表示されます
正規化ステータス		すべてのエンタープライズモデルの正規化ステータス。正規化されたエンタープライズモデルと正規化されなかったモデルの数を表示します。正規化ステータスの詳細については、「エンタープライズモデルの正規化ステータス」を参照してください。
ライフサイクルの概要	エンタープライズモデルのライフサイクル [sn_eam_model_lifecycle]	各ライフサイクルステージ (一般提供、サポート終了、拡張サポート終了、販売終了) に存在するエンタープライズモデルの数。 **注:** アクティブなエンタープライズモデルライフサイクルレコードのみがこのウィジェットに表示されます。
エンタープライズモデルコンテンツサービスのダウンロード。 • 次のコンテンツのダウンロードまでの日数 • 前回のコンテンツダウンロードからの経過日数	データサービスのダウンロードスケジュール [cds_client_schedule]	コンテンツサービスライブラリが最後にインスタンスにダウンロードされてからの日数と、次のダウンロードまでの残り日数。

自動翻訳

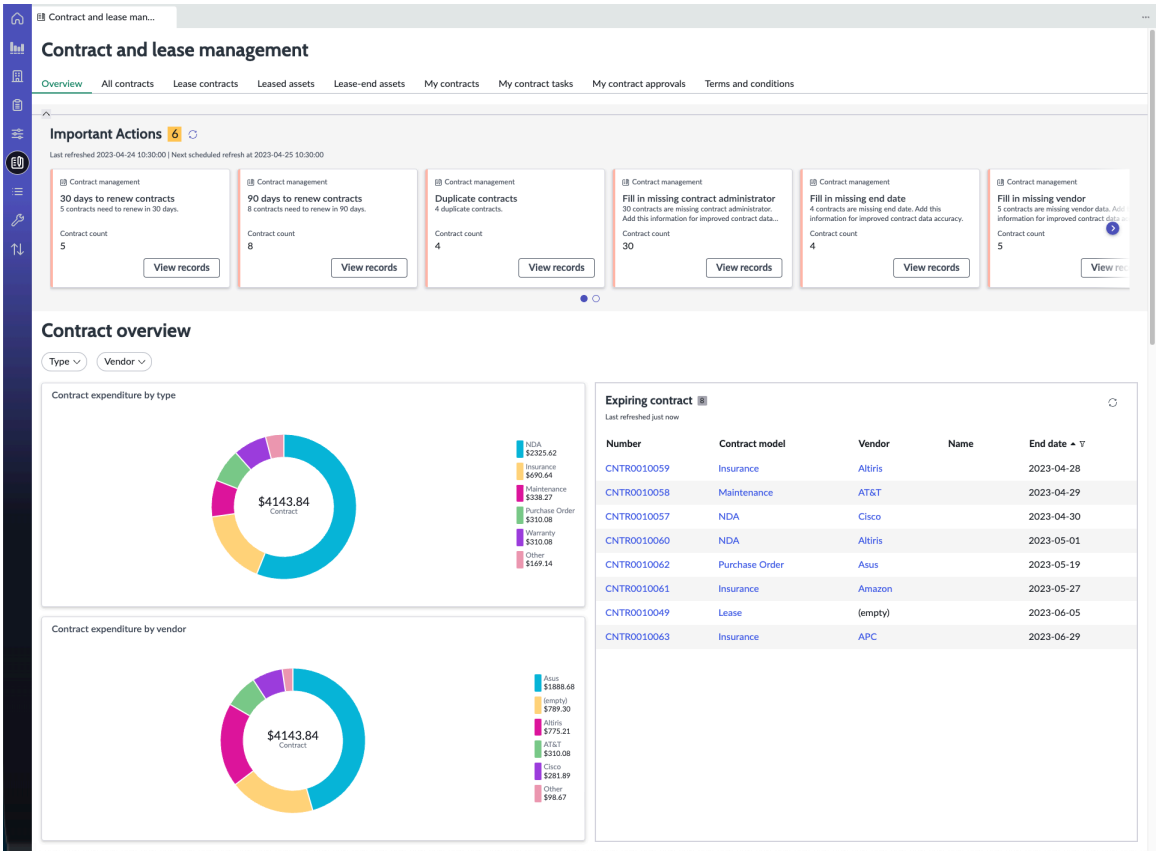
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースの契約とリースの管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [契約と リースの管理] ビューを使用して、エンタープライズ資産契約を作成および管理します。

[契約とリースの管理] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Contract and lease management** (契約とリース管理).

契約とリースの管理ビュー



次のタブを使用して、エンタープライズ資産契約を表示および管理します。

- 概要:タイプ別の契約支出、ベンダー別の契約支出、期限切れの契約など、すべての契約データを垣間見ることができます。このデータは、[ドメイン]、[タイプ]、および [ベンダー] フィルターを使用して絞り込むことができます。

  さらに、エンタープライズ資産契約のすべての重要なアクションを表示します。

- すべての契約:エンタープライズ資産の契約を作成および表示します。サポートされている契約タイプには、リース、保険、メンテナンス、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプションが含まれます。
- リース契約:リースされたエンタープライズ資産の契約を作成および表示します。
- リース資産:組織全体のすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。
- リースエンド資産:リース終了プロセスが開始された契約に関連付けられているすべてのリースエンタープライズ資産を表示します。ステータスが [完了] でないリース済みエンタープライズ資産に対してアクションを実行します。
- 自分の契約:管理しているすべてのエンタープライズ資産契約を表示します。
- 自分の契約タスク:管理している契約に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのオープンタスクを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 自分の契約承認:承認待ちのすべてのエンタープライズ資産契約および契約更新要求を表示します。
- 契約条件:エンタープライズ資産契約の契約条件を作成および表示します。

契約の詳細については、「 契約管理」を参照してください。

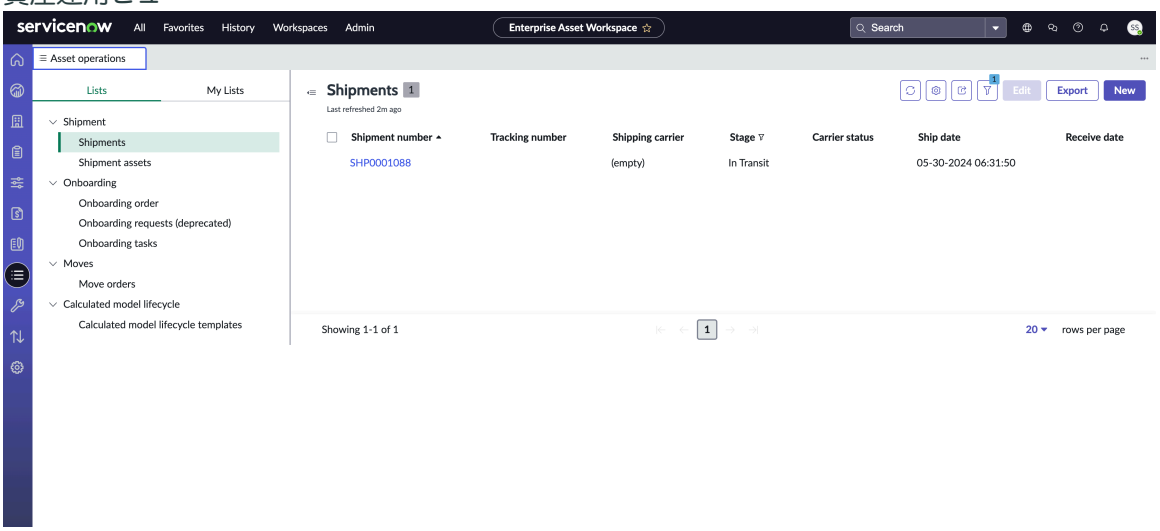
Enterprise 資産ワークスペースの資産運用の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [資産運用] ビューを使用して 、出荷、 サービスカタログ要求、要求されたアイテム、カタログタスク、契約更新要求を追跡および管理します。

[資産運用] ビューを使用して、次のタスクを実行します。

- 出荷の表示と作成
- 出荷通知の作成
- オンボーディング要求とタスクを表示する
- 移動オーダーを作成および表示します。
- オンボーディング注文を作成して、複数のエンタープライズ資産を一度にオンボーディングします。詳細については、「での複数のエンタープライズ資産のオンボーディング エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
- エンタープライズモデルの計算済みモデルライフサイクルテンプレートを作成します。詳細については、「計算されたライフサイクルテンプレートを使用してエンタープライズモデルのライフサイクルを管理します」を参照してください。

資産運用ビュー



サービスカタログ アプリケーションで要求を作成した後、Enterprise 資産ワークスペースから要求、要求されたアイテム、カタログタスクを表示し、要求を調達できます。

注: ハードウェア資産とエンタープライズ資産に対して作成されたすべての要求が、[要求 リスト] セクションに一覧表示されます。同様に、ハードウェア資産とエンタープライズ資産に対して作成されたすべてのカタログタスクが [カタログタスク] リストセクションに一覧表示されます。[要求アイテムリスト] セクションには、エンタープライズ資産に関連する要求アイテムのみが表示されます。

Enterprise 資産ワークスペースの作業管理の概要

Enterprise 資産ワークスペースの [Work management (作業管理)] ビューを使用して、メンテナンス計画、作業指示、作業指示タスクを作成および管理します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

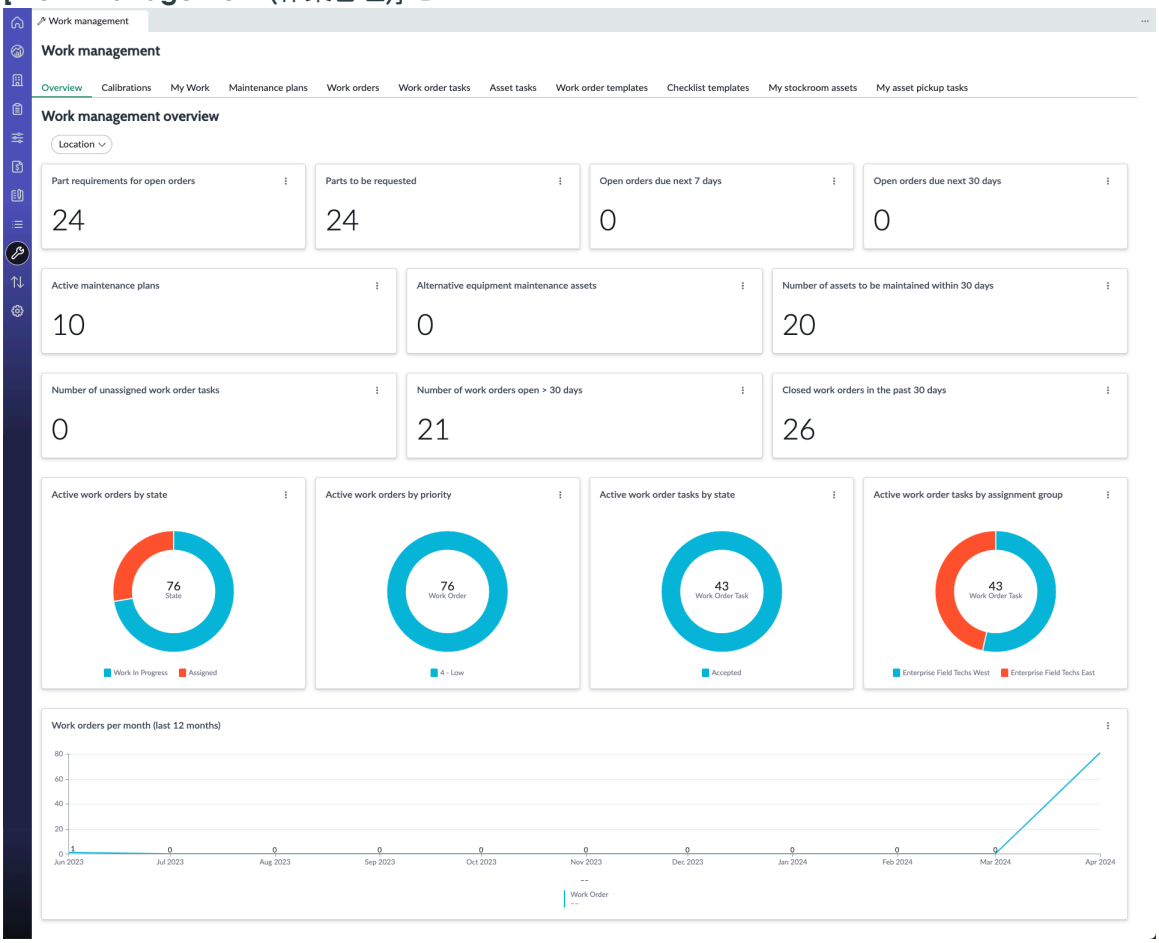
重要: [作業管理] ビューにアクセスして使用する前に、必要に応じて フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集します。詳細な手順については、「[Work management (作業管理)] ビューの フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集する」を参照してください。

[Work management (作業管理)] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).

注: システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産マネージャー (sn_eam.enterprise_asset_manager)、およびエージェント (wm_agent) のロールを持つユーザーのみが、[作業管理] ビューにアクセスできます。

詳細情報にアクセスして関連するアクションを実行するには、任意のウィジェットをクリックします。場所フィルターを使用して結果を絞り込むこともできます。

[Work management (作業管理)] ビュー



次のタブを使用して、作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を表示および管理します。

注: [作業管理] ビューに表示されるタブは、アサインされたロールによって異なります。

- 概要:オープンオーダーの部品要件、ステータス別のアクティブな作業指示、月ごとの作業指示、アクティブなメンテナンス計画など、すべての作業指示データを垣間見ることができます。

  注: このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- キャリブレーション:すべてのキャリブレーションイベントや検証待ちのキャリブレーションなど、すべてのキャリブレーションデータを垣間見ることができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分の作業:作業指示書に関連付けられているすべての未解決の要求とタスクを表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- メンテナンス計画:エンタープライズ資産のメンテナンス計画を作成および表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 作業指示:エンタープライズ資産に対して実行する計画的作業または臨時の作業の作業指示を作成および表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 作業指示書タスク:作業指示書に関連付けられているすべての作業指示書タスクを表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin)、エンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager)、またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 資産タスク:作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのタスクを表示します。

  > **注:** このタブは、 エンタープライズ技術者 (enterprise_asset_technician) またはエージェント (wm_agent) ロールを持っている場合に表示されます。

- 作業指示テンプレート:作業指示のテンプレートを作成および表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- チェックリストテンプレート:作業指示のチェックリストテンプレートを作成および表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエンタープライズ資産管理者 (sn_eam.enterprise_asset_manager) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分のストックルーム資産:ストックルーム内で利用可能なエンタープライズ資産を表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

- 自分の資産集荷タスク:作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産のすべてのスケジュールされた集荷タスクを表示します。

  > **注:** このタブは、システムアドミニストレーター (admin) またはエージェント (wm_agent) のロールを持っている場合に表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

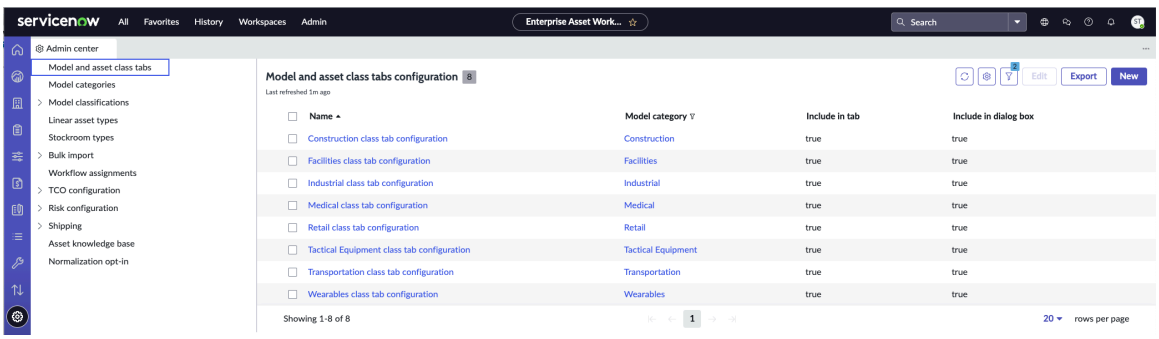
Enterprise 資産ワークスペースのアドミンセンターの概要

Enterprise 資産ワークスペースの [アドミンセンター] ビューを使用して、すべての構成および管理タスクを実行します。

エンタープライズアドミン [sn_eam.enterprise_admin] ロールとエンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールのみが、[アドミンセンター] ビューで操作を表示および実行できます。

アドミンセンターを使用して、次のタスクを実行します。

- モデルと資産のタブを構成
- モデル カテゴリを作成する
- 分類コードの作成とインポート
- 分類コードのソースの作成
- リニア資産タイプの作成
- ストックルーム タイプを作成する
- エンタープライズモデルと資産をインポート
- ワークフローアサイン
- タスクレートおよび賃金レートカードの作成および表示
- リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアの構成値の作成
- 配送業者の作成
- サードパーティの配送業者との統合
- ナレッジ記事の作成
- Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) へのオプトイン



展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション

拡張されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーションは、エンタープライズモデルクラス、サービスモデルの子クラス、 API モデルカテゴリ、 および 構成管理データベース (CMDB) クラス階層内のすぐに利用可能なモデルと資産クラスを拡張するエンタープライズ資産クラスを追加します。これらの拡張には、クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係が含まれます。

注: このアプリケーションは、 Rome 以降のファミリリリースと互換性があります。

CMDBの詳細については、「構成管理データベース (CMDB)」 を参照してください。

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、モデルクラスと資産クラス CMDB 拡張するだけでなく、モデルと資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、これらのクラスとモデルカテゴリを使用して、エンタープライズ資産の追跡と管理に使用できる資産レコードとモデルレコードを作成します。ServiceNow® ディスカバリー アプリケーションなどのディスカバリーツールでも、これ

自動翻訳

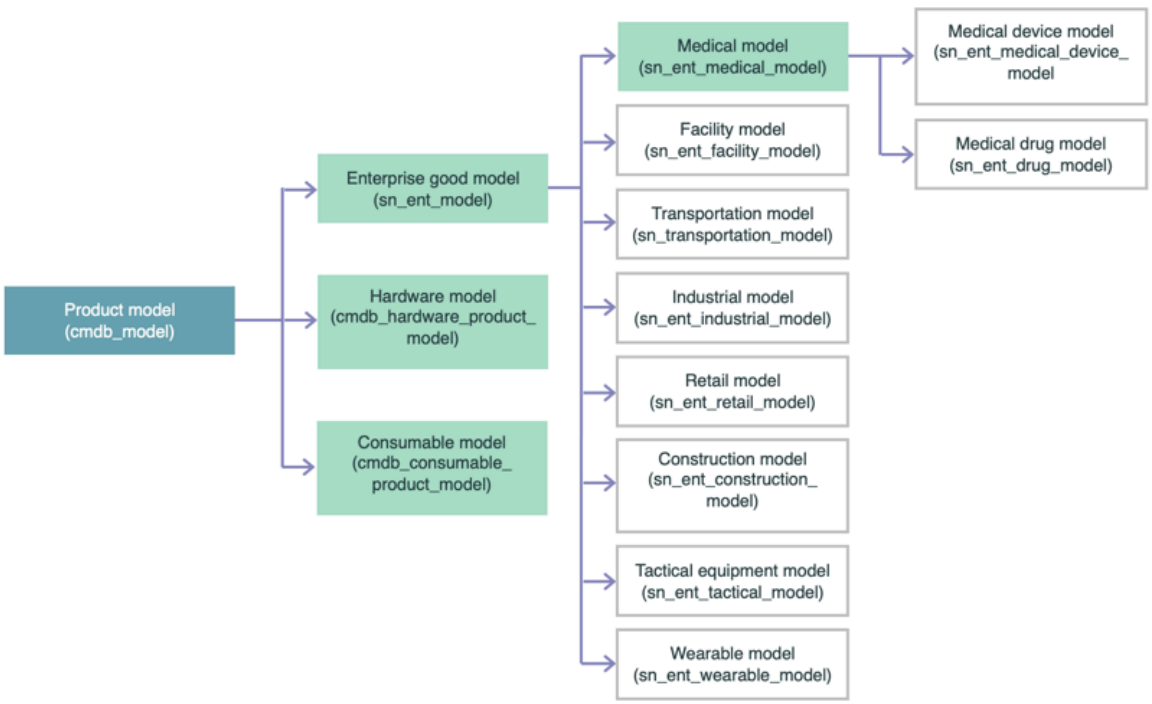
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

らのクラスとモデルカテゴリを使用して、検出された CI の資産レコードとモデルレコードを作成できます。モデル カテゴリの詳細については、「 モデルカテゴリ 」を参照してください。

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションでは、API およびマネージド API モデルのカテゴリも追加されます。これにより、 構成管理データベース (CMDB) アプリケーションでアプリケーションモデルを作成し、API およびマネージド API CMDB CI クラスに関連付けることができます。API CMDB CI クラスは、コンピュータープログラムが相互に通信できるようにする定義とプロトコルのセットである API (アプリケーションプログラミングインターフェイス) の分類を提供します。マネージド API CMDB CI クラスは、ゲートウェイまたは管理サービス (Amazon API ゲートウェイなど) を介して検出される API の分類を提供します。アプリケーションモデルをこれらの CMDB CI クラスに関連付けることで、 構成管理データベース (CMDB) アプリケーションは API のバージョンに依存しない表現を作成できます。これらの表現は、レポート作成と分析中に各 API のより包括的なビューを提供できます。API およびマネージド API CMDB CI クラスの詳細については、「 API 拡張クラス 」を参照してください。

アプリケーションによって追加されたエンタープライズモデルクラス

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、基本の製品モデル [cmdb_model] クラスを拡張する Enterprise good model [sn_ent_model] クラスを追加します。Enterprise good model [sn_ent_model] クラスには、さまざまな Enterprise モデルタイプの分類が含まれており、これらは次の業種ベースの子クラスに分類されます



Enterprise 優良モデルの子クラス

Enterprise 優良モデル子クラス	Description (説明)
医療モデル [sn_ent_medical_model]	ER Medical Cart Kit や ECG Electrodes などの医療ベースのエンタープライズモデルを分類します。
医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model]	血圧計や MRI 患者テーブルなどの医療機器ベースのエンタープライズモデルを分類します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 優良モデルの子クラス (続く)

Enterprise 優良モデル子クラス	Description (説明)
	注: バージョン 1.2.0 以降の Expanded Model and Asset Classes アプリケーションにアップグレードすると、アプリケーションは自動的に `Update medical device category` 修正スクリプトを実行して、Medical Device model [sn_ent_medical_device_model] クラスを既存のMedical device model category に関連付けます。ただし、医療デバイスモデルカテゴリの既存のエンタープライズモデルを医療モデル [sn_ent_medical_model] クラスから医療デバイスモデル [sn_ent_medical_device_model] クラスに手動で再分類する必要がある場合があります。詳細な手順については、 KB1182183 を参照してください。 資産、CI、および IBI クラスをリンクする一意の共通識別子である製品インスタンス識別子 (PID) は、医療機器モデルカテゴリの資産に対して生成されます。PID は、医療機器モデルカテゴリに適用可能な PID 構成に基づいて生成されます。 製品インスタンス識別子構成 [product_instance_identifier_configuration] テーブルには、PID 構成が保存されます。デフォルトでは、次の構成を使用できます。 • **PID:** 資産 [alm_asset] テーブルの [シリアル番号] フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含むシリアル番号。 • **PID:** 資産 [alm_asset] テーブルの [親] および [モデルコンポーネント ID] フィールドに基づいて定義されたパラメーターを含む親。 多くの PID 構成が医療デバイスモデルカテゴリに関連付けられている場合、PID の生成時に優先度が最も高い構成が最初に考慮されます。PID - シリアル番号構成には、ほとんどの場合、最高の優先度が与えられます。
医療用医薬品モデル [sn_ent_drug_model]	アモキシシリンやプリロセックなどの医療用医薬品ベースの企業モデルを分類します。
設備モデル [sn_ent_facility_model]	HVAC 分割システムやワイヤシェルフなどの設備ベースのエンタープライズモデルを分類します。
輸送モデル [sn_ent_transportation_model]	ディスクブレーキ、ローター、フロント、燃料電池車などの輸送ベースのエンタープライズモデルを分類します。
産業用モデル [sn_ent_industrial_model]	CNC フライス盤やレーザー切断機などの産業ベースのエンタープライズモデルを分類します。

自動翻訳

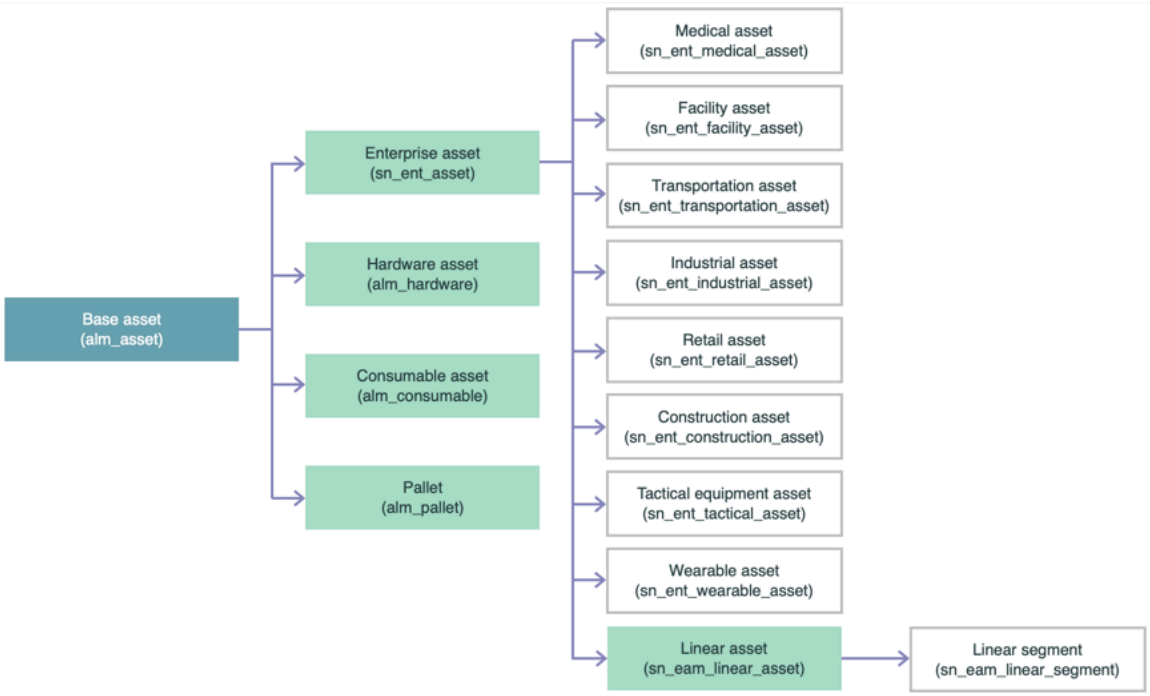
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 優良モデルの子クラス (続く)

Enterprise 優良モデル子クラス	Description (説明)
小売モデル [sn_ent_retail_model]	Retail Counter Scale や 80mm Thermal Receipt Printer などの小売ベースのエンタープライズモデルを分類します。
戦術的装置モデル [sn_ent_tactical_model]	K19 プレートキャリアやトリプルマグポーチなどの戦術装備品ベースのエンタープライズモデルを分類します。
構成モデル [sn_ent_construction_model]	掘削機や六角ブレーカーハンマーキットなどの建設ベースのエンタープライズモデルを分類します。
ウェアラブルモデル [sn_ent_wearable_model]	N95 マスクや高視認性安全ベストなどのウェアラブル資産ベースのエンタープライズモデルを分類します。

アプリケーションによって追加されたエンタープライズ資産クラス

展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションは、基本資産 [alm_base] クラスを拡張するエンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスを追加します。エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスには、さまざまなエンタープライズ資産タイプの分類が含まれており、次の業種ベースの子クラスに分類されます



エンタープライズ資産の子クラス

エンタープライズ資産の子クラス	説明
医療資産 [sn_ent_medical_asset]	病院のベッドや X 線装置など、医療ベースのエンタープライズ資産を分類します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産の子クラス (続く)

エンタープライズ資産の子クラス	説明
施設資産 [sn_ent_facility_asset]	コーヒーメーカーや HVAC システムなど、施設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
輸送資産 [sn_ent_transportation_asset]	飛行機やブレーキパッドなど、輸送ベースのエンタープライズ資産を分類します。
産業用資産 [sn_ent_industrial_asset]	フォークリフトや鋳造機などの産業ベースのエンタープライズ資産を分類します。
小売業資産 [sn_ent_retail_asset]	陳列ケースや洋服ラックなど、小売業ベースのエンタープライズ資産を分類します。
戦術的装置資産 [sn_ent_tactical_asset]	ハイドレーションキャリアーやタクティカルプレートキャリアーなど、戦術装備品ベースのエンタープライズ資産を分類します。
構成資産 [sn_ent_construction_asset]	スレッジハンマーや手のこぎりなど、建設ベースのエンタープライズ資産を分類します。
ウェアラブル資産 [sn_ent_wearable_asset]	ヘルメットや制服などのウェアラブル企業資産を分類します。

アプリケーションによって追加されたサービスモデルクラス

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションは、次の子クラスを基本サービスモデル [cmdb_service_product_model] クラスに追加します。これらの子クラスは、さまざまなサービスモデルタイプを分類します。

サービスモデルの子クラス

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	Description (説明)
カードサービスモデル [sn_ent_card_service_model]	sn_ent.card_service_model_viewer	クレジットカードやギフトカードなど、銀行や金融機関が提供するカードに基づいてサービスモデルを分類します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	Description (説明)
振込モデル [sn_ent_deposit_account_model]	sn_ent.deposit_account_model_viewer	銀行や金融機関が提供する預金口座 (普通預金口座や当座預金口座など) に基づくサービスモデルを分類します。
ローンモデル [sn_ent_loan_account_model]	sn_ent.loan_account_model_viewer	個人ローンや住宅ローンなど、銀行や金融機関が提供するローンオプションに基づいてサービスモデルを分類します。
与信限度額モデル [sn_ent_line_of_credit_model]	sn_ent.line_of_credit_model_viewer	普通預金口座や当座預金口座の当座貸越など、銀行や金融機関が提供する与信限度額に基づいてサービスモデルを分類します。
ファイナンシャルサービスモデル [sn_ent_financial_services_model]	sn_ent.financial_services_model_viewer	銀行や金融機関が提供する金融サービス (金庫ロッカーやワイヤーサー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	Description (説明)
		ビスなど) に基づくサービスモデルを分類します。
投資モデル [sn_ent_investment_model]	sn_ent.investment_model_viewer	投資信託や退職金制度など、銀行や金融機関が提供する資産管理オプションに基づいてサービスモデルを分類します。
個人保険商品モデル [sn_ent_b2c_ins_policy_model]	sn_ent.b2c_ins_policy_model_viewer	保険会社が提供する個人保険契約 (個人自動車保険の補償や支払プランなど) に基づくサービスモデルを分類します。
企業保険商品モデル [sn_ent_b2b_ins_policy_model]	sn_ent.b2b_ins_policy_model_viewer	営利損害保険の補償や支払プランなど、保険会社が提供する企業保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
団体生命保険商品モデル [sn_ent_group_life_ins_policy_model]	sn_ent.group_life_ins_policy_model_viewer	団体定期保険の補償や支

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	Description (説明)
		払プランなど、保険会社が提供する団体生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
個人生命商品モデル [sn_ent_indiv_life_ins_policy_model]	sn_ent.indiv_life_ins_policy_model_viewer	個人の終身保険の補償範囲や支払プランなど、保険会社が提供する個人生命保険契約に基づくサービスモデルを分類します。
医療保険モデル [sn_ent_medical_insurance_model]	sn_ent_medical_insurance_model_viewer	医療保険プランや、メディケアやメディケイドなどの政府保険プログラムを含む医療保険モデルを分類します。
福利厚生モデル [sn_ent_social_benefit_model]	sn_ent.social_benefit_model_viewer	社会保障や栄養補助プログラム (SNAP) などの社会保険プログラムと手段テスト済み支援プログ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サービスモデルの子クラス (続く)

サービスモデルの子クラス	読み取りアクセスに必要なロール	**Description** (説明)
		ラムに基づくサービスモデルを分類します。

このアプリケーションによって追加された契約モデルクラス

契約モデルクラス	読み取りアクセスに必要なロール	**Description** (説明)
モデルを許可 [sn_ent_permit_model]	contract_manager	許可モデルは、契約モデルテーブルの拡張であり、発行されたライセンスと許可をモデル化するために使用され、受領者が特定のアクティビティを実行したり、特定のリソースを利用したりする権利を与えます。

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションの要求

ServiceNow Storeから拡張モデルおよび資産クラスアプリケーションを要求する必要があります。

にアクセス ServiceNow Store 利用可能なすべてのアプリケーションを表示し、ストアに要求を送信する方法に関する情報を提供する Web サイト。リリースされたすべてのアプリケーションの累積リリースノート情報については、 ServiceNow Store バージョン履歴 リリースノート .

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 資格情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「`Expanded Model and Asset Classes`」と入力し、[検索]をクリックします。
4. [**Expanded Model and Asset Classes**] という結果を選択します。
5. [展開されたモデルおよび資産クラス] ページで、[インストールを要求] をクリックします。

   [ServiceNow Request for App Installation - Expanded Model and Asset Classes]ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow [アプリのインストールを要求 **-** 展開されたモデルおよび資産クラス] ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、「 インスタンスを検証」 をクリックして、インスタンスが存在することを確認します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] をクリックします。
8. [クローズ] をクリックします。

要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。その後、メールの指示に従ってアプリケーションをインストールできます。

アプリケーションの正常なインストールの確認

Expanded Model and Asset Classes アプリケーションを要求してインストールした後、すべてのエンタープライズモデルと資産クラスが CMDB クラス階層に正常に追加されたことを確認します。

1. ServiceNowインスタンスから、 すべて > 構成 > **CI Class Manager (CI** クラスマネージャー).
2. [階層] をクリックして CI クラスリストを表示します。CI クラスリストには、 CMDB クラス階層内のすべてのクラスが表示されます。
3. すべてのエンタープライズモデルと資産クラスがリストに追加されていることを確認します。
4. (オプション)クラスを選択して、対応するクラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を確認します。

⚠ **警告:** 展開されたモデルおよび資産クラスアプリケーションをアンインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションの整合性が失われ、予期しない動作が発生する可能性があります。

OT 資産管理

オペレーショナルテクノロジー(OT) 資産管理は、オペレーショナルテクノロジー (OT) および運用機器 (OE) 資産を管理するための一連のエンタープライズ資産管理ソリューションに特化したオファリングです。OT 資産管理 を使用すると、OT 資産と OE 資産のライフサイクルを効果的に管理できます。

OT 資産管理 は、 オペレーショナルテクノロジー産業用モデルカテゴリの資産を管理するのに役立つライセンス可能なアプリケーションです。OT 資産管理 (com.sn_otam) アプリケーションはServiceNow Storeで利用できます。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスにインストールすると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションもインストールされます。詳細については、「OT 資産管理のインストール」を参照してください。

OT 資産管理 アプリケーションは、オペレーショナルテクノロジーに関連するロールをサポートするエンタープライズ資産管理の機能、特徴、およびワークフローを提供します。

OT 資産管理 ライセンス

ServiceNow® プラットフォームでは、OT 資産管理 アプリケーションの使用に対して組織に課金されるライセンス方法を使用します。このライセンスモデルでは、産業用モデルカテゴリのすべての資産がサブスクリプションユニット率に基づいて課金されます。

ServiceNow® OT 資産管理ライセンスはリソースカテゴリに基づいています。リソースカテゴリは、関連するモデルカテゴリのグループです。OT 資産管理 アプリケーションは、いくつかのデフォルトのリソースカテゴリをサポートしています。これらのリソースカテゴリにより、産業用モデルカテゴリの資産は、 OT 資産管理 アプリケーションの機能とワークフローを利用できるようになります。産業用モデルカテゴリの資産は、サブスクリプションユニットに対する資産数の事前定義された比率に基づいて、サブスクリプションユニットにカウントされます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ライセンス可能な産業用モデルカテゴリを親とするカスタムモデルカテゴリを作成すると、カスタムモデルカテゴリは親モデルカテゴリのリソースカテゴリに自動的に関連付けられます。リソースカテゴリに基づいて、これらのカスタムモデルカテゴリの資産にライセンスが付与され、サブスクリプションユニットにカウントされます。

注: ServiceNow インスタンスで OT 資産管理 アプリケーションがアクティブ化されると、すべての OT 資産管理ライセンスのリソースカテゴリがデフォルトでオプトインされます。

OT 資産管理 ライセンスリソースカテゴリ

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	**Model category** (モデルカテゴリ)
未分類の OT	1：1	• 産業 • 工業一般
OT 監督システム	1：1	• OT 監督 • OT 監督 EWS • OT 監督履歴担当者 • OT 監督 HMI • OT 監督 OPC • OT 監督 SCADA
OT コントロールシステム	3:1	• OT コントロール • OT コントロール 3D プリンター • OTコントロールCNC • OT コントロール DCS • OT コントロール DPU • OT コントロール IED • OT コントロールモジュール • OT コントロール PLC • OT コントロール RTU • OT コントロール SCADA • OT コントロールサーバー
OT フィールドデバイス	10:1	• OTフィールドアクチュエータ • OT フィールドデバイス • OT フィールドドライブ • OT フィールドロボット • OT フィールドセンサー
産業用消耗品	25:1	上記のモデルカテゴリのいずれかを使用して作成された消耗品資産。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OT 資産管理 ライセンスリソースカテゴリ (続く)

リソースカテゴリ	サブスクリプションユニット率	**Model category** (モデルカテゴリ)
運用設備	1：1	該当なし

サブスクリプションユニット率は、サブスクリプションユニット数に対する資産数の比率です。たとえば、産業用消耗品のサブスクリプションユニットの比率は 25:1 で、この場合、25 個の資産には 1 ユニットのライセンスが必要です。1 ライセンスが 100 ドルの場合、25 個の産業用消耗品資産が 100 ドル、50 個の産業用消耗品資産が 200 ドルです。

ITAM ライセンスレポートを使用して、 OT 資産管理 アプリケーションのサブスクリプションの詳細を表示できます。詳細については、「OT 資産管理アプリケーションのライセンスレポートの表示」を参照してください。

OT 資産 ワークスペース

OT 資産 ワークスペース は、オペレーショナルテクノロジー (OT) および運用機器 (OE) 資産を管理するための、 OT 資産管理 アプリケーションの直感的で簡素化されたユーザーインターフェイスです。

OT 資産 ワークスペース は、OT 資産と OE 資産を効率的に管理するのに役立つ複数のビューを備えた統合メディアです。これらのビューでは、モデル別の資産数、ライフサイクルステータス、モデルカテゴリ、資産の全体的なパフォーマンスに関するダッシュボードなど、資産のすべての重要な側面を可視化できます。

OT 資産 ワークスペースの次のビューを使用すると、資産を効率的に管理できます。

- OT 資産の概要:重要なアクションとアクティブなタスクへのクイックリンクを表示します。
- 資産分析:資産の総所有コスト (TCO) を追跡することで、リソースを効率的に管理します。
- インベントリ:資産インベントリ全体と、インベントリタスクを実行できるストックルームの詳細を表示します。
- OT 資産一覧:資産機能を表示し、ハードウェアと消耗品の正確なレコードを維持します。
- OT モデル管理:管理されているさまざまなタイプの OT モデルの詳細を表示します。
- 調達ビュー:進行中のすべての調達アクティビティの詳細を表示および管理します。
- 契約とリースの管理:すべての資産契約を表示および管理します。
- 資産運用:出荷、オンボーディング、移動オーダー、および計算されたモデルライフサイクルに関連する資産運用を表示します。
- 作業管理:メンテナンス計画、作業指示、作業指示タスクを作成および管理します。
- アドミンセンター:構成タスクと管理タスクを実行します。OT 資産マネージャーおよび OT 資産技術者は、[**TCO Configuration (TCO** 構成)] リストの [Task rate card (タスクレートカード)] オプションと [Labor rate card (賃金レートカード)] オプションのみを変更できます。

OT 資産 ワークスペース ロール

OT 資産 ワークスペース へのアクセスは、アサインされているロールによって異なります。

- OT 資産マネージャー [sn_otam.ot_asset_manager):OT 資産 ワークスペースへのフルアクセスを提供します。
- OT 資産技術者 [sn_otam.ot_asset_technician]:OT 資産 ワークスペースへの制限付きアクセス権を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

エンタープライズ資産ワークスペース

医療向け エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーションは、アクティブ化すると医療固有のモデル、資産、およびワークフローを管理できるようになるライセンス可能なアプリケーションです。

エンタープライズ資産管理 for Healthcare (com.sn_eamhc) アプリケーションはServiceNow Storeで利用できます。このアプリケーションを ServiceNow インスタンスにインストールすると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションもインストールされます。詳細については、「エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともにインストールされるもの」を参照してください。

このアプリケーションは、医療関連のロールと資産モデルをサポートする エンタープライズ資産管理 の機能、特徴、およびワークフローを提供します。

関連情報

エンタープライズ資産管理 の詳細

医療および施設業界向けのパーソナライズされたワークスペース

パーソナライズされたワークスペースを使用して、医療および施設の資産とモデルを作成および管理します。

概要

パーソナライズされたワークスペースは、業界に基づいて資産タブとモデルタブが構成されている特定の業界の機能領域で作業するのに役立ちます。

医療および施設業界向けに調整された次のワークスペースを使用します。

- 医療資産ワークスペース:医療資産とモデルを作成および管理します。
- 設備資産ワークスペース:施設資産とモデルを作成および管理します。

注: 正規化プロセスは エンタープライズ資産ワークスペース 内でのみ実行され、特定のワークスペース内の医療モデルや施設モデルに対しては実行されません。

医療資産マネージャーまたは医療資産技術者としてログインしている場合、デフォルトでは、 医療資産一覧ビュー の医療資産カテゴリと医療 モデル管理 ビューの医療モデルカテゴリのみを表示できます。同様に、設備資産マネージャーまたは設備資産技術者としてログインしている場合は、[設備資産一覧] ビューの設備資産カテゴリと、[設備モデル管理] ビューの設備モデルカテゴリのみを表示できます。

特定のワークスペースにログインしている場合、業界に固有ではなく、エンタープライズ管理者またはシステム管理者ロールによって追加された他の資産やモデルカテゴリが表示される場合があります。たとえば、医療資産マネージャーまたは医療資産技術者としてログインしている場合、建設、輸送、施設など、他の資産やモデルカテゴリが表示されることがあります。ただし、これらのカテゴリは読み取り専用であるため、何も作成または変更できません。

ワークスペースのロール

アクセスできるワークスペースは、 ServiceNow インスタンスへのログインに使用するロールによって異なります。アクセスできるワークスペースのみを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ワークスペースへのアクセスに必要なロール

ワークスペース	必要なロール
医療資産ワークスペース	• 医療資産マネージャー (sn_eamhc.medical_asset_manager) • 医療資産技術者 (sn_eamhc.medical_asset_technician) • エンタープライズ管理者 [sn_eam.enterprise_admin] • システム管理者 [sys_admin}
施設資産ワークスペース	• 施設資産マネージャー (sn_eamhc.facility_asset_manager) • 設備資産技術者 (sn_eamhc.facility_asset_technician) • エンタープライズ管理者 (sn_eam.enterprise_admin) • システム管理者 (sys_admin)
医療資産ワークスペースと施設資産ワークスペース	• 医療資産マネージャー (sn_eamhc.medical_asset_manager) および施設資産マネージャー (sn_eamhc.facility_asset_manager) • 医療資産技術者 (sn_eamhc.medical_asset_technician) および施設資産技術者 (sn_eamhc.facility_asset_technician) • エンタープライズ管理者 (sn_eam.enterprise_admin) • システム管理者 (sys_admin)
医療資産ワークスペース、施設資産ワークスペース、Enterprise 資産ワークスペース	• エンタープライズ管理者 (sn_eam.enterprise_admin) • システム管理者 (sys_admin)

アドミンセンターへのアクセス

Enterprise admin ロールとシステムアドミニストレーターロールのみが、医療資産ワークスペースと施設資産ワークスペースのアドミンセンターで構成を変更できます。

医療資産マネージャー、医療資産技術者、施設資産マネージャー、または施設資産技術者は、 **TCO** 構成 リストの [タスクレートカード] と [賃金レートカード] オプションを除き、アドミンセンターで変更を加えることはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント の申請 エンタープライズ資産管理

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を作成、更新、および表示できます。また、このアプリケーションを使用して、在庫監査のためにエンタープライズ資産をスキャンしたり、資産廃棄の検証や切り離しを実行したりすることもできます。

ServiceNow モバイルエージェント アプリケーションは、iOS デバイスと Android デバイスの両方でサポートされています。アプリケーションは 、Apple App Store または Google Play ストア からダウンロードできます。

モバイルエージェント アプリケーションの詳細については、「モバイルエージェントアプリ 」を参照してください。

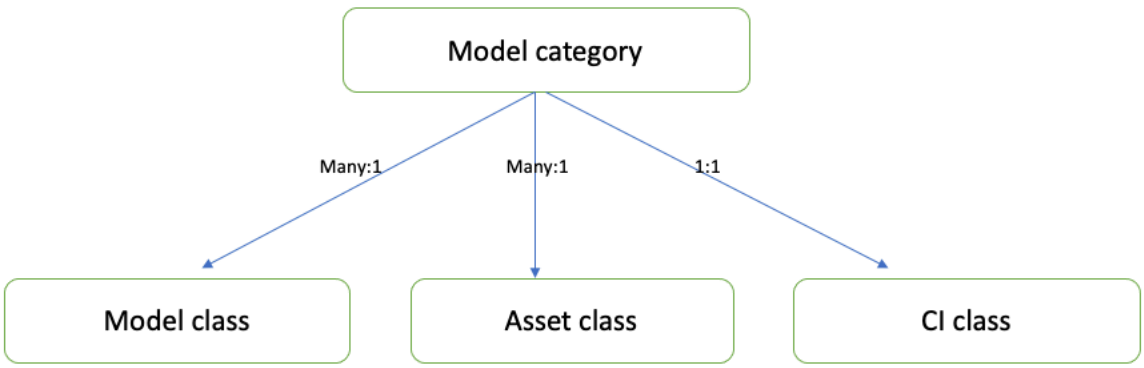
関連情報

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理

モデルカテゴリ

モデルカテゴリは、エンタープライズ資産管理アプリケーションの資産クラス、製品モデルクラス、および構成管理データベース (CMDB)構成アイテム (CI) クラス間の関係を定義します。

各モデルカテゴリは、モデルクラス、資産クラス、および既存の CMDB CI クラスに対応するサブカテゴリに分類されます。1 つのモデルクラスと 1 つの資産クラスに複数のモデルカテゴリを割り当てることができます。ただし、モデルサブカテゴリと CMDB CI クラスの間には 1 対 1 のマッピングがあります。



さまざまな基本モデルカテゴリから選択できます。最上位のモデルカテゴリは次のとおりです。

- 医療
- 施設
- 輸送
- 産業
- 小売
- 建設
- 戦術装備品
- ウェアラブル

利用可能なモデルカテゴリとそれに対応する CMDB CI、資産、およびモデルクラスの完全なリストについては、「 エンタープライズモデルカテゴリと対応するクラス」を参照してください。

注: 最上位のモデルカテゴリ内の既存のサブカテゴリを使用したくない場合は、カスタムサブカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「カスタムモデルカテゴリの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

⚠ 警告: ServiceNow では、既存の最上位のモデルカテゴリのみを使用することを強くお勧めします。

のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産は、エンタープライズ資産のメンテナンスを追跡するのに役立ちます。

マルチコンポーネントモデル

1 つ以上のモデル コンポーネントに関連付けられた エンタープライズ資産管理 モデルは、マルチコンポーネント モデルとして定義されます。

モデルコンポーネントは、消耗品モデルまたはエンタープライズモデルのいずれかです。同じモデルをマルチコンポーネントモデルのモデルコンポーネントとして複数回リストできます。たとえば、消耗品モデルのコンポーネント A は、マルチコンポーネント モデルに対して 3 回繰り返すことができます。

すべてのモデルコンポーネントには、マルチコンポーネントモデルとの次の 3 つの関係があり、それぞれに true または false の値があります。

- 必須:値が true の場合、モデルコンポーネントはマルチコンポーネントモデルが機能するために不可欠であり、完全に削除することはできません。
- ホットスワップ可能:値が true の場合、マルチコンポーネントモデルが動作している間にモデルコンポーネントをスワップできます
- 修理可能:値が true の場合、モデル コンポーネントは修理できます。

モデルコンポーネントとマルチコンポーネントモデルとの関係は、相互に排他的です。たとえば、マルチコンポーネントモデルが 2 つのモデルコンポーネント A で構成されている場合、各モデルコンポーネント A はマルチコンポーネントモデルと独自の関係を持つことができます。

マルチコンポーネントモデルには、事前に組み立てられたモデルとユーザーによって組み立てられたモデルの 2 つのタイプがあります。

事前に組み立てられたマルチコンポーネントモデルまたはユーザーアセンブリされたマルチコンポーネントモデルを単純なモデルに変更するには、モデルがまだ ビルド 状態である間に、すべてのモデルコンポーネントの関連付けを解除します。モデルレコードを保存すると、マルチコンポーネントモデルが簡易モデルに変更され、モデルコンポーネントへのすべての関連付けが削除されます。

マルチコンポーネント資産

マルチコンポーネント資産は、マルチコンポーネントモデルから作成されます。

消耗品モデルのコンポーネントがマルチコンポーネントモデルに複数回リストされている場合、[必須]、[ホットスワップ可能]、または [修理可能] フィールドが同じかどうかに関係なく、1 つのレコードに結合されます。

資産には、消耗資産とシリアル化資産の 2 種類があります。

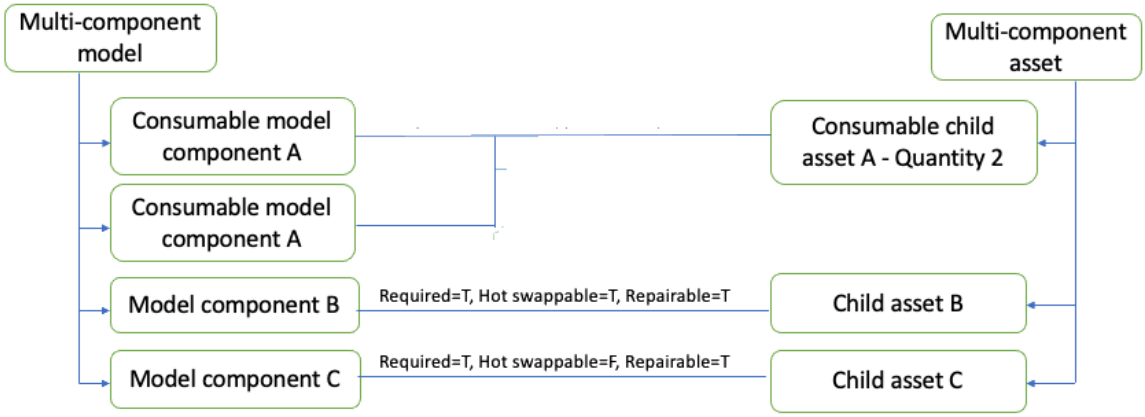
エンタープライズモデルコンポーネントの場合、モデルコンポーネントに基づいてシリアル化された子資産が作成されます。たとえば、子資産 B はモデルコンポーネント B 用に作成された子資産です。

マルチコンポーネントモデルで定義されたモデルコンポーネントの関係が拡張され、子資産レコードに表示されます。子資産のスワップは、同じモデルコンポーネントでのみ実行できます。子資産を別のモデルコンポーネントと入れ替えることはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

マルチコンポーネントモデルとマルチコンポーネント資産の関係



事前に組み立てられた資産とユーザーによって組み立てられた資産

事前に組み立てられたマルチコンポーネントモデルとユーザー組み立てされたマルチコンポーネントモデルに関連付けられた資産は、それぞれ事前に組み立てられたマルチコンポーネント資産とユーザー組み立てされたマルチコンポーネント資産と呼ばれます。

- 事前に組み立てられた資産:親資産が作成されると、子資産が自動的に作成されます。子資産は、親資産が作成されたのと同じストックルームに作成されます。子資産は親資産のプロパティ (ストックルーム、ステータス、サブステータスなど) を継承します。作成時に子資産に資産管理番号またはシリアルタグは添付されません。モデルコンポーネントで定義されていない場合でも、子資産やアドオンを追加できます。アドオン資産が追加されると、[資産タイプ] フィールドに [アドオンで事前に組立] の値が表示されます。
- ユーザー組立資産:親資産ストックルームにある資産を使用して資産を組み立てます。
  - 資産レコードの [**Assemble**] ボタンを使用して、自分で資産を組み立てます。詳細については、「ユーザー組立資産の資産を選択」を参照してください。
  - [**Auto-assemble**] ボタンを使用して資産を自動的に組み立てると、ストックルームから資産を自動的に選択し、資産を親資産に関連付けるプロセスがトリガーされます。必要な数量の資産がストックルームにない場合、エラーが表示され、資産を自動的に組み立てることはできません。[**Assemble**] ボタンを使用して、アセットを自分で組み立てます。
  - すべての子資産とアドオン資産を親資産からリリースします。資産の解放の詳細については、「親資産から資産をリリース」を参照してください。

子資産は、次のいずれかのステータスにある任意のマルチコンポーネント資産とスワップできます。

- 使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり 欠陥品
- 在庫あり 修理待ち

注: アセットのスワップの詳細については、「親マルチコンポーネント資産の資産をスワップ」を参照してください。

エンタープライズモデルの複数のモデルコンポーネント

数量を指定することで、一度に複数のモデルコンポーネントをエンタープライズモデルに追加できます。[モデル コンポーネントの追加] ダイアログの [数量] フィールドでは、1 つのエンタープライズモデルに対して複数のシリアル化されたコンポーネントと消耗品コンポーネントを作成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- シリアル化されたコンポーネントの場合: [モデル コンポーネントの追加] ダイアログ ボックスの各行は、数量に基づいて複数のモデル コンポーネントに分割されます。たとえば、[数量] フィールドの行の値が 10 の場合、10 件のモデルコンポーネントレコードが作成されます。
- 消耗品コンポーネントの場合:1 行に 1 つのモデル コンポーネントが作成されます。たとえば、行の数量フィールドの値が 10 の場合、数量が 10 のモデルコンポーネントレコードは 1 つだけ作成されます。

消耗品の子モデルの場合、コンポーネントごとに 1 つの子資産が、コンポーネントの数量と等しい数量で作成されます。シリアル化された子モデルの場合、資産はコンポーネントごとに作成されます。

資産を作成しても、消耗資産は結合されません。消耗資産は数量のある個別資産です。たとえば、モデルコンポーネント A のレコードの数量値は 2 で、モデルコンポーネント B のレコードの数量値は 3 です。資産が 2 つ作成されます。1 つは数量 2 の資産レコードで、もう 1 つは数量 3 の資産レコードです。

ただし、消耗品のアドオン資産はモデルコンポーネントにリンクされていないため、結合されます。たとえば、モデル A に消耗品モデル C の 2 つのコンポーネントがあるとします。そのモデルから複合資産を作成すると、同じモデル C から 2 つの子資産が作成されます。

消耗品コンポーネントのコンポーネント番号の使用

消耗品には資産管理番号やシリアル番号がないため、[モデルコンポーネント] フォームの [コンポーネント番号] フィールドが子消耗品を識別して追跡するのに役立ちます。消耗品コンポーネントレコードを作成する際は、必ず [コンポーネント番号] フィールドに値を入力してください。

消耗品コンポーネントの場合、コンポーネント番号はプリフィックスとして子資産の表示名に伝搬されます。

シリアル化されたコンポーネントのコンポーネント番号の使用法

シリアル化されたコンポーネントの場合、コンポーネント番号の入力はオプションです。[数量]項目に入力した値が 1 の場合、構成品目番号を指定できます。[数量] フィールドに複数の値を入力すると、[コンポーネント番号] フィールドは無効になります。ただし、構成品目番号はシステムによって自動的に生成されます。必要に応じて、モデルコンポーネントフォームに移動し、コンポーネント番号を変更できます。

シリアル化されたコンポーネントの場合、資産タグが記載されていない場合、コンポーネント番号が資産タグとして伝播されます。後で資産タグを追加することにした場合、コンポーネント番号は資産タグで上書きされます。

エンタープライズモデルと資産の一括インポート

サブフローを使用して、複数のタイプのエンタープライズモデルと資産を一度に ServiceNow インスタンスにインポートします。既存のモデルと資産に対して一括更新を実行することもできます。

概要

Enterprise 資産ワークスペースを使用して、すべてのエンタープライズモデルと資産を別のデータベースから ServiceNow インスタンスに一括転送します。

スプレッドシート (.xlsx) の形式でテンプレートをダウンロードして、インポートレコードを作成します。テンプレートをアップロードする前に、すべての必須フィールドに有効な値を入力してください。テンプレートをインポートレコードに添付し、[インポート] を選択してインポートプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[インポート] を選択すると、EAM 一括インポートサブフローがトリガーされます。スケジュール済みジョブが開始され、スプレッドシート内のデータが適切なステージングテーブルにコピーされます。ステージングテーブルが検証され、 ServiceNow インスタンスにレコードが作成されます。

モード

モードとは、処理するインポートのタイプを指します。モデルと資産のインポートのみを行うモードと、モデルと資産の両方をインポートするモードがあります。次の使用可能なモードから選択できます。

- モデルを作成
- モデルを更新
- 割り当て済み資産を作成する
- 資産を更新
- モデルと資産を作成
- モデルと資産を更新

テンプレート

インポートレコードで選択したモードに基づいて、対応するテンプレートをダウンロードできます。

注: インポートプロセスを効果的に実行するには、すべての必須フィールドに有効な値を入力してください。すべての必須フィールドのリストについては、「 一括インポートスプレッドシートの必須フィールド」を参照してください。

モードとテンプレート

モード	対応するテンプレート
• モデルを作成 • モデルを更新	モデルテンプレート
• 割り当て済み資産を作成する • 資産を更新	資産テンプレート
• モデルと資産を作成 • モデルと資産を更新	モデルと資産のテンプレート

テンプレートをカスタマイズして列を追加できます。列を追加するには、次の変更を行います。

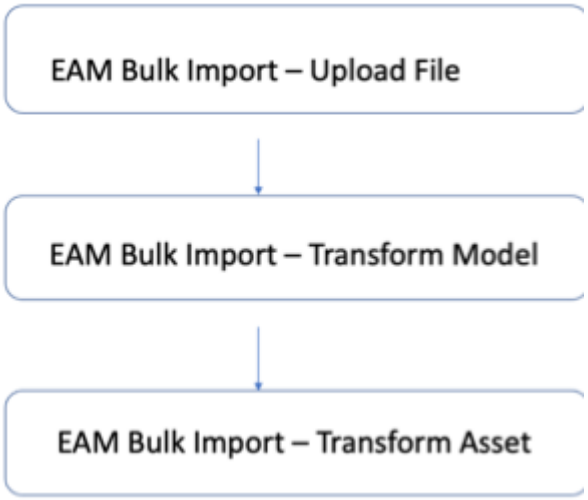
1. ステージングテーブルに新しい列を追加します。
2. データベースビューテーブル [sn_eam_import_template] のリストビューを変更して、スプレッドシートに表示する列を含めます。インスタンスのナビゲーションバーのフィルターフィールドに文字列 `sn_eam_import_template.list` を入力します。
3. モデルまたは資産変換マップにフィールドマッピングを追加します。

スケジュール済みジョブ

次のスケジュール済みジョブは、EAM 一括インポートサブフローの一部として実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



スケジュール済みジョブは、選択したモードに基づいて実行されます。

EAM 一括インポート - ファイルのアップロードジョブは、すべてのモードで実行されます。[モデルを作成] または [モデルを更新] モードの場合、EAM 一括インポート - 資産の変換は実行されません。同様に、[資産を作成] または [資産を更新] モードの場合、EAM 一括インポート - 変換モデルは実行されません。

たとえば、[モデルと資産を作成] モードを選択すると、スケジュール済みジョブ *EAM Bulk Import - Upload file* スプレッドシートから 3 つのステージングテーブルにデータがアップロードされます。次に、スケジュール済みジョブ *EAM Bulk Import - Transform Model* モデルとモデルコンポーネント変換マップを実行します。モデル変換マップが完了すると、 *EAM Bulk Import -Transform Asset* スケジュール済みジョブが資産変換マップを実行します。

ステージングテーブル

スプレッドシートに入力したデータは、次のステージングテーブルの 1 つ以上にコピーされます。

- モデルインポートステージング [sn_eam_model_import_row]
- モデルコンポーネントインポートステージング [sn_eam_mc_import_row]
- 資産インポートステージング [sn_eam_asset_import_row]

エンタープライズ資産管理 正常化

エンタープライズ資産管理正規化プロセスを使用すると、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプのデータを正規化できます。

概要

正規化プロセスでは、検出されたメーカー、検出されたモデル、検出されたモデルタイプ、および検出されたモデル番号の値を、エンタープライズ資産管理 Content Service 内の正規化された同等のServiceNowリポジトリと比較します。

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化コンテンツを使用してモデルレコードを手動で更新するか、データを エンタープライズ資産管理 Content Service と比較することができます。

正規化のスケジュール済みジョブ

正規化プロセス中に実行されるスケジュール済みジョブは次のとおりです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
EAM:日次ジョブ	エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスによってデータがプルされる時間を設定します。このジョブは、正規化プロセスが初めて開始されたときに 1 回だけ実行されます。 モデルがライフサイクルの終了日を過ぎている場合、このジョブにより、モデルレコードの **[Enterprise** モデルライフサイクル] タブの [コンテンツライフサイクルフェーズ] チェックボックスが有効になります。
EAM:コンテンツのアップロード	次のカスタムテーブルに追加したコンテンツをエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにアップロードする日次ジョブ: • カスタムエンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type] • カスタムエンタープライズメーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer • カスタムエンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model] • カスタムエンタープライズモデルライブラリ [sn_eam_cd_custom_model_library] **注:** このジョブは、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインしている場合にのみ実行されます。
EAM:エンタープライズライフサイクル	新規作成または削除されたライフサイクルに関する情報でモデルレコードを更新します。
EAM:正規化	正規化されていないすべてのモデルを正規化します。
EAM:最新のコンテンツ変更を適用	コンテンツテーブルの変更を エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに対して更新します。

エンタープライズ資産管理 正規化とともにインストールされるテーブル

エンタープライズ資産管理アプリケーションのアクティブ化とともに、いくつかの正規化テーブルがインストールされます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
カスタムエンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_custom_model_type]	カスタムエンタープライズモデルタイプレコードを保存します。
カスタムエンタープライズメーカー [sn_eam_cd_custom_manufacturer]	カスタムのエンタープライズメーカーレコードを保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされるテーブル (続く)

テーブル	説明
カスタムエンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_custom_product_model]	カスタムエンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
カスタムエンタープライズモデルライブラリ [sn_eam_cd_custom_model_library]	エンタープライズモデルライブラリーレコードを保存します。
エンタープライズモデルタイプ [sn_eam_cd_model_type]	エンタープライズモデルタイプのレコードを保存します。
エンタープライズメーカー [sn_eam_cd_manufacturer]	エンタープライズモデルの製造元レコードを保存します。
エンタープライズ製品モデル [sn_eam_cd_product_model]	エンタープライズ製品モデルレコードを保存します。
エンタープライズモデルライブラリ [sn_eam_cd_model_library]	エンタープライズモデルライブラリーレコードを保存します。
エンタープライズライフサイクル定義 [sn_eam_cd_lifecycle_definition]	エンタープライズモデルのライフサイクルフェーズと関連する日付を保存します。
EAM コンテンツ監査 [sn_eam_content_audit]	変更されたコンテンツ値を保存します。
エンタープライズライブラリの管理 [sn_eam_manage_cd_library]	インポートおよびエクスポートコンテンツデータを格納します。
エンタープライズ資産構成 [sn_eam_configuration]	オプトインおよびオプトアウトのデータを保存します。

リスクスコアリング

可能性と影響の 2 つのベクトルに基づいてエンタープライズモデルレコードのリスクスコアを計算します。

モデルに関連付けられた資産は、モデルのリスクスコア値を継承します。ただし、モデルで指定されたリスクスコア値とは異なる資産のリスクスコアを定義することで、モデルのリスクスコアを上書きできます。

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのリスクモジュールにアクセスするには、次の場所に移動します。 資産 > エンタープライズリスク構成. 次のモジュールを使用して、可能性、影響度、およびスコアの構成値を入力します。

- リスクの可能性
- リスクの影響度
- リスクスコア

注: 可能性、影響度、およびスコアの値の構成の詳細については、「リスク可能性の構成値の作成」、「リスク影響度の構成値の作成」、または「リスクスコアの構成値の作成」を参照してください。

リスクモジュールで値を構成して固定すると、ヒートマップが エンタープライズ資産ワークスペースの次のビューに表示されます。

- エンタープライズ資産一覧ビュー:資産スコアのヒートマップ
- エンタープライズモデル管理ビュー:モデルリスクスコアのヒートマップ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モデルが [ビルド] ステージでなくなり、モデルのリスクスコアを更新する場合は、モデルフォームの [リスクを更新] ボタンを使用して、更新された値を関連資産に伝播できます。このボタンをクリックすると、 *EAM - Update model risk values to asset* スケジュール済みジョブが実行され、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

注: モデルが [ビルド] ステージにある場合、[リスクを更新] ボタンは表示されません。

Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理

ServiceNow インスタンスをサードパーティのZebra MotionWorksロケーションソリューションと統合して、エンタープライズ資産のリアルタイム無線自動識別 (RFID) 位置データをインポートして表示できます。

RFID は、無線周波数を使用して資産の位置と識別データを転送する資産追跡テクノロジです。このデータは、各資産に取り付けられているか埋め込まれている小型デバイスである RFID タグを介して保存および転送されます。各RFIDタグは、次のコンポーネントで構成されています。

- 無線周波数を送受信し、関連する資産の位置と ID データを転送できるようにするアンテナ。アンテナは、RFID タグをスキャンするたびに、これらの無線周波数を送受信します。
- 関連する資産の位置と識別データを保存する一意のマイクロチップまたは集積回路 (IC)。
- 他の 2 つのコンポーネントをまとめる基板。

Zebra MotionWorks ロケーションソリューションは、RFIDテクノロジーを使用して、資産と在庫のリアルタイムの場所を自動的に追跡します。ServiceNow インスタンスをZebra MotionWorksロケーションソリューションと統合すると、この RFID 場所データがインスタンスにインポートされ、エンタープライズ資産を識別して追跡できるようになります。ロケーションソリューション Zebra MotionWorks 検出したデータ変更は、 ServiceNow インスタンスで自動的に更新されます。

Zebra MotionWorksの詳細については、Zebra MotionWorks Location Solutions の Web サイト を参照してください。

Zebra MotionWorks場所ソリューションからの RFID 位置データのインポート

Zebra MotionWorks場所ソリューションから RFID 場所データをインポートすると、関連付けられているエンタープライズ資産に基づいて、データが RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加されます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、この RFID 場所データをインポートするエンタープライズ資産ごとに個別のテーブルエントリを自動的に作成します。

RFID 場所データが RFID ステージ資産 [sn_itam_common_rfid_stg_asset] テーブルに追加されると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは RFID リソースデータ変換マップを使用してこのデータを処理し、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマッピングします。ただし、RFID の場所データは、シリアル番号を含むエンタープライズ資産に対してのみ RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルにマッピングできます。

マッピングが成功したら、 *RFID Asset Mapping Job* スケジュール済みジョブを毎日またはオンデマンドで実行し、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルに結果のデータをマッピングできます。ただし、このデータマッピングは、資産 [alm_asset] テーブル内に対応する資産レコードが存在することに依存します。

- データをマッピングするエンタープライズ資産に対応する資産レコードが既に存在する場合は、そのエンタープライズ資産の RFID 場所データが変更されるたびに自動的に更新されます。さらに、RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルで、エンタープライズ資産 の ステータス が新規 から 一致 に変更されます。

- 対応する資産レコードがまだ存在しない場合、そのエンタープライズ資産のデータを RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルから資産 [alm_asset] テーブルにマッピングすることは

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

できません。RFID 資産 [sn_itam_common_rfid_asset] テーブルで、エンタープライズ資産 のステータス が 新規 から 不一致 に変更されます。

Enterprise 資産一覧ビューの [概要] タブに表示される [一致しない **RFID** タグ] 重要なアクションを使用して、これらの一致しないエンタープライズ資産を表示してアクションを実行できます。エンタープライズ資産一覧ビューの詳細については、「エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要」を参照してください。

資産レコードは、Enterprise 資産ワークスペースの Enterprise 資産一覧 ビューで表示できます。各資産レコードに含まれる RFID フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。

注: 1 つ以上の子エンタープライズ資産を持つ親エンタープライズ資産の RFID 場所データをインポートする場合、それらの子エンタープライズ資産の RFID 場所データは、それらが関連付けられている RFID タグに基づきます。

- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれている場合、その資産の RFID 位置データはその RFID タグに基づきます。
- 子エンタープライズ資産に RFID タグが含まれていない場合、その資産の RFID 場所データは親エンタープライズ資産の RFID タグに基づきます。親エンタープライズ資産を削除すると、子エンタープライズ資産のすべての RFID 場所データがクリアされます。

エンタープライズ資産の再利用

再利用ワークフローを使用して、エンタープライズ資産を要求、評価、再利用できる従業員の退職プロセスを調整します。

従業員が組織を退職したり、別のロールに異動したりした場合、従業員にアサインされた資産の回収には、人事部門とエンタープライズ資産マネージャーの間で広範な調整が必要になります。退職サービスカタログ要求を作成すると、必要に応じて、資産を効率的に回収してインベントリに補充したり、再割り当てしたり、修理のために送付したり、廃棄したりするための規範的なワークフローを開始できます。

サービスカタログアプリケーションを使用して資産再利用要求を作成できます。要求が作成されると、一連のタスクで構成される再利用品目が作成されます。これらのタスクには、sam_userロールのみがアクセスして実行できます。すべてのタスクがクローズされると、再利用品目は完了です。すべての再利用品目が完了すると、カタログ要求も完了します。

注: サービスカタログ アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を再利用するには、エンタープライズ資産管理 アプリケーションをインストールする必要があります。

サービスカタログアプリケーションを使用して 資産再利用要求を作成する と、資産再利用要求が作成されます。退職する従業員に割り当てられたエンタープライズ資産ごとに、[資産の再利用] サービスカタログで選択した資産のエンタープライズ資産再利用ラインが作成されます。各エンタープライズ資産再利用ラインは、次のエンタープライズ資産再利用タスクを通じてクローズされます。

- [資産再利用] フォームで選択した再利用方法に基づいて、返品のスケジュール、集荷のスケジュール、または出荷タスクのスケジュールを設定します
- 資産を受領
- 評価

エンタープライズ資産再利用ラインにはステージフィールドもあり、 エンタープライズ資産再利用タスクをクローズ すると次のように変更されます。

- 保留中
- 評価を保留中
- 完了

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

分類コード

分類コードを使用してエンタープライズモデルを整理および分類し、効果的に使用します。

概要

分類コードを作成して、エンタープライズモデルの可視化と効率を向上させます。

分類コードはモデルに割り当てられ、モデルカテゴリに基づいており、各コードにはソースがあります。

分類コードは、1 つ以上のモデルカテゴリに基づくことができます。たとえば、設備モデルカテゴリがコード A に割り当てられ、医療モデルカテゴリがコード B に割り当てられているとします。作成する各モデルにコードを割り当てることができます。設備モデルを作成するときに、分類コード A をそのモデルに割り当てることができます。同様に、医療モデルを作成するときに、そのモデルにコードBを割り当てることができます。

ソースは、特定の業界の分類システムです。たとえば、OmniClassは建設部門向けの分類システムです。一部のソースには、親子関係の階層構造があります。このような階層システムでは、コードごとに親が 1 つしかありません。データインフラストラクチャは、ソースが階層構造に準拠しているかどうかを決定します。

モデル間の親子関係を使用して、分類コードに基づいてモデルと資産を除外します。分類コードに基づいて、ダッシュボード上のレポートをフィルタリングできます。

エンタープライズ資産ワークスペースで分類コードを作成および編集するには、次の場所に移動します。 エンタープライズモデル管理ビュー > 分類.

分類コードが作成されると、そのコードの先祖リストが自動的に生成されます。既存のコードの親が更新されると、そのコードとそのすべての子の先祖リストが更新されます。

分類コードを使用したフィルター

次の エンタープライズ資産ワークスペース ビューでは、分類コードに基づいてモデルをフィルター処理できます。

- エンタープライズ資産の概要
- Enterprise 資産ダッシュボード
- 在庫
- Enterpriseモデル管理
- エンタープライズ資産一覧

[分類] フィルターでコードを選択してフィルターを適用すると、そのコードに整合するすべてのモデルとそのすべての祖先のレポートが表示されます。

使用されるロール

分類コードを操作するには、次のロールが必要です。

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
分類マネージャー [sn_eam.enterprise_classification_manager]	sn_eam.enterprise_admin	このロールには、分類コードテーブルへの完全なアクセス権があります。このロールでは、分類コードの作成、編集、表示ができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
モデルマネージャー [model_manager]	sn_eam.enterprise_asset_manager	このロールでは、分類コードの表示のみが可能です。

エンタープライズ資産管理向けプレイブック

プレイブックは、重要な情報を使用して資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。

Playbook の概要

Playbook はワークフローを実行し、複数のレーンに分割します。プレイブックのワークフローは、通常、 プレイブックの探索 を使用して作成されます。プレイブックの各レーンには次のものが含まれます。

- レビューするアクティビティのリスト。
- 各アクティビティの現在のステータスを表示するステータスインジケーター。
- ワークフローの現在位置を示すチェックマーク。

レーン内のアクティビティを完了としてマークすると、次のアクティビティに移動します。アクティビティはいつでも保存でき、後でプレイブックに戻ることができます。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。アクティビティとレーンを完了し続けると、ステータスが左側のパネルに反映されていきます。プレイブックの右側にあるアクティビティログには、各アクティビティに入力したすべてのデータが表示されます。

プレイブックのレイアウト

プレイブックは次の部分に分かれています。

- 左側のレーン。
- 中央の作業領域。

で利用可能なプレイブック エンタープライズ資産管理

次のプレイブックを使用します さまざまなエンタープライズ資産管理ワークフローを完了するには

- 資産オンボーディング プレイブック:単一の資産をオンボーディングできます。
- マルチ資産オンボーディング プレイブック:一度に複数の資産をオンボーディングできます。
- キャリブレーションイベント プレイブック: 作業指示の一部として実行している資産キャリブレーションを追跡および管理できます。

資産オンボーディングプレイブック

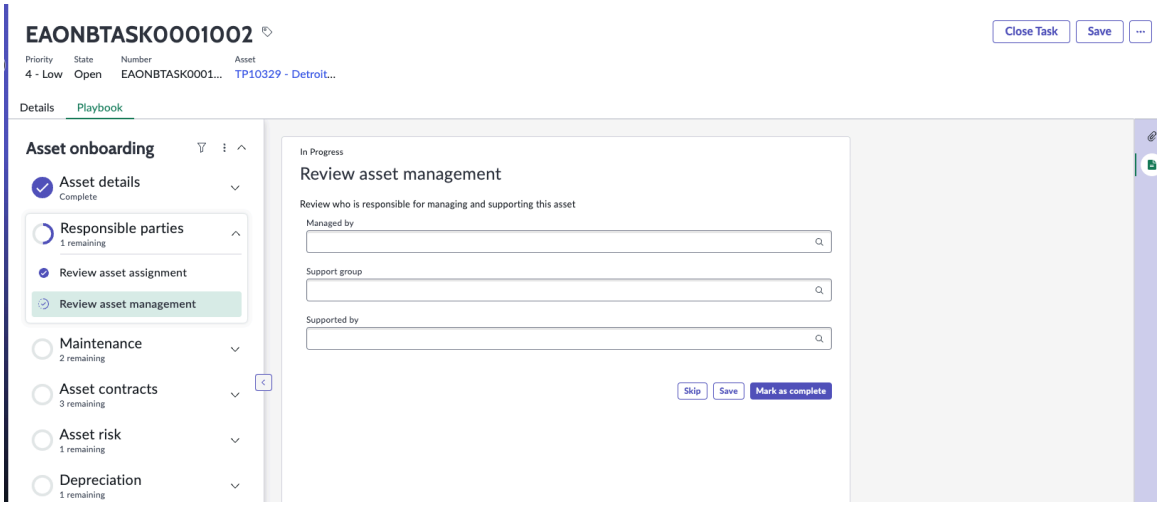
資産オンボーディングプレイブックは、プロセスの各ステップでコンテキストを提供し、資産の重要な情報を入力するのに役立ちます。

各資産には 1 つのオンボーディングプロセスのみを含めることができ、オンボーディングプロセスごとにプロセスを追跡するオンボーディングタスクがあります。

資産オンボーディングタスク [sn_itam_common_asset_onboarding_task] テーブルは、資産オンボーディングプロセスを追跡します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



マルチ資産オンボーディングプレイブック

マルチ資産オンボーディングプレイブックを使用すると、1 つのモデルの複数の資産を一度にオンボーディングできます。

エンタープライズ資産技術者は、次のいずれかのタスクを実行して複数の資産をオンボーディングできます。

- カタログ要求を作成します。
- でオンボーディング注文を作成する エンタープライズ資産ワークスペース.

カタログ要求またはオンボーディング注文が送信されると、資産受け入れタスクが作成されます。エンタープライズ資産マネージャーは、タスクに関連付けられたプレイブックを使用して、資産受け入れタスクを完了できます。オンボーディングタスクが完了すると、カタログ要求と要求アイテムのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

マルチ資産オンボーディングプレイブックには、スキップすることも完了としてマークすることもできる一連のアクティビティがあります。プレイブックの展開アクティビティを使用すると、エンタープライズ資産マネージャーは次の詳細を指定して展開タスクを作成できます。

- 資産が割り当てられている人物
- 資産を展開する場所

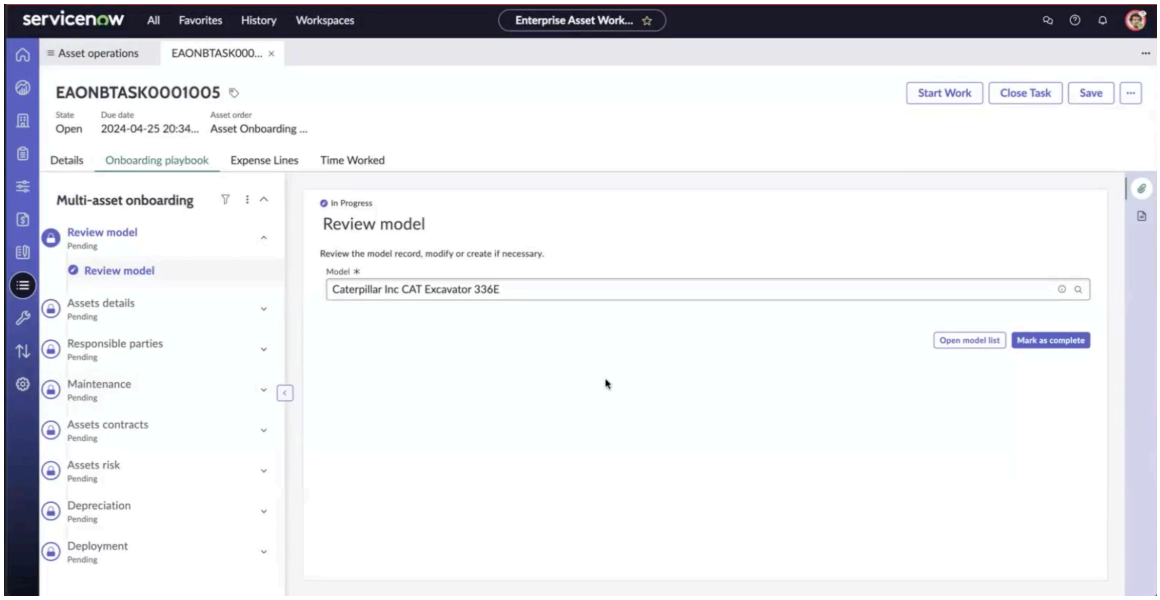
注: マルチ資産オンボーディングプレイブックで先行するすべてのアクティビティを確認した後にのみ、展開アクティビティで作業できます。

マルチ資産オンボーディングの展開タスクは、enterprise_admin ロールを使用して *com.sn_eam.default_deployment_task* 資産プロパティを構成することで、エンタープライズ資産展開タスクまたは作業指示タスクとして作成できます。デフォルトでは、この資産プロパティの [値] フィールドは **sn_eam_deploy_asset_task** に設定され、エンタープライズ資産展開タスクが作成されます。ただし、[**Value** (値)] フィールドを **wm_task** に設定することで、作業指示タスクを作成できます。

マルチアセットプレイブックの使用の詳細については、「 マルチ資産のオンボーディングプロセスを作成する」を参照してください。

自動翻訳

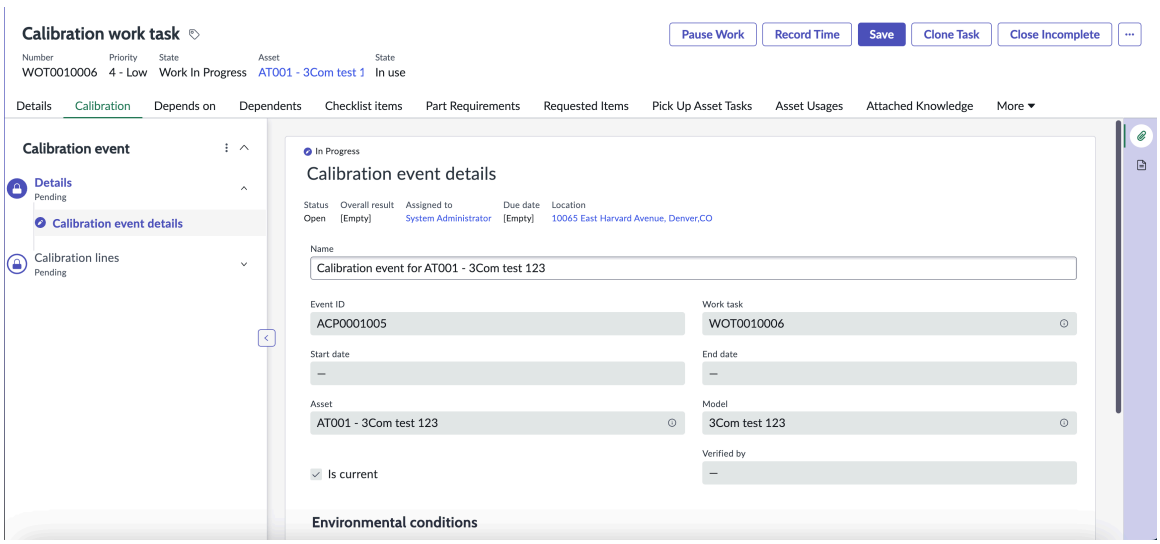
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



キャリブレーションイベント プレイブック

キャリブレーションイベント プレイブック を使用すると、作業指示の一部として実行している資産キャリブレーションを追跡および管理できます。この プレイブック は、[作業タイプ] が [キャリブレーション] のすべての作業指示タスクで使用できます。

ServiceNow インスタンスでのキャリブレーションイベントプレイブックの使用の詳細については、「エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズする」を参照してください。ServiceNow® モバイルエージェント® アプリケーションでキャリブレーションイベントプレイブックを使用する方法の詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行」を参照してください。



Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) のリニア資産

リニア資産を使用して、リニア資産を作成および管理することで資産管理ポートフォリオを拡大し、分散を促進します。

概要

リニア資産は、道路、鉄道、パイプライン、送電線、通信ネットワークなど、物理的な長さまたは寸法を持つ資産です。これらの資産は、多くの場合、直線的なトポロジによって特徴付けられます。つ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

まり、開始点と終了点が定義されており、相互接続されたセグメントまたはノードのシーケンスとして表すことができます。

リニア資産にセグメントを作成し、秘匿資産をリニア資産に関連付け、重複する資産、継続資産、交差する資産などのリニア資産間の関係を見つけることができます。リニア資産に使用される用語の詳細については、「リニア資産の用語」を参照してください。

地理的 (ジオ) マップを使用して、リニア資産とリニアセグメントを作成および管理できます。Geo マップは エンタープライズ資産管理に統合されています。

リニア資産のサポート範囲

リニア資産は、次の考慮事項を念頭に置いてサポートされます。

- ジオポイントによってモデル化されたリニア資産のサポート。
- 小数点以下 7 桁までの符号付き 10 進度ジオポイントのサポート。たとえば、[37.3800091, -121.9635865] です。
- 最大 1,000 件のリニア資産をサポート。
- 各リニア アセットのサポートは、最大 1,000 個のジオポイント、500 個のマーカー、500 個のセグメントまで拡張されています。
- 1 か月あたり最大 1,000 件のリニア資産の作業指示をサポートします。

リニア資産の Geo マップ

ジオマップは、地球の表面または特定の地域を視覚的に表現したもので、地形、水域、都市、道路、その他の地理的要素などのさまざまな機能を表示します。

sn-geo-map は、リニア資産のマップ可視化をサポートするために使用される UI コンポーネントです。

エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager] は、Geo マップにアクセスできます。

Geo マップは、ワークスペースで次のアクションを実行するのに役立ちます。

- リニア資産を描画して座標を定義します。
- セグメントの開始マーカーと終了マーカーをピックアップします。
- 個別の資産のマーカーをピックアップします。
- 個別資産、重複資産、交差資産、継続資産、セグメントなどの関連資産を表示します。

ジオマップアイコンを使用してマップ上のジオ座標ポイントを接続する方法の詳細については、この短いビデオ「 マップ上のジオ座標ポイントの接続 」をご覧ください

Enterprise Asset Management のナレッジ記事

エンタープライズモデルに関するナレッジ記事を作成して添付します。

エンタープライズ資産ワークスペース または Knowledge Management アプリケーションを使用して、記事を作成します。エンタープライズ資産管理 利用できませんトラブルシューティング、構成などをテーマにした記事を作成できます。ナレッジ記事の作成については、以下を参照してください <<c0/>>。<link to creating knowledge article>

エンタープライズ資産管理者 [sn_eam.enterprise_asset_manager] ロールは記事を作成でき、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

記事が作成されて公開された後、エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician] ロールは記事をエンタープライズモデルに添付できます。

インスタンス内の記事を検索または表示するには、ナビゲーションバーに「Enterprise Asset Knowledge Base」と入力します。エンタープライズ資産ナレッジベースのすべての記事が一覧表示されます。

また、資産フォームの [モデルナレッジ] 関連リストで資産のモデルナレッジ記事を確認することもできます。作業指示書および作業指示書タスクフォームには、[部品ナレッジ] 関連リストもあります。

の資産総所有コスト (TCO) エンタープライズ資産管理

資産マネージャーは、資産の総所有コスト (TCO) を把握して、資産の総コストに関する洞察を得て、資本計画を立てることを望んでいます。

資産の耐用年数の間、資産には初期資本コスト、新しい部品の購入に関連するコスト、人件費、契約コストなどのコストが発生します。資産の TCO は、これらすべての費用の合計です。

TCO のメリット

- 資産階層全体で、調達、メンテナンス、修理、廃棄などの経費を追跡および分析します。
- ライフサイクル全体にわたる資産関連費用の可視化と管理が向上します。
- 類似の資産および資産モデルに照らして資産コストをベンチマークし、パフォーマンスを比較します。

TCO 計算

TCO は、資産の耐用年数の間に発生したすべての費用の合計です。TCO は、資産に対して作成されたすべての経費ラインの金額を加算することによって計算されます。資産の総コストは、経費ラインが追加されるたびに更新されます。

TCO を計算する際の考慮事項:

- 初期 TCO には、資産レコードの作成時に作成された経費ラインからの購入コストが含まれます。
- 新しい資産レコードが作成されると、資産レコードのコストフィールドを使用して新しい経費ラインが作成されます。
- コストフィールドが更新されると、既存の経費ラインレコードも更新されます。
- 単純な資産と複雑な資産の場合、TCO は資産に関連付けられているすべての経費ラインを集計して計算されます。新しい経費ラインが資産に追加されるたびに、TCO には更新された合計が自動的に反映されます。
- シリアル番号付き資産の場合、資産 TCO はその資産の下にあるすべての経費ラインの合計です。
- 複合資産の場合、子で発生したコストも親資産の TCO に追加されます。
- 子資産がスワップされると、運用コストとして 1 つの経費ラインが作成されます。新しい子資産の資本コストも親 TCO に追加されます。スワップ資産の **last_used** フィールドが入力され、このフィールドはそれ以降に作成された経費ラインを照会するために使用されます。スワップアウトされた資産の **[last_used**] フィールドは、ストックルームに戻るときに入力されます。
- 子資産のコストは複合資産の親資産コストの一部であるため、子資産の経費ラインは空です。
- 子資産が削除されても、その経費ラインは保持され、親 TCO は影響を受けません。
- ユーザーが組み立てた資産の場合、親と子の両方に経費明細があり、子経費明細は親にロールアップされ、金額は親 TCO に追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 複数階層の資産の場合、子資産に作成された経費ラインは、階層内のすべての親間の多対多の関係によって参照されます。
- 消耗品は結合と分割に設定されており、経費ラインも同様です。タスクレートカードによって作成された経費ラインは TCO に追加されます。計算は単純な資産に適用されます。消耗品が子資産として使用されている場合、その経費ラインは親にロールアップされます。TCO は個々の消耗品では追跡されません。
- 資産の再販によって得られる価値は、TCO に負のコストとして追加されます。月次リース支払があるリース資産の場合、毎月のリースの開始日に経費ラインを作成します。
- 経費ラインの [資産] フィールドには、タスクレコードからの資産参照が入力されます。
- 作業指示タスクまたはインシデントのクローズ後に作成された経費ラインの **[Asset** (資産)] フィールドには、作業指示タスクまたはインシデントの資産参照から入力されます。

TCO ベンチマークとしきい値

TCO ベンチマークコストを指定すると、TCO ベンチマークに TCO ベンチマークしきい値パーセンテージを乗算して、TCO ベンチマークしきい値が自動的に計算されます。*asset_tco_benchmark_threshold_percentage* システムプロパティでパーセンテージを変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

モデルフォームの [財務] セクションにある **[TCO** ベンチマークしきい値] フィールドの値を変更することで、TCO ベンチマークしきい値を手動で上書きできます。

TCO ベンチマークを更新すると、TCO ベンチマークしきい値が再計算されます。

レートカード、経費ライン、経費カテゴリ

エンタープライズ資産管理アプリケーションでは、作業時間レコードを自動的に合計し、レートカードを乗算して総コストを計算します。レートカードは、すべてのワークフローのタスクごとに作成されます。レートカードは、タスクごとまたは所要時間に基づいて費用をキャプチャします。エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、次のレートカードをサポートしています。

- タスクレードカード:タスクによってキャプチャされたコスト。
- 賃金レートカード:時間単位で消費された時間によってキャプチャされたコスト。賃金レートは、ユーザーレベルで定義できます。

注: レートカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

デフォルトでは、タスクレートカードが使用されます。賃金レートカードの使用に変更するには、タスクレートレコードを開き、[**Use time worked** (作業時間を使用)] フィールドを選択します。

タスクがクローズされると、キャプチャされたタスク作業時間に基づいて経費ラインが作成されます。その後、経費カテゴリが経費ラインに帰属します。経費ラインの金額は、資産の総コストに追加されます。経費ラインは、資産の下の [経費ライン] 関連リストに表示されます。

タスクの時間キャプチャ

各タスクには、作業時間レコードを作成する時間キャプチャ機能があります。

以下で説明するように、タスクの開始、時間の記録、一時停止、再開、クローズを行うことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. [作業の開始] を選択して作業を開始します。これにより、タスクのステータスが [オープン] から [対応中] に移行します。次に、[開始タイマー] または [時間を記録] を選択して時間をキャプチャできます。
   - 開始タイマー:時間を自動的にキャプチャします。このボタンを選択すると、タイマーが初期化されます。
   - 時間を記録: [時間を記録] ダイアログボックスに時間、分、秒で時間を手動で入力し、[保存] を選択して時間レコードをキャプチャします。
2. [作業の一時停止] を選択して作業を一時停止します。作業を一時停止するとタイマーが停止し、タスク作業レコードが [作業時間] タブに自動的に作成されます。作業を一時停止するたびに、タスク作業レコードが作成されます。作業を一時停止した回数に基づいて、複数のタスク作業レコードが作成されます。
3. [再開] を選択して作業を再開し、タイマーを再起動します。[タスクのクローズ] を選択してタスクをクローズすることもできます。

[タスクをクローズ] を選択すると、時間とタスクがクローズされます。タスクに費やされた合計時間を算出するために、そのタスクに対して作成されたすべてのタスク作業レコードエントリが合計され、賃金レートが乗算されて、タスクの合計コストが算出されます。

TCO レポート

TCO レポートには 2 つのタイプがあります。TCO とベンチマークの比較。TCO 比較レポートは経費カテゴリ別に積み重ねられます。

TCO を正規化

TCO の正規化とは、耐用年数と資産の耐用年数にわたるコストを平均化することです。正規化された計算は、オフラインのみの予測 TCO レポート用です。

ドメインセパレーション

TCO レポートはドメインセパレーションをサポートしています。

アップグレードの考慮事項

Xanadu にアップグレードする場合は、スケジュール済みジョブ [エンタープライズ資産の **TCO** アップグレード **(TCO Upgrade for Enterprise Assets**)] の実行後に、次の更新が行われます。

- タスクレコードの [資産] フィールドは、[ソース **ID**] フィールドに記載されているソーステーブルを使用して、すべての経費ラインに入力されます。ソーステーブルは、経費ラインの作成元を定義します。タスク、構成アイテム、契約、購入資産のいずれに対して作成されているのか。スケジュール済みジョブ **[Enterprise** 資産の **TCO** アップグレード **(TCO Upgrade for Enterprise Assets**)] が実行されると、すべてのタスクレコードが検索され、タスクレコードからタスクに対応する経費ラインに資産参照が入力されます。同様に、同じスケジュール済みジョブですべての構成アイテム (CI) を検索し、CI から対応する経費ラインに資産参照を入力します。
- Xanadu で導入された [経費カテゴリ] フィールドは、経費ラインのソースに基づいて入力されます。タスクにはいくつかの経費カテゴリがあります。たとえば、購入資産と契約資産に対して作成された経費ラインには、異なる経費カテゴリがあります。同様に、CI にもさまざまな経費カテゴリがあります。
- 資産レコードの次の 3 つのフィールドが入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- cmn_asset_tco:資産レコードの [財務] セクションでこのフィールドを表示します。
- cmn_end_of_useful_life:資産レコードでこのフィールドを表示するには、[資産の詳細] の横にある縦の省略記号を選択し、[**XML** の表示] を選択します。
- cmn_first_used:資産レコードでこのフィールドを表示するには、[資産の詳細] の横にある縦の省略記号を選択し、[**XML** を表示] を選択します。

- 単純な資産で作成された経費ラインは、最大 asset_tco 個まで追加されます。
- 事前に組み立てられた資産とユーザーによって組み立てられた資産の場合、資産に対して作成された経費ラインも親 TCO にロールアップされます。

関連情報

エンタープライズ資産の総所有コスト (TCO) の構成

倉庫内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修理するための修理フロー

修理フローを使用してストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修理し、修理した資産をさまざまな エンタープライズ資産管理 ワークフローで使用できるようにします。

修理フローを使用することで、組織は破損した資産や保証期間外の資産を内部で修理できます。修復された資産は、検証後に再び使用することができます。欠陥のある資産の修理に外部ベンダーが関与することはありません。

資産アドミニストレーターは、修理注文を送信することで、ストックルームにある欠陥のある資産や修理待ちの資産の修理を要求できます。詳細については、「欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求」を参照してください。修理注文を送信すると、修理フローがトリガーされます。修理注文には、資産の修理タスクに関連付けられた修理注文ラインがあります。資産技術者は、修理オーダーに関連付けられた修理タスクを完了します。修復フローは、修復された資産が評価された後で完了します。詳細については、「のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース」と「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の修理タスクの管理」を参照してください。

修理フローのステージ

1. トラブルシューティング:欠陥のある資産を評価し、以下を評価するステージ:
   - 資産に関する問題
   - 必要な部品
   - 欠陥のある資産を修復する手順

   このステージでは、資産技術者が資産が修理可能か、再展開可能か、修理不可能かを確認します。資産が修理可能な場合にのみ、修理フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

2. 修理:欠陥資産の修理を確認するステージ。このタスクでは、資産を修理または再展開するか、修理不能としてマークします。

   資産が修復された場合にのみ、修復フローが次のステージに進みます。それ以外の場合、修理注文は [完了] としてマークされます。

3. 評価:修復された資産の品質管理チェックを実行するステージ。評価結果に基づいて、資産は再展開または廃棄されます。修理フローは資産評価後に完了します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

の在庫ピッキング エンタープライズ資産管理

大規模なストックルームで作業するインベントリユーザーは、インベントリピッキング機能を使用してストックルーム内の資産を簡単にピッキングし、技術者による資産のピックアップを容易にします。

インベントリピッキング機能には、次の エンタープライズ資産管理 ワークフローでの資産ピッキングタスクの追加が含まれます。

- 標準エンタープライズ資産要求
- エンタープライズ更新要求
- 調達ワークフロー

注: 資産集荷タスクは、資産要求の調達、要求の更新、または調達要求に使用される倉庫に対して明示的に有効になっている場合にのみ使用できます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

資産集荷タスクを使用すると、倉庫内の任意の通路とスペースから資産を集荷できます。その後、選択した資産をストックルーム内の指定した場所にドロップできます。資産集荷タスクを完了すると、資産技術者は資産をピックアップしてアサインされた要求を履行できます。

資産集荷タスクの詳細については、「 エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産の集荷を管理する と モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。

エンタープライズ資産管理の構成

エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成して、企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクルを管理します。

ロールに基づいて、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成できます。

システムアドミニストレーターによるエンタープライズ資産管理の構成

システムアドミニストレーターロールは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションをインストールして設定します。

システムアドミニストレーターロールには、医療向けエンタープライズ資産管理アプリケーションと OT 資産管理アプリケーションをインストールする機能もあります。

エンタープライズ資産管理のインストール

エンタープライズ資産を追跡および管理できるように、ServiceNow® Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求します。

始める前に
必要なロール： sys_admin

このタスクについて
次のプラグインとアプリケーションは、 ServiceNow エンタープライズ資産管理 アプリケーションとともに自動的にインストールされます。

名前	説明
プラグイン	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	説明
Asset Management (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。資産管理の詳細については、「資産管理」を参照してください。
Procurement (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を履行できるように、要求された資産を調達および受領する機能を提供します。調達の詳細については、「企業資産の調達」を参照してください。
フィールドサービス管理 (FSM) (com.snc.work_management)	作業指示と関連タスクを管理する機能を提供します。フィールドサービス管理 (FSM)の詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM)」を参照してください。
エンタープライズ資産管理 コア (com.sn_eam_core)	正規化などのコア機能を エンタープライズ資産管理 アプリケーションに提供します。
資産管理ワークスペース - 推奨事項プラグイン (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースで、ユーザーにアクション可能な推奨事項を提供します。
SM 計画メンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。計画 済みメンテナンスの詳細については、「計画済みメンテナンス」を参照してください。
物理資産 (com.sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を整列させるマーカー。
資産のインドアマッピング com.sn_ima	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。
アプリケーション	
展開されたモデルと資産クラス	CMDBクラス階層内のすぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。このアプリケーションの詳細については、「展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション」を参照してください。
CMDBCI Class Model	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、 CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。このアプリケーションの詳細については、「CMDB CI クラスモデルストアアプリ」を参照してください。
Asset Management Common	資産の再利用を要求するカタログアイテムを含む、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
GRC:リスクヒートマップ	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。リスクヒートマップの詳細については、「クラシック版リスクアセスメントのリスクヒートマップ」または「Risk Workspace の高度なリスクアセスメ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	説明
	ントのオペレーショナルリスクヒートマップ 」を参照してください。

手順

1. Web ブラウザーから、 ServiceNow Store にアクセスします。
2. HI 認証情報を使用してログインします。
3. 検索バーに「`Enterprise Asset Management`」と入力し、 検索 を選択します。
4. [**ServiceNow Enterprise Asset Management**] という結果を選択します。
5. [ServiceNow エンタープライズ資産管理] ページで、[インストールの要求] を選択します。
   [ServiceNow Request for App Installation - ServiceNow エンタープライズ資産管理] ダイアログボックスが開きます。
6. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ServiceNow アプリのインストールを要求 **- [ServiceNow** エンタープライズ資産管理 **]** ダイアログボックス

フィールド	説明
インスタンス名	アプリケーションをインストールするインスタンスの名前。インスタンス名を入力したら、[**Validate Instance** (インスタンスを検証)] を選択してインスタンスが存在することを確認します。
要求の理由	アプリケーションを要求する理由。

7. [要求] を選択します。
8. [クローズ] を選択します。

タスクの結果

要求が承認されると、アプリケーションのインストール方法に関する詳細な手順が記載されたメールが届きます。

次のタスク

メールの指示に従ってアプリケーションをインストールします。

医療向け エンタープライズ資産管理 のインストール

admin ロールを持っている場合は、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーション (com.sn_eamhc) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得 」を参照してください。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール： sys_admin

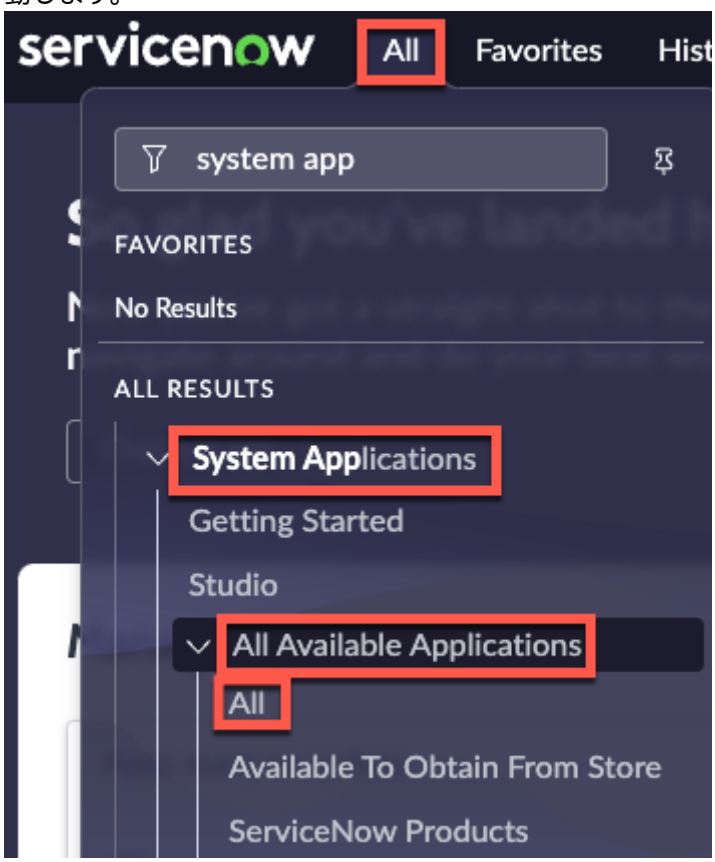
このタスクについて
エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともに次のアイテムがインストールされます。

- ストアアプリケーション
- ロール
- プラグイン

詳細については、「エンタープライズ資産管理 for Healthcare とともにインストールされるもの」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 エンタープライズ資産管理 for Healthcare アプリケーション (com.sn_eamhc) アプリケーション (com.sn_eamhc) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

OT 資産管理のインストール

admin ロールを持っている場合は、 OT 資産管理 アプリケーション (com.sn_otam) をインストールできます。 このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に
依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store のアプリケーションリストを確認してください。

必要なロール： sys_admin

このタスクについて
OT 資産管理 とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール

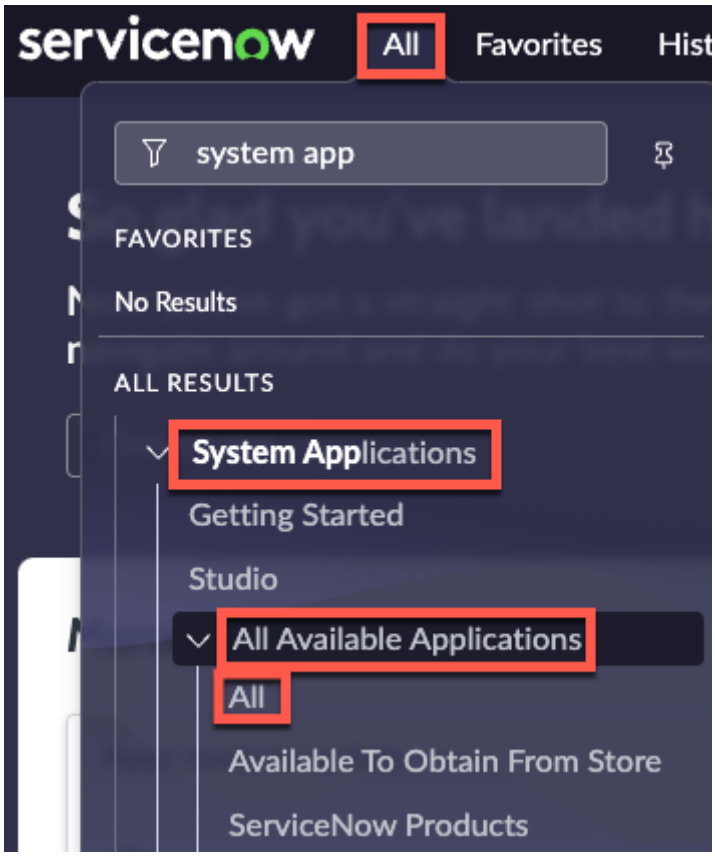
詳細については、「OT Asset Management (OT 資産管理) とともにインストールされるもの」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して OT Asset Management (OT 資産管理) アプリケーション (com.sn_otam) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store へのリクエストが必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。

5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

   重要: インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。

6. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズアドミニストレーターによるエンタープライズ資産管理の構成

エンタープライズアドミニストレーターロールは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションに完全にアクセスできるため、このロールは、マルチコンポーネント資産とモデル、およびその他の関連する構成を作成できます。

エンタープライズアドミニストレーターは、以下を構成できます。

- オプトイン先 エンタープライズ資産管理
- マルチコンポーネントモデルを作成して、同じモデルに基づいて 1 つ以上のモデルコンポーネントを指定する
- マルチコンポーネントモデルからのマルチコンポーネント資産の作成
- 分類コードの作成とインポート
- モデルと資産のタブを構成
- エンタープライズモデルと資産の一括インポート
- コンテンツデータのインポートとエクスポート
- 事前出荷通知の使用
- 正規化を元に戻す
- リニア資産タイプの作成
- リスクの可能性、リスクの影響度、およびリスクスコアの構成値の作成
- 配送業者レコードを作成し、サードパーティ配送業者の統合プロファイルを表示する
- ナレッジ記事の作成
- エンタープライズ資産のキャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成
- キャリブレーション属性ライブラリの作成
- エンタープライズ資産のキャリブレーションの品質基準を作成
- エンタープライズ資産のキャリブレーションのサービス頻度を作成する
- OT Asset Management (OT 資産管理) アプリケーションのライセンスレポートを表示する

エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン

エンタープライズ資産管理 Content Service にオプトインして、正規化プロセスを改善するServiceNow、組織のエンタープライズモデル、エンタープライズモデルのライフサイクル、カスタムエンタープライズ製品モデルなどの正規化されていないエンタープライズモデルデータを共有します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

自動翻訳

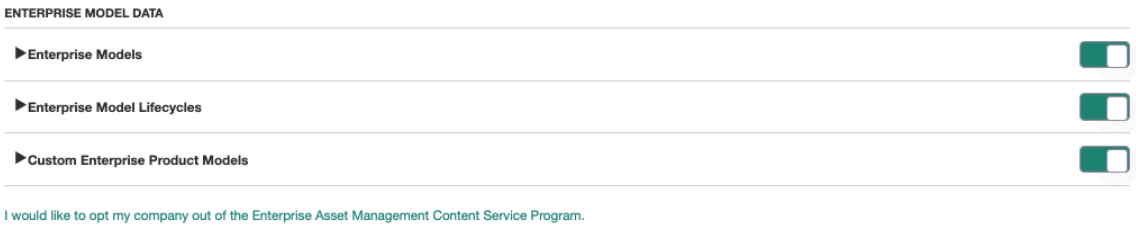
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > 正規化のオプトイン.



2. [オプトイン契約] を選択して契約を読み、[はい、オプトイン契約を読んだうえで同意します] チェックボックスをオンにします。
3. **[Opt-In** (オプトイン)] を選択します。



エンタープライズモデル、エンタープライズモデルライフサイクル、カスタムエンタープライズ製品モデル KPI などのエンタープライズデータは自動的に有効になります。

4. KPI を無効にするには、KPI の横にあるトグル ボタンを選択し、 保存 を選択します。
5. オプトアウトするには、[ソフトウェア資産管理コンテンツサービスプログラムから会社をオプトアウト します] を選択し、[オプトアウト] を選択します。
オプトアウトすると、エンタープライズモデル、エンタープライズモデルのライフサイクル、およびカスタムエンタープライズ製品モデルの KPI は無効になり、会社は正規化プロセスの改善に貢献しなくなります。コンテンツサービスチームが他のソースから作成できる内容に基づいて、コンテンツの増分更新を引き続き受け取ります。エンタープライズ資産管理コンテンツサービスにはいつでも再参加できます。

マルチコンポーネントモデルの作成

マルチコンポーネントモデルを作成して、同じ製品モデルに基づいて複数のモデルコンポーネントを定義します。

始める前に

マルチコンポーネントモデルの詳細については、「 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 次の場所に移動してモデルを作成 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
   事前に組み立てられたモデルまたはユーザーによって組み立てられたモデルを作成できます。モデルの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルの作成」を参照してください。
2. モデルを作成したら、モデル コンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルコンポーネントの作成」を参照してください。
3. モデルコンポーネントをモデルに追加したら、モデルのステータスを 「本番環境」に変更します。
4. **Enterprise** 資産カタログに公開 を選択して、モデルをカタログに公開します。

マルチコンポーネント資産の作成

マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成して、資産を追跡および管理します。

始める前に
マルチコンポーネントモデルの詳細については、「 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理」を参照してください。

必要なロール：

- sn_eam.enterprise_admin
- sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 次の場所に移動してモデルを作成 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
   モデルの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルの作成」を参照してください。
2. モデルを作成したら、モデル コンポーネントをモデルに追加します。
   モデルコンポーネントの作成の詳細については、「 エンタープライズモデルコンポーネントの作成」を参照してください。
3. マルチコンポーネントモデルから資産を作成します。

   事前に組み立てられた資産またはユーザーによって組み立てられた資産を作成できます。

   アセットの作成の詳細については、「 エンタープライズ資産を作成」を参照してください。資産を作成すると、子資産が自動的に作成されます。

   a. ユーザー組立資産を作成する場合は、資産レコードを開きます。

   b. 資産を組み立てるには、この 2 つのいずれかを選択します。
      - 組み立て:親資産のストックルームにある資産を選択できます。アセットを選択したら、[アセンブル]を選択します。アセットの組み立ての詳細については、
      - 自動組立:ストックルームから資産を自動的に選択し、それらの資産を親資産に関連付けるプロセスをトリガーします。必要な数量の資産が利用できない場合は、エラーが表示されます。

   c. すべての子資産をリリースする場合は、 すべての資産をリリースする を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このプロセスにより、すべての子資産が親資産から解放され、親ストックルームに戻されます。

リリースされた資産は [在庫あり] ステータスに移行します。[すべての資産をリリース] は、資産が親資産に関連付けられている場合にのみ画面に表示されます。

4. 子アセットを入れ替えるには、「詳細」タブで 「SWAP」を選択します。
資産をスワップするには、マルチコンポーネント資産を [メンテナンス中] ステータスにする必要があります。複数の子資産を、どの倉庫の同じモデルの他の資産と一度に交換することもできます。モデルは [在庫あり] ステータスで、サブステータスは [利用可能] である必要があります。

分類コードの作成

分類コードを作成し、エンタープライズモデルとモデルカテゴリに割り当てて、エンタープライズモデルの効率を高めます。

始める前に

各分類コードは、1 つまたは複数のモデルカテゴリに割り当てられます。分類コードは、Enterprise モデル分類 [sn_ent_model_classification] テーブルに格納されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理) > 分類.
2. [新規] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
分類	レコードの保存後に自動的に生成される分類コードレコードの表示名。 表示名は、分類コード、その説明、およびソースを連結したものです。
コード	分類コード。 データインフラストラクチャに基づいて、コードは階層構造に従っている場合があります。
説明	分類コードの説明。
親	分類コードの親。親を選択すると、親コードに割り当てられたモデルカテゴリが [モデルカテゴリ] フィールドに自動的に入力されます。ただし、このフィールドは編集可能です。自動的に入力されるモデルカテゴリを削除することも、別のモデルカテゴリを追加することもできます。
ソース	分類コードの基になるソースシステム。たとえば、OmniClass は建設業界向けの分類システムです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
モデルカテゴリ	コードに割り当てられたモードカテゴリ。

4. [保存] を選択します。
   分類コードの表示名が生成され、[分類] フィールドに表示されます。表示名は、コード、説明、およびソースを表します。[分類] リストビューページで新しい分類コードレコードを表示できます。

分類コードのインポート

一度に複数の分類コードをインポートして、 ServiceNow インスタンスに移動します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [分類] で [分類のインポート] を選択し、 [新規] を選択します。
3. [新しいエンタープライズ分類インポートを作成 (Create New Enterprise Classification Import)] ページで、[インポート] フィールドにインポートの名前を入力します。
4. [テンプレートをダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
5. スプレッドシートに詳細を入力します。
   スプレッドシートの [コード] 列または [説明] 列に必ず入力してください。[モデルカテゴリ] 列に複数のモデルカテゴリを指定するには、カンマを使用します。
6. [ファイルの添付] を選択して、スプレッドシート (.xlsx) をアップロードします。
7. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。
   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[アップロード中]、[変換中] に移行します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかに変わります。インポートプロセスの詳細は、[エンタープライズ分類インポート] セクションと [分類インポート結果] セクションに表示されます。
8. [分類インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受信したエラーも表示します。
9. エラーが発生したレコードを開きます。
10. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

ワークスペースへのエンタープライズモデルと資産のインポート

Enterprise 資産ワークスペースで複数のエンタープライズモデルと資産を一度にインポートします。

始める前に

単純な資産、組み立て済み資産、ユーザー組み立て資産、消耗品など、さまざまなタイプのエンタープライズモデルと資産をインポートできます。インポートエラーとステータスを表示することもできます。

エンタープライズモデルと資産インポートレコードは、エンタープライズ一括インポート [sn_eam_bulk_import] テーブルに保存されます。

フローデザイナーアプリケーションは、エンタープライズモデルと資産のインポートを支援する EAM 一括インポートサブフローを開始するために使用されます。フローでさまざまなステージを進むと、インポートの詳細が自動的に更新されます。EAM 一括インポートフローを開いて、フロー内のステージのステータスを表示できます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [一括インポート] でいずれかのインポートアクションを選択します。
3. [新規] を選択します。
   [新しいエンタープライズ一括インポートを作成 (Create New Enterprise Bulk Import)] ページが開きます。
4. [名前] フィールドに、インポートプロセスの一意の名前を入力します。
5. [モード] フィールドでインポートのモードを選択します。
6. [テンプレートをダウンロード] を選択して、スプレッドシートをダウンロードします。
   選択したモードに基づいて、スプレッドシートを使用できます。テンプレートは、モデル用、アセット用、およびモデルとアセット用の組み合わせテンプレートで使用できます。
7. スプレッドシートのすべての必須フィールドに詳細を入力します。
   テンプレートのすべての必須列に値を入力しないと、インポートは失敗し、テンプレートの形式を確認するように求めるエラーメッセージが表示されます。必須フィールドの詳細については、「一括インポートスプレッドシートの必須フィールド」を参照してください。
8. [ファイルの添付] を選択して、スプレッドシート (.xlsx) をアップロードします。
9. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。
   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[アップロード中]、[変換中] に移行します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] のいずれかに変わります。[モデルのインポート結果] セクションと [資産のインポート結果] セクションで、モデルと資産のインポートプロセスの結果に関する詳細を表示できます。
10. [モデルインポートステージング]、[モデルコンポーネントインポートステージング]、または [資産インポートステージング] 関連リストを選択して、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示し、受信したエラーも表示します。
11. エラーが発生したレコードを開きます。
12. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。

のモデルタブと資産タブの構成 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産管理アドミニストレーターは、モデルと資産のタブを構成して、エンタープライズモデル管理ビューとエンタープライズ資産一覧ビューでこれらのタブを表示または非表示にすることができます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [モデル] タブと [資産クラス] タブの [構成] ページで [新規] を選択します。
   [新しいモデルと資産構成を作成 (Create New Model and Asset Configuration)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
Model category (モデルカテゴリ)	[モデル] タブまたは [資産] タブを表示または非表示にするモデルカテゴリ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
タブに含める	選択したモデルカテゴリが [エンタープライズモデル管理] ビューと [エンタープライズ資産一覧] ビューにタブとして表示されることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。このチェックボックスをオフにすると、モデルカテゴリはエンタープライズモデル管理ビューとエンタープライズ資産一覧ビューにタブとして表示されなくなります。 **注:** このチェック ボックスを true に設定し、[ダイアログ ボックスに含める] の値を false に設定するのは有効な構成ではありません。
ダイアログ ボックスに含める。	[新規] ボタンを選択すると、選択したモデルカテゴリが [エンタープライズモデル管理] ビューと [エンタープライズ資産一覧] ビューに表示されることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。このチェック ボックスをオフにすると、選択したモデル カテゴリは、[すべてのエンタープライズ] タブを選択して **[**新規] を選択したときに [モデル カテゴリ] リストに表示されなくなります。 **注:** このチェックボックスが false に設定され、[タブに含める] の値が true に設定されているのは有効な構成ではありません。
ドメイン	モデルカテゴリのドメイン。

4. [保存] を選択します。
作成した [モデルと資産] タブのエントリが [モデルと資産クラス] タブの構成ページに表示されます。

のコンテンツデータのインポートとエクスポート エンタープライズ資産管理

コンテンツデータを ServiceNow エンタープライズ資産管理 Content Service にインポートおよびエクスポートして、正規化プロセスを改善します。オンプレミスユーザーは、[エンタープライズライブラリの管理] モジュールを使用して、zip ファイルを介してデータをインポートまたはエクスポートできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > モジュール > エンタープライズライブラリーの管理.
2. [エンタープライズライブラリーの管理] フォームレイアウトを開き、[アクティブ] チェックボックスをオンにしてモジュールをアクティブ化します。
3. [**Save** and refresh the form layout] を選択します。
4. エンタープライズライブラリーの管理モジュールに移動します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. コンテンツデータをインポートして、新しいデータをシステムに取り込みます。

   a. [エンタープライズ ライブラリ コンテンツのインポート] を選択します。

   b. [コンテンツファイルを添付] を選択し、コンテンツを含む zip ファイルを選択します。

   c. [インポート実行] を選択します。
   データがインポートされると、コンテンツ更新スケジュールジョブ *EAM - Apply latest content changes* がトリガーされ、コンテンツの更新が処理されます。

6. コンテンツをエクスポートして、カスタムデータ、または完全に正規化されていないエンタープライズモデルを ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

   a. **[Content Service Opt-in: Export Enterprise Normalization Content** (コンテンツサービスオプトイン:エンタープライズ正規化コンテンツをエクスポート)] を選択します。

   b. ServiceNowコンテンツサービスとのデータ共有をまだオプトインしていない場合は、[オプトイン] を選択して [エンタープライズライブラリの管理] ページを更新します。
   オプトインの詳細については、「 エンタープライズ資産管理コンテンツサービスへのオプトイン」を参照してください。

   c. [エクスポートの実行] を選択します。

   d. ステータスが [ダウンロード準備完了] に変わったら、ページを更新します。
   zip ファイルが作成され、[エンタープライズライブラリーの管理] ページの上部に表示されます。エクスポートするコンテンツがない場合は、コンテンツが存在しないことを通知するエラーメッセージが表示されます。

   e. この zip ファイルをダウンロードして、 ServiceNow コンテンツサービスチームに送信します。

での事前出荷通知の使用 エンタープライズ資産管理

事前出荷通知 (ASN) を使用して、資産が輸送中のときのエンタープライズ資産レコードを自動化および作成します。

始める前に

ASN テンプレートをダウンロードし、資産ベンダーに更新してもらいます。更新したテンプレートを ServiceNow インスタンスにアップロードします。ASN テンプレートを使用して資産レコードをインポートする前に、 ServiceNow インスタンスにモデル ID が定義されており、同じモデル ID がテンプレートに記載されていることを確認してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

エンタープライズ資産レコードを手動で作成すると、時間がかかり、エラーが発生する可能性があります。ASNを使用して、出荷の紛失や置き忘れのリスクを軽減し、在庫の精度を高めます。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用 > 出荷通知.
2. [新規] を選択します。
   [新規出荷通知のアップロードを作成]ページが表示されます。
3. [名前] フィールドに ASN の一意の名前を入力します。
4. [ファイルの添付] を選択して、スプレッドシート (.xlxs) をアップロードします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

スプレッドシートは、ダウンロードテンプレートの形式である必要があります。サンプル スプレッドシートがない場合は、 [テンプレートのダウンロード] を選択してサンプル スプレッドシートをダウンロードし、スプレッドシートに詳細を入力してから、 [ファイルの添付] を選択してスプレッドシートをアップロードします。スプレッドシートで、[出荷日]、[注文日]、および [保証終了日] フィールドの形式が 月/日/年であることを確認します。
アップロードには時間がかかる場合があります。ファイルがアップロードされると、スプレッドシートの名前が [ファイル] フィールドに表示されます。

5. [インポート] を選択して、スプレッドシートの検証チェックを実行します。

   [インポート] を選択すると、[ステータス] フィールドが [ドラフト] から [保留中]、[行の抽出中]、および [インポート中] に移行します。インポートプロセスが完了すると、ステータスが [完了]、[完了 (エラーあり)、または [失敗] に変わります。

   [出荷アップロード結果]セクションが表示され、インポートプロセスに関する情報が表示されます。挿入、無視、またはスキップされたレコードの数などの情報。

6. [出荷通知アップロードステージ ング] 関連リンクを選択して、受信したエラーを表示し、アップロードしたスプレッドシートの詳細を表示します。
7. エラーが発生した場合は、[出荷通知アップロードステージ ング] 関連リンクでレコードを選択します。
8. [エラー] セクションまで下にスクロールし、[コメント] フィールドでエラーを表示します。
9. エラーを修正し、スプレッドシートをアップロードして、レコードを再度インポートします。
   シリアル化された資産には、重複するエンタープライズインポートレコードは作成されませんが、消耗品には重複したエントリがあります。

正規化を元に戻す

Enterprise 資産ワークスペースで、エンタープライズモデルの正規化を元に戻すことができます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

ステータスが **[Fully Normalized** (完全に正規化済み)]、[**Partially Normalized** (一部正規化済み)]、[**Manufacturer Normalized** (正規化済み)]、または **[Manually Normalized** (手動で正規化済み)] の Enterprise モデルは元に戻すことができます。モデルに存在するすべての正規化フィールドが元に戻り、正規化ステータスが [一致項目は見つかりませんでした] に変わります。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. 既に正規化されているエンタープライズモデルレコードを開きます。
3. [正規化を元に戻す] を選択します。
4. 確認メッセージ ボックスで **[OK**] を選択します。

   正規化プロセスを元に戻すプロセスが完了すると、次の変更が行われます。

   - フィールドは元の値にリセットされ、エンタープライズモデルに関連付けられたルールはすべて無効になります。
   - ルールを非アクティブ化すると、以前にそのルールを使用して正規化されたすべてのモデルで正規化を元に戻すことが実行されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 非アクティブ化されたルールは、これ以上モデルを正規化できなくなります。非アクティブ化されたルールは再アクティブ化できません。これは 1 回限りの手順です。
- モデルレコードの [正規化を元に戻す] オプションは、[正規化] オプションに置き換えられました。

リニア資産タイプの作成

リニア資産を分類するリニア資産タイプを作成します。

始める前に

次の事前定義されたリニア資産タイプは、すでにベースシステムに含まれています。

- 鉄道
- 道路
- 下水道
- 歩道
- ユーティリティケーブル
- トレイル

カスタマイズされたリニア資産タイプを作成するには、次の手順に従います。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産タイプ.
2. [新規] を選択します。
3. [名前] フィールドにリニア資産タイプの名前を入力します。
4. [親] リストからリニア資産タイプの親を選択します。
5. [保存] を選択します。
   新しいリニア資産タイプが [リニア資産タイプ] 関連リストに表示されます。関連リストに表示されない場合は、ページの右側にある [リストを更新] アイコンを選択します。

リスク可能性の構成値の作成

リスク可能性モジュールを使用して、可能性ベクトルの構成値を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスクの可能性.
2. [新規] を選択します。
3. [エンタープライズリスクの可能性の構成] ページにラベルを入力します。
   [値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。
4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   [表示名] フィールドは、値とラベルを連結した形で自動的に入力されます。たとえば、値が 1 でラベルが「低」の場合、「 表示名 」フィールドは「 `1-低`」と表示されます。
5. さらに構成値を追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

可能性レコードは最小で 3 つ、最大で 10 件必要です。

6. 設定レコードを追加したら、[**Freeze**] を選択します。
7. 警告メッセージボックスで **[OK**] を選択して、構成レコードのフリーズを続行します。

> **注:** [フリーズ] を選択した後は、可能性設定レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスク影響度の構成値の作成

リスク影響度モジュールを使用して、影響ベクトルの構成値を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスク影響度.
2. [新規] を選択します。
3. [エンタープライズリスク影響度の構成] ページにラベルを入力します。
   [値] フィールドは増分フィールドであり、編集できません。
4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   [表示名] フィールドは、値とラベルを連結した形で自動的に入力されます。たとえば、値が 1 でラベルが「低」の場合、「 表示名 」フィールドは「 `1-低`」と表示されます。
5. さらに構成値を追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   影響度レコードは最小で 3 つ、最大で 10 件必要です。
6. 設定レコードを追加したら、[**Freeze**] を選択します。
7. 警告メッセージボックスで **[OK**] を選択して、構成レコードのフリーズを続行します。

> **注:** [フリーズ] を選択した後は、影響度設定レコードを追加または削除することはできません。ただし、既存のレコードの [ラベル] フィールドは編集できます。

リスクスコアの構成値の作成

リスクスコアモジュールを使用して、リスクスコアバンドの構成値を作成します。

始める前に
リスクスコアの構成値を作成する前に、リスクの可能性モジュールとリスク影響度モジュールで、それぞれ可能性と影響度の 2 つのベクトルの構成値を追加して固定していることを確認してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > リスク構成 > リスクスコア.
2. [新規] を選択します。
3. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
開始	リスクスコアバンドの開始値。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
終了	リスクスコアバンドの終了値。この値は、最尤法と影響度の構成値を使用して自動的に入力されます。
ラベル	リスクスコアバンドのラベル。
色	リスクスコアバンドを表す色。選択できる値は次のとおりです。 ◦ 緑 ◦ 黄 ◦ オレンジ ◦ 赤

4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   他のフィールドに基づいて、[バンド名] フィールドが自動的に入力されます。
5. リスクスコアバンドをさらに追加するには、手順 2 ～ 4 を繰り返します。
   スコアバンドレコードは最小で 2 つ、最大で 4 つ必要です。
6. リスク範囲全体を追加したら、[フリーズ] を選択します。
   レコードを編集するには、[固定解除] を選択します。

Enterprise 資産ワークスペースでの配送業者レコードの作成

エンタープライズ資産ワークスペースで配送業者レコードを作成し、その配送業者を統合プロファイルに関連付けます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [出荷] リストから [配送業者] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティ配送業者のアプリケーションと統合するためのプロファイル。 詳細については、「でのサードパーティ配送業者の統合プロファイルの表示 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
ステータス	配送業者のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドはデフォルトで [アクティブ] に設定されています。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者の Web サイト。
会社	配送業者の会社名。
メモ	配送業者に関する追加情報。

5. [保存] を選択します。
出荷配送業者レコードが作成され、[配送業者] リストに追加されます。

でのサードパーティ配送業者の統合プロファイルの表示 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースの [資産運用] ビューで、サードパーティの配送業者の統合プロファイルを表示します。これらの統合プロファイルを使用すると、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続して、エンタープライズ資産の出荷の詳細を取得できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター).
2. [出荷] リストから [配送業者統合] を選択します。
3. 統合プロファイルの完全なリストを表示します。
統合プロファイルを選択すると、接続の詳細、関連する配送業者、出荷の詳細をフェッチするためのスケジュール済みジョブ、スケジュール済みジョブのログなど、追加の詳細が表示されます。

のナレッジ記事の作成 エンタープライズ資産管理

ナレッジベース内でナレッジ記事を作成および編集して、組織全体で情報を共有します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > 資産ナレッジベース.
2. 資産ナレッジベースページで 新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
フィールドの詳細については、 ナレッジ管理 アプリケーションを参照してください

Field (フィールド)	説明
番号	記事の番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
ナレッジベース	記事に対して選択されたナレッジベース。デフォルトでは、[エンタープライズ資産ナレッジベース] が選択されています。必要に応じて、別のナレッジベースを選択できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	注: 記事は 1 つのナレッジベースにのみ関連付けることができます。ナレッジベースは変更できますが、選択した記事テンプレートがナレッジベースで利用可能な場合に限られます。
カテゴリ	この記事のカテゴリ。カテゴリを選択する前に、ナレッジベースを選択します。カテゴリのない記事は、(空の) カテゴリのナレッジホームページに表示されます。
有効期間終了日	このナレッジ記事の有効期限が切れる日付。[有効期限] 後または [有効期限] が空の記事は、検索結果に表示されません。 このフィールドのデフォルト値は、ナレッジベースに設定された [記事の有効期間] フィールドから導出されます。有効期限は、記事が作成された日から [記事の有効期間] フィールドに指定された日数までです。[記事の有効期間] フィールドが空の場合は、ナレッジ記事の [有効期限] フィールドのデフォルトの日付が 2100 年 1 月 1 日に設定されます。 記事の作成者または編集者は、デフォルトの [有効期限] を維持するか変更するかを選択できます。 毎月の初日に、アプリケーションは承認済み受信者のリストにメール通知を送信して、翌月に期限切れになる記事について知らせます。受信者は [有効期限] を延長して、記事を引き続き使用できます。 **注:** システムの日付形式またはユーザー設定が `yy` 年形式を使用するように設定されている場合、[有効期限] の日付がデフォルトの日付に設定されていると問題が発生する可能性があります。アドミニストレーターに問い合わせるか、ユーザー設定を `yyyy` 年形式の日付形式を使用するように修正してしてください。
記事タイプ	記事のタイプ (HTML または wiki のいずれか)。
ワークフロー	[ドラフト]、[レビュー中]、[公開済み] など、記事の公開ステータス。既存の記事から新しい記事を挿入すると、新しい記事のステータスは [ドラフト] にリセットされます。
ソースタスク	このナレッジ記事の作成の根拠であるタスク (存在する場合)。このフィールドは、タスク レコードからナレッジ記事を作成すると自動的に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
添付ファイルへ直接リンク	記事ビューを開く代わりに、ユーザーが記事にアクセスしたときに添付ファイルを自動的にダウンロードするためのオプション。このオプションを使用するには、記事に添付ファイルを 1 つ以上追加します。 注: 複数のファイルを添付することができますが、ほとんどの Web ブラウザーでは最初のものだけをダウンロードできます。すべてのファイルを確実にダウンロードするには、それらを WinZip などのアーカイブにバンドルし、アーカイブを添付します。[添付ファイル] リンクオプションは、検索リンクからアクセスされた記事のみに適用されます。他のナレッジ記事内のリンクとしてアクセスされた記事は、この動作を複製しません。
添付ファイルの表示	このナレッジ記事を表示しているユーザーに添付ファイルを表示するためのオプション。添付ファイルは記事テキストの下に表示されます。このオプションを使用するには、記事に添付ファイルを 1 つ以上追加します。
Short Description (簡単な説明)	記事のタイトル。このタイトルは、ナレッジ記事を参照したり検索したりするときや、記事の上部に表示されます。このフィールドには最大 100 文字入力できます。
記事本文	記事のコンテンツ。ナレッジ記事を参照して検索するときにコンテンツのプレビューが表示されます。 コンテンツを作成するには、HTML エディターの編集機能を使用します。

4. [保存] を選択して記事を作成します。

エンタープライズ資産のキャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成

エンタープライズ資産に対して実行する必要があるキャリブレーションのタイプを示すキャリブレーションカテゴリを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときは、実行する必要があるキャリブレーションのタイプを示すキャリブレーションカテゴリを選択する必要があります。エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトの校正カテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キャリブレーション属性の詳細については、「エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加」または「エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[アドミンセンター] ビューを開きます。
2. [アドミンセンター] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > カテゴリ.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいカテゴリの作成 **(Create New Category)]** フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	キャリブレーションカテゴリの名前。
Description (説明)	キャリブレーションカテゴリの詳細な説明。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果
キャリブレーションカテゴリは、キャリブレーション属性で使用できます。

エンタープライズ資産のキャリブレーションの品質基準を作成

エンタープライズ資産のキャリブレーションを実行する際に従う必要のある要件とガイドラインを示す品質基準を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときに、品質基準を適用して、関連するキャリブレーション中に従う必要がある一連の要件とガイドラインを示すことができます。品質基準に従うことで、展開全体で一貫性があり、信頼性が高く、正確なキャリブレーションを実現できます。

キャリブレーション属性の詳細については、「エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加」または「エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[アドミンセンター] ビューを開きます。
2. [アドミンセンター] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > 品質基準.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しい品質基準を作成] フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	品質基準の名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
簡単な説明	品質基準の簡単な説明。
有効期間開始日	品質基準が有効になる日付。
有効期間終了日	品質基準が無効になる日付。
Description (説明)	品質基準の詳細な説明。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果
品質基準は、キャリブレーション属性に適用できます。

エンタープライズ資産のキャリブレーションのサービス頻度を作成する

サービス頻度を作成して、エンタープライズ資産のキャリブレーションを実行する頻度を指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
調整属性を使用して、エンタープライズ資産に必要な調整を指定できます。キャリブレーション属性を作成するときは、関連するキャリブレーションを実行する必要がある頻度を指定する必要があります。

キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[アドミンセンター] ビューを開きます。
2. [アドミンセンター] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション構成 > サービス頻度.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新規サービス頻度の作成フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	サービス頻度の名前。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
サービス頻度タイプ	頻度のタイプ。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果
サービス頻度は、キャリブレーション属性で使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キャリブレーション属性ライブラリの作成

エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない一般的なキャリブレーション属性のライブラリーを作成します。これらの属性を使用して、一般的に使用されるキャリブレーションの詳細と要件を定義します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない共通のキャリブレーション属性を作成できます。これらのキャリブレーション属性は、利用可能な任意のエンタープライズモデルにクローンできます。特定のエンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産のキャリブレーション属性を作成することもできます。特定のエンタープライズモデルのキャリブレーション属性を作成する方法の詳細については、「エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。特定のエンタープライズ資産のキャリブレーション属性を作成する方法の詳細については、「エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[アドミンセンター] ビューを開きます。
2. [アドミンセンター] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 キャリブレーション > 属性ライブラリ.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

[新しいキャリブレーション属性を作成] フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
属性の詳細	
名前	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要度を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。 注: エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトの校正カテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。
アクティブ	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	エンタープライズモデルにクローンされた後に、キャリブレーション属性がエンタープライズモデルに適用される順序。エンタープライズモデルに複数のキャリブレーション属性が含まれている場合、最も低い数値の属性が最初にモデルに適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
	◦ 精度 % フルスケール: 精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定割合に基づいています。対応する許容限界は、精度を測定する点に関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で、精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、公差限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ◦ 精度 % ポイント: 精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づきます。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別の点で精度を測定すると、許容限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール **注:** このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 % フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	精度を測定できる完全な測定範囲。
Unit (単位)	精度の測定に使用する測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が該当する必要がある精度の割合。
解決	検出して測定できる値の識別可能な最小の変化。解像度が高いほど、値の変化はより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションの実行中に従う必要がある一連の要件とガイドライン。 **注:** 品質基準は、 エンタープライズ資産ワークスペース の [アドミンセンター] ビューで手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションの品質基準を作成」を参照してください。
計測	
計測モデル	キャリブレーションを実行するために使用する必要がある機器のモデル。
説明	キャリブレーションを行う際に従わなければならない一般的な指示または機器の設定。

5. [保存] を選択します。
フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
6. 精度を測定できるポイントを指定します。

重要: 各エンタープライズ資産の測定範囲内で 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性を [アクティブ] に設定することはできません。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. キャリブレーション属性レコードで、[キャリブレーション ポイントの追加] を選択します。
[キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

Field (フィールド)	Description (説明)
ポイント名	ポイントの名前。
予想値	精度を測定するポイント値。
順序	精度を測定するためにポイントを使用する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性にポイントを追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([+) を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. **[OK]** を選択します。

ダイアログ ボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーション ポイント] タブにポイントが表示されます。

次のタスク
該当するすべてのエンタープライズモデルにキャリブレーション属性をクローンします。詳細な手順については、「エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性のクローン」を参照してください。

OT 資産管理アプリケーションのライセンスレポートの表示

ITAM ライセンスレポートを使用して、組織が OT 資産管理 アプリケーションに対して消費しているサブスクリプションの詳細を表示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

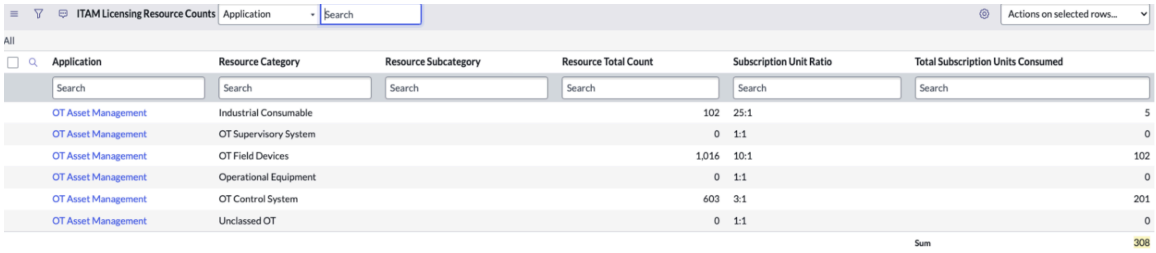
このタスクについて
EAM ライセンスデータを入力ジョブは毎週日曜日に実行され、ITAM ライセンスレポートに入力されます。ライセンス消費の変更は、週次のライセンス数の計算後にのみ ITAM ライセンスレポートに反映されます。

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. OT 資産管理アプリケーションを検索します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Application	Resource Category	Resource Subcategory	Resource Total Count	Subscription Unit Ratio	Total Subscription Units Consumed
OT Asset Management	Industrial Consumable		102	25:1	5
OT Asset Management	OT Supervisory System		0	1:1	0
OT Asset Management	OT Field Devices		1,016	10:1	102
OT Asset Management	Operational Equipment		0	1:1	0
OT Asset Management	OT Control System		603	3:1	201
OT Asset Management	Unclassed OT		0	1:1	0
				Sum	308

OT 資産管理アプリケーションのリソースカテゴリで消費されたサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- アプリケーション: ServiceNow インスタンスでアクティブ化されているアプリケーションの名前。ITAM ライセンスレポートは、アプリケーションごとにグループ化できます。
- リソースカテゴリ: OT 資産管理 アプリケーションで利用可能な管理対象 OT リソースタイプ。リソースタイプには次のものがあります。
  - 未分類の OT
  - OT 監督システム
  - OT コントロールシステム
  - OT フィールドデバイス
  - 産業用消耗品
  - 運用設備
- リソースサブカテゴリ:リソースカテゴリのサブカテゴリ。
- リソース合計数:リソースカテゴリとモデルカテゴリ別にグループ化された管理対象 OT リソースの資産数。
- サブスクリプションユニット率:サブスクリプションが必要なリソースカテゴリの資産数を決定する事前定義された比率。たとえば、産業用消耗品に定義された 25:1 の比率は、そのリソースカテゴリの 25 の資産ごとに 1 つのサブスクリプションユニットが必要であることを意味します。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計数:組織で消費されたリソースカテゴリごとのサブスクリプションの数。ライセンスモジュールは、各リソースカテゴリのリソース合計数にサブスクリプションユニット率を適用して、この数を計算します。

エンタープライズ資産管理者によるエンタープライズ資産管理の構成

エンタープライズ資産マネージャーロールは、総所有コスト (TCO) を構成して資産を追跡できます。

エンタープライズ資産アドミニストレーターは、以下を構成できます。

- 分類のソースの作成
- TCO レポートと TCO レポートソースを作成する
- タスクレートカードと賃金レートカードの作成
- クローズ済みタスクの経費ラインの作成

分類コードのソースの作成

分類コードに割り当てることができるソースを作成します。

始める前に

ソースは、特定の業界の分類システムです。ソースの詳細については、「分類コード」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [分類] で [ソースの作成] を選択し、 [新規] を選択します。
3. [エンタープライズモデルの分類ソースの新規作成 (Create New Enterprise model classification source)] ページで、[ソース] フィールドにソースの名前を入力します。
4. [説明] フィールドにソースの説明を入力します。
5. [保存] を選択します。
   ソースが [ソースの作成] ページに表示されます。

エンタープライズ資産の総所有コスト **(TCO)** の構成

総所有コスト (TCO) を構成して資産を追跡します。

TCO を構成するには、次の手順が含まれます。

- タスクレートカードを作成して、タスクタイプごとにコストをキャプチャします。
- 時間単位で消費された時間ごとにコストをキャプチャする賃金レートカードを作成します。
- TCO レポートを作成して、資産の実績 TCO または予測 TCO と TCO レポートソースを比較します。
- TCO レポートソースを作成して、TCO レポートにソースを追加します。
- クローズ済みタスクの経費ラインを作成します。

Enterprise 資産ワークスペースでの **TCO** レポートの作成

TCO レポートを作成して、資産の実績 TCO または予測 TCO を比較したり、実績または予測資産 TCO をエンタープライズモデルのベンチマークコストと比較したりします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産アナリティクス > 資産 **TCO**.
2. ページの右側にある [新規] を選択します。

Field (フィールド)	説明
名前	レポートの名前。
タイプ	レポートのタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ TCO 比較:複数の資産グループのコストを相互に評価します。 ◦ TCO とベンチマーク:業界標準または市場標準に関連して、資産または資産グループがどの程度効率的に管理されているかを評価します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
レポートテーブル	このレポートの基になるテーブル。これは読み取り専用フィールドで、値は エンタープライズ資産です。
総原価費目	レポートの総原価費目。 ◦ 実績 TCO:選択した資産の TCO 値。 ▪ [実際の TCO] と [リアルタイムレポート] の両方のチェックボックスが選択されている場合、生成される TCO レポートは [リアルタイムレポート] の選択に基づいてリアルタイムになります。 ▪ [Actual TCO (実際の TCO)] のみが選択されている場合、生成された TCO レポートはオフラインになります。 ◦ 予測 TCO: この値は次の式から参照され、生成されたレポートはオフラインのみです。 ▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数以上の場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の計算式を使用して計算されます: 正規化 `TCO * 耐用年数`。ここで、正規化 TCO (TCO per 月) は `(購入コスト / 耐用年数) + (運用コスト / 資産耐用年数の合計)` です。 ▪ 資産の耐用年数が資産の耐用年数よりも短い場合、予測 TCO (耐用年数終了時) は次の計算式を使用して計算されます:正規化 `TCO * 資産耐用年数`。ここで、正規化 TCO (月あたりの TCO) は `(購入コスト + 運用コストの合計) / 資産耐用年数)`。
Description (説明)	レポートの説明。
ベンチマークを表示	TCO 比較レポートのベンチマークしきい値を示します。 このフィールドは、レポートタイプとして TCO 比較を選択した場合にのみ表示されます。
ベンチマークモデル	ベンチマークしきい値のエンタープライズモデル。
リアルタイムレポート	選択すると、レポートにリアルタイムデータが生成されます。このチェックボックスをオフにすると、オフラインレポートにすることができます。
ワークスペース	現在ログインしているワークスペース。デフォルトでは、このフィールドの値は **EAM** です。これは読み込み専用フィールドです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [保存] を選択します。
   レポートが作成され、[TCO レポートソース] 関連リストが表示されます。これで、レポートソースを追加できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースで TCO レポートソースを作成する

TCO レポートソースを作成して、レポートソースを TCO レポートに追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産アナリティクス > 資産 **TCO**.
2. [比較レポート] セクションからレポートソースを作成するレポートを開きます。
3. [TCO レポートソース] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しい **TCO** レポートソースを作成

Field (フィールド)	説明
名前	レポートソースの名前
アクティブ	レポートソースがアクティブかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。 **注:** TCO 比較レポートには、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを設定できます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、レポートソースを非アクティブ化する必要があります。 TCO 比較レポートでは、常に最大 4 つのアクティブなレポートソースを持つことができます。別のアクティブなレポートソースを追加する場合は、既存のレポートソースを非アクティブにする必要があります。 TCO とベンチマークのレポートでは、アクティブなレポートソースは 1 つのみです。
レポートテーブル	このレポートの基になるテーブル。
条件を設定	特定の条件で資産を選択するためのフィルターを指定します。
Description (説明)	レポート ソースの説明。

6. [保存] を選択します。
   新しいレポートソースが [TCO Report Sources (TCO レポートソース)] タブに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でのタスクレートカードの作成 エンタープライズ資産ワークスペース

タスクレードカードを作成して、 エンタープライズ資産ワークスペースのタスクタイプごとのコストをキャプチャします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

タスクレードカードはベースシステムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトのタスクレードカードの他のすべてのフィールドは編集可能です。ベースシステムのタスクレードカードはいずれも削除できません。次の手順では、タスクレートカードを作成します。

タスクレードカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新規タスクレートカードの作成

Field (フィールド)	説明
番号	タスクレードカードごとに自動的に作成される一意の番号。
名前	タスクレードカードの名前。
Table (テーブル)	このレートカードが作成されるテーブル。
順序	タスクレードカードが同じタスクに適用される順序。 同じタスクに複数のタスクレードカードが適用される場合は、順番が最も低いものが使用されます。
サマリータイプ	タスクレートカードに関連するサマリを選択します。
アクティブ	タスクレートカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	タスクレードカードの簡単な説明。
作業時間を使用	既定では、このチェック ボックスはオンになっていません。これは、タスクレートがコストのキャプチャに使用されることを示します。 作業時間に基づいてコストが取得される賃金レート オプションを使用する場合は、このチェック ボックスをオンにします。
タスクレート	タスクのレートと通貨コード。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
デフォルトの賃金レート	作業者が賃金レートカードを持っていない場合に、作業時間エントリに適用する時給。 このフィールドは、[作業時間を使用] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件によって返されるレコードをプレビューするための条件数ウィジェットを使用します。
Description (説明)	タスクレードカードの詳細な説明。

4. [保存] を選択します。
   タスクレードカードが作成されると、[**Use time worked** (作業時間を使用)] フィールドの値に基づいて経費ラインが作成されます。

Enterprise 資産ワークスペースでクローズ済みタスクの経費ラインを作成する

以前にクローズしたタスクで、元々経費ラインがなかったタスクの経費ラインを自動的に作成して、それらのタスクのコストを計算します。

始める前に
タスクレートカードを使用していない場合、経費ラインは作成されません。Xanadu にアップグレードすると、すべてのクローズ済みタスクの経費ラインを一括で自動的に作成できます。これは、タスクレート値が入力されたアクティブなタスクレードカードで実行される 1 回限りのプロセスです。タスクの作業時間レコードが存在しない場合、作業時間を使用しても経費ラインは作成されません。

> **注:** タスクレードカードを使用するには、 ServiceNow® コスト管理 (com.snc.cost_management) プラグインを有効にする必要があります。

経費ラインが重複して作成されないようにするには、次の点に注意してください。

- タスクレードカードを設定します。
- 各タスクレートカード内で条件を設定します。
- 各タスクに使用する金額を指定します。
- 同じタスクと条件に対して複数のタスクレードカードを作成するような、重複するタスクレードカードを作成しないでください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > タスクレートカード.
2. [タスクの経費明細を作成] を選択します。
   確認メッセージボックスが開きます。
3. 経費明細の作成 を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

バックグラウンドジョブ [履歴タスクの資産共通経費ライン] は 1 回のみ実行され、経費ラインのないクローズ済みタスクを検索し、それらのクローズ済みタスクすべての経費ラインを作成します。経費ラインが作成されると、[**Create expense lines for tasks**] ボタンは表示されなくなります。

Enterprise 資産ワークスペースでの賃金レートカードの作成

時間単位で消費された時間ごとにコストをキャプチャする賃金レートカードを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
賃金レートカードは基本システムに含まれています。[番号] フィールドを除き、デフォルトの賃金レートカードの他のすべてのフィールドは編集可能です。ベースシステムの賃金レードカードは削除できません。次の手順では、賃金レートカードを作成します。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > **TCO** 構成 > 賃金レートカード.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい賃金レートカードの作成

Field (フィールド)	説明
番号	賃金レードカードごとに自動的に作成される一意の番号。
名前	賃金レードカードの名前。
レートコード	各賃金レートカードのコード。
レートタイプ	標準レートタイプ。独自のレートタイプを追加できます。
アクティブ	賃金レードカードが使用されているかどうかを示します。デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。
簡単な説明	賃金レートカードの簡単な説明。
時間単価	通貨コードと 1 時間当たりのコスト。
条件を設定	選択したテーブルで実行するフィルター。このレートカードを特定のタスクに適用するかどうかを決定します。このフィールドは、条件数ウィジェットを使用して、条件によって返されるレコードをプレビューします。
Description (説明)	賃金レードカードの詳細な説明。

4. [保存] を選択します。
賃金レートカードが作成されると、[作業時間を使用] フィールドの値に基づいて経費ラインが作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インシデントマネージャーによるエンタープライズ資産管理の構成

インシデントマネージャーまたは itil ロールを持つユーザーは、エンタープライズ資産の IT インシデントを作成、更新、解決することによって、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションを設定できます。

itil ロールでは、以下を実行できます。

- エンタープライズ資産管理インシデントの作成
- エンタープライズ資産管理インシデントを解決してクローズします。

エンタープライズ資産管理インシデントの作成

インシデントレコードを作成して、予想される エンタープライズ資産管理 標準運用からの逸脱を文書化します。

始める前に

必要なロール：itil

エンタープライズ資産管理インシデントレコードを作成するには、適用可能なすべての インシデント管理 プラグインを ServiceNow インスタンスにインストールする必要があります。インシデント管理プラグインの完全なリストについては、「インシデント管理プラグイン」を参照してください。

このタスクについて

この手順では、ITIL エージェントがインシデントフォームに入力して、 エンタープライズ資産管理 インシデントを文書化および追跡する方法について説明します。インシデントの作成と管理の詳細については、「 インシデント管理 」を参照してください。

手順

1. インシデントを作成します 。
   インシデントが作成されると、インシデントリストに自動的にリダイレクトされます。
2. 利用可能なインシデントのリストから、前のステップで作成したインシデントを選択します。
3. インシデントレコードのフォームヘッダーで、[他のアクション] メニューアイコン ( ) を選択し、 ビュー > エンタープライズ資産.
   このオプションでは、インシデントレコードを、エンタープライズ資産管理に固有の追加フィールドを含むエンタープライズ資産管理インシデントフォームビューに設定します。
4. エンタープライズ資産管理インシデントフォームビューにフォームが再ロードされたら、このインシデントの影響を受ける資産を指定します。

   a. [資産] フィールドで [リストを使用してルックアップ] アイコン (を選択します。

   b. [資産] ポップアップウィンドウで、このインシデントの影響を受ける資産を検索して選択します。
   ポップアップウィンドウが閉じ、インシデントフォームに自動的に戻ります。

   c. フォームヘッダーで、[他のアクション] メニューアイコン ( ) を選択し、[保存] を選択します。

   フォームが再ロードされると、選択した資産に基づいて [構成アイテム] フィールドと [影響を受ける資産] 関連リストが自動的に更新されます。

   注: 消耗品資産を選択した場合、[構成アイテム] フィールドは空のままです。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: マルチコンポーネント資産を選択した場合、[影響を受ける資産] 関連リストには親資産のみが表示されます。このインシデントの影響を受ける各子資産を手動で追加する必要があります。詳細については、 ステップ 5 を参照してください。

5. 前の手順でマルチコンポーネント資産を選択した場合は、このインシデントの影響を受ける子資産を指定します。

   a. [**Affected Assets** (影響を受ける資産)] 関連リストで、[**Edit** (編集)] を選択します。

   b. [メンバーの編集] フォームの [コレクション] リストで、このインシデントの影響を受ける子資産を検索して選択します。

      注: デフォルトでは、[メンバーの編集] フォームは自動的に検索フィルターを実行し、関連する子資産のみをコレクションリストに表示します。

   c. 追加アイコン ( を選択して、選択した子資産を [影響を受ける資産] リストに移動します。

   d. このインシデントの影響を受ける子資産ごとに手順 b と c を繰り返します。

   e. [保存] を選択します。

   f. [インシデント] フォームに戻ったら、[更新] を選択します。

次のタスク
インシデントを解決してクローズします。

エンタープライズ資産管理インシデントを解決してクローズする

エンタープライズ資産管理インシデントの影響を受ける資産に対してアクションを実行し、インシデントを解決してクローズできるようにします。

始める前に
必要なロール：itil

手順

1. 移動先 すべて > インシデント > すべて.
2. 利用可能なインシデントのリストから、解決してクローズする エンタープライズ資産管理 インシデントを選択します。
3. インシデントの影響を受ける資産に対して実行するアクションを指定します。

   a. インシデントフォームで、[影響を受ける資産] 関連リストを選択します。

   b. 影響を受ける資産のリストから、アクションを実行する資産の [資産アクション] フィールドをダブルクリックします。

   c. プロンプトが表示されたら、資産に対して実行するアクションを選択します。

   d. [保存] アイコン (

   e. 資産のスワップを選択した場合は、既存の資産のスワップ対象の資産を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

i. 対応する **[Swapped Asset**] フィールドをダブルクリックします。

ii. プロンプトが表示されたら、[リストを使用してルックアップ] アイコン (を選択し、既存の資産とスワップする資産を検索して選択します。

iii. [保存] アイコン ( )

f. 消耗資産に対してアクションを実行する場合は、アクションを実行する利用可能な資産の数を指定します。
利用可能なすべての資産に対してアクションを実行することも、利用可能な資産の一部に対してのみアクションを実行できます。

i. 対応する [消耗品の数量] フィールドをダブルクリックします。

ii. プロンプトが表示されたら、アクションを実行する利用可能な資産の数を入力します。

iii. [保存] アイコン ( )

重要: [消耗品数量] フィールドには、更新された値は自動的には表示されません。更新された値を表示するには、[影響を受ける資産] 関連リストを更新します。

4. 前のステップで指定したアクションに基づいて、影響を受ける資産を更新/修理、スワップ、廃止するか、または何も実行しません。
5. 影響を受ける資産に対して必要なすべてのアクションの実行が完了したら、インシデントの解決方法の詳細を入力します。

a. インシデントフォームに戻ります。

b. [解決情報] タブで、フィールドに入力します。

[解決情報] タブ

フィールド	説明
ナレッジ	インシデントのクローズ時にナレッジ記事を自動的に作成するオプション。
解決コード	インシデントの解決方法を指定する解決カテゴリ。
解決メモ	インシデントがどのように解決されたかの説明。
解決者	インシデントを解決したユーザー。
解決済み	インシデントが解決された日時。

6. フォーム ヘッダーで、 解決 を選択します。
インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、自動的に [インシデント] リストにリダイレクトされます。資産に子資産があり、[資産アクション] ボックスに示されているように廃止ステータスであった場合、資産の種類に応じて子資産がリリースされます。

廃止ステータスの資産のタイプに基づく子資産のリリース

資産のタイプ	アクション
シンプル	何もしない
シンプル (アドオンあり)	すべての子資産が [廃棄待ち] ステータスにリリースされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産のタイプ	アクション
ユーザー組立	すべての子資産が [廃棄待ち] ステータスにリリースされます。
ユーザー組立 (アドオンあり)	すべての子資産が [廃棄待ち] ステータスにリリースされます。
事前に組立	何もしない
事前に組立 (アドオンあり)	すべてのアドオン資産が [廃棄待ち] ステータスにリリースされます。

インシデントが [解決済み] ステータスに移行し、自動的に [インシデント] リストにリダイレクトされます。

7. 利用可能なインシデントのリストから、解決したばかりのインシデントを選択します。
8. フォームヘッダーで、[インシデントのクローズ] を選択します。
インシデントがクローズされます。

エンタープライズ資産とモデルの管理

エンタープライズ資産とモデルをそのライフサイクル全体にわたって作成および管理します。

エンタープライズ資産の作成と管理

エンタープライズ資産をそのライフサイクル全体にわたって作成および管理します。

エンタープライズ資産を作成

エンタープライズ資産管理アプリケーションで特定のモデルカテゴリの資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
エンタープライズ資産クラスは、製品モデルクラスおよびモデルカテゴリに対して 1 対 1 でマッピングされています。エンタープライズ資産クラスは、該当する場合、既存の CI クラスにマッピングされます。

資産には、消耗資産とシリアル化資産の 2 種類があります。消耗資産には資産タグもシリアル番号もありません。

> **注:** このトピックでは、企業、建設、施設、産業、医療、小売、戦術機器、輸送、ウェアラブル資産の作成方法について詳しく説明します。パレット資産の作成方法の詳細については、「でのパレット資産の作成 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択してすべてのエンタープライズ資産管理モデルから選択するか、[施設]、[産業]、[医療]、[小売]、[輸送]、[消耗品] などの特定の資産タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイプ	作成する資産のタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ エンタープライズ資産 ◦ 建設用資産 ◦ 施設資産 注: エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ資産 [sn_ent_asset] クラスの設備資産 [sn_ent_facility_asset] 子クラスに該当する設備資産のみをサポートします。アプリケーションは、施設 [alm_facility] テーブルにリストされている設備資産をサポートしていません。 ◦ 産業用資産 ◦ 医療資産 ◦ 小売業資産 ◦ 輸送資産 ◦ 戦術装備品資産 ◦ ウェアラブル資産 注: このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブから [新規] を選択した場合にのみ表示されます。
Model category (モデルカテゴリ)	資産が属するモデルカテゴリ。選択したモデルカテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。

5. [作成] を選択します。
[新しい資産を作成] ページが表示されます。デフォルトでは、資産は [ビルド] ステータスです。資産レコードを保存した後にのみ、ステータスを変更できます。
6. [新しい資産を作成] ページで、詳細を入力します。
フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
資産は、この資産の構成アイテム (CI) とともに作成されます。新しく作成された資産の子資産が自動的に作成されます。[子資産]、[契約]、[経費ライン]、[すべての関連タスク] などの他のタブに詳細を入力することで、資産の追加構成を実行できます。

注: [すべての関連タスク] タブには、資産に関連付けられた廃棄タスク、再販タスク、取り消しタスク、作業指示タスク、移動タスクなどの関連タスクのリストが表示されます。子資産に関連付けられた取り消しタスクと作業指示タスクも [すべての関連タスク] タブに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. 資産の追加構成の実行が完了したら、資産のステータスを [使用中] に変更できます。
   資産は、sn_eam.enterprise_admin ロールのみが削除できます。

エンタープライズ資産の資産フィールド

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての資産フィールドの詳細な説明。

資産の詳細

Field (フィールド)	説明
表示名	レコード リストに表示される資産の名前。[資産管理番号] と [モデル] フィールドに基づいて資産が作成された時に自動設定されます。
モデル	資産の特定の製品モデル **注:** 消耗資産を作成する場合は、次の基準を満たす任意の製品モデルを選択できます。 • [Model type (モデルタイプ)] が [Consumable (消耗品)] に設定されます。 • 製品モデルは、Enterprise 優良モデル [sn_ent_model] クラスまたはその子クラスのいずれかに分類されます。
Model category (モデルカテゴリ)	資産のモデルグループ化。選択したモデル カテゴリに基づいて資産を構成アイテムにリンクできます。
親	資産の親資産。親リンクの定義時には、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となり、親の割り当てと状態フィールドに基づいて自動入力されます。
資産タイプ	マルチコンポーネント資産のタイプ。マルチコンポーネント資産のタイプは次のとおりです。 • 事前に組立 • ユーザー組立 • シンプル • シンプル (アドオンあり) • 事前に組立 (アドオンあり) • ユーザー組立 (アドオンあり)
Asset tag (資産管理番号)	資産の追跡のために組織が割り当てた英数字の情報。
Configuration item (構成アイテム)	この資産が作成されると自動的に作成される CI。このフィールドに表示される名前は、 [シリアル番号] および [モデル] に基づいています。参照アイコンをポイントすると、資産レコードか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

Field (フィールド)	説明
	ら継承された構成アイテムの詳細が表示されます。
Serial number (シリアル番号)	この資産のシリアル番号。
状況	資産の現在のステータス。デフォルトでは、新しく作成された資産は [ビルド] ステータスです。資産とそのコンポーネントを構成したら、モデルのステータスを変更できます。 その他のステータスオプションは次のとおりです。 • 発注済み • 在庫あり • 輸送中 • 使用中 • メインテナンス中 • 廃止 • 欠損
サブステート	「利用可能」や「予約済み」など、資産の現在のサブステート。[サブステート] リストの値は、[ステータス] リストから選択した内容に基づいて変化します。
資産機能	プライマリ、セカンダリ、共有、貸与など、資産が使用される機能。
倉庫 注: このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が置かれている倉庫。
通路とスペース	ストックルーム内の資産の通路とスペースの詳細。このフィールドは、資産のステータスが在庫ありまたはビルドの場合にのみ表示されます。
予約利用者 注: このフィールドは、[状態] フィールドを [在庫あり] または [輸送中] に設定した場合にのみ表示されます。	資産が予約されているユーザー。
数量	この資産が表わすアイテム数。以下のポイントが 1 つ以上該当しない限り、資産の数量は常に 1 となります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

Field (フィールド)	説明
	• 消耗品であること。消耗品はグループ単位の追跡となるため、数量は無制限です。 • 事前割り当て済みであること。モデル カテゴリーとモデルが定義されていて、[サブステート] が [事前割り当て済み] に設定されている場合、数量は無制限です。
更新対象	資産が更新の対象かどうかを示します。[インストール済み] フィールドの日付が過去の日付の場合、このチェックボックスが表示されます。このチェックボックスは、モデルの 有効年限 (月数) フィールドで指定された数値の 2 か月前に自動的にオンになります。 EAM - 資産更新適格性の計算 (週次スケジュール済みジョブ) が実行されると、更新の対象となるすべての資産が計算されます。
場所	資産の現在の物理的な場所。 **注:** 場所を特定の建物、フロア、または場所に設定し、ServiceNow インスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、エンタープライズ資産管理アプリケーションは、資産が現在配置されている敷地、建物または構造、フロアを含む最大 3 レベルの対応する場所階層に自動的に入力します。場所階層は、指定された場所と対応する親場所の間の階層関係を示します。場所階層は、すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードの [場所階層] セクションで表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産の詳細 (続く)

Field (フィールド)	説明
	注: 場所を特定の場所に設定し、ServiceNow インスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、すべてのフィールドに入力してフォームを保存した後に生成される資産レコードには、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。関連付けられた作業指示タスクまたはストックルームレコードからレコードを開くと、このマップは引き続き資産レコードに含まれています。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、資産レコードのサイドバーにある [ ]を選択します。
Assigned to (アサイン先)	このアイテムの使用者または主たる責任者。このフィールドは資産状態が使用中の場合に表示されます。
割り当て日付	資産をユーザーに割り当てた日付。
Managed by (管理担当者)	資産を維持管理している人物。[所有者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
インストール日時	[担当者] フィールドに記載されている人物に資産が割り当てられた日付。
Owned by (オーナー)	資産の財務的所有権を有している人物。[管理者] フィールドと別の人物にすることも可能です。
Warranty expiration (保証の有効期限)	保証期限の日付。
会社	この資産が属する会社または組織。
部門	この資産が属する部門。
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイム無線自動識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、「Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理」を参照してください。 注: この資産が別の資産の子であり、独自の RFID タグが含まれていない場合、[**RFID** タグ] フィールドには親資産の RFID タグが入力されます。親資産を削除すると、この資産の **[RFID** タグ] フィールドがクリアされます。
コメント	もしあれば追加するメッセージ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

財務フォーム

Field (フィールド)	説明
ベンダー	資産の購入元となるベンダー。Procurement の発注書から自動作成された資産の場合、[ベンダー] フィールドのデフォルト値は発注書で指定されたベンダーとなります。
オープン	要求されたアイテム レコードが開かれた日付。要求ラインが指定されると、システムによってフィールドが自動入力されます。
Invoice number (請求書番号)	請求書の番号。
GL account (GL アカウント)	資産が関連付けられている総勘定元帳のアカウント番号。
要求アイテム	資産に関連した要求アイテム。
コスト	資産を購入した価格。
Cost center (コストセンター)	資産に関する請求が記載されていたコストセンター。
取得方法	資産の取得方法。ベースシステムの選択肢は、購入、 リース、 レンタル、 ローン、 **RMA** 交換です。 Procurement の発注書により自動登録された資産の場合、デフォルト値は購買です。
PO number (発注書番号)	資産に関する請求の根拠となる発注書 (PO)

[減価償却] フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
Depreciation (減価償却)	適用される減価償却方法。基本システムの選択肢は、定率と定額です。減価償却値は、関連するモデルからデフォルト設定されます。
経過日数	減価償却有効日付から経過した日数
減価償却開始日	指定された減価償却方法が開始される日付。
残存価額	減価償却方法が適用された [コスト] フィールドの値
処分価額	耐用年数の終了時の資産の見積額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
減価償却額	資産の減価償却済みの金額

リース契約

Field (フィールド)	Description (説明)
リース契約	資産に適用されているリース契約。
リース有効期限	リース契約が切れる日付

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース契約 (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月)。
月次リース支払	リース契約に対して毎月支払わなければならない金額。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。

廃棄フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
廃棄注文番号	資産廃棄注文に割り当てられた一意の番号。
廃棄ベンダー	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダー
予定使用終了日	資産の廃止予定日。
廃止日	実際に廃止した日付。
ベンダー廃棄注文 ID	資産廃棄注文を実行するために割り当てられたベンダーによりアサインされた注文番号。
再販価格	廃止時の資産の価値。たとえば、資産が寄贈されたものである場合、数値を税金の報告時に適用します。
廃棄日	資産廃棄注文処理が完了した日付。
受領企業	資産の廃止時にその資産を受け取る組織。

資産監査

Field (フィールド)	Description (説明)
監査番号	資産の監査番号。
監査タイプ	資産に対して実行された監査のタイプ。
前回の監査日	前回の監査が行われた日付。
前回の監査ステート	前回の監査のステータス。
監査者	前回の監査を実行したユーザー。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注: この資産が別の資産の子である場合、これらの RFID フォームセクションフィールドにマッピングされて入力される RFID 場所データは、資産が関連付けられている RFID タグに基づきます。

- この資産に独自の RFID タグが含まれている場合、すべての RFID 位置データはその RFID タグに基づきます。
- この資産に独自の RFID タグが含まれていない場合、すべての RFID 位置データは親資産の RFID タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産の RFID フォームセクションフィールドからすべての RFID 場所データが消去されます。

Field (フィールド)	Description (説明)
RFID タグ	資産に関連付けられているリアルタイム無線自動識別 (RFID) タグ。RFID タグの詳細については、「Zebra MotionWorks の RFID 統合 エンタープライズ資産管理」を参照してください。
タイプ	資産に関連付けられている RFID タグのタイプ。
タグソース	RFID タグを介して保存および転送される資産の RFID 位置データのソース。
Serial number (シリアル番号)	資産のシリアル番号。
前回の点滅時間	RFID タグが最後にスキャンされた時刻。
前回の点滅経過時間	RFID タグが最後にスキャンされてからの経過時間。
緯度	資産の緯度価値。
経度	資産の長期的価値。
アクティブ	RFID タグがアクティブかどうかを示すオプション。このオプションを選択した場合にのみ、RFID 位置データを資産にマッピングできます。
サイト名	資産が配置されているサイトの名前。
ゾーングループ	資産が属する問い合わせゾーングループ。
ゾーングループ滞留	指定された問い合わせゾーングループに資産が属する期間。
ゾーン	資産が配置されている問い合わせゾーン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RFID

注: この資産が別の資産の子である場合、これらの RFID フォームセクションフィールドにマッピングされて入力される RFID 場所データは、資産が関連付けられている RFID タグに基づきます。

- この資産に独自の RFID タグが含まれている場合、すべての RFID 位置データはその RFID タグに基づきます。
- この資産に独自の RFID タグが含まれていない場合、すべての RFID 位置データは親資産の RFID タグに基づきます。親資産を削除すると、この資産の RFID フォームセクションフィールドからすべての RFID 場所データが消去されます。

(続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
ゾーン滞留	指定されたインテロゲーションゾーンに資産が配置されている時間。
グリッド x	指定された RFID グリッド内の資産の X 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を正確に特定します。
グリッド y	指定された RFID グリッド内の資産の Y 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を正確に特定します。
グリッド z	指定された RFID グリッド内の資産の Z 座標。RFID システムは、XYZ 座標を使用して資産の場所を正確に特定します。
ステータス	RFID 位置データの資産へのマッピングのステータス。データが資産に正常にマッピングされた場合、このフィールドは [一致] に設定されます。データが資産にマッピングされていない場合、このフィールドは「 不一致」に設定されます。 **重要:** RFID の場所データは、[RFID] フォームセクションで [アクティブ] オプションを選択した場合にのみ、資産にマッピングできます。 **ヒント:** Enterprise 資産一覧ビューの [概要] タブに表示される [不一致 **RFID** タグ] 重要なアクションを使用して、RFID ステータスが [不一致] の資産レコードを表示してアクションを実行できます。エンタープライズ資産一覧ビューの詳細については、「 エンタープライズ資産ワークスペースのエンタープライズ資産一覧の概要」を参照してください。

アクティビティ

Field (フィールド)	説明
作業メモ	作業メモは、以下の場合に更新されます。 • 資産の [担当者]、[アドミン]、[状態]、[サブステート]、[予備] フィールドの更新。フィールドの列はデフォルトで監査されており、どの更新も作業メモに記録されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクティビティ (続く)

Field (フィールド)	説明
	• 作業メモは、発注書 (PO) と転送注文による資産の受領時に更新されます。これらの作業メモは資産のライフ サイクルを追跡するのに便利です。

リニア資産を作成

リニア資産を作成して、 エンタープライズ資産管理 ポートフォリオを多様化します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	リニア資産の一意の名前です。
リニア資産タイプ	リニア資産のタイプ。リストから選択するか、独自の資産タイプを作成できます。
説明	リニア資産の説明。
ロケーション	リニア資産の近くにあります。リニア資産を描画するには、[ジオマップ] アイコンを選択してマップを表示します。場所を入力すると、マップはその付近に適切に焦点を合わせ、ズームします。 ジオマップアイコンを使用してマップ上のジオ座標ポイントを接続する方法の詳細については、この短いビデオ「 マップ上のジオ座標ポイントの接続 」をご覧ください
境界幅	リニア資産の境界幅です。 境界幅は、個別資産をリニア資産に関連付けるのに役立ちます。個別資産の位置は、リニア資産の境界幅内に収まる必要があります。たとえば、リニア資産の境界幅が 500 フィートの場合、個別資産がそのリニア資産から 250 フィート以内にある場合にのみ、個別資産をそのリニア資産に関連付けることができます。
幅単位	リニア資産の幅 (単位)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
長さ単位	リニア資産の長さを測定する単位。
長さ	リニア資産の長さ。この入力フィールドはオプションです。入力されていない場合は、座標を使用して計算されます。
開始マーカー	リニア資産の始点。
終了マーカー	リニア資産の終点。
座標	2 つ以上の地理的 (ジオ) ポイントのリスト。各ジオポイントには緯度と経度があります。たとえば、[[37.377323, -121.961947], [37.380582, -121.976565]] などです。 リニアアセットの座標がすでにある場合は、このフィールドに貼り付けることができます。それ以外の場合は、[添付ファイル] セクションの [ジオマップ] アイコンを使用して、マップ上にジオポイントを描画できます。 開始マーカーと終了マーカーは、最初と最後の座標に基づいて作成されます。マーカーは、位置情報管理タイプに関連付けられた一般的な場所レコードです。共通ロケーション階層では、リニア資産のすべてのマーカーは、Vicinity の下にある Vicinity Geolocation の下に配置されます。「近傍」とは、リニア資産の場所を指します。

自動翻訳

4. [保存] を選択します。
   リニア資産が作成され、[リニア資産] リストに表示されます。リニア資産の追加構成を実行するには、[リニアセグメント]、[秘匿資産]、[関連リニア資産]、[契約]、[経費ライン] などの他の関連リストに詳細を入力します。

リニア資産のセグメントを作成

リニア資産のセグメントを作成して、作業指示をセグメントにアサインします。セグメントのメンテナンス計画を作成することもできます。

始める前に

リニアセグメントはリニア資産の一部です。線形セグメントを作成するときは、次のいずれかの 2 つのフィールドに値を入力する必要があります。3 番目のフィールドの値は自動的に入力されます。たとえば、開始マーカーと終了マーカーを入力すると、「 長さ」 フィールドが自動的に入力されます。同様に、開始マーカーと長さを入力すると、[終了マーカー] フィールドに値が入力されます。

- 開始マーカー
- 終了マーカー
- 長さ

マップ上に開始マーカーまたは終了マーカーを入力する場合、マーカーはリニア計画線から 10 フィート以内にある必要があります。この値は、asset_property *com.eam.linear_segment_marker_boundary*の値を変更することでカスタマイズできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

作業指示とメンテナンス計画の作成の詳細については、「エンタープライズ資産の作業指示書の作成 と Enterprise 資産のメンテナンス計画を作成する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. セグメントを追加するリニア資産レコードを開きます。
3. [線形セグメント] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	線形セグメントの名前。
リニア資産タイプ	リニア資産のリニア資産タイプ
リニア資産	セグメントが属するリニア資産。
ステータス	リニア資産の現在のステータス。
説明	線形セグメントの簡単な説明。
ロケーション	リニア資産の場所。
開始マーカー	線形セグメントの始点。
終了マーカー	線形セグメントの終点。
長さ	線形セグメントの長さ。
長さ単位	直線セグメントの長さが測定される単位。

6. [保存] を選択します。
   線形セグメントが [線形セグメント] 関連リストに表示されます。

個別資産をリニア資産に関連付ける

個別資産をリニア資産に関連付けて、後でリニア資産からこれらの資産をクエリして検索できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. 個別資産を関連付けるリニア資産レコードを開きます。
3. [個別資産] 関連リストを選択します。
4. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
個別資産	個別資産の名前。
リニア資産	個別資産が関連付けられているリニア資産の名前。
マーカー	個別資産のマーカー。既存のマーカーを選択するか、位置ピッカーを選択してマーカーを作成できます。 マーカーは、リニア資産の境界幅によって定義されるリニア資産の境界内になければなりません。
説明	個別資産の説明。

6. [保存] を選択します。

リニア資産関係の検索

重なり合う資産、継続する資産、交差する資産など、リニア資産間の関係を検索できます。

始める前に

リニア資産間の関係を検索して、それらを相互に関連付けることができます。たとえば、特定のリニア資産の交差するすべてのリニア資産を検索するために、リニア資産を交差する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。同様に、特定のリニア資産について重複するすべてのリニア資産を検索するために、リニア資産を重複する資産などの別のリニア資産に関連付けるとします。リニア資産間の関係が見つかると、関連するリニア資産のレコードが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > リニア資産.
2. 他のリニア資産との関係を検索するリニア資産レコードを開きます。
3. リレーションシップの検索 を選択します。
   確認メッセージ ボックスが表示されます。
4. 確認メッセージ ボックスで [リレーションシップの検索] を選択します。
   このリニア資産と他のリニア資産との関係性が検索されます。関係が識別された場合はメッセージが表示され、関係が見つかった場合、レコードが [関連リニア資産] 関連リストに作成されます。
5. [保存] を選択します。
6. [関連リニア資産] 関連リストを選択して、識別された関係を表示します。
   レコードごとに、リニア資産との関係の種類 (継続、重複、交差など) が示されます。

でのパレット資産の作成 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、バンドル資産、消耗品資産を輸送および保管できるパレットを追跡および管理するパレット資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. パレット タブで、新規 を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

[新規パレットを作成] フォーム

フィールド	説明
ベンダー	パレットの購入元ベンダー。パレットが調達発注書から自動的に作成された場合、[仕入先] フィールドは発注書で指定されたものと同じ仕入先に自動的に設定されます。
モデル	パレットが関連付けられているパレットモデル。
資産タグ	組織が追跡のためにパレットに割り当てる英数字の値。
ステータス	パレットの現在のステータス。 このフィールドは自動的に [在庫あり] に設定されます。ただし、このフィールドは次のいずれかのオプションに設定することもできます。 ◦ 輸送中 ◦ 廃止 **(Retired)** ◦ 欠損
倉庫	パレットが置かれている倉庫。
通路	パレットが配置されている倉庫の通路。
スペース	パレットが配置されている倉庫の通路スペース。
パレットタイプ	パレットのタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ パレット ◦ 受信箱 ◦ ボックス ◦ コンテナー ◦ その他
サブステート	[利用可能] や [予約済み] など、パレットの現在のサブステート。[サブステート] フィールドで使用できるオプションは、[ステータス] フィールドで選択したオプションに基づいて変わります。
ロケー	パレットの物理的な場所。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ション	**注:** 場所を特定の場所に設定し、ServiceNowインスタンスで *sn_itam_common.sn_enable_indoormap_for_assets* システムパラメーターを **true** に設定すると、すべてのフィールドに入力してこのフォームを保存した後に生成されるパレット資産レコードには、資産のリアルタイムの場所を示すインタラクティブマップが含まれます。 関連付けられた作業指示タスクまたはストックルームレコードからレコードを開くと、このマップはパレット資産レコードに引き続き含まれます。 デフォルトでは、マップは表示されません。マップを表示するには、パレット資産レコードのサイドバーにある [を選択します。

4. [保存] を選択します。

のパレットに資産を追加する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産、ハードウェア資産、ベース資産、バンドル資産、消耗品資産をパレットに追加して、グループとして追跡および管理できるようにします。

始める前に

ハードウェア、ベース、またはバンドル資産をパレットに追加するには、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールして有効化します。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

パレットに資産を追加できるのは、次の条件の場合のみです。

- パレット資産レコードの [状態] フィールドが [在庫あり] に設定されている。
- 資産レコードの [**State**] フィールドは、次のいずれかのオプションに設定されます。
  - 発注済み
  - 在庫あり
  - 輸送中
- 資産レコードの [倉庫] フィールドが空であるか、パレットと同じ倉庫に設定されています。
- 資産が別の親資産に関連付けられていません。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. [パレット] タブで、資産を追加するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 資産をパレットに追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ エンタープライズ、ハードウェア、ベース、またはバンドル資産をパレットに追加するには、次の手順に従います。

a. [資産を追加] を選択します。

[資産を追加] ダイアログボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、パレットに追加するすべての資産のチェックボックスをオンにします。

c. [Add (追加)] を選択します。

◦ 消耗資産をパレットに追加するには、次の手順に従います。

a. [消耗品を追加] を選択します。

[消耗品をパレットに追加] ダイアログボックスが開きます。

b. [消耗品] フィールドで、パレットに追加する消耗資産を検索して選択します。

c. [数量] フィールドで、パレットに追加する消耗資産の数量を指定します。

d. [Add (追加)] を選択します。

タスクの結果
資産は、パレット資産レコードの [資産] タブに追加されます。

のパレットから資産を削除 エンタープライズ資産ワークスペース

パレットの一部として追跡および管理する必要がなくなったエンタープライズ、ハードウェア、ベース、バンドル、または消耗資産を削除します。

始める前に
ハードウェア、ベース、またはバンドル資産をパレットから削除するには、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールして有効化します。アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. [パレット] タブで、資産を削除するパレットを選択します。
   パレット資産レコードが開きます。
3. [資産] タブを選択します。
4. 利用可能な資産のリストから、パレットから削除する各資産のチェックボックスをオンにします。
5. [削除] を選択します。

タスクの結果
アセットは [アセット] タブに表示されなくなります。

パレット資産を使用した資産インベントリの管理 エンタープライズ資産ワークスペース

移動オーダー、廃棄注文、再販注文、およびさまざまな消費ワークフローでパレットと、そのパレットに含まれる資産を使用して、資産在庫を管理できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

倉庫間でのパレットの移動

転送注文を使用して、在庫のあるパレットをあるストックルームから別のストックルームに移動できます。資産を含むパレットを移動する場合、それらの資産も同じ転送注文の一部として移動されます。パレット内に含まれる資産のみを移動した場合、それらの資産は、フルフィルメントの準備完了タスクがクローズされた後に、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

転送注文の詳細については、「Enterprise 資産ワークスペースで転送注文を作成する」を参照してください。

パレットの廃棄

パレットがライフサイクルの終わりに近づいているか、機能しなくなった場合は、廃棄注文を使用して廃棄できます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用して、パレットとその資産を廃棄することを選択できます。

> **注:** 廃棄できるのは、パレット内に含まれるエンタープライズ資産とエンタープライズベースの消耗品資産のみです。パレットにハードウェア、バンドル、またはハードウェアベースの消耗品資産が含まれている場合、それらの資産は自動的に [無効] ステータスに更新され、廃棄指示の一部として処理することはできません。

- パレットとその中に含まれるすべての資産の両方を廃棄します。
- パレットと、そのパレット内に含まれる特定の資産のみを廃棄します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを廃棄しますが、そのパレット内に含まれるすべての資産は保持します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレットに含まれるすべての資産を廃棄します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレット内に含まれる特定の資産のみを廃棄します。廃棄した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

廃棄注文の詳細については、 Enterprise 資産ワークスペースで廃棄注文を作成するを参照してください。

パレットの再販

無駄を減らし、コストを節約するために、再販注文を使用して、使用しなくなったパレットを再販できます。パレットに資産が含まれている場合は、次のいずれかのオプションを使用して、パレットとその資産の再販を選択できます。

> **注:** パレット内に含まれるハードウェア資産、アセットバンドル、エンタープライズ以外の消耗品資産を再販することはできません。

- パレットと、そのパレットに含まれるすべての資産の両方を再販します。
- パレットと、そのパレットに含まれている特定の資産のみを再販します。保持することを選択した資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。
- パレットを再販しますが、そのパレットに含まれるすべての資産を保持します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレットに含まれるすべての資産を再販します。このオプションを選択すると、対応するパレット資産レコードからすべての資産が自動的に削除されます。
- パレットは保持しますが、そのパレットに含まれる特定の資産のみを再販します。再販する資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再販オーダーの詳細については、「資産再販フローの作成」を参照してください。

パレット内の資産の消費

パレット内に含まれる資産は、さまざまな資産ワークフローを通じて消費できます。

返品許可 (RMA) フロー

返品承認(RMA)は、買い手と売り手の間の契約であり、買い手が指定された保証期間内に欠陥のある製品を返品、交換、または修理を要求できるようにします。パレット内の資産に欠陥がある場合は、RMA オーダーを使用して交換または修理を開始できます。RMA 注文に含まれる資産は、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

RMA 注文の詳細については、 欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 (RMA) の要求を参照してください。

ローカル注文サブフロー

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、資産要求を調達して履行できます。パレット内の資産が資産要求の一部としてローカルで調達および消費されると、エンタープライズ資産確認タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

ローカルストックルームからの資産の調達の詳細については、「Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求」を参照してください。

Loaner Request フロー

資産を短期間だけ使用する必要がある場合、貸与要求を使用してその資産の貸与を要求できます。パレット内の資産が貸与されると、貸与要求の準備タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから削除されます。

資産の貸与の詳細については、「Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求」を参照してください。

リース資産の返却フロー

リース資産の契約の有効期限が近づいている場合、違約金が発生する前にリース資産を資産ベンダーに返却することができます。パレット内のリース資産が資産ベンダーに返却されると、資産の出荷タスクがクローズされた後、対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

リース資産の返却の詳細については、「リースされたエンタープライズ資産を返却する」を参照してください。

IT Service Management 資産管理 アプリケーションからのスワップタスク

ServiceNow® 資産管理アプリケーションを使用すると、資産を追跡および管理できます。アプリケーションを使用してパレット内の資産を入れ替えると、その資産は入れ替え後に対応するパレット資産レコードから自動的に削除されます。

資産管理 アプリケーションの詳細については、「資産管理 」を参照してください。

不明なエンタープライズモデルを持つエンタープライズ資産の更新

Enterprise 資産が不明な Enterprise モデルに関連付けられている場合は、既知の Enterprise モデルで更新して、正確に分類および追跡できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

注: エンタープライズモデルは、シリアル化されたマルチコンポーネントエンタープライズ資産に対してのみ更新できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または特定のエンタープライズ資産タイプ (医療など) のタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズ資産のリストから、[モデル] フィールドが [不明なモデル] に設定されているエンタープライズ資産を選択します。
   資産レコードが開きます。すべての資産レコードフィールドは読み取り専用です。
4. 資産レコードで [更新] を選択します。
   どのタイプのエンタープライズ資産に変更しますか?ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

どのタイプのエンタープライズ資産に変更しますか?ダイアログボックス

フィールド	説明
タイプ	エンタープライズ資産を分類するエンタープライズ資産タイプ。
モデルカテゴリ	エンタープライズ資産が属するエンタープライズモデルカテゴリ。エンタープライズ資産は、選択したエンタープライズモデルカテゴリに基づいて、対応する構成アイテム (CI) にリンクできます。
モデル	エンタープライズ資産を関連付けるエンタープライズモデル。

6. [更新] を選択します。
   ダイアログボックスが閉じ、自動的に資産レコードに戻ります。更新が成功すると、資産レコードフィールドが編集可能になります。

注: 選択したエンタープライズ資産タイプ、エンタープライズモデルカテゴリ、およびエンタープライズモデルによってエンタープライズ資産がユーザー組立マルチコンポーネント資産に更新されると、資産レコードの [ステータス] フィールドが自動的に [ビルド] に変更されます。[**Assemble**] ボタンと **[Auto assemble**] ボタンも資産レコードに表示されます。これらのボタンを使用して、エンタープライズ資産の組み立てプロセスを開始できます。ユーザーが組み立てたマルチコンポーネントアセットの詳細については、「 ユーザー組立資産の資産を選択」を参照してください。

親マルチコンポーネント資産の資産をスワップ

マルチコンポーネント資産の一部である子資産をスワップします。一度にスワップアウトできる子資産は 1 つだけです。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
次のステータスの資産をスワップできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 使用中 (子資産がホットスワップ可能な場合のみ)
- メインテナンス中
- 在庫あり (サブステート:欠陥品または修理待ち)

スワップ機能は、マルチコンポーネント資産の親資産でのみ使用できます。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. マルチコンポーネントレコードを選択します。
3. [資産] タブを選択し、親資産を選択します。
4. [スワップ] を選択します。
5. [資産をスワップ] ダイアログボックスで、詳細を入力します。

   a. [スワップアウトする資産] フィールドで、スワップする子資産を選択します。
   [**Asset Tag**] フィールドと [**Serial Number**] フィールドが表示されます。これらのフィールドは、資産 [alm_asset] テーブルで詳細が利用可能な場合にのみ自動的に入力されます。それ以外の場合は、これらのフィールドに詳細を手動で入力して、スワップアクションを続行する必要があります。

   注: 消耗品の [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドは表示されません。

   b. [資産スワップのストックルームを選択] フィールドで、資産とスワップする資産を選択するストックルームを選択します。

   c. 代替モデルに基づく資産を表示するには、[代替モデルに基づく資産を含める **(Include assets based on substitute models**)] チェックボックスをオンにします。

   代替モデルの資産は、次の基準を満たしている場合にのみ [交換用資産] フィールドに表示されます。

   - 資産機能が貸与でないか、資産機能が空です。
   - [状態] または [サブステート] が [在庫あり] または [利用可能] の場合。
   - 代替見込み資産の [親] フィールドが空です。
   - [ストックルーム] は [ストックルーム] フィールドに入力した値と同じです。

   代替モデル基準を満たす資産が [交換用資産] フィールドに表示されない場合は、キーストロークのたびに検索クエリが更新されるため、モデル名を検索します。

   d. [交換用資産] フィールドで、スワップする資産を選択します。
   選択したストックルームで利用可能な類似の資産からのみ選択できます。

   e. [数量] フィールドに、スワップする資産の数量を入力します。
   このフィールドには、交換する資産の数量が自動的に入力されます。ただし、このフィールドの値を変更できるのは、資産が消耗品の場合のみです。他のすべての資産では、このフィールドは読み取り専用フィールドです。消耗品の実際の数量を超えて交換することはできません。たとえば、消耗品が 5 個ある場合は、5 個未満を交換するか、5 個すべての消耗品を交換することができます。

   f. **[OK]** を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果

- 資産は正常にスワップされ、新しい資産は親資産のステータスとステータスを継承します。
- スワップアウトされた資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。資産が消耗品の場合、ステータスは [在庫あり] に、およびサブステートは [廃棄待ち] に変わります。
- スワップアウトされた資産の倉庫が、[資産スワップの倉庫を選択] フィールドで選択した倉庫に変更されます。

ユーザー組立資産の資産を選択

親資産のストックルームから資産を選択して、ユーザー組立資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. ユーザー組立モデルを開き、[資産] タブから資産レコードを開きます。
2. [アセンブリ]を選択して、[アセットを選択]ダイアログ ボックスを開きます。
3. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
モデルコンポーネント	マルチコンポーネントモデルに関連付けられたモデルコンポーネント。
数量	モデルコンポーネントの数量。
資産	親ストックルームからの資産。消耗資産の場合は、ストックルームにある資産の数量も記載されます。
アクション	対応するモデルコンポーネントが必要かどうかを示します。有効な十字は、モデルコンポーネントを削除できることを示します。無効な十字は、これが必須のモデルコンポーネントであることを示します。モデル コンポーネントを削除すると、[モデル コンポーネントをさらに選択] ドロップダウン ボックスが表示され、削除したモデル コンポーネントを復元できます。

4. 「アセンブル」**(Assemble)** を選択します。
   選択した資産が親資産に追加されます。これらの資産は [子資産] タブで確認できます。個々のレコードではなく、すべての消耗資産が単一のレコードとして表示されます。

親資産から資産をリリース

親資産に関連付ける必要がなくなった子資産をリリースします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて

ユーザー組立、組立済み、または単一の資産から一度にリリースできる子資産は 1 つだけです。

不要の資産、または次のいずれかのステータスにあるアドオン資産をリリースできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 使用中
- メインテナンス中
- 在庫あり (サブステートが [廃棄待ち])
- 在庫あり (サブステートが [修理待ち])

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. 資産をリリースする親資産レコードを選択します。
3. [資産のリリース] を選択します。
4. [資産をリリース] ダイアログボックスで、詳細を入力します。

   a. [リリースする資産] フィールドで、リリースする子資産を選択します。
   [**Asset Tag**] フィールドと [**Serial Number**] フィールドが表示されます。これらのフィールドは、資産 [alm_asset] テーブルで詳細が利用可能な場合にのみ自動的に入力されます。それ以外の場合は、これらのフィールドに詳細を手動で入力してリリースアクションを続行する必要があります。

   注: 消耗品の [資産タグ] フィールドと [シリアル番号] フィールドは表示されません。

   b. [リリース済み資産のストックルームを選択] フィールドで、子資産をリリースするストックルームを選択します。

   c. [数量] フィールドに、スワップする資産の数量を入力します。
   このフィールドには、交換する資産の数量が自動的に入力されます。ただし、このフィールドの値を変更できるのは、資産が消耗品の場合のみです。他のすべての資産では、このフィールドは読み取り専用フィールドです。消耗品の実際の数量を超えて交換することはできません。たとえば、消耗品が 5 個ある場合は、5 個未満を交換するか、5 個すべての消耗品を交換することができます。

タスクの結果

- リリースした資産は [子資産] タブに表示されません。
- リリースされた資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

追加の子資産を作成

資産がモデルコンポーネントで定義されていない場合でも、モデルの追加の子資産を作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. **Enterprise** 資産ワークスペースに移動し、[**Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧)] または **[Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)] を選択して、[**Child Assets** (子資産)] 関連リストタブにアクセスします。
2. [追加] を選択してストックルームから資産を選択します。
   [追加] は、資産が次のいずれかの状況にある場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ビルド中
- 使用中
- メンテナンス中
- 在庫あり 欠陥品
- 在庫あり 修理待ち

3. [追加する子資産を選択] ダイアログボックスでストックルームと資産を選択します。
4. **[Add** (追加)] を選択します。

エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加

エンタープライズ資産にキャリブレーション属性を追加して、資産のライフサイクル全体を通じて必要なキャリブレーションを指定および管理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

個々のエンタープライズ資産レベルまたはエンタープライズモデルレベルでキャリブレーション属性を追加できます。または、エンタープライズ資産またはエンタープライズモデルに関連付けられていない共通のキャリブレーション属性を作成することもできます。エンタープライズモデルにキャリブレーション属性を追加する方法の詳細については、「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。一般的なキャリブレーション属性の作成方法の詳細については、「 キャリブレーション属性ライブラリの作成」を参照してください。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは [設備資産] などの特定のエンタープライズ資産カテゴリのタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズ資産のリストから、キャリブレーション属性を追加するエンタープライズ資産を選択します。
4. エンタープライズ資産レコードの キャリブレーション属性 タブで、 新規 を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しいキャリブレーション属性を作成] フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
属性の詳細	
名前	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要度を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
	注: エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトの校正カテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。
アクティブ	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	キャリブレーション属性がエンタープライズ資産に適用される順序。エンタープライズ資産に複数のキャリブレーション属性が含まれている場合、最も低い数値の属性が最初に資産に適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ 精度 % フルスケール: 精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定割合に基づいています。対応する許容限界は、精度を測定する点に関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で、精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、公差限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ◦ 精度 % ポイント: 精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づきます。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別の点で精度を測定すると、許容限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール 注: このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 % フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	精度を測定できる完全な測定範囲。
Unit (単位)	精度の測定に使用する測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が属する必要がある精度の割合。
解決	検出して測定できる値の識別可能な最小の変化。解像度が高いほど、値の変化はより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一連の要件とガイドライン。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
	注: 品質基準は、 エンタープライズ資産ワークスペース の [アドミンセンター] ビューで手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションの品質基準を作成」を参照してください。
計測	
計測モデル	キャリブレーションを実行するために使用する必要がある機器のモデル。
説明	キャリブレーションを行う際に従わなければならない一般的な指示または機器の設定。

6. [保存] を選択します。
フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
7. 精度を測定できるポイントを指定します。

重要: エンタープライズ資産の測定範囲内で 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性を [アクティブ] に設定することはできません。

a. キャリブレーション属性レコードで、[キャリブレーション ポイントの追加] を選択します。
[キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

Field (フィールド)	Description (説明)
ポイント名	ポイントの名前。
予想値	精度を測定するポイント値。
順序	精度を測定するためにポイントを使用する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性にポイントを追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([+]) を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. **[OK]** を選択します。

ダイアログ ボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーション ポイント] タブにポイントが表示されます。

8. オプション: エンタープライズ資産にエンタープライズモデルレベルのキャリブレーション属性も含まれている場合は、このエンタープライズ資産レベル属性を有効にして、既存のエンタープライズモデルレベル属性を上書きします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. キャリブレーション属性レコードで、[**Details** (詳細)] タブを選択します。

b. [詳細] タブの [識別] セクションで、[上書き] フィールドの横にある [レコードの検索] アイコン ( )を選択します。
[上書き] ダイアログボックスが開きます。

c. ダイアログボックスで、上書きするエンタープライズモデルレベルの属性を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、自動的にキャリブレーション属性レコードに戻ります。

d. [保存] を選択します。

エンタープライズモデルレベル属性が、エンタープライズ資産レコードの [キャリブレーション属性] タブから削除されます。

次のタスク

作業指示書を作成して、エンタープライズ資産に対して行われた調整を追跡します。これらの作業指示では、作業タイプが [Calibration (調整)] のタスクを含む作業指示テンプレートを使用する必要があります。作業指示の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業指示の管理」を参照してください。

エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性のクローン作成

既存のキャリブレーション属性をエンタープライズ資産にクローンして、同様の設定でキャリブレーション属性を追加します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブまたは [設備資産] などの特定のエンタープライズ資産カテゴリのタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズ資産のリストから、キャリブレーション属性のクローンを作成するエンタープライズ資産を選択します。
4. エンタープライズ資産レコードの [キャリブレーション属性] タブで、次のいずれかのオプションを使用してキャリブレーション属性のクローンを作成します。
   - このエンタープライズ資産から別のエンタープライズ資産にキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順を使用します。
     a. 使用可能なキャリブレーション属性のリストから、クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。
     b. **[Clone to assets** (資産へのクローン)] を選択します。
     c. [資産を選択] ダイアログボックスで、[アクティブとしてクローン] チェックボックスをオンにして、クローンされたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。
     d. キャリブレーション属性のクローン先のエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。
     e. [クローン] を選択します。

     キャリブレーション属性が、選択したエンタープライズ資産にクローンされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ 別のエンタープライズ資産からこのエンタープライズ資産にキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順に従います。

a. [クローン元] を選択します。

b. [クローンする属性を選択] ダイアログ ボックスで、[アクティブとしてクローン] チェックボックスをオンにして、クローンされたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。

c. クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。

d. [クローン] を選択します。

キャリブレーション属性がエンタープライズ資産にクローンされ、使用可能なキャリブレーション属性のリストに表示されます。

Enterprise 資産ワークスペースでの消耗資産の使用

消耗資産を使用するには、状況が [在庫あり] で、サブステートが [利用可能] であることを確認してください。

始める前に

注: モデルの資産戦略トラッキングが消耗品資産を作成するように設定されている場合は、エンタープライズ資産管理アプリケーションのモデルから作成された消耗品のみを使用できます。

必要なロール：asset

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > 消耗型資産.
2. ステータスが [在庫あり] でサブステートが [利用可能] の消耗資産を選択します。
3. [消費] を選択します。
   [消費] ダイアログボックスが表示されます。
4. [数量] フィールドに消費する数量を入力します。
5. 資産リストでルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられている資産を選択します。

   Example
   たとえば、消耗資産として追跡されたマウスは、コンピューターなどの非消耗資産に関連付けることができます。
6. ユーザーリストで、ルックアップアイコンを選択し、消耗品に関連付けられているユーザーを選択します。
7. **[OK]** を選択します。
   [消耗品] フォームの [数量] フィールドには減少した数が表示されます。[消耗品] リストには、特定のストックルームにある消耗品に対して 2 種類のレコードが含まれています。1 つは [在庫あり] 状態と [利用可能] サブステート (全量消費でない場合) 、もう 1 つは [消費済み] 状態です。消耗品が別のストックルームに転送中ではなく、かつデータレコード内の情報が同じ場合、類似したレコードは自動的に結合されます。消耗品が消費されたら、そのレコードはレポート作成のためにシステムに残ります。

Enterprise 資産ワークスペースでの消耗資産の廃棄

倉庫で不要になった消耗資産は廃棄してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:asset、itil、itil_admin
消耗品 [alm_consumable] テーブルの [Planned for disposal] 列に、消耗資産が廃棄対象としてマークされているかどうかが示されます。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧) > 消耗型資産.
2. 消耗資産レコードを開き、[廃棄対象としてマーク] を選択します。
   [廃棄対象としてマーク] は、[在庫あり] ステータスであり、廃棄対象としてマークされていない消耗品資産に対してのみ表示されます。
3. [廃棄対象としてマーク] ダイアログボックスで、消耗資産の合計数量または部分的な数量を入力します。
   部分的な数量を入力すると、新しい消耗品レコードが作成され、サブステートは廃棄待ちになります。総数量を入力すると、消耗品レコードのサブステータスが「廃棄待ち」に変わり、同じ消耗品レコードに戻ります。
   消耗資産に廃棄対象としてマークを付けると、[廃棄対象としてマーク] は表示されなくなります。

   注: 廃棄対象としてマークされた消耗品のみが廃棄注文に含まれます。消耗品を廃棄対象としてマークすると、別の消耗品レコードと結合されることはありません。

資産オンボーディングプロセスの作成

資産オンボーディングプロセスを作成して、資産に関する重要な情報を入力するプロセスを順を追って説明します。

始める前に
資産オンボーディングプロセスは、プロセスを完了するためのインタラクティブなユーザーインターフェイスを提供するプレイブックエクスペリエンスです。資産オンボーディングプロセスは、オンボーディングタスクが作成された後にトリガーされます。オンボーディングタスクは、資産要求フローから自動的に作成することも、資産レコードから手動で作成することもできます。資産オンボーディングプレイブックの概要については、「エンタープライズ資産管理向けプレイブック」を参照してください。

オンボーディングは、事前に組立された単純な資産でのみ使用できます。また、親の事前に組み立てられた資産のみをオンボーディングできます。子の組立済み資産ではありません。

資産のオンボーディングプロセスはレーンに整理されています。レーンがページの左ペインに表示されます。各レーンには、完了するように求められるいくつかのアクティビティが含まれています。次のボタンを使用して、タスクをスキップ、保存、または完了します。

- スキップ:次のアクティビティに移動します。
- 保存:情報は保存されますが、アクティビティは完了しません。
- 完了としてマーク:情報が保存されてアクティビティが完了し、次のレーンに移動します。

注: オンボーディングタスクは、すべてのアクティビティをスキップするか、すべてのアクティビティを完了としてマークした後にのみクローズできます。

特定のアクティビティを実行している間は、そのアクティビティのステータスが [処理中] と表示されます。アクティビティを完了としてマークすると、そのアクティビティのステータスが [完了] に変わります。レーン内のすべてのアクティビティを完了すると、次のレーンに移動します。

オンボーディングタスクをトリガーする [資産のオンボーディング] ボタンは、資産が次の表のいずれかのステータスまたはサブステートにある場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	サブステート
• ビルド • 使用中 • In stock (在庫あり) • メンテナンス中	• 利用可能 • 予約済み • インストール待ち • 転送待ち

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise asset estate** (エンタープライズ資産一覧).
2. オンボーディングプロセスを作成する資産レコードを開きます。
3. **[Onboard asset** (資産のオンボーディング)] を選択します。
   資産オンボーディングタスクが開きます。
4. [プレイブック] 関連リストタブを選択します。
   資産オンボーディングページが開きます。
5. [資産の詳細] レーンで詳細を確認または入力します。
6. [スキップ]、[保存]、または [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
7. 最後のレーンに到達するまで、レーンの詳細の確認または入力を続けます。
8. すべてのレーンに [スキップ] または [完了] のステータスが表示されたら、[タスクをクローズ] を選択して資産のオンボーディングプロセスを完了します。
   資産が正常にオンボーディングされました。

自動的に作成されたオンボーディングタスクの表示

自動的に作成された資産オンボーディングタスクを表示します。

始める前に
資産のオンボーディングタスクは、資産要求フローで資産を受領した後に自動的に作成されます。オンボーディングタスクにより、資産のオンボーディングプロセスがトリガーされます。調達された資産ごとに、個別のオンボーディングタスクが作成されます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用 > **Procurement** (調達) > 要求.
2. 要求を開きます。
3. [要求アイテム] タブを選択し、要求アイテムを開きます。
4. [資産タスク] タブを選択します。
   オンボーディングと資産展開タスクがリストされます。
5. オンボーディングタスクを開きます。

でインドアマップを使用して資産を追跡する エンタープライズ資産ワークスペース

インドアマップを使用して、組織全体に展開されているエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットを見つけて追跡します。各インドアマップは、資産が敷地、建物、フロア、および場所内のどこにあるかを視覚化できるインタラクティブなインターフェイスで構成されています。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
エンタープライズ資産ワークスペース でインドアマップを使用するには、次の要件を満たしていることを確認してください。

- ServiceNow® Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

  更新された エンタープライズ資産管理 SKU (PROD21613) を使用して 2023 年 11 月 3 日以降に エンタープライズ資産管理 ライセンスを取得した場合は、インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションをインストールできます。

  注: インドアマップのデモデータを表示できるようにするには、 インドアマッピング for Assets アプリケーションをインストールした後にデモデータを再インストールする必要があります。詳細については、「アプリケーションとプラグインのデモデータの追加または修復」を参照してください。

- ServiceNow インスタンスで *com.sn_eam.indoormap.enabled* 資産パラメーターを **true** に設定します。

- インドアマップの設定:Map Studio を使用してインドアマップを設計できます。詳細については、「インドアマッピング の構成」を参照してください。

  注: エンタープライズ資産管理 ライセンスのエンタイトルメントを使用してインドアマップをインストールする場合、Map Studio で使用できるのは PNG フロアマップファイルのみです。AutoCAD またはラスターファイル形式のファイルはインポートできません。AutoCAD ファイルまたはラスターファイルを使用するには、 ワークプレイスサービスデリバリ アプリケーションのエンタイトルメントが必要です。

- 場所データの同期: エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、次のインドアマッピング場所タイプをサポートしています。
  - 敷地:地理的に同じ場所にある一連の建物を表します。
  - 建物:特定の敷地内にある複数階建ての建物を表します。
  - フロア:特定の建物内のフロアを表します。
  - 場所:特定のフロア内のポリゴンまたは対象ポイントを表します。場所は、エリア、部屋、デスク、プリンター、資産などを表すことができます。

  注: インドアマップで資産を エンタープライズ資産ワークスペースで表示するには、場所 [cmn_location] テーブル内の 場所 または 部屋 タイプの場所に資産を割り当てる必要があります。

  エンタープライズ資産管理 アプリケーション内で新しく作成された場所を表示するには、Map Studio から新しく作成された場所を場所 [cmn_location] テーブルに同期してください。Map Studio で作成された場所を、場所 [cmn_location] テーブルの既存のレコードまたは新しいレコードに関連付けることができます。詳細については、「インドアマッピング のマップデータと CMN の場所との同期」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズ資産一覧] ビューを開きます。
2. [資産インドアマップ] タブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタブには、特定のフロアまたは場所内の各エンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットのリアルタイムの場所を表示できるインタラクティブマップが含まれています。

3. [敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターを使用して、マップを特定のフロアに設定します。
デフォルトでは、マップには、組織全体で利用可能なすべての敷地の概要ビューが表示されます。このデフォルトのマップビューには、資産の場所は表示されません。資産の場所を表示するには、それらの資産が配置されているフロアにマップを設定する必要があります。マップを特定のフロアに設定するには、[敷地]、[建物]、および [フロア] フィルターで適切な値を選択します。
4. オプション: マップに場所を表示する資産を指定します。
デフォルトでは、マップには、組織全体に展開されているすべてのエンタープライズ資産、消耗資産、およびパレットの場所が表示されます。マップに特定の資産の場所のみを表示する場合は、次の手順を使用します。

   a. マップのサイドバーにある [フィルター] タブアイコン ([を選択します。

   b. [フィルター基準] ウィンドウで、次のいずれかのフィルターを使用して、場所を表示する資産を絞り込みます。
      - 部門:資産が属する部門。
      - ユーザー:資産が属するユーザー。
      - モデルカテゴリ:資産のモデルカテゴリ。
      - 分類:資産モデルに割り当てられた分類コード。

5. オプション: [資産インドアマップ] タブの右下隅にある表示オプションを選択して、資産の場所を表示する形式を変更します。
[資産インドアマップ] タブでは、次の表示オプションがサポートされています。
   - マップのみを表示 (デフォルトの表示オプション):指定したフロア内の資産の場所を示すインタラクティブマップを表示します。
   - リストのみ表示:指定したフロア内にある資産のリストを表示します。
   - マップとリストを表示:インタラクティブマップと資産リストの両方を表示します。
6. インタラクティブマップまたは資産のリストを使用して、指定したフロアまたはそのフロア内の場所内の資産のリアルタイムの場所を表示します。
マップまたはリストから資産を選択すると、その資産に関する追加の詳細が表示されます。

での資産階層の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

マルチコンポーネント資産の階層の詳細をツリー状の形式で エンタープライズ資産ワークスペース内に表示します。

始める前に
必要なロール: sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
資産階層オプションは、親資産に関連付けられた資産、または子資産を持つ資産に対してのみ表示されます。

資産階層には、親資産に関連付けられた 消耗資産が表示されます。

注: 資産階層は、リニア資産とパレットには適用されません。

手順
1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > エンタープライズ資産一覧.
2. 資産レコードを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. コンテキストサイドバーで資産階層アイコン () を選択します。
   - 資産階層はツリー状に表示されます。

     デフォルトのビューには、最大 3 つの子資産が表示されます。資産の右側の数字は、子資産の合計数を示します。その数が 3 より大きい場合は、[すべて展開] または [さらに表示] を選択して、それらすべてを表示します。

   - 階層が表示されている資産は、資産階層ツリーで強調表示されます。

エンタープライズモデルの作成と管理

エンタープライズモデルを作成および管理して、エンタープライズ資産を追跡します。

エンタープライズモデルの作成

最上位層 エンタープライズ資産管理 モデルカテゴリに基づいてモデルを作成します。モデルを使用して資産を管理および追跡します。

始める前に

次のいずれかの エンタープライズ資産管理 モデルカテゴリに基づいてモデルを作成できます。

- 作成
- 医療
- 交通機関
- 産業用
- 施設 (Facility)
- 小売業
- 戦術的装置
- ウェアラブル
- パレット

注: モデルの資産戦略トラッキングが消耗品資産を作成するように設定されている場合は、エンタープライズ資産管理アプリケーションのモデルから作成された消耗品のみを使用できます。

注: エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、Enterprise good model [sn_ent_model] クラスの Facility model [sn_ent_facility_model] 子クラスの下にある設備モデルのみをサポートします。アプリケーションは、設備モデル [cmdb_facility_product_model] テーブルにリストされている設備モデルをサポートしていません。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理)
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択してすべての エンタープライズ資産管理 モデルから選択するか、 施設、 産業、 医療、 小売、 輸送などの特定のモデルタイプのタブを選択します。
3. [新規] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

パレット タブ以外のタブで 新規 を選択すると、ダイアログ ボックスが開き、作成する新しいモデルのタイプとカテゴリを指定するように求められます。ステップ 4 に進み、ダイアログボックスのフィールドに入力します。

パレット タブで新規 を選択すると、新しい製品モデルの作成 ページに自動的にリダイレクトされます。ステップ 6 に進み、ページのフィールドに入力します。

4. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
タイプ 注: このフィールドは、[すべてのエンタープライズ] タブで [新規] を選択した場合にのみ表示されます。	作成するモデルのタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ Enterprise 優良モデル ◦ コンストラクション モデル ◦ 施設モデル ◦ 産業用モデル ◦ 医療モデル ◦ 小売モデル ◦ 輸送モデル ◦ 戦術装備モデル ◦ ウェアラブルモデル
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。

5. [作成] を選択します。
[新規製品モデルの作成 (Create New Product Model)] ページが表示されます。モデルはデフォルトで [ビルド] ステータスになり、モデル カテゴリは選択したカテゴリに設定された読み取り専用フィールドです。ステータスは、モデルレコードを保存した後にのみ変更できます。
6. フォームで、詳細を入力します。
フィールドの詳細については、「のモデルフィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. [保存] を選択します。
モデルは、[モデルコンポーネント]、[資産]、[エンタープライズモデルライフサイクル]、[互換性]、[代替品]、[ベンダーカタログアイテム] などの関連タブとともに作成されます。関連するタブに詳細を入力することで、モデルの追加構成を実行できます。
8. モデルの構成が完了したら、モデルのステータスを [**In Production** (本番稼働中)] に変更します。
9. [**Enterprise** 資産カタログに公開] を選択して、モデルを サービスカタログに公開します。エンタープライズ資産カタログに公開 は、モデルのステータスを [本番] に変更した場合にのみ表示されます。
エンタープライズモデルは、sn_eam.enterprise_admin ロールでのみ削除できます。
10. モデルのリスクスコアを更新し、更新されたスコアを関連する資産にも反映する場合は、[リスクを更新] を選択できます。
*EAM - Update model risk values to asset*スケジュール済みジョブが完了すると、このモデルに関連付けられているすべての資産のリスク値が更新されます。

エンタープライズモデルコンポーネントの作成

モデルコンポーネントを作成し、モデルに追加します。1 つ以上のモデル コンポーネントで構成されるモデルは、マルチコンポーネント モデルです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
コンポーネントのモデルカテゴリは、モデルのモデルカテゴリとは異なる場合があります。モデルコンポーネントには別のモデルカテゴリを選択できます。モデルコンポーネントをモデルに追加できるのは、モデルが [ビルド] ステータスの場合のみです。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. モデルコンポーネントを作成する [すべてのエンタープライズ] タブまたは特定のモデルタブを選択します。
3. モデルを選択してモデルレコードを開きます。
   [新しいモデルコンポーネントを作成] ページが開きます。
4. [モデル コンポーネント] タブを選択し、[新規] を選択します。
5. フォームで、詳細を入力します。
   フィールドの詳細については、「エンタープライズ資産管理のモデルフィールド」を参照してください。
6. [保存] を選択します。
   新しく作成されたモデルコンポーネントは [モデルコンポーネント] タブに表示され、モデルのステータスが [ビルド] であっても、デフォルトでは [本番環境] ステータスになります。

カスタムモデルカテゴリの作成

エンタープライズ資産管理アプリケーションのカスタムモデルカテゴリを作成できます。

始める前に
すでにさまざまな基本モデルカテゴリから選択できます。

カスタムモデルカテゴリを作成するときは、次の点に注意してください。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。cmdb_ci クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデルカテゴリの資産クラスを選択すると、モデルカテゴリに関連付けられたすべての CI の資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Admin center** (アドミンセンター) > モデルカテゴリ.
2. [新規] を選択します。
   [新しいモデルカテゴリを作成] ページが表示されます。
3. フォームで、詳細を入力します。

モデル カテゴリ フィールド

フィールド	説明
名前	サービスカタログポータルでのこのモデルカテゴリの表示名。
親カテゴリ	このカテゴリの親として選択した既存のカテゴリ。
UNSPSC コード	製品カテゴリの国連標準製品およびサービスコード。
写真またはアイコン	サービスカタログポータル上のモデルカテゴリの視覚的表現。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルト オプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスはモデルカテゴリに後で追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェア ライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI クラス]** フィールドが読み取り専用になります。CI クラスを指定してから [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI クラス]** フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ◦資産：個別に追跡できるアイテム。 ◦消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ◦ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ◦ソフトウェア ライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドルで許可	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前にアドミニストレーターが新しい CI をレビューおよび検証できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [保存] を選択します。
   カスタムモデルカテゴリが作成されます。[製品モデル] タブに詳細を入力することで、新しく作成されたモデルカテゴリで追加の構成を実行できます。

エンタープライズモデルの代替モデルを追加する

エンタープライズモデルレコードで、エンタープライズモデルを置き換えることができる関連モデルを指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、エンタープライズモデル管理ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または特定のモデル カテゴリ (建設など) のタブを選択します。
3. 利用可能なエンタープライズモデルのリストから、代替モデルを追加するエンタープライズモデルを選択します。
4. エンタープライズモデルレコードの [代替] タブで、指定されたエンタープライズモデルの代替モデルを追加します。

   a. [代替] タブで、 [追加] を選択します。

   b. [代替モデルを追加] ダイアログ ボックスで、代替モデルとして追加する各モデルのチェックボックスをオンにします。

      注: ダイアログボックスには、指定されたエンタープライズモデルと同じ 資産追跡戦略 を持ち、 ステータス が ビルドになっていないエンタープライズモデルのみが表示されます。

   c. **[Add** (追加)] を選択します。
      ダイアログボックスが閉じ、「 代替」 タブに戻ります。

   d. [代替] タブで、[リストを更新] アイコン ([ ) を選択して、新しく追加された代替モデルのリストを入力します。

エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加

エンタープライズモデルにキャリブレーション属性を追加して、関連するエンタープライズ資産のライフサイクル全体にわたって必要なキャリブレーションを指定および管理します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
キャリブレーション属性は、エンタープライズモデルレベルまたは個々のエンタープライズ資産レベルで追加できます。または、エンタープライズモデルまたはエンタープライズ資産に関連付けられていない共通のキャリブレーション属性を作成することもできます。個々のエンタープライズ資産にキャリブレーション属性を追加する方法の詳細については、「エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。一般的なキャリブレーション属性の作成方法の詳細については、「キャリブレーション属性ライブラリの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズモデル管理] ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または特定のモデル カテゴリ (建設など) のタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズモデルのリストから、キャリブレーション属性を追加するエンタープライズモデルを選択します。
4. エンタープライズモデルレコードの [キャリブレーション属性] タブで、[新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

[新しいキャリブレーション属性を作成] フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
属性の詳細	
名前	キャリブレーション属性の名前。
簡単な説明	キャリブレーション属性の簡単な説明。
重要度	キャリブレーション属性の重要度を示す重要度レベル。
サービス頻度	キャリブレーションを実行する必要がある頻度。
カテゴリ	キャリブレーションのタイプ。 **注:** エンタープライズ資産管理アプリケーションには、電気、流量、湿度、圧力などのデフォルトの校正カテゴリが含まれています。デフォルトのカテゴリに該当しないキャリブレーションに対して、追加のキャリブレーションカテゴリを作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションのキャリブレーションカテゴリの作成」を参照してください。
アクティブ	キャリブレーション属性がアクティブかどうかを示すオプション。
順序	キャリブレーション属性がエンタープライズモデルに適用される順序。エンタープライズモデルに複数のキャリブレーション属性が含まれている場合、最も低い数値の属性が最初にモデルに適用されます。
キャリブレーションプロパティ	
値のタイプ	精度を測定する方法。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦精度 % フルスケール: 精度は、エンタープライズ資産の全測定範囲の固定割合に基づいています。対応する許容限界は、精度を測定する点に関係なく同じままです。たとえば、測定範囲が 100 単位で、精度パーセンテージが ±1% に設定されている場合、公差限界は測定範囲内のすべてのポイントで ±1 単位になります。 ◦精度 % ポイント: 精度は、精度を測定している特定のポイントの固定パーセンテージに基づきます。対応する許容限界は、精度を測定するポイントに比例して増減します。たとえば、精度パーセンテージが ±1% に設定されていて、値が 50 単位のポイントで精度を測定する場合、この特定のポイントの許容限界は ±0.5 単位です。その後、値が 60 単位の別の点で精度を測定すると、許容限界は ±0.6 単位に増加します。
スケール	精度を測定できる完全な測定範囲。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
注: このフィールドは、[値タイプ] フィールドを [精度 % フルスケール] に設定した場合にのみ表示されます。	
Unit (単位)	精度の測定に使用する測定単位。
精度 (%)	エンタープライズ資産が該当する必要がある精度の割合。
解決	検出して測定できる値の識別可能な最小の変化。解像度が高いほど、値の変化はより具体的になります。
品質基準	
品質基準	キャリブレーションを実行する際に従う必要がある一連の要件とガイドライン。 注: 品質基準は、 エンタープライズ資産ワークスペース の [アドミンセンター] ビューで手動で作成できます。詳細な手順については、「エンタープライズ資産のキャリブレーションの品質基準を作成」を参照してください。
計測	
計測モデル	キャリブレーションを実行するために使用する必要がある機器のモデル。
説明	キャリブレーションを行う際に従わなければならない一般的な指示または機器の設定。

6. [保存] を選択します。
フォームが閉じ、新しいキャリブレーション属性レコードに自動的にリダイレクトされます。
7. 精度を測定できるポイントを指定します。

重要: 各エンタープライズ資産の測定範囲内で 1 つ以上のポイントを指定する必要があります。少なくとも 1 つの点を指定しない場合、キャリブレーション属性を [アクティブ] に設定することはできません。

a. キャリブレーション属性レコードで、[キャリブレーション ポイントの追加] を選択します。
[キャリブレーション ポイント] ダイアログ ボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[キャリブレーションポイント] ダイアログボックス

Field (フィールド)	Description (説明)
ポイント名	ポイントの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

Field (フィールド)	Description (説明)
予想値	精度を測定するポイント値。
順序	精度を測定するためにポイントを使用する順序。キャリブレーション属性に複数のポイントが含まれている場合は、数値が最も小さいポイントが最初に使用されます。

c. キャリブレーション属性にポイントを追加するには、[コンテンツを追加] アイコン ([ ) を選択し、フィールドに入力します。
追加するポイントごとにこの手順を繰り返します。

d. **[OK]** を選択します。

ダイアログ ボックスが閉じ、キャリブレーション属性レコードの [キャリブレーション ポイント] タブにポイントが表示されます。

次のタスク
作業指示書を作成して、関連するエンタープライズ資産に対して行われた調整を追跡します。これらの作業指示では、作業タイプが [Calibration (調整)] のタスクを含む作業指示テンプレートを使用する必要があります。作業指示の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業指示の管理」を参照してください。

エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性のクローン

既存のキャリブレーション属性をエンタープライズモデルにクローンして、同様の設定でキャリブレーション属性を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[エンタープライズモデル管理] ビューを開きます。
2. [すべてのエンタープライズ] タブ、または特定のモデル カテゴリ (建設など) のタブを選択します。
3. 使用可能なエンタープライズモデルのリストから、キャリブレーション属性のクローンを作成するエンタープライズモデルを選択します。
4. エンタープライズモデルレコードの [キャリブレーション属性] タブで、次のいずれかのオプションを使用してキャリブレーション属性のクローンを作成します。
   - このエンタープライズモデルから別のエンタープライズモデルにキャリブレーション属性のクローンを作成するには、次の手順に従います。
     a. 使用可能なキャリブレーション属性のリストから、クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。
     b. **[Clone to models** (モデルにクローン)] を選択します。
     c. [モデルの選択] ダイアログ ボックスで、[アクティブとしてクローン] チェック ボックスをオンにすると、クローンされたキャリブレーション属性が自動的にアクティブに設定されます。
     d. キャリブレーション属性のクローンを作成するエンタープライズモデルのチェックボックスをオンにします。
     e. [クローン] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

キャリブレーション属性が選択したエンタープライズモデルにクローンされます。

> **注:** 選択したエンタープライズモデルに同じ名前の別のキャリブレーション属性が既に含まれている場合、この属性は名前に数字のサフィックスが付加されてクローンされます。

- 別のエンタープライズモデルからこのエンタープライズモデルにキャリブレーション属性のクローンを作成するか、キャリブレーション属性ライブラリからこのエンタープライズモデルに共通のキャリブレーション属性をクローンするには、次の手順を使用します。

  a. [クローン元] を選択します。

  b. [クローンする属性を選択] ダイアログ ボックスで、[アクティブとしてクローン] チェックボックスをオンにして、クローンされたキャリブレーション属性を自動的にアクティブに設定します。

  c. クローンを作成するキャリブレーション属性のチェックボックスをオンにします。

  d. [クローン] を選択します。

  キャリブレーション属性がエンタープライズモデルにクローンされ、使用可能なキャリブレーション属性のリストに表示されます。

  > **注:** エンタープライズモデルに同じ名前の別のキャリブレーション属性が既に含まれている場合、この属性は名前に数字のサフィックスが付加されたクローンが作成されます。

でのエンタープライズモデル階層の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

事前に組み立てられたエンタープライズモデルとユーザーによって組み立てられたエンタープライズモデルの階層の詳細を、 エンタープライズ資産ワークスペースにツリー形式で表示します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

[モデル階層] オプションは、親に関連付けられているモデル、またはモデルコンポーネントを持つモデルに対してのみ表示されます。シンプルモデル、消耗品モデル、およびハードウェアモデルのモデル階層は表示されません。モデルの親階層の詳細は表示されません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > モデル管理.
2. 事前に組み立てられたモデルまたはユーザーによって組み立てられたモデルを選択します。
3. コンテキストサイドバーの階層アイコン () を選択します。
   モデルの階層構造はツリー状に表示されます。選択したモデルのすべてのモデルコンポーネントが表示されます。

   モデル階層には、次の詳細が表示されます。

   - モデルの右側の数字は、そのモデルに関連付けられているモデルコンポーネントの合計数を示します。
   - 数量は消耗品モデルに対してのみ表示されます。
   - コンポーネント番号は、モデル コンポーネントに接頭辞として追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

計算されたライフサイクルテンプレートを使用してエンタープライズモデルのライフサイクルを管理します

計算済みライフサイクルテンプレートを作成し、これらのテンプレートをモデルに関連付けることで、エンタープライズモデルのライフサイクル全体を管理します。

で計算済みモデルライフサイクルテンプレートを作成する エンタープライズ資産ワークスペース

計算済みモデルライフサイクルテンプレートを作成して、モデルのライフサイクル全体を効率的に管理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Asset Operations** (資産運用).
2. [計算済みモデルライフサイクル] リストから、[計算済みモデルライフサイクルテンプレート] を選択します。
   既存の計算済みモデルライフサイクルテンプレートのリストが表示されます。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

   計算済みライフサイクルテンプレートの新規作成フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	計算済みライフサイクルテンプレートの名前。
Description (説明)	テンプレートに関する簡単な情報。
アクティブ	計算済みライフサイクルテンプレートが使用可能であることを示すオプション。

5. [保存] を選択します。
   [計算済みライフサイクル式] タブに、次のライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式のリストが表示されます。
   - 延長サポート終了
   - **End of Life** (提供終了)
   - 販売終了
   - サポート終了
   - 一般提供終了
6. ライフサイクルフェーズの計算済みライフサイクル式を定義します。
   a. 計算済みライフサイクル式を選択します。
   b. [フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに、ライフサイクルフェーズの開始日と終了日を計算するための月数を入力します。
   c. [保存] を選択します。
   計算済みライフサイクル式は、[フェーズ開始] フィールドと [フェーズ終了] フィールドに入力した値で更新されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
計算済みモデルライフサイクルテンプレートをエンタープライズモデルに関連付けます。詳細については、「エンタープライズモデルを計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付ける」を参照してください。

エンタープライズモデルを計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付ける

エンタープライズモデルを計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付けて、モデルのライフサイクルの詳細を自動的に入力します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

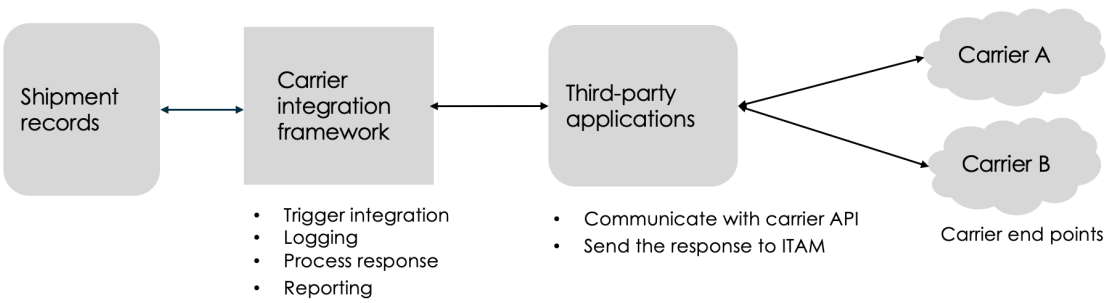
手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Enterprise model management** (エンタープライズモデル管理).
2. [すべてのエンタープライズ] タブを選択します。
3. 計算済みモデルライフサイクルテンプレートに関連付けるモデルを選択します。
4. [モデル] フォームの [モデルの詳細] セクションで、テンプレートの詳細を入力します。
   a. [計算済みライフサイクル テンプレート] フィールドで、モデルに適用する計算済みモデル ライフサイクル テンプレートを選択します。
   b. [計算済みライフサイクル開始日] で、選択した計算済みライフサイクルテンプレートで定義されたライフサイクルフェーズごとに、フェーズ開始日とフェーズ終了日を計算する日付を選択します。
5. [保存] を選択します。

タスクの結果
ライフサイクルフェーズのリストと、[フェーズ開始日]、[フェーズ終了日]、[ソース] などの詳細が [エンタープライズモデルのライフサイクル] タブに表示されます。

エンタープライズ資産の出荷管理

IT Asset Management統合フレームワークを使用して エンタープライズ資産管理 アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合することで、エンタープライズ資産の出荷をリアルタイムで追跡および管理します。



必須条件

エンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合する前に、配送業者は次の前提条件を満たす必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- サードパーティアプリケーションでクロススコープアクセスを有効にします。
- サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細をリアルタイムで取得できるように、ベース ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成します。
  - スクリプトインクルードは、 IT Asset Management アプリケーションスコープで使用できる必要があります。ただし、[発信者アクセス] は制限されておらず、[アクセス可能] フィールドはすべてのアプリケーションスコープで使用できる必要があります。
  - ビジネスロジックをfetchShipmentinfo関数内に実装して、追跡番号に基づいて配送業者APIとの通信を有効にする必要があります。配送業者 API は、サードパーティアプリケーションに接続し、出荷の詳細を取得するために必要です。
  - fetchShipmentinfo 関数は、次の HTTP 応答コードとメッセージを含む JSON オブジェクトを返す必要があります。

    ```
    {
    httpResponseCode: 200, httpResponseMessage: 'SUCCESS'
    }
    ```

  - スクリプトインクルードがテストモードの場合、配送業者は配送業者 API を呼び出して、サードパーティアプリケーションへの接続を検証します。配送業者は、応答を確認して返すか、出荷を照会して、次の応答形式を使用して processResponse 関数を呼び出すことができます。

    ```
    [
    {
    trackingNumber: '',
    deliveryDate: '',
    pickupDate: '',
    packageStatus: '.
    statusDetail: '',
    trackingURL: '',
    parcelWeight: '',
    deliveryServicesCost: '',
    currency: ''
    }
     ]
    ```

    配送業者が processResponse 関数を呼び出す場合、関数の完了後に応答を返す必要があります。
- 適切な名前、キャリア API の詳細、および接続の詳細を使用して統合プロファイルを作成します。この統合プロファイルを使用すると、サードパーティアプリケーションに接続して出荷の詳細を取得できます。
- サードパーティアプリケーションが ServiceNow 認証情報 [discovery_credentials] テーブルまたは Password2 フィールドを含むその他の ServiceNow テーブルを使用する場合は、それらのテーブルへのアクセスを有効にする KMF アクセスマップポリシーを指定します。KMF アクセスマップポリシーの詳細については、「Key Management Framework (KMF) による Password2 暗号化」を参照してください。

配送業者がこれらの必須条件を完了した後、次の追加の必須条件を完了する必要があります。

- 統合プロファイルに接続および資格情報エイリアスを介した接続の詳細が含まれている場合は、キャリア API を正常に認証して接続できるように、必要に応じてそれらの詳細を更新します。
- 配送業者を統合プロファイルに関連付けます。

サードパーティの配送業者統合用のスクリプトインクルード

エンタープライズ資産管理アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合する前に、その配送業者がベース ITAMShipmentIntegration スクリプトを拡張するスクリプトインクルードを作成する

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要があります。このスクリプトを拡張することで、サードパーティの配送業者アプリケーションに接続し、出荷の詳細をリアルタイムで取得できます。

Example: ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルードの構造

```
var ITAMShipmentIntegration = Class.create();
ITAMShipmentIntegration.prototype = {
    initialize: function() {
    },

    /**
     * Encapsulates communication with end point and fetching tracking info
     * If used in test mode, only response details would be returned
     * Else this API should invoke processResponse with the shipment details and return response code, message
     *
     * @param {array of string} trackingNumbers Shipment tracking numbers
     * @param {string} mode Can be 'test' or empty string
     */
    fetchShipmentInfo: function (trackingNumbers, mode) {
        // Communicate with API
        // Process the response
        // If mode === 'test' return response
        // Else Invoke post processing function and then return response
        /**
         * Expected response format to be passed to processResponse: array of objects
         * where each object corresponds to a single shipment
         *
         * Expected response format to be returned: JSON object with keys - httpResponseCode, httpResponseMessage
         * httpResponseCode - response code
         * httpResponseMessage - detailed message
         */
    },

    /**
     * Encapsulates to update shipment records with the response received
     *
     * @param {array of objects} response Response from API
     * Expected response format: array of JSON, where each JSON would have values with below keys
     * trackingNumber, deliveryDate, pickupDate, packageStatus, statusDetail, trackingURL
     */
    processResponse: function (response) {
        // Update shipment records
        if (!gs.nil(response)) {
            var mappingObj = sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_RESPONSE_COL_MAPPING;
            response.forEach(function(recordObj) {
                var shipmentRecord = new global.GlideQuery(sn_itam_common.ITAMIntegrationUtil.SHIPMENT_TABLE)
                    .where('tracking_number', recordObj.trackingNumber)
                    .where('stage', '!=', 'cancelled')
                    .toGlideRecord();
                shipmentRecord.query();
                while (shipmentRecord.next()) {
                    for (col in mappingObj) {
                        var value = recordObj[mappingObj[col]];
                        if (gs.nil(value)) {
                            shipmentRecord.setValue(col, null);
                        } else {
                            shipmentRecord.setValue(col, value);
                        }
                    }
                    shipmentRecord.update();
                }
            });
        }
    },

    type: 'ITAMShipmentIntegration'
```

fetchShipmentInfo 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の fetchShipmentInfo 関数は、 ServiceNow インスタンスから追跡番号を取得し、配送業者 API を呼び出してそれらの追跡番号の出荷の詳細を取得します。追跡番号に基づいて配送業者 API との通信を有効にするには、配送業者が fetchShipmentInfo 関数内で対応するビジネスロジックを定義する必要があります。この関数は、キャリア API からの応答を処理し、processResponse 関数を開始します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

processResponse 関数

ITAMShipmentIntegration スクリプトインクルード内の processResponse 関数は、配送業者 API から応答を取得し、次の配送業者の詳細で出荷レコードを更新します。

- 配送業者リンク
- 配送業者ステータス
- 配送業者ステータスの詳細
- 配送業者の集荷日
- 配送業者配送日
- 通貨
- 配送サービスコスト
- パーセルの重み付け

重要: IT Asset Managementアプリケーションは、この関数内のビジネスロジックを自動的に定義します。ビジネスロジックは変更しないでください。

でサードパーティの配送業者と統合する エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産管理 アプリケーションをサードパーティの配送業者と統合して、エンタープライズ資産の出荷状況をリアルタイムで追跡できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者.
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	サードパーティの配送業者アプリケーションへの接続に使用している統合プロファイル。 **注:** 統合プロファイルは、各配送業者によって自動的に作成されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。
会社	FedEx や UPS などの配送業者の会社名。
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

5. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でサードパーティの配送業者を統合プロファイルに関連付ける エンタープライズ資産ワークスペース

サードパーティの配送業者を統合プロファイルに関連付けて、その配送業者に正常に接続できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
各配送業者は、一度に 1 つのアクティブな統合プロファイルにのみ関連付けることができます。統合プロファイルのいずれかがまだ配送業者に関連付けられていない場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースの [インベントリ] ビューで [マッピングされていない配送業者プロファイル] 重要なアクションを使用して、それらの統合プロファイルを表示してアクションを実行できます。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 配送業者を関連付ける統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 配送業者を統合プロファイルに関連付けます。
   - 既存の配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。
     a. **[Add** (追加)] を選択します。

        [配送業者を追加] ダイアログボックスが開きます。

     b. ダイアログボックスで、統合プロファイルに関連付ける配送業者を検索して選択します。

        注: ダイアログボックスには、統合プロファイルにまだ関連付けられていない配送業者のみが表示されます。

     c. **[Add** (追加)] を選択します。
   - 新しい配送業者を統合プロファイルに関連付けるには、次の手順に従います。
     a. [新規] を選択します。

     b. フォームのフィールドに入力します。

新しい配送業者の作成フォーム

フィールド	説明
名前	配送業者の名前。
メール	配送業者のメールアドレス。
統合プロファイル	配送業者への接続に使用している統合プロファイル。このフィールドは、自動的に入力されます。
ステータス	配送業者のステータス。
電話	配送業者の電話番号。
Web サイト	配送業者のサードパーティ Web サイト。
会社	FedEx や UPS などの配送業者の会社名。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メモ	配送業者に関する追加のメモ。

c. [保存] を選択します。

タスクの結果
配送業者は統合プロファイルに関連付けられます。

で統合プロファイルからサードパーティの配送業者を削除する エンタープライズ資産ワークスペース

統合プロファイルに関連付ける必要がなくなったサードパーティの配送業者を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. 配送業者を削除する統合プロファイルを選択します。
4. 統合プロファイルレコードで、[配送業者] タブを選択します。
5. 削除する配送業者のチェックボックスをオンにします。
6. [削除] を選択します。

タスクの結果
配送業者は統合プロファイルに関連付けられなくなりました。

でサードパーティ配送業者の統合プロファイルをテストする エンタープライズ資産ワークスペース

サードパーティの配送業者の統合プロファイルをテストして、発生した接続の問題を軽減できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 配送業者統合プロファイル.
3. テストする統合プロファイルを選択します。
4. [テスト接続] を選択します。
   接続が成功したかどうかを示すメッセージが表示されます。

> **注:** 統合プロファイルが 3 回以上連続して接続に失敗した場合は、 エンタープライズ資産ワークスペースの [インベントリ] ビューで [配送業者統合失敗] 重要なアクションを使用して、対応する接続の問題を表示してアクションを実行できます。

エンタープライズ資産の出荷の表示と追加

[出荷] リストを使用して、一元的な場所からすべてのアクティブなエンタープライズ資産出荷を表示します。既存の納品プランがリストに表示されない場合は、手動で追加できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_admin

注: 出荷を手動で追加できるのは、sn_eam.enterprise_admin ロールのみです。

このタスクについて
転送注文、発注書、移動注文、返品承認 (RMA) 注文、廃棄注文、再販注文、リコール注文、再利用要求、事前出荷通知 (ASN)、およびリース契約の出荷を表示および追加できます。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[資産運用] ビューを開きます。
2. [資産運用] ビューの左側のナビゲーションメニューから、 出荷 > 出荷.
3. アクティブなエンタープライズ資産出荷の完全なリストを表示します。
   出荷を選択すると、出荷元や関連するエンタープライズ資産など、追加の出荷の詳細が表示されます。
4. 既存のエンタープライズ資産出荷がリストに表示されない場合は、手動で追加します。

   a. [新規] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   新規出荷の作成フォーム

フィールド	説明
配送業者	エンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日時。
出荷元	エンタープライズ資産の配送元の地理的な場所。
受領日	出荷を受領した日時。
トラッキング番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
出荷者	エンタープライズ資産を出荷したユーザー。
出荷先	エンタープライズ資産が出荷された地理的な場所。
受領者	出荷を受領したユーザー。
古いチェックを無視	出荷の古い小切手を無視するオプション。

   c. [保存] を選択します。

マルチ資産のオンボーディングプロセスを作成する

マルチ資産オンボーディングプレイブックを作成して、複数の資産を一度にオンボーディングします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
エンタープライズ資産技術者がオンボーディング注文を送信します。エンタープライズ資産マネージャーは、オンボーディングプレイブックを使用して、オンボーディング注文に関連付けられたマルチ資産オンボーディングタスクに取り組むことができます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

プレイブックで直接インライン編集を実行できます。この機能により、レコードを開いてフォームの値を更新する代わりに、レコードの値を直接変更できます。

オンボーディングタスクをクローズするには、プレイブック内のすべてのアクティビティを完了するかスキップする必要があります。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから [オンボーディングタスク] を選択します。
3. マルチ資産のオンボーディングプロセスを作成するオンボーディングタスクレコードを選択します。
4. [オンボーディングプレイブック] タブを選択します。
   マルチ資産オンボーディングプレイブックが表示されます。
5. [モデルの詳細をレビュー] レーンで詳細を確認または入力します。
6. [完了としてマーク] を選択して、次のレーンに進みます。
   [レビューモデル] レーンに詳細を入力しが完了すると、他のすべての資産レビューアクティビティのロックが解除されます。
7. 最後のレーン (展開) に到達するまで、すべてのレーンの詳細の確認または入力を続けます。
8. [展開] アクティビティを確認し、完了またはスキップします。
   - 展開タスクを作成します。
     a. [場所] フィールドで、資産を展開する場所を選択します。

        注: このフィールドは資産を展開するために必要です。

     b. [担当者] フィールドで、資産を割り当てる担当者を選択します。

        注: デフォルトでは、このフィールドには、[資産のアサインのレビュー] アクティビティを実行したときに [予約目的] フィールドで選択した値が自動的に入力されます。

     c. [展開タスクを作成] フィールドで **[true]** を選択します。

     d. **[Mark as Complete** (完了としてマーク)] を選択します。

     エンタープライズアドミニストレーターによって設定された *com.sn_eam.default_deployment_task* 資産プロパティの値に基づいて、次のいずれかの展開タスクが作成されます。

     - 値が **sn_eam_deploy_asset_task** に設定されている場合、展開する必要がある資産ごとにエンタープライズ資産展開タスクが作成されます。展開タスクは [資産を展開] タスク タブに一覧表示されます。
     - 値が **wm_task** に設定されている場合、展開する必要がある資産ごとに作業指示タスクが作成されます。展開タスクが [作業指示タスク] タブに一覧表示されます。

     作成された展開タスクでは、[資産管理のレビュー] アクティビティを実行したときに [サポートグループ] フィールドと [サポート担当者] フィールドで選択した値が [アサイン先グループ] フィールドと [アサイン先] フィールドに自動的に入力されます。

     注: 作業指示書タスクは、エンタープライズフィールド技術者サポートグループにのみアサインできます。

   - [スキップ] を選択して、展開アクティビティをスキップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産技術者は、アサインされた展開タスクを完了します。詳細については、「エンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズする」と「エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズする」を参照してください。

9. すべてのレーンに [スキップ] または [完了] のステータスが表示されたら、[タスクをクローズ] を選択してマルチ資産のオンボーディングプロセスを完了します。
資産が正常にオンボーディングされました。オンボーディングタスクが完了し、要求と要求アイテムのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

エンタープライズ資産の移動オーダーの管理

移動オーダーを使用して、使用中または消費済みのエンタープライズ資産をある場所から別の場所に移動できます。

移動オーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、注文に含めるエンタープライズ資産ごとにエンタープライズ移動明細行レコードを自動的に生成します。これらのレコードにより、移動オーダーで各エンタープライズ資産の移動を個別に追跡および管理できます。

移動オーダー内のエンタープライズ移動ラインレコードごとに、特定のエンタープライズ資産の移動方法を指定する必要があります。エンタープライズ資産をサードパーティの配送業者を通じて出荷するか、エンタープライズ資産を出荷せずにローカルに移動するかを選択できます。選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了してエンタープライズ資産を移動し、エンタープライズ移動明細行レコードを 完了 のステータスに更新する必要があります。移動オーダー内のすべてのエンタープライズ移動明細行レコードが [完了] のステータスに達すると、移動オーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産移動オーダーの送信

エンタープライズ資産の移動オーダーは、エンタープライズ資産ワークスペースのServiceNow® サービスカタログビューまたはインベントリビューから送信できます。

からエンタープライズ資産の移動オーダーを送信する サービスカタログ

ServiceNow® サービスカタログを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager またはエンドユーザー

注: sn_eam.enterprise_asset_manager ロールは、展開内の任意のエンタープライズ資産の移動オーダーを送信できます。エンドユーザーロールは、アサインされたエンタープライズ資産の移動オーダーのみを送信できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. 利用可能なエンタープライズ資産ライフサイクルカタログアイテムのリストから、[資産移動オーダー] を選択します。
3. [資産移動オーダーを開始するカタログアイテム] フォームで、フィールドに入力します。

資産移動オーダーフォームを開始するカタログアイテム

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信先のユーザー。このフィールドにユーザーを指定すると、そのユーザーにのみ割り当てられているエンタープライズ資産を移動オーダーに含めることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	移動オーダーをアサインするグループ。
アサイン先	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
配送先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
資産	移動オーダーに含めるエンタープライズ資産。[移動元の場所] フィールドで指定された場所に存在する任意のエンタープライズ資産から選択できます。 注: 子資産を含むエンタープライズ資産を選択した場合、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。
メモ/特別な指示	移動オーダーに関する追加のメモまたは指示。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

[資産運用] ビューからエンタープライズ資産移動オーダーを送信する

エンタープライズ資産ワークスペースの [資産運用] ビューを使用して移動オーダーを送信し、使用中または消費済みのエンタープライズ資産を場所間で移動できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. [新規] を選択します。
3. [新しい移動オーダーを作成] フォームのフィールドに入力します。

[新しい移動オーダーを作成] フォーム

フィールド	説明
要求元	移動オーダーの送信先のユーザー。このフィールドにユーザーを指定すると、そのユーザーにのみ割り当てられているエンタープライズ資産を移動オーダーに含めることができます。
移動日付	エンタープライズ資産を移動する日付。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アサイン先グループ	移動オーダーをアサインするグループ。
アサイン先	移動オーダーをアサインするユーザー。
移動元の場所	エンタープライズ資産の移動元の場所。
配送先の場所	エンタープライズ資産の移動先の場所。
追加情報	移動オーダーに関する追加情報。

4. [保存] を選択します。
   フォームが閉じ、新しい移動オーダーレコードに自動的にリダイレクトされます。

次のタスク
エンタープライズ資産を移動オーダーに追加します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産を移動オーダーに追加する」を参照してください。

エンタープライズ資産を移動オーダーに追加する

移動オーダーに含めるエンタープライズ資産を追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 利用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を追加する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動ライン タブを選択します。
4. **[Add** (追加)] を選択します。
   [資産を追加] ダイアログボックスが開きます。
5. ダイアログボックスで、移動オーダーに含めるすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   移動オーダーの [移動元の場所] フィールドで指定された場所に存在する任意のエンタープライズ資産から選択できます。

   > **注:** 子資産を含むエンタープライズ資産を選択した場合、すべての子資産も移動オーダーに含まれます。

6. **[Add** (追加)] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産が移動オーダーに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

移動オーダーからのエンタープライズ資産の削除

移動オーダーに含めないエンタープライズ資産を削除します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 使用可能な移動オーダーのリストから、エンタープライズ資産を削除する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動ライン タブを選択します。
4. エンタープライズ移動ラインの一覧から、削除するすべてのエンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

   注: 各エンタープライズ移動ラインは、特定のエンタープライズ資産に対応しています。

   注: 子資産を含むエンタープライズ資産を選択すると、すべての子資産も移動オーダーから削除されます。

5. [削除] を選択します。

タスクの結果
選択したエンタープライズ資産が [キャンセル] のステータスで自動的に更新されます。対応するエンタープライズ移動ラインに関連付けられているすべてのエンタープライズ移動タスクも、未完了でクローズ の状態で更新されます。

エンタープライズ資産移動オーダーの完了

移動する使用中または消費済みのエンタープライズ資産の移動オーダーを送信した後、注文を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

移動オーダーに含まれるエンタープライズ資産ごとに、必要な一連のタスクを完了する必要があります。エンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズ移動ラインが [完了] ステータスで更新されます。すべてのエンタープライズ移動明細行が [完了] のステータスに達すると、移動オーダーが完了します。

移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する

エンタープライズ資産の準備タスクを完了して、場所間での資産の移動を続行できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

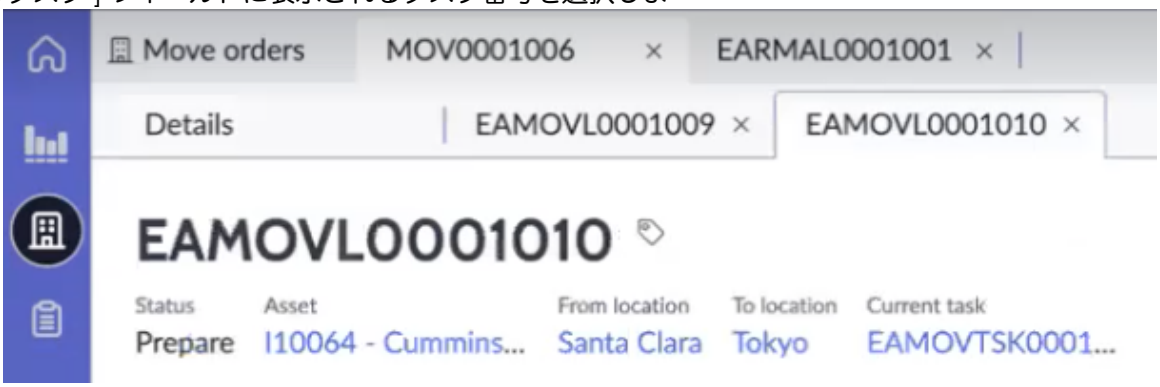
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 使用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動ライン タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [エンタープライズ移動タスク] タブで、[準備 タスク] のタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備] タスクが開きます。

6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

   [詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
移動タイプ	エンタープライズ資産の移動のタイプ。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ローカル移動:エンタープライズ資産を出荷せずに別の場所に移動するオプション。 ◦出荷:エンタープライズ資産を別の場所に出荷するオプション。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

準備タスクは、[完了してクローズ] ステータスで自動的に更新されます。

移動タイプ フィールドを ローカル移動 に設定すると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動ラインに対応するローカル移動タスクを自動的に生成します。移動タイプ フィールドを 出荷 に設定すると、エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動ラインに対応する出荷タスクを自動的に生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
[移動タイプ] フィールドを [ローカル移動] に設定した場合は、[エンタープライズ資産のローカル移動の完了] に進んで移動を完了します。

[移動タイプ] フィールドを [出荷] に設定した場合は、[移動するエンタープライズ資産の出荷を完了する] に進み、出荷を完了します。

エンタープライズ資産のローカル移動の完了

エンタープライズ資産を出荷せずに移動するために必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動明細行で 移動タイプ フィールドを ローカル移動 に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に
ローカル移動を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

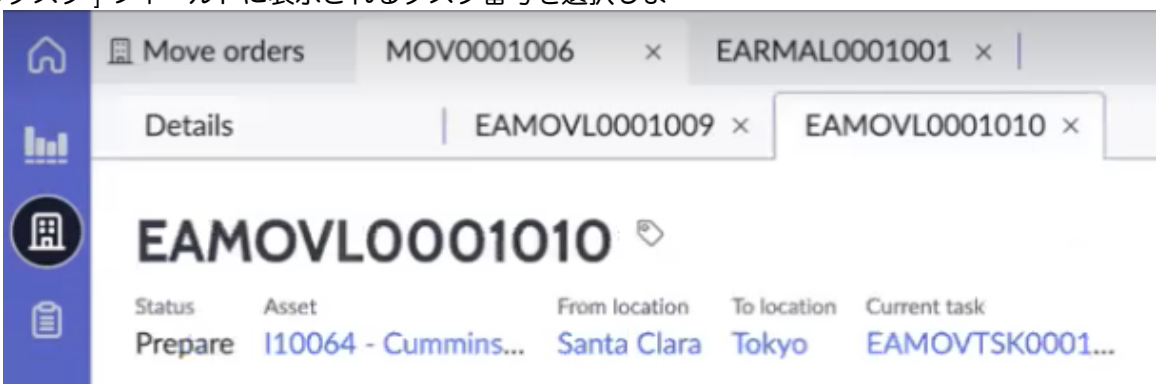
1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 使用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動ライン タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。
5. エンタープライズ移動ラインのローカル移動タスクを完了してクローズします。

   デフォルトでは、このローカル移動タスクは、特定のエンタープライズ移動ラインに関連付けられているエンタープライズ資産にのみ適用されます。移動オーダー内の追加のエンタープライズ資産に同じローカル移動タスクを適用する場合は、それらの資産をタスクに含めることができます。

   このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を出荷せずにターゲットの場所に移動する必要があります。

   a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、 ローカル移動 タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



      ローカル移動タスクが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ローカル移動タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. タスクをクローズします。

- 移動オーダーから追加のエンタープライズ資産を含めずにタスクをクローズするには、[タスクのクローズ] を選択します。
- 移動オーダーから追加のエンタープライズ資産を含めた後にタスクをクローズするには、次の手順を使用します。

i. [もっと資産を含める] を選択します。

[資産を選択] ダイアログボックスが開きます。

ii. ダイアログボックスで、含める追加の各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

iii. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

ローカル移動タスクは、[完了してクローズ] ステータスで自動的に更新されます。

タスクの結果
エンタープライズ移動明細行は、完了 のステータスで自動的に更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産を移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインが [完了] のステータスに達すると、移動オーダーが完了します。

移動するエンタープライズ資産の出荷を完了する

エンタープライズ資産の出荷に必要なすべてのタスクを実行します。エンタープライズ移動明細行で移動タイプ フィールドを 出荷 に設定した場合は、これらのタスクを実行する必要があります。

始める前に
出荷を続行する前に、エンタープライズ資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「移動するエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager、sn_eam.enterprise_admin、または enterprise_asset_technician

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、 資産運用 > 引っ越し > 移動注文.
2. 使用可能な移動オーダーのリストから、完了する移動オーダーを選択します。
   移動オーダーレコードが開きます。
3. 移動オーダー レコードで、 エンタープライズ移動ライン タブを選択します。
4. 利用可能なエンタープライズ移動ラインのリストから、移動するエンタープライズ資産のエンタープライズ移動ラインを選択します。
   エンタープライズ移動明細行レコードが開きます。
5. エンタープライズ移動ラインの出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産をターゲットの場所に出荷する必要があります。

   a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、出荷タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

      出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
出荷の詳細	
配送業者	エンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	エンタープライズ資産が出荷された日付。
トラッキング番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

出荷タスクが自動的に更新され、[完了してクローズ] ステータスになります。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ移動明細行に対応する [集荷] タスクを自動的に生成します。

6. エンタープライズ移動ラインの [入庫] タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産をターゲットの場所で受領する必要があります。

a. [エンタープライズ移動タスク] タブで、受領タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ移動明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

[受領] タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
エンタープライズ移動タスク	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているグループに基づいて自動的に入力されます。
アサイン先	タスクがアサインされているユーザー。このフィールドは、移動オーダー全体が割り当てられているユーザーに基づいて自動的に入力されます。
予定日	タスクの完了予定日時。
優先度	タスクの優先度。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

受領タスクが [完了してクローズ] のステータスで自動的に更新されます。

タスクの結果
エンタープライズ移動明細行は、完了 のステータスで自動的に更新されます。

次のタスク
移動オーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産を移動します。対応するすべてのエンタープライズ移動ラインが [完了] のステータスに達すると、移動オーダーが完了します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での複数のエンタープライズ資産のオンボーディング エンタープライズ資産ワークスペース

[資産運用] ビューでオンボーディング注文を作成して、複数のエンタープライズ資産を一度にオンボーディングします。

エンタープライズ資産技術者は、次のアクションを実行してエンタープライズ資産のオンボーディングを開始する必要があります。

1. オンボーディング注文を作成します。
2. オンボーディングする資産の詳細を追加し、オンボーディングオーダーを送信します。

エンタープライズ資産マネージャーは、オンボーディングプレイブックに記載されているアクティビティを確認して完了し、要求された資産をオンボーディングします。詳細については、「マルチ資産のオンボーディングプロセスを作成する」を参照してください。

でエンタープライズ資産のオンボーディング注文を作成する エンタープライズ資産ワークスペース

資産運用ビューでオンボーディング注文を作成して、複数のエンタープライズ資産のオンボーディングを開始します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから [オンボーディング順序] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい資産オンボーディングの作成フォーム

Field (フィールド)	説明
要求元	資産を要求された人物。 このフィールドはオプションです。
倉庫	オンボーディングされた資産が保管される倉庫。 このフィールドは必須です。 注: ストックルームを選択すると、[場所] フィールドにストックルームの場所が自動的に入力されます。
期日	資産オンボーディングを完了する期日。 このフィールドはオプションです。

5. 既存モデルの資産と新しいモデルの資産をオンボーディングするかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産モデルのタイプ	アクション
既存モデル	[モデル] フィールドで、資産モデルを選択します。
新しいモデル	**a.** [新しいモデルである] チェックボックスをオンにします。 **b.** 次のフィールドに値を入力します。 ▪ メーカー名 ▪ モデル名 ▪ モデル番号 ▪ **Short description** (簡単な説明)

6. [保存] を選択します。

タスクの結果

- ドラフトステージのオンボーディングオーダーが作成され、[オンボーディングオーダー] リストに表示されます。
- オンボーディング注文に [資産の詳細を追加] オプションが表示されます。

次のタスク

オンボーディング注文に資産の詳細を追加します。詳細については、「オンボーディングオーダーへのエンタープライズ資産の詳細の追加」を参照してください。

オンボーディングオーダーへのエンタープライズ資産の詳細の追加

オンボーディングオーダーを使用してオンボーディングするエンタープライズ資産の詳細を指定します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産運用.
2. [オンボーディング] リストから [オンボーディング順序] を選択します。
3. 資産の詳細を追加するオンボーディング注文を選択します。
4. [資産の詳細を追加] を選択します。
5. [資産を追加] ダイアログボックスで、資産の詳細を入力します。
   [シリアル番号] フィールドは必須です。次のフィールドに値を入力することもできます。
   - **Asset tag** (資産タグ)
   - **RFID** タグ
   - **Additional info** (補足情報)
6. オンボーディングする資産ごとに、[行を追加] アイコン ([+) を選択し、資産の詳細を入力します。
7. **[OK]** を選択します。
8. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オンボーディングオーダーに追加した資産が [オンボーディング資産] タブに表示されます。

9. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- オンボーディング注文のステージが [レビュー] に変わります。
- マルチ資産オンボーディングタスクが作成され、[資産タスクのオンボーディング **(Onboard Asset Tasks**)] タブに表示されます。

エンタープライズモデルの正規化

エンタープライズモデルを標準化するには、データを正規化する必要があります。正規化プロセスを使用すると、エンタープライズモデルのメーカー、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプのデータを正規化できます。

特定のモデルタイプ、ライブラリ、または製品モデルが エンタープライズ資産管理 Content Service で利用できない場合は、カスタムエンタープライズモデルタイプ、カスタムエンタープライズモデルライブラリ、カスタムエンタープライズ製品モデルを作成できます。

カスタムエンタープライズモデルタイプの作成

エンタープライズ資産管理 Content Service にまだ表示されていないエンタープライズモデルタイプがある場合は、カスタムモデルタイプを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズモデルタイプ **(Custom Enterprise model type**)] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	エンタープライズモデルタイプの表示名。
UNSPSC 商品 ID	モデルタイプの国連標準製品とサービスコード。
Description (説明)	エンタープライズモデルタイプの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。

5. [保存] を選択します。
   モデルタイプが作成されたら、モデルタイプを正規化します。

カスタムエンタープライズモデルライブラリを作成

エンタープライズ資産管理 Content Service にまだ表示されていないエンタープライズモデルライブラリがある場合は、カスタムモデルライブラリを作成できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズモデルライブラリ] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	Description (説明)
モデル番号	モデルに番号を割り当てます。
モデル名	モデルの名前。
Description (説明)	モデルの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、モデルライブラリの詳細が エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに転送されないようにするオプション。

5. [保存] を選択します。
   モデルライブラリが作成されたら、モデルライブラリを正規化します。

カスタムエンタープライズ製品モデルの作成

エンタープライズ資産管理 Content Service にまだ表示されていない製品モデルがある場合は、カスタム製品モデルを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > 正規化.
2. [カスタムエンタープライズ製品モデル] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームの詳細を入力します。

フィールド	Description (説明)
モデル名	エンタープライズ製品モデルの名前。
Manufacturer (メーカー)	エンタープライズ製品モデルのメーカーの名前。
モデルタイプ	モデルタイプ。
Description (説明)	製品モデルの詳細な説明。
アクティブ	モデルがアクティブであることを示します。
コンテンツサービスから除外	オプトインした場合でも、製品モデルの詳細がエンタープライズ資産管理 コンテンツサービスに転送されないようにするオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [保存] を選択します。
製品モデルが作成されたら、製品モデルを正規化します。

エンタープライズ資産インベントリと契約の管理

エンタープライズ資産インベントリと契約を作成および管理します。

エンタープライズ資産インベントリの作成と管理

在庫を効率的に管理することで、エンタープライズ資産を追跡します。

Enterprise 資産インベントリ管理の概要

次のタスクを使用して資産インベントリを管理します。

- エンタープライズ資産の倉庫を作成する
- での倉庫の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース
- エンタープライズ資産の新しい在庫ルールを作成する
- エンタープライズ資産のストックルームタイプを作成する
- Enterprise 資産ワークスペースで廃棄注文を作成する
- Enterprise 資産ワークスペースで転送注文を作成する
- Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求
- 欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 (RMA) の要求
- 取り消し済みエンタープライズ資産の管理
- のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース
- エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産の集荷を管理する
- エンタープライズ資産インベントリの監査
- エンタープライズ資産再利用要求のクローズ

エンタープライズ資産の倉庫を作成する

エンタープライズ資産管理 アプリケーションでストックルームを作成し、それに資産を割り当てます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > すべての倉庫.
2. [新規] を選択します。
[新規ストックルームの作成] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルームの表示名と識別子。
アサイン先グループ	ストックルームを主に使用するグループ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
マネージャー	ストックルームの責任者。在庫補充の通知と、ストックルームの在庫ルールに関する要求を受領します。
ロケーション	ストックルームの物理的な場所。
タイプ	ストックルームのタイプ。次のオプションから選択します。 ◦ 中央倉庫 ◦ フィールド エージェント ◦ FSL ◦ 現地 ◦ PUDO ◦ 倉庫
業務時間	ストックルームの稼働時間。
説明	ストックルームの説明。
流通チャネルから除外	より効率的な資産の調達と転送のために倉庫をリンクするすべての倉庫流通チャネルから倉庫を除外するオプション。
サービスの場所から除外	作業指示書または作業指示書タスクを完了しているすべてのサービスの場所から倉庫を除外するオプション。
外部	このストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

4. [保存] を選択します。
   新しく作成されたストックルームが [すべてのストックルーム] タブに表示されます。

で倉庫に流通チャネルを追加する エンタープライズ資産ワークスペース

配送チャネルをストックルームに追加して、そのストックルームを他の地理的に関連するストックルームとリンクできるようにします。ストックルームをリンクすることで、それらのストックルーム間で資産を効率的に調達および転送できます。リンクされた各ストックルームにランクを割り当てて、資産を調達したり転送したりできるストックルームの順序を指定することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから [Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. [すべての倉庫] タブで、流通チャネルを追加する倉庫を選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルームレコードの [流通チャネル] タブで、[新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

新しい倉庫流通チャネルの作成フォーム

フィールド	説明
チャネル倉庫	流通チャネルの一部としてリンクする倉庫。
ランク	リンクするストックルームのランク。流通チャネルにリンクされたストックルームが複数含まれている場合、このランクは、資産の調達と転送が可能なリンクされたストックルームの順序に直接対応します。`1` や `5` などの数値を入力します。数値が小さいほど、ストックルームはリンクされたストックルームの順番内で上位になります。
アクティブ	リンクされた倉庫が流通チャネル内で有効かどうかを示すオプション。

5. [保存] を選択します。
6. 流通チャネルの一部としてリンクする倉庫ごとに、手順 3 ～ 5 を繰り返します。

Enterprise 資産ワークスペースのストックルームにサービスの場所を追加する

ストックルームにサービスの場所を追加して、複数の地理的な場所で資産を調達、展開、廃止できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin

このタスクについて
デフォルトでは、指定されたストックルームの場所内でのみストックルームの資産を調達、展開、廃止できます。ストックルームにサービスの場所を追加することで、さまざまな場所で資産を調達、展開、廃止することができます。

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. [すべてのストックルーム] タブで、サービスの場所を追加するストックルームを選択します。
   ストックルームレコードが開きます。
3. ストックルームレコードの [サービスの場所] タブで、[追加] を選択します。
   [サービスの場所を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. ダイアログボックスで、ストックルームに追加するすべてのサービスの場所のチェックボックスをオンにします。
5. **[Add** (追加)] を選択します。

での倉庫の詳細の表示 エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームレコードを使用して、エンタープライズ、ハードウェア、消耗品、バンドル、貸与、その他の資産が存在するストックルームに関する詳細情報を表示します。

始める前に
次のストックルームレコードタブは、ServiceNow® インスタンスに ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化している場合にのみ使用できます。

- ハードウェア
- バンドル

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- ソフトウェアライセンス
- その他の資産
- ハードウェア貸与プール
- ハードウェア資産の監査

アプリケーションをインストールしてアクティブ化するには、 ServiceNow Store から要求します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterptrise_asset_manager、または enterprise_asset_technician

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから [Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、詳細を表示するストックルームを選択します。ストックルームレコードが開きます。
4. ストックルームレコードのタブを使用して、ストックルームに関する追加の詳細を表示します。

倉庫レコードタブ

タブ	Description (説明)
詳細	倉庫のオープンタスクや一般的な倉庫の詳細など、倉庫の詳細な概要を取得します。 [オープンストックルームタスク] カードには、ストックルームに関連付けられているすべてのオープンな注文、監査、要求が表示されます。カードを選択すると、対応する注文、監査、または要求レコードのリストが表示されます。オープン ハードウェア資産管理 注文、監査、または要求のカードを選択すると、ハードウェア資産ワークスペースでリストが開きます。 さらに、インタラクティブマップを使用して、指定されたストックルームの住所に基づいたストックルームの場所を表示します。マップを展開すると、サポートされているすべてのサービスの場所と、ストックルーム流通チャネルの一部としてリンクされているすべてのストックルームが表示されます。
タスクタイムライン	すべてのストックルームタスクのタイムラインを表示します。各ストックルームタスクは、作成日、スケジュール日、開始日または返却日、または出荷日のいずれかに基づいてタイムラインに追加されます。タスクを選択して、対応するタスクレコードを開きます。ハードウェア資産管理タスクを選択すると、レコードがハードウェア資産ワークスペースで開きます。 タブの右上隅にあるタイムライン形式フィルターを使用して、タイムラインを表示する形式と期間を変更します。タイムラインをカレンダー形式で表示するか、タイムライン形式で表示するかを選択できます。カレンダー形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	Description (説明)
	◦ 日 ◦ 作業週 ◦ 週 ◦ 月 タイムライン形式では、次のタイムライン期間がサポートされています。 ◦ 日 ◦ 週 ◦ **4** 週間
ハードウェア **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるハードウェア資産を作成および表示します。 ハードウェア資産を作成している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 資産	ストックルームにあるエンタープライズ資産を作成および表示します。
消耗品	ストックルームにある消耗資産を作成および表示します。
バンドル **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるアセットバンドルを作成および表示します。 アセットバンドルを作成するか、既存のアセットバンドルを選択する場合は、ハードウェア資産ワークスペース内の対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
パレット	ストックルームにあるパレット資産を作成および表示します。
ソフトウェアライセンス **注:** このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるソフトウェアライセンスを作成および表示します。 ソフトウェアライセンスを作成したり、既存のソフトウェアライセンスを選択したりすると、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	Description (説明)
その他の資産 注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにある他のすべてのタイプの資産を作成および表示します。 資産を作成している場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームに自動的にリダイレクトされます。
ハードウェア貸与プール 注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ストックルームにあるすべてのハードウェア貸与資産を表示します。 貸与資産を選択すると、ハードウェア資産ワークスペースの対応するレコードに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 貸与プール	ストックルームにあるすべてのエンタープライズ貸与資産を表示します。
サービスの場所	ストックルームでサポートされているすべてのサービスの場所を表示します。
流通チャネル	エンタープライズ資産を調達して転送できるリンクされたすべてのストックルームのリストとランキングを作成および表示します。流通チャネルの詳細については、「 で倉庫に流通チャネルを追加する エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
ハードウェア資産の監査 注: このタブは、ハードウェア資産管理 アプリケーションをインストールしてアクティブ化した場合にのみ表示されます。	ハードウェア資産インベントリの監査を作成および表示します。 監査を作成するか、既存の監査を選択する場合は、ハードウェア資産ワークスペースの対応するフォームまたはレコードに自動的にリダイレクトされます。
Enterprise 資産の監査	エンタープライズ資産インベントリの監査を作成および表示します。

5. ストックルームに設定されているすべてのアクティブな在庫ルールを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. ストックルームレコードのサイドバーから、[在庫ルール] アイコン (

b. 各在庫ルールを表示して、利用可能な在庫が指定されたしきい値内にあるかどうかを判断します。
また、対応するモデルが販売終了になったかどうかを判断することもできます。

エンタープライズ資産の新しい在庫ルールを作成する

ベースシステムの在庫ルールがニーズを満たさない場合は、カスタム在庫ルールを作成して、倉庫に資産を自動的に補充することができます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
在庫ルールは、特定の倉庫にある特定の資産の在庫が指定されたしきい値に達したときの処理を制御します。資産が指定された数量を下回ると、在庫ルールによって転送注文が自動的に作成されます。転送注文は、別の倉庫から必要な資産を転送することによって倉庫を補充します。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 在庫ルール.
2. [新規] を選択します。
[新規在庫ルールの作成] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

モデル	ルールが適用される製品モデル。
しきい値	在庫の再補充が発生するために到達しなければならない数量。たとえば、指定されたストックルーム内のインベントリ数が 10 を下回った場合に再補充するラップトップのしきい値は、10 と入力します。 注: ハードウェアまたはソフトウェアモデルの在庫ルールがしきい値の制限に達した場合、通知が倉庫マネージャーに送信され、在庫オーダー要求が自動的に作成されます。
再補充オプション	追加供給が来るべき場所。 調達がアクティブでない場合、再補充オプションは [倉庫] のみです。そうでない場合は、次のいずれかを選択します。 ◦ ストックルーム：他のストックルームから資産を取得するための転送注文を作成します。 ◦ ベンダー：ベンダーに注文するため倉庫アドミニストレーターにメールを送信します。メール通知に加えて、発注書 (PO) と発注明細が作成されます。
倉庫	資産の現在の物理的な場所。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注文サイズ	倉庫への転送またはベンダー購入の最小注文数量。ServiceNow は、しきい値以上にアイテムを補充するために必要な注文サイズの最小倍数を計算します。たとえば、しきい値が 10 となっていて [ストックルーム] オプションが選択されたラップトップが在庫として 3 台あります。オーダーサイズが 4 と設定されている場合、システムではルールを満たすためにしきい値を超えた 8 台分のラップトップの転送注文を作成します (在庫 3 + 注文 8 = 11)。ベンダーから補充する場合、ServiceNow は注文サイズの倍数として注文アイテムの合計数を示したメールを倉庫マネージャーに送信します。
アクティブ	この在庫ルールが有効かどうか (チェック ボックスが選択されているかどうか) 。このチェック ボックスを未選択にすると、在庫ルールによる自動再補充が行われなくなります。

4. [保存] を選択します。
   新しく作成された在庫ルールが [在庫ルール] タブに表示されます。

エンタープライズ資産のストックルームタイプを作成する

ベースシステムのストックルームタイプがニーズを満たさない場合は、Enterprise 資産ワークスペースでカスタムストックルームタイプを作成できます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
ストックルーム タイプはストックルームのカテゴリです。ストックルームタイプの詳細については、「ストックルームタイプ」を参照してください

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > ストックルーム タイプ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
名前	ストックルーム タイプの名前を表示します。
説明	ストックルーム タイプに関する一般情報です。
優先度	このタイプのストックルームの優先順位を示します。
値	ストックルーム タイプの内部識別子です。
出荷が必要	このタイプのストックルームがデフォルトで出荷が必要かどうかを決定するオプションです。
外部のストックルーム	このタイプのストックルームが内部で管理されているか (チェックボックスは未選択)、外部

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	からサードパーティによって管理されているか (チェックボックスが選択されている) を示します。

4. [保存] を選択します。
   新しく作成されたストックルームタイプが [ストックルームタイプ] タブに表示されます。

エンタープライズ資産インベントリの監査

エンタープライズ資産インベントリを監査して、資産がどこにあるか、現在のステータスがどうなっているかを把握します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

モバイルエージェント の申請 エンタープライズ資産管理を使用して資産管理番号をスキャンするか、手動で入力することができます。資産がスキャンされても、その資産タグがデータベースに存在しない場合、デフォルトでは、その資産は不明なモデルレコードにマッピングされます。不明なモデルレコードが、エンタープライズ資産ワークスペースの [モデル管理] ビューの [すべてのエンタープライズモデル] タブに表示されます。資産マネージャーは、この資産を適切なモデルに手動で関連付けます。不明なモデルを変更、更新、または削除することはできません。

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 資産監査.
2. [新規] を選択します。
   [新しいエンタープライズ資産監査を作成 (Create New Enterprise Asset Audit)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

エンタープライズ資産監査

Field (フィールド)	**Description** (説明)
監査番号	監査参照番号。
Assigned to (アサイン先)	監査の責任者。
タイプ	監査のタイプ。使用可能な値: ◦ 場所 ◦ 倉庫
ステータス	監査の現在のステータス。
ロケーション **注:** このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する場所。
子所在地を含む	監査に子場所を含めるオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [場所] に設定した場合にのみ表示されます。	
倉庫 注: このフィールドは、[タイプ] フィールドを [ストックルーム] に設定した場合にのみ表示されます。	監査を実行する倉庫。
予定日	監査を実行する日付。
スキャン日	資産をスキャンする日付。

4. [保存] を選択します。
資産監査インベントリレコードが作成され、[**Expected Assets** (予定資産)] タブと [**Scanned assets** (スキャン済み資産)] タブに表示されます。監査が完了すると、[監査結果] セクションがアクティブ化され、監査結果の詳細が表示されます。

監査結果

想定通り	スキャンされた想定される資産の数。
想定外 (場所修正済み)	スキャンされたが想定されていなかった資産の数。
不足	スキャンされなかった想定通りの資産の数。
新規	スキャンされたが、 ServiceNow インスタンスにレコードがない資産の数。

自動翻訳

Enterprise 資産ワークスペースで廃棄注文を作成する

ライフサイクルの終わりに達した資産、または機能しなくなった資産の廃棄注文を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

エンタープライズ廃棄注文を使用して廃棄できるのは、エンタープライズモデル またはパレット モデルに関連付けられている資産のみです。 単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。およびエンタープライズ廃棄注文に対する子を持つパレット資産。

注: 複数コンポーネント資産または子を持つパレット資産を廃棄注文に追加する場合、親資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

フローデザイナーアプリケーションを使用して廃棄フローを作成し、資産廃棄注文プロセス全体を実行します。

廃棄注文は、完了するまでにさまざまなステージを通過します。各ステージは廃棄タスクに関連付けられています。さまざまなステージを移動するには、最後のステージに到達するまで各タスクを閉じます。最後のタスクを完了すると、廃棄注文が完了します。廃棄注文ステージの詳細については、「廃棄注文ステージ」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ワークフローの輸送ステージに達するまで、廃棄注文をキャンセルできます。廃棄注文が確認段階になると、その注文をキャンセルすることはできません。ドラフト、スケジュール、または輸送ステージにあるタスクをキャンセルするには、[ステータス] リストから [未完了でクローズ] を選択し、タスクをクローズします。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 廃棄注文.
2. [新規] を選択します。
   [新規エンタープライズ廃棄注文を作成 (Create New Enterprise Disposal Order)] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	廃棄注文の参照番号。
倉庫	資産が廃棄される倉庫。
場所	資産が廃棄されるストックルームの場所。倉庫を選択すると、場所が自動的に表示されます。 場所を変更し、選択したストックルームに場所が関連付けられていない場合、[ストックルーム] フィールドは空になります。このシナリオでは、指定した場所のストックルームリストからストックルームを選択できます。
Assigned to (アサイン先)	資産の廃棄の責任者。
ステージ	廃棄注文の現在のステージ。
ベンダー	資産を廃棄するベンダー。

4. [保存] を選択します。
   新しい廃棄注文が作成され、廃棄注文ワークフローがトリガーされます。
5. [集荷の詳細] フォームで、フィールドに入力します。

[ピックアップの詳細] フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
予定日	資産を廃棄する日付。
集荷連絡先	廃棄する資産を集荷するベンダーの担当者の名前。
集荷の詳細	ピックアップの詳細。
追加情報	追加するメッセージ。

6. [廃棄可能資産 **(Disposable Assets**)] タブを開きます。
7. [追加] を選択して、破棄する資産を選択します。
8. 破棄する資産を選択し、 [追加] を選択します。
   非ターミナル状態の資産のみがリストに表示されます。非ターミナル状態とは、資産が別の状態に移行できる状態のことです。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[エンタープライズ廃棄タスク] タブの下に、[資産の検証] タスクが作成されます。

9. [エンタープライズ廃棄タスク] タブを開き、[資産の検証] タスクを選択します。
10. [エンタープライズ廃棄タスク] ページで、廃棄する資産を選択し、[検証] を選択します。
資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
11. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

> 注: [資産の検証] タスクを完了してクローズした後は、他の資産を廃棄注文に追加することはできません。

ドラフトステージが完了し、スケジューリングステージが進行中です。ワークフローの次のタスクである集荷のスケジュールが自動的に作成され、[エンタープライズ廃棄タスク] タブに表示されます。

12. [集荷のスケジュール] タスクを選択し、[ベンダー] フィールドと [予定日] フィールドに必要な値を入力します。
13. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
ステージが輸送に変わり、資産の切り離しタスクが作成されます。
14. [資産の出発] タスクを選択し、[仕入先注文 **ID**] フィールドと [集荷連絡先名] フィールドに、必要な値を入力します。
15. 破棄する資産を選択し、 [選択した行のアクション] ピッカーで [切り離す] を選択します。
資産のステータスが [輸送中] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
16. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
17. [ベンダー確認] タスクを選択し、[タスクのクローズ] を選択します。
ステージがドキュメントに変わり、廃棄ドキュメントタスクが作成されます。
18. [廃棄ドキュメント] タスクを選択し、次の操作を行います。

a. [ファイルの添付] アイコンを選択して、予定資産の廃棄ドキュメントを添付します。

b. 廃棄する資産を選択します。

> 注: 廃棄注文にマルチコンポーネント資産または子を持つパレット資産が含まれている場合、このタスクに到達すると、それらの資産内の親子関係は適用されなくなります。親資産に加えた変更は、その子資産に自動的に適用されなくなります。親資産か子資産かに関係なく、廃棄する各資産を個別に選択する必要があります。

c. [破棄] を選択します。
資産のステータスが [廃止] に、サブステータスが [廃棄済み] に変わります。

d. [廃棄の証明書] リストで、[はい] を選択します。

19. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
すべてのエンタープライズ廃棄タスクが完了し、エンタープライズ廃棄注文ステージが [完了] に変更されます。

Enterprise 資産ワークスペースで転送注文を作成する

エンタープライズ資産管理 で転送注文を作成して、ある場所から別の場所に資産を転送します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 転送注文.
2. [新規] を選択します。
   [新規転送注文を作成] ページが開きます。
3. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	転送注文の番号。
ステージ	転送注文の現在のステージ
移動元の倉庫	資産の出荷元のストックルーム。
配送先の倉庫	資産が出荷される倉庫。
移動元の場所	資産の出荷元となるストックルームの場所。
移動先の場所	資産が出荷されるストックルームの場所。
要求日	転送注文が作成された日付。
配送期日	
納品	

4. [保存] を選択します。
   転送注文が作成され、[転送注文ライン] タブが表示されます。転送注文ラインを作成して、転送注文を構成するアイテムを指定できるようになりました。

Enterprise 資産ワークスペースで転送注文ラインを作成する

エンタープライズ資産管理 で転送注文ラインを作成して、転送注文を構成するアイテムを指定します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterptrise_asset_manager

このタスクについて
転送注文には、1 件以上の転送注文 ラインを含めることができます。1 件の転送注文では、すべての転送注文ラインの 配送元場所 と 配送先場所が同じになります。各ラインには転送する資産と数量を含みます。転送するアイテムは、資産名とモデル名で識別されます。転送注文 ラインには、非消耗資産 1 件、または複数量の消耗品資産を含めることができます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースの転送注文に移動します。
2. 転送注文で、[転送注文ライン] タブを選択します
   [転送注文ライン] ページが表示されます。
3. [新規] を選択します。
4. フォームで、詳細を入力します。

フィールド	説明
番号	転送注文ラインを識別する内部個別番号

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
転送注文	転送注文ラインが属する転送注文
モデル	転送注文ラインによって要求されたアイテムのモデルたとえば、プリンターです。[資産] フィールドが最初に入力された場合、[モデル] フィールドには資産に相対するモデルが自動的に入力されます。
要求された数量	転送注文ラインによって要求されたアイテムの数たとえば、コンピューター 3 台の転送が要求されます。
受領済み数量	既に受領されたアイテムの数たとえば、キーボード 3 台が転送され、2 台が受領されます。
ステージ	転送注文の現在のステージ転送注文 ラインは、転送注文が [ドラフト] ステージにある場合にのみ登録できます。
要求ライン	転送注文 ラインに関連付ける要求されたアイテム。
資産	転送注文ラインによって要求された資産たとえば、特定のプリンターです。資産はストックルームでフィルタリングできます。
残り数量	未受領のアイテムの数たとえば、キーボード 3 台の要求のうち、2 台が受領済み、1 台が残っています。
返品された数量	返品する必要のあるアイテムの数

5. [保存] を選択します。
   転送注文ラインが作成され、[転送注文ラインタスク] タブが表示されます。転送注文ラインタスクは、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動するために作成されます。

エンタープライズ資産ワークスペースで転送注文ラインタスクをクローズする

転送注文ラインタスクをクローズして、転送注文ラインをあるステージから別のステージに移動します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
資産で指定されたモデルカテゴリに基づいて転送注文ラインを作成すると、転送注文ラインタスクが自動的に作成されます。デフォルトのテンプレートタスクは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションで使用できます。テンプレートタスクは、モデルカテゴリに基づいています。デフォルトテンプレートタスクを削除または変更することはできません。

転送注文ラインを作成して資産を選択すると、その資産はモデルカテゴリに対応します。そのモデルカテゴリのテンプレートタスクが存在する場合、そのテンプレートタスクは転送注文ラインタスクとして転送注文ラインに追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

転送注文ラインタスクをクローズすると、タスクが完了し、プロセス内の次のタスクが作成されます。たとえば、 要求済み タスクをクローズすると、このタスクのステータスは [完了してクローズ] と表示され、次のステージである 出荷準備のために新しいタスクが開きます。このプロセスは、転送注文ラインの完了に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。タスクをクローズして、タスクが次のステージに移動すると、その資産は自動的に更新されます。たとえば、転送注文ラインが [要求済み] から [出荷準備] に移動すると、その資産のステータスも [利用可能] から [予約済み] に移行します。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースの転送注文ラインレコードに移動します。
2. **[Transfer Order Line Tasks**] タブを選択します。
   転送注文ラインタスクは次のとおりです。
   - 要求：
   - 出荷準備
   - 輸送中
   - 受領
   - 配送済み
3. 要求されたタスクを開きます。
4. [タスクをクローズ] を選択して、このタスクをクローズします。
   要求済みタスクをクローズすると、プロセスの次のタスクである 出荷準備 タスクが作成されます。
5. [配送済み] タスクを閉じるまで、プロセス内の次のタスクを開き続けます。
   [配送済み] タスクをクローズすると、その転送注文ラインは完了します。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の要求

一時資産、貸与資産、消耗品を要求し、指定された期間使用します。

始める前に

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

孤独な資産は、自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダー用に要求できます。資産がインストールされる前であれば、いつでも貸与資産要求をキャンセルできます。選択したい場所で現在製品が入手できない場合でも、貸与のオーダーを送信できます。この場合、注文はキューに入れられます。

貸与資産を要求する際は、開始日が送信日から 3 か月以内、終了日が開始日から 6 か月以内であることを確認してください。

手順

1. 移動先 サービスカタログ.
2. エンタープライズ資産ライフサイクルカタログを選択します。
   システム_adminロールは、エンタープライズ資産ライフサイクルカタログを追加する必要があります。詳細については、サービスカタログのドキュメントを参照してください。
3. **[Enterprise Asset Loaner Request** (エンタープライズ資産貸与要求)] を選択します。
   [エンタープライズ資産貸与要求 (Enterprise Asset Loaner Request)] ページが開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

貸与資産要求フォーム

フィールド	説明
要求元	資産を要求している人物。自分用、組織の別の従業員用、またはサードパーティベンダーに対して要求を行うことができます。
要求元のユーザー	資産を要求したユーザー。このフィールドは、[要求元] フィールドで [会社ユーザー] が選択されている場合にのみ表示されます。
ロケーション	要求された資産を提供する必要がある場所。
モデル	要求している資産のモデル。
開始日	資産の使用を開始する日付。
返却日	資産を返却する日付。
正当性	資産が必要な理由。

[開始日] と [返却日] を入力した後、選択した場所と選択した期間に利用可能な貸与資産がない場合は、警告が表示されます。それでも貸与オーダーを送信すると、貸与オーダーは順番待ちリストに入れられます。順番待ちリストに登録された貸与者オーダーの詳細については、「 貸与資産の予約」を参照してください。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
メッセージが表示され、貸与のオーダーが正常に行われたか、オーダーが順番待ちリストに入れられたかが示されます。

次のタスク
要求を表示するには、次の場所に移動します: セルフサービス > 自分の要求.

貸与資産を受け取る前に、[キャンセル] を選択して貸与資産のリクエストをキャンセルできます。貸与資産を受け取った後、[キャンセル] ボタンは表示されなくなります。指定した 返却日より前に貸与資産を返却することもできます。

Enterprise 資産ワークスペースでの貸与資産の準備、展開、再利用

貸与資産タスクを使用して、展開および再利用のために貸与資産または消耗品を選択して準備します。特定の期間、貸与資産または消耗品を展開し、返却日に再利用します。

始める前に
資産を貸与資産または消耗品として使用するには、資産レコードに移動し、[資産機能] フィールドを [貸与] に設定します。これらの資産は貸与資産として使用するために予約されています。[Asset function] フィールドが **[Loaner]** 以外に設定されている資産は使用できません。

インベントリビューの [Loaner asset orders (貸与資産のオーダー)] タブには、資産が過去と現在に処理したすべての貸与注文が表示されます。消耗品の場合、消耗品がストックルームにない場合は、現在処理している現在の貸与資産のオーダーのみが表示されます。

必要なロール：inventory_user

手順
1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 貸与資産の注文.
2. エンタープライズ貸与資産のオーダーを開きます。
3. [**Loaner Asset tasks** (貸与資産タスク)] タブを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [準備] タスクを選択し、詳細を入力します。

タスクフォームの準備

フィールド	説明
資産	貸与資産要求を履行するために使用される資産。
状況	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

5. 必要な詳細を入力したら、[タスクのクローズ] を選択して [準備] タスクを閉じます。
準備タスクが完了すると、[Loaner Asset Tasks] 関連リストに展開タスクが作成されます。資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
   - **[Reserved for**] フィールドには、貸与資産を要求したユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サブステートが [インストール待ち] に変わります。
6. 展開タスクを開き、フォームに詳細を入力します。

タスクの展開フォーム

フィールド	説明
ステータス	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	展開タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。

7. [**Close Task** (タスクのクローズ)] を選択して [Deploy (展開)] タスクをクローズします。

   資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
   - 貸与資産のステータスが [使用中] に変わります。
   - [ストックルーム] フィールドが [Null] に変わります。
   - [**Assigned to** (アサイン先)] フィールドには、資産が要求されたユーザーの名前が自動的に設定されます。
   - サードパーティベンダーの貸与資産を要求した場合、[**Managed by**] フィールドは資産を要求したユーザーの名前に自動的に設定されます。

   消耗品の場合、ステータスは [消費済み] に変わります。

   返却日の 2 日前に、資産をオープンまたは要求したユーザーには、再利用に関するメール通知が届きます。返却日の 1 日前に、[Loaner Asset Tasks] タブに再利用タスクが作成されます。

8. [再利用] タスクを開きます。
9. フォームで、詳細を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

再利用タスクフォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
倉庫	返却された資産が保管される倉庫。貸与資産を受領した場所とは異なる倉庫を入力した場合、最初の倉庫からの既存の貸与オーダーが影響を受ける可能性があることを示す警告メッセージが表示されます。
返却日	資産が返却された実際の日付。
状況	タスクの状態。
Assigned to (アサイン先)	再利用タスクを実行するタスクがアサインされているユーザー。
資産が返されました	資産を返却済みとしてマークするオプション。資産が返却されない場合、再利用タスクをクローズすることはできません。
資産機能	再利用後の貸与資産の機能ステータス。

資産が機能していない場合、資産のステータスは [在庫あり] に、サブステートは [修理待ち] に変わります。

10. 再利用タスクをクローズするには、[**Close Task**] を選択します。
11. ユーザーが返却日より前に資産を返却する場合は、次の操作を行います。
    a. [再利用] を選択します。
    b. [資産の再利用] フォームで、フィールドを更新します。
    c. [再利用] タスクを閉じます。
    資産レコード [alm_asset] テーブルで、次の変更が行われます。
    - 貸与資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
    - サブステートが [利用可能] に変わります。
    - [ストックルーム] フィールドは、再利用タスクフォームで選択した値に自動的に設定されます。
    - 資産が将来の貸与オーダーに割り当てられると、サブステートが [予約済み] に変更され、貸与オーダーの詳細が反映されます。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 **(RMA)** の要求

返品承認(RMA)は、購入者と販売者の間の契約であり、購入者は指定された保証期間内に欠陥のある製品を返品、交換、または修理を要求できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理するための RMA オーダーを送信できます。

返品承認フロー

欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA オーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、注文に追加された欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに RMA オーダー明細行を自動的に生成します。その後、これらの RMA 注文明細行を使用して、これらの各エンタープライズ資産の RMA プロセスを個別に追跡および管理できます。

注: シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ RMA オーダーを送信できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

RMA 注文内のすべての RMA 注文明細行について、準備タスクを完了して、特定のエンタープライズ資産の RMA プロセスをどのように進めるかを指定する必要があります。資産ベンダーと合意した条件に基づいて、以下を選択できます

- RMAプロセスをオンサイトで完了し、
- オフサイトで資産ベンダーとRMAプロセスを完了し、
- または、指定されたエンタープライズ資産の RMA を却下します。

RMA プロセスをオンサイトで完了することを選択した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産は修理のみ可能です。対応する RMA オーダー明細行を [完了] ステージに移動するには、必要なすべてのオンサイト修理タスクを完了する必要があります。資産ベンダーのオフサイトで RMA プロセスを完了することを選択した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産を交換または修理できます。資産ベンダーと協力して、対応する RMA オーダー明細行を [完了] ステージに移動できるように、必要なすべてのオフサイト交換または修理タスクを完了する必要があります。RMA を却下することを選択した場合、RMA 注文明細行はそれ以上のアクションを必要とせずに [完了] ステージに自動的に移動します。RMA 注文内のすべての RMA 注文明細行が [完了] ステージに達すると、注文はクローズされます。

返品許可のキャンセル

RMA 注文内の RMA 注文明細行の準備タスクを完了していない場合は、RMA 注文全体をキャンセルできます。注文がキャンセルされると、関連するすべての RMA 注文明細行とタスクもキャンセルされます。

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品許可 **(RMA)** 注文を送信します

返品許可 (RMA) 注文を送信して、欠陥のあるエンタープライズ資産の交換または修理を開始します。

始める前に

必要なロール：資産または inventory_user

このタスクについて

注: シリアル化されたエンタープライズ資産に対してのみ RMA オーダーを送信できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. 利用可能なエンタープライズ資産ライフサイクルカタログアイテムのリストから、[エンタープライズ **RMA** オーダー **(Enterprise RMA Order)**] を選択します。
3. [エンタープライズ RMA オーダー] フォームの [エンタープライズ RMA 資産] リストで、[追加] を選択します。
   [行を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. オプション: [ストックルーム] フィールドで、欠陥のあるエンタープライズ資産が置かれているストックルームを検索して選択します。

   (Optional) ストックルームを選択すると、[エンタープライズ資産] フィールドで検索および選択できるエンタープライズ資産のリストを絞り込むことができます (ステップ 5)。

   ストックルームを選択しない場合、このフィールドは [エンタープライズ資産] フィールド (ステップ 5) で選択したエンタープライズ資産に基づいて自動的に入力されます。
5. [エンタープライズ資産] フィールドで、この RMA オーダーで交換または修理する欠陥のあるエンタープライズ資産を検索して選択します。
6. **[Add** (追加)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ダイアログボックスが閉じ、欠陥のあるエンタープライズ資産がエンタープライズ RMA 資産のリストに追加されます。

7. この RMA 注文で交換または修理する欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに、手順 3 ～ 6 を繰り返します。

   注: 1 つの RMA 注文に最大 50 のエンタープライズ資産を追加できます。

8. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

RMA オーダーが正常に送信されると、 サービスカタログ ホームページに自動的にリダイレクトされます。RMA 注文番号を含む確認メッセージが表示されます。これを使用して、RMA 注文を追跡および管理できます。

欠陥のあるエンタープライズ資産に対する返品許可 **(RMA)** 注文のクローズ

欠陥のあるエンタープライズ資産の返品承認 (RMA) 注文を送信した後、注文をクローズするためにさまざまなタスクを完了する必要があります。

RMA 注文内の RMA 注文明細行ごとに、必要な一連のタスクを個別に完了する必要があります。RMA 注文明細行に必要なすべてのタスクを完了すると、完了 ステージに移動します。RMA 注文内のすべての RMA 注文明細行が [完了] ステージに達すると、RMA 注文はクローズされます。

RMA 注文明細行の準備タスクを完了します

特定のエンタープライズ資産の交換または修理に進むことができるように、RMA 注文明細行の準備タスクを完了します。または、RMA を拒否して、特定のエンタープライズ資産に対するアクションの実行を回避することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

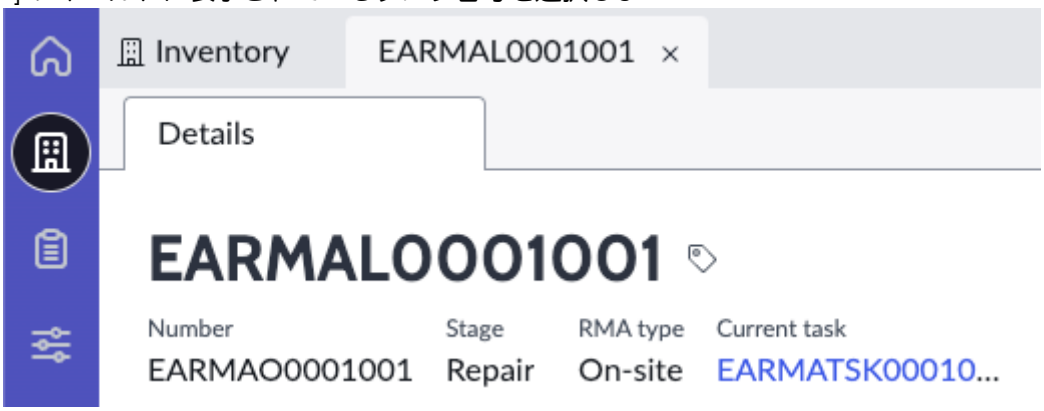
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューに移動します。
2. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA 注文のリストから、クローズする RMA 注文を選択します。
   RMA 注文レコードが開きます。
4. RMA オーダー レコードの **RMA** オーダー ライン タブで、交換または修理する、またはアクションを実行しないエンタープライズ資産の RMA オーダー ラインを選択します。
   RMA 注文明細レコードが開きます。
5. RMA 注文明細行レコードの **RMA** 明細行タスク タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

または、RMA 注文明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



[準備] タスクが開きます。

6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
倉庫	欠陥のあるエンタープライズ資産が置かれている倉庫。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー	欠陥のあるエンタープライズ資産のベンダー。このフィールドは、自動的に入力されます。
ベンダー RMA 番号	資産ベンダーから提供された RMA 参照番号。
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA タイプ	欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスをどのように進めるかを示すオプション。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ オンサイト:RMA プロセスをオンサイトで完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理できます。 ◦ オフサイト:資産ベンダーとのオフサイトで RMA プロセスを完了するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーがオフサイトで交換または修理できます。 ◦ 却下:欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を却下するオプション。このオプションを使用すると、欠陥のあるエンタープライズ資産に対するアクションの実行を回避できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
準備タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

次のタスク
RMA タイプ フィールドを オンサイト または オフサイト に設定した場合は、後続のすべての交換または修理タスクを完了して、RMA 注文明細行を 完了 ステージに移動します。**RMA** タイプ フィールドを 拒否 に設定すると、RMA 注文明細行は自動的に 完了 ステージに移動し、それ以上のアクションは必要ありません。

オンサイト修理を通じて欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了します

欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるように、オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行します。この一連のタスクは、オンサイト修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に
欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスをオンサイトで続行する前に、関連する RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA 注文明細行の準備タスクを完了します」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

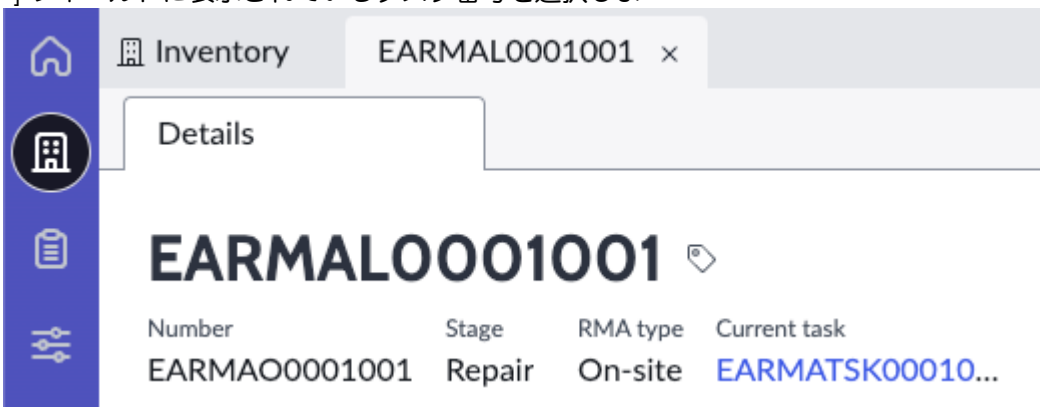
手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA 注文のリストから、クローズする RMA 注文を選択します。
   RMA 注文レコードが開きます。
4. RMA 注文レコードの **RMA** 注文明細行 タブで、修理するエンタープライズ資産の RMA 注文明細行を選択します。
   RMA 注文明細レコードが開きます。
5. RMA オーダーラインのオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理するか、RMA プロセスを資産ベンダーのオフサイトに移動するか、オンサイト修理要求を却下する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. RMA 注文明細レコードの **RMA** 明細行タスク タブで、 オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA 注文明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



オンサイト修理タスクが開きます。

b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 • 修理:欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで正常に修理したことを示すオプション。 • オフサイト:RMA プロセスを資産ベンダーのオフサイトに移動することを示すオプション。欠陥のあるエンタープライズ資産をオンサイトで修理できない場合は、このオプションを選択します。 • 却下:オンサイト修理要求を却下したことを示すオプション。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

オンサイト修理タスクは、更新されたステータスが [完了してクローズ] になって自動的にクローズします。

[RMA 決定] フィールドを [オフサイト] に設定した場合は、[オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了します] に進み、オフサイトで RMA プロセスを続行します。

タスクの結果

欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理すると、RMA オーダー明細行は [完了] ステージに移動します。対応する資産レコードで、[ステータス] フィールドが [在庫あり] に、[サブステート] フィールドが [利用可能] に変わります。

RMA プロセスをオフサイトに移動した場合、RMA 注文明細行の **[RMA** 明細タスク] タブに出荷タスクが自動的に入力されます。その後、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送して、残りの交換または修理タスクをオフサイトで完了できるようにする必要があります。欠陥のあるエンタープライズ資産をオフサイトで交換または修理する方法の詳細については、 オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了します を参照してください。

オンサイト修理要求を却下した場合、RMA 注文明細行は [完了] ステージに移動します。ただし、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスと [修理待ち] サブステートのままです。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

次のタスク

RMA オーダー内の残りの RMA オーダーラインの RMA プロセスを完了します。すべての RMA 注文明細行が [完了] ステージに達すると、RMA 注文はクローズされます。

オフサイトでの交換または修理を通じて、欠陥のあるエンタープライズ資産の **RMA** プロセスを完了します

資産ベンダーと協力して、オフサイトでの交換または修理に必要なすべてのタスクを実行し、欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを完了できるようにします。この一連のタスクは、オフサイトでの交換または修理が必要な欠陥のあるエンタープライズ資産ごとに個別に実行する必要があります。

始める前に

オフサイトで欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA プロセスを続行する前に、関連する RMA オーダー明細行の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「RMA 注文明細行の準備タスクを完了します」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. [**RMA** オーダー **(RMA orders**)] タブを選択します。
3. 利用可能な RMA 注文のリストから、クローズする RMA 注文を選択します。
   RMA 注文レコードが開きます。
4. RMA 注文レコードの **RMA** 注文明細行 タブで、交換または修理するエンタープライズ資産の RMA 注文明細行を選択します。
   RMA 注文明細レコードが開きます。

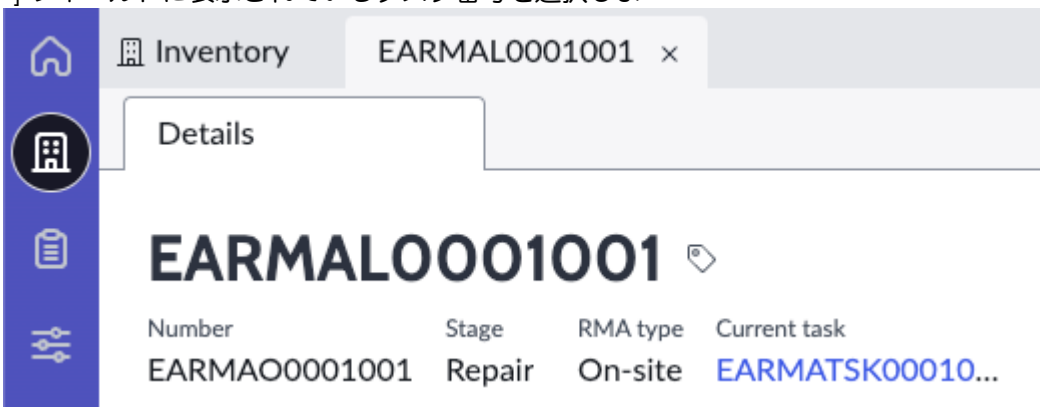
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. RMA 注文明細行の出荷タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、欠陥のあるエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

   a. RMA 注文明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

   または、RMA 注文明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



   出荷タスクが開きます。

   b. 出荷タスクの [詳細]タブで、フィールドに入力します。

   [詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
出荷	
配送業者	欠陥のあるエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	欠陥のあるエンタープライズ資産を出荷した日付。
トラッキング番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

   出荷タスクは、更新されたステータス「完了してクローズ」で自動的にクローズされます。

6. RMA 注文明細行のベンダー RMA 決定タスクを完了してクローズします。

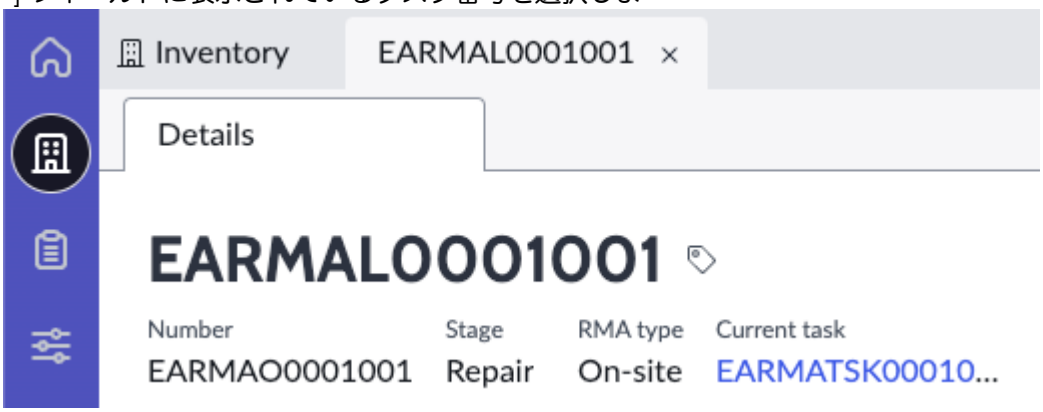
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは欠陥のあるエンタープライズ資産を修理するか、欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換するか、RMA を拒否する必要があります。

a. RMA 注文明細レコードの **[RMA** 明細タスク] タブで、 ベンダー **RMA** 決定 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA 注文明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



[ベンダー RMA 決定タスク] が開きます。

b. ベンダー RMA 決定タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
RMA の決定	資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産に対して実行したアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ▪ 修理:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理したことを示すオプション。 ▪ 置換:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新たに機能する資産と交換することを示すオプション。 ▪ 却下:資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産の RMA を却下したことを示すオプション。 このオプションを選択すると、[**RMA** 決定] フィールドの下に [却下理由] フィールドが表示されます。[却下理由] フィールドで、資産ベンダーが RMA を却下した理由を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

ベンダー RMA 決定タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的にクローズされます。

7. RMA 注文明細行の受領タスクを完了してクローズします。

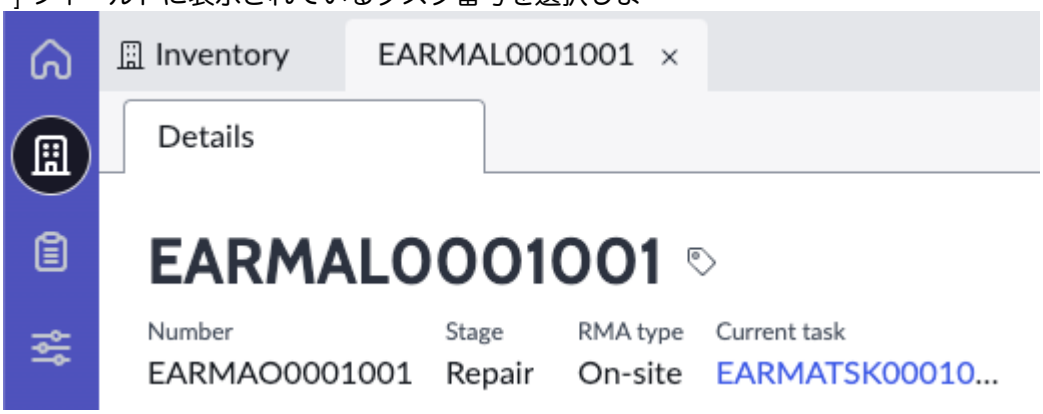
このタスクを正常に完了してクローズするには、新規、修理済み、または却下済みのエンタープライズ資産を資産ベンダーから受領する必要があります。

欠陥のあるエンタープライズ資産の交換として新しいエンタープライズ資産を受け取る場合は、新しいエンタープライズ資産の資産レコードも作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産を作成」を参照してください。

> **注:** 新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定する必要があります。また、取得方法 フィールドが **RMA** 交換 に設定されていることも確認する必要があります。

a. RMA 注文明細レコードの **[RMA** 明細行タスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、RMA 注文明細行レコード ヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されているタスク番号を選択します。



[受領] タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	説明
RMA 明細タスクの詳細	
ステータス	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
受領	
資産受領済み	新規、修理済み、または却下済みのエンタープライズ資産を資産ベンダーから受領したかどうかを示すオプション。 受領タスクを完了してクローズするには、このフィールドを はい に設定する必要があります。
交換用資産倉庫 注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換した場合にのみ表示されます。	新しいエンタープライズ資産が配置されている倉庫。
交換用資産 注: このフィールドは、資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と交換した場合にのみ表示されます。	欠陥のあるエンタープライズ資産を置き換えた新しいエンタープライズ資産。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

受領タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

タスクの結果

RMA 注文明細行が [完了] ステージに移動します。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を新しい資産と正常に交換した場合、RMA オーダー明細行の [詳細] タブは、資産の名前、モデル、倉庫など、新しいエンタープライズ資産に関する情報で自動的に更新されます。さらに、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは欠陥のあるエンタープライズ資産を自動的に廃止し、対応する資産レコードの [**State** (状態)] フィールドと **[Substate** (サブステート)] フィールドが [**Retired** (廃止)] フィールドと **[Vendor credit** (ベンダークレジット)] に変更されるようにトリガーします。

資産ベンダーが欠陥のあるエンタープライズ資産を正常に修理した場合、対応する資産レコードの [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドが [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

資産ベンダーが RMA を拒否した場合、欠陥のあるエンタープライズ資産は [在庫あり] ステータスと [修理待ち] サブステートのままになります。資産に対して追加のアクションを実行するには、新しい RMA オーダーを送信する必要があります。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

次のタスク
RMA オーダー内の残りの RMA オーダーラインの RMA プロセスを完了します。すべての RMA 注文明細行が [完了] ステージに達すると、RMA 注文はクローズされます。

取り消し済みエンタープライズ資産の管理

取り消しオーダーを使用して、資産ベンダーによって取り消しされたエンタープライズ資産を追跡し、アクションを実行できます。取り消されたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を選択できます。または、取り消されたエンタープライズ資産の運用方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

取り消しフロー

取り消しオーダーを送信すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、注文に含めた各エンタープライズ資産のエンタープライズ取り消し済み資産レコードを自動的に生成します。これらのレコードを使用して、各エンタープライズ資産の取り消しプロセスを追跡および管理できます。

各取り消しオーダー内で、対応する取り消し通知で資産ベンダーが推奨する修復オプションに基づいて、特定のエンタープライズ資産の取り消しプロセスをどのように進めるかを指定する必要があります。以下を選択できます

- エンタープライズ資産をオンサイトまたはオフサイトで修理し、
- エンタープライズ資産を新しい資産に置き換える
- エンタープライズ資産を廃止し
- または、エンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示を提供します。

選択したオプションに基づいて、後続のすべてのタスクを完了して資産を修復し、対応するエンタープライズ取り消し済み資産レコードを 完了 ステージに移動する必要があります。取り消しオーダー内のすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーは完了としてマークされます。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーを送信する

取り消しオーダーを送信して、資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を開始します。取り消されたエンタープライズ資産の運用方法に関する追加の指示をユーザーに提供することもできます。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

注: 1 回の取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めることができます。ただし、すべてのエンタープライズ資産を同じモデルに関連付ける必要があります。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブで、新規 を選択します。
3. [エンタープライズリコールオーダーの新規作成 (Create New Enterprise Recall Order)] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規エンタープライズリコール注文を作成 **(Create New Enterprise Recall Order)]** フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
リコールソース	エンタープライズ資産の取り消しソース。
修復	対応する取り消し通知で資産ベンダーが推奨する修復オプションに基づいて、取り消しされたエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦修理:取り消されたエンタープライズ資産を修理するオプション。 ◦置換:取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換えるオプション。 ◦廃止:取り消されたエンタープライズ資産を廃止するオプション。 ◦表記:取り消されたエンタープライズ資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供するオプション。 このオプションを選択すると、[取り消し修復手順] フィールドが [シリアル番号] フィールドの下に表示されます。[取り消し修復手順] フィールドに、追加の指示を入力します。
モデル	取り消しされたエンタープライズ資産が関連付けられているモデル。
シリアル番号	リコールされた各エンタープライズ資産を識別するシリアル番号。このフィールドはオプションです。 この取り消しオーダーに複数のエンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して、関連するすべてのシリアル番号を入力します。 ◦`SN001-SN010` などのシリアル番号範囲 ◦個々のシリアル番号のカンマ区切りリスト (SN020、SN038、SN054 など) ◦`SN001-`SN010、SN202、SN038、SN100-`SN110` など、シリアル番号範囲と個々のシリアル番号の両方のカンマ区切りリスト シリアル番号を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 **注:** リコールオーダにシリアル番号を指定する場合、同じオーダに車両識別番号 (VIN) を指定することはできません。
ロケーション	取り消されたエンタープライズ資産が存在する場所。
リコール通知番号	資産ベンダーから送信されたリコール通知の識別番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
処置期日	[修正] フィールドで選択したアクションを完了する必要がある日付。
VIN	リコールされた各エンタープライズ資産を識別する車両識別番号 (VIN)。このフィールドはオプションであり、自動車やモペットなどの自動車エンタープライズ資産にのみ適用されます。 この取り消しオーダーに複数の自動車エンタープライズ資産を含めるには、次のいずれかのオプションを使用して、関連するすべての VIN を入力します。 ◦ VIN範囲 (3VWSB81H8WM210368-3VWSB81H8WM210370など) ◦ 個々の VIN のカンマ区切りリスト (1B7HF13ZX1J572139 など) JH4KA8150MC012098 ◦ 4JGAB54E81A277648-4JGAB54E81A277650、1GNDX03E03D188446、KM8SC73E94U774838など、VIN範囲と個々のVINの両方のカンマ区切りリスト VIN を入力しない場合、[モデル] フィールドで指定されたモデルに関連付けられているすべてのエンタープライズ資産がこの取り消しオーダーに含まれます。 注: 取り消しオーダーに VIN を指定した場合、同じオーダーにシリアル番号を指定することはできません。
子所在地を含む	[場所] フィールドで指定した場所の子場所を含めるオプション。
追加情報	取り消しオーダーに関する追加情報。

4. [保存] を選択します。

次のタスク

取り消しプロセスの開始 を選択して、指定したエンタープライズ資産の適切な取り消しプロセスを続行します。

エンタープライズ資産の取り消しオーダーの完了

資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しオーダーを送信した後、注文を完了するためにさまざまなタスクを実行する必要があります。

取り消されたエンタープライズ資産ごとに必要なタスクセットを個別に完了することも、同じタスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサインされたユーザーを共有する取り消されたすべてのエンタープライズ資産に対して必要なタスクセットを一括更新して完了することもできます。取り消されたエンタープライズ資産に必要なすべてのタスクを完了すると、対応するエンタープライズ取り消し済み資産レコードが 完了 ステージに移行します。取り消しオーダー内のすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーは完了です。

取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する

取り消しされたエンタープライズ資産の準備タスクを完了して、指定されたエンタープライズ資産の交換、修理、または廃止を続行できるようにします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

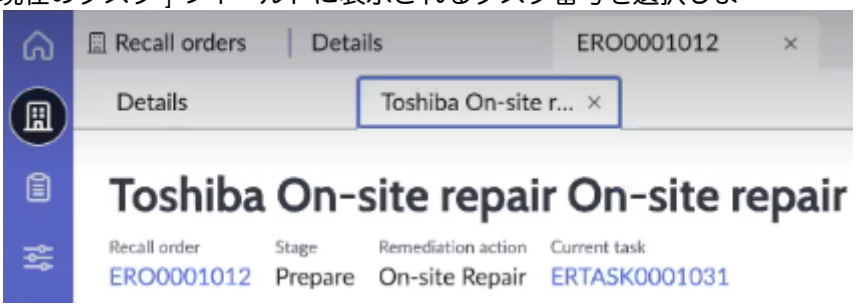
このタスクについて

重要: 準備タスクは、[修復] フィールドが [修理]、[交換]、または [廃止] に設定されている取り消しオーダーにのみ適用されます。[修正] フィールドが [表記] に設定されている場合は、代わりに表記タスクに直接進むことができます。記譜タスクの詳細については、「 取り消されたエンタープライズ資産の表記タスクを完了する 」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、交換、修理、または廃止するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[準備] タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [準備] タスクが開きます。
6. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
リコールタスクの詳細	
倉庫	取り消されたエンタープライズ資産の倉庫。 **注:** このフィールドは、次の条件でのみ編集可能です。 ◦ 関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [修理] に設定されている。さらに、この準備タスクの [修復アクション] フィールドは [オフサイト修理] に設定されています。 ◦ 関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [廃止] に設定されている。 **重要:** 取り消されたエンタープライズ資産がまだストックルームに移動されていない場合は、資産の廃止またはオフサイト修理に進む前に、利用可能なストックルームに移動する必要があります。
是正処置アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。 **注:** このフィールドは、関連する取り消しオーダーの [修復] フィールドが [修理] に設定されている場合にのみ編集できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	このタスクを完了する予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

7. [準備] タスクを閉じます。

   指定したエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の準備タスクを一括更新してクローズすることができます。

   指定したエンタープライズ資産のみの準備タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

   複数のエンタープライズ資産の準備タスクを一括更新して閉じる場合は、 [資産をさらに含める] を選択します。[一括更新の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、[準備] タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Prepare task] に戻ります。

   重要: 準備タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、アサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

タスクの結果
準備タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的に再ロードされます。

オンサイト修理を続行する場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は [メンテナンス中] ステータスに更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

オフサイト修理を続行する場合、ステータスが [使用中] または [メンテナンス中] のいずれかのエンタープライズ資産は、ステータスが [在庫あり] 、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

資産の置換を続行している場合、ステータスが [使用中] のエンタープライズ資産は [メンテナンス中] ステータスに更新されます。さらに、ステータスが [在庫あり] のエンタープライズ資産は、サブステートが [修理待ち] に更新されます。

資産の廃止を進めている場合、エンタープライズ資産は 在庫あり の状態と 処分待ち のサブステートで更新されます。

次のタスク
後続のすべての交換、修理、または廃止タスクを完了します。

取り消されたエンタープライズ資産の表記タスクを完了する

取り消しされたエンタープライズ資産の表記タスクを完了して、資産の操作方法に関する追加の指示をユーザーに提供できるようにします。

自動翻訳

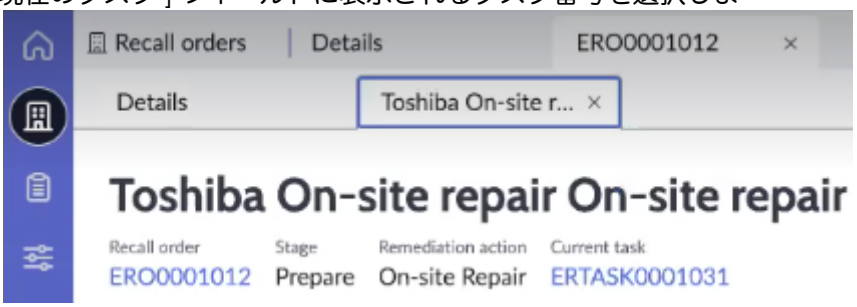
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、追加の操作手順を提供するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 表記タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   記譜タスクが開きます。
6. 記譜タスクを閉じます。

   指定したエンタープライズ資産の記譜タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の記譜タスクを一括更新してクローズすることができます。

   指定したエンタープライズ資産のみの表記タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

   複数のエンタープライズ資産の表記タスクを一括更新して閉じる場合は、 資産をさらに含める を選択します。[Select assets for bulk update (一括更新の資産を選択)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各 Enterprise 資産のチェックボックスをオンにして、表記タスクを閉じます。「 タスクをクローズ 」を選択してダイアログボックスを閉じ、記譜タスクに戻ります。

   重要: 表記タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移動します。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変更されます。

オンサイト修理を通じてエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了する

オンサイト修理に必要なすべてのタスクを実行して、資産ベンダーによって取り消しされたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるようにします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産をオンサイトで修理する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

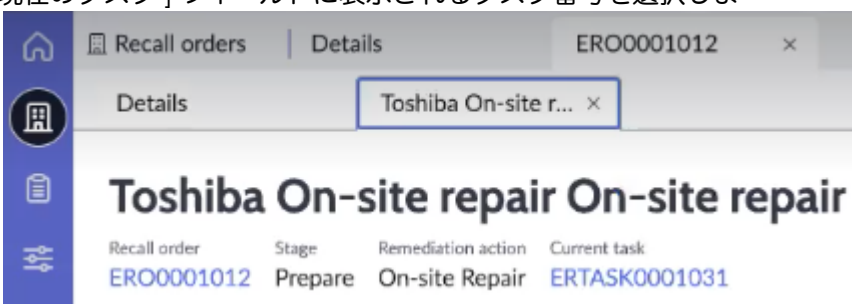
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、修理するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産をオンサイトで修理する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 オンサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   オンサイト修理タスクが開きます。

   b. オンサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
リコールタスクの詳細	
是正処置アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オンサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	オンサイト修理を実行する予定の日時。
メモ	

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	Description (説明)
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. オンサイト修理タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみのオンサイト修理タスクをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産のオンサイト修理タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新用の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、オンサイト修理タスクをクローズします。[タスクをクローズ] を選択してダイアログボックスを閉じ、オンサイト修理タスクに戻ります。

> **重要:** オンサイト修理タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

オンサイト修理タスクが自動的に再ロードされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移動します。さらに、ステータスフィールドとサブステートフィールドは、対応する資産レコードで [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変更されます。

オフサイト修理を通じてエンタープライズ資産のリコールプロセスを完了する

資産ベンダーと協力してオフサイト修理に必要なすべてのタスクを実行し、ベンダーによって回収されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるようにします。

始める前に
リコールされたエンタープライズ資産をオフサイトで修理する前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。
4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、修理するエンタープライズ資産を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

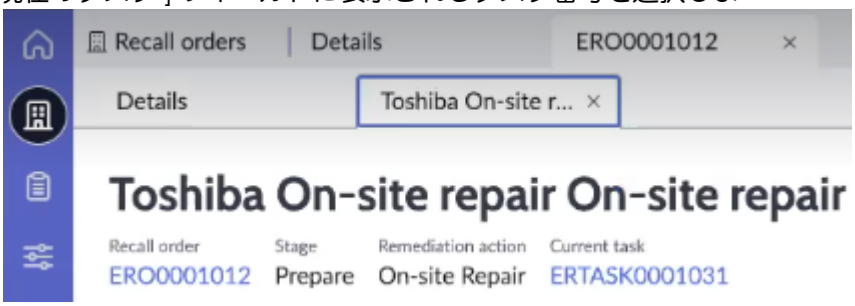
自動翻訳

エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。

5. 取り消されたエンタープライズ資産の出荷タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細]タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに出荷する予定の日時。
出荷	
配送業者	取り消されたエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	取り消されたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. 出荷タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産の出荷タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の出荷タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの出荷タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数のエンタープライズ資産の出荷タスクを一括更新してクローズする場合は、 資産をさらに含める を選択します。[一括更新の資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、出荷タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Off-site Repair (オフサイト修理)] タスクに戻ります。

重要: 出荷タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

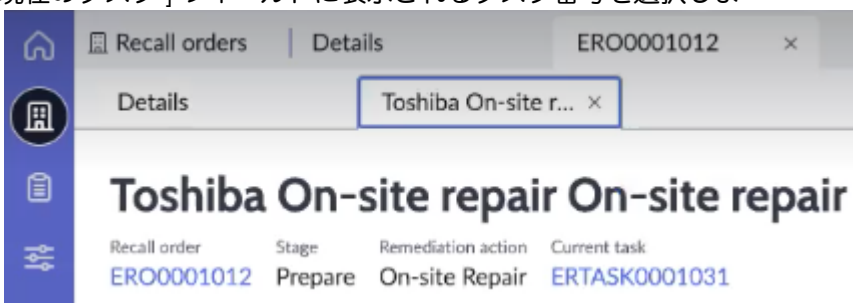
出荷タスクは、更新されたステータス「完了してクローズ」で自動的に再ロードされます。

d. 出荷タスクを閉じて、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

6. 取り消しされたエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは取り消しされたエンタープライズ資産を修復する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 オフサイト修理 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[オフサイト修理] タスクが開きます。

b. オフサイト修理タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
リコールタスクの詳細	
是正処置アクション	エンタープライズ資産の取り消しプロセスを続行する方法を示すオプション。このフィールドは自動的に [オフサイト修理] に設定されます。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	資産ベンダーがオフサイト修理を実行する予定の日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. オフサイト修理タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産のみのオフサイト修理タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみのオフサイト修理タスクをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産のオフサイト修理タスクを一括更新してクローズする場合は、[資産をさらに含める] を選択します。[一括更新用の資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、オフサイト修理タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Off-site Repair (オフサイト修理)] タスクに戻ります。

> **重要:** オフサイト修理タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

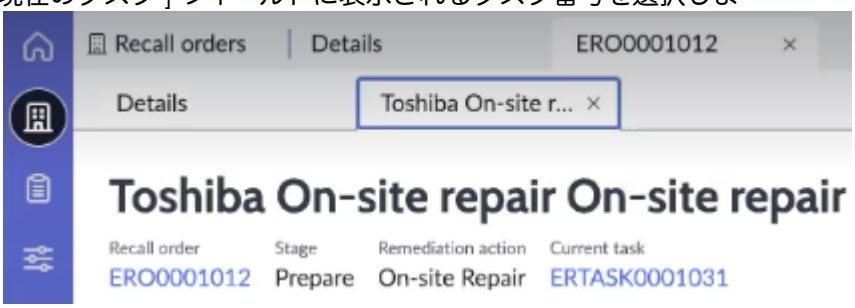
オフサイト修理タスクが自動的に再ロードされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

d. オフサイト修理タスクをクローズして、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消されたエンタープライズ資産の受領タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから修復されたエンタープライズ資産を受領する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 受領 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[受領] タスクが開きます。

b. 受領タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	修復されたエンタープライズ資産を受け取る予定の日時。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	Description (説明)
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [Receive (受領)] タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産の受領タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の受領タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの受領タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数のエンタープライズ資産の受領タスクを一括更新して閉じる場合は、 資産をさらに含めるを選択します。[一括更新の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、受領タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[Receive task] に戻ります。

重要: 受領タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、アサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産についてのみです。

受領タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移動します。さらに、ステータスフィールドとサブステートフィールドは、対応する資産レコードで [在庫あり] および [利用可能] に変わります。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変更されます。

資産交換によるエンタープライズ資産の取り消しプロセスの完了

資産ベンダーと協力して資産交換に必要なすべてのタスクを実行し、ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるようにします。

始める前に
取り消されたエンタープライズ資産の交換に進む前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

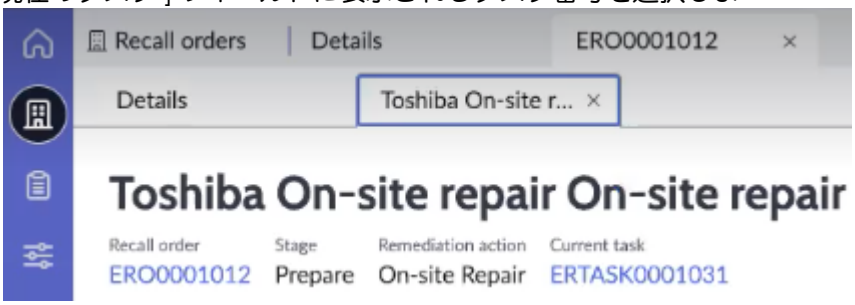
自動翻訳

4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、置き換えるエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の [新規受領] タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーから新しいエンタープライズ資産を受領する必要があります。さらに、新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成する必要があります。詳細な手順については、「エンタープライズ資産を作成」を参照してください。

   注: 新しいエンタープライズ資産の資産レコードを作成するときは、[状態] フィールドを [在庫あり] に設定する必要があります。また、取得方法 フィールドが リコール交換 に設定されていることも確認する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[新規受領] タスクのタスク番号を選択します。

   または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [新規受信] タスクが開きます。

   b. [新規受信] タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

   [詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	新しいエンタープライズ資産を受け取る予定の日時。
交換用資産	
交換用資産	取り消されたエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

   c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

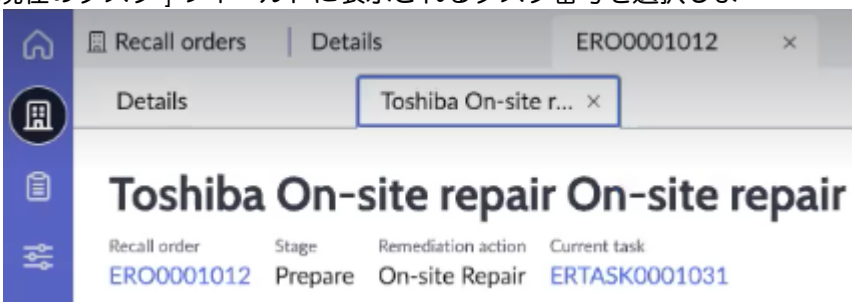
[Receive New (新規受領)] タスクが自動的に再ロードされ、更新されたステータスが [Closed Complete (完了してクローズ)] になります。

d. [Receive New (新規受領)] タスクをクローズして、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

6. 取り消されたエンタープライズ資産の置換タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換える必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 交換 タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[置換] タスクが開きます。

b. 置換タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を新しい資産に置き換える予定の日時。
交換用資産	
交換用資産	取り消されたエンタープライズ資産を置き換えた新しい資産。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [置換] タスクを閉じます。

指定したエンタープライズ資産の置換タスクのみをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の置換タスクを一括更新してクローズすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

指定したエンタープライズ資産のみの置換タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

複数のエンタープライズ資産の置換タスクを一括更新して閉じる場合は、 資産をさらに含めるを選択します。[一括更新の資産を選択] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、[置換] タスクを閉じます。[タスクのクローズ] を選択してダイアログ ボックスを閉じ、[置換] タスクに戻ります。

重要: 置換タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

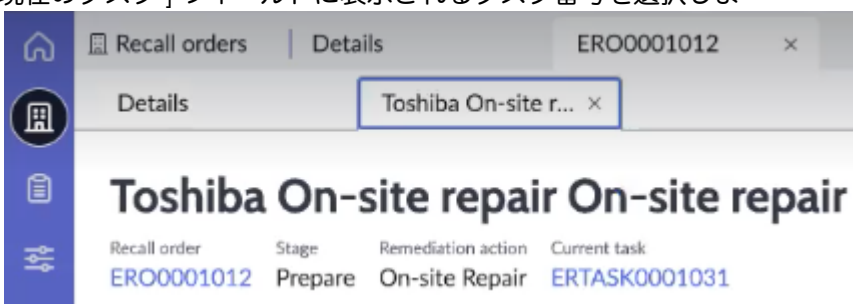
置換タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的に再ロードされます。

d. [Replace (置換)] タスクを閉じて、エンタープライズ取り消し済み資産レコードに戻ります。

7. 取り消されたエンタープライズ資産の [以前の出荷] タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、[古い出荷] タスクのタスク番号を選択します。

または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[Ship Old (旧出荷)] タスクが開きます。

b. [Ship Old (旧出荷)] タスクの [**Details** (詳細)] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	取り消されたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する予定の日時。
出荷	
配送業者	取り消されたエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	取り消されたエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [Ship Old (旧出荷)] タスクを閉じます。

指定されたエンタープライズ資産のみの「旧出荷」タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の「旧出荷」タスクを一括更新してクローズすることができます。

指定したエンタープライズ資産のみの [以前の出荷] タスクをクローズする場合は、[タスクのクローズ] を選択します。

複数のエンタープライズ資産の [以前の出荷] タスクを一括更新してクローズする場合は、 [資産をさらに含める] を選択します。[一括更新の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、[古い出荷] タスクをクローズします。[タスクのクローズ]を選択してダイアログ・ボックスを閉じ、[Ship Old]タスクに戻ります。

> **重要:** [旧出荷] タスクは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、および担当者ユーザーが同じであるエンタープライズ資産に対してのみ一括更新できます。

[Ship Old (旧出荷)] タスクは、[完了してクローズ] の更新ステータスで自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移動します。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、取り消されたエンタープライズ資産を自動的に廃止し、対応する資産レコードの [State (状態)] フィールドと [Substate (サブステート)] フィールドが [Retired (廃止)] フィールドと [Vendor credit (ベンダークレジット)] に変更されることをトリガーします。

次のタスク
取り消しオーダーに含まれている残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了します。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変更されます。

資産の廃止によるエンタープライズ資産の取り消しプロセスの完了

資産ベンダーによって取り消されたエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できるように、資産の廃止に必要なすべてのタスクを実行します。

始める前に
取り消されたエンタープライズ資産の廃止に進む前に、その資産の準備タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「取り消されたエンタープライズ資産の準備タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または enterprise_asset_technician

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Inventory (インベントリ)] ビューを開きます。
2. 取り消しオーダー タブを選択します。
3. 利用可能な取り消しオーダーのリストから、完了する取り消し注文を選択します。
   取り消しオーダーレコードが開きます。

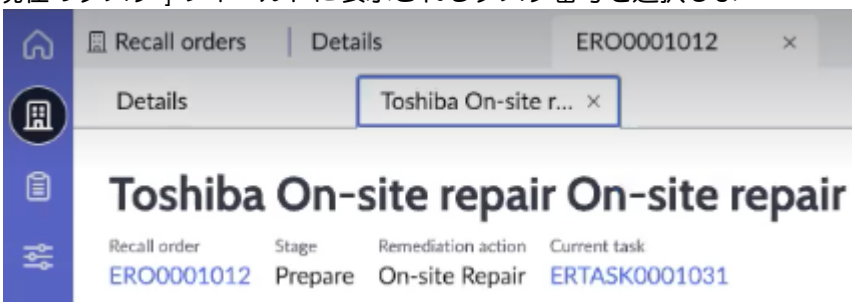
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. 取り消しオーダーレコードの [エンタープライズ取り消し済み資産] タブで、廃止するエンタープライズ資産を選択します。
   エンタープライズ取り消し済み資産レコードが開きます。
5. 取り消されたエンタープライズ資産の廃止タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リコールされたエンタープライズ資産を廃止し、利用可能なストックルームに移動する必要があります。

   a. エンタープライズ取り消し済み資産レコードの [エンタープライズ取り消しタスク] タブで、 廃止 タスクのタスク番号を選択します。

      または、エンタープライズ取り消し済み資産レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

      [廃止] タスクが開きます。

   b. 廃止タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

      [詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
リコールタスクの詳細	
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
予定日	エンタープライズ資産の廃止予定日時。
メモ	
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

   c. [Retire] タスクを閉じます。

      指定したエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズするか、複数のエンタープライズ資産の廃止タスクを一括更新してクローズすることができます。

      指定したエンタープライズ資産のみの廃止タスクをクローズする場合は、 タスクのクローズ を選択します。

      複数のエンタープライズ資産の廃止タスクを一括更新して閉じる場合は、資産 をさらに含めるを選択します。[一括更新の資産を選択 (Select assets for bulk update)] ダイアログボックスが開いたら、一括更新する各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにして、[廃止] タスクを閉じます。[**Close Task**] を選択してダイアログボックスを閉じ、[Retire] タスクに戻ります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要: 廃止タスクを一括更新できるのは、タスク名、ステータス、アサイン先グループ、およびアサイン先ユーザーが同じであるエンタープライズ資産についてのみです。

[Retire (廃止)] タスクは、[Closed Complete (完了してクローズ)] の更新ステータスで自動的に再ロードされます。

タスクの結果
エンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに移動します。さらに、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] および [廃棄待ち] に変わります。

次のタスク
廃棄注文を使用してリコールされたエンタープライズ資産を廃棄することで、資産の廃止を完了します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースで廃棄注文を作成する」を参照してください。

取り消しされたエンタープライズ資産を正常に廃棄した後、取り消しオーダーに含まれる残りのすべてのエンタープライズ資産の取り消しプロセスを完了できます。対応するすべてのエンタープライズ取り消し済み資産レコードが [完了] ステージに達すると、取り消しオーダーのステータスが [完了] に変更されます。

エンタープライズ資産再利用要求のクローズ

資産再利用要求をクローズして、従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりした場合に、エンタープライズ資産を効率的に再利用します。

始める前に
再利用資産ごとに、エンタープライズ資産再利用ラインが作成されます。エンタープライズ資産再利用ラインをクローズするには、エンタープライズ資産再利用ラインのすべてのタスクをクローズする必要があります。すべてのエンタープライズ資産再利用ラインがクローズされると、資産再利用要求がクローズされます。

必要なロール:sn_eam.enterptrise_asset_manager または sn_eam.enterptrise_asset_technician

手順
1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ) > 再利用要求.
2. [資産再利用要求] ページで、実行する要求を開き、[エンタープライズ資産再利用ライン] 関連リストを選択します。

   資産再利用要求の送信時にユーザーが選択した再利用方法に基づいて、エンタープライズ資産再利用ラインに [**Schedule drop off** (返品のスケジュール)]、[**Schedule pickup** (集荷のスケジュール)]、または [Schedule shipment] (出荷のスケジュール) タスクが作成されます。
3. エンタープライズ資産再利用ラインに存在する [納品のスケジュール]、[集荷のスケジュール]、または [出荷のスケジュール] タスクを開きます。
4. フォームのフィールドに入力します。

フィールド名	説明
番号	タスクにアサインされた番号。
タスク名 (Task Name)	タスクの名前。
資産	資産の資産番号と簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド名	説明
返品倉庫	再利用資産が保存される場所。
アサイン先グループ	出荷スケジュールタスクがアサインされているグループ。
アサイン先	出荷スケジュールタスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
受領済み数量	受領した消耗品の数。
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
配送業者	資産をストックルームに出荷する運送業者ベンダーの名前。このフィールドは必須です。
トラッキング番号	配送業者ベンダーから提供された出荷参照番号。このフィールドは必須です。
出荷日	資産が出荷される日付。このフィールドは必須です。
作業メモ	メンションする追加情報。

5. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
   エンタープライズ資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドが [準備完了] から [受領待ち] に変わります。
   エンタープライズ資産再利用ラインに資産の受領タスクが作成されます。
6. [資産の受領] タスクを開きます。
7. [資産の受領タスク] フォームのフィールドに入力します。

資産受領タスクフォーム

フィールド名	説明
番号	タスクにアサインされた番号。
タスク名	タスクの名前。
資産	資産の資産番号と簡単な説明。
ステータス	タスクの現在のステータス。
返品倉庫	
アサイン先グループ	資産の受領タスクがアサインされているグループ。
受領済み数量	受領した消耗品の数。このフィールドは、消耗品に対してハードウェア資産再利用ラインが作成された場合にのみ表示され、必須フィールドです。
アサイン先	資産の受領タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
簡単な説明	タスクの簡単な説明
説明	タスクの詳細な説明。
作業メモ	メンションする追加情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

   エンタープライズ資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドが [受領待ち] から [評価処理待ち] に変わります。

   資産を受領した後、資産フォームで次の変更が行われます。

   - 資産レコードの **[Assigned to**] フィールドが空になります。
   - 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。

9. [資産を評価] タスクを開きます。
10. 資産評価タスクフォームのフィールドに入力します。

    資産タスクフォームを評価

フィールド名	説明
アサイン先グループ	資産評価タスクがアサインされているグループ。
アサイン先	資産評価タスクがアサインされているアサイン先グループのユーザー。
評価ステータス	再利用資産のステータス。これは必須のドロップダウンリストで、値は次のとおりです。 ◦ 再展開可能 ◦ 修理が必要 ◦ 廃棄対象
作業メモ	メンションする追加情報。

11. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
    [評価ステータス] ドロップダウンリストから選択した内容に基づいて、資産の [ステータス] と [サブステート] が次のように変化します。

評価ステータス値	資産ステータス	資産サブステート
再展開可能	在庫あり	利用可能
修理が必要	在庫あり	修理待ち
廃棄対象	在庫あり	廃棄待ち

    エンタープライズ資産再利用ラインフォームの [ステージ] フィールドが [評価処理待ち] から [完了] に変わります。

    注: すべてのエンタープライズ資産再利用ラインのステージが [完了してクローズ] に変更されると、資産再利用要求のステータスも [完了] に変更されます。

のストックルームにある欠陥資産の修理の管理 エンタープライズ資産ワークスペース

修理フローを使用して欠陥のあるエンタープライズ資産を修理することで、インベントリを最適化します。

修理フローでは、資産マネージャーがストックルーム内の欠陥資産の修理を要求します。資産技術者は、資産のトラブルシューティング、修理、評価を行います。評価された資産は、使用または廃棄されます。修理フローのステージの詳細については、「 倉庫内の欠陥のあるエンタープライズ資産を修理するための修理フロー」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求

エンタープライズ資産マネージャーは、修理注文を作成することで、欠陥のあるエンタープライズ資産を修理できます。

欠陥のあるハードウェア資産の修理は、次のいずれかの方法で要求できます。

- を使用したエンタープライズ資産の修理の要求 サービスカタログ
- インベントリビューでエンタープライズ資産の修理注文を作成する
- [修理] オプションを使用したエンタープライズ資産の修理の要求

注:

修理注文を作成するときは、次の点を考慮してください。

- 次の資産の修理を要求することはできません。
  - 消耗品
  - 他のワークフローの一部である資産
- 子資産の修理を要求できるのは、その親資産を修理注文に追加した場合のみです。ただし、パレット内の資産は修理できます。

を使用したエンタープライズ資産の修理の要求 サービスカタログ

ストックルームで欠陥がある、または修理待ちのエンタープライズ資産を修理するための サービスカタログ 要求を送信します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

このタスクについて
1 つのカタログ要求を使用して、ストックルーム内の複数の欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求できます。

手順

1. 移動先 すべて > サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル > 資産修復.
2. フォームのフィールドに入力します。

資産の倉庫修復を要求

Field (フィールド)	Description (説明)
期日	欠陥資産を修理する日付。
倉庫	修理対象の資産がある倉庫。

3. 修理する資産を選択します。
   a. [Edit Asset(s) (資産の編集)] アイコン ([icon (資産の編集)] アイコン) を選択します。
   b. リストから資産を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求に 1 つ以上の資産を追加できます。

c. ロックアイコン (🔓) を選択します。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 修理要求が正常に送信されました。
- 修復オーダーは ドラフト ステージで作成されます。
- 修復オーダーの各資産は、 トラブルシューティング ステージにある修復オーダーラインに関連付けられています。

インベントリビューでエンタープライズ資産の修理注文を作成する

欠陥がある、または修理待ちのエンタープライズ資産の修理を要求するには、 エンタープライズ資産ワークスペースのインベントリビューで修理注文を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

このタスクについて

インベントリビューから修理注文を作成する場合は、修理する資産の修復注文ラインを明示的に作成する必要があります。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修理注文を作成します。

a. [新規] を選択します。

b. フォームのフィールドに入力します。

注: 次のフィールドはオプションです。

- アサイン先グループ
- アサイン先
- 期日
- 作業メモ

新しい修理注文フォームを作成

Field (フィールド)	**Description** (説明)
倉庫	修理対象の資産がある倉庫。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	修復オーダーをアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	修理注文に対して主に責任を負うアサイン先グループの担当者。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
期日	欠陥のあるエンタープライズ資産を修理する必要がある日付。
作業メモ	修理オーダーに関するメモ。

c. [保存] を選択します。

- [ドラフト] ステージの修復オーダーが作成されます。
- [修理注文ライン] タブは、修理注文の [詳細] タブの横に表示されます。

4. 修復注文ラインを修復注文に追加します。

a. [修理注文明細行] タブを選択します。

b. **[Add** (追加)] を選択します。

c. **[** 資産の追加] ダイアログボックスで、資産を選択し、[追加] を選択します。

> 注: パレット資産の子資産を修理オーダーに追加できます。修復オーダーに追加した資産は、パレットから自動的に削除されます。

追加した資産ごとに、 トラブルシューティング ステージの修復注文明細行が作成されます。

5. [保存] を選択します。

[修理] オプションを使用したエンタープライズ資産の修理の要求

資産フォームから直接、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産の修理を要求します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または sn_eam.enterprise_asset_technician。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > 資産一覧.
2. [すべての資産] タブを選択します。
3. ステータスが [在庫あり] で、サブステートが [欠陥品] または [修理待ち] である資産を選択します。
4. 資産フォームで [その他のオプション] アイコン (•••) を選択します。
5. [修理]を選択します。

タスクの結果

トラブルシューティングステージの修復注文ラインを含む修復注文が作成されます。

での修理注文の履行 エンタープライズ資産ワークスペース

修理注文ラインに関連付けられているオープンな修理資産タスクをすべて完了して、修理注文を履行します。

修理注文には、その修理注文で修理する資産の数に応じて、1 つ以上の修復注文ラインを含めることができます。修理注文は、すべての修理注文ラインが完了したときにのみ履行されます。

技術者は、修理注文を履行するために、各修理注文ラインに関連付けられた次のタスクを完了する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

1. 資産のトラブルシューティング
2. 資産の修復
3. 資産を評価

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、自分に割り当てられた資産修理タスクを処理することもできます。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の修理タスクの管理」を参照してください。

倉庫の未処理の修理オーダーの表示 エンタープライズ資産ワークスペース

倉庫の未処理の修理注文を表示して、処理が必要な修理注文ラインと修理タスクの詳細を取得します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician および sn_eamenterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
   [オープンな倉庫タスク] セクションの [オープンな修理オーダー] カードには、オープンな修理オーダーの数が表示されます。
4. [オープンな修理注文] カードを選択します。

タスクの結果

倉庫のオープンな修理オーダのリストが表示されます。

で修理が要求された資産のトラブルシューティング エンタープライズ資産ワークスペース

トラブルシューティングタスクを完了して、欠陥のある資産の問題を評価します。観察に基づいて、資産を修理または再展開できるか、または廃棄する必要があるかを確認できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [トラブルシューティング] ステージで [オープン] ステータスの修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの 資産のトラブルシューティング タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、トラブルシューティングタスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。
   タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
   作業時間のエントリは、資産のトラブルシューティングタスクの [作業時間] タブに作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

10. [詳細] タブを選択します。
11. [トラブルシューティング結果] フィールドでトラブルシューティング結果を選択します。
    - 資産が修理可能な場合は、[修理可能] を選択します。
    - 資産が修復不可能な場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- トラブルシューティング結果を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- トラブルシューティングの結果を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- トラブルシューティング結果を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理注文ラインのステージが [修理] に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [修理待ち] に変わります。
  3. 資産修復タスクが作成されます。

次のタスク

の資産修復タスクの完了 エンタープライズ資産ワークスペース.

の資産修復タスクの完了 エンタープライズ資産ワークスペース

資産の修復を完了し、資産が修復済みであるか、修復不可能であるか、再展開可能かを確認します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産の修理タスクを完了する修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 修理ステージにある修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の修復] タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、資産の修復タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
作業時間のエントリは、資産の修理タスクの [作業時間] タブに作成されます。

10. [詳細] タブを選択します。
11. [修理結果] フィールドで修理結果を選択します。
    - 資産が修理されている場合は、[修理済み] を選択します。
    - 資産を修復できなかった場合は、[修復不能] を選択します。
    - 資産を再展開できる場合は、[再展開可能] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [修復結果] を [修復不能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [修復結果] を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。
- [修理結果] を [修理可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修理注文ラインのステージが [評価] に変更されます。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [評価待ち] に変わります。
  3. 資産評価タスクが作成されます。

次のタスク

で修復された資産を評価する エンタープライズ資産ワークスペース.

で修復された資産を評価する エンタープライズ資産ワークスペース

修復された資産を評価し、資産が再展開可能かどうか、または廃棄する必要があるかどうかを確認します。修理フローは、修復された資産が評価された後、完了します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 修復された資産を評価する修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. [評価] ステージと [オープン] ステータスの修復注文明細行を選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. [オープン] ステータスの [資産の評価] タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、[資産の評価] タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. オプション: タスクの作業時間を記録します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タイマーを使用することも、手動で時間を記録することもできます。詳細については、「での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
作業時間のエントリは、資産評価タスクの [作業時間] タブに作成されます。

10. [詳細] タブを選択します。
11. [評価結果] フィールドで評価結果を選択します。
    - 資産が修復され、再展開可能な場合は、[再展開可能] を選択します。
    - 資産が使用できず、廃棄する必要がある場合は、[廃棄 対象] を選択します。
12. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
13. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果

- [評価結果] を [廃棄予定] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [廃棄待ち] に変わります。
- [評価結果] を [再展開可能] に設定した場合、タスクのクローズ時に次の変更が行われます。
  1. 修復オーダーと修復オーダーラインは [完了] ステージにあります。
  2. 資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [利用可能] に変わります。

での資産修復タスクの一括クローズ エンタープライズ資産ワークスペース

複数の修復タスクを一度に完了してクローズし、複数の修復注文ラインを含む修復注文を処理します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

[オープン] ステータスの類似の資産修復タスクのみを一括クローズできます。ただし、タスク結果が同じではない類似の修理タスクを一括クローズすることはできません。たとえば、1 つのタスクに修理可能な資産があり、もう 1 つのタスクに修復不可能な資産がある場合、2 つの資産のトラブルシューティングタスクを一括でクローズすることはできません。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 資産修復タスクを完了する複数のオープンな修復注文ラインがある修復注文を選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 完了する修復注文ラインを選択します。
6. クローズする修復タスクを選択します。
7. [詳細] フォームで、タスクの結果を選択します。
   - 資産のトラブルシューティングタスクを完了している場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
     - 修理可能
     - 修復不能
     - 再展開可能

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 資産の修理タスクを完了する場合は、[修理結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 修復済み
  - 修復不能
  - 再展開可能
- 資産の評価タスクを完了する場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
  - 再展開可能
  - 廃棄対象

8. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
9. [保存] を選択します。
10. [一括クローズ] を選択します。
    類似の修理タスクを含む [資産を選択] ダイアログボックスが表示されます。
11. クローズするタスクを選択し、[タスクのクローズ] を選択します。

タスクの結果

選択したすべての修復タスクが、同じタスク結果と作業メモでクローズされます。

での修復注文のキャンセル エンタープライズ資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文をキャンセルします。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。
4. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変わり、ステータスが [未完了でクローズ] に変わります。
- 完了しなかった修復注文ラインのステージとステータスが [キャンセル] および [未完了でクローズ] に変更されます。

で修復注文ラインをキャンセルする エンタープライズ資産ワークスペース

履行する必要がなくなった修理注文ラインをキャンセルします。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset

手順

1. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. [ドラフト] または [処理中] ステージの修復注文を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. キャンセルする修復注文ラインを選択します。
   [完了] ステージにない修理注文ラインはキャンセルできます。
6. [キャンセル] を選択します。

タスクの結果

- 修復注文ラインのステージが [キャンセル] に変更され、ステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- オープンだった関連する資産修復タスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。
- 修復オーダーのステージが [キャンセル] に変更されるのは、[トラブルシューティング]、[修理]、[評価]、または [完了] ステージにある他の修復注文ラインがない場合のみです。

での資産修復タスクの作業時間の記録 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースで資産のトラブルシューティング、資産の修理、資産の評価の各タスクの作業時間を管理および記録します。資産修復タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

で修理タスクの作業時間を自動的に記録する エンタープライズ資産ワークスペース

タスクを完了するまで休憩を取らずに修理タスクを完了するまでにかかった時間を記録します。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset_technician

このタスクについて

[オープン] ステータスの資産のトラブルシューティング、資産の修理、および資産の評価タスクの作業時間を記録できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 作業時間を記録する資産修理タスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. **[Start Timer**] を選択します。
10. タスクの作業が完了したら、[詳細] フォームでタスクの結果を選択します。
    - 資産のトラブルシューティングタスクを完了している場合は、[トラブルシューティング結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。
      - 修理可能
      - 修復不能
      - 再展開可能
    - 資産の修理タスクを完了した場合は、[修理結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 修理済み
- 修復不能
- 再展開可能

◦ 資産の評価タスクを完了した場合は、[評価結果] フィールドで次のいずれかの結果を選択します。

- 再展開可能
- 廃棄対象

11. [作業メモ] フィールドにタスクに関連するメモを入力します。
12. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
タスク完了時に実際に作業した時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、資産修理タスクの [作業時間] タブに作成されます。

での修理タスクの作業時間の手動記録 エンタープライズ資産ワークスペース

エンタープライズ資産ワークスペースで手動で修理タスクに取り組んだ時間のエントリを作成します。

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

手順
1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 時間を手動で記録するタスクを選択します。
8. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
   [作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。
9. [**Record Time** (時間を記録)] を選択します。
10. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。
    a. タスクで作業した期間を [日]、[時間]、および [分] フィールドに入力します。
    b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
11. [保存] を選択します。

タスクの結果
作業時間フォームが保存され、タイムカードが資産修理タスクの [作業時間] タブに追加されます。

での修理タスクの一時停止 エンタープライズ資産ワークスペース

作業を続行していない場合は、 エンタープライズ資産ワークスペース の修理タスクの休憩を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
[対応中] ステータスの資産修復タスクを一時停止することができます。タスクを一時停止するオプションは、資産修理タスクに対して次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
2. [タイマーの開始]を選択して、時間の記録を開始します。

必要なロール:asset_technician

始める前に
必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > ハードウェア資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [修理注文] タブを選択します。
3. 作業中の修復オーダーを選択します。
4. [修理注文明細行] タブを選択します。
5. 作業中の修復注文ラインを選択します。
6. [資産タスクの修復] タブを選択します。
7. 一時停止するタスクを選択します。
8. [作業の一時停止] を選択します。
   [作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります。
9. アクティビティで再度作業する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。[作業時間] タブに作業時間のエントリが作成されます。

エンタープライズ資産管理ワークフローのためにストックルーム内のエンタープライズ資産の集荷を管理する

ストックルームに対して資産集荷タスクを明示的に有効にし、資産の場所の詳細を提供して、ストックルーム内での資産の集荷を容易にします。

でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルームの資産集荷タスクを有効にして、タスクが標準エンタープライズ資産要求、エンタープライズ資産リフレッシュ要求、および調達ワークフローに自動的に追加されるようにします。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 利用可能なストックルームのリストから、資産集荷タスクを有効化するストックルームを選択します。
4. [ストックルームの詳細] フォームで、[集荷タスクが必要] チェックボックスをオンにします。
5. [保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

でストックルームに通路とスペースを追加する エンタープライズ資産ワークスペース

ストックルーム内の通路とスペースの詳細を追加して、そのストックルーム内の資産の詳細な場所の詳細を提供します。通路とスペースの詳細により、ストックルーム内の資産を検索して集荷できます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

スペースはストックルームの通路に関連付けられています。ストックルームに通路を最低 1 つ追加した後にのみ、スペースを追加できます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
4. [通路とスペース] タブを選択します。
   そのストックルームの既存の通路とスペースのリストが表示されます。
5. 選択したストックルームに通路を追加します。

   a. [通路を追加] を選択します。

      [通路を追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドに、通路の一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。たとえば、 `aisle_0001` などです。

   c. オプション: 通路を追加するには、[追加] アイコン ([+]) を選択し、通路の一意の識別子を [通路] フィールドに入力します。

   d. **[OK]** を選択します。

   通路が [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
6. ストックルームの通路にスペースを追加します。

   a. [スペースを追加] を選択します。
      [スペースを追加] ダイアログボックスが表示されます。

   b. [通路] フィールドで、スペースを追加する通路を選択します。

   c. [スペース] フィールドに、スペースの一意の識別子を入力します。

      このフィールドには任意の文字列値を入力できます。たとえば、 `space_0001` などです。

   d. オプション: スペースを追加するには、[追加] アイコン ([+]) を選択し、[スペース] フィールドにスペースの一意の識別子を入力します。

   e. **[OK]** を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- スペースが [通路とスペース] タブのリストに追加されます。
- スペースの表示名は、[通路] フィールドと [スペース] フィールドに基づいて自動的に設定されます。たとえば、通路がaisle_001でスペースがspace_001のスペースの表示名は **aisle_001 - space_001** です。

倉庫のオープンなエンタープライズ資産集荷タスクを表示する

ストックルームのオープン資産集荷タスクを表示して、アクションが必要なタスクの詳細を取得します。

始める前に
必要なロール：inventory_user

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Inventory** (インベントリ).
2. [すべてのストックルーム] タブを選択します。
3. 倉庫を選択します。
   [オープンストックルームタスク] セクションの [オープン集荷タスク] カードには、オープンな集荷タスクの数が表示されます。
4. [オープンな集荷タスク **(Open pick tasks)**] カードを選択します。

タスクの結果
ストックルームのオープンな資産集荷タスクのリストが表示されます。

次のタスク
モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされたすべてのエンタープライズ資産集荷タスクを管理します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。

エンタープライズ資産の契約の作成と管理

エンタープライズ資産の契約を作成し、期限切れが近づいている契約や既に期限切れの契約に対してアクションを実行して管理します。

契約作成の概要

リース、保険、保守、保証、購入契約、機密保持、契約条件、サービス、発注書、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約など、エンタープライズ資産のさまざまなタイプの契約を作成できます。

契約は、2 人以上の当事者間の相互の義務を定義する法的拘束力のある契約です。これらの義務には、契約の開始日と終了日、契約条件、更新情報、金銭的条件、対象ユーザーまたは資産が含まれます。

エンタープライズ資産の保険、保守、保証、購入契約、機密保持、契約条件、およびサービス契約を作成する方法の詳細については、「 契約を作成する」を参照してください。 リースされたエンタープライズ資産の契約を作成する方法の詳細については、「 リースされたエンタープライズ資産の契約を作成」を参照してください。

契約管理の概要

有効期限が近づいている、またはすでに有効期限が切れている特定のエンタープライズ資産契約に対してアクションを実行できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

メンテナンスまたは保証契約の有効期限が近づいている場合、またはすでに期限が切れている場合は、契約更新ワークフローを使用して契約を更新できます。期限切れ間近の保守および保証契約の更新の詳細については、「契約更改ワークフロー」を参照してください。

リース契約の有効期限が近づいている場合、またはすでに期限が切れている場合は、以下を選択できます。

- 関連するエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し
- 関連するエンタープライズ資産を買い取り、資産インベントリに恒久的に追加できるようにします。
- または契約を延長します。

期限切れ間近のリース契約の管理の詳細については、「リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約の管理」を参照してください。

リースされたエンタープライズ資産の契約を作成

エンタープライズ資産のリースの詳細を定義する契約を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

次の手順では、リースされたエンタープライズ資産の契約のみを作成する方法について説明します。他のタイプの契約の作成方法については、「契約管理」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース契約 タブで、新規 を選択します。
3. [新規契約を作成] フォームの各フィールドに入力します。
   各フィールドの詳細な説明については、「の契約フィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
4. [保存] を選択します。
   リース契約の新しい契約レコードが作成されます。
5. リース契約の契約条件を作成します。
   リース契約の契約条件を作成する前に、契約条件レコードを作成して契約に追加する必要があります。契約条件レコードの作成方法の詳細については、「契約条件レコードを作成する」を参照してください。契約条件レコードを契約に追加する方法の詳細については、「契約に契約条件を追加する」を参照してください。

   a. リース契約レコードヘッダーで、[その他のアクション] アイコン ([•••]) を選択します。

   b. プロンプトが表示されたら、[契約条件の作成] を選択します。
   リース契約の契約条件が作成され、リース契約レコードの [契約履歴] タブに追加されます。[契約履歴] タブで、[契約開始] フィールドで日付を選択すると、リース契約の完全な契約条件を表示できます。
6. リース契約の対象となるすべてのエンタープライズ資産を追加します。

   注: マルチコンポーネントモデルからマルチコンポーネント資産を作成した場合、親資産のみをリース契約に追加できます。関連する子資産をリース契約に追加することはできません。マルチコンポーネントアセットの詳細については、 のマルチコンポーネントモデルと資産 エンタープライズ資産管理 を参照してください。

   a. リース契約レコードの 対象資産 タブで、 追加 を選択します。
   [資産を追加] ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

b. ダイアログボックスで、リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のチェックボックスをオンにします。

注: ダイアログボックスには、別のアクティブなリース契約によってまだカバーされていないエンタープライズ資産のみが表示されます。

c. **[Add** (追加)] を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、[対象資産] タブが自動的に再ロードされ、追加したすべてのエンタープライズ資産のリストが表示されます。

7. リース契約の対象となる各エンタープライズ資産のコストを追跡するための経費ラインを作成します。

a. リース契約レコードの 経費ライン タブで、 新規 を選択します。

b. [経費ラインの新規作成] フォームで、フィールドに入力します。

各フィールドの詳細な説明については、「 の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理 」を参照してください。

c. [保存] を選択します。
選択したエンタープライズ資産の新しい経費ラインレコードが作成されます。

d. 経費ラインレコードを閉じて、リース契約レコードの [経費ライン] タブに戻ります。

e. 作成する経費ラインごとに手順 a から d を繰り返します。

8. リース契約に関連付ける子契約を作成します。

a. リース契約レコードの 子契約 タブで、 新規 を選択します。

b. [新規契約を作成] フォームの [契約モデル] フィールドで、作成する契約のタイプを検索して選択します。

c. リース契約の設定に使用したのと同じ手順に従って、子契約を設定します (ステップ 3 ～ 7)。

d. [レビューのため送信] を選択します。
レビュー通知が、子契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーに送信されます。子契約を確認した後、ユーザーはそれを承認または却下することができます。

e. 作成するすべての子契約について、手順 a ～ d を繰り返します。

9. [レビューのため送信] を選択します。
リース契約レコードの [承認者] フィールドで指定したユーザーにレビュー通知が送信されます。リース契約を確認した後、ユーザーはそれを承認または拒否できます。

リースされたエンタープライズ資産の期限切れ間近の契約の管理

[契約とリースの管理] ビューを使用して、契約の終了が近づいているリースエンタープライズ資産を追跡し、アクションを実行できます。リースされたエンタープライズ資産を返却するか、リースされたエンタープライズ資産を買い取るか、リース契約を延長するかを選択できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リース管理フロー

特定のエンタープライズ資産のリース契約の有効期限が近づくと、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは契約が間もなく期限切れになることを通知する通知を自動的に送信します。この有効期限通知のタイミング、コンテンツ、および受信者をカスタマイズするには、次の場所に移動します。 システム通知 > メール > 通知 をクリックし、利用可能なメール通知のリストから [契約のしきい値に違反しました] を選択します。

いずれかのリース契約の有効期限通知を受信したら、その契約のリース終了プロセスを開始できます。

注: リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが [サブステート] が [期限切れ] になっていないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。[期限切れ]のサブステートは、その契約のリース終了プロセスが既に開始されていることを示します。

リース終了プロセスが開始されると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定するために完了する必要がある計画タスクを自動的に生成します。以下を選択できます

- エンタープライズ資産を資産ベンダーに返却し
- エンタープライズ資産を買い取り、資産インベントリに恒久的に追加できるようにします。
- またはリース契約を延長します。

選択したアクションに基づいて、後続のすべてのタスクを実行してリース終了プロセスを完了し、リース契約を期限切れ間近のサブステートから移動する必要があります。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスの開始

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスを開始して、関連するエンタープライズ資産を返却したり、関連するエンタープライズ資産を買い取ったり、リース契約を延長したりできるようにします。

始める前に

重要: リース終了プロセスは、90 日以内に期限切れになるが [サブステート] が [期限切れ] になっていないアクティブなリース契約に対してのみ開始できます。[期限切れ]のサブステートは、その契約のリース終了プロセスが既に開始されていることを示します。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース契約 タブで、契約を返却、買収、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコード ヘッダーで、 リース終了プロセスの開始 を選択します。
4. 契約のリース終了プロセスを開始することを確認するメッセージが表示されたら、[**OK]** を選択します。

タスクの結果

指定されたリース契約のリース終了プロセスが開始されます。エンタープライズ資産管理アプリケーションは、リース契約の計画タスクを自動的に生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産またはリース契約自体に対して実行するアクションを指定できるようにします。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する

期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了して、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長のいずれかを続行できるようにします。

始める前に
期限切れ間近のリース契約の計画タスクを生成するには、その契約のリース終了プロセスを開始する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約のリース終了プロセスの開始」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

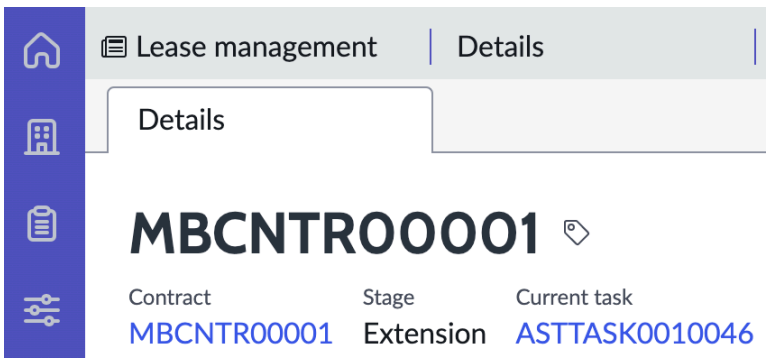
手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リースエンド資産 タブで、契約を返却、買収、または延長するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。

   注: 計画段階にあるリース契約を選択する必要があります。

   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 計画 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   計画タスクが開きます。
4. 計画タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	計画タスクを識別して追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
リースアクション	関連するエンタープライズ資産に対して実行するアクション。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ 戻る ◦ 拡張 注: このオプションを選択すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによってリース契約延長の発注書と発注明細が自動的に作成されます。 ◦ 買収 注: このオプションを選択すると、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションによってエンタープライズ資産の買収の発注書 (PO) と発注明細が自動的に作成されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

5. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
計画タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

次のタスク
[リースアクション] フィールドで選択したアクションに基づいて、関連するエンタープライズ資産の返却、関連するエンタープライズ資産の買い取り、またはリース契約の延長に必要なすべてのタスクを完了します。

リースされたエンタープライズ資産を返却する

対応するリース契約が期限切れになる前に、リースされたエンタープライズ資産を資産ベンダーに返却します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
リースされたエンタープライズ資産の返却に進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

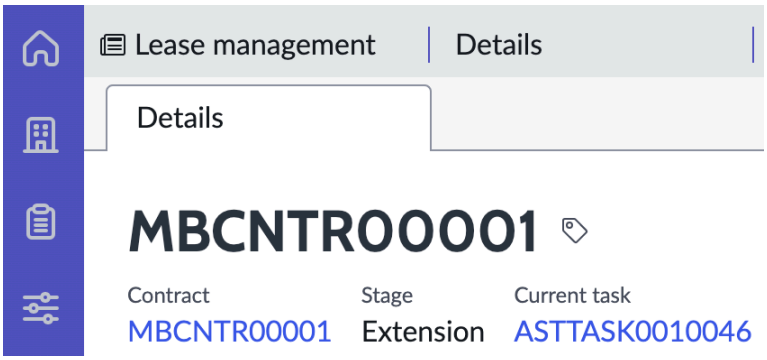
注: sn_eam.enterprise_asset_technician ロールは、集荷、準備、および出荷タスクも実行できます。ただし、このロールは、エンタープライズ資産の概要で利用可能な リース終了タスク のクイックリンクカードを介してのみ、これらのタスクを実行できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース終了資産 タブで、返却するエンタープライズ資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の収集タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、返却するエンタープライズ資産を収集する必要があります。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 回収 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   [収集] タスクが開きます。

   b. 収集タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	収集タスクを識別して追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
資産の収集	
収集された資産	関連するエンタープライズ資産が返却のために収集されたかどうかを示すオプション。 [はい] を選択すると、[ストックルーム] フィールドが [収集された資産] フィールドの横に表示されます。[ストックルーム] フィールドで、関連するエンタープライズ資産の収集元のストックルームを検索して選択します。 [いいえ] を選択すると、[収集された資産] フィールドの横に [アクションの変更] フィールドが表示されます。[アクションの変更] フィールドで、リース アクションを エンタープライズ資産の買収またはリース契約延長 に変更するオプションを選択します。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
収集タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [完了してクローズ] になります。

[収集された資産] フィールドを [はい] に設定すると、関連するエンタープライズ資産の資産レコードの [サブステート] フィールドが [保留中の転送] に変更されます。

[収集された資産] フィールドを [いいえ] に設定した場合は、次のいずれかのオプションに進みます。

- リースアクションをエンタープライズ資産の買収に変更した場合は、 リースされたエンタープライズ資産の買収に進みます。
- リースアクションをリース契約延長に変更した場合は、 エンタープライズ資産のリース契約の延長に進みます。

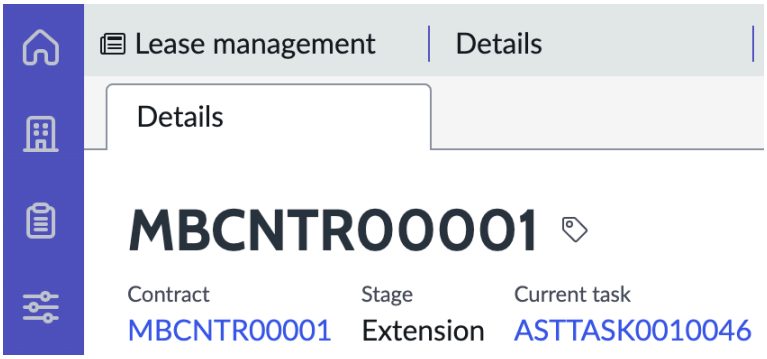
4. リース契約の準備タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を返却する準備をする必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 準備 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



準備タスクが開きます。

b. 準備タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
契約資産タスク	
番号	準備タスクを識別して追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
準備タスクは、更新されたステータス [Closed Complete] で自動的にクローズされます。

5. リース契約の出荷タスクを完了してクローズします。

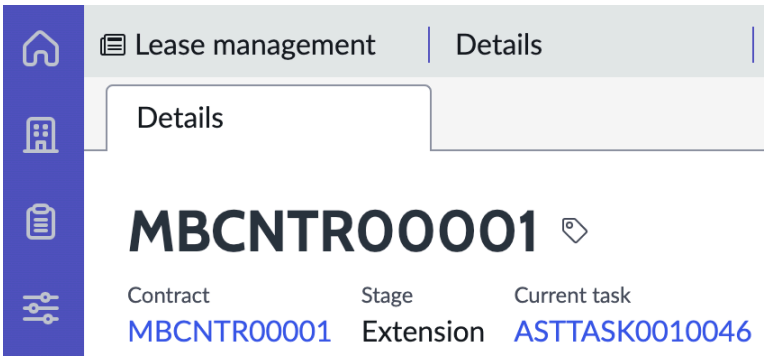
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクを正常に完了してクローズするには、エンタープライズ資産を資産ベンダーに返送する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 出荷 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



出荷タスクが開きます。

b. 出荷タスクの [詳細]タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	出荷タスクの識別と追跡に使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
出荷	
配送業者	関連するエンタープライズ資産の出荷に経由した配送業者。
出荷日	関連するエンタープライズ資産を出荷した日付。
追跡番号	貨物のステータスと場所を追跡できるようにする追跡番号。
メモ	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

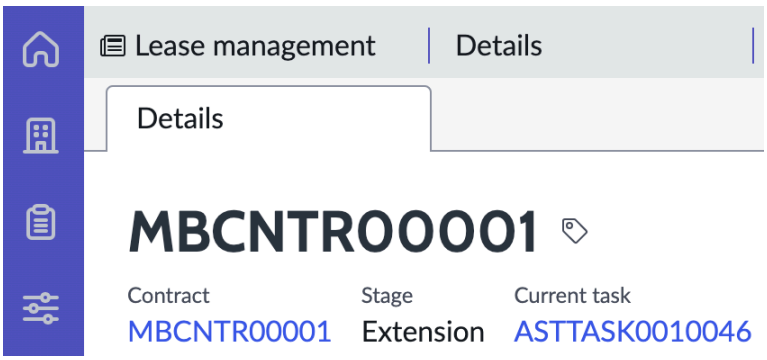
c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
出荷タスクは、更新されたステータス「完了してクローズ」で自動的にクローズされます。

関連するエンタープライズ資産の資産レコードで、[ステータス] フィールドが [輸送中] に変わります。

6. リース契約の返却確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーは、返却されたエンタープライズ資産を受け取ったかどうかを確認する必要があります。資産ベンダーは、返却されたエンタープライズ資産に対して受領している決済支払についても通知する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 返却確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



返却確認タスクが開きます。

b. 返却確認タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	返却確認タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
返信の詳細	
返却確認	関連付けられたエンタープライズ資産が正常に返却されたかどうかを示すオプション。 返却確認タスクを完了するには、このフィールドを はい に設定する必要があります。
決済	返却した Enterprise 資産の決済支払いを受け取るかどうかを示すオプション。 はい を選択すると、決済金額 フィールドが 決済 フィールドの下に表示されます。[決済金額] フィールドに、決済支払から受け取る合計金額を入力します。エンタープライズ資産管理アプリケーションはこの情報を使用して、決済支払いの発注書と発注明細を自動的に作成できます。 注: [決済金額] フィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
返却確認タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

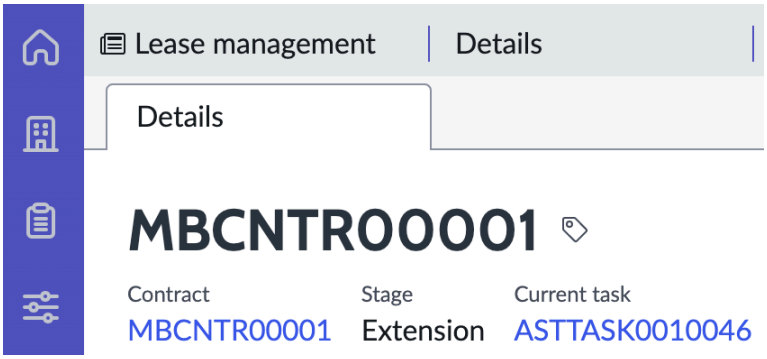
7. 返品確認タスクで 決済 フィールドを はい に設定した場合は、対応する返品決済タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーが決済支払で指定された金額を払い戻す必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 返却決済 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



返却決済タスクが開きます。

> **注:** [ステータス] フィールドを除き、返却決済タスクのすべての編集可能なフィールドは、返却確認タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前に入力されます。発注書 フィールドと 発注明細行 フィールドには、ステップ 7 で決済支払のためにエンタープライズ資産管理アプリケーションによって自動的に作成された発注書 (PO) と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [返品の詳細] セクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ) を選択します。
発注書レコードが開きます。

c. [注文] を選択します。

d. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

e. 発注書レコードを閉じて、返却決済タスクに戻ります。

f. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
返却決済タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

タスクの結果

リースされたエンタープライズ資産を正常に返却すると、対応する資産レコードの [ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドが [廃止] および [リース返却] に変わります。

リースされたエンタープライズ資産の買収

対応するリース契約が期限切れになる前に、リースされたエンタープライズ資産を買い取ります。

始める前に

リースされたエンタープライズ資産の買い取りに進む前に、関連するリース契約の計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース終了資産 タブで、買い取る Enterprise 資産のリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の買取タスクを完了してクローズします。

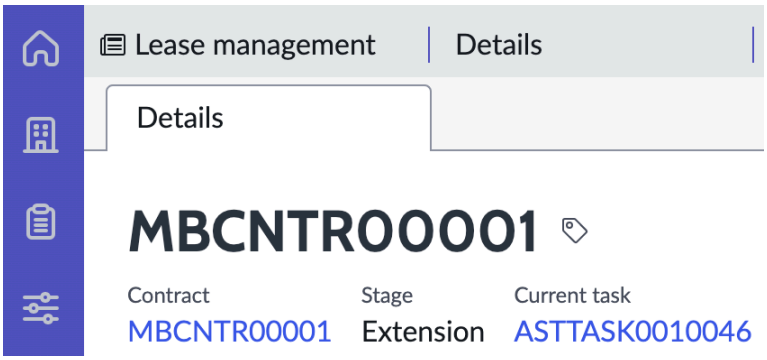
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクを正常に完了してクローズするには、資産ベンダーに買収日と金額を確認する必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



[買収] タスクが開きます。

b. 買収タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	買収タスクを識別して追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
買収の詳細	
買収日	関連するエンタープライズ資産を買い取る日付。
買収金額	関連するエンタープライズ資産を買収するためのコスト。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

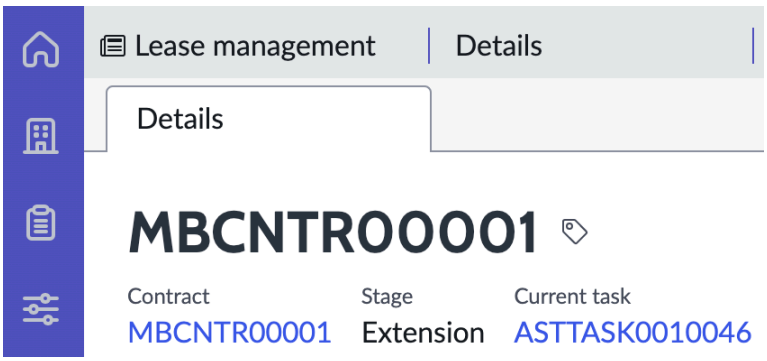
フィールド	Description (説明)
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
買収タスクは自動的にクローズされ、更新されたステータスが [Closed Complete] になります。

4. リース契約の買収確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、確認済みの買収日までに確認済みの買収金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 買収確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



買収確認タスクが開きます。

注: **[State**] フィールドと追加の **[Buyout confirmation**] フィールドを除き、Buyout 確認タスクの編集可能なフィールドはすべて、Buyout タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前に入力されています。[発注書 **(PO)]** フィールドと [発注明細] フィールドには、計画タスクのエンタープライズ資産の買収用に エンタープライズ資産管理 アプリケーションによって自動的に作成された発注書 (PO) と発注明細が事前に入力されています。

b. 詳細 タブの 買収の詳細 セクションで、買収確認 フィールドを はい に設定します。
このフィールドは、エンタープライズ資産の買い取りに成功したかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ) を選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

f. 発注書レコードを閉じて、買収確認タスクに戻ります。

g. 買収確認タスクで、[**Close Task**] を選択します。
買収確認タスクは、更新されたステータスが [完了してクローズ] となって自動的にクローズされます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
エンタープライズ資産の買い取りが正常に完了すると、リース契約レコードの [削除日] フィールドが、すべての買収タスクを完了した日付で自動的に更新されます。この日付以降は、このリース契約レコードを使用してエンタープライズ資産を追跡することはできなくなります。

エンタープライズ資産のリース契約の延長

エンタープライズ資産のリース契約を期限切れ前に延長します。

始める前に
リース契約の延長に進む前に、関連する計画タスクを完了する必要があります。詳細な手順については、「期限切れ間近のエンタープライズ資産リース契約の計画タスクを完了する」を参照してください。

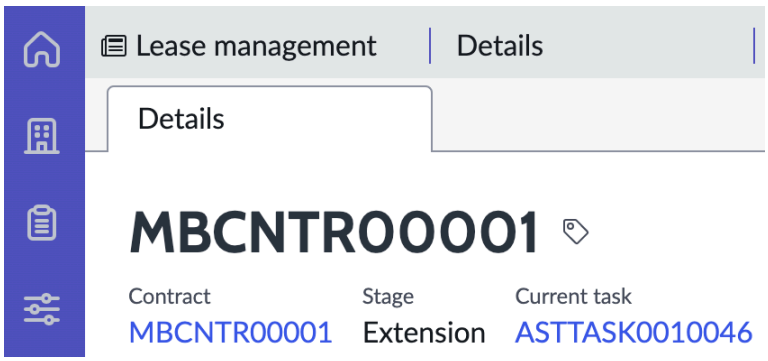
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[契約とリースの管理] ビューを開きます。
2. リース終了資産 タブで、延長するリース契約を選択します。
   リース契約レコードが開きます。
3. リース契約の拡張タスクを完了してクローズします。
   このタスクを正常に完了してクローズするには、リース契約延長の詳細を資産ベンダーに確認する必要があります。これらの詳細には、リース契約延長の開始日、終了日、およびコストが含まれます。

   a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 拡張 タスクのタスク番号を選択します。

   または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



   拡張タスクが開きます。

   b. 拡張タスクの [詳細] タブで、フィールドに入力します。

[詳細] タブ

フィールド	Description (説明)
契約資産タスク	
番号	拡張タスクを識別および追跡するために使用されるタスク番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
契約	タスクが関連付けられているリース契約。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

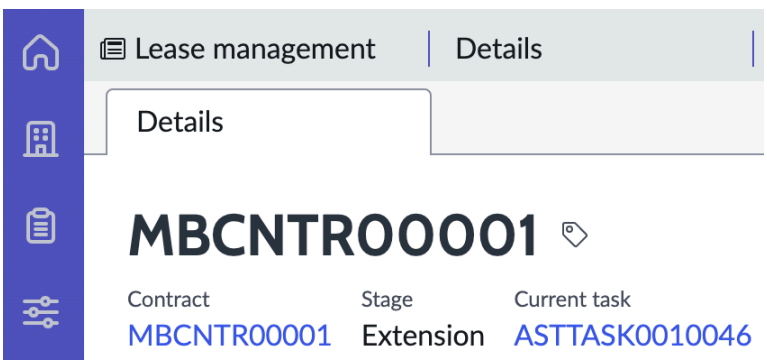
フィールド	Description (説明)
資産	リース契約に関連付けられているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。
状況	タスクの状態。
アサイン先グループ	タスクがアサインされているグループ。
Assigned to (アサイン先)	タスクがアサインされているユーザー。
作業メモリスト	タスクに作業メモが追加されたときに通知を受け取るユーザー。
簡単な説明	タスクの短い説明。
説明	タスクの詳細な説明。
拡張の詳細	
拡張開始日	リース契約延長を開始する日付。
拡張終了日	リース契約延長を終了する日付。
拡張コスト	リース契約を延長するためのコスト。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
メモ	
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示されるタスクに関するメモ。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。
拡張タスクは、[完了してクローズ] に更新された状態で自動的にクローズされます。

4. リース契約の延長確認タスクを完了してクローズします。
このタスクを正常に完了してクローズするには、拡張コストで指定された金額を資産ベンダーに支払う必要があります。

a. リース契約レコードの [契約資産タスク] タブで、 延長確認 タスクのタスク番号を選択します。

または、リース契約レコードヘッダーの [現在のタスク] フィールドに表示されるタスク番号を選択します。



延長確認タスクが開きます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

> **注:** [ステータス] フィールドと追加の [延長確認] フィールドを除き、延長確認タスクのすべての編集可能なフィールドは、延長タスクで入力した対応するフィールドに基づいて事前に入力されます。[発注書] フィールドと [発注明細] フィールドには、エンタープライズ資産管理 アプリケーションが計画タスクのリース契約延長に対して自動的に作成した発注書 (PO) と発注明細が事前に入力されています。

b. [詳細] タブの [拡張機能の詳細] セクションで、[拡張機能の確認] フィールドを [はい] に設定します。
このフィールドは、リース契約が正常に延長されたかどうかを示します。

c. 同じセクションで、[発注書] フィールドの [レコードを開く] アイコン ([ⓘ) を選択します。
発注書レコードが開きます。

d. [注文] を選択します。

e. ページが再読み込みされたら、 受信 を選択します。
フォームが閉じ、自動的に発注書レコードに戻ります。このレコードは、ステータスが [受領済み] になっています。

f. 発注書レコードを閉じて、拡張確認タスクに戻ります。

g. 延長確認タスクで、[タスクをクローズ] を選択します。
延長確認タスクは、更新されたステータス [完了してクローズ] で自動的にクローズされます。

タスクの結果
リース契約を正常に延長すると、リース契約レコードの [有効期限] フィールドが [期限切れ] に変わります。<c0/>アプリケーションは、**EXT_<***expired-lease-contract***>** という名前の延長リース契約の新しいレコードを作成します。エンタープライズ資産管理新しいリース契約レコードは、元のリース契約レコードでカバーされていたものと同じエンタープライズ資産をすべてカバーします。

エンタープライズ資産の作業指示の管理

エンタープライズ資産の作業指示を作成および管理します。

[Work management (作業管理)] ビューの フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集する

Enterprise 資産ワークスペースの [作業管理] ビューにアクセスして使用できるように、必要に応じて フィールドサービス管理 (FSM) 構成を編集します。

始める前に
必要なロール：admin

このタスクについて
フィールドサービス管理 (FSM)構成の詳細については、「グローバルドメイン構成」を参照してください。

手順

1. 移動先 すべて > フィールドサービス > 管理 > 構成.
2. [ビジネスプロセス] タブで次の構成を編集します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ビジネスプロセス] タブ

構成	設定
ライフサイクル	
プロセスライフサイクル	この構成をタスク駆動型に設定します (サブタスクが必要です)。
新しいリクエストに対して承認が必要	この構成を無効にします。
新しい要求には資格が必要	この構成を無効にします。
割り当てられたタスクに対するエージェントの承認または却下が必要	この構成を無効にします。
エージェントの移動時間の追跡	この構成を無効にします。
作業メモは、リクエストまたはタスクをクローズしたりキャンセルしたりするときに必要です	この構成を有効にします。
タスク作業メモを要求へコピー	この構成を無効にします。
ドラフトステータスの作業指示テンプレートを適用	この構成を有効にします。
カタログと要求の作成	
受信メールによって要求を作成または更新	この構成を無効にします。
カタログとフォーム、またはフォームのみを使用して要求を作成	この構成を 通常の形式のみに設定します。
テンプレートによる専用のカタログアイテムの作成	この構成を無効にします。

3. [アサイン] タブで次の構成を編集します。

[アサイン] タブ

構成	設定
アサイン方法	
タスクの割り当てメソッド	この構成を 手動に設定します。
ディスパッチキューとグループのカバー範囲	
ディスパッチキューの使用	この構成を無効にします。
アサイン先グループのカバー範囲に基づく要求またはタスクの割り当て	この構成を無効にします。
アサイン先グループの製品モデルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
アサイン先グループのスキルに基づくタスクのアサイン	この構成を無効にします。
スケジュール	
エージェントまたはタスクのスケジューリングを使用	この構成を無効にします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

構成	設定
エージェントの自動選択では、タスクのタイムゾーンが考慮されます	この構成を無効にします。
優先度割り当ての有効化	この構成を無効にします。
追加のファクター	
エージェントの自動選択では、エージェントの場所が考慮されます	この構成を無効にします。
タスクごとのエージェント自動選択ではそのスキルを有するエージェントのみを選択	この構成は [なし] に設定します。
自動選択が、同じエージェントをリクエスト内のすべてのタスクに割り当てようとします	この構成を無効にします。

4. [アドオン] タブで次の構成を編集し ます 。

[アドオン] タブ

構成	設定
部品要件	
エージェントによって必要な部品要件	この構成を有効にします。
エージェント倉庫に部品を予約	この構成を無効にします。
オープンの転送注文をキャンセル	この構成を無効にします。
関連モデルを編集	この構成を無効にします。
ドキュメント	
専用ナレッジベースの有効化	この構成を無効にします。
Managed Documents の有効化	この構成を無効にします。
タスクアクティビティの有効化	この構成を無効にします。
関連タスクテーブル	
関連タスクテーブルを編集	この構成は空のままにします。
マップ	
マップの有効化	この構成を無効にします。

5. [保存] を選択します。

エンタープライズ資産の作業計画を作成する

作業計画を作成および管理して、アクティビティの作業をいつどのように実行すべきかを指定します。

このタスクについて

Planned Work Management アプリケーションの機能を使用して、 エンタープライズ資産ワークスペース内から作業計画を作成します。これにより、マネージャーは将来の作業指示を作成して技術者に割り当て、技術者がそれに応じて作業をレビューおよび計画できるようになります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Planned Work Management プラグイン [sn_fsm_planned_wm] プラグインがアクティブ化されていることを確認します。

作業計画は、計画の実行をスケジュールできる期間を決定する有効な開始日と終了日で構成されます。各作業計画には、作業計画を適用するレコードが少なくとも 1 つ以上関連付けられている必要があります。

始める前に
必要なロール：sn_fsm_planned_wm.planned_work_admin

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. メンテナンス計画 タブで、新規 を選択して ターゲット資産テーブルの選択 ポップアップ ウィンドウを開きます。
3. [計画タイプ] リストから [作業計画] を選択します。
4. [資産テーブル] リストからテーブルを選択します。
   デフォルトでは、エンタープライズ資産テーブルが選択されています。
5. [作成] を選択します。
6. [新規作業計画を作成] ページで、詳細を入力します。
   すべての作業計画フィールドの詳細な説明については、「 の作業計画フィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

   ページが閉じ、新しい作業計画レコードに自動的にリダイレクトされます。

   計画作業スケジュール、計画作業レコード、および作業指示書を作成して、作業計画をさらに構成できます。

   [メンテナンス計画] タブのリストビューで、すべての作業計画レコードを表示できます。すべての作業計画レコードには 「WP」というプリフィックスが付きます。

作業計画の計画作業スケジュールを作成します

計画作業スケジュールを作成して、作業計画を実行するタイミングとスケジュールの実行頻度を指定します。1 つ以上の計画作業スケジュールを 1 つの作業計画に適用できます。

始める前に
計画作業スケジュールを作成する前に、 作業計画が作成済みであることを確認してください。

必要なロール：sn_fsm_planned_wm.planned_work_admin

手順

1. 作業計画レコードの [**Planned Work Schedules** (計画作業スケジュール)] タブで、[**New** (新規)] を選択します。
2. [新しい計画作業スケジュールを作成] フォームで、フィールドに入力します。

   計画作業スケジュールフィールドの詳細については、「 エンタープライズ資産管理の作業計画スケジュールフィールド」を参照してください。

3. [保存] を選択します。
   フォームが閉じ、新しい計画作業指示スケジュールレコードに自動的にリダイレクトされます。
4. その他のアクションの省略記号アイコンを選択し、フィルターされたレコードにスケジュールを関連付けて、作業計画が適用される資産にスケジュールを関連付けます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産が計画作業計画スケジュールに関連付けられたことを示す確認メッセージが表示されます。計画作業計画スケジュールレコードまたは作業計画レコードのいずれかの [計画作業レコード] タブを使用して、関連付けが成功したことを確認できます。

5. 作業計画スケジュールテンプレートを作業計画スケジュールに適用します。
計画作業スケジュールテンプレートを使用すると、計画作業スケジュールが実行されるたびに、エンタープライズ資産管理 アプリケーションが自動的に情報を入力し、適切な要求とタスクを生成し、作業計画の部品要件を作成できます。

   a. 作業計画スケジュールレコードの **[Planned Work Schedule Templates** (計画作業スケジュールテンプレート)] タブで、[**New** (新規)] を選択します。

   [新規計画作業スケジュールテンプレートの作成 (Create New Planned Work Schedule Template)] フォームが開きます。

   b. フォームのフィールドに入力します。

   新しい計画作業スケジュールテンプレートフォームを作成

Field (フィールド)	説明
モデル	作業指示テンプレートのモデル。
[Schedule (スケジュール)]	作業指示テンプレートを適用している計画作業スケジュール。このフィールドは、自動的に入力されます。
Table (テーブル)	この計画スケジュールの対応する作業計画に関連付けられているテーブル。 このフィールドは、作業計画に対して選択されたテーブル名に自動的に設定されます。
条件	計画スケジュールに基づいて作業指示を作成するために使用する作業指示テンプレートを決定するフィルター条件。
メモ	テンプレートに関する作業メモ。

   c. [保存] を選択します。

   d. フォームを閉じて、計画作業計画スケジュールレコードに戻ります。

6. 計画作業計画スケジュールレコードで、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択し、[オンデマンド で実行] を選択して、各資産の作業指示を作成します。
作業指示書は資産ごとに作成されます。[作業指示] タブで作業指示を表示できます。

Enterprise 資産のメンテナンス計画を作成する

エンタープライズ資産、リニア資産、およびリニアセグメントの定期メンテナンスを管理およびスケジュールするためのメンテナンス計画を作成します。メンテナンスは、オンデマンドで実行することも、一連の特定の基準に基づいて実行することもできます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. メンテナンス計画 タブで、新規 を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

3. [プランタイプ] リストから [メンテナンス計画] を選択します。
4. [資産テーブル] リストからテーブルを選択します。
   デフォルトでは、エンタープライズ資産テーブルが選択されています。
5. [作成] を選択します。
6. [新しいメンテナンス計画を作成] ページで、詳細を入力します。
   すべてのメンテナンス計画フィールドの詳細については、「 のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理」を参照してください。
7. [保存] を選択します。

   ページが閉じ、新しいメンテナンス計画レコードに自動的にリダイレクトされます。

   メンテナンススケジュール、作業指示、および作業指示タスクを作成することで、メンテナンス計画をさらに構成できます。[メンテナンス計画] タブのリストビューで、すべてのメンテナンス計画レコードを表示できます。すべてのメンテナンス計画レコードには 「MP」というプリフィックスが付きます。

メンテナンス スケジュールの作成

メンテナンススケジュールを作成し、時間間隔やフィールド値などの基準を使用してメンテナンスを実行するタイミングを指定し、作業指示テンプレートをスケジュールに適用します。1 つ以上のメンテナンススケジュールを 1 つのメンテナンス計画に適用できます。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. メンテナンス計画レコードの メンテナンススケジュール タブで、 新規 を選択します。
2. [新しいメンテナンススケジュールを作成] フォームで、フィールドに入力します。

   各フィールドの詳細な説明については、「 のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理 」を参照してください。

3. [保存] を選択します。
   フォームが閉じ、新しいメンテナンススケジュールレコードに自動的にリダイレクトされます。
4. メンテナンススケジュールに作業指示テンプレートを適用します。
   作業指示テンプレートを使用すると、スケジュール済みメンテナンスが実行されるたびに、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションが自動的に情報を入力し、適切な要求とタスクを生成し、作業指示の部品要件を作成できます。

   a. メンテナンス スケジュール レコードの スケジュール テンプレート タブで、 新規 を選択します。

      [新規スケジュールテンプレートを作成] フォームが開きます。

   b. フォームのフィールドに入力します。

      新規スケジュールテンプレートフォームの作成

Field (フィールド)	説明
モデル	作業指示テンプレートのモデル。
[Schedule (スケジュール)]	作業指示テンプレートを適用しているメンテナンススケジュール。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [保存] を選択します。

d. フォームを閉じてメンテナンススケジュールレコードに戻ります。

5. メンテナンス スケジュール レコードで、 その他のオプションの 省略記号アイコンを選択し、 レコードの関連付け を選択して、メンテナンス計画が適用されるエンタープライズ資産にメンテナンス スケジュールを関連付けます。
エンタープライズ資産がメンテナンススケジュールに関連付けられたことを示す確認メッセージが表示されます。メンテナンススケジュールレコードまたはメンテナンス計画レコードのいずれかの [メンテナンス計画レコード] タブを使用して、関連付けが成功したことを確認できます。

タスクの結果

メンテナンスは、メンテナンス計画に設定したスケジュールに基づいて自動的に実行されます。メンテナンススケジュールレコードで オンデマンド実行 を選択して、メンテナンスをオンデマンドで実行することもできます。

メンテナンスが実行されるたびに、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、資産がまだ既存の作業指示書に関連付けられていない場合、メンテナンス計画が適用されるすべてのエンタープライズ資産に対応する作業指示書を自動的に作成します。これらの作業指示書を使用して、指定されたエンタープライズ資産で実行する必要があるすべての作業を追跡および管理できます。作業指示の詳細については、「 エンタープライズ資産の作業の管理 」を参照してください。

エンタープライズ資産の作業指示書の作成

エンタープライズ資産、リニア資産、またはリニアセグメントの作業を追跡および管理するための作業指示書を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. 作業指示書 タブで、新規 を選択します。

> **注:**
>
> エンタープライズ資産のメンテナンスを管理およびスケジュールするためのメンテナンス計画を作成した場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、メンテナンス計画が適用される各資産に対応する作業指示を自動的に作成します。
>
> メンテナンス計画の詳細については、「 Enterprise 資産のメンテナンス計画を作成する 」を参照してください。

3. [Create New Work Order (新規作業指示を作成)] フォームで、フィールドに入力します。

[新規作業指示を作成] フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
作業指示	
会社	作業指示を作成している会社。
契約	関連付けられたエンタープライズ資産のリース詳細を定義する契約。
資産	この作業指示書で作業を管理する資産。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
	注: このフィールドからリニア資産とリニアセグメントを選択することもできます。
ロケーション	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。
開始マーカー	リニア資産またはリニア資産の始点。 注: このフィールドは、[資産] フィールドで [リニア資産] または [リニアセグメント] を選択した場合にのみ表示されます。
終了マーカー	リニア資産またはリニアセグメントの終点。 注: このフィールドは、[資産] フィールドからリニア資産またはリニアセグメントを選択した場合にのみ表示されます。
優先度	作業指示の優先度。
テンプレート	この作業指示に適用する作業指示テンプレート。作業指示テンプレートを使用すると、情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、作業指示の部品要件を作成できます。作業指示テンプレートの詳細については、「 エンタープライズ資産管理作業指示のテンプレートを作成します 」を参照してください。 ドラフト状況の作業指示書にテンプレートを適用し、テンプレートから生成された作業指示書タスクと部品要件を表示するには、sn_eam.enterprise_asset_manager ロールで、フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの [ドラフトステータスの作業指示書テンプレートを適用] フィールドが有効になっていることを確認する必要があります。これを実現するには、 すべて > フィールドサービス > 管理 > 構成 をクリックし、[ビジネスプロセス] タブの [ドラフトステータスで作業指示テンプレートを適用 **(Apply Work Order template in draft status)**] フィールドを有効にします。
クローズ済み	作業指示書がクローズして完了した日時。
簡単な説明	作業指示の簡単な説明。
Description (説明)	作業指示の詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される作業指示に関するメモ。
スケジューリング	
期日	作業指示書を完了する必要がある日時。

4. [保存] を選択します。
   作業指示書はドラフトステータスで作成されます。作業指示書に関連する作業指示書タスクと部品要件は、[**Work Order Tasks** (作業指示書タスク)] タブと **[Part Requirements** (部品要件)] タブに自動的に表示されます。
5. 作業指示タスクを追加するには、[**Work Order Tasks** (作業指示タスク)] タブで **[New** (新規)] を選択します。
   詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示書の作業指示書タスクを作成します」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

6. 作業指示または関連する作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムを追跡するには、チェックリストを作成します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクのチェックリストを作成する」を参照してください。
7. 作業指示書に関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、部品要件を作成します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する」を参照してください。
8. 関連する作業指示タスクの上流または下流のタスクの依存関係を指定します。
詳細な手順については、「エンタープライズ資産管理作業指示タスクの依存関係の作成」を参照してください。
9. [**Ready to Work** (作業準備完了)] を選択して、特定の作業指示の作業を開始します

次のタスク
アサインされたエージェントと協力して、作業指示の後続のすべてのタスクを完了してクローズします。

エンタープライズ資産管理作業指示書の作業指示書タスクを作成します

作業指示書タスクを作成して、 エンタープライズ資産管理 作業指示書の個々のタスクを追跡および管理します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. [作業指示書] タブで、作業指示書タスクを追加する作業指示書を選択します。
作業指示レコードが開きます。
3. 作業指示書タスク タブで、新規 を選択します。
4. [Create New Work Order Task (新規作業指示タスクの作成)] フォームの各フィールドに入力します。

新しい作業指示タスクの作成

Field (フィールド)	**Description** (説明)
作業指示タスク	
アサイン先グループ	作業指示タスクがアサインされているエージェントグループ。
Assigned to (アサイン先)	作業指示タスクがアサインされているエージェント。
作業タイプ	アサインされたエージェントが関連するエンタープライズ資産に対して実行する必要がある作業のタイプ。オプションは、[**Break Fix**]、[**Install**]、[**Planned Maintenance**]、および **[Calibration]** です。
資産	アサインされたエージェントが作業を実行しているエンタープライズ資産。このフィールドは、自動的に入力されます。
場所	関連付けられたエンタープライズ資産の現在の場所。このフィールドは、自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
簡単な説明	作業指示タスクの簡単な説明。
Description (説明)	作業指示タスクの詳細な説明。
作業メモ	組織内のすべてのユーザーに表示される、作業指示タスクに関するメモ。
スケジューリング	
期間開始日時	作業指示タスクの推定開始日時。
期間終了日時	作業指示タスクの推定完了日時。
予定作業期間	作業指示タスクを完了するためにかかると見積もる時間。
実際の作業開始	作業指示タスクの実際の開始日時。
実際の作業終了	作業指示タスクの実際の完了日時。

5. [保存] を選択します。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクのチェックリストを作成する

作業指示または作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. チェックリストを作成する作業指示または作業指示タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示レコードを開くには、[**Work orders** (作業指示)] タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、チェックリストを作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、チェックリストを作成する作業指示タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードで、[**Checklist items** (チェックリスト項目)] タブを選択します。
4. チェックリストを作成するには、次のいずれかのオプションを使用します。
   - 個々のチェックリストアイテムを追加して、チェックリストを作成します。
     a. [新規] を選択します。
     b. [新しいチェックリストアイテムを作成] フォームで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新しいチェックリストアイテムを作成] フォーム

Field (フィールド)	説明
名前	チェックリストアイテムの名前。
順序	チェックリストアイテムを完了する順序。たとえば、値 `1` は、指定されたチェックリストアイテムがチェックリスト内で完了する必要がある最初のアイテムであることを示します。
Checklist (チェックリスト)	チェックリストアイテムが含まれているチェックリスト。
完了	チェックリストアイテムが完了したかどうかを示すオプション。

c. [保存] を選択します。

d. チェックリストに追加するすべてのチェックリスト項目について、手順 a から c を繰り返します。

- チェックリストテンプレートを適用してチェックリストを作成します。

a. [テンプレートを適用] を選択します。

[テンプレートを適用] ダイアログボックスが開きます。

b. ダイアログボックスで、作業指示書または作業指示書タスクに適用するチェックリストテンプレートを選択します。

c. **[OK]** を選択します。

ダイアログボックスが閉じ、[**Checklist items**] タブに戻ります。

d. [リストを更新] アイコン ( ) を選択し、選択したチェックリストテンプレートに基づいて追加されたチェックリストアイテムのリストを入力します。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、部品要件を作成して、不足している資産または部品を追跡および検証します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

注: wm_agent ロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. 部品要件を作成する作業指示または作業指示タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示レコードを開くには、[**Work orders** (作業指示)] タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品要件を作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示書タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示書タスクを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードの **[Part Requirements** (部品要件)] タブで、[**New** (新規)] を選択します。
4. [新規部品要件の作成 (Create New Part Requirement)] フォームで、フィールドに入力します。

[新規部品要件の作成 **(Create New Part Requirement)]** フォーム

Field (フィールド)	説明
モデル	不足している資産または部品のエンタープライズモデル。
サービス注文タスク	部品要件が関連付けられている作業指示タスク。
必要数量	必要な資産または部品の数量。 注: このフィールドは消耗資産と消耗部品にのみ適用されます。
期日	不足している資産または部品を調達して配送する必要がある日時。
簡単な説明	部品要件の簡単な説明。
必須	不足している資産または部品が必要かどうかを示すオプション。

5. [保存] を選択します。

マルチコンポーネント資産の子孫モデルを選択して部品要件を作成します

マルチコンポーネント資産を含む作業指示書および作業指示書タスクの場合は、子孫モデルを選択して部品要件レコードを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

注: wm_agent ロールを使用して、アサインされた作業指示タスクの部品要件のみを作成できます。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. 部品要件を作成する作業指示または作業指示タスクのいずれかのレコードを開きます。
   - 作業指示レコードを開くには、[**Work orders** (作業指示)] タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品要件を作成する作業指示書を選択します。
   - 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示書タスクのリストから、部品要件を作成する作業指示書タスクを選択します。
3. 作業指示書または作業指示書タスクレコードの **[Part Requirements** (部品要件)] タブで、[**Add to Asset** (資産に追加)] を選択します。
   [部品要件を追加] ダイアログボックスが開きます。
4. [サービス注文タスク] フィールドで作業指示タスクを選択します。
   [サービス注文タスク] フィールドは、作業指示書フォームから [部品要件の追加] ダイアログボックスにアクセスした場合にのみ表示されます。
5. モデルを選択します。
6. **[OK]** を選択します。
   新しい部品要件レコードが作成され、[部品要件] ページに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産管理作業指示タスクの依存関係の作成

作業指示タスクにアップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係が必要な場合は、それらを作業指示タスクに追加します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. [作業指示書タスク] タブで、依存関係を作成する作業指示書タスクを選択します。
   作業指示タスクが開きます。
3. 次のいずれかのタブを選択して、アップストリームまたはダウンストリームのタスク依存関係を作成します。
   - アップストリームタスクの依存関係を作成するには、[依存先] タブを選択します。
   - ダウンストリームタスクの依存関係を作成するには、[依存] タブを選択します。
4. [新規] を選択します。
5. [新規サービス注文タスク依存関係を作成 (Create New Service Order Task Dependency)] フォームの [アップストリームタスク] または [ダウンストリームタスク] フィールドで、依存関係として追加するタスクを検索して選択します。
6. [保存] を選択します。

エンタープライズ資産の作業の管理

作業指示書と作業指示書タスクを使用して、エンタープライズ資産とリニア資産の作業を追跡および管理できます。作業指示でサポートされている資産アクションには、資産の展開、スワップ、削除、調整が含まれます。

エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品を調達する

作業指示書または作業指示書タスクに関連付けられているエンタープライズ資産に必要な資産または部品がない場合は、カタログ要求を使用して調達します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

> **重要:** sn_eam.enterprise_asset_manager ロールまたは wm_agent ロールのいずれかを使用してカタログ要求を作成できますが、これらの要求のソースに使用できるのは sn_eam.enterprise_asset_manager ロールのみです。

このタスクについて
作業指示書または作業指示書タスクの [**Part Requirements** (部品要件)] タブを使用して、不足している資産または部品を確認できます。部品要件の詳細については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品要件を作成する」を参照してください。

すべての部品所要量を調達する代わりに、調達する部品所要量を指定できます。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. 部品を調達する作業指示書または作業指示書タスクのいずれかのレコードを開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 作業指示レコードを開くには、[**Work orders** (作業指示)] タブを選択します。利用可能な作業指示書のリストから、部品を調達する作業指示書を選択します。
- 作業指示タスクレコードを開くには、[作業指示タスク] タブを選択します。利用可能な作業指示タスクのリストから、部品を調達する作業指示タスクを選択します。

3. 作業指示または作業指示タスクレコードで、[**Source Parts Request** (ソース部品要求)] を選択します。
[部品要求の調達] ダイアログボックスが開きます。まだ要求されていないすべての部品要件モデルがリストされ、デフォルトで選択されます。
4. [要求数量] フィールドに要求する数量を入力します。
入力する数量は、所要数量より大きくてもかまいません。
5. **[OK]** を選択します。
選択した部品要件に対してのみ対応するカタログ要求が作成されたことを示す確認メッセージが表示されます。
6. Enterprise 資産ワークスペースの左側のナビゲーションメニューから、[資産運用] ビューを開きます。
7. [資産運用] ビューの [リスト] タブで、 **Procurement** (調達) > 要求.
8. 調達する必要がある資産または部品の要求を選択します。
カタログ要求レコードが開きます。カタログ要求レコードの [要求 アイテム] タブを使用して、調達する必要がある資産または部品を確認できます。
9. カタログ要求レコードの [カタログタスク] タブで、[ソース要求アイテム] カタログタスクのタスク番号を選択します。
[ソース要求アイテム] カタログタスクが開きます。
10. [ソース要求] を選択します。
対応するソース要求に自動的にリダイレクトされます。
11. 次の 1 つ以上のオプションを使用して、必要な資産または部品を調達します。

> **注:** ソース要求には、調達する必要があるすべての資産と部品が表示されます。ただし、各資産と部品を個別に調達する必要があります。

- ローカルストック:ローカルストックルームから資産または部品を消費するオプション。

  このオプションを使用するには、ローカル在庫ウィジェットで [消費] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の消費の詳細を指定します。

- 転送可能在庫:利用可能な倉庫間で、または要求者が資産や部品を受け取れる場所に資産や部品を転送するオプション。

  このオプションを使用するには、[Transferable stock (譲渡可能在庫)] ウィジェットで [**Transfer** (転送)] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の転送の詳細を指定します。

- ベンダー購入:サポートされている資産ベンダーから追加の資産または部品を購入するオプション。

  このオプションを使用するには、ベンダー購入ウィジェットの [購入] をクリックします。プロンプトが表示されたら、ソース要求の購入詳細を指定します。

12. **[Submit** (送信)] を選択します。
「ソース要求」(Source Request) ダイアログボックスが開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

13. ダイアログボックスで、 [**OK]** を選択します。
ダイアログボックスが閉じ、カタログ要求レコードに自動的に戻ります。

シリアル化されたエンタープライズ資産の資産確認タスクを完了してクローズします

作業指示書がシリアル化されたエンタープライズ資産に関連付けられている場合は、その資産の資産確認タスクを完了してクローズします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
エージェントがエンタープライズ資産で作業を実行するには、指定されたストックルームから資産を引き取る必要があります。シリアル化されたエンタープライズ資産に対してエージェントが作業を実行する場合は、まず、資産の確認 タスクを使用して、どの資産を引き取る必要があるかを確認する必要があります。他のすべてのエンタープライズ資産タイプについては、資産確認タスクをスキップして、 集荷タスクに直接進んでください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、Enterprise 資産一覧ビューを開きます。
2. 資産タスク タブで、作業指示書に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産の確認 タスクを選択します。
[確認] タスクが開きます。
3. 確認タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
資産	作業指示に関連付けられているシリアル化されたエンタープライズ資産。
モデル	シリアル化されたエンタープライズ資産のモデル。
状況	確認タスクのステータス。
倉庫	シリアル化されたエンタープライズ資産が置かれている倉庫。
簡単な説明	確認タスクの簡単な説明。
Description (説明)	確認タスクの詳細な説明。

4. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
[確認] タスクのステータスが [オープン] から [完了してクローズ] に変わります。その後、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションは、エンタープライズ資産の後続の集荷タスクを生成します。

次のタスク
関連付けられた作業指示にアサインされたエージェントは、集荷タスクを完了してクローズする必要があります。

エンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズする

アサインされた作業指示に関連付けられているエンタープライズ資産の集荷タスクを完了してクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
エンタープライズ資産の作業を開始する前に、指定されたストックルームから資産を引き取る必要があります。

手順
1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. [自分の資産の集荷タスク] タブで、集荷したエンタープライズ資産を選択します。
   [集荷] タスクが開きます。
3. 集荷タスクの [詳細] タブで、必要に応じてフィールドを変更します。

[詳細] タブ

フィールド	**Description** (説明)
資産	集荷されたエンタープライズ資産。
アサイン先	集荷タスクがアサインされている人物。
ステータス	集荷タスクのステータス。
数量 注: このフィールドは、消耗品エンタープライズ資産にのみ適用されます。	集荷されたエンタープライズ資産の数量。
簡単な説明	集荷タスクの簡単な説明。
Description (説明)	集荷タスクの詳細な説明。

4. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

タスクの結果
集荷タスクのステータスが [Open] から [Closed Complete] に変わります。

次のタスク
作業指示書をクローズできるように、エンタープライズ資産に必要なすべての作業を完了します。

エンタープライズ資産の作業指示書を完了してクローズする
関連付けられたエンタープライズ資産に必要なすべての作業を完了して、アサインされた作業指示書をクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

このタスクについて
エンタープライズ資産で作業する場合、必要な資産または部品を展開、交換、または削除することを選択できます。同様に、秘匿資産をリニア資産に展開したり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を入れ替えたり、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除したりすることができます。エンタープライズ資産の調整を選択することもできます。資産のすべての作業を完了したら、関連する作業指示書をクローズできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. エンタープライズ資産ワークスペースから、[作業管理] ビューを開きます。
2. 作業指示書タスクタブで、完了してクローズする作業指示書の作業指示書タスクを選択します。
   作業指示タスクが開きます。
3. [作業を開始] を選択します。
   作業指示タスクが [作業中] のステータスを更新して再ロードされます。
4. 作業指示タスクに必要なすべての作業を完了します。
   - 必要な資産または部品を展開、交換、または削除する場合は、次の手順を実行します。
     a. [資産使用率] タブを選択します。
     b. 関連するエンタープライズ資産に必要な資産または部品に対して実行するアクションを選択します。

使用可能なアクション

アクション	Description (説明)
資産を削除	資産または部品を削除するオプション。リニア資産に関連付けられた秘匿資産を削除することもできます。 注: ステータスが [使用中]、[メンテナンス中]、および [消費済み] の資産または部品のみを削除できます。 このオプションを選択すると、[資産を削除] ダイアログボックスが開きます。ダイアログ ボックスで、削除する資産または部品を選択し、 **OK** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、[資産使用状況] タブが再ロードされ、削除され、パーソナル倉庫に割り当てられている資産または部品が表示されます。後続の廃棄タスクをすべて実行して、削除を完了します。
資産をスワップ	資産または部品をスワップするオプション。また、リニア資産に関連付けられた秘匿資産を別の個別資産と入れ替えることもできます このオプションを選択すると、[資産をスワップ] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、スワップする資産または部品と、スワップする交換用の資産または部品の両方を選択します。**[OK]** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、「 アセット使用状況」**(Asset Usages**) タブが再ロードされ、アセットまたは部品の両方が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	Description (説明)
	注: 既存の資産または部品を、次の基準を満たす交換用の資産または部品と交換できます。 ▪ 対応する資産レコードの [状態] フィールドが [在庫あり] に設定されます。 資産または部品が、ホットスワップ可能なモデルコンポーネントを持つマルチコンポーネントエンタープライズモデルに関連付けられている場合、このフィールドも 使用中に設定されます。 ▪ 資産または部品は、[資産の使用状況] タブに表示されるか、個人のストックルームに配置されます。 ▪ 資産または部品は、既存の資産または部品と同じエンタープライズモデル、または既存の資産または部品でサポートされている代替エンタープライズモデルのいずれかに関連付けられています。代替エンタープライズ モデルの詳細については、「エンタープライズモデルの代替モデルを追加する」を参照してください。
資産を展開	資産または部品を展開するオプション。秘匿資産をリニア資産に展開することもできます。 注: [資産使用状況] タブに表示され、ステータスが [未使用] の資産または部品を展開できます。ステータスが [In stock] でサブステートが [Available (利用可能)] または [Reserved (予約済み)] のいずれかの資産または部品を個人のストックルームから展開することもできます。 このオプションを選択すると、[資産を展開] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスで、展開する資産またはパーツを選択します。消耗資産または部品を選択する場合は、展開する数量も指定する必要があります。オプションで、資産または部品を特定のユーザーに割り当てたり、資産または部品を別の資産または部品の子として追加したりできます。すべての必須フィールドに入力したら、[**OK]** を選択します。ダイアログボックスが閉じると、「 資産使用状況」**(Asset Usages**) タブが再ロードされ、展開された資産または部品が表示されます。 [資産を展開] ダイアログボックスで、個別資産をリニア資産に展開する場合は、まずストックルームから個別資産を選択してから、その資産を展開する場所について次のいずれかのオプションを選択する必要があります。 ▪ 秘匿資産に追加:選択した資産を個別資産の子資産として追加します。追加する秘匿資産を選択します。 ▪ 既存の場所に追加:既存の場所を選択します。 ▪ 新しい場所に追加:場所ピッカーを使用して、Geo マップ上の新しい場所をマークします。

c. 展開、交換、または削除するすべての資産または部品について、手順 b を繰り返します。

◦ 関連するエンタープライズ資産を調整する場合は、次の手順を使用します。

a. [キャリブレーション] タブを選択します。

キャリブレーションイベント プレイブック が開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: プレイブックのサイドパネルの各レーンは、キャリブレーションイベントワークフローの一部として完了する必要があるアクティビティを表します。

b. [詳細] レーンの作業領域で、フィールドに入力します。

詳細レーン

Field (フィールド)	説明
名前	キャリブレーションイベントの名前。
温度	キャリブレーションを実行している環境の温度。
体温の単位	環境温度の測定に使用する温度の単位。
湿度 (%)	キャリブレーションを実行している環境の相対湿度レベル。

c. [Mark as Complete (完了としてマーク)] を選択します。

[詳細] レーンは [完了] としてマークされ、自動的に [キャリブレーションライン] レーンに進みます。

d. [キャリブレーションライン] レーンの作業領域で、完了またはスキップするキャリブレーションラインを選択します。

各キャリブレーションラインは、関連するエンタープライズ資産のキャリブレーション属性に対応しています。キャリブレーション属性に精度を測定できるポイントが複数含まれている場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはポイントごとに個別のキャリブレーションラインを作成します。必要に応じて、各キャリブレーションラインを完了するかスキップするかを選択できます。キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

e. キャリブレーションラインレコードで、次のいずれかのオプションを使用して、キャリブレーションラインを完了またはスキップします。

- キャリブレーションラインを完了するには、フィールドに入力し、[送信] を選択します。

キャリブレーションラインフィールド

Field (フィールド)	説明
詳細	
計測	キャリブレーションの実行に使用している機器。対応するキャリブレーション属性の [機器モデル]フィールドで機器モデルを指定した場合、このフィールドのオプションは指定された機器モデルに基づいてフィルタリングされます。
キャリブレーション日	キャリブレーションを実行する日時。このフィールドは、[詳細] レーンが完了としてマークされた日時に基づいて自動的に入力されます。必要に応じて、このフィールドを上書きできます。
読み込み	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
予想値	精度を測定する値。このフィールドは、キャリブレーション属性で指定した期待値に基づいて自動的に入力されます。
値を検出	キャリブレーション前に測定した値。
値残存	キャリブレーション後に測定する値。

- キャリブレーションラインをスキップするには、[スキップ]を選択します。

キャリブレーションラインレコードが閉じ、自動的に プレイブックに戻ります。

f. [Calibration lines (キャリブレーションライン)] レーンの各キャリブレーションラインについて、手順 d と e を繰り返します。

g. [Mark as Complete (完了としてマーク)] を選択します。

レーンは完了としてマークされます。

5. 必要な作業をすべて完了したら、作業指示書タスクで [完了してクローズ] を選択します。
作業指示書タスクと関連する作業指示書の両方のステータスが [Work In Progress (対応中)] から [Closed Complete (完了してクローズ)] に変わります。

作業指示タスクの一括クローズ

複数の作業指示タスクを一度にクローズします。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work Management** (作業管理).

2. [Work order tasks (作業指示タスク)] タブを選択します。
ログインしている技術者のアサイン先グループにアサインされているすべての作業指示タスクが一覧表示されます。

3. [**Bulk close tasks** (タスクの一括クローズ)] を選択します。
ログインした技術者がクローズできるすべての作業指示タスクが一覧表示されます。

4. クローズする作業指示タスクのチェックボックスをオンにします。

5. [詳細を追加して閉じる] を選択します。
[タスクを一括クローズ] ダイアログボックスが開きます。

6. [タスクの一括クローズ] ダイアログに詳細を入力します。

Field (フィールド)	説明
作業メモ	作業タスクの詳細。
作業時間	すべてのタスクを完了するのにかかった累積時間 (日、時間、分)。
コメント	作業タスクに関する追加コメント。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

7. [保存] を選択します。
   選択した作業指示タスクがクローズされます。

エンタープライズ資産管理作業指示のテンプレートを作成します

情報を自動的に入力し、適切なタスクを生成し、作業指示の資産または部品要件を作成する作業指示テンプレートを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

作業指示テンプレートは、 ServiceNow® フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの一部であるフィールドサービスカタログに追加されます。フィールドサービスカタログにアクセスするには、 すべて > フィールドサービス > カタログとナレッジ.フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションの詳細については、「フィールドサービス管理 (FSM)」 を参照してください。

注: フィールドサービス管理 (FSM) アプリケーションは、ServiceNow Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求してインストールすると、自動的にアクティブ化されます。詳細は、「エンタープライズ資産管理のインストール」を参照してください。

手順

1. Enterprise 資産ワークスペースから、[Work management (作業管理)] ビューを開きます。
2. 作業指示書テンプレート タブで、新規 を選択します。
   新しいブラウザータブで [作業指示テンプレート] フォームが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

作業指示テンプレートフォーム

フィールド	説明
名前	作業指示テンプレートの名前。
簡単な説明	作業指示テンプレートの簡単な説明。
説明	作業指示テンプレートの詳細な説明。
チェックリストのテンプレート	作業指示の一部として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。
ワークフロー **注:** このフィールドは、[名前] フィールドの隣にある [追加] アイコン (+) を選択した場合にのみ表示されます。	このテンプレートが適用される作業指示のワークフロー。

4. 作業指示テンプレートに必要なタスクを追加します。
   a. [タスクを追加] を選択します。
   b. [タスク情報] フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスク情報フォーム

フィールド	説明
タスクタイプ	作成するタスクのタイプ。このフィールドは自動的に [作業指示タスク] に設定されます。
名前	タスクの名前。
説明	タスクの詳細な説明。
部品と数量	タスクの完了に必要な資産または部品。消耗資産または部品を選択する場合は、タスクの完了に必要な数量も指定する必要があります。1 つのタスクに複数の資産または部品を追加できます。 注: タスクを完了するために必要なすべての資産または部品に対して [必須] チェックボックスをオンにします。
ディスパッチグループ	タスクがアサインされているエージェントのグループ。
依存する作業指示タスク	このタスクを開始する前に完了する必要があるその他のタスク。
チェックリストのテンプレート	タスクの一部として完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストテンプレート。
作業タイプ	エージェントがタスクを完了するために実行する必要がある作業のタイプ。オプションには、[**Break Fix**]、[**Calibration**]、[**Install**]、および **[Planned Maintenance**] が含まれます。

c. 作業指示テンプレートに追加する追加タスクごとにステップ a と b を繰り返します。

5. 関連するナレッジベース記事を作業指示テンプレートに添付します。
作業指示テンプレートが有用な参照情報を含むナレッジベース記事に関連している場合は、記事をテンプレートに添付します。
   a. [Model Knowledges (モデルナレッジ)] 関連リストで、[**New** (新規)] を選択します。
   b. [モデルナレッジ] フォームで、[ナレッジ] フィールドの [リストを使用してルックアップ] アイコン ([🔍) を選択し、作業指示テンプレートに添付するナレッジベース記事を検索して選択します。
   c. [Model Knowledge (モデルナレッジ)] フォームヘッダーで **[Submit** (送信)] を選択します。
   d. 作業指示テンプレートに添付するナレッジベース記事ごとに、手順 a ～ c を繰り返します。
6. **[Submit** (送信)] を選択します。
[テンプレートを公開] ダイアログボックスが開きます。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[テンプレートを公開] ダイアログボックス

フィールド	説明
カテゴリ	作業指示テンプレートをアサインするフィールドサービスカタログカテゴリ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Availability	作業指示テンプレートでサポートされているフィールドサービスカタログ形式。オプションは、[デスクトップのみ]、[モバイルのみ]、および [デスクトップとモバイル] です。

8. **[Publish** (公開)] を選択します。

タスクの結果
作業指示テンプレートがフィールドサービスカタログに追加されます。

エンタープライズ資産管理作業指示のチェックリストテンプレートを作成します

作業指示テンプレートとして追加される、作業指示のチェックリストテンプレートを作成します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
既存のチェックリストテンプレートからコピーして、チェックリストアイテムを編集して追加するか、テンプレートを作成することができます。

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Work Management** (作業管理) > **Checklist templates** (チェックリストのテンプレート).
2. [新規] を選択します。
3. [チェックリストテンプレートを作成] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

Field (フィールド)	説明
名前	チェックリストテンプレートの名前。
テンプレートからコピー	コピー元にできる既存のテンプレートのリスト。
チェックリストアイテム	テンプレートのチェックリストアイテム。 ◦ [テンプレートからコピー] リストからテンプレートを選択した場合は、そのテンプレートに関連するチェックリストアイテムが自動的に表示されます。各チェックリストアイテムには、編集可能な名前と順序があります。チェックリストアイテムをさらに追加できます ◦ 新しいテンプレートの場合は、[名前] フィールドと [順序] フィールドで各チェックリストアイテムの名前と順序を指定します。複数のチェックリストアイテムを追加できます。

4. **[OK]** を選択します。

タスクの結果
チェックリストテンプレートが作成され、[チェックリストテンプレート] リストに表示されます。作成したチェックリストテンプレートは編集できません。他のアプリケーションでも使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

返品タスクを通じて個人のストックルームにエンタープライズ資産を配送する

エンタープライズ資産技術者は、納品タスクを作成して、個人のストックルームにあるエンタープライズ資産を他のストックルームに配送するかどうかを管理します。宛先ストックルームの資産マネージャーは、持ち込まれた資産を受領し、資産を検証して、受領タスクと納品タスクを完了します。

予約されておらず、 エンタープライズ資産管理 ワークフローに含まれていないエンタープライズ資産をドロップオフできます。

資産をストックルームに配送するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. 納品タスクを作成します。
2. 宛先ストックルームに資産を納品します。

送信した納品タスクは、宛先ストックルームの資産マネージャーが次のタスクを完了した場合にのみ完了します。

1. 受領した資産を確認します。
2. [Receive (受領)] タスクを閉じます。

エンタープライズ資産の返品タスクの作成

個人のストックルームにあるエンタープライズ資産を他のストックルームに返却するための納品タスクを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [自分のストックルーム資産] タブを選択します。
   パーソナル倉庫にあるエンタープライズ資産のリストが表示されます。
3. [納品のスケジュール] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

新しい納品タスクの作成フォーム

Field (フィールド)	Description (説明)
倉庫	資産を納品する倉庫。 このフィールドは必須です。
配送期日	宛先ストックルームに資産を配送する期日。 このフィールドは必須です。
アサイン先グループ	納品タスクをアサインするアサイン先グループ。
Assigned to (アサイン先)	納品タスクを主に担当するアサイン先グループの担当者。

5. [保存] を選択します。

タスクの結果

[オープン] ステータスの返品タスクが作成され、[資産タスク] タブに一覧表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
エンタープライズ資産をストックルームに持ち込む.

エンタープライズ資産をストックルームに持ち込む

エンタープライズ資産を納品タスクに追加し、必要なストックルームに資産を配送します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、エンタープライズ資産を追加する返品タスクを選択します。
4. [**Drop off Assets** (資産の納品)] タブを選択します。
5. **[Add** (追加)] を選択します。
6. [資産の追加] ダイアログボックスで、資産を選択して [追加] を選択します。
   追加できるのは、個人のストックルームにあり、予約されておらず、どのワークフローにも含まれていないエンタープライズ資産のみです。

   納品タスクに追加された資産は、[資産の納品] タブに一覧表示されます。
7. 必要なストックルームに資産を納品します。
8. [納品] を選択します。

タスクの結果

- 受領タスクが作成され、資産を納品したストックルームの資産管理者に割り当てられます。
- 返品タスクのステータスが [対応中] に変わります。

返品タスクを通じて受領したエンタープライズ資産を検証する

資産アドミニストレーターとして、ストックルームに配送されたエンタープライズ資産を受領したことを確認し、[受領] タスクを完了します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、受領した資産を確認する受領タスクを選択します。
4. [**Drop off Assets** (資産の納品)] タブを選択します。
   ストックルームに持ち込まれた資産のリストが表示されます。

   注: 資産が検証される前に、 資産受領 済みフラグが **false** に設定されます。
5. 資産を選択します。
6. [検証] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ 資産受領フラグが **true** に変更されます。

◦ 受領日は、資産を検証した日付で更新されます。

7. すべての資産を確認したら、 タスクのクローズ を選択します。

タスクの結果

受領タスクとその納品タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

エンタープライズ資産の返品および受領タスクの作業時間を記録する

エンタープライズ資産ワークスペース内の資産の返品および受領タスクの作業時間を管理および記録します。 タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

返品タスクまたは受領タスクの作業時間を手動で記録する

エンタープライズ資産ワークスペースで、納品タスクまたは受領タスクの作業時間のエントリを手動で作成します。

始める前に

必要なロール：

- 返品タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_technician
- 受領タスクの作業時間を記録するには: sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).

2. [資産タスク] タブを選択します。

3. 資産タスクのリストから、時間を手動で記録するタスクを選択します。

4. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。
[作業を開始] オプションが [タイマーを開始] と [時間を記録] に自動的に変更されます。

5. [**Record Time** (時間を記録)] を選択します。

6. [時間を記録] ダイアログボックスで、作業時間の詳細を入力します。

a. タスクで作業した期間を [日]、[時間]、および [分] フィールドに入力します。

b. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。

7. [保存] を選択します。

タスクの結果

[作業時間] フォームが保存され、タイムカードがタスクの [作業時間] タブに追加されます。

エンタープライズ資産の返品タスクまたは受領タスクを一時停止

作業を続行していない場合は、 エンタープライズ資産ワークスペース の納品タスクまたは受領タスクの休憩を記録します。

始める前に

「対応中」ステータスの納品または受領タスクを一時停止できます。タスクを一時停止するオプションは、次のアクションを実行した後にのみ使用できます。

1. [作業を開始] を選択して、タスクの作業を開始したことを示します。

2. [タイマーの開始]を選択して、時間の記録を開始します。

必要なロール：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 返品タスクの作業時間を記録するには:sn_eam.enterprise_asset_technician
- 受領タスクの作業時間を記録するには: sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて
作業を再開すると、タスクを再開できます。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順
1. 移動先 ワークスペース > エンタープライズ資産ワークスペース > **Work management** (作業管理).
2. [資産タスク] タブを選択します。
3. 資産タスクのリストから、一時停止するタスクを選択します。
4. [作業の一時停止] を選択します。
   [作業の一時停止] が [作業の再開] に変わります。
5. アクティビティで再度作業する準備ができたら、[作業の再開] を選択します。

タスクの結果
タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。[作業時間] タブに作業時間のエントリが作成されます。

エンタープライズ資産管理要求とフローにサービスカタログを使用する

サービスカタログ アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産管理 アプリケーションのカタログ要求を作成します。

エンタープライズ資産要求フローの使用

エンタープライズ資産要求フローを使用して、 サービスカタログ アプリケーションからカタログアイテムを要求、調達、および展開します。

始める前に
Enterprise 資産を要求する前に、Enterprise 資産ワークスペースでその資産のモデルを既に作成し、そのモデルを サービスカタログ アプリケーションに公開していることを確認してください。

必要なロール：

- catalog_admin
- procurement_admin
- sn_eam.enterptrise_asset_manager
- sys_admin

このタスクについて
サービスカタログ アプリケーションからエンタープライズカタログアイテムの要求を作成します。カタログアイテムを標準のエンタープライズ資産要求フローに関連付けて、フローをトリガーします。

フローデザイナー アプリケーションを使用して標準のエンタープライズ資産要求フローを作成し、エンタープライズカタログアイテムを調達、調達、および展開するプロセスを案内します。フローでさまざまなステージを進むと、資産の詳細が自動的に更新されます。標準のエンタープライズ資産要求フローを開くと、フロー内のステージのステータスを表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. catalog_admin ロールの認証情報でログインし、 サービスカタログ > アイテムの管理.
2. エンタープライズカタログアイテムを開き、[フロー] フィールドで [標準エンタープライズ資産要求] を選択します。
   [フロー] フィールドが表示されていない場合は、メニューアイコンを右クリックして [フロー] フィールドをフォームレイアウトに追加します。 **Configure** (構成) > フォームレイアウト.
3. [保存] を選択します。
   これで、標準のエンタープライズ資産要求フローがエンタープライズカタログアイテムに関連付けられました。
4. Service Catalog アプリケーションに移動します。
5. システム_adminロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産 カタログを追加します。
   エンタープライズ資産カタログは、デフォルトでは [サービスカタログ] ページにはありません。
   このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にある [コンテンツを追加] アイコン [+] を選択し、[エンタープライズ資産] を選択します
6. sn_eam.enterptrise_asset_manager ロールの認証情報でログインし、 **Enterprise** 資産 カタログを選択します。
   [エンタープライズ資産] ページが開きます。
7. リストからカタログアイテムを選択します。
   カタログアイテムページが開きます。
8. [場所] フィールドで、カタログアイテムを展開する場所を選択します。
9. **[Order Now** (今すぐ注文)] を選択します。
10. procurement_admin ロールの認証情報でログインし、新しい要求を開きます。
11. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを選択します。
12. [カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
13. カタログタスクを開き、[ソース要求] を選択します。
14. [ソース要求] フォームレイアウトで、[転送注文を追加] または [発注書を追加] を選択して、転送注文または発注書を介して要求を調達します。
    カタログアイテムを調達した後 資産集荷タスクが有効になっている倉庫から資産が調達されている場合にのみ、要求アイテムの資産集荷タスクが作成されます。それ以外の場合資産集荷タスクなしで要求アイテムの展開タスクが作成されます。 詳細については、「」を参照してくださいでストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 ハードウェア資産ワークスペース。
15. [要求アイテム] 関連リストを選択し、要求アイテムを選択します。
16. [カタログタスク] 関連リストを選択します。
    - ソースストックルームで集荷タスクが有効になっている場合は、まず資産集荷タスクを完了してから展開タスクを完了します。
    - 集荷タスクが有効になっていない場合は、展開タスクを完了します。
17. モバイルエージェントアプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
    この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理」を参照してください。
    要求アイテムの展開タスクが作成されます。
18. **[Assigned to** (アサイン先)] フィールドに値を入力し、[**Deploy Asset** (資産の展開)] を選択します。
    シリアル化された資産の場合は、 使用中 状態としてマークされます。消耗資産の場合は、[消費済み] ステータスとしてマークされます。これで、標準のエンタープライズ資産要求フローで、資産の展開に関連付けられたアクションが完了しました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産のリフレッシュを要求

エンタープライズ資産のリフレッシュフローを使用して、ライフサイクルの終わりに近づいている資産を追跡し、それらを新しい資産と置き換えます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

資産が古くなると、メンテナンスコストと障害のリスクが増加し、パフォーマンスが低下します。古い資産を新しい資産の同じモデルまたは異なるモデルに置き換えることができます。エンタープライズ資産のリフレッシュ要求が承認されると、エンタープライズ資産のリフレッシュフローでソーシングが実行され、エンタープライズ資産のリフレッシュラインフローがトリガーされます。Enterprise 資産のリフレッシュラインフローでは、リフレッシュラインタスクを使用して、新しい資産の準備、配送のスケジュール設定、展開、古い資産の再利用のステップを実行します。

フローデザイナー アプリケーションは、エンタープライズ資産のリフレッシュフローとエンタープライズ資産のリフレッシュラインフローを作成するために使用されます。

手順

1. Service Catalog アプリケーションに移動します。
2. sys _admin ロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産ライフサイクル カタログを追加します。
   デフォルトでは、エンタープライズ資産ライフサイクルカタログは [Service Catalog] ページにはありません。このカタログを追加するには、検索カタログバーの横にある [コンテンツ] を選択し、[エンタープライズ資産ライフサイクル] を選択します。
3. sn_eam.enterptrise_asset_manager のロールの認証情報でログインし、 エンタープライズ資産ライフサイクル カタログを選択します。
   [エンタープライズ資産のライフサイクル] ページが開きます。
4. 移動先 サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
   デフォルトでは、エンタープライズ資産ライフサイクルカタログは [Service Catalog] ページにはありません。このカテゴリを追加するには、検索カタログバーの横にあるコンテンツの追加アイコン (コンテンツ) を選択し、[エンタープライズ資産ライフサイクル] を選択します。
5. エンタープライズ資産のリフレッシュ注文を開きます。
6. すべての古いエンタープライズ資産を新しいエンタープライズ資産の同じモデルに置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [リフレッシュ リストのタイプ] フィールドから [単一モデル] を選択します。

   b. フォームのフィールドに入力します。

[エンタープライズ資産のリフレッシュ] フォーム

フィールド	説明
ロケーション	古いエンタープライズ資産の物理的な場所。
交換用モデル	古いエンタープライズ資産を置き換える新しいエンタープライズ資産モデル。
資産	置き換える古いエンタープライズ資産。フィルターを使用して、置き換えるエンタープライズ資産を検索できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
利用可能	[資産] ページの [更新対象] チェックボックスがオンになっている資産のみを表示します。提供終了間近のすべての資産を表示するには、条件 [更新対象が `false` です] を実行します。 注: [更新対象] チェックボックスの詳細については、「エンタープライズ資産の資産フィールド」を参照してください。

7. 古いハードウェア資産を新しいハードウェア資産の異なるモデルと置き換える場合は、次の手順を実行します。

   a. [更新のタイプ] フィールドから [マルチモデル] を選択します。

   b. **[Add** (追加)] を選択します。

   c. 使用する新しいエンタープライズ資産ごとに、エンタープライズモデルを入力する行を追加します。

      注: 50 行を作成できます。交換する同じ古いハードウェア資産に対して複数の行を作成することはできません。

8. **[Order Now** (今すぐ注文)] を選択します。
   [注文ステータス] ページが表示され、注文の詳細が表示されます。新しいエンタープライズ資産を調達し、古いエンタープライズ資産を置き換える要求が作成されます。要求フォームには、すべての新しいエンタープライズ資産モデルの合計価格が表示されます。

老朽化したエンタープライズ資産を置き換える

新しいエンタープライズ資産を調達して、古いエンタープライズ資産を置き換えます。

始める前に

必要なロール：inventory_user

このタスクについて

エンタープライズ資産をリフレッシュする場合、資産レコードを手動で更新する必要はありません。エンタープライズ資産の更新ラインを閉じると、資産レコードと資産が自動的に更新されます。各タスクを閉じて次のタスクに進み、リフレッシュを完了し、古い資産を再利用します。

新しい資産を調達した後、資産の更新は次のステージで完了します。

- 資産準備タスク:ユーザーに渡す前に新しい資産を準備します。たとえば、必要なソフトウェアをインストールします。
- リフレッシュタスクをスケジュール:資産を要求者に渡す日付をスケジュールします。
- 新しい資産の展開:資産を要求者に渡すか、必要に応じて要求者の場所に資産をインストールします。
- 古い資産の再利用:古い資産を収集します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. ハードウェア資産のリフレッシュ要求を選択します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. 移動先 すべて > サービスカタログ > レコードを開く > 要求. b. 実行するエンタープライズ資産リフレッシュ要求の要求番号を選択します。
エンタープライズ資産ワークスペース	a. 移動先 すべて > エンタープライズ資産ワークスペース > 調達ビュー. b. [要求] タブを選択します。 c. 実行するエンタープライズ資産リフレッシュ要求の要求番号を選択します。

エンタープライズ資産の更新要求が承認されると、次のイベントが発生します。

- ソース要求フローがトリガーされ、新しい資産が調達されます。
- [カタログタスク] タブで、新しいエンタープライズ資産の調達のためのカタログタスクが作成されます。

2. [要求アイテム] 関連リストで、要求アイテムを開きます。
Enterprise 資産要求が承認されると、ソース要求フローがトリガーされます。[カタログタスク] 関連リストの下に、新しいエンタープライズ資産を調達するためのカタログタスクが作成されます。
3. 要求内のソースアイテム。
要求内の品目は、ローカル在庫を消費するか、発注書または移動注文によって調達できます。

   品目の調達の詳細については、「 サービスカタログ要求でのアイテムの調達」を参照してください。

   新しい資産が受領されると、次のイベントが発生します。

   - 資産に対して Enterprise 資産リフレッシュラインフローがトリガーされます。
   - [エンタープライズ資産のリフレッシュライン] タブは、要求アイテムフォームの [資産タスク] タブの横に表示されます。
   - 資産集荷タスクは、要求されたアイテムが、資産集荷タスクが有効になっているローカルストックルームから消費される場合にのみ、リフレッシュラインタスクの下に作成されます。それ以外の場合は、集荷タスクなしで直接 資産準備タスク が作成されます。詳細については、「でストックルームの資産集荷タスクを有効にします。 エンタープライズ資産ワークスペース」を参照してください。
4. [**Enterprise Asset Refresh Line**] タブを選択します。
5. エンタープライズ資産のリフレッシュ行を選択します。
6. [リフレッシュラインタスク] タブを選択します。
7. モバイルエージェントアプリケーションを使用して資産集荷タスクを完了します。
この手順を完了する方法の詳細については、「 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、倉庫内のエンタープライズ資産を見つけて集荷する」を参照してください。
8. 資産を準備します。
   a. [**Prepare asset** (資産を準備)] タスクを選択します。
   b. [資産] フィールドで、置き換えるエンタープライズ資産を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

c. [保存] を選択します。

d. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

- [Schedule refresh] タスクが [Refresh Line Tasks] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [予約済み] に変わります。
- [**Reserved for**] フィールドに要求者の詳細が入力されます。

9. [リフレッシュのスケジュール] タスクを完了します。

a. [リフレッシュのスケジュール] タスクを選択します。

b. [スケジュールされた展開日] フィールドで、新しい資産が展開される日付を選択します。

c. [**Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

- [Deploy new asset (新しい資産の展開)] タスクが [Refresh Line Tasks (ラインタスクのリフレッシュ)] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [在庫あり] に変わり、サブステートが [インストール待ち] に変わります。

10. [Deploy new asset (新しい資産の展開)] タスクを完了します。

a. [新しい資産を展開] タスクを選択します。

b. [再利用済み] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
- 古い資産を回収しなかった場合は、 いいえ を選択します。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:** [再利用済み] リストから [はい] を選択した場合、[古い資産の再利用] タスクもデフォルトでクローズされます。

- 古い資産の再利用タスクは、[明細タスクを更新] の下に作成されます。
- 交換用資産のステータスが [使用中] に変わります。
- 割り当ては、古い資産から交換用資産に転送されます。

11. 古い資産の再利用を完了します。

a. [古い資産の再利用] タスクを選択します。

b. [再利用済み] リストで古い資産を再利用したかどうかを確認します。

- 古い資産を収集した場合は、 [はい] を選択します。
- 古い資産を回収しなかった場合は、 いいえ を選択します。

c. **[Close Task** (タスクをクローズ)] を選択します。

> **注:** エンタープライズ資産の明細の更新をキャンセルするには 、[キャンセル] を選択するか、[明細の更新] タスクで [状態] フィールドを [未完了でクローズ] に変更します。

タスクの結果

古いエンタープライズ資産が再利用されると、資産フォームで次の変更が行われます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 経過した資産のステータスが [在庫あり] に変わります。
- サブステートが [廃棄待ち] に変わります。

資産再販フローの作成

無駄を減らしコストを節約するために、再販される資産の資産再販フローを作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

資産ベンダーは、どの資産が再販可能か、またその価値を確認する必要があります。

非ターミナルステータス (資産が別のステータスに移行できるステータス) の資産のみが、エンタープライズ再販オーダーを通じて再販できます。各資産は、エンタープライズモデルまたはパレットモデルのいずれかにも関連付ける必要があります。単純なアセットを追加できます。事前に組み立てられた資産とユーザーが組み立てた資産を含むマルチコンポーネント資産。および子を持つパレット資産をエンタープライズ再販オーダーに関連付けます。

注: 子を持つパレット資産を再販オーダーに追加する場合、パレット資産に加えた変更はすべての子資産に自動的に適用されます。

手順

1. に移動します。 サービスカタログ > エンタープライズ資産のライフサイクル.
2. [エンタープライズ再販オーダー] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
4. 資産を追加して注文を送信します。
   資産再販要求が送信されたら、Enterprise 資産ワークスペースに移動して要求を履行できます。
5. 移動先 **Inventory** (インベントリ) > 再販注文.
6. 次に、各タスクを実行します。
7. [資産を検証] を選択して資産を選択し、検証します。
   資産の検証タスクを完了する前に、廃棄注文に対して資産を追加または削除できます。消耗品の数量を編集することもできます。
8. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
   ワークフローの次のタスクである [Schedule pickup (集荷のスケジュール)] が自動的に作成され、[**Enterprise Asset Resale Tasks** (エンタープライズ資産再販タスク)] タブに表示されます
9. [集荷をスケジュール] を選択して、倉庫から資産を集荷できるタイミングとベンダーの詳細を指定します
10. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [輸送中] に変わり、資産の切り離しタスクが作成されます。
11. [Asset departure (資産の出発)] タスクを選択し、再販のために出発する各資産と集荷連絡先の詳細を選択します。
12. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージが [確認] に変わり、ベンダー確認タスクが作成されます。
13. ベンダーが資産を受領したことを確認したら、[ベンダー確認] タスクを選択します。
14. [Close Task (タスクをクローズ)] を選択します。
    ステージがドキュメントに変わり、再販ドキュメントタスクが作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求の作成

単一のモデルで複数の資産をオンボーディングするためのカタログ要求を作成します。

始める前に

必要なロール:enterprise_asset_technician

このタスクについて

カタログ要求を送信するには、少なくとも 1 つの資産が必要です。各カタログ要求には、最大 50 個の資産を含めることができます。

手順

1. 移動先 サービスポータル > 要求 > エンタープライズ資産のライフサイクル.
   サービスカタログから エンタープライズ資産ライフサイクル に移動することもできます。
2. **[Assets Onboarding]** を選択します。
   [資産のオンボーディング (Asset Onboarding)] ページが開きます。
3. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	**Description** (説明)
期限	資産オンボーディングを完了する必要がある日付。 このフィールドはオプションです。
要求元	資産を要求された人物。 このフィールドはオプションです。
倉庫	資産のストックルームを選択します。
新しいモデルである	作成する新しいモデルのこのチェックボックスをオンにします。選択したら、次の情報を入力します。 ◦ Manufacturer (メーカー) ◦ モデル名 ◦ モデル番号 ◦ 簡単な説明 **注:** 上記の情報は、モデルレコードを作成するために収集されます。モデルレコードは エンタープライズ資産ワークスペースに作成されます。
モデル	資産の既存のモデルレコードを選択します。
追加	新しい資産を作成するための情報を入力する場合に選択します。[行の追加] ダイアログボックスで、次の情報を入力し、[追加] を選択します。 ◦ Serial number (シリアル番号) ◦ Asset tag (資産管理番号)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	◦ RFID タグ ◦ コメント 別の資産を入力するには、もう一度 [追加] を選択します。 注: 上記の情報は、資産を作成するために収集されます。資産レコードは、エンタープライズ資産マネージャーによってエンタープライズ資産ワークスペース 作成されます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。
   カタログ要求が送信されると、要求アイテムが作成されます。要求アイテムに関連付けられた資産オンボーディングタスクも作成され、マルチ資産プレイブックがトリガーされます。

次のタスク
enterprise_asset_managerロールは、 エンタープライズ資産ワークスペースからマルチアセットプレイブックを起動できます。

エンタープライズ資産を再利用するためのカタログ要求を作成する

従業員が組織を離れたり、別のロールに異動したりしたときに、エンタープライズ資産を効率的に再利用するためのカタログ要求を作成します。

始める前に
必要なロール:組織内のすべての従業員。

手順

1. サービスカタログアプリケーションに移動します。
2. [Service Catalog] ページで、ページの右側にある [Search catalog] フィールドに「`Reclaim asset`」と入力します。
3. [**Reclaim Asset** (資産の再利用)] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

資産の再利用フォーム

フィールド	説明
要求者	この要求を作成するユーザーのロール。次のオプションのいずれかを選択します。 ◦ **HR** ◦ マネージャー ◦ ユーザー ◦ 資産マネージャー (要求がenterprise_asset マネージャーロールまたは資産ロールによって作成されている場合のみ)
要求元	カタログ要求を送信するユーザーの名前。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	注: 要求がenterprise_asset_managerロールによって作成されている場合、このフィールドは必須ではありません。
従業員の離職	資産再利用を送信する対象の人物が組織を離れるか、別のロールに異動するかを指定します。
資産	資産再利用を送信する対象の人物に割り当てられた資産。
再利用日	資産を再利用する期日。今日の日付または将来の日付を入力できます。
再利用方法	退職する従業員から資産を回収するために使用する予定の方法。自分が資産を集荷したり、従業員が資産を納品したり、組織に出荷したりできます。
訴訟ホールドの方法	法的な理由により資産を保留する必要がある場合。
メモ/特別な指示	言及する必要がある指示。

5. **[Submit** (送信)] を選択します。
エンタープライズ資産再利用要求が作成されます。要求が作成されると、enterprise_asset_technicianロールは Enterprise 資産ワークスペースに移動して再利用ラインを表示し、タスクを完了します。詳細については、「エンタープライズ資産再利用要求のクローズ」を参照してください。

自動翻訳

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産とタスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産、資産タスク、および作業指示タスクを作成および管理します。

モバイルエージェント アプリケーションでのエンタープライズ資産の作成

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、シリアル化されたエンタープライズ資産またはマルチコンポーネントエンタープライズ資産を作成します。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

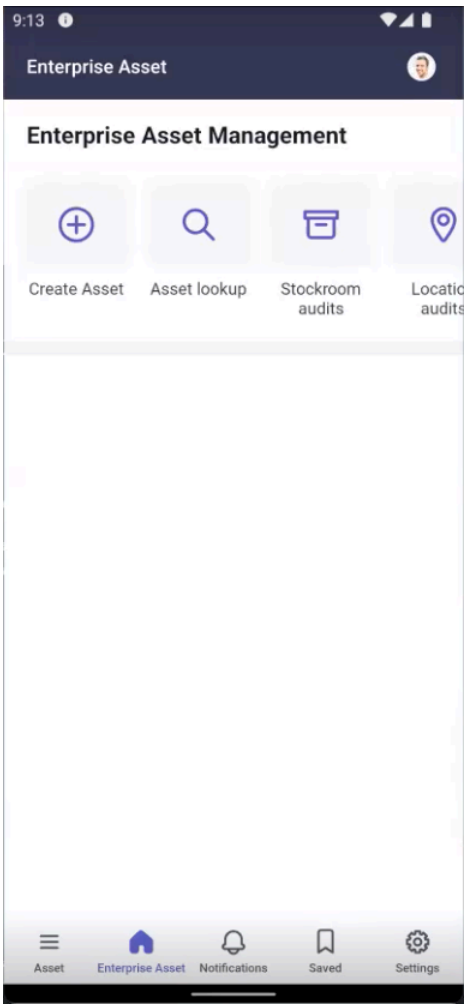
重要: モバイルエージェント アプリケーションを使用して作成したエンタープライズ資産は、構成管理データベース (CMDB) クラス階層内の Enterprise 優良モデル [sn_ent_model] クラスによって分類されたエンタープライズモデルにのみ関連付けることができます。エンタープライズモデルクラスの詳細については、「 展開されたモデルおよび資産クラスストアアプリケーション 」を参照してください。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面が開きます。



3. 「 アセットを作成」をタップします。
[シリアル番号] 画面が開きます。
4. オプション: エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンするか入力して、資産が既に存在するかどうかを確認します。
この検証をスキップする場合は、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに直接進みます。ステップ 5 に進み、資産タグに基づいて資産の存在を確認するか、 ステップ 6 に進み、両方の検証をスキップして資産作成プロセスを続行できます。

   a. モバイルデバイスのカメラを使用して、シリアル番号をスキャンします。
   [シリアル番号]フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

   b. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。

      - エンタープライズ資産が既に存在する場合は、対応する資産レコードの資産の詳細を検証します。

        i. エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面に戻ります。

        ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

iv. (Optional) [送信] をタップします。

v. (Optional) 対応する資産レコードのリストから、資産の詳細を検証する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を検証します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

5. オプション: エンタープライズ資産に資産タグが含まれている場合は、資産タグをスキャンするか資産タグ値を入力して、資産が既に存在するかどうかを確認します。
この検証をスキップする場合は、 ステップ 6 に直接進み、資産作成プロセスを続行します。

a. [資産を作成] フォームで、[資産タグ] フィールドをタップします。

b. モバイルデバイスのカメラを使用して、資産管理番号をスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。

c. エンタープライズ資産が存在するかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。

- エンタープライズ資産が既に存在する場合は、対応する資産レコードの資産の詳細を検証します。

i. エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面に戻ります。

ii. (Optional) [資産ルックアップ] をタップします。

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

iii. モバイルデバイスのカメラを使用して、エンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。

iv. (Optional) [送信] をタップします。

対応する資産レコードリストが開きます。

v. (Optional) 資産の詳細を確認する資産レコードをタップします。

資産レコードが開きます。

vi. 指定されたエンタープライズ資産のすべての資産の詳細を検証します。

vii. 必要に応じて資産の詳細を更新します。

- エンタープライズ資産がまだ存在しない場合は、 ステップ 7 に進み、資産作成プロセスを続行します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

6. 「アセットを作成」フォームで、「 送信」をタップします。
   エンタープライズ資産の完全なリストが開きます。
7. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
8. メニューが開いたら、[**Create Asset** (アセットを作成)] をタップします。
   [資産タグ] 画面が開きます。
9. Enterprise 資産に資産タグが含まれているかどうかに応じて、次のいずれかのオプションに進みます。
   - Enterprise 資産に資産タグが含まれている場合は、モバイルデバイスのカメラを使用してタグをスキャンします。[資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。資産タグを正常にスキャンするか、資産タグ値を入力したら、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして [資産を作成] フォームに進みます。[資産を作成] フォームの [資産タグ] フィールドは、スキャンまたは入力した資産タグ値で自動的に更新されます。
   - Enterprise 資産に資産タグが含まれていない場合は、画面の左上隅にある戻る矢印をタップして資産タグのスキャンをスキップし、[資産を作成] フォームに直接進んでください。
10. エンタープライズ資産にシリアル番号が含まれている場合は、シリアル番号をスキャンするか入力します。

    a. [資産を作成] フォームで、[シリアル番号] フィールドをタップします。
       [シリアル番号] 画面が開きます。

    b. モバイルデバイスのカメラを使用して、シリアル番号をスキャンします。
       [シリアル番号]フィールドにシリアル番号を手動で入力することもできます。

    c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[資産を作成] フォームに戻ります。
       [資産を作成] フォームの [シリアル番号] フィールドは、スキャンまたは入力したシリアル番号で自動的に更新されます。

11. エンタープライズ資産をエンタープライズモデルに関連付けます。

    a. [資産を作成] フォームで、[モデル] フィールドをタップします。
       [モデル] 画面が開きます。

    b. 利用可能なエンタープライズモデルのリストから、エンタープライズ資産を関連付けるモデルを選択します。
       画面が閉じて [資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [モデル] フィールドは、選択したエンタープライズモデルで自動的に更新されます。

12. エンタープライズ資産のステータスを指定します。

    a. [資産を作成] フォームで、[ステータス] フィールドをタップします。
       [ステータス] 画面が開きます。

    b. 利用可能な状況のリストから、エンタープライズ資産の現在の状況を選択します。
       画面が閉じて [資産を作成] フォームに戻ります。

    [資産を作成] フォームの [ステータス] フィールドは、選択したステータスで自動的に更新されます。この選択されたステータスに基づいて、[資産を作成] フォームに追加のフィールドが表示されます。

13. ステップ 11 で指定したエンタープライズ資産の状態に基づいて、[資産の作成] フォームに表示される追加のフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

14. [送信] をタップします。
    フォームが閉じ、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションのホーム画面が自動的に戻ります。

タスクの結果
エンタープライズ資産は、対応する構成アイテム (CI) とともに作成されます。

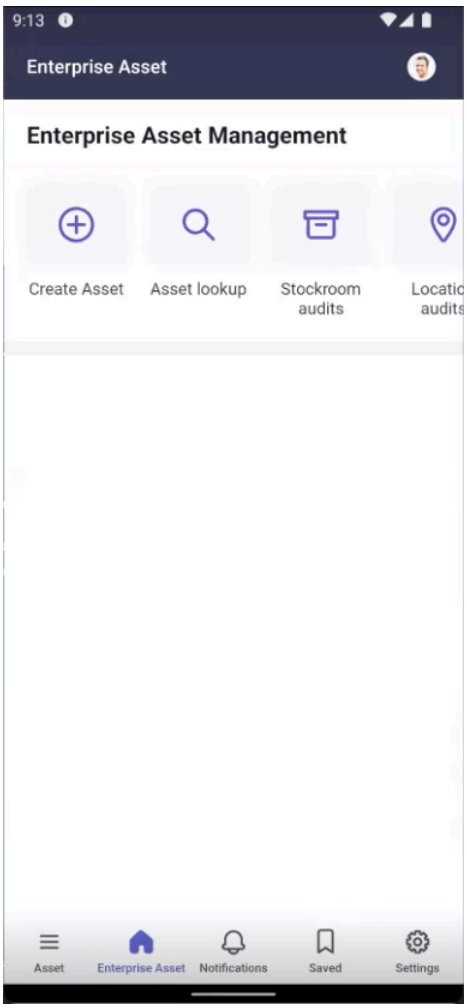
モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の検索

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して資産レコードを検索し、エンタープライズ資産の詳細を表示または更新できるようにします。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
   エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面が開きます。



3. [資産ルックアップ] をタップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

[資産ルックアップ] 画面が開きます。

4. モバイルデバイスのカメラを使用して、検索する Enterprise 資産の資産タグをスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。
5. [送信] をタップします。
対応する資産レコードリストが開きます。
6. 表示または更新する資産レコードをタップします。
資産レコードが開きます。
7. 必要に応じて資産の詳細を表示または更新します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、倉庫の在庫監査のためにエンタープライズ資産をスキャンする

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルームのインベントリ監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンしたら、 ServiceNow インスタンスの監査を完了できます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産がどこにあるか、および現在のステータスを把握します。

始める前に

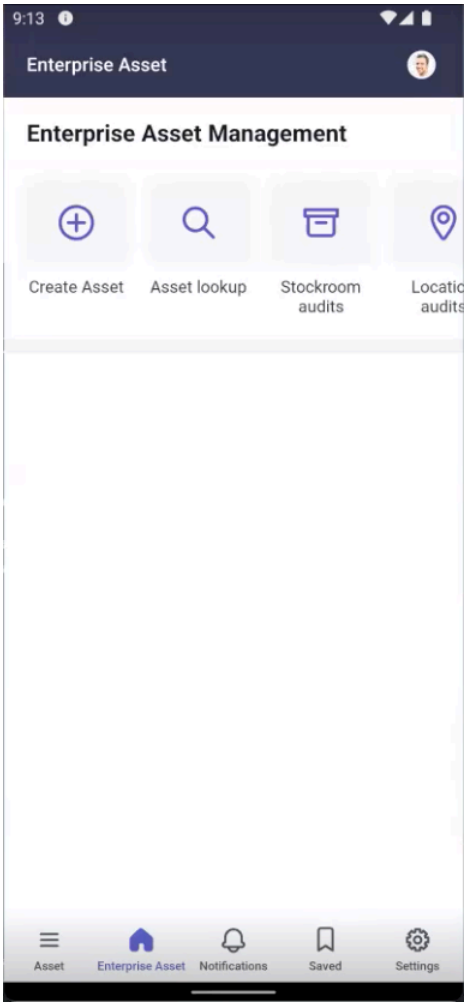
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [ストックルームの監査] をタップします。
   [ストックルームの監査] 画面が開き、オープンな監査と完了したすべての監査を表示できます。
4. 目的の倉庫監査がまだ存在しない場合は、新規の倉庫監査を開きます。

   a. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しい倉庫の監査] をタップします。
      [新しい倉庫の監査] 画面が開きます。

   c. 監査するストックルームを選択します。

   d. [送信] をタップします。
      自動的に [ストックルームの監査] 画面に戻り、[オープン] タブに新しいストックルームの監査が表示されます。

5. [開く] タブで、完了する倉庫の監査をタップします。
   ストックルームの監査レコードが開きます。
6. ストックルームの監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
7. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
   [資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

8. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
   エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
9. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、ステップ 7 と 8 を繰り返します。
10. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
    リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン (をタップします。
11. [送信] をタップします。
    [資産スキャン] 画面が閉じ、自動的にストックルームの監査レコードに戻ります。ストックルームの監査レコードの [詳細] タブで、[予定]、[予定外] および [場所修正済み]、[欠損]、および [新規] の各フィールドが、スキャンまたは資産タグの値を入力したエンタープライズ資産に基づいて更新されます。
12. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
13. メニューが開いたら、[完了]をタップします。

次のタスク

ServiceNowインスタンスのインベントリ監査を完了します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産インベントリの監査」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、場所インベントリ監査のためにエンタープライズ資産をスキャン

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、場所のインベントリ監査に含めるエンタープライズ資産をスキャンします。すべてのエンタープライズ資産をスキャンしたら、ServiceNow インスタンスの監査を完了できます。監査結果を使用して、エンタープライズ資産がどこにあるか、および現在のステータスを把握します。

始める前に

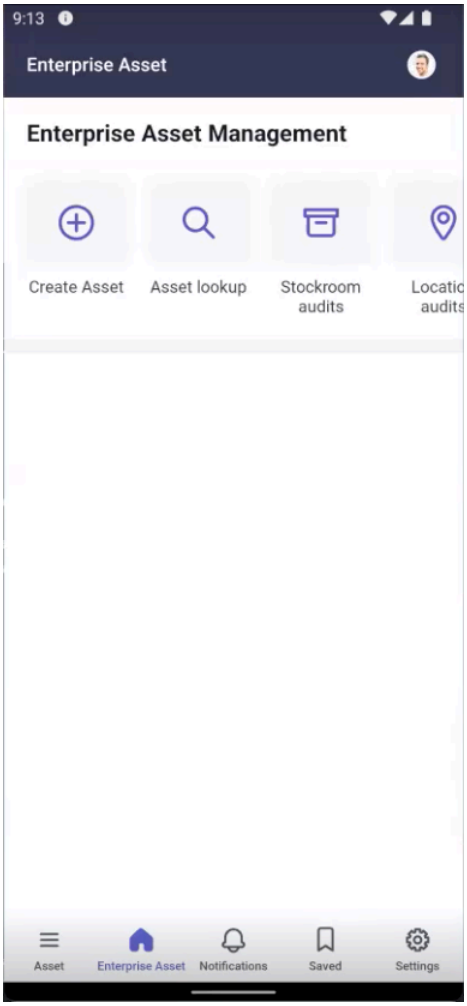
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
   エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [場所の監査] をタップします。
   [場所の監査] 画面が開き、すべてのオープンおよび完了した監査を表示できます。
4. 目的の場所の監査がまだ存在しない場合は、新しい場所の監査を開きます。

   a. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。

   b. メニューが開いたら、[新しい場所の監査] をタップします。
      [新しい場所の監査] 画面が開きます。

   c. 監査する場所を [場所] フィールドで選択します。

   d. 選択した場所の子場所も監査する場合は、[子場所を含める] オプションを有効にします。

      注: このオプションを有効にすると、次の資産を監査に含めることもできます。
      - ユーザー組立エンタープライズ資産の子資産
      - 事前に組立された単純なエンタープライズ資産のアドオン資産
      - パレット内に保管されている資産

   e. [送信] をタップします。
      自動的に [場所の監査] 画面に戻り、[オープン] タブに新しい場所の監査が表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [開く] タブで、完了する場所の監査をタップします。
   場所の監査レコードが開きます。
6. 場所の監査レコードの [詳細] タブで、[監査を開始] をタップします。
7. 場所の監査レコードの左上隅にある戻る矢印をタップして、[場所の監査] 画面に戻ります。
8. [場所の監査] 画面の [開く] タブで、開始したばかりの場所の監査をタップします。
   場所の監査レコードが開きます。
9. 場所の監査レコードの [詳細] タブで、[スキャン] をタップします。
   [資産スキャン] 画面が開きます。
10. モバイルデバイスのカメラを使用して、監査に含めるエンタープライズ資産の資産タグをスキャンします。
    [資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。
11. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
    エンタープライズ資産は、[資産スキャン] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。
12. 監査に含めるすべてのエンタープライズ資産について、ステップ 7 と 8 を繰り返します。
13. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
    リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン ( をタップします。
14. [送信] をタップします。
    [資産スキャン] 画面が閉じ、自動的に場所の監査レコードに戻ります。場所の監査レコードの [詳細] タブで、[予定]、[予定外] および [位置修正済み]、[欠損]、および [新規] フィールドが、資産タグ値をスキャンまたは入力した Enterprise 資産に基づいて更新されます。
15. 画面の右上隅にあるその他のオプションメニューをタップします。
16. メニューが開いたら、[完了]をタップします。

次のタスク

ServiceNowインスタンスのインベントリ監査を完了します。詳細な手順については、「エンタープライズ資産インベントリの監査」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産を検証し、切り離して廃棄する

ServiceNow® モバイルエージェント アプリケーションを使用して、廃棄するエンタープライズ資産の検証と解除を完了します。

始める前に

エンタープライズ資産の検証または切り離しを完了する前に、その資産の廃棄注文を作成します。詳細な手順については、「Enterprise 資産ワークスペースで廃棄注文を作成する」を参照してください。

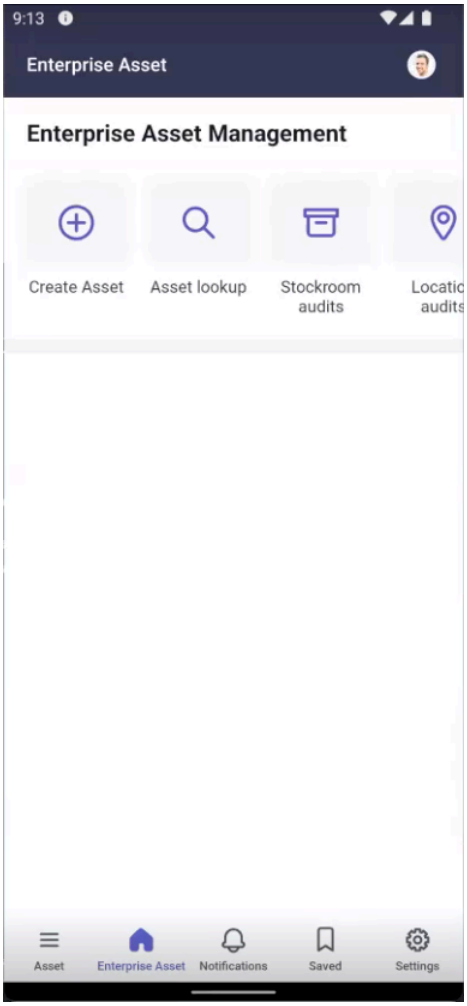
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin または sn_eam.enterprise_asset_manager

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[エンタープライズ資産] タブをタップします。
   ナビゲーションバーには、モバイルエージェントアプリケーションからアクセスできるServiceNowアプリケーションとアプレットのタブが表示されます。ナビゲーションバーには、モバイルエージェント アプリケーション設定と通知のタブも表示されます。
   エンタープライズ資産管理アプリケーションのホーム画面が開きます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



3. [資産の処分] をタップします。
   [資産廃棄] 画面が開き、エンタープライズ資産廃棄注文のすべてのオープンな検証タスクと切り離しタスクを表示できます。
4. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産に検証が必要な場合は、その廃棄注文の検証タスクを完了します。

   a. [検証] タブで、完了する検証タスクをタップします。
      [検証] 画面が開きます。

   b. [未検証] フィールドをタップすると、この検証タスクによる検証が必要なエンタープライズ資産の完全なリストが表示されます。

   c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、[検証] 画面に戻ります。

   d. [スキャン]をタップします。
      [資産のスキャンと検証] 画面が開きます。

   e. モバイルデバイスのカメラを使用して、検証する Enterprise 資産の資産タグをスキャンします。
      [資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。

   f. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産は、[資産のスキャンと検証 (Scan and verify assets)] 画面の [レビュー **(Review**)] タブに自動的に追加されます。

g. 検証するすべてのエンタープライズ資産について、手順 e と f を繰り返します。

h. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン ( をタップします。

i. [送信] をタップします。
[資産のスキャンと検証] 画面が閉じ、自動的に [検証] 画面に戻ります。[検証] 画面の [予定]、[検証済み]、および [未検証] の各フィールドは、スキャンした、または資産タグ値を入力した Enterprise 資産に基づいて更新されます。

j. [完了] をタップします。
[検証] 画面が閉じ、自動的に [資産廃棄] 画面に戻ります。

5. 廃棄注文に関連付けられているエンタープライズ資産の切り離しが必要な場合は、その廃棄注文の切り離しタスクを完了します。

a. [出発] タブで、完了する出発タスクをタップします。
[切り離し] 画面が開きます。

b. [切り離されていません] フィールドをタップして、この切り離しタスクを通じて切り離す必要があるエンタープライズ資産の完全なリストを表示します。

c. 画面の左上隅にある戻る矢印をタップして、出発画面に戻ります。

d. [スキャン]をタップします。
[資産をスキャンして切り離す] 画面が開きます。

e. モバイルデバイスのカメラを使用して、切り離す Enterprise 資産の資産タグをスキャンします。
[資産タグ] フィールドに資産タグの値を手動で入力することもできます。

f. モバイルデバイスのキーボードのEnterキーをタップします。
エンタープライズ資産は、[資産をスキャンして切り離す] 画面の [レビュー] タブに自動的に追加されます。

g. 切り離すすべてのエンタープライズ資産について、手順 e と f を繰り返します。

h. 必要なすべてのエンタープライズ資産の資産タグ値をスキャンまたは入力したら、[レビュー] タブに移動して完全なリストを確認します。
リストからエンタープライズ資産を削除する場合は、そのエンタープライズ資産の [削除] アイコン ( をタップします。

i. [送信] をタップします。
[資産をスキャンして切り離す] 画面が閉じ、自動的に [切り離し] 画面に戻ります。[切り離し] 画面の [予定]、[切り離し済み]、および [未 出発] フィールドは、スキャンまたは資産タグ値を入力した Enterprise 資産に基づいて更新されます。

j. [集荷連絡先名] フィールドをタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[ピックアップ連絡先名 (Pick up contact name)] 画面が開きます。

k. [集荷連絡先名] フィールドに、出発するエンタープライズ資産を集荷する人の名前を入力します。

l. [送信] をタップします。
[集荷連絡先名 (Pick up contact name)] 画面が閉じ、自動的に [出発] 画面に戻ります。[出発] 画面の [集荷連絡先名] フィールドが入力した名前で更新されます。

m. [完了] をタップします。
[切り離し] 画面が閉じ、自動的に [資産処分] 画面に戻ります。

次のタスク
ServiceNowインスタンスの残りの廃棄注文タスクを完了します。エンタープライズ資産廃棄注文タスクの詳細については、「 エンタープライズ資産廃棄注文ステージ 」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産管理タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、すべての作業指示タスクと資産タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したタスクの表示

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスク、資産タスク、および資産修復タスクを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager、または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
[マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. [すべて表示] を選択して、自分にアサインされたすべてのタスクを表示します。
4. オプション: フィールド値でタスクをフィルタリングします。
   a. フィルターアイコン( )をタップします。
   b. タスクをフィルタリングするフィールド (期日、 資産、 場所、 または優先度) に値を入力します。
5. オプション: タスクを並べ替えます。
   a. フィルターアイコン( )をタップします。
   b. [並べ替え] をタップします。
   c. タスクをソートするためのフィールドを選択します。

モバイルエージェントアプリケーションを使用したグループタスクの自分へのアサイン

モバイルエージェント アプリケーションを通じてアサイン先グループにアサインされたタスクから処理する要求タスク。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイ タスク] アプリケーションのホーム画面が開き、[マイ グループ タスク] リンクと、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. [自分のグループタスク] をタップして、グループにアサインされたタスクのリストを表示します。
4. 自分にアサインするタスクをタップし、[自分にアサイン] をタップします。

タスクの結果
アサインされたタスクが [自分のタスク] リストに表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクの作業を開始する

自分にアサインされたタスクの作業開始を モバイルエージェント アプリケーションで示します。タスクの作業を開始すると、開始時間が自動的に記録されます。

始める前に
必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始するタスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果

- [**Details** (詳細)] タブで、[**Start Work** (作業を開始)] リンクが [**Complete Work automatically** (作業を自動的に完了)] に変わります。
- [作業を一時停止] および [時間を記録] オプションを含むその他のアクション •••) が画面の右上隅に表示されます。
- 開始時間は自動的に記録されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクの作業時間を記録する

作業指示タスクと資産タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したタスクの一時停止

作業を続行していない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションで作業指示タスクまたは資産タスクの休憩を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に

タスクの作業開始時にタイムカードが自動的に作成されるようにするには、*work.management.allow.auto.timecard*システムプロパティを有効にする必要があります。

必要なロール：

- 作業指示タスクを処理するには:wm_agent および sn_eam.enterprise_asset_technician
- 資産集荷タスクを処理するには:sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. 画面の右上隅にあるその他の ( ) をタップし、[作業の一時停止] をタップします。
   [詳細] タブで、[完了してクローズ] オプションが [作業の再開] に変わります。
7. アクティビティを再開する準備ができたら、「 作業を再開 」をタップします。

タスクの結果

タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[作業時間] タイムカードに作成されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、タスクの作業時間を手動で記録する

作業指示タスクまたは資産タスクの作業時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに関する追加のコメントを入力します。

始める前に

必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_manager

このタスクについて

作業指示タスクまたは進行中の資産タスクの時間を記録できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示され表示されない 場合は、[すべて表示]をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録するタスクレコードをタップします。
6. [その他のアクション] アイコン (•••) または [詳細] タブから [時間を記録] に移動します。
   - 画面の右上隅にあるその他の •••)をタップし、[時間を記録]をタップします。
   - [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業日] フィールドに日付を指定します。
      デフォルトでは、このフィールドは現在の日付に設定されています。
   b. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。
   c. オプション: [コメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
[作業時間] フォームが保存され、タイムカードが [作業時間] リストに追加されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクの部品を調達する要求を開始します

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクに関連付けられたエンタープライズ資産の不足している部品を調達する要求を開始します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_manager または wm_agent

このタスクについて
モバイルエージェント アプリケーションで作業指示タスクに関連付けられた部品要件の作業はできますが、部品要件を作成することはできません。

ソーシングワークフローは、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してのみ開始できます。調達フローは エンタープライズ資産ワークスペース内でのみ完了できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. ソース部品要求を作成するタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 不足している部品の調達を要求するタスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [Part Requirements (部品要件)] セクションには、作業指示タスクに関連付けられた最初のいくつかの部品要件レコードを含むリストが表示されます。
7. ソース部品要求を作成する部品が表示され表示されない 場合は、「 すべて表示」をタップします。
8. オプション: 調達する部品の必要数量を更新します。
   a. 部品要件レコードをタップします。
   b. [部品要件] フォームで、[必要数量] フィールドに数量を入力します。
   c. **[Submit** (送信)] をタップします。
9. 「 部品リクエストを調達」をタップします。

タスクの結果

- 部品を調達するためのカタログ要求が作成されます。
- 部品要件レコードのステータスが [未要求] から [要求済み] に変わります。
- [Requested items (要求アイテム)] リストに、未解決の作業指示部品要求が自動的に作成されます。

次のタスク

要求された部品の調達を エンタープライズ資産ワークスペース内で完了する必要があります。詳細については、「エンタープライズ資産管理作業指示または作業指示タスクの部品を調達する」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用した資産集荷タスクのクローズ

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、アサインされた作業指示書の指定されたストックルームから集荷したエンタープライズ資産の資産集荷タスクを完了してクローズします。

始める前に

資産の集荷タスクのステータスは [対応中] である必要があります。

必要なロール:wm_agent または sn_eam.enterprise_asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。

3. クローズしたいタスクが表示され表示されない 場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 関連する資産集荷タスクをクローズする作業指示タスクをタップします。
6. [部品] タブをタップします。
   [Pick Up Asset Tasks (資産集荷タスク)] セクションには、自分にアサインされた作業指示タスクに関連付けられたタスクのリスト内の最初のいくつかの資産集荷タスクが表示されます。
7. 完了したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
8. 完了する [資産の集荷] タスクをタップし、[完了してクローズ] をタップします。

タスクの結果

- [Pick Up Asset (資産の集荷)] タスクのステータスが [Open (オープン)] から [Closed Complete (完了してクローズ)] に変わります。
- [資産使用率] セクションに、ステータスが [未使用] 、ステータスが [在庫あり] のレコードが作成されます。

> 注: 消耗資産の場合、[ステータス] が [消費済み] に変わります。

次のタスク

作業指示書に関連付けられたエンタープライズ資産に対して必要な資産アクションを実行します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産に対するアクションの実行

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産に必要な資産または部品を展開、削除、またはスワップします。このアプリケーションを使用して、エンタープライズ資産を調整することもできます。

始める前に

必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 作業したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. アクションを実行する作業指示タスクをタップします。
6. 作業指示タスクに必要なすべての作業を完了します。
   - 必要な資産または部品を展開、交換、または削除する場合は、次の手順を実行します。

   a. 作業指示タスクの [**Parts** (部品)] タブをタップします。

      デフォルトでは、[Asset Usages (資産使用状況)] リストには、作業指示タスクに関連付けられている最初のいくつかの資産と部品のみが表示されます。アクションを実行したいアセットまたはパーツが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。

   b. [資産使用状況] リストで、資産または部品に対して実行するアクションを選択します。

      注: 表示されている資産または部品をフィルタする場合は、[フィルタ]アイコン ( ) をタップし、フィルタとして使用する値を [数量]、[ステータス]、[サブステート]、または [表示名] フィールドに入力します。

      使用可能なアクション

アクション	**Description** (説明)
資産または部品の展開	資産または部品のステータスが [未使用] である必要があります。 ステータスが [In stock] でサブステートが [Available (利用可能)] または [Reserved (予約済み)] のいずれかの資産または部品を個人のストックルームから展開することもできます。 **i.** 資産を選択します。 **ii.** [デプロイ] をタップします。 **iii.** [資産を展開] 画面で、展開する資産をタップします。 **iv.** [資産の展開の実行] 画面の [数量] フィールドで、展開する部品の数量を選択します。 **v.** 資産または部品を別の資産または部品の子として追加するには、[資産に追加] をタップし、資産リストから必要な資産を選択します。 **vi.** [ユーザーに割り当て] をタップし、ユーザーのリストからユーザーを選択して、資産または部品を特定のユーザーに割り当てます。 **vii.** [デプロイ] をタップします。 [資産使用状況] リストが再ロードされ、展開された資産または部品が [ステータス] で [使用中] と [使用中] が表示されます。消耗資産のステータスが [消費済み] に変わります。
資産または部品の削除	資産または部品のステータスが [使用中]、[メンテナンス中]、または [消費済み] である必要があります。 **i.** 資産または部品を選択します。 **ii.** [削除] をタップします。 **iii.** [資産を削除] 画面で、削除する資産または部品をタップします。 **iv.** [削除] をタップします。 [Asset Usages (資産使用状況)] セクションが再ロードされ、削除された資産または部品が表示されます。[Status (ステータス)] が [Removed (削除済み)] になり、状態が [In stock (在庫あり)] になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アクション	**Description** (説明)
資産または部品を交換部品と交換する	**i.** [スワップ] をタップします。 **ii.** [スワップする資産を選択 (Select asset to swap)] 画面で、スワップする資産または部品をタップします。 **iii.** [資産のスワップ (Swap assets)] 画面の [資産のスワップ **(Swap in asset**)] フィールドで、スワップインする交換部品を資産リストから選択します。 注: 交換部品の状態は [In stock] で、サブステートは [Available] である必要があります。 [資産使用状況] リストが再ロードされ、更新された資産ステータスが表示されます。 ▪ スワップアウト資産のステータスは [削除済み] です。 ▪ 資産のスワップのステータスは [使用済み] です。

◦ 関連するエンタープライズ資産を調整する場合は、次の手順を使用します。

a. 作業指示タスクの [**Caliblate** (調整)] をタップします。

キャリブレーションイベントプレイブックが開きます。

注: プレイブックの各レーンは、キャリブレーションイベントワークフローの一部として完了する必要があるアクティビティを表します。

b. キャリブレーションイベントプレイブックを展開します。

c. [詳細] レーンを展開し、[キャリブレーション イベントの詳細] をタップします。

d. [キャリブレーションイベントの詳細] 画面で、フィールドに入力します。

キャリブレーションイベントの詳細画面

Field (フィールド)	説明
名前	キャリブレーションイベントの名前。
環境条件	
温度	キャリブレーションを実行している環境の温度。
体温の単位	環境温度の測定に使用する温度の単位。
湿度 (%)	キャリブレーションを実行している環境の相対湿度レベル。

e. [完了としてマーク] をタップします。

[詳細] レーンは [完了] としてマークされ、自動的に [キャリブレーションライン] レーンに進みます。

f. [キャリブレーションライン] 画面で、完了またはスキップするキャリブレーションラインを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

各キャリブレーションラインは、関連するエンタープライズ資産のキャリブレーション属性に対応しています。キャリブレーション属性に精度を測定できるポイントが複数含まれている場合、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションはポイントごとに個別のキャリブレーションラインを作成します。必要に応じて、各キャリブレーションラインを完了するかスキップするかを選択できます。キャリブレーション属性の詳細については、「 エンタープライズ資産へのキャリブレーション属性の追加 」または「 エンタープライズモデルへのキャリブレーション属性の追加」を参照してください。

g. キャリブレーションラインレコードで、次のいずれかのオプションを使用して、キャリブレーションラインを完了またはスキップします。

- キャリブレーションラインを完了するには、[編集]をタップします。[キャリブレーションラインの編集] 画面で、フィールドに入力し、[送信] をタップします。

キャリブレーションライン画面の編集

Field (フィールド)	Description (説明)
計測	キャリブレーションの実行に使用している機器。対応するキャリブレーション属性の [機器モデル]フィールドで機器モデルを指定した場合、このフィールドのオプションは指定された機器モデルに基づいてフィルタリングされます。
予想値	精度を測定する値。このフィールドは、キャリブレーション属性で指定した期待値に基づいて自動的に入力されます。
値を検出	キャリブレーション前に測定した値。
値残存	キャリブレーション後に測定する値。
コメント	キャリブレーションに関する追加コメント。

- キャリブレーションラインをスキップするには、[スキップ]をタップします。

h. [キャリブレーションライン] 画面に戻ります。

i. キャリブレーションラインごとに手順fからhを繰り返します。

j. [完了としてマーク] をタップします。

[キャリブレーションライン] レーンは [完了] とマークされています。

次のタスク
エンタープライズ資産に関連付けられた作業指示書をクローズします。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の作業指示書のクローズ」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の作業指示書のクローズ

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、関連する資産に必要なすべての作業を完了としてマークし、アサインされた作業指示をクローズします。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 閉じたいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. クローズする作業指示タスクをタップします。
6. 作業指示タスクの [詳細] タブで、[完了してクローズ] をタップします。
7. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
8. **[Done** (完了)] をタップします。
9. **[Submit** (送信)] をタップします。

タスクの結果
作業指示書タスクのステータスが [Work In Progress (対応中)] から [Closed Complete (完了してクローズ)] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して作業指示タスクのチェックリストを作成する

モバイルエージェント アプリケーションを使用して作業指示または作業指示タスクに対して完了する必要があるすべてのアイテムのチェックリストを作成し、作業指示タスクを管理します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. チェックリストを作成したいタスクが表示されない場合は、[**all**を見る]をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. チェックリストを作成する作業指示タスクをタップします。
6. [関連] タブをタップします。
   [Related (関連)] タブの [Checklist (チェックリスト)] セクションには、作業指示タスクの既存のチェックリストが表示されます。完了としてマークされたチェックリストがリストの一番下に表示されます。
7. 「 チェックリスト 」セクションで、「 項目を追加」をタップします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

8. [チェックリストを追加] 画面の [名前] フィールドに、チェックリストの名前を入力します。
9. [順序] フィールドに、チェックリストアイテムを完了する順序を入力します。
   たとえば、値 `1` は、指定されたチェックリストアイテムが完了する必要がある最初のアイテムであることを示します。
10. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
チェックリストは、[チェックリスト] セクションに指定された順序で表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションでの作業指示タスクに関連するナレッジ記事の表示

モバイルエージェント アプリケーションの作業指示タスクに添付された、役立つおよびに関連するナレッジ記事を表示します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 目的のタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([ ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. ナレッジ記事を表示する作業指示タスクをタップします。
6. [関連] タブをタップします。
7. 関連するナレッジ記事を表示します。
   - 作業指示タスクに関連するナレッジ記事を表示するには、[添付されたナレッジ] セクションの記事リンクをタップします。
   - 作業指示タスクに関連付けられた部品に関連するナレッジ記事を表示するには、[部品ナレッジ] セクションの記事リンクをタップします。

   選択した記事が表示されます。

> **注:** ナレッジ記事に対するフィードバックを提供するには、記事を評価したり、記事を役に立ったまたは役に立たなかったとマークしたり、記事にコメントを投稿したりします。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクに関する作業メモを作成する

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、作業指示タスクの詳細を含むメモをタスクレコードに追加します。

始める前に
必要なロール:wm_agent

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初のいくつかのタスクが表示されます。
3. 作業メモを追加するタスクが表示され表示されない 場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 作業メモを追加する作業指示タスクをタップします。
6. [アクティビティ] タブをタップします。
   作業指示タスクに関連するすべての作業メモが一覧表示されます。
7. [作成] をタップします。
8. [作成] 画面で、作業指示タスクに関連するコメントを入力します。
9. [投稿] をタップします。

タスクの結果
投稿された作業メモは、作業指示タスクレコードの [アクティビティ] タブに表示されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の修理タスクの管理

直感的な モバイルエージェント アプリケーションを使用して、ストックルーム内の欠陥のあるエンタープライズ資産に関連するすべての修理タスクを管理します。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産修理タスクの作業を開始する

自分にアサインされた修理タスクの作業を開始するタイミングを モバイルエージェント アプリケーションで示します。

始める前に
必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて
次のタスクタイプに属する修理タスクで作業できます。

- 資産のトラブルシューティングタスク
- 資産修復タスク
- 資産評価タスク

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する修復タスクをタップします。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果
[詳細] タブで、[作業の開始] リンクが [タイマーの開始]、[時間を記録]、および [自動的に閉じる] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修理タスクの作業時間の記録

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、資産のトラブルシューティング、資産の修理、および資産の評価タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。作業時間を手動で記録することもできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産の修理タスクの一時停止

作業を続行していない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産の修理タスクの休憩を記録します。作業を再開したら、タスクを再開します。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

始める前に
修理タスクの作業を開始したら、[詳細]タブの[開始タイマー]をタップして、時間の記録を開始してください。

必要なロール:asset_technician

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止するタスクレコードをタップします。
6. 「 詳細 」タブで、「 一時停止」をタップします。
   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティに再度取り組む準備ができたら 、[再開]をタップします。

タスクの結果
修理タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実際の時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産の修理タスクの作業時間を手動で記録します

エンタープライズ資産の修理タスクの作業時間を手動で記録し、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してタスクに関する追加のコメントを入力します。

始める前に

[詳細]タブの[作業を開始]をタップして、修理タスクの作業を開始したことを示していることを確認します。

必要なロール:asset_technician

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 時間を記録したいタスクが表示されない場合は、「 すべて表示」をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 時間を記録する修復タスクレコードをタップします。
6. [詳細] タブで、[時間を記録] をタップします。
7. [時間を記録] 画面で、タスクの詳細を指定します。
   a. [作業時間 (時間)] フィールドと [作業時間 (分)] フィールドに、タスクで作業した期間を入力します。
   b. オプション: [作業時間のコメント] フィールドに追加情報を入力します。
8. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果

[時間を記録] フォームが保存され、タイムカードが [関連] タブの [作業時間] セクションに追加されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産修理タスクのクローズ

モバイルエージェントアプリケーションを使用して、アサインされたエンタープライズ資産の修理タスクを完了し、タスクをクローズ済みとしてマークします。

始める前に

必要なロール:sn_eam.enterprise_asset_technician

このタスクについて

次のタスクタイプに属する任意のタスクを閉じることができます。

- 資産タスクのトラブルシューティング
- 資産タスクの修復
- 資産タスクを評価

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 閉じたいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ([) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. クローズする修復タスクをタップします。
6. 修理タスクの [詳細] タブで、[閉じる] をタップします。
7. [修理タスク入力 (Repair task input)] フォーム画面で、タスクの結果を入力します。

タスク	アクション
資産のトラブルシューティング	[トラブルシューティング結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 修理可能 ◦ 修復不能 ◦ 再展開可能
資産の修復	[修理結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 修理済み ◦ 修復不能 ◦ 再展開可能
資産を評価	[評価結果] フィールドで、次のいずれかを選択します。 ◦ 再展開可能 ◦ 廃棄対象

8. [作業メモ] フィールドに、クローズコメントを入力します。
9. 「完了」をタップし、「送信」をタップします。

タスクの結果
修理タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの管理

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、自分にアサインされた資産集荷タスクを処理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産集荷タスクの作業を開始する

自分にアサインされた資産集荷タスクの作業開始を モバイルエージェント アプリケーションで示します。

始める前に

必要なロール：inventory_user

手順

1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン ( ) をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン ( ) をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 開始する資産集荷タスクをタップします。
   [詳細] タブの次のフィールドに表示される詳細を使用して、アサインされた資産集荷タスクの作業を開始します。
   - 資産:選択する必要がある資産。
   - ストックルーム:資産を集荷するストックルーム。
   - 集荷場所:資産を集荷するストックルーム内の通路とスペース。
6. [詳細] タブで、[作業を開始] をタップします。

タスクの結果

[**Details** (詳細)] タブで、[**Start work** (作業を開始)] リンクが [**Start timer** (タイマーを開始)]、[Locate (検索)]、[**Scan asset** automatically (資産を自動的に検索およびスキャン)] に変わります。

次のタスク

アサインされた資産集荷タスクを完了します。詳細については、「モバイルエージェント アプリケーションを使用して、倉庫内のエンタープライズ資産を見つけて集荷する」を参照してください。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの作業時間の記録

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、エンタープライズ資産集荷タスクの作業時間を管理および記録します。タスクの作業を開始した後、作業を一時停止したり再開したりできます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用したエンタープライズ資産集荷タスクの一時停止

作業を続行していない場合は、 モバイルエージェント アプリケーションを使用してエンタープライズ資産集荷タスクの休憩を記録します。

始める前に

エンタープライズ資産集荷タスクの作業を開始したら、[**Details** (詳細)] タブの [**Start time** (タイマーを開始)] をタップして時間の記録を開始します。

必要なロール：inventory_user

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
タスクを一時停止した後、作業を再開すると再開できます。作業が中断された場合でも、タスクの完了までにかかった実際の時間が自動的に追跡され、計算されます。

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 一時停止したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。
   - タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
   - タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。
5. 一時停止する資産集荷タスクレコードをタップします。
6. 「 詳細 」タブで、「 一時停止」をタップします。

   注: [一時停止] オプションは、[タイマーを開始] をタップした後にのみ表示されます。

   [詳細] タブで、[一時停止] オプションが [再開] に変わります。
7. アクティビティに再度取り組む準備ができたら 、[再開]をタップします。

タスクの結果
資産集荷タスクの作業を一時停止または再開するたびに、タスクで作業した実績時間が自動的に計算されます。作業時間のエントリは、[関連] タブの [作業時間] セクションに作成されます。

モバイルエージェント アプリケーションを使用して、倉庫内のエンタープライズ資産を見つけて集荷する

インドアマップを使用して、ストックルーム内の特定の通路とスペースに配置されたエンタープライズ資産を見つけます。資産を見つけたら、 モバイルエージェント アプリケーションを使用して、資産を集荷して倉庫内の別の場所へ納品します。

始める前に
ServiceNow Store から インドアマッピング for Assets (com.sn_ima) アプリケーションを明示的にインストールする必要があります。このアプリケーションをインストールすると、 インドアマッピング (sn_map_core) と インドアマッピング コンポーネント (sn_map_component) もインストールされます。

必要なロール：inventory_user

手順
1. モバイルデバイスから、 モバイルエージェント アプリケーションを起動します。
2. 画面下部のナビゲーションバーで、[マイタスク]タブをタップします。
   [マイタスク] アプリケーションのホーム画面が開き、自分にアサインされたタスクのリストの最初の数個のタスクのみが表示されます。
3. 開始したいタスクが表示されない場合は、[すべて表示] をタップします。
4. オプション: タスクビューをフィルタリングまたはソートします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- タスクをフィルタリングするには、フィルターアイコン () をタップし、フィルターとして使用する値を [期日]、[資産]、[場所]、または [優先度] フィールドに入力します。
- タスクを並べ替えるには、[フィルター] アイコン () をタップし、[並べ替え] をタップして、タスクを並べ替えるフィールドを選択します。

5. 作業を開始した資産集荷タスクをタップします。
6. ストックルーム内のエンタープライズ資産を見つけるには、[詳細] タブで [検索] をタップします。
   - ストックルーム内のエンタープライズ資産の正確な場所がマップ上に表示されます。
   - [方向を知る] オプションが表示されます。
7. ストックルーム内の資産の場所への道順を取得します。
   a. [経路を知る] をタップします。
   b. マップ上の開始場所を選択します。
   c. [保存] をタップします。
   - マップに次の詳細が表示されます。
     - 開始場所から資産の場所までのパス
     - 資産の場所に到達するまでに必要な概算時間
   - [ステップを表示] と [資産をスキャン] オプションが表示されます。
8. オプション: 資産の場所までのルートを表示するには、[ステップを表示] をタップします。
9. 資産の場所に到達したら、資産を選択します。
10. 資産集荷タスクを完了します。

    a. [アセットをスキャン] をタップします。

    b. 資産タグ情報を入力します。
       - スキャンを通じて情報を提供するには、資産の資産タグをスキャンします。
       - 情報を手動で入力するには、[資産タグ] フィールドに値を入力します。

    c. オプション: [納品場所] フィールドで、ピッキングした資産を納品する倉庫内のスペースを選択します。

    d. **[Close complete** (完了してクローズ)] を選択します。

    - 資産集荷タスクのステータスが [完了してクローズ] に変わります。
    - 資産の [場所] フィールドは、納品場所を指定した場合のみ、納品場所で更新されます。
    - エンタープライズ資産要求フローとエンタープライズリフレッシュ要求フローは、次のステージに進みます。

企業資産の調達

ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して、要求されたエンタープライズ資産を調達したり受領したりすることで、サービスカタログ要求を満たすことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise 資産ワークスペースからのソース要求

サービスカタログ アプリケーションで要求を作成し、Enterprise 資産ワークスペースからその要求を調達できます。

始める前に
ローカルストックルームに在庫がある場合は、要求者のローカルストックルームから資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームに在庫がない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成することができます。

必要なロール:proc_user

手順

1. 移動先 エンタープライズ資産ワークスペース > **Procurement** (調達) > カタログタスク.
2. 要求の調達タスクを開き、[ソース要求] を選択します。
3. [調達] ページで、次の 3 つのオプションのいずれかを選択します。
   - 消費:ローカルストックルームに在庫がある場合。

     ソースストックルームで資産集荷タスクが有効になっている場合、タスクはエンタープライズ資産リフレッシュ要求フローとエンタープライズ資産要求フローに追加されます。

   - 転送:ローカルストックルームに在庫がなく、転送注文で要求を調達する場合。

     注: 転送注文を作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、アドミニストレーターが `glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer` プロパティをオンにする必要があります。

   - 購入:ローカルのストックルームに在庫がなく、発注書 (PO) で要求を調達する場合。
4. 選択したオプションに基づいて、必須フィールドに入力します。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。
   [転送] または [購入] を選択した場合、転送注文ラインまたは発注ラインのタスクが作成されます。要求を開いてタスクを表示できます。

エンタープライズ資産管理 に関する参照情報

参照トピックは、エンタープライズ資産管理 を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと エンタープライズ資産管理

ドメインセパレーションは エンタープライズ資産管理 でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

概要

この製品のドメインセパレーションのサポートにより、サービスプロバイダーはエンタープライズ資産管理のためのマネージドサービスを顧客に提供できるようになります。この機能は、子会社を独立したドメインとして管理している大規模な組織にも対応しています。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) におけるドメインセパレーションの仕組み

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) では、ドメインセパレーションはデータ分離とプロセス分離の 2 つのステージで行われます。分離を有効または無効にするために使用される 2 つのシステムプロパティがあります。Tokyo リリースでは、データとプロセスの両方がドメインセパレーションされています。

注:

ベースシステムドメイン設定レコードはカスタマイズしない ことをお勧めします 。

必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- パフォーマンス分析 – ドメインサポート (com.snc.pa.domain_support)
- 作業管理 (com.snc.work_management)

サポートされているその他のプラグイン

- サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)
- 調達 (com.snc.procurement)

詳細については、「 ドメインセパレーションの説明 」、「 クエリとドメイン アクセスを含む 」、および 「既定のドメインの重要性 」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) ロール

次のロールは、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションを構成および使用して、資産、部品、およびそれらの階層関係のライフサイクルを管理するのに役立ちます。

ロールにアクセス権を与えると、そのロールにアサインされたすべてのグループまたはユーザーがアクセスを許可されます。ロールに他のロールを含めることができます。他のロールを含むロールでは、他のロールに許可されているすべてのアクセスが許可されます。

Enterprise Asset Management (エンタープライズ資産管理) ロール

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
エンタープライズ資産マネージャー [sn_eam.enterprise_asset_manager]	• sn_eam.enterprise_asset_technician • inventory_user • contract_manager • category_manager • procurement_user • wm_initiator • cmdb_query_builder • cmdb_read • plan_maint_admin • wm_task_initiator	このロールは、管理機能を除くす 機能にアクセスできます。
エンタープライズアドミン [sn_eam.enterprise_admin]	• inventory_admin • catalog_manager • report_user • sn_eam.enterprise_asset_manager • 資産 • procurement_admin • sn_ent.classification_manager	このロールには、 エンタープライ フルアクセス権があります。
エンタープライズ技術者 [enterprise_asset_technician]	• sn_eam.enterprise_mobile_user • sn_eam.enterprise_asset_editor	このロールは、資産ライフサイク し、資産レコードを更新するユー エンタープライズ資産タスクにア • 準備タスクを除くすべての RM • すべての取り消しタスク • すべての廃棄タスク • 準備タスクを除くすべての貸与 • エンタープライズ資産監査 • リース終了 集荷、準備、出荷

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル	含んでいるロール	説明
エンタープライズモバイルユーザー [sn_eam.enterprise_mobile_user]	なし	このロールは、モバイルアプリケ り、モバイルアプリケーションか ます。
エージェント [wm_agent]	なし	このロールは、エンタープライズ る作業指示書および作業指示書タ す。 注: wm_agentロールには、 ワークスペースにログインす (enterprise_asset_manage またはその他のロールなど)

エンタープライズモデルカテゴリと対応するクラス

エンタープライズモデルカテゴリとそれに対応する 構成管理データベース (CMDB) 構成アイテム (CI)、資産、およびモデルクラス。

医療モデルカテゴリ

医療モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
医療一般	該当なし	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
医療用デバイス	cmdb_ci_hc_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
医療デバイス	cmdb_ci_med_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
患者モニタリング	cmdb_ci_med_patient_monitoring	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
患者インプラント	cmdb_ci_med_patient_implant	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
手術器具	cmdb_ci_med_surgical_instrument	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
Clinical Devices (臨床機器)	cmdb_ci_med_clinical_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
ラボ設備	cmdb_ci_med_lab_equipment	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
画像診断	cmdb_ci_med_diagnostic_imaging	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

医療モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス (続く)

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
治療用デバイス	cmdb_ci_med_therapeutic_device	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model
歯科用機器	cmdb_ci_med_dental	sn_ent_medical_asset	sn_ent_medical_device_model

設備モデルカテゴリ

施設モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
施設全般	cmdb_ci_facibility_hardware	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
電気関係	cmdb_ci_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
自動転送スイッチ	cmdb_ci_ats_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
発電機	cmdb_ci_generator_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
UPS	cmdb_ci_ups_power_eq	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
HVAC	cmdb_ci_hvac	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
燃料タンク	cmdb_ci_fuel_tank	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
構造	cmdb_ci_building_facility	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
配管	該当なし	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
セキュリティ	cmdb_ci_security	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
カメラ	cmdb_ci_ip_camera	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
AVディスプレイ	cmdb_ci_display	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
AV機器	cmdb_ci_multimedia	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
機器	該当なし	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model
家具・備品	該当なし	sn_ent_facility_asset	sn_ent_facility_model

輸送モデルカテゴリ

輸送モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
交通一般	cmdb_ci_transport	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
航空機	cmdb_ci_aircraft	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
Ship (出荷)	cmdb_ci_ship	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

輸送モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス (続く)

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
鉄道	cmdb_ci_train	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model
車両	cmdb_ci_vehicle	sn_ent_transportation_asset	sn_ent_transportation_model

産業用モデルカテゴリ

産業用モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、モデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
工業一般	cmdb_ci_ot	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール	cmdb_ci_ot_control	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OTコントロール CNC	cmdb_ci_ot_cnc	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール DCS	cmdb_ci_ot_dcs	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール DPU	cmdb_ci_ot_dpu	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール IED	cmdb_ci_ot_ied	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール 3D プリンター	cmdb_ci_ot_industrial_3d_printer	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール OPC サーバー	cmdb_ci_ot_opc_server	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロールモジュール	cmdb_ci_ot_control_module	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール PLC	cmdb_ci_ot_plc	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT コントロール RTU	cmdb_ci_ot_rtu	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

産業用モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、モデルクラス (続く)

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
OT コントロール SCADA	cmdb_ci_ot_scada_server	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドデバイス	cmdb_ci_ot_field_device	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドアクチュエータ	cmdb_ci_ot_industrial_actuator	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドドライブ	cmdb_ci_ot_industrial_drive	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドロボット	cmdb_ci_ot_industrial_robot	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT フィールドセンサー	cmdb_ci_ot_industrial_sensor	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 品質検査管理システム	cmdb_ci_ot_qics	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督	cmdb_ci_ot_supervisory	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 EWS	cmdb_ci_ot_ews	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督履歴担当者	cmdb_ci_ot_historian	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 HMI	cmdb_ci_ot_hmi	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 OPC	cmdb_ci_ot_opc_client	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督 SCADA	cmdb_ci_ot_scada_client	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
OT 監督システム	cmdb_ci_ot_supervisory	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model
運用設備	cmdb_ci_oe	sn_ent_industrial_asset	sn_ent_industrial_model

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

小売モデルカテゴリ

小売モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
小売業全般	該当なし	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model
支払デバイス	cmdb_ci_payment	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model
POS デバイス	cmdb_ci_pos	sn_ent_retail_asset	sn_ent_retail_model

建設用モデルカテゴリ

コンストラクション モデル カテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、モデル クラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
建設業全般	該当なし	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
建設機械	該当なし	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
ツール	該当なし	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model
テストツール	該当なし	sn_ent_construction_asset	sn_ent_construction_model

戦術装備品モデルカテゴリ

戦術装備品モデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
戦術将軍	該当なし	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
タクティカルギア	該当なし	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
兵器	該当なし	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
フォレンジック用品	該当なし	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model
弾薬	該当なし	sn_ent_tactical_asset	sn_ent_tactical_model

ウェアラブルモデルカテゴリ

ウェアラブルモデルカテゴリと対応する **CMDB** CI、資産、およびモデルクラス

モデルカテゴリ	CMDB **CI** クラス	資産クラス	モデルクラス
ウェアラブル全般	該当なし	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model
PPE	該当なし	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model
制服	該当なし	sn_ent_wearable_asset	sn_ent_wearable_model

一括インポートスプレッドシートの必須フィールド

Enterprise 資産ワークスペースでの一括インポート用のモデル、資産、モデルと資産テンプレートの必須フィールドのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルテンプレートの必須項目

フィールド/列	モデルの作成に必須	モデルの更新に必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい
モデルカテゴリ	はい	いいえ
モデルタイプ	はい	いいえ
親モデルの製造元	はい	いいえ
親モデルの名前	はい	いいえ
親モデルの番号	はい	いいえ
コンポーネント番号	はい	いいえ
コンポーネント数量	はい	いいえ
必須	はい	いいえ
ホットスワップ可能	はい	いいえ
修理可能	はい	いいえ

資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	資産の作成に必須	資産の更新に必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい
親モデルの製造元	はい	はい
親モデルの名前	はい	はい
親モデルの番号	はい	はい
コンポーネント番号	はい	はい
資産タグ	はい	はい
シリアル番号	はい	いいえ
親資産	はい	いいえ
数量	はい	いいえ
ステータス	はい	いいえ
サブステータス	はい	いいえ
倉庫	はい	いいえ
ロケーション	はい	いいえ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルおよび資産テンプレートの必須フィールド

フィールド/列	モデルと資産の作成に必須	モデルと資産の更新に必須
インデックス	はい	はい
メーカー	はい	はい
モデル名	はい	はい
モデル番号	はい	はい
モデルカテゴリ	はい	はい
モデルタイプ	はい	はい
親モデルの製造元	はい	はい
親モデルの名前	はい	はい
親モデルの番号	はい	はい
コンポーネント番号	はい	いいえ
コンポーネント数量	はい	いいえ
必須	はい	いいえ
ホットスワップ可能	はい	いいえ
修理可能	はい	いいえ
資産タグ	はい	はい
シリアル番号	はい	いいえ
親資産	はい	いいえ
数量	はい	いいえ
ステータス	はい	いいえ
サブステータス	はい	いいえ
倉庫	はい	いいえ
ロケーション	はい	いいえ
	はい	いいえ

エンタープライズモデルの正規化ステータス

エンタープライズモデルの正規化ステータスの説明。

ステータス	説明
新規	モデルが作成されましたが、正規化プロセスがまだ実行されていません。
正規化済み	正規化の後、正規化されたメーカー、製品、モデル名、モデル番号、およびモデルタイプの値が入力されます。 特定の条件下では、通常は読み取り専用である特定のフィールドを編集できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステータス	説明
一部正規化済み	正規化後、正規化されたメーカー、製品、およびモデルタイプの値が入力され、モデル番号は空白になります。
正規化されたメーカー	正規化後、正規化されたメーカーの値が入力され、正規化後、残りの列は空白になります。
一致項目は見つかりませんでした	正規化プロセスは、モデルのどのフィールドとも一致できませんでした。 [一致項目は見つかりませんでした] ステータスは、ソフトウェアの正規化ルールが存在しない場合に発生する可能性があります。

のモデルフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべてのモデルフィールドの詳細な説明。

モデルの詳細

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルをビルドした会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルが属するカテゴリ。これは読み込み専用フィールドです。
モデルタイプ **注:** パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	マルチコンポーネントモデルのタイプ。選択できるオプションは次のとおりです。 • シンプル • 消耗品 • 事前に組立 • ユーザー組立
資産追跡戦略 **注:** パレットモデルを作成している場合、このフィールドは表示されません。	資産を追跡するために使用されるプロセス。オプションは 、[カテゴリのまま]、[消耗型資産を作成]、[資産 を作成しない] です。
資産トラッキング単位	資産の測定に使用される単位。オプションは 、個別ユニットと 固定料金です。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。デフォルトでは、新しく作成されたモデルは [ビルド] ステータスです。モデルとそのコンポーネントを定義すると、モデルのステータスを変更できます。その他のステータスオプションは、[生産中]、[廃止]、および [販売済み] です。
画像	モデルを表すイメージ。[画像を添付] リンクを選択し、画像を選択して添付します。画像を添付すると、リンクが [画像を表示] に変わります。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。
計算済みライフサイクルテンプレート	ライフサイクルの日付を計算するためのライフサイクルテンプレート。このテンプレートはモデルに割り当てることができます
計算済みライフサイクル開始日	選択した計算済みライフサイクルテンプレートで定義された各ライフサイクルフェーズについて、フェーズ開始日とフェーズ終了日が計算される開始日。

財務管理

Field (フィールド)	Description (説明)
コスト	モデルの単一のコスト。
TCO ベンチマークコスト	モデルの TCO ベンチマークコストを指定します。
TCO ベンチマークしきい値	TCO ベンチマークしきい値は、コストがベンチマークに近づいていることを警告する TCO ベンチマークコストの割合です。デフォルトでは、この割合は 75% です。たとえば、TCO ベンチマークコストが 100 ドルの場合、TCO ベンチマークしきい値は 75 ドルです。 TCO ベンチマークコストを設定すると、このフィールドは自動的に計算されます。 パーセンテージは、*asset_tco_benchmark_threshold_percentage* システムプロパティで変更できます。
平均資産 TCO	レポートソース内のすべての資産の平均資産 TCO 値を示します。たとえば、レポート ソースに 10 個の資産があり、すべての資産のすべての資産 TCO 値の合計が 100,000 の場合、平均資産 TCO は 10,000 になります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
	• 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費: 運用支出は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
耐用寿命 (月数)	モデルを使用できる月数。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。

障害リスク

[可能性] フィールドと [影響度] フィールドの値は、リスクの可能性とリスクの影響度の構成レコードが固定されている場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
障害の可能性	リスクスコアの可能性の値。 リスクの可能性について作成した構成値が、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは `value-label` の形式で表示されます。たとえば、`1-Low` の場合、1 は値、Low はラベルです。詳細については、「リスク可能性の構成値の作成」を参照してください。
障害の影響	リスクスコアの影響度の値。 リスク影響度に対して作成した構成値は、このフィールドにオプションとして表示されます。オプションは `value-label` の形式で表示されます。たとえば、「`2-Medium`」の場合、2 は値で、「Medium」はラベルです。詳細については、「リスク影響度の構成値の作成」を参照してください。
障害リスクスコア	リスクスコアは、可能性と影響度の値に基づいて自動的に入力されます。

正規化

フィールド	説明
正規化されたメーカー	メーカーの正規化された名前。
正規化されたモデル名	モデルの正規化された名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
正規化されたモデル番号	モデルの正規化された数値。
正規化ステータス	モデルの現在の正規化ステータス。
正規化されたモデルタイプ	モデルの正規化されたタイプ。
コンテンツサービスとの共有から除外	エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスとの共有から特定のコンテンツを除外するオプション。このオプションは、 エンタープライズ資産管理 コンテンツサービスにオプトインした場合にのみ適用されます。

製品カタログ

注: [製品カタログ] フィールドは、消耗品モデルに対してのみ表示されます。

フィールド	説明
カタログアイテム	カタログアイテムの名前。
説明	カタログアイテムの説明。
画像	製品モデルを示す写真。

[モデルコンポーネント] タブ

このタブを使用して、モデル コンポーネントを作成します。マルチコンポーネントモデルを作成するには、1 つ以上のモデルコンポーネントが必要です。

注: [モデル コンポーネント] タブは、モデルがマルチコンポーネント モデルの場合にのみ表示されます。[モデル] ページの [マルチコンポーネント] フィールドに [事前組立] または [ユーザー組立] の 2 つの値のいずれかがある場合、[モデル コンポーネント] タブが表示されます。[マルチコンポーネント] フィールドの値が [適用外] の場合、[モデルコンポーネント] タブは表示されません。

フィールド	**Description** (説明)
コンポーネントのモデルカテゴリ	コンポーネントのモデルカテゴリ。
コンポーネント	モデルのコンポーネント。選択したモデルカテゴリに属するモデルコンポーネントのみがこのリストに表示されます。
必須	このチェックボックスがオンになっている場合、モデルコンポーネントは複合モデルが機能するために必要であり、完全に削除することはできません。
ホットスワップ可能	デフォルトでは、このチェックボックスはオンになっています。マルチコンポーネントモデルの動作中にモデルコンポーネントをスワップできることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。
修理可能	モデル コンポーネントを修理できることを示します。このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[エンタープライズモデルのライフサイクル] タブ

このタブを使用して、エンタープライズモデルのライフサイクル情報を指定します。

フィールド	説明
モデル	モデルの名前。
ライフ サイクル タイプ	ライフサイクルのタイプ。 • 内部 • 公開者
ライフサイクルフェーズ	ライフサイクルのフェーズ。 • 一般提供 • 販売終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 • 提供終了
ソース	モデルのライフサイクルのソース。
Description (説明)	ライフサイクルの説明。
フェーズ開始日	ライフ サイクル フェーズの開始日。
フェーズ終了日	ライフ サイクル フェーズの終了日。
リスク	ライフサイクルに関連付けられたリスク。 • 非常に高 • 高 • 中 • 低 • なし
アクティブ	モデルのライフサイクルがアクティブであることを示します。

[ベンダーカタログアイテム] タブ

注: [ベンダーカタログアイテム] タブは、消耗品モデルに対してのみ表示されます。

フィールド	説明
名前	ベンダーカタログアイテムの表示名。
ベンダー	製品ベンダーの名前。
製品モデル	ベンダーカタログアイテムに関連付けられた製品モデル。
在庫切れ	商品が在庫切れかどうかを示すオプション。
アプリケーション	製品レコードを含むアプリケーション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品 ID	メーカーの製品 ID。
表示価格	割引が適用される前の製品の表示価格。
ベンダー価格	製品のベンダー価格。
ランク	ベンダーランク階層。
簡単な説明	製品の説明。
全般	
製品カタログアイテム	アイテムの公開時に作成された製品カタログアイテム。
UPC	製品のユニバーサル製品コード (UPC)。
説明	製品の説明。
画像	製品の写真。
アクティブ	製品がアクティブかどうかを示すオプション。
情報	
仕様	ベンダーから提供される製品仕様。
特徴	ベンダーから提供される製品の特徴。

の契約フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての契約フィールドの詳細な説明。

契約

フィールド	説明
ベンダー	リース契約に関連付けられているベンダー。
契約番号	リース契約を識別および追跡するために使用される一意の番号。この番号はベンダーから取得できます。
名前	リース契約の名前。
親契約	リース契約が関連付けられている親契約。
開始日	リース契約の開始日。
終了日	リース契約が終了する日付。
契約管理者	リース契約を管理し、ベンダーとやり取りするユーザー。
承認者	リース契約を承認または拒否するユーザー。
事業主	ビジネスの観点からリース契約を管理するユーザー。
説明	リース契約の説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

財務

Field (フィールド)	説明
請求書の支払条件	リース契約の支払いを行う方法とタイミングを説明する条件。
支払いスケジュール	各リース契約の支払いを行う必要がある頻度。
支払額	各リース契約支払に対して支払わなければならない金額。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
適用可能な税	リース契約に適用される税金。次のオプションのいずれかを選択します。 • 非課税:リース契約は非課税です。 • 売上: 売上税はリース契約に適用されます。
リース期間 (月)	リース契約の長さ (月)。
ベンダーアカウント	各リース契約の支払いを行う必要があるベンダーアカウント。
発注書	リース契約に関連付けられている発注書。
コストセンター	リース契約に対して財務的に責任を負うコストセンター。
レートカードあり	リース契約に関連する契約レートカードがあるかどうかを示すオプション。契約の詳細なコスト情報を提供します。 契約レートカードの詳細については、「契約レートカードを作成する」を参照してください。

のメンテナンス計画フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべてのメンテナンス計画フィールドの詳細な説明。

メンテナンス計画

フィールド	説明
アクティブ	メンテナンス計画がアクティブかどうかを示すオプション。
名前	メンテナンス計画の名前。
簡単な説明	メンテナンス計画の簡単な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ターゲット資産

フィールド	説明
テーブル	メンテナンス計画を適用するエンタープライズ資産がリストされているターゲット エンタープライズ資産管理 テーブル。デフォルトのテーブルは [エンタープライズ資産] です。
フィルター条件	エンタープライズ資産の特定のサブセットにのみメンテナンス計画を適用できるようにするフィルター条件。 次のオプションを使用して、単一のメンテナンス計画に複数のフィルター条件を追加できます。 • または:エンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するために満たすことができる任意の条件を指定できます。 • および:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • + 新しい条件セット:エンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するために満たすことができる追加の条件セットを指定できます。
新しい一致レコードに適用	ターゲット エンタープライズ資産管理 テーブルに追加され、指定されたフィルター条件を満たす後続のエンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するオプション。
メンテナンス上書きポリシー	既にメンテナンス中のエンタープライズ資産にメンテナンス計画が適用されたときに実行するアクションを指定するポリシー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 放置する:新しいメンテナンス計画のタスクの作成、および既存のメンテナンス計画に関連付けられているタスクの削除を防止します。 • 既存のキャンセル:既存のメンテナンス計画に関連付けられているすべてのタスクを削除します。 • 既存に追加:新しいメンテナンス計画に新しいタスクと既存のアクティブなタスクの両方を追加します。

のメンテナンススケジュールフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべてのメンテナンススケジュールフィールドの詳細な説明。

メンテナンス スケジュール

フィールド	説明
名前	メンテナンススケジュールの名前。
簡単な説明	メンテナンススケジュールの簡単な説明。
トリガー	メンテナンスを実行するために満たす必要がある条件のタイプを指定するトリガー。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
	次のオプションのいずれかを選択します。 • 期間:時間に基づいてメンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • メーター:特定のエンタープライズ資産フィールド値に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 条件:フィルター条件に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[条件の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • スクリプト:詳細なスクリプト基準に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[スクリプトの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 期間またはメーター:時間または特定のエンタープライズ資産フィールド値のいずれか早い方に基づいて、メンテナンスの実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] および [測定の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。
アクティブ	メンテナンススケジュールがアクティブかどうかを示すオプション。

期間の詳細

注: このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [期間] または [期間]または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	**Description** (説明)
トリガータイプ	メンテナンスを実行する頻度。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 間隔:指定された時間間隔でメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[日]、[時]、[分]、および [秒] フィールドが表示され、メンテナンスが再度実行されるまでに経過する必要がある時間を指定できます。 • 週次:週に 1 回メンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of week**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎週メンテナンスを実行する日時を指定できます。 • 月次:月に 1 回、特定の日にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of month**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する日時を指定できます。 • 年次:年に 1 回、特定の日時と月にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due month**]、[**Due day of month**]、および **[Due time**] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、日付、時刻を指定できます。 • **Week in Month**:月に 1 回、特定の週にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due week in month**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎月メンテナンスを実行する週と時間を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	Description (説明)
	• 年内の月の週の日:年に 1 回、特定の日、週、月にメンテナンスを実行します。このオプションを選択すると、[**Due month**]、[**Time week in month**]、[**Due day of week**]、および **[Due time**] フィールドが表示され、毎年メンテナンスを実行する月、週、日、時刻を指定できます。
リードタイム	スケジュールされたメンテナンス作業に必要な日数。

測定の詳細

注: このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [メーター] または [期間] または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィールド	メンテナンスの実行をトリガーするために照合する Enterprise 資産フィールド。
各	メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が一致する必要があるフィールド値。

条件の詳細

注: このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [条件] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
フィルター条件	メンテナンスの実行をトリガーするフィルター条件 次のオプションを使用して、トリガーに複数のフィルター条件を追加できます。 • **or**:エンタープライズ資産が満たすことができる条件のいずれかを指定して、メンテナンスの実行をトリガーできます。 • および:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新しい条件セット:メンテナンスの実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

スクリプトの詳細

注: このフォームセクションは、[メンテナンススケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [スクリプト] に設定した場合にのみ表示されます。

フィールド	説明
スクリプト	メンテナンスの実行をトリガーする詳細条件を指定するスクリプト。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

の作業計画フィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての作業計画フィールドの詳細な説明。

作業計画

Field (フィールド)	説明
番号	作業計画の一意の番号。
名前	作業計画の名前
簡単な説明	作業計画の簡単な説明。
有効開始	作業計画がアクティブになった開始日。
有効終了	作業計画が有効である最後の有効終了日。
アクティブ	作業計画が使用可能かどうかを示すオプション。
作業指示を予測	この作業計画が今後の作業指示書の推定と生成に適用できるかどうかを指定するオプション。 このオプションが選択されている場合、[その他のアクション] 省略記号アイコンを選択すると、[作業指示書を生成] オプションを表示できます。これにより、資産ごとにスケジュールの作業指示が生成されます。

条件

Field (フィールド)	説明
Table (テーブル)	作業計画が関連付けられているターゲット エンタープライズ資産管理テーブル。デフォルトのテーブルは [エンタープライズ資産] です。
カテゴリ	作業計画が、相手先ブランド供給スケジューリング (OEM) または代替機器スケジューリング (AEM) のいずれかのカテゴリに適用可能かどうかを判断します。
Apply to new matching records (新しい一致レコードに適用)	ターゲット エンタープライズ資産管理 テーブルに追加され、指定されたフィルター条件を満たす後続のエンタープライズ資産に作業計画を適用するオプション。
Task creation policy (メンテナンス上書きポリシー)	既に進行中のスケジュールの発生に基づいて作業計画が実行されている場合の処理を指定します。 次のオプションのいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• 放置する:新しい作業計画のタスクの作成、および既存の作業計画に関連付けられているタスクの削除を防止します。 • 既存のキャンセル:プランに関連付けられている既存のタスクを削除し、それらを置き換えるタスクを作成します。 • 既存に追加:計画の特定のスケジュール発生の既存のアクティブなタスクを新しいタスクに置き換えることができます。
フィルター条件	エンタープライズ資産の特定のサブセットに作業計画を適用できるようにするフィルター条件。 次のオプションを使用して、単一の作業計画に複数のフィルター条件を追加できます。 • または:エンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するために満たすことができる任意の条件を指定できます。 • および:メンテナンス計画を適用するためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • + 新しい条件セット:エンタープライズ資産にメンテナンス計画を適用するために満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

エンタープライズ資産管理の作業計画スケジュールフィールド

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての作業計画スケジュールフィールドの詳細な説明。

計画作業スケジュール

Field (フィールド)	説明
名前	作業計画スケジュールの名前。
簡単な説明	作業計画スケジュールの簡単な説明。
トリガー	作業計画を実行するために満たす必要がある条件のタイプを指定するトリガー。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 期間:時間に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • メーター:特定のエンタープライズ資産フィールド値に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[メーターの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 条件:フィルター条件に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[条件の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	説明
	• スクリプト:詳細スクリプト基準に基づいて作業計画の実行をトリガーします。このオプションを選択すると、[スクリプトの詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。 • 期間または測定:時間または特定のエンタープライズ資産フィールド値のいずれか早い方に基づいて作業計画を実行するようにトリガーします。このオプションを選択すると、[期間の詳細] および [測定の詳細] フォームセクションが表示され、トリガーの詳細を指定できます。
アクティブ	作業計画スケジュールがアクティブかどうかを示すオプション。

期間の詳細

注: このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [期間] または [期間] または [メーター] に設定した場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	Description (説明)
トリガータイプ	作業計画を実行する頻度。 次のオプションのいずれかを選択します。 • 間隔:指定された時間間隔で作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[日]、[時]、[分]、および [秒] フィールドが表示され、作業計画が再度実行されるまでに経過する必要がある時間を指定できます。 • 週次:週に 1 回作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of week**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、毎週作業計画を実行する日時を指定できます。 • 複数の曜日:週に複数の日に作業計画を実行します。[複数の曜日] を選択すると、[曜日] フィールドが表示され、計画された作業を実行する曜日の曜日を指定できます。 • 月次:月に 1 回、特定の日付に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due day of month**] フィールドと [**Due time**] フィールドが表示され、作業計画を毎月実行する日時を指定できます。 • 年次:年に 1 回、特定の日時と月に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due month**]、[**Due day of month**]、および [**Due time**] フィールドが表示され、作業計画を毎年実行する月、日付、時刻を指定できます。 • 月中の週:月に 1 回、特定の週に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due week in month** (月の期限の週)] および **[Due time** (期限)] フィールドが表示され、作業計画を毎月実行する週と時間を指定できます。 • 年内の月の週の日:年に 1 回、特定の日、週、月に作業計画を実行します。このオプションを選択すると、[**Due month**]、[**Due week in month**]、[**Due day of week**]、および **[Due time**] フィールドが表示され、作業計画を毎年実行する月、週、日、時刻を指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Field (フィールド)	Description (説明)
リードタイム	スケジュールされた作業計画に必要な日数。
計算間隔を保持	作業指示が完了した時点から間隔計算を再開するオプション。 このチェックボックスは、[**Trigger type**] で **[Interval]**、[**Monthly**]、または **[Annually**] が選択されていて、[**Monthly type**] フィールドと [**Annually type**] フィールドで [**Fixed**] が選択されている場合に表示されます。

測定の詳細

注: このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [測定] または [期間] または [測定] に設定した場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	説明
Field (フィールド)	作業計画の実行をトリガーするために照合するエンタープライズ資産フィールド。
Every (各)	作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が一致する必要があるフィールド値。
計算された測定を保持	**[Every** (各)] フィールドで定義された値に基づいてメーター計算を再開するオプション。

条件の詳細

注: このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [条件] に設定した場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	説明
フィルター条件	作業計画の実行をトリガーするフィルター条件 次のオプションを使用して、トリガーに複数のフィルター条件を追加できます。 • または:作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる任意の条件を指定できます。 • および:作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たす必要があるすべての条件を指定できます。 • **+** 新規条件セット:作業計画の実行をトリガーするためにエンタープライズ資産が満たすことができる追加の条件セットを指定できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スクリプトの詳細

注: このフォームセクションは、[計画作業スケジュール] フォームセクションで [トリガー] フィールドを [スクリプト] に設定した場合にのみ表示されます。

Field (フィールド)	説明
スクリプト	作業計画の実行をトリガーする詳細基準を指定するスクリプト。

エフェクティビティの詳細

Field (フィールド)	Description (説明)
計画スケジュールの開始日	計画作業スケジュールの開始日を決定するためのオプション。 • 日付 • フィールド値 • [Schedule (スケジュール)]
有効開始日	計画作業の作業がスケジュールされた時点からの有効開始日。
有効開始日の参照	計画作業の開始日を決定するために使用するフィールド値。[有効開始日の参照] には、作業計画の条件を作成するために選択されたテーブルのフィールドのリストが表示されます。たとえば、プリンター [cmdb_ci_printer] です。 このフィールドは、[計画スケジュールの開始基準] で [フィールド値] が選択されている場合にのみ表示されます。
[Schedule (スケジュール)]	作業計画の開始日の計算に使用するスケジュールの名前。 このフィールドは、[計画スケジュールの開始基準] で [スケジュール] が選択されている場合にのみ表示されます。
計画スケジュールの終了基準	計画作業スケジュールの終了日を決定します。 • 日付 • フィールド値 • 頻度 (Frequency)

の経費ラインフィールド エンタープライズ資産管理

エンタープライズ資産管理アプリケーションのすべての経費ラインフィールドの詳細な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Expense Line

フィールド	説明
番号	経費ラインの識別と追跡に使用される一意の番号。このフィールドは、自動的に入力されます。
日付	経費ラインを作成する日付。このフィールドは自動的に現在の日付に設定されます。
継承	経費ラインが親経費ラインから継承されているかどうかを示すオプション。 このオプションを有効にすると、[継承] フィールドの下に [親] フィールドが表示されます。[親] フィールドで、この経費ラインの継承元である親経費ラインを検索して選択します。次のフィールドは親経費ラインから継承され、変更できなくなります。 • ソース ID • 資産 • 契約 • ユーザー • 構成アイテム • タスク • コスト センター
ソース ID	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。選択したエンタープライズ資産に基づいて、[ソースフォーム] セクションの対応するフィールドが自動的に入力されます。
総計	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産のコスト。エンタープライズ資産に対するクレジットを受け取ったことを示すには、マイナス値で入力します。 注: このフィールドは、任意の通貨に設定できます。
処理日	経費ラインが処理される日時。
ステータス	経費ラインのステータス。
サマリータイプ	経費ラインカテゴリ。次のオプションのいずれかを選択します。 • ビジネスの成長:ビジネスの成長を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。 • ビジネスを運営:ビジネスの運営を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。 • ビジネスの変革:ビジネスの変革を支援するために使用されるエンタープライズ資産の経費ライン。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ソース

フィールド	Description (説明)
資産	経費ラインに関連付けるエンタープライズ資産。
固定資産	選択したエンタープライズ資産を含む固定資産。 固定資産は、1 つ以上の個別の資産を保持するコンテナーです。[資産] フィールドで選択したエンタープライズ資産が固定資産内に含まれている場合、[固定資産] フィールドは自動的に入力されます。
契約	選択したエンタープライズ資産が関連付けられている契約。
ユーザー	選択したエンタープライズ資産がアサインされているユーザー。
構成アイテム	経費ラインに関連付けられている構成アイテム (CI)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスク。
コストセンター	選択したエンタープライズ資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。

エンタープライズ資産廃棄注文ステージ

エンタープライズ資産廃棄注文は、完了するまでに廃棄プロセスのさまざまなステージを通過します。ステージごとに、そのステージに関連付けられているタスクも変更されます。

資産廃棄プロセスでタスクをクローズすると、そのタスクが完了し、プロセス内の次のタスクが自動的に作成されます。たとえば、[集荷のスケジュール] タスクをクローズすると、そのタスクのステータスが [完了してクローズ] に変わり、次のタスクである [資産の切り離し] が作成されます。このプロセスは、選択した資産の廃棄に必要なすべてのタスクをクローズするまで続行されます。すべてのタスクをクローズすると、廃棄注文が完了します。

エンタープライズ資産廃棄注文ステージ

エンタープライズ廃棄ステージ	タスク	説明
ドラフト	資産の検証	資産廃棄レコードが作成されます。
スケジュール	ピックアップのスケジュール	資産廃棄注文のスケジュールの詳細。
輸送	資産の出発	検証済み資産を切り離す準備が整いました。
確認	ベンダー確認	資産廃棄注文はベンダーによって確定されます。
ドキュメント	廃棄ドキュメント	廃棄レコードのドキュメントが添付されています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

エンタープライズ資産廃棄注文ステージ (続く)

エンタープライズ廃棄ステージ	タスク	説明
完了	なし	資産廃棄レコード要求が完了しました。
キャンセル	なし	廃棄注文は輸送ステージまでしかキャンセルできません。

リニア資産の用語

エンタープライズ資産管理 アプリケーションのリニア資産に一般的に使用される用語。

リニア資産の条件とその説明

用語	説明
リニア資産	道路、鉄道、パイプライン、送電線など、物理的な長さまたは寸法を持つ資産。 リニア資産には一連のジオポイントがあります。少なくとも開始点と終了点があり、異なる属性を持つセグメントがあります。
位置情報	ジオポイント、またはグラフィック座標は、一連の数値を使用して地表上の場所を表す方法です。 ジオポイントは緯度、経度、高度で構成され、マップ上で視覚化できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションでは、ジオ ポイントの緯度と経度は WGS 84 で定義された座標形式を参照し、符号付き 10 進度を使用します。
ルーティング	リニア資産のジオポイントがルートを形成します。ルートはマップ上にプロットして視覚化できます。
境界幅	リニア資産の最大幅です。cmn_locationがルーティング中かどうかを検証するために使用されます。
マーカー	リニア資産上またはその近くを特定できるポイント位置。マーカーには、マップ上で視覚化できるようにジオポイントを含める必要があります。ジオポイントがリニア資産のルート上にある場合、それはルート上のマーカーです。
セグメント	特定の属性を持つリニア資産のセクション。セグメントは、始点と終点、または始点と長さで構成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

用語	説明
個別資産	個別資産とは、エンタープライズ資産と消耗品のことです。個別資産はリニア資産に関連付けて、リニア資産の一部として管理することができます。
重複する資産	2 つ以上のリニア資産が境界幅内に近接しているリニア資産関係。たとえば、北行きの高速道路と南行きの高速道路などです。リニア資産は北行きの高速道路に定義でき、別のリニア資産は南行きの高速道路に定義できます。
資産の交差	リニア資産と交差点があるリニア資産の関係。たとえば、2 つ以上の道路が互いに合流または交差する交差する道路などです。
資産を継続	開始マーカーと終了マーカーを持つリニア資産のリニア資産関係。たとえば、特定のポイントの後に別の高速道路に変わる高速道路などです。

エンタープライズ資産管理 **for Healthcare** とともにインストールされるもの

ユーザーロールコンポーネント、プラグイン、およびアプリケーションは、com.sn_eamhc プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
医療資産マネージャー [sn_eamhc.medical_asset_manager]	で医療に特化したモデルと資産を管理する エンタープライズ資産ワークスペース	sn_eam.enterprise_asset_manager
医療資産技術者 [sn_eamhc.medical_asset_technician]	医療固有の資産に関連するタスクを実行します。	sn_eam.enterprise_asset_technician

インストール済みプラグイン

名前	**Description** (説明)
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を履行できるように、要求された資産を調達および受領する機能を提供します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

名前	Description (説明)
Enterprise モデル正規化 (com.sn_eam_core)	正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を提供します。
資産管理 ワークスペース - 推奨事項 (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースで、ユーザーにアクション可能な推奨事項を提供します。
SM 計画済みメンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。
作業管理 (com.snc.work_management)	作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を管理する機能を提供します。
Performance Analytics (パフォーマンスアナリティクス) (com.snc.pa)	アクション可能なデータ表示方法を含むダッシュボードを提供し、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。
プレイブックエクスペリエンス (com.glide.playbook_experience.config)	重要な情報を使用して資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
プロセスオートメーションデザイナー for App Engine (com.glide.pad.license)	簡素化されたタスク指向のプロセスのビューを提供します。
コスト管理 (com.snc.cost_management)	ビジネスコストを計画および管理するためのオプションを提供します。

インストールされているアプリケーション

名前	Description (説明)
ServiceNow エンタープライズ資産管理 (com.sn_eam)	企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。
展開されたモデルおよび資産クラス (com.sn_ent)	CMDB クラス階層内のすぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。
CMDB CI クラスモデル (com.sn_cmdb_ci_class)	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。
資産管理 共通 (com.sn_itam_common)	資産の再利用を要求するカタログアイテムを含む、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、エンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
物理資産 (sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を整列させるマーカー。
リスクヒートマップ (com.sn_risk_heatmap)	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。
Geo マップコンポーネント (com.sn_geo_map)	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

OT Asset Management (OT 資産管理) とともにインストールされるもの

ユーザーロールコンポーネント、プラグイン、およびアプリケーションは、com.sn_otam プラグインのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされるロール

ロール タイトル [名前]	説明	含まれるロール
OT 資産マネージャー [sn_otam.ot_asset_manager]	OT 資産ワークスペースでオペレーショナルテクノロジー固有のモデルと資産を管理します。	sn_eam.asset_manager
OT 資産技術者 [sn_otam.ot_asset_technician]	OT 資産ワークスペースでオペレーショナルテクノロジー固有の資産に関連するタスクを実行します。	sn_eam.asset_technician

インストール済みプラグイン

名前	Description (説明)
資産管理 (com.snc.asset_management)	情報技術資産の物理的、技術的、契約的、財務的側面を統合する機能を提供します。
調達 (com.snc.procurement)	サービスカタログ要求を履行できるように、要求された資産を調達および受領する機能を提供します。
Enterprise モデル正規化 (com.sn_eam_core)	正規化ステータス、モデルコンテンツサービスのダウンロード、ライフサイクルの概要など、正規化に関連する情報を提供します。
資産管理 ワークスペース - 推奨事項 (com.sn_itam_recomm)	構成可能なワークスペースで、ユーザーにアクション可能な推奨事項を提供します。
SM 計画済みメンテナンス (com.snc.planned_maintenance)	資産の定期的な予防メンテナンスを管理する機能を提供します。
作業管理 (com.snc.work_management)	作業指示、作業指示タスク、メンテナンス計画、およびその他の関連する作業指示情報を管理する機能を提供します。
パフォーマンスアナリティクス (com.snc.pa)	アクション可能なデータ表示方法を含むダッシュボードを提供し、ビジネスプロセスとビジネスプラクティスの改善に役立ちます。
プレイブックエクスペリエンス (com.glide.playbook_experience.config)	重要な情報を使用して資産を設定するためのステップバイステップのガイダンスを提供します。
プロセスオートメーションデザイナー for App Engine (com.glide.pad.license)	簡素化されたタスク指向のプロセスのビューを提供します。
コスト管理 (com.snc.cost_management)	ビジネスコストを計画および管理するためのオプションを提供します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

インストールされているアプリケーション

名前	Description (説明)
エンタープライズ資産管理 (com.sn_eam)	企業の接続された資産と接続されていない資産のライフサイクル全体を管理します。
展開されたモデルおよび資産クラス (com.sn_ent)	CMDB クラス階層内のすぐに利用可能な製品モデルと資産クラスを拡張するエンタープライズモデルと資産クラスを追加します。さらに、これらのエンタープライズモデルおよび資産クラスを CMDB 構成アイテム (CI) クラスに関連付けるモデルカテゴリを作成します。
CMDB CI クラスモデル (com.sn_cmdb_ci_class)	クラスの説明、識別ルール、識別子エントリ、および依存関係を含む、CMDB クラス階層を拡張するクラスモデルを追加します。
資産管理 共通 (com.sn_itam_common)	資産の再利用を要求するカタログアイテムを含む、 ハードウェア資産管理、 ソフトウェア資産管理、 エンタープライズ資産管理 アプリケーションに共通の機能を提供します。
物理資産 (sn_phy_assets)	ハードウェア資産管理アプリケーションやエンタープライズ資産管理アプリケーションなど、物理資産ベースのアプリケーションの機能を整列させるマーカー。
リスクヒートマップ (com.sn_risk_heatmap)	組織のリスク体制を可視化できるヒートマップコンポーネントを提供します。
Geo マップコンポーネント (com.sn_geo_map)	インドアマップを使用して資産の場所を追跡する機能を提供します。

クラウドインサイト

ServiceNow® クラウドインサイト アプリケーション (旧称 Cloud Insights) を使用すると、クラウドの使用状況とコストを可視化してコントロールできます。すべてのクラウドリソースを検出し、コストセンター、ビジネスサービス、およびその他のエンティティ別にクラウド支出を分類し、クラウド支出削減方法の推奨事項を提供し、反復的なコスト最適化タスクを自動化できます。

概要

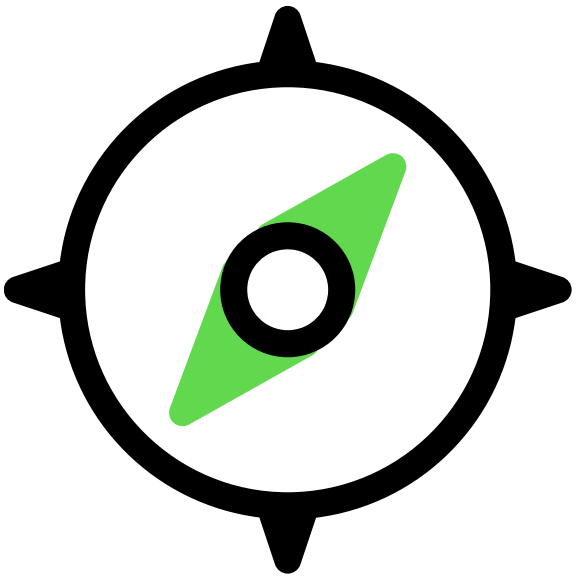
クラウドコスト管理アプリケーションの概要については、こちらの短いビデオをご覧ください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

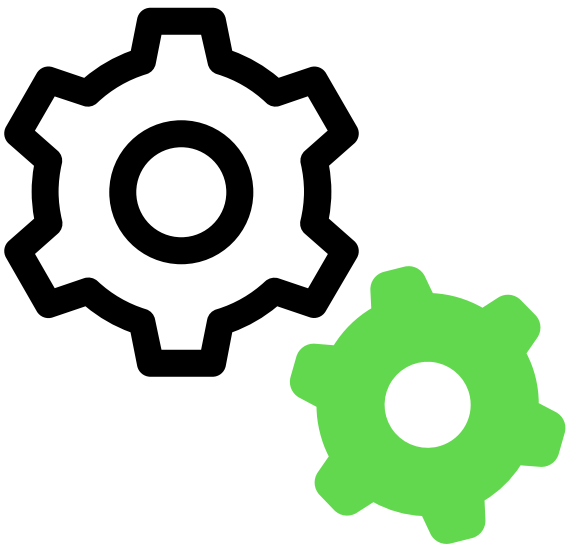
開始するには

探索



クラウドインサイト アプリケーションが提供する主な機能とビジネス価値について説明します。

Configure (構成)



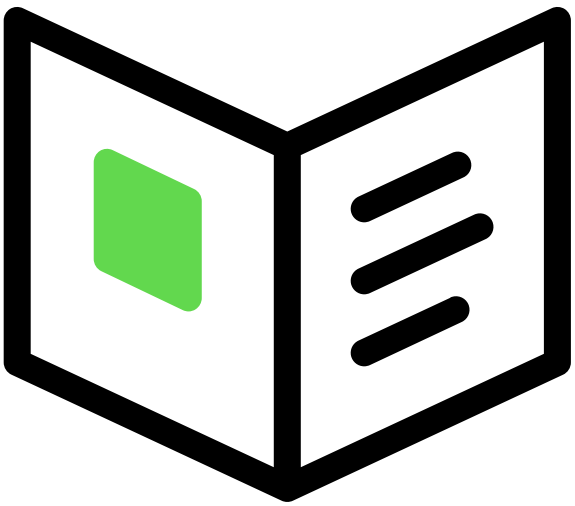
サポート クラウドインサイト プラグイン、機能をアクティブ化し、ロールをアサインして、追加のセットアップアクティビティを有効にします。

使用



クラウドタスクを自動化することで、手動プロセスを自動化および簡素化します。

参照



クラウドインサイト のロール、ドメインセパレーション、およびサービスカテゴリの詳細を取得します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

トラブルシューティングとサポート

- で質問する/質問に答える クラウドインサイト ServiceNow コミュニティ
- 既知のエラーポータルで既知のエラー記事を検索する
- 連絡先 カスタマーサービス & サポート

クラウドインサイト の詳細

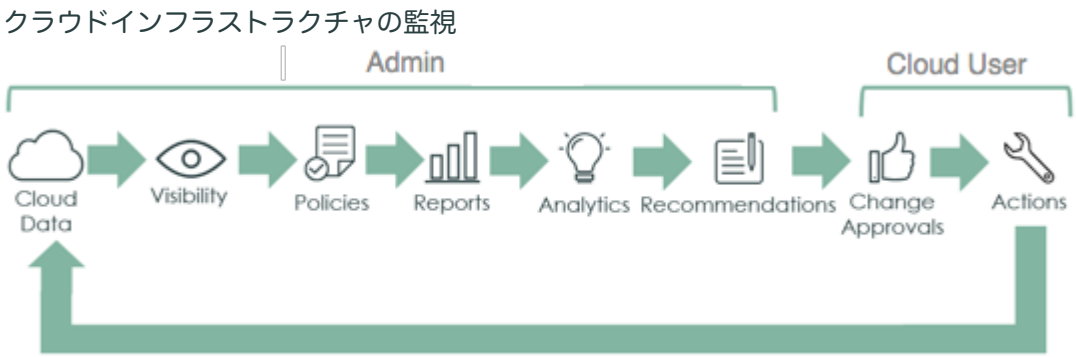
サンプルワークフローを使用した クラウドインサイト の詳細と、それが組織内のさまざまなユーザーにもたらすメリットについて説明します。

クラウドインサイト の概要

クラウドインサイト は、クラウド資産に関連するあらゆるコストの分析に役立つため、コストを削減して運用を最適化する機会を特定して対処できます。

クラウドインサイト のワークフロー

クラウドインサイト はクラウドインフラストラクチャを継続的に監視してコストを分析するため、リソースを特定して対処し、コストを節約して運用を最適化できます。



クラウドインサイト のメリット

メリット	機能	ユーザー
直感的で合理化されたユーザーインターフェイスを通じてクラウドの支出と使用状況を完全に可視化することで、クラウドのコストと使用状況を最適化します。	クラウドコスト管理ワークスペース	エグゼクティブ/FinOps 実務者/クラウドマネージャー/クラウド管理者
使用状況に合わせてクラウドリソースの寸法を正しく設定することでクラウドコストを削減する方法に関する自動推奨事項を取得することで、クラウドリソースのサイズを適正化します。	リソースの適正化	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
オンデマンド支払いプランをクラウドリソースの予約プランに変換することで、コストを削減します。	予約または節減プラン	クラウド管理者/アプリケーションオーナー

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メリット	機能	ユーザー
支出の多い領域や取り残されたクラウド資産を分析することで、コスト最適化のターゲットを特定します。	未使用のリソース	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
通常の営業時間外に使用されていないクラウドリソースを特定し、自動的にオフにしてからオンにすることで、使用されていないリソースをオフにします。	営業時間	クラウド管理者/アプリケーションオーナー
予算の割り当て	クラウド予算	FinOps 実務者/クラウド管理者
クラウド最適化タスクを既存の変更管理プロセスに統合することで、最適化の承認を自動化します。	変更管理	FinOps 実務者/クラウド管理者

クラウドコスト管理ワークスペース

クラウドインサイト アプリケーションの直感的で合理化されたユーザーインターフェイスである クラウドコスト管理ワークスペース を使用して、クラウドリソースに関連するコストの全範囲を分析します。コストを節減し、運用を最適化する機会を特定して対応できます。

クラウドコスト管理ワークスペースは、複数のビューを持つ統合メディアです。ビューを使用すると、クラウドリソースのコスト、支出、予算を分析し、IT がさまざまなダッシュボードを通じてビジネスアプリケーションとサービスをどのようにサポートしているかについてのインサイトを得ることができます。

この クラウドコスト管理ワークスペース には、次のビューが含まれています。

- クラウドインサイト の概要:この簡素化された概要ページで クラウドコスト管理ワークスペース を使用して、クラウドリソースに関するインサイトを取得します。
- 予算ビュー:クラウドリソースの予算コンプライアンスを積極的に把握することで、クラウド支出を削減します。
- 支出ビュー:クラウドリソースの消費量を分析して把握します。
- 操作ビュー:推奨事項、コスト使用タグ、およびアドミン関連の操作を表示および管理します。
- 管理ビュー:ガイド付きエクスペリエンスを使用してインストール、セットアップ、構成 クラウドインサイト 。

注: ロールに基づいてレポートとデータを表示できます。詳細については、「クラウドインサイト ロール」を参照してください。

クラウドインサイト の概要

最新化された分かりやすい クラウドインサイト の概要を使用して、エクスペリエンスを向上させます。この簡素化された概要ページは、複雑さを軽減することで、 クラウドインサイト アプリケーションをより効果的に使用するのに役立ちます。

重要: insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

クラウドインサイトの概要を使用して、

- 過去 30 日間のクラウドリソースまたはサービスアカウントへの支出状況を把握します。
- クラウドリソースの総予算や潜在的な節減額などの主要な指標に関するインサイトを得られます。
- 支出の内訳を分析し、結果をプロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別にグループ化します。また、3 か月、6 か月、9 か月、12 か

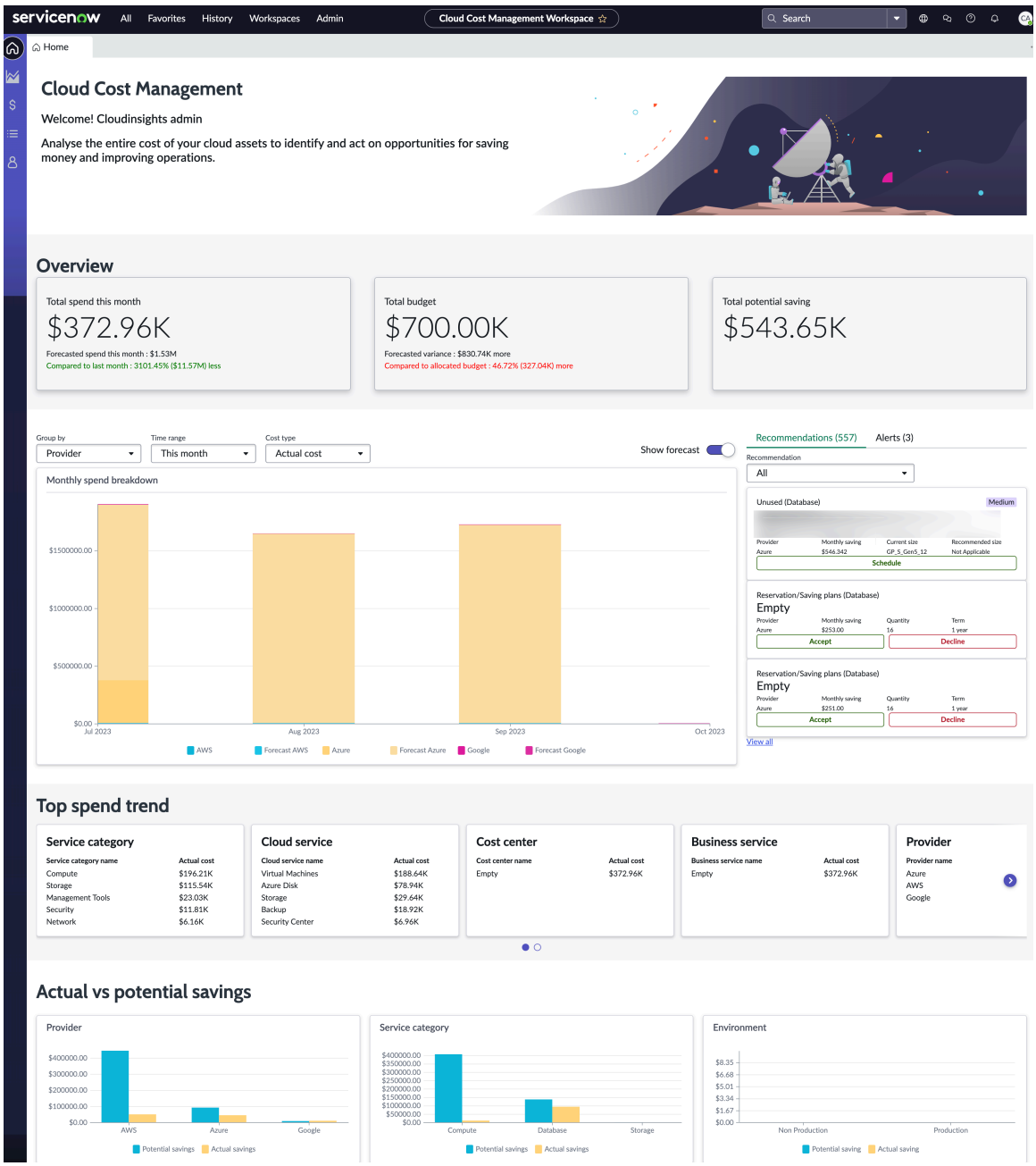
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

月などの過去の月、実績コスト、償却コストで結果を並べ替えたり、将来のコストを非表示または表示したりすることもできます。

注: プロバイダーまたはサービスアカウントだけでグループ化した予測を表示できます。

- プロバイダー、サービスカテゴリ、クラウドサービスに基づいてクラウド支出分析を表示します。
- サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、プロバイダー別にグループ化された上位の支出傾向に関する情報を取得します。
- 潜在的な節減額と実績節減額を表示して、節減の内訳を把握します。
- アラートと推奨事項を通じて、クラウドリソースに関する実用的な洞察を得ることができます。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

概要

レポート	説明
今月の合計支出	過去 30 日間のサービスアカウントまたはクラウドリソースへの支出実績。 [今月の予測消費量] には、すべてのクラウド資産の将来の合計消費量が表示されます。 [先月との比較] のパーセンテージには、当月と先月の支出差額が表示されます。
予算合計	現在の日付が予算の開始日と終了日の間にあるサービスアカウントまたはクラウドアセットの合計予算。 予算オーナーの場合、作成されたポリシーの予算のみが表示されます。 **[Forecasted variance amount** (予測差異金額)] には、クラウドリソースに対する支出に基づく予算金額が表示されます。これは `Forecasted spend this month - Total budget` 。
合計節減見込み額	未実行のすべての推奨事項に基づくクラウド資産の合計節減額。
月間支出のブレークダウン	プロバイダー、サービスカテゴリ、サービスアカウント、クラウドサービス、または購入オプション別にグループ化した月間支出のブレークダウン。結果は、時間範囲とコストの種類別に並べ替えることができます。[予測を表示] 切り替えスイッチを使用して、将来のコストを表示または非表示にします。 月間支出ブレークダウンバーを選択すると、支出アナリティクスページに移動します。詳細については、「支出分析」を参照してください。

上位の支出傾向

レポート	説明
上位の支出傾向	サービスカテゴリ、クラウドサービス、コストセンター、ビジネスサービス、およびプロバイダー別にグループ化された支出傾向または実績コスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

実際の節減と節減見込み

レポート	説明
プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された実際の節減額と節減見込み額	プロバイダー、サービスカテゴリ、および環境別にグループ化された、実際の節減額と節減見込み。 **注:** 環境別にグループ化された実際の節減額と節減見込みを示すグラフを表示するには、タグカテゴリを「本番」および「非本番」として作成する必要があります。タグカテゴリの作成の詳細については、「タグカテゴリの作成と更新」を参照してください。 節減見込みは、推奨事項によって最適化できる可能性があるクラウドリソースの合計消費量を示します。 実際の節減額は、クラウドリソースを最適化するための推奨事項に従うことで達成された節減額の合計を示します。

アラート

注: クラウドインサイト の概要ページに表示されるアラートは、過去 1 週間のものです。

アラート	説明
前回の<プロバイダー>請求処理ダウンロードジョブが失敗しました	支払者アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存する請求ダウンロードジョブが失敗しました。
前回の <provider> 価格シートのダウンロードジョブが失敗しました	クラウドプロバイダーのプライスシートデータをダウンロードして保存するプライスシートダウンロードジョブが失敗しました。
スケジュール済みジョブが失敗しました	クラウドプロバイダーのプロセスを自動化する 1 つ以上のスケジュール済みジョブが失敗しました。
<番号>拒否された推奨事項	拒否された推奨事項の数です。潜在的な節減額を示します。
<数>失敗した推奨事項	失敗した推奨事項の数です。クラウドリソースの潜在的な節減額を示します。

推奨事項

推奨事項	説明
すべて	クラウドインサイト がクラウド資産に提供するすべての推奨事項を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

推奨事項 (続く)

推奨事項	説明
営業時間	Business hours 推奨事項は、電源をオフにすべきときに実行されているリソースを特定するのに役立ちます。
予約/節減プラン	予約と節減の推奨事項は、予約プランまたは節減プランで費用を節減できるリソースを特定するのに役立ちます。 予約と節減の推奨事項の承認または拒否ができます。
サイズの適正化	Rightsizing 推奨事項は、過剰にプロビジョニングされたリソースや十分に使用されていないリソースを実行してコストを無駄にしているユーザー、ユーザーグループ、または場所を特定するのに役立ちます。 サイズ適正化プロセスをスケジュールし、サイズ適正化による潜在的な節減額のうち通知をトリガーする額を指定できます。
未使用	未使用推奨事項は、未使用のリソースを特定するのに役立ちます。 未使用マシンの電源オフまたは終了のスケジュールを設定できます。

支出分析

[支出アナリティクス] ページでは、指定した時間範囲またはコストタイプにわたるクラウド、Kubernetes、および共有リソースの消費量を表示することで、クラウドコストを可視化できます。

重要: insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

[支出アナリティクス] ページを使用して、次の情報を表示します。

- クラウド支出アナリティクス
- Kubernetes 支出分析
- 共有コスト分析

注: ネストされたタグ値に対するリソースの消費量を表示することはできません。`{"name":"test","created-by":"xyz","prod":"false","shared_resource":"false"}` など。

クラウド支出アナリティクス

[クラウド支出アナリティクス] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、クラウドリソースに現在どの程度費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、クラウド支出アナリティクスをグループ化します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- プロバイダー
- 購入オプション
- リージョン
- サービスアカウント
- [Service category (サービスカテゴリ)]
- クラウドサービス
- リソースグループ
- タグカテゴリ

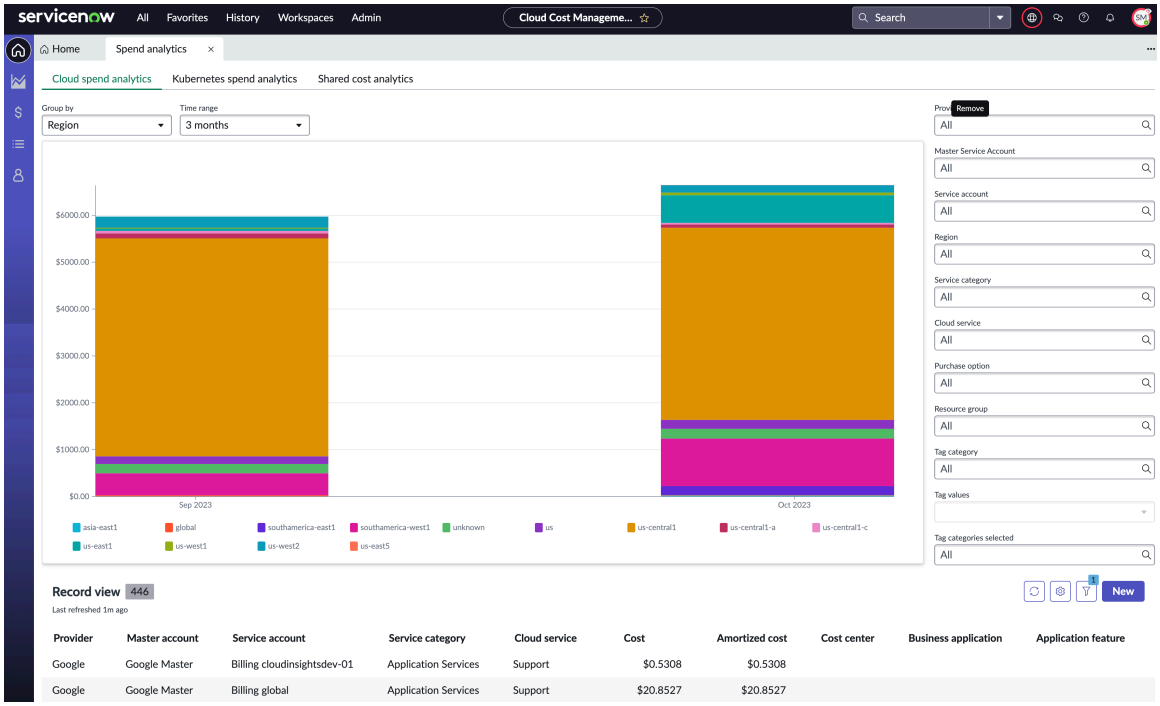
- クラウド消費の結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索および選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - 地域
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ

    注: タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



Kubernetes 支出分析

[**Kubernetes** 支出分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

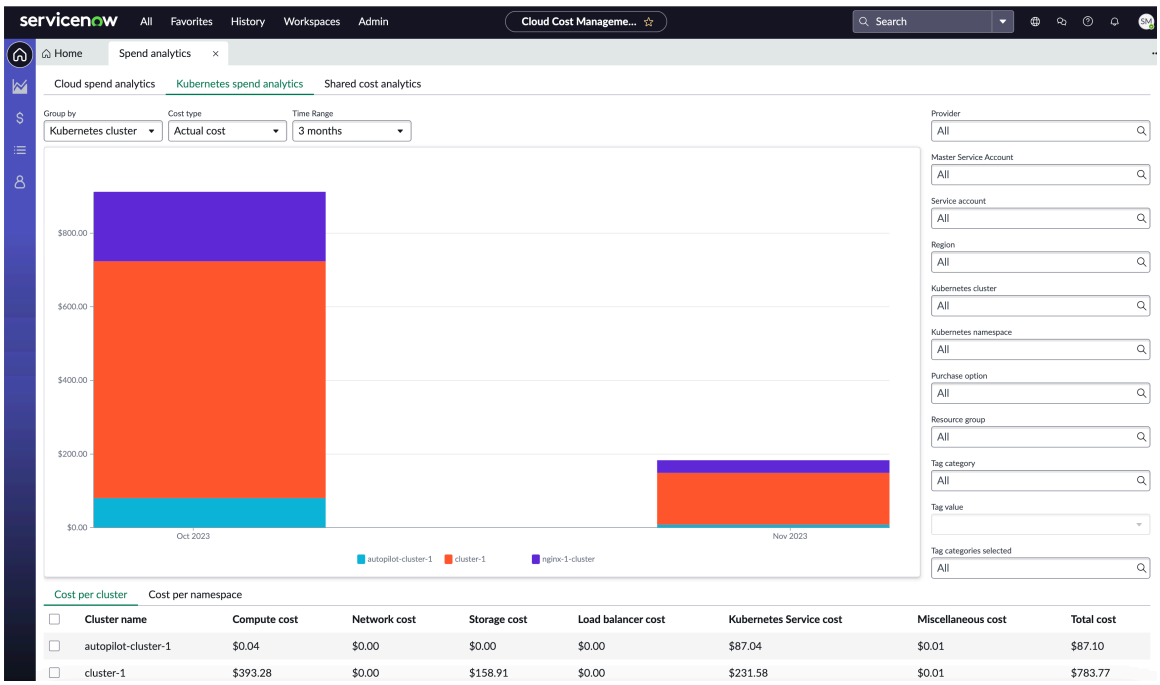
- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、クラウド上のKubernetesに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、 Kubernetes 支出分析をグループ化します。
  - Kubernetes クラスター
  - Kubernetes Namespace
  - タグカテゴリ
- 原価費目を [実績コスト] または [償却原価] として選択します。
  - 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスの料金を支払います。
  - 償却コスト: 組織は、請求期間に分散した前払い料金と月次の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。
- Kubernetes消費量の結果を当月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索および選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - リージョン
  - Kubernetes クラスター
  - Kubernetes Namespace
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました
- Kubernetesクラスターあたりのコストと Kubernetes名前空間あたりのコストの詳細を表示します。



共有コスト分析

[共有コスト分析] タブを選択して、次のタスクを実行します。

- [時間範囲] フィールドで選択できる期間に、共有クラウドリソースに現在どのように費やしているかを把握します。
- 次のいずれかの値を使用して、共有コスト分析をグループ化します。
  - プロバイダー
  - 購入オプション
  - リージョン
  - サービスアカウント
  - [Service category (サービスカテゴリ)]
  - クラウドサービス
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ
- 原価費目 を 実績コスト または 償却原価 として選択します。
  - 実際のコスト: 請求期間ごとに、組織は直接クラウド サービスの料金を支払います。
  - 償却コスト: 組織は、請求期間に分散した前払い料金と月次の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。

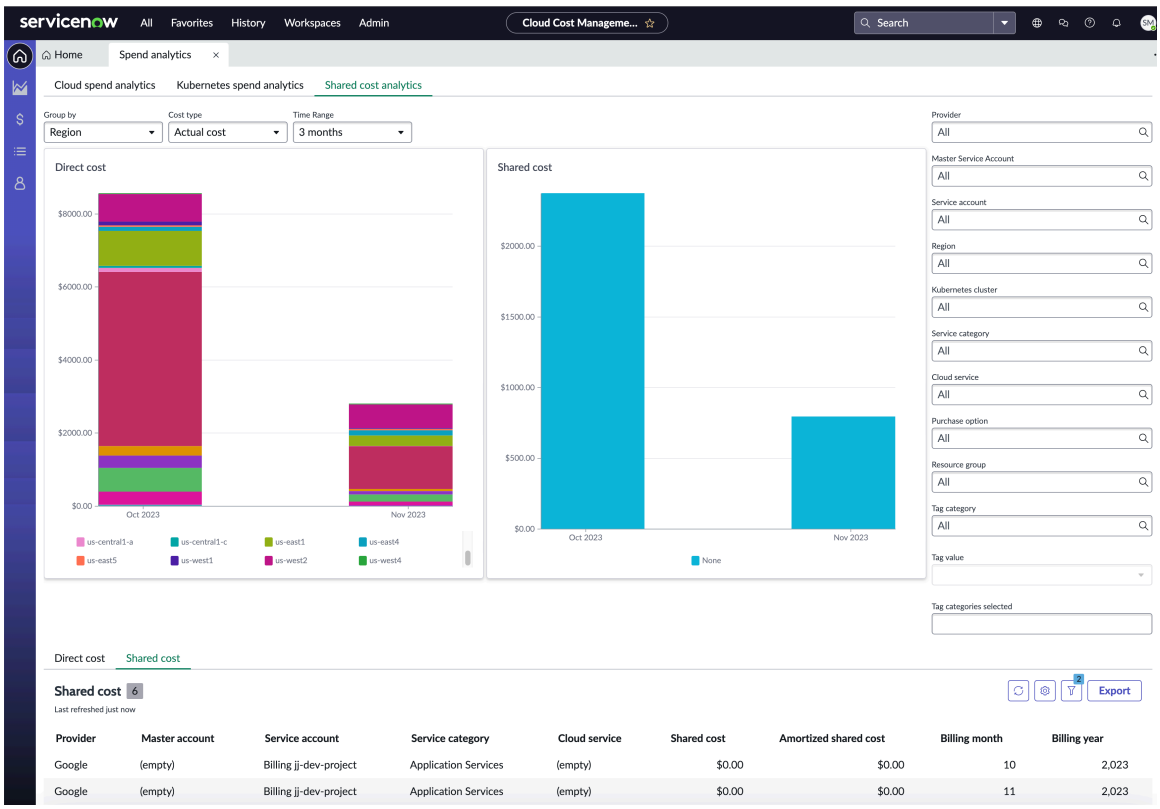
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 共有リソースのコスト結果を現在の月でソートするか、3 か月、6 か月、9 か月、12 か月などの時間範囲を選択します。
- 次のフィルターを使用して値を検索および選択することで、結果をより適切に把握できます。
  - プロバイダー
  - マスターサービスアカウント
  - サービスアカウント
  - 地域
  - サービスカテゴリ
  - クラウドサービス
  - 購入オプション
  - リソースグループ
  - タグカテゴリ

    注: タグカテゴリとデフォルトのタグカテゴリのリストの詳細については、「タグとタグカテゴリ と デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

  - タグ値
  - タグカテゴリが選択されました
- クラウドリソースの直接コストと共有コストの詳細を表示します。



関連情報

のクラウドサービスカテゴリ クラウドインサイト

タグとタグカテゴリ

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タグカテゴリの作成と更新

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新

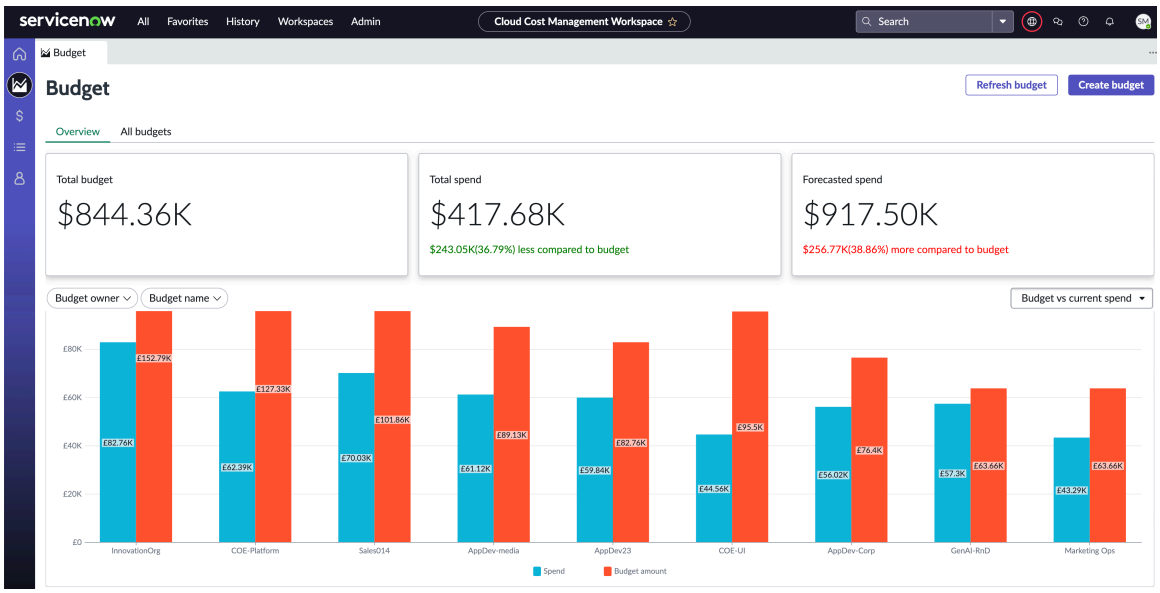
予算ビュー

グループとサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウド支出を削減できます。

重要: insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

予算ビューを使用して、次のことを行います。

- クラウド資産の合計予算と支出を表示します。
- 将来の支出を分析し、予算内か超過かを把握します。
- クラウド支出を管理し、カスタム予算計画を定義して監視できます。
- 予算ポリシーを作成および管理します。詳細については、「予算ポリシーの作成または更新」を参照してください。



予算の概要

レポート	説明
予算合計	現在の期間のクラウド資産の有効な予算。
合計消費量	当月のクラウド資産の合計支出。 現在の支出が予算内であるか、予算を超えているかを示します。
支出予測	クラウドリソースの合計消費量に基づく予測消費量。 予測消費量が予算内であるか、予算を超えているかを示します。
予算と支出	各予算ポリシーの予算と現在の支出または予測支出との比較。

自動翻訳

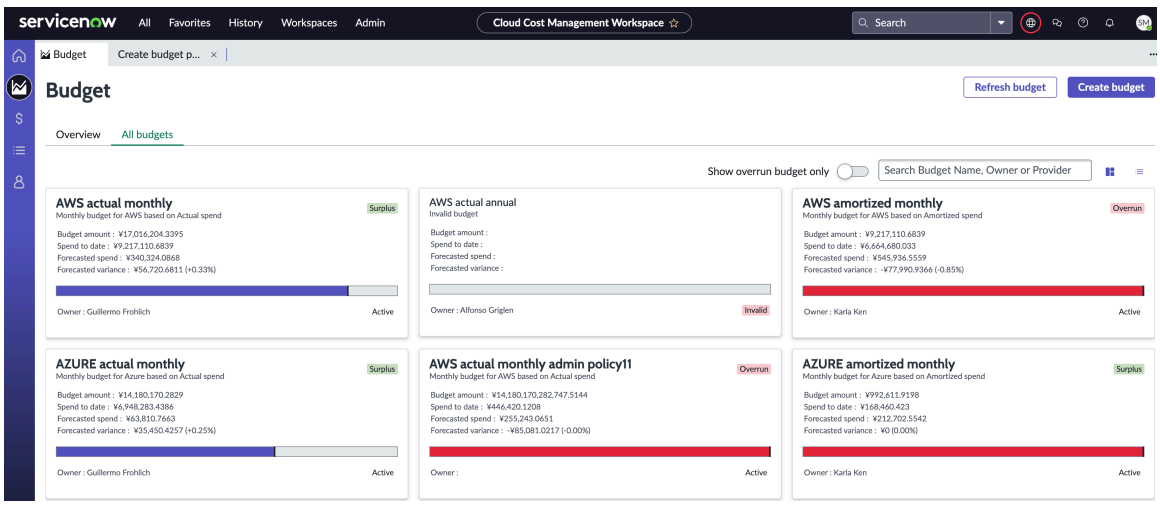
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算の概要 (続く)

レポート	説明
	次の方法でデータをフィルタリングできます。 • 予算所有者 • 予算名 • 予算と現在の支出 • 予算と予測支出額

すべての予算

予算ポリシーを作成または変更すると、ポリシーが [すべての予算] ページに表示されます。予算超過、余剰、無効な予算などの予算の詳細を検索してください。**[Show overrun budget only** (超過予算のみを表示)] 切り替えボタンを切り替えることで、超過予算のみを表示することができます。予算を名前、オーナー、またはプロバイダーで検索します



支出ビュー

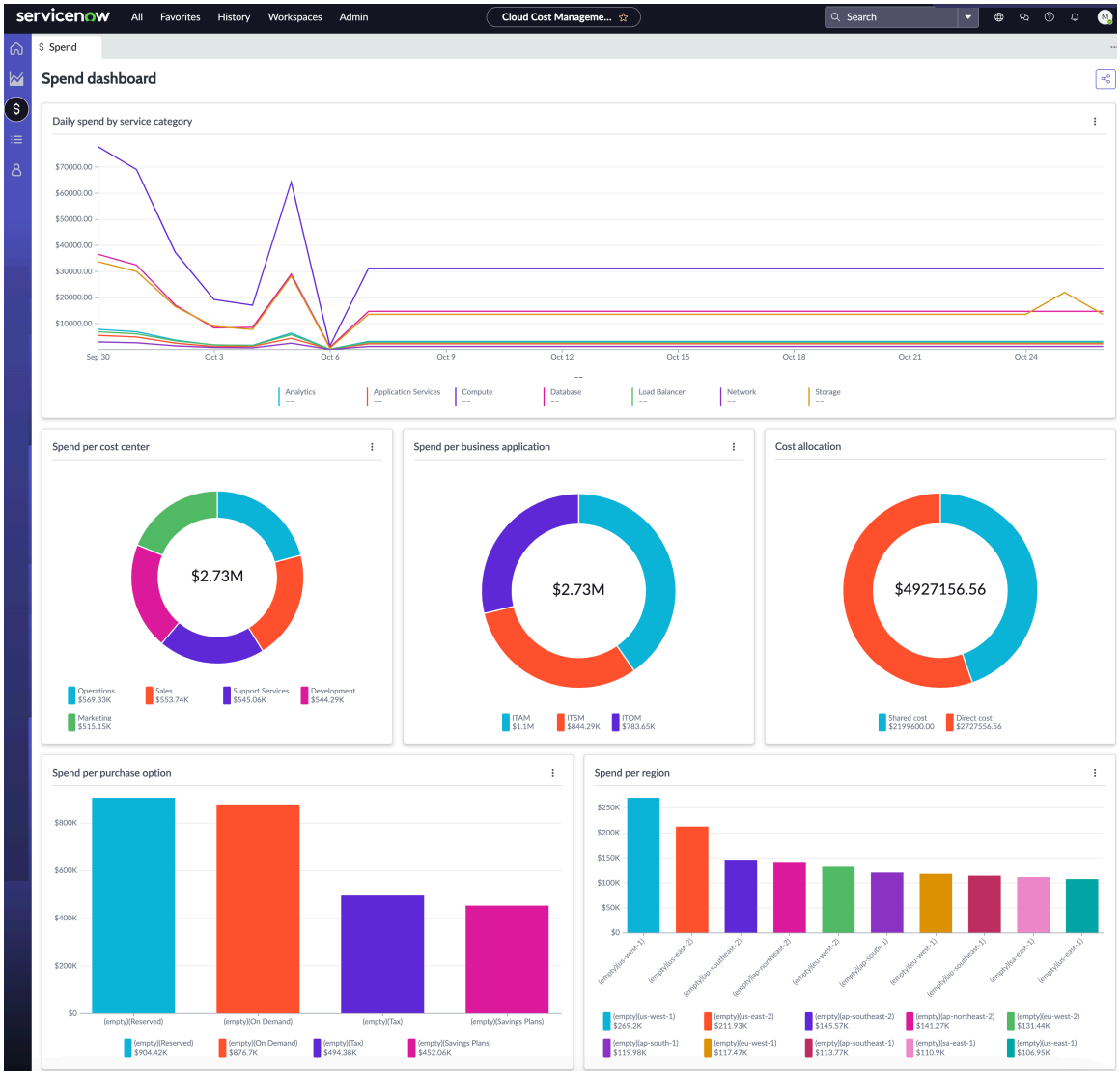
クラウドインサイトワークスペースの支出ビューを使用して、正確なコストレポートを確実に作成します。

重要: insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

支出ビューを使用して、さまざまなカテゴリでグループ化された資産の支出を分析し、把握します。

- サービスカテゴリ別の日次支出
- コストセンターあたりの支出
- 購入オプションあたりの支出
- ビジネスアプリケーションあたりの支出
- コスト割り当て、共有コストと直接コストの表示
- リージョンあたりの支出

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



操作ビュー

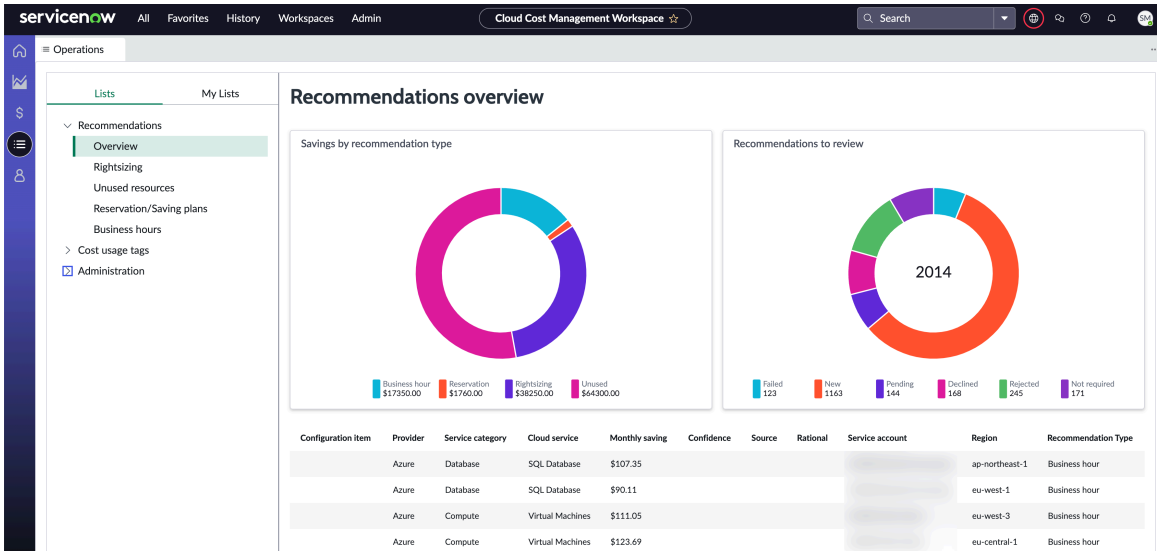
クラウドコスト管理ワークスペースの [操作] ビューを使用して、推奨事項、コスト使用タグ、および管理関連の操作を表示および管理します。

重要: insight_owner ロールを持っている場合、フィルターとデータには、自分にアサインされているアカウントのみが表示されます。

[操作] ビューにアクセスするには、次の場所に移動します。 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション.

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



操作ビューでは、[リスト] タブで各カテゴリを展開して次のタスクを実行できます。

- 概要:推奨事項の種類別、およびレビューする推奨事項の数を、ステータス別にグループ化して表示します。
- 推奨事項:サイズの適正化、未使用リソース、予約/節減プラン、営業時間などの推奨事項タイプ別にクラウド資産の節減額を表示します。推奨事項タイプを選択して詳細レポートを表示し、それに応じて対処します。
  - サイズの適正化:サービスカテゴリ別の節減見込み額の合計、変更グループ別の節減見込み額の合計、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済み、およびサイズの適正化が除外されているリソースの数を表示します。また、リソースのサイズを適正化するためにリソースを除外またはスケジュールしたり、適切なサイズ設定を構成したり、サービスカテゴリのメトリクスを作成したりすることもできます。詳細については、「Rightsizing でリソースのサイズを適正化する」を参照してください。
  - 未使用のリソース:サービスカテゴリ別の節減見込み額の合計、変更グループ別の節減見込み額の合計、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗、除外済みの未使用リソースの数を表示します。また、未使用のリソースを除外またはスケジュールして、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定したり、未使用の設定を構成したり、未使用の推奨事項を作成したりすることもできます。詳細については、「未使用のリソースの管理」を参照してください。
  - 予約/節減プラン:予約にかかる前払いコスト、全体的な RI 使用率、サービス カテゴリ別の節減見込みを表示します。リザーブドインスタンスの推奨事項を承認または拒否できます。詳細については、「予約プランによるリソースコストの削減」を参照してください。
  - 営業時間:サービスカテゴリ別の節減見込み額の合計、変更グループ別の節減見込み額の合計、営業時間外の支出に対する営業時間、スケジュール済み、完了済み、拒否済み、失敗済み、および営業時間ポリシーから除外されたリソース数を表示します。ポリシーからリソースを除外することもできます。詳細については、「Business hours でリソースの使用率を向上」を参照してください。
- コスト使用タグ:リソース使用状況を特定のビジネスエンティティに関連付けます。詳細については、「タグとタグカテゴリ」を参照してください。
  - タグカテゴリ:タグカテゴリを作成および更新します。
  - タグ名:タグカテゴリのタグ名を作成します。

  詳細については、「タグカテゴリの作成と更新」を参照してください。
- 管理

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- サービスアカウント: AWS、 Azure、および Google 用のサービスアカウントを作成して、アカウントの認証情報とアクセス情報を保存します。
  - AWSサービスアカウントの追加
  - Microsoft Azure行政サービスアカウントを追加する
  - Google Cloudサービスアカウントの追加
- 認証情報: AWS、 Azure、 Google アカウントにアクセスするための認証情報を作成します。
  - AWS請求および使用状況データへのアクセスを設定する
  - Microsoft Azure請求および使用状況データへのアクセスを設定する
  - Google Cloud の請求および使用状況データへのアクセスを設定する
- 請求処理ダウンロードジョブ: AWS、 Azure、 Googleの請求処理データをダウンロードするジョブを表示、管理、およびスケジュールします。
  - AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
  - Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
  - Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
- 価格シートのダウンロードジョブ: AWS、 Azure、および Googleの価格シートをダウンロードするジョブを表示、管理、およびスケジュールします。
  - AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
  - Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
  - Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
- 営業時間のスケジュール:営業時間のスケジュールを作成します。詳細については、「営業時間スケジュールを作成する」を参照してください。
- 未アサインリソース:未アサインリソースのリストと、プロバイダー、リージョン、CMDB CI、サービスアカウントとカテゴリ、Sys ID などのリソースの詳細を表示します。
- グローバル除外: 特定のリソースのコストデータがレポートに表示されないようにするために、リソースを除外します。詳細については、「すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外」を参照してください。
- ジョブ実行:次のジョブ実行の詳細を表示します。
  - 請求処理ダウンロード (Billing Downloads)
  - 価格シートのダウンロード
  - 支出
  - 予算
  - サイズ適正化/未使用
  - 営業時間
  - 未アサイン
  - 予約プラン
- アカウントから所有者へのマッピング:サービスアカウントの所有権を設定または更新します。詳細については、「insights_owner へのサービスアカウントのアサイン」と「insights_owner 権限の更新または再割り当て」を参照してください。
- インサイト所有者を表示:インサイト所有者のリストを表示し、クラウドサービスアカウントも作成します。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- **AWS** 価格割引:各サービスアカウントのプロバイダー割引率を表示および指定します。詳細については、「サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、料金割引を指定します」を参照してください。
- **AWS Gov** アカウントマッピング:リンクされたサービスアカウントへの AWS Gov アカウントのマッピングを作成します。詳細については、「AWS Gov アカウントマッピングの作成」を参照してください。
- 共有コスト割り当てポリシー:さまざまな割り当てタイプの共有コスト割り当てポリシーを作成、更新、および表示して、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門間で分割します。詳細については、「共有コスト割り当てポリシーの作成または更新」を参照してください。

- ツール - メトリックベースと支出データを比較: メトリックベース (Clotho) データを Amazon Web サービス (AWS)、 Azure、 Google Cloud Platform (GCP) の支出データと比較し、請求処理の問題を簡単に診断してトラブルシューティング クラウドインサイト 。詳細については、「メトリックベースデータと支出データの比較」を参照してください。

  注: このオプションは、クラウドコスト管理 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

管理ビュー

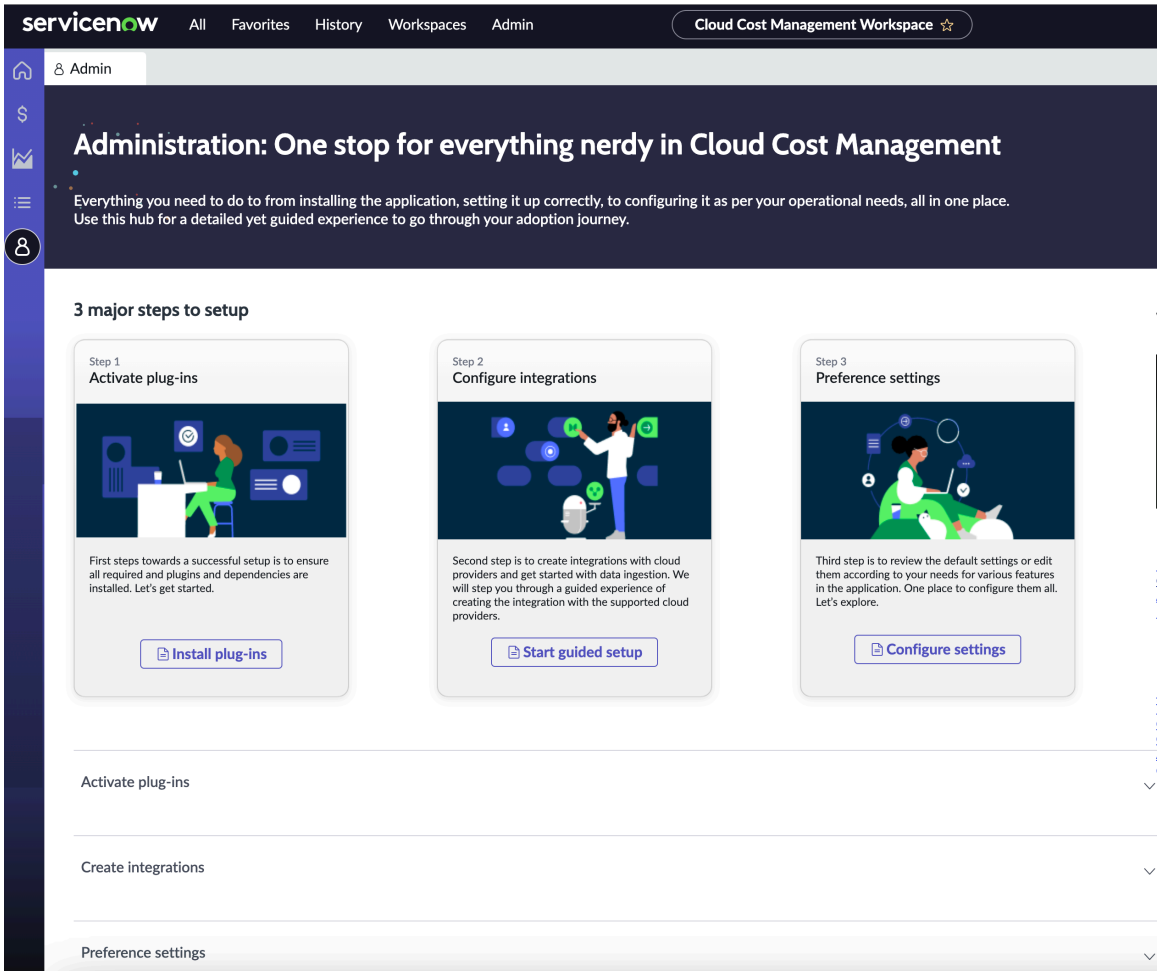
クラウドコスト管理ワークスペースの [アドミン] ビューを使用すると、ガイド付きエクスペリエンスを通じてアプリケーションをインストール、セットアップ、および構成できます。

管理ビューでは、次のことができます。

- AWS、Azure、およびGCPのクラウドインサイトを構成するためのガイド付きセットアップを使用して、より迅速に価値を実現します。ガイド付きセットアップ は、構成を完了するために実行する必要があるタスクに関する規範的なガイダンスを提供します。この ガイド付きセットアップでは、構成アクティビティを使いやすさのためにさまざまなカテゴリに整理します。
- チュートリアルを見て、 クラウドインサイトを理解してください。
- 役立つリソースおよび関連する製品または機能を表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



ガイド付きセットアップ による クラウドインサイト の実装

ガイド付きセットアップ には一連のタスクがあり、ご利用の ServiceNow インスタンスで クラウドインサイト を設定するのに役立ちます。

AWS、Microsoft Azure、GCP のクラウドインサイト ガイド付きセットアップを開くには、 ワークスペース > クラウドコスト管理ワークスペース > アドミン > 統合を作成 > データ連携.

詳細については、「ガイド付きセットアップ」を参照してください。

ガイド付きセットアップの [Admin] ビューで、次の手順を実行します。

- プラグインのアクティブ化:必要なすべてのプラグインと依存関係がインストールされていることを確認します。

  注: ガイド付きセットアップ 2.1.2 バージョンを追加する必要があります。

- 統合の構成: Amazon Web サービス AWS、 Microsoft Azure、 Google Cloud Platform (GCP) などのクラウドプロバイダーとの統合を作成します。
- 環境設定:アプリケーションのさまざまな機能のニーズに応じて、デフォルト設定を確認するか、編集します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用したクラウドインサイト KPI の可視化

資産管理エグゼクティブダッシュボードを使用すると、ハードウェア資産管理、ソフトウェア資産管理、クラウドインサイトアプリケーションの重要な KPI を単一のダッシュボードで可視化できます。

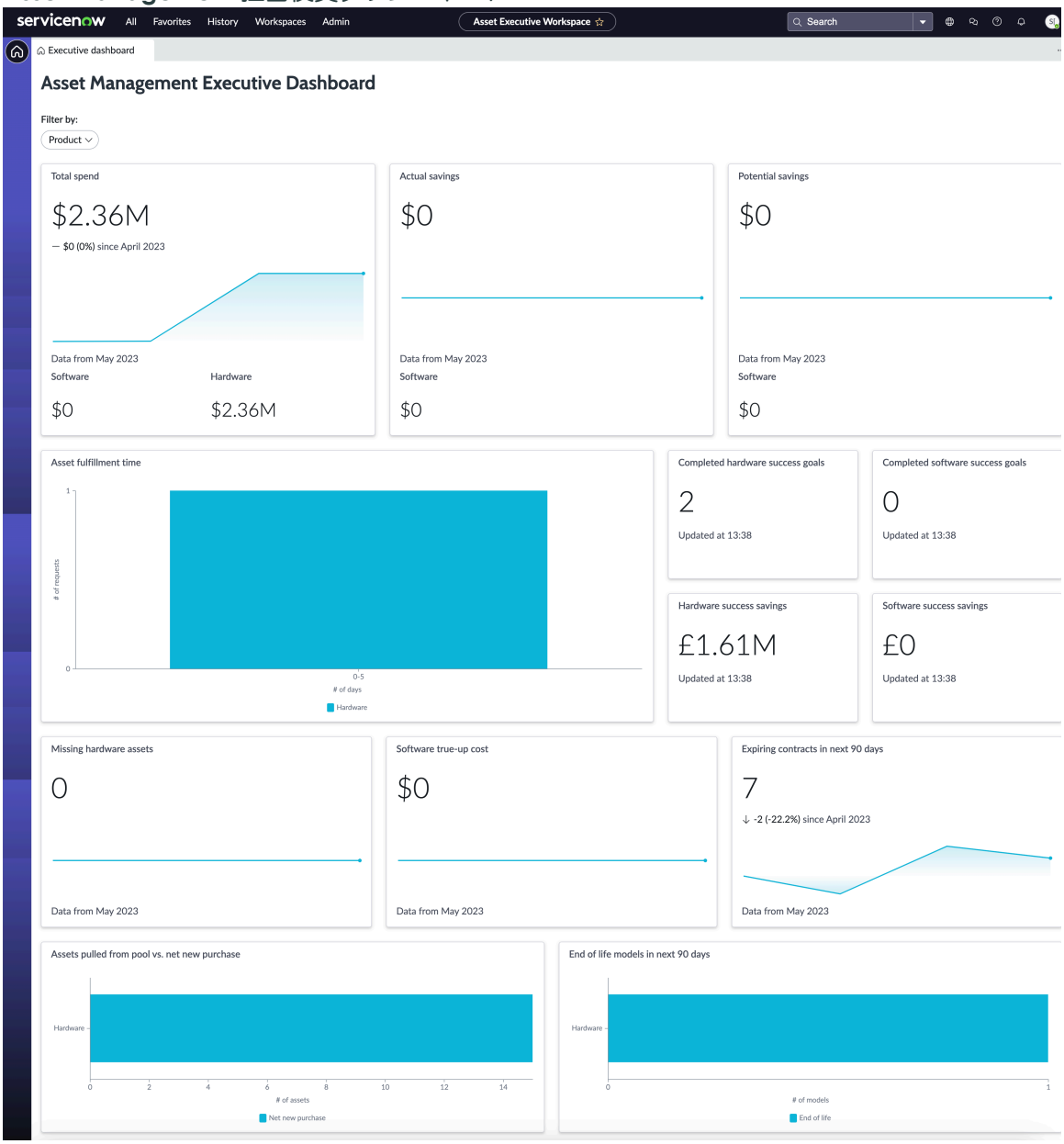
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 エグゼクティブダッシュボードにアクセスするには、ServiceNow インスタンスにソフトウェア資産管理またはハードウェア資産管理が必要です。

資産管理エグゼクティブダッシュボードを表示するには、 資産担当役員ワークスペース > 資産管理エグゼクティブダッシュボード. sn_itam_common.asset_exec のロールを持つユーザーは、ダッシュボードにアクセスできます。

Asset Management 担当役員ダッシュボード



ダッシュボードの結果は、製品、ドメイン別、または製品とドメインの両方でフィルタリングできます。ドメインでフィルタリングすると、フィルタはすべてのウィジェットに適用されます。製品別にフィルタリングする場合、一部のウィジェットは特定の製品に適用されるため、フィルターはすべてのウィジェットに適用されるわけではありません。

フィルターを選択すると、各ウィジェットの右側に青色のボックスが表示され、いずれかの番号が表示されます。

- 0:ウィジェットにフィルターが適用されていないことを示します。
- 1:ウィジェットに 1 つのフィルターのみが適用されることを示します。
- 2:両方のフィルターがウィジェットに適用されていることを示します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ドメインフィルターを使用するには、プラグイン com.glide.domain.msp_extensions.installer と com.snc.pa.domain_support をアクティブ化する必要があります。

スケジュールジョブ *Asset Management - Populate KPI aggregate table* は毎日実行され、ダッシュボード上のデータが更新されます。ウィジェットの最新データを表示するには、ウィジェットを選択してリストビューページを表示します。

ダッシュボードウィジェットは、インスタンスでアクティブ化したアプリケーションプラグインによって異なります。各アプリケーションで使用できるウィジェットを次の表に示します。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
合計消費量	すべての製品のすべてのエンタイトルメントの総コスト。 ソーステーブル:ライセンス測定基準の結果 [samp_license_metric_result]	ステータスが [在庫あり]、[使用中]、[メンテナンス中]、または [輸送中] であるすべてのハードウェア資産の合計コスト ソーステーブル:ハードウェア [alm_hardware]	すべてのクラウドリソースの合計アクティブコスト。 ソーステーブル:消費量レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]。
実際の削減	すべての製品の年間削減額の合計。この値は、クローズ済みの完了再利用候補からの節減額の合計として計算されます。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	この値は、クラウドリソースの月次節減額として計算されます。 注: このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:ステータス = 完了のクラウドインサイトのサイズ適正化に関する自動 (sn_clin_core_rs_recommendation_automatic)
見込まれる削減	削除候補が再利用された場合に削減されるコスト。 ソーステーブル:削除候補 [samp_sw_reclamation_candidate]	適用外	クラウドのサイズの適正化、クラウドの使用されていないマシン、クラウド予約、およびクラウドの営業時間に関する月次の節減見込みの合計。 注: このウィジェットは、インスタンスに ソフトウェア資産管理 アプリケーションがインストールされている場合にのみ表示されます。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
			• クラウドインサイトのサイズ適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]。 • クラウドインサイトの未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]。 • リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]。
アセスメントフルフィルメント時間	サービスカタログからのソフトウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	サービスカタログからのハードウェア要求の履行時間の棒グラフ。グラフには、0 ～ 5、6 ～ 10、11 ～ 20、21 ～ 30、31+ 日の範囲で、要求の数とそれらの要求をクローズするまでにかかった日数が表示されます。 ソーステーブル:資産フルフィルメント時間 [asset_fulfillment_time]。	適用外
ソフトウェア成功目標が完了しました	ソフトウェア資産管理アプリケーションで完了した成功目標の数。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェア成功目標が完了しました	適用外	ハードウェア資産管理アプリケーション	適用外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
		で完了した成功目標の数。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	
ソフトウェアの成功によるコスト削減	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:SAM 成功目標 [samp_success_goal] 注: このウィジェットは、ソフトウェア資産ワークスペース (com.sn_sam_workspace) プラグインがインストールされている場合にのみ使用できます。	適用外	適用外
ハードウェアの成功削減	適用外	完了した成功目標からの実際の節減額。 ソーステーブル:HAM 成功目標 [sn_hamp_success_goal] 注: このウィジェットは、ハードウェア資産管理 (sn_hamp) がインストールされている場合にのみ使用できます。	

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
不足しているハードウェア資産	適用外	紛失、紛失、または盗難されたハードウェア資産の数。 ソーステーブル:不足しているハードウェア資産 [missing_hardware_assets]。	適用外
ソフトウェア調整コスト	実際に使用されている製品のコスト。 ソーステーブル:製品結果 [samp_product_result]	適用外	適用外
90 日以内に期限切れになる契約	今後 90 日以内に期限切れになるソフトウェア契約の数。 注: ソフトウェア資産管理 アプリケーションと ハードウェア資産管理 アプリケーションの両方がインスタンスに存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	今後 90 日以内に期限切れになるハードウェア契約の数。 注: インスタンスに ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 の両方が存在する場合、このウィジェットには、ソフトウェアとハードウェアの個々の契約ではなく、ソフトウェアとハードウェアの契約の合計数が表示されます。	適用外
プールから取得された資産と正味新規購入	インベントリから履行されるソフトウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するソフトウェア資産の要求数を表す棒グラフ。	インベントリから履行されるハードウェア資産の要求数と、新しい資産の発注書を作成するハードウェア資産の要求数を表す棒グラフ。	インベントリから使用された資産の数と発注書を介して調達された新しい資産の数を表す棒グラフ。 ソーステーブル:

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理エグゼクティブダッシュボードウィジェット (続く)

ウィジェット	ソフトウェア資産管理	ハードウェア資産管理	クラウドインサイト
	注: このウィジェットのソフトウェア関連データを表示するには、インスタンスで調達 (com.snc.procurement) プラグインが有効になっていることを確認してください。 ソーステーブル: • プール資産:割り当てられた割り当て [alm_licenses_assigned]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	ソーステーブル: • 資産のプール:資産消費タスク [consume_asset_task]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。	• プール資産:消費量レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]。 • 純新規資産:発注品目 [proc_po_item]。
今後 90 日で提供が終了するモデル	今後 90 日以内に提供終了を迎えるソフトウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ソフトウェアライフサイクルレポート [sam_sw_product_lifecycle_report]。	今後 90 日以内に提供終了を迎えるハードウェアモデルの数。 • 提供終了 • サポート終了 • 拡張サポート終了 ソーステーブル:ハードウェアモデル [cmdb_hardware_model_lifecycle]。	適用外

使用するクラウドリソースの検出

検出するサービスアカウント、アカウントにアクセスするための認証情報、およびリソースをスキャンする MID サーバーを選択します。ディスカバリー アプリケーションを使用する場合、ディスカバリー マネージャーウィザードを使用すると、クラウド属性を検出するための構成プロセスが簡素化されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、この構成操作をスキップできます。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

ホームページからの初期設定

重要: この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。AWS のサービスグラフコネクタなどの別の方法を使用してリソースを検出する場合は、この構成操作をスキップします。このメソッドの詳細については、「 AWS のサービスグラフコネクタ (2.7.0) 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

初期インストール時に、ホームページで [ディスカバリーの構成と実行] セクションの [ディスカバリースケジュールの設定] ボタンを選択すると、[ディスカバリースケジュール] フォームが開きます。詳細な手順については、以下を参照してください。

- Amazon AWS クラウド検出
- Azure クラウド検出
- Google Cloud Platform クラウド検出

バージョン情報 クラウドディスカバリー

クラウドディスカバリー プラグインには、クラウドディスカバリーを実行するために必要な クラウドプロビジョニングとガバナンス のコンポーネントが含まれています。「 クラウドディスカバリー 」を参照してください。

関連情報

Discovery の基本

予約または節減プラン

予約プラン機能または節減プラン機能は、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換することでコスト節減可能なリソースを推奨します。これらのプランは、確約利用割引、確約利用節減プラン、または予約インスタンスプランとも呼ばれます。

注: Azure オンデマンドのコストを節約するためのマネージドディスク予約インスタンスがサポートされています。

予約/節減プラン機能の仕組み

1. 請求処理データと使用状況データが更新されるたびに、システムは、計画された有効期間中に予約プランでコストが安くなることをプロバイダーが推奨するリソースのリストを収集します。
2. 予約プランまたは節減プラン機能は、リソースを節減額の概算でソートし、 予約/節減プラン ページにリストを表示します。次に移動できます: **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 推奨事項 > 予約/節減プラン をクリックしてリストを表示します。

   詳細については、「予約プランによるリソースコストの削減」を参照してください。
3. [リザーブドインスタンス] ページには、[新規]、[承認済み]、[拒否] の 3 つのタブがあります。タブを使用して、推奨事項をアクションのカテゴリにソートできます。気が変わった場合は、任意のタブから別のタブにリソースを移動できます。

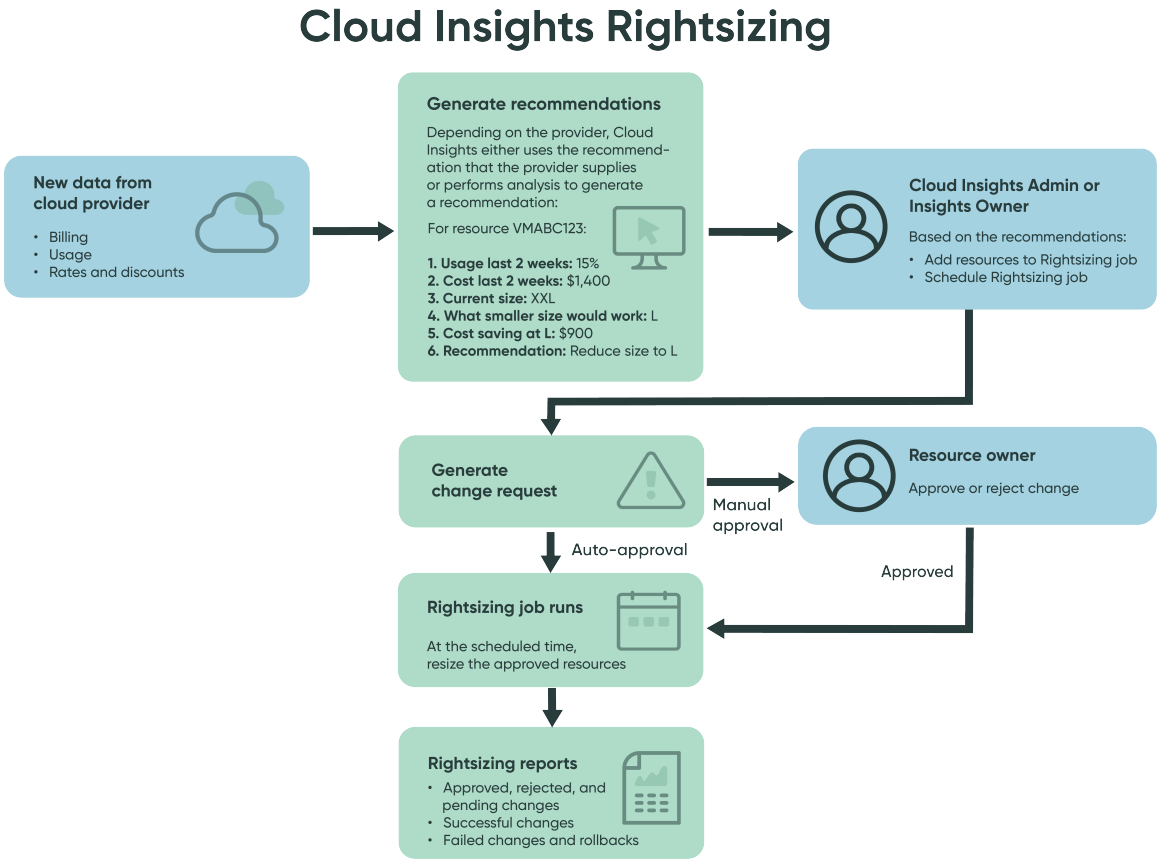
リソースの適正化

Rightsizing 機能は、リソースの使用状況を分析し、プロビジョニング過剰や利用不十分のためにコストが無駄になっているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けます。サイズの適正化ジョブをスケジュールして、指定したリソースのサイズを変更します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズの適正化の仕組み



請求処理データと使用状況データが更新されるたびに、サイズの適正化に関する推奨事項が更新されます。

サイズの適正化ジョブを定義するには、次の手順に従います。

1. [サイズの適正化の推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて適切なサイズにするリソースを選択します。詳細については、「Rightsizing でリソースのサイズを適正化する」を参照してください。
2. サイズの適正化ジョブにリソースを追加します。ジョブは、新規または定義済みのジョブにすることができます。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. サイズの適正化アクションに必要な承認のタイプを指定します。

   サイズの適正化操作は、 ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されています。

   - 自動承認:標準的な変更要求が生成され、変更要求が自動承認されます。
   - 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。
5. ジョブを保存します。

ジョブを保存すると、システムは直ちに変更要求を生成します。その後、スケジュールされた時刻にジョブが実行されます。このジョブは、次の操作を実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 承認された変更ごとに、リソースのサイズを変更します。オン状態のリソースの場合は、リソースを停止し、サイズを変更してから再起動します。サイズ変更に失敗した場合は、ロールバックを実行します。詳細については、「AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック」を参照してください。
- サイズの適正化レポートを、新しい推奨事項と、承認済み、成功、保留中、却下済み、失敗した変更で更新します。

保留中、却下済み、および失敗した変更要求については、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

注: 停止した AWS Relational Database Service (RDS) データベースでのサイズの適正化操作は、 AWS プロバイダーからはサポートされていません。停止したデータベースでサイズの適正化を実行しようとすると、サイズ変更操作はエラー `InvalidDBInstanceState - 停止した DB インスタンスを変更できません。DB インスタンスを起動し、変更します。`

クラウドインサイト がサイズの適正化に関する推奨事項を生成する方法

クラウドインサイト は、各プロバイダー向けに最適化されたプロセスを使用します。

- のサイズ適正化分析 AWS
- のサイズ適正化分析 Microsoft Azure
- のサイズ適正化分析 Google Cloud

推奨事項

クラウドインサイト アプリケーションでは、仮想マシン (AWS、Azure、GCP)、SQL Database (Azure、GCP)、および RDS データベース (AWS) の推奨事項を生成できます。CPU、メモリーおよびネットワーク使用率メトリックは、データベース・リソースのデータベース・サイズの適正化に関する推奨事項を生成するために使用されます。

クラウドインサイトアプリケーションは、AWSおよびAzureプロバイダーのストレージボリュームの推奨事項を生成します。

- クラウドカテゴリ - ストレージボリュームの AWS Elastic Block Store:サービスカテゴリはストレージです。
- クラウドカテゴリ:ストレージボリュームのディスク Azure :サービスカテゴリはストレージです。

推奨事項の信頼性レベル

リソースのサイズを適正化するためにシステムが行う各推奨事項には、信頼レベルが関連付けられています。リソースのサイズを適正化するかどうかを決定する際には、信頼性レベルを考慮します。信頼性レベルは、次の要因を反映します。

- 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。
  - システムに少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがある。
  - 現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代は同じです。
- 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。
  - システムに保持されているリソースの使用状況データは 10 日未満です。
  - 現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代は同じです。
- 信頼性が低い:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサイズ適正化分析 **AWS**

クラウドインサイト は、各プロバイダー向けに最適化されたプロセスを使用します。AWSの場合、クラウドインサイト は計算された潜在的なコストを実際の請求済みコストと比較し、推奨事項を生成します。

リソースのサイズの適正化分析の仕組み **AWS**

正確なサイズの適正化リソースの推奨事項を生成するために、 クラウドインサイト は請求処理データが更新されるたびに次の手順に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU とメモリの使用率データを収集します。

> **重要:**
> - サイズの適正化を有効にするには、メモリ使用量データを取得するためのメモリメトリクスを定義する必要があります。詳細については、「メトリクスのしきい値の定義」を参照してください。
> - 推奨事項は、CPU 使用率データに対してのみ生成されます。

- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルからパーセンテージの割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在コストを実際の請求済みコストと比較し、推奨事項を生成します。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% 未満の場合、未使用のリソースプロセスにはリソースが推奨されます。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリ サイズは、分析期間中のピーク使用量が推奨サイズの 80% を超えないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズが 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。リソースが分析期間中に 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨値は 8 GB になります。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、サイズの適正化に関する推奨事項の対象とは見なされません。

- 自動スケーリンググループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされない
- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバック

AWS のみ:サイズの適正化アクションが失敗した場合、システムはただちにロールバックを実行してリソースを元のサイズに戻し、必要に応じてリソースを再起動し、変更要求を完全な詳細で更新し、サイズの適正化レポートデータを更新します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注:

このロールバック操作の説明は、AWS環境にのみ適用されます。クラウドインサイトAWS環境に対してロールバック操作を実行します。

クラウドインサイト では、 Microsoft Azure 環境のロールバックは実行されません。代わりに、Azure Update サービスによってロールバックが実行されます。

ロールバック操作 **(AWS** のみ)

サイズの適正化ジョブが成功すると、承認された変更要求がある各リソースのサイズが変更されます。リソースが オン 状態の場合、プロセスはリソースを停止し、サイズを変更 (変更) してから再起動します。リソースが オフ 状態の場合、プロセスはリソースのサイズを変更しますが、開始はしません。

たとえば、新しいサイズがリソースタイプまたは制約された可用性ゾーンのクォータ制限を超える場合、リソースの再起動に失敗することがあります。

サイズの適正化ジョブは、プロバイダー/サービスアカウント/リージョン別にグループ化されたリソースのバッチで進行します。バッチ内の変更されたリソースが再起動に失敗した場合、バッチ内の各リソースは元のサイズにロールバックされてから再起動されます。次に、リソースの変更要求が更新され、サイズの適正化レポートのサイズ適正化に関する推奨事項のステータスが [失敗] に設定されます。

OFF ステータスだったバッチ内のリソースは、ロールバックされず、失敗としてマークされません。

のサイズ適正化分析 **Microsoft Azure**

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

におけるサイズの適正化分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスは、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドインサイトには、Azure Advisor サービスが生成する推奨事項が表示されます。 クラウドインサイトは、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、Microsoft Learn の Azure Advisor のドキュメントを参照してください。

のサイズ適正化分析 **Google Cloud**

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化されたサイズの適正化プロセスを使用します。

におけるサイズの適正化分析の仕組み **Google Cloud**

Google Cloud計算エンジンは、サイズの適正化レポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドインサイト には、Google Cloud計算エンジンが生成する推奨事項が表示されます。 クラウドインサイト は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、 Google Cloud のドキュメント を参照してください。

注: Google Cloudコンソールには、[未使用のリソース] と [サイズの適正化] の両方の推奨事項に対して同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示されている場合、クラウドインサイト は [未使用のリソース] に情報を表示し、「 推奨事項は未使用に既に存在します」という理由でサイズの適正化の推奨事項から除外します。

Googleインサイトモジュールに必要なロール

Google Cloud コンソールから推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除操作を実行するには、次のロールが必要です。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

未使用のリソース

未使用のリソース機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。未使用のリソースジョブをスケジュールして、指定したリソースの電源をオフにするか終了します。

推奨事項

AWSおよびGCPの場合、データベースの推奨事項はプロバイダーからフェッチされます。Azure、クラウドインサイト はアイドル状態のデータベースに関する推奨事項を生成します。

ストレージボリュームの推奨事項は、プロバイダーから AWS、 Azure、 GCP にフェッチされます。

- AWS (ストレージボリューム用の AWS Elastic Block Store)
- Azure (ストレージボリュームのAzure ディスク)
- GCP (ストレージボリュームの永続ディスク)

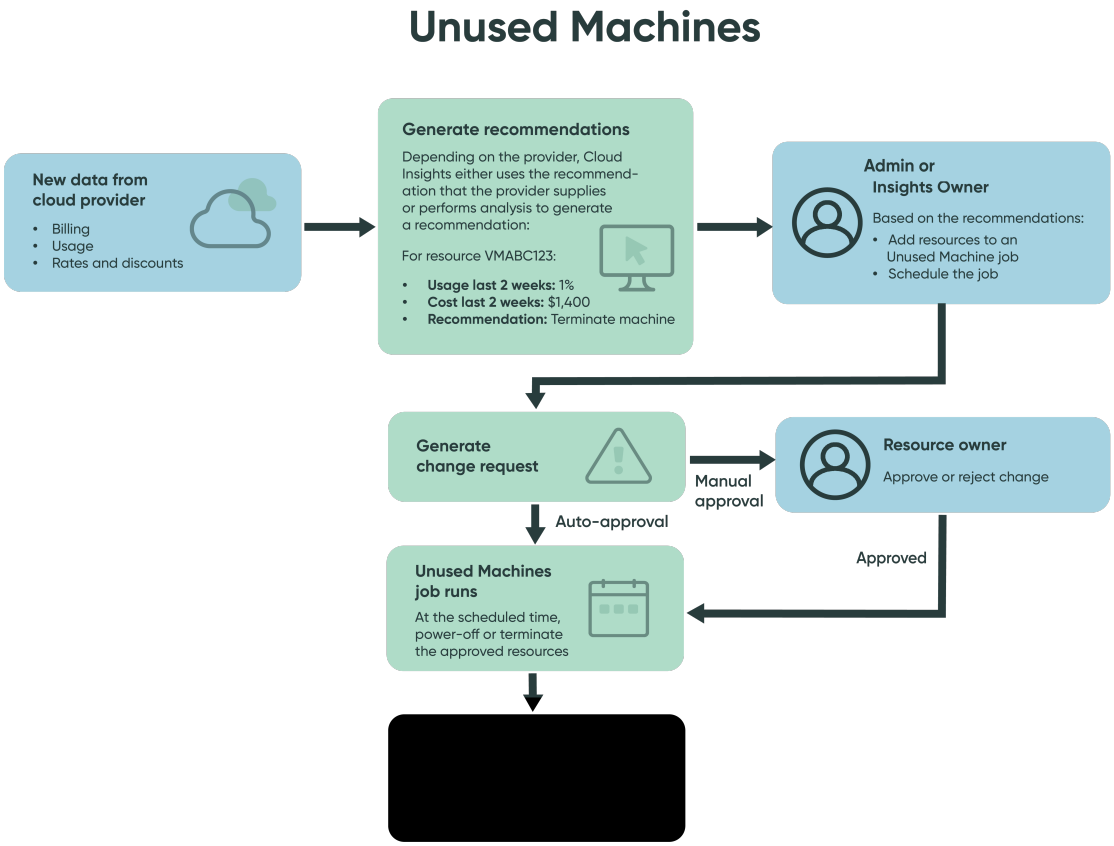
クラウドインサイト は、次のプロバイダーに対して古いスナップショットの推奨事項を生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AWS (EBS スナップショットAmazon)
- Azure (ストレージスナップショットのAzure スナップショット)
- GCP (ストレージスナップショットのGCP スナップショット)

未使用リソース機能の仕組み



1. [未使用リソースの推奨事項] ページで、推奨事項の分析に基づいて終了または電源オフするリソースを選択します。詳細については、「未使用のリソースの管理」を参照してください。
2. 新しいジョブまたは既に定義されたジョブのいずれかに、リソースを未使用のリソースジョブに追加します。
3. ジョブを実行する日時を指定します。
4. 選択したリソースに対して実行するアクションを指定します。
   - リソースの電源を切ります。
   - リソースを終了します。
   - リソースを終了し、ストレージを削除します。ルートストレージまたはプライマリストレージのみが削除されます。
5. 指定されたアクションに必要な承認のタイプを指定します。未使用のリソース操作は、ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されます。
   - 自動承認:標準的な変更要求が生成され、変更要求が自動承認されます。
   - 手動承認:通常の変更要求を生成し、適切なユーザーが変更要求を承認します。
6. 変更要求を生成するときに使用する変更テンプレートを指定します。
7. ジョブを保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムはただちに変更要求を生成します。その後、スケジュールされた時刻に、システムはジョブを実行して、変更が承認されたすべてのリソースの電源をオフにするか終了します。インスタンスは、未使用リソースレポートを新しい推奨事項と、承認済み、成功、保留中、却下済み、失敗した変更で更新します。電源オフまたは終了に失敗したリソースについては、リソースを別のジョブに再スケジュールできます。

クラウドインサイト が未使用リソースの推奨事項を生成する方法

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化されたプロセスを使用します。

- の未使用リソース分析 AWS
- の未使用リソース分析 Microsoft Azure
- の未使用リソース分析 Google Cloud

関連情報

未使用リソースの電源オフまたは終了のスケジュール設定

Change Management

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

の未使用リソース分析 **AWS**

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。AWSの場合、クラウドインサイト は計算された潜在的なコストを実際の請求済みコストと比較し、推奨事項を生成します。

の未使用リソース分析の仕組み **AWS**

正確な未使用リソースの推奨事項を生成するために、 クラウドインサイト は請求処理データが更新されるたびに次の手順に従います。

- 更新された請求処理データテーブルからコストを取得します。
- 過去 14 日間の各リソースの CPU とメモリの使用率データを収集します。
- 価格シートデータテーブルからリソースタイプとサイズのレートを取得します。
- 可能な場合は、割引テーブルからパーセンテージの割引率を取得し、価格シートのレートに適切な割引を適用します。
- 計算された潜在コストを実際の請求済みコストと比較し、推奨事項を生成します。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% 未満の場合、未使用のリソースプロセスにはリソースが推奨されます。
  - CPU 使用率の上位 20% の平均が 1% を超え 40% 未満の場合、リソースはサイズの適正化プロセスに推奨されます。推奨メモリ サイズは、分析期間中のピーク使用量が推奨サイズの 80% を超えないように計算されます。たとえば、リソースが現在 16 GB で、使用可能なサイズが 4 GB、8 GB、および 16 GB であるとします。リソースが分析期間中に 3.99 GB のピークを使用した場合、推奨値は 8 GB になります。

考慮されないリソース

次の AWS 属性を持つリソースは、未使用リソースの推奨事項の対象とは見なされません。

- 自動スケーリンググループ (ASG) のメンバー
- バースト可能
- VPC にない
- EBS ルートボリュームにバックアップされない

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 拡張ネットワークサポートがない
- 仮想化タイプが HVM ではない
- スポットインスタンス

の未使用リソース分析 **Microsoft Azure**

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

の未使用リソース分析の仕組み **Microsoft Azure**

Azure Advisor サービスは、未使用リソースレポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドインサイト には、Azure Advisor サービスによって生成される推奨事項が表示されます。 クラウドインサイト は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

値の生成方法の詳細については、 Microsoft Learn の Azure Advisor のドキュメントを参照してください。

の未使用リソース分析 **Google Cloud**

クラウドインサイト は、プロバイダーごとに最適化された未使用リソースプロセスを使用します。

の未使用リソース分析の仕組み **Google Cloud**

Google Cloud 計算エンジンは、未使用リソースレポートに表示される推奨事項を生成します。 クラウドインサイト には、Google Cloud 計算エンジンが生成する推奨事項が表示されます。 クラウドインサイト は、請求処理データが更新されるたびにレポートを更新します。

> **注:** Google Cloudコンソールには、[未使用のリソース] と [サイズの適正化] の両方の推奨事項に対して同じリソースが表示される場合があります。同じリソースが表示されている場合、クラウドインサイト は [未使用のリソース] に情報を表示し、「 推奨事項は未使用に既に存在します」という理由でサイズの適正化の推奨事項から除外します。

Googleインサイトモジュールに必要なロール

Google Cloud コンソールから推奨事項を取得し、開始、停止、サイズ変更、および削除操作を実行するには、次のロールが必要です。

- compute.autoscalers.get compute.autoscalers.list compute.disks.delete
- compute.disks.get compute.disks.getIamPolicy compute.disks.list compute.disks.resize
- compute.disks.update compute.instances.delete compute.instances.getIamPolicy
- compute.instances.setDiskAutoDelete compute.instances.start compute.instances.stop
- compute.instances.update recommender.computeAddressIdleResourceInsights.get
- recommender.computeAddressIdleResourceInsights.list
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeAddressIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.get
- recommender.computeDiskIdleResourceInsights.list
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeDiskIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.get
- recommender.computeImageIdleResourceInsights.list

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeImageIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceGroupManagerMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.locations.get recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get resourcemanager.projects.list

営業時間

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを特定し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。

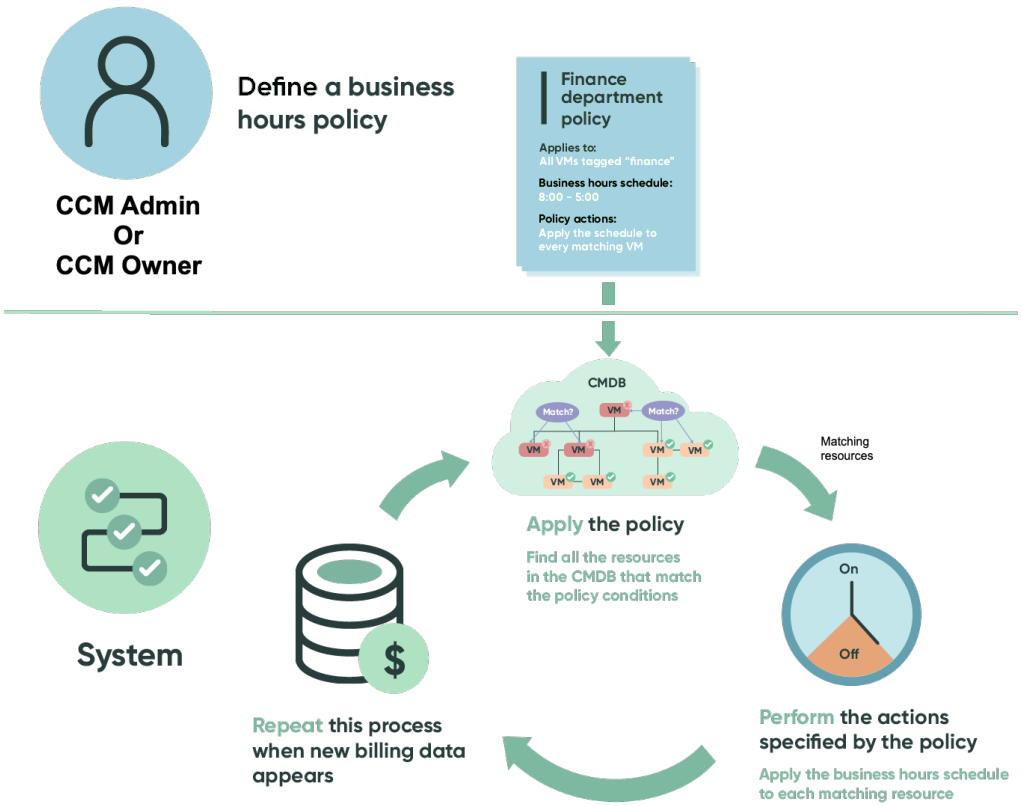
insights_adminロールは、 AWS および GCP データベースのポリシーを作成できます。

注: Azure コンピューティングのみをサポートし、データベースはサポートしません。

営業時間機能の仕組み

請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約プラン、サイズの適正化、および未使用リソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。営業時間のジョブはこのプロセスに従います。

営業時間機能の仕組み



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

1. 営業時間ポリシーごとに、CMDB を調べて、ポリシー基準に一致するリソースを特定します。
2. ポリシーに一致するリソースごとに、過去 30 日間の営業時間および営業時間外の使用状況を示す営業時間レポートを更新します。
3. 営業時間の運用は、 ServiceNow® 変更管理 機能と直接統合されています。 手動承認または自動承認ポリシータイプの場合、変更要求を生成して、ポリシーで定義されているオン/オフスケジュールを適用します。ポリシー設定に応じて、次のいずれかになります。
   - ポリシーに一致するリソースごとに変更要求を生成します。
   - ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求を生成します。
4. 変更要求が承認されたら、ポリシーで指定されているとおりに、関連リソースのオン/オフアクションをスケジュールします。
5. 請求処理データが更新されるたびに、このプロセスを繰り返します。

重要:

AWS 唯：

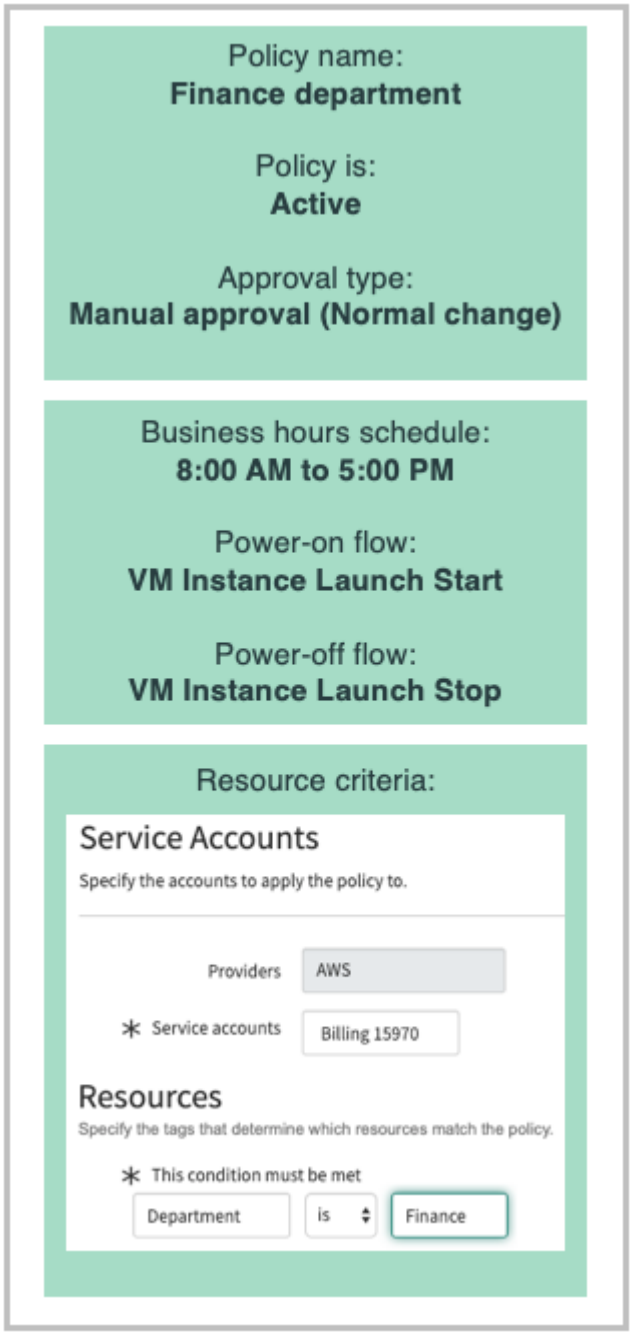
- AWS 自動スケーリンググループ (ASG) オペレーションは、ASG メンバーリソースの最小容量を維持するように動作します。ASG オペレーションとの競合を回避するために、 クラウドインサイト アプリは Auto Scaling グループに属するすべてのインスタンスを 営業時間 オペレーションから除外します。
- ASG メンバーのリソースは、営業時間の [除外されたリソース] タブで表示できます。

Google Cloud のみ:インスタンスはマネージド インスタンス グループ (MIG) として定義できます。MIG を使用すると、複数の同一の VM でアプリケーションを操作できます。自動スケーリング、自動修復、リージョン (マルチゾーン) デプロイ、自動更新などの自動 MIG サービスを利用することで、ワークロードをスケーラブルで可用性の高いものにできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Example: 営業時間ポリシー



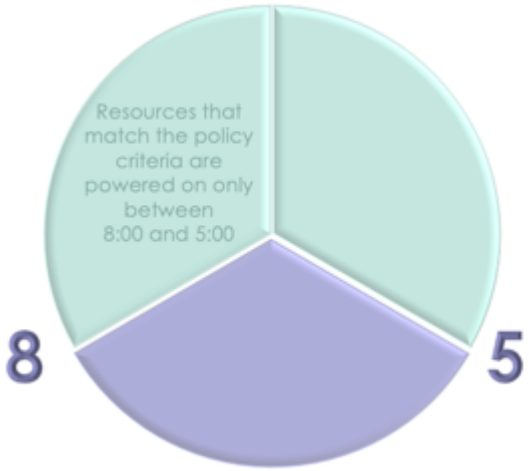
財務部門ポリシーの例には、次の設定があります。

- ポリシーはアクティブで、請求処理データと使用状況データが更新されるたびに適用されます。
- 承認タイプは手動承認 (通常の変更)です。つまり、適格なユーザーが変更要求を承認した後、ポリシーに一致するリソースのスケジュールが調整されます。
- 営業時間 (オン/オフ) スケジュールは午前 8:00 から午後 5:00 まで オン です。
- 電源オンと電源オフのフローが指定されています。
- 次のリソース基準を満たすリソースのみがポリシーに一致します。
  - クラウドプロバイダーは `AWS` で、 サービスアカウント は `請求 15970` です。
  - リソースには、名前 *`Department`* 値 `Finance` のタグがあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ポリシーが適用されると、ポリシーに一致し、変更要求が承認された各リソースについて、システムはリソースを午前 8 時に開始し、午後 5 時に停止します。実際の開始時刻と停止時刻は、システム需要の変化と、リソースの開始と停止にかかる時間によってわずかに異なります。



営業時間承認タイプ

ポリシー基準に一致するリソースごとに、ポリシーが実行するアクションは 承認タイプによって異なります。

自動承認 (標準的な変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用し、リソースを営業時間レポートに追加するための推奨事項を生成してください。
- 変更グループの変更要求を生成し、自動承認します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。
- Business hours スケジュールをリソースに適用します。

手動承認 (通常の変更) 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用し、リソースを Business hours レポートに追加するための推奨事項を生成します。
- 変更グループのメンバーへの変更要求を生成します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。
- sn_change_write ロールを持つグループのメンバーであれば誰でも変更要求を承認できます。
- 承認された場合、Business hours スケジュールをリソースに適用します。

レポートのみ 承認タイプ

- 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。
- Business hours レポートにリソースを追加します。

関連情報

営業時間ポリシーの定義または更新

Change Management

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

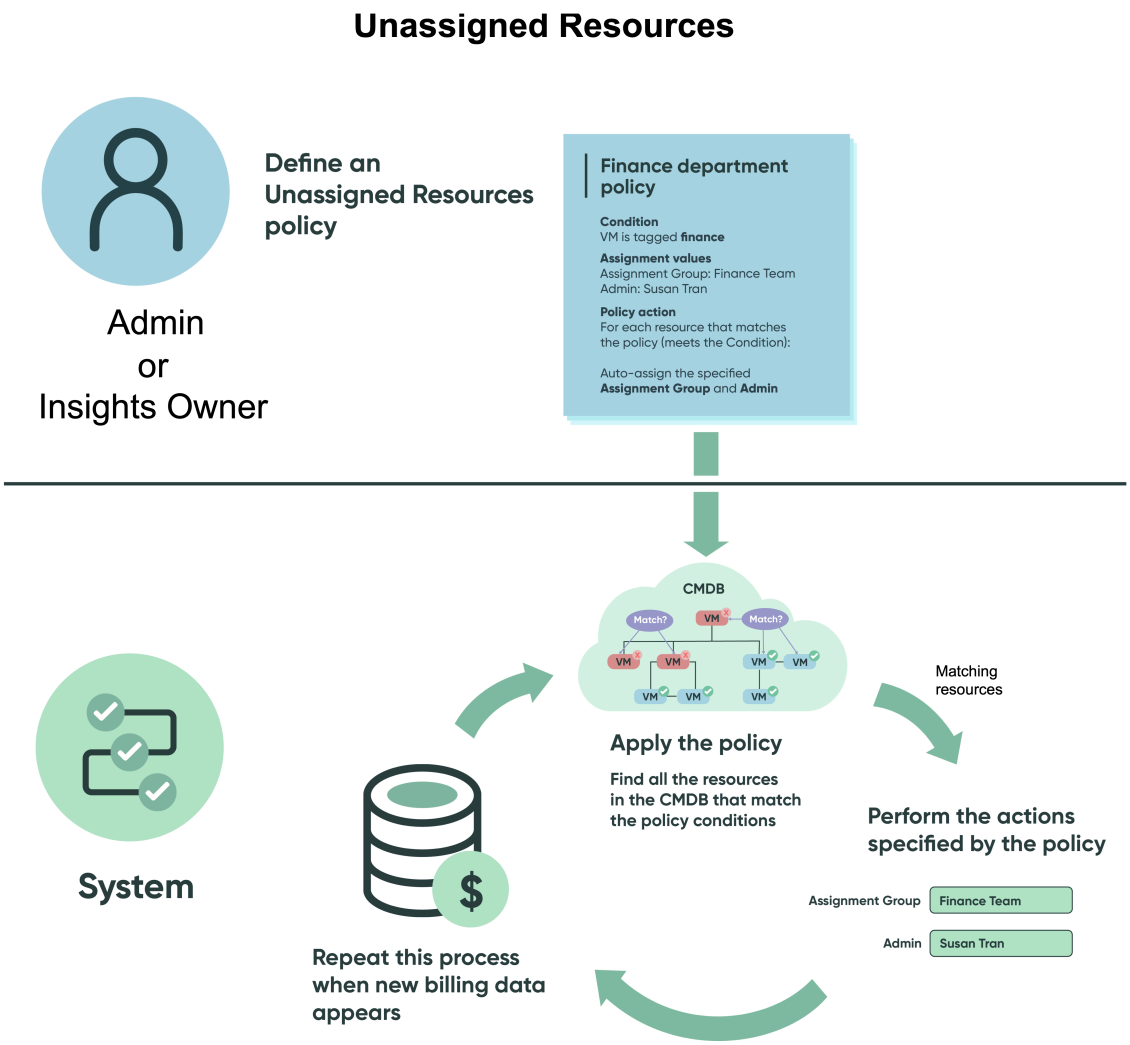
未割り当てのリソース

未アサインリソースポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを特定し、適切に割り当てるのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当てられると、リソースがパッチ適用、アップグレード、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。

クラウドインサイト アプリケーションでは、AWS、Azure、GCP のコンピューティングとデータベースに関する推奨事項を生成できます。最新のデータは毎日深夜にフェッチされます。

未アサインリソースプロセスの仕組み

クラウド請求情報が正確であるためには、管理対象のクラウドインフラストラクチャ内のすべてのリソースを含める必要があります。未アサインリソースポリシーは、すべてのリソースを分析して、変更グループにアサインされていないリソースを特定します。その後、ポリシーは適切な変更グループをリソースに自動的に割り当てることができます。未アサインリソースジョブは、次のプロセスに従います。



要件と制限事項

- ディスカバリープロセスにより未アサインリソース分析がトリガーされ、レポートの推奨事項が更新されます。
- AWS、未アサインリソース 機能は AWS EC2 インスタンスのみをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

- 終了、廃止、またはキャンセルされたリソースは考慮されません。
- データは、少なくとも 1 つのポリシーがアクティブな場合にのみレポートに表示されます。

クラウド予算

クラウドの支出を管理するために、カスタム予算計画の定義と監視が可能です。システムはプランと請求処理データを比較し、予算がどの程度達成されているかを計算してレポートします。グループごとおよびサービスアカウントごとの予算コンプライアンスを把握することで、監視を大幅に改善し、クラウドの支出を節減できます。

予算分析の仕組み

請求処理のダウンロードが成功するたびに、予算の更新が自動的にトリガーされます。新しい Budget ポリシーが作成されると、予算の更新も手動でトリガーされます。

予算予測 ジョブはプロバイダーからのコスト予測データを使用し、次のプロセスに従います。

1. 各予算計画を請求処理データに適用します。計画の詳細については、「 予算ポリシーの作成または更新」を参照してください。
2. すべての 予算予測 レポートを更新します。
3. 請求処理データが更新されるたび、またはユーザーが予算の再分析を要求するたびに、このプロセスを繰り返します。

注: ユーザー数が多い場合、ユーザーが正しくロードされないか、 予算ビューへのロードに失敗する可能性があります。詳細については、KB0866547 ナレッジ記事を参照してください。

のクラウドサービスカテゴリ クラウドインサイト

プロバイダーサービスは、 クラウドインサイトのサービスカテゴリにグループ化されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービスに分析を集中させることができます。

的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングすることができます。たとえば、 Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL は、データベースカテゴリのサービスです。

クラウドインサイトでサポートされているクラウドサービスカテゴリは次のとおりです。

- Microsoft Azureサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ
- Amazon AWS クラウドサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ
- Google Cloudサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ

タグとタグカテゴリ

プロバイダーポータルで、コストタグを定義して、リソース使用状況を特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、 `アプリケーション`、 `テスト`、 `QA` タグはコストセンターを表します。これに対し、リソース要求者は、リソースを定義するときに、実際には "Application" を意味する "App"、"AppService"、または "appl" など、さまざまなタグ名を個別に作成できます。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タグカテゴリを使用すると、正確なコストレポートが保証されます

タグカテゴリを使用して、複数のタグ名が単一のエンティティに対するコストを表せるようにします。たとえば、複数のユーザーが「アプリケーション」を表す「App」、「AppService」、および「appl」タグ名を個別に作成したとします。タグカテゴリが「アプリケーション」の場合、App、AppService、またはapplとタグ付けされたアイテムのコストは、「アプリケーション」に対するコストとして正しく割り当てられます。3 つのタグのそれぞれがアプリケーションカテゴリのコストに寄与していると見なされるため、コストは正確に報告されます。

請求情報の更新

コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。カテゴリへのタグ名の追加など、タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ > タグカテゴリを再適用.

関連情報

タグカテゴリの作成と更新

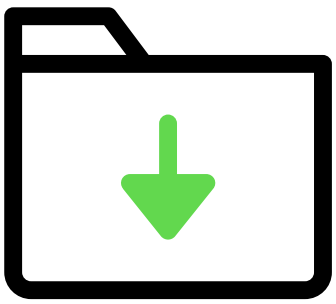
クラウドインサイト の構成

クラウドの合計消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化するための クラウドインサイト を計画および構成します。

構成の概要

クラウドインサイトを構成するプロセスの概要は次のとおりです。

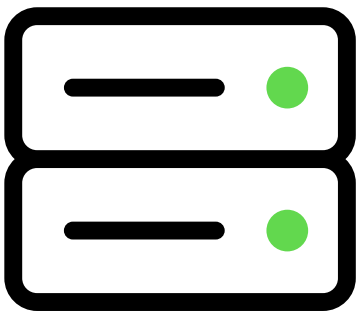
クラウドインサイト の構成

ステップ	アクション	リソース
 クラウドインサイト のインストール	ServiceNow Store から クラウドインサイト アプリケーションを取得します。	クラウドインサイト のインストール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

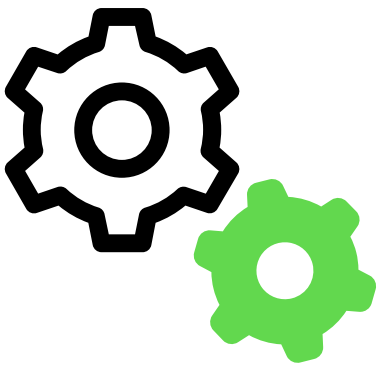
クラウドインサイト の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 ロールをアサイン	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドインサイト ロールをアサインします。	クラウドインサイト ロール
 MID サーバーを構成	ディスカバリー がクラウドプラットフォームと通信できるように MID サーバーを構成します。	• AWS アカウントの CI データへのアクセスの構成 • Microsoft Azure アカウントの CI データへのアクセスの構成 • Google Cloud アカウントの CI データへのアクセスの構成
 クラウドリソースを検出する	サービスアカウント、アカウントにアクセスするための認証情報、およびリソースをスキャンする MID サーバーを検出します。	使用するクラウドリソースの検出

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

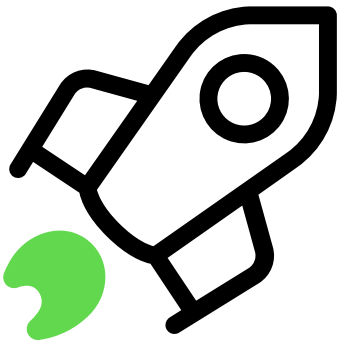
クラウドインサイト の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 請求処理データをダウンロードするジョブをスケジュールおよび管理します クラウドインサイト	使用されているクラウドプラットフォームの請求処理データと使用状況データへの クラウドインサイト アプリケーションアクセスを提供します。	• AWS請求および使用状況データへのアクセスを設定する • Microsoft Azure請求および使用状況データへのアクセスを設定する • Google Cloud の請求および使用状況データへのアクセスを設定する
 価格シートをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドインサイト	クラウドインサイト が、使用されているクラウドプラットフォームの価格シートデータをダウンロードして保存できるようにします。	• AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理 • Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理 • Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
 クラウドインサイト機能の構成	クラウドリソースの使用状況データの適切なサイズ調整、識別、アサイン、管理、および分析を行う クラウドインサイト機能を構成します。	• 予約または節減プラン • リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドインサイト の構成 (続く)

ステップ	アクション	リソース
 クラウドインサイト の使用	クラウドの総消費量を可視化し、コストを削減し、クラウドプラットフォームの運用を最適化します。	クラウドインサイト の使用

クラウドインサイト のインストール

admin ロールを持っている場合は、 クラウドインサイト アプリケーション (sn_clin) をインストールできます。このアプリケーションには、デモデータが含まれています。まだインストールされていない場合は、関連する ServiceNow® Store アプリケーションとプラグインをインストールします。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Storeのクラウドコスト管理 アプリケーションリストを確認してください。
- ディスカバリー (com.snc.discovery) および ディスカバリーとサービスマッピングパターン (sn_itom_pattern) をインストールする必要があります。

必要なロール：admin

このタスクについて

クラウドインサイト とともに次のアイテムがインストールされます。

- プラグイン
- ストアアプリケーション
- ロール
- スケジュール済みジョブ
- テーブル

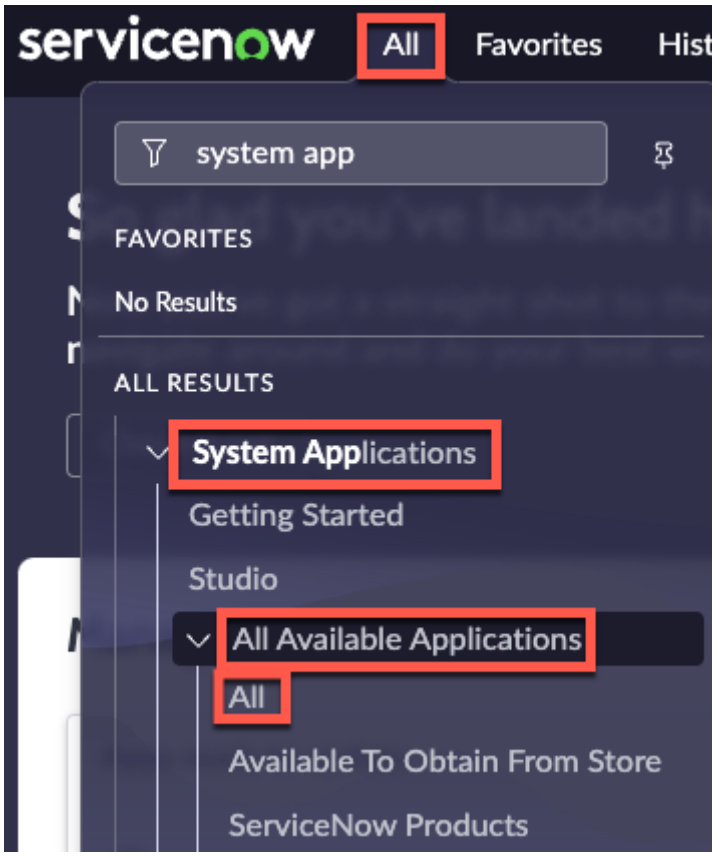
詳細については、「クラウドインサイト とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、 クラウドインサイト アプリケーション (sn_clin) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store への要求が必要になることがあります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. オプション: 利用できるデモデータをインストールするには、[デモデータのロード] チェックボックスをオンにします。
   デモデータには、一般的なユースケース向けのアプリケーション機能を説明するサンプルレコードが含まれています。開発またはテストインスタンスで初めてアプリケーションをインストールする場合は、デモデータを読み込みます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

重要:

- インストール時にデモデータを読み込んでおかないと、後から読み込むことはできません。
- デモデータをインストールすると、 クラウドインサイト 機能が正しく動作しない場合があります。

6. [インストール] を選択します。

アップグレード クラウドインサイト

[システムアプリケーション] ページで クラウドインサイト アップグレードします。

始める前に

必要なロール： sys_admin

手順

1. 移動先 システムアプリケーション > 利用可能なすべてのアプリケーション > インストール日時.
2. 検索ボックスに「`sn_clin`」と入力します。
3. クラウドコスト管理アプリを見つけます。
4. 選択リストで、バージョン **8.0** の [更新] を選択します。
   5.0.0 以降は、8.0 バージョンに更新することもできます。
5. 更新が完了したら、ブラウザのキャッシュをクリアします。
6. サーバーキャッシュをクリアする: `<instanceIP>/cache.do`
7. 自動テストフレームワーク (ATF) テストを実行して、アップグレード後のデータの継続性を確認します。
   「自動テストフレームワーク (ATF) テストの実行」を参照してください。

自動テストフレームワーク **(ATF)** テストの実行

ATF テストを実行して、 クラウドインサイトアップグレード後のデータの継続性を確認します。

始める前に

必要なロール： sys_admin

このタスクについて

この手順では、 クラウドインサイト のアップグレード後に次のテストを実行します。

- ピボットキー検証テストでは クラウドインサイト プルされたデータを使用して Clotho サーバー上のデータにアクセスすることで、ピボットキーを正しく計算できるかどうかを判断します。
- 月次支出検証テストでは、月次支出データが正しく引き継がれているかどうかを判断します。

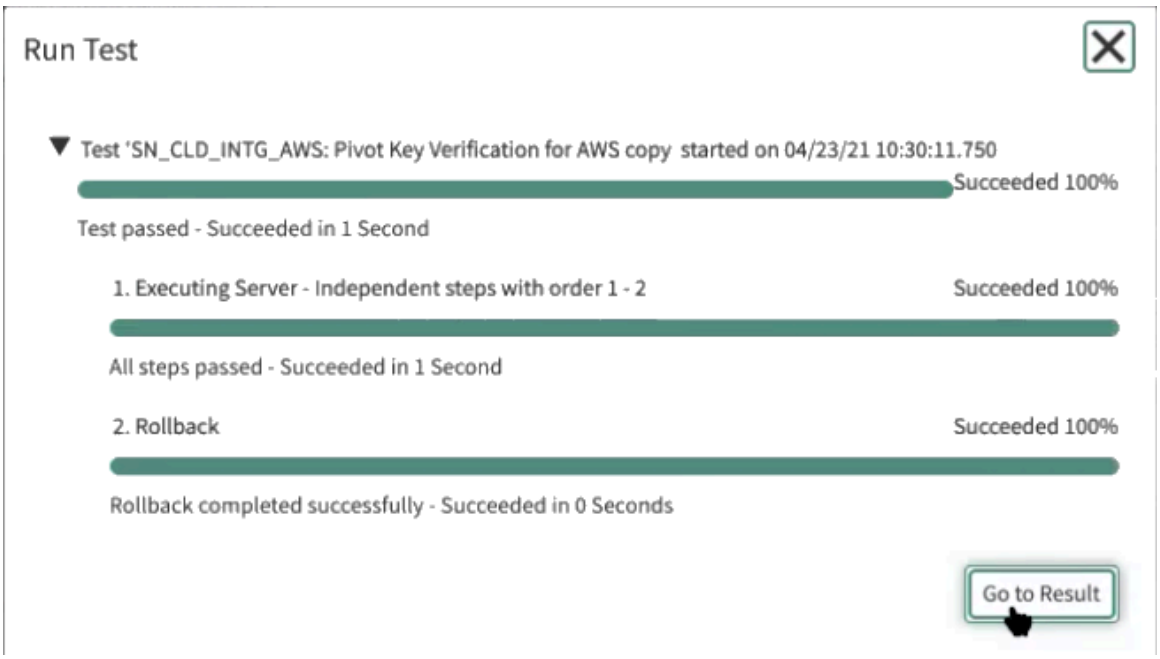
手順

1. 移動先 すべて > 自動テストフレームワーク **(ATF)** > テスト.
2. リストで [ピボットキー検証 `(Pivot Key Verification)`] を検索し、プロバイダーのテストを開きます。
   テストのテンプレートがテストフォームで開きます。
3. [テスト] フォームで、[テストのコピー] を選択し、[**OK**] を選択して確定します。
   実行するテストが生成され、[テスト] フォームで開きます。
4. オプション: テストをカスタマイズするには、[テストステップ] 関連リストで [サーバー側スクリプトを実行] を選択し、スクリプトを編集します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. [テストを実行] を選択します。
   [Run Test progress] ダイアログボックスが表示されます。



6. テストが終了したら、 [結果に移動] を選択します。
   [テスト] フォームの [テスト結果] 関連リストには、テスト実行のログデータが一覧表示されます。テストが失敗した場合は、カスタマーサポートにお問い合わせください。
7. `Monthly Spend Validation` テストのすべての手順を繰り返します。

AWS の クラウドインサイト の構成

クラウドインサイト アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

詳細については、「クラウドインサイト の構成」を参照してください。

一般的な要件と制限事項

- クラウドインサイト はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限事項 AWS

- AWS管理コンソールで作業するには、AWS管理者権限が必要です。
- 営業時間、未アサインのリソース、未使用のリソース、サイズの適正化に関する推奨事項の各機能 Amazon 、Elastic Compute Cloud (EC2) 仮想マシン (VM)、ストレージ (ボリュームとストレージのスナップショット)、およびデータベースリソースをサポートします。

AWS アカウントの CI データへのアクセスの構成

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバー を介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

要件

重要: この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

AWS: MID サーバー と AWS クラウド API エンドポイントの間に内部ネットワーク接続が必要です: `*.amazonaws.com`。

詳細な手順

「」を参照してください。 Amazon AWS クラウド ディスカバリー .

MID サーバー の設定 クラウドインサイト

注: MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	Value (値)
サポートされているアプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL** (すべて)] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに対して次の設定を指定できます。複数の MID サーバーを指定すると、 ディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、および クラウドインサイト が推奨するアクションが、いずれかの MID サーバー にランダムに割り当てられます。 オプション 1: この MID サーバー を AWSにのみ使用するには、以下の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • AWS オプション 2:すべてのプロバイダーにこの MID サーバー を使用するには、次の値を指定します。 • クラウドアクション • AWS • Azure

プロキシサーバーの使用

クラウドインサイト MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー設定 クラウドインサイト MID サーバー」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID サーバー

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー設定 クラウドインサイト **MID** サーバー

クラウドインサイト操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、 ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブの実行など、クラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

Cloud Discovery および Cloud Provisioning and Governance に使用される MID Servers のプロキシサーバー構成

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドインサイト でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

MID サーバー

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

AWSサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を保存する AWS サービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

AWS IAM ロール用の MID サーバーの構成

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **[Service accounts** (サービスアカウント)].
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	12 桁のユーザーアカウント番号。AWS管理コンソールでAWSアカウント名の下のリストを展開して、番号を表示します。 **重要:** 番号からハイフン文字 (-) を削除します。
Discovery 資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。後で AWS アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ Now PlatformでAWS認証情報を設定した場合は、関連するAWS認証情報の名前を選択します。 ◦ 他の AWS アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。たとえば、アクセスに管理アカウントを使用する IAM ロールまたはメンバーアカウントを担うアカウントの AWS 資格情報を指定する必要はありません。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、AWS GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。たとえば、 `https://ec2.us-gov-west-1.amazonaws.com/` 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 [**AWS** データセンター] を選択します。
データセンター Discovery ステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したサービスアカウントが [サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報
AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

の **AWS IAM** ユーザーポリシーの作成 クラウドインサイト
IAM を使用してユーザーを管理する場合は、 AWS データへのアクセスを有効にする IAM ユーザープロファイルを作成する必要があります。

始める前に
IAM ユーザーを作成し、ユーザーポリシーを設定する方法を理解している必要があります。次を参照してください。 AWS IAM に関するドキュメント 詳しくは。

自動生成されたアクセスキーを使用します。インスタンスで AWS 認証情報を設定するときに、重要な情報が必要です。

必要なロール：

AWS マネジメントコンソール:AWS マネジメントコンソールアドミニストレーター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドインサイト: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] またはアドミン。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. AWS マネジメントコンソールにログインし、IAM でユーザーを作成します。
2. アクセスキー ID と秘密アクセスキーを保存します。
3. 次のいずれかの方法を使用して、IAM ユーザーに権限をアタッチします。
   - 管理者アクセスポリシーを添付して、ユーザーに管理者アクセス権を付与します。
   - わかりやすい名前で IAM ポリシーを作成し、請求、Cloud Watch、予測、およびアクションに次の JSON を使用します。

     請求

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [
        {
            "Sid": "VisualEditor0",
            "Effect": "Allow",
            "Action": [
                "s3:GetObjectVersion",
                "s3:GetObjectTorrent",
                "s3:GetObject",
                "s3:ListBucket",
                "s3:GetObjectTagging",
                "s3:ListMultipartUploadParts",
                "s3:ListBucketMultipartUploads",
                "s3:GetObjectVersion"
            ],
            "Resource": [
                "arn:aws:s3:::<S3BucketName>/*",
                "arn:aws:s3:*:<AWS Master Account
 ID>:job/*",
                "arn:aws:s3:::<S3BucketName>"
            ]
        },
        {
            "Sid": "VisualEditor1",
            "Effect": "Allow",
            "Action": [
                "s3:GetAccountPublicAccessBlock",
                "s3:ListAllMyBuckets",
                "s3:ListJobs"
            ],
            "Resource": "*"
        }
    ]
}
```

     クラウドウォッチ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
{
   "Version": "2012-10-17",
   "Statement": [
       {
           "Sid": "VisualEditor0",
           "Effect": "Allow",
           "Action": [
               "cloudwatch:GetMetricData",
               "cloudwatch:ListMetrics"
           ],
           "Resource": "*"
       }
   ]
}
```

レポート定義の説明

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [
        {
            "Sid": "VisualEditor0",
            "Effect": "Allow",
            "Action": "cur:DescribeReportDefinitions",
            "Resource": "<BillingReportName>"
        }
    ]
}
```

アクション

```
{
    "Version": "2012-10-17",
    "Statement": [
        {
            "Sid": "VisualEditor0",
            "Effect": "Allow",
            "Action": [
                "ec2:DescribeInstances",
                "ec2:StartInstances",
                "ec2:ModifyInstanceAttribute",
                "ec2:StopInstances",
                "ec2:DescribeInstanceStatus"
            ],
            "Resource": "*"
        }
    ]
}
```

このポリシーを使用して AWS サービスアカウントの請求処理データにアクセスするように設定した IAM ユーザーに、Cost Explorer、Forecast、および Reservation Purchase Recommendations API へのアクセス権を付与します

```
{
   "Version": "2012-10-17",
   "Statement": [
       {
           "Sid": "VisualEditor0",
           "Effect": "Allow",
```

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

```
            "Action": [
                "ce:GetCostAndUsage",
                "ce:GetCostForecast",
                "ce:GetReservationPurchaseRecommendation"
            ],
            "Resource": "*"
        }
    ]
}
```

このポリシーを使用して、 AWS 自動スケールインスタンスを取得します (自動スケールインスタンスは営業時間の推奨事項に含まれません)

```
{
     "Version": "2012-10-17",
     "Statement": [{
            "Sid": "VisualEditor0",
            "Effect": "Allow",
            "Action": [
                 "autoscaling:DescribeAutoScalingInstances",
                 "autoscaling:DescribeAutoScalingGroups"
            ],
            "Resource": "*"
     }]
}
```

AWS GovCloud サービス アカウントを追加する

cloud_adminは、 AWS GovCloud サービスアカウントを追加できます。サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

始める前に

必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

AWS GovCloud のサービスアカウントを作成 の指示に従ってください。

関連情報

AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

AWS Gov アカウントマッピングの作成

請求とサポート用の関連付けられた標準 AWS アカウントを使用して、AWS GovCloud アカウントマッピングを作成します。

始める前に

必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > *AWS* **Gov** アカウントマッピング.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS Gov アカウントマッピング

フィールド	説明
Gov アカウント	標準の AWS アカウントにマッピングする AWS Gov アカウント。
リンクされたアカウント	AWS Gov アカウントにリンクする標準 AWS アカウント。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したマッピングは、 AWS Gov アカウントマッピングページに、Sys ID やタグなどの詳細とともに表示されます。

AWS請求および使用状況データへのアクセスを設定する

手順に従って、 AWS 請求および使用状況データへのアクセスを設定します。

1. AWS認証情報の作成
2. での AWS 認証情報のレコードの作成 クラウドインサイト
3. Kubernetes クラスターの AWS でのコスト割り当ての有効化
4. AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
5. 正確な請求処理データを確保するために、 AWS CI クラスタイプを追加する

関連情報

AWS請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

AWS認証情報の作成

AWS アカウントと通信する MID サーバーを設定するときに、AWS 管理コンソールで認証情報を作成してユーザーの認証情報を指定します。

始める前に
必要なロール: AWS Management Console アドミニストレーター

AWSポリシーに精通している必要があります。IAM を使用する場合は、IAM ユーザーの作成方法とユーザーポリシーの設定方法を理解している必要があります。IAM の詳細については、 AWS のドキュメント を参照してください。

手順

1. AWS管理コンソールで、AWSサービスの検索ボックスに「IAM」と入力して、Identity and Access Management (IAM) サービスを開きます。
2. IAM リソースポータルで、[ユーザー] を選択します。
3. [ユーザーを追加] を選択します。
4. [詳細] ページで、次のようにユーザー設定を構成し、 [次へ] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	値
ユーザー名	プログラムによるアクセスをするユーザーの名前です (例：`servicenowcloud`)。
アクセスタイプ	`プログラムによるアクセス`。

5. [アクセス許可] ページで、次の設定を構成し、[次へ] を選択します。

フィールド	値
<ユーザー名> のアクセス許可の設定	既存のポリシーを直接添付します。
1 つ以上のポリシーを添付	適切なポリシー。 **注:** [AdministratorAccess] ポリシーには最も強力なアクセス許可レベルがあり、クラウドリソースをプロビジョニングするアクセス許可も含まれます。 代わりに、ポリシーを作成するか、複数のポリシーを組み合わせて適切なアクセス許可レベルを付与することもできます。詳細については、「の AWS IAM ユーザーポリシーの作成 クラウドインサイト」を参照してください。

6. [確認] ページで、選択内容を確認し、[ユーザーの作成] を選択します。
7. [完了] ページで、 [**.csv**のダウンロード] を選択して、ユーザー名、アクセス キー ID、およびシークレット アクセス キー値を含む CSV バックアップ ファイルを保存します。
これらの値を失った場合に備えて、バックアップとしてファイルを作成できます。ファイルが作成されたことを確認し、ファイルを安全に保存します。

次のタスク
クラウドインサイト でAWS認証情報のレコードを作成します。

での **AWS** 認証情報のレコードの作成 クラウドインサイト

クラウドインサイト でAWS認証情報のレコードを作成します。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 管理 > 認証情報.
2. [クラウド API 認証情報] ページで、[**AWS** 認証情報] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AWS 資格情報

フィールド	説明
名前	AWS 認証情報の分かりやすい一意の名前。
有効	認証情報を使用するオプション。
アクセスキー ID	AWS管理コンソールで生成したアクセスキー ID。
秘密アクセスキー	AWS 管理コンソールで生成した秘密アクセスキー。

5. [保存] を選択します。

Kubernetes クラスターの AWS でのコスト割り当ての有効化

AWS 請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes支出を表示する前にAWS管理コンソールでKubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。

始める前に

必要なロール: AWS Management Console アドミニストレーター

- AWSポリシーに精通している必要があります。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「ディスカバリーとサービスマッピングパターン のインストール」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI クラスモデルストアアプリ」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「Kubernetes 検出」を参照してください。

手順

1. AWS マネジメントコンソール にログインします。
2. [コスト割り当てタグ] を検索して選択します。
3. [ユーザー定義のコスト割り当てタグ **(User-defined cost allocation tags**)] タブを選択します。
4. 請求処理データに表示する次の Kubernetes タグを有効にします。
   - 静的タグキー
     - aws:eks:cluster-name
     - user:eks:cluster-name
     - eks:cluster-name
   - 動的タグキー
     - kubernetes.io/cluster/<Cluster-Name>:shared/owned
     - alpha.eksctl.io/cluster-name:<cluster-name>

タスクの結果

選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に

必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。

AWS 請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes支出を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「Kubernetes クラスターの AWS でのコスト割り当ての有効化」を参照してください。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。AWS Redshift リソースは [cmdb_ci_cloud_database] テーブルに配置されます。4.0 のアップグレード後、請求処理ダウンロードが reimport true で実行されていることを確認します。

- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- クラウドプロビジョニングとガバナンス アプリケーションがインスタンスにインストールされている場合:クラウドプロビジョニングとガバナンスとクラウドインサイトの両方が請求処理データをダウンロードします。2 つのダウンロード ジョブは別のプロセスであり、互いに干渉しません。
- アカウント (登録) ごとに 1 つの 請求処理ダウンロードジョブ のみを作成できます。
- メインアカウントの請求処理ダウンロードを構成し AWS しないと、支出は生成されません。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に提供するために、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにしてください。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減計画、サイズの適正化、および未使用のリソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (たとえば、カテゴリへのタグ名の追加) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、 開発、 テスト、 QA のタグを含めることができます。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月別の新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定す

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ると、5 月と 6 月の両方のデータがダウンロードされ、少なくとも 30 日間の分析用データが確保されます。

- ダウンロードできるのは、直近 12 か月分のデータのみです。

AWS。

- サービスアカウントごとに作成できる請求処理ダウンロードジョブは 1 つだけです。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされます。
- 請求処理ダウンロードジョブは、各リソース ID に対応する CMDB 内の CI を使用して、請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_aws_cost_usage] を更新します。
- CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況データを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、「正確な請求処理データを確保するために、 AWS CI クラスタイプを追加する」を参照してください。

手順

1. 設定を見直して、レポートの設定が、既存のAWSコストと使用状況レポートがある場合のクラウドインサイト要件を満たしていることを確認します。
2. AWS マネジメントコンソールで、次のようにAWSのコストと使用状況レポートを定義します。

   a. 「コストおよび使用状況レポートの作成」トピックの指示に従い、次の設定を使用します。
      - [リソース **ID** を含める] チェックボックスをオンにします 。
      - [次の場合にコストと使用状況レポートを自動的に更新 する] チェック ボックスをオンにします。
      - レポートパスプリフィックス:オプション
      - 必要に応じて、[時間の粒度] を [日次] または [毎時] に設定します。[毎時] 設定では、より大きく、より詳細なデータセットが生成されます。
      - [レポートのバージョニング] を [新しいレポートバージョンの作成] に設定します。
      - [圧縮タイプ] を **[GZIP]** または **[ZIP]** に設定します。クラウドインサイト は Parquet をサポートしていません。

   b. 次の値はすぐに クラウドインサイト フォームに入力するため、追跡します。
      - レポート名
      - レポートプリフィックス
      - AWSアカウントの日次詳細請求レコードのデータストレージ領域である S3 バケットの名前。

3. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
4. [**AWS**] タブを選択します。
5. [新規] を選択します。
6. フォームのフィールドに入力します。

AWS 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
前回の正常実行	最後に正常に実行されたときのタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。 クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題を処理するのに適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、請求ジョブの実行エラーを通知するテンプレートを開きます。メールの構成については、「 メール テンプレートを作成する 」を参照してください。
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 注: ◦ AWS、請求処理ダウンロードジョブは、AWS が 1 時間ごとの使用状況データを収集している場合でも、1 日に 1 回データを収集します。 ◦ 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
AWS 設定	
サービスアカウント	AWSサービスアカウント。
バケット	AWSアカウントの詳細な時間単位請求レコードのデータストレージ領域である Amazon S3 バケット。
レポート名	AWSコストおよび使用状況レポートに表示される report-name 値。
レポートプリフィックス	AWSのコストおよび使用状況レポートに表示されるレポートプリフィックス値。

7. [保存] を選択します。
8. [請求処理ダウンロードジョブ **(Billing download jobs)**] ページで、作成したジョブを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

9. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するためのアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。

10. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
11. [請求処理データをダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定した月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

12. [ダウンロード] を選択します。

タスクの結果
jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、<c0/> は各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。クラウドインサイトCI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続の検出時に、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドインサイト は、[請求処理ダウンロードの実行] ページで、実行の各ステージのログエントリを生成します。

正確な請求処理データを確保するために、 AWS CI クラスタイプを追加する

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスでコストと使用状況のデータを正しく割り当てられるようにします。このプロセスは 請求処理ダウンロードジョブ 実行の一部です。CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況データを適切な CI に関連付けます。

始める前に
必要なロール:クラウドインサイトアドミン [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求ノードテーブルに格納します。クラスタイプテーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドインサイト は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルを照会します。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

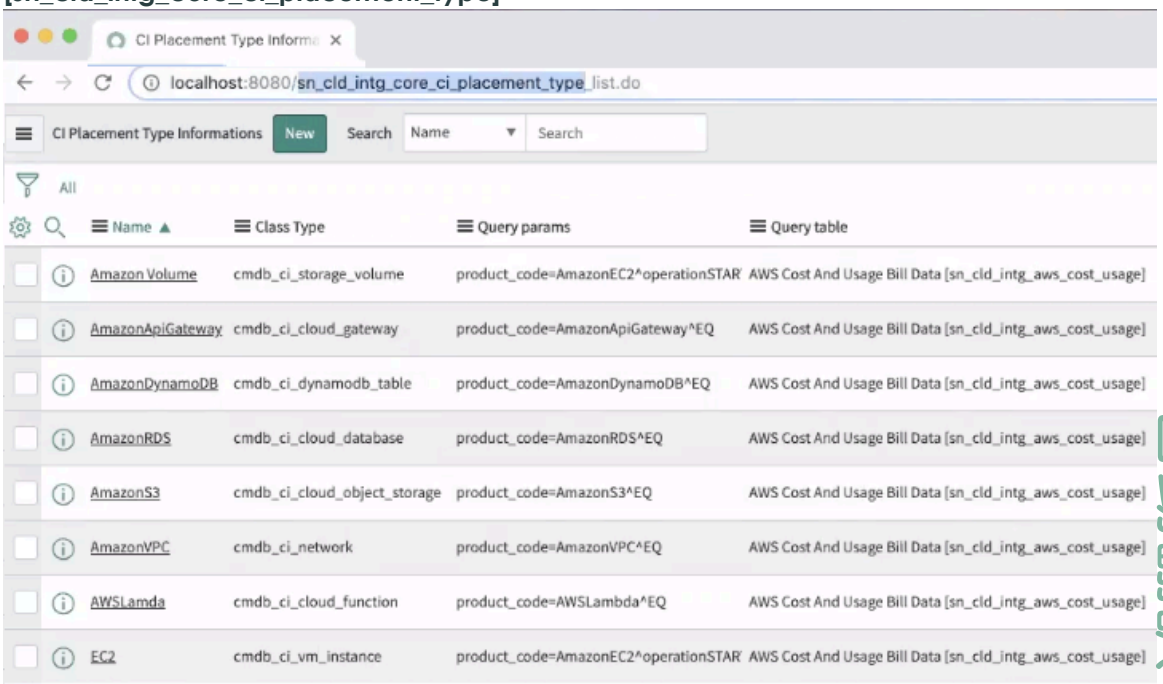
AWS [sn_cld_intg_aws_ci_placement_type] の CI 配置タイプテーブルは、Core CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) から継承します。

重要: ディスカバリーパターンアプリケーションがインストールされていない場合、cmdb_ci_cloud_gateway、cmdb_ci_dynamodb_table、cmdb_ci_cloud_object_storage、および cmdb_ci_cloud_function のクラスタイプの CI は配置されません。

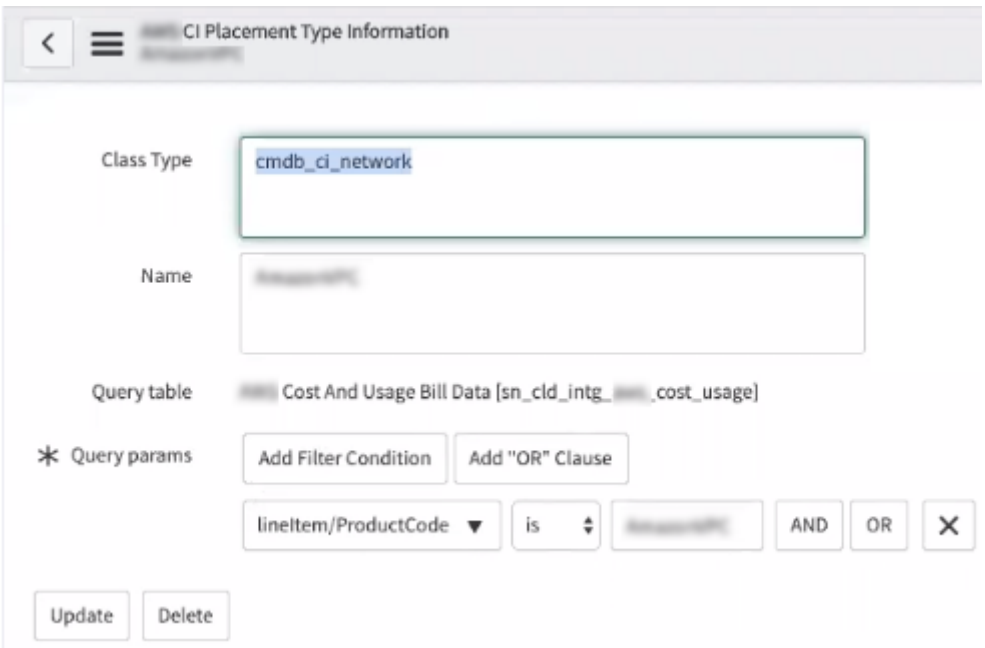
手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、[新規] を選択します。

コア **CI** 配置タイプテーブルの **AWS** クラスタイプ **[sn_cld_intg_core_ci_placement_type]**



2. フォームに入力します。



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が格納されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
名前	CI タイプの名前。
クエリテーブル	CI 配置プロセスが CI タイプのインスタンスを検索するためにクエリを実行する請求ノードテーブル。 クエリテーブルはsn_cld_aws_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求ノードテーブルのパラメーター値。

3. クラスタイプを追加した後、請求処理データと使用状況データを再インポートして、CI が新しいタイプに正しく配置されるようにする必要があります。
「AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理」を参照してください。

AWS請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 AWSの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用リソース、および営業時間プロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて
重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**AWS**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [AWS 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] を選択します。

AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。サイズの適正化および未使用のリソースプロセスは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブを実行するたびに、複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つのリージョンの価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に提供するために、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにしてください。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの前回実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ◦ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ◦ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ◦ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	注: 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] にすると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中に、 クラウドインサイト はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセルとしてマークされます。

関連情報

リソースの適正化

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、料金割引を指定します

での AWS 価格シートのダウンロードジョブのキャンセル クラウドインサイト

AWS価格シートのダウンロードジョブは、AWSから価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に

プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

このタスクについて

クラウドインサイト は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロードジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

Microsoft Azure の クラウドインサイト の構成

クラウドインサイト アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

一般的な要件と制限事項

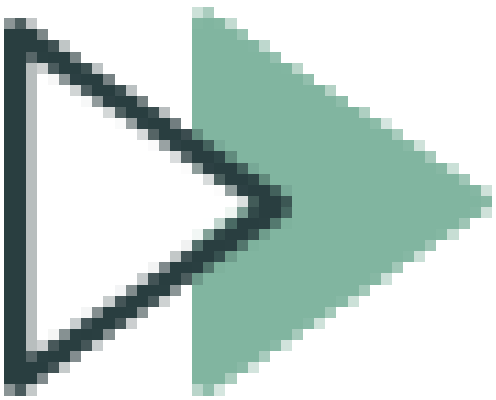
- クラウドインサイト はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限事項 **Microsoft Azure**

Microsoft Azure コンソールで作業するにはMicrosoft Azureコンソールアドミニストレーター権限が必要です

クラウドインサイト のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin

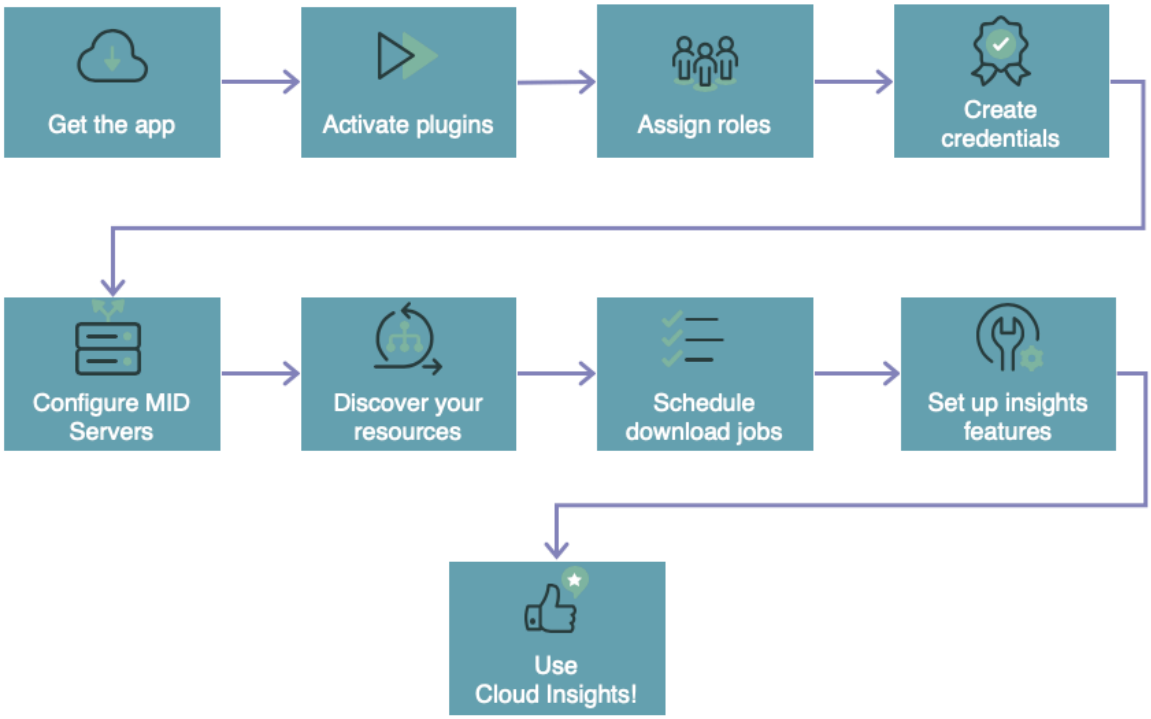
ステップ	説明	手順
アプリを入手します。	ServiceNow Store から クラウドインサイト アプリを取得します。	にアクセス ServiceNow Store クラウドインサイト アプリとサポートアプリを入手するための Web サイト。
 サポートしているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	クラウドインサイトのServiceNow Storeページにリストされているプラグインをアクティブ化します。一部のプラグインは、ServiceNow 担当者に要求する必要がある場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

概要: セットアップ クラウドインサイト

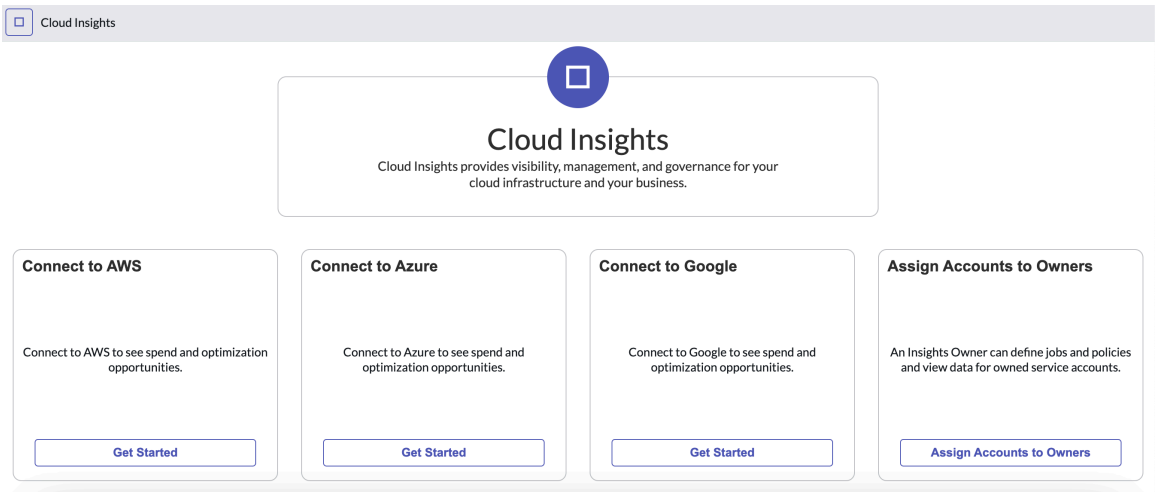
設定プロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、 insights_owner ロールを割り当てることができます。

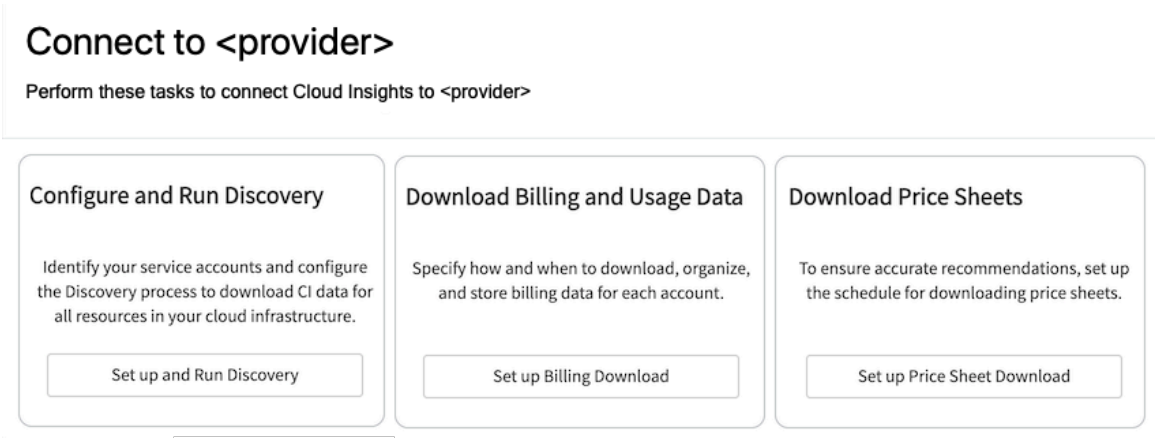


プロバイダーを設定し、 insights_owner ロールをアサインすると、ページに追加のセットアップアクティビティが表示されます。

注: [ディスカバリーの構成と実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [ディスカバリーの構成と実行] セクションで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。
- [請求処理データと使用状況データのダウンロード (Download Billing and Usage Data)] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing** Download)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。
- [価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードの設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。

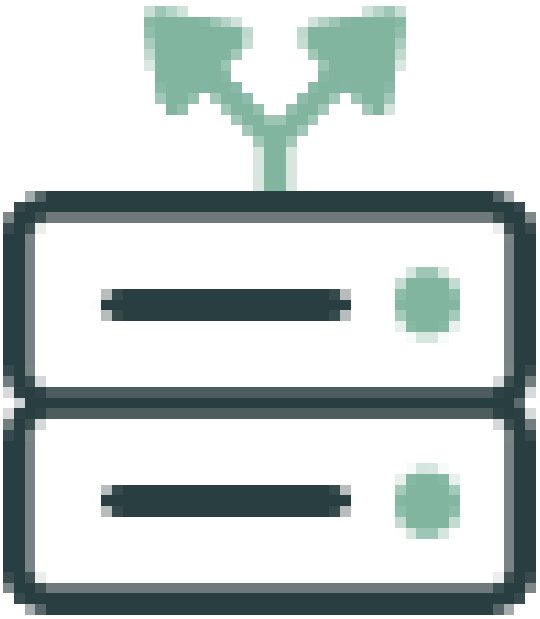
すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

クラウドインサイト の設定

ステップ	説明	手順
 クラウドインサイトユーザーとグループにロールをアサインします。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドインサイト ロールをアサインします。	クラウドインサイト ロール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための MID サーバー の構成 クラウドインサイト 。	ディスカバリー が Microsoft Azure アカウントと通信できるようにするには、Microsoft Azure アカウントと通信するMID サーバーを構成するときに、サービス プリンシパルの資格情報を指定します。	Microsoft Azure アカウントの CI データへのアクセスの構成
 クラウドリソースを検出します。	注: [ディスカバリーの構成と実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出した場合にのみ表示されます。 [ディスカバリーの構成と実行] カードで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。 ディスカバリープロセスをスケジュールして、リソースの CMDB データが最新の状態に保たれるようにします。	使用するクラウドリソースの検出

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 の請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドインサイト 。	[請求処理データと使用状況データのダウンロード (Download Billing and Usage Data)] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing** Download)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。	Microsoft Azure請求および使用状況データへのアクセスを設定する
 価格シートをダウンロードする クラウドインサイト ジョブのスケジュールおよび管理 。	[価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードの設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。 価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。サイズの適正化および未使用のリソースプロセスは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 インサイト機能を構成します。 • サイズの適正化 • 不使用マシン • 営業時間 • 未アサインリソース	• サイズの適正化機能は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされたり十分に使用されていないためにコストを浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けます。指定したリソースのサイズを変更する サイズの適正化 ジョブをスケジュールします。 • 不使用マシン機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースの電源をオフにするか終了するように 不使用マシン ジョブをスケジュールします。 • 営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告し、指定したスケジュールでリソースを開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。 • 未アサインリソース ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを識別し、適切に割り当てるのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当てられると、リソースがパッチ適用、アップグレード、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	• リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

Microsoft Azure アカウントの CI データへのアクセスの構成

ディスカバリー が Microsoft Azure アカウントと通信できるようにするには、Microsoft Azure アカウントと通信するMID サーバーを構成するときに、サービス プリンシパルの資格情報を指定します。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「 Azure クラウドディスカバリー 」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要: この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

MID サーバー の設定 クラウドインサイト

注: MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	Value (値)
サポートされているアプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL (すべて)]** 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに対して次の設定を指定できます。複数の MID サーバーを指定すると、 ディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、および クラウドインサイト が推奨するアクションが、いずれかの MID サーバー にランダムに割り当てられます。 オプション 1: この MID サーバー を Azure でのみ使用するには、次の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • Azure オプション 2:すべてのプロバイダーにこの MID サーバー を使用するには、次の値を指定します。 • Cloud Actions • AWS • Azure • Google

プロキシサーバーの使用

クラウドインサイト MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー設定 クラウドインサイト MID サーバー」を参照してください。

関連情報

MID サーバー

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー設定 クラウドインサイト **MID** サーバー

クラウドインサイト操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、 ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブの実行など、クラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー構成 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリーおよび クラウドプロビジョニングとガバナンス .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドインサイト でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

MID サーバー

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

Microsoft Azure行政サービスアカウントを追加する

cloud_adminは、 Azure GovCloud サービス アカウントを追加できます。サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを必ず設定してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

「 Azure サービス アカウントの追加 」の手順に従います。

関連情報

請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成

Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

Microsoft Azureサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を格納する Azure サービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

注: Azure 予測データを取得するには、サービスアカウントに ディスカバリー 認証情報が必要です。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **[Service accounts** (サービスアカウント)].
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	Azure ポータルからテキストファイルにコピーした Azure アカウント ID の値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドの値は、設定したアカウントのタイプに基づいて変わります。 ◦ 請求サービスアカウントの場合、アカウント ID は登録 ID です。 ◦ その他のサービスアカウントの場合、アカウント ID はサブスクリプション ID です。
ディスカバリー認証情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。このフィールドは、後で Azure アカウントへのアクセスを設定するときに設定できます。 ◦ Now PlatformでAzure認証情報を設定した場合は、関連するAzure認証情報の名前を選択します。 ◦ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、Azure GovCloud (US) アカウントにのみ必要です。 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 **[Azure** データセンター] を選択します。
データセンター検出ステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。 このオプションは、クラウド統合の Azure スコープが使用されている場合にのみ使用できます。 既存の請求先アカウントの場合、このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。
管理グループである	ディスカバリーを実行するためにアカウントを有効にするためのオプション。 このオプションは、クラウド統合の Azure スコープが使用されている場合にのみ使用できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ディスカバリーが実行される既存のアカウントの場合、このチェックボックスはデフォルトでオンになっています。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したサービスアカウントが [サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報
- Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
- Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
- Azure クラウドディスカバリー

Microsoft Azure請求および使用状況データへのアクセスを設定する
手順に従って、 Microsoft Azure 請求および使用状況データへのアクセスを設定します。

1. Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成する
2. 請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成
3. での Microsoft Azure 認証情報のレコードの作成 クラウドインサイト
4. Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

関連情報
- での Azure 請求処理ダウンロードジョブのキャンセル クラウドインサイト

Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成する
Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成して、Microsoft Azure請求および使用状況データへのアクセス権をクラウドインサイト付与します。

始める前に
必要なロール:エンタープライズアドミニストレーター (読み取り専用) またはパートナー。

EA レベルのアクセス権が必要です。ロールの詳細については、「 Azure Enterprise Agreement のロールの管理 」を参照してください。

MID サーバーは Microsoft コスト管理 にアクセスできる必要があります。

次の権限が必要です。

- Microsoft.Compute/virtualMachines/instanceView/read
- Microsoft.Compute/virtualMachines/deallocate/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/start/action
- Microsoft.Compute/virtualMachines/delete
- Microsoft.Compute/virtualMachines/write
- Microsoft.Compute/virtualMachines/read
- Microsoft.Compute/locations/usages/read
- Microsoft.Advisor/recommendations/read

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/read
- Microsoft.Advisor/generateRecommendations/action
- Microsoft.Compute/disks/delete
- Microsoft.Compute/disks/read
- Microsoft.CostManagement/forecast/read
- Microsoft.Compute/locations/diskOperations/read
- Microsoft.Insights/Metrics/Read
- Microsoft.Compute/locations/operations/read

手順

1. Microsoft Azureサービスプリンシパルを作成し、手順中に作成したテキストファイルを開きます。

   手順については、「Microsoft Azure サービスプリンシパルの作成」を参照してください。

   Microsoft Azure アカウントのリソースおよび請求処理データに安全にアクセスするには、ディスカバリープロセスで適切な Microsoft Azure アカウントの認証情報を提供する必要があります。必要な認証情報を生成するために、特別なプログラムによるアカウント (サービス プリンシパル) を作成します。

2. 登録リーダーロールを Microsoft Azure サービスプリンシパルに追加します。

   詳細については、 Microsoft Learn の EA サービス プリンシパル名へのロールの割り当てに関するドキュメントを参照してください。

次のタスク

請求処理ダウンロード用の Microsoft Azure 認証情報の作成

請求処理ダウンロード用の **Microsoft Azure** 認証情報の作成

MID サーバー を定期的に使用して請求処理データをプロバイダーからダウンロードするスケジュール済みジョブを定義します。クラウドプロビジョニングとガバナンス でデータがコストテーブルに保存され、その情報を使用してレポートが生成されます。

始める前に

重要:

Vancouver リリース移行、ServiceNow Store クラウドインサイトアプリケーションをダウンロードしてアクティブ化した場合、請求処理ダッシュボードを利用できなくなります。次の変更が発生します。

- デフォルトで、クラウドインサイトホームページにリダイレクトされます。
- クラウドユーザーポータルの [ダッシュボードを表示 (View Dashboard)] ウィジェットは、[リソースの表示 (View Resources)] ウィジェットに置き換えられています。
- クラウドインサイトがインスタンスでアクティブになっている場合は、クラウドユーザーポータルの [今月の消費量 (Current Month Spend)] ウィジェットと [予算] ウィジェットにデータが表示されません。

クラウドインサイトアプリケーションをアクティブにすると、ドメインセパレーションインスタンスで Cloud Provisioning and Governance を使用している場合は、請求処理ダッシュボードにのみ移動できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理情報を必要とするすべての Azure アカウントで、Microsoft エンタープライズ契約 EA の API アクセスキー認証情報が必要です。

必要なロール：sn_cmp.cloud_governor

このタスクについて

請求処理ダウンロードプロセス中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。Azure データベースは、データベース [cmdb_ci_database] テーブルに配置されます。

手順

1. 以前に展開したサービスプリンシパルアプリケーションの [概要] ページに移動して、クライアントシークレットを作成します。
   a. 左側のペインで、[証明書とシークレット **(Certificates & secrets)]** をクリックします。
   b. クライアントシークレットのセクションで、[新しいクライアントシークレット **(New client secret)]** を選択します。
   c. フォームのフィールドに入力します。

フィールド	説明
説明	クライアントシークレットの説明。 たとえば、「`Client secret for MyServicePrincipal`」など。
有効期限	要件に合った有効期限。たとえば、「`6 months`」、「`12 months`」、「`24 months`」、「`Never`」など。

   d. [追加] を選択します。

   クライアントシークレットを追加すると、値が生成されて表示されます。

   注: この値は二度と表示されないため、すぐにコピーしてください。この値がクライアントシークレット (アクセスキー) です。

2. 後で使用するために、アプリケーション (クライアント) ID とディレクトリ (テナント) ID をコピーします。
3. サービスプリンシパルにロールをアサインします。
   a. 左側のペインで、**[Azure Active Directory]** を選択します。
   b. [ロールとアドミニストレーター] を選択します。
   c. [すべてのロール] を選択し、アサインするロールを見つけます。
   d. ロールを選択し、[アサインを追加] を選択します。
   e. サービスプリンシパルを名前で検索して選択し、[追加] を選択します。
4. [サブスクリプション] を選択して、サブスクリプション ID を取得します。
   a. 使用するサブスクリプションを選択します。
   b. [サブスクリプション概要] ページからサブスクリプション ID をコピーします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

での **Microsoft Azure** 認証情報のレコードの作成 クラウドインサイト

Microsoft Azure認証情報をNow Platform認証情報ストアに安全に保存します。クラウドインサイトの請求処理データを受け入れるサービスアカウントを作成する必要があります。

始める前に

必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または admin

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 管理 > 認証情報.
2. [クラウド API 認証情報] ページで、 **[Azure** サービス プリンシパル] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure サービスプリンシパルフォーム

Field (フィールド)	説明
名前	インスタンスに登録するサービスプリンシパルの名前。例: `CloudInsights-SP`。
テナント ID	テナントの一意の識別子またはエイリアス。 `Azure-Credentials.txt` ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
クライアント ID	Active Directory で作成されたアプリケーションの一意の識別子。 `Azure-Credentials.txt` ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
認証方法	[クライアントシークレット] を選択します。 [クライアントシークレット] を選択すると、[秘密キー] フィールドが表示されます。 **注:** クライアントアサーションはサポートされていません。
秘密キー	Azure クライアントシークレットキー。 `Azure-Credentials.txt` ファイルからテナント ID の値をコピーして貼り付けます。
アクティブ	認証情報の使用を有効にするオプション。

5. [保存] を選択します。

次のタスク

Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブは、指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に

システムに 8 GB の clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。

必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項が得られるようにするには、スケジュールされた実行の前にディスカバリーが実行されるようにしてください。
- サービスアカウントごとに作成できる請求処理ダウンロードジョブは 1 つだけです。
- 非ブレンドタイプのコストのみがサポートされています。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (たとえば、カテゴリへのタグ名の追加) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減計画、サイズの適正化、および未使用リソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、開発、テスト、QA のタグを含めることができます。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月別の新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定すると、5 月と 6 月の両方のデータがダウンロードされ、少なくとも 30 日間の分析用データが確保されます。
- ダウンロードできるのは、直近 12 か月間のデータのみです。

- Kubernetesクラスターをプロビジョニングするたびに、1 つの既定のリソースグループが*MC_myResourceGroup_myAKSCluster_eastus*として作成されます。例えば、リソース・グループ名が *TestResourceGroup* の Kubernetes クラスターをプロビジョンすると、Azure はこのリソース・グループ名を使用し、別のリソース・グループを*MC_ <name of the resource group>_ <name of the cluster>_ <location of the cluster>*としてプロビジョンします。

  Kubernetesクラスターのすべてのリソースは、Azure が提供するリソースグループに含まれています。請求処理ダウンロードジョブを実行すると、この命名規則 *MC_ <name of the resource*

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

group>_<name of the cluster>_<location of the cluster> でリソースグループに含まれるリソースのリストがチェックされます。

- タグ *sn_ccm_k8_cluster_name* は、請求処理ダウンロードジョブの実行中に Kubernetes クラスターに追加されます。
- タグ *sn_ccm_k8_cluster_name* は、支出ジョブの実行中に、リソースグループに存在する Kubernetes クラスターのリソースに追加されます。

注:

- リソースグループの資産またはリソースに独自の名前を指定した場合、 Kubernetes クラスターの消費量を表示することはできません。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「ディスカバリーとサービスマッピングパターン のインストール」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI クラスモデルストアアプリ」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「Kubernetes 検出」を参照してください。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [*Azure*] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Azure 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	最後に正常に実行されたときのタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。 クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題を処理するのに適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、請求ジョブの実行エラーを通知するテンプレートを開きます。メールの構成については、「メール テンプレートを作成する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 注: 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Azure 設定	
Azure サービスアカウント	Azureサービスアカウント。

5. [保存] を選択します。
6. [請求処理ダウンロードジョブ **(Billing download jobs)**] ページで、作成したジョブを選択します。
7. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するためのアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。
8. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
9. [請求処理データをダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 注: 指定した月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。 注: 完全な請求処理のダウンロードは、[データの再インポート] オプションの設定に関係なく、4 日目または前月の請求確定日に行われます。

10. [ダウンロード] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、<c0/> は各リソース ID に対応する CMDB 内の CI を使用して、請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。クラウドインサイトCI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続の検出時に、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドインサイト は、[請求処理ダウンロードの実行] ページで、実行の各ステージのログエントリを生成します。

での **Azure** 請求処理ダウンロードジョブのキャンセル クラウドインサイト

請求処理ダウンロードジョブは、 Azureの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用リソース、および営業時間プロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール:クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**Azure**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [Azure 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] を選択します。

Microsoft Azure価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。サイズの適正化および未使用のリソースプロセスは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

このタスクについて

- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 価格シートのダウンロードジョブを実行するたびに、複数の実行アイテムが実行されます。各実行アイテムは、1 つのリージョンの価格シートをインポートして保存します。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に提供するために、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにしてください。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの前回実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ◦ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ◦ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ◦ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] にすると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中に、 クラウドインサイト はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセルとしてマークされます。

関連情報

リソースの適正化

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、料金割引を指定します

で **Azure** 価格シートのダウンロードジョブをキャンセルする クラウドインサイト

Azure価格シートのダウンロードジョブは、Azureから価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

このタスクについて
クラウドインサイト は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロードジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

Google Cloud の クラウドインサイト の構成

クラウドインサイト アプリケーションは ServiceNow Store から入手可能です。

一般的な要件と制限事項

- クラウドインサイト はモバイルデバイスではサポートされていません。
- レポート内の値は、通貨換算や四捨五入のため、プロバイダーの請求値と若干異なる場合があります。

の要件と制限事項 Google Cloud

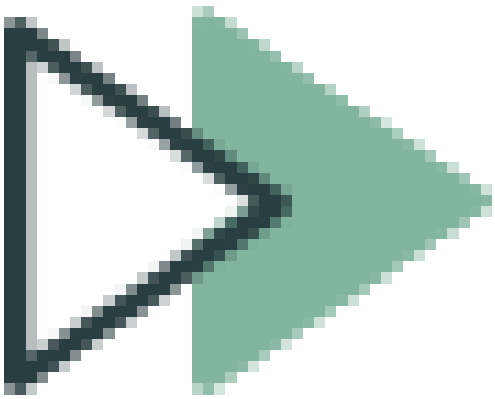
で作業するには、 Google Cloud 管理者権限が必要です Google Cloud 慰める

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

クラウドインサイト のダウンロードとアクティブ化

必要なロール:sys_admin

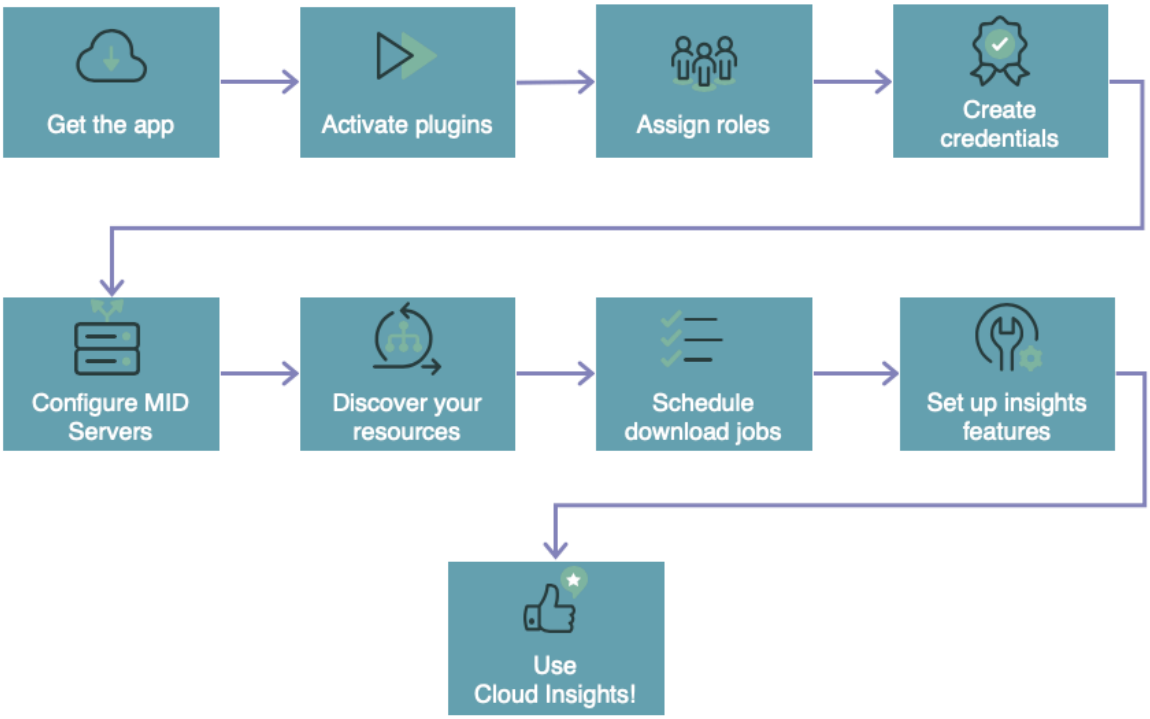
ステップ	説明	手順
アプリを入手します。	ServiceNow Store から クラウドインサイト アプリを取得します。	にアクセス ServiceNow Store クラウドインサイト アプリとサポートアプリを入手するための Web サイト。
 サポートしているすべてのプラグインとアプリケーションをアクティブ化します。	クラウドインサイトのServiceNow Storeページにリストされているプラグインをアクティブ化します。一部のプラグインは、ServiceNow 担当者に要求する必要がある場合があります。	手順については、以下を参照してください。 • プラグインとして要求 • プラグインをアクティブ化する

概要: セットアップ クラウドインサイト

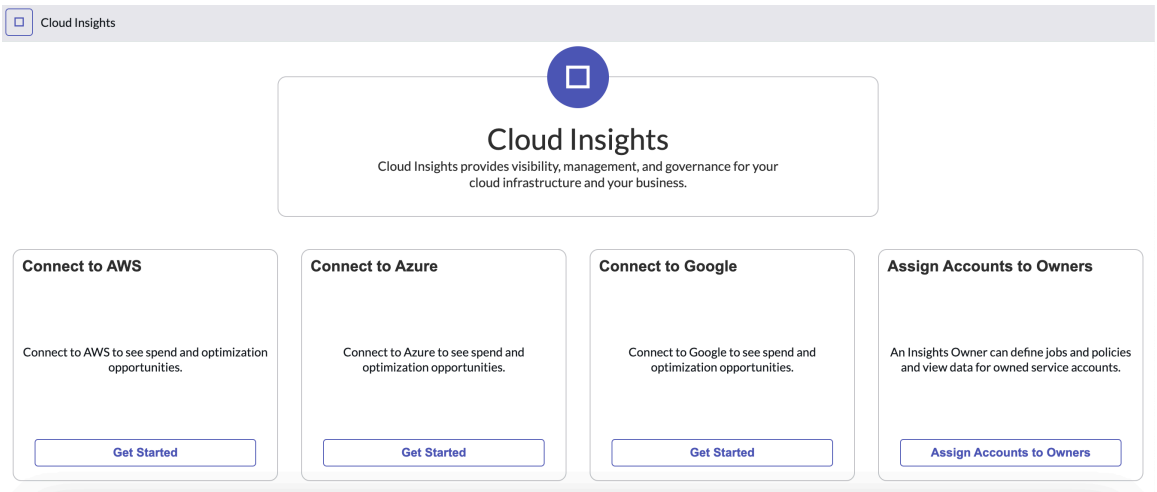
設定プロセスの概要は次のとおりです。詳細な手順については、次の表を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



アプリを初めて開くと、ホームページでプロバイダーを設定し、 insights_owner ロールを割り当てることができます。

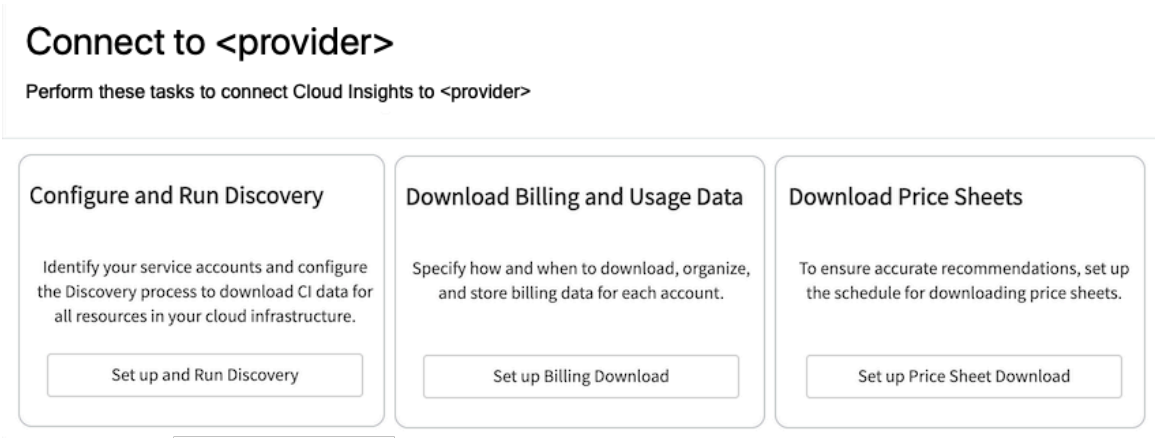


プロバイダーを設定し、 insights_owner ロールをアサインすると、ページに追加のセットアップアクティビティが表示されます。

注: [ディスカバリーの構成と実行] カードは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出した場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。



- [ディスカバリーの構成と実行] セクションで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。
- [請求処理データと使用状況データのダウンロード (Download Billing and Usage Data)] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing** Download)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。
- [価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードの設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。

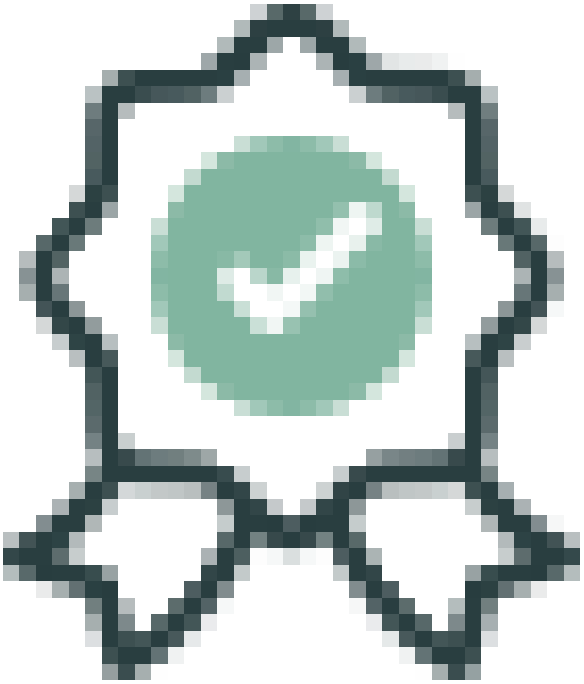
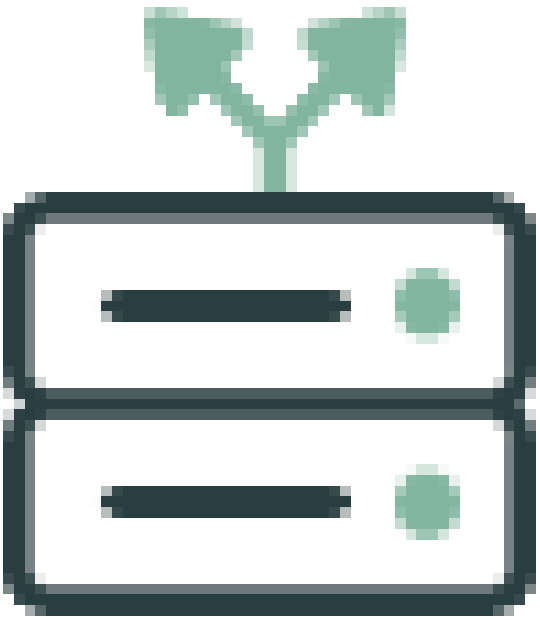
すべての構成が完了すると、ページに概要データが表示され、レポートにすばやくアクセスできるようになります。

タスク：セットアップ クラウドインサイト

ステップ	説明	手順
 クラウドインサイトユーザーとグループにロールをアサインします。	ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドインサイト ロールをアサインします。	クラウドインサイトロール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 Google Cloudへのアクセスを設定します。	プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、ディスカバリー プロセスで適切な認証情報を提供する必要があります。認証情報をディスカバリー利用できるようにするには、最初にGoogle Cloudポータルで認証情報Google Cloudを作成します。次に、インスタンス内の サービスアカウント で認証情報を安全に保存します。	Google Cloudの請求および使用状況データへのアクセスを設定する
 のプロバイダーアカウントの CI データにアクセスするための MID サーバー の構成 クラウドインサイト 。	安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバー を介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。	Google Cloud アカウントの CI データへのアクセスの構成

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 クラウドリソースを検出します。	**注:** [ディスカバリーの構成と実行] カードは、 ディスカバリーアプリケーションを使用してクラウドリソースを検出した場合にのみ表示されます。 [ディスカバリーの構成と実行] カードで [ディスカバリーを設定して実行] ボタンを選択すると、[スケジュールを検出] フォームが開きます。 ディスカバリープロセスをスケジュールして、リソースの CMDB データが最新の状態に保たれるようにします。	使用するクラウドリソースの検出
 の請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理 クラウドインサイト 。	[請求処理データと使用状況データのダウンロード (Download Billing and Usage Data)] セクションで [請求処理ダウンロードの設定 **(Set up Billing** Download)] ボタンを選択すると、[請求処理ダウンロードジョブ (Billing Download Jobs)] フォームが開きます。 請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。	Google Cloud 請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
 価格シートをダウンロードする クラウドインサイト ジョブのスケジュールおよび管理 。	[価格シートのダウンロード] セクションで [価格シートのダウンロードの設定] ボタンを選択すると、[価格シートのダウンロードジョブ] フォームが開きます。 価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。サイズの適正化および未使用のリソースプロセスは、推奨事項を生成するときに価格シートデータを使用します。	Google Cloud 価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理
 インサイト機能を構成します。 • サイズの適正化 • 不使用マシン • 営業時間 • 未アサインリソース	• サイズの適正化機能は、リソースの使用状況を分析し、過剰にプロビジョニングされたり十分に使用されていないためにコストを浪費しているリソースに対して、より適切なサイズを推奨します。信頼度レーティングと予測された節減額は、各推奨事項を裏付けます。指定したリソースのサイズを変更する サイズの適正化 ジョブをスケジュールします。 • 不使用マシン機能は、使用状況データを分析して、使用されていないためにお金を浪費しているリソースを特定します。指定したリソースの電源をオフにするか終了するように 不使用マシン ジョブをスケジュールします。 • 営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを識別し、それらを報告し、指定したスケジュールでリソースを開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。 • 未アサインリソース ポリシーは、変更グループに関連付けられていないリソースを識別し、適切に割り当てるのに役立ちます。リソースが適切なグループに割り当てられると、リソースがパッチ適用、アップグレー	• リソースの適正化 • 未使用のリソース • 営業時間 • 未割り当てのリソース

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ステップ	説明	手順
	ド、再構成などの段階を経る場合でも、リソースを適切に管理できます。	

Google Cloud アカウントの CI データへのアクセスの構成

安全で信頼性の高い通信を確保するために、ディスカバリー プロセスは 1 つ以上の MID サーバー を介してクラウドプロバイダーアカウントおよびクラウドリソースと通信します。ネットワークまたはクラウドネットワークのいずれかに MID サーバー を設定できます。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

要件

重要: この構成プロセスは、 ディスカバリー アプリケーションを使用してクラウドリソースを検出する場合にのみ適用されます。リソースの検出に別の方法を使用する場合は、このプロセスをスキップします。

詳細な手順

Google Cloud Platform クラウド検出

MID サーバー の設定 クラウドインサイト

注: MID サーバー 最小メモリサイズは 4 GB である必要があります。

設定	Value (値)
サポートされているアプリケーション	Cloud Actions
機能	**[ALL** (すべて)] 設定には、必要なすべてのアプリケーションと機能が含まれます。または、次の設定を指定することもできます。 **注:** 任意の数の MID サーバーに対して次の設定を指定できます。複数の MID サーバーを指定すると、 ディスカバリー、請求処理データのダウンロード操作、および クラウドインサイト が推奨するアクションが、いずれかの MID サーバー にランダムに割り当てられます。 オプション 1: この MID サーバー を Google Cloudにのみ使用するには、以下の両方の値を指定します。 • クラウドアクション • Google Cloud オプション 2:すべてのプロバイダーにこの MID サーバー を使用するには、次の値を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

設定	Value (値)
	• クラウドアクション • Google Cloud • Azure

プロキシサーバーの使用

クラウドインサイト MID サーバーにはプロキシサーバーを使用できます。「のプロキシサーバー構成 クラウドインサイト MID サーバー」を参照してください。

関連情報

MID サーバー

Windows への MID サーバーのインストール

Linux への MID サーバーのインストール

のプロキシサーバー構成 クラウドインサイト **MID** サーバー

クラウドインサイト操作にプロキシサーバーを使用するように任意のMID サーバーを設定できます。プロキシサーバーは、 ディスカバリー、 請求処理ダウンロードジョブ、 価格シートのダウンロードジョブの実行など、クラウドベースのすべてのアクティビティをサポートします。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

詳細な手順

「」を参照してください。 のプロキシサーバー構成 MID サーバー 使用目的 クラウドディスカバリーおよび クラウドプロビジョニングとガバナンス .

プロキシサーバーの制限事項

- Windows または Linux プラットフォームのみがサポートされています。
- Google Cloud 統合はサポートされていません。
- VMware 統合はサポートされていません。
- リモート PowerShell スクリプトを実行することはできません。
- カスタム API が機能しない可能性があります。

クラウドインサイト でサポートされているプロキシサーバー認証

プロキシサーバータイプ	認証タイプ
HTTP/HTTPS	認証なし
SOCKS5	認証なし
HTTP/HTTPS	ベーシック認証
SOCKS5	ベーシック認証
HTTP/HTTPS	NTLM

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サポートされているプロキシサーバー構成

サポートされている構成設定

設定	オペレーティングシステム	プロキシー サーバー	認証モード
構成 1	Linux	なし	適用外
構成 2	Windows	Squid (HTTPS)	なし
構成 3	Linux	Squid (HTTPS)	ローカル
構成 4	Windows	Squid (HTTPS)	Active Directory

関連情報

- MID サーバー
- Windows への MID サーバーのインストール
- Linux への MID サーバーのインストール

Google Cloudサービスアカウントの追加

認証情報とアクセス情報を格納する Google Cloud サービスアカウントを追加します。

始める前に
必要なロール：sn_cmp.cloud_admin

サービスアカウントの請求処理データと価格シートデータのダウンロードジョブを設定します。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報およびアクセス情報を保存するインスタンスの安全なレコードです。ディスカバリーは、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得するために、その情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスします。クラウドアカウントには、複数のサービスアカウント (異なるプロバイダーのサービスアカウントを含む) を含めることができます。サービスアカウントごとに、クラウドアカウントに含めるデータセンターを指定します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **[Service accounts** (サービスアカウント)].
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

クラウドサービスアカウント

フィールド	説明
名前	このサービスアカウントの一意でわかりやすい名前。
アカウント ID	関連付けられた JSON キーファイルからの project_ID値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
Discovery 資格情報	ServiceNow アプリケーションがこのアカウントにアクセスするために必要な認証情報。後で Google Cloud アカウントへのアクセスを構成するときに、このフィールドを構成できます。 ◦ Now PlatformでAzure認証情報を設定した場合は、関連するAzure認証情報の名前を選択します。 ◦ 他の Azure アカウントを使用してこのアカウントにアクセスする場合は、フィールドを空白のままにします。
データセンター URL	データセンターの URL。 このフィールドは、 Google Gov Cloud アカウントにのみ必要です。 。
データセンタータイプ	アカウントがホストされているデータセンターのタイプ。 *Google Cloud Platform*データセンターを選択します。
データセンター Discovery ステータス	データセンターで前回実行したディスカバリーのステータスとタイムスタンプ。 この値は自動的に生成されます。
請求アカウントか	アカウントが請求処理データにアクセスできるようにするためのオプション。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
作成したサービスアカウントが [サービスアカウント] ページに一覧表示されます。

関連情報
Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

Google Cloud請求処理ダウンロードのロールをセットアップ
Google Cloudの請求処理ダウンロードを実行するには、特定の必要なロールが必要です。

始める前に
必要なロール：

- Google Cloud Console で、管理者Google Cloud。
- クラウドインサイト:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

手順

1. Google Cloudプロバイダーコンソールで、請求処理モジュールに次の必要なロールを追加します。
   - bigquery.jobs.create
   - bigquery.jobs.list
   - bigquery.tables.getData
   - cloudsql.databases.delete
   - cloudsql.databases.get
   - cloudsql.databases.list
   - cloudsql.databases.update
   - cloudsql.instances.delete
   - cloudsql.instances.get
   - cloudsql.instances.list
   - cloudsql.instances.restart
   - cloudsql.instances.update
   - compute.autoscalers.get
   - compute.autoscalers.list
   - compute.disks.delete
   - compute.disks.get
   - compute.disks.list
   - compute.disks.update
   - compute.instances.delete
   - compute.instances.get
   - compute.instances.getIamPolicy
   - compute.instances.list
   - compute.instances.setDiskAutoDelete
   - compute.instances.start
   - compute.instances.stop
   - compute.instances.update
   - compute.regions.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.get
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.list
   - recommender.cloudsqlIdleInstanceRecommendations.update
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.get
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.list
   - recommender.cloudsqlOverprovisionedInstanceRecommendations.update
   - recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.get
   - recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.list

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- recommender.computeInstanceIdleResourceRecommendations.update
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.get
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.list
- recommender.computeInstanceMachineTypeRecommendations.update
- recommender.locations.get
- recommender.locations.list
- resourcemanager.projects.get
- resourcemanager.projects.list

2. Google Cloud組織レベルでロールを設定し、そのレベル以下のすべてのプロジェクトに適用されるようにします。
   各プロジェクトの Google Cloud Console で次の API を有効にする必要があります。
   - Compute Engine API
   - 推奨者 API
   - BigQuery API
   - BigQuery データ転送 API
   - クラウドリソースマネージャー API
   - クラウド SQL アドミン API
   - バッチ API
3. ポリシーの作成の詳細については、次を参照してください。 Google Cloud ドキュメント .

自動翻訳

Google Cloud の請求および使用状況データへのアクセスを設定する

手順に従って、 Google Cloud Platform (GCP) 請求および使用状況データへのアクセスを設定します。

1. Google Cloud請求先アカウントを作成する
2. Google API 認証情報の作成
3. Kubernetes クラスターの Google Cloud でのコスト割り当ての有効化
4. Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
5. 正確な請求処理データを確保するために、 Google Cloud CI クラスタイプを追加する

関連情報

Google Cloud請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

Google Cloud請求先アカウントを作成する

Google Cloud Console で請求先アカウント、プロジェクト、BigQuery データセットを作成します。

始める前に
Google Cloudポリシーに精通している必要があります。

必要なロール：Google Cloud アドミニストレーター

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. Google Cloud請求先アカウントで、請求処理データを BigQuery データセットに保存できるプロジェクトを作成します。

   注: BigQuery の使用に関連する料金は、請求プランに基づきます。

   a. プロジェクトの下にサービスアカウントを作成し、キーを作成します。
   の「サービスアカウントの作成」および「サービスアカウントの管理」セクションを参照してください。 Google Cloud ドキュメント 詳細を参照します。

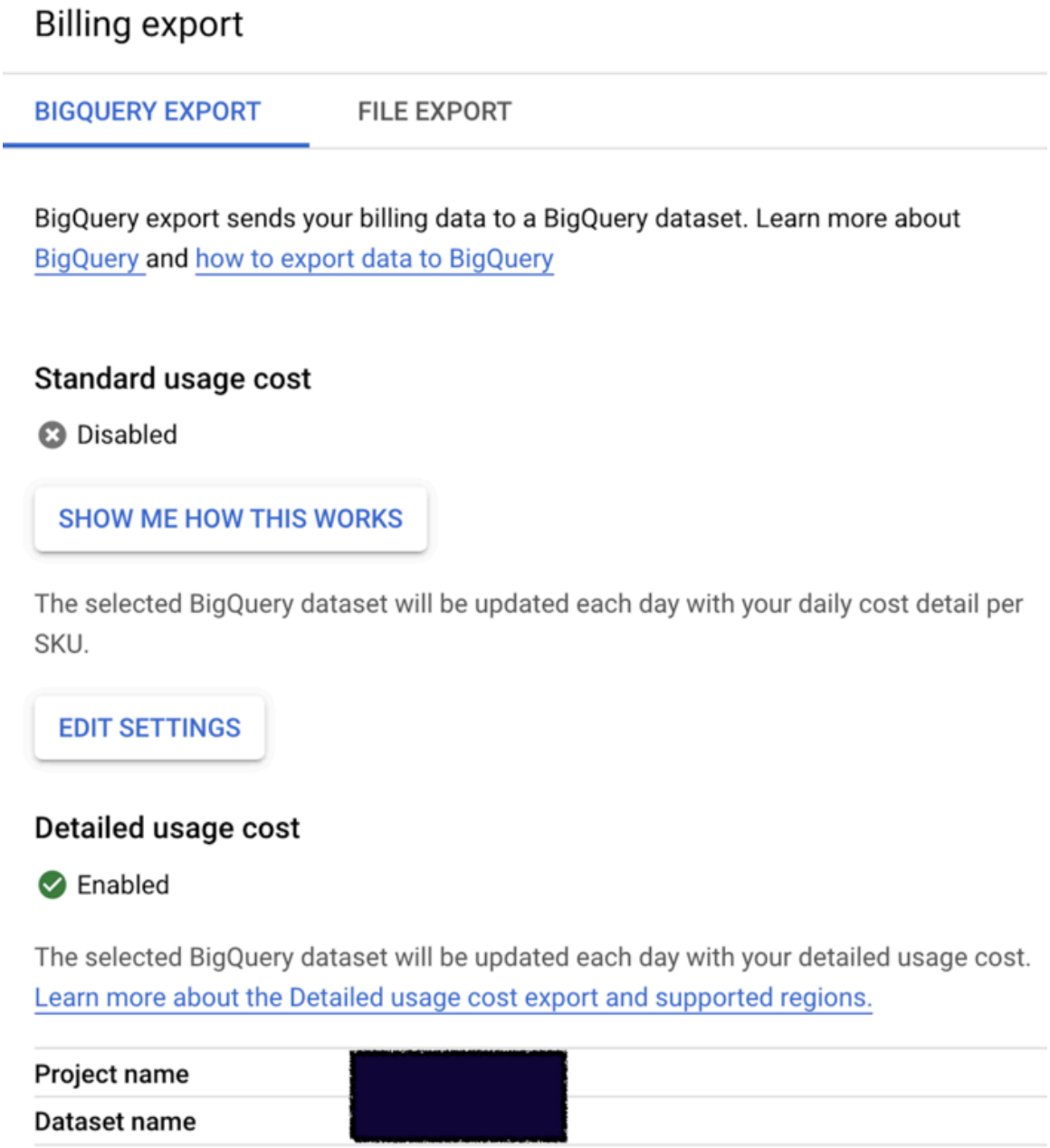
   b. すべてのプロジェクトにアクセスできるようにサービスアカウントを構成します。
   すべてのプロジェクトに対するビューアーロールが必要です。

   c. 必要な認証情報が含まれているキーファイル (JSON ファイル) をダウンロードします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

2. Google Cloudで、Google Cloud請求処理ダウンロードを使用するための詳細な使用コストを有効にしま



す。

> **注:** 請求処理ダウンロードの BigQuery データセットを初めて構成する場合は、Google Cloud ドキュメント の「Big Query の Cloud Billing データテーブルについて 」トピックの「データ可用性」セクションをお読みください。

Google API 認証情報の作成

プロバイダーアカウントのデータに安全にアクセスするには、 ディスカバリー プロセスが適切な認証情報とともに存在している必要があります。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順

1. [クラウドインサイト] で、次に移動します。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 管理 > 認証情報.
2. **[Google API** 認証情報] を選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google API 資格情報

フィールド	説明
名前	Google Cloud 認証情報の分かりやすい一意の名前。
有効	資格情報を使用するオプション。
タイプ	プロバイダー名、GCP。
適用先	MID サーバーを示します。[すべて] の場合は、「すべての MID Server」と入力します。
メール	請求サービスアカウントメール
秘密キー	Google Cloud コンソールで生成された秘密キー。

5. [保存] を選択します。

関連情報

クラウド資格情報

Kubernetes クラスターの **Google Cloud** でのコスト割り当ての有効化

Google Cloud 請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes支出を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。

始める前に

必要なロール：Google Cloud アドミニストレーター

- Google Cloudポリシーに精通している必要があります。
- ディスカバリーとサービスマッピングパターンアプリケーション (sn_itom_pattern) 1.10.2 以降をインストールします。詳細については、「 ディスカバリーとサービスマッピングパターン のインストール 」を参照してください。
- CMDB CI クラスモデル (sn_cmdb_ci_class) バージョン 1.53.1 以降をインストールします。詳細については、「CMDB CI クラスモデルストアアプリ 」を参照してください。
- Kubernetesディスカバリーを設定するには、「 Kubernetes 検出 」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて

- 請求処理ダウンロード時にKubernetesクラスターのリソースを識別するために、既に **goog-k8s-cluster-name** タグがあるリソースにタグ *sn_ccm_k8_cluster_name* が追加されます。
- 個々の Kubernetes クラスターごとにコスト割り当てを有効にする必要があります。

手順

1. へのログイン Google Cloud コンソール .
2. ハンバーガーアイコン ( ) を選択します。
3. **[Kubernetes Engine]** を選択します。
4. [クラスター] を選択します。
5. [概要] セクションで、クラスター名を選択します。
6. [機能] セクションで、[コスト割り当て] を有効にします。

タスクの結果
選択した Kubernetes クラスターのコスト割り当てが有効になり、 Kubernetes 消費量を表示できます。

Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

請求処理ダウンロードジョブ 指定したスケジュールで支払人アカウントの請求処理データをダウンロード、整理、保存します。システムはデータを分析してレポートを生成し、コスト削減につながる可能性のあるクラウド運用の変更に関する推奨事項を作成します。

始める前に

- システムに 8 GB の Clotho メモリと 4 GB の MID メモリが搭載されていることを確認します。
- 請求処理ダウンロードを実行するために必要なロールを設定する必要があります。詳細については、「Google Cloud請求処理ダウンロードのロールをセットアップ」を参照してください。
- Google Cloud 請求処理ダウンロードジョブを実行してKubernetes支出を表示する前に、各Kubernetesクラスターのコスト割り当てを有効にします。詳細については、「Kubernetes クラスターの Google Cloud でのコスト割り当ての有効化」を参照してください。

必要なロール：

- Google Cloud Console で、管理者Google Cloud。
- クラウドインサイト:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または admin。

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロード中に、すべてのリソースがシステムにプルされます。GCP SQL データベースは [cmdb_ci] テーブルに配置されます。

- 請求処理ダウンロード ジョブは、請求処理ノードデータテーブル [sn_cld_intg_gcp_cost_usage] を作成し、BigQuery データセットの請求項目で更新します。

注: BigQuery の使用に関連する料金は、請求プランに基づきます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況データを CMDB 内の適切な CI に関連付けます。詳細については、「正確な請求処理データを確保するために、 Google Cloud CI クラスタイプを追加する」を参照してください。
- 請求処理ダウンロードジョブ をグローバルスコープに含めることはできません。
- アカウントごとに作成できる 請求処理ダウンロードジョブ は 1 つだけです。
- 一部のプロバイダーに対して正確なレポートと推奨事項を確実に提供するために、スケジュールされた実行の前に ディスカバリー が実行されるようにしてください。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、予算予測、営業時間、予約/節減計画、サイズの適正化、および未使用のリソースジョブがトリガーされ、支出と使用状況データが分析され、レポート内のアクション可能な推奨事項が更新されます。
- 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に対して行った最近の更新 (たとえば、カテゴリへのタグ名の追加) は、コストレポートに反映されない場合があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ をクリックし、[カテゴリを再適用] を選択します。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。
- コストカテゴリは、請求処理データがダウンロードされるたびに新しいコストタグ値で更新されます。(プロバイダーポータルでコストタグを定義して、使用状況データを特定のビジネスエンティティに関連付けます。たとえば、コストセンターカテゴリには、 開発、 テスト、 QA のタグを含めることができます。ユーザーカテゴリには、ユーザーの名前が含まれる場合があります)。
- 請求処理データは、月別の新しい順にダウンロードされます。たとえば、範囲が 3 月から 6 月の場合、6 月のデータが最初にダウンロードされます。
- 最初の請求処理データのダウンロードで有意義な結果が得られるように、アプリは少なくとも 30 日間データをダウンロードします。たとえば、今日が 6 月 10 日で、ダウンロードに 6 月を指定すると、5 月と 6 月の両方のデータがダウンロードされ、少なくとも 30 日間の分析用データが確保されます。
- ダウンロードできるのは、直近 12 か月分のデータのみです。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [*Google*] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. フォームのフィールドに入力します。

Google 請求処理ダウンロードジョブ

フィールド	説明
名前	請求処理ダウンロードジョブのスケジュールされた実行のわかりやすい名前。
前回の正常実行	最後に正常に実行されたときのタイムスタンプ。
ユーザー/グループに通知	ジョブ実行のステータス (ダウンロードの失敗など) をメールで通知するユーザーまたはグループ。システムは成功の通知を送信しません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin] ロールを持つユーザーまたはグループは、これらの問題を処理するのに適しています。 メールテンプレートを更新するには、次の場所に移動します: システム通知 > メール > 通知 をクリックし、請求ジョブの実行エラーを通知するテンプレートを開きます。メールの構成については、「 メール テンプレートを作成する 」を参照してください。
アクティブ	ジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	請求処理ダウンロードジョブを実行する頻度。 このフィールドは自動的に [日次] に設定されます。 注: 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
最新の実行ステータス	最後に実行されたジョブのステータス。
最新の実行の詳細	最後に実行されたジョブの実行の詳細。
Google 設定	
請求アカウント	請求処理データにアクセスするアカウント。[課金アカウント] の設定が true になっているすべてのアカウントが選択リストに表示されます。[請求先アカウント] フィールドの詳細については、「 Google Cloudサービスアカウントの追加」を参照してください。 たとえば、請求先アカウント ID は `0XX0A-AXX9-6XXXA` の形式である必要があります。
BigQuery プロジェクト ID	BigQuery データセットを含むプロジェクト ID。
BigQuery データセット名	請求処理データが時間単位で保存される BigQuery データセットの名前。

5. [テスト接続] を選択します。

   テスト接続ワークフローでは、構成した設定を使用してプロバイダーアカウントへのアクセスが試行されます。進行状況ポップアップと、構成された設定を修正するためのアクションを提案する成功/エラーメッセージが表示されます。

6. [今すぐ実行] を選択して、接続が成功した後にジョブを実行します。
7. [請求処理データをダウンロード] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
開始月	請求処理データをダウンロードする開始月。 **注:** 指定した月のデータがダウンロードされます。分析用のデータが 30 日未満の場合は、前月のデータもダウンロードされます。
終了月	請求処理データをダウンロードする終了月。
データの再インポート	以前のダウンロード試行のデータを上書きするためのオプション。

8. [ダウンロード] を選択します。

タスクの結果
jobが実行されると、次のイベントが発生します。

- データのダウンロード中に、<c0/> は各リソース ID に対応する CMDB 内の CI で請求ノードデータテーブル [sn_cld_intg_<provider>_cost_usage] を更新します。クラウドインサイトCI が存在しない場合は、プレースホルダー CI が生成されます。後続の検出時に、プレースホルダー CI が調整されます。
- クラウドインサイト は、[請求処理ダウンロードの実行] ページで、実行の各ステージのログエントリを生成します。

正確な請求処理データを確保するために、 **Google Cloud CI** クラスタイプを追加する

新しい CI または CI タイプの詳細を指定して、CI 配置プロセスでコストと使用状況のデータを正しく割り当てられるようにします。このプロセスは 請求処理ダウンロードジョブ 実行の一部です。CI 配置プロセスは、ダウンロードしたコストと使用状況データを適切な CI に関連付けます。

始める前に
必要なロール: クラウドインサイト アドミン [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

請求処理ダウンロードジョブ ダウンロードした請求処理データを請求ノードテーブルに格納します。クラスタイプテーブルには、コスト使用テーブルの CI タイプ定義が保持されます。 クラウドインサイト は CI 配置プロセスを実行して、請求処理データと使用状況データを CMDB の CI に関連付けます。CI 配置プロセスは、CI 配置タイプテーブルに存在する CI タイプ定義を使用して、請求ノードテーブルを照会します。新しい CI (または新しいプロバイダーの CI タイプ) の場合は、CI を一意に定義するパラメーター、CI タイプ定義、および CI タイプ定義を格納するクラスタイプテーブルを指定します。

Google Cloud [sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type] の CI 配置タイプテーブルは、Core CI 配置タイプテーブル (sn_cld_intg_core_ci_placement_type) から継承します。

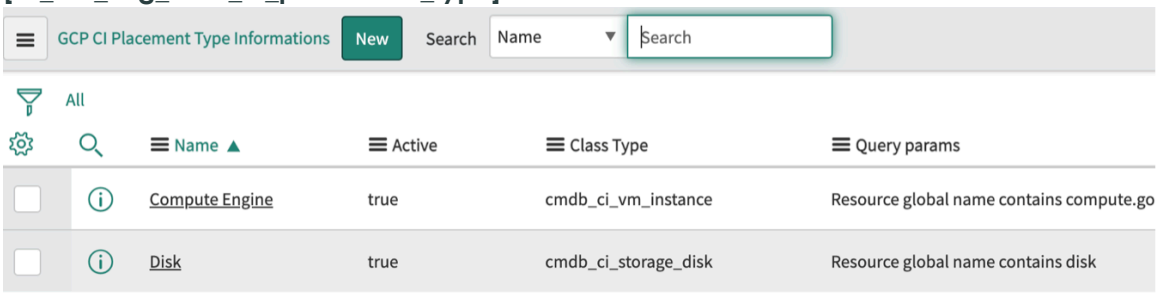
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

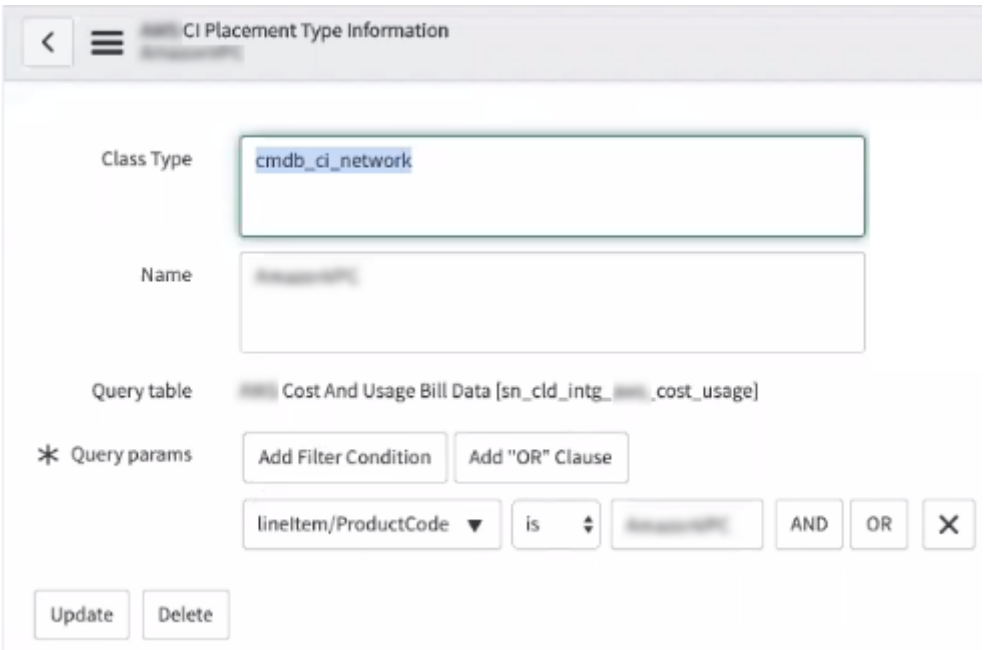
手順

1. CI 配置タイプテーブルに移動し、[新規] を選択します。

Google Cloud Core CI 配置タイプテーブルのクラスタイプ [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]



2. フォームに入力します。



CI 配置タイプ情報フォーム

フィールド	説明
クラスターイプ	このタイプの CI が格納されている CMDB クラスタイプテーブル。このタイプの新しい CI がテーブルに追加されます。
名前	CI タイプの名前。
クエリテーブル	CI 配置プロセスが CI タイプのインスタンスを検索するためにクエリを実行する請求ノードテーブル。 クエリテーブルはsn_cld_gcp_cost_usageであり、変更できません。
クエリパラメーター	CI タイプを一意に定義する請求ノードテーブルのパラメーター値。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Google Cloud請求処理ダウンロードジョブのキャンセル

請求処理ダウンロードジョブは、 Google Cloudの各支払人アカウントから請求処理データと使用状況データを取得します。サイズの適正化、未使用リソース、および営業時間プロセスでは、推奨事項を生成するときに請求処理データと使用状況データが使用されます。請求処理ダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
必要なロール：

このタスクについて
重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 請求処理ダウンロードジョブ.
2. [**Google**] タブを選択します。
3. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
4. [Google 請求処理ダウンロード] ページで、[実行のキャンセル] または [キャンセル] を選択します。

Google Cloud価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

価格シートのダウンロードジョブは価格シートデータをダウンロードして保存します。

始める前に
適切な認証情報とサービスアカウントが設定されていることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

このタスクについて
- プロバイダーごとにスケジュール済み 価格シートのダウンロードジョブ を作成します。
- 単一の API がすべてのリージョンの価格シートの詳細を一度にフェッチします。
- スケジュールされた時間になると、ジョブ実行は複数のステージで行われます (プロバイダーへの接続、データのダウンロード、インポート後のソートの実行など)。ステータスと結果は、各ステージの [価格シートの実行] ページに記録されます。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

価格シートのダウンロードジョブ

フィールド	値
名前	価格シートのダウンロードジョブのわかりやすい名前。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
プロバイダー	クラウドプロバイダの名前。
前回の正常実行	ジョブの前回実行のタイムスタンプ。
価格シートのダウンロード	さまざまなサービスの価格シートのダウンロード。 ◦ AWS ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて ◦ Azure ▪ CPU ▪ データベース ▪ ストレージ ◦ Google ▪ 計算とストレージ ▪ データベース ▪ すべて
アクティブ	価格シートのダウンロードジョブをアクティブ化するためのオプション。アクティブなジョブのみが実行されます。
実行	ジョブを実行する頻度。 **注:** 選択した値に応じて、追加のフィールドが表示されます。たとえば、[実行] の値を [月次] にすると、[日] フィールドが表示されます。値 3 は、その月の 3 日を意味します。 このフィールドは自動的に [月次] に設定されます。
時刻	ジョブを実行する時刻。
現在の実行ステータス	現在実行中の実行のステータス。
現在の実行詳細	現在実行中の実行の詳細。

4. [保存] を選択します。
5. [実行] を選択してジョブを実行します。
   実行中に、 クラウドインサイト はデータをダウンロードして保存します。実行 ID、ステータス、および実行ログは、[価格シートの実行] タブで確認できます。新しいデータがない場合、実行は [スキップ] とマークされます。ダウンロードプロセスがスタックしている場合、実行は キャンセル としてマークされます。

関連情報

リソースの適正化

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

で GCP 価格シートのダウンロードジョブをキャンセルする クラウドインサイト

GCP価格シートのダウンロードジョブは、Google Cloud Platform (GCP)から価格シートデータをダウンロードします。価格シートのダウンロードジョブは個別にキャンセルできます。

始める前に
プロバイダーごとに、各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

適切な認証情報とサービスアカウントが設定されていることを確認してください。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]。

このタスクについて
クラウドインサイト は、各プロバイダーから価格シートデータを一度に 1 リージョンずつダウンロードします。実行中の価格シートのダウンロードジョブをキャンセルすると、現在のリージョンのダウンロードが終了し、残りのリージョンのダウンロードがキャンセルされます。スケジュール済みジョブの実行を削除すると、すべてのリージョンがキャンセル済みとしてマークされます。

手順

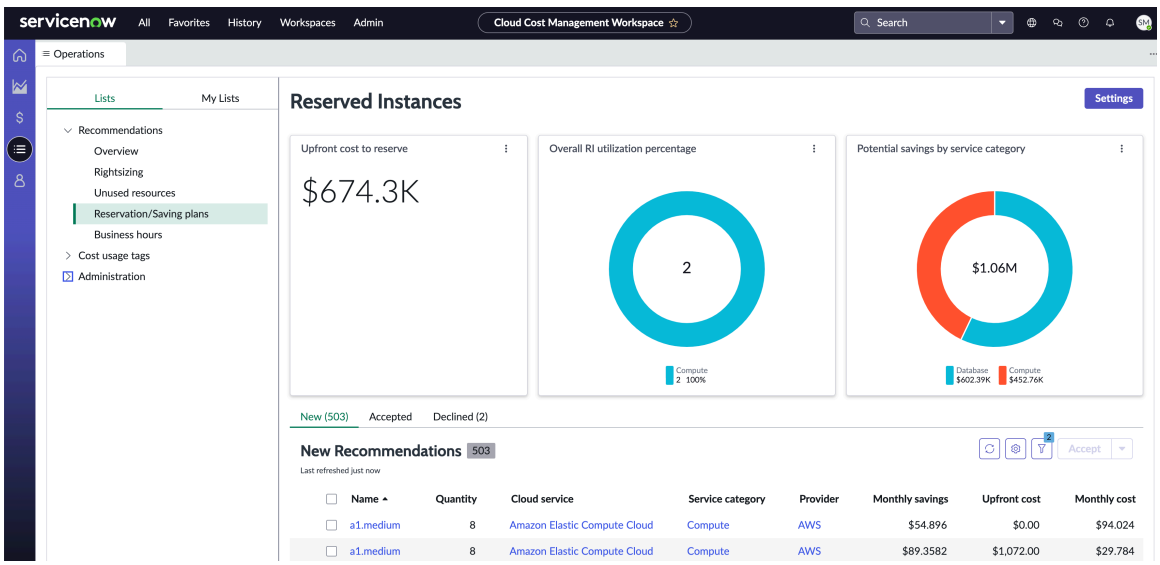
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 価格シートのダウンロードジョブ.
2. キャンセルする現在実行中のジョブまたはスケジュール済みジョブを選択します。
3. 価格シートのダウンロードジョブ ページで、 実行のキャンセル を選択します。

クラウドインサイト の使用

クラウドインサイトを使用して、クラウドリソースの使用状況データの適切なサイズ調整、識別、割り当て、管理、および分析を行います。

予約プランによるリソースコストの削減

予約済みインスタンスレポートを表示し、推奨事項を実装し、オンデマンド支払いプランを予約プランに変換するプロセスを構成して、リソースのコストを節減します。



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

チャート	説明
予約にかかる初期費用	すべての予約/節減プランの推奨事項が適用された場合の初期費用。
[Overall RI utilization percentage (RI 全体の利用率)]	過去 30 日間に使用された予約プランのリソースと使用されなかったリソースの割合。
[Potential savings by service category (サービスカテゴリ別の潜在的節減額)]	すべての予約/節減プラン推奨事項を適用した場合に期待できる毎月の節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能な選択肢
新規	予約プランで最もメリットが得られるリソース。リストを確認し、適切なアクションを選択してリソースを他のタブのいずれかに移動することで、予約プランへの変換を決定します。	• 受け入れ • 拒否
受入済み	予約プランに変換されたリソース。リソースを **[Accepted Recommendations** (承認済み推奨事項)] タブに移動すると、**[New Recommendations** (新しい推奨事項)] タブには再表示されなくなります。	拒否
拒否	予約プランに変換されていないリソース。リソースを **[Declined Recommendations** (拒否された推奨事項)] タブに移動すると、**[New Recommendations** (新しい推奨事項)] タブには再表示されなくなります。	承認

重要: リソースを [受け入れられた推奨事項] または [拒否された推奨事項] タブに移動しても、クラウドコスト管理アプリケーションはアクションを実行しません。プロバイダー管理インターフェイスで支払いプランを変更できます。

[設定] を選択して、予約/節減プランの操作を構成することもできます。

予約/節減プラン操作を構成する

予約/節減計画プロセスを設定し、通知をトリガーする見込み節減額を指定します。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin および insight_owner

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 推奨事項 > 予約/節減プラン.
2. [リザーブドインスタンス] ページで、[設定] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

リザーブドインスタンス設定

フィールド	値
リザーブドインスタンスの有効化	予約済みインスタンスのアクティビティを有効にするオプション。チェックボックスをオフにすると、予約/節減プラン操作が無効になります。 デフォルト:有効
リザーブドインスタンスの節減額が総支出額の(%)を超えたら通知する。	予約済み節減での潜在的節減のための全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするはずのもの。 この値は、すべての予約/節減プランの推奨事項に従った場合に節減できる金額を使用して計算されます デフォルト値の **15** は、潜在的なリザーブドインスタンスの節減額が総コストの 15% を超えた場合にのみ通知が送信されることを意味します。
[Do not recommend if savings are below threshold (節減分がしきい値を下回る場合は推奨しない)]	リソースにある予約/節減プランを推奨するかどうかの決定に使用する、ルックバック期間全体で計算された最小コスト。 たとえば、100 円に設定すると、アプリは、節減分が 100 円未満の予約/節減プランを無視します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	予約済みインスタンスの潜在的節減額が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。電子メールの設定方法については、「電子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。

4. [保存] を選択します。

次のタスク
変更内容を表示するには、Billing Download ジョブを再実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Rightsizing でリソースのサイズを適正化する

過剰にプロビジョニングされたリソースや十分に使用されていないリソースを特定し、サイズ適正化操作を構成し、サイズ適正化推奨事項を実装し、さまざまなサイズ適正化操作を実行することで、リソース使用状況の可視性を向上させます。

[設定] を選択すると、サイズの適正化操作を構成できます。

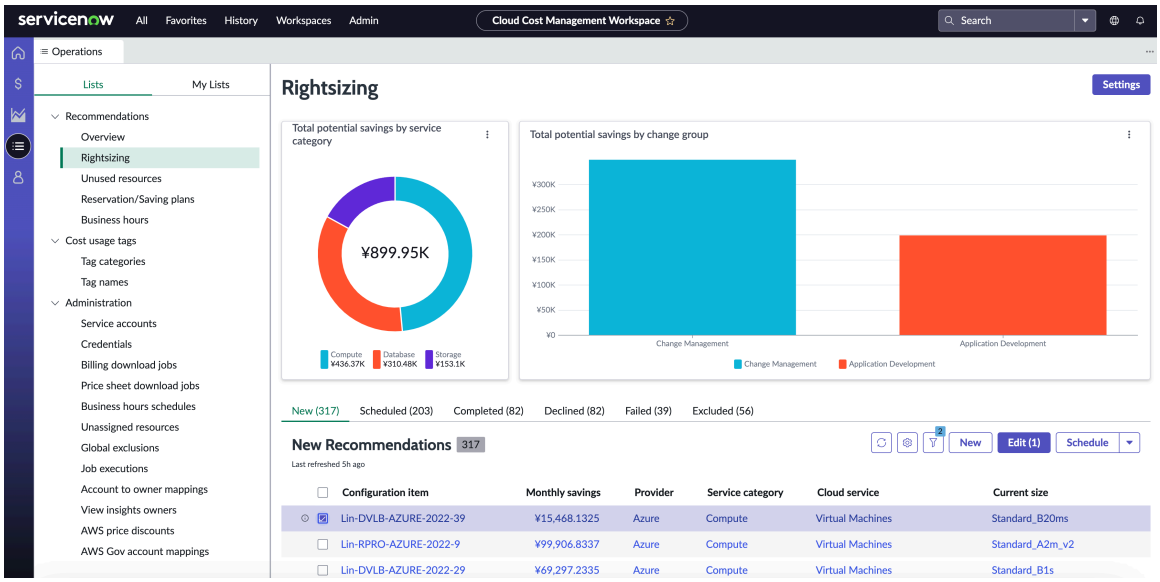


チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別にすべての Rightsizing 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	サイズ適正化に関するすべての推奨事項が変更管理 やアプリケーション開発などの変更グループごとに適用された場合に予想される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能なアクション
新規	Rightsizing の候補となるリソース。Billing Download ジョブが正常に実行されるたびに、Rightsizing ジョブがトリガーされ、支出と使用状況のデータが分析され、レポート内の実行可能な推奨事項が更新されます。	• 除外する • スケジュール
Scheduled (スケジュール済み)	Rightsizing ジョブでスケジュールされているリソース。	• [Reschedule (再スケジュール)] • 削除

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能なアクション
拒否	オーナーがサイズ変更を望まなかったリソース (変更要求を拒否)。	• 除外する • 再スケジュール
完了	Rightsizing ジョブによって適正サイズ設定されたリソース。	なし
失敗	Rightsizing 操作が成功しなかったリソース。試行に失敗した場合、サイズの適正化操作は AWS only – サイズの適正化の試行失敗時にロールバックで説明されているようにロールバックを実行します。	• 除外する • 再スケジュール
除外済み	Rightsizing の対象として考慮されないように構成されたリソース。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースのサイズを推奨サイズに変更した場合の節減見込み。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	名前でソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
現在のサイズ	サイズの適正化のために分析されたリソースのサイズ (現在支払っているサイズ)。
推奨サイズ	• AWS:過去 14 日間のプロビジョニングおよび使用レベルの分析に基づく、リソースの運用上およびコスト上に最適なサイズ。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
上書きサイズ	推奨サイズの代わりに使用するサイズ。デフォルトでは、サイズの適正化時に推奨サイズが使用されます。[上書きサイズ] を指定して、別のサイズを指定します。
根拠	システムでサイズ変更が推奨される理由。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
	• AWS:過去 14 日間のプロビジョニングおよび使用レベルのクラウドコスト管理分析に基づきます。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。 • 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。 ◦ システムに少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがある。 ◦ 現在および推奨されるファミリまたは世代が同一である。 • 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。 ◦ システムに保持されているリソースの使用状況データは 10 日未満です。 ◦ 現在および推奨されるファミリまたは世代が同一である。 • 信頼性が低い:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの関連するリージョンのグループを表します。
地域	プロバイダーに適した場合は、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
変更グループ	リソースの変更グループ。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure / GCP:プロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成の推奨事項
ステータス	自動承認 (標準的な変更) 承認タイプに一致するリソースの場合、変更要求のステータス。
ジョブ	リソースが含まれるサイズの適正化ジョブの名前。
予定日	ジョブの実行がスケジュールされている日付。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

サイズの適正化操作の構成

サイズの適正化プロセスを構成し、通知をトリガーするサイズの適正化の見込まれる節減額を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [設定 **(Settings)**] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サイズの適正化設定

フィールド	値
サイズの適正化の有効化	Rightsizing アクティビティを有効にするオプション。チェックボックスをオフにすると、Rightsizing が無効になります。 デフォルト:有効 このフィールドは自動的に有効になります。
[After resize, exclude resource for (days) (サイズ変更後、___日間リソースを除外する)]	サイズ変更されたリソースを [Excluded Resources (除外リソース)] リストに配置する日数。この監視期間中は、[Excluded Resources (除外リソース)] リストからリソースを削除することはできません。 クラウドインサイト 指定された期間、サイズ変更されたリソースを監視して、新しいサイズが適切であることを確認します。期間が終了すると、リソースはリストから削除され、サイズ適正化分析が再開されます。 **注:** Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスは使用状況の分析を開始し、この設定に関係なく、7 日後にサイズ変更を再度推奨する場合があります。7 日を超える値を指定した場合、 クラウドインサイト は指定した期間の Azure Advisor の推奨事項を報告しません。 最小値:7
節減額がしきい値を下回る場合は推奨しない	適切なサイズにするかどうかを決定する際に使用する 30 日間の最小コスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	たとえば、100 円に設定すると、30 日間で 100 円未満の節約になるサイズの適正化の推奨事項は クラウドインサイト 無視されます。
サイズの適正化によって見込まれる節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する	サイズが不正確なリソースに対する全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーする必要があるもの。 この値は、すべての適正サイズ化の推奨事項に従った場合に節減できる金額を使用して計算されます デフォルト:15% デフォルト値の **15** は、サイズが適正化されていないリソースのコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	不適切なサイズのリソースの支出が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。電子メールの設定方法については、「電子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。
詳細	変更要求を生成するためのデフォルト以外の変更テンプレートを指定するオプション。
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 `CLINRSStandardChangeRequestUtil`:変更グループは標準的な変更テンプレートから派生し、上書きできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 `CLINRSNormalChangeRequestUtil`:手動承認または通常の変更ポリシー。

4. [保存] を選択します。

サイズの適正化に関する推奨事項の正確な価格設定を可能にするために、料金割引を指定します

正確なサイズの適正化の推奨事項を生成するために、システムは過去 14 日間の使用状況データを分析し、価格シートデータテーブルから価格を取得してから、適切な割引を適用します。計算を有効にするには、各サービスアカウントのプロバイダーの割引率を指定します。

始める前に

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **AWS** 価格割引.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

AWS 価格割引

フィールド	説明
サービスアカウント	指定された割引が適用されるサービスアカウント。
割引 (%)	選択したサービスアカウントの割引率。

4. [保存] を選択します。

次のタスク
各サービスアカウントのプロバイダーの割引率を表示するには、次の場所に移動します。 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **AWS** 価格割引.

関連情報

AWS価格シートをダウンロードするクラウドインサイトジョブのスケジュールと管理

メトリクスのしきい値の定義

サイズの適正化に関する推奨事項の生成に使用する正確なメモリ使用量データを有効にするには、まずアカウントでメモリメトリクスを定義します。次に、 クラウドインサイト でカスタムメモリメトリクスを定義します。

始める前に
必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

- 各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。
- 請求処理ダウンロードと価格シートのダウンロードジョブが正常に完了したことを確認します。

このタスクについて
注: メモリしきい値は、 AWS と Azure に対してのみ設定できます。

AWS では、メモリメトリクスの統計情報は自動的に収集されません。AWSマネジメントコンソールで、データを収集して Amazon CloudWatch にプッシュするための統計を指定します。クラウドインサイト は CloudWatch を介してデータにアクセスし、名前空間とメトリクス名の組み合わせが正しく定義されていることを確認します。サイズの適正化のためのリソースを推奨するために、 クラウドインサイト はカスタムメトリクスのメモリ使用量データを分析します。データが返されない場合、分析はリソースの最大メモリを使用します。

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [設定 **(Settings)**] を選択します。
3. [サービスカテゴリ測定基準 **(Service category metric)**] タブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

4. [新規] を選択します。
5. フォームのフィールドに入力します。

新しいメトリクス構成を作成

Field (フィールド)	説明
プロバイダー	サービスプロバイダーの名前。 ◦ AWS ◦ Azure
サービスカテゴリ	プロバイダーのサービスカテゴリ。 ◦ 計算 ◦ データベース 注: ◦ AWSの場合、推奨事項は CPU 使用率 (コンピューティング) に対してのみ生成されます。 ◦ Azureの場合、推奨事項は CPU、メモリ、およびネットワーク使用率 (コンピューティングとデータベース) に基づいて生成されます。
サービスアカウント	選択したプロバイダーのサービスアカウント。
アグリゲーションタイプ	時間間隔で受信したメトリクスの統計情報。 ◦ 平均 ◦ 最小 ◦ 最大
メトリクスタイプ	メトリクス統計情報のタイプ。 ◦ CPU ◦ メモリー ◦ ネットワーク
しきい値 (%)	サイズの適正化に関する推奨事項を生成する際に使用されるしきい値。 注: [プロバイダー] が **[AWS]**、[サービスカテゴリ] が [データベース]、[メトリクスタイプ] が [ネットワーク] の場合、値は整数として表示されます。

6. [保存] を選択します。

サイズ適正化されたスケジュール済みリソース

リソースのサイズを適正化するには、リソースを Rightsizing ジョブに追加し、ジョブを実行するタイミングを指定します。また、スケジュールされたジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりすることもできます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download が完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、 クラウドインサイト は次の条件を確認します。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

注: Google Cloudリソースのサイズを適正化する推奨事項がGoogle Cloud管理ポータルから却下された場合、そのリソースはサイズの適正化の推奨事項に表示されません。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. 適切なタブのリストで、サイズを適正化するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - サイズの適正化の新しい候補であるリソースの サイズの適正化 ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 スケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされたがサイズ変更されていないリソースの新しいジョブを作成するには: 拒否された 推奨事項 タブまたは失敗した 推奨事項 タブで、リソースを選択し、 再スケジュールを選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ジョブをスケジュール

フィールド	値
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブのスケジュール] を選択します。
[Job name (ジョブ名)]	Rightsizing ジョブを説明する一意の名前です。
[Schedule (スケジュール)]	適正化ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 ◦ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブによってサイズが変更されるリソースのリストにそのリソースが追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適正化レポートにリソースをリストし続けます。 注: [**Short description**]、[**Description**]、[**Assignment group**]、および **[Affected CIs]** フィールドは自動入力されます。詳細については、「変更要求の作成」を参照してください。
[Change template (変更テンプレート)]	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
Rightsizing ジョブが作成され、スケジュールされた時間に実行されます。

- 変更グループのメンバーが変更を承認または却下するまで、リソースの状態は [保留中] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。
- 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブでサイズを変更するリソースのリストにリソースが追加されます。
- 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。

関連情報

Change Management

標準的な変更カタログ

変更要求テンプレートの作成

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

別のサイズの適正化ジョブへのリソースの移動

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりできます。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

必要なロール: insight_admin または insight_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. 適切なタブのリストで、サイズを適正化するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - [新しい推奨事項] タブで、[スケジュール] を選択します。
   - [拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、[再スケジュール] を選択します。
3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

ジョブをスケジュール

フィールド	値
ジョブタイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	Rightsizing ジョブを説明する一意の名前です。
[Schedule (スケジュール)]	適正化ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 ◦ 自動承認:リソースのサイズを変更する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブによってサイズが変更されるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ◦ 手動承認:変更グループのメンバーがリソースのサイズを変更するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切なサイズの適正化レポートにリソースをリストし続けます。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	ンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」 を参照してください。

4. [送信] を選択します。

サイズの適正化分析からのリソースの除外

特定のリソースがサイズの適正化の対象と見なされたり、推奨されたりしないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加します。コストと使用状況のデータは引き続き収集されますが、サイズの適正化のためのリソースは考慮されません。

始める前に
各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール: insight_admin または insight_owner

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、サイズの適正化分析から除外するリソースを選択します。
3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース] リストに追加されます。一覧からリソースを削除するには、 [除外済み] タブからリソースを選択し、 [除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

スケジュールされ完了したサイズの適正化ジョブを表示または編集する

予定されているサイズ適正化ジョブと完了済みジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > **Rightsizing**.
2. [スケジュール済み] または [完了済み] タブを選択します。
3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウドインサイト ジョブ

フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定された承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
名前	スケジュール済みジョブの名前。
ジョブアクション	ジョブのサイズの適正化に指定されているアクション。
標準的な変更テンプレート	使用された変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	サイズの適正化ジョブの所有者。
アクション	リソースに対して実行されたアクション (サイズ変更など)。
予定日	ジョブが実行された、または実行される予定の時間。 日付は編集できます。

4. [保存] を選択します。

未使用のリソースの管理

未使用のリソースを特定し、未使用リソースの電源をオフにするか終了するジョブをスケジュールすることでコストを削減します。

[設定] を選択すると、未使用のリソース操作を構成できます。

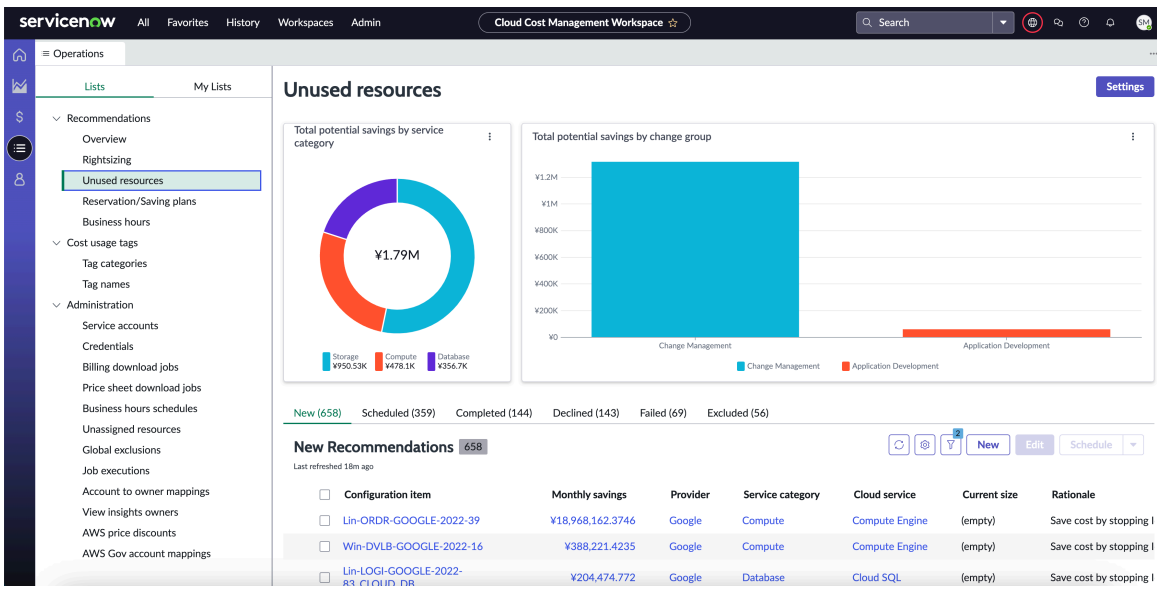


チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、データベース、ストレージなどのサービスカテゴリ別にすべての Unused

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

チャート	説明
	resources 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	変更管理やアプリケーション開発などの変更グループごとに未使用リソースに関するすべての推奨事項が適用された場合に予想される合計節減額。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能なアクション
新規	Unused resources の候補となるリソース。Billing Download ジョブが正常に実行されるたびに、Budget Forecast、Business Hours、Reservation Plans、Rightsizing、および Unused resources の各ジョブがトリガーされ、支出とリソース使用状況のデータが分析され、レポート内の実行可能な推奨事項が更新されます。 **注:** Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスは、サイズの適正化レポートと未使用リソースレポートに表示される推奨事項を生成します。クラウドインサイト では推奨事項は生成されません。	• スケジュール • 除外する
スケジュール済み	Unused resources ジョブでスケジュール済みのリソース。	• 再スケジュール • ジョブから削除
完了	Unused resources ジョブが終了または停止したリソース。	なし
[Declined (拒否)]	オーナーがアクションを実行しなかった、または変更要求を拒否したリソース。	• 再スケジュール • 除外する
失敗	未使用のリソース操作が成功しなかったリソース。	• 再スケジュール • 除外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[推奨事項] タブ	説明	選択した推奨事項で利用可能なアクション
		注: 終了または停止した仮想マシンで何らかのアクションを実行すると、推奨事項は完了しますが、[失敗した推奨事項] タブには表示されません。
[Excluded (除外済み)]	Unused resources の対象として考慮されないように構成されたリソース。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
月次節減額	リソースのサイズを推奨サイズに変更した場合の節減見込み。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	名前でソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
現在のサイズ	分析対象のリソースのサイズ。
根拠	システムが終了または停止を推奨する理由。 • AWS:過去 14 日間のプロビジョニングと使用レベルの クラウドインサイト 分析。 • Microsoft Azure: Azure Advisor サービスからの推奨事項。
信頼性	推奨事項の信頼性レベル。 • 信頼性を高くするには、次の条件が必要です。 ◦ システムに少なくとも 10 日分のリソースの使用状況データがある。 ◦ 現在および推奨されるファミリまたは世代が同一である。 • 信頼性が中程度の場合、次の条件が必要です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[完了]、および [失敗した推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
	◦ システムに保持されているリソースの使用状況データは 10 日未満です。 ◦ 現在および推奨されるファミリまたは世代が同一である。 • 信頼性が低い:現在のファミリー/世代と推奨されるファミリー/世代が異なる。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの関連するリージョンのグループを表します。
地域	プロバイダーに適した場合は、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
ソース	推奨事項のソース。 • AWS / Azure / GCP:プロバイダーが生成した推奨事項 • ServiceNow:カスタム生成の推奨事項

自動翻訳

未使用リソース操作の構成

Unused resources 機能は、使用されていないためにコストを無駄にしているリソースの終了または電源オフを推奨します。Unused resources プロセスを構成し、通知のトリガーとなる潜在的な節減を指定します。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

注: Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドインサイト では推奨事項は生成されません。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

不使用マシン設定

フィールド	値
不使用マシンの有効化	Unused resources アクティビティを有効にするオプション。 このフィールドは自動的に有効になります。
詳細	デフォルト以外の変更テンプレートを指定するオプション。
自動一時停止間隔	Azure SQL データベースの最小アイドル時間を分単位で示します。 デフォルト:60 分
[Maximum age for snapshots in AWS/Azure/Google (days) (AWS/Azure/Google のスナップショットの最大保存日数)]	スナップショットの経過時間。スナップショットデータは、[推奨事項] タブの [根拠] 列に表示されます。 デフォルト:90 日
見込まれる未使用の節減額が合計消費量の (%) を超えた場合に通知する	Unused resources での全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするもの。 この値は、すべての Unused resources 推奨事項を適用した場合に節減できる金額を使用して計算されます デフォルト:15% デフォルト値 15 は、未使用リソースのコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	未使用リソースの支出が、クラウド全体の支出の指定された割合を超えた場合に、ユーザーまたはグループに電子メールで通知します。 電子メールの設定方法については、「電子メールテンプレートを作成する」 を参照してください。
自動承認 (標準的な変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 `CLINRSStandardChangeRequestUtil` リソースが指定されたタイプのポリシーに一致するときに変更要求に使用するスクリプトインクルード。変更グループは Standard Change

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	(標準的な変更) テンプレートから派生しており、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINRSNormalChangeRequestUtil

4. [保存] を選択します。

関連情報

Change Management

未使用リソースの電源オフまたは終了のスケジュール設定

未使用リソースを終了するか電源をオフにするには、そのリソースを Unused resources ジョブに追加して、終了するか電源をオフにするかを指定し、ジョブを実行するタイミングを指定します。また、あるスケジュール済みジョブから別のジョブにリソースを移動することができます。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]

このタスクについて

重要: Unused resources ジョブによってマシンの電源がオフになるか終了すると、そのマシンは営業時間の除外リソースリストに追加されます。このプロセスにより、リソースが Business hours ポリシーに一致するため、将来再び開始されないことが保証されます。[営業時間の 除外されたリソース] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示しています。

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、修了するリソースのチェックボックスをオンにします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 新しい終了候補であるリソースに対して未使用のリソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
- 以前にスケジュールされていたが、アクションが正常に完了しなかったリソースのジョブを作成するには、 [拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、リソースを選択し、 [再スケジュール] を選択します。

注: Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドインサイト では推奨事項は生成されません。

3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	値
ジョブ タイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブのスケジュール] を選択します。
[Job name (ジョブ名)]	Unused resources ジョブを説明する一意の名前です。
[Action (アクション)]	選択したリソースに対して実行するアクション： ◦ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、割り当て解除と呼ばれるMicrosoft Azureプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) として設定されます。 ◦ マシンを終了する: 終了したマシンは回復できません。 ◦ マシンを終了してストレージを削除する: VM の終了時にルートボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルートボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
[Schedule (スケジュール)]	Unused resources ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は ServiceNow® 変更管理 機能と直接統合されています。 ◦ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブが終了させるか停止させるリソースのリストにそのリソースが追加されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーがリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な未使用リソースレポートにリソースをリストし続けます。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認/拒否するまで、リソースの状態は「処理待ち」に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。 **注:** [**Short description**]、[**Description**]、[**Assignment group**]、および **[Affected CIs]** フィールドは自動入力されます。詳細については、「変更要求の作成」を参照してください。
[Change template (変更テンプレート)]	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。 使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」を参照してください。

4. [送信] を選択します。

タスクの結果
未使用リソースジョブが作成され、スケジュールされた時刻に実行されます。

関連情報

- Change Management
- 標準的な変更カタログ
- 変更要求テンプレートの作成
- すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

リソースを別の未使用リソースジョブに移動する

現在スケジュールされているジョブにリソースを追加したり、あるジョブから別のジョブにリソースを移動したり、ジョブからリソースを削除したりできます。

始める前に

各サービスアカウントで ディスカバリー を実行します。

各プロバイダーの Billing Download ジョブが完了していることを確認します。

各プロバイダーの Price Sheet Download ジョブが完了していることを確認します。

必要なロール:insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. 適切なタブのリストで、修了するリソースのチェックボックスをオンにします。
   - 新しい終了候補であるリソースに対して未使用のリソース ジョブを作成するには: 新しい推奨事項 タブで、リソースを選択し、 ジョブのスケジュール を選択します。
   - 以前にスケジュールされたがサイズ変更されていないリソースのジョブを作成するには: [拒否された推奨事項] タブまたは [失敗した推奨事項] タブで、リソースを選択し、[再スケジュール] を選択します。

   注: Microsoft Azure のみ: Azure Advisor サービスによって、サイズの適正化と未使用のリソースのレポートに表示される推奨事項が生成されます。 クラウドインサイト では推奨事項は生成されません。

3. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

フィールド	値
ジョブ タイプ	ジョブアクションの種類。 [ジョブに追加] を選択します。
ジョブ名	Unused resources ジョブを説明する一意の名前です。
[Action (アクション)]	選択したリソースに対して実行するアクション：

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ マシンの電源をオフにする: 電源をオフにすると、割り当て解除と呼ばれるMicrosoft Azureプロセスがトリガーされ、リソースが停止 (割り当て解除) として設定されます。 ◦ マシンを終了する: 終了したマシンは回復できません。 ◦ マシンを終了してストレージを削除する: VM の終了時にルートボリュームが自動的に削除されない場合、ジョブによってルートボリュームが削除されます。他のボリュームは削除されません。 **注:** 終了したリソースまたは削除されたボリュームは復旧できません。
[Schedule (スケジュール)]	Unused resources ジョブを実行する日時。
[Approval type (承認タイプ)]	作成する変更要求のタイプ。 不使用マシン 操作は ServiceNow® 変更管理 機能と直接統合されています。 ◦ 自動承認 (標準的な変更):リソースを終了または停止する変更要求を生成して自動承認します。システムは承認された変更要求を変更グループにも送信します。ジョブが終了させるか停止させるリソースのリストにそのリソースが追加されます。 ◦ 手動承認 (通常の変更):変更グループのメンバーがリソースを終了または停止するための変更要求 (通常の変更タイプ) を生成し、適切な 不使用マシン レポートにリソースを引き続きリストします。 ▪ 変更グループのメンバーが変更を承認/拒否するまで、リソースの状態は「処理待ち」に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、他のアクションは実行されません。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を承認すると、ステータスは [承認済み] に設定され、ジョブが終了または停止するリソースのリストにリソースが追加されます。 ▪ 変更グループのメンバーが要求を却下した場合、リソースの状態は [拒否] に設定され、リソースはレポートにリストされたままになり、アクションは実行されません。
変更テンプレート	このフィールドは、[承認タイプ] で [自動承認] が選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	使用する変更要求テンプレート (Standard Change (標準的な変更) タイプ)。リストにテンプレートが表示されない場合は、テンプレートを作成する必要があります。「変更要求テンプレートの作成」 を参照してください。

4. [送信] を選択します。

未使用リソース分析からのリソースの除外

特定のリソースが未使用のリソースとして考慮されたり推奨されたりしないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加します。コストと使用状況のデータは引き続き収集されますが、未使用のリソースのプロセスのリソースは考慮されません。

始める前に
各サービスアカウントでディスカバリーを実行します。

各プロバイダーの 請求処理ダウンロードジョブ が完了していることを確認します。

各プロバイダーの 価格シートのダウンロードジョブ が完了していることを確認します。

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
ジョブに含まれるリソースを変更すると、アプリが次の条件をチェックします。

- ジョブ内のリソースは別のユーザーによって所有されています (insights_admin が insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合や、insights_owner が別の insight_owner によって作成されたジョブを更新した場合など)。
- ジョブは別のユーザーによって作成されました。

いずれかの条件が満たされた場合、アプリはリソースのオーナーまたはジョブの作成者に電子メール通知を送信します。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [新規]、[拒否]、または [失敗] タブで、未使用のリソース分析から除外するリソースを選択します。
3. [除外] を選択します。
   リソースが [除外されたリソース] リストに追加されます。一覧からリソースを削除するには、 [除外済み] タブからリソースを選択し、 [除外から削除] を選択します。

関連情報

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

スケジュール済みおよび完了済みの未使用リソースジョブを表示または編集する

予定されている未使用のリソースジョブと完了済みの未使用リソースジョブを表示および管理します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 未使用のリソース.
2. [スケジュール済み] または [完了済み] タブを選択します。
3. [ジョブ] 列で、詳細を表示するジョブを選択します。

クラウドインサイト ジョブ

フィールド	説明
承認タイプ	自動承認 (標準的な変更) や手動承認 (通常の変更) など、ジョブに指定された承認のタイプ。
ジョブステータス	ジョブ実行のステータス。
名前	スケジュール済みジョブの名前。
ジョブアクション	未使用のリソースジョブに指定されているアクション。
標準的な変更テンプレート	使用された変更要求テンプレート (標準的な変更タイプ)。
ジョブオーナー	未使用リソースジョブの所有者。
アクション	未使用のリソースに対して実行されたアクション (終了など)。
予定日	ジョブが実行された、または実行される予定の時間。 日付は編集できます。

4. [保存] を選択します。

Business hours でリソースの使用率を向上

指定された営業時間内にリソースを実行することで、リソース使用率を改善し、クラウド支出を削減します。

Business hours 推奨事項ページを使用して、次の操作を行います：

- Business hours プロセスを管理します。
- 営業時間オペレーションの構成 「 設定」を選択します
- 営業時間プロセスを定義または更新

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

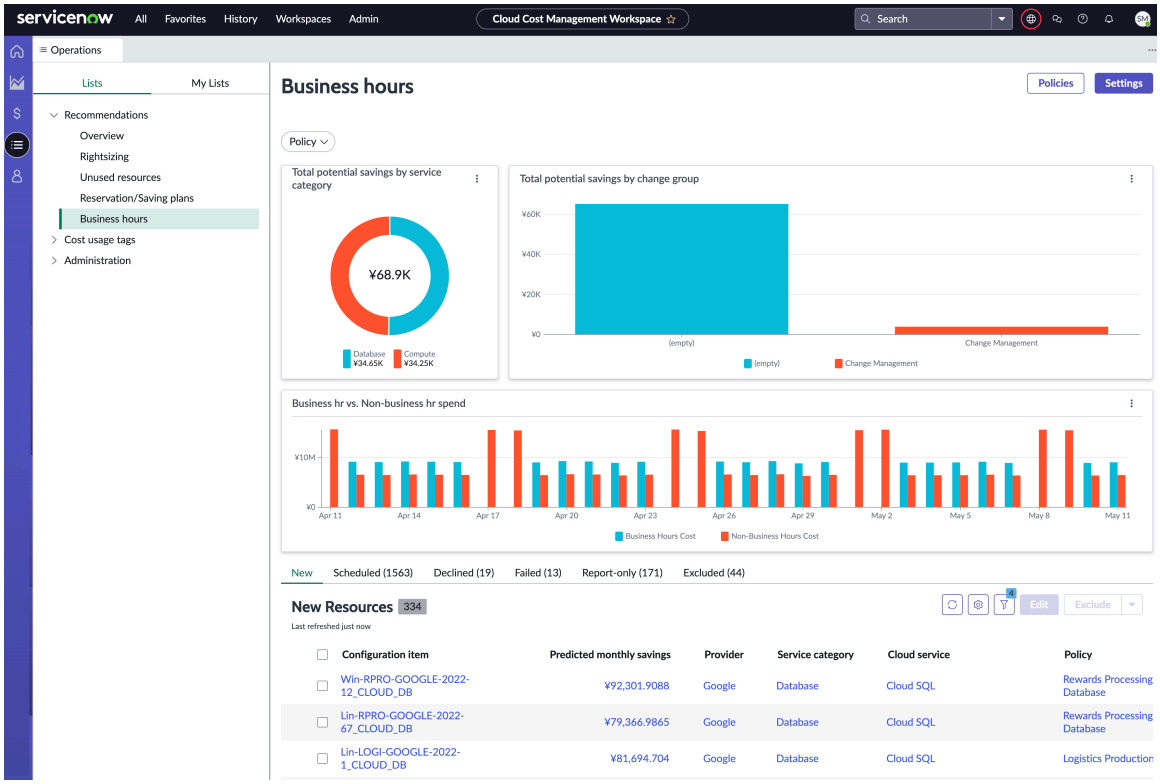


チャート	説明
サービスカテゴリ別の潜在的節減分の合計	コンピューティング、ストレージ、データベース、などのサービスカテゴリ別にすべての Business hours 推奨事項を適用した場合に期待できる合計節減分。
変更グループ別の潜在的節減額合計	Change Management (変更管理) や Application Development (アプリケーション開発) などの変更グループによってすべての Business hours 推奨事項が適用された場合に期待される合計節減分。
営業時間と営業時間外支出	営業時間外のリソースの支出に対する営業時間中のリソースの支出。

タブ	[Description (説明)]	選択した推奨事項に対して実行可能なアクション
[New (新規)]	Business hours プロセスを適用する候補となるリソース。	除外
[Scheduled (スケジュール済み)]	営業時間を強制するようにタグ付けされたリソース。	なし
[Declined (拒否)]	オーナー (または他の承認者) が営業時間の適用を希望しなかったリソース (変更要求を拒否)。	除外
[Failed (失敗)]	営業時間の適用に失敗したリソース。	除外

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タブ	[Description (説明)]	選択した推奨事項に対して実行可能なアクション
[Report-only (レポートのみ)]	Report-only ポリシーに一致するリソース。	除外
[Excluded (除外済み)]	営業時間の対象として考慮されないように構成されたリソース。 **重要:** Unused resources ジョブによってマシンの電源がオフになると、そのマシンは営業時間の除外リソースリストに追加されます。このプロセスにより、リソースが Business hours ポリシーに一致するため、将来再び開始されないことが保証されます。[営業時間除外 済み] タブの除外理由は、リソースが未使用のリソースであることを示しています。	除外から削除

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列

列	説明
構成アイテム	リソースの一意の識別子。
予測される月次節減額	営業時間の推奨事項が適用された場合の予測削減額。
プロバイダー	リソースをホストするプロバイダー。
サービスカテゴリ	インスタンスのすべてのサービスカテゴリを名前順にソートして一覧表示します。
クラウドサービス	名前でソートされたすべてのクラウドカテゴリをリストします。
ポリシー	リソースが一致する営業時間ポリシー。
ポリシータイプ	リソースが一致する営業時間ポリシーのタイプ。
変更要求	推奨事項に関連付けられている変更要求。
変更グループ	リソースの変更グループ。
アカウント	リソースを含むサービスアカウント。サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの関連するリージョンのグループを表します。
地域	プロバイダーに適した場合は、リソースをホストするサービスアカウント内のリージョン。
オーナー	リソースの所有者。
失敗タイプ	この列は [失敗] タブにのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[新規]、[スケジュール済み]、[拒否]、[失敗]、および [レポートのみの推奨事項] タブの列 (続く)

列	説明
	変更要求が生成されなかった、または指定された営業時間がリソースに適用されなかった理由。
詳細	この列は [失敗] タブにのみ表示されます。 失敗タイプの詳細と、失敗を解決するために実行する必要があるアクション。

営業時間オペレーションの構成

営業時間機能を使用するか無効にするかを選択し、ユーザーまたはグループへの通知をトリガーする営業時間外の消費量を指定できます。不要なリソースの使用を制御することで、コストを削減できます。

始める前に

少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。

必要なロール:所有サービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

手順

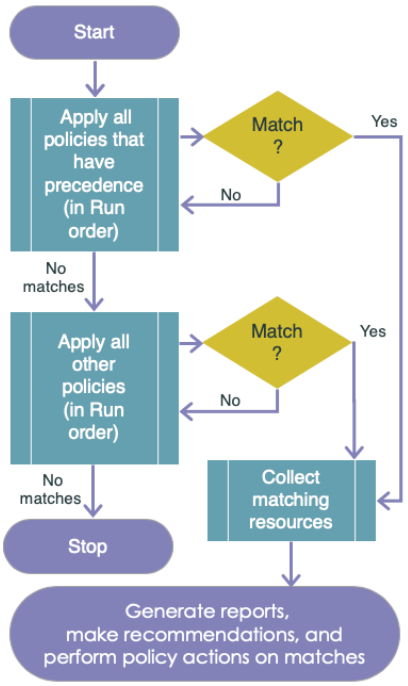
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 営業時間.
2. [設定 **(Settings)]** を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

営業時間設定

フィールド	説明
営業時間の有効化	Business hours 機能を有効にするオプション。データが利用可能になると、すべてのアクティブなポリシーが適用されます。 Business hours 機能を無効にするには、チェックボックスをオフにします。ポリシーの アクティブ 設定に関係なく、ポリシーは適用されません。 **注:** Business hours 機能を無効にすると、ポリシーによって適用されたすべてのスケジュールが非アクティブ化され、リソースは元のスケジュールに戻ります。
優先順位	ポリシーが適用されるときに優先されるロール。次のいずれかを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	◦ [Admin Policies (アドミンポリシー)] ◦ [Owner Policies (オーナーポリシー)] 優先順位によって、ポリシーのバッチが適用される順序が決まります。各バッチは、ポリシーを作成したユーザーのロール (insights_admin または insights_owner) に基づいています。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。 デフォルト: 管理ポリシー (insights_admin ロールを持つユーザーによって作成されたポリシーのセット) 
詳細	ポリシーに一致する CI すべてに適用される単一の変更要求を生成するオプション (デフォルト設定)、または各 CI に対して個別の変更要求を生成するオプション。 変更要求テンプレートの一部の属性には、変更できない静的な値/定数値があります。一部の属性 (たとえば、risk や work_notes) には、スクリプトインクルードを使用して設定できる動的な値があります。
自動承認 (標準的な変更)	
単一の変更の要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムが生成できるようにするオプション。
スクリプトインクルード	このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	CLINBHStandardChangeRequestUtil 変更グループは Standard Change (標準的な変更) テンプレートから派生しており、上書きすることはできません。
手動承認 (通常の変更)	
単一の変更の要求	ポリシーに一致するすべての CI に適用される単一の変更要求をシステムが生成できるようにするオプション。
スクリプトインクルード	 このフィールドは、[詳細] チェックボックスが選択されている場合にのみ表示されます。 CLINBHNormalChangeRequestUtil
営業時間外の消費量が合計消費量の (%) を超えたときに通知	 営業時間中のリソースの全体的なクラウド支出の割合で、指定したユーザーまたはグループに電子メール通知をトリガーするもの。 デフォルト：15 この値は、すべての Business hours 推奨事項を適用した場合に節減できる金額を使用して計算されますデフォルト値 15 は、営業時間外のコストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
未アサインリソースが合計 CI 数の (%) を超えた場合に通知する	指定したユーザーまたはグループのメール通知をトリガーする、営業時間外の使用に対するクラウド全体の消費量の割合。 デフォルト値の **15** は、営業時間外の運用コストが総コストの 15% を超える場合にのみ通知が送信されることを意味します。
Notify users / Notify groups (ユーザーに通知する/グループに通知する)	営業時間外の消費量がクラウド全体の消費量に占める指定の割合を超えたときにメールで通知するユーザーまたはグループ。 ユーザーまたはグループを指定しない場合、通知は送信されません。
変更あたりの最大 CI	このフィールドは、[手動承認 (通常の変更)] セクションで [単一の変更要求] チェックボックスがオンになっている場合にのみ表示されます。 単一の変更要求に関連付けるリソースの最大数。最大値に達した場合、システムは新しい変更要求を生成します。 デフォルト値：1000

4. [保存] を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

関連情報

Change Management

営業時間スケジュールを作成する

営業時間スケジュールを作成してクラウドリソースに適用し、オン/オフスケジュールを強制します。

始める前に
必要なロール: insight_admin または insight_owner

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > 営業時間スケジュール.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

スケジュール

フィールド	説明
名前	スケジュールの一意の名前です。
タイムゾーン	スケジュールのタイムゾーンです。 デフォルト値:浮動型。これは、タイムゾーンが、その時点でアイテムにアクセスしているプロセスに対して相対的であることを意味します。 スケジュールがタイムゾーンで定義されている場合、異なるタイムゾーンのユーザーには、自分のタイムゾーンが適用されたスケジュールが表示されます。
親	新しいスケジュールを制約する親スケジュール。
アプリケーション	スケジュールのアプリケーションスコープ。 デフォルト値:クラウドインサイト Core
タイプ	スケジュールの目的を説明するテキストラベル。
説明	スケジュールの説明。

4. [保存] を選択します。

営業時間ポリシーの定義または更新

営業時間ジョブは、ポリシーを適用して、電源をオフにする必要があるときに実行されているリソースを特定し、それらを報告し、指定したスケジュールで開始および停止できます。指定された営業時間内にのみ実行することで、クラウド支出を大幅に削減できます。

始める前に
必須:データセンターが関連付けられているサービスアカウントまたはプロジェクトが少なくとも 1 つあるクラウドアカウント (親アカウント)。

請求処理ダウンロードジョブを定義する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール:所有サービスアカウントの insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

重要: サービスアカウントとリソースの条件セクションの全条件が満たされている場合、リソースはポリシーと一致します。

- 営業時間ポリシーを作成または更新するには、 クラウドインサイト アプリケーションスコープのいずれかを選択する必要があります。
- 必要な数のポリシーを作成できます。
- 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
- 営業時間ポリシーを非アクティブ化すると、ポリシー基準を満たしたリソースが別のポリシー (実行順序が最も低い一致するポリシー) に一致するため、別のスケジュールに移動される可能性があります。この場合、システムは新しい変更要求を生成します。リソースがポリシーを満たさなくなった場合、システムは指定された 電源オンフロー 設定を使用してリソースの電源オンを試みます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 推奨事項 > 営業時間.
2. [ポリシー] を選択します。
   ポリシーが作成または更新され、名前や説明以外の変更が行われると、タブに通知が表示されます。[ポリシーの適用] を選択して、更新されたポリシーを適用し、報告されたデータを再計算します。
3. [新規]/[編集] を選択してポリシーを作成します。
   [営業時間ポリシー] リストからポリシー名を選択して、既存のポリシーを編集できます。
4. フォームのフィールドに入力します。

[営業時間ポリシーの作成] フォーム

フィールド	値
編集する営業時間ポリシーを選択	編集する営業時間ポリシー。
アクティブ	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、請求処理データが更新されるたびに営業時間分析が有効になります。
ポリシー名	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。
Description (説明)	ポリシーの簡潔な説明。
[Run order (実行順序)]	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、ポリシーを低い実行順序から高い実行順序で適用し、一致する最初のポリシーに対してアクションを実行します。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	重要: システムは、指定した優先順位でポリシーの 2 つのバッチ (管理者が作成したポリシーと Insights 所有者が作成したポリシー) を適用します。「営業時間オペレーションの構成」の「優先順位」設定を参照してください。 未アサインリソースポリシーと営業時間ポリシーの実行順序値は、互いに干渉しません。
プロバイダー	ポリシー適用対象のクラウドプロバイダー。 **注:** 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
[Service category (サービスカテゴリ)]	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
[Service accounts (サービスアカウント)]	サービスアカウント。ポリシーの適用先。 Google Cloud の場合のみ、このフィールドは「プロジェクト」と呼ばれます。
[Tag Values Condition (タグ値条件)]	
タグ名	**[Add** (追加)]を選択して追加できるタグ名のリスト。
タグ値	新しい行のタグ値のリスト。
承認タイプ	ポリシーに一致する各リソースに対して実行するアクション。営業時間の操作は、ServiceNow 変更管理 機能と直接統合されています。 自動承認 (標準的な変更)： ◦ 指定された営業時間を適用し、リソースを営業時間レポートに追加するための推奨事項を生成してください。 ◦ 変更グループの変更要求を生成し、自動承認します。 ◦ Business hours レポートにリソースを追加します。 ◦ Business hours スケジュールをリソースに適用します。 手動承認 (通常の変更)： ◦ 指定された営業時間を適用し、リソースを Business hours レポートに追加するための推奨事項を生成します。 ◦ 変更グループのメンバーへの変更要求を生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	値
	◦ Business hours レポートにリソースを追加します。 ◦ sn_change_write ロールを持つグループのメンバーであれば誰でも変更要求を承認できます。 ◦ 承認された場合、Business hours スケジュールをリソースに適用します。 [Report-only (レポートのみ)]： ◦ 指定された営業時間を適用するための推奨事項を生成します。 ◦ Business hours レポートにリソースを追加します。
営業時間スケジュール	リソースの電源をオンにする曜日と時刻を指定するスケジュール。 リストからスケジュールを選択するか、次の場所に移動してスケジュールを定義します

5. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

- 作成されたポリシーが [営業時間ポリシー **(Business Hours Policies**)] タブに表示されます。
- ディスカバリーと請求処理ダウンロードジョブの実行が終了すると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、そのリソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク

ポリシーを作成または更新した後、**[Apply policies** (ポリシーの適用)] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。このアクションでは、ポリシーを適用するのに十分な AWS、Azure、または Google の最近の請求処理データが存在しない場合にも通知されます。

関連情報

営業時間

Change Management

標準的な変更カタログ

変更要求テンプレートの作成

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

クラウド予算の管理

クラウドインサイトワークスペースの予算ビューを使用して、クラウド支出を管理するためのカスタム予算計画を定義および監視します。

予算ポリシーの作成または更新

予算ポリシーを作成して、予算金額、原価費目、リセット期間、および予算のその他の要素を指定します。さらに、予算データを表示できるユーザーと、予算額との差異を通知するユーザーを指定します

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連付けられているデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- Billing Download ジョブを定義する必要があります。

> **注:** Microsoft Azureについては、予算計画を定義する前に、まず請求処理ダウンロードジョブを実行する必要があります。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
予算ポリシーを作成または更新するには、 クラウドインサイト アプリケーションスコープの 1 つを選択する必要があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > 予算.
2. **[Create budget** (予算を作成)] を選択します。
3. [予算ポリシーの作成] フォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「予算ポリシー作成フィールドのリスト」を参照して ください。
4. [送信] を選択します。

タスクの結果
予算ポリシーの作成または変更を行うと、そのポリシーは予算ビューの 全予算ページに表示されます。予算超過、余剰、無効な予算などの予算の詳細を検索してください。**[Show overrun budget only** (超過予算のみを表示)] 切り替えボタンを切り替えることで、超過予算のみを表示することができます。予算を名前、オーナー、またはプロバイダーで検索します

insights_owner へのサービスアカウントのアサイン

1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。insights_owner はジョブとポリシーを定義でき、保有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に
サービスアカウントをアサインする前に、現在のinsights_ownerとその所有アカウントのリストを表示することをお勧めします。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。

必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
insights_ownerロールは、 クラウドインサイト アクティビティの責任を、サービスアカウントの運用に関する十分な知識を持つユーザーに分散します。insights_owner ロールの詳細については、「クラウドインサイト ロール」を参照してください。

サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報とアクセス情報を保持するインスタンスの安全なレコードです。 ディスカバリー はこの情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得します。

> **ヒント:** サービスアカウントをユーザーにアサインすると、そのユーザーにはinsights_ownerロールが自動的に付与されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > アカウントから所有者へのマッピング.
2. [現在所有者がいないアカウントを割り当てる] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
[Insights Owner (インサイトオーナー)]	サービスアカウントの割り当てが必要なユーザー。
[Service accounts (サービスアカウント)]	insight_owner に割り当てるサービスアカウント。
[Change template (変更テンプレート)]	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは Standard Change (標準的な変更) を使用して、タスクが自動承認されるように、insights_owner に変更を通知します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、 サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [所有者] フィールドに入力する方法を指定します。

オプション	説明
オーナー無しの CI に限って insights_owners をアサイン	新しく作成された CI および *Owner* プロパティの値がないサービスアカウントの CI には、新しいinsights_ownerをアサインします。 注: 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [所有者] フィールドを、関連するサービスアカウントの [所有者] 設定に設定します。
全 CI に insights_owners をアサイン	指定されたサービスアカウントのすべての CI の *Owner* プロパティに対して、新しい insights_ownerをアサインします。 注: 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [所有者] フィールドを、関連するサービスアカウントの [所有者] 設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI には変更を加えません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_owner ロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_admin ロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しい insight_owner は、影響を受けるサービスアカウントに新規ポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウントオーナーは、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含む、Rightsizing ジョブと Unused Machines ジョブのオーナーシップを取得します。

5. オプション: 配送先住所や特別な指示などの詳細を要求に追加します。
6. [送信] を選択します。

insights_owner権限の更新または再割り当て

1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。insights_owner はジョブとポリシーを定義でき、保有しているサービスアカウントのデータを表示できます。

始める前に

サービスアカウントをアサインする前に、現在のinsights_ownerとその所有アカウントのリストを表示することをお勧めします。詳細については、「insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する」を参照してください。

必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > アカウントから所有者へのマッピング.
2. [1 つ以上のアカウントの所有者を変更する] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

サービスアカウントの所有権を設定または更新します

フィールド	説明
元の Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の移転元の所有者。
新しい Insights 所有者	サービスアカウントの所有権の譲渡先のユーザー。
サービスアカウント	insights_ownerにアサインするサービスアカウント。
変更テンプレート	このタスクの変更要求を作成するために使用する変更テンプレート。 システムは Standard Change (標準的な変更) を使用して、タスクが自動承認されるように、insights_owner に変更を通知します。リストに変更要求テンプレートが表示されない場合は、 サービスカタログ > 標準的な変更 をクリックしてテンプレートを作成します。

4. サービスアカウントの CI の [所有者] フィールドに入力する方法を指定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
オーナー無しの CI に限って insights_owners をアサイン	新しく作成された CI および *Owner* プロパティの値がないサービスアカウントの CI には、新しいinsights_ownerをアサインします。 **注:** 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [所有者] フィールドを、関連するサービスアカウントの [所有者] 設定に設定します。
全 CI に insights_owners をアサイン	指定されたサービスアカウントのすべての CI の *Owner* プロパティに対して、新しい insights_ownerをアサインします。 **注:** 日次スケジュール済みジョブは、新しく検出された各 CI の [所有者] フィールドを、関連するサービスアカウントの [所有者] 設定に設定します。
CI は更新しないでください	指定されたサービスアカウントの CI には変更を加えません。

- 影響を受けるサービスアカウントは、insights_owner ロールで作成されたポリシーから削除されます。影響を受けるサービスアカウントは、insights_admin ロールで作成されたポリシーから削除されません。
- 新しい insight_owner は、影響を受けるサービスアカウントに新規ポリシーを作成して管理する必要があります。
- 新しいアカウントオーナーは、転送されたすべてのサービスアカウントのリソースを含む、Rightsizing ジョブと Unused Machines ジョブのオーナーシップを取得します。

5. オプション: 新しい所有者にポリシーを転送するかどうかを指定します。
この設定は、選択したサービスアカウントが現在別のinsights_ownerによって所有されている場合に適用されます。ポリシーを転送すると、新しいinsights_ownerは指定されたサービスアカウントに関連付けられているポリシーを所有 (表示、更新、または削除) できるようになります。

重要: insights_adminロールを持つユーザーが所有するポリシーは変更されません。

オプション	説明
はい	次のプロセスが実行されます。 **a.** インスタンスは、 Insights 所有者が所有する影響を受けるすべてのポリシーのクローンを作成します。 **b.** インスタンスは、影響を受ける各ポリシーから適切な サービスアカウント を削除し、アカウントを新しいクローンポリシーに移動します。各クローンポリシーには、影響を受ける サービスアカウントのみが含まれています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
	▪ サービスアカウント元のポリシーに残っている場合、元の所有者が元のポリシーの所有権を保持します。 ▪ 影響を受けるすべてのアカウントが削除された後に元のポリシーに サービスアカウント がない場合、クローンは使用されません。代わりに、新しい insights_owner が元のポリシーの所有者になります。 **c.** インスタンスは、新しいポリシーの所有権を新しい insights_ownerに割り当てます。 **d.** インスタンスは、元のオーナーと新しいオーナーの両方にメール通知を送信します。
いいえ	◦ インスタンスは、Insights 所有者が所有するすべてのポリシーから影響を受けるサービスアカウントを削除します。ポリシーに サービスアカウント が残っていない場合、ポリシーは [無効] ステータスに設定されます。 ◦ 新しい insights_owner は、影響を受けるサービスアカウントの新しいポリシーを作成および管理する必要があります。

6. [送信] を選択します。

insight_owner が所有するサービスアカウントを表示する

insight_owner ロールを持つユーザーと各オーナーが所有するサービスアカウントのリストを表示します。

始める前に
必要なロール:sn_clin_core.insights_admin または sn_clin_core.insights_owner

このタスクについて
サービスアカウントは、プロバイダーアカウントの認証情報とアクセス情報を保持するインスタンスの安全なレコードです。 ディスカバリー はこの情報を使用してプロバイダーアカウントにアクセスし、指定された各データセンター内の各リソースのデータを取得します。

手順
1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > **Insights** 所有者を表示.

2. ユーザーの名前を選択すると、所有しているサービスアカウントの詳細が表示されます。

すべての クラウドインサイト レポートからのリソースの除外

特定のリソースのコストデータがレポートに表示されないようにするには、そのリソースを [除外されたリソース] リストに追加して除外します。

始める前に
少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連するデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

このタスクについて

- レポートからリソースを除外すると、そのリソースはレポートに表示されません。この設定は、リソースのデータの分析には影響しません。
- [除外されたリソース] リストからいつでもリソースを削除できます。
- insights_ownerは、所有しているサービスアカウントでのみ、リソースを除外し、[除外されたリソース] リストからリソースを削除できます。
- 生産リソースは、除外できるリソースの例です。生産リソースは常に有効である必要があるため、たとえば、営業時間レポートから生産リソースを除外することができます。
- 単一のレポートタイプまたはすべてのレポートからリソースを除外できます。リソースを選択し、[除外] を選択すると、現在のレポートからリソースを除外できます。除外したリソースは、レポートの [除外されたリソース] リストに追加されます。

手順

1. 移動先 クラウドコスト管理ワークスペース > オペレーション > 管理 > グローバルな除外.
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

除外されたリソース

フィールド	値
リソース	除外するリソース。仮想マシンのリソースのみがリストに表示されます。
説明	リソースを除外する理由。

4. [保存] を選択します。

タスクの結果
リソースはすべてのレポートから除外されます。レコードを送信した後、そのレコードを開いて、リソースを除外するレポートを更新できます。

[除外されたリソース] リストからのリソースの削除

[除外されたリソース] リストからリソースを削除できます。

始める前に
必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて
[除外されたリソース] リストからリソースを削除すると、そのリソースは適切なレポートに表示されます。

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management** (クラウドコスト管理) > オペレーション > 管理 > グローバルな除外.
2. 削除するリソースを選択します。
3. [選択した行のアクション] リストで、 [削除] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タグカテゴリの作成と更新

タグカテゴリを作成して、単一のビジネスエンティティに対するコストを表す複数のタグ名を有効にします。たとえば、複数のユーザーが個別に「App」、「AppService」、および「appl」というタグ名を作成してアプリケーションを示している場合があります。タグ カテゴリが "Application" の場合、App、AppService、または appl のタグが付けられたアイテムのコストは、アプリケーションに対するコストとして正しく割り当てられます。

始める前に

必要なロール: insights_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

この手順では、ユーザーインターフェイスから実行するプロセスについて説明します。または、処理を高速化するために、影響を受けるテーブルを直接編集することもできます。

- タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]
- タグ名 - カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]

注: 請求処理ダウンロードジョブが正常に実行されるたびに、タグ付けされたコストが更新されます。タグカテゴリ定義に加えた最近の更新は、コストレポートのトンを反映していない可能性があります。請求処理ダウンロードジョブを実行せずに最新のタグカテゴリ定義をコストデータに適用するには、次の場所に移動して [カテゴリを再適用] を選択します。 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ.

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > コスト使用タグ > タグカテゴリ.
2. [タグ カテゴリ] リストで、[新規] を選択します。
   デフォルトのタグカテゴリのリストについては、「デフォルトのタグカテゴリのリスト」を参照してください。

   注: このステップでは、カテゴリにタグ名を 1 つ追加して、最初のカテゴリレコードを作成します。後でカテゴリに任意の数のタグ名を追加できます。

3. フォームのフィールドに入力します。

[タグカテゴリ] フォーム

フィールド	説明
名前	カテゴリの一意でわかりやすい 名前 。
アクティブ	支出レポートの タグカテゴリ フィルターリストにカテゴリを追加するオプション。
グループ化を有効にする	支出レポートの [グループ] 選択肢のリストにこのカテゴリの *category:value* オプションを追加するオプション。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	注: [グループ] リストに表示するには、カテゴリをアクティブにする必要があります。
タグ名	カテゴリに追加できるタグ名のリスト。 a. ルックアップアイコン を選択して、最新の 請求処理ダウンロードジョブに付属しているタグ名のリストを開きます。すべてのタグ名が [タグ名] リストに表示されます。 b. ドロップダウンリストからタグ名を選択します。

4. [保存] を選択してカテゴリを作成します。
   新しいカテゴリが [タグカテゴリ] リストに表示されます。
5. [タグカテゴリ] リストで、追加したカテゴリを選択します。
   [タグカテゴリ] フォームが再度開き、追加したタグ名が [タグ名] リストに表示されます。
6. オプション: [タグ名] リストで、ルックアップアイコン ルック を選択して、複数のタグ名を追加します。

関連情報

タグとタグカテゴリ

AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新

新しい AI サービスまたは既存の AI サービス内のカテゴリが Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、または Google Cloud Platform (GCP)に導入されるたびに、タグ名を対応するタグ値に関連付けます。

始める前に
必要なロール: insight_admin [sn_clin_core.insights_admin]

このタスクについて
重要: この機能は、 クラウドインサイト 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > コスト使用タグ.
2. [タグカテゴリ] を選択します。
3. [タグカテゴリ] ページで、 **AI** サービス タグカテゴリを選択します。
4. [AI サービス] ページで、 [タグ名の値] タブを選択します。
5. [タグ値の追加/更新] を選択します。
6. [**AI** サービスタグ値の追加/更新 **(Add/Update AI Service tag values**)] ダイアログボックスで、[作成 **(Create**)] タブを選択します。
7. サービスプロバイダーのタグ名を選択し、タグ値を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- AWS、AWS AI サービス タグ名**sn_ccm_aws_ai_service**に対してタグ値として lineItem/ProductCode を追加します。
- Azure、Azure AI サービスタグ名**sn_ccm_azure_ai_service**に対して、メーターカテゴリ名をタグ値として追加します。
- GCP、GCP AI サービスタグ名**sn_ccm_gcp_ai_service**に対してタグ値としてサービスの説明名を追加します。

8. **[Submit** (送信)] を選択します。
9. オプション: 作成した AI サービスのタグ値を更新する場合は、 [タグ値の追加/更新] を選択します。

   注: AI サービスを管理するためのデフォルトのクラウドカテゴリのタグ値は更新できません。Machine Learning サービス カテゴリ内の AI サービスを管理するための既定のクラウドカテゴリを表示するには、「 AI サービスのデフォルトのクラウドカテゴリのリスト」を参照してください。

   a. [更新] タブを選択します。

   b. プロバイダータグ名を選択します。
   たとえば、 **sn_ccm_aws_ai_service**を選択します。

   c. 更新するタグ値を選択します。
   たとえば、[**Amazon Test**] を選択します。

   d. 新しいタグ値を指定します。
   たとえば、既存のタグ値を **Amazon Test 2** に変更します。

   e. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果
タグ名が対応するタグ値に関連付けられると、[支出分析] ページで追加した AI サービスの支出データを表示できます。詳細については、「支出分析」を参照してください。

次のタスク
AI サービスタグカテゴリのタグ値を追加した後、請求処理データを再インポートして、追加されたタグの消費量を生成する必要があります。

関連情報

- タグとタグカテゴリ
- タグカテゴリの作成と更新
- AWS請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
- Azure請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理
- Google Cloud請求処理データをダウンロードするジョブのスケジュールと管理

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新

さまざまな割り当てタイプで共有コスト割り当てポリシーを作成し、共有クラウドリソースのコストをさまざまな事業部門間で分割します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に

- 少なくとも 1 つのサービスアカウントと関連付けられているデータセンターを持つクラウドアカウント (親アカウント) が必要です。
- 請求処理ダウンロードジョブを作成し、請求処理データをプルする必要があります。
- Kubernetesについては、請求処理ダウンロードジョブを実行する前に、各Kubernetesクラスターのプロバイダーコンソールでコスト割り当てタグを有効にする必要があります。

必要なロール：insights_admin [sn_clin_core.insights_admin] または所有するサービスアカウントのための insights_owner [sn_clin_core.insights_owner]。

このタスクについて

- 共有コスト割り当てポリシーを作成または更新するには、 クラウドインサイト アプリケーションスコープのいずれかを選択する必要があります。
- 必要な数のポリシーを作成できます。
- [サービス Kubernetes カテゴリ] として [サービス] が選択されている場合、ポリシーの編集中に [サービスカテゴリ]、[リソースタイプ]、 Kubernetes [クラスター] フィールドを編集することはできません。
- 共有コスト割り当てポリシーを非アクティブ化すると、割り当ては最新のポリシー一致で更新されます。

手順

1. 移動先 ワークスペース > **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > 管理.
2. **[Shared cost allocation policies** (共有コスト割り当てポリシー)] を選択します。
3. **[New/Edit** (新規/編集)] を選択します。
4. 「共有コスト割り当てポリシー作成」フォームで、各フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト」を参照してください。
5. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

共有コスト割り当てポリシーを作成または変更すると、そのポリシーが [共有コスト割り当てポリシー] ページに表示されます。名前、割り当てタイプ、事業部門、クラウドサービスなどのポリシーの詳細を確認します。

Discovery (ディスカバリー) および Billing Download のジョブを実行し終わると、システムはアクティブなポリシーを適用して一致するリソースを識別し、リソースに対してポリシーアクションを実行します。

次のタスク

共有コスト割り当てポリシーの作成または更新をした後、**[Reapply policies** (ポリシーの再適用)] を選択して、作成したポリシーをリソースに適用します。

メトリックベースデータと支出データの比較

メトリックベース (Clotho) データを Amazon Web サービス (AWS)、Microsoft Azure、Google Cloud Platform (GCP) の支出データと比較して、クラウドインサイトの請求の問題を診断してトラブルシューティングします。

始める前に

必要なロール:クラウドインサイト アドミン [sn_clin_core.insights_admin]

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

メトリックベース [com.snc.clotho] プラグインを要求します。詳細については、「メトリックベース 製品の要求」を参照してください。

クラウドプロバイダーの請求処理 ダウンロード ジョブが正常に完了したことを確認します。

このタスクについて

重要: この機能は、 クラウドインサイト 8.0.0 バージョン以降で使用できます。

手順

1. 移動先 **Cloud Cost Management Workspace** (クラウドコスト管理ワークスペース) > オペレーション > ツール.
2. [メトリックベースを支出データと比較する] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

メトリックベースを支出データフォームと比較

Field (フィールド)	説明
プロバイダー	メトリックベース (Clotho) データと支出データを比較するクラウドプロバイダー。 ◦ AWS ◦ Azure ◦ GCP
原価費目	プロバイダーとの契約上の支払い合意。 ◦ 実績: 請求期間ごとに、組織は直接クラウドサービスの料金を支払います。 ◦ 償却済み: 組織は、請求期間全体に分散された前払い料金と毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目は、プロバイダーのサイトで詳細に説明されています。
請求月	選択したプロバイダーに基づく請求処理データを利用できる月。 このフィールドには、請求処理データが利用可能な月のみが入力されます。

4. **[Submit** (送信)] を選択します。

タスクの結果

一意の番号を持つ要求が作成され、比較データがリストされた CSV ファイルが要求アイテムに添付されます。CSV ファイルを生成するプロセスはバックグラウンドで実行され、処理が完了するとファイルが要求アイテムに添付されます。

エラーがある場合、この要求アイテムの [作業メモ] フィールドが更新され、CSV ファイルは生成クラウドインサイト 。

次のタスク

[要求アイテム] タブを選択し、要求アイテム番号を選択して CSV ファイルに移動します。[添付ファイル] セクションに、CSV ファイルがあります。このファイルをダウンロードして、両方のソースからのコスト値の不一致を分析します。要件に応じてデータをフィルタリングすることもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

クラウドインサイトの参照情報

参照トピックは、クラウドインサイト を構成および管理するために使用しているリストとフォームの追加情報を提供しています。

ドメインセパレーションと クラウドインサイト

クラウドインサイト ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

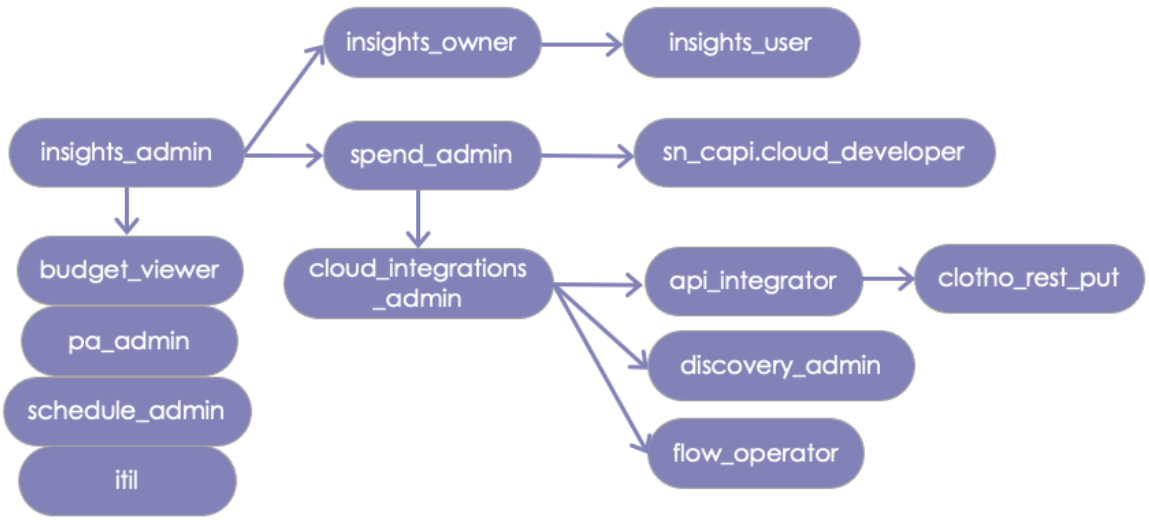
サービスプロバイダーのドメインセパレーション

クラウドインサイト ロール

ユーザーのアクティビティと責任に基づいて、ユーザーグループと個々のユーザーに クラウドインサイト ロールをアサインします。

重要: この情報は、 クラウドインサイト アプリと クラウドインサイト請求 アプリの両方に適用されます。クラウドインサイトへのすべての言及は、クラウドインサイト請求にも適用されます。

のロール関係 クラウドインサイト



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

プライマリロール

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
クラウドインサイトアドミン [sn_clin_core.insights_admin]	ロールは クラウドインサイト Core プラグインにあります。通常、このロールは財務責任者にアサインします。 • 1 つ以上のサービスアカウントのオーナーシップと、関連する CI (オプション) を、insights_owner ロールを持つユーザーにアサインします。 • Business hours と Unused resources のポリシーを定義します。 • 予算計画を定義し、表示させます。 • 支出最適化レポートを閲覧します。 • レポート拡張を追加します。 • クラウドインサイト が推奨するアクションを実行します。	• insights_owner • spend_admin • cloud_integrations_admin • budget_viewer • [pa_admin] • [schedule_admin] • [itil]
クラウドインサイト所有者 [sn_clin_core.insights_owner]	ロールは クラウドインサイト Core プラグインにあります。ロールは クラウドインサイト アプリケーションのみにまたがります。 • ジョブとポリシーを定義します。 • 所有しているサービスアカウントのデータを表示します。 詳細については、「insights_owner へのサービスアカウントのアサイン」を参照してください。	insights_user
Cloud Insights (クラウドインサイト) ユーザー [sn_clin_core.insights_user]	ロールは クラウドインサイト Core プラグインにあります。ロールは クラウドインサイト アプリケーションのみにまたがります。 クラウドコスト管理ワークスペースホームページを表示します。	- なし -

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

セカンダリロール

このセクションのロールは、 insights_admin ロールに含まれています。これらのロールにより、プラットフォーム (パフォーマンスアナリティクス、メトリックベース/Clotho) と統合して クラウドインサイト フローを実行できます。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
クラウド支出アドミン [sn_cld_spend_core.spend_admin]	ロールは Cloud Spend Reports Core プラグインにあります。 クラウド請求ダッシュボードを編集します。	• cloud_integrations_admin • [sn_capi.cloud_developer]
クラウド統合アドミン [sn_cld_intg_core.cloud_integrations_admin]	ロールは Cloud Integrations Core プラグインにあります。 請求処理ダウンロードジョブと価格シートのダウンロードジョブを構成します。	• [api_integrator] • [discovery_admin] • [flow_operator]
API インテグレーター [sn_cld_intg_core.api_integrator]	ロールは Cloud Integrations Core プラグインにあります。 クラウド統合、クラウド統合AWSアプリケーション、およびクラウド統合 Azure アプリケーションに関連する REST エンドポイントにアクセスするためにMID サーバーによって使用されます。	[clotho_rest_put]
クラウド予算閲覧者 [sn_clin_core.budget_viewer]	ロールは クラウドインサイト Core プラグインにあります。ロールは クラウドインサイト アプリケーショ	- なし -

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ロールタイトル [名前]	権限	含んでいるロール
	ンのみにまたがります。 予算予測レポートとポリシーを表示します。	
PA 管理者 [pa_admin]	「Performance Analytics のロール」を参照してください。	- なし -
Clotho Put [clotho_rest_put]	請求処理データをインスタンスに送信し、そのデータをメトリックベース/Clotho に保存するために MID サーバーによって使用されるロール。	- なし -

関連情報

- グループへのロールのアサイン
- ユーザーへのロールのアサイン

クラウドインサイト とともにインストールされるコンポーネント

いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、ユーザーロール、スケジュール済みジョブなど) が、クラウドインサイトのアクティブ化とともにインストールされます。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
価格シートテーブルクリーナー	AWS価格シートレコードをクリーンアップします。
リソースグループテーブルクリーナー	不要になった Azure リソースグループレコードをクリーンアップします。
CCM クリーンアップの非アクティブな集計支出レコード	非アクティブな集計支出レコードをクリーンアップします。
クラウドインサイト履歴データ収集	GCP支出データを収集します。
クラウドインサイトの日次データ収集の節約	支出の潜在的な節減と実現された節減を収集します。
クラウドインサイトの支出削減データコレクション	クラウド支出の見込み節減率を収集します。
タスクの実行	請求処理ダウンロードに関連付けられたタスク AWS 実行します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

スケジュール済みジョブ	説明
Flow Launcher と Hierarchical Flow Launcher Keep Alive	古いフロージョブをキャンセルします。
GCP 価格シートテーブルクリーナー	価格シートテーブル GCP クリーンアップします
タグカテゴリベースの推奨事項	タグカテゴリベースの推奨事項を生成します。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
CI 配置拡張の進行状況の計算 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_extension_progress_calculation]	AWSの構成アイテム配置の進捗状況。AWS拡張によって処理されるレコードの数が含まれています。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_stats]	AWSの構成アイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
AWS CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_aws_ci_placement_type]	クラウドインサイト for AWS によって展開されるすべてのタイプの構成アイテム。
AWS のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_aws_cost_usage]	AWSのコストと請求処理データ。
コスト使用ブックマーク [sn_cld_intg_aws_cost_usage_bookmarks]	取り込まれた クラウドインサイト 配置レコードに対して作成されたタイムスタンプブックマーク。
CloudWatch メトリクスの関連付け [sn_cld_intg_aws_cw_metric_association]	ユーザーによって作成されたカスタムメトリクス。
AWS CloudWatch メトリクス定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition]	さまざまな AWS CloudWatch メトリクスの定義。
アカウントに対する CloudWatch メトリクス定義 [sn_cld_intg_aws_cw_metric_definition_account_m2m]	メトリクスからサービスアカウントのマッピング情報。
EC2 バースト可能インスタンスの AWS ベースラインパフォーマンス [sn_cld_intg_aws_ec2_burstable_baseline_perf]	AWS EC2 バースト可能インスタンスのベースラインパフォーマンスの割合。
AWS Gov アカウントマッピング [sn_cld_intg_aws_gov_account_mapping]	AWS Gov アカウントとリンクされたアカウントの詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
AWS インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_detail]	存在するさまざまな AWS インスタンスの詳細。
AWS インスタンス価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_instance_price_detail]	AWS インスタンスの料金とレートの詳細。
AWS オファー期間 [sn_cld_intg_aws_offer_term]	AWS 製品の設定に基づいて期間の詳細を提供します。
AWS 価格割引 [sn_cld_intg_aws_price_discount]	AWS サービスアカウントの価格割引。
AWS 価格シート情報 [sn_cld_intg_aws_price_sheet_info]	AWS の価格シートの詳細。
AWS 製品詳細ベース [sn_cld_intg_aws_product_details]	AWS のすべての製品の詳細または仕様。
AWS 製品詳細 EC2 [sn_cld_intg_aws_product_details_ec2]	AWS の EC2 製品の詳細または仕様。
AWS 製品詳細 RDS [sn_cld_intg_aws_product_details_rds]	AWS の RDS 製品の詳細または仕様。
AWS リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_aws_resource_hourly_usage_last_downloaded]	AWS リソースの時間ごとの使用状況ダウンロードステータス。
AWS リソースレート [sn_cld_intg_aws_resource_rate]	AWS 製品 SKU のリソースレート。
AWS 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_aws_schedule]	AWS の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
AWS Storage の価格の詳細 [sn_cld_intg_aws_storage_price_detail]	AWS のストレージ価格シート情報。
Azure CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_azure_ci_placement_type]	クラウドインサイト for Azure によって展開されたすべてのタイプの構成アイテムを定義します。
Azure のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_azure_cost_usage]	Azure のコストと請求処理データ。
Azure Database 価格シート [sn_cld_intg_azure_db_price_sheet]	Azure データベースの価格シートの詳細。
Azure Database の小売価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_db_retail_price]	Azure データベースの小売価格情報。
サービスアカウントマッピングへの Azure 登録 [sn_cld_intg_azure_ea_sa_mapping]	登録アカウントの情報を、 クラウドインサイト が使用するサービスアカウントにマッピングします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Azure インスタンスの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_detail]	存在するさまざまな Azure インスタンスの詳細。
Azure インスタンスの価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_price_detail]	Azure インスタンスの価格とレートの詳細。
Azure インスタンスシリーズからファミリへのマッピング [sn_cld_intg_azure_instance_series_family_mapping]	Azure のインスタンスファミリからインスタンスシリーズへのマッピング情報。
Azure インスタンスサイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_instance_size_detail]	さまざまな Azure インスタンスのサイズとその機能の詳細。
Azure 正規化リージョン [sn_cld_intg_azure_normalized_region]	リソースの場所から一般的な正規化された場所へのマッピング情報。
Azure 価格シートバージョン [sn_cld_intg_azure_price_sheet_version]	Azure の価格シートのステータスとバージョン。
Azure 製品詳細 [sn_cld_intg_azure_product_details]	Azure のすべての製品の詳細または仕様。
Azure 製品詳細 VM [sn_cld_intg_azure_product_details_vm]	Azure の仮想マシン製品の詳細または仕様。
Azure 製品オファリング VM [sn_cld_intg_azure_product_offering_vm]	Azure Virtual Machine サービスの期間の詳細を提供します。
Azure 製品詳細インスタンスタイプマップ [sn_cld_intg_azure_prod_dtls_inst_type_map]	Azure のさまざまなインスタンスタイプの製品詳細。
Azure Advisor サブスクリプション キュー [sn_cld_intg_azure_recommendation_subscription_queue]	Azure のプロバイダーベースの推奨事項について、生成、生成ステータスの取得、および推奨事項の一覧表示フローランチャージョブの状況を保存します。
Azure リソースの時間ごとの最終ダウンロード使用率 [sn_cld_intg_azure_resource_hourly_usage_last_downloaded]	Azure リソースの使用状況の時間ごとのダウンロードステータス。
Azure リソースレート [sn_cld_intg_azure_resource_rate]	Azure 測定 ID のリソース料金。
Azure 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_azure_schedule]	Azure の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
Azure ソフトウェアコストの詳細 [n_cld_intg_azure_software_cost_detail]	Azure ソフトウェアの時間単価の詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
Azure Storage の価格の詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_price_detail]	Azure のストレージ価格シート情報。
Azure ストレージサイズの詳細 [sn_cld_intg_azure_storage_size_detail]	さまざまな Azure ストレージのサイズとその機能。
クラウドアクション実行 [sn_cld_intg_core_action_exec]	さまざまなクラウドアクションの実行の詳細。
クラウドエイリアス [sn_cld_intg_core_alias]	定義済みエイリアスのリスト。
クラウドエイリアスマッピング [sn_cld_intg_core_alias_mapping]	スクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。
クラウド API 要求 [sn_cld_intg_core_api_request]	プロバイダーに送信される API 要求とパラメーター。
クラウド API 要求エラー [sn_cld_intg_core_api_request_error]	失敗した要求アイテムのエラー応答。
クラウド API 要求アイテム [sn_cld_intg_core_api_request_item]	プロバイダーに送信された API 要求アイテムの詳細。
クラウド API 応答 [sn_cld_intg_core_api_response]	プロバイダーに対して行われた API 呼び出しの API 応答。
クラウド可用性ゾーン [sn_cld_intg_core_availability_zone]	さまざまなプロバイダーの可用性ゾーン。
請求レポート情報 [sn_cld_intg_core_billing_report_info]	請求処理ダウンロードジョブの請求サマリーレポート。
請求インポートの進捗状況 [sn_cld_intg_core_bill_imp_progress]	請求処理ダウンロードジョブでさまざまな拡張機能の情報をインポートします。
CI 配置統計 [sn_cld_intg_core_ci_placement_stats]	構成アイテムの配置中に作成されたブックマークのステータス。
CI 配置ステータス [sn_cld_intg_core_ci_placement_status]	実行された拡張機能の構成アイテム配置ステータス。
CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_core_ci_placement_type]	すべてのプロバイダー向けに製品によって展開されたすべてのタイプの構成アイテム。
コストタグ [sn_cld_intg_core_cost_tags]	タグカテゴリのコストハッシュへのマッピング情報。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
実行 [sn_cld_intg_core_execution]	すべてのタイプの実行中の IH フローの実行の詳細。
実行バッチ [sn_cld_intg_core_execution_batch]	フローを実行するための実行バッチ。
バッチマップに対する実行 [sn_cld_intg_core_execution_batch_map]	実行ジョブの各バッチへのマッピング情報。
実行ログ [sn_cld_intg_core_execution_log]	すべての実行のログメッセージ。
実行メトリクス [sn_cld_intg_core_execution_metric]	実行のメトリクス。
実行モニター [sn_cld_intg_core_execution_monitor]	進行中の実行のライブステータス。
拡張 [sn_cld_intg_core_ext]	利用可能なすべての拡張機能とその詳細。
拡張タイプ [sn_cld_intg_core_ext_type]	定義された拡張のタイプ。
フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_execution]	フローランチャージョブの実行の詳細。
フローランチャージョブ [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job]	フローランチャージョブとそのステータスのリスト。
フローランチャージョブ構成 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config]	フローランチャージョブの構成。
フローランチャーの作業負荷 [sn_cld_intg_core_flow_launcher_workload]	フローランチャー実行の作業負荷情報。
フローマップ [sn_cld_intg_core_flow_map]	フローワークロードへの入力パラメーターのマッピング情報。
フローリフレクション [sn_cld_intg_core_flow_reflection]	指定されたコンテキストのフローデザイナーのフローリフレクションリンク。
階層フローランチャーの実行 [sn_cld_intg_core_hierarchical_flow_launcher_execution]	階層フローランチャージョブの実行の詳細。
インポートされた日付範囲 [sn_cld_intg_core_imported_date_range]	請求処理ダウンロードの実行中にインポートされたデータの日付範囲。
インスタンスファミリ [sn_cld_intg_core_instance_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリー。
クラウドインスタンスタイプ [sn_cld_intg_core_instance_type]	さまざまなプロバイダーのインスタンスタイプと詳細。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドインスタンスタイプファミリ [sn_cld_intg_core_instance_type_family]	さまざまなプロバイダーで利用可能なインスタンスファミリタイプ。
請求品目タイプ [sn_cld_intg_core_line_item_type]	さまざまなプロバイダーの請求料金のタイプ。
関連するフロー実行 [sn_cld_intg_core_m2m_ext_exec_flow_exec]	拡張実行からフロー実行へのマッピング情報。
M2M プロファイル実行メトリクス プロファイルテーブルメトリクス [sn_cld_intg_core_m2m_profile_exec_metrics_profile_table_metrics]	プロファイル実行のプロファイルテーブルメトリクスへのマッピング情報。
パイプラインステージ拡張タイプマップ [sn_cld_intg_core_map_pp_stage_ext_type]	拡張タイプのそれぞれのステージへのマッピング情報。
クラウドオペレーティングシステム [sn_cld_intg_core_os_type]	さまざまなプロバイダーのオペレーティングシステムの詳細。
パイプライン実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec]	請求処理ダウンロードのすべてのパイプライン実行が含まれます。
実行ステージ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage]	各請求処理ダウンロードステージのすべてのパイプライン実行が含まれます。
拡張実行 [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_ext_log]	パイプライン実行ログ。
実行ステージログ [sn_cld_intg_core_pp_exec_stage_log]	各ステージのパイプライン実行ログ。
インポートステージ [sn_cld_intg_core_pp_import_stage]	請求処理ダウンロードのインポートステータスの実行の詳細。
クラウド価格シートバージョン [sn_cld_intg_core_price_sheet_version]	プロバイダーの価格シートのステータスとバージョン。
sn_cld_intg_azure_storage_ps	Azure Storage 価格シートの詳細を保存します。
クラウド製品リージョン [sn_cld_intg_core_product_region]	さまざまなプロバイダーの製品リージョンのリスト。
プロファイル実行メトリクス [sn_cld_intg_core_profile_execution_metrics]	パフォーマンスプロファイリングの実行メトリクス。
プロファイルフローランチャージョブメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_flow_launcher_job_metrics]	パフォーマンスプロファイリング用のフ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
	ローランチャーの実行メトリクス。
プロファイルフローメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_flow_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのフローメトリクス。
プロファイルテーブルのメトリクス [sn_cld_intg_core_profile_table_metrics]	パフォーマンスプロファイリングのテーブルメトリクス。
クラウドプロバイダーサービス [sn_cld_intg_core_provider_service]	さまざまなクラウドプロバイダーとそのエンドポイントによって提供されるサービスのリスト。
クラウドプロバイダーサービスアクション [sn_cld_intg_core_provider_service_action]	提供されるクラウドサービスのスクリプトインクルードアクション。
価格シートの実行 [sn_cld_intg_core_ps_download_request]	価格シートのジョブステータスとサマリー。
実行アイテム [n_cld_intg_core_ps_download_request_items]	価格シートの実行ごとにフェッチされたアイテムのリスト。
価格シートのダウンロード実行 [sn_cld_intg_core_ps_execution]	すべてのスケジュール済みジョブの価格シートの実行と情報のダウンロード。
価格シートのダウンロードジョブ [sn_cld_intg_core_ps_schedule]	作成された価格シートダウンロードジョブのリスト。
クラウド購入オプション [n_cld_intg_core_purchase_option]	プロバイダーが利用できるさまざまな購入オプション。
クラウドリージョン [sn_cld_intg_core_region]	さまざまなプロバイダーで利用可能なクラウドリージョンのリスト
リソースグループ [sn_cld_intg_core_resource_group]	リソースグループのリスト。
RS メトリクス設定 [sn_cld_intg_core_rs_metrics_configuration]	サイズの適正化のためのメトリクスの構成。
クラウド請求処理スケジュール [sn_cld_intg_core_schedule]	作成された請求処理ダウンロードジョブのリスト。
請求処理ダウンロードの実行 [sn_cld_intg_core_scheduled_exec]	すべてのスケジュール済みジョブのダウンロード実行とダウンロード情報を請求処理します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウド統合アクションスケジュールジョブ [sn_cld_intg_core_schedule_job]	クラウドアクションを呼び出すためのスケジュール済みジョブ。
クラウド統合アクションスケジュールトリガー [sn_cld_intg_core_schedule_trigger]	clod アクションのスケジュール済みジョブを呼び出すためのトリガー
ストレージの詳細ベース [sn_cld_intg_core_storage_detail]	プロバイダーが利用できるストレージの詳細。
ストレージオプション [sn_cld_intg_core_storage_option]	プロバイダーが利用できるストレージオプション
タグカテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_category]	さまざまなタグがあるタグカテゴリのリスト。
タグ名 [sn_cld_intg_core_tag_name]	請求処理データのタグ名またはユーザーが生成した名前。
タグ名 - カテゴリ [sn_cld_intg_core_tag_name_category]	タグ名からカテゴリへのマッピング。
タグ名/値 [sn_cld_intg_core_tag_name_value]	タグ名から値へのマッピング。
タグリソース [sn_cld_intg_core_tag_resource]	リソースに関連付けられたタグ値のペア。
タグ値 [sn_cld_intg_core_tag_value]	請求処理データまたはユーザーが生成した値からのタグ値。
テスト接続の実行 [sn_cld_intg_core_test_connection_execution]	テスト接続実行の詳細
変数 [sn_cld_intg_core_variable]	統合コアのローカル変数。
GCP CI 配置タイプ情報 [sn_cld_intg_gcp_ci_placement_type]	クラウドインサイト for Google Cloud Platform (GCP) によって展開されたすべてのタイプの構成アイテム。
GCP のコストおよび使用状況の請求データ [sn_cld_intg_gcp_cost_usage]	GCP のコストと請求処理データ。
GCP 製品詳細 [sn_cld_intg_gcp_product_details]	GCP のすべての製品詳細または仕様。
Google 請求処理ダウンロードジョブ [sn_cld_intg_gcp_schedule]	GCP の請求処理ダウンロードジョブとそのステータス。
GCP サービス [sn_cld_intg_gcp_services]	GCP が提供するサービスのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
AWS 支出レポートの確定情報 [sn_cld_spend_aws_report_finalization_info]	AWS の支出レポートの確定ステータス。
消費量レポート日次集計コスト [sn_cld_spend_core_daily_aggregated_cost]	リソースで集計された日次支出レポート。
消費量レポート日次コスト [sn_cld_spend_core_daily_cost]	日次のリソース使用状況の支出レポート。
消費量レポート予測コスト [n_cld_spend_core_forecast_cost]	予測消費量情報。
消費量レポート月次コスト [sn_cld_spend_core_monthly_cost]	リソース使用状況の月次支出レポート。
支出レポート実行情報 [sn_cld_spend_core_report_info]	支出レポート実行の詳細。
AWS サイズの適正化分析レポート [sn_clin_aws_rs_analytics_report]	AWS のサイズ適正化レポート。
AWS サイズの適正化がスキップされたインスタンスファミリ [sn_clin_aws_rs_skipped_instance_family]	サイズの適正化に関する推奨事項で考慮されない AWS インスタンスファミリ。
Azure サイズの適正化分析レポート [sn_clin_azure_rs_analytics_report]	Azure のサイズ適正化レポート。
クラウドインサイトの集計されたコスト節減スナップショット [sn_clin_core_aggregated_cost_saving_snapshot]	さまざまなサービスアカウントの集計コストのスナップショット。
クラウドインサイトの集計された見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_potential_saving_snapshot]	さまざまな推奨事項から集計された見込み節減額のスナップショット。
クラウドインサイトの集計された実現節減額のスナップショット [sn_clin_core_aggregated_realized_saving_snapshot]	実際に実現された集計節減額のスナップショット。
営業時間コスト [sn_clin_core_bh_cost]	リソースの営業時間コストと営業時間外コスト。
営業時間ポリシー [sn_clin_core_bh_policy]	営業時間用に構成されたポリシーのリスト。
営業時間ポリシー実行 [sn_clin_core_bh_policy_execution]	営業時間ポリシー実行情報。
営業時間ポリシー一致 [sn_clin_core_bh_policy_match]	営業時間コストテーブルのさまざまなリソースに対するポリシーの照合。
営業時間ポリシーサマリー [sn_clin_core_bh_policy_summary]	営業時間ポリシーの情報サマリー。
クラウドインサイトの営業時間に関する推奨事項 [n_clin_core_bh_recommendation]	営業時間に関する推奨事項。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
営業時間設定 [sn_clin_core_bh_settings]	営業時間モジュールの設定レコード。
予算 [sn_clin_core_budget_policy]	予算ポリシーと詳細のリスト。
予算レポート予測コスト [sn_clin_core_budget_report_forecast_cost]	予算の支出計算。
予算ポリシーサマリー [sn_clin_core_budget_summary]	予算ポリシーの概要と統計情報。
クラウドインサイトの実現された節減額のスナップショット [sn_clin_core_daily_realized_saving_snapshot]	実際に実現された日次節減額のスナップショット。
除外リソースレポートマッピング [sn_clin_core_exclusion_mapping]	属するタイプレポートまたは推奨事項への除外されたリソースマッピング。
除外されたリソース [sn_clin_core_excl_res]	さまざまなサービスアカウントとプロバイダーの クラウドインサイト モジュールから除外されたリソースのリスト。
インサイトエイリアス [sn_clin_core_insights_alias]	クラウドインサイトスコープに定義されているエイリアスのリスト。
インサイトエイリアスマッピング [sn_clin_core_insights_alias_mapping]	クラウドインサイトスコープのスクリプトまたはアクションフローへのエイリアスマッピング。
インサイト実行 [sn_clin_core_insights_execution]	すべての クラウドインサイト 実行の実行の詳細。
インサイトタイプ [sn_clin_core_insights_type]	クラウドインサイトに利用可能なインサイトタイプのリスト。
多対多インサイト実行プロファイルのフローメトリクス [sn_clin_core_m2m_insights_exec_profile_flow_metrics]	フローメトリクスをプロファイルするためのインサイト実行。
クラウドインサイトポリシーアクション [sn_clin_core_policy_action]	ポリシーに対して実行されるアクションとフロー。
ポリシー変更要求テンプレート [sn_clin_core_policy_change_request_template]	営業時間と未アサインの推奨事項の変更要求テンプレート。
クラウドインサイトポリシー一致 [sn_clin_core_policy_match]	さまざまなリソースとモジュールのポリシー一致。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ポリシーサマリー [sn_clin_core_policy_summary]	利用可能なすべてのポリシーのサマリー
ポリシー [sn_clin_core_pol_policy]	さまざまなモジュールに適用されるポリシー。
クラウドインサイトの見込み節減額のスナップショット [sn_clin_core_potential_saving_snapshot]	実際に実現された節減額のスナップショット。
クラウドインサイトの推奨事項 [sn_clin_core_recommendation]	クラウドインサイトモジュールに関する推奨事項。
推奨アクションジョブ実行 [sn_clin_core_recommendation_action_job_execution]	推奨事項のジョブ実行ステータス。
リザーブドインスタンスの設定 [sn_clin_core_reserved_instance_settings]	リザーブドインスタンスモジュールの設定レコード。
リザーブドインスタンスの推奨事項 [sn_clin_core_ri_recommendation]	リザーブドインスタンスモジュールの推奨事項。
サイズの適正化分析レポート [sn_clin_core_rs_analytics_report_base]	推奨事項のサイズを適正化するための潜在的なリソース。
クラウドインサイトジョブ [sn_clin_core_rs_job]	サイズの適正化または未使用のマシンモジュールのジョブのリスト。
クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項の自動 [sn_clin_core_rs_recommendation_automatic]	サイズの適正化に関する推奨事項。
クラウドインサイトのサイズの適正化に関する推奨事項 [sn_clin_core_rs_recommendation_base]	サイズの適正化または未使用の推奨事項の親テーブル。
サイズの適正化設定 [sn_clin_core_rs_settings]	サイズの適正化モジュールの設定レコード。
クラウドインサイトの未使用推奨事項 [sn_clin_core_rs_unused_recommendation]	未使用リソースの推奨事項。
サービスアカウントオーナー更新ポリシー [sn_clin_core_sa_owner_policy]	サービスアカウント所有者を更新するためのポリシー。
インサイト設定[sn_clin_core_settings]	さまざまな クラウドインサイト モジュールの設定。
タグキー [sn_clin_core_tag_key]	請求処理データから派生したタグキーとユーザーが生成したキー。
未アサインリソース数 [sn_clin_core_unassigned_count]	さまざまなサービスアカウントの未アサインリソースの数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
クラウドインサイトの未アサインポリシー [sn_clin_core_unassigned_policy]	未アサインリソースに利用可能なポリシー。
ポリシー CI ビュー [sn_clin_core_unassigned_policy_ci_view_list]	未アサインリソース数の生成に使用されます。クエリ対象のテーブル、および指定されたテーブル内のエンコードされたクエリおよびクエリ対象の列に関する情報が含まれます。このテーブルのレコードは手動でハードコードされています。
未アサインのポリシーサマリー [sn_clin_core_unassigned_policy_summary]	未アサインリソースに利用可能なポリシーサマリー。
未アサインの推奨事項 [sn_clin_core_unassigned_recommendation]	一致したポリシーに基づいて生成された、アサイン先グループを含む未アサインの推奨事項。
未アサインレポート [sn_clin_core_unassigned_report]	さまざまな未アサインリソースのレポートまたはポリシーの照合。
未アサインリソース [sn_clin_core_unassigned_resource]	ポリシーを適用できる未アサインリソースのリスト。
未アサインリソース設定 [sn_clin_core_unassigned_settings]	未アサインリソースモジュールの設定レコード。
不使用マシン設定 [sn_clin_core_unused_settings]	未使用マシンモジュールの設定レコード。
消費量レポート月次集計コスト [sn_cld_spend_core_monthly_aggregated_cost]	時間範囲または原価費目にわたるすべてのリソースの消費量を保存します。

クラウドインサイトのシステムプロパティ

一部のプロパティ値は [システムのプロパティ] フォームで設定しますが、その他のあまり使用されないプロパティはシステムプロパティ [sys_properties] テーブルでのみ使用できます。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_core.ci_placement_threads_numb	請求プロセスで CI を作成するために CI 配置フローによって使用されるスレッドの数。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

請求処理ダウンロードジョブのシステムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
	• タイプ：整数 • デフォルト値： 4 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.max_未処理_レコード_for_ci_placement	CI 配置のために AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値: 300000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_aws.min_unprocessed_records_for_ci_placement	CI 配置のために AWS のコストおよび使用状況請求データテーブルから 1 つのバッチで読み取るレコードの最小数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：100000 • 場所：システムプロパティ

支出分析のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
sn_cld_spend_core.metricbase_transform_limit	1 つのメトリクスベース変換で使用する請求処理レコードの最大数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20000 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_flow_launcher_chunk_size	支出フローランチャーに送信する空でない CI チャンクの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：40 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_spend_core.spend_report_per_chunk_workload_size	支出フローランチャーの各チャンクの作業負荷数 (CI 範囲とメタデータ)。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 500 • 場所：システムプロパティ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

支出分析のシステムプロパティ (続く)

システムプロパティ	説明
sn_cld_spend_aws.num_months_forecast	支出ジョブを実行するたびに AWS 予測消費量が取得される、現在の月から後の月数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：2 • 場所：システムプロパティ

営業時間のシステムプロパティ

注: 請求または価格シートのデータを 1 回ダウンロードするためのデータ収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_clin_core.bh_report.batch_size	営業時間レポートバッチに含めるリソースの数。 • タイプ：整数 • デフォルト値：5000 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size	サイズの適正化に関する推奨事項の作業負荷チャンクの作成に使用されるレコードの数。glide.db.max_view_records より大きい値を設定すると、代わりに glide.db.max_view_records 値が使用されます。数値が小さいほどチャンクが多くなり、数値が大きいほどチャンクが少なくなります。 推奨事項の生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値：10000 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_core.bh_recom_num_chunks_per_workload	ワークロードあたりのチャンク数。この値に sn_clin_core.bh_recom_max_chunk_size の値を掛けたものが、サイズの適正化に関する推奨事項を生成するときの作業負荷あたりの合計レコード数です。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

営業時間のシステムプロパティ

注: 請求または価格シートのデータを 1 回ダウンロードするためのデータ収集は、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	推奨事項の生成の 1 回の実行で考慮されるレコード = (チャンク数) * (データレコード/チャンク) • タイプ：整数 • デフォルト値：10 • 場所：システムプロパティ

Microsoft Azure のシステムプロパティ

システムプロパティ	説明
mid.azure_action.batch_size	`batch_size` を使用して、停止、開始、変更 (サイズ変更)、終了、説明などのアクション呼び出しのバッチサイズを 20 未満に設定します。 クラウドインサイト は Azure Batch API を使用して、アクションの一括要求を行います。既定では、Azure Batch は同期呼び出しで最大 20 をサポートします。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

Microsoft Azure のサイズ適正化と未使用リソースの操作のシステムプロパティ

注: 1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

システムプロパティ	説明
sn_cld_intg_azure.az_rs_recommendation_queue_orchestrator_polling_time	Microsoft Azure レコメンデーションオーケストレーターが、生成ステータスの取得、推奨事項の一覧表示、またはプロセス推奨事項呼び出

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化と未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:** 1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	しのステータスを確認し、それを処理の次のステージに移動するためのポーリング時間。 **注:** サブスクリプションの数が少ない場合は、ポーリング時間が短い方が良いです。 • タイプ：整数 • デフォルト値:5000 (ミリ秒) • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.chunk_size_generate_recommendation_subscriptions	各ワークロードによって処理されるサブスクリプションの数。各作業負荷は、利用可能な MID サーバーワーカースレッドに基づいて、10 個のサブスクリプションを並列処理するために最大 5 個のスレッドを作成します。 設定を小さい数値に変更すると、作成されるワークロードの数が増えます。[推奨事項を生成 (`Generate Recommendation`)] は、[推奨事項を生成 (Generate Recommendation)] 操作 ID をすばやく返す非同期 API 呼び出しです。 **注:** サブスクリプションが 50 未満の場合は、値を減らして並列処理を有効にすることができます。たとえば、40 個のサブスクリプションの場合、チャンク サイズを 10 に変更すると、4 つのワークロードでサブスクリプションを処理できます。デフォルトでは、最大 3 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、`sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config` テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_get_status_min_chunk_size	`Get generate status` API 呼び出しのワークロードで処理するサブスクリプションの最小数。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化と未使用リソースの操作のシステムプロパティ

注: 1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズに達すると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 注: 既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、`sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config` テーブルで定義されているフローラン チャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 5 • 場所：システムプロパティ
sn_cld_intg_azure.advisor_list_recommendation_api_size	リスト推奨 API 呼び出しのワークロードで処理するサブスクリプションの最小数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズに達すると新しいワークロードを作成し、すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 注: チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、`sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config` テーブルで定義されているフローラン チャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値： 1 • 場所：システムプロパティ
sn_clin_azure.advisor_process_recommendation_min_chunk_size	API 呼び出しのワークロードで処理され、サイズの適正化または不使用マシンの推奨テーブルに保持する必要がある推奨応答の数。 この呼び出しは、指定された最小チャンク サイズが満たされたときにワークロードを作成し、

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

Microsoft Azure のサイズ適正化と未使用リソースの操作のシステムプロパティ

> **注:** 1 つのレコメンデーション セットのデータのコレクションは、ワークロードと呼ばれます。ワークロード内のデータは、チャンクと呼ばれる一連のデータに保持されます。ワークロード内の各チャンクのサイズとチャンクの数を指定できます。

(続く)

システムプロパティ	説明
	すべてのサブスクリプションが処理された後、別のワークロードを作成しません。 **注:** チャンク サイズを大きくすると、サブスクリプションが順番に処理されるため、全体的な処理時間が長くなる可能性があります。既定では、最大 4 つの並列ワークロード実行が許可されます。最大値は、`sn_cld_intg_core_flow_launcher_job_config` テーブルで定義されているフローランチャージョブで構成されます。 • タイプ：整数 • デフォルト値：20 • 場所：システムプロパティ

AWS 価格シートのシステムプロパティ

システムプロパティ	**Description** (説明)
sn_cld_intg_aws.pricesheet_timeout_aws	価格シート AWS ダウンロードフローのタイムアウト期間を制御します。 • 値の形式:DD HH:MM:SS • デフォルト値:2 日

Amazon AWS クラウドサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ

クラウドインサイトでは、プロバイダーサービスはサービスカテゴリにグループ化されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を集中させることができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

Amazon AWS クラウドサービスのクラウドインサイトのサービスカテゴリ

のクラウドサービス AWS	クラウドインサイト サービスカテゴリ
ビジネス向けAlexa	ビジネスの生産性
Amazon API Gateway	アプリケーションサービス

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

のクラウドサービス AWS	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Amazon Athena	分析
Amazon Aurora	データベース
Amazon Chime	ビジネスの生産性
Amazon クラウドディレクトリ	セキュリティ
Amazon CloudFront	ネットワーク
Amazon CloudSearch	分析
アマゾンクラウドウォッチ	管理ツール
Amazon Cognito	セキュリティ
Amazon Comprehend	機械学習
Amazon Connect	アプリケーションサービス
Amazon DocumentDB	データベース
Amazon DynamoDB	データベース
Amazon EC2 Auto Scaling	CPU
Amazon EC2 コンテナサービス	CPU
Amazon ElastiCache	データベース
Amazon Elastic Block Store	ストレージ
Amazon Elastic Compute クラウド	CPU
Amazon Elastic Container Registry	CPU
Amazon Elastic ファイルシステム	ストレージ
Amazon Elasticsearch サービス	分析
Amazon Elastic Transcoder	アプリケーションサービス
Amazon EMR	分析
Amazon FreeRTOS	IOT (アイオット)
Amazon GameLift	アプリケーションサービス
Amazon 氷河	ストレージ
Amazon GuardDuty	セキュリティ
Amazon インスペクター	セキュリティ
Amazon Kinesis	分析
Amazon Kinesis ビデオストリーム	アプリケーションサービス
Amazon Lex	機械学習
Amazon Lightsail	CPU
Amazon 機械学習	機械学習
Amazon Macie	セキュリティ
Amazon MQ	アプリケーションサービス
Amazon Neptune	データベース

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Amazon Pinpoint	モバイル
Amazon Polly	機械学習
Amazon QuickSight	分析
Amazon Redshift	データベース
Amazon Rekognition	機械学習
Amazon Relational Database Service	データベース
Amazon Route 53	ネットワーク
Amazon SageMaker	アプリケーションサービス
Amazon SimpleDB	データベース
Amazon Simple Email Service	アプリケーションサービス
Amazon Simple Notification Service	ツール
Amazon Simple Queue Service	アプリケーションサービス
Amazon Simple Storage Service	ストレージ
Amazon Simple Workflow サービス	生産性
Amazon Sumerian	アプリケーションサービス
Amazon 文字起こし	機械学習
Amazon 翻訳	機械学習
Amazon 仮想プライベートクラウド	ネットワーク
Amazon WorkDocs	ビジネスの生産性
Amazon WorkMail	生産性
Amazon ワークスペース	生産性
AWS (不明な製品)	アプリケーションサービス
AWS アプリケーションディスカバリーサービス	アプリケーションサービス
AWS AppSync	モバイル
AWS 自動スケーリング	管理ツール
AWS バッチ	CPU
AWS 証明書マネージャー	セキュリティ
AWS Cloud9	開発者向けツール
AWS CloudFormation	CPU
AWS CloudHSM	セキュリティ
AWS クラウドマップ	ネットワーク
AWS CloudShell	開発者向けツール
AWS CloudTrail	ツール
AWS CloudWatch	ツール
AWS CodeBuild	開発者向けツール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドインサイト サービスカテゴリ
AWS CodeCommit	開発者向けツール
AWS CodeDeploy	開発者向けツール
AWS CodePipeline	開発者向けツール
AWS CodeStar	開発者向けツール
AWS Config	ツール
AWS コストエクスプローラー	管理ツール
AWS データベース移行サービス	データベース
AWS データパイプライン	分析
AWS データ同期	アプリケーションサービス
AWS Device Farm	モバイル
AWS ダイレクトコネクト	ネットワーク
AWS Directory Service	セキュリティ
AWS Elastic Beanstalk	CPU
AWS 可変ブロックストア	ストレージ
AWS Elastic Compute Cloud	CPU
AWS Elastic Load Balancing	ロードバランサ
AWS 要素 MediaConvert	アプリケーションサービス
AWS 要素 MediaLive	アプリケーションサービス
AWS エレメンタルメディアパッケージ	アプリケーションサービス
AWS Elemental MEdiaStore	アプリケーションサービス
AWS Elemental MediaTailor	アプリケーションサービス
AWS Fargate	CPU
AWS Glue	分析
AWS Greengrass	IOT (アイオット)
AWS Identity and Access Management	セキュリティ
AWS IoT	IOT (アイオット)
AWS IoT 1-Click	IOT (アイオット)
AWS IoT アナリティクス	IOT (アイオット)
AWS IoT コア	IOT (アイオット)
AWS IoT デバイス管理	IOT (アイオット)
AWS IoT イベント	IOT (アイオット)
AWS Key Management Service	セキュリティ
AWS Lambda	CPU
AWS Lamda	CPU
AWS モバイルハブ	モバイル

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス AWS	クラウドインサイト サービスカテゴリ
AWS OpsWorks	管理ツール
AWS Relational Database Service	データベース
AWS ルート 53	ネットワーク
AWS Secrets Manager	セキュリティ
AWS サービスカタログ	管理ツール
AWS シールド	セキュリティ
AWS Simple Notification Service	ツール
AWS Simple Storage Service	ストレージ
AWS Snowball	ストレージ
AWS Snowball エッジ	ストレージ
AWS スノーモービル	ストレージ
AWS ステップ関数	アプリケーションサービス
AWS ストレージゲートウェイ	ストレージ
AWS Systems Manager	管理ツール
AWS トラステッドアドバイザー	管理ツール
AWS Virtual Private Cloud	ネットワーク
AWS WAF	セキュリティ
AWS X-Ray	開発者向けツール
Elastic Load Balancing	ロードバランサ

自動翻訳

Microsoft Azureサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ

クラウドインサイトでは、プロバイダーサービスはサービスカテゴリにグループ化されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を集中させることができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

Microsoft Azureサービスのクラウドインサイトのサービスカテゴリ

のサービス Microsoft Azure	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Advanced Threat Protection	セキュリティ
API 管理	ツール
アプリセンター	アプリケーションサービス
アプリケーションゲートウェイ	ネットワーク
Application Insights	管理ツール
自動化	管理ツール

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Azure Active Directory B2C	セキュリティ
Azure Active Directory Domain Services	セキュリティ
Azure のアラート	イベント
Azure Analysis サービス	分析
Azure API for FHIR	アプリケーションサービス
Azure アプリサービス	CPU
Azure ARM	CPU
Azure の要塞	ネットワーク
Azure ブロックチェーン	ブロックチェーン
Azure ボット サービス	機械学習
Azure Cosmos DB	データベース
Azure Database for MariaDB	データベース
Azure Database for MySQL	データベース
Azure Database for PostgreSQL	データベース
Azure Database Migration サービス	データベース
Azure Databricks	分析
Azure データ エクスプローラー	分析
Azure データ ファクトリ	データベース
Azure Data Factory v2	データベース
Azure データ共有	分析
Azure DDoS 保護	ネットワーク
Azure DevOps	開発者向けツール
Azure DNS	ネットワーク
Azure Firewall	ネットワーク
Azure Firewall マネージャー	ネットワーク
Azure Front Door サービス	ネットワーク
Azure Lab サービス	開発者向けツール
Azure Machine Learning	機械学習
Azure マップ	IOT (アイオット)
Azure Monitor	管理ツール
Azure NetApp Files	ストレージ
Azure リモートレンダリング	アプリケーションサービス
Azure 検索	機械学習
Azure Site Recovery	管理ツール
Azure Spring Cloud	アプリケーションサービス

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Azure スタック	ハイブリッドクラウド
Azure スタック エッジ	機械学習
Azure Synthetics	アプリケーションサービス
バックアップ	管理ツール
帯域幅	CPU
BizTalk サービス	アプリケーションサービス
クラウドサービス	CPU
Cognitive Services	機械学習
コンテナインスタンス	コンテナ
コンテナレジストリ	コンテナ
コンテンツ配信ネットワーク	ネットワーク
Cost Management	管理ツール
データボックス	ストレージ
データカタログ	分析
データセンターのキャパシティ	アプリケーションサービス
データレイク分析	分析
データレイクストア	分析
データ管理	アプリケーションサービス
デジタルツイン	IOT (アイオット)
Dynamics 365 for Customer Insights	管理ツール
イベントグリッド	管理ツール
イベントハブ	分析
ExpressRoute	ネットワーク
関数	CPU
GitHub	管理ツール
HDInsight	分析
HPCキャッシュ	ストレージ
インサイトと分析	分析
IoT セントラル	IOT (アイオット)
IoT ハブ	IOT (アイオット)
Key Vault	セキュリティ
Kusto	アプリケーションサービス
ロードバランサ	ロードバランサ
ログ分析	分析
Logic Apps	ツール

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドインサイト サービスカテゴリ
機械学習サービス	機械学習
機械学習スタジオ	機械学習
マーケットプレイス	マーケットプレイス
メディアサービス	アプリケーションサービス
Microsoft.ApiManagement	アプリケーションサービス
Microsoft.BlockStorage	ストレージ
Microsoft.Cache	アプリケーションサービス
Microsoft.Compute	CPU
Microsoft.DocumentDB	データベース
Microsoft.Insights	ツール
Microsoft.LoadBalancer	ロードバランサ
Microsoft.Network	ネットワーク
Microsoft.Security	セキュリティ
Microsoft.ServiceBus	ツール
Microsoft.Sql	データベース
Microsoft.Storage	ストレージ
Microsoft.Web	アプリケーションサービス
Microsoft (不明な製品)	アプリケーションサービス
Microsoft Azure インターネット アナライザー	ネットワーク
Microsoft Azure ピアリングサービス	ネットワーク
Microsoft Genomics	アプリケーションサービス
複合現実	バーチャルリアリティ
Multi-Factor Authentication	セキュリティ
NAT ゲートウェイ	ネットワーク
ネットワーク監視	管理ツール
Microsoft. ApiManagement	IOT (アイオット)
プレイファブ	アプリケーションサービス
Power BI Embedded	分析
Redis キャッシュ	データベース
スケジューラ	管理ツール
セキュリティセンター	セキュリティ
番兵	セキュリティ
サービスバス	管理ツール
サービスファブリック	CPU
Service Fabric メッシュ	CPU

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のサービス Microsoft Azure	クラウドインサイト サービスカテゴリ
SignalR	アプリケーションサービス
空間アンカー	バーチャルリアリティ
特殊コンピューティング	CPU
SQL Advanced Threat Protection	セキュリティ
SQL データベース	データベース
SQL データ ウェアハウス	データベース
SQL DB エッジ	データベース
SQL Server ストレッチ データベース	データベース
ストレージ	ストレージ
StorSimple	ストレージ
Stream Analytics	分析
時系列インサイト	IOT (アイオット)
トラフィックマネージャー	管理ツール
仮想マシン	CPU
仮想マシンライセンス	CPU
仮想ネットワーク	ネットワーク
仮想 WAN	セキュリティ
Visual Studio オンライン	管理ツール
Visual Studio サブスクリプション	開発者向けツール
VPN ゲートウェイ	ネットワーク
Windows 10 IoT Core サービス	IOT (アイオット)
Xamarin University	アプリケーションサービス

自動翻訳

Google Cloudサービスのクラウドインサイトクラウドサービスカテゴリ

クラウドインサイトでは、プロバイダーサービスはサービスカテゴリにグループ化されます。このグループ化により、フィルターを使用して、特定のタイプのサービス (コンピューティングやデータベースなど) に分析を集中させることができます。より的を絞った分析を実行するために、サービスカテゴリ内の特定のサービスをフィルタリングできます (たとえば、Amazon ElastiCache や Azure Database for PostgreSQL はデータベースカテゴリのサービスです)。

Google Cloudサービスのクラウドインサイトのサービスカテゴリ

のクラウドサービス Google Cloud	クラウドインサイト サービスカテゴリ
Bigtable	データベース
クラウドストレージ	ストレージ
クラウド SQL	データベース

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

のクラウドサービス Google Cloud	クラウドインサイト サービスカテゴリ
データベースの移行	データベース
データストア	データベース
データ転送	ストレージ
開発マネージャー	ツール
エンドポイント	ツール
ファイルストア	ストレージ
Firestore	データベース
ハイブリッドコネクティビティ	ネットワーク
メモリストア	データベース
ネットワークインテリジェンス	ネットワーク
ネットワークセキュリティ	ネットワーク
ネットワークサービス	ネットワーク
Service Catalog	ツール
VPC ネットワーク	ネットワーク

予算ポリシー作成フィールドのリスト

[予算ポリシーの作成] フォームのフィールドは、予算金額、原価費目、リセット期間、および予算のその他の側面を指定する予算ポリシーの作成に役立ちます。

予算ポリシーの作成

フィールド	説明
[Budget policy (予算ポリシー)]	作成済み予算ポリシーのリスト。 予算ポリシーを更新する場合は、ドロップダウンリストから作成済み予算ポリシーを検索して選択します。予算を選択すると、関連するすべてのフィールドが自動的に入力されます。
Active (アクティブ)	ポリシーを適用するオプション、これで請求処理データが更新されるたびに Budget Forecast 分析を実行されます。
Name (名前)	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。
説明	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の記述。
原価費目	プロバイダーとの契約上の支払い合意。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	• 償却済み: 組織は、請求期間全体に分散された前払い料金と毎月の予約料金の実効コストを支払います。償却原価費目については、プロバイダーサイトで詳しく説明されています。 • 実績: 請求期間ごとに、組織は直接クラウドサービスの料金を支払います。
開始月	プランの適用が開始される月。
終了月	プランの適用が終了する月。
開始日	プランの適用が開始される日付。
終了日	プランの適用が終了する日付。
開始年	プランの適用が開始される年。
終了年	プランの適用が終了する年。
通貨	ポリシーの通貨タイプ。
総計	Granularity の値によって予算化された指定期間の総支出。 計算済み デフォルトの通貨フィールドタイプと同じように動作します。換算が実行されるたびに、システムは最新の通貨換算レートを使用します。金額は、ユーザーのセッション通貨で表示されます。 固定 金額は、金額の値の入力時に使用した通貨コードで表示されます。換算が実行されるたびに、最新の通貨換算レートが使用されます。 複数 金額ごとに異なる通貨を使用して複数の金額を入力できます。フィールド値は、ユーザーのセッション通貨で入力された値です。それ以外の場合は、最初に入力された値がユーザーのセッション通貨に換算されます。換算が実行されるたびに、最新の通貨レートが使用されます。 **注:** 表示時、最初に入力した金額が使用されます。その他の値は計算には使用されません。 インスタンスのセッション通貨によって、ユーザーが予算レポートで目にする数値が決まります。予算計画で指定した通貨がセッション通貨と異なる場合、金額はレポートの 2 つのフィールドに表示されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	• 予算金額:プランで使用される通貨で表される金額。 • 換算済み予算金額:セッション通貨で表される同じ金額。
比較頻度	予算の期間をリセットします。 • 年次:金額の値は 1 年間の期間に適用されます。 • 月次:金額の値は 1 か月の期間に適用されます。
アカウントとリソースの基準	
親アカウント	サービスアカウントが関連付けられているプライマリアカウント。 注: ポリシーを編集しているときに、親アカウントを変更するとプロバイダーが変更される可能性があります。
サービスアカウント	計画適用対象のサービスアカウント。適切なサービスアカウントをすべて **[Selected** (選択済み)] リストに移動します。 Google Cloudの場合のみ、このフィールドは「プロジェクト」と呼ばれます。
タグカテゴリ条件	ドロップダウンリストからタグカテゴリを選択し、カンマで区切られたタグ値を追加して、タグカテゴリを追加します。
予算ビューアーと通知	
ビューアー (ユーザー)	この予算ポリシーを閲覧できるユーザー。 注: この選択に関係なく、クラウド予算閲覧者 [sn_clin_core.budget_viewer] ロールも持つユーザーのみが閲覧アクセス権限を持ちます。
[Viewer (group) (閲覧者 (グループ))]	この予算ポリシーを閲覧できるユーザーグループ。
[Notification frequency (通知の頻度)]	「通知対象ユーザー」で説明されているように、ユーザーへの電子メールの繰り返し。
[User to be notified (通知対象ユーザー)]	以下の条件が発生した場合にユーザーに電子メールで通知します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

予算ポリシーの作成 (続く)

フィールド	説明
	• 予算超過が予測される。 • 予算を超過している。 • 予算が無効である。

共有コスト割り当てポリシーフィールドのリスト

共有コスト割り当てポリシー作成フォームのフィールドは、共有コスト割り当てポリシーの作成に役立ちます。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム

Field (フィールド)	**Description** (説明)
編集する共有コストポリシーを選択	編集する共有コストポリシー。
アクティブ	ポリシーを適用するオプション。[アクティブ] チェックボックスをオンにすると、請求処理データが更新されるたびに共有コスト割り当てが有効になります。
名前	他のユーザーに対してポリシーを説明する一意の名前。
Description (説明)	ポリシーの簡潔な説明。
[Run order (実行順序)]	ポリシーを適用する順序。各ポリシーには一意の値が必要です。システムは、ポリシーを低い実行順序から高い実行順序で適用し、一致する最初のポリシーに対してアクションを実行します。一致した後は、リソースに他のポリシーは適用されません。
開始月	月次支出レコードが処理される開始月。このフィールドは自動的に現在の月に設定されます。 注: 開始月は終了月より前でなければなりません。
終了月	月次支出レコードが処理されるまでの月。 注: 終了月は開始月より後でなければなりません。
開始年	月次支出レコードが処理される開始年。このフィールドは自動的に現在の年に設定されます。 注: 開始年は終了年より前でなければなりません。
終了年	月次支出レコードの処理が終了する年。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
	注: 終了年は開始年より後である必要があります。
プロバイダー	ポリシー適用対象のクラウドプロバイダー。 注: 既存のポリシーの編集中にプロバイダーを変更することはできません。
[Service category (サービスカテゴリ)]	ポリシーが適用されるすべてのサービスカテゴリのリスト。
サービスアカウント	ポリシー適用対象のサービスアカウント。 Google Cloudの場合のみ、このフィールドは「プロジェクト」と呼ばれます。
クラウドサービス	ポリシーが適用されるクラウドサービス。 • すべて • 特定
クラウドサービスを選択	ポリシーを適用するクラウドサービス。 このフィールドは、[クラウドサービス] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
リソースタイプ	Kubernetesサービスカテゴリのリソースタイプ。 • クラウドリソース • Kubernetes クラスター このフィールドは、[サービスカテゴリ] で **[Kubernetes** サービス] を選択した場合にのみ表示されます。
リージョン	ポリシーが適用されるリソースのリージョン。 • すべて • 特定
地域を選択	ポリシーを適用するリソースのリージョン。 このフィールドは、[地域] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
購入オプション	クラウドリソースの購入オプション。 • オンデマンド • 予約済み • 節減計画

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
	• 税 • 不明
タグを選択	
事業部門	ポリシーが適用されるリソースの事業部門。 • すべて • 特定
事業部門を選択	ポリシーを適用するリソースの事業部門。 このフィールドは、[事業部門] から [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
部門	ポリシーを適用するリソースの部門。 • すべて • 特定
部門 (department) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門。 このフィールドは、[部門] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
部門	ポリシーを適用するリソースの部門部門。 • すべて • 特定
部門 (division) を選択	ポリシーを適用するリソースの部門部門。 このフィールドは、[部門] で [特定] を選択した場合にのみ表示されます。
Cost center (コストセンター)	ポリシーが適用されるリソースのコストセンター。 • すべて • 特定
コストセンターを選択	ポリシーを適用するリソースのコストセンター。 このフィールドは、[コストセンター] で [特定] が選択されている場合にのみ表示されます。
割り当てタイプ	共有コスト割り当てポリシーを定義するときに使用される割り当てタイプ。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
	• 固定:割り当てのパーセンテージは、各グループの [コスト配分] セクションで指定されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合は、各グループの割り当てパーセンテージを指定します。 • 均等:割り当ては割り当てグループ間で均等に分割されます。たとえば、クラウドサービスのコストが他の 2 つのグループと共有されている場合、割り当てのパーセンテージはこれらのグループ間で均等に自動的に入力されます。 • 比例:クラウドサービスとサービスカテゴリ、あるいはその両方のポリシーが定義されています。これらの属性の組み合わせが共有コスト割り当てで考慮されます。たとえば、次の組み合わせに対してポリシーが定義されている場合、この組み合わせに関連付けられているすべてのコストが共有コストと見なされます。 ◦ サービスカテゴリ:データベースおよびクラウドサービス:Amazon DocumentDB ◦ サービスカテゴリ:データベースおよびクラウドサービス:空 ここでは、すべてのデータベースカテゴリのクラウドサービスが共有コストと見なされます。 割り当てのパーセンテージは、リソースの直接コストに基づいて自動的に入力されます。 **注:** • グループ全体の割り当て率の合計は 100% である必要があります。 • 割り当てのパーセンテージを負の値にすることはできません。 • グループの組み合わせは一意である必要があります。
コスト配分	[追加] を選択して、事業部門、部門、部門、コストセンター、および割り当て率を追加し、リソースコストをさまざまな事業部門に分配します。
名前空間の配分	Kubernetesするには、 [名前空間] と [割り当て率] を追加し、 を選択してさまざまな事業部門間でリソースコストを分配します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

共有コスト割り当てポリシー作成フォーム (続く)

Field (フィールド)	Description (説明)
	このフィールドは、[サービスカテゴリ] から **[Kubernetes** サービス] が選択され、[リソースタイプ] から **[Kubernetes** クラスター] が選択されている場合にのみ表示されます。 注: 定義できる割り当てタイプは、[固定] と [偶数] のみです。
割り当てのパーセンテージ	各クラウドリソースの共有コスト割り当てのパーセンテージ。

デフォルトのタグカテゴリのリスト

[タグカテゴリ] ページで、デフォルトのタグカテゴリのリストを表示します。タグカテゴリは、単一のビジネスエンティティに対するコストを表す複数のタグ名を有効にするのに役立ちます。

デフォルトのタグカテゴリ
アプリケーションの機能
アプリケーションオーナー
アプリケーションチーム
AI サービス 重要: このタグカテゴリは、 クラウドインサイト 8.0.0 バージョン以降で使用できます。 注: 新しい AI サービスまたは既存の AI サービス内のカテゴリが Amazon Web サービス (AWS)、 Microsoft Azure、または Google Cloud Platform (GCP)に導入されるたびに、タグ名を対応するタグ値に関連付ける場合は、「AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新」を参照してください。
ビジネスアプリケーション
ビジネスサービス
事業部門
コストセンター
部門
部門
環境
Kubernetes クラスター名

AI サービスのデフォルトのクラウドカテゴリのリスト

AI サービスを管理するための機械学習サービスカテゴリに適用可能なデフォルトのクラウドカテゴリのリスト。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのプロバイダー固有の **AI** サービス

サービスプロバイダー	AI サービス
Amazon Web サービス (AWS)	• Amazon CodeGuru • Amazon 理解する • Amazon 医療を理解する • Amazon DevOps の第一人者 • Amazon 予報 • Amazon 不正検出機能 • AWS ヘルスレイク • Amazon ケンドラ • Amazon レックス • Amazon 設備の監視 • Amazon メトリクスのルックアウト • Amazon Lookout for Vision • Amazon モニトロン • Amazon オミクス • Amazon パーソナライズ • Amazon ポリー • Amazon Rekognition • Amazon 抽出 • Amazon 書き写す • Amazon 翻訳 • Amazon 拡張 AI
Microsoft Azure	• Azure Cognitive Services • Azure AI 検索 • Azure AI ボットサービス
Google Cloud Platform (GCP)	• クラウド Dialogflow API • クラウドドキュメント AI API • クラウドドキュメント API • クラウド自然言語 • クラウド音声 API • クラウドテキスト読み上げ API • クラウドビデオインテリジェンス API • クラウドビジョン API • 翻訳 • Vertex AI ビジョン

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

デフォルトのプロバイダー固有の AI サービス (続く)

サービスプロバイダー	AI サービス
	• Vertex AI • Vertex AI 検索

関連情報

AI サービスタグカテゴリのタグ値の追加または更新

契約管理

ServiceNow® 契約管理 アプリケーションを使用して契約を管理、追跡します。

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。ServiceNow プラットフォームでは、契約には次のような詳細情報が含まれています。

- 契約番号
- 契約の開始日と終了日
- 有効なステータス
- 契約条件
- ドキュメント
- リニューアル情報
- 財務条件

契約管理はデフォルトで有効となっています。コスト管理 プラグインがアクティブ化されている場合、契約管理 アプリケーションは コスト管理 プラグインと統合して契約とコストを関連付け、総所有コスト (TCO) を決定します。経費の追跡は、経費ラインで行えます。アドミニストレーターは コスト管理 プラグインを有効にすることができます。

ソフトウェア資産管理 プラグインを使用している場合は、[ソフトウェアライセンスオプション] を使用します。

関連情報

経費ラインを作成する

契約条件

ソフトウェア資産管理

資産契約の概要モジュールの使用

契約管理 概要モジュールで契約の状態に関する情報を表示できます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて

契約管理 概要モジュールは一種のホームページのため、ページ上でレポートを追加、削除、再配置することができます。

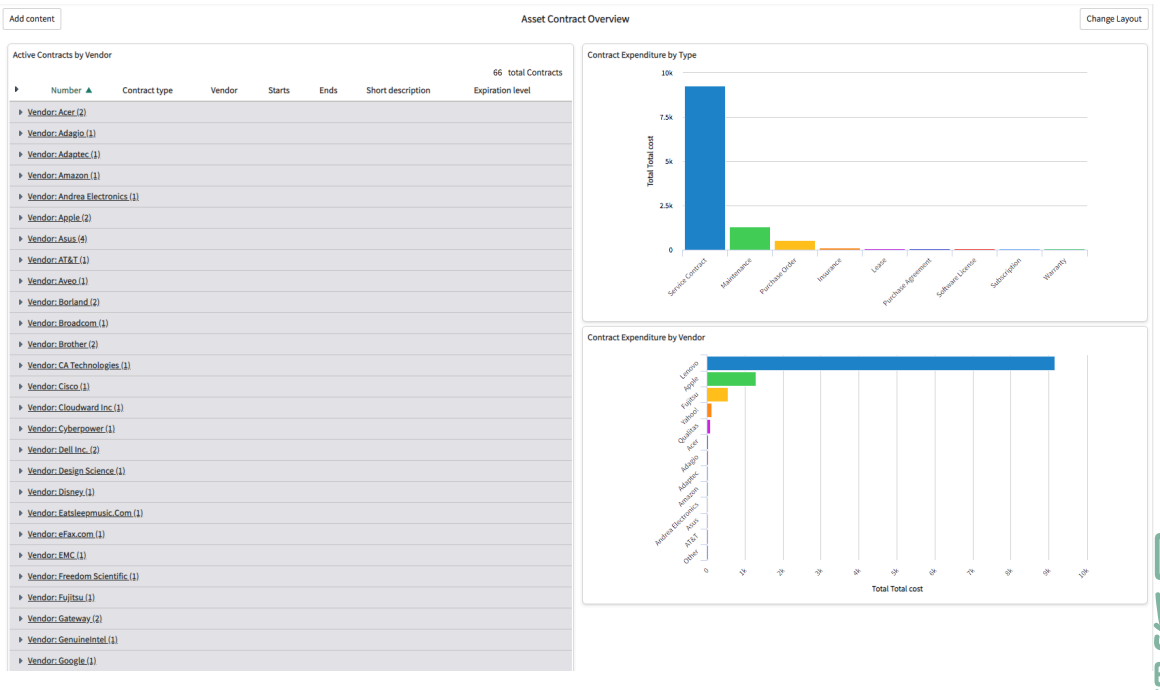
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [契約] > [概要]に移動します。
2. レポート内の要素をクリックして、詳細情報を取得します。

Example
たとえば、[タイプ別契約支出] 棒グラフのいずれかのカラーバーをクリックすると、詳細情報が表示されます。



一緒にインストールされるコンポーネント 契約管理

契約管理 と併せて、複数のタイプのコンポーネントがインストールされます。

デモ データが利用可能です。

契約管理 とともにインストールされるテーブル

テーブルが、契約管理 とともに追加されます。

テーブル	説明
対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約の対象となる資産を一覧表示します。資産は複数の契約で守ることができ、契約は複数の資産を抱えることができます。 **注:** contract_manager、itil、inventory_admin、procurement_user ロールは、レポートにのみアクセスできます。procurement_user ロールの場合は 調達 (com.snc.procurement) プラグインを、itil ロールと Inventory_admin ロールの場合はハードウェア資産管理 プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
対象資産 [clm_m2m_rate_card_asset]	資産に適用されるレート表を一覧表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
条件 [clm_condition_checker]	各条件チェッカーの条件と値を一覧表示します。
条件チェック [clm_condition_check]	指定した条件フィールドを変更する条件と値を格納します。
契約 [ast_contract]	契約情報を格納します。
契約履歴 [clm_contract_history]	開始日、終了日、契約条件のいずれかが変更されたときに契約書のコピーを保管します。
契約条件 [clm_terms_and_conditions]	契約で使用される条件を一覧表示します。
契約条件 [clm_m2m_contract_and_terms]	契約で使用できるすべての契約条件を一覧表示します。
対象ユーザー [clm_m2m_contract_user]	契約の対象となるユーザーを一覧表示します。
契約更改要求 [sn_contract_renewal_request]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求を保存します。
契約更改要求行 [sn_contract_renewal_request_line]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求行を保存します。
契約更改タスク [sn_contract_renewal_task]	契約更改ワークフローを使用してすべての契約更改要求タスクを保存します。

契約管理 とともにインストールされるユーザーロール

ユーザーロールは 契約管理 とともに追加されます。

ロール	ロールを含む	説明
contract_manager	financial_mgmt_user	契約のライフ サイクルを管理します。契約の作成、編集、削除ができます。

インストールされたスクリプトインクルード 契約管理

スクリプトインクルードは、契約管理 とともに追加されます。

名前	説明
ConditionChecks	条件チェック [clm_condition_check] テーブルで定義されている、有効契約期限切れやライセンス コンプライアンスなどの一致条件をチェックします。
ContractManagementUtils	状況移行などの契約管理アクションを管理するユーティリティ。

インストールされているクライアントスクリプト 契約管理

クライアントスクリプトは、契約管理 とともに追加されます。

名前	テーブル	説明
税コストの計算 - 基本コスト	契約 [ast_contract]	[支払額] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
税コストの計算 - 売上税	契約 [ast_contract]	[売上税] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
税コストの計算 - 税率	契約 [ast_contract]	[税率] フィールドが変更されたときに、契約フォームの [税コスト] フィールドと [総コスト] フィールドを計算します。
割引が有効な割合であることを確認する	契約 [ast_contract]	[割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれないようにします。
コスト調整を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の金額を設定した場合、契約フォームの [割合] フィールドを 0 に設定します。
コスト率を更新する	契約 [ast_contract]	ユーザーがコスト調整の割合を入力した場合、契約フォームの [金額] フィールドを 0 に設定します。
非課税/税率	契約 [ast_contract]	[非課税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを読み取り専用に変更します。
税率/免除	契約 [ast_contract]	[売上税] チェック ボックスが選択されている場合、契約フォームのすべての税関連フィールドを書き込み可能に変更します。

インストールされているビジネスルール 契約管理

ビジネスルールが、契約管理 とともに追加されています。

名前	テーブル	説明
予測コストの計算 (レポート)	契約 [ast_contract]	コストや支払スケジュールが変更された場合、契約の月毎および年毎予測コストを計算します。
合計で税金を計算する	契約 [ast_contract]	契約が作成または更新されたとき、契約の [税コスト] と [総コスト] フィールドを計算します。
契約履歴	契約 [ast_contract]	契約の開始、終了、契約条件が変更されたときの履歴を保存します。
承認レコードを作成する	契約 [ast_contract]	契約を更新するために契約条件を更新し、契約承認ワークフローを開始します。
契約条件にフラグを立てる	契約条件 [clm_m2m_contract_and_terms]	レコードが契約から関連付けられると[契約条件] レコードの [使用] フラグを **[True]** に設定し、レコードが契約から分離されると **[False]** に設定します。
手動ライセンスのアクティベーション数	ソフトウェア ライセンス インスタンス [ast_license_software_instance]	ソフトウェア ライセンス インスタンスの作成または削除時に、特定のライセンスがインストールされているコンピューターの数を計算して更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

名前	テーブル	説明
契約ライフ サイクルの管理	契約 [ast_contract]	このビジネスルールでは、 • 契約拡張が承認された契約の終了日を更新します。 • 契約の更新が承認され開始日が来たときに契約を更新し、開始日、終了日、基本コスト (コスト調整を適用する必要がある場合) を更新します。 • 条件チェックを実行し、契約が承認されたとき、または拡張や更新が承認されたとき、または開始日や終了日が変更されたときに日付を変更する必要があるかどうかを評価します。
ニュースを停止する	サービス [cmdb_ci_service]	機能停止時にナレッジ テーブルにニュース記事を掲載します。
資産ごとの契約コストを更新する	対象資産 [clm_m2m_contract_asset]	契約に関連付けられた総コストと資産数に基づいて単価の値を更新します。
契約のライフタイム コストを更新する	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	契約経費ラインの合計を計算して契約のライフタイム コストを計算します。
契約日変更後の更新	契約 [ast_contract]	契約の終了日が変更された場合、契約に関連付けられているすべての資産とユーザーの [追加日] フィールドと [削除日] フィールドを更新します。
レートカードの日付変更後の更新	契約レート カード [fm_contract_rate_card]	終了日が変更されると、関連契約資産とレートカードにリンクされたユーザーを更新します。
契約開始日と終了日を確認する	契約 [ast_contract]	契約開始日と終了日、契約更改開始日と終了日を検証します。
購入契約割引価格を確認する	契約 [ast_contract]	契約モデルの購買契約との契約の場合、ビジネスルールでは [割引] フィールドに 0 より小さい値または 99 より大きい値が含まれていないことを確認します。

契約更改ワークフロー

契約更改ワークフローを使用すると、有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約を更改することができます。このワークフローにより、簡素化され管理されたプロセスを介して契約を更改できます。

元の契約を参照する契約レコードを作成、検証、承認、有効化して契約を更改します。このワークフローを使用すると、ハードウェア資産、ソフトウェアエンタイトルメント、契約条件、レートカードなどの関連エンティティを管理できます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

注: 契約更改ワークフローは、ソフトウェアライセンス、サブスクリプション契約、メンテナンス、および保証契約モデルをサポートしています。

契約を更改するには、契約更改ワークフローで次のタスクを実行します。

1. 契約更新要求：有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。
2. 契約の選択：親契約の複数の子契約を更改することができます。
3. ビルドの更新：契約更改情報を入力します。
4. 資産の選択：契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除し、新しい契約に引き継がれる資産を表示します。
5. ソフトウェア資産の選択：契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除し、新しい契約に引き継がれるエンタイトルメントを表示します。
6. 契約条件：新しい契約の契約条件を更新し、新しい契約に引き継がれる契約条件を表示します。
7. レートカード：新しい契約にレートカードの詳細を追加し、契約経費を追跡します。
8. 更新の確認：契約のすべての詳細を入力した後、更新の詳細をレビューします。
9. 更新の承認：すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。
10. 更新発注書：契約の対象となる資産の発注書を受領します。

注:

- タスクをクローズした後に編集することはできません。
- 契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクの契約更改プロセスをキャンセルできます。詳細については、「契約更改プロセスのキャンセルの結果」を参照してください。

必須条件

契約更新ワークフローを使用する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

- ServiceNow インスタンスの ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインをアクティブ化します。

  ハードウェアまたはエンタープライズ資産契約を管理する場合は、代わりに ServiceNow Store から ハードウェア資産管理 または エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求してインストールします。

- *sn_contract_enable_renewal_flow* システムプロパティを有効にします。

  注: 既に ソフトウェア資産管理、ハードウェア資産管理、またはその両方を使用している場合、このシステムプロパティは false に設定されます。新規ユーザーの場合、このシステムプロパティは true に設定されます。

ドメインセパレーション

データ分離を使用したドメインセパレーションは、次の要件を含む契約更改ワークフローでサポートされています。

- 要求は、更改プロセスを開始した契約のドメインに作成されます。
- 要求ラインは、要求ラインの契約のドメイン内にあります。
- タスクは、更新される契約のドメインに作成されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

sn_contract_enable_renewal_flow システムプロパティもドメインセパレーションをサポートしています。

契約更改要求を作成する

有効期限が近づいている契約や期限の切れた契約の契約更改要求を作成します。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

更新要求は、メンテナンス、保証、サブスクリプション、ソフトウェアライセンス、およびサービスの契約に対してのみ作成できます。ソフトウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、サブスクリプション、メンテナンス、およびソフトウェアライセンス契約を更新することができます。ハードウェア資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。エンタープライズ資産管理 アプリケーションのみをインストールしている場合は、メンテナンスおよび保証契約を更新できます。

手順

1. 更改する契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[すべて] > [契約] > [契約更新] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、[期限切れ間近の契約] ウィジェットを見つけます。

     または、[契約とリースの管理] ビューを開き、[すべて] や [メンテナンス] などの契約タイプのタブを選択します。
2. 更新する契約のタイプを [メンテナンス]、 [保証]、[サブスクリプション]、[ソフトウェアライセンス]、または [サービス] のいずれかとして選択します。
3. 選択した契約の [更新] をクリックします。
4. 契約更新要求を送信します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、**[OK]** をクリックします。

     契約更改要求には次の情報が含まれています。
     - 自動生成された一意の番号
     - 契約更改プロセスのタスクのタイプを示すステージ
     - 更改を要求した契約への参照
     - 要求が作成された日時

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

◦ Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合は、[契約を更新] ダイアログボックスが表示されます。ダイアログボックスのフィールドに入力し、[レビューのため送信] をクリックします。

[契約を更新] ダイアログボックス

フィールド	説明
承認者	契約更新要求を承認または却下するユーザー。
オプション	契約の更新期間。
更改開始日	契約の更新が始まる日付。
更改終了日	契約の更新が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用されたコスト調整のタイプ。オプションは、[固定]、[手動]、または **[CPI]** (消費者物価指数) です。
コスト調整率	契約価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。 注: 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。
コスト調整額	契約価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。 注: 契約更改要求では、コスト調整率またはコスト調整額のいずれかを指定できます。両方を指定することはできません。

5. オプション: [契約更改要求ライン] タブを選択して、親契約の更改要求ライン、または親契約の下の既存の有効な子契約を表示します。
   更新される契約ごとに契約更改要求ラインが作成されます。
6. オプション: [タスクを開く] タブを選択して、すべてのオープン契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。
7. オプション: [すべてのタスク] タブを選択して、すべての契約更改フロータスクと各契約更改タスクの詳細を表示します。

タスクの結果
更改される契約のサブステートが [更新中] に設定されます。

次のタスク
親契約に子契約がない場合は、[更改作成タスク (Build renewal task)] を選択します。

親契約に子契約がある場合は、[契約の選択タスク (Contract selection task)] を選択します。

複数の子契約を更改する

契約の選択タスクを使用して、親契約の複数の子契約を更改することができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
このタスクは、更改する契約に有効な子契約があり、まだ未更新でドラフト状況でもない契約更改ワークフローでその子契約がサポートされている場合にのみ作成されます。

手順
1. [契約] フォームで、[関連リンク] セクションの [契約更改要求] タブを選択して、契約更改要求のリストを表示します。
2. 更改要求を選択します。
3. [契約更新タスク] フォームの [更改契約] タブを選択して、選択した契約にリンクされているすべての子契約を表示します。
4. 更改する子契約を指定します。

   a. 子契約の横にあるプレビューアイコン ⓘ を選択してレコードを開きます。

   b. [更改の決定] フィールドで「はい」または「いいえ」と入力して、子契約を更改に含めるかどうかを選択します。
   各子契約の [更改の決定] フィールドに値を入力する必要があります。

5. [更新] を選択します。
   [更改契約] タブの [更改の決定] 列に決定が表示されます。
6. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
親契約と子契約の契約更改要求ラインが [契約更改要求ライン] タブに表示されます。各契約要求ラインには独自のタスクフローがあります。

次のタスク
契約更改情報を指定する

契約更改情報を指定する

更改作成タスクを実行して、契約更改情報を入力します。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
各契約更改要求ラインには独自のタスクフローがあります。

手順
1. 契約更改要求ラインフォームで、更改作成タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新契約の詳細] タブを選択します。
3. 契約更改情報を指定します。

   タスクを閉じる前に、すべての必須フィールドに入力する必要があります。子契約を更改する場合は、親契約の開始日と終了日の範囲内で終了日と開始日を指定する必要があります。

   注: [契約承認者] フィールドは親契約のみで表示されます。すべての子契約に対して同一の契約承認者の値が自動的に入力されます。

4. [タスクをクローズ] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

タスクの結果
新しいドラフト契約が作成されます。

次のタスク
契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新のために資産を追加または削除する

契約更新プロセスに対してハードウェア資産またはエンタープライズ資産を追加または削除します。新しい契約に引き継がれたハードウェア資産またはエンタープライズ資産を表示することもできます。

始める前に
契約更新プロセスに対してハードウェア資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から ハードウェア資産管理アプリケーションを要求します。契約更新プロセスに対してエンタープライズ資産を追加または削除するには、ServiceNow Store から エンタープライズ資産管理 アプリケーションを要求します。

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
更新される契約のアクティブで有効な資産が新しい契約に引き継がれ、[対象資産] タブにリスト化されます。有効なハードウェア資産とエンタープライズ資産は、終了日より前に契約から削除されず、次の状況またはサブステートになっています。

- 状況
  - 在庫あり
  - 輸送中
  - メインテナンス中
  - 使用中
- サブステート
  - 利用可能
  - 予約済み
  - 転送待ち
  - なし
  - 修理待ち
  - インストール待ち

無効な資産はドラフト契約に引き継がれないため、手動で追加する必要があります。

手順

1. 資産を追加する資産選択タスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで資産選択タスク番号を選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択してから、資産に追加する契約を開きます。
2. [対象資産] タブを選択します。
3. コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[編集] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 契約のハードウェア資産またはエンタープライズ資産を更新します。

インターフェイス	アクション
コア UI	[対象資産リスト] に資産を移動するか、資産を削除することで、対象とする資産を指定します。
ハードウェア資産ワークスペース	既存のリストから資産を追加または削除して、対象となる資産を指定します。 ◦ 資産を追加するには、[追加] を選択して必要な資産情報を指定します。 ◦ 資産を削除するには、資産を選択して [削除] を選択します。
Enterprise 資産ワークスペース	既存のリストから資産を追加または削除して、対象となる資産を指定します。 ◦ 資産を追加するには、[追加] をクリックします。[資産を追加] ダイアログボックスで、追加する各資産のチェックボックスをオンにしてから、[追加] をクリックします。 ◦ 資産を削除するには、その資産のチェックボックスをオンにして、[削除] をクリックします。

5. [保存] を選択します。
6. 資産の更新コストを編集します。

   注: このステップは、コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合のみ適用されます。

   a. 更新コストを更新する資産を選択します。
   b. [更新コスト] フィールドで、資産の更新コストを更新します。
   c. [更新] をクリックします。
7. [保存] をクリックします。
8. [契約更新要求ライン] フォームの資産選択タスクで資産を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果

ドラフト契約の [財務] タブの [支払額] フィールドには、選択したハードウェア資産またはエンタープライズ資産の合計更新コストが表示されます。

次のタスク

契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

契約更改のためにエンタイトルメントを追加または削除する

ソフトウェア資産選択タスクを使用して、契約更新プロセスに含めるソフトウェアエンタイトルメントを追加または削除します。新しい契約に引き継がれたエンタイトルメントを表示することもできます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

始める前に
ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) プラグインを有効にする必要があります。

必要なロール：sam_user、contract_manager

このタスクについて
次のライセンスタイプのエンタイトルメントは新しい契約に引き継がれます。

- 無期限およびメンテナンス
- 無期限およびソフトウェア保証
- 無期限のみ

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、ソフトウェア資産選択タスク番号を選択します。
2. ドラフト契約にエンタイトルメントが引き継がれていない場合は、エンタイトルメントを作成します。

   a. 契約更改タスクフォームで、[計画されたエンタイトルメント] タブの [エンタイトルメントを作成] を選択します。

   b. ソフトウェアエンタイトルメントフォームで、必須フィールドに入力します。

      詳細については、「[ソフトウェアエンタイトルメント] フィールド」を参照してください。

   c. [保存] を選択します。

      このエンタイトルメントは既存の更改プロセスに関連付けられているため、更改要求を完了した後に公開できます。

   エンタイトルメントが [計画されたエンタイトルメント] リストに表示されます。
3. オプション: ドラフト契約の既存のエンタイトルメントを更新します。

インターフェイス	アクション
コア UI	a. [編集] を選択します。 b. 対象とするエンタイトルメントを [計画されたエンタイトルメント] に移動または削除して指定します。
ハードウェア資産ワークスペース	(Optional) エンタイトルメントを追加または削除して、対象とするエンタイトルメントを指定します。 ◦ エンタイトルメントを追加するには、[追加] を選択して必要な情報を指定します。 ◦ エンタイトルメントを削除するには、エンタイトルメントを選択して [削除] を選択します。

4. [保存] を選択します。
5. [タスクをクローズ] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
契約条件を更新する

契約条件を更新する

新しい契約の契約条件を更新します。新しい契約に引き継がれた契約条件も表示できます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約条件を追加するタスクまたは契約を開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約更新要求ライン] フォームで契約条件タスク番号を選択します。[更新契約期間] タブを選択し、[編集] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューに移動して、[すべての契約] タブを選択します。契約条件を追加する Enterprise 資産契約を開き、[契約条件] タブを選択します。
2. 契約の契約条件を更新します。

インターフェイス	アクション
コア UI	契約条件を [契約条件] リストに移動するか削除して、契約条件を指定します。
ハードウェア資産ワークスペース	ドラフト契約の契約条件を追加または削除します。 ◦ 契約条件を追加するには、[追加] を選択して必要な情報を入力します。 ◦ 契約条件を削除するには、その契約条件を選択して [削除] を選択します。
Enterprise 資産ワークスペース	ドラフト契約の契約条件を追加または削除します。 ◦ 契約条件を追加するには、[追加] をクリックします。ダイアログボックスで、追加する各契約条件のチェックボックスを選択してから、[追加] をクリックします。 ◦ 契約条件を削除するには、契約条件のチェックボックスを選択してから、[削除] をクリックします。

3. [保存] を選択します。
4. [契約更新要求ライン] フォームの契約条件タスクで契約条件を追加している場合、[タスクをクローズ] をクリックします。

タスクの結果

契約の [契約条件] タブに複数の契約条件が表示されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

次のタスク
新しい契約にレートカードを追加する

新しい契約にレートカードを追加する

レートカードタスクを使用して契約経費を追跡し、新しい契約にレートカードの詳細を追加することができます。

始める前に
コスト管理 [con.snc.cost_management] プラグインが有効である必要があります。

必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
レートカードの詳細は新しい契約に引き継がれません。

レートカードの詳細を契約に追加することは必須ではありません。ドラフト契約にレートカードを追加する必要がない場合は、このタスクをクローズできます。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、レートカードタスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで、[更新レートカード] タブを選択します。
3. [新規] を選択します。
4. 契約レートカードフォームで、財務の詳細を入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] を選択します。
6. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果
レートカードはドラフト契約に添付されています。

次のタスク
契約更改の詳細をレビューする

契約更改の詳細をレビューする

更改確認タスクを使用して、契約の詳細をすべて入力した後、更改の詳細をレビューします。その後、その詳細を承認するか、さらにレビューするために詳細にマークを付けることができます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager

このタスクについて
契約更改要求が承認対象になるためには、このタスクを完了する必要があります。

手順

1. 契約更改要求ラインフォームで、更新確認タスク番号を選択します。
2. 契約更改タスクフォームで更改の詳細を確認します。
3. オプション: [計画されたエンタイトルメント] タブにアクセスして、ドラフト契約のエンタイトルメントのリストをレビューします。
4. このタスクをクローズするかどうかを決定します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レビューの結果	アクション
詳細は正確である	[はい] を選択します。
詳細は正確ではない	a. [いいえ] を選択します。 b. 更改確認タスクフォームで、[更改契約] フィールドの横にあるプレビューアイコンをクリックして契約に移動します。 c. 必要に応じて契約の詳細を更新します。 d. [更改確認タスク] フォームに移動します。 e. [はい] を選択します。

5. [タスクをクローズ] を選択します。

タスクの結果

タスクをクローズすると、すべての契約更改タスクがクローズされるため、契約更改要求ラインの処理が完了します。契約更改要求ラインのステージが [承認待ち] に設定されます。契約更改要求のすべての契約更改要求ラインが処理されると、[契約更改要求] の下に承認タスクが作成されます。

次のタスク

契約更新要求を承認または却下する

契約更新要求を承認または却下する

すべての契約更新要求ラインの契約更新要求を承認または却下します。

始める前に

[更新承認者] フィールドに値を含める必要があります。承認者を変更する必要がある場合は、親契約に移動して、そこで値を調整します。

必要なロール：asset_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約更新の詳細を確認します。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、[契約更新要求] フォームの [タスクを開く] タブを選択します。契約更新要求番号を選択して契約更新の詳細を表示し、[タスクをクローズ] をクリックします。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開きます。[すべての契約] タブを選択し、更新するエンタープライズ資産契約を開きます。[詳細] タブの [更新] セクションで契約更新の詳細を表示します。

   承認要求がトリガーされ、ドラフト契約のサブステートが [レビュー中] に変わります。
2. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI またはハードウェア資産ワークスペースを使用している場合は、 [すべて] > [契約] > [自分の承認] に移動します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
3. 承認待ちの契約更新要求を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

4. 契約更新要求ラインと契約更新タスクを評価します。
5. 契約更新要求を承認または却下します。

アクション	結果
[承認] を選択して要求を承認する	◦ ドラフト契約のサブステートが [承認済み] に変更されます。 ◦ 更新発注書タスクまたは手動発注書タスクが作成されます。
[却下] を選択して要求を却下する	◦ 更改要求が終了します。 ◦ ドラフト契約のサブステートが [却下された更改] に変更されます。

6. オプション: [承認履歴] タブに移動して、契約および子契約の承認または却下の履歴を表示します。

次のタスク
契約資産の発注書を受領する

契約資産の発注書を受領する

更新発注書タスクを使用して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。このタスクは、少なくとも 1 つのハードウェア資産を追加した場合、エンタイトルメントを作成した場合、または [ビルド] ステータスの既存のエンタイトルメントを選択した場合に使用できます。

始める前に
ハードウェア資産またはエンタイトルメントを選択または追加していないか、調達プラグイン (com.snc.procurement) がアクティブでない場合、このタスクは作成されません。代わりに、財務経費を手動で追跡する必要があります。

必要なロール：procurement_user

手順
1. 契約更改要求フォームで、[タスクを開く] タブを選択します。
2. 契約更改要求番号を選択します。
3. [発注書 **(PO)**] タブを選択します。
4. 契約の財務トランザクションをキャプチャする発注書番号を選択します。

   契約の対象となるすべての資産レコードについて、発注明細アイテムが作成されます。各発注書 (PO) のコストは、対象となる各資産の更改コストです。

   発注明細アイテムは、[ビルド] ステータスのエンタイトルメントに対して作成されます。[計画されたエンタイトルメント] タブで追加された各エンタイトルメントは、一意の発注明細に対応します。

5. [注文] を選択します。
6. [受領] を選択して、契約の対象となる資産の発注書を受領します。
   発注書 (PO) の受領では資産のみが更新され、エンタイトルメントは作成されません。

タスクの結果
ドラフトのエンタイトルメントが公開され、ステータスが [使用中] に設定されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注書 (PO) の受け取りが [受領伝票] タブに表示されます。

発注書 (PO) と発注明細のステータスは、[受信済み] に変更されます。更新発注書タスクのステータスが自動的に [完了してクローズ] に変更されます。契約更改要求フローが完了します。

古い契約のサブステートは [更改済み] に設定されます。古い契約と更改された契約の開始日と終了日、更改日を表示する契約履歴レコードが作成されます。[関連リンク] セクションの [契約履歴] タブを選択すると、契約の履歴全体を表示できます。

発注書を受領すると、更改契約のステータスが [ドラフト] ではなくなり、契約が有効になります。更改された契約の開始日に達したものの、発注書 (PO) が受領されていない場合、契約更改要求のステータスは [ドラフト] に設定されたままになります。新しい契約が有効になると、古い契約は期限切れになり、対象資産に終了日が設定されます。

契約更改プロセスのキャンセルの結果

契約更改プロセスをキャンセルすると、契約、契約更改要求、契約更改要求ライン、契約更改タスクのステータスが変更されます。

契約キャンセルの結果

キャンセルされたアイテム	結果
契約更改要求	• 更改要求全体がキャンセルされます。 • 更改中の契約のサブステートがクリアされます。 • すべてのドラフト契約がキャンセルされます。
契約更改要求ライン	• 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • すべての契約更改要求ラインがキャンセルされると、契約更改要求がキャンセルされます。 • 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。
契約更改タスク	• 契約更改タスクと契約更改要求ラインがキャンセルされます。 ◦ 契約更改要求に契約更改要求ラインが 1 つしかない場合、契約更改要求のステージは [キャンセル済み] に変わります。 ◦ 契約更改要求に複数の契約更改要求ラインがある場合、契約更改要求のステージは変わりません。 • 直接の子ドラフト契約の更改がキャンセルされます。 • ドラフト契約のステータスが [キャンセル済み] に変更されます。 • 既にクローズされているタスクのステータスは変更されません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約キャンセルの結果 (続く)

キャンセルされたアイテム	結果
	• オープンタスクのステータスが [未完了でクローズ] に変更されます。 • レートカードは、非アクティブになるドラフト契約に添付されます。 • 更改中の契約のステータスが元のステータスに戻り、サブステートがクリアされます。 • 契約更改タスクに関連付けられているエンタイトルメントが削除されます。
契約	• 契約更改要求に子契約が含まれている場合、直接の子契約の更改はキャンセルされます。 • 契約更改要求ラインがキャンセルされます。 • この契約によって開始された契約更改要求がキャンセルされます。 • 契約と直接の子契約の発注書 (PO) がキャンセルされます。

自動翻訳

契約管理 の使用

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約管理 アプリケーションを使用して、リース、保証、メンテナンス、サービスなどのさまざまなタイプの契約を作成できます。

次の情報を契約に追加することができます。

- 契約の対象範囲である資産
- 契約の対象範囲であるユーザー
- 契約に関連する契約条件
- 契約に関連するその他の文書

契約履歴と実行レポートを表示して、契約のさまざまな段階をドラフトから終了まで追跡します。有効な契約を調整、延長、更改します。

契約ライフサイクル

作成から終了まで、契約はどのフィールドを編集できるかを決定するライフ サイクルに従います。

契約が [ドラフト] 状況の場合、契約レコードのほとんどのフィールドを編集できます。契約が [ドラフト] 状況を通過すると、特定の日付、更改、拡張、財務フィールドが読み取り専用になります。[ステータス] フィールドと [サブステート] フィールドは読み取り専用です。

[契約コンプライアンスチェック] スケジュール済みジョブが、契約 [ast_contract] テーブルで毎晩自動的に実行されます。スケジュール済みジョブの詳細については、「条件チェック定義の使用」を参照してください。このスケジュール済みジョブでは、次のアクションが実行されます。

- 契約が承認され指定された開始日に達すると、契約状態を [有効] にします。
- 契約の更改が承認され指定された開始日に達すると、契約を更改します。
- 契約の状態が [有効] で終了日に達すると、契約の状態を [期限切れ] に変更します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

システムプロパティ *contract_compliance_check_job.enable_override* を使用すると、契約コンプライアンスチェックジョブが階層内のチェックを上書きできるようになります。デフォルトでは、このシステムプロパティは **[True]** に設定されます。親テーブルと子テーブルの同じフィールドでチェックが定義されている場合、契約コンプライアンスチェックジョブは次のことを実行します。

- 親テーブルのレコードについては、テーブルの条件チェックにより、条件で指定された値でフィールドが設定されます。
- 子テーブルのレコードの場合、子テーブルの条件チェックによって親テーブルの条件が上書きされ、それに応じて子テーブルのフィールド値が設定されます。

たとえば、契約 (親) テーブルとリース (子) テーブルの [説明] フィールドでチェックが定義されている場合、[リース] テーブルのフィールドは子テーブルの条件で指定された値に設定されます。契約コンプライアンスチェックの上書き機能を無効にするには、システムプロパティ contract_compliance_check_job.enable_override を **[False]** に設定します。

経費ラインは、有効または期限切れの契約からのみ生成されます。

契約の状況

状態	説明
ドラフト	ユーザーが契約に関する情報を追加し、承認者を指定します。
有効	契約が承認され指定された開始日に達しました。
期限切れ	契約は指定された終了日に達しました。承認待ちの更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [レビュー待ち] となります。更改は承認されたが更改日にまだ達していない、更改ワークフローが有効な期限切れの契約は、サブステートが [承認された更改] となります。有効な更改または拡張の保留ワークフローがない有効期限切れの契約は、サブステートが空欄となります。
キャンセル	契約は中止され、有効ではなくなります。

状態に加えて契約にはサブステートが存在することもあります。

契約のサブステート

サブステート	説明
レビュー待ち	契約はレビュー準備中です。
レビュー中	承認者に契約が送信され、契約を確認しています。
承認済み	契約は承認者によって承認されました。
却下	契約は承認者によって審査されましたが承認されませんでした。
承認された更改	契約更改は承認者によって承認されました。
却下された更改	承認の更新は拒否されました。
更新中	契約更改は契約更改ワークフローを使用して処理中です。
更改済み	契約更改は契約更改ワークフローを使用して完了しました。
承認された延長	契約延長は承認者によって承認されました。
却下された延長	契約延長は承認者によって拒否されました。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約のサブステート (続く)

サブステート	説明
なし	サブステートは指定されていません。

契約

契約とは、2 者間の拘束力のある合意です。

Now Platformでは、契約には契約番号、開始日と終了日、有効なステータス、契約条件、文書、更新情報、財務条件などの詳細情報が含まれています。

契約の作業には、以下のタスクとプロセスが含まれます。

契約を作成する

さまざまな契約モデルを使用して契約を作成します。この契約は、2 者間の拘束力のある合意として機能します。

始める前に

必要なロール：

- コア UI および ハードウェア資産ワークスペース の場合：admin、contract_manager
- エンタープライズ資産ワークスペース の場合：sn_eam.enterprise_admin、sn_eam.enterprise_asset_manager
- ソフトウェア資産ワークスペース の場合：sam_admin、sam_user

このタスクについて

契約に、関連付けられた 1 つ以上のレートカードがある場合、契約フォームのフィールドは編集できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[すべて] > [契約]に移動して、契約タイプ (保険、メンテナンス、サービスなど) を選択するか、[すべて] を選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペース を使用している場合、[契約管理] ビューに移動して、[すべての契約] タブを選択します。
   - エンタープライズ資産ワークスペース を使用している場合、[契約とリース管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - ソフトウェア資産ワークスペース を使用している場合、[ライセンス操作] > [契約] > [ソフトウェア契約]に移動して、[新規] を選択します。
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。
   すべての契約タイプフォームにすべてのフィールドが表示されるわけではありません。

[契約] フォームまたは [新規契約を作成] フォーム

フィールド	説明
契約モデル	契約が割り当てられているモデル。 例として、[リース]、[メンテナンス]、[保証]、[サービス契約]、[ソフトウェアライセンス]、[サブスクリプション] などがあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ベンダー	契約を担当するベンダー。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
契約番号	ベンダーによって契約に割り当てられた番号 (必須)。
名前	契約の名前。
親契約	新しい契約の親契約 (該当する場合)。契約ルックアップリストから親契約を選択できます。
開始日	契約が発効する日付。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
終了日	契約が期限切れとなる日付。無期限の契約を作成するには、終了日を空欄のままにします。 [契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** または **[NDA]** が選択されている場合、このフィールドは必須です。
状況	契約の現状。 ◦ ドラフト ◦ 有効 ◦ 期限切れ ◦ キャンセル
サブステート	契約の現在のサブステート。 ◦ レビュー待ち ◦ レビュー中 ◦ 承認済み ◦ 却下
契約アドミン	契約の管理と、ベンダーとのやり取りに関して責任を負っている人物
承認者	契約を承認または却下するユーザー。 リストはフィルタリングされ、itil ロールを持つユーザーのみが表示されます。
事業主	事業の観点から契約を管理するユーザー。
合意タイプ	ライセンスの合意タイプ： ◦ エンタープライズ ◦ SaaS ◦ 登録 このフィールドは、[契約モデル] で [メンテナンス] および [ソフトウェアライセンス] が選択されている場合にのみ表示されます。
コミットメント	契約の開始から終了まで、この期間中にこのベンダーと過ごすことを約束した金額。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	このフィールドは、[契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
割引	ベンダーが提供することに同意した割引。 このフィールドは、[契約モデル] で [購入契約 **(Purchase Agreement)]** が選択されている場合にのみ表示されます。
契約のない SLA を処理	契約上と契約外の両方のサービスレベルアグリーメント (SLA) を処理するオプション。 このフィールドは、[契約モデル] で [サービス契約] が選択されている場合にのみ表示されます。
説明	契約の詳細な説明。
財務セクション	
請求書の支払条件	契約の支払い方法を説明する条項。例として、翌月支払いや **Net 30** (請求日から 30 日以内に支払う) があります。
支払いスケジュール	支払いを行うときを定義するスケジュール。例として、毎月や毎月があります。
支払額	これまでの契約で支払われた金額
適用可能な税	契約が非課税か消費税の対象であるかを示します。
有効税率	総コストに適用される税率 (該当する場合)。通常、課税される平均税率です。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
税コスト	税の総額。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
総額	調整適用後の契約の最終費用。契約に 1 つ以上のレートカードがある場合、このフィールドにはすべてのレートカードの合計値が表示されます。 このフィールドは、[適用可能な税 **(Applicable taxes)]** で [売上] が選択されている場合にのみ表示されます。
ベンダーアカウント	契約が関連付けられているベンダーアカウント。
発注書番号	契約に割り当てられた発注書番号。
コストセンター	資産に対して財務的に責任を負うコストセンター。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
レートカードあり	契約書に関連するレートカードがあるかどうかを示すチェックボックス。
更新セクション	
自動更新	期限が切れたときに契約を更新または延長できるかどうかを示します。
オプション	契約の更新または拡張の期間。たとえば、1 年です。
更改開始日	契約の更新または拡張が発効する日付。
更改終了日	契約の更新または拡張が終了する日付。
コスト調整タイプ	契約に適用された費用調整のタイプ ◦ 固定 ◦ マニュアル ◦ CPI (消費者物価指数)
コスト調整額	契約の価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。
コスト調整率	契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整] または [コスト調整率] を指定することができますが、両方を指定することはできません。
契約条件セクション	
契約条件	契約に記載されている特定の法的情報。

4. フォームを保存します。
   - コア UI を使用している場合、フォームヘッダーを右クリックして、[保存] を選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペース、ソフトウェア資産ワークスペース、 または Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合は、[保存] を選択します。
5. 表示されている関連リストまたはタブへの情報の入力を続行します。

契約フォームの関連リストまたはタブ

関連リストまたはタブ	説明
対象資産	この契約の対象となるすべての資産の一覧表示。
対象ユーザー	この契約の対象となる全ユーザーの一覧表示。
契約使用者：	この契約で使用されているすべての構成アイテム (CI) の一覧表示。
契約条件	この契約のすべての契約条件の一覧表示。
経費ライン	この契約のすべての経費ラインの一覧表示。
契約履歴	この契約の開始日と終了日の変更および契約条件の変更を表示します。
承認履歴	この契約のすべての承認の一覧表示。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連リストまたはタブ	説明
サービスオファリング	このベンダーのすべてのサービス提供の一覧表示。 この関連リストを表示するには、サービスポートフォリオ管理を有効にします。
契約のサービス コミットメント	このベンダーの製品に対するすべてのサービス コミットメントの一覧表示。 この関連リストを表示するには、サービスポートフォリオ管理を有効にします。

6. 次のアクションのいずれかを実行します。
   - 契約を保存して終了するには、[更新] を選択します。
   - 承認者に通知を送信するには、[レビューのため送信] を選択します。

関連情報

モデル

サービスポートフォリオ管理

サービスオファリングにコミットメントを追加する

契約更改ワークフロー

契約

ソフトウェアメンテナンス契約の例を作成する

契約管理 アプリケーションの一般的な使用例の 1 つは、エンタープライズソフトウェアのメンテナンス支払いを追跡する契約を作成することです。この例を使用して、ソフトウェアメンテナンス契約の作成方法を知ることができます。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

このタスクについて

この例の目的は、時間の経過とともに異なるライセンスの購入とは無関係に、ソフトウェアアプリケーションに支払われなければならないメンテナンスの総額を示す契約を作成することです。この例を使用するには、ソフトウェア資産管理 プラグインを有効にする必要があります。

手順

1. モデル カテゴリに名前の入力とソフトウェア ライセンスを指定したアプリケーション モデルを作成します。
2. 名前とモデル番号を入力したソフトウェア モデルを作成し、手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。
3. 手順 2 で作成したソフトウェアモデルを選択し、新規のソフトウェアエンタイトルメントを作成します。
4. [契約管理] > [契約] > [メンテナンス] に移動します。
5. [新規]をクリックし、次の情報を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

オプション	説明
合意タイプ	[エンタープライズ] を選択します。
アプリケーション モデル	手順 1 で作成したアプリケーション モデルを選択します。

6. フォーム ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
多数の関連リストとセクションが表示されます。
7. [資産対象] 関連リストで、[新規] クリックし、次の情報を入力します。

オプション	説明
資産	手順 3 で作成したソフトウェア ライセンスを選択します。
追加された日付	値を入力します。

8. [送信] をクリックします。
9. 次の情報をフォームに入力して完成させます。

オプション	説明
支払いスケジュール	[毎年] を選択します。
支払額	値を入力します。

10. 必要に応じて他のフィールドに入力します。
11. [更新] をクリックします。
12. レビューのため契約を送信します。

関連情報

ソフトウェア資産管理

契約に資産を追加する

ソフトウェア ライセンスを含む特定の資産と契約を関連付けることができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

資産と契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約管理] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産を追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] 関連リストで、[新規] をクリックします。
     b. [資産] フィールドで、契約の対象となる特定の資産を選択します。
     c. [追加された日付] フィールドで、資産が契約に追加された日付を選択します。

        過去、現在、未来の日付を選択できます。
     d. (オプション) [削除日] フィールドで、契約から削除された日付、または削除される予定の日付を選択します。

        [追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。
     e. [送信] をクリックします。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
     a. [対象資産] タブで、[新規] をクリックします。
     b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産のチェックボックスをオンにします。
     c. [追加] をクリックします。

契約にユーザーを追加する

契約は特定のユーザーを対象とすることができます。たとえば、契約を使用して臨時従業員のグループを雇うことができます。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. [契約管理] > [契約] > [すべて]に移動します。
2. 契約を選択します。
3. [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [ユーザー] フィールドで、契約の対象となる特定のユーザーを選択します。
5. [追加された日付] フィールドで、ユーザーが契約に追加された日付を選択します。
   過去、現在、未来の日付を選択できます。
6. オプション: [削除された日付] フィールドで、ユーザーが契約から削除された、または削除される予定の日付を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[追加された日付] フィールドと [削除された日付] フィールドを指定すると、レポート作成に役立ちます。

7. [送信] をクリックします。

契約に構成アイテムを追加する

契約は構成アイテムに関連付けることができます。構成アイテムと契約をリンクさせることで、契約が法的に何を対象としているかが明確になります。

始める前に

必要なロール：admin または contract_manager

手順

1. [契約] > [すべて]に移動します。
2. 契約を選択します。
3. オプション: [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[新規] を選択して新しい構成アイテムを作成します。
4. [対象となる **CI (CIs Covered)]** 関連リストで、[編集] をクリックします。
5. 左側の[コレクション] 構成アイテムリストで、構成アイテムの名前をダブルクリックします。アイテムが右側の [対象となる **CI** リスト **(CIs Covered List)]** に追加されます。
6. [保存] を選択します。

契約へのドキュメントの追加

契約はドキュメントと関連付けることができます。契約を関連ドキュメントにリンクすると、契約に関するすべての関連情報にまとめて簡単にアクセスできます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[すべて] > [契約] > [契約] > [すべて]に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約にドキュメントを追加します。
   - コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
     a. フォームヘッダーの [添付ファイルの管理] () アイコンをクリックします。
     b. [添付ファイル] ダイアログボックスで、[ファイルを選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

a. 契約レコードのサイドバーにある添付ファイル (📎) アイコンをクリックします。

b. [添付ファイル] ウィンドウで、[選択] をクリックして、契約に追加するドキュメントを検索して選択します。

契約を調整する

契約を作成した後、契約の開始日、終了日、支払い金額などを変更できます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約を調整するには、[ステータス] が [アクティブ] となっている必要があります。契約の終了日が変更されると、関連するすべての資産の終了日がその新しい終了日と一致するように変更されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. ステータスが [アクティブ] の契約を選択します。
3. [調整] をクリックします。
4. [契約を調整] ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

[契約を調整] のフィールド

フィールド	説明
契約開始日	契約が発効する日付。
契約終了日	契約が期限切れとなる日付。
契約支払額	契約に支払われた総額。契約に 1 種類以上のレート カードがある場合、この欄にはすべてのレート カード ベース コストの合計が表示されます。

5. **[Submit Adjustments]** をクリックします。

契約を更新する

契約を作成した後、または契約の有効期限が切れた後、契約を更新することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI またはハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

- 契約情報が更新されると、契約情報と履歴は保持されます。契約の終了日が変更されると、関連する資産の終了日が一致するように変更されます。次の条件を満たす契約を更新することができます。
  - [状態] が [アクティブ] か [期限切れ]
  - [サブステート] が [なし] または [却下済み]

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

     または、[契約管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。

     または、[契約とリースの管理] ビューの [概要] タブを選択します。[契約の概要] セクションで、期限切れが近い契約のリストを表示している [満了間近の契約] ウィジェットを見つけます。
2. 状態が [アクティブ] または [期限超過] の契約を選択します。
3. [更新] をクリックします。
4. [契約をレビュー (Review the Contract)] フォーム (コア UI) またはダイアログボックス (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約をレビュー **(Review the Contract)]** のフィールド

フィールド	説明
承認者	契約を承認または却下するユーザー。
オプション	更新のための期間 (年)。
更改開始日	更新された契約が発効する日付。
更改終了日	更新された契約が期限切れとなる日付。
コスト調整タイプ	更新された契約に適用されるコスト調整のタイプ：[なし]、[固定]、[手動]、または **[CPI]**。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
コスト調整率	更新された契約の価格の増減率。価格の減額を示すには、割合をマイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。
コスト調整額	更新された契約における価格の数値的な増減。価格の減額を示すには、マイナス値で入力します。[コスト調整額] または [コスト調整率] を指定できますが、両方を同時に指定することはできません。

5. 次のいずれかの手順を実行します。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー中] に変更するには、[レビューのため送信] をクリックします。契約は特定の承認者に送信されます。
   - 入力したすべてのデータを保存してサブステートを [レビュー待ち] に変更するには、[保存] をクリックします。[更新] ボタンを押すと、更新された契約を後でレビューするために送信することができます。
6. 必要に応じて[契約] フォームの情報を変更します。
7. [更新] をクリックします。

次のタスク
[保存] オプションを選択した場合、承認のために更新された契約を送信する準備が整ったら、必ず [更新] をクリックしてください。

契約をキャンセルする

[状態] が [アクティブ] のときに契約を取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約がキャンセルされると、以下のプロセスが発生します。

- 契約の [状態] が [キャンセル] に変わります。
- 条件チェッカーが非アクティブに変更されます。
- [更新] と [延長] ボタンが非アクティブになります。
- 契約レートカードが非アクティブになります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約をキャンセル] をクリックします。
4. 契約のキャンセルを確定するには、[はい] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

通知を受け取る契約アドミニストレーターのアサインを確認する

契約の有効期限について契約アドミニストレーターにリマインダーを送信するイベントが自動的に毎晩実行されるので、契約の更新または再交渉を行うことができます。適切な契約アドミニストレーターが契約に割り当てられていることを確認できます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

contract.expiration イベントが 契約 [ast.contract] テーブルで毎晩実行されると、契約アドミニストレーターとして指定された人にメールメッセージが送信されます。このメールは、次の時刻に送信されます。

- 契約の有効期限の 90 日前
- 契約の有効期限の 60 日前
- 契約の有効期限の 30 日前
- 契約の有効期限当日

アドミンロールを持つユーザーは、契約通知を処理する contract.expiration 条件チェックを編集できます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約アドミン] フィールドに正しい名前が含まれていることを確認します。
   単名を指定することができます。

関連情報

条件チェック定義

メール通知/SMS 通知

承認のために契約を送信する

[ドラフト] ステータスにある契約を、承認のため送信することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. ステータスが [ドラフト] の契約とサブステートが [レビュー待ち] の契約を選択します。
3. 契約の [承認者] を選択します。
4. [レビューのため送信] をクリックします。
   選択した承認者に電子メール メッセージが送信され、契約の [サブステート] が [レビュー中] に変更されます。

契約を承認または却下する

契約責任者の場合は、契約を承認または却下できます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 契約および契約更新要求のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合は、[すべて] > [契約] > [自分の承認] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[自分の承認] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[自分の契約承認] タブを選択します。
2. [要求済み] ステータスの契約を選択します。
3. 契約を承認または却下します。
   - 契約を承認します。
     - コア UI で契約を承認するには、[承認] をクリックします。契約の [サブステート] が [承認済み] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を承認するには、[ステータス] フィールドを [承認済み] に設定します。
   - 契約を却下します。
     - コア UI で契約を却下するには、[却下] をクリックして、[コメント] フィールドに却下の理由を入力します。契約の [サブステート] が [却下] に変更されます。
     - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースで契約を却下するには、[ステータス] フィールドを [却下済み] に設定します。
4. [更新] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- [ステータス] が [ドラフト] に設定されており、[開始日] が将来の日付に設定されている契約は、開始日に達するまで [ドラフト] のステータスのままとなります。契約の [サブステート] が [承認済み] の場合、システムにより [状態] が [アクティブ] に変更され、[サブステート] の値が削除されます。
- [状態] が [ドラフト] となっており [開始日] が過去の日付に設定されている契約が承認されると、契約の [状態] が自動的に [アクティブ] に変更され [サブステート] が空欄になります。

契約の承認履歴を表示する

契約フォームの [承認履歴] 関連リストから、契約の承認履歴を表示させることができます。

始める前に

必要なロール：workflow_admin、admin、または sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

レビューのために契約が承認者に送信された後には、承認者の名前を変更できません。承認者が契約を却下した場合、承認のために再度送信される前に、同一の承認者または別の承認者を指定することができます。契約がレビューおよび承認されると、承認履歴レコードが契約フォームの [承認履歴] 関連リストに自動的にリスト化されます。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [承認履歴] タブを選択します。
4. 承認の詳細を表示するには、レコードをクリックします。

契約条件

契約に契約条件を追加して、契約に関連するすべての文書を 1 箇所に保管することができます。

契約条件は、検索してレポートで使用することができます。1 件の契約に複数の契約条件レコードが追加されている場合は、レコードが特定の順序で表示されるようにレコードの順序を設定します。契約条件が承認のために送信された後、契約条件フィールドは読み取り専用になります。

contract_manager ロールを持つユーザーは、契約履歴を読んで契約条件を追加できます。

契約に契約条件を追加する手順は 3 つあります。

契約条件レコードを作成する

契約に追加する契約条件レコードを作成することができます。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 契約の契約条件のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[すべて] > [契約] > [契約] > [契約条件] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[契約条件] タブを選択します。
2. [新規] をクリックします。
3. [契約条件] フォーム (コア UI) または [新規契約条件を作成 (Create New Terms and Conditions)] フォーム (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、フィールドに入力します。

[契約条件] フォームまたは [新規契約条件を作成] フォーム

フィールド	説明
番号	契約条件に使用される一意の ID。このフィールドは、自動的に生成されます。
名前	契約条件の名前。
契約	契約にリンクします。
使用済み	契約に契約条件が関連付けられているかどうかを示すチェックボックス。
説明	契約条件の詳細。

4. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

契約に条件を追加する

契約条件レコードを作成した後、[レビュー待ち]、[却下]、[却下された更新]、または [却下された延長] サブステートにある契約にレコードを追加します。

始める前に

必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて

契約条件は、作成時にのみ契約に追加できます。契約が承認された後は、契約条件を変更できません。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に契約条件を追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
  a. [契約条件] 関連リストで、[新規行を挿入] をダブルクリックします。
  b. 参照ルックアップアイコンをクリックし、リストから契約条件レコードを選択します。
  c. (オプション) [順序] に番号を入力して、契約条件のドキュメントに表示するレコードの順序を指定します。

  注: 1 つの契約の重複する契約条件レコードを入力してレコードを保存しようとすると、エラーメッセージが表示され、新しい重複レコードは追加されません。

- ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
  a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。
  b. プロンプトが表示されたら、必要な情報を入力します。
- Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。
  a. [契約条件] タブで、[追加] をクリックします。
  b. ダイアログボックスで、追加する各契約条件のチェックボックスを選択します。
  c. [追加] をクリックします。

契約内で契約条件を作成する

1 件以上の契約条件レコードを契約に追加した後で、契約の中で契約条件のドキュメントを作成することができます。

始める前に
必要なロール：admin、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
条件レコードは、[順番] フィールドで指定された順序で追加されます。

手順
1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約管理] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 1 つ以上の契約条件レコードが [契約条件] タブに追加されていることを確認します。
4. [契約条件] タブで、契約の契約条件を作成します。
   - コア UI を使用している場合は、[契約条件の作成] 関連リンクをクリックします。
   - ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約条件の作成] をクリックします。

   [契約条件] リストのすべてのレコードが、契約の [契約条件] に追加されます。
5. [更新] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約レート カードを作成する

レート カードを作成して契約経費を追跡することができます。レート カードを使用すると、費用を記録して割り当てるのに便利です。

始める前に

レートカードを使用するには、コスト管理プラグインをアクティブ化する必要があります。
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて

契約レート カードは契約の詳細な価格情報を提供し、自動的に経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

次のようなケースを考えてみましょう。ある組織がデータ センター内の技術業務を監督するサードパーティの会社と契約しているとします。ニューヨークのデータセンターで特定のサーバーモデルを使用する場合の契約コストは、マドリードのデータセンターで同じサーバーモデルを使用する場合と異なります。これらの費用を個別に詳述する 2 種類のレート カードがあります。

手順

1. [契約管理] > [契約] > [すべて]に移動します。
2. 契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. 契約レートカードフォームで、フィールドに入力します。
   フィールド値の説明については、「契約レートカードフォーム」を参照してください。
5. [送信] をクリックします。

関連情報

- 経費の割り当て
- 経費でビジネスサービスを使用する

契約レートカードフォーム

契約レートカードフォームを使用すると、契約の詳細な価格情報を提供することで、自動的に経費の経費ラインを生成することができます。同じ契約に複数のレート カードが存在することもあります。

フィールド	説明
番号	契約レートカードの番号。
契約	内部契約番号。
サマリータイプ	契約レートカードタイプ。レート カードを分類するとレポート作成に便利です。ビジネスを成長、 ビジネスを運営、 ビジネスを変革から選択できます。
名前	契約レートカードのわかりやすい名前。
有効	レートカードが使用可能かどうかを示すオプション。
簡単な説明	契約レートカードの簡単な説明。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
開始日	契約レートカードが有効になる日付。指定された日付以降に発生した費用について経費ラインが作成されます。財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
終了日	契約レートカードが無効になる日付。財務計算を有効にするため契約の終了日以降の日付を設定することはできません。値が入力されておらず、契約に終了日がある場合、日付は自動的に契約の終了日に設定されます。終了日以降に発生した費用の経費ラインは作成されません。
間隔	レート カードの請求期間の間隔。たとえば、[毎月]、 **[4** 半期]、[毎年] があります。
コストセンター	レートカードに対して財務的に責任を負うコストセンター。
前回処理	レート カードが請求された直近の日付。
次のプロセス	次にレート カードを請求する日。
説明	レート カードの詳細情報。
売上税	合計費用に売上税を適用するかどうかを示すオプション。
税率	総コストに適用される実効税率。税率は通常、課税される平均税率です。
コストを配賦	[ベースコスト] フィールドに表示された金額を配賦して経費ラインを作成する方法。
値	[コストを配賦] フィールドで [値ごとにコストを割り当ておよび配賦] が選択されている場合に使用する値のタイプ。
ベースコスト	支払われなければならない課税前の金額。
税コスト	税の総額。
総コスト	税金などの調整を適用した後のレートカードの最終費用。

自動翻訳

経費ラインを作成する

通常、経費ラインは資産またはユーザーに基づいて自動的に生成されますが、必要に応じて手動で新規の経費ラインを登録することができます。

始める前に

必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約管理] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費ライン] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) で、[新規] をクリックします。
4. フォームに入力します。

経費ラインの表

フィールド	説明
番号	経費ラインを識別する一意の番号。
日付	経費ラインが作成された日付。
レートカード	経費ラインが関連付けられているレートカードの識別番号。
レートタイプ	経費ラインの生成時に考慮されるレートタイプ。このフィールドは読み取り専用です。
ソース ID	経費ラインに関連付けられているアイテムの識別番号。このフィールドが入力されると、対応する情報がこのフォームの [ソース] フィールドに自動的に追加されます。
総計	[ソース **ID**] フィールドで指定されたアイテムの金額。貸方を指定する場合は負の値を入力します。
処理日	経費ラインが処理される日付。
継承	経費ラインが別の経費ラインにあるかどうかを示すチェックボックス。
状態	経費ラインの現在の状態 ([保留中] または [処理済み])。
サマリータイプ	経費ラインのカテゴリ：ビジネスを成長、ビジネスを運営、またはビジネスを変革。経費ラインの分類はレポート作成の際に役立つ可能性があります。
簡単な説明	経費ラインの簡単な説明。
資産	経費ラインに関連付けられている資産の識別番号 (存在する場合)。
固定資産	この経費ラインに資産が含まれている固定資産。固定資産は、1 つ以上の個別の資産 (ハードウェア資産やソフトウェア資産など) を保持するコンテナーです。名前付きの [資産] が固定資産に含まれている場合、このフィールドには適切な固定資産が自動的に入力されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
契約	[資産] に関連付けられている契約の識別番号 (契約番号ではない)。
ユーザー	[資産] に関連付けられているユーザーの名前 (存在する場合)。
構成アイテム	経費ラインに関連付けられている構成アイテムの名前 (存在する場合)。
タスク	経費ラインに関連付けられているタスクの識別番号 (存在する場合)。
コストセンター	[ソース **ID**] で識別されたアイテムを財務的に担当するコストセンター。

5. [送信] (コア UI) または [保存] (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) をクリックします。

資産またはユーザーに基づいた経費ラインを生成する

経費ラインは、特定の時点での経費の金額と、経費が発生または生じた記録です。契約に割り当てられた資産またはユーザーに基づいて、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

このタスクについて
経費ラインを生成するには、手順が 3 つあります。

手順

契約にユーザーまたは資産を追加する

契約にユーザーまたは資産を追加して、経費ラインを生成することができます。

始める前に
必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約管理] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. 契約に資産またはユーザーを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- コア UI を使用している場合は、次の手順を使用します。
  a. [対象資産] または [対象ユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
  b. [資産] または [ユーザー] を指定します。
  c. [追加された日付] を指定します。
  d. [送信] をクリックします。
  e. (オプション) 前の手順を繰り返して、資産またはユーザーをさらに契約に追加します。
- ハードウェア資産ワークスペースまたは Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、次の手順を使用します。

  注: Enterprise 資産ワークスペースの契約にユーザーを追加することはできません。

  a. [対象資産] タブまたは [対象ユーザー] タブで、[新規] をクリックします。
  b. ダイアログボックスで、契約に追加する各資産またはユーザーのチェックボックスを選択します。
  c. [追加] をクリックします。

レート カードを作成し、ユーザーまたは資産を割り当てます

レート カードを作成する際にユーザーまたは資産を割り当てることができます。契約に割り当てられているユーザーまたは資産のみ割り当てることができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順
1. [契約管理] > [契約] > [すべて]に移動します。
2. 割り当てられたユーザーまたは資産の契約を選択します。
3. [契約レート カード] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [開始日] を指定します。
   財務計算を有効にするため契約の開始日以前の日付にすることはできません。
5. ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。
6. [資産対象] または [レートカードユーザー] 関連リストで、[新規] をクリックします。
7. 契約に割り当てられている[資産] または [ユーザー] を選択します。
   親契約に関連付けられている資産とユーザーのみが一覧表示されます。
8. [追加された日付] を指定します。
9. [送信] をクリックします。

レート カードの費用生成を設定する

レート カードに資産またはユーザーを追加した後には、契約の [財務] セクションにある[コストを配賦] フィールドを使用して、レート カード費用を生成することができます。

始める前に
必要なロール：financial_mgmt_user、asset、または contract_manager

手順
1. [契約管理] > [契約] > [すべて] に移動します。
2. 費用を生成する契約を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [契約レートカード] 関連リストで、レートカードを選択します。
4. [コストを配賦] で、次のいずれかのオプションを選択して [ベースコスト] に一覧表示されている金額を配賦します。

オプション	説明
経費ラインを資産全体に均等に分割	[資産ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 たとえば、ベースコスト 100 USD と資産 2 つで、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
資産価値に基づいて資産間の経費ラインを分割	[値ごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 [値] フィールドに [コスト] と [残余コスト] オプションが表示されます。コストは資産レコードの [コスト] または [残余コスト] フィールドより導出されます。レート カードに複数の資産がある場合、コストまたは残存コストは資産の価値に基づいて分配されます。 たとえば、ベースコストが 100.00 USDで 70 USD の資産 1 つ、30 USD の資産 1 つで [コスト] オプションを選択すると、1 件が 70 USD、もう 1 件が 30 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
経費ラインをユーザー間で均等に分割	[ユーザーごとにコストを割り当ておよび配賦] を選択します。 たとえば、ベースコストが 100 USD で契約上にユーザーが 2 人いると、50 USD の経費ラインが 2 件作成されます。
個々の資産の代わりに契約にコストを割り当てる	[契約にコストを割り当て] を選択します。

5. [更新] をクリックします。
レートカードの [開始日] と [終了日] の間に発生した費用は、スケジュール済みジョブによって自動的に生成されます。スケジュール済みジョブである *Process FM Costs* は、契約 [ast_contract] テーブルで 1 日 1 回実行されます。経費ラインは、[有効] または [期限切れ] 状態の契約からのみ生成されます。期限切れの契約で経費ラインを生成し、前回の経費を追跡することができます。

関連情報

契約ライフサイクル

契約の経費ラインを表示する

[経費ライン] 関連リストまたはタブを使用して、特定の契約に記録されたすべての経費を表示および監査します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：asset、financial_mgmt_user (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [経費ライン] 関連リスト (コア UI) またはタブ (ハードウェア資産ワークスペースおよび Enterprise 資産ワークスペース) を選択します。
4. 表示する経費ラインを選択します。
   経費ライン、契約の総コスト、契約の現在価値などの情報が一覧表示されます。

契約を監視する

契約履歴を表示して契約レポートを作成することにより、契約を監視できます。

始める前に
必要なロール：asset、contract_manager (コア UI およびハードウェア資産ワークスペースのみ)、sn_eam.enterprise_admin (Enterprise 資産ワークスペースのみ)、または sn_eam.enterprise_asset_manager (Enterprise 資産ワークスペースのみ)

このタスクについて
契約開始日、終了日、契約条件のいずれかに変更があった場合、契約のコピーが自動的に保存され、契約履歴に格納されます。これは契約の変更を追跡して監査証跡を保持するのに便利です。[契約履歴] 関連リストまたはタブを、作成や更新用の列を含めて構成すると、契約の編集者が簡単に分かるようになります。

手順

1. 展開で使用される契約のリストを開きます。
   - コア UI を使用している場合、[契約] > [契約] > [すべて] に移動します。
   - ハードウェア資産ワークスペースを使用している場合、[契約管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
   - Enterprise 資産ワークスペースを使用している場合、[契約とリースの管理] ビューを開いて、[すべての契約] タブを選択します。
2. 契約を選択します。
3. [契約履歴] 関連リスト (コア UI) またはタブ ([ハードウェア資産ワークスペース] および [Enterprise 資産ワークスペース]) を表示し、次のいずれかのアクションを実行します。
   - 契約に以前のバージョンが存在する場合、[契約開始] 列の日付をクリックしてバージョンを表示します。
   - 契約に以前のバージョンが存在しない場合は、契約の[開始日] または [終了日] を変更します。ヘッダー バーを右クリックし、[保存] を選択します。[契約履歴] 関連リストで、[契約開始] 列の日付をクリックして以前のバージョンを表示します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

契約レポートを実行する

契約の追跡と管理に役立つさまざまなレポートが用意されています。

始める前に
必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. [すべて] > [レポート] > [表示/実行]に移動します。
2. 実行する次のいずれかのレポートを選択します。

契約レポート

レポート	説明
ユニット当たりのコスト別アクティブな契約	ユニット当たりの平均コスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ライフタイム コスト別アクティブな契約	ライフタイム コスト別のアクティブな全契約に関連するレート カードを含んで、昇順でグループ化。総コストは、契約の開始時からレポート実行日までの間で起算されます。
月額コスト別アクティブな契約	1 か月当たりのコスト別のアクティブな全契約を、昇順でグループ化。
ベンダー別アクティブな契約	ベンダー別のアクティブな全契約のアルファベット順。
年間コスト別アクティブな契約	年間コスト別のアクティブな契約を、昇順にグループ化。
状態別全契約	[ドラフト]、[アクティブ]、[期限切れ] など、契約を状態別にグループ化 (棒グラフで表示)。
タイプ別全契約	アクティブな全契約をタイプ別にグループ化 (円グラフで表示)。
資産契約リスト	契約番号別の資産のアクティブな全契約。
タイプ別契約支出	リース、メンテナンス、保証などタイプ別の契約経費の合計 (棒グラフで表示)。
ベンダー別契約支出	特定のベンダーに関連する全契約の総コスト (棒グラフ形式)。
契約パイプライン レポート	状態が [ドラフト]、 [アクティブ]、[期限切れ] のいずれか、またサブステートが [レビュー待ち] または [レビュー中] の全契約 (棒グラフで表示)。
期限切れが間近の契約	今後 90 日以内に期限切れになるすべての契約。

条件チェック定義

条件チェック定義を使用すると、レコードのフィールド値を変更する時期を示す論理条件を定義できます。

[システムスケジューラ] > [スケジュール済みジョブ] で、*Contract Compliance Checks* と呼ばれるスケジュール済みジョブが、条件チェッカーを実行して、毎日これらの条件チェック定義を評価します。このジョブを実行すると、条件チェック定義を実行する ConditionChecks スクリプトインクルードがトリガーされます。この条件チェッカーを使用して、開始日と終了日を確認し、契約の有効期限を設定します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

たとえば、契約の開始日を 3 月 1 日とします。条件チェッカーが 3 月 1 日に実行されると、契約の [サブステート] が [承認済み] となっているか検証され、[開始日] フィールドに基づいて契約の [ステータス] が [アクティブ] に設定されます。

日次条件チェッカーは、契約の [終了日] に基づいてアクティブな契約に適切な有効期限のレベルを設定します。有効期限のレベルは [契約] リストで確認できます。有効期限のレベルを知ることで、契約アドミニストレーターは期限が切れる前に契約を更新または延長することができます。

条件チェックを定義する

条件チェックを定義して、*Contract Compliance Checks* スケジュール済みジョブが夜間に実行されるごとに契約にある値を変更します。

始める前に

必要なロール：contract_manager または admin

手順

1. [すべて] > [契約] > [管理] > [条件チェック定義]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。

条件チェック定義フィールド

フィールド	説明
テーブル	この条件が適用されるテーブル。契約チェック定義の場合、契約 **[ast.contract]** を選択します。
カテゴリ	条件チェックのカテゴリ。[契約] または [なし] を選択します。カテゴリは情報とレポートを整理するために使用されます。
条件フィールド	更新されるフィールド。通常、[有効期限レベル] か [状態]。
イベント名	この条件のフィールドの値が変更されたときに発生するイベントの名前。<table_name>.<condition_field> を使用して名前を作成します。 例：`contract.validation`
順番	条件が評価される順番。

4. ヘッダーを右クリックし、[保存] をクリックします。
   [条件] 関連リストが表示されます。
5. [条件] 関連リストで、[新規] をクリックします。
6. フォームに入力します。

条件フィールド

フィールド	説明
名前	期限切れ条件が満たされている場合、フィールドに設定される値。
条件チェック	関連する条件チェック。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
テーブル	条件チェックに関連付けられたテーブル。
イベント名	この条件が発動するイベントの名前。
期限切れ条件	この値 ([名前]) に設定されている[条件チェック] フィールドが True となる必要のある条件。 必要とされる数の条件を追加します。
適合状態	システムフィールド。使用しません。
順番	条件が評価される順番。[有効期限切れ条件] が True となる最初の一致条件が使用され、他の条件はチェックされません。

7. [送信] をクリックします。
   条件チェック フォームが開き、関連リストに新しい条件が一覧表示されます。
8. オプション: 上記の手順に従って、必要に応じて条件を追加します。

ドメインセパレーションと 契約管理

契約管理 ではドメインセパレーションはサポートされていません。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル: サポートなし

- ドメインフィールドがデータテーブル に存在している可能性がありますが、データを管理するロジックがありません。
- このレベルでは、ドメイン分割は考慮されません。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

調達

調達マネージャーは、ServiceNow® 調達 アプリケーションを使用して発注書 (PO) を作成し、サービスカタログ要求を履行するためのアイテムを取得することができます。

調達 では、次の機能を実行できます。

- サービスカタログ要求の追跡
- 発注書 (PO) の作成
- 転送注文の登録、管理
- 資産の受領

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達のロール

調達アプリケーションは次のロールを使用します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 調達の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書 (PO)を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

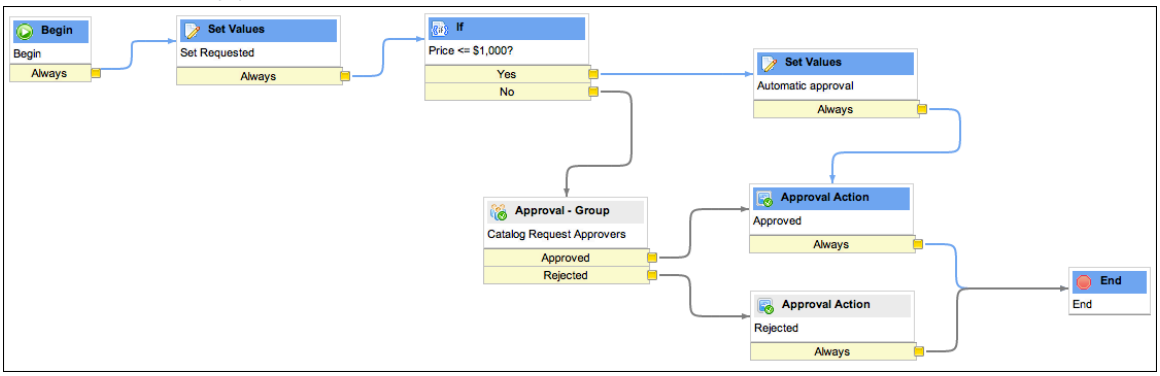
自動翻訳

Procurement のワークフロー

調達では次のワークフローが使用されます。

- サービスカタログ要求ワークフローでは、サービスカタログから注文されたアイテムが 1,000 ドルを超えると、承認が必要となります。

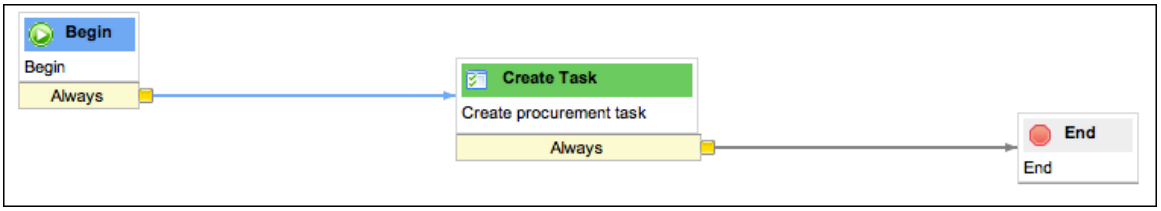
サービスカタログ要求ワークフロー



© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ソース要求ワークフローでは、調達マネージャーが転送注文や発注書を作成してアイテムを調達できるように、カタログタスクが作成されます。

ソース要求ワークフロー



これらのワークフローはベース システムで提供されています。グラフィカルなワークフローエディターでこれらのワークフローを編集したり、組織の調達ニーズに合わせてワークフローを作成することができます。

関連情報

ワークフロー

調達概要モジュールを使用する

調達概要ホームページのゲージを使用すると、要求、発注書 (PO)、および調達プロセスのその他の重要な側面の追跡、管理に役立ちます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [すべて] > [調達] > [概要] に移動します。
2. 詳細情報を取得するには、ゲージ内の要素をクリックします。

Example
たとえば、要求番号をクリックすると、要求レコードが表示されます。

調達 をアクティブ化する

コアの調達機能となる 調達 プラグインをアクティブ化できます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin、procurement_user

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。
2. フィルター基準と検索バーを使用して調達プラグイン (com.snc.procurement) を検索します。

   名前または ID でプラグインを検索できます。プラグインが見つからない場合は、ServiceNow 担当者から要求する必要があります。

3. [インストール] を選択して、インストールプロセスを開始します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** ドメインセパレーションと代理アドミンがインスタンスで有効になっている場合、管理ユーザーはグローバルドメインに含まれている必要があります。それ以外の場合、次のエラーが表示されます：「別の操作が実行されているため、アプリケーションのインストールは利用できません：<プラグイン名> のプラグインの有効化 (`Application installation is unavailable because another operation is running: Plugin Activation for <plugin name>`)」

インストールが完了するとメッセージが表示されます。

調達でインストールされるコンポーネント

調達にはいくつかのタイプのコンポーネントがインストールされています。

デモ データは調達で利用可能です。デモ データには、サンプル要求、発注書、発注明細、受領伝票があります。

調達でインストールされるビジネスルール

調達プラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
残り数量を調整する	発注明細 [proc_po_item]	注文額から受領した金額を差し引くことによって、発注明細で受注したアイテムの残量を計算します。
調達要求ができる	要求 [sc_request]	要求が調達されるかどうかを確認します。
Procurement 注文を取り消す	要求 [sc_request]	要求の状態が [キャンセルしてクローズ] に変更された場合、未受信の発注書 (PO) と要求アイテムが含まれている未出荷の転送注文ラインを取り消します。
要求アイテムが調達済みになっているか確認する	要求アイテム [sc_req_item]	要求されたすべてのアイテムが調達済みになっている場合、親要求の [調達済み] フィールドを **[True]** に設定します。
要求が調達可能か確認する	要求アイテム [Sc_req_item]	要求アイテムに関連付けられた要求が調達できるかどうかを確認します (転送注文またはベンダーへの発注書を作成して取得します)。
資産を作成する	受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注明細が利用可能な場合、明細の資産を受領したときに受領明細の資産を作成します。
ロールアップ状況とアセットの削除の処理	発注明細 [proc_po_item]	発注明細がキャンセルまたは受領された場合、それらを管理します。発注明細が取り消されると、このビジネスルールは事前に作成された資産を削除します。 このビジネスルールは、同じ発注書を共有する他の発注明細のステータスも確認し、必要に応じて発注書 (PO) のステータスを更新します。たとえば、最後の発注明細が受領されると、発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
既存の転送注文 - 調達に TOL をリダイレクトする	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	転送注文が [ドラフト] ステージにあり、[配送元ストックルーム] と [配送先ストックルーム] が転送注文 ラインと同じ値である場合、既存の転送注文に転送注文 ラインを添付します。
送料の変更	発注書 [proc_po]	出荷レートが変更された場合、発注書 (PO) の総コストを再計算します。
状態の変更	転送注文 ライン [alm_transfer_order_line]	関連する転送注文 ラインのステータスが [受領済み] に変更された場合、要求アイテムも [受領済み] としてマークします。
状態の変更	発注明細 [proc_po_item]	発注明細が注文された時間を設定し、発注明細が受領された時間に元の要求アイテムを更新します。
発注書 (PO) の状態の変更	発注書 [proc_po]	関連する発注書 (PO) のステータスが変更されたときに、発注明細のステータスを変更します。
総コスト	発注明細 [proc_po_item]	個々のアイテムのコストと注文数量に基づいて総注文コストを計算します。発注明細を受領した際、このビジネスルールには次の手順も実行します。 • 別の値を入力しない限り、[表示価格] フィールドに [コスト] の値を入力します。 • [合計表示価格] と [注文数量] の値を掛けて、[合計表示価格] フィールドの値を計算します。
発注書 (PO) の納品予定日の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注書 (PO) の [納品予定日] を最新の発注明細の [納品予定日] に設定します。
発注書 (PO) の納品予定日の更新	発注書 [proc_po]	次の条件のうち少なくとも 1 つが当てはまる場合、関連する発注明細の [納品予定日] を発注書 (PO) の [納品予定日] に設定します。 • 発注明細に納品予定日がない。 • 発注明細の納品予定日は発注書 (PO) の納品予定日より遅い。 • 発注明細の納品予定日は発注書 (PO) の前納入日付と同日。
注文日の更新	発注書 [proc_po]	[注文日] フィールドを、発注書 (PO) のステータスが [注文済み] に設定されている日時に設定します。
発注書 (PO) の更新	発注明細 [proc_po_item]	発注明細のコストが変更された場合、発注書を更新します。
発注明細の更新	受領明細 [proc_rec_slip_item]	受領明細を受け取った際、関連する発注明細の[受領済み数量] フィールドを更新します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ビジネスルール	テーブル	説明
要求アイテム CI の更新	ハードウェア [alm_hardware]	調達プロセス中に作成された関連するハードウェア CI に、カタログ タスクと要求アイテムの [構成アイテム] フィールドを設定します。

関連情報

ビジネスルール

調達でインストールされるクライアントスクリプト

調達プラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

クライアントスクリプト	テーブル	説明
要求が空欄でない場合は要求アイテムを隠す	カタログ タスク [sc_task]	タスクが要求アイテムに関連付けられており、要求には直接関連付けられていない場合、タスクの要求アイテムと要求アイテムの要求元の値を表示します。それ以外の場合、タスクが要求に関連付けられていたらクライアントスクリプトは要求と要求元の値を表示します。
発注明細の必須	受領明細 [proc_rec_slip_item]	関連する受領伝票に一覧表示された発注書 (PO) がある場合、受領伝票フォームの [発注明細] フィールドを必須に変更します。

関連情報

クライアントスクリプト

調達でインストールされるスクリプトインクルード

調達プラグインは、次のスクリプトインクルードを追加します。

スクリプトインクルード	説明
ProcurementUtils	Procurement のユーティリティを提供します。

調達でインストールされるテーブル

調達プラグインは、次のテーブルを追加します。

テーブル	説明
発注書 [proc_po]	注文アイテム、注文アイテムのコスト、ベンダーに注文したアイテムを必要とするユーザーに関する情報を保存します。 **注:** asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
発注明細	発注書で注文されたアイテムや数量に関する情報を保存します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
[proc_po_item]	**注:** asset、procurement_user、inventory_admin、contract_manager ロールは、レポートにのみアクセスできます。contract_manager および Inventory_admin ロールの場合、ハードウェア資産管理プロフェッショナル (com.sn_hamp) プラグインをアクティブ化する必要があります。
受領伝票 [proc_rec_slip]	発注書で注文されたアイテムの受領情報を保存します。複数の受領明細を参照できます。
受領明細 [proc_rec_slip_item]	発注されたアイテム、発注された数量、発注者など、特定の発注明細で発注されたアイテムに関する受領情報を保存します。

調達でインストールされるユーザーロール

調達プラグインは、次のユーザーロールを追加します。

ロール	ロールを含む	説明
procurement_admin	procurement_user	要求なしで発注書を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。 調達の概要モジュールでゲージを更新、追加、削除、再配置することができます。
procurement_user	financial_mgmt_user、model_manager	要求なしで発注書 (PO)を作成できます。要求と要求されたアイテムを閲覧できます。転送注文を閲覧できます。要求のアイテムを調達する際に、発注書や転送注文を作成することができます。ベンダー カタログを閲覧できます。Procurement の概要モジュールでゲージを表示、更新できます。

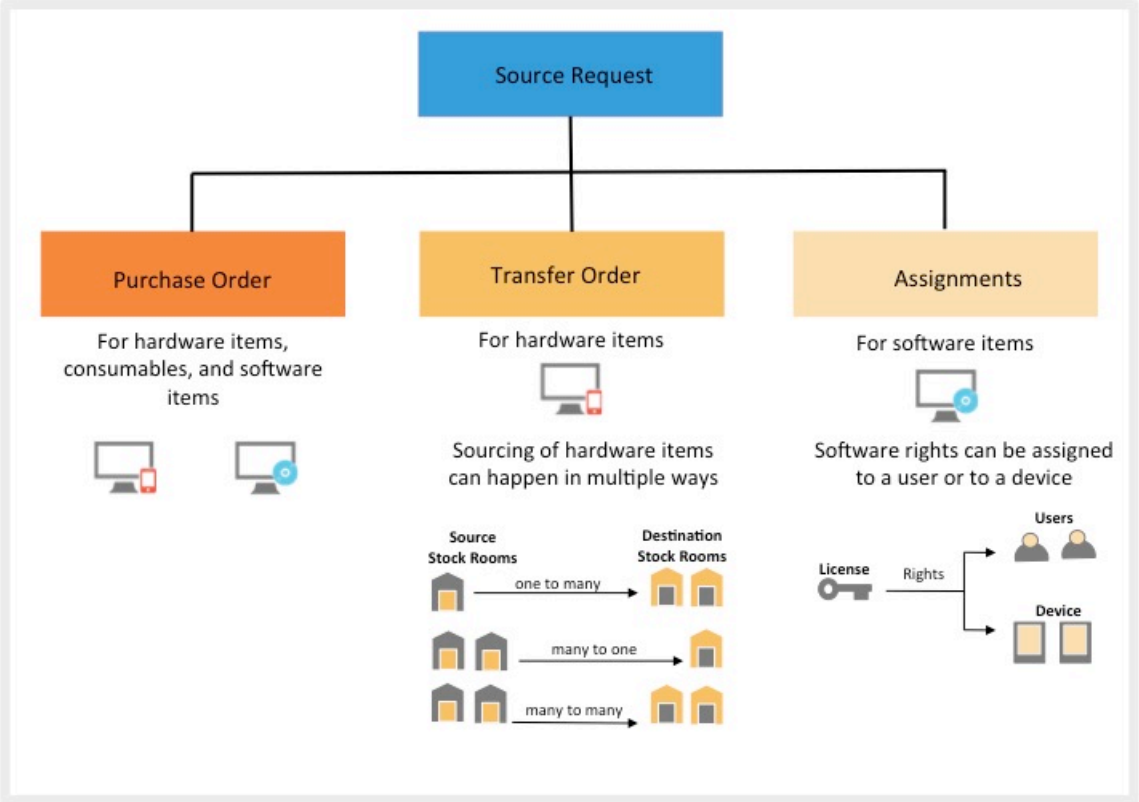
サービスカタログ要求でのアイテムの調達

サービスカタログ要求には、調達する必要のある複数のアイテムが含まれていることがあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求アイテムを調達する方法



注: 割り当てられたモデルを持つアイテムのみ調達可能です。バンドルを調達することはできません。

ローカルストックルームからの要求アイテムの調達

要求者のローカルストックルームで利用可能な資産を使用して、サービスカタログ要求を履行できます。在庫にある資産が予約され、要求を調達して履行するための履行タスクが作成されます。

その他のストックルームからの要求アイテムの調達

要求されたアイテムの在庫がない場合は、発注書を作成して、他のソースストックルームからローカルストックルームにアイテムを配送できます。1 つの発注書で複数のアイテムを要求できます。

発注書を作成した後には、要求アイテムを受け取る前または後に、ハードウェア資産を作成して要求者用に予約することができます。ソフトウェアライセンスを受け取る前に、ソフトウェアライセンスを作成したり、要求者にアサインしたりすることはできません。

要求されたハードウェアアイテムの調達

要求されたハードウェアアイテムを調達するには、転送注文を作成します。ソースストックルームから複数の宛先ストックルームにハードウェア資産を転送できます。

ソースのストックルームに十分なアイテムの在庫がない場合は、ハードウェアアイテムを宛先ストックルームに転送できるように、転送注文で複数のソースストックルームを指定できます。

要求されたソフトウェアライセンスの調達

要求されたソフトウェアライセンスを調達するには、ソフトウェアライセンスの権限をユーザーまたはデバイスにアサインして、ソフトウェアの使用を許可する必要があります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

転送注文の管理

サービスカタログからの要求を追跡する

モデル

バンドルされたモデル

要求から発注書を作成する

要求から直接発注書を作成することができます。これにより、調達マネージャーはアイテムを入手してサービスカタログからの要求を満たすことができます。1 件の要求から複数の発注書を作成することができます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [要求] に移動します。
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求の [番号] を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を調べます。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達要求アイテム番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] 画面に、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. [要求アイテム] セクションで、[購入] を選択します。
6. [ベンダー] リストで、要求されたアイテムの配送元ベンダーを選択します。
7. [在庫切れ]フィールドが「**false**」に設定されていることを確認します。
   ベンダーに在庫がない場合、フィールドの値は「**true**」になります。
8. [数量] フィールドで、注文する数量を指定します。
9. [宛先ストックルーム] リストで、要求された 1 点以上のアイテムが配送される宛先を選択します。
10. オプション: **[PO** を統合] チェック ボックスを選択し、一覧表示されたアイテムを既存の発注書 (PO) と結合します。

    (Optional) [発注書 (PO) の統合] にチェックを入れると、同じ要求で同じベンダーから調達されるすべてのアイテムが同じ発注書 (PO) に掲載されます。ベンダーを選択すると、システムによって自動的に、同じ要求に対して作成された発注書 (PO) が検索され、同じベンダーが選択され、[要求済み] 状態となります。一致するアイテムが見つかると、すべてのアイテムが同じ発注書 (PO) に掲載され、一緒に注文することができます。システムで一致が見つからない場合は、新規の発注書 (PO) が作成されます。

    たとえば、Apple からスマートフォンを 25 台購入しようとしていて、Apple 向けの未処理の発注書 (PO) がすでに存在している場合、25 台のスマートフォンは未処理の発注書 (PO) に追加されます。選択したベンダー向けの未処理の発注書 (PO) がない場合、新規の発注書 (PO) が作成されます。同じベンダーに注文したアイテムはグループ化されます。発注書では、異なるアイテムはそれぞれ別の行に表示されます。

11. [送信] を選択します。

タスクの結果

- 発注書を作成します。
- 要求では、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求から転送注文を作成する

ストックルームからハードウェア アイテムと消耗品を調達する要求から、直接転送注文を作成することができます。

始める前に

必要なロール：調達_admin または 調達_user

手順

1. 調達要求を表示します。

UI	アクション
コア UI	[すべて] > [調達] > [要求] > [要求] に移動します。
ハードウェア資産ワークスペース	a. [すべて] > [ハードウェア資産ワークスペース] > [資産運用]に移動します。 b. [調達] リストで、[要求] を選択します。

2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、調達タスクを選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
   [ソース要求] ページまたは [調達] ページに、要求されたすべてのアイテムのリストが表示されます。
5. 転送注文を作成します。

UI	アクション
コア UI	[転送注文を追加] を選択します。
ハードウェア資産ワークスペース	[転送] を選択します。

6. オプション: ハードウェア資産ワークスペースの [調達] ページで、[流通チャネル経由のソース] チェックボックスをオンにして、宛先の倉庫をサポートするインバウンド流通チャネルから資産を調達します。

   注: [転送注文] の流通チャネル経由での調達を可能にする [流通チャネル経由のソース] チェックボックスは、ハードウェア資産ワークスペースにのみ表示されます。このチェックボックスをオンまたはオフにする設定は保存され、[調達] ページを再度開いたときに表示されます。

   要求者の場所をサービスの場所として複数の倉庫に関連付けることで、場所の範囲をさらに確保できます。また、これらの倉庫を複数のインバウンド倉庫または流通チャネルに関連付けて、倉庫間での資産の転送を最適化することもできます。流通チャネルを使用すると、倉庫に指定したランクに基づいて、調達に適した倉庫から資産を調達できます。

   詳細については、「倉庫とサービスの場所の関連付け」と「倉庫を流通チャネルにリンクする」を参照してください。

7. [ソース倉庫] リストで、ハードウェアアイテムの調達元にする倉庫を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: ハードウェア資産ワークスペースの [ソース倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のインバウンド流通チャネルのみが表示されます。

a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。

b. 要求者の場所をサポートする倉庫にインバウンド流通チャネルが追加された場合。

8. [転送数量] フィールドで、転送する数量を指定します。
[在庫あり] 列には、選択した調達倉庫で使用可能な総在庫が表示されます。
9. [宛先倉庫] リストで、要求されたアイテムが配送される宛先を選択します。

注: ハードウェア資産ワークスペースの [宛先倉庫] リストには、次の条件で要求者の場所をサポートする倉庫のみが表示されます。

a. [流通チャネル経由のソース] オプションを選択した場合。

b. 要求者の場所が 1 つ以上の倉庫のサービス場所として追加された場合。

10. [送信] を選択します。
調達倉庫の場所から宛先倉庫の場所にアイテムを移動させる転送注文が作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。

関連情報

転送注文の管理

ローカルストックルームからのソース要求

要求の調達時に、ローカルストックルームを可視化します。

始める前に

要求者のローカルストックルームから資産を使用して要求を調達できます。ローカルストックルームで在庫が利用可能な場合、資産は予約され、要求を調達するためのフルフィルメントタスクに従います。要求者の場所がサービス場所の一部として別のストックルームでサポートされている場合、このストックルームから資産を調達することもできます。ローカルストックルームに在庫がない場合は、他のストックルームから資産を転送するか、発注書を作成できます。

フローデザイナー アプリケーションは、ローカルストックルームから資産を使用して要求を調達するプロセスを実行する [資産ローカル在庫] サブフローを作成するために使用されます。このサブフローがさまざまなステージを進むにつれ、資産の詳細が自動的に更新されます。[資産ローカル在庫] サブフローを開いて、サブフローのステージステータスを表示できます。

注: 意思決定テーブルを使用して、[資産ローカル在庫] サブフローをカスタマイズします。詳細については、「ハードウェア資産管理フローのカスタマイズ」を参照してください。

必要なロール：

- procurement_user または procurement_admin
- Inventory_user または Inventory_admin

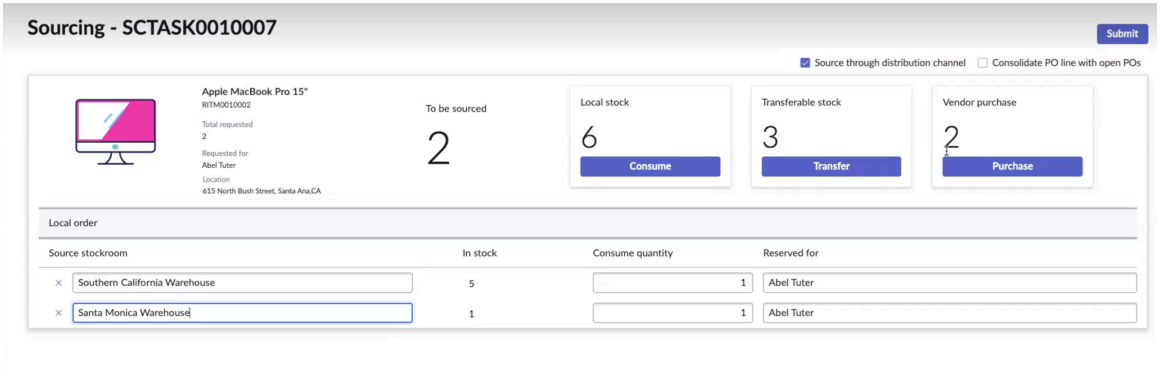
手順

1. procurement_user または procurement_admin ロールの認証情報でログインします。
2. [すべて] > [サービスカタログ] に移動して、[ハードウェア] を選択します。
3. 調達するハードウェアアイテムを選択し、[今すぐ注文] を選択します。
要求が送信され、[注文ステータス] フォームレイアウトが表示されます。
4. 要求番号を選択します。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

5. [要求] フォームレイアウトで、[カタログタスク] 関連リストを選択して、要求の調達タスクを表示します。
6. 調達タスクを選択し、[ソース要求] を選択します。



[調達] フォームには、次のハードウェア調達要求の詳細が表示されます。

- 要求合計：要求されたハードウェアの数量
- 要求元：ハードウェアが要求されたユーザーの名前
- 場所：ハードウェアを展開する場所

7. [消費] を選択して、ローカルストックルームと、自分の場所を担当するストックルームから利用可能な在庫を調達します。
   ローカルストックルームと自分の場所を担当するストックルームに在庫がない場合、[転送] または [購買] を選択して、転送注文または発注書 (PO) によって要求を調達します。転送注文を作成し、ローカルストックルームをストックルームのリストに含めて、そのリストから選択するには、アドミニストレーターが `glide.asset.procurement.sourcing.local_stock_transfer` プロパティをオンにする必要があります。
8. [ソース倉庫] を選択し、資産を調達するストックルームを選択します。
   場所がサービスの場所としてストックルームに関連付けられている場合は、ローカルストックルームとともにこのストックルームから調達できます。サービスロケーション機能により、単一のストックルームで複数のロケーションをサポートし、ローカルの在庫を効率的に消費できます。サービスロケーションの詳細については、「倉庫とサービスの場所の関連付け」を参照してください。

   ソーススストックルームで資産集荷タスクが有効になっている場合、このタスクはハードウェア資産のリフレッシュ要求フローとハードウェア資産要求フローに追加されます。
9. [消費量] フィールドで、選択したストックルームから消費する資産の数量を指定します。
10. [予約目的] を選択して、要求を調達するユーザーを指定します。
11. 複数のストックルームから調達するには、手順 7 ～ 9 を繰り返します。
12. [送信] を選択します。
    資産消費タスクが作成されます。ストックルームから資産が選択され、[予約目的] リストで選択したユーザー用に予約されます。選択した資産のステータスが [在庫あり] に、サブステートが [予約済み] になります。
13. Inventory_admin または Inventory_user のロールの認証情報を使用してログインします。
14. [要求されたアイテム] 関連リストで要求アイテムを表示します。
15. [資産タスク] 関連リストを選択し、タスクを選択し、資産を選択して調達タスクにアサインします。
    資産消費タスクフォームのレイアウトが [資産タスク] モジュールに表示されます。調達する資産のタイプ (ハードウェアまたは消耗品) によっては、フォームレイアウトのフィールドが異なる場合があります。[資産タスク] モジュールには、すべての資産タスクレコードがリストされます。
16. 必要な変更を行い、完了したらタスクをクローズします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- ハードウェア資産の場合：資産は調達タスクに自動的にアサインされますが、[資産] リストを選択して資産を変更することができます。完了したら、[タスクをクローズ] を選択します。
- 消耗資産の場合：資産の代わりに資産のモデルがフォームレイアウトに表示されます。[タスクをクローズ] または [消費してクローズ] を選択します。[消費してクローズ] を選択すると、予約された資産が自動的に取得され、ユーザーにアサインされます。[タスクをクローズ] を選択した場合は、[消耗品] フォームレイアウトに移動して、ユーザーに資産を手動でアサインする必要があります。

要求から割り当てを追加する

ソフトウェア ライセンスから権限を調達するための要求から、直接割り当てを追加することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [要求] に移動します。
2. 承認済みであるものの、まだ調達されていない要求を選択します。
   [要求ステータス] と [調達済み] 列を確認します。
3. [カタログタスク] 関連リストで、番号を選択します。
4. [ソース要求] を選択します。
5. 要求されたソフトウェアアイテムセクションで [割り当てを追加] を選択します。
6. [ライセンス名] リストで、ソフトウェアの権限の調達元にする必要のあるライセンスを選択します。
   [利用可能な権限] 列には、選択したライセンスで利用可能なすべての権限が表示されます。
7. [権利] フィールドで、割り当てる権限を指定します。
8. [タイプ]リストから、ユーザーまたはデバイスに権限を割り当てるかどうかを選択します。
9. [アサイン済み/割り当て済み] リストで、要求されたアイテムを割り当てるユーザーまたはデバイスを選択します。
10. [送信] を選択します。
    [ライセンス名] の場所から [アサイン済み/割り当て済み] のユーザーまたはデバイスに権限をアサインするための割り当てが作成されます。要求を表示すると、[調達済み] チェックボックスがオンになっています。
11. コンピューターを実行して、コンプライアンスに準拠していることを確認します。
    ソフトウェア資産管理 がアクティブな場合は、ソフトウェアカウンターを実行するように求められます。
12. **[OK]** を選択します。
    監査の場合、要求フォームの [割り当て済みライセンス] 関連リストにこの要求の一部として行われたすべての割り当ての詳細が表示されます。

調達での資産の注文管理

発注書 (PO) の正確な情報は、請求書の追跡、受領、ServiceNowプラットフォームでのレポートにとって重要なものです。

調達アプリケーションを使用すると、適切な調達ロールを持つユーザーは資産の発注書情報の管理を行えます。また、サービスカタログ要求へ直接アクセスできます。発注書 (PO) や転送注文を要求から直接作成することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

調達アプリケーションを使用する前に、カタログ タスクのアサイン先グループを登録してください。アサイン先グループとは、場所別にフィルタリングされた一連のユーザーで、カタログ タスクを実行できるユーザーです。

関連情報

転送注文の管理

グループの作成

サービスカタログからの要求を追跡する

調達アプリケーションでは、サービスカタログから注文された要求を追跡できます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて

ユーザーがサービスカタログから注文すると、要求レコードが作成されて注文を追跡します。各注文アイテムは、要求レコードに一覧表示される要求アイテムとなります。たとえば、ラップトップ 1 台、モニター 2 台、キーボード 1 台という 1 件の要求で、次のレコードが作成されます。

要求 REQ0000001：4 アイテム

- 要求アイテム RITM0000001：ラップトップ 1
- 要求アイテム RITM0000002：モニター 2
- 要求アイテム RITM0000003：キーボード 1

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [要求]に移動します。
2. 要求の [番号] をクリックします。
   [要求アイテム] 関連リストに注文アイテムが表示されます。要求アイテムを表示したり、他の関連リストの関連する発注書 **(PO)**、転送注文、割り当てを表示することができます。要求アイテムごとにカタログタスクが自動的に生成され、購入すべきかストックルームから転送すべきかなど、アイテムの調達を識別します。

サービスカタログからの要求をキャンセルする

たとえばアイテムが不要になったり要求が承認されなかったりするなど、サービスカタログからの要求を取り消すことができます。

始める前に

必要なロール：catalog_admin、procurement_admin、または procurement_user

このタスクについて

サービスカタログ要求がキャンセルされると、次の処理が自動的に行われます。

- まだ受領されていない関連した発注書 (PO) がキャンセルされます。
- すべての調達タスクがキャンセルされます。
- 転送注文に関連するすべての転送注文ラインがサービスカタログ要求にも関連付けられ、転送注文ラインがすべて取り消された場合、関連する転送注文はキャンセルになります。転送注文にサービスカタログ要求と関連のない転送注文ラインが含まれていて、それらのラインが取り消されていない場合、転送注文はキャンセルとなりません。

[輸送中] または [配送済み] ステージにある関連する転送注文 ラインはキャンセルできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [要求]に移動します。
2. 要求の [番号] をクリックします。
3. [要求をキャンセル] をクリックします。

カタログ タスクの表示と編集

カタログ タスクは、アイテムの調達と要求の実行に使用されます。要求からカタログ タスクを表示、編集できます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
要求に承認が必要な場合は、要求が承認されるとカタログ タスクが自動的に作成されます。要求に承認が必要ない場合は、要求が作成されたときにカタログ タスクが自動的に作成されます。

> **注:** 要求に要求アイテムが 1 点含まれており、そのアイテムにモデルが指定されていない場合、カタログ タスクは自動的に作成されません。要求に複数の要求アイテムがあり、そのうちのいくつかのアイテムだけにモデルが指定されている場合、カタログ タスクは自動的に作成されますが、モデルが指定されている要求アイテムに対してのみ作成されます。

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [タスク]に移動します。
2. カタログ タスクを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

カタログ タスクフィールド

フィールド	説明
番号	カタログ タスクを識別する固有の番号。
要求	カタログ タスクが関連付けられている要求の番号。このフィールドの情報は、要求フォームの [番号] フィールドから導出されています。
要求アイテム	カタログ タスクが関連付けられている要求アイテムの番号。このフィールドの情報は、要求アイテム フォームの [番号] フィールドから導出されています。
要求元	関連アイテムを要求した人物の名前。このフィールドの情報は、[要求] または [要求アイテム] フィールドから導出されます。
期日	カタログ タスクを完了させる必要のある日付。
構成アイテム	要求アイテムに関連付けられた構成アイテム。
承認	カタログ タスクの承認のステータス：[未要求]、[要求済み]、[承認済み]、[却下]
状態	カタログ タスクの現在の状態：[保留中]、[オープン]、[対応中]、[完了してクローズ]、[未完了でクローズ]、[スキップしてクローズ]
アサイン先グループ	カタログ タスクを完了するために個人が選択されるグループ。
担当者	アサイン先グループから選択したカタログ タスクを完了するために割り当てられた個人。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
作業メモリスト	カタログ タスクの作業メモが更新されたときに電子メール通知を受け取るユーザーのリスト。
簡単な説明	カタログ タスクの簡単な説明。
説明	カタログ タスクの詳細な説明。
作業メモ	カタログ タスクの解決方法に関する情報。
追加コメント	カタログ タスクに関する有用な情報。これは顧客に見えるフィールドです。

4. [更新] をクリックします。

関連情報

モデル

発注書を作成する

発注書を作成することができます。発注書 (PO) は、単体のベンダーから注文する資産を指定します。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて

たとえば、組織はラップトップ 20 台またはサーバー 10 台を購入する発注書を作成することができます。発注書 (PO) の情報は、注文された資産の物理的、財務的な追跡を可能にします。

資産がすでに組織によって所有されている場合は、転送注文を使用することもできます。転送注文は、資産を購入する代わりに、あるストックルームから別のストックルームに資産を内部転送するために使用されるものです。たとえば、ニューヨークの会社のストックルームにボストンで必要としているラップトップが 5 台あるとします。ニューヨークのストックルームからボストンのストックルームにラップトップを移動する転送注文を作成します。

発注書を作成すると、[受領伝票] 関連リストが発注書フォームに表示されます。受領伝票は、アイテムを受領したときに手動か自動で作成されます。[受領伝票] 関連リストには、発注書 (PO) に関連のあるすべての受領伝票が表示されます。受領伝票が発注書 (PO) に追加されると、発注書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用になります。

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ベンダー	発注書 (PO) が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書 (PO) のアイテムが配送されるストックルーム。 注: このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書 (PO) が作成された日付。
ステータス	発注書 (PO) のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。
アサイン先	発注書 (PO) が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書 (PO) の総コストの支払いを担当する場所。
簡単な説明	発注書 (PO) の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書 (PO) のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書 (PO) のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書 (PO) の内容の完全な説明。
詳細セクション	
初期要求	発注書 (PO) に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。
要求元	発注書 (PO) に記載のアイテムを要求するユーザー。 注: 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow ServiceNow アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書 (PO) に記載のアイテムを要求した日付。
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
配送予定	発注書 (PO) に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書 (PO) の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書 (PO) の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書 (PO) に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書 (PO) の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書 (PO) に関連付けられた予算番号。
ベンダーアカウント	発注書 (PO) に関連付けられているベンダーアカウント。

4. [送信] をクリックします。

次のタスク
発注アイテムを追加して、このベンダーから発注するものを指定します。

関連情報
転送注文の管理

発注明細を作成する
新規の発注書を保存したら、発注明細レコードを作成して注文する個別のアイテムを特定します。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順
1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)]**に移動します。

2. 発注書を開きます。

3. [発注明細] 関連リストで、[新規] をクリックします。

4. フォームに入力します。

発注明細フィールド

フィールド	説明
番号	発注明細を識別する一意の番号。
ベンダー	この製品が注文されるサプライヤー。
製品モデル	発注明細のモデル。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

フィールド	説明
製品カタログ	製品モデルが割り当てられている製品カタログ カテゴリ。例：ハードウェア、ソフトウェア、消耗品
品番	製品モデルに割り当てられた識別番号。
評価指標グループ	それぞれのメトリクスグループには、ソフトウェア公開者に固有の一連のライセンスメトリクスがあります。 注: [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。
ライセンスメトリクス	調整の実行時にソフトウェアライセンスのカウントに使用される、ライセンスグループのライセンスメトリクス。ライセンスメトリクスのオプションは、[評価指標グループ] フィールドに基づいて変更されます。 注: ◦ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このフィールドがフォームに表示されます。 ◦ Coupa で利用できないライセンスメトリクスを選択した場合、ライセンスメトリクス値はデフォルトで「**each**」に設定されます。
要求アイテム	発注明細に関連付けられた要求アイテムレコードの識別番号。
注文済み	この発注明細が注文された日時。
配送予定	発注明細が [配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドには、発注書レコードの [配送予定] フィールドの値が自動的に入力されます。発注明細のステータスが [要求済み] である場合は、このフィールドを編集できます。 このフィールドの詳細については、発注書 (PO) の配送予定日を参照してください。
受領済み	発注明細のステータスが [受領済み] に変更された日時。
発注書	この発注明細に関連付けられた発注書レコード番号。
ライセンスパックごとの権利	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用に購入した各パックに関連付けられた権利
パックの数 (Number of packs)	Microsoft コアライセンスまたは Microsoft コアライセンスと CAL ライセンス用のパックの数
ステータス	発注明細の現在のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[保留中の配送]、[受領済み]、[要求済み]。
注文数量	注文された製品モデルの数。
受領数量	出荷され受領された製品モデルの数。ベンダーが複数の荷物を配送している場合もあります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	受領数量が注文数量より多いことも少ないこともあります。たとえば、ラップトップを 5 台注文していたかもしれませんが、ベンダーは 6 台出荷して来ました。
残り数量	注文数量通りにするために未だ受領する必要がある製品モデルの数。
表示価格	アイテムの小売価格。割引は含まれません。システムによって発注書 (PO) がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムの表示価格が導出されます。ベンダーカタログアイテムに表示価格がなく、価格が入力されていない場合、このフィールドには自動的に [コスト] フィールドの値が入力されます。
コスト	割引を含む単一の製品モデルのコスト。システムによって発注書 (PO) がサービスカタログの注文プロセスから作成された場合、発注明細には関連するベンダーカタログアイテムのベンダー価格のコストが導出されます。
総コスト	[数量] で指定された値を乗じた、単一の製品モデルのコスト。
カタログ以外の要求	このチェックボックスを選択して、組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムの要求を作成します。 **注:** ◦ 調達統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドはフォームに表示されません。詳細については、「外部調達アプリケーションとの統合」を参照してください。 ◦ [製品モデル] フィールドでソフトウェアモデルのみを選択すると、このチェックボックスがフォームに表示されます。 ◦ [製品カタログ] フィールドでアイテムを選択すると、このチェックボックスは自動的にオフになります。 ◦ [製品カタログ] フィールドでアイテムを選択していない場合、このチェックボックスは自動的にオンになり、カタログ以外の要求を送信することを示します。
在庫オーダー	読み込み専用で、関連する要求が一括在庫オーダーワークフローを使用している場合に選択されます。 **注:** ハードウェア資産管理 アプリケーションを ServiceNow Store からインストールする時に、すべての発注明細に表示されます。
簡単な説明	発注明細を説明する短い説明。

5. [送信] をクリックします。
   発注書 (PO) が再び表示され、アイテムが一覧表示されます。発注書 (PO) と明細は、[要求済み] ステータスになります。
6. オプション: 必要に応じてこのベンダーの発注明細を追加します。
7. ベンダーへの注文を開始して注文するものが準備ができたら、[注文] をクリックします。
   発注書 (PO) と発注明細のステータスは、[注文済み] に変更されます。

関連情報

ベンダーカタログアイテム

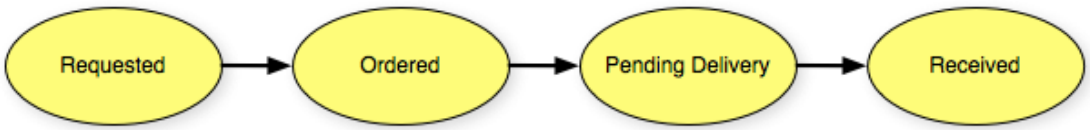
© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

発注書ステータス

発注書 (PO) は特定のライフサイクルに従っています。発注書レコードの [ステータス] フィールドは、常に読み取り専用です。

発注書ステータス



ステータスのライフ サイクル

ステータス	説明
要求済み	発注書を作成すると、ステータスは [要求済み] になります。
注文済み	発注明細を追加して [注文] をクリックすると、ステータスが [注文済み] に変わります。
保留中の配送	発注明細として資産を受領する前に作成すると、発注書 (PO) と発注明細のステータスが [保留中の配送] に変更されます。
受領済み	注文済みの資産が指定したストックルームに配送されて [受領] をクリックすると、発注書 (PO) と発注明細のステータスが [受領済み] に変更されます。
キャンセル	発注書 (PO) のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] であれば、発注書を取り消すことができます。詳細については、「発注書 (PO) のキャンセル」を参照してください。

発注書 **(PO)** の配送予定日

発注書レコードと発注明細レコードには、どちらにも配送予定の日付フィールドが含まれています。

[配送予定] フィールドはどちらのレコードででも編集できます。片方のレコードのフィールドを編集すると、もう片方のレコードのフィールドも変更されます。

- 発注書 (PO) に配送予定日を追加し、発注明細の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注書 (PO) に掲載の日付が発注明細に自動追加されます。
- 発注明細に配送予定日を追加し、発注書 (PO) の配送予定日フィールドが空欄の場合、発注明細に掲載の日付が発注書 (PO) に自動追加されます。
- 発注書 (PO) と発注明細の配送予定日が同じで、発注書 (PO) に掲載の日付を変更すると、発注明細の日付も自動変更されます。
- 発注明細の日付を発注書で指定した日付より後の日付に変更すると、発注書 (PO) の日付が新しい日付に変更されます。発注明細の配送予定日は、関連する発注書 (PO) の配送予定日よりも後にすることはできません。
- 発注明細の日付を発注書で指定された日付より前の日付に変更すると、発注書 (PO) の日付は変わりません。

発注書 **(PO)** のキャンセル

発注書 (PO) のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
発注明細は、発注書からキャンセルすることもできます。

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**]に移動します。
2. キャンセルするには、発注書を開きます。
3. [キャンセル] をクリックします。
   まだ受領されていない関連した発注書 (PO) がすべてキャンセルされます。発注書 (PO) に対して作成された資産はすべて削除されます。

発注明細のキャンセル

発注明細のステータスが [要求済み]、[注文済み]、[保留中の配送] のいずれかであれば、取り消すことができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
発注明細をキャンセルする際は、次の点にご注意ください。

- 発注明細をキャンセルする際、他のすべての明細も同様にキャンセルすると、発注書 (PO) がキャンセルとなります。
- 発注明細のキャンセル後、関連する発注書 (PO) がキャンセルされていないか未受領の場合は再注文することができます。
- 資産が作成された発注明細がキャンセルされると、資産はシステムから削除され発注書から削除されます。
- 同じ発注明細を再注文する場合、そのラインのステータスが [保留中の配送] であれば、資産が再度作成されます。

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**]に移動します。
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、キャンセルするアイテムを選択します。
4. [キャンセル] をクリックします。

発注書 **(PO)** の再注文

キャンセルされた発注書 (PO) は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**]に移動します。
2. ステータスが [キャンセル済み] の発注書を開きます。
3. [注文] をクリックします。
   発注書 (PO) と関連するすべての発注明細に対して、ステータスが [発注済] に変更されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注明細の再注文

キャンセルされた発注明細は、再注文することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**]に移動します。
2. 発注書を開きます。
3. [発注明細] 関連リストで、ステータスが [キャンセル済み] のアイテムを選択します。
4. [注文] をクリックします。
   発注明細の [ステータス] フィールドが、関連する発注書 (PO) の [ステータス] フィールドに基づいて変更されます。たとえば、発注書 (PO) のステータスが [保留中の配送] の場合、発注明細のステータスは [保留中の配送] に変更され、発注明細の資産が自動的に作成されます。

要求者のために資産を作成して予約する

配送前に資産を作成することにより、プロセスの早い段階で資産タグとシリアル番号を使用して資産レコードを作成し、要求したユーザーのために資産を予約することができます。受領者は資産が事前に作成されるため、受領する資産のみを選択することができます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
一部の要求は、要求されたアイテムが調達される前に承認されている必要があります。ベース システムでは、1,000 USD を超える要求には承認が必要となります。1,000 USD 以上の承認のしきい値や、その他のワークフローの属性を変更するには、サービスカタログ要求ワークフローを編集します。

資産の状態が [在庫あり] の場合、[予約目的] フィールドは、資産が受領されストックルームに配置されているとして維持されます。資産の状態が [使用中] に変更されると、[予約目的] フィールドには [担当者] というラベルが再度付けられます。[予約目的] フィールドに名前がある場合、フィールドのラベルが再度付けられるとその名前が保持されます。資産ロールを持つユーザーは、[担当者] フィールドで名前を変更することができます。IT 技術者がラップトップを 10 台注文し、個々のユーザーに割り当てる必要がある場合などに、名前を変更すると便利です。

注: 資産が配送前に作成されていない場合、発注書 (PO) が受領されるとその資産が明細から自動的に作成されます。また、資産の詳細を入力して発注書 (PO) が受領されたときに受け取ることもできます。

手順

1. [すべて] > [調達] > [要求] > [タスク]に移動します。
2. [状態] が [オープン] のタスクを開き、[ソース要求アイテム] の [簡単な説明] を開きます。
3. [ソース要求] をクリックします。
   - 要求がすでに満たされている場合、または要求のアイテムが調達可能でない場合、[ソース要求] ボタンは表示されません。
   - 要求されたアイテムに割り当てられたモデルがない場合、アイテムは [要求を調達] ダイアログボックスに表示されません。
   - 発注書 (PO) の残り数量が **0** のアイテムは、 ダイアログボックスに表示されません。
4. [宛先ストックルーム] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

5. 一覧表示された 1 点以上のアイテムに対し、**[PO の作成]** オプションを選択します。
6. 発注書 (PO) が必要な各アイテムに対し、ベンダーを選択します。
7. **[OK]** をクリックします。
8. [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)]**に移動します。
9. 作成した発注書を開きます。
   複数のアイテムの発注書を作成した場合、複数の発注書 (PO) が作成されている可能性があります。
10. [注文] を選択します。
    アイテムが注文された後で、発注書 (PO) に他の発注明細を追加することはできません。
    すべての発注明細のステータスが [注文済み] に変更されます。
11. すべての発注明細に対してハードウェア資産を自動的に作成するには、[配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。
    ハードウェア資産は [資産] 関連リストに表示されます。リスト内の資産をクリックして資産レコードを表示します。消耗品を除き、[予約目的] フィールドには元の要求を実行したユーザーの名前が含まれています。

    個別の発注明細に対して資産を作成することもできます。発注書で、[発注明細] 関連リストに移動し、特定の発注明細番号をクリックします。その後 [配送前にハードウェア資産を作成する] 関連リンクをクリックします。発注明細に含まれるハードウェア資産のみが作成されます。

関連情報

資産状況とサブステートを設定する

モデル

資産の受領

資産は、ストックルームに配送された段階で受領でき、システムに追加されます。

適切な調達ロールを持つユーザーが資産を受領することができます。1 件の発注書 (PO) に複数の発注品目が含まれている場合、それらの品目を別々の時間に受領することができます。これは、アイテムが別々の出荷でストックルームに到着する場合に便利です。すべての発注明細を受領するまで、発注書 (PO) のステータスは [受領済み] に変更されません。

到着時に資産を受領する代わりに、到着前に資産を作成して、要求者用に予約することができます。

資産を受領する

資産が受領されて倉庫に配送されると、その資産はシステムに追加されます。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
資産の受領時：

- ハードウェア資産をあらかじめ作成していない場合は、資産の詳細を入力してユーザー用に予約できます。
- 受領数量が注文数量よりも多い場合もありますが、そのような注文でも受領できます。
- 異なる複数の受領倉庫を指定して複数のアイテムを注文した場合、アイテムを同時に受領できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. 発注書 (PO) を表示します。

UI	アクション
コア UI	[すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)**] に移動します。
ハードウェア資産ワークスペース	**a.** [すべて] > [ハードウェア資産ワークスペース] > [調達] に移動します。 **b.** [発注書 **(PO)**] タブを選択します。

2. ステータスが [注文済み] または [配送保留中] の発注書を選択します。
3. [受領] を選択します。
   [発注書 (PO) の受領] 画面に、注文した製品のリストが表示されます。
4. 受領した品目の [受領済み] チェックボックスを選択します。
5. ソフトウェア資産を受領するには：

   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。

   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。

   c. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
   数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。

   d. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。
   受領した権限よりも多くの資産の詳細を入力することはできません。

   e. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。

   f. 資産タグ、シリアル番号、権限、ライセンスキーを入力します。

6. ハードウェア資産と消耗品を受領するには：

   a. アイテムが発注書で指定した場所とは異なる倉庫に到着した場合、[受領倉庫] を編集します。

   > **注:** 資産バンドルを受領すると、ステータスが [バンドル] の資産バンドルが作成されます。資産バンドルの下に個々の資産を追加する必要があります。

   b. 配送されたアイテムの数が注文数量と一致しない場合、[受領数量] を編集します。

   c. [予約] トグルボタンを選択して、アイテムを予約します。
   予約したアイテムが受領されると、対応する資産レコードの[状態] フィールドと [サブステート] フィールドがそれぞれ [在庫あり] と [予約済み] に自動的に設定されます。アイテムに対して [予約] ボタンが選択されていない場合、対応する資産レコードの [状態] フィールドと [サブステート] フィールドはそれぞれ [在庫あり] と [利用可能] に設定されます。

   > **注:** 消耗品は予約できません。

   d. [予約目的] リストから、資産の予約を希望するユーザーを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注明細フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

[資産タグを取得します] ダイアログボックスで、複数のユーザーを追加できます。

e. [資産タグを取得します] を選択して、資産の詳細を入力します。

受領数量以上の資産の詳細は入力できません。ユーザーの資産を予約することもできます。

注: 事前に資産を作成している場合は、受領する資産を選択する必要があります。

f. [資産タグを取得します] ダイアログボックスで、[新しい行を挿入します] を選択します。

g. 資産タグとシリアル番号を入力します。

h. [予約目的] リストから、アイテムを注文したユーザーを選択します。
[発注品目] フォームの [要求元] フィールドに名前が指定されている場合、その名前は自動的に追加されますが、変更可能です。

i. アイテムの注文時から倉庫への配送時までの間に価格に変更があった場合、[単価] を編集します。
数値を入力します。数値には小数点以下を含めることができます。

7. [送信] を選択します。
受領した資産の詳細を示す確認メッセージが表示されます。
8. **[OK]** を選択します。

受領伝票は自動的に作成され、[受領伝票] 関連リストに表示されます。発注書 (PO) に掲載のアイテムを異なる時間に受領した場合、発注書 (PO) のアイテムを受領するたびに新しい受領伝票が作成されます。たとえば、ラップトップが 30 台注文され、配送が 3 回に分かれて到着した場合、3 件の受領伝票が作成されます。

ハードウェアアイテムごとに異なる資産が作成されます。ソフトウェア資産の場合は、権限を分割しないとライセンスごとに 1 つの資産が作成されます。消耗品の場合は、資産がすでに存在する場合は更新され、そうでない場合は新規の資産が作成されます。

受領伝票を作成する

受領伝票は、資産を受領する過程で自動的に作成されます。手動で受領伝票を作成することもできます。

始める前に

必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて

発注書 (PO) に対して受領伝票が作成されると、発注書レコードのすべてのフィールドが読み取り専用に変更されます。

手順

1. [すべて] > [調達] > [受領] > [受領伝票]に移動します。
2. [新規] をクリックします。

[番号] は自動的に割り当てられます。現在の日付と時刻が[受領済み] フィールドに自動的に追加されます。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

3. [発注書] を選択します。
   選択ウィンドウには、[注文済み]、[保留中の配送]、[要求済み] のステータスを持つ発注書 (PO) のみが一覧表示されます。[ベンダー] 列には、発注書 (PO) に指定されているベンダーが表示されます。[配送先] 列には、発注書で指定された目的の宛先ストックルームが表示されます。
4. [受領ストックルーム] を選択します。
5. [送信] をクリックします。

次のタスク
受領伝票に受領伝票ラインを追加して、受領した発注書 (PO) のアイテムを特定します。

受領伝票ラインを作成する

資産がストックルームに到着して受領すると、受領伝票が発注書 (PO) に作成されます。受領伝票ラインを作成して、受領した特定の資産や数量を識別します。

始める前に
必要なロール：procurement_admin または procurement_user

このタスクについて
資産がすでに存在する場合、受領伝票ラインを保存すると資産レコードが更新されます。資産がまだ存在しない場合は、新規のハードウェア資産レコードまたは新規のソフトウェア資産レコードが作成されます。[モデル カテゴリ] と [構成アイテム] フィールドには、要求、発注書、受領伝票のいずれかの情報に基づいて、新規の資産レコードが自動的に入力されます。[資産管理番号] と [シリアル番号] の情報が存在する場合は、上書きされません。

手順
1. [すべて] > [調達] > [受領] > [受領伝票] に移動し、受領伝票を開きます。
2. [受領伝票ライン] 関連リストで、[新規] を選択します。
   次のフィールドは自動的に入力されます。
   - [番号] が割り当てられます。
   - [受領済み] では、現在の日付と時刻が追加されます。
   - [受領者] には、現在ログインしているユーザーが追加されます。
3. [発注明細] で、参照ルックアップアイコンを選択してから、発注明細を選択します。
   親受領伝票に関連付けられた発注書 (PO) がある場合、[発注明細] フィールドは必須となります。
   親受領伝票にリンクされた同じ発注書 (PO) に関連付けられている発注明細のみ選択可能です。
4. [数量] に、受領したアイテムの数を入力します。
   たとえば、アイテムを 5 点注文したが、2 つだけ受領した、などです。
5. オプション: 必要に応じて [受領者]、[要求元]、[単価] の各フィールドを編集します。
6. [送信] を選択します。

タスクの結果
受領伝票レコードの [受領倉庫] フィールドは読み取り専用になります。

消耗資産

消耗資産とは、数量で購入して配布するものです。消耗品モデル カテゴリに割り当てられ、資産レコードで利用可能な数量と総コストを追跡されます。消耗資産が受領されると、既存の消耗品レコードに結合されます (利用可能な場合)。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

レコードに結合するため、消耗品を有効な転送注文に登録することはできず、また、資産レコードの [モデル]、 [事業所]、 [モデル カテゴリ]、 [ストックルーム]、 [ステータス]、[サブステータス] の各フィールドが一致している必要があります。

消耗品が既存の消耗品レコードに結合される場合、受領した追加の消耗品のコストはレコード内の既存の消耗品のコストに加算されます。たとえば、コンピューターキーボードが 50 台到着し、同じモデルのキーボードが既に 20 台受領ストックルームにある場合、2 件のレコードが結合され、ストックルームにある 70 台のキーボードと合計コストが表示されます。

受領ストックルームに一致する消耗品レコードが存在しない場合、レコードが作成されます。消耗品の受領後、数量は更新されますが、個々の消耗品は調達アプリケーション内で追跡されなくなり、受領伝票ラインには表示されません。

外部調達アプリケーションとの統合

外部調達アプリケーションを ソフトウェア資産管理 と統合してエンドツーエンドの調達プロセスを管理し、外部調達アプリケーションでソフトウェア要求を直接作成します。ソフトウェア資産管理はこれらの要求を追跡し、これらの要求を外部調達アプリケーションで受信した後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

ソフトウェア資産管理 と外部調達アプリケーションとの統合によって、次のことができるようになります。

- エンタイトルの作成までの購入要求全体をエンドツーエンドで可視化します。
- ソフトウェア要求の作成からエンタイトルメントの作成までのプロセス全体を自動化します。
- エンタイトルメント作成のエラーを削減します。

事前準備

- ソフトウェア資産管理プロ (com.snc.samp) をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

  注: ソフトウェア資産管理プロ は、資産管理 - 調達 統合アプリケーションをインストールするために必須ではありませんが、機能全体を利用するために必要です。

- 調達 プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。
- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。

資産管理 - 調達 統合のインストール

ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) をインストールできます。

始める前に

- アプリケーションとその関連するすべての ServiceNow Store アプリケーションに有効な ServiceNow エンタイトルメントがあることを確認してください。詳細については、「ServiceNow 製品またはアプリケーションのエンタイトルメントの取得」を参照してください。
- 依存関係、ライセンスやサブスクリプションの要件、およびリリースの互換性については、ServiceNow Store にリスト化されている資産管理 - 調達統合 アプリケーションを確認してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

必要なロール：Now Support

資産管理 - 調達 統合の資格が付与されたら、Now Support に連絡してこのアプリケーションをインストールできます。

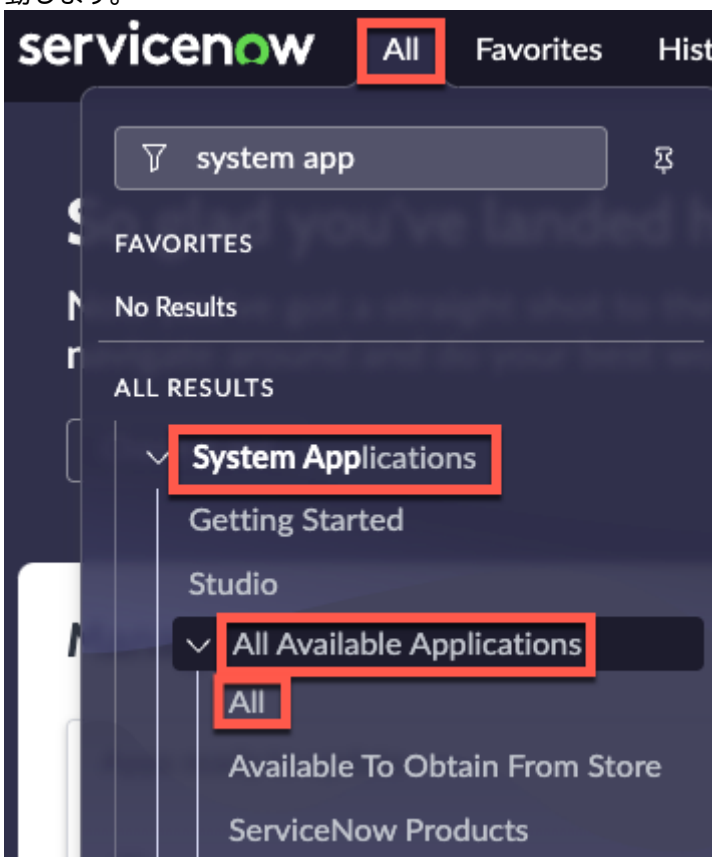
このタスクについて

スケジュール済みジョブとテーブルは、 資産管理 - 調達 統合とともにインストールされます。

詳細については、「資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [システムアプリケーション] > [利用可能なすべてのアプリケーション] > [すべて]に移動します。



2. フィルター基準と検索バーを使用して、資産管理 - 調達 統合アプリケーション (app-itam-procurement-integration) を検索します。

   名前または ID でアプリケーションを検索できます。アプリケーションが見つからない場合は、ServiceNow Store に要求する必要が生じる場合があります。

   [インストール] ボタンの横のリストに、使用可能なバージョンが表示されます。

3. リストからバージョンを選択し、[インストール] を選択します。

   表示されるインストールダイアログボックスには、アプリケーションと併せてインストールされている依存関係が一覧表示されます。

4. プロンプトが表示された場合は、ServiceNow Store へのリンクに従って、依存関係のエンタイトルメントを取得します。
5. [インストール] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 - 調達 統合とともにインストールされるコンポーネント

資産管理 - 調達 統合アプリケーションがアクティブ化されると、いくつかのタイプのコンポーネント (テーブル、スケジュール済みジョブなど) がインストールされます。

インストールされたスケジュール済みジョブ

スケジュール済みジョブ	説明
ITAM - 同期 <procurement_integration_profile_name> 発注書 (PO)	作成済みの要求のステータスを毎日フェッチします。 このスケジュール済みジョブは、統合プロファイルを公開すると自動的に作成されます。

インストールされるテーブル

テーブル	説明
調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]	ServiceNow の 調達 アプリケーションに接続されているサードパーティ調達統合の詳細が含まれます。
調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job]	調達統合プロファイルとそれに関連するスケジュール済みジョブのマッピング情報が含まれます。
統合スケジュール済みジョブの結果 [itam_procurement_integration_job_log]	スケジュール済みジョブ実行の失敗の詳細が含まれます。

ドメインセパレーションおよび 資産管理 - 調達 統合

資産管理 - 調達 統合では、ドメインセパレーションがサポートされています。ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクを、「ドメイン」と呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：拡張

- ベーシックレベルと標準レベルを含みます。
- データドリブンプロセスにより、サービスプロバイダーの顧客は定義されたユースケースに基づくビジネスロジックを変更できます。これらの構成は UI ベースでフェイルセーフであるため、1 人の顧客による構成が別の顧客に影響を与えることはありません。
- インスタンスのテナントは、それ自体、最小実行可能製品 (MVP) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。アプリケーションの通常の関数では、このロジックとパラメーターが想定されます。

サンプルユースケース：共有環境のテナント顧客は、影響度、緊急性、または優先度のマトリクスに変更を加えて、ドメイン内で優先順位を設定できる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

資産管理 - 調達統合の概要

ドメインセパレーションは、資産管理 - 調達 統合アプリケーションのすべての側面に存在します。

資産管理 - 調達 統合でのドメインセパレーションの仕組み

- 各ドメインに複数の調達統合プロファイルを作成できます。親ドメインを含む各ドメインには、公開されたアクティブなプロファイルが 1 つだけ必要です。
- 発注書 (PO) の場合、外部の購入アプリケーションで要求を作成するには、公開された調達統合プロファイルが発注書 (PO) のドメインに存在している必要があります。
- 作成したすべての発注書 (PO)、発注明細、受領伝票、受領伝票ライン、エンタイトルメント、エンタイトルメントインポートエラー、および経費ラインレコードには、発注書 (PO) のそれぞれのドメインがスタンプされます。

調達統合ジョブ [itam_procurement_integration_job] テーブルはドメインセパレーションされていません。

ただし、各調達統合ジョブは調達統合プロファイルに関連付けられています。ジョブの実行では、外部購入アプリケーションからの更新が、対応する調達統合プロファイルでスタンプされた発注書 (PO) にのみ同期されます。

ドメインセパレーションテーブル

- 調達統合プロファイル [itam_procurement_integration_profile]
- 調達統合ジョブログ [itam_procurement_integration_job_log]

必須のプラグイン

- ドメインセパレーション拡張 (com.glide.domain.msp_extensions.installer)
- SAMP (com.sn_samp_master)
- 調達 (com.snc.procurement)

サポートされているその他のプラグイン

サービスカタログ – ドメインセパレーション (com.glideapp.servicecatalog.domain_separation)

Coupa との統合

Coupa を ソフトウェア資産管理 と統合すると、Coupa でソフトウェア要求を直接作成するのに役立ちます。ソフトウェア資産管理 はこれらの要求を追跡し、Coupa でこれらの要求を受け取った後にエンタイトルメントまたはエンタイトルメントインポートエラーを自動的に生成します。

注: この統合では、Coupa で作成された要求は ソフトウェア資産管理 にプルされません。

事前準備

- ServiceNow Store から 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションをインストールします。詳細については、「資産管理 - 調達 統合のインストール」を参照してください。
- ソフトウェア資産管理プロ をインストールします。詳細については、「ソフトウェア資産管理 を要求する」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

> **注:** ソフトウェア資産管理プロ は 資産管理 - 調達 統合 (app-itam-procurement-integration) ストアアプリケーションのインストールは必須ではありませんが、機能全体を利用するには必要です。

- Coupa スポークをアクティブ化します。詳細については、「Coupa スポーク」を参照してください。
- 調達プラグイン (com.snc.procurement) をアクティブ化します。詳細については、「調達 をアクティブ化する」を参照してください。

参照データの同期

ServiceNow ServiceNow と Coupa の両方に、独自のテーブルセットと参照データタイプがあります。統合をスムーズかつ正常に行うには、 参照するデータを同期する必要があります。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

> **警告:** データを同期しないと、Coupaで要求事項を作成しているときにいくつかの問題が発生する可能性があります。

Coupa 統合プロファイルの作成

Coupa 統合プロファイルを作成して、このプロファイルによって作成された調達スケジュール済みジョブ、エンタイトルメント、およびエンタイトルメントインポートのエラーに関するステータスを確認します。

始める前に
必要なロール：sam_admin

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成し、クライアント ID とクライアントシークレットを取得します。詳細については、「OAuth 2.0 Getting Started with Coupa API (OAuth 2.0 Coupa API の概要)」を参照してください。後で使用するためにクライアント ID とクライアントシークレットを安全な場所に保存します。

Coupa を使用して OAuth 2.0 接続を作成するときに、次のスコープを設定する必要があります。

- core.approval.configuration.read
- core.approval.read
- core.approval.write
- core.catalog.read
- core.contract.read
- core.inventory.adjustment.read
- core.inventory.adjustment.write
- core.inventory.asn.read
- core.inventory.consumption.read
- core.inventory.consumption.write
- core.inventory.receiving.read
- core.inventory.receiving.write
- core.inventory.return_to_supplier.read
- core.inventory.transfer.read
- core.inventory.transfer.write
- core.invoice.delete

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

- core.invoice.read
- core.purchase_order.read
- core.purchase_order.write
- core.requisition.read
- core.requisition.write
- core.supplier.read
- core.user.read
- core.user.write

注: これらのスコープがクライアント ID とクライアントシークレットに関連付けられていない場合、ServiceNow で OAuth トークンフローが失敗します。

手順

1. [ソフトウェア資産ワークスペース] > [ライセンス操作] > [購入] > [調達統合] に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームのフィールドに入力します。

新しい調達統合プロファイルを作成

フィールド	説明
表示名	調達統合プロファイルの名前。例：`Coupa integration`。
接続と資格情報	Coupa の接続および資格情報エイリアス。このフィールドは、自動的に **sn_coupa_spoke.Coupa_OAuth** に入力されます。
プロファイルタイプ	統合プロファイルのタイプ。 **[Coupa** 統合] を選択します。
ステータス	統合プロファイルのステータス。 ◦ 統合プロファイルを公開していない場合、このフィールドは自動的に [ドラフト] に設定されます。 ◦ 統合プロファイルを公開している場合、このフィールドは自動的に [公開済み] に設定されます。
アクティブ	このフィールドは、統合プロファイルが公開されている場合にのみ表示され、「true」に設定されます。 このフィールドを「false」に設定すると、この統合プロファイルに関連付けられた要求は作成および追跡されません。

4. [保存] をクリックします。
5. [接続と資格情報] フィールドの横にあるプレビューアイコンをクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

[接続および資格情報エイリアス] フォームにリダイレクトされます。

6. [関連リンク] セクションから、 [新しい接続および資格情報の作成] をクリックして、接続と資格情報を作成します。
7. ダイアログボックスで、フィールドに入力します。

接続と資格情報を作成

フィールド	説明
名前 (接続)	接続を一意に識別する名前。たとえば、`Coupa OAuth connnection` とします。
接続 URL	Coupa に接続するための URL。`https://<coupa-instance-url>` の形式を使用します。 ◦顧客のインスタンスの場合は、`https://{organization_name}.coupahost.com` の形式を使用します。 ◦パートナーおよびデモインスタンスの場合は、`https://{organization_name}.coupacloud.com` の形式を使用します。
名前 (認証情報)	認証情報を一意に識別する名前。たとえば、`Coupa OAuth credential` とします。
トークン URL	OAuth トークンの生成に使用される URL。`https://<coupa-instance-url>/oauth2/token` の形式を使用します。
OAuth クライアント ID	Coupa で生成された識別子 (クライアント ID)。
OAuth クライアントシークレット	Coupa で生成されたシークレット (クライアントシークレット)。

8. **[OAuth** トークンを作成して取得] をクリックします。
ServiceNow インスタンスは Coupa の OAuth を作成し、自動的に [統合プロファイル] フォームに戻ります。
9. オプション: この統合プロファイルの接続と資格情報を一意に識別できる子エイリアスを作成します。
作成する最初の Coupa 統合プロファイルでは、Coupa にデフォルト (親) 接続および資格情報エイリアスを使用します。作成する追加の Coupa 統合プロファイルごとに、各統合プロファイル間の接続と資格情報を区別するのに役立つ一意の子エイリアスが必要です。

   a. [接続および資格情報エイリアス] フォームで、**Child Aliases > Parentalias=***** の下にあるリンクを選択して、子エイリアスを追加します。

   b. [新規] をクリックします。

   c. [名前] フィールドに子エイリアスの名前を入力します。

   d. フォームヘッダーを右クリックし、[保存] を選択します。

   e. フォームを再ロードした後に、[新しい接続および資格情報の作成] 関連リンクを選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

f. ステップ 7 と 8 を繰り返します。

g. [統合プロファイル] フォームの [接続および資格情報] フィールドで、ルックアップアイコンをクリックして、作成した子エイリアスを見つけて選択します。
子エイリアスを選択すると、エイリアスが統合プロファイルに関連付けられます。ServiceNow インスタンスはこのエイリアスを使用して、この統合プロファイルの接続と資格情報を識別します。

10. [公開] をクリックします。

タスクの結果

統合プロファイルを公開すると、スケジュール済みジョブ *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が毎日実行され、作成済みの要求のステータスをフェッチします。

注: 要求を作成していない場合、スケジュール済みジョブは実行されません。

この情報を表示するには、[調達統合ジョブ] タブをクリックします。

次のタスク

スケジュール済みジョブ *ITAM - Sync Coupa purchase orders* が正常に実行されたことを確認するには、[統合スケジュール済みジョブの結果] タブをクリックします。ジョブが失敗した場合は、次のステップに従ってエラーのリストを表示できます。

1. [調達統合プロファイル] フォームで、[調達統合ジョブログ] 関連リストを選択します。
2. 表示されたステータスが [失敗] と表示されているジョブログレコードを開きます。
3. [資産のジョブ履歴詳細] 関連リストをクリックして、ジョブが失敗した理由を確認します。

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow ServiceNow アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

Coupa 統合プロファイルを削除する場合は、「外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除」を参照してください。

調達 アプリケーションによる **Coupa** での要求作成

ソフトウェアを購入するには、ServiceNow 調達 アプリケーションを使用して Coupa でソフトウェア要求を直接作成します。

始める前に

ServiceNow 調達 アプリケーションを使用して Coupa で要求を作成するには、次のタスクを実行する必要があります。

- Coupa 統合プロファイルを作成して公開します。詳細については、「Coupa 統合プロファイルを作成する」を参照してください。
- 作成する発注書 (PO) に少なくとも 1 つの発注明細があり、すべての発注明細がソフトウェア製品用であることを確認します。
- ServiceNow 調達 と Coupa の両方のアプリケーションで参照データタイプを同期します。詳細については、「参照データの同期」を参照してください。

これらの条件がすべて満たされている場合は、Coupaで要求を作成できます。

条件が満たされていない場合、Coupa で要求は作成されず、調達 アプリケーションで従来の調達フローが続行されます。

必要なロール：sam_admin および procurement_integrator

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: Procurement_integrator ロールが sam_admin ロールに追加されます。Procurement_integrator ロールを使用すると、SAM アドミニストレーターは接続とエイリアスを表示できます。

このタスクについて

次の方法を使用して Coupa で要求を作成できます。

- ユーザーが サービスカタログ を介してソフトウェアを要求したとき。詳細については、「サービスポータルからカタログアイテムを要求する」を参照してください。
- procurement_user または sam_admin が 調達 アプリケーションで直接発注書を作成する場合。発注書 (PO) の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。
- sam_user が [修復オプション] フォームから直接発注書を作成する場合。詳細については、「ソフトウェアモデルの結果を表示」を参照してください。

要求には次のタイプがあります。

- カタログ要求：外部の購入アプリケーションに既に存在するアイテムに対して作成された要求。
- カタログ要求以外：組織の製品カタログにまだ存在しないアイテムに対して作成された要求。

発注書 (PO) の作成の詳細については、「発注書を作成する」を参照してください。

手順

1. [すべて] > [調達] > [発注] > [発注書 **(PO)]** に移動します。
2. [新規] を選択します。
3. フォームのフィールドに入力します。

発注書フィールド

フィールド	説明
番号	発注書を識別する一意の番号。
期限	購買発に記載の総コストを支払わなければならない期限。
ベンダー	発注書 (PO) が発行されるサプライヤー。
配送先	発注書 (PO) のアイテムが配送されるストックルーム。 注: このフィールドは必須ですが、Coupa でソフトウェアの要求を作成するときには影響しません。
発注書日付	発注書 (PO) が作成された日付。
ステータス	発注書 (PO) のステータス：[キャンセル済み]、[注文済み]、[受領済み]、[要求済み]、[一時停止]。
アサイン先	発注書 (PO) が割り当てられているユーザー。
請求先	発注書 (PO) の総コストの支払いを担当する場所。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
簡単な説明	発注書 (PO) の簡単な説明。
「全般」セクション	
出荷	発注書 (PO) のアイテムを出荷するときに使用される出荷方法。
期間	発注書支払い条件：、[請求日から **30** 日以内]、[請求日から **90** 日以内]
配送料	[出荷] フィールドで指定された配送方法に対して支払われなければならない金額。
総コスト	発注書 (PO) のすべてのアイテムコストと配送料の合計。
説明	発注書 (PO) の内容の完全な説明。
詳細セクション	
初期要求	発注書 (PO) に記載のアイテムを必要とする要求のレコード番号。
要求元	発注書 (PO) に記載のアイテムを要求するユーザー。 **注:** 発注書でアイテムを要求するユーザーのメール ID またはメールアドレスは、Coupa と ServiceNow ServiceNow アプリケーションの両方で同じである必要があります。
要求済み	[要求元] フィールドのユーザーが発注書 (PO) に記載のアイテムを要求した日付。
注文済み	発注書フォームの [注文] ボタンがクリックされた日時。
配送予定	発注書 (PO) に関連付けられたアイテムが、[配送先] フィールドで指定されたストックルームに到着する予定の日付。このフィールドは、発注書 (PO) の [ステータス] が [受領済み] または [キャンセル済み] の場合は編集できません。(このフィールドの詳細については、「発注書 (PO) の配送予定日」を参照してください)。
受領済み	発注書 (PO) のステータスが [受領済み] に変更された日時。
契約	発注書 (PO) に記載のアイテムが注文されるベンダーとの契約のレコード番号。
部門	発注書 (PO) の支払いを担当する部門。
予算番号	発注書 (PO) に関連付けられた予算番号。
ベンダーアカウント	発注書 (PO) に関連付けられているベンダーアカウント。

4. フォームを右クリックし、[保存] を選択します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

発注品目を追加して、このベンダーから発注するものを指定します。発注品目の作成の詳細については、「発注明細を作成する」を参照してください。Coupa に一意の ID を持つ要求明細行が作成されます。

5. 少なくとも 1 つの発注明細を追加したら、[注文] を選択します。
要求 ID が発注書 (PO) に表示され、対応する要求明細行 ID が発注明細に表示されます。

> **注:** しばらく待ってから、発注書フォームをリロードして、生成された ID またはエラーを表示します。

タスクの結果

Coupa で発注書 (PO) のステータスが [受領済み] になると、次のアクティビティが発生します。

- 資産と受領伝票が作成され、[発注書] フォームで発注書番号を確認できます。
- 資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、エンタイトルメントを自動的に生成します。
- 資産を受領すると、スケジュール済みジョブ *ITAM – Sync Coupa purchase orders* が ServiceNow 調達 アプリケーションで受領伝票と受領伝票ラインを作成します。このジョブは、[メーカー品番]、[ステータス]、[受領数量] などの Coupa フィールドもプルします。受領トランザクションを介して Coupa から返された値は、作成されたエンタイトルメントに入力するために使用されます。ただし、これらの値が受領伝票から利用できない場合、資産管理 - 調達 統合アプリケーションは、調達 アプリケーションの発注書 (PO) に入力された値を使用します。
- 発注書 (PO) に不一致が存在する場合、資産管理 - 調達 統合によりエンタイトルメントインポートエラーが作成されます。エラーを表示するには、[発注書]、[発注品目]、および [受領伝票ライン] の下にある [エンタイトルメントインポートエラー] タブを選択します。

参照データの同期

Coupa と ソフトウェア資産管理 を正常に統合するには、ServiceNow 調達 アプリケーションと Coupa の両方で次の参照データタイプを同期する必要があります。

要求事項または発注書フォーム

Coupa 要求事項フィールド	ServiceNow 調達 発注書フィールド	説明
要求者	要求者	[要求者] レコードに関連付けられているメールアドレスは、Coupa 内の対応する参照レコードを検索するために使用されます。

要求明細行フィールドまたは発注明細フィールド

Coupa 要求明細行フィールド	ServiceNow 調達 発注明細フィールド	説明
サプライヤー	ベンダー	このソフトウェア製品が注文されるサプライヤーまたはベンダー。
単価	コスト	割引を含む単一の製品モデルのコストまたは価格。
通貨	コスト	[通貨] は Coupa の参照フィールドです。統合が正常に実行されるように、Coupa と

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

要求明細行フィールドまたは発注明細フィールド (続く)

Coupa 要求明細行フィールド	ServiceNow 調達 発注明細フィールド	説明
		ServiceNow の通貨コードが一致していることを確認します。
アイテム	カタログアイテム	Coupa アイテムと ServiceNow 調達 カタログアイテムは、同じ表示名を共有する必要があります。 注: このフィールドは、カタログ要求にのみ使用されます。
説明	製品モデル	発注明細のモデル。 注: このフィールドは、非カタログ要求にのみ使用されます。

外部調達アプリケーション統合プロファイルの削除

ソフトウェア資産管理 を介してソフトウェア要求を作成するための外部調達アプリケーションの使用を停止する場合は、統合プロファイルを削除できます。

sam_admin は、統合プロファイルレコードで [削除] を選択して統合プロファイルを削除できます。

直接統合プロファイルを削除すると、プロファイルに関連付けられているすべてのスケジュール済みジョブとジョブ結果が削除されます。統合プロファイル参照は、ServiceNow の発注書レコードからも削除されます。

統合プロファイルを削除すると、ソフトウェア資産管理 は進行中の要求を考慮しません。統合プロファイルを削除する前に、進行中のすべての要求が完了していることを確認します。

ドメインセパレーションと 調達

ドメインセパレーションは、調達 処理でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準*

サポートレベルは標準ですが、いくつかの例外または特別な条件があります。

- ベーシックレベルを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスオーナーは、MVP (minimum viable product) ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。この構成は、特定のアプリケーションで前提とされているように、テナントごとに行います。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

自動翻訳

サンプルユースケース：アドミニストレーターは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

調達におけるドメインセパレーションの仕組み

ドメインを識別する発注書 (PO) や PO 明細を作成または編集するには、顧客が適切なドメインで作業している必要があります。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

製品カタログ

製品カタログは、個々のモデルに関する一連の情報です。モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。資産アドミニストレーターは、製品カタログをモデル情報の中心リポジトリとして使用します。

詳細でよく管理された製品カタログは、サービスカタログ、資産、調達、要求、契約、ベンダー情報と連携が取れます。

製品カタログに公開されたモデルは、自動的に サービスカタログ に公開されます。サービスカタログには、商品 (モデル) やサービスに関する情報が含まれています。モデルが複数のベンダーから入手可能な場合、モデルは複数回一覧に表示されます。モデルは資産管理アプリケーションに含まれています。

製品カタログを扱うときは、次の点にご注意ください。

- 製品カタログアイテムは、複数のベンダーカタログアイテムまたは単一のモデルにリンクすることができます。
- 1 つのモデルには製品カタログアイテムは 1 点しかありません。
- ベンダーカタログアイテムには、単一の商品カタログアイテムしかありません。

関連情報

資産と構成アイテムの管理

製品カタログでインストールされるコンポーネント

次のコンポーネントは、製品カタログプラグインでインストールされます。

デモ データは製品カタログで入手できます。デモデータでは、さまざまなモデル、モデルカテゴリ、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム、ベンダーが提供されています。

製品カタログでインストールされるテーブル

製品カタログプラグインは次のテーブルを追加します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

テーブル	説明
ハードウェア カタログ [pc_hardware_cat_item]	製品モデル [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのハードウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
製品カタログアイテム [pc_product_cat_item]	製品カタログのすべての情報を格納します。このテーブルは、カタログ アイテム [sc_cat_item] テーブルを拡張しています。
ソフトウェア カタログ [pc_software_cat_item]	製品カタログl [cmdb_model] ベース テーブルから公開されたすべてのソフトウェア カタログ アイテムを格納します。製品カタログ アイテム [pc_product_cat_item] テーブルを拡張します。
ベンダーカタログアイテム [pc_vendor_cat_item]	すべてのベンダーカタログアイテム情報を格納します。

製品カタログでインストールされるロール

製品カタログプラグインは、次のロールを追加します。

ロール	説明	含まれるロール
model_manager	CMDB モデルを作成できます。	なし
category_manager	モデルアドミニストレーターが行うことがすべて実行でき、またモデル カテゴリを管理できます。	model_manager

自動翻訳

製品カタログでインストールされるスクリプトインクルード

製品カタログプラグインは、次のスクリプトインクルードを追加します。

テーブル	説明
ProductCatalogUtils	ベンダー カタログ アイテムとモデルから派生した製品カタログ アイテムを作成、管理するためのユーティリティ。

製品カタログでインストールされるクライアントスクリプト

製品カタログプラグインは、次のクライアントスクリプトを追加します。

クライアントスクリプト	テーブル	スクリプトのコンテンツ
モデル フィールドを設定する	[pc_vendor_cat_item]	ベンダーカタログアイテムが製品カタログに追加されたとき、説明と価格が存在しない場合はそれらを追加します。

関連情報

クライアントスクリプト

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品カタログでインストールされるビジネスルール

製品カタログプラグインは、次のビジネスルールを追加します。

ビジネスルール	テーブル	説明
モデルをクリアーする	[pc_product_cat_item]	リンクが製品カタログから削除されたときにモデルのリンクをクリアーします。
子製品カタログエントリーを作成する	ハードウェア モデル [cmdb_hardware_product_model]	バンドルされたモデルが作成されたときに、バンドルされたモデルの全アイテムの製品カタログのエントリーを作成します。
製品カタログアイテムを同期する	[pc_vendor_cat_item]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。
製品カタログアイテムを同期する	[cmdb_model]	フィールドが更新されたときに、製品カタログ内の相対するフィールドを更新します。

関連情報

ビジネスルール

モデル

モデルとは、特定のバージョンまたはさまざまな構成の資産のことです。モデルは、製品カタログ、資産管理、調達などのさまざまなServiceNowプラットフォーム資産アプリケーションを通じて資産の管理や追跡をするために使用されます。

モデル定義は、ベンダー提供の基準 (たとえば、Apple MacBook Pro などのメーカー名や Graphic Designer Workstation などのカスマイズした抽象概念) に基づいています。すべてのモデル情報は、製品カタログアプリケーションにあります。

製品モデルは、1 種類以上のモデル カテゴリに分類できます。たとえば、ラップトップはコンピューターとサーバーとすることができます。モデル定義は、モデルが資産、構成アイテム、またはその両方を作成するかどうかを特定します。ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加できます。

特記がない限り、製品モデルを使用するには model_manager ロールが必要となります。このロールは、sam、category_manager、asset などの他のロールに含まれています。

モデルの作成

モデルは、[製品カタログ] > [製品モデル] > [すべてのモデル] モジュールで作成されます。

モデルのタイプに関係なく、すべてのモデルに表示されるフィールドのリストのモデル フォーム フィールドを参照してください。

関連情報

資産管理

調達

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル フォーム フィールド

モデルフォームには、すべてのタイプのモデルに適用されるフィールドがあります。

フィールド	説明
表示名	モデルの名前。*glide.cmdb_model.display_name.shorten* と呼ばれるシステム プロパティにより、ソフトウェア モデル表示名の生成方法が制御されます。
メーカー	モデルをビルドした会社。
名前	フィールド エージェントのノート パソコンなど、モデルマネージャーによって指定されたモデルのメーカー割り当て名または抽象的な名前。
エディション	**Professional** などのソフトウェア モデルのエディション。
簡単な説明	モデルの簡単な説明。
モデルカテゴリ	モデルが割り当てられるカテゴリ。このフィールドは Glide リストであり、レポートの作成には使用できません。
資産追跡戦略	モデルを追跡するプロセス。次のいずれか 1 つを選択します。 • カテゴリに残す：モデルには透明性があり、カテゴリは資産クラスを定義します。 • 消耗資産の作成：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産クラスを消耗品とします。 • 資産を作成しない：モデルは、カテゴリが資産クラスとして定義する内容に関わらず資産のインスタンス化をブロックします。
取得方法	モデルを購入する方法。選択肢として [両方]、[購入]、[リース] があります。
コスト	モデルの単一のコスト。
減価償却	モデルの減価償却スキーム。
処分価額	耐用年数の終了時に資産が売却時に実現する推定額。この値は資産のコスト以下でなければなりません。
モデル番号	メーカーがアイテムに割り当てる特定のモデル番号。システムプロパティ *glide.cmdb.makeandmodel.use_model_number_lookup* を true に設定すると、MakeAndModelJS スクリプトを使用してハードウェアモデルのモデル番号をルックアップできます。
バーコード	モデルに割り当てられたバーコード番号。バーコードはメーカーによって割り当てられます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
所有者	モデルの責任者。
ステータス	モデルのステータス。選択肢として [本番稼働中]、[廃止済み]、 [販売済み] があります。
支出タイプ	支出の種類。次のいずれか 1 つを選択します。 • 投資：資本的支出とは、一度の支出でその価値を何年にも渡って実感するものです。たとえばコピー機が該当します。 • 経費：運用経費は継続的な支出です。たとえばコピー機のトナーが該当します。
認定	モデルの使用が承認されているかどうかを判断するオプション。
コメント	モデルに関する有用な情報。
資産	このモデルから作成された資産。この作成には、資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。たとえば、単一のハードウェア モデルでは、資産はあるけど構成アイテムはなし、構成アイテムはあるけど資産はなし、両方あり、とすることができます。
構成アイテム ID	このモデルから作成された構成アイテム。資産と構成アイテムを自由に組み合わせることができます。
製品カタログ	製品カタログやサービスカタログに表示されるモデルに関する情報。この情報は、モデルが製品カタログに公開されている場合にのみ表示されます。

ハードウェアモデルを作成する

ハードウェア モデルを使用して、サーバーやラックなどの装置資産を追跡します。新規のハードウェア モデルを作成することができます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [ハードウェアモデル]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。表示されるハードウェア モデルのフィールドは、フォームの情報セクションにあります。

ハードウェア モデルのモデルフォーム フィールド

フィールド	説明
高さ (U)	ハードウェア アイテムの合計高さ (インチ)。
フロー レート (cfm)	ハードウェア モデルのフロー レート (立法フィート/分)。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
音響出力 (ベル)	ノイズ測定 (ベル：1 ベル = 10 デシベル)。

4. [更新] をクリックします。

ハードウェア モデルに互換性のあるモデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、互換性のあるハードウェアモデルを追加することができます。これにより、連携して動作するハードウェア資産を追跡する優れた方法が得られます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
注: バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、互換機能として追加することはできません。

手順
1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [ハードウェアモデル]に移動します。
2. ハードウェア モデルの[名前] をクリックします。
3. [互換製品を追加] をクリックします。
4. 互換性のあるモデルを選択します。
5. [送信] をクリックします。
   選択されたモデルは[互換性] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報
モデル

バンドルされたモデル

ハードウェア モデルに代替モデルを追加する

ハードウェアモデルレコードでは、代替品を追加して、別のハードウェアモデルの代わりに使用できるハードウェアモデルを追跡できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
たとえば、19 インチ モニターは 17 インチ モニターの代替品として有効です。代替品には指向性があるため、この場合、17 インチ モニターは 19 インチ モニターに代わるものではないことにご注意ください。有効な代替モデルに関する情報は、転送注文の作成時にモデルを選択する際に役立ちます。

代替モデルを選択する場合は、次の条件にご注意ください。

- 代替モデルは、作業管理転送注文で使用することができます。代替モデルは、調達部品の調達には使用されません。
- バンドルされたモデルに含まれるハードウェア モデルは、代替品として追加することはできません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [ハードウェアモデル]に移動します。
2. ハードウェアモデルの [名前] をクリックします。
3. [代替製品を追加] をクリックします。
4. 左の [コレクション] リストで、ハードウェア モデルをダブルクリックします。
   ハードウェア モデルが右側の [リスト] に追加されます。
5. [保存] をクリックします。
   このモデルは、[代替] 関連リストに一覧表示されます。

関連情報

モデル

バンドルされたモデル

転送注文の管理

調達

消耗品モデルを作成する

消耗品は、個別にではなくグループとして追跡されるアイテムです。消耗品の例として、コンピューター キーボードが挙げられます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [消耗品モデル]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。消耗品モデルに特定のフィールドはありません。
   作成して新しいモデルに割り当てる消耗資産は、モデル レコードの[消耗品] 関連リストに表示されます。
4. [送信] をクリックします。

バンドルされたモデル

バンドルされたモデルは、個々のモデルで構成される単一のモデルです。たとえば、ラップトップ、プリンター、キーボード、マウスを 1 つのバンドルモデルとして組み合わせることができます。バンドルされたモデルの資産 1 つを個人に割り当てると、その人物はバンドル内のすべてのコンポーネントを受け取ります。

バンドルされたモデルは、アセットバンドルの一部となる資産の種類を定義するテンプレートです。アセットバンドルとバンドルされたモデル間の整合性を維持するには、[製品モデル] フォームレイアウトの [バンドル資産] チェックボックスをオンにします。チェックボックスをオンにすると、バンドルされたモデルのステータスがデフォルトで [ビルド] になります。ステータスが [ビルド] の場合は、バンドルされたモデルに変更を加えることができます。ステータスを [本番稼働中] に変更すると、バンドルされたモデルは変更できなくなります。バンドルされたモデルは読み取り専用になり、このバンドルされたモデルからアセットバンドルを作成できます。バンドルされたモデルに関連付けられたアセットバンドルがない場合にのみ、バンドルされたモデルのステータスを [ビルド] に戻すことができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

注: [バンドル資産] チェックボックス機能は、ハードウェア資産管理 でライセンス可能なアプリケーションでのみ使用できます。ハードウェア資産管理は ServiceNow ストアで入手できます。アセットバンドル機能の詳細については、「アセットバンドル」を参照してください。

バンドルされたモデルには、抽象または具象があります。

抽象

1 つのモデルを複数のバンドルで使用できるようにします。同梱品はコンテナーとして作成されます。バンドル内の資産 1 つがメイン コンポーネントとして指定されます。モデルカテゴリは、どの資産をバンドルに含めることができるかを定義します。モデルカテゴリでは、バンドルの主要コンポーネントになるものを定義することもできます。

メイン コンポーネントを追加すると、バンドル コンポーネントの追跡が簡単になります。たとえば、コンピューターをメインコンポーネントとして追加し、マウスとキーボードを他のコンポーネントとして追加する同梱品を作成します。バンドルがユーザーに割り当てられると、コンピューターの資産レコードには、そのユーザーに割り当てられたコンピューター、マウス、キーボードがすべて表示されます。抽象バンドルは具象バンドルより頻繁に使用されます。

具象

メイン コンポーネントが資産である固定バンドルです。メイン コンポーネントと他のコンポーネントを指定して、正確なバンドルを作成します。具象バンドルは、モデルとの多対多関係を考慮していません。

バンドルされたモデルを作成して使用する場合は、以下のヒントを念頭に置いてください。

- バンドルはバンドル内にネスト化することができます。
- 任意のタイプのモデルをバンドルで使用できます。
- 親リンクの定義されると、割り当てに関連したフィールドと子資産の状態が読み取り専用となります。これらは、親の割り当てフィールドと状態フィールドに基づいて作成されます。
- 親バンドルに変更を加えると、バンドル内の子が影響を受けます。たとえば、バンドルを個人に割り当てる場合、すべての子資産レコードには、割り当てられた人物と同じ個人が表示されます。
- バンドルを事前に割り当てることはできません。
- バンドル内では、消耗品が消費され、資産はメインコンポーネントと同じステータスに設定されます。
- 個々のコンポーネントではなく、バンドルのみが転送注文の一部となることができます。
- モデル カテゴリを通じてバンドルに含めることができるものを制御します。たとえば、モデル カテゴリの サーバーは、バンドルに含まれているサーバーを決して許可しないように設定できます。
- ソフトウェアのコレクションを作成するには、バンドルされたモデルの代わりにスイートを作成する必要があります。
- ソフトウェアライセンスをバンドルのメインコンポーネントにすることはできません。

抽象モデルを作成するには、モデルカテゴリを [バンドル] に設定し、コンポーネントを追加します。具象モデルを作成するには、[製品カタログ] > [製品モデル] > [バンドルされたモデル] モジュールでモデルを作成し、コンポーネントを追加します。

関連情報

割当済み資産を作成する

消耗資産を消費する

モデルカテゴリ

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル コンポーネントをバンドルに追加する

ほかの資産を含むようにバンドルをアップグレードする場合など、必要に応じてモデルにモデル コンポーネントを追加します。

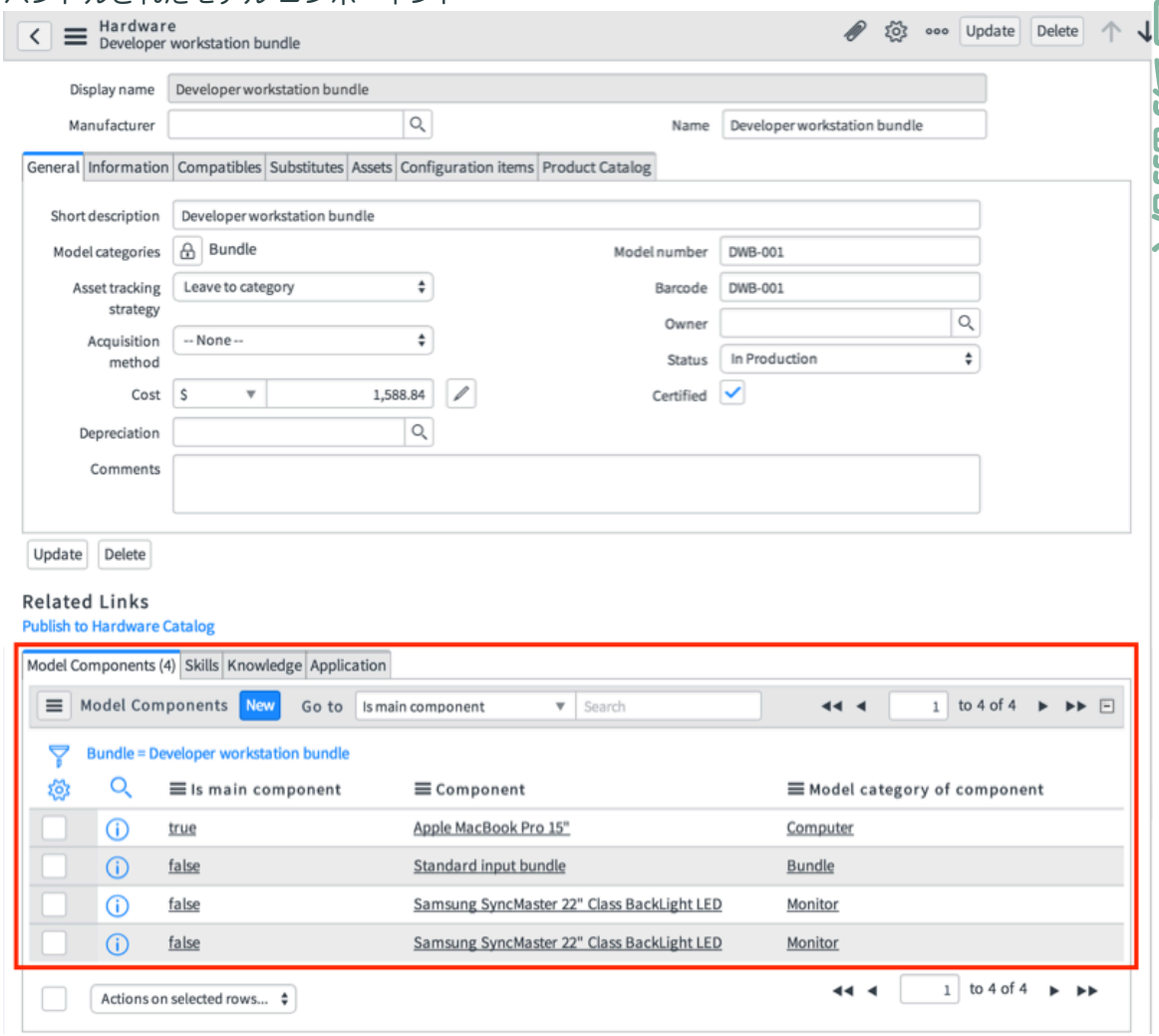
始める前に

必要なロール：model_manager と asset

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [バンドルモデル]に移動します。
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、[新規] をクリックします。
4. [コンピューター] など、コンポーネントの [モデル カテゴリ] を選択します。
5. 「Apple **Computer MacBook Pro** 17」など、[コンポーネント] を選択します。
6. 他のコンポーネントを付属させるコンポーネントとする場合は、[メイン コンポーネントである] チェック ボックスを選択します。
7. [送信] をクリックします。
8. 手順 3 ～ 7 を繰り返してバンドルにコンポーネントを追加します。
   バンドルされたモデルに追加するコンポーネントは、[モデル コンポーネント] 関連リストに表示されます。

バンドルされたモデル コンポーネント



自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

関連情報

モデル

バンドルからモデル コンポーネントを削除する

たとえば、別のコンポーネントと置き換える場合など、バンドルされたモデルからコンポーネントを削除します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
コンポーネント履歴は保持されません。バンドルされたモデルからコンポーネントを削除すると、そのコンポーネントがバンドルに含まれていたことを示すレコードは保存されません。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [バンドルされたモデル]に移動します。
2. バンドルレコードを開きます。
3. [モデル コンポーネント] 関連リストで、削除するコンポーネントを選択します。
4. リストの下にある [アクション] の選択リストで、[削除] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

バンドルされたモデルを製品カタログに公開

バンドルされたモデルを製品カタログに公開して、バンドルされたモデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または catalog_manager

このタスクについて
バンドルされたモデルは、次の条件でのみ公開できます。

- モデルは cmdb_model テーブルに作成する必要があります。
- モデルに既存のカタログアイテムを含めることはできません。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [バンドルモデル]に移動します。
2. 製品モデルを開きます。
3. [関連リンク] で、[製品カタログに公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。

ソフトウェアモデル

ソフトウェア モデルは資産管理プロセスの一環として作成されます。製品カタログからソフトウェアの製品モデルを作成できますが、ソフトウェア モデルのすべての面を管理することはできません。

ソフトウェア モデルはソフトウェア カウンターで使用されます。ソフトウェアモデルの作成の詳細については、「ソフトウェアモデルの作成」を参照してください。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

アプリケーション モデルの作成

スクラム開発プロセス内で管理や追跡ができるアプリケーション モデルを作成できます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [アプリケーションモデル]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。
   一般的なフィールドの説明については、モデル フォーム フィールドを参照してください。アプリケーション モデルに特定のフィールドはありません。
4. [送信] をクリックします。

関連情報

Agile Development

作業指示モデル

作業管理が有効になると、ServiceNowプラットフォームは作業指示モデルと作業タスクモデルモジュールを製品カタログに追加します。

wm_admin ロールを持つユーザーは、新しいモデルレコードを定義できます。テンプレートを使用して、共通プロシージャの作業指示を作成できます。

VMware サポートおよび Amazon EC2 用に作成されたモデル

VMware または Amazon EC2 の オーケストレーションを有効にすると、モデルが自動的に作成されます。

次のモデルが作成されます。

- VMware の vmware インスタンス
- Amazon の ec2 インスタンス

仮想マシンが終了すると、資産の状態が [廃止] に変更されます。

モデルにスキルを加える

どのモデルにもスキルを関連付けることができます。スキルとモデルの関連付けを作成すると、作業管理使用中に特定のモデルのスキルに基づいてエージェントにタスクを割り当てる必要がある場合に、便利になります。

始める前に

必要なロール：skill_admin または model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [すべてのモデル]に移動します。
2. 製品モデルを開きます。
3. [スキル] 関連リストで、[編集] をクリックします。
4. [コレクション] リストからアイテムを [スキルリスト] に追加します。
5. [保存] をクリックします。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開する

ハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログにモデルを公開して、モデルをサービスカタログで利用可能にすることができます。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [すべてのモデル]に移動します。
2. 製品モデルを開きます。
   モデルからカタログアイテムを公開すると、プロパティ *glide.model.catalog_item_currency* がカタログアイテムの通貨を決定します。このプロパティはデフォルトで false に設定され、値はユーザーセッション通貨に設定されます。このプロパティを true に設定すると、値はモデル通貨に設定されます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] または [ソフトウェア カタログに公開] をクリックします。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

モデルを削除する

モデルが不要になった場合は、そのモデルを使用する資産や構成アイテムがない限り削除できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [すべてのモデル]に移動します。
2. 製品モデルの横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下にある [アクション] 選択リストで、[削除] を選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

ベンダーカタログアイテム

ベンダー カタログは、さまざまなベンダーから入手可能な商品の一覧です。

正確で完全なベンダー カタログを使用すると、可能な限り最善の価格で在庫を保管しやすくなります。

複数のベンダーカタログアイテムを製品カタログアイテムの 1 点にリンクすることができます。これにより、個別のベンダーが持つ該当アイテムに関する情報を追跡できます。

たとえば、製品カタログアイテムが iPhone 5 として、Apple と Amazon の個別のベンダーカタログアイテムを作成できます。商品を調達する際に、最も良い価格のベンダーを選択できるようになります。ベンダーカタログアイテムを操作するには、model_manager ロールが必要です。

情報を同期する

特定の情報は、モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテム間で同期することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル、製品カタログアイテム、ベンダーカタログアイテムを操作する場合は、次の点にご注意ください。

- ベンダーカタログアイテムが公開されてるがリンクされていない場合にのみ、モデルレコードの変更によってベンダーカタログアイテムが自動的に更新されます。
- モデルがベンダーカタログアイテムにリンクされている場合、モデルの変更によってベンダーカタログアイテムは更新されません。
- ベンダー カタログ アイテムやモデルをハードウェア カタログまたはソフトウェア カタログに公開した後、一部のフィールドはベンダー カタログ アイテムや製品カタログ アイテム レコードで読み取り専用になります。情報はモデル レコードでのみ更新できます。

同期フィールドのリスト：

- 説明
- 簡単な説明
- 名前
- 製品 ID
- 価格
- ベンダー
- 仕様
- 特徴
- モデル
- UPC
- モデル番号
- コスト
- メーカー

自動翻訳

ベンダーカタログアイテムを作成する

ベンダーカタログアイテムを作成して、製品モデルをベンダーと関連付けます。

始める前に

必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダーアイテム]に移動します。
2. [新規] をクリックします。
3. フォームに入力します。

ベンダーカタログアイテムフィールド

フィールド	説明
名前	アイテムの名前は、[製品モデル]、[ベンダー]、[製品**ID**] フィールドの情報から作成されます。
ベンダー	アイテムを提供するサプライヤー。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
製品モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
在庫切れ	アイテムが注文不可かどうかを示すオプション。このフィールドは、要求アイテムを調達する場合に重要となります。アイテムが注文可能な場合は、このチェック ボックスをクリアーします。
製品ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
表示価格	ベンダー割引を除いたアイテムの小売価格。
ベンダー価格	アイテムがベンダー カタログで販売されている価格。ベンダーが割引を提供する場合、ベンダー価格は割引価格を反映します。
ランク	「価値あるパートナー」や「戦術的サプライヤー」など、このベンダーの製品やサービスの総合的なランキングを表示します。ランクはこのベンダーの業績に関する組織の意見を表します。ベンダーの製品を促進するか中止するかを決定するのに使用できます。vendor_manager ロールを持つユーザーは、このフィールドを編集できます。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
「全般」セクション	
製品カタログアイテム	アイテムが製品カタログに追加されている場合の製品カタログアイテムの名前。ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログにリンクする場合は、このフィールドを空欄にします。
UPC	販売するアイテムを一意に識別して追跡するために使用されるバーコード番号。
アクティブ	チェック ボックスを選択すると、ベンダーカタログアイテムが一覧表示されます。ベンダーカタログアイテムを非表示にするには、このチェックボックスをクリアーします。
説明	アイテムの詳細な説明。
「情報」セクション	
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。

4. [送信] をクリックします。

ハードウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをハードウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に

必要なロール：model_manager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダーアイテム]に移動します。
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたハードウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

ソフトウェア カタログへのアイテムのリンク

ベンダーカタログアイテムを作成したら、アイテムをソフトウェアカタログにリンクして表示します。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダーアイテム]に移動します。
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログアイテムへのリンク] をクリックします。
4. [カタログアイテム] を選択します。
5. **[OK]** をクリックします。
   ページが選択されたソフトウェアカタログアイテムに更新されます。ベンダーカタログアイテムが [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに一覧表示されます。

ハードウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログにハードウェアアイテムを作成したら、ハードウェアカタログに公開して表示します。ハードウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ハードウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ハードウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをハードウェアカタログに公開した後は、[ハードウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ハードウェアカタログ内の情報と同期されます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダーアイテム]に移動します。
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ハードウェア カタログに公開] をクリックします。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがハードウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ソフトウェアカタログにアイテムを公開する

ベンダーカタログのソフトウェアアイテムを作成したら、ソフトウェアカタログに公開して表示します。ソフトウェアカタログは、サービスカタログ内のセクションです。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
ベンダーカタログアイテムフォームの [ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクを表示するには、ソフトウェアモデルまたは消耗品モデルを [製品モデル] フィールドに追加し、[製品カタログアイテム] フィールドを空欄にします。

ベンダーカタログアイテムをソフトウェアカタログに公開した後は、[ソフトウェアカタログに公開] 関連リンクが利用できなくなります。ベンダーカタログアイテムレコードに加えられた変更は、ソフトウェアカタログ内の情報と同期されます。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダーアイテム]に移動します。
2. ベンダーカタログアイテムを開きます。
3. [関連リンク] で、[ソフトウェアカタログに公開] を選択します。
4. [カテゴリ] を選択します。
5. **[OK]** を選択します。
   公開済みアイテムがソフトウェアカタログフォームの [ベンダーカタログアイテム] 関連リストに表示されます。

ベンダーリストを見る

製品カタログからベンダーのリストを表示できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
このリストには、[ベンダー] オプションがレコードで選択されているすべての会社が含まれます。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ベンダー]に移動します。
2. 詳細については、任意のベンダーの[名前] をクリックします。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品カタログアイテム

製品カタログアイテムは、サービスカタログで追跡、提供できるハードウェアとソフトウェアです。

製品カタログは、利用可能なモデルのリストを含む サービスカタログ の拡張版です。catalog_admin ロールを持つユーザーは、製品カタログアイテムを作成、アクティブ化、非アクティブ化できます。

製品カタログアイテムの作成

製品カタログとサービスカタログに含めるハードウェアやソフトウェアの製品カタログアイテムを作成します。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて

アイテムが製品カタログやサービスカタログに表示される前に、アイテムを個別にアクティブ化にする必要があります。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ハードウェアとソフトウェア]に移動します。
2. [新規] を選択します。
3. フォームに入力します。
   一覧表示されているフィールドの一部は、製品カタログアイテムを保存するまで表示されません。

製品カタログアイテム フィールド

フィールド	説明
名前	製品カタログに表示するアイテムの名前。
カタログ	このアイテムが掲載されているカタログ。
ベンダー	アイテムを供給するベンダー。アイテムが複数のベンダーから購入されている場合は、ベンダー カタログを使用してこのフィールドを空欄にします。
ランク	選択したベンダーの製品やサービスの総合的な順位。このフィールドは、CI クラスが [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] のときに、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
モデル	アイテムの特定のバージョンまたは構成。
製品 ID	組織が割り当てたアイテムの識別番号。
価格	アイテムが製品カタログで販売されている価格。数値を入力し、適切な通貨を選択します。
繰り返し発生料金	アイテムに繰り返し発生する価格。たとえば、携帯電話の契約に 500.00 USD かかり、月額 30 USD が繰り返し発生します。
繰り返し発生料金の頻度	支払が繰り返し発生する間隔。
表示価格	アイテムの小売価格。このフィールドは、[クラス] が [ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ表示されます。
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。組織がベンダーから割引を受けた場合、コストは [表示価格] より低くなる可能性があります。このフィールドは、CI クラスが

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	[ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] の場合のみ、製品カタログアイテムレコードに表示されます。
買い物かごの価格を省略	選択すると、アイテムがサービスカタログに表示されたときに価格が非表示になります。チェック ボックスをクリアーすると、サービスカタログに価格が表示されます。このフィールドは、CI クラスがハードウェアカタログの場合にのみ製品カタログアイテムレコードに表示されます。
Workflow	このアイテムに関連付けられたワークフロー。 [ワークフローを表示]を選択すると、ワークフローに関連付けられたアクティビティ、条件、およびステージを表示できます。
実行計画	このアイテムに関連付けられた実行計画。
簡単な説明	アイテムの簡単な説明。
オーダー済みアイテムのリンク	アイテムの詳細情報を含むリンクのリスト。複数のアイテムにわたってリンクを再利用することができます。
クラス	このアイテムが属するカタログアイテムのクラス。[ハードウェアカタログ] または [ソフトウェアカタログ] を選択します。このフィールドはデフォルトで表示されます。ハードウェアカタログアイテムまたはソフトウェアカタログアイテムとしてレコードを保存すると、フォームはそれぞれハードウェアカタログまたはソフトウェアカタログに変更されます。
「全般」セクション	
カテゴリ	アイテムが属するアイテムの名前付きグループ。
配送時間	商品の配送に要する時間 (製品カタログから注文された時点から開始)。
UPC	アイテムの識別と追跡に使用されるバーコード番号。
説明	アイテムの詳細な説明。説明が製品カタログリストに表示されます。
製品情報セクション	
コスト	アイテムがベンダーから購入された価格。このフィールドは、[クラス] が [ソフトウェアカタログ] の場合にのみ表示されます。
仕様	アイテムのサイズ、重量、バージョン、速度などのファクト。
特徴	アイテムの識別可能な特性または特徴。
画像セクション	
アイコン	アイテムがサービスカタログに表示される際に名前の横に表示される小さな画像。サポートされているファイル形式は、`jpg`、`png`、`bmp`、`gif`、`jpeg` です。
画像	アイテムを示すイメージ。サポートされているファイル形式は、`jpg`、`png`、`bmp`、`gif`、`jpeg`です。
関連リスト	
含む	このアイテムとともに提供されるその他のカタログアイテム。この関連リストは情報提供のみを目的としています。
変数	このアイテムに関連付けられたサービスカタログ変数。サービスカタログ変数は、サービスカタログから製品を注文する際に顧客が選択する情報を取得、移します。

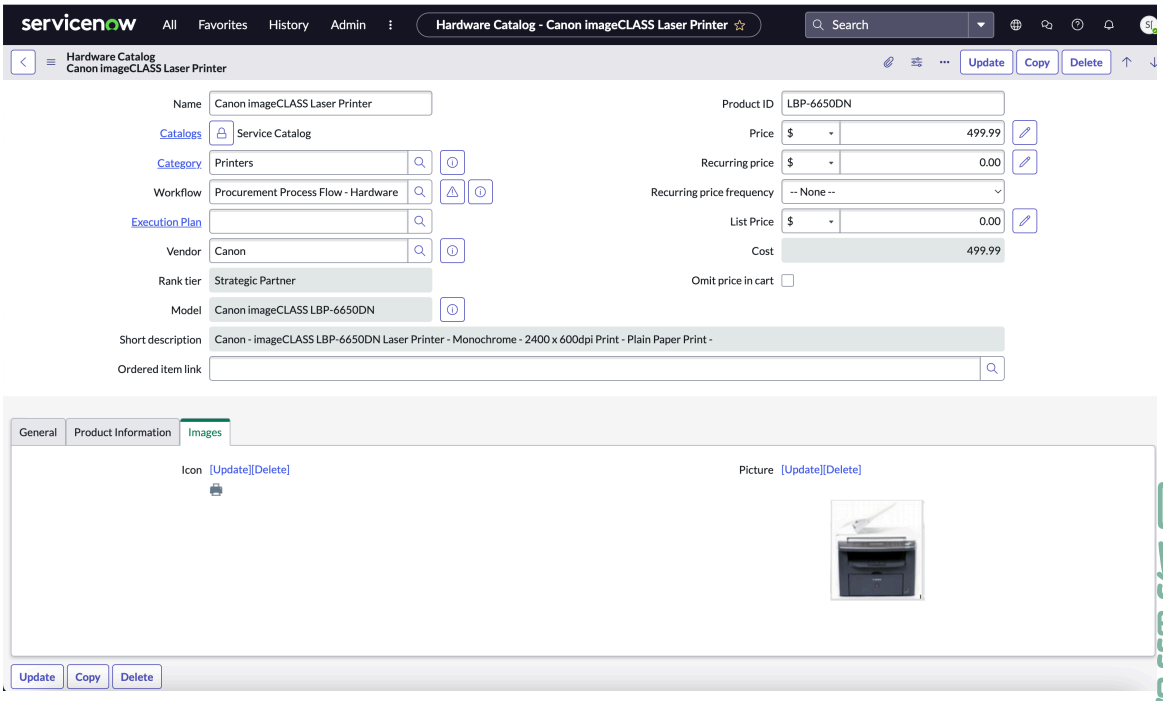
自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
ベンダーカタログアイテム	このアイテムに関連付けられたベンダーカタログアイテム。ベンダーカタログアイテムを使用すると、各ベンダーの識別によるアイテムに関する情報を追跡できます。

Example
ハードウェアカタログアイテムは、アイテムのアイコンと画像とともに記録されます。

ハードウェアカタログアイテム



4. オプション: サービスカタログに表示されているアイテムをプレビューするには、[お試し] を選択します。
5. [送信] または [更新] を選択します。

関連情報

ベンダーカタログアイテムを作成する

実行計画の作成

サービスカタログ変数

製品カタログアイテムのアクティブ化

製品カタログアイテムをアクティブ化して、製品カタログやサービスカタログで使用できるようにします。

始める前に
必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて
リスト ビューまたはレコードのいずれかからアイテムをアクティブ化することができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ハードウェアとソフトウェア]に移動します。
2. 次のいずれかの操作を実行します。

オプション	説明
リストビューから 1 点または複数のアイテムを有効にする	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある [アクティブ化] を選択します。
レコードからアクティブ化する	[関連リンク] で、 [アクティブ化] を選択します。

製品カタログアイテムの非アクティブ化

製品カタログアイテムを非アクティブ化して、製品カタログやサービスカタログから削除します。

始める前に

必要なロール：catalog_admin または admin

このタスクについて

リストビューまたはレコードのいずれかから項目を非アクティブ化することができます。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [カタログ定義] > [ハードウェアとソフトウェア]に移動します。
2. 次のいずれかの手順を実行します。

オプション	説明
リストビューから非アクティブ化する	レコードリストの 1 点または複数のアイテムの横にあるチェックボックスを選択し、リストの下にある[アクティブ化] をクリックします。
レコードから非アクティブ化する	[関連リンク] で、[非アクティブ化] を選択します。

モデルカテゴリ

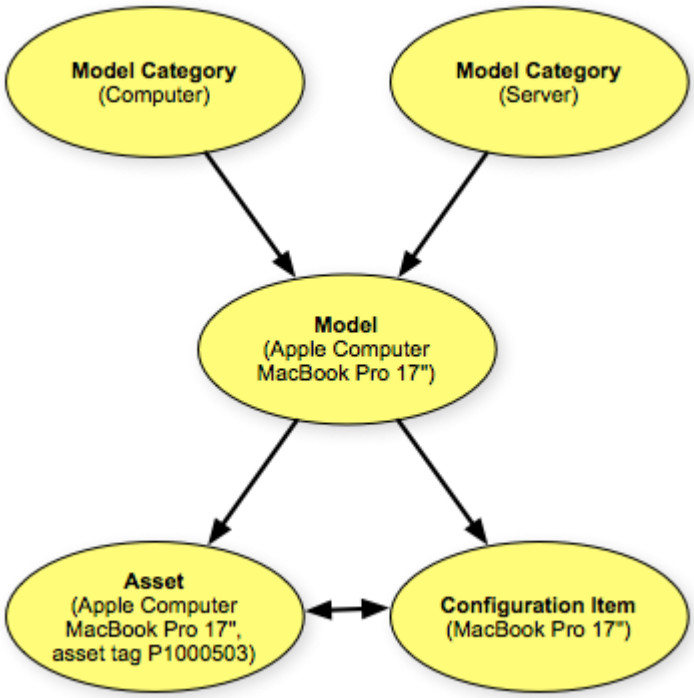
モデル カテゴリは、CI クラスを資産クラスに関連付けます。モデル カテゴリは製品カタログアプリケーションの一部です。

モデル カテゴリの構成は、ServiceNow プラットフォームが CI から資産を作成するかどうかを決定し、そうであれば資産のどのクラスを作成するかを決定します。ベース システムの資産クラスは、ハードウェア、ソフトウェア ライセンス、消耗品です。モデル カテゴリを多くのモデルに、モデルを多くのモデル カテゴリに関連付けることができます。たとえば、コンピューターの特定のモデルはコンピューターとサーバーとすることができます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

モデル図



サービスとして提供されるアイテム、または顧客に販売されるアイテムは、インストールベースアイテム (IBI) として追跡されます。[モデルカテゴリ] テーブルは、資産クラス、CI クラス、およびインストールベースアイテム (IBI) クラスを関連付けます。

注: [インストールベースアイテムクラス] フィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ、[モデルカテゴリ] フォームで使用できます。現在、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理コアアプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみがサポートされます。詳細については、「医療デバイスインストールベースアイテムテーブル」を参照してください。IBI クラスが作成されると、資産が存在する場合は資産に関連付けられ、それ以外の場合は資産が作成されます。

[資産クラス] と [IBI クラス] のフィールドは、次のように同期されます。

1. IBI クラスが更新されると、[アカウント]、[コンシューマー]、[場所]、および [インストール日] フィールドの変更が、資産クラスの対応するフィールドと同期されます。
2. 資産クラスが更新されると、[場所] および [インストール日] フィールドの変更が、IBI クラスの対応するフィールドと同期されます。

関連情報

CMDB 分類とクラスの依存関係

資産クラスを作成する

モデル カテゴリを表示する

デフォルトのモデル カテゴリは製品カタログに含まれています。デフォルトのカテゴリと作成されたカテゴリの一覧を表示できます。

始める前に

必要なロール：model_manager

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ]に移動します。
2. モデル カテゴリーを開いて、詳細を表示します。

モデル カテゴリを作成する

インスタンスのカスタム モデル カテゴリを追加できます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
モデル カテゴリを作成するときは、次の点にご注意ください。

- ベース システムは、CMDB 内の各 CI クラスのモデル カテゴリを提供します。*cmdb_ci* クラスを作成するとき、使用するモデル テーブルのモデル カテゴリ テーブルに対応する行を作成します。
- 既存のモデル カテゴリで [資産クラス] を選択すると、モデル カテゴリに関連付けられたすべての構成アイテムの資産が自動的に作成されます (設定されている場合)。資産が自動的に作成されない場合は、資産を手動で作成することができます。モデル カテゴリに対して資産クラスが選択された後、資産クラスは変更できません。
- [事前割り当てを許可]、[バンドルで許可]、[メインとして許可] オプションは、モデルカテゴリに資産クラスが指定されている場合にのみ使用できます。
- 資産クラスに [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、[バンドルで許可] オプションは使用できますが、[事前割り当てを許可] や [メインとして許可] は使用できません。
- 資産追跡を必要とするモデル カテゴリから CI を作成すると、モデル カテゴリで指定された資産クラスの資産レコードが自動的に作成されます。次に、その資産レコードを CI にリンクします。モデルが指定されている場合、CI のモデル カテゴリは、CI クラスと、モデルによってサポートされるカテゴリのリストの組み合わせによって決定されます。資産追跡はモデル レコードで指定されます。
- CI 追跡を必要とするモデル カテゴリから資産を作成すると、カテゴリによって指定されたクラスの CIレコードが自動的に作成され、資産にリンクされます。
- モデルカテゴリリスト ([製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ]) には、すべての CI クラスと、資産サイドで生成される資産クラスが表示されます。

手順

1. [製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ] に移動し、[新規] をクリックします。
2. フォームのフィールドに入力します。

モデルカテゴリ フィールド

フィールド	説明
名前	このカテゴリのわかりやすい名前。
CI クラス	CIクラスが必要な場合は、モデル カテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。
資産クラス	デフォルトオプションと作成した新規の資産クラス。資産クラスを設定すると、選択したモデル カテゴリに応じて資産の作成が発動されます。資産クラスを後でモデルカテゴリに追加することはできますが、追加後に変更することはできません。消耗品またはソフトウェアライセンスが CI を作成しないため、[消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI クラス]** フィールドが読み取り専用になります。CI クラスを指定してか

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
	ら [消耗品] または [ソフトウェアライセンス] を選択すると、**[CI クラス]** フィールドは自動的に [なし] に変更されます。 ◦ 資産：個別に追跡できるアイテム。 ◦ 消耗品：キーボードなど個別に追跡されない資産。 ◦ ハードウェア：ラップトップやサーバーなどのコンピューター機器の物理的な部品。 ◦ ソフトウェアライセンス：許可されたインストール数や配賦条件など、ソフトウェアの使用を定義する法的申告。
インストールベースアイテムクラス	資産をインストールベースアイテムとして追跡するクラス。 **注:** このフィールドは、カスタマーサービスインストールベース管理 [com.snc.install_base] プラグインがインストールされている場合にのみ利用できます。また現在のところ、ヘルスケアとライフサイエンスサービス管理 Core アプリケーションがインストールされている場合は、医療デバイスのインストールベースアイテム [sn_hcls_medical_device_install_base_item] のみを使用できます。
製品モデルクラス	モデルが保存されるクラステーブル。デフォルト値は次のとおりです。 ◦ アプリケーション ◦ 消耗品 ◦ 契約 ◦ 設備 ◦ ハードウェア ◦ サービス ◦ ソフトウェア 値を選択すると、モデルカテゴリで作成されたモデルのテーブルコンテンツ、フォームビュー、および全体的な機能が影響を受けます。
製品インスタンスである	モデルカテゴリが、資産、CI、および IBI クラスの論理グループである製品インスタンスに関連付けられているかどうかを識別します。 **注:** このチェックボックスは読み取り専用で、医療デバイスのモデルカテゴリでのみサポートされています。このオプションを選択すると、製品インスタンス識別子 (PID)、資産、CI、および IBI クラスの一意の識別子が、そのモデルカテゴリの資産を作成するたびに生成されます。ただし、既存の資産の場合、PID は、[シリアル番号]、[モデルコンポーネント ID]、[親] などの資産フィールドのいずれかが更新されたときにのみ生成されます。
事前割り当てを許可	このカテゴリーのアイテムを割り当て資産として追加、追跡します。
バンドルで許可	このカテゴリのアイテムをバンドルで使用します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
メインとして許可	このカテゴリのアイテムをバンドルのメインコンポーネントとして使用します。
CI 検証を強制	CI が手動で追加されたときやディスカバリーで検出されたとき、特定のモデル カテゴリで資産を自動的に作成しないようにします。このオプションを使用すると、新しい CI を資産として追加する前にアドミニストレーターが新しい CI をレビューおよび検証できます。

3. [送信] を選択します。

関連情報

検出

資産を手動で作成する

Now Platformは特定の条件下で自動的に資産を作成することはありません。必要に応じて手動で資産を作成することができます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
資産が自動的に作成されない条件は、次の通りです。

- 強制 CI 検証：[モデルカテゴリ] フォームの **[CI** 検証を強制] チェック ボックスを選択すると、CI の作成時または検出時に自動的に資産が作成されません。**[CI** 検証を強制] が有効な場合、新規作成された CI は資産の自動作成を発動しません。代わりに、これらの新規作成された CI の [検証を要求] フィールドが自動的に True に設定され、CI の次の UI アクションが表示されます。
  - *Create Asset*：資産を作成し、*Requires verification* を false に設定します。
  - *Merge CI*：CI の重複を結合する。このアクションは、CI の資産が別の過程で作成され、関連する CI が作成された場合に便利です。すると手動またはディスカバリーソースを介して 2 番目の CI が作成されても、重複した CI が正しく統合されませんでした。
- 構成エラー：まれに、資産を自動的に作成できないことがあります。モデルとモデルカテゴリを間違った順序で CI に割り当てると、このエラーが発生する可能性があります。

手動で資産を作成するには、次の手順に従います。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ]に移動します。
2. CI クラスが割り当てられていないモデルカテゴリを開きます。
3. [資産を作成] をクリックします。
   このアクションは、このモデルカテゴリで検証のために保留されたすべての CI から資産を作成します。このオプションは、admin ロールを持つユーザーのみ使用できます。

モデル カテゴリを編集する

すべてのデフォルトのモデル カテゴリは、契約モデル カテゴリを除いて編集できます。作成したカスタム モデル カテゴリは、いつでも編集できます。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
必要なロール：model_manager

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ]に移動します。
2. モデルカテゴリレコードを開きます。
3. 必要に応じてフィールドを編集します。

   注: CI クラスが必要な場合は、モデルカテゴリの作成時に指定する必要があります。後で CI クラスをモデルカテゴリに追加することはできません。

4. [更新] をクリックします。

モデル カテゴリを削除する

モデル カテゴリが不要になった場合は削除することができます。

始める前に
必要なロール：model_manager

このタスクについて
どのモデルにも参照されていないモデル カテゴリのみ削除できます。

手順

1. [すべて] > [製品カタログ] > [製品モデル] > [モデルカテゴリ]に移動します。
2. モデル カテゴリの [名前] の横にあるチェック ボックスを選択します。
3. リストの下の [選択した行のアクション] メニューから、[削除] をクリックします。
4. [削除] をクリックします。

自動翻訳

ドメインセパレーションと製品カタログ

ドメインセパレーションは 製品カタログ でサポートされています。 ドメインセパレーションでは、データ、プロセス、および管理タスクをドメインと呼ばれる論理的なグループに分けることができます。どのユーザーがデータを表示できるか、データにアクセスできるかなど、このアプリケーションのいくつかの側面を制御できます。

サポートレベル：標準

- ベーシックレベルサポートを含みます。
- ビジネスロジック：サービスプロバイダー (SP) によって顧客ごとにプロセスを作成または変更できます。ユースケースには、単一のインスタンスでの複数のサービスプロバイダー顧客によるアプリケーションの正しい使用が反映されています。
- インスタンスのオーナーは、特定のアプリケーションに期待される通りに、テナントごとに MVP ビジネスロジックとデータパラメーターを設定できる必要があります。

サンプルユースケース：アドミンは、レコードを他のテナントに対してはクローズしないが、1 つのテナントに対してクローズする場合、コメントを必須にすることができる必要があります。

サポートレベルの詳細については、「アプリケーションでのドメインセパレーションのサポート)」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

製品カタログにおけるドメインセパレーションの仕組み

ドメインオーナーの従業員とテナントは、作業が正しいドメインで実行されている場合、同じプロセスを使用できます。構成を調整するときは、作業を行っているドメインにいる必要があります。ドメインピッカーを使用して、作業を行う正しいドメインを選択します。

関連情報

サービスプロバイダーのドメインセパレーション

IT Asset Management コンテンツ要求プロセス

IT Asset Management コンテンツサービスチームは、IT Asset Management の顧客からのコンテンツ要求を管理およびサポートします。

ITAM コンテンツチームは、コンテンツ要求をレビューし、毎週の定期的なコンテンツ更新を通じてコンテンツ要求を提供します。

コンテンツ要求の例には、公開者、製品、公開者の品番、検出マップ、およびライフサイクル日付の追加または更新が含まれますが、これらに限定されません。カスタムデータ (パブリッシャー、製品など) をインスタンスに追加することはできますが、ITAM ユースケースにはすぐに使えるコンテンツを活用することをお勧めします。コンテンツサービスを通じて提供されたカスタムデータを作成する場合は、初期設定のコンテンツへの参照を更新し、カスタムデータを削除する必要があります。

コンテンツ要求は、次のカテゴリに分類されます。

- 新しいコンテンツ:現在コンテンツライブラリにないコンテンツが必要です。Now Supportポータルからカタログ要求を送信することで、新しいコンテンツを要求できます
- コンテンツ修正:以前に配信されたコンテンツを修正する必要があります。コンテンツの更新を要求するには、Now SupportポータルからServiceNowカスタマーサポートにケースを提出します。

コンテンツ要求の詳細については、 ServiceNow Now Support https://support.servicenow.com/kb?id=kb_article_view&sysparm_article=KB0790305 に関するこのナレッジベースの記事を参照してください。

IT Asset Management コンテンツ要求を作成

IT Asset Management コンテンツサービスの サービスカタログ アプリケーションを使用して、新しいコンテンツの要求を作成します。

始める前に

コンテンツ要求は、 ソフトウェア資産管理 コンテンツサービスと ハードウェア資産管理 コンテンツサービスに対して行うことができます。

必要なロール:顧客ユーザーまたはパートナーユーザー

手順

1. ServiceNow Now Support ポータルにログインします。
2. 移動先 オートメーションストア > サービスカタログ.
3. カタログアイテム [資産管理コンテンツ要求] を検索して選択します。
   カタログアイテムフォームで、カタログ要求番号 (CR)、要求元、および会社フィールドが自動的に入力されます。
4. フォームに詳細を入力します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

フィールド	説明
タイトル	要求のサマリー。
説明	要求の詳細。
選択されたインスタンス	コンテンツを要求しているインスタンス。
ウォッチリスト	組織内に個人を追加して、この要求の進捗状況を表示します。
コンテンツカテゴリ	要求のコンテンツカテゴリ。ソフトウェア資産管理コンテンツサービスまたはハードウェア資産管理コンテンツサービスを選択できます。
添付ファイル	要求されたコンテンツに関する必要な情報を記載した Excel シートを添付します。

5. [送信] をクリックします。
6. 現在のコンテンツ要求を表示するには、次の場所に移動します。 オートメーションストア > サービスカタログ > 自分のコンテンツ要求
   デフォルトのフィルターでは、アクティブな要求のみが表示されます。すべての要求 (クローズ済みの要求を含む) を表示する場合は、フィルターを調整する必要があります。

IT Asset Management のライセンス

ServiceNow プラットフォームでは、IT Asset Management アプリケーション (ServiceNow® ソフトウェア資産管理 アプリケーションと ServiceNow® ハードウェア資産管理 アプリケーション) の使用に対して組織が課金される新しいライセンス方法を使用します。

ライセンスの目的上、CI タイプは CI カテゴリーにアサインされています。組織の顧客契約により、各 CI カテゴリーの CI 割り当ての比率が決定します。顧客契約からの情報は ServiceNow プラットフォームと同期されます。これらは次の CI カテゴリです。

- ネットワーク機器
- サーバー
- エンドユーザーコンピューター

注: CI タイプは CI クラスと同じです。

組織のニーズに応じて、アプリケーションのサブスクリプションを個別に購入 (単品) することも、まとめて購入することもできます (バンドル)。サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドルに含まれるすべてのアプリケーションに対して同じ数のサブスクリプションが取得されます。たとえば、 ソフトウェア資産管理 および ハードウェア資産管理 アプリケーションをカバーする 500 のバンドルの場合、組織は ソフトウェア資産管理 用に 500 のサブスクリプションと ハードウェア資産管理用に 500 のサブスクリプションを受け取ります。

バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、予備の ハードウェア資産管理 サブスクリプションは ソフトウェア資産管理には使用できません。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

組織で当初の予想よりも多くのサブスクリプションが消費されている場合は、組織のニーズにより適したより大きなバンドルを購入できます。組織では、さまざまなレベルで IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションを使用する場合があります。その場合は、必要なアプリケーションのほとんどを十分にカバーするバンドルを購入し、より多くのサブスクリプションを使用するアプリケーション用の単品サブスクリプションを購入することもできます。

IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションサマリー

組織で購入および割り当てた IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション数を表示できます。

構成アイテム (CI) の割り当てと割り当てレベルを確認して、組織での IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプションの使用状況を確認し、今後のサブスクリプションのニーズを計画します。

移動先 **ITAM** ライセンス > **ITAM** サブスクリプションの概要 をクリックして、サブスクリプションの概要を表示します。

単品およびバンドルで購入したサブスクリプションについて、次の統計情報を表示します。

名前

サブスクリプションバンドルまたは IT Asset Management アプリケーションの名前 (組織がアプリケーションごとに個別に (単品) サブスクリプションを購入した場合)。

購入日

バンドルまたはアプリケーション (単品) ごとに購入したサブスクリプションの数です。

割り当て数

バンドルまたはアプリケーション (単品) で利用したサブスクリプションの数です。バンドルの場合、このフィールドには、バンドルに含まれているアプリケーションで利用したサブスクリプションの最大数が表示されます。たとえば、ソフトウェア資産管理で 300 のサブスクリプションを利用し 、ハードウェア資産管理 で 200 のサブスクリプションを利用した場合、このフィールドには、これらのアプリケーションが含まれているバンドルに応じた「300」が表示されます。

カラーコードは、組織で利用されているサブスクリプションの割合を示します。デフォルトでは、カラーコードのしきい値は 90 % です。

- 緑：組織で購入したサブスクリプションの利用率は 10 % 未満です。
- 黄：組織で購入したサブスクリプションの利用率は 90 % を超え、100 % 未満です。
- 赤：組織での利用率は 100 % 以上で、購入したサブスクリプションの数を上回っています。購入したサブスクリプションが上限超過となっています。

開始日/終了日

このサブスクリプションが有効な期間です。

ライセンスモジュールは、次のようにサブスクリプションの利用量を計算して表示します。

バンドルのみのサブスクリプション

サブスクリプションをバンドルで購入すると、バンドルに含まれるすべての IT Asset Management アプリケーションに対して同じ数のサブスクリプションを取得できます。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルの場合、組織は、ソフトウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションと、ハードウェア資産管理 に対する 500 のサブスクリプションを受け取ります。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへのバンドルサブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。バンドルサブスクリプションは特定のアプリケーションに対応します。他のアプリケーションが同じバンドルに含まれている場合でも、他のアプリケーションに対してバンドルサブスクリプションを使用することはできません。たとえば、ソフトウェア資産管理 と ハードウェア資産管理 に対応する 500 のバンドルを購入し、500 すべての ソフトウェア資産管理 サブスクリプションを使用した場合、予備の ハードウェア資産管理 サブスクリプションは ソフトウェア資産管理には使用できません。

購入したサブスクリプションの数を超過した場合、利用したサブスクリプションの数に合わせてバンドルサイズが自動的に調整されます。このとき、ライセンスモジュールは、同じバンドルに含まれているすべてのアプリケーションの利用量レベルを再計算します。

[サブスクリプション] ウィンドウには、[割り当て数] の下に実際に利用したサブスクリプションの数が表示されます。[割り当て済み] の赤い色のドットは、バンドルが上限を超過していることを示します。

単品のみのサブスクリプション

ライセンスモジュールは、関連するアプリケーションへの単品サブスクリプションから、利用したサブスクリプションの数を差し引きます。[サブスクリプション] ウィンドウには、IT Asset Management アプリケーションで購入および割り当てられたサブスクリプションの情報が表示されます。

IT Asset Management アプリケーションのサブスクリプション購入数を超過した場合、未使用のサブスクリプションを別のアプリケーションに使用することはできません。

サブスクリプションの数を超過した場合、[サブスクリプション] ウィンドウには、上限超過の関連する単品サブスクリプションが表示されます。

同じアプリケーション用の、バンドルと単品の両方のサブスクリプション

IT Asset Management サブスクリプションをバンドルと単品の両方で購入した場合、ライセンスモジュールでは、購入した単品サブスクリプションの数から差し引く前に、必ず消費したサブスクリプションの数をバンドルから差し引きます。たとえば、ソフトウェア資産管理 および ハードウェア資産管理 が含まれている、500 のサブスクリプションのバンドルがあるとします。加えて、ソフトウェア資産管理 用の単品サブスクリプションを 250 購入しているとします。ソフトウェア資産管理 が利用する最初の 500 のサブスクリプションは、バンドル分から利用されます。ソフトウェア資産管理 が利用するサブスクリプションの数がバンドル分を超過した場合のみ、購入した単品サブスクリプションからも差し引かれ、その結果が、ソフトウェア資産管理 に割り当てられたサブスクリプションとして表示されます。

組織で購入したバンドルおよび単品のサブスクリプションの数を超過した場合は、単品サブスクリプションからの上限超過と見なされます。この場合、[サブスクリプション] ウィンドウでは、単品サブスクリプションが上限超過になっていることが示されます。

IT Asset Management アプリケーションのライセンスレポートの表示

IT Asset Management アプリケーションが検出、監視、およびプロビジョニングするリソースは、CMDB に保存されている構成アイテム (CI) です。ITAM ライセンスモジュールは、CI に関するこの情報と組織が購入したサブスクリプションに関する情報を組み合わせて、IT Asset Management アプリケーションによるサブスクリプションの使用に関する統計情報を生成します。

自動翻訳

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。

始める前に
ライセンス目的で情報を収集および集計するプロセスは、次のやり取りで構成されます。これにより、組織で購入したサブスクリプションユニットをどのように使用しているのかを示す統計情報を表示できます。

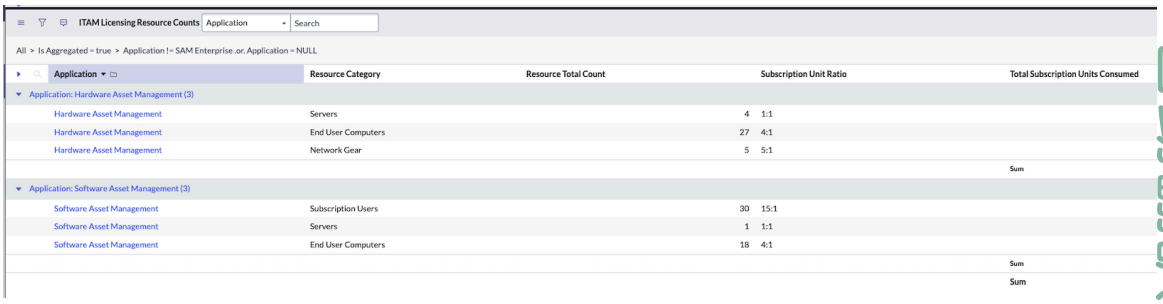
1. IT Asset Management アプリケーションは、CI をカウントし、毎日 CI カテゴリに割り当てます。
2. IT Asset Management アプリケーションは、CI カテゴリ別の CI 数を IT Asset Management ライセンスモジュールに日次レポートします。同じアプリケーションの機能がリソースと同じ CI を報告する場合、CI 数が操作され、重複は削除されます。
3. ライセンスモジュールは、IT Asset Management アプリケーションの日次平均 CI 数と顧客契約のライセンス情報を関連付けて、ライセンス統計情報を生成します。

必要なロール：

- admin
- usage_admin

手順

1. 移動先 すべて > **ITAM** ライセンス > **ITAM** ライセンスレポート.
2. 特定の CI カテゴリのサブスクリプションを表示するアプリケーションを選択します。



CI 数と、IT Operations Management アプリケーションごとに個別に (単品) 購入したサブスクリプションに関する次の情報を表示できます。

- リソースカテゴリ:IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリ。
- リソース合計数:各 IT 資産管理アプリケーションの CI カテゴリ別に整理された CI の CI 数。
- [サブスクリプションユニット率]：率は、サブスクリプションが必要な特定の CI カテゴリにおける CI の数を定義します。ソフトウェア資産管理アプリケーションには、エンドユーザーコンピューター (4:1)、サーバー (1:1)、ストレージボリューム (3:1)、データベース (3:1)、サブスクリプションユーザー (15:1) の値が事前定義されています。
- 消費されたサブスクリプションユニットの合計:組織が利用した各 IT Asset Management アプリケーションの CI カテゴリあたりのサブスクリプション数。ライセンスモジュールは、各アプリケーションの CI カテゴリの CI 数にサブスクリプション比率を適用して、この数を計算します。

ライセンスの目的で、 ソフトウェア資産管理 アプリケーションでは、過去 90 日以内にソフトウェアのインストールが検出された CI、または最後に検出された CI のみが空と見なされます。また、cmdb_ci_hardwareテーブルに列が追加され、その列名が *Enter the name of the true/false field added to cmdb_ci_hardware table to exclude software installed on selected devices from Software Asset Management* というラベルの付いたプロパティで参照されている CI は、すべて除外されます。CI の除外の詳細については、「CI 上のソフトウェア資産を除外する」を参照してください。

© 2024 ServiceNow, Inc. All rights reserved.
ServiceNow, ServiceNow のロゴ、Now、その他の ServiceNow マークは 米国および/またはその他の国における ServiceNow, Inc. の 商標または登録商 標です。
その他の会社名と 製品名は、関連する各会社の商標である 可能性があります。